別記様式第２号（その１の１）

基　本　計　画　書

基　本　計　画		
事　項	記　入　欄	備　考
計　画　の　区　分	大学の設置	
フ　リ　ガ　ナ 設　置　者	ｶﾞｯｺｳﾎｳｼﾞﾝ ﾆｲｶﾞﾀｿｳｺﾞｳｶﾞｸｲﾝ 学校法人　新潟総合学院	
フ　リ　ガ　ナ 大　学　の　名　称	ｶｲｼｾﾝﾓﾝｼｮｸﾀﾞｲｶﾞｸ 開志専門職大学　（Kaishi Professional University）	
大学本部の位置	新潟県新潟市中央区紫竹山6丁目3番5号	
大　学　の　目　的	本学は、専門分野における高度で実践的な専門性を身に付けると同時に、変化に対応する能力や生涯にわたり学び続ける力を備え、創造力と実践力をもって、新たな価値の創造を先導する人材を育成することにより、地域、日本、世界の発展に寄与することを目的とする。	
新設学部等の目的	事業創造学部 事業創造学部では、組織として教育研究対象とする中心的な学問分野を「経営学分野」として、「経営分野の専門的な知識と技術及び技能の定着と実践力の深化を図り、実社会や職業とのかかわりを通して、高い職業意識や職業観と規範意識、人間関係力に根ざした実践力を高めるとともに、課題を探求し解決する基礎的な能力を養い、地域の資源を新商品や新サービスの開発に活用できる創造的な能力を育てる」ことを教育上の目的とする。 事業創造学部では、「職業人としての倫理観や道徳意識、起業家精神などを身に付け、起業家、事業承継者、企業内起業家として、事業活動や商品開発を行うために必要となる専門的な知識と能力に加えて、地域の魅力や特徴に関する知識を有し、地域の資源を新商品や新サービスに活用するための能力と消費者の視点に立って正しく問題を解決するための考え方を身に付けて、地域経済の活性化に貢献できる人材」を養成する。 情報学部 情報学部では、組織として教育研究対象とする中心的な学問分野を「情報学分野」として、「情報分野の専門的な知識と技術及び技能の定着と実践力の深化を図り、実社会や職業とのかかわりを通して、高い職業意識や職業観と規範意識、人間関係力に根ざした実践力を高めるとともに、課題を探求し解決する基礎的な能力を養い、情報技術を生活様式や様々なサービスなどの充実と向上に活用できる創造的な能力を育てる」ことを教育上の目的とする。 情報学部では、「職業人としての職業観や倫理観、豊かな人間性とともに、情報技術者としての専門的な知識や技能と実際に活用する能力に加え、地域社会や産業界を取り巻く現状に関する知識を有し、正しく問題を解決するための考え方とユーザーの視点に立った新商品や新サービスを企画・開発するための基礎的な能力を身に付けて、地域社会の情報化に貢献できる人材」を養成する。	

	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
新設学部等の概要	事業創造学部 (Faculty of Business Innovation and Entrepreneurship) 事業創造学科 (Department of Business Innovation and Entrepreneurship)	年 4	人 80	年次人 －	人 320	事業創造学士 (専門職) 【Bachelor of Business Innovation and Entrepreneurship】	 平成32年4月	 新潟県新潟市中央区紫竹山6丁目3番5号	
	情報学部 (Faculty of Information) 情報学科 (Department of Information)	年 4	人 80	年次人 －	人 320	情報学士 (専門職) 【Bachelor of Information】	 平成32年4月	 新潟県新潟市中央区紫竹山6丁目3番5号 新潟県新潟市中央区米山3丁目1番53号	
	計		160	－	640				
同一設置者内における変更状況 （定員の移行，名称の変更等）									

	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数	
		講義	演習	実験・実習	計		
教育課程	事業創造学部 事業創造学科	36科目	36科目	12科目	84科目	124単位	
	情報学部 情報学科	35科目	41科目	17科目	93科目	130単位	

教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等						兼任教員等		
			教授	准教授	講師	助教	計	助手			
	新設分	事業創造学部 事業創造学科	人 10 (10)	人 6 (6)	人 2 (2)	人 1 (1)	人 19 (19)	人 1 (1)	人 23 (7)		
		情報学部 情報学科	人 12 (12)	人 1 (1)	人 4 (3)	人 1 (1)	人 18 (17)	人 3 (3)	人 17 (6)		
		計	22 (22)	7 (7)	6 (5)	2 (2)	37 (36)	4 (4)	40 (13)		
	既設分	該当なし	－ (-)	－ (-)	－ (-)	－ (-)	－ (-)	－ (-)	－ (-)		
		計	－ (-)	－ (-)	－ (-)	－ (-)	－ (-)	－ (-)	－ (-)		
	合計		22 (22)	7 (7)	6 (5)	2 (2)	37 (36)	4 (4)	40 (13)		

教員以外の職員の概要	職種	専任	兼任	計
	事務職員	人 19 (17)	人 0 (0)	人 19 (17)
	技術職員	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	図書館専門職員	1 (1)	0 (0)	1 (1)
	その他の職員	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	計	20 (18)	0 (0)	20 (18)

校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	9,210.14㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	9,210.14㎡	借用地 1,051㎡ 2017.8.21～ 2040.10.31
	運動場用地	0.00 ㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	
	小計	9,210.14㎡	0.00㎡	0.00 ㎡	9,210.14㎡	
	その他	0.00 ㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	米山キャンパスは 1,501.46㎡
	合計	9,210.14㎡	0.00㎡	0.00 ㎡	9,210.14㎡	

校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	校舎面積 15,907.80㎡の内、 2,104.48㎡は申請外の面積
	13,803.32㎡ (13,803.32㎡)	0.00 ㎡ (0 .00 ㎡)	0.00 ㎡ (0.00 ㎡)	13,803.32㎡ (13,803.32㎡)	

教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体
	17室	11室	10室	2 室 （補助職員 0 人）	0 室 （補助職員 0 人）	

専任教員研究室	新設学部等の名称	室数
	事業創造学部 事業創造学科	20 室
	情報学部 情報学科	21 室

図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	
	事業創造学部 事業創造学科	3,990〔63〕 (3,990〔63〕)	24〔11〕 (24〔11〕)	11〔11〕 (11〔11〕)	2 (2)	2,874 (2,874)	0 (0)	
	情報学部 情報学科	3,866〔64〕 (3,866〔64〕)	29〔16〕 (29〔16〕)	16〔16〕 (16〔16〕)	2 (2)	2,718 (2,718)	0 (0)	
	計	7,856〔127〕 (7,856〔127〕)	53〔27〕 (53〔27〕)	27〔27〕 (27〔27〕)	4 (4)	5,592 (5,592)	0 (0)	

図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数
	557.27㎡	169席	23,750冊
体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要	
	0.00㎡	－	－

大学全体

経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分		開設前年度	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
		教員１人当り研究費等	事業創造学部		300千円	300千円	300千円	300千円	－ 千円	－ 千円
			情報学部		300千円	300千円	300千円	300千円	－ 千円	－ 千円
		共同研究費等	事業創造学部		1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	－ 千円	－ 千円
			情報学部		2,000千円	2,000千円	2,000千円	2,000千円	－ 千円	－ 千円
		図書購入費	事業創造学部	18,109千円	200千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	－ 千円	－ 千円
			情報学部	17,392千円	200千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	－ 千円	－ 千円
		設備購入費	事業創造学部	167,728千円	0千円	1,000千円	1.000千円	1,000千円	－ 千円	－ 千円
			情報学部	648,051千円	0千円	4,000千円	4,000千円	4,000千円	－ 千円	－ 千円

図書購入費には、雑誌・電子ジャーナル・データベース等の整備費(運用コスト含む)を含む。

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
事業創造学部	1,280千円	1,080千円	1,080千円	1,080千円	－ 千円	－ 千円
情報学部	1,580千円	1,380千円	1,380千円	1,380千円	－ 千円	－ 千円
学生納付金以外の維持方法の概要	雑収入等					

既設大学等の状況	大学の名称	長岡公務員・情報ビジネス専門学校							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
		年	人	年次人	人		倍		
	情報システム科	2	15	－	30	専門士	0.96	昭和57年度	
	ＩＴエンジニア科	3	10	－	30	専門士	0.20	平成8年度	
	情報ビジネス科	2	20	－	20	専門士	0.15	平成11年度	
	ＣＧ・Ｗｅｂデザイン科	2	0	－	10	専門士	0.50	平成13年度	
	ＣＧ・Ｗｅｂビジネス科	2	10	－	10	－	0.60	平成31年度	新潟県長岡市弓町1丁目8番37号
	公務員科	1	20	－	20	－	0.50	平成3年度	
	経理ビジネス科	2	15	－	30	専門士	0.19	平成7年度	
	ビジネス公務員科	2	60	－	120	専門士	0.75	平成7年度	
	ビジネスライセンス科	1	40	－	40	－	0.20	平成22年度	
	総合ビジネス科	2	30	－	60	専門士	0.38	平成28年度	

既設大学等の状況	大学の名称	伝統文化と環境福祉の専門学校								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
		年	人	年次人	人		倍			
	伝統建築学科	3	30	－	90	専門士	0.59	平成20年度	新潟県佐渡市千種232	
	伝統建築学科	4	20	－	50	高度専門士	0.08	平成25年度		入学定員変更 平成31年10人→20人

令和元年10月1日より設置者を(学)国際総合学園に変更する

既設大学等の状況	大学の名称	長岡こども・医療・介護専門学校							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
		年	人	年次人	人		倍		
	医療秘書科	2	25	－	50	専門士	0.24	平成25年度	
	医療ビジネス科	2	25	－	50	専門士	0.16	平成25年度	
	医療事務ライセンス科	1	10	－	10	－	0.10	平成27年度	
	薬局・調剤事務科	2	20	－	40	専門士	0.52	平成28年度	
	こども医療保育科	3	60	－	145	専門士	0.40	平成25年度	新潟県長岡市弓町1丁目8番34号
	こども保育幼稚園科	2	30	－	60	専門士	0.11	平成25年度	
	こども未来教育科	4	－	－	10	高度専門士	0.10	平成25年度	
	介護福祉科	2	40	－	80	専門士	0.18	平成25年度	

既設大学等の状況	大学の名称	上越公務員・情報ビジネス専門学校								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
		年	人	年次人	人		倍			
	医療秘書・事務科	2	15	－	40	専門士	0.95	平成26年度		平成31年入学定員変更25人→15人
	ビジネスライセンス科	1	10	－	10	専門士	0.00	平成26年度		
	情報システム科	2	15	－	30	専門士	0.93	平成28年度		
	情報・ゲーム・デザイン科	3	5	－	25	専門士	0.73	平成28年度		平成31年入学定員変更10人→5人
	国際・ＩＴエンジニア科	3	10	－	55	専門士	0.45	平成29年度	新潟県上越市北城町3丁目4番1号	平成30年入学定員変更25人→20人 平成31年入学定員変更20人→10人
	国際・ＩＴエンジニア科	2	5	－	15	－	0.00	平成30年度		平成31年入学定員変更10人→5人
	国際・ＩＴエンジニア科	2.5	15	－	15	－	0.00	平成30年度		平成31年新設(10月入学)
	ブライダル・観光・サービス科	2	15	－	30	専門士	0.40	平成28年度		
	公務員・法律行政科	2	15	－	30	専門士	0.76	平成28年度		
	公務員専攻科	1	10	－	10	－	1.00	平成28年度		
	こども保育幼稚園科	3	20	－	20	－	0.25	平成31年度		平成31年新設
附属施設の概要		該当なし								

既設専門学校の状況

区分	項目	31年度	30年度	29年度	28年度	平均入学定員超過率
長岡公務員・情報ビジネス専門学校						
工業専門課程	入学定員超過率	(0.52)	(0.51)	(0.20)		
(合計)	入学者数	29	18	2		(0.41)
	入学定員	55	35	10		
情報システム科(2年制)	入学定員超過率	(1.26)	(0.66)			
	入学者数	19	10			(0.96)
	入学定員	15	15			
ＩＴエンジニア科(3年制)	入学定員超過率	(0.10)	(0.30)	(0.20)		
	入学者数	1	3	2		(0.20)
	入学定員	10	10	10		
情報ビジネス科(2年制)	入学定員超過率	(0.15)	－			
※H30 募集停止	入学者数	3	－			(0.15)
※H31 募集再開	入学定員	20	－			
ＣＧ・Ｗｅｂデザイン科(2年制)	入学定員超過率	－	(0.50)			
※H31 募集停止	入学者数	－	5			(0.50)
	入学定員	－	10			
ＣＧ・Ｗｅｂビジネス科(2年制)	入学定員超過率	(0.60)	－			
※H31 新設	入学者数	6	－			(0.60)
	入学定員	10	－			
長岡公務員・情報ビジネス専門学校						
商業実務専門課程	入学定員超過率	(0.48)	(0.55)			
(合計)	入学者数	80	58			(0.51)
	入学定員	165	105			
公務員科(1年制)	入学定員超過率	(0.50)				
	入学者数	10				(0.50)
	入学定員	20				
経理ビジネス科(2年制)	入学定員超過率	(0.26)	(0.13)			
	入学者数	4	2			(0.19)
	入学定員	15	15			
ビジネス公務員科(2年制)	入学定員超過率	(0.80)	(0.71)			
	入学者数	48	43			(0.75)
	入学定員	60	60			
ビジネスライセンス科(1年制)	入学定員超過率	(0.20)				
	入学者数	8				(0.20)
	入学定員	40				
総合ビジネス科(2年制)	入学定員超過率	(0.33)	(0.43)			
	入学者数	10	13			(0.38)
	入学定員	30	30			

伝統文化と環境福祉の専門学校						
工業専門課程	入学定員超過率	(0.44)	(0.32)	(0.57)	(0.10)	
(合計)	入学者数	22	13	23	1	(0.35)
	入学定員	50	40	40	10	
伝統建築学科(3年制)	入学定員超過率	(0.63)	(0.43)	(0.73)		
	入学者数	19	13	22		(0.59)
	入学定員	30	30	30		
伝統建築学科(4年制)	入学定員超過率	(0.15)	(0.00)	(0.10)	(0.10)	
※H31 入学定員変更	入学者数	3	0	1	1	(0.08)
	入学定員	20	10	10	10	
長岡こども・医療・介護専門学校						
商業実務専門課程	入学定員超過率	(0.28)	(0.27)			
(合計)	入学者数	23	19			(0.27)
	入学定員	80	70			
医療秘書科(2年制)	入学定員超過率	(0.32)	(0.16)			
	入学者数	8	4			(0.24)
	入学定員	25	25			
医療ビジネス科(2年制)	入学定員超過率	(0.16)	(0.16)			
	入学者数	4	4			(0.16)
	入学定員	25	25			
医療事務ライセンス科(1年制)	入学定員超過率	(0.10)				
	入学者数	1				(0.10)
	入学定員	10				
薬局・調剤事務科(2年制)	入学定員超過率	(0.50)	(0.55)			
	入学者数	10	11			(0.52)
	入学定員	20	20			
長岡こども・医療・介護専門学校						
教育・社会福祉専門課程	入学定員超過率	(0.19)	(0.23)	(0.56)	(0.00)	
(合計)	入学者数	25	31	17	0	(0.24)
	入学定員	130	130	30	5	
こども医療保育科(3年制)	入学定員超過率	(0.25)	(0.31)	(0.64)		
※H30 入学定員変更	入学者数	15	19	16		(0.40)
	入学定員	60	60	25		
こども保育幼稚園科(2年制)	入学定員超過率	(0.06)	(0.16)			
	入学者数	2	5			(0.11)
	入学定員	30	30			
こども未来教育科(4年制)	入学定員超過率	−	−	(0.20)	(0.00)	
※H30 募集停止	入学者数	−	−	1	0	(0.10)
	入学定員	−	−	5	5	
介護福祉科(2年制)	入学定員超過率	(0.20)	(0.17)			
	入学者数	8	7			(0.18)
	入学定員	40	40			

上越公務員・情報ビジネス専門学校 商業実務専門課程 （合計）	入学定員超過率 入学者数 入学定員	(0.76) 19 25	(0.64) 16 25			(0.70)
医療秘書・事務科(2年制) ※H31 入学定員変更	入学定員超過率 入学者数 入学定員	(1.26) 19 15	(0.64) 16 25			(0.95)
ビジネスライセンス科(1年制)	入学定員超過率 入学者数 入学定員	(0.00) 0 10				(0.00)
上越公務員・情報ビジネス専門学校 工業専門課程 （合計）	入学定員超過率 入学者数 入学定員	(0.77) 27 35	(0.32) 23 70	(0.42) 15 35		(0.50)
情報システム科(2年制)	入学定員超過率 入学者数 入学定員	(0.86) 13 15	(1.00) 15 15			(0.93)
情報・ゲーム・デザイン科(3年制) ※H31 入学定員変更	入学定員超過率 入学者数 入学定員	(1.60) 8 5	(0.10) 1 10	(0.50) 5 10		(0.73)
国際・ＩＴエンジニア科(3年制) ※H30 入学定員変更 ※H31 入学定員変更	入学定員超過率 入学者数 入学定員	(0.60) 6 10	(0.35) 7 20	(0.40) 10 25		(0.45)
国際・ＩＴエンジニア科(2年制) ※H31 入学定員変更	入学定員超過率 入学者数 入学定員	(0.00) 0 5	(0.00) 0 10			(0.00)
国際・ＩＴエンジニア科(2.5年制) ※H30 開設(10月入学)	入学定員超過率 入学者数 入学定員	－ － －	(0.00) 0 15			(0.00)
上越公務員・情報ビジネス専門学校 文化・教養専門課程 （合計）	入学定員超過率 入学者数 入学定員	(0.55) 33 60	(0.56) 17 30			(0.55)
ブライダル・観光・サービス科(2年制)	入学定員超過率 入学者数 入学定員	(0.40) 6 15	(0.40) 6 15			(0.40)
公務員・法律行政科(2年制)	入学定員超過率 入学者数 入学定員	(0.80) 12 15	(0.73) 11 15			(0.76)
公務員専攻科(1年制)	入学定員超過率 入学者数 入学定員	(1.00) 10 10				(1.00)
こども保育幼稚園科(3年制) ※H31 新設	入学定員超過率 入学者数 入学定員	(0.25) 5 20				(0.25)

学校法人新潟総合学院　設置認可等に関わる組織の移行表

平成31年度	入学定員	編入学定員	収容定員	令和2年度	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
				開志専門職大学				専門職大学新設
				事業創造学部				
				事業創造学科	80	－	320	
				情報学部				
				情報学科	80	－	320	
				計	160	－	640	
長岡公務員・情報ビジネス専門学校				長岡公務員・情報ビジネス専門学校				
情報システム科	15	－	30	情報システム科	15	－	30	
ＩＴエンジニア科	10	－	30	高度ＩＴエンジニア科	5	－	15	名称変更、定員変更(△5)
情報ビジネス科	20	－	40	情報ビジネス科	5	－	10	定員変更(△15)
ＣＧ・Ｗｅｂビジネス科	10	－	20	ＣＧデザイン科	5	－	10	名称変更、定員変更(△5)
公務員科	20	－	20	公務員科	10	－	10	定員変更(△10)
経理ビジネス科	15	－	30					募集停止
ビジネス公務員科	60	－	120	ビジネス公務員科	50	－	100	定員変更(△10)
ビジネスライセンス科	40	－	40	ビジネスライセンス科	20	－	20	定員変更(△20)
総合ビジネス科	30	－	60	総合ビジネス科	10	－	20	定員変更(△20)
計	220	－	390	計	120	－	215	
				令和元年10月1日より設置者を(学)国際総合学園に変更する				
伝統文化と環境福祉の専門学校				伝統文化と環境福祉の専門学校				
伝統建築学科(3年制)	30	－	90	伝統建築学科(3年制)	25	－	75	定員変更(△5)
伝統建築学科(4年制)	20	－	80	伝統建築学科(4年制)	5	－	20	定員変更(△15)
				建築専科	5	－	5	新設
計	50	－	170	計	35	－	100	
長岡こども・医療・介護専門学校				長岡こども・医療・介護専門学校				
医療秘書科	25	－	50	医療秘書・ビジネス科	25	－	50	名称変更
医療ビジネス科	25	－	50					募集停止
医療事務ライセンス科	10	－	10	医療事務ライセンス科	5	－	5	定員変更(△5)
薬局・調剤事務科	20	－	40					募集停止
こども医療保育科	60	－	180	こども保育総合科	15	－	45	名称変更、定員変更(△45)
こども保育幼稚園科	30	－	60	こども保育幼稚園科	40	－	80	定員変更(10)
介護福祉科	40	－	80	介護福祉科	40	－	80	
計	210	－	470	計	125	－	260	
上越公務員・情報ビジネス専門学校				上越公務員・情報ビジネス専門学校				
医療秘書・事務科	15	－	30	医療秘書・事務科	10	－	20	定員変更(△5)
ビジネスライセンス科	10	－	10	ビジネスライセンス科	5	－	5	定員変更(△5)
情報システム科	15	－	30	情報システム科	10	－	20	定員変更(△5)
情報・ゲーム・デザイン科	5	－	15	情報・ゲーム・デザイン科	10	－	30	定員変更(5)
国際・ＩＴエンジニア科(3年制)	10	－	30	国際・ＩＴエンジニア科(3年制)	5	－	15	定員変更(△5)
国際・ＩＴエンジニア科(2年制)	5	－	10	国際・ＩＴエンジニア科(2年制)	5	－	10	
国際・ＩＴエンジニア科(2.5年制)	15	－	45	国際・ＩＴエンジニア科(2.5年制)	5	－	15	定員変更(△10)
				国際・ＩＴエンジニア科(1年制)	10	－	10	新設
ブライダル・観光・サービス科	15	－	30	ホテル・ ブライダル・旅行科	10	－	20	名称変更、定員変更(△5)
公務員・法律行政科	15	－	30	公務員・法律行政科	10	－	20	定員変更(△5)
公務員専攻科	10	－	10	公務員専攻科	10	－	10	
こども保育幼稚園科	20	－	60	こども保育幼稚園科	5	－	15	定員変更(△15)
計	135	－	300	計	95	－	190	

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（事業創造学部事業創造学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目		英語コミュニケーションⅠ	1①②	1				○							兼1	
		英語コミュニケーションⅡ	1③④	1				○							兼1	
		英語プレゼンテーション演習Ⅰ	2①②	1				○							兼1	
		英語プレゼンテーション演習Ⅱ	2③④	1				○							兼1	
		中国語コミュニケーション	4③④			1		○							兼1	
		韓国語コミュニケーション	4③④			1		○							兼1	
		ロシア語コミュニケーション	4③④			1		○							兼1	
		情報リテラシー	1①	2				○		1						
		日本語コミュニケーション	1①②	2				○		1						
		現代経済学	1①②		2		○			1						
		現代産業論	1①②	2			○				1					
		現代企業論	1③④	2			○				1					
		現代史と国際関係論	1③④		2		○			1						
		現代の科学技術	1③④		2		○								兼1	
		現代実践法学	1①②		2		○								兼1	
		現代社会学	1③④		2		○					1				
		国際動態論	3④		2		○			1						
		キャリアデザインⅠ	1①	1				○				1				※講義
		キャリアデザインⅡ	2②	1				○				1				※講義
		キャリアデザインⅢ	3②	1				○							兼1	※講義
		ビジネスモラル	1①	1			○								兼1	
		小計(21科目)	－	16	12	3	－			5	2	3	0	0	兼11	
職業専門科目	職業専門科目群	経済学の基礎	1①②	2			○			1						
		経営学の基礎	1①②	2			○				1					
		経営戦略論	1③④	2			○				1					
		経営組織論	2①②	2			○				1					
		経営戦略策定演習	2③④	2				○			1					
		イノベーションマネジメント	3①②	2			○			1						
		グローバル社長学	3③④		2		○			1						
		実践企業革新	4①②		2		○				1					
		マーケティング	1①②	2			○			1						
		デジタルマーケティング	1③④	2				○		1						
		流通論の基礎	2①②		2		○			1						
		消費者行動研究	2③④		2		○								兼1	
		実践的統計学	3①②		2		○								兼1	
		広報戦略の実践	3③④		2			○		1						
		会計学	2②	1			○				1					
		財務諸表論	2③	1			○				1					
		簿記概論	1①②	2			○						1			
		簿記演習	1③	1				○					1			
		財務諸表分析	3①②	2				○					1			
		資金調達の実践	3③④	2			○					1				
		実践日本ビジネス法	2③④	2			○								兼1	
		不動産法入門	3①②		2		○				1					
		不動産取引演習	3③④		2			○			1					
		企業リスク管理実践	3③④		2		○								兼1	
		アントレプレナーシップ論	1③④	2			○			1					兼1	オムニバス
		実践ベンチャービジネス	2③④	1				○		1						
		ICT活用ビジネス	3③④		2			○		2						
		トップランナー研究	1②④	2				○		1						※集中
		ビジネスモデル研究	2①②	2				○			1					

職業専門科目	職業専門科目群	ビジネスコミュニケーション	1③④	2			○			1							
		コミュニケーションデザイン	3①②		2			○							兼1		
		ビジネスプランの基礎	1③④	2			○			1							
		ビジネスプランの応用	2①②	2					○	1							
		会社設立実習Ⅰ	2③④	4					○	1	1						
		会社設立実習Ⅱ	3①②	4					○	1	1						
		会社設立実習Ⅲ	3③④		4				○		1						
		実践事業承継	3③		2		○								兼1		
		事業承継演習	3④		2			○							兼2	オムニバス	
		企業内実習Ⅰ	1③④	2					臨	1	3	1		1			
		企業内実習Ⅱ	2③④	4					臨		1	2	1	1			
		企業内実習Ⅲ	3③④	6					臨	1	3	1		1			
		新規商品開発・販売実習Ⅰ	2①②	5					臨		2	1	1	1			
		新規商品開発・販売実習Ⅱ	3①②	5					臨		2	1	1	1			
	地域産業研究科目群	地域経済産業論	1③④	2			○			1					兼1	オムニバス	
		地域産業研究Ⅰ(農林水産)	2①②		2			○							兼1		
		地域産業研究Ⅱ(医療福祉)	2①②		2			○							兼1		
		地域産業研究Ⅲ(環境)	2③④		2			○		2							
		地域産業研究Ⅳ(ものづくり)	3①②		2			○		1							
		地域産業研究Ⅴ(観光)	3③④		2			○							兼1		
		地域産業研究Ⅵ(ICT)	4①②		2			○							兼1		
		地域産業研究Ⅶ(まちづくり)	4①②		2			○		1							
		地域産業研究Ⅷ(カルチャー・エンタテイメント)	4③④		2			○		1							
	小計(52科目)		－	72	46	0	－			25	24	7	6	5	兼14		
	展開科目	デザイン・シンキング概論	2①②	2			○								兼1		
		ソーシャルデザインⅠ	2③④	2				○			1					※講義	
		ソーシャルデザインⅡ	3①②	2				○			1					※講義	
		ソーシャルデザイン実習	3③④	2					○		1						
		新潟と地域社会	1①②	2			○								兼1		
		新潟と地域政策	1③④	2			○								兼1		
		新潟と地域資源	2①②	2				○							兼1	※講義	
		地域資源活用の理論と方法	2③④	2			○								兼1		
		地域資源活用の事例研究	3①②	2				○							兼1	※講義	
		地域資源活用実習	3③④	2					○	1							
		小計(10科目)		－	20	0	0	－			1	3	0	0	0	兼6	
	総合科目	事業計画策定総合実習	4通	4					○	5	4	1	0	0		共同	
		小計(1科目)		－	4	0	0	－			5	4	1	0	0			
	合計(84科目)			－	112	58	3	－			36	33	11	6	5	兼31	

学位又は称号	事業創造学士（専門職）	学位又は学科の分野	経済学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
基礎科目群から必修科目16単位と選択科目4単位以上、職業専門科目群から必修科目72単位と選択科目8単位以上(このうち、地域産業研究科目群より4単位以上)、展開科目群から必修科目20単位、総合科目群から4単位、併せて124単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))	1学年の学期区分	4期
	1学期の授業期間	8週
	1時限の授業時間	90分

別記様式第2号(その2の1)

(用紙　日本工業規格A4縦型)

教　育　課　程　等　の　概　要

(情報学部情報学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	英語コミュニケーションⅠ	1①②	1				○							兼1	
	英語コミュニケーションⅡ	1③④	1				○							兼1	
	英語プレゼンテーション演習Ⅰ	2①②	1				○							兼1	
	英語プレゼンテーション演習Ⅱ	2④	1				○							兼1	
	中国語コミュニケーション	4③④			1		○							兼1	
	韓国語コミュニケーション	4③④			1		○							兼1	
	ロシア語コミュニケーション	4③④			1		○							兼1	
	情報リテラシー	1①	2				○		1						
	日本語コミュニケーション	1①②	2				○							兼1	
	現代経済学	2①②		2		○								兼1	
	現代産業論	2①②		2		○								兼1	
	現代企業論	3①②		2		○								兼1	
	現代史と国際関係論	3①②		2		○								兼1	
	現代の科学技術	2④		2		○			1						
	現代実践法学	2①②		2		○								兼1	
	現代社会学	2①②	2			○								兼1	
	国際動態論	4④		2		○								兼1	
	キャリアデザインⅠ	1①	1				○							兼1	※講義
	キャリアデザインⅡ	2②	1				○							兼1	※講義
	キャリアデザインⅢ	3②	1				○							兼1	※講義
	ビジネスモラル	1①	1			○								兼1	
	小計(21科目)	－	14	14	3	－			2	0	0	0	0	兼19	
職業専門科目	情報の基礎	1①	1			○			1						
	トップランナー研究	1④2②	2				○		1						集中
	情報と法律	1③④	2			○			1						
	情報と経営	2①②	2			○			1						
	情報と倫理	3①	1			○			1						
	情報と英語	4①②		2			○		1						
	コンピュータアーキテクチャ	1①	2			○			1						
	オペレーティングシステム	1②	2			○			1		1				
	線形代数	1①②	2			○			2						
	微分積分	1③④	2			○			2						
	確率論	1③④	2			○			1						
	統計学	2①②	2			○			1						
	データ構造とアルゴリズム	1①	2			○			2						
	プログラミングⅠ	1②	2			○			1		1				
	プログラミングⅡ	1③	2				○		1		1				
	ネットワークプログラミング実習	2①②	2					○	2			1	1		共同
	API実習	2④	2					○	1		1		1		
	情報通信ネットワーク	1②	1			○			1						
	ネットワーク演習	1③④	2				○		2						
	分散型台帳技術	3①②	2				○		1						※講義
	情報セキュリティ	1③④	2			○			1						
	サイバーセキュリティ演習	2①②	2				○		1						
	サイバーセキュリティ実習	3①②	2					○	1				1		
	データベースの基礎	1③④	2			○			1		1				
	データベース演習	2①②	2				○		1		1				
	システムモデリング	1②	1			○					1				
	システム開発技術	2①②		2		○			1						
	臨地実務実習Ⅰ	2③	5					臨	12	1	2	1	2		
	臨地実務実習Ⅱ	3③④	15					臨	12	1	2	1	2		

職業専門科目	クラウド技術概論	2①②		2		○			1						
	クラウドベーシック&マーケティング	3①		2			○				1				
	クラウドプラットフォーム実習Ⅰ	3②		2				○			1		1		
	クラウドプラットフォーム実習Ⅱ	4①②		2				○			1		1		
	サイバーフィジカルシステム基礎	1③	2			○			1						
	IoT演習	2②		2			○		1						
	IoT実習	3①		2				○	1				1		
	ハードウェア設計	3②		2			○		1						※講義
	ロボティクス実習	4①②		2				○	1				1		
	没入型コンピューティング	1④	2				○				1				※講義
	没入型コンピューティング実習	2④		2				○			1		1		
	ユーザエクスペリエンス	2④		2			○			1					※講義
	情報科学基礎	1①②	2			○			1						
	知識表現・知識処理	2①②	2			○			1						
	AI実習	3①②	2					○	2				1		
	マシンラーニング	3②		2			○		1						※講義
	マシンラーニング実習	4①②		2				○	1				1		
	データサイエンス演習	2②		2			○							兼1	※講義
	データサイエンス実習	3①		2				○					1	兼1	
	データマイニング演習	4①②		2			○							兼1	
	ICT演習（ハードウェア/ソフトウェア）	2②		1			○					1			
	ICT演習（セキュリティ）	2④		2			○				1				
	ICT演習（基本情報）	2④		2			○					1			
	ICT演習（クラウド）	3①		2			○				1				
	ICT演習（応用情報）	3②		2			○				1				
	ICT演習（IoT）	4①		2			○		1						
	ICT演習（マシンラーニング）	4①		2			○		1						
	ICT演習（セキュリティスペシャリスト）	4②		2			○		1						
	ICT演習(組込システム)	4④		2			○		1						
	ICT演習（データベーススペシャリスト）	4④		2			○		1						
	小計（59科目）	－	76	53	0	－			72	3	19	5	15	兼3	
展開科目	新潟と地域社会	1③④	2			○								兼1	
	デザイン・シンキング概論	1③④	2			○				1					
	ソーシャルデザインⅠ	2①②	2				○							兼1	
	ソーシャルデザインⅡ	3①②	2				○							兼1	
	ソーシャルデザイン実習	4①②	2					○			1		1		集中
	デザイン・シンキング実習Ⅰ	2①	1					○		1				兼1	オムニバス
	デザイン・シンキング実習Ⅱ	3①	1					○		1			1		
	情報産業論	2①②	2			○			1						
	国際文化と伝統	3①②	2			○			1						
	社会心理・消費者行動	1③④	2			○			1						
	マーケティング	2①②	2				○		1						※講義
	マーケティング実践	3①②	2				○				1				集中
	小計（12科目）	－	22	0	0	－			4	3	2	0	2	兼4	
総合科目	ICT活用総合実習	4通	4					○	10	1	2	1	2		共同
	小計（1科目）	－	4	0	0	－			10	1	2	1	2		
合計（93科目）		－	116	67	3	－			88	7	23	6	19	兼26	

学位又は称号	情報学士(専門職)	学位又は学科の分野	工学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
基礎科目群の必修科目14単位と選択科目から6単位以上、職業専門科目群の必修科目76単位と選択科目8単位以上、展開科目群22単位、総合科目4単位、あわせて130単位以上を修得すること。 （履修科目の登録の上限：48単位（年間））	1学年の学期区分	4期
	1学期の授業期間	8週
	1時限の授業時間	90分

授　業　科　目　の　概　要

（事業創造学部事業創造学科）

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
基礎科目	英語コミュニケーションⅠ	大学英語の基礎、特に音声英語への移行のための第一歩として、短めのダイアローグ等を題材として、リスニングの入門および基礎固めを行うとともに、文単位の理解を確認・徹底することにより、リーディングにつながる基礎力も固める。それらの活動を通して最低限の短い日常会話、表現のスピーキングをマスターし、同時に簡潔な基本的英文の読解・理解力、簡潔な基本的英文のライティング力を身に付ける。なお、授業の一部においては、アクティブラーニングの形式を取り入れた英会話の授業を実施する。	
基礎科目	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅠの英語力をさらに向上させるため、自然かつ簡潔な文体の英語の文章を題材にして、リーディング活動を中心に進めながら、発展的なリスニング活動も並行して行なう。その際、ディクテーションを取り入れて、アクティブ・ボキャブラリーを増やすことで、英語作文能力・英語プレゼンテーション力向上のための総合的英語コミュニケーション能力の向上にも取り組む。授業の一部においては、アクティブラーニングの形式を取り入れた英会話の授業を実施する。	
基礎科目	英語プレゼンテーション演習Ⅰ	本科目では、英語によるプレゼンテーションの準備から実施までを学ぶ。複数の人を対象に、特定の目的と内容を持って英語でプレゼンテーションをするための基礎的な力を養成する。基本的には、特定のテーマについてグループ単位で調査を行い、原稿及び資料を作成し、発表するという演習を行う。そしてお互いの発表に対して質疑応答を行う。プレゼンテーション技術の基礎を学び、アイコンタクトの取り方や適切な発声の仕方を練習する。	
基礎科目	英語プレゼンテーション演習Ⅱ	英語によるスピーチの練習を行い、コミュニケーションにおいて自分の意見をはっきり相手に伝えるための技術を学習する。著名人のスピーチや演説を聞き、シャドーイングを行い練習を重ねる。さらに、原稿の書き方を学び、幾つかの話題について自分で原稿を書き、発表を行う。発表内容を考えるために英語で書く、資料や原稿を読む、発音やイントネーションに留意して話す、他人の発表を聴く、といった４技能の演習を繰り返して行う。	
基礎科目	中国語コミュニケーション	中国語によるコミュニケーション能力を高めるための学修を行う。修得にあたっては、実際の日常生活やビジネスシーンを想定した「使える」中国語運用能力の向上を目指す。具体的には挨拶ができ、また挨拶に応答することができることを目指すと共に、日常会話やビジネスシーン上の最重要語を修得し、シンプルな文を聞いて理解できることを目指す。更には、コミュニケーションの楽しさを実感し、基本的な事項の確認や自分の意志を相手に伝えることのスキル修得を目指す。	
基礎科目	韓国語コミュニケーション	韓国語によるコミュニケーション能力を高めるための学修を行う。修得にあたっては、実際の日常生活やビジネスシーンを想定した「使える」韓国語運用能力の向上を目指す。具体的には挨拶ができ、また挨拶に応答することができることを目指すと共に、日常会話やビジネスシーン上の最重要語を修得し、シンプルな文を聞いて理解できることを目指す。更には、コミュニケーションの楽しさを実感し、基本的な事項の確認や自分の意志を相手に伝えることのスキル修得を目指す。	
基礎科目	ロシア語コミュニケーション	ロシア語によるコミュニケーション能力を高めるための学修を行う。修得にあたっては、実際の日常生活やビジネスシーンを想定した「使える」ロシア語運用能力の向上を目指す。具体的には挨拶ができ、また挨拶に応答することができることを目指すと共に、日常会話やビジネスシーン上の最重要語を修得し、シンプルな文を聞いて理解できることを目指す。更には、コミュニケーションの楽しさを実感し、基本的な事項の確認や自分の意志を相手に伝えることのスキル修得を目指す。	
基礎科目	情報リテラシー	大学での学習活動、卒業後の職業生活や社会生活において、情報の収集、分析や資料作成等知的活動を効率的、安全に進めるために不可欠な基本的な情報処理能力を身に付けることを目的として、コンピュータやネットワークによって構築される情報環境や、基本的ソフトウェアの仕組みと活用方法、活用に当たって守るべきルール及びマナー、潜在する脅威とそこへの対応法を、演習を交えて体得・学修する。	

授　業　科　目　の　概　要

（事業創造学部事業創造学科）

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
基礎科目	日本語コミュニケーション	知的活動でも職業生活や社会生活でも必要となる日本語の運用能力を身に付けることを目標とする。書記言語によるコミュニケーションでは、簡潔で明快かつ論理的な文章を書くための基本的な知識・技術を学修する。同時に、そのような文章を書く際に不可欠な着想力や発想力、論理的思考力について理解する。音声言語によるコミュニケーションでは、実践的なスピーチ力・プレゼンテーション力を高め、的確な意見の述べ方や議論の進め方を学修する。	
基礎科目	現代経済学	社会的に重要な経済に関する主題や現代社会が直面する経済的な諸課題に関する知識と総合的に判断し対処する能力を養うことを目的とする。現代経済の基本的な概念と枠組みについて理解したうえで、経済問題や財政課題の多様性を認識し、経済的な見方や捉え方、考え方を身に付けるとともに、現代社会における経済構造と経済政策との関連性について理解することにより、現実の経済活動や経済現象に対する興味と関心を深める。	
基礎科目	現代産業論	戦後、日本の産業は、円高、コスト高、通商摩擦、新興国の台頭などの逆風に晒されながらも、一定の競争力を維持しており、その背景には、海外投資、経営統合、生産工程の効率化、技術革新などの弛まぬ努力があったことについて概説する。繊維、鉄鋼、自動車、電機、流通などを事例に挙げながら、これまでの環境変化や自己変革のプロセスについて学修する。さらに、今後、デジタル社会に向かうなかで、各産業がどのような展望をもっているのかについても検討する。	
基礎科目	現代企業論	企業が巨大化、グローバル化するにつれ、その影響力はますます大きなものとなっており、現代の企業は、「財とサービスの提供者」としての立場にとどまっていては、企業価値の向上は望めないこと、経営への監視、法令の順守、環境への配慮など規律ある行動をとる必要があることを学修する。また、経営戦略の一環として、企業は統合・買収・再生などに取り組んでおり、これを支援するビジネスについても学修する。	
基礎科目	現代史と国際関係論	現在の世界の国際関係は、様々な歴史的事実や出来事が複雑に入り組みながら、成立していることについて理解する。具体的には、現状の国際関係及び、これからの国際関係を理解する上で重要となる第一次産業革命以降の産業界の歴史、第二次世界大戦後の戦争と地域紛争及び、国際連合との関わり、帝国主義と植民地政策、冷戦とその終結、ユダヤ教・イスラム教・キリスト教の成り立ち、テロと民族問題、EUの理想と課題、米中二大大国、中東とエネルギー、日中問題、日韓問題、尖閣諸島と北方領土等のテーマ別に、学修する。	
基礎科目	現代の科学技術	科学技術の成果は社会の隅々にまで浸透しており、意識するしないに関わらず、人々は生活のありとあらゆる場面でその恩恵を受けていることについて理解する。いくつかの先端的科学技術を取り上げ、その概要や社会的意義、課題を学修する。さらに、高校で学んだ物理・化学・生物・地学等の知識と関連付けながら、科学技術の実用化へ向けた探求、発見、工夫の物語を紐解くことで、科学技術への興味を深めるとともに未知の分野へも柔軟に取り組める素養を身に付ける。	
基礎科目	現代実践法学	我々の社会生活は様々な法律により支えられ方向づけられており、法律は、社会生活を律するとともに、人々が安心して生活を送ることができるようにするための規範であることについて理解する。ここでは現代社会を取り巻く法律全般について、基礎法である憲法、刑法、民法、商法の概要を中心に、経済枠組み法、業法、産業振興法、規制法等のそれぞれのカテゴリーについて概略を学修する。適宜、法律に関連する時事問題を取り上げ、現代の法律を考察する。	
基礎科目	現代社会学	現代日本において顕在化する社会問題についての理解を深めることを目的とする。日本では今後も人口減少・少子高齢化が進み、様々な分野に影響を与えると見込まれており、都市への人口集中と地方の疲弊、都市のスポンジ化（空洞化）、労働力不足、介護・福祉のミスマッチなどの深刻化の問題から、情報化、グローバル化の進展による働き方改革、ITの活用、国際交流と移民問題、地球環境問題などの発生など、現代社会が直面する問題をとりあげ、その背景と取り組むべき課題について学修する。	

授　業　科　目　の　概　要

（事業創造学部事業創造学科）

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
基礎科目	国際動態論	企業現場や経済社会でリーダーとなる人材に欠かせない、高度で幅広い教養の一環として、世界規模で物事をとらえる視野と感性を身に着けさせることを目的とする。具体的には、大規模な国際交渉の展開、主要な国際機関の機能、世界経済フォーラム(ダボス会議)の役割、有力な多国籍企業の戦略、石油資源をめぐるパワーゲームなどを、実際の出来事や最新のニュースを素材とした演習・議論を通じ、自ら考えつつ学修する。	
基礎科目	キャリアデザインⅠ	キャリアデザインとは、理想とする将来の自分を実現するためにどのような仕事・職業や働き方が相応しいかを考え、目標設定を行い、実現に向けて設計することであり、「キャリア」とは単なる職歴ではなく、今後の生き方や働き方という意味合いがあることについて理解する。そのうえで、人生や仕事において自分自身のなりたい姿を描くことについて理解し、個々の夢や目標を実現するための心のあり方や目標設定の仕方、振り返り、生じた問題への対処法など、目標に対して具体的にアプローチするための実践行動に関する知識と技法について学習する。	講義7.5時間 演習7.5時間
基礎科目	キャリアデザインⅡ	他者と協調・協働して行動できる態度や他者に方向性を示し、目標を達成するために動員できる能力を養成する。集団に属しているメンバーが同じ目標を達成するために行う作業、協力、意識、行動について理解するとともに、集団や組織の場あるいは個人的な場における感情的な面も含めた人間と人間の関係について学習し、他者を理解する視点についての考察を通して、自己や自我の認識、自己と他者との関係、他者相互間の関係などの理解と人間関係の多様なあり方についての理解を深め、他者との円滑な信頼関係の構築に取り組むことができる姿勢を養う。	講義7.5時間 演習7.5時間
基礎科目	キャリアデザインⅢ	学生が将来への目的意識を明確に持てるよう、職業観を涵養し、職業に関する知識を身に付け、自己の個性を理解したうえで主体的に進路を選択できる能力及び卒業後も自律・自立して学習できる態度を育成する。外部講師による職業体験談を通じて、勤労観や職業観を養成するとともに、業界・業種・職種などの企業研究や企業が求める人材像、企業の仕組みなど職業理解を図る。また、自分の個性や性格を理解するための自己分析と職業選択の考え方や進め方について理解し、生涯にわたり学習の活動を続けていくことの必要性と学習の手段や方法を理解する。	講義7.5時間 演習7.5時間
基礎科目	ビジネスモラル	専門職業人としての行動規範の確立のため、企業が不祥事を起こし、大きなダメージにつながる可能性が高いビジネスモラルに着目し、実際にビジネスモラルが欠けた社員に起因した事例を考察しながら、責任ある社会人として善悪を判断する基準や考え方とモラルハザードを未然に防ぐ道徳観を涵養する。また、このビジネスモラルと共にビジネス活動上、重要な要素となるコンプライアンスの概念を正しく理解し、社会的要請に対する適応力を高めるための学修を行う。	
職業専門科目	経済学の基礎	経済学は，我々を取り巻く経済の仕組みや，様々な経済活動の仕組みを研究する学問であり、研究の対象は経済活動を行う主体だけでなく、経済活動が行われる場所も考察の対象となることについて解説する。その上で、ミクロ経済学については、市場における需要と供給を通じた個人・消費者や企業の意思決定･行動、市場が機能しない独占･寡占、情報の不完全性、外部経済･外部不経済などについて学修する。また、マクロ経済学については、国内所得(GDP)等の概念や、経済政策、経済成長、国際経済等について学修する。	
職業専門科目	経営学の基礎	経営学を形成する経済学、社会学、心理学、数学、法学等の関連する多様な分野の成果を踏まえた、経営学の基本的体系を学修する。また、企業経営とは、その方針を定め、組織を整えて、目的を達成するよう持続的に事を行うことであるが、その経営の基本的な事項といわれる、ひと、もの、金、情報の取り扱いも学修するとともに、企業経営における全体を俯瞰し、具体的に整合性を考えるなどの全体像について学修する。	

授　業　科　目　の　概　要

（事業創造学部事業創造学科）

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
職業専門科目	経営戦略論	事業体が経営目的を達成できるようにするための方策である経営戦略の本質と特徴及び経営実践の場面における経営戦略の実際や課題について概説したうえで、事業構造の組立てに関する全社的な戦略と個々の事業の競争力を高める事業戦略などの戦略レベルから、複数の事業分野に進出して経営資源の有効活用とリスクの分散をはかる多角化戦略、広い販売市場などを求めて他国に事業展開する国際化戦略、既存市場のすきまにある未開拓の市場へ進出するすきま戦略など、具体的な戦略について理解する。	
職業専門科目	経営組織論	経営組織とは、企業の活動をになう人的集合体であり、目標達成のために分業と協働のシステムを形成していることについて理解するとともに、組織目的を効率よく達成するために必要となる基本的な概念や理論を学修し、その仕組みづくりや変化に対応する方法を学修する。また、組織において、組織人がどのような点に留意し、どのように行動しなければならないのかを学修し、人と組織、さらに、オープン・イノベーションやサプライチェーン・マネジメントでも重要な組織間関係に関する問題解決能力とは何かを学修する。	
職業専門科目	経営戦略策定演習	事業体が経営目的を達成できるようにするための全体の活動の方向付けや方向付けられた活動を実践するための体制づくりについて概説したうで、事業体が有する経営資源は有限であることや経営戦略に従って選択的に配分することの重要性について理解する。そのうえで、経営基盤の強化や経営改革等を図るためのより実効性のある経営戦略を策定・遂行・評価するプロセスにおける理論的フレームワークを現実に適用することについて、具体的な事例を取り上げながら、実践的な側面から学修する。	
職業専門科目	イノベーションマネジメント	イノベーションとは生産技術の変化だけでなく、新市場や新製品の開発、新資源の獲得、生産組織の改革あるいは新制度の導入なども含む概念とされていることについて理解したうえで、イノベーションの必要性の理解と、イノベーションをマネジメントする上で必要な知見の修得を目指して、オープンイノベーションを含め、企業の研究開発、技術開発及び上市･普及に関する知識やマネジメントの方法を学修する。さらに、イノベーションマネジメントに大きく影響する国･地域のイノベーションシステムやイノベーション政策について学修する。	
職業専門科目	グローバル社長学	ビジネスの海外展開、企業内での国際化はクロスボーダーで進展しており、近年、アジア新興国（インド、中国など）は急速な成長に合わせて市場・生産拠点として注目されていることについて理解する。また、経営者に求められるのは明確な事業計画と一貫した経営戦略であり、政治・文化・宗教・習慣など、異なる多様性を理解し、バランス良く組織マネジメントができる経営者の在り方について、グローバル化している企業の先進事例を取り上げながら考察するとともに、企業経営に及ぼす実体的な影響が大きいリーダーシップについて、その本質的な意味と人・組織に与える影響について学修する。	
職業専門科目	実践企業革新	企業革新とは、企業の戦略、組織、文化、人々の意識を変革することであり、企業が持続的に成長するために必要となるのは、これまでの蓄積した強みを活かすとともに、時代のニーズ・社会の変化に対応・適応し、企業革新し続けることであることについて解説する。また、企業革新の必要性を実際の事例研究を通じて理解するとともに、企業が革新するための必要項目となる企業の戦略・組織・文化・人々の意識等をどのような手法で革新するのかについて考察する。	
職業専門科目	マーケティング	マーケティングは「売れる仕組み」、「売れ続ける仕組み」を作ることであることについて解説したうえで、基本的なマーケティング用語について理解する。そのうえで、マーケティングの基本概念及び環境分析・戦略立案・施策立案の理論的フレームワークについて学修するとともに、マーケティングの代表的な戦略理論について考察する。	
職業専門科目	デジタルマーケティング	マーケティングの基本事項である製品、価格設定、販売チャネル、プロモーションについて、インターネット上の消費者行動の特性を踏まえたうえで、理論的に分析・考察し、インターネット上におけるマーケティング理論、実際のオンライン店舗の運営におけるWebマーケティング戦略立案のための各種分析方法、Webプログラミングの仕組み、ＨＰ発注交渉に必要な知識と実践力を演習を通じて学修する。さらにインターネット等の情報技術の発展がもたらす企業環境の変化に対して、企業が対応すべき事項や発展的な情報通信技術のしくみを学修する。	

授　業　科　目　の　概　要

（事業創造学部事業創造学科）

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
職業専門科目	流通論の基礎	経済の基本は生産と消費であり、高度に分業化されている現代社会では、生産と消費を結びつける流通が不可欠であることについて解説する。そのうえで、流通というものの全体像を把握し、実際に起きている出来事を流通論の視点から分析できるようにすることから、生産から小売業までの消費プロセスの中で流通を捉え、商業の概念、商業構造の変化、製造業者と商業の関係について、マーケティングの理論と関連させて学修する。また、実際の小売業の事例を基に、小売業に必要な理論や課題等を考察する。	
職業専門科目	消費者行動研究	消費者行動研究とは、消費者がどのような過程で製品の購買決定を行うかを研究するものであり、消費者が製品の購買にいたる過程は非常に複雑であるとの認識から、より精密なものと認識されていることについて解説する。そのうえで、消費者が行う購買や所有といった消費活動を行う際に、どのような要因や影響が結果を左右することになるのかを最近の行動経済学の成果を含め学修するとともに、消費者行動とマーケティングとの関係性をはじめ、消費者行動を把握することの必要性を学修する。	
職業専門科目	実践的統計学	統計学とは、ある程度以上の数のバラツキのあるデータの性質を調べたり、大きなデータ（母集団）から一部を抜き取って、その抜き取ったデータ（標本）の性質を調べることで、元の大きなデータの性質を推測したりするための方法論を体系化したものであると定義されていることについて解説する。そのうえで、ビジネスに関係する国内所得や景気動向指数等の経済統計の成り立ちと見方について学修するとともに、実際に統計を作成する際に必要となる標本設計等の基礎やビッグデータ等のデータを分析する統計分析手法を学修する。	
職業専門科目	広報戦略の実践	自社・組織の経営理念を具現化するためには、戦略的な広報・コミュニケーション活動が必要であることについて理解するとともに、広報戦略の実行のためのストーリーとなる「広報戦略・経営戦略の理解」「計画立案」「実行」「評価」までの一連のプロセスを学修する。また、広報戦略は経営戦略を踏まえるため、組織全体の経営戦略体系に影響を及ぼすことについて解説したうえで、全社経営戦略への影響をも想定しつつ、組織全体としての「広報機能」をどのように策定するべきかについて学修する。	
職業専門科目	会計学	会計はビジネスの言語とも言われ、企業の取引や経営実態を理解するうえで不可欠ともいえる。ただし、会計学は企業（営利組織）を対象としたものから非営利組織を対象としたもの、あるいは制度面を重視したものから企業内部の経営管理を重視したものまで、その研究対象は多様なものである。そこで本講義は、会計学全体の概要について学習し、会計諸科目（財務諸表論、管理会計論、税務会計論、国際会計論、環境会計、公会計論、監査論、原価計算論、経営分析論、情報会計論など）の相互関連を理解することを目的とする。	
職業専門科目	財務諸表論	一般に、会計は、企業の経済活動または経済事象を貨幣数値により計算報告する技術であると定義されるが、そのうち企業の利害関係者のための外部報告会計を特に「財務会計」とよぶ。したがって、財務会計の目的は、企業の利害関係者が企業について知りたい内容を的確に知らせることである。本講義は、企業が財務諸表をはじめとする会計情報を作成するに際して準拠する会社法、金融商品取引法などの会計諸規定、さらには国際会計基準（財務報告基準）をもとに、企業活動の成果の認識、測定及び開示に関する問題点を含めて講義し、財務諸表における基本概念や数値の意味の理解をその到達目標とする。	
職業専門科目	簿記概論	簿記とは、企業規模の大小や業種、業態を問わずに、日々の経営活動を記録・計算・整理して、経営成績と財政状態を明らかにするものであることについて解説する。そのうえで、経営資源である人、もの、金、情報の活用について、どのように商品仕入れ・販売・開発活動等に関わるのかを、簿記の記帳方法の理解を通じて学修する。また、ビジネスの基本であるコスト感覚も身につくので、コストを意識した仕事ができるとともに、取引先の経営状況を把握できるために経営者や管理者として、会計情報を管理する必要性や、利害関係者への提供する責任・必要性についても学修する。	

授　業　科　目　の　概　要

（事業創造学部事業創造学科）

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
職業専門科目	簿記演習	簿記概論を踏まえ、問題演習を行い、基礎的な力を養成することを目的に学修する。簿記では基本論点の学習とともに演習問題を多くこなすことが重要であり、繰り返し問題演習を行うことで、会計情報の処理能力を高めるとともに、理解が深まっていくことが期待できる。授業時に行う演習方法については、主に基本的項目について講義演習・解説を実施し、その後、総合的問題やより高度な問題等の解答演習・自己採点する方法にて実施し、自立型の演習を実施することで習熟度を高めていくことを狙いとする。	
職業専門科目	財務諸表分析	財務諸表とは、企業が利害関係者に対して一定期間の経営成績や財務状態等を明らかにするために複式簿記に基づき作成される書類であり、財務諸表分析とは，財務諸表数値の実数分析と比率分析等により，定量的な数値を用いて収益性・安全性・成長性および資産・資本の効率を評価することであることについて理解する。そのうえで、簿記概論を発展させる形で、財務諸表の基礎知識及び財務会計の理論を学修し、さらに財務諸表の分析により、どのような観点が企業の戦略・意思決定に関連し、企業の発展につながるのかという仕組みと理論を学修する。	
職業専門科目	資金調達の実践	新たな事業の開始時、投資時における資金調達に関する知識を修得することを目的として、現在の金融ファイナンスを理解するとともに、最新のマネジメント理論・事例を学修し、様々な現場にて活用可能な資金調達の手法を学修することで、適正な経営を行うマインドと実践力を養成する。また、企業の資金需要や資金調達の形態についての概略と借り入れの種類と返済方法や借入金利とメインバンク制について学修する。	
職業専門科目	実践日本ビジネス法	ビジネスの場面で必須となる商法の全体についての体系的理解と、商法分野の商法総則を中心とした主要な領域について、基本的な知識の理解に向けた学修を行うとともに、会社法の意義・概観、会社の種類、各会社に共通する基本的事項・概念を学修する。また、株式会社の設立・機関、利害関係者とその調整についての学びや、具体的な事例の考察を通じて、会社や企業社会における会社法の関わりを学修する。さらに、現在、ビジネスにおいて重要性を増している知的財産法について学修する。	
職業専門科目	不動産法入門	活力あるビジネスを実現するための重要な要素となる不動産取引について、その不動産取引の実践上で必要な法律の知識を修得するとともに、初歩的な法令の調べ方、司法制度などを学修する。併せて、不動産を知る上で重要な法の概念を学修することにより、その後法律系専門科目を理解する上での初歩的知識の修得を目指す。具体的な目標として、法律学習の入門としての知識を学修するとともに、不動産法の種類や構成、その内容や問題点の把握を通じて不動産法の全体像の理解を目指す。	
職業専門科目	不動産取引演習	「不動産法入門」の履修生を対象に、不動産取引を行うための基礎知識と実践力を養成する。具体的には、宅地建物取引業法、土地および建物についての権利及び権利の変動に関する法令（民法、借地借家法、区分所有法、不動産登記法等）、土地及び建物についての法令上の制限（都市計画法、建築基準法等）、宅地及び建物についての税に関する法令、宅地及び建物の価格の評定等について具体的な事例を基にした演習を通じ学修する。	
職業専門科目	企業リスク管理実践	取引先の倒産等の売り上げや利益が減少するリスク、ステークホルダーからの訴訟等による賠償責任のリスク、経営者、従業員の死亡・事故・信用損失などの人的リスク、新製品開発や海外進出などの営業戦略上のビジネスリスク等、企業活動においてリスク管理しなければならない事項を様々な場面ごとの事例研究を通じて考察する。また、リスクに対する具体的な対処策について、演習を通じて学修する。	

授　業　科　目　の　概　要

（事業創造学部事業創造学科）

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
職業専門科目	アントレプレナーシップ論	新規事業開発者(起業家、社内起業家、ベンチャー企業の経営者)を対象に、アントレプレナーシップを学修する。事例研究や技法解説を通じて、起業前後に遭遇するであろう諸問題の理解と、対処法の指針や方法を修得する。また、この講義では、起業家として必要な倫理観を身につけるため、企業と社会との関係がどうあるべきかについて、企業とその資金提供者、企業とその全ての利害関係者、企業と国及び地方公共団体との関係の在り方から考察する。 オムニバス方式／全15回） （2 近藤　正幸／9回） アントレプレナーシップについて、事例研究や技法解説を通じて、起業前後に遭遇するであろう諸問題の理解と、対処法の指針や方法を修得する。 （19 渡辺　芳久／6回） 企業とその資金提供者、企業とその全ての利害関係者、企業と国及び地方公共団体との関係の在り方から考察する。	オムニバス方式
職業専門科目	実践ベンチャービジネス	1年次に履修したアントレプレナーシップ論を基礎に、ベンチャービジネスを立ち上げ、成功させるためには、起業家（アントレプレナー）は、どのように企業経営を実践すべきかを取り扱う。アントレプレナーが一人で、或いは数名で開始した当初から、10名、数十名、100名、数百名の規模に発展させるために、企業規模、企業ステージごとの経営の変化の在り方(企業形態と経営)を考察し、これらを踏まえて起業家にとって重要となるベンチャー・ビジネスの基礎的事項・知識について学修する。様々な起業の事例研究・考察を通じて、実践的なベンチャー企業の立ち上げ及び経営手法、新事業成功の戦略や立ち上げの成功のために必要となる手法を修得する。	
職業専門科目	ＩＣＴ活用ビジネス	ＩＣＴ技術の目覚ましい進歩があらゆる産業、企業に大きな構造変化をもたらす中、それを活用した独自のビジネスモデルを構築した企業の多くは高収益を実現していることについて解説する。そのうえで、今後ますますの拡大が予想されるＩＣＴ技術の活用によるビジネスの可能性を考察すると共に、ビジネス化可能な産業、ビジネス化するための視点、ビジネス化までのプロセス・手法等の概略を学修する。	
職業専門科目	トップランナー研究	本科目は産業界において先進の取り組みを実践している事例についての考察・研究を通じ、専門職業人としての心構え、考え方、行動指針等を理解し、自己の職業観確立のための一助とすると共に、思考力、判断力、実践力の向上を目指す。具体的な授業の進め方としては、先進的な取り組み事例を題材に取り上げ、考察や課題の抽出を行ったうえで、学生同士によるグループ討議や担当教員との討論や議論を行うとともに、指定されたテーマの考察による報告書の作成を通して、専門職業人としての職業観を醸成する。	集中
職業専門科目	ビジネスモデル研究	現在、日本企業は「成長の伸びしろの縮小」と「収益モデルの陳腐化」という構造的な問題に対し、どのような打ち手を講じるのかということが本質的な命題となっていることについて解説する。そのうえで、バリューチェーンの立ち位置や顧客接点に着目し、起業家・後継者・社内ベンチャーや、グローバル化の成功事例を考察するとともに、起業の成功のための核となる様々なビジネスモデルを取り上げ、具体的な事例・ケーススタディの演習を通じて、経営知識・理論の修得に向けた学修をする。	
職業専門科目	ビジネスコミュニケーション	広報・営業活動、情報のやり取りを担当する組織、顧客満足に関する調査を推進するための部門等の外部とのコミュニケーションの在り方、企業内における異なる部門間の内部コミュニケーションといった企業・組織活動における根幹となるビジネスコミュニケーションの理論と手法について、事例研究や考察を通じて学修し、企業・組織における人間関係の基本的事項であるビジネスコミュニケーションの実践力とは何かを学修する。	
職業専門科目	コミュニケーションデザイン	企業が顧客や社会とつながり調和していく上で重要となるコミュニケーションについて、その効果性･効率性を上げるための設計方針や実践のための手法を情報通信技術の活用の仕方を含め学修する。また、様々な状況から生じる考え方の違いなど、立場が違う人同士の適切人コミュニケーション手法や、その具体的な設計および実践するために必要なコミュニケーション回路、構想を学修し、経営に必要なコミュニケーションデザインのビジネスモデルを学修する。	

授　業　科　目　の　概　要

（事業創造学部事業創造学科）

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
職業専門科目	ビジネスプランの基礎	ビジネスプランが新しい事業の成功確率を高めてくれる最大の武器になること、また、ビジネスプランを作成することは、自分の進める事業の理解を深めることになり、社内外の関係者の理解と協力を集める上での強力なツールにもなることについて理解するとともに、事業化するために必要となる事業分野の選定やビジネスモデルの構築、ビジネスプランの作成およびプレゼンテーションに関する基本的な知識について学修する。	
職業専門科目	ビジネスプランの応用	ビジネスプランの基礎を踏まえて、技術・製品・サービスに関するアイデア、新しいビジネスに挑戦するための方法、手段、手順等、事業コンセプト、事業環境の分析、マーケティング方法など、経営者・起業家として必要となる基本的スキルや発想法とビジネスプランをより具体的なアイデアに発展させる事業計画策定の方法について、学生の興味・関心によりグループ分けしたチーム毎に、グループワーク、リサーチ、レポート、プレゼンテーション等を用いた実習を通じて学修する。	
職業専門科目	会社設立実習Ⅰ	経営資源である、ヒト、モノ、カネ、情報を動かし、管理し、各組織が連携して機能しないと会社として成り立たないことについて理解するとともに、学生同士や担当教員とのディスカッションを繰り返しながら、実際にビジネスプランを策定し、模擬会社を設立することを通して、事業計画、資金計画、経営(仮想)、決算、税務申告までの一連の流れについて学修する。	
職業専門科目	会社設立実習Ⅱ	会社設立実習Ⅰで学修した事業計画、資金計画、経営(仮想)、決算、税務申告までの一連の流れの理解を踏まえ、学外での実際の会社設立を想定した具体的な計画を策定する。具体的には、学部全体で企業参加メンバーやスタッフを募って起業チームを形成し、会社運営上の経営資源の過不足の検証や補完、調達計画を策定する。また、模擬会社を実際の会社にした際の課題の抽出から、運営計画、設立起案書、株主総会資料等を作成する。	
職業専門科目	会社設立実習Ⅲ	事業計画、資金計画、経営(仮想)、決算、税務申告までの一連の流れを学修した会社設立実習Ⅰ及び、学外での実際の会社設立を想定し、具体的な計画を策定した会社設立実習Ⅱの学習内容を踏まえて、会社設立実習Ⅱで策定した計画内容に基づき、実際に会社設立に必要な計画策定から実行までを実践的に学修する。	
職業専門科目	実践事業承継	事業承継を成功させるためには、ヒト＝経営権、モノ＝財産権(自社株）、カネ＝移転コストをバランス良く睨んだうえで、十分な対策の検討、並びに計画的に実行していくことを認識することが重要であることについて解説する。そのうえで、中小企業における後継者不足によるM&Aの加速の実態を踏まえ、実際の事業承継の現場で活用できる事業承継計画の策定及び課題企業に対する総合的な提案について考察する。	
職業専門科目	事業承継演習	事業承継における人材の確保及び育成、事業資金やノウハウ等、事業経営に必要な経営資源及び承継後の事業拡大を見据えた伝統の承継とイノベーションの双方を含む事業計画の策定方法についての理解を深めるとともに、承継後の企業経営のパートナーである銀行の業務内容及び融資業務のプロセス、事業承継の進め方等について、実務的な側面から学修する。 オムニバス方式／全15回） （３５　武田　超／9回） 事業承継についての事例研究及び演習を課題として、方針の検討から計画の立案、調査、検討、実行までの一連の流れについて学修する。 （３７　久保田　剛一／6回） 事業承継についての計画の立案、検討、実行について総合的に演習にて学修する。	オムニバス方式

授　業　科　目　の　概　要

（事業創造学部事業創造学科）

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
職業専門科目	企業内実習Ⅰ	ビジネス現場における他者との相互理解や円滑に仕事を進めるうえで信頼関係を築くことの重要性について、実際の企業現場で業務を体験することで理解し、企業活動における報告・連絡・相談の必要性や社会人としての身だしなみ・マナーについてもその能力と態度を身に付ける。実習先企業の事業内容が地域社会に果たす役割や企業人としての責任の自覚や他者と協調・協働して行動することの大切さを理解し、企業活動について考察する態度を身に付ける。	
職業専門科目	企業内実習Ⅱ	実習先企業の市場における企業価値や業界でのポジショニングを認識し、企業経営者のリーダーシップ、経営目標の設定や行動計画の策定、経営判断の考え方、経営課題への取り組み方などを実際の業務や経営管理者とのミーティングを通して考察することにより、経営課題を踏まえた目標設定や行動計画を策定し、実習先企業へのプレゼンテーションを体験することで、地域産業の振興や活性化を推進するための創造的な能力と実践的な態度を身に付けるとともに経営者マインドを醸成する。	
職業専門科目	企業内実習Ⅲ	実習先企業の事業内容、社会的役割を理解し、業務現場の見学やヒアリング、実際の業務体験を通して自社の事業状況、自社の強みや弱みを把握し、業界事情の分析、市場の分析、競合他社の分析、社会環境の分析を踏まえて、実習先企業の抱える課題を認識し、課題の解決のための方策を考察する。この際、課題抽出のため、ここまでに学んだ経営戦略や経営組織の理解、トップマネジメントの理解、会計・財務に関する理論を総合的に活用し、課題解決策を企画提案書としてまとめ、実習先企業へのプレゼンテーションを体験することで、地域産業の振興や活性化を推進するための創造的な能力と実践的な態度を身に付ける。	
職業専門科目	新規商品開発・販売実習Ⅰ	実習先企業の商品やサービスの販売体験を行い、そこから見えてくる課題を抽出し、自社の商品やサービスについて、新しいマーケットやターゲットを選定するための手法、そのターゲットに対するアプローチの手法、その成果を分析する手法等の新規商品開発及び販売計画の策定について、実際の企業現場で企画部署や経営管理者とのミーティングにより考察を重ね、グループワークにて他者と協働し新規企画を立案し、実習先企業へのプレゼンテーションを体験することで、新たなモノやサービスを創り出す創造力と実践的な態度を身に付ける。	
職業専門科目	新規商品開発・販売実習Ⅱ	実習先企業の商品やサービスの販売体験やニーズヒアリングを行い、様々な調査や分析を行い、新商品や新サービスの開発を提案する。さらに、ここまでに身に付けた経営、会計、マーケティングの知識を総合し、実際の販売ベースに乗せる商品化されるまでの販売計画を立案し、実習先企業へのプレゼンテーションを体験することで、新たな事業の創造と発展を担うための実践的かつ応用的な能力を身に付ける。	
職業専門科目	地域経済産業論	地域経済は、地域の視点から見た日本経済論である。地域経済は、経済的には地域内の資源をベースとした経済循環が機能し、他地域、域外との交流、交易を軸に成り立っている。産業面では経済発展に即した産業構造の形成，さらに企業視点では、地域企業、全国企業、グローバル企業の立地がオーバーラップし、そのための社会インフラ整備による環境整備が重視される。本講義の後半では、特に地域経済の発展を左右する、地域中小企業の活性化状況、そのための中小企業振興施策について、ケーススタディを元に考察していく。 オムニバス方式／全15回） （ 4 徳田　賢二／9回） 地域の視点から見た日本経済を経済面、産業面、さらに企業視点から考察する。 （ 19 渡辺　芳久／6回） 地域中小企業の活性化状況、そのための中小企業振興施策について、ケーススタディを元に考察していく。	オムニバス方式
職業専門科目	地域産業研究Ⅰ（農林水産）	農林水産業に関する知識を習得させ、農林水産業の現状と課題について理解させるとともに、農林水産分野における新たな事業を創造するための能力と態度を育てる。我が国の第一次産業における新たなビジネスの展開の現状について、農林水産業においてビジネスの機会をとらえて成長した具体的な事例を通して理解したうえで、新潟県の農林水産業の動向や新たなビジネスに役立つ資源について考察を行い、農林水産業の振興のためのアイデアの考案や方策について考える。	

授　業　科　目　の　概　要

（事業創造学部事業創造学科）

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
職業専門科目	地域産業研究Ⅱ（医療福祉）	児童及び家庭や高齢者・障害者を支える医療福祉サービスについて、関係する法規や制度と関連付けて理解するとともに、新潟県における医療福祉サービスの概要と現状について理解し、その課題について考える。また、介護実践に関連する諸制度を取り上げ、新潟県における医療福祉施策と関連付けて目的や役割とその基本的な仕組みについて理解するとともに、新潟県の医療福祉分野における新たなサービスの考案や方策について考える。	
職業専門科目	地域産業研究Ⅲ（環境）	環境・エネルギーに関する知識を習得させ、エネルギー産業の現状と課題について理解させるとともに、再生可能エネルギー分野における新たな事業を創造するための能力と態度を育てる。再生可能エネルギーの活用促進に関する具体的な事例の考察を通して、将来のエネルギー選択の幅の拡大について理解するとともに、新潟県の多様な地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入や当該分野への参入のためのアイデアの考案や方策について考える。	
職業専門科目	地域産業研究Ⅳ（ものづくり）	ものづくりに関する知識を習得し、顧客満足を実現することの重要性について理解するとともに、消費者の視点に立った商品開発や流通活動を行う能力と態度を育てる。新潟県におけるものづくりの具体的な事例を取り上げ、ケーススタディを通して、その特徴などについて理解するとともに、近年のものづくり産業を取り巻く環境の変化やその分析を通して、新潟県におけるものづくり産業の振興のためのアイデアの考案や方策について考える。	
職業専門科目	地域産業研究Ⅴ（観光）	観光ビジネスに関する知識を習得させ、観光産業の現状と課題について理解させるとともに、観光分野における新たな事業を創造するための能力と態度を育てる。観光産業の動向や課題について理解したうえで、観光ビジネスに関する具体的な事例について多面的・多角的に分析し、観光ビジネスについての理解を深めるとともに、新潟県における観光資源の効果的な活用や国内旅行と訪日観光の振興策の考案や方策について考える。	
職業専門科目	地域産業研究Ⅵ（ICT）	情報通信産業に関する知識を習得させ、情報通信産業の現状と課題について理解させるとともに、情報通信分野における新たな事業を創造するための能力と態度を育てる。近年、めざましい進歩を遂げた情報通信技術を活用した新たなビジネスの展開の現状について、情報通信産業においてビジネスの機会をとらえて成長した具体的な事例を通して理解したうえで、新潟県における情報通信産業の振興のためのアイデアの考案や方策について考える。	
職業専門科目	地域産業研究Ⅶ（まちづくり）	まちづくりの概念や意義とまちづくりにおける国や地方公共団体が担う役割、地域の魅力を高めるためのまちづくりの在り方や最新の動向について概説したうえで、新潟県におけるまちづくりの動向や現状と課題について、まちづくりに関する具体的な事例の考察を通して理解する。また、まちづくりに役立つ資源についての調査や分析を行い、社会資本の整備を通じた快適で魅力あるまちづくりのためのアイデアの考案や方策について考える。	
職業専門科目	地域産業研究Ⅷ（カルチャー・エンタテイメント）	カルチャー・エンタテイメントビジネスに関する知識を習得させ、カルチャー・エンタテイメントビジネス分野における新たな事業を創造するための能力と態度を育てる。カルチャー・エンタテイメントビジネスの動向や課題について理解したうえで、カルチャー・エンタテイメントビジネスに関する具体的な事例の分析や考察を通して理解を深めるとともに、新潟県におけるカルチャー・エンタテイメントビジネスの振興のためのアイデアの考案や方策について考える。	
展開科目	デザイン・シンキング概論	デザインに必要となる考え方や手法等を駆使して課題解決手法や新しい商品・サービスを生み出す手法であるデザイン・シンキングの考え方を学修する。また、この考え方が考案された経緯など、基礎から他の解決手法を比較し学修する。この前提の理解を踏まえ、問題意識を持って自ら課題を発見し、その課題を解決するための手法やプロセス、チームでの課題解決に必要なチームワークやコミュニケーション力、ディベート力の必要性について学修する。	

授　業　科　目　の　概　要

（事業創造学部事業創造学科）

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
展開科目	ソーシャルデザインⅠ	既修の課題解決手法のひとつであるデザイン・シンキング概論に関連する学修として、地方の課題を解決し、より魅力的な地域振興・地域活性化につなげていくためのプロセスについて、具体的な事例を基に考察し、基本的な着眼点や企画・構成等、どのように体系化されているのかについて学修する。また、今後、地域振興・地域活性化に向けた取り組みにおいて、課題となる社会問題に対する着眼点・解決プロセス等を理論的かつ実践的に理解する。	講義２１時間 演習９時間
展開科目	ソーシャルデザインⅡ	ソーシャルデザインⅠの発展的な学修として、地域振興・地域活性化に向けた行政側の地域政策・計画を理解したうえで、ソーシャルデザインとしての行政と民間（住民、NPO、民間企業等）が連携して課題解決に取り組んだ事例を中心に、事業スキームと検討プロセスを学修する。また、これらの事例を通じ、地域政策の概念と意義や地域政策における政府や地方公共団体が担う役割の理解を踏まえ、地域の魅力を高めるための行政と民間の在り方や最新の動向について学修する。これらを踏まえ、次の学修となるソーシャルデザイン実習につながるよう、創造的な課題解決策とその事業化の進め方を理解する。	講義２３時間 演習７時間
展開科目	ソーシャルデザイン実習	既修の課題解決手法のひとつであるデザイン・シンキング概論及びソーシャルデザインⅠ・Ⅱの理論を基に、地域社会が抱える実際のフィールドにあてはめて、課題解決のためのプラン策定実習を実施する。なお、実習の進め方としてはグループワーク、フィールドサーベイ、グループ討議、グループ発表を中心に進め、検討されたプランの中で教員・学生より高く支持された優秀なプランは、対象フィールドの団体、自治体等へのプレゼンテーションを実施する。	
展開科目	新潟と地域社会	新潟県内各地域の地理や歴史、文化、産業などの基本的な事項についての知識・情報を理解するとともに、地域の現状と課題についてグループワークを行うことで新潟という地域社会に関する理解を深める。基本的には新潟の地を題材に、授業を進めると共に、近県他地域の題材等も取り上げ、新潟の地域社会と比較考察することで、地域社会への理解を深める。なお、この科目は３年次に履修するソーシャルデザイン実習において、新潟の地域事情を踏まえた課題解決プランを策定するために必要となる知識・情報を教授するための授業となる。	
展開科目	新潟と地域政策	本講義では、新潟の地における各地方自治体の地域政策が、どのように住民の生活に関わっているのかについて、特に地域資源の効果的な活用、住民参画、地方自治体の行財政改革を重点的に取り上げ、今後の新潟の活性化に必要となる方策を講義する。また、国レベルでの国土計画、都市計画、農村計画等から落とし込まれる地方自治体での地域政策との関係性やその課題に対して、よりよい地域政策を模索し、地域の活性化を図るための解決策の在り方を考察する。	
展開科目	新潟と地域資源	地域資源は、自然環境のほか、地域に暮らす人々が歴史的に築き上げてきた社会・産業・文化・教育などの人文的な環境、自然を利用する過程で人々が養った知恵など様々なものがあることを踏まえ、新潟の活性化に向けては、これらの地域資源の特性となる持続性と経済性、文化性、環境への配慮などを踏まえた活用の方策・計画が求められていることの理解を深めたうえで、新潟の地域資源についての基礎的な知識やその特性の理解と共に、その活用の可能性を考察する。	講義１５時間 演習１５時間
展開科目	地域資源活用の理論と方法	地域資源に関わる様々なアイデアやシーズを有効利用するためには、地域資源を効果的に活用するための理論とその手法の理解が重要となることを踏まえて、地域がその資源を活用して全国に発信できるものを打ち出し、域外から資金を獲得できるようにしていくことで、地域活性化に繋げることの意義を理解すると共に、その地域活性化に向けた事業を推進するためのノウハウを修得する。	
展開科目	地域資源活用の事例研究	現在、地域においては、地方活性化に向けた様々な少子高齢化、グローバル化等の課題が山積する一方、改めて地域資源活用に注目し、その取り組みを強化することで地方活性化の可能性を高めることができることを踏まえ、地域資源をどのように見いだし、活用すべきか、様々な地域における地域資源活用の事例研究や、その考察を通じて、地域資源活用の重要性の理解と地域資源活用の理論と方法を修得する。	講義１５時間 演習１５時間

授　業　科　目　の　概　要

（事業創造学部事業創造学科）

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
展開科目	地域資源活用実習	地域に貢献できる人材の持つべき素養として、地域の自然・歴史・文化等を学びながら、地域の多様な人々、そして地域が抱える課題に自ら繋げていく事が求められることを踏まえ、自らの生きる地域社会について、産学中心に学びつつ、グループ単位のフィールドワーク等を通じて、地域資源の発見とその活用方法を考察する。本講義は、地域資源に関する知識やフィールドワーク手法の修得だけでなく、地域社会の将来に対する使命感を滋養する。	
総合科目	事業計画策定総合実習	新規事業開発の専門職業人として、実践的かつ応用的な能力を総合的に高めるために、職業専門科目を中心に身に付けた知識・技能を統合した解決力・創造力を身に付けるための総合的な実習を実施する。具体的には、事業開発についての調査や分析を行い、その結果を基に、地域産業の振興のための具体的な事業計画の考案から実現方策の立案までを実践的に学修する。また、指導教員との議論や学生同士の討議、共同作業等を通して、コミュニケーション能力やディベート力、プレゼンテーション能力の向上を図る。	共同

授業科目の概要

（情報学部情報学科）

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
基礎科目	英語コミュニケーションⅠ	大学英語の基礎、特に音声英語への移行のための第一歩として、短めのダイアローグ等を題材として、リスニングの入門および基礎固めを行うとともに、文単位の理解を確認・徹底することにより、リーディングにつながる基礎力も固める。それらの活動を通して最低限の短い日常会話、表現のスピーキングをマスターし、同時に簡潔な基本的英文の読解・理解力、簡潔な基本的英文のライティング力を身に付ける。なお、授業の一部においては、アクティブラーニングの形式を取り入れた英会話の授業を実施する。	
基礎科目	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅠの英語力をさらに向上させるため、自然かつ簡潔な文体の英語の文章を題材にして、リーディング活動を中心に進めながら、発展的なリスニング活動も並行して行なう。その際、ディクテーションを取り入れて、アクティブ・ボキャブラリーを増やすことで、英語作文能力・英語プレゼンテーション力向上のための総合的英語コミュニケーション能力の向上にも取り組む。授業の一部においては、アクティブラーニングの形式を取り入れた英会話の授業を実施する。	
基礎科目	英語プレゼンテーション演習Ⅰ	本科目では、英語によるプレゼンテーションの準備から実施までを学ぶ。複数の人を対象に、特定の目的と内容を持って英語でプレゼンテーションをするための基礎的な力を養成する。基本的には、特定のテーマについてグループ単位で調査を行い、原稿及び資料を作成し、発表するという演習を行う。そしてお互いの発表に対して質疑応答を行う。プレゼンテーション技術の基礎を学び、アイコンタクトの取り方や適切な発声の仕方を練習する。	
基礎科目	英語プレゼンテーション演習Ⅱ	英語によるスピーチの練習を行い、コミュニケーションにおいて自分の意見をはっきり相手に伝えるための技術を学習する。著名人のスピーチや演説を聞き、シャドーイングを行い練習を重ねる。さらに、原稿の書き方を学び、幾つかの話題について自分で原稿を書き、発表を行う。発表内容を考えるために英語で書く、資料や原稿を読む、発音やイントネーションに留意して話す、他人の発表を聴く、といった４技能の演習を繰り返して行う。	
基礎科目	中国語コミュニケーション	中国語によるコミュニケーション能力を高めるための学修を行う。修得にあたっては、実際の日常生活やビジネスシーンを想定した「使える」中国語運用能力の向上を目指す。具体的には挨拶ができ、また挨拶に応答することができることを目指すと共に、日常会話やビジネスシーン上の最重要語を修得し、シンプルな文を聞いて理解できることを目指す。更には、コミュニケーションの楽しさを実感し、基本的な事項の確認や自分の意志を相手に伝えることのスキル修得を目指す。	
基礎科目	韓国語コミュニケーション	韓国語によるコミュニケーション能力を高めるための学修を行う。修得にあたっては、実際の日常生活やビジネスシーンを想定した「使える」韓国語運用能力の向上を目指す。具体的には挨拶ができ、また挨拶に応答することができることを目指すと共に、日常会話やビジネスシーン上の最重要語を修得し、シンプルな文を聞いて理解できることを目指す。更には、コミュニケーションの楽しさを実感し、基本的な事項の確認や自分の意志を相手に伝えることのスキル修得を目指す。	
基礎科目	ロシア語コミュニケーション	ロシア語によるコミュニケーション能力を高めるための学修を行う。修得にあたっては、実際の日常生活やビジネスシーンを想定した「使える」ロシア語運用能力の向上を目指す。具体的には挨拶ができ、また挨拶に応答することができることを目指すと共に、日常会話やビジネスシーン上の最重要語を修得し、シンプルな文を聞いて理解できることを目指す。更には、コミュニケーションの楽しさを実感し、基本的な事項の確認や自分の意志を相手に伝えることのスキル修得を目指す。	

授業科目の概要

（情報学部情報学科）

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
基礎科目	情報リテラシー	大学での学習活動、卒業後の職業生活や社会生活において、情報の収集、分析や資料作成等知的活動を効率的、安全に進めるために不可欠な基本的な情報処理能力を身に付けることを目的として、コンピュータやネットワークによって構築される情報環境や、基本的ソフトウェアの仕組みと活用方法、活用に当たって守るべきルール及びマナー、潜在する脅威とそこへの対応法を、演習を交えて体得・学修する。	
基礎科目	日本語コミュニケーション	知的活動でも職業生活や社会生活でも必要となる日本語の運用能力を身に付けることを目標とする。書記言語によるコミュニケーションでは、簡潔で明快かつ論理的な文章を書くための基本的な知識・技術を学修する。同時に、そのような文章を書く際に不可欠な着想力や発想力、論理的思考力について理解する。音声言語によるコミュニケーションでは、実践的なスピーチ力・プレゼンテーション力を高め、的確な意見の述べ方や議論の進め方を学修する。	
基礎科目	現代経済学	人びとが社会で生きていくためには、日々の生活に必要な財とサービスが充足されなければならず、また財とサービスを購入するための貨幣が必要であり、経済学は、こうした財・サービス・貨幣を循環させる経済組織の在り方を学ぶ学問であることについて理解を深める。具体的には、現在の経済を理解するため、経済体制の主な特徴である資本主義と社会主義を中心に、開発途上国の経済等も取り上げながら、現代の経済学について学修する。	
基礎科目	現代産業論	戦後、日本の産業は、円高、コスト高、通商摩擦、新興国の台頭などの逆風に晒されながらも、一定の競争力を維持しており、その背景には、海外投資、経営統合、生産工程の効率化、技術革新などの弛まぬ努力があったことについて概説する。繊維、鉄鋼、自動車、電機、流通などを事例に挙げながら、これまでの環境変化や自己変革のプロセスについて学修する。さらに、今後、デジタル社会に向かうなかで、各産業がどのような展望をもっているのかについても検討する。	
基礎科目	現代企業論	企業が巨大化、グローバル化するにつれ、その影響力はますます大きなものとなっており、現代の企業は、「財とサービスの提供者」としての立場にとどまっていては、企業価値の向上は望めないこと、経営への監視、法令の順守、環境への配慮など規律ある行動をとる必要があることを学修する。また、経営戦略の一環として、企業は統合・買収・再生などに取り組んでおり、これを支援するビジネスについても学修する。	
基礎科目	現代史と国際関係論	現在の世界の国際関係は、様々な歴史的事実や出来事が複雑に入り組みながら、成立していることについて理解する。具体的には、現状の国際関係及び、これからの国際関係を理解する上で重要となる第一次産業革命以降の産業界の歴史、第二次世界大戦後の戦争と地域紛争及び、国際連合との関わり、帝国主義と植民地政策、冷戦とその終結、ユダヤ教・イスラム教・キリスト教の成り立ち、テロと民族問題、EUの理想と課題、米中二大大国、中東とエネルギー、日中問題、日韓問題、尖閣諸島と北方領土等のテーマ別に、学修する。	
基礎科目	現代の科学技術	科学技術の成果は社会の隅々にまで浸透しており、意識するしないに関わらず、人々は生活のありとあらゆる場面でその恩恵を受けていることについて理解する。いくつかの先端的科学技術を取り上げ、その概要や社会的意義、課題を学修する。さらに、高校で学んだ物理・化学・生物・地学等の知識と関連付けながら、科学技術の実用化へ向けた探求、発見、工夫の物語を紐解くことで、科学技術への興味を深めるとともに未知の分野へも柔軟に取り組める素養を身に付ける。	

授業科目の概要

（情報学部情報学科）

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
基礎科目	現代実践法学	我々の社会生活は様々な法律により支えられ方向づけられており、法律は、社会生活を律するとともに、人々が安心して生活を送ることができるようにするための規範であることについて理解する。ここでは現代社会を取り巻く法律全般について、基礎法である憲法、刑法、民法、商法の概要を中心に、経済枠組み法、業法、産業振興法、規制法等のそれぞれのカテゴリーについて概略を学修する。適宜、法律に関連する時事問題を取り上げ、現代の法律を考察する。	
基礎科目	現代社会学	現代日本において顕在化する社会問題についての理解を深めることを目的とする。日本では今後も人口減少・少子高齢化が進み、様々な分野に影響を与えると見込まれており、都市への人口集中と地方の疲弊、都市のスポンジ化（空洞化）、労働力不足、介護・福祉のミスマッチなどの深刻化の問題から、情報化、グローバル化の進展による働き方改革、ITの活用、国際交流と移民問題、地球環境問題などの発生など、現代社会が直面する問題をとりあげ、その背景と取り組むべき課題について学修する。	
基礎科目	国際動態論	企業現場や経済社会でリーダーとなる人材に欠かせない、高度で幅広い教養の一環として、世界規模で物事をとらえる視野と感性を身に着けさせることを目的とする。具体的には、大規模な国際交渉の展開、主要な国際機関の機能、世界経済フォーラム(ダボス会議)の役割、有力な多国籍企業の戦略、石油資源をめぐるパワーゲームなどを、実際の出来事や最新のニュースを素材とした演習・議論を通じ、自ら考えつつ学修する。	
基礎科目	キャリアデザインⅠ	キャリアデザインとは、理想とする将来の自分を実現するためにどのような仕事・職業や働き方が相応しいかを考え、目標設定を行い、実現に向けて設計することであり、「キャリア」とは単なる職歴ではなく、今後の生き方や働き方という意味合いがあることについて理解する。そのうえで、人生や仕事において自分自身のなりたい姿を描くことについて理解し、個々の夢や目標を実現するための心のあり方や目標設定の仕方、振り返り、生じた問題への対処法など、目標に対して具体的にアプローチするための実践行動に関する知識と技法について学習する。	講義7.5時間 演習7.5時間
基礎科目	キャリアデザインⅡ	他者と協調・協働して行動できる態度や他者に方向性を示し、目標を達成するために動員できる能力を養成する。集団に属しているメンバーが同じ目標を達成するために行う作業、協力、意識、行動について理解するとともに、集団や組織の場あるいは個人的な場における感情的な面も含めた人間と人間の関係について学習し、他者を理解する視点についての考察を通して、自己や自我の認識、自己と他者との関係、他者相互間の関係などの理解と人間関係の多様なあり方についての理解を深め、他者との円滑な信頼関係の構築に取り組むことができる姿勢を養う。	講義7.5時間 演習7.5時間
基礎科目	キャリアデザインⅢ	学生が将来への目的意識を明確に持てるよう、職業観を涵養し、職業に関する知識を身に付け、自己の個性を理解したうえで主体的に進路を選択できる能力及び卒業後も自律・自立して学習できる態度を育成する。外部講師による職業体験談を通じて、勤労観や職業観を養成するとともに、業界・業種・職種などの企業研究や企業が求める人材像、企業の仕組みなど職業理解を図る。また、自分の個性や性格を理解するための自己分析と職業選択の考え方や進め方について理解し、生涯にわたり学習の活動を続けていくことの必要性と学習の手段や方法を理解する。	講義7.5時間 演習7.5時間
基礎科目	ビジネスモラル	専門職業人としての行動規範の確立のため、企業が不祥事を起こし、大きなダメージにつながる可能性が高いビジネスモラルに着目し、実際にビジネスモラルが欠けた社員に起因した事例を考察しながら、責任ある社会人として善悪を判断する基準や考え方とモラルハザードを未然に防ぐ道徳観を涵養する。また、このビジネスモラルと共にビジネス活動上、重要な要素となるコンプライアンスの概念を正しく理解し、社会的要請に対する適応力を高めるための学修を行う。	

授業科目の概要

（情報学部情報学科）

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
職業専門科目	情報の基礎	情報学部では、情報の生成・探索・表現・蓄積・管理・認識・分析・変換・伝達に関わる原理と技術を探求し、社会に役立てられるようになることを目指す。これらを学修するにあたっての導入として、「物質」、「エネルギー」に並ぶ第三の概念である「情報」について、まずその本質を理解し、さらに人間社会とのかかわり、意義、課題について理解するとともに、情報に係る、これから学ぶべき学問分野を俯瞰する。	
職業専門科目	トップランナー研究	本科目は産業界において先進の取り組みを実践している事例についての考察・研究を通じ、専門職業人としての心構え、考え方、行動指針等を理解し、自己の職業観確立のための一助とすると共に、思考力、判断力、実践力の向上を目指す。具体的な授業の進め方としては、先進的な取り組み事例を題材に取り上げ、考察や課題の抽出を行ったうえで、学生同士によるグループ討議や担当教員との討論や議論を行うとともに、指定されたテーマの考察による報告書の作成を通して、専門職業人としての職業観を醸成する。	集中
職業専門科目	情報と法律	ＩＣＴ技術を実社会で利活用する際にコンプライアンスに沿うことが必要になることを踏まえて、著作権、個人情報保護等の法律はもとより、法律に付随するガイドラインなどの内容と必要性・重要性を理解する。具体的には、情報財（著作権・特許権等）関係、ネット取引、個人情報保護、情報セキュリティ、電子マネー、ファイナンス・テクノロジー、ネットショップ、オンラインゲーム、電子書籍、サイバー犯罪、スマートフォンと子どもとネット、人工知能など、法律問題の事例を通じて学修する。	
職業専門科目	情報と経営	ＩＣＴを利用した情報システムを、経営にいかに活用していくか、企業の経営に必要な情報とはなにか、それはどこにあるのか、それらをどのように活用し、企業の発展にどう結びつけるのか、という発想を基として、企業の内外に存在する様々なデータに基づいて判断・行動するデータ駆動型経営を理解し、実行するために必要となる知識と技術について、インターネット業界の企業経営をケーススタディとして取り上げ、経営に反映させる方法を修得する。	
職業専門科目	情報と倫理	本科目では、コンピュータ技術者がその職務を遂行する上で、必要な倫理について考察する。コンピュータ技術者が直面する可能性のある種々の倫理的問題を、具体的な事例を通して、それらの問題を分析し、倫理的に推論する方法について学ぶことで、サイバーネットワーク社会における倫理的諸問題に対処するための社会的含意と社会的価値などについて理解する。	
職業専門科目	情報と英語	ＩＣＴ業界では、最新の製品やテクノロジーの多くは米国などの海外から由来することが多く、最新製品のロードマップや各種ドキュメント類は、まず英語でリリースされることが大半であり、またインターネットを介して提供されるサービスが大多数のため、国境を超えて世界市場での展開を、今後の企業成長プランに入れることができるかどうかが重要となることから、ＩＣＴ業界特有の英語表現を学修することで、先端技術を英語で読み・考え・議論するための素養を修得する。	
職業専門科目	オペレーティングシステム	すべてのプログラムはオペレーティングシステム（OS)の管理下で実行される。本講義では、プロセス管理、入出力管理、記憶管理など、コンピュータの構成要素を制御して情報処理を効率的に行うためのOSの基本的機能とその原理を学修し、情報処理システムの動作の全貌を理解する。Linuxを例にあげた具体的説明を通し、Linuxの基本構成についても併せて習得する。	
職業専門科目	コンピュータアーキテクチャ	本講義では、コンピュータの基本的設計としての「アーキテクチャ」の意味を理解するとともに、ノイマン型コンピュータの基本構成と、その動作について学修する。併せて典型的アーキテクチャの具体例を取り上げ、その概要を理解し、今後の講義、演習および実習を受講するための基礎とする。	

授業科目の概要

（情報学部情報学科）

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
職業専門科目	線形代数	行列やベクトル、写像と線形性の概念は、今日、数学のあらゆる分野で重要な役割を果たしており、数学に基づく諸科学においても欠くことのできない概念となっている。線形代数では、これらの基礎的な概念や基本的な演算能力を習得し、専門科目に応用できることを目標とする。	
職業専門科目	微分積分	微分積分は数学のみならず、現代の自然科学の基礎であり、その応用範囲は広大である。本講義では、専門分野への応用に備えて、微分積分法の基本事項の習得を目標とする。	
職業専門科目	確率論	確率の概念および、確率変数、確率変数の関数、近似理論など、確率の基礎を学修するとともに、その応用例についても触れることで、確率の必要性を理解するとともに、統計学及び、さらにその先に続く多様な情報学へ取り組むための素養とする。	
職業専門科目	統計学	膨大なデータを収集し分析／解析するデータサイエンスの基礎として、基本統計量、検定、推定理論など、記述統計学・推測統計学を学修し、さらに、回帰分析、多変量解析の基礎を学修する。	
職業専門科目	データ構造とアルゴリズム	計算機で扱われる基本的なデータ構造と、それらを操作する「探索」、「ソート」、「マージ」等に関する基本的アルゴリズムを学び、その背景にあるアルゴリズムの設計法について学び、それらの特性と計算量との関係を理解することで、効率的なプログラムを設計するための素養を養う。	
職業専門科目	プログラミングⅠ	C言語を用い、変数、ポインタ、条件分岐、関数呼び出し、入出力等、データ構造と制御に係るプログラミングの基礎を学修する。さらにC++を用い、オブジェクト指向の基本を学修する。Linux環境で実施する課題を課し、Linuxの基本コマンド、Emacsによるエディティング等、プログラミングに必要な各種操作についても併せて習得する。	
職業専門科目	プログラミングⅡ	プログラミングⅠの知識を基に、Pythonプログラミングの言語仕様を学ぶだけではなく、実現したいことを理解し，説明できるレベルまで整理し，コンピュータが処理できる形に翻訳するというプログラミング開発一連の流れを体験するとともに、バージョン管理や例外処理といった、開発周りの諸技術を体験することで、開発の流れを踏まえて作業することができる技術を身に付ける。	
職業専門科目	ネットワークプログラミング実習	プログラミングⅡ及びネットワーク演習で修得した基礎知識を基に、Webページの設計、Webアプリケーション構築などの実習を通し、WebブラウザとWebサーバの間でどのようなやりとりが行われているのか、プログラムがどのようにデータを処理しているのかなど、ネットワーク上で情報をやりとりするプログラムに関する一連の知識・技術を修得する。	共同
職業専門科目	ＡＰＩ実習	アプリケーションプログラミングインタフェースとは、ソフトウェアコンポーネントが互いにやりとりするのに使用するインタフェースの仕様であることについて理解したうえで、自分や他人の創ったプログラム機能を公開し共有することでプログラム開発の生産性を高めるAPI技術について実習を通じて学修する。設計、プログラミング、実装、検証の一連の工程を通じて、体系的に実践スキルを修得することで、Web系API開発を題材に実用面での技術課題として、セキュリティリスクと適切な対応について学修するとともに、オリジナルのAPIの設計実装に挑み、共有・相互利用について体系的に学修する。	

授業科目の概要

（情報学部情報学科）

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
職業専門科目	情報通信ネットワーク	ネットワーク通信を実現する基礎技術と技術的特徴について、また通信技術の階層構造や、各階層の原理や特徴について理解する。これにより、ネットワーク技術の根幹を成す不変の要素や将来の変化の方向性についての知識習得を図ることで、通信技術の現在と将来に対応できる理解を得ることとともに今後のネットワーク演習や実習を受講するための素養を養う。	
職業専門科目	ネットワーク演習	単元毎にルータ等のネットワーク機器やパソコンを各自操作し、講義内容を確認する演習の形態で進める。情報通信ネットワークで修得した基礎知識を基に、情報通信ネットワークの構造及び管理・運用体制について具体的知識を習得するとともに、一般的なネットワーク機器の基本的操作法を習得することにより、情報通信ネットワークを、様々なサービスを提供・享受するための基盤として安全に活用できる素養を身に付ける。	
職業専門科目	分散型台帳技術	分散型台帳技術は、特定の帳簿管理者を置かずに、参加者が同じ帳簿を共有しながら、資産や権利の移転などを記録していく情報技術であることについて理解する。分散型台帳技術は、デジタル・データを用いつつ、これを「分散型」の仕組みで処理することについて、代表的な技術であるブロックチェーンの仕組み・技術を学修し、将来の利活用に向け技術的課題や今後急拡大する分散型志向の設計と制作を実践的に学修する。	講義１５時間 演習１５時間
職業専門科目	情報セキュリティ	社会の基盤となっている情報システムに対し、安心・安全な情報システムの実現が求められている。本講義では、情報セキュリティの概要と、情報セキュリティを理解するため背景にある理論的な内容について学修することで、安心・安全な情報システムを実現するための原理や設計方法を理解し、今後の演習および実習を受講するための素養を養う。	
職業専門科目	サイバーセキュリティ演習	能動的で積極的なサイバーセキュリティを実践するために、セキュリティ問題の予防措置とその運用、さらに脅威度を判定する能力を修得する。また、コンピュータ・セキュリティ・インシデント・レスポンス・チームについて学修することで、インシデントレスポンス能力の向上を図り、ベンダー任せではなく、日常のシステム運用等を考慮しながら、事業継続を脅かす攻撃に対処することができる情報システム管理能力を修得する。	
職業専門科目	サイバーセキュリティ実習	サイバーセキュリティ演習の内容を踏まえ、高度化するサイバー攻撃に対抗するには、攻撃者と同等もしくはそれ以上のハッキング手法、およびマルウェア解析技術が必要であることについて理解するとともに、ハッキングやマルウェア解析に焦点をあてた実習を通して、実践的な技術を修得する。具体的には情報収集、脆弱性識別、エクスプロイト実行、パスワード解読、マルウェア（トロイの木馬、バックドア等）による攻撃および盗聴について学修するとともに、その対抗技術について理解する。	
職業専門科目	データベースの基礎	データを組織化して一括管理するデータベースについて、その基本であるリレーショナルデータベースをについて、データモデル、データベース設計、データ操作言語、及び、データベース管理システムの概要について学ぶ。併せてオブジェクト指向データベース、NoSQLについても触れ、データベースへの視野を広げる。	

授業科目の概要

（情報学部情報学科）

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
職業専門科目	データベース演習	データベースの基礎で修得した基礎知識を基に、データベースの構造及び管理・運用について単元毎に実際のシステムを操作しながら具体的技術を習得するとともに、データベース管理ステムの基本的操作法を習得することにより、高度な情報人材となるために必要なデータベース分野の技術を体系的に修得する。	
職業専門科目	システムモデリング	本講義では、情報システムを開発・設計する技術、情報システムの効果を得るための技術に関する原理や設計方法としてモデリングや要求定義等について理解することで、今後の演習および情報システムを構築する各種の実習を受講するための素養を養う。	
職業専門科目	システム開発技術	多数のコンピュータ、スマートデバイスで稼働する多機能な業務システムの設計を、ネットワークの活用も含め学修する。また対象業務の分析や要件定義、外部設計など、システム開発の工程に係わる者、いわゆるシステムエンジニアを対象とし、業務に適したアーキテクチャ設計や全体最適化といった概念と、各種の工程で必要となる設計者向けの知識・技術を修得する。	
職業専門科目	臨地実務実習Ⅰ	専門職種の理解を深め、地域の企業や団体、商店街が抱える課題に主体的に取り組み、学内で身に付けた情報技術による課題解決策を提案するまでの過程を学修する。実習先企業の業務内容を理解し、他者と協力してデータの流れ（入手、加工、保管）から見える課題を把握しその解決法を考察する。実際にデータの入手、保管、整理、加工、分析、可視化を体験することで、課題を解決して、生産性・効率性を向上させる計画を立案・提案することで課題解決法を考察する態度と技術を理解する。	
職業専門科目	臨地実務実習Ⅱ	臨地実務実習Ⅰの内容を踏まえ、企業内実習の事前・事後および実習中の指導を通して、専門職種と職業領域において理論の考察に基づいた実践に取り組み、専門職種の理解を深め、地域の企業や団体、商店街が抱える課題に主体的に取り組み、学内で修得した知識・技術を活用し、解決策の提案から計画、設計、実装、検証という実務の一連の過程を学修する。長期にわたる実務により、企業現場におけるさまざまな現象、実態を認識し、経験することを通して、経済社会の課題に対して情報技術や情報手法を活用した課題解決策を実現することで、創造的な能力と実践的な態度を身に付ける。	
職業専門科目	クラウド技術概論	現代のICT環境として広く定着し、なお進化を続けるクラウド・コンピューティングについて、環境構築から開発運用のリードタイム短縮につながる技術の原理、とその有効活用方法を学修する。CPUやメモリのみならず、ストレージやネットワーク、アプリケーションなどの様々な機能の仮想化技術に限らず、さまざまな用途やサービス、ビジネス応用、今後の動向についても調査し、理解を深めて、クラウド・コンピューティングの演習・実習につながる基礎を修得する。	
職業専門科目	クラウドベーシック&マーケティング	Microsoft AzureやAmazon EC2など、インターネット経由の一般向けクラウド・コンピューティング・サービスを利活用したアプリケーション・システムの開発手法を学修する。パブリッククラウドの適切な設定とマネジメント能力、独自設計したアプリケーションからアクセスする技術を修得することで、高品質なサービスの生み出し方を学修し、マーケティングの視点から導入の有効性やビジネス性を確認することで、クラウド・コンピューティング・サービスについて体系的に修得する。	
職業専門科目	クラウドプラットフォーム実習Ⅰ	クラウド技術概論およびクラウドベーシック&マーケティングで学修した知識や技術を基とし、ケーススタディを用いた実習を通してクラウド・コンピューティングに利用されている各種コンポーネントを理解したうえで、ユーザービリティとセキュリティを高い次元で両立したサービスモデルを設計・構築する。	

授業科目の概要

（情報学部情報学科）

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
職業専門科目	クラウドプラットフォーム実習Ⅱ	クラウドプラットフォーム実習Ⅰやクラウド技術概論およびクラウドベーシック&マーケティングで学修した知識や技術を基として、クラウドファーストアーキテクチャー、クラウドにおけるセキュリティ対策、ハイブリッドクラウドなどの実習を基にクラウドデザインパターンを学修する。	
職業専門科目	サイバーフィジカルシステム基礎	情報システムと現実世界とのインタフェースに関する原理や設計方法として、計算機（サイバー空間）と実世界（フィジカル空間）をつなぎ、様々な情報処理を行う技術について理解し、基礎となる機器や駆動装置、それらを制御するための制御理論に加え、人間の認知特性、画像処理、対話手法などの特徴について学修し、今後の演習および実習を受講するための素養を養う。	
職業専門科目	ＩｏＴ演習	ＩｏＴ（Internet of Things）とは、従来インターネットに接続されていなかった様々なセンサー機器、駆動装置、建物、車、電子機器などのモノが、ネットワークを通じてサーバーやクラウドサービスに接続され、相互に情報交換をする仕組みであることについて理解するとともに、ＩｏＴを実現するハードウェア、アプリケーション、ネットワークと多種のインターフェースについて、ワンボードマイコンを用いた演習を通して学修する。	
職業専門科目	ＩｏＴ実習	ＩｏＴ演習にて修得した、各種機器とネットワークにおいて相互に情報交換をする仕組みを基として、具体的に製造業等での利活用を想定し、ＩｏＴ演習より大規模なＩｏＴの構築・管理・検証を、実習を通して体系的に学修する。センサなどを実装した多数のデバイスをネットワークに接続し、各デバイス・ネットワークのコントロール・マネジメントを実施し、収集したデータを分析・解析し、その結果から各デバイスが配置・設置された環境や内容の改善するための実習を行う。	
職業専門科目	ハードウェア設計	コンピュータやスマートデバイス、各種センサー類を活用し、求められる機能・性能を実現するハードウェアの設計能力を修得する。ハードウェア設計技術者には、最新の技術を使った高性能な製品や、新しい発想を取り入れた魅力的な製品の開発が期待されていることから、設計が実際に製造・製作に用いることができるかどうかを検証するとともに、ロボットやIoTの実践・実習でも必要となる３Ｄスキャナ・３Ｄプリンター等の機器の利活用技法についても学修する。	講義１０時間 演習２０時間
職業専門科目	ロボティクス実習	製造・医療・広告・宅配等、様々な業種・業界でドローン・ロボットの利用が拡大され、求められる機能も多様化・複雑化がますます進むと考えられる中、ハードウェアの設計能力を基として、単腕ロボットやヒューマノイド型ロボットの運動制御、およびそのためのシステムインテグレーションを修得する。また、構造体・動力伝達部位などを構成するアクチュエータ・モーターの原理・機構や制御プログラミングなどについて学修する。	
職業専門科目	没入型コンピューティング	没入型コンピューティングとは、ユーザーの五感を含む感覚を刺激する技術であることについて理解したうえで、仮想現実(VR)実装技術の修得から、その有効性・可能性をユーザー体験により学修する。更にセンサーやカメラ、入力デバイスなどの各種ハードウェアの取り扱いや、表現の違い、拡張現実(AR)、複合現実(MR)についての理解を深め、ＸＲコンテンツを制作するためのソフトウェア・コンテンツ開発技術を修得する。	講義１０時間 演習２０時間
職業専門科目	没入型コンピューティング実習	没入型コンピューティングの学修内容であるハードウェア・ソフトウェア・コンテンツ各面の違いについて理解を基に、実際の業務・エンタテインメントでの利用を前提に、ユーザーの心理的・肉体的負担なども考慮したコンテンツの作成を行う。また、仮想現実(VR)、拡張現実(AR)、複合現実(MR)などの先端技術を総合的な学修により作成したコンテンツの発表会を行う。	

授業科目の概要

（情報学部情報学科）

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
職業専門科目	ユーザエクスペリエンス	ユーザエクスペリエンスとは、製品やサービスの利用を通じてユーザーが得る経験であり、よいユーザエクスペリエンスを達成するための理論とプロセスや手法に関する知識について学修する。具体的には、ユーザーエクスペリエンスデザインが求められる背景、基礎知識、ユーザーエクスペリエンスデザインの要素と関係性、人間中心デザインプロセス、利用文脈とユーザー体験の把握、ユーザー体験のモデル化と体験価値の探索、プロトタイプの反復による製品・サービスの詳細化などについて、講義と演習により体系的に学修する。	講義１０時間 演習２０時間
職業専門科目	情報科学基礎	情報をどのように表現し、伝送するか。情報を処理するとはどういうことか。これらを体系化した学問である「情報理論」と「離散数学」の基礎を学ぶことで、情報に関する専門分野を学修するための素養を養う。	
職業専門科目	知識表現・知識処理	幅広い分野に渡る人工知能(AI)の体系および歴史を概観したうえで、その一つの柱である知識表現・知識処理の分野を取り上げ、記号論理、意味ネットワーク、フレーム理論等の理論を学ぶとともに、セマンティクWEB, OWL言語、プロダクションシステム等の応用技術を、演習を交えながら学ぶ。構文解析などの自然言語処理技術にも触れ、さらに具体的な知識表現・知識処理を学ぶための基礎力を養う。	
職業専門科目	ＡＩ実習	知識表現・知識処理、統計学で習得した知識を元に、知識の表現、オントロジー技術、推論など、ＡＩの要素技術について、実社会において生成されたデータセットを活用して、データやプログラム・アプリケーションを作成する実習を通して技術・知識を習得する。具体的には、RDFやXMLを用いた知識表現、ウェブ・オントロジー言語ユースケース、共通辞書の活用、SPARQLによる検索などを行う。	
職業専門科目	マシンラーニング	マシンラーニング（機械学習）とは、人工知能における研究課題の一つで、人間が自然に行っている学習能力と同様の機能を、コンピュータで実現しようとする技術・手法であることについて理解するとともに、AI技術の一つであるマシンラーニングについて、演習を通して学修する。また、マシンラーニングによる特徴表現学習についての理解を深めると同時に、Linux・Python・オープンソースなどを用いて、自ら実行環境の設計・構築を行えるスキルを修得する。	講義１０時間 演習２０時間
職業専門科目	マシンラーニング実習	マシンラーニングの内容を踏まえ、商用分野におけるアプリケーションに、機械学習がどのように利用されているかを理解するとともに、本格的なAIアプリケーションに必要とされる大規模ニューラルネットワークの実装とその応用法を理解する。主に、大規模深層学習、音声認識、自然言語処理、その他AI活用などの実アプリケーションの実装を通し、自ら実行環境の設計・構築を行えるスキルを養成する。	
職業専門科目	データサイエンス演習	データを取得し、必要な前処理を行い、蓄積し、分析するといった、データサイエンスの流れを理解すると共に、そこに必要な各要素技術を習得することにより、大量のデータを分析し、そこから価値を引き出すための基礎となる力を身につける。	講義１０時間 演習２０時間

授業科目の概要

（情報学部情報学科）

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
職業専門科目	データサイエンス実習	データサイエンス演習で習得した基礎知識を元に、Google Cloud Machine Learningや、Amazon Machine Learningといったクラウドを用いて、Webサイトのアクセスログやウィキペディアのデータダンプなどの単純で大量のデータに対して実際に適用する実習を通し、テータから「価値」を見つけ出す手法を実践的に学修する。	
職業専門科目	データマイニング演習	データマイニングを、データから価値を引き出す手法群であると考え、データ解析ツールとしてR言語を学ぶと共に、データ解析の各手法を習得する。具体的には、R言語の演習にくわえ、回帰分析、決定木、アソシエーションルール分析、質的比較分析、テキストデータ分析についてR言語を活用した演習を行う。	
職業専門科目	ICT演習（ハードウェア/ソフトウェア）	ＩＣＴ分野におけるハードウェア・ソフトウェアを理解し、より複雑なＩＣＴ環境をサポートする際に必要となるスキルと知識を体系的に学修する。具体的にはPCやモバイル機器、ノートPCといったハード面、オペレーティングシステムといったソフト面、またプリンターなどの周辺機器に関連した運用・管理メンテナンス、ネットワーク、セキュリティの基礎を理解し、スキル・知識・適切なトラブルシューティングスキルの修得を目指す。	
職業専門科目	ICT演習（セキュリティ）	セキュリティインシデントに対応するためのセキュリティ概念、ツール、対応手順に関連する知識やスキルを修得するとともに、セキュリティインシデントの発生を予防するため定期的、日常的に実施されるべき運用セキュリティ、セキュリティの脅威や脆弱性についての知識やスキルを体系的に学修する。具体的には、ネットワークセキュリティ、コンプライアンスと運用セキュリティ、脅威と脆弱性、アプリケーション、データ、ホスティングセキュリティ、アクセスコントロール、認証マネジメント、暗号化などのスキルや知識を修得する。	
職業専門科目	ICT演習（基本情報）	高度IT人材となるために必要な基本的知識・技能をもち、基本戦略立案又はITソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事し、上位者の指導の下に次のいずれかの役割を果たす際に、必要となるスキルと知識を体系的に学修する。企業経営、社会システムが直面する課題に対して、情報技術を活用した戦略を立案し、システムの設計・開発を行い、又は汎用製品の最適組合せ（インテグレーション）によって、信頼性・生産性の高いシステムを構築、また、その安定的な運用サービスの実現について学修する。	
職業専門科目	ICT演習（クラウド）	クラウドの運用やクラウドサービスの提供など、クラウド環境で業務を実行するエンジニアが必要とされる、セキュアなクラウド環境の実装と、運用スキルとベストプラクティスへの理解とともに、クラウドの運用やクラウドサービスの提供など、クラウド環境で業務を実行するエンジニアが必要とされる、知識や技術を体系的に学修する。具体的には、クラウドのコンポーネントとモデル、仮想化、インフラストラクチャ、リソースマネジメント、セキュリティ、システムマネジメント、クラウドを活用した事業継続などのスキルや知識を修得する。	
職業専門科目	ICT演習（応用情報）	高度IT人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、基本戦略立案、又はITソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事し、独力で次のいずれかの役割を果たす際に、必要となるスキルと知識を体系的に学修する。企業経営、社会システムなどの需要者が直面する課題に対して、情報技術を活用した戦略の立案、システムの設計・開発を実施し、又は汎用製品の最適組合せ（インテグレーション）による信頼性・生産性の高いシステムの構築、また、その安定的な運用サービスの実現について学修する。	

授業科目の概要

（情報学部情報学科）

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
職業専門科目	ICT演習（IoT）	ＩｏＴに関し、技術的な視点だけでなく、マーケティングやサービスの提供、ユーザーの視点から必要となるカテゴリ、スキル要件などを網羅し、それぞれの立場でＩｏＴを企画・開発・利用するために必要なスキルと知識を体系的に学修する。具体的には、戦略とマネジメント、産業システムと標準化、法律、ネットワーク、デバイス、プラットフォーム、データ分析、セキュリティなどのスキルや知識を修得する。	
職業専門科目	ICT演習（マシンラーニング）	マシンラーニング技術の可能性と限界を正しく理解し、事業に活用するための知識を体系的に学修する。ディープラーニングを含むさまざまな機械学習技術に加え、ディープラーニングをベースにしたAIの技術的発展とその社会応用、法制度やプライバシー、倫理面の問題など、人工知能、機械学習、ディープラーニングに関する俯瞰的な理解をもつことで、経営層に対し適切な活用方針を提案し事業応用を可能とするような能力を養成する。	
職業専門科目	ICT演習（セキュリティスペシャリスト）	セキュリティ機能の企画・要件定義・開発・運用・保守を、推進又は支援する業務、若しくはセキュアな情報システム基盤を整備する業務に従事し、次の役割を果たす際に必要となるスキルと知識を体系的に学修する。①情報システムの脅威・脆弱性を分析、評価し、これらを適切に回避、防止するセキュリティ機能の企画・要件定義・開発を推進又は支援する。②情報システム又はセキュリティ機能の開発プロジェクトにおいて、情報システムへの脅威を分析し、プロジェクト管理を適切に支援する。	
職業専門科目	ICT演習(組込システム)	自動車、家電、モバイル機器などに搭載する組込みシステムについて、次のいずれかの役割を果たす際に必要となるスキルと知識を体系的に学修する。①組込みシステムを対象として、機能仕様とリアルタイム性を最適に実現するハードウェアとソフトウェアのトレードオフに基づく機能分担を図り、設計書・仕様書の作成を実施する。②組込みシステム開発における各工程の作業を、主導的に実施する。③特定の技術・製品分野についての高度で専門的な知識・開発経験を基に、開発する当該分野の専門家から技術上の知識を獲得して、開発の各工程に反映させる。	
職業専門科目	ICT演習（データベーススペシャリスト）	データ資源、及びデータベースを企画・要件定義・開発・運用・保守する業務に従事し、次の役割を果たす際に必要となるスキルと知識を体系的に学修する。①データ管理者として、情報システム全体のデータ資源を管理する。②データベースシステムに対する要求を分析し、効率性・信頼性・安全性を考慮した企画・要件定義・開発・運用・保守を実施する。③個別システム開発の企画・要件定義・開発・運用・保守において、データベース関連の技術支援を実施する。	
展開科目	新潟と地域社会	新潟県や新潟県内の各地域の地理や歴史、文化、産業などの基本的な事項についての知識・情報を修得するとともに、地域の現状と課題について考察することで新潟という地域社会に関する理解を深める。基本的には新潟の地を題材に、授業を進めていくこととするが、必要に応じて他地域の事例等も取り上げ、新潟の地域社会と比較考察することで、理解を深める。	
展開科目	デザイン・シンキング概論	デザインに必要となる考え方や手法等を駆使して課題解決手法や新しい商品・サービスを生み出す手法であるデザイン・シンキングの考え方を学修する。また、この考え方が考案された経緯など、基礎から他の解決手法を比較し学修する。この前提の理解を踏まえ、問題意識を持って自ら課題を発見し、その課題を解決するための手法やプロセス、チームでの課題解決に必要なチームワークやコミュニケーション力、ディベート力の必要性について学修する。	

授業科目の概要

（情報学部情報学科）

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
展開科目	ソーシャルデザインⅠ	１年次において学修した課題解決手法のひとつであるデザインシンキングに関連する学びとして、地域振興の在り方について、具体的な事例を基に考察する。これらの事例の考察を通じて、地域社会におけるブランドの概念や目的を踏まえた基本的な着眼点や企画・構成等、どのように体系化されているのかを学修する。また、地域社会のみに止まらず、様々な社会問題を解決するための手法、プロセス等を理論的かつ実践的に理解する。	
展開科目	ソーシャルデザインⅡ	ソーシャルデザインⅠの発展的な学修として、地域政策に関する具体的な事例を基に考察し、基礎的な概念を理解する。これらの事例の考察を通じ、地域政策の概念と意義や地域政策における政府や地方公共団体が担う役割について解説したうえで、地方分権化の進展度を踏まえ、地域の魅力を高めるための地域政策の在り方や最新の動向について学修する。また、具体的な事例の比較分析により、今後の地域社会における公共政策の課題や問題点、あるべき方向性などについて考察する。	
展開科目	ソーシャルデザイン実習	１年次において学修した課題解決手法のひとつであるデザインシンキングの理論を基に、地域社会が抱える問題や課題に関する実際の事例にあてはめて、課題解決のためのプラン策定実習を行う。なお、実習の進め方としてはグループワーク、グループ討議、グループ発表を中心に進め、発表されたプランの中で教員・学生より高く支持された優秀なプランについては、実際の対象団体、自治体等へのプレゼンテーションも行う。	集中
展開科目	デザイン・シンキング実習Ⅰ	デザイン・シンキング概論にて修得した課題解決の各種手法を実践するため、少人数グループを作り、調査・情報収集を実施し、課題を見つけ、解決策を検討・実施評価するデザイン・シンキング手法を特にその後の課題解決案の検討を重視して実施する。有効と考えられる解決方法を、ブレインストーミングを基本にしながら積極的に各グループ内で検討し、解決策をビジュアル化・デザイン化して発表を実施する。 （オムニバス方式／全15回） （６　石塚昭彦／7回） 大学生への新しいサービスの提案を課題として、方針の検討から計画の立案、調査、検討、実行、提案までの一連の流れについて学修する。 （３３　森下晶代／8回） 大学における新しいサービスの提案を課題として、方針の検討から計画の立案、調査、検討、実行、提案までの一連の流れについて学修する。	オムニバス
展開科目	デザイン・シンキング実習Ⅱ	デザイン・シンキング概論およびデザイン・シンキング実習Ⅰにて修得した課題解決の各種手法を実践するため、少人数グループを作り、調査・情報収集を実施し、課題を見つけ、解決策を検討・実施・評価するデザイン・シンキング手法について、特にその後の課題解決案の検討を重視して実施する。またデザイン思考に必要とされる５つのプロセス「共感」「問題定義」「アイデア創造」「プロトタイプ」「テスト」を実践し、繰り返し体験することで、製品やサービスを完成へ導く技法を修得する。	
展開科目	情報産業論	情報産業とは、情報の収集、整理、分析、加工、伝達等により、価値を生み出す産業であることについて解説するとともに、生活や産業のあらゆる場面は情報を基盤として成り立っており、情報産業の発展なしに、人類の発展は無いことについて理解する。また、技術や社会の進化の中で「情報」がどのように取り扱われてきたかを振り返るとともに、その発展の方向性や意義、課題について考察することで、情報産業の本質を理解し、それを活用し、未来を切り開く力を養成する。	
展開科目	国際文化と伝統	日本文化はその発端から現在にいたるまで、他の文化との深い関わりのなかで成り立ってきたことについて理解するとともに、自らが属する文明の性格とその成立や歴史に関する基本的な認識を身に付ける。また、他国民とのかかわり合いを持つときに、摩擦や緊張が起りうることについて理解したうえで、グローバルな視点を深め、異文化理解を進めるために国際文化交流の基礎となる日本と世界の伝統文化や生活文化について学修する。	

授業科目の概要

（情報学部情報学科）

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
展開科目	社会心理・消費者行動	人間の消費行動について、ニーズから購入までの心理の変化や行動の変化、商品の選択や購入に影響を与える様々な要因が社会心理や消費者行動の中で明らかになっていることについて解説する。また、マーケティング実務に関する具体的な事例の考察を通して、心理学基礎、社会心理学、認知心理学、コミュニケーション、および意思決定の視点から、消費者行動に関する知識を修得するとともに、マーケティング戦略の構築における社会心理・消費者行動の重要性について考える。	
展開科目	マーケティング	現代社会の中で企業などの組織を、より良い形で運営していくには、マーケティングの発想が不可欠となっていることの理解及び市場を起点に物事を発想するマーケティングの基礎概念・基礎的知識を修得する。企業戦略とマーケティング・プロセス、マーケティング・リサーチと情報システム、消費者の購買行動、企業の購買行動、マーケティング戦略の展開とマーケティング・ミックス、製品ライフサイクル戦略、価格設定の課題と戦略の基本などマーケティングの基礎を修得する。	講義１５時間 演習１５時間
展開科目	マーケティング実践	社会心理・消費者行動、およびマーケティングによって修得した、マーケティング戦略の基礎知識と心理学の基礎知識、社会心理学、認知心理学などと、情報通信に関する専門的技術を連関させ、企業などの組織をより良い形で運営していくには、マーケティングの発想が不可欠となっていることについて理解を深める。また、マーケティングの基礎概念・基礎的知識の実践面への適用とともに、マーケティングの発想法・実務的な活用法を修得することで、市場を起点に物事を発想することについて理解する。	集中
総合科目	ICT活用総合実習	ＩＣＴ分野の専門職業人として、実践的かつ応用的な能力を総合的に高めるために、職業専門科目を中心に身につけた知識・技能を統合した総合的な実習を行う。具体的には課題解決のための調査、学生同士や指導教員との議論、並びに共同作業等を通して、その解決法を考え、それを計画的・論理的に実行しICTを活用した課題を解決する課題解決能力を養う。併せて、課題解決の過程・結果・結論をまとめ、グループ討議や発表を通じて、コミュニケーション能力やディベート力、プレゼンテーション能力の向上を図る。	共同

校地校舎等の図面

（１）都道府県内における位置関係の図面

① 新潟県内における位置関係の図面

② 新潟県新潟市中央区における位置関係の図面

（２）最寄り駅からの距離や交通機関がわかる図面

① 紫竹山キャンパス

② 米山キャンパス

（３）校舎の配置図

① 紫竹山キャンパス

② 米山キャンパス

（４）校舎の平面図

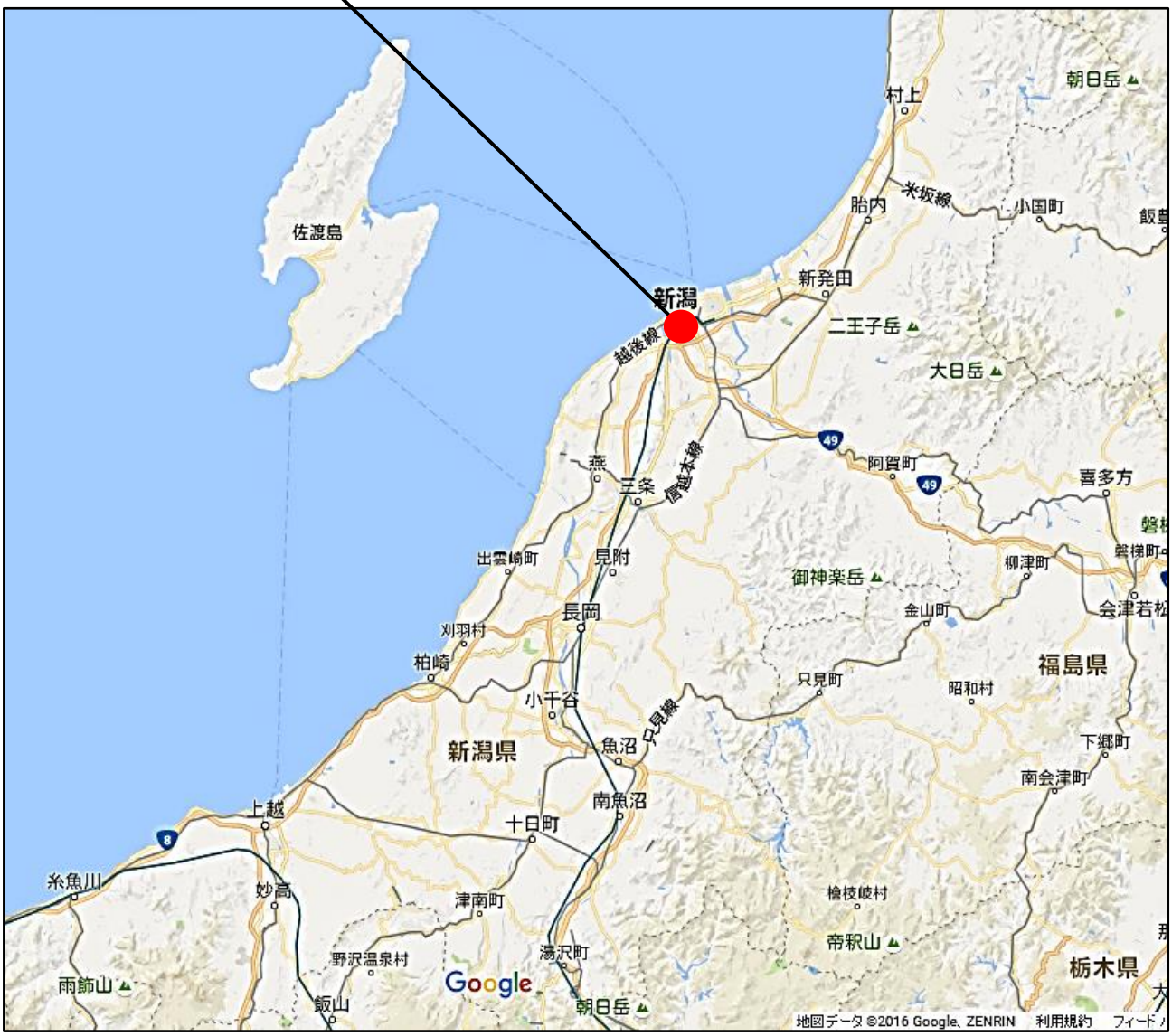
① 紫竹山キャンパス

② 米山キャンパス

（１）都道府県内における位置関係の図面

① 新潟県内における位置関係の図面

開志専門職大学(仮)
・紫竹山キャンパス(新潟市中央区紫竹山)
・米山キャンパス(新潟市中央区米山)



② 新潟県新潟市中央区における位置関係の図面



2キャンパス間の距離・移動時間、交通手段

①～②直線距離　　約　1.27 Km

自動車移動走行距離　約 2.8 Km

自動車移動所要時間　約 12 分

「笹口二丁目」～「弁天橋」

南部営業所行　約 5 分

徒歩所要時間　約 5 分

計 10 分

①紫竹山キャンパス

新潟駅～①　約1.7km

徒歩　　約 22分

バス所要時間

「新潟駅南口」～「弁天橋」

南部営業所行　約 6分

徒歩所要時間　約 5分

計　11　分

②米山キャンパス

新潟駅～②　約400m

徒歩　　約 6分

計　6　分

開志専門職大学学則 （案）

第１章　総　則

第１節　目　的

（目　的）

第１条　本学は、教育基本法及び学校教育法の精神に基づき、専門分野における高度で実践的な専門性を身に付けると同時に、変化に対応する能力や生涯にわたり学び続ける力を備え、創造力と実践力をもって、新たな価値の創造を先導する人材を育成することにより、地域、日本、世界の発展に寄与することを目的とする。

（名　称）

第２条　本学は開志専門職大学と称する。

（所在地）

第３条　本学は新潟県新潟市中央区紫竹山６丁目３番５号（紫竹山キャンパス）を本部とし、その他に下記の校舎を置く。

新潟県新潟市中央区米山３丁目１番53号（米山キャンパス）

（自己点検・評価）

第４条　本学は、その教育研究活動の向上を図り、第１条の目的を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表する。

２　前項の点検及び評価の結果については本学の職員以外の者による検証を行う。

３　前２項の点検及び評価並びに検証に関する事項は、別に定める。

（情報の積極的な提供）

第５条　本学は教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知できる方法により、積極的に外部に対して情報を提供する。

第２節　組　織

（学　部）

第６条　本学に次の学部を置く。

事業創造学部、情報学部

２　前項の各学部に置く学科及びその収容定員は次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	収容定員
事業創造学部	事業創造学科	80 人	320 人
情報学部	情報学科	80 人	320 人

３　学部及び学科ごとの人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、別表１のとおりとする。

第３節　職員組織

（職　員）

第７条　本学に次の教職員を置く。

学長、副学長、学部長、図書館長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員

２　本学に学長補佐、名誉教授、客員教授、特別講師、非常勤講師、その他必要な職員を置くことができる。

3　学長は、校務をつかさどり、所属職員を統督する。また校務についての最終決定権を有する。
4　副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。
5　学部長は、学部に関する校務をつかさどる。
6　図書館長は、図書館業務を統括する。
7　学長補佐は、学長より命を受けて学長の校務を補佐する。
8　職員組織に関する事項は、別に定める。

（事務局）
第８条　本学に、事務局を置く。
2　事務局に関する規程は、別に定める。

第４節　総務会及び学部教授会

（総務会）
第９条　本学に、総務会を置く。
2　総務会は、全学的な重要事項についての審議機関であり、学長、副学長、学部長、事務局長及び法人を代表する職員をもって組織する。ただし、必要があるときは、その他の教職員を加えることができる。
3　総務会は、次に掲げる全学的な重要事項について審議する。
（1）　教育研究環境の整備に関すること
（2）　学則その他重要な規程の制定・改廃に関すること
（3）　教育職員人事に関すること
（4）　学生の定員に関すること
（5）　学生の生活、身分に関する重要な事項について
（6）　理事会が諮問する事項について
（7）　学長が諮問する事項について
（8）　教育研究に関する全学的な重要事項について
（9）　各学部・学科間の調整事項について
(10) その他専門職大学運営に関する重要な事項について
4　その他必要な事項は、別に定める。

（教授会）
第１０条　本学に、教授会を置く。
2　教授会は、学部教授会とし、学部の専任の教授をもって構成する。ただし、必要があるときは、その他の教職員を加えることができる。
3　教授会は、学長が次に掲げる重要事項について決定を行うに当たり、審議した結果を学長に意見として述べるものとする。
（1）　学生の入学、卒業に関すること
（2）　学位の授与に関すること
（3）　教育・研究の基本方針に関すること
（4）　教育課程及び履修方式に関すること
（5）　学生の指導、賞罰及び除籍に関すること
4　教授会は、前項各号に規定するもののほか、学長及び学部長等（以下「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議する。
5　教授会は、前項で審議した事項について、学長等の求めがあった場合、その結果を学長等に意見として述べることができる。
6　その他必要な事項は、別に定める。

第５節　学年、学期及び休業日

（学　年）
第１１条　学年は、４月１日に始まり、翌年３月３１日に終わる。

（学　期）
第１２条　学年を次の４学期に分ける。
第１学期　４月１日から６月上旬
第２学期　６月上旬から９月上旬
第３学期　９月上旬から１１月下旬
第４学期　１１月下旬から翌年３月３１日まで

（休業日）
第１３条　休業日は次のとおりとする。
（1）　日曜日及び土曜日
（2）　国民の祝日に関する法律に定める日
（3）　本学の創立記念日
（4）　夏季休業
（5）　冬季休業
（6）　春季休業
２　学長は、必要がある場合は前項の休業日を変更すること及び臨時の休業日を定めることができる。
３　学長は、特に必要があると認めるときは、休業日においても臨時の授業日を設けることができる。

第２章　学部通則
第１節　修業年限及び在学年限

（修業年限）
第１４条　学部の修業年限は、４年とする。

（最長在学年限）
第１５条　学生は８年を超えて在学することができない。ただし、編入学、転入学、及び再入学した学生は、その者の在学すべき年数の２倍に相当する年数を超えて在学することができない。しかし、休学期間はこれに含めない。
２　前項の規定に関わらず、学生が職業を有している等の事情により、修業年限を越えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し卒業することを希望する旨を申し出たときは、その計画的な履修を認めることができる。

第２節　入　学

（入学の時期）
第１６条　入学の時期は、学年の始めとする。ただし、学長が教育上支障ないと認めるときは学年の途中においても学期の始めとすることができる。
２　転入学及び再入学については、学期の始めとすることができる。

（入学資格）
第１７条　本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。
（1）　高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
（2）　通常の課程による１２年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む）
（3）　外国において、学校教育における１２年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
（4）　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
（5）　専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基

準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

（６） 文部科学大臣の指定した者

（７） 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む）

（８） 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、１８歳に達した者

（入学の出願）

第１８条 本学への入学を志願する者は、入学願書に所定の検定料及び別に定める書類を添えて願い出なければならない。

（入学者の選考）

第１９条 入学者の選考は、学力試験及びその他の方法によりこれを行う。

（入学手続き及び入学許可）

第２０条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、誓約書、身元保証書及びその他所定の書類を提出するとともに、所定の入学金を納付しなければならない。

２ 学長は、前項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。

（編入学・転入学・再入学）

第２１条 前条に定めるもののほか、次の各号の一に該当する者で、本学への入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考のうえ、教授会の議を経て学長は相当年次への入学を許可することができる。

（１） 大学を卒業した者又は退学した者

（２） 短期大学、高等専門学校を卒業した者

（３） 専修学校の専門課程（修業年限が２年以上であることその他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了した者

（４） 学校教育法施行規則（昭和２２年文部省令第１１号）附則第７条に定める従前の規定による高等学校、専門学校又は教員養成諸学校等の課程を修了し、又は卒業した者

（５） その他前各号と同等以上の学力があると認められた者

２ 他の大学に在学する者で、本学への転入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考のうえ、教授会の議を経て学長は相当年次への入学を許可することができる。

３ 本学を卒業した者又は退学した者で、本学への再入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考のうえ、教授会の議を経て学長は相当年次への入学を許可することができる。ただし、第４７条に定める懲戒処分により退学した者には再入学を許可しない。

４ 前各項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱い、並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。

第３節 教育課程及び履修方法等

（授業科目）

第２２条 本学の授業科目の区分は、基礎科目群、職業専門科目群、展開科目群、総合科目群とする。

（教育課程の編成方針）

第２３条 学部及び学科又は課程等の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を、産業界及び地域社会と連携しつつ、自ら開設し、体系的に教育課程を編成するものとする。

２ 教育課程の編成に当たっては、学部等の専攻に係る専門の学芸を教授し、専門性が求められる職業を担うための実践的な能力及び当該職業の分野において創造的な役割を担うための応用的な能力を展開させるとともに、豊かな人間性及び職業倫理を涵養するように適切に配慮するものとする。

３ 専攻に係る職業を取り巻く状況を踏まえて必要な授業科目を開発し、当該職業の動向に即し

た教育課程の編成を行うとともに、当該状況の変化に対応し、授業科目の内容、教育課程の構成等について、不断の見直しを行うものとする。

4　前項の規定による授業科目の開発、教育課程の編成及びそれらの見直しは、次条に規定する教育課程連携協議会の意見を勘案するとともに、適切な体制を整えて行うものとする。

（教育課程連携協議会）

第２４条　産業界及び地域社会との連携により、教育課程を編成し、及び円滑かつ効果的に実施するため、教育課程編成協議会を設けるものとする。

2　教育課程連携協議会は、次に掲げる者をもって構成する。

（1）　学長が指名する教員その他の職員

（2）　課程に係る職業に就いている者又は当該職業に関連する事業を行う者による団体のうち、広範囲の地域で活動するものの関係者であって、当該職業の実務に関し豊富な経験を有する者

（3）　地方公共団体の職員、地域の事業者による団体の関係者その他地域の関係者

（4）　臨地実務実習その他の授業科目の開設又は授業の実施において協力する事業者

（5）　教員その他の職員以外の者であって学長が必要と認める者

3　教育課程連携協議会は、次に掲げる事項について審議し、学長に意見を述べるものとする。

（1）　産業界及び地域社会との連携による授業科目の開設その他の教育課程の編成に関する基本的な事項

（2）　産業界及び地域社会との連携による授業の実施その他の教育課程の実施に関する基本的な事項及びその実施状況の評価に関する事項

（授業の方法）

第２５条　授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2　文部科学大臣が別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3　第１項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても同様とする。

4　文部科学大臣が別に定めるところにより、第１項の授業の一部を、校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。

（教育内容等の改善のための組織的な研修等）

第２６条　本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための研修及び研究を行う。

2　前項の研修及び研究は学長が主管し、適切な組織をもって行う。

3　研修及び研究に関する詳細は、別に定める

（単位計算方法）

第２７条　授業科目の単位計算方法は、１単位の授業科目を４５時間の学修を必要とする内容をもって構成することとし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準によるものとする。

（1）　講義及び演習については、１５時間をもって１単位とする。

（2）　実験・実習及び実技については、３０時間をもって１単位とする。

（3）　教育上必要があるときは、講義及び演習については３０時間の授業、実験・実習及び実技については４５時間の実習をもって１単位とすることができる。

（4）　１つの授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち２以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、規定する基準を考慮して本学が定める時間の授業をもって１単位とする。

（5）　卒業制作等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

（単位の授与）
第２８条　授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を授与する。
２　試験に関する規程は、別に定める。

（履修科目の登録の上限）
第２９条　卒業の要件として履修する科目について、学生が各学期に登録することができる単位数の上限は学科ごとに定め、教授会の議を経て学長が決定する。
２　前項の上限を定める際は、学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修することができるよう配慮するものとする。
３　学生は履修しようとする授業科目を選定して、所定の期日までに届出なければならない。

（他の大学又は短期大学における授業科目の履修等）
第３０条　教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学との協議に基づき、学生に当該他大学又は短期大学の授業科目を履修させることができる。
２　前項の規定により履修した授業科目について修得した単位については、教授会の議を経て学長は６０単位を限度として卒業要件単位として認めることができる。
３　前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合、外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合及び外国の大学又は短期大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。

（大学以外の教育施設等における学修）
第３１条　教育上有益と認めるときは、短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。
２　前項により与えることができる単位数は、前条により本学において修得したものとみなす単位数と合わせ６０単位を超えないものとする。

（入学前の既修得単位等の認定）
第３２条　教育上有益と認めるときは、学生が入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修により習得した単位を含む）を、教授会の議を経て学長は本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
２　教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第１項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、教授会の議を経て学長は単位を与えることができる。
３　学生が本学に入学する前に専門性が求められる職業に係る実務の経験を通じ、当該職業を担うための実践的な能力（本学において修得させることとしているものに限る。）を修得している場合において、教育上有益と認めるときは、文部科学大臣が別に定めるところにより、当該実践的な能力の修得を、本学における授業科目の履修とみなし、３０単位を超えない範囲で、教授会の議を経て学長は単位を与えることができる。
４　前各項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転入学、再入学の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、合わせて６０単位を超えないものとする。

（本学以外での履修の許可）
第３３条　本学学生にして、第３０条及び第３１条に定める本学以外の教育施設での授業科目の履修を希望する者は、教授会の議を経て学長の許可を得なければならない。

（本学以外で履修した科目及び単位の取り扱い）
第３４条　本学以外で修得した科目及び単位の取り扱いに関する詳細は、別に定める。

（成　績）
第３５条　授業科目の試験の成績は、Ｓ・Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄの５種の評語をもって表し、Ｃ以上を合格とする。

（その他）
第３６条　この節に定めるもののほか、授業科目の種類・単位数及び履修方法等の詳細については、別表２のとおりとする。

第４節　休学・転学・転部・留学・退学及び除籍

（休　学）
第３７条　疾病その他やむを得ない理由により２ヵ月以上修学することができない者は、休学願にその理由を記し、保証人連署の上願い出て、学長の許可を得て休学することができる。ただし、病気による休学の場合は、医師の診断書を添付しなければならない。
２　疾病その他やむを得ない理由により修学することが適当でないと認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

（休学期間）
第３８条　休学期間は、１年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、学長の許可を得て１年を限度として休学期間を延長することができる。
２　休学期間は、通算して３年を超えることができない。
３　休学期間は、第１４条の在学期間に算入しない。
４　休学期間中にその理由が消滅した場合は、復学願にその理由を記し、保証人連署の上願い出て、学長の許可を得て復学することができる。ただし、病気による休学者が復学しようとする場合は、医師の診断書を添付しなければならない。

（転　学）
第３９条　他の大学への入学又は転入学を志願しようとする者は、願い出た上で、学長の許可を受けなければならない。

（転　部）
第４０条　本学に学籍を有する者で、本学の他学部に転部を志望する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考のうえ、教授会の議を経て学長が許可することがある。
２　その他必要な事項は、別に定める。

（留　学）
第４１条　外国の大学又は短期大学で学修することを志願する者は、願い出た上で、学長の許可を得て留学することができる。
２　前項の許可を得て留学した期間は、第１４条に定める在学期間に含めることができる。
３　第３０条に定める他大学における授業科目の履修等の規定は、外国の大学又は短期大学へ留学する場合に準用する。

（退　学）
第４２条　病気その他やむを得ない理由によって退学しようとする者は、退学願にその理由を記し、保証人連署の上願い出て、学長の許可を受けなければならない。

（除　籍）
第４３条　次の各号の一に該当する者は、教授会の議を経て学長が除籍する。
（１）　授業料の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
（２）　第１５条第１項に定める在学年限を超えた者
（３）　第３８条第２項に定める休学期間を超えてなお修学できない者

（４） 死亡又は長期間にわたり行方不明の者

第５節　卒業及び学位

（卒　業）

第４４条　本学に在学すべき年数以上在学し以下に定める所定の単位数を修得した者については、教授会の議を経て学長が卒業を認定する。

事業創造学部　事業創造学科

卒業要件に定める単位数は以下の単位を含み 124 単位以上とする。

基礎科目は必修科目 16 単位を含み 20 単位以上

職業専門科目は必修科目 72 単位、地域産業研究科目群 4 単位を含み 80 単位以上

展開科目は必修科目 20 単位

総合科目は必修科目４単位

但し、上記 124 単位のうち、実習科目を 40 単位以上(臨地実務実習 22 単位を含む)の単位を修得すること。

情報学部　情報学科

卒業要件に定める単位数は以下の単位を含み 130 単位以上とする。

基礎科目は必修科目 14 単位を含み 20 単位以上

職業専門科目は必修科目 76 単位を含み 84 単位以上

展開科目は必修科目 22 単位

総合科目は必修科目４単位

但し、上記 130 単位のうち、実習科目を 40 単位以上(臨地実務実習 20 単位を含む)の単位を修得すること。

２　学長は、卒業を認定した者に対して、卒業証書を授与する。

（学　位）

第４５条　卒業した者は、次の区分に従い、学士の学位を授与する。

事業創造学部　事業創造学科　　事業創造学士（専門職）

情報学部　情報学科　　情報学士（専門職）

第６節　賞　罰

（表　彰）

第４６条　学生として表彰に値する行為があった者は、教授会の議を経て学長が表彰することができる。

（懲　戒）

第４７条　本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、教授会の議を経て学長が懲戒する。

２　前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

３　前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

（１） 性行不良で改善の見込みがない者

（２） 正当な理由がなくて出席が常でない者

（３） 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

（４） 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者

第７節　研究生、科目等履修生、聴講生及び外国人留学生

（研究生）

第４８条　本学において、特定の専門事項について研究することを志願する者があるときは、各学部の教育研究に支障のない場合に限り、選考のうえ、教授会の議を経て学長が研究生として入学を

許可することがある。

2　研究生を志願することのできる者は、大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認められた者とする。

3　研究期間は、１年とする。ただし、特別の理由がある場合は、その期間を更新することができる。

（科目等履修生）

第４９条　本学の学生以外の者で、本学の一又は複数の授業科目の履修を志願する者があるときは、各学部の教育に支障のない場合に限り、選考のうえ、教授会の議を経て学長が科目等履修生として入学を許可することがある。

（聴講生）

第５０条　本学の学生以外の者で、本学の一又は複数の授業科目の聴講を志願する者があるときは、各学部の教育に支障のない場合に限り、選考のうえ、教授会の議を経て学長が聴講生として入学を許可することがある。

（外国人留学生）

第５１条　外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、選考のうえ、教授会の議を経て学長が外国人留学生として入学を許可することがある。

2　前項の外国人留学生に対しては、第２２条に掲げるもののほか、日本語科目及び日本事情に関する科目を置くことができる。

（規　定）

第５２条　研究生、科目等履修生、聴講生及び外国人留学生に関する規則は、別に定める。

第8節　学費

（入学検定料、入学金、授業料等(授業料、施設・設備費、実習費)）

第５３条　入学検定料、入学金、授業料等の額は、別表３のとおりとする。

（入学検定料、入学金、授業料等の納付）

第５４条　入学を志願する者は、志願と同時に入学検定料を納付しなければならない。

2　入学を許可された者は、入学金を指定の期日までに納付しなければならない。授業料等は、年額の２分の１ずつとし、次の納期までに納付しなければならない。

区分	対応期間	納　期
第１回納入	第１・第２クオータ分	４月末日まで
第２回納入	第３・第４クオータ分	１０月末日まで

3　前二項は、編入学、転入学、再入学の場合にも準用する。

（復学等の場合の授業料等）

第５５条　学年の途中において、復学又は入学(編入学、転入学、再入学含む)した者は、復学又は入学した月から当該納入回の対応期間の末までの授業料等を復学又は入学した月に納付しなければならない。

（学年の途中で卒業する場合の授業料等）

第５６条　学年の途中で卒業する見込みの者は卒業する見込みの月までの授業料等を納付するものとする。

（退学及び停学の場合の授業料等）

第５７条　学年の途中で退学し又は除籍された者は、退学又は除籍された月までの授業料は徴収する。

2　停学期間中の授業料は徴収する。

（休学の場合の授業料等）
第５８条　休学を許可され又は命ぜられた者については、休学した月の翌月から復学した月の前月までの授業料等の３分の２を免除する。

（授業料等の免除及び徴収の猶予）
第５９条　経済的理由によって納付が困難であり、かつ、学業優秀と認める場合又はその他やむを得ない事情があると認められる場合は、授業料等の全部もしくは一部を免除し、又は徴収を猶予することがある。
２　授業料等の免除及び徴収の猶予に関し必要な事項は、別に定める。

（研究生及び科目履修生等の授業料等）
第６０条　研究生、科目等履修生及び聴講生の入学検定料及び授業料等については、別に定める。

（納付した授業料等）
第６１条　納付した検定料、入学金及び授業料等は原則として返還しない。

第９節　奨学制度

（奨学制度）
第６２条　奨学のため、諸種制度を設けることができる。
２　制度に関する詳細は、総務会の議を経て理事会が定める。

第１０節　公開講座

（公開講座）
第６３条　社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、本学に公開講座を開設することができる。

第１１節　施設利用

（施設利用）
第６４条　本学の施設は、本学の学生及び教職員が使用できる。ただし、一般市民に開放することもできる。
２　施設の使用、利用及び管理に関する規程は、別に定める。

第３章　改正及び細則

（改　正）
第６５条　本学則の改正は、総務会の議を経て学長が決定する。ただし、理事会に留保されている事項の改正は、総務会の議を経て理事会が決定する。

（学部細則その他）
第６６条　各学部規程ほか、本学則施行についての細則その他必要な事項は、別に定める。

附　則
１．この学則は、令和２年４月１日から施行する。

別表１（第６条関係）

学部及び学科ごとの人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

事業創造学部　事業創造学科

１．目　的

事業創造学部では、組織として教育研究対象とする中心的な学問分野を「経営学分野」として、「経営分野の専門的な知識と技術及び技能の定着と実践力の深化を図り、実社会や職業とのかかわりを通して、高い職業意識や職業観と規範意識、人間関係力に根ざした実践力を高めるとともに、課題を探求し解決する基礎的な能力を養い、地域の資源を新商品や新サービスの開発に活用できる創造的な能力を育てる」ことを教育上の目的とする。

２．養成する人材

事業創造学部では、「職業人としての倫理観や道徳意識、起業家精神などを身に付け、起業家、事業承継者、企業内起業家として、事業活動や商品開発を行うために必要となる専門的な知識と能力に加えて、地域の魅力や特徴に関する知識を有し、地域の資源を新商品や新サービスに活用するための能力と消費者の視点に立って正しく問題を解決するための考え方を身に付けて、地域経済の活性化に貢献できる人材」を養成する。

情報学部　情報学科

１．目　的

情報学部では、組織として教育研究対象とする中心的な学問分野を「情報学分野」として、「情報分野の専門的な知識と技術及び技能の定着と実践力の深化を図り、実社会や職業とのかかわりを通して、高い職業意識や職業観と規範意識、人間関係力に根ざした実践力を高めるとともに、課題を探求し解決する基礎的な能力を養い、情報技術を生活様式や様々なサービスなどの充実と向上に活用できる創造的な能力を育てる」ことを教育上の目的とする。

２．養成する人材

情報学部では、「職業人としての職業観や倫理観、豊かな人間性とともに、情報技術者としての専門的な知識や技能と実際に活用する能力に加え、地域社会や産業界を取り巻く現状に関する知識を有し、正しく問題を解決するための考え方とユーザーの視点に立った新商品や新サービスを企画・開発するための基礎的な能力を身に付けて、地域社会の情報化に貢献できる人材」を養成する。

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（事業創造学部事業創造学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目		英語コミュニケーションⅠ	1①②	1				○							兼1	
		英語コミュニケーションⅡ	1③④	1				○							兼1	
		英語プレゼンテーション演習Ⅰ	2①②	1				○							兼1	
		英語プレゼンテーション演習Ⅱ	2③④	1				○							兼1	
		中国語コミュニケーション	4③④			1		○							兼1	
		韓国語コミュニケーション	4③④			1		○							兼1	
		ロシア語コミュニケーション	4③④			1		○							兼1	
		情報リテラシー	1①	2				○		1						
		日本語コミュニケーション	1①②	2				○		1						
		現代経済学	1①②		2		○			1						
		現代産業論	1①②	2			○				1					
		現代企業論	1③④	2			○				1					
		現代史と国際関係論	1③④		2		○			1						
		現代の科学技術	1③④		2		○								兼1	
		現代実践法学	1①②		2		○								兼1	
		現代社会学	1③④		2		○					1				
		国際動態論	3④		2		○			1						
		キャリアデザインⅠ	1①	1				○				1				※講義
		キャリアデザインⅡ	2②	1				○				1				※講義
		キャリアデザインⅢ	3②	1				○							兼1	※講義
		ビジネスモラル	1①	1			○								兼1	
		小計(21科目)	－	16	12	3	－			5	2	3	0	0	兼11	
職業専門科目	職業専門科目群	経済学の基礎	1①②	2			○			1						
		経営学の基礎	1①②	2			○				1					
		経営戦略論	1③④	2			○				1					
		経営組織論	2①②	2			○				1					
		経営戦略策定演習	2③④	2				○			1					
		イノベーションマネジメント	3①②	2			○			1						
		グローバル社長学	3③④		2		○			1						
		実践企業革新	4①②		2		○				1					
		マーケティング	1①②	2			○			1						
		デジタルマーケティング	1③④	2				○		1						
		流通論の基礎	2①②		2		○			1						
		消費者行動研究	2③④		2		○								兼1	
		実践的統計学	3①②		2		○								兼1	
		広報戦略の実践	3③④		2			○		1						
		会計学	2②	1			○				1					
		財務諸表論	2③	1			○				1					
		簿記概論	1①②	2			○						1			
		簿記演習	1③	1				○					1			
		財務諸表分析	3①②	2				○					1			
		資金調達の実践	3③④	2			○					1				
		実践日本ビジネス法	2③④	2			○								兼1	
		不動産法入門	3①②		2		○				1					
		不動産取引演習	3③④		2			○			1					
		企業リスク管理実践	3③④		2		○								兼1	
		アントレプレナーシップ論	1③④	2			○			1					兼1	オムニバス
		実践ベンチャービジネス	2③④	1				○		1						
		ICT活用ビジネス	3③④		2			○		2						
		トップランナー研究	1②④	2				○		1						※集中
		ビジネスモデル研究	2①②	2				○			1					

職業専門科目	職業専門科目群	ビジネスコミュニケーション	1③④	2			○			1							
		コミュニケーションデザイン	3①②		2			○							兼1		
		ビジネスプランの基礎	1③④	2			○			1							
		ビジネスプランの応用	2①②	2					○	1							
		会社設立実習Ⅰ	2③④	4					○	1	1						
		会社設立実習Ⅱ	3①②	4					○	1	1						
		会社設立実習Ⅲ	3③④		4				○		1						
		実践事業承継	3③		2		○								兼1		
		事業承継演習	3④		2			○							兼2	オムニバス	
		企業内実習Ⅰ	1③④	2					臨	1	3	1		1			
		企業内実習Ⅱ	2③④	4					臨		1	2	1	1			
		企業内実習Ⅲ	3③④	6					臨	1	3	1		1			
		新規商品開発・販売実習Ⅰ	2①②	5					臨		2	1	1	1			
		新規商品開発・販売実習Ⅱ	3①②	5					臨		2	1	1	1			
	地域産業研究科目群	地域経済産業論	1③④	2			○			1					兼1	オムニバス	
		地域産業研究Ⅰ(農林水産)	2①②		2			○							兼1		
		地域産業研究Ⅱ(医療福祉)	2①②		2			○							兼1		
		地域産業研究Ⅲ(環境)	2③④		2			○		2							
		地域産業研究Ⅳ(ものづくり)	3①②		2			○		1							
		地域産業研究Ⅴ(観光)	3③④		2			○							兼1		
		地域産業研究Ⅵ(ICT)	4①②		2			○							兼1		
		地域産業研究Ⅶ(まちづくり)	4①②		2			○		1							
		地域産業研究Ⅷ(カルチャー・エンタテイメント)	4③④		2			○		1							
	小計(52科目)		－	72	46	0	－			25	24	7	6	5	兼14		
		デザイン・シンキング概論	2①②	2			○								兼1		
		ソーシャルデザインⅠ	2③④	2				○			1					※講義	
		ソーシャルデザインⅡ	3①②	2				○			1					※講義	
		ソーシャルデザイン実習	3③④	2					○		1						
展開科目		新潟と地域社会	1①②	2			○								兼1		
		新潟と地域政策	1③④	2			○								兼1		
		新潟と地域資源	2①②	2				○							兼1	※講義	
		地域資源活用の理論と方法	2③④	2			○								兼1		
		地域資源活用の事例研究	3①②	2				○							兼1	※講義	
		地域資源活用実習	3③④	2					○	1							
	小計(10科目)		－	20	0	0	－			1	3	0	0	0	兼6		
総合科目	事業計画策定総合実習		4通	4					○	5	4	1	0	0		共同	
	小計(1科目)		－	4	0	0	－			5	4	1	0	0			
	合計(84科目)		－	112	58	3	－			36	33	11	6	5	兼31		

学位又は称号	事業創造学士(専門職)	学位又は学科の分野	経済学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
基礎科目群から必修科目16単位と選択科目4単位以上、職業専門科目群から必修科目72単位と選択科目8単位以上(このうち、地域産業研究科目群より4単位以上)、展開科目群から必修科目20単位、総合科目群から4単位、併せて124単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))	1学年の学期区分	4期
	1学期の授業期間	8週
	1時限の授業時間	90分

別記様式第2号(その2の1)

(用紙　日本工業規格A4縦型)

教　育　課　程　等　の　概　要

(情報学部情報学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	英語コミュニケーションⅠ	1①②	1				○							兼1	
	英語コミュニケーションⅡ	1③④	1				○							兼1	
	英語プレゼンテーション演習Ⅰ	2①②	1				○							兼1	
	英語プレゼンテーション演習Ⅱ	2④	1				○							兼1	
	中国語コミュニケーション	4③④			1		○							兼1	
	韓国語コミュニケーション	4③④			1		○							兼1	
	ロシア語コミュニケーション	4③④			1		○							兼1	
	情報リテラシー	1①	2				○		1						
	日本語コミュニケーション	1①②	2				○							兼1	
	現代経済学	2①②		2		○								兼1	
	現代産業論	2①②		2		○								兼1	
	現代企業論	3①②		2		○								兼1	
	現代史と国際関係論	3①②		2		○								兼1	
	現代の科学技術	2④		2		○			1						
	現代実践法学	2①②		2		○								兼1	
	現代社会学	2①②	2			○								兼1	
	国際動態論	4④		2		○								兼1	
	キャリアデザインⅠ	1①	1				○							兼1	※講義
	キャリアデザインⅡ	2②	1				○							兼1	※講義
	キャリアデザインⅢ	3②	1				○							兼1	※講義
	ビジネスモラル	1①	1			○								兼1	
	小計(21科目)	－	14	14	3	－			2	0	0	0	0	兼19	
職業専門科目	情報の基礎	1①	1			○			1						
	トップランナー研究	1④2②	2				○		1						集中
	情報と法律	1③④	2			○			1						
	情報と経営	2①②	2			○			1						
	情報と倫理	3①	1			○			1						
	情報と英語	4①②		2			○		1						
	コンピュータアーキテクチャ	1①	2			○			1						
	オペレーティングシステム	1②	2			○			1		1				
	線形代数	1①②	2			○			2						
	微分積分	1③④	2			○			2						
	確率論	1③④	2			○			1						
	統計学	2①②	2			○			1						
	データ構造とアルゴリズム	1①	2			○			2						
	プログラミングⅠ	1②	2			○			1		1				
	プログラミングⅡ	1③	2				○		1		1				
	ネットワークプログラミング実習	2①②	2					○	2			1	1		共同
	API実習	2④	2					○	1		1		1		
	情報通信ネットワーク	1②	1			○			1						
	ネットワーク演習	1③④	2				○		2						
	分散型台帳技術	3①②	2				○		1						※講義
	情報セキュリティ	1③④	2			○			1						
	サイバーセキュリティ演習	2①②	2				○		1						
	サイバーセキュリティ実習	3①②	2					○	1				1		
	データベースの基礎	1③④	2			○			1		1				
	データベース演習	2①②	2				○		1		1				
	システムモデリング	1②	1			○					1				
	システム開発技術	2①②		2		○			1						
	臨地実務実習Ⅰ	2③	5					臨	12	1	2	1	2		
	臨地実務実習Ⅱ	3③④	15					臨	12	1	2	1	2		

職業専門科目	クラウド技術概論	2①②		2		○			1						
	クラウドベーシック&マーケティング	3①		2			○				1				
	クラウドプラットフォーム実習Ⅰ	3②		2				○			1		1		
	クラウドプラットフォーム実習Ⅱ	4①②		2				○			1		1		
	サイバーフィジカルシステム基礎	1③	2			○			1						
	IoT演習	2②		2			○		1						
	IoT実習	3①		2				○	1				1		
	ハードウェア設計	3②		2			○		1						※講義
	ロボティクス実習	4①②		2				○	1				1		
	没入型コンピューティング	1④	2				○				1				※講義
	没入型コンピューティング実習	2④		2				○			1		1		
	ユーザエクスペリエンス	2④		2			○			1					※講義
	情報科学基礎	1①②	2			○			1						
	知識表現・知識処理	2①②	2			○			1						
	AI実習	3①②	2					○	2				1		
	マシンラーニング	3②		2			○		1						※講義
	マシンラーニング実習	4①②		2				○	1				1		
	データサイエンス演習	2②		2			○							兼1	※講義
	データサイエンス実習	3①		2				○					1	兼1	
	データマイニング演習	4①②		2			○							兼1	
	ICT演習（ハードウェア/ソフトウェア）	2②		1			○					1			
	ICT演習（セキュリティ）	2④		2			○				1				
	ICT演習（基本情報）	2④		2			○					1			
	ICT演習（クラウド）	3①		2			○				1				
	ICT演習（応用情報）	3②		2			○				1				
	ICT演習（IoT）	4①		2			○		1						
	ICT演習（マシンラーニング）	4①		2			○		1						
	ICT演習（セキュリティスペシャリスト）	4②		2			○		1						
	ICT演習(組込システム)	4④		2			○		1						
	ICT演習（データベーススペシャリスト）	4④		2			○		1						
	小計（59科目）	－	76	53	0	－			72	3	19	5	15	兼3	
展開科目	新潟と地域社会	1③④	2			○								兼1	
	デザイン・シンキング概論	1③④	2			○				1					
	ソーシャルデザインⅠ	2①②	2				○							兼1	
	ソーシャルデザインⅡ	3①②	2				○							兼1	
	ソーシャルデザイン実習	4①②	2					○			1		1		集中
	デザイン・シンキング実習Ⅰ	2①	1					○		1				兼1	オムニバス
	デザイン・シンキング実習Ⅱ	3①	1					○		1			1		
	情報産業論	2①②	2			○			1						
	国際文化と伝統	3①②	2			○			1						
	社会心理・消費者行動	1③④	2			○			1						
	マーケティング	2①②	2				○		1						※講義
	マーケティング実践	3①②	2				○				1				集中
	小計（12科目）	－	22	0	0	－			4	3	2	0	2	兼4	
総合科目	ICT活用総合実習	4通	4					○	10	1	2	1	2		共同
	小計（1科目）	－	4	0	0	－			10	1	2	1	2		
合計（93科目）		－	116	67	3	－			88	7	23	6	19	兼26	

学位又は称号	情報学士(専門職)	学位又は学科の分野	工学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
基礎科目群の必修科目14単位と選択科目から6単位以上、職業専門科目群の必修科目76単位と選択科目8単位以上、展開科目群22単位、総合科目4単位、あわせて130単位以上を修得すること。 （履修科目の登録の上限：48単位（年間））	1学年の学期区分	4期
	1学期の授業期間	8週
	1時限の授業時間	90分

別表３（第５３条関係）

入学検定料、入学金、授業料等

入学検定料　20,000 円

入学金、授業料等　（単位：円）

学部 学科	事業創造学部 事業創造学科	情報学部 情報学科
入学金	200,000	200,000
授業料(年間)	780,000	960,000
施設・設備費	200,000	240,000
実習費	100,000	180,000
1 年次合計	1,280,000	1,580,000
年額合計	1,080,000	1,380,000

開志専門職大学 教授会規程 (案)

（趣　旨）

第１条　この規程は、開志専門職大学学則（以下「学則」という。）第１０条第６項の規定に基づき、開志専門職大学（以下「本学」という。）に置く教授会の組織、運営等について定める。

（設　置）

第２条　学則第１０条第１項の規定に基づき、本学に教授会を置く。

（構　成）

第３条　教授会は、学部教授会とし、学則第１０条第２項の規定に基づき、学部の専任の教授をもって構成する。

２　同条同項のただし書きにより、その他の教職員を加える場合にあたっては、准教授及び講師、助教を構成員とする。

３　助手は準構成員とする。

４　前項による取扱いは教授会に諮り、総務会の議を経て学長が決定する。

（審議事項）

第４条　教授会は、学則第１０条第３項に定める次の重要事項について、学長が決定を行うに当たり、審議した結果を学長に意見として述べるものとする。

（1）　学生の入学、卒業に関すること

（2）　学位の授与に関すること

（3）　教育・研究の基本方針に関すること

（4）　教育課程及び履修方式に関すること

（5）　学生の指導、賞罰及び除籍に関すること

２　教授会は、学則第１０条第４項の規定に基づき、前項各号に掲げるもののほか、学長及び学部長等（以下「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議する。

３　教授会は、学則第１０条第５項の規定に基づき、前項で審議した事項について、学長等の求めがあった場合、その結果を学長等に意見として述べることができる。

（会　議）

第５条　教授会に議長を置き、学部長をもって充てる。ただし、やむを得ない事故があるときは、あらかじめ学部長の指名した者がその職務を代行する。

２　議長は、教授会を主宰する。

３　教授会は、原則として、毎月１回開催するものとする。ただし、議長が必要と認めた場合は、臨時に会議を招集することができる。

４　教授会構成員の３分の１以上が開催を要求したときは、議長は教授会を招集しなければならない。

（会議の成立要件）

第６条　教授会は、構成員（授業中、やむを得ない理由による学生指導中、海外出張中及び休職中の者を除く。）の３分の２以上の出席がなければ開くことができない。

（代議員会）

第７条　教授会は、教授会に属する一部の者をもって構成される代議員会を置くことができる。

２　前項の代議員会の組織運営については、教授会に諮り、総務会の議を経て学長が定める。

（委　任）

第８条　教授会は、次に掲げる審議事項について、代議員会に委任することができる。

（１）学生の入学、卒業に関すること

（２）学位の授与に関すること

２　その他代議員会に委任することができる審議事項については、教授会に諮り、総務会の議を経て学長が定めることができる。

３　教授会は、代議員会に対してその審議結果等の報告を求めるものとする。

（議事の議決）

第９条　議事の議決は、出席者の過半数の賛成をもって決する。ただし、可否同数のときは、議長の決するところによる。

２　教授会は、代議員会の議決をもって、教授会の議決とすることができる。

（委員会の設置）

第１０条　教授会は、専門の事項について審議する必要があるときは、専門的知見を持った教員から構成される委員会を置くことができる。

２　前項の委員会の組織運営については、教授会の議を経て学長が定める。

（構成員以外の出席）

第１１条　議長は、必要があるときは教授会の決定により教授会に加える者以外の者を出席させ、報告又は意見を求めることができる。

（議事の記録）
第１２条　教授会の議事の要旨を記録して、次回の定例教授会で確認を得るものとする。

（庶　務）
第１３条　教授会に関する事務並びに議事要旨の作成及び保管は、議長の指示に基づき、事務局総務課総務担当が行う。

（改　正）
第１４条　この規程の改正は、教授会に諮り、総務会の議を経て学長が行う。

（雑　則）
第１５条　この規程に定めるもののほか、教授会の運営に関し必要なことは、別に定める。

附　則
この規程は、令和２年４月１日から施行する。

設置の趣旨等を記載した書類

目　　次

１．設置の趣旨及び必要性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
（１）社会的な背景・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
（２）新たな高等教育機関と既存の高等教育機関との違い・・・・・・・・・・ 6
１）既存の高等教育機関との違い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
①　大学との違い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
②　専門学校との違い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
２）専門職大学の必要性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
（３）地方創生(再生)の必要性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
（４）NSG グループが専門職大学を設置する意義・・・・・・・・・・・・・・ 10
（５）専門職大学設置の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
（６）建学の精神・理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
（７）事業創造学部の設置の目的及び養成する人材・・・・・・・・・・・・・ 12
１）教育上の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
２）養成する人材・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
３）既設の専門学校との違い －教育上の目的と養成する人材の違いー・・・ 13
①　専門学校の事業創造学科の教育上の目的と養成する人材等・・・・・ 13
②　専門職大学の事業創造学部の教育上の目的と養成する人材等・・・・ 13
４）既設の専門学校との違い －教育課程の違いー・・・・・・・・・・・・・ 14
①　専門学校の事業創造学科の教育課程・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
②　専門職大学の事業創造学部の教育課程・・・・・・・・・・・・・・・ 15
５）既設の専門学校との違い －教員組織の違いー・・・・・・・・・・・・・ 16
６）到達目標や教育水準等の設定と学修の質の確保・充実・・・・・・・・・ 16
①　到達目標や教育水準等の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
②　学修の質の確保・充実 －授業科目の担当ー・・・・・・・・・・・・・ 16
③　学修の質の確保・充実 －単位制度の実質化と厳格な成績評価ー・・・・ 17
④　学修の質の確保・充実 －教育内容等の改善を図るための組織的な研修ー17
（８）情報学部の設置の目的及び養成する人材・・・・・・・・・・・・・・・ 17
１）教育上の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
２）養成する人材・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
３）既設の専門学校との違い －教育上の目的と養成する人材の違いー・・・ 18
①　専門学校の情報システム学科の教育上の目的と養成する人材等・・・ 18
②　専門職大学の情報学部の教育上の目的と養成する人材等・・・・・・ 18
４）既設の専門学校との違い －教育課程の違いー・・・・・・・・・・・・・ 19
①　専門学校の情報システム学科の教育課程・・・・・・・・・・・・・・ 19
②　専門職大学の情報学部の教育課程・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

５）既設の専門学校との違い －教員組織の違い－・・・・・・・・・・・・・ 21

６）到達目標や教育水準等の設定と学修の質の確保・充実・・・・・・・・・ 21
① 到達目標や教育水準等の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
② 学修の質の確保・充実 －授業科目の担当－・・・・・・・・・・・・ 21
③ 学修の質の確保・充実 －単位制度の実質化と厳格な成績評価－・・ 22
④ 学修の質の確保・充実 －教育内容等の改善を図るための組織的な研修－22

２． 学部・学科の特色・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
（１）事業創造学部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
１）学部・学科の特色・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
２）既存の大学との違い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
（２）情報学部の特色・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
１）学部・学科の特色・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
２）既存の大学との違い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25

３． 学部・学科等の名称及び学位の名称・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
（１）大学の名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
（２）学部・学科の名称及び学位の名称・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
１）事業創造学部・事業創造学科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
２）情報学部・情報学科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

４． 教育課程の編成の考え方及び特色・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
（１）事業創造学部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
１）教育課程の編成の方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
２）教育課程編成・実施の方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
３）ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーとの関係・・・・・・ 30
４）教育課程の編成の考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
５）実習科目及び臨地実務実習先の確保の状況・・・・・・・・・・・・・ 33
（２）情報学部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
１）教育課程の編成の方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
２）教育課程編成・実施の方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
３）ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーとの関係・・・・・・ 35
４）教育課程の編成の考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
５）実習科目及び臨地実務実習先の確保の状況・・・・・・・・・・・・・ 38
（３）学期の考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
（４）教育課程の開発・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39

５． 教員組織等の編制の考え方及び特色・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
（１）事業創造学部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
１）教員組織の編成の考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
２）教員組織の編成の特色・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40

３）教員組織の年齢構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
４）専任教員の育成方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
５）教員組織構想・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
（２）情報学部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43
１）教員組織の編成の考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43
２）教員組織の編成の特色・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
３）教員組織の年齢構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
４）専任教員の育成方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
５）教員組織構想・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45

６． 教育方法、履修指導方法及び卒業要件・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
（１）授業の方法、配当年次、学生数の設定・・・・・・・・・・・・・・・ 47
１）授業の内容に応じた授業の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
２）配当年次・学生数の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
（２）履修指導・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
（３）卒業要件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
（４）履修科目の年間登録上限・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
（５）入学前の実務経験を単位に換算する場合・・・・・・・・・・・・・・ 48

７． 教育課程連携協議会について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49

８． 施設・設備等の整備計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
（１）校地、運動場の整備計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
① 紫竹山キャンパス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
② 米山キャンパス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
③ 体育館その他のスポーツ施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
（２）校舎等施設の整備計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52
１）校舎施設の整備計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52
① 紫竹山キャンパス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52
② 米山キャンパス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52
２）教員並びに学生の研究環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53
（３）図書等の資料および図書館の整備計画・・・・・・・・・・・・・・・ 55

９． 入学者選抜の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56
（１）基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56
（２）入学者の受入方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56
１）事業創造学部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56
２）情報学部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57
（３）選抜方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58
１）実施方法及び定員割合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58
２）指定校推薦選抜及び公募推薦選抜・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58
３）アドミッション・オフィス選抜・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58

４）一般選抜試験・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
（４）選抜体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
（５）社会人や留学生の入学に関する考え方・・・・・・・・・・・・・・・・ 60

１０．取得可能な資格・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
（１）事業創造学部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
（２）情報学部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62

１１．実習の具体的計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
（１）臨地実務実習の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
１）事業創造学部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67
①　企業内実習Ⅰ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67
②　新規商品開発・販売実習Ⅰ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68
③　企業内実習Ⅱ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68
④　新規商品開発・販売実習Ⅱ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
⑤　企業内実習Ⅲ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70
２）情報学部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71
①　臨地実務実習Ⅰ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71
②　臨地実務実習Ⅱ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 72
（２）実習先の確保の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 72
１）実習先の確保・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 72
２）実習先の選定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 73
（３）実習先との契約内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 73
（４）実習水準の確保の方策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 73
（５）実習先との連携体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 74
（６）事前・事後における指導計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 74
（７）教員の配置並びに巡回指導・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 75
（８）成績評価体制及び単位認定方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 75
（９）その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 75

１２．２以上の校地において教育研究を行う場合の具体的計画・・・・・・ 75

１３．管理運営・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 76
（１）管理運営組織の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 76
１）総務会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 76
２）教授会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 76
３）委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 77

１４．自己点検・評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 77
（１）基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 77
（２）実施体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 77
（３）点検・評価項目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 78

（4）結果の公表と活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 78

１５．情報の公表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 78

１６．教育内容等の改善を図るための組織的な研修等・・・・・・・・・・・ 79

１７．社会的・職業的自立に関する指導等及び体制・・・・・・・・・・・・ 79
（1）教育課程内の取組みについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 79
（2）教育課程外の取組みについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 80
（3）適切な体制の整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 80

１．設置の趣旨及び必要性

（１）社会的な背景

近年の急速に進む高度情報化やグローバル化は国際競争の激化をもたらし、日本の経済社会の構造を大きく変えるものとなっている。ビッグデータや人工知能などによる第四次産業革命は新たな消費ニーズを創出し、同時に経済のサービス化・ソフト化により、経済活動全体に占めるサービス産業の役割が増大している。他方、サイバーセキュリティや個人情報保護の重要性は益々、高まっている。また国内では少子・高齢化が進行しており、生産年齢人口の減少は確実なものとなっており、さらに地域社会においては、若者世代の流出と東京圏への一極集中により、地域経済は深刻な人手不足に陥り、地域経済の縮小傾向が現実のものとなってきている。

このように社会構造がめまぐるしく変化する中で、第四次産業革命は、予想の容易でない就業構造、産業構造の変革をもたらす。働き方も今後さらに大きく変化する。成長産業、花形職種と言われていたものが約 40 年の職業人生の間、継続するとは限らない。また、地方で思いがけない新産業、有望職種が生まれ、転職が当たり前の時代となるかもしれない。これからの社会では、指示待ち人間、マニュアル人間には、厳しい時代となる。知識の量よりも応用力、変化に的確に対応ができる能力などが求められている。豊かな社会人基礎力を養い、実用的な専門的知識とその応用力を持ち、常に自学により自分を高めて行く習慣を身に付けた人材にとっては、これからの激しい変化の時代はピンチではなく、チャンスである。

一方、仕事と個人生活の充実や調和を図ることが重要視されており、個人のライフスタイルもいっそう多様化することが予測される。社会人としても社会・経済の変化に応じて自らの能力を高めることが求められ、自己の知識や技術を進化させることが必要となる。そのために自己のライフスタイルに合わせて学び続けることができる社会を実現することが必要となる。

こうした様々な変化の中、日本が将来にわたって成長し発展を続け、一人一人の豊かな人生を実現していくためには、個人の可能性を最大限引き出すとともに、少子化を克服し、国力の源である人材の質と量を充実・確保していく必要がある。

戦後の日本は生産・サービスの現場において優れた技術力と実践力により、経済発展を遂げてきた。しかし、国際競争の激化や産業構造が変革する中、より高い付加価値を生み出し、成長・発展を持続していくために、創造力と実践力の豊かな専門職業人材を育成し、時代の変化に対応し、主体的に自己の能力を向上し続けることのできる専門職業人の育成が求められると考える。

（２）新たな高等教育機関と既存の高等教育機関との違い

１）既存の高等教育機関との違い

既存の大学や短期大学などはその特性を活かした教育を行ってきたが、多くの若者にとって、高等教育は社会に出る前の最終的な教育段階であることから学校から社会人として職業を持つことを見据えた職業教育・キャリア教育は重要である。これからの日本に必要な人材を育成するために、既存の高等教育機関では実現が難しい職業教育を担うために専門職大学が必要となる。

①　大学との違い

大学は、幅広い教養や学問を深く研究し、学術研究の成果に基づく知識や理論を

主に身に付ける教育機関である。

新卒一括採用の社会では特定の職務を前提とせず、採用後に企業内で職務能力訓練を実施し、ジョブローテーションなどを通じて職業能力を形成していた。これは特定の職務に縛られることなく、社員の配置転換を可能として、職務経験や職業教育で専門性を身に付けずとも新卒者の潜在的な可能性で大学新卒者を採用することを前提としていた。しかし、1990 年代に入ると労働市場が悪化し、新卒採用が激減したことにより企業内での職業能力の形成機会も減少することとなった。

また、1990 年代後半から大学進学率が上昇し、高等教育機関での実践的な教育を、産業界、学生・保護者、一般社会も求める声が高まり、大学のアカデミックな教育からの変化が求められるようになってきた。

本学では「教育課程連携協議会」を学部ごとに設置し、産業界や地域の意見を取り入れた教育課程を編成することで産業界や地域が求める教育を可能としている。また、学内での教育と企業現場での臨地実務実習を効果的に配置することにより、理論と実務の往復を実践し、理論と実務を架橋できる人材育成を目指している。

また、専門職大学では在学中から臨地実務実習を通して企業と連携し、実務を体験することによって、学生は就職時に職業の理解を深めた上で企業選択が可能となることから離職率は低くなると予想される。

教員組織においては、専門職大学では教員の 4 割以上は、「実務の経験を有する専任教員」とすることとしており、現に実務で必要とされている知識・技術を教授できる教員組織となっている。

本学では、「実務の経験を有する専任教員」は全体の約 46%となっており、その内の約 76%以上は「研究能力を有する実務家教員」となっている。多くの実務経験を有する専任教員が授業を担当することにより、実務に必要な知識・技術の教授が可能となり、また研究能力を有する実務家教員によって、理論と実践を架橋する授業を行うことで、高度な実践力を養成することができる。

② 専門学校との違い

専門学校は産業界のニーズに即応した多様な職業人材を育成するために、目指す職業に必要な技能を身に付ける教育機関である。

専門学校は、自由度の高い制度特性を活かして、現に産業界で必要とされる技能に合わせた教育課程へと臨機応変に改変し、実習及び実技演習を多く取り入れることでその技能を修得し、即戦力として企業現場で活躍する人材を育成することができる。

専門職大学も職業教育を中心とした教育課程であるが、職業教育に留まらず、企業等における実務の中核を担い、事業活動における新たな価値の創造を先導する役割を担える人材を育成する。

そのために本学では、基礎科目において、生涯にわたり自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成することを目的に、情報処理能力や外国語会話能力、倫理観を醸成する科目など、どのような職種でも必要とされるキャリアアップの基礎となるリテラシー教育を行う。さらに、展開科目により、自己の専門職業分野を社会で活かすための応用的な能力や創造的な役割を果たすために必要な能力を育成する。

また、本学においては地域の課題を発見し、地域課題を解決するための創造力を養成する。このように専門的な職業教育と基礎科目、展開科目を融合することで、高度な実践力と豊かな創造力を兼ね備えた人材を育成する。

専門学校の教育は、企業現場で即戦力となれる知識や技能を学修し、企業では専門職業人材として活躍する人材となる。一方で、専門職大学が育成する人材は、勿論、専門分野に関する知識・技術を身に付けるが、加えて実践力、発想力及び創造力を育てる教育を行うことで、自己の専門分野を活かして、企業内での改善・革新を牽引し、新たな価値を創造する中核人材となる。また、その実践力と創造力を活かして、地域社会や経済社会の課題を解決し、活性化を促す中核的な役割を担える人材となる。

2）専門職大学の必要性

日本の産業競争力の強化のためには、産業構造の変化のスピードに対応しつつ、企業現場での改善・革新の牽引役となりうる人材を育成することが重要となる。これら人材が、社会経済の中で活躍する専門職業人全体を先導することにより、日本の労働生産力全体の向上にも資することとなる。そして、これら人材は、問題解決能力、リーダーシップ力、変化に即した判断力等が求められるが、それを発揮するためにはそのベースとなる専門知識と職業実践力を養う必要がある。

知識・情報・技術が社会のあらゆる領域での基盤となる「知識基盤社会」にあっては、専門職大学が担うべき役割がいかなる職種でも必要とされる。

既存の大学は、幅広い教養教育と学術研究の成果に基づく専門教育を行い、職業人養成もその中で行われている。しかしながら職業実践に必要な知識に基づく技能教育の位置づけは曖昧のままであり、今後求められるのは、高度な専門技能と理論に裏付けられた実践力等を兼ね備え、変化の激しい時代を主体的に生きる実践力を身に付け生産性向上、競争力強化に貢献する役割を担って、企業現場、経済社会での改善・革新や新たな価値を創造する先導役となる質の高い人材である。そのためには新たな高等教育機関として制度化された専門職大学の人材育成の役割は大きい。

（3）地方創生(再生)の必要性

活力ある日本再生のためには、地方の創生(再生)が不可欠である。地域社会においては、各種高等教育機関が首都圏・近畿圏に集中している状況から若者世代の流出が大きな障壁となり、地域経済は深刻な人手不足に陥り、地域経済の縮小を招いている。地方を創生(再生)するには、実践的な職業教育を行う魅力ある高等教育機関を地方都市に整備する必要があると考える。

少子・高齢化で人口減少が進む中、地方創生の観点から地方に人材を確保することが必要となる。多くの若者が住み、生き生きとしている地方都市には活気がある。地方の環境の良さを活かして、地元の伸びしろの大きな人材に高度で実用的な魅力あふれる教育の場を創設することは、多くの若者が地元に住み続け、学び続けることにつながり、それは活気のある町づくりに繋がる。地方で優れた教育により高度で専門的能力を持つ人材が豊富に産み出されることは、自治体の政策等と相まって、地方に魅力のある職場の創出、事業創造、企業誘致に大きく寄与する。多くの若者を地元に留

めるのみならず、中央から地方へ人材を呼び戻すことが地方都市の活性化、地方経済の活性化につながる。まさに実践的な職業教育を行う魅力ある高等教育機関が地方創生の中心的な役割を果たすこととなると考えられる。

新潟県は平成 30 年 1 月に「にいがた未来創造プラン」を発表し、その中で新潟県調査によると新潟県の高等教育機関への進学者数は、県内の大学・短期大学への進学者が約 4,000 人であり、県外の大学・短期大学への進学が約 6,000 人となっている。また県内の専門学校への進学者は約 5,000 人に対して、県外への専門学校進学者は約 500 人となっている。この数値はまさに、県内には魅力ある大学・短期大学が少なく、逆に県内の専門学校は魅力があることを顕著に表している。

さらに、新潟県の大学・短期大学の進学志望者数に対する定員の割合を示す収容力は約 6 割となっている。そのため新潟県には魅力ある新たな高等教育機関である専門職大学を設置することで県内進学者の選択肢の拡大と県内進学者の増加を図ることができると考える。

新潟県は「にいがた未来創造プラン」の中で、若者の定住促進対策のための教育政策の展開として、「県内進学の意向がある者が、県内において自らの希望に合った大学、学部等を選ぶことができるよう、県内大学等が行う新たな魅力創出に向けた取組等を支援」と明確に謳っている。さらに「魅力ある雇用の場を創出し地域の活力につながる起業を促進することが重要」とし、学生等も含めた起業家予備軍の育成と起業希望者への伴走型支援を実施する計画を通して、若者に選ばれる企業の創出を促進することとしている。

【資料 1】新潟県総合計画 にいがた未来創造プラン（抜粋）

地方自治体から、地方創生の観点から地方に高度な専門職業人材を確保するために本学を設置することに対して要望書も寄せられており、新潟県からは地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律に基づく「地域経済牽引事業」として開志専門職大学（仮称）設置事業は承認されている。

また、本学が設置する学部・学科に関する関係団体からも、本学の設置構想に対して賛同の意が表明され、専門職大学設立に関する要望書が寄せられている。これは、本学が育成する高度な実践力と豊かな創造力を兼ね備えた専門職人材が、社会で必要とされていることを表している。

【資料 2】地方自治体の要望書、地域経済牽引企業承認書類

企業・団体からの要望書

一方、専門職大学の設置計画を進めるうえで、社会の人材需要や卒業後の進路の見通しなどを検証するために、新潟県内の企業を中心にアンケート調査を実施した。

その結果、本学が設置を計画している学部・学科の社会的必要性について、「必要だと思う」と回答した割合は、事業創造学部・事業創造学科 88.9%、情報学部・情報学科 93.9%と高い数値となっている。

【資料 3】開志専門職大学に関するニーズ調査【企業・団体対象調査】

結果報告書（抜粋）

このように社会や地域は、高度な実践力と豊かな創造力を兼ね備えた専門職人材を求めていることから、多様な分野の専門職人材の育成のために開志専門職大学（仮称）を設立することとした。

急速な経済社会の変化に応じて、職業の在り方が様変わりしている中で、生涯を通

じて社会で活躍するためには、社会に出た後も、学び続けることにより、新たに必要とされる知識や技術を身に付けていくことが重要となる。実践的な職業教育を行う魅力ある高等教育機関が地元の社会人にも教育機会を与えることで、社会に出た後も地方で学び、輝き続ける社会の実現へと繋がるものと考える。

欧米先進国の大学、高等教育機関は、必ずしも首都、巨大都市に集中しているわけではない。むしろ逆で、地方都市にこそ、高度で特色のある魅力的な大学等が多く立地している。政府の確固たる意志で新たに専門職大学制度がスタートしたが、その理想を地方都市新潟で実現することにより、「教育機関も首都圏、近畿圏に集中するという問題」に一石を投じたい。

（4）NSG グループが専門職大学を設置する意義

学校法人新潟総合学院は NSG グループ（新潟総合学院グループ：(学)新潟総合学院、(学)国際総合学園、(学)新潟総合学園、(学)大彦学園）の一員である。

NSG グループの経営理念は以下の通りである。

「人々の幸福と豊かさを実現するために
社会のニーズに合った事業の可能性を追求し、
地域社会・国家・国際社会の発展に寄与する」

当グループは、この経営理念のもと、「個性ある地域がそれぞれに特色ある産業を生み出し発展する、それが日本全体の活性化につながる」を持論として、その実践に取り組んできた。その取り組みは「ひと」を創る、「しごと」を創る、「まち」を創ることに集約される。

当グループは「ひとを育てる」教育分野の事業でスタートした。現在は 32 校の専門学校をはじめ、専門職大学院 1 校（事業創造大学院大学）、大学 2 校（新潟医療福祉大学、新潟食料農業大学）、高等学校 2 校（開志学園高等学校、開志国際高等学校）、学習塾など多くの教育機関を展開している。それらの教育機関はこれまでに、多くの卒業生・修了生が輩出され地域経済の発展に寄与してきた。

新たな高等教育機関「専門職大学」は、現在まで当グループが地方の活性化のために行ってきた「ひと」を創ることを、さらに発展させることのできる高等教育機関となると確信している。経営理念にある「地域社会・国家・国際社会の発展に寄与する」ことを、さらに拡大するために、新たな高等教育機関「専門職大学」を設置する必要があると考える。

国立社会問題・人口問題研究所「人口統計資料集」及び文部科学省「学校基本調査」によると、2031 年の 18 歳人口予測は約 99 万人となり、2014 年の 18 歳人口より約 19 万人減少する予測が立てられている。一方、18 歳人口の大学及び短期大学入学者の割合は、2031 年の 18 歳人口の内 68.5%となる見込みとなっており、2014 年の 56.5%より 12 ポイント上昇すると予測されている。

また、専門学校も 1990 年代より 18 歳人口が減少したものの、専門学校には一定の割合が進学している。近年でも高等学校卒業者の 16%～17%が専門学校に進学していることから、専門学校は必要とされている高等教育機関である。

しかし、専門学校のうち、修業年限が 2 年以上等の要件を満たしたもので、文部科学大臣が指定した課程の修了者は「専門士」の称号が付与されるが、「専門士」は国

際的に通用しない資格であることが課題とされている。今後、日本はより多くのグローバル人材を輩出する必要性がある。当グループが持つ成長分野の専門学校を高度化し実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関「専門職大学」を設置することで、高い専門スキルを持ち世界で活躍する「学士（専門職）」を育成し、地域社会・国家・国際社会の発展に寄与できることと考える。

当グループが設置する専門学校は教育内容・就職実績について「ナンバーワン・オンリーワン」戦略を掲げ、短期間で各職業に必要な専門スキルを身に付け、資格取得に繋げることができる魅力がある。早く社会に出たいという意欲がある者や、経済的に 4 年間の高等教育課程に通うことが困難な入学対象者からのニーズは今後も続くと考えられる。

一方、専門職大学では、国際通用性のある高等教育機関として、専門学校教育の知識・技術の修得にとどまらず、理論への理解の深化と実践的な技能の強化を両輪とした教育・研究を行うこととし、さらには、課題解決能力や創造力を発揮できる専門職人材を育成するための教育課程となる。教員についても研究能力を持つ実務家教員を配置するなど実践力養成と教育・研究を併せ持った教育を行う。

また当グループは 2006 年 4 月に事業創造大学院大学を開学し、多くの経営管理修士授与者を社会に送り出している。新潟県において初等中等教育課程修了後は、専門職大学・専門職大学院と、高度な職業人が輩出される教育課程が整備されることとなり首都圏への人口流出を防ぐ一助となることはもちろん、全国に先駆け新たな高等教育機関「専門職大学」を設置することで、多くの新潟県外出身者の入学見込みも立てられると考える。

（5）専門職大学設置の趣旨

21 世紀の経済社会において産業の高度化・グローバル化がより一層進む中、変化の激しい時代を主体的に生きる実践的な職業人が求められる。つまり、自己の職業における専門性の高度化とともに、幅広い教養を身に付け、複雑化する課題に対応できる実践力と変化への対応力、生涯において自己の能力を高めることのできる専門職業人が求められることとなる。 自らの専門性を背景に生産性向上や競争力強化に貢献し、日本の強みや成長につながるイノベーション創出を担えることが専門職業人としての役割である。

以上のことから、専門職大学設置の目的と育成する人材像を次のように定め、「開志専門職大学（仮称）」を設置することとした。

【開志専門職大学の目的】

本学は、専門分野における高度で実践的な専門性を身に付けると同時に、変化に対応する能力や生涯にわたり学び続ける力を備え、創造力と実践力をもって、新たな価値の創造を先導する人材を育成することにより、地域、日本、世界の発展に寄与することを目的とする。

【開志専門職大学の育成する人材像】

① 経済社会、企業経営の中核的役割を担い、改善・革新や新たな価値を創造する先導役となる人材。

② 産業の高度化がより一層進むことに伴い、複雑化する課題に対応できる実践力と創造力を持つ職業人材。

③ 高度な専門知識を持ち、各事業分野において地方都市の活性化に貢献し、日本経済全体の発展に寄与する人材。

（6）建学の精神・理念

本学の目的と育成する人材像を実現するために、また、各種の分野で専門職人材を育成するために下記のとおり「建学の精神」を掲げて、新たな時代の先導役となる人材を育成する。

【開志専門職大学の建学の精神】

①自学 ②挑戦 ③創造 ④貢献

①「教育を受ける」にとどまらず、自ら課題を設定し、自ら学ぶ人間になる。

② 指示待ち人間ではなく、自らの判断で一歩前に踏み出す勇気のある人間を目指す。

③ 物事の大小を問わず、それぞれの分野、職業で独創性、創造性を発揮する人材となる。

④ 地域、日本、世界で活躍し、社会の発展に貢献する人間となる。

これらの建学の精神に基づき、実践的で特色のある教育を推進し、
高い志を開花させ、誇り高い専門職を育成する。

【開志専門職大学の人材育成方針】

自己の職業における高度な専門的な知識と実践力を身に付け、その専門性をもって経済社会で新たな価値を創造できる即戦力として、新たな時代の先導役となる人材を育成する。

（7）事業創造学部の設置の目的及び養成する人材

1）教育上の目的

事業創造学部では、組織として教育研究対象とする中心的な学問分野を「経営学分野」として、「経営分野の専門的な知識と技術及び技能の定着と実践力の深化を図り、実社会や職業とのかかわりを通して、高い職業意識や職業観と規範意識、人

間関係力に根ざした実践力を高めるとともに、課題を探求し解決する基礎的な能力を養い、地域の資源を新商品や新サービスの開発に活用できる創造的な能力を育てる」ことを教育上の目的とする。

2）養成する人材

事業創造学部では、「職業人としての倫理観や道徳意識、起業家精神などを身に付け、起業家、事業承継者、企業内起業家として、事業活動や商品開発を行うために必要となる専門的な知識と能力に加えて、地域の魅力や特徴に関する知識を有し、地域の資源を新商品や新サービスに活用するための能力と消費者の視点に立って正しく問題を解決するための考え方を身に付けて、地域経済の活性化に貢献できる人材」を養成する。

この養成する人材の目的を達成するために、以下の通り、学位授与の方針を定めることとし、教育課程における「基礎科目」、「職業専門科目」、「展開科目」及び「総合科目」の各科目群に配置している講義と演習や実習を通して、「職業を担うための実践的な能力」と「創造的な役割を担うための応用的な能力」を養うための教育を展開する。

養成する人材の目的を達成するための学位授与の方針は、以下の通りとする。

【学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

1　職業人としての望ましい心構えや人間性と自律・自立して学習できる能力と態度を有し、現代社会に関する幅広い知識や汎用的技能を身に付けている。

2　事業活動に必要となる経営管理、マーケティング、会計に関する知識と能力を有し、商品やサービスを企画・開発し、販売活動を行う能力を身に付けている。

3　地域の魅力や特徴を理解し、地域の資源を活用するための知識や方法と高い付加価値を生み出すための問題や課題を解決していく能力を身に付けている。

4　個別に学修した事業活動や商品開発に関する知識や技能を総合し、地域の特徴や資源を活用しながら新商品や新サービスを創り出す能力を身に付けている。

3）　既設の専門学校との違い －教育上の目的と養成する人材の違い－

①　専門学校の事業創造学科の教育上の目的と養成する人材等

既設の専門学校の事業創造学科では、「経営分野の基礎的な知識と技能の習得とともに、事業活動に必要となる実務能力の育成」を教育上の目的として、「事業活動の現場において共通して必要とされる基礎知識や実務能力を有した人材」を養成することとしている。

②　専門職大学の事業創造学部の教育上の目的と養成する人材等

経済産業省が掲げている地域イノベーションでは、「地域経済の活性化を図っていくためには、地域の潜在能力を結集してイノベーションを創出し、新事業・新産業を起こすことが必要」としており、また、中小企業地域資源活用促進法では、「地域経済が自立的・持続的な成長を実現していくために、各地域の強みである地域資源（産地の技術、農林水産品、観光資源）を活用した中小企業の新商

品・新サービスの開発・市場化を総合的に支援する」としており、「新事業や新産業を起こすこと」及び「地域資源を活用した新商品や新サービスの開発・市場化」が求められている。

【資料 4】中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の促進に関する法律

【資料 5】地域産業資源活用事業の促進に関する基本方針

一方、新潟県の「にいがた未来創造プラン」では、「厚みのある産業基盤や多様な地域資源など、地域の個性を大切にしながら、産業の振興と高付加価値化を図るとともに、本県の魅力や強みを最大限にアピールし、人流・物流の活性化の流れを本県の活力や賑わいにつなげていく」として、高い付加価値を生み出す企業の創出・成長促進にむけて、「高い付加価値を生む新事業・新業態への展開、技術開発や経営革新、外部リソースの活用・連携など、中小企業を含めた意欲ある県内企業等の新たな取組を支援する」としており、「厚みのある産業基盤や多様な地域資源など、地域の個性を大切にしながら、産業の振興と高付加価値化を図る」ことが求められている。

【資料 6】新潟県総合計画「にいがた未来創造プラン」抜粋

このように、国や地域では、地域経済の活性化を図るためには、「新事業・新産業を起こすことが必要である」としており、その際、「各地域の強みである地域資源を活用した新商品・新サービスの開発・市場化」や「多様な地域資源など、地域の個性を大切にしながら、産業の振興と高付加価値化を図る」など、「地域の資源を活用する」ことが重要であるとしている。

上記のような社会的ニーズに対応するためには、専門職を担うための理論にも裏付けられた高度な実践力としての「事業活動や商品開発に関する専門的な知識や能力」が必要であり、加えて、職業分野において創造的な役割を担うための応用的な能力としての「地域資源を活用した新商品や新サービスを開発・市場化するために必要となる知識や能力」の育成が必要であることから、このような社会的なニーズを踏まえたうえで、上記の通り、事業創造学部の教育研究上の目的と養成する人材等を定めることとした。

4）　既設の専門学校との違い －教育課程の違い－

既設の専門学校の事業創造学科と専門職大学として設置する事業創造学部の教育課程における授業科目の配置状況について、専門職大学設置基準第１３条で定められている科目区分に照らしてみてみると、「基礎科目」においては、事業創造学部では２１科目３１単位を配置しているのに対して、既設の専門学校の事業創造学科では、これらの教育内容に相当すると考えられる授業科目は１３科目の配置となっている。

また、「職業専門科目」においては、事業創造学部では５２科目１１８単位を配置しているのに対して、既設の専門学校の事業創造学科では、これらの教育内容に相当すると考えられる授業科目は１０科目、「展開科目」においては、事業創造学部では１０科目２０単位を配置しているのに対して、既設の専門学校の事業創造学科では、これらの教育内容に相当すると考えられる授業科目は１科目、「総合科目」

においては、事業創造学部では１科目４単位を配置しているのに対して、既設の専門学校の事業創造学科では、これらの教育内容に相当すると考えられる授業科目は２科目となっている。

このように、専門職大学として設置する事業創造学部では、教育研究上の目的と養成する人材や学位授与の方針を達成するために必要となる授業科目を充実して配置しており、専門職大学における学修の質を確保することとしている。

また、既設の専門学校の事業創造学科と専門職大学として設置する事業創造学部の教育課程の具体的な違いとしては、例えば、既設の専門学校の事業創造学科と専門職大学として設置する事業創造学部では、共に「経営学分野」を教育又は組織として研究対象とする中心的な学問分野としており、この「経営学分野」における教育課程の編成の状況をみると、専門職大学の事業創造学部では、理論にも裏付けられた高度な実践力を養うことから、以下に示す通り、専門学校の事業創造学科に比して、理論的かつ実践的な能力を育成するための授業科目を充実して配置しており、専門職大学としての学修の質を確保する教育課程としている。

【資料 7】事業創造学部事業創造学科と同じ分野の専門学校との教育課程比較

① 専門学校の事業創造学科の教育課程

既設の専門学校の事業創造学科では、「経営分野」の職業に必要とされる知識や技能を習得することから、「経営分野」の授業科目を中心とする教育課程の編成としており、経営分野の知識を習得するための科目として、「経営学概論」、「マーケティング」、「グローバル戦略論」、「企業会計」の４科目を配置し、会計分野の実務的な能力を習得する科目として、「会計実務実習」を配置している。

② 専門職大学の事業創造学部の教育課程

専門職大学の事業創造学部では、組織として研究対象とする中心的な学問分野を「経営学分野」としていることから、経営管理に関する基礎的な理論を学ぶ科目として、「経営学の基礎」、「経営戦略論」、「経営組織論」の３科目に加えて、経営管理に必要となる経済と法律に関する基礎理論を学ぶ科目として、「経済学の基礎」、「地域経済産業論」、「実践日本ビジネス法」を配置するとともに、経営管理に関する実践的な能力を養う科目として、「経営戦略策定演習」を配置している。

また、マーケティングに関する基礎理論を学ぶ科目として、「マーケティング」、「流通論の基礎」、「消費者行動研究」、「実践的統計学」の４科目を配置し、マーケティングに関する実践的な能力を養う科目として、「デジタルマーケティング」、「広報戦略の実践」の２科目を配置している。

さらに、会計に関する基礎理論を学ぶ科目として、「会計学」、「財務諸表論」、「簿記概論」、「資金調達の実践」の４科目を配置し、会計に関する実践的な能力を養う科目として、「財務諸表分析」、「簿記演習」の２科目を配置している。

そのうえで、経営管理、マーケティング、会計に関する実践的な能力を高めるために企業内実習を設定し、「企業内実習Ⅰ」、「企業内実習Ⅱ」、「企業内実習Ⅲ」を必修化することにより、産業界等と緊密に連携した実践的な能力の修得にむけた教育課程としている。

なお、教育課程の編成に際しては、既設の専門学校の事業創造学科では、専門分野の専任教員による教育課程の編成が行われ、「教育課程編成委員会」にて現在のカリキュラムについて実務に関する知見を有している方からの助言を教育課程の編成の参考にしているが、専門職大学の事業創造学部では、地域社会や産業界からの意見を取り入れる仕組みとして、「教育課程連携協議会」を設置し、地域や産業界の関係者の意見を反映し、地域の産業ニーズに対応した教育課程の編成としているとともに、状況の変化に応じて、授業科目の内容、教育課程の構成等について、不断の見直しを行うこととしている。

5）　既設の専門学校との違い －教員組織の違い－

既設の専門学校の事業創造学科では、「経営分野」の職業に必要とされる知識や技能を習得することから、実務に関する経験を有する専任教員１人、経営管理修士（専門職）の学位を有する専任教員１人、専門学校教育歴を有する専任教員１人の合計３人を配置しており、博士の学位を有する専任教員は配置していない。

一方、専門職大学の事業創造学部では、専門職大学設置基準第３５条で定められている基準教員数１２人に対して１９人の専任教員を配置する計画としており、専任教員の職位別の配置状況は、教授１１人、准教授５人、講師２人、助教１人から構成するとともに、博士又は修士の学位、研究上の業績、大学における教育歴、専攻分野に関する実務上の業績、専攻分野について優れた知識及び経験を有する者を配置している。

特に、既設の専門学校の事業創造学科との違いとしては、専門職大学の事業創造学部では、深く専門の学芸を教授研究することから、博士の学位又は修士の学位を有し、研究上の業績を有する者、大学において教授、准教授、講師又は助教の経歴のある者、企業等に在職し、実務に係る研究上の業績を有する者など、研究能力を有する専任教員１６人を配置するとともに、専攻分野における５年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する専任教員９人を配置することとしており、専門職大学における教育研究水準の維持向上を図るための教員組織としている。

6）　到達目標や教育水準等の設定と学修の質の確保・充実

①　到達目標や教育水準等の設定

授業科目としての到達目標や教育水準等の設定については、学生が「何ができるようになるか」という観点から、学生が身に付けるべき知識、技能、態度などについて、事業創造学部において養成する人材や学位授与の方針を踏まえながら、整合性に考慮して設定している。

②　学修の質の確保・充実 －授業科目の担当－

事業創造学部の授業科目の担当においては、職業専門科目の理論科目１６科目について、専任の教授又は准教授に担当させることとし、それ以外の職業専門科目２５科目についても、専任の教授、准教授、講師又は助教に担当させることとしており、基礎科目、職業専門科目、展開科目、総合科目の全体の開講科目数８４科目の約６２％にあたる５２科目を専任の教授、准教授、講師又は助教に担当させることで、専門職大学における学修の質の確保と充実を図ることとする。

③　学修の質の確保・充実　－単位制度の実質化と厳格な成績評価－

事業創造学部では、学生に対して予め各授業における学習目標や目標達成のための授業の方法や計画を示したうえで、教室における授業だけでなく、授業の前提として読んでおくべき文献を指示するなど、学生が事前に行う準備学習・復習についても指示を与えるなど、単位制度の実質化を図るとともに、成績評価基準を明示したうえで、厳格な成績評価を実施することで、専門職大学における学修の質の確保と充実を図ることとする。

④　学修の質の確保・充実　－教育内容等の改善を図るための組織的な研修－

事業創造学部では、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な取組みとして、ＦＤ委員会を設置するとともに、学生による授業評価アンケート、教員相互の授業見学や授業評価など、ＦＤ委員会において、授業方法の開発や改善を図るための計画を企画・立案し、実施することで、専門職大学における学修の質の確保と充実を図ることとする。

（８）情報学部の設置の目的及び養成する人材

１）教育上の目的

情報学部では、組織として教育研究対象とする中心的な学問分野を「情報学分野」として、「情報分野の専門的な知識と技術及び技能の定着と実践力の深化を図り、実社会や職業とのかかわりを通して、高い職業意識や職業観と規範意識、人間関係力に根ざした実践力を高めるとともに、課題を探求し解決する基礎的な能力を養い、情報技術を生活様式や様々なサービスなどの充実と向上に活用できる創造的な能力を育てる」ことを教育上の目的とする。

２）養成する人材

情報学部では、「職業人としての職業観や倫理観、豊かな人間性とともに、情報技術者としての専門的な知識や技能と実際に活用する能力に加え、地域社会や産業界を取り巻く現状に関する知識を有し、正しく問題を解決するための考え方とユーザーの視点に立った新商品や新サービスを企画・開発するための基礎的な能力を身に付けて、地域社会の情報化に貢献できる人材」を養成する。

この養成する人材の目的を達成するために、以下の通り、学位授与の方針を定めることとし、教育課程における「基礎科目」、「職業専門科目」、「展開科目」及び「総合科目」の各科目群に配置している講義と演習や実習を通して、「理論に裏付けられた実践力」、「創造的な役割を担うための応用的な能力」を養うための教育を展開する。

養成する人材の目的を達成するための学位授与の方針は、以下の通りとする。

【学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

１　職業人としての望ましい心構えや人間性と自律・自立して学習できる能力と態度を有し、現代社会に関する幅広い知識や汎用的技能を身に付けている。

２　情報技術者として必要となる情報技術の理論と理論に裏付けられた実践力を有し、情報の処理・伝達・管理とそれらを活用する能力を身に付けている。

３　地域社会や産業界を取り巻く現状の認識のもと、商品やサービスをユーザーの立場から考え、問題や課題を正しく解決していく能力を身に付けている。

４　個別に学修した情報技術に関する知識や技能と活用する能力を総合し、ユーザーの視点に立った新商品や新サービスを創り出す能力を身に付けている

３）既設の専門学校との違い －教育上の目的と養成する人材の違い－

①　専門学校の情報システム学科の教育上の目的と養成する人材等

既設の専門学校の情報システム学科では、「情報分野の基礎的な知識と技術の習得とともに、情報技術者として必要となる実務能力の育成」を教育上の目的として、「ソフトウェアの設計や開発に必要となるプログラミング技術を中心とした知識や技術を有した人材」を養成することとしている。

②　専門職大学の情報学部の教育上の目的と養成する人材等

一般社団法人日本機械工業連合会が、平成３０年３月に公開した「平成２９年度 IoT・AI 時代のものづくりと人の役割変化への対応調査研究」における「求められる人材と組織」では、「新時代に求められる能力」として、「全体俯瞰力、想像力、論理的思考力、本質を見抜く教養力、デザイン思考力、説得力、課題設定力」を挙げており、情報技術に関する知識や技術に加えて、新しい製品や今までにないサービスの開発・提供を可能とするために必要となる創造力が求められている。

【資料 8】一般社団法人日本機械工業連合会　平成２９年度 IoT・AI 時代のものづくりと人の役割変化への対応調査研究（抜粋）

一方、新潟県の「にいがた未来創造プラン」では、成長産業の創出や育成に向けて、「将来性が見込まれる産業分野及び新たな成長分野への県内企業の参入促進に向けた支援に努めるとともに、ＡＩやＩｏＴ、ビッグデータなどの活用を促進することで生産性の向上を図り、本県産業の付加価値の向上を実現する」としており、「ＡＩやＩｏＴ、ビッグデータなどの活用による生産性の向上を図る」ことが求められている。

【資料 9】新潟県総合計画「にいがた未来創造プラン」抜粋

また、新潟県が策定した「新潟県情報化プラン」では、地域情報化として「新潟県『夢おこし』政策プラン」が掲げる「将来に希望の持てる魅力ある新潟県の実現をＩＣＴ活用の観点から推進し、快適・安全・豊かなくらしの実現や地域の活性化に取組む」としており、同様に、行政情報化として、「新潟県行政経営改革推進ビジョン」を踏まえて、「ＩＣＴ活用による行政経営の高度化及び効率化の更なる推進に取組む」こととしており、「ＩＣＴ活用による快適・安全・豊かなくらしの実現や地域の活性化」や「ＩＣＴ活用による行政経営の高度化及び効率化」が求められている。

【資料 10】新潟県「新潟県情報化プラン」（抜粋）

このように、国や地域では、情報技術の活用による生産性や付加価値の向上をはじめ、快適・安全・豊かなくらしの実現や地域の活性化が必要であるとしており、

そのためには、「情報技術に関する知識や技術に加えて、新しい製品や今までにないサービスの開発・提供を可能とするために必要となる創造力が必要である」としている。

上記のような社会的ニーズに対応するためには、専門職を担うための理論にも裏付けられた高度な実践力としての「情報技術者としての専門的な知識や技能と実際に活用する能力」が必要であり、加えて、職業分野において創造的な役割を担うための応用的な能力としての「ユーザーの視点に立った新商品や新サービスを企画・開発するための基礎的な能力」の育成が必要であることから、このような社会的なニーズを踏まえたうえで、上記の通り、情報学部の教育研究上の目的と養成する人材等を定めることとした。

4）既設の専門学校との違い －教育課程の違い－

既設の専門学校の情報システム学科と専門職大学として設置する情報学部の教育課程における授業科目の配置状況について、専門職大学設置基準第１３条で定められている科目区分に照らしてみてみると、「基礎科目」においては、情報学部では２１科目３１単位を配置しているのに対して、既設の専門学校の情報システム学科では、これらに相当する授業科目は4科目の配置となっている。

また、「職業専門科目」においては、情報学部では５９科目１２９単位を配置しているのに対して、既設の専門学校の情報システム学科では２７科目、「展開科目」においては、情報学部では１２科目２２単位を配置しているのに対して、既設の専門学校の情報システム学科では1科目、「総合科目」においては、情報学部では1科目4単位を配置しているのに対して、既設の専門学校の情報システム学科では配置をしていない。

このように、専門職大学として設置する情報学部では、養成する人材や学位授与の方針を達成するために必要となる授業科目を充実して配置しており、専門職大学における学修の質を確保することとしている。

また、既設の専門学校の情報システム学科と専門職大学として設置する情報学部の教育課程の具体的な違いとしては、例えば、既設の専門学校の情報システム学科と専門職大学として設置する情報学部では、共に「情報学分野」を教育又は組織として研究対象とする中心的な学問分野としており、この「情報学分野」における教育課程の編成の状況をみると、専門職大学の情報学部では、理論にも裏付けられた高度な実践力を養うことから、以下に示す通り、専門学校の情報システム学科に比して、理論的かつ実践的な能力を育成するための授業科目を充実して配置しており、専門職大学としての学修の質を確保する教育課程としている。

【資料 11】情報学部情報学科と同じ分野の専門学校との教育課程比較

①　専門学校の情報システム学科の教育課程

既設の専門学校の情報システム学科では、「情報分野」の職業に必要とされる知識や技能を習得することから、「情報分野」の授業科目を中心とする教育課程の編成としており、情報分野の知識と技術を習得するための科目として、「コンピュータシステム概論」、「システム設計」、「Java プログラミングⅠ」、「Java プログラミングⅡ」、「C 言語Ⅰ」、「システム開発演習Ⅰ」、「システム開発演習Ⅱ」、「オブジェ

クト指向Ⅰ」、「オブジェクト指向Ⅱ」、「C++プログラミングⅠ」、「C++プログラミングⅡ」、「アルゴリズム」、「プログラム実習」、「表現技法」、「データベースシステム」、「データベース設計演習」、「HP プログラミング」、「UNIX 演習」、「経営学」、「アプリケーション実習Ⅰ」、「アプリケーション実習Ⅱ」、「オペレーティングシステム」、「システム開発」、「ソフトウェア開発」、「マトリクス会計」、「情報処理２種対策」、「情報処理検定対策」の２７科目を配置している。

② 専門職大学の情報学部の教育課程

専門職大学の情報学部では、組織として研究対象とする中心的な学問分野を「情報学分野」としていることから、情報の意義と役割や情報産業と社会とのかかわりの理解とともに、情報分野の倫理と情報に関する広い知識を身に付ける科目として、「情報の基礎」、「情報と法律」、「情報と経営」、「情報と倫理」、「情報と英語」、「トップランナー研究」の６科目を配置しており、コンピュータの基本設計や設計思想に関する理論と専門科目を学ぶうえで必要となる数学や統計学に関する知識を身に付ける科目として、「コンピュータアーキテクチャ」、「オペレーティングシステム」、「線形代数」、「微分積分」、「確率論」、「統計学」、「ＩＣＴ演習（ハードウェア／ソフトウェア)」、「ＩＣＴ演習（基本情報)」、「ＩＣＴ演習（応用情報)」の９科目を配置している。アルゴリズムとプログラミング及びデータ構造に関する理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける科目として、「データ構造とアルゴリズム」、「プログラミングⅠ」、「プログラミングⅡ」、「ネットワークプログラミング実習」、「ＡＰＩ演習」の５科目を配置し、ネットワークの設計と構築、運用と保守、安全対策に関する理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける科目として、「情報通信ネットワーク」、「ネットワーク演習」、「分散型台帳技術」、「情報セキュリティ」、「サイバーセキュリティ演習」、「サイバーセキュリティ実習」、「ＩＣＴ演習（セキュリティ)」、「ＩＣＴ演習（セキュリティスペシャリスト)」の８科目を配置している。

データベースの設計、操作言語、管理システムに関する理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける科目として、「データベース演習」、「データベース実習」、「ＩＣＴ演習（データベーススペシャリスト)」の３科目を配置し、情報システムの開発、設計、運用と保守、評価に関する理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける科目として、「システムモデリング」、「システム開発技術」、職業専門科目に対する集大成となる科目として、２年２期までの集大成として「臨地実務実習Ⅰ」と３年２期までの集大成として「臨地実務実習Ⅱ」の４科目を配置している。

クラウド、ＩｏＴ、ＡＩ、データサイエンスに関する理論や技術の習得と、情報技術を応用的に活用する能力を身に付ける科目として、「クラウド技術概論」、「クラウドベーシック＆マーケティング」、「クラウドプラットフォーム実習Ⅰ」、「クラウドプラットフォーム実習Ⅱ」「ＩＣＴ演習（クラウド)」、「サイバーフィジカルシステム基礎」、「ＩｏＴ演習」、「ＩｏＴ実習」、「ハードウェア設計」、「ロボティクス実習」、「没入型コンピューティング」、「没入型コンピューティング実習」、「ユーザエクスペリエンス」、「ＩＣＴ演習（ＩｏＴ)」、「ＩＣＴ演習（組込システム)」、「情報科学基礎」、「知識表現・知識処理」、「ＡＩ実習」、「マシンラーニング実習」、「マ

シンラーニング」、「ＩＣＴ演習（マシンラーニング）」、「データサイエンス演習」、「データサイエンス実習」、「データマイニング演習」、の２４科目を配置している。

そのうえで、情報技術を活用した新商品や新サービスの企画・開発に関する体験を通し、講義や演習で得た知識と技術の総合化を図る科目として「ＩＣＴ活用総合実習」の１科目を配置している。

なお、教育課程の編成に際しては、既設の専門学校の情報システム学科では、専門分野の専任教員による教育課程の編成が行われ、「教育課程編成委員会」にて現在のカリキュラムについて実務に関する知見を有している方からの助言を教育課程の編成の参考にしているが、専門職大学の情報学部では、地域社会や産業界からの意見を取り入れる仕組みとして、「教育課程連携協議会」を設置し、地域や産業界の関係者の意見を反映し、地域の産業ニーズに対応した教育課程の編成としているとともに、状況の変化に応じて、授業科目の内容、教育課程の構成等について、不断の見直しを行うこととしている。

５）既設の専門学校との違い －教員組織の違い－

既設の専門学校の情報システム学科では、「情報分野」の職業に必要とされる知識や技能を習得することから、実務に関する経験を有する専任教員１人、経営管理修士（専門職）の学位を有する専任教員１人、専門学校教育歴を有する専任教員３人の合計５人を配置しており、博士の学位を有する専任教員は配置していない。

一方、専門職大学の情報学部では、専門職大学設置基準第３５条で定められている基準教員数１４人に対して１８人の専任教員を配置する計画としており、専任教員の職位別の配置状況は、教授１２人、准教授１人、講師４人、助教１人から構成するとともに、博士又は修士の学位、研究上の業績、大学における教育歴、専攻分野に関する実務上の業績、専攻分野について優れた知識及び経験を有する者を配置している。

特に、既設の専門学校の情報システム学科との違いとしては、専門職大学の情報学部では、深く専門の学芸を教授研究することから、博士の学位又は修士の学位を有し、研究上の業績を有する者、大学において教授、准教授、講師又は助教の経歴のある者、企業等に在職し、実務に係る研究上の業績を有する者など、研究能力を有する専任教員１６人を配置することとしており、専門職大学における教育研究水準の維持向上を図るための教員組織としている。

６）到達目標や教育水準等の設定と学修の質の確保・充実

①　到達目標や教育水準等の設定

授業科目としての到達目標や教育水準等の設定については、学生が「何ができるようになるか」という観点から、学生が身に付けるべき知識、技能、態度などについて、情報学部において養成する人材や学位授与の方針を踏まえながら、整合性に考慮して設定している。

②　学修の質の確保・充実 －授業科目の担当－

情報学部の授業科目の担当においては、教育上主要と認める授業科目４１科目について、専任の教授又は准教授に担当させることとし、主要と認める授業科目以外

の授業科目２７科目についても、専任の教授、准教授、講師又は助教に担当させることとしており、情報学部の全体の開講科目数９３科目の約７２％にあたる６７科目を専任の教授、准教授、講師又は助教に担当させることで、専門職大学における学修の質の確保と充実を図ることとする。

③　学修の質の確保・充実 －単位制度の実質化と厳格な成績評価－

情報学部では、学生に対して予め各授業における学習目標や目標達成のための授業の方法や計画を示したうえで、教室における授業だけでなく、授業の前提として読んでおくべき文献を指示するなど、学生が事前に行う準備学習・復習についても指示を与えるなど、単位制度の実質化を図るとともに、成績評価基準を明示したうえで、厳格な成績評価を実施することで、専門職大学における学修の質の確保と充実を図ることとする。

④　学修の質の確保・充実 －教育内容等の改善を図るための組織的な研修－

情報学部では、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な取組みとして、ＦＤ委員会を設置するとともに、学生による授業評価アンケート、教員相互の授業見学や授業評価など、ＦＤ委員会において、授業方法の開発や改善を図るための計画を企画・立案し、実施することで、専門職大学における学修の質の確保と充実を図ることとする。

２．学部・学科の特色

（１）事業創造学部

１）学部・学科の特色

経済産業省では、「地域経済の活性化を図っていくためには、地域の潜在能力を結集してイノベーションを創出し、新事業・新産業を起こすことが必要」であるとしており、地域経済が自立的・持続的な成長を実現していくために、地域の「強み」である産地の技術や農林水産品などの地域資源を活用した中小企業の新商品・新サービスの開発・市場化を総合的に支援するための「中小企業地域資源活用促進法」の制定や地域が有する多様な強みや特長、潜在力等をより積極的に活用した新たな成長産業群の創出・育成を推進することを目的とする「地域新産業戦略推進事業」などを展開している。

【資料 12】経済産業省ホームページ（抜粋）
中小企業庁ホームページ（抜粋）

一方、新潟県が策定した「にいがた未来創造プラン」では、政策展開の基本方向の中で、「厚みのある産業基盤や多様な地域資源など、地域の個性を大切にしながら、産業の振興と高付加価値化を図るとともに、本県の魅力や強みを最大限にアピールし、人流・物流の活発化の流れを本県の活力や賑わいにつなげていく」ことを掲げており、地域産業の振興と起業の促進や成長産業の育成に向けて、「高い付加価値を生み出す企業の創出・成長促進」、「起業・創業の推進」、「成長産業の創出・育成」などに取り組むこととしている。

【資料 13】新潟県総合計画 にいがた未来創造プラン（抜粋）

このような国や地域が取組む政策等を踏まえたうえで、事業創造学部では、「地

域産業の発展を目的とした経済活動を展開するために必要となる基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、事業を創造することや事業を展開することの意義や役割について理解させるとともに、事業創造や事業活動を主体的、合理的、かつ倫理観をもって行い、地域経済の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる」ことを教育研究上の目的としている。

また、事業創造学部では、「職業人としての倫理観や道徳意識、起業家精神などを身に付け、起業家、事業承継者、企業内起業家として、事業活動や商品開発を行うために必要となる専門的な知識と能力に加えて、地域の魅力や特徴に関する知識を有し、地域の資源を新商品や新サービスに活用するための能力と消費者の視点に立って正しく問題を解決するための考え方を身に付けて、地域経済の活性化に貢献できる人材」を養成することとしている。

事業創造学部の特色は、新潟県が目指す「高い付加価値を生み出す企業の創出・成長促進」、「起業・創業の推進」、「成長産業の創出・育成」に対応すべく、「新潟県の地域振興、地域政策、地域課題などの地域事情の理解」及び「新潟県の産業基盤や地域資源についての理解」を図ることとし、そのための科目を、教育課程連携協議会との連携により、専門的な見地からの意見を反映して配置している。

具体的には、「地域の魅力や特徴に関する知識を有し、地域の資源を新商品や新サービスに活用するための能力」のための科目として、「新潟と地域社会」、「新潟と地域政策」、「新潟と地域資源」、「地域資源活用の理論と方法」、「地域資源活用の事例研究」、「地域資源活用実習」を配置し、また、「消費者の視点に立って正しく問題を解決するための考え方を身に付ける」のための科目としては、「デザイン・シンキング概論」、「ソーシャルデザインⅠ」、「ソーシャルデザインⅡ」、「ソーシャルデザイン実習」を配置している。

このように、事業創造学部では、地域創生や地域振興の視点から、「地域の魅力や特徴に関する知識を有し、地域の資源を新商品や新サービスに活用するための能力と消費者の視点に立って正しく問題を解決するための考え方を身に付けて、地域経済の活性化に貢献できる人材」を目指すこととしており、既設の大学の経済系・経営系学部との差別化と特色化を図ることとしている。

2）既存の大学との違い

既存の大学の経済系・経営系学部では、経済学や経営学の理論に基づいて体系化された普遍的な知識や方法を深く教育することを目的としているが、事業創造学部では、経済学や経営学に関する普遍的な知識や方法を地域の資源を新商品や新サービスに活用するための教育を目的としている

このことにより、事業活動や商品開発を行うために必要となる専門的な知識と能力を有し、地域の魅力や特徴に関する知識等を活用して、地域の資源を新商品や新サービスに活用するための能力と消費者の視点に立って正しく問題を解決するための考え方を身に付けて、地域経済の活性化に貢献できる人材として活躍することが期待される。

このことから、教育課程の編成においては、起業家、事業承継者、企業内起業家として、事業活動や商品開発を行うために必要となる経営管理、マーケティング、会計に関する知識と技術を修得する科目に加えて、消費者の視点に立った問題や課

題を解決する考え方を身に付けるための科目及び地域資源を活用した新商品や新サービスの企画・開発するため知識と技術を修得する科目を配置している。

特に、既存の大学との差別化や特色化を図ることから、事業活動や商品開発を行うための実践的な能力を修得するための科目として、卒業要件単位 124 単位のうち 40 単位を実習により修得することとし、そのうち臨地実務実習 22 単位を必修化することで、産業界等と緊密に連携した実践的な教育課程の編成としている。

また、地域の魅力や特徴に関する知識を有し、地域の資源を新商品や新サービスに活用するための能力を修得するための科目として、卒業要件単位 124 単位のうち 12 単位を設定し、消費者の視点に立って正しく問題を解決するための考え方を身に付ける科目 8 単位を必修化している。

一方、教員組織においては、博士号等の学位や大学における豊富な教育経験、専門分野に関する優れた研究業績を有する専任教員 11 人に加えて、専攻分野における豊富な実務の経験を有し、かつ、高度な実務の能力を有する実務家教員 8 人を配置することとし、そのうち 6 人は、研究能力を併せ有する実務家教員を配置することで、最新の活きた知識や技術の教授を可能とする教員組織としている。

（2）情報学部の特色

1）学部・学科の特色

第四次産業革命によるＡＩ、ＩｏＴ、ビッグデータ等の急速な技術革新は、今後、社会・産業構造や就業構造にも大きな変化をもたらすと想定されており、日本政府の科学技術政策の指針となる「第 5 期科学技術基本計画」の中で、「ＩＣＴを最大限に活用し、サイバー空間とフィジカル空間（現実世界）とを融合させた取組により、人々に豊かさをもたらす「超スマート社会」を未来社会の姿として共有し、その実現に向けた一連の取組を更に深化させつつ「Society5.0」として強力に推進し、世界に先駆けて超スマート社会を実現していく」と明記されている。

一方、平成 28 年年 6 月の経済産業省「ＩＴ人材の最新動向と将来推計に関する調査結果」によると 2030 年にＩＴ人材で約 59 万人が不足すると予測され、2020 年には、ビッグデータ、ＩｏＴ、人工知能を担う先端ＩＴ人材の不足数推計は約 4.8 万人、情報セキュリティ人材の不足数推計は約 19.3 万人と推計されており、2018 年 6 月に閣議決定された「総合イノベーション戦略」の特に取組を強化すべき主要分野において、「2025 年までに先端ＩＴ人材を年数万人規模、ＩＴ人材を年数十万人規模で育成・採用できる体制を確立する」としている。

【資料 14】第 5 期科学技術基本計画（抜粋）
「ＩＴ人材の最新動向と将来推計に関する調査結果」（抜粋）
総合イノベーション戦略（抜粋）

また、新潟県が策定した新潟県総合計画「にいがた未来創造プラン」では、成長産業の創出や育成に向けて、「将来性が見込まれる産業分野及び新たな成長分野への県内企業の参入促進に向けた支援に努めるとともに、ＡＩやＩｏＴ、ビッグデータなどの活用を促進することで生産性の向上を図り、本県産業の付加価値の向上を実現する」としている。

【資料 15】新潟県総合計画 にいがた未来創造プラン（抜粋）

さらに、新潟県が策定した「新潟県情報化プラン」では、地域情報化として「新

潟県『夢おこし』政策プラン」が掲げる「将来に希望の持てる魅力ある新潟県」の実現をＩＣＴ活用の観点から推進し、快適・安全・豊かなくらしの実現や地域の活性化に取組む」としており、同様に、行政情報化として、「新潟県行政経営改革推進ビジョン」を踏まえて、「ＩＣＴ活用による行政経営の高度化及び効率化の更なる推進に取組む」こととしている。

【資料 16】新潟県情報化プラン（抜粋）

このような国や地域が取組む政策等への対応に向けて、情報学部では、「高度情報社会の発展を目的とした情報ビジネスを展開するために必要となる基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、変化に対応して、新たなモノやサービスを創り出すことについて理解させるとともに、情報ビジネスを主体的、合理的、かつ倫理観をもって行い、高度情報社会のさらなる進展を図るための創造的な能力と実践的な態度を育てる」ことを目的としている。

また、情報学部では、「情報分野の専門的な知識と技術及び技能の定着と実践力の深化を図り、実社会や職業とのかかわりを通して、高い職業意識や職業観と規範意識、人間関係力に根ざした実践力を高めるとともに、課題を探求し解決する基礎的な能力を養い、情報技術を生活様式や様々なサービスなどの充実と向上に活用できる創造的な能力を育てる」を養成することとしている。

情報学部の特色は、新潟県が掲げる「ＡＩやＩｏＴ、ビッグデータなどの活用を促進することで生産性の向上を図り、本県産業の付加価値の向上の実現」に向けて、「地域社会や産業界を取り巻く現状の理解」及び「正しく問題を解決するための考え方とユーザーの視点に立った新商品や新サービスを企画・開発することについての理解」を図ることとし、そのための科目を、教育課程連携協議会との連携により、専門的な見地からの意見を反映して配置している。

具体的には、「地域社会や産業界を取り巻く現状の理解」のための科目として、「新潟と地域社会」、「デザイン・シンキング概論」、「ソーシャルデザインⅠ」、「ソーシャルデザインⅡ」、「ソーシャルデザイン実習」を配置し、「正しく問題を解決するための考え方とユーザーの視点に立った新商品や新サービスを企画・開発することについての理解」のための科目としては、「デザイン・シンキング実習Ⅰ」、「デザイン・シンキング実習Ⅱ」、「情報産業論」、「国際文化と伝統」、「社会心理・消費者行動」、「マーケティング」、「マーケティング実践」を配置している。

このように、情報学部では、地域創生や地域振興の視点から、「地域社会や産業界を取り巻く現状に関する知識の修得のもと、正しく問題を解決するための考え方とユーザーの視点に立った新商品や新サービスを企画・開発するための能力の育成」を目指すこととしており、既設の大学の情報系学部との差別化と特色化を図ることとしている。

２）既存の大学との違い

既存の大学の情報系学部では、情報理論や情報処理に関する原理や知識と技術を教育することを目的としているが、情報学部では、情報理論や情報処理に関する原理や知識と技術を実際の地域の状況に合せて新たな企画構想の商品化に当てはめて用いるための教育を目的としている。

このことにより、情報技術に関する知識や方法と技術を有して、地域社会や産業

界を取り巻く現状の理解のもと、地域社会のニーズとユーザーの視点に立った新商品や新サービスを企画・開発できる職業人材として活躍することが期待される。

このことから、教育課程の編成においては、情報技術者としての専門的な知識や方法と技術を修得する科目に加えて、地域社会や産業界を取り巻く現状を理解する科目及び正しく問題を解決するための考え方とユーザーの視点に立った新商品や新サービスを企画・開発するための能力を修得するための科目を配置することとしている。

特に、既存の大学との差別化や特色化を図ることから、情報技術者としての実践力を修得するための科目として、卒業要件単位 130 単位のうち 40 単位を実習により修得することとし、臨地実務実習 20 単位を必修化することとしており、産業界等と緊密に連携した実践的な教育課程の編成としている。

また、地域社会や産業界を取り巻く現状を理解し、正しく問題を解決するための考え方を理解する科目として、卒業要件単位 130 単位のうち 12 単位を必修化するとともに、ユーザーの視点に立った新商品や新サービスを企画・開発するための能力を修得するための科目として、卒業要件単位 130 単位のうち 10 単位を必修化することとしている。

一方、教員組織においては、博士号等の学位や大学における豊富な教育経験、専門分野に関する優れた研究業績を有する専任教員 9 人に加えて、専攻分野における豊富な実務の経験を有し、かつ、高度な実務の能力を有する実務家教員 9 人を配置することとし、そのうち 7 人は、研究能力を併せ有する実務家教員を配置することで、最新の活きた知識や技術の教授を可能とする教員組織としている。

３．学部・学科等の名称及び学位の名称

（１）大学の名称

本学の校名は、建学の理念（「高い志を開花させ、誇り高い専門職を養成する」）より「開志専門職大学」とする。

名称の「開志」の由来は、「日本書記」によれば 4 世紀後半「大彦の命」という人物が新潟を含む北陸を開拓したとされ、また「米百俵」で知られる新潟県の長岡藩 小林虎三郎の座右の銘は「求志」であり、東西の学問に励み、人々にも教えようとしていたとされ、その活躍の場を「求志洞」と呼んでいた。

その「大彦の命」の「開拓精神」と「小林虎三郎」の教育にかける「志（こころざし)」より来ている。

そもそも「開」の「开」は「両手」の象形であり、「開」という漢字は、門に両手をかけて「ひらく」を意味する。 開志専門職大学は、志を持った多くの学生が、自らの手で未来の門を開くことのできる人材を養成する学び舎である。

建学の精神 ①自学、②挑戦、③創造、④貢献により、学生自らの未来の門だけには留まらず、地域、日本、世界の未来の門を切り開くための創造力を持った人材を養成する。

また、経済社会で必要とされる社会人基礎力や課題発見・課題解決能力は共通なものとして全学部にて教育を行うものであり、その上で、各専門分野において高度で実践的な知識・技能を教授することにより、高い志を開花させ、誇り高い専門職を複数の分野において養成し、地域、日本、世界で活躍する人材を育成するための高等教育

機関として設置するものである。

（２）学部・学科の名称及び学位の名称

１）事業創造学部・事業創造学科

事業創造学部では、地域産業の発展を目的とした経済活動を展開するために必要となる基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、事業を創造することや事業を展開することの意義や役割について理解させるとともに、事業創造や事業活動を主体的、合理的、かつ倫理観をもって行い、地域経済の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てることを目的としている。

また、事業創造学部では、組織として教育研究対象とする中心的な学問分野を「経営学分野」として、「経営分野の専門的な知識と技術及び技能の定着と実践力の深化を図り、実社会や職業とのかかわりを通して、高い職業意識や職業観と規範意識、人間関係力に根ざした実践力を高めるとともに、課題を探求し解決する基礎的な能力を養い、地域の資源を新商品や新サービスの開発に活用できる創造的な能力を育てる」ことを教育上の目的としている。

このような、事業創造学部の教育上の目的や組織として教育研究対象とする中心的な学問分野及び養成する人材などを踏まえたうえで、社会や受験生に最も分かり易い名称とすることから、学部名称を「事業創造学部」、学部名称を「事業創造学科」、学位を「事業創造学士（専門職）」とすることとし、英訳名称については、国際的な通用性を踏まえたうえで、学部の英訳名称を「Faculty of Business Innovation and Entrepreneurship」、学科の英訳名称を「Department of Business Innovation and Entrepreneurship」、学位の英訳名称を「Bachelor of Business Innovation and Entrepreneurship」とすることとした。

学部の名称	事業創造学部 「Faculty of Business Innovation and Entrepreneurship」
学科の名称	事業創造学科 「Department of Business Innovation and Entrepreneurship」
学位の名称	事業創造学士（専門職） 「Bachelor of Business Innovation and Entrepreneurship」

２）情報学部・情報学科

情報学部では、「情報分野の専門的な知識と技術及び技能の定着と実践力の深化を図り、実社会や職業とのかかわりを通して、高い職業意識や職業観と規範意識、人間関係力に根ざした実践力を高めるとともに、課題を探求し解決する基礎的な能力を養い、情報技術を生活様式や様々なサービスなどの充実と向上に活用できる創造的な能力を育てる」ことを教育上の目的としている。

また、情報学部では、組織として教育研究対象とする中心的な学問分野を「情報学分野」として、「職業人としての職業観や倫理観、豊かな人間性とともに、情報技術者としての専門的な知識や技能と実際に活用する能力に加え、地域社会や産業界を取り巻く現状に関する知識を有し、正しく問題を解決するための考え方とユーザーの視点に立った新商品や新サービスを企画・開発するための基礎的な能力を身

に付けて、地域社会の情報化に貢献できる人材」を養成することを目的としている。

このような、情報学部の教育上の目的や組織として教育研究対象とする中心的な学問分野及び育成する人材の目的などを踏まえたうえで、社会や受験生に最も分かり易い名称とすることから、学部名称を「情報学部」、学部名称を「情報学部」、学位を「情報学士（専門職）」とすることとし、英訳名称については、国際的な通用性を踏まえたうえで、学部の英訳名称を「Faculty of Information」、学科の英訳名称を「Department of Information」、学位の英訳名称を「Bachelor of Information」とすることとした。

学部の名称　　情報学部
　　「Faculty of Information」
学科の名称　　情報学科
　　「Department of Information」
学位の名称　　情報学士（専門職）
　　「Bachelor of Information」

４．教育課程の編成の考え方及び特色

（１）事業創造学部

１）教育課程の編成の方針

事業創造学部では、「専門性が求められる職業を担うための実践的な能力及び当該職業の分野において創造的な役割を担うための応用的な能力を育成・展開させるとともに、豊かな人間性及び職業倫理を涵養する」との専門職大学における教育課程の編成方針を踏まえたうえで、教育上の目的や養成する人材の目的を達成するために必要な授業科目を、産業界及び地域社会と連携しつつ、自ら開設することとしている。

また、４年間の学習期間内において、教育上の目的や養成する人材の目的を確実に達成するとともに、学部教育における基礎教育の重要性を踏まえたうえで、教育課程が過密とならないように配慮することから、教育内容を精選し、学位授与の方針を達成するために必要な授業科目について、優先順位を踏まえた科目を配置することとし、単位制度の実質化に向けた適切な学習時間を確保することによる質の確保を目指すこととしている。

さらに、教育課程編成・実施の方針が、養成する人材の目的を達成するという目的のもとに策定され、かつ、教育課程の編成において、体系性と順次性が明確であることを示すことから、学位授与の方針と教育課程編成の方針との関係や授業科目間の系統性を図示した関係図を示すとともに、年次やクオーターごとの科目配置の全体が俯瞰でき、時系列に沿った履修科目が理解できるように、典型的な履修モデルを示すこととしており、併せて、ＣＡＰ制の趣旨を踏まえ履修登録単位数を明示することとしている。

【資料17】学位授与の方針・教育課程編成の方針・授業科目の関係図

なお、専攻に係る職業を取り巻く状況を踏まえて必要な授業科目を開発し、職業の動向に即した教育課程の編成を行うことから、教育課程連携協議会の体制の整備

のもと、当該委員会の意見を反映させる仕組みとして、教育課程の開発に係る規程と組織を整備することで、状況の変化に対応した授業の内容や教育課程の編成について不断の見直しを行うことする。

2）教育課程編成・実施の方針

事業創造学部では、学位授与の方針と教育課程編成・実施の方針との一体性と整合性に留意しつつ、卒業までに学生が身に付けるべき資質や能力を修得するための教育課程編成・実施の方針を定めることとする。

学位授与の方針を踏まえた教育課程編成の方針は、以下の通りとする。

【教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー)】

① 日本語による文章表現や口頭表現の能力と外国語によるコミュニケーション能力及び情報活用や情報管理の能力を高める科目を配置する。

② 職業人として必要な職業意識や職業観と規範意識及び職業選択力や生涯学習力と現代社会に関する幅広い知識を理解する科目を配置する。

③ 経営の意義や役割と企業経営の管理や組織に関する理解及び経営倫理と経営に関連する経済や法律の知識を身に付ける科目を配置する。

④ マーケティングの意義や役割についての理解とマーケティング活動を適切かつ計画的に行うための能力を身に付ける科目を配置する。

⑤ 会計の意義と役割や目的と分類、会計の仕組みについての理解とともに、適正な会計処理を行うための能力を身に付ける科目を配置する。

⑥ 顧客満足を実現することの重要性について理解するとともに、商品を企画・開発し、販売活動を行う能力を身に付ける科目を配置する。

⑦ 起業、事業承継、企業内起業に関する知識の理解と地域産業が果たす役割や現状と課題などに関する知識を身に付ける科目を配置する。

⑧ 経営管理、マーケティング、会計に関する知識と技術を実践的な活動を通して、総合的に応用できる能力を身に付ける科目を配置する。

⑨ 地域資源を商品開発に活用するための知識や方法と高い付加価値を生み出すための問題を解決する考え方を身に付ける科目を配置する。

⑩ 地域資源を活用した新商品や新サービスの企画・開発に関する体験を通し、講義や演習で得た知識と技術の総合化を図る科目を配置する。

【教育課程実施の方針】

1　学説や物事などの意味や内容の理解を目的とする教育内容は、講義形式による授業形態を採ることとし、知識や技能を実践に応用する能力の習得を目的とする教育内容は、演習形式及び実践・実習形式による授業形態を採る。

2　学生の能動的な学修への参加を促すことから、体験学習や実践学習等に加え、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワークなどをはじめとする教授法や学習法を取り入れた能動的学修を導入する。

3　教育課程を構成する授業科目の目標、内容、教育方法、評価方法を記した授業計画を示すとともに、教育課程編成・実施の方針を具体化し、可視化して共有するための教育課程構造図や履修系統図を示す。

4　単位制度の実質化を図る観点から、特定の学期における偏りのある履修登録

を避けるとともに、学生が学習目標に沿った適切な授業科目の履修が可能となるように、養成する具体的な人材像に対応した典型的な履修モデルを提示する。

5　卒業時における質を確保する観点から、予め学生に対して各授業科目における学習目標やその目標を達成するための授業の方法、計画等を明示したうえで、成績評価基準や卒業認定基準を示し、これに基づく厳格な評価を行う。

3）ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーとの関係

事業創造学部の養成する人材の目的を達成するためのディプロマ・ポリシーに掲げている「1．職業人としての望ましい心構えや人間性と自律・自立して学習できる能力と態度有し、現代社会に関する幅広い知識や汎用的技能を身に付けている」については、カリキュラム・ポリシーの「① 日本語による文章表現や口頭表現の能力と外国語によるコミュニケーション能力及び情報活用や情報管理の能力を高める科目」及び「② 職業人として必要な職業意識や職業観と規範意識及び職業選択力や生涯学習力と現代社会に関する幅広い知識を理解する科目」の履修を通して育成する。

「2．事業活動に必要となる経営管理、マーケティング、会計に関する知識と能力を有し、商品やサービスを企画・開発し、販売活動を行う能力」については、カリキュラム・ポリシーの「③ 経営の意義や役割と企業経営の管理や組織に関する理解及び経営倫理と経営に関連する経済や法律の知識を身に付ける科目」、「④ マーケティングの意義や役割についての理解とマーケティング活動を適切かつ計画的に行うための能力を身に付ける科目」、「⑤ 会計の意義と役割や目的と分類、会計の仕組みについての理解とともに、適正な会計処理を行うための能力を身に付ける科目」、「⑥ 顧客満足を実現することの重要性について理解するとともに、商品を企画・開発し、販売活動を行う能力を身に付ける科目」、「⑦ 起業、事業承継、企業内起業に関する知識の理解と地域産業が果たす役割や現状と課題などに関する知識を身に付ける科目」及び「⑧ 経営管理、マーケティング、会計に関する知識と技術を実践的な活動を通して、総合的に応用できる能力を身に付ける科目」の履修を通して育成する。

「3．地域の魅力や特徴を理解し、地域の資源を活用するための知識や方法と高い付加価値を生み出すための問題や課題を解決していく能力」については、カリキュラム・ポリシーの「⑨ 地域資源を商品開発に活用するための知識や方法と高い付加価値を生み出すための問題を解決する考え方を身に付ける科目」の履修を通して育成する。

「4．個別に学修した事業活動や商品開発に関する知識や技能を総合し、地域の特徴や資源を活用しながら新商品や新サービスを創り出す能力」については、カリキュラム・ポリシーの「⑩ 地域資源を活用した新商品や新サービスの企画・開発に関する体験を通し、講義や演習で得た知識と技術の総合化を図る科目」の履修を通して育成する。

4）教育課程の編成の考え方

事業創造学部では、教育上の目的や養成する人材の目的を達成することから、教育課程を「基礎科目」、「職業専門科目」、「展開科目」及び「総合科目」の科目群から編成することとし、理論にも裏付けられた高度な実践力を高めることから、4年間の授業全体を通して知識と技能を身につけることができるように、講義から演習、

演習から実習へと発展させるための授業科目の配当年次としている。

【基礎科目】

基礎科目は、専門職大学設置基準に示されている「生涯にわたり自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成する」という趣旨を踏まえたうえで、学位授与の方針として掲げている「１．職業人としての望ましい心構えや人間性と現代社会に関する幅広い知識や汎用的技能を有し、自律・自立して学習できる能力と態度」を養う授業科目としてカリキュラム・ポリシーとの関係から次の授業科目を設定する。

① 日本語による文章表現や口頭表現の能力と外国語によるコミュニケーション能力及び情報活用や情報管理の能力を高める科目

「日本語コミュニケーション」、「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「英語プレゼンテーション演習Ⅰ」、「英語プレゼンテーション演習Ⅱ」、「中国語コミュニケーション」、「韓国語コミュニケーション」、「ロシア語コミュニケーション」、「情報リテラシー」

② 職業人として必要な職業意識や職業観と規範意識及び職業選択力や生涯学習力と現代社会に関する幅広い知識を理解する科目

「ビジネスモラル」、「キャリアデザインⅠ」、「キャリアデザインⅡ」、「キャリアデザインⅢ」、「現代産業論」、「現代経済学」、「「現代実践法学」、「現代企業論」、「現代社会学」、「現代史と国際関係論」、「現代の科学技術」、「国際動態論」

【職業専門科目】

職業専門科目は、専門職大学設置基準に示されている「専攻に係る職業において必要とされる理論的かつ実践的な能力及び当該職業の分野全般にわたり必要な能力を育成する」という趣旨を踏まえたうえで、学位授与の方針として掲げている「２．事業活動に必要となる経営管理、マーケティング、会計に関する知識と能力を有し、商品やサービスを企画・開発し、販売活動を行う能力」を養う授業科目としてカリキュラム・ポリシーとの関係から次の授業科目を設定する。

③ 経営の意義や役割と企業経営の管理や組織に関する理解及び経営倫理と経営に関連する経済や法律の知識を身に付ける科目

「経営学の基礎」、「経済学の基礎」、「経営戦略論」、「経営組織論」、「経営戦略策定演習」、「グローバル社長学」、「実践企業革新」

「実践日本ビジネス法」、「不動産法入門」、「不動産取引演習」、「企業リスク管理実践」

④ マーケティングの意義や役割についての理解とマーケティング活動を適切かつ計画的に行うための能力を身に付ける科目

「マーケティング」、「デジタルマーケティング」、「流通論の基礎」、「消費者行動研究」、「実践的統計学」、「広報戦略の実践」

⑤ 会計の意義と役割や目的と分類、会計の仕組みについての理解とともに、適正な会計処理を行うための能力を身に付ける科目

「会計学」「財務諸表論」、「簿記概論」、「簿記演習」、「財務諸表分析」、「資金調達の実践」

⑥ 顧客満足を実現することの重要性について理解するとともに、商品を企画・開

発し、販売活動を行う能力を身に付ける科目
「ビジネスコミュニケーション」、「コミュニケーションデザイン」
「ビジネスプランの基礎」、「ビジネスプランの応用」、「イノベーション・マネジメント」
「新規商品開発・販売実習Ⅰ」、「新規商品開発・販売実習Ⅱ」

⑦ 起業、事業承継、企業内起業に関する知識の理解と地域産業が果たす役割や現状と課題などに関する知識を身に付ける科目
「アントレプレナーシップ論」、「実践ベンチャービジネス」、「ICT 活用ビジネス」
「トップランナー研究」、「ビジネスモデル研究」
「会社設立実習Ⅰ」、「会社設立実習Ⅱ」、「会社設立実習Ⅲ」、「実践事業承継」、「事業承継演習」
「地域経済産業論」、「地域産業研究Ⅰ（農林水産）」、「地域産業研究Ⅱ（医療福祉）」、「地域産業研究Ⅲ（環境）」、「地域産業研究Ⅳ（ものづくり）」、「地域産業研究Ⅴ（観光）」、「地域産業研究Ⅵ（ＩＣＴ）」、「地域産業研Ⅶ（まちづくり）」、「地域産業研究Ⅷ（カルチャー・エンタテイメント）」

⑧ 経営管理、マーケティング、会計に関する知識と技術を実践的な活動を通して、総合的に応用できる能力を身に付ける科目」
「企業内実習Ⅰ」、「企業内実習Ⅱ」、「企業内実習Ⅲ」

【展開科目】

展開科目では、専門職大学設置基準に示されている「専攻に係る特定の職業の分野に関連する分野における応用的な能力であって、当該職業の分野において創造的な役割を果たすために必要なものを育成する」という趣旨を踏まえたうえで、学位授与の方針として掲げている「３．地域の魅力や特徴を理解し、地域の資源を活用するための知識や方法と高い付加価値を生み出すための問題や課題を解決していく能力」を養う授業科目としてカリキュラム・ポリシーとの関係から次の授業科目を設定する。

⑨ 地域資源を商品開発に活用するための知識や方法と高い付加価値を生み出すための問題を解決する考え方を身に付ける科目
「新潟と地域社会」、「新潟と地域政策」、「新潟と地域資源」
「地域資源活用の理論と方法」、「地域資源活用の事例研究」、「地域資源活用実習」
「デザイン・シンキング概論」、「ソーシャルデザインⅠ」、「ソーシャルデザインⅡ」、「ソーシャルデザイン実習」

【総合科目】

総合科目は、専門職大学設置基準に示されている「修得した知識及び技能等を総合し、専門性が求められる職業を担うための実践的かつ応用的な能力を総合的に向上させる」という趣旨を踏まえたうえで、学位授与の方針として掲げている「４．個別に学修した事業活動や商品開発に関する知識や技能を総合し、地域の特徴や資源を活用しながら新商品や新サービスを創り出す能力」を養う授業科目としてカリキュラム・ポリシーとの関係から次の授業科目を設定する。

⑩ 地域資源を活用した新商品や新サービスの企画・開発に関する体験を通し、講

義や演習で得た知識と技術の総合化を図る科目」
「事業計画策定総合実習」
【資料 18】事業創造学部 事業創造学科 カリキュラム体系図

5）実習科目及び臨地実務実習先の確保の状況

実習科目については、事業創造学部における教育上の目的や養成する人材の目的を達成するために教育課程に適切に含むこととしており、「職業専門科目」に必修科目として 8 科目 32 単位、選択科目として 1 科目 4 単位、「展開科目」に必修科目として 2 科目 4 単位、「総合科目」に 1 科目 4 単位を含んでおり、「職業専門科目」の必修科目の 8 科目 32 単位のうち、5 科目 22 単位を臨地実務実習として含んでいる。

【資料 19】専門職大学等における実験、実習又は実技による授業科目並びにこれに代替する演習による授業科目一覧

また、臨地実務実習先の確保については、事業創造学部における入学定員を勘案したうえで、教育上の目的や育成する人材の目的を達成するために有効な臨地実務実習先として 45 件を確保している。

【資料 20】臨地実務実習施設一覧

（2）情報学部

1）教育課程の編成の方針

情報学部では、「専門性が求められる職業を担うための実践的な能力及び当該職業の分野において創造的な役割を担うための応用的な能力を育成・展開させるとともに、豊かな人間性及び職業倫理を涵養する」との専門職大学における教育課程の編成方針を踏まえたうえで、教育上の目的や養成する人材の目的を達成するために必要な授業科目を、産業界及び地域社会と連携しつつ、自ら開設することとしている。

また、4 年間の学習期間内において、教育上の目的や養成する人材の目的を確実に達成するとともに、学部教育における基礎教育の重要性を踏まえたうえで、教育課程が過密とならないように配慮することから、教育内容を精選し、学位授与の方針を達成するために必要な授業科目について、優先順位を踏まえた科目を配置することとし、単位制度の実質化に向けた適切な学習時間を確保することによる質の確保を目指すこととしている。

さらに、教育課程編成・実施の方針が、養成する人材の目的を達成するという目的のもとに策定され、かつ、教育課程の編成において、体系性と順次性が明確であることを示すことから、学位授与の方針と教育課程編成の方針との関係や授業科目間の系統性を図示した関係図を示すとともに、年次やクオーターごとの科目配置の全体が俯瞰でき、時系列に沿った履修科目が理解できるように、典型的な履修モデルを示すこととしており、併せて、ＣＡＰ制の趣旨を踏まえ履修登録単位数を明示することとしている。

【資料 21】学位授与の方針・教育課程編成の方針・授業科目の関係図

なお、専攻に係る職業を取り巻く状況を踏まえて必要な授業科目を開発し、職業

の動向に即した教育課程の編成を行うことから、教育課程連携協議会の体制の整備のもと、当該委員会の意見を反映させる仕組みとして、教育課程の開発に係る規程と組織を整備することで、状況の変化に対応した授業の内容や教育課程の編成について不断の見直しを行うことする。

2）教育課程編成・実施の方針

情報学部では、学位授与の方針と教育課程編成・実施の方針との一体性と整合性に留意しつつ、卒業までに学生が身に付けるべき資質や能力を修得するための教育課程編成・実施の方針を定めることとする。

学位授与の方針を踏まえた教育課程編成の方針は、以下の通りとする。

【教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー)】

① 日本語による文章表現や口頭表現の能力と外国語によるコミュニケーション能力及び情報活用や情報管理の能力を高める科目を配置する。

② 職業人として必要な職業意識や職業観と規範意識及び職業選択力や生涯学習力と現代社会に関する幅広い知識を理解する科目を配置する。

③ 情報の意義と役割や情報産業と社会とのかかわりの理解とともに、情報分野の倫理と情報に関する広い知識を身に付ける科目を配置する。

④ コンピュータの基本設計や設計思想に関する理論と専門科目を学ぶうえで必要となる数学や統計学に関する知識を身に付ける科目を配置する。

⑤ アルゴリズムとプログラミング及びデータ構造に関する理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける科目を配置する。

⑥ ネットワークの設計と構築、運用と保守、安全対策に関する理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける科目を配置する。

⑦ データベースの設計、操作言語、管理システムに関する理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける科目を配置する。

⑧ 情報システムの開発、設計、運用と保守、評価に関する理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける科目を配置する。

⑨ クラウド、ＩｏＴ、ＡＩ、データサイエンスに関する理論や技術の習得と、情報技術を応用的に活用する能力を身に付ける科目を配置する。

⑩ 地域社会や産業界を取り巻く現状の理解及び市場の把握や顧客ニーズ・ウォンツを吸い上げるための方法を身に付ける科目を配置する。

⑪ 情報技術を新商品や新サービスに活用するために必要となるユーザーの立場から問題や課題を解決する考え方を身に付ける科目を配置する。

⑫ 情報技術を活用した新商品や新サービスの企画・開発に関する体験を通し、講義や演習で得た知識と技術の総合化を図る科目を配置する。

【教育課程実施の方針】

1　学説や物事などの意味や内容の理解を目的とする教育内容は、講義形式による授業形態を採ることとし、知識や技能を実践に応用する能力の習得を目的とする教育内容は、演習形式及び実践・実習形式による授業形態を採る。

2　学生の能動的な学修への参加を促すことから、体験学習や実践学習等に加え、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワークなど

をはじめとする教授法や学習法を取り入れた能動的学修を導入する。

3　教育課程を構成する授業科目の目標、内容、教育方法、評価方法を記した授業計画を示すとともに、教育課程編成・実施の方針を具体化し、可視化して共有するための教育課程構造図や履修系統図を示す。

4　単位制度の実質化を図る観点から、特定の学期における偏りのある履修登録を避けるとともに、学生が学習目標に沿った適切な授業科目の履修が可能となるように、養成する具体的な人材像に対応した典型的な履修モデルを提示する。

5　卒業時における質を確保する観点から、予め学生に対して各授業科目における学習目標やその目標を達成するための授業の方法、計画等を明示したうえで、成績評価基準や卒業認定基準を示し、これに基づく厳格な評価を行う。

3）ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーとの関係

情報学部の養成する人材の目的を達成するためのディプロマ・ポリシーに掲げている「1．職業人としての望ましい心構えや人間性と自律・自立して学習できる能力と態度を有し、現代社会に関する幅広い知識や汎用的技能を身に付けている」については、カリキュラム・ポリシーの「①　日本語による文章表現や口頭表現の能力と外国語によるコミュニケーション能力及び情報活用や情報管理の能力を高める科目」及び「② 職業人として必要な職業意識や職業観と規範意識及び職業選択力や生涯学習力と現代社会に関する幅広い知識を理解する科目」の履修を通して育成する。

「2．情報技術者として必要となる情報技術の理論と理論に裏付けられた実践力を有し、情報の処理・伝達・管理とそれらを活用する能力」については、カリキュラム・ポリシーの「③ 情報の意義と役割や情報産業と社会とのかかわりの理解とともに、情報分野の倫理と情報に関する広い知識を身に付ける科目」、「④ コンピュータの基本設計や設計思想に関する理論と専門科目を学ぶうえで必要となる数学や統計学に関する知識を身に付ける科目」、「⑤ アルゴリズムとプログラミング及びデータ構造に関する理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける科目」、「⑥ ネットワークの設計と構築、運用と保守、安全対策に関する理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける科目」、「⑦データベースの設計、操作言語、管理システムに関する理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける科目」、「⑧ 情報システムの開発、設計、運用と保守、評価に関する理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける科目」及び「⑨クラウド、ＩｏＴ、ＡＩ、データサイエンスに関する理論や技術の習得と、情報技術を応用的に活用する能力を身に付ける科目」の履修を通して育成する。

「3．地域社会や産業界を取り巻く現状の認識のもと、商品やサービスをユーザーの立場から考え、問題や課題を正しく解決していく能力」については、カリキュラム・ポリシーの「⑩ 地域社会や産業界を取り巻く現状の理解及び市場の把握や顧客ニーズ・ウォンツを吸い上げるための方法を身に付ける科目」及び「⑪ 情報技術を新商品や新サービスに活用するために必要となるユーザーの立場から問題や課題を解決する考え方を身に付ける科目」の履修を通して育成する。

「4．個別に学修した情報技術に関する知識や技能と活用する能力を総合し、ユーザーの視点に立った新商品や新サービスを創り出す能力」については、カリキュ

ラム・ポリシーの「⑫ 情報技術を活用した新商品や新サービスの企画・開発に関する体験を通し、講義や演習で得た知識と技術の総合化を図る科目」の履修を通して育成する。

4）教育課程の編成の考え方

情報学部では、教育上の目的や養成する人材の目的を達成することから、教育課程を「基礎科目」、「職業専門科目」、「展開科目」及び「総合科目」の科目群から編成することとし、理論にも裏付けられた高度な実践力を高めることから、4年間の授業全体を通して知識と技能を身につけることができるように、講義から演習、演習から実習へと発展させるための授業科目の配当年次としている。

【基礎科目】

基礎科目は、専門職大学設置基準に示されている「生涯にわたり自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成する」という趣旨を踏まえたうえで、学位授与の方針として掲げている「１．職業人としての望ましい心構えや人間性と現代社会に関する幅広い知識や汎用的技能を有し、自律・自立して学習できる能力と態度」を養う授業科目としてカリキュラム・ポリシーとの関係から次の授業科目を設定する。

① 日本語による文章表現や口頭表現の能力と外国語によるコミュニケーション能力及び情報活用や情報管理の能力を高める科目

「日本語コミュニケーション」、「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「英語プレゼンテーション演習Ⅰ」、「英語プレゼンテーション演習Ⅱ」、「中国語コミュニケーション」、「韓国語コミュニケーション」、「ロシア語コミュニケーション」、「情報リテラシー」

② 職業人として必要な職業意識や職業観と規範意識及び職業選択力や生涯学習力と現代社会に関する幅広い知識を理解する科目

「ビジネスモラル」、「キャリアデザインⅠ」、「キャリアデザインⅡ」、「キャリアデザインⅢ」、「現代社会学」、「現代経済学」、「現代産業論」、「現代の科学技術」、「現代実践法学」、「現代企業論」、「現代史と国際関係論」、「国際動態論」

【職業専門科目】

職業専門科目は、専門職大学設置基準に示されている「専攻に係る職業において必要とされる理論的かつ実践的な能力及び当該職業の分野全般にわたり必要な能力を育成する」という趣旨を踏まえたうえで、学位授与の方針として掲げている「２．情報技術者として必要となる情報技術の理論と理論に裏付けられた実践力を有し、情報の処理・伝達・管理とそれらを活用する能力」を養う授業科目としてカリキュラム・ポリシーとの関係から次の授業科目を設定する。

③ 情報の意義と役割や情報産業と社会とのかかわりの理解とともに、情報分野の倫理と情報に関する広い知識を身に付ける科目

「情報の基礎」、「情報と法律」、「情報と経営」、「情報と倫理」、「情報と英語」「トップランナー研究」

④ コンピュータの基本設計や設計思想に関する理論と専門科目を学ぶうえで必要となる数学や統計学に関する知識を身に付ける科目

「コンピュータアーキテクチャ」、「オペレーティングシステム」、「ICT 演習(ハードウェア/ソフトウェア)」、「ICT 演習(基本情報)」、「ICT 演習(応用情報)」
「線形代数」、「微分積分」、「確率論」、「統計学」

⑤ アルゴリズムとプログラミング及びデータ構造に関する理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける科目
「データ構造とアルゴリズム」、「プログラミングⅠ」、「プログラミングⅡ」、「ネットワークプログラミング実習」、「ＡＰＩ実習」

⑥ ネットワークの設計と構築、運用と保守、安全対策に関する理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける科目
「情報通信ネットワーク」、「ネットワーク演習」、「情報セキュリティ」、「サイバーセキュリティ演習」、「サイバーセキュリティ実習」、「ICT 演習(セキュリティ)」、「ICT 演習(セキュリティスペシャリスト)」、「分散型台帳技術」

⑦ データベースの設計、操作言語、管理システムに関する理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける科目
「データベースの基礎」、「データベース演習」、「ICT 演習(データベーススペシャリスト)」

⑧ 情報システムの開発、設計、運用と保守、評価に関する理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける科目
「システムモデリング」、「システム開発技術」、「臨地実務実習Ⅰ」、「臨地実務実習Ⅱ」

⑨ クラウド、ＩｏＴ、ＡＩ、データサイエンスに関する理論や技術の習得と、情報技術を応用的に活用する能力を身に付ける科目
「クラウド技術概論」、「 クラウドベーシック&マーケティング」、「クラウドプラットフォーム実習Ⅰ」、「クラウドプラットフォーム実習Ⅱ」、「ICT 演習(クラウド)」
「サイバーフィジカルシステム基礎」、「ＩｏＴ演習」、「ＩｏＴ実習」、「ICT 演習(IoT)」、「ハードウェア設計」、「ロボティクス実習」、「ICT 演習(組込システム)」
「没入型コンピューティング」、「没入型コンピューティング実習」、「ユーザエクスペリエンス」
「情報科学基礎」、「知識表現・知識処理」、「ＡＩ実習」、「マシンラーニング」、「マシンラーニング実習」、「ICT 演習(マシンラーニング)」
「データサイエンス演習」、「データサイエンス実習」、「データマイニング演習」

【展開科目】

展開科目では、専門職大学設置基準に示されている「専攻に係る職業の分野関連する分野における応用的な能力であって、当該職業の分野において創造的な役割を果たすために必要なものを育成する」という趣旨を踏まえたうえで、学位授与の方針として掲げている「３．地域社会や産業界を取り巻く現状の認識のもと、商品やサービスをユーザーの立場から考え、問題や課題を正しく解決していく能力」を養う授業科目としてカリキュラム・ポリシーとの関係から次の授業科目を設定する。

⑩ 地域社会や産業界を取り巻く現状の理解及び市場の把握や顧客ニーズ・ウォンツを吸い上げるための方法を身に付ける科目を配置する。

「新潟と地域社会」、「ソーシャルデザインⅠ」、「ソーシャルデザインⅡ」、「ソーシャルデザイン実習」
「情報産業論」、「国際文化と伝統」
「社会心理・消費者行動」、「マーケティング」、「マーケティング実践」

⑪ 情報技術を新商品や新サービスに活用するために必要となるユーザーの立場から問題や課題を解決する考え方を身に付ける科目
「デザイン・シンキング概論」、「デザイン・シンキング実習Ⅰ」、「デザイン・シンキング実習Ⅱ」

【総合科目】

総合科目は、専門職大学設置基準に示されている「修得した知識及び技能等を総合し、専門性が求められる職業を担うための実践的かつ応用的な能力を総合的に向上させる」という趣旨を踏まえたうえで、学位授与の方針として掲げている「4.個別に学修した情報技術に関する知識や技能と活用する能力を総合し、ユーザーの視点に立った新商品や新サービスを創り出す能力」を養う授業科目としてカリキュラム・ポリシーとの関係から次の授業科目を設定する。

⑫ 情報技術を活用した新商品や新サービスの企画・開発に関する体験を通し、講義や演習で得た知識と技術の総合化を図る科目
「ICT 活用総合実習」

【資料 22】情報学部 情報学科 カリキュラム体系図

5）実習科目及び臨地実務実習先の確保の状況

実習科目については、情報学部における教育上の目的や養成する人材の目的を達成するために教育課程に適切に含むこととしており、「職業専門科目」に必修科目として 6 科目 28 単位、選択科目として 7 科目 14 単位、「展開科目」に必修科目として 3 科目 4 単位、「総合科目」に必修科目として 1 科目 4 単位を配置しており、「職業専門科目」の必修科目の 6 科目 28 単位のうち、2 科目 20 単位を臨地実務実習として含んでいる。

【資料 23】専門職大学等における実験、実習又は実技による授業科目並びにこれに代替する演習による授業科目一覧

また、臨地実務実習先の確保については、情報学部における入学定員を勘案したうえで、教育上の目的や養成する人材の目的を達成するために有効な臨地実務実習先として、情報実務に関する臨地実務実習先 27 件を確保している。

【資料 24】臨地実務実習施設一覧

（3）学期の考え方

本学の学期は前半 2 学期、後半 2 学期の 4 学期により教育課程を編成する。

前半を 1 学期・2 学期として、後半を 3 学期・4 学期として、1 学期の授業週を 8 週間とすることを基本として、前半の 1 学期と 2 学期又は後半の 3 学期と 4 学期を通して行う授業については 15 週間とする。4 学期制により教育課程を編成することで、短期集中型の授業により高い教育効果が期待でき、また基礎的な科目を短期集中で学修してから応用的な科目の学修に早い段階で進むことができる。

さらに 4 学期制にすることにより、全ての授業科目を 15 週間で行う 2 学期制と比較して、同時に進行する科目数を減らすことができるため、一つの授業科目に対して予習・復習の自学を集中して効果的に行うことができる。

また、授業科目によっては、じっくりと時間をかけて実施した方が効果的な授業科目は 2 学期を通して 15 週間で授業を行うものとする。

（4）教育課程の開発

カリキュラム・ポリシーを実現するために、教育課程の開発にあたり、「教育課程連携協議会」を学部単位で設置し、本学教員の他、課程に係る職業に就いている者や業界団体の者より、現に必要な授業科目の意見を反映し体系化した教育課程を作成している。また、臨地実務実習の実習先から現に必要とする知識・技術に対する意見を聴取するとともに、教育課程連携協議会を毎年開催することにより、各学部の専門職を取り巻く環境の変化に応じて必要な授業科目の検証を行い、必要ある場合には教育課程の改訂・開発も視野に入れ検討を行う。

5．教員組織等の編制の考え方及び特色

（1）事業創造学部

1）教員組織の編成の考え方

事業創造学部における教育上の目的は、「経営分野の専門的な知識と技術及び技能の定着と実践力の深化を図り、実社会や職業とのかかわりを通して、高い職業意識や職業観と規範意識、人間関係力に根ざした実践力を高めるとともに、課題を探求し解決する基礎的な能力を養い、地域の資源を新商品や新サービスの開発に活用できる創造的な能力を育てる」こととしている。

また、事業創造学部における養成する人材は、「職業人としての倫理観や道徳意識、起業家精神などを身に付け、起業家、事業承継者、企業内起業家として、事業活動や商品開発を行うために必要となる専門的な知識と能力に加えて、地域の魅力や特徴に関する知識を有し、地域の資源を新商品や新サービスに活用するための能力と消費者の視点に立って正しく問題を解決するための考え方を身に付けて、地域経済の活性化に貢献できる人材」を養成することとしている。

この事業創造学部における教育上の目的及び養成する人材の目的を達成することから、組織として研究対象とする中心的な学問分野を「経営学分野」としており、教員組織の編成においては、当該分野を専門とする専任教員を中心とした教員組織としているとともに、当該分野における主要な授業科目を中心として、専門分野における教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する教授 5 人及び准教授 3 人、講師 2 人、助教 1 人、合計 11 人を配置する計画とし、専門分野以外の専任教員として教育上、実務上の優れた知識、能力及び実績を有する教授 5 人、准教授 3 人を配置し、専任教員は 19 人配置する計画としている。

なお、事業創造学部の教育課程における「職業専門科目」及び「総合科目」に配置している必修科目については、全ての授業科目において専任教員を配置することとしている。

専任教員の配置に当たっては、博士号等の学位の保有状況をはじめ、それぞれの領域における教育実績や研究業績、実務経験などと担当予定の授業科目との適合性

について、十分な検討のもとに配置することとしており、また、専門職業人の養成機能を果たすことから、理論と実践の融合に向けて、実技系の授業科目については、当該科目の特質を踏まえて、専門分野に関する豊富な実務経験を有する教員を配置するとともに、学部教育としての一定の研究機能を果たすことから、博士号等の学位や十分な研究業績を有する教員を配置することとしている。

また、年間担当単位数が多い専任教員の負担を軽減するために、助手を配置して、専任教員の指導の下、学内での実習授業の準備や、臨地実務実習における学生に対する連絡・調整、実習先との連絡・調整などを行うことで専任教員の負担を軽減し、専任教員の教育研究活動を行う時間を確保するよう努める。

2）教員組織の編成の特色

事業創造学部では、「職業人としての倫理観や道徳意識、起業家精神などを身に付け、起業家、事業承継者、企業内起業家として、事業活動や商品開発を行うために必要となる専門的な知識と能力に加えて、地域の魅力や特徴に関する知識を有し、地域の資源を新商品や新サービスに活用するための能力と消費者の視点に立って正しく問題を解決するための考え方を身に付けて、地域経済の活性化に貢献できる人材」を養成することとしている。

この事業創造学部における養成する人材の目的を達成するために必要となる教育課程について、産業界及び地域社会と連携しつつ編成することから、「教育課程連携協議会」を設けており、当該協議会の整備や運営にむけて、大学等における教育内容や教育方法の開発などに関する豊富な経験や実績を有する専任教員 2 人を配置することとしている。

【資料 25】教育課程連携協議会構成員名簿（抜粋）

また、事業創造学部では、専門職業人の養成機能を果たすことから、理論と実践の融合に向けた科目内容の特質を踏まえて、実務系の授業科目を中心に豊富な実務経験を有する専任教員を配置することとしており、専任教員 19 人のうち 8 人は、専攻分野における 5 年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を配置しており、そのうち 6 人は、大学において教授、准教授、専任の講師又は助教の経歴のある者、博士の学位、修士の学位又は専門職学位を有する者、企業等に在職し、実務に係る研究上の業績を有する者を配置することとしている。

【資料 26】実務の経験等を有する専任教員一覧

なお、実務の経験等を有する専任教員 8 人のうち 2 人は、「みなし専任教員」を配置することとしているが、当該教員については、1 年につき 6 単位以上の授業科目を担当するとともに、教育課程の編成（担当する授業科目の教育内容、単位認定など）その他の学部の運営（学部・学科の会議などへの参加）について責任を担うことを予定していることから、学部等の運営における支障はないものと考えている。

【資料 27】実務の経験等を有する専任教員一覧（抜粋）

3）教員組織の年齢構成

事業創造学部の教員組織の年齢構成については、開設年度から完成年度までの間を大学としての教育研究体制の基盤を形成する期間として位置付けており、新設の段階では豊富な知識と経験を活かし教育研究水準の維持向上を図るために経験豊

富な専任教員を多く配置し、開学時は、30 歳代 1 人、40 歳代 3 人、50 歳代 6 人、60 歳代以上 9 人で構成することとし、専任教員の平均年齢は約 58 歳となっており、次世代を担う教員の育成を視野に入れ、中堅の専任教員も配置するように配慮した教員の配置としている。

なお、事業創造学部の教員組織の編成においては、完成年度までに定年に達する者 9 人を配置する計画としているが、定年に達した者の任用については、本学が定める就業規則附則第 3 項の規程並びに理事会にて承認かされていることから、専任教員の配置計画における支障はないものと考えている。

4）専任教員の育成方針

事業創造学部の設置計画では、博士号等の学位や著書及び学術論文等の研究業績、大学等における豊富な教育実績、社会及び企業等における実務実績等を有する専任教員を配置し、完成年度までの学部運営を確実なものとすることを優先した教育組織の編成としている。このことから、既に定年規定による定年を超えている者及び完成年度までに定年に達する者 9 人を配置する計画としているが、教育研究水準の維持向上や教育研究の活性化に支障のないよう配慮することから、開設年度から完成年度までの間に、学部としての教育研究体制の基盤構築を図るとともに、教育研究の継続性の観点を踏まえて、この 4 年間を就任予定の中堅教員の育成期間として位置付けることとしている。

具体的には、教育面においては、教育を行う教員の資質の維持向上に向けての組織的な対応として、授業の内容及び方法の改善を図るための研修及び研究を行うこととしており、特に、専門分野における大学等での教育実績を有した教員による中堅教員を対象とした教育を担う者としての自覚や意識の涵養及び授業技術や教材開発等の教育方法に関する研修会を実施することとしている。

研究面においては、就任後、専門分野における研究業績を有した教員のもとで、研究活動等に豊富に接することにより、自立して研究活動を行うための研究能力の伸長を図るとともに、研究計画に関する自己管理目標制度の導入や中堅教員の育成にむけた規程の整備など、専任教員の研究環境の充実にむけて研究に関する制度や諸規程等の整備について検討することとしている。

5）教員組織構想

事業創造学部の教員組織の編成においては、完成年度までに定年に達する者 9 人を配置することから、教員組織構想は、開設後 4 年間の中堅教員の育成状況を踏まえた学内昇格や年次進行中の若手教員新規採用など、教員組織に関する中期的な人事計画を策定する。

開学時は、教員組織が高齢に偏ることとなったことから、教育研究の継続性の観点を踏まえたうえで、中長期的な教育研究の維持・向上及び活性化を図る観点から、今後における学部ごとの具体的な専任教員の採用計画について検討し、年齢層の高い専任教員の定年退職に伴う若手・中堅教員の新規採用に関する中期的な人事計画を策定し、この人事計画に基づく計画的な採用を行うことにより、教員配置の適正化を図ることとする。

なお、年齢層の高い専任教員の定年退職に伴う若手・中堅教員の新規採用を行う

際には、本学の教員選考規程等で定める審査基準に基づいて、厳格なる審査を経て採用することとし、教育の質の保証の観点から、各専門分野における教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する教員を採用するとともに、採用後も授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究の実施を通して、継続的な教員の資質の維持向上に努めることとする。

また、教員の年齢構成については、完成年度以降（令和 6 年度）の計画として、39 歳以下が 3 人、40～49 歳が 4 人、50～59 歳が 10 人、60～64 歳が 2 人となる計画とする。

事業創造学部事業創造学科　専任教員配置計画

教員配置計画	
令和２年度～令和５年度（完成年度）末 完成年度までの年次進行中における若手教員採用計画	
採用活動 予定	完成年度までの年次進行中において、公募等により以下の教員の採用を計画する。 ・博士の学位、大学等における教育歴、経営学分野に関する研究実績を有する若手教員 ・高度の実務の能力を有する若手教員 以上の若手教員を年度進行中に複数名を前倒しで採用する。 その後も採用活動を継続して令和６年度開始時点では完成年度に定年年齢を超える教員数に相当する若手・中堅教員の確保をする。
令和５年度（完成年度）末	
退職予定	・定年規定により教授 7 名、准教授 2 名が退職予定 ※教授 7 名、准教授 2 名は就業規則附則第 3 項の規程に基づき雇用延長
昇格予定	・経営学分野の准教授１名及び法学分野の准教授１名について、教育研究業績等の評価に基づき教授に昇格予定 ・会計学分野の講師１名及び社会学分野の講師１名について、教育研究業績等の評価に基づき准教授に昇格予定 ・会計学分野の助教１名について、教育研究業績等の評価に基づき講師に昇格予定
新規採用予定	※令和２年度～令和５年度において採用した若手教員を含め、令和６年度開始時点では完成年度に定年年齢を超える教員数に相当する若手・中堅教員の確保をする。 ・公募等により、博士の学位、大学等における教育歴、経営学分野に関する研究実績を有する中堅の教授 4 名を採用 ・公募等により、高度の実務の能力を有する中堅の教授 2 名を採用 ・公募等により、博士の学位、大学等における教育歴、経営学分野に関する研究実績を有する若手の准教授 2 名を採用 ・公募等により、博士の学位、大学等における教育歴、会計学分野

	に関する研究実績を有する若手の助教１名を採用
令和６年度～令和９年度	
退職予定	・定年規定により教授１名、准教授２名が退職予定
新規採用予定	・公募等により、博士の学位、大学等における教育歴、経営学分野に関する研究実績を有する中堅の教授１名を採用 ・公募等により、高度の実務の能力を有する中堅の准教授２名を採用

（２）情報学部

１）教員組織の編成の考え方

情報学部における教育上の目的は、「情報分野の専門的な知識と技術及び技能の定着と実践力の深化を図り、実社会や職業とのかかわりを通して、高い職業意識や職業観と規範意識、人間関係力に根ざした実践力を高めるとともに、課題を探求し解決する基礎的な能力を養い、情報技術を生活様式や様々なサービスなどの充実と向上に活用できる創造的な能力を育てる」こととしている。

また、情報学部における育成する人材は、「職業人としての職業観や倫理観、豊かな人間性とともに、情報技術者としての専門的な知識や技能と実際に活用する能力に加え、地域社会や産業界を取り巻く現状に関する知識を有し、正しく問題を解決するための考え方とユーザーの視点に立った新商品や新サービスを企画・開発するための基礎的な能力を身に付けて、地域社会の情報化に貢献できる人材」を養成することとしている。

この情報学部における教育上の目的及び育成する人材の目的を達成することから、組織として研究対象とする中心的な学問分野を「情報分野」としており、教員組織の編成においては、当該分野を専門とする専任教員を中心とした教員組織としているとともに、当該分野における主要な授業科目を中心として、専門分野における教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する教授 11 人及び准教授１人、講師３人、助教１人、合計 16 人を配置する計画とし、専門分野以外の専任教員として教育上、実務上の優れた知識、能力及び実績を有する教授 1 人、講師１人を配置し、専任教員は 18 人配置する計画としている。

なお、情報学部の教育課程における「職業専門科目」及び「総合科目」に配置している必修科目については、全ての授業科目において専任教員を配置することとしている。

情報学部における組織として研究対象とする中心的な学問分野ごとの専任教員の配置については、「コンピュータ系分野」の教授３人、講師２人、助教１人、「情報通信系分野」の教授６人、「コンテンツ系分野」の教授２人、准教授１人、講師１人を配置することとしている。

専任教員の配置に当たっては、博士号等の学位の保有状況をはじめ、情報分野における教育実績や研究業績、実務経験などと担当予定の授業科目との適合性について、十分な検討のもとに配置することとしており、また、専門職業人の養成機能を果たすことから、理論と実践の融合に向けて、実技系の授業科目については、当該科目の特質を踏まえて、専門分野に関する豊富な実務経験を有する教員を配置するとともに、学部教育としての一定の研究機能を果たすことから、博士号等の学位や

十分な研究業績を有する教員を配置することとしている。

また、年間担当単位数が多い専任教員の負担を軽減するために、助手を配置して、専任教員の指導の下、学内での実習授業の準備や、臨地実務実習における学生に対する連絡・調整、実習先との連絡・調整などを行うことで専任教員の負担を軽減し、専任教員の教育研究活動を行う時間を確保するよう努める。

2）教員組織の編成の特色

情報学部では、「職業人としての職業観や倫理観、豊かな人間性とともに、情報技術者としての専門的な知識や技能と実際に活用する能力に加え、地域社会や産業界を取り巻く現状に関する知識を有し、正しく問題を解決するための考え方とユーザーの視点に立った新商品や新サービスを企画・開発するための基礎的な能力を身に付けて、地域社会の情報化に貢献できる人材」を養成することとしている。

この情報学部における養成する人材の目的を達成するために必要となる教育課程について、産業界及び地域社会と連携しつつ編成することから、「教育課程連携協議会」を設けており、当該協議会の整備や運営にむけて、大学等における教育内容や教育方法の開発などに関する豊富な経験や実績を有する専任教員2人と助手1人を配置することとしている。

【資料 28】教育課程連携協議会構成員名簿（抜粋）

また、情報学部では、専門職業人の養成機能を果たすことから、理論と実践の融合に向けた科目内容の特質を踏まえて、実務系の授業科目を中心に豊富な実務経験を有する専任教員を配置することとしており、専任教員18人のうち9人は、専攻分野における5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を配置しており、そのうち7人は、大学において教授、准教授、専任の講師又は助教の経歴のある者、博士の学位、修士の学位又は専門職学位を有する者、企業等に在職し、実務に係る研究上の業績を有する者を配置することとしている。

【資料 29】実務の経験等を有する専任教員一覧

なお、実務の経験等を有する専任教員9人のうち2人は、「みなし専任教員」を配置することとしているが、当該教員については、1年につき6単位以上の授業科目を担当するとともに、教育課程の編成（担当する授業科目の教育内容、単位認定など）その他の学部の運営（学部・学科の会議などへの参加）について責任を担うことを予定していることから、学部等の運営における支障はないものと考えている。

【資料 30】実務の経験等を有する専任教員一覧（抜粋）

3）教員組織の年齢構成

情報学部の教員組織の年齢構成については、開設年度から完成年度までの間を大学としての教育研究体制の基盤を形成する期間として位置付けており、新設の段階では豊富な知識と経験を活かし教育研究水準の維持向上を図るために経験豊富な専任教員を多く配置し、開学時は30歳代4人、40歳代1人、50歳代7人、60歳代以上6人で構成することとし、専任教員の平均年齢は約54歳となっておるが、次世代を担う教員の育成を視野に入れ、低年齢の専任教員も配置するように配慮した教員の配置としている。

なお、情報学部の教員組織の編成においては、完成年度までに定年に達する者5

人を配置する計画としているが、定年に達した者の任用については、本学が定める就業規則附則第 3 項の規程並びに理事会にて承認かされていることから、専任教員の配置計画における支障はないものと考えている。

4）専任教員の育成方針

情報学部の設置計画では、博士号等の学位や著書及び学術論文等の研究業績、大学等における豊富な教育実績、社会及び企業等における実務実績等を有する専任教員を配置し、完成年度までの学部運営を確実なものとすることを優先した教育組織の編成としている。このことから、既に定年規定による定年を超えている者及び完成年度までに定年に達する者 5 人を配置する計画としているが、教育研究水準の維持向上や教育研究の活性化に支障のないよう配慮することから、開設年度から完成年度までの間に、学部としての教育研究体制の基盤構築を図るとともに、教育研究の継続性の観点を踏まえて、この 4 年間を就任予定の中堅及び若手教員の育成期間として位置付けることとしている。

具体的には、教育面においては、教育を行う教員の資質の維持向上に向けての組織的な対応として、授業の内容及び方法の改善を図るための研修及び研究を行うこととしており、特に、専門分野における大学等での教育実績を有した教員による中堅及び若手教員を対象とした教育を担う者としての自覚や意識の涵養及び授業技術や教材開発等の教育方法に関する研修会を実施することとしている。

研究面においては、就任後、専門分野における研究業績を有した教員のもとで、研究活動等に豊富に接することにより、自立して研究活動を行うための研究能力の伸長を図るとともに、研究計画に関する自己管理目標制度の導入や中堅及び若手教員の育成にむけた規程の整備など、専任教員の研究環境の充実にむけて研究に関する制度や諸規程等の整備について検討することとしている。

5）教員組織構想

情報学部の教員組織の編成においては、完成年度までに定年に達する者 5 人を配置することから、教員組織構想は、開設後 4 年間の中堅及び若手教員の育成状況を踏まえた学内昇格や年次進行中の若手教員新規採用など、教員組織に関する中期的な人事計画を策定する。

開学時は、教員組織が高齢に偏ることとなったことから、教育研究の継続性の観点を踏まえたうえで、中長期的な教育研究の維持・向上及び活性化を図る観点から、今後における学部ごとの具体的な専任教員の採用計画について検討し、年齢層の高い専任教員の定年退職に伴う若手・中堅教員の新規採用に関する中期的な人事計画を策定し、この人事計画に基づく計画的な採用を行うことにより、教員配置の適正化を図ることとする。

なお、年齢層の高い専任教員の定年退職に伴う若手・中堅教員の新規採用を行う際には、本学の教員選考規程等で定める審査基準に基づいて、厳格なる審査を経て採用することとし、教育の質の保証の観点から、各専門分野における教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する教員を採用するとともに、採用後も授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究の実施を通して、継続的な教員の資質の維持向上に努めることとする。

また、教員の年齢構成については、完成年度以降（令和 6 年度）の計画として、39 歳以下が 3 人、40～49 歳が 4 人、50～59 歳が 9 人、60～64 歳が 2 人となる計画とする。

情報学部情報学科　専任教員配置計画

教員配置計画	
令和 2 年度～令和 5 年度（完成年度）中 完成年度までの年次進行中における若手教員採用計画	
採用活動 予定	完成年度までの年次進行中において、公募等により以下の教員の採用を計画する。 ・博士の学位、大学等における教育歴、情報分野に関する研究実績を有する若手教員 ・高度の実務の能力を有する若手教員 以上の若手教員を年度進行中に複数名を前倒しで採用する。 その後も採用活動を継続して令和 6 年度開始時点では完成年度に定年年齢を超える教員数に相当する若手・中堅教員の確保をする。
令和 5 年度（完成年度）末	
退職予定	・定年規定により教授 5 名が退職予定 ※教授 5 名は就業規則附則第 3 項の規程に基づき雇用延長
昇格予定	・准教授 1 名について、教育研究業績等の評価に基づき教授に昇格予定 ・情報分野の講師 4 名について、教育研究業績等の評価に基づき准教授に昇格予定 ・情報分野の助教 1 名について、教育研究業績等の評価に基づき講師に昇格予定
新規採用予定	※令和 2 年度～令和 5 年度中において採用した若手教員を含め、令和 6 年度開始時点では完成年度に定年年齢を超える教員数に相当する若手・中堅教員の確保をする。 ・公募等により、博士の学位、大学等における教育歴、情報分野に関する研究実績を有する中堅の教授 3 名を採用 ・公募等により、高度の実務の能力を有する中堅の教授 1 名を採用 ・公募等により、博士の学位、大学等における教育歴、情報分野に関する研究実績を有する若手の准教授 1 名を採用
令和 6 年度～令和 9 年度	
退職予定	・定年規定により教授 1 名、准教授 1 名が退職予定
新規採用予定	・公募等により、博士の学位、大学等における教育歴、情報分野に関する研究実績を有する中堅の准教授 1 名を採用 ・公募等により、高度の実務の能力を有する中堅の教授 1 名を採用

６．教育方法、履修指導方法及び卒業要件

（１）授業の方法、配当年次、学生数の設定

１）授業の内容に応じた授業の方法

授業の内容に応じた授業方法は、知識の理解を目的とする教育内容については、講義形式を中心とした授業形態を採り、態度・志向性及び技術や技能の習得を目的とする教育内容については、演習形式による授業形態を採ることとし、理論的知識や能力を実務に応用する能力を身に付けることを目的とする教育内容については、実習形式及び実践形式による授業形態を採ることとする。

２）配当年次・学生数の設定

配当年次は、基礎から基幹へと体系的な学習が可能となるようにするとともに、専門教育においては、専門分野の教育内容ごとに、知識、技能、応用といった授業の内容と科目間の関係や履修の順序に留意するとともに、単位制度の制度設計の観点を踏まえて、特定の学年や学期において偏りのある履修登録がなされないように配慮したうえで、講義から演習、演習から実習へと発展させる配当としている。

また、授業方法に適した学生数の設定については、授業科目ごとの授業形態に則った教育目標を効果的かつ確実に達成するために、少人数による学生数の設定を行い、同時に授業を行う学生数については 40 人以下とする。

本学の各学科は 1 学年の定員が 80 人であり、必須科目についてはすべて 40 人の 2 クラス体制の授業としている。

選択科目については、毎年、次年度の選択科目の履修希望調査を実施し、その授業科目の前提となる授業科目の履修の有無の確認などの履修指導を行う履修ガイダンスを実施する。履修希望調査により 40 人を超える履修希望者が予測される授業科目がある場合は、原則として複数クラスを開講するように事前に教員の手配を行うこととし、年度当初の正式な履修登録に備える。

また、教育課程表に配当されている年次以降にも受講可能である授業科目は、学生の履修科目の選択に関する助言を行う専門的な職員による個別の履修相談時に、学生の履修希望や履修状況に配慮しながら、履修年次の変更を促すことも行う。

＜配当年次以降に受講可能な選択科目＞

【事業創造学部】

地域産業研究Ⅰ（農林水産）、地域産業研究Ⅱ（医療福祉）、地域産業研究Ⅲ（環境）、地域産業研究Ⅳ（ものづくり）、地域産業研究Ⅴ（観光）、地域産業研究Ⅵ（ICT）、地域産業研究Ⅶ（まちづくり）、地域産業研究Ⅷ（カルチャー・エンタテイメント）

【情報学部】

現代産業論、現代実践法学、現代の科学技術、現代企業論、現代史と国際関係論
ユーザエクスペリエンス、没入型コンピューティング実習、分散型台帳技術、システム開発技術、ICT 演習（ハードウェア/ソフトウェア）、ICT 演習（セキュリティ）、ICT 演習（基本情報）、ICT 演習（クラウド）、ICT 演習（応用情報）

（２）履修指導

履修指導方法は、授業を受ける学生に対して、教員が相談に応じる専用の時間を

設けることにより、きめ細やかな教育指導を行う体制を整えるとともに、学期ごとに学年別の履修ガイダンスを実施したうえで、学生の適性や能力に応じて学生の履修科目の選択に関する助言を行う専門的な職員を配置し、個別の履修相談に応じるなど、学生の履修指導体制を整備する。

また、学部教育段階では、基礎的な専門知識や技能を確実に修得させることに重点を置くことが重要であると考えることから、単位制度の実質化の観点を踏まえたうえで、特定の学期における偏りのある履修登録を避け、学生が学習目標に沿った適切な授業科目の履修が可能となるように、養成する具体的な人材像に対応した典型的な履修モデルを提示する。

【資料 31】履修モデル

（3）卒業要件

卒業要件は、学部ごとの学位授与の方針として定める卒業生が身に付ける能力を習得させることから、学部に 4 年以上在学し、体系的な授業科目の履修により、卒業要件として定める単位数以上を修得することとしている。

事業創造学部の卒業要件は、基礎科目において必修科目 16 単位を含む 20 単位以上、職業専門科目において必修科目 72 単位を含む 80 単位以上、展開科目において必修科目 20 単位、総合科目において必修科目 4 単位、あわせて 124 単位を修得する。

情報学部の卒業要件は、基礎科目において必修科目 14 単位を含む 20 単位以上、職業専門科目において必修科目 76 単位を含む 84 単位以上、展開科目において必修科目 22 単位、総合科目において必修科目 4 単位、あわせて 130 単位を修得する。

（4）履修科目の年間登録上限

単位制度の実質化の観点を踏まえたうえで、学生の主体的な学習を促し、教室における授業と教室外の学習を合わせた充実した授業を展開することにより学習効果を高めるために、１学年あたりの履修単位数の上限を 48 単位とする。

（5）入学前の実務経験を単位に換算する場合

本学では学則第 32 条第 3 項において、学生が本学に入学する前に専門性が求められる職業に係る実務の経験を通じ、当該職業を担うための実践的な能力を修得している場合には、当該実践的な能力の修得を本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができることとしている。

職業専門科目及び展開科目の単位認定は、専門性が求められる職業に係る実務の経験を有し、かつ、法令の規定に基づく職業資格又は法令に基づく技能検定、技能審査その他の実務の能力に関する審査等であり、当該学科の授業科目において修得させることとしている実践的な能力と同等以上の能力を修得していると認められる場合である。

臨地実務実習の単位認定は、専門性が求められる職業に係る実務の経験を有し、かつ、当該職業における実務上の業績を有することにより、当該学科の授業科目において修得させることとしている実践的な能力と同等以上の能力を修得していると認められる場合である。

これらの単位認定に当たっては、学生本人からの申し出により 30 単位を超えない範囲で教授会の議を経て、学長が決定する。

既修得単位の認定の流れについては、以下の通りとなる。

① 入学試験合格後、社会人入学者本人より既修得単位認定に係る申請
② 既修得単位認定のための面談を実施
③ 教務委員会による審議
④ 教授会による審議
⑤ 学長より既修得単位認定（2～30 単位）

事業創造学部における社会人を受け入れる際の当該実務経験を通じた能力の修得を勘案した既修得単位の認定する場合の具体例としては、民間企業等において会計実務に従事している者、あるいは、従事した実績がある者が入学を希望する場合、取得している資格や実務経験の状況等を総合的に勘案して、「職業専門科目」に配置している「簿記概論」及び「簿記演習」の単位を既修得単位として認定することなどが想定される。

なお、既修得単位の認定において、考慮する資格については、経営学検定、内閣府認定マーケティング検定、簿記検定、中小企業診断士試験などとする。

情報学部における社会人を受け入れる際の当該実務経験を通じた能力の修得を勘案した既修得単位の認定する場合の具体例としては、情報関連企業等においてプログラムの作成に関する実務に従事している者、あるいは、従事した実績がある者が入学を希望する場合、取得している資格や実務経験の状況等を総合的に勘案して、「職業専門科目」に配置している「プログラミング基礎」及び「プログラミング演習」の単位を既修得単位として認定することなどが考えられる。

なお、既修得単位の認定において、考慮する資格については、IT パスポート試験、情報セキュリティマネジメント試験、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、データベーススペシャリスト試験、エンベデッドシステムスペシャリスト試験、情報処理安全確保支援士試験、CompTIA A+、CompTIA Cloud+、CompTIA Security+、IoT 検定レベル１試験　プロフェッショナル・コーディネータ、JDLA Deep Learning for GENERAL、JDLA Deep Learning for ENGINEER などとする。

７．教育課程連携協議会について

本学は、産業界及び地域社会との連携により、授業科目の開発や教育課程の編成、及び円滑かつ効果的な実施と不断の見直しを行うため、学部別に教育課程連携協議会を設けるものとする。

教育課程連携協議会は、次に掲げる事項について審議し、学長に意見を述べるものとする。

（1）産業界及び地域社会との連携による授業科目の開設その他の教育課程の編成に関する基本的な事項
（2）産業界及び地域社会との連携による授業の実施その他の教育課程の実施に関する基本的な事項及びその実施状況の評価に関する事項

教育課程連携協議会は、次に掲げる者をもって構成する。

（1）学長が指名する教員その他の職員
（2）課程に係る職業に就いている者又は当該職業に関連する事業を行う者によ

る団体のうち、広範囲の地域で活動するものの関係者であって、当該職業の実務に関し豊富な経験を有する者

（3）地方公共団体の職員、地域の事業者による団体の関係者その他地域の関係者

（4）臨地実務実習その他の授業科目の開設又は授業の実施において協力する事業者

（5）教員その他の職員以外の者であって学長が必要と認める者

また、構成員の任期は2年とし、再任を妨げないものとする。

開催回数は、年度の中間と年度末の年2回の開催を基本とし、教育課程連携協議会の代表者たる委員長が必要と認める場合は臨時の開催も可能とする。

教育課程連携協議会の審議により、産業界等の現に必要とされている知識・技術が教育課程に反映されていることを検証・評価し、学長に意見として進言された内容を本学の教授会で審議し、教育課程の編成や不断の見直しを行う。

現在の各学部の教育課程連携協議会の構成員は、別記様式第7号の2のとおりである。

【資料 32】教育課程連携協議会に関する規程、教育課程連携協議会構成員名簿

8．施設、設備等の整備計画

（1）校地、運動場の整備計画

本学は、新潟市中央区内に①紫竹山キャンパス、②米山キャンパスの2キャンパスを設置する。いずれもＪＲ新潟駅を利用した通学が可能な都市型キャンパスである。新潟市は本州日本海側唯一の政令指定都市であり、新潟市中央区は商業集積度が高く、新潟県の中心市街地域である。校地の面積は、2キャンパスを合計すると校地面積は9,210.14㎡であり、専門職大学設置基準第四十六条に定める基準面積6,400㎡（収容定員640人×10㎡）を満たす面積となっている。

①　紫竹山キャンパス

紫竹山キャンパスはＪＲ新潟駅から南南東に約1.7ｋｍに位置し、用地は一部借地（1,051㎡）を含み、7,708.68㎡を有し、専門職大学設置基準第四十三条に定める学生が休息その他に利用するのに適当な空地を有するものとなっている。

また、校舎内においても1階学生控室（88.18㎡）及び学食としての機能を持ったレストラン兼学生控室(263.89㎡）を授業以外の場合は開放し、校舎最上階の学生控室（171.05㎡）も休息、交流等のために常時使用可能とする。

②　米山キャンパス

米山キャンパスはＪＲ新潟駅から南に約400mに位置し、1,501.46㎡を有する。同キャンパスには情報学部を設置するが、この地区は新潟駅を中心として、新潟市ソフトウェア産業協会会員企業が多く、また非加盟のＩＴ企業も米山キャンパスを含む新潟駅南地区に多く、このような環境を有する位置に設置することは臨地実務実習や企業との連携における利便性からも有意義であると考える。

しかし、中心市街地に位置するため、民間企業等の施設が集積し、既に高度に土地が利用されていることにより、適当な空地である土地を取得することが困難である。そのため校舎の1階学生ロビー（561.70㎡）並びに2階学生ロビー（271.71㎡）を開放的で多くの学生が休息その他に利用できる空間を用意し、必要な設備を

備える。なお、校舎の至近距離に公共の公園が二箇所あり、どちらも徒歩約 3 分の距離であるため多くの学生が利用可能である。

また米山キャンパスの 2 階には学生に食事提供ができる施設を設けているが、新潟駅より徒歩 5 分の至近距離に位置することから周辺にはカフェやファーストフード店、食堂が多くあり学生の食事には適した環境である。

2 キャンパスは、公共交通機関の利便性が高い中心市街地に設置することにより、自宅通学者の経済的負担を軽減し、自宅外通学者にとっても、アパートは中心都市部に集中しているため選択肢を広げることにも繋がる。さらに中心市街地に設置することは、社会人等の学び直し学生や科目履修生も通学し易い環境である。

また、教育課程や臨地実務実習で企業と連携する際にも郊外に設置するより、公共交通機関が集中する中心市街地に設置することにより機能性を高めることができる。

③　体育館その他のスポーツ施設

中心市街地に校舎を設置するため、民間企業等の施設が集積し、既に高度に土地が利用されていることにより体育館その他のスポーツ施設を備えることが困難である。体育館その他のスポーツ施設は備えないが、中心市街地に校舎を設置するため公共の体育施設（鳥屋野体育館、新潟市体育館）や民間スポーツ施設（nBb-1on1 in 新潟、マリンブルーテニススクール）が校舎から至近の距離にあり、公共の体育施設を本学の学生が利用する場合は、学生の申し出により、サークル活動などで本学が必要と認める場合は、施設利用料を本学が負担し、その他民間スポーツ施設については、本学と提携を結ぶ民間スポーツ施設には割引制度の設定を依頼することにより、学生の利用に際し経済的負担の軽減を図る。

また、この他、新潟市内の通信制私立高校開志学園高等学校の体育館を年間約 260 日間（平日の午前中 3 日間及び土曜日、日曜日の夜間 2 日間）は利用可能となる使用契約を締結する。

なお、本学の教育課程では「体育」に関する科目は設定せず「キャリアデザイン科目」の中で、社会人としての健康維持、体力づくりの大切さについて教育する。

＜代替施設の一覧表＞　　※①紫竹山キャンパス、②米山キャンパス

施設名	規模	※キャンパスからの距離	※キャンパスからの移動時間	学生の経済的負担軽減
鳥屋野体育館	・大体育館 ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙｺｰﾄ 2 面 ・中体育館 ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙｺｰﾄ 1 面 ・柔剣道室、弓道室 ・屋内 25m プール ・ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾙｰﾑ ・体操練習場	①から 0.6km ②から 2.2km	①より徒歩 7 分 ②より自転車 10 分	事前届出により施設利用料を本学が負担
新潟市体育館	・大体育館	①から 4.5km	①よりバス 30 分	事前届出により施設

	ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙｺｰﾄ 2 面 ・小体育館ﾚｽﾘﾝｸﾞ場 ・小体育館卓球台 7 台	②から 3.1km	（自家用車 10 分） ②よりバス 25 分 （自家用車 8 分）	利用料を本学が負担
nBb-1on1 in 新潟	・バスケットボール コート 1 面	①から 0.6km ②から 1.4km	①より徒歩 7 分 ②より自転車 7 分	特別割引制度の設定 依頼
マリンブルー テニススクール	・屋内テニスコート 6 面	①から 0.1km ②から 1.4km	①より徒歩 1 分 ②より自転車 7 分	特別割引制度の設定 依頼
開志学園高校 体育館	・バスケットボール コート 2 面	①から 4.5km ②から 4.3km	①よりバス 31 分 （自家用車 10 分） ②よりバス 33 分 （自家用車 10 分）	事前届出により施設 利用料を本学が負担

（2）校舎等施設の整備計画

1）校舎施設の整備計画

学生にとって学修に必要となる講義室、演習室、実験・実習室、学生自習室、学生控室はすべてのキャンパスに備える。講義室、演習室、実験・実習室は、主に収容人数 40 人前後の中教室とするが、一部、一括した講義に必要な大教室も各キャンパスに整備する。専任教員の研究室については、各キャンパスに十分な数を有し、学生が自由に学習等の相談ができる環境を確保する。各キャンパスに整備する施設は以下のとおりである。

① 紫竹山キャンパス

主に「事業創造学部」の教室等と「情報学部」の一部実験・実習室」を設置した校舎となり、また大学本部の機能が集約された校舎となる。

教室は、中教室（24～36 人）を 8 室、大教室（40 人以上）を 9 室設備する他、「情報学部」専用の特殊な実習室として完全に外部電波を遮断できるサイバーセキュリティ用の実験・実習室（40 人）を設置し、ハッキング及び防御の授業を可能とする。また、大教室は大学全体の他学部の学生が合同で講義や大講演会を開催することができる講義室（最大 384 人）とすることも可能とする。

さらに学生生活をサポートするために学生自習室、医務室、食堂を設置する。

大学本部の機能として、学長室、副学長室、学部長室、会議室、事務室を設置し、大学全体の統括を行う。

② 米山キャンパス

主に「情報学部」の教室等を設置する校舎となる。

教室は中教室（24～36 人）を 8 室、大教室（40 人以上）を 12 室設備する他、学生生活をサポートするために学生自習室、キャリアセンター、医務室、米山キャンパスの運営を行う事務室、学部長室を設置する。

情報学部はクラウド上に、教員用および大学・学部の共通用とは別に、学生個人向けの計算環境として、windows 搭載の仮想マシンおよび linux 搭載の仮想マシンを学生毎に整備する。米山キャンパス全域をカバーする無線 LAN を利用可能とし、将来的な通信トラフィックの増大に備えて学生向けに提供されるキャンパス LAN

を最大 400 名、一人当たり 5 デバイスを想定した帯域に耐えうる構成をベースとして整備する。

また、すべての演習室、実験・実習室において学生収容人数分のコンセントを用意し、演習、実習を行う際の電源環境を整備する。

さらに米山キャンパスは 3 階以上が 2 棟に分かれる 7 階建の構造であるため、学生の移動環境を整えるために各々2 基、合計 4 基のエレベーターを設置する。

2）教員並びに学生の研究環境

本学は専門分野における高度で実践的な専門性を身に付けると同時に、変化に対応する能力や生涯にわたり学び続ける力を備え、創造力と実践力をもって、新たな価値の創造を先導する人材を育成することにより、地域、日本、世界の発展に寄与することを目的としているが、大学体系に位置付く高等教育機関として、理論と実践を架橋する教育を行うため、教育研究の機関としての位置付けもある。そのため本学では教員並びに学生の教育研究のための環境として、専任教員である教授、准教授はすべて個室の研究室を設けることとし、講師、助教も個室の研究室又は共同研究室を設ける。また、助手についても共同研究室を設けるものとする。

紫竹山キャンパスは事業創造学部の個室研究室が 22 室、合同研究室 2 室であり、米山キャンパスは情報学部の個室研究室が 20 室、合同研究室 1 室となっている。

研究室のフロアーには無線 LAN、複合機が設置され、個室研究室には、事務机・事務椅子、書架、書類保管庫、FAX 付電話、ミーティング用テーブル、ミーティング用イス(8 脚)、ホワイトボード及び教員 1 人に対して 1 台のパソコンを設置することで、教員自身の研究のための施設としての機能の他、教員の研究室における学生への教育研究の指導も可能な環境を整える。学生への教育研究指導は個別指導の他、複数人(8 人)でのミーティングや議論、共同での教育研究指導も可能な研究室とする。

＜各キャンパスの研究室一覧表＞

<table>
<tr><th>キャンパス</th><th>階</th><th>名称</th><th>合計面積(㎡)</th><th>設備</th></tr>
<tr><td rowspan="4">紫竹山
キャンパス
(事業創造
学部)</td><td>6 階</td><td>個室研究室
18 室</td><td>340.56
(24.32 ㎡／人)</td><td rowspan="3">(各室共通)
事務机、事務椅子、書架、書類保管庫、FAX 付電話、ミーティング用テーブル、ミーティング用イス(8 脚)、ホワイトボード、パソコン</td></tr>
<tr><td></td><td>合同研究室
2 室(4 人)</td><td>62.22
(15.56 ㎡／人)</td></tr>
<tr><td>7 階</td><td>個室研究室
4 室</td><td>134.42
(33.61 ㎡／人)</td></tr>
<tr><td colspan="4">個室研究室の最大面積 35.10 ㎡／室（学部長用）
最小面積 16.98 ㎡／室</td></tr>
<tr><td rowspan="2">米山
キャンパス
(情報学部)</td><td rowspan="2">4 階</td><td>個室研究室
11 室</td><td>205.58
(18.69 ㎡／人)</td><td rowspan="2">(各室共通)
事務机、事務椅子、書架、書類保管庫、FAX 付電話、ミーティング用テーブル、ミーティング用イ</td></tr>
<tr><td>合同研究室 1 室
(助手 3 人)</td><td>22.33
(7.4 ㎡／人)</td></tr>
</table>

	5 階	個室研究室 9 室	184.77 (20.53 ㎡／人)	ス(8 脚)、ホワイトボード、パソコン
	個室研究室の最大面積 37.77 ㎡／室（学部長用） 最小面積 11.78 ㎡／室			

【資料 33】個室研究室レイアウト図

さらに紫竹山キャンパスは、教員が共同で活用できる教育研究用の部屋として「イノベーション力研究所 創業支援センター」（309.06 ㎡）を設け、「新たな事業開発の研究」を行うために、各分野の業界資料や資料整理用ラック、情報検索のための無線 LAN、複合機、情報検索用パソコン、ミーティングテーブル、ホワイトボードを設置している。この部屋は各教員の自己の研究分野の研究の他、「事業の創造」、「新たなモノの創造」、「新たなサービスの創造」の研究のための環境として整える。

また、学生個人または同じ志を持つ学生同士で自律・自立して学習や研究を行う能力や態度を養う場所としても設定しており、学生の研究活動を通して教員との議論や指導を行う場合にも有効に活用することで、学生の研究に対する支援を行うものとしている。そして、教員同士、教員と学生、または学生同士がお互いに議論することで「新たな価値の創造」の拠点となることを期待している。

米山キャンパスには、「開志未来創造研究センター」（169 ㎡）を設け、「ビックデータ解析の研究」のために、無線 LAN、データ分析用高性能サーバー、自発的啓発用学習ツール（インタラクティブ地球儀）、複合機、ミーティングテーブル、ホワイトボードを設置し、「情報技術を活用した新たな企画構想」、「データ解析及び分析」、「研究成果のプレゼンテーション」を教員同士、教員と学生、学生同士の共同で研究できる環境として整える。さらに将来的には企業との連携により、産学連携共同開発の拠点としても活用したいと考える。

また、7 階には IoT 実習室を設置し、IoT・ロボティクスの演習並びに実習施設であるとともに、教員の「新たな IoT 活用の研究」のための施設としても利活用する。

さらに、紫竹山キャンパスの「サイバーセキュリティ用実験・実習室」では、外部との通信を遮断した環境を整えることで、ハッキングのシミュレーションを可能とし、「セキュリティ対策の研究」を行う。基本的に常備する備品はなく、各人がパソコンを持ち込み教員同士、学生と教員、学生同士でのシミュレーションを通して研究活動を行う。

【資料 34】「イノベーション力研究所 創業支援センター」レイアウト図
「開志未来創造研究センター」レイアウト図
「IoT 実習室」レイアウト図

各キャンパスにはそれぞれ図書館及び図書室が校舎内に設置されているため、研究に必要な専門図書を必要な時に閲覧することも可能であり、また他のキャンパスの図書館及び図書室ともインターネットで繋がり、また蔵書検索システムを用いることで、教育研究に必要な図書検索並びに貸出を容易にする。

（３）図書等の資料および図書館の整備計画

紫竹山キャンパス内に、教育・研究に必要となる図書等を整備するために図書館を設ける。また、米山キャンパスは校舎内に図書室を設け、情報学部に関する専門図書を整備し、プログラム言語の発展が学習できる展示を行う。

紫竹山キャンパス内の図書館は全学部が共有で利用可能な施設として、1 階に書庫並びに図書閲覧席を設け、2 階には図書閲覧室兼レファレンスルームを設置する。閲覧座席数は 105 席であり、主に事業創造学部に関連する専門書および学術雑誌を主として整備し、教育・研究に資する。

開学当初に紫竹山キャンパスに整備する図書等は以下の通りである。

・基礎・教養分野：703 冊
・経営学分野：1,726 冊
（内国書 1,651 冊、外国書 55 冊、学術和雑誌 10 点、
学術洋雑誌 8 点(内電子ジャーナル 8 点)、視聴覚資料等 2 点）
・マーケティング分野：414 冊
（内国書 409 冊、外国書 1 冊、学術和雑誌 1 点
学術洋雑誌 3 点(内電子ジャーナル 3 点)）
・会計学分野：922 冊
（内国書 919 冊、外国書 2 冊、学術和雑誌 1 点）
・関連諸分野：251 冊
（内国書 245 冊、外国書 5 冊、学術和雑誌 1 点）

米山キャンパスに設置する図書室（162.38 ㎡）は情報学部に関する専門書および学術雑誌を主として整備し、閲覧座席数は情報学部の収容定員の 2 割にあたる 64 席設け、学生の自習にも利用可能とし、教育・研究に資する。

開学当初に米山キャンパスに整備する図書等は以下の通りである。

・基礎・教養分野：702 冊
・情報学分野：1,418 冊
（内国書 1,361 冊、外国書 38 冊、学術和雑誌 8 点、
学術洋雑誌 10 点(内電子ジャーナル 10 点)、視聴覚資料等 1 点）
・AI・IOT 応用分野：1,044 冊
（内国書 1,013 冊、外国書 20 冊、学術和雑誌 4 点、
学術洋雑誌 6 点(内電子ジャーナル 6 点)、視聴覚資料等 1 点）
・経営・マーケティング分野：474 冊
（内国書 469 冊、外国書 5 冊）
・関連諸分野：259 冊
（内国書 257 冊、外国書 1 冊、学術和雑誌 1 点）

【資料 35】図書リスト

開学後も年度別予算を活用して図書の充実を図る。開学後に図書購入費として、開学 1 年目に 40 万円、2 年目以降は 200 万円を予算計上する予定である。

さらにグループの大学では、新潟医療福祉大学では医療福祉分野の専門図書を中心に約 4 万冊、事業創造大学院大学では経営学や事業創造に関する分野の図書約 1 万冊、新潟食料農業大学では農業分野の専門図書を中心に約 7,500 冊の蔵書があり、教員の研究や学生の興味関心による学修や研究に必要な専門図書を無料で貸出閲覧できる環境を整える。

紫竹山キャンパスの図書館および米山キャンパスの図書室内は無線ＬＡＮ環境を整備し、図書等とあわせてインターネットによる情報収集を可能にする。なお、蔵書検索システムを用いることにより図書検索を容易にし、教育・研究に必要な図書を貸し出すものとする。

また、紫竹山キャンパスの図書館には、図書館司書を配置し、蔵書図書の管理並びに新書の購入、貸出・返却対応を行う。米山キャンパスの貸出・返却対応は、事務局で行う。

９．入学者選抜の概要

（１）基本方針

開志専門職大学における入学者選抜の基本方針は、入学志願者の大学教育を受けるに相応しい能力や適性等を多面的に判定し、公正かつ妥当な方法で実施するとともに、学部の目的、教育内容等に応じた入学者受入方針を明確にするとともに、これに基づき、入学後の教育との関連を十分に踏まえたうえで、入試方法の多様化、評価尺度の多元化に努めることとする。

（２）入学者の受入方針

１）事業創造学部

事業創造学部では、「職業人としての倫理観や道徳意識、起業家精神などを身に付け、起業家、事業承継者、企業内起業家として、事業活動や商品開発を行うために必要となる専門的な知識と能力に加えて、地域の魅力や特徴に関する知識を有し、地域の資源を新商品や新サービスに活用するための能力と消費者の視点に立って正しく問題を解決するための考え方を身に付けて、地域経済の活性化に貢献できる人材」を養成することから、この養成する人材の趣旨を実現するために必要な教育課程の編成としている。

このような事業創造学部における養成する人材や教育課程との関連性を踏まえて、入学者選抜の基本的な受入方針は、「経営学分野に対する強い興味と関心や学部教育に対する強い学習意欲を有しており、経営学分野の学部教育を受けるために必要となる基礎的な学力として、高等学校の主要科目における教科書レベルの基礎学力及び社会生活や職業生活で必要となる基本的な自己表現力を有している者」を受け入れることとする。

事業創造学部の具体的な受入方針は、以下の通りとする。

【入学者の受入方針】

①事業の創造や諸活動に対する興味と関心を有しているとともに、学部教育に対する強い学習意欲を有している。

②高等学校で履修した主要科目について、教科書レベルの基本的な知識を有し、基礎的な課題を解くことができる。
③自分の考えを口頭や文章により適切に表現することができ、他者に対して的確に伝えることができる。

なお、事業創造学部の入学者の受入方針に対する入学者選抜における判定方法について、「事業の創造や諸活動に対する強い興味と関心を有しているとともに、学部教育に対する強い学習意欲を有している」ことについては、書類審査、面接試験、学修計画書のいずれかにより判定する。

また、「高等学校で履修した主要科目について、教科書レベルの基本的な知識を有し、基礎的な課題を解くことができる」ことについては、書類審査又は学力検査のいずれかにより判定することとし、「自分の考えを口頭や文章により適切に表現することができ、他者に対して的確に伝えることができる」ことについては、書類審査、面接試験、学修計画書のいずれかにより判定することとしている。

2）情報学部

情報学部では、「職業人としての職業観や倫理観、豊かな人間性とともに、情報技術者としての専門的な知識や技能と実際に活用する能力に加え、地域社会や産業界を取り巻く現状に関する知識を有し、正しく問題を解決するための考え方とユーザーの視点に立った新商品や新サービスを企画・開発するための基礎的な能力を身に付けて、地域社会の情報化に貢献できる人材」を養成することから、この養成する人材の趣旨を実現するために必要な教育課程の編成としている。

このような情報学部における養成する人材や教育課程との関連性を踏まえて、入学者選抜の基本的な受入方針は、「情報分野に対する強い興味と関心及び学部教育に対する強い学習意欲を有しており、情報分野の学部教育を受けるために必要となる基礎的な学力として、高等学校の主要科目における教科書レベルの基礎学力及び社会生活や職業生活で必要となる基本的な自己表現力を有している者」を受け入れることとする。

なお、情報学部では、情報分野に関する学部教育を学ぶうえで必要となる数学に関する基礎学力を有していることについて、書類審査又は学力検査において判定することとしている。

情報学部の具体的な受入方針は、以下の通りとする。

【入学者の受入方針】

①情報分野に対する強い興味と関心を有しているとともに、学部教育に対する強い学習意欲を有している。
②高等学校で履修した主要科目について、教科書レベルの基本的な知識を有し、基礎的な課題を解くことができる。
③自分の考えを口頭や文章により適切に表現することができ、他者に対して的確に伝えることができる。

なお、情報学部の入学者の受入方針に対する入学者選抜における判定方法について、「情報分野に対する強い興味と関心を有しているとともに、学部教育に対する強い学習意欲を有している」ことについては、書類審査、面接試験、学修計画書のいずれかにより判定する。

また、「高等学校で履修した主要科目について、教科書レベルの基本的な知識を有し、基礎的な課題を解くことができる」ことについては、書類審査又は学力検査のいずれかにより判定することとし、「自分の考えを口頭や文章により適切に表現することができ、他者に対して自分の考えを的確に伝えることができる」ことについては、書類審査、面接試験、学修計画書のいずれかにより判定することとしている。

（3）選抜方法

1）実施方法及び定員割合

入学者選抜の実施方法は、学部における入学者選抜の受入方針を踏まえたうえで、特別選抜試験と一般選抜試験により実施するとともに、特別選抜試験においては、評価尺度の多元化を推進することから、指定校推薦選抜及び公募推薦選抜、アドミッション・オフィス選抜により実施する。

なお、特別選抜試験と一般選抜試験の募集定員の割合については、以下のとおりとする。

事業創造学部では、特別選抜試験の募集定員を 70 名、一般選抜試験による募集定員を 10 名とし、特別選抜試験の指定校推薦選抜、公募推薦選抜、アドミッション・オフィス選抜の募集定員については、大学入学者選抜実施要項に定める大学における推薦入試の募集人員を踏まえたうえで、特別選抜試験の募集定員 70 名うち、指定校推薦選抜の募集定員 20 名、公募推薦選抜の募集定員 10 名、アドミッション・オフィス選抜の募集定員 40 名とする。

情報学部では、特別選抜試験の募集定員を 70 名、一般選抜試験による募集定員を 10 名とし、特別選抜試験の指定校推薦選抜、公募推薦選抜、アドミッション・オフィス選抜の募集定員については、大学入学者選抜実施要項に定める大学における推薦入試の募集人員を踏まえたうえで、特別選抜試験の募集定員 70 名うち、指定校推薦選抜の募集定員 20 名、公募推薦選抜の募集定員 10 名、アドミッション・オフィス選抜の募集定員 40 名とする。

2）指定校推薦選抜及び公募推薦選抜

特別選抜試験における指定校推薦選抜及び公募推薦選抜は、出身高等学校長の推薦に基づき、学力試験を免除し、調査書を主な資料として判定することとし、学部において求める学生像と入学志願者に求める能力や適性等に基づき、調査書、面接試験、論文試験を課すことにより、入学志願者の能力、適性、意欲、関心等を多面的かつ総合的に評価する。

3）アドミッション・オフィス選抜

アドミッション・オフィス選抜は、詳細な書類審査と時間を掛けた丁寧な面接を組み合わせることにより、入学志願者の学部教育を受けるための適性や学部教育に対する学習意欲、目的意識等を総合的に判定することとしており、アドミッション・オフィス選抜を受験する者に対して、調査票、自己推薦書、志望動機書、学修計画書を求めることとする。

志望動機書は、当該学部を志望する理由及び将来の希望進路などについて記載さ

せることとしており、自己推薦書は、生徒活動や部活動の役員歴、部活動や課外活動などの活動実績、取得資格、留学や渡航経験、自己の長所や短所などについて記載させることとしている。

学修計画書は、志願者本人が志望動機書に記載した将来の希望進路を実現するために、当該学部の特色をふまえてどのような知識や能力を身に付けたいのか、その学修の計画について記載させることとする。

このことにより、当該学部の教育内容と志願者が求める学習内容とに齟齬がないかを見極めるとともに、当該学部の教育に対する興味と関心の度合いや学習意欲についてアドミッション・ポリシーに照らして判定するため、出願書類の評価内容の一部として使用する。

アドミッション・オフィス選抜における学修計画書で求める具体的な記載内容は、以下の通りとしている。

1　志望動機書に記載した将来の目標について
2　将来の目標を実現するために、身に付けたい「知識」「能力」について
3　当該「知識」「能力」を身に付けるために、どのような学習をしたいのか、その計画について

なお、入学手続きをとった者に対しては、出身高等学校と協力しつつ、入学までに取り組むべき課題を課すなど、入学後の学習のための準備を予め用意することとする。

4）一般選抜試験

一般選抜試験は、学力試験として必修科目1科目と選択科目1科目を課す。

事業創造学部

必修科目：国語
選択科目：英語、数学Ⅰ・A、簿記会計、世界史、日本史、地理、現代社会から1科目

情報学部

必修科目：数学Ⅰ・A
選択科目：国語、英語、世界史、日本史、地理、現代社会、簿記会計から1科目

入学志願者の学習能力をできる限り合理的に判定することができるように出題方針を立てるとともに、学力試験に合格した者に対して、面接試験を課すことにより、入学者の受入方針に基づく、学ぶ意欲や関心、適性等を適切に判断することとしている。

（4）選抜体制

入学者選抜の実施体制は、入学者選抜は、中立・公正に実施することを旨とし、入試問題の漏洩など入学者選抜の信頼性を損なう事態が生じることのないように、学長を中心とする責任体制の明確化、入試担当教職員の選任における適格性の確保、研修の実施など実施体制の充実を図るとともに、教員や職員等の関係者が一体となり、全学的な連携体制の確立に努める。

試験問題の作成においては、チェック体制を不断に点検するとともに、作題者以

外の者を含めた重層な点検を行うことにより、ミスの防止と早期発見に努めることとし、合格者の決定業務においては、電算処理や解答のチェック体制を確立し、点検・確認するとともに、追加合格の決定業務についても、マニュアルを作成するなど、実施体制及び決定手続きを明確にする。

入学志願者の氏名や住所等、選抜を通じて取得した個人情報については、漏洩や選抜以外の目的の利用がないよう、その保護に十分留意しつつ、適切な取り扱いに努めるとともに、入学者選抜の実施に係るミスの防止に努めるため、入学者選抜業務のプロセス全体を把握したうえで、ミスを防止するためのガイドラインの作成により、業務全体のチェック体制を確立する。

（５）社会人や留学生の入学に関する考え方

社会人や留学生の入学に関する考え方については、専門職大学としての入学者の多様性に配慮した入学者選抜の観点から、社会人や留学生についても入学者の対象として受入れることとしているが、完成年度までの間は社会人や留学生の定員枠の設定や社会人や留学生に特化した入学者選抜の設定は行わず、一般選抜試験の定員枠の中で、一般選抜試験の選抜方法により受入れることとし、入学後の履修等においても一般学生と同じ条件のもとに学修が可能な者について受入れることとする。

留学生を入学者として受け入れる際の一般学生と同じ条件のもとに学修が可能とする日本語能力の基準は、日本語能力試験Ｎ２以上の資格に相当する日本語能力を有する者、又は日本留学試験の日本語科目（読解、聴解及び聴読解）において２００点以上に相当する日本語能力を有する者とし、学生募集要項に明記する。

留学生の入学志願者に対しては、他の入学志願者と同様に詳細な書類審査と時間を掛けた丁寧な面接を行うことにより、一般学生と同じ条件のもとに学修が可能な者かどうか日本語能力の習得状況を見極めることとし、入学志願者の学部教育を受けるための適性や学部教育に対する学習意欲、目的意識等を総合的に判定することとする。

社会人の定員枠の設定や社会人に特化した入学者選抜を実施する場合には、実務の経験を有する者を受入れる場合の当該実務経験を通じた能力の修得を勘案した既修得単位の設定や一定期間を修業年限に通算できる仕組みの導入など、社会人の入学者選抜の制度について明確にする必要がある。

同様に、留学生の定員枠の設定や留学生に特化した入学者選抜を実施する場合には、留学生を受入れる各国の学事歴を踏まえた受験日程、日本語能力や学歴評価・認証制度、留学生受入後の住宅問題をはじめとする生活支援や経済支援など、きめ細かな受入れ体制について整備をする必要がある。

本学では、今般、新たな大学制度としての専門職大学を設置することから、開設年度から完成年度までの間に、専門職大学としての大学運営の基礎を構築するとともに、大学教育の継続性の観点から、教育内容や教育環境の基盤を形成する期間として位置付けることとしている。

このことから、社会人や留学生の定員枠の設定や社会人や留学生に特化した入学者選抜の実施については、専門職大学開学後、教育内容や教育環境の基盤形成と併せて、地域社会のニーズや入学対象とする社会人や留学生の動向等を見極めつつ、継続的かつ安定的に社会人や留学生を受入れるための教育環境や教育体制の整備

について検討する。

１０．取得可能な資格

本学各学部の教育課程を履修することで、取得の可能性のある資格は下記の通りであり、授業で得た知識を活用して、積極的に資格試験を受験するように指導するとともに、希望者には教育課程外にて受験対策の支援をする。

（1）事業創造学部

資格名称	経営学検定		
主催団体	一般社団法人日本経営協会		
試験内容	経営学検定試験は、経営に関する基礎的・専門的知識やその応用能力としての経営管理能力や問題解決能力が一定水準に達していることを全国レベルで資格認定する検定試験である。		
対応する授業科目	経営学の基礎	経営戦略論	経営組織論
	グローバル社長学	アントレプレナーシップ論	実践事業承継

資格名称	内閣府認定「マーケティング検定」	
主催団体	公益社団法人日本マーケティング協会	
試験内容	マーケティングに関する重要な概念（基本概念、市場環境、マーケティング戦略、マーケティング・リサーチ、消費者行動、製品戦略、価格戦略、コミュニケーション戦略、チャネル戦略、サービス・マーケティング）の基礎・応用問題である。	
対応する授業科目	マーケティング	デジタルマーケティング
	消費者行動研究	流通論の基礎
	ビジネスコミュニケーション	

資格名称	簿記検定	
主催団体	日本商工会議所	
試験内容	ビジネスパーソンに必須の基本知識。経理・財務担当以外でも、職種にかかわらず評価する企業が多い。 基本的な商業簿記を修得し、経理関連書類の適切な処理や青色申告書類の作成など、初歩的な実務がある程度できる。 小規模企業の経理事務に役立つ資格である。	
対応する授業科目	会計学	財務諸表論
	簿記概論	簿記演習

資格名称	中小企業診断士試験
主催団体	経済産業大臣指定試験期間　一般社団法人中小企業診断協会
試験内容	中小企業診断士となるために必要な学識を有するかどうかを判定することを目的とした試験であり、試験科目は、経済学・経済政策、財務・会計、企業経営理論、運営管理、経営法務、経営情報システム、中小企業経営・中小企業政策である。

対応する授業科目	現代経済学	経済学の基礎	会計学
	財務諸表論	財務諸表分析	簿記概論
	経営戦略論	経営組織論	マーケティング
	流通論の基礎	消費者行動研究	実践日本ビジネス法
	ICT 活用ビジネス	地域経済産業論	実践ベンチャービジネス
	ビジネスモデル研究	地域産業研究Ⅳ(ものづくり)	
教育課程外で対策が必要な内容 経営情報システムの科目に対する対策が必要である。			

（2）情報学部

資格名称	IT パスポート試験	
主催団体	独立行政法人情報処理推進機構	
試験内容	「情報処理の促進に関する法律」に基づき経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が以下の水準であることを認定する国家試験である。 職業人として、情報機器及びシステムの把握や、担当業務の遂行及びシステム化を推進するための基礎的な知識が認定される。	
対応する授業科目	コンピュータアーキテクチャ	オペレーティングシステム
	システムモデリング	データ構造とアルゴリズム
	情報セキュリティ	情報通信ネットワーク

資格名称	情報セキュリティマネジメント試験	
主催団体	独立行政法人情報処理推進機構	
試験内容	「情報処理の促進に関する法律」に基づき経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が以下の水準であることを認定する国家試験である。 情報システムの利用部門において情報セキュリティが確保された状況を実現し、維持・改善するための知識・技能が認定される。	
対応する授業科目	コンピュータアーキテクチャ	オペレーティングシステム
	システムモデリング	情報セキュリティ
	ICT 演習（セキュリティ）	情報通信ネットワーク

資格名称	基本情報技術者試験
主催団体	独立行政法人情報処理推進機構
試験内容	「情報処理の促進に関する法律」に基づき経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が以下の水準であることを認定する国家試験である。 情報技術を活用した戦略立案に関し、業種・業務に関する基本的な事項を理解し、担当業務に活用できる知識・技能が認定される。 システムの設計・開発・運用に関し、情報技術全般に関する基本的

	な事項を理解し、上位者の指導の下に、システムの設計・開発・運用ができる知識・技能が認定される。	
対応する授業科目	ICT 演習（基本情報）	情報通信ネットワーク
	コンピュータアーキテクチャ	ネットワーク演習
	オペレーティングシステム	システムモデリング
	データ構造とアルゴリズム	線形代数
	プログラミングⅠ	情報セキュリティ
	プログラミングⅡ	情報と法律
	データベース演習	情報と経営

資格名称	応用情報技術者試験	
主催団体	独立行政法人情報処理推進機構	
試験内容	「情報処理の促進に関する法律」に基づき経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が以下の水準であることを認定する国家試験である。 情報技術を活用した戦略立案に関し、経営戦略・情報戦略の策定に際して、経営者の方針を理解し、経営を取り巻く外部環境を正確に捉え、動向や事例を収集できる知識・技能が認定される。 システムの設計・開発・運用に関し、情報システム、ネットワーク、データベース、組込みシステムなどの設計・開発・運用・保守において、上位者の方針を理解し、自ら技術的問題を解決できる知識・技能が認定される。	
対応する授業科目	ICT 演習（応用情報）	ネットワーク演習
	コンピュータアーキテクチャ	線形代数
	オペレーティングシステム	システムモデリング
	データ構造とアルゴリズム	微分積分
	確率論	プログラミングⅠ
	情報セキュリティ	データベース演習
	情報と法律	情報通信ネットワーク
	情報と経営	

資格名称	データベーススペシャリスト試験	
主催団体	独立行政法人情報処理推進機構	
試験内容	「情報処理の促進に関する法律」に基づき経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が以下の水準であることを認定する国家試験である。 高品質なデータベースを企画、要件定義、開発、運用、保守するため、データベース技術の動向を広く見通し、目的に応じて適用可能な知識・実践能力が認定される。	
対応する	ICT 演習（データベーススペシ	線形代数

授業科目	ャリスト)	
	コンピュータアーキテクチャ	情報セキュリティ
	オペレーティングシステム	システムモデリング
	プログラミングⅡ	サイバーセキュリティ実習
	ＡＰＩ実習	情報と法律
	データ構造とアルゴリズム	情報と経営
	情報と倫理	データベース演習
	ネットワークプログラミング実習	

資格名称	エンベデッドシステムスペシャリスト試験	
主催団体	独立行政法人情報処理推進機構	
試験内容	「情報処理の促進に関する法律」に基づき経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が以下の水準であることを認定する国家試験である。 要求される機能、性能、品質、信頼性、セキュリティなどをハードウェアへの要求とソフトウェアへの要求に適切に分解し、最適な組込みシステムとして実現するための知識・実践能力が認定される。	
対応する授業科目	ICT 演習(組込システム)	線形代数
	コンピュータアーキテクチャ	情報セキュリティ
	オペレーティングシステム	システムモデリング
	プログラミングⅡ	サイバーセキュリティ実習
	ＡＰＩ実習	情報と法律
	データベース演習	情報と経営
	ネットワークプログラミング実習	情報と倫理
	ＩｏＴ演習	ＩｏＴ実習

資格名称	情報処理安全確保支援士試験	
主催団体	独立行政法人情報処理推進機構	
試験内容	情報処理安全確保支援士は、情報処理安全確保支援士の名称を用いて、サイバーセキュリティに関する相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行うとともに、必要に応じその取組の実施の状況についての調査、分析及び評価を行い、その結果に基づき指導及び助言を行うこと、その他事業者その他の電子計算機を利用する者のサイバーセキュリティの確保を支援することを業とするものの能力を認定する。	
対応する授業科目	ICT 演習（セキュリティスペシャリスト）	情報セキュリティ
	コンピュータアーキテクチャ	サイバーセキュリティ演習

	オペレーティングシステム	サイバーセキュリティ実習
	データ構造とアルゴリズム	システムモデリング
	データベース演習	情報と法律
	ネットワークプログラミング実習	情報と経営
	線形代数	情報と倫理
	微分積分	ＡＰＩ実習
	確率論	

資格名称	CompTIA A+	
主催団体	CompTIA	
試験内容	CompTIA A+は、ビジネス環境の中でも最も利用頻度の高い PC/モバイルといった「ポスト PC」環境である IT のハードウェア/ソフトウェアを理解し、より複雑な IT 環境をサポートする際に必要となるスキルと知識を評価する認定資格である。	
対応する授業科目	ICT 演習(ハードウェア/ソフトウェア)	コンピュータアーキテクチャ
	システムモデリング	オペレーティングシステム
	データ構造とアルゴリズム	

資格名称	CompTIA Cloud+	
主催団体	CompTIA	
試験内容	CompTIA Cloud+認定資格は、クラウドの運用やクラウドサービスの提供など、クラウド環境で業務を実行する IT エンジニアが必要とされるスキルとベストプラクティスへの理解を評価する認定資格である。	
対応する授業科目	ICT 演習（クラウド）	情報通信ネットワーク
	クラウド技術概論	コンピュータアーキテクチャ
	システムモデリング	オペレーティングシステム

資格名称	CompTIA Security+	
主催団体	CompTIA	
試験内容	CompTIA Security+認定資格試験に合格することで、アプリケーション、ネットワーク、デバイスのセキュリティを確保するために必要なシステムのインストールと設定、プラットフォームへの脅威を分析して適切な手法で緩和する対応、関連するポリシーや法規制を正しく認識した運用を行うために必要な知識とスキルを証明する。また、これらのタスクを、機密性、完全性、可用性の三大要件を維持し実行が可能なスキルを証明する。	
対応する	ICT 演習（セキュリティ）	情報通信ネットワーク

授業科目	情報セキュリティ	コンピュータアーキテクチャ
	システムモデリング	オペレーティングシステム

資格名称	IoT 検定レベル１試験　プロフェッショナル・コーディネータ	
主催団体	IoT 検定制度委員会	
試験内容	IoT を活用したビジネスを企画・遂行するために必要な、「IoT 技術全体を俯瞰し設計する能力」を有しており、プロジェクト推進者としてプロジェクト参加者に対して適切なコミュニケーションを行うことができる力を認定する。	
対応する授業科目	ICT 演習（IoT）	ネットワーク演習
	ＩｏＴ演習	サイバーフィジカルシステム基礎

資格名称	JDLA Deep Learning for GENERAL	
主催団体	一般社団法人日本ディープラーニング協会	
試験内容	ディープラーニングの基礎知識を有し、適切な活用方針を決定して事業応用する能力を持つ人材であり、ディープラーニングを事業に活かすための知識を有しているかを認定する。	
対応する授業科目	ICT 演習（マシンラーニング）	統計学
	情報科学基礎	マシンラーニング
	知識表現・知識処理	マシンラーニング実習

資格名称	JDLA Deep Learning for ENGINEER	
主催団体	一般社団法人日本ディープラーニング協会	
試験内容	ディープラーニングの理論を理解し、適切な手法を選択して実装する能力を持つ人材であり、ディープラーニングを実装するエンジニアの技能を認定する。	
対応する授業科目	情報科学基礎	知識表現・知識処理
	データサイエンス演習	データサイエンス実習
	マシンラーニング	マシンラーニング実習

１１．実習の具体的計画

（１）臨地実務実習の目的

臨地実務実習の目的は、段階的に学生の勤労観・職業観を育み、多種の企業内部門業務を実践することで自身の職業適性を認識させ、不足部分は職業専門科目との連携により、産業界等に求められる人材へと成長していくことと考える。

ディプロマ・ポリシーにおける臨地実務実習の効果は、高度な実践力を身に付けることにあるが、臨地実務実習の全体を通して、主体性や課題発見力、発信力等の社会人基礎力の育成の大きな役割も果たす。

臨地実務実習は１年次から３年次まで複数回に分けて実施するが、毎回、臨地実務実習の心構え・実習の目的・求められる成果を、オリエンテーションとする事前指導

として実施し、実習終了後に臨地実務実習報告会とする事後指導による振り返りとレポート提出を求める。併せて個別面談を実施し、企業からの評価に基づいて、フィードバック指導を行う。

臨地実務実習は、科目ごとにどのような能力を獲得させるのか実習の目的を明確にして、学内の講義・演習・実習で身に付けた知識・技術を実際の企業現場で実習を行うことで実践力の向上を図る。

1）事業創造学部

事業創造学部における臨地実務実習は、ビジネス現場における新規事業開発者として必要となる経営学の理論に基づく実践力を養成するために「企業内実習Ⅰ」、「企業内実習Ⅱ」、「企業内実習Ⅲ」においては、事業活動や商品開発を行うための主な活動の場となる経営分野に関する理解と実践力を養成する実習とし、「新規商品開発・販売実習Ⅰ」、「新規商品開発・販売実習Ⅱ」は新商品や新サービスに活用するための能力と消費者の視点に立って正しく問題を解決するための考え方を身に付けるための実習として位置付けられる。科目毎の実習内容及び到達目標は以下の通りである。また、臨地実務実習の実施に関する詳細な計画書として、「臨地実務実習実施計画（事業創造学部)」にて示すものとする。

【資料 36】 臨地実務実習実施計画（事業創造学部）

① 企業内実習Ⅰ

ビジネス現場における他者との相互理解や円滑に仕事を進めるうえで信頼関係を築くことの重要性について、実際の企業現場で業務を体験することで理解し、企業活動における報告・連絡・相談の必要性や社会人としての身だしなみ・マナーについてもその能力と態度を身に付ける。

実習先企業の事業内容が地域社会に果たす役割や企業人としての責任の自覚や他者と協調・協働して行動することの大切さを理解し、企業活動について考察する態度を身に付ける。

[到達目標]

A．知識・理解

・実習先企業の企業組織の持つ特徴を理解している。
・実習先の企業の経営理念を踏まえ、社会的な役割、使命を説明できる。
・実習先の企業の各部署の役割、仕事内容を説明できる。
・実習先の企業の事業の概要、顧客価値について説明できる。

B．技能

・状況に応じて適切な敬語の使い分けをすることができる。
・パソコンを活用し、簡単なビジネス文章を作成できる。
・周囲の状況を踏まえた発言・行動をとることができる。
・説明する相手に対して、「何を」「どこまで説明するのか」や発表する時間と内容バランス、重要なことを踏まえた発言・行動を実践できる。

C．志向・態度

・法令や職場のルール、慣行などを順守している
・出勤時間、約束時間などの定刻前に到着する等、不測の事態に備えた行動を

意識している。
・社会人として求められる能力と自身を把握し、分析し、その状況を認識しようとしている。
・相手に興味・関心を強く持ち、相手の心理を読み取ろうとしている。
・聞き方のポイントを押さえ、また、分かりやすく話そうとしている。

② 新規商品開発・販売実習Ⅰ

実習先企業の商品やサービスの販売体験を行い、そこから見えてくる課題を抽出し、自社の商品やサービスについて、新しいマーケットやターゲットを選定するための手法、そのターゲットに対するアプローチの手法、その成果を分析する手法等の新規商品開発及び販売計画の策定について、実際の企業現場で企画部署や経営管理者とのミーティングにより考察を重ね、グループワークにて他者と協働し新規企画を立案し、実習先企業へのプレゼンテーションを体験することで、新たなモノやサービスを創り出す創造力と実践的な態度を身に付ける。

[到達目標]

A．知識・理解
・市場環境の情報収集や分析手法（市場の成長性・トレンド・ニーズ）を理解し、説明できる。
・マーケティングコンセプト（セグメンテーション・ターゲティング・ポジショニング）について理解し、説明できる。
・商品アイデア（商品コンセプト）と経営資源（生産・技術・供給・流通等）との関係性について理解し、説明できる。
・新規商品開発に必要なしくみや用語を理解し、説明できる。
・新規商品販売に必要なしくみや用語を理解し、説明できる。

B．技能
・新規商品開発・販売計画について、基本的なマーケティングの理論を踏まえた計画の概要を策定することができる。
・策定した計画の概要を聞き手にわかりやすく、また、重要となるポイントを明確かつ正確に伝えることができる。
・実行した成果に対して客観的に評価・分析し、課題を抽出することができる。

C．志向・態度
・市場の変化、動向に幅広い関心を持ち、高いチャレンジ精神を持とうとしている。
・新しい商品開発・販売に関しての必要性を認識し、情熱をもって取り組もうとしている。
・策定した計画の実行について、根気強い努力を継続しようとしている。

③ 企業内実習Ⅱ

実習先企業の市場における企業価値や業界でのポジショニングを認識し、企業経営者のリーダーシップ、経営目標の設定や行動計画の策定、経営判断の考え方、経営課題への取り組み方などを実際の業務や経営管理者とのミーティングを通

して考察することにより、経営課題を踏まえた目標設定や行動計画を策定し、実習先企業へのプレゼンテーションを体験することで、地域産業の振興や活性化を推進するための創造的な能力と実践的な態度を身に付けるとともに経営者マインドを醸成する。

[到達目標]

A．知識・理解

・実習先企業の業態(商品の売り方・サービスの提供方法など)を理解している。
・実習先企業の企業経営者のリーダーシップの取り方における重要となる要素（思考力、行動力、人間力、折衝力）を理解している。
・実習先企業の経営課題を設定するまでに検討が必要な要素、過程を理解している。
・実習先企業の経営目標の設定、経営戦略、アクションプランを策定するまでの過程を理解している。

B．技能

・経営課題を踏まえた目標設定とその課題を克服するためのプランを策定することができる。
・誰に対して、どこまで説明するのか、発表する時間と内容バランス、大切なことと削除して良い事を区分できるかなどを実践できる。
・経営のあるべき姿の視点から事業の成長や利益の確保に向けた改善案を提案できる。
・顧客の視点から消費者や取引先にとっての魅力や評価の向上を理解し、改善案を提案できる。
・業務プロセスの視点から社内オペレーションや営業などにおける改善案を提案できる。

C．志向・態度

・仕事を効率的に進められるように、作業の工夫や改善に取り組んでいる。
・必要性に気づいたら、人に指摘される前に行動に移している。
・より良いアイデアを追求し、周囲に意見を述べている。
・相手の心情を配慮し、適切な態度や言葉遣い、姿勢で依頼や折衝をしている。
・相手に興味・関心を強く持ち、相手の心理を読み取ろうとしている。
・聞き方のポイントを押さえ、また、分かりやすく話そうとしている。

④　新規商品開発・販売実習Ⅱ

実習先企業の商品やサービスの販売体験やニーズヒアリングを行い、様々な調査や分析を行い、新商品や新サービスの開発を提案する。さらに、ここまでに身に付けた経営、会計、マーケティングの知識を総合し、実際の販売ベースに乗せる商品化されるまでの販売計画を立案し、実習先企業へのプレゼンテーションを体験することで、新たな事業の創造と発展を担うための実践的かつ応用的な能力を身に付ける。

[到達目標]

A．知識・理解

・市場環境の情報収集・分析手法（市場の成長性・トレンド・ニーズ）を理解

し、説明できる。
・マーケティングコンセプト（セグメンテーション・ターゲティング・ポジショニング）について理解し、説明できる　。
・商品アイデア（商品コンセプト）と経営資源（生産・技術・供給・流通等）との関係性について理解し、説明できる。
・新規商品の開発に必要な工程を理解し、説明できる。
・新規商品を販売するために必要となるしくみを理解し、説明できる。

B．技能
・新規商品開発・販売計画について、マーケティングと基本的な会計の理論を踏まえた一貫性のある販売計画を策定することができる。
・策定した販売計画を聞き手にわかりやすく、また、重要となるポイントを明確かつ正確に伝えることができる。
・実行した成果に対して客観的に評価・分析し、課題を抽出したうえで、その課題に対する対策案を立てることができる。

C．志向・態度
・市場の変化、動向に幅広い関心を持ち、高いチャレンジ精神を持とうとしている。
・新しい商品開発・販売に関しての必要性を認識し、情熱をもって取り組もうとしている。
・策定した計画の実行について、根気強い努力を継続しようとしている。

⑤　企業内実習Ⅲ

実習先企業の事業内容、社会的役割を理解し、業務現場の見学やヒアリング、実際の業務体験を通して自社の事業状況、自社の強みや弱みを把握し、業界事情の分析、市場の分析、競合他社の分析、社会環境の分析を踏まえて、実習先企業の抱える課題を認識し、課題の解決のための方策を考察する。この際、課題抽出のため、ここまでに学んだ経営戦略や経営組織の理解、トップマネジメントの理解、会計・財務に関する理論を総合的に活用し、課題解決策を企画提案書としてまとめ、実習先企業へのプレゼンテーションを体験することで、地域産業の振興や活性化を推進するための創造的な能力と実践的な態度を身に付ける。

【到達目標】

A．知識・理解
・実習先企業の経営活動及び、経営戦略・方針や経営組織の役割を理解している。
・トップマネジメントに必要となる経営管理に必要な知識を理解している。
・会計、財務に関する基本的な理論を理解している。

B．技能
・実習先の経営課題を論理的な思考に基づき、抽出したうえで、経営戦略を踏まえた目標設定とその課題解決に向けた方策を策定することができる。
・企業内実習Ⅰ・Ⅱ、新規商品開発・販売実習Ⅰ・Ⅱにて修得した技能を応用し、実践することができる。
・実習先企業の経営課題を踏まえて、経営戦略や経営組織の理解、トップマネ

ジメントの理解、会計・財務に関する理論を総合的に活用して解決策を提案書にまとめることができる。
・実習先企業の経営課題とその対策について、わかりやすくプレゼンテーションすることができる。

C．志向・態度
・指示された目的・目標に向かって諦めずに最後まで努力しようとしている。
・企業人として求められる能力を意識しながら、自己の改善を試みようとしている。
・変化する社会の動向に広く関心をもち、変化に対応する力・行動・考え方を意識しながら、柔軟に対応しようと心掛けている。
・価値観の異なる他者と協働し、互いに貢献し合いながらチームとして成果を生み出すことの意義を理解し、実践しようとしている。

2）情報学部

情報学部における臨地実務実習は、企業活動の理解に加え、データの流れから見える課題を把握し自ら考える習慣を身につけ、様々な観点からその解決法を考察し、整理されたデータから、課題解決を焦点化する態度と技法を理解するとともに、データを可視化し、課題解決手法を広く一般に周知する技法を身に付けるための実習となる「臨地実務実習Ⅰ」と、企業の入手したデータを整理し、整理されたデータを解析することで、データの有意な規則性を発見する技法を理解し、そこから課題を発見し、課題解決策や新たなモノやサービスを計画、設計、実装、検証することで創造的な能力と実践的な態度を身に付けるとともに、事業活動をチームで推進していく上で重要となるコミュニケーションの取り方や、共同作業等を通して、その解決法を考え、それを計画的・論理的に実行し情報技術を活用した課題を解決する課題解決能力を養うための実習となる「臨地実務実習Ⅱ」より構成される。科目毎の実習内容及び到達目標は以下の通りである。

また、臨地実務実習の実施に関する詳細な計画書として、「臨地実務実習実施計画（情報学部）」にて示すものとする。

【資料 37】 臨地実務実習実施計画（情報学部）

① 臨地実務実習Ⅰ

専門職種の理解を深め、地域の企業や団体、商店街が抱える課題に主体的に取り組み、学内で身に付けた情報技術による課題解決策を提案するまでの過程を学修する。臨地実習先の業務を調査・研究し、生産性・効率性を向上する計画等を立案し、提案を行うことについて学修する。

具体的には、実習先企業の業務内容を理解し、他者と協力してデータの流れ（入手、加工、保管）から見える課題を把握しその解決法を考察する。実際にデータの入手、保管、整理、加工、分析、可視化を体験することで、課題を解決して、生産性・効率性を向上させる計画を立案・提案することで課題解決法を考察する態度と技術を理解する。

【到達目標】

A．知識・理解
・実習先企業の企業組織の持つ経営理念・方針等の特徴を理解している。

・実習先企業の経営理念を踏まえ、社会的役割・使命を理解し、説明することができる。
・既知の問題が与えられた中で、必要なデータが何なのかを理解している。

B．技能

・形式が異なる多くのデータを統一的に保管することができる。
・課題に応じたサンプルの抽出ができる。
・必要に応じデータの抽出、グラフ作成を正しく行うことができる。

C．志向・態度

・課題の解決・検討に必要なデータが何なのかを最後まで諦めずに模索しようとしている。
・扱っている課題領域における、基本的な課題の枠組みをする必要性を理解し、指示・命令を実行しようとしている。
・より効果的なプレゼンテーションを実施するために、事前準備の必要性を理解したうえで、様々な工夫を心掛けている。

② 臨地実務実習Ⅱ

専門職種の理解を深め、地域の企業や団体、商店街が抱える課題に主体的に取り組み、情報技術と連動させ、新たな課題解決策の提案や、臨地実習先の業務を調査・研究し、新たなモノやサービスを計画、設計、実装、検証する一連の流れを学修する。

具体的には、企業の入手したデータを整理し、整理されたデータを解析することで、データの有意な規則性を発見する技法を理解し、そこから課題を発見し、課題解決策や新たなモノやサービスを計画、設計、実装、検証することで創造的な能力と実践的な態度を身に付ける。

【到達目標】

A．知識・理解

・実習先企業の業態(サービスの提供方法など)および顧客価値を理解している。
・扱っている課題領域において、課題が何なのか理解している。
・ビジネス活動における論理と各種データの関連性を理解し、その重要性を理解している。

B．技能

・情報システムのデザイン（計画、設計、管理）とその具現化ができる。
・開発環境の構築と開発作業の管理ができる。
・プロトタイプと検証のサイクルを繰り返すことができる。

C．志向・態度

・アイデアの発散を繰り返し、コアの問題解決のために、より高いレベルで解決しようとしている。
・課題領域において、テーマを構造的に整理し、見極めるべき論点をクリアにしようとしている。
・仮説の中でも、最適解・最大解を見出すことを諦めずに努力している。

（2）実習先の確保の状況

1）実習先の確保

実習先の確保については、学生数、臨地実務実習の授業科目別、実習時間と期間などを勘案して、必要な実習施設を確保するとともに、実習施設については、本学から交通が便利な地域の施設を中心として確保することにより、学生や教員の負担軽減を図ることとする。

実習先の確保の状況としては、各学科 80 名の入学定員に対して、複数の実習施設を確保し、受入予定学生数も入学定員を上回る人数とし、すべての学生が臨地実務実習を行える必要な実習施設を確保した。

事業創造学科　45 施設

情報学科　27 施設

2）実習先の選定

臨地実務実習先の選定にあたっては、受け入れる学生数に応じて必要な実習指導ができる体制が整っていることを前提とし、実習指導者は実習に係る職業分野に関して高い識見と豊富な実務経験を有し、臨地実務実習の科目の目的を達成するために、必要な能力を有し指導できる体制であることを確認し、有益な実習が可能な実習先の選定を行っている。

【資料 36】臨地実務実習実施計画（事業創造学部）

【資料 37】臨地実務実習実施計画（情報学部）

（3）実習先との契約内容

臨地実務実習の依頼については、実習施設の環境や業務内容、受入体制などを確認したうえで、事前に実習施設の責任者に実習内容の要望と期間や人数などを伝えて、実習受入れの了解を得た後に、実習施設の長に文書による正式な実習の依頼と契約を行うことする。

また、実習生の受入に際しては、個人情報保護や事故防止に関する取り決めを行うこととしており、特に、事故防止については、事故防止策や事故発生時の対処方法などについて取り決めるとともに、事故が発生した場合の緊急連携体制についても明確に定めることとする。

【資料 36】臨地実務実習実施計画（事業創造学部）

【資料 37】臨地実務実習実施計画（情報学部）

（4）実習水準の確保の方策

臨地実務実習は、専門分野の実務を経験することで実践力を強化し専門性を高めることのみでなく、臨地実務実習の全体を通して、主体性や課題発見力、発信力を養うこともその目的として捉える。

教育効果をあげるために、実習担当教員と実習施設の管理責任者及び直接指導に当たる実習指導者とで、実習内容について十分協議のうえ、臨地実務実習を実施することとし、学内において、実習前に実習に臨むための心構え、その実習の目的、求められる成果など十分な事前指導及び事後評価を行う体制を整備することで、実習水準の確保を目指すこととする。

一方、実習先の実習指導者については、十分な実務経験を有する者としているが、実習教育の水準の確保を図ることから、実習施設の実習指導者と実習担当教員とによ

る臨地実務実習における実習内容や実習方法の改善を図るための組織的な取り組みを行うこととする。

具体的には、年度当初に実習施設の実習指導者と実習担当教員による協議の場を設け、本学の教育研究上の目的や人材育成の目的と教育課程編成の考え方、臨地実務実習における到達目標などについて共通認識を得るとともに、実習期間内や実習期間終了後に臨地実務実習の総括や問題点の抽出、課題の検討を行うなど、指導力の向上に努めることとする。

（５）実習先との連携体制

臨地実務実習の実施に際しては、本学と実習施設との信頼関係が不可欠であり、臨地実務実習における教育効果は、相互の信頼関係が深いほど高いものとなることが期待されることから、実習施設に対して学生の受入れを依頼するにあたり、次の点について十分な配慮のもとに、実習前、実習中、実習後等における緊密な連携体制をとることとする。

・実習の日程や人員と内容について、事前に連絡し、実習施設の実習指導者の理解を得たうえで、実習施設の長に対して正式な依頼文書を提出する。
・学生に対する十分な事前指導を行うとともに、前年度の実習時において要望が出された事項については必ず対応する。
・実習期間中は、実習指導者と日程を調整した上で実習先を訪問し、実習の実施状況を確認するとともに、意見交換をはじめとする必要な調整を行うこととする。
・実習担当教員と実習指導者による協議の場を設け、実習体制や実習内容の整備に向けての意見交換などを行うこととする。
・実習施設の実習指導者の研究や研修の支援として、外部講師を招聘した講演会への参加や、図書館の利用を認めるなど、実習施設の発展と向上に協力する。

【資料 36】臨地実務実習実施計画（事業創造学部）
【資料 37】臨地実務実習実施計画（情報学部）

（６）事前・事後における指導計画

臨実務地実習では、実践の場での「勤労観・職業観の醸成」「専門的知識と技術の統合」「課題発見、問題解決」「社会人基礎力向上」を重視することから、臨地実務実習の科目ごとに実習の前に関連科目の履修を終えるとともに、事前準備に十分な時間をかけて、実習の目的や目標、実習施設の概略の周知、動機付け、知識の整理などを行うこととする。

また、実習終了後においても、それぞれの実習施設における実習内容の報告、実践の場で学んだ事項などの情報交換や指導など、総合的な事後学習を行い、学内での学習と臨地実務実習をより有効的に結び付け、知識と技術の統合を図ることとする。

１　事前教育内容

・実習の目的や目標などの理解
・実習にあたっての心構え
・事前の準備の徹底
・実習開始時と実習中の注意
・休憩時間の過ごし方

・緊急時の連絡体制等
・実習終了時の対応

２　事後教育内容

・各班や個人からの実習課題への取り組みへの報告と討論
・実習施設への礼状の作成
・実習時に起きたトラブルや注意された事の報告
・実際の仕事に関する感想
・実習レポートの作成と提出

（７）教員の配置並びに巡回指導

教員の配置については、科目ごとに複数の実習担当教員を配置するとともに、実習期間中に実習担当教員相互の連携を図り、巡回指導を行うこととする。

実習期間中の巡回指導については、実習開始後、実習生全員に対する巡回指導を行うこととし、巡回指導の際には、実習施設の実習指導者に対して、実習の実施における周知不足や不都合の有無、学生の実習態度、教育上の改善事項、日程や内容の確認、意見交換などを行うことにより、相互理解を深めることとする。

また、巡回指導の際に発生した問題点について、実習担当教員全員で協議し、学部長の指示のもと緊急を要するものは即対応し、それ以外は次回の臨地実務実習に活かすものとする。

【資料 36】臨地実務実習実施計画（事業創造学部）
【資料 37】臨地実務実習実施計画（情報学部）

（８）成績評価体制及び単位認定方法

臨地実務実習における成績評価については、予め定める臨地実務実習評価表に基づいて、実習担当教員が行うこととし、実習施設における実習指導者の評価及び学生が提出する報告書、課題・プレゼンテーションなどにより、実習目標の到達度合に照らしながら、総合的な判断の基に評価を行い、単位の認定を行うこととする。

（９）その他

臨地実務実習中の安全確保のためにインターンシップ保険の加入を義務付け、また本学と実習施設及び学生と実習施設の間で秘密保持契約を含む協定書を交わすことにより、企業情報や学生の個人情報の保護を行う。

１２．２以上の校地において教育研究を行う場合の具体的計画

本学は 2 キャンパスにて 2 校舎を有し各々の校舎において、教育・研究を行うことが基本であるが、基礎科目の一部で教養に関する科目については、紫竹山キャンパスの校舎にて全学部が学修を行う。そのため米山キャンパスで学ぶ情報学部については基礎科目の一部で教養に関する科目を紫竹山キャンパスにて学修を行うこととなり、全学部で共通の授業科目となる。

また、情報学部のサイバーセキュリティに関する授業科目の一部の単元は、紫竹山キャンパスでの授業科目となる。

学生は効率的に履修できるよう 1 日の中でキャンパス間の移動を少なくし、キャン

パス移動がある場合でも無理なく移動できるよう、移動に要する時間を考慮した時間割を編成する。

【資料 38】完成年度の事業創造学部時間割案
完成年度の情報学部時間割案

なお、教員は委員会等会議への参加や授業担当のため、キャンパス移動が必要になるが、会議開催日や授業の予定にあわせて業務に支障が生じないように配慮する予定である。

１３．管理運営

（１）管理運営組織の概要

本学は、管理運営組織として、総務会、教授会および各委員会で構成することとしており、学長の指揮のもとに統一的な運営を行う。

本学の全学的な重要事項については、「総務会」を設けることとしており、総務会では管理運営と教学の連携を図るとともに教学に関する重要な事項を含め、全学的な重要事項の審議をする。

教授会は学部の教育や研究に関する意思決定の中心機関として、教育・研究に関する重要事項の審議や各種委員会から上程された事項についての審議を行う。また、学長が重要事項について決定を行うにあたり、審議した結果を学長に意見として述べるものとする。

１）総務会

総務会規程第 4 条に基づき、学長は議長となり総務会を主宰し、同第 5 条に基づき原則として毎月 1 回開催する。

総務会は学則第 9 条第 2 項に基づき、学長、副学長、学部長、事務局長及び法人を代表する職員をもって組織し、学則第 9 条第 3 項および総務会規程第 2 条に基づき、以下の事項について審議する。

① 教育研究環境の整備に関すること
② 学則その他重要な規程の制定・改廃に関すること
③ 教育職員人事に関すること
④ 学生の定員に関すること
⑤ 学生の生活、身分に関する重要な事項について
⑥ 理事会が諮問する事項について
⑦ 学長が諮問する事項について
⑧ 教育研究に関する全学的な重要事項について
⑨ 各学部・学科間の調整事項について
⑩ その他大学運営に関する重要な事項について

【資料 39】総務会規程（案）

２）教授会

教授会規程第 5 条に基づき、学部長は議長となり教授会を主宰し、同第 5 条第 3 項に基づき原則として毎月 1 回開催する。

教授会は学則第 10 条第 2 項に基づき、専任の教授をもって構成する。なお、同条同項のただし書きにより、その他の教職員を加える場合にあっては、准教授およ

び講師、助教を構成員とする。また、助手は準構成員とする。

教授会は学部教授会とし、学則第10条第3項および教授会規程第4条に基づき、次の重要事項について、学長が決定を行うに当たり、審議した結果を学長に意見として述べるものとする。

① 学生の入学、卒業に関すること
② 学位の授与に関すること
③ 教育・研究の基本方針に関すること
④ 教育課程及び履修方式に関すること
⑤ 学生の指導、賞罰及び除籍に関すること

【資料 40】教授会規程（案）

3）委員会

総務会規程第 3 条および教授会規程第 10 条に基づき、総務会および教授会の下に委員会を組織する。

開学時に組織する委員会は次の①から⑦のとおりとし、各委員会規程に規定する所掌事項に基づき、必要な事項を調査、審議又は処理する。なお、委員会の審議が終了したときは、①から③の 3 委員会は総務会へ、④から⑦の 4 委員会は教授会へその結果を報告する。

① 自己点検・評価委員会
② 産官学連携委員会
③ 図書・情報委員会
④ 教務委員会
⑤ 学生委員会
⑥ 入試・広報委員会
⑦ ＦＤ・ＳＤ委員会

各委員会の所掌事項等、その他委員会に関する必要事項は各委員会規程に定める。

また、開学後は必要に応じて各種委員会を組織し、大学および各学部学科の円滑な管理運営と発展を図る。

【資料 41】各種委員会規程（案）

１４．自己点検・評価

（1）基本方針

本学は学校教育法第 109 条および学則第 4 条に基づき、教育研究の向上を図り学則第 1 条の目的を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検および評価を行うとともに、認証評価機関による評価を受け、その結果を公表する。

（2）実施体制

総務会の下に自己点検・評価委員会を置く。

委員会は、学則第 4 条第 1 項および第 2 項に定める自己点検及び評価並びに本学の職員以外の者による検証を円滑に実施することを目的とする。

自己点検・評価委員会の所掌事項は自己点検・評価委員会規程に定め、必要な事項を調査、審議又は処理する。

（３）点検・評価項目

自己点検・評価項目は次の通りとする。

① 理念・目的に関する事項
② 教育研究組織に関する事項
③ 教員・教員組織に関する事項
④ 教育の内容・方法・成果に関する事項
⑤ 学生の受入に関する事項
⑥ 学生支援に関する事項
⑦ 教育研究環境に関する事項
⑧ 産官学連携・社会貢献に関する事項
⑨ 管理運営・財務に関する事項
⑩ その他

また、委員会では必要に応じて評価項目の設定について審議し、随時見直しを行うこととする。

（４）結果の公表と活用

自己点検・評価委員会は自己点検・評価の結果を報告書に取りまとめ、ホームページ等により広く公表するものとする。

また、改善を要すると判断される事項については、自己点検・評価委員会が改善方策および改善計画を作成し学長へ提言し、学長を中心として全学が連携して改善に向けて取り組むこととする。

１５．情報の公表

本学は学則第 5 条に基づき、教育研究活動等の状況について積極的に外部に対して情報を公表する。

情報の公表は、ホームページやその他媒体等を活用し、広く周知できる方法により実施する。

公表する項目は次のとおりとする。

①大学の教育研究上の目的に関すること
（建学の精神や大学および各学科学部の目的、教育方針等）
②教育研究上の基本組織に関すること
（学部学科名称や定員数等）
③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位および業績に関すること
④入学者に関する受入れ方針および入学者の数、収容定員および在学する学生数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数および就職者数とその進学および就職等の状況に関すること
⑤授業科目、授業の方法および内容並びに年間の授業の計画に関すること
（教育課程の体系や科目一覧等）
⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること
（卒業要件や取得可能な学位等）
⑦校地・校舎等の施設および設備その他の学生の教育研究環境に関すること

（校地・校舎・設備の概況や学習環境等）
⑧授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関すること
⑨大学が行う学生の修学、進路選択および心身の健康等に係る支援に関すること
（奨学金制度や就職指導体制等）
⑩その他、自己点検・評価の結果に関すること等
（産官学連携に関すること、自己点検・評価の結果に関すること等）
なお、掲載予定のホームページのアドレスは、
「https://www.kaishi-pu.ac.jp/」、
検索方法については、「トップ＞大学案内＞大学の取り組み＞情報の公開」により検索することができるように準備する。

１６．教育内容等の改善を図るための組織的な研修等

学則第 26 条に基づき、ＦＤ・ＳＤ委員会を置く。
ＦＤ・ＳＤ委員会は、教育・研究の内容および方法を改善・向上し、教育・研究の発展に寄与するため、必要な事項を審議する。
ＦＤ・ＳＤ委員会の所掌事項は
・教育研究活動の改善に関する立案・実施に関する事項
・初任者および現任者の研修計画の立案・実施に関する事項
・学生による授業評価の計画・実施および分析に関する事項
・教育研究活動の改善に関する情報の収集と提供に関する事項
・その他教育研究活動の改善に関する事項
とし、必要な事項を調査、審議または処理する。
なお、改善を図るための研修および研究は学長が主管し、ＦＤ・ＳＤ委員会との連携の下、適切に実施する。
具体的な取り組みとしては
・学生による授業評価アンケートの実施
・教員相互の授業評価、授業見学の実施
・新任教員研修の実施
・外部講師を招聘した講演会の開催
等を予定し、具体内容についてはＦＤ・ＳＤ委員会にて審議の上、策定し実行していく。

１７．社会的・職業的自立に関する指導等及び体制

（１）教育課程内の取組みについて
本学は、大学教育を通じて、専門分野の知識や技術の修得のみならず、主体性や課題発見力、創造力といった「社会人基礎力」を身につけ、職業意識を高く持ち、社会生活向けての明確なビジョンを描けるようにする。
本学は大学教育を行うに当たり、将来への目的意識を明確に持てるように、職業観を涵養し、職業に関する知識を身に付け、自己の個性を理解した上で、主体的に職業を選択できる能力及び卒業後も自律・自立して学習できる態度を育成するために「キャリアデザイン」の授業科目を設定している。
「キャリアデザインⅠ」では、人生や仕事において自分自身のなりたい姿を描くこ

とについて理解し、個々の夢や目標を実現するための心のあり方や目標設定の仕方、振り返り、生じた問題への対処法など、目標に対して具体的にアプローチするための実践行動に関する知識と技法について学修する。

「キャリアデザインⅡ」では、他者と協調・協働して行動できる態度や他者に方向性を示し、目標を達成するために動員できる能力を養成する。他者を理解する視点についての考察を通して、自己や自我の認識、自己と他者との関係、他者相互間の関係などの理解と人間関係の多様なあり方についての理解を深め、他者との円滑な信頼関係の構築に取り組む姿勢を養う。

「キャリアデザインⅢ」では、自己分析と職業選択の考え方や進め方について理解し、生涯にわたり学習の活動を続けていくことの必要性と学習の手段や方法を理解し、卒業後も自律・自立して学習できる態度を育成する。

さらに「デザイン・シンキング概論」では、課題発見力とその課題解決のための手法やプロセスを学修し、課題解決のためのチームワークやコミュニケーション力、ディベート力の必要性を学び、リーダーシップを発揮して経済社会を牽引する意識と態度を養う。職業倫理観を醸成するために「ビジネスモラル」の授業科目を設定し、専門職業人として自らの社会的な役割や責任を果たすために、自身の行動を律するための基準や規範を身に付ける。

また、臨地実務実習の全体を通して、主体性や課題発見力、発信力等の社会人基礎力の育成を確かなものとする。

（２）教育課程外の取組みについて

社会的・職業的自立を図るため、本学では「社会連携推進課」を中心として、就職支援及び学習支援、資格・検定取得支援を行う。そのために各校舎にて自学のための環境を整備するとともに、キャリアセンターを設置し、就職支援として就職相談の実施や企業情報の提供、合同企業ガイダンス等の情報提供、就職先企業の開拓等を行うだけでなく、学生と教員・職員が密に連絡を取り合うことで学生一人ひとりの就職活動状況の把握に努め、必要に応じて面接指導やエントリーシートの添削指導も行う。

資格・検定取得支援として、資格試験の情報提供、公務員試験対策講座並びに簿記検定対策講座を開講し、自ら受験する学生の支援を行う。また、英会話の能力向上のために、スカイプ教育のための設備を設置し、意欲ある学生の能力向上の支援を行う。

（３）適切な体制の整備

本学では社会とのつながり、産業界との連携のために「社会連携推進課」を設置し、その中で、就職サポートや資格・検定取得支援を行う「就職キャリア担当」、臨地実務実習をサポートする「企業実習推進担当」を設置し専門職員を配置し、教務部署との連携を取りながら学生支援を行う。

設置の趣旨等を記載した書類

資料目次

【資料 1】新潟県総合計画 にいがた未来創造プラン（抜粋）

【資料 2】地方自治体の要望書、地域経済牽引企業承認書類
企業・団体からの要望書

【資料 3】開志専門職大学に関するニーズ調査【企業・団体対象調査】
結果報告書（抜粋）

【資料 4】中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の促進に関する法律

【資料 5】地域産業資源活用事業の促進に関する基本方針

【資料 6】新潟県総合計画「にいがた未来創造プラン」抜粋

【資料 7】事業創造学部事業創造学科と同じ分野の専門学校との教育課程比較

【資料 8】一般社団法人日本機械工業連合会　平成２９年度 IoT・AI 時代の
ものづくりと人の役割変化への対応調査研究（抜粋）

【資料 9】新潟県総合計画「にいがた未来創造プラン」抜粋

【資料 10】新潟県「新潟県情報化プラン」（抜粋）

【資料 11】情報学部情報学科と同じ分野の専門学校との教育課程比較

【資料 12】経済産業省ホームページ（抜粋）、中小企業庁ホームページ（抜粋）

【資料 13】新潟県総合計画 にいがた未来創造プラン（抜粋）

【資料 14】第 5 期科学技術基本計画（抜粋）
「ＩＴ人材の最新動向と将来推計に関する調査結果」（抜粋）
総合イノベーション戦略（抜粋）

【資料 15】新潟県総合計画 にいがた未来創造プラン（抜粋）

【資料 16】新潟県情報化プラン（抜粋）

【資料 17】学位授与の方針・教育課程編成の方針・授業科目の関係図

【資料 18】事業創造学部 事業創造学科 カリキュラム体系図

【資料 19】専門職大学等における実験、実習又は実技による授業科目並びに
これに代替する演習による授業科目一覧

【資料 20】臨地実務実習施設一覧

【資料 21】学位授与の方針・教育課程編成の方針・授業科目の関係図

【資料 22】情報学部 情報学科 カリキュラム体系図

【資料 23】専門職大学等における実験、実習又は実技による授業科目並びに
これに代替する演習による授業科目一覧

【資料 24】臨地実務実習施設一覧

【資料 25】教育課程連携協議会構成員名簿（抜粋）

【資料 26】実務の経験等を有する専任教員一覧

【資料 27】実務の経験等を有する専任教員一覧（抜粋）

【資料 28】教育課程連携協議会構成員名簿（抜粋）

【資料 29】実務の経験等を有する専任教員一覧

【資料 30】実務の経験等を有する専任教員一覧（抜粋）

【資料 31】履修モデル

【資料 32】教育課程連携協議会に関する規程、教育課程連携協議会構成員名簿

【資料 33】個室研究室レイアウト図

【資料 34】「イノベーション力研究所 創業支援センター」 レイアウト図
「開志未来創造研究センター」 レイアウト図
「IoT 実習室」レイアウト図

【資料 35】図書リスト

【資料 36】臨地実務実習実施計画（事業創造学部）

【資料 37】臨地実務実習実施計画（情報学部）

【資料 38】完成年度の事業創造学部時間割案
完成年度の情報学部時間割案

【資料 39】総務会規程（案）

【資料 40】教授会規程（案）

【資料 41】各種委員会規程（案）

設置の趣旨等を記載した書類

【資料 1】

新潟県

新潟県総合計画
2017年度－2024年度

にいがた未来創造プラン

平成30年1月

新　潟　県

6　教育を取り巻く環境変化

【全国的な動向】

我が国においては、人口減少社会の到来に伴う就学・就業構造の変化、技術革新やグローバル化の進展に伴う産業構造や社会システムの変化、子どもの貧困など、子どもを取り巻く状況が大きく変化しており、教育に求められる役割はますます増大している。

このような中、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の推進、カリキュラムマネジメントの確立などを盛り込んだ新しい学習指導要領が平成32年度に小学校より順次実施されるほか、教育課程・授業方法の改革への対応を図るため、教員の資質向上を図ることを目的とした教育公務員特例法の一部改正、給付型奨学金制度の実施など、国において改革が相次いで行われている。

【新潟県の特性・課題】

○児童生徒の学力は全国平均以上 ○児童生徒の多くが地域社会と関わり	✓いじめによる重大事案の発生や特別な教育的ニーズのある児童生徒数の増加 ✓教員の指導力の向上や多忙化の解消 ✓地域の実情を考慮した高等学校の魅力化、特色化 ✓大学等進学者の約６割が県外に進学

本県の児童生徒の学力は、平成29年度において、小学校では国語で３ポイント、算数で１ポイント全国平均を上回る水準を維持し、中学校は国語、数学とも１ポイントと全国平均とほぼ同じ程度である。

また、本県は、地域社会との関わりを持つ児童生徒の割合が全国上位であり、平成29年度調査において、「地域の行事に参加している」、「地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があった」と肯定的に答えた児童生徒がいずれも全国平均を大きく上回っている状況にある。

一方で、新しい時代に必要となる資質・能力の育成に向けた教員の指導力の向上や、特別な教育的ニーズのある児童生徒数の増加への対応、また近年、いじめによる重大な事案が続発していることから、「いじめを見逃さない、許さない」という意識の一層の醸成、生徒指導に係る諸課題に対する取組の強化が必要になっている。学校が対応しなければならない課題が一層多様化、複雑化する中で、教職員の多忙化が進んでおり、教職員が一人一人の児童生徒と向き合える時間の確保が課題となっている。

また、大幅な生徒数の減少が進む中で、一定の生徒数、適正な学校規模を維持しつつも、地域の実情を考慮した魅力や特色ある高等学校づくりの取組など、生徒が質の高い教育を受けられる環境整備が課題となっている。

高等教育環境については、近年、県内高校卒業生の大学等進学者数約１万人のうち約６千人が県外に進学するなど、厳しい状況が生じており、進学志望者のニーズに合った教育環境の更なる充実が課題となっている。

また、社会環境の大きな変化や急速な技術革新が進む中、新たな技術や社会の多様なニーズに対応できる人材を育成するため、高等教育機関(注)等における社会人の学び直しの機会の提供などが求められている。

(注) 高等教育機関：大学、大学院、短期大学、高等専門学校、専門学校（専修学校専門課程）。

③ 若者の県内定着とU・Iターンの促進

1 現状・課題

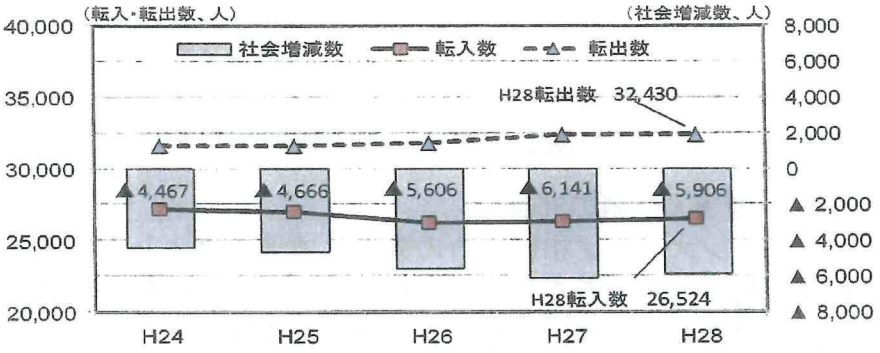
本県の人口（社会動態）は、バブル経済崩壊後の平成５年から平成８年にかけて増加に転じたものの、平成９年から減少が続いており、また、全国の中でも減少数、減少率が上位（※）となっている。

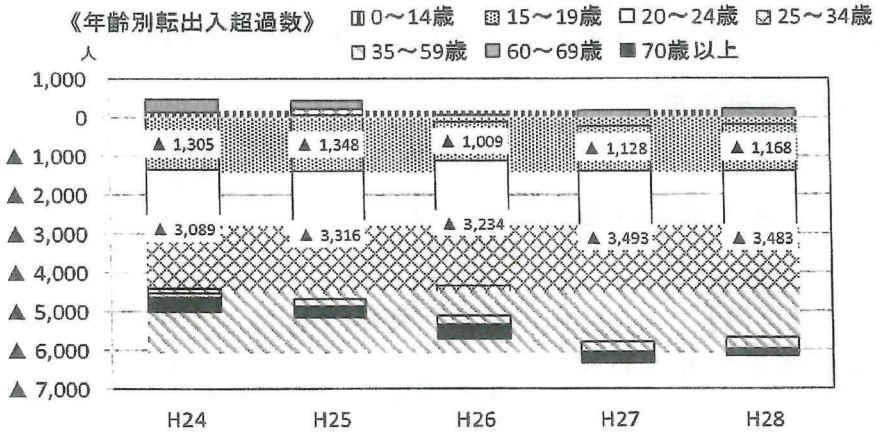
年齢別では、「20～24歳」と「15～19歳」の転出超過が大半を占め、進学や就職を契機とした若年層の東京圏への流出が、社会減の主な要因となっている。そのうち大学等への進学時については、県内に自らの希望に合う学部がないために、やむを得ず県外へ進学している者が一定程度いることも課題となっている。また、就職時については、より労働条件が良い仕事が首都圏に多いことに加え、県内の中小企業の認知度が低く、その魅力が十分伝わっていないことも要因の一つに挙げられる。

こうした若者の流出が出生数の減少に拍車をかけ、人口減少の要因となっていることから、若者を中心とした流出防止と流入促進が必要である。

※ 総務省自治行政局「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（平成29年１月１日現在）」によると、平成28年中の本県の社会減少数は全国４位、社会減少率は全国11位

●新潟県の社会動態





資料：県統計課「新潟県の人口移動」

2 政策の展開・取組

県内大学等の魅力向上、県内企業への就職促進、効果的な情報発信及びU・Iターン者受入体制の充実により、若者を中心とした流出防止と流入促進を図り、

選ばれる新潟県を実現する。

■ 希望に合った学びができる県内大学等の魅力向上

○ 県内進学の意向がある者が、県内において自らの希望に合った大学等を選ぶことができるよう、県内大学等が行う新たな魅力創出に向けた取組等を支援し、教育機会の拡充を図る。

■ 若年者の県内企業への就職促進

○ 「にいがたUターン情報センター」における県内企業の情報提供やきめ細かな就職支援、首都圏で県内企業との交流機会の提供のほか、県内企業への就職活動の負担軽減などの取組を推進する。

○ 市町村・産業界・県内外の大学等とも連携しながら、学生に県内産業への関心を高めてもらう取組やインターンシップに対する支援などの取組を推進する。また、企業情報サイトの充実強化などにより、魅力ある企業情報の発信に取り組む。

■ 本県への関心を掘り起こし、深める情報発信

○ 市町村・地域の特徴ある魅力や本県で実現できる多様なライフスタイルの発信、移住希望者の検討度合いに応じた実用的な情報の提供などに市町村と連携して取り組むとともに、若年層へのＳＮＳ（P33（注）参照）による発信など伝達対象の特性に応じた手法により、情報の受け手に着実に届く情報発信を行う。

○ 情報発信力の強い大型イベントやテーマ・対象者を絞り込んだセミナーなどにより、移住情報が氾濫している中でも埋没しない情報発信、移住に漠然と関心がある層に本県への関心を掘り起こす情報発信を行う。

■ Ｕ・Ｉターン者受入体制の充実

○ 首都圏でのワンストップ相談窓口の設置、本県の暮らしを体感する機会の提供、転職や起業に対する支援など、Ｕ・Ｉターンの検討から実現まで、Ｕ・Ｉターン希望者のニーズに応じたきめ細かな支援を行う。

○ 移住支援施設の整備、移住後のサポート体制の構築など、市町村や地域、民間団体等による主体的なＵ・Ｉターン者受入の取組を支援する。

3 達成目標（成果指標）

指標名	現状値	中間目標値 (H32 年度)	最終目標値 (H36 年度)
県内大学生等の県内就職率	57.7% (H28 年度)	61%	65%
協定大学卒業者のＵターン就職率【再掲】	31.5% (H29.3 卒業者)	34.5% (H33.3 卒業者)	39.1% (H37.3 卒業者)
首都圏相談窓口等の新規登録者数	1,397 人 (H28 年度)	1,500 人以上 (H29～32 年度平均)	1,700 人以上 (H33～36 年度平均)

4 関連する個別計画・ビジョン

・新潟県創生総合戦略（H27～H31）
・新潟県人口ビジョン

【県民生活・環境部、総務管理部、産業労働観光部】

② 起業・創業の推進

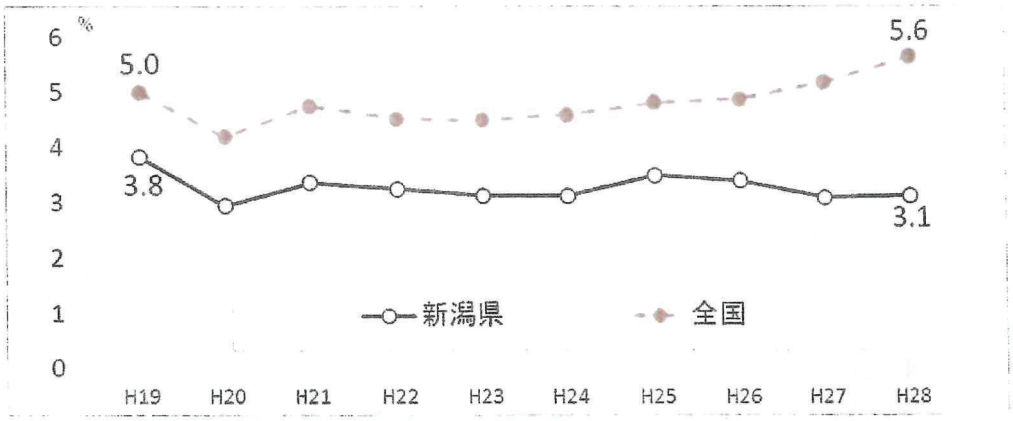
1 現状・課題

本県の新設事業所数は年間約 1,300 事業所で全国 23 位に位置しているが、緊急経済対策等による一時的な増加はあるものの、リーマンショック前の年間約 1,700 事業所（全国 15 位）の水準までには至っていない。

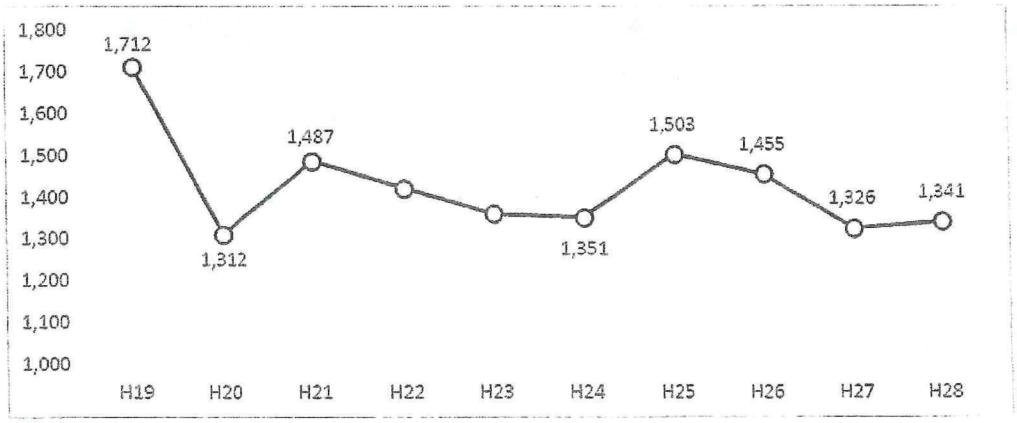
本県の開業率は、3.1%（全国 46 位）と、全国 5.6%に対して低水準となっているが、その背景として開業率は、廃業率の低さや製造業比率の高さ、人口増減率、平均年齢など、様々な要素と相関関係があると見られ、複合的な要因が絡み合って影響しているものと思われる。

そのような中、魅力ある雇用の場を創出し地域の活力につながる起業を促進することが重要であり、開業資金の供給に加え、開業後の経営課題解決及び事業の持続に向けたフォローアップを充実させるなど、起業しやすい環境づくりを行う必要がある。加えて、U・Iターンにより起業する若者を呼び込み、その中から成功事例を発信することで、U・Iターン起業の好循環を作っていく必要がある。

● 開業率の推移（本県・全国）



● 開業数の推移（本県）



資料：厚生労働省「雇用保険事業年報」

2　政策の展開・取組

起業家予備軍がより多くなり、官民一体となって意欲ある者が起業にチャレンジしやすい環境づくりに取り組むことにより、県外からのU・Iターンや再チャレンジによる創業も含め、県内で創業が次々とわき起こるとともに、創業後の持続・成長ができる環境を実現する。

■　起業家予備軍の育成と起業希望者への伴走型支援

○　経済界と連携しながら、若手起業家や先輩起業家との座談会やセミナー開催、起業の成功事例の発信等により、起業という選択肢を提示するなど、起業家予備軍を育成するとともに、起業マインドの醸成を図り、学生等も含め、その裾野を広げる。

○　独創性のある成長志向のビジネスや「新潟らしさ」が感じられる地域資源活用型の事業のほか、サービス業などの身近なビジネスも含む幅広い事業領域において、事業計画作成や専門家による相談対応、助成金などの支援から、創業後のフォローアップの充実まで、起業に挑戦する者や起業後間もない者などへの伴走型支援に取り組む。

・創業期におけるオフィスの貸出（新潟・長岡・上越・県央）
・独創的かつ新規性の高い技術やアイデアに基づいた、特に将来性が見込まれる起業を重点的に支援
・比較的小規模な、身近で幅広いビジネスでの起業の支援
・創業関連セミナーによる事業計画の作成支援、資金調達方法等の起業に必要な情報の提供
・支援先へのアンケート等による現状・ニーズの把握及びそれに応じた専門家派遣による経営課題解決の支援

○　金融機関との連携により、創業期の積極的な資金提供や、金融機関による独自のノウハウを活かした専門的なコンサルティングなど、創業後の持続や第二創業による業容拡大を含む成長に向けた支援を行う。

・金融機関による創業・第二創業にかかる資金提供の促進
・金融機関の独自ノウハウ・ネットワークを活用したフォローアップの強化

■　多様な創業支援者との連携による総合的な創業支援体制の構築

○　創業支援者である金融機関や商工団体、市町村、高等教育機関等との連携による「創業支援プラットフォーム(注)」の機能を整え、創業者への各種支援情報の提供や創業者同士の情報交換の場の提供も含め、民間のネットワークも活用しながら、起業準備段階から起業後まで総合的な創業支援を行う体制の構築を図る。

・金融機関や商工団体、市町村等の各創業支援者の支援メニューの一元的な提供と他の創業支援者の紹介
・創業者同士の情報交換・交流が図られる場の提供

(注) 創業支援プラットフォーム：創業支援者が相互に連携しながら、創業者・創業希望者のニーズにワンストップで対応する支援体制。

■　創業関連情報と成功事例の発信

○　県外から起業希望者をＵ・Ｉターンにより呼び込む観点からも、「創業支援プラットフォーム」等の創業支援者と連携しながら、ＳＮＳ（P33(注)参照）等の活用により、県内外へのセミナーやビジネスプランコンテスト等の創業関連情報と、起業を志す動機付けとなるような成功事例の積極的な発信を行う。

3　達成目標（成果指標）

指標名	現状値	中間目標値 (H32 年度)	最終目標値 (H36 年度)
開業率	3.1% (H28 年度) ※全国 5.6%	4.4%	5.6%

【産業労働観光部】

設置の趣旨等を記載した書類

【資料 2】

平成30年8月吉日

学校法人 新潟総合学院
理事長 池田 祥護 様

一般社団法人新潟ニュービジネス協議会
代表理事 宇尾野 隆

開志専門職大学(仮称)設立に関する要望

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本協議会は、第1次、第2次、第3次産業といった従来の業種や業態の枠にとらわれることなく、既存産業の単なる代替ではない、新たな企業や事業の創造、そして新たな市場の創造を積極的に行おうとする個人や企業を支援して、新潟から次代を担う創造的企業を創出し、地域経済を活性化することを目的として設立されました。現在、目的を達成するための活動として、「企業・個人・学生の交流・マッチング」や「起業の風土づくり」のための事業、関係機関・団体等と連携した支援活動、魅力ある事業を行うための会員拡大による基盤強化等に取り組んでおります。

21 世紀の「大競争時代」と言われる時代を迎え、企業は国内のみならず海外との企業間競争の中に置かれ、企業経営は一層厳しさを増しています。しかし反面、このようなボーダレスな状況は、さまざまな社会変化とともに価値観の多様化等とあいまって、新たなニーズや市場を生み出しています。これらのニーズ等を明敏にとらえ積極的に行動する人や企業にとっては、新たなビジネスチャンスを掴むことができる時代となっているのです。こうして生み出される新たな企業や事業ーそれは、既存企業に新たな市場を提供し、さらにビジネスチャンスを提供することとなります。

貴法人が計画されている「開志専門職大学」が経済社会、企業経営の中核的役割を担い、改善・革新や新たな価値を創造する先導役となる人材、高度な専門知識を持ち、各事業分野において地方都市の活性化に貢献し、更に、日本経済全体の発展に寄与する人材の育成する機関として大きく期待するものであり、「開志専門職大学」の設立を強く要望するものであります。

以上

平成 30 年 9 月 3 日

学校法人 新潟総合学院
理事長　池田 祥護　様

特定非営利活動法人
ASP・SaaS・IoT クラウドコンソーシアム (ASPIC)
会長　河合 輝欣

開志専門職大学（仮称）設立に関する要望

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本法人は、広く一般国民に対して、様々な分野でインターネットという標準化された世界ネットワークを通してＡＳＰの普及・推進に関する事業を行い、我が国の情報技術の革新に寄与することを目的とし設立しました。　現在、IoT サービスへの積極的な取組、クラウド研究会の充実、クラウドサービスの情報開示認定制度の拡大・推進、会員ビジネスの拡大・強化、ASP・SaaS クラウド普及促進協議会及び ASP・SaaS データセンター促進協議会の推進を事業の 5 本柱として活動しております。

現在、国は新時代への挑戦を加速する第四次産業革命をめざし、ロボット開発、あらゆるものをインターネットにつなぐ IoT、AI やビッグデータ等の活用にセキュリティを確保したうえでの ICT 利活用の徹底を推進しています。　一方、総務省及び経済産業省の全面協力による産官学連携の「IoT 推進コンソーシアム」が一昨年設立され、我が国における IoT 推進に関する技術開発・実証、及び、新たなビジネスモデル創出を推進する体制の構築を目指して有識者による審議が進められています。

情報通信技術（ICT）は社会全体に浸透し、あらゆる面で私たちの生活に不可欠なものになりました。　また、企業にとっても、グローバル競争を勝ち抜いていくために、戦略的な ICT の活用がますます重要になってきています。　ICT は、企業にとっては顧客により高い付加価値を提供するために、国家・社会にとっては生活をより便利かつ安全・安心にすると同時に、環境、エネルギー、高齢化、食糧など様々な課題を解決するために、中心的な役割を果たすようになりつつあります。　従って、国家・企業の経営において最も重要なことは、ICT を活用して、お客様の価値を上げていくビジネス戦略を創造できる人材を育成していくことにあります。　つまり、ICT 部門だけではなく、ビジネス側の人材に、「ICT を理解し、活用する能力」が強く求められる時代になってきています。

貴学校法人が計画されている「開志専門職大学」が産業の高度化・複雑化な課題に対応できる実践力と創造力を持つ職業人材、また、ICT を活用したイノベーションを企画し実行できる人材、クラウド技術に精通する人材を育成する機関として設置されることは、我々の業界にとって歓迎するとともに期待しております。　このようなことから本法人は「開志専門職大学」の設立を要望するものであります。

以上

平成３０年９月２８日

学校法人 新潟総合学院
理事長　池田　祥護　様

新潟県ＩＴ産業ネットワーク２１
代表幹事　南雲　俊介

開志専門職大学(仮称)設立に関する要望

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当団体は、設立趣旨で謳われているように、県の情報政策ビジョンにもある「魅力あふれる情報新世紀にいがた」の実現に向け、ＩＴ産業の振興と本県におけるＩＴ活用の普及・高度化に資する事業を実施する団体として、地域社会に対して貢献しております。

このような中、貴法人が計画されている「開志専門職大学」が、県内に設置される計画であることは、当団体が進めるＩＴ人材育成を推進し、県内のＩＴ業界を発展させる人材育成の高等教育機関として、大きく期待するものであり、「開志専門職大学」の設立を要望するものであります。

新潟県ＩＴ産業ネットワーク２１事務局
〒950-0078
新潟市中央区万代島５番１号
万代島ビル９階
(公財)にいがた産業創造機構内
TEL：025-246-0069　FAX：025-246-0030

平成 30 年 9 月 25 日

学校法人 新潟総合学院
理事長 池田 祥護 様

IoT検定制度委員会
委員長 中島 洋

開志専門職大学(仮称)設立に関する要望

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当会は、複数の業界団体・企業・有識者からなり、IoT/M2M 等の技術やマーケットについての知識やスキルの可視化を行う検定を行う団体です。

IoT(Internet of Things)がモノとモノをつなぐことから、モノとヒト、ヒトとヒトをつなぐインフラとなる社会において、IoT を知ることはユーザーのみならず、IoT に関わるすべての人が対象となる新しい領域です。社会的意義から人材育成や教育支援は欠かせないものであり、IoT 検定が果たす役割を明確にし、社会に役立つ叡智のプラットフォームを目指しています。

現在、地球上にあるすべてのモノをインターネットにつなげてしまおうとする「IoT(Internet of Things:モノのインターネット)」が急速に進んでいます。インターネットがモノとモノをつなげ、あらゆる世界が身近になった社会において、いたるところでセンサーがデータを吸い上げ、そのデータが活用されています。過去に描いた未来の到達です。IoT の目的はモノをインターネットにつなげるだけではなく、収集したデータを分析し、将来を予測することで、社会や家庭のあらゆるシステムを自動的に効率よくするところにあります。そのため IoT を使ったサービス企画では、デバイス・ネットワーク・データ分析・セキュリティなどの包括的な知識が必要となりますが、それらの知識を習得した人材が不足しているのが現状であります。社会人にはもちろんのこと、これからの社会を担う若い世代にも知識・技術の習得を期待しています。

貴法人が計画されている「開志専門職大学」が知識と実践力の両方を持つ職業人材、また、それらの能力を活用し実行できる人材を育成する機関として、また、IoT 検定の趣旨に賛同していただける機関として設置されることは、当会にとって歓迎するとともに期待しております。このようなことから「開志専門職大学」の設立を強く要望するものであります。

産立第 377 号
平成 30 年 10 月 9 日

学校法人新潟総合学院
理事長　池田　祥護　様

新潟県知事　花角　英世

地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律に基づく地域経済牽引事業計画について（承認）

平成 30 年 10 月 3 日付けで承認申請の、地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第 13 条第 1 項の規定に基づく地域経済牽引事業計画について、同法第 13 条第 4 項に基づき承認します。

事業名
豊かな想像力と高度な実践力を身に付け、産業の高度化・グローバル化に対応し地方創生に寄与する人材を育成するための開志専門職大学（仮称）設置事業

担当：産業労働観光部産業立地課
計画調査班　佐野
Tel ： 025-280-5247
Fax ： 025-280-5508

平成３０年１０月２３日

学校法人新潟総合学院　（仮称）開志専門職大学

学長（予定）　北畑　隆生　様

新潟市長　　篠田　昭

（仮称）開志専門職大学　事業創造学部　早期設立に関する要望書

清秋の候、貴職におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、貴学校法人におかれましては、あらゆる分野の教育機関という意味合いをその名称に込められたように、専門的な技術や知識を身に付け、多種多様な資格を取得した優秀な人材を、これまで多数輩出されるとともに、本市の発展に多大なる貢献をいただいておりますことに深くお礼申し上げます。

さて、人口減少、少子・超高齢社会の到来を背景に、国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、2015 年の本市人口である約 81 万人が、2045 年には、約 68.9 万人に減少すると推計され、高齢化は一層進展するものとされており、このような人口減少や人口構成の急激な変化は、事業活動の縮小や就労環境の変化といった地域経済への影響をはじめ、地域のコミュニティ活動の停滞といった地域活力の衰退などを招くものと懸念しています。

また、本県・本市は、長寿企業が多いことで知られており、顧客重視や社員重視など企業の安定経営という非常に良い側面もありますが、一方では、全国的にみても開業率が特に低い地域であり、中小企業の事業承継の問題とともに、開業率の向上は、地域経済の活性化に向けた喫緊の課題となっています。

こうした人口減少や人口構成、社会環境の変化による影響を克服し、地方創生の取組みを推進していくためには、地域の特性を理解し、地域経済の発展を図る創造的な能力と実践的な視野をもってグローバル化する社会で活躍し、地域に活力を呼び込む人材が求められています。

本地域に多種多様な学びの場を提供し、地域に根差した高等教育機関である貴学校法人のこのたびの構想は、地方創生の観点からも時宜を得たものであることから、地方創生人材の育成を目指した新たな教育機関「（仮称）開志専門職大学事業創造学部」を早期に設立されますよう要望いたします。

平成３０年１０月２３日

学校法人新潟総合学院　（仮称）開志専門職大学

学長（予定）　北畑　隆生　様

新潟市長　　篠田　昭

（仮称）開志専門職大学　ICT 高度情報学部　早期設立に関する要望書

清秋の候、貴職におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、貴学校法人におかれましては、あらゆる分野の教育機関という意味合いをその名称に込められたように、専門的な技術や知識を身に付け、多種多様な資格を取得した優秀な人材を、これまで多数輩出されるとともに、本市の発展に多大なる貢献をいただいておりますことに深くお礼申し上げます。

さて、人口減少、少子・超高齢社会の到来を背景に、国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、2015 年の本市人口である約 81 万人が、2045 年には、約 68.9 万人に減少すると推計され、高齢化は一層進展するものとされており、このような人口減少や人口構成の急激な変化は、事業活動の縮小や就労環境の変化といった地域経済への影響をはじめ、地域のコミュニティ活動の停滞といった地域活力の衰退などを招くものと懸念しています。

また、昨今、ビッグデータや AI、IoT といった「もの」とインターネットの融合など技術革新が目覚ましく進展し、第４次産業革命とも呼ばれる中、本県・本市が得意とする農業やものづくりの分野においても、企業経営の活性化や新たな事業創出などに向けて、技術革新への対応は喫緊の課題となっています。

こうした人口減少や人口構成、社会環境の変化による影響を克服し、地方創生の取組みを推進していくためには、地域の特性を理解し、高度情報社会のさらなる進展を図るための創造的な能力と実践的な視野をもってグローバル化する社会で活躍し、地域に活力を呼び込む人材が求められています。

本地域に多種多様な学びの場を提供し、地域に根差した高等教育機関である貴学校法人のこのたびの構想は、地方創生の観点からも時宜を得たものであることから、地方創生人材の育成を目指した新たな教育機関「（仮称）開志専門職大学 ICT 高度情報学部」を早期に設立されますよう要望いたします。

設置の趣旨等を記載した書類

【資料 3】

開志専門職大学に関するニーズ調査
【企業・団体対象調査】
結果報告書

平成30年7月

株式会社 進研アド

© Shinken-Ad. Co., Ltd. All Rights Reserved.

企業・団体対象 調査概要

1. 調査目的

2020年4月に開設予定の「開志専門職大学（仮称）」の新設構想に関して、企業・団体の人材ニーズを把握する。

2. 調査概要

		企業・団体対象調査
調査対象		企業・団体の人事関連業務担当者
調査エリア		宮城県、山形県、福島県、群馬県、埼玉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、福井県、長野県、静岡県、京都府、大阪府、鳥取県、広島県、高知県、沖縄県
調査方法		郵送調査
調査対象数	依頼数	2,071件
	回収数（回収率）	343件（16.6%）
調査時期		2018年5月22日（火）～2018年6月20日（水）
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

企業・団体対象調査
・本社所在地 ・人事採用への関与度 ・業種 ・社員数・職員数 ・新規学卒者の平均採用数 ・今後の採用予定数 ・採用したい学問系統 ・開志専門職大学の特色に対する魅力度 ・各学部・学科の社会的必要性 ・各学部・学科卒業生に対する採用意向 ・各学部・学科卒業生の毎年の採用想定人数

企業・団体対象 調査結果まとめ

開志専門職大学の特色に対する魅力度

- 開志専門職大学の特色に対する魅力度(※)は、4項目中2項目において7割を超える。
- 中でも、「ICT高度情報学部」の特色である「豊かで安全・安心な高度情報社会の実現に必要な実践的知識・技術と倫理観を持ち、実社会とサイバー空間が相互連携する社会で活躍するデータサイエンス、IoT、サイバーセキュリティ等の人材を目指します。」に対する魅力度は84.3%で、特色4項目中最も高い。
- 次いで、「事業創造学部」の特色である「新しい事業の創造に必要となる独自の視点や考察能力及び知識と専門技能を修得し、起業家、事業継承者、企業の未来を変える企業内起業家を目指します。」に対する魅力度が79.0%と続く。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

各学部・学科の社会的必要性

- 各学部・学科の社会的必要性について「必要だと思う」と答えた企業・団体は、「事業創造学部 事業創造学科」88.9%(**305件**)、「国際観光学部 国際観光学科」84.8%
(**291件**)、「ICT高度情報学部 ICT高度情報学科」93.9%(**322件**)、「アニメ・マンガ学部 アニメ・マンガ学科」63.8%(**219件**)と、いずれも多くの企業・団体でこれからの社会にとって必要だと認識されている。

設置の趣旨等を記載した書類

【資料 4】

平成十九年法律第三十九号

中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の促進に関する法律

（目的）

第一条　この法律は、中小企業による地域産業資源を活用した事業活動を支援することにより、地域における中小企業の事業活動の促進を図り、もって地域経済の活性化を通じて国民経済の健全な発展に寄与することを目的とする。

（定義）

第二条　この法律において「中小企業者」とは、次の各号のいずれかに該当する者をいう。

一　資本金の額又は出資の総額が三億円以下の会社並びに常時使用する従業員の数が三百人以下の会社及び個人であって、製造業、建設業、運輸業その他の業種（次号から第四号までに掲げる業種及び第五号の政令で定める業種を除く。）に属する事業を主たる事業として営むもの

二　資本金の額又は出資の総額が一億円以下の会社並びに常時使用する従業員の数が百人以下の会社及び個人であって、卸売業（第五号の政令で定める業種を除く。）に属する事業を主たる事業として営むもの

三　資本金の額又は出資の総額が五千万円以下の会社並びに常時使用する従業員の数が百人以下の会社及び個人であって、サービス業（第五号の政令で定める業種を除く。）に属する事業を主たる事業として営むもの

四　資本金の額又は出資の総額が五千万円以下の会社並びに常時使用する従業員の数が五十人以下の会社及び個人であって、小売業（次号の政令で定める業種を除く。）に属する事業を主たる事業として営むもの

五　資本金の額又は出資の総額がその業種ごとに政令で定める金額以下の会社並びに常時使用する従業員の数がその業種ごとに政令で定める数以下の会社及び個人であって、その政令で定める業種に属する事業を主たる事業として営むもの

六　企業組合

七　協業組合

八　事業協同組合、事業協同小組合、商工組合、協同組合連合会その他の特別の法律により設立された組合及びその連合会であって、政令で定めるもの

2　この法律において「地域産業資源」とは、次の各号のいずれかに該当するものをいう。

一　自然的経済的社会的条件からみて一体である地域（以下単に「地域」という。）の特産物として相当程度認識されている農林水産物又は鉱工業品

二　前号に掲げる鉱工業品の生産に係る技術

三　文化財、自然の風景地、温泉その他の地域の観光資源として相当程度認識されているもの

3　この法律において「地域産業資源活用事業」とは、中小企業者が行う事業であって、次の各号のいずれかに該当するものをいう。

一　地域産業資源である農林水産物又は鉱工業品をその不可欠な原材料又は部品として用いて行われる商品の開発（当該地域産業資源に係る地域において生産されることとなる商品の開発に限る。以下この項において同じ。）、生産（当該地域産業資源に係る地域において行われるものに限る。以下この項において同じ。）又は需要の開拓（当該地域産業資源に係る地域において生産された商品の需要の開拓に限る。以下この項において同じ。）

二　地域産業資源である農林水産物又は鉱工業品に係る生産活動を利用して行われる役務の開発（当該地域産業資源に係る地域において提供されることとなる役務の開発に限る。第四号において同じ。）、提供（当該地域産業資源に係る地域において行われるものに限る。同号において同じ。）又は需要の開拓（当該地域産業資源に係る地域において提供される役務の需要の開拓に限る。同号において同じ。）

三　地域産業資源である鉱工業品の生産に係る技術を不可欠なものとして用いて行われる商品の開発、生産又は需要の開拓

四　地域産業資源である観光資源の特徴を利用して行われる商品の開発、生産若しくは需要の開拓又は役務の開発、提供若しくは需要の開拓

4　この法律において「外国関係法人等」とは、外国の法令に準拠して設立された法人その他の外国の団体（新たに設立されるものを含む。）であって、中小企業者がその経営を実質的に支配していると認められるものとして経済産業省令で定める関係を持つものをいう。

5　この法律において「地域産業資源活用支援事業」とは、地域産業資源活用事業を行う者に対して行う地域産業資源を活用した商品又は役務の需要の動向に関する情報の提供、地域産業資源活用事業を行う者の求めに応じて行う当該地域産業資源活用事業の実施についての指導又は助言その他の取組により、地域産業資源活用事業の円滑な実施を支援する事業をいう。

（基本方針）

第三条　主務大臣は、地域産業資源活用事業の促進に関する基本方針（以下「基本方針」という。）を定めなければならない。

2　基本方針には、次に掲げる事項について定めるものとする。

一　地域産業資源活用事業の促進の意義及び基本的な方向に関する事項

二　地域産業資源の内容に関する事項

三　地域産業資源活用事業に関する次に掲げる事項

イ　地域産業資源活用事業の内容に関する事項

ロ　地域産業資源活用事業の促進により地域経済の活性化を図るための方策に関する事項

ハ　地域産業資源活用事業を促進するに当たって配慮すべき事項

四　地域産業資源活用支援事業に関する次に掲げる事項

イ　地域産業資源活用支援事業の内容に関する事項

ロ　地域産業資源活用支援事業の促進に当たって配慮すべき事項

3　主務大臣は、基本方針を定め、又はこれを変更しようとするときは、あらかじめ、関係行政機関の長に協議するとともに、中小企業政策審議会の意見を聴かなければならない。

4　主務大臣は、基本方針を定め、又はこれを変更したときは、遅滞なく、これを公表しなければならない。

（地域産業資源の内容の指定）

第四条　都道府県知事は、基本方針に基づき、地域産業資源であって、当該都道府県において当該地域産業資源を用いて行われる地域産業資源活用事業を促進することにより当該地域産業資源に係る地域の経済の活性化が図られると見込まれるものの内容を定めることができる。

2　関係市町村（特別区を含む。）の長は、前項の地域産業資源の内容に関し、当該都道府県知事に対し、意見を申し出ることができる。

3　都道府県知事は、第一項の地域産業資源の内容を定め、又はこれを変更したときは、遅滞なく、これを公表するとともに、主務大臣に通知しなければならない。

第五条　削除

（地域産業資源活用事業計画の認定）

第六条　中小企業者は、単独で又は共同で行おうとする地域産業資源活用事業に関する計画（中小企業者が第二条第一項第六号から第八号までに掲げる組合若しくは連合会を設立し、又は合併し、若しくは出資して会社を設立しようとする場合にあってはその組合若しくは連合会又はその合併若しくは出資により設立される会社（合併後存続する会社を含む。）が行う地域産業資源活用事業に関するものを、中小企業者がその外国関係法人等の全部又は一部と共同で地域産業資源活用事業（需要の開拓に係るものに限る。以下この項、第十条第二項及び第十三条第一項において同じ。）を行おうとする場合にあっては当該中小企業者が当該外国関係法人等と共同で行う地域産業資源活用事業に関するものを含む。以下「地域産業資源活用事業計画」という。）を作成し、主務省令で定めるところにより、これを主務大臣に提出して、その地域産業資源活用事業計画が適当である旨の認定を受けることができる。

2　前項の規定による認定の申請は、都道府県知事を経由して行わなければならない。この場合において、都道府県知事は、当該地域産業資源活用事業計画を検討し、意見を付して、主務大臣に送付するものとする。

3　地域産業資源活用事業計画には、次に掲げる事項を記載しなければならない。

一　地域産業資源活用事業の目標

二　地域産業資源活用事業の内容及び実施期間

三　地域産業資源活用事業の実施に協力する者がある場合は、当該者の名称及び住所並びにその代表者の氏名並びにその協力の内容

四　地域産業資源活用事業を実施するために必要な資金の額及びその調達方法

4　主務大臣は、第一項の認定の申請があった場合において、当該申請に係る地域産業資源活用事業計画が次の各号のいずれにも適合するものであると認めるときは、その認定をするものとする。

一　第四条第一項の規定により定められた地域産業資源を活用して行われるものであること。

二　前項第一号から第三号までに掲げる事項が基本方針に照らして適切なものであること。

三　前項第二号及び第四号に掲げる事項が地域産業資源活用事業を確実に遂行するため適切なものであること。

5　主務大臣は、第一項の認定をしようとするときは、あらかじめ、関係行政機関の長に協議しなければならない。

（地域産業資源活用事業計画の変更等）

第七条　前条第一項の認定を受けた中小企業者（以下「認定地域産業資源活用事業者」という。）は、当該認定に係る地域産業資源活用事業計画を変更しようとするときは、主務省令で定めるところにより、主務大臣の認定を受けなければならない。ただし、主務省令で定める軽微な変更については、この限りでない。

2　認定地域産業資源活用事業者は、前項ただし書の主務省令で定める軽微な変更をしたときは、遅滞なく、その旨を主務大臣に届け出なければならない。

3　主務大臣は、前条第一項の認定に係る地域産業資源活用事業計画（第一項の変更の認定又は前項の規定による変更の届出があったときは、その変更後のもの。以下「認定計画」という。）に従って地域産業資源活用事業が実施されていないと認めるときは、その認定を取り消すことができる。

4　前条第二項、第四項及び第五項の規定は、第一項の変更の認定について準用する。

（地域産業資源活用支援事業計画の認定）

第八条　一般社団法人若しくは一般財団法人（一般社団法人にあってはその社員総会における議決権の二分の一以上を中小企業者が有しているもの、一般財団法人にあっては設立に際して拠出された財産の価額の二分の一以上が中小企業者により拠出されているものに限る。）又は特定非営利活動促進法（平成十年法律第七号）第二条第二項に規定する特定非営利活動法人（その社員総会における表決権の二分の一以上を中小企業者が有しているものに限る。）は、単独で又は共同で行おうとする地域産業資源活用支援事業に関する計画（以下「地域産業資源活用支援事業計画」という。）を作成し、主務省令で定めるところにより、これを主務大臣に提出して、その地域産業資源活用支援事業計画が適当である旨の認定を受けることができる。

2　地域産業資源活用支援事業計画には、次に掲げる事項を記載しなければならない。

一　地域産業資源活用支援事業の目標

二　地域産業資源活用支援事業の内容及び実施期間

三　地域産業資源活用支援事業を実施するために必要な資金の額及びその調達方法

3　主務大臣は、第一項の認定の申請があった場合において、当該申請に係る地域産業資源活用支援事業計画が次の各号のいずれにも適合するものであると認めるときは、その認定をするものとする。

一　前項第一号及び第二号に掲げる事項が基本方針に照らして適切なものであること。

二　前項第二号及び第三号に掲げる事項が地域産業資源活用支援事業を確実に遂行するために適切なものであること。

（地域産業資源活用支援事業計画の変更等）

第九条　前条第一項の認定を受けた者（以下「認定地域産業資源活用支援事業者」という。）は、当該認定に係る地域産業資源活用支援事業計画を変更しようとするときは、主務省令で定めるところにより、主務大臣の認定を受けなければならない。ただし、主務省令で定める軽微な変更については、この限りでない。

2　認定地域産業資源活用支援事業者は、前項ただし書の主務省令で定める軽微な変更をしたときは、遅滞なく、その旨を主務大臣に届け出なければならない。

3　主務大臣は、前条第一項の認定に係る地域産業資源活用支援事業計画（第一項の変更の認定又は前項の規定による変更の届出があったときは、その変更後のもの。以下「認定地域産業資源活用支援事業計画」という。）に従って地域産業資源活用支援事業が実施されていないと認めるときは、その認定を取り消すことができる。

4　前条第三項の規定は、第一項の変更の認定について準用する。

（中小企業信用保険法の特例）

第十条　中小企業信用保険法（昭和二十五年法律第二百六十四号）第三条第一項に規定する普通保険（以下「普通保険」という。）、同法第三条の二第一項に規定する無担保保険（以下「無担保保険」という。）、同法第三条の三第一項に規定する特別小口保険（以下「特別小口保険」という。）又は同法第三条の四第一項に規定する流動資産担保保険（以下「流動資産担保保険」という。）の保険関係であって、地域産業資源活用事業関連保証（同法第三条第一項、第三条の二第一項、第三条の三第一項又は第三条の四第一項に規定する債務の保証であって、認定計画に従って行われる地域産業資源活用事業（以下「認定地域産業資源活用事業」という。）に必要な資金に係るものをいう。以下同じ。）を受けた中小企業者に係るものについての次の表の上欄に掲げる同法の規定の適用については、これらの規定中同表の中欄に掲げる字句は、同表の下欄に掲げる字句とする。

設置の趣旨等を記載した書類

【資料 5】

地域産業資源活用事業の促進に関する基本方針

平成２７年８月２８日

この基本方針は、中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の促進に関する法律（以下「法」という。）第三条第一項の規定に基づき、地域産業資源活用事業の促進の意義及び基本的な方向、地域産業資源の内容並びに地域産業資源活用事業及び地域産業資源活用支援事業に関する事項を定めるものである。

第１　地域産業資源活用事業の促進の意義及び基本的な方向に関する事項

１　地域産業資源活用事業を促進する意義

法が目的とする地域経済の活性化を通じた国民経済の健全な発展を実現するためには、地域経済を支える中小企業者が活発な事業活動を展開し、それを地域産業の強化や新たな地域産業の創出につなげていくことが重要である。

地域の中小企業者が共通して活用することができ、当該地域に特徴的なものとして認識されている地域産業資源は、地域の中小企業者が他地域の企業との差別化を図り商品や役務（サービス）の付加価値を高めるための重要な要素となり得るものであるとともに、それを活用した事業活動の成功が、当該地域産業資源を活用した他の事業活動を促進するという特性を有している。

すなわち、地域産業資源活用事業を促進することは、当該事業のみならず、当該地域産業資源を共有する他の中小企業者の事業活動及び当該事業と密接に関連する事業活動を促し、地域における知識やノウハウの蓄積、消費者等の認知度の向上等とあいまって、当該地域産業資源を核とした地域産業の発展に寄与するものである。

２　地域産業資源活用事業の促進に当たっての基本的な方向

地域産業資源の価値は、当該地域産業資源を活用した商品や役務を提供する中小企業者の側だけでなく、それを受け取る消費者等に認められることによって初めて実現するものであり、地域産業資源活用事業の促進を通じて、地域経済の活性化につなげるためには、地域産業資源を活用した商品・役務が消費者及び市場に受け入れられることが重要である。

そのためには、消費者志向に沿った商品・役務を開発し、その魅力・強みを消費者に分かりやすく伝えることでブランド化を図り、効果的な販路の開拓を行うことが必要である。そのような観点から、生産者と小売事業者等の関係事業者間の連携を促すとともに、国、地方公共団体、関係団体、認定地域産業資源活用支援事業者等が連携し、外部の専門家等の知見も活用しつつ、地域産業資源活用事業に対して適切な支援を行うことが求められる。

その際、地域産業資源活用事業の促進を通じて地域産業の発展を実現するためには、地域産業資源が安定的かつ持続的に活用できる状況が確保される必要がある。例えば、農林水産物の生産者等の地域産業資源を提供する者と当該地域産業資源を活用する者が適切に連携を図る取組等を支援することにより、地域産業資源を核とした産業の持続的な発展を

促進していくことが望ましい。

また、地域の幅広い関係者を巻き込み、地域産業資源の特徴をいかした商品・役務を開発し、地域ブランドに発展させていく取組を推進するための人材育成を行うことも重要である。

第２　地域産業資源の内容に関する事項

１　地域産業資源

地域産業資源は、個々の中小企業者や個人のみが有する経営資源の枠を超えて、地域の中小企業者に共有され、現に又は潜在的に活用可能であって、当該中小企業者の競争力強化の源泉となり得る資源である。

地域産業資源として特定され得るものは多岐に及ぶが、その本質的な価値は、当該地域産業資源の特徴として消費者等に蓄積されている認識等、目に見えない部分にある。農林水産物、鉱工業品、歴史的建造物等の有形のものである場合でも、それらの品質、機能、歴史的・文化的背景、認知度等の見えざる資産を地域の中小企業者が共通して活用できるからこそ、当該地域産業資源が地域産業の強化や新たな地域産業の創出の核となり得る。

また、第１で示したように、地域産業資源の価値は、それを活用した商品や役務を受け取る消費者等に認められることで実現するものであるため、他地域の商品や役務に用いられる同種の地域産業資源と比べて特徴的なものとして認識されていることが重要な要素となる。

２　地域産業資源の特定

都道府県は、次の（１）及び（２）の考え方を踏まえ、地域における中小企業者の事業活動を促進し、地域産業の強化や新たな地域産業の創出の核となり得るものとしてその活用を促進する意義を有すると考えられる地域産業資源を特定するとともに、当該地域産業資源を活用した地域産業資源活用事業として中小企業者が商品の生産又は役務の提供を行うことが想定される地域を併せて設定し、その内容を定める。

（１）地域産業資源の属性

特定される地域産業資源は、次の①及び②の属性を有するものとする。

①　地域の中小企業者が現に又は潜在的に活用可能であり、その活用を促進することで当該地域産業資源を共有する他の中小企業者の事業活動や当該事業と密接に関連する事業活動を促進する可能性が高いものであること。

可能性の程度については、当該地域における中小企業者の技術、設備、人員及び地域の業種構成や産業構造等を総合的に勘案して判断することとする。

②　当該地域産業資源が、他地域の同種の地域産業資源と比べて生産量、品質、機能、歴史的・文化的背景等の面で顕著な特徴を有しており、それによって消費者等に相当程度認識されているものであること。

認識の程度については、地域産業資源を特定する段階としては、次のイからニまでのいずれかに該当する程度の周知度が求められる。

設置の趣旨等を記載した書類

【資料 6】

新潟県

新潟県総合計画
2017年度－2024年度

にいがた未来創造プラン

平成30年1月

新　潟　県

第４章　政策展開の基本方向

１　政策展開の基本的な視点

本計画の基本理念及び将来像の実現に向けて、県民一人一人が安全に安心して暮らし、また、地域経済が安定的に成長していくための中長期的な政策の方向性として、次のような視点を基本にこれからの県の政策を展開していく。

具体的には、将来像に基づく政策の大きな柱や体系からの視点（①～③）、及び各政策に共通して重視する視点（④、⑤）を基本に展開していく。

①　県民の暮らしを重視します。

自然災害・防災や治安対策、事故防止など、県民の日常生活の安全・安心の確保のほか、子育て・医療・福祉サービスや教育が安心して受けられ、暮らしや将来に安心感を持って誰もが活躍できる環境を作っていく。

②　活力や賑わいづくりに取り組みます。

経済のグローバル化の進展により、経済活動の場が国境を越えて広がり、また、訪日外国人旅行者等が大幅に増加している中、厚みのある産業基盤や多様な地域資源など、地域の個性を大切にしながら、産業の振興と高付加価値化を図るとともに、本県の魅力や強みを最大限にアピールし、人流・物流の活発化の流れを本県の活力や賑わいにつなげていく。

③　人づくりを重視します。

本格的な少子高齢化社会を迎え、人づくりは、これからの新潟の安全・安心などの暮らしやすさや、活力ある産業、賑わいなどによる持続ある発展のための礎となるものであり、未来の新潟を担う多様な人材を育成・輩出していく。

④　個性を大切にし、豊かさの質的充実を重視します。

県民一人一人の多様な価値観を尊重し、個性を活かして資質・能力を育みながら社会において活躍できる環境を作っていくほか、ライフスタイルに応じた多様な機会の提供等により、生活や仕事、人とのつながりなどの質的充実を図っていく。

⑤　積極的に連携・協働して取り組みます。

地域を共に担う市町村をはじめ、企業・団体、ＮＰＯ、大学などの多様な主体とともに、それぞれの役割を明確にし、地域の発展のために一体となって連携・協働しながら、地域の課題解決に取り組んでいく。

2　政策の展開・取組

金融面でのセーフティネット対策により景気変動等への対応をしつつ、意欲ある県内企業等が新たな取組にチャレンジできる環境の整備や人材確保・生産性向上に向けた投資などの経営基盤の強化促進などに取り組み、稼ぐ企業をより多く輩出するなどにより、本県産業全体の付加価値の引上げと所得向上につなげ、生産年齢人口の減少が見込まれる中においても、本県産業の持続的な発展を実現する。

■　高い付加価値を生み出す企業の創出・成長促進

○　多様な産業集積や優れた技術など、本県の有する強みを最大限活かしながら、高い付加価値を生む新事業・新業態への展開、技術開発や経営革新、外部リソース(注)の活用・連携など、中小企業を含めた意欲ある県内企業等の新たな取組を、事業構想から本格展開までの各段階に応じて支援することや、産学官・企業間連携などのコーディネート機能を担うことなどで、イノベーションを促し、高い利益、付加価値を生み出す企業の創出・成長を促進する。

・各種セミナー・勉強会の開催、ビジネスプランの評価・助言等によるビジネスヒントの提供

・技術開発・商品開発に対する資金助成、専門家の活用支援、共同研究コーディネート等による企画・開発支援

○　事業規模の拡大、新分野進出、生産性向上等や、経営革新や基盤強化につながる成長のための積極的な設備投資を促進する。

■　県内企業の海外展開支援

○　企業活動がグローバル化する中、優れた技術や意欲のある県内企業等が、海外市場の獲得に積極的に取り組めるよう、環日本海経済研究所（ＥＲＩＮＡ）、にいがた産業創造機構（ＮＩＣＯ）、日本貿易振興機構（ジェトロ）、県内金融機関等との連携を密にする中で、現地の情勢・市場や県内企業ニーズを踏まえ、販路拡大に向けた市場調査やビジネスの場づくりなど、海外展開支援に積極的に取り組む。

・海外の現地情勢、市場に関する情報提供

・海外展開に関する個別相談対応

・海外見本市での共同ブース運営

・海外市場調査、海外見本市・展示会等への出展等への経費助成

○　県の海外事務所・拠点はもとより、シンクタンクや金融機関等の県内関係団体の有する海外ネットワークや情報網を活用し、本県のこれまでの交流実績や地理的優位性を活かして、北東アジア等海外との経済交流を促進する。また、経済成長の著しい東南アジア等については、現地企業等と協力しサポートデスクを設置するなど、現地でのビジネス支援機能を強化する。

■　県内企業の国内販路開拓支援

○　域内に多くの中小企業を協力企業として抱え地域のサプライチェーンの中

(注) 外部リソース：自社外の経営資源（人材、設備、ノウハウなど）。

設置の趣旨等を記載した書類

【資料 7】

事業創造学部事業創造学科と同分野の専門学校 との教育課程比較

教育課程の比較												
開志専門職大学 事業創造学部 事業創造学科						新潟ビジネス専門学校 事業創造学科（2年制）					開志専門職大学と 既存の同分野の専門学校との違い	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	授業形態			授業科目の名称	配当年次	授業形態			開志専門職大学 事業創造学部　事業創造学科 の教育課程	専門学校の教育課程
			講義	演習	実験・実習			講義	演習	実験・実習・実技		
基礎科目											「基礎科目」について 専門職大学における基礎科目は、「生涯にわたり自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成する」という趣旨を踏まえ、本学では職業人としてのより一般的な基礎・汎用科目や生涯にわたり学び続けるためのリテラシー科目により構成している。	専門学校は、「特定職種の実務に直接必要となる知識や技術の教育」を行うこととしているため、基礎的な科目も実務に必要な知識・技術の修得が中心である。
	英語コミュニケーションⅠ	1①②		○							①日本語による文章表現や口頭表現の能力と外国語によるコミュニケーション能力及び情報活用や情報管理の能力を高める科目を配置する。	社会人として必要なコミュニケーション、話し方、伝え方の手法を学修する。
	英語コミュニケーションⅡ	1③④		○								
	英語プレゼンテーション演習Ⅰ	2①②		○								
	英語プレゼンテーション演習Ⅱ	2③④		○								
	中国語コミュニケーション	4③④		○								
	韓国語コミュニケーション	4③④		○								
	ロシア語コミュニケーション	4③④		○								
	日本語コミュニケーション	1①②		○		コミュニケーション	1前	○				
						プレゼンテーション	2前			○		
	情報リテラシー	1①		○		Web基礎	1後			○		各種ビジネスソウトウェアの活用技術の習得とともにマイクロソフトオフィススペシャリスト資格の取得を目指す。
						Word実習	1前		○			
						PowerPoint実習	1後			○		
						Excel実習	2前		○			
						Web実習	2通			○		
	現代経済学	1①②	○								②職業人として必要な職業意識や職業観と規範意識及び職業選択力や生涯学習力と現代社会に関する幅広い知識を理解する科目を配置する。	専門学校ではこのような科目設定はされない。
	現代産業論	1①②	○									
	現代企業論	1③④	○									
	現代史と国際関係論	1③④	○									
	現代の科学技術	1③④	○									
	現代実践法学	1①②	○									
	現代社会学	1③④	○									
	国際動態論	3④	○									
	キャリアデザインⅠ	1①		○								就職試験に必要な基礎知識や就職活動の実践について学修する。
	キャリアデザインⅡ	2②		○		就職実務Ⅰ	1通	○				
	キャリアデザインⅢ	3②		○		基礎演習	1通		○			
						就職実務Ⅱ	2通			○		
	ビジネスモラル	1①	○			接遇・マナー実習	2通			○		社会的マナーの修得や課外活動を通して感受性・協調性を養う。
						課外研修活動	1通			○		
						課外研修活動Ⅱ	2通		○			

職業専門科目											「職業専門科目」について 事業創造学部事業創造学科は職業専門科目において研究対象とする中心的な学問分野を「経営分野」、「マーケティング分野」、「会計分野」として、専攻に係る職業において必要とされる理論的かつ実践的な能力及び当該職業の分野全般にわたり必要な能力を育成す	専門学校教育では、 即戦力として実践力に重きを置いた教育課程となっており、2年間という限られた期間での教育課程であるため一部の基礎理論と事業創造の手法を学修することに留まっている。
	経営学の基礎	1①②	○			経営学概論	1通	○			③経営の意義や役割と企業経営の管理や組織に関する理解及び経営倫理と経営に関連する経済や法律の知識を身に付ける科目を配置する。	一般社団法人日本経営協会主催の「経営学検定」の受験学習を通して、経営学の基礎知識を学修する。
	経済学の基礎	1①②	○									
	経営戦略論	1③④	○									
	経営組織論	2①②	○									
	経営戦略策定演習	2③④		○								
	グローバル社長学	3③④	○									
	実践企業革新	4①②	○									
	実践日本ビジネス法	2③④	○									専門学校ではこのような科目設定はされない。
	不動産法入門	3①②	○									
	不動産取引演習	3③④		○								
	企業リスク管理実践	3③④	○									
	マーケティング	1①②	○			マーケティング	1前	○			④マーケティングの意義や役割についての理解とマーケティング活動を適切かつ計画的に行うための能力を身に付ける科目を配置する。	マーテティングの基本的な考え方を学修し、グローバル戦略論では世界視野に立ったマーケティングを学修る。
						グローバル戦略論	2後	○				
	デジタルマーケティング	1③④		○								
	流通論の基礎	2①②	○									
	消費者行動研究	2③④	○									
	実践的統計学	3①②	○									
	広報戦略の実践	3③④		○								
	会計学	1②	○			企業会計	1前	○			⑤会計の意義と役割や目的と分類、会計の仕組みについての理解とともに、適正な会計処理を行うための能力を身に付ける科目を配置する。	企業会計の基礎知識を学修し、会計実務実習では簿記学習を通して企業会計の実務を学修するとともに、簿記能力検定の取得を目指す。
	財務諸表論	1③	○									
	簿記概論	2①②	○									
	簿記演習	2③		○		会計実務実習	2通			○		
	財務諸表分析	3①②		○								
	資金調達の実践	3③④	○									
	ビジネスコミュニケーション	1③④	○								⑥顧客満足を実現することの重要性について理解するとともに、商品を企画・開発し、販売活動を行う能力を身に付ける科目を配置する。	専門学校ではこのような科目設定はされない。
	コミュニケーションデザイン	3①②		○								
	新規商品開発・販売実習Ⅰ	2①②			臨							
	新規商品開発・販売実習Ⅱ	3①②			臨							
	ビジネスプランの基礎	1③④	○			ビジネスプラン作成Ⅰ	1後			○		ビジネスプラン作成Ⅰでは事業計画の作成方法の修得、ビジネスプラン作成Ⅱでは事業計画作成のためのマーケットリサーチを行い、ビジネスプラン作成Ⅲでは事業計画を作成し、プレゼンテーションの技法を学修する。
						ビジネスプラン作成Ⅱ	2前			○		
						ビジネスプラン作成Ⅲ	2後			○		
	ビジネスプランの応用	2①②			○							
	アントレプレナーシップ論	1③④	○								⑦起業、事業承継、企業内起業に関する知識の理解と地域産業が果たす役割や現状と課題などに関する知識を身に付ける科目を配置する。	専門学校ではこのような科目は設定されない。
	実践ベンチャービジネス	2③④		○								
	ICT活用ビジネス	3③④		○								
	トップランナー研究	1②④		○								
	ビジネスモデル研究	2①②		○								
	イノベーションマネジメント	3①②	○									
	会社設立実習Ⅰ	2③④			○							
	会社設立実習Ⅱ	3①②			○							
	会社設立実習Ⅲ	3③④			○							
	実践事業承継	3③	○									
	事業承継演習	3④		○								
	地域経済産業論	1③④	○									
	地域産業研究Ⅰ（農林水産）	2①②		○								
	地域産業研究Ⅱ（医療福祉）	2①②		○								
	地域産業研究Ⅲ（環境）	2③④		○								
	地域産業研究Ⅳ（ものづくり）	3①②		○								
	地域産業研究Ⅴ（観光）	3③④		○								
	地域産業研究Ⅵ（ICT）	4①②		○								
	地域産業研究Ⅶ（まちづくり）	4①②		○								
	地域産業研究Ⅷ（カルチャー・エンタテイメント）	4③④		○								
	企業内実習Ⅰ	1③④			臨	異業種交流Ⅰ	1通			○	⑧経営管理、マーケティング、会計に関する知識と技術を実践的な活動を通して、総合的に応用できる能力を身に付ける科目を配置する。	校外実習により様々な業界の現状を学修する。また、ケーススタディにより実際の企業内実習により会社運営の基礎を学修する。
	企業内実習Ⅱ	2③④			臨	ケーススタディ	1通			○		
	企業内実習Ⅲ	3③④			臨							

展開科目											「展開科目」について 専門職大学における展開科目は、「専攻に係る職業の分野に関連する分野における応用的な能力であって、当該職業の分野において創造的な役割を果たすために必要なものを育成する」という趣旨を踏まえ、本学では以下の科目を設定している。	専門学校教育では 専門分野の知識・技術の習得が主たる教育となるため専攻する職業分野に関連する分野で応用力を養う科目の設定はほとんど行われない。
	デザイン・シンキング概論	2①②	○			問題解決法	2後	○			⑨地域資源を商品開発に活用するための知識や方法と高い付加価値を生み出すための問題を解決する考え方を身に付ける科目を配置する。	事業創造に活かすために、問題解決、課題解決の手法を学修する。
	ソーシャルデザインⅠ	2③④		○								
	ソーシャルデザインⅡ	3①②		○								
	ソーシャルデザイン実習	3③④			○							
	新潟と地域社会	1①②	○									専門学校ではこのような科目設定はされない。
	新潟と地域政策	1③④	○									
	地域資源活用の理論と方法	2③④	○									
	地域資源活用の事例研究	3①②		○								
	地域資源活用実習	3③④			○							
総合科目											「総合科目」について 専門職大学における総合科目は、「修得した知識及び技能等を総合し、専門性が求められる職業を担うための実践力かつ応用的な能力を総合的に向上させる」という趣旨を踏まえ、本学では以下の科目を設定している。	専門学校教育では ここまでに学修したことを総合して、地域活性に関する与えられたテーマに基づいて課題を発見し、調査・研究・企画を行い、最終的にレポートとしてまとめるまでを学修することに留まり、自己で研究テーマを設定することが無いため、実践力かつ応用力を向上させることまでに至っていない。
	事業計画策定総合実習	4通			○	卒業研究	2通			○	⑩地域資源を活用した新商品や新サービスの企画・開発に関する体験を通し、講義や演習で得た知識と技術の総合化を図る科目を配置する。	
						クリエイティブ実習	2通			○		

事業創造学部事業創造学科と同分野の専門学校 との教育課程の違い

専門学校は、「特定職種の実務に直接必要となる知識や技術の修得」を行う教育機関であるため、上記の教育課程でもわかるように、専門分野の研究活動は行わないため理論科目も実際の技術修得に必要な最低限の理論科目のみが設定されている。また、2年間という短い期間でもあるため、実務に必要な知識や技術は、その学修時点の知識や技術に留まっていることで、その後の発展性は低いと考えられる。
また、応用力を養うための教育課程とはなっていないため、企業の中では中核的な存在となるためには更なる経験と知識や技術の修得が必要となる。

本学事業創造学部事業創造学科では、基礎科目において「生涯にわたり自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力」を育成し、職業専門科目により「事業の創造や諸活動において必要とされる理論的かつ実践的な能力及び事業の創造や諸活動に係る職業分野全般に精通する」ために、理論科目、演習科目、実習科目を体系的に学修する。さらに展開科目により、事業の創造や諸活動において創造的な役割を担うとともに、地域産業の新たな価値の創造と発展を担うための能力」を養うことができるような教育課程となっている。

設置の趣旨等を記載した書類

【資料 8】

日機連２９

平成２９年度 IoT・AI時代のものづくりと人の役割変化への対応調査研究

平成３０年３月

一般社団法人 日本機械工業連合会

IoT・AI時代のものづくり人材調査専門部会報告書

KEIRIN 競輪の補助事業　この報告書は、競輪の補助により作成しました。
http://hojo.keirin-autorace.ir.jp

2. CTBには、新システムを導入しつつ、システム間の統合を経てハードウェアをベースとしたサービス展開[52]などの新事業を立ち上げ、発展させていくといった事業転換を果敢に進めていくことが求められる。

3. ここで新システムには次の2つの側面があることに留意する必要がある。一つは中国でいうところの「インターネット＋」～既存の事業のデジタル化のためのシステム構築であり、もう一つは「＋インターネット」～デジタル化を活用した新規事業の開拓のためのシステム導入である。

4. スマート工場をはじめとした生産部門の高度化、効率化を担う立場に限定すると、RTB内の生産に関連する直接部門の立場からみたデジタル化を想定することになる。こういったケースでは上記Π型人材やΠ型チームといったものづくり内部からの人材育成に関する議論が有効である。

5. 一方、ビジネスそのものの変革を担うセクションであるCTBには、ビジネス開拓のプロフェッショナルに加えて、デジタル化によって可能になるオプションを提示できたり、新規事業の生産可能性などを検討できたりといった、複数の専門家を集めてチームを組む必要が生じる。

6. いわゆるタスクフォースのようなイメージである。しかし、企業規模などによってはどの企業においても必要な人材の全てを集めるというわけにはいかない。

7. 次年度以降、どの方向に向かって議論していくのか、さらなる検討が必要と思われる。その詳細は今後に残された課題の一つである。

6-6-4.求められる人材と組織

【新時代に求められる能力】

1. これからも必要となる能力としては、全体俯瞰力、想像力、論理的思考力、本質を見抜く教養力、デザイン思考力、説得力、課題設定力などが挙げられている。

2. また、物理現象を可視化・解析するツールやシミュレーションツールとしても有意義なDT･CPSやAIなどの先進デジタル技術をいち早く使いこなせることもまた強みになりうる。引き続き検討を要する課題である。

【Π型の人材とΠ型のチーム】

1. デジタル化・ネットワーク化を進めるには、先ずアウトソースを先行させ、並行してブリッジ人材を確保・育成しつつ、チームの基盤を作るとの提案がみられた。

---

[52] 新システムを使った「サービス展開」について、IMDの国際競争力センター所長のArturo Bris教授は「デジタル技術の開発・実装によって、市民や事業に供せられるための『サービスの質と範囲』を改善していく必要がある」と述べ、サービスの質のみならず範囲の重要性を指摘している。IMD World Competitiveness Yearbook 2017 Executive Summaryのp3から意訳

設置の趣旨等を記載した書類

【資料 9】

新潟県

新潟県総合計画
2017年度－2024年度

にいがた未来創造プラン

平成30年1月

新　潟　県

⑤ 成長産業の創出・育成

1　現状・課題

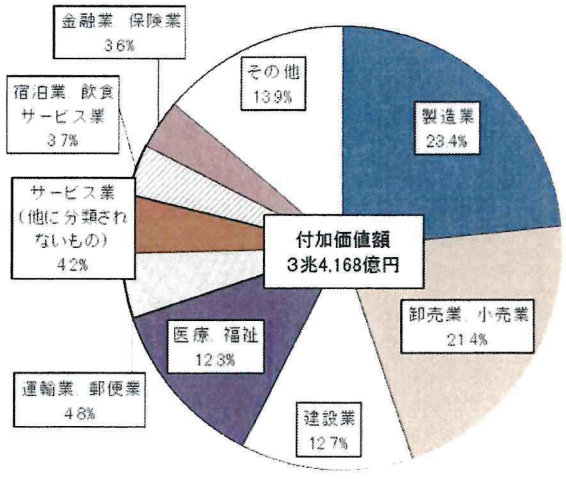
本県産業は、多様な産業集積と優れた技術を有しているが、中小企業の割合が高く、従業者１人当たりの製造品出荷額等や付加価値額は全国低位にある。また、生産年齢人口の減少に伴い、企業の人手不足感が高まっている。

県内においても景気は回復しつつあるが、長年続いた円高の影響や生産拠点の海外移転等により、産業の空洞化も懸念されるところであり、地方の中小企業は、成長が見込まれる新分野への進出を図ることが求められている。

県ではこれまでも、市場の拡大が期待される成長分野に重点を置き、高付加価値化に向けた取組を進めてきたところであるが、デフレの長期化やリーマンショック等の影響もあり、高付加価値化に向けた取組は一部企業に止まっている。

これらの課題に対応するためには、県内企業や大学など多様な主体と連携し、本県が有する強みを最大限活かしながら、国内外において市場の成長が期待される分野への参入促進を強化するとともに、ＡＩ（人工知能）、ＩｏＴ(注)、ビッグデータ等の活用により新たなビジネスの創出や生産性の向上を図り、県内産業の高付加価値化につなげていく必要がある。

● 本県企業等の付加価値額（産業大分類別）



資料：総務省・経済産業省「平成 28 年経済センサス活動調査（速報）」

● 工業の概要

	新潟県	全国シェア	全国順位	全国
事業所数	5,564所	2.7%	10位	202,410所
従業者数	180,932人	2.4%	17位	7,403,269人
製造品出荷額等	46,426億円	1.5%	23位	3,051,400億円
従業者1人当たり	2,566万円	―	44位	4,122万円
付加価値額	16,731億円	1.8%	20位	922,889億円
従業者1人当たり	925万円	―	36位	1,247万円

※ 従業者数４人以上の事業所

資料：平成 26 年工業統計調査

2　政策の展開・取組

航空機や次世代自動車などの将来性が見込まれる産業分野及び新たな成長分野への県内企業の参入促進に向けた支援に努めるとともに、ＡＩやＩｏＴ、ビッ

(注) ＩｏＴ：Internet of Things の略で、モノのインターネットと訳される。情報通信の機能を持たない機器をインターネットにつなぎ、情報通信、制御をする仕組み。

グデータなどの活用を促進することで生産性の向上を図り、本県産業の付加価値の向上を実現する。

■　県内産業の活性化や生産性向上に向けたＡＩ、ＩｏＴ、ビッグデータ等の活用促進

○　産学官の連携により、生産性の向上や人手不足への対応、革新的なサービス・製品の創出による付加価値の向上などが期待されるＡＩ、ＩｏＴ、ビッグデータ等の活用を促進し、新たなビジネスモデルへの転換を図る県内企業を創出・育成する。

○　県内企業の多くは情報や人材の不足により、ＩｏＴ等の導入が進まない状況であるため、セミナーによる情報提供や導入実証による効果検証を行うとともに、高度ＩＴに関する研修や情報発信により人材の育成を支援する。また、企業ニーズ等を踏まえながら、サービス産業や製造現場における導入を促進する。

○　成長が見込まれるＡＩ、ＩｏＴ、ロボット分野において、県内企業の参入を促進するために、Ｒ＆Ｄ（研究開発）を支援し、生産性の高いサービス産業やものづくり技術の振興を図る。

■　将来性が見込まれる産業分野への参入促進

○　航空機産業への新規参入や関連企業の集積を促進するため、県内企業との共同研究や企業間連携の推進等により、企業の技術力・品質管理能力の向上や航空機産業を担う人材の確保・育成等を支援する。

・大手重工メーカー等のニーズに対応したチタンなどの難加工材料の効率的な切削加工技術の開発や県内企業との共同研究
・大手重工メーカー等と県内企業とのマッチングの推進
・企業の技術力・品質管理能力の向上に向けた航空機関連認証（ＪＩＳＱ９１００、Ｎａｄｃａｐ）の取得支援
・中核的人材育成講座等の実施

○　次世代自動車産業への参入を促進するため、広域的な企業間連携や自動車メーカー向け展示商談会等の開催、技術開発に向けた取組等を支援する。

・東北６県及び北海道と連携した広域的な企業間連携
・自動車メーカー向け展示商談会の開催による企業間マッチング
・アドバイザー派遣、新技術・新工法の開発や試作開発等支援

○　将来的な市場拡大が見込まれる医療機器分野への販路開拓を図るため、医師等との意見交換会の実施により、医療現場ニーズを把握し、産学官連携による共同研究や技術開発につなげるとともに、医療関係者向け展示商談会への出展による商談機会の確保、県央基幹病院における医工連携に向けた取組など、医療機器の製品開発や技術開発等を支援する。

○　少子高齢化の時代においても市場の伸びが期待できる健康・医療・福祉関連分野において、産学官で連携して、県内企業の新規参入や、機能性食品・高圧加工食品などの新たな商品開発等に向けた取組を支援することにより、健康関連産業の高付加価値化を推進する。

設置の趣旨等を記載した書類

【資料 10】

新潟県情報化プラン

(2016～2019)

平成２８年６月

新潟県

はじめに

近年、情報通信技術（ＩＣＴ）はめざましい進歩を遂げており、日常生活等の様々な場面において必要不可欠のツールとなっています。

これまで本県では、平成 18 年度に「新潟県行政情報化プラン(2006～2008)」を策定し、以降改訂を重ね、県組織内の行政情報化として基盤整備や内部事務の効率化等を進めてまいりました。さらに、平成 24 年度策定の「新潟県情報化プラン(2012～2015)」からは、県内の地域情報化を新たに加えて、県民生活により直結する形でのＩＣＴ活用を着実に推進してまいりました。

今回策定の「新潟県情報化プラン(2016～2019)」においても、地域情報化として、「新潟県『夢おこし』政策プラン」が掲げる「将来に希望の持てる魅力ある新潟県」の実現をＩＣＴ活用の観点から推進し、快適・安全・豊かなくらしの実現や地域の活性化に取り組んでまいります。同様に、行政情報化として、「新潟県行政経営改革推進ビジョン」を踏まえて、ＩＣＴ活用による行政経営の高度化及び効率化の更なる推進に取り組んでまいります。

また、本プランの策定にあたりましては、県民の皆様や有識者等、多くの方々から貴重な御意見をいただきました。ここに深く感謝申し上げます。

新潟県知事　泉田　裕彦

設置の趣旨等を記載した書類

【資料 11】

情報学部情報学科と同分野の専門学校 との教育課程比較

教育課程の比較												
開志専門職大学						新潟コンピュータ専門学校					開志専門職大学と 既存の同分野の専門学校との違い	
情報学部 情報学科						情報システム科（3年制）						
科目区分	授業科目の名称	配当年次	授業形態			授業科目の名称	配当年次	授業形態			開志専門職大学 情報学部　情報学科 の教育課程	専門学校の教育課程
			講義	演習	実験・実習			講義	演習	実験・実習・実技		
基礎科目											「基礎科目」について 　専門職大学における基礎科目は、「生涯にわたり自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成する」という趣旨を踏まえ、本学では 職業人としての望ましい心構えや人間性と自律・自立して学習できる能力と態度を有し、現代社会に関する幅広い知識や汎用的技能を身に付けるための科目を構成している。	専門学校は、「特定職種の実務に直接必要となる知識や技術の教育」を行うこととしているため、基礎的な科目も実務に必要な知識・技術の修得が中心である。
	英語コミュニケーションⅠ	1①②		○							① 日本語と英語を中心とした外国語を用いたコミュニケーション能力を修得する。	専門学校ではこのような科目設定はされない。
	英語コミュニケーションⅡ	1③④		○								
	英語プレゼンテーション演習Ⅰ	2①②		○								
	英語プレゼンテーション演習Ⅱ	2③④		○								
	中国語コミュニケーション	4③④		○								
	韓国語コミュニケーション	4③④		○								
	ロシア語コミュニケーション	4③④		○								
	日本語コミュニケーション	1①②		○								
	情報リテラシー	1①		○		表計算実習Ⅰ	1後		○		② 「情報リテラシー」により、単純なビジネスソフトウェアの修得ではなく、大学での学習活動、卒業後の職業生活や社会生活において、情報の収集、分析や資料作成等知的活動を効率的、安全に進めるために不可欠な基本的な情報処理能力を身に付けることができ	各種ビジネスソウトウェアの活用技術の習得が中心となっている。
						ワープロ実習	1後			○		
						表計算実習Ⅱ	2通			○		
	現代経済学	1①②	○								③ 「現代経済学」から「国際動態論」までの科目を配置することで社会的に重要な特定の主題や現代社会が直面する諸課題に関する知識を習得する。	専門学校ではこのような科目設定はされない。
	現代産業論	1①②	○									
	現代企業論	1③④	○									
	現代史と国際関係論	1③④	○									
	現代の科学技術	1③④	○									
	現代実践法学	1①②	○									
	現代社会学	2①②	○									
	国際動態論	3④	○									
	キャリアデザインⅠ	1②		○							④ キャリアデザインにより、大学での自主的な学習のために必要となる基本的な知識の修得、将来にわたり自律・自立して目標達成するための態度、職業観の涵養、職業理解などキャリア形成に必要な能力を習得す	就職試験に必要な基礎知識や就職活動の実践について学修する。
	キャリアデザインⅡ	2②		○								
	キャリアデザインⅢ	3②		○		ビジネス教養	3後	○				
	ビジネスモラル	1①	○								⑤ 「ビジネスモラル」により、社会的規範としての道徳観を涵養する。	専門学校ではこのような科目設定はされない。

											「職業専門科目」について 専門職大学における職業専門科目は、「専攻に係る特定の職業において必要とされる理論的かつ実践的な能力及び当該職業の分野全般にわたり必要な能力を育成する ための授業科目」という趣旨を踏まえ、本学では情報技術者として必要となる情報と情報技術に関する専門的な知識と技能を有し、情報の処理・伝達・管理とそれらを活用する能力を身に付けるための科目を構成する。	専門学校教育では、 即戦力として実践力に重きを置いた教育課程となっており、3年間という限られた期間での教育課程であるためとコンピュータの基礎理論と一部の手法を学修することに留まっている。 教育課程の編成においては、情報処理技術者試験を取得するために絞った科目設定となっていること、演習科目、実習科目が中心であり、理論や基礎の科目が少ないこと、学外の実習は設定されていないこと、これらの理由から、教育課程は、情報分野学問における一部の知識と手法の学修に留まることにより、本学情報学部情報学科のような体系的な教育課程らは至っていない。
	情報の基礎	1①	○								① 情報の意義と役割や情報産業と社会とのかかわりの理解とともに、情報分野の倫理と情報に関する広い知識を身に付ける科目を配置する。	情報処理国家資格のシラバスに準拠した、経営や法令の習得を行うのみである。
	トップランナー研究	1⑩2⑩		○								
	情報と法律	1③④	○			マトリクス会計	3前	○				
	情報と経営	2③④	○			経営学	3後	○				
	情報と倫理	3①	○									
	情報と英語	3④		○								
	コンピュータアーキテクチャ	1⑩	○			オペレーティングシステム	1前	○			② コンピュータの基本設計や設計思想に関する理論と専門科目を学ぶうえで必要な数学や統計学に関する知識を身に付ける科目を配置する。	情報処理国家資格のシラバスに準拠した、知識を修得するが、資格試験合格のための受験テクニックの指導が多くを占める。
	オペレーティングシステム	1⑫	○			コンピュータシステム概論	2通	○				
	線形代数	1①②	○									
	微分積分	1③④	○									
	確率論	1③④										
	統計学	2①②	○									
	ICT演習（ハードウェア/ソフトウェア）	1③		○								
	ICT演習（基本情報）	2④		○		情報処理2種対策	1後	○				
	ICT演習（応用情報）	3①		○		情報処理検定対策	3通	○				
	データ構造とアルゴリズム	1①②	○			アルゴリズム	1前		○		③ アルゴリズムとプログラミング及びデータ構造に関する理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける科目を配置する。	専門学校の趣旨に鑑み、情報系の企業で採用されているプログラミング言語を修得する科目を多数配置するが、基礎理論などの教育は行わないため、最新の技術を自ら学び修得するための素養は養成されていない。
	プログラミングⅠ	1⑩②	○			Javaプログラミング Ⅰ	1前		○			
						C言語 Ⅰ	1後		○			
	プログラミングⅡ	1③④		○		オブジェクト指向 Ⅰ	2通	△	○			
						C++プログラミング Ⅰ	2通	△	○			
	ネットワークプログラミング実習	2⑩②			○	プログラム実習	1通			○		
						アプリケーション実習 Ⅰ	2通			○		
	API実習	2④			○	Javaプログラミング Ⅱ	2通			○		
	情報通信ネットワーク	1③	○								④ ネットワークの設計と構築、運用と保守、安全対策に関する理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける科目を配置する。	基本的なネットワークプログラミングの授業科目が設定されているのみである。
	ネットワーク演習	1③		○		HPプログラミング	2通	△	○			
	分散型台帳技術	3④		○		UNIX 演習	3後	△	○			
	情報セキュリティ	1④	○									
	サイバーセキュリティ演習	2②		○								
	サイバーセキュリティ実習	3②			○							
	ICT演習（セキュリティ）	2③		○								
	ICT演習（セキュリティスペシャリスト）	4②		○								
	データベースの基礎	1②	○			データベースシステム	2通	△	○		⑤ データベースの設計、操作言語、管理システムに関する理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける科目を配置する。	データベースに関する実務に直接必要となる、知識・技能の教育のみである。
	データベース演習	2②		○		データベース設計演習	3前			○		
	ICT演習（データベーススペシャリスト）	4④		○								
	システムモデリング	1⑫	○			システム開発演習 Ⅰ	1前		○		⑥ 情報システムの開発、設計、運用と保守、評価に関する理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける科目を配置する。	システム開発の実務に直接必要となる、知識・技能の教育のみであり、企業内実習は科目設定はされない。
						表現技法	2通	△	○			
	システム開発技術	2⑩②	○			オブジェクト指向 Ⅱ	3前	△	○			
						システム開発演習 Ⅱ	2通			○		
	臨地実務実習 Ⅰ	2③			臨							
	臨地実務実習 Ⅱ	3③			臨							

職業専門科目	情報科学基礎	1①②	○								⑦ ＩｏＴ、クラウド、ＡＩ、データサイエンスに関する理論や技術の習得と、情報技術を応用的に活用する能力を身に付ける科目を配置する。	先端応用技術に関する修得は、科目設定はされない。 情報システムを開発する実習において、各自でテーマ選定した際に、ＡＩなどの先端技術をテーマにすることが可能なことのみである。
	知識表現・知識処理	2①	○									
	AI実習	3①			○							
	マシンラーニング	3②		○								
	マシンラーニング実習	4①			○							
	データサイエンス演習	2②		○								
	データサイエンス実習	3①			○	アプリケーション実習Ⅱ	3通			○		
	データマイニング演習	3②		○								
	サイバーフィジカルシステム基礎	1③	○									
	IoT演習	2②		○								
	IoT実習	3①			○							
	ハードウェア設計	3②		○								
	ロボティクス実習	4①			○							
	没入型コンピューティング	1③		○								
	没入型コンピューティング実習	2④			○							
	ユーザエクスペリエンス	2④		○								
	クラウド技術概論	2②	○									
	クラウドベーシック&マーケティング	3①		○		システム開発	3後			○		
	クラウドプラットフォーム実習Ⅰ	3②			○	C++プログラミングⅡ	3前			○		
	クラウドプラットフォーム実習Ⅱ	4①			○	ソフトウェア開発	3後			○		
	ICT演習（クラウド）	2③		○								
	ICT演習（IoT）	3④		○								
	ICT演習（マシンラーニング）	3④		○								
	ICT演習(組込システム)	4④		○								
展開科目											「展開科目」について 専門職大学における展開科目は、「専攻に係る職業の分野に関連する分野における応用的な能力であって、当該職業の分野において創造的な役割を果たすために必要なものを育成する」という趣旨を踏まえ、本学では地域社会や産業界を取り巻く現状の認識のもと、商品やサービスをユーザーの立場から考え、問題や課題を正しく解決していく能力を身に付けるための科目を構成する	専門学校教育では 専門分野の知識・技術の習得が主たる教育となるため専攻する職業分野に関連する分野で応用力を養う科目の設定はほとんど行われない。
	新潟と地域社会	1①②	○								① 地域社会や産業界を取り巻く現状の理解及び市場の把握や顧客ニーズ・ウォンツを吸い上げるための方法を身に付ける科目を配置する。	①－１ 地域の社会や文化と特性などに関する知識及び情報技術に関連する経済活動全般にわたる理解	専門学校ではこのような科目設定はされない。
	ソーシャルデザインⅠ	2①②		○								
	ソーシャルデザインⅡ	3①②		○								
	ソーシャルデザイン実習	4②			○							
	情報産業論	2①②	○									
	国際文化と伝統	2③④	○									
	社会心理・消費者行動	1③④	○			心理学	3後	○				①－２ 市場や消費者の動向を把握するための調査や分析に関する知識と手法	心理学の修得を通してサービスを享受するユーザーの心理を修得するのみの教育である。
	マーケティング	2①②	○										
	マーケティング実践	3①②		○									
	デザイン・シンキング概論	1①②	○								② 情報技術を新商品や新サービスに活用するために必要となるユーザーの立場から問題や課題を解決する考え方を身に付ける科目を配置する。		専門学校ではこのような科目設定はされない。
	デザイン・シンキング実習Ⅰ	2①			○								
	デザイン・シンキング実習Ⅱ	3①			○								
総合科目											「総合科目」について 専門職大学における総合科目は、「修得した知識及び技能等を総合し、専門性が求められる職業を担うための実践力かつ応用的な能力を総合的に向上させる」という趣旨を踏まえ、本学では個別に学修した情報技術に関する知識や技能と活用する能力を総合し、ユーザーの視点に立った新商品や新サービスを創り出す能力を身に付けるための科目を構成する。	専門学校教育では 情報技術に関する知識や技能と活用する能力を総合し、ユーザーの視点に立った新商品や新サービスを創り出す科目の設定は行われない。
	ICT活用総合実習	4通			○						① 情報技術を活用した新商品や新サービスの企画・開発に関する体験を通し、講義や演習で得た知識と技術の総合化を図る科目を配置する。		専門学校ではこのような科目設定はされない。

情報学部情報学科と同分野の専門学校 との教育課程の違い

専門学校は、「特定職種の実務に直接必要となる知識や技術の修得」を行う教育機関であるため、上記の教育課程でもわかるように、専門分野の研究活動は行わないため理論科目も実際の技術修得に必要な最低限の理論科目のみが設定されている。また、3年間という短い期間でもあるため、実務に必要な知識や技術は、その学修時点の知識や技術に留まっていることで、その後の発展性は低いと考えられる。
また、応用力を養うための教育課程とはなっていないため、企業の中では中核的な存在となるためには更なる経験と知識や技術の修得が必要となる。

本学情報学部情報学科では、基礎科目において「職業人としての望ましい心構えや人間性と自律・自立して学習できる能力と態度を有し、現代社会に関する幅広い知識や汎用的技能」を育成し、職業専門科目により「情報技術者として必要となる情報技術の理論と理論に裏付けられた実践力を有し、情報の処理・伝達・管理とそれらを活用する」ために、理論科目、演習科目、実習科目を体系的に学修する。さらに展開科目により、「地域社会や産業界を取り巻く現状の認識のもと、商品やサービスをユーザーの立場から考え、問題や課題を正しく解決していく能力」を養うことができるような教育課程となっている。さらに総合科目において「個別に学修した情報技術に関する知識や技能と活用する能力を総合し、ユーザーの視点に立った新商品や新サービスを創り出す能力」を育成する。

設置の趣旨等を記載した書類

【資料 12】

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

地域イノベーション

地域経済の活性化を図っていくためには、地域の潜在能力を結集してイノベーションを創出し、新事業・新産業を起こすことが必要です。そのために、地域の産学官ネットワークの強化によるイノベーション創出環境の整備等を強力に支援します。

全国鉱工業公設試験研究機関保有機器・研究者情報検索システム

全国鉱工業公設試験研究機関保有機器・研究者情報検索システム

ユーザーが鉱工業公設試験研究機関（以下、「公設試」。）が保有する機器及び研究者情報等の検索を行う場合、これまで各地域ブロック単位などで運営されている検索システムや各公設試のホームページによる検索システムが広く利用されてきましたが、全国大や地域ブロックを越えて情報の検索を行う場合には、いくつもの検索システムを介して行わなければならず、全国の情報を一括して検索するシステムの構築が強く求められてきました。それを受け、今般、各地域ブロックで運営されている公設試データベース等の情報を基に、全国の公設試が保有する機器や全国の公設試に所属する研究者情報に係る全国規模の情報について、ユーザーが簡便かつ円滑に検索することができる検索システムを構築しました。

地域新産業の創出促進・基盤強化のための支援

地域新産業戦略推進事業（平成２５年度）（PDF形式：152KB）

本事業は、地方自治体の行政区域を跨る地域経済社会（広域経済圏）において、産学官等の様々な主体のネットワークを形成することにより、地域が有する多様な強みや特長、潜在力等をより積極的に活用した新たな成長産業群の創出・育成（新たな産業資本の集積）を推進することを目的として実施します。

地域新成長産業創出促進事業費補助金（地域新産業集積戦略推進事業）交付要綱（PDF形式：260KB）

地域新成長産業創出促進事業費補助金（イノベーション基盤強化事業）交付要綱（PDF形式：235KB）

地域新産業創出基盤強化事業（平成２４年度補正）（PDF形式：165KB）

本事業は、我が国における成長産業の育成を図るため、地域における新産業の創出に向けて、地域の中核的な試験研究機関（公設試験研究機関）の基盤強化を行うことを目的として実施します。

地域イノベーション創出に向けた研究に対する支援

地域イノベーション創出実証研究補助事業（平成２４年度終了）（PDF形式：175KB）

地域イノベーション創出研究開発事業（平成２３年度終了）（PDF形式：147KB）

地域の資源や技術を活かした新事業、新産業創出による地域経済の活性化を図るため、地域の中小企業をはじめとする産学官のリソースを最適に組み合わせた研究体による実証研究等を支援しました。

地域イノベーション戦略推進地域

平成２３年度から、地域イノベーションの創出に向けた地域の主体的かつ優れた構想に対して、関係府省の施策を総動員して支援するため、文部科学省、農林水産省、総務省と連携して、「地域イノベーション戦略推進地域」の選定を行っています。詳細については、下記の文部科学省ＨＰを御確認ください。

地域イノベーション戦略推進地域(平成26年度公募分)選定結果等

地域イノベーション戦略推進地域(平成25年度公募分)選定結果等

地域イノベーション戦略推進地域(平成24年度公募分)選定結果等

地域イノベーション戦略推進地域(平成23年度公募分)選定結果等

「地域イノベーション戦略推進地域（東日本大震災復興支援型（平成24年度公募分））」については、復興庁が文部科学省、経済産業省及び農林水産省と連携して選定を行いました。詳細については、下記の文部科学省ＨＰを御確認ください。

地域イノベーション戦略推進地域（東日本大震災復興支援型(平成２４年度公募分)）選定結果等

産業クラスター政策

平成１３年度より、我が国産業の国際競争力を強化するとともに、地域経済の活性化に資するため、全国各地に企業、大学等が産学官連携、産産・異業種連携の広域的なネットワークを形成し、知的資源等の相互活用によって、地域を中心として新産業・新事業を創出される状態（産業クラスター）の形成を図ってきました。当事業に対する国の直接的な支援は平成２１年度で終了していますが、これまで当事業を通じて各地に構築されたネットワーク等を活用し、各地で自立的にクラスター活動が進められています。

産業クラスター政策について

調査・報告書

平成22年度地域新成長産業創出促進事業（イノベーション創出基盤強化事業）報告書（lzh形式：26,627KB）

平成21年度地域イノベーション創出研究開発事業　成果事例集（PDF形式：8,408KB）
（ZIP形式:8,320KB）

リンク

全国イノベーション推進機関ネットワーク－
（平成２１年４月に設立され、全国のクラスターや地域間の情報共有、連携強化等、地域イノベーション創出のためのプラットフォーム的役割を担う組織）

お問合せ先

地域経済産業グループ 地域新産業戦略室
電話:03-3501-8794(直通)
FAX:03-3580-7917

最終更新日：2013年7月11日

『地域資源を活用した新商品・新サービスの事業化を支援して欲しい』

中小企業地域資源活用プログラム
～地域資源を活用した新商品・新サービスの事業化に対する支援～

地域資源を活用して新商品や新サービスを開発する中小企業者に対して、法的措置や予算措置、金融措置などにより総合的な支援を展開します。

中小企業者が、地域資源を活用した新商品・新サービスの事業化を行う際、「中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の促進に関する法律(以下、「中小企業地域資源活用促進法」)に基づく支援の他、様々な支援を受けることができます。

■「中小企業地域資源活用促進法」について

この法律では、地域経済が自立的・持続的な成長を実現していくために、各地域の「強み」である地域資源(産地の技術、農林水産品、観光資源)を活用した中小企業の新商品・新サービスの開発・市場化を総合的に支援します。

対象となる方

地域資源を活用して新商品・新サービスの開発・市場化に取り組む中小企業者等

支援内容

1.「中小企業地域資源活用促進法」に基づく支援
中小企業地域資源活用促進法に基づいて、中小企業者が単独又は共同で、地域資源を活用して新商品・新サービスの開発・市場化を行う「地域産業資源活用事業計画」を作成し、認定を受けると、補助金、低利融資、課税の特例等の各種支援策(※)をご利用になれます。

なお、個別の支援策ごとに支援機関の審査や確認が必要となる場合があります。

各種支援施策一覧

(1)地域資源活用売れる商品づくり支援事業:上限3000万円(補助率2/3以内)
試作品開発、展示会出展等に係る費用の一部を補助します。

(2)マーケティング等の専門家によるサポート支援(新事業創出支援事業)(34頁参照)
事業計画作成から試作品開発、販路開拓まで一貫したサポート支援を実施します。

(3)中小企業基盤整備機構が主催する商談会、アンテナショップ等に対する優先的な出展
中小企業基盤整備機構が主催する商談会やアンテナショップ等に優先的に出展できます。

(4)政府系金融機関による融資制度(31頁参照)
設備資金及び長期運転資金について融資される制度があります。

(5)信用保証の特例(125頁参照)
保証限度額の拡大等の特例が適用されます。

(6)食品流通構造改善促進機構による債務保証等
食品関係の事業を行う場合は、必要な資金の借入に対し、債務保証等を受けられます。

(7)中小企業投資育成株式会社法の特例(24頁参照)
中小企業投資育成株式会社に相談・申込みをいただき、審査を通過すれば、設立の際に発行される株式の引き受けなどの支援を受けられます。

(8)課税の特例(139頁参照)
機械及び装置を取得等した場合、特別償却又は税額控除を選ぶことができます。(別途、一定の要件があります。)

ご利用方法

(1)まず、活用しようとする地域資源が、都道府県が策定する基本構想に記載されている必要がありますので、経済産業局、都道府県等にお問い合わせ下さい。

(2)「地域産業資源活用事業計画」が出来ましたら、都道府県の担当部局に申請して下さい。
※「地域産業資源活用事業計画」を策定する際には、全国10カ所に設置されている機構支部・事務所で、サポート支援が受けられます(新事業創出支援事業)。

■地域資源を活用した新たな事業創出及び販路開拓等の取組に対する支援

(1)地域資源活用販路開拓等支援事業:上限1,000万円(補助率1/2以内)
地域資源を活用した商品の販路開拓などに地域一体で取り組む組合等に対し、展示会出展等の費用の一部を補助します。
→詳細については下記アドレスまで
http://www.chusho.meti.go.jp/shogyo/chiiki/2010/100215ChiikiShigenHanroKoubo.htm

(2)地域産品販路開拓機会提供支援事業(164頁参照)
・展示・商談会の開催や、百貨店等における販売スペースの設置を通じて、「バイヤーとの商談機会の提供」、「消費者への商品紹介の機会拡大」、「百貨店等における一般的な商流を中小企業者が体験することによるノウハウ蓄積」を実現。商品の更なる販路開拓を促進するとともに、中小企業者自身が自力で販路拡大を実施できる能力の獲得等を支援する。

(3)地域中小企業応援ファンド (167頁参照)
中小企業基盤整備機構が資金提供を行い、都道府県、地域金融機関等と一体となって「地域中小企業応援ファンド」を組成し、地域資源を活用した取組などに対し、シーズの発掘等に対する助成や、新事業展開を行う中小企業等に対する出資等の支援を行います。

(4)JAPANブランド戦略展開支援事業(166頁参照)
地域の関係事業者が一体となって、国際市場で通用する高いブランド力(JAPANブランド)の構築を目指す取組を支援します。

(5)中小企業応援センター事業(8頁参照)
・中小企業の日常的な経営支援に取り組む中小企業団体や税理士・公認会計士などの支援機関の経営支援機能を補完・強化するため、その後方支援機関として「中小企業応援センター」を全国84カ所に設置し、支援機関を通じて、農商工連携・経営革新等をテーマとした中小企業への専門家派遣や、窓口相談等により、中小企業の経営力向上を図ります。

(6)中小機構基盤整備機構による各種展示会・商談会等の販路開拓支援
「出会う、ふれあう、地域の魅力」キャンペーンの一環として、地域中小企業の取引機会やテストマーケティングの機会の拡大を図るため、中小企業基盤整備機構が展示会・商談会等を実施します。

・「出会う、ふれあう、地域の魅力」キャンペーンの実施

地域経済を支える農林漁業者等や中小企業者の、農商工連携や地域資源活用等により開発した商品・サービス等や、魅力ある隠れた地域産品等について、全国規模での展示会、商談会等の開催を通じて、首都圏等のバイヤー等との商談機会を提供し、全国規模等での販路開拓・拡大を目指すことにより、地域経済活性化の推進を図っています。
→詳細については右記アドレスまで http://www.chusho.meti.go.jp/shogyo/shinjigyo/index.htm

※地域資源を活用して、新たなビジネスを創設するのに役立つ様々な情報チャンネル
地域資源活用チャンネル http://j-net21.smrj.go.jp/expand/shigen/index.html

お問い合わせ先

設置の趣旨等を記載した書類

【資料 13】

新潟県

新潟県総合計画
2017年度－2024年度

にいがた未来創造プラン

平成30年1月

新　潟　県

第４章　政策展開の基本方向

１　政策展開の基本的な視点

本計画の基本理念及び将来像の実現に向けて、県民一人一人が安全に安心して暮らし、また、地域経済が安定的に成長していくための中長期的な政策の方向性として、次のような視点を基本にこれからの県の政策を展開していく。

具体的には、将来像に基づく政策の大きな柱や体系からの視点（①～③）、及び各政策に共通して重視する視点（④、⑤）を基本に展開していく。

①　県民の暮らしを重視します。

自然災害・防災や治安対策、事故防止など、県民の日常生活の安全・安心の確保のほか、子育て・医療・福祉サービスや教育が安心して受けられ、暮らしや将来に安心感を持って誰もが活躍できる環境を作っていく。

②　活力や賑わいづくりに取り組みます。

経済のグローバル化の進展により、経済活動の場が国境を越えて広がり、また、訪日外国人旅行者等が大幅に増加している中、厚みのある産業基盤や多様な地域資源など、地域の個性を大切にしながら、産業の振興と高付加価値化を図るとともに、本県の魅力や強みを最大限にアピールし、人流・物流の活発化の流れを本県の活力や賑わいにつなげていく。

③　人づくりを重視します。

本格的な少子高齢化社会を迎え、人づくりは、これからの新潟の安全・安心などの暮らしやすさや、活力ある産業、賑わいなどによる持続ある発展のための礎となるものであり、未来の新潟を担う多様な人材を育成・輩出していく。

④　個性を大切にし、豊かさの質的充実を重視します。

県民一人一人の多様な価値観を尊重し、個性を活かして資質・能力を育みながら社会において活躍できる環境を作っていくほか、ライフスタイルに応じた多様な機会の提供等により、生活や仕事、人とのつながりなどの質的充実を図っていく。

⑤　積極的に連携・協働して取り組みます。

地域を共に担う市町村をはじめ、企業・団体、ＮＰＯ、大学などの多様な主体とともに、それぞれの役割を明確にし、地域の発展のために一体となって連携・協働しながら、地域の課題解決に取り組んでいく。

① 意欲ある企業等への支援による県内産業の活性化

1　現状・課題

本県では、食品・清酒、金属・機械、繊維など、それぞれの地域の特性や歴史などにより育まれた多様な地域産業（P89 参照）が県内各地に集積しているほか、国内外でのトップシェアや独自の技術により高い競争力を持つ企業が多数あり、それぞれが地域の経済と雇用に重要な役割を果たしてきている。

一方、県内企業等は、経営規模が小さく、中間財生産や下請け取引を主流とする経営面で他律的な企業等が多く、十分な付加価値・利益が得にくい産業構造となっている。

これまで高付加価値化に向けた取組を進めてきたところであるが、デフレの長期化やリーマンショック等の影響に加え、ＩＣＴ（P10(注１)参照）化等に伴い製品のコモディティ化(注)が進み、下請けではより利益を得にくい経済環境にある中、全体の付加価値を引き上げるに至っていない現状となっている。加えて、今後は高齢化や後継者不足等により喫緊の課題となっている事業承継や、生産年齢人口の減少に伴う労働力不足への対応も必要となっている。

● 県内企業等の現状

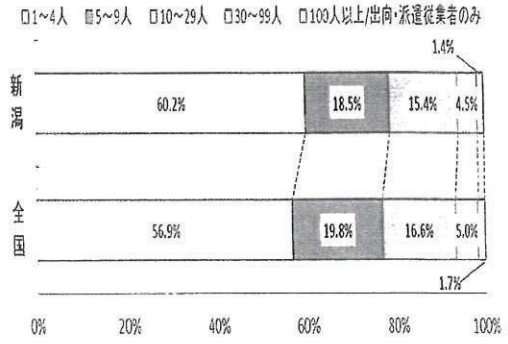
（企業等数・売上高・付加価値額）

	新潟県	全国シェア	全国順位	全国
企業等数	8万3,414企業	2.2%	14位	386万6,537企業
売上高	15兆5,993億円	1.0%	15位	1,603兆4,638億円
付加価値額	3兆4,168億円	1.2%	16位	294兆7,949億円
1企業等当たり付加価値額	4,237万円	－	29位	8,209万円

※売上高、付加価値額、１企業等当たり付加価値額は、必要な事項の数値が得られた企業等を対象に集計

● 県内事業所の現状

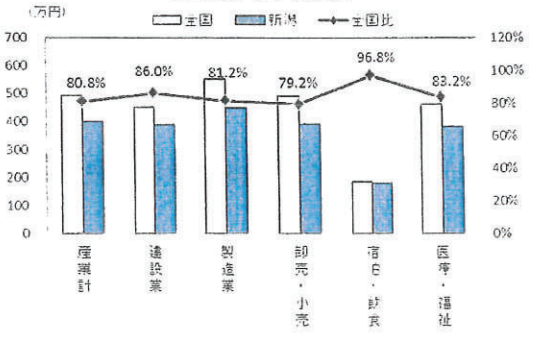
（従業者規模別事業所数の構成比）



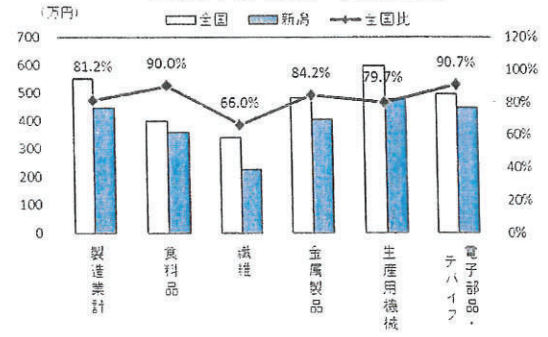
資料：総務省・経済産業省「平成 28 年経済センサス活動調査（速報）」

● 県内事業所の現状（事業従事者１人当たり付加価値額）

産業大分類別



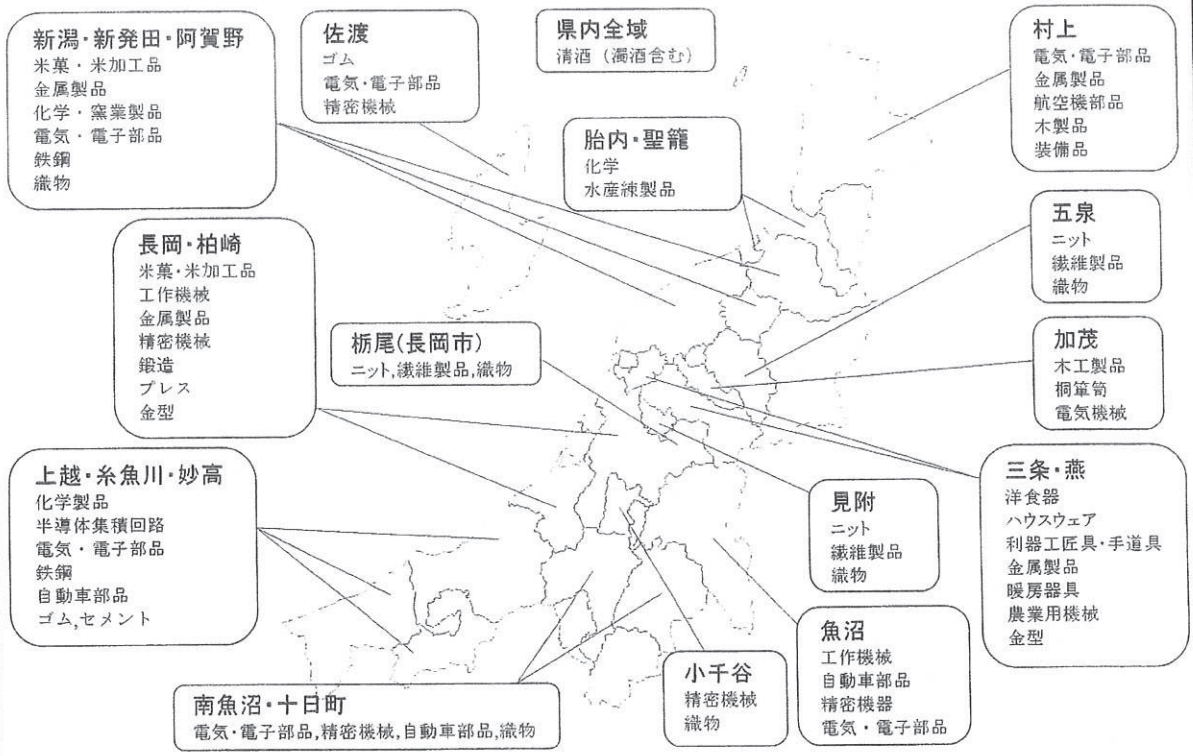
産業中分類別（製造業）



資料：総務省・経済産業省「平成 24 年経済センサス活動調査」

(注) コモディティ化：市場参入時には高付加価値であった商品が、後発品との競争の中で、その機能の優位性や特異性を失い、一般化していくこと。

【新潟県における多様な地域産業】



本県は、古くから気候風土や資源を活かした地域産業が各地域で形成されてきている。

新潟地域では、国内有数の農業生産地として土地由来の農産物や水産物を原材料とする米菓・餅、水産練製品、日本酒製造業、発酵食産業などの食品産業群や、我が国石油産業の発祥地として石油掘削から派生した鉄鋼・機械産業が発展してきた。

三条・燕地域では、江戸時代から和釘、農耕具、利器類などの生産が盛んであり、明治、大正、昭和期には、そこで培われた技術力を活かして、作業工具、利器工匠具や洋食器の製造への転換を遂げ、今日では自動車部品を含めた金属加工技術を中心とした産業群の形成が進んでいる。

長岡市を中心とする中越地域では、油田開発に伴う石油掘削などの機械産業が発達し、工作機械や精密機械、鋳物関連業種などが集積している。

上越・糸魚川・妙高地域では、豊富な水資源を活かした化学、鉄鋼・非鉄金属をはじめとした素材型産業や、電子部品・デバイス等の高付加価値型産業の集積が図られている。

このほか、五泉、見附、栃尾、小千谷、十日町などの地域では、繊維、ニット、和装製品などの一大産地をなしている。

これらの各地域における特長のある技術をベースとして、過去の経済社会環境の変化に対してイノベーションを繰り返すことで、各企業が維持・成長してきている。その側面として、国内外でのトップシェアや独自技術を有する企業が既に多数存在するが、このような企業を一層増やすことが全体の付加価値の引上げにつながる。

2　政策の展開・取組

金融面でのセーフティネット対策により景気変動等への対応をしつつ、意欲ある県内企業等が新たな取組にチャレンジできる環境の整備や人材確保・生産性向上に向けた投資などの経営基盤の強化促進などに取り組み、稼ぐ企業をより多く輩出するなどにより、本県産業全体の付加価値の引上げと所得向上につなげ、生産年齢人口の減少が見込まれる中においても、本県産業の持続的な発展を実現する。

■　高い付加価値を生み出す企業の創出・成長促進

○　多様な産業集積や優れた技術など、本県の有する強みを最大限活かしながら、高い付加価値を生む新事業・新業態への展開、技術開発や経営革新、外部リソース(注)の活用・連携など、中小企業を含めた意欲ある県内企業等の新たな取組を、事業構想から本格展開までの各段階に応じて支援することや、産学官・企業間連携などのコーディネート機能を担うことなどで、イノベーションを促し、高い利益、付加価値を生み出す企業の創出・成長を促進する。

・各種セミナー・勉強会の開催、ビジネスプランの評価・助言等によるビジネスヒントの提供

・技術開発・商品開発に対する資金助成、専門家の活用支援、共同研究コーディネート等による企画・開発支援

○　事業規模の拡大、新分野進出、生産性向上等や、経営革新や基盤強化につながる成長のための積極的な設備投資を促進する。

■　県内企業の海外展開支援

○　企業活動がグローバル化する中、優れた技術や意欲のある県内企業等が、海外市場の獲得に積極的に取り組めるよう、環日本海経済研究所（ＥＲＩＮＡ）、にいがた産業創造機構（ＮＩＣＯ）、日本貿易振興機構（ジェトロ）、県内金融機関等との連携を密にする中で、現地の情勢・市場や県内企業ニーズを踏まえ、販路拡大に向けた市場調査やビジネスの場づくりなど、海外展開支援に積極的に取り組む。

・海外の現地情勢、市場に関する情報提供

・海外展開に関する個別相談対応

・海外見本市での共同ブース運営

・海外市場調査、海外見本市・展示会等への出展等への経費助成

○　県の海外事務所・拠点はもとより、シンクタンクや金融機関等の県内関係団体の有する海外ネットワークや情報網を活用し、本県のこれまでの交流実績や地理的優位性を活かして、北東アジア等海外との経済交流を促進する。また、経済成長の著しい東南アジア等については、現地企業等と協力しサポートデスクを設置するなど、現地でのビジネス支援機能を強化する。

■　県内企業の国内販路開拓支援

○　域内に多くの中小企業を協力企業として抱え地域のサプライチェーンの中

(注) 外部リソース：自社外の経営資源（人材、設備、ノウハウなど）。

核となっている地域中核企業の国内販路開拓支援により、地域経済への幅広い波及を図る。

○　県内企業ニーズ等を踏まえつつ、食品や清酒、生活関連製品など本県産業の強みを活かしながら、関係団体等と連携し、情報発信や販路開拓支援に取り組む。

・商品開発のアドバイス
・テストマーケティング支援
・商談会の開催、展示会への出展支援等によるマッチング支援

■　**地域に根ざす産業の活性化**

○　地域経済を支えている地場産業が市場環境の変化に対応し、持続的に発展できるよう、後継者不足、売上低迷、技術承継など産地が抱える様々な課題に対し、地域と一体となって、人材育成から新商品開発、販路開拓まで伴走型支援に取り組む。

・各地場産地の課題解決に向け、各産地の特性やニーズに応じた流通改善等の取組を支援
・企業連携や産地連携による新商品開発等の新たな取組を支援
・外部専門家の活用や商品開発等の取組を支援
・小規模地場産地における加工工程の維持や技能継承などの取組を支援

○　地域の核である中心市街地の活性化に向けて、商店街などが行う人材育成や賑わい創出等の取組を、市町村と連携して支援する。

・商業者グループによる商店街の活性化と人材育成に向けた取組を支援
・リノベーション（遊休資産の活用）によるまちづくりの取組を支援
・商店街等による商業基盤施設の整備・改修や空き店舗対策等の取組を支援

○　地域経済や雇用の確保に大きな役割を果たしている中小・小規模企業等の持続的発展に向けて、金融面でのセーフティネットなど経営基盤の強化を図る。

○　経営者の高齢化や後継者不足の問題が深刻化し、地域経済の活力低下につながる廃業の増加も懸念される現状を踏まえ、関係機関との連携を密にしながら、事業引継ぎ支援センターにおける窓口相談、具体的な課題抽出、選択肢の提示、各種専門家紹介等を通じて、地域や産業で必要とする事業資産を円滑に承継する取組を支援する。

3　達成目標（成果指標）

指標名	現状値	中間目標値 (H32 年度)	最終目標値 (H36 年度)
1人当たり県民所得	269.7 万円 (H26 年度)	287.5 万円	300 万円

【産業労働観光部】

② 起業・創業の推進

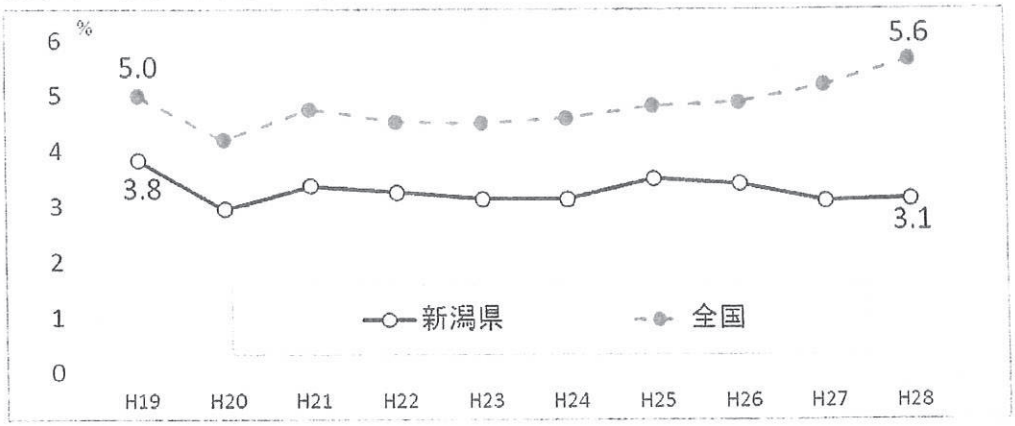
1　現状・課題

本県の新設事業所数は年間約 1,300 事業所で全国 23 位に位置しているが、緊急経済対策等による一時的な増加はあるものの、リーマンショック前の年間約 1,700 事業所（全国 15 位）の水準までには至っていない。

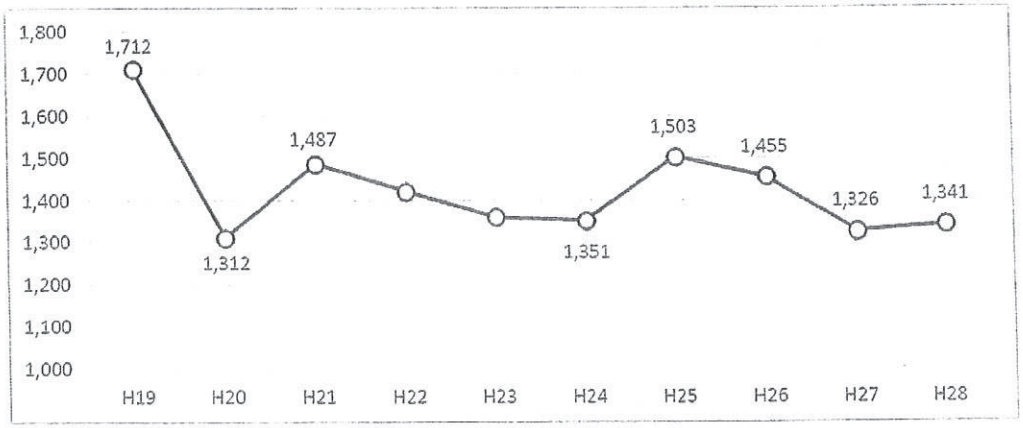
本県の開業率は、3.1%（全国 46 位）と、全国 5.6%に対して低水準となっているが、その背景として開業率は、廃業率の低さや製造業比率の高さ、人口増減率、平均年齢など、様々な要素と相関関係があると見られ、複合的な要因が絡み合って影響しているものと思われる。

そのような中、魅力ある雇用の場を創出し地域の活力につながる起業を促進することが重要であり、開業資金の供給に加え、開業後の経営課題解決及び事業の持続に向けたフォローアップを充実させるなど、起業しやすい環境づくりを行う必要がある。加えて、U・Iターンにより起業する若者を呼び込み、その中から成功事例を発信することで、U・Iターン起業の好循環を作っていく必要がある。

● 開業率の推移（本県・全国）



● 開業数の推移（本県）



資料：厚生労働省「雇用保険事業年報」

2　政策の展開・取組

起業家予備軍がより多くなり、官民一体となって意欲ある者が起業にチャレンジしやすい環境づくりに取り組むことにより、県外からのU・Iターンや再チャレンジによる創業も含め、県内で創業が次々とわき起こるとともに、創業後の持続・成長ができる環境を実現する。

■　起業家予備軍の育成と起業希望者への伴走型支援

○　経済界と連携しながら、若手起業家や先輩起業家との座談会やセミナー開催、起業の成功事例の発信等により、起業という選択肢を提示するなど、起業家予備軍を育成するとともに、起業マインドの醸成を図り、学生等も含め、その裾野を広げる。

○　独創性のある成長志向のビジネスや「新潟らしさ」が感じられる地域資源活用型の事業のほか、サービス業などの身近なビジネスも含む幅広い事業領域において、事業計画作成や専門家による相談対応、助成金などの支援から、創業後のフォローアップの充実まで、起業に挑戦する者や起業後間もない者などへの伴走型支援に取り組む。

・創業期におけるオフィスの貸出（新潟・長岡・上越・県央）
・独創的かつ新規性の高い技術やアイデアに基づいた、特に将来性が見込まれる起業を重点的に支援
・比較的小規模な、身近で幅広いビジネスでの起業の支援
・創業関連セミナーによる事業計画の作成支援、資金調達方法等の起業に必要な情報の提供
・支援先へのアンケート等による現状・ニーズの把握及びそれに応じた専門家派遣による経営課題解決の支援

○　金融機関との連携により、創業期の積極的な資金提供や、金融機関による独自のノウハウを活かした専門的なコンサルティングなど、創業後の持続や第二創業による業容拡大を含む成長に向けた支援を行う。

・金融機関による創業・第二創業にかかる資金提供の促進
・金融機関の独自ノウハウ・ネットワークを活用したフォローアップの強化

■　多様な創業支援者との連携による総合的な創業支援体制の構築

○　創業支援者である金融機関や商工団体、市町村、高等教育機関等との連携による「創業支援プラットフォーム(注)」の機能を整え、創業者への各種支援情報の提供や創業者同士の情報交換の場の提供も含め、民間のネットワークも活用しながら、起業準備段階から起業後まで総合的な創業支援を行う体制の構築を図る。

・金融機関や商工団体、市町村等の各創業支援者の支援メニューの一元的な提供と他の創業支援者の紹介
・創業者同士の情報交換・交流が図られる場の提供

(注) 創業支援プラットフォーム：創業支援者が相互に連携しながら、創業者・創業希望者のニーズにワンストップで対応する支援体制。

■　創業関連情報と成功事例の発信

○　県外から起業希望者をＵ・Ｉターンにより呼び込む観点からも、「創業支援プラットフォーム」等の創業支援者と連携しながら、ＳＮＳ（P33(注)参照）等の活用により、県内外へのセミナーやビジネスプランコンテスト等の創業関連情報と、起業を志す動機付けとなるような成功事例の積極的な発信を行う。

3　達成目標（成果指標）

指標名	現状値	中間目標値 (H32 年度)	最終目標値 (H36 年度)
開業率	3.1% (H28 年度) ※全国 5.6%	4.4%	5.6%

【産業労働観光部】

⑤ 成長産業の創出・育成

1　現状・課題

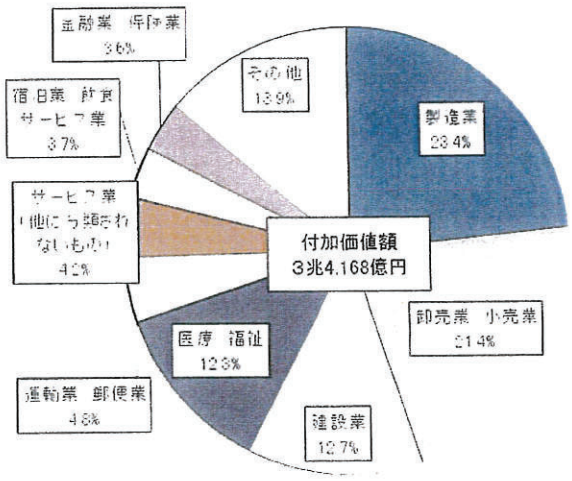
本県産業は、多様な産業集積と優れた技術を有しているが、中小企業の割合が高く、従業者１人当たりの製造品出荷額等や付加価値額は全国低位にある。また、生産年齢人口の減少に伴い、企業の人手不足感が高まっている。

県内においても景気は回復しつつあるが、長年続いた円高の影響や生産拠点の海外移転等により、産業の空洞化も懸念されるところであり、地方の中小企業は、成長が見込まれる新分野への進出を図ることが求められている。

県ではこれまでも、市場の拡大が期待される成長分野に重点を置き、高付加価値化に向けた取組を進めてきたところであるが、デフレの長期化やリーマンショック等の影響もあり、高付加価値化に向けた取組は一部企業に止まっている。

これらの課題に対応するためには、県内企業や大学など多様な主体と連携し、本県が有する強みを最大限活かしながら、国内外において市場の成長が期待される分野への参入促進を強化するとともに、ＡＩ（人工知能）、ＩｏＴ(注)、ビッグデータ等の活用により新たなビジネスの創出や生産性の向上を図り、県内産業の高付加価値化につなげていく必要がある。

● 本県企業等の付加価値額（産業大分類別）



● 工業の概要

	新潟県	全国シェア	全国順位	全国
事業所数	5,564所	2.7%	10位	202,410所
従業者数	180,932人	2.4%	17位	7,403,269人
製造品出荷額等	46,426億円	1.5%	23位	3,051,400億円
従業者1人当たり	2,566万円	－	44位	4,122万円
付加価値額	16,731億円	1.8%	20位	922,889億円
従業者1人当たり	925万円	－	36位	1,247万円

※ 従業者数４人以上の事業所

資料：総務省・経済産業省「平成 28 年経済センサス活動調査（速報）」　　資料：平成 26 年工業統計調査

2　政策の展開・取組

航空機や次世代自動車などの将来性が見込まれる産業分野及び新たな成長分野への県内企業の参入促進に向けた支援に努めるとともに、ＡＩやＩｏＴ、ビッ

(注) ＩｏＴ：Internet of Things の略で、モノのインターネットと訳される。情報通信の機能を持たない機器をインターネットにつなぎ、情報通信、制御をする仕組み。

グデータなどの活用を促進することで生産性の向上を図り、本県産業の付加価値の向上を実現する。

■　県内産業の活性化や生産性向上に向けたＡＩ、ＩｏＴ、ビッグデータ等の活用促進

○　産学官の連携により、生産性の向上や人手不足への対応、革新的なサービス・製品の創出による付加価値の向上などが期待されるＡＩ、ＩｏＴ、ビッグデータ等の活用を促進し、新たなビジネスモデルへの転換を図る県内企業を創出・育成する。

○　県内企業の多くは情報や人材の不足により、ＩｏＴ等の導入が進まない状況であるため、セミナーによる情報提供や導入実証による効果検証を行うとともに、高度ＩＴに関する研修や情報発信により人材の育成を支援する。また、企業ニーズ等を踏まえながら、サービス産業や製造現場における導入を促進する。

○　成長が見込まれるＡＩ、ＩｏＴ、ロボット分野において、県内企業の参入を促進するために、Ｒ＆Ｄ（研究開発）を支援し、生産性の高いサービス産業やものづくり技術の振興を図る。

■　将来性が見込まれる産業分野への参入促進

○　航空機産業への新規参入や関連企業の集積を促進するため、県内企業との共同研究や企業間連携の推進等により、企業の技術力・品質管理能力の向上や航空機産業を担う人材の確保・育成等を支援する。

・大手重工メーカー等のニーズに対応したチタンなどの難加工材料の効率的な切削加工技術の開発や県内企業との共同研究
・大手重工メーカー等と県内企業とのマッチングの推進
・企業の技術力・品質管理能力の向上に向けた航空機関連認証（ＪＩＳＱ９１００、Ｎａｄｃａｐ）の取得支援
・中核的人材育成講座等の実施

○　次世代自動車産業への参入を促進するため、広域的な企業間連携や自動車メーカー向け展示商談会等の開催、技術開発に向けた取組等を支援する。

・東北６県及び北海道と連携した広域的な企業間連携
・自動車メーカー向け展示商談会の開催による企業間マッチング
・アドバイザー派遣、新技術・新工法の開発や試作開発等支援

○　将来的な市場拡大が見込まれる医療機器分野への販路開拓を図るため、医師等との意見交換会の実施により、医療現場ニーズを把握し、産学官連携による共同研究や技術開発につなげるとともに、医療関係者向け展示商談会への出展による商談機会の確保、県央基幹病院における医工連携に向けた取組など、医療機器の製品開発や技術開発等を支援する。

○　少子高齢化の時代においても市場の伸びが期待できる健康・医療・福祉関連分野において、産学官で連携して、県内企業の新規参入や、機能性食品・高圧加工食品などの新たな商品開発等に向けた取組を支援することにより、健康関連産業の高付加価値化を推進する。

○　技術の高度化や競争力の強化に向け、企業ニーズと大学シーズ(注)とのマッチングを図るとともに、企業や大学等による国等の競争的資金の活用を促進することで、県内企業や大学等が取り組む新規性や独自性の高い技術などのＲ＆Ｄや画期的な製品開発等を支援する。

○　国内外の社会情勢や技術革新、市場の動向等、県内産業を取り巻く環境の変化を適切に捉えつつ、企業ニーズを十分に踏まえながら、新たな成長分野への県内企業の参入に向けた支援に努める。

3　達成目標（成果指標）

指標名	現状値	中間目標値 (H32 年度)	最終目標値 (H36 年度)
成長産業分野（※）における製造業１人当たり付加価値額	936 万円 (H26 年)	995 万円	1,035 万円
情報サービス業における売上高	130,230 百万円 (H26 年)	195,440 百万円	256,180 百万円

※工業統計調査における自動車、航空機等先端技術産業分野の主要業種

4　関連する個別計画・ビジョン

・新潟県電気自動車等普及促進行動計画（H29～H32）

【産業労働観光部】

(注) 大学シーズ：大学が有する研究成果（技術、知的財産等）や人材、知見等。

設置の趣旨等を記載した書類

【資料 14】

科学技術基本計画

平成２８年１月２２日

閣　議　決　定

究開発プロジェクトの形でアイデアの試行機会を提供する。さらに、これらの特性を意識して効果的なプロジェクトの運営管理を実施できる人材の育成・確保を図る。

以上を踏まえ、国は、各府省の研究開発プロジェクトにおいて、挑戦的（チャレンジング）な研究開発の推進に適した手法を普及拡大する。

具体的には、研究開発マネジメントにおけるプログラムマネージャーの導入と権限強化による新しいアイデアを持つ研究者への機会の付与、必ずしも確度は高くない（リスクが高い）ものの成功時に大きなインパクトが期待できるような研究を奨励する評価の実施、画期的だがリスクが高い研究について進捗の段階ごとに成果を確認しつつ発展させるステージゲート制、新しいアイデアに基づく研究を奨励するアワード方式の導入等が考えられる。こうした手法の普及拡大を通じて、従来の主要な研究開発プロジェクトでは実施されなかったような研究開発と、チャレンジングな人材の活躍等を促進する。

その際、「リスクが高い研究開発において失敗は付き物であり、挑戦すること自体にも価値がある」という考えの下、その失敗を次のステップや別の課題の解決に生かしていく仕組みも重要である。

また、チャレンジングな性格を有する研究開発プロジェクトである革新的研究開発推進プログラム（ＩｍＰＡＣＴ）について、更なる発展・展開を図るとともに、これをモデルケースとして、関係府省が所管する研究開発プロジェクトへも、このような仕組みの普及拡大を図っていく。

なお、チャレンジングな研究開発から生まれた知識からゲームチェンジを起こすには、知識から価値への転換を、スピード感を持って実現する必要がある。この転換においては、特にベンチャー企業の役割が極めて重要であり、そうした企業が継続的に創出され、活躍できる環境の整備が不可欠である。

（２）世界に先駆けた「超スマート社会」の実現（Society 5.0）

ＩＣＴが発展し、ネットワーク化やＩｏＴの利活用が進む中、世界では、ドイツの「インダストリー4.0」、米国の「先進製造パートナーシップ」、中国の「中国製造 2025」等、ものづくり分野でＩＣＴを最大限に活用し、第４次産業革命とも言うべき変化を先導していく取組が、官民協力の下で打ち出され始めている。

今後、ＩＣＴは更に発展していくことが見込まれており、従来は個別に機能していた「もの」がサイバー空間を利活用して「システム化」され、さらには、分野の異なる個別のシステム同士が連携協調することにより、自律化・自動化の範囲が広がり、社会の至るところで新たな価値が生み出されていく。これにより、生産・流通・販売、交通、健康・医療、金融、公共サービス等の幅広い産業構造の変革、人々の働き方やライフスタイルの変化、国民にとって豊かで質の高い生活の実現の原動力になることが想定される。

特に、少子高齢化の影響が顕在化しつつある我が国において、個人が活き活きと暮らせる豊かな社会を実現するためには、システム化やその連携協調の取組を、ものづくり分野の産業だけでなく、様々な分野に広げ、経済成長や健康長寿社会の形成、さらには社会変革につなげていくことが極めて重要である。また、このような取組は、ＩＣＴをはじめとする科学技術の成果の普及がこれまで十分でなかった分野や領域に対して、そ

の浸透を促し、ビジネス力の強化やサービスの質の向上につながるものとして期待される。

こうしたことから、ＩＣＴを最大限に活用し、サイバー空間とフィジカル空間（現実世界）とを融合させた取組により、人々に豊かさをもたらす「超スマート社会」を未来社会の姿として共有し、その実現に向けた一連の取組を更に深化させつつ「Society 5.0」[2]として強力に推進し、世界に先駆けて超スマート社会を実現していく。

①　超スマート社会の姿

超スマート社会とは、

「必要なもの・サービスを、必要な人に、必要な時に、必要なだけ提供し、社会の様々なニーズにきめ細かに対応でき、あらゆる人が質の高いサービスを受けられ、年齢、性別、地域、言語といった様々な違いを乗り越え、活き活きと快適に暮らすことのできる社会」

である。

このような社会では、例えば、生活の質の向上をもたらす人とロボット・ＡＩとの共生、ユーザーの多様なニーズにきめ細かに応えるカスタマイズされたサービスの提供、潜在的ニーズを先取りして人の活動を支援するサービスの提供、地域や年齢等によるサービス格差の解消、誰もがサービス提供者となれる環境の整備等の実現が期待される。

また、超スマート社会に向けた取組の進展に伴い、エネルギー、交通、製造、サービスなど、個々のシステムが組み合わされるだけにとどまらず、将来的には、人事、経理、法務のような組織のマネジメント機能や、労働力の提供及びアイデアの創出など人が実施する作業の価値までもが組み合わされ、更なる価値の創出が期待できる。

一方、超スマート社会では、サイバー空間と現実世界とが高度に融合した社会となり、サイバー攻撃を通じて、現実世界にもたらされる被害が深刻化し、国民生活や経済・社会活動に重大な被害を生じさせる可能性がある。このため、より高いレベルのセキュリティ品質[3]を実現していくことが求められ、こうした取組が企業価値や国際競争力の源泉となる。

②　実現に必要となる取組

超スマート社会の実現には、様々な「もの」がネットワークを介してつながり、それらが高度にシステム化されるとともに、複数の異なるシステムを連携協調させることが必要である。それにより、多種多様なデータ[4]を収集・解析し、連携協調したシステム間で横断的に活用できるようになることで、新しい価値やサービスが次々と生まれてくる。

しかし、あらゆるシステムの連携協調を可能とするような仕組みを一気に構築することは現実的ではない。このため、国として取り組むべき経済・社会的課題を踏まえて総

2　狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続くような新たな社会を生み出す変革を科学技術イノベーションが先導していく、という意味を込めている。

3　個人・企業が当該サービスに期待する品質の要素としての安全やセキュリティ

4　ウェブデータ、人間の行動データ、三次元の地理データ、交通データ、環境観測データ、ものづくりや農作物等の生産・流通データ等

経済産業省

平成26年度補正先端課題に対応したベンチャー事業化支援等事業
（ITベンチャー等によるイノベーション促進のための人材育成・確保モデル事業）

IT人材の最新動向と将来推計に関する調査結果

～ 報告書概要版 ～

平成28年6月10日

商務情報政策局　情報処理振興課

（委託先：みずほ情報総研株式会社）

<2> IT人材動向の将来予測

IT人材の「不足規模」に関する推計結果

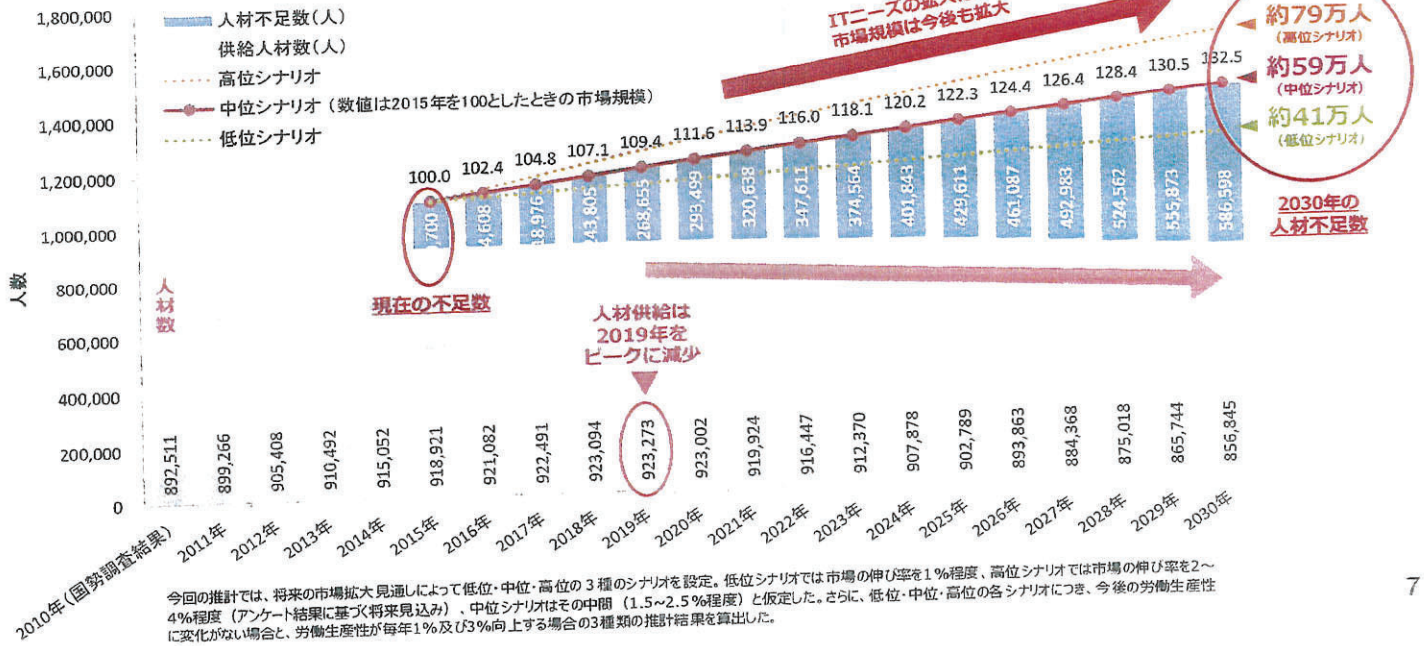
- IT関連産業の産業人口に関する将来推計（マクロ推計）の一環として、人材の不足状況や今後の見通しに関するアンケート調査結果に基づき、現在及び将来の人材不足数に関する推計も実施。
- マクロ推計によれば、**2015年時点で約17万人のIT人材が不足している**という結果になった。さらに、前頁で示されたとおり、今後IT人材の供給力が低下するにもかかわらず、ITニーズの拡大によってIT市場は今後も拡大を続けることが見込まれるため、IT人材不足は今後ますます深刻化し、**2030年には、（中位シナリオの場合で）約59万人程度まで人材の不足規模が拡大する**との推計結果が得られた。

2 今後のIT人材の不足規模

IT人材の不足規模に関する予測

- 2015年の人材不足規模：約17万人
- 2030年の人材不足規模：約59万人（中位シナリオ）

⇒ IT人材不足は、今後ますます深刻化



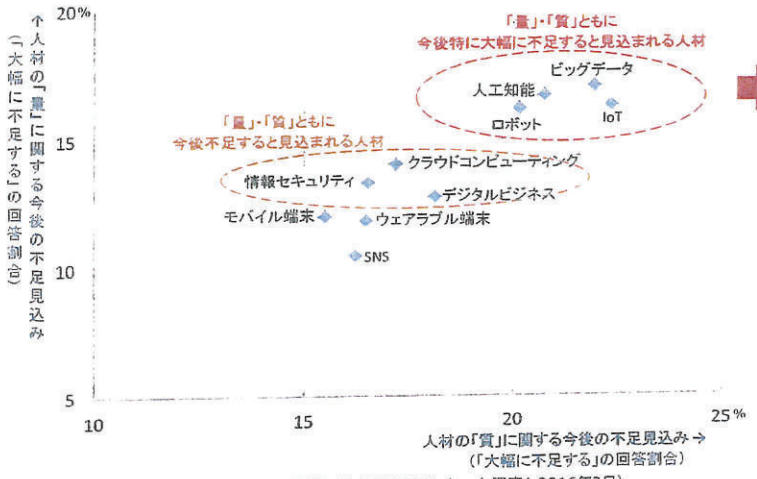
今回の推計では、将来の市場拡大見通しによって低位・中位・高位の３種のシナリオを設定。低位シナリオでは市場の伸び率を１%程度、高位シナリオでは市場の伸び率を2～4%程度（アンケート結果に基づく将来見込み）、中位シナリオはその中間（1.5~2.5%程度）と仮定した。さらに、低位・中位・高位の各シナリオにつき、今後の労働生産性に変化がない場合と、労働生産性が毎年1%及び3%向上する場合の3種類の推計結果を算出した。

<3> 今後の市場成長の鍵を握るIT人材

先端IT技術を担う人材（先端IT人材）の不足見込み

- 将来的なIT関連市場の拡大を実現する上で、前頁に挙げた「ビッグデータ」、「IoT」、「人工知能」等の先端IT技術が重要な鍵を握ると考えられる。これらの**先端IT技術は、今後、産業界を大きく変革する可能性がある**と指摘されており、今後の活用に向けた期待は非常に大きい。
- こうした**先端IT技術のサービス化や活用を担う人材**を本調査では**「先端IT人材」**と呼び、その不足状況や課題についても把握を試みた。
- 本調査で実施したアンケートによると、**今後「量」・「質」ともに「特に大幅に不足する」と見込まれる人材は、「ビッグデータ」、「IoT」、「人工知能」のほか、「ロボット」に関する人材**という結果となった。これらの人材のほか、「クラウドコンピューティング」、「情報セキュリティ」、「デジタルビジネス」等を担う人材も不足感が強いという結果となっている。

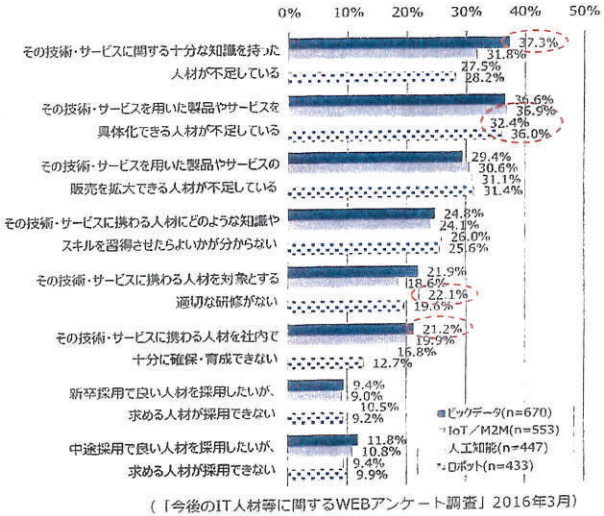
今後不足する先端IT人材



（「今後のIT人材等に関するWEBアンケート調査」2016年3月）

▲ **「ビッグデータ」、「IoT」、「人工知能」**のほか、**「ロボット」**に関する人材が**「今後特に大幅に不足する」**人材として挙げられた。

先端IT人材に関する課題



（「今後のIT人材等に関するWEBアンケート調査」2016年3月）

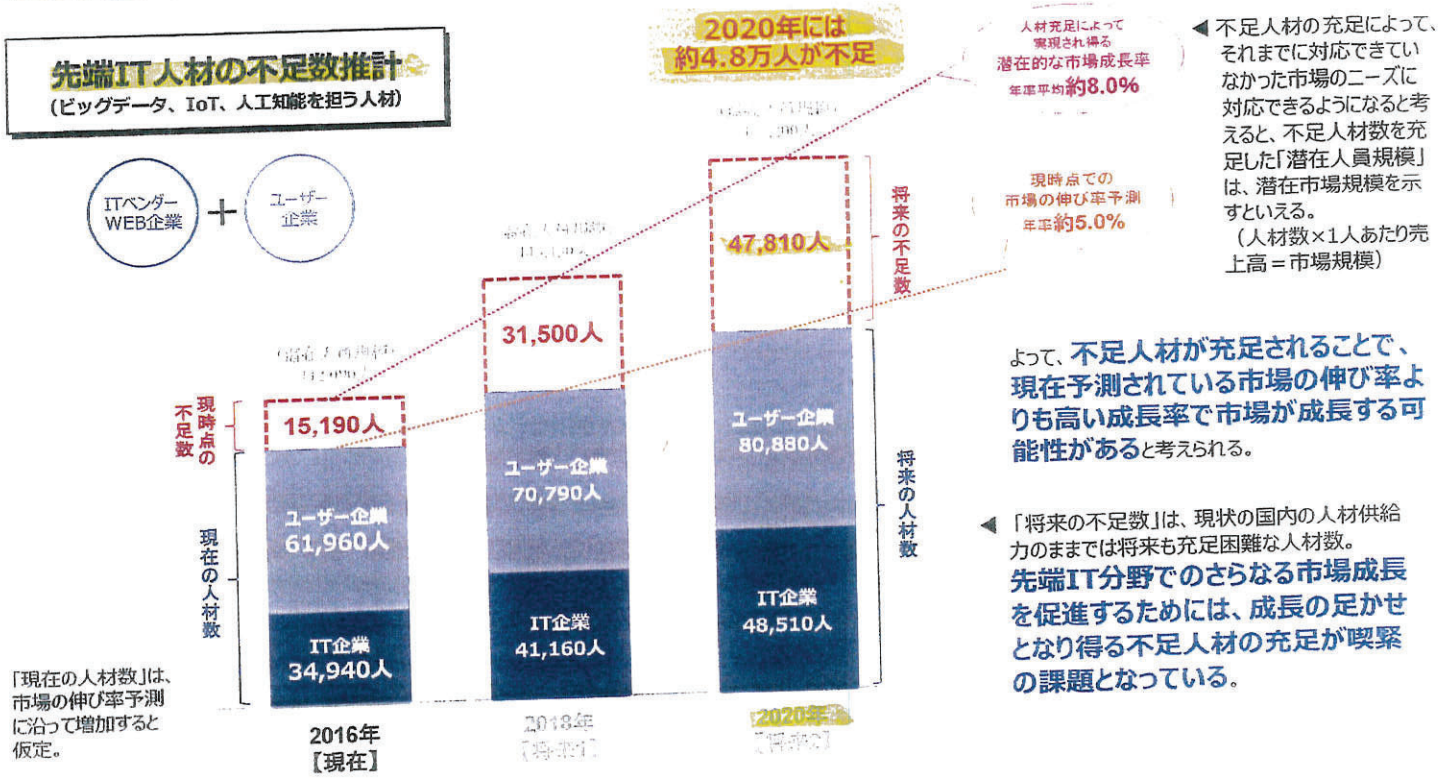
▲ 先端IT人材に関する課題は、**「十分な知識を持った人材の不足」**のほか、**「製品やサービスを具体化できる人材の不足」**など。

<3> 今後の市場成長の鍵を握るIT人材

先端IT人材の人材数・不足数に関する推計

■ 前頁の結果によると、先端IT人材は、今後特に大幅に不足することが見込まれている。こうした問題意識を踏まえて、今回の調査では、p.14の調査結果から、**今後特に大幅な市場拡大が予想される「ビッグデータ」、「IoT」、「人工知能」を担う人材**について、アンケート結果に基づき、現在及び将来の人材数・不足数についての推計を行った。

■ 推計の結果、IT企業及びユーザー企業（産業界全体）の**現時点での先端IT人材は約9.7万人、現時点での不足数は約1.5万人**となった。**2020年までにこの人材数が12.9万人、不足数が4.8万人にまで拡大する**という試算結果が得られた。



「現在の人材数」は、市場の伸び率予測に沿って増加すると仮定。

◀ 不足人材の充足によって、それまでに対応できていなかった市場のニーズに対応できるようになると考えると、不足人材数を充足した「潜在人員規模」は、潜在市場規模を示すといえる。
（人材数×1人あたり売上高＝市場規模）

よって、**不足人材が充足されることで、現在予測されている市場の伸び率よりも高い成長率で市場が成長する可能性がある**と考えられる。

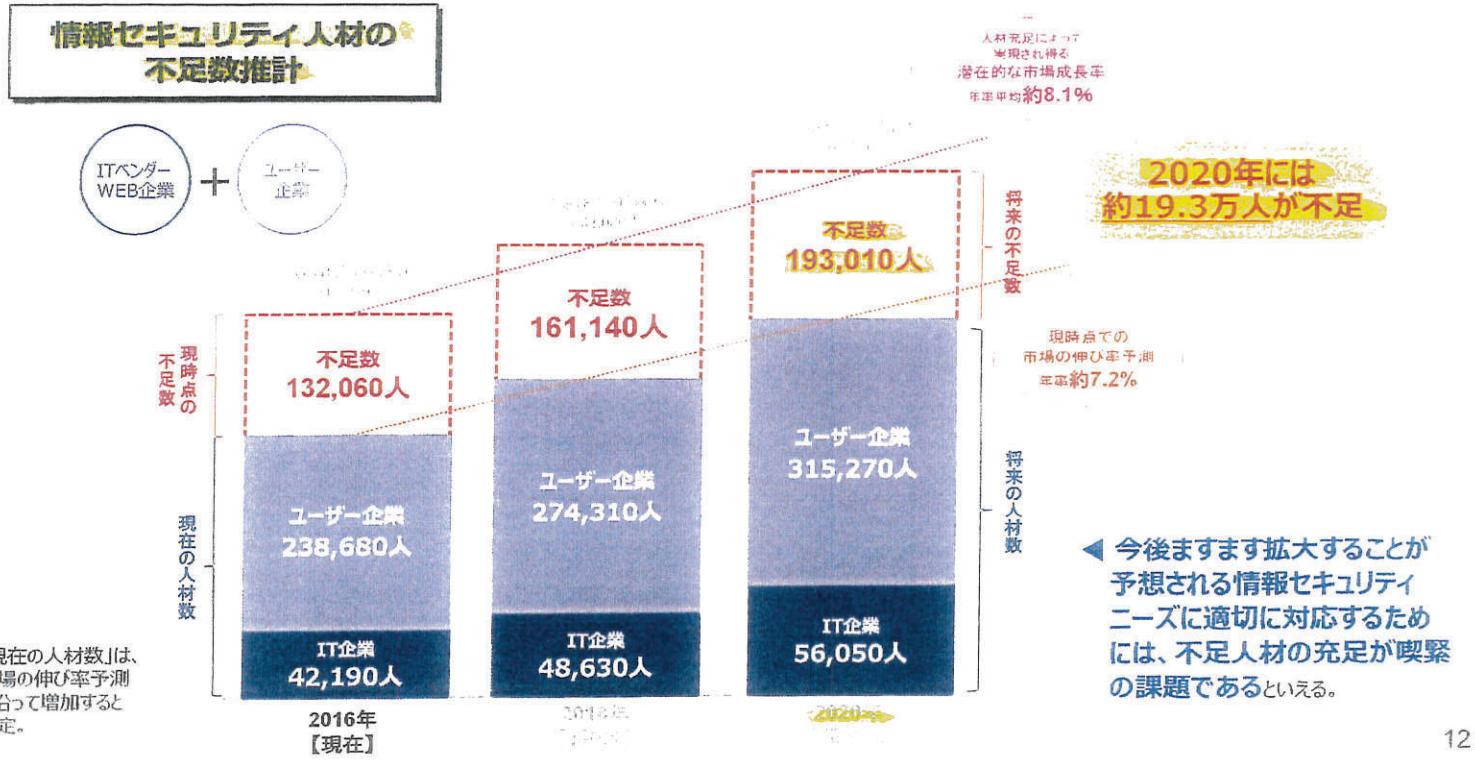
◀ 「将来の不足数」は、現状の国内の人材供給力のままでは将来も充足困難な人材数。
先端IT分野でのさらなる市場成長を促進するためには、成長の足かせとなり得る不足人材の充足が喫緊の課題となっている。

<3> 今後の市場成長の鍵を握るIT人材

情報セキュリティ人材の人材数・不足数に関する推計

■ 情報セキュリティ対策を担う人材は、これまでと同様に、今後も産業界全体において非常に重要な役割を担うことが強く期待されている。また、現在は、「情報処理安全確保支援士」制度の創設等、政策的な取組も進められている。2014年7月に、情報セキュリティ人材に関しては、約8.2万人が不足しているとの推計結果が発表されているが、今回の調査では、最新の動向を踏まえ、改めてその人材数や不足数についての推計を実施した。

■ 推計の結果、IT企業及びユーザー企業（産業界全体）の**現時点での情報セキュリティ人材は約28.1万人、現時点での不足数は約13.2万人**となった。**2020年までにこの人材数が37.1万人、不足数が19.3万人にまで拡大する**という試算結果が得られた。



◀ 今後ますます拡大することが予想される情報セキュリティニーズに適切に対応するためには、不足人材の充足が喫緊の課題であるといえる。

統合イノベーション戦略

平成 30 年 6 月 15 日

閣　　議　　決　　定

（１）ＡＩ技術

○目指すべき将来像

・これからの「読み・書き・そろばん」であるＡＩ技術を使いこなすＩＴリテラシー[170]を誰もが持ち、ヒューマンフレンドリーなＡＩ技術を活用することで、ニーズに合った物・サービスの提供、病気にならないヘルスケア、自由で安全な移動等を実現[171]

・サイバーセキュリティが確保され、ＡＩ技術の社会受容が進み、産業から生活まで様々な分野で活用されることで、質の高い新たな雇用やサービスを創出

○目標

＜人材基盤の確立＞

・2025年までに先端ＩＴ人材を年数万人規模[172]、ＩＴ人材を年数十万人規模[173]で育成・採用できる体制を確立（関係府省庁の施策での育成規模を2018年度中に設定）

・2032年までに初等中等教育を終えた全ての生徒がＩＴリテラシーを獲得

＜戦略的な技術開発等の推進＞

・我が国が質の高い現実空間の情報を有する分野等において、分野ごとのデータ連携基盤を活用し、ＡＩ技術の社会実装を2022年までに実現

・ロボット技術等とＡＩ技術の組み合わせた応用開発を2018年度中に明確化し、各応用開発で設定する具体的な目標を達成

・現在のＡＩ技術の弱みを克服するＡＩ基盤技術[174]を2018年央までにより明確化し、その確立に向け、各研究開発で設定する目標を達成

＜国際的な議論に供する人間中心のＡＩ社会原則の策定＞

・国内のＡＩ技術の社会受容性を高めるとともに、国際的な議論を我が国が主導

○目標達成に向けた主な課題及び今後の方向性

・研究開発から社会実装までの様々な段階で米中に後れを取っており、現状を打破するためには、（ア）トップから一般までの全レベルでの人材不足の解消、（イ）自前主義から脱却した戦略的な技術開発等、（ウ）ＡＩ技術の社会的受容性の向上が鍵

・桁違いな規模での人材育成と併せ、流動性向上のために人事・給与制度改革を促進

・分野ごとのデータ連携基盤を活用した産業から生活まで様々な分野におけるＡＩ技術の社会実装、ロボット技術等と組み合わせた応用開発、現在のＡＩ技術の弱みを克服する基礎・基盤的な研究開発を産学官が一体となって強力に推進

・ＡＩ技術の社会的受容性を高めるため、政府として人間中心のＡＩ社会原則を策定

・人工知能技術戦略をより具体化・強化する実行計画を2018年央に策定

---

170 基礎的なプログラミングやデータの適正な運用と理解を可能にする算数・数学など、ＡＩを使いこなす上で必要となる資質・能力。

171 人工知能技術戦略会議「人工知能技術戦略」（2017年３月）の産業化ロードマップでの「生産性」「健康、医療・介護」「空間の移動」の重点分野で示した目指すべき社会像から抜粋。

172 ビッグデータ、ＩｏＴ、ＡＩ等の先端的なＩＴ・サービスを担う人材。現状は、関係各省からの聞き取りにより内閣府（科技）で試算した結果では、年６～７千人を育成。

173 就業者数に対するＩＴ人材の割合は、日本1.8%、米国３%（ＩＰＡ「ＩＴ人材白書2017」（2017年４月））。仮に、米国並みの割合にするには約70万人の追加育成が必要。現状、内閣府（科技）での試算では、年数万人を育成。

174 例えば、良質な少数データから学習するＡＩ技術、従来の深層学習では困難な因果関係を説明するＡＩ技術等。

設置の趣旨等を記載した書類

【資料 15】

新潟県

新潟県総合計画
2017年度 – 2024年度

にいがた未来創造プラン

平成30年1月

新　潟　県

⑤ 成長産業の創出・育成

1 現状・課題

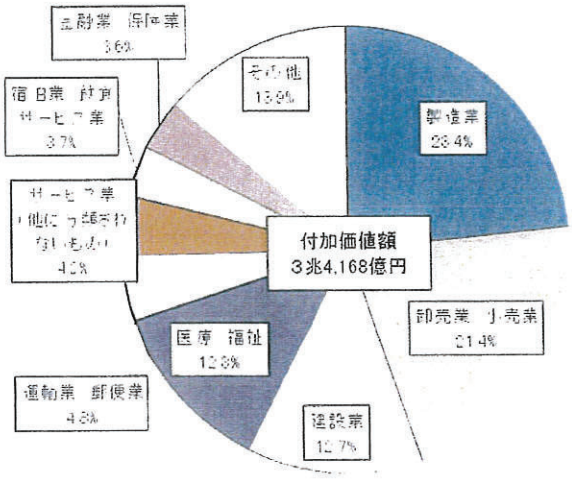
本県産業は、多様な産業集積と優れた技術を有しているが、中小企業の割合が高く、従業者１人当たりの製造品出荷額等や付加価値額は全国低位にある。また、生産年齢人口の減少に伴い、企業の人手不足感が高まっている。

県内においても景気は回復しつつあるが、長年続いた円高の影響や生産拠点の海外移転等により、産業の空洞化も懸念されるところであり、地方の中小企業は、成長が見込まれる新分野への進出を図ることが求められている。

県ではこれまでも、市場の拡大が期待される成長分野に重点を置き、高付加価値化に向けた取組を進めてきたところであるが、デフレの長期化やリーマンショック等の影響もあり、高付加価値化に向けた取組は一部企業に止まっている。

これらの課題に対応するためには、県内企業や大学など多様な主体と連携し、本県が有する強みを最大限活かしながら、国内外において市場の成長が期待される分野への参入促進を強化するとともに、ＡＩ（人工知能）、ＩｏＴ(注)、ビッグデータ等の活用により新たなビジネスの創出や生産性の向上を図り、県内産業の高付加価値化につなげていく必要がある。

● 本県企業等の付加価値額（産業大分類別）



資料：総務省・経済産業省「平成 28 年経済センサス活動調査（速報）」

● 工業の概要

	新潟県	全国シェア	全国順位	全国
事業所数	5,564所	2.7%	10位	202,410所
従業者数	180,932人	2.4%	17位	7,403,269人
製造品出荷額等	46,426億円	1.5%	23位	3,051,400億円
従業者1人当たり	2,566万円	－	44位	4,122万円
付加価値額	16,731億円	1.8%	20位	922,889億円
従業者1人当たり	925万円	－	36位	1,247万円

※ 従業者数４人以上の事業所

資料：平成 26 年工業統計調査

2 政策の展開・取組

航空機や次世代自動車などの将来性が見込まれる産業分野及び新たな成長分野への県内企業の参入促進に向けた支援に努めるとともに、ＡＩやＩｏＴ、ビッ

(注) ＩｏＴ：Internet of Things の略で、モノのインターネットと訳される。情報通信の機能を持たない機器をインターネットにつなぎ、情報通信、制御をする仕組み。

グデータなどの活用を促進することで生産性の向上を図り、本県産業の付加価値の向上を実現する。

■ 県内産業の活性化や生産性向上に向けたＡＩ、ＩｏＴ、ビッグデータ等の活用促進

○ 産学官の連携により、生産性の向上や人手不足への対応、革新的なサービス・製品の創出による付加価値の向上などが期待されるＡＩ、ＩｏＴ、ビッグデータ等の活用を促進し、新たなビジネスモデルへの転換を図る県内企業を創出・育成する。

○ 県内企業の多くは情報や人材の不足により、ＩｏＴ等の導入が進まない状況であるため、セミナーによる情報提供や導入実証による効果検証を行うとともに、高度ＩＴに関する研修や情報発信により人材の育成を支援する。また、企業ニーズ等を踏まえながら、サービス産業や製造現場における導入を促進する。

○ 成長が見込まれるＡＩ、ＩｏＴ、ロボット分野において、県内企業の参入を促進するために、Ｒ＆Ｄ（研究開発）を支援し、生産性の高いサービス産業やものづくり技術の振興を図る。

■ 将来性が見込まれる産業分野への参入促進

○ 航空機産業への新規参入や関連企業の集積を促進するため、県内企業との共同研究や企業間連携の推進等により、企業の技術力・品質管理能力の向上や航空機産業を担う人材の確保・育成等を支援する。

・大手重工メーカー等のニーズに対応したチタンなどの難加工材料の効率的な切削加工技術の開発や県内企業との共同研究
・大手重工メーカー等と県内企業とのマッチングの推進
・企業の技術力・品質管理能力の向上に向けた航空機関連認証（ＪＩＳＱ９１００、Ｎａｄｃａｐ）の取得支援
・中核的人材育成講座等の実施

○ 次世代自動車産業への参入を促進するため、広域的な企業間連携や自動車メーカー向け展示商談会等の開催、技術開発に向けた取組等を支援する。

・東北６県及び北海道と連携した広域的な企業間連携
・自動車メーカー向け展示商談会の開催による企業間マッチング
・アドバイザー派遣、新技術・新工法の開発や試作開発等支援

○ 将来的な市場拡大が見込まれる医療機器分野への販路開拓を図るため、医師等との意見交換会の実施により、医療現場ニーズを把握し、産学官連携による共同研究や技術開発につなげるとともに、医療関係者向け展示商談会への出展による商談機会の確保、県央基幹病院における医工連携に向けた取組など、医療機器の製品開発や技術開発等を支援する。

○ 少子高齢化の時代においても市場の伸びが期待できる健康・医療・福祉関連分野において、産学官で連携して、県内企業の新規参入や、機能性食品・高圧加工食品などの新たな商品開発等に向けた取組を支援することにより、健康関連産業の高付加価値化を推進する。

設置の趣旨等を記載した書類

【資料 16】

新潟県情報化プラン

(2016～2019)

平成２８年６月

新潟県

はじめに

近年、情報通信技術（ＩＣＴ）はめざましい進歩を遂げており、日常生活等の様々な場面において必要不可欠のツールとなっています。

これまで本県では、平成 18 年度に「新潟県行政情報化プラン(2006～2008)」を策定し、以降改訂を重ね、県組織内の行政情報化として基盤整備や内部事務の効率化等を進めてまいりました。さらに、平成 24 年度策定の「新潟県情報化プラン(2012～2015)」からは、県内の地域情報化を新たに加えて、県民生活により直結する形でのＩＣＴ活用を着実に推進してまいりました。

今回策定の「新潟県情報化プラン(2016～2019)」においても、地域情報化として、「新潟県『夢おこし』政策プラン」が掲げる「将来に希望の持てる魅力ある新潟県」の実現をＩＣＴ活用の観点から推進し、快適・安全・豊かなくらしの実現や地域の活性化に取り組んでまいります。同様に、行政情報化として、「新潟県行政経営改革推進ビジョン」を踏まえて、ＩＣＴ活用による行政経営の高度化及び効率化の更なる推進に取り組んでまいります。

また、本プランの策定にあたりましては、県民の皆様や有識者等、多くの方々から貴重な御意見をいただきました。ここに深く感謝申し上げます。

新潟県知事　泉田　裕彦

設置の趣旨等を記載した書類

【資料 17】

事業創造学部　学位授与の方針・教育課程編成の方針・授業科目の関係図

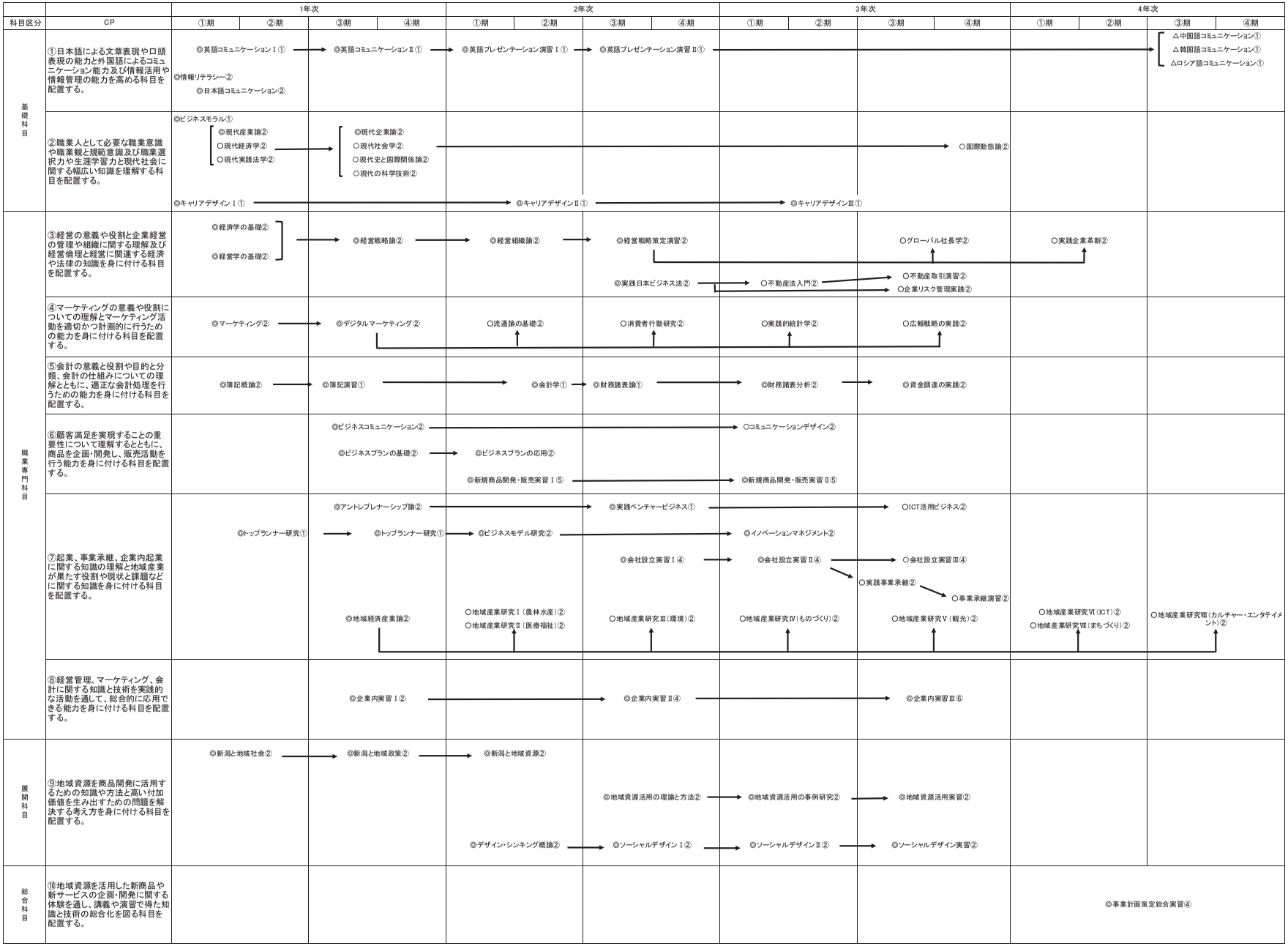
ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	授業科目
1　職業人としての望ましい心構えや人間性と現代社会に関する幅広い知識や汎用的技能を有し、自律・自立して学習できる能力と態度を身に付けている。	⑴　日本語による文章表現や口頭表現の能力と外国語によるコミュニケーション能力及び情報活用や情報管理の能力を高める科目を配置する。	「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」 「英語プレゼンテーション演習Ⅰ」「英語プレゼンテーション演習Ⅱ」 「中国語コミュニケーション」「韓国語コミュニケーション」「ロシア語コミュニケーション」 「日本語コミュニケーション」 「情報リテラシー」
	⑵　職業人として必要な職業意識や職業観と規範意識及び職業選択力や生涯学習力と現代社会に関する幅広い知識を理解する科目を配置する。	「現代経済学」「現代産業論」「現代企業論」 「現代史と国際関係論」「現代の科学技術」「現代実践法学」「現代社会学」「国際動態論」 「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」「キャリアデザインⅢ」 「ビジネスモラル」
2　事業活動に必要となる経営管理、マーケティング、会計に関する知識と能力を有し、商品やサービスを企画・開発し、販売活動を行う能力を身に付けている。	⑶　経営の意義や役割と企業経営の管理や組織に関する理解及び経営倫理と経営に関連する経済や法律の知識を身に付ける科目を配置する。	「経営学の基礎」「経営戦略論」「経営組織論」「経営戦略策定演習」 「経済学の基礎」「実践日本ビジネス法」「グローバル社長学」「実践企業革新」 「企業リスク管理実践」「不動産法入門」「不動産取引演習」
	⑷　マーケティングの意義や役割についての理解とマーケティング活動を適切かつ計画的に行うための能力を身に付ける科目を配置する。	「マーケティング」「デジタルマーケティング」「流通論の基礎」 「消費者行動研究」「実践的統計学」「広報戦略の実践」
	⑸　会計の意義と役割や目的と分類、会計の仕組みについての理解とともに、適正な会計処理を行うための能力を身に付ける科目を配置する。	「会計学」「財務諸表論」 「簿記概論」「簿記演習」「財務諸表分析」「資金調達の実践」
	⑹　顧客満足を実現することの重要性について理解するとともに、商品を企画・開発し、販売活動を行う能力を身に付ける科目を配置する。	「ビジネスプランの基礎」「ビジネスプランの応用」 「新規商品開発・販売実習Ⅰ」「新規商品開発・販売実習Ⅱ」 「ビジネスコミュニケーション」「コミュニケーションデザイン」
	⑺　起業、事業承継、企業内起業に関する知識の理解と地域産業が果たす役割や現状と課題などに関する知識を身に付ける科目を配置する。	「アントレプレナーシップ論」「実践ベンチャービジネス」「トップランナー研究」「ビジネスモデル研究」 「イノベーションマネジメント」「会社設立実習Ⅰ」「会社設立実習Ⅱ」 「ICT活用ビジネス」「会社設立実習Ⅲ」「実践事業承継」「事業承継演習」 「地域経済産業論」 「地域産業研究Ⅰ(農林水産)」「地域産業研究Ⅱ(医療福祉)」「地域産業研究Ⅲ(環境)」 「地域産業研究Ⅳ(ものづくり)」「地域産業研究Ⅴ(観光)」「地域産業研究Ⅵ(ICT)」「地域産業研究Ⅶ(まちづくり)」 「地域産業研究Ⅷ(カルチャー・エンタテイメント)」
	⑻　経営管理、マーケティング、会計に関する知識と技術を実践的な活動を通して、総合的に応用できる能力を身に付ける科目を配置する。	「企業内実習Ⅰ」「企業内実習Ⅱ」「企業内実習Ⅲ」
3　地域の魅力や特徴を理解し、地域の資源を活用するための知識や方法と高い付加価値を生み出すための問題や課題を解決していく能力を身に付けている。	⑼　地域資源を商品開発に活用するための知識や方法と高い付加価値を生み出すための問題を解決する考え方を身に付ける科目を配置する。	「新潟と地域社会」「新潟と地域政策」「新潟と地域資源」 「地域資源活用の理論と方法」「地域資源活用の事例研究」「地域資源活用実習」 「デザイン・シンキング概論」「ソーシャルデザインⅠ」「ソーシャルデザインⅡ」「ソーシャルデザイン実習」
4　個別に学修した事業活動や商品開発に関する知識や技能を総合し、地域の特徴や資源を活用しながら新商品や新サービスを創り出す能力を身に付けている。	⑽　地域資源を活用した新商品や新サービスの企画・開発に関する体験を通し、講義や演習で得た知識と技術の総合化を図る科目を配置する。	事業計画策定総合実習

設置の趣旨等を記載した書類

【資料 18】

事業創造学部 事業創造学科 カリキュラム体系図

※科目名称の囲み数値は単位数 （例：②は2単位科目）
◎： 必修科目　　○： 選択科目　　△：自由科目



設置の趣旨等を記載した書類

【資料 19】

別記様式第２号（その２の４）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

専門職大学等における実験，実習又は実技による授業科目並びにこれに代替する演習による授業科目一覧

（事業創造学部事業創造学科）

	科目区分	授業科目の名称	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 ［臨／連］	臨地実務実習に代えて連携実務演習等（実験，実習又は実技によるものに限る。）を修得させる理由及び見込まれる教育効果
実験，実習又は実技による授業科目	基礎科目	該当なし					
	職業専門科目	ビジネスプランの応用	2	4		実習	
		会社設立実習Ⅰ	4			実習	
		会社設立実習Ⅱ	4			実習	
		会社設立実習Ⅲ				実習	
		企業内実習Ⅰ	2			実習 【臨】	
		企業内実習Ⅱ	4			実習 【臨】	
		企業内実習Ⅲ	6			実習 【臨】	
		新規商品開発・販売実習Ⅰ	5			実習 【臨】	
		新規商品開発・販売実習Ⅱ	5			実習 【臨】	
	展開科目	ソーシャルデザイン実習	2				
		地域資源活用実習	2				
	総合科目	事業計画策定総合実習	4				
	小計（　12科目）		40	4	0		
		うち卒業・修了に必要な実習等単位数	40	0	－		
		うち卒業・修了に必要な臨地実務実習等単位数	22	0	－		

	科目区分	授業科目の名称	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 ［臨／連］	実験，実習又は実技に代えて演習による授業科目を修得させる事由及び見込まれる教育効果
演習による実習等代替授業科目	基礎科目	該当なし					
	職業専門科目	該当なし					
	展開科目	該当なし					
	総合科目	該当なし					
	小計（　0科目）		0	0	0		
		うち卒業・修了に必要な演習代替単位数	0	0	－		
		うち卒業・修了に必要な連携実務演習等単位数	0	0	－		

合計（　11科目）	40	4	0
うち卒業・修了に必要な実習等又は演習単位数	40	0	－
うち卒業・修了に必要な臨地実務実習等単位数	22	0	－

設置の趣旨等を記載した書類

【資料 20】

別記様式第７号の４（その２）

（用紙　日本工業規格Ａ４横型）

臨地実務実習施設一覧

（開志専門職大学事業創造学部）

施設番号	臨地実務実習施設の名称	所在地	履修させる授業科目						主な実習場所の面積	備　考
			授業科目の名称	必修・選択・自由の別	単位数	履修予定学生数	当該施設実習時間数	受入予定学生・時間数		
1	株式会社ウイネット	新潟県新潟市中央区弁天三丁目2番20号　弁天501ビル5F	企業内実習Ⅰ	必修	2単位	2人	６０時間	１２０人・時間	２１１．８６㎡	
			企業内実習Ⅱ	必修	4単位	6人	１２０時間	７２０人・時間	うち必修科目分　２１１．８６㎡	
			新規商品開発・販売実習Ⅰ	必修	5単位	2人	１５０時間	３００人・時間	うち選択科目分　　㎡	
			新規商品開発・販売実習Ⅱ	必修	5単位	2人	１５０時間	３００人・時間	うち選択科目分　　㎡	
			企業内実習Ⅲ	必修	6単位	2人	１８０時間	３６０人・時間	うち選択科目分　　㎡	
			計　（　5科目）		２２単位	のべ１４人	６６０時間	１，８００人・時間	うち自由科目分　　㎡	
2	株式会社エデュースホールディングス	新潟県新潟市中央区弁天三丁目2番20号　弁天501ビル6F	企業内実習Ⅰ	必修	2単位	5人	６０時間	３００人・時間	２１１．８６㎡	
			企業内実習Ⅱ	必修	4単位	3人	１２０時間	３６０人・時間	うち必修科目分　２１１．８６㎡	
			新規商品開発・販売実習Ⅰ	必修	5単位	5人	１５０時間	７５０人・時間	うち選択科目分　　㎡	
			新規商品開発・販売実習Ⅱ	必修	5単位	5人	１５０時間	７５０人・時間	うち選択科目分　　㎡	
			企業内実習Ⅲ	必修	6単位	5人	１８０時間	９００人・時間	うち選択科目分　　㎡	
			計　（　5科目）		２２単位	のべ２３人	６６０時間	３，０６０人・時間	うち自由科目分　　㎡	
3	株式会社エヌエスジー教育ネットワーク	新潟県新潟市中央区東大通1－11－32	企業内実習Ⅰ	必修	2単位	5人	６０時間	３００人・時間	２１㎡	
			企業内実習Ⅱ	必修	4単位	3人	１２０時間	３６０人・時間	うち必修科目分　２１㎡	
			新規商品開発・販売実習Ⅰ	必修	5単位	5人	１５０時間	７５０人・時間	うち選択科目分　　㎡	
			新規商品開発・販売実習Ⅱ	必修	5単位	5人	１５０時間	７５０人・時間	うち選択科目分　　㎡	
			企業内実習Ⅲ	必修	6単位	5人	１８０時間	９００人・時間	うち選択科目分　　㎡	
			計　（　5科目）		２２単位	のべ２３人	６６０時間	３，０６０人・時間	うち自由科目分　　㎡	

施設番号	臨地実務実習施設の名称	所在地	履修させる授業科目						主な実習場所の面積	備考
			授業科目の名称	必修・選択・自由の別	単位数	履修予定学生数	当該施設実習時間数	受入予定学生・時間数		
4	株式会社NSGアカデミー	新潟県新潟市中央区東大通１－11－32	企業内実習Ⅰ	必修	２単位	５人	６０時間	３００人・時間	５６㎡	
			企業内実習Ⅱ	必修	４単位	５人	１２０時間	６００人・時間	うち必修科目分５６㎡	
			新規商品開発・販売実習Ⅰ	必修	５単位	５人	１５０時間	７５０人・時間	うち選択科目分 ㎡	
			新規商品開発・販売実習Ⅱ	必修	５単位	５人	１５０時間	７５０人・時間	うち選択科目分 ㎡	
			企業内実習Ⅲ	必修	６単位	５人	１８０時間	９００人・時間	うち選択科目分 ㎡	
			計 （ 5科目）		２２単位	のべ ２５人	６６０時間	３，３００人・時間	うち自由科目分 ㎡	
5	株式会社サーティファイ	新潟県新潟市中央区弁天三丁目2番20号 弁天501ビル	企業内実習Ⅰ	必修	２単位	２人	６０時間	１２０人・時間	４０３．１㎡	
			企業内実習Ⅱ	必修	４単位	４人	１２０時間	４８０人・時間	うち必修科目分 ４０３．１㎡	
			新規商品開発・販売実習Ⅰ	必修	５単位	５人	１５０時間	７５０人・時間	うち選択科目分 ㎡	
			新規商品開発・販売実習Ⅱ	必修	５単位	５人	１５０時間	７５０人・時間	うち選択科目分 ㎡	
			企業内実習Ⅲ	必修	６単位	２人	１８０時間	３６０人・時間	うち選択科目分 ㎡	
			計 （ 5科目）		２２単位	のべ １８人	６６０時間	２，４６０人・時間	うち自由科目分 ㎡	
6	アートグリーン株式会社	東京都江東区福住1－8－8 福住ビル	企業内実習Ⅰ	必修	２単位	５人	６０時間	３００人・時間	７６８㎡	
			企業内実習Ⅱ	必修	４単位	３人	１２０時間	３６０人・時間	うち必修科目分 ７６８㎡	
			新規商品開発・販売実習Ⅰ	必修	５単位	５人	１５０時間	７５０人・時間	うち選択科目分 ㎡	
			新規商品開発・販売実習Ⅱ	必修	５単位	５人	１５０時間	７５０人・時間	うち選択科目分 ㎡	
			企業内実習Ⅲ	必修	６単位	５人	１８０時間	９００人・時間	うち選択科目分 ㎡	
			計 （ 5科目）		２２単位	のべ ２３人	６６０時間	３，０６０人・時間	うち自由科目分 ㎡	

施設番号	臨地実務実習施設の名称	所在地	履修させる授業科目						主な実習場所の面積	備考
			授業科目の名称	必修・選択・自由の別	単位数	履修予定学生数	当該施設実習時間数	受入予定学生・時間数		
7	株式会社小川屋	新潟県新潟市江南区大淵1631	企業内実習Ⅰ	必修	2単位	5人	60時間	300人・時間	70㎡	
			企業内実習Ⅱ	必修	4単位	2人	120時間	240人・時間	うち必修科目分 70㎡	
			新規商品開発・販売実習Ⅰ	必修	5単位	5人	150時間	750人・時間	うち選択科目分 ㎡	
			新規商品開発・販売実習Ⅱ	必修	5単位	5人	150時間	750人・時間	うち選択科目分 ㎡	
			企業内実習Ⅲ	必修	6単位	5人	180時間	900人・時間	うち選択科目分 ㎡	
			計 （ 5科目）		22単位	のべ 22人	660時間	2，940人・時間	うち自由科目分 ㎡	
8	株式会社日本フードリンク 本社	新潟県新潟市東区津島屋6丁目99番地1	企業内実習Ⅰ	必修	2単位	10人	60時間	600人・時間	200㎡	
			企業内実習Ⅱ	必修	4単位	5人	120時間	600人・時間	うち必修科目分 200㎡	
			企業内実習Ⅲ	必修	6単位	10人	180時間	1，800人・時間	うち選択科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
			計 （ 3科目）		12単位	のべ 25人	360時間	3，000人・時間	うち自由科目分 ㎡	
9	株式会社ベジ・アビオ	新潟県新潟市北区新富町1419-50	企業内実習Ⅰ	必修	2単位	2人	60時間	120人・時間	99㎡	
			企業内実習Ⅱ	必修	4単位	2人	120時間	240人・時間	うち必修科目分 99㎡	
			企業内実習Ⅲ	必修	6単位	2人	180時間	360人・時間	うち選択科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
			計 （ 3科目）		12単位	のべ 6人	360時間	720人・時間	うち自由科目分 ㎡	

施設番号	臨地実務実習施設の名称	所在地	履修させる授業科目						主な実習場所の面積	備考
			授業科目の名称	必修・選択・自由の別	単位数	履修予定学生数	当該施設実習時間数	受入予定学生・時間数		
10	グローカルマーケティング株式会社	新潟県長岡市北陽1丁目53番地	企業内実習Ⅰ	必修	2単位	5人	60時間	300人・時間	102㎡	
			企業内実習Ⅱ	必修	4単位	3人	120時間	360人・時間	うち必修科目分 102㎡	
			新規商品開発・販売実習Ⅰ	必修	5単位	5人	150時間	750人・時間	うち必修科目分 ㎡	
			新規商品開発・販売実習Ⅱ	必修	5単位	5人	150時間	750人・時間	うち選択科目分 ㎡	
			企業内実習Ⅲ	必修	6単位	5人	180時間	900人・時間	うち選択科目分 ㎡	
			計 （ 5科目）		22単位	のべ 23人	660時間	3，060人・時間	うち自由科目分 ㎡	
11	新潟綜合警備保障株式会社	新潟県新潟市東区小金町1丁目17番20号	企業内実習Ⅰ	必修	2単位	5人	60時間	300人・時間	300㎡	
			企業内実習Ⅱ	必修	4単位	3人	120時間	360人・時間	うち必修科目分 300㎡	
			新規商品開発・販売実習Ⅰ	必修	5単位	5人	150時間	750人・時間	うち必修科目分 ㎡	
			新規商品開発・販売実習Ⅱ	必修	5単位	5人	150時間	750人・時間	うち選択科目分 ㎡	
			企業内実習Ⅲ	必修	6単位	5人	180時間	900人・時間	うち選択科目分 ㎡	
			計 （ 5科目）		22単位	のべ 23人	660時間	3，060人・時間	うち自由科目分 ㎡	
12	株式会社リビングギャラリー本店	新潟県新潟市中央区米山4−1−28	企業内実習Ⅱ	必修	4単位	2人	120時間	240人・時間	598．66㎡	
									うち必修科目分 598．66㎡	
									うち必修科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
			計 （ 1科目）		4単位	のべ 2人	120時間	240人・時間	うち自由科目分 ㎡	

施設番号	臨地実務実習施設の名称	所在地	履修させる授業科目						主な実習場所の面積	備考
			授業科目の名称	必修・選択・自由の別	単位数	履修予定学生数	当該施設実習時間数	受入予定学生・時間数		
13	株式会社リビングギャラリー新潟中央センター	新潟県新潟市中央区米山2-6-3	企業内実習Ⅱ	必修	4単位	2人	120時間	240人・時間	292.53㎡	
									うち必修科目分 292.53㎡	
									うち必修科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
			計 （1科目）		4単位	のべ 2人	120時間	240人・時間	うち自由科目分 ㎡	
14	株式会社リビングギャラリー新潟駅前店	新潟県新潟市中央区東大通1-1-15東大通ビル1F	企業内実習Ⅱ	必修	4単位	2人	120時間	240人・時間	55.48㎡	
									うち必修科目分 55.48㎡	
									うち必修科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
			計 （1科目）		4単位	のべ 2人	120時間	240人・時間	うち自由科目分 ㎡	
15	株式会社リビングギャラリー新潟古町店	新潟県新潟市中央区東堀通4-451	企業内実習Ⅱ	必修	4単位	2人	120時間	240人・時間	57.33㎡	
									うち必修科目分 57.33㎡	
									うち必修科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
			計 （1科目）		4単位	のべ 2人	120時間	240人・時間	うち自由科目分 ㎡	

施設番号	臨地実務実習施設の名称	所在地	履修させる授業科目						主な実習場所の面積	備考
			授業科目の名称	必修・選択・自由の別	単位数	履修予定学生数	当該施設実習時間数	受入予定学生・時間数		
16	株式会社リビングギャラリー新潟白山店	新潟県新潟市中央区白山浦2-646-70			単位	人	時間	人・時間	㎡	事業所の閉鎖に伴い、補正申請において、一覧から除外
									うち必修科目分 ㎡	
									うち必修科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
			計 （ 1科目）		単位	のべ 人	時間	人・時間	うち自由科目分 ㎡	
17	株式会社リビングギャラリー新潟亀田店	新潟県新潟市江南区早苗1-1-25	企業内実習Ⅱ	必修	4単位	2人	120時間	240人・時間	115．47㎡	
									うち必修科目分 115．47㎡	
									うち必修科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
			計 （ 1科目）		4単位	のべ 2人	120時間	240人・時間	うち自由科目分 ㎡	
18	株式会社リビングギャラリー新潟東店	新潟県新潟市東区上木戸1-2-1	企業内実習Ⅱ	必修	4単位	2人	120時間	240人・時間	100．61㎡	
									うち必修科目分100．61㎡	
									うち必修科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
			計 （ 1科目）		4単位	のべ 2人	120時間	240人・時間	うち自由科目分 ㎡	

施設番号	臨地実務実習施設の名称	所在地	履修させる授業科目						主な実習場所の面積	備考
			授業科目の名称	必修・選択・自由の別	単位数	履修予定学生数	当該施設実習時間数	受入予定学生・時間数		
19	株式会社リビングギャラリー新潟大学前店	新潟県新潟市西区大学南1-7802-12	企業内実習Ⅱ	必修	4単位	2人	120時間	240人・時間	109．72㎡	
									うち必修科目分109．72㎡	
									うち必修科目分　㎡	
									うち選択科目分　㎡	
									うち選択科目分　㎡	
			計　（1科目）		4単位	のべ2人	120時間	240人・時間	うち自由科目分　㎡	
20	株式会社リビングギャラリー新潟西店	新潟県新潟市西区小針西3-14-13	企業内実習Ⅱ	必修	4単位	2人	120時間	240人・時間	126．62㎡	
									うち必修科目分126．62㎡	
									うち必修科目分　㎡	
									うち選択科目分　㎡	
									うち選択科目分　㎡	
			計　（1科目）		4単位	のべ2人	120時間	240人・時間	うち自由科目分　㎡	
21	株式会社リビングギャラリー新津店	新潟県新潟市秋葉区新津本町1-2-30	企業内実習Ⅱ	必修	4単位	2人	120時間	240人・時間	33㎡	
									うち必修科目分　33㎡	
									うち必修科目分　㎡	
									うち選択科目分　㎡	
									うち選択科目分　㎡	
			計　（1科目）		4単位	のべ2人	120時間	240人・時間	うち自由科目分　㎡	

施設番号	臨地実務実習施設の名称	所在地	履修させる授業科目						主な実習場所の面積	備　考
			授業科目の名称	必修・選択・自由の別	単位数	履修予定学生数	当該施設実習時間数	受入予定学生・時間数		
22	株式会社リビングギャラリー新潟北店	新潟県新潟市北区柳原1-2-2	企業内実習Ⅱ	必修	4単位	2人	120時間	240人・時間	78.66㎡	
									うち必修科目分 78.66㎡	
									うち必修科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
			計 （1科目）		4単位	のべ 2人	120時間	240人・時間	うち自由科目分 ㎡	
23	株式会社リビングギャラリー新発田店	新潟県新発田市住吉町5−12−26	企業内実習Ⅱ	必修	4単位	2人	120時間	240人・時間	59.03㎡	
									うち必修科目分 59.03㎡	
									うち必修科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
			計 （1科目）		4単位	のべ 2人	120時間	240人・時間	うち自由科目分 ㎡	
24	株式会社リビングギャラリー燕三条駅前店	新潟県三条市須頃2−24 Fu−Rin−Kan101号	企業内実習Ⅱ	必修	4単位	2人	120時間	240人・時間	69.69㎡	
									うち必修科目分 69.69㎡	
									うち必修科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
			計 （1科目）		4単位	のべ 2人	120時間	240人・時間	うち自由科目分 ㎡	

施設番号	臨地実務実習施設の名称	所在地	履修させる授業科目						主な実習場所の面積	備考
			授業科目の名称	必修・選択・自由の別	単位数	履修予定学生数	当該施設実習時間数	受入予定学生・時間数		
25	株式会社リビングギャラリー長岡西店	新潟県長岡市古正寺3−141	企業内実習Ⅱ	必修	4単位	2人	120時間	240人・時間	101．26㎡	
									うち必修科目分101．26㎡	
									うち必修科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
			計 （ 1科目）		4単位	のべ 2人	120時間	240人・時間	うち自由科目分 ㎡	
26	株式会社リビングギャラリー長岡東店	新潟県長岡市台町2-4-11	企業内実習Ⅱ	必修	4単位	2人	120時間	240人・時間	178．36㎡	
									うち必修科目178．36㎡	
									うち必修科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
			計 （ 1科目）		4単位	のべ 2人	120時間	240人・時間	うち自由科目分 ㎡	
27	株式会社リビングギャラリー上越センター	新潟県上越市春日山町3-20-53	企業内実習Ⅱ	必修	4単位	1人	120時間	120人・時間	102．68㎡	
									うち必修科目分102．68㎡	
									うち必修科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
			計 （ 1科目）		4単位	のべ 1人	120時間	120人・時間	うち自由科目分 ㎡	

施設番号	臨地実務実習施設の名称	所在地	履修させる授業科目						主な実習場所の面積	備考
			授業科目の名称	必修・選択・自由の別	単位数	履修予定学生数	当該施設実習時間数	受入予定学生・時間数		
28	株式会社リビングギャラリー郡山店	福島県郡山市中町2-11	企業内実習Ⅱ	必修	4単位	1人	120時間	120人・時間	80.8㎡	
									うち必修科目分 80.8㎡	
									うち必修科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
			計 （ 1科目）		4単位	のべ 1人	120時間	120人・時間	うち自由科目分 ㎡	
29	株式会社リビングギャラリー川崎店	神奈川県川崎市川崎区砂子1-1-19川崎ビル2階	企業内実習Ⅱ	必修	4単位	1人	120時間	120人・時間	41.4㎡	
									うち必修科目分 41.4㎡	
									うち必修科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
			計 （ 1科目）		4単位	のべ 1人	120時間	120人・時間	うち自由科目分 ㎡	
30	株式会社リビングギャラリー日暮里店	東京都荒川区西日暮里2-18-4小川ビル3F	企業内実習Ⅱ	必修	4単位	1人	120時間	120人・時間	61.2㎡	
									うち必修科目分 61.2㎡	
									うち必修科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
			計 （ 1科目）		4単位	のべ 1人	120時間	120人・時間	うち自由科目分 ㎡	

施設番号	臨地実務実習施設の名称	所在地	履修させる授業科目						主な実習場所の面積	備考
			授業科目の名称	必修・選択・自由の別	単位数	履修予定学生数	当該施設実習時間数	受入予定学生・時間数		
31	株式会社リビングギャラリー錦糸町店	東京都墨田区江東橋4-29-14コミネビル2F	企業内実習Ⅱ	必修	4単位	1人	１２０時間	１２０人・時間	７４．１６㎡	
									うち必修科目分７４．１６㎡	
									うち必修科目分　　㎡	
									うち選択科目分　　㎡	
									うち選択科目分　　㎡	
			計　（　1科目）		4単位	のべ 1人	１２０時間	１２０人・時間	うち自由科目分　　㎡	
32	株式会社リビングギャラリー赤羽店	東京都北区赤羽西1-３７-3赤羽アイ・エスビル3F	企業内実習Ⅱ	必修	4単位	1人	１２０時間	１２０人・時間	９０．９７㎡	
									うち必修科目分　９０．９７㎡	
									うち必修科目分　　㎡	
									うち選択科目分　　㎡	
									うち選択科目分　　㎡	
			計　（　1科目）		4単位	のべ 1人	１２０時間	１２０人・時間	うち自由科目分　　㎡	
33	株式会社リビングギャラリー船橋店	千葉県船橋市本町6-6-2船橋MIOビル3F	企業内実習Ⅱ	必修	4単位	1人	１２０時間	１２０人・時間	４６．２７㎡	
									うち必修科目分　４６．２７㎡	
									うち必修科目分　　㎡	
									うち選択科目分　　㎡	
									うち選択科目分　　㎡	
			計　（　1科目）		4単位	のべ 1人	１２０時間	１２０人・時間	うち自由科目分　　㎡	
34	株式会社リビングギャラリー高円寺店	東京都杉並区高円寺南3-５７-１ベルピアビル2F	企業内実習Ⅱ	必修	4単位	1人	１２０時間	１２０人・時間	８５．１８㎡	
									うち必修科目分　８５．１８㎡	
									うち必修科目分　　㎡	
									うち選択科目分　　㎡	
									うち選択科目分　　㎡	
			計　（　1科目）		4単位	のべ 1人	１２０時間	１２０人・時間	うち自由科目分　　㎡	

施設番号	臨地実務実習施設の名称	所在地	履修させる授業科目						主な実習場所の面積	備考
			授業科目の名称	必修・選択・自由の別	単位数	履修予定学生数	当該施設実習時間数	受入予定学生・時間数		
35	株式会社新潟プロバスケットボール本社	新潟県長岡市城内町２－５－３ 樋熊ビル	新規商品開発・販売実習Ⅰ	必修	５単位	５人	１５０時間	７５０人・時間	３５㎡	
			新規商品開発・販売実習Ⅱ	必修	５単位	５人	１５０時間	７５０人・時間	うち必修科目分 ３５㎡	
									うち必修科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
			計 （ 2科目）		１０単位	のべ １０人	３００時間	１，５００人・時間	うち自由科目分 ㎡	
36	越後味噌醸造株式会社	新潟県燕市吉田中町５－１０	企業内実習Ⅰ	必修	２単位	５人	６０時間	３００人・時間	１，７６６㎡	
			企業内実習Ⅱ	必修	４単位	２人	１２０時間	２４０人・時間	うち必修科目分 １，７６６㎡	
			新規商品開発・販売実習Ⅰ	必修	５単位	５人	１５０時間	７５０人・時間	うち必修科目分 ㎡	
			新規商品開発・販売実習Ⅱ	必修	５単位	５人	１５０時間	７５０人・時間	うち選択科目分 ㎡	
			企業内実習Ⅲ	必修	６単位	５人	１８０時間	９００人・時間	うち選択科目分 ㎡	
			計 （ 5科目）		２２単位	のべ ２２人	６６０時間	２，９４０人・時間	うち自由科目分 ㎡	
37	株式会社ヒューマンブレイン	新潟県新潟市中央区東大通１－１－１５東大通ビル6F	企業内実習Ⅰ	必修	２単位	２人	６０時間	１２０人・時間	１１．６㎡	
			企業内実習Ⅱ	必修	４単位	２人	１２０時間	２４０人・時間	うち必修科目分１１．６㎡	
			企業内実習Ⅲ	必修	６単位	２人	１８０時間	３６０人・時間	うち必修科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
			計 （ 3科目）		１２単位	のべ ６人	３６０時間	７２０人・時間	うち自由科目分 ㎡	

施設番号	臨地実務実習施設の名称	所在地	履修させる授業科目						主な実習場所の面積	備考
			授業科目の名称	必修・選択・自由の別	単位数	履修予定学生数	当該施設実習時間数	受入予定学生・時間数		
38	今代司酒造株式会社	新潟県新潟市中央区鏡が岡１－１	企業内実習Ⅰ	必修	２単位	５人	６０時間	３００人・時間	5，000㎡	
			企業内実習Ⅱ	必修	４単位	２人	１２０時間	２４０人・時間	うち必修科目分 5，000㎡	
			新規商品開発・販売実習Ⅰ	必修	５単位	５人	１５０時間	７５０人・時間	うち必修科目分 ㎡	
			新規商品開発・販売実習Ⅱ	必修	５単位	５人	１５０時間	７５０人・時間	うち選択科目分 ㎡	
			企業内実習Ⅲ	必修	６単位	５人	１８０時間	９００人・時間	うち選択科目分 ㎡	
			計 （ 5科目）		２２単位	のべ ２２人	６６０時間	２，９４０人・時間	うち自由科目分 ㎡	
39	株式会社峰村商店	新潟県新潟市中央区明石2-3-44	企業内実習Ⅰ	必修	２単位	５人	６０時間	３００人・時間	2，952㎡	
			企業内実習Ⅱ	必修	４単位	２人	１２０時間	２４０人・時間	うち必修科目分 2，952㎡	
			新規商品開発・販売実習Ⅰ	必修	５単位	５人	１５０時間	７５０人・時間	うち必修科目分 ㎡	
			新規商品開発・販売実習Ⅱ	必修	５単位	５人	１５０時間	７５０人・時間	うち選択科目分 ㎡	
			企業内実習Ⅲ	必修	６単位	５人	１８０時間	９００人・時間	うち選択科目分 ㎡	
			計 （ 5科目）		２２単位	のべ ２２人	６６０時間	２，９４０人・時間	うち自由科目分 ㎡	
40	株式会社アイ・シー・オー	新潟県新潟市中央区米山2－7－4 ＩＴＰケヤキビル3Ｆ	企業内実習Ⅰ	必修	２単位	５人	６０時間	３００人・時間	30㎡	
			企業内実習Ⅱ	必修	４単位	５人	１２０時間	６００人・時間	うち必修科目分 30㎡	
			企業内実習Ⅲ	必修	６単位	５人	１８０時間	９００人・時間	うち必修科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
			計 （ 3科目）		１２単位	のべ １５人	３６０時間	１，８００人・時間	うち自由科目分 ㎡	

施設番号	臨地実務実習施設の名称	所在地	履修させる授業科目						主な実習場所の面積	備考
			授業科目の名称	必修・選択・自由の別	単位数	履修予定学生数	当該施設実習時間数	受入予定学生・時間数		
41	株式会社国際総合計画	新潟県新潟市中央区米山２－７－３ ITPケヤキビル	企業内実習Ⅰ	必修	２単位	５人	６０時間	３００人・時間	２５０．４１㎡	
			企業内実習Ⅱ	必修	４単位	３人	１２０時間	３６０人・時間	うち必修科目分 ２５０．４１㎡	
			企業内実習Ⅲ	必修	６単位	５人	１８０時間	９００人・時間	うち必修科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
			計 （ 3科目）		１２単位	のべ １３人	３６０時間	１，５６０人・時間	うち自由科目分 ㎡	
42	株式会社MGNET	新潟県燕市東太田14-3	企業内実習Ⅰ	必修	２単位	２人	６０時間	１２０人・時間	２２８㎡	
			企業内実習Ⅱ	必修	４単位	２人	１２０時間	２４０人・時間	うち必修科目分 ２２８㎡	
			新規商品開発・販売実習Ⅰ	必修	５単位	５人	１５０時間	７５０人・時間	うち必修科目分 ㎡	
			新規商品開発・販売実習Ⅱ	必修	５単位	５人	１５０時間	７５０人・時間	うち選択科目分 ㎡	
			企業内実習Ⅲ	必修	６単位	２人	１８０時間	３６０人・時間	うち選択科目分 ㎡	
			計 （ 5科目）		２２単位	のべ １６人	６６０時間	２，２２０人・時間	うち自由科目分 ㎡	
43	Adam Innovations株式会社	新潟県南魚沼市浦佐1188-2	企業内実習Ⅰ	必修	２単位	５人	６０時間	３００人・時間	５０㎡	
			企業内実習Ⅱ	必修	４単位	２人	１２０時間	２４０人・時間	うち必修科目分 ５０㎡	
			企業内実習Ⅲ	必修	６単位	５人	１８０時間	９００人・時間	うち必修科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
			計 （ 3科目）		１２単位	のべ １２人	３６０時間	１，４４０人・時間	うち自由科目分 ㎡	

施設番号	臨地実務実習施設の名称	所在地	履修させる授業科目						主な実習場所の面積	備考
			授業科目の名称	必修・選択・自由の別	単位数	履修予定学生数	当該施設実習時間数	受入予定学生・時間数		
44	リコージャパン株式会社新潟支社	新潟県新潟市東区下木戸1-18-30	新規商品開発・販売実習Ⅰ	必修	5単位	12人	150時間	1，800人・時間	1，938．88㎡	
			新規商品開発・販売実習Ⅱ	必修	5単位	12人	150時間	1，800人・時間	うち必修科目分1，938．88㎡	
									うち必修科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
			計 （ 2科目）		10単位	のべ 24人	300時間	3，600人・時間	うち自由科目分 ㎡	
45	株式会社幻の酒	新潟市中央区白山浦2丁目1番28号	企業内実習Ⅱ	必修	4単位	3人	120時間	360人・時間	130㎡	
			新規商品開発・販売実習Ⅰ	必修	5単位	6人	150時間	900人・時間	うち必修科目分 130㎡	
			新規商品開発・販売実習Ⅱ	必修	5単位	6人	150時間	900人・時間	うち必修科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
									うち選択科目分 ㎡	
			計 （ 3科目）		14単位	のべ 15人	420時間	2，160人・時間	うち自由科目分 ㎡	
46	株式会社ミールワークス	東京都目黒区下目黒2-17-18	企業内実習Ⅰ	必修	2単位	5人	60時間	300人・時間	431㎡	
			企業内実習Ⅱ	必修	4単位	3人	120時間	360人・時間	うち必修科目分 431㎡	
			新規商品開発・販売実習Ⅰ	必修	5単位	5人	150時間	750人・時間	うち必修科目分 ㎡	
			新規商品開発・販売実習Ⅱ	必修	5単位	5人	150時間	750人・時間	うち選択科目分 ㎡	
			企業内実習Ⅲ	必修	6単位	5人	180時間	900人・時間	うち選択科目分 ㎡	
			計 （ 5科目）		22単位	のべ 23人	660時間	3，060人・時間	うち自由科目分 ㎡	

※施設番号16の「株式会社リビングギャラリー新潟白山店」は事業所の閉鎖に伴い、補正申請において、一覧から除外される。

受入予定学生・時間数の合計	主な実習場所の面積の合計
６０，７２０人・時間	１７，８２４，７９㎡
うち必修科目分６０，７２０人・時間	うち必修科目分　１７，８２４，７９㎡
うち選択科目分　人・時間	うち選択科目分　㎡
うち自由科目分　人・時間	うち自由科目分　㎡

設置の趣旨等を記載した書類

【資料 21】

情報学部　学位授与の方針・教育課程編成の方針・授業科目の関係図

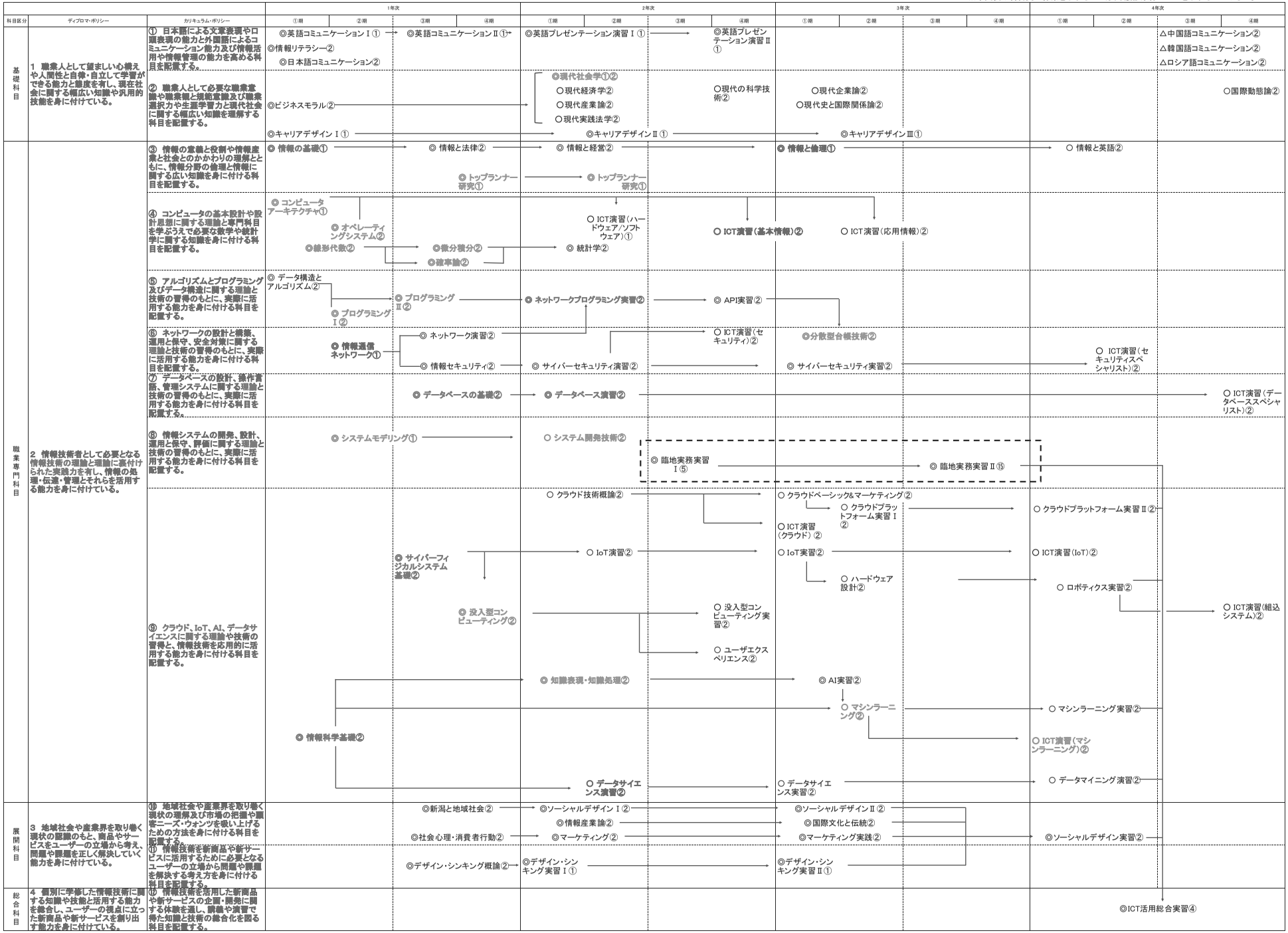
ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	授業科目
1　職業人としての望ましい心構えや人間性と自律・自立して学習できる能力と態度を有し、現代社会に関する幅広い知識や汎用的技能を身に付けている。	①　日本語による文章表現や口頭表現の能力と外国語によるコミュニケーション能力及び情報活用や情報管理の能力を高める科目を配置する。	「日本語コミュニケーション」「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」 「英語プレゼンテーション演習Ⅰ」「英語プレゼンテーション演習Ⅱ」「情報リテラシー」 「中国語コミュニケーション」「韓国語コミュニケーション」「ロシア語コミュニケーション」
	②　職業人として必要な職業意識や職業観と規範意識及び職業選択力や生涯学習力と現代社会に関する幅広い知識を理解する科目を配置する。	「ビジネスモラル」「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」「キャリアデザインⅢ」 「現代経済学」「現代産業論」「現代企業論」 「現代史と国際関係論」「現代の科学技術」「現代実践法学」「現代社会学」「国際動態論」
2　情報技術者として必要となる情報技術の理論と理論に裏付けられた実践力を有し、情報の処理・伝達・管理とそれらを活用する能力を身に付けている。	③　情報の意義と役割や情報産業と社会とのかかわりの理解とともに、情報分野の倫理と情報に関する広い知識を身に付ける科目を配置する。	「情報の基礎」「情報と法律」「情報と経営」「情報と倫理」「情報と英語」 「トップランナー研究」
	④　コンピュータの基本設計や設計思想に関する理論と専門科目を学ぶうえで必要な数学や統計学に関する知識を身に付ける科目を配置する。	「コンピュータアーキテクチャ」「オペレーティングシステム」 「線形代数」「微分積分」「確率論」「統計学」 「ICT演習(ハードウェア/ソフトウェア)」「ICT演習(基本情報)」「ICT演習(応用情報)」
	⑤　アルゴリズムとプログラミング及びデータ構造に関する理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける科目を配置する。	「データ構造とアルゴリズム」「プログラミングⅠ」「プログラミングⅡ」 「ネットワークプログラミング実習」「ＡＰＩ実習」
	⑥　ネットワークの設計と構築、運用と保守、安全対策に関する理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける科目を配置する。	「情報通信ネットワーク」「ネットワーク演習」「分散型台帳技術」 「情報セキュリティ」「サイバーセキュリティ演習」「サイバーセキュリティ実習」 「ICT演習(セキュリティ)」「ICT演習(セキュリティスペシャリスト)」
	⑦　データベースの設計、操作言語、管理システムに関する理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける科目を配置する。	「データベースの基礎」「データベース演習」「ICT演習(データベーススペシャリスト)」
	⑧　情報システムの開発、設計、運用と保守、評価に関する理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける科目を配置する。	「システムモデリング」「システム開発技術」 「臨地実務実習Ⅰ」「臨地実務実習Ⅱ」
	⑨　クラウド、ＩｏＴ、ＡＩ、データサイエンスに関する理論や技術の習得と、情報技術を応用的に活用する能力を身に付ける科目を配置する。	「クラウド技術概論」「 クラウドベーシック&マーケティング」「クラウドプラットフォーム実習Ⅰ」 「クラウドプラットフォーム実習Ⅱ」「ICT演習(クラウド)」 「サイバーフィジカルシステム基礎」「ＩｏＴ演習」「ＩｏＴ実習」「ハードウェア設計」 「ロボティクス実習」「ICT演習(IoT)」「ICT演習(組込システム)」 「没入型コンピューティング」「没入型コンピューティング実習」「ユーザエクスペリエンス」 「情報科学基礎」「知識表現・知識処理」「ＡＩ実習」「マシンラーニング」「マシンラーニング実習」 「データサイエンス演習」「データサイエンス実習」「データマイニング演習」 「ICT演習(マシンラーニング)」
3　地域社会や産業界を取り巻く現状の認識のもと、商品やサービスをユーザーの立場から考え、問題や課題を正しく解決していく能力を身に付けている。	⑩　地域社会や産業界を取り巻く現状の理解及び市場の把握や顧客ニーズ・ウォンツを吸い上げるための方法を身に付ける科目を配置する。	「新潟と地域社会」「ソーシャルデザインⅠ」「ソーシャルデザインⅡ」「ソーシャルデザイン実習」 「情報産業論」「国際文化と伝統」 「社会心理・消費者行動」「マーケティング」「マーケティング実践」
	⑪　情報技術を新商品や新サービスに活用するために必要となるユーザーの立場から問題や課題を解決する考え方を身に付ける科目を配置する。	「デザイン・シンキング概論」「デザイン・シンキング実習Ⅰ」「デザイン・シンキング実習Ⅱ」
4　個別に学修した情報技術に関する知識や技能と活用する能力を総合し、ユーザーの視点に立った新商品や新サービスを創り出す能力を身に付けている。	⑫　情報技術を活用した新商品や新サービスの企画・開発に関する体験を通し、講義や演習で得た知識と技術の総合化を図る科目を配置する。	「ICT活用総合実習」

設置の趣旨等を記載した書類

【資料 22】

情報学部 情報学科 カリキュラム体系図

※科目名称の囲み数値は単位数 （例:②は2単位科目）
◎: 必修科目　○: 選択科目　△:自由科目
※本図表は科目間の体系を示すものであり、履修条件の全てを示すものではない。



設置の趣旨等を記載した書類

【資料 23】

別記様式第２号（その２の４）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

専門職大学等における実験，実習又は実技による授業科目並びにこれに代替する演習による授業科目一覧

（情報学部情報学科）

	科目区分	授業科目の名称	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 ［臨／連］	臨地実務実習に代えて連携実務演習等（実験，実習又は実技によるものに限る。）を修得させる理由及び見込まれる教育効果
実験，実習又は実技による授業科目	基礎科目	該当なし					
	職業専門科目	ネットワークプログラミング実習	2			実習	
		ＡＰＩ実習	2			実習	
		ＡＩ実習	2			実習	
		サイバーセキュリティ実習	2			実習	
		臨地実務実習Ⅰ	5			実習	
		臨地実務実習Ⅱ	15			実習	
		クラウドプラットフォーム実習Ⅰ		2		実習 【臨】	
		クラウドプラットフォーム実習Ⅱ		2		実習 【臨】	
		ＩｏＴ実習		2		実習	
		ロボティクス実習		2		実習	
		没入型コンピューティング実習		2		実習	
		マシンラーニング実習		2		実習	
		データサイエンス実習		2		実習	
	展開科目	ソーシャルデザイン実習	2			実習	
		デザイン・シンキング実習Ⅰ	1			実習	
		デザイン・シンキング実習Ⅱ	1			実習	
	総合科目	ICT活用総合実習	4			実習	
	小計（　17科目　）		36	14	0		
		うち卒業・修了に必要な実習等単位数	36	4	－		
		うち卒業・修了に必要な臨地実務実習等単位数	0	0	－		

	科目区分	授業科目の名称	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 ［臨／連］	実験，実習又は実技に代えて演習による授業科目を修得させる事由及び見込まれる教育効果
演習による実習等代替授業科目	基礎科目	該当なし					
	職業専門科目	該当なし					
	展開科目	該当なし					
	総合科目	該当なし					
	小計（　0科目　）						
		うち卒業・修了に必要な演習代替単位数			－		
		うち卒業・修了に必要な連携実務演習等単位数			－		

合計（　17科目　）	36	14	0
うち卒業・修了に必要な実習等又は演習単位数	36	4	－
うち卒業・修了に必要な臨地実務実習等単位数	20	0	－

設置の趣旨等を記載した書類

【資料 24】

別記様式第７号の４（その２）

（用紙　日本工業規格Ａ４横型）

臨地実務実習施設一覧

（開志専門職大学情報学部情報学科）

施設番号	臨地実務実習施設の名称	所在地	履修させる授業科目						主な実習場所の面積	備　考
			授業科目の名称	必修・選択・自由の別	単位数	履修予定学生数	当該施設実習時間数	受入予定学生・時間数		
1	富士ゼロックス新潟株式会社	新潟県新潟市中央区東大通1丁目2番23号北陸ビル2Ｆ	臨地実務実習Ⅰ	必修	5単位	4人	150時間	600人・時間	114㎡	
					単位	人	時間	人・時間	うち必修科目分 114㎡	
					単位	人	時間	人・時間	うち選択科目分 ㎡	
			計 （1科目）		5単位	のべ 4人	150時間	600人・時間	うち自由科目分 ㎡	
2	株式会社スピードパーク新潟	新潟県胎内市松波1013－36	臨地実務実習Ⅰ	必修	5単位	6人	150時間	900人・時間	40㎡	
			臨地実務実習Ⅱ	必修	15単位	6人	450時間	2700人・時間	うち必修科目分 40㎡	
					単位	人	時間	人・時間	うち選択科目分 ㎡	
			計 （2科目）		20単位	のべ 12人	600時間	3600人・時間	うち自由科目分 ㎡	
3	株式会社シアンス	新潟県新潟市中央区万代2－3－16　リバービューSDビル10F	臨地実務実習Ⅰ	必修	5単位	2人	150時間	300人・時間	200㎡	
			臨地実務実習Ⅱ	必修	15単位	2人	450時間	900人・時間	うち必修科目分 200㎡	
					単位	人	時間	人・時間	うち選択科目分 ㎡	
			計 （2科目）		20単位	のべ 4人	600時間	1200人・時間	うち自由科目分 ㎡	

施設番号	臨地実務実習施設の名称	所在地	履修させる授業科目						主な実習場所の面積	備考
			授業科目の名称	必修・選択・自由の別	単位数	履修予定学生数	当該施設実習時間数	受入予定学生・時間数		
4	株式会社チアリー　東京本部	東京都新宿区新宿1－15－9　さわだビル9F	臨地実務実習Ⅰ	必修	5単位	2人	150時間	300人・時間	100㎡	
			臨地実務実習Ⅱ	必修	15単位	2人	450時間	900人・時間	うち必修科目分 100㎡	
					単位	人	時間	人・時間	うち選択科目分 ㎡	
			計	（2科目）	20単位	のべ 4人	600時間	1200人・時間	うち自由科目分 ㎡	
5	株式会社チアリー　大阪本部	大阪府大阪市中央区備後町　サンライズビル13F	臨地実務実習Ⅰ	必修	5単位	2人	150時間	300人・時間	190㎡	
			臨地実務実習Ⅱ	必修	15単位	2人	450時間	900人・時間	うち必修科目分 190㎡	
					単位	人	時間	人・時間	うち選択科目分 ㎡	
			計	（2科目）	20単位	のべ 4人	600時間	1200人・時間	うち自由科目分 ㎡	
6	株式会社LEApass	新潟県新潟市中央区鳥屋野南3丁目10-8 ウェルズ21とやのみなみB-5	臨地実務実習Ⅰ	必修	5単位	5人	150時間	750人・時間	69.1㎡	
			臨地実務実習Ⅱ	必修	15単位	5人	450時間	2250人・時間	うち必修科目分 69.1㎡	
					単位	人	時間	人・時間	うち選択科目分 ㎡	
			計	（2科目）	20単位	のべ 10人	600時間	3000人・時間	うち自由科目分 ㎡	
7	フラー株式会社	千葉県柏市若柴178番地4　柏の葉キャンパス148街区2　KOIL	臨地実務実習Ⅱ	必修	15単位	5人	450時間	2250人・時間	369㎡	
					単位	人	時間	人・時間	うち必修科目分 369㎡	
					単位	人	時間	人・時間	うち選択科目分 ㎡	
			計	（1科目）	15単位	のべ 5人	450時間	2250人・時間	うち自由科目分 ㎡	

施設番号	臨地実務実習施設の名称	所在地	履修させる授業科目						主な実習場所の面積		備考
			授業科目の名称	必修・選択・自由の別	単位数	履修予定学生数	当該施設実習時間数	受入予定学生・時間数			
8	株式会社新潟人工知能研究所	新潟県新潟市中央区米山３－１－５３	臨地実務実習Ⅰ	必修	5単位	10人	150時間	1500人・時間		54.2㎡	
			臨地実務実習Ⅱ	必修	15単位	10人	450時間	4500人・時間	うち必修科目分	54.2㎡	
					単位	人	時間	人・時間	うち選択科目分	㎡	
			計 （2科目）		20単位	のべ 20人	600時間	6000人・時間	うち自由科目分	㎡	
9	株式会社Dream Advance	新潟県新潟市西区青山1-1-17 ヤマトビル2階	臨地実務実習Ⅰ	必修	5単位	4人	150時間	600人・時間		52.5㎡	
					単位	人	時間	人・時間	うち必修科目分	52.5㎡	
					単位	人	時間	人・時間	うち選択科目分	㎡	
			計 （1科目）		5単位	のべ 4人	150時間	600人・時間	うち自由科目分	㎡	
10	株式会社小川屋	新潟県新潟市中央区古町通5番町611	臨地実務実習Ⅰ	必修	5単位	4人	150時間	600人・時間		70㎡	
			臨地実務実習Ⅱ	必修	15単位	4人	450時間	1800人・時間	うち必修科目分	70㎡	
					単位	人	時間	人・時間	うち選択科目分	㎡	
			計 （2科目）		20単位	のべ 8人	600時間	2400人・時間	うち自由科目分	㎡	
11	越後味噌醸造株式会社	新潟県燕市吉田中町5-10	臨地実務実習Ⅰ	必修	5単位	4人	150時間	600人・時間		1766㎡	
			臨地実務実習Ⅱ	必修	15単位	4人	450時間	1800人・時間	うち必修科目分	1766㎡	
					単位	人	時間	人・時間	うち選択科目分	㎡	
			計 （2科目）		20単位	のべ 8人	600時間	2400人・時間	うち自由科目分	㎡	

施設番号	臨地実務実習施設の名称	所在地	履修させる授業科目						主な実習場所の面積		備考
			授業科目の名称	必修・選択・自由の別	単位数	履修予定学生数	当該施設実習時間数	受入予定学生・時間数			
12	NTTテクノクロス株式会社 横浜事業所	神奈川県横浜市西区みなとみらい4-4-5横浜アイマークプレイス	臨地実務実習Ⅱ	必修	5単位	5人	187.5時間	937.5人・時間	13855㎡		
					単位	人	時間	人・時間	うち必修科目分	13855㎡	
					単位	人	時間	人・時間	うち選択科目分	㎡	
			計 （1科目）		5単位	のべ 5人	187.5時間	937.5人・時間	うち自由科目分	㎡	
13	合同会社DMM.com	東京都港区六本木三丁目2番1号住友不動産六本木グランドタワー	臨地実務実習Ⅱ	必修	15単位	5人	450時間	2250人・時間	16500㎡		
					単位	人	時間	人・時間	うち必修科目分	16500㎡	
					単位	人	時間	人・時間	うち選択科目分	㎡	
			計 （1科目）		15単位	のべ 5人	450時間	2250人・時間	うち自由科目分	㎡	
14	株式会社幻の酒	新潟県新潟市中央区白山浦2丁目1番28号	臨地実務実習Ⅰ	必修	5単位	2人	150時間	300人・時間	130㎡		
			臨地実務実習Ⅱ	必修	15単位	2人	450時間	900人・時間	うち必修科目分	130㎡	
					単位	人	時間	人・時間	うち選択科目分	㎡	
			計 （2科目）		20単位	のべ 4人	600時間	1200人・時間	うち自由科目分	㎡	
15	モリパワー株式会社	新潟県新潟市中央区米山4丁目1-31　紫竹綜合ビル4F	臨地実務実習Ⅰ	必修	5単位	10人	150時間	1500人・時間	46.97㎡		
			臨地実務実習Ⅱ	必修	15単位	10人	450時間	4500人・時間	うち必修科目分	46.97㎡	
					単位	人	時間	人・時間	うち選択科目分	㎡	
			計 （2科目）		20単位	のべ 20人	600時間	6000人・時間	うち自由科目分	㎡	

施設番号	臨地実務実習施設の名称	所在地	履修させる授業科目						主な実習場所の面積		備考
			授業科目の名称	必修・選択・自由の別	単位数	履修予定学生数	当該施設実習時間数	受入予定学生・時間数			
16	今代司酒造株式会社	新潟県新潟市中央区鏡が岡1番1号	臨地実務実習Ⅰ	必修	5単位	4人	150時間	600人・時間		5000㎡	
			臨地実務実習Ⅱ	必修	15単位	4人	450時間	1800人・時間	うち必修科目分	5000㎡	
					単位	人	時間	人・時間	うち選択科目分	㎡	
			計	（2科目）	20単位	のべ 8人	600時間	2400人・時間	うち自由科目分	㎡	
17	株式会社ジェイ・エス・エス	新潟県新潟市中央区西堀通3番町790番地西堀501ビル	臨地実務実習Ⅰ	必修	5単位	5人	150時間	750人・時間		270㎡	
			臨地実務実習Ⅱ	必修	15単位	5人	450時間	2250人・時間	うち必修科目分	270㎡	
					単位	人	時間	人・時間	うち選択科目分	㎡	
			計	（2科目）	20単位	のべ 10人	600時間	3000人・時間	うち自由科目分	㎡	
18	Adam Innovations株式会社	新潟県南魚沼市浦佐1188－2	臨地実務実習Ⅰ	必修	5単位	5人	150時間	750人・時間		150㎡	
			臨地実務実習Ⅱ	必修	15単位	5人	450時間	2250人・時間	うち必修科目分	150㎡	
					単位	人	時間	人・時間	うち選択科目分	㎡	
			計	（2科目）	20単位	のべ 10人	600時間	3000人・時間	うち自由科目分	㎡	
19	リコージャパン株式会社　新潟支社	新潟県新潟市東区下木戸1-18-30	臨地実務実習Ⅰ	必修	5単位	4人	150時間	600人・時間		1938.88㎡	
			臨地実務実習Ⅱ	必修	15単位	4人	450時間	1800人・時間	うち必修科目分	1938.88㎡	
					単位	人	時間	人・時間	うち選択科目分	㎡	
			計	（2科目）	20単位	のべ 8人	600時間	2400人・時間	うち自由科目分	㎡	

施設番号	臨地実務実習施設の名称	所在地	履修させる授業科目						主な実習場所の面積		備考
			授業科目の名称	必修・選択・自由の別	単位数	履修予定学生数	当該施設実習時間数	受入予定学生・時間数			
20	株式会社ＮＳＧアカデミー	新潟県新潟市中央区東大通１－１１－３２	臨地実務実習Ⅰ	必修	5単位	5人	150時間	750人・時間		56㎡	
			臨地実務実習Ⅱ	必修	15単位	5人	450時間	2250人・時間	うち必修科目分	56㎡	
					単位	人	時間	人・時間	うち選択科目分	㎡	
			計	（2科目）	20単位	のべ 10人	600時間	3000人・時間	うち自由科目分	㎡	
21	株式会社エヌエスジー教育ネットワーク	新潟県新潟市中央区東大通１－１１－３２	臨地実務実習Ⅰ	必修	5単位	5人	150時間	750人・時間		21㎡	
			臨地実務実習Ⅱ	必修	15単位	5人	450時間	2250人・時間	うち必修科目分	21㎡	
					単位	人	時間	人・時間	うち選択科目分	㎡	
			計	（2科目）	20単位	のべ 10人	600時間	3000人・時間	うち自由科目分	㎡	
22	三井住友アセットマネジメント株式会社	東京都港区愛宕二丁目5番1号愛宕グリーンヒルズMORIタワー28階	臨地実務実習Ⅰ	必修	5単位	4人	150時間	600人・時間		1474㎡	
			臨地実務実習Ⅱ	必修	15単位	4人	450時間	1800人・時間	うち必修科目分	1474㎡	
					単位	人	時間	人・時間	うち選択科目分	㎡	
			計	（2科目）	20単位	のべ 8人	600時間	2400人・時間	うち自由科目分	㎡	
23	株式会社グラフ	東京都港区西麻布1-15-1 MORIGUCHI BUILD ２Ｆ	臨地実務実習Ⅰ	必修	5単位	4人	150時間	600人・時間		148.92㎡	
			臨地実務実習Ⅱ	必修	15単位	4人	450時間	1800人・時間	うち必修科目分	148.92㎡	
					単位	人	時間	人・時間	うち選択科目分	㎡	
			計	（2科目）	20単位	のべ 8人	600時間	2400人・時間	うち自由科目分	㎡	

施設番号	臨地実務実習施設の名称	所在地	履修させる授業科目						主な実習場所の面積		備考
			授業科目の名称	必修・選択・自由の別	単位数	履修予定学生数	当該施設実習時間数	受入予定学生・時間数			
24	株式会社博進堂	新潟県新潟市東区木工新町378-2	臨地実務実習Ⅰ	必修	5単位	4人	150時間	600人・時間		3595㎡	
			臨地実務実習Ⅱ	必修	15単位	4人	450時間	1800人・時間	うち必修科目分	3595㎡	
					単位	人	時間	人・時間	うち選択科目分	㎡	
			計	（2科目）	20単位	のべ 8人	600時間	2400人・時間	うち自由科目分	㎡	
25	株式会社ホロラボ	東京都品川区西五反田２丁目２５−１−3F インテックス五反田ビル	臨地実務実習Ⅰ	必修	5単位	4人	150時間	600人・時間		162.02㎡	
			臨地実務実習Ⅱ	必修	15単位	4人	450時間	1800人・時間	うち必修科目分	162.02㎡	
					単位	人	時間	人・時間	うち選択科目分	㎡	
			計	（2科目）	20単位	のべ 8人	600時間	2400人・時間	うち自由科目分	㎡	
26	株式会社峰村商店（峰村醸造）	新潟県新潟市中央区明石２丁目３−４４	臨地実務実習Ⅰ	必修	5単位	4人	150時間	600人・時間		2952㎡	
			臨地実務実習Ⅱ	必修	15単位	4人	450時間	1800人・時間	うち必修科目分	2952㎡	
					単位	人	時間	人・時間	うち選択科目分	㎡	
			計	（2科目）	20単位	のべ 8人	600時間	2400人・時間	うち自由科目分	㎡	
27	株式会社MGNET	新潟県燕市東太田 14-3	臨地実務実習Ⅰ	必修	5単位	2人	150時間	300人・時間		228㎡	
			臨地実務実習Ⅱ	必修	15単位	2人	450時間	900人・時間	うち必修科目分	228㎡	
					単位	人	時間	人・時間	うち選択科目分	㎡	
			計	（2科目）	20単位	のべ 4人	600時間	1200人・時間	うち自由科目分	㎡	

受入予定学生・時間数の合計		主な実習場所の面積の合計	
	64837.5人・時間		49552.59㎡
うち必修科目分	64837.5人・時間	うち必修科目分	49552.59㎡
うち選択科目分	人・時間	うち選択科目分	㎡
うち自由科目分	人・時間	うち自由科目分	㎡

設置の趣旨等を記載した書類

【資料 25】

別記様式第７号の２

（用紙　日本工業規格Ａ４横型）

教育課程連携協議会構成員名簿

開志専門職大学（事業創造学部）

番号	構成員区分	関係する学部等又は研究科等	氏　　名	年齢	現所属及び役職名	当該専門職大学等の課程に係る職業に関する主な経歴
1	教職員	事業創造学部	近藤　正幸		事業創造大学院大学 特任教授 ※平成32年4月 開志専門職大学 事業創造学部　学部長・教授	平成11年　高知工科大学大学院工学研究科 起業家コース教授 平成11年　フランス国立ポンゼショセ大学 国際経営大学院（ENPC MBA-TOKYO） 非常勤講師 平成13年　横浜国立大学大学院環境情報研究院 学府(博士課程前期・後期)教授 平成14年　立命館大学大学院国際関係研究科 非常勤講師 平成15年　文部科学省科学技術政策研究所 総括主任研究官(併任) 平成21年　横浜国立大学ベンチャー･ビジネス･ ラボラトリー所長(兼務) 平成28年　東京電機大学国際センター特別専任教授 (博士課程前期) 平成31年　事業創造大学院大学特任教授 (現在に至る)

2	教職員	事業創造学部	徳田　賢二		専修大学 名誉教授 ※平成32年4月 開志専門職大学 事業創造学部　教授	平成元年　専修大学経済学部助教授 平成7年　専修大学経済学部教授 平成10年　専修大学大学院経済学研究科 経済学専攻教授 平成15年　公益財団法人川崎市産業振興財団 新産業政策研究所　客員研究員 （現在に至る） 平成27年　専修大学大学院経済学研究科　研究科長 平成30年　専修大学名誉教授（現在に至る）

設置の趣旨等を記載した書類

【資料 26】

別記様式第３号（その４）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

実　務　の　経　験　等　を　有　す　る　専　任　教　員　一　覧

（事業創造学部　事業創造学科）

番号	調書番号	実務家区分	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	実務経験の年月数	実務経験の概要		大学等における教員歴、保有学位又は企業等における研究上の業績の概要
							期間	勤務先・役職名・主な職務内容等	
1	10	実(研)	実(研)	教授	タカマツ　タカミツ 高松　孝光 ＜平成32年4月＞	３６年　1月	昭和57年4月～昭和60年4月	株式会社ケー・アンド・エル　国際広告局　営業部 英文広告の企画、制作、予算・スケジュール管理	保有学位：経営学修士
							昭和60年7月～昭和62年8月	ニューズウィーク東京支社　マネジャー　広告・マーケティング局 海外進出している企業の広告の企画、販売	
							昭和62年8月～平成8年12月	株式会社博報堂　国際営業局・営業・マーケティング担当責任者 本田技研工業の海外マーケティングを担当 BMW Japanの営業責任者 日本IBMの広告・販促キャンペーンを担当	平成30年5月～現在に至る ニューヨーク大学 プロフェショナル教育東京 エクゼクティブ・プログラム講師 「アントレプレナシップ（起業家精神論）」 「マーケティング戦略」
							平成9年1月～平成10年3月	日本コカ・コーラ社　メディア・イベント戦略担当部長 マーケティング・コミュニケーション業務を担当 長野冬季五輪にて「全国トーチリレー・キャンペーン」を企画・実行	
							平成10年4月～平成11年10月	CNBCジャパン設立　日本代表 日本経済新聞社とのジョイント・ベンチャー設立を担当	
							平成11年7月～平成12年10月	コダック・ジャパン コンシューマー事業部 マーケティング本部長 収益向上のための戦略立案、営業支援の施策 国内経営会議メンバー	
							平成12年10月～平成14年2月	パシフィック・センチュアリー・サイバーワークス(株)　マーケティング広報担当副社長 設立時から広報・IR担当	
							平成14年3月～平成25年5月	日経CNBC社　常務取締役 営業本部長 総配信世帯数は500万世帯超を達成	
							平成25年6月～平成28年12月	新日本監査法人　ブランド・マーケティング・コミュニケーション室長 ブランド・マーケティング戦略の立案と実行	
							平成29年1月～平成30年5月	EYアドバイザリー&コンサルティング(株) スポーツ・メガイベント部門部門長 「W杯ラグビー2019、2020東京オリンピック・パラリンピック、2025日本万国博覧会誘致、地方再生プロジェクト」のプロジェクト管理、財務アドバリザリー業務の、マーケティング、経済効果分析	

2	12	実(研)	実(研)	教授	ムカイ　マサミチ 向　正道 ＜平成32年4月＞	２９年　１月	平成3年4月～平成13年3月	新日本製鐵(株) （現新日鉄住金(株)） エレクトリニクス・情報通信事業部 技術企画・開発業務 アプリケーション開発の統括リーダー 大規模ユーザー向け導入プロジェクトのプロジェクトマネジャー コンサルタント、サブ・プロジェクトマネジャー	保有学位：博士（商学）
							平成13年4月～現在に至る	新日鉄住金ソリューションズ(株) (現新日鉄ソリューションズ㈱) コンサルタントとして顧客企業の情報システム全体を企画 コンサルティング部門の立ち上げと運営(平成16年より統括リーダー、平成18年より部長) 各種企画のコンサルリーダー	平成21年4月～平成21年7月 九州大学大学院 システム情報科学研究院 社会情報システム工学コース 非常勤講師 「大規模システム構築特論」
							平成30年4月～現在に至る	立命館大学OIC総合研究機構　客員研究員 情報システム構築のリスクマネジメントに関する研究	
3	12	実(研)	実(研)	教授	ハラオカ　カズオ 原岡　和生 ＜平成32年4月＞	２３年　３月	平成4年4月～平成9年5月	ソニー(株) 中央研究所 計算物性研究部 研究員	保有学位：博士（工学） 平成23年4月～平成24年3月 法政大学経済学部非常勤講師 「企業経営入門」 平成24年4月～平成26年3月 東京工科大学メディア学科 非常勤講師 「プロジェクトプラニング」 平成25年4月～平成28年3月 洗足学園音楽大学特任教授 ITセンター担当 （平成26年10月よりIT統括部長兼務）
							平成9年5月～平成12年5月	(株)次世代情報放送システム研究所 ソニー(株)IN研究所兼務出向 放送とインターネットを融合する技術・ビジネスの研究員	
							平成12年5月～平成13年9月	ソニー(株) ソシオメディア研究室 社内新組織の立ち上げ 情報伝播、コミュニケーション手法、情報空間構築法などを研究(一部特許取得)	
							平成13年9月～平成17年4月	ソニー(株) メモリースティック事業部 社内の極秘プロジェクト 事業企画サブマネージャ、商品企画サブマネージャからマネージャ クオリア事業部 新ブランド立上げのコーポレート・プロジェクトのサブマネージャ	
							平成17年5月～平成20年3月	ソニー(株) A-cubed研究所開発部 シニアマネージャとして設計部統括、研究企画	
							平成20年4月～平成21年3月	ソニー(株) 技術開発本部 シニアマネージャ	
							平成21年4月～平成23年3月	ソニー(株) ビジネス&プロフェッショナルカンパニー事業企画室 新ビジネスの提案のビジネス担当シニアマネージャ	
							平成24年8月～現在に至る	ミクロマクロリンク(株)　起業 代表取締役 但し、平成28年1月まで休眠 CSAJ(コンピュータソフトウエア協会)スタートアップ事業認定。 「経済産業省 始動！ネクストイノベータ2016」メンバー	

4	13	実(研)	実(研)	准教授	フクダ ミノル 福田 稔 ＜平成32年4月＞	３６年　０月	昭和59年4月～昭和63年1月	中国電力㈱ 広島支店三次営業所	保有学位：修士（政策学） 博士課程 単位取得後退学
							昭和63年2月～平成4年1月	中国電力㈱ 本店広報室	
							平成4年2月～平成7年1月	中国電力㈱ CF21推進本部	平成30年4月～現在に至る 近畿大学工学部 非常勤講師 （技術・知識経営）
							平成7年2月～平成9年1月	中国電力㈱　経営企画室付 財団法人広島県体育協会出向 広島県体育協会の体制強化	
							平成9年2月～平成11年1月	中国電力㈱ 労務部係長 給与・厚生・社会保険等労務系サービス支援業務集中効率化、イントラネット化	
							平成11年2月～平成13年5月	中国電力㈱ 経済研究センター副長	
							平成13年6月～平成14年1月	中国電力㈱ 関連事業部専任副長 創業支援の専門職能 インキュベーションマネジャー	
							平成14年2月～平成16年5月	中国電力㈱ 経営企画室課長　特別管理職	
							平成15年7月～平成26年	日本立地センター主催 インキュベーションマネジャー養成研修 講師・インストラクター	
							平成16年6月～平成18年1月	中国電力㈱　中電病院事務局課長 PETがん検診センター立上げプロジェクトリーダー	
							平成18年2月～平成19年2月	中国電力㈱ 人財活性化部門課長	
							平成19年2月～平成20年2月	中国電力㈱ エネルギア事業部門課長	
							平成20年3月～平成21年3月	(国)東京農工大学 産官学連携・知的財産センターインキュベーションマネジャー室長	
							平成21年7月～現在	法政大学地域研究センター 客員研究員	
							平成22年4月～平成23年3月	新宿区 産業創造プランナー	
							平成23年10月～平成28年5月	新宿区 高田馬場創業支援センター立上げ施設長兼インキュベーションマネジャー 地域イノベーションエコシステムの構築 起業家のサポート	
							平成26年4月～現在に至る	広島県 創業サポーター	
							平成27年5月～現在に至る	広島県 よろず支援拠点コーディネーター (中小企業庁施策)	
							平成27年6月～現在に至る	一般財団法人地域活性機構 監事(平成25年5月より理事) 地域の活力の問題を研究	
							平成27年11月～現在に至る	神奈川県 医療機器開発コーディネーター	
							平成28年4月～現在に至る	広島県 UIJターン向け創業相談	
							平成28年9月～現在に至る	一般社団法人日本イノベーションマネジャー協会 設立・代表理事	

5	14	実(研)	実(研)	准教授	ミカモ　テツヒデ 美甘　哲秀 ＜平成32年4月＞	４１年　０月	昭和54年4月～現在に至る	丸紅(株)　入社	平成22年9月～現在 青山学院大学経済学部 非常勤講師 「総合商社論」 平成24年～現在 神戸大学経済学部 非常勤講師 「総合商社論」 平成26年～平成27年 明治大学経済学部 非常勤講師 「総合商社論」 共著『IT革命と商社の未来像』東洋経済新報社、平成13年4月 共著『東アジア市場統合への道』勁草書房、平成16年2月 共著『資源を読む』日本経済新聞出版社、平成21年9月 共著『日本の食料戦略と商社』東洋経済新報社、平成21年9月 共著、『現代ヨーロッパ経済論』ミネルヴァ書房、平成23年4月
							昭和56年10月～昭和57年8月	貿易研修センター(通産省設立) 研修生 　語学、及び貿易実務研修	
							昭和59年4月～現在に至る	丸紅(株) 調査情報部	
							平成元年4月～平成3年3月	日本経済研究センター 研修生 　経済分析手法についての実務研修	
							平成10年4月～平成15年3月	丸紅(株) 調査部経済調査課長 　経済調査チーム長としてマネジメントに加え、各国のマクロ経済を分析	
							平成15年4月～平成20年3月	丸紅米国会社 ワシントン事務所長 　米国の経済、金融政策をはじめ、外交、通商、安全保障政策など幅広い分野を分析	
							平成20年4月～平成22年3月	丸紅(株) 経済研究所副所長	
							平成22年4月～平成29年9月	丸紅(株) 経済研究所所長 　丸紅本社のリサーチ部門の所長	
							平成25年4月～平成28年3月	丸紅(株)社 参与　経済研究所所長	
							平成29年10月～現在に至る	独立行政法人経済産業研究所　コンサルティングフェロー	
							平成29年10月～現在に至る	丸紅(株) 経済研究所顧問	
6	14	実(研)	実(研)	准教授	ワタナベ ヤスヒデ 渡邉　康英 ＜平成32年4月＞	３６年１１月	昭和56年4月～昭和59年2月	(株)東京ランドスケープ研究所 研究員 　公園や緑地に関する調査、計画、設計業務に従事した	保有学位：芸術学修士
							昭和61年4月～平成3年8月	(株)日本能率協会総合研究所 研究員 　都市計画部として建設省河川局の河川環境に関する調査、河川環境管理計画の策定など業務にプロジェクトスタッフ、プロジェクトリーダーとして従事	
							平成3年9月～平成26年6月	(株)太陽神戸三井総合研究所（現(株)日本総合研究所） 主任研究員 　地域振興に関する調査、計画策定、コンサルティング業務にプロジェクトスタッフ、プロジェクトリーダーとして従事	
							平成26年7月～現在に至る	(株)日本総合研究所 ﾘｻｰﾁ・ｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞ部門 シニアマネジャー 　国や自治体の地域振興、地域公共交通、地方創生などに関する調査、計画策定、コンサルティング業務にプロジェクトスタッフ、プロジェクトリーダーとして従事	

							昭和47年4月～昭和48年6月	外務省 欧亜局大洋州課	
							昭和48年6月～昭和50年6月	在連合王国大使館 外交官補	
							昭和50年6月～昭和52年7月	外務省アジア局 南西アジア課係長	平成17年4月～平成25年3月 名古屋商科大学大学院 ビジネススクール マネジメント研究科 教授 「エネルギー市場、エネルギー政策、気候変動対策、地政学、エネルギー関係技術の講義」
							昭和52年7月～昭和54年6月	通商産業省 生活産業局通商課係長	
							昭和54年7月～昭和55年3月	通商産業省 資源エネルギー庁総務課課長補佐	平成17年4月～平成21年3月 東京工業大学大学院 社会理工学研究科経営工学専攻 特任教授 「イノベーション・マネジメント」
							昭和55年3月～昭和56年2月	通商産業省 立地公害局工業用水課課長補佐	平成23年4月～平成28年7月 国際教養大学 非常勤講師 「エネルギーと気候変動の経済学と地政学」
							昭和56年2月～昭和57年1月	通商産業省 基礎産業局基礎化学品課課長補佐	
							昭和57年1月～昭和58年9月	国土庁地方振興局 地方都市整備課課長補佐	平成25年4月～現在 名古屋商科大学大学院 ビジネススクール 客員教授 「エネルギー市場、エネルギー政策、気候変動対策、地政学、エネルギー関係技術の講義」
							昭和58年9月～昭和58年12月	通商産業省 大臣官房総合エネルギー対策推進本部事務局長補佐兼法令審査委員	
							昭和58年12月～昭和59年12月	通商産業省 大臣官房広報課・地方課・情報管理課・厚生管理官付課長補佐兼法令審査委員	
							昭和59年12月～昭和61年6月	通商産業省 資源エネルギー庁石油部石油企画官	
							昭和61年6月～昭和62年3月	通商産業省 通商政策局通商情報広報室長	
7	15		実み	教授	マスダ　タツオ 増田　達夫 ＜平成32年4月＞	４８年　０月	昭和62年4月～平成元年3月	秋田県商工労働部次長	
							平成元年4月～平成3年6月	秋田県商工労働部長	
							平成3年6月～平成5年6月	通商産業省 生活産業局紙業印刷課長	
							平成5年6月～平成6年6月	通商産業省 機械産業情報局車両課長	
							平成6年6月～平成8年6月	日本貿易振興会 企画部長	
							平成8年6月～平成13年6月	国際エネルギー機関（IEA） 石油市場・緊急時対策局長	
							平成13年7月～平成14年10月	日本エネルギー経済研究所 常務理事兼アジア太平洋エネルギー研究センター所長	
							平成14年10月～平成17年3月	石油公団 理事	
							平成17年4月～平成18年6月	エス・オー・シー(株) 特任顧問	
							平成18年6月～平成29年6月	エス・オー・シー(株) 取締役	

							平成18年10月～平成23年9月	石油資源開発(株) 顧問	
							平成22年7月～平成28年3月	フェアコートキャピタル社 諮問委員会議長	
							平成25年8月～現在に至る（※）	エリオンハウス社 上級顧問	
							平成28年3月～現在に至る（※）	フェアコートキャピタル社 会長	
							平成29年6月～現在に至る（※）	エス・オー・シー(株) 監査役	

8	16		実み	教授	フルヤ ミツトシ 古屋 光俊 ＜平成32年4月＞	３４年０月	昭和61年4月～平成11年12月	三菱商事(株)	保有学位：博士(商学)
							昭和62年5月～平成元年5月	ドイツ三菱商事（Mitsubishi International GmbH, Duesseldorf)出向	
							平成9年5月～平成11年12月	ミレニアベンチャーパートナーズ(株)出向	
							平成12年1月～平成13年5月	ゼネラル通信工業(株) 取締役CFO	
							平成13年6月～平成16年7月	PwCコンサルティング(株)	
							平成16年8月～平成18年3月	スカイウェイブ(株) 取締役CFO	
							平成18年4月～現在に至る（※）	(株)アイルネット 取締役CFO 平成20年10月より 常務取締役CFO兼法人事業部長 法人向けクラウドPBX事業の統括責任者として、事業企画、新規開拓、要員確保、システム開発、販売チャネル開拓	
							平成27年3月～現在に至る（※）	(株)エモーションテック 顧問 クラウドサービス（ネットプロモータースコア）の企業向けコンサルティング	
							平成28年7月～現在に至る（※）	(株)クライス 顧問 ITビジネスの新規事業開拓	
							平成29年2月～現在に至る（※）	(株)日本クラウドキャピタル 顧問 ベンチャー企業に対する株式投資型クラウドファンディング事業の東京工業大学との技術提携、新規ベンチャー企業顧客の開拓	

実務の経験等を有する専任教員数	8 人
うち「実（研）」の人数	6 人

（注）
1 この書類は，専門職大学等若しくは専門職大学等の学部等を設置する場合又は専門職大学の課程を設置し，若しくは変更する場合に作成すること。
2 この書類は，専門職大学設置基準第36条第１項又は専門職短期大学設置基準第33条第１項に規定する実務の経験等を有する専任教員についてのみ作成すること。
3 「実務家区分」の欄には，実務の経験等を有する専任教員のうち，専門職大学設置基準第36条第２項又は専門職短期大学設置基準第33条第２項に規定する者については「実（研）」の文字を記入すること。
4 「大学等における教員歴，保有学位又は企業等における研究上の業績の概要」の欄は，実務の経験等を有する専任教員のうち，専門職大学設置基準第36条第２項又は専門職短期大学設置基準第33条第２項に規定する者について記入し，これに該当しない者については斜線を付すこと。
5 「実務の経験等を有する専任教員数」の欄の「うち「実（研）」の人数」は，実務の経験等を有する専任教員のうち，専門職大学設置基準第36条第２項又は専門職短期大学設置基準第33条第２項に規定する者の人数を記入すること。
6 実務の経験等を有する専任教員の数に応じ，適宜枠を増やして記入すること。

設置の趣旨等を記載した書類

【資料 27】

別記様式第３号（その４）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

実　務　の　経　験　等　を　有　す　る　専　任　教　員　一　覧

（事業創造学部　事業創造学科）

番号	調書番号	実務家区分	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	実務経験の年月数	実務経験の概要		大学等における教員歴、保有学位又は企業等における研究上の業績の概要
							期間	勤務先・役職名・主な職務内容等	
7	15		実み	教授	マスダ　タツオ 増田　達夫 ＜平成32年4月＞	４８年　０月	昭和47年4月～昭和48年6月	外務省 欧亜局大洋州課	平成17年4月～平成25年3月 名古屋商科大学大学院 ビジネススクール マネジメント研究科 教授 「エネルギー市場、エネルギー政策、気候変動対策、地政学、エネルギー関係技術の講義」 平成17年4月～平成21年3月 東京工業大学大学院 社会理工学研究科経営工学専攻 特任教授 「イノベーション・マネジメント」 平成23年4月～平成28年7月 国際教養大学 非常勤講師 「エネルギーと気候変動の経済学と地政学」 平成25年4月～現在 名古屋商科大学大学院 ビジネススクール 客員教授 「エネルギー市場、エネルギー政策、気候変動対策、地政学、エネルギー関係技術の講義」
							昭和48年6月～昭和50年6月	在連合王国大使館 外交官補	
							昭和50年6月～昭和52年7月	外務省アジア局 南西アジア課係長	
							昭和52年7月～昭和54年6月	通商産業省 生活産業局通商課係長	
							昭和54年7月～昭和55年3月	通商産業省 資源エネルギー庁総務課課長補佐	
							昭和55年3月～昭和56年2月	通商産業省 立地公害局工業用水課課長補佐	
							昭和56年2月～昭和57年1月	通商産業省 基礎産業局基礎化学品課課長補佐	
							昭和57年1月～昭和58年9月	国土庁地方振興局 地方都市整備課課長補佐	
							昭和58年9月～昭和58年12月	通商産業省 大臣官房総合エネルギー対策推進本部事務局長補佐兼法令審査委員	
							昭和58年12月～昭和59年12月	通商産業省 大臣官房広報課・地方課・情報管理課・厚生管理官付課長補佐兼法令審査委員	
							昭和59年12月～昭和61年6月	通商産業省 資源エネルギー庁石油部石油企画官	
							昭和61年6月～昭和62年3月	通商産業省 通商政策局通商情報広報室長	
							昭和62年4月～平成元年3月	秋田県商工労働部次長	
							平成元年4月～平成3年6月	秋田県商工労働部長	
							平成3年6月～平成5年6月	通商産業省 生活産業局紙業印刷課長	
							平成5年6月～平成6年6月	通商産業省 機械産業情報局車両課長	
							平成6年6月～平成8年6月	日本貿易振興会 企画部長	
							平成8年6月～平成13年6月	国際エネルギー機関（IEA） 石油市場・緊急時対策局長	
							平成13年7月～平成14年10月	日本エネルギー経済研究所 常務理事兼アジア太平洋エネルギー研究センター所長	
							平成14年10月～平成17年3月	石油公団 理事	

							平成17年4月～平成18年6月 平成18年6月～平成29年6月 平成18年10月～平成23年9月 平成22年7月～平成28年3月 平成25年8月～現在に至る（※） 平成28年3月～現在に至る（※） 平成29年6月～現在に至る（※）	エス・オー・シー(株) 特任顧問 エス・オー・シー(株) 取締役 石油資源開発(株) 顧問 フェアコートキャピタル社 諮問委員会議長 エリオンハウス社 上級顧問 フェアコートキャピタル社 会長 エス・オー・シー(株) 監査役	
8	16		実み	教授	フルヤ ミツトシ 古屋 光俊 ＜平成32年4月＞	３４年０月	昭和61年4月～平成11年12月 昭和62年5月～平成元年5月 平成9年5月～平成11年12月 平成12年1月～平成13年5月 平成13年6月～平成16年7月 平成16年8月～平成18年3月 平成18年4月～現在に至る（※） 平成27年3月～現在に至る（※） 平成28年7月～現在に至る（※） 平成29年2月～現在に至る（※）	三菱商事(株) ドイツ三菱商事（Mitsubishi International GmbH, Duesseldorf)出向 ミレニアベンチャーパートナーズ(株)出向 ゼネラル通信工業(株) 取締役CFO PwCコンサルティング(株) スカイウェイブ(株) 取締役CFO (株)アイルネット 取締役CFO 平成20年10月より 常務取締役CFO兼法人事業部長 法人向けクラウドPBX事業の統括責任者として、事業企画、新規開拓、要員確保、システム開発、販売チャネル開拓 (株)エモーションテック 顧問 クラウドサービス（ネットプロモータースコア）の企業向けコンサルティング (株)クライス 顧問 ITビジネスの新規事業開拓 (株)日本クラウドキャピタル 顧問 ベンチャー企業に対する株式投資型クラウドファンディング事業の東京工業大学との技術提携、新規ベンチャー企業顧客の開拓	保有学位：博士(商学)

設置の趣旨等を記載した書類

【資料 28】

別記様式第７号の２

（用紙　日本工業規格Ａ４横型）

教育課程連携協議会構成員名簿

開志専門職大学（情報学部）

番号	構成員区分	関係する学部等又は研究科等	氏　　名	年齢	現所属及び役職名	当該専門職大学等の課程に係る職業に関する主な経歴
1	教職員	情報学部	三上　喜貴		長岡技術科学大学 特任教授・学長アドバイザー ※開志専門職大学 情報学部 副学長・学部長・教授	平成 9年　長岡技術科学大学　計画経営系　教授 平成12年　長岡技術科学大学　経営情報系　教授 平成15年　科学技術研究機構　社会技術研究開発システム（RISTEX）　研究代表者 平成17年　長岡技術科学大学　留学生センター長 平成18年　長岡技術科学大学技術経営研究科（専門職大学院）　教授 平成20年　放送大学　客員教授 平成21年　長岡技術科学大学　システム安全系長 平成22年　長岡技術科学大学　安全安心社会研究センター長(現在に至る) 平成23年　長岡技術科学大学　副学長（国際交流担当） 平成24年　長岡技術科学大学大学院工学研究科原子力システム安全専攻　教授（現在に至る） 平成27年　長岡技術科学大学　理事・副学長（国際連携・産学連携担当） 平成31年　長岡技術科学大学特任教授・学長アドバイザー（現在に至る）

2	教職員	情報学部	田代　秀一		(独)情報処理推進機構 調査役 ※開志専門職大学 情報学部　教授	平成15年　中央大学理工学部兼任講師(現在に至る) 平成18年　独立行政法人情報処理推進機構 オープンソースソフトウエアセンター長 出向 平成23年　独立行政法人情報処理推進機構 オープンソースソフトウエアセンター長 平成23年　独立行政法人情報処理推進機構　参与 兼 国際標準推進センター長 平成27年　東京大学理工学部　非常勤講師 (現在に至る) 平成30年　独立行政法人情報処理推進機構 技術本部　調査役（現在に至る） 平成30年　独立行政法人情報処理推進機構 社会基盤センター産業プラットフォーム 部調査役（現在に至る）
3	教職員	情報学部	淡路　雅博		(株)新潟人工知能研究所 専務取締役 ※開志専門職大学 情報学部　助手	平成15年　新潟コンピュータ専門学校 ＣＧ科専任教員 平成16年　新潟コンピュータ専門学校 ゲームクリエーター科学科長 平成26年　新潟コンピュータ専門学校 教務部次長 兼　IT高度専門学科学科長 平成27年　新潟コンピュータ専門学校 教務部長 平成29年　(株)新潟人工知能研究所 専務取締役 (兼務)(現在に至る) 平成30年　学校法人新潟総合学院 専門職大学設置 準備室 学務担当(現在に至る)

設置の趣旨等を記載した書類

【資料 29】

別記様式第３号（その４）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

実　務　の　経　験　等　を　有　す　る　専　任　教　員　一　覧

（情報学部　情報学科）

番号	調書番号	実務家区分	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	実務経験の年月数	実務経験の概要		大学等における教員歴、保有学位又は企業等における研究上の業績の概要
							期間	勤務先・役職名・主な職務内容等	
1	△5	実(研)	実(研)	教授	ウエノ　シュウタ 上野　衆太 ＜平成32年4月＞	２９年　０月	平成3年4月～平成10年7月	日本電信電話(株) 無線システム研究所 研究成果として特許を1件取得	保有学位：博士（工学） 平成30年9月～現在に至る 関東学院大学 非常勤講師 「通信法規」
							平成10年8月～平成16年3月	日本電信電話(株) ワイヤレスシステム研究所 研究主任 研究成果として特許を4件取得	
							平成16年4月～平成24年3月	日本電信電話(株) ｱｸｾｽｻｰﾋﾞｽｼｽﾃﾑ研究所 研究主任 研究成果として特許を10件取得	
							平成24年4月～現在に至る	日本電信電話(株) ｱｸｾｽｻｰﾋﾞｽｼｽﾃﾑ研究所 主任研究員 研究成果として特許を5件取得	
2	△6	実(研)	実(研)	教授	スズキ　ゲンゴ 鈴木　源吾 ＜平成32年4月＞	３０年　０月	平成2年4月～平成9年3月	日本電信電話(株) 通信網総合研究所 情報通信研究所 通信網管理データベース・データベース設計・マルチデータベースの研究開発し、通信網管理情報の体系化 ネットワーク情報のビジュアル化・データ分析の研究の立ち上げ	保有学位：博士（工学） 平成25年9月～平成26年3月 電気通信大学 非常勤講師 「情報システム学特別講義4」 平成30年4月～現在に至る 工学院大学 非常勤講師 「計算数理」
							平成9年4月～平成11年3月	日本電信電話(株) ソフトウェア課長代理（出向） NTT研究所成果のマルチデータベースの製品化・事業展開	
							平成11年4月～平成14年7月	日本電信電話(株) サイバースペース研究所 研究主任 マルチデータベースシステムの研究開発・事業展開	
							平成14年8月～平成16年9月	日本電信電話(株) 第二部門 情報推進担当課長 NTTグループ内知識共有・セキュリティ管理・ネットワーク整備	
							平成16年10月～平成23年3月	日本電信電話(株) サイバースペース研究所 主任研究員 オープンソースのデータベース管理システムの研究開発・事業支援	
							平成24年4月～現在に至る	日本電信電話(株) ソフトウェアイノベーションセンタ 主任研究員 要求工学に関する研究開発	

3	△7	実(研)	実(研)	教授 (准教授)	ホリカワ　ケイタロウ 堀川　桂太郎 ＜平成32年4月＞	３０年　０月	平成2年4月～平成5年6月	日本電信電話(株) ソフトウェア研究所 　ソフトウェア開発を体系立てて効率よく進める手法，方法論の研究開発 　特許３件取得	保有学位：工学修士
							平成5年7月～平成9年2月	日本電信電話(株) ソフトウェア研究所 研究主任 　研究・教育支援ソフトウェア開発	
							平成9年3月～平成12年3月	ＮＴＴソフトウェア(株) エレクトロニックコマース技術センタ 課長代理 　受託ソフトウェア開発のプロジェクトリーダ	
							平成12年4月～平成15年3月	日本電信電話(株) 情報流通ﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑ研究所 主任研究員 　研究所間を横断するR&Dプロジェクトのサブグループリーダの役割を果たす 　特許７件取得	
							平成15年4月～平成18年3月	ＮＴＴｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ(株) 先端ＩＰアーキテクチャセンタ 担当課長 　グループメンバを率いて商用システムの開発運用 　特許１件取得	
							平成18年4月～平成22年5月	ＮＴＴｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ(株) ネットビジネス事業本部 担当課長 　コンシューマサービスの現場に近いところで，実サービスの開発運用業務	
							平成22年6月～平成22年9月	日本電信電話(株) 情報流通ﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑ研究所 主任研究員 　情報アーキテクチャの研究開発，端末仮想化クラウド・大規模分散データ処理基盤の研究開発 　特許２件取得	
							平成22年10月～平成24年6月	日本電信電話(株) 情報流通ﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑ研究所 主幹研究員 　ビッグデータ分散処理基盤とモバイルクラウド基盤技術のプロジェクトチームの立上げてとその研究開発マネジメント	※主幹研究員は主任研究員の上位研究員となる 主幹研究員歴:8年
							平成24年7月～平成27年3月	日本電信電話(株) ソフトウェアイノベーションセンタ 主幹研究員 　リアルタイムビッグデータ分析基盤技術の研究開発マネジメントと仮想携帯基盤の具体化	
							平成25年4月～平成27年3月	日本電信電話(株) ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ科学基礎研究所 機械学習・ﾃﾞｰﾀ科学ｾﾝﾀ兼務 主幹研究員	
							平成27年4月～平成29年3月	日本電信電話(株) ソフトウェアイノベーションセンタ 主幹研究員 グループリーダ 　ソフトウェア工学の研究開発マネジメント	
							平成29年4月～平成30年3月	日本電信電話(株) ソフトウェアイノベーションセンタ 主幹研究員 ディレクタ 　クラウドネイティブアプリケーション開発やマイクロサービスアーキテクチャ，サービスメッシュなどの研究開発	
							平成30年4月～現在に至る	日本電信電話(株) ソフトウェアイノベーションセンタ 主幹研究員 　量子コンピューティング応用可能なソフトウェアスタック，ライブラリ，フレームワークの開発プロジェクト	

4	△8	実(研)	実(研)	教授	ヒラカワ ヒデキ 平川 秀樹 ＜平成32年4月＞	４０年　０月	昭和55年4月～昭和57年5月	(株)東京芝浦電機 総合研究所 情報通信システム研究所 研究員 機械翻訳システム研究開発プロジェクト	保有学位：博士（情報理工学）
							昭和57年6月～昭和60年3月	(財) 新世代コンピュータ技術開発機構(ICOT) 研究員 新コンピュータ上の知的処理技術研究	
							昭和60年4月～平成6年8月	(株)東芝 R&Dセンター 情報通信システム研究所 主任研究員 日英翻訳システムの研究開発プロジェクトの立上げ、日本語解析・変換・英語生成技術ならびに日英翻訳知識辞書開発	
							平成6年9月～平成7年12月	米国 マサチューセッツ工科大学(MIT) メディアラボ 派遣研究員 海外研究者とも連携して言語・知識処理の研究	
							平成8年1月～平成13年9月	(株)東芝 R&Dセンター ヒューマンインターフェースラボラトリ 室長 自然言語処理グループ長 ヒューマンインターフェースラボ所長として知識処理システム（検索、分析、共有、コミュニティツール等）の研究・開発・社内実証 音声・言語・知識/AI処理、知識データベース、ヒューマンインタフェース担当研究所の所長	
							平成13年10月～平成16年9月	(株)東芝 コンピュータ・ネットワークプラットフォーム事業部 商品企画担当 自然言語処理関連商品企画責任者として、研究/製品/営業部門と連携しながら、製品・サービス開発、他社連携、プロモーションなどの事業推進	
							平成16年10月～平成18年3月	(株)東芝 研究開発センター 知識メディアラボラトリ 研究主幹 言語解析技術と音声認識技術を融合する技術の確立 インターネットネットなどのテキスト情報の分析・マイニングする技術を開発	
							平成18年4月～平成23年5月	英国 Toshiba of Europe Limited 技術担当シニアマネジャー 東芝全社を対象とした欧州地域での技術関連のリエゾン業務	
							平成23年6月～平成29年12月	(株)東芝 産業政策渉外室 参事 本社渉外部門にて官公庁・欧州関連渉外業務を担当	
							平成30年1月～現在に至る	国立研究開発法人 情報通信研究機構 デプロイメント推進部門 参事 総務省と連携して、国内放送事業者向けに放送番組バリアフリー化の支援助成事業を推進	

5	△9	実(研)	実(研)	教授	タカシマ ヨウイチ 髙嶋 洋一 ＜平成32年4月＞	３０年　０月	平成2年4月～平成3年6月 平成3年7月～平成7年2月 平成7年3月～平成10年12月 平成11年1月～平成11年11月 平成11年12月～平成16年3月 平成16年4月～平成18年8月 平成18年9月～平成24年6月 平成18年10月～平成20年6月 平成24年7月～令和元年6月 令和元年7月～現在に至る	日本電信電話(株) NTTヒューマンインタフェース研究所 日本電信電話(株) NTTヒューマンインタフェース研究所 研究主任 日本電信電話(株) NTTヒューマンインタフェース研究所 主任研究員 日本電信電話(株) NTTサイバースペース研究所 主任研究員 日本電信電話(株) NTTサイバーソリューション研究所 主任研究員 日本電信電話(株) NTTサイバースペース研究所 主任研究員 日本電信電話(株) NTTサイバーソリューション研究所 主任研究員 YRPユビキタス・ネットワーキング研究所 所員 日本電信電話(株) NTTサービスエボリューション研究所 主任研究員 日本電信電話(株) 心理情報処理プロジェクト	保有学位：工学博士

							昭和58年4月～平成3年3月	三菱電機(株) 情報電子研究所 　第二種情報処理技術者認定試験と同レベルの技術習得を目的とした講義の講師 　科学技術用高速計算システムの開発	保有学位：工学修士
							平成4年3月～平成8年9月	三菱電機(株) 情報システム研究所　主事	
							平成4年4月～平成6年3月	米国 マサチューセッツ工科大学 メディア研究所 客員研究員 　マルチメディア技術、ヒューマンインタフェース技術などのメディアテクノロジー分野における研究	
							平成8年9月～平11年10月	三菱電機(株) 情報技術総合研究所　主幹 官公CCV事業推進センター 主幹 　研究開発、関連事業を推進すると共に、組織のマネジメント、部下の指導、育成に貢献 　仮想現実アプリケーションのためのリアルタイム操作可能なアバターの実現方式の研究開発 　仮想アンカー技術を応用したハイパーメディアコンテンツ制作支援システムの開発	
							平成11年10月～平成13年3月	三菱電機(株) 情報システム製作所 コンテンツ事業推進グループ グループマネージャー 　通信放送機構、科学技術振興事業団からの請負等によるマルチメディア情報流通技術を応用した教育用マルチメディアコンテンツ・ソリューションの開発 　医療研修推進財団向け医療研修情報提供システムの受注/開発	
6	10	実(研)	実(研)	教授	イソニシ　テツアキ 磯西　徹明 ＜平成32年4月＞	３７年　０月	平成13年4月～平成21年3月	三菱電機インフォメーションシステムズ(株) ネットワークソリューション部 第三課　課長 　三菱電機インフォメーションシステムズのストリーミング配信システム、Webマーケティングソリューション、テキストマイニングソリューション、高レベルWebサイト運用保守・監視ソリューションを開発	
							平成19年4月～平成22年3月	三菱電機インフォメーションシステムズ(株) 通信・ネットワークシステム部 次長 　三菱電機オフィシャルウエブサイトの構築と運営（次世代オフィシャルウェブサイトに向けた再構築）	
							平成22年4月～平成24年3月	三菱電機インフォメーションシステムズ(株) 製造事業部製造システム第二部 部長 　三菱電機オフィシャルウエブサイトの構築と運営	
							平成22年10月～平成25年9月	三菱電機インフォメーションシステムズ(株) シニアサーティファイドプロフェッショナル 　技術、ビジネスを創造しリードするレベルと認定される	
							平成24年4月～平成28年3月	三菱電機インフォメーションシステムズ(株) 製造事業部　事業部長 　経営管理システムの開発と運用保守 　FA機器とITとを連携した工場管理システムの開発と運用保守	
							平成28年4月～現在に至る	三菱電機インフォメーションシステムズ(株) 中部支社 理事 支社長 　約150名のスタッフ部門、営業部門、SE部門の統括責任者	

7	13	実(研)	実(研)	講師	ニシカワ コウヘイ 西川 浩平 ＜平成32年4月＞	１４年　０月	平成18年4月～平成20年12月 平成19年3月～平成23年3月 平成23年4月～平成26年3月 平成27年4月～平成28年12月 平成29年1月～平成29年5月 平成29年6月～平成29年9月 平成29年10月～平成30年3月 平成30年4月～現在に至る	(株)アイセス（現:(株)アイ・ラーニング) ソリューション研修部 研修第一 ゼネラル・ビジネス・サービス(株) インテグレーテッド・マーケティング事業部 エマージング・ビジネス事業部 システムズ・アーキテクト 　顧客に対するWebマーケティングの推進 　クラウドサービスやAPIを用いたクラウド事業の立案 ゼネラル・ビジネス・サービス(株) ソリューション事業部　Cloud-Solution担当 システムズアーキテクト 　クラウドを専門にお客様への提案、導入、開発、啓蒙、セキュリティ対策、クラウドシステムの運用コンサルティング、ハイブリッドクラウドの提案 オンチャネル・ジャパン(株) （現:インパクトM(株)） Marketing Strategy　Cloud Specialist 　クラウドプラットフォーム上にマーケティングオートメーションシステムを構築し、デジタルマーケティングサービスを推進 インパクトM(株) テクニカル・サービス部 Cloud Specialist 　デジタルマーケティングを軸に、クラウドを活かしたマーケティン案件の提案をサポート インパクトM(株) マーケティング事業部 営業企画推進グループ Cloud Specialist インパクトM(株) ビジネス開発部 Cloud Specialist リックソフト(株)　ソリューション１部 主任 　プロジェクト管理システムや情報共有システムについて、クラウドへの導入や導入後の使い方サポートを含めたプリセールスおよびシステム開発	保有学位：修士（工学）
8	11		実み	講師	エグチ マサシ 江口 将史 ＜平成32年4月＞	１１年　０月	平成21年4月～平成30年2月 平成30年2月～現在に至る (※)	日本マイクロソフト(株) ビジネス統括本部 テクニカル エンジニア 　グループウェア基盤ソフトウェアの保守運用技術支援プロジェクト 　Micorosoft HoloLens 日本初公開イベント プロジェクトにおけるデモンストレーションの実施 　内閣サイバーセキュリティセンター主催セキュリティ啓蒙プロジェクトへの参画 (株)ホロラボ ビジネス ディベロップメント&テクニカルディレクター 　ドローンと Mixed Reality 技術を組み合わせた建築物の保守、修繕業務プロセスの改善 　複数の先端技術コミュニティ間における短期間開発行事の発足、運営管理 　製造業における Mixed Reality 技術を使用した HoloLens アプリケーションの開発管理	

9	18		実み	講師	シブヤ シャウタ 渋谷 修太 ＜平成34年4月＞	１０年１０月	平成23年4月～平成23年8月 平成23年11月～現在に至る（※）	グリー(株) マーケティング事業本部 　グリー会員獲得のための様々なマーケティング施策を行った 　インターネットやスマートフォンに関する最先端のマーケティングを網羅的に行った 　スマホアプリのマーケティング施策をゼロから行った 　データをマーケティングに活かすための網羅的な企画・設計・実行・運用体制構築 フラー(株) 創業者兼代表取締役CEO 　スマホアプリに関するマーケティング・開発支援事業を展開 　経営計画及び事業計画の立案、新規事業の開発、全社的なマーケティング活動、資金調達、採用活動、広報活動などビジネス全般の統括及び実行 　地方の企業や自治体、教育機関とも幅広く連携	

実務の経験等を有する専任教員数	9　人
うち「実（研）」の人数	7　人

（注）
1　この書類は，専門職大学等若しくは専門職大学等の学部等を設置する場合又は専門職大学の課程を設置し，若しくは変更する場合に作成すること。
2　この書類は，専門職大学設置基準第36条第１項又は専門職短期大学設置基準第33条第１項に規定する実務の経験等を有する専任教員についてのみ作成すること。
3　「実務家区分」の欄には，実務の経験等を有する専任教員のうち，専門職大学設置基準第36条第２項又は専門職短期大学設置基準第33条第２項に規定する者については「実（研）」の文字を記入すること。
4　「大学等における教員歴，保有学位又は企業等における研究上の業績の概要」の欄は，実務の経験等を有する専任教員のうち，専門職大学設置基準第36条第２項又は専門職短期大学設置基準第33条第２項に規定する者について記入し，これに該当しない者については斜線を付すこと。
5　「実務の経験等を有する専任教員数」の欄の「うち「実（研）」の人数」は，実務の経験等を有する専任教員のうち，専門職大学設置基準第36条第２項又は専門職短期大学設置基準第33条第２項に規定する者の人数を記入すること。
6　実務の経験等を有する専任教員の数に応じ，適宜枠を増やして記入すること。

設置の趣旨等を記載した書類

【資料 30】

別記様式第３号（その４）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

実　務　の　経　験　等　を　有　す　る　専　任　教　員　一　覧

（情報学部　情報学科）

番号	調書番号	実務家区分	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	実務経験の年月数	実務経験の概要		大学等における教員歴、保有学位又は企業等における研究上の業績の概要
							期間	勤務先・役職名・主な職務内容等	
8	△11		実み	講師	エグチ　マサシ 江口　将史 ＜平成32年4月＞	１１年　０月	平成21年4月～平成30年2月 平成30年2月～現在に至る（※）	日本マイクロソフト(株) ビジネス統括本部 テクニカル エンジニア 　グループウェア基盤ソフトウェアの保守運用技術支援プロジェクト 　Micorosoft HoloLens 日本初公開イベント プロジェクトにおけるデモンストレーションの実施 　内閣サイバーセキュリティセンター主催セキュリティ啓蒙プロジェクトへの参画 (株)ホロラボ ビジネス ディベロップメント＆テクニカルディレクター 　ドローンと Mixed Reality 技術を組み合わせた建築物の保守、修繕業務プロセスの改善 　複数の先端技術コミュニティ間における短期間開発行事の発足、運営管理 　製造業における Mixed Reality 技術を使用した HoloLens アプリケーションの開発管理	
9	18		実み	講師	シブヤ　シャウタ 渋谷　修太 ＜平成34年4月＞	１０年１０月	平成23年4月～平成23年8月 平成23年11月～現在に至る（※）	グリー(株) マーケティング事業本部 　グリー会員獲得のための様々なマーケティング施策を行った 　インターネットやスマートフォンに関する最先端のマーケティングを網羅的に行った 　スマホアプリのマーケティング施策をゼロから行った 　データをマーケティングに活かすための網羅的な企画・設計・実行・運用体制構築 フラー(株) 創業者兼代表取締役CEO 　スマホアプリに関するマーケティング・開発支援事業を展開 　経営計画及び事業計画の立案、新規事業の開発、全社的なマーケティング活動、資金調達、採用活動、広報活動などビジネス全般の統括及び実行 　地方の企業や自治体、教育機関とも幅広く連携	

設置の趣旨等を記載した書類

【資料 31】

事業創造学部事業創造学科履修モデル（起業家）

◎：必修科目　○：選択科目　△：自由科目

		1年次				2年次				3年次				4年次			
		前期①②		後期③④		前期①②		後期③④		前期①②		後期③④		前期①②		後期③④	
		授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
基礎科目	必修16単位 選択4単位以上	◎ 英語コミュニケーション	1	◎ 英語コミュニケーション	1	◎ 英語プレゼンテーション演習Ⅰ	1	◎ 英語プレゼンテーション演習Ⅱ	1								
		◎ 情報リテラシー	2														
		◎ 日本語コミュニケーション	2														
		◎ 現代産業論	2	◎ 現代企業論	2												
		○ 現代実践法学	2	○ 現代史と国際関係論	2												
		◎ キャリアデザインⅠ	1			◎ キャリアデザインⅡ	1			◎ キャリアデザインⅢ	1						
		◎ ビジネスモラル	1														
職業専門科目	必修72単位 選択8単位以上	◎ 経済学の基礎	2	◎ 経営戦略論	2	◎ 経営組織論	2	◎ 経営戦略策定演習	2	◎ イノベーションマネジメント	2	○グローバル社長学	2				
		◎ 経営学の基礎	2														
		◎ マーケティング	2	◎ デジタルマーケティング	2												
		◎ 簿記概論	2	◎ 簿記演習	1	◎ 会計学	1	◎ 財務諸表論	1	◎ 財務諸表分析	2	◎ 資金調達の実践	2				
								◎ 実践日本ビジネス法	2			○企業リスク管理実践	2				
				◎アントレプレナーシップ論	2			◎ 実践ベンチャービジネス	1								
		◎ トップランナー研究	1	◎ トップランナー研究	1	◎ ビジネスモデル研究	2										
				◎ ビジネスコミュニケーション	2												
				◎ ビジネスプランの基礎	2	◎ ビジネスプランの応用	2	◎ 会社設立実習Ⅰ	4	◎ 会社設立実習Ⅱ	4						
				◎ 地域経済産業論	2					○ 地域産業研究Ⅳものづくり	2			○地域産業研究Ⅶまちづくり	2		
				◎ 企業内実習Ⅰ	2	◎ 新規商品開発・販売実習Ⅰ	5	◎ 企業内実習Ⅱ	4	◎ 新規商品開発・販売実習Ⅱ	5	◎ 企業内実習Ⅲ	6				
展開科目	必修20単位					◎ デザイン・シンキング概論	2	◎ ソーシャルデザインⅠ	2	◎ ソーシャルデザインⅡ	2	◎ ソーシャルデザイン実習	2				
		◎ 新潟と地域社会	2	◎ 新潟と地域政策	2	◎ 新潟と地域政策	2	◎ 地域資源活用の理論と方法	2	◎ 地域資源活用の事例研究	2	◎ 地域資源活用実習	2				
総合科目	必修4単位													◎事業計画策定総合実習	4		
		学期修得単位数 計	22		23		18		19		20		16		2		4
				1年次修得単位数 計	45			2年次修得単位数 計	37			3年次修得単位数 計	36			4年次修得単位数 計	6

＜卒業要件＞
基礎　20単位以上
職業専門　80単位以上
展開　20単位以上
総合　4単位

本モデルの修得単位数 合計 124

事業創造学部事業創造学科履修モデル（企業内起業家）

◎：必修科目　○：選択科目　△：自由科目

		1年次 前期①② 授業科目名	単位数	1年次 後期③④ 授業科目名	単位数	2年次 前期①② 授業科目名	単位数	2年次 後期③④ 授業科目名	単位数	3年次 前期①② 授業科目名	単位数	3年次 後期③④ 授業科目名	単位数	4年次 前期①② 授業科目名	単位数	4年次 後期③④ 授業科目名	単位数
基礎科目	必修16単位 選択4単位以上	◎ 英語コミュニケーション	1	◎ 英語コミュニケーション	1	◎ 英語プレゼンテーション演習Ⅰ	1	◎ 英語プレゼンテーション演習Ⅱ	1								
		◎ 情報リテラシー	2														
		◎ 日本語コミュニケーション	2														
		◎ 現代産業論	2	◎ 現代企業論	2												
		○ 現代実践法学	2	○ 現代社会学	2												
		◎ キャリアデザインⅠ	1					◎ キャリアデザインⅡ	1	◎ キャリアデザインⅢ	1						
		◎ ビジネスモラル	1														
職業専門科目	必修72単位 選択8単位以上	◎ 経済学の基礎	2	◎ 経営戦略論	2	◎ 経営組織論	2	◎ 経営戦略策定演習	2	◎ イノベーションマネジメント	2						
		◎ 経営学の基礎	2														
		◎ マーケティング	2	◎ デジタルマーケティング	2												
		◎ 簿記概論	2	◎ 簿記演習	1	◎ 会計学	1	◎ 財務諸表論	1	◎ 財務諸表分析	2	◎ 資金調達の実践	2				
								◎ 実践日本ビジネス法	2									
				◎アントレプレナーシップ論	2			◎ 実践ベンチャービジネス	1								
		◎ トップランナー研究	1	◎ トップランナー研究	1	◎ ビジネスモデル研究	2										
				◎ ビジネスコミュニケーション	2												
				◎ ビジネスプランの基礎	2	◎ ビジネスプランの応用	2	◎ 会社設立実習Ⅰ	4	◎ 会社設立実習Ⅱ	4	○ 会社設立実習Ⅲ	4				
				◎ 地域経済産業論	2	○ 地域産業研究Ⅰ（農林水産）	2					○ 地域産業研究Ⅴ（観光）	2				
				◎ 企業内実習Ⅰ	2	◎ 新規商品開発・販売実習Ⅰ	5	◎ 企業内実習Ⅱ	4	◎ 新規商品開発・販売実習Ⅱ	5	◎ 企業内実習Ⅲ	6				
展開科目	必修20単位					◎ デザイン・シンキング概論	2	◎ ソーシャルデザインⅠ	2	◎ ソーシャルデザインⅡ	2	◎ ソーシャルデザイン実習	2				
		◎ 新潟と地域社会	2	◎ 新潟と地域政策	2	◎ 新潟と地域政策	2	◎ 地域資源活用の理論と方法	2	◎ 地域資源活用の事例研究	2	◎ 地域資源活用実習	2				
総合科目	必修4単位															◎事業計画策定総合実習	4
		学期修得単位数 計	22		23		20		19		18		18		0		4
				1年次修得単位数 計	45			2年次修得単位数 計	39			3年次修得単位数 計	36			4年次修得単位数 計	4

＜卒業要件＞
基礎　20単位以上
職業専門　80単位以上
展開　20単位以上
総合　4単位

本モデルの修得単位数 合計 124

事業創造学部事業創造学科履修モデル（事業承継）

◎：必修科目　○：選択科目　△：自由科目

		1年次				2年次				3年次				4年次			
		前期①②		後期③④		前期①②		後期③④		前期①②		後期③④		前期①②		後期③④	
		授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
基礎科目	必修16単位 選択4単位以上	◎ 英語コミュニケーション 1 ◎ 情報リテラシー 2 ◎ 日本語コミュニケーション 2 ◎ 現代産業論 2 ○ 現代実践法学 2 ◎ キャリアデザインⅠ 1 ◎ ビジネスモラル 1		◎ 英語コミュニケーション 1 ◎ 現代企業論 2 ○ 現代の科学技術 2		◎ 英語プレゼンテーション演習Ⅰ 1 ◎ キャリアデザインⅡ 1		◎ 英語プレゼンテーション演習Ⅱ 1		◎ キャリアデザインⅢ 1							
職業専門科目	必修72単位 選択8単位以上	◎ 経済学の基礎 2 ◎ 経営学の基礎 2 ◎ マーケティング 2 ◎ 簿記概論 2 ◎ トップランナー研究 1		◎ 経営戦略論 2 ◎ デジタルマーケティング 2 ◎ 簿記演習 1 ◎アントレプレナーシップ論 2 ◎ トップランナー研究 1 ◎ ビジネスコミュニケーション 2 ◎ ビジネスプランの基礎 2 ◎ 地域経済産業論 2 ◎ 企業内実習Ⅰ 2		◎ 経営組織論 2 ◎ 会計学 1 ◎ ビジネスモデル研究 2 ◎ ビジネスプランの応用 2 ○ 地域産業研究Ⅱ（医療福祉） 2 ◎ 新規商品開発・販売実習Ⅰ 5		◎ 経営戦略策定演習 2 ◎ 財務諸表論 1 ◎ 実践日本ビジネス法 2 ◎ 実践ベンチャービジネス 1 ◎ 会社設立実習Ⅰ 4 ◎ 企業内実習Ⅱ 4		◎ イノベーションマネジメント 2 ◎ 財務諸表分析 2 ◎ 会社設立実習Ⅱ 4 ○ 地域産業研究Ⅰ（ものづくり） 2 ◎ 新規商品開発・販売実習Ⅱ 5		◎ 資金調達の実践 2 ○ 実践事業承継 2 ○ 事業承継演習 2 ◎ 企業内実習Ⅲ 6			
展開科目	必修20単位	◎ 新潟と地域社会 2		◎ 新潟と地域政策 2		◎ デザイン・シンキング概論 2 ◎ 新潟と地域政策 2		◎ ソーシャルデザインⅠ 2 ◎ 地域資源活用の理論と方法 2		◎ ソーシャルデザインⅡ 2 ◎ 地域資源活用の事例研究 2		◎ ソーシャルデザイン実習 2 ◎ 地域資源活用実習 2					
総合科目	必修4単位													◎事業計画策定総合実習	4		
		学期修得単位数 計	22		23		20		19		20		16		0		4
				1年次修得単位数 計 45				2年次修得単位数 計 39				3年次修得単位数 計 36				4年次修得単位数 計 4	

＜卒業要件＞
基礎　20単位以上
職業専門　80単位以上
展開　20単位以上
総合　4単位

本モデルの修得単位数 合計 124

情報学部情報学科カリキュラムマップ　履修モデル（データサイエンティスト）

		1年次				2年次				3年次				4年次			
		前期①②		後期③④		前期①②		後期③④		前期①②		後期③④		前期①②		後期③④	
		授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
基礎科目	14科目 20単位	◎ 英語コミュニケーションⅠ ◎ 情報リテラシー ◎ 日本語コミュニケーション	1 2 2	◎ 英語コミュニケーションⅡ	1	◎ 英語プレゼンテーション演習Ⅰ	1	◎ 英語プレゼンテーション演習Ⅱ	1								
						◎ 現代社会学 ○ 現代経済学	2 2	○ 現代の科学技術	2	○ 現代企業論	2						
		◎ キャリアデザインⅠ ◎ ビジネスモラル	1 1			◎ キャリアデザインⅡ	1			◎ キャリアデザインⅢ	1						
職業専門科目	36科目 84単位	◎ 情報の基礎	1	◎ 情報と法律 ◎ トップランナー研究	2 1	◎ 情報と経営 ◎ トップランナー研究	2 1			◎ 情報と倫理	1						
		◎ コンピュータアーキテクチャ ◎ オペレーティングシステム ◎ 線形代数	2 2 2	◎ 微分積分 ◎ 確率論	2 2	◎ 統計学	2										
		◎ データ構造とアルゴリズム ◎ プログラミングⅠ	2 2	◎ プログラミングⅡ	2	◎ ネットワークプログラミング実習	2	◎ API実習	2								
		◎ 情報通信ネットワーク	1	◎ ネットワーク演習 ◎ 情報セキュリティ	2 2	◎ サイバーセキュリティ演習	2			◎ 分散型台帳技術 ◎ サイバーセキュリティ実習	2 2						
				◎ データベースの基礎	2	◎ データベース演習	2										
		◎ システムモデリング	1					◎ 臨地実務実習Ⅰ	5			◎ 臨地実務実習Ⅱ	15				
		◎ 情報科学基礎	2	◎ サイバーフィジカルシステム基礎 ◎ 没入型コンピューティング	2 2	◎ 知識表現・知識処理 ○ データサイエンス	2 2			◎ AI実習 ○ マシンラーニング ○ データサイエンス実習	2 2 2			○ マシンラーニング実習	2		
展開科目	12科目 22単位			◎ 新潟と地域社会 ◎ 社会心理・消費者行動	2 2	◎ ソーシャルデザインⅠ ◎ 情報産業論 ◎ マーケティング	2 2 2			◎ ソーシャルデザインⅡ ◎ 国際文化と伝統 ◎ マーケティング実践	2 2 2			◎ ソーシャルデザイン実習	2		
				◎ デザイン・シンキング概論	2	◎ デザイン・シンキング実習Ⅰ	1			◎ デザイン・シンキング実習Ⅱ	1						
総合科目	1科目 4単位													◎ ICT活用総合実習	4		
学期修得単位数　計			22		26		28		10		21		15		4		4
				1年次修得単位数　計	48			2年次修得単位数　計	38			3年次修得単位数　計	36			4年次修得単位数　計	8

＜卒業要件＞

基礎	20単位以上
職業専門	84単位以上
展開	22単位以上
総合	4単位
合計	130単位以上

本モデルの修得単位数　合計　130

情報学部情報学科カリキュラムマップ　履修モデル（IoT・ロボティクスエンジニア）

		1年次 前期①②		1年次 後期③④		2年次 前期①②		2年次 後期③④		3年次 前期①②		3年次 後期③④		4年次 前期①②		4年次 後期③④	
		授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
基礎科目	14科目	◎ 英語コミュニケーションⅠ	1	◎ 英語コミュニケーションⅡ	1	◎ 英語プレゼンテーション演習Ⅰ	1	◎ 英語プレゼンテーション演習Ⅱ	1								
		◎ 情報リテラシー	2														
		◎ 日本語コミュニケーション	2														
	20単位					◎ 現代社会学	2										
						○ 現代経済学	2	○ 現代の科学技術	2	○ 現代史と国際関係論	2						
		◎ キャリアデザインⅠ	1			◎ キャリアデザインⅡ	1			◎ キャリアデザインⅢ	1						
		◎ ビジネスモラル	1														
職業専門科目	36科目	◎ 情報の基礎	1	◎ 情報と法律	2	◎ 情報と経営	2			◎ 情報と倫理	1						
				◎ トップランナー研究	1	◎ トップランナー研究	1										
		◎ コンピュータアーキテクチャ	2														
		◎ オペレーティングシステム	2														
		◎ 線形代数	2	◎ 微分積分	2	◎ 統計学	2										
				◎ 確率論	2												
		◎ データ構造とアルゴリズム	2														
		◎ プログラミングⅠ	2	◎ プログラミングⅡ	2												
						◎ ネットワークプログラミング実習	2	◎ API実習	2								
		◎ 情報通信ネットワーク	1	◎ ネットワーク演習	2					◎ 分散型台帳技術	2						
				◎ 情報セキュリティ	2	◎ サイバーセキュリティ演習	2			◎ サイバーセキュリティ実習	2						
				◎ データベースの基礎	2	◎ データベース演習	2										
	84単位	◎ システムモデリング	1					◎ 臨地実務実習Ⅰ	5			◎ 臨地実務実習Ⅱ	15				
				◎ サイバーフィジカルシステム基礎	2												
				◎ 没入型コンピューティング	2												
		◎ 情報科学基礎	2			◎ 知識表現・知識処理	2			◎ AI実習	2						
						○ IoT演習	2			○ IoT実習	2			○ ロボティクス実習	2		
										○ ハードウェア設計	2						
展開科目	12科目			◎ 新潟と地域社会	2	◎ ソーシャルデザインⅠ	2			◎ ソーシャルデザインⅡ	2			◎ ソーシャルデザイン実習	2		
						◎ 情報産業論	2			◎ 国際文化と伝統	2						
				◎ 社会心理・消費者行動	2	◎ マーケティング	2			◎ マーケティング実践	2						
	22単位			◎ デザイン・シンキング概論	2	◎ デザイン・シンキング実習Ⅰ	1			◎ デザイン・シンキング実習Ⅱ	1						
総合科目	1科目															◎ ICT活用総合実習	4
	4単位																
学期修得単位数　計			22		26		28		10		21		15		4		4
				1年次修得単位数　計	48			2年次修得単位数　計	38			3年次修得単位数　計	36			4年次修得単位数　計	8

＜卒業要件＞
基礎　20単位以上
職業専門　84単位以上
展開　22単位以上
総合　4単位
合計　130単位以上

本モデルの修得単位数　合計　130

情報学部情報学科カリキュラムマップ　履修モデル（クラウドエンジニア）

		1年次 前期①② 授業科目名	単位数	1年次 後期③④ 授業科目名	単位数	2年次 前期①② 授業科目名	単位数	2年次 後期③④ 授業科目名	単位数	3年次 前期①② 授業科目名	単位数	3年次 後期③④ 授業科目名	単位数	4年次 前期①② 授業科目名	単位数	4年次 後期③④ 授業科目名	単位数
基礎科目	14科目	◎ 英語コミュニケーションⅠ	1	◎ 英語コミュニケーションⅡ	1	◎ 英語プレゼンテーション演習Ⅰ	1	◎ 英語プレゼンテーション演習Ⅱ	1								
		◎ 情報リテラシー	2														
		◎ 日本語コミュニケーション	2														
	20単位					◎ 現代社会学	2									○ 国際動態論	2
						○ 現代経済学	2	○ 現代の科学技術	2								
		◎ キャリアデザインⅠ	1			◎ キャリアデザインⅡ	1			◎ キャリアデザインⅢ	1						
		◎ ビジネスモラル	1														
職業専門科目	36科目	◎ 情報の基礎	1	◎ 情報と法律	2	◎ 情報と経営	2			◎ 情報と倫理	1						
				◎ トップランナー研究	1	◎ トップランナー研究	1										
		◎ コンピュータアーキテクチャ	2														
		◎ オペレーティングシステム	2														
		◎ 線形代数	2	◎ 微分積分	2	◎ 統計学	2										
				◎ 確率論	2												
		◎ データ構造とアルゴリズム	2														
		◎ プログラミングⅠ	2	◎ プログラミングⅡ	2												
						◎ ネットワークプログラミング実習	2	◎ API実習	2								
		◎ 情報通信ネットワーク	1	◎ ネットワーク演習	2					◎ 分散型台帳技術	2						
				◎ 情報セキュリティ	2	◎ サイバーセキュリティ演習	2			◎ サイバーセキュリティ実習	2						
	84単位			◎ データベースの基礎	2	◎ データベース演習	2										
		◎ システムモデリング	1					◎ 臨地実務実習Ⅰ	5			◎ 臨地実務実習Ⅱ	15				
				◎ サイバーフィジカルシステム基礎	2												
				◎ 没入型コンピューティング	2												
		◎ 情報科学基礎	2			◎ 知識表現・知識処理	2			◎ AI実習	2						
						○ クラウド技術概論	2			○ クラウドベーシック&マーケティング	2						
										○ クラウドプラットフォーム実習Ⅰ	2			○ クラウドプラットフォーム実習Ⅱ	2		
展開科目	12科目			◎ 新潟と地域社会	2	◎ ソーシャルデザインⅠ	2			◎ ソーシャルデザインⅡ	2			◎ ソーシャルデザイン実習	2		
						◎ 情報産業論	2			◎ 国際文化と伝統	2						
				◎ 社会心理・消費者行動	2	◎ マーケティング	2			◎ マーケティング実践	2						
	22単位			◎ デザイン・シンキング概論	2	◎ デザイン・シンキング実習Ⅰ	1			◎ デザイン・シンキング実習Ⅱ	1						
総合科目	1科目																
	4単位													◎ ICT活用総合実習	4		
学期修得単位数　計			22		26		28		10		19		15		4		6
				1年次修得単位数　計	48			2年次修得単位数　計	38			3年次修得単位数　計	34			4年次修得単位数　計	10

＜卒業要件＞

基礎	20単位以上
職業専門	84単位以上
展開	22単位以上
総合	4単位
合計	130単位以上

本モデルの修得単位数　合計　130

設置の趣旨等を記載した書類

【資料 32】

教育課程連携協議会に関する規程

（目的）

第１条　　この規程は、産業界及び地域社会との連携により、専門分野の動向、要望を教育課程に取り入れ、実践的かつ専門的な知識・技能を持った専門職人材育成教育を実施するため、教育課程を編制し、及び円滑かつ効果的に実施することを目的とした協議会（以下、教育課程連携協議会と称する）に関し必要な事項を定めるものとする。

（組織・任期）

第２条　　学長は、教育課程連携協議会を設置し、意見を聴取し、教育課程の編成において意見を勘案するものとする。委員の任期については２年間とする。但し、再任を妨げないものとする。

（協議会の構成）

第３条　　教育課程連携協議会の構成員は、次のとおりとする。

（１）学長が指名する教員その他の職員

（２）本学の課程に係る職業に就いている者又は当該職業に関連する事業を行う者による団体のうち、広範囲の地域で活動するものの関係者であって、当該職業の実務に関し豊富な経験を有するもの

（３）地方公共団体の職員、地域の事業者による団体の関係者その他の地域の関係者

（４）臨地実務実習その他の授業科目の開設又は授業の実施において本学と協力する事業者

（５）その他、教員その他の職員以外の者であって学長が必要と認めた者

２　　教育課程連携協議会の構成員のうち、第１項の第１号に定めるものから１名を委員長として学長が指名する。

３　　教育課程連携協議会は、年度の中間と年度末の年２回の開催を基本とし、教育課程連携協議会の代表者たる委員長が必要と認める場合は臨時に招集する。

（審議事項）

第４条　　教育課程連携協議会は、各学部に関係する業界動向、最新の知識、手法等を考察し、それを踏まえて次に掲げる事項について審議し、学長に意見を述べるものとする。

（１）産業界及び地域社会との連携による授業科目の開設その他の教育課程の編成

に関する基本的な事項

（２）産業界及び地域社会との連携による授業の実施その他の教育課程の実施に関する基本的な事項及びその実施状況の評価に関する事項

（その他）

第５条　　この規程に定めるもののほか必要な事項については、学長が決定する。

（附則）

１．この規程は、２０２０年４月１日から施行する。

別記様式第７号の２

（用紙　日本工業規格Ａ４横型）

教育課程連携協議会構成員名簿

開志専門職大学（事業創造学部）

番号	構成員区分	関係する学部等又は研究科等	氏　　名	年齢	現所属及び役職名	当該専門職大学等の課程に係る職業に関する主な経歴
1	教職員	事業創造学部	近藤　正幸	67	事業創造大学院大学 特任教授 ※平成32年4月 開志専門職大学 事業創造学部　学部長・教授	平成11年　高知工科大学大学院工学研究科 起業家コース教授 平成11年　フランス国立ポンゼショセ大学 国際経営大学院（ENPC MBA-TOKYO） 非常勤講師 平成13年　横浜国立大学大学院環境情報研究院 学府(博士課程前期・後期)教授 平成14年　立命館大学大学院国際関係研究科 非常勤講師 平成15年　文部科学省科学技術政策研究所 総括主任研究官(併任) 平成21年　横浜国立大学ベンチャー･ビジネス･ ラボラトリー所長(兼務) 平成28年　東京電機大学国際センター特別専任教授 (博士課程前期) 平成31年　事業創造大学院大学特任教授 (現在に至る)

2	教職員	事業創造学部	徳田　賢二	71	専修大学 名誉教授 ※平成32年4月 開志専門職大学 事業創造学部　教授	平成元年　専修大学経済学部助教授 平成7年　専修大学経済学部教授 平成10年　専修大学大学院経済学研究科 経済学専攻教授 平成15年　公益財団法人川崎市産業振興財団 新産業政策研究所　客員研究員 （現在に至る） 平成27年　専修大学大学院経済学研究科　研究科長 平成30年　専修大学名誉教授（現在に至る）
3	職業	事業創造学部	田中　豊	52	（一社）東京ニュービジネス協議会 副会長	平成 3年　アートグリーン（株）創業　代表取締役 ベンチャー企業経営者として25年会社を継続させ、平成27年名古屋証券取引所セントレックス上場。 所属する東京ニュービジネス協議会では、ベンチャー人材育成委員会を担当。
4	地域	事業創造学部	内藤　晃子	48	新潟市経済部 産業政策課　課長	
5	協力	事業創造学部	武田　修美	37	（株）ＭＧＮＥＴ 代表取締役	平成23年　（株）ＭＧＮＥＴ創業　代表取締役 製造業を中心としたプロダクトマネジメント・コンセプトメイク・ブランディング事業・ものづくりにまつわる地域資源の活用支援事業に携わる。 燕三条「工場の祭典2016」実行委員会 副実行委員長

6	協力	事業創造学部	葉葺　正幸	45	(株)峰村商店 代表取締役社長 (株)和僑商店ホールディングス 代表取締役社長	平成13年 和僑インターナショナル(株) （現株式会社和僑商店）創業 平成23年 今代司酒造(株)　代表取締役社長 平成25年 (株)峰村商店　代表取締役社長 （現在に至る） 平成27年　越後味噌醸造(株) 代表取締役 平成29年　(株)和僑ホールディングス 代表取締役社長（現在に至る） 入社４年目にして、株式会社を設立し社内起業を行う。その後新潟県において、後継者のいない老舗会社である酒造会社・醸造会社の事業承継を行う。 ３０代が中心となる各会社社長の育成とともに、コンセプト立案・ビジネスフロー構築を行っている。
7	その他	事業創造学部	唐木　宏一	54	事業創造大学院大学 事業創造研究科　教授	昭和60年　株式会社三井銀行入行 平成13年　独立行政法人総合研究開発機構 リサーチアシスタント 平成17年　一橋大学大学院商学研究科 COE研究補助員 平成20年　社会的金融研究所代表(現在に至る) 平成23年　一般社団法人ソーシャルファイナンス 支援センター理事(現在に至る) 平成27年　事業創造大学院大学事業創造研究科 准教授 平成28年　事業創造大学院大学事業創造研究科教授 （現在に至る）

8	その他	事業創造学部	福水　健文	63	(一財)建材試験センター 理事長	平成19年　中小企業庁 長官 平成20年　(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構 理事 平成21年　(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構 副理事 平成24年　日伯エタノール(株)　代表取締役社長 平成25年　日本アルコール産業(株) 代表取締役副社長 平成28年　(一財)建材試験センター 理事長(現在に至る)

別記様式第７号の２

（用紙　日本工業規格Ａ４横型）

教育課程連携協議会構成員名簿

開志専門職大学（情報学部）

番号	構成員区分	関係する学部等又は研究科等	氏　　名	年齢	現所属及び役職名	当該専門職大学等の課程に係る職業に関する主な経歴
1	教職員	情報学部	三上　喜貴	65	長岡技術科学大学 特任教授・学長アドバイザー ※開志専門職大学 情報学部 副学長・学部長・教授	平成 9年　長岡技術科学大学　計画経営系　教授 平成12年　長岡技術科学大学　経営情報系　教授 平成15年　科学技術研究機構　社会技術研究開発システム（RISTEX）　研究代表者 平成17年　長岡技術科学大学　留学生センター長 平成18年　長岡技術科学大学技術経営研究科（専門職大学院）　教授 平成20年　放送大学　客員教授 平成21年　長岡技術科学大学　システム安全系長 平成22年　長岡技術科学大学　安全安心社会研究センター長(現在に至る) 平成23年　長岡技術科学大学　副学長（国際交流担当） 平成24年　長岡技術科学大学大学院工学研究科原子力システム安全専攻　教授（現在に至る） 平成27年　長岡技術科学大学　理事・副学長（国際連携・産学連携担当） 平成31年　長岡技術科学大学特任教授・学長アドバイザー（現在に至る）

2	教職員	情報学部	田代　秀一	60	(独)情報処理推進機構 調査役 ※開志専門職大学 情報学部　教授	平成15年　中央大学理工学部兼任講師(現在に至る) 平成18年　独立行政法人情報処理推進機構 オープンソースソフトウエアセンター長 出向 平成23年　独立行政法人情報処理推進機構 オープンソースソフトウエアセンター長 平成23年　独立行政法人情報処理推進機構　参与 兼 国際標準推進センター長 平成27年　東京大学理工学部　非常勤講師 (現在に至る) 平成30年　独立行政法人情報処理推進機構 技術本部　調査役（現在に至る） 平成30年　独立行政法人情報処理推進機構 社会基盤センター産業プラットフォーム 部調査役（現在に至る）
3	教職員	情報学部	淡路　雅博	42	(株)新潟人工知能研究所 専務取締役 ※開志専門職大学 情報学部　助手	平成15年　新潟コンピュータ専門学校 ＣＧ科専任教員 平成16年　新潟コンピュータ専門学校 ゲームクリエーター科学科長 平成26年　新潟コンピュータ専門学校 教務部次長 兼　IT高度専門学科学科長 平成27年　新潟コンピュータ専門学校 教務部長 平成29年　(株)新潟人工知能研究所 専務取締役 (兼務)(現在に至る) 平成30年　学校法人新潟総合学院 専門職大学設置 準備室 学務担当(現在に至る)

4	職業	情報学部	中野　敬介	52	新潟県ＩＴ＆ＩＴＳ推進協議会 会長	平成 9年　新潟大学　工学部　助手 平成10年　新潟大学　工学部　講師 平成12年　新潟大学　工学部　助教授 平成19年　新潟大学　工学部　准教授 平成23年　新潟大学　工学部　教授(現在に至る) 新潟大学　自然科学研究科 電気情報工学専攻　教授(現在に至る) 平成29年　新潟県ＩＴ＆ＩＴＳ推進協議会　会長 (現在に至る)
5	職業	情報学部	木田　徳彦	55	一般社団法人コンピュータソフトウェア協会理事 人材委員会副委員長　iCD研究会主査 株式会社インフォテック・サーブ　　代表取締役	三菱商事と日本IBMの合弁IT企業を経て、1988年にインフォテック・サーブを設立。 2011年に代表取締役就任とともに、コンピュータソフトウェア協会の人材委員会副委員長として、IT業界全体の人材育成やスキル標準活用に携わる。 2014年にはコンピュータソフトウェア協会の理事に就任し、協会内でのiCD推進普及の責任者として、iCD活用ワークショップやiCDコミュニティの開催、iCD活用企業認証制度の成立・運営に尽力する。
6	地域	情報学部	牧野　達也	59	新潟市 総務部 ＩＣＴ政策課　課長	

7	協力	情報学部	原田　博植	39	(株)グラフ 代表取締役	平成24年　(株)リクルート　チーフ・データサイエンティスト就任 平成26年　社団法人丸の内アナリティクス　発起人 平成28年　(株)グラフ　創業　代表取締役 経済産業省「第四次産業革命に向けた競争政策の在り方の研究会」委員就任 社団法人丸の内アナリティクス代表理事（現在に至る） 2015年日本経済新聞より「データサイエンティスト・オブ・ザ・イヤー」受賞。2016年10月人工知能ベンチャー企業「株式会社グラフ」を設立し、ＡＩアルゴリズム開発を行っている。
8	協力	情報学部	黒田　達也	54	(株)新潟人工知能研究所 代表取締役	昭和62年　リクルート入社 平成10年　(公財)松下政経塾（14期生）修了。 平成13年　(株)エイチ・アイ・エス入社 平成17年　エイチ・エス証券(株)入社 平成25年　学校法人国際総合学園入校 平成27年　事業創造キャピタル(株)取締役 新潟ベンチャーキャピタル(株)取締役 (株)事業創造コンサルティング 代表取締役 平成29年　(株)新潟人工知能研究所創業 代表取締役　(現在に至る) ＡＩ技術のマーケティングデータ解析への応用で実績のある「データアーティスト(株)」から技術協力を受け、実践的なデータ・サイエンティストを育成する。

設置の趣旨等を記載した書類

【資料 33】

安全上の理由の為掲載せず

紫竹山キャンパス個室研究室レイアウト図

安全上の理由の為掲載せず

米山キャンパス個室研究室レイアウト図

設置の趣旨等を記載した書類

【資料 34】

安全上の理由の為掲載せず

イノベーション力研究所創業支援センター　レイアウト図

安全上の理由の為掲載せず

開志未来創造研究センター　レイアウト図

安全上の理由の為掲載せず

IoT実習室　レイアウト図

設置の趣旨等を記載した書類

【資料 35】

No	カテゴリ	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
1	教養	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784062884334	〈弱いロボット〉の思考：わたし・身体・コミュニケーション		岡田美智男	講談社現代新書	講談社	201706	800	864
2	教養	絵画．書道	陰影法遠近法	9784480091680	〈象徴形式〉としての遠近法		アーウィン・パノフスキー：木田元	ちくま学芸文庫	筑摩書房	200902	1,000	1,080
3	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784478021897	〈超〉一枚企画書の書き方		高橋憲行		ダイヤモンド社＊	201301	1,500	1,620
4	教養	社会	文化/文化社会学	9784004315735	〈文化〉を捉え直す：カルチュラル・セキュリティの発想		渡辺靖（文化人類学）	岩波新書	岩波書店	201511	780	842
5	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784041027530	〈面白さ〉の研究：世界観エンタメはなぜブームを生むのか		都留泰作	角川新書	ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201505	800	864
6	教養	社会	文化/文化社会学	9784061385795	「おたく」の精神史：一九八〇年代論		大塚英志	星海社新書	星海社(発売：講談社)	201603	1,400	1,512
7	教養	社会	文化/文化社会学	9784061497191	「しきり」の文化論		柏木博【著】	講談社現代新書	講談社	200405	800	864
8	教養	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784797359930	「シーケンス制御」のキホン：機械とプログラムで実現する自動制御の世界		井出萬盛【著】	イチバンやさしい理工系	SBクリエイティブ	201011	1,500	1,620
9	教養	経済	人事管理/労務管理	9784062883030	「タレント」の時代：世界で勝ち続ける企業の人材戦略論		酒井崇男	講談社現代新書	講談社	201502	880	950
10	教養	商業	マーケティング	9784532319540	「なぜか売れる」の公式		理央周		日本経済新聞出版社	201410	1,400	1,512
11	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784062195638	「プレゼン」力：未来を変える「伝える」技術		山中伸弥：伊藤穣一		講談社	201609	1,200	1,296
12	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784062195638	「プレゼン」力：未来を変える「伝える」技術		山中伸弥：伊藤穣一		講談社	201609	1,200	1,296
13	教養	フランス語	フランス語	9784023314436	「ベルサイユのばら」で学ぶフランス語		池田理代子：平野隆文		朝日新聞出版	201510	1,400	1,512
14	教養	演劇．映画	漫画映画	9784106107450	「ポスト宮崎駿」論：日本アニメの天才たち		長山靖生	新潮新書	新潮社	201712	760	820
15	教養	演劇．映画	漫画映画	9784062196741	「宇宙戦艦ヤマト」をつくった男西崎義展の狂気		牧村康正：山田哲久		講談社	201509	1,500	1,620
16	教養	電気工学．電子工学	データ通信	9784396615291	「炎上」と「拡散」の考現学：なぜネット空間で情報は変容するのか		小峯隆生：筑波大学ネットコミュニティ研究グループ		祥伝社	201506	1,500	1,620
17	教養	総記	情報管理/ドキュメント	9784121100085	「過情報」の整理学：見極める力を鍛える		上野佳恵	中公選書	中央公論新社	201201	1,200	1,296
18	教養	文学	シナリオ/放送ドラマ	9784905369660	「懐かしドラマ」が教えてくれるシナリオの書き方		浅田直亮：仲村みなみ	言視舎版「シナリオ教室」シリーズ	言視舎	201307	1,500	1,620
19	教養	経済	管理会計/内部統制	9784798052175	「管理会計の基本」がすべてわかる本	第２版	金子智朗		秀和システム	201708	1,500	1,620
20	教養	英語	近世英語	9784121501769	「教えない」英語教育		市川力	中公新書ラクレ	中央公論新社	200505	740	799
21	教養	数学	確率論/数理統計学	9784150505103	「偶然」の統計学		デイヴィッド・Ｊ・ハンド：松井信彦	ハヤカワ文庫ＮＦ　数理を愉しむ	早川書房	201710	880	950
22	教養	経済	福利厚生/安全	9784818515062	「健康経営」推進ガイドブック		岡田邦夫（内科医）		経団連出版	201509	1,000	1,080
23	教養	経済	経営管理	9784532197148	「権力」を握る人の法則		ジェフリー・フェファー：村井章子	日経ビジネス人文庫	日本経済新聞出版社	201401	850	918
24	教養	逐次刊行物	日本の雑誌	9784478102091	「週刊文春」編集長の仕事術		新谷学		ダイヤモンド社	201703	1,400	1,512
25	教養	演劇．映画	映画史	9784480432896	「小津安二郎日記」を読む：無常とたわむれた巨匠		都築政昭	ちくま文庫	筑摩書房	201510	1,500	1,620
26	教養	芸術．美術	芸術解剖学	9784062578929	「進撃の巨人」と解剖学：その筋肉はいかに描かれたか		布施英利	ブルーバックス	講談社	201411	900	972
27	教養	日本史	中国地方	9784872949254	「船」からみた四国：近世～近現代の造船・異国船・海事都市		四国地域史研究連絡協議会	岩田書院ブックレット	岩田書院	201509	1,500	1,620
28	教養	演劇．映画	映画史	9784106038082	「男はつらいよ」を旅する		川本三郎	新潮選書	新潮社	201705	1,400	1,512
29	教養	電気工学．電子工学	無線機器	9784819028097	「知っておかないと損をする！」ＲＦＩＤの世界：ＩｏＴ時代のＲＦＩＤ活用術				日本工業出版	201607	1,000	1,080
30	教養	図書．書誌学	著作権/著作権法	9784894517677	「著作権」の基本と常識：これだけは知っておきたい		宮本督		フォレスト出版	201708	1,500	1,620
31	教養	日本史	京都府	9784831862365	「天橋立学」への招待：“海の京都”の歴史と文化		天橋立世界遺産登録可能性検討委員会		法藏館	201703	1,500	1,620
32	教養	経済	経営政策/経営計画	9784062815772	「売れない時代」に売りまくる！超実践的「戦略思考」		筏井哲治	講談社＋α文庫	講談社	201411	700	756
33	教養	経済	経営管理	9784846015534	「売れる商品」の原動力：インナーブランディングの思想		井尻雄久		論創社	201607	1,500	1,620
34	教養	政治	国家と個人/基本的人権	9784061385863	「表現の自由」の守り方		山田太郎	星海社新書	星海社(発売：講談社)	201604	840	907
35	教養	技術．工学	論文集/評論集	9784274068799	「未来マシン」はどこまで実現したか？：エアカー・超々音速機・腕時計型通信機・自動調理器・		石川憲二		オーム社	201203	1,400	1,512
36	教養	経済	経営政策/経営計画	9784620323114	「未来を読む」ビジネス戦略の教科書		西村行功		毎日新聞出版	201510	1,500	1,620
37	教養	商業	市場調査/市場予測	9784883354207	「欲しい」の本質：人を動かす隠れた心理「インサイト」の見つけ方		大松孝弘：波田浩之		宣伝会議	201712	1,500	1,620
38	教養	社会	文化/文化社会学	9784907654412	『ジャックアンドベティ』を社会学的に読む		岩本茂樹	Ｋ．Ｇ．りぶれっと	関西学院大学出版会	200204	1,000	1,080
39	教養	演劇．映画	漫画映画	9784894768741	『君の名は。』の交響：付録『シン・ゴジラ』対論		志水義夫：助川幸逸郎		ひつじ書房	201707	1,500	1,620
40	教養	演劇．映画	映画史	9784004312550	『七人の侍』と現代：黒澤明再考		四方田犬彦	岩波新書	岩波書店	201006	720	777
41	教養	演劇．映画	漫画映画	9784863110991	『世界名作劇場』が教えてくれた人生で大切なこと		産業編集センター：日本アニメーション株式会社		産業編集センター	201408	1,500	1,620
42	教養	絵画．書道	グラフィックデザイン/図案	9784416915707	○○化するデザイン		日本グラフィックデザイナー協会	ＪＡＧＤＡ　ＲＥＰＯＲＴ	日本グラフィックデザイナー協会(発売：誠文堂新光社)	201507	1,000	1,080
43	教養	電気工学．電子工学	データ通信	9784774173245	１０年つかえるＳＥＯの基本		土居健太郎		技術評論社	201505	1,480	1,598
44	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784061385986	１０年大盛りメシが食える漫画家入門ふりかけ付き！		樹崎聖：菅野博之	星海社新書	星海社(発売：講談社)	201609	860	928
45	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784492045312	１０倍挑戦、５倍失敗、２倍成功！？：ちょっとはみだしもっとつながる爆速ヤフーの働き方		長谷川琢也【著】：ヤフー株式会社【監修】		東洋経済新報社	201407	1,500	1,620
46	教養	電気工学．電子工学	データ通信	9784794969552	１１歳からの正しく怖がるインターネット：大人もネットで失敗しなくなる本		小木曽健		晶文社	201702	1,300	1,404
47	教養	英語	英語	9784806140283	１５００語で通じる非ネイティブ英語グロービッシュ入門		グローバル人材開発		中経出版	201105	1,500	1,620
48	教養	経済	経営管理	9784496049156	１６８０円のカプチーノが売れる奇跡の理由：勝者の思考法		氏家秀太		同友館	201210	1,400	1,512
49	教養	運輸．交通	観光事業史	9784166611089	２０４０年全ビジネスモデル消滅		牧野知弘	文春新書	文藝春秋	201612	800	864
50	教養	商業	販売経路/商品流通機構	9784761270407	２時間で丸わかり物流の基本を学ぶ		木村徹【著】		かんき出版	201411	1,500	1,620

51	教養	総記	コンピュータ/システム/ソフトウェア	9784407340235	３０時間アカデミック情報リテラシーＯｆｆｉｃｅ ２０１６：Ｗｉｎｄｏｗｓ １０対応		杉本くみ子：大澤栄子		実教出版	201607	1,300	1,404
52	教養	総記	コンピュータ/システム/ソフトウェア	9784407340297	３０時間アカデミック情報活用Ｅｘｃｅｌ ２０１６／２０１３		飯田慈子：米沢雄介		実教出版	201703	1,500	1,620
53	教養	経済	事務の機械化	9784407340624	３０時間アカデミック情報基礎Ｗｏｒｄ＆Ｅｘｃｅｌ ２０１６：Ｗｉｎｄｏｗｓ １０対応		杉本くみ子：大澤栄子		実教出版	201612	1,400	1,512
54	教養	英語	近世英語	9784872176315	３０時間マスターＴＯＥＩＣ ＴＥＳＴ最重要単語：基礎からのＰａｒｔ ５ Ｐａｒｔ ６対策		イイクフン		アスク出版	200703	1,500	1,620
55	教養	英語	近世英語	9784872176322	３０時間マスターＴＯＥＩＣ ＴＥＳＴ最重要文法：基礎からのＰａｒｔ ５ Ｐａｒｔ ６対策		イイクフン		アスク出版	200812	1,500	1,620
56	教養	英語	近世英語	9784492044933	３か月でやり直し！英語モジュール学習法		竹村和浩【著】		東洋経済新報社	201305	1,400	1,512
57	教養	経済	財務会計	9784532320706	３語で学ぶ会計		山田咲道		日本経済新聞出版社	201604	1,400	1,512
58	教養	スペイン語	スペイン語	9784311710049	３日でおぼえるスペイン語		大島洋子：肥田章子		学生社	199904	1,200	1,296
59	教養	心理学	普通心理学/思考創造	9784625686092	５ステップで情報整理！問題解決スキルノート		桑田てるみ		明治書院	201108	1,200	1,296
60	教養	日本史	近代	9784478064894	５つの戦争から読みとく日本近現代史：日本人として知っておきたい１００年の歩み		山崎雅弘		ダイヤモンド社	201607	1,500	1,620
61	教養	スペイン語	スペイン語	9784004316787	６０歳からの外国語修行：メキシコに学ぶ		青山南	岩波新書	岩波書店	201709	820	885
62	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784062579018	９９．９９６％はスルー：進化と脳の情報学		竹内薫：丸山篤史	ブルーバックス	講談社	201502	860	928
63	教養	心理学	普通心理学/思考創造	9784781608198	∞アイデアのつくり方		高橋晋平		イースト・プレス	201207	1,000	1,080
64	教養	電気工学．電子工学	データ通信	9784862671516	Ａｄｏｂｅ Ｃｒｅａｔｉｖｅ Ｃｌｏｕｄではじめる、一歩進んだクリエイティブワー：ＣＣでデザイン、イラスト、写真、映像 Ｗｅｂ ＤＴ		荻窪圭：Ｈａｌ		ボーンデジタル	201309	1,500	1,620
65	教養	総記	情報理論	9784087208900	ＡＩが人間を殺す日：車、医療、兵器に組み込まれる人工知能		小林雅一	集英社新書	集英社	201707	760	820
66	教養	総記	情報理論	9784062883078	ＡＩの衝撃：人工知能は人類の敵か		小林雅一	講談社現代新書	講談社	201503	800	864
67	教養	総記	情報理論	9784532113711	ＡＩまるわかり		古明地正俊：長谷佳明	日経文庫	日本経済新聞出版社	201703	860	928
68	教養	スペイン語	スペイン語	9784816362224	ＣＤ付きオールカラー基礎からレッスンはじめてのスペイン語：イラストでパッと見てわかる！		本橋祈		ナツメ社	201705	1,280	1,382
69	教養	経済	経営管理	9784492533383	ＣＩＡ諜報員が駆使するテクニックはビジネスに応用できる		Ｊ．Ｃ．カールソン【著】：夏目大【訳】		東洋経済新報社	201407	1,500	1,620
70	教養	英語	英語	9784861865916	Ｃｒｏｓｓ−ｃｕｌｔｕｒａｌ Ｓｔｕｄｉｅｓ ｔｈｒｏｕｇｈ Ｅｎｇｌｉｓｈ：異文化学のすすめ		西田一弘：岸上英幹		ふくろう出版	201403	1,350	1,458
71	教養	総記	コンピュータ/プログラミング	9784798150383	Ｃの絵本：Ｃ言語が好きになる新しい９つの扉	第２版	アンク		翔泳社	201612	1,380	1,490
72	教養	総記	コンピュータ/プログラミング	9784877838362	Ｃ言語［基礎編］ワークブック：ステップ３０		平田敦	情報演習	カットシステム	201703	900	972
73	教養	電気工学．電子工学	データ通信	9784774179162	Ｄｒｏｐｂｏｘ ＆ Ｇｏｏｇｌｅ Ｄｒｉｖｅ ＆ ＯｎｅＤｒｉｖｅ ＆ Ｅｖｅｒ		リンクアップ	今すぐ使えるかんたんＰＬＵＳ＋	技術評論社	201603	1,480	1,598
74	教養	総記	コンピュータ/システム/ソフトウェア	9784774183541	Ｅｘｃｅｌ ＆ Ｗｏｒｄ ＆ ＰｏｗｅｒＰｏｉｎｔ ２０１６基本技		Ａｙｕｒａ：稲村暢子	今すぐ使えるかんたんｍｉｎｉ	技術評論社	201610	1,380	1,490
75	教養	総記	コンピュータ/システム/ソフトウェア	9784844380016	Ｅｘｃｅｌ ２０１６基本マスターブック		小舘由典：インプレス（２０１４）	できるポケット	インプレス	201602	780	842
76	教養	総記	コンピュータ/プログラミング	9784877838355	Ｅｘｃｅｌ ＶＢＡワークブック：ステップ３０		岩田安雄	情報演習	カットシステム	201702	900	972
77	教養	総記	コンピュータ/システム/ソフトウェア	9784062579995	Ｅｘｃｅｌ「超」効率化マニュアル：カラー図解		立山秀利	ブルーバックス	講談社	201701	1,000	1,080
78	教養	総記	コンピュータ/システム/ソフトウェア	9784774182445	Ｅｘｃｅｌのムカムカ！が一瞬でなくなる使い方：表計算・資料作成のストレスを最小限に！		四禮静子		技術評論社	201608	1,480	1,598
79	教養	総記	コンピュータ/システム/ソフトウェア	9784054064102	Ｅｘｃｅｌの困った！をさくっと解決するレシピ		コスモメディ：国本温子	学研ＷＯＭＡＮ	学研プラス	201604	1,200	1,296
80	教養	総記	コンピュータ/システム/ソフトウェア	9784774180335	Ｅｘｃｅｌ全関数事典：Ｅｘｃｅｌ ２０１６／２０１３／２０１０／２００７		技術評論社：Ａｙｕｒａ	今すぐ使えるかんたんｍｉｎｉ	技術評論社	201605	1,380	1,490
81	教養	英語	近世英語	9784770041470	ｅリーディング英語学習法：アマゾン、グーグルから電子デバイスまで		遠田和子：岩淵デボラ		講談社	201103	1,400	1,512
82	教養	商業	マーケティング	9784800710826	Ｆａｃｅｂｏｏｋで集客・売上をアップする方法		田代政貴		ソーテック社	201412	1,480	1,598
83	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784532198343	Ｈｏｗ Ｇｏｏｇｌｅ Ｗｏｒｋｓ：私たちの働き方とマネジメント		エリック・シュミット：ジョナサン・ローゼンバーグ	日経ビジネス人文庫	日本経済新聞出版社	201709	900	972
84	教養	電気工学．電子工学	データ通信	9784774156323	ＨＴＭＬ ＆ ＣＳＳ逆引き大事典：ＨＴＭＬ５ ＣＳＳ３対応		境祐司	今すぐ使えるかんたんＰＬＵＳ	技術評論社	201306	1,380	1,490
85	教養	社会	文化/文化社会学	9784878934926	Ｉｎｔｒｏｄｕｃｉｎｇカルチュラル・スタディーズ		ジアウッディン・サーダー：ボリン・ヴァン・ルーン		作品社	200209	1,400	1,512
86	教養	電気工学．電子工学	通信方式	9784526077173	ＩｏＴで変わるのは製造業だけじゃない：農業・医療・金融・サービス・教育分野で生まれる新ビ		吉川良三：日韓ＩＴ経営協会		日刊工業新聞社	201705	1,400	1,512
87	教養	電気工学．電子工学	データ通信	9784040820583	ＩｏＴとは何か：技術革新から社会革新へ		坂村健	角川新書	ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201603	800	864
88	教養	電気工学．電子工学	データ通信	9784532113445	ＩｏＴまるわかり		三菱総合研究所	日経文庫	日本経済新聞出版社	201509	860	928
89	教養	電気工学．電子工学	データ通信	9784532320676	ＩｏＴ入門：ビジュアル解説		三菱総合研究所		日本経済新聞出版社	201607	1,300	1,404
90	教養	英語	近世英語	9784822262747	ＩＴエンジニアのゼロから始める英語勉強法：英語落ちこぼれでもペラペラになれる！		牛尾剛【著】		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201303	1,400	1,512
91	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784140911877	ＩＴが守る、ＩＴを守る：天災・人災と情報技術		坂井修一	ＮＨＫブックス	ＮＨＫ出版	201202	1,000	1,080
92	教養	電気工学．電子工学	データ通信	9784799316429	ＩＴ社会事件簿		矢野直明	ディスカヴァー携書	ディスカヴァー・トゥエンティワン	201502	1,100	1,188
93	教養	運輸．交通	旅行斡旋業	9784478083475	ＪＡＬパック「いい旅、あたらしい旅。」の創造者たち		ジャルパック		ダイヤモンド・ビジネス企画(発売：ダイヤモンド社)	201401	1,500	1,620
94	教養	経済	企業集中/独占	9784885554643	Ｍ＆Ａの「新」潮流		山本貴之	エネルギーフォーラム新書	エネルギーフォーラム	201601	900	972
95	教養	経済	企業集中/独占	9784833450713	Ｍ＆Ａを成功に導くＰＭＩ：事例に学ぶ経営統合のマネジメント		三宅卓		プレジデント社	201506	1,500	1,620
96	教養	総記	データ処理/情報処理	9784839961428	Ｍａｃはじめよう：ＭａｃＢｏｏｋ Ｐｒｏ ＆ Ａｉｒ、ｉＭａｃ対応		Ｍａｃビギナーズ研究会		マイナビ出版	201611	1,380	1,490
97	教養	総記	データ処理/情報処理	9784839965020	Ｍａｃはじめよう：ｍａｃＯＳ Ｈｉｇｈ Ｓｉｅｒｒａ対応版		Ｍａｃビギナーズ研究会		マイナビ出版	201711	1,400	1,512
98	教養	商業	マーケティング	9784798150925	ＭａｒｋｅＺｉｎｅマーケティング最前線２０１７		ＭａｒｋｅＺｉｎｅ編集部		翔泳社	201702	1,500	1,620
99	教養	経済	経営学	9784492046067	ＭＢＡ１００の基本		グロービス：嶋田毅		東洋経済新報社	201701	1,500	1,620
100	教養	経済	合理化/生産性	9784492046203	ＭＢＡ生産性をあげる１００の基本		グロービス：嶋田毅		東洋経済新報社	201712	1,500	1,620
101	教養	総記	コンピュータ/システム/ソフトウェア	9784798045436	Ｍｉｃｒｏｓｏｆｔ Ｗｉｎｄｏｗｓ １０ユーザー・ハンドブック：知りたいことがすぐわかる！		金城俊哉	Ｕｓｅｒ ｈａｎｄｂｏｏｋ	秀和システム	201603	1,000	1,080

102	教養	通信事業	放送史	9784434199394	ＮＨＫが日本をダメにした：もはや情報源としての信頼を失った「公共放送」の実態		武田邦彦	詩想社新書	詩想社(発売：星雲社)	201412	900	972
103	教養	通信事業	放送史	9784006032739	ＮＨＫと政治権力：番組改変事件当事者の証言		永田浩三	岩波現代文庫	岩波書店	201408	1,240	1,339
104	教養	通信事業	放送史	9784492223666	ＮＨＫはなぜ、反知性主義に乗っ取られたのか：法・ルール・規範なきガバナンスに支配される日本		上村達男		東洋経済新報社	201510	1,500	1,620
105	教養	通信事業	放送史	9784584123591	ＮＨＫ独り勝ちの功罪		小田桐誠	ベスト新書	ベストセラーズ	201201	800	864
106	教養	経済	公益企業	9784794450623	ＮＰＯを考える	第２版	伊佐淳	創成社新書	創成社	201609	800	864
107	教養	スペイン語	スペイン語	9784255006321	Ｎｕｅｖｏｓ ｅｎｆｏｑｕｅｓ ｅｎ ｌａ ｅｎｓｅｎａｎｚａ ｄｅｌ ｅｓｐａ：ｃｏｎｃｈａ ｍｏｒｅｎｏ ｙ ＧＩＤＥ		スペイン語教育研究会		朝日出版社	201202	1,000	1,080
108	教養	商業	マーケティング	9784582857092	Ｏ２Ｏ、ビッグデータでお客を呼び込め！：ネットとリアル店舗連携の最前線		松浦由美子	平凡社新書	平凡社	201401	760	820
109	教養	総記	コンピュータ/システム/ソフトウェア	9784896412499	Ｏｆｆｉｃｅ２０１３／２０１６によるコンピューター活用入門		坂本正徳：近藤良彦		ムイスリ出版	201603	1,500	1,620
110	教養	総記	コンピュータ/システム/ソフトウェア	9784774181707	ＯｎｅＮｏｔｅ ２０１６／２０１３スマートガイド：ゼロからはじめる		技術評論社：マイカ		技術評論社	201608	980	1,058
111	教養	総記	コンピュータ/システム/ソフトウェア	9784844380337	ＯｎｅＮｏｔｅ ２０１６／２０１３基本マスターブック：Ｗｉｎｄｏｗｓ／ｉＰｈｏｎｅ＆ｉＰａｄ／Ａｎｄｒｏ		インサイトイメージ：インプレス（２０１４）	できるポケット	インプレス	201604	1,000	1,080
112	教養	総記	コンピュータ/システム/ソフトウェア	9784899774587	Ｐａｒａｌｌｅｌｓ Ｄｅｓｋｔｏｐ １２ ｆｏｒ Ｍａｃスタートアップガイド		向井領治		ラトルズ	201701	1,389	1,500
113	教養	図書．書誌学	編集/編纂	9784844329251	ＰＤＦ快適活用術：ｉＰｈｏｎｅ＆ｉＰａｄ＆スキャナーで資料や電子書籍		ｋｅｉ＿１：石塚裕昭	できるポケット＋	インプレスジャパン(発売：インプレス)	201009	950	1,026
114	教養	図書．書誌学	編集/編纂	9784798040288	ＰＤＦ完全使いこなしハンドブック：ＳｃａｎＳｎａｐ対応版２時間早く片付く！		桑名由美		秀和システム	201312	980	1,058
115	教養	絵画．書道	グラフィックデザイン/図案	9784887523937	ＰＨＩＬＩＰＰＥ ＡＰＥＬＯＩＧ		ＤＮＰ文化振興財団：フィリップ・アペロワ	ｇｇｇ Ｂｏｏｋｓ 世界のグラフィックデザイン １２２	ＤＮＰ文化振興財団(発売：ＤＮＰアートコミュニ)	201708	1,165	1,258
116	教養	総記	コンピュータ/プログラミング	9784877838317	Ｐｈｏｔｏｓｈｏｐ ＣＳ６ワークブック：ステップ３０		海川メウ	情報演習	カットシステム	201610	1,000	1,080
117	教養	総記	コンピュータ/システム/ソフトウェア	9784844380047	ＰｏｗｅｒＰｏｉｎｔ ２０１６基本マスターブック		井上香緒里：インプレス（２０１４）	できるポケット	インプレス	201602	880	950
118	教養	経済	企業集中/独占	9784862805140	Ｑ＆Ａでよくわかる中小企業のためのＭ＆Ａの教科書		篠田康人		総合法令出版	201608	1,500	1,620
119	教養	財政	租税政策/行政	9784754722975	Ｑ＆Ａと解説による新しい換価と納税の猶予制度の実務要点解説：改正された国税と地方税の猶予制度の留意点		黒坂昭一		大蔵財務協会	201601	1,111	1,199
120	教養	英語	英語	9784883592609	Ｒｅｆｌｅｃｔｉｏｎｓ ｏｎ ｔｈｅ Ｕｎｉｔｅｄ Ｓｔａｔｅｓ		ジョン・ネバラ：池田広子		青山社（相模原）	200710	1,143	1,234
121	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784822277628	ＳＡＰ：会社を、社会を、世界を変えるシンプル・イノベーター		日経ＢＰビジョナリー経営研究所【編】		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201412	1,500	1,620
122	教養	文学	小説/物語	9784434227196	ＳＦ小説論講義：ＳＦが現実に追い越されたって本当ですか？		青木敬士		江古田文学会(発売：星雲社)	201611	1,200	1,296
123	教養	電気工学．電子工学	データ通信	9784062579261	ＳＮＳって面白いの？：何が便利で、何が怖いのか		草野真一	ブルーバックス	講談社	201507	900	972
124	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784105064914	ＴＥＤトーク：世界最高のプレゼン術		ジェレミー・ドノバン：中西真雄美		新潮社	201307	1,200	1,296
125	教養	心理学	普通心理学/思考創造	9784023313026	ＴＥＤパワー：世界と自分を変えるアイデア		バトリック・ニュウエル		朝日新聞出版	201405	1,400	1,512
126	教養	英語	英語	9784947553553	ＴＨＥ ＬＩＴＴＬＥ ＢＯＯＫ ＯＦ ＴＲＡＶＥＬ		ロピン・Ｊ．オカノ		流通経済大学出版会	201202	600	648
127	教養	絵画．書道	ポスター	9784887522503	ＴＨＥ ＰＯＳＴＥＲＳ １９８３－２０１２：世界ポスタートリエンナーレトヤマ受賞作品		ＤＮＰ文化振興財団：富山県立近代美術館		ＤＮＰ文化振興財団(発売：ＤＮＰアートコミュニ)	201208	1,165	1,258
128	教養	英語	近世英語	9784789015745	ＴＯＥＩＣ ＴＥＳＴ ２０日で攻める！鉄板アイテム事典：Ｍｏｂｉｌｅ Ｓｔｕｄｙ		渋谷奈津子：ヒロ前田		ジャパンタイムズ	201408	950	1,026
129	教養	英語	近世英語	9784863921986	ＴＯＥＩＣ ＴＥＳＴ英単語・熟語ＴＡＲＧＥＴ ６００：解ければ絶対にスコアが上がる厳選問題１８０問		成重寿：ヴィッキー・グラス		ＪリサーチＪ出版	201409	1,000	1,080
130	教養	英語	近世英語	9784863921917	ＴＯＥＩＣ ＴＥＳＴ英単語・熟語ＴＡＲＧＥＴ ９００：解ければ絶対にスコアが上がる厳選問題２４０問		成重寿		ＪリサーチＪ出版	201406	1,200	1,296
131	教養	英語	近世英語	9784863921573	ＴＯＥＩＣ ＴＥＳＴ英単語スピードマスター	ＮＥＷ ＥＤＩＴ	成重寿		ＪリサーチＪ出版	201309	1,400	1,512
132	教養	英語	近世英語	9784863921344	ＴＯＥＩＣ ＴＥＳＴ英文法ＴＡＲＧＥＴ９００：本当にスコアが上がる厳選問題２４０問		森田鉄也		ＪリサーチＪ出版	201305	1,200	1,296
133	教養	英語	近世英語	9784860644024	ＴＯＥＩＣ ＴＥＳＴ最終チェックとウォーミングアップ：当日必携		石井辰哉	ＣＤ ｂｏｏｋ	ベレ出版	201407	1,500	1,620
134	教養	英語	近世英語	9784872174564	ＴＯＥＩＣ ＴＥＳＴ対策中学英文法総仕上げ		アスク出版：小林悦子		アスク出版	200211	1,200	1,296
135	教養	英語	近世英語	9784863922006	ＴＯＥＩＣ ＴＥＳＴ長文読解ＴＡＲＧＥＴ ９００：解けば解くほどスコアが上がる厳選問題６８問		森田鉄也		ＪリサーチＪ出版	201501	1,300	1,404
136	教養	英語	近世英語	9784789015486	ＴＯＥＩＣ ＴＥＳＴ鉄板シーン攻略：Ｍｏｂｉｌｅ Ｓｔｕｄｙ．ボキャブラリー		西嶋愉一：長田いづみ		ジャパンタイムズ	201401	950	1,026
137	教養	英語	近世英語	9784789015455	ＴＯＥＩＣ ＴＥＳＴ鉄板シーン攻略：Ｍｏｂｉｌｅ Ｓｔｕｄｙ．リスニング		渋谷奈津子：ヒロ前田		ジャパンタイムズ	201401	950	1,026
138	教養	英語	近世英語	9784789015738	ＴＯＥＩＣ ＴＥＳＴ鉄板シーン攻略：Ｍｏｂｉｌｅ Ｓｔｕｄｙ．全パート集中！		岩重理香：ロス・タロック		ジャパンタイムズ	201408	980	1,058
139	教養	英語	近世英語	9784789015479	ＴＯＥＩＣ ＴＥＳＴ鉄板シーン攻略：Ｍｏｂｉｌｅ Ｓｔｕｄｙ．読解		岩重理香：ロス・タロック		ジャパンタイムズ	201401	950	1,026
140	教養	英語	近世英語	9784789015462	ＴＯＥＩＣ ＴＥＳＴ鉄板シーン攻略：Ｍｏｂｉｌｅ Ｓｔｕｄｙ．文法・語彙		横本勝也：ヒロ前田		ジャパンタイムズ	201401	950	1,026
141	教養	英語	近世英語	9784862803689	ＴＯＥＩＣ３００点でも世界で戦える英語術		安達洋		総合法令出版	201308	1,300	1,404
142	教養	英語	近世英語	9784863921320	ＴＯＥＩＣＴＥＳＴ英文法ＴＡＲＧＥＴ６００：本当にスコアが上がる厳選問題１６０問		森田鉄也		ＪリサーチＪ出版	201304	1,000	1,080
143	教養	英語	近世英語	9784062178747	ＴＯＥＩＣテスト３００点から９９０点へ、「７つの壁」を突破するブレイクスルー英語		清涼院流水		講談社	201501	1,300	1,404
144	教養	英語	近世英語	9784757424500	ＴＯＥＩＣテストＰａｒｔ ３ ＆ ４鬼の変速リスニング		テッド寺倉【著】：和泉有香（Ｊｏｙ）【著】	ＴＴＴスーパー講師シリーズ	アルク	201407	933	1,007
145	教養	英語	近世英語	9784757424517	ＴＯＥＩＣテストＰａｒｔ ５文法をこれ以上無理やっちゅうほどやさしく教える本		天満嗣雄【著】：アルク	ＴＴＴスーパー講師シリーズ	アルク	201407	933	1,007
146	教養	英語	近世英語	9784523251613	ＴＯＥＩＣテスト攻略トントンメソッド：英語の師匠オーガ＆セインＰｒｅｓｅｎｔ．金メダルコース		大賀リエ：ディビッド・セイン		南雲堂	201409	1,000	1,080
147	教養	英語	近世英語	9784523251606	ＴＯＥＩＣテスト攻略トントンメソッド：英語の師匠オーガ＆セインＰｒｅｓｅｎｔ．銀メダルコース		大賀リエ：ディビッド・セイン		南雲堂	201409	1,000	1,080
148	教養	英語	近世英語	9784523251583	ＴＯＥＩＣテスト攻略トントンメソッド：英語の師匠オーガ＆セインＰｒｅｓｅｎｔ．銅メダルコース Ｂｏｏｋ１		大賀リエ：ディビッド・セイン		南雲堂	201409	1,000	1,080
149	教養	英語	近世英語	9784523251590	ＴＯＥＩＣテスト攻略トントンメソッド：英語の師匠オーガ＆セインＰｒｅｓｅｎｔ．銅メダルコース Ｂｏｏｋ２		大賀リエ：ディビッド・セイン		南雲堂	201409	1,000	1,080
150	教養	英語	近世英語	9784053039675	ＴＯＥＩＣテスト単語攻略でるだけ１０００		塚田幸光		学研教育出版(発売：学研プラス)	201308	920	993
151	教養	英語	近世英語	9784415402284	ＴＯＥＩＣテスト単語道場		ＷｉｔＨｏｕｓｅ	成美文庫	成美堂出版	201305	543	586
152	教養	英語	近世英語	9784415402291	ＴＯＥＩＣテスト文法道場		ＷｉｔＨｏｕｓｅ	成美文庫	成美堂出版	201305	524	565

153	教養	電気工学．電子工学	無線機器	9784819024174	ＵＨＦ帯ＲＦＩＤ移行作業への手引：９２０ＭＨｚ帯ＲＦＩＤ機器への速やかな移行に向けて		坂下仁	日工の知っておきたい小冊子シリーズ	日本工業出版	201301	952	1,028
154	教養	電気工学．電子工学	データ通信	9784881668856	Ｗｅｂサイト制作・運営に役立つ！ホームページ担当者が最初に覚える基本１００＋α：小さな会社個人事業主必携		服部洋二：田中充		ソーテック社	201307	1,480	1,598
155	教養	商業	マーケティング	9784798049007	Ｗｅｂマーケッターのための最新アルファベット略語辞典：マーケティング会議のモヤモヤがこれでスッキリします		Ｗｅｂマーケティング支援会議：サブリ（２０１５）		秀和システム	201701	1,380	1,490
156	教養	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784777516353	ＷｉＭＡＸ Ｗｉ－Ｆｉ無線ネットワーク：「インターネット」も「家庭内ＬＡＮ」も無線になる！		Ｉ／Ｏ編集部	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201110	1,500	1,620
157	教養	総記	コンピュータ/システム/ソフトウェア	9784774180847	Ｗｉｎｄｏｗｓ １０で困ったときの解決＆便利技：Ｗｉｎｄｏｗｓ １０ Ｈｏｍｅ／Ｐｒｏ対応版		技術評論社：Ａｙｕｒａ	今すぐ使えるかんたんｍｉｎｉ	技術評論社	201607	880	950
158	教養	総記	コンピュータ/システム/ソフトウェア	9784774183633	Ｗｉｎｄｏｗｓショートカットキー徹底活用技：Ｗｉｎｄｏｗｓ １０／８．１／７対応版		リンクアップ	今すぐ使えるかんたんｍｉｎｉ	技術評論社	201610	980	1,058
159	教養	経済	事務の機械化	9784774180441	Ｗｏｒｄ ＆ Ｅｘｃｅｌ ２０１６基本技		技術評論社：Ａｙｕｒａ	今すぐ使えるかんたんｍｉｎｉ	技術評論社	201605	1,280	1,382
160	教養	経済	事務の機械化	9784774186504	Ｗｏｒｄ プロ技 ＢＥＳＴセレクション：Ｗｏｒｄ ２０１６／２０１３／２０１０対応版		森野沙織：クイープロダクション	今すぐ使えるかんたんＥｘ	技術評論社	201701	1,480	1,598
161	教養	経済	事務の機械化	9784774182438	Ｗｏｒｄのムカムカ！が一瞬でなくなる使い方：文章・資料作成のストレスを最小限に！		四禮静子		技術評論社	201608	1,480	1,598
162	教養	経済	事務の機械化	9784774172989	Ｗｏｒｄプロ技セレクション：決定版 Ｗｏｒｄ ２０１３／２０１０対応版		鈴木光勇	今すぐ使えるかんたんＥｘ	技術評論社	201504	1,280	1,382
163	教養	経済	経営管理	9784534045782	アイデア・スイッチ：次々と発想を生み出す装置		石井力重		日本実業出版社	200907	1,300	1,404
164	教養	商業	商業美術/写真	9784763133847	アイデアが生まれる、一歩手前のだいじな話		森本千絵		サンマーク出版	201504	1,500	1,620
165	教養	経済	経営管理	9784478026403	アイデアにセンスはいらない		梶浮		ダイヤモンド社	201402	1,400	1,512
166	教養	商業	商業美術/写真	9784022617897	アイデアの接着剤		水野学	朝日文庫	朝日新聞出版	201404	600	648
167	教養	商業	商業美術/写真	9784023310636	アウトプットのスイッチ		水野学		朝日新聞出版	201204	1,400	1,512
168	教養	電気工学．電子工学	データ通信	9784480431837	アーキテクチャの生態系：情報環境はいかに設計されてきたか		濱野智史	ちくま文庫	筑摩書房	201507	820	885
169	教養	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784062578738	アクチュエータ工学入門：「動き」と「力」を生み出す驚異のメカニズム		鈴森康一	ブルーバックス	講談社	201407	980	1,058
170	教養	英語	英語	9784523174240	アクティブコミュニケーション		クリストファー・ブルスミス		南雲堂	200304	1,300	1,404
171	教養	社会	コミュニケーション理論	9784022630315	アサーションの心：自分も相手も大切にするコミュニケーション		平木典子	朝日選書	朝日新聞出版	201504	1,000	1,080
172	教養	商業	卸売市場	9784062209441	アースダイバー東京の聖地		中沢新一		講談社	201712	1,500	1,620
173	教養	芸術．美術	近世江戸時代	9784480096616	あそぶ神仏：江戸の宗教美術とアニミズム		辻惟雄	ちくま学芸文庫	筑摩書房	201504	1,200	1,296
174	教養	芸術．美術	芸術教育研究法	9784845915712	アーティストの目		ビーター・ジェニー：石田友里	ＨＯＷ ＴＯ ＳＥＥシリーズ	フィルムアート社	201507	1,100	1,188
175	教養	芸術．美術	論文集/評論集	9784625684067	アーティスト症候群：アートと職人、クリエイターと芸能人		大野左紀子		明治書院	200802	1,500	1,620
176	教養	商業	商業美術/写真	9784334039943	アート×テクノロジーの時代：社会を変革するクリエイティブ・ビジネス		宮津大輔	光文社新書	光文社	201706	920	993
177	教養	演劇．映画	漫画映画	9784893936448	アート・アニメーションって何？：アート・アニメーションのちいさな学校三年間の記録		ＣｏｍｉｃＢｏｘ編集部	ラピュタ新書	ふゅ～じょんぶろだくと	201003	850	918
178	教養	商業	商業美術/写真	9784766121230	アド・ポーイ：アメリカンヴィンテージ広告キャラクター大全		ウォレン・ドッツ：マスド・フサイン		グラフィック社	201007	1,500	1,620
179	教養	英語	近世英語	9784523265627	アドラー流英語で幸せになる勇気		小池直己		南雲堂	201709	1,500	1,620
180	教養	通信事業	経営/業務	9784620322056	アナウンサーの日本語論		松平定知		毎日新聞出版	201305	1,500	1,620
181	教養	文学	文学	9784005005918	アニメが世界をつなぐ		鈴木伸一	岩波ジュニア新書	岩波書店	200803	780	842
182	教養	演劇．映画	漫画映画	9784847060960	アニメが地方を救う！？：「聖地巡礼」の経済効果を考える		酒井亨	ワニブックス（ｐｌｕｓ）新書	ワニ・プラス(発売：ワニブックス)	201606	880	950
183	教養	演劇．映画	漫画映画	9784582852912	アニメーション学入門		津堅信之	平凡社新書	平凡社	200509	860	928
184	教養	演劇．映画	漫画映画	9784582858365	アニメーション学入門	新版	津堅信之	平凡社新書	平凡社	201702	860	928
185	教養	演劇．映画	漫画映画	9784634640542	アニメで読む世界史		藤川隆男		山川出版社（千代田区）	201109	1,500	1,620
186	教養	演劇．映画	漫画映画	9784634640740	アニメで読む世界史．２		藤川隆男：後藤敦史		山川出版社（千代田区）	201501	1,500	1,620
187	教養	演劇．映画	漫画映画	9784865650358	アニメに学ぶ心理学：『千と千尋の神隠し』を読む		愛甲修子	言視ＢＯＯＫＳ	言視舎	201510	1,200	1,296
188	教養	演劇．映画	漫画映画	9784061386051	アニメを３Ｄに！		松浦裕暁	星海社新書	星海社(発売：講談社)	201611	880	950
189	教養	演劇．映画	漫画映画	9784061385498	アニメを仕事に！：トリガー流アニメ制作進行読本		舛本和也	星海社新書	星海社(発売：講談社)	201405	820	885
190	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784822277925	あの夏、サバ缶はなぜ売れたのか？：仮説を行動、成果につなげるビジネスビッグデータ分析		大木真吾【著】：日経ビッグデータ編集部		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201409	1,500	1,620
191	教養	経済	経営者/企業と社会	9784434214325	あの企業のお家騒動：実例に学ぶ経営戦略		長谷川裕雅		リベラル社(発売：星雲社)	201512	1,300	1,404
192	教養	商業	販売経路/商品流通機構	9784140884959	アマゾンと物流大戦争		角井亮一	ＮＨＫ出版新書	ＮＨＫ出版	201609	740	799
193	教養	商業	マーケティング	9784798139616	アマゾンにも負けない、本当に強い会社が続けていること。		権成俊		翔泳社	201501	1,500	1,620
194	教養	文学	文学理論/作法	9784003270950	アメリカ講義：新たな千年紀のための六つのメモ		イタロ・カルヴィーノ：米川良夫	岩波文庫	岩波書店	201104	840	907
195	教養	英語	英語	9784864292917	アメリカ合衆国の連邦休日を英語で学ぼう		Ｍ．スコット・ブルックス：伊藤孝治	語学シリーズ	大学教育出版	201410	1,500	1,620
196	教養	絵画．書道	イラストレーション	9784498048041	ある日、ワタルさんはエイズになった。		岩田健太郎：土井由紀子		中外医学社	201109	1,200	1,296
197	教養	電気工学．電子工学	アンテナ	9784062578714	アンテナの仕組み：なぜ地デジは魚の骨形でＢＳは皿形なのか		小暮裕明：小暮芳江	ブルーバックス	講談社	201406	860	928
198	教養	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784166610570	アンドロイドは人間になれるか		石黒浩	文春新書	文藝春秋	201512	730	788
199	教養	総記	情報理論	9784309247953	アンドロイドレディのキスは甘いのか		黒川伊保子		河出書房新社	201702	1,200	1,296
200	教養	絵画．書道	絵画史	9784902736434	いかに戦争は描かれたか		大谷省吾：林洋子	ＢａｎｋＡＲＴ ｓｃｈｏｏｌ	ＢａｎｋＡＲＴ１９２９(発売：ツバメ出版流通)	201704	1,200	1,296
201	教養	英語	近世英語	9784532408022	いきなりスコアアップ！ＴＯＥＩＣテスト６００点英文法集中講義		戸根彩子		日本経済新聞出版社	201311	900	972
202	教養	英語	英語	9784327441104	イギリス英語は落とし穴だらけ		モリヤマスティーブ		研究社	201601	1,400	1,512
203	教養	絵画．書道	絵画史	9784087208887	いちまいの絵：生きているうちに見るべき名画		原田マハ	集英社新書	集英社	201706	900	972

204	教養	経済	経営政策/経営計画	9784891153090	イノベーションへの挑戦：ハンディを個性に変える思考法		柿沼博彦		中西出版	201504	1,200	1,296
205	教養	芸術．美術	論文集/評論集	9784480095039	イメージ：視覚とメディア		ジョン・バージャー：伊藤俊治	ちくま学芸文庫	筑摩書房	201301	1,300	1,404
206	教養	運輸．交通	ホテル/旅館	9784062919388	イン：イギリスの宿屋のはなし		臼田昭	講談社学術文庫	講談社	200902	960	1,036
207	教養	南アメリカ史	ペルー	9784904345306	インカ遺跡巡礼		義井豊		ＴＢＳサービス	201205	1,500	1,620
208	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784407325713	インターネット社会を生きるための情報倫理：情報ｂｏｏｋｓｐｌｕｓ！．２０１２		情報教育学研究会		実教出版	201202	400	432
209	教養	運輸．交通	観光事業史	9784788715325	インバウンドの罠：脱「観光消費」の時代		姫田小夏		時事通信出版局(発売：時事通信社)	201708	1,500	1,620
210	教養	英語	英語	9784327451875	インパクトのある英語：人を動かす英語表現とその習得法		浅田浩志		研究社	200503	1,500	1,620
211	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784140912072	ウェブ社会のゆくえ：〈多孔化〉した現実のなかで		鈴木謙介	ＮＨＫブックス	ＮＨＫ出版	201308	1,000	1,080
212	教養	英語	近世英語	9784062178495	ウォール・ストリート・ジャーナルを読んでＴＯＥＩＣテストでぐんぐん得点アップする		中村澄子		講談社	201211	1,500	1,620
213	教養	社会	コミュニケーション理論	9784121022639	うわさとは何か：ネットで変容する「最も古いメディア」		松田美佐	中公新書	中央公論新社	201404	840	907
214	教養	文学	小説/物語	9784003271810	ウンベルト・エーコ小説の森散策		ウンベルト・エーコ：和田忠彦	岩波文庫	岩波書店	201302	840	907
215	教養	図書館．図書館学	読書調査/青少年読書	9784167909468	えほんのせかいこどものせかい		松岡享子	文春文庫	文藝春秋	201710	680	734
216	教養	芸術．美術	論文集/評論集	9784022736512	エロスと「わいせつ」のあいだ：表現と規制の戦後攻防史		園田寿：憲宏士	朝日新書	朝日新聞出版	201602	780	842
217	教養	演劇．映画	演劇	9784434211423	エンタテインメント・ゲーム・アニメ・マンガ・声優の仕事につくには．２０１６年度用		さんぽう	つくにはｂｏｏｋｓ	さんぽう(発売：星雲社)	201509	287	309
218	教養	演劇．映画	漫画映画	9784120047930	エンピツ戦記：誰も知らなかったスタジオジブリ		舘野仁美：平林享子		中央公論新社	201511	1,400	1,512
219	教養	絵画．書道	イラストレーション	9784486037842	おじいちゃんの絵ヴィート：８５歳の人生シーン「昭和が見える」１０８話		長尾みのる		東海教育研究所(発売：東海大学出版部)	201407	1,500	1,620
220	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784022737427	おそろしいビッグデータ：超類型化ＡＩ社会のリスク		山本龍彦	朝日新書	朝日新聞出版	201711	720	777
221	教養	演劇．映画	漫画映画	9784480430618	オタク・イン・ＵＳＡ：愛と誤解のＡｎｉｍｅ輸入史		パトリック・マシアス：町山智浩	ちくま文庫	筑摩書房	201307	780	842
222	教養	絵画．書道	イラストレーション	9784883522354	おとなのための絵本の世界：子どもとの出会いを求めて	新版	前島康男		創風社	201609	1,500	1,620
223	教養	英語	英語	9784791768257	おとなの英語力：話せる人は知っている英語の意外な原理		宮永国子		青土社	201411	1,500	1,620
224	教養	電気工学．電子工学	データ通信	9784893623287	オープンＩｏＴ：考え方と実践		坂村健		パーソナルメディア	201701	1,500	1,620
225	教養	商業	販売経路/商品流通機構	9784532113438	オムニチャネル戦略		角井亮一	日経文庫	日本経済新聞出版社	201510	900	972
226	教養	スペイン語	スペイン語	9784875682486	カタカナスペイン語		村田孝四郎	ＧＳブックス	語学春秋社	199205	951	1,027
227	教養	総記	データ処理/情報処理	9784794223104	カッコウはコンピュータに卵を産む．下巻		クリフォード・ストール：池央耿	草思社文庫	草思社	201712	900	972
228	教養	総記	データ処理/情報処理	9784794223098	カッコウはコンピュータに卵を産む．上巻		クリフォード・ストール：池央耿	草思社文庫	草思社	201712	900	972
229	教養	総記	コンピュータ/プログラミング	9784065020128	カラー図解Ｊａｖａで始めるプログラミング：知識ゼロからの定番言語「超」入門		高橋麻奈	ブルーバックス	講談社	201704	1,000	1,080
230	教養	地理．地誌．紀行	写真集/紀行	9784121024442	カラー版最後の辺境：極北の森林、アフリカの氷河		水越武	中公新書	中央公論新社	201707	1,050	1,134
231	教養	経済	経営学	9784532113582	カリスマ経営者の名著を読む		高野研一	日経文庫	日本経済新聞出版社	201606	1,000	1,080
232	教養	通信事業	報道番組	9784532280208	カンブリア宮殿村上龍の質問術		村上龍	日経文芸文庫	日本経済新聞出版社	201310	650	702
233	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784309415888	ギャグ・マンガのヒミツなのだ！		赤塚不二夫	河出文庫	河出書房新社	201801	780	842
234	教養	通信事業	経営/業務	9784004316367	キャスターという仕事		国谷裕子	岩波新書	岩波書店	201701	840	907
235	教養	商業	商業美術/写真	9784140884263	キャラクター・パワー：ゆるキャラから国家ブランディングまで		青木貞茂	ＮＨＫ出版新書	ＮＨＫ出版	201402	780	842
236	教養	演劇．映画	漫才漫談	9784778312985	キャラクターが好きすぎて生きるのが辛い。		松崎克俊		太田出版	201203	1,200	1,296
237	教養	文学	小説/物語	9784775313589	キャラクターの作り方：創作トレーニング		野村カイリ		新紀元社	201508	1,500	1,620
238	教養	商業	商業美術/写真	9784048700047	キャラクターメーカー：６つの理論とワークショップで学ぶ「つくり方」		大塚英志	アスキー新書	アスキー・メディアワークス(発売：ＫＡＤＯＫＡＷＡ)	200804	743	802
239	教養	商業	商業美術/写真	9784061385481	キャラクターメーカー：６つの理論とワークショップで学ぶ「つくり方」		大塚英志	星海社新書	星海社(発売：講談社)	201402	840	907
240	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784480065919	キュレーションの時代：「つながり」の情報革命が始まる		佐々木俊尚	ちくま新書	筑摩書房	201102	900	972
241	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784837305378	キラとマリアの背景が描きたい！：マンガでわかる．部屋・家具・建物編		木寺良一		マール社	201206	1,500	1,620
242	教養	総記	データ処理/情報処理	9784822292171	キーワードで学ぶ最新情報トピックス．２０１６		佐藤義弘：辰己丈夫		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201601	1,200	1,296
243	教養	総記	データ処理/情報処理	9784822292218	キーワードで学ぶ最新情報トピックス．２０１７		佐藤義弘：辰己丈夫		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201701	1,200	1,296
244	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784167651879	グーグル秘録		ケン・オーレッタ：土方奈美	文春文庫	文藝春秋	201309	1,120	1,209
245	教養	演劇．映画	漫画映画	9784594610876	クリアニメと呼ばれて１０年：『秘密結社鷹の爪』１０年史			Ｆｕｓｏｓｈａｍｏｏｋ	扶桑社	201607	1,400	1,512
246	教養	文学	小説/物語	9784794925787	クライム・クラブへようこそ	新装版	植草甚一【著】	植草甚一スクラップ・ブック	晶文社	200505	1,400	1,512
247	教養	総記	情報理論	9784022735157	クラウドからＡＩへ：アップル、グーグル、フェイスブックの次なる主戦場		小林雅一	朝日新書	朝日新聞出版	201307	780	842
248	教養	絵画．書道	グラフィックデザイン/図案	9784582831511	グラフィック・デザイナーの仕事		祖父江慎：平林享子	太陽レクチャー・ブック	平凡社	200307	1,500	1,620
249	教養	絵画．書道	グラフィックデザイン/図案	9784416114377	グラフィック文化を築いた１３人：『アイデア』デザイナーインタビュー選集		アイデア編集部		誠文堂新光社	201402	1,400	1,512
250	教養	図書．書誌学	著作権/著作権法	9784844337973	クリエイターが知っておくべき権利や法律を教わってきました。：クリエイター必読！		鷹野凌：福井健策		インプレス	201504	1,200	1,296
251	教養	芸術．美術	論文集/評論集	9784772660754	クリエイティブ「アーツ」コア：隠された領域を拓く		大倉富美雄		合同フォレスト(発売：合同出版)	201610	1,400	1,512
252	教養	演劇．映画	映画史	9784331520284	クリエイティブな仕事はどこにある？：公園対談		是枝裕和：樋口景一		廣済堂出版	201606	1,500	1,620
253	教養	運輸．交通	観光事業	9784903269245	グリーンツーリズム論ノート		向山秀昭		国際観光サービスセンター	200905	800	864
254	教養	商業	マーケティング	9784822250782	グロースハッカー：会社もサービスも劇的に成長させるものの売り方、つく	第２版	ライアン・ホリデイ：佐藤由紀子		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201502	1,400	1,512

255	教養	財政	間接税/物品税	9784754722746	クロスボーダー取引に係る消費税の実務と留意点		清田正義		大蔵財務協会	201511	1,389	1,500
256	教養	経済	経営管理	9784860694883	グローバル化時代の企業経営と人材育成		就実大学	就実大学グローカルブック	吉備人出版	201612	1,000	1,080
257	教養	経済	経営管理	9784492045398	グロービス流ビジネス基礎力１０：２７歳からのＭＢＡ		グロービス経営大学院【編]：田久保善彦【監修】		東洋経済新報社	201408	1,500	1,620
258	教養	経済	経営管理	9784492045695	グロービス流ビジネス勉強力：２７歳からのＭＢＡ		グロービス経営大学院：田久保善彦		東洋経済新報社	201505	1,500	1,620
259	教養	経済	経営管理	9784492045695	グロービス流ビジネス勉強力：２７歳からのＭＢＡ		グロービス経営大学院：田久保善彦		東洋経済新報社	201505	1,500	1,620
260	教養	経済	経営組織/管理組織	9784492045862	グロービス流リーダー基礎力１０：２７歳からのＭＢＡ		グロービス経営大学院：田久保善彦		東洋経済新報社	201511	1,500	1,620
261	教養	絵画．書道	イラストレーション	9784568503401	ぐんぐん上達する！コミックイラスト入門			激マンシリーズ コミカーズマンガ技法書	美術出版社	200802	1,500	1,620
262	教養	諸芸．娯楽	ゲーム	9784766424621	ゲームの面白さとは何だろうか		大森貴秀：原田隆史	慶應義塾大学三田哲学会叢書	慶應義塾大学三田哲学会(発売：慶応義塾大学出版会)	201709	700	756
263	教養	演劇．映画	映画史	9784106106774	ゴジラとエヴァンゲリオン		長山靖生	新潮新書	新潮社	201607	720	777
264	教養	演劇．映画	映画史	9784781612508	ゴジラとナウシカ：海の彼方より訪れしものたち		赤坂憲雄		イースト・プレス	201408	1,500	1,620
265	教養	経済	企業会計	9784798141497	コスト感覚がしっかり身につく「会社の数字」のきほん：決算書の読み方経営分析利益感覚コストダウン対策		石上芳男		翔泳社	201502	1,380	1,490
266	教養	経済	人事管理/労務管理	9784532113407	コーチング入門	第２版	本間正人：松瀬理保	日経文庫	日本経済新聞出版社	201508	860	928
267	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784309273280	コドバのあなた・マンガのわたし：萩尾望都対談集１９８０年代編		萩尾望都		河出書房新社	201205	1,400	1,512
268	教養	経済	人事管理/労務管理	9784862804808	この１冊でポイントがわかるダイバーシティの教科書		前川タカオ：猪俣直紀		総合法令出版	201512	1,500	1,620
269	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784492557068	コピーライター×マジシャンのプレゼンのアイデアノート５１		内田伸哉【著】		東洋経済新報社	201203	1,300	1,404
270	教養	経済	企業/経営	9784004315131	コーポレート・ガバナンス		花崎正晴	岩波新書	岩波書店	201411	740	799
271	教養	経済	企業/経営	9784532113391	コーポレートガバナンス・コード		堀江貞之	日経文庫	日本経済新聞出版社	201507	1,000	1,080
272	教養	経済	企業会計	9784532113681	コーポレートファイナンス入門	第２版	砂川伸幸	日経文庫	日本経済新聞出版社	201701	860	928
273	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784837302797	コミック場面集：描きたいシーンが写真でわかる！．１（街角）		マール社		マール社	199904	1,200	1,296
274	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784837302803	コミック場面集：描きたいシーンが写真でわかる！．２（部屋の中）		マール社		マール社	199904	1,200	1,296
275	教養	社会	コミュニケーション理論	9784407336276	コミュニケーション・スキルの学び：グローバル社会を生きるためのレッスン		木下直子：木山三佳		実教出版	201504	1,250	1,350
276	教養	社会	コミュニケーション理論	9784883851850	コミュニケーションスキル・トレーニング：書いて気づいて磨く		山田雅子		新水社	201604	1,380	1,490
277	教養	社会	コミュニケーション理論	9784780308105	コミュニケーション実践入門：コミュニケーション力に磨きをかける		中山芳一		かもがわ出版	201512	1,300	1,404
278	教養	社会	コミュニケーション理論	9784779510229	コミュニケーション練習帳		土倉玲子		ナカニシヤ出版	201602	1,200	1,296
279	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784569816739	ゴミ情報の海から宝石を見つけ出す：これからのソーシャルメディア航海術		津田大介	ＰＨＰビジネス新書	ＰＨＰ研究所	201402	840	907
280	教養	演劇．映画	漫画映画	9784063647815	これが「演出」なのだっ：天才アニメ監督のノウハウ		大地丙太郎	アフタヌーン新書	講談社	200908	848	915
281	教養	技術．工学	論文集/評論集	9784844397410	これからインターネットに起こる『不可避な１２の出来事』：今後の社会・ビジネスを破壊的に変える「新たなるデジ		ケヴィン・ケリー：服部桂	Ｅ－Ｂｏｏｋ／Ｐｒｉｎｔ Ｂｏｏｋ	インプレスＲ＆Ｄ(発売：インプレス)	201611	1,200	1,296
282	教養	経済	財務会計	9784405025455	これから始める人の経理入門		佐々木理恵		新星出版社	201501	1,200	1,296
283	教養	経済	経営政策/経営計画	9784798139562	これから伸びる人の必修科目「ビジネスモデル」のきほん		川上昌直：兵庫県立大学		翔泳社	201501	1,500	1,620
284	教養	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784798042411	これだけ！シーケンス制御		武永行正		秀和システム	201412	1,300	1,404
285	教養	電気工学．電子工学	電子回路	9784798042923	これだけ！電子回路		石川洋平		秀和システム	201504	1,400	1,512
286	教養	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784798042893	これだけ！電波と周波数		吉村和昭：倉持内武		秀和システム	201504	1,500	1,620
287	教養	総記	コンピュータ/システム/ソフトウェア	9784886476333	これでわかるＥｘｃｅｌ ２０１６		鈴木光勇	ＳＣＣ ｂｏｏｋｓ	エスシーシー	201703	1,200	1,296
288	教養	総記	コンピュータ/システム/ソフトウェア	9784886476340	これでわかるＰｏｗｅｒＰｏｉｎｔ ２０１６		鈴木光勇	ＳＣＣ ｂｏｏｋｓ	エスシーシー	201703	1,200	1,296
289	教養	経済	事務の機械化	9784886476326	これでわかるＷｏｒｄ ２０１６		鈴木光勇	ＳＣＣ ｂｏｏｋｓ	エスシーシー	201703	1,200	1,296
290	教養	経済	企業会計原則/財務諸表	9784502243417	これならわかる決算書キホン５０！．２０１８年版		木村直人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201708	980	1,058
291	教養	経済	経営管理	9784480689856	これを知らずに働けますか？：学生と考える、労働問題ソボクな疑問３０		竹信三恵子	ちくまプリマー新書	筑摩書房	201707	840	907
292	教養	演劇．映画	漫画映画	9784140884584	コンテンツの秘密：ぼくがジブリで考えたこと		川上量生	ＮＨＫ出版新書	ＮＨＫ出版	201504	820	885
293	教養	総記	情報理論	9784532176099	コンピュータが小説を書く日：ＡＩ作家に「賞」は取れるか		佐藤理史		日本経済新聞出版社	201611	1,500	1,620
294	教養	総記	情報理論	9784886472366	コンピュータ数学	新装版	エスシーシー	ＳＣＣ ｂｏｏｋｓ	エスシーシー	201502	1,300	1,404
295	教養	総記	データ処理/情報処理	9784320123984	コンピュテーショナル・シンキング		磯辺秀司：小泉英介		共立出版	201603	1,500	1,620
296	教養	経済	経営倫理	9784532113810	コンプライアンスの知識	第３版	二巖	日経文庫	日本経済新聞出版社	201710	1,000	1,080
297	教養	運輸．交通	観光事業	9784478083451	コンベンションビジネス：未来を拓くナレッジパワー		萩原誠司		ダイヤモンド・ビジネス企画(発売：ダイヤモンド社)	201312	1,500	1,620
298	教養	総記	情報理論	9784003394816	サイバネティックス：動物と機械における制御と通信		ノーバート・ウィーナー：池原止戈夫	岩波文庫	岩波書店	201106	1,080	1,166
299	教養	数学	確率論/数理統計学	9784753601226	サヴェジ・システム試論：統計的決定理論の公理化と期待効用の最大化		園信太郎		内田老鶴圃	201705	1,500	1,620
300	教養	経済	経営管理	9784883353682	サスティナブル・カンパニー：「ずーっと」栄える会社の事業構想		水尾順一	実践と応用シリーズ	宣伝会議	201608	1,500	1,620
301	教養	商業	販売経路/商品流通機構	9784759267778	サプライチェーンにおける人権への挑戦		反差別国際運動	ＩＭＡＤＲブックレット	反差別国際運動(発売：解放出版社)	201709	1,000	1,080
302	教養	経済	経営組織/管理組織	9784762828997	サポータージュ・マニュアル：課報活動が照らす組織経営の本質		アメリカ合衆国戦略課報局：越智啓太		北大路書房	201507	1,400	1,512
303	教養	経済	財閥史	9784163902012	サムスン・クライシス：内部から見た武器と弱点		張相秀：片山修		文藝春秋	201501	1,300	1,404
304	教養	経済	経営管理	9784861866432	サムライ・イノベーション：社会を変える起業家のための思考と資金戦略		安達巧：藤本健太		ふくろう出版	201503	1,400	1,512
305	教養	経済	経営管理	9784532261764	サラリーマンは、二度会社を辞める。		楠木新	日経プレミアシリーズ	日本経済新聞出版社	201211	850	918

306	教養	商業	マーケティング	9784140816998	シェア：(共有)からビジネスを生みだす新戦略	ペーパーバック版	レイチェル・ボッツマン：ルー・ロジャース		ＮＨＫ出版	201604	1,000	1,080
307	教養	文学	シナリオ/放送ドラマ	9784804801759	シナリオの基礎技術	新版	新井一		ダヴィッド社	198511	1,500	1,620
308	教養	文学	シナリオ/放送ドラマ	9784804801810	シナリオの技術：映画・テレビ		新井一		ダヴィッド社	198610	1,400	1,512
309	教養	文学	シナリオ/放送ドラマ	9784871002318	シナリオの書き方：映画・ＴＶ・コミックからゲームまでの創作実践講座		柏田道夫		映人社	201203	1,143	1,234
310	教養	演劇．映画	映画史	9784101202365	シネマの極道：映画プロデューサー一代		日下部五朗	新潮文庫	新潮社	201511	490	529
311	教養	演劇．映画	漫画映画	9784569767314	ジブリアニメで哲学する：世界の見方が変わるヒント		小川仁志	ＰＨＰ文庫	ＰＨＰ研究所	201707	640	691
312	教養	演劇．映画	漫画映画	9784041020777	ジブリの世界を創る		種田陽平	角川ｏｎｅテーマ２１	ＫＡＤＯＫＡＷＡ／角川書店	201407	800	864
313	教養	演劇．映画	漫画映画	9784106106743	ジブリの仲間たち		鈴木敏夫	新潮新書	新潮社	201606	840	907
314	教養	総記	情報理論	9784062577953	シャノンの情報理論入門：価値ある情報を高速に、正確に送る		高岡詠子	ブルーバックス	講談社	201212	800	864
315	教養	経済	経営管理	9784478023051	ジャパニーズ・スピリッツの開国力：だから、僕らはグローバル人材をめざす		竹井善昭：内田和成		ダイヤモンド社	201211	1,400	1,512
316	教養	電気工学．電子工学	電子工業	9784788910867	シャープ「液晶敗戦」の教訓：日本のものづくりはなぜ世界で勝てなくなったのか		中田行彦		実務教育出版	201502	1,500	1,620
317	教養	英語	近世英語	9784327490225	ジョンブルとアンクルサム：イギリス英語とアメリカ英語		野村恵造		研究社	201306	1,500	1,620
318	教養	アジア史．東洋史	ウイグル自治区	9784653040095	シルクロード発掘７０年：雲岡石窟からガンダーラまで		京都大学人文科学研究所		臨川書店	200810	1,500	1,620
319	教養	総記	情報理論	9784140816974	シンギュラリティは近い：人類が生命を超越するとき		レイ・カーツワイル：ＮＨＫ出版		ＮＨＫ出版	201604	1,500	1,620
320	教養	経済	経営管理	9784419062934	シンプルで読みやすいマイナンバー対応実務		山田＆パートナーズ		税務経理協会	201510	1,000	1,080
321	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784820748250	すぐできる！企画書の書き方・つくり方：相手を動かす企画書をつくる６つのステップ		博報堂	書くスキルＵＰ！	日本能率協会マネジメントセンター	201303	1,300	1,404
322	教養	演劇．映画	映画演出制作	9784862463791	スコセッシ流監督術		クリストファー・ケンワーシー：Ｂスプラウト		ボーンデジタル	201703	1,500	1,620
323	教養	図書．書誌学	編集/編纂	9784568240337	スゴ編。：カリスマ編集者から学ぶ７つの仕事力		編集者．ｊｐ	デザインビジネス選書	美術出版社	201005	1,500	1,620
324	教養	演劇．映画	漫画映画	9784781701462	スタジオジブリのひみつ	第４版	風見隼人：東京アニメ研究会		データハウス	201305	1,400	1,512
325	教養	経済	企業/経営	9784794425140	スタートアップ・ビジネス：起業のプランニングから起業後のマネジメントまで		石井宏宗		創成社	201710	1,200	1,296
326	教養	経済	企業/経営	9784478104477	スタートアップで働くということ：起業家ではなく参加者（ジョイナー）として会社を立ち		ジェフリー・バスギャング：田中保成		ダイヤモンド社	201712	1,500	1,620
327	教養	芸術．美術	論文集/評論集	9784480091314	スタンツェ：西洋文化における言葉とイメージ		ジョルジョ・アガンベン：岡田温司	ちくま学芸文庫	筑摩書房	200803	1,500	1,620
328	教養	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784485600207	スッキリ！がってん！無線通信の本		阪田史郎		電気書院	201512	1,200	1,296
329	教養	電気工学．電子工学	電子装置の応用	9784485600238	スッキリ！がってん！有機ＥＬの本		木村睦		電気書院	201703	1,200	1,296
330	教養	スペイン語	スペイン語	9784861930720	スパニッシュＱ		スパニッシュＱ製作委員会		アートン新社	200612	1,000	1,080
331	教養	経済	財務会計	9784532319526	スーパー経理部長が実践する５０の習慣		前田康二郎		日本経済新聞出版社	201411	1,500	1,620
332	教養	スペイン語	スペイン語	9784475034609	スペイン語．２		佐藤恵平		大学書林	199403	1,300	1,404
333	教養	スペイン語	スペイン語	9784046026422	スペイン語が面白いほど身につく本	カラー版	中山直次	語学・入門の入門シリーズ	ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201107	1,500	1,620
334	教養	スペイン語	スペイン語	9784810202441	スペイン語事始		浅香武和		同学社	201302	1,500	1,620
335	教養	スペイン語	スペイン語	9784471113049	スペイン語初歩の初歩：聴ける！読める！書ける！話せる！		イスバニカ：マリア・カスティジャノス		高橋書店	201404	1,200	1,296
336	教養	通信事業	スポーツ放送	9784004315704	スポーツアナウンサー：実況の真髄		山本浩	岩波新書	岩波書店	201510	740	799
337	教養	通信事業	放送事業テレビラジオ	9784798123646	スマートテレビで何が変わるか：グーグルがテレビを侵略する		山崎秀夫		翔泳社	201104	1,500	1,620
338	教養	イタリア語	イタリア語	9784384056921	スローライフのイタリア語		奥村千穂		三修社	201203	1,500	1,620
339	教養	絵画．書道	グラフィックデザイン/図案	9784887523838	セミトランスペアレント・デザイン		セミトランスペアレント・デザイン	ｇｇｇ Ｂｏｏｋｓ	ＤＮＰ文化振興財団(発売：ＤＮＰアートコミュニ)	201410	1,165	1,258
340	教養	技術．工学	論文集/評論集	9784582767094	ゼムクリップから技術の世界が見える：アイデアが形になるまで		ヘンリ・ペトロスキ：忠平美幸	平凡社ライブラリー	平凡社	201009	1,400	1,512
341	教養	スペイン語	スペイン語	9784415308203	ゼロから始める書き込み式スペイン語ＢＯＯＫ		平井孝史		成美堂出版	201010	1,000	1,080
342	教養	経済	経営管理	9784478020999	ゼロ秒思考：頭がよくなる世界一シンプルなトレーニング		赤羽雄二		ダイヤモンド社	201312	1,400	1,512
343	教養	英語	近世英語	9784863921597	ぜんぶ解ける！ ＴＯＥＩＣ ＴＥＳＴでる問題集．ｐａｒｔ ７		成重寿：ヴィッキー・グラス		Ｊリサーチ出版	201309	1,400	1,512
344	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784822227241	ソーシャルリスク：ビジネスで失敗しない３１のルール		小林直樹：日経デジタルマーケティング編集部		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201206	1,400	1,512
345	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784822273781	ソフトを他人に作らせる日本、自分で作る米国：「経営と技術」から見た近代化の諸問題		谷島宣之		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201312	1,500	1,620
346	教養	通信事業	放送事業テレビラジオ	9784002707976	それでもテレビは終わらない		今野勉：是枝裕和	岩波ブックレット	岩波書店	201011	560	604
347	教養	総記	情報理論	9784152096968	そろそろ、人工知能の真実を話そう		ジャン＝ガブリエル・ガナシア：伊藤直子		早川書房	201705	1,300	1,404
348	教養	商業	マーケティング	9784883353903	ダイバーシティとマーケティング		四元正弘：千羽ひとみ	実践と応用シリーズ	宣伝会議	201703	1,500	1,620
349	教養	絵画．書道	レタリング/モノグラフ	9784416616789	タイポさんぽ改：路上の文字観察		藤本健太郎		誠文堂新光社	201604	1,200	1,296
350	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784062177634	たかが英語！		三木谷浩史		講談社	201207	1,000	1,080
351	教養	文学	記録/手記	9784582831443	だから、僕は、書く。：佐野眞一の１０代のためのノンフィクション講座１（総		佐野眞一（ノンフィクション作家）		平凡社	200303	1,300	1,404
352	教養	経済	税務会計	9784754744427	タダではすまない！消費税ミス事例集．平成２９年版		熊王征秀		大蔵財務協会	201708	1,111	1,199
353	教養	社会	コミュニケーション理論	9784480689269	たったひとつの「真実」なんてない：メディアは何を伝えているのか？		森達也	ちくまプリマー新書	筑摩書房	201411	820	885
354	教養	財政	租税政策/行政	9784000226424	ダーティ・シークレット：タックス・ヘイブンが経済を破壊する		リチャード・マーフィー：鬼澤忍		岩波書店	201710	1,500	1,620
355	教養	絵画．書道	陰影法遠近法	9784759813340	だまし絵のトリック：不可能立体を可能にする		杉原厚吉	Ｄｏｊｉｎ選書	化学同人	201009	1,400	1,512
356	教養	経済	経営管理	9784820748052	ダンドリ上手になる技術：手帳・ふせん・クラウドを使う		村上崇：北真也		日本能率協会マネジメントセンター	201209	1,500	1,620

357	教養	絵画．書道	ポスター	9784861525940	チェコ ポーランド ハンガリーのポスター		中川可奈子：京都工芸繊維大学美術工芸資料館	京都工芸繊維大学美術工芸資料館デザインコレクション	青幻舎	201706	1,500	1,620
358	教養	経済	経営管理	9784820718703	チームのアイデアカ。：アイデアが出るチームになるための５つのステップ		博報堂		日本能率協会マネジメントセンター	201304	1,500	1,620
359	教養	経済	経営組織/管理組織	9784480068309	チームの力：構造構成主義による"新"組織論		西條剛央	ちくま新書	筑摩書房	201505	780	842
360	教養	総記	データ処理/情報処理	9784150504922	チューリングの大聖堂：コンピュータの創造とデジタル世界の到来．下		ジョージ・ダイソン：吉田三知世	ハヤカワ文庫	早川書房	201703	1,060	1,144
361	教養	総記	データ処理/情報処理	9784150504915	チューリングの大聖堂：コンピュータの創造とデジタル世界の到来．上		ジョージ・ダイソン：吉田三知世	ハヤカワ文庫	早川書房	201703	1,060	1,144
362	教養	運輸．交通	旅行斡旋業	9784582857283	ツアー事故はなぜ起こるのか：マス・ツーリズムの本質		吉田春生	平凡社新書	平凡社	201404	760	820
363	教養	運輸．交通	観光事業史	9784532319687	ディズニーがスタッフに最初に教えたこと		小松田勝		日本経済新聞出版社	201501	1,300	1,404
364	教養	運輸．交通	観光事業史	9784478022542	ディズニーこころをつかむ９つの秘密：９７％のリピーター率をうみ出すマーケティング		渡邉喜一郎		ダイヤモンド社＊	201305	1,500	1,620
365	教養	演劇．映画	漫画映画	9784106100444	ディズニーの魔法		有馬哲夫	新潮新書	新潮社	200311	700	756
366	教養	総記	情報理論	9784526077326	ディープラーニングがロボットを変える		尾形哲也		日刊工業新聞社	201707	1,500	1,620
367	教養	総記	コンピュータ/システム/ソフトウェア	9784844380771	できるＥｘｃｅｌ関数：データ処理の効率アップに役立つ本		尾崎裕子：インプレス（２０１４）		インプレス	201607	1,480	1,598
368	教養	総記	コンピュータ/システム/ソフトウェア	9784844380627	できるＯｕｔｌｏｏｋ ２０１６：Ｗｉｎｄｏｗｓ １０／８．１／７対応		山田祥平：インプレス（２０１４）		インプレス	201605	1,380	1,490
369	教養	総記	コンピュータ/システム/ソフトウェア	9784295002475	できるＷｉｎｄｏｗｓ１０：Ｈｏｍｅ／Ｐｒｏ／Ｅｎｔｅｒｐｒｉｓｅ／Ｓ対応	改訂３版	法林岳之：一ケ谷兼乃		インプレス	201710	1,000	1,080
370	教養	総記	コンピュータ/システム/ソフトウェア	9784295002482	できるＷｉｎｄｏｗｓ１０パーフェクトブック：困った！＆便利ワザ大全	改訂３版	広野忠敏：できるシリーズ編集部		インプレス	201710	1,480	1,598
371	教養	電気工学．電子工学	データ通信	9784295002017	できるＷｏｒｄＰｒｅｓｓ：ＷｏｒｄＰｒｅｓｓ Ｖｅｒ．４．ｘ対応		星野邦敏：相澤奏恵		インプレス	201708	1,400	1,512
372	教養	英語	近世英語	9784046009449	できる人のＴＯＥＩＣテスト勉強法	改訂版	中村澄子【著者】		KADOKAWA / 中経出版	201412	1,300	1,404
373	教養	絵画．書道	グラフィックデザイン/図案	9784062206624	デザインの仕事		寄藤文平		講談社	201707	1,300	1,404
374	教養	総記	情報管理/ドキュメント	9784062579049	デジタル・アーカイブの最前線：知識・文化・感性を消滅させないために		時実象一	ブルーバックス	講談社	201502	860	928
375	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784582856606	デジタルネイティブの時代：なぜメールをせずに「つぶやく」のか		木村忠正	平凡社新書	平凡社	201211	800	864
376	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784062882835	デジタルは人間を寡うのか		小川和也	講談社現代新書	講談社	201409	740	799
377	教養	総記	情報管理/ドキュメント	9784820410140	デジタル情報資源の検索	増訂第３版	高鍬裕樹	ＫＳＰシリーズ	京都図書館情報学研究会(発売：日本図書館協会)	201102	1,500	1,620
378	教養	総記	情報管理/ドキュメント	9784820412144	デジタル情報資源の検索	増訂第４版	高鍬裕樹	ＫＳＰシリーズ	京都図書館情報学研究会(発売：日本図書館協会)	201210	1,500	1,620
379	教養	総記	情報管理/ドキュメント	9784820413226	デジタル情報資源の検索	増訂第５版	高鍬裕樹	ＫＳＰシリーズ	京都図書館情報学研究会(発売：日本図書館協会)	201403	1,500	1,620
380	教養	総記	コンピュータ/システム/ソフトウェア	9784334039547	デスマーチはなぜなくならないのか：ＩＴ化時代の社会問題として考える		宮地弘子	光文社新書	光文社	201611	760	820
381	教養	総記	情報管理/ドキュメント	9784062882347	データを紡いで社会につなぐ：デジタルアーカイブのつくり方		渡邉英徳	講談社現代新書	講談社	201311	800	864
382	教養	経済	経営管理	9784492045459	デッドライン仕事術：クラウド版		吉越浩一郎【著】：立花岳志【著】		東洋経済新報社	201412	1,500	1,620
383	教養	経済	経営管理	9784492045459	デッドライン仕事術：クラウド版		吉越浩一郎【著】：立花岳志【著】		東洋経済新報社	201412	1,500	1,620
384	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784800308801	ではまた、あの世で：回想の水木しげる		大泉実成		洋泉社	201604	1,500	1,620
385	教養	運輸．交通	観光事業史	9784492502754	デービッド・アトキンソン新・観光立国論：イギリス人アナリストが提言する２１世紀の「所得倍増		デービッド・アトキンソン		東洋経済新報社	201506	1,500	1,620
386	教養	通信事業	報道番組	9784004313786	テレビの日本語		加藤昌男	岩波新書	岩波書店	201207	800	864
387	教養	通信事業	放送史	9784480429575	テレビは何を伝えてきたか：草創期からデジタル時代へ		植村鞆音：大山勝美	ちくま文庫	筑摩書房	201206	950	1,026
388	教養	ドイツ語	ドイツ語	9784806140597	ドイツ語が面白いほど身につく本：カラー版 ＣＤ付		中野久夫	語学・入門の入門シリーズ	中経出版	201105	1,400	1,512
389	教養	絵画．書道	イラストレーション	9784766130065	どうぶつの描き方１００：ステップｂｙステップですぐ描ける！		リー・Ｊ．エイムス：マレー・ザック		グラフィック社	201701	1,300	1,404
390	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784094034417	トキワ荘実録：手塚治虫と漫画家たちの青春		丸山昭【著】	小学館文庫	小学館	199908	476	514
391	教養	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784526072987	トコトンやさしいＥＭＣとノイズ対策の本		鈴木茂夫（技術士）	Ｂ＆Ｔブックス	日刊工業新聞社	201409	1,400	1,512
392	教養	商業	商品化/商品計画	9784526074806	トコトンやさしいコンカレント・エンジニアリングの本		原嶋茂	Ｂ＆Ｔブックス	日刊工業新聞社	201511	1,500	1,620
393	教養	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784526069130	トコトンやさしいシーケンス制御の本		熊谷英樹：戸川敏寿	Ｂ＆Ｔブックス	日刊工業新聞社	201207	1,400	1,512
394	教養	電気工学．電子工学	電子回路	9784526074431	トコトンやさしいデジタル回路の本		鈴木大三：鈴木八十二	Ｂ＆Ｔブックス	日刊工業新聞社	201507	1,500	1,620
395	教養	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784526074837	トコトンやさしいロボットの本		日刊工業新聞社：日本ロボット工業会	Ｂ＆Ｔブックス	日刊工業新聞社	201511	1,500	1,620
396	教養	電気工学．電子工学	電子工学	9784526075117	トコトンやさしい液晶の本	第２版	鈴木八十二：新居崎信也	Ｂ＆Ｔブックス	日刊工業新聞社	201601	1,500	1,620
397	教養	商業	販売経路/商品流通機構	9784526077593	トコトンやさしい小売・流通の本		鈴木邦成	今日からモノ知りシリーズ	日刊工業新聞社	201710	1,500	1,620
398	教養	総記	情報理論	9784526076404	トコトンやさしい人工知能の本		産業技術総合研究所：辻井潤一	Ｂ＆Ｔブックス	日刊工業新聞社	201612	1,500	1,620
399	教養	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784526067211	トコトンやさしい制御の本		門田和雄	Ｂ＆Ｔブックス	日刊工業新聞社	201107	1,400	1,512
400	教養	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784526075254	トコトンやさしい電波の本	第２版	相良岩男	Ｂ＆Ｔブックス	日刊工業新聞社	201602	1,500	1,620
401	教養	商業	販売経路/商品流通機構	9784526073946	トコトンやさしい物流の本		鈴木邦成	Ｂ＆Ｔブックス	日刊工業新聞社	201503	1,400	1,512
402	教養	電気工学．電子工学	電子工学	9784526073526	トコトンやさしい有機ＥＬの本	第２版	森竜雄	Ｂ＆Ｔブックス	日刊工業新聞社	201501	1,400	1,512
403	教養	社会	文化/文化社会学	9784006003548	トランスナショナル・ジャパン：ポピュラー文化がアジアをひらく		岩渕功一	岩波現代文庫	岩波書店	201609	1,420	1,533
404	教養	絵画．書道	素描/描画	9784845915729	ドローイング・テクニック		ピーター・ジェニー：石田友里	ＨＯＷ ＴＯ ＳＥＥシリーズ	フィルムアート社	201507	1,100	1,188
405	教養	図書館．図書館学	読書調査/青少年読書	9784582837629	どんな絵本を読んできた？		「この絵本が好き！」編集部：こうの史代		平凡社	201708	1,200	1,296
406	教養	商業	マーケティング	9784788911796	なぜ、お客様は「そっち」を買いたくなるのか？		理央周		実務教育出版	201606	1,300	1,404
407	教養	経済	経営組織/管理組織	9784492045626	なぜ、この人に部下は従うのか：「人」を動かす８大法則	新装版	渋谷昌三【著】		東洋経済新報社	201412	1,400	1,512

408	教養	経済	財務会計	9784492602249	なぜ、会計嫌いのあいつが会社の数字に強くなった？：図だけでわかる財務３表		村上裕太郎		東洋経済新報社	201607	1,500	1,620
409	教養	経済	経営者/企業と社会	9784771027695	なぜ、共生倫理なのか？：社会と市場経済		中村共一		市民科学研究所(発売：晃洋書房)	201602	1,200	1,296
410	教養	社会	コミュニケーション理論	9784106107009	なぜアマゾンは１円で本が売れるのか：ネット時代のメディア戦争		武田徹（ジャーナリスト）	新潮新書	新潮社	201701	800	864
411	教養	演劇．映画	漫画映画	9784336053596	なぜ宮崎駿はオタクを批判するのか		荻原真		国書刊行会	201104	1,500	1,620
412	教養	総記	情報理論	9784839963705	なぜ人工知能は人と会話ができるのか		三宅陽一郎	マイナビ新書	マイナビ出版	201708	850	918
413	教養	運輸．交通	観光事業経営	9784864877459	なぜ日本だけディズニーランドとＵＳＪが「大」成功したのか？		中島恵		三恵社(発売：ＪＲＣ)	201712	1,500	1,620
414	教養	経済	経営組織/管理組織	9784106037986	なぜ日本企業は勝てなくなったか：個を活かす「分化」の組織論		太田肇	新潮選書	新潮社	201703	1,200	1,296
415	教養	社会	文化/文化社会学	9784023313736	ナナメ読み日本文化論：名著２５冊で読み解く日本人のアイデンティティ		中野明：大久保喬樹		朝日新聞出版	201503	1,400	1,512
416	教養	図書．書誌学	著作権/著作権法	9784484112244	なんでコンテンツにカネを払うのさ？：デジタル時代のぼくらの著作権入門		岡田斗司夫【著】：福井健策【著】		ＣＣＣメディアハウス	201112	1,400	1,512
417	教養	英語	近世英語	9784582855357	ニホン英語は世界で通じる		末延岑生	平凡社新書	平凡社	201007	760	820
418	教養	通信事業	経営/業務	9784166608546	ニュースキャスター		大越健介	文春新書	文藝春秋	201204	750	810
419	教養	芸術．美術	近代明治時代以降	9784062882842	ヌードと愛国		池川玲子	講談社現代新書	講談社	201410	800	864
420	教養	英語	英語	9784062814218	ネイティブが？？？にならない英語		ディビッド・セイン	講談社＋α文庫	講談社	201104	562	606
421	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784903722481	ネットが社会を破壊する		高田明典		リーダーズノート	201304	1,400	1,512
422	教養	電気工学．電子工学	データ通信	9784062883405	ネットフリックスの時代：配信とスマホがテレビを変える		西田宗千佳	講談社現代新書	講談社	201510	760	820
423	教養	経済	経営管理	9784822225391	ネット炎上対策の教科書：攻めと守りのＳＮＳ活用		小林直樹：日経デジタルマーケティング編集部		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201506	1,500	1,620
424	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784822292065	ネット社会を賢く生きよう！最新情報モラル：積極的にネットを活用するための基礎知識と実践スタデ		大橋真也：森夏節		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201502	480	518
425	教養	絵画．書道	グラフィックデザイン/図案	9784887523913	ノザイナー		ＮＯＳＩＧＮＥＲ	ｇｇｇ Ｂｏｏｋｓ	ＤＮＰ文化振興財団(発売：ＤＮＰアートコミュニ)	201609	1,165	1,258
426	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784339077100	ハイテクと仮想の世界を生きぬくために		斎藤正男	新コロナシリーズ	コロナ社	201503	1,200	1,296
427	教養	経済	経営管理	9784532262693	ハイパフォーマー彼らの法則		相原孝夫	日経プレミアシリーズ	日本経済新聞出版社	201412	850	918
428	教養	経済	経営管理	9784532262693	ハイパフォーマー彼らの法則		相原孝夫	日経プレミアシリーズ	日本経済新聞出版社	201412	850	918
429	教養	経済	経営管理	9784163901237	バカになれ！：カリスマ・エンジニア「ゼロからの発想術」		水野和敏		文藝春秋	201411	1,300	1,404
430	教養	経済	経営管理	9784163901237	バカになれ！：カリスマ・エンジニア「ゼロからの発想術」		水野和敏		文藝春秋	201411	1,300	1,404
431	教養	総記	データ処理/情報処理	9784819028127	バーコード入門テキスト：「知っておかないと損をする！」バーコードの世界				日本工業出版	201608	1,000	1,080
432	教養	総記	コンピュータ/システム/ソフトウェア	9784798047973	はじめてのＯｆｆｉｃｅのイラッをズバリ！解決		八木重和	Ｂａｓｉｃ ｍａｓｔｅｒ ｓｅｒｉｅｓ	秀和システム	201610	1,380	1,490
433	教養	総記	コンピュータ/システム/ソフトウェア	9784798047522	はじめてのＷｉｎｄｏｗｓ １０：Ａｎｎｉｖｅｒｓａｒｙ Ｕｐｄａｔｅ対応．基本編		戸内順一	Ｂａｓｉｃ ｍａｓｔｅｒ ｓｅｒｉｅｓ	秀和システム	201608	1,000	1,080
434	教養	総記	コンピュータ/システム/ソフトウェア	9784798052342	はじめてのＷｉｎｄｏｗｓ １０基本編：Ｆａｌｌ Ｃｒｅａｔｏｒｓ Ｕｐｄａｔｅ対応		戸内順一	Ｂａｓｉｃ ＭＡＳＴＥＲ ＳＥＲＩＥＳ	秀和システム	201710	1,000	1,080
435	教養	経済	事務の機械化	9784798044996	はじめてのＷｏｒｄ ２０１６		桑名由美：Ｓｔｕｄｉｏノマド	Ｂａｓｉｃ ｍａｓｔｅｒ ｓｅｒｉｅｓ	秀和システム	201510	1,000	1,080
436	教養	電気工学．電子工学	データ通信	9784798045030	はじめてのＷｏｒｄＰｒｅｓｓ入門	最新版	原久鷹	Ｂａｓｉｃ ｍａｓｔｅｒ ｓｅｒｉｅｓ	秀和システム	201512	1,500	1,620
437	教養	総記	コンピュータ/システム/ソフトウェア	9784798047980	はじめてのエクセルのイラッをズバリ！解決		Ｓｔｕｄｉｏノマド	Ｂａｓｉｃ ｍａｓｔｅｒ ｓｅｒｉｅｓ	秀和システム	201609	1,500	1,620
438	教養	スペイン語	スペイン語	9784061491830	はじめてのスペイン語		東谷穎人	講談社現代新書	講談社	199401	740	799
439	教養	フランス語	フランス語	9784384056549	はじめてのフランス語入門ドリル		井上大輔：井上真理子		三修社	201107	1,500	1,620
440	教養	電気工学．電子工学	データ通信	9784798042084	はじめてのホームページ・ビルダー１９		桑名由美	Ｂａｓｉｃ ｍａｓｔｅｒ ｓｅｒｉｅｓ	秀和システム	201411	1,500	1,620
441	教養	商業	マーケティング	9784805110959	はじめてのマーケティング		小川進：北村裕花		千倉書房	201605	1,500	1,620
442	教養	経済	事務の機械化	9784798048000	はじめてのワードのイラッをズバリ！解決		Ｓｔｕｄｉｏノマド	Ｂａｓｉｃ ｍａｓｔｅｒ ｓｅｒｉｅｓ	秀和システム	201609	1,500	1,620
443	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784769610694	はじめての企画書：やる順！４ステップ		松尾里央		ごう書房	201205	1,400	1,512
444	教養	経済	経営比較/経営分析	9784532113254	はじめての企業価値評価		砂川伸幸：笠原真人	日経文庫	日本経済新聞出版社	201502	1,000	1,080
445	教養	総記	データ処理/情報処理	9784798048079	はじめての今さら聞けないＷｉｎｄｏｗｓパソコン		羽石相	Ｂａｓｉｃ ｍａｓｔｅｒ ｓｅｒｉｅｓ	秀和システム	201609	1,200	1,296
446	教養	英語	近世英語	9784863921283	はじめて受けるＴＯＥＩＣ ＴＥＳＴ総合スピードマスター：めざせ６００点！最新傾向の問題で全パートの解法テク		成重寿：柴山かつの		Ｊリサーチ出版	201302	1,500	1,620
447	教養	英語	近世英語	9784863921474	はじめて受けるＴＯＥＩＣ ＴＥＳＴ模試スピードマスター		森川美貴子：宮野智靖		Ｊリサーチ出版	201307	1,400	1,512
448	教養	フランス語	フランス語	9784789014922	はじめましてフランス語：きれいに話せるひとりで学べる		中田俊介		ジャパンタイムズ	201207	1,500	1,620
449	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784822225339	パーソナルデータの教科書：「個人情報保護」から「プライバシー保護」へとルール		小林慎太郎【著】：日経デジタルマーケティング編集部		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201408	1,300	1,404
450	教養	総記	情報理論	9784873101668	パターン認識と機械学習の学習：ベイズ理論に挫折しないための数学		光成滋生		暗黒通信団	201207	1,000	1,080
451	教養	演劇．映画	漫画映画	9784883929924	バットマンは飛べるが着地できない：アニメ・特撮のヒーローを科学する		木野仁		彩図社	201405	1,200	1,296
452	教養	経済	経営組織/管理組織	9784484161082	ハーバードのリーダーシップ講義：「自分の殻」を打ち破る		ロバート・スティーヴン・カプラン：福井久美子		ＣＣＣメディアハウス	201608	1,500	1,620
453	教養	経済	傷害保険	9784894897793	バングラデシュのマイクロ医療保険：貧困層のセイフティ・ネット戦略を探る		石坂貴美	ブックレット《アジアを学ぼう》	風響社	201510	700	756
454	教養	経済	経営学	9784396114091	ビジネススクールでは教えてくれないドラッカー		菊沢研宗	祥伝社新書	祥伝社	201504	780	842
455	教養	経済	経営政策/経営計画	9784480068088	ビジネスに効くスケッチ		山田雅夫	ちくま新書	筑摩書房	201501	740	799
456	教養	経済	経営管理	9784478068335	ビジネスの基礎知識５０：図解		グロービス：嶋田毅		ダイヤモンド社	201603	1,500	1,620
457	教養	経済	経営政策/経営計画	9784023313798	ビジネスモデル		平野敦士カール	カール教授のビジネス集中講義	朝日新聞出版	201502	1,500	1,620
458	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784844373735	ビジネスを動かす情報の錬金術		森川富昭		クロスメディア・パブリッシング(発売：インプレス)	201408	1,380	1,490

459	教養	経済	企業/経営	9784532113841	ビジネス常識としての法律	第２版	堀龍兒：淵邉善彦	日経文庫	日本経済新聞出版社	201712	1,000	1,080
460	教養	商業	商業美術/写真	9784883352890	ビジュアルシフト：いま成功する電子カタログのつくり方		宣伝会議：大谷和利		宣伝会議	201502	1,400	1,512
461	教養	経済	経営管理	9784532119270	ビジュアルビジネス・フレームワーク		堀公俊	日経文庫	日本経済新聞出版社	201308	1,000	1,080
462	教養	商業	マーケティング	9784532119331	ビジュアルマーケティング・フレームワーク		原尻淳一	日経文庫	日本経済新聞出版社	201607	1,000	1,080
463	教養	商業	マーケティング	9784532119355	ビジュアルマーケティングの基本	第４版	野口智雄	日経文庫	日本経済新聞出版社	201708	1,000	1,080
464	教養	商業	販売経路/商品流通機構	9784532119317	ビジュアル流通の基本	第５版	小林隆一	日経文庫	日本経済新聞出版社	201604	1,000	1,080
465	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784532112684	ビッグデータ・ビジネス		鈴木良介	日経文庫	日本経済新聞出版社	201210	860	928
466	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784048868815	ビッグデータがビジネスを変える		稲田修一	アスキー新書	KADOKAWA / アスキー・メディアワークス(発売：ＫＡＤＯＫＡＷＡ)	201212	743	802
467	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784480864499	ビッグデータという独裁者：「便利」とひきかえに「自由」を奪う		マルク・デュガン：クリストフ・ラベ		筑摩書房	201703	1,500	1,620
468	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784121023841	ビッグデータと人工知能：可能性と罠を見極める		西垣通	中公新書	中央公論新社	201607	780	842
469	教養	政治	国家と個人/基本的人権	9784087208740	ビッグデータの支配とプライバシー危機		宮下紘	集英社新書	集英社	201703	760	820
470	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784062882033	ビッグデータの覇者たち		海部美知	講談社現代新書	講談社	201304	760	820
471	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784048862196	ビッグデータ革命：無数のつぶやきと位置情報から生まれる日本型イノベー		野村総合研究所		アスキー・メディアワークス(発売：ＫＡＤＯＫＡＷＡ)	201203	1,400	1,512
472	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784309411828	ビッグデータ社会の希望と憂鬱		森健	河出文庫	河出書房新社	201211	880	950
473	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784844335290	ビッグデータ入門：分析から価値を引き出すデータサイエンスの時代へ		小林孝嗣：インプレスジャパン	できるポケット＋	インプレスジャパン(発売：インプレス)	201401	880	950
474	教養	商業	商品化/商品計画	9784822220808	ヒットの教科書：プロジェクトを成功させた「挑戦者」に学ぶ		奥井真紀子【著】	ＮＩＫＫＥＩ ＴＲＥＮＤＹ ＢＯＯＫＳ	日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201410	1,300	1,404
475	教養	絵画．書道	水彩画	9784837305408	ひとつのモチーフを水彩で描く：初心者から基本をふり返りたい人まで		マール社		マール社	201305	1,500	1,620
476	教養	芸術．美術	芸術心理学	9784000296212	ヒトはなぜ絵を描くのか：芸術認知科学への招待		齋藤亜矢	岩波科学ライブラリー	岩波書店	201402	1,300	1,404
477	教養	演劇．映画	漫画映画	9784896918441	ひとりから始めるアニメのつくり方		おかだえみこ：鈴木伸一		洋泉社	200409	1,500	1,620
478	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784822295073	ひと目でわかる最新情報モラル：ネット社会を賢く生きる実践スタディ	第２版	大橋真也：森夏節		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201112	476	514
479	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784536252904	ひと目でわかる最新情報モラル：ネット社会を賢く生きる実践スタディ．高校版	第２版	大橋真也：森夏節		日経ＢＰ社(発売：日本文教出版（大阪）)	201112	476	514
480	教養	心理学	普通心理学/思考創造	9784532196387	ひらめきの法則		高橋誠（教育学）	日経ビジネス人文庫	日本経済新聞出版社	201206	800	864
481	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784478083581	ファーストペンギンの会社：デジタルガレージの２０年とこれから		デジタルガレージ		ダイヤモンド社(発売：ダイヤモンド社)	201410	1,500	1,620
482	教養	英語	英語学/英語学史	9784894765757	ファンダメンタル英語学	改訂版	中島平三		ひつじ書房	201108	1,400	1,512
483	教養	演劇．映画	映画演出制作	9784007000706	ふくろう９０歳の挑戦		新藤兼人	岩波アクティブ新書	岩波書店	200304	760	820
484	教養	商業	商品/商品学	9784434200212	ブームの真相．２０１５年度版		ミスター・パートナー	Ｍｒ．Ｐａｒｔｎｅｒ ｂｏｏｋ	ミスター・パートナー(発売：星雲社)	201501	1,500	1,620
485	教養	運輸．交通	会館	9784794424440	ブライダル・ホスピタリティ・マネジメント		徳江順一郎：遠山詳胡子		創成社	201411	1,500	1,620
486	教養	電気工学．電子工学	電子理論	9784485600245	プラズマの本		赤松浩	スッキリ！がてん！	電気書院	201712	1,200	1,296
487	教養	経済	経営史/事情	9784166610037	ブラック企業．２		今野晴貴	文春新書	文藝春秋	201503	780	842
488	教養	絵画．書道	ポスター	9784861526312	フランスのポスター		平芳幸浩：京都工芸繊維大学美術工芸資料館	京都工芸繊維大学美術工芸資料館コレクション	青幻舎	201709	1,500	1,620
489	教養	フランス語	フランス語	9784806140566	フランス語が面白いほど身につく本	カラー版	中野久夫	語学・入門の入門シリーズ	中経出版	201106	1,400	1,512
490	教養	商業	マーケティング	9784140816981	フリー：〈無料〉からお金を生みだす新戦略	ペーパーバック版	クリス・アンダーソン：小林弘人		ＮＨＫ出版	201604	1,000	1,080
491	教養	心理学	普通心理学/思考創造	9784621053652	ブレイクスルー思考のすすめ		日比野創：日比野省三	丸善ライブラリー	丸善出版	200408	780	842
492	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784844373698	プレゼンできない社員はいらない		車塚元章		クロスメディア・パブリッシング(発売：インプレス)	201408	1,380	1,490
493	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784532112530	プレゼンテーションの技術		山本御稔	日経文庫	日本経済新聞出版社	201112	830	896
494	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784062181990	プレゼンの極意はマンガに学べ		三田紀房		講談社	201302	1,400	1,512
495	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784822249205	プレゼン心理術：「見た目」と「しぐさ」でイエスと言わせる即効テクニ		内藤誼人		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201207	1,400	1,512
496	教養	地理．地誌．紀行	地図	9784582417333	プレミアムアトラス世界地図帳	新訂第３版	平凡社		平凡社	201707	1,500	1,620
497	教養	総記	コンピュータ/プログラミング	9784822253264	プログラミング超入門：エクセルだけで手軽に楽しむ		金宏和實		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201705	1,480	1,598
498	教養	ドイツ語	ドイツ語	9784907209483	プロジェクト授業の設計と運営：ドイツ語教育の現場から		田原憲和：齊藤公輔	ＯＭＵＰブックレット	大阪公立大学共同出版会	201603	800	864
499	教養	経済	経営管理	9784492522158	プロフェッショナルシンキング：未来を見通す思考力		ビジネス・ブレークスルー大学：宇田左近	ＢＢＴ大学シリーズ	東洋経済新報社	201508	1,500	1,620
500	教養	経済	経営管理	9784492522158	プロフェッショナルシンキング：未来を見通す思考力		ビジネス・ブレークスルー大学：宇田左近	ＢＢＴ大学シリーズ	東洋経済新報社	201508	1,500	1,620
501	教養	経済	経営組織/管理組織	9784492522189	プロフェッショナルリーダーシップ：結果を出す意志とスキル		ビジネス・ブレークスルー大学：森時彦	ＢＢＴ大学シリーズ	東洋経済新報社	201605	1,500	1,620
502	教養	地理．地誌．紀行	地図	9784582417173	ベーシックアトラス世界地図帳：世界を知ることは現代人の常識	新版	平凡社		平凡社	201203	1,200	1,296
503	教養	図書館．図書館学	読書調査/青少年読書	9784582767612	ページをめくる指：絵本の世界の魅力		金井美恵子	平凡社ライブラリー	平凡社	201204	1,300	1,404
504	教養	運輸．交通	観光事業	9784778203658	ヘルスツーリズムによる地方創生：健康長寿を目指して「お散歩でこの国を元気にする」		西村典芳		カナリアコミュニケーションズ	201608	1,300	1,404
505	教養	絵画．書道	グラフィックデザイン/図案	9784887523906	ヘルムート・シュミット		ヘルムート・シュミット：ニコール・シュミット	ｇｇｇ Ｂｏｏｋｓ	ＤＮＰ文化振興財団(発売：ＤＮＰアートコミュニ)	201511	1,165	1,258
506	教養	絵画．書道	ペン画	9784837305439	ペン＆インク：デッサン・スケッチ・イラスト・漫画を描く人に	新装版	クローディア・ナイス：上野安子		マール社	201310	1,500	1,620
507	教養	経済	企業/経営	9784907574161	ベンチャービジネス研究 第２巻				丸善出版	201704	1,300	1,404
508	教養	経済	企業/経営	9784907574147	ベンチャービジネス研究．１		追手門学院大学ベンチャービジネス研究所：村上真郎		追手門学院大学出版会(発売：丸善出版)	201603	1,300	1,404
509	教養	文学	文学	9784005005871	ぼくたちのアニメ史		辻真先	岩波ジュニア新書	岩波書店	200802	780	842

510	教養	絵画．書道	イラストレーション	9784480432414	ぼくなりの遊び方、行き方：横尾忠則自伝		横尾忠則	ちくま文庫	筑摩書房	201503	1,100	1,188
511	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784406051156	ぼくのマンガ道		手塚治虫		新日本出版社	200802	1,400	1,512
512	教養	図書．書誌学	編集/編纂	9784478028322	ぼくらの仮説が世界をつくる		佐渡島庸平		ダイヤモンド社	201512	1,300	1,404
513	教養	統計	世界統計書	9784536600798	ポケット統計資料：統計情報で見る世界と日本．２０１５		日本文教出版株式会社		日本文教出版（大阪）	201504	540	583
514	教養	統計	世界統計書	9784536600897	ポケット統計資料：統計情報で見る世界と日本．２０１６		日本文教出版株式会社		日本文教出版（大阪）	201604	540	583
515	教養	経済	経営組織/管理組織	9784794221537	ポジティブ・リーダーシップ		マーガレット・グリーンバーグ：セニア・マイミン		草思社	201509	1,500	1,620
516	教養	運輸．交通	ホテル/旅館	9784903721460	ホテル・旅館のウェブマーケティング実践術８０		松本慶大		オータパブリケイションズ	201407	1,500	1,620
517	教養	絵画．書道	グラフィックデザイン/図案	9784924956919	ボーラ・シェア		ボーラ・シェア：田中一光	ｇｇｇ ｂｏｏｋｓ	ギンザ・グラフィック・ギャラリー(発売：ＤＮＰアートコミュニ)	200205	1,165	1,258
518	教養	技術．工学	工業動力	9784890401888	ボルダーの挑戦：Ｓｍａｒｔ Ｃｉｔｙにみるａｉｃｈｉの未来		ＤＪむつみ		愛知県議会海外調査団有志の会(発売：流行発信)	201204	648	699
519	教養	絵画．書道	グラフィックデザイン/図案	9784887523739	ホワイ・ノット・アソシエイツ		ホワイ・ノット・アソシエイツ	ｇｇｇ Ｂｏｏｋｓ	ＤＮＰ文化振興財団(発売：ＤＮＰアートコミュニ)	201306	1,165	1,258
520	教養	経済	経営管理	9784822279233	ホワイト企業：創造的学習をする「個人」を育てる「組織」		永禮弘之：瀬川明秀		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201511	1,500	1,620
521	教養	経済	経営管理	9784822279233	ホワイト企業：創造的学習をする「個人」を育てる「組織」		永禮弘之：瀬川明秀		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201511	1,500	1,620
522	教養	商業	マーケティング	9784478066430	マインド・ホールを突破せよ。：ビデオリサーチが提案するマーケティング新論		ビデオ・リサーチ		ダイヤモンド社	201511	1,400	1,512
523	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784062189590	マーク・ザッカーバーグの思考法		エカテリーナ・ウォルター：斎藤栄一郎		講談社	201405	1,500	1,620
524	教養	商業	マーケティング	9784023313989	マーケティング		平野敦士カール	カール教授のビジネス集中講義	朝日新聞出版	201503	1,500	1,620
525	教養	商業	マーケティング	9784844373964	マーケティングオートメーションでおもてなし：ＩＴがマーケティングにしてくれること		小川共和		クロスメディア・マーケティング(発売：インプレス)	201502	1,480	1,598
526	教養	商業	マーケティング	9784480069351	マーケティングに強くなる		恩蔵直人	ちくま新書	筑摩書房	201701	800	864
527	教養	商業	マーケティング	9784062193757	マーケティングに使える「家計調査」：世界最大の消費者ビッグデータは「宝の山」だ		吉本佳生		講談社	201507	1,500	1,620
528	教養	商業	マーケティング	9784062193757	マーケティングに使える「家計調査」：世界最大の消費者ビッグデータは「宝の山」だ		吉本佳生		講談社	201507	1,500	1,620
529	教養	商業	マーケティング	9784121505675	マーケティングのすゝめ：２１世紀のマーケティングとイノベーション		フィリップ・コトラー：高岡浩三	中公新書ラクレ	中央公論新社	201610	800	864
530	教養	スペイン語	スペイン語	9784877311780	まずはこれだけスペイン語		ラファエル・ルイス	ＣＤ ｂｏｏｋ	国際語学社	200302	1,500	1,620
531	教養	地理．地誌．紀行	写真集/紀行	9784003349410	マゼラン最初の世界一周航海		長南実	岩波文庫	岩波書店	201103	940	1,015
532	教養	経済	経営政策/経営計画	9784820719489	まだ、マーケティングですか？：破壊的イノベーションが会社を変える		ボブ田中		日本能率協会マネジメントセンター	201609	1,500	1,620
533	教養	商業	販売経路/商品流通機構	9784881428801	マッシュアップ時代のサプライチェーン・ロジスティクス		鳥居保徳：早川典雄		創英社（三省堂書店）	201411	1,500	1,620
534	教養	経済	経営管理	9784881775394	マネジメント力の養成		コーポレート・マネジメント研究会		財経詳報社	201603	1,500	1,620
535	教養	電気工学．電子工学	情報工学	9784864630511	マルチメディアを考える		清水恒平		武蔵野美術大学出版局	201604	1,200	1,296
536	教養	社会	文化/文化社会学	9784759917987	マンガ・アニメ・ゲーム・フィギュアの博物館学		明治大学人文科学研究所	明治大学公開文化講座	明治大学人文科学研究所(発売：風間書房)	201003	667	720
537	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784380160028	まんが★漫画★ＭＡＮＧＡ：日本の漫画はなぜ世界一なのか		志波秀宇		三一書房	201607	1,500	1,620
538	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784309617008	マンガがあるじゃないか：わたしをつくったこの一冊		河出書房新社：蒼井ブルー	１４歳の世渡り術	河出書房新社	201601	1,300	1,404
539	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784331520901	マンガキャラの食べ物資料集		アミューズメントメディア総合学院	ＫＯＳＡＩＤＯマンガ工房	廣済堂出版	201703	1,300	1,404
540	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784331519523	マンガキャラの着こなし図鑑．男子編		アミューズメントメディア総合学院	ＫＯＳＡＩＤＯマンガ工房	廣済堂出版	201508	1,200	1,296
541	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784331514757	マンガキャラの服装資料集．男子カジュアル編		アミューズメントメディア総合学院		廣済堂出版	201009	1,100	1,188
542	教養	経済	企業会計原則/財務諸表	9784820719175	マンガでやさしくわかる決算書		岩谷誠治：基井直		日本能率協会マネジメントセンター	201502	1,400	1,512
543	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784990545161	マンガで食えない人の壁．プロがプロたる所以編		ＮＥＷＶＥＲＹ		ＮＥＷＶＥＲＹ	201411	1,000	1,080
544	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784778313524	マンガと音楽の甘い関係		高野 麻衣		太田出版	201301	1,280	1,382
545	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784309273075	マンガのあなた・ＳＦのわたし：萩尾望都対談集１９７０年代編		萩尾望都		河出書房新社	201202	1,400	1,512
546	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784582855562	マンガはなぜ規制されるのか：「有害」をめぐる半世紀の攻防		長岡義幸【著】	平凡社新書	平凡社	201011	780	842
547	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784006031831	マンガは哲学する		永井均	岩波現代文庫	岩波書店	200904	920	993
548	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784403650475	マンガ家と作る背景写真集：第一線のプロが選んだトレースフリーの素材集．５				新書館	201007	1,500	1,620
549	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784865650228	マンガ原作感動をつくる法則		大石けんいち		言視舎	201506	1,500	1,620
550	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784198619923	マンガ道、波瀾万丈：みんなが泣いた、笑った名作はこうして誕生した		桐山秀樹		徳間書店	200503	1,300	1,404
551	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784061498471	マンガ入門：表現したい人のための		しりあがり寿	講談社現代新書	講談社	200607	720	777
552	教養	絵画．書道	イラストレーション	9784040820811	ミュシャのすべて		アルフォンス・マリア・ミュシャ：ＫＡＤＯＫＡＷＡ	角川新書	ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201612	900	972
553	教養	経済	合理化/生産性	9784480069887	ムダな仕事が多い職場		太田肇	ちくま新書	筑摩書房	201710	760	820
554	教養	技術．工学	工業/工業経済	9784140884713	メイカーズ進化論：本当の勝者はＩｏＴで決まる		小笠原治	ＮＨＫ出版新書	ＮＨＫ出版	201510	740	799
555	教養	演劇．映画	漫画映画	9784334038748	メカニックデザイナーの仕事論：ヤッターマン、ガンダムを描いた職人		大河原邦男	光文社新書	光文社	201508	740	799
556	教養	社会	コミュニケーション理論	9784309464060	メディアはマッサージである：影響の目録		マーシャル・マクルーハン：クエンティン・フィオーレ	河出文庫	河出書房新社	201503	850	918
557	教養	通信事業	放送と社会	9784002708232	メディアをつくる：「小さな声」を伝えるために		白石草	岩波ブックレット	岩波書店	201111	500	540
558	教養	社会	コミュニケーション理論	9784931388994	メディア学のすすめ：コミュニケーション力をつけるために	改訂版	望月義人		人間社	201604	1,200	1,296
559	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784004316855	メディア不信：何が問われているのか		林香里	岩波新書	岩波書店	201711	840	907
560	教養	地理．地誌．紀行	地理/地誌/紀行	9784634590892	もういちど読む山川地理	新版	田邉裕		山川出版社（千代田区）	201705	1,500	1,620

561	教養	日本史	近代	9784634591127	もういちど読む山川日本近代史		鳥海靖		山川出版社（千代田区）	201304	1,500	1,620
562	教養	絵画．書道	レタリング/モノグラフ	9784416716038	もじのみほん：仮名で見分けるフォントガイド．２．０		アイデア編集部		誠文堂新光社	201608	1,500	1,620
563	教養	経済	経営者/企業と社会	9784844397212	もしも、あなたが「最高責任者」ならばどうするか？：ビジネス・ブレークスルー大学出版．ｖｏｌ．１		ビジネス・ブレークスルー大学総合研究所：大前研一	ＢＢＴ Ｒｅａｌ Ｔｉｍｅ Ｏｎｌｉｎｅ Ｃａｓｅ Ｓ	マスターピース(発売：インプレス)	201603	1,450	1,566
564	教養	絵画．書道	鑑賞法	9784480430762	モチーフで読む美術史		宮下規久朗	ちくま文庫	筑摩書房	201307	840	907
565	教養	絵画．書道	鑑賞法	9784480432841	モチーフで読む美術史．２		宮下規久朗	ちくま文庫	筑摩書房	201507	840	907
566	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784568502886	もっとカラーがうまくなる！画材テクニック			激マンシリーズ コミカーズマンガ技法書	美術出版社	200701	1,500	1,620
567	教養	経済	下請工業/下請企業	9784526074318	モノづくりで幸せになれる会社となれない会社：下請メーカー１８社の転機		坂本光司：林公一	Ｂ＆Ｔブックス	日刊工業新聞社	201506	1,500	1,620
568	教養	経済	人事管理/労務管理	9784560510100	モラル・ハラスメント		マリー＝フランス・イルゴイエンヌ：大和田敢太	文庫クセジュ	白水社	201702	1,200	1,296
569	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784542701809	やさしいＩＳＯ／ＩＥＣ ２７００１（ＪＩＳ Ｑ２７００１）情報セキュリティマネジ	新装版	高取敏夫：中島博文		日本規格協会	201410	1,500	1,620
570	教養	スペイン語	スペイン語	9784882297338	やさしいスペイン語：すぐに役立つ日常会話しっかり身につく文法レッスン		平井孝史		創育	199903	1,500	1,620
571	教養	英語	近世英語	9784874246511	やっぱり英語はおもしろい		宗宮喜代子		くろしお出版	201504	1,300	1,404
572	教養	演劇．映画	漫画映画	9784434032608	ヤマムラアニメーション図鑑：山村浩二ワークスブック		山村浩二：ピクトアップ編集部		えんぶ(発売：星雲社)	200305	1,500	1,620
573	教養	運輸．交通	観光事業史	9784822816582	ゆたかで楽しい海洋観光の国へ、ようこそ！		中瀬勝義		七つ森書館	201607	1,000	1,080
574	教養	総記	コンピュータ/システム/ソフトウェア	9784865102970	よくわかるＭｉｃｒｏｓｏｆｔ Ｅｘｃｅｌ ２０１６ドリル		富士通エフ・オー・エム株式会社		富士通エフ・オー・エム	201608	1,000	1,080
575	教養	経済	利益計画/利益管理	9784492093245	よくわかるＲＯＥ経営		小宮一慶		東洋経済新報社	201510	1,400	1,512
576	教養	総記	コンピュータ/システム/ソフトウェア	9784865102949	よくわかる初心者のためのＭｉｃｒｏｓｏｆｔ Ｅｘｃｅｌ ２０１６		富士通エフ・オー・エム株式会社		富士通エフ・オー・エム	201605	1,200	1,296
577	教養	総記	コンピュータ/システム/ソフトウェア	9784865103281	よくわかる初心者のためのＭｉｃｒｏｓｏｆｔ ＰｏｗｅｒＰｏｉｎｔ ２０１６		富士通エフ・オー・エム株式会社		富士通エフ・オー・エム	201707	1,200	1,296
578	教養	総記	データ処理/情報処理	9784774191423	よくわかる情報リテラシー：標準教科書	改訂新版	岡本敏雄：小泉力一		技術評論社	201708	1,480	1,598
579	教養	絵画．書道	グラフィックデザイン/図案	9784887523890	ライゾマティクス		ライゾマティクス	ｇｇｇ Ｂｏｏｋｓ	ＤＮＰ文化振興財団(発売：ＤＮＰアートコミュニ)	201512	1,165	1,258
580	教養	通信事業	放送事業/テレビラジオ	9784434229718	ラジオと地域と図書館と：コミュニティを繋ぐメディアの可能性		内野安彦：大林正智		ほおずき書籍(発売：星雲社)	201702	1,300	1,404
581	教養	通信事業	放送事業/テレビラジオ	9784620321189	ラジオ福島の３００日		片瀬京子：ラジオ福島		毎日新聞出版	201203	1,500	1,620
582	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784532319885	リクルート：挑戦する遺伝子		日本経済新聞社		日本経済新聞出版社	201502	1,500	1,620
583	教養	経済	経営管理	9784542701731	リスク三十六景：リスクの総和は変わらないどのリスクを選択するかだ		野口和彦		日本規格協会	201512	1,300	1,404
584	教養	経済	経営政策/経営計画	9784582858044	リスク時代の経営学		植村修一	平凡社新書	平凡社	201602	820	885
585	教養	経済	経営組織/管理組織	9784532113346	リーダーシップの名著を読む		日本経済新聞社	日経文庫	日本経済新聞出版社	201505	1,000	1,080
586	教養	アジア史．東洋史	アジア史/東洋史	9784792333263	リーディングス２１世紀アジア		国士舘大学２１世紀アジア学会：梶原景昭		成文堂	201404	1,500	1,620
587	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784822249199	リブセンス(生きる意味)：２５歳の最年少上場社長村上太一の人を幸せにする仕事		上阪徹【著】		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201209	1,400	1,512
588	教養	経済	経営管理	9784774170022	リンゴをほめるだけでアイデアが豊かになる本：こどもごころれんしゅう帖		博報堂		技術評論社	201412	1,480	1,598
589	教養	経済	経営管理	9784774170022	リンゴをほめるだけでアイデアが豊かになる本：こどもごころれんしゅう帖		博報堂		技術評論社	201412	1,480	1,598
590	教養	商業	卸売市場	9784002709680	ルポどうなる？どうする？築地市場：みんなの市場をつくる		永尾俊彦	岩波ブックレット	岩波書店	201707	620	669
591	教養	電気工学．電子工学	データ通信	9784334039721	ルポネットリンチで人生を壊された人たち		ジョン・ロンソン：夏目大	光文社新書	光文社	201702	1,200	1,296
592	教養	通信事業	放送事業/テレビラジオ	9784434157073	ローカル局のこころ：三重テレビ取材帳		小川秀幸		風詠社(発売：星雲社)	201106	1,200	1,296
593	教養	商業	販売経路/商品流通機構	9784947553669	ロジスティクスの計画技法：ロジスティクスの分析・設計で用いられる手法		百合本茂：片山直登		流通経済大学出版会	201504	1,500	1,620
594	教養	芸術．美術	論文集/評論集	9784061984776	ロダンの言葉：現代日本の翻訳		オーギュスト・ロダン：高村光太郎	講談社文芸文庫	講談社	200705	1,300	1,404
595	教養	電気工学．電子工学	文房具/玩具	9784334043063	ロボットアニメビジネス進化論		五十嵐浩司	光文社新書	光文社	201708	800	864
596	教養	製造工業	文房具/玩具	9784334043063	ロボットアニメビジネス進化論		五十嵐浩司	光文社新書	光文社	201708	800	864
597	教養	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784140911587	ロボットという思想：脳と知能の謎に挑む		浅田稔	ＮＨＫブックス	ＮＨＫ出版	201006	950	1,026
598	教養	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784309616643	ロボットとの付き合い方、おしえます。		瀬名秀明	１４歳の世渡り術	河出書房新社	201010	1,200	1,296
599	教養	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784062577687	ロボットはなぜ生き物に似てしまうのか：工学に立ちはだかる「究極の力学構造」		鈴森康一	ブルーバックス	講談社	201204	880	950
600	教養	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784797389364	ロボット解体新書：ゼロからわかるＡＩ時代のロボットのしくみと活用		神崎洋治	サイエンス・アイ新書	ＳＢクリエイティブ	201702	1,000	1,080
601	教養	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784568504910	ロボティクスデザイン		中川志信		美術出版社	201203	1,500	1,620
602	教養	絵画．書道	グラフィックデザイン/図案	9784887523920	ロマン・チェシレヴィチ			ｇｇｇ Ｂｏｏｋｓ 世界のグラフィックデザイン，１２１	ＤＮＰアートコミュニケーションズ	201705	1,165	1,258
603	教養	文学	小説/物語	9784562035991	ローレンス・ブロックのベストセラー作家入門		ローレンス・ブロック：田口俊樹		原書房	200301	1,500	1,620
604	教養	電気工学．電子工学	データ通信	9784886472328	わかりすぎる情報セキュリティの教科書：いい人も悪い人もいるインターネットの世界		エスシーシー	ＳＣＣ ｂｏｏｋｓ	エスシーシー	201412	1,500	1,620
605	教養	経済	税務会計	9784793122477	わかりやすい法人税．平成２９年版		小池敏範	実務家養成シリーズ	税務研究会	201706	1,000	1,080
606	教養	文学	文学	9784791769827	わたしのかたち：中村佑介対談集		中村佑介		青土社	201707	1,300	1,404
607	教養	絵画．書道	浮世絵	9784022735812	わらう春画		オフェル・シャガン	朝日新書	朝日新聞出版	201410	1,200	1,296
608	教養	地理．地誌．紀行	地名研究	9784431710806	ワールドバンク・ミニアトラス		平野皓正		シュプリンガー・ジャパン	200312	1,200	1,296
609	教養	絵画．書道	グラフィックデザイン/図案	9784560073704	われらデザインの時代：田中一光自伝		田中一光	白水Ｕブックス	白水社	200404	950	1,026
610	教養	経済	経営管理	9784478027530	われわれはいかに働きどう生きるべきか：ドラッカーが語りかける毎日の心得、そしてハウツー		ピーター・ファーディナンド・ドラッカー：上田惇生		ダイヤモンド社	201701	1,300	1,404
611	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784309274942	愛するあなた・恋するわたし：萩尾望都対談集２０００年代編		萩尾望都		河出書房新社	201405	1,500	1,620

612	教養	通信事業	報道番組	9784780308235	安保法案テレビニュースはどう伝えたか：検証・政治権力とテレビメディア		放送を語る会	かもがわブックレット	かもがわ出版	201602	600	648
613	教養	総記	情報理論	9784062921145	暗号：情報セキュリティの技術と歴史		辻井重男	講談社学術文庫	講談社	201206	880	950
614	教養	演劇．映画	漫画映画	9784864369718	暗黒ディズニー入門		高橋ヨシキ	コア新書	コアマガジン	201703	880	950
615	教養	心理学	普通心理学/思考創造	9784822251536	偉大な発明に学ぶアイデアのつくり方：思考展開ワークショップ		三原康司：黒須誠治		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201606	1,500	1,620
616	教養	経済	経営政策/経営計画	9784480097040	意思決定と合理性		ハーバート・アレグザンダー・サイモン：佐々木恒男	ちくま学芸文庫	筑摩書房	201601	1,000	1,080
617	教養	社会	コミュニケーション理論	9784532262150	異文化主張力：グローバルビジネスを勝ち抜く極意		Ｔ．Ｗ．カン	日経プレミアシリーズ	日本経済新聞出版社	201310	870	939
618	教養	経済	雇用/退職/定年制	9784782534090	医薬品．２０１６年度版		館沢貴次	産業と会社研究シリーズ	産学社	201411	1,300	1,404
619	教養	文学	小説/物語	9784004307860	一億三千万人のための小説教室		高橋源一郎	岩波新書	岩波書店	200205	740	799
620	教養	運輸．交通	観光事業史	9784822249380	一生の仕事が見つかるディズニーの教え		大住力【著】		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201212	1,400	1,512
621	教養	経済	財務会計	9784904336960	一問一答で学ぶ会計の基礎		松浦剛志：蝦名卓		ファーストプレス	201608	1,500	1,620
622	教養	絵画．書道	ルネサンス/バロック	9784140883501	印象派で「近代」を読む：光のモネから、ゴッホの闇へ		中野京子（ドイツ文学）	ＮＨＫ出版新書	ＮＨＫ出版	201106	1,000	1,080
623	教養	絵画．書道	浮世絵	9784532261115	宇宙をめざした北斎		内田千鶴子	日経プレミアシリーズ	日本経済新聞出版社	201102	1,300	1,404
624	教養	演劇．映画	映画演出制作	9784063650150	映画は撮ったことがないディレクターズ・カット版		神山健治		講談社	201703	1,300	1,404
625	教養	演劇．映画	漫画映画	9784168122033	映画を作りながら考えたこと：「ホルス」から「ゴーシュ」まで		高畑勲	文春文庫	文藝春秋	201402	750	810
626	教養	演劇．映画	映画史	9784898302958	映画的な、あまりに映画的な日本映画について私が学んだ二、三の事柄．１		山田宏一	ワイズ出版映画文庫	ワイズ出版	201510	1,400	1,512
627	教養	英語	近世英語	9784166609963	英会話不要論		行方昭夫	文春新書	文藝春秋	201410	700	756
628	教養	英語	近世英語	9784779009068	英検一級をめざせば本当の英語力が身につく：大人のための英語学習法		山根淳子		幻冬舎ルネッサンス	201211	1,300	1,404
629	教養	英語	近世英語	9784860643607	英語が激伸びする１０の条件		石井辰哉【著】		ベレ出版	201306	1,400	1,512
630	教養	英語	近世英語	9784762027222	英語で教科内容や専門を学ぶ：内容重視指導（ＣＢＩ）、内容言語統合学習（ＣＬＩＬ		早稲田大学教育総合研究所	早稲田教育ブックレット	学文社	201703	1,500	1,620
631	教養	英語	近世英語	9784062880862	英語と日本語のあいだ		菅原克也	講談社現代新書	講談社	201101	800	864
632	教養	英語	近世英語	9784327490218	英語のあや：言葉を学ぶとはどういうことか		トム・ガリー		研究社	201010	1,200	1,296
633	教養	英語	英語	9784006022921	英語のセンスを磨く：英文快読への誘い		行方昭夫	岩波現代文庫	岩波書店	201709	980	1,058
634	教養	英語	英語	9784327452520	英語のロジック		日本論理検定協会		研究社	201301	1,500	1,620
635	教養	英語	近世英語	9784894767799	英語の学び方		大津由紀雄：嶋田珠巳		ひつじ書房	201603	1,500	1,620
636	教養	英語	英語	9784121020864	英語の質問箱：そこが知りたい１００のＱ＆Ａ		里中哲彦	中公新書	中央公論新社	201012	740	799
637	教養	英語	近世英語	9784166603268	英語の壁		マーク・ピーターセン	文春新書	文藝春秋	200307	700	756
638	教養	英語	英語史	9784061598690	英語の冒険		メルヴィン・ブラッグ：三川基好	講談社学術文庫	講談社	200804	1,500	1,620
639	教養	英語	英語史	9784121019714	英語の歴史：過去から未来への物語		寺澤盾	中公新書	中央公論新社	200810	780	842
640	教養	英語	近世英語	9784478025925	英語はインド式で学べ！：日本人の脳に最も適した「インド式英語学習法」		安田正		ダイヤモンド社	201309	1,500	1,620
641	教養	英語	英語	9784469245592	英語は将来こう変わる		鈴木寛次：三木千絵		大修館書店	201102	1,500	1,620
642	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784286138442	英語プレゼンテーション実践ゼミ．１		太田一郎（英語）		文芸社	201307	1,200	1,296
643	教養	英語	近世英語	9784286141428	英語を８５０語で使えるようにしよう：ベーシック・イングリッシュを活用して		相沢佳子		文芸社	201310	640	691
644	教養	英語	近世英語	9784087207958	英語化は愚民化：日本の国力が地に落ちる		施光恒	集英社新書	集英社	201507	760	820
645	教養	英語	英語学/英語学史	9784861105135	英語学：現代英語をより深く知るために：世界共通語の諸相と未来		菊池清明：谷明信		春風社	201604	1,400	1,512
646	教養	英語	英語学/英語学史	9784434152696	英語学基礎講義：英語学ってどんな学問？		高橋勝忠		現代図書(発売：星雲社)	201103	1,429	1,543
647	教養	英語	近世英語	9784863272514	英語学習者はｅ－ｌｅａｒｎｉｎｇをどう使っているのか：自律学習におけるメタ認知ストラテジー能力の養成に向		佐藤恭子：権瞳		渓水社（広島）	201402	1,500	1,620
648	教養	英語	英語	9784758923057	英語基礎	第２版	山口大学		開拓社	200209	1,500	1,620
649	教養	英語	近世英語	9784885218583	英語教育管見		和久豊		中部日本教育文化会	201009	1,500	1,620
650	教養	英語	近世英語	9784523265191	英語教育村の真実：世界一の英語好き、世界一の英語下手の日本人はこうし		佐藤誠司		南雲堂	201307	860	928
651	教養	英語	近世英語	9784469245707	英語教師のための第二言語習得論入門		白井恭弘		大修館書店	201201	1,200	1,296
652	教養	英語	英語史	9784805727041	英語史で解きほぐす英語の誤解：納得して英語を学ぶために		堀田隆一	１２５ライブラリー	中央大学出版部	201110	880	950
653	教養	英語	英語学/英語学史	9784122063556	英語襲来と日本人：今なお続く苦悶と狂乱		斎藤兆史	中公文庫	中央公論新社	201701	680	734
654	教養	英語	英語	9784862280510	英語世界の表現スタイル：「捉え方」の視点から		吉村公宏		青灯社（新宿区）	201105	1,500	1,620
655	教養	英語	英語史	9784003365915	英語発達小史		ヘンリ・ブラッドリ：寺沢芳雄	岩波文庫	岩波書店	198205	940	1,015
656	教養	英語	英語	9784791766987	英対話力：コミュニケーションで出会うあたらしい自分		宮永国子		青土社	201305	1,400	1,512
657	教養	社会	文化/文化社会学	9784863381117	越境スタディーズ：人文学・社会科学の視点から		岩佐和幸：岩佐光広		高知大学人文学部国際社会コミュニケーショ(発売：リーブル出版)	201503	1,300	1,404
658	教養	財政	財産税	9784754743956	延納適用と相続税納税制度		右山昌一郎：岡崎和雄		大蔵財務協会	201509	1,111	1,199
659	教養	絵画．書道	陰影法遠近法	9784334039097	遠近法がわかれば絵画がわかる		布施英利	光文社新書	光文社	201603	880	950
660	教養	絵画．書道	イラストレーション	9784582851465	横尾流現代美術：私の謎を解き明かす		横尾忠則	平凡社新書	平凡社	200207	740	799
661	教養	絵画．書道	グラフィックデザイン/図案	9784887523869	黄炳培×又一山人		黄炳培	ｇｇｇ Ｂｏｏｋｓ	ＤＮＰ文化振興財団(発売：ＤＮＰアートコミュニ)	201505	1,165	1,258
662	教養	芸術．美術	日本芸術史/美術史	9784408411590	乙女の美術史．日本編		堀江宏樹：滝乃みわこ		実業之日本社	201111	1,400	1,512

663	教養	絵画．書道	ルネサンス/バロック	9784582858303	音楽で楽しむ名画：フェルメールからシャガールまで		加藤浩子	平凡社新書	平凡社	201611	980	1,058
664	教養	経済	企業集中/独占	9784582857580	下町Ｍ＆Ａ：中小企業の生き残り戦略		川原慎一	平凡社新書	平凡社	201412	760	820
665	教養	技術．工学	論文集/評論集	9784582745160	科学の「世紀末」：反核・脱原発を生きる思想	新装版	高木仁三郎：関曠野		平凡社	201110	1,500	1,620
666	教養	技術．工学	論文集/評論集	9784863452831	科学技術と知の精神文化．６（現代日本と科学技術を巡る諸		科学技術振興機構社会技術研究開発センター：廣部博之		丸善プラネット(発売：丸善出版)	201603	1,500	1,620
667	教養	技術．工学	論文集/評論集	9784526076787	科学立国日本を築く．ｐａｒｔ　２		丸文財団選考委員会：榊裕之		日刊工業新聞社	201703	1,500	1,620
668	教養	経済	経営管理	9784532261832	火中の栗の拾い方		高城幸司	日経プレミアシリーズ	日本経済新聞出版社	201301	850	918
669	教養	経済	公益企業	9784778203221	稼ぐＮＰＯ：利益をあげて社会的使命へ突き進む		後房雄：藤岡喜美子		カナリアコミュニケーションズ	201605	1,500	1,620
670	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784620322742	稼ぐ話力：相手を腹落ちさせるプレゼンテーション術		勝間和代		毎日新聞出版	201409	900	972
671	教養	農業	研究法	9784822236946	稼げる農業：ＡＩと人材がここまで変える		日経ビジネス		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201705	1,200	1,296
672	教養	経済	財務会計	9784794414939	会計学の基礎：財務諸表の仕組みと情報		石神高尾		創成社	201509	1,500	1,620
673	教養	経済	財務会計	9784004316879	会計学の誕生：複式簿記が変えた世界		渡邉泉	岩波新書	岩波書店	201711	780	842
674	教養	経済	財務会計	9784532113261	会計学入門	第４版	桜井久勝	日経文庫	日本経済新聞出版社	201501	860	928
675	教養	経済	経営管理	9784532261719	会社で不幸になる人、ならない人		本田直之	日経プレミアシリーズ	日本経済新聞出版社	201210	850	918
676	教養	経済	経営組織/管理組織	9784334039141	会社の中はジレンマだらけ：現場マネジャー「決断」のトレーニング		本間浩輔：中原淳	光文社新書	光文社	201604	740	799
677	教養	英語	近世英語	9784764740051	解法のコツを学ぶＴＯＥＩＣテストリスニング演習		塚田幸光		金星堂	201502	1,500	1,620
678	教養	演劇．映画	映画史	9784121017611	回想黒澤明		黒澤和子	中公新書	中央公論新社	200408	740	799
679	教養	通信事業	放送史	9784582856590	懐かしのテレビ黄金時代：力道山、『月光仮面』から『１１ＰＭ』まで		瀬戸川宗太	平凡社新書	平凡社	201210	760	820
680	教養	財政	間接税/物品税	9784419063467	改正消費税の内容と考え方：軽減税率・経過措置・適格請求書等への実務対応！		藤曲武美		税務経理協会	201603	1,400	1,512
681	教養	日本史	長崎県	9784582446036	海の国の記憶五島列島：時空をこえた旅へ		杉山正明	歴史屋のたわごと	平凡社	201501	1,500	1,620
682	教養	運輸．交通	観光事業史	9784062117227	海を超える想像力：東京ディズニーリゾート誕生の物語		加賀見俊夫		講談社	200303	1,500	1,620
683	教養	文学	小説/物語	9784087202588	海外短編のテクニック		阿刀田高	集英社新書	集英社	200409	700	756
684	教養	芸術．美術	論文集/評論集	9784568240443	絵でわかるアートのコトバ		美術検定実行委員会		美術出版社	201104	1,300	1,404
685	教養	総記	情報理論	9784797370263	絵でわかる人工知能：明日使いたくなるキーワード６８		三宅陽一郎：森川幸人	サイエンス・アイ新書	ＳＢクリエイティブ	201609	1,000	1,080
686	教養	絵画．書道	絵画	9784309411910	絵とは何か	新装版	坂崎乙郎	河出文庫	河出書房新社	201212	620	669
687	教養	絵画．書道	絵画理論・美学	9784003362471	絵画について		ドニ・ディロ：佐々木健一（美学）	岩波文庫	岩波書店	200512	700	756
688	教養	絵画．書道	色彩/彩色	9784881081051	絵具のレシピ：初めてそろえる基本色と混色サンプル		視覚デザイン研究所	一夜漬けの専門家シリーズ	視覚デザイン研究所	199311	1,450	1,566
689	教養	図書館．図書館学	読書調査/青少年読書	9784900656932	絵本・お話・わらべ歌		岩城敏之		アスラン書房	201112	1,500	1,620
690	教養	図書館．図書館学	読書調査/青少年読書	9784877587505	絵本といっしょにまっすぐまっすぐ		鈴木潤		ＫＴＣ中央出版	201606	1,500	1,620
691	教養	図書館．図書館学	読書調査/青少年読書	9784860741709	絵本のひみつ：絵本の知と読み聞かせの心		余郷裕次		南日本新聞社(発売：南日本新聞開発センタ)	201012	952	1,028
692	教養	絵画．書道	イラストレーション	9784415300351	絵本をつくりたい！：楽しくはじめる絵本づくり		成美堂出版株式会社		成美堂出版	200708	1,300	1,404
693	教養	絵画．書道	イラストレーション	9784831513663	絵本作家になるには		小野明：柴田こずえ	なるにはｂｏｏｋｓ	ぺりかん社	201310	1,300	1,404
694	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784778037178	街場のマンガ論		内田樹		小学館クリエイティブ(発売：小学館)	201010	1,400	1,512
695	教養	通信事業	放送史	9784883353668	拡張するテレビ：広告と動画とコンテンツビジネスの未来		境治	実践と応用シリーズ	宣伝会議	201608	1,500	1,620
696	教養	数学	確率論	9784621088289	確率：不確かさを扱う		ジョン・ヘイグ：木村邦博	サイエンス・パレット	丸善出版	201508	1,000	1,080
697	教養	芸術．美術	近代明治時代以降	9784006022198	覚書幕末・明治の美術		酒井忠康	岩波現代文庫	岩波書店	201304	1,100	1,188
698	教養	演劇．映画	映画史	9784041026175	角川映画：１９７６－１９８６	増補版	中川右介	角川文庫	ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201602	880	950
699	教養	絵画．書道	素描/描画	9784845915743	学ばないドローイング		ピーター・ジェニー：石田友里	ＨＯＷ　ＴＯ　ＳＥＥシリーズ	フィルムアート社	201508	1,100	1,188
700	教養	心理学	普通心理学/思考創造	9784004315964	学びとは何か：〈探究人〉になるために		今井むつみ	岩波新書	岩波書店	201603	800	864
701	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784163904764	学べるマンガ１００冊：人生と勉強に効く		菊池健（漫画家支援）：佐渡島庸平		文藝春秋	201606	1,300	1,404
702	教養	経済	協同組合	9784863452350	学生支援と大学生協：民主協同社会をめざして		庄司興吉		丸善プラネット(発売：丸善出版)	201503	1,500	1,620
703	教養	技術．工学	工業所有権	9784062884129	楽しく学べる「知財」入門		稲穂健市	講談社現代新書	講談社	201702	860	928
704	教養	英語	近世英語	9784480689603	楽しく習得！英語多読法		クリストファー・ベルトン：渡辺順子	ちくまプリマー新書	筑摩書房	201607	860	928
705	教養	経済	私企業/会社	9784799319642	株式会社の終焉		水野和夫		ディスカヴァー・トゥエンティワン	201609	1,100	1,188
706	教養	経済	私企業/会社	9784805110973	株式会社の本質を問う：２１世紀の企業像		日本経営学会	経営学論集	千倉書房	201606	1,500	1,620
707	教養	経済	経営管理	9784023315396	完全図解一冊で丸わかりドラッカー・ポーター・コトラー入門		中野明		朝日新聞出版	201609	1,400	1,512
708	教養	地理．地誌．紀行	環境論/景観地理学	9784883254415	環境と人間：生態学的であることについて		迫田正美	滋賀県立大学環境ブックレット	サンライズ出版（彦根）	201103	800	864
709	教養	演劇．映画	映画史	9784480097668	監督小津安二郎	増補決定版	蓮実重彦	ちくま学芸文庫	筑摩書房	201612	1,400	1,512
710	教養	経済	管理会計/内部統制	9784532113698	管理会計入門	第２版	加登豊：梶原武久	日経文庫	日本経済新聞出版社	201706	1,000	1,080
711	教養	絵画．書道	鑑賞法	9784480428851	簡単すぎる名画鑑賞術		西岡文彦	ちくま文庫	筑摩書房	201112	840	907
712	教養	スペイン語	スペイン語	9784475034340	簡単なスペイン語１８課		宮本博司		大学書林	199209	1,000	1,080
713	教養	運輸．交通	観光事業	9784818822726	観光デザイン入門：２１世紀は観光創造時代！		篠原靖	跡見観光ブックレット	日本経済評論社	201309	700	756

714	教養	運輸．交通	観光事業	9784818821743	観光学入門		鶴田雅昭	跡見観光ブックレット	日本経済評論社	201203	700	756
715	教養	運輸．交通	観光事業	9784062584302	観光人類学の挑戦：「新しい地球」の生き方		山下晋司	講談社選書メチエ	講談社	200901	1,500	1,620
716	教養	運輸．交通	観光事業史	9784582856927	観光大国スイスの誕生：「辺境」から「崇高なる美の国」へ		河村英和	平凡社新書	平凡社	201307	800	864
717	教養	運輸．交通	観光事業史	9784902927597	観光地経営講座講義録．平成２６年度				日本交通公社	201503	1,000	1,080
718	教養	アジア史．東洋史	朝鮮	9784634150188	韓国国立中央博物館の至宝		呉明淑：金安淑		山川出版社（千代田区）	201203	1,500	1,620
719	教養	芸術．美術	論文集/評論集	9784480091888	眼の隠喩：視線の現象学		多木浩二	ちくま学芸文庫	筑摩書房	200812	1,400	1,512
720	教養	数学	確率論/数理統計学	9784000298513	岩波データサイエンス．ｖｏｌ．１		岩波データサイエンス刊行委員会		岩波書店	201510	1,389	1,500
721	教養	数学	確率論/数理統計学	9784000298520	岩波データサイエンス．ｖｏｌ．２		岩波データサイエンス刊行委員会		岩波書店	201602	1,389	1,500
722	教養	数学	確率論/数理統計学	9784000298537	岩波データサイエンス．ｖｏｌ．３		岩波データサイエンス刊行委員会		岩波書店	201606	1,389	1,500
723	教養	数学	確率論/数理統計学	9784000298544	岩波データサイエンス．ｖｏｌ．４		岩波データサイエンス刊行委員会		岩波書店	201610	1,389	1,500
724	教養	数学	確率論/数理統計学	9784000298551	岩波データサイエンス．ｖｏｌ．５		岩波データサイエンス刊行委員会		岩波書店	201702	1,389	1,500
725	教養	数学	確率論/数理統計学	9784000298568	岩波データサイエンス．ｖｏｌ．６		岩波データサイエンス刊行委員会		岩波書店	201706	1,389	1,500
726	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784484152295	企画はひっくり返すだけ！：「離婚式」「涙活」を成功させたぼくのアイデア術		寺井広樹		ＣＣＣメディアハウス	201512	1,500	1,620
727	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784568240290	企画書は見た目で勝負：契約が面白いほどとれる企画書デザインのコツ		道添進：デザインの現場編集部	デザインビジネス選書	美術出版社	200910	1,500	1,620
728	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784484132211	企画立案の教科書：社会人１年目からできる！		齊藤誠		ＣＣＣメディアハウス	201306	1,500	1,620
729	教養	経済	経営者/企業と社会	9784805111017	企業と社会フォーラム学会誌：企業家精神とサステナブル・イノベーション		企業と社会フォーラム	企業と社会シリーズ	千倉書房	201609	1,500	1,620
730	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784021009082	企業のためのスマホ戦略羅針盤		電通		電通(発売：朝日新聞出版)	201111	1,300	1,404
731	教養	経済	経営者/企業と社会	9784582858297	企業家精神とは何か：シュンペーターを超えて		根井雅弘	平凡社新書	平凡社	201611	760	820
732	教養	経済	経営管理	9784121024268	企業不祥事はなぜ起きるのか：ソーシャル・キャピタルから読み解く組織風土		稲葉陽二	中公新書	中央公論新社	201703	800	864
733	教養	経済	経営学	9784532113667	企業変革の名著を読む		日本経済新聞社	日経文庫	日本経済新聞出版社	201612	1,000	1,080
734	教養	経済	経営管理	9784492533666	危機管理の死角：狙われる企業、安全な企業		小川和久		東洋経済新報社	201508	1,500	1,620
735	教養	絵画．書道	浮世絵	9784896918199	喜多川歌麿：世界が賞賛した〈エロスと色彩〉の魔術師		喜多川歌麿：白倉敬彦	Ｃｏｌｏｒ新書ｙ	洋泉社	200405	1,200	1,296
736	教養	フランス語	フランス語	9784816361081	基礎からレッスンはじめてのフランス語：イラストでパッと見てわかる！		白川理恵		ナツメ社	201610	1,350	1,458
737	教養	英語	英語	9784820748373	基礎からわかる！中学３年間の英語		井上久美	大人のおさらいＢＯＯＫ	日本能率協会マネジメントセンター	201306	1,300	1,404
738	教養	演劇．映画	漫画映画	9784772612470	基礎からわかる手づくりアニメーション：動きの法則・動画の描き方・動かし方		有原誠治		合同出版	201609	1,500	1,620
739	教養	総記	データ処理/情報処理	9784774194172	基礎からわかる情報リテラシー：コンピュータ・インターネットと付き合う基礎知識	改訂第３版ｖｅ	奥村晴彦：森本尚之		技術評論社	201711	1,480	1,598
740	教養	経済	管理会計/内部統制	9784798042022	基本のキホン！管理会計		金子智朗		秀和システム	201411	1,400	1,512
741	教養	経済	経営管理	9784478028124	基本フレームワーク５０：図解		グロービス：嶋田毅		ダイヤモンド社	201511	1,500	1,620
742	教養	経済	経営管理	9784478028124	基本フレームワーク５０：図解		グロービス：嶋田毅		ダイヤモンド社	201511	1,500	1,620
743	教養	経済	経営史/事情	9784822279035	旗手たちのアリア．経営者編		日経ビジネス【編】		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201412	1,500	1,620
744	教養	経済	公益企業	9784822279042	旗手たちのアリア．社会起業家編		日経ビジネス【編】		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201412	1,500	1,620
745	教養	商業	マーケティング	9784496052637	起業家のためのマーケティングバイブル		伊藤健太		同友館	201703	1,500	1,620
746	教養	演劇．映画	映画史	9784166610877	鬼才五社英雄の生涯		春日太一	文春新書	文藝春秋	201608	920	993
747	教養	文学	戯曲/劇作法	9784893092892	戯曲の読み方：戯曲を深く読みこむために		デヴィッド・ポール：常田景子		日本劇作家協会(発売：ブロンズ新社)	200303	1,300	1,404
748	教養	技術．工学	論文集/評論集	9784771026643	技術における倫理：原発技術の不能性と共生のマネジメント		竹内貞雄		市民科学研究所(発売：晃洋書房)	201508	1,200	1,296
749	教養	技術．工学	論文集/評論集	9784864430364	技術を創る：知の本流からのメッセージ		豊橋技術科学大学		日経ＢＰコンサルティング(発売：日経ＢＰマーケティン)	201304	1,500	1,620
750	教養	技術．工学	論文集/評論集	9784889780956	技術屋のためのおもしろ雑学ノート：知っているようで知らない		中井多喜雄【著】		燃焼社	201007	500	540
751	教養	経済	中小企業	9784783823391	逆風を追い風に変えた企業：元気印中小企業のターニングポイント		坂本光司：法政大学		静岡新聞社	201412	1,500	1,620
752	教養	演劇．映画	漫画映画	9784846306601	宮崎駿アニメはすごい！：「崖の上のポニョ」まですべての作品を読み解く		ジブリ研究会		鹿砦社	200808	1,143	1,234
753	教養	演劇．映画	漫画映画	9784582852431	宮崎駿の「深み」へ		村瀬学	平凡社新書	平凡社	200410	780	842
754	教養	演劇．映画	漫画映画	9784336060433	宮崎駿の「半径３００メートル」と『風立ちぬ』		荻原真		国書刊行会	201608	1,200	1,296
755	教養	演劇．映画	漫画映画	9784582857818	宮崎駿再考：『未来少年コナン』から『風立ちぬ』へ		村瀬学	平凡社新書	平凡社	201507	860	928
756	教養	文学	詩歌/韻律学	9784003279717	弓と竪琴		オクタビオ・パス：牛島信明	岩波文庫	岩波書店	201101	1,200	1,296
757	教養	財政	租税政策/行政	9784334039813	巨大企業は税金から逃げ切れるか？：パナマ文書以後の国際租税回避		深見浩一郎	光文社新書	光文社	201704	740	799
758	教養	演劇．映画	漫画映画	9784787961693	京アニを読む		野村幸一郎	新典社新書	新典社	201611	1,000	1,080
759	教養	絵画．書道	浮世絵	9784582764802	京都・一五四七年：上杉本洛中洛外図の謎を解く		今谷明	平凡社ライブラリー	平凡社	200310	1,300	1,404
760	教養	経済	経営史/事情	9784478084120	京都大学の経営学講義いま日本を代表する経営者が考えていること		川北英隆：奥野一成		ダイヤモンド・ビジネス企画(発売：ダイヤモンド社)	201702	1,500	1,620
761	教養	経済	経営政策/経営計画	9784569828824	競争優位としての経営理念		グロービス：嶋田毅		ＰＨＰ研究所	201601	1,500	1,620
762	教養	社会	コミュニケーション理論	9784087111271	共感のレッスン：超情報化社会を生きる		植島啓司：伊藤俊治		集英社	201712	1,500	1,620
763	教養	経済	協同組合	9784894913097	協同労働の挑戦：新たな社会の創造		日本労働者協同組合連合会		萌文社	201604	1,400	1,512
764	教養	経済	経営組織/管理組織	9784883725106	協力し学び合う日本型組織のつくり方：人を育て活かす経営理念		竹村之宏：竹村亘弘		日本生産性本部生産性労働情報センター	201605	1,500	1,620

765	教養	演劇．映画	漫画映画	9784591153383	教養としての１０年代アニメ		町口哲生	ポプラ新書	ポプラ社	201702	900	972
766	教養	図書館．図書館学	読書調査/青少年読書	9784334043025	教養は児童書で学べ		出口治明	光文社新書	光文社	201708	840	907
767	教養	スペイン語	スペイン語	9784471112134	驚くほど身につくスペイン語		ルイス・セポジャダ：山崎佳世	ＣＤレッスン	高橋書店	200304	1,500	1,620
768	教養	絵画．書道	浮世絵	9784634545106	錦絵を読む		浅野秀剛	日本史リブレット	山川出版社（千代田区）	200209	800	864
769	教養	絵画．書道	ルネサンス/バロック	9784121903860	近代絵画史：カラー版．下	増補版	高階秀爾	中公新書	中央公論新社	201709	860	928
770	教養	絵画．書道	ルネサンス/バロック	9784121903853	近代絵画史：カラー版．上	増補版	高階秀爾	中公新書	中央公論新社	201709	840	907
771	教養	絵画．書道	ルネサンス/バロック	9784006021306	近代美術の巨匠たち		高階秀爾	岩波現代文庫	岩波書店	200801	1,080	1,166
772	教養	経済	私企業/会社	9784845113941	銀行から融資を受ける前に読む：資金繰り表を活用した事業再生術		大森雅美		旬報社	201501	1,200	1,296
773	教養	絵画．書道	グラフィックデザイン/図案	9784894536449	栗谷川健一：北海道をデザインした男		鎌田享：北海道立近代美術館	ミュージアム新書	北海道新聞社	201203	1,100	1,188
774	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784822271763	経営としてのサイバーセキュリティ：すべてがつながる時代に向けて		ＮＴＴサイバーセキュリティ研究会		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201510	1,500	1,620
775	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784822271763	経営としてのサイバーセキュリティ：すべてがつながる時代に向けて		ＮＴＴサイバーセキュリティ研究会		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201510	1,500	1,620
776	教養	経済	税務会計	9784754744199	経営に活かす税務の数的基準		野川悟志：互井敏勝		大蔵財務協会	201609	1,111	1,199
777	教養	経済	経営学	9784794424570	経営学：コンパクト基本演習		秋山義継：松岡弘樹		創成社	201505	1,400	1,512
778	教養	経済	経営学	9784478067567	経営者に贈る５つの質問	第２版	ピーター・ファーディ・ドラッカー：上田惇生		ダイヤモンド社	201709	1,500	1,620
779	教養	経済	経営政策/経営計画	9784023313583	経営戦略		平野敦士カール	カール教授のビジネス集中講義	朝日新聞出版	201501	1,500	1,620
780	教養	経済	経営政策/経営計画	9784861866494	経営頭脳育成講座：経営戦略、マーケティング、起業		安達巧		ふくろう出版	201505	1,000	1,080
781	教養	経済	経営比較/経営分析	9784534052735	経営分析の基本：この１冊ですべてわかる		林総		日本実業出版社	201504	1,500	1,620
782	教養	芸術．美術	論文集/評論集	9784480428301	芸術ウソつかない：横尾忠則対談集		横尾忠則	ちくま文庫	筑摩書房	201105	880	950
783	教養	芸術．美術	論文集/評論集	9784863240933	芸術と科学のあいだ		福岡伸一		木楽舎	201511	1,500	1,620
784	教養	芸術．美術	論文集/評論集	9784003242148	芸術と革命：他四篇		ヴィルヘルム・リヒャルト・ワーグナー：北村義男	岩波文庫	岩波書店	201602	440	475
785	教養	芸術．美術	論文集/評論集	9784582856415	芸術回帰論：イメージは世界をつなぐ		港千尋	平凡社新書	平凡社	201205	780	842
786	教養	数学	確率論/数理統計学	9784062579988	結果から原因を推理する「超」入門ベイズ統計		石村貞夫	ブルーバックス	講談社	201612	840	907
787	教養	演劇．映画	映画史	9784334038977	健さんと文太：映画プロデューサーの仕事論		日下部五朗	光文社新書	光文社	201512	800	864
788	教養	財政	税務訴訟/税務判例	9784754743819	権利救済の税務Ｑ＆Ａ：国税における「更正の請求」と「不服申立て」の手引		石鉢隆雄		大蔵財務協会	201412	1,111	1,199
789	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784536600576	見てわかる情報モラル：ディジタル世代のための情報社会の歩き方２２　Ｌｅｓ				日本文教出版（大阪）	201203	376	406
790	教養	絵画．書道	グラフィックデザイン/図案	9784924956926	原研哉		原研哉	ｇｇｇ　ｂｏｏｋｓ	ギンザ・グラフィック・ギャラリー（発売：ＤＮＰアートコミュニ）	200208	1,165	1,258
791	教養	図書．書誌学	編集/編纂	9784888884020	原稿編集ルールブック：原稿を整理するポイント	第２版	日本エディタースクール		日本エディタースクール出版部	201209	500	540
792	教養	演劇．映画	映画史	9784022616562	原節子あるがままに生きて		貴田庄	朝日文庫	朝日新聞出版	201006	680	734
793	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784434235917	現在の新聞漫画を読む：ひなちゃんの日常／コボちゃん／みこすり半劇場／がじ		竹本公彦		風詠社(発売：星雲社)	201707	1,200	1,296
794	教養	演劇．映画	映画史	9784309266251	現代・日本・映画		田中英司		河出書房新社	200301	1,500	1,620
795	教養	絵画．書道	絵画	9784904702246	現代アートの行方：『冬の夏』池田学画集１』副読本		三瀬夏之介：池田学	はとり文庫	羽鳥書店	201106	700	756
796	教養	商業	マーケティング	9784792350635	現代マーケティングの論理		斉藤保昭		成文堂	201503	1,500	1,620
797	教養	総記	情報理論	9784065020357	現代暗号入門：いかにして秘密は守られるのか		神永正博	ブルーバックス	講談社	201710	980	1,058
798	教養	絵画．書道	浮世絵	9784404042774	現代語訳春画：カラー版		早川聞多	新人物文庫	KADOKAWA / 中経出版	201212	952	1,028
799	教養	文学	詩歌/韻律学	9784791767670	現代詩入門	新版	吉野弘		青土社	201403	1,200	1,296
800	教養	文学	小説/物語	9784480096357	現代小説作法		大岡昇平	ちくま学芸文庫	筑摩書房	201408	1,100	1,188
801	教養	芸術．美術	近代明治時代以降	9784062883931	現代美術コレクター		高橋竜太郎	講談社現代新書	講談社	201610	800	864
802	教養	芸術．美術	古社寺	9784480094544	古寺巡礼		和辻哲郎	ちくま学芸文庫	筑摩書房	201204	1,200	1,296
803	教養	日本史	鳥取県	9784864562515	古代出雲繁栄の謎		川原和人	山陰文化ライブラリー	ハーベスト出版	201709	1,500	1,620
804	教養	商業	市場調査/市場予測	9784798042541	顧客の「本音」がわかる９つの質問		橋本哲児		秀和システム	201412	1,400	1,512
805	教養	絵画．書道	鑑賞法	9784480429520	五感でわかる名画鑑賞術		西岡文彦	ちくま文庫	筑摩書房	201206	840	907
806	教養	絵画．書道	イラストレーション	9784087207910	吾輩は猫画家である：ルイス・ウェイン伝		南条竹則	集英社新書ヴィジュアル版	集英社	201506	1,200	1,296
807	教養	芸術．美術	日本芸術史/美術史	9784334038809	誤解だらけの日本美術：デジタル復元が解き明かす「わびさび」		小林泰三	光文社新書	光文社	201509	1,020	1,101
808	教養	演劇．映画	漫画映画	9784480689092	好きなのにはワケがある：宮崎アニメと思春期のこころ		岩宮恵子	ちくまプリマー新書	筑摩書房	201312	780	842
809	教養	絵画．書道	浮世絵	9784044001766	広重：ジャパノロジー・コレクション		大久保純一	角川文庫　角川ソフィア文庫	ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201701	920	993
810	教養	絵画．書道	浮世絵	9784087205749	広重の富士：完全版		安藤広重：赤坂治績	集英社新書ヴィジュアル版	集英社	201101	1,333	1,439
811	教養	社会	文化/文化社会学	9784907684297	広島の現在と（抵抗としての文化）：政治、芸術、大衆文化		柿木伸之		ひろしま女性学研究所	201107	1,000	1,080
812	教養	技術．工学	論文集/評論集	9784004313861	構造災：科学技術社会に潜む危機		松本三和夫	岩波新書	岩波書店	201209	720	777
813	教養	絵画．書道	浮世絵	9784861525544	江戸の悪：浮世絵に描かれた悪人たち		渡邉晃：太田記念美術館		青幻舎	201606	1,500	1,620
814	教養	絵画．書道	浮世絵	9784062924177	江戸の春画		白倉敬彦	講談社学術文庫	講談社	201703	980	1,058
815	教養	絵画．書道	浮世絵	9784896916546	江戸の春画：それはポルノだったのか		白倉敬彦	新書ｙ	洋泉社	200208	780	842

816	教養	絵画．書道	浮世絵	9784862487254	江戸の春画：江戸人の性愛を描く	新版	白倉敬彦	歴史新書ｙ	洋泉社	201104	880	950
817	教養	絵画．書道	浮世絵	9784344982727	江戸の人気浮世絵師：俗とアートを究めた１５人		内藤正人	幻冬舎新書	幻冬舎	201207	940	1,015
818	教養	絵画．書道	浮世絵	9784582855753	江戸をんなの春画本：艶と笑の夫婦指南		Ｃ．アンドリュー・ガーストル		平凡社新書	平凡社	201103	880	950
819	教養	心理学	普通心理学/思考創造	9784309415062	考えるということ：知的創造の方法		大澤真幸	河出文庫	河出書房新社	201701	880	950
820	教養	経済	経営管理	9784820718567	考えるノート		佐々木直彦		日本能率協会マネジメントセンター	201212	1,400	1,512
821	教養	心理学	普通心理学/思考創造	9784408215280	考える教室		酒井邦嘉		実業之日本社	201504	1,200	1,296
822	教養	心理学	普通心理学/思考創造	9784004315711	考え方の教室		齋藤孝（教育学）	岩波新書	岩波書店	201511	780	842
823	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784087207804	荒木飛呂彦の漫画術		荒木飛呂彦	集英社新書	集英社	201504	780	842
824	教養	経済	人事管理/労務管理	9784434198571	行動承認：組織の能力を最大化する「認める力」		正田佐与		パブラボ(発売：星雲社)	201411	1,500	1,620
825	教養	社会	文化/文化社会学	9784532164621	行列ニッポン観察記：ヨコ並び社会のオモシロ縮図		日本経済新聞社		日本経済新聞出版社	200404	1,400	1,512
826	教養	英語	近世英語	9784434199950	高校生からの第二言語習得論入門：理論に基づいた効果的な英語の勉強の仕方		佐竹直喜		ブイツーソリューション(発売：星雲社)	201412	1,180	1,274
827	教養	数学	確率論/数理統計学	9784480689597	高校生からの統計入門		加藤久和	ちくまプリマー新書	筑摩書房	201605	860	928
828	教養	演劇．映画	漫画映画	9784791766932	高畑勲の世界		小谷野敦		青土社	201304	1,400	1,512
829	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784062585507	国家とインターネット		和田伸一郎	講談社選書メチエ	講談社	201304	1,500	1,620
830	教養	英語	近世英語	9784062881043	国際共通語としての英語		鳥飼玖美子	講談社現代新書	講談社	201104	740	799
831	教養	英語	近世英語	9784905194569	国際言語としての英語：文化を越えた伝え合い		本名信行		富山房インターナショナル	201305	1,400	1,512
832	教養	電気工学．電子工学	電波行政	9784807607822	国際電波法規英和辞書	第３版			情報通信振興会	201506	950	1,026
833	教養	演劇．映画	映画史	9784752280019	黒澤明９９の言葉：人生のふとした瞬間に読みたくなる		島敏光	ＮＯＡＨ’Ｓ ＢＯＯＫＳ	飯塚書店	201201	1,500	1,620
834	教養	演劇．映画	映画史	9784591151440	黒澤明の映画入門		都築政昭	ポプラ新書	ポプラ社	201609	800	864
835	教養	経済	人事管理/労務管理	9784883725335	今さら聞けない人事制度の基礎４８話		吉岡利之		日本生産性本部生産性労働情報センター(発売：東京官書普及)	201711	1,500	1,620
836	教養	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784774157481	今すぐ使えるかんたんＷｉ－Ｆｉ無線ＬＡＮ入門ガイド		オンサイト		技術評論社	201307	1,480	1,598
837	教養	総記	コンピュータ/システム/ソフトウェア	9784774185828	今すぐ使えるかんたんＷｉｎｄｏｗｓ １０完全ガイドブック困った解決＆便利技	改訂２版	リブロワークス		技術評論社	201701	1,480	1,598
838	教養	総記	コンピュータ/システム/ソフトウェア	9784774194752	今すぐ使えるかんたんＷｉｎｄｏｗｓ１０	改訂３版	オンサイト：技術評論社		技術評論社	201801	1,000	1,080
839	教養	電気工学．電子工学	データ通信	9784774177601	今すぐ使えるかんたんインターネット＆メール：Ｗｉｎｄｏｗｓ１０対応版		リブロワークス		技術評論社	201512	1,380	1,490
840	教養	総記	コンピュータ/システム/ソフトウェア	9784774180700	今すぐ使えるかんたんぜったいデキます！エクセル２０１６：Ｗｉｎｄｏｗｓ １０対応版		井上香緒里		技術評論社	201605	1,000	1,080
841	教養	経済	事務の機械化	9784774180717	今すぐ使えるかんたんぜったいデキます！ワード２０１６：Ｗｉｎｄｏｗｓ１０対応版		門脇香奈子		技術評論社	201605	1,000	1,080
842	教養	演劇．映画	漫画映画	9784901841948	今敏アニメ全仕事				ジー・ビー	201106	1,200	1,296
843	教養	演劇．映画	映画史	9784062164641	根津甚八		根津仁香		講談社	201009	1,400	1,512
844	教養	経済	経営管理	9784883352722	佐藤可士和さん、仕事って楽しいですか？		佐藤可士和		宣伝会議	201301	1,000	1,080
845	教養	経済	経営管理	9784480864239	佐藤可士和の新しいルールづくり		佐藤可士和：齋藤孝（教育学）		筑摩書房	201303	1,400	1,512
846	教養	経済	職務分析/人事配置	9784121023643	左遷論：組織の論理、個人の心理		楠木新	中公新書	中央公論新社	201602	820	885
847	教養	絵画．書道	浮世絵	9784040822006	最後の浮世絵師月岡芳年		平松洋	角川新書	ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201711	1,100	1,188
848	教養	経済	経営管理	9784539724262	最新！ここまでわかった企業のマイナンバー実務Ｑ＆Ａ		牧野二郎：稲益みつこ		日本法令	201506	1,500	1,620
849	教養	総記	データ処理/情報処理	9784798048666	最新・基本パソコン用語事典	第４版	秀和システム第一出版編集部		秀和システム	201703	950	1,026
850	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784798051338	最新コンテンツ業界の動向とカラクリがよくわかる本：業界人、就職、転職に役立つ情報満載	第３版	中野明	図解入門業界研究	秀和システム	201708	1,400	1,512
851	教養	商業	マーケティング	9784864340526	最新マーケティング		齋藤典晃：松井温文		五絃舎	201509	1,400	1,512
852	教養	地理．地誌．紀行	写真集/紀行	9784003348611	最新世界周航記．上		ウィリアム・ダンピア：平野敬一	岩波文庫	岩波書店	200705	940	1,015
853	教養	地理．地誌．紀行	地図	9784487751464	最新世界地図	８訂版	田林明：浅川俊夫		東京書籍	201303	1,500	1,620
854	教養	経済	雇用/退職/定年制	9784106037887	採用学		服部泰宏	新潮選書	新潮社	201605	1,300	1,404
855	教養	経済	企業会計原則/財務諸表	9784022736840	財務３表一体理解法	増補改訂	國貞克則	朝日新書	朝日新聞出版	201610	820	885
856	教養	経済	企業会計原則/財務諸表	9784022736857	財務３表図解分析法		國貞克則	朝日新書	朝日新聞出版	201610	780	842
857	教養	経済	企業会計原則/財務諸表	9784532113599	財務諸表の見方	第１２版	日本経済新聞社	日経文庫	日本経済新聞出版社	201605	860	928
858	教養	演劇．映画	漫画映画	9784876454860	作家としての宮崎駿：宮崎駿における異文化融合と多文化主義		相良英明	比較文化研究ブックレット	神奈川新聞社	201203	600	648
859	教養	絵画．書道	絵画	9784480091765	作者の図像学		ジャン・リュック・ナンシー：フェデリコ・フェラーリ	ちくま学芸文庫	筑摩書房	200811	1,000	1,080
860	教養	絵画．書道	グラフィックデザイン/図案	9784887523845	三木健		三木健	ｇｇｇ Ｂｏｏｋｓ	ＤＮＰ文化振興財団(発売：ＤＮＰアートコミュニ)	201503	1,165	1,258
861	教養	商業	マーケティング	9784496050992	参加体験から始める価値創造：綿花栽培に学ぶコトづくりマーケティング		松下隆		同友館	201411	1,500	1,620
862	教養	演劇．映画	映画史	9784480062017	山田洋次の〈世界〉：幻風景を追って		切通理作	ちくま新書	筑摩書房	200410	740	799
863	教養	運輸．交通	観光事業	9784330611150	産業観光：ものづくりの観光		須田寛		交通新聞社	201509	1,500	1,620
864	教養	技術．工学	工業災害/労働災害	9784897616018	産業用ロボットＱ＆Ａ １００問：法令を現場レベルで解説した生産ライン災害防止の指南		白崎淳一郎		労働新聞社	201605	1,400	1,512
865	教養	経済	経営政策/経営計画	9784492233733	仕掛学：人を動かすアイデアのつくり方		松村真宏		東洋経済新報社	201610	1,500	1,620
866	教養	総記	コンピュータ/システム/ソフトウェア	9784798047829	仕事のパフォーマンスをアップするＥｘｃｅｌ関数超・基本事項		阿部清人		秀和システム	201609	1,300	1,404

867	教養	演劇．映画	漫画映画	9784004311430	仕事道楽：スタジオジブリの現場		鈴木敏夫	岩波新書	岩波書店	200807	740	799
868	教養	演劇．映画	漫画映画	9784004314868	仕事道楽：スタジオジブリの現場	新版	鈴木敏夫	岩波新書	岩波書店	201405	880	950
869	教養	英語	英語	9784480061911	使うための大学受験英語：今のままでは英語力は身につかない		井上一馬	ちくま新書	筑摩書房	200409	720	777
870	教養	経済	経営管理	9784532196783	使う力：知識とスキルを結果につなげる		御立尚資	日経ビジネス人文庫	日本経済新聞出版社	201304	620	669
871	教養	英語	近世英語	9784894769120	史上最悪の英語政策：ウソだらけの「４技能」看板		阿部公彦		ひつじ書房	201712	1,300	1,404
872	教養	絵画．書道	グラフィックデザイン/図案	9784879406217	四季文様図典：文様を知る・絵引き辞典		紫紅社	紫紅社文庫	紫紅社	201612	1,200	1,296
873	教養	図書館．図書館学	読書調査/青少年読書	9784004315339	子どもと本		松岡享子	岩波新書	岩波書店	201502	820	885
874	教養	図書館．図書館学	読書調査/青少年読書	9784900910881	子どもの読書子どもの未来を考える：古田足日・広瀬恒子対談録		古田足日：広瀬恒子		親子読書地域文庫全国連絡会	201109	571	616
875	教養	演劇．映画	映画史	9784106106446	市川崑と『犬神家の一族』		春日太一	新潮新書	新潮社	201511	720	777
876	教養	社会	コミュニケーション理論	9784894767539	市民の日本語へ：対話のためのコミュニケーションモデルを作る		村田和代：松本功		ひつじ書房	201503	1,400	1,512
877	教養	図書．書誌学	編集/編集	9784877864187	思い出の編集日記		柴崎俊子	掌の本	銀の鈴社	201207	1,000	1,080
878	教養	演劇．映画	映画史	9784087202533	思ひ出５５話松竹大船撮影所		森田郷平：大嶺俊順	集英社新書	集英社	200408	720	777
879	教養	心理学	普通心理学/思考創造	9784888487948	思考・進化・文化：日本人の思考力		山祐嗣		ナカニシヤ出版	200307	1,400	1,512
880	教養	心理学	普通心理学/思考創造	9784480064158	思考の補助線		茂木健一郎	ちくま新書	筑摩書房	200802	720	777
881	教養	図書館．図書館学	読書調査/青少年読書	9784844377375	私が選ぶ絵本１００：絵本を愛する個性的な１０人がセレクト			ｍｏｍｏ　ｂｏｏｋ	マイルスタッフ(発売：インプレス)	201608	1,500	1,620
882	教養	絵画．書道	イラストレーション	9784582765366	私の絵本ろん：中・高校生のための絵本入門		赤羽末吉	平凡社ライブラリー	平凡社	200504	1,000	1,080
883	教養	日本史	山梨県	9784903680385	私の郷土史・日本近現代史拾遺		有泉貞夫		山梨ふるさと文庫	201206	1,500	1,620
884	教養	文学	小説/物語	9784480094339	私の世界文学案内：物語の隠れた小径へ		渡辺京二	ちくま学芸文庫	筑摩書房	201202	1,200	1,296
885	教養	経済	経営史/事情	9784023315471	私をリーダーに導いた２５０冊		朝日新聞出版		朝日新聞出版	201610	1,500	1,620
886	教養	芸術．美術	論文集/評論集	9784582766080	視覚論		ハル・フォスター：榑沼範久	平凡社ライブラリー	平凡社	200704	1,400	1,512
887	教養	文学	詩歌/韻律学	9784003279250	詩という仕事について		ホルヘ・ルイス・ボルヘス：鼓直	岩波文庫	岩波書店	201106	660	712
888	教養	文学	詩歌/韻律学	9784006022020	詩とことば		荒川洋治	岩波現代文庫	岩波書店	201206	860	928
889	教養	文学	詩歌/韻律学	9784864351799	詩と呼ばれる希望：ルヴェルディ、ボヌフォワ等をめぐって		清水茂（フランス文学・詩人）		コールサック社	201412	1,500	1,620
890	教養	文学	詩歌/韻律学	9784000073516	詩学／詩論		アリストテレス：松本仁助	ワイド版岩波文庫	岩波書店	201206	1,400	1,512
891	教養	経済	私企業/会社	9784492314623	資本主義という病：ピケティに欠けている株式会社という視点		奥村宏		東洋経済新報社	201505	1,500	1,620
892	教養	経済	税務会計	9784754743871	事業承継に係る納税猶予・免除手続きの流れ		右山昌一郎：小俣博之		大蔵財務協会	201508	1,389	1,500
893	教養	経済	経営者/企業と社会	9784907574123	事業承継入門．４		追手門学院大学ベンチャービジネス研究所		追手門学院大学出版会(発売：丸善出版)	201603	1,500	1,620
894	教養	経済	税務会計	9784879198242	事例でわかる会計事務所Ｍ＆Ａの準備と進め方		広瀬元義：坂田篤史		三交社（台東区）	201504	1,400	1,512
895	教養	地理．地誌．紀行	地図	9784582418101	字の大きなアトラス世界地図帳		平凡社		平凡社	201503	1,300	1,404
896	教養	商業	マーケティング	9784904794470	時代を読むマーケティング戦略：後期成熟時代のマーケティング		岩崎宇雄		アジア・ユーラシア総合研究所(発売：ＪＲＣ)	201501	1,400	1,512
897	教養	技術．工学	論文集/評論集	9784759803921	自己組織化で生まれる秩序：シロアリ・量子ドット・人間社会		武田計測先端知財団：荒川泰彦		ケイ・ディー・ネオブック(発売：化学同人)	201209	1,000	1,080
898	教養	地理．地誌．紀行	写真集/紀行	9784408454528	自転車ロングツーリング入門：２泊３日から大陸走破の長期自転車旅まで		山下晃和		実業之日本社	201308	1,400	1,512
899	教養	政治	国家と個人/基本的人権	9784061385740	自分のデータは自分で使う：マイビッグデータの衝撃		酒井崇匡	星海社新書	星海社(発売：講談社)	201507	840	907
900	教養	演劇．映画	漫画映画	9784866210070	自分を捨てる仕事術：鈴木敏夫が教えた「真似」と「整理整頓」のメソッド		石井朋彦		ＷＡＶＥ出版	201608	1,500	1,620
901	教養	経済	経営組織/管理組織	9784478029459	叱って伸ばせるリーダーの心得５６		中嶋郁雄		ダイヤモンド社	201411	1,500	1,620
902	教養	絵画．書道	素描/描画	9784837304470	失敗しないらくらくスケッチ：理系アタマを絵に活かす！！		倉前朋子		マール社	201503	1,450	1,566
903	教養	経済	経営史/事情	9784532198442	失敗の研究：巨大組織が崩れるとき		金田信一郎	日経ビジネス人文庫	日本経済新聞出版社	201712	800	864
904	教養	経済	企業会計	9784794425003	実践コーポレート・ファイナンス		菅野正泰		創成社	201704	1,450	1,566
905	教養	経済	経営倫理	9784324100943	実践コンプライアンス・マネジメント入門：「組織の健康づくり」のノウハウ		小滝晃		ぎょうせい	201512	1,389	1,500
906	教養	総記	コンピュータ/プログラミング	9784121505521	実践としてのプログラミング講座		清水亮	中公新書ラクレ	中央公論新社	201604	780	842
907	教養	総記	データ処理/情報処理	9784780605884	実践活用コンピュータリテラシー：Ｗｉｎｄｏｗｓ１０　＆　Ｏｆｆｉｃｅ２０１６対応	第５版	中西宏文		学術図書出版社	201704	1,500	1,620
908	教養	絵画．書道	レタリング/モノグラフ	9784861526367	実用手描文字：『実用図案文字と意匠』新装改訂復刻版		姉崎正広		青幻舎	201709	1,200	1,296
909	教養	演劇．映画	映画史	9784480427991	実録ヤクザ映画で学ぶ抗争史：究極のドラマ		山平重樹	ちくま文庫	筑摩書房	201102	900	972
910	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784262154008	写真から描き起こすマンガデッサン：動けるキャラが上手に描ける！		西野幸治		池田書店（新宿区）	201006	1,500	1,620
911	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784309410395	社会は情報化の夢を見る		佐藤俊樹	河出文庫	河出書房新社	201009	950	1,026
912	教養	経済	公益企業	9784569824086	社会を変えたい人のためのソーシャルビジネス入門		駒崎弘樹	ＰＨＰ新書	ＰＨＰ研究所	201601	820	885
913	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784382056923	社会人のための情報解釈力：活かす・読み解くということ		齋田真一		産業能率大学出版部	201309	1,400	1,512
914	教養	経済	経営管理	9784903966199	社会人基礎力をみがく：アドバンストセミナーマニュアル		山形大学基盤教育院		山形大学出版会	201310	800	864
915	教養	芸術．美術	論文集/評論集	9784122054400	若き芸術家たちへ：ねがいは「普通」		佐藤忠良：安野光雅	中公文庫	中央公論新社	201104	876	946
916	教養	経済	人事管理/労務管理	9784480068354	若手社員が育たない．：「ゆとり世代」以降の人材育成論		豊田義博	ちくま新書	筑摩書房	201506	800	864
917	教養	演劇．映画	映画史	9784792795702	若松孝二と赤軍レッド・アーミー		原渕勝仁	情況新書	世界書院	201607	1,200	1,296

918	教養	演劇．映画	映画演出制作	9784022503596	若松孝二実録・連合赤軍あさま山荘への道程		「実録・連合赤軍」編集委員会：掛川正幸		朝日新聞出版	200802	1,400	1,512
919	教養	経済	合理化/生産性	9784526075100	手っとり早い改善実施ノウハウ		東沢文二		日刊工業新聞社	201601	1,500	1,620
920	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784568502893	手軽で簡単！デジタルでマンガを描こう			激マンシリーズ コミッカーズマンガ技法書	美術出版社	200703	1,500	1,620
921	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784048677998	手塚治虫：知られざる天才の苦悩		手塚真	アスキー新書	アスキー・メディアワークス(発売：ＫＡＤＯＫＡＷＡ)	200906	743	802
922	教養	演劇．映画	映画史	9784845630523	手塚治虫エッセイ集成　映画・アニメ観てある記		手塚治虫	立東舎文庫	立東舎(発売：リットーミュージック)	201706	900	972
923	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784198631635	手塚治虫が生きていたら電子コミックをどう描いていただろう：大塚教授の漫画講座		大塚英志		徳間書店	201104	1,500	1,620
924	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784779618376	手塚治虫とキャラクターの世界：完全保存版		手塚プロダクション	サンエイムック	三栄書房	201306	933	1,007
925	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784087204902	手塚先生、締め切り過ぎてます！		福元一義	集英社新書	集英社	200904	700	756
926	教養	英語	近世英語	9784872179064	受けてみよう！ＴＯＥＩＣ　ＢＲＩＤＧＥテスト．完全攻略編	改訂新版	高山芳樹：ジェフリー・トーザ		アスク出版	201407	1,500	1,620
927	教養	英語	近世英語	9784904827239	受験英語だからこそ英語が話せるようになる		松井道男		游学社	201310	1,400	1,512
928	教養	教育	保健体育科	9784890261765	授業者は昆虫型ロボットＧｅｎｇｈｉｓの夢を見たか：「高次脳／低次脳」フレームワーク		中井孝章		日本教育研究センター	201510	1,500	1,620
929	教養	絵画．書道	浮世絵	9784062920049	春画：片手で読む江戸の絵		タイモン・スクリーチ：高山宏	講談社学術文庫	講談社	201007	1,050	1,134
930	教養	絵画．書道	浮世絵	9784166610440	春画入門		車浮代	文春新書	文藝春秋	201509	900	972
931	教養	数学	確率論/数理統計学	9784822338763	初めて学ぶ統計		総務省統計研修所		日本統計協会	201606	1,000	1,080
932	教養	スペイン語	スペイン語		初級スペイン語：動詞の時制中心		原誠		三修社	198604	1,300	1,404
933	教養	スペイン語	スペイン語		初級スペイン語問題集		柳沢豊		大学書林	199204	1,500	1,620
934	教養	経済	人事管理/労務管理	9784845114610	女性活躍「不可能」社会ニッポン：原点は「丸子警報器主婦パート事件」にあった！		渋谷龍一		旬報社	201605	1,500	1,620
935	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784798129693	勝ち残る会社のＷｅｂサイト経営術：集客・運営を見える化し、すばやく、着実に成果を生み		Ｍａｎａｇｅｍｅｎｔ Ｉｎ－Ｓｉｔｅ		翔泳社	201209	1,500	1,620
936	教養	商業	販売経路/商品流通機構	9784062883252	商店街はいま必要なのか：「日本型流通」の近現代史		満薗勇	講談社現代新書	講談社	201507	840	907
937	教養	商業	マーケティング	9784822273903	商品を売るな：コンテンツマーケティングで「見つけてもらう」仕組み		宗像淳【著】		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201412	1,500	1,620
938	教養	商業	マーケティング	9784532319564	小さな会社こそ、高く売りなさい		竹内謙礼		日本経済新聞出版社	201411	1,500	1,620
939	教養	総記	コンピュータ/プログラミング	9784385364407	小学校にプログラミングがやってきた！：超入門編		上松恵理子		三省堂	201612	1,200	1,296
940	教養	文学	小説/物語	9784122057098	小説、世界の奏でる音楽		保坂和志	中公文庫	中央公論新社	201210	1,048	1,131
941	教養	文学	小説/物語	9784480429797	小説のストラテジー		佐藤亜紀【著】	ちくま文庫	筑摩書房	201211	880	950
942	教養	文学	小説/物語	9784480037749	小説の解剖学		中条省平	ちくま文庫	筑摩書房	200209	760	820
943	教養	文学	小説/物語	9784003770023	小説の技法		ミラン・クンデラ：西永良成	岩波文庫	岩波書店	201605	780	842
944	教養	文学	小説/物語	9784309412153	小説の読み方、書き方、訳し方		柴田元幸：高橋源一郎	河出文庫	河出書房新社	201304	740	799
945	教養	文学	小説/物語	9784003109656	小説の認識		伊藤整	岩波文庫	岩波書店	200608	740	799
946	教養	文学	小説/物語	9784003109632	小説の方法		伊藤整	岩波文庫	岩波書店	200606	760	820
947	教養	文学	小説/物語	9784003100417	小説神髄	改版	坪内逍遥	岩波文庫	岩波書店	201006	700	756
948	教養	文学	小説/物語	9784122063020	小説読本		三島由紀夫	中公文庫	中央公論新社	201610	700	756
949	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784777118403	小池一夫のキャラクター創造論：読者が「飽きない」キャラクターを生み出す方法		小池一夫		ゴマブックス	201608	1,200	1,296
950	教養	演劇．映画	映画史	9784022598530	小津安二郎：生誕１００年記念「Ｏｚｕ　２００３」の記録		蓮実重彦：山根貞男	朝日選書	朝日新聞出版	200406	1,300	1,404
951	教養	演劇．映画	映画史	9784006022167	小津安二郎周游．下		田中眞澄	岩波現代文庫	岩波書店	201303	1,040	1,123
952	教養	演劇．映画	映画史	9784006022150	小津安二郎周游．上		田中眞澄	岩波現代文庫	岩波書店	201302	980	1,058
953	教養	演劇．映画	映画史	9784480434272	小津映画粋な日本語		中村明	ちくま文庫	筑摩書房	201702	880	950
954	教養	商業	販売経路/商品流通機構	9784785505035	小売・流通用語集：流通業界で働く方必携		流通科学大学		商業界	201602	1,200	1,296
955	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784093884358	少年の名はジルベール		竹宮恵子		小学館	201602	1,400	1,512
956	教養	図書館．図書館学	読書調査/青少年読書	9784903175720	昭和こども図書館：今でも読める思い出の児童書ガイド		初見健一		大空出版	201707	1,500	1,620
957	教養	商業	商品包装	9784766128741	昭和のレトロパッケージ		初見健一		グラフィック社	201601	1,400	1,512
958	教養	財政	間接税/物品税	9784539725702	消費税軽減税率・インボイス対応マニュアル		熊王征秀		日本法令	201711	1,400	1,512
959	教養	商業	市場調査/市場予測	9784480069849	消費大陸アジア：巨大市場を読みとく		川端基夫	ちくま新書	筑摩書房	201709	780	842
960	教養	英語	近世英語	9784327452766	笑える英語のジョーク百連発！：Ｎｏ　Ｊｏｋｅ，Ｎｏ　Ｌｉｆｅ．		大島希巳江		研究社	201607	1,300	1,404
961	教養	演劇．映画	映画史	9784087205909	証言日中映画人交流		劉文兵	集英社新書	集英社	201104	760	820
962	教養	スペイン語	スペイン語	9784475016094	上級スペイン語研修：談話体		笠井鎮夫		大学書林	197811	1,500	1,620
963	教養	社会	文化/文化社会学	9784873544625	上方文化を探索する		井上宏（社会学）		関西大学出版部	200810	1,400	1,512
964	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784434207891	情報セキュリティの内部監査：ＪＩＳ　Ｑ　２７００１：２０１４に対応する内部監査		山田永三：纐纈一郎		ブイツーソリューション(発売：星雲社)	201507	900	972
965	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784434207891	情報セキュリティの内部監査：ＪＩＳ　Ｑ　２７００１：２０１４に対応する内部監査		山田永三：纐纈一郎		ブイツーソリューション(発売：星雲社)	201507	900	972
966	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784303733940	情報は誰のものか：農業、医療、エネルギー、オープンガバメント、ダイバ		情報処理推進機構		海文堂出版	201501	1,400	1,512
967	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784865100747	情報モラル＆情報セキュリティ：３２の事例でわかりやすく解説！		富士通エフ・オー・エム株式会社		富士通エフ・オー・エム	201312	500	540
968	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784865102741	情報モラル＆情報セキュリティ：３６の事例でわかりやすく解説！	改訂版	富士通エフ・オー・エム株式会社		富士通エフ・オー・エム	201602	500	540

969	教養	総記	情報管理/ドキュメント	9784022735270	情報を２００％活かす池上彰のニュースの学校		池上彰	朝日新書	朝日新聞出版	201310	780	842
970	教養	総記	情報管理/ドキュメント	9784062177504	情報以前の知的作法踊らされる、自ら踊れ		西きょうじ		講談社	201206	1,238	1,337
971	教養	経済	管理会計/内部統制	9784794414922	情報化意思決定会計	改訂版	町田耕一		創成社	201506	1,500	1,620
972	教養	総記	コンピュータ/プログラミング	9784864293662	情報科学部学生のためのＣ言語の基礎	第３版	島和之		大学教育出版	201604	1,500	1,620
973	教養	総記	データ処理/情報処理	9784563015930	情報基礎：はじめて学ぶＩＣＴの世界		上繁義史		培風館	201603	1,500	1,620
974	教養	総記	情報管理/ドキュメント	9784820410102	情報検索演習		大谷康晴：安形輝	ＪＬＡ図書館情報学テキストシリーズ	日本図書館協会	201101	1,200	1,296
975	教養	総記	情報管理/ドキュメント	9784905428275	情報検索演習：フリーサイトでスキルアップ	第７版	石井保廣		佐伯印刷	201207	1,143	1,234
976	教養	芸術．美術	近代明治時代以降	9784140912119	情報社会の情念：クリエイティブの条件を問う		黒瀬陽平	ＮＨＫブックス	ＮＨＫ出版	201312	1,000	1,080
977	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784762018190	情報社会学の基礎		圓岡偉男	早稲田社会学ブックレット	学文社	201209	1,200	1,296
978	教養	総記	コンピュータ/システム/ソフトウェア	9784822297978	情報利活用プレゼンテーション：ＰｏｗｅｒＰｏｉｎｔ ２０１６対応		山崎紅		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201603	1,200	1,296
979	教養	総記	コンピュータ/システム/ソフトウェア	9784822297961	情報利活用表計算：Ｅｘｃｅｌ ２０１６対応		阿部香織		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201603	1,200	1,296
980	教養	経済	事務の機械化	9784822297954	情報利活用文書作成：Ｗｏｒｄ ２０１６対応		土岐順子		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201603	1,200	1,296
981	教養	総記	情報理論	9784480093585	情報理論		甘利俊一	ちくま学芸文庫	筑摩書房	201104	1,300	1,404
982	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784774168227	情報倫理：ネット時代のソーシャル・リテラシー		高橋慈子：原田隆史		技術評論社	201501	1,280	1,382
983	教養	図書．書誌学	編集/編纂	9784004300656	職業としての編集者		吉野源三郎	岩波新書	岩波書店	199501	780	842
984	教養	絵画．書道	色彩/彩色	9784881081617	色のえほん		早坂優子：視覚デザイン研究所		視覚デザイン研究所	200104	1,400	1,512
985	教養	絵画．書道	色彩/彩色	9784334037772	色彩がわかれば絵画がわかる		布施英利	光文社新書	光文社	201312	900	972
986	教養	絵画．書道	グラフィックデザイン/図案	9784887523876	色部義昭		色部義昭	ｇｇｇ Ｂｏｏｋｓ	ＤＮＰ文化振興財団(発売：ＤＮＰアートコミュニ)	201509	1,165	1,258
987	教養	絵画．書道	浮世絵	9784766418361	触れ、語れ：浮世絵をめぐる知的冒険		浮世絵ってどうやってみるんだ？会議	慶應義塾大学教養研究センター選書	慶應義塾大学教養研究センター(発売：慶応義塾大学出版会)	201105	700	756
988	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784022737199	信じてはいけない：民主主義を壊すフェイクニュースの正体		平和博	朝日新書	朝日新聞出版	201706	760	820
989	教養	経済	経営管理	9784478083239	心こそ大切なれ：心が変われば行動が変わる、行動が変われば世界が変わ		野田大智		ダイヤモンド・ビジネス企画(発売：ダイヤモンド社)	201311	1,500	1,620
990	教養	図書館．図書館学	読書調査/青少年読書	9784006022778	心に緑の種をまく：絵本のたのしみ		渡辺茂男	岩波現代文庫	岩波書店	201604	1,220	1,317
991	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784870355507	心をつかむビジュアル・ストーリー型プレゼンテーション：ふつうの女子大生たちが身につけた抜群のプレゼンカの		福岡女学院大学		梓書院	201505	1,300	1,404
992	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784870355507	心をつかむビジュアル・ストーリー型プレゼンテーション：ふつうの女子大生たちが身につけた抜群のプレゼンカの		福岡女学院大学		梓書院	201505	1,300	1,404
993	教養	心理学	普通心理学/思考創造	9784788914834	心を動かすデザインの秘密：認知心理学から見る新しいデザイン学		荷方邦夫		実務教育出版	201304	1,300	1,404
994	教養	地理．地誌．紀行	環境論/景観地理学	9784480016539	新・風景論：哲学的考察		清水真木	筑摩選書	筑摩書房	201708	1,500	1,620
995	教養	英語	近世英語	9784023312906	新ＴＯＥＩＣ ＴＥＳＴドリーム特急全パート実戦対策		森田鉄也：花田徹也		朝日新聞出版	201404	890	961
996	教養	英語	近世英語	9784023311930	新ＴＯＥＩＣ ＴＥＳＴパート１・２特急２出る問題問２００		森田鉄也		朝日新聞出版	201304	760	820
997	教養	英語	近世英語	9784023313231	新ＴＯＥＩＣ ＴＥＳＴ初心者特急．読解編		神崎正哉：ＴＥＸ加藤		朝日新聞出版	201409	760	820
998	教養	英語	近世英語	9784023309371	新ＴＯＥＩＣ ＴＥＳＴ正解特急ルール５５		森田鉄也：カール・ロズボルド		朝日新聞出版	201105	700	756
999	教養	英語	近世英語	9784023311787	新ＴＯＥＩＣ ＴＥＳＴ全力特急絶対ハイスコア		浜崎潤之輔：キムデギュン		朝日新聞出版	201303	890	961
1000	教養	英語	近世英語	9784023311190	新ＴＯＥＩＣ ＴＥＳＴ単語特急．３		森田鉄也：ダニエル・ワーリナ		朝日新聞出版	201210	760	820
1001	教養	英語	近世英語	9784023312296	新ＴＯＥＩＣ ＴＥＳＴ読解特急．５（ダブルパッセージ編）		神崎正哉：ＴＥＸ加藤		朝日新聞出版	201309	760	820
1002	教養	英語	近世英語	9784769610960	新ＴＯＥＩＣテスト１日３分で苦手パートをモノにする．文法編		山本淳子		こう書房	201305	900	972
1003	教養	英語	近世英語	9784010940457	新ＴＯＥＩＣテストズバリ出るパーフェクト英文法：７日間の直前対策！	（新装版）	石井辰哉		旺文社	201309	952	1,028
1004	教養	英語	近世英語	9784010940471	新ＴＯＥＩＣテストでる順パワーリスニング：７日間でスコアアップ！	（新装版）	ロバート・Ａ．ヒルキ：ボール・ワーデン		旺文社	201309	1,200	1,296
1005	教養	英語	近世英語	9784010940464	新ＴＯＥＩＣテスト出る８パターンスピードリーディング：９日間でできる！	（新装版）	柴山かつの：ロバート・Ａ．ヒルキ		旺文社	201309	952	1,028
1006	教養	英語	近世英語	9784434193996	新ＴＯＥＩＣの英熟語：頻出３０００語	Ｖｅｒ．２．３	ユニ出版会		ユニ出版会(発売：星雲社)	201406	800	864
1007	教養	英語	近世英語	9784434200137	新ＴＯＥＩＣの英単語．ｖｅｒ．２．５		ユニ出版会		ユニ出版会(発売：星雲社)	201412	800	864
1008	教養	英語	近世英語	9784434186813	新ＴＯＥＩＣの英単熟語プレミアム７０００		ユニ出版会		ユニ出版会(発売：星雲社)	201312	800	864
1009	教養	英語	近世英語	9784434180514	新ＴＯＥＩＣ覚えるための英単語テスト５０００：携帯コンパクト版		ユニ出版会		ユニ出版会(発売：星雲社)	201306	800	864
1010	教養	財政	税務訴訟/税務判例	9784754723552	新しい国税不服申立手続ハンドブック：Ｑ＆Ａ		黒坂昭一		大蔵財務協会	201609	1,389	1,500
1011	教養	経済	経営管理	9784798501857	新たな事業価値の創造：ビジネスを変革に導く１０の視点		九州大学		ＱＢＳ出版(発売：九州大学出版会)	201607	1,200	1,296
1012	教養	運輸．交通	観光事業史	9784888941723	新たな集客に挑む！インバウンドＢＵＳＩＮＥＳＳ：外国人旅行者の集客による市場開発、地域振興のための		日本観光振興協会		日本観光振興協会	201209	1,300	1,404
1013	教養	経済	公益企業	9784907514211	新市民伝：ＮＰＯを担う人々		辻陽明：新市民伝制作プロジェクト		講談社エディトリアル	201506	1,200	1,296
1014	教養	経済	雇用/退職/定年制	9784532113230	新卒採用の実務		岡崎仁美	日経文庫	日本経済新聞出版社	201411	860	928
1015	教養	日本史	千葉県	9784336053398	新編千葉の歴史夜話		畑中雅子		国書刊行会	201103	1,500	1,620
1016	教養	地理．地誌．紀行	地図	9784807140756	新編標準高等地図	（平成１４年）最	帝国書院	Ｔｅｉｋｏｋｕ’ｓ ａｔｌａｓ	帝国書院	200209	1,500	1,620
1017	教養	経済	企業/経営	9784062884259	真説・企業論：ビジネススクールが教えない経営学		中野剛志	講談社現代新書	講談社	201705	800	864
1018	教養	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784535586246	人と芸術とアンドロイド：私はなぜロボットを作るのか		石黒浩		日本評論社	201209	1,500	1,620
1019	教養	文学	小説/物語	9784480689795	人はなぜ物語を求めるのか		千野帽子	ちくまプリマー新書	筑摩書房	201703	840	907

1020	教養	社会	文化/文化社会学	9784861866135	人びとのかたち：比較文化論十二講	改訂版	三笘民雄		ふくろう出版	201409	1,500	1,620
1021	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784062726344	人を惹きつける技術：カリスマ劇画原作者が指南する売れる「キャラ」の創り		小池一夫	講談社＋α新書	講談社	201001	838	905
1022	教養	技術．工学	論文集/評論集	9784863453517	人間？機械？：睡眠・ヒト型ロボット・無人操縦		武田計測先端知財団		丸善プラネット(発売：丸善出版)	201711	1,200	1,296
1023	教養	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784526077319	人間とロボットの法則		石黒浩		日刊工業新聞社	201707	1,500	1,620
1024	教養	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784062203852	人間と機械のあいだ：心はどこにあるのか		池上高志：石黒浩		講談社	201612	1,300	1,404
1025	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784153200166	人間はガジェットではない：ＩＴ革命の変質とヒトの尊厳に関する提言		ジャロン・ラニアー：井口耕二	ハヤカワ新書ｊｕｉｃｅ	早川書房	201012	1,500	1,620
1026	教養	絵画．書道	素描/描画	9784845915736	人間を描く		ピーター・ジェニー：石田友里	ＨＯＷ　ＴＯ　ＳＥＥシリーズ	フィルムアート社	201508	1,100	1,188
1027	教養	経済	人事管理/労務管理	9784023314559	人工知能×ビッグデータが「人事」を変える		福原正大：徳岡晃一郎		朝日新聞出版	201601	1,500	1,620
1028	教養	経済	人事管理/労務管理	9784023314559	人工知能×ビッグデータが「人事」を変える		福原正大：徳岡晃一郎		朝日新聞出版	201601	1,500	1,620
1029	教養	総記	情報理論	9784166610914	人工知能と経済の未来：２０３０年雇用大崩壊		井上智洋	文春新書	文藝春秋	201607	800	864
1030	教養	総記	情報理論	9784065020012	人工知能はいかにして強くなるのか？：対戦型ＡＩで学ぶ基本のしくみ		小野田博一	ブルーバックス	講談社	201701	1,000	1,080
1031	教養	総記	情報理論	9784863101852	人工知能はこうして創られる		合原一幸		ウェッジ	201709	1,500	1,620
1032	教養	総記	情報理論	9784478102541	人工知能はどのようにして「名人」を超えたのか？：最強の将棋ＡＩボナンザの開発者が教える機械学習・深		山本一成		ダイヤモンド社	201705	1,500	1,620
1033	教養	総記	情報理論	9784040800202	人工知能は人間を超えるか：ディープラーニングの先にあるもの		松尾豊	角川ＥＰＵＢ選書	ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201503	1,400	1,512
1034	教養	総記	情報理論	9784797391695	人工知能解体新書：ゼロからわかる人工知能のしくみと活用		神崎洋治	サイエンス・アイ新書	ＳＢクリエイティブ	201704	1,000	1,080
1035	教養	経済	経営者/企業と社会	9784478100707	人生を変えるドラッカー：小説でわかる名著『経営者の条件』		吉田麻子		ダイヤモンド社	201612	1,500	1,620
1036	教養	絵画．書道	素描/描画	9784837301868	人体デッサンのための美術解剖学ノート：骨と筋肉、これがわかれば絵は変わる！		ジョヴァンニ・チヴァルディ：榊原直樹		マール社	201401	1,200	1,296
1037	教養	技術．工学	論文集/評論集	9784864431026	人類の技術：日本発のイノベーション		豊橋技術科学大学		日経ＢＰコンサルティング(発売：日経ＢＰマーケティング)	201604	1,500	1,620
1038	教養	社会科学	論文集	9784140885130	人類の未来：ＡＩ、経済、民主主義		ノーム・チョムスキー：レイ・カーツワイル	ＮＨＫ出版新書	ＮＨＫ出版	201704	940	1,015
1039	教養	経済	経営政策/経営計画	9784839954420	図解＆事例で学ぶビジネス統計の教科書		倉橋一成		マイナビ出版	201507	1,380	1,490
1040	教養	電気工学．電子工学	データ通信	9784774176505	図解ＨＴＭＬ５　＆　ＣＳＳ３：最新版		リブロワークス	今すぐ使えるかんたんｍｉｎｉ	技術評論社	201511	1,080	1,166
1041	教養	経済	経営管理	9784478100929	図解基本ビジネス思考法４５：グロービスＭＢＡキーワード		グロービス：嶋田毅		ダイヤモンド社	201702	1,500	1,620
1042	教養	経済	経営管理	9784478100929	図解基本ビジネス思考法４５：グロービスＭＢＡキーワード		グロービス：嶋田毅		ダイヤモンド社	201702	1,500	1,620
1043	教養	経済	経営管理	9784478069097	図解基本ビジネス分析ツール５０：グロービスＭＢＡキーワード		グロービス：嶋田毅		ダイヤモンド社	201606	1,500	1,620
1044	教養	経済	経営管理	9784478021927	図解考える力：論理的な思考がかんたんに身につく「７つのシンプルし		イノベーションクラブ	Ｉｎｎｏｖａｔｉｏｎ ｃｌｕｂ ｂｏｏｋ	ダイヤモンド社	201208	1,000	1,080
1045	教養	総記	情報管理/ドキュメント	9784492092996	図解仕事ができる人のノート術：アイデアマラソンが仕事も人生も豊かにする	新版	樋口健夫【著】		東洋経済新報社	201112	1,500	1,620
1046	教養	商業	商品化/商品計画	9784865650730	図解実践ＭＯＴマーケティング入門：新事業を成功に導く市場へのアプローチ	改訂新版	出川通		雲視舎	201701	1,200	1,296
1047	教養	経済	経営政策/経営計画	9784865650655	図解実践オープン・イノベーション入門：新事業・新商品を生み出すための経営と技術の革新マネ		出川通：中村善貞		雲視舎	201610	1,200	1,296
1048	教養	財政	租税政策/行政	9784788281134	図解税制改正のポイント．平成２８年度		名南経営		新日本法規出版	201603	463	500
1049	教養	財政	租税政策/行政	9784788282261	図解税制改正のポイント．平成２９年度		名南経営		新日本法規出版	201703	463	500
1050	教養	電気工学．電子工学	アンテナ	9784798047959	図解入門よくわかる最新アンテナの基本と仕組み：電波の基本から各種アンテナまで		吉村和昭：重井宣行	Ｈｏｗ－ｎｕａｌ ｖｉｓｕａｌ ｇｕｉｄｅ ｂｏｏｋ	秀和システム	201611	1,400	1,512
1051	教養	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784798038667	図解入門よくわかる最新シーケンス制御の基本：自動制御の基本からシーケンス図まで！　制御の初歩		藤瀧和弘	Ｈｏｗ－ｎｕａｌ ｖｉｓｕａｌ ｇｕｉｄｅ ｂｏｏｋ	秀和システム	201307	1,400	1,512
1052	教養	経済	中小企業	9784496051500	図解要説中小企業白書を読む．２０１５年度対応版		東洋大学経済学部・白書研究会：安田武彦		同友館	201508	1,500	1,620
1053	教養	経済	中小企業	9784901731249	図説日本の中小企業．２０１６		商工総合研究所		商工総合研究所	201608	1,000	1,080
1054	教養	経済	中小企業	9784901731263	図説日本の中小企業．２０１７		商工総合研究所		商工総合研究所	201708	1,000	1,080
1055	教養	電気工学．電子工学	オーディオ機器	9784864431149	垂直記録とビッグデータ：豊かな文明を築いた日本の独創技術		岩崎俊一		日経ＢＰコンサルティング(発売：日経ＢＰマーケティング)	201612	1,500	1,620
1056	教養	絵画．書道	日本画/東洋画	9784416311301	水墨・墨彩画による辰の描法		山下秀樹		誠文堂新光社	201109	1,000	1,080
1057	教養	社会	文化/文化社会学	9784416315088	水曜日のアニメが待ち遠しい：フランス人から見た日本サブカルチャーの魅力を解き明		トリスタン・ブルネ		誠文堂新光社	201508	1,500	1,620
1058	教養	運輸．交通	観光事業史	9784888941365	数字でみる観光．２００４				日本観光振興協会	200408	572	617
1059	教養	運輸．交通	観光事業史	9784794480262	数字でみる観光．２００７－２００８年度版		日本観光協会		創成社	200710	600	648
1060	教養	運輸．交通	観光事業史	9784794480446	数字でみる観光．２０１０－２０１１年度版		日本観光協会		創成社	201011	600	648
1061	教養	運輸．交通	観光事業史	9784794480552	数字でみる観光．２０１１－２０１２年度版		日本観光振興協会		創成社	201201	600	648
1062	教養	運輸．交通	観光事業史	9784990372217	数字でみる観光．２０１２－２０１３年度版		日本観光振興協会		オメガコム	201302	600	648
1063	教養	運輸．交通	観光事業史	9784888941761	数字でみる観光．２０１４年度版		日本観光振興協会		日本観光振興協会	201408	600	648
1064	教養	運輸．交通	観光事業史	9784888941808	数字でみる観光．２０１５年度版		日本観光振興協会		日本観光振興協会	201512	600	648
1065	教養	運輸．交通	観光事業史	9784888941822	数字でみる観光．２０１６年度版		日本観光振興協会		日本観光振興協会	201611	600	648
1066	教養	地理．地誌．紀行	写真集/紀行	9784309275659	世にもふしぎな極上ワンダーランド		渋川育由		河出書房新社	201502	1,450	1,566
1067	教養	数学	確率論	9784062579674	世の中の真実がわかる「確率」入門：偶然を味方につける数学的思考力		小林道正	ブルーバックス	講談社	201604	900	972
1068	教養	経済	経営管理	9784820719113	世界Ｎｏ．１コンサルティング・ファームが教える成長のルール：ハイパフォーマー集団が大切にする３つの仕事力		作佐部孝哉		日本能率協会マネジメントセンター	201411	1,400	1,512
1069	教養	経済	経営管理	9784820719113	世界Ｎｏ．１コンサルティング・ファームが教える成長のルール：ハイパフォーマー集団が大切にする３つの仕事力		作佐部孝哉		日本能率協会マネジメントセンター	201411	1,400	1,512
1070	教養	総記	コンピュータ/プログラミング	9784798049793	世界でいちばん簡単なＰｙｔｈｏｎプログラミングのｅ本		金城俊哉		秀和システム	201703	1,500	1,620

1071	教養	総記	コンピュータ/プログラミング	9784798052861	世界でいちばん簡単なＶｉｓｕａｌ　Ｂａｓｉｃのｅ本：Ｖｉｓｕａｌ　Ｂａｓｉｃの基本と考え方がわかる本	最新第４版	金城俊哉		秀和システム	201712	1,500	1,620
1072	教養	総記	コンピュータ/プログラミング	9784798052885	世界でいちばん簡単なＶｉｓｕａｌ　Ｃ＋＋のｅ本：標準Ｃ＋＋の基本と考え方がわかる本	最新第２版	金城俊哉		秀和システム	201712	1,400	1,512
1073	教養	総記	コンピュータ/プログラミング	9784798052878	世界でいちばん簡単なＶｉｓｕａｌＣ#のｅ本：Ｖｉｓｕａｌ Ｃ＃２０１７の基本と考え方がわかる本	第３版	金城俊哉		秀和システム	201711	1,500	1,620
1074	教養	電気工学．電子工学	データ通信	9784798048956	世界でいちばん簡単なサーバーのｅ本	最新第４版	金城俊哉		秀和システム	201702	1,500	1,620
1075	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784532319267	世界でいちばん自由な働き方：グーグル、アップル、フェイスブックなどが実践する		天野雅晴		日本経済新聞出版社	201405	1,500	1,620
1076	教養	経済	中小企業	9784062883009	世界に冠たる中小企業		黒崎誠	講談社現代新書	講談社	201502	800	864
1077	教養	英語	英語	9784492044209	世界のグロービッシュ：１５００語で通じる驚異の英語術		ジャン・ポール・ネリエール：ディビッド・ホン		東洋経済新報社	201103	1,500	1,620
1078	教養	英語	英語	9784087202175	世界の英語を歩く		本名信行	集英社新書	集英社	200311	760	820
1079	教養	地理．地誌．紀行	地名研究	9784582855623	世界の国名地名うんちく大全		八幡和郎【著】	平凡社新書	平凡社	201012	880	950
1080	教養	財政	租税政策/行政	9784772612210	世界の富を再分配する３０の方法：グローバル・タックスが世界を変える		上村雄彦		合同出版	201604	1,400	1,512
1081	教養	地理．地誌．紀行	写真集/紀行	9784902443158	世界を歩く君たちへ：エッセーでふれる異文化の素顔		浅間正通		遊行社(発売：ＪＲＣ)	201112	1,300	1,404
1082	教養	絵画．書道	イラストレーション	9784759819229	世界一美しい数学塗り絵：宇宙の紋様		アレックス・ベロス：エドマンド・ハリス		化学同人	201611	1,400	1,512
1083	教養	運輸．交通	観光事業史	9784492502907	世界一訪れたい日本のつくりかた：新・観光立国論【実践編】		デービッド・アトキンソン		東洋経済新報社	201707	1,500	1,620
1084	教養	心理学	普通心理学/思考創造	9784822248536	世界基準の「論理力」：武器としてのロジカルシンキング！		荒井裕樹		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201208	1,500	1,620
1085	教養	地理．地誌．紀行	写真集/紀行	9784062924382	世界探検史		長澤和俊	講談社学術文庫	講談社	201707	1,450	1,566
1086	教養	文学	文学理論/作法	9784845916023	性格類語辞典．ネガティブ編		アンジェラ・アッカーマン：ベッカ・パグリッシ		フィルムアート社	201606	1,300	1,404
1087	教養	文学	文学理論/作法	9784845916016	性格類語辞典．ポジティブ編		アンジェラ・アッカーマン：ベッカ・パグリッシ		フィルムアート社	201606	1,300	1,404
1088	教養	経済	経営政策/経営計画	9784532113629	成果を生む事業計画のつくり方		平井孝志：浅羽茂	日経文庫	日本経済新聞出版社	201609	1,000	1,080
1089	教養	経済	経営管理	9784478025390	成功は９９％が情熱！：どんな人でもやる気になれる３６のアクション		水野元気		ダイヤモンド社	201309	1,300	1,404
1090	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784478021576	成功はすべてコンセプトから始まる：「思い」を「できる」に変える仕事術		木谷哲夫		ダイヤモンド社＊	201209	1,500	1,620
1091	教養	芸術．美術	古代	9784634546868	正倉院宝物の世界		杉本一樹	日本史リブレット	山川出版社（千代田区）	201006	800	864
1092	教養	社会	文化/文化社会学	9784907571108	生活とデザイン・芸術：日本文化の可能性		栗原典善：芳澤一夫	Ｅｄｕ－Ｔａｌｋシリーズ	中村堂	201503	1,500	1,620
1093	教養	総記	情報理論	9784480066572	生物から生命へ：共進化で読みとく		有田隆也	ちくま新書	筑摩書房	201204	740	799
1094	教養	宗教	宗教学史/宗教思想史	9784121023063	聖地巡礼：世界遺産からアニメの舞台まで		岡本亮輔	中公新書	中央公論新社	201502	780	842
1095	教養	絵画．書道	画廊/展覧会	9784487810444	聖徳記念絵画館オフィシャルガイド：幕末・明治を一望する		明治神宮外苑		東京書籍	201609	1,200	1,296
1096	教養	財政	租税政策/行政	9784871541411	税が拡げる格差と貧困：日本版タックスヘイブンＶＳ庶民大増税		浦野広明		あけび書房	201605	1,500	1,620
1097	教養	財政	租税政策/行政	9784433631673	税制改正の要点解説．平成２９年度		小畑良晴：塩野入文雄		清文社	201703	1,000	1,080
1098	教養	財政	租税政策/行政	9784754743970	税制改正経過一覧ハンドブック		互井敏勝：竹内愛彦		大蔵財務協会	201510	648	699
1099	教養	財政	租税政策/行政	9784754744311	税法概論	１４訂版	図子善信		大蔵財務協会	201704	1,296	1,399
1100	教養	財政	租税政策/行政	9784641091597	税法入門	第７版	金子宏：清永敬次	有斐閣新書	有斐閣	201604	1,000	1,080
1101	教養	経済	税務会計	9784754744168	税務調査を法的に視る：「法的三段論法」使いこなしガイド	改訂版	木山泰嗣		大蔵財務協会	201608	1,389	1,500
1102	教養	図書館．図書館学	読書調査/青少年読書	9784888883283	昔話絵本を考える	新装版	松岡享子		日本エディタースクール出版部	200211	1,400	1,512
1103	教養	経済	経営管理	9784478021491	絶対達成マインドのつくり方：科学的に自信をつける４つのステップ		横山信弘		ダイヤモンド社	201211	1,400	1,512
1104	教養	経済	公益企業	9784861104800	先生、ＮＰＯって儲かりますか？：若者たちが地元で賢く生きる方法		渡辺豊博		春風社	201601	1,389	1,500
1105	教養	経済	会計監査/公認会計士	9784502223310	先輩に聞いてみよう！公認会計士の仕事図鑑：みんなが憧れるプロフェッショナルの世界		高橋知寿	学生・若手社会人のための働き方ガイド	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201706	1,500	1,620
1106	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784480426215	戦後ギャグマンガ史		米沢嘉博	ちくま文庫	筑摩書房	200908	1,000	1,080
1107	教養	日本史	京都府	9784864032582	戦国京都の大路小路		河内将芳	シリーズ〈実像に迫る〉	戎光祥出版	201708	1,500	1,620
1108	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784040820491	戦争と読書：水木しげる出征前手記		水木しげる：荒俣宏	角川新書	ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201509	800	864
1109	教養	経済	経営政策/経営計画	9784532113414	戦略・マーケティングの名著を読む		日本経済新聞社	日経文庫	日本経済新聞出版社	201508	1,000	1,080
1110	教養	経済	雇用/退職/定年制	9784490208825	戦略採用		山崎俊明		東京堂出版	201411	1,400	1,512
1111	教養	経済	経営管理	9784480068019	戦略思考ワークブック．ビジネス篇		三谷宏治	ちくま新書	筑摩書房	201410	800	864
1112	教養	経済	企業会計	9784532113612	戦略的コーポレートファイナンス		中野誠	日経文庫	日本経済新聞出版社	201608	1,000	1,080
1113	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784829505984	戦略的技術経営入門．２		芝浦工業大学		芙蓉書房出版	201309	1,500	1,620
1114	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784829506394	戦略的技術経営入門．３		芝浦工業大学		芙蓉書房出版	201411	1,500	1,620
1115	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784829506394	戦略的技術経営入門．３		芝浦工業大学		芙蓉書房出版	201411	1,500	1,620
1116	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784829506752	戦略的技術経営入門．４		芝浦工業大学		芙蓉書房出版	201601	1,500	1,620
1117	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784829506752	戦略的技術経営入門．４		芝浦工業大学		芙蓉書房出版	201601	1,500	1,620
1118	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784829505601	戦略的技術経営入門：グローバルに考えると明日が見える		芝浦工業大学		芙蓉書房出版	201209	1,500	1,620
1119	教養	経済	経営管理	9784532198404	全員経営：ハイパフォーマンスを生む現場１３のケーススタディ		野中郁次郎：勝見明	日経ビジネス人文庫	日本経済新聞出版社	201711	880	950
1120	教養	地理．地誌．紀行	写真集/紀行	9784003342824	全航海の報告		クリストフォルス・コロンブス：林屋永吉	岩波文庫	岩波書店	201102	840	907
1121	教養	ドイツ語	ドイツ語	9784779303333	素晴らしきドイツ語の世界：「あなたへの敬意」から生まれた言語		藤本一司		北樹出版	201204	1,400	1,512

1122	教養	ドイツ語	ドイツ語	9784779304934	素晴らしきドイツ語の世界：「あなたへの敬意」から生まれた言語	改訂版	藤本一司		北樹出版	201603	1,400	1,512
1123	教養	経済	経営組織/管理組織	9784480097767	組織の限界		ケネス・Ｊ．アロー：村上泰亮	ちくま学芸文庫	筑摩書房	201703	1,000	1,080
1124	教養	文学	小説/物語	9784062936958	創作の極意と掟		筒井康隆	講談社文庫	講談社	201707	670	723
1125	教養	技術．工学	論文集/評論集	9784864430838	創造の源流：社会を変えるイノベーション		豊橋技術科学大学		日経ＢＰコンサルティング(発売：日経ＢＰマーケティン)	201504	1,500	1,620
1126	教養	経済	企業内教育/訓練	9784334039196	掃除と経営：歴史と理論から「効用」を読み解く		大森信	光文社新書	光文社	201605	780	842
1127	教養	経済	税務会計	9784754723279	早わかり消費税軽減税率とインボイス制度		和気光		大蔵財務協会	201605	1,296	1,399
1128	教養	経済	経営管理	9784822292041	即戦力になる！！ビジネス実務とＰＣ活用．社会人基礎編		池内健治：斎藤勇二		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201412	1,500	1,620
1129	教養	社会	文化/文化社会学	9784896917918	足が未来をつくる：(視覚の帝国)から(足の文化)へ		海野弘	新書ｙ	洋泉社	200402	740	799
1130	教養	経済	経営管理	9784478029787	速さは全てを解決する：『ゼロ秒思考』の仕事術		赤羽雄二		ダイヤモンド社	201501	1,500	1,620
1131	教養	経済	経営管理	9784478029787	速さは全てを解決する：『ゼロ秒思考』の仕事術		赤羽雄二		ダイヤモンド社	201501	1,500	1,620
1132	教養	経済	事務の機械化	9784839954130	速効！図解Ｗｏｒｄ　２０１３		東弘子		マイナビ出版	201501	990	1,069
1133	教養	経済	税務会計	9784502237416	速算表・要約表でみる税務ガイド．平成２９年度版		日本税理士会連合会：鈴木修	税理士必携	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201707	1,200	1,296
1134	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784532195731	孫正義インターネット財閥経営		滝田誠一郎	日経ビジネス人文庫	日本経済新聞出版社	201101	714	771
1135	教養	社会	文化/文化社会学	9784750318776	多文化共生のジレンマ：グローバリゼーションのなかの日本		加藤秀俊	神田外語大学多文化共生シリーズ	明石書店	200403	1,000	1,080
1136	教養	社会	文化/文化社会学	9784004308409	多文化世界		青木保	岩波新書	岩波書店	200306	780	842
1137	教養	電気工学．電子工学	光電管	9784485600276	太陽電池の本		清水正文	スッキリ！がってん！	電気書院	201708	1,200	1,296
1138	教養	社会	コミュニケーション理論	9784062922999	対話のレッスン：日本人のためのコミュニケーション術		平田オリザ	講談社学術文庫	講談社	201506	920	993
1139	教養	経済	税務会計	9784754723132	貸倒損失・債権譲渡の税務処理早わかり		中村慈美		大蔵財務協会	201604	1,389	1,500
1140	教養	電気工学．電子工学	データ通信	9784839944360	大きな字だからスグ分かる！インターネット＆メール入門：これから始める人の超カンタン本		湯浅英夫：マイナビ		マイナビ出版	201303	905	977
1141	教養	英語	近世英語	9784860152895	大学で「使える」英語を学ぶ方法		岐阜大学教養教育推進センター	教養ブックレット	みらい	201303	1,200	1,296
1142	教養	英語	近世英語	9784864540254	大学生のためのＴＯＥＩＣテスト入門：これ１冊でＴＯＥＩＣがわかる！！		安河内哲也：早川幸治		コスモピア	201301	1,100	1,188
1143	教養	経済	会計監査/公認会計士	9784419064686	大学生は、なぜ公認会計士を目指さないのか。：知らずに損していませんか	第３版	五十嵐明彦：二橋知寿		税務経理協会	201707	1,400	1,512
1144	教養	経済	経営史/事情	9784478069776	大阪の注目２０社．第２弾		米田真理子		ダイヤモンド社	201609	1,500	1,620
1145	教養	経済	経営管理	9784874246474	大人のためのビジネス英文法		畠山雄二		くろしお出版	201504	1,400	1,512
1146	教養	社会	コミュニケーション理論	9784480068712	大人のためのメディア論講義		石田英敬	ちくま新書	筑摩書房	201601	820	885
1147	教養	演劇．映画	漫画映画	9784046021465	大人の教養として知りたいすごすぎる日本のアニメ		岡田斗司夫		ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201712	1,400	1,512
1148	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784480689832	大人を黙らせるインターネットの歩き方		小木曽健	ちくまプリマー新書	筑摩書房	201705	820	885
1149	教養	経済	経営学	9784046016096	大前研一「ビジネスモデル」の教科書		大前研一：ビジネス・ブレークスルー大学総合研究所		ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201607	1,500	1,620
1150	教養	絵画．書道	浮世絵	9784044000417	大津絵：民衆的諷刺の世界		クリストフ・マルケ：楠瀬日年	角川文庫　角川ソフィア文庫	ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201607	1,400	1,512
1151	教養	英語	近世英語	9784061595736	大統領の英語		松尾弐之	講談社学術文庫	講談社	200211	1,200	1,296
1152	教養	絵画．書道	レタリング/モノグラフ	9784887523883	大日本タイポ組合		大日本タイポ組合	ｇｇｇ　Ｂｏｏｋｓ	ＤＮＰ文化振興財団(発売：ＤＮＰアートコミュニ)	201511	1,165	1,258
1153	教養	商業	商業美術/写真	9784569837390	大量生産品のデザイン論：経済と文化を分けない思考		佐藤卓	ＰＨＰ新書	ＰＨＰ研究所	201801	860	928
1154	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784532321116	第四次産業革命：ダボス会議が予測する未来		クラウス・シュワブ：世界経済フォーラム		日本経済新聞出版社	201610	1,500	1,620
1155	教養	総記	情報管理/ドキュメント	9784532317553	達人たちの仕事術．２		日本経済新聞出版社		日本経済新聞出版社	201110	1,000	1,080
1156	教養	絵画．書道	日本画/東洋画	9784416311295	辰を描く：水墨画塾		水墨画塾編集部：金斗鉉		誠文堂新光社	201109	1,000	1,080
1157	教養	電気工学．電子工学	データ通信	9784903281339	脱！ＳＮＳのトラブル：ＬＩＮＥ・フェイスブック・ツイッターやって良いこと		佐藤佳弘		武蔵野大学出版会	201711	1,350	1,458
1158	教養	総記	コンピュータ/プログラミング	9784062579629	脱入門者のＥｘｃｅｌ　ＶＢＡ：自力でプログラミングする極意を学ぶ		立山秀利	ブルーバックス	講談社	201603	980	1,058
1159	教養	総記	情報管理/ドキュメント	9784087207569	誰が「知」を独占するのか：デジタルアーカイブ戦争		福井健策【著】	集英社新書	集英社	201409	760	820
1160	教養	演劇．映画	漫画映画	9784061386112	誰がこれからのアニメをつくるのか？		数土直志	星海社新書	星海社(発売：講談社)	201703	900	972
1161	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784382057487	誰が世界を変えるのか？：日本企業の未来予想図		西野嘉之		産業能率大学出版部	201706	1,300	1,404
1162	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784382057487	誰が世界を変えるのか？：日本企業の未来予想図		西野嘉之		産業能率大学出版部	201706	1,300	1,404
1163	教養	文学	小説/物語	9784794925916	探偵小説のたのしみ	新装版	植草甚一	植草甚一スクラップ・ブック	晶文社	200509	1,400	1,512
1164	教養	文学	小説/物語	9784087201659	短編小説のレシピ		阿刀田高	集英社新書	集英社	200211	700	756
1165	教養	財政	間接税/物品税	9784754723217	知っておきたい消費税：図とイラスト・事例により分かりやすく解説．平成２８年版		宮澤克浩		大蔵財務協会	201605	1,296	1,399
1166	教養	経済	税務会計	9784754724139	知っておきたい法人税：図とイラスト・事例により分かりやすく解説．平成２９年版		宮田忠厚		大蔵財務協会	201705	1,389	1,500
1167	教養	社会	文化/文化社会学	9784006001308	知の遠近法		山口昌男	岩波現代文庫	岩波書店	200410	1,300	1,404
1168	教養	総記	知識・学問・学術	9784022736901	知の進化論：百科全書・グーグル・人工知能		野口悠紀雄	朝日新書	朝日新聞出版	201611	780	842
1169	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784062577830	知識ゼロからのＥｘｃｅｌビジネスデータ分析入門：蓄積する多量のデータを役立てる		住中光夫	ブルーバックス	講談社	201208	880	950
1170	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784905250074	知識社会の情報倫理論：ワークブック		小林俊和		地人舎	201204	1,050	1,134
1171	教養	経済	経営政策/経営計画	9784864873871	知識探索的思考とビジネスデータ解析の実践論：経営の意思決定に有益な知識命題をどうやって発見する		大森寛文		三恵社(発売：ＪＲＣ)	201507	1,500	1,620
1172	教養	経済	経営管理	9784820718673	知的生産のための科学的仮説思考		竹内薫		日本能率協会マネジメントセンター	201303	1,400	1,512

1173	教養	心理学	普通心理学/思考創造	9784532261917	知的創造の技術		赤祖父俊一	日経プレミアシリーズ	日本経済新聞出版社	201303	850	918
1174	教養	地理．地誌．紀行	地理学/人文地理学	9784876988082	地域研究から自分学へ		高谷好一	学術選書	京都大学学術出版会	200602	1,500	1,620
1175	教養	社会	文化/文化社会学	9784792392130	地球社会と地域社会をつなぐもの：国際交流と国際化をめぐる諸相		鈴木隆史：川瀬田嘉壽子	グリーンブックレット	成文堂	201103	800	864
1176	教養	地理．地誌．紀行	地図	9784807140763	地歴高等地図：現代世界とその歴史的背景	（平成１４年）最	帝国書院	Ｔｅｉｋｏｋｕ’ｓ ａｔｌａｓ	帝国書院	200209	1,500	1,620
1177	教養	商業	卸売市場	9784272330898	築地移転の闇をひらく		中澤誠：水谷和子		大月書店	201612	1,200	1,296
1178	教養	商業	卸売市場	9784780716177	築地市場の豊洲移転？：マイブックレットＮｏ．２９				本の泉社	201703	800	864
1179	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784098252220	竹と樹のマンガ文化論		竹宮惠子【著】：内田樹【著】	小学館新書	小学館	201412	740	799
1180	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784480888037	竹宮惠子のマンガ教室		竹宮惠子		筑摩書房	200106	1,500	1,620
1181	教養	英語	英語	9784756916150	中学３年分の英語を長沢式パターンで覚える本：イチからスタート！		長沢寿夫	Ａｓｕｋａ ｂｕｓｉｎｅｓｓ ＆ ｌａｎｇｕａｇｅ ｈ	明日香出版社	201303	1,200	1,296
1182	教養	商業	市場調査/市場予測	9784022737410	中高年シングルが日本を動かす：人口激減社会の消費と行動		三浦展	朝日新書	朝日新聞出版	201711	760	820
1183	教養	電気工学．電子工学	データ通信	9784061385658	中国のインターネット史：ワールドワイドウェブからの独立		山谷剛史	星海社新書	星海社(発売：講談社)	201502	840	907
1184	教養	社会	コミュニケーション理論	9784140884881	中国メディア戦争：ネット・中産階級・巨大企業		ふるまいよしこ	ＮＨＫ出版新書	ＮＨＫ出版	201605	780	842
1185	教養	経済	経営管理	9784907209407	中小企業を百年企業にする社長の道しるべ		さかい企業家応援団：山本浩二		大阪公立大学共同出版会	201504	1,500	1,620
1186	教養	経済	中小企業	9784496051708	中小企業政策の考え方		北川慎介		同友館	201512	1,500	1,620
1187	教養	経済	中小企業	9784901731232	中小企業絶えざる革新：新事業展開と老舗企業の知恵		商工総合研究所		商工総合研究所	201602	1,429	1,543
1188	教養	図書．書誌学	著作権/著作権法	9784798046280	著作権がよ～くわかる本：事例満載！わかりやすい入門書		横溝昇：南部朋子		秀和システム	201603	1,500	1,620
1189	教養	図書．書誌学	著作権/著作権法	9784778202491	著作権で迷った時に開く本Ｑ＆Ａ：イラストレーターのための法律相談		藤原唯人		カナリアコミュニケーションズ	201303	1,500	1,620
1190	教養	アジア史．東洋史	独立以後	9784422300573	朝鮮戦争は、なぜ終わらないのか		五味洋治	「戦後再発見」双書	創元社（大阪）	201712	1,500	1,620
1191	教養	文学	記録/手記	9784121501301	調べる、伝える、魅せる！：新世代ルポルタージュ指南		武田徹（ジャーナリスト）	中公新書ラクレ	中央公論新社	200405	760	820
1192	教養	技術．工学	論文集/評論集	9784807915026	超創造科学：ナノ・バイオ・ＩＴの未来		武田計測先端知財団：細野秀雄	科学のとびら	東京化学同人	201610	1,400	1,512
1193	教養	経済	経営政策/経営計画	9784844373919	超地域密着型会社戦略：地元に人に愛されて儲かる秘密		松本俊人		クロスメディア・パブリッシング(発売：インプレス)	201412	1,480	1,598
1194	教養	文学	文学理論/作法	9784480689467	超入門！現代文学理論講座		夢沼正美：亀井秀雄	ちくまプリマー新書	筑摩書房	201510	860	928
1195	教養	スペイン語	スペイン語	9784816362743	超入門！書いて覚えるスペイン語ドリル：ＣＤ付き オールカラー		徳永志織		ナツメ社	201707	1,200	1,296
1196	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784415317779	超入門これなら描ける！マンガパースと背景の描き方の教科書		中村仁聴	マンガの教科書シリーズ	成美堂出版	201407	1,500	1,620
1197	教養	芸術．美術	古社寺	9784831822154	鶴林寺信仰の諸相		鶴林寺（加古川市）	鶴林寺叢書	法藏館	201210	1,500	1,620
1198	教養	経済	管理会計/内部統制	9784794414946	低成長時代を生き抜くマネジメント・コントロール：固定収益会計をもちいた顧客創造と持続的経営		鈴木研一（管理会計）：石井宏宗		創成社	201510	1,200	1,296
1199	教養	運輸．交通	ホテル/旅館	9784766720327	帝国ホテルお客さまが感謝する理由		国友隆一	経済界新書	経済界	201207	800	864
1200	教養	運輸．交通	ホテル/旅館	9784087206296	帝国ホテルの流儀		犬丸一郎【著】	集英社新書	集英社	201202	700	756
1201	教養	心理学	普通心理学/思考創造	9784526065996	天才ダ・ヴィンチから学ぶ驚きの絵コンテ発想法！：アイディアが浮かぶ・伝わる・役に立つ		大野浩	Ｂ＆Ｔブックス	日刊工業新聞社	201101	1,400	1,512
1202	教養	電気工学．電子工学	ダイオード	9784062579322	天野先生の「青色ＬＥＤの世界」：光る原理から最先端応用技術まで		天野浩：福田大展	ブルーバックス	講談社	201509	860	928
1203	教養	総記	コンピュータ/システム/ソフトウェア	9784798047270	伝わる資料作成のためのＥｘｃｅｌ：もう何度も作り直さない！		柳井美紀：フロッグデザイン株式会社		秀和システム	201609	1,380	1,490
1204	教養	図書．書誌学	編集/編纂	9784492044070	電子ブック自炊完全マニュアル：あなたの本棚をデジタル化する方法		戸田覚【著】		東洋経済新報社	201012	1,400	1,512
1205	教養	電気工学．電子工学	電子工業	9784120049699	電卓四兄弟		樫尾幸雄：佐々木達也		中央公論新社	201703	1,300	1,404
1206	教養	運輸．交通	観光地計画	9784330563152	都市観光：まちの観光		須田寛		交通新聞社	201504	1,500	1,620
1207	教養	アジア史．東洋史	済州島	9784886837981	島の反乱、一九四八年四月三日：済州四・三事件の真実		玄吉彦：玄善允		同時代社	201604	1,500	1,620
1208	教養	総記	情報理論	9784046009319	東大准教授に教わる「人工知能って、そんなことまでできるんですか？」		松尾豊【著者】：塩野誠【著者】		ＫＡＤＯＫＡＷＡ／中経出版	201410	1,400	1,512
1209	教養	経済	経営政策/経営計画	9784198641672	東大生が実際に学んでいる戦略思考の授業：経営学は、生き残るための教養だ！		出口知史		徳間書店	201606	1,300	1,404
1210	教養	絵画．書道	浮世絵	9784480097675	湯女図：視線のドラマ		佐藤康宏	ちくま学芸文庫	筑摩書房	201702	1,100	1,188
1211	教養	統計	統計理論/統計学	9784121505941	統計は暴走する		佐々木彈	中公新書ラクレ	中央公論新社	201709	780	842
1212	教養	数学	確率論/数理統計学	9784822338688	統計学１：データ分析の基礎オフィシャルスタディノート：日本統計学会公式認定	改訂版	日本統計学会：竹村彰通		日本統計協会	201603	1,000	1,080
1213	教養	数学	確率論/数理統計学	9784121505668	統計学が日本を救う：少子高齢化、貧困、経済成長		西内啓	中公新書ラクレ	中央公論新社	201611	780	842
1214	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784094043310	藤子・Ｆ・不二雄のまんが技法		藤子・Ｆ・不二雄	小学館文庫	小学館	200004	552	596
1215	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784098252022	藤子・Ｆ・不二雄の発想術		小学館	小学館新書	小学館	201402	780	842
1216	教養	財政	租税政策/行政	9784806518631	特別償却対象特定設備等便覧．平成２６年度版		経済産業省経済産業政策局		経済産業調査会	201501	1,000	1,080
1217	教養	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784004316381	独占禁止法：国際標準の競争法へ	新版	村上政博	岩波新書	岩波書店	201701	840	907
1218	教養	英語	近世英語	9784864540322	読みながら英語力がつやさしい洋書ガイド		佐藤まりあ		コスモピア	201307	1,400	1,512
1219	教養	英語	英語	9784327279202	読む・書く・聴く・話す英語はバランスだ！		松本道弘	研究社ブックスｇｅｔｉｔ	研究社	200205	1,300	1,404
1220	教養	経済	合理化/生産性	9784419061715	突発的な仕事に先手を打つ残業ゼロのビジネス整理術		芳垣玲子		税務経理協会	201411	1,400	1,512
1221	教養	通信事業	放送事業テレビラジオ	9784022735867	内側から見たテレビ：やらせ・捏造・情報操作の構造		水島宏明	朝日新書	朝日新聞出版	201411	760	820
1222	教養	絵画．書道	イラストレーション	9784309750200	内藤ルネ：少女たちのカリスマ・アーティスト	増補新装版	内藤ルネ	らんぶの本	河出書房新社	201510	1,500	1,620
1223	教養	経済	経営倫理	9784582858136	内部告発の時代		深町隆：山口義正	平凡社新書	平凡社	201605	840	907

1224	教養	経済	管理会計/内部統制	9784532113247	内部統制の知識	第３版	町田祥弘	日経文庫	日本経済新聞出版社	201503	1,000	1,080
1225	教養	アジア史．東洋史	イスラエル	9784382056954	謎の古代史：ユダヤと日本	新装版	マーヴィン・トケーアー：箱崎総一		産業能率大学出版部	201309	1,500	1,620
1226	教養	絵画．書道	ルネサンス/バロック	9784309414546	謎解き印象派：見方の極意		西岡文彦	河出文庫	河出書房新社	201606	740	799
1227	教養	社会	文化/文化社会学	9784061385849	二階の住人とその時代：転形期のサブカルチャー私史		大塚英志	星海社新書	星海社(発売：講談社)	201604	1,400	1,512
1228	教養	芸術．美術	芸術解剖学	9784480095480	肉体の迷宮		谷川渥	ちくま学芸文庫	筑摩書房	201305	1,400	1,512
1229	教養	芸術．美術	芸術解剖学	9784582851823	肉体不平等：ひとはなぜ美しくなりたいのか？		石井政之	平凡社新書	平凡社	200305	700	756
1230	教養	経済	雇用/退職/定年制	9784891121648	日経キーワード．２０１７－２０１８		日経ＨＲ		日経ＨＲ	201612	1,100	1,188
1231	教養	経済	雇用/退職/定年制	9784891121754	日経キーワード．２０１８－２０１９		日経ＨＲ編集部		日経ＨＲ	201712	1,100	1,188
1232	教養	経済	企業集中/独占	9784532321697	日経業界地図．２０１８年版		日本経済新聞社		日本経済新聞出版社	201708	1,100	1,188
1233	教養	政治	外交/国際問題	9784062201827	日台ＩｏＴ同盟：第四次産業革命は東アジアで爆発する		李登輝：浜田宏一		講談社	201606	1,400	1,512
1234	教養	経済	福利厚生/安全	9784480068842	日本でいちばん社員のやる気が上がる会社：家族も喜ぶ福利厚生１００		坂本光司：法政大学	ちくま新書	筑摩書房	201603	820	885
1235	教養	通信事業	放送史	9784098252770	日本テレビの「１秒戦略」		岩崎達也	小学館新書	小学館	201612	780	842
1236	教養	商業	マーケティング	9784303723880	日本の"こだわり"が世界を魅了する：熱烈なファンを生むブランドの構築		長沢伸也		海文堂出版	201707	1,500	1,620
1237	教養	演劇．映画	漫画映画	9784948755789	日本のアニメーションを築いた人々		叶精二		若草書房（東京）	200401	1,250	1,350
1238	教養	演劇．映画	漫画映画	9784396113599	日本のアニメは何がすごいのか：世界が惹かれた理由		津堅信之	祥伝社新書	祥伝社	201403	820	885
1239	教養	運輸．交通	観光事業史	9784860000455	日本のテーマパーク研究		奥野一生	ソフィア叢書	竹林館	200306	1,400	1,512
1240	教養	運輸．交通	ホテル/旅館	9784478006818	日本のホテル大転換：流動化・外資化が進むホテル産業		永宮和美		ダイヤモンド社	200809	1,400	1,512
1241	教養	経済	経営学	9784532113575	日本のマネジメントの名著を読む		日本経済新聞社	日経文庫	日本経済新聞出版社	201608	1,000	1,080
1242	教養	演劇．映画	映画史	9784874246320	日本の映画史：１０のテーマ		平野共余子	日本語学習者のための日本研究シリーズ	くろしお出版	201409	1,400	1,512
1243	教養	英語	近世英語	9784327490232	日本の英語、英文学		外山滋比古		研究社	201711	1,200	1,296
1244	教養	英語	近世英語	9784004309437	日本の英語教育		山田雄一郎	岩波新書	岩波書店	200504	760	820
1245	教養	経済	中小企業	9784121024688	日本の中小企業：少子高齢化時代の起業・経営・承継		関満博	中公新書	中央公論新社	201712	800	864
1246	教養	財政	租税政策/行政	9784004315445	日本の納税者		三木義一	岩波新書	岩波書店	201505	740	799
1247	教養	経済	企業集中/独占	9784322130683	日本一わかりやすい海外Ｍ＆Ａ入門		杉山仁	ＫＩＮＺＡＩバリュー叢書	金融財政事情研究会(発売：きんざい)	201703	1,250	1,350
1248	教養	演劇．映画	映画史	9784478001325	日本映画、崩壊：邦画バブルはこうして終わる		斉藤守彦		ダイヤモンド社	200709	1,429	1,543
1249	教養	演劇．映画	映画演出制作	9784416111123	日本映画のサウンドデザイン：感動場面を演出する音声収録と音響処理のテクニック		紅谷愃一：小島一彦		誠文堂新光社	201112	1,400	1,512
1250	教養	演劇．映画	映画史	9784006020576	日本映画の時代		広沢栄	岩波現代文庫	岩波書店	200209	1,000	1,080
1251	教養	演劇．映画	映画史	9784087207521	日本映画史１１０年		四方田犬彦	集英社新書	集英社	201408	780	842
1252	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784634545502	日本近代漫画の誕生		清水勲	日本史リブレット	山川出版社（千代田区）	200107	800	864
1253	教養	経済	経営管理	9784820120506	日本経営品質賞アセスメント基準書．２０１６年度版		日本経営品質賞委員会		日本経営品質賞委員会(発売：生産性出版)	201601	1,000	1,080
1254	教養	日本史	太平洋戦争後	9784794602299	日本現代史	増補改訂版	ジェームズ・M．ヴァーダマン：樋口謙一郎	対訳ニッポン双書	ＩＢＣパブリッシング	201309	1,500	1,620
1255	教養	英語	近世英語	9784121501288	日本語力と英語力		齋藤孝（教育学）：斎藤兆史	中公新書ラクレ	中央公論新社	200404	720	777
1256	教養	運輸．交通	観光事業史	9784822277918	日本人だけが知らない「ニッポン」の観光地		水津陽子【著】		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201409	1,400	1,512
1257	教養	英語	近世英語	9784775401989	日本人に相応しい英語教育：文科行政に振り回されず生徒に責任を持とう		成田一		松柏社	201308	1,500	1,620
1258	教養	英語	英語	9784480069375	日本人の９割が間違える英語表現１００		キャサリン・A．クラフト：里中哲彦	ちくま新書	筑摩書房	201701	780	842
1259	教養	英語	近世英語	9784396316136	日本人の９割に英語はいらない		成毛眞	祥伝社黄金文庫	祥伝社	201306	590	637
1260	教養	英語	近世英語	9784046000248	日本人の英語勉強法：在日３９年、７０００人の日本人を教えてわかったこと		ジェームズ・M．ヴァーダマン		KADOKAWA / 中経出版	201310	1,300	1,404
1261	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784805110508	日本知的資産経営学会誌．第１号		日本知的資産経営学会		千倉書房	201501	1,400	1,512
1262	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784805110508	日本知的資産経営学会誌．第１号		日本知的資産経営学会		千倉書房	201501	1,400	1,512
1263	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784805111000	日本知的資産経営学会誌．第２号		日本知的資産経営学会		千倉書房	201610	1,400	1,512
1264	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784805111000	日本知的資産経営学会誌．第２号		日本知的資産経営学会		千倉書房	201610	1,400	1,512
1265	教養	経済	経営史/事情	9784805110683	日本的ものづくり経営パラダイムを超えて		日本経営学会	経営学論集	千倉書房	201507	1,400	1,512
1266	教養	経済	経営管理	9784873546407	日本的リスクマネジメント理論の現代的意義：亀井利明最終講演の記録		羽原敬二：亀井克之		関西大学出版部	201610	1,500	1,620
1267	教養	社会	文化/文化社会学	9784140911631	日本的想像力の未来：クール・ジャパノロジーの可能性		東浩紀	ＮＨＫブックス	ＮＨＫ出版	201008	1,100	1,188
1268	教養	芸術．美術	日本芸術史/美術史	9784766424881	日本美術がワカル本：「女性性」の文化		林温	慶應義塾大学三田哲学会叢書	慶應義塾大学三田哲学会(発売：慶応義塾大学出版会)	201711	700	756
1269	教養	芸術．美術	日本芸術史/美術史	9784006021580	日本美術を見る眼：東と西の出会い	増補	高階秀爾	岩波現代文庫	岩波書店	200912	980	1,058
1270	教養	芸術．美術	日本芸術史/美術史	9784480039255	日本美術応援団		赤瀬川原平：山下裕二	ちくま文庫	筑摩書房	200403	1,150	1,242
1271	教養	社会	文化/文化社会学	9784480067135	日本文化の論点		宇野常寛【著】	ちくま新書	筑摩書房	201303	720	777
1272	教養	社会	文化/文化社会学	9784121016966	日本文化論の系譜：『武士道』から『「甘え」の構造』まで		大久保喬樹	中公新書	中央公論新社	200305	740	799
1273	教養	日本史	近世	9784490207422	日曜日の歴史学		山本博文		東京堂出版	201109	1,500	1,620
1274	教養	芸術．美術	芸術解剖学	9784044001629	乳房の神話学		ロミ：高遠弘美	角川文庫 角川ソフィア文庫	ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201609	1,200	1,296

1275	教養	経済	事務管理	9784798042145	入社１年目のメール仕事術		中山真敬		秀和システム	201411	1,300	1,404
1276	教養	総記	コンピュータ/システム/ソフトウェア	9784062579896	入門者のＬｉｎｕｘ：素朴な疑問を解消しながら学ぶ		奈佐原顕郎	ブルーバックス	講談社	201610	1,160	1,252
1277	教養	経済	税務会計	9784419062286	入門税務会計	改訂版	谷川喜美江		税務経理協会	201503	1,500	1,620
1278	教養	経済	税務会計	9784419064525	入門税務会計	第３版	谷川喜美江		税務経理協会	201705	1,500	1,620
1279	教養	経済	経営組織/管理組織	9784334038588	入門組織開発：活き活きと働ける職場をつくる		中村和彦	光文社新書	光文社	201505	740	799
1280	教養	社会	国民年金/厚生年金	9784062184564	年金詐欺：ＡＩＪ事件から始まった資産消失の「真犯人」		永森秀和		講談社	201306	1,400	1,512
1281	教養	医学．薬学	中枢神経	9784062579681	脳・心・人工知能：数理で脳を解き明かす		甘利俊一	ブルーバックス	講談社	201605	900	972
1282	教養	芸術．美術	芸術心理学	9784480066862	脳は美をどう感じるか：アートの脳科学		川畑秀明	ちくま新書	筑摩書房	201210	950	1,026
1283	教養	商業	市場調査/市場予測	9784883353262	買う５秒前		草場滋		宣伝会議	201502	1,300	1,404
1284	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784840118026	売れるマンガ、記憶に残るマンガ		米沢嘉博		メディアファクトリー	200702	1,300	1,404
1285	教養	商業	マーケティング	9784883353224	売れるロジックの見つけ方：マーケッターとデータサイエンティストが語る		後藤一喜：山本覚		宣伝会議	201412	1,500	1,620
1286	教養	絵画．書道	グラフィックデザイン/図案	9784887523951	白井敬尚		白井敬尚	ｇｇｇ　Ｂｏｏｋｓ世界のグラフィックシリーズ　１２４	ＤＮＰ文化振興財団(発売：ＤＮＰアートコミュニ)	201709	1,165	1,258
1287	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784822274290	爆速経営：新生ヤフーの５００日		鈽谷敏		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201311	1,500	1,620
1288	教養	社会	コミュニケーション理論	9784480096548	八月十五日の神話：終戦記念日のメディア学	増補	佐藤卓己	ちくま学芸文庫	筑摩書房	201412	1,200	1,296
1289	教養	経済	経営管理	9784532321123	発想する底力		中村隆紀：博報堂生活者アカデミー		日本経済新聞出版社	201610	1,500	1,620
1290	教養	経済	企業会計	9784794425102	発展コーポレート・ファイナンス		菅野正泰		創成社	201709	1,400	1,512
1291	教養	社会	コミュニケーション理論	9784335501357	反コミュニケーション		奥村隆	現代社会学ライブラリー	弘文堂	201312	1,400	1,512
1292	教養	文学	評論/エッセイ	9784062582827	批評理論		丹治愛	講談社選書メチエ	講談社	200310	1,500	1,620
1293	教養	文学	小説/物語	9784121017901	批評理論入門：『フランケンシュタイン』解剖講義		廣野由美子【著】	中公新書	中央公論新社	200503	780	842
1294	教養	芸術．美術	近代明治時代以降	9784002708874	非核芸術案内：核はどう描かれてきたか		岡村幸宣	岩波ブックレット	岩波書店	201312	600	648
1295	教養	経済	経営管理	9784537260151	非情な人ほど成果を上げる：マキャベリ式最強の仕事術			日文ＰＬＵＳ	日本文芸社	201303	571	616
1296	教養	芸術．美術	論文集/評論集	9784101346236	美の世界旅行		岡本太郎	新潮文庫	新潮社	201608	520	561
1297	教養	芸術．美術	近世江戸時代	9784062920216	美術という見世物：油絵茶屋の時代		木下直之	講談社学術文庫	講談社	201011	1,100	1,188
1298	教養	芸術．美術	芸術教育研究法	9784901631839	美術と福祉とワークショップ		高橋陽一		武蔵野美術大学出版局	200903	1,400	1,512
1299	教養	芸術．美術	芸術教育研究法	9784820718680	美術鑑賞手帳		日本能率協会マネジメントセンター		日本能率協会マネジメントセンター	201303	1,200	1,296
1300	教養	数学	ゲーム理論	9784000296632	必勝法の数学		徳田雄洋	岩波科学ライブラリー	岩波書店	201707	1,200	1,296
1301	教養	財政	租税政策/行政	9784502189418	表解コンパクト税制改正．平成２８年度版		日本税理士会連合会		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201602	1,000	1,080
1302	教養	芸術．美術	論文集/評論集	9784873413327	表現者たちの「３・１１」：震災後の芸術を語る		河北新報社	河北選書	河北新報出版センター	201503	800	864
1303	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784837305422	描けない！：うまくいかない絵がピシッと決まる２５の裏ワザ		両角潤香：みずなともみ	漫画バイブルゼロシリーズ	マール社	201308	1,200	1,296
1304	教養	経済	財務会計	9784794450593	不正会計と経営者責任：粉飾決算に追いこまれる経営者		守屋俊晴	創成社新書	創成社	201606	800	864
1305	教養	財政	租税政策/行政	9784087208528	不平等をめぐる戦争：グローバル税制は可能か？		上村雄彦	集英社新書	集英社	201610	740	799
1306	教養	絵画．書道	叢書全集	9784568104684	富士山百画		富士山世界文化遺産登録推進両県合同会議		美術出版社	201305	1,200	1,296
1307	教養	絵画．書道	浮世絵	9784861525667	怖い浮世絵		日野原健司：渡邉晃		青幻舎	201608	1,500	1,620
1308	教養	絵画．書道	浮世絵	9784004311638	浮世絵：カラー版		大久保純一	岩波新書	岩波書店	200811	1,000	1,080
1309	教養	絵画．書道	浮世絵	9784062924337	浮世絵の歴史：美人絵・役者絵の世界		山口桂三郎	講談社学術文庫	講談社	201706	1,050	1,134
1310	教養	絵画．書道	浮世絵	9784062880589	浮世絵は語る		浅野秀剛	講談社現代新書	講談社	201007	860	928
1311	教養	絵画．書道	浮世絵	9784122053816	浮世絵春画を読む．下		白倉敬彦：田中優子	中公文庫	中央公論新社	201010	762	822
1312	教養	絵画．書道	浮世絵	9784122053809	浮世絵春画を読む．上		白倉敬彦：田中優子	中公文庫	中央公論新社	201010	762	822
1313	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784797392937	武器を磨け：弱者の戦略教科書『キングダム』		佐藤優：原泰久	ＳＢ新書	ＳＢクリエイティブ	201801	800	864
1314	教養	経済	人事管理/労務管理	9784478066706	部下をもつ人の職場の人間関係：なぜかうまくいくリーダーの社内コミュニケーション術		水島広子		ダイヤモンド社	201511	1,400	1,512
1315	教養	演劇．映画	映画演出制作	9784272330904	風かたか		三上智恵		大月書店	201703	1,500	1,620
1316	教養	フランス語	フランス語	9784411005366	仏検３級準拠頻度順フランス語単語集		川口裕司：松澤水戸		駿河台出版社	201501	1,400	1,512
1317	教養	文学	小説/物語	9784061385399	物語の体操：物語るための基礎体力を身につける６つの実践的レッスン		大塚英志	星海社新書	星海社(発売：講談社)	201308	840	907
1318	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784309273679	物語るあなた・絵描くわたし：萩尾望都対談集１９９０年代編		萩尾望都		河出書房新社	201211	1,400	1,512
1319	教養	文学	小説/物語	9784044064242	物語工学論：キャラクターのつくり方		新城十馬	角川文庫　角川ソフィア文庫	KADOKAWA／角川学芸出版(発売：ＫＡＤＯＫＡＷＡ)	201205	840	907
1320	教養	文学	文学理論/作法	9784560058732	物語論：プロップからエーコまで		ジャン・ミシェル・アダン：末松寿	文庫クセジュ	白水社	200404	1,050	1,134
1321	教養	商業	市場調査/市場予測	9784582824810	物欲なき世界		菅付雅信		平凡社	201511	1,400	1,512
1322	教養	商業	販売経路/商品流通機構	9784526073250	物流・流通の実務に役立つ計数管理／ＫＰＩ管理ポケットブック		鈴木邦成		日刊工業新聞社	201411	1,400	1,512
1323	教養	商業	販売経路/商品流通機構	9784526074950	物流コストの計数管理／ＫＰＩ管理ポケットブック		鈴木邦成		日刊工業新聞社	201512	1,400	1,512
1324	教養	商業	販売経路/商品流通機構	9784334039318	物流ビジネス最前線：ネット通販、宅配便、ラストマイルの攻防		斎藤実	光文社新書	光文社	201607	740	799
1325	教養	技術．工学	論文集/評論集	9784339082890	分かりやすい日常生活と自然の中の先端科学技術		吉野勝美		コロナ社	201008	1,429	1,543

1326	教養	スペイン語	スペイン語	9784621053164	文化と歴史で学ぶスペイン語		坂東省次	丸善ライブラリー	丸善出版	200004	780	842
1327	教養	社会	文化/文化社会学	9784061598812	文化の型		ルース・フルトン・ベネディクト；米山俊直	講談社学術文庫	講談社	200807	1,200	1,296
1328	教養	社会	文化/文化社会学	9784434175169	文化の型研究のすすめ		森貞彦		ブイツーソリューション(発売：星雲社)	201301	850	918
1329	教養	社会	文化/文化社会学	9784121601438	文化の定義のための覚書		トマス・スターンズ・エリオット；照屋佳男	中公クラシックス	中央公論新社	201311	1,400	1,512
1330	教養	社会	文化/文化社会学	9784790709862	文化学講義		相良憲昭		世界思想社	200304	1,500	1,620
1331	教養	文学	文学理論/作法	9784897986296	文学（リズム）の精神分析とパラノイア：フロイド，ラカン，芭蕉，世阿弥，ダニエル（ダンテ）		長命俊子		リーベル出版	200301	1,500	1,620
1332	教養	文学	文学理論/作法	9784003720424	文学とは何か：現代批評理論への招待．下		テリ・イーグルトン；大橋洋一（英文学）	岩波文庫	岩波書店	201409	840	907
1333	教養	文学	文学理論/作法	9784003720417	文学とは何か：現代批評理論への招待．上		テリ・イーグルトン；大橋洋一（英文学）	岩波文庫	岩波書店	201408	840	907
1334	教養	文学	文学理論/作法	9784894767034	文学理論		西田谷洋	学びのエクササイズ	ひつじ書房	201404	1,400	1,512
1335	教養	文学	文学理論/作法	9784003600153	文学論．下		夏目漱石	岩波文庫	岩波書店	200704	940	1,015
1336	教養	文学	文学理論/作法	9784003600146	文学論．上		夏目漱石	岩波文庫	岩波書店	200702	860	928
1337	教養	社会	文化/文化社会学	9784766416244	文明論之概略		福沢諭吉；戸沢行夫		慶応義塾大学出版会	200905	1,400	1,512
1338	教養	経済	経営学	9784121505927	平成のビジネス書：「黄金期」の教え		山田真哉	中公新書ラクレ	中央公論新社	201708	820	885
1339	教養	社会	コミュニケーション理論	9784900585058	変わりゆくマスメディア		増田隆一		あみのさん	201610	1,000	1,080
1340	教養	アジア史．東洋史	通史	9784904794395	変わる中国変わらぬ中国		竹内実（中国文学）：桜美林大学北東アジア総合研究所		アジア・ユーラシア総合研究所(発売：ＪＲＣ)	201310	1,500	1,620
1341	教養	商業	商品包装	9784890862849	包装関連資材カタログ集．２０１５		クリエイト日報		クリエイト日報	201410	926	1,000
1342	教養	総記	データ処理/情報処理	9784844339526	崩壊の危機に瀕するパスワード問題		鵜野幸一郎	ＩＴ Ｌｅａｄｅｒｓ選書	インプレス	201602	1,200	1,296
1343	教養	経済	税務会計	9784322131536	法人の税金ガイドブック．２０１７年度版		ファイナンシャル・プランニング技能士センター；金融財政事情研究会		金融財政事情研究会(発売：きんざい)	201707	1,000	1,080
1344	教養	芸術．美術	古社寺	9784004312222	法隆寺を歩く		上原和	岩波新書	岩波書店	200912	760	820
1345	教養	地理．地誌．紀行	地理/地誌/紀行	9784806145400	忘れてしまった高校の地理を復習する本	カラー版	山岡信幸		KADOKAWA / 中経出版	201211	1,500	1,620
1346	教養	絵画．書道	浮世絵	9784044001759	北斎：ジャパノロジー・コレクション		大久保純一	角川文庫 角川ソフィア文庫	ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201611	920	993
1347	教養	絵画．書道	浮世絵	9784582857436	北斎漫画：日本マンガの原点		清水勲	平凡社新書	平凡社	201407	840	907
1348	教養	絵画．書道	浮世絵	9784166611454	北斎漫画入門		浦上満	文春新書	文藝春秋	201710	1,200	1,296
1349	教養	通信事業	経営/業務	9784062882231	僕がメディアで伝えたいこと		堀潤	講談社現代新書	講談社	201309	740	799
1350	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784094063561	僕らが愛した手塚治虫．１		二階堂黎人	小学館文庫	小学館	201611	1,000	1,080
1351	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784094063820	僕らが愛した手塚治虫．２		二階堂黎人	小学館文庫	小学館	201612	1,000	1,080
1352	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784568502046	本気のマンガ術：山本貴嗣の謹画信念		山本貴嗣；唐沢よしこ		美術出版社	199812	1,400	1,512
1353	教養	英語	近世英語	9784062883535	本物の英語力		鳥飼玖美子	講談社現代新書	講談社	201602	800	864
1354	教養	演劇．映画	漫画映画	9784787961716	魔法少女まどか☆マギカ講義録：メディア文藝への招待		志水義夫	新典社新書	新典社	201709	1,000	1,080
1355	教養	文学	民間/文芸伝承	9784062919548	魔法昔話の研究：口承文芸学とは何か		ヴラジーミル・ヤコヴレヴィチ・プロップ；斎藤君子	講談社学術文庫	講談社	200906	1,200	1,296
1356	教養	フランス語	フランス語	9784560087084	毎日１文筆記体でフランス語		榎本恵子		白水社	201601	1,500	1,620
1357	教養	日本史	江戸末期	9784585215141	幕末十冊の名著		北影雄幸		勉誠出版	201203	1,500	1,620
1358	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784568503616	漫ドリル：１回５分でさくさく描ける！マンガキャラ練習帖．２（かんたん男性キャラ編）				美術出版社	200808	1,200	1,296
1359	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784568503623	漫ドリル：１回５分でさくさく描ける！マンガキャラ練習帖．３（かんたん女性キャラ編）				美術出版社	200809	1,200	1,296
1360	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784568502718	漫画のスキマ：マンガのツボがここにある！		菅野博之	Ｃｏｍｉｃｋｅｒｓテクニックブック	美術出版社	200412	1,500	1,620
1361	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784492733172	漫画原作で印税１億円を稼ぐ方法：あなたのビジネス経験がお金に変わる！		剣名舞【著】		東洋経済新報社	201410	1,400	1,512
1362	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784844134800	漫画原作のつくり方：プロの原作者になる		若桜木虔；すぎたとおる		雷鳥社	200702	1,500	1,620
1363	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784003357927	漫画吾輩は猫である		近藤浩一路	岩波文庫	岩波書店	201702	720	777
1364	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784063647730	漫画描き方入門じゃありません		藤島康介	アフタヌーン新書	講談社	200906	790	853
1365	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784569803838	漫画貧乏		佐藤秀峰		ＰＨＰ研究所	201205	1,200	1,296
1366	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784003357910	漫画坊っちゃん		近藤浩一路	岩波文庫	岩波書店	201701	720	777
1367	教養	技術．工学	論文集/評論集	9784864431125	未来の創造：人類の健康と繁栄に向かって		豊橋技術科学大学		日経ＢＰコンサルティング(発売：日経ＢＰマーケティング)	201610	1,500	1,620
1368	教養	芸術．美術	論文集/評論集	9784582206869	夢みる人のクロスロード：芸術と記憶の場所		港千尋		平凡社	201608	1,500	1,620
1369	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784000254250	夢十夜		近藤ようこ；夏目漱石		岩波書店	201701	1,300	1,404
1370	教養	絵画．書道	イラストレーション	9784568505993	夢二の色：竹久夢二を魅了した７つの色彩ブック		石川桂子；丸山伸彦		美術出版社	201409	1,500	1,620
1371	教養	社会	コミュニケーション理論	9784773816150	娘と話すメディアってなに？	改訂新版	山中速人		現代企画室	201610	1,200	1,296
1372	教養	演劇．映画	映画演出制作	9784862463807	名監督の技を盗む！タランティーノ流監督術		クリストファー・ケンワーシー		ボーンデジタル	201712	1,500	1,620
1373	教養	絵画．書道	漫画/劇画	9784797384932	名作マンガの間取り	新版	影山明仁		ＳＢクリエイティブ	201509	1,000	1,080
1374	教養	日本史	近代	9784787968272	明治、このフシギな時代		矢内賢二	新典社選書	新典社	201602	1,500	1,620
1375	教養	技術．工学	論文集/評論集	9784062883689	明日、機械が上になる：ルポ最新科学		海猫沢めろん	講談社現代新書	講談社	201605	840	907
1376	教養	経済	企業/経営	9784532197674	模倣の経営学：偉大なる会社はマネから生まれる		井上達彦	日経ビジネス人文庫	日本経済新聞出版社	201506	830	896

1377	教養	社会	文化/文化社会学	9784791760091	網状言論Ｆ改：ポストモダン・オタク・セクシュアリティ		東浩紀：永山薫		青土社	200301	1,400	1,512
1378	教養	商業	商品化/商品計画	9784484152219	問題解決に効く「行為のデザイン」思考法		村田智明		ＣＣＣメディアハウス	201509	1,500	1,620
1379	教養	文学	小説/物語	9784006021023	夜の言葉：ファンタジー・ＳＦ論		アーシュラ・Ｋ．ル＝グウィン：山田和子（翻訳家）	岩波現代文庫	岩波書店	200605	1,040	1,123
1380	教養	絵画．書道	グラフィックデザイン/図案	9784924956506	矢萩喜従郎		矢萩喜従郎：田中一光	ｇｇｇ ｂｏｏｋｓ	ギンザ・グラフィック・ギャラリー（発売：ＤＮＰアートコミュニ）	200205	1,165	1,258
1381	教養	総記	情報と社会/情報政策	9784620323749	躍進するコンテンツ、淘汰されるメディア：メディア大再編		角川歴彦		毎日新聞出版	201706	1,100	1,188
1382	教養	絵画．書道	イラストレーション	9784901850544	柳原良平のわが人生		柳原良平		如月出版	201706	1,500	1,620
1383	教養	技術．工学	工業デザイン	9784062924726	流線形の考古学：速度・身体・会社・国家		原克	講談社学術文庫	講談社	201712	1,210	1,306
1384	教養	商業	販売経路/商品流通機構	9784785504939	流通業の「選択」：チェーンストアを超えて		島田陽介		商業界	201507	1,500	1,620
1385	教養	日本史	江戸末期	9784870971516	龍馬と海国日本を夢見た男たち		小笠原真司		英光社（文京区）	201209	1,500	1,620
1386	教養	総記	情報理論	9784860500719	量子エニグマ暗号：サイバー攻撃への究極的な防御技術		広田修：二見史生	万葉新書	万葉舎	201310	1,000	1,080
1387	教養	電気工学．電子工学	電子計算機	9784822251895	量子コンピュータが人工知能を加速する		西森秀稔：大関真之		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201612	1,500	1,620
1388	教養	社会	文化/文化社会学	9784120035173	カか対話か：異文化交流は「文明の衝突」を防ぎ得るか		川本皓嗣		中央公論事業出版(発売：中央公論新社)	200404	1,500	1,620
1389	教養	芸術．美術	論文集/評論集	9784062900522	林達夫芸術論集		林達夫：高橋英夫	講談社文芸文庫	講談社	200906	1,500	1,620
1390	教養	芸術．美術	日本芸術史/美術史	9784140912027	琳派のデザイン学		三井秀樹	ＮＨＫブックス	ＮＨＫ出版	201302	1,200	1,296
1391	教養	電気工学．電子工学	データ通信	9784004315513	鈴木さんにも分かるネットの未来		川上量生	岩波新書	岩波書店	201506	900	972
1392	教養	ヨーロッパ史．西洋史	ペロポンネソス戦争	9784480095640	歴史．下		トゥキュディデス：小西晴雄	ちくま学芸文庫	筑摩書房	201310	1,500	1,620
1393	教養	数学	確率論/数理統計学	9784798050744	恋する統計学　ベイズ統計入門：統計学に恋をする。日本一わかりやすい統計学の手ほど		金城俊哉		秀和システム	201712	1,500	1,620
1394	教養	数学	確率論/数理統計学	9784798050737	恋する統計学　因子分析入門（多変量解析２）：主成分・因子分析、数量化、クラスター分析		金城俊哉		秀和システム	201711	1,500	1,620
1395	教養	数学	確率論/数理統計学	9784798050720	恋する統計学　回帰分析入門（多変量解析１）：相関分析、回帰分析、判別分析		金城俊哉		秀和システム	201711	1,500	1,620
1396	教養	数学	確率論/数理統計学	9784798050706	恋する統計学　記述統計入門：平均、分散、標準偏差、正規分布		金城俊哉		秀和システム	201709	1,500	1,620
1397	教養	数学	推計学	9784798050713	恋する統計学　推測統計入門：確率、推定、検定、ｔ分布、ｘ二分布		金城俊哉		秀和システム	201710	1,500	1,620
1398	教養	芸術．美術	論文集/評論集	9784309413938	魯山人の真髄		北大路魯山人	河出文庫	河出書房新社	201508	760	820
1399	教養	技術．工学	工業災害/労働災害	9784805916605	労働安全衛生規則の解説：産業用ロボット関係	改訂（第９版）	中央労働災害防止協会		中央労働災害防止協会	201512	1,500	1,620
1400	教養	経済	経済	9784943852599	労働経済学で考える人工知能と雇用		山本勲		三菱経済研究所	201703	1,300	1,404
1401	教養	経済	研究開発/企業情報管理	9784062578479	論理が伝わる世界標準の「プレゼン術」：一生モノの「説得技法」		倉島保美	ブルーバックス	講談社	201401	900	972
1402	教養	心理学	普通心理学/思考創造	9784061497290	論理思考の鍛え方		小林公夫	講談社現代新書	講談社	200407	740	799
1403	教養	演劇．映画	漫画映画	9784796669047	冲方式「アニメ＆マンガ」ストーリー創作塾		冲方丁		宝島社	200901	1,300	1,404
1404	教養	演劇．映画	漫画映画	9784800207890	冲方丁の「アニメ＆マンガ」ストーリー創作の極意		冲方丁	宝島社文庫	宝島社	201302	648	699
1405	教養	芸術．美術	日本芸術史/美術史	9784904049532	藝術がいづる国・日本		三田村有純		東京藝術大学出版会	201703	1,500	1,620

事　業　創　造　学　部

No	カテゴリ	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
1	事業	経済	企業経営	9784785722302	企業危機・不祥事対応の法務		森・濱田松本法律事務所		商事法務	201411	5,000	5,400
2	事業	経済	企業経営	9784904936641	Ｊａｐａｎ ｂｕｓｉｎｅｓｓ ｌａｗ ｒｅｖｉｅｗ. ２０１５				アイ・エル・エス出版	201411	3,000	3,240
3	事業	経済	企業経営	9784478029152	ビジネス・クリエーション！：アイデアや技術から新しい製品・サービスを創る２４ス		ビル・オーレット：月沢李歌子		ダイヤモンド社	201412	2,500	2,700
4	事業	経済	企業経営	9784641164437	企業の経済学：構造と成長		中林真幸：石黒真吾		有斐閣	201412	3,800	4,104
5	事業	経済	企業経営	9784908069116	ハンドブック企業法務：実務がわかる		吉川達夫：飯田浩司		レクシスネクシス・ジャパン	201502	2,800	3,024
6	事業	経済	企業経営	9784492733219	スチュワードシップとコーポレートガバナンス：２つのコードが変える日本の企業・経済・社会		北川哲雄		東洋経済新報社	201502	3,200	3,456
7	事業	経済	企業経営	9784502129919	企業論テキスト		汪志平		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201502	2,700	2,916
8	事業	経済	企業経営	9784384046366	いざというときに役立つリスクマネジメントの法律知識と対策：事業者必携		梅原ゆかり		三修社	201503	1,900	2,052
9	事業	経済	企業経営	9784495382124	スタンダード企業論：企業のガバナンス・成長・ネットワーク化・国際化	改訂版	牛丸元		同文舘出版	201503	2,800	3,024
10	事業	経済	企業経営	9784641164543	企業統治の法と経済：比較制度分析の視点で見るガバナンス		田中亘：中林真幸		有斐閣	201503	3,800	4,104
11	事業	経済	企業経営	9784502142819	大学発ベンチャーの組織化と出口戦略		山田仁一郎		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201503	4,800	5,184
12	事業	経済	企業経営	9784762025358	企業経営の理論と実践		加納良一：加瀬元日		学文社	201503	3,000	3,240
13	事業	経済	企業経営	9784822250867	コーポレートガバナンス・コードの実践		武井一浩：井口譲二		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201504	2,400	2,592
14	事業	経済	企業経営	9784526074066	千葉大発ベンチャービジネス実践論：熱きスピリッツとスキルを学ぶ		千葉大学ベンチャービジネスラボラトリー		日刊工業新聞社	201504	2,000	2,160
15	事業	経済	企業経営	9784419062309	ベンチャー企業経営論	改訂版	秋山義継：松岡弘樹		税務経理協会	201505	2,700	2,916
16	事業	経済	企業経営	9784532319984	変わるコーポレートガバナンス：コード・監査等委員会・グループ内部統制		森・濱田松本法律事務所		日本経済新聞出版社	201505	2,600	2,808
17	事業	経済	企業経営	9784830948664	現代企業論：経営と法律の視点	第５版	境新一		文眞堂	201505	3,700	3,996
18	事業	経済	企業経営	9784023314191	選択と捨象：「会社の寿命１０年」時代の企業進化論		冨山和彦		朝日新聞出版	201506	1,600	1,728
19	事業	経済	企業経営	9784842916606	ビジネス法学	改訂版	望月敏江		八千代出版	201506	2,700	2,916
20	事業	経済	企業経営	9784492533628	日本企業のためのコーポレートガバナンス講座		藤田勉（証券アナリスト）		東洋経済新報社	201506	1,800	1,944
21	事業	経済	企業経営	9784830948732	実践コーポレートガバナンス・コード作成ハンドブック		今井祐		文眞堂	201506	3,300	3,564
22	事業	経済	企業経営	9784785723163	コーポレートガバナンス・コードの読み方・考え方		中村直人：倉橋雄作		商事法務	201507	2,600	2,808
23	事業	経済	企業経営	9784822279240	これならわかるコーポレートガバナンスの教科書		松田千恵子		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201508	1,800	1,944
24	事業	経済	企業経営	9784785723200	コーポレートガバナンス・コードを読み解く		渡辺顕		商事法務	201508	2,300	2,484
25	事業	経済	企業経営	9784811568324	企業経営入門	第２版	上田泰：時岡規夫	経済経営セメスターシリーズ	多賀出版	201509	2,200	2,376
26	事業	経済	企業経営	9784865560367	法務リスク・コンプライアンスリスク管理実務マニュアル：基礎から緊急対応までの実務と書式		阿部・井窪・片山法律事務所		民事法研究会	201509	6,400	6,912
27	事業	経済	企業経営	9784882602729	企業法務の実務Ｑ＆Ａ		阿部信一郎：関口博		三協法規出版	201509	3,800	4,104
28	事業	経済	企業経営	9784785723309	開示事例から考える「コーポレートガバナンス・コード」対応		樋口達：山内宏光		商事法務	201509	2,000	2,160
29	事業	経済	企業経営	9784492533680	事業担当者のための逆引きビジネス法務ハンドブック		塩野誠：宮下和昌		東洋経済新報社	201509	3,600	3,888
30	事業	経済	企業経営	9784532320256	ＲＯＥが奪う競争力：「ファイナンス理論」の誤解が経営を壊す		手島直樹		日本経済新聞出版社	201509	1,800	1,944
31	事業	経済	企業経営	9784771026353	起業論再考：調査事例からの示唆		吉野忠男	大阪経済大学研究叢書	晃洋書房	201509	3,800	4,104
32	事業	経済	企業経営	9784495386115	賢い企業は拡大主義より永続主義：マーケティング論と会計学が同じ結論に達した		碓氷悟史：大友純		同文舘出版	201510	2,300	2,484
33	事業	経済	企業経営	9784495203412	株主に響くコーポレートガバナンス・コードの実務		河北博光：山崎直実		同文舘出版	201510	2,300	2,484
34	事業	経済	企業経営	9784495372446	テキスト現代企業論	第４版	坂本恒夫：大坂良宏		同文舘出版	201510	3,500	3,780
35	事業	経済	企業経営	9784785723316	法律実務家が知っておきたい作法		原秋彦		商事法務	201510	2,600	2,808
36	事業	経済	企業経営	9784532320393	コーポレートガバナンスの新しいスタンダード		森・濱田松本法律事務所		日本経済新聞出版社	201510	3,000	3,240
37	事業	経済	企業経営	9784865560503	製品事故・不祥事対応の企業法務：実例からみた安全確保・安心提供の具体策		山崎良太		民事法研究会	201511	3,600	3,888
38	事業	経済	企業経営	9784908069338	グローバルビジネスロー基礎研修．１（企業法編）		井原宏：河村寛治		レクシスネクシス・ジャパン	201511	5,600	6,048
39	事業	経済	企業経営	9784474053397	Ｑ＆Ａコーポレートガバナンス・コードとスチュワードシップ・コード：持続的な企業価値向上のための２つのコードの実践		ＥＹＪａｐａｎ		第一法規出版	201511	3,200	3,456
40	事業	経済	企業経営	9784785752347	コードに対応したコーポレート・ガバナンス報告書の記載事例の分析．平成２７年版		森・濱田松本法律事務所	別冊商事法務	商事法務	201511	4,500	4,860
41	事業	経済	企業経営	9784478065204	私たちはどこまで資本主義に従うのか：市場経済には「第３の柱」が必要である		ヘンリ・ミンツバーグ：池村千秋		ダイヤモンド社	201512	1,600	1,728
42	事業	経済	企業経営	9784908069369	レベルアップをめざす企業法務のセオリー．応用編		瀧川英雄	ビジネスセオリー	レクシスネクシス・ジャパン	201512	2,500	2,700
43	事業	経済	企業経営	9784820749691	プリンストン大学の起業の教科書：元気に育ち、長く続く会社のつくり方		デレク・リドー：山内あゆ子		日本能率協会マネジメントセンター	201512	2,000	2,160
44	事業	経済	企業経営	9784502169113	コーポレートガバナンス・コードのＩＲ対応：中長期投資家を納得させる		岩田宣子		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201512	2,500	2,700
45	事業	経済	企業経営	9784502172717	コーポレートガバナンス・コードの実務対応Ｑ＆Ａ		ＰｗＣあらた監査法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201512	2,600	2,808
46	事業	経済	企業経営	9784798143835	アントレプレナーの教科書：シリコンバレー式イノベーション・プロセス	新装版	スティーブン・ゲイリー・ブランク：堤孝志		翔泳社	201601	2,400	2,592
47	事業	経済	企業経営	9784862804853	ドラッカー教授『現代の経営』入門		グローバルタスクフォース株式会社：山中英嗣	ビジネスバイブル	総合法令出版	201601	1,800	1,944
48	事業	経済	企業経営	9784502165214	インド企業法務実践の手引：設立からＭ＆Ａ・合弁契約、運営まで		小山洋平		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201601	3,500	3,780
49	事業	経済	企業経営	9784502166310	企業法務のための訴訟マネジメント		笹川豪介：小長谷真理		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201601	3,300	3,564

50	事業	経済	企業経営	9784806529644	コーポレート・ガバナンスの実践：企業価値向上に向けたインセンティブと改革		経済産業省経済産業政策局		経済産業調査会	201603	3,000	3,240
51	事業	経済	企業経営	9784407337303	ビジネス法務の基礎		森島昭夫	Ｆｉｒｓｔ Ｓｔａｇｅシリーズ	実教出版	201603	2,200	2,376
52	事業	経済	企業経営	9784785723989	危機管理法大全		西村あさひ法律事務所：木目田裕		商事法務	201603	9,000	9,720
53	事業	経済	企業経営	9784502178412	アントレプレナーシップ教科書		三枝省三：竹本拓治		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201603	3,000	3,240
54	事業	経済	企業経営	9784589037527	アクチュアル企業法	第２版	西山芳喜		法律文化社	201604	3,100	3,348
55	事業	経済	企業経営	9784908069505	ベンチャー経営を支える法務ハンドブック：起業・資本政策・ファイナンス・労務管理・ＩＰＯ法務		橘大地		レクシスネクシス・ジャパン	201604	2,700	2,916
56	事業	経済	企業経営	9784785724054	企業法務入門テキスト：ありのままの法務		経営法友会		商事法務	201604	2,600	2,808
57	事業	経済	企業経営	9784785724177	コーポレートガバナンス・コードの実務	第２版	沢口実：内田修平		商事法務	201604	3,400	3,672
58	事業	経済	企業経営	9784794424778	経営・ビジネス論：企業の仕組みと商活動		鷲尾和紀：鷲尾紀吉		創成社	201604	3,800	4,104
59	事業	経済	企業経営	9784785724221	米国司法省による取締り：最新動向と日本企業が留意すべきリスクおよび対応策		西村高等法務研究所：西村あさひ法律事務所	西村高等法務研究所叢書	商事法務	201605	2,200	2,376
60	事業	経済	企業経営	9784502188817	テキスト現代経営入門		桑名義晴：宮下幸一		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201605	2,800	3,024
61	事業	経済	企業経営	9784532320867	投資される経営売買される経営		中神康議		日本経済新聞出版社	201606	2,200	2,376
62	事業	経済	企業経営	9784532320881	企業の真価を問うグローバル・コーポレートガバナンス		小平龍四郎		日本経済新聞出版社	201606	1,600	1,728
63	事業	経済	企業経営	9784908069758	最新クロスボーダー紛争実務戦略		高取芳宏：矢倉信介	ＬｅｘｉｓＮｅｘｉｓコンプライアンス	レクシスネクシス・ジャパン	201607	3,500	3,780
64	事業	経済	企業経営	9784450219217	社会人基礎力を養うアントレプレナーシップ：起業家精神を考える１２のストーリー		川名和美：竹元雅彦		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201609	2,500	2,700
65	事業	経済	企業経営	9784623076505	よくわかる企業論	第２版	佐久間信夫	やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ	ミネルヴァ書房	201609	2,700	2,916
66	事業	経済	企業経営	9784903212562	起業への挑戦		ガイ・カワサキ：三木俊哉		海と月社	201610	2,400	2,592
67	事業	経済	企業経営	9784908069765	グローバルビジネスロー基礎研修．２（知的財産編）		飯田浩司：河村寛治		レクシスネクシス・ジャパン	201610	5,600	6,048
68	事業	経済	企業経営	9784417016922	コーポレート・ガバナンスの法律相談		竹内朗：中村信男	最新青林法律相談	青林書院	201610	5,800	6,264
69	事業	経済	企業経営	9784908965005	ベンチャー白書：ベンチャービジネスに関する年次報告．２０１６		ベンチャーエンタープライズセンター		ベンチャーエンタープライズセンター	201611	5,000	5,400
70	事業	経済	企業経営	9784822237288	新・実践経営：企業は何のためにあるのか		山城経営研究所		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201611	2,000	2,160
71	事業	経済	企業経営	9784641164918	日本のビジネスシステム：その原理と革新		加護野忠男：山田幸三		有斐閣	201611	2,600	2,808
72	事業	経済	企業経営	9784817843586	ベーシック企業法務事典：ビジネスを推進する実務ナビ		永井徳人：鈴木智也		日本加除出版	201611	2,950	3,186
73	事業	経済	企業経営	9784908069635	企業組織法		大杉謙一：高木弘明	ビジネス法体系	レクシスネクシス・ジャパン	201611	5,000	5,400
74	事業	経済	企業経営	9784502190513	ベンチャー企業の法務ＡｔｏＺ：起業からＩＰＯまで		後藤勝也：林賢治		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201611	4,200	4,536
75	事業	経済	企業経営	9784908813030	ベンチャー企業白書．２０１６年版		藤田英夫	ＪＢＤ企業・ビジネス白書シリーズ	日本ビジネス開発	201612	38,000	41,040
76	事業	経済	企業経営	9784433653965	法務リスク管理最前線：ガバナンス、リスク管理、コンプライアンスを中心に		第一東京弁護士会総合法律研究所	第一東京弁護士会総合法律研究所研究叢書	清文社	201612	2,500	2,700
77	事業	経済	企業経営	9784785724832	コーポレート・ガバナンス改革の提言：企業価値向上・経済活性化への道筋		宍戸善一：後藤元		商事法務	201612	7,000	7,560
78	事業	経済	企業経営	9784822236731	名経営者との対話：コーポレートガバナンスの実践と理論		牛島信		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201701	1,800	1,944
79	事業	経済	企業経営	9784814000449	文化資本論入門		池上惇	学術選書	京都大学学術出版会	201701	1,800	1,944
80	事業	経済	企業経営	9784433636760	弁護士と税理士の相互質疑応答集		近畿弁護士会連合会：近畿税理士会		清文社	201701	2,200	2,376
81	事業	経済	企業経営	9784502210518	企業内法務の交渉術		北島敬之		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201701	2,500	2,700
82	事業	経済	企業経営	9784502206313	創業者一族の経営とコーポレート・ガバナンス		今村明代		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201701	3,200	3,456
83	事業	経済	企業経営	9784830949135	自分で企業をつくり、育てるための経営学入門：起業戦略を考える		斎藤毅憲：渡辺峻	新しい経営学	文眞堂	201701	1,850	1,998
84	事業	経済	企業経営	9784785752507	コードに対応したコーポレート・ガバナンス報告書の記載事例の分析．平成２８年版		森・濱田松本法律事務所	別冊商事法務	商事法務	201701	4,800	5,184
85	事業	経済	企業経営	9784533522558	中国ビジネス法体系：部門別・場面別	第２版	藤本豪		日本評論社	201702	5,000	5,400
86	事業	経済	企業経営	9784820759553	企業法務ハンドブック：部門担当者もケースでわかる		みらい総合法律事務所		日本能率協会マネジメントセンター	201702	3,000	3,240
87	事業	経済	企業経営	9784492533895	企業統治と成長戦略：ガバナンスの強化は何をもたらすのか		宮島英昭		東洋経済新報社	201702	4,800	5,184
88	事業	経済	企業経営	9784502212710	企業と会計の道しるべ		水口剛：平井裕久		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201702	2,200	2,376
89	事業	経済	企業経営	9784822255084	模倣の経営学	実践プログラム版	井上達彦		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201703	2,000	2,160
90	事業	経済	企業経営	9784434231476	ベンチャーコミュニティを巡って		秦信行		武蔵野デジタル出版(発売：星雲社)	201703	2,000	2,160
91	事業	経済	企業経営	9784502216213	大学発ベンチャー起業家の「熟達」研究：瀧和男のライフヒストリー		高瀬進		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201703	4,800	5,184
92	事業	経済	企業経営	9784502220210	ビジネス法入門	第２版	中村信男：和田宗久		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201703	2,600	2,808
93	事業	経済	企業経営	9784785725051	オーラルヒストリー企業法務		平田政和		商事法務	201703	2,400	2,592
94	事業	経済	企業経営	9784794424983	会社のつくり方：経営学の理論に基づく起業		鈴木好和		創成社	201703	1,600	1,728
95	事業	経済	企業経営	9784502222818	１からのアントレプレナーシップ		山田幸三：江島由裕		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201704	2,400	2,592
96	事業	経済	企業経営	9784771028241	はじめてのビジネス法：Ｂｕｓｉｎｅｓｓ Ｌａｗ Ｈａｎｄｂｏｏｋ		池島真策：橋谷聡一		晃洋書房	201705	1,700	1,836
97	事業	経済	企業経営	9784908069642	ビジネス法概論		川二政司：山崎良太	ビジネス法体系	レクシスネクシス・ジャパン	201705	5,000	5,400
98	事業	経済	企業経営	9784502225611	法務の技法［ＯＪＴ編］		芦原一郎		中央経済グループパブリッシング	201705	3,200	3,456
99	事業	経済	企業経営	9784785725259	コーポレート・ガバナンスの現状分析．２０１７年版		コーポレート・プラクティス・パートナーズ：中西敏和		商事法務	201705	3,000	3,240

100	事業	経済	企業経営	9784794425072	近代経営の基礎：企業経済学序説	第４版	三浦隆之		創成社	201705	4,100	4,428
101	事業	経済	企業経営	9784478103111	経営の針路：世界の転換期で日本企業はどこを目指すか		平野正雄		ダイヤモンド社	201707	1,600	1,728
102	事業	経済	企業経営	9784502226113	戦略的経営理念論：人と組織を活かす理念の浸透プロセス		瀬戸正則		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201707	3,000	3,240
103	事業	経済	企業経営	9784774192161	ビジネスモデル症候群：なぜ、スタートアップの失敗は繰り返されるのか？		和波俊久		技術評論社	201709	1,680	1,814
104	事業	経済	企業経営	9784641046795	ケースで学ぶ国際企業法務のエッセンス		森下哲朗：平野温郎		有斐閣	201709	3,700	3,996
105	事業	経済	企業経営	9784502240713	コーポレートアクセラレーター：オープンイノベーションの最強手法		村上恭一：鈴木規文		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201709	2,000	2,160
106	事業	経済	企業経営	9784822255459	図解リーン・スタートアップ成長戦略		アッシュ・マウリャ：角征典		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201710	2,200	2,376
107	事業	経済	企業経営	9784474058392	まずはここから！ベーシックな事例で学ぶ企業法務の仕事		河村寛治		第一法規出版	201710	2,800	3,024
108	事業	経済	企業経営	9784822255268	東大ロースクール実戦から学ぶ企業法務		淵邉善彦		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201712	1,800	1,944
109	事業	経済	企業経営	9784478752613	コードに対応したコーポレート・ガバナンス報告書の記載事例の分析．平成２９年版		森・濱田松本法律事務所	別冊商事法務	商事法務	201712	4,800	5,184
110	事業	経済	企業経営	9784862804624	世界のエリートに読み継がれているビジネス書３８冊		グローバルタスクフォース株式会社		総合法令出版	201508	1,800	1,944
111	事業	経済	企業経営	9784532321864	ビジネス名著大全		橋本忠明		日本経済新聞出版社	201711	2,500	2,700
112	事業	経済	企業経営	9784905388890	明治大正期商工信用録．第９巻～第１２巻				クロスカルチャー出版	201504	120,000	129,600
113	事業	経済	企業経営	9784907379070	ベトナム優良企業１０００社：ベトナム企業情報．上巻				ビスタピー・エス	201510	38,000	41,040
114	事業	経済	企業経営	9784908823008	明治大正期商工信用録．第１３巻～第１６巻				クロスカルチャー出版	201604	120,000	129,600
115	事業	経済	企業経営	9784907379124	ベトナム進出日系企業総覧		ＣｒｅｄｉｔＲａｔｉｎｇＶｉｅｔｎａ	ベトナム企業情報	ビスタピー・エス	201609	40,000	43,200
116	事業	経済	企業経営	9784863410329	ベトナム日系企業リスト：完全収録．２０１７年		片岡利昭		日越貿易会(発売：エヌ・エヌ・エー)	201611	10,000	10,800
117	事業	経済	企業経営	9784908823107	【日本経済調査資料シリーズ】明治大正期　商工信用録　第１期・第５回配本（全４巻セ：第１７巻～第２０巻			日本経済調査資料シリーズ	クロスカルチャー出版	201703	120,000	129,600
118	事業	経済	企業経営	9784830948398	縁と粋の経営：グローカル・にっぽんを創る		村山元英		文眞堂	201501	2,500	2,700
119	事業	経済	企業経営	9784496051166	企業法研究の序曲．３		筑波大学	企業法学論集	同友館	201504	1,800	1,944
120	事業	経済	企業経営	9784792326753	企業法の現代的課題：正井章祚先生古稀祝賀		上村達男：尾崎安央		成文堂	201507	17,000	18,360
121	事業	経済	企業経営	9784561236665	企業および企業人：２１世紀初頭の日本と企業人のあり方	７訂版	鍵山整充：太田滋		白桃書房	201510	4,500	4,860
122	事業	経済	企業経営	9784478066508	イノベーションと企業家精神	エッセンシャル版	ピーター・ファーディナンド・ドラッカー：上田惇生		ダイヤモンド社	201512	1,600	1,728
123	事業	経済	企業経営	9784496051937	企業法研究の序曲．４		筑波大学	企業法学論集	同友館	201604	1,800	1,944
124	事業	経済	企業経営	9784641137578	企業法の進路：江頭憲治郎先生古稀記念		黒沼悦郎：藤田友敬		有斐閣	201701	23,000	24,840
125	事業	経済	企業経営	9784496052545	企業法研究の序曲．５		筑波大学	企業法学論集	同友館	201701	2,300	2,484
126	事業	経済	企業経営	9784818824690	致富の鍵		大倉喜八郎：菊池暁汀		東京経済大学(発売：日本経済評論社)	201705	3,000	3,240
127	事業	経済	企業経営	9784908328060	法人企業統計季報．平成２７年１～３月		財務省財務総合政策研究所		ワープ	201506	2,350	2,538
128	事業	経済	企業経営	9784908328091	法人企業統計季報．平成２７年４～６月		財務省財務総合政策研究所		ワープ	201509	2,350	2,538
129	事業	経済	企業経営	9784478066294	稲盛和夫経営講演選集．第１巻		稲盛和夫：京セラ株式会社		ダイヤモンド社	201509	3,980	4,298
130	事業	経済	企業経営	9784478066300	稲盛和夫経営講演選集．第２巻		稲盛和夫：京セラ株式会社		ダイヤモンド社	201509	3,980	4,298
131	事業	経済	企業経営	9784478066317	稲盛和夫経営講演選集．第３巻		稲盛和夫：京セラ株式会社		ダイヤモンド社	201509	3,980	4,298
132	事業	経済	企業経営	9784478067192	稲盛和夫経営講演選集．第１巻～第３巻		稲盛和夫：京セラ株式会社		ダイヤモンド社	201509	11,940	12,895
133	事業	経済	企業経営	9784478068151	稲盛和夫経営講演選集．第４巻		稲盛和夫：京セラ株式会社		ダイヤモンド社	201604	3,980	4,298
134	事業	経済	企業経営	9784478068168	稲盛和夫経営講演選集．第５巻		稲盛和夫：京セラ株式会社		ダイヤモンド社	201604	3,980	4,298
135	事業	経済	企業経営	9784478068175	稲盛和夫経営講演選集．第６巻		稲盛和夫：京セラ株式会社		ダイヤモンド社	201604	3,980	4,298
136	事業	経済	企業経営	9784478068182	稲盛和夫経営講演選集．第４巻～第６巻		稲盛和夫：京セラ株式会社		ダイヤモンド社	201604	11,940	12,895
137	事業	経済	経営学	9784820749134	幸せの経営学：よい未来をつくる理論と実践		酒井穣		日本能率協会マネジメントセンター	201411	1,600	1,728
138	事業	経済	経営学	9784492502624	使える経営学		杉野幹人【著】		東洋経済新報社	201411	1,600	1,728
139	事業	経済	経営学	9784561151821	経営学への招待	新装版	坂下昭宣		白桃書房	201411	2,600	2,808
140	事業	経済	経営学	9784794424426	データから読み解く経営学：経営・経済問題を解決するための情報処理活用		田中正敏		創成社	201411	2,200	2,376
141	事業	経済	経営学	9784589036438	経営学とリスクマネジメントを学ぶ：生活から経営戦略まで		亀井克之		法律文化社	201412	2,300	2,484
142	事業	経済	経営学	9784385162300	経営学大図鑑		イアン・マルコーズ：沢田博		三省堂	201502	4,200	4,536
143	事業	経済	経営学	9784502123313	協働の経営学		林徹		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201502	3,000	3,240
144	事業	経済	経営学	9784502133916	経営学入門		藤田誠	ベーシック＋	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201502	2,400	2,592
145	事業	経済	経営学	9784502124211	経営学の基本：初級受験用	第５版	経営能力開発センター：日本経営協会	経営学検定試験公式テキスト	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201502	2,600	2,808
146	事業	経済	経営学	9784502124310	マネジメント：中級受験用	第３版	経営能力開発センター：日本経営協会	経営学検定試験公式テキスト	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201502	2,400	2,592
147	事業	経済	経営学	9784495357160	最新基本経営学用語辞典	改訂版	深山明：海道ノブチカ		同文舘出版	201503	2,800	3,024
148	事業	経済	経営学	9784495378929	基本経営学	改訂版	深山明：海道ノブチカ		同文舘出版	201503	3,500	3,780
149	事業	経済	経営学	9784495385217	ビジネスを学ぶ基礎ゼミナール		齋藤雅子		同文舘出版	201503	2,000	2,160

150	事業	経済	経営学	9784502134814	資源ベース論の理論進化：企業における硬直化を巡る分析		永野寛子		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201503	3,200	3,456
151	事業	経済	経営学	9784502142413	ＭＢＡエグゼクティブズ：戦略、マネジメント・コントロール、会計の総合力		山根節		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201503	3,000	3,240
152	事業	経済	経営学	9784561151838	経営学への扉	第５版	明治大学経営学研究会	フレッシュマンのためのガイドブック	白桃書房	201503	2,800	3,024
153	事業	経済	経営学	9784762025242	新経営学総論：経営学の新たな展開		「新経営学」研究会		学文社	201503	3,000	3,240
154	事業	経済	経営学	9784762025259	やさしく学ぶ経営学		吉沢正広		学文社	201503	2,500	2,700
155	事業	経済	経営学	9784771026148	ディーセント・マネジメント研究：労働統合・共生経営の方法		重本直利	龍谷大学社会科学研究所叢書	晃洋書房	201503	5,000	5,400
156	事業	経済	経営学	9784830948503	はじめて学ぶ人のための経営学	ｖｅｒ．３	片岡信之：斎藤毅憲		文眞堂	201503	2,500	2,700
157	事業	経済	経営学	9784502128714	マーケティング／ＩＴ経営：中級受験用	第４版	経営能力開発センター：日本経営協会	経営学検定試験公式テキスト	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201503	2,400	2,592
158	事業	経済	経営学	9784502131318	経営財務：中級受験用		経営能力開発センター：日本経営協会	経営学検定試験公式テキスト	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201503	2,400	2,592
159	事業	経済	経営学	9784623068005	入門企業社会学：「企業と社会」への社会学的アプローチ		マーティン・ジョーゼフ：松野弘		ミネルヴァ書房	201504	3,500	3,780
160	事業	経済	経営学	9784779509520	制度的企業家		桑田耕太郎：松嶋登		ナカニシヤ出版	201504	6,500	7,020
161	事業	経済	経営学	9784864340458	基礎から学ぶ経営学	第２版	村田和博		五絃舎	201504	1,900	2,052
162	事業	経済	経営学	9784794424587	やさしく学ぶ経営学		海野博：畑隆		創成社	201505	2,600	2,808
163	事業	経済	経営学	9784641164604	人生を変えるＭＢＡ：「神戸方式」で学ぶ最先端の経営学		神戸大学		有斐閣	201506	1,800	1,944
164	事業	経済	経営学	9784502153310	ガイダンス現代経営学		山倉健嗣		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201507	2,400	2,592
165	事業	経済	経営学	9784023314337	経営理論大全：すぐに使える最強のビジネスセオリー		ジェームス・マクグラス：ボブ・ベイツ		朝日新聞出版	201508	1,700	1,836
166	事業	経済	経営学	9784561266570	変化の経営学：組織・戦略・経営者		林淳一		白桃書房	201508	4,200	4,536
167	事業	経済	経営学	9784864340519	現代経営学講義		今光俊介：高木直人		五絃舎	201508	1,800	1,944
168	事業	経済	経営学	9784641164611	経営学で考える		高橋伸夫		有斐閣	201509	3,200	3,456
169	事業	経済	経営学	9784561266648	経営事例の質的比較分析：スモールデータで因果を探る		田村正紀		白桃書房	201509	2,700	2,916
170	事業	経済	経営学	9784830948800	経営学と文明の転換：知識経営論の系譜とその批判的研究		藤沼司	文眞堂現代経営学選集	文眞堂	201510	2,700	2,916
171	事業	経済	経営学	9784822279325	ビジネススクールでは学べない世界最先端の経営学		入山章栄		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201511	1,800	1,944
172	事業	経済	経営学	9784822250775	ビジネス思考実験：「何が起きるか？」を見通すための経営学１００命題		根来竜之		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201512	2,000	2,160
173	事業	経済	経営学	9784641164703	経営の再生：戦略の時代・組織の時代	第４版	高橋伸夫		有斐閣	201603	2,800	3,024
174	事業	経済	経営学	9784502180316	はじめて出会う経営学		内藤勲：関千里		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201603	2,800	3,024
175	事業	経済	経営学	9784623075423	ビジネスをデザインする：経営学入門		足立辰雄		ミネルヴァ書房	201603	2,800	3,024
176	事業	経済	経営学	9784623076734	ハンドブック経営学	改訂版	神戸大学経済経営学会		ミネルヴァ書房	201603	3,500	3,780
177	事業	経済	経営学	9784762026096	経営学と組織論の探究：松本芳男論文集		松本芳男		学文社	201603	5,000	5,400
178	事業	経済	経営学	9784892597893	比較経営研究．第４０号		日本比較経営学会		文理閣	201603	2,800	3,024
179	事業	経済	経営学	9784766422917	アントレプレナーの経営学．１		エリック・ボール：ジョセフ・リピューマ		慶応義塾大学出版会	201603	3,600	3,888
180	事業	経済	経営学	9784766422924	アントレプレナーの経営学．２		エリック・ボール：ジョセフ・リピューマ		慶応義塾大学出版会	201603	3,200	3,456
181	事業	経済	経営学	9784766422931	アントレプレナーの経営学．３		エリック・ボール：ジョセフ・リピューマ		慶応義塾大学出版会	201603	3,200	3,456
182	事業	経済	経営学	9784883842353	経営学	第３版	小松章	基礎コース	新世社（渋谷区）(発売：サイエンス社)	201603	2,400	2,592
183	事業	経済	経営学	9784762025983	障碍者雇用と企業の持続的成長：事業における「活用」と「探索」の考察		亀井省吾		学文社	201604	2,800	3,024
184	事業	経済	経営学	9784762026416	新現代経営学		佐久間信夫：大平義隆		学文社	201604	2,900	3,132
185	事業	経済	経営学	9784830948954	個人の自立と成長のための経営学入門：キャリア戦略を考える		斎藤毅憲：渡辺峻	新しい経営学	文眞堂	201604	1,800	1,944
186	事業	経済	経営学	9784794424815	イチから学ぶビジネス：高校生・大学生の経営学入門		小野正人		創成社	201605	1,700	1,836
187	事業	経済	経営学	9784830949074	経営学の批判力と構想力		経営学史学会	経営学史学会年報	文眞堂	201605	2,700	2,916
188	事業	経済	経営学	9784532321079	ジャック・ウェルチの「リアルライフＭＢＡ」：ビジネスで勝ち残るための１３の教え		ジャック・ウェルチ：スージー・ウェルチ		日本経済新聞出版社	201610	1,800	1,944
189	事業	経済	経営学	9784561266853	経営事例の物語分析：企業盛衰のダイナミクスをつかむ		田村正紀		白桃書房	201610	2,600	2,808
190	事業	経済	経営学	9784496052408	日本に来たドラッカー：初来日編		山下淳一郎		同友館	201611	1,800	1,944
191	事業	経済	経営学	9784502200717	現代経営学研究の潮流		東洋大学		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201611	3,200	3,456
192	事業	経済	経営学	9784794424907	ビジネスデザインと経営学		立教大学		創成社	201611	3,000	3,240
193	事業	経済	経営学	9784496052606	経営学概論	新版	片山富弘：山田啓一		同友館	201701	2,500	2,700
194	事業	経済	経営学	9784762026935	新・実学への道：人生の応援歌		松永美弘		学文社	201701	1,800	1,944
195	事業	経済	経営学	9784641164956	経営の経済学	第３版	丸山雅祥		有斐閣	201702	3,000	3,240
196	事業	経済	経営学	9784623078943	よくわかる現代経営	第５版	「よくわかる現代経営」編集委員会	やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ	ミネルヴァ書房	201703	2,700	2,916
197	事業	経済	経営学	9784830949388	経営のルネサンス：グローバリズムからポストグローバリズムへ		鈴木秀一：細萱伸子		文眞堂	201704	2,500	2,700
198	事業	経済	経営学	9784798914312	ドラッカー『現代の経営』が教える「マネジメントの基本指針」		坂本和一		東信堂	201705	2,400	2,592
199	事業	経済	経営学	9784492533901	衰退の法則：日本企業を蝕むサイレントキラーの正体		小城武彦		東洋経済新報社	201706	3,000	3,240

200	事業	経済	経営学	9784502232411	モノポリーで学ぶビジネスの基礎		林徹		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201706	2,600	2,808
201	事業	経済	経営学	9784495390105	経営学要論		岸川善光		同文舘出版	201709	3,200	3,456
202	事業	経済	経営学	9784805111161	日本経営学会史：創設５１周年から９０周年まで		日本経営学会		千倉書房	201709	6,000	6,480
203	事業	経済	経営学	9784326504411	経営学講義	新訂	板倉宏昭		勁草書房	201711	3,800	4,104
204	事業	経済	経営史学	9784793003912	経営学説２８講		須藤芳正：今林宏典		泉文堂	201504	2,300	2,484
205	事業	経済	経営史学	9784794424624	経営学者の名言		佐久間信夫		創成社	201510	2,500	2,700
206	事業	経済	経営史学	9784830949500	経営学史研究の興亡		経営学史学会	経営学史学会年報	文眞堂	201705	3,000	3,240
207	事業	経済	経営者/企業者各論	9784830948459	企業責任と法：企業の社会的責任と法の役割・在り方		企業法学会		文眞堂	201501	2,800	3,024
208	事業	経済	経営者/企業者各論	9784907574079	事業承継入門．３		追手門学院大学ベンチャービジネス研究所		追手門学院大学出版会(発売：丸善出版)	201502	2,400	2,592
209	事業	経済	経営者/企業者各論	9784539724149	種類株式＆民事信託を活用した戦略的事業承継の実践と手法		河合保弘		日本法令	201503	3,000	3,240
210	事業	経済	経営者/企業者各論	9784817195395	ＣＳＶ経営による市場創造：ＣＳＶアプローチでステークホルダーとのＷｉｎ－Ｗｉ		三菱ＵＦＪリサーチ&コンサルティング株式		日科技連出版社	201503	2,400	2,592
211	事業	経済	経営者/企業者各論	9784561461791	レビテーション・ダイナミクス		平屋伸洋	敬愛大学学術叢書	白桃書房	201503	4,500	4,860
212	事業	経済	経営者/企業者各論	9784322128093	事業承継で生まれ変わる：後継者による中小企業の経営革新		日本政策金融公庫		きんざい	201508	1,800	1,944
213	事業	経済	経営者/企業者各論	9784844374350	職業としてのプロ経営者：プロフェッショナルマネジャー論		小杉俊哉		クロスメディア・パブリッシング(発売：インプレス)	201510	1,680	1,814
214	事業	経済	経営者/企業者各論	9784502151910	エフェクチュエーション：市場創造の実効理論		サラス・Ｄ．サラスバシー：加護野忠男	碩学叢書	碩学舎(発売：中央経済グループパブ)	201510	5,800	6,264
215	事業	経済	経営者/企業者各論	9784502161117	入門企業と社会		佐々木利広：大室悦賀		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201510	2,600	2,808
216	事業	経済	経営者/企業者各論	9784502170218	持株会社・グループ組織再編・Ｍ＆Ａを活用した事業承継スキーム：後継者・税務・株式評価から考える		木俣貴光：松島一秋		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201602	4,200	4,536
217	事業	経済	経営者/企業者各論	9784754722937	実務目線からみた事業承継の実務：知っておくべき重要事例５５	増補改訂版	岡野訓：白井一馬		大蔵財務協会	201603	2,037	2,199
218	事業	経済	経営者/企業者各論	9784502186615	ステークホルダーの経営学：開かれた社会と持続可能な企業	第２版	大平浩二		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201605	3,200	3,456
219	事業	経済	経営者/企業者各論	9784561266822	事業承継のジレンマ：後継者の制約と自律のマネジメント		落合康裕		白桃書房	201605	3,200	3,456
220	事業	経済	経営者/企業者各論	9784561236757	企業文化：ダイバーシティと文化の仕組み	改訂版	エドガー・Ｈ．シャイン：尾川丈一		白桃書房	201606	3,500	3,780
221	事業	経済	経営者/企業者各論	9784782534380	ソーシャルパワーの時代：「つながりのチカラ」が革新する企業と地域の価値共創		玉村雅敏		産学社	201607	2,000	2,160
222	事業	経済	経営者/企業者各論	9784589038111	会社事業承継の実務と理論：会社法・相続法・租税法・労働法・信託法の交錯		山下眞弘		法律文化社	201702	3,000	3,240
223	事業	経済	経営者/企業者各論	9784862832382	企業家精神のダイナミクス：その生成、発展および発現形態のケース分析		佐藤善信	関西学院大学研究叢書	関西学院大学出版会	201703	3,600	3,888
224	事業	経済	経営者/企業者各論	9784904901731	事業承継支援マニュアル	改訂版	日本公認会計士協会		日本公認会計士協会	201710	2,500	2,700
225	事業	経済	経営者/企業者各論	9784324104132	“守りから攻め”の事業承継対策Ｑ＆Ａ．平成２９年改訂版		タクトコンサルティング		ぎょうせい	201711	2,500	2,700
226	事業	経済	経営心理	9784943974239	マズロー理論研究序説：「自己実現」概念とその経営学的意義		三島斉紀	神奈川大学経済貿易研究所研究叢書	まほろば書房	201503	7,500	8,100
227	事業	経済	経営心理	9784532320430	リーダーのための経営心理学：人を動かし導く５０の心の性質		藤田耕司		日本経済新聞出版社	201606	1,800	1,944
228	事業	経済	経営倫理	9784805110539	ＣＳＲ ａｎｄ ｃｏｒｐｏｒａｔｅ ｇｏｖｅｒｎａｎｃｅ		企業と社会フォーラム	企業と社会シリーズ	千倉書房	201412	3,600	3,888
229	事業	経済	経営倫理	9784419061692	リスクマネジメントとしての内部通報制度：通報窓口担当者のための実務Ｑ＆Ａ		田島正広：田島総合法律事務所		税務経理協会	201501	2,400	2,592
230	事業	経済	経営倫理	9784771025714	ロシア経営学の新潮流：ＣＳＲ教育・研究の動向		宮坂純一		晃洋書房	201501	3,800	4,104
231	事業	経済	経営倫理	9784863340930	企業不祥事と公益通報者保護法について		外井浩志		とりい書房	201503	1,800	1,944
232	事業	経済	経営倫理	9784382057210	働く人が知っておきたいビジネス倫理		齊藤聡		産業能率大学出版部	201503	2,000	2,160
233	事業	経済	経営倫理	9784797254693	刑事コンプライアンスの国際動向		甲斐克則：田口守一	総合叢書	信山社出版	201507	12,800	13,824
234	事業	経済	経営倫理	9784534053060	実効性のある内部通報制度のしくみと運用：コンプライアンス経営の“切り札”		梅本弘		日本実業出版社	201508	2,500	2,700
235	事業	経済	経営倫理	9784822251017	そうじ資本主義：日本企業の倫理とトイレ掃除の精神		大森信		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201508	1,700	1,836
236	事業	経済	経営倫理	9784761513535	未来に選ばれる会社：ＣＳＲから始まるソーシャル・ブランディング		森摂：オルタナ		学芸出版社（京都）	201510	1,800	1,944
237	事業	経済	経営倫理	9784492533697	ＣＳＶ経営戦略：本業での高収益と、社会の課題を同時に解決する		名和高司		東洋経済新報社	201510	2,400	2,592
238	事業	経済	経営倫理	9784862762061	理想主義者として働く：真に「倫理的」な企業を求めて		クリスティーン・ベイダー：原賀真紀子		英治出版	201601	2,000	2,160
239	事業	経済	経営倫理	9784830948855	経営倫理とプラグマティズム：ジョン・デューイの思想に依拠した序説的考察		岩田浩	文眞堂現代経営学選集	文眞堂	201601	3,700	3,996
240	事業	経済	経営倫理	9784892056338	企業倫理と社会の持続可能性		中野千秋：高巌		麗澤大学出版会(発売：広池学園事業部)	201602	2,600	2,808
241	事業	経済	経営倫理	9784785724061	逐条解説・公益通報者保護法		消費者庁	逐条解説シリーズ	商事法務	201604	2,600	2,808
242	事業	経済	経営倫理	9784939156342	事業者の内部通報トラブル：ここがポイント		東京弁護士会		法律情報出版	201604	3,000	3,240
243	事業	経済	経営倫理	9784841940039	善き経営：ＧＢＩの理論と実践		立教大学	経営学を考えるシリーズ	丸善雄松堂	201605	2,600	2,808
244	事業	経済	経営倫理	9784434219337	持続可能性経営：ＥＳＧと企業価値との関係を考える		宮崎正浩		現代図書(発売：星雲社)	201606	1,800	1,944
245	事業	経済	経営倫理	9784492093276	図解コンプライアンス経営	第４版	浜辺陽一郎		東洋経済新報社	201607	1,800	1,944
246	事業	経済	経営倫理	9784623076222	企業人の社会貢献意識はどう変わったのか：社会的責任の自覚と実践		安齋徹		ミネルヴァ書房	201608	7,000	7,560
247	事業	経済	経営倫理	9784892598074	企業倫理研究序論		山下裕介		文理閣	201703	1,800	1,944
248	事業	経済	経営倫理	9784495388010	企業倫理：信頼に投資する		アンドレアス・ズーハネク：柴田明		同文舘出版	201704	3,700	3,996
249	事業	経済	経営倫理	9784502225413	ＣＳＲの基礎：企業と社会の新しいあり方		國部克彦：神戸ＣＳＲ研究会		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201705	3,000	3,240

250	事業	経済	経営倫理	9784771029026	企業倫理学：国際ビジネスの倫理的課題／社会的正義と経済的正義． 4		トム・L・ビーチャム：ノーマン・E・ボウイ		晃洋書房	201705	3,800	4,104
251	事業	経済	経営倫理	9784322130904	これからの内部通報システム		中原健夫：結城大輔		金融財政事情研究会(発売：きんざい)	201707	2,600	2,808
252	事業	経済	経営倫理	9784785752583	ホットラインのすべて：立上げ・運用全マニュアル		中島茂（弁護士）：原正雄	別冊商事法務	商事法務	201709	3,600	3,888
253	事業	経済	経営倫理	9784806530091	企業の価値を向上させる実効的な内部通報制度		山口利昭	現代産業選書　企業法務シリーズ	経済産業調査会	201711	2,500	2,700
254	事業	経済	経営倫理	9784865561876	内部通報・内部告発対応実務マニュアル：リスク管理体制の構築と人事労務対応策Q＆A		阿部・井窪・片山法律事務所：石嵜・山中総合法律事務所	リスク管理実務マニュアルシリーズ	民事法研究会	201711	2,800	3,024
255	事業	経済	経営史	9784562050000	図説世界を変えた５０のビジネス		ジョン・リプチンスキ：月谷真紀	シリーズ知の図書館	原書房	201411	2,000	2,160
256	事業	経済	経営史	9784818823761	経営史学の５０年		経営史学会		日本経済評論社	201503	3,700	3,996
257	事業	経済	経営史	9784502199516	エッセンシャル経営史：生産システムの歴史的分析		中瀬哲史		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201610	2,500	2,700
258	事業	経済	経営史	9784901916493	経営史の再構想		フィリップ・スクラントン：バトリック・フリデンソン		蒼天社出版	201701	2,800	3,024
259	事業	経済	経営史	9784892598098	比較経営研究．第４１号		日本比較経営学会		文理閣	201704	2,800	3,024
260	事業	経済	下請工場/下請企業	9784426121860	下請契約トラブル解決法	第３版	東京弁護士会親和全期会		自由国民社	201611	3,200	3,456
261	事業	経済	下請工場/下請企業	9784785725693	はじめて学ぶ下請法		鎌田明		商事法務	201711	2,500	2,700
262	事業	経済	経営	9784766421941	『新時代の「日本的経営」』オーラルヒストリー：雇用多様化論の起源		成瀬健生：小柳勝二郎	慶應義塾大学産業研究所選書	慶応義塾大学出版会	201501	4,600	4,968
263	事業	経済	経営	9784874282328	業種別業界情報．２０１５年版		中小企業動向調査会		経営情報出版社	201501	22,381	24,171
264	事業	経済	経営	9784532134594	なぜ日本企業は強みを捨てるのか：長期の競争ｖｓ．短期の競争		小池和男		日本経済新聞出版社	201502	2,800	3,024
265	事業	経済	経営	9784901586894	企業・ビジネス記録白書．２０１４年版		藤田英夫	ＪＢＤ企業・ビジネス白書シリーズ	日本ビジネス開発	201503	38,000	41,040
266	事業	経済	経営	9784495385613	グローバル化の中の日本型経営：ポスト市場主義の挑戦		渡辺聡子		同文舘出版	201505	2,300	2,484
267	事業	経済	経営	9784492533611	リーダーシップの哲学：１２人の経営者に学ぶリーダーの育ち方		一条和生		東洋経済新報社	201506	1,800	1,944
268	事業	経済	経営	9784805110645	プロ経営者の時代		有森隆		千倉書房	201508	2,500	2,700
269	事業	経済	経営	9784864990509	我が国企業の海外事業活動．第４４回		経済産業省：経済産業省貿易経済協力局		経済産業統計協会	201510	7,500	8,100
270	事業	経済	経営	9784478068588	ザ・ファースト・カンパニー．２０１６		ダイヤモンド経営者倶楽部		ダイヤモンド社	201601	1,800	1,944
271	事業	経済	経営	9784874282335	業種別業界情報．２０１６年版		中小企業動向調査会		経営情報出版社	201601	22,381	24,171
272	事業	経済	経営	9784830948848	企業家活動でたどるサステイナブル経営史：ＣＳＲ経営の先駆者に学ぶ		長谷川直哉	法政大学イノベーション・マネジメント研究センター叢書	文眞堂	201603	2,500	2,700
273	事業	経済	経営	9784830948916	応用経営史：福島第一原発事故後の電力・原子力改革への適用		橘川武郎		文眞堂	201603	2,750	2,970
274	事業	経済	経営	9784623076864	文化を支えた企業家たち：「志」の源流と系譜		伊木稔	Ｍｉｎｅｒｖａ歴史・文化ライブラリー	ミネルヴァ書房	201603	3,500	3,780
275	事業	経済	経営	9784561256786	組織マネジメントのリアル：白熱教室「現代の企業経営」		国学院大学		白桃書房	201604	1,850	1,998
276	事業	経済	経営	9784822235697	永続成長企業のリアル経営学：日本電産・永守流に見る究極モデル		田村賢司		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201605	1,800	1,944
277	事業	経済	経営	9784492533826	「好き嫌い」と才能		楠木建		東洋経済新報社	201605	1,800	1,944
278	事業	経済	経営	9784478069592	なぜあの経営者はすごいのか：数字で読み解くトップの手腕		山根節		ダイヤモンド社	201606	1,600	1,728
279	事業	経済	経営	9784532320737	失敗の研究巨大組織が崩れるとき		金田信一郎		日本経済新聞出版社	201606	1,600	1,728
280	事業	経済	経営	9784802510271	日本の革新者たち：１００人の未来創造と地方創生への挑戦		齊藤義明		ビー・エヌ・エヌ新社	201606	2,000	2,160
281	事業	経済	経営	9784532320935	点検ガバナンス大改革：年金・機関投資家が問う、ニッポンの企業価値		格付投資情報センター		日本経済新聞出版社	201606	2,300	2,484
282	事業	経済	経営	9784864990837	我が国企業の海外事業活動．第４５回		経済産業統計協会		経済産業統計協会	201608	7,500	8,100
283	事業	経済	経営	9784874282342	業種別業界情報．２０１７年版		中小企業動向調査会		経営情報出版社	201701	22,381	24,171
284	事業	経済	経営	9784818824621	時代を超えた経営者たち		井奥成彦		日本経済評論社	201703	2,800	3,024
285	事業	経済	経営	9784805732380	Ｉｎｄｕｓｔｒｉａｌ Ｒｅｎａｉｓｓａｎｃｅ：Ｎｅｗ Ｂｕｓｉｎｅｓｓ Ｉｄｅａ		日高克平	中央大学企業研究所研究叢書	中央大学出版部	201703	3,100	3,348
286	事業	経済	経営	9784474057784	長寿企業のリスクマネジメント		後藤俊夫		第一法規出版	201703	2,000	2,160
287	事業	経済	経営	9784623080380	日本の「いい会社」：地域に生きる会社力		坂本光司：法政大学大学院坂本光司研究室	シリーズ・ニッポン再発見	ミネルヴァ書房	201704	2,000	2,160
288	事業	経済	経営	9784641165007	関与と越境：日本企業再生の論理		軽部大		有斐閣	201704	4,200	4,536
289	事業	経済	経営	9784492762363	業界分析ハンドブック：経営戦略が評価される企業７５		みずほ証券エクイティ調査部		東洋経済新報社	201709	2,000	2,160
290	事業	経済	経営	9784839421687	企業経営の日独比較：産業集中体制および「アメリカ化」と「再構造化」		山崎敏夫		森山書店	201710	4,200	4,536
291	事業	経済	経営	9784490209471	商売は地域とともに：神田百年企業の足跡		ＮＰＯ法人神田学会：東京大学都市デザイン研究室		東京堂出版	201705	2,800	3,024
292	事業	経済	経営	9784502185519	京都企業歴史と空間の産物		徳賀芳弘		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201606	2,800	3,024
293	事業	経済	経営	9784860694135	創業１００年企業の経営理念：ＮＥＸＴ１００年どう生きる．２		入野和生		吉備人出版	201503	1,600	1,728
294	事業	経済	経営	9784874159477	九州の百年企業		田中滋幸		海鳥社	201506	1,700	1,836
295	事業	経済	経営	9784830948497	アジアの企業間競争		橘川武郎：久保文克		文眞堂	201504	2,800	3,024
296	事業	経済	経営	9784419064037	東アジアとアセアン諸国のコーポレート・ガバナンス		三和裕美子		税務経理協会	201612	2,800	3,024
297	事業	経済	経営	9784623080786	現代アジアの企業経営：多様化するビジネスモデルの実態		中川涼司：二久保豊	ＭＩＮＥＲＶＡ ＴＥＸＴ ＬＩＢＲＡＲＹ	ミネルヴァ書房	201709	3,200	3,456
298	事業	経済	経営	9784771026216	周縁からの市場経済化：中国農村企業の勃興とその展開過程		堀口正		晃洋書房	201506	3,500	3,780
299	事業	経済	経営	9784805733141	中国における企業文化の変容		コーリン・Ｓ．Ｃ．ホーズ：酒井正三郎	中央大学企業研究所翻訳叢書	中央大学出版部	201510	2,900	3,132

300	事業	経済	経営	9784502182815	中国大企業の競争力分析		江向華		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201606	3,000	3,240
301	事業	経済	経営	9784326504275	台湾企業の発展戦略：ケーススタディと勝利の方程式		朝元照雄		勁草書房	201607	3,400	3,672
302	事業	経済	経営	9784861852169	中国企業成長調査研究報告：最新版		伊志宏：企業イノベーション・競争力研究センター		日本僑報社	201610	3,600	3,888
303	事業	経済	経営	9784830949593	中国の上場会社と大株主の影響力：構造と実態		董光哲		文眞堂	201709	2,700	2,916
304	事業	経済	経営	9784798142937	ＡＳＥＡＮ企業地図：有力企業グループの全体像がわかる！		桂木麻也		翔泳社	201511	2,400	2,592
305	事業	経済	経営	9784822250508	スイスの凄い競争力		Ｒ．ジェイムズ・ブライディング：北川知子		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201411	3,200	3,456
306	事業	経済	経営	9784839421564	ドイツ戦前期経営史研究		山崎敏夫		森山書店	201510	3,600	3,888
307	事業	経済	経営	9784502126017	スウェーデン流グローバル成長戦略：「分かち合い」の精神に学ぶ		加護野忠男：山田幸三		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201501	2,000	2,160
308	事業	経済	経営	9784478029770	人と企業はどこで間違えるのか？：成功と失敗の本質を探る「１０の物語」		ジョン・ブルックス：須川綾子		ダイヤモンド社	201412	1,800	1,944
309	事業	経済	経営	9784830948527	グローバルビジネスとアメリカ・ユダヤ人：その思想と行動の解明		竹田志郎		文眞堂	201504	1,850	1,998
310	事業	経済	経営	9784779121302	格差社会とアメリカン・ドリームの復活：歴史から見る企業の役割と民主主義		ジェームズ・フープス：小山久美子		彩流社	201506	2,700	2,916
311	事業	経済	経営	9784890137640	夢を追いかける起業家たち：ディズニー、ナイキ、マクドナルド、アップル、グーグ		サラ・ギルバート：アーロン・プリッシュ		西村書店（新潟）	201703	1,900	2,052
312	事業	経済	経営	9784772252881	東京大都市圏郊外の変化とオフィス立地：オフィス移転からみた業務核都市のすがた		佐藤英人		古今書院	201602	4,200	4,536
313	事業	経済	企業構造/産業組織	9784757123571	アライアンス戦略論	新版	安田洋史		ＮＴＴ出版	201602	3,600	3,888
314	事業	経済	企業構造/産業組織	9784502180514	ＩｏＴ時代の競争分析フレームワーク：バリューチェーンからレイヤー構造化へ		根来竜之：浜屋敏		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201607	2,500	2,700
315	事業	経済	企業構造/産業組織	9784502197116	資本・業務提携の実務	第２版	太田洋：森本大介		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201610	5,000	5,400
316	事業	経済	企業構造/産業組織	9784417017011	詳解アライアンス契約の実務と条項：販売代理店，フランチャイズ，ＯＥＭ，技術提携，共同		奈良輝久：日下部真治		青林書院	201611	5,900	6,372
317	事業	経済	企業構造/産業組織	9784561266969	ＩｏＴ時代のアライアンス戦略：人工知能の進化とマッチング数理モデルの提案		冨田賢		白桃書房	201704	2,750	2,970
318	事業	経済	中小企業	9784326348992	中国中小企業の起業・経営・人材管理：民営化企業の多様化に迫る		北震	現代中国地域研究叢書	勁草書房	201411	4,400	4,752
319	事業	経済	中小企業	9784324098790	中小企業法務の実務		東京弁護士会	弁護士専門研修講座	ぎょうせい	201502	3,500	3,780
320	事業	経済	中小企業	9784324099506	中小企業再生への金融機関本部との連携・交渉術：税理士・公認会計士による経営改善計画策定支援		中村中：中村文子		ぎょうせい	201503	2,685	2,899
321	事業	経済	中小企業	9784502125317	企業再生と管理会計：ビジネス・エコシステムからみた経験的研究		吉川晃史	メルコ学術振興財団研究叢書	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201503	4,000	4,320
322	事業	経済	中小企業	9784901916431	元気な中小企業を育てる：日本経済の未来を切り拓く中小企業のイノベーター		村本孜		蒼天社出版	201503	2,700	2,916
323	事業	経済	中小企業	9784754743864	中小企業経営の急所：転ばぬ先のチェックポイント６１	改訂版	池永章		大蔵財務協会	201504	1,852	2,000
324	事業	経済	中小企業	9784906873371	中小企業の情報開示		藤井一郎		悠光堂	201505	3,200	3,456
325	事業	経済	中小企業	9784496051432	中小企業のビジネスシステム：仕組みによる多様な事業へのイノベーション		小川正博		同友館	201505	3,500	3,780
326	事業	経済	中小企業	9784561266587	中小企業技術経営実践講座．２		日本工業大学		白桃書房	201505	5,000	5,400
327	事業	経済	中小企業	9784794424594	現代中小企業経営要論		佐久間信夫：井上善博	経営学要論シリーズ	創成社	201505	2,900	3,132
328	事業	経済	中小企業	9784496051531	現代資本と中小企業の存立：ＣＳＲ，経営品質，ソーシャル・イノベーション		久富健治		同友館	201506	2,800	3,024
329	事業	経済	中小企業	9784905428572	新規開業白書．２０１５年版		日本政策金融公庫		佐伯印刷	201506	2,315	2,500
330	事業	経済	中小企業	9784865790238	小規模企業白書：はばたけ！小規模事業者．２０１５年版		中小企業庁		日経印刷(発売：全国官報販売協同組合)	201507	2,500	2,700
331	事業	経済	中小企業	9784496051395	独立中小企業を目指そう：独立企業化、人間尊重、労使連携、社会変革		黒瀬直宏	嘉悦大学大学院叢書	同友館	201507	2,200	2,376
332	事業	経済	中小企業	9784496051494	多様化する社会と中小企業の果たす役割		日本中小企業学会	日本中小企業学会論集	同友館	201507	2,800	3,024
333	事業	経済	中小企業	9784797223637	強者論と弱者論：中小企業学の試み		寺岡寛		信山社出版	201508	3,300	3,564
334	事業	経済	中小企業	9784433545154	中小企業経営者のための事業の「終活」実践セミナー：親族内事業承継・Ｍ＆Ａ・廃業の考え方・進め方		ＬＭ法律事務所：コンサルティング・モール		清文社	201509	3,200	3,456
335	事業	経済	中小企業	9784495464820	中小企業と法	第２版	荘田英人		同文舘出版	201510	3,200	3,456
336	事業	経済	中小企業	9784496051609	ニッチ・トップを目指す特性発揮と和の経営：ＴＭＳで築く強靭な企業		ＴＭＳ研究会：多島睦夫		同友館	201511	1,800	1,944
337	事業	経済	中小企業	9784502157417	小規模組織の特性を活かすイノベーションのマネジメント		水野由香里	碩学叢書	碩学舎(発売：中央経済グループパブ)	201511	3,900	4,212
338	事業	経済	中小企業	9784258290413	ラテンアメリカの中小企業		清水達也：二宮康史	アジ研選書	アジア経済研究所	201511	2,100	2,268
339	事業	経済	中小企業	9784474053359	中小企業等協同組合法逐条解説	第２次改訂版	全国中小企業団体中央会		第一法規出版	201602	5,800	6,264
340	事業	経済	中小企業	9784805110881	中小企業の経済学		商工組合中央金庫：岡室博之		千倉書房	201603	2,700	2,916
341	事業	経済	中小企業	9784433646264	中小企業のための事業承継ハンドブック：事業承継スキームと関連法規・税制、各種評価方法		日本公認会計士協会		清文社	201604	3,800	4,104
342	事業	経済	中小企業	9784865790474	中小企業白書．２０１６年版		中小企業庁		日経印刷(発売：全国官報販売協同組合)	201606	3,000	3,240
343	事業	経済	中小企業	9784865790481	小規模企業白書：継続と挑戦！．２０１６年版		中小企業庁		日経印刷(発売：全国官報販売協同組合)	201606	2,700	2,916
344	事業	経済	中小企業	9784863542020	事業再生学：中小企業の経営管理と危機対応		杉田利雄：高橋章		シーアンドアール研究所	201606	7,200	7,776
345	事業	経済	中小企業	9784502194412	中小企業再生・支援の新たなスキーム：金融機関と会計・法律専門家の効果的な協働を目指して		名古屋中小企業支援研究会：日本公認会計士協会		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201606	2,800	3,024
346	事業	経済	中小企業	9784905428664	新規開業白書．２０１６年版		日本政策金融公庫		佐伯印刷	201606	2,315	2,500
347	事業	経済	中小企業	9784496052118	人口減少時代を生き抜く中小企業		日本政策金融公庫		同友館	201607	1,800	1,944
348	事業	経済	中小企業	9784496052132	地域経済の振興と中小企業		日本政策金融公庫		同友館	201607	2,300	2,484
349	事業	経済	中小企業	9784496052217	地域社会に果たす中小企業の役割：課題と展望		日本中小企業学会	日本中小企業学会論集	同友館	201607	2,800	3,024

350	事業	経済	中小企業	9784496052224	図解要説中小企業白書を読む．２０１６年度対応版		東洋大学経済学部・白書研究会：安田武彦		同友館	201607	1,600	1,728
351	事業	経済	中小企業	9784324101933	“守りから攻め”の事業承継対策Ｑ＆Ａ：改正経営承継円滑化法対応		タクトコンサルティング		ぎょうせい	201608	2,500	2,700
352	事業	経済	中小企業	9784904701485	タイ中小企業政策と日本：通貨危機時の経験		大辻義弘	社会科学の冒険	書籍工房早山	201610	2,500	2,700
353	事業	経済	中小企業	9784502198915	中小企業の戦略的会社法務と登記		今川嘉文		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201610	4,400	4,752
354	事業	経済	中小企業	9784641137387	中小企業の事業承継		中村廉平		有斐閣	201703	3,000	3,240
355	事業	経済	中小企業	9784785724955	中小企業法務のすべて		日本弁護士連合会：日弁連中小企業法律支援センター		商事法務	201703	4,000	4,320
356	事業	経済	中小企業	9784275020635	情報技術と中小企業のイノベーション		小川正博	比較地域研究所研究叢書	御茶の水書房	201703	3,800	4,104
357	事業	経済	中小企業	9784762027116	スモールビジネスの創造とマネジメント		東洋大学経営力創成研究センター		学文社	201703	2,600	2,808
358	事業	経済	中小企業	9784909090010	図解でわかる中小企業庁「事業承継ガイドライン」完全解説		岸田康雄：村上章		ロギカ書房	201704	2,400	2,592
359	事業	経済	中小企業	9784865790801	中小企業白書：中小企業のライフサイクル－次世代への継承－．２０１７年版		中小企業庁		日経印刷(発売：全国官報販売協同組合)	201706	2,900	3,132
360	事業	経済	中小企業	9784496052873	２１世紀中小企業のネットワーク組織：ケース・スタディからみるネットワークの多様性		関智宏：中山健		同友館	201706	2,200	2,376
361	事業	経済	中小企業	9784905428725	新規開業白書．２０１７年版		日本政策金融公庫総合研究所		佐伯印刷	201706	2,315	2,500
362	事業	経済	中小企業	9784496052842	「見つめ直す」経営学：可視化で殻を破った中小企業の事例研究		日本政策金融公庫総合研究所		同友館	201707	1,800	1,944
363	事業	経済	中小企業	9784496052903	「地方創生」と中小企業：地域企業の役割と自治体行政の役割		日本中小企業学会	日本中小企業学会論集	同友館	201707	2,800	3,024
364	事業	経済	中小企業	9784496052927	図解要説中小企業白書を読む．２０１７年度対応版		安田武彦：東洋大学経済学部・白書研究会		同友館	201707	1,600	1,728
365	事業	経済	中小企業	9784502233517	中小企業のための事業承継の実務：誰に何を引き継ぐかがわかれば事業承継は成功する！		大野正道		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201709	2,600	2,808
366	事業	経済	中小企業	9784130430401	テクノロジー・スタートアップが未来を創る：テック起業家をめざせ		鎌田富久：各務茂夫		東京大学出版会	201712	1,600	1,728
367	事業	経済	合弁企業	9784883601288	一目でわかる中国進出企業地図．２０１５～２０１６年版		２１世紀中国総研		蒼蒼社	201502	3,200	3,456
368	事業	経済	合弁企業	9784883601318	中国進出企業一覧．２０１６－２０１７年版 上場会		２１世紀中国総研		蒼蒼社	201602	24,000	25,920
369	事業	経済	合弁企業	9784883601332	中国進出企業一覧．２０１６－２０１７年版 非上場		２１世紀中国総研		蒼蒼社	201611	24,000	25,920
370	事業	経済	合弁企業	9784322130607	ジョイント・ベンチャー契約の実務と理論	新訂版	金丸和弘：棚橋元		金融財政事情研究会(発売：きんざい)	201707	5,500	5,940
371	事業	経済	合弁企業	9784883601356	一目でわかる中国進出企業地図．２０１７～２０１８年版		２１世紀中国総研		蒼蒼社	201710	3,200	3,456
372	事業	経済	私企業/会社	9784904336854	貸倒引当金の多寡が債権放棄に及ぼす影響ならびに事業譲渡を伴う事業再生における課税		髙橋隆明		ファーストプレス	201503	5,000	5,400
373	事業	経済	私企業/会社	9784535520752	持続可能性とイノベーションの統合報告：非財務情報開示のダイナミクスと信頼性		越智信仁		日本評論社	201503	4,000	4,320
374	事業	経済	私企業/会社	9784419062118	入門会社学のススメ：学生のうちに学んでおきたい会社の知識		松崎和久：黒川雅之		税務経理協会	201504	2,100	2,268
375	事業	経済	私企業/会社	9784532134600	実践企業・事業再生ハンドブック		ＫＰＭＧＦＡＳ：知野雅彦		日本経済新聞出版社	201504	4,500	4,860
376	事業	経済	私企業/会社	9784419061913	統合報告革命：ベスト・プラクティス企業の事例分析		古賀智敏：池田公司		税務経理協会	201505	3,700	3,996
377	事業	経済	私企業/会社	9784785722876	クロスボーダー事業再生：ケース・スタディと海外最新実務		アンダーソン・毛利・友常法律事務所		商事法務	201506	3,000	3,240
378	事業	経済	私企業/会社	9784433547554	同族会社実務大全		辺見紀男：武井洋一		清文社	201507	5,800	6,264
379	事業	経済	私企業/会社	9784502147814	事業デューデリジェンスの実務入門：再生コンサルティングの質を高める		寺嶋直史		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201507	3,000	3,240
380	事業	経済	私企業/会社	9784532320089	統合報告の実際：未来を拓くコーポレートコミュニケーション		ロバート・Ｇ．エクルズ：マイケル・Ｐ．クルス		日本経済新聞出版社	201507	3,200	3,456
381	事業	経済	私企業/会社	9784806715023	コーオウンド・ビジネス：従業員が所有する会社		細川あつし		築地書館	201509	1,800	1,944
382	事業	経済	私企業/会社	9784817842503	外国人のための起業・会社設立支援マニュアル	改訂	佐野誠		日本加除出版	201509	2,300	2,484
383	事業	経済	私企業/会社	9784757123502	ドイツ同族大企業		吉森賢		ＮＴＴ出版	201509	4,800	5,184
384	事業	経済	私企業/会社	9784785723361	ターンアラウンド・マネージャーの実務		フロンティア・マネジメント株式会社		商事法務	201510	3,600	3,888
385	事業	経済	私企業/会社	9784818823921	近代日本の地方事業家：萬三商店小栗家と地域の工業化		中西聡：井奥成彦		日本経済評論社	201511	8,500	9,180
386	事業	経済	私企業/会社	9784502164811	ファミリービジネス賢明なる成長への条件：傑出した世界のベストプラクティス		ヨアキム・シュワス：長谷川博和		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201511	2,700	2,916
387	事業	経済	私企業/会社	9784496051807	ファミリービジネス白書．２０１５年版		ファミリービジネス白書企画編集委員会：後藤俊夫		同友館	201601	3,800	4,104
388	事業	経済	私企業/会社	9784526075483	イチから知る！ＩＲ実務		米山徹幸		日刊工業新聞社	201603	2,200	2,376
389	事業	経済	私企業/会社	9784502190117	日本のファミリービジネス：その永続性を探る		ファミリービジネス学会：奥村昭博		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201608	2,400	2,592
390	事業	経済	私企業/会社	9784785725082	持続的成長のための「対話」枠組み変革：日本における企業情報開示と株主総会プロセス上の課題		伊藤邦雄：尾崎安央		商事法務	201703	6,300	6,804
391	事業	経済	私企業/会社	9784495205713	インベスター・リレーションズの現状と課題		菱理恵		同文舘出版	201703	3,200	3,456
392	事業	経済	私企業/会社	9784502212819	２０２０年代の新総合商社論：日本的グローバル企業はトランスナショナル化できるか		榎本俊一		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201703	2,600	2,808
393	事業	経済	私企業/会社	9784785725198	コーポレートガバナンスハンドブック		中村直人		商事法務	201705	7,500	8,100
394	事業	経済	私企業/会社	9784785725303	コーポレートガバナンス・コードのすべて		中村慎二：塚本英巨		商事法務	201705	3,500	3,780
395	事業	経済	私企業/会社	9784492961315	経営者のための実践コーポレートガバナンス入門：稼ぐ力を取り戻す！		深澤寛晴		東洋経済新報社	201705	1,600	1,728
396	事業	経済	私企業/会社	9784502225116	企業統治		吉村典久：田中一弘	ベーシック＋	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201706	2,400	2,592
397	事業	経済	私企業/会社	9784492533918	ガバナンス革命の新たなロードマップ：２つのコードの高度化による企業価値向上の実現		北川哲雄：小方信幸		東洋経済新報社	201707	3,600	3,888
398	事業	経済	私企業/会社	9784785725525	多様化する事業再生		野村剛司：縣俊介		商事法務	201709	4,800	5,184
399	事業	経済	私企業/会社	9784322132120	葛藤するコーポレートガバナンス改革		日本総合研究所		金融財政事情研究会(発売：きんざい)	201710	2,700	2,916

400	事業	経済	私企業/会社	9784830949647	「内なるグローバル化」による新成長戦略と商社：世界人材・企業と拓く新生ジャパン		猿山純夫：日本貿易会「内なるグローバル化と商社の役		文眞堂	201710	2,200	2,376
401	事業	経済	私企業/会社	9784532321857	ＲＯＩＣ経営：稼ぐ力の創造と戦略的対話		ＫＰＭＧＦＡＳ：あずさ監査法人		日本経済新聞出版社	201711	2,000	2,160
402	事業	経済	私企業/会社	9784623081134	コーポレート・ガバナンス改革の国際比較：多様化するステークホルダーへの対応		佐久間信夫		ミネルヴァ書房	201711	3,000	3,240
403	事業	経済	私企業/会社	9784495206215	コーポレート・ガバナンス「本当にそうなのか？」：大量データから見る真実		円谷昭一：一橋コーポレート・ガバナンス研究会		同文舘出版	201712	1,800	1,944
404	事業	経済	株主総会	9784822250614	取締役会の仕事：先頭に立つとき、協力するとき、沈黙すべきとき		ラム・チャラン【著】：デニス・ケアリー【著】		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201412	2,000	2,160
405	事業	経済	株主総会	9784502160912	独立取締役の教科書		日本取締役協会		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201510	3,000	3,240
406	事業	経済	株主総会	9784785723767	役員のための株主総会運営法	第２版	中村直人		商事法務	201601	2,600	2,808
407	事業	経済	株主総会	9784785752361	社外取締役・社外監査役の兼職等状況の分析		松田由貴	別冊商事法務	商事法務	201601	4,700	5,076
408	事業	経済	株主総会	9784785724481	役員報酬改革論：日本経済復活の処方箋	増補改訂版	神田秀樹：武井一浩		商事法務	201609	3,300	3,564
409	事業	経済	株主総会	9784785752521	株主総会想定問答集．平成２９年版		河村貢：豊泉貫太郎	別冊商事法務	商事法務	201702	5,600	6,048
410	事業	経済	株主総会	9784785752552	東証一部上場会社の役員報酬設計：報酬水準・報酬制度の分析		澁谷展由	別冊商事法務	商事法務	201704	4,600	4,968
411	事業	経済	株主総会	9784785725440	社外監査役の手引き		野口菓子：春馬学		商事法務	201708	2,800	3,024
412	事業	経済	株主総会	9784785725662	はじめて学ぶ社外取締役・社外監査役の役割		松山遥		商事法務	201711	3,000	3,240
413	事業	経済	株主総会	9784502212611	インセンティブ報酬の法務・税務・会計：株式報酬・業績連動型報酬の実務詳解		松尾拓也：西村美智子		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201711	5,400	5,832
414	事業	経済	株式/社債	9784785722395	ＩＰＯと戦略的法務：会計士の視点もふまえて		岩田合同法律事務所：あずさ監査法人		商事法務	201501	3,200	3,456
415	事業	経済	株式/社債	9784502145513	詳解株式実務ガイドブック		東京証券代行株式会社		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201504	4,200	4,536
416	事業	経済	株式/社債	9784502145810	株式承継の税務・法務・会計：図解＆事例		エイ・ジー・エス・コンサルティング：ＡＧＳ税理士法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201506	2,000	2,160
417	事業	経済	株式/社債	9784881775363	経営者のための株式上場ハンドブック	第３版	山田&パートナーズ：優成コンサルティング株式会社		財経詳報社	201508	1,700	1,836
418	事業	経済	株式/社債	9784495200220	ＩＰＯをやさしく解説！上場準備ガイドブック	第２版	新日本有限責任監査法人		同文舘出版	201511	2,300	2,484
419	事業	経済	株式/社債	9784785752422	新規上場の戦略：企業統治・資金調達・役職員待遇・子会社上場．２０１５年版		澁谷展由	別冊商事法務	商事法務	201605	3,900	4,212
420	事業	経済	株式/社債	9784502214011	Ｑ＆Ａ株式上場の実務ガイド	第２版	あずさ監査法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201701	3,800	4,104
421	事業	経済	株式/社債	9784502201318	株式上場ハンドブック	第６版	トーマツＩＰＯ支援室		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201703	11,000	11,880
422	事業	経済	株式/社債	9784495197339	ＩＰＯ・内部統制の基礎と実務	第３版	日本経営調査士協会：日本投資環境研究所		同文舘出版	201709	3,600	3,888
423	事業	経済	配当	9784785752446	株主還元の実態調査：配当，自己株式の取得・処理，株主優待		樋口達：松田由貴	別冊商事法務	商事法務	201609	3,700	3,996
424	事業	経済	配当	9784502241710	配当政策のパズル：投資家の消費選好と利害対立		森直哉		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201710	3,700	3,996
425	事業	経済	合弁/清算	9784793122514	同族会社のための「合併・分割」完全解説		太田達也		税務研究会	201707	2,200	2,376
426	事業	経済	合弁/清算	9784502237911	合併の法務		谷口明史		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201709	3,400	3,672
427	事業	経済	合弁/清算	9784830949524	Ｍ＆Ａの理論と実際		佐久間信夫：中村公一		文眞堂	201710	2,700	2,916
428	事業	経済	合弁/清算	9784322132373	日本のＬＢＯファイナンス		日本バイアウト研究所		きんざい	201712	3,600	3,888
429	事業	経済	合弁/清算	9784785725792	Ｍ＆Ａにおける労働法務ＤＤのポイント		東京弁護士会労働法制特別委員会：再編と労働法部会		商事法務	201712	3,400	3,672
430	事業	経済	外国会社	9784864990387	外資系企業の動向．第４７回		経済産業省貿易経済協力局		経済産業統計協会	201503	7,600	8,208
431	事業	経済	外国会社	9784864990691	外資系企業の動向．第４８回		経済産業省貿易経済協力局		経済産業統計協会	201603	7,600	8,208
432	事業	経済	外国会社	9784419063443	中国子会社の清算・持分譲渡の実務：法務・税務・労務・経営判断		森村元		税務経理協会	201603	3,600	3,888
433	事業	経済	外国会社	9784830948879	外資の経営史		橘川武郎：金花		文眞堂	201603	3,200	3,456
434	事業	経済	外国会社	9784495387211	海外日系企業の人材形成とＣＳＲ		服部治		同文舘出版	201609	3,500	3,780
435	事業	経済	外国会社	9784474056398	親会社が気づいていない中国子会社のリスクとそのマネジメント		小堀光一：彭涛		第一法規出版	201703	3,600	3,888
436	事業	経済	外国会社	9784539725580	外国人・外資系企業の日本進出支援実務Ｑ＆Ａ		汐留パートナーズグループ		日本法令	201708	2,400	2,592
437	事業	経済	社史	9784843347850	社史で見る日本経済史．第７９巻				ゆまに書房	201506	8,000	8,640
438	事業	経済	社史	9784843347867	社史で見る日本経済史．第８０巻				ゆまに書房	201506	13,000	14,040
439	事業	経済	社史	9784843347874	社史で見る日本経済史．第８１巻				ゆまに書房	201506	20,000	21,600
440	事業	経済	社史	9784843347881	社史で見る日本経済史．第８２巻				ゆまに書房	201506	25,000	27,000
441	事業	経済	社史	9784843347898	社史で見る日本経済史．第８３巻				ゆまに書房	201506	26,000	28,080
442	事業	経済	社史	9784843347904	社史で見る日本経済史．第８４巻				ゆまに書房	201506	13,000	14,040
443	事業	経済	社史	9784905388944	明解企業史研究資料集．第５巻～第７巻（総合商社鈴木商		佐々木淳（日本経済史）		クロスカルチャー出版	201509	130,000	140,400
444	事業	経済	社史	9784816925757	企業名変遷要覧．２		結城智里		日外アソシエーツ(発売：紀伊國屋書店日外アソ)	201512	30,000	32,400
445	事業	経済	社史	9784843350331	社史で見る日本経済史．第８５巻				ゆまに書房	201607	12,000	12,960
446	事業	経済	社史	9784843350348	社史で見る日本経済史．第８６巻				ゆまに書房	201607	18,000	19,440
447	事業	経済	社史	9784843350355	社史で見る日本経済史．第８７巻				ゆまに書房	201607	18,000	19,440
448	事業	経済	社史	9784843350362	社史で見る日本経済史．第８８巻				ゆまに書房	201607	22,000	23,760
449	事業	経済	社史	9784843350379	社史で見る日本経済史．第８９巻				ゆまに書房	201607	12,000	12,960

450	事業	経済	社史	9784771028333	鈴木商店と台湾：樟脳・砂糖をめぐる人と事業		齋藤尚文		晃洋書房	201703	4,800	5,184
451	事業	経済	社史	9784843351628	社史で見る日本経済史．第９０巻		末田智樹		ゆまに書房	201706	21,000	22,680
452	事業	経済	社史	9784843351635	社史で見る日本経済史．第９１巻		末田智樹		ゆまに書房	201706	20,000	21,600
453	事業	経済	社史	9784843351642	社史で見る日本経済史．第９２巻		砂本文彦		ゆまに書房	201706	20,000	21,600
454	事業	経済	社史	9784843351659	社史で見る日本経済史．第９３巻		松浦章		ゆまに書房	201706	21,000	22,680
455	事業	経済	社史	9784843351666	社史で見る日本経済史．第９４巻		松浦章		ゆまに書房	201706	18,000	19,440
456	事業	経済	社史	9784535558779	三井物産の組織デザイン：総合商社の国際競争力		武居奈緒子		日本評論社	201708	2,800	3,024
457	事業	経済	社史	9784818824720	鈴木商店の経営破綻：横浜正金銀行から見た一側面		武田晴人		日本経済評論社	201709	4,800	5,184
458	事業	経済	特殊会社/国策会社	9784829506325	満業：満洲重工業開発株式会社社内報				芙蓉書房出版	201412	74,000	79,920
459	事業	経済	特殊会社/国策会社	9784818824485	満洲における政府系企業集団		柴田善雅		日本経済評論社	201702	8,800	9,504
460	事業	経済	特殊会社/国策会社	9784762965951	台湾拓殖株式会社研究序説：国策会社の興亡		森田明：朝元照雄		汲古書院	201710	7,500	8,100
461	事業	経済	企業集中	9784419061678	ドイツ進出企業の会計・税務・会社法・経営	改訂版	池田良一		税務経理協会	201411	6,600	7,128
462	事業	経済	企業集中	9784492533574	海外企業買収失敗の本質：戦略的アプローチ		松本茂【著】		東洋経済新報社	201411	2,600	2,808
463	事業	経済	企業集中	9784502079009	企業買収後の統合プロセス：すらすら読めるＰＭＩ入門		前田絵理：菊池庸介		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201412	3,600	3,888
464	事業	経済	企業集中	9784830948466	国際経営法の新展開：会社法改正ならびに金融法とコーポレート・ガバナンス		藤川信夫		文眞堂	201412	3,800	4,104
465	事業	経済	企業集中	9784502123016	すらすら図解Ｍ＆Ａのしくみ		小本恵照：尾関純		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201412	2,000	2,160
466	事業	経済	企業集中	9784502124914	Ｍ＆Ａ実務のプロセスとポイント：この１冊でわかる！		日本Ｍ＆Ａアドバイザー協会：大原達朗		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201412	2,400	2,592
467	事業	経済	企業集中	9784641164529	多国籍企業の量産知識：海外子会社の能力構築と本国量産活動のダイナミクス		大木清弘		有斐閣	201412	3,700	3,996
468	事業	経済	企業集中	9784822250607	日本のＭ＆Ａ：理論と事例研究		服部暢達		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201502	4,200	4,536
469	事業	経済	企業集中	9784502125812	海外子会社・海外取引のためのコンプライアンス違反・不正調査の法務		吉川達夫：平野高志		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201502	2,800	3,024
470	事業	経済	企業集中	9784539724118	「専門家を使いこなす」ためのＭ＆Ａの知識と実務の勘所：公認会計士と弁護士が教える		木村直人：横張清威		日本法令	201503	2,400	2,592
471	事業	経済	企業集中	9784641150171	はじめての国際経営		中川功一：林正	有斐閣ストゥディア	有斐閣	201504	1,800	1,944
472	事業	経済	企業集中	9784785723101	Ｍ＆Ａにおける第三者委員会の理論と実務		白井正和：仁科秀隆		商事法務	201506	4,000	4,320
473	事業	経済	企業集中	9784502143618	中国子会社管理の実践マニュアル		イーグルマトリックスコンサルティング株式：アジアブリッジ株式会社		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201506	2,600	2,808
474	事業	経済	企業集中	9784502153716	海外子会社管理の実践ガイドブック：ガバナンスから内部統制・コンプライアンスまで		トーマツ（監査法人）		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201508	2,800	3,024
475	事業	経済	企業集中	9784903145501	２０１５産業統合のチャイナ・エンジン		尉立東：柏亮		明月堂書店	201509	2,000	2,160
476	事業	経済	企業集中	9784502159510	Ｍ＆Ａの労務デューデリジェンス		野中事務所：野中健次		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201510	3,200	3,456
477	事業	経済	企業集中	9784502170812	グループ会社リスク管理の法務	第２版	高橋均		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201511	2,500	2,700
478	事業	経済	企業集中	9784502168611	税務・法務を統合したＭ＆Ａ戦略	第２版	森・濱田松本法律事務所		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201511	3,200	3,456
479	事業	経済	企業集中	9784805110751	中国発グローバル企業の実像		徐方啓		千倉書房	201511	2,500	2,700
480	事業	経済	企業集中	9784641220645	国際経営	第４版	吉原英樹	有斐閣アルマ	有斐閣	201512	2,000	2,160
481	事業	経済	企業集中	9784492557679	なぜ日本企業は真のグローバル化ができないのか：日本版ＧＯＭ構築の教科書		田口芳昭		東洋経済新報社	201512	1,800	1,944
482	事業	経済	企業集中	9784641164208	新興国市場戦略論：拡大する中間層市場へ・日本企業の新戦略		天野倫文：新宅純二郎	東京大学ものづくり経営研究シリーズ	有斐閣	201512	4,100	4,428
483	事業	経済	企業集中	9784641164666	製品開発の現地化：デンソーに見る本社組織の変化と知識連携		金熙珍		有斐閣	201512	4,200	4,536
484	事業	経済	企業集中	9784830948770	新多国籍企業経営管理論		藤沢武史：伊田昌弘		文眞堂	201512	2,800	3,024
485	事業	経済	企業集中	9784023315648	世界市場で勝つルールメイキング戦略：技術で勝る日本企業がなぜ負けるのか		園分俊史：福田峰之		朝日新聞出版	201600	2,000	2,160
486	事業	経済	企業集中	9784865560633	成功する！Ｍ＆Ａのゴールデンルール：中小企業のための戦略と基礎知識		奥山倫行		民事法研究会	201601	2,300	2,484
487	事業	経済	企業集中	9784502169311	Ｑ＆Ａでわかる Ｍ＆Ａ実務のすべて		ＧＣＡＦＡＳ株式会社		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201601	2,800	3,024
488	事業	経済	企業集中	9784502181016	事業承継がうまくいく中小企業のＭ＆Ａマニュアル	改訂改題	渡部潔		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201602	3,200	3,456
489	事業	経済	企業集中	9784502170416	「Ｍ＆Ａスキーム」選択の実務		森山保		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201602	3,000	3,240
490	事業	経済	企業集中	9784495386610	グローバル経営要論		岸川善光：朴慶心		同文舘出版	201603	3,400	3,672
491	事業	経済	企業集中	9784419063221	グループ経営入門：グローバルな成長のための本社の仕事	第３版	松田千恵子		税務経理協会	201603	2,400	2,592
492	事業	経済	企業集中	9784794424723	海外子会社の意思決定：グローバル化時代の海外戦略		水戸康夫		創成社	201603	1,800	1,944
493	事業	経済	企業集中	9784495386511	異文化マネジメントの理論と実践		太田正孝		同文舘出版	201604	2,500	2,700
494	事業	経済	企業集中	9784785724184	事業再生におけるスポンサー選定のあり方		山本和彦：事業再生研究機構	事業再生研究叢書	商事法務	201604	3,600	3,888
495	事業	経済	企業集中	9784502186011	企業経営のグローバル化研究：マーケティングからロジスティクスの時代へ	第３版	丹下博文		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201604	3,600	3,888
496	事業	経済	企業集中	9784502187810	買収効果が出るクロスボーダーＭ＆Ａの組織・人事手法：コントロールと統合の進め方		竹田年朗		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201604	3,300	3,564
497	事業	経済	企業集中	9784815808365	グローバル経営史：国境を越える産業ダイナミズム		橘川武郎：黒澤隆文		名古屋大学出版会	201604	2,700	2,916
498	事業	経済	企業集中	9784502188015	新興市場ビジネス入門：国際経営のフロンティア		今井雅和		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201605	2,300	2,484
499	事業	経済	企業集中	9784502191718	Ｍ＆Ａ交渉人養成プログラム：ＢＥＰＳ時代のグローバル組織設計法		佐久間優		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201605	2,000	2,160

500	事業	経済	企業集中	9784502189319	Ｍ＆Ａを成功に導く知的財産デューデリジェンスの実務	第３版	ＴＭＩ総合法律事務所：デロイトトーマツファイナンシャルアドバイ		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201606	5,400	5,832
501	事業	経済	企業集中	9784492533796	Ｍ＆Ａシナジーを実現するＰＭＩ：事業統合を成功へ導く人材マネジメントの実践		ウイリス・タワーズワトソン：要慎吾		東洋経済新報社	201606	3,000	3,240
502	事業	経済	企業集中	9784759921380	中国、ベトナム進出日系企業における異文化間コミュニケーション考察		西田ひろ子		風間書房	201606	8,500	9,180
503	事業	経済	企業集中	9784502190414	カーブアウト型Ｍ＆Ａの実務：スタンドアローン問題から価格交渉まで		荒木隆志		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201607	2,800	3,024
504	事業	経済	企業集中	9784526075889	実践版グローバルビジネスプロセスアウトソーシング：世界で勝つためのグローバル経営支援機能の構築		木滑和重		日刊工業新聞社	201607	2,000	2,160
505	事業	経済	企業集中	9784502196119	税務デューデリジェンスの実務：Ｍ＆Ａを成功に導く	第３版	デロイトトーマツ税理士法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201608	4,600	4,968
506	事業	経済	企業集中	9784829506905	日本的グローバル化経営実践のすすめ：失われた３０年を取り戻せ		アーネスト育成財団：前田光幸		芙蓉書房出版	201609	2,700	2,916
507	事業	経済	企業集中	9784502198717	Ｍ＆Ａにおける財務・税務デュー・デリジェンスのチェックリスト		佐和周		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201609	3,200	3,456
508	事業	経済	企業集中	9784797278781	契約結合としてのネットワーク：ヴァーチャル空間の企業，フランチャイズ，ジャスト・		グンター・トイブナー：藤原正則		信山社出版	201609	7,800	8,424
509	事業	経済	企業集中	9784502196614	「協創」のグループ経営：本社と事業部門の二層化マネジメント		山田英司：上杉利次		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201610	2,500	2,700
510	事業	経済	企業集中	9784865561197	Ｍ＆Ａ・アライアンス契約書の作成と審査の実務		滝川宣信		民事法研究会	201612	5,400	5,832
511	事業	経済	企業集中	9784762026836	多国籍企業の理論と戦略		佐久間信夫		学文社	201612	2,500	2,700
512	事業	経済	企業集中	9784830949180	グローバル企業：国際化・グローバル化の歴史的展望		安部悦生		文眞堂	201701	2,800	3,024
513	事業	経済	企業集中	9784502211218	海外子会社のリスク管理と監査実務		長谷川俊明		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201702	2,800	3,024
514	事業	経済	企業集中	9784322126365	Ｍ＆Ａと組織再編のすべて		ドナルド・Ｍ．デパンフィリス：ＫＰＭＧＦＡＳ		金融財政事情研究会(発売：きんざい)	201703	10,000	10,800
515	事業	経済	企業集中	9784502219719	企業買収の実務プロセス	第２版	木俣貴光		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201703	3,800	4,104
516	事業	経済	企業集中	9784419064259	多国籍企業とグローバルビジネス	改訂版	林倖史：古井仁		税務経理協会	201703	3,000	3,240
517	事業	経済	企業集中	9784495390013	日本的グローバル・オペレーションズ・マネジメント		宮川正裕		同文舘出版	201703	3,500	3,780
518	事業	経済	企業集中	9784502225314	グローバル・ビジネス・マネジメント：経営進化に向けた日本企業への処方箋		一條和生：野村総合研究所グローバルマネジメント研究		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201705	2,600	2,808
519	事業	経済	企業集中	9784830949425	企業結帯と業績の研究：組織間関係の理論と実証	第２版	境新一		文眞堂	201705	3,600	3,888
520	事業	経済	企業集中	9784047036116	三井・三菱・住友・芙蓉・三和・一勧：日本の六大企業集団		菊地浩之	角川選書	ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201706	1,600	1,728
521	事業	経済	企業集中	9784903145570	２０１７産業統合のチャイナ・エンジン		中国Ｍ＆Ａ公会：尉立東		明月堂書店	201708	3,500	3,780
522	事業	経済	企業集中	9784880654270	経営理念を活かしたグローバル創造経営：現地に根付く日系企業の挑戦		井手芳美		水曜社	201709	2,800	3,024
523	事業	経済	企業集中	9784495390099	最新「国際経営」入門		高橋浩夫		同文舘出版	201709	1,900	2,052
524	事業	経済	企業集中	9784502239519	合併の実務ハンドブック	第２版	山田＆パートナーズ	初めてでも分かる・使える	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201709	2,500	2,700
525	事業	経済	企業集中	9784794431851	アジアのコングロマリット：新興国市場と超多角化戦略		澤田貴之		創成社	201710	2,500	2,700
526	事業	経済	コンツェルン	9784830948343	日産コンツェルン経営史研究		宇田川勝		文眞堂	201502	3,200	3,456
527	事業	経済	コンツェルン	9784829506639	日産懇話会々報				芙蓉書房出版	201511	97,000	104,760
528	事業	経済	持株会社	9784818823594	植民地事業持株会社論：朝鮮・南洋群島・台湾・樺太		柴田善雅		日本経済評論社	201502	8,800	9,504
529	事業	経済	持株会社	9784492557570	持株会社の実務：ホールディングカンパニーの経営・法務・税務・会計	第７版	発知敏雄：箱田順哉		東洋経済新報社	201502	3,200	3,456
530	事業	経済	持株会社	9784502156816	持株会社の運営・移行・解消の実務：グループ経営上のメリット・デメリット		新日本有限責任監査法人：ＥＹ税理士法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201509	4,000	4,320
531	事業	経済	持株会社	9784419063719	グループ経営をはじめよう：非上場会社のための持株会社活用法	第３版	あがたグローバル税理士法人：アヴァンセコンサルティング株式会社		税務経理協会	201606	2,300	2,484
532	事業	経済	持株会社	9784502225710	判例から考えるグループ会社の役員責任		川西拓人：吉田桂公		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201706	2,600	2,808
533	事業	経済		9784587312268	経済法	第２版	土田和博：岡田外司博	演習ノート	法学書院	201411	2,000	2,160
534	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784335356025	条解独占禁止法		村上政博：内田晴康		弘文堂	201412	13,000	14,040
535	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784876220120	公正取引委員会年次報告：独占禁止白書．平成２６年版		公正取引委員会		公正取引協会	201412	2,000	2,160
536	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784901916424	競争と結合：資本主義的自由経済をめぐって		岡田与好		蒼天社出版	201412	3,500	3,780
537	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784335356360	独占禁止法	第５版	金井貴嗣：川浜昇		弘文堂	201503	4,600	4,968
538	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784641144767	ケーススタディ経済法		大久保直樹：伊永大輔		有斐閣	201504	2,600	2,808
539	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784865560145	独占禁止法の意見聴取手続および抗告訴訟の実務		井上朗		民事法研究会	201504	2,500	2,700
540	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784417016502	解説独占禁止法		波光巌：栗田誠		青林書院	201504	5,800	6,264
541	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784785722821	独占禁止法	第２版	菅久修一：品川武		商事法務	201504	4,000	4,320
542	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784657157058	中国独占禁止法：法体系とカルテル規制の研究		陳丹舟	早稲田大学学術叢書	早稲田大学出版部	201505	7,800	8,424
543	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784785723026	逐条解説平成２５年改正独占禁止法：審判制度の廃止と意見聴取手続の整備		岩成博夫：横手哲二	逐条解説シリーズ	商事法務	201506	2,800	3,024
544	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784793004575	経済法：理論とビジネス法務		服部育生		泉文堂	201507	2,400	2,592
545	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784908069451	ビジネスを促進する独禁法の道標		池田毅：額内俊輔	ＢＵＳＩＮＥＳＳ ＬＡＷ ＪＯＵＲＮＡＬ ＢＯＯＫＳ	レクシスネクシス・ジャパン	201507	3,700	3,996
546	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784502157110	独占禁止法の手続と実務		村上政博：栗田誠		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201509	6,200	6,696
547	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784785723330	よくわかる独禁法グローバル実務		フレッシュフィールズブルックハウスデリン		商事法務	201510	2,500	2,700
548	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784641144828	独占禁止法概説	第５版	根岸哲：舟田正之		有斐閣	201511	4,000	4,320
549	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784876220137	公正取引委員会年次報告：独占禁止白書．平成２７年版		公正取引委員会		公正取引協会	201511	2,000	2,160

550	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784785723668	優越的地位濫用規制と下請法の解説と分析	第２版	長澤哲也		商事法務	201512	3,800	4,104
551	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784785723675	米国反トラスト法執行の実務と対策：司法取引からクラス・アクション、代表訴訟まで	第２版	渡邉肇		商事法務	201512	5,300	5,724
552	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784785723798	回想独占禁止法改正：平成１７年・２１年・２５年改正をたどる		竹島一彦：上杉秋則		商事法務	201601	4,400	4,752
553	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784797267501	独占禁止法の歴史．下		平林英勝	学術選書	信山社出版	201601	12,000	12,960
554	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784335356711	独占禁止法	第７版	村上政博		弘文堂	201602	4,800	5,184
555	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784641220713	経済法：独占禁止法と競争政策	第８版	岸井大太郎：大槻文俊	有斐閣アルマ	有斐閣	201604	2,700	2,916
556	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784865560817	ＥＵ競争法の手続と実務	全訂版	井上朗		民事法研究会	201604	5,000	5,400
557	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784589037435	ＴＸＴ経済法		鈴木加人：大槻文俊		法律文化社	201605	2,700	2,916
558	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784417016847	独占禁止法の法律相談		小林覚：渡邉新矢	最新青林法律相談	青林書院	201605	6,800	7,344
559	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784865560916	独占禁止法入門：基礎知識の修得から実務での活用まで		酒井紀子		民事法研究会	201606	3,200	3,456
560	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784785724306	はじめて学ぶ独占禁止法		菅久修一：南雅晴		商事法務	201606	2,400	2,592
561	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784335356773	詳説独占禁止法審査手続		榊原美紀：篠浦雅幸		弘文堂	201607	3,500	3,780
562	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784535058194	市場支配力濫用規制法理の展開		田中裕明	神戸学院大学法学研究叢書	日本評論社	201608	5,200	5,616
563	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784785724597	論点解析経済法	第２版	川浜昇：武田邦宣		商事法務	201610	3,200	3,456
564	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784771027817	産業経済の発展と競争政策		和田聡子		晃洋書房	201610	2,700	2,916
565	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784876220144	公正取引委員会年次報告：独占禁止白書．平成２８年版		公正取引委員会		公正取引協会	201611	2,100	2,268
566	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784641164963	イノベーション時代の競争政策：研究・特許・プラットフォームの法と経済		小田切宏之		有斐閣	201612	2,800	3,024
567	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784641144934	独占禁止法	第３版	白石忠志		有斐閣	201612	5,600	6,048
568	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784797280463	ＥＵ競争法		笠原宏	法律学講座	信山社出版	201612	5,000	5,400
569	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784130402798	独禁法審判決の法と経済学：事例で読み解く日本の競争政策		岡田羊祐：川浜昇		東京大学出版会	201701	5,200	5,616
570	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784785725013	論点解説実務独占禁止法		山崎恒：幕田英雄		商事法務	201702	4,000	4,320
571	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784771028302	要説独占禁止法：経済法入門		田中裕明		晃洋書房	201703	2,600	2,808
572	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784818824645	反トラスト法と協同組合		髙瀬雅男		日本経済評論社	201703	3,100	3,348
573	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784502222917	独禁法訴訟		森・濱田松本法律事務所：伊藤憲二	企業訴訟実務問題シリーズ	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201704	2,500	2,700
574	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784641144576	事例で学ぶ独占禁止法		鈴木孝之：河谷清文		有斐閣	201705	4,600	4,968
575	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784535522787	独占禁止法とフェアコンペ－：公正な経済を支える経済法秩序のあり方		土田和博：舟田正之		日本評論社	201707	6,000	6,480
576	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784502243516	アメリカ反トラスト法における合理の原則		久保成史		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201708	6,000	6,480
577	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784785725457	Ｍ＆Ａ担当者のための独禁法ガン・ジャンピングの実務		井本吉俊：帰山雄介		商事法務	201709	3,400	3,672
578	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784535558823	競争政策論：独占禁止法事例とともに学ぶ産業組織論	第２版	小田切宏之		日本評論社	201709	2,500	2,700
579	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784335357152	独占禁止法	第８版	村上政博		弘文堂	201710	4,800	5,184
580	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784785725594	公取委実務から考える独占禁止法		幕田英雄		商事法務	201710	4,000	4,320
581	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784876220168	公正取引委員会年次報告：独占禁止白書．平成２９年版		公正取引委員会		公正取引協会	201711	2,200	2,376
582	事業	経済	独占禁止/公正取引委員会	9784641243026	独禁法事例集		白石忠志	法学教室ＬＩＢＲＡＲＹ	有斐閣	201712	5,200	5,616
583	事業	経済	財閥史	9784784217847	住友史料叢書．札差証文　１		住友史料館：朝尾直弘		思文閣出版	201412	7,500	8,100
584	事業	経済	財閥史	9784642082778	史料が語る三井のあゆみ：越後屋から三井財閥		三井文庫		三井文庫(発売：吉川弘文館)	201504	1,600	1,728
585	事業	経済	財閥史	9784000026017	ロックフェラー家と日本：日米交流をつむいだ人々		加藤幹雄		岩波書店	201512	2,500	2,700
586	事業	経済	財閥史	9784062195249	アメリカの真の支配者コーク一族		ダニエル・シュルマン：古村治彦		講談社	201512	3,200	3,456
587	事業	経済	財閥史	9784784218271	住友史料叢書．年々記　１		住友史料館：朝尾直弘		思文閣出版	201512	9,500	10,260
588	事業	経済	財閥史	9784784218776	住友史料叢書．年々諸用留　１２番		住友史料館：朝尾直弘		思文閣出版	201612	10,500	11,340
589	事業	経済	財閥史	9784623078561	パキスタン財閥のファミリービジネス：後発国における工業化の発展動力		川満直樹		ミネルヴァ書房	201703	4,000	4,320
590	事業	経済	協同組合/産業組合	9784846014346	日本型協同社会論事始め		石見尚		論創社	201506	2,200	2,376
591	事業	経済	協同組合/産業組合	9784830948794	東日本大震災後の協同組合と公益の課題		現代公益学会	公益叢書	文眞堂	201510	3,200	3,456
592	事業	経済	協同組合/産業組合	9784259521905	協同の再発見		田中秀樹		家の光協会	201703	1,800	1,944
593	事業	経済	協同組合/産業組合	9784000612043	協同組合の源流と未来：相互扶助の精神を継ぐ		日本農業新聞		岩波書店	201706	1,800	1,944
594	事業	経済	協同組合/産業組合	9784433635572	Ｑ＆Ａ協同組合の会計と税務．平成２９年７月改訂		ひびき監査法人		清文社	201707	3,400	3,672
595	事業	経済	協同組合/産業組合	9784818824768	格差社会への対抗：新・協同組合論		杉本貴志：全労済協会		日本経済評論社	201711	2,100	2,268
596	事業	経済	消費者協同組合	9784873323329	生協関係法令集	１２訂版			日本生活協同組合連合会(発売：コープ出版)	201505	2,000	2,160
597	事業	経済	消費者協同組合	9784873323336	生協の経営統計．２０１４年度		日本生活協同組合連合会		日本生活協同組合連合会(発売：コープ出版)	201509	6,400	6,912
598	事業	経済	消費者協同組合	9784833105705	消費組合論：「消費」の再定義に向けて		堀田泉		風媒社	201602	2,800	3,024
599	事業	経済	消費者協同組合	9784873323350	生協の税務と経理の実務	２０１６年２月改	日本生活協同組合連合会		日本生活協同組合連合会(発売：コープ出版)	201602	2,500	2,700

600	事業	経済	消費者協同組合	9784798913735	主権者の協同社会へ：新時代の大学教育と大学生協		庄司興吉		東信堂	201607	2,400	2,592
601	事業	経済	消費者協同組合	9784830949326	生協組織をもっと元気にするためのやさしい組織論入門		源辺峻		文眞堂	201706	2,500	2,700
602	事業	経済	官業/公企業	9784623074112	ポスト福祉国家のサードセクター論：市民的公共圏の担い手としての可能性		向井清史		ミネルヴァ書房	201509	3,500	3,780
603	事業	経済	官業/公企業	9784623074457	フィランソロピーのニューフロンティア：社会的インパクト投資の新たな手法と課題		レスター・M．サラモン：小林立明		ミネルヴァ書房	201602	3,500	3,780
604	事業	経済	官業/公企業	9784788807099	中国国有企業の株式会社化：コーポレート・ガバナンス論の視点から		尹相国		時潮社	201604	3,200	3,456
605	事業	経済	公益企業	9784589036278	ソーシャル・イノベーションが拓く世界：身近な社会問題解決のためのトピックス３０		西村仁志：山口洋典		法律文化社	201411	2,600	2,808
606	事業	経済	公益企業	9784904901533	非営利法人会計監査六法．平成２７年版		日本公認会計士協会		日本公認会計士協会	201503	5,500	5,940
607	事業	経済	公益企業	9784419062224	ＮＰＯ法人の税務	改訂版	田中義幸		税務経理協会	201503	3,000	3,240
608	事業	経済	公益企業	9784839421502	非営利組織会計基準の統一：会計基準統一化へのアプローチ		宮本幸平		森山書店	201503	2,600	2,808
609	事業	経済	公益企業	9784750341651	連帯経済とソーシャル・ビジネス：貧困削減、富の再配分のためのケイパビリティ・アプロ		池本幸生：松井範惇		明石書店	201504	2,500	2,700
610	事業	経済	公益企業	9784589036742	ソーシャルビジネスの政策と実践：韓国における社会的企業の挑戦		羅一慶		法律文化社	201504	2,600	2,808
611	事業	経済	公益企業	9784502130717	会計実務Ｑ＆Ａ公益法人・一般法人		トーマツ（監査法人）		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201504	2,600	2,808
612	事業	経済	公益企業	9784623072378	これからの社会的企業に求められるものは何か：カリスマからパートナーシップへ		川村暁雄：川本健太郎		ミネルヴァ書房	201504	2,400	2,592
613	事業	経済	公益企業	9784880653617	ＮＰＯの後継者：僕らが主役になれる場所		富永一夫：永井祐子	文化とまちづくり叢書	水曜社	201505	2,000	2,160
614	事業	経済	公益企業	9784754722364	非営利法人の税務と会計：非営利法人に関する制度・会計基準の変更・税務の改正	７訂版	中田ちず子：糸永圭一		大蔵財務協会	201507	4,074	4,399
615	事業	経済	公益企業	9784496051449	日本のソーシャルビジネス		日本政策金融公庫		同友館	201507	2,000	2,160
616	事業	経済	公益企業	9784502152313	ソーシャル・ビジネス・ケース：少子高齢化時代のソーシャル・イノベーション		谷本寛治		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201507	3,200	3,456
617	事業	経済	公益企業	9784793121746	実務家のためのＮＰＯ法人の会計と税務	５訂版	中田ちず子		税務研究会	201512	2,400	2,592
618	事業	経済	公益企業	9784335356650	英国チャリティ：その変容と日本への示唆		公益法人協会：石村耕治		弘文堂	201512	3,800	4,104
619	事業	経済	公益企業	9784845915675	日本のシビックエコノミー：私たちが小さな経済を生み出す方法		紫牟田伸子：フィルムアート社		フィルムアート社	201602	2,000	2,160
620	事業	経済	公益企業	9784905467328	公益法人の会計と税務	第３版	田中正明（税理士）		ＴＫＣ出版	201602	4,200	4,536
621	事業	経済	公益企業	9784433575755	ＮＰＯ法人仕訳処理ハンドブック		林孝行：岩田聡子		清文社	201602	2,600	2,808
622	事業	経済	公益企業	9784433668464	公益法人・一般法人における区分経理の会計・税務		岡部正義		清文社	201603	2,600	2,808
623	事業	経済	公益企業	9784904901625	非営利法人会計監査六法．平成２８年版		日本公認会計士協会		日本公認会計士協会	201603	5,500	5,940
624	事業	経済	公益企業	9784502183812	非営利組織体財務報告論：財務的生存力情報の開示と資金調達		日野修造		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201603	3,000	3,240
625	事業	経済	公益企業	9784384046809	福祉起業家のためのＮＰＯ・一般社団法人・社会福祉法人のしくみと設立登記・運営マニ：事業者必携		松岡慶子		三修社	201605	1,900	2,052
626	事業	経済	公益企業	9784326504282	競争促進のためのインセンティブ設計：ヤードスティック規制と入札制度の理論と実証		原田峻平	ＫＤＤＩ総研叢書	勁草書房	201608	3,200	3,456
627	事業	経済	公益企業	9784817843364	事例にみる一般社団法人活用の実務：法務・会計・税務・登記	第２版	後藤孝典：野入美和子		日本加除出版	201609	3,700	3,996
628	事業	経済	公益企業	9784862762023	ＮＰＯの法律相談：知っておきたい基礎知識６０		ＢＬＰ－Ｎｅｔｗｏｒｋ		英治出版	201609	2,700	2,916
629	事業	経済	公益企業	9784830949142	東日本大震災後の公益をめぐる企業・経営者の責任		現代公益学会	公益叢書	文眞堂	201609	3,000	3,240
630	事業	経済	公益企業	9784534054272	図解ＮＰＯ法人の設立と運営のしかた		宮入賢一郎：中澤正人		日本実業出版社	201610	1,800	1,944
631	事業	経済	公益企業	9784750344324	新市民革命入門：社会と関わり「くに」を変えるための公共哲学		長坂寿久		明石書店	201611	2,400	2,592
632	事業	経済	公益企業	9784845916153	Ｎ女の研究		中村安希		フィルムアート社	201611	1,700	1,836
633	事業	経済	公益企業	9784419064198	ＮＰＯ法人のすべて：特定非営利活動法人の設立・運営・会計・税務	増補１０版	斎藤力夫：田中義幸		税務経理協会	201612	2,800	3,024
634	事業	経済	公益企業	9784433669065	公益法人・一般法人の会計・税務	平成２９年２月改	新日本有限責任監査法人		清文社	201702	3,200	3,456
635	事業	経済	公益企業	9784595317309	ＮＰＯマネジメント	新訂	河合明宣：大橋正明	放送大学教材	放送大学教育振興会(発売：ＮＨＫ出版)	201703	3,100	3,348
636	事業	経済	公益企業	9784788715103	非営利団体の資金調達ハンドブック		徳永洋子		時事通信出版局(発売：時事通信社)	201703	2,400	2,592
637	事業	経済	公益企業	9784904901694	非営利法人会計監査六法．平成２９年版		日本公認会計士協会		日本公認会計士協会	201703	5,500	5,940
638	事業	経済	公益企業	9784794415097	非営利・政府会計テキスト		宮本幸平		創成社	201703	2,000	2,160
639	事業	経済	公益企業	9784641150416	はじめてのＮＰＯ論		澤村明：田中敬文	有斐閣ストゥディア	有斐閣	201704	1,900	2,052
640	事業	経済	公益企業	9784496052699	現代中小企業のソーシャル・イノベーション		佐竹隆幸		同友館	201704	2,800	3,024
641	事業	経済	公益企業	9784502231216	公益法人会計の実務ガイド	第４版	あずさ監査法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201704	3,800	4,104
642	事業	経済	公益企業	9784830949401	価値共創時代の戦略的パートナーシップ		長谷川直哉	法政大学イノベーション・マネジメント研究センター叢書	文眞堂	201704	2,700	2,916
643	事業	経済	公益企業	9784830949463	ＮＰＯ，そしてソーシャルビジネス：進化する企業の社会貢献		坂本恒夫：丹野安子		文眞堂	201704	2,300	2,484
644	事業	経済	公益企業	9784623080168	社会的企業への新しい見方：社会政策のなかのサードセクター		米澤旦	ＭＩＮＥＲＶＡ人文・社会科学叢書	ミネルヴァ書房	201705	5,800	6,264
645	事業	経済	公益企業	9784842917009	自由化時代のネットワーク産業と社会資本		塩見英治：鳥居昭夫		八千代出版	201706	3,000	3,240
646	事業	経済	公益企業	9784771029255	社会的課題に挑戦する若き起業家たち：ソーシャルイノベーションの胎動		小松史朗：小林竹廣		晃洋書房	201707	1,800	1,944
647	事業	経済	公益企業	9784873546599	政府－ＮＰＯ関係の理論と動向：日・英・米におけるパートナーシップ政策を中心に		廣川嘉裕		関西大学出版部	201707	1,700	1,836
648	事業	経済	公益企業	9784313815261	自分たちでつくろうＮＰＯ法人！	新版(第１次改訂	堀田力：名越修一		学陽書房	201708	3,200	3,456
649	事業	経済	公益企業	9784785725624	公的規制と独占禁止法――：公益事業の経済法研究		岸井大太郎		商事法務	201710	9,000	9,720

650	事業	経済	公益企業	9784830949678	文化創造と公益：成城学園創立１００周年記念		現代公益学会	公益叢書	文眞堂	201710	3,200	3,456
651	事業	経済	公益企業	9784000612388	世界が、それを許さない。		大西健丞		岩波書店	201712	1,700	1,836
652	事業	経済	経営管理	9784492557532	現場論：「非凡な現場」をつくる論理と実践		遠藤功【著】		東洋経済新報社	201411	1,800	1,944
653	事業	経済	経営管理	9784908069024	リスクマネジメントのプロセスと実務		トーマツ（監査法人）		レクシスネクシス・ジャパン	201411	2,800	3,024
654	事業	経済	経営管理	9784589036421	現代リスクマネジメントの基礎理論と事例		亀井克之		法律文化社	201412	2,500	2,700
655	事業	経済	経営管理	9784844373858	世界で最もクリエイティブな国デンマークに学ぶ発想力の鍛え方		クリスチャン・ステーディル：リーネ・タンゴー		クロスメディア・パブリッシング(発売：インプレス)	201412	1,980	2,138
656	事業	経済	経営管理	9784502128912	ＮＲＩ流変革実現力		野村総合研究所		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201412	2,700	2,916
657	事業	経済	経営管理	9784905157144	フリーダム経営：「日本的経営」を革新する		西村毅		日経事業出版センター	201412	1,800	1,944
658	事業	経済	経営管理	9784532319847	全員経営：自律分散イノベーション企業成功の本質		野中郁次郎：勝見明		日本経済新聞出版社	201501	1,800	1,944
659	事業	経済	経営管理	9784539724187	実践！企業のためのマイナンバー取扱実務：ガイドライン対応！		榎並利博		日本法令	201503	2,200	2,376
660	事業	経済	経営管理	9784492533598	アクション・バイアス：自分を変え、組織を動かすためになすべきこと		ハイケ・ブルック：スマントラ・ゴシャール		東洋経済新報社	201503	1,800	1,944
661	事業	経済	経営管理	9784862831897	企業のリスクマネジメントとキャプティブの役割		前田祐治	関西学院大学研究叢書	関西学院大学出版会	201503	3,000	3,240
662	事業	経済	経営管理	9784817195388	戦略的ＳＣＭ：新しい日本型グローバルサプライチェーンマネジメント		円川隆夫		日科技連出版社	201503	6,000	6,480
663	事業	経済	経営管理	9784478025864	グロービスＭＢＡマネジメント・ブック． ２		グロービス経営大学院		ダイヤモンド社	201504	2,800	3,024
664	事業	経済	経営管理	9784862804433	世界一わかりやすいプロジェクトマネジメント	第４版	Ｇ．マイケル・キャンベル：中嶋秀隆		総合法令出版	201504	2,900	3,132
665	事業	経済	経営管理	9784794424501	価値創造の経営管理論	改訂５版	村上伸一		創成社	201504	2,800	3,024
666	事業	経済	経営管理	9784382057159	“ペア”で推進３カ月で成果を出す業務改善の実践書		中田崇		産業能率大学出版部	201505	1,800	1,944
667	事業	経済	経営管理	9784820120414	「最良だから最強」な組織づくりの定石		望月広愛		生産性出版	201505	2,200	2,376
668	事業	経済	経営管理	9784502143410	マネジメントの航海図：個人と組織の複眼的な経営管理		馬場杉夫：蔡いん錫		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201505	2,700	2,916
669	事業	経済	経営管理	9784908069208	役員・従業員の不祥事対応の実務．社外対応・再発防止編		尾崎恒康	ＬｅｘｉｓＮｅｘｉｓコンプライアンス	レクシスネクシス・ジャパン	201507	4,000	4,320
670	事業	経済	経営管理	9784785723118	不祥事対応ベストプラクティス：実例から読み解く最新実務		長島・大野・常松法律事務所		商事法務	201507	2,300	2,484
671	事業	経済	経営管理	9784785723125	企業不祥事インデックス		竹内朗：上谷佳宏		商事法務	201507	2,400	2,592
672	事業	経済	経営管理	9784766422450	グローバルプロジェクトチームのまとめ方：リーダーシップの新たな挑戦		ルス・Ｊ．マルティネリ：ティム・Ｊ．ラシュルト		慶応義塾大学出版会	201507	3,600	3,888
673	事業	経済	経営管理	9784830948725	企業不祥事の研究：経営者の視点から不祥事を見る		井上泉		文眞堂	201507	2,200	2,376
674	事業	経済	経営管理	9784822251031	シンギュラリティ大学が教える飛躍する方法：ビジネスを指数関数的に急成長させる		サリム・イスマイル：マイケル・Ｓ．マローン		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201508	1,800	1,944
675	事業	経済	経営管理	9784382057265	基礎からわかる経営管理		欧陽菲		産業能率大学出版部	201508	2,400	2,592
676	事業	経済	経営管理	9784502150715	業務プロセス改革：業務を可視化する考え方と実践法		平山賢二		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201508	2,700	2,916
677	事業	経済	経営管理	9784526074547	なぜ、企業は不祥事を繰り返すのか：有名事件１３の原因メカニズムに迫る		樋口晴彦	Ｂ＆Ｔブックス	日刊工業新聞社	201508	1,800	1,944
678	事業	経済	経営管理	9784820120483	変革のマネジメント：組織と人をめぐる理論・政策・実践	新版	内野崇		生産性出版	201509	2,800	3,024
679	事業	経済	経営管理	9784419062910	マイナンバー制度の仕組みと簡単・安全な情報管理		秋島一雄：岩永武大		税務経理協会	201509	1,800	1,944
680	事業	経済	経営管理	9784771026599	日本人リーダーは、なぜ危機管理に失敗するのか：リーダーは悲観主義者、実動部隊は楽観主義者であれ！		大泉光一：大泉常長		晃洋書房	201510	2,200	2,376
681	事業	経済	経営管理	9784539724439	論点解説マイナンバー法と企業実務		宇賀克也：水町雅子		日本法令	201510	3,300	3,564
682	事業	経済	経営管理	9784306094413	プロジェクト現場のメンタルサバイバル術：１６の物語から読み解くプロジェクトマネジメント術と		プロジェクトマネジメント学会：柏陽平		鹿島出版会	201510	2,200	2,376
683	事業	経済	経営管理	9784793121722	１７４のＱ＆Ａでみるマイナンバー制度の実務対応		藤原宇基：早川祐司		税務研究会	201510	1,800	1,944
684	事業	経済	経営管理	9784502159718	危機管理広報の基本と実践		浅見隆行		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201510	2,500	2,700
685	事業	経済	経営管理	9784774176048	世界を動かすプロジェクトマネジメントの教科書：グローバルなチャレンジを成功させるＯＳの作り方		佐藤知一		技術評論社	201510	1,780	1,922
686	事業	経済	経営管理	9784532319915	ふたたび世界で勝つために：グローバルリーダーの条件		ドミニク・テュルパン：高津尚志		日本経済新聞出版社	201511	1,600	1,728
687	事業	経済	経営管理	9784384046595	総務・人事・労務の法律と手続き：図解で早わかり		加藤知美		三修社	201511	1,800	1,944
688	事業	経済	経営管理	9784495203610	リスク・コントロール・セルフ・アセスメント：組織を強くするリスクマネジメントと内部統制浸透の推		プロティビティＬＬＣ：谷口靖美		同文舘出版	201512	2,000	2,160
689	事業	経済	経営管理	9784844374473	フューチャーマネジメント：未来をつくる「自らイノベーション」		ＦＭＩＣ未来はじめ研究所：大岩和男		クロスメディア・パブリッシング(発売：インプレス)	201512	1,580	1,706
690	事業	経済	経営管理	9784785723682	企業のためのマイナンバー法実務ハンドブック		辺見紀男：武井洋一		商事法務	201512	2,600	2,808
691	事業	経済	経営管理	9784502173110	この１冊でできるマイナンバーの業務と規程のつくり方		野村総合研究所		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201512	2,200	2,376
692	事業	経済	経営管理	9784908069475	企業不祥事の緊急事態対応「超」実践ハンドブック		エス・ビー・ネットワーク	ミドルクライシス・マネジメント	レクシスネクシス・ジャパン	201512	2,800	3,024
693	事業	経済	経営管理	9784502166419	経済価値ベースのＥＲＭ：グローバル規制改正とリスク管理の高度化		茶野努：安田行宏		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201601	3,800	4,104
694	事業	経済	経営管理	9784326504176	戦略的リスク管理入門		ジェームズ・ラム：林康史		勁草書房	201601	6,000	6,480
695	事業	経済	経営管理	9784526075087	ＲＯＥ重視のＫＰＩマネジメント教本		松原恭司郎		日刊工業新聞社	201601	2,200	2,376
696	事業	経済	経営管理	9784502182211	サプライチェーン・マネジメント論		中野幹久		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201603	3,000	3,240
697	事業	経済	経営管理	9784873546322	新たなリスクと中小企業：日仏シンポジウムの記録		亀井克之		関西大学出版部	201603	1,900	2,052
698	事業	経済	経営管理	9784822235680	ニッポン経営名鑑		日経トップリーダー編集部		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201604	1,800	1,944
699	事業	経済	経営管理	9784873266657	組織と個人のリスクセンスを鍛える：リスクセンス検定テキスト		リスクセンス研究会		化学工業日報社	201604	1,800	1,944

700	事業	経済	経営管理	9784762026317	現代の経営管理論	第３版	佐久間信夫：坪井順一	リーディングスリニューアル経営学	学文社	201604	2,800	3,024
701	事業	経済	経営管理	9784502190018	組織を動かす経営管理：経営企画のプロが教える計画・実行・モニタリングのし		本合暁詩：リクルートマネジメントソリューションズ		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201605	2,400	2,592
702	事業	経済	経営管理	9784822235741	ドラッカーを読んだら会社が変わった！：日本企業による実践の教科書		佐藤等		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201606	1,800	1,944
703	事業	経済	経営管理	9784889165135	実践危機管理読本：リスクマネジメントの基本から不祥事・災害対策まで	第５版	藤江俊彦		日本コンサルタントグループ	201606	2,000	2,160
704	事業	経済	経営管理	9784502192012	クライシスを乗り越えるマネジメント・コントロール：東日本大震災の復興事例		岡崎路易		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201606	3,400	3,672
705	事業	経済	経営管理	9784806529767	企業経営に資する知的財産：技術力、知財力、人間力で創造する		石田正泰：石井康之	現代産業選書	経済産業調査会	201607	3,500	3,780
706	事業	経済	経営管理	9784502190612	経営管理論		上野恭裕：馬場大治	ベーシック＋	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201607	2,400	2,592
707	事業	経済	経営管理	9784526075940	あなたが作る等身大のＢＣＰ：今のままでは命と会社を守れない！		昆正和		日刊工業新聞社	201608	2,000	2,160
708	事業	経済	経営管理	9784785724504	Ｑ＆Ａ従業員・役員からの暴力団排除：企業内暴排のすすめ		関秀忠：柊木野一紀		商事法務	201609	2,800	3,024
709	事業	経済	経営管理	9784798047164	図解入門よくわかる最新ＰＭＢＯＫソフトウェア拡張版：情報産業特化版ＰＭＢＯＫを学ぶ		鈴木安而	Ｈｏｗ－ｎｕａｌ ｖｉｓｕａｌ ｇｕｉｄｅ ｂｏｏｋ	秀和システム	201609	1,800	1,944
710	事業	経済	経営管理	9784502199417	経営理念浸透のメカニズム：１０年間の調査から見えた「わかちあい」の本質と実践		田中雅子		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201610	2,600	2,808
711	事業	経済	経営管理	9784785724610	Ｑ＆Ａ企業のための反社会的勢力排除実践マニュアル		長崎県弁護士会		商事法務	201611	2,600	2,808
712	事業	経済	経営管理	9784532321086	しがらみ経営：価値を生み出す「関係性」のマネジメント		木村雄治：徳岡晃一郎		日本経済新聞出版社	201701	1,600	1,728
713	事業	経済	経営管理	9784822255015	ＨＩＧＨ ＯＵＴＰＵＴ ＭＡＮＡＧＥＭＥＮＴ：人を育て、成果を最大にするマネジメント		アンドルー・Ｓ．グローヴ：小林薫（評論家）		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201701	1,800	1,944
714	事業	経済	経営管理	9784313313996	企業を守るネット炎上対応の実務		清水陽平		学陽書房	201701	2,200	2,376
715	事業	経済	経営管理	9784502213717	映画に学ぶ経営管理論	第２版	松山一紀		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201701	2,800	3,024
716	事業	経済	経営管理	9784794424938	新経営管理論		秋山義継		創成社	201701	2,600	2,808
717	事業	経済	経営管理	9784495387617	企業のサステナビリティ戦略とビジネス・クオリティ		山下洋史：諸上茂登	明治大学社会科学研究所叢書	同文舘出版	201702	4,300	4,644
718	事業	経済	経営管理	9784274220302	プロジェクトを成功させる実践力が身につく本		北野利光：向後忠明		オーム社	201702	2,400	2,592
719	事業	経済	経営管理	9784502213519	入門ガイダンス経営科学・経営工学	第２版	古殿幸雄		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201702	2,900	3,132
720	事業	経済	経営管理	9784502217616	戦略的リスクマネジメントで会社を強くする		野田健太郎		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201702	2,600	2,808
721	事業	経済	経営管理	9784502213014	アメーバ経営の進化：理論と実践		アメーバ経営学術研究会		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201703	2,800	3,024
722	事業	経済	経営管理	9784561257004	マネジメント講義ノート		山本浩二：上野山達哉		白桃書房	201703	2,750	2,970
723	事業	経済	経営管理	9784862832344	企業危機とコントローリング		深山明		関西学院大学出版会	201703	3,200	3,456
724	事業	経済	経営管理	9784883672769	ビジネス実務総論	新版	水原道子：大島武		樹村房	201703	1,900	2,052
725	事業	経済	経営管理	9784561266914	アジア・オセアニアにおける災害・経営リスクのマネジメント		上田和勇	専修大学商学研究所叢書	白桃書房	201703	2,600	2,808
726	事業	経済	経営管理	9784495390020	リスクマネジメントの本質		亀井利明：上田和勇		同文舘出版	201704	2,500	2,700
727	事業	経済	経営管理	9784502222511	アメーバ経営が組織の結束力を高める：ケースからわかる組織変革成功のカギ		谷武幸：窪田祐一		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201706	2,600	2,808
728	事業	経済	経営管理	9784561461807	開示不正：その実態と防止策		八田進二		白桃書房	201706	3,500	3,780
729	事業	経済	経営管理	9784425983018	事業継続のためのマネジメント：地域と企業の生き残り		小野憲司：三菱東京ＵＦＪリサーチ＆コンサルティング		成山堂書店	201706	2,800	3,024
730	事業	経済	経営管理	9784623080595	決断力にみるリスクマネジメント		亀井克之	シリーズ・ケースで読み解く経営学	ミネルヴァ書房	201707	2,000	2,160
731	事業	経済	経営管理	9784830949494	想定外のマネジメント：高信頼性組織とは何か	第３版	カール・Ｅ・ワイク：キャスリーン・Ｍ・サトクリフ		文眞堂	201707	2,500	2,700
732	事業	経済	経営管理	9784864431255	施設のリスクマネジメントハンドブック		ＮＴＴファシリティーズ総合研究所ＥＨＳ＆		日経ＢＰコンサルティング(発売：日経ＢＰマーケティン)	201707	2,000	2,160
733	事業	経済	経営管理	9784794222954	大惨事と情報隠蔽：原発事故、大規模リコールから金融崩壊まで		ドミトリ・チェルノフ：ディディエ・ソネット		草思社	201708	2,800	3,024
734	事業	経済	経営管理	9784532321611	稲盛和夫の実践アメーバ経営：全社員が自ら採算をつくる		稲盛和夫：京セラコミュニケーションシステム		日本経済新聞出版社	201709	1,600	1,728
735	事業	経済	経営管理	9784904901748	ＣＯＳＯ不正リスク管理ガイド：決定版		八田進二：神林比洋雄		日本公認会計士協会	201710	3,500	3,780
736	事業	経済	経営管理	9784532134747	イノベーション・マネジメント入門：マネジメント・テキスト	第２版	一橋大学イノベーション研究センター		日本経済新聞出版社	201710	3,600	3,888
737	事業	経済	経営管理	9784820726227	ＰＭプロジェクトマネジメント	改訂６版	中嶋秀隆		日本能率協会マネジメントセンター	201711	2,400	2,592
738	事業	経済	経営管理	9784526077685	続・なぜ、企業は不祥事を繰り返すのか：重大事件から学ぶ失敗の教訓		樋口晴彦		日刊工業新聞社	201711	1,800	1,944
739	事業	経済	経営管理	9784806530060	不合理を活かすマネジメント：人まねの呪縛から逃れるために		中森孝文		経済産業調査会	201711	4,000	4,320
740	事業	経済	経営管理	9784274221385	世界一わかりやすいリスクマネジメント集中講座		ニュートン・コンサルティング株式会社：勝俣良介		オーム社	201711	2,200	2,376
741	事業	経済	経営管理	9784532321895	１００年成長企業のマネジメント：３Ｍに学ぶ戦略駆動力の経営		河合篤男：伊藤博之		日本経済新聞出版社	201712	3,000	3,240
742	事業	経済	経営管理	9784820120544	サプライチェーンマネジメント辞典ＡＰＩＣＳディクショナリー：グローバル経営のための日英用語集		ＡＰＩＣＳ：日本ＡＰＩＣＳコミュニティー		ＡＰＩＣＳ(発売：生産性出版)	201608	6,000	6,480
743	事業	経済	経営管理	9784822250553	プロデューサーシップ：創造する組織人の条件		山下勝【著】		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201411	1,900	2,052
744	事業	経済	経営管理	9784062192538	内面から勝つ交渉術：ハーバード実践講座		エリカ・アリエル・フォックス：谷町真珠		講談社	201411	1,600	1,728
745	事業	経済	経営管理	9784478027509	ハーバード×ＭＩＴ流世界最強の交渉術：信頼関係を壊さずに最大の成果を得る６原則		ローレンス・Ｅ．サスカインド：有賀裕子		ダイヤモンド社	201501	1,800	1,944
746	事業	経済	経営管理	9784478066942	グロービスＭＢＡで教えている交渉術の基本：７つのストーリーで学ぶ世界標準のスキル		グロービス		ダイヤモンド社	201606	1,600	1,728
747	事業	経済	経営管理	9784845115020	日本労働年鑑．第８７集（２０１７年版）		法政大学大原社会問題研究所		旬報社	201706	15,000	16,200
748	事業	経済	経営管理	9784791933860	ＴＯＥＩＣテストに役立つビジネス英単語		塩見佳代子：吉田秀生		成美堂	201501	1,700	1,836
749	事業	経済	経営管理	9784764740013	ビジネスケースで学ぶグローバル人材の条件		中谷安男：ライアン・スミーズ		金星堂	201502	1,900	2,052

750	事業	経済	経営政策	9784478029558	ビジネス意思決定：理論とケースで決断力を鍛える		大林厚臣		ダイヤモンド社	201411	2,400	2,592
751	事業	経済	経営政策	9784478029695	ビジネスモデル思考法：ストーリーで読む「儲ける仕組み」のつくり方		川上昌直		ダイヤモンド社	201411	1,600	1,728
752	事業	経済	経営政策	9784621088913	ビジネス統計学：Ｅｘｃｅｌで学ぶ実践活用テクニック		デイビッド・Ｍ．ルビーン：ティモシー・Ｃ．クレビール		丸善出版	201411	3,800	4,104
753	事業	経済	経営政策	9784502125010	誰も教えてくれなかった事業計画を実現させる方法		みらいコンサルティンググループ		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201411	2,300	2,484
754	事業	経済	経営政策	9784526073229	ビジネスモデル・マッピング・ケースブック：盗みたくなるモデルがきっとあるー		松原恭司郎		日刊工業新聞社	201411	2,300	2,484
755	事業	経済	経営政策	9784526073236	アクションラーニング活用術：グローバル・ビジネスリーダーの養成とスキルアップ		浜田由朗		日刊工業新聞社	201411	2,000	2,160
756	事業	経済	経営政策	9784798138398	ザ・ファーストマイル：イノベーションの不確実性をコントロールする		スコット・Ｄ．アンソニー：川又政治	Ｈａｒｖａｒｄ Ｂｕｓｉｎｅｓｓ Ｒｅｖｉｅｗ Ｐｒｅ	翔泳社	201412	2,800	3,024
757	事業	経済	経営政策	9784561256502	仕事の決断プロセス：デキル人ほど陥る「６つの落とし穴」		川村稲造		白桃書房	201412	3,100	3,348
758	事業	経済	経営政策	9784532319588	ゲーム・チェンジャーの競争戦略：ルール、相手、土俵を変える		内田和成		日本経済新聞出版社	201501	1,600	1,728
759	事業	経済	経営政策	9784502125218	勝ち抜く戦略実践のための競合分析手法		高橋透		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201501	3,400	3,672
760	事業	経済	経営政策	9784794424471	経営者の戦略決定		高垣行男		創成社	201501	2,200	2,376
761	事業	経済	経営政策	9784798140575	成功するイノベーションは何が違うのか？		ネイサン・ファー：ジェフリー・ダイアー	Ｈａｒｖａｒｄ Ｂｕｓｉｎｅｓｓ Ｒｅｖｉｅｗ Ｐｒｅ	翔泳社	201502	2,800	3,024
762	事業	経済	経営政策	9784864911993	道端の経営学：戦略は弱者に学べ		マイケル・マッツェオ：ボール・オイヤー		ヴィレッジブックス	201502	1,850	1,998
763	事業	経済	経営政策	9784502138317	明日は、ビジョンで拓かれる：長期経営計画とマーケティング		石井淳蔵：栗木契	碩学舎ビジネス双書	碩学舎(発売：中央経済グループパブ)	201502	1,800	1,944
764	事業	経済	経営政策	9784532319946	競争しない競争戦略：消耗戦から脱する３つの選択		山田英夫		日本経済新聞出版社	201503	1,600	1,728
765	事業	経済	経営政策	9784798139920	決算書から読み解くビジネスモデル分析術：Ｅｘｃｅｌによる財務データ分析と事業戦略への活用手		ＡＰＭコンサルティング		翔泳社	201503	2,000	2,160
766	事業	経済	経営政策	9784907574086	リスクのもとでの意思決定		坂上佳隆		追手門学院大学出版会(発売：丸善出版)	201503	2,800	3,024
767	事業	経済	経営政策	9784492522134	一橋ＭＢＡ戦略ケースブック		沼上幹：一橋大学		東洋経済新報社	201503	2,800	3,024
768	事業	経済	経営政策	9784502135415	イノベーション論入門		土井教之：宮田由紀夫		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201503	2,600	2,808
769	事業	経済	経営政策	9784502140518	実践ビジネスプラン：事業創造の基礎力を鍛える	第２版	川上智子：徳常泰之		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201503	2,200	2,376
770	事業	経済	経営政策	9784873546025	競争戦略と経営システムの構築		大倉雄次郎		関西大学出版部	201503	3,500	3,780
771	事業	経済	経営政策	9784817195425	ビレネー・ストーリー：ビッグデータ時代のテーマ解決法		野口博司：磯貝恭史		日科技連出版社	201503	2,800	3,024
772	事業	経済	経営政策	9784492261118	「日本型」戦略の変化：経営戦略と人事戦略の補完性から探る		須田敏子		東洋経済新報社	201504	4,000	4,320
773	事業	経済	経営政策	9784502143311	アントレプレナーの戦略論：事業コンセプトの創造と展開		新藤晴臣		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201504	2,600	2,808
774	事業	経済	経営政策	9784833421324	イノベーション・ファシリテーター		野村恭彦		プレジデント社	201505	2,000	2,160
775	事業	経済	経営政策	9784862761989	発想を事業化するイノベーション・ツールキット：機会の特定から実現性の証明まで		デヴィッド・シルバースタイン：フィリップ・サミュエル		英治出版	201505	2,800	3,024
776	事業	経済	経営政策	9784817195500	ＯＲのはなし：意思決定のテクニック	改訂版	大村平		日科技連出版社	201505	2,300	2,484
777	事業	経済	経営政策	9784908327001	ビジネス統計：統計基礎とエクセル分析		後藤正幸：辻本将晴		オデッセイコミュニケーションズ(発売：ＪＲＣ)	201505	2,500	2,700
778	事業	経済	経営政策	9784883842247	コア・テキスト経営統計学		高橋伸夫	ライブラリ経営学コア・テキスト	新世社（渋谷区）(発売：サイエンス社)	201505	1,900	2,052
779	事業	経済	経営政策	9784822250898	ＭＢＡビジネスデザイン：戦略設計の基本と応用		早稲田大学：浅羽茂		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201506	1,600	1,728
780	事業	経済	経営政策	9784627817715	データ解析の実務プロセス入門		あんちべ		森北出版	201506	2,400	2,592
781	事業	経済	経営政策	9784502142611	イノベーションの法則性：成功体験の過剰適応を超えて		柴田友厚		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201506	2,600	2,808
782	事業	経済	経営政策	9784152095510	なぜデータ主義は失敗するのか？：人文科学的思考のすすめ		クリスチャン・マスビェア：ミゲル・Ｂ．ラスムセン		早川書房	201507	1,900	2,052
783	事業	経済	経営政策	9784492533642	高収益事業の創り方		三品和広	経営戦略の実戦	東洋経済新報社	201507	9,000	9,720
784	事業	経済	経営政策	9784794424600	経営戦略論を学ぶ		稲田賢次：伊部泰弘		創成社	201507	2,200	2,376
785	事業	経済	経営政策	9784627096417	例題で学ぶオペレーションズ・リサーチ入門		伊藤益生		森北出版	201507	2,200	2,376
786	事業	経済	経営政策	9784532320201	問題解決フレームワーク大全		堀公俊		日本経済新聞出版社	201508	1,600	1,728
787	事業	経済	経営政策	9784798128214	日本のイノベーションのジレンマ：破壊的イノベーターになるための７つのステップ		玉田俊平太		翔泳社	201509	2,000	2,160
788	事業	経済	経営政策	9784502159015	'不確実性'の時代を生き抜く最強の「経営企画部」		八田真資		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201509	2,600	2,808
789	事業	経済	経営政策	9784502161414	経営戦略入門		井上善海：大杉奉代		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201509	2,200	2,376
790	事業	経済	経営政策	9784495385712	イノベーションの成功と失敗：戦前戦中から戦後に至る日本型イノベーションの真実		武田立：瀬戸篤		同文舘出版	201510	1,800	1,944
791	事業	経済	経営政策	9784502168413	戦略経営論	新訳 新装版	Ｈ．イゴール・アンゾフ：中村元一		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201510	3,800	4,104
792	事業	経済	経営政策	9784532320478	自走するビジネスモデル：勝ち続ける企業の仕組みと工夫		西野和美		日本経済新聞出版社	201510	2,200	2,376
793	事業	経済	経営政策	9784864874212	現場観察に基づくイノベーション・アイデア創発入門		大森寛文		三恵社(発売：ＪＲＣ)	201510	1,900	2,052
794	事業	経済	経営政策	9784502172113	戦略的ブランド経営		岡田裕幸		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201512	2,500	2,700
795	事業	経済	経営政策	9784478026625	ビッグバン・イノベーション：一夜にして爆発的成長から衰退に転じる超破壊的変化か		ラリー・ダウネズ：ポール・Ｆ．ヌーンズ		ダイヤモンド社	201602	2,000	2,160
796	事業	経済	経営政策	9784492522165	イノベーション：活性化のための方策		後藤晃		東洋経済新報社	201602	2,600	2,808
797	事業	経済	経営政策	9784532320591	戦略にこそ「戦略」が必要だ：正しいアプローチを選び、実行する		マーティン・リーブス：クヌート・ハーネス		日本経済新聞出版社	201602	2,500	2,700
798	事業	経済	経営政策	9784561226734	マッチング・ビジネスが変える企業戦略：情報化社会がもたらす企業境界の変化		税所哲郎		白桃書房	201602	3,000	3,240
799	事業	経済	経営政策	9784434216183	ＳＴＲＡＴＥＧＹ ＲＵＬＥＳ：ゲイツ、グローブ、ジョブズから学ぶ戦略的思考のガイ		デイビッド・Ｂ．ヨッフィー：マイケル・Ａ．クスマノ		パブラボ(発売：星雲社)	201603	1,700	1,836

800	事業	経済	経営政策	9784864874922	経営ビジネスのための数学入門		鳥居弘志		三恵社(発売：ＪＲＣ)	201603	1,600	1,728
801	事業	経済	経営政策	9784641220652	経営戦略：論理性・創造性・社会性の追求	第３版	大滝精一：金井一頼	有斐閣アルマ	有斐閣	201603	2,000	2,160
802	事業	経済	経営政策	9784382057302	経営戦略概論：戦略理論の潮流と体系		波頭亮		産業能率大学出版部	201603	2,400	2,592
803	事業	経済	経営政策	9784419063535	価値創造経営のコーポレート・ガバナンス		青木崇		税務経理協会	201603	4,800	5,184
804	事業	経済	経営政策	9784502167416	１からの戦略論	第２版	嶋口充輝：内田和成		碩学舎(発売：中央経済グループパブ)	201603	2,400	2,592
805	事業	経済	経営政策	9784623076581	経営のための統計学入門		福田公正		ミネルヴァ書房	201603	2,800	3,024
806	事業	経済	経営政策	9784771027527	進化デザイン戦略：組織と個の持続的自律の戦略論		宮下篤志		晃洋書房	201604	2,600	2,808
807	事業	経済	経営政策	9784478068069	はじめての問題解決力トレーニング：図を描けば本当の問題点が発見できる		齋藤顕一：竹内さと子		ダイヤモンド社	201605	1,600	1,728
808	事業	経済	経営政策	9784891013783	価値づくり進化経営		酒井光雄		日本経営合理化協会出版局	201605	15,000	16,200
809	事業	経済	経営政策	9784130421430	イノベーション・マネジメント：プロセス・組織の構造化から考える		野城智也		東京大学出版会	201605	4,800	5,184
810	事業	経済	経営政策	9784326504244	未来洞察のための思考法：シナリオによる問題解決		筒田祐一	ＫＤＤＩ総研叢書	勁草書房	201605	3,200	3,456
811	事業	経済	経営政策	9784561226796	イノベーション・ドライバーズ：ＩｏＴ時代をリードする競争力構築の方法		氏家豊		白桃書房	201606	3,000	3,240
812	事業	経済	経営政策	9784822251642	創業メンタリティ：危機を救い、さらに企業を強くする３つの戦略		クリス・ズック：ジェームズ・アレン		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201607	2,000	2,160
813	事業	経済	経営政策	9784862832214	戦略マネジメント：激動の時代を生き抜くためのスピード経営		杉浦司		関西学院大学出版会	201607	2,000	2,160
814	事業	経済	経営政策	9784495386719	事業戦略策定ガイドブック：理論と事例で学ぶ戦略策定の技術		坂本雅明		同文舘出版	201607	2,500	2,700
815	事業	経済	経営政策	9784621300558	戦略としてのビジネス倫理入門		高橋浩夫		丸善出版	201607	2,000	2,160
816	事業	経済	経営政策	9784492533840	ビジネスモデルの教科書、上級編		今枝昌宏		東洋経済新報社	201608	1,850	1,998
817	事業	経済	経営政策	9784761526337	サステイナブル・カンパニー入門：ビジネスと社会的課題をつなぐ企業・地域		大室悦賀		学芸出版社（京都）	201610	2,600	2,808
818	事業	経済	経営政策	9784798146881	ビジネスモデル・ナビゲーター		オリヴァー・ガスマン：カロリン・フランケンバーガー		翔泳社	201610	2,200	2,376
819	事業	経済	経営政策	9784822251710	進化したＩＴが実現する企業変革の新法則：持続的成長のための「価値創造サイクル」を駆動せよ		淀川高喜		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201610	2,000	2,160
820	事業	経済	経営政策	9784496052293	日本企業、成長戦略のベクトル：ポストイノベーションの３つの矢		内山力		同友館	201610	2,200	2,376
821	事業	経済	経営政策	9784817195913	イノベーションの普及過程の可視化：テキストマイニングを用いたクチコミ分析		竹岡志朗：井上祐輔		日科技連出版社	201610	2,600	2,808
822	事業	経済	経営政策	9784502202810	シチュエーショナル・ストラテジー：環境に応じて戦略を使い分ける		池上重輔		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201611	3,000	3,240
823	事業	経済	経営政策	9784532321239	サーキュラー・エコノミー：デジタル時代の成長戦略		ピーター・レイシー：ヤコブ・ルトクヴィスト		日本経済新聞出版社	201611	2,500	2,700
824	事業	経済	経営政策	9784794424884	ビジネス・シミュレーション：設計・構築・分析		姜東国	南山大学経営研究叢書	創成社	201611	2,600	2,808
825	事業	経済	経営政策	9784623078325	ゼロからの経営戦略		沼上幹	シリーズ・ケースで読み解く経営学	ミネルヴァ書房	201612	2,000	2,160
826	事業	経済	経営政策	9784419064228	企業経営戦略論の基盤解明		廣田俊郎		税務経理協会	201612	3,200	3,456
827	事業	経済	経営政策	9784492533819	定量分析の教科書：ビジネス数字力養成講座		グロービス：鈴木健一		東洋経済新報社	201612	2,600	2,808
828	事業	経済	経営政策	9784805722619	現代経営戦略の軌跡：グローバル化の進展と戦略的対応		高橋宏幸：加治敏雄	中央大学経済研究所研究叢書	中央大学出版部	201612	4,300	4,644
829	事業	経済	経営政策	9784908590023	情報ネットワークによる組織の意思決定		城川俊一		東洋大学出版会(発売：丸善出版)	201701	4,000	4,320
830	事業	経済	経営政策	9784794424969	実践の場における経営理念の浸透		柴田仁夫	埼玉学園大学研究叢書	創成社	201702	3,400	3,672
831	事業	経済	経営政策	9784320124035	データ分析プロジェクトの手引：データの前処理から予測モデルの運用までを俯瞰する２		デーヴィド・ネトルトン：市川太祐		共立出版	201702	4,200	4,536
832	事業	経済	経営政策	9784478066027	グロービスＭＢＡ経営戦略	新版	グロービス経営大学院		ダイヤモンド社	201703	2,800	3,024
833	事業	経済	経営政策	9784641165014	プラットフォーム企業のグローバル戦略：オープン標準の戦略的活用とビジネス・エコシステム		立本博文		有斐閣	201703	5,400	5,832
834	事業	経済	経営政策	9784339028744	例題で学ぶＯＲ入門		大堀隆文：加地太一		コロナ社	201704	2,500	2,700
835	事業	経済	経営政策	9784865650921	図解戦略経営のメカニズム：ＩＣＴ時代における価値創造の理論と実践		小松原聡		言視舎	201705	1,700	1,836
836	事業	経済	経営政策	9784106038044	世界史を創ったビジネスモデル		野口悠紀雄	新潮選書	新潮社	201705	1,700	1,836
837	事業	経済	経営政策	9784295400806	デザインの次に来るもの：これからの商品は「意味」を考える		安西洋之：八重樫文		クロスメディア・パブリッシング(発売：インプレス)	201705	1,680	1,814
838	事業	経済	経営政策	9784502218217	日本企業の戦略とガバナンス：「選択と集中」による多角化の実証分析		青木英孝		中央経済グループパブリッシング	201705	2,800	3,024
839	事業	経済	経営政策	9784798149509	Ｒビジネス統計分析：３．Ｘ対応		豊澤栄治	ビジテク	翔泳社	201705	3,000	3,240
840	事業	経済	経営政策	9784883354108	事業の発想力実践編		事業構想大学院大学出版部	事業構想研究シリーズ	事業構想大学院大学出版部(発売：宣伝会議)	201708	1,800	1,944
841	事業	経済	経営政策	9784866480015	事業再生読本：第二会社方式により借入金を減らして経営者を守る事業		高橋隆明		ファーストプレス	201710	4,400	4,752
842	事業	経済	経営政策	9784805111178	コグニティブ競争戦略：経営者の認識と業界内部の構造変化のメカニズム		宮元万菜美		千倉書房	201710	3,800	4,104
843	事業	経済	経営政策	9784883354122	第三創業の時代：成熟に打ち克つ事業構想力		関山正勝	事業構想研究シリーズ	事業構想大学院大学出版部(発売：宣伝会議)	201710	1,800	1,944
844	事業	経済	経営政策	9784478025741	成功企業に潜むビジネスモデルのルール：見えないところに競争力の秘密がある		山田英夫		ダイヤモンド社	201711	1,600	1,728
845	事業	経済	経営政策	9784478069325	ザ・ビジネスモデルイノベーション：成功企業にみる事業革新の流儀		村上幸一：タナベ経営ビジネスモデルイノベーションコ	ファーストコールカンパニーシリーズ	ダイヤモンド社	201711	1,600	1,728
846	事業	経済	経営政策	9784478102640	成長への企業変革：ケイパビリティに基づくコスト削減と経営資源の最適化		ヴィネイ・クート：ジョン・プランスキー		ダイヤモンド社	201711	2,500	2,700
847	事業	経済	経営政策	9784532321826	ＢＣＧが読む経営の論点２０１８		ボストンコンサルティンググループ		日本経済新聞出版社	201711	1,600	1,728
848	事業	経済	経営政策	9784865651102	図解企業の戦略マネジメント・コントロール：ＩＣＴ時代の実践的マネジメント論		小松原聡		言視舎	201711	2,000	2,160
849	事業	経済	経営政策	9784495390112	事例でみる中堅企業の成長戦略：ダイナミック・ケイパビリティで突破する「成長の壁」		土屋勉男：金山権		同文舘出版	201711	2,300	2,484

850	事業	経済	経営政策	9784561267027	イノベーションと内部非効率性：技術変化と企業行動の理論		間智一		白桃書房	201711	3,300	3,564
851	事業	経済	経営政策	9784478102978	マネタイズ戦略：顧客価値提案にイノベーションを起こす新しい発想		川上昌直		ダイヤモンド社	201712	1,600	1,728
852	事業	経済	経営政策	9784764905252	モノづくり×モノづかいのデザインサイエンス：経営戦略に新価値をもたらす１０の知恵		松岡由幸	日本語－英語バイリンガル・ブック	近代科学社	201712	2,200	2,376
853	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784757123441	攻めのＩＴ戦略		ＮＴＴデータ経営研究所	情報未来叢書	ＮＴＴ出版	201502	2,200	2,376
854	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784478039229	オープン・イノベーションの教科書：社外の技術でビジネスをつくる実践ステップ		星野達也		ダイヤモンド社	201502	1,800	1,944
855	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784822264963	プレゼンテーションの教科書	第３版	脇山真治；にっけいでざいん編集部		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201502	2,800	3,024
856	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784774171289	ビジネスＰｏｗｅｒＰｏｉｎｔ実践入門：戦略から始めるスライド作成のセオリー		藤木俊明		技術評論社	201502	1,780	1,922
857	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784822279127	データ活用実践教室：トップデータサイエンティストが教える		髙橋威知郎；安宅和人		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201503	2,000	2,160
858	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784495373030	現代経営とネットワーク	新版	岸川典昭；中村雅章		同文舘出版	201503	2,900	3,132
859	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784641164581	オープン・イノベーションのマネジメント：高い経営成果を生む仕組みづくり		米倉誠一郎；清水洋		有斐閣	201503	2,400	2,592
860	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784641220577	経営情報論	新版補訂	遠山暁；村田潔	有斐閣アルマ	有斐閣	201503	2,000	2,160
861	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784495385316	組織における知識の共有と創造：ソーシャル・キャピタル、私生活の人間関係、動機、自		向日恒喜		同文舘出版	201503	3,200	3,456
862	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784496051241	中小企業のための技術経営（ＭＯＴ）入門：“つよみ”を活かすこれからの企業経営モデル		立命館大学；名取隆		同友館	201503	2,000	2,160
863	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784542701779	ＩＳＯ／ＩＥＣ　２７００２：２０１３（ＪＩＳ　Ｑ　２７００２：２０１４）情報セキ		中尾康二；北原幸彦	Ｍａｎａｇｅｍｅｎｔ　ｓｙｓｔｅｍ　ＩＳＯ　ｓｅｒｉｅ	日本規格協会	201503	3,800	4,104
864	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784542305434	実例情報セキュリティマネジメントシステム（ＩＳＭＳ）の本質化・効率化：ＩＳＯ／ＩＥＣ　２７００１：２０１３（ＪＩＳ　Ｑ		ＮＴＴデータ：矢田篤史		日本規格協会	201503	1,900	2,052
865	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784771026162	マネジメントのためのＩＣＴ基礎講座		九州ＩＣＴ教育研究会		晃洋書房	201504	2,700	2,916
866	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784532319960	教科書を超えた技術経営		伊丹敬之；東京理科大学ＭＯＴ研究会		日本経済新聞出版社	201504	2,500	2,700
867	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784757103566	訴訟・コンプライアンスのためのサイバーセキュリティ戦略		高取芳宏；大河内智秀		ＮＴＴ出版	201504	2,800	3,024
868	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784861941252	伝えるプレゼンテーション魅せる工夫		池田龍二		ＰＩＬＡＲ　ＰＲＥＳＳ	201504	1,800	1,944
869	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784641164598	現場の情報化：ＩＴ利用実践の組織論的研究		松嶋登		有斐閣	201505	5,000	5,400
870	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784496051272	研究開発は成長戦略エンジン：Ｓｔａｔｉｃ　Ｒ&ＤからＤｙｎａｍｉｃ　Ｒ&Ｄへ		木村寿男		同友館	201506	2,500	2,700
871	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784274217715	スリムに実現するＩＳＯ２７００１完全実例集．２０１４年版対応		村島昭男		オーム社	201506	6,500	7,020
872	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784844337935	新しいアナリティクスの教科書：データと経営を結び付けるＷｅｂ解析の進化したステー		アナリティクスアソシエーション	ａ２ｉ　ＢＯＯＫＳ	インプレス	201506	2,000	2,160
873	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784777519057	仮想デスクトップ「ＶＤＩ」「ＤａａＳ」入門：「シン・クライアント」の選定から「サービス」の導入		西島剛	Ｉ／Ｏ　ｂｏｏｋｓ	工学社	201507	1,900	2,052
874	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784526074370	“改定ＩＳＯ２７００１（情報セキュリティマネジメントシステム）”対応・導入マニュ：審査員が秘訣を教える！		日本能率協会審査登録センター		日刊工業新聞社	201507	2,300	2,484
875	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784417016595	秘密保持・競業避止・引抜きの法律相談		高谷知佐子；上村哲史	最新青林法律相談	青林書院	201508	4,100	4,428
876	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784862832054	日米比較競業禁止特約：判例法理の展開を中心に		榎原義比古		関西学院大学出版会	201509	4,600	4,968
877	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784829506585	情報システムの高度活用マネジメントの研究：中小企業におけるＩＴ活用をどう促進するか		仲野友樹		芙蓉書房出版	201509	2,700	2,916
878	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784274505843	ゴール＆ストラテジ入門：残念なシステムの無くし方		ビクター・パシリ；アダム・トレンドビッツ		オーム社	201509	2,800	3,024
879	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784886472403	Ｅｘｃｅｌではじめるビジネスデータ分析：ビッグデータにも挑戦！		鈴木光勇	ＳＣＣ　ｂｏｏｋｓ	エスシーシー	201509	2,000	2,160
880	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784865560428	詳解個人情報保護法と企業法務：収集・取得・利用から管理・開示までの実践的対応策	第６版	菅原貴与志		民事法研究会	201510	3,500	3,780
881	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784502148415	グローバル情報システムの再構築．１		安井望		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201510	3,000	3,240
882	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784502148514	グローバル情報システムの再構築．２		安井望		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201510	3,400	3,672
883	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784502148613	グローバル情報システムの再構築．３		安井望		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201510	3,400	3,672
884	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784822279400	ロジカルデータ分析：スピーディーに収益につなげる新手法		髙橋威知郎；日経ビッグデータ編集部		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201511	1,800	1,944
885	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784433540456	Ｑ＆Ａマイナンバーのセキュリティ対策：ＩＴを利活用した安全管理のすべて		武本敏；手塚悟		清文社	201511	2,000	2,160
886	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784785723545	営業秘密Ｑ＆Ａ８０		荒川雄二郎		商事法務	201511	3,300	3,564
887	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784820749585	マイナンバー制度と個人情報保護対策の実務		中西優一郎		日本能率協会マネジメントセンター	201511	2,000	2,160
888	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784844339595	戦略領域へのクラウド活用：イノベーションを起こす使い方		加藤章		インプレス	201511	2,300	2,484
889	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784792333379	営業秘密の管理と保護		結城哲彦		成文堂	201512	6,500	7,020
890	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784492533727	企業変革のためのＩＴ戦略		室井雅博；譲原雅一		東洋経済新報社	201512	1,800	1,944
891	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784881429129	情報セキュリティとプロジェクトにおけるリスクのマネジメント		佐藤直樹		創英社（三省堂書店）	201512	1,800	1,944
892	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784495386313	クラウド・リスク・マネジメント		ＰｗＣあらた監査法人		同文舘出版	201601	1,900	2,052
893	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784817195753	機密情報の保護と情報セキュリティ		畠中伸敏		日科技連出版社	201601	3,200	3,456
894	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784502174711	ＩｏＴ時代のプラットフォーム競争戦略：ネットワーク効果のレバレッジ		加藤和彦		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201602	2,600	2,808
895	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784866000084	日本復活の鍵起業工学		古池進；西本清一		冨山房インターナショナル	201603	1,600	1,728
896	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784502174117	秘密保持契約の実務：作成・交渉から平成２７年改正不競法まで		森本大介；石川智也		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201603	2,600	2,808
897	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784785723958	実務解説職務発明：平成２７年特許法改正対応		深津拓寛；松田誠司		商事法務	201603	3,000	3,240
898	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784502183416	ビッグデータ分析を経営に活かす		ＫＰＭＧジャパン		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201603	2,400	2,592
899	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784794424730	ｅビジネスの教科書	第６版	幡鎌博		創成社	201603	2,200	2,376

900	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784817195838	経営情報システム入門		柴直樹：水上祐治		日科技連出版社	201603	3,000	3,240
901	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784806529743	職務発明規定変更及び相当利益決定の法律実務	改訂版	高橋淳	現代産業選書	経済産業調査会	201604	2,800	3,024
902	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784806529750	企業秘密事件判決の総括		青山紘一	現代産業選書	経済産業調査会	201604	9,000	9,720
903	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784864875066	ビジネスデータ分析入門	２０１６改訂版	阪南大学経営情報学部ＢＤ分析研究会		三恵社(発売：ＪＲＣ)	201604	1,600	1,728
904	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784771027299	情報マネジメントが経営を変える		中根雅夫		晃洋書房	201604	2,400	2,592
905	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784798147390	プロジェクト・デザイン・パターン：企画・プロデュース・新規事業に携わる人のための企画		井庭崇：梶原文生		翔泳社	201604	2,200	2,376
906	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784384046816	すぐに役立つ入門図解改正対応！個人情報保護法とマイナンバー法のしくみ		戸塚美砂		三修社	201605	1,800	1,944
907	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784496052170	すべての意思決定者のための経営情報システム概論		一瀬益夫		同友館	201606	2,200	2,376
908	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784822285449	ＤｅｖＯｐｓ教科書		レン・バス：インゴ・ウェーバー		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201606	3,000	3,240
909	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784822237776	現場で使えるセキュリティ事故対応：実践ＣＳＩＲＴ		リクルートテクノロジーズ：Ｒｅｃｒｕｉｔ－ＣＳＩＲＴ		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201607	2,500	2,700
910	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784785724436	個人情報管理ハンドブック	第３版	ＴＭＩ総合法律事務所：淵邊善彦		商事法務	201608	6,500	7,020
911	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784335356810	クラウド情報管理の法律実務		松尾剛行		弘文堂	201609	3,500	3,780
912	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784845263318	企業の情報管理：適正な対応と実務		上村哲史：荒井太一	労政時報選書	労務行政	201609	3,550	3,834
913	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784502192418	Ｑ＆Ａ営業秘密をめぐる実務論点		ＴＭＩ総合法律事務所：五十嵐敦		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201609	3,500	3,780
914	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784785771317	営業秘密保護の手引き		経済産業省経済産業政策局	別冊ＮＢＬ	商事法務	201609	3,200	3,456
915	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784496052439	テクノロジー経営入門：デジタル技術とＩｏＴの進化が企業経営に与える影響と		松崎和久		同友館	201610	2,400	2,592
916	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784757103696	ＣＳＩＲＴ：構築から運用まで		日本コンピュータセキュリティインシデント		ＮＴＴ出版	201611	3,400	3,672
917	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784785724801	企業のためのサイバーセキュリティの法律実務		ＴＭＩ総合法律事務所：ＰｗＣコンサルティング合同会社		商事法務	201612	3,600	3,888
918	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784641164819	国際特許管理の日本的展開：ＧＥと東芝の提携による生成と発展		西村成弘		有斐閣	201612	4,200	4,536
919	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784865561388	営業秘密管理実務マニュアル：管理体制の構築と漏えい時対応のすべて		服部誠：小林誠		民事法研究会	201702	2,800	3,024
920	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784495387914	経営情報要論		岸川善光：朴慶心		同文舘出版	201702	3,200	3,456
921	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784844366478	Ｗｅｂ担当者のためのセキュリティの教科書		中山貴禎		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201702	2,000	2,160
922	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784595317361	技術経営の考え方	新訂	宮崎久美子	放送大学教材	放送大学教育振興会(発売：ＮＨＫ出版)	201703	3,100	3,348
923	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784130470698	Ｒｅｗｅａｖｉｎｇ ｔｈｅ Ｅｃｏｎｏｍｙ：Ｈｏｗ ＩＴ Ａｆｆｅｃｔｓ ｔｈｅ Ｂｏｒｄｅｒ		高木聡一郎		東京大学出版会	201703	7,200	7,776
924	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784817196170	情報通信社会における企業経営：ストラテジ・マネジメント編．上（ストラテジ・マネジメント編	第２版	久保田正道：卜部正夫		日科技連出版社	201703	2,600	2,808
925	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784817196187	情報通信社会における企業経営：テクノロジ編．下（テクノロジ編）	第２版	久保田正道：卜部正夫		日科技連出版社	201703	2,700	2,916
926	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784539725405	個人情報保護法・マイナンバー制度法的リスク対策と取扱規程		渡邉雅之		日本法令	201704	4,800	5,184
927	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784817196200	ＩｏＴ時代のセキュリティと品質：ダークネットの脅威と脆弱性		畠中伸敏：井上博之		日科技連出版社	201704	3,200	3,456
928	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784822235888	実践するオープンイノベーション		トーマツベンチャーサポート		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201705	1,800	1,944
929	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784865561586	詳解個人情報保護法と企業法務：収集・取得・利用から管理・開示までの実践的対応策	第７版	菅原貴与志		民事法研究会	201705	3,800	4,104
930	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784864876650	ビジネスデータ分析入門：ｏｆｆｉｃｅ ３６５対応版		阪南大学経営情報学部ＢＤ分析研究会		三恵社(発売：ＪＲＣ)	201705	1,600	1,728
931	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784433642976	改正個人情報保護法と企業実務：２０１７年５月全面施行の改正法に対応		影島広泰		清文社	201706	4,000	4,320
932	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784904774595	ＥＵにおけるエコシステム・デザインと標準化：組込みシステムからＣＰＳへ		徳田昭雄		科学情報出版	201708	2,700	2,916
933	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784873117911	ＳＲＥサイトリライアビリティエンジニアリング：Ｇｏｏｇｌｅの信頼性を支えるエンジニアリングチーム		ベッツィ・ベイヤー：クリス・ジョーンズ		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201708	4,800	5,184
934	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784641164840	ソーシャル・ネットワークとイノベーション戦略：組織からコミュニティのデザインへ		中野勉		有斐閣	201709	2,600	2,808
935	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784495390075	個人情報・プライバシーの実務ガイド：パーソナルデータの保護と管理		ＥＹアドバイザリー・アンド・コンサルティ		同文舘出版	201709	1,900	2,052
936	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784502225215	技術経営		原拓志：宮尾学	ベーシック＋	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201709	2,400	2,592
937	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784502236815	入門ガイダンス経営情報システム	第２版	古殿幸雄		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201709	2,400	2,592
938	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784532321659	対デジタル・ディスラプター戦略：既存企業の戦い方		マイケル・ウェイド：ジェフ・ルークス		日本経済新聞出版社	201710	2,000	2,160
939	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784542305458	ＩＳＯ／ＩＥＣ ２７０１７：２０１５（ＪＩＳ Ｑ ２７０１７：２０１６）：ＩＳＯ／ＩＥＣ ２７００２に基づくクラウドサービス		永宮直史：後藤里奈		日本規格協会	201710	3,400	3,672
940	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784641164659	オープン化戦略：境界を超えるイノベーション		安本雅典：真鍋誠司		有斐閣	201712	3,900	4,212
941	事業	経済	研究開発/企業情報管理	9784526077791	日本型“ＡＩ（人工知能）”ビジネスモデル：俯瞰図から見える		大野治		日刊工業新聞社	201712	2,000	2,160
942	事業	経済	合理化/生産性	9784805110768	テレワーク導入による生産性向上戦略		古川靖洋	関西学院大学研究叢書	千倉書房	201511	2,700	2,916
943	事業	経済	合理化/生産性	9784820759287	業務改善ハンドブック：６ステップで職場が変わる！		日本能率協会コンサルティング		日本能率協会マネジメントセンター	201607	2,500	2,700
944	事業	経済	合理化/生産性	9784433412760	中堅・中小企業の生産性向上戦略		関西生産性本部：金井一頼		清文社	201611	2,000	2,160
945	事業	経済	経営組織/管理組織	9784990689339	組織を変える基本：変革を成功させるチェンジ・マネジメント		ジェフリー・ラッセル：リンダ・ラッセル	ＡＳＴＤグローバルベーシックシリーズ	ヒューマンバリュー(発売：ＪＲＣ)	201411	2,400	2,592
946	事業	経済	経営組織/管理組織	9784502124518	組織マネジメント入門		石井晴夫：樋口徹		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201412	2,200	2,376
947	事業	経済	経営組織/管理組織	9784502132711	松下幸之助と稲盛和夫に学ぶリーダーシップの本質		加藤靖慶	中京大学大学院ビジネス・イノベーションシリーズ	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201412	3,200	3,456
948	事業	経済	経営組織/管理組織	9784526073434	モノづくり中小企業リーダーの役割：会議が下手な会社は成長しない！		新庄秀光		日刊工業新聞社	201412	2,000	2,160
949	事業	経済	経営組織/管理組織	9784779508912	「壁」と「溝」を越えるコミュニケーション		古川久敬		ナカニシヤ出版	201501	2,400	2,592

950	事業	経済	経営組織/管理組織	9784561266488	組織・心理テスティングの科学：項目反応理論による組織行動の探究		野口裕之：渡辺直登		白桃書房	201501	7,400	7,992
951	事業	経済	経営組織/管理組織	9784561236436	パフォーマンスを生み出すグローバルリーダーの育成：ケースシミュレーションにもとづくコンピテンシー学習		永井裕久：キャロライン・Ｆ．ベントン		白桃書房	201503	2,500	2,700
952	事業	経済	経営組織/管理組織	9784532319892	ハーバード流逆転のリーダーシップ		リンダ・Ａ．ヒル：グレッグ・ブランドー		日本経済新聞出版社	201504	2,000	2,160
953	事業	経済	経営組織/管理組織	9784830948565	組織認識論の世界．３		高橋量一		文眞堂	201504	2,500	2,700
954	事業	経済	経営組織/管理組織	9784830948480	日本におけるバーナード理論研究		川端久夫		文眞堂	201505	4,200	4,536
955	事業	経済	経営組織/管理組織	9784382057241	生き延びる企業の組織存続力：１００年続く老舗に学ぶ		岡部博：平松陽一		産業能率大学出版部	201506	2,000	2,160
956	事業	経済	経営組織/管理組織	9784478028377	ジョン・Ｐ・コッター実行する組織：大組織がベンチャーのスピードで動く		ジョン・Ｐ．コッター：村井章子	Ｈａｒｖａｒｄ Ｂｕｓｉｎｅｓｓ Ｒｅｖｉｅｗ Ｐｒｅ	ダイヤモンド社	201507	2,000	2,160
957	事業	経済	経営組織/管理組織	9784478028483	自己変革の経営戦略：成長を持続させる３つの連鎖		松江英夫		ダイヤモンド社	201507	2,800	3,024
958	事業	経済	経営組織/管理組織	9784382057272	基礎からわかる経営組織		松本久良		産業能率大学出版部	201508	2,400	2,592
959	事業	経済	経営組織/管理組織	9784820120421	ＬＥＡＤＥＲＳＨＩＰ２０３０：リーダーの未来を変える６つのメガトレンド		ヘイグルーブ：ゲオルク・ヴィエルメッター		生産性出版	201508	2,800	3,024
960	事業	経済	経営組織/管理組織	9784492533659	ワーク・ルールズ！：君の生き方とリーダーシップを変える		ラズロ・ボック：鬼澤忍		東洋経済新報社	201508	1,980	2,138
961	事業	経済	経営組織/管理組織	9784495386016	経営組織要論		岸川善光：朴慶心		同文舘出版	201509	3,200	3,456
962	事業	経済	経営組織/管理組織	9784502159817	変革とパラドックスの組織論		山岡徹		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201511	4,300	4,644
963	事業	経済	経営組織/管理組織	9784842916644	中国企業における組織と個人の関係		張英莉	埼玉学園大学研究叢書	八千代出版	201511	3,500	3,780
964	事業	経済	経営組織/管理組織	9784382057319	ＯＤプラクティショナーのための「組織開発」参考書		廣田茂明		産業能率大学出版部	201512	2,200	2,376
965	事業	経済	経営組織/管理組織	9784502172212	表象の組織論		内藤勲：涌田幸宏		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201601	2,700	2,916
966	事業	経済	経営組織/管理組織	9784862762153	サーバントであれ：奉仕して導く、リーダーの生き方		ロバート・Ｋ．グリーンリーフ：野津智子		英治出版	201602	1,800	1,944
967	事業	経済	経営組織/管理組織	9784163903897	サイロ・エフェクト：高度専門化社会の罠		ジリアン・テット：土方奈美		文藝春秋	201602	1,660	1,792
968	事業	経済	経営組織/管理組織	9784771027046	ＩＣＴを活用した組織変革：マネジメントの視点からのテレワークの分析		安達房子		晃洋書房	201602	3,400	3,672
969	事業	経済	経営組織/管理組織	9784641164765	組織の経済学入門：新制度派経済学アプローチ	改訂版	菊沢研宗		有斐閣	201603	2,800	3,024
970	事業	経済	経営組織/管理組織	9784492533789	未来を構想し、現実を変えていくイノベーターシップ		徳岡晃一郎		東洋経済新報社	201603	2,400	2,592
971	事業	経済	経営組織/管理組織	9784830948817	企業の持続性と組織変革		槇谷正人		文眞堂	201603	2,800	3,024
972	事業	経済	経営組織/管理組織	9784830949005	組織の罠：人間行動の現実		クリス・アージリス：河野昭三		文眞堂	201603	2,000	2,160
973	事業	経済	経営組織/管理組織	9784830949043	経営組織認識論考：組織認識論の世界		高橋量一		文眞堂	201604	4,200	4,536
974	事業	経済	経営組織/管理組織	9784385360713	組織論から考えるワークショップデザイン		北野清晃：宇野伸宏		三省堂	201607	1,600	1,728
975	事業	経済	経営組織/管理組織	9784492522196	これからのマネジャーの教科書：自己変革し続けるための３つの力		グロービス経営大学院：田久保善彦		東洋経済新報社	201607	1,800	1,944
976	事業	経済	経営組織/管理組織	9784762026645	マネジメントの現代的課題：パラドックス・マネジメントの勧め		松本芳男退職記念刊行委員会：松本芳男		学文社	201607	3,500	3,780
977	事業	経済	経営組織/管理組織	9784502163210	文化を超えるグローバルリーダーシップ：優れたＣＥＯと劣ったＣＥＯの行動スタイル		ロバート・Ｊ．ハウス：ピーター・Ｗ．ドーフマン		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201608	4,800	5,184
978	事業	経済	経営組織/管理組織	9784820759294	経験学習によるリーダーシップ開発：米国ＣＣＬによる次世代リーダー育成のための実践事例		シンシア・Ｄ．マッコーリー：Ｄ．スコット・デリュ		日本能率協会マネジメントセンター	201608	8,800	9,504
979	事業	経済	経営組織/管理組織	9784751235557	賢い組織は「みんな」で決める：リーダーのための行動科学入門		キャス・Ｒ．サンスタイン：リード・ヘイスティ		ＮＴＴ出版	201609	1,800	1,944
980	事業	経済	経営組織/管理組織	9784822251741	オープン・オーガニゼーション：情熱に火をつけて成果を上げる新たな組織経営		ジム・ホワイトハースト：吉川南	Ｈａｒｖａｒｄ Ｂｕｓｉｎｅｓｓ Ｒｅｖｉｅｗ Ｐｒｅ	日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201609	1,800	1,944
981	事業	経済	経営組織/管理組織	9784785771324	会社法務部：（第１１次）実態調査の分析報告		経営法友会：小島武司	別冊ＮＢＬ	商事法務	201609	3,800	4,104
982	事業	経済	経営組織/管理組織	9784830949104	組織設計と個人行動：「Ｈ．ミンツバーグ組織設計論」と「組織行動論」		丁園鎭		文眞堂	201610	2,400	2,592
983	事業	経済	経営組織/管理組織	9784873117744	リーンエンタープライズ：イノベーションを実現する創発的な組織づくり		ジェズ・ハンブル：ジョアンヌ・モレスキー	ＴＨＥ ＬＥＡＮ ＳＥＲＩＥＳ	オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201610	3,400	3,672
984	事業	経済	経営組織/管理組織	9784492557730	ＢＣＧ経営コンセプト．構造改革編		菅野寛		東洋経済新報社	201611	2,000	2,160
985	事業	経済	経営組織/管理組織	9784492533864	グローバル組織開発ハンドブック：３つの複雑性を５つの視点から考える		ピープルフォーカス・コンサルティング		東洋経済新報社	201612	2,800	3,024
986	事業	経済	経営組織/管理組織	9784502203510	シェアド・リーダーシップ：チーム全員の影響力が職場を強くする		石川淳		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201612	2,400	2,592
987	事業	経済	経営組織/管理組織	9784641164871	フォロワーが語るリーダーシップ：認められるリーダーの研究		小野善生		有斐閣	201612	5,900	6,372
988	事業	経済	経営組織/管理組織	9784822251406	リーダーの基準		清水勝彦		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201702	1,800	1,944
989	事業	経済	経営組織/管理組織	9784502216411	スピリチュアル経営のリーダーシップ：働きがいのある最高の組織づくりに向けて		狩俣正雄		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201702	3,200	3,456
990	事業	経済	経営組織/管理組織	9784561246978	シャイン博士が語る組織開発と人的資源管理の進め方：プロセス・コンサルテーション技法の用い方		エドガー Ｈ．シャイン：尾川丈一		白桃書房	201704	1,850	1,998
991	事業	経済	経営組織/管理組織	9784771028906	「やりがいのある仕事」と「働きがいのある職場」：ブラック企業を反面教師に		伊藤健市		晃洋書房	201704	2,000	2,160
992	事業	経済	経営組織/管理組織	9784794425010	現代経営組織要論		佐久間信夫：小原久美子	経営学要論シリーズ	創成社	201704	2,800	3,024
993	事業	経済	経営組織/管理組織	9784561266921	組織変革のレバレッジ：困難が跳躍に変わるメカニズム		安藤史江：浅井秀明		白桃書房	201705	3,800	4,104
994	事業	経済	経営組織/管理組織	9784873118024	エラスティックリーダーシップ：自己組織化チームの育て方		ロイ・オシェロフ：島田浩二		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201705	2,800	3,024
995	事業	経済	経営組織/管理組織	9784822255060	イノベーションを起こす組織：革新的サービス成功の本質		野中郁次郎：西原文乃		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201707	1,800	1,944
996	事業	経済	経営組織/管理組織	9784830949548	創造的経験		メアリ・パーカー・フォレット：三戸公		文眞堂	201707	4,500	4,860
997	事業	経済	経営組織/管理組織	9784478103371	マネジャーの教科書：ハーバード・ビジネス・レビューマネジャー論文ベスト		ハーバード・ビジネス・レビュー編集部：ＤＩＡＭＯＮＤハーバード・ビジネス・		ダイヤモンド社	201709	1,800	1,944
998	事業	経済	経営組織/管理組織	9784820120711	Ｔｒｕｅ Ｎｏｒｔｈリーダーたちの羅針盤：「自分らしさをつらぬき」成果を上げる		ビル・ジョージ：小川孔輔		生産性出版	201709	3,600	3,888
999	事業	経済	経営組織/管理組織	9784502235818	何がベンチャーを急成長させるのか：経営チームのダイナミズム		小林英夫		中央経済グループパブリッシング	201709	3,000	3,240

1000	事業	経済	経営組織/管理組織	9784862762474	U理論：過去や偏見にとらわれず、本当に必要な「変化」を生み	第二版	C・オットー・シャーマー：中土井僚		英治出版	201712	3,500	3,780
1001	事業	経済	経営組織/管理組織	9784802510837	デザイン組織のつくりかた：デザイン思考を駆動させるインハウスチームの構築＆運		ピーター・メルホルツ：クリスティン・スキナー		ビー・エヌ・エヌ新社	201712	2,600	2,808
1002	事業	経済	社規/社則	9784785752569	社内規程の整備：平成２６年改正会社法・ＣＧコード等を受けて		水川聡：清野訟一	別冊商事法務	商事法務	201704	3,300	3,564
1003	事業	経済	社規/社則	9784539725740	社員の多様なニーズに応える社内規程のつくり方		矢萩大輔：畑中義雄		日本法令	201712	2,800	3,024
1004	事業	経済	人事管理/労務管理	9784532319625	会社の未来は女性が拓く！		植田寿乃		日本経済新聞出版社	201411	1,600	1,728
1005	事業	経済	人事管理/労務管理	9784822292034	即戦力になる！！ビジネスコミュニケーション：実践トレーニングで対人対応力と自己表現力を身に付け	第２版	福田忠昭【著】		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201411	1,600	1,728
1006	事業	経済	人事管理/労務管理	9784863261846	労働判例に学ぶ予防的労務管理		岡二二彦		産労総合研究所出版部経営書院	201411	3,600	3,888
1007	事業	経済	人事管理/労務管理	9784863193758	介護離職から社員を守る：ワーク・ライフ・バランスの新課題		佐藤博樹：矢島洋子		労働調査会	201411	1,800	1,944
1008	事業	経済	人事管理/労務管理	9784502124419	人材マネジメントの大転換「健康戦略」の発想と着眼点：２０年先の企業価値を決める３つの視点		大和総研		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201411	2,400	2,592
1009	事業	経済	人事管理/労務管理	9784830948435	学生のためのＨＲＭ入門		小野豊和		文眞堂	201411	1,600	1,728
1010	事業	経済	人事管理/労務管理	9784589036445	ワーク・ライフ・バランスのすすめ		村上文		法律文化社	201412	1,700	1,836
1011	事業	経済	人事管理/労務管理	9784382057142	人事能力のイノベーション５原則：人事の基本はあしたこそ		柳原愛史		産業能率大学出版部	201412	2,000	2,160
1012	事業	経済	人事管理/労務管理	9784793003882	従業員満足指向人的資源管理論		岩出博		泉文堂	201412	2,000	2,160
1013	事業	経済	人事管理/労務管理	9784478062470	人材育成の教科書		ダイヤモンド社		ダイヤモンド社	201501	1,600	1,728
1014	事業	経済	人事管理/労務管理	9784478027264	タレントマネジメント概論：人と組織を活性化させる人材マネジメント施策		大野順也		ダイヤモンド社	201501	1,600	1,728
1015	事業	経済	人事管理/労務管理	9784901092890	職場の困った人の心理と対策		三浦春政		インデックス出版（日野）	201501	2,000	2,160
1016	事業	経済	人事管理/労務管理	9784382057180	人事制度活用の"勘どころ"：目標による管理・人事評価はうまくできてますか？		産業能率大学総合研究所：額賀剛	Ｓａｎｎｏマネジメントコンセプトシリーズ	産業能率大学出版部	201502	2,000	2,160
1017	事業	経済	人事管理/労務管理	9784844373957	日本企業の社員は、なぜこんなにもモチベーションが低いのか？		ロッシェル・カップ		クロスメディア・パブリッシング(発売：インプレス)	201502	1,680	1,814
1018	事業	経済	人事管理/労務管理	9784502126819	人事よ、ススメ！：先進的な企業の「学び」を描く「ラーニングイノベーシ		中原淳：松尾睦	碩学舎ビジネス双書	碩学舎(発売：中央経済グループパブ)	201502	1,800	1,944
1019	事業	経済	人事管理/労務管理	9784760823925	個と組織を生かすキャリア発達の心理学：自律支援の人材マネジメント論	改訂増補版	二村英幸		金子書房	201502	2,400	2,592
1020	事業	経済	人事管理/労務管理	9784532319878	ケースで学ぶ社員の不祥事・トラブルの予防と対策		本間邦弘：清見勝利		日本経済新聞出版社	201503	1,800	1,944
1021	事業	経済	人事管理/労務管理	9784539724194	最先端の議論に基づく人事労務担当者のための書式・規定例		倉重公太朗：小山博章		日本法令	201503	2,800	3,024
1022	事業	経済	人事管理/労務管理	9784818514119	統合人事管理：グローバル化対応の法律実務		「統合人事管理」研究会：山口浩一郎		経団連出版	201503	2,800	3,024
1023	事業	経済	人事管理/労務管理	9784897615455	ダイバーシティマネジメントの実践：豊富な事例で学ぶ、多様な雇用の実際		東京都社会保険労務士会		労働新聞社	201503	1,800	1,944
1024	事業	経済	人事管理/労務管理	9784806529545	ダイバーシティ経営戦略：多様な人材の活躍が、企業の成長力に繋がる。３		経済産業省経済産業政策局		経済産業調査会	201503	1,800	1,944
1025	事業	経済	人事管理/労務管理	9784502136313	非正規社員の法律実務	第３版	石嵜信憲		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201503	7,000	7,560
1026	事業	経済	人事管理/労務管理	9784793003905	はじめての人事管理：ライブ講義	第２版	八代充史：南雲智映	ＨＲＭブックス	泉文堂	201503	2,000	2,160
1027	事業	経済	人事管理/労務管理	9784382057227	モチベーション・マネジメント		榎本博明		産業能率大学出版部	201504	1,800	1,944
1028	事業	経済	人事管理/労務管理	9784561256564	戦略的人的資源管理論：人事施策評価へのアプローチ		松山一紀		白桃書房	201504	2,750	2,970
1029	事業	経済	人事管理/労務管理	9784532320034	シニア人材マネジメントの教科書：老年学による新アプローチ		崎山みゆき：長田久雄		日本経済新聞出版社	201505	2,000	2,160
1030	事業	経済	人事管理/労務管理	9784783899112	ワーク・ライフ・バランスとケアの倫理：イクボスの研究		谷俊子		谷俊子(発売：静岡新聞社)	201506	3,241	3,500
1031	事業	経済	人事管理/労務管理	9784781913643	上司と部下のためのソーシャルスキル		相川充：田中健吾	ライブラリソーシャルスキルを身につける	サイエンス社	201506	1,900	2,052
1032	事業	経済	人事管理/労務管理	9784845253012	これから始める仕事と介護の両立支援		労務行政研究所	労政時報選書	労務行政	201506	2,400	2,592
1033	事業	経済	人事管理/労務管理	9784863261945	労務管理の理論と実践		河野順一		産労総合研究所出版部経営書院	201506	4,200	4,536
1034	事業	経済	人事管理/労務管理	9784788280366	非正規社員をめぐるトラブル相談ハンドブック		非正規社員問題研究会：全国社会保険労務士会連合会		新日本法規出版	201506	3,700	3,996
1035	事業	経済	人事管理/労務管理	9784830949272	人的資源管理の基本	新版（第２版）	白木三秀		文眞堂	201506	2,500	2,700
1036	事業	経済	人事管理/労務管理	9784434206177	人事戦略論：ストラクチャーとフレームワーク		三宅光穎		青山ライフ出版(発売：星雲社)	201507	2,300	2,484
1037	事業	経済	人事管理/労務管理	9784495531416	テロ・誘拐・脅迫海外リスクの実態と対策		加藤晃（リスクマネジメント）：大越修	Ｄｏ ｂｏｏｋｓ	同文舘出版	201507	2,200	2,376
1038	事業	経済	人事管理/労務管理	9784897615691	労働実務事例研究．平成２７年版		労働新聞社		労働新聞社	201507	3,000	3,240
1039	事業	経済	人事管理/労務管理	9784883724987	コンピテンシー評価モデル集：各社事例にみる評価と活用	改訂増補第５版	佐藤純：日本生産性本部（２００９）		日本生産性本部生産性労働情報センター	201507	2,000	2,160
1040	事業	経済	人事管理/労務管理	9784788910942	職場のＬＧＢＴ読本：「ありのままの自分」で働ける環境を目指して		柳沢正和：村木真紀		実務教育出版	201508	2,000	2,160
1041	事業	経済	人事管理/労務管理	9784539724446	有期労働契約締結・更新・雇止めの実務と就業規則	改訂版	高仲幸雄		日本法令	201509	2,100	2,268
1042	事業	経済	人事管理/労務管理	9784419062651	ケーススタディ優良・成長企業の人事戦略		上林憲雄：三輪卓己		税務経理協会	201509	3,200	3,456
1043	事業	経済	人事管理/労務管理	9784502114717	人材育成		寺沢俊哉	経営コンサルティング・ノウハウ	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201509	2,600	2,808
1044	事業	経済	人事管理/労務管理	9784641220621	新しい人事労務管理	第５版	佐藤博樹：藤村博之	有斐閣アルマ	有斐閣	201510	2,000	2,160
1045	事業	経済	人事管理/労務管理	9784502166211	社員の潜在能力を引き出す経営		太田肇		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201510	1,800	1,944
1046	事業	経済	人事管理/労務管理	9784822251253	最高の仕事ができる幸せな職場		ロン・フリードマン：月沢李歌子		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201511	2,000	2,160
1047	事業	経済	人事管理/労務管理	9784384046601	最新パート・派遣・請負をめぐる法律知識：事業者必携		木島康雄		三修社	201511	1,900	2,052
1048	事業	経済	人事管理/労務管理	9784539724552	マイナンバー制度パート・アルバイト対応のポイントと法的リスク対策		渡邉雅之		日本法令	201511	2,200	2,376
1049	事業	経済	人事管理/労務管理	9784863262034	雇用多様化時代の労務管理：平成２７年改正労働法対応		布施直春		産労総合研究所出版部経営書院	201511	2,800	3,024

1050	事業	経済	人事管理/労務管理	9784897615813	タブーの労務管理		服部英治：西脇明典		労働新聞社	201511	1,700	1,836
1051	事業	経済	人事管理/労務管理	9784502169014	これからの人材マネジメント：人材の確保・育成・活用・評価・処遇のあり方		竹内裕		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201511	2,800	3,024
1052	事業	経済	人事管理/労務管理	9784561236672	グローバリズムと共感の時代の人事制度：これからの時代に即したしなやかな人事のあり方を探る		山西均		白桃書房	201511	2,407	2,599
1053	事業	経済	人事管理/労務管理	9784561256700	新興国における人事労務管理と現地経営：ベトナム・インドネシア・インド・バングラデシュ・ブ		古沢昌之：安室憲一		白桃書房	201511	3,200	3,456
1054	事業	経済	人事管理/労務管理	9784561266655	中国の現場からみる日系企業の人事・労務管理：人材マネジメントの事例を中心に		李捷生：かく燕書		白桃書房	201511	3,000	3,240
1055	事業	経済	人事管理/労務管理	9784883725069	女性人材の活躍：女性コア人材の育成の現状と課題．２０１５		日本生産性本部（２００９）		日本生産性本部生産性労働情報センター	201511	2,000	2,160
1056	事業	経済	人事管理/労務管理	9784502160615	知識労働者の人的資源管理：企業への定着・相互作用・キャリア発達		三輪卓己		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201512	3,600	3,888
1057	事業	経済	人事管理/労務管理	9784863452688	人事労務管理事典	改訂２版	山岸俊正		丸善プラネット(発売：丸善出版)	201512	5,000	5,400
1058	事業	経済	人事管理/労務管理	9784433560355	労務トラブル５０：労働基準法では届かない！		河野順一		清文社	201601	2,200	2,376
1059	事業	経済	人事管理/労務管理	9784785723774	労働法で人事に新風を		大内伸哉		商事法務	201601	3,400	3,672
1060	事業	経済	人事管理/労務管理	9784492533703	ＧＡＭＩＦＹ：エンゲージメントを高めるゲーミフィケーションの新し		ブライアン・バーク：鈴木素子		東洋経済新報社	201601	2,600	2,808
1061	事業	経済	人事管理/労務管理	9784502169618	人的資源管理		上林憲雄	ベーシック＋	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201601	2,400	2,592
1062	事業	経済	人事管理/労務管理	9784561266686	技術流出の構図：エンジニアたちは世界へとどう動いたか		藤原綾乃		白桃書房	201602	3,500	3,780
1063	事業	経済	人事管理/労務管理	9784822251475	エグゼクティブＣＨＯの挑戦：「絶対的価値」を追求する戦略人事の最前線		石井淳蔵：花田光世		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201603	2,000	2,160
1064	事業	経済	人事管理/労務管理	9784539724613	最新有期・パート雇用をめぐるトラブル対応実務：無期転換請求、均衡処遇、有期雇用特別措置法、改正パ		北岡大介		日本法令	201603	1,600	1,728
1065	事業	経済	人事管理/労務管理	9784539724644	賃金・評価・退職金制度改定９つのカギ：失敗事例を分析して成功へ		菅野篤二：菊谷寛之		日本法令	201603	2,700	2,916
1066	事業	経済	人事管理/労務管理	9784793003950	新・これからの人事労務：いま働いている人、もうすぐ働く人の	第３版	岩出博		泉文堂	201603	2,800	3,024
1067	事業	経済	人事管理/労務管理	9784845262717	仕事基準人事改革の進め方：進化する人事制度　役割等級・賃金・評価制度の設計・		林浩二	労政時報選書	労務行政	201603	2,750	2,970
1068	事業	経済	人事管理/労務管理	9784845262724	女性活躍推進法対応と課題解決Ｑ＆Ａ：従業員規模３０１人以上企業必須！　行動計画作成から		労務行政研究所	労政時報選書	労務行政	201603	3,600	3,888
1069	事業	経済	人事管理/労務管理	9784502154911	配転・出向・降格の法律実務	第２版	石嵜信憲		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201603	6,200	6,696
1070	事業	経済	人事管理/労務管理	9784502175411	労務管理・風評対策Ｑ＆Ａ：「ブラック企業」と呼ばせない！		中澤佑一		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201603	2,800	3,024
1071	事業	経済	人事管理/労務管理	9784766423211	日本的雇用慣行は変化しているのか：本社人事部の役割		一守靖	慶應義塾大学産業研究所叢書	慶応義塾大学出版会	201603	4,600	4,968
1072	事業	経済	人事管理/労務管理	9784890170111	企業労働法実務入門：はじめての人事労務担当者からエキスパートへ．書式編		企業人事労務研究会：倉重公太朗		日本リーダーズ協会	201604	3,700	3,996
1073	事業	経済	人事管理/労務管理	9784820120537	女性マネージャー育成講座		高田朝子		生産性出版	201604	1,800	1,944
1074	事業	経済	人事管理/労務管理	9784845262915	チェックリストで分かる有期・パート・派遣社員の法律実務		倉重公太朗：岡村光男	労政時報選書	労務行政	201605	3,200	3,456
1075	事業	経済	人事管理/労務管理	9784772414876	ビジネスパーソンのためのアサーション入門		平木典子：金井寿宏		金剛出版	201605	2,000	2,160
1076	事業	経済	人事管理/労務管理	9784587217440	人事・労務の仕事便利帳	第５版	高橋美智恵		法学書院	201606	1,800	1,944
1077	事業	経済	人事管理/労務管理	9784845263134	これからのキャリア開発支援：企業の育成力を高める制度設計の実務		労務行政研究所	労政時報選書	労務行政	201607	3,600	3,888
1078	事業	経済	人事管理/労務管理	9784788281714	労務専門弁護士が教えるＳＮＳ・ＩＴをめぐる雇用管理：Ｑ＆Ａとポイント・書式例		小山博章：中山達夫		新日本法規出版	201607	4,100	4,428
1079	事業	経済	人事管理/労務管理	9784502180019	国際人的資源管理		関口倫紀：竹内規彦	ベーシック＋	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201607	2,400	2,592
1080	事業	経済	人事管理/労務管理	9784774182384	Ｓｌａｃｋ入門：ＣｈａｔＯｐｓによるチーム開発の効率化		松下雅和：小島泰洋		技術評論社	201607	1,980	2,138
1081	事業	経済	人事管理/労務管理	9784539724934	労働紛争解決実務講義：相談事例と判例に基づく	第４版	河本毅		日本法令	201608	19,000	20,520
1082	事業	経済	人事管理/労務管理	9784539724989	労務トラブル初動対応と解決のテクニック：こじらせないための		岸田鑑彦		日本法令	201608	2,100	2,268
1083	事業	経済	人事管理/労務管理	9784539724972	「多様な働き方」を実現する役割等級人事制度：制度設計のポイントを中小企業の事例で解説		西村聡：山岡美由紀		日本法令	201608	2,200	2,376
1084	事業	経済	人事管理/労務管理	9784897616131	労働実務事例研究．平成２８年版		労働新聞社		労働新聞社	201608	3,000	3,240
1085	事業	経済	人事管理/労務管理	9784897616155	民法を中心とする人事六法入門：人事のための労働法以外の法律入門		倉重公太朗：岡村光男		労働新聞社	201608	3,200	3,456
1086	事業	経済	人事管理/労務管理	9784820120575	「人事管理論」再考：多様な人材が求める社会的報酬とは		木谷宏		生産性出版	201609	2,500	2,700
1087	事業	経済	人事管理/労務管理	9784326550753	個性を活かす人材マネジメント：近未来型人事革新のシナリオ		谷内篤博		勁草書房	201609	2,700	2,916
1088	事業	経済	人事管理/労務管理	9784771027770	働きがいの人材マネジメント		谷田部光一		晃洋書房	201609	3,000	3,240
1089	事業	経済	人事管理/労務管理	9784384046953	パート・契約社員・派遣社員の法律問題とトラブル解決法：図解Ｑ＆Ａでわかる		小島彰		三修社	201610	1,800	1,944
1090	事業	経済	人事管理/労務管理	9784495387310	人的資源管理と日本の組織		山下洋史		同文舘出版	201610	2,600	2,808
1091	事業	経済	人事管理/労務管理	9784502196812	人事の定量分析	新版	林明文		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201610	2,600	2,808
1092	事業	経済	人事管理/労務管理	9784623077816	ヒト・仕事・職場のマネジメント：人的資源管理の理論と展開		澤田幹：谷本啓		ミネルヴァ書房	201610	3,000	3,240
1093	事業	経済	人事管理/労務管理	9784883725205	女性人材の活躍：女性コア人材の育成の現状と課題．２０１６		日本生産性本部（２００９）		日本生産性本部生産性労働情報センター	201610	2,000	2,160
1094	事業	経済	人事管理/労務管理	9784883725229	ダイアローグ（対話）型人事制度のすすめ：会社と社員がともに成長するための	改訂増補版	島森俊央：吉岡利之		日本生産性本部生産性労働情報センター	201611	2,000	2,160
1095	事業	経済	人事管理/労務管理	9784539725191	労務トラブル予防・解決に活かす“管野「労働法」”	改訂版	労使関係実務研究会：高倉光俊		日本法令	201612	3,100	3,348
1096	事業	経済	人事管理/労務管理	9784130511407	ダイバーシティ経営と人材活用：多様な働き方を支援する企業の取り組み		佐藤博樹：武石恵美子		東京大学出版会	201701	4,400	4,752
1097	事業	経済	人事管理/労務管理	9784872595765	ワーク・ライフ・バランスを実現する職場：見過ごされてきた上司・同僚の視点		細見正樹		大阪大学出版会	201702	4,800	5,184
1098	事業	経済	人事管理/労務管理	9784771028166	ＨＲＭの多様性？		労務理論学会誌編集委員会	労務理論学会誌	労務理論学会(発売：晃洋書房)	201702	3,000	3,240
1099	事業	経済	人事管理/労務管理	9784474057616	異文化ギャップきれいごとではすまされない？		平野広幸		第一法規出版	201703	2,500	2,700

1100	事業	経済	人事管理/労務管理	9784502218019	日本的雇用制度はどこへ向かうのか：金融・自動車業界の資本国籍を越えた人材獲得競争		八代充史		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201703	3,000	3,240
1101	事業	経済	人事管理/労務管理	9784532321376	事業を創る人事：グローバル先進企業になるための人づくり		綱島邦夫		日本経済新聞出版社	201703	2,000	2,160
1102	事業	経済	人事管理/労務管理	9784539725320	解雇・退職・雇止め相談標準ハンドブック		藤井康広		日本法令	201704	3,200	3,456
1103	事業	経済	人事管理/労務管理	9784495390044	限定正社員制度導入ガイドブック：無期契約への転換対応から戦略的活用術まで		みらいコンサルティンググループ		同文舘出版	201704	2,300	2,484
1104	事業	経済	人事管理/労務管理	9784532134709	人事と組織の経済学・実践編		エドワード・P・ラジアー：マイケル・ギブス		日本経済新聞出版社	201704	4,800	5,184
1105	事業	経済	人事管理/労務管理	9784130402804	人材開発研究大全		中原淳		東京大学出版会	201704	9,200	9,936
1106	事業	経済	人事管理/労務管理	9784502226212	人事の仕事と法律：会話でマスター		廣石忠司		中央経済グループパブリッシング	201705	2,600	2,808
1107	事業	経済	人事管理/労務管理	9784779170935	組織に効くコミュニケーション：等身大の関係性の築き方		宮田穣	フィギュール彩	彩流社	201706	1,800	1,944
1108	事業	経済	人事管理/労務管理	9784865561524	外国人雇用のトラブル相談Ｑ＆Ａ：基礎知識から具体的解決策まで		本間邦弘：坂田早苗	トラブル相談シリーズ	民事法研究会	201706	2,700	2,916
1109	事業	経済	人事管理/労務管理	9784492533932	グローバル人材獲得戦略ハンドブック：成果を挙げる人材を見極める「究極の質問」		ルー・アドラー：菱垣裕介		東洋経済新報社	201706	2,400	2,592
1110	事業	経済	人事管理/労務管理	9784532321505	日本の人事を科学する：因果推論に基づくデータ活用		大湾秀雄		日本経済新聞出版社	201706	2,300	2,484
1111	事業	経済	人事管理/労務管理	9784805111154	変革するマネジメント：戦略的人的資源管理	第２版	日沖健		千倉書房	201708	2,000	2,160
1112	事業	経済	人事管理/労務管理	9784760821761	０ｆｆ－ＪＴに活用する人間関係づくりトレーニング		星野欣生：船木幸弘		金子書房	201709	2,300	2,484
1113	事業	経済	人事管理/労務管理	9784535558878	働き方改革の経済学：少子高齢化社会の人事管理		八代尚宏		日本評論社	201709	1,700	1,836
1114	事業	経済	人事管理/労務管理	9784802510721	アイデアスケッチ：アイデアを(醸成)するためのワークショップ実践ガイ		ジェームズ・ギブソン：小林茂		ビー・エヌ・エヌ新社	201710	2,300	2,484
1115	事業	経済	人事管理/労務管理	9784502244216	組織を動かす働き方改革：いますぐスタートできる！効果的な目的・施策・導入プ		立花則子：本合暁詩		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201711	2,200	2,376
1116	事業	経済	人事管理/労務管理	9784623081400	ワーク・ライフ・バランスと経営学：男女共同参画に向けた人間的な働き方改革		平澤克彦：中村艶子	現代社会を読む経営学	ミネルヴァ書房	201711	2,800	3,024
1117	事業	経済	雇用/退職/定年制	9784762025297	インターンシップ：キャリア形成に資する就業体験	第２版	古閑博美		学文社	201503	1,900	2,052
1118	事業	経済	雇用/退職/定年制	9784272310517	どうして就職活動はつらいのか		双木あかり		大月書店	201504	1,600	1,728
1119	事業	経済	雇用/退職/定年制	9784908069178	外国人雇用実戦ガイド：すぐに使える！事例でわかる！		ＡＣＲＯＳＥＥＤグループ：佐野誠		レクシスネクシス・ジャパン	201505	3,600	3,888
1120	事業	経済	雇用/退職/定年制	9784502125416	外国人雇用の実務		近藤秀将		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201505	2,900	3,132
1121	事業	経済	雇用/退職/定年制	9784502170614	学生のためのキャリアデザイン入門：生き方・働き方の設計と就活準備	第３版	渡辺峻：伊藤健市		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201511	2,400	2,592
1122	事業	経済	雇用/退職/定年制	9784492223673	「履修履歴」面接：導入、質問、評価のすべて		辻太一朗		東洋経済新報社	201512	1,800	1,944
1123	事業	経済	雇用/退職/定年制	9784779510274	業界研究学びのことはじめ：キャリア・エデュケーション・ワークブック		佐藤智明：矢島彰		ナカニシヤ出版	201604	2,200	2,376
1124	事業	経済	雇用/退職/定年制	9784908069598	雇用が変わる：人材派遣とアウトソーシング		水川浩之		レクシスネクシス・ジャパン	201610	2,500	2,700
1125	事業	経済	雇用/退職/定年制	9784561266594	採用面接評価の科学：何が評価されているのか		今城志保		白桃書房	201611	3,800	4,104
1126	事業	経済	雇用/退職/定年制	9784484527251 8	退職・解雇・雇止め：適正な対応と実務		浅井隆：小山博章	労政時報選書	労務行政	201701	3,700	3,996
1127	事業	経済	雇用/退職/定年制	9784771028296	エピソードの就活：キャリアカウンセラーが教える７つのステップ		中山一郎		晃洋書房	201703	1,900	2,052
1128	事業	経済	雇用/退職/定年制	9784750515069	大学院生、ポストドクターのための就職活動マニュアル	改訂新版	アカリク		亜紀書房	201705	1,600	1,728
1129	事業	経済	雇用/退職/定年制	9784496052859	中小企業の成長を支える外国人労働者		日本政策金融公庫総合研究所		同友館	201707	2,100	2,268
1130	事業	経済	職務評価/人事考課	9784539723968	実例でわかる人事考課結果の昇給・昇格・賞与への活用のしかた		菅野篤二		日本法令	201411	2,200	2,376
1131	事業	経済	職務評価/人事考課	9784502182310	社員３００名までの人事評価・賃金制度入門：６ケ月この１冊で確実に作れる		森中謙介：山口俊一（経営コンサルタント）		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201602	2,400	2,592
1132	事業	経済	職務評価/人事考課	9784845115075	ドイツの人事評価：民間労働者、公務員および学校教員に関する日独比較研		藤内和公		旬報社	201712	5,000	5,400
1133	事業	経済	就業規則	9784539723982	よくわかる「多様な正社員制度」と就業規則見直しのポイント		岩崎仁弥		日本法令	201411	2,500	2,700
1134	事業	経済	就業規則	9784539724163	みんなが良くなるみんなでつくるみんなの就業規則：みんなの良心を信じたら揉めごとがなくなった		下田直人：日比野大輔		日本法令	201503	2,000	2,160
1135	事業	経済	就業規則	9784897615653	訴訟リスクを劇的にダウンさせる就業規則の考え方、作り方。		堀下和紀：穴井隆二		労働新聞社	201506	1,800	1,944
1136	事業	経済	就業規則	9784539724477	就業規則・諸規程作成マニュアル：リスク回避型	６訂版	岩崎仁弥：森紀男		日本法令	201509	5,200	5,616
1137	事業	経済	就業規則	9784539724545	使用者側弁護士からみた標準中小企業のモデル就業規則策定マニュアル		寺前隆：岡崎教行		日本法令	201511	2,400	2,592
1138	事業	経済	就業規則	9784845114511	時間を取り戻す：長時間労働を変える人事労務管理		渡部あさみ		旬報社	201603	1,600	1,728
1139	事業	経済	就業規則	9784845262816	休職・復職：適正な対応と実務		渡邉岳	労政時報選書	労務行政	201604	3,700	3,996
1140	事業	経済	就業規則	9784539725016	実務に活かす就業規則運用の勘どころ：弁護士と社労士がアドバイス！		丸の内就業規則研究会		日本法令	201609	2,200	2,376
1141	事業	経済	就業規則	9784502197314	就業規則の法律実務	第４版	石嵜信憲		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201612	6,800	7,344
1142	事業	経済	就業規則	9784539725573	就業規則の見直しと運用の実務：社労士＆弁護士が規定をグレードアップ！		就業規則実務研究会		日本法令	201708	2,100	2,268
1143	事業	経済	就業規則	9784863262454	就業規則ハンドブック：モデル就業規則の逐条解説と見直しておきたい規程の解	改訂５版	産労総合研究所		産労総合研究所出版部経営書院	201708	9,400	10,152
1144	事業	経済	賃金管理	9784539723920	決定版！シンプル賃金制度のつくり方		菊谷寛之		日本法令	201411	2,200	2,376
1145	事業	経済	賃金管理	9784863261976	賞与の決め方・運用の仕方		荻原勝		産労総合研究所出版部経営書院	201506	1,800	1,944
1146	事業	経済	賃金管理	9784384046496	給与・賞与・退職金をめぐる法律と税務：図解と書式でわかる		林智之		三修社	201507	1,900	2,052
1147	事業	経済	賃金管理	9784539724729	マネジメントに活かす歩合給制の実務		西川幸孝		日本法令	201605	2,400	2,592
1148	事業	経済	賃金管理	9784502192814	職能給の再構築と日本型成果主義賃金の実践テキスト		斉藤清一		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201606	2,600	2,808
1149	事業	経済	賃金管理	9784502205712	海外勤務者・来日外国人の給与実務ダブルガイド：税務と労務をまるごと解決する	第２版	あいわ税理士法人：大野事務所		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201609	3,500	3,780

1150	事業	経済	賃金管理	9784539725498	仕事をベースにした能力基準書のつくり方と人事・賃金制度への活用		菅野篤二		日本法令	201706	2,200	2,376
1151	事業	経済	賃金管理	9784474059122	同一労働同一賃金ガイドライン案に沿った待遇基準・賃金制度の作り方		菊谷寛之		第一法規出版	201711	2,800	3,024
1152	事業	経済	労使関係	9784502217319	Ｑ＆Ａユニオン・合同労組への法的対応の実務		宮崎晃：西村裕一		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201703	3,200	3,456
1153	事業	経済	企業内教育	9784762828942	研修設計マニュアル：人材育成のためのインストラクショナルデザイン		鈴木克明		北大路書房	201504	2,700	2,916
1154	事業	経済	企業内教育	9784990689346	ラーニング・ファシリテーションの基本：参加者中心の学びを支援する理論と実践		ドナルド・Ｖ．マケイン：デボラ・デイビス・トビー	ＡＴＤグローバルベーシックシリーズ	ヒューマンバリュー(発売：ＪＲＣ)	201506	2,800	3,024
1155	事業	経済	企業内教育	9784478064733	「経験学習」ケーススタディ		松尾睦		ダイヤモンド社	201511	2,000	2,160
1156	事業	経済	企業内教育	9784817195647	問題解決教育の社内展開：本当に役立つ社内教育の進め方がわかる		鈴木洋司		日科技連出版社	201511	3,200	3,456
1157	事業	経済	企業内教育	9784990689353	コンピテンシーを活用したトレーニングの基本：効率的な事業運営に役立つ研修開発の実践ガイド		ウィリアム・ロスウェル：ジェームズ・Ｍ．グラバー	ＡＴＤグローバルベーシックシリーズ	ヒューマンバリュー(発売：ＪＲＣ)	201601	2,800	3,024
1158	事業	経済	企業内教育	9784641164758	組織のなかで人を育てる：企業内人材育成とキャリア形成の方法		佐藤厚		有斐閣	201604	2,400	2,592
1159	事業	経済	企業内教育	9784863713802	就活・就労のための手話でわかるビジネスマナー：聴覚障害者と聴者のコミュニケーション		竹村茂：たかねきゃら		ジアース教育新社	201609	2,000	2,160
1160	事業	経済	企業内教育	9784478102428	人材育成ハンドブック：いま知っておくべき１００のテーマ		眞二大輔：トーマツイノベーション		ダイヤモンド社	201710	3,800	4,104
1161	事業	経済	企業内教育	9784820726241	人事・教育担当者のための能力開発・教育体系ハンドブック		海瀬章：市ノ川一夫		日本能率協会マネジメントセンター	201712	3,200	3,456
1162	事業	経済	福利厚生	9784862832009	フランスにおける企業福祉政策の生成と展開：企業パトロナージュ・企業パテルナリスム・キリスト教		岡田益三		関西学院大学出版会	201506	10,000	10,800
1163	事業	経済	福利厚生	9784947593184	福利厚生の今後をどう考えるか：アンケート調査報告書．２０１５年版				労務研究所	201603	2,000	2,160
1164	事業	経済	福利厚生	9784947593191	共済会の実践的グランドデザイン：新設・統合・見直し事例からみた今後のあり方		可児俊儒		労務研究所	201606	2,500	2,700
1165	事業	経済	事務管理	9784274217036	技術者のためのわかりやすい文書の書き方：６つのルールと１７の書き方で劇的に変わる		森谷仁		オーム社	201503	2,000	2,160
1166	事業	経済	事務管理	9784785724047	新しい事業報告・計算書類：経団連ひな型を参考に	全訂版	石井裕介：小畑良晴		商事法務	201604	6,300	6,804
1167	事業	経済	事務管理	9784889610147	ｅ－文書法電子化早わかり：効率とコンプライアンスを高める		日本文書情報マネジメント協会		日本文書情報マネジメント協会	201604	2,500	2,700
1168	事業	経済	事務管理	9784774180366	ドキュメント作成システム構築ガイド：ＧｉＴＨｕｂ、ＲｅｄＰｅｎ、Ａｓｃｉｉｄｏｃｔｏｒ		伊藤敬彦：吉村孝広		技術評論社	201604	2,480	2,678
1169	事業	経済	事務管理	9784774183213	伝わるデザインの基本：よい資料を作るためのレイアウトのルール	増補改訂版	高橋佑磨：片山なつ		技術評論社	201609	1,980	2,138
1170	事業	経済	文書整理	9784889610178	ｅ－文書法電子化早わかり：効率とコンプライアンスを高める．平成２７・２８年度改正対応		日本文書情報マネジメント協会法務委員会		日本文書情報マネジメント協会	201710	2,500	2,700
1171	事業	経済	事務の機械化	9784798042152	Ｗｏｒｄ＆Ｅｘｃｅｌ２０１３逆引き大全厳選３６０＋関数３００の極意：Ｍｉｃｒｏｓｏｆｔ Ｏｆｆｉｃｅ ２０１３ Ｗｉｎ		十柚木なつ：アンカープロ		秀和システム	201411	2,200	2,376
1172	事業	経済	事務の機械化	9784774171159	「逆引き」Ｗｏｒｄパワーテクニック６０１＋６６Ｔｉｐｓ：２０１３／２０１０／２００７対応		西上原裕明	ＰＯＷＥＲ ＴＥＣＨＮＩＱＵＥ	技術評論社	201502	2,380	2,570
1173	事業	経済	事務の機械化	9784890195244	コンピューターリテラシーＭｉｃｒｏｓｏｆｔ Ｏｆｆｉｃｅ．Ｗｏｒｄ＆ＰｏｗｅｒＰｏｉｎｔ		花木泰子：浅里京子		日本理工出版会	201504	2,200	2,376
1174	事業	経済	事務の機械化	9784495197926	ＩＴ監査とＩＴ統制：基礎からネットワーク・クラウド・ビッグデータまで	改訂版	日本内部監査協会		同文舘出版	201508	2,900	3,132
1175	事業	経済	事務の機械化	9784495197827	よくわかるシステム監査の実務解説	改訂版	島田裕次		同文舘出版	201509	2,500	2,700
1176	事業	経済	事務の機械化	9784822297855	Ｗｏｒｄ ２０１６基礎セミナーテキスト		日経ＢＰ社		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201512	1,700	1,836
1177	事業	経済	事務の機械化	9784798045276	はじめてのＷｏｒｄ＆Ｅｘｃｅｌ ２０１６		Ｓｔｕｄｉｏノマド	Ｂａｓｉｃ ｍａｓｔｅｒ ｓｅｒｉｅｓ	秀和システム	201601	1,880	2,030
1178	事業	経済	事務の機械化	9784822297893	Ｗｏｒｄ ２０１６応用セミナーテキスト		日経ＢＰ社		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201603	1,900	2,052
1179	事業	経済	事務の機械化	9784777519408	ＬＡＴＥＸ快適タイピング：《タイプを節約する方法》「単語登録」「ショートカッ		小林雅人	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201603	2,300	2,484
1180	事業	経済	事務の機械化	9784877833923	論文・レポート作成に使うＷｏｒｄ ２０１６活用法：スタイル活用テクニックと数式ツールの使い方		相澤裕介	先輩が教える	カットシステム	201604	2,500	2,700
1181	事業	経済	事務の機械化	9784822251628	ＡＩ時代の勝者と敗者：機械に奪われる仕事、生き残る仕事		トマス・Ｈ．ダヴェンポート：ジュリア・カーピー		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201606	2,100	2,268
1182	事業	経済	事務の機械化	9784822253035	いちばんやさしいＷｏｒｄ ２０１６スクール標準教科書：本当に必要なことだけをとにかくやさしく説明した入門．初級		森田圭		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201609	2,300	2,484
1183	事業	経済	事務の機械化	9784822253042	いちばんやさしいＷｏｒｄ ２０１６スクール標準教科書：本当に必要なことだけをとにかくやさしく説明した入門．中級		森田圭		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201609	2,300	2,484
1184	事業	経済	事務の機械化	9784822253059	いちばんやさしいＷｏｒｄ ２０１６スクール標準教科書：本当に必要なことだけをとにかくやさしく説明した入門．上級		森田圭		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201609	2,300	2,484
1185	事業	経済	事務の機械化	9784774185927	はじめよう！プロセス設計：要件定義のその前に		羽生章洋		技術評論社	201612	1,980	2,138
1186	事業	経済	事務の機械化	9784774187051	ＬＡＴＥＸ２ε美文書作成入門	改訂第７版	奥村晴彦：黒木裕介		技術評論社	201701	3,200	3,456
1187	事業	経済	事務の機械化	9784802510448	いつでもどこでも書きたい人のためのＳｃｒｉｖｅｎｅｒ ｆｏｒ ｉ：記事・小説・レポート、文章を外出先で書く人へ		向井領治		ビー・エヌ・エヌ新社	201702	2,500	2,700
1188	事業	経済	事務の機械化	9784774188089	世界一わかりやすいＷｏｒｄテキスト		佐藤薫		技術評論社	201703	1,780	1,922
1189	事業	経済	事務の機械化	9784295001188	ＡＳＴＥＲＩＡ ＷＡＲＰ基礎と実践	改訂版	インフォテリア		インプレス	201705	2,600	2,808
1190	事業	経済	事務の機械化	9784822237820	Ａｍａｚｏｎ Ｗｅｂ Ｓｅｒｖｉｃｅｓ設計＆開発ガイド：シナリオで学ぶパブリッククラウド		大石良：永田明		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201706	3,700	3,996
1191	事業	経済	事務の機械化	9784822259266	仕事がはかどるＪａｖａＳｃｒｉｐｔ“超”活用術：ＡＩ、セキュリティ、クラウドを自動処理		クジラ飛行机		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201706	1,800	1,944
1192	事業	経済	事務の機械化	9784502241918	実践ＩＴ監査ガイドブック：フレームワークからＤ＆Ａ、サイバーセキュリティ監査		岩下廣美		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201711	4,800	5,184
1193	事業	経済	事務の機械化	9784774193601	Ｗｏｒｄ完全ガイドブック困った解決＆便利技：２０１６／２０１３／２０１０対応版		ＡＹＵＲＡ	今すぐ使えるかんたん	技術評論社	201712	1,580	1,706
1194	事業	経済	財務管理/経営財務	9784762025075	コーポレート・ファイナンス論		小椋康宏	日本経営学基礎シリーズ	学文社	201501	3,000	3,240
1195	事業	経済	財務管理/経営財務	9784478027721	ファイナンシャル・マネジメント：企業財務の理論と実践	改訂３版	ロバート・Ｃ．ヒギンズ：グロービス経営大学院		ダイヤモンド社	201502	4,400	4,752
1196	事業	経済	財務管理/経営財務	9784502142116	中小企業の財務管理入門：財務で会社を強くする		坂本孝司		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201503	2,500	2,700
1197	事業	経済	財務管理/経営財務	9784502138614	ＣＦＯを目指すキャリア戦略：Ｐｒｏｆｅｓｓｉｏｎａｌ		安藤秀昭		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201504	2,400	2,592
1198	事業	経済	財務管理/経営財務	9784762025440	経営財務の情報分析		古川経営研究会：宮本順二朗		学文社	201504	2,800	3,024
1199	事業	経済	財務管理/経営財務	9784502161018	ＲＯＥ革命の財務戦略：外国人投資家が日本企業を強くする		柳良平		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201509	2,600	2,808

1200	事業	経済	財務管理/経営財務	9784502158117	テキスト財務管理論	第５版	坂本恒夫：鳥居陽介		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201510	3,200	3,456
1201	事業	経済	財務管理/経営財務	9784419063474	国際経営財務の研究：多国籍企業の財務戦略		小林康宏		税務経理協会	201603	2,900	3,132
1202	事業	経済	財務管理/経営財務	9784502183515	コーポレート・ファイナンス：基礎と応用		新井富雄：高橋文郎		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201604	3,400	3,672
1203	事業	経済	財務管理/経営財務	9784794424747	経営財務論：不確実性，エージェンシー・コストおよび日本的経営	新訂第４版	小山明宏		創成社	201604	2,800	3,024
1204	事業	経済	財務管理/経営財務	9784794424785	図解コーポレートファイナンス	新訂版	森直哉		創成社	201604	2,000	2,160
1205	事業	経済	財務管理/経営財務	9784862805119	ファイナンス業務エッセンシャルズ：財務戦略の形成と実践		中西哲		総合法令出版	201608	2,000	2,160
1206	事業	経済	財務管理/経営財務	9784502201912	企業価値の神秘：コーポレートファイナンス理論の思考回路		宮川壽夫		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201611	3,200	3,456
1207	事業	経済	財務管理/経営財務	9784534054500	コーポレート・ファイナンス実務の教科書：グループ経営管理からＭ＆Ａまで		松田千恵子		日本実業出版社	201612	2,250	2,430
1208	事業	経済	財務管理/経営財務	9784641164895	計算と経営実践：経営学と会計学の邂逅		園部克彦：澤邉紀生		有斐閣	201702	4,400	4,752
1209	事業	経済	財務管理/経営財務	9784502218712	ＲＯＥ経営と見えない価値：高付加価値経営をめざして		柳良平：兵庫真一郎		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201703	2,600	2,808
1210	事業	経済	財務管理/経営財務	9784561352150	財務管理の基礎知識：財務諸表の見方から経営分析、管理会計まで	第３版	平野秀輔		白桃書房	201705	2,100	2,268
1211	事業	経済	財務管理/経営財務	9784785752590	自己資本利益率（ＲＯＥ）の分析：国際的・長期的・業種別の分析		西山賢吾	別冊商事法務	商事法務	201710	3,900	4,212
1212	事業	経済	財務管理/経営財務	9784322132274	新債権法下の債権管理回収実務Ｑ＆Ａ		堺本善丈：大野哲也		金融財政事情研究会(発売：きんざい)	201711	3,500	3,780
1213	事業	経済	財務管理/経営財務	9784495206116	「見積る」「測る」将来会計の実務		ＺＥＣＯＯパートナーズ：岩田悦之		同文舘出版	201711	1,900	2,052
1214	事業	経済	資金管理/財務計画	9784502120114	海外で銀行を使いこなす技術：現地法人社長・財務責任者が知っておきたい		深川忠志		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201411	2,600	2,808
1215	事業	経済	資金管理/財務計画	9784532356248	ＲＯＥ最貧国日本を変える		『山を動かす』研究会		日本経済新聞出版社	201412	2,000	2,160
1216	事業	経済	資金管理/財務計画	9784502119712	買収ファイナンスの法務		大久保涼：鈴木健太郎		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201412	2,700	2,916
1217	事業	経済	資金管理/財務計画	9784502129117	よくわかる投資型クラウドファンディング		小谷融		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201412	2,000	2,160
1218	事業	経済	資金管理/財務計画	9784798137780	専門家のための資金調達の実務：士業プロフェッショナル養成講座		赤沼慎太郎		翔泳社	201501	2,800	3,024
1219	事業	経済	資金管理/財務計画	9784492654682	入門企業金融論：基礎から学ぶ資金調達の仕組み		中島真志		東洋経済新報社	201503	2,800	3,024
1220	事業	経済	資金管理/財務計画	9784502143717	トレジャリー・マネジメント：ＣＦＯと財務担当者のための「資金管理」の教科書		岸本光永：昆政彦		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201507	2,600	2,808
1221	事業	経済	資金管理/財務計画	9784788714458	企業金融の新展開：進化する資金供給機能への期待		辰巳憲一		時事通信出版局(発売：時事通信社)	201510	2,800	3,024
1222	事業	経済	資金管理/財務計画	9784876988884	中国の企業間信用：経済発展とオルタナティブ金融		矢野剛		京都大学学術出版会	201511	3,800	4,104
1223	事業	経済	資金管理/財務計画	9784761513603	ぼくらがクラウドファンディングを使う理由：１２プロジェクトの舞台裏		山本純子：佐々木周作		学芸出版社（京都）	201605	1,800	1,944
1224	事業	経済	資金管理/財務計画	9784502188718	クロスボーダー金融取引の規制と実務		大内大輔：佐竹正規		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201605	2,400	2,592
1225	事業	経済	資金管理/財務計画	9784794424839	企業金融の経済理論	改訂版	辻幸民		創成社	201605	5,000	5,400
1226	事業	経済	資金管理/財務計画	9784322128802	ザ・クラウドファンディング		佐々木敦也	ＫＩＮＺＡＩバリュー叢書	金融財政事情研究会(発売：きんざい)	201606	1,800	1,944
1227	事業	経済	資金管理/財務計画	9784818824539	グローバル資金管理と直接投資		小西宏美		日本経済評論社	201701	4,200	4,536
1228	事業	経済	資金管理/財務計画	9784502233715	日本のエクイティ・ファイナンス		鈴木健嗣		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201708	6,000	6,480
1229	事業	経済	資金管理/財務計画	9784502240317	事業資金調達の教科書：基本的な考え方から具体的な活用方法まで		金森亨		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201709	3,700	3,996
1230	事業	経済	資金管理/財務計画	9784502242212	グローバルＣＭＳ導入ガイド	第２版	松尾美枝：岡部武		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201710	2,600	2,808
1231	事業	経済	資金管理/財務計画	9784785725747	資金調達ハンドブック	第２版	武井一浩：都谷大輔		商事法務	201712	5,400	5,832
1232	事業	経済	経営比較/経営分野	9784904192559	業種把握読本：事業性評価とライフステージ別融資・コンサルティング	新版	味香興郎：藤井一郎		金融ブックス	201412	2,300	2,484
1233	事業	経済	経営比較/経営分野	9784502129810	スチュワードシップ・コード時代の企業価値を高める経営戦略：企業と投資家の共生に向けて		ニッセイアセットマネジメント株式会社：藤井智朗		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201412	2,400	2,592
1234	事業	経済	経営比較/経営分野	9784478029947	デジタル＆グローバル時代の凄い働き方：アクセンチュア社員が語る常識破りのキャリア構築術		ダイヤモンド社		ダイヤモンド社	201501	1,600	1,728
1235	事業	経済	経営比較/経営分野	9784433571146	財務デュー・ディリジェンスと企業価値評価		日本公認会計士協会		清文社	201503	3,600	3,888
1236	事業	経済	経営比較/経営分野	9784433571641	有価証券報告書の見方・読み方：会社情報の宝庫	第９版	あずさ監査法人		清文社	201503	4,200	4,536
1237	事業	経済	経営比較/経営分野	9784419061579	経営分析事典	新版	日本経営分析学会		税務経理協会	201503	4,400	4,752
1238	事業	経済	経営比較/経営分野	9784496051302	日本経営診断学会叢書．第３巻		日本経営診断学会		同友館	201503	3,200	3,456
1239	事業	経済	経営比較/経営分野	9784496051326	日本経営診断学会叢書．第２巻		日本経営診断学会		同友館	201503	2,200	2,376
1240	事業	経済	経営比較/経営分野	9784419062477	財務比率の読み方：業種の特徴がわかれば会社がみえる	第２版	石井康彦：田代樹彦		税務経理協会	201504	1,800	1,944
1241	事業	経済	経営比較/経営分野	9784496051333	中小企業の財務分析：経営・原価指標の分析・活用	第２版	宇田川荘二		同友館	201504	2,600	2,808
1242	事業	経済	経営比較/経営分野	9784839421519	財務分析からの会計学	第３版	森久：関利恵子		森山書店	201504	3,000	3,240
1243	事業	経済	経営比較/経営分野	9784495202415	会計士とアナリストの視点でみる！財務分析マニュアル		新日本有限責任監査法人		同文舘出版	201506	2,300	2,484
1244	事業	経済	経営比較/経営分野	9784785723057	与信管理論	第２版	リスクモンスター株式会社		商事法務	201506	7,800	8,424
1245	事業	経済	経営比較/経営分野	9784496051470	日本経営診断学会叢書．第１巻		日本経営診断学会		同友館	201506	2,800	3,024
1246	事業	経済	経営比較/経営分野	9784939051562	財務諸表分析入門：Ｅｘｃｅｌでわかる企業力	新訂版	松村勝弘（経営学）：松本敏史		ビーケイシー	201507	2,400	2,592
1247	事業	経済	経営比較/経営分野	9784433407155	不正経理を見逃さない経営分析と内部統制：企業永続のために		吉田實男		清文社	201510	3,600	3,888
1248	事業	経済	経営比較/経営分野	9784495198121	入門経営分析	新版（第２版）	藤永弘：長井敏行		同文舘出版	201512	1,800	1,944
1249	事業	経済	経営比較/経営分野	9784532605407	企業価値評価：ｅＶａｌによる財務分析と評価		ラッセル・ランドホルム：リチャード・スローン		マグロウヒル・エデュケーション(発売：日本経済新聞出版社)	201512	3,500	3,780

1250	事業	経済	経営比較/経営分野	9784864340564	考える企業間比較のための経営分析：図表ポイント係数評価法による		岩崎功		五絃舎	201601	1,700	1,836
1251	事業	経済	経営比較/経営分野	9784478067376	新・ほんとうにわかる経営分析：決定版		高田直芳		ダイヤモンド社	201602	2,200	2,376
1252	事業	経済	経営比較/経営分野	9784492602232	バリュエーションの教科書：企業価値・M＆Aの本質と実務		森生明		東洋経済新報社	201606	2,600	2,808
1253	事業	経済	経営比較/経営分野	9784478068779	企業価値評価：バリュエーションの理論と実践．上	第６版	マッキンゼー・アンド・カンパニー：ティム・コラー		ダイヤモンド社	201608	4,200	4,536
1254	事業	経済	経営比較/経営分野	9784478068786	企業価値評価：バリュエーションの理論と実践．下	第６版	マッキンゼー・アンド・カンパニー：ティム・コラー		ダイヤモンド社	201608	4,200	4,536
1255	事業	経済	経営比較/経営分野	9784496052194	中小企業の財務分析：経営・原価指標の分析・活用	第３版	宇田川荘二		同友館	201608	2,600	2,808
1256	事業	経済	経営比較/経営分野	9784766833379	財務分析のための実践財務諸表の見方	新１１版	牧野明弘		経済法令研究会	201611	2,800	3,024
1257	事業	経済	経営比較/経営分野	9784839421618	要説経営分析	５訂版	青木茂男：青淵正幸		森山書店	201611	4,400	4,752
1258	事業	経済	経営比較/経営分野	9784502209314	３つの視点で会社がわかる「有報」の読み方	最新版	新日本有限責任監査法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201701	2,800	3,024
1259	事業	経済	経営比較/経営分野	9784502223518	財務諸表分析	第７版	桜井久勝		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201702	3,400	3,672
1260	事業	経済	経営比較/経営分野	9784785725105	事例にみる信用取引トラブル解決集		リスクモンスターデータ工場		商事法務	201703	2,600	2,808
1261	事業	経済	経営比較/経営分野	9784419064532	財務比率の読み方：業種の特徴がわかれば会社がみえる	第３版	石井康彦：田代樹彦		税務経理協会	201704	1,800	1,944
1262	事業	経済	経営比較/経営分野	9784419064518	経営力と経営分析		坂本恒夫：鳥居陽介		税務経理協会	201705	2,700	2,916
1263	事業	経済	経営比較/経営分野	9784502219016	プロフェッショナルサービスのビジネスモデル：コンサルティングファームの比較事例分析		高橋千枝子	碩学叢書	中央経済グループパブリッシング	201705	3,600	3,888
1264	事業	経済	経営比較/経営分野	9784502216718	グローバル企業の財務報告分析		西澤茂：上西順子		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201709	2,800	3,024
1265	事業	経済	管理会計/内部統制	9784883842117	ケースブック管理会計		上總康行	ライブラリケースブック会計学	新世社（渋谷区）(発売：サイエンス社)	201411	2,550	2,754
1266	事業	経済	管理会計/内部統制	9784495191320	管理会計のエッセンス	新版	ジェームズ・ジャンバルボ：ワシントン大学フォスタービジネススクール		同文舘出版	201502	3,700	3,996
1267	事業	経済	管理会計/内部統制	9784561461760	静脈産業とマテリアルフローコスト会計		木村眞実		白桃書房	201502	3,300	3,564
1268	事業	経済	管理会計/内部統制	9784502134715	次世代管理会計の礎石		上總康行：沢辺紀生		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201503	4,800	5,184
1269	事業	経済	管理会計/内部統制	9784785722708	内部統制システム構築の実務：平成２６年改正会社法対応		中村直人：山田和彦		商事法務	201504	2,600	2,808
1270	事業	経済	管理会計/内部統制	9784495161460	管理会計	第６版	桜井通晴		同文舘出版	201506	5,200	5,616
1271	事業	経済	管理会計/内部統制	9784502151514	現場で使える管理会計		清水孝		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201506	2,600	2,808
1272	事業	経済	管理会計/内部統制	9784433545956	たった１人！たった３日間で！！会社不正の９割を発見する方法		對馬英年		清文社	201507	2,800	3,024
1273	事業	経済	管理会計/内部統制	9784502150913	儲けるための仕組みづくり：管理会計の定石と図表・計算式で学ぶ		窪田千貴		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201507	2,400	2,592
1274	事業	経済	管理会計/内部統制	9784502151019	会計基準と経営者行動：会計政策の理論と実証分析		辻正雄		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201507	4,800	5,184
1275	事業	経済	管理会計/内部統制	9784502151712	経営に活かす戦略会計		多田敏夫		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201507	2,300	2,484
1276	事業	経済	管理会計/内部統制	9784417016571	内部統制システムの法的展開と実務対応		大塚和成：柿崎環		青林書院	201508	4,400	4,752
1277	事業	経済	管理会計/内部統制	9784502154218	日本の管理会計研究		広本敏郎：挽文子		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201508	6,000	6,480
1278	事業	経済	管理会計/内部統制	9784495188252	現代の実践的内部監査	５訂版	日本内部監査協会：川村眞一		同文舘出版	201510	3,600	3,888
1279	事業	経済	管理会計/内部統制	9784502162213	管理会計論	第２版	山本浩二：小倉昇	スタンダードテキスト	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201510	5,000	5,400
1280	事業	経済	管理会計/内部統制	9784495203719	時間管理会計論：体系的整理への試み		水島多美也		同文舘出版	201511	4,200	4,536
1281	事業	経済	管理会計/内部統制	9784785752378	内部統制システムの見直しのポイントと記載事例：平成２７年１２月総会までを踏まえて		石井裕介：河島勇太	別冊商事法務	商事法務	201601	2,500	2,700
1282	事業	経済	管理会計/内部統制	9784495193836	これだけは知っておきたい内部監査の実務	３訂版	川村眞一		同文舘出版	201602	2,200	2,376
1283	事業	経済	管理会計/内部統制	9784865560732	内部統制システムと株主代表訴訟：役員責任の所在と判断		新谷勝		民事法研究会	201603	5,200	5,616
1284	事業	経済	管理会計/内部統制	9784502177217	管理会計の理論と実務	第２版	川野克典		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201603	3,200	3,456
1285	事業	経済	管理会計/内部統制	9784502188916	ビジネス・アカウンティング：財務諸表から経営を読み解く	第３版	山根節：太田康広		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201603	2,800	3,024
1286	事業	経済	管理会計/内部統制	9784532320645	現場が動き出す会計：人はなぜ測定されると行動を変えるのか		伊丹敬之：青木康晴		日本経済新聞出版社	201603	2,400	2,592
1287	事業	経済	管理会計/内部統制	9784765805650	経営者による報告利益管理：理論と実証		辻正雄	早稲田大学会計研究所・会計研究叢書	国元書房	201603	4,800	5,184
1288	事業	経済	管理会計/内部統制	9784502172014	ものづくり企業の管理会計		上總康行：長坂悦敬		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201604	2,900	3,132
1289	事業	経済	管理会計/内部統制	9784419063153	セミナー管理会計		門田安弘		税務経理協会	201604	2,900	3,132
1290	事業	経済	管理会計/内部統制	9784433663063	要説管理会計事典		本橋正美：林総		清文社	201605	4,000	4,320
1291	事業	経済	管理会計/内部統制	9784495204716	企業集団における内部統制		弥永真生：松本祥尚		同文舘出版	201606	3,300	3,564
1292	事業	経済	管理会計/内部統制	9784495189167	これだけは知っておきたい内部監査の基本	６訂版	川村眞一		同文舘出版	201607	2,000	2,160
1293	事業	経済	管理会計/内部統制	9784419063597	中小企業の持続的成長を支える管理の仕組みづくり		中山高秀：伊藤敦		税務経理協会	201609	2,400	2,592
1294	事業	経済	管理会計/内部統制	9784502199813	管理会計基礎論		吉田康久		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201610	2,600	2,808
1295	事業	経済	管理会計/内部統制	9784495205119	監査報告書の指摘事項と改善提案：内部監査のプロが書く		藤井範彰		同文舘出版	201611	3,800	4,104
1296	事業	経済	管理会計/内部統制	9784433643867	経営監査へのアプローチ：企業価値向上のための総合的内部監査１０の視点		ＰｗＣあらた有限責任監査法人		清文社	201701	3,000	3,240
1297	事業	経済	管理会計/内部統制	9784532321260	実践ガバナンス経営		海永修司		日本経済新聞出版社	201701	2,800	3,024
1298	事業	経済	管理会計/内部統制	9784595317316	現代の内部監査		霜藤正章：蟹江章	放送大学教材	放送大学教育振興会(発売：ＮＨＫ出版)	201703	2,500	2,700
1299	事業	経済	管理会計/内部統制	9784492602256	スタンダード管理会計	第２版	小林啓孝：伊藤嘉博		東洋経済新報社	201703	4,800	5,184

1300	事業	経済	管理会計/内部統制	9784495205515	内部統制の有効性とコーポレート・ガバナンス		藤原英賢		同文舘出版	201704	4,200	4,536
1301	事業	経済	管理会計/内部統制	9784641220966	管理会計・入門：戦略経営のためのマネジリアル・アカウンティング	第４版	浅田孝幸：頼誠	有斐閣アルマ	有斐閣	201705	2,300	2,484
1302	事業	経済	管理会計/内部統制	9784785725181	コンプライアンス・内部統制ハンドブック		中村直人		商事法務	201705	6,000	6,480
1303	事業	経済	管理会計/内部統制	9784502231414	販売費及び一般管理費の理論と実証		安酸建二：新井康平	メルコ学術振興財団研究叢書	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201706	4,000	4,320
1304	事業	経済	管理会計/内部統制	9784502234811	プラクティカル管理会計		園田智昭		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201707	2,300	2,484
1305	事業	経済	管理会計/内部統制	9784502234910	日本的管理会計の深層		吉田栄介：福島一矩		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201707	3,800	4,104
1306	事業	経済	管理会計/内部統制	9784883842551	管理会計論	第２版	上總康行	新経営学ライブラリ	新世社（渋谷区）(発売：サイエンス社)	201708	3,100	3,348
1307	事業	経済	管理会計/内部統制	9784526077463	図解！製造業の管理会計入門		吉川武文：王子経営研究会		日刊工業新聞社	201709	1,900	2,052
1308	事業	経済	管理会計/内部統制	9784502246418	ケース管理会計		櫻井通晴：伊藤和憲		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201711	3,000	3,240
1309	事業	経済	管理会計/内部統制	9784785725808	ケースから考える内部統制システムの構築		中村直人		商事法務	201712	2,800	3,024
1310	事業	経済	管理会計/内部統制	9784502244612	セルフ・イノベーションの管理会計：社会変革に対応した業績評価のあり方		八島雄士		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201712	4,000	4,320
1311	事業	経済	管理会計/内部統制	9784502246715	企業グループの管理会計		園田智昭		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201712	2,800	3,024
1312	事業	経済	原価管理/原価計算	9784502136412	テキスト原価会計	第２版	高橋賢		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201502	2,200	2,376
1313	事業	経済	原価管理/原価計算	9784839421472	ＡＢＣのコア		古田隆紀		森山書店	201502	2,000	2,160
1314	事業	経済	原価管理/原価計算	9784502142918	原価計算セミナー		片岡洋一		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201504	2,600	2,808
1315	事業	経済	原価管理/原価計算	9784502144011	原価計算論	第３版	広本敏郎：挽文子		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201504	6,300	6,804
1316	事業	経済	原価管理/原価計算	9784794414892	原価計算		志村正		創成社	201504	2,000	2,160
1317	事業	経済	原価管理/原価計算	9784526074349	原価計算だけで満足していませんか！	第２版	堀口敬		日刊工業新聞社	201506	2,400	2,592
1318	事業	経済	原価管理/原価計算	9784495203016	ドイツ原価計算研究：アメリカの活動基準原価計算（ＡＢＣ）との比較研究		森本和義		同文舘出版	201507	3,800	4,104
1319	事業	経済	原価管理/原価計算	9784502159114	原価企画と開発購買戦略		田中雅康		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201509	2,600	2,808
1320	事業	経済	原価管理/原価計算	9784502182419	ファーストステップ原価計算を学ぶ		山北晴雄：福田淳児		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201604	2,400	2,592
1321	事業	経済	原価管理/原価計算	9784502232718	グローバル・コスト削減の実務		大内大輔		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201706	2,500	2,700
1322	事業	経済	原価管理/原価計算	9784419064556	原価計算	改訂版	清水孝		税務経理協会	201707	2,800	3,024
1323	事業	経済	原価管理/原価計算	9784502244513	現場で使える原価計算システム		勝本宗男		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201712	3,200	3,456
1324	事業	経済	予算統制	9784502156311	戦略経営における予算管理		堀井悟志		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201508	3,800	4,104
1325	事業	経済	予算統制	9784433569853	予算会計：連結キャッシュ・フロー予算制度の構築に向けて	改訂増補	児玉厚：海崎雅子		清文社	201602	2,600	2,808
1326	事業	経済	利益計画/利益管理	9784502118913	事業利益管理の実務：管理会計のプロを目指す		相場俊夫：仰星マネジメントコンサルティング株式会社		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201411	3,000	3,240
1327	事業	経済	利益計画/利益管理	9784561362104	Ｅａｒｎｉｎｇｓ Ｍａｎａｇｅｍｅｎｔ ａｎｄ Ｅａｒｎｉｎｇｓ Ｑｕａｌｉｔｙ：Ｅｖｉｄｅｎｃｅ ｆｒｏｍ Ｊａｐａｎ		中島真澄		白桃書房	201503	3,600	3,888
1328	事業	経済	利益計画/利益管理	9784873546353	戦後日本の資本利益率格差		佐藤真人		関西大学出版部	201603	5,500	5,940
1329	事業	経済	利益計画/利益管理	9784502185113	コーポレートガバナンス改革時代のＲＯＥ戦略：効用と限界		藤田勉（証券アナリスト）		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201604	3,400	3,672
1330	事業	経済	利益計画/利益管理	9784785752477	内部留保の実態調査：主要企業７８６社を対象に過去１７年間の推移		西山賢吾	別冊商事法務	商事法務	201610	2,700	2,916
1331	事業	経済	財務会計	9784384046212	図解最新経理と税金のしくみがわかる事典		大沢豪		三修社	201411	1,800	1,944
1332	事業	経済	財務会計	9784822292058	即戦力になる！！ビジネス実務とＰＣ活用．経理入門編	第２版	笠原清明：阿部香織		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201412	1,800	1,944
1333	事業	経済	財務会計	9784495187545	チャレンジ・アカウンティング	３訂版	藤井則彦		同文舘出版	201412	2,600	2,808
1334	事業	経済	財務会計	9784798139456	会社の経理を全自動化する本：全自動クラウド型会計ソフトｆｒｅｅｅでお金も手間も		廣井健生		翔泳社	201412	1,800	1,944
1335	事業	経済	財務会計	9784785722418	臨時報告書作成の実務Ｑ＆Ａ		総合ディスクロージャー研究所		商事法務	201501	3,600	3,888
1336	事業	経済	財務会計	9784419061654	歴史に学ぶ会計の「なぜ？」：アメリカ会計史入門		トーマス・Ａ．キング：友岡賛		税務経理協会	201501	3,400	3,672
1337	事業	経済	財務会計	9784419061760	退職給付会計実務の手引き：期中及び決算の実務一巡・数理計算・退職給付制度		井上雅彦		税務経理協会	201501	2,800	3,024
1338	事業	経済	財務会計	9784419062149	会計・ファイナンス入門	第２版	鯖田豊則		税務経理協会	201501	2,100	2,268
1339	事業	経済	財務会計	9784789015868	英文会計の基礎知識	増補改訂版	西山茂		ジャパンタイムズ	201502	2,400	2,592
1340	事業	経済	財務会計	9784813261308	書き込み式で経理実務が身につく本	第１２版	豊島正治		ＴＡＣ	201502	1,600	1,728
1341	事業	経済	財務会計	9784495201616	会計学説の系譜と理論構築		上野清貴		同文舘出版	201502	5,200	5,616
1342	事業	経済	財務会計	9784502114014	戦後企業会計史		遠藤博志：小宮山賢		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201502	11,000	11,880
1343	事業	経済	財務会計	9784502130618	リース会計のしくみ		新日本有限責任監査法人	図解でざっくり会計シリーズ	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201502	1,900	2,052
1344	事業	経済	財務会計	9784502136115	財務会計入門	第４版	田中建二		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201502	2,600	2,808
1345	事業	経済	財務会計	9784502140419	レクチャー財務会計	第２版	山本誠		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201502	3,200	3,456
1346	事業	経済	財務会計	9784822250799	会計不正はこう見抜け		ハワード・Ｍ．シルット：ジェレミー・バーラー		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201503	2,800	3,024
1347	事業	経済	財務会計	9784433573942	法律を学ぶ人の会計学の基礎知識		八ツ尾順一：村山周平		清文社	201503	2,000	2,160
1348	事業	経済	財務会計	9784805722558	会計と社会：ミクロ会計・メソ会計・マクロ会計の視点から		小口好昭	中央大学経済研究所研究叢書	中央大学出版部	201503	5,200	5,616
1349	事業	経済	財務会計	9784419062354	ＢＰＯの導入で会社の経理は軽くて強くなる：アウトソーシング・経理標準化の手引き		中尾篤史：平野真理子		税務経理協会	201503	1,700	1,836

1350	事業	経済	財務会計	9784495201715	のれん会計と減損会計		榊原英夫		同文舘出版	201503	3,500	3,780
1351	事業	経済	財務会計	9784502130816	外貨建投資・ヘッジ戦略の会計と税務		岡本修		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201503	3,400	3,672
1352	事業	経済	財務会計	9784502134616	会計学の研究方法		マルコム・スミス：平松一夫		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201503	4,200	4,536
1353	事業	経済	財務会計	9784502135514	会計学の手法：実証・分析・実験によるアプローチ		田村威文：中条祐介		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201503	2,600	2,808
1354	事業	経済	財務会計	9784502136214	為替換算調整勘定の会計実務	第２版	新日本有限責任監査法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201503	4,000	4,320
1355	事業	経済	財務会計	9784502136818	図解でナットク！会計入門		桝岡源一郎		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201503	2,200	2,376
1356	事業	経済	財務会計	9784502137013	ビジネスリーダーが学んでいる会計＆ファイナンス		日沖健		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201503	2,300	2,484
1357	事業	経済	財務会計	9784502137310	実験制度会計論：未来の会計をデザインする		田口聡志		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201503	3,400	3,672
1358	事業	経済	財務会計	9784502138416	中小企業の会計制度：日本・欧米・アジア・オセアニアの分析		河崎照行		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201503	4,400	4,752
1359	事業	経済	財務会計	9784502142512	海外事業を成功に導く経理・財務の教科書		河辺亮二：染谷英雄		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201503	2,800	3,024
1360	事業	経済	財務会計	9784561352082	国際会計論		森川八洲男		白桃書房	201503	2,600	2,808
1361	事業	経済	財務会計	9784794414878	「Ｒ」で楽しく学ぶ会計学・経営分析		真鍋明裕		創成社	201503	2,000	2,160
1362	事業	経済	財務会計	9784839421526	会計研究入門：会計はお化けだ！		鈴木義夫：千葉修身		森山書店	201503	1,600	1,728
1363	事業	経済	財務会計	9784839421533	会計のしくみ		佐藤誠二：石川文子	静岡大学人文社会科学部叢書	森山書店	201503	2,300	2,484
1364	事業	経済	財務会計	9784864340502	テキスト現代会計学の基礎	３訂版	岩崎功		五絃舎	201503	2,200	2,376
1365	事業	経済	財務会計	9784163902463	帳簿の世界史		ジェイコブ・ソール：村井章子		文藝春秋	201504	1,950	2,106
1366	事業	経済	財務会計	9784502098505	ケースから引く組織再編の会計実務		新日本有限責任監査法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201504	13,000	14,040
1367	事業	経済	財務会計	9784502131516	実務解説連結納税の税効果会計：繰延税金資産の計算と回収可能性の検討	第２版	足立好幸		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201504	3,600	3,888
1368	事業	経済	財務会計	9784502141515	忘れちゃならない経理の作法：フローチャートでわかる内部統制と決算のポイント	新版	鈴木豊		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201504	2,600	2,808
1369	事業	経済	財務会計	9784502137518	会計記録の研究		工藤栄一郎		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201505	3,000	3,240
1370	事業	経済	財務会計	9784502144516	会社の計算	第２版	金丸和弘：藤津康彦	新・会社法実務問題シリーズ	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201505	3,400	3,672
1371	事業	経済	財務会計	9784419062507	穴埋め・記述で学ぶ財務会計理論	第４版	荒堀政男：嶋田敬子		税務経理協会	201506	3,600	3,888
1372	事業	経済	財務会計	9784502153617	図解＆設例会計・財務の本質と実務がわかる本		関浩一郎：菅野貴弘		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201507	2,500	2,700
1373	事業	経済	財務会計	9784839421557	財務会計論究		佐々木隆志：石原裕也		森山書店	201507	3,500	3,780
1374	事業	経済	財務会計	9784788280533	改正会社法と会計・税務の対応		阿部泰久：中東正文		新日本法規出版	201508	3,200	3,456
1375	事業	経済	財務会計	9784419062637	従業員不正の防止と事後対応：ケースでわかる横領・着服の経理処理	改訂版	田口安克：白土英成		税務経理協会	201508	2,800	3,024
1376	事業	経済	財務会計	9784502162312	財務会計の基礎	第４版	上野清貴		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201508	2,800	3,024
1377	事業	経済	財務会計	9784641220614	はじめて出会う会計学	新版	川本淳：野口昌良	有斐閣アルマ	有斐閣	201509	2,000	2,160
1378	事業	経済	財務会計	9784495164652	アカウンティング：現代会計入門	５訂版	笹倉淳史：水野一郎		同文舘出版	201509	2,500	2,700
1379	事業	経済	財務会計	9784495203214	スタートアップ会計学		上野清貴		同文舘出版	201509	2,500	2,700
1380	事業	経済	財務会計	9784502157318	会計制度の経済分析		薄井彰		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201509	11,000	11,880
1381	事業	経済	財務会計	9784419062798	金融商品会計の基礎		小宮山賢		税務経理協会	201509	3,400	3,672
1382	事業	経済	財務会計	9784502153518	パターン別退職給付制度の選択・変更と会計実務		三輪登信		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201509	4,800	5,184
1383	事業	経済	財務会計	9784502154119	金融機関のためのＩＦＲＳ金融商品会計入門		ＰｗＣあらた監査法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201509	4,000	4,320
1384	事業	経済	財務会計	9784502157615	海外取引の経理実務ケース５０		佐和周	これだけは押さえておこう	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201509	2,600	2,808
1385	事業	経済	財務会計	9784502161810	エッセンシャル財務会計	第２版	井上達男：山地範明		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201509	3,800	4,104
1386	事業	経済	財務会計	9784902225969	内部留保の研究		小栗崇資：谷江武士		唯学書房(発売：アジール・プロダクシ)	201509	6,800	7,344
1387	事業	経済	財務会計	9784816504259	非上場会社の会計ディスクロージャー理論		角偉明		南窓社	201510	5,000	5,400
1388	事業	経済	財務会計	9784495203313	英文会計が基礎からわかる本		清村英之		同文舘出版	201510	2,200	2,376
1389	事業	経済	財務会計	9784754722494	会計法精解．平成２７年改訂版		青木孝徳		大蔵財務協会	201510	4,537	4,899
1390	事業	経済	財務会計	9784419062040	「書斎の会計学」は通用するか		田中弘		税務経理協会	201510	3,400	3,672
1391	事業	経済	財務会計	9784419062859	財務会計論		滝田輝己		税務経理協会	201510	3,800	4,104
1392	事業	経済	財務会計	9784502160813	会計の力		全在紋		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201510	3,800	4,104
1393	事業	経済	財務会計	9784502163418	財務会計	第１３版	広瀬義州		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201510	3,800	4,104
1394	事業	経済	財務会計	9784502166914	会計学エッセンス	第２版	内藤文雄		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201510	2,600	2,808
1395	事業	経済	財務会計	9784794414953	コンピュータ会計基礎		河合久：櫻井康弘		創成社	201510	1,900	2,052
1396	事業	経済	財務会計	9784794414960	現代会計学：財務会計の基礎知識	第４版	金井正		創成社	201510	2,700	2,916
1397	事業	経済	財務会計	9784419062989	キャリアアップを目指す人のための「経理・財務」実務マニュアル．上	３訂版	石田正：青山隆治		税務経理協会	201511	3,200	3,456
1398	事業	経済	財務会計	9784419062996	キャリアアップを目指す人のための「経理・財務」実務マニュアル．下	３訂版	石田正：青山隆治		税務経理協会	201511	3,000	3,240
1399	事業	経済	財務会計	9784502159619	インドネシアの会計教育		齋藤雅子：セカール・マヤングサリ		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201511	4,600	4,968

1400	事業	経済	財務会計	9784502166815	ゼロからはじめる英文会計入門：イラスト＆図解	第３版	建宮努		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201511	2,400	2,592
1401	事業	経済	財務会計	9784794414984	投資不動産会計と公正価値評価		山本卓		創成社	201512	2,500	2,700
1402	事業	経済	財務会計	9784938419813	中小企業の経理と税務入門		吉川宏延		法令出版	201601	2,315	2,500
1403	事業	経済	財務会計	9784495203818	帳簿が語る歴史の真実：通説という名の誤り		渡辺泉		同文舘出版	201602	2,800	3,024
1404	事業	経済	財務会計	9784492602225	アンソニー会計学：テキスト		ロバート・Ｎ．アンソニ：レスリー・Ｋ．ブライトナー		東洋経済新報社	201602	4,200	4,536
1405	事業	経済	財務会計	9784495204310	ＩＦＲＳ９「金融商品」の構図：ＩＡＳ３９置換プロジェクトの評価		吉田康英		同文舘出版	201602	4,600	4,968
1406	事業	経済	財務会計	9784502176012	会計学入門：会計・監査の基礎を学ぶ	新版（第４版）	千代田邦夫		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201602	3,000	3,240
1407	事業	経済	財務会計	9784495135782	会計学基礎論	第５版補訂版	神戸大学		同文舘出版	201603	3,500	3,780
1408	事業	経済	財務会計	9784641164772	企業会計入門：考えて学ぶ	補訂版	斎藤静樹		有斐閣	201603	1,800	1,944
1409	事業	経済	財務会計	9784595316289	現代会計		齋藤真哉	放送大学教材	放送大学教育振興会(発売：ＮＨＫ出版)	201603	2,800	3,024
1410	事業	経済	財務会計	9784641220737	財務会計・入門：企業活動を描き出す会計情報とその活用法	第１０版補訂	桜井久勝；須田一幸	有斐閣アルマ	有斐閣	201603	1,800	1,944
1411	事業	経済	財務会計	9784419063351	合併・連結の会計と税務：はじめて読む		小林正和		税務経理協会	201603	2,500	2,700
1412	事業	経済	財務会計	9784502141010	Ｑ＆Ａ税効果会計の実務ガイド	第６版	あずさ監査法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201603	3,000	3,240
1413	事業	経済	財務会計	9784502171710	税効果会計における繰延税金資産の回収可能性の実務	全面改訂版	竹村純也		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201603	3,200	3,456
1414	事業	経済	財務会計	9784502178818	ケース別税効果会計の実務Ｑ＆Ａ		佐和周		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201603	4,200	4,536
1415	事業	経済	財務会計	9784502179013	保守主義のジレンマ：会計基礎概念の内部化		西谷順平		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201603	3,600	3,888
1416	事業	経済	財務会計	9784502180118	ベーシック国際会計		向伊知郎		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201603	2,900	3,132
1417	事業	経済	財務会計	9784502180910	まなびの入門会計学	新版（第２版）	朴大栄；小沢義昭		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201603	2,600	2,808
1418	事業	経済	財務会計	9784502181917	初めての会計学	第２版	小野傑之；二日出郎		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201603	2,000	2,160
1419	事業	経済	財務会計	9784502182716	事象アプローチによる会計ディスクロージャーの拡張		坂上学	法政大学イノベーション・マネジメント研究センター叢書	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201603	3,900	4,212
1420	事業	経済	財務会計	9784532134631	新・現代会計入門	第２版	伊藤邦雄		日本経済新聞出版社	201603	3,500	3,780
1421	事業	経済	財務会計	9784839421588	はじめての会計学	第５版	日本大学		森山書店	201603	2,400	2,592
1422	事業	経済	財務会計	9784839421595	新会計基礎論		大阪経済大学		森山書店	201603	2,400	2,592
1423	事業	経済	財務会計	9784495204419	財務会計の基本を学ぶ	第１１版	八田進二；橋本尚		同文舘出版	201604	3,600	3,888
1424	事業	経済	財務会計	9784822251505	新・会計図解事典：会計がわかる人だけが手にするもの		金子智朗		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201604	2,400	2,592
1425	事業	経済	財務会計	9784419063320	７つのステップでわかる税効果会計実務完全ガイドブック		福留聡		税務経理協会	201604	4,000	4,320
1426	事業	経済	財務会計	9784419063399	リース会計実務の手引き：取引実務と法務・会計・税務		井上雅彦		税務経理協会	201604	3,400	3,672
1427	事業	経済	財務会計	9784502171413	経理規程ハンドブック	第９版	トーマツ（監査法人）		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201604	9,800	10,584
1428	事業	経済	財務会計	9784502173219	ここが変わった！税効果会計：繰延税金資産の回収可能性へのインパクト		新日本有限責任監査法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201604	2,800	3,024
1429	事業	経済	財務会計	9784502181313	税効果会計のしくみ	第２版	新日本有限責任監査法人	図解でざっくり会計シリーズ	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201604	1,900	2,052
1430	事業	経済	財務会計	9784502183218	ＣＦＯのためのグローバル経理・財務プロジェクト		松尾美枝		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201604	2,800	3,024
1431	事業	経済	財務会計	9784502185618	コンパクト財務会計：クイズでつける読む力		小栗崇資		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201604	2,200	2,376
1432	事業	経済	財務会計	9784765805667	ホスピタリティと会計		西澤健次		国元書房	201604	2,300	2,484
1433	事業	経済	財務会計	9784794414991	新財務会計学	第４版	伊藤秀俊		創成社	201604	3,200	3,456
1434	事業	経済	財務会計	9784794415028	国際会計の展開と展望：多国籍企業会計とＩＦＲＳ		菊谷正人		創成社	201604	2,600	2,808
1435	事業	経済	財務会計	9784433664169	「おかしな数字」をパッと見抜く会計術：少しのコツで不正・ミスを賢くチェック！	新訂版	山岡信一郎		清文社	201605	2,000	2,160
1436	事業	経済	財務会計	9784502184611	繰延税金資産の会計実務：回収可能性適用指針からＩＦＲＳまで		ＰｗＣあらた監査法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201605	2,600	2,808
1437	事業	経済	財務会計	9784766423440	会計学の基本問題		友岡賛		慶応義塾大学出版会	201605	4,300	4,644
1438	事業	経済	財務会計	9784794415042	財務会計論講義		林兵磨		創成社	201605	2,000	2,160
1439	事業	経済	財務会計	9784794415059	アカウンティング・トピックス	増補第２版	小池和彰		創成社	201605	2,200	2,376
1440	事業	経済	財務会計	9784502192111	会計参謀：会計を戦略に活用する		谷口学		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201606	2,600	2,808
1441	事業	経済	財務会計	9784754723453	図解財務会計．平成２８年版		横山良和		大蔵財務協会	201607	2,963	3,200
1442	事業	経済	財務会計	9784502192616	Ｍ＆ＡにおけるＰＰＡの実務：識別可能資産・負債の評価と会計処理		ＥＹＪａｐａｎ		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201607	3,200	3,456
1443	事業	経済	財務会計	9784502195013	収益認識の会計・税務		小林正和（会計士）；石井亮		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201607	2,500	2,700
1444	事業	経済	財務会計	9784419063757	会計の歴史		友岡賛		税務経理協会	201608	2,400	2,592
1445	事業	経済	財務会計	9784419063962	利用者指向の会計理論：会計の基本的概念の形成		松井富佐男		税務経理協会	201608	3,241	3,500
1446	事業	経済	財務会計	9784532320997	企業価値向上のための財務会計リテラシー		西川郁生；秋葉賢一		日本経済新聞出版社	201608	2,800	3,024
1447	事業	経済	財務会計	9784419062071	現代会計用語辞典	新版	高須教夫；倉田幸路		税務経理協会	201608	2,900	3,132
1448	事業	経済	財務会計	9784502195310	会計チャージ：決算書の本質を４つの目線でつかむ		村井直志		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201609	2,500	2,700
1449	事業	経済	財務会計	9784502195617	デリバティブの会計入門：図解でスッキリ		新日本有限責任監査法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201609	2,400	2,592

1450	事業	経済	財務会計	9784502197819	「不正会計」対応はこうする・こうなる		内田正剛		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201609	2,600	2,808
1451	事業	経済	財務会計	9784587217488	税務・経理の仕事便利帳	第４版	森下清隆		法学書院	201610	2,000	2,160
1452	事業	経済	財務会計	9784419063863	ＧＤＰも純利益も悪徳で栄える：「賢者の会計学」と「愚者の会計学」		田中弘		税務経理協会	201610	3,600	3,888
1453	事業	経済	財務会計	9784419064006	青山アカウンティング・レビュー．第６号（２０１６）		青山学院大学大学院会計プロフェッション研		税務経理協会	201610	2,100	2,268
1454	事業	経済	財務会計	9784502194719	持分の会計：負債・持分の区分および資本取引・損益取引の区分		池田幸典		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201610	4,800	5,184
1455	事業	経済	財務会計	9784502199615	最新中小企業会計論		河崎照行		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201610	3,000	3,240
1456	事業	経済	財務会計	9784502200519	現代会計ファイナンス研究の潮流		東洋大学		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201611	3,200	3,456
1457	事業	経済	財務会計	9784502206719	外貨建取引の会計入門：図解でスッキリ		新日本有限責任監査法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201612	2,300	2,484
1458	事業	経済	財務会計	9784839421625	会計学のイデオロギー分析		中村恒彦		森山書店	201612	3,500	3,780
1459	事業	経済	財務会計	9784433645663	入門不正調査Ｑ＆Ａ：初動調査から再発防止策の策定まで		不正調査研究会		清文社	201701	2,800	3,024
1460	事業	経済	財務会計	9784502214417	テキスト入門会計学	第４版	大塚宗春：福島隆		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201701	2,600	2,808
1461	事業	経済	財務会計	9784785724924	コンメンタール会社計算規則・商法施行規則	第３版	弥永真生		商事法務	201702	10,000	10,800
1462	事業	経済	財務会計	9784502210914	現代財務会計のエッセンス		都司健		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201702	2,600	2,808
1463	事業	経済	財務会計	9784502213816	退職給付会計のしくみ	第２版	新日本有限責任監査法人	図解でざっくり会計シリーズ	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201702	1,900	2,052
1464	事業	経済	財務会計	9784641220973	財務会計・入門	第１１版	桜井久勝：須田一幸	有斐閣アルマ	有斐閣	201703	1,800	1,944
1465	事業	経済	財務会計	9784495202521	英文会計のコミュニケーション	第２版	新日本有限責任監査法人		同文舘出版	201703	3,900	4,212
1466	事業	経済	財務会計	9784419064426	合併・連結の会計と税務	第２版	小林正和（会計士）		税務経理協会	201703	2,500	2,700
1467	事業	経済	財務会計	9784502217715	スタートガイド会計学		小栗崇資：森田佳宏		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201703	2,200	2,376
1468	事業	経済	財務会計	9784502218118	企業会計におけるリスクマネジメント：金融機関と不正経理をめぐって		星野一郎		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201703	4,600	4,968
1469	事業	経済	財務会計	9784502220012	入門財務会計	第２版	藤井秀樹		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201703	3,400	3,672
1470	事業	経済	財務会計	9784502227813	財務会計講義	第１８版	桜井久勝		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201703	3,800	4,104
1471	事業	経済	財務会計	9784502213113	マクロとミクロの実証会計		中野誠		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201704	4,400	4,752
1472	事業	経済	財務会計	9784502222214	ヘッジ会計の実務詳解Ｑ＆Ａ		新日本有限責任監査法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201704	4,400	4,752
1473	事業	経済	財務会計	9784839421670	基礎財務会計	第１７版	五十嵐邦正		森山書店	201704	3,200	3,456
1474	事業	経済	財務会計	9784908407109	会計制度と法人税制：課税の公平から見た会計の役割についての研究		田中里実		唯学書房(発売：アジール・プロダクシ)	201704	3,200	3,456
1475	事業	経済	財務会計	9784502228414	会計法規集	新版（第９版）	中央経済社		中央経済グループパブリッシング	201705	2,100	2,268
1476	事業	経済	財務会計	9784433668679	よくある疑問・誤解を解決！Ｑ＆Ａ公益法人・一般法人の会計と税務		岡部正義		清文社	201705	2,400	2,592
1477	事業	経済	財務会計	9784502222610	実践トレーニング！会計＆ファイナンス		臼沖健		中央経済グループパブリッシング	201705	2,300	2,484
1478	事業	経済	財務会計	9784561352136	財務会計	第５版	平野秀輔		白桃書房	201705	3,400	3,672
1479	事業	経済	財務会計	9784502231018	財務会計論．１	第１０版	佐藤信彦：河㟢照行	スタンダードテキスト	中央経済グループパブリッシング	201705	4,800	5,184
1480	事業	経済	財務会計	9784502231117	財務会計論．２	第１０版	佐藤信彦：河㟢照行	スタンダードテキスト	中央経済グループパブリッシング	201705	4,800	5,184
1481	事業	経済	財務会計	9784495205911	Ｔｈｅ　ＦＡＳＢ財務会計基準審議会：その政治的メカニズム	新版	ボール・Ｂ．Ｗ．ミラー：ボール．Ｒ．バーンソン		同文舘出版	201706	3,600	3,888
1482	事業	経済	財務会計	9784433662479	詳解組織再編会計Ｑ＆Ａ	第３版	布施伸章		清文社	201706	4,400	4,752
1483	事業	経済	財務会計	9784419064631	リース会計実務の手引き：取引実務と法務・会計・税務．第２版		井上雅彦		税務経理協会	201706	3,400	3,672
1484	事業	経済	財務会計	9784433661373	最新・会計処理ガイドブック．平成２９年７月改訂		清陽監査法人		清文社	201707	4,600	4,968
1485	事業	経済	財務会計	9784502219115	ＩＦＲＳ「株式に基づく報酬」プラクティス・ガイド		ＰｗＣあらた有限責任監査法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201707	4,000	4,320
1486	事業	経済	財務会計	9784502235917	会計理論研究の方法と基本思考		上野清貴		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201707	5,600	6,048
1487	事業	経済	財務会計	9784502890024	会計全書．平成２９年度		金子宏：斎藤静樹		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201707	16,000	17,280
1488	事業	経済	財務会計	9784433662172	会計と税務の相違・申告調整実務：会計・税務担当者が必ずおさえておきたい	新版	至誠清新監査法人：至誠清新税理士法人		清文社	201708	3,200	3,456
1489	事業	経済	財務会計	9784502229619	マンガで学ぶ会計学スタートアップ！		建宮努：陰戸照雄		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201708	1,900	2,052
1490	事業	経済	財務会計	9784433634070	会計税務便覧．平成２９年度版		日本公認会計士協会東京会		清文社	201709	4,600	4,968
1491	事業	経済	財務会計	9784502235610	不動産リースの会計処理Ｑ＆Ａ：ＩＦＲＳ・米国基準の新しい実務		金子康則：石井広行		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201709	6,200	6,696
1492	事業	経済	財務会計	9784502242519	退職給付会計の実務マニュアル：基本・応用・ＩＦＲＳ対応	第２版	ＰｗＣあらた有限責任監査法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201709	3,500	3,780
1493	事業	経済	財務会計	9784495206611	税効果会計入門		鈴木一水		同文舘出版	201710	2,300	2,484
1494	事業	経済	財務会計	9784492602263	最新アメリカの会計原則	第２版	ＰｗＣあらた有限責任監査法人		東洋経済新報社	201710	4,600	4,968
1495	事業	経済	財務会計	9784502239816	英文会計用語辞典	第４版	山田昭広（公認会計士）		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201710	3,600	3,888
1496	事業	経済	財務会計	9784561352143	会計学・簿記入門：韓国語財務諸表・中国語財務諸表付	第１３版	新田忠誓：佐々木隆志		白桃書房	201710	2,800	3,024
1497	事業	経済	財務会計	9784766424683	会計と社会：公共会計学論考		黒川行治	慶應義塾大学商学会商学研究叢書	慶応義塾大学商学会(発売：慶応義塾大学出版会)	201710	4,700	5,076
1498	事業	経済	財務会計	9784828306827	経済社会環境の変化と企業会計		若杉明		ビジネス教育出版社	201710	3,000	3,240
1499	事業	経済	財務会計	9784534055323	武器としての会計思考力：会社の数字をどのように戦略に活用するか？		矢部謙介		日本実業出版社	201711	1,700	1,836

1500	事業	経済	財務会計	9784839421694	キャッシュフロー会計の軌跡		鎌田信夫		森山書店	201711	2,800	3,024
1501	事業	経済	財務会計	9784641165137	アカウンタビリティから経営倫理へ：経済を超えるために		國部克彦		有斐閣	201712	2,700	2,916
1502	事業	経済	簿記/勘定科目	9784502130915	入門企業簿記：理論と演習		拓殖大学		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201502	2,800	3,024
1503	事業	経済	簿記/勘定科目	9784765800334	簿記システムの基礎	第４版	関西大学		国元書房	201503	2,800	3,024
1504	事業	経済	簿記/勘定科目	9784862831941	簿記教育上の諸問題		島本克彦	関西学院大学研究叢書	関西学院大学出版会	201503	2,800	3,024
1505	事業	経済	簿記/勘定科目	9784864340489	基礎簿記会計	３訂版	加藤惠吉：許霄		五絃舎	201503	2,200	2,376
1506	事業	経済	簿記/勘定科目	9784502127816	テキスト上級簿記	第５版	渡部裕亘：北村敬子		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201504	3,200	3,456
1507	事業	経済	簿記/勘定科目	9784839421540	エッセンス簿記会計	第１１版	新田忠誓：新田忠誓		森山書店	201504	2,800	3,024
1508	事業	経済	簿記/勘定科目	9784794414915	簿記の基礎テキスト		村田直樹：沼惠一		創成社	201505	1,800	1,944
1509	事業	経済	簿記/勘定科目	9784419062514	簿記システム論	改訂版	吉岡正道：杉山晶子		税務経理協会	201505	2,900	3,132
1510	事業	経済	簿記/勘定科目	9784502167218	勘定科目ハンドブック	第４版	トーマツ（監査法人）		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201512	6,600	7,128
1511	事業	経済	簿記/勘定科目	9784419063122	複式簿記のサイエンス：簿記とは何であり、何でありうるか	増補改訂版	石川純治		税務経理協会	201512	2,100	2,268
1512	事業	経済	簿記/勘定科目	9784419063160	簿記概論	３訂版	白石和孝		税務経理協会	201512	3,300	3,564
1513	事業	経済	簿記/勘定科目	9784595316296	初級簿記	改訂版	齋藤正章	放送大学教材	放送大学教育振興会(発売：ＮＨＫ出版)	201603	2,400	2,592
1514	事業	経済	簿記/勘定科目	9784766833188	簿記と財務諸表の基礎	８訂	染谷英雄	Ｂａｓｉｃ ｓｅｒｉｅｓ	経済法令研究会	201603	2,000	2,160
1515	事業	経済	簿記/勘定科目	9784495169541	簿記の基本を学ぶ	第４版	八田進二：橋本尚		同文舘出版	201603	3,000	3,240
1516	事業	経済	簿記/勘定科目	9784771027091	簿記会計のエッセンス		都司健		晃洋書房	201603	1,900	2,052
1517	事業	経済	簿記/勘定科目	9784794415011	イントロダクション簿記	第９版	大野智弘：大塚浩記		創成社	201604	2,200	2,376
1518	事業	経済	簿記/勘定科目	9784839421601	エッセンス簿記会計：初歩から納税申告書作成・財務諸表分析まで	第１２版	新田忠誓：新田忠誓		森山書店	201604	2,800	3,024
1519	事業	経済	簿記/勘定科目	9784419063252	簿記学		矢部孝太郎：原田保秀		税務経理協会	201604	2,900	3,132
1520	事業	経済	簿記/勘定科目	9784419063276	初歩から学ぶ簿記・経営分析		三枝幸文：松井富佐男		税務経理協会	201604	3,000	3,240
1521	事業	経済	簿記/勘定科目	9784419063627	簿記システム論	３訂版	吉岡正道：杉山晶子		税務経理協会	201604	2,900	3,132
1522	事業	経済	簿記/勘定科目	9784794415004	簿記の基礎演習	新版（第３版）	柳田清治		創成社	201605	1,600	1,728
1523	事業	経済	簿記/勘定科目	9784864340601	基礎簿記会計	４訂版	市原啓善：加藤惠吉		五絃舎	201609	2,200	2,376
1524	事業	経済	簿記/勘定科目	9784794415066	新簿記教科書		志村正：石田晴美		創成社	201610	2,000	2,160
1525	事業	経済	簿記/勘定科目	9784495196325	簿記が基礎からわかる本：中級レベルまで	第２版	清村英之		同文舘出版	201612	2,300	2,484
1526	事業	経済	簿記/勘定科目	9784502214110	基本簿記論	新版（第３版）	関西学院大学		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201702	2,800	3,024
1527	事業	経済	簿記/勘定科目	9784502219214	簿記入門テキスト	第２版	伊藤竜峰：長吉真一		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201702	2,200	2,376
1528	事業	経済	簿記/勘定科目	9784495181543	簿記の技法とシステム	第４版	上江洲由正：大城建夫		同文舘出版	201703	2,500	2,700
1529	事業	経済	簿記/勘定科目	9784495194536	現代企業簿記の基礎	第３版	松本康一郎：大原昌明		同文舘出版	201703	3,600	3,888
1530	事業	経済	簿記/勘定科目	9784765800358	簿記システムの基礎	第５版	関西大学会計学研究室		国元書房	201703	2,800	3,024
1531	事業	経済	簿記/勘定科目	9784502218613	現場で使える簿記・会計		上野清貴		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201703	2,700	2,916
1532	事業	経済	簿記/勘定科目	9784407340655	簿記概論		大塚宗春：川村義則	Ｆｉｒｓｔ Ｓｔａｇｅシリーズ	実教出版	201703	2,300	2,484
1533	事業	経済	簿記/勘定科目	9784502224317	ビジュアル版入門簿記講義：別冊／ワークブック付	改訂版	大塚宗春：清水孝		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201704	2,800	3,024
1534	事業	経済	簿記/勘定科目	9784794415110	簿記原理概論		金井繁雅：二橋円香		創成社	201704	2,000	2,160
1535	事業	経済	簿記/勘定科目	9784839421656	エッセンス簿記会計：初歩から納税申告書作成・財務諸表分析まで	第１３版	新田忠誓		森山書店	201704	2,800	3,024
1536	事業	経済	簿記/勘定科目	9784502227615	流れがわかる！イチから学ぶ初級簿記		西海学：西舘司		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201706	1,800	1,944
1537	事業	経済	簿記/勘定科目	9784502219917	勘定科目・仕訳事典	第２版	日本簿記学会：新田忠誓		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201708	3,600	3,888
1538	事業	経済	簿記/勘定科目	9784433664275	判断に迷う仕訳を起こせる会計術：５つの視点で実務力アップ！		山岡信一郎		清文社	201709	2,000	2,160
1539	事業	経済	簿記/勘定科目	9784419064907	簿記学	第２版	矢部孝太郎：原田保秀		税務経理協会	201711	2,900	3,132
1540	事業	経済	簿記/勘定科目	9784433663575	挫折しない簿記入門：練習問題でしっかり身につく！		松田修		清文社	201712	1,800	1,944
1541	事業	経済	各種簿記	9784419064372	工業簿記・原価計算の基礎：理論と計算	第４版	上埜進：川島和浩		税務経理協会	201705	2,800	3,024
1542	事業	経済	企業会計原則	9784754721664	税理士が知っておきたい５０のポイント国際会計基準		三浦昭彦：米倉礼二		大蔵財務協会	201411	2,222	2,399
1543	事業	経済	企業会計原則	9784502127113	キャッシュ・フロー計算書のつくり方：そうだったのか！	第３版	藤原道夫		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201411	2,200	2,376
1544	事業	経済	企業会計原則	9784502128110	連結会計の基礎	第３版	上野清貴		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201411	3,000	3,240
1545	事業	経済	企業会計原則	9784502119910	設例でわかる資本連結の会計実務		新日本有限責任監査法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201412	4,300	4,644
1546	事業	経済	企業会計原則	9784502127212	連結会計の経理入門	第２版	トーマツ（監査法人）		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201412	2,400	2,592
1547	事業	経済	企業会計原則	9784502133718	ＩＦＲＳの一般ヘッジ会計：実務Ｑ＆Ａ		金子康則		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201502	5,000	5,400
1548	事業	経済	企業会計原則	9784502134418	国際財務報告基準（ＩＦＲＳ）．２０１４年５月公表	特別追補版	国際財務報告基準財団：財務会計基準機構		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201502	4,500	4,860
1549	事業	経済	企業会計原則	9784765805629	会計基準の国際的収斂：米国ＧＡＡＰとＩＦＲＳｓのコンバージェンスの軌跡		林健治		国元書房	201502	3,900	4,212

1550	事業	経済	企業会計原則	9784495200312	連結決算の実務Ｑ＆Ａ		優成監査法人		同文舘出版	201503	2,300	2,484
1551	事業	経済	企業会計原則	9784495201913	グロ－バリゼ－ションと会計・監査		猪熊浩子		同文舘出版	201503	3,200	3,456
1552	事業	経済	企業会計原則	9784495202019	利用者指向の国際財務報告		橋本尚	青山学院大学総合研究所叢書	同文舘出版	201503	4,200	4,536
1553	事業	経済	企業会計原則	9784793121364	初めて学ぶ連結会計の基礎		飯塚幸子		税務研究会	201503	1,800	1,944
1554	事業	経済	企業会計原則	9784419061784	財務諸表論の考え方：会計基準の背景と論点		田中弘		税務経理協会	201503	3,000	3,240
1555	事業	経済	企業会計原則	9784419062132	財務諸表の卵：日本一わかりやすい会計の入門書	新装版	小田正佳：西川郁生		税務経理協会	201503	1,600	1,728
1556	事業	経済	企業会計原則	9784419062156	会計基準の最前線		西川郁生		税務経理協会	201503	3,000	3,240
1557	事業	経済	企業会計原則	9784495201418	特別目的事業体と連結会計基準		威知謙豪		同文舘出版	201503	3,500	3,780
1558	事業	経済	企業会計原則	9784502129018	ＩＦＲＳ企業結合会計の実務		長谷川茂男		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201503	3,500	3,780
1559	事業	経済	企業会計原則	9784502137617	投資不動産の財務報告		近田典行		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201503	4,000	4,320
1560	事業	経済	企業会計原則	9784502141614	ＩＦＲＳ国際会計基準の基礎	第４版	平松一夫		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201503	2,800	3,024
1561	事業	経済	企業会計原則	9784502141812	国際財務報告基準（ＩＦＲＳ）．２０１４年７月公表	特別追補版	国際財務報告基準財団：財務会計基準機構		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201503	8,000	8,640
1562	事業	経済	企業会計原則	9784502137211	設例でわかるキャッシュ・フロー計算書のつくり方Ｑ＆Ａ		新日本有限責任監査法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201504	4,200	4,536
1563	事業	経済	企業会計原則	9784502139116	先行開示事例から学び取るＩＦＲＳ導入プロジェクトの実務		武田雄治：吉岡博樹		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201504	3,200	3,456
1564	事業	経済	企業会計原則	9784902625875	ＩＦＲＳ国際会計の実務．上巻	Ｊａｐａｎ Ｅｄ	アーンスト・アンド・ヤング：新日本有限責任監査法人		レクシスネクシス・ジャパン	201504	12,000	12,960
1565	事業	経済	企業会計原則	9784902625882	ＩＦＲＳ国際会計の実務．中巻	Ｊａｐａｎ Ｅｄ	アーンスト・アンド・ヤング：新日本有限責任監査法人		レクシスネクシス・ジャパン	201504	11,000	11,880
1566	事業	経済	企業会計原則	9784902625899	ＩＦＲＳ国際会計の実務．下巻	Ｊａｐａｎ Ｅｄ	アーンスト・アンド・ヤング：新日本有限責任監査法人		レクシスネクシス・ジャパン	201504	12,000	12,960
1567	事業	経済	企業会計原則	9784502141218	Ｑ＆Ａ連結決算の実務ガイド	第４版	あずさ監査法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201506	3,400	3,672
1568	事業	経済	企業会計原則	9784502480607	会計規制の研究		大石桂一		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201507	4,200	4,536
1569	事業	経済	企業会計原則	9784433574253	さて、ＩＦＲＳを導入する！：導入して気づく実務のポイント		柳沢義一：相川高志		清文社	201508	2,400	2,592
1570	事業	経済	企業会計原則	9784502150814	図解＆設例連結決算の業務マニュアル		飯塚幸子		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201508	3,400	3,672
1571	事業	経済	企業会計原則	9784502152917	ケースでわかる一般事業会社のためのＩＦＲＳ金融商品会計		あずさ監査法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201508	2,700	2,916
1572	事業	経済	企業会計原則	9784419062750	最近の粉飾：その実態と発見法	第６版	井端和男		税務経理協会	201508	3,200	3,456
1573	事業	経済	企業会計原則	9784502155611	連結財務諸表の実務マニュアル	第２版	ＰｗＣあらた監査法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201509	6,500	7,020
1574	事業	経済	企業会計原則	9784902625967	ＩＦＲＳ国際会計の実務．金融商品・保険契約	Ｊａｐａｎ Ｅｄ	アーンスト・アンド・ヤング：新日本有限責任監査法人		レクシスネクシス・ジャパン	201509	14,000	15,120
1575	事業	経済	企業会計原則	9784419062767	新財務諸表論	第５版	田中弘		税務経理協会	201509	3,800	4,104
1576	事業	経済	企業会計原則	9784502168017	国際財務報告基準規定の探究：金融負債をめぐる議論に基づく考察		安井一浩		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201510	4,200	4,536
1577	事業	経済	企業会計原則	9784474053281	収益認識：ＩＦＲＳ第１５号「顧客との契約から生じる収益」		ＰｗＣあらた監査法人	ＩＦＲＳ解説シリーズ	第一法規出版	201511	3,700	3,996
1578	事業	経済	企業会計原則	9784502160516	ＩＦＲＳの会計思考：過去・現在そして未来への展望		辻山栄子		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201511	4,500	4,860
1579	事業	経済	企業会計原則	9784532320607	粉飾決算：問われる監査と内部統制		浜田康		日本経済新聞出版社	201602	2,400	2,592
1580	事業	経済	企業会計原則	9784433571351	会社法計算書類の作成実務と記載事例	第４版	東陽監査法人		清文社	201602	5,000	5,400
1581	事業	経済	企業会計原則	9784495204112	中小企業会計基準の課題と展望		櫛部幸子		同文舘出版	201603	3,200	3,456
1582	事業	経済	企業会計原則	9784433664565	完全比較国際会計基準と日本基準：国際会計の実務	第３版	新日本有限責任監査法人：河野明史		清文社	201604	9,400	10,152
1583	事業	経済	企業会計原則	9784419062392	国際会計基準を学ぶ	第２版	田中弘：藤田晶子	わしづかみシリーズ	税務経理協会	201604	2,200	2,376
1584	事業	経済	企業会計原則	9784502189210	決算早期化の実務マニュアル：「経理の仕組み」で実現する	第２版	武田雄治		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201604	2,500	2,700
1585	事業	経済	企業会計原則	9784502180613	〈実務入門〉ＩＦＲＳの新リース会計		ＰｗＣあらた監査法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201605	3,000	3,240
1586	事業	経済	企業会計原則	9784502190711	「会計上の見積り」の実務：こんなときどうする？		あずさ監査法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201605	3,400	3,672
1587	事業	経済	企業会計原則	9784785752439	後発事象ベストプラクティス		中島茂：原正雄	別冊商事法務	商事法務	201605	2,900	3,132
1588	事業	経済	企業会計原則	9784502153112	財務報告の枠組みと監査Ｑ＆Ａ：多様化するニーズに応える		結城秀彦		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201606	3,600	3,888
1589	事業	経済	企業会計原則	9784502195419	ＩＦＲＳ「新リース基準」：図解＆徹底分析		あずさ監査法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201607	3,200	3,456
1590	事業	経済	企業会計原則	9784502194016	詳細解説ＩＦＲＳ実務適用ガイドブック	第２版	あずさ監査法人：山田辰己		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201609	9,200	9,936
1591	事業	経済	企業会計原則	9784502198618	決算書のしくみ		新日本有限責任監査法人	図解でざっくり会計シリーズ	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201609	1,900	2,052
1592	事業	経済	企業会計原則	9784905467366	ドイツ税理士による決算書の作成証明業務：ドイツ連邦税理士会「声明」の解説	第２版	坂本孝司		ＴＫＣ出版	201609	2,000	2,160
1593	事業	経済	企業会計原則	9784419063566	最近の粉飾：その実態と発見法	第７版	井端和男		税務経理協会	201609	3,400	3,672
1594	事業	経済	企業会計原則	9784474055704	国際財務報告基準（ＩＦＲＳ）詳説．第１巻		トーマツ（監査法人）		第一法規出版	201611	16,000	17,280
1595	事業	経済	企業会計原則	9784474055711	国際財務報告基準（ＩＦＲＳ）詳説．第２巻		トーマツ（監査法人）		第一法規出版	201611	14,000	15,120
1596	事業	経済	企業会計原則	9784474055728	国際財務報告基準（ＩＦＲＳ）詳説．第３巻		トーマツ（監査法人）		第一法規出版	201611	14,000	15,120
1597	事業	経済	企業会計原則	9784502205811	米国財務会計基準の実務	第９版	長谷川茂男		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201611	9,200	9,936
1598	事業	経済	企業会計原則	9784502207914	すらすら図解新ＩＦＲＳのしくみ	改訂改題	あずさ監査法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201611	2,000	2,160
1599	事業	経済	企業会計原則	9784419064112	７つのテーマがわかるＩＦＲＳ実務ガイドブック：ステップ式		福留聡		税務経理協会	201612	2,800	3,024

1600	事業	経済	企業会計原則	9784502207617	ＩＦＲＳ「収益認識」プラクティス・ガイド		ＰｗＣあらた有限責任監査法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201612	3,700	3,996
1601	事業	経済	企業会計原則	9784502213618	エッセンシャルＩＦＲＳ	第５版	秋葉賢一		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201612	3,400	3,672
1602	事業	経済	企業会計原則	9784502237010	ＩＦＲＳ基準：２０１７年１月１日現在で公表されている基準書等．２０１７		ＩＦＲＳ財団：企業会計基準委員会		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201700	16,000	17,280
1603	事業	経済	企業会計原則	9784502211010	ＩＦＲＳ財務諸表への組替仕訳ハンドブック		長谷川茂男		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201701	3,200	3,456
1604	事業	経済	企業会計原則	9784502209413	会社法決算の実務	第１１版	あずさ監査法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201702	6,800	7,344
1605	事業	経済	企業会計原則	9784502210617	ＩＦＲＳプロフェッショナルマニュアル		間島進吾：石橋武昭		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201702	5,000	5,400
1606	事業	経済	企業会計原則	9784502212215	レクチャー財務諸表論		岩崎健久：平石智紀		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201702	3,000	3,240
1607	事業	経済	企業会計原則	9784502214318	会社法計算書類の実務：作成・開示の総合解説	第９版	ＰｗＣあらた有限責任監査法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201702	5,500	5,940
1608	事業	経済	企業会計原則	9784502214615	会社法計算書類作成ハンドブック	第１１版	トーマツ		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201702	7,000	7,560
1609	事業	経済	企業会計原則	9784502216015	会社法決算書の読み方・作り方（第１１版）：計算書類の分析と記載例		新日本有限責任監査法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201702	6,800	7,344
1610	事業	経済	企業会計原則	9784502217913	財務報告論		矢部孝太郎：原田保秀		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201702	2,800	3,024
1611	事業	経済	企業会計原則	9784502219313	実践財務諸表分析	第２版	新田忠誓：善積康夫		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201702	2,400	2,592
1612	事業	経済	企業会計原則	9784502227912	ＩＦＲＳ会計学基本テキスト	第５版	橋本尚：山田善隆		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201702	3,400	3,672
1613	事業	経済	企業会計原則	9784433665579	会社法決算書作成の手引：平成２９年３月期決算対応		東陽監査法人		清文社	201703	3,500	3,780
1614	事業	経済	企業会計原則	9784785724962	会社法決算書作成ハンドブック．２０１７年版		太田達也		商事法務	201703	6,000	6,480
1615	事業	経済	企業会計原則	9784449519871	国際会計の実像：会計基準のコンバージェンスとＩＦＲＳｓアドプション		杉本徳栄		同文舘出版	201703	13,000	14,040
1616	事業	経済	企業会計原則	9784502220715	連結手続における未実現利益・取引消去の実務		新日本有限責任監査法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201703	3,700	3,996
1617	事業	経済	企業会計原則	9784419064396	粉飾発見に役立つやさしい決算書の読み方：粉飾発見に役立つ		井端和男		税務経理協会	201703	1,700	1,836
1618	事業	経済	企業会計原則	9784904901700	会計規則集		日本公認会計士協会：企業会計基準委員会		日本公認会計士協会	201705	1,800	1,944
1619	事業	経済	企業会計原則	9784502233319	エッセンシャル連結会計		山地範明		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201706	2,500	2,700
1620	事業	経済	企業会計原則	9784502208713	詳細解説ＩＦＲＳ開示ガイドブック		あずさ監査法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201707	8,600	9,288
1621	事業	経済	企業会計原則	9784502227714	プラクティスＩＦＲＳ		ＰｗＣあらた有限責任監査法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201707	4,000	4,320
1622	事業	経済	企業会計原則	9784502230110	ＩＦＲＳ適用のエフェクト研究		小津稚加子		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201708	4,400	4,752
1623	事業	経済	企業会計原則	9784419064150	ＩＦＲＳの本質：的確な実務判断を可能にする．第１巻		山田辰巳		税務経理協会	201709	5,400	5,832
1624	事業	経済	企業会計原則	9784419064167	ＩＦＲＳの本質：的確な実務判断を可能にする．第２巻		山田辰巳		税務経理協会	201709	5,200	5,616
1625	事業	経済	企業会計原則	9784502238819	実務入門ＩＦＲＳの新保険契約		ＰｗＣあらた有限責任監査法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201711	3,800	4,104
1626	事業	経済	企業会計原則	9784502248719	ＩＦＲＳ基準［特別追補版］：ＩＦＲＳ第１７号「保険契約」		ＩＦＲＳ財団：企業会計基準委員会		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201712	6,200	6,696
1627	事業	経済	損益計算	9784502188114	包括利益計算書における「組替調整」の実務		嶋矢剛		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201607	2,800	3,024
1628	事業	経済	損益計算	9784433664978	取引事例に見る「新たな収益認識基準」実務対応		山本史枝		清文社	201706	3,200	3,456
1629	事業	経済	損益計算	9784502241116	ＩＦＲＳの新収益認識の実務		新日本有限責任監査法人：河野明史		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201710	3,800	4,104
1630	事業	経済	資産評価/貸借対象表	9784492093207	図解一番はじめに読む時価・減損会計の本		小澤善哉【著】		東洋経済新報社	201411	2,000	2,160
1631	事業	経済	資産評価/貸借対象表	9784474035027	公正価値測定		あらた監査法人	ＩＦＲＳ解説シリーズ	第一法規出版	201506	3,200	3,456
1632	事業	経済	資産評価/貸借対象表	9784861866531	資金会計論の系譜と展開：倉田三郎先生の所論を中心に		倉田三郎：須藤芳正		ふくろう出版	201507	3,000	3,240
1633	事業	経済	資産評価/貸借対象表	9784754722579	有価証券の税務と法務：重要実務事例１４０問による．平成２７年版		桜井光照		大蔵財務協会	201510	3,704	4,000
1634	事業	経済	資産評価/貸借対象表	9784938419851	三者の視点から見た広大地評価の実践事例		小林登：佐藤健一		法令出版	201605	3,611	3,899
1635	事業	経済	資産評価/貸借対象表	9784793122095	「固定資産の税務・会計」完全解説	第５版	太田達也		税務研究会	201606	3,000	3,240
1636	事業	経済	資産評価/貸借対象表	9784754723545	固定資産の税務と法務：重要実務事例１４０問による．平成２８年度版		桜井光照		大蔵財務協会	201607	3,704	4,000
1637	事業	経済	資産評価/貸借対象表	9784502174919	こんなときどうする？減損会計の実務詳解Ｑ＆Ａ		新日本有限責任監査法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201608	3,400	3,672
1638	事業	経済	資産評価/貸借対象表	9784793122163	「純資産の部」完全解説：「増資・減資・自己株式の実務」を中心に	第４版	太田達也		税務研究会	201610	2,800	3,024
1639	事業	経済	資産評価/貸借対象表	9784433640668	Ｍ＆Ａ無形資産評価の実務	第３版	デロイトトーマツファイナンシャルアドバイ		清文社	201612	3,400	3,672
1640	事業	経済	資産評価/貸借対象表	9784754723859	通達・情報・裁決・判例等から見た広大地評価の実務：最新の裁決等を収録．平成２９年版		渡邉正則		大蔵財務協会	201703	3,426	3,700
1641	事業	経済	資産評価/貸借対象表	9784433663872	Ｑ＆Ａで基礎からわかる固定資産をめぐる会計・税務	４訂版	松田修		清文社	201705	2,400	2,592
1642	事業	経済	資産評価/貸借対象表	9784502240614	デリバティブ投資戦略の会計実務		岡本修		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201709	3,500	3,780
1643	事業	経済	資産評価/貸借対象表	9784502892660	図解証券投資の経理と税務．平成２９年度版		ＳＭＢＣ日興証券		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201711	3,000	3,240
1644	事業	経済	資産評価/貸借対象表	9784789238823	国際評価基準（２０１７年全面改正）：ＩＦＲＳに対応した資産評価の国際的なスタンダード		日本不動産鑑定士協会連合会：日本公認会計士協会		住宅新報社	201712	3,300	3,564
1645	事業	経済	資産評価/貸借対象表	9784502251917	すらすら金融商品会計		岡本修		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201801	2,200	2,376
1646	事業	経済	原価償却/耐用年数	9784754721435	減価償却と税務調査：勘定科目別否認項目集		前原真一		大蔵財務協会	201508	1,667	1,800
1647	事業	経済	原価償却/耐用年数	9784502164316	建物の一部除却会計論		土屋清人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201510	3,600	3,888
1648	事業	経済	原価償却/耐用年数	9784793121999	減価償却資産の取得費・修繕費：基本通達ケース・スタディと質疑応答２３６	改訂第７版	河手博：成松洋一		税務研究会	201606	4,400	4,752
1649	事業	経済	原価償却/耐用年数	9784433608569	実務で使う法人税の減価償却と耐用年数表	３訂版	小谷羊太		清文社	201606	2,000	2,160

1650	事業	経済	原価償却/耐用年数	9784754723460	新減価償却の法人税務	第４版	成松洋一		大蔵財務協会	201608	3,704	4,000
1651	事業	経済	原価償却/耐用年数	9784793122071	耐用年数通達逐条解説	改訂新版	坂元左：広川昭広		税務研究会	201612	3,000	3,240
1652	事業	経済	原価償却/耐用年数	9784754723989	Ｑ＆Ａ実務減価償却	４訂版	岸田光正		大蔵財務協会	201702	2,500	2,700
1653	事業	経済	原価償却/耐用年数	9784793122200	実例耐用年数総覧	改訂第９版	安間昭雄：坂元左		税務研究会	201704	4,800	5,184
1654	事業	経済	原価償却/耐用年数	9784433600273	減価償却資産の耐用年数表．平成２９年版		納税協会連合会		納税協会連合会(発売：清文社)	201706	2,200	2,376
1655	事業	経済	原価償却/耐用年数	9784793122644	減価償却資産の耐用年数表	平成２９年改訂新	税務研究会		税務研究会	201709	2,100	2,268
1656	事業	経済	原価償却/耐用年数	9784539746264	減価償却資産の耐用年数表とその使い方：最新税制に対応！．２９年改正版		日本法令		日本法令	201709	2,400	2,592
1657	事業	経済	原価償却/耐用年数	9784433600372	減価償却実務問答集．平成２９年１１月改訂		上願敏来		納税協会連合会(発売：清文社)	201712	3,000	3,240
1658	事業	経済	会計監査	9784502126116	図解ＣＡＡＴ実践入門：データ活用による内部監査の高度化		あずさ監査法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201501	2,200	2,376
1659	事業	経済	会計監査	9784502129414	ＣＡＡＴで粉飾・横領はこう見抜く：Ｅｘｃｅｌによる不正発見法		村井直志		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201502	3,400	3,672
1660	事業	経済	会計監査	9784904901502	会計監査六法．平成２７年版		日本公認会計士協会：財務会計基準機構		日本公認会計士協会	201503	6,200	6,696
1661	事業	経済	会計監査	9784502141911	監査論テキスト	第６版	山浦久司		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201503	2,200	2,376
1662	事業	経済	会計監査	9784502143915	監査法規集	第４版	中央経済社		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201503	2,200	2,376
1663	事業	経済	会計監査	9784495202217	監査人の職業的懐疑心		増田宏一	日本監査研究学会リサーチ・シリーズ	同文舘出版	201504	3,500	3,780
1664	事業	経済	会計監査	9784765805636	財務諸表監査		鳥羽至英：秋月信二		国元書房	201504	3,900	4,212
1665	事業	経済	会計監査	9784433572150	ＣＡＡＴ監査人のためのコンピューター利用監査技法の実践：ＡＣＬ Ａｎａｌｙｔｉｃｓ	新版	荒井千晶：水田朋子		清文社	201506	4,200	4,536
1666	事業	経済	会計監査	9784495465315	会計監査人論		弥永真生		同文舘出版	201506	3,200	3,456
1667	事業	経済	会計監査	9784907078164	會計奸詐：監査を知らない会計士に捧ぐ		塚本弥生		書肆アルス	201508	3,000	3,240
1668	事業	経済	会計監査	9784495202910	財務諸表監査における「職業的懐疑心」		増田宏一：梶川融		同文舘出版	201508	2,600	2,808
1669	事業	経済	会計監査	9784495182571	ベーシック監査論	７訂版	伊豫田隆俊：松本祥尚		同文舘出版	201510	3,800	4,104
1670	事業	経済	会計監査	9784904901557	会計監査六法．平成２７年	Ｌｉｔｅ版	日本公認会計士協会：財務会計基準機構		日本公認会計士協会	201510	4,000	4,320
1671	事業	経済	会計監査	9784904901564	監査実務ハンドブック．平成２８年版		日本公認会計士協会		日本公認会計士協会	201510	6,000	6,480
1672	事業	経済	会計監査	9784495203511	公認会計士の将来像		那須伸裕：松本祥尚		同文舘出版	201512	3,300	3,564
1673	事業	経済	会計監査	9784904901588	監査実務指針集	３訂版	日本公認会計士協会		日本公認会計士協会	201603	3,000	3,240
1674	事業	経済	会計監査	9784904901595	会計監査六法．平成２８年版		日本公認会計士協会：財務会計基準機構		日本公認会計士協会	201603	6,200	6,696
1675	事業	経済	会計監査	9784474054615	財務諸表監査の体系的理解		青木雄二		第一法規出版	201604	7,000	7,560
1676	事業	経済	会計監査	9784502182518	会計職業倫理の基礎知識：公認会計士・税理士・経理財務担当者・ＦＰの思考法		スティーブン・デラポータス：スティーン・トムセン		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201604	4,600	4,968
1677	事業	経済	会計監査	9784502185717	監査論入門	第３版	長吉真一：伊藤竜峰		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201604	2,800	3,024
1678	事業	経済	会計監査	9784433670061	会計プロフェッショナルの矜持：職業会計人の実態		澤田眞史		清文社	201605	3,000	3,240
1679	事業	経済	会計監査	9784495192556	監査役監査の実務と対応	第５版	高橋均		同文舘出版	201606	3,800	4,104
1680	事業	経済	会計監査	9784502193613	財務諸表監査の実務	第２版	南成人：中里拓哉		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201606	4,600	4,968
1681	事業	経済	会計監査	9784419063689	監査役監査のすすめ方	１１訂版	重泉良徳		税務経理協会	201606	3,200	3,456
1682	事業	経済	会計監査	9784881777626	公認会計士倫理読本：国際的な信認を得るための鍵	平成２８年増補版	八田進二		財経詳報社	201607	1,700	1,836
1683	事業	経済	会計監査	9784495204914	監査役監査と公認会計士監査との連携のあり方		秋坂朝則	日本監査研究学会リサーチ・シリーズ	同文舘出版	201608	3,400	3,672
1684	事業	経済	会計監査	9784904901649	監査実務ハンドブック．平成２９年版		日本公認会計士協会		日本公認会計士協会	201609	6,000	6,480
1685	事業	経済	会計監査	9784904901656	会計監査六法．平成２８年	Ｌｉｔｅ版	日本公認会計士協会：財務会計基準機構		日本公認会計士協会	201610	4,500	4,860
1686	事業	経済	会計監査	9784794415073	ゼミナール監査論		山本貴啓		創成社	201610	3,000	3,240
1687	事業	経済	会計監査	9784502197017	監査論	第４版	盛田良久：蟹江章	スタンダードテキスト	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201610	4,600	4,968
1688	事業	経済	会計監査	9784805111031	グローバル時代における監査の質の探究		仙場胡丹		千倉書房	201611	4,400	4,752
1689	事業	経済	会計監査	9784419063559	監査論を学ぶ	第２版	蟹江章：藤岡英治	わしづかみシリーズ	税務経理協会	201702	2,000	2,160
1690	事業	経済	会計監査	9784502220418	はじめてまなぶ監査論		盛田良久：百合野正博		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201703	2,300	2,484
1691	事業	経済	会計監査	9784765805674	ノート財務諸表監査における懐疑		鳥羽至英	早稲田大学会計研究所・会計研究叢書	国元書房	201703	2,900	3,132
1692	事業	経済	会計監査	9784904901663	会計監査六法．平成２９年版		日本公認会計士協会：企業会計基準委員会		日本公認会計士協会	201703	6,200	6,696
1693	事業	経済	会計監査	9784495205614	監査と哲学		任章		同文舘出版	201704	3,300	3,564
1694	事業	経済	会計監査	9784817844101	実務事例会計不正と粉飾決算の発見と調査		松澤綜合会計事務所		日本加除出版	201707	3,400	3,672
1695	事業	経済	会計監査	9784495206017	中小企業の会計監査制度の探求：特別目的の財務諸表に対する保証業務		浦崎直浩	日本監査研究学会リサーチ・シリーズ	同文舘出版	201707	3,600	3,888
1696	事業	経済	会計監査	9784904901724	監査実務ハンドブック．平成３０年版		日本公認会計士協会		日本公認会計士協会	201709	6,000	6,480
1697	事業	経済	会計監査	9784904901755	会計監査六法：Ｌｉｔｅ版／ＤＶＤ－ＲＯＭ付．平成２９年		日本公認会計士協会：企業会計基準委員会		日本公認会計士協会	201710	4,500	4,860
1698	事業	経済	会計監査	9784794415165	会計職業倫理：会計士（監査人）の倫理税理士の倫理	第２版	田中恒夫		創成社	201711	1,600	1,728
1699	事業	経済	会計監査	9784495206918	監査品質の指標ＡＱＩ		町田祥弘		同文舘出版	201712	3,400	3,672

1700	事業	経済	税務会計	9784754721367	源泉所得税間違いやすい実務のポイントＱ＆Ａ１００		間違いやすいポイントＱ＆Ａ制作委員会		大蔵財務協会	201410	1,574	1,699
1701	事業	経済	税務会計	9784754721480	相続税贈与税の実務と申告．平成２６年版		酒井満男：船見雅志		大蔵財務協会	201410	3,796	4,099
1702	事業	経済	税務会計	9784754743789	必ず見つかる相続・相続税対策不動産オーナーのための羅針盤		今仲清：坪多晶子		大蔵財務協会	201410	2,315	2,500
1703	事業	経済	税務会計	9784938419660	会社分割実務必携		朝長英樹：竹内陽一		法令出版	201410	4,815	5,200
1704	事業	経済	税務会計	9784794414847	ベーシック税務会計．個人課税編	改訂版	中島茂幸：櫻田譲		創成社	201410	2,600	2,808
1705	事業	経済	税務会計	9784502124013	寄附金・交際費	第２版	ＴＯＭＡ税理士法人	法人税の実務Ｑ＆Ａシリーズ	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201411	3,400	3,672
1706	事業	経済	税務会計	9784788279339	図解株式譲渡をめぐる税務Ｑ＆Ａ		野口雅史		新日本法規出版	201411	4,700	5,076
1707	事業	経済	税務会計	9784832967953	税理士制度と納税環境整備：税理士法３３条の２の機能		川股修二		北海道大学出版会	201411	6,000	6,480
1708	事業	経済	税務会計	9784324099162	相続税増税時代の実務と対策：精選対話式		八ツ尾順一		ぎょうせい	201411	2,700	2,916
1709	事業	経済	税務会計	9784754721558	法人税決算と申告の実務：ミスをしないためのポイントとアドバイス．平成２６年版		影山武		大蔵財務協会	201411	4,630	5,000
1710	事業	経済	税務会計	9784754721565	詳解源泉所得税：源泉徴収義務者が押さえておくべき、主要１７１項目		伊東博之		大蔵財務協会	201411	3,333	3,599
1711	事業	経済	税務会計	9784502120619	海外進出企業の税務調査対策チェックリスト	第２版	佐和周		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201411	3,800	4,104
1712	事業	経済	税務会計	9784502128813	事業承継実務ハンドブック	第３版	鈴木義行：奥谷浩之		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201411	5,000	5,400
1713	事業	経済	税務会計	9784502122712	事業承継対策		宮森俊樹：寺内正夫	税理士のための相続税の実務Ｑ＆Ａシリーズ	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201411	3,400	3,672
1714	事業	経済	税務会計	9784811575162	チェックポイント方式による確定申告の仕方と留意点．平成２６年分所得税		日本税理士会連合会		多賀出版	201412	3,300	3,564
1715	事業	経済	税務会計	9784502129711	役員給与・使用人給与		濱田康宏	法人税の実務Ｑ＆Ａシリーズ	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201501	3,400	3,672
1716	事業	経済	税務会計	9784754721671	所得税確定申告の手引．平成２７年３月申告用		赤壁隆司：田所寛幹		大蔵財務協会	201501	2,130	2,300
1717	事業	経済	税務会計	9784864340427	税務会計論		浜沖典之		五絃舎	201501	2,700	2,916
1718	事業	経済	税務会計	9784788279513	基礎控除引下げ後の相続税税務調査対策の手引：申告時と調査対応のポイント		庄司範秋：松本好正		新日本法規出版	201502	3,600	3,888
1719	事業	経済	税務会計	9784502132315	国際税務戦略の考え方・取り組み方：現場ストーリーから学ぶ		大河原健		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201502	2,600	2,808
1720	事業	経済	税務会計	9784419061562	新税理士法	４訂版	日本税理士会連合会		税務経理協会	201503	3,600	3,888
1721	事業	経済	税務会計	9784419061982	非上場会社の事業承継における安定株主活用の法務・税務：導入から解消まで		森井昭仁		税務経理協会	201503	4,300	4,644
1722	事業	経済	税務会計	9784419062170	オーナーのための自社株の税務＆実務：売買・保有・評価	９訂版	辻・本郷税理士法人		税務経理協会	201503	3,600	3,888
1723	事業	経済	税務会計	9784754722029	連結納税の実務と申告の手引：ストーリーでわかる！！はじめての連結納税		三浦昭彦		大蔵財務協会	201503	2,222	2,399
1724	事業	経済	税務会計	9784938419752	グループ法人税制	第２版	朝長英樹：竹内陽一		法令出版	201503	3,981	4,299
1725	事業	経済	税務会計	9784938419776	現物給付課税の実務：事例回答		品川芳宣：秋葉武		法令出版	201503	3,500	3,780
1726	事業	経済	税務会計	9784502137815	税理士なら知っておきたい事業承継対策の法務・税務Ｑ＆Ａ		タクトコンサルティング		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201503	3,200	3,456
1727	事業	経済	税務会計	9784419062262	Ｑ＆Ａ海外勤務者に係る税務：出入国・相続贈与・海外投資	改訂版	川田剛		税務経理協会	201504	4,000	4,320
1728	事業	経済	税務会計	9784419062385	イチからはじめる法人税実務の基礎：理論と実務の「つながり」がはっきり見えてくる！	改訂版	菅原英雄		税務経理協会	201504	2,500	2,700
1729	事業	経済	税務会計	9784754721961	海外進出企業のための税務調査対応と文書化の実務：移転価格・寄附金課税リスクを回避するための実例解説		遠藤克博：三関公雄		大蔵財務協会	201504	2,593	2,800
1730	事業	経済	税務会計	9784502144714	会社税務ハンドブック	第４版	トーマツ（税理士法人）		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201504	6,200	6,696
1731	事業	経済	税務会計	9784794414908	税務会計論	改訂版	柳裕治：高木克己		創成社	201504	2,400	2,592
1732	事業	経済	税務会計	9784433535858	税務コンプライアンスの実務：国税庁「税務に関するコーポレートガバナンスの充実に		鈴木広樹：河江健史		清文社	201505	2,800	3,024
1733	事業	経済	税務会計	9784474033078	税務会計：法人税の理論と応用		成道秀雄		第一法規出版	201505	6,300	6,804
1734	事業	経済	税務会計	9784419061807	インドネシアの会計・税務・法務Ｑ＆Ａ		新日本有限責任監査法人	海外進出の実務シリーズ	税務経理協会	201505	2,400	2,592
1735	事業	経済	税務会計	9784766833058	図解でわかる提案融資に活かす「法人税申告書」の見方・読み方．２０１５年度版		中央総研		経済法令研究会	201506	1,800	1,944
1736	事業	経済	税務会計	9784324099643	税務数表．平成２７年版		辻敷：齊藤幸司		ぎょうせい	201506	3,400	3,672
1737	事業	経済	税務会計	9784754743901	実務家・経理担当者のための税務相談室．２（平成２７年）		埼玉県税理士講師団		大蔵財務協会	201506	1,574	1,699
1738	事業	経済	税務会計	9784502147715	簡易課税制度実践トレーニング：消費税仕入税額控除		渡辺章		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201506	3,200	3,456
1739	事業	経済	税務会計	9784793121579	海外寄附金と移転価格税制の実務：ケーススタディ・判例で理解する		ＧＭＴ移転価格税理士事務所：田島宏一		税務研究会	201507	2,200	2,376
1740	事業	経済	税務会計	9784793121425	法人成りの活用と留意点		柴田知央：青木治雄		税務研究会	201507	1,800	1,944
1741	事業	経済	税務会計	9784904901540	最新企業会計と法人税申告調整の実務：公認会計士による徹底解説		日本公認会計士協会		日本公認会計士協会	201507	3,200	3,456
1742	事業	経済	税務会計	9784788280465	外形標準課税制度の実務解説：税務・会計と申告書の作成．平成２７年度税制改正対応		掛川雅仁		新日本法規出版	201507	4,200	4,536
1743	事業	経済	税務会計	9784754722425	相続税贈与税の実務土地評価：基礎資料の入手方法から個別事例まで．平成２７年版		国武久幸：小林登		大蔵財務協会	201507	2,778	3,000
1744	事業	経済	税務会計	9784754722432	Ｑ＆Ａ税務上の評価損の実務事例集	第２版	成松洋一		大蔵財務協会	201507	2,500	2,700
1745	事業	経済	税務会計	9784754743925	Ｑ＆Ａ知っておきたい中小企業経営者と税制改正の実務：法人・個人税務の落とし穴と対応．平成２７年度税制改正政省令対応		宮森俊樹		大蔵財務協会	201507	1,574	1,699
1746	事業	経済	税務会計	9784384046526	入門図解法人税のしくみと手続き：すぐに役立つ		三好和紗		三修社	201508	1,800	1,944
1747	事業	経済	税務会計	9784817842510	外国人及び外国企業の税務の基礎：居住者・非居住者の税務と株式会社・合同会社・支店の		山脇康嗣：田中秀治		日本加除出版	201508	2,100	2,268
1748	事業	経済	税務会計	9784905451549	保険税務のすべて：実務者必携．平成２７年度版		榊原正則		新日本保険新聞社	201508	5,093	5,500
1749	事業	経済	税務会計	9784754743932	契約を巡る税務トラブルと債務の確定		牧野義博		大蔵財務協会	201508	1,852	2,000

1750	事業	経済	税務会計	9784502152818	すらすら図解国際税務のしくみ		作田陽介		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201508	2,200	2,376
1751	事業	経済	税務会計	9784502162619	国際税務をマスターしたい！と思ったとき最初に読む本	最新版	あいわ税理士法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201508	2,800	3,024
1752	事業	経済	税務会計	9784561461784	消費税の税率構造と仕入税額控除：医療非課税を中心に		安部和彦		白桃書房	201508	3,400	3,672
1753	事業	経済	税務会計	9784881774182	国際税務総覧：国際税務基礎データ．２０１５－２０１６		高山政信：坪内二郎		財経詳報社	201509	1,700	1,836
1754	事業	経済	税務会計	9784793121630	Ｑ＆Ａ法人税と消費税の異同点		成松洋一		税務研究会	201509	2,200	2,376
1755	事業	経済	税務会計	9784433519452	クマオーの基礎からわかる消費税		熊王征秀		清文社	201509	2,200	2,376
1756	事業	経済	税務会計	9784502149412	財務諸表論の要点整理：税理士試験	第１２版	佐藤信彦		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201509	3,400	3,672
1757	事業	経済	税務会計	9784324100295	会社税務マニュアルシリーズ．１	第８次改訂	大沼長清：井上久彌		ぎょうせい	201509	4,000	4,320
1758	事業	経済	税務会計	9784324100301	会社税務マニュアルシリーズ．２	第８次改訂	大沼長清：井上久弥		ぎょうせい	201509	4,000	4,320
1759	事業	経済	税務会計	9784324100318	会社税務マニュアルシリーズ．３	第８次改訂	大沼長清：井上久弥		ぎょうせい	201509	5,500	5,940
1760	事業	経済	税務会計	9784324100325	会社税務マニュアルシリーズ．４	第８次改訂	大沼長清：井上久弥		ぎょうせい	201509	4,000	4,320
1761	事業	経済	税務会計	9784754722456	試験研究費の法人税務	６訂版	成松洋一		大蔵財務協会	201509	3,611	3,899
1762	事業	経済	税務会計	9784754722531	Ｑ＆Ａ市街地近郊土地の評価	改訂版	松本好正		大蔵財務協会	201509	3,241	3,500
1763	事業	経済	税務会計	9784754743963	相続紛争・解決時の相続税等申告の手引き：遺産の未分割・遺留分減殺請求事例を中心にして		遠山敏之		大蔵財務協会	201509	1,852	2,000
1764	事業	経済	税務会計	9784502163012	中小・オーナー企業の国際税務：ＢＥＰＳ対応版		芦川洋祐		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201509	2,600	2,808
1765	事業	経済	税務会計	9784817842619	Ｑ＆Ａ国境を越える電子商取引等に関する消費税の実務		秋山高善：藤曲武美		日本加除出版	201510	2,300	2,484
1766	事業	経済	税務会計	9784793121685	贈与税の実務とその活用ポイント	第２版	服部誠：小泉秀子		税務研究会	201510	2,000	2,160
1767	事業	経済	税務会計	9784502153013	有価証券取引		須田和彦	法人税の実務Ｑ＆Ａシリーズ	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201510	3,600	3,888
1768	事業	経済	税務会計	9784754722548	Ｑ＆Ａで解決欠損金の繰越控除の判断とポイント	改訂版	島田哲宏		大蔵財務協会	201510	2,593	2,800
1769	事業	経済	税務会計	9784754722586	相続税贈与税の実務と申告．平成２７年版		高橋一郎：熊崎美杉		大蔵財務協会	201510	3,889	4,200
1770	事業	経済	税務会計	9784502135217	国際税務実践マニュアル：情報の入手と税務ポイント．法人税申告編		小寺壽成：足立好幸		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201510	3,300	3,564
1771	事業	経済	税務会計	9784502135316	国際税務実践マニュアル：情報の入手と税務ポイント．移転価格税制／非居住者・外国法		小寺壽成：足立好幸		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201510	3,300	3,564
1772	事業	経済	税務会計	9784793121692	試験研究費の会計と税務	第２版	中村元彦：中村友理香		税務研究会	201511	3,000	3,240
1773	事業	経済	税務会計	9784754722647	資産税調査における是否認の接点	改訂版	山岡美樹：大久保昭佳		大蔵財務協会	201511	1,667	1,800
1774	事業	経済	税務会計	9784754744007	事例でわかる法人税調査の着眼点＋経営へのヒント		宮下裕行		大蔵財務協会	201511	1,852	2,000
1775	事業	経済	税務会計	9784754744021	修繕費・改良費及び増改築費用の税務：難解な税務判定をＱ＆Ａ方式でわかりやすく解説！		小林磨寿美		大蔵財務協会	201511	1,852	2,000
1776	事業	経済	税務会計	9784502161216	ＡＳＥＡＮ諸国との国際税務：インドネシア・タイ・フィリピン・ベトナム		朝日税理士法人：朝日ネットワークス		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201511	2,600	2,808
1777	事業	経済	税務会計	9784502163111	国際税務の実務ハンドブックＱ＆Ａ		デロイトトーマツ税理士法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201511	5,200	5,616
1778	事業	経済	税務会計	9784881774236	税務・会計用語辞典：和英用語対照	１３訂版	矢内一好：高山政信		財経詳報社	201511	3,500	3,780
1779	事業	経済	税務会計	9784433515058	法人の修正申告実務：個別事例でわかる	平成２７年１１月	鈴木基史		清文社	201512	2,600	2,808
1780	事業	経済	税務会計	9784863541900	税務・経理・人事ハンドブック．２０１６年度版		ＤＨＢ制作委員会		シーアンドアール研究所	201512	1,800	1,944
1781	事業	経済	税務会計	9784535521704	取引相場のない株式の税務：評価の基礎・売買時価の概要と留意点	第３版	森富幸	シリーズ実務税法解説	日本評論社	201512	2,400	2,592
1782	事業	経済	税務会計	9784785723651	会社解散・清算手続と法人税申告実務	第２版	植本康彦		商事法務	201512	3,200	3,456
1783	事業	経済	税務会計	9784754722814	国際資産税ガイド：国外財産・海外移住・国際相続をめぐる税務	２訂版	ＰｗＣ税理士法人		大蔵財務協会	201512	3,148	3,399
1784	事業	経済	税務会計	9784754722821	キーワードで読み解く所得税の急所		秋山友宏		大蔵財務協会	201512	2,593	2,800
1785	事業	経済	税務会計	9784754722944	等価交換と事業用資産の買換えの税務：Ｑ＆Ａと解説でわかる		松本好正		大蔵財務協会	201512	2,963	3,200
1786	事業	経済	税務会計	9784754744045	事例と図表でわかる同族会社のための税務：同族会社における税務上の留意点をわかりやすく解説		曙橋税法研究会：中村慈美		大蔵財務協会	201512	1,852	2,000
1787	事業	経済	税務会計	9784419063009	タイ国の会計・税務・法務Ｑ＆Ａ	第２版	新日本有限責任監査法人	海外進出の実務シリーズ	税務経理協会	201512	2,100	2,268
1788	事業	経済	税務会計	9784502167317	国際相続の税務・手続Ｑ＆Ａ	第２版	山田＆パートナーズ		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201512	3,600	3,888
1789	事業	経済	税務会計	9784322128697	中小企業Ｍ＆Ａ実務必携．税務編		村木良平		きんざい	201601	2,500	2,700
1790	事業	経済	税務会計	9784433502751	一目でわかる消費税簡易課税の事業区分．平成２８年１月改訂		平本倫朗		納税協会連合会(発売：清文社)	201601	1,600	1,728
1791	事業	経済	税務会計	9784419062101	(図解)国際税務超入門		加藤友彦：山田＆パートナーズ		税務経理協会	201601	1,800	1,944
1792	事業	経済	税務会計	9784754722739	土地評価の実務：相続税　贈与税．平成２８年版		鈴木喜雄		大蔵財務協会	201601	3,241	3,500
1793	事業	経済	税務会計	9784754722968	所得税調査における是否認の接点	改訂版	佐藤和助：渡辺正弘		大蔵財務協会	201601	1,667	1,800
1794	事業	経済	税務会計	9784433624668	新しい相続税・贈与税申告書作成の実務		田淵正信		清文社	201602	2,800	3,024
1795	事業	経済	税務会計	9784419062774	土地評価実務ガイド：基本からわかる財産評価基本通達		武田秀和		税務経理協会	201602	3,200	3,456
1796	事業	経済	税務会計	9784419063146	法人税＆所得税まるごと解説！所得拡大促進税制の手引き		安井和彦		税務経理協会	201602	2,400	2,592
1797	事業	経済	税務会計	9784419063245	投資ストラクチャーの税務：クロスボーダー投資と匿名組合／任意組合	８訂版	藤本幸彦：鬼頭朱実		税務経理協会	201602	4,800	5,184
1798	事業	経済	税務会計	9784754722951	出向・転籍における税務実務：図解による重要点解説	増補改訂版	永田金司		大蔵財務協会	201602	2,778	3,000
1799	事業	経済	税務会計	9784754723026	消費税調査における是否認の接点	改訂版	和気光		大蔵財務協会	201602	1,667	1,800

1800	事業	経済	税務会計	9784502178016	税務調査で使える内部統制のつくり方：税務コーポレート・ガバナンス		土田義憲		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201602	2,400	2,592
1801	事業	経済	税務会計	9784419062958	寄附金		藤曲武美	法人税実務の新基軸	税務経理協会	201603	2,500	2,700
1802	事業	経済	税務会計	9784502174216	契約書に活かす税務のポイント：比べて分かる基本とスキーム選択・条文表現		永井徳人：鳥越貞成		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201604	3,600	3,888
1803	事業	経済	税務会計	9784754723200	要点解説税務会計基礎講座	第２版	平野嘉秋		大蔵財務協会	201604	2,685	2,899
1804	事業	経済	税務会計	9784502186714	ケーススタディでわかる連結納税申告書の作り方	第２版	足立好幸		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201604	4,000	4,320
1805	事業	経済	税務会計	9784793121982	１０％対応改正消費税のポイントとその実務		熊王征秀		税務研究会	201605	2,400	2,592
1806	事業	経済	税務会計	9784433644161	ＳＰＣ＆匿名組合の法律・会計税務と評価：投資スキームの実際例と実務上の問題点	第６版	さくら綜合事務所：永沢徹		清文社	201605	4,800	5,184
1807	事業	経済	税務会計	9784938419844	民法的思考による国際税務ケースブック		小寺壽成		法令出版	201605	3,611	3,899
1808	事業	経済	税務会計	9784502189913	寄附金課税の問題点		山本守之		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201605	2,200	2,376
1809	事業	経済	税務会計	9784793121838	事例で理解するオーナーと同族会社間の税務：設立から解散まで		伊藤正彦		税務研究会	201606	2,300	2,484
1810	事業	経済	税務会計	9784433647964	一般社団法人・一般財団法人の会計・税務ハンドブック：Ｑ＆Ａ		脇坂誠也		清文社	201606	2,600	2,808
1811	事業	経済	税務会計	9784419063702	法人税セミナー：理論と実務の論点	５訂版	成松洋一		税務経理協会	201606	4,400	4,752
1812	事業	経済	税務会計	9784324101254	税務数表．平成２８年版		辻敢：齊藤幸司		ぎょうせい	201606	3,400	3,672
1813	事業	経済	税務会計	9784754723439	交際費の税務：交際費と隣接経費の判定を中心として．平成２８年版		駒崎清人：若林孝三		大蔵財務協会	201606	3,426	3,700
1814	事業	経済	税務会計	9784754744106	実務家・経理担当者のための税務相談室．３（平成２８年）		埼玉県税理士講師団		大蔵財務協会	201606	1,574	1,699
1815	事業	経済	税務会計	9784881774274	国際税務総覧：国際税務基礎データ．２０１６－２０１７		高山政信：坪内二郎		財経詳報社	201607	1,700	1,836
1816	事業	経済	税務会計	9784904901632	最新企業会計と法人税申告調整の実務：公認会計士による徹底解説	改訂版	日本公認会計士協会		日本公認会計士協会	201607	3,200	3,456
1817	事業	経済	税務会計	9784324101575	事例にみる相続税の疑問と解説：税理士必携		岩下忠吾		ぎょうせい	201607	4,200	4,536
1818	事業	経済	税務会計	9784754744144	国税ＯＢによる税務の主要テーマの重点解説		税理士桜友会		大蔵財務協会	201607	3,241	3,500
1819	事業	経済	税務会計	9784433607364	税理士のための法人税実務必携．平成２８年版		備後弘子：勝山武彦		清文社	201608	4,000	4,320
1820	事業	経済	税務会計	9784535522152	相続税申告業務の基礎と実務：相続税の申告実務のエキスパートになるための		森富幸	シリーズ実務税法解説	日本評論社	201609	2,400	2,592
1821	事業	経済	税務会計	9784324101728	記載例でわかる！法人税の税務調整と申告実務		木村一夫		ぎょうせい	201609	4,000	4,320
1822	事業	経済	税務会計	9784324101926	相続税の申告書作成ガイドブック：書類準備・手続のフローがすぐ分かる！		今仲清		ぎょうせい	201609	2,300	2,484
1823	事業	経済	税務会計	9784754723514	非上場株式の評価の仕方と記載例：実質的に議決権を有する者の同族株主の判定や、相互持．平成２８年版		松本好正		大蔵財務協会	201609	3,611	3,899
1824	事業	経済	税務会計	9784754744182	再確認！自分で「チェック」しておきたい消費税の実務．平成２８年度版		熊王征秀		大蔵財務協会	201609	1,852	2,000
1825	事業	経済	税務会計	9784793122132	ソフトウェアの法人税実務	第４版	自閑博巳：唯木誠		税務研究会	201610	2,200	2,376
1826	事業	経済	税務会計	9784788281844	判例・裁決例にみる名義財産の帰属認定		峰岡睦久		新日本法規出版	201610	3,500	3,780
1827	事業	経済	税務会計	9784788281868	国際税務の専門家からみた出国税と国外財産調書等の実務		高山政信：廣瀬壮一		新日本法規出版	201610	3,100	3,348
1828	事業	経済	税務会計	9784754723583	相続税贈与税の実務と申告．平成２８年版		谷仲邦夫：小山貴文		大蔵財務協会	201610	3,889	4,200
1829	事業	経済	税務会計	9784754723651	不動産・非上場株式の税務上の時価の考え方と実務への応用：裁決・判決からみた税務上の時価	３訂版	渡辺正則		大蔵財務協会	201610	2,593	2,800
1830	事業	経済	税務会計	9784419063481	ベトナムの会計・税務・法務Ｑ＆Ａ	第２版	新日本有限責任監査法人	海外進出の実務シリーズ	税務経理協会	201610	2,400	2,592
1831	事業	経済	税務会計	9784502205415	プログレッシブ税務会計論．１		酒井克彦		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201610	3,400	3,672
1832	事業	経済	税務会計	9784793122248	土地評価に係る現地調査の重要ポイント		吉野広之進		税務研究会	201611	2,100	2,268
1833	事業	経済	税務会計	9784419064129	イチからはじめる法人税実務の基礎	第３版	菅原英雄		税務経理協会	201611	2,500	2,700
1834	事業	経済	税務会計	9784324101711	税目別ケースで読み解く！国際課税の税務調査対応マニュアル		武田恒男		ぎょうせい	201611	4,800	5,184
1835	事業	経済	税務会計	9784754723729	法人税決算と申告の実務：ミスをしないためのポイントとアドバイス．平成２８年版		谷山孝博		大蔵財務協会	201611	4,630	5,000
1836	事業	経済	税務会計	9784754723750	役員退職給与を巡る諸問題：Ｑ＆Ａ５０事例で見る疑問と実務		衛藤政憲		大蔵財務協会	201611	2,778	3,000
1837	事業	経済	税務会計	9784419064082	オランダの会計・税務・法務Ｑ＆Ａ		新日本有限責任監査法人	海外進出の実務シリーズ	税務経理協会	201611	3,400	3,672
1838	事業	経済	税務会計	9784502203213	プログレッシブ税務会計論．２		酒井克彦		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201611	2,800	3,024
1839	事業	経済	税務会計	9784839421632	ファミリービジネスの承継と税務		高沢修一		森山書店	201611	2,500	2,700
1840	事業	経済	税務会計	9784539725214	株式会社の減資の税務と登記手続	３訂版	平川忠雄：星野文仁		日本法令	201612	2,600	2,808
1841	事業	経済	税務会計	9784433602567	消費税課否判定ハンドブック．平成２８年１２月改訂		山本吉伸		納税協会連合会(発売：清文社)	201612	1,600	1,728
1842	事業	経済	税務会計	9784433616762	Ｑ＆Ａ消費税の税務処理８０：うっかりミスにご注意を！		田淵正信		清文社	201612	2,600	2,808
1843	事業	経済	税務会計	9784433622961	イレギュラーな相続に対処する未分割申告の税実務		トゥモローズ		清文社	201612	2,600	2,808
1844	事業	経済	税務会計	9784433627867	評価明細書ごとに理解する非上場株式の評価実務		柴田健次		清文社	201612	3,400	3,672
1845	事業	経済	税務会計	9784433628468	譲渡所得課税をめぐる費用認定と税務判断：取得費・譲渡費用の誤りやすいポイントは？！		山形富夫		清文社	201612	3,400	3,672
1846	事業	経済	税務会計	9784433636166	税務調査事例からみる役員給与実務Ｑ＆Ａ	新版	安部和彦		清文社	201612	2,800	3,024
1847	事業	経済	税務会計	9784754723699	Ｑ＆Ａ宗教法人をめぐる税務実務：法人の管理・運営、会計についても税務の視点から解説	増補改訂版	永田金司		大蔵財務協会	201612	2,778	3,000
1848	事業	経済	税務会計	9784754723835	資産・事業承継対策の現状と課題：円滑な資産・事業承継のための対応指針と問題提起		野村資産承継研究所：品川芳宣		大蔵財務協会	201612	4,167	4,500
1849	事業	経済	税務会計	9784754744236	個人間利益移転の税務：？をＱ＆Ａ方式でわかりやすく解説	平成２８年改訂版	小林磨寿美：濱田康宏		大蔵財務協会	201612	2,037	2,199

1850	事業	経済	税務会計	9784754744243	関係会社間取引における利益移転と税務	平成２８年改訂版	小林磨寿美：佐藤增彦		大蔵財務協会	201612	2,037	2,199
1851	事業	経済	税務会計	9784502215018	法人税申告書の書き方と留意点．平成２９年申告用　基本別表編		右山事務所		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201612	2,800	3,024
1852	事業	経済	税務会計	9784502215117	法人税申告書の書き方と留意点．平成２９年申告用　特殊別表編		右山事務所		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201612	3,400	3,672
1853	事業	経済	税務会計	9784754723811	譲渡所得の実務と申告．平成２９年版		谷仲邦夫		大蔵財務協会	201701	3,889	4,200
1854	事業	経済	税務会計	9784754723828	消費税の実務と申告．平成２９年版		和気光：小林幸夫		大蔵財務協会	201701	3,611	3,899
1855	事業	経済	税務会計	9784433609863	Ｑ＆Ａ法人税「微妙・複雑・難解」事例の税務処理判断		安藤孝夫：野田扇三郎		清文社	201702	2,800	3,024
1856	事業	経済	税務会計	9784433618162	消費税の会計処理と法人税務申告調整パーフェクトガイド		鶴田泰三		清文社	201702	2,000	2,160
1857	事業	経済	税務会計	9784419064235	Ｑ＆Ａ海外勤務者に係る税務：出入国・相続贈与・海外投資	第３版	川田剛		税務経理協会	201702	4,200	4,536
1858	事業	経済	税務会計	9784502228513	法人税の重要計算．平成２９年用		中央経済社		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201702	3,600	3,888
1859	事業	経済	税務会計	9784495168889	税務会計要論	新訂（第３版）	中田信正		同文舘出版	201703	2,900	3,132
1860	事業	経済	税務会計	9784754723941	法人税調査事例からみる修正申告（更正）の基礎知識．平成２９年版	平成２９年版	植松香一		大蔵財務協会	201703	3,333	3,599
1861	事業	経済	税務会計	9784754724023	消費税課否判定早見表	平成２９年改訂	武田恒男：小林幸夫		大蔵財務協会	201703	2,407	2,599
1862	事業	経済	税務会計	9784754724030	Ｑ＆Ａと事例で理解する所得拡大促進税制の実務		橋本満男		大蔵財務協会	201703	1,667	1,800
1863	事業	経済	税務会計	9784754724085	資産税の盲点と判断基準		笹島修平		大蔵財務協会	201703	2,315	2,500
1864	事業	経済	税務会計	9784754744267	税務トラブル項目別調査事例解説		牧野義博		大蔵財務協会	201703	1,852	2,000
1865	事業	経済	税務会計	9784502196416	消費税軽減税率導入とシステム対応		岩谷誠治		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201703	2,400	2,592
1866	事業	経済	税務会計	9784754744298	認定支援機関・事業再生専門家のための事業再生税務必携．平成２９年改訂版		全国事業再生税理士ネットワーク		大蔵財務協会	201703	2,500	2,700
1867	事業	経済	税務会計	9784863453227	実務担当者のための宗教法人の経理と税務	改訂版	治田秀夫		丸善プラネット(発売：丸善出版)	201704	2,000	2,160
1868	事業	経済	税務会計	9784754723972	相続税・贈与税間違いやすい実務のポイントＱ＆Ａ１００	全訂版	間違いやすいポイントＱ＆Ａ制作委員会		大蔵財務協会	201704	1,574	1,699
1869	事業	経済	税務会計	9784839421663	法人税法会計論	第３版	二沢修一		森山書店	201704	2,500	2,700
1870	事業	経済	税務会計	9784336061744	宗教法人の税務と会計入門：税理士の坊さんが書いた	第２版	上田二郎		国書刊行会	201705	2,200	2,376
1871	事業	経済	税務会計	9784433633677	Ｑ＆Ａ経理担当者のための税務知識のポイント	第３版	松田修		清文社	201705	2,200	2,376
1872	事業	経済	税務会計	9784502226519	図解＆事例資産承継の税務・法務・会計		ＡＧＳコンサルティング：ＡＧＳ税理士法人		中央経済グループパブリッシング	201705	2,200	2,376
1873	事業	経済	税務会計	9784793122491	主要勘定科目の法人税実務対策：日常税務の具体的処理マニュアル．平成２９年版		小池敏範		税務研究会	201706	3,200	3,456
1874	事業	経済	税務会計	9784793122507	法人税申告書別表四、五（一）のケーススタディ：否認項目の受け入れを中心とした．平成２９年度版		成松洋一		税務研究会	201706	2,600	2,808
1875	事業	経済	税務会計	9784433626570	中小企業の事業承継：図解＆イラスト	８訂版	牧口晴一：齋藤孝一		清文社	201706	2,800	3,024
1876	事業	経済	税務会計	9784433631178	税務・労務ハンドブック．平成２９年版		井村登：馬詰政美		清文社	201706	3,600	3,888
1877	事業	経済	税務会計	9784641131972	新実務家のための税務相談		三木義一：本山敦		有斐閣	201706	3,200	3,456
1878	事業	経済	税務会計	9784502226311	実務解説連結納税の欠損金Ｑ＆Ａ		足立好幸		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201706	4,400	4,752
1879	事業	経済	税務会計	9784502231612	税務コストをへらす組織再編のストラクチャー選択		佐藤信祐		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201706	2,600	2,808
1880	事業	経済	税務会計	9784433607272	重点解説／法人税申告の実務．平成２９年版		鈴木基史		清文社	201707	3,600	3,888
1881	事業	経済	税務会計	9784433625672	財産評価基本通達の適用で注意したい！土地評価１５パターン：相続税申告で鑑定評価によるべきケース		芳賀則人		清文社	201707	2,400	2,592
1882	事業	経済	税務会計	9784419064402	法人税の税務判断ルール４０：Ｑ＆Ａ判例が示す		辱山保		税務経理協会	201707	2,500	2,700
1883	事業	経済	税務会計	9784502231513	これだけ！組織再編税制		佐藤信祐：長谷川太郎		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201707	2,400	2,592
1884	事業	経済	税務会計	9784502235214	事業承継に活かす納税猶予・免除の実務		牧口晴一：齋藤孝一		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201707	4,000	4,320
1885	事業	経済	税務会計	9784502236310	組織再編における繰越欠損金の税務詳解	第５版	佐藤信祐		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201707	3,800	4,104
1886	事業	経済	税務会計	9784502890123	税務経理ハンドブック．平成２９年度版		日本税理士会連合会		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201707	4,000	4,320
1887	事業	経済	税務会計	9784502890222	法人税重要計算ハンドブック．平成２９年度版		日本税理士会連合会：中村慈美		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201707	2,200	2,376
1888	事業	経済	税務会計	9784502891328	所得税重要計算ハンドブック．平成２９年度版		日本税理士会連合会：藤田良一		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201707	2,000	2,160
1889	事業	経済	税務会計	9784502891427	相続税重要計算ハンドブック．平成２９年度版		日本税理士会連合会：武藤健造		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201707	2,000	2,160
1890	事業	経済	税務会計	9784881774373	Ｑ＆Ａ国際税務の最新情報		矢内一好		財経詳報社	201707	2,400	2,592
1891	事業	経済	税務会計	9784539725566	詳細相続税資料収集・財産評価・申告書作成の実務	６訂版	岩下忠吾		日本法令	201708	5,000	5,400
1892	事業	経済	税務会計	9784793122569	消費税納税義務判定の実務：直近の改正を中心とした		渡辺章		税務研究会	201708	1,800	1,944
1893	事業	経済	税務会計	9784433607678	法人税申告書と決算書の作成手順：ＳＴＥＰ式．平成２９年版		杉田宗久：岡野敏明		清文社	201708	3,000	3,240
1894	事業	経済	税務会計	9784433610470	組織再編・資本等取引の会計と税務：中小企業のための		佐藤信祐：長谷川太郎		清文社	201708	3,000	3,240
1895	事業	経済	税務会計	9784433632670	借地権の税務判断：【個人・法人／地主・借地人】の取引主体で解きほぐす		小林磨須美		清文社	201708	3,000	3,240
1896	事業	経済	税務会計	9784904901717	最新企業会計と法人税申告調整の実務：公認会計士による徹底解説	三訂版	日本公認会計士協会東京会		日本公認会計士協会	201708	3,200	3,456
1897	事業	経済	税務会計	9784419064327	非上場株式の評価と承継対策	改訂版	岩下忠吾		税務経理協会	201708	4,800	5,184
1898	事業	経済	税務会計	9784754724412	圧縮記帳の法人税務：実務と理論の両面から解説	１２訂版	成松洋一		大蔵財務協会	201708	4,722	5,099
1899	事業	経済	税務会計	9784754724580	非上場株式の評価の仕方と記載例：平成２９年評価通達改正を織込み詳細に解説／最新の業．平成２９年版		松本好正		大蔵財務協会	201708	3,889	4,200

1900	事業	経済	税務会計	9784754744397	法人税と地方税申告のチェック・リスト	平成２９年改訂版	森田純弘		大蔵財務協会	201708	1,667	1,800
1901	事業	経済	税務会計	9784754744403	Ｑ＆Ａ税目別実務上誤りが多い事例と判断に迷う事例		二橋幸之助		大蔵財務協会	201708	1,944	2,099
1902	事業	経済	税務会計	9784502239113	Ｍ＆Ａ・組織再編スキーム発想の着眼点５０	第２版	宮口徹		中央経済グループパブリッシング	201708	3,000	3,240
1903	事業	経済	税務会計	9784881774410	国際税務総覧：国際税務基礎データ．２０１７－２０１８		高山政信：坪内二郎		財経詳報社	201709	1,700	1,836
1904	事業	経済	税務会計	9784793122620	誤りやすい消費税の実務	第７版	小池敏範	事例検討	税務研究会	201709	2,800	3,024
1905	事業	経済	税務会計	9784433607173	対話式法人税申告書作成ゼミナール：別冊図解付き．平成２９年版		鈴木基史		清文社	201709	3,000	3,240
1906	事業	経済	税務会計	9784433607579	会社の税金実務必携：図解・業務別．平成２９年版		溝端浩人：妙中茂樹		清文社	201709	3,200	3,456
1907	事業	経済	税務会計	9784433607777	法人税申告書の作り方．平成２９年版		佐藤裕之：櫻井圭一		清文社	201709	3,000	3,240
1908	事業	経済	税務会計	9784433625870	基礎からわかる自社株評価		西山卓：池田真哉		清文社	201709	2,600	2,808
1909	事業	経済	税務会計	9784433640972	役員報酬をめぐる法務・会計・税務	第４版	田辺総合法律事務所：至誠清新監査法人		清文社	201709	3,200	3,456
1910	事業	経済	税務会計	9784502891762	法人税の理論と実務．平成２９年度版		山本守之		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201709	6,200	6,696
1911	事業	経済	税務会計	9784754724634	Ｑ＆Ａと事例で理解する所得拡大促進税制の実務．平成２９年度版		橋本満男		大蔵財務協会	201709	1,852	2,000
1912	事業	経済	税務会計	9784754744380	中小企業のための国税書類のスキャナ保存入門		袖山喜久造：坂本真一郎		大蔵財務協会	201709	1,667	1,800
1913	事業	経済	税務会計	9784502239915	非上場株式の税務：譲渡・贈与・相続・遺贈への対応	第２版	中島茂幸		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201709	2,600	2,808
1914	事業	経済	税務会計	9784502242311	Ｍ＆Ａ・組織再編の会計と税務：図解＋ケースでわかる	第２版	小林正和（会計士）		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201709	6,400	6,912
1915	事業	経済	税務会計	9784502242717	国際タックスプランニング入門：図解＆ケース	第２版	田川利一		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201709	3,400	3,672
1916	事業	経済	税務会計	9784433600174	法人税の決算調整と申告の手引．平成２９年版		上籏敏來		納税協会連合会(発売：清文社)	201710	5,000	5,400
1917	事業	経済	税務会計	9784433604271	相続税・贈与税取扱いの手引．平成２９年１０月改訂		今西敦司		納税協会連合会(発売：清文社)	201710	4,600	4,968
1918	事業	経済	税務会計	9784433627270	詳説自社株評価Ｑ＆Ａ	五訂版	尾崎三郎：竹内陽一		清文社	201710	3,000	3,240
1919	事業	経済	税務会計	9784502244810	貸倒損失・貸倒引当金	改訂改題版	植本康彦	法人税の最新実務Ｑ＆Ａシリーズ	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201710	2,900	3,132
1920	事業	経済	税務会計	9784502245817	借地権	改訂改題版	奥田周年	法人税の最新実務Ｑ＆Ａシリーズ	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201710	3,500	3,780
1921	事業	経済	税務会計	9784419063788	適用する？しない？消費税の簡易課税実務がわかる本		矢頭正浩		税務経理協会	201710	2,500	2,700
1922	事業	経済	税務会計	9784419064044	５５事例でわかる取引相場のない株式の評価方法		松岡章夫：山岡美樹		税務経理協会	201710	2,600	2,808
1923	事業	経済	税務会計	9784754724610	相続税贈与税の実務と申告．平成２９年版		谷仲邦夫：小山貴文		大蔵財務協会	201710	4,074	4,399
1924	事業	経済	税務会計	9784754744434	修繕費・改良費及び増改築費用の税務	平成２９年改訂版	小林磨寿美		大蔵財務協会	201710	1,852	2,000
1925	事業	経済	税務会計	9784419064914	インドの会計・税務・法務Ｑ＆Ａ	第３版	新日本有限責任監査法人	海外進出の実務シリーズ	税務経理協会	201710	3,400	3,672
1926	事業	経済	税務会計	9784502242915	法人成りの税務と設立手続のすべて	第３版	平野敦士：マネージメントリファイン		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201710	3,600	3,888
1927	事業	経済	税務会計	9784794415158	税理士になろう！		小池和彰：東北学院大学会計人会		創成社	201710	1,700	1,836
1928	事業	経済	税務会計	9784502209611	税務会計学辞典	新版	成道秀雄		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201710	5,200	5,616
1929	事業	経済	税務会計	9784534055361	法人税申告の実務全書．平成２９年度版		山本守之		日本実業出版社	201711	4,800	5,184
1930	事業	経済	税務会計	9784793122408	所得税重要事例集：厳選した所得税・譲渡所得の詳細な解説		安井和彦		税務研究会	201711	6,400	6,912
1931	事業	経済	税務会計	9784433604479	図解と個別事例による株式評価実務必携．平成２９年１１月改訂		岡本和之		納税協会連合会(発売：清文社)	201711	2,400	2,592
1932	事業	経済	税務会計	9784433607876	法人税事例選集：問答式．平成２９年１０月改訂		森田政夫：西尾宇一郎		清文社	201711	4,200	4,536
1933	事業	経済	税務会計	9784433616571	プロフェッショナル消費税の実務	平成２９年１０月	金井恵美子		清文社	201711	4,000	4,320
1934	事業	経済	税務会計	9784433629076	「パナマ文書以後」に対応する国外財産の移転・管理と税務マネジメント		佐藤臣夫：清水鏡雄		清文社	201711	4,000	4,320
1935	事業	経済	税務会計	9784419064990	所得拡大促進税制の手引き：法人税＆所得税まるごと解説！／雇用促進税制・地方拠	改訂版	安井和彦		税務経理協会	201711	2,800	3,024
1936	事業	経済	税務会計	9784324103920	会社税務マニュアルシリーズ．１	第九次改訂	大沼長清：井上久彌		ぎょうせい	201711	4,000	4,320
1937	事業	経済	税務会計	9784324103937	会社税務マニュアルシリーズ．２	第九次改訂	大沼長清：井上久彌		ぎょうせい	201711	4,000	4,320
1938	事業	経済	税務会計	9784324103944	会社税務マニュアルシリーズ．３	第９次改訂	大沼長清：井上久彌		ぎょうせい	201711	5,500	5,940
1939	事業	経済	税務会計	9784324103951	会社税務マニュアルシリーズ．４	第九次改訂	大沼長清：井上久彌		ぎょうせい	201711	4,000	4,320
1940	事業	経済	税務会計	9784754724771	スピンオフの税務と法務：新制度活用のための重要事例８０問による．平成２９年版		櫻井光照		大蔵財務協会	201711	3,426	3,700
1941	事業	経済	税務会計	9784502245114	税務申告でミスしないための組織再編の申告調整ケース５０＋６	改訂改題第１版	西村美智子：中島礼子		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201711	4,200	4,536
1942	事業	経済	税務会計	9784502248214	組織再編・資本等取引をめぐる税務の基礎	第３版	牧口晴一：齋藤孝一		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201711	5,600	6,048
1943	事業	経済	税務会計	9784793122613	国際取引の消費税Ｑ＆Ａ：輸出・輸入・内外判定	六訂版	上杉秀文		税務研究会	201712	3,800	4,104
1944	事業	経済	税務会計	9784433610777	詳解連結納税Ｑ＆Ａ	第９版	稲見誠一：大野久子		清文社	201712	6,500	7,020
1945	事業	経済	税務会計	9784754724887	消費税の実務と申告．平成３０年版		和氣光：小林幸夫		大蔵財務協会	201712	3,611	3,899
1946	事業	経済	税務会計	9784502248115	国際税務ハンドブック	第４版	ＰｗＣ税理士法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201712	5,600	6,048
1947	事業	経済	税務会計	9784502248511	国際税務のよくあるケース５０	第２版	佐和周	これだけは押さえておこう	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201712	2,200	2,376
1948	事業	経済	税務会計	9784539725771	小規模宅地等の特例適用可否の分岐点		岩下忠吾		日本法令	201801	2,400	2,592
1949	事業	経済	所得税	9784324099957	勘定科目別法人税完全チェックマニュアル：法人税改革対応版		小林磨寿美		ぎょうせい	201509	4,630	5,000

1950	事業	経済	保険	9784419061869	保険の基礎知識：リスク対策のガイダンス		林裕		税務経理協会	201501	1,600	1,728
1951	事業	経済	保険	9784502140310	はじめて学ぶ保険のしくみ	第２版	家森信善：浅井義裕		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201503	2,400	2,592
1952	事業	経済	保険	9784798501567	保険学における一般性と特殊性		小川浩昭		九州大学出版会	201503	6,000	6,480
1953	事業	経済	保険	9784842916729	読みながら考える保険論	増補改訂第２版	田畑康人：岡村国和		八千代出版	201604	2,600	2,808
1954	事業	経済	保険	9784641184343	保険学	補訂版	近見正彦：堀田一吉	有斐閣ブックス	有斐閣	201612	2,400	2,592
1955	事業	経済	保険	9784623078493	保険経済の根本問題：理論と実証		押尾直志		ミネルヴァ書房	201701	7,500	8,100
1956	事業	経済	保険	9784904192597	ベーシックリスクと保険用語辞典		赤堀勝彦		金融ブックス	201504	2,950	3,186
1957	事業	経済	保険理論	9784130629195	生命保険数学の基礎：アクチュアリー数学入門	第２版	山内恒人		東京大学出版会	201412	3,700	3,996
1958	事業	経済	保険理論	9784535607194	アクチュアリー数学入門	第４版	黒田耕嗣：斧田浩二	アクチュアリー数学シリーズ	日本評論社	201609	2,900	3,132
1959	事業	経済	保険理論	9784320111226	保険と金融の数理		室井芳史	クロスセクショナル統計シリーズ	共立出版	201702	3,000	3,240
1960	事業	経済	保険業史	9784842916699	日本の保険市場		小藤康夫		八千代出版	201603	2,200	2,376
1961	事業	経済	保険業史	9784275020017	中国保険業における開放と改革：政策展開と企業経営		伊藤博		御茶の水書房	201502	6,000	6,480
1962	事業	経済	保険政策	9784892932557	保険業法法規集：法律・施行令・施行規則・告示	第７版			保険毎日新聞社	201501	18,000	19,440
1963	事業	経済	保険政策	9784322128444	保険業務のコンプライアンス	第３版	中原健夫：山本啓太		金融財政事情研究会(発売：きんざい)	201604	3,400	3,672
1964	事業	経済	保険政策	9784817843074	Ｑ＆Ａ家事事件と保険実務：成年後見・高齢者・相続・遺言・離婚・未成年・親族		斎藤輝夫		日本加除出版	201606	3,000	3,240
1965	事業	経済	保険政策	9784322130133	詳解保険業法		吉田和央		金融財政事情研究会(発売：きんざい)	201607	8,500	9,180
1966	事業	経済	保険政策	9784892932731	保険販売の新たな地平：保険業法改正と募集人規制		早稲田大学保険規制問題研究所		保険毎日新聞社	201607	2,200	2,376
1967	事業	経済	保険政策	9784802832410	最新保険業法の解説	改訂３版	安居孝啓		大成出版社	201612	9,600	10,368
1968	事業	経済	保険政策	9784830949333	保険業法．２０１７		石田満		文眞堂	201704	8,500	9,180
1969	事業	経済	保険経営	9784892932601	保険ＥＲＭ戦略：リスク分散への挑戦		米山高生：酒井重人		保険毎日新聞社	201505	4,000	4,320
1970	事業	経済	保険経営	9784322132137	経済価値ベースの保険ＥＲＭの本質		森本祐司：松平直之		きんざい	201711	3,000	3,240
1971	事業	経済	生命保険	9784589036759	個人年金保険の研究		長沼建一郎		法律文化社	201504	2,800	3,024
1972	事業	経済	生命保険	9784892933639	保険税務ハンドブック．２０１５年度版		保険税務ハンドブック編集委員会		保険毎日新聞社	201508	3,900	4,212
1973	事業	経済	生命保険	9784905451556	生命保険税務と周辺問題Ｑ＆Ａ：５万件の相談事例にもとづく実践マニュアル		星和ビジネスリンク		新日本保険新聞社	201508	2,500	2,700
1974	事業	経済	生命保険	9784892932649	生命保険マーケティング：消費者行動論アプローチ		井上智紀		保険毎日新聞社	201511	3,600	3,888
1975	事業	経済	生命保険	9784535607170	生命保険数理		黒田耕嗣	アクチュアリー数学シリーズ	日本評論社	201603	2,800	3,024
1976	事業	経済	生命保険	9784322126891	生命保険の法務と実務	第３版	日本生命保険相互会社		金融財政事情研究会(発売：きんざい)	201605	7,000	7,560
1977	事業	経済	生命保険	9784881774342	クローズアップ保険税務：生命保険編		酒井克彦		財経詳報社	201701	2,500	2,700
1978	事業	経済	生命保険	9784274219467	Ｅｘｃｅｌで学ぶ生命保険：商品設計の数学		成川淳		オーム社	201709	3,800	4,104
1979	事業	経済	経営会計	9784830948824	生命保険企業のグローバル経営戦略：欧米系有力企業のアジア事業展開を中心として		平賀富一		文眞堂	201603	2,500	2,700
1980	事業	経済	経営会計	9784830949579	アジアの生命保険市場：現状・変化と将来展望		ニッセイ基礎研究所		文眞堂	201710	3,400	3,672
1981	事業	経済	損害保険	9784892932779	みんなに知ってほしい不妊治療と医療保障		ニッセイ基礎研究所		保険毎日新聞社	201701	3,400	3,672
1982	事業	経済	損害保険	9784535607095	損害保険数理		岩沢宏和：黒田耕嗣	アクチュアリー数学シリーズ	日本評論社	201506	3,200	3,456
1983	事業	経済	損害保険	9784892932625	損害賠償における休業損害と逸失利益算定の手引き．２０１５年版		斎藤博明		保険毎日新聞社	201507	4,500	4,860
1984	事業	経済	損害保険	9784892932687	役に立つ損害保険英語例文集		赤堀勝彦		保険毎日新聞社	201512	2,700	2,916
1985	事業	経済	損害保険	9784320111523	例題で学ぶ損害保険数理	第２版	小暮雅一：東出純		共立出版	201604	4,100	4,428
1986	事業	経済	損害保険	9784322128796	損害保険の法務と実務	第２版	東京海上日動火災保険株式会社		金融財政事情研究会(発売：きんざい)	201607	6,500	7,020
1987	事業	経済	損害保険	9784417016861	損害保険の法律相談．１（自動車保険）		伊藤文夫：丸山一朗	最新青林法律相談	青林書院	201607	4,900	5,292
1988	事業	経済	損害保険	9784892932755	損害賠償における休業損害と逸失利益算定の手引き．２０１６年版		斎藤博明		保険毎日新聞社	201608	4,500	4,860
1989	事業	経済	損害保険	9784785725785	権利保護保険のすべて		ＬＡＣ研究会		商事法務	201712	2,600	2,808
1990	事業	経済	運送保険	9784892932786	貨物保険の損害対応実務		東京海上日動火災保険株式会社		保険毎日新聞社	201701	7,500	8,100
1991	事業	経済	海上保険	9784792342586	損害てん補の本質：海上保険を中心として		中出哲		成文堂	201603	10,000	10,800
1992	事業	経済	その他保険	9784788280311	認容事例にみる後遺障害等級判断の境界：自賠責保険の認定と裁判例		九石拓也：楠慶		新日本法規出版	201506	4,100	4,428
1993	事業	経済	その他保険	9784990651589	Ｑ＆Ａハンドブック交通事故診療	全訂新版	日本臨床整形外科学会：羽成守		創耕舎	201508	5,200	5,616
1994	事業	経済	その他保険	9784908621000	交通事故診療と損害賠償実務の交錯		交通事故賠償研究会		創耕舎	201606	3,200	3,456
1995	事業	経済	その他保険	9784792342609	権利保護保険：法的ファイナンスの規範論序説		應本昌樹		成文堂	201610	6,600	7,128
1996	事業	経済	その他保険	9784892932762	ノーフォルト自動車保険論		佐野誠		保険毎日新聞社	201610	6,000	6,480
1997	事業	経済	その他保険	9784335357015	逐条解説自動車損害賠償保障法	第２版	北河隆之：中西茂		弘文堂	201702	3,700	3,996
1998	事業	経済	その他保険	9784785725273	Ｄ＆Ｏ保険の先端．１		Ｄ＆Ｏ保険実務研究会	成長戦略と企業法制	商事法務	201705	2,500	2,700
1999	事業	財政	租税	9784792305680	近代立憲主義による租税理論の再考：国民から国家への贈り物		片上孝洋		成文堂	201410	7,000	7,560

2000	事業	財政	租税	9784766833010	新訂税の基礎．２０１５年度版		藤曲武美	Ｂａｓｉｃ ｓｅｒｉｅｓ	経済法令研究会	201507	2,200	2,376
2001	事業	財政	租税	9784419062729	知っておきたい国税の常識	第１７版	大淵博義		税務経理協会	201507	2,700	2,916
2002	事業	財政	租税	9784881774175	税金ガイド：英和対照．２７年版		川田剛		財経詳報社	201508	10,000	10,800
2003	事業	財政	租税	9784766833294	税の基礎．２０１６年度版		藤曲武美	Ｂａｓｉｃ ｓｅｒｉｅｓ	経済法令研究会	201607	2,200	2,376
2004	事業	財政	租税	9784766833300	税金入門：図とイラストでよくわかる．２０１６年度版		小島興一：蒔田知子	Ｂｅｇｉｎｎｅｒ Ｓｅｒｉｅｓ	経済法令研究会	201607	1,600	1,728
2005	事業	財政	租税	9784419063993	知っておきたい国税の常識	第１８版	大淵博義		税務経理協会	201608	3,000	3,240
2006	事業	財政	租税	9784881774298	税金ガイド：英和対照．２８年版		川田剛		財経詳報社	201608	10,000	10,800
2007	事業	財政	租税	9784883353835	ふるさと納税と地域経営：制度の現状と地方自治体の活用事例		髙松俊和：事業構想大学院大学ふるさと納税・地方創生	地方創生シリーズ	事業構想大学院大学出版部(発売：宣伝会議)	201612	1,800	1,944
2008	事業	財政	租税	9784883353873	ふるさと納税の理論と実践		保田隆明：保井俊之	地方創生シリーズ	事業構想大学院大学出版部(発売：宣伝会議)	201702	1,800	1,944
2009	事業	財政	租税	9784754723965	解説ＱＡによる国税関係帳簿書類の電子（スキャナ）保存の実務		藤崎直樹		大蔵財務協会	201704	2,315	2,500
2010	事業	財政	租税	9784862581082	タックス・ジャスティス：税の政治哲学		伊藤恭彦	選書(風のビブリオ)	風行社	201705	1,800	1,944
2011	事業	財政	租税	9784766833645	新訂税の基礎．２０１７年度版		藤曲武美	Ｂａｓｉｃ ｓｅｒｉｅｓ	経済法令研究会	201707	2,200	2,376
2012	事業	財政	租税	9784766833652	税金入門：図とイラストでよくわかる．２０１７年度版		小島興一：蒔田知子	Ｂｅｇｉｎｎｅｒ Ｓｅｒｉｅｓ	経済法令研究会	201707	1,600	1,728
2013	事業	財政	租税	9784419064808	知っておきたい国税の常識	第１９版	大淵博義		税務経理協会	201708	3,200	3,456
2014	事業	財政	租税	9784754724450	税務相談事例集：各税目の視点から解説．平成２９年版		藤原忠文		大蔵財務協会	201708	5,370	5,799
2015	事業	財政	租税	9784881774380	税金ガイド：英和対照．２９年版		川田剛		財経詳報社	201708	10,000	10,800
2016	事業	財政	租税	9784502240218	税金の知識：わかりやすい一問一答Ｑ＆Ａ．平成２９年度版		ＳＭＢＣ日興証券株式会社ソリューション企		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201709	2,400	2,592
2017	事業	財政	租税	9784419062781	税務便覧．平成２７年度版		税務経理協会		税務経理協会	201509	3,000	3,240
2018	事業	財政	租税	9784419063955	税務便覧．平成２８年度版		税務経理協会		税務経理協会	201609	3,200	3,456
2019	事業	財政	租税	9784419064792	税務便覧．平成２９年度版		税務経理協会	別冊税経通信	税務経理協会	201709	3,100	3,348
2020	事業	財政	租税	9784754721510	国税庁統計年報書．第１３８回（平成２４年度版）		国税庁		大蔵財務協会	201410	3,241	3,500
2021	事業	財政	租税	9784754723606	国税庁統計年報書．第１４０回（平成２６年度版）		国税庁		大蔵財務協会	201609	3,241	3,500
2022	事業	財政	租税政策/行政	9784589036247	入門税務調査：小説でつかむ改正国税通則法の要点と検証		八ツ尾順一		法律文化社	201410	2,600	2,808
2023	事業	財政	租税政策/行政	9784788278325	実務税法六法－通達．平成２６年版				新日本法規出版	201410	5,400	5,832
2024	事業	財政	租税政策/行政	9784792305673	基本原理から読み解く租税法入門		増田英敏		成文堂	201410	2,400	2,592
2025	事業	財政	租税政策/行政	9784754721442	租税徴収における事実認定の実務		中山裕嗣		大蔵財務協会	201410	2,778	3,000
2026	事業	財政	租税政策/行政	9784890320479	金融税制と租税体系		日本証券経済研究所		日本証券経済研究所	201410	2,000	2,160
2027	事業	財政	租税政策/行政	9784502113710	メコン流域諸国の税務：タイ・ベトナム・カンボジア・ラオス・ミャンマー	第２版	ＫＰＭＧ：あずさ監査法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201410	6,200	6,696
2028	事業	財政	租税政策/行政	9784589036346	格差是正と税制		日本租税理論学会	租税理論研究叢書	法律文化社	201411	4,500	4,860
2029	事業	財政	租税政策/行政	9784754721497	年末調整のしかた．平成２６年版		丸山宏		大蔵財務協会	201411	1,852	2,000
2030	事業	財政	租税政策/行政	9784419061630	アジア進出企業の実務対応中国．税務実践編		マイツグループ		税務経理協会	201411	2,500	2,700
2031	事業	財政	租税政策/行政	9784930964588	国際課税における重要な課税原則の再検討．上巻		本庄資		日本租税研究協会	201412	3,000	3,240
2032	事業	財政	租税政策/行政	9784641131705	クロスボーダー取引課税のフロンティア		中里実：太田洋	西村高等法務研究所理論と実務の架橋シリーズ	有斐閣	201412	4,200	4,536
2033	事業	財政	租税政策/行政	9784535520950	税法解釈の限界を考える：判例・裁決の批判的検討		粟津明博		日本評論社	201501	4,000	4,320
2034	事業	財政	租税政策/行政	9784938419684	国際的二重課税排除の制度と実務：外国税額控除制度・外国子会社配当益金不算入制度	第３版	朝長英樹：郭暉光		法令出版	201501	3,714	4,011
2035	事業	財政	租税政策/行政	9784938419691	国際課税質疑応答集：基本的な仕組みと考え方	改訂版	吉川保弘		法令出版	201501	3,714	4,011
2036	事業	財政	租税政策/行政	9784938419707	税務調査の実例４０：選定理由・展開		小宮山隆：タックス・コム		法令出版	201501	2,130	2,300
2037	事業	財政	租税政策/行政	9784806518624	産業税制ハンドブック．平成２６年度版		経済産業省経済産業政策局		経済産業調査会	201502	4,000	4,320
2038	事業	財政	租税政策/行政	9784589036599	グローバル・タックスの構想と射程		上村雄彦		法律文化社	201502	4,300	4,644
2039	事業	財政	租税政策/行政	9784903425931	租税法と行政法の交錯：租税手続法・租税争訟法の視点から		占部裕典		慈学社出版(発売：大学図書)	201502	12,000	12,960
2040	事業	財政	租税政策/行政	9784130461146	現代アメリカ連邦税制：付加価値税なき国家の租税構造		関口智		東京大学出版会	201502	6,400	6,912
2041	事業	財政	租税政策/行政	9784881774106	一般否認規定と租税回避判例の各国比較：ＧＡＡＲパッケージの視点からの分析		矢内一好		財経詳報社	201502	2,800	3,024
2042	事業	財政	租税政策/行政	9784930964601	国税通則法講義：国税手続・争訟の法理と実務問題を解説		品川芳宣		日本租税研究協会	201503	2,500	2,700
2043	事業	財政	租税政策/行政	9784757123434	失われた国家の富：タックス・ヘイブンの経済学		ガブリエル・ズックマン：林昌宏		ＮＴＴ出版	201503	1,600	1,728
2044	事業	財政	租税政策/行政	9784433533946	これならわかる！租税条約	３訂版	藤井恵：本庄資		清文社	201503	3,400	3,672
2045	事業	財政	租税政策/行政	9784419062217	ガイダンス新税法講義	３訂版	林仲宣：竹内進		税務経理協会	201503	2,600	2,808
2046	事業	財政	租税政策/行政	9784792305703	租税法と数理		関本大樹	久留米大学法政叢書	成文堂	201503	5,000	5,400
2047	事業	財政	租税政策/行政	9784881774144	基礎から学ぶ現代税法	第２版	岸田貞夫：吉村典久		財経詳報社	201503	2,900	3,132
2048	事業	財政	租税政策/行政	9784532356330	税で日本はよみがえる：成長力を高める改革		森信茂樹		日本経済新聞出版社	201503	3,000	3,240
2049	事業	財政	租税政策/行政	9784535558304	租税戦略の解明		松田直樹		日本評論社	201503	6,500	7,020

2050	事業	財政	租税政策/行政	9784754721701	最近の判例に学ぶ徴収実務	増補改訂版	橋素子		大蔵財務協会	201503	4,630	5,000
2051	事業	財政	租税政策/行政	9784754743833	税務調査最前線改正国税通則法を踏まえて		武田恒男		大蔵財務協会	201503	2,593	2,800
2052	事業	財政	租税政策/行政	9784495176419	租税負担削減行動の経済的要因：租税負担削減行動インセンティブの実証分析		大沼宏		同文舘出版	201503	3,700	3,996
2053	事業	財政	租税政策/行政	9784502130519	超入門コンパクト租税法		木山泰嗣		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201503	2,400	2,592
2054	事業	財政	租税政策/行政	9784876981007	中国の資源税		何彦妥	プリエ・コレクション	京都大学学術出版会	201503	2,800	3,024
2055	事業	財政	租税政策/行政	9784433536046	Ｑ＆Ａ国税通則法詳解	３訂版	黒坂昭一		清文社	201503	3,000	3,240
2056	事業	財政	租税政策/行政	9784532356439	平成２７年度税制改正のポイント：ビジュアル解説		あいわ税理士法人		日本経済新聞出版社	201504	1,800	1,944
2057	事業	財政	租税政策/行政	9784641131781	租税法概説	第２版	中里実：弘中聡浩		有斐閣	201504	2,900	3,132
2058	事業	財政	租税政策/行政	9784335304613	租税法	第２０版	金子宏	法律学講座双書	弘文堂	201504	5,800	6,264
2059	事業	財政	租税政策/行政	9784793121395	ＯＥＣＤモデル租税条約コメンタリー逐条解説	第３版	川田剛：徳永匡子		税務研究会	201504	4,200	4,536
2060	事業	財政	租税政策/行政	9784419062187	国際課税の基礎知識	９訂版	川田剛		税務経理協会	201504	4,900	5,292
2061	事業	財政	租税政策/行政	9784419062378	税制改正まるわかり！：動き・焦点からその背景まで．平成２７年度版		山本守之		税務経理協会	201504	1,600	1,728
2062	事業	財政	租税政策/行政	9784788279759	図解税制改正のポイント．平成２７年度		名南経営		新日本法規出版	201504	2,200	2,376
2063	事業	財政	租税政策/行政	9784754721985	租税回避と濫用法理：租税回避の基礎的研究		今村隆		大蔵財務協会	201504	4,444	4,799
2064	事業	財政	租税政策/行政	9784502139314	国際租税法における定式所得配賦法の研究：多国籍企業への定式配賦法適用に関する考察		伊藤公哉		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201504	3,800	4,104
2065	事業	財政	租税政策/行政	9784881774151	スタートアップ租税法：租税法学習の道しるべ	第３版	酒井克彦		財経詳報社	201504	2,400	2,592
2066	事業	財政	租税政策/行政	9784502141713	検証税法上の不確定概念	新版	山本守之：守之会		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201505	4,000	4,320
2067	事業	財政	租税政策/行政	9784433534158	税務形式基準の実務対応：トラブルの回避と判断上の問題点		嶋協		清文社	201506	2,800	3,024
2068	事業	財政	租税政策/行政	9784788279674	実務税法六法－法令．平成２７年版				新日本法規出版	201506	5,800	6,264
2069	事業	財政	租税政策/行政	9784324099636	税務六法．通達編 平成２７年版		日本税理士会連合会		ぎょうせい	201507	5,200	5,616
2070	事業	財政	租税政策/行政	9784881774168	図説日本の税制．平成２７年度版		江島一彦		財経詳報社	201508	2,100	2,268
2071	事業	財政	租税政策/行政	9784433520755	「正当な理由」をめぐる認定判断と税務解釈：判断に迷う(加算税免除規定)の解釈		酒井克彦		清文社	201508	2,200	2,376
2072	事業	財政	租税政策/行政	9784433523657	Ｑ＆Ａ都市農地税制必携ガイド		柴原一：都市農地活用支援センター		清文社	201508	2,400	2,592
2073	事業	財政	租税政策/行政	9784623073269	租税回避研究の展開と課題		岡村忠生		ミネルヴァ書房	201509	6,000	6,480
2074	事業	財政	租税政策/行政	9784623074648	租税回避の研究		清永敬次	ミネルヴァ・アーカイブズ	ミネルヴァ書房	201509	10,000	10,800
2075	事業	財政	租税政策/行政	9784335313233	ブレップ租税法	第３版	佐藤英明	ブレップシリーズ	弘文堂	201510	1,900	2,052
2076	事業	財政	租税政策/行政	9784495176518	ベーシック国際租税法		土屋重義：沼田博幸		同文舘出版	201510	2,200	2,376
2077	事業	財政	租税政策/行政	9784881774212	国際課税の新展開		日本租税理論学会	租税理論研究叢書	日本租税理論学会(発売：財経詳報社)	201510	2,800	3,024
2078	事業	財政	租税政策/行政	9784805731437	米国の一般否認規定の法定化とその意義に関する研究		新谷幹雄		中央大学出版部	201510	4,000	4,320
2079	事業	財政	租税政策/行政	9784130323789	国際租税法	第３版	増井良啓：宮崎裕子		東京大学出版会	201511	3,200	3,456
2080	事業	財政	租税政策/行政	9784335356506	レクチャー租税法解釈入門		酒井克彦		弘文堂	201511	2,500	2,700
2081	事業	財政	租税政策/行政	9784324100516	税理士・会計士のための基礎からよくわかる国際課税		川田剛		ぎょうせい	201511	2,500	2,700
2082	事業	財政	租税政策/行政	9784930964625	税制改革と国際課税（ＢＥＰＳ）への取組：（公社）日本租税研究協会租税研究大会記録第６７回（				日本租税研究協会	201512	2,000	2,160
2083	事業	財政	租税政策/行政	9784502152016	大系租税法		水野忠恒		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201512	8,500	9,180
2084	事業	財政	租税政策/行政	9784335356735	税法基本講義	第５版	谷口勢津夫		弘文堂	201601	3,700	3,996
2085	事業	財政	租税政策/行政	9784419063092	中国の租税制裁制度：中国税制と税務調査の日中比較		張小平		税務経理協会	201601	2,900	3,132
2086	事業	財政	租税政策/行政	9784502178313	徴税と納税制度の経済分析		橋山直子		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201602	3,800	4,104
2087	事業	財政	租税政策/行政	9784754722869	国税通則法精解．平成２８年改訂		志場喜徳郎：荒井勇		大蔵財務協会	201602	6,111	6,599
2088	事業	財政	租税政策/行政	9784754722920	租税徴収実務と民法	３訂版	中山裕嗣		大蔵財務協会	201602	3,241	3,500
2089	事業	財政	租税政策/行政	9784754722999	国税徴収法基本通達逐条解説．平成２８年版		小林徹		大蔵財務協会	201602	4,722	5,099
2090	事業	財政	租税政策/行政	9784906520527	災害税制の研究：米国災害税制を含めて東日本大震災までを振り返る		増山裕一		実務出版	201602	3,519	3,800
2091	事業	財政	租税政策/行政	9784502179112	租税条約をマスターしたい！と思ったとき最初に読む本		あいわ税理士法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201602	2,600	2,808
2092	事業	財政	租税政策/行政	9784930964632	国際課税における重要な課税原則の再検討．中巻		本庄資		日本租税研究協会	201603	3,000	3,240
2093	事業	財政	租税政策/行政	9784793121906	税制改正マップ：速報版！！．平成２８年度		あいわ税理士法人		税務研究会	201603	1,800	1,944
2094	事業	財政	租税政策/行政	9784792305888	税法上の配当概念の展開と課題		小塚真啓		成文堂	201603	4,000	4,320
2095	事業	財政	租税政策/行政	9784805722589	格差対応財政の新展開		片桐正俊：御船洋	中央大学経済研究所研究叢書	中央大学出版部	201603	5,000	5,400
2096	事業	財政	租税政策/行政	9784502186110	租税法入門．上巻（法人税法・消費税法編）	第２版	福浦幾巳		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201603	2,200	2,376
2097	事業	財政	租税政策/行政	9784881774243	日本とアジア・大洋州・米州・旧ソ連諸国との租税条約：コンパクト解説		矢内一好		財経詳報社	201603	2,400	2,592
2098	事業	財政	租税政策/行政	9784335304743	租税法	第２１版	金子宏	法律学講座双書	弘文堂	201604	5,900	6,372
2099	事業	財政	租税政策/行政	9784433638566	現代税法入門塾：税金のすべてがわかる	第８版	石村耕治		清文社	201604	3,800	4,104

2100	事業	財政	租税政策/行政	9784495176617	租税法入門		菊谷正人：依田俊伸		同文舘出版	201604	2,800	3,024
2101	事業	財政	租税政策/行政	9784419063528	税制改正まるわかり！：動き・焦点からその背景まで．平成２８年度版		山本守之		税務経理協会	201604	1,800	1,944
2102	事業	財政	租税政策/行政	9784502183614	テキストブック租税法		水野忠恒：赤松晃		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201604	3,100	3,348
2103	事業	財政	租税政策/行政	9784842916804	市民のための税法学		伊藤悟		八千代出版	201604	3,400	3,672
2104	事業	財政	租税政策/行政	9784502187513	租税の経済分析：望ましい税制をめざして		森徹：森田雄一		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201604	2,800	3,024
2105	事業	財政	租税政策/行政	9784419063450	ドイツ進出企業の税制と実務		池田良一		税務経理協会	201604	5,600	6,048
2106	事業	財政	租税政策/行政	9784881774250	租税訴訟．第９号		租税訴訟学会		財経詳報社	201604	2,800	3,024
2107	事業	財政	租税政策/行政	9784793121821	アジア税の基礎知識：アジアで貢献する日本企業		伏見俊行		税務研究会	201605	3,200	3,456
2108	事業	財政	租税政策/行政	9784433614065	非居住者・外国法人源泉徴収の実務Ｑ＆Ａ	第２版	門野久雄		清文社	201605	3,800	4,104
2109	事業	財政	租税政策/行政	9784754723088	実務家必携実務借地権課税		梶山清児		大蔵財務協会	201605	3,333	3,599
2110	事業	財政	租税政策/行政	9784641227071	グローバル時代の税制と再分配		租税法学会	租税法研究	有斐閣	201606	3,200	3,456
2111	事業	財政	租税政策/行政	9784788281066	実務税法六法－法令．平成２８年版				新日本法規出版	201606	6,200	6,696
2112	事業	財政	租税政策/行政	9784324101506	こうなる！国税スキャナ・スマホ撮影保存：平成２８年度改正対応		佐久間裕幸		ぎょうせい	201606	2,000	2,160
2113	事業	財政	租税政策/行政	9784502183317	出国税と国外財産調書・財産債務調書の実務Ｑ＆Ａ		日本税務総研		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201606	3,600	3,888
2114	事業	財政	租税政策/行政	9784324101230	税務六法．法令編　平成２８年版		日本税理士会連合会		ぎょうせい	201607	5,500	5,940
2115	事業	財政	租税政策/行政	9784324101247	税務六法．通達編　平成２８年版		日本税理士会連合会		ぎょうせい	201607	5,200	5,616
2116	事業	財政	租税政策/行政	9784502193514	税務ビギナーのための税法・判例リサーチナビ		高橋創		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201607	2,000	2,160
2117	事業	財政	租税政策/行政	9784754723118	租税公課徴収実務のポイント３００選	平成２８年改訂版	橘素子		大蔵財務協会	201607	4,815	5,200
2118	事業	財政	租税政策/行政	9784502188510	ＰＥ（恒久的施設）課税の実務		東京共同会計事務所		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201607	3,200	3,456
2119	事業	財政	租税政策/行政	9784502197413	Ｑ＆Ａでわかる平成２８年度税制改正の実務：改正政省令対応版		宮森俊樹		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201607	2,500	2,700
2120	事業	財政	租税政策/行政	9784881774267	日本とヨーロッパ・中東・アフリカ諸国との租税条約：コンパクト解説		矢内一好		財経詳報社	201607	2,400	2,592
2121	事業	財政	租税政策/行政	9784881774281	図説日本の税制．平成２８年度版		田原芳幸		財経詳報社	201608	2,100	2,268
2122	事業	財政	租税政策/行政	9784793121975	改正電子帳簿保存法完全ガイド：平成２８年度改正対応		袖山喜久造		税務研究会	201608	2,700	2,916
2123	事業	財政	租税政策/行政	9784806518860	産業税制ハンドブック．平成２７年度版		経済産業省経済産業政策局		経済産業調査会	201608	4,000	4,320
2124	事業	財政	租税政策/行政	9784641227125	所得課税の国際的側面		渕圭吾		有斐閣	201608	6,600	7,128
2125	事業	財政	租税政策/行政	9784324101582	図解電子税務：申告・納税の電子化実践法		豊森照信		ぎょうせい	201608	3,000	3,240
2126	事業	財政	租税政策/行政	9784881774304	クローズアップ租税行政法：税務調査・税務手続を理解する	第２版	酒井克彦		財経詳報社	201608	2,700	2,916
2127	事業	財政	租税政策/行政	9784326403257	税法学原論	第７版 黒川功補	北野弘久		勁草書房	201609	4,000	4,320
2128	事業	財政	租税政策/行政	9784419063764	アドバイス税法講義：地方税職員のための税法入門．上巻		林仲宣		税務経理協会	201609	3,000	3,240
2129	事業	財政	租税政策/行政	9784881774311	中小企業課税		日本租税理論学会	租税理論研究叢書	日本租税理論学会(発売：財経詳報社)	201609	2,800	3,024
2130	事業	財政	租税政策/行政	9784324102060	実践税務書類のスマホ・スキャナ保存：国税庁Ｑ＆Ａ対応		佐久間裕幸		ぎょうせい	201609	2,200	2,376
2131	事業	財政	租税政策/行政	9784754723095	税法用語辞典	９訂版	岩崎政明：平野嘉秋		大蔵財務協会	201609	5,000	5,400
2132	事業	財政	租税政策/行政	9784474039858	アクセス税務通達の読み方		酒井克彦		第一法規出版	201610	2,600	2,808
2133	事業	財政	租税政策/行政	9784419063771	アドバイス税法講義：地方税職員のための税法入門．下巻		林仲宣		税務経理協会	201610	2,600	2,808
2134	事業	財政	租税政策/行政	9784788281073	実務税法六法－通達．平成２８年版				新日本法規出版	201610	5,600	6,048
2135	事業	財政	租税政策/行政	9784817843609	実務に活かす！税務リーガルマインド：納税者勝訴事例から学ぶ税務対応へのヒントを中心に効		佐藤修二		日本加除出版	201611	2,000	2,160
2136	事業	財政	租税政策/行政	9784766423808	環境税の日独比較：財政学から見た租税構造と導入過程		佐藤一光		慶応義塾大学出版会	201611	4,800	5,184
2137	事業	財政	租税政策/行政	9784788281950	業種別税務調査のポイント：国税調査官の視点とアドバイス		渡邉崇甫		新日本法規出版	201611	3,900	4,212
2138	事業	財政	租税政策/行政	9784754723668	図解とＱ＆Ａで実務がわかる法定調書のすべて：所得税法　相続税法　租税特別措置法　国外送金等調書	最新版	佐藤和助：渡辺正弘		大蔵財務協会	201611	3,241	3,500
2139	事業	財政	租税政策/行政	9784890320523	リスクと税制		日本証券経済研究所		日本証券経済研究所	201611	2,000	2,160
2140	事業	財政	租税政策/行政	9784502203411	「むずかしい税法条文」攻略本		村木慎吾：内藤忠大		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201611	2,300	2,484
2141	事業	財政	租税政策/行政	9784433634667	マンガでわかる税務調査：法人課税第三部門にて		八ツ尾順一：巴啓祐		清文社	201612	1,800	1,944
2142	事業	財政	租税政策/行政	9784433635169	調査官目線でつかむセーフ？アウト？税務調査		飯田真弓		清文社	201612	1,800	1,944
2143	事業	財政	租税政策/行政	9784324102398	新しい加算税の実務：税務調査と資料情報への対応		酒井克彦		ぎょうせい	201612	2,500	2,700
2144	事業	財政	租税政策/行政	9784754723507	ＰＥ課税コンパクトガイド		ディーエルエイ・パイパー東京パートナーシ		大蔵財務協会	201701	2,037	2,199
2145	事業	財政	租税政策/行政	9784474056947	詳解新しい国際課税の枠組みＢＥＰＳの導入と各国の税制対応		ＥＹ税理士法人		第一法規出版	201702	4,200	4,536
2146	事業	財政	租税政策/行政	9784433633264	租税回避をめぐる税務リスク対策：行為計算否認に備えた実務対応について		入谷淳		清文社	201702	3,000	3,240
2147	事業	財政	租税政策/行政	9784539746202	税制改正と実務の徹底対策：よくわかる．平成２９年度		平川忠雄：中島孝一		日本法令	201702	2,300	2,484
2148	事業	財政	租税政策/行政	9784502214219	アメリカ連邦税法：所得概念から法人・パートナーシップ・信託まで	第６版	伊藤公哉		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201702	7,600	8,208
2149	事業	財政	租税政策/行政	9784502228919	早わかり平成２９年度税制改正のすべてＱ＆Ａ		鹿志村裕：熊王征秀		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201702	1,600	1,728

2150	事業	財政	租税政策/行政	9784474056756	ケース別でわかりやすい借地権課税の実務		細川総合パートナーズ		第一法規出版	201703	3,500	3,780
2151	事業	財政	租税政策/行政	9784419064181	国際課税の基礎知識	１０訂版	川田剛		税務経理協会	201703	4,900	5,292
2152	事業	財政	租税政策/行政	9784419064419	税制改正まるわかり！：動き・焦点からその背景まで．平成２９年度版		山本守之		税務経理協会	201703	1,800	1,944
2153	事業	財政	租税政策/行政	9784419064464	借地権相続・贈与と譲渡の税務：しくみを知ればトラブルは防げる！	第２版	武田秀和：中村隆		税務経理協会	201703	2,600	2,808
2154	事業	財政	租税政策/行政	9784502221910	金融資産・信託財産の課税と理論		水野惠子		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201703	6,400	6,912
2155	事業	財政	租税政策/行政	9784754724092	租税法入門	十三訂版	川田剛		大蔵財務協会	201703	3,056	3,300
2156	事業	財政	租税政策/行政	9784754724122	税制改正早わかり：国税・地方税の主要改正事項を分かりやすく解説．平成２９年度		中村慈美：松岡章夫		大蔵財務協会	201703	2,037	2,199
2157	事業	財政	租税政策/行政	9784335357008	基礎から学べる租税法		谷口勢津夫：一高龍司		弘文堂	201704	2,600	2,808
2158	事業	財政	租税政策/行政	9784335304767	租税法	第２２版	金子宏	法律学講座双書	弘文堂	201704	6,000	6,480
2159	事業	財政	租税政策/行政	9784641281417	よくわかる税法入門	第１１版	三木義一	有斐閣選書	有斐閣	201704	2,100	2,268
2160	事業	財政	租税政策/行政	9784881774366	基礎から学ぶ現代税法	第３版	岸田貞夫：吉村典久		財経詳報社	201704	2,900	3,132
2161	事業	財政	租税政策/行政	9784754723576	第二次納税義務制度の実務	全訂版	橋素子		大蔵財務協会	201704	3,333	3,599
2162	事業	財政	租税政策/行政	9784754724177	基礎から身につく国税通則法．平成２９年度版		川田剛		大蔵財務協会	201704	1,852	2,000
2163	事業	財政	租税政策/行政	9784502890383	国税通則・徴収・犯則法規集	平成２９年４月１	日本税理士会連合会：中央経済社		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201705	2,800	3,024
2164	事業	財政	租税政策/行政	9784785725266	ＢＥＰＳの実務．１		ＢＥＰＳ実務研究会	成長戦略と企業法制	商事法務	201705	2,500	2,700
2165	事業	財政	租税政策/行政	9784433605377	租税条約関係法規集．平成２９年版				納税協会連合会(発売：清文社)	201706	13,000	14,040
2166	事業	財政	租税政策/行政	9784433630379	租税回避の事例研究：具体的事例から否認の限界を考える	七訂版	八ツ尾順一		清文社	201706	4,400	4,752
2167	事業	財政	租税政策/行政	9784539746240	源泉徴収税額表とその見方：はじめての人にもよくわかる．２９年版		岡本勝秀		日本法令	201706	1,800	1,944
2168	事業	財政	租税政策/行政	9784535065079	現代租税法講座．第１巻		金子宏：中里実		日本評論社	201706	4,500	4,860
2169	事業	財政	租税政策/行政	9784535065086	現代租税法講座．第２巻		金子宏：中里実		日本評論社	201706	4,500	4,860
2170	事業	財政	租税政策/行政	9784535065093	現代租税法講座．第３巻		金子宏：中里実		日本評論社	201706	4,500	4,860
2171	事業	財政	租税政策/行政	9784641227316	戦後税制のダイナミズム		租税法学会	租税法研究	有斐閣	201707	3,800	4,104
2172	事業	財政	租税政策/行政	9784754724511	国際租税法－概論－	第３版	本庄資：田井良夫		大蔵財務協会	201707	3,333	3,599
2173	事業	財政	租税政策/行政	9784754724559	Ｑ＆Ａ実務国税徴収法．平成２９年版		黒坂昭一		大蔵財務協会	201707	2,500	2,700
2174	事業	財政	租税政策/行政	9784754744373	加算税の最新実務と税務調査対応Ｑ＆Ａ：判決・裁決・事例で解決		武田恒男		大蔵財務協会	201707	3,333	3,599
2175	事業	財政	租税政策/行政	9784502237515	税制改正のすべてＱ＆Ａ：改正政省令完全対応版．平成２９年度		宮森俊樹	別冊税務弘報	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201707	2,000	2,160
2176	事業	財政	租税政策/行政	9784793122552	税法便覧．平成２９年度版		藤曲直樹：坂井裕幸		税務研究会	201708	7,500	8,100
2177	事業	財政	租税政策/行政	9784793122576	改正税法の要点解説：全税目収録．平成２９年度版		税務研究会		税務研究会	201708	2,200	2,376
2178	事業	財政	租税政策/行政	9784419064587	欧州ビジネスのためのＥＵ税制：付加価値税・移転価格税制・ＰＥ問題	改訂版	池田良一		税務経理協会	201708	5,000	5,400
2179	事業	財政	租税政策/行政	9784502230912	欧州主要国の税法	第３版	デロイトトーマツ税理士法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201708	6,800	7,344
2180	事業	財政	租税政策/行政	9784535065109	現代租税法講座．第４巻		金子宏：中里実		日本評論社	201708	5,000	5,400
2181	事業	財政	租税政策/行政	9784797256925	公法の理論と体系思考：木村弘之亮先生古希記念		木村弘之亮先生古希記念論文集編集委員会		信山社出版	201708	12,000	12,960
2182	事業	財政	租税政策/行政	9784881774397	図説日本の税制．平成２９年度版		吉野維一郎		財経詳報社	201709	2,100	2,268
2183	事業	財政	租税政策/行政	9784495176228	ベーシック租税法	第２版	土屋重義：沼田博幸		同文舘出版	201709	2,500	2,700
2184	事業	財政	租税政策/行政	9784754724399	図解国税通則法．平成２９年版		黒坂昭一：佐藤謙一		大蔵財務協会	201709	3,148	3,399
2185	事業	財政	租税政策/行政	9784502240010	２９年度税制改正後のタックス・ヘイブン対策税制		佐和周：菅健一郎		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201709	2,400	2,592
2186	事業	財政	租税政策/行政	9784502241611	ＢＥＰＳ：動き出した国際税務基準		望月一央		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201709	2,200	2,376
2187	事業	財政	租税政策/行政	9784335305177	ケースブック租税法	第５版	金子宏：佐藤英明	弘文堂ケースブックシリーズ	弘文堂	201710	4,500	4,860
2188	事業	財政	租税政策/行政	9784641220942	租税法		岡村忠生：酒井貴子	有斐閣アルマ	有斐閣	201710	2,100	2,268
2189	事業	財政	租税政策/行政	9784754724566	ＢＥＰＳ文書作成マニュアル：マスターファイル・ＣｂＣレポート・ローカルファイル		遠藤克博：三関公雄		大蔵財務協会	201710	2,593	2,800
2190	事業	財政	租税政策/行政	9784502238314	租税法の解釈と適用		増田英敏		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201710	4,600	4,968
2191	事業	財政	租税政策/行政	9784433639273	図解租税法ノート	１０訂版	八ツ尾順一		清文社	201711	2,500	2,700
2192	事業	財政	租税政策/行政	9784908672163	近代日本の課税と徴収		牛米努		有志舎	201711	7,400	7,992
2193	事業	財政	租税政策/行政	9784793122729	居住用財産に係る税務の徹底解説		平川忠雄：中島孝一		税務研究会	201712	2,200	2,376
2194	事業	財政	租税政策/行政	9784433415372	設例で理解する税務難問事例の捉え方と対処法		税理士法人ＪＰコンサルタンツ：ＪＰコンサルタンツグループ		清文社	201712	3,200	3,456
2195	事業	財政	租税政策/行政	9784433636272	税務調査と質問検査権の法知識Ｑ＆Ａ．第３版		安部和彦		清文社	201712	2,800	3,024
2196	事業	財政	租税政策/行政	9784502246319	国際課税ルールの新しい理論と実務：ポストＢＥＰＳの重要課題		本庄資		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201712	9,800	10,584
2197	事業	財政	租税政策/行政	9784502249716	タックス・ヘイブン対策税制の実務詳解：パナマ文書／抜本改正から判決事例まで		藤枝純：角田伸広		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201712	4,600	4,968
2198	事業	財政	租税政策/行政	9784474058187	法律家のための税法会社法編	新訂第７版	東京弁護士会		第一法規出版	201801	4,500	4,860
2199	事業	財政	税務訴訟	9784502119118	税務判決・裁決例の読み方：実務に生かすヒント		朝倉洋子：藤曲武美		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201410	3,000	3,240

2200	事業	財政	税務訴訟	9784754721572	裁決事例集．第９４集（平成２６年１月～３月				大蔵財務協会	201411	2,963	3,200
2201	事業	財政	税務訴訟	9784793121357	判例裁決から見る加算税の実務		佐藤善恵		税務研究会	201504	1,800	1,944
2202	事業	財政	税務訴訟	9784754722005	租税徴収処分と不服申立ての実務	２訂版	中山裕嗣		大蔵財務協会	201504	3,241	3,500
2203	事業	財政	税務訴訟	9784754721947	Ｑ＆Ａ国税に関する不服申立制度の実務	２訂版	黒坂昭一		大蔵財務協会	201505	3,056	3,300
2204	事業	財政	税務訴訟	9784754722166	最近の税務争訟．１１		佐藤孝一		大蔵財務協会	201507	6,296	6,799
2205	事業	財政	税務訴訟	9784641001480	租税法判例六法	第２版	中里実：増井良啓		有斐閣	201507	2,900	3,132
2206	事業	財政	税務訴訟	9784754722470	裁決事例集．第９７集（平成２６年１０月～１				大蔵財務協会	201508	2,778	3,000
2207	事業	財政	税務訴訟	9784062195522	世界の権力者が寵愛した銀行：タックスヘイブンの秘密を暴露した行員の告白		エルヴェ・ファルチャーニ：アンジェロ・ミンクッツィ		講談社	201509	1,600	1,728
2208	事業	財政	税務訴訟	9784881774229	クローズアップ課税要件事実論：要件事実と主張・立証責任を理解する	第４版	酒井克彦		財経詳報社	201510	3,800	4,104
2209	事業	財政	税務訴訟	9784324099414	租税争訟をめぐる実務の知識		東京弁護士会	弁護士専門研修講座	ぎょうせい	201511	4,000	4,320
2210	事業	財政	税務訴訟	9784754722678	税務判例が読めるようになる：リーガルマインド基礎講座実践編		木山泰嗣		大蔵財務協会	201511	1,852	2,000
2211	事業	財政	税務訴訟	9784754722708	裁決事例集．第９８集（平成２７年１月～３月				大蔵財務協会	201511	2,500	2,700
2212	事業	財政	税務訴訟	9784433536459	Ｑ＆Ａ税務調査・税務判断に役立つ裁判・審査請求読本		佐藤善恵		清文社	201601	2,400	2,592
2213	事業	財政	税務訴訟	9784433538156	会計プロフェッショナルの税務事案奮闘記：ストーリーで学ぶ租税法判例３０		日本公認会計士協会：深井和巳		清文社	201601	2,600	2,808
2214	事業	財政	税務訴訟	9784474053144	租税訴訟ハンドブック		山下清兵衛	東弁協叢書	第一法規出版	201602	4,500	4,860
2215	事業	財政	税務訴訟	9784754723033	裁決事例集．第９９集（平成２７年４月～６月				大蔵財務協会	201603	2,963	3,200
2216	事業	財政	税務訴訟	9784793121852	逆転裁判例にみる事実認定・立証責任のポイント		安井和彦		税務研究会	201606	2,500	2,700
2217	事業	財政	税務訴訟	9784754723224	最近の税務争訟：最近の判決・取消裁決を各税目毎に分類収録．１２		佐藤孝一		大蔵財務協会	201606	6,389	6,900
2218	事業	財政	税務訴訟	9784754723248	裁決事例集．第１００集（平成２７年７月～９				大蔵財務協会	201606	2,500	2,700
2219	事業	財政	税務訴訟	9784502187711	税務判例に強くなる本：税務調査で負けないリーガルマインドの育て方		高橋貴美子		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201606	2,800	3,024
2220	事業	財政	税務訴訟	9784641115293	租税判例百選	第６版	中里実：佐藤英明	別冊ジュリスト	有斐閣	201606	2,600	2,808
2221	事業	財政	税務訴訟	9784434222894	重要租税判例の解釈．３		山口敬三郎		リンケージ・パブリッシング(発売：星雲社)	201607	4,000	4,320
2222	事業	財政	税務訴訟	9784417016939	租税訴訟における要件事実論の展開		伊藤滋夫：岩崎政明		青林書院	201608	5,800	6,264
2223	事業	財政	税務訴訟	9784754723491	裁決事例集．第１０１集（平成２７年１０月～				大蔵財務協会	201608	2,778	3,000
2224	事業	財政	税務訴訟	9784754723736	裁決事例集．第１０２集（平成２８年１月～３				大蔵財務協会	201611	2,963	3,200
2225	事業	財政	税務訴訟	9784881774335	ケースブック海外重要租税判例	新版	川田剛		財経詳報社	201611	4,500	4,860
2226	事業	財政	税務訴訟	9784754723996	裁決事例集．第１０３集（平成２８年４月～６				大蔵財務協会	201702	2,593	2,800
2227	事業	財政	税務訴訟	9784502211416	税務訴訟		大石篤史：小島冬樹	企業訴訟実務問題シリーズ	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201703	3,400	3,672
2228	事業	財政	税務訴訟	9784434234781	重要租税判例の解釈．４		山口敬三郎		リンケージ・パブリッシング(発売：星雲社)	201706	3,500	3,780
2229	事業	財政	税務訴訟	9784754724153	租税徴収関係判例要旨集	三訂版	深井剛良		大蔵財務協会	201706	4,167	4,500
2230	事業	財政	税務訴訟	9784641001510	租税法判例六法	第３版	中里実：増井良啓		有斐閣	201707	2,900	3,132
2231	事業	財政	税務訴訟	9784419064211	重加算税の実務入門：基本を押さえて調査対応力を高める		田口渉		税務経理協会	201708	2,500	2,700
2232	事業	財政	税務訴訟	9784881774403	クローズアップ課税要件事実論：要件事実と主張・立証責任を理解する	第４版改訂増補版	酒井克彦		財経詳報社	201709	3,800	4,104
2233	事業	財政	租税史/事情	9784502227318	詳解新・中国増値税の実務		板谷圭一：片岡伴維		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201705	3,600	3,888
2234	事業	財政	租税史/事情	9784502245916	中国税制の実務対応：ＢＥＰＳ等最新動向とリスクの解説		藻瀬正人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201712	4,000	4,320
2235	事業	財政	租税史/事情	9784793004599	アイルランドとＥＵの租税紛争：背景にある企業誘致と優遇税制		二久隆太		泉文堂	201710	3,000	3,240
2236	事業	財政	租税史/事情	9784881777657	アメリカ連邦所得課税法の展開：申告納税法制の現状と課題分析		石村耕治	白鴎大学法政策研究所叢書	財経詳報社	201703	3,500	3,780
2237	事業	財政	収入税	9784419061661	体系法人税法	３１訂版	山本守之		税務経理協会	201410	10,200	11,016
2238	事業	財政	収入税	9784754721633	給与所得者・給与支払者のための特定支出控除の手引		森谷義光：今井慶一郎		大蔵財務協会	201412	1,852	2,000
2239	事業	財政	収入税	9784754721640	図表でわかる金融商品課税の要点解説：株式・公社債・信託などの金融商品から得られる個人の．平成２７年版		小田満		大蔵財務協会	201412	1,667	1,800
2240	事業	財政	収入税	9784938419677	源泉所得税相談事例集．平成２６年版		吉田行雄：岡本勝秀		法令出版	201412	3,900	4,212
2241	事業	財政	収入税	9784839421496	リース取引と課税：所得課税および資産課税を中心に		野口浩		森山書店	201412	3,600	3,888
2242	事業	財政	収入税	9784754721602	源泉所得税現物給与をめぐる税務．平成２７年版		富永賢一		大蔵財務協会	201501	3,704	4,000
2243	事業	財政	収入税	9784754721855	企業取引と税務否認の実務：税務否認を巡る重要裁判例の分析		太田洋：伊藤剛志		大蔵財務協会	201502	3,889	4,200
2244	事業	財政	収入税	9784433532444	法人税関係納税者有利通達の適用判断		寺内正夫：山下雄次		清文社	201503	2,800	3,024
2245	事業	財政	収入税	9784754721978	早わかり法人税改革．平成２７年度		中村慈美		大蔵財務協会	201503	1,852	2,000
2246	事業	財政	収入税	9784817195463	知の情報システム：リスク計算とキャリアデザイン		福井幸男		日科技連出版社	201503	2,600	2,808
2247	事業	財政	収入税	9784641281370	よくわかる法人税法入門	第２版	三木義一：藤本純也	有斐閣選書	有斐閣	201504	2,200	2,376
2248	事業	財政	収入税	9784502146411	役員給与税制の問題点：規定・判例・執行面からの検討		山本守之		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201504	1,800	1,944
2249	事業	財政	収入税	9784433509057	鈴木基史のキーワード法人税法		鈴木基史		清文社	201506	2,500	2,700

2250	事業	財政	収入税	9784419062606	法人税法：理論と計算	１１訂版	成松洋一		税務経理協会	201506	4,200	4,536
2251	事業	財政	収入税	9784419062613	やさしい法人税．平成２７年度改正		鈴木基史		税務経理協会	201506	2,600	2,808
2252	事業	財政	収入税	9784433514853	図解・詳解組織再編税制		渡邉崇甫		清文社	201507	4,500	4,860
2253	事業	財政	収入税	9784419062415	図解所得税法「超」入門．平成２７年度改正		山口暁弘：山田＆パートナーズ		税務経理協会	201507	1,800	1,944
2254	事業	財政	収入税	9784419062422	図解法人税法「超」入門．平成２７年度改正		三宅茂久：山田＆パートナーズ		税務経理協会	201507	1,800	1,944
2255	事業	財政	収入税	9784419062644	要説所得税法．平成２７年度版		野水鶴雄		税務経理協会	201507	7,000	7,560
2256	事業	財政	収入税	9784419062699	所得税法：理論と計算	９訂版	池本征男		税務経理協会	201507	4,400	4,752
2257	事業	財政	収入税	9784419062712	知っておきたい所得税の常識	第１９版	髙柳昌代		税務経理協会	201507	2,700	2,916
2258	事業	財政	収入税	9784419062743	知っておきたい法人税の常識	第１５版	松尾隆信		税務経理協会	201507	2,900	3,132
2259	事業	財政	収入税	9784754743918	実務で使える！！初心者のための源泉所得税講座		太田栄一		大蔵財務協会	201507	1,944	2,099
2260	事業	財政	収入税	9784419062842	体系法人税法	３２訂版	山本守之		税務経理協会	201510	10,200	11,016
2261	事業	財政	収入税	9784779304767	法人税法概説		紙博文		北樹出版	201511	2,300	2,484
2262	事業	財政	収入税	9784793121753	国外転出時課税制度・財産債務調書制度の実務Ｑ＆Ａ：平成２７年度税制改正で創設された		佐々木誠：藤崎直樹		税務研究会	201512	2,000	2,160
2263	事業	財政	収入税	9784754722982	五十音順取得費・譲渡費用の実務解説		齊藤忠雄：宮原弘之		大蔵財務協会	201602	2,315	2,500
2264	事業	財政	収入税	9784754723002	財産債務調書・国外財産調書・国外転出時課税の実務：資産家のための財産報告制度Ｑ＆Ａ		渡辺正則		大蔵財務協会	201602	2,130	2,300
2265	事業	財政	収入税	9784754723019	Ｍ＆Ａ・企業組織再編のスキームと税務：Ｍ＆Ａを巡る戦略的税務プランニングの最先端	第３版	太田洋		大蔵財務協会	201602	4,167	4,500
2266	事業	財政	収入税	9784335356728	スタンダード所得税法	第２版	佐藤英明		弘文堂	201603	3,500	3,780
2267	事業	財政	収入税	9784502189012	法人税法会計論	第８版	末永英男		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201604	3,300	3,564
2268	事業	財政	収入税	9784419063610	法人税法：理論と計算	１２訂版	成松洋一		税務経理協会	201605	4,400	4,752
2269	事業	財政	収入税	9784419063573	所得税法要説	８訂版	山内ススム		税務経理協会	201606	6,200	6,696
2270	事業	財政	収入税	9784419063740	やさしい法人税．平成２８年度改正		鈴木基史		税務経理協会	201606	2,700	2,916
2271	事業	財政	収入税	9784754723392	図解グループ法人課税．平成２８年版		中村慈美		大蔵財務協会	201606	2,870	3,099
2272	事業	財政	収入税	9784793122002	法人税基本通達逐条解説	８訂版	小原一博		税務研究会	201607	7,200	7,776
2273	事業	財政	収入税	9784419063825	知っておきたい所得税の常識	第２０版	髙柳昌代		税務経理協会	201607	2,900	3,132
2274	事業	財政	収入税	9784419063832	知っておきたい法人税の常識	第１６版	松尾隆信		税務経理協会	201607	3,000	3,240
2275	事業	財政	収入税	9784419063917	図解所得税法「超」入門．平成２８年度改正		山口暁弘：山田＆パートナーズ		税務経理協会	201607	1,800	1,944
2276	事業	財政	収入税	9784419063924	図解法人税法「超」入門．平成２８年度改正		三宅茂久：山田＆パートナーズ		税務経理協会	201607	1,800	1,944
2277	事業	財政	収入税	9784754723286	図解所得税．平成２８年版		小野賢二		大蔵財務協会	201607	3,148	3,399
2278	事業	財政	収入税	9784754723408	図解組織再編税制．平成２８年版		中村慈美		大蔵財務協会	201607	2,870	3,099
2279	事業	財政	収入税	9784754723477	新税制による金融商品課税の要点解説：図表でわかる．平成２８年版		小田満		大蔵財務協会	201607	1,759	1,899
2280	事業	財政	収入税	9784419063337	Ｑ＆Ａ企業組織再編の会計と税務	第６版	山田＆パートナーズ：優成監査法人		税務経理協会	201607	4,900	5,292
2281	事業	財政	収入税	9784502194511	法人税法入門講義		金子友裕		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201607	2,500	2,700
2282	事業	財政	収入税	9784419063818	所得税法：理論と計算	１０訂版	池本征男		税務経理協会	201608	4,600	4,968
2283	事業	財政	収入税	9784938419875	要点・譲渡所得：実務家のための「基本書＆ハンドブック」．第２編	第３版	塩野入文雄：萩原睦美		法令出版	201608	3,611	3,899
2284	事業	財政	収入税	9784754723163	基礎から身につく法人税．平成２８年度版		有賀文宣		大蔵財務協会	201609	1,852	2,000
2285	事業	財政	収入税	9784754723569	裁判例からみる所得税法		酒井克彦		大蔵財務協会	201609	3,611	3,899
2286	事業	財政	収入税	9784433410865	借用概念と税務争訟：租税実体法の解釈および手続法・争訟法		兼平裕子		清文社	201610	4,200	4,536
2287	事業	財政	収入税	9784938419882	源泉所得税相談事例集．平成２８年版		吉田行雄：岡本勝秀		法令出版	201611	4,000	4,320
2288	事業	財政	収入税	9784433630768	所得区分と経費性の判断：迷いがちな税務事例から理解する！		守田啓一：岩下忠吾		清文社	201612	2,400	2,592
2289	事業	財政	収入税	9784502890512	所得税取扱通達集．平成２８年１１月１日現在		日本税理士会連合会：中央経済社		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201612	4,200	4,536
2290	事業	財政	収入税	9784419064204	体系法人税法	３３訂版	山本守之		税務経理協会	201612	10,200	11,016
2291	事業	財政	収入税	9784754723637	所得税必要経費の税務．平成２８年版		藤原忠文		大蔵財務協会	201612	3,426	3,700
2292	事業	財政	収入税	9784754723781	所得税・個人住民税ガイドブック	平成２８年１２月	松岡章夫：秋山友宏		大蔵財務協会	201612	1,944	2,099
2293	事業	財政	収入税	9784419064266	Ｑ＆Ａプロ選手・文筆家・芸能人・政治家・馬主・ホステス等特殊事情に係る所得税実務	改訂増補版	小田満		税務経理協会	201701	2,400	2,592
2294	事業	財政	収入税	9784754723798	租税特別措置法通達逐条解説．平成２９年版		一色広己		大蔵財務協会	201701	5,093	5,500
2295	事業	財政	収入税	9784502890710	法人税取扱通達集．平成２８年１２月１日現在		日本税理士会連合会：中央経済社		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201702	4,400	4,752
2296	事業	財政	収入税	9784130361507	事業再生と課税：コーポレート・ファイナンスと法政策論の日米比較		長戸貴之		東京大学出版会	201702	7,500	8,100
2297	事業	財政	収入税	9784502210310	組織再編税制・グループ法人税制：立法趣旨で読み解く		関根稔：白井一馬		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201702	2,800	3,024
2298	事業	財政	収入税	9784502998201	資産の交換・買換えの課税理論		阿部雪子		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201703	9,000	9,720
2299	事業	財政	収入税	9784754724078	裁判例からみる法人税法	二訂版	酒井克彦		大蔵財務協会	201704	3,889	4,200

2300	事業	財政	収入税	9784419064617	やさしい法人税．平成２９年度改正		鈴木基史		税務経理協会	201705	2,700	2,916
2301	事業	財政	収入税	9784793122422	所得税入門の入門．平成２９年度版		藤本清一		税務研究会	201706	1,900	2,052
2302	事業	財政	収入税	9784419064600	法人税法：理論と計算	１３訂版	成松洋一		税務経理協会	201706	4,400	4,752
2303	事業	財政	収入税	9784419064662	知っておきたい所得税の常識	第２１版	髙柳昌代		税務経理協会	201706	3,000	3,240
2304	事業	財政	収入税	9784754724252	図解法人税．平成２９年版		白井純夫		大蔵財務協会	201706	3,241	3,500
2305	事業	財政	収入税	9784754724269	図解源泉所得税．平成２９年版		白井純夫		大蔵財務協会	201706	3,056	3,300
2306	事業	財政	収入税	9784419064389	給与所得者の必要経費	増補改訂版	小池和彰		税務経理協会	201706	3,000	3,240
2307	事業	財政	収入税	9784433600570	源泉所得税取扱いの手引．平成２９年版		舩冨康次		納税協会連合会(発売：清文社)	201707	4,400	4,752
2308	事業	財政	収入税	9784433600679	問答式源泉所得税の実務．平成２９年版		舩冨康次		納税協会連合会(発売：清文社)	201707	3,400	3,672
2309	事業	財政	収入税	9784419064655	所得税法：理論と計算	１１訂版	池本征男		税務経理協会	201707	4,600	4,968
2310	事業	財政	収入税	9784419064709	図解所得税法「超」入門．平成２９年度改正		山田＆パートナーズ：山口暁弘		税務経理協会	201707	1,800	1,944
2311	事業	財政	収入税	9784754724290	図解譲渡所得．平成２９年版		髙藤一夫		大蔵財務協会	201707	3,148	3,399
2312	事業	財政	収入税	9784502890451	所得税法規集．平成２９年７月１日現在		日本税理士会連合会：中央経済社		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201708	5,000	5,400
2313	事業	財政	収入税	9784419064716	図解法人税法「超」入門．平成２９年度改正		三宅茂久：税理法人山田＆パートナーズ		税務経理協会	201708	1,800	1,944
2314	事業	財政	収入税	9784419064747	知っておきたい法人税の常識	第１７版	松尾隆信		税務経理協会	201708	3,200	3,456
2315	事業	財政	収入税	9784502892165	法人税法．平成２９年度版		渡辺淑夫		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201708	6,500	7,020
2316	事業	財政	収入税	9784502890666	法人税法規集．平成２９年７月１日現在		日本税理士会連合会：中央経済社		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201709	5,200	5,616
2317	事業	財政	収入税	9784754724191	基礎から身につく法人税．平成２９年度版		有賀文宣		大蔵財務協会	201709	1,852	2,000
2318	事業	財政	収入税	9784754724641	問答式実務改正法人税：平成２９年改正重要項目実務事例解説６５選		中津山準一：横山良和		大蔵財務協会	201709	2,037	2,199
2319	事業	財政	収入税	9784502239410	組織再編における税制適格要件の実務Ｑ＆Ａ	第４版	佐藤信祐		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201709	3,800	4,104
2320	事業	財政	収入税	9784433602970	申告所得税取扱いの手引．平成２９年版		小林義治		納税協会連合会(発売：清文社)	201710	4,400	4,752
2321	事業	財政	収入税	9784754724696	新税制による金融商品課税の要点解説：図表でわかる．平成２９年版		小田満		大蔵財務協会	201710	1,759	1,899
2322	事業	財政	収入税	9784754724757	多様な雇用形態をめぐる源泉徴収Ｑ＆Ａ	改訂版	深澤邦光		大蔵財務協会	201710	1,759	1,899
2323	事業	財政	収入税	9784502243011	新版法人税法を初歩から学ぶ	第３版	染谷英雄		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201710	3,200	3,456
2324	事業	財政	収入税	9784335320620	法人・企業課税の理論		手塚貴大	租税法研究双書	弘文堂	201710	4,500	4,860
2325	事業	財政	収入税	9784419064433	法人税法解釈の検証と実践的展開．第３巻		大淵博義		税務経理協会	201711	5,200	5,616
2326	事業	財政	収入税	9784754724351	図解組織再編税制．平成２９年版		中村慈美		大蔵財務協会	201711	2,963	3,200
2327	事業	財政	収入税	9784754724535	所得税基本通達逐条解説．平成２９年版		三又修：樫田明		大蔵財務協会	201711	4,815	5,200
2328	事業	財政	収入税	9784754724894	所得税・個人住民税ガイドブック．平成２９年１２月改訂		松岡章夫：秋山友宏		大蔵財務協会	201712	1,944	2,099
2329	事業	財政	収入税	9784502250118	組織再編税制をあらためて読み解く：立法趣旨と保護法益からの検討		白井一馬：関根稔		中央経済グループパブリッシング	201712	2,200	2,376
2330	事業	財政	地租/土地台帳	9784908672033	地租改正と明治維新		佐々木寛司		有志舎	201607	7,800	8,424
2331	事業	財政	財産税	9784788279186	事例式資産をめぐる複数税目の実務	改訂版	平川忠雄：中島孝一		新日本法規出版	201410	4,800	5,184
2332	事業	財政	財産税	9784881774083	総説相続税・贈与税	第４版	岩下忠吾		財経詳報社	201410	5,600	6,048
2333	事業	財政	財産税	9784324099179	事例で理解する！小規模宅地特例の活用．相続税増税対応		高橋安志		ぎょうせい	201411	3,000	3,240
2334	事業	財政	財産税	9784788279353	ケースにみる宅地相続の実務：評価・遺産分割・納税		清田幸弘：妹尾芳郎		新日本法規出版	201412	4,400	4,752
2335	事業	財政	財産税	9784754721619	ゼミナール相続税法	平成２７年１月改	橋本守次		大蔵財務協会	201501	5,463	5,900
2336	事業	財政	財産税	9784419061999	実務のための財産評価判例集		林仲宣		税務経理協会	201502	2,400	2,592
2337	事業	財政	財産税	9784754721893	相続税法基本通達逐条解説．平成２７年版		野原誠		大蔵財務協会	201503	4,537	4,899
2338	事業	財政	財産税	9784788280281	判例・裁決例にみる贈与の税務判断		エーティーオー財産相談室		新日本法規出版	201506	4,000	4,320
2339	事業	財政	財産税	9784419062439	図解相続税法「超」入門．平成２７年度改正		佐伯草一：山田＆パートナーズ		税務経理協会	201507	1,800	1,944
2340	事業	財政	財産税	9784419062668	知っておきたい相続税の常識	第１６版	小池正明		税務経理協会	201507	2,900	3,132
2341	事業	財政	財産税	9784754721824	相続税法の論点		小林栢弘		大蔵財務協会	201508	3,241	3,500
2342	事業	財政	財産税	9784324099933	財産評価のキーポイント：難解事例から探る．第２集		笹岡宏保		ぎょうせい	201511	6,300	6,804
2343	事業	財政	財産税	9784324100875	事例で理解する！小規模宅地特例の活用：決定版		高橋安志		ぎょうせい	201512	3,200	3,456
2344	事業	財政	財産税	9784433410766	米国における孫の移転課税：連邦遺産税・贈与税・世代跳躍移転税の法理		佐古麻理		清文社	201603	3,600	3,888
2345	事業	財政	財産税	9784754723187	基礎から身につく相続税・贈与税．平成２８年度版		北本高男		大蔵財務協会	201606	1,852	2,000
2346	事業	財政	財産税	9784419063795	知っておきたい相続税の常識	第１７版	小池正明		税務経理協会	201607	3,000	3,240
2347	事業	財政	財産税	9784419063931	図解相続税法「超」入門．平成２８年度改正		佐伯草一：山田＆パートナーズ		税務経理協会	201607	1,800	1,944
2348	事業	財政	財産税	9784419063856	相続税法：理論と計算	８訂版	安島和夫		税務経理協会	201608	6,400	6,912
2349	事業	財政	財産税	9784433622060	事例による資産税の実務研究：税務判断のポイント６４		八ツ尾順一		清文社	201611	2,400	2,592

2350	事業	財政	財産税	9784788281981	小規模宅地等の特例適用の手引		吉本覚		新日本法規出版	201611	4,700	5,076
2351	事業	財政	財産税	9784938419899	税務の専門家も参考にする相続税質疑応答集	第二版	新井宏		法令出版	201702	3,704	4,000
2352	事業	財政	財産税	9784419064358	小規模宅地特例の入門Ｑ＆Ａ	第３版	辻・本郷税理士法人		税務経理協会	201703	2,000	2,160
2353	事業	財政	財産税	9784754724061	Ｑ＆Ａ１９０問相続税小規模宅地等の特例．平成２９年版		松岡章夫：山岡美樹		大蔵財務協会	201704	2,407	2,599
2354	事業	財政	財産税	9784433628772	海外財産・海外居住者をめぐる相続税の実務		税理士法人チェスター		清文社	201706	2,500	2,700
2355	事業	財政	財産税	9784419064549	相続税法要説	五訂版	山内ススム		税務経理協会	201706	4,400	4,752
2356	事業	財政	財産税	9784419064648	知っておきたい相続税の常識	第１８版	小池正明		税務経理協会	201706	3,200	3,456
2357	事業	財政	財産税	9784754724214	基礎から身につく相続税・贈与税．平成２９年度版		北本高男		大蔵財務協会	201706	1,852	2,000
2358	事業	財政	財産税	9784766843378	資産税の実務：不動産の取得・譲渡・賃貸と税金．２０１７年度版		松本繁雄		経済法令研究会	201707	2,300	2,484
2359	事業	財政	財産税	9784754724283	図解相続税・贈与税．平成２９年版		高藤一夫		大蔵財務協会	201707	3,148	3,399
2360	事業	財政	財産税	9784419064723	図解相続税法「超」入門．平成２９年度改正		山田＆パートナーズ：佐伯卓一		税務経理協会	201708	1,800	1,944
2361	事業	財政	財産税	9784754724009	遺産分割と相続発生後の対策：相続税の申告に携わる実務家のための法務・税務のすべ	六訂版	遺産分割研究会：中川昌泰		大蔵財務協会	201708	3,889	4,200
2362	事業	財政	財産税	9784754724221	基礎から身につく財産評価．平成２９年度版		北本高男		大蔵財務協会	201708	1,852	2,000
2363	事業	財政	財産税	9784502890871	相続税法規通達集．平成２９年７月１日現在		日本税理士会連合会：中央経済社		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201709	3,800	4,104
2364	事業	財政	財産税	9784433604370	資産税実務問答集．平成２９年１１月改訂		平本倫朗：岡本和之		納税協会連合会(発売：清文社)	201711	3,400	3,672
2365	事業	財政	印紙税/登録税	9784793121623	印紙税実務問答集	４訂増補版	見崎治久		税務研究会	201509	3,600	3,888
2366	事業	財政	印紙税/登録税	9784938419790	印紙税実用便覧．平成２７年８月改訂		川崎令子		法令出版	201509	3,200	3,456
2367	事業	財政	印紙税/登録税	9784502881107	登録免許税・印紙税法規集．平成２８年７月１日現在		日本税理士会連合会：中央経済社		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201609	2,000	2,160
2368	事業	財政	印紙税/登録税	9784433602475	印紙税取扱いの手引．平成２９年６月改訂		山本吉伸		清文社	201706	3,600	3,888
2369	事業	財政	印紙税/登録税	9784433634971	印紙税の課否判断ガイドブック：文書類型でわかる		山端美二		清文社	201708	2,200	2,376
2370	事業	財政	印紙税/登録税	9784433602673	印税紙ハンドブック：２，０００文書例による課否判定表 便利な文書名索引	平成２９年１１月	馬場則行		納税協会連合会(発売：清文社)	201712	3,000	3,240
2371	事業	財政	取引税/売上税	9784495176112	中国進出企業のための移転価格税制ハンドブック		山田＆パートナーズ：川田剛		同文舘出版	201503	2,400	2,592
2372	事業	財政	取引税/売上税	9784419062866	Ｑ＆Ａ移転価格ドキュメンテーション：基礎知識と実務対応		伊藤雄二：十河直彦		税務経理協会	201510	3,000	3,240
2373	事業	財政	取引税/売上税	9784502164217	移転価格税制実務指針：中国執行実務の視点から		範堅：姜誼生		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201510	5,400	5,832
2374	事業	財政	取引税/売上税	9784502169915	ＢＥＰＳで変わる移転価格文書の作成実務：新無形資産ルールと同時文書化への対応		角田伸広		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201602	3,000	3,240
2375	事業	財政	取引税/売上税	9784502193019	移転価格「マスターファイル」の作成実務		鈴木康伸：山田崇弘		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201610	3,000	3,240
2376	事業	財政	取引税/売上税	9784502199318	移転価格税制の実務詳解：ＢＥＰＳ対応から判決・裁決事例まで		藤枝純：角田伸広		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201610	4,600	4,968
2377	事業	財政	取引税/売上税	9784502200311	移転価格文書化の実務入門：ＢＥＰＳ対応		ＥＹ税理士法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201610	3,000	3,240
2378	事業	財政	取引税/売上税	9784474057814	「文書化」対応の重要ポイント		木村直人	シリーズ・移転価格税制	第一法規出版	201703	3,000	3,240
2379	事業	財政	取引税/売上税	9784419064105	きちんとわかる移転価格の基礎と実務		菅原英雄		税務経理協会	201703	2,800	3,024
2380	事業	財政	取引税/売上税	9784754724238	移転価格税制コンパクトガイド．平成２９年版		羽床正秀：水野時孝		大蔵財務協会	201705	1,759	1,899
2381	事業	財政	取引税/売上税	9784502232213	実務ガイダンス移転価格税制．第５版		藤森康一郎		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201705	4,000	4,320
2382	事業	財政	取引税/売上税	9784502231711	グローバル企業の移転価格文書の作り方		ＰｗＣ税理士法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201708	4,000	4,320
2383	事業	財政	取引税/売上税	9784502234316	図解移転価格税制のしくみ：日本の実務と主要９か国の概要		朝日税理士法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201708	2,200	2,376
2384	事業	財政	取引税/売上税	9784502235313	移転価格対応と国際税務ガバナンス		山川博樹		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201709	4,600	4,968
2385	事業	財政	取引税/売上税	9784641227279	ＢＥＰＳとグローバル経済活動		中里実：太田洋	西村高等法務研究所理論と実務の架橋シリーズ	有斐閣	201711	5,400	5,832
2386	事業	財政	取引税/売上税	9784502248917	ＢＥＰＳ移転価格文書の最終チェックＱ＆Ａ１００		角田伸広		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201712	3,000	3,240
2387	事業	財政	間接税/物品税	9784419061708	知っておきたい消費税の常識	第１３版	小池敏範		税務経理協会	201411	2,700	2,916
2388	事業	財政	間接税/物品税	9784876418787	中国・増値税の制度と実務：中国ビジネスは増値税制度の理解から		水野真澄		チェイス・チャイナ(発売：キューハンブックス)	201507	3,800	4,104
2389	事業	財政	間接税/物品税	9784419062446	図解消費税法「超」入門．平成２７年度改正		加藤友彦：山田＆パートナーズ		税務経理協会	201507	1,800	1,944
2390	事業	財政	間接税/物品税	9784419062804	消費税法令通達集．平成２７年度版		税務経理協会		税務経理協会	201507	4,000	4,320
2391	事業	財政	間接税/物品税	9784754722401	詳解揮発油税法・石油石炭税法	平成２７年改訂	見崎治久		大蔵財務協会	201507	4,167	4,500
2392	事業	財政	間接税/物品税	9784419062620	消費税・地方消費税のしくみと制度		吉川宏延		税務経理協会	201508	3,200	3,456
2393	事業	財政	間接税/物品税	9784433617363	Ｑ＆Ａでわかる消費税軽減税率のポイント		安部和彦		清文社	201604	2,200	2,376
2394	事業	財政	間接税/物品税	9784793121968	「消費税の軽減税率」完全解説		太田達也		税務研究会	201605	2,200	2,376
2395	事業	財政	間接税/物品税	9784474055810	平成２８年度改正消費税法の徹底解説：軽減税率、インボイスから高額特定資産の取得まで		芹澤光春		第一法規出版	201607	2,300	2,484
2396	事業	財政	間接税/物品税	9784754723170	基礎から身につく消費税．平成２８年度版		和気光		大蔵財務協会	201607	1,852	2,000
2397	事業	財政	間接税/物品税	9784419063948	図解消費税法「超」入門．平成２８年度改正		加藤友彦：山田＆パートナーズ		税務経理協会	201608	1,800	1,944
2398	事業	財政	間接税/物品税	9784419064334	知っておきたい消費税の常識	第１４版	小池敏範		税務経理協会	201702	3,000	3,240
2399	事業	財政	間接税/物品税	9784419064365	消費税法：理論と計算	７訂版	松本正春		税務経理協会	201703	4,400	4,752

2400	事業	財政	間接税/物品税	9784502212116	ＥＵ付加価値税の実務		溝口史子		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201703	3,800	4,104
2401	事業	財政	間接税/物品税	9784754724207	基礎から身につく消費税．平成２９年度版		和氣光		大蔵財務協会	201706	1,852	2,000
2402	事業	財政	間接税/物品税	9784754724276	図解消費税．平成２９年版		藤田伸一		大蔵財務協会	201706	2,963	3,200
2403	事業	財政	間接税/物品税	9784793122439	消費税入門の入門	改訂８版	辻敢：本田望		税務研究会	201707	1,700	1,836
2404	事業	財政	間接税/物品税	9784433602079	消費税の取扱いと申告の手引．平成２９年版		上籏敏来		納税協会連合会(発売：清文社)	201707	4,000	4,320
2405	事業	財政	間接税/物品税	9784433602178	消費税実務問答集．平成２９年版		山本吉伸		清文社	201707	3,000	3,240
2406	事業	財政	間接税/物品税	9784502891298	消費税法規通達集．平成２９年７月１日現在		日本税理士会連合会：中央経済社		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201708	3,000	3,240
2407	事業	財政	間接税/物品税	9784419064730	図解消費税法「超」入門．平成２９年度改正		山田＆パートナーズ：加藤友彦		税務経理協会	201708	1,800	1,944
2408	事業	財政	間接税/物品税	9784881774427	消費課税の国際比較		日本租税理論学会	租税理論研究叢書	日本租税理論学会(発売：財経詳報社)	201711	2,800	3,024
2409	事業	財政	間接税/物品税	9784419064891	消費税法要説	改訂版	山内ススム		税務経理協会	201712	5,200	5,616
2410	事業	財政	酒税/タバコ税	9784419062811	酒税法令通達集．平成２７年度版		税務経理協会		税務経理協会	201507	4,200	4,536
2411	事業	財政	酒税/タバコ税	9784938419868	酒税法及び酒類行政関係法令通達集：関係法令付．平成２８年４月１日改正		法令出版株式会社		法令出版	201607	2,593	2,800
2412	事業	統計	統計理論	9784320123823	文科系学生のためのデータ分析とＩＣＴ活用		森園子：二宮智子		共立出版	201502	2,400	2,592
2413	事業	統計	統計理論	9784254500219	社会・政策の統計の見方と活用：データによる問題解決		久保真人：久保真人		朝倉書店	201505	3,200	3,456
2414	事業	統計	統計理論	9784502220111	ケースで身につく統計学	第２版	張南		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201703	2,800	3,024
2415	事業	統計	統計学史	9784771026605	ロシア統計論史序説：社会統計学・数理統計学・人口調査「女性就業分析」		岩崎俊夫		晃洋書房	201512	3,600	3,888
2416	事業	統計	統計学史	9784130430395	統計学の日本史：治国経世への願い		宮川公男		東京大学出版会	201709	2,800	3,024
2417	事業	統計	統計理論	9784816926457	白書統計索引．２０１６		日外アソシエーツ株式会社		日外アソシエーツ(発売：紀伊國屋書店)	201702	27,500	29,700
2418	事業	統計	世界統計書	9784904808139	世界統計白書：データで見える世界の動き．２０１４年版		木本書店		木本書店	201410	3,800	4,104
2419	事業	統計	世界統計書	9784750341927	図表でみる世界の主要統計：ＯＥＣＤファクトブック．２０１４年版		経済協力開発機構：トリフォリオ		明石書店	201505	8,200	8,856
2420	事業	統計	世界統計書	9784875494492	世界国勢図会：世界がわかるデータブック．２０１５／１６年版		矢野恒太記念会		矢野恒太記念会	201509	2,685	2,899
2421	事業	統計	世界統計書	9784904808177	世界統計白書：データで見える世界の動き．２０１５－２０１６年版		木本書店		木本書店	201512	3,800	4,104
2422	事業	統計	世界統計書	9784822338664	世界の統計．２０１６年版		総務省統計局		日本統計協会	201603	1,850	1,998
2423	事業	統計	世界統計書	9784562053315	国際連合世界統計年鑑．５８集（２０１３）		国際連合統計局：原書房		原書房	201605	21,000	22,680
2424	事業	統計	世界統計書	9784875494508	世界国勢図会：世界がわかるデータブック．２０１６／１７年版		矢野恒太記念会		矢野恒太記念会	201609	2,685	2,899
2425	事業	統計	世界統計書	9784562053742	国際連合世界統計年鑑．５９集（２０１４－２０１６）		国際連合統計局：原書房		原書房	201701	18,000	19,440
2426	事業	統計	世界統計書	9784822339388	世界の統計．２０１７		総務省統計局		日本統計協会	201703	1,850	1,998
2427	事業	統計	世界統計書	9784750345031	図表でみる世界の主要統計ＯＥＣＤファクトブック：経済、環境、社会に関する統計資料．２０１５－２０１６年版		経済協力開発機構：トリフォリオ		明石書店	201704	8,200	8,856
2428	事業	統計	世界統計書	9784875494515	世界国勢図会：世界がわかるデータブック．２０１７／１８年版		矢野恒太記念会		矢野恒太記念会	201709	2,685	2,899
2429	事業	統計	世界統計書	9784562054565	国際連合世界統計年鑑．Ｖｏｌ．６０（２０１７）		国際連合統計局：原書房		原書房	201712	20,000	21,600
2430	事業	商業	マーケティング	9784495646912	戦略的マーケティングの構図：マーケティング研究における現代的諸問題		堀越比呂志：ＫＭＳ研究会		同文舘出版	201410	3,800	4,104
2431	事業	商業	マーケティング	9784407335491	マーケティングの基礎		小林一：篠田勝之	Ｆｉｒｓｔ Ｓｔａｇｅシリーズ	実教出版	201410	1,700	1,836
2432	事業	商業	マーケティング	9784641164499	デュアル・ブランド戦略：ＮＢ ａｎｄ／ｏｒ ＰＢ		矢作敏行		有斐閣	201411	3,300	3,564
2433	事業	商業	マーケティング	9784641164505	ブランド戦略全書		田中洋（マーケティング）		有斐閣	201411	2,500	2,700
2434	事業	商業	マーケティング	9784532605384	レレバンス・イノベーション：顧客の共感を引き出し、行動を変える力		アンドレア・コーヴィル：ボール・Ｂ．ブラウン		マクロヒル・エデュケーション(発売：日本経済新聞出版社)	201411	1,800	1,944
2435	事業	商業	マーケティング	9784254295054	ブランド評価手法：マーケティング視点によるアプローチ		守口剛：佐藤栄作	シリーズ〈マーケティング・エンジニアリング〉	朝倉書店	201411	3,400	3,672
2436	事業	商業	マーケティング	9784478090411	超高齢社会マーケティング：８つのキーワードで攻略する新・注目市場の鉱脈		電通：斉藤徹	ＤＩＡＭＯＮＤ流通選書	ダイヤモンド・フリードマン社(発売：ダイヤモンド社)	201412	2,000	2,160
2437	事業	商業	マーケティング	9784502123214	中小企業マーケティング		田中道雄		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201412	2,600	2,808
2438	事業	商業	マーケティング	9784794424464	マーケティングの新視角：顧客起点の戦略フレームワーク構築に向けて		有吉秀樹		創成社	201412	1,800	1,944
2439	事業	商業	マーケティング	9784561662112	コトラーのイノベーション・ブランド戦略：ものづくり企業のための要素技術の「見える化」		フィリップ・コトラー：ヴァルデマール・ファルチ		白桃書房	201412	4,200	4,536
2440	事業	商業	マーケティング	9784561662099	意味解釈のマーケティング：人間の学としての探究		武井寿		白桃書房	201501	4,200	4,536
2441	事業	商業	マーケティング	9784502136016	集客の教科書：Ｍ－Ｉｎ－Ｄサイクル・マーケティングのすすめ	第２版	川村洋次：潮地良明		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201502	2,200	2,376
2442	事業	商業	マーケティング	9784774171180	あたらしいＷｅｂマーケティングの教科書：最小の手間で最大の効果を生む！		西俊明		技術評論社	201502	1,780	1,922
2443	事業	商業	マーケティング	9784844364740	沈黙のＷｅｂマーケティング：Ｗｅｂマーケッター ボーンの逆襲		松尾茂起：上野高史		エムティエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201502	2,200	2,376
2444	事業	商業	マーケティング	9784641164574	宝塚ファンから読み解く超高関与消費者へのマーケティング		和田充夫		有斐閣	201503	2,000	2,160
2445	事業	商業	マーケティング	9784495647216	顧客ロイヤルティ戦略：ケースブック		内田和成：余田拓郎		同文舘出版	201503	2,300	2,484
2446	事業	商業	マーケティング	9784495647414	価値共創とマーケティング論		村松潤一		同文舘出版	201503	2,700	2,916
2447	事業	商業	マーケティング	9784419062125	戦略思考の物流管理入門：キャリアアップを目指す人のための		千本隆司		税務経理協会	201503	1,700	1,836
2448	事業	商業	マーケティング	9784817195418	顧客満足ＣＳの科学と顧客価値創造の戦略：グローバル生産文化と日本文化の強みを生かすものコト		円川隆夫：ピョーン・フランク		日科技連出版社	201503	3,500	3,780
2449	事業	商業	マーケティング	9784864340441	マーケティングの理論と戦略		岩永忠康		五絃舎	201503	2,500	2,700

2450	事業	商業	マーケティング	9784883353255	デジタルマーケティング年鑑．２０１５		宣伝会議		宣伝会議	201503	15,000	16,200
2451	事業	商業	マーケティング	9784496051180	アミューズメントの感性マーケティング：早稲田大学ビジネススクール講義録		長沢伸也		同友館	201504	1,600	1,728
2452	事業	商業	マーケティング	9784820719243	実戦顧客倍増マーケティング戦略：事例でわかる		佐藤義典		日本能率協会マネジメントセンター	201504	1,600	1,728
2453	事業	商業	マーケティング	9784794424549	グローバル・マーケティング	第５版	丸谷雄一郎		創成社	201504	1,800	1,944
2454	事業	商業	マーケティング	9784771026438	地場産業の高価格ブランド戦略：朝日酒造・スノーピーク・ゼニス・ウブロに見る感性価		長沢伸也：西村修		晃洋書房	201505	2,200	2,376
2455	事業	商業	マーケティング	9784883353095	体験デザインブランディング：コトの時代の、モノの価値の作り方		室井淳司		宣伝会議	201505	1,600	1,728
2456	事業	商業	マーケティング	9784534052858	心理マーケティングの基本：この１冊ですべてわかる		梅津順江		日本実業出版社	201506	2,000	2,160
2457	事業	商業	マーケティング	9784496051357	高くても売れるブランドをつくる！：日本発、ラグジュアリーブランドへの挑戦		長沢伸也		同友館	201506	1,750	1,890
2458	事業	商業	マーケティング	9784496051388	文化視点のマーケティング論		上原聡	嘉悦大学大学院叢書	同友館	201506	2,000	2,160
2459	事業	商業	マーケティング	9784502146312	マーケティング・ケーススタディ		池尾恭一	碩学舎ビジネス双書	碩学舎(発売：中央経済グループパブ)	201506	3,000	3,240
2460	事業	商業	マーケティング	9784532320171	良い値決め悪い値決め：きちんと儲けるためのプライシング戦略		田中靖浩		日本経済新聞出版社	201507	1,600	1,728
2461	事業	商業	マーケティング	9784822225407	マーケティングオートメーション入門：１人のマーケターで１０万人の見込み客を育成する		電通イーマーケティングワン		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケテイン)	201507	2,000	2,160
2462	事業	商業	マーケティング	9784495647315	日本は次に何を売るか		鷲田祐一：一橋大学		同文舘出版	201507	2,200	2,376
2463	事業	商業	マーケティング	9784502151613	ケースに学ぶ青山企業のマーケティング戦略		宮副謙司		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201507	2,900	3,132
2464	事業	商業	マーケティング	9784561652144	マーケティング零		大石芳裕		白桃書房	201507	2,500	2,700
2465	事業	商業	マーケティング	9784641184268	ケースに学ぶマーケティング		青木幸弘	有斐閣ブックス	有斐閣	201508	2,200	2,376
2466	事業	商業	マーケティング	9784844365150	現場のプロが教えるＷｅｂマーケティングの最新常識：知らないと困るＷｅｂデザインの新ルール５		アクティブコア：エコンテ		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201508	2,200	2,376
2467	事業	商業	マーケティング	9784254128536	マーケティングの統計モデル		佐藤忠彦	統計解析スタンダード	朝倉書店	201508	3,200	3,456
2468	事業	商業	マーケティング	9784478065136	ブルー・オーシャン戦略：競争のない世界を創造する	新版	Ｗ．チャン・キム：レネ・モボルニュ	Ｈａｒｖａｒｄ Ｂｕｓｉｎｅｓｓ Ｒｅｖｉｅｗ Ｐｒｅ	ダイヤモンド社	201509	2,000	2,160
2469	事業	商業	マーケティング	9784532320300	引き算する勇気：会社を強くする逆転発想		岩崎邦彦		日本経済新聞出版社	201509	1,600	1,728
2470	事業	商業	マーケティング	9784839955090	図解＆事例で学ぶＷｅｂマーケティングの教科書		ショーケース・ティービー		マイナビ出版	201509	1,580	1,706
2471	事業	商業	マーケティング	9784798143088	ＢｔｏＢのためのマーケティングオートメーション正しい選び方・使い方：日本企業のマーケティングと営業を考える		庭山一郎	ＭａｒｋｅＺｉｎｅ ＢＯＯＫＳ	翔泳社	201509	1,980	2,138
2472	事業	商業	マーケティング	9784864873925	コンサルタントによるマーケティング理論とマネジメント実践		日野隆生：伊庭久裕	マーケティングシリーズ	三恵社(発売：ＪＲＣ)	201509	2,000	2,160
2473	事業	商業	マーケティング	9784838232932	イラストで理解するブランド戦略入門		長崎秀俊		三弥井書店	201510	2,000	2,160
2474	事業	商業	マーケティング	9784416114414	博報堂デザインのブランディング：思考のデザインとカタチのデザイン		永井一史		誠文堂新光社	201510	1,800	1,944
2475	事業	商業	マーケティング	9784502139215	コトラー世界都市間競争：マーケティングの未来		フィリップ・コトラー：ミルトン・コトラー	碩学舎ビジネス双書	碩学舎(発売：中央経済グループパブ)	201510	2,400	2,592
2476	事業	商業	マーケティング	9784502159411	知識マーケティング		冨田健司		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201510	3,200	3,456
2477	事業	商業	マーケティング	9784794424662	マーケティング・ノート	第３版	小川純生		創成社	201510	2,100	2,268
2478	事業	商業	マーケティング	9784839953768	いまさら聞けないＷｅｂマーケティング：初歩から学べる集客のセオリー		佐藤和明		マイナビ出版	201511	1,980	2,138
2479	事業	商業	マーケティング	9784822235505	リアル行動ターゲティング：ヒトの興味関心はネット上の検索・閲覧だけではない。		横山隆治：楳田良輝		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケテイン)	201512	1,800	1,944
2480	事業	商業	マーケティング	9784822236335	ＢｔｏＢマーケティングの基本：ＩＴ化のインパクトを理解する１２の視点		ＩＴｐｒｏマーケティング		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケテイン)	201512	1,800	1,944
2481	事業	商業	マーケティング	9784883842346	マーケティング・オン・ビジネス：基礎からわかるマーケティングと経営		有馬賢治：岡本純		新世社（渋谷区）(発売：サイエンス社)	201512	2,100	2,268
2482	事業	商業	マーケティング	9784844339441	新世代デジタルマーケティング：ネットと全チャネルをつなぐ統合型データ活用のすすめ		横山隆治		インプレス	201512	1,800	1,944
2483	事業	商業	マーケティング	9784844365617	Ｗｅｂコンテンツマーケティング：サイトを成功に導く現場の教科書		日本ＳＰセンター		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201512	2,000	2,160
2484	事業	商業	マーケティング	9784864340540	差異としてのマーケティング	増補改訂版	片山富弘		五絃舎	201512	2,000	2,160
2485	事業	商業	マーケティング	9784492557662	日本は「パッケージ型事業」でアジア市場で勝利する：顧客価値起点で考えるビジネスモデルへの転換		青嶋稔		東洋経済新報社	201601	1,800	1,944
2486	事業	商業	マーケティング	9784641164680	競争を味方につけるマーケティング：脱コモディティ化のための新発想		勝又壮太郎：西本章宏		有斐閣	201602	1,900	2,052
2487	事業	商業	マーケティング	9784492557686	なぜ、あの「音」を聞くと買いたくなるのか：サウンド・マーケティング戦略		ジュエル・ベッカーマン：タイラー・グレイ		東洋経済新報社	201602	2,400	2,592
2488	事業	商業	マーケティング	9784502177019	マーケティング戦略は、なぜ実行でつまずくのか：実践のための新しい理論とモデルの探究		鈴木隆	碩学叢書	碩学舎(発売：中央経済グループパブ)	201602	3,400	3,672
2489	事業	商業	マーケティング	9784794424709	脱コモディティへのブランディング：企業ミュージアム・情報倫理と「彫り込まれた」消費		白石弘幸		創成社	201602	3,100	3,348
2490	事業	商業	マーケティング	9784883353491	デジタルマーケティング年鑑．２０１６		宣伝会議		宣伝会議	201602	15,000	16,200
2491	事業	商業	マーケティング	9784844397175	ＢｔｏＣ向けマーケティングオートメーションＣＣＣＭ入門		岡本泰治：橋野学	Ｅ－Ｂｏｏｋ／Ｐｒｉｎｔ Ｂｏｏｋ	インプレスＲ＆Ｄ(発売：インプレス)	201602	1,900	2,052
2492	事業	商業	マーケティング	9784532320065	店頭マーケティングのためのＰＯＳ・ＩＤ－ＰＯＳデータ分析		流通経済研究所		日本経済新聞出版社	201602	2,700	2,916
2493	事業	商業	マーケティング	9784561652168	マーケティングの批判精神：持続可能社会の実現を目指して		折笠和文		白桃書房	201602	2,500	2,700
2494	事業	商業	マーケティング	9784495647919	中小企業マーケティングの構図		田中道雄：白石善章		同文舘出版	201603	2,800	3,024
2495	事業	商業	マーケティング	9784495648015	先を読むマーケティング：新しいビジネスモデルの構築に向けて		中田善啓：西村順二		同文舘出版	201603	2,800	3,024
2496	事業	商業	マーケティング	9784495648213	ケースブック価値共創とマーケティング論		村松潤一		同文舘出版	201603	2,500	2,700
2497	事業	商業	マーケティング	9784771027251	ブランド価値創造戦略に求められるもの：目に見えるものを通して目に見えない何かを捉える		平山弘	阪南大学叢書	晃洋書房	201603	3,500	3,780
2498	事業	商業	マーケティング	9784864340588	中小企業のマーケティング		今光俊介		五絃舎	201603	1,900	2,052
2499	事業	商業	マーケティング	9784489022340	マーケティング・サイエンスのトップランナーたち：統計的予測とその実践事例		朝野熙彦		東京図書	201604	2,400	2,592

2500	事業	商業	マーケティング	9784822251437	物語戦略		岩井琢磨：牧口松二		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケテイン)	201604	1,600	1,728
2501	事業	商業	マーケティング	9784641164796	感覚マーケティング：顧客の五感が買い物にどのような影響を与えるのか		アラドナ・クリシュナ：平木いくみ		有斐閣	201604	2,000	2,160
2502	事業	商業	マーケティング	9784820749769	あたらしいＷｅｂマーケティングハンドブック：トリプルメディア戦略を最適化させるテクニック		カーツメディアワークス		日本能率協会マネジメントセンター	201604	2,000	2,160
2503	事業	商業	マーケティング	9784883353422	Ｔｈｅ　Ｃｕｓｔｏｍｅｒ　Ｊｏｕｒｎｅｙ：「選ばれるブランド」になるマーケティングの新技法を		加藤希尊		宣伝会議	201604	1,600	1,728
2504	事業	商業	マーケティング	9784794424822	共生マーケティング戦略論	第５版	清水公一		創成社	201604	4,200	4,536
2505	事業	商業	マーケティング	9784041041420	確率思考の戦略論：ＵＳＪでも実証された数学マーケティングの力		森岡毅：今西聖貴		ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201605	3,200	3,456
2506	事業	商業	マーケティング	9784502188411	攻めと守りの競争価格戦略：図解と計算式と事例で読み解く		窪田千貫		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201605	2,300	2,484
2507	事業	商業	マーケティング	9784623076758	未来を創造する国際マーケティング戦略論：標準化・適応化戦略の理論と実践		金炯中		ミネルヴァ書房	201605	3,600	3,888
2508	事業	商業	マーケティング	9784822237615	マーケティングのＫＰＩ：「売れる仕組み」の新評価軸		上島千鶴		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケテイン)	201606	2,000	2,160
2509	事業	商業	マーケティング	9784861009839	生まれ変わるデザイン、持続と継続のためのブランド戦略：老舗のデザイン・リニューアル事例から学ぶ、ビジネス		ウジトモコ		ビー・エヌ・エヌ新社	201606	2,000	2,160
2510	事業	商業	マーケティング	9784883353651	カスタマーセントリック思考：真の課題発見が市場をつくる		藤田康人：三宅隆之		宣伝会議	201607	1,600	1,728
2511	事業	商業	マーケティング	9784495386818	サービス・ドミナント・ロジックの発想と応用		ロバート・Ｆ．ラッシュ：スティーブン・Ｌ．バーゴ		同文舘出版	201607	3,800	4,104
2512	事業	商業	マーケティング	9784502190810	ＢｔｏＢ事業のための成分ブランディング：製品開発と組織購買への応用		余田拓郎		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201607	2,800	3,024
2513	事業	商業	マーケティング	9784873117690	リーンブランディング：リーンスタートアップによるブランド構築		ローラ・ブッシェ：堤孝志	ＴＨＥ　ＬＥＡＮ　ＳＥＲＩＥＳ	オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201608	3,000	3,240
2514	事業	商業	マーケティング	9784822235826	オムニチャネル＆Ｏ２Ｏの教科書		日経デジタルマーケティング編集部		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケテイン)	201609	1,800	1,944
2515	事業	商業	マーケティング	9784822251703	ビジネス・フォー・パンクス：ルールを破り熱狂を生むマーケティング		ジェームズ・ワット：高取芳彦		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケテイン)	201609	1,900	2,052
2516	事業	商業	マーケティング	9784844380870	Ｔａｂｌｅａｕビジュアルｗｅｂ分析：データを収益に変えるマーケターの武器		木田和廣：インプレス（２０１４）	できる１００の新法則	インプレス	201609	2,400	2,592
2517	事業	商業	マーケティング	9784844381518	いちばんやさしいデータフィードマーケティングの教本：人気講師が教える広告効果を高める商品データ活用法		杉原剛：岡田吉弘		インプレス	201609	1,780	1,922
2518	事業	商業	マーケティング	9784862762290	機会発見：生活者起点で市場をつくる		岩嵜博論		英治出版	201609	1,900	2,052
2519	事業	商業	マーケティング	9784641164864	入門・マーケティング戦略		池尾恭一		有斐閣	201609	2,100	2,268
2520	事業	商業	マーケティング	9784495589820	図解よくわかるこれからのマーケティング：なるほど！これでわかった	最新版	金森努	Ｄｏ　ｂｏｏｋｓ	同文舘出版	201609	1,800	1,944
2521	事業	商業	マーケティング	9784502179716	ブランドと脳のパズル：脳科学をマーケティングにどう活かすか		エリック・デュ・プレシス：沢口俊之		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201609	3,000	3,240
2522	事業	商業	マーケティング	9784805110904	グローバル・マーケティング・コミュニケーション		マリーケ・デ・モーイ：朴正洙		千倉書房	201609	4,300	4,644
2523	事業	商業	マーケティング	9784883353736	デジタルで変わるマーケティング基礎		宣伝会議編集部：野口恭平	宣伝会議マーケティング選書	宣伝会議	201610	1,800	1,944
2524	事業	商業	マーケティング	9784502199219	技術マーケティング戦略：市場イノベーションと顧客提供価値の創出サイクル		高橋透		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201610	2,800	3,024
2525	事業	商業	マーケティング	9784502199912	価格の掟：ザ・プライシングマンと呼ばれた男の告白		ヘルマン・ジモン：上田隆穂		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201610	2,800	3,024
2526	事業	商業	マーケティング	9784502200212	１からのマーケティング・デザイン		石井淳蔵：廣田章光		碩学舎(発売：中央経済グループパブ)	201610	2,400	2,592
2527	事業	商業	マーケティング	9784561662204	グローバル・ブランド・イメージ戦略：異なる文化圏ごとにマーケティングの最適化を探る		古川裕康		白桃書房	201610	3,000	3,240
2528	事業	商業	マーケティング	9784822251765	シェアリングエコノミー：Ａｉｒｂｎｂ、Ｕｂｅｒに続くユーザー主導の新ビジネ		アルン・スンドararジャン：門脇弘典		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケテイン)	201611	2,000	2,160
2529	事業	商業	マーケティング	9784495648411	日本企業は次に何を学ぶべきか		篇田祐一：一橋大学		同文舘出版	201611	1,900	2,052
2530	事業	商業	マーケティング	9784492557723	ＢＣＧ経営コンセプト．市場創造編		内田和成		東洋経済新報社	201611	2,000	2,160
2531	事業	商業	マーケティング	9784502200014	現代マーケティング研究の潮流		東洋大学		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201611	3,200	3,456
2532	事業	商業	マーケティング	9784805110911	成熟社会とマーケティング・イノベーション		広垣光紀		千倉書房	201611	2,800	3,024
2533	事業	商業	マーケティング	9784822239046	究極のＢｔｏＢマーケティングＡＢＭ：アカウントベースドマーケティング		庭山一郎		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケテイン)	201612	2,000	2,160
2534	事業	商業	マーケティング	9784641164949	フェイス・トゥ・フェイス・ブック：クチコミ・マーケティングの効果を最大限に高める秘訣		エド・ケラー：ブラッド・フェイ		有斐閣	201612	2,600	2,808
2535	事業	商業	マーケティング	9784641220782	マーケティング戦略	第５版	和田充夫：恩蔵直人	有斐閣アルマ	有斐閣	201612	2,000	2,160
2536	事業	商業	マーケティング	9784793003974	風を聴く：清野裕司のマーケティング考		清野裕司		泉文堂	201612	2,500	2,700
2537	事業	商業	マーケティング	9784798147963	ＢｔｏＢウェブマーケティングの新しい教科書：営業力を飛躍させる戦略と実践		渥美英紀	ＭａｒｋｅＺｉｎｅ　ＢＯＯＫＳ	翔泳社	201701	1,980	2,138
2538	事業	商業	マーケティング	9784502206412	マーケティング理論の焦点：企業・消費者・交換		堀越比呂志：松尾洋治		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201701	3,200	3,456
2539	事業	商業	マーケティング	9784274219689	Ｒによるデータ駆動マーケティング		豊田裕貴		オーム社	201701	2,600	2,808
2540	事業	商業	マーケティング	9784641220829	マーケティング・エンジニアリング入門		上田雅夫：生田目崇	有斐閣アルマ	有斐閣	201702	2,000	2,160
2541	事業	商業	マーケティング	9784883353774	ブルーフマーケティング		岩崎慕了		宣伝会議	201702	1,600	1,728
2542	事業	商業	マーケティング	9784492522202	市場戦略の読み解き方：一橋ＭＢＡ戦略ケースブックｖｏｌ．２		沼上幹：一橋大学		東洋経済新報社	201702	2,800	3,024
2543	事業	商業	マーケティング	9784532321338	デジタル変革マーケティング		横山隆治：内田康雄		日本経済新聞出版社	201702	2,800	3,024
2544	事業	商業	マーケティング	9784839962142	最新Ｗｅｂマーケティング．２０１７			Ｗｅｂ　Ｄｅｓｉｇｎｉｎｇ　ＢＯＯＫＳ	マイナビ出版	201702	2,850	3,078
2545	事業	商業	マーケティング	9784046018748	コトラー　マーケティングの未来と日本		フィリップ・コトラー：鳥山正博		ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201703	1,800	1,944
2546	事業	商業	マーケティング	9784623078332	実践的グローバル・マーケティング		大石芳裕	シリーズ・ケースで読み解く経営学	ミネルヴァ書房	201703	2,000	2,160
2547	事業	商業	マーケティング	9784595317323	マーケティング論		芳賀康浩：平木いくみ	放送大学教材	放送大学教育振興会(発売：ＮＨＫ出版)	201703	2,800	3,024
2548	事業	商業	マーケティング	9784883353927	顧客視点の企業戦略		藤崎実：徳力基彦		宣伝会議	201703	1,800	1,944
2549	事業	商業	マーケティング	9784883353989	なぜ「戦略」で差がつくのか。		音部大輔		宣伝会議	201703	1,800	1,944

2550	事業	商業	マーケティング	9784495387815	サービス・ドミナント・ロジックの進展：価値共創プロセスと市場形成		田口尚史		同文舘出版	201703	3,500	3,780
2551	事業	商業	マーケティング	9784794424945	企業を世界一にするインターナル・マーケティング：ピープル・マーケティング・オペレーションズ		鈴木好和		創成社	201703	1,600	1,728
2552	事業	商業	マーケティング	9784561652212	マーケティング論	改訂版	新津重幸：庄司真人		白桃書房	201703	2,600	2,808
2553	事業	商業	マーケティング	9784478039632	データ・ドリブン・マーケティング：最低限知っておくべき１５の指標		マーク・ジェフリー：佐藤純		ダイヤモンド社	201704	2,800	3,024
2554	事業	商業	マーケティング	9784641220874	グローバル・マーケティング戦略		三浦俊彦：丸谷雄一郎	有斐閣アルマ	有斐閣	201704	2,200	2,376
2555	事業	商業	マーケティング	9784496052453	カプフェレ教授のラグジュアリー論：いかにラグジュアリーブランドが成長しながら、稀少で		ジャン・ノエル・カプフェレ：長沢伸也		同友館	201704	2,800	3,024
2556	事業	商業	マーケティング	9784502218514	１からのグローバル・マーケティング		小田部正明：栗木契		碩学舎(発売：中央経済グループパブ)	201704	2,400	2,592
2557	事業	商業	マーケティング	9784779305399	コーズ・リレーテッド・マーケティング：社会貢献をマーケティングに活かす戦略	増補改訂版	世良耕一		北樹出版	201704	2,600	2,808
2558	事業	商業	マーケティング	9784839961619	はじめてでもよくわかる！デジタルマーケティング集中講義		押切孝雄		マイナビ出版	201704	2,380	2,570
2559	事業	商業	マーケティング	9784805111055	技術者のためのマーケティング：顧客価値の構想と戦略		谷地弘安		千倉書房	201704	3,200	3,456
2560	事業	商業	マーケティング	9784798149769	ハッキング・マーケティング：実験と改善の高速なサイクルがイノベーションを次々と		スコット・ブリンカー：東方雅美		翔泳社	201705	2,200	2,376
2561	事業	商業	マーケティング	9784794425089	現代マーケティングの基礎知識	改訂版	嶋正：東徹		創成社	201705	2,300	2,484
2562	事業	商業	マーケティング	9784561652236	グローバル・マーケティング零		大石芳裕		白桃書房	201705	2,500	2,700
2563	事業	商業	マーケティング	9784805111048	企業金融における価値共創		渡部吉昭		千倉書房	201705	4,200	4,536
2564	事業	商業	マーケティング	9784419064594	エリア・マーケティングアーキテクチャー	増補版	岩田貴子		税務経理協会	201706	3,200	3,456
2565	事業	商業	マーケティング	9784794425096	マーケティング戦略論：戦略的思考の展開		鷲尾和紀：鷲尾紀吉		創成社	201706	3,000	3,240
2566	事業	商業	マーケティング	9784842917061	入門／マーケティング論	第５版	草野素雄		八千代出版	201706	2,500	2,700
2567	事業	商業	マーケティング	9784844366720	マーケティングオートメーション導入の教科書：優良顧客を自動で育てる仕組み づくり		長谷川健人：住岡洋光		エムティエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201706	2,400	2,592
2568	事業	商業	マーケティング	9784623079759	よくわかる現代マーケティング		陶山計介：鈴木雄也	やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ	ミネルヴァ書房	201706	2,200	2,376
2569	事業	商業	マーケティング	9784295400967	マーケティングオートメーションに落とせるカスタマージャーニーの書き方		小川共和		クロスメディア・マーケティング(発売：インプレス)	201707	1,580	1,706
2570	事業	商業	マーケティング	9784496052835	魅力創造するマーケティングの知：地域再生とデザインの視座		上原聡		同友館	201707	2,200	2,376
2571	事業	商業	マーケティング	9784532321581	ブランディング７つの原則：成長企業の世界標準ノウハウ	改訂版	インターブランドジャパン		日本経済新聞出版社	201707	2,800	3,024
2572	事業	商業	マーケティング	9784774190631	コンテンツ・デザインパターン		吉澤浩一郎		技術評論社	201707	2,020	2,181
2573	事業	商業	マーケティング	9784561652243	マーケティング・マインドとイノベーション		田口冬樹		白桃書房	201707	3,000	3,240
2574	事業	商業	マーケティング	9784023316157	コトラーのマーケティング４．０：スマートフォン時代の究極法則		フィリップ・コトラー：ヘルマワン・カルタジャヤ		朝日新聞出版	201708	2,400	2,592
2575	事業	商業	マーケティング	9784495390051	ネットビジネス・ケースブック		荻原猛：田中洋（マーケティング）		同文舘出版	201708	2,800	3,024
2576	事業	商業	マーケティング	9784774191850	仕事に使えるクチコミ分析：テキストマイニングと統計学をマーケティングに活用す		小林雄一郎		技術評論社	201709	1,880	2,030
2577	事業	商業	マーケティング	9784757123656	サービスデザインの教科書：共創するビジネスのつくりかた		武山政直		ＮＴＴ出版	201709	2,700	2,916
2578	事業	商業	マーケティング	9784492557792	デジタルマーケティングの教科書：５つの進化とフレームワーク		牧田幸裕		東洋経済新報社	201709	2,000	2,160
2579	事業	商業	マーケティング	9784561662150	グローバル戦略市場経営：グローバル展開とマーケティング・マネジメントの統合		イアン・アーロン：ユージン・Ｄ・ジャッフ		白桃書房	201709	6,500	7,020
2580	事業	商業	マーケティング	9784491033754	もうモノは売らない：「恋をさせる」マーケティングが人を動かす		バビエル・サンチェス・ラメラス：岩崎晋也		東洋館出版社	201710	1,600	1,728
2581	事業	商業	マーケティング	9784489022760	実践ＩＢＭ ＳＰＳＳ Ｍｏｄｅｌｅｒ：顧客価値を引き上げるアナリティクス		西牧洋一郎		東京図書	201710	2,800	3,024
2582	事業	商業	マーケティング	9784534055330	課題解決につながる「実践マーケティング」入門		理央周		日本実業出版社	201711	1,600	1,728
2583	事業	商業	マーケティング	9784274221019	マーケティングのための統計分析		生田目崇		オーム社	201711	2,700	2,916
2584	事業	商業	マーケティング	9784478104408	マーケティングの教科書：ハーバード・ビジネス・レビュー戦略マーケティング論		ハーバード・ビジネス・レビュー編集部：ＤＩＡＭＯＮＤハーバード・ビジネス・		ダイヤモンド社	201712	1,800	1,944
2585	事業	商業	マーケティング	9784779171000	炎上に負けないクチコミ活用マーケティング		河井孝仁：宇賀神貞宏	フィギュール彩	彩流社	201712	1,900	2,052
2586	事業	商業	マーケティング	9784641165106	ブランド戦略論		田中洋（マーケティング）		有斐閣	201712	4,000	4,320
2587	事業	商業	マーケティング	9784881253014	ブランド発展史		梶原勝美		専修大学出版局	201603	4,200	4,536
2588	事業	商業	マーケティング	9784881694343	市場史研究．第３５号		市場史研究会		市場史研究会(発売：アイノア)	201607	2,600	2,808
2589	事業	商業	マーケティング	9784875593195	北陸朝市紀行		池田進一	(私の大学)テキスト版	こぶし書房	201611	1,800	1,944
2590	事業	商業	マーケティング	9784405102873	マーケティング用語図鑑		野上眞一		新星出版社	201702	1,800	1,944
2591	事業	商業	マーケティング	9784883354078	マーケティング会社年鑑．２０１７		宣伝会議		宣伝会議	201707	15,000	16,200
2592	事業	商業	商品/商品学	9784495647117	商品と社会：ランドマーク商品の研究		川満直樹	同志社大学人文科学研究所研究叢書Ｌ	同文舘出版	201503	2,800	3,024
2593	事業	商業	商品包装	9784897377858	ボトルは語る：ものがたりをデザインする		三石博		六耀社	201412	2,000	2,160
2594	事業	商業	商品包装	9784781310619	機能性包装フィルム・容器の開発と応用		金井俊孝	新材料・新素材シリーズ	シーエムシー出版	201503	70,000	75,600
2595	事業	商業	商品包装	9784897378152	日本のパッケージデザイン．その歩み・その表情	新版	日本パッケージデザイン協会		六耀社	201512	7,800	8,424
2596	事業	商業	商品包装	9784897378169	日本のパッケージデザイン．ヨーロッパとの対比	新版	日本パッケージデザイン協会		六耀社	201512	7,860	8,488
2597	事業	商業	商品包装	9784822235147	ロングセラーパッケージ大全		にっけいでざいん編集部		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201606	2,400	2,592
2598	事業	商業	商品包装	9784542184510	ＪＩＳハンドブック．包装 ２０１６		日本規格協会		日本規格協会	201606	9,000	9,720
2599	事業	商業	商品包装	9784766129878	ＴＡＫＥＯＵＴお持ち帰りのデザイン		サンドゥー・パブリッシング		グラフィック社	201703	3,500	3,780

2600	事業	商業	商品包装	9784802510745	おみやげのデザイン：パッケージで魅せる全国のおいしいギフト				ビー・エヌ・エヌ新社	201711	2,600	2,808
2601	事業	商業	市場調査/市場予測	9784532636043	「学び合い」で盛り上がる母息子消費：調査報告書		日本経済新聞社		日本経済新聞社産業地域研究所(発売：日本経済新聞出版社)	201410	8,000	8,640
2602	事業	商業	市場調査/市場予測	9784794424457	神話と象徴のマーケティング：顕示的商品としてのレコード		横川潤		創成社	201410	2,100	2,268
2603	事業	商業	市場調査/市場予測	9784489022012	ビッグデータを活かすデータサイエンス：クロス集計から機械学習までのビジネス活用事例		酒巻隆治：里洋平		東京図書	201411	2,400	2,592
2604	事業	商業	市場調査/市場予測	9784326550722	消費の美学：消費者の感性とは何か		牧野圭子		勁草書房	201501	2,200	2,376
2605	事業	商業	市場調査/市場予測	9784621088777	ソロモン消費者行動論	ハードカバー版	マイケル・R．ソロモン：松井剛		丸善出版	201501	8,800	9,504
2606	事業	商業	市場調査/市場予測	9784621088784	ソロモン消費者行動論．上		マイケル・R．ソロモン：松井剛		丸善出版	201501	3,200	3,456
2607	事業	商業	市場調査/市場予測	9784621088791	ソロモン消費者行動論．中		マイケル・R．ソロモン：松井剛		丸善出版	201501	2,800	3,024
2608	事業	商業	市場調査/市場予測	9784621088807	ソロモン消費者行動論．下		マイケル・R．ソロモン：松井剛		丸善出版	201501	3,200	3,456
2609	事業	商業	市場調査/市場予測	9784805110546	ネットワークと消費者行動		斉藤嘉一		千倉書房	201501	3,200	3,456
2610	事業	商業	市場調査/市場予測	9784502126512	消費者行動論		田中洋（マーケティング）	ベーシック＋	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201503	2,400	2,592
2611	事業	商業	市場調査/市場予測	9784805714171	現代社会の変容による人間行動の変化について：消費行動の変容を中心として		大橋正和	中央大学政策文化総合研究所研究叢書	中央大学出版部	201503	2,600	2,808
2612	事業	商業	市場調査/市場予測	9784794424563	現代消費者行動論	第４版	松江宏：村松幸廣		創成社	201505	2,600	2,808
2613	事業	商業	市場調査/市場予測	9784532636067	食のコト消費に魅せられる人々：好奇心旺盛で発信力強く		日本経済新聞社		日本経済新聞社産業地域研究所(発売：日本経済新聞出版社)	201506	8,000	8,640
2614	事業	商業	市場調査/市場予測	9784764904903	データサイエンティスト・ハンドブック		丸山宏：山田敦		近代科学社	201508	2,500	2,700
2615	事業	商業	市場調査/市場予測	9784822237011	マーケット・インテリジェンス論：経営者の意思決定をどう支援するか		竹内正人		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201510	2,400	2,592
2616	事業	商業	市場調査/市場予測	9784641164642	外部マーケティング資源としての消費者行動：市場の異質性から競争優位を獲得する		西本章宏		有斐閣	201512	3,300	3,564
2617	事業	商業	市場調査/市場予測	9784502161513	１からの消費者行動		松井剛：西川英彦		碩学舎(発売：中央経済グループパブ)	201601	2,400	2,592
2618	事業	商業	市場調査/市場予測	9784561652175	リサーチ・ビジョン：マーケティング・リサーチの実際		辻幸恵		白桃書房	201603	2,500	2,700
2619	事業	商業	市場調査/市場予測	9784532356910	クール：脳はなぜ「かっこいい」を買ってしまうのか		スティーヴン・クウォーツ：アネット・アスプ		日本経済新聞出版社	201604	2,000	2,160
2620	事業	商業	市場調査/市場予測	9784502175510	消費者理解のための定性的マーケティング・リサーチ		ラッセル・ベルク：アイリーン・フィッシャー	碩学舎ビジネス双書	碩学舎(発売：中央経済グループパブ)	201606	3,000	3,240
2621	事業	商業	市場調査/市場予測	9784534054333	マーケティング・リサーチの基本：この１冊ですべてわかる		岸川茂：ＪＭＲＸ		日本実業出版社	201610	2,000	2,160
2622	事業	商業	市場調査/市場予測	9784492557716	なぜ、日本人は考えずにモノを買いたいのか？：１万人の時系列データでわかる日本の消費者		野村総合研究所		東洋経済新報社	201611	1,600	1,728
2623	事業	商業	市場調査/市場予測	9784822235970	世代×性別×ブランドで切る！：３万人調査が語るニッポンの消費生活	第５版	マクロミルブランドデータバンク：日経デザイン		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201703	1,900	2,052
2624	事業	商業	市場調査/市場予測	9784532321444	女性市場攻略法：生活者市場予測が示す広がる消費、縮む消費		三菱総合研究所		日本経済新聞出版社	201703	1,800	1,944
2625	事業	商業	市場調査/市場予測	9784830949487	中国人消費者の行動分析：「面子」、原産国イメージとグローバル・ブランド消費		李玲		文眞堂	201703	3,500	3,780
2626	事業	商業	市場調査/市場予測	9784623079186	子ども消費者へのマーケティング戦略：熾烈化する子どもビジネスにおける自制と規制		天野恵美子		ミネルヴァ書房	201704	4,500	4,860
2627	事業	商業	市場調査/市場予測	9784805111109	消費者購買意思決定とクチコミ行動：説得メカニズムからの解明		安藤和代		千倉書房	201706	3,600	3,888
2628	事業	商業	市場調査/市場予測	9784822255305	気まぐれ消費者：最高の体験と利便性を探求するデジタル時代の成長戦略		テオ・コレイア：関一則		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201709	1,800	1,944
2629	事業	商業	市場調査/市場予測	9784561622253	贅沢の法則：消費ユートピアの透視図		田村正紀		白桃書房	201711	2,315	2,500
2630	事業	商業	商品化/商品計画	9784820749127	製品開発の「見える化」９９		北山厚：星野雄一		日本能率協会マネジメントセンター	201410	1,800	1,944
2631	事業	商業	商品化/商品計画	9784822264949	実践デザイン・シンキング：クリエイティブな思考で、ゼロ発想のイノベーションへ				日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201412	1,800	1,944
2632	事業	商業	商品化/商品計画	9784326299065	商品開発のための心理学		熊田孝恒		勁草書房	201501	2,500	2,700
2633	事業	商業	商品化/商品計画	9784496051135	製品開発段階からの部品共通化によるコスト低減プロセス		塩見浩介		同友館	201502	2,400	2,592
2634	事業	商業	商品化/商品計画	9784532319731	イノベーションの誤解		篇田祐一		日本経済新聞出版社	201503	1,800	1,944
2635	事業	商業	商品化/商品計画	9784822264987	デザイン・リサーチ・メソッド１０：未来を描き出す、最強の発想法	新装版			日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201503	9,500	10,260
2636	事業	商業	商品化/商品計画	9784902975734	最新『新市場創造型商品コンセプト開発マニュアル』：成功商品コンセプト開発「キーニーズ法」の決定版		梅沢伸嘉：日本能率協会総合研究所		日本能率協会総合研究所	201503	48,000	51,840
2637	事業	商業	商品化/商品計画	9784873117218	リーン顧客開発：「売れないリスク」を極小化する技術		シンディ・アルバレス：堤孝志	ＴＨＥ　ＬＥＡＮ　ＳＥＲＩＥＳ	オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201504	2,600	2,808
2638	事業	商業	商品化/商品計画	9784526074622	トヨタ式Ａ３プロセスで製品開発：Ａ３用紙１枚で手戻りなくヒット商品を生み出す		稲垣公夫：成沢俊子		日刊工業新聞社	201509	2,200	2,376
2639	事業	商業	商品化/商品計画	9784526075667	製品開発の問題解決アイデア出しバイブル：ＴＲＩＺで開発アイデアを１０倍に増やす！		井坂義治		日刊工業新聞社	201605	2,400	2,592
2640	事業	商業	商品化/商品計画	9784561266808	製品開発と市場創造：技術の社会的形成アプローチによる探求		宮尾学		白桃書房	201606	3,800	4,104
2641	事業	商業	商品化/商品計画	9784495648312	戦わずロングセラーにする「強い売りモノ（ＭＩＰ）」の創り方		梅沢伸嘉		同文舘出版	201609	3,900	4,212
2642	事業	商業	商品化/商品計画	9784495387112	経営学者が書いたデザインマネジメントの教科書		森永泰史		同文舘出版	201610	2,800	3,024
2643	事業	商業	商品化/商品計画	9784502208812	「持たざる企業」の優位性：基盤技術を保有しない企業の製品開発		山崎喜代宏		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201702	3,800	4,104
2644	事業	商業	商品化/商品計画	9784526076619	製品開発は“機能”にばらして考えろ		緒方隆司：オリンパス株式会社		日刊工業新聞社	201702	2,200	2,376
2645	事業	商業	商品化/商品計画	9784822255251	突破するデザイン：あふれるビジョンから最高のヒットをつくる		ロベルト・ベルガンティ：八重樫文		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201707	2,000	2,160
2646	事業	商業	販売戦略	9784641150102	はじめての流通		崔容熏：原頼利	有斐閣ストゥディア	有斐閣	201410	1,900	2,052
2647	事業	商業	販売戦略	9784303164058	高度物流社会と法		沢喜司郎		海文堂出版	201411	2,600	2,808
2648	事業	商業	販売戦略	9784864340410	国際流通の電子化		西道彦		五絃舎	201412	2,400	2,592
2649	事業	商業	販売戦略	9784526073939	間違いだらけの物流業務委託：パートナー選択・運用で失敗しないための鉄則		中谷祐治		日刊工業新聞社	201503	2,200	2,376

2650	事業	商業	販売戦略	9784805732359	流通・都市の理論と動態		佐久間英俊：木立真直	中央大学企業研究所研究叢書	中央大学出版部	201503	2,500	2,700
2651	事業	商業	販売戦略	9784805110614	流通システムと小売経営		佐藤芳彰		千倉書房	201503	2,400	2,592
2652	事業	商業	販売戦略	9784905022091	物流コスト調査報告書．２０１４年度		日本ロジスティクスシステム協会		日本ロジスティクスシステム協会	201503	10,000	10,800
2653	事業	商業	販売戦略	9784561662136	中国・東南アジアにおける流通・マーケティング革新：内なるグローバリゼーションのもとでの市場と競争		渡辺達朗	専修大学商学研究所叢書	白桃書房	201503	2,300	2,484
2654	事業	商業	販売戦略	9784495647513	ベーシック流通論		井上崇通：村松潤一		同文舘出版	201504	2,500	2,700
2655	事業	商業	販売戦略	9784502137112	物流論		斎藤実：矢野裕児	ベーシック＋	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201504	2,400	2,592
2656	事業	商業	販売戦略	9784561712039	みんなの知らないロジスティクスの仕組み：暮らしと経済を支える物流の知恵		苦瀬博仁：岡村真理		白桃書房	201504	1,800	1,944
2657	事業	商業	販売戦略	9784534052827	図解物流センターのすべて：「儲け」を生み出す仕くみと運営のしかた		廣田幹浩		日本実業出版社	201506	2,000	2,160
2658	事業	商業	販売戦略	9784889270402	食品流通実勢マップ．２０１５～２０１６				日本食糧新聞社	201507	20,000	21,600
2659	事業	商業	販売戦略	9784897951805	図解でわかる物流の基本としくみ		ロジ・ソリューション株式会社		アニモ出版	201508	1,600	1,728
2660	事業	商業	販売戦略	9784502150616	フランスの流通・政策・企業活動：流通変容の構図		田中道雄：白石善章		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201509	3,000	3,240
2661	事業	商業	販売戦略	9784764904910	サプライチェーンリスク管理と人道支援ロジスティクス		久保幹雄：松川弘明		近代科学社	201509	7,000	7,560
2662	事業	商業	販売戦略	9784889270860	全国食品流通総覧．２０１６年版				日本食糧新聞社	201510	28,000	30,240
2663	事業	商業	販売戦略	9784495647711	格差社会と現代流通		大野哲明：佐々木保幸		同文舘出版	201510	2,600	2,808
2664	事業	商業	販売戦略	9784502154317	流通論パラダイム風呂敷の世界		風呂敷：石原武政	碩学叢書	碩学舎(発売：中央経済グループパブ)	201510	7,000	7,560
2665	事業	商業	販売戦略	9784864874519	物流エンジニアリングの温故知新		尾田寛仁		三恵社(発売：ＪＲＣ)	201512	2,400	2,592
2666	事業	商業	販売戦略	9784864340557	流通の基礎講座		曽我信孝		五絃舎	201512	2,700	2,916
2667	事業	商業	販売戦略	9784496051791	現代流通の諸相		坂本秀夫		同友館	201601	3,200	3,456
2668	事業	商業	販売戦略	9784842916668	基礎から学ぶ流通の理論と政策	新版	番場博之		八千代出版	201602	2,400	2,592
2669	事業	商業	販売戦略	9784767905389	食品の消費と流通	３訂	日本フードスペシャリスト協会		建帛社	201602	1,900	2,052
2670	事業	商業	販売戦略	9784502181511	流通政策入門：市場・政府・社会	第４版	渡辺達朗		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201604	2,800	3,024
2671	事業	商業	販売戦略	9784839421571	ブランド流通革命		梶原勝美		森山書店	201604	2,400	2,592
2672	事業	商業	販売戦略	9784561712114	ロジスティクスの歴史物語：江戸から平成まで		苦瀬博仁		白桃書房	201604	1,852	2,000
2673	事業	商業	販売戦略	9784561742098	すぐわかる物流不動産：倉庫から物流センターへと進化したサプライチェーンの		鈴木邦成：大谷巌一		白桃書房	201604	2,300	2,484
2674	事業	商業	販売戦略	9784561652182	体系流通論	新版	田口冬樹		白桃書房	201605	3,400	3,672
2675	事業	商業	販売戦略	9784561652199	流通イノベーションへの挑戦		田口冬樹		白桃書房	201605	3,000	3,240
2676	事業	商業	販売戦略	9784905022107	物流コスト調査報告書．２０１５年度		日本ロジスティクスシステム協会		日本ロジスティクスシステム協会	201606	10,000	10,800
2677	事業	商業	販売戦略	9784502195815	インターネットは流通と社会をどう変えたか		阿部真也：江上哲		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201609	2,800	3,024
2678	事業	商業	販売戦略	9784478090473	物流担当者のための世界水準のウェアハウジング理論とマテハンのすべて		エドワード・Ｈ．フレーゼル：小川智由	ＤＩＡＭＯＮＤ流通選書	ダイヤモンド・リテイルメディア(発売：ダイヤモンド社)	201610	2,200	2,376
2679	事業	商業	販売戦略	9784947664839	アメリカ流通概要資料集．２０１６年版			流通経済研究所	流通経済研究所	201611	7,000	7,560
2680	事業	商業	販売戦略	9784864340625	流通ビジネスの新展開		甲斐諭	中村学園大学流通科学部流通科学研究所研究叢書	五絃舎	201611	2,500	2,700
2681	事業	商業	販売戦略	9784641164673	新・流通と商業：Ｉｎｔｒｏｄｕｃｔｉｏｎ ｔｏ Ｓｏｃｉａｌ Ｍａ	第６版 東伸一，	鈴木安昭		有斐閣	201612	2,300	2,484
2682	事業	商業	販売戦略	9784561762133	グローバル・サプライチェーンロジスティクス		黒須誠治：岩間正春		白桃書房	201701	6,000	6,480
2683	事業	商業	販売戦略	9784495648510	流通・マーケティング革新の展開		鴻原実男		同文舘出版	201702	2,800	3,024
2684	事業	商業	販売戦略	9784526076695	事例に学ぶ物流現場改善		鈴木邦成		日刊工業新聞社	201702	2,000	2,160
2685	事業	商業	販売戦略	9784812216309	世界流通史		谷澤毅		昭和堂（京都）	201704	2,700	2,916
2686	事業	商業	販売戦略	9784495648718	流通経済の動態と理論展開		流通経済研究会：木立真直		同文舘出版	201704	2,800	3,024
2687	事業	商業	販売戦略	9784502228018	企業経営の物流戦略研究：ロジスティクス・マーケティングの創出	第２版	丹下博文		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201704	3,000	3,240
2688	事業	商業	販売戦略	9784561752158	サプライチェーン・マネジメント概論：基礎から学ぶＳＣＭと経営戦略		苦瀬博仁		白桃書房	201705	2,800	3,024
2689	事業	商業	販売戦略	9784425925612	新流通・マーケティング入門		金弘錫：美藤信也		成山堂書店	201706	2,800	3,024
2690	事業	商業	販売戦略	9784534055392	ＳＣＭの基本：この一冊ですべてわかる		石川和幸		日本実業出版社	201712	1,700	1,836
2691	事業	商業	卸売市場	9784023314627	築地市場：クロニクル１６０３－２０１６		福地享子：築地魚市場銀鱗会		朝日新聞出版	201603	2,500	2,700
2692	事業	商業	卸売市場	9784845114603	築地の記憶：人より魚がエライまち		冨岡一成：さいとうさだちか		旬報社	201605	1,700	1,836
2693	事業	商業	卸売市場	9784023315440	築地魚河岸ひとの町：本橋成一写真集		本橋成一		朝日新聞出版	201610	3,200	3,456
2694	事業	商業	卸売市場	9784811905013	激動に直面する卸売市場：農業競争力強化プログラムを受けて		細川允史		筑波書房	201702	2,000	2,160
2695	事業	追加	消費者行動	9784502206415	マーケティング理論の焦点：企業・消費者・交換		堀越比呂志：松尾洋治		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201701	3,200	3,456
2696	事業	追加	消費者行動	9784419064137	マーケティング・ビジネス実務検定．アドバンスト版テキスト	第４版	国際実務マーケティング協会		税務経理協会	201701	3,800	4,104
2697	事業	追加	消費者行動	9784813267734	中小企業診断士最速合格のための要点整理ポケットブック第１次試験１日目．２０１７年度版		ＴＡＣ株式会社		ＴＡＣ	201701	1500	1,620
2698	事業	追加	消費者行動	9784496052474	中小企業診断士試験論点別・重要度順過去問完全マスター．１ ２０１７年度		中小企業診断士試験研究会		同友館	201701	2800	3,024
2699	事業	追加	消費者行動	9784595317328	マーケティング論		芳賀康浩：平木いくみ	放送大学教材	放送大学教育振興会(発売：ＮＨＫ出版)	201703	2800	3,024

2700	事業	追加	消費者行動	9784595317182	ソーシャルシティ		川原靖弘：斎藤参郎	放送大学教材	放送大学教育振興会(発売：ＮＨＫ出版)	201703	3100	3,348
2701	事業	追加	消費者行動	9784407338059	マーケティング問題集：［（商業３３６）マーケティング 新訂版］準拠	新訂版			実教出版	201702	690	745
2702	事業	追加	消費者行動	9784496052490	２０１７年版 過去問完全マスター ３ 企業経営理論		中小企業診断士試験研究会		同友館	201703	3300	3,564
2703	事業	追加	消費者行動	9784883842495	演習ミクロ経済学	第２版	武隈慎一	演習新経済学ライブラリ	新世社（渋谷区）(発売：サイエンス社)	201703	2500	2,700
2704	事業	追加	消費者行動	9784541041359	自助・共助・公助連携による大災害からの復興		門間敏幸		農林統計協会	201703	3800	4,104
2705	事業	追加	消費者行動	9784641220794	現代広告論	第３版	岸志津江：田中洋（マーケティング）		有斐閣	201704	2400	2,592
2706	事業	追加	消費者行動	9784502218812	コンテンポラリー経済学入門		小淵洋一：大水善寛		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201704	2800	3,024
2707	事業	追加	消費者行動	9784492314954	レヴィットミクロ経済学基礎編		スティーヴン・レヴィット：オースタン・グールズビー		東洋経済新報社	201705	3200	3,456
2708	事業	追加	消費者行動	9784561257004	マネジメント講義ノート		山本浩二：上野山達哉		白桃書房	201703	2750	2,970
2709	事業	追加	消費者行動	9784864340668	マーケティング論		岡本純：脇田弘久		五絃舎	201703	2200	2,376
2710	事業	追加	消費者行動	9784623079759	よくわかる現代マーケティング		陶山計介：鈴木雄也	やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ	ミネルヴァ書房	201706	2200	2,376
2711	事業	追加	消費者行動	9784622086115	交換・権力・文化：ひとつの日本中世社会論		桜井英治		みすず書房	201706	5200	5,616
2712	事業	追加	消費者行動	9784762829838	産業・組織心理学		太田信夫：金井篤子	シリーズ心理学と仕事	北大路書房	201707	2100	2,268
2713	事業	追加	消費者行動	9784798502049	観光経済学の基礎講義		中平千彦：藪田雅弘		九州大学出版会	201707	2900	3,132
2714	事業	追加	消費者行動	9784535558752	公共政策入門：ミクロ経済学的アプローチ		伊藤隆敏		日本評論社	201707	2400	2,592
2715	事業	追加	消費者行動	9784561652248	マーケティング・マインドとイノベーション		田口冬樹		白桃書房	201707	3000	3,240
2716	事業	追加	消費者行動	9784844977253	出る順中小企業診断士ＦＯＣＵＳテキスト経済学・経済政策	第４版	東京リーガルマインド		東京リーガルマインド	201708	2000	2,160
2717	事業	追加	消費者行動	9784898274897	ＴＢＣ中小企業診断士試験シリーズ速修テキスト．１ ２０１８年版		筑間彰：齊藤響		早稲田出版	201709	2500	2,700
2718	事業	追加	消費者行動	9784898274919	ＴＢＣ中小企業診断士試験シリーズ速修テキスト．３ ２０１８年版		岩瀬敦智：渡邉義一		早稲田出版	201709	2500	2,700
2719	事業	追加	消費者行動	9784800313120	新・らくらくミクロ経済学入門：試験対応		茂木喜久雄		洋泉社	201710	2200	2,376
2720	事業	追加	消費者行動	9784502236411	ミクロ経済学の基礎	第２版	浅田統一郎		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201710	4200	4,536
2721	事業	追加	消費者行動	9784046020156	大学４年間のマーケティングが１０時間でざっと学べる		阿部誠（マーケティング）		ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201709	1500	1,620
2722	事業	追加	消費者行動	9784844905988	公務員試験過去問新Ｑｕｉｃｋ Ｍａｓｔｅｒ：大卒程度対応．４	第７版	東京リーガルマインド		東京リーガルマインド	201710	1600	1,728
2723	事業	追加	消費者行動	978477102846X	中国の消費社会と消費者行動		李海峰		晃洋書房	201710	4600	4,968
2724	事業	追加	消費者行動	9784781914101	産業と組織の心理学		池田浩	ライブラリ心理学を学ぶ	サイエンス社	201710	2350	2,538
2725	事業	追加	消費者行動	9784813272622	中小企業診断士最速合格のためのスピードテキスト．４ ２０１８年度版		ＴＡＣ株式会社（中小企業診断士講座）		ＴＡＣ	201712	2500	2,700
2726	事業	追加	消費者行動	9784822002578	中小企業診断士１次試験突破のための完全正解２２００問必達ドリル		日本マンパワー：山口文紀		日本マンパワー出版	201711	2800	3,024
2727	事業	追加	消費者行動	9784788515385	ゲイカップルのワークライフバランス：男性同性愛者のパートナー関係・親密性・生活		神谷悠介		新曜社	201712	2900	3,132
2728	事業	追加	消費者行動	9784864340773	アジアの産業と企業		原口俊道：張慧珍	亜東経済国際学会研究叢書	五絃舎	201711	2593	2,800
2729	事業	追加	消費者行動	9784813282237	証券アナリスト１次試験過去問題集経済．２０１８年試験対策		ＴＡＣ株式会社		ＴＡＣ	201712	3600	3,888
2730	事業	追加	消費者行動	978449605311X	企業経営理論：重要論点攻略．２０１８年版		中小企業診断士試験クイック合格研究チーム：佐藤慶介	中小企業診断士試験ニュー・クイックマスター	同友館	201712	1900	2,052
2731	事業	追加	デジタルマーケティング	9784478058806	ＩＴソリューション：２１世紀のビジネス戦略家．２００２		ダイヤモンド・ビッグ社	会社の歩き方	ダイヤモンド・ビッグ社(発売：ダイヤモンド社)	200202	1500	1,620
2732	事業	追加	デジタルマーケティング	9784757120966	知価時代のブランド戦略：勝てる！マーケティング		倉田和宏		NTT出版	200212	1800	1,944
2733	事業	追加	デジタルマーケティング	9784798128570	デジタルマーケターが読むべき１００冊＋α		ＭａｒｋｅＺｉｎｅ編集部		翔泳社	201210	1800	1,944
2734	事業	追加	デジタルマーケティング	978488335296X	デジタルマーケティング年鑑．２０１４		宣伝会議		宣伝会議	201402	15000	16,200
2735	事業	追加	デジタルマーケティング	9784844335421	ＤＳＰ／ＲＴＢオーディエンスターゲティング入門：ビッグデータ時代に実現する「枠」から「人」への広告		横山隆治：菅原健一	Ｎｅｘｔ Ｐｕｂｌｉｓｈｉｎｇメソッド	インプレスジャパン(発売：インプレス)	201402	2800	3,024
2736	事業	追加	デジタルマーケティング	9784883353036	現代宣伝・広告の実務：マスからデジタルまで広告マーケティングのノウハウ		宣伝会議編集部	宣伝会議の基礎シリーズ	宣伝会議	201403	2037	2,199
2737	事業	追加	デジタルマーケティング	9784883353257	デジタルマーケティング年鑑．２０１５		宣伝会議		宣伝会議	201503	15000	16,200
2738	事業	追加	デジタルマーケティング	9784844364847	数字を２００％使いこなすＷｅｂアクセス解析＆レポート作成術：Ｇｏｏｇｌｅ Ａｎａｌｙｔｉｃｓ＋ＳＮＳアクセス解		小松夕祐：白井貴典		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201503	2000	2,160
2739	事業	追加	デジタルマーケティング	978482223620X	デジタル化を勝ち抜く新たなＩＴ組織のつくり方：緊急提言ＩＴ部門ではもう古い		ベイカレント・コンサルティング		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201512	1800	1,944
2740	事業	追加	デジタルマーケティング	9784822271846	デジタルビジネストレンド		日経コンピュータ編集部		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201512	2000	2,160
2741	事業	追加	デジタルマーケティング	978432212853X	顧客を観よ：金融デジタルマーケティングの新標準		宮坂祐		金融財政事情研究会(発売：きんざい)	201602	1600	1,728
2742	事業	追加	デジタルマーケティング	9784782534477	広告．２０１８年度版		西正	産業と会社研究シリーズ	産学社	201609	1300	1,404
2743	事業	追加	デジタルマーケティング	9784798143332	Ｗｅｂ制作者のためのＵＸデザインをはじめる本		玉飼真一：村上竜介		翔泳社	201611	2200	2,376
2744	事業	追加	デジタルマーケティング	9784798149993	届くＣＭ、届かないＣＭ：視聴率＝ＧＲＰに頼るな、注目量＝ＧＡＰをねらえ		横山隆治：大橋聡史		翔泳社	201701	1680	1,814
2745	事業	追加	デジタルマーケティング	9784295000760	マンガでわかるＷｅｂマーケティング	改訂版	村上佳代：ソウ		インプレス	201702	1800	1,944
2746	事業	追加	デジタルマーケティング	9784532321336	デジタル変革マーケティング		横山隆治：内田康雄		日本経済新聞出版社	201702	2800	3,024
2747	事業	追加	デジタルマーケティング	9784295000159	いちばんやさしいコンバージョン最適化の教本		深田浩嗣		インプレス	201702	1780	1,922
2748	事業	追加	デジタルマーケティング	9784198643563	デジタルマーケティング成功に導く１０の定石：電通デジタルのトップマーケッターが教える 簡単に分		電通デジタル		徳間書店	201702	1600	1,728
2749	事業	追加	デジタルマーケティング	9784839961611	はじめてでもよくわかる！デジタルマーケティング集中講義		押切孝雄		マイナビ出版	201704	2380	2,570

2750	事業	追加	デジタルマーケティング	9784798149764	ハッキング・マーケティング：実験と改善の高速なサイクルがイノベーションを次々と		スコット・ブリンカー：東方雅美		翔泳社	201705	2200	2,376
2751	事業	追加	デジタルマーケティング	9784756249353	挑戦者たちに学ぶデジタルマーケティング：ブランディング・地域活性から新市場開拓まで「洞察と		廣部嘉祥		パイインターナショナル	201707	2400	2,592
2752	事業	追加	デジタルマーケティング	9784295002305	いちばんやさしいデジタルマーケティングの教本：人気講師が教えるメディアと販促の新しい基礎		田村修		インプレス	201709	1980	2,138
2753	事業	追加	デジタルマーケティング	9784492557792	デジタルマーケティングの教科書：５つの進化とフレームワーク		牧田幸裕		東洋経済新報社	201709	2000	2,160
2754	事業	追加	デジタルマーケティング	9784798153745	デジタルマーケティングで売上の壁を超える方法		西井敏恭	ＭａｒｋｅＺｉｎｅ ＢＯＯＫＳ	翔泳社	201710	1800	1,944
2755	事業	追加	デジタルマーケティング	9784344914066	「分析」で成果を最大化するＢｔｏＢビジネスのデジタルマーケティング		中田義将		幻冬舎メディアコンサルティング(発売：幻冬舎)	201711	1500	1,620
2756	事業	追加	デジタルマーケティング	978479815458X	Ｗｏｒｋ ｉｎ Ｐｒｏｇｒｅｓｓデジタルマーケティングで大切なこと		板澤一樹	ＭａｒｋｅＺｉｎｅ ＢＯＯＫＳ	翔泳社	201803	1800	1,944
2757	事業	追加	デジタルマーケティング	978488335430X	デジタルマーケティングの実務ガイド		井上大輔		宣伝会議	201804	2000	2,160
2758	事業	追加	デジタルマーケティング	9784822256766	リアル店舗の逆襲：対アマゾンのＡＩ戦略／人工知能（ＡＩ）が流通・小		リテールＡＩ研究会		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティング)	201806	1800	1,944
2759	事業	追加	デジタルマーケティング	9784041058538	さしすせその女たち		椰月美智子		ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201806	1400	1,512
2760	事業	追加	デジタルマーケティング	9784344918320	潜在価値マーケティング		平野淳		幻冬舎メディアコンサルティング(発売：幻冬舎)	201808	1800	1,944
2761	事業	追加	デジタルマーケティング	9784297100541	世界基準で学べるエッセンシャル・デジタルマーケティング：Ｇｏｏｇｌｅ出身マーケターが教えるデジタルマーケテ		遠藤結万		技術評論社	201809	2080	2,246
2762	事業	追加	デジタルマーケティング	9784813278558	中小企業診断士最速合格のためのスピードテキスト．１　２０１９年度版		ＴＡＣ株式会社（中小企業診断士講座）		ＴＡＣ	201809	2500	2,700
2763	事業	追加	デジタルマーケティング	9784492961542	統合デジタルマーケティングの実践：戦略立案からオペレーションまで		竹内哲也		東洋経済新報社	201812	1500	1,620
2764	事業	追加	経営組織論	9784794424930	新経営管理論		秋山義継		創成社	201701	2600	2,808
2765	事業	追加	経営組織論	9784502213713	映画に学ぶ経営管理論	第２版	松山一紀		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201701	2800	3,024
2766	事業	追加	経営組織論	9784496052601	経営学概論	新版	片山富弘：山田啓一		同友館	201701	2500	2,700
2767	事業	追加	経営組織論	9784496052490	２０１７年版 過去問完全マスター　３　企業経営理論		中小企業診断士試験研究会		同友館	201703	3300	3,564
2768	事業	追加	経営組織論	9784794424981	会社のつくり方：経営学の理論に基づく起業		鈴木好和		創成社	201703	1600	1,728
2769	事業	追加	経営組織論	9784806519065	工業統計表．平成２６年		経済産業調査会		経済産業調査会	201703	13000	14,040
2770	事業	追加	経営組織論	9784794425015	現代経営組織要論		佐久間信夫：小原久美子	経営学要論シリーズ	創成社	201704	2800	3,024
2771	事業	追加	経営組織論	9784921012199	バイオビジネス：東京農大型バイオビジネス・ケース（ＮＢＣ）．１５		東京農業大学国際バイオビジネス学科：畑中勝守		世音社	201703	1500	1,620
2772	事業	追加	経営組織論	9784492533907	衰退の法則：日本企業を蝕むサイレントキラーの正体		小城武彦		東洋経済新報社	201706	3000	3,240
2773	事業	追加	経営組織論	9784046020458	［図解］大学４年間の経営学が１０時間でざっと学べる		高橋伸夫		ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201706	925	999
2774	事業	追加	経営組織論	978484497727X	出る順中小企業診断士ＦＯＣＵＳテキスト企業経営理論	第４版	東京リーガルマインド		東京リーガルマインド	201708	2000	2,160
2775	事業	追加	経営組織論	9784495390104	経営学要論		岸川善光		同文舘出版	201709	3200	3,456
2776	事業	追加	経営組織論	9784947553758	現代日本経済演習		飯野敏夫：秋保親成		流通経済大学出版会	201709	1200	1,296
2777	事業	追加	経営組織論	9784565182149	リテールマーケティング（販売士）検定１級問題集．Ｐａｒｔ５	第３版			一ツ橋書店	201710	1400	1,512
2778	事業	追加	経営組織論	9784788948869	公務員試験新スーパー過去問ゼミ５　経営学：地方上級／国家総合職・一般職・専門職		資格試験研究会		実務教育出版	201710	1700	1,836
2779	事業	追加	経営組織論	9784864340757	経営学へのご招待		二木直人		五絃舎	201709	2000	2,160
2780	事業	追加	経営組織論	9784864340749	現代経営学		宮坂純一：水野清文		五絃舎	201709	1400	1,512
2781	事業	追加	経営組織論	9784569837085	人を大切にする経営学講義		坂本光司		ＰＨＰ研究所	201711	1900	2,052
2782	事業	追加	経営組織論	978449605311X	企業経営理論：重要論点攻略．２０１８年版		中小企業診断士試験クイック合格研究チーム：佐藤慶介	中小企業診断士試験ニュー・クイックマスター	同友館	201712	1900	2,052
2783	事業	追加	デザインシンキング	9784766122244	実例で学ぶ「伝わる」デザイン		川崎紀弘：アレフ・ゼロ		グラフィック社	201104	2400	2,592
2784	事業	追加	デザインシンキング	9784822250713	ハーバードはなぜ仕事術を教えないのか		佐藤智恵		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティング)	201504	1800	1,944
2785	事業	追加	デザインシンキング	9784862762290	機会発見：生活者起点で市場をつくる		岩嵜博論		英治出版	201609	1900	2,052
2786	事業	追加	デザインシンキング	9784860591861	ＷＯＲＫＳＩＧＨＴ：働くしくみと空間をつくるマガジン．０９				コクヨ(発売：アーク出版)	201604	800	864
2787	事業	追加	デザインシンキング	9784860591878	ＷＯＲＫＳＩＧＨＴ：働くしくみと空間をつくるマガジン．１０				コクヨ(発売：アーク出版)	201610	800	864
2788	事業	追加	ソーシャルデザイン	9784757100060	ネットワーク時代の合意形成		木村忠正：土屋大洋		ＮＴＴ出版	199812	2800	3,024
2789	事業	追加	ソーシャルデザイン	9784872751147	リノベーション・スタディーズ：第三の方法		五十嵐太郎：リノベーション・スタディーズ	１０＋１　ｓｅｒｉｅｓ	ＬＩＸＩＬ出版	200304	2000	2,160
2790	事業	追加	ソーシャルデザイン	9784306044395	クルマ社会のリ・デザイン：近未来モビリティへの提言		日本デザイン機構		鹿島出版会	200407	2200	2,376
2791	事業	追加	ソーシャルデザイン	9784822266981	幸せに向かうデザイン：共感とつながりで変えていく社会		永井一史：山崎亮		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティング)	201205	2200	2,376
2792	事業	追加	ソーシャルデザイン	9784306045804	ソーシャルデザイン・アトラス：社会が輝くプロジェクトとヒント		山崎亮		鹿島出版会	201208	2500	2,700
2793	事業	追加	ソーシャルデザイン	9784861008542	グラフィックデザインで世界を変える		アンドリュー・シー：北村陽子（翻訳家）		ビー・エヌ・エヌ新社	201301	2200	2,376
2794	事業	追加	ソーシャルデザイン	9784883352746	希望をつくる仕事ソーシャルデザイン：アイデアは地球を救う。		ソーシャルデザイン会議実行委員会：電通		宣伝会議	201303	1500	1,620
2795	事業	追加	ソーシャルデザイン	9784255007137	日本をソーシャルデザインする		グリーンズ	ｉｄｅａｉｎｋ	朝日出版社	201304	940	1,015
2796	事業	追加	ソーシャルデザイン	9784862761491	ソーシャルデザイン実践ガイド：地域の課題を解決する７つのステップ		筧裕介【著】		英治出版	201309	2200	2,376
2797	事業	追加	ソーシャルデザイン	9784061385382	「ほしい未来」は自分の手でつくる		鈴木菜央	星海社新書	星海社(発売：講談社)	201309	840	907
2798	事業	追加	ソーシャルデザイン	9784820120216	「宇宙船地球号」のグランドデザイン：ビジネスと自然は「共存」「持続的発展」できるのか？		山本良一（工学）：高岡美佳		生産性出版	201312	2000	2,160
2799	事業	追加	ソーシャルデザイン	9784820120261	ソーシャルデザインの教科書		村田智明		生産性出版	201405	2000	2,160

2800	事業	追加	ソーシャルデザイン	9784757160620	批判的工学主義の建築：ソーシャル・アーキテクチャをめざして		藤村龍至		ＮＴＴ出版	201409	1800	1,944
2801	事業	追加	ソーシャルデザイン	9784757103528	情報社会のソーシャルデザイン：情報社会学概論２		公文俊平：大橋正和		ＮＴＴ出版	201412	3400	3,672
2802	事業	追加	ソーシャルデザイン	9784623071982	ソーシャルデザインで社会的孤立を防ぐ：政策連動と公私連携		藤本健太郎		ミネルヴァ書房	201411	3200	3,456
2803	事業	追加	ソーシャルデザイン	9784309616933	よのなかを変える技術：１４歳からのソーシャルデザイン入門		今一生	１４歳の世渡り術	河出書房新社	201504	1300	1,404
2804	事業	追加	ソーシャルデザイン	9784862762115	人口減少×デザイン：地域と日本の大問題を、データとデザイン思考で考える		筧裕介		英治出版	201506	1800	1,944
2805	事業	追加	ソーシャルデザイン	9784838232956	社会情報学から社会デザインへ		目白大学社会学部社会情報学科	ソシオ情報シリーズ	三弥井書店	201512	1800	1,944
2806	事業	追加	ソーシャルデザイン	9784897378183	グラフィックデザイナー：時代をつくるデザイナーになりたい！！		スタジオ２４８	ＲＩＫＵＹＯＳＨＡ Ｃｈｉｌｄｒｅｎ ＆ ＹＡ Ｂｏｏｋ	六耀社	201602	2600	2,808
2807	事業	追加	ソーシャルデザイン	9784990811624	未来住まい方会議		ＹＡＤＯＫＡＲＩ株式会社		三輪舎(発売：トランスビュー)	201603	1500	1,620
2808	事業	追加	ソーシャルデザイン	9784773817225	抵抗と創造の森アマゾン：持続的な開発と民衆の運動		小池洋一：田村梨花		現代企画室	201711	2700	2,916
2809	事業	追加	ソーシャルデザイン	9784838233274	社会デザインの多様性		目白大学社会学部社会情報学科	ソシオ情報シリーズ	三弥井書店	201712	1800	1,944
2810	事業	追加	ソーシャルデザイン	9784339028829	メディア学キーワードブック：こんなに広いメディアの世界		東京工科大メディア学部		コロナ社	201803	2500	2,700
2811	事業	追加	ソーシャルデザイン	9784621302859	情報工学		情報工学編集委員会：赤倉貴子	理工系の基礎	丸善出版	201804	2800	3,024
2812	事業	追加	ソーシャルデザイン	9784306073432	自然エネルギーのソーシャルデザイン：スマートコミュニティの水系モデル		大内秀明：吉野博		鹿島出版会	201804	2300	2,484
2813	事業	追加	ソーシャルデザイン	9784023317406	社会を希望で満たす働きかた：ソーシャルデザインという仕事		今中博之		朝日新聞出版	201810	1600	1,728
2814	事業	追加	商品開発	9784802610315	起業の教科書：７人のトップ経営者と２８冊のビジネス名著に学ぶ		大賀康史：苅田明史		ソシム	201601	1400	1,512
2815	事業	追加	商品開発	9784388153367	フードコーディネーター教本：３級資格認定試験対応テキスト．２０１６		日本フードコーディネーター協会		柴田書店	201601	3000	3,240
2816	事業	追加	商品開発	9784822235093	素材とデザインの教科書	第３版	にっけいでざいん編集部：にっけいでざいん編集部		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201601	3500	3,780
2817	事業	追加	商品開発	9784434215643	経営者が絶対に「するべきこと」「してはいけないこと」：５０「Ｄｏ's」&「Ｄｏｎ't ｓ」FOR ＢＵＳＩ		新将命		アルファポリス(発売：星雲社)	201601	1600	1,728
2818	事業	追加	商品開発	9784561652168	マーケティングの批判精神：持続可能社会の実現を目指して		折笠和文		白桃書房	201602	2500	2,700
2819	事業	追加	商品開発	9784862804914	世界一わかりやすいフレームワーク		グローバルタスクフォース株式会社：山中英嗣	通勤大学ＭＢＡ	総合法令出版	201603	1300	1,404
2820	事業	追加	商品開発	9784798045634	最新食品工場の衛生管理がよ～くわかる本：河岸式管理法で食の安全・安心を守る！		河岸宏和	図解入門ビジネス	秀和システム	201603	1700	1,836
2821	事業	追加	商品開発	9784022513625	マンガで伝授課長のための「君主論」		ニッコロ・マキャヴェッリ：青木健生		朝日新聞出版	201603	1200	1,296
2822	事業	追加	商品開発	9784480068804	３０代からの仕事に使える「お金」の考え方		児玉尚彦：上野一也	ちくま新書	筑摩書房	201603	820	885
2823	事業	追加	商品開発	9784407338010	商品開発問題集		実教出版株式会社		実教出版	201603	650	702
2824	事業	追加	商品開発	9784947606273	冷凍食品年鑑．２０１６年版				冷凍食品新聞社	201601	15000	16,200
2825	事業	追加	商品開発	9784907574123	事業承継入門．４		追手門学院大学ベンチャービジネス研究所		追手門学院大学出版会(発売：丸善出版)	201603	1500	1,620
2826	事業	追加	商品開発	9784769611516	新さんまさん論：なぜ人を飽きさせずに売れ続けるのか		伊敷豊		こう書房	201604	1400	1,512
2827	事業	追加	商品開発	9784863672611	ヘルス＆ビューティブランド事業の「立上げ成功術」		宮本雅恵		セルバ出版(発売：創英社（三省堂書店）)	201604	1500	1,620
2828	事業	追加	商品開発	9784822235116	クリエイティブのつかいかた：ビジネスに活かすトップクリエイター１２人の仕事術		西澤明洋：にっけいでざいん編集部		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201604	1800	1,944
2829	事業	追加	商品開発	9784044001384	とんでもなくおもしろい仕事に役立つ数学		西成活裕	角川文庫 角川ソフィア文庫	ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201604	800	864
2830	事業	追加	商品開発	9784526075667	製品開発の問題解決アイデア出しバイブル：ＴＲＩＺで開発アイデアを１０倍に増やす！		井坂義治		日刊工業新聞社	201605	2400	2,592
2831	事業	追加	商品開発	9784326504244	未来洞察のための思考法：シナリオによる問題解決		篭田祐一	ＫＤＤＩ総研叢書	勁草書房	201605	3200	3,456
2832	事業	追加	商品開発	9784864340588	中小企業のマーケティング		今光俊介		五絃舎	201603	1900	2,052
2833	事業	追加	商品開発	9784532197971	ずっと売れる！ストーリー		川上徹也	日経ビジネス人文庫	日本経済新聞出版社	201606	750	810
2834	事業	追加	商品開発	9784561652199	流通イノベーションへの挑戦		田口冬樹		白桃書房	201605	3000	3,240
2835	事業	追加	商品開発	9784822235123	無印良品のデザイン．２		にっけいでざいん編集部		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201606	2200	2,376
2836	事業	追加	商品開発	9784863521445	サッポロ一番を創った男井田毅		磯尚義：上毛新聞社		上毛新聞社	201607	1500	1,620
2837	事業	追加	商品開発	9784802400244	夢を斬れ！希望は捨てろ！だから"目標"は実現できる！：９９％の人が知らない遊びながら幸せに儲ける新常識		松本和彦（経営コンサルタント）		ハート出版	201609	1600	1,728
2838	事業	追加	商品開発	9784822235826	オムニチャネル＆Ｏ２Ｏの教科書		日経デジタルマーケティング編集部		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201609	1800	1,944
2839	事業	追加	商品開発	9784040686349	俺の転移した異世界がクソゲー年間大賞：マジックアイテムでも物理で殴ればいい		小山タケル	ＭＦ文庫Ｊ	ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201610	580	626
2840	事業	追加	商品開発	9784822251963	ＭＵＪＩ式世界で愛されるマーケティング		増田明子		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201611	1500	1,620
2841	事業	追加	商品開発	9784384058598	ＴＯＥＩＣ ＬＩＳＴＥＮＩＮＧ ＡＮＤ ＲＥＡＤＩＮＧ ＴＥＳＴ １５日で５００：短期間で５００点奪取！「必勝！３０のルール」		松本恵美子：トニー・クック		三修社	201611	2000	2,160
2842	事業	追加	商品開発	9784863958586	ＨＳＵテキスト．１７				ＨＳＵ出版会(発売：幸福の科学出版)	201612	1500	1,620
2843	事業	追加	商品開発	9784864340625	流通ビジネスの新展開		甲斐論	中村学園大学流通科学部流通科学研究所研究叢書	五絃舎	201611	2500	2,700
2844	事業	追加	商品開発	9784769611578	ヒット商品を生み出す最良最短の方法：商品開発者１０００人の実践から引き出した２４の秘訣		浜畠太		こう書房	201612	1400	1,512
2845	事業	追加	商品開発	9784384058604	ＴＯＥＩＣ ＬＩＳＴＥＮＩＮＧ ＡＮＤ ＲＥＡＤＩＮＧ ＴＥＳＴ １５日で５００：短期間で５００点奪取！「必勝！３０のルール」		松本恵美子		三修社	201612	2000	2,160
2846	事業	追加	インターンシップ	9784794603197	留学の真実		高野幹生		ＩＢＣパブリッシング	201501	1650	1,782
2847	事業	追加	インターンシップ	9784492223529	なぜ７割のエントリーシートは、読まずに捨てられるのか？：人気企業の「手口」を知れば、就活の悩みは９割なくな		海老原嗣生【著】		東洋経済新報社	201501	1200	1,296
2848	事業	追加	インターンシップ	9784261012590	身につくドイツ語・初級：ＣＤ付	改訂新版	前田良三：高木葉子		郁文堂	201504	2500	2,700
2849	事業	追加	インターンシップ	9784863712980	市川大野高等学園版デュアルシステムの理論と実践：生徒一人一人のキャリア発達を大切にした学校づくり		千葉県立特別支援学校市川大野高等学園：宮二英憲		ジアース教育新社	201501	2200	2,376

2850	事業	追加	インターンシップ	9784434203435	時間を売るな、時間を買え！：就活に役立つ大学生活の過ごし方		内田ひろし		ライティング(発売：星雲社)	201502	1000	1,080
2851	事業	追加	インターンシップ	9784897615455	ダイバーシティマネジメントの実践：豊富な事例で学ぶ、多様な雇用の実際		東京都社会保険労務士会		労働新聞社	201503	1800	1,944
2852	事業	追加	インターンシップ	9784472404931	インターンシップ入門：就活力・仕事力を身につける		折戸晴雄：服部治		玉川大学出版部	201503	2400	2,592
2853	事業	追加	インターンシップ	9784861941238	夢をチカラに想いをカタチに：国際体験からはじまる２１人のキャリアストーリー		榎田勝利：愛知淑徳大学		ＰＩＬＡＲ　ＰＲＥＳＳ	201504	1500	1,620
2854	事業	追加	インターンシップ	9784902968521	ＭＲ進化論．３		瀬川毅		医薬経済社	201502	1500	1,620
2855	事業	追加	インターンシップ	9784523177876	英語で世界に橋を架けよう：海外で学ぶ・働く・異文化を知るための総合英語		川村義治：ギャビン・リンチ		南雲堂	201502	1900	2,052
2856	事業	追加	インターンシップ	9784762025297	インターンシップ：キャリア形成に資する就業体験	第２版	古閑博美		学文社	201503	1900	2,052
2857	事業	追加	インターンシップ	9784864430807	アビームコンサルティング：企業変革を実現する"リアルパートナー"		日経ＢＰコンサルティング	企業研究ＢＯＯＫ	日経ＢＰコンサルティング(発売：日経ＢＰマーケティング)	201505	1200	1,296
2858	事業	追加	インターンシップ	9784895144407	つなぎ、つくり、つたえる街の未来：「全国シティプロモーションサミット」事例集		全国シティプロモーションサミット事務局		全国シティプロモーションサミット事務局(発売：中央公論事業出版)	201504	2500	2,700
2859	事業	追加	インターンシップ	9784766422313	キャリア教育論：仕事・学び・コミュニティ		荒木淳子：伊達洋駆		慶応義塾大学出版会	201506	2000	2,160
2860	事業	追加	インターンシップ	9784865810318	就活必修！速習７時限面接内定術．２０１７		坪田まり子		さくら舎	201510	1300	1,404
2861	事業	追加	インターンシップ	9784808944773	志は大きく、まなざしは優しく：未だ見ぬ若き司法書士にささげる		大崎晴由		東京法経学院	201511	1800	1,944
2862	事業	追加	インターンシップ	9784022736406	女子学生はなぜ就活で騙されるのか：志望企業全滅ましぐらの罠		石渡嶺司	朝日新書	朝日新聞出版	201511	780	842
2863	事業	追加	インターンシップ	9784048655729	φの方石．２		新田周右	メディアワークス文庫	ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201511	590	637
2864	事業	追加	インターンシップ	9784906873487	インターンシップのプロになる！：まず、何から始めるか？ポイントをしっかり教えます！		加藤敏明：山田総一郎		悠光堂	201511	1600	1,728
2865	事業	追加	事業継承	9784322100136	法人の税金ガイドブック．'９９		金融財政事情研究会		金融財政事情研究会(発売：きんざい)	199906	1000	1,080
2866	事業	追加	事業継承	9784833490351	やらせてみなはれ：失敗しない事業継承の極意		田辺次良		プレジデント社	199810	1600	1,728
2867	事業	追加	事業継承	9784886833037	世紀末の兵法経営：シカゴ発		斎藤邦泰		同時代社	199404	1553	1,677
2868	事業	追加	事業継承	9784502617720	現代近江の企業家群像		滋賀大学中小企業研究会		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	199310	2718	2,935
2869	事業	追加	事業継承	9784795250130	強い後継者の育て方：社外番頭が明かす		森和夫（経営コンサルタント）		西北社(発売：星雲社)	199107	1942	2,097
2870	事業	追加	事業継承	9784526024207	相続税Ｑ＆Ａ		小林栄		にっかん書房(発売：日刊工業新聞社)	198903	1200	1,296
2871	事業	追加	事業継承	9784532045692	ワークシートでわかる即答！相続・贈与税：変わる節税対策と実際例		篠崎卓：吉川正幸		日本経済新聞出版社	198908	1456	1,572
2872	事業	追加	事業継承	9784833470001	くたばれ！税金：サラリーマンが「酷税」から身を守る法		邱永漢		プレジデント社	198811	1200	1,296
2873	事業	追加	事業継承	9784322100914	ＦＰマニュアル．２０００年度版		金融財政事情研究会		金融財政事情研究会(発売：きんざい)	200006	2800	3,024
2874	事業	追加	事業継承	9784322101843	エクササイズＦＰ２級＜法人取引＞．２００１年度版		きんざい		きんざい	200107	2800	3,024
2875	事業	追加	事業継承	9784828300191	暮しの税金情報ｂｏｏｋ．２００１		辻会計事務所		ビジネス教育出版社	200107	2000	2,160
2876	事業	追加	事業継承	9784384026672	自営業・自由業、事業主のあなたは「ゆたかな老後」を自分でつくる！		井上康子		三修社	200201	1600	1,728
2877	事業	追加	事業継承	9784900699953	小さな会社の社長、その税金は払いすぎ！		税務研究グループＷｉｔｈ		あさ出版	200204	1400	1,512
2878	事業	追加	事業継承	9784560058596	アレクサンドロス大王		ピエール・ブリアン：田村孝	文庫クセジュ	白水社	200302	1050	1,134
2879	事業	追加	事業継承	9784341082604	遺言と争族：遺産相続・転ばぬ先の知恵		治田秀夫		ごま書房新社	200312	1200	1,296
2880	事業	追加	事業継承	9784797255560	企業承継の法務と税務Ｑ＆Ａ		事業承継実務研究会：大野正道		信山社出版(発売：大学図書)	200412	3800	4,104
2881	事業	追加	事業継承	9784770318930	よくわかる！３級ＦＰ技能検定試験：合格実力養成		中川勝義		弘文社	200503	2100	2,268
2882	事業	追加	事業継承	9784901032773	社長と後継者がつくる事業承継「経営計画」：時代は今、第二創業！		佐藤正雄：八木和行		エイチアンドアイ	200504	1905	2,057
2883	事業	追加	事業継承	9784765008853	相続・事業承継設計：過去問分析と詳細解説による徹底マスター．２００５年度版		ＣＦＰ試験対策研究会	ＣＦＰ受験対策問題集	近代セールス社	200504	3000	3,240
2884	事業	追加	事業継承	9784322107517	パーフェクトＦＰ技能士１級対策問題集．学科編　２００５年度版		きんざい		きんざい	200506	4500	4,860
2885	事業	追加	事業継承	9784322107524	パーフェクトＦＰ技能士２級対策問題集．学科編　２００５年度版		きんざい		きんざい	200507	2095	2,262
2886	事業	追加	事業継承	9784405036024	ＦＰ技能士３級完全攻略問題集：絶対決める！	改訂第２版	伊藤宏一		新星出版社	200602	1300	1,404
2887	事業	追加	会社設立	9784802610315	起業の教科書：７人のトップ経営者と２８冊のビジネス名著に学ぶ		大賀康史：苅田明史		ソシム	201601	1400	1,512
2888	事業	追加	会社設立	9784502165214	インド企業法務実践の手引：設立からＭ＆Ａ・合弁契約、運営まで		小山洋平		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201601	3500	3,780
2889	事業	追加	会社設立	9784426120375	起業をするならこの１冊：はじめの一歩	第５版	馬渡晃：生活と法律研究所		自由国民社	201601	1600	1,728
2890	事業	追加	会社設立	9784798144184	「起業」を決めたら「最初」に読む本：まるっと１冊でわかる！		大坪孝行：起業プロサポーターズ		翔泳社	201601	1400	1,512
2891	事業	追加	会社設立	9784496051760	中小企業診断士試験論点別・重要度順過去問完全マスター．５　２０１６年版		中小企業診断士試験研究会（同友館）		同友館	201601	2800	3,024
2892	事業	追加	会社設立	9784539724668	不動産管理会社の設立・運営・移行：大増税時代の相続対策の決定版！	改訂版	ＪＰコンサルタンツ・グループ		日本法令	201602	2000	2,160
2893	事業	追加	会社設立	9784872907926	８５歳、おばあちゃんでも年商５億円		和田京子		ＷＡＶＥ出版	201603	1500	1,620
2894	事業	追加	会社設立	9784539724712	司法書士＆行政書士に読んでほしい会社設立時の税務の話		山下雄次：永渕圭一		日本法令	201603	2000	2,160
2895	事業	追加	会社設立	9784881020494	一枚の名刺をプラチナカードに出来ますか？：情報は受け手の感性でその価値が変わる		浜野井優		精文館（飯田橋一丁目）	201604	1200	1,296
2896	事業	追加	会社設立	9784415320595	成功する株式会社の設立手続きと運営がわかる本		愛知吉隆：増田将信		成美堂出版	201604	1500	1,620
2897	事業	追加	会社設立	9784864294140	商取引法講義：講義の理解に役立つ図解や資料付き	改訂版	河野正英		大学教育出版	201604	2800	3,024
2898	事業	追加	会社設立	9784816616037	韓国人元ＢＣ級戦犯の訴え：何のために、誰のために		李鶴来	教科書に書かれなかった戦争	梨の木舎	201604	1700	1,836
2899	事業	追加	会社設立	9784415321332	図解いちばんやさしく丁寧に書いたＬＬＣ（合同会社）設立・運営の本		中島吉央		成美堂出版	201605	1600	1,728

2900	事業	追加	会社設立	9784785724245	合同会社のモデル定款：利用目的別８類型		江頭憲治郎		商事法務	201605	3700	3,996
2901	事業	追加	会社設立	9784793121838	事例で理解するオーナーと同族会社間の税務：設立から解散まで		伊藤正彦		税務研究会	201606	2300	2,484
2902	事業	追加	会社設立	9784426121297	株式会社をつくるならこの１冊：はじめの一歩	第８版	河野順一		自由国民社	201607	1600	1,728
2903	事業	追加	会社設立	9784434222566	シングルマザーの起業：お金じゃなかった、「情熱」だった！		藤木悠久治		牧歌舎(発売：星雲社)	201607	27778	30,000
2904	事業	追加	会社設立	9784103501411	破婚：１８歳年下のトルコ人亭主と過ごした１３年間		及川眠子		新潮社	201607	1400	1,512
2905	事業	追加	会社設立	9784502198915	中小企業の戦略的会社法務と登記		今川嘉文		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201610	4400	4,752
2906	事業	追加	会社設立	9784502190513	ベンチャー企業の法務ＡｔｏＺ：起業からＩＰＯまで		後藤勝也：林賢治		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201611	4200	4,536
2907	事業	追加	会社設立	9784496052378	経営法務．２０１７年版		中小企業診断士試験クイック合格研究チーム	中小企業診断士試験ニュー・クイックマスター	同友館	201611	1800	1,944
2908	事業	追加	会社設立	9784433631468	法人成り・個人成りの実務：法人税と所得税をうまく使いこなす		小谷羊太：仲宗根宗聡		清文社	201612	2200	2,376
2909	事業	追加	ビジネスプラン	9784322148923	ベンチャービジネスのファイナンス：変革期の企業金融を考える	第２版	田中譲		金融財政事情研究会(発売：きんざい)	199904	2600	2,808
2910	事業	追加	ビジネスプラン	9784322151428	投信窓販ハンドブック：銀行員のための投資信託の基礎知識と実務	新版	日本投資信託制度研究所		金融財政事情研究会(発売：きんざい)	199906	2400	2,592
2911	事業	追加	ビジネスプラン	9784938546458	ＦＭの発想		大森清次郎		くまざさ社(発売：くまざさ出版社)	199909	1500	1,620
2912	事業	追加	ビジネスプラン	9784796616317	エンジェル：起業支援の新しい投資家		荒井裕之	宝島社新書	宝島社	199911	660	712
2913	事業	追加	ビジネスプラン	9784806526094	中小企業のための「経営革新」入門：実践ビジネスプラン作成キット		中小企業総合研究機構：中小企業庁		経済産業調査会	199908	2300	2,484
2914	事業	追加	ビジネスプラン	9784502342042	ベンチャー企業成功の秘密		トーマツ（監査法人）		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	199803	3400	3,672
2915	事業	追加	ビジネスプラン	9784526041877	ベンチャーハンドブック		ハンドブック編集委員会（日刊工業新聞社）		日刊工業新聞社	199805	4400	4,752
2916	事業	追加	ビジネスプラン	9784274062841	ＤＴＰのデジタル印刷営業術：デキル！印刷営業マン虎の巻		上高地仁		オーム社	199810	1300	1,404
2917	事業	追加	ビジネスプラン	9784341081935	ニューウェイズがよくわかる本：Ｐｒｏｄｕｃｔｓ ａｎｄ ｍａｒｋｅｔｉｎｇ		ＨＬ研究会		ごま書房新社	199812	950	1,026
2918	事業	追加	ビジネスプラン	9784915962202	２１世紀企業グリオだからできること：グリオビジネスのすべて		ネットワーク・ビジネス研究会		日本流通産業新聞社(発売：サクセスマーケティン)	200109	1524	1,645
2919	事業	追加	ビジネスプラン	9784492552902	日本型ベンチャー成功の秘訣		青山幸男		東洋経済新報社	199709	2000	2,160
2920	事業	追加	ビジネスプラン	9784478372197	人を変え、組織を動かす２５の鉄則		アンダーセンコンサルティング：松丘啓司		ダイヤモンド社	199709	1300	1,404
2921	事業	追加	ビジネスプラン	9784322151411	投信窓販ハンドブック：銀行員のための投資信託の基礎知識と実務		日本投資信託制度研究所		金融財政事情研究会(発売：きんざい)	199712	2400	2,592
2922	事業	追加	ビジネスプラン	9784880960364	ニューウエイズＱ＆Ａ：本当のことが知りたい		吉川寛忠		さんが出版	200107	1000	1,080
2923	事業	追加	ビジネスプラン	9784274945267	最新情報技術用語事典		井上寿雄		オーム社	199409	4854	5,242
2924	事業	追加	ビジネスプラン	9784480058416	小さい会社をつくる：マイクロ企業の時代		池ノ上直隆	ちくま新書	筑摩書房	200004	660	712
2925	事業	追加	ビジネスプラン	9784532131913	ベンチャー企業の経営と支援	新版	早稲田大学アントレプレヌール研究会：松田修一（経営学）		日本経済新聞出版社	200004	4100	4,428
2926	事業	追加	ビジネスプラン	9784831400413	こうすれば必ず成功する起業家への挑戦：社長をめざすあなたのためのガイドブック		ＮＭＲ創業支援研究グループ	ベストセレクトＢＢ	日本マネージメント・リサーチ(発売：ベストブック)	200006	1400	1,512
2927	事業	追加	ビジネスプラン	9784886295194	ｅ－ビジネス入門：起業家への道		白石守		鳥影社	200010	1800	1,944
2928	事業	追加	ビジネスプラン	9784496030802	一から始めるビジネスプランづくり		茂呂戸志夫		同友館	200101	2300	2,484
2929	事業	追加	ビジネスプラン	9784341171971	ブランド戦略ビジネスのすすめ方：外資メーカークリニークの百貨店ナンバーワン戦略		入江尚弘		ごま書房新社	200103	1500	1,620
2930	事業	追加	ビジネスコミュニケーション	9784896840728	国際ビジネスコミュニケーション：英和対照		ディビッド・ワグナー：西田司	洋販Ｅ－Ｊライブラリー	ＩＢＣパブリッシング	199901	1200	1,296
2931	事業	追加	ビジネスコミュニケーション	9784478770092	ビジネスマンの完璧マナー：知らないと恥をかく！		中川路亜紀	達人ブックス	ダイヤモンド社	199906	1400	1,512
2932	事業	追加	ビジネスコミュニケーション	9784882297369	英語ビジネス文書とっておきの書き方と文例：ビジネスに効くファクス・Ｅメール・レターのヒケツ		高崎栄一郎		創育	199906	1600	1,728
2933	事業	追加	ビジネスコミュニケーション	9784419030544	商業英語検定マニュアルＣ・Ｄ級	第５版	税務経理協会		税務経理協会	199805	1900	2,052
2934	事業	追加	ビジネスコミュニケーション	9784535551305	ホワイトカラーの行動と選択：コミュニケーション・企業組織・オフィス立地		肥田野登：郵政研究所（郵政省）	郵政研究所研究叢書	日本評論社	199807	4300	4,644
2935	事業	追加	ビジネスコミュニケーション	9784806110033	ビジネス英文が面白いほど書ける本：ビジネスマン・ＯＬ必携		市川功二		中経出版	199702	1800	1,944
2936	事業	追加	ビジネスコミュニケーション	9784925041171	ＮＬＰ：超心理コミュニケーション		高橋慶治		第二海援隊	199712	2800	3,024
2937	事業	追加	ビジネスコミュニケーション	9784871382212	こんなやり方で上司をウナらせろ！		清水省三		創拓社出版	199603	971	1,048
2938	事業	追加	ビジネスコミュニケーション	9784532107345	「図解表現」入門		飯田英明	日経文庫	日本経済新聞出版社	199605	830	896
2939	事業	追加	ビジネスコミュニケーション	9784762005831	国際経営戦略：多国籍企業の市場行動分析		武上幸之助		学文社	199504	2800	3,024
2940	事業	追加	ビジネスコミュニケーション	9784822404017	海外ビジネスコミュニケーション：米国式ビジネスの理論と実践		岩下貢	ジェトロビジネス講座	日本貿易振興機構	198801	3200	3,456
2941	事業	追加	ビジネスコミュニケーション	9784537020854	ビジネス基礎英会話：ビジネスのあらゆる場面で使われる会話を収録		藤田栄一	Ｂｕｓｉｎｅｓｓ ｊｉｔｓｕｍｕ ｓｅｒｉｅｓ	日本文芸社	198712	980	1,058
2942	事業	追加	ビジネスコミュニケーション	9784889789904	オフィスのマナーと常識：新秘書・ビジネス実務入門		木村三千世	燃焼社セクレタリーブックス	燃焼社	200004	2000	2,160
2943	事業	追加	ビジネスコミュニケーション	9784526047039	図解でわかるＩＴコーディネータのすべて		ＭＣ－２０００ＩＴＣ研究会		日刊工業新聞社	200102	2000	2,160
2944	事業	追加	ビジネスコミュニケーション	9784782303375	新ビジネス実務の基本		鎌田和江：大津洋子		嵯峨野書院	200106	2400	2,592
2945	事業	追加	ビジネスコミュニケーション	9784478740279	ビジネス文書の書き方：すぐに役立つ！そのまま使える！		中川路亜紀	Ｄｉａｍｏｎｄ ｂａｓｉｃ	ダイヤモンド社	200107	1400	1,512
2946	事業	追加	ビジネスコミュニケーション	9784883731688	誰も教えてくれなかったＩＴ英語：海外ＩＴエンジニアはこう話す！		板垣政樹：小坂貴志		ソフト・リサーチ・センター	200206	1900	2,052
2947	事業	追加	ビジネスコミュニケーション	9784766409376	ストラテジック・コミュニケーション．１		岩下貢		慶応義塾大学出版会	200211	1600	1,728
2948	事業	追加	ビジネスコミュニケーション	9784495560119	仕事に活かす「雑談」の技術		生井利幸	Ｄｏ ｂｏｏｋｓ	同文舘出版	200211	1300	1,404
2949	事業	追加	ビジネスコミュニケーション	9784480059802	ビジネス英語を学ぶ		亀田尚己【著】	ちくま新書	筑摩書房	200212	680	734

2950	事業	追加	ビジネスコミュニケーション	9784873022024	あなたもきっとうまくいく：日本人の企業心理学		鈴木吉之		郁朋社	200303	1200	1,296
2951	事業	追加	ビジネスコミュニケーション	9784762012495	ビジネスパーソンのためのビジネス実務の基礎		増田卓司		学文社	200304	2000	2,160
2952	事業	追加	ビジネスコミュニケーション	9784830944697	国際ビジネスコミュニケーションの研究		亀田尚己		文眞堂	200311	3000	3,240
2953	事業	追加	ビジネスコミュニケーション	9784478360613	質問の技術：コーチングのプロが教える		齋藤淳子		ダイヤモンド社	200312	1300	1,404
2954	事業	追加	ビジネスコミュニケーション	9784769608325	「伝え方」の技術：ビジネスを成功させる		工藤アリサ		こう書房	200406	1400	1,512
2955	事業	追加	ビジネスコミュニケーション	9784774121338	学生、フリーター、新社会人のための敬語＆ビジネスマナーらくらくマスター ｂｏｏｋ：立派な社会人になりたいアナタの必携書！		上田晶美	＠ｂａｓｉｃ	技術評論社	200410	980	1,058
2956	事業	追加	ビジネスコミュニケーション	9784408106366	仕事がどんどんうまくいくスピード整理術		西山昭彦	実日ビジネス	実業之日本社	200508	1400	1,512
2957	事業	追加	ビジネスモデル	9784890221929	中小企業診断士必携！コンサルティング・ビジネス虎の巻：マイコンテンツづくりマニュアル		アイ・コンサルティング協同組合：新井信裕	コミュニティ・ブックス	日本地域社会研究所	201701	2000	2,160
2958	事業	追加	ビジネスモデル	9784774186474	未来を味方にする技術：これからのビジネスを創るＩＴの基礎の基礎		斎藤昌義		技術評論社	201701	1580	1,706
2959	事業	追加	ビジネスモデル	9784863584549	空き家管理マニュアル		大阪府不動産コンサルティング協会		建築資料研究社	201701	2000	2,160
2960	事業	追加	ビジネスモデル	9784344910522	中小企業の「後継社長」が知っておくべき会社引継ぎ５０の鉄則		藤竹理江		幻冬舎メディアコンサルティング(発売：幻冬舎)	201701	1300	1,404
2961	事業	追加	ビジネスモデル	9784478084045	日本流イノベーション：日本企業の特性を活かす成功方程式		吉村慎吾		ダイヤモンド・ビジネス企画(発売：ダイヤモンド社)	201701	1500	1,620
2962	事業	追加	ビジネスモデル	9784769611592	事業に失敗しないための起業家宣言：顧客ゼロから起業１０年で売上高２０億円の起業戦略論		小室雄次		こう書房	201702	1400	1,512
2963	事業	追加	ビジネスモデル	9784344911871	自己資金ゼロ・ローリスクで儲かるクリニックを開業する方法		市川直樹		幻冬舎メディアコンサルティング(発売：幻冬舎)	201701	1500	1,620
2964	事業	追加	ビジネスモデル	9784905169055	ＳＥのための特許入門	改訂第５版	情報サービス産業協会：水谷直樹	ＪＩＳＡブックレッツ	情報サービス産業協会	201701	800	864
2965	事業	追加	ビジネスモデル	9784766833461	金融キャリアの教科書：銀行・証券・保険業界のビジネスモデルで学ぶ		三好秀和		経済法令研究会	201702	1300	1,404
2966	事業	追加	ビジネスモデル	9784864941228	ストック営業術		張替一真		白夜書房	201702	1400	1,512
2967	事業	追加	ビジネスモデル	9784495648510	流通・マーケティング革新の展開		渦原実男		同文舘出版	201702	2800	3,024
2968	事業	追加	ビジネスモデル	9784569832746	あと５年で銀行は半分以下になる		渡邉哲也		ＰＨＰ研究所	201702	1400	1,512
2969	事業	追加	ビジネスモデル	9784492502877	日本の工芸を元気にする！		中川政七		東洋経済新報社	201702	1600	1,728
2970	事業	追加	ビジネスモデル	9784396114985	総合商社：その「強さ」と、日本企業の「次」を探る		田中隆之	祥伝社新書	祥伝社	201703	820	885
2971	事業	追加	ビジネスモデル	9784839958237	ＩＴエンジニアのための「人生戦略」の教科書		平城寿		マイナビ出版	201702	2280	2,462
2972	事業	追加	ビジネスモデル	9784885554797	アメリカの電力革命		山家公雄	エネルギーフォーラム新書	エネルギーフォーラム	201703	900	972
2973	事業	追加	ビジネスモデル	9784062884181	２０２５年日本の農業ビジネス		２１世紀政策研究所	講談社現代新書	講談社	201703	800	864
2974	事業	追加	ビジネスモデル	9784822255084	模倣の経営学	実践プログラム	井上達彦		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201703	2000	2,160
2975	事業	追加	ビジネスモデル	9784478100936	やっぱり気になる「住まいと暮らしビジネス」：社会課題を解決に導く５つのアプローチ		山本剛史：タナベ経営住まいと暮らしビジネスコンサル	ファーストコールカンパニーシリーズ	ダイヤモンド社	201703	1600	1,728
2976	事業	追加	ビジネスモデル	9784822239374	トップ企業が明かすデジタル時代の経営戦略：「絶対的価値」を生み出す　エグゼクティブＣＩＯの挑		國領二郎：三谷慶一郎		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201703	2000	2,160
2977	事業	追加	ビジネスモデル	9784863673250	社長が３カ月不在でも、仕組みで稼ぐ、年商１０億円ビジネスのつくり方		矢田祐二		セルバ出版(発売：創英社（三省堂書店）)	201703	1600	1,728
2978	事業	追加	ビジネスモデル	9784817196170	情報通信社会における企業経営：ストラテジ・マネジメント編.上 (ストラテジ・マネジメント編	第２版	久保田正道：卜部正夫		日科技連出版社	201703	2600	2,808
2979	事業	追加	ビジネスモデル	9784534054852	図解でわかる販売・物流管理の進め方		石川和幸		日本実業出版社	201703	1800	1,944
2980	事業	追加	ビジネスモデル	9784061386112	誰がこれからのアニメをつくるのか？		数土直志	星海社新書	星海社(発売：講談社)	201703	900	972
2981	事業	追加	ビジネスモデル	9784426121907	儲けのしくみ		酒井威津善		自由国民社	201703	1500	1,620
2982	事業	追加	ビジネスモデル	9784322130515	企業のリスクを可視化する事業性評価のフレームワーク		山内基弘：土田篤		金融財政事情研究会(発売：きんざい)	201703	1200	1,296
2983	事業	追加	ビジネスモデル	9784496052453	カプフェレ教授のラグジュアリー論：いかにラグジュアリーブランドが成長しながら、稀少で		ジャン・ノエル・カプフェレ：長沢伸也		同友館	201704	2800	3,024
2984	事業	追加	ビジネスモデル	9784771028654	ファッションビジネス戦略的ブランドマネジメント：キャズムを越えて		馬場正実		晃洋書房	201704	2400	2,592
2985	事業	追加	ビジネスモデル	9784502222818	１からのアントレプレナーシップ		山田幸三：江島由裕		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201704	2400	2,592
2986	事業	追加	ビジネスモデル	9784048927437	そろそろ会社辞めようかなと思っている人に、一人でも食べていける知識をシェアしよう	最新改訂版	山口揚平	メディアワークス文庫	ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201704	550	594
2987	事業	追加	ビジネスモデル	9784839963057	ＩｏＴは“三河屋さん”である：ＩｏＴビジネスの教科書		児玉哲彦	マイナビ新書	マイナビ出版	201704	850	918
2988	事業	追加	ビジネスモデル	9784809414886	プロスポーツビジネス：私たちの成功事例		東邦出版		東邦出版	201705	1500	1,620
2989	事業	追加	ビジネスモデル	9784434232534	ＡＩ時代の企業戦略：第４次産業革命のＩＴ技術に基づく		伊貝武臣		日本メディア・コーポレーション(発売：星雲社)	201705	2500	2,700
2990	事業	追加	ビジネスモデル	9784502225611	法務の技法［ＯＪＴ編］		芦原一郎		中央経済グループパブリッシング	201705	3200	3,456
2991	事業	追加	ビジネスモデル	9784344912250	超図解！新規事業立ち上げ入門		木下雄介		幻冬舎メディアコンサルティング(発売：幻冬舎)	201704	800	864
2992	事業	追加	ビジネスモデル	9784502219016	プロフェッショナルサービスのビジネスモデル：コンサルティングファームの比較事例分析		高橋千枝子	碩学叢書	中央経済グループパブリッシング	201705	3600	3,888
2993	事業	追加	ビジネスモデル	9784791625109	マンガでわかる事業計画書のつくり方：カラー版		渡辺政之：シニオテルヤ		西東社	201706	1700	1,836
2994	事業	追加	ビジネスモデル	9784334039882	ドキュメント金融庁ＶＳ．地銀：生き残る銀行はどこか		読売新聞東京本社経済部	光文社新書	光文社	201705	760	820
2995	事業	追加	ビジネスモデル	9784765745529	女性営業渉外の育成法：営業の基礎から融資渉外まで		川井栄一：植月彩織		銀行研修社	201705	1574	1,699
2996	事業	追加	ビジネスモデル	9784763408143	新聞の凋落と「押し紙」		黒藪哲哉		花伝社(発売：共栄書房)	201705	1500	1,620
2997	事業	追加	ビジネスモデル	9784478102657	スーツを脱げ、タイツを着ろ！：非常識な社長が成功させた経営改革		江上喜朗		ダイヤモンド社	201705	1500	1,620
2998	事業	追加	ビジネスモデル	9784106038044	世界史を創ったビジネスモデル		野口悠紀雄	新潮選書	新潮社	201705	1700	1,836
2999	事業	追加	ビジネスモデル	9784931574229	商社：グローバルな価値創造に向けて			商社ハンドブック	日本貿易会	201704	463	500

3000	事業	追加	ビジネスモデル	9784797389609	実はおもしろい経営戦略の話		野田稔	ＳＢ新書	ＳＢクリエイティブ	201706	800	864
3001	事業	追加	ビジネスモデル	9784322130805	Ｍ＆Ａは地域活性化のソリューション：企業の価値を未来へつなぐ地域金融機関		日本Ｍ＆Ａセンター		きんざい	201706	900	972
3002	事業	追加	ビジネスモデル	9784816362699	プロ直伝！成功するマーケティングの基本と実践：知識ゼロからはじめる『売る』ための仕組みづくり		竹中雄三：河野安彦		ナツメ社	201707	1500	1,620
3003	事業	追加	ビジネスモデル	9784496052736	サービス経営学入門：顧客価値共創の戦略経営		寺本義也：中西晶		同友館	201706	2200	2,376
3004	事業	追加	ビジネスモデル	9784833451185	介護危機：「数字」と「現場」の処方箋		宮本剛宏		プレジデント社	201706	1400	1,512
3005	事業	追加	ビジネスモデル	9784502229916	コンテンツビジネスの経営戦略		情報通信学会コンテンツビジネス研究会		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201706	2800	3,024
3006	事業	追加	トップランナー	9784434228087	ヒットの予感！！：インターネット対応ブック．２０１７年度版		ミスター・パートナー	Ｍｒ．Ｐａｒｔｎｅｒ ｂｏｏｋ	ミスター・パートナー(発売：星雲社)	201701	1500	1,620
3007	事業	追加	トップランナー	9784309253619	宇宙には、だれかいますか？		縣秀彦：佐藤勝彦		河出書房新社	201702	1500	1,620
3008	事業	追加	トップランナー	9784502205316	障害者雇用における合理的配慮		朝日雅也：笹川俊雄		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201703	2600	2,808
3009	事業	追加	トップランナー	9784004316596	異才、発見！：枠を飛び出す子どもたち		伊藤史織	岩波新書	岩波書店	201704	780	842
3010	事業	追加	トップランナー	9784779123276	隔離の記憶：ハンセン病といのちと希望と	増補新版	高木智子		彩流社	201705	2500	2,700
3011	事業	追加	トップランナー	9784822259242	農林水産業のみらいの宝石箱		農林水産業みらい基金		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201706	1500	1,620
3012	事業	追加	トップランナー	9784930702593	おたすけ進路声優編．２０１８		佐藤正隆	おたすけ進路シリーズ	夏書館	201706	926	1,000
3013	事業	追加	トップランナー	9784792605957	誇りある日本文明：中韓が絶対に越えられない、先進と継続の理由！		高田純		青林堂	201707	1200	1,296
3014	事業	追加	トップランナー	9784898154656	風と土の秋田：二十年後の日本を生きる豊かさのヒント		藤本智士		リトル・モア	201708	1600	1,728
3015	事業	追加	トップランナー	9784569836560	ＹＫＫの流儀：世界のトップランナーであり続けるために		吉田忠裕		ＰＨＰ研究所	201709	1400	1,512
3016	事業	追加	トップランナー	9784787274069	木村拓哉という生き方		太田省一		青弓社	201709	1600	1,728
3017	事業	追加	トップランナー	9784772660969	実践！復興まちづくり：陸前高田・長洞元気村復興の闘いと支援２０１１～２０		復興まちづくり研究所		合同フォレスト(発売：合同出版)	201710	1800	1,944
3018	事業	追加	トップランナー	9784140885369	西郷隆盛　維新１５０年目の真実		家近良樹	ＮＨＫ出版新書	ＮＨＫ出版	201711	820	885
3019	事業	追加	トップランナー	9784822255480	破天荒弁護士クボリ伝		久保利英明：磯山友幸		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201711	1700	1,836
3020	事業	追加	トップランナー	9784259521936	次のステージに向かうＪＡ自己改革：短期的・長期的戦略で危機を乗り越える		小林元		家の光協会	201712	500	540
3021	事業	追加	ベンチャービジネス	9784811323350	考えよう！女性活躍社会．１		孫奈美		汐文社	201702	2400	2,592
3022	事業	追加	ベンチャービジネス	9784344911796	業績を伸ばすための"守り"を固める鉄壁のリスクマネジメント		太田裕二		幻冬舎メディアコンサルティング(発売：幻冬舎)	201702	1500	1,620
3023	事業	追加	ベンチャービジネス	9784434231476	ベンチャーコミュニティを巡って		秦信行		武蔵野デジタル出版(発売：星雲社)	201703	2000	2,160
3024	事業	追加	ベンチャービジネス	9784526077005	３６０度思考で生涯現役		下條武男		日刊工業新聞社	201703	1500	1,620
3025	事業	追加	ベンチャービジネス	9784502218910	日本経済論		宮川努：細野薫	ベーシック＋	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201703	2400	2,592
3026	事業	追加	ベンチャービジネス	9784532263379	あの会社はこうして潰れた		藤森徹	日経プレミアシリーズ	日本経済新聞出版社	201704	850	918
3027	事業	追加	ベンチャービジネス	9784575312546	マルカン大食堂の奇跡：岩手・花巻発！昭和なデパート大食堂復活までの市民と		北山公路		双葉社	201705	1300	1,404
3028	事業	追加	ベンチャービジネス	9784062884259	真説・企業論：ビジネススクールが教えない経営学		中野剛志	講談社現代新書	講談社	201705	800	864
3029	事業	追加	ベンチャービジネス	9784830949425	企業紐帯と業績の研究：組織間関係の理論と実証	第２版	境新一		文眞堂	201705	3600	3,888
3030	事業	追加	ベンチャービジネス	9784822235888	実践するオープンイノベーション		トーマツベンチャーサポート		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201705	1800	1,944
3031	事業	追加	ベンチャービジネス	9784860140847	地域経済政策学入門		帝京大学地域経済学科：山川充夫		八朔社	201705	2800	3,024
3032	事業	追加	ベンチャービジネス	9784419064594	エリア・マーケティングアーキテクチャー	増補版	岩田貴子		税務経理協会	201706	3200	3,456
3033	事業	追加	ベンチャービジネス	9784822237356	森部好樹が選ぶ続・日本のベストベンチャー１５社		森部好樹		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201707	1500	1,620
3034	事業	追加	ベンチャービジネス	9784526077234	「自動運転」ビジネス勝利の法則：レベル３をめぐる新たな攻防		井熊均：井上岳一		日刊工業新聞社	201706	1800	1,944
3035	事業	追加	ベンチャービジネス	9784094516890	平浦ファミリズム		遍柳一：さかもと侑	ガガガ文庫	小学館	201707	667	720
3036	事業	追加	ベンチャービジネス	9784502239113	Ｍ＆Ａ・組織再編スキーム発想の着眼点５０	第２版	宮口徹		中央経済グループパブリッシング	201708	3000	3,240
3037	事業	追加	ベンチャービジネス	9784822255046	宇宙ビジネス入門：Ｎｅｗ　Ｓｐａｃｅ革命の全貌		石田真康		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201709	1800	1,944
3038	事業	追加	ベンチャービジネス	9784295401148	社長は、会社を変える人材を命がけで採りなさい		佐藤文男		クロスメディア・パブリッシング(発売：インプレス)	201708	1480	1,598
3039	事業	追加	ベンチャービジネス	9784502233210	ステージ別ベンチャー企業の労務戦略		ＧＶＡ法律事務所：山本俊		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201709	2600	2,808
3040	事業	追加	ベンチャービジネス	9784785725471	種類株式ハンドブック		太田洋：松尾拓也		商事法務	201709	6200	6,696
3041	事業	追加	ベンチャービジネス	9784502240713	コーポレートアクセラレーター：オープンイノベーションの最強手法		村上恭一：鈴木規文		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201709	2000	2,160
3042	事業	追加	ベンチャービジネス	9784822255268	東大ロースクール実戦から学ぶ企業法務		淵邉善彦		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201712	1800	1,944
3043	事業	追加	ベンチャービジネス	9784908813108	ベンチャー企業白書．２０１７年版		藤田英夫	ＪＢＤ企業・ビジネス白書シリーズ	日本ビジネス開発	201711	38000	41,040
3044	事業	追加	企業リスク	9784274024214	土壌・地下水汚染の実態とその対策		日本地盤環境浄化推進協議会		オーム社	200001	2800	3,024
3045	事業	追加	企業リスク	9784322100280	年金資産運用マネジメントのすべて：プラン・スポンサーの新潮流		フランク・Ｊ．ファボツィ：榊原茂樹		金融財政事情研究会(発売：きんざい)	199911	5000	5,400
3046	事業	追加	企業リスク	9784419034535	現代リスク・マネジメント論		植藤正志		税務経理協会	200001	3300	3,564
3047	事業	追加	企業リスク	9784419029210	製造業のリスク・マネジメント		滝沢正雄		税務経理協会	199810	1900	2,052
3048	事業	追加	企業リスク	9784419025458	会社のリスク新時代．流通編		企業リスク研究会		税務経理協会	199606	1650	1,782
3049	事業	追加	企業リスク	9784887090514	企業リスク管理のノウハウ：ここまでは知っておきたい	新版	船津忠正		東京経済情報出版	199510	3107	3,355

3050	事業	追加	企業リスク	9784589016430	保険とリスクマネジメントの理論		亀井利明		法律文化社	199204	2700	2,916
3051	事業	追加	企業リスク	9784502360909	リスクマネジメントのしくみ		上山道生		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	200202	2400	2,592
3052	事業	追加	企業リスク	9784589025890	エッセンシャル企業法務		吉田光碩		法律文化社	200205	2200	2,376
3053	事業	追加	企業リスク	9784495169411	内部監査の品質評価マニュアル：有効性と価値の向上のために		内部監査人協会：松井隆幸		同文舘出版	200304	2500	2,700
3054	事業	追加	企業リスク	9784876496051	検証！日本の環境経営：わが国の環境経営・環境ビジネスに対する現状認識と問		経済産業省		ケイブン出版	200409	2000	2,160
3055	事業	追加	企業リスク	9784535554467	ゼロから学ぶリスク論		田辺和俊		日本評論社	200510	1600	1,728
3056	事業	追加	企業リスク	9784766412307	保険進化と保険事業		堀田一吉：岡村国和	慶應義塾保険学会叢書	慶応義塾大学出版会	200605	3000	3,240
3057	事業	追加	企業リスク	9784901586276	企業リスク白書：企業リスク軽視の代償と教訓．２００６年版		藤田英夫		日本ビジネス開発	200603	38000	41,040
3058	事業	追加	企業リスク	9784478470862	企業価値向上の財務戦略：コーポレート・ファイナンシャル・エンジニアリングの		野村証券株式会社：太田洋子		ダイヤモンド社	200606	5000	5,400
3059	事業	追加	企業リスク	9784502389009	企業の危機管理コンサルティング：ケーススタディ		白井邦芳		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	200611	3000	3,240
3060	事業	追加	企業リスク	9784916106940	企業リスク・マネジメント入門：ＡＲＴの戦略的活用法		エリック・バンクス：小野雅博	金融職人技シリーズ	シグマベイスキャピタル	200702	4500	4,860
3061	事業	追加	企業リスク	9784502369100	企業リスクマネジメント：内部統制の手法として		吉川吉衛		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	200703	2800	3,024
3062	事業	追加	企業リスク	9784901689779	あなたの会社は大丈夫？：標語・川柳で学ぶ管理者のための企業リスクマネジメン		白木大五郎		丸善プラネット(発売：丸善出版)	200708	1400	1,512
3063	事業	追加	企業リスク	9784902225372	不祥事を防ぐ市場対応ハンドブック：情報開示からリコール実施まで		久新大四郎		唯学書房(発売：アジール・プロダクシ)	200709	2800	3,024
3064	事業	追加	企業リスク	9784526059438	リスクベースで進める実践的ＩＴプロジェクトマネジメント：不確実なプロジェクトを成功に導く，新たなフレームワ		後田廣		日刊工業新聞社	200710	2000	2,160
3065	事業	追加	企業リスク	9784798114101	統制環境読本：「脱・文書化３点セット」で内部統制が変わる！会社が		丸山満彦：亀井将博	コンプライアンス選書	翔泳社	200803	1800	1,944
3066	事業	追加	企業リスク	9784526061530	図解よくわかる排出権取引ビジネス	第４版	みずほ情報総研株式会社	Ｂ＆Ｔブックス	日刊工業新聞社	200810	1800	1,944
3067	事業	追加	企業リスク	9784502664809	地震リスク対策：建物の耐震改修・除却法：災害時の事業継続計画・税務戦略のつくり方		大沢幸雄：土屋清人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	200901	3200	3,456
3068	事業	追加	企業リスク	9784901586443	企業リスク白書．２００８年版		藤田英夫		日本ビジネス開発	200811	38000	41,040
3069	事業	追加	企業リスク	9784561265061	企業経営とリスクマネジメントの新潮流		上田和勇	専修大学商学研究所叢書	白桃書房	200903	2800	3,024
3070	事業	追加	企業リスク	9784862400529	環境ビジネスリスク：環境法からのアプローチ		松村弓彦		産業環境管理協会(発売：丸善出版)	200906	3000	3,240
3071	事業	追加	企業リスク	9784492601853	監査役の条件		徳谷昌勇		東洋経済新報社	200907	1800	1,944
3072	事業	追加	企業リスク	9784502987304	中小企業の法務リスク対策：経営承継，株主・株式，従業員等のトラブル予防		中小企業支援実務研究会：伊藤大輔		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	200910	4000	4,320
3073	事業	追加	企業リスク	9784901586566	企業リスク白書．２０１１年春号		藤田英夫	ＪＢＤビジネス白書シリーズ	日本ビジネス開発	201105	38000	41,040
3074	事業	追加	企業リスク	9784502458705	財務情報等の監査・保証業務		内藤文雄		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201209	4000	4,320
3075	事業	追加	企業リスク	9784434183164	労働災害：その企業リスク		和泉清司		風詠社(発売：星雲社)	201309	1800	1,944
3076	事業	追加	企業リスク	9784863193949	送検理由に学ぶ安衛法の理解：労働安全衛生コンプライアンス・ＣＳＲ対策の決め手		黒崎由行：鈴木剛	安全衛生選書	労働調査会	201312	1500	1,620
3077	事業	追加	企業リスク	9784901586696	企業リスク白書．２０１２／２０１３年版		藤田英夫	ＪＢＤ企業・ビジネス白書シリーズ	日本ビジネス開発	201309	38000	41,040
3078	事業	追加	企業リスク	9784901586801	企業リスク白書．２０１４年版		藤田英夫	ＪＢＤ企業・ビジネス白書シリーズ	日本ビジネス開発	201406	38000	41,040
3079	事業	追加	企業リスク	9784532319922	家族と企業を守る感染症対策ガイドブック		東京海上日動リスクコンサルティング：和田耕治		日本経済新聞出版社	201504	1000	1,080
3080	事業	追加	企業リスク	9784254160642	災害情報学事典		日本災害情報学会		朝倉書店	201603	8500	9,180
3081	事業	追加	企業リスク	9784623076307	東日本大震災復興５年目の検証：復興の実態と防災・減災・縮災の展望		関西大学		ミネルヴァ書房	201603	3800	4,104
3082	事業	追加	企業リスク	9784433654764	日本版司法取引と企業対応：平成２８年改正刑訴法で何がどう変わるのか		平尾覚		清文社	201606	2500	2,700
3083	事業	追加	企業リスク	9784908813009	企業リスク白書．２０１５／２０１６年版		藤田英夫	ＪＢＤ企業・ビジネス白書シリーズ	日本ビジネス開発	201608	38000	41,040
3084	事業	追加	企業リスク	9784906520565	これからでも間に合うマイナンバー対策ガイド：５０人以下の中小企業のオーナーとその担当者必見！！		柴田昇		実務出版	201611	602	650
3085	事業	追加	企業リスク	9784322130539	企業犯罪と司法取引		朝山道央：琴平綜合法律事務所	ＫＩＮＺＡＩバリュー叢書	金融財政事情研究会(発売：きんざい)	201702	1500	1,620
3086	事業	追加	企業リスク	9784534054708	コーポレートガバナンスの基本：この１冊ですべてわかる		手塚貞治		日本実業出版社	201702	2000	2,160
3087	事業	追加	企業リスク	9784502229510	海外赴任者の危機管理対策マニュアル		名南経営コンサルティング：社会保険労務士法人名南経営		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201706	3000	3,240
3088	事業	追加	企業リスク	9784496053412	リスク回避のための事業承継実務の進め方：黒字企業必見！！中小企業オーナーが知っておきたい		石橋研一：大草吾朗		同友館	201804	1600	1,728
3089	事業	追加	企業リスク	9784766824162	実践リスクマネジメント要覧 理論と事例		ＭＳ＆ＡＤインターリスク総研		経済法令研究会	201804	5000	5,400
3090	事業	追加	不動産取引	9784785725853	企業不動産法	第２版	小澤英明		商事法務	201801	4200	4,536
3091	事業	追加	不動産取引	9784532134778	公式ガイドファシリティマネジメント		ＦＭ推進連絡協議会		日本経済新聞出版社	201801	5200	5,616
3092	事業	追加	不動産取引	9784802833042	不動産取引における契約不適合責任と説明義務：売主、賃貸人および仲介業者の責任	新訂版	渡辺晋		大成出版社	201801	9000	9,720
3093	事業	追加	不動産取引	9784539725832	改正民法不動産売買・賃貸借契約とモデル書式		法友全期会債権法改正特別委員会		日本法令	201802	2600	2,808
3094	事業	追加	不動産取引	9784535522923	基本講義消費者法	第３版	中田邦博：鹿野菜穂子	法セミＬＡＷ ＣＬＡＳＳシリーズ	日本評論社	201803	2800	3,024
3095	事業	追加	不動産取引	9784817844774	論点解説民法（債権法）改正と不動産取引の実務		鎌野邦樹		日本加除出版	201805	4300	4,644
3096	事業	追加	不動産取引	9784800720566	知りたいことが全部わかる！不動産の教科書		池田浩一		ソーテック社	201806	1500	1,620
3097	事業	追加	不動産取引	9784492961421	不動産政策研究各論．１		不動産政策研究会：松尾弘		東洋経済新報社	201807	3200	3,456
3098	事業	追加	不動産取引	9784492961414	不動産政策研究総論		不動産政策研究会：浅見泰司		東洋経済新報社	201807	3200	3,456
3099	事業	追加	不動産取引	9784326403585	意思主義をめぐる法的思索		今村与一		勁草書房	201807	5800	6,264

3100	事業	追加	不動産取引	9784802833431	宅建業者・賃貸不動産管理業者のための民法（債権法）改正における実務ポイント		江口正夫		大成出版社	201808	1800	1,944
3101	事業	追加	不動産取引	9784419065454	ざっくりわかる！不動産を買う・貸す・売るときの税金		伊藤違仁		税務経理協会	201811	2000	2,160
3102	事業	追加	不動産法	9784797215090	英国不動産法		西垣剛		信山社出版	199704	18000	19,440
3103	事業	追加	不動産法	9784890678051	アジアの不動産法制．１		水本浩		日本住宅総合センター	199401	3883	4,193
3104	事業	追加	不動産法	9784767006949	歴史における法の諸相：佐藤篤士先生還暦記念論文集		佐藤篤士先生還暦記念論文集刊行委員会		敬文堂	199403	7767	8,388
3105	事業	追加	不動産法	9784313314573	比較財産法講義：ドイツ不動産取引の理論と判例		円谷峻		学陽書房	199211	3398	3,669
3106	事業	追加	不動産法	9784641037496	民法：よみかたとしくみ	改訂版	篠塚昭次		有斐閣	199211	1800	1,944
3107	事業	追加	不動産法	9784313007642	建設小六法．昭和６４年版		学陽書房		学陽書房	198804	2900	3,132
3108	事業	追加	不動産法	9784163427706	知っておきたいアメリカの法律		ニューヨーク州弁護士会：キャピタル大学ロースクール日本分校		文藝春秋	198811	1300	1,404
3109	事業	追加	不動産法	9784889910698	不動産学概論：不動産学の確立と２１世紀への視点		丸山英気		メディアファクトリー	198704	3800	4,104
3110	事業	追加	不動産法	9784417012627	借地・借家の法律相談	補訂版	翼集唱	青林法律相談	青林書院	200008	3700	3,996
3111	事業	追加	不動産法	9784896916386	失敗しない田舎暮らし入門：土地や家の取得法から土いじりの楽しみ方まで	最新版	山本一典		洋泉社	200206	1600	1,728
3112	事業	追加	不動産法	9784767001135	ドイツ都市制度史の新研究		林毅		敬文堂	200311	7000	7,560
3113	事業	追加	不動産法	9784896282511	実務不動産法講義		坂和章平	実務法律講義	民事法研究会	200504	5300	5,724
3114	事業	追加	不動産法	9784589028167	新現代民法入門	第２版	甲斐道太郎	現代法双書	法律文化社	200504	2800	3,024
3115	事業	追加	不動産法	9784588635106	韓国司法制度と梅謙次郎		李英美		法政大学出版局	200511	5300	5,724
3116	事業	追加	不動産法	9784785713386	不動産法の理論と実務	改訂版	沢野順彦		商事法務	200606	4700	5,076
3117	事業	追加	不動産法	9784891861513	現代民法学と実務：気鋭の学者たちの研究のフロンティアを歩く．上		加藤雅信：加藤新太郎		判例タイムズ社	200808	3600	3,888
3118	事業	追加	不動産法	9784789229227	米国の不動産知識Ａ ｔｏ Ｚ：ニューヨーク市場から学ぶ不動産の国際基準		山本正俊：山本みゆき	住宅・不動産実務ブック	住宅新報出版	200812	2400	2,592
3119	事業	追加	不動産法	9784872041354	不動産問題と法：不動産問題からの法学への接近		田中嗣久		大阪経済法科大学出版部	200904	1500	1,620
3120	事業	追加	不動産法	9784844702399	韓國土地所有權ノ沿革ヲ論又／不動産法調査報告要録／土地調査綱要／臨時財産整理局事	復刻版	平木勘太郎：法典調査局	韓国併合史研究資料	龍渓書舎	201101	9000	9,720
3121	事業	追加	不動産法	9784324092668	不動産法の知識と実務		東京弁護士会	弁護士専門研修講座	ぎょうせい	201109	3143	3,394
3122	事業	追加	不動産法	9784535518704	不動産法入門：不動産をキーワードにして学ぶ		秋山靖浩		日本評論社	201112	2800	3,024
3123	事業	追加	不動産法	9784502079306	ミャンマー・ビジネスの法務・会計・税務		堤雄史：藤井俊亮		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201312	3400	3,672
3124	事業	追加	不動産法	9784535520240	不動産法と要件事実		伊藤滋夫	法科大学院要件事実教育研究所報	日本評論社	201403	3000	3,240
3125	事業	追加	不動産法	9784495199517	カンボジア進出・展開・撤退の実務：投資・労働法務、会計税務		夏山宗平：芝清隆		同文舘出版	201403	2800	3,024
3126	事業	追加	不動産法	9784817841674	新国際法律英語：国際法律英語証明試験（ＩＬＥＣ）対策国際弁護士を目		李東二：江藤照樹		日本加除出版	201406	5200	5,616
3127	事業	追加	簿記	9784415323305	いちばんわかりやすいはじめての簿記入門		柴山政行		成美堂出版	201801	1000	1,080
3128	事業	追加	簿記	9784794415172	行列簿記の現代的意義：歴史的経緯と構造の視点から		礒本光広		創成社	201801	3000	3,240
3129	事業	追加	簿記	9784820726401	経理・財務スキル検定（ＦＡＳＳ）テキスト＆問題集	改訂２版	ＣＳアカウンティング		日本能率協会マネジメントセンター	201802	2800	3,024
3130	事業	追加	簿記	9784793006180	会計。：道草・寄り道・回り道		八田進二		泉文堂	201801	2200	2,376
3131	事業	追加	簿記	9784502253119	大原で合格る日商簿記２級工業簿記		資格の大原		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201802	1200	1,296
3132	事業	追加	簿記	9784502250811	テキスト会計学講義		原俊雄：高橋賢		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201803	2000	2,160
3133	事業	追加	簿記	9784502255816	新版まなびの入門会計学	第３版	朴大栄：小沢義昭		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201803	2600	2,808
3134	事業	追加	簿記	9784495203221	スタートアップ会計学	第２版	上野清貴		同文舘出版	201802	2500	2,700
3135	事業	追加	簿記	9784023316836	マンガとにかくわかりやすいＭＢＡ流決算書の読み方		かんべみのり：大沢豪		朝日新聞出版	201802	1200	1,296
3136	事業	追加	簿記	9784766424911	会計と会計学のレーゾン・デートル		友岡賛	慶應義塾大学商学会商学研究叢書	慶應義塾大学商学会(発売：慶応義塾大学出版会)	201802	3000	3,240
3137	事業	追加	簿記	9784813273813	合格テキスト日商簿記２級商業簿記	Ｖｅｒ．１	ＴＡＣ株式会社（簿記検定講座）	よくわかる簿記シリーズ	ＴＡＣ	201802	2400	2,592
3138	事業	追加	簿記	9784813273882	合格トレーニング日商簿記２級商業簿記	Ｖｅｒ．１	ＴＡＣ株式会社（簿記検定講座）	よくわかる簿記シリーズ	ＴＡＣ	201802	1800	1,944
3139	事業	追加	簿記	9784496053108	財務・会計：重要論点攻略．２０１８年版		中小企業診断士試験クイック合格研究チーム：中村崇宏	中小企業診断士試験ニュー・クイックマスター	同友館	201802	1800	1,944
3140	事業	追加	簿記	9784793122811	決算書入門の入門	改訂４版	辻敢：酒井啓二		税務研究会	201802	1700	1,836
3141	事業	追加	簿記	9784502257117	検定簿記ワークブック２級工業簿記	第３版	岡本清：廣本敏郎		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201803	700	756
3142	事業	追加	簿記	9784813276395	書き込み式で経理実務が身につく本	第１５版	豊島正治		ＴＡＣ	201802	1800	1,944
3143	事業	追加	簿記	9784502805530	検定簿記講義２級工業簿記．平成３０年度版		岡本清：廣本敏郎		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201803	700	756
3144	事業	追加	簿記	9784813274865	みんなが欲しかった簿記の教科書 日商２級工業簿記	第５版	滝澤ななみ	みんなが欲しかったシリーズ	ＴＡＣ	201802	1400	1,512
3145	事業	追加	簿記	9784813274070	みんなが欲しかった簿記の問題集日商２級工業簿記	第７版	滝澤ななみ		ＴＡＣ	201802	1300	1,404
3146	事業	追加	簿記	9784813274889	スッキリわかる日商簿記３級	第９版	滝澤ななみ	すっきりわかるシリーズ	ＴＡＣ	201802	1000	1,080
3147	事業	追加	簿記	9784813274124	スッキリわかる日商簿記２級工業簿記	第７版	滝澤ななみ	すっきりわかるシリーズ	ＴＡＣ	201802	1400	1,512
3148	事業	追加	簿記	9784502265013	ＢＡＴＩＣ Ｓｕｂｊｅｃｔ １公式テキスト：国際会計検定	新版	東京商工会議所		東京商工会議所(発売：中央経済グループパブ)	201802	2750	2,970
3149	事業	追加	簿記	9784502265112	ＢＡＴＩＣ Ｓｕｂｊｅｃｔ １公式問題集：国際会計検定	新版	東京商工会議所		東京商工会議所(発売：中央経済グループパブ)	201802	2500	2,700

3150	事業	追加	簿記	9784419065089	会計の歴史	改訂版	友岡賛		税務経理協会	201802	2400	2,592
3151	事業	追加	簿記	9784813274858	みんなが欲しかった簿記の教科書　日商３級商業簿記	第６版	滝澤ななみ		ＴＡＣ	201802	1000	1,080
3152	事業	追加	簿記	9784502252617	基礎学問としての会計学：構造・歴史・方法		石川純治		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201803	4400	4,752
3153	事業	追加	簿記	9784496053184	中小企業診断士試験論点別・重要度順過去問完全マスター．２　２０１８年版		過去問完全マスター製作委員会		同友館	201803	2800	3,024
3154	事業	追加	簿記	9784502251214	新版会計学入門：会計・監査の基礎を学ぶ	第５版	千代田邦夫		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201803	3000	3,240
3155	事業	追加	簿記	9784813272526	第１４９回をあてるＴＡＣ直前予想日商簿記１級		ＴＡＣ株式会社（簿記検定講座）		ＴＡＣ	201803	2200	2,376
3156	事業	追加	簿記	9784813274735	スッキリわかる日商簿記初級	第２版	滝澤ななみ：ＴＡＣ出版開発グループ	スッキリわかるシリーズ	ＴＡＣ	201803	1000	1,080
3157	事業	追加	簿記	9784781012391	サクッとうかる日商２級「商業簿記」テキスト＋問題集	改訂２版	桑原知之		ネットスクール	201803	1200	1,296
3158	事業	追加	簿記	9784502258817	財務会計教科書		久保田秀樹		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201803	2400	2,592
3159	事業	追加	簿記	9784813275756	究極の仕訳集日商簿記２級：覚えるべき仕訳はこれだけ！	第４版	ＴＡＣ簿記検定講座	ＴＡＣセレクト	ＴＡＣ	201803	1000	1,080
3160	事業	追加	簿記	9784569838939	実践ＭＱ会計：目からウロコの経営術		柴田健一		ＰＨＰ研究所	201803	1600	1,728
3161	事業	追加	簿記	9784813274223	合格トレーニング建設業経理士２級	Ｖｅｒ．５	ＴＡＣ株式会社（建設業経理士検定講座）	よくわかる簿記シリーズ	ＴＡＣ	201803	1500	1,620
3162	事業	追加	簿記	9784813274216	合格テキスト建設業経理士２級	Ｖｅｒ．５	ＴＡＣ株式会社（建設業経理士検定講座）	よくわかる簿記シリーズ	ＴＡＣ	201803	2000	2,160
3163	事業	追加	簿記	9784864865456	ステップアップ問題集日商簿記２級工業簿記：合格のための応用力アップ．２０１８年度受験対策用		資格の大原簿記講座	大原の簿記シリーズ	大原出版	201803	1000	1,080
3164	事業	追加	簿記	9784502249013	国際会計検定ＢＡＴＩＣ　Ｓｕｂｊｅｃｔ　２公式テキスト：国際会計理論．２０１８年版		東京商工会議所		東京商工会議所(発売：中央経済グループパブ)	201803	3400	3,672
3165	事業	追加	簿記	9784502249112	国際会計検定ＢＡＴＩＣ　Ｓｕｂｊｅｃｔ　２公式問題集：国際会計理論．２０１８年版		東京商工会議所		東京商工会議所(発売：中央経済グループパブ)	201803	2600	2,808
3166	事業	追加	簿記	9784813272557	無敵の簿記１級　第１４９回直前総まとめ		無敵の簿記編集部		ＴＡＣ	201803	1800	1,944
3167	事業	追加	簿記	9784502262012	初級簿記テキスト		伊藤龍峰：工藤栄一郎		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201803	1300	1,404
3168	事業	追加	簿記	9784419065003	ゼロからスタート簿記入門		渡辺竜介：山北晴雄		税務経理協会	201804	2800	3,024
3169	事業	追加	簿記	9784495162559	基本原価計算	第５版	建部宏明：山浦裕幸		同文舘出版	201803	2800	3,024
3170	事業	追加	簿記	9784406062398	現代日本の企業分析：企業の実態を知る方法		企業分析研究会		新日本出版社	201803	2200	2,376
3171	事業	追加	簿記	9784502260414	レクチャー初級簿記		千葉商科大学会計研究室		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201804	2000	2,160
3172	事業	追加	簿記	9784502262111	入門簿記のエッセンス		岡部勝成		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201803	1800	1,944
3173	事業	追加	簿記	9784813272564	無敵の簿記２級　第１４９回直前総まとめ		無敵の簿記編集部		ＴＡＣ	201803	1500	1,620
3174	事業	追加	簿記	9784813272571	無敵の簿記３級　第１４９回直前総まとめ		無敵の簿記編集部		ＴＡＣ	201803	1000	1,080
3175	事業	追加	広報戦略	9784906124770	潜望鏡上げ：潜水艦艦長への道		山内敏秀		かや書房	201701	1800	1,944
3176	事業	追加	広報戦略	9784883353750	デジタルで変わる広報コミュニケーション基礎		社会情報大学院大学：上野征洋	宣伝会議マーケティング選書	宣伝会議	201701	1800	1,944
3177	事業	追加	広報戦略	9784434228568	セキュリティナビ：セキュリティ機器＆システムの全てが一覧できる年鑑誌．２０１７				日本実務出版(発売：星雲社)	201701	2000	2,160
3178	事業	追加	広報戦略	9784621301203	漱石と「學鐙」		小山慶太：夏目漱石		丸善出版	201701	1600	1,728
3179	事業	追加	広報戦略	9784863542129	図解超早わかり国民投票法入門		南部義典		シーアンドアール研究所	201702	1630	1,760
3180	事業	追加	広報戦略	9784820759553	企業法務ハンドブック：部門担当者もケースでわかる		みらい総合法律事務所		日本能率協会マネジメントセンター	201702	3000	3,240
3181	事業	追加	広報戦略	9784805854310	新・社会福祉士養成講座．１１	第５版	社会福祉士養成講座編集委員会		中央法規出版	201702	2200	2,376
3182	事業	追加	広報戦略	9784434229718	ラジオと地域と図書館と：コミュニティを繋ぐメディアの可能性		内野安彦：大林正智		ほおずき書籍(発売：星雲社)	201702	1300	1,404
3183	事業	追加	広報戦略	9784562060627	アジアン・ティーは上海の館で		ローラ・チャイルズ：東野さやか	コージーブックス	原書房	201702	950	1,026
3184	事業	追加	広報戦略	9784829507063	地域活性化の情報戦略		安藤明之：森岡宏行		芙蓉書房出版	201702	2000	2,160
3185	事業	追加	広報戦略	9784802510479	広報・ＰＲ担当者のためのデザイン入門：ＰＲ活動にデザインを取り入れるために知っておきたい				ビー・エヌ・エヌ新社	201702	2000	2,160
3186	事業	追加	広報戦略	9784382057463	たのしめてるか。：湘南ベルマーレ２０１６フロントの戦い		水谷尚人：池田タツ		産業能率大学出版部	201703	1200	1,296
3187	事業	追加	広報戦略	9784885921865	本郷孔洋の経営ノート：～大航海時代のビジネスチャンス～．２０１７		本郷孔洋		東峰書房	201703	1400	1,512
3188	事業	追加	広報戦略	9784844397540	ＰＤＦ＞これからの「教育」の話をしよう：教育改革×ＩＣＴ力．２		学校広報ソーシャルメディア活用勉強会		インプレスＲ＆Ｄ(発売：インプレス)	201703	1500	1,620
3189	事業	追加	広報戦略	9784408553535	処女刑事　横浜セクシーゾーン		沢里裕二	実業之日本社文庫	実業之日本社	201704	593	640
3190	事業	追加	広報戦略	9784864876643	北陸路に棗（なつめ）ありて		金森昌彦：北陸なつめ研究会		三恵社(発売：ＪＲＣ)	201703	1800	1,944
3191	事業	追加	広報戦略	9784880376622	習うより慣れろの市町村財政分析：基礎からステップアップまで	四訂版	大和田一紘：石山雄貴		自治体研究社	201703	2500	2,700
3192	事業	追加	広報戦略	9784876478743	バイオセーフティ：国立感染症研究所と住民との対話２０１６年．４		ストップ・ザ・バイオハザード国立感染症研		桐書房	201704	500	540
3193	事業	追加	広報戦略	9784875263715	事例で学べる行政判断：自治体課長の職場対応力が楽しく身につく厳選７０ケー		自治体行政判断研究会		公職研	201705	1800	1,944
3194	事業	追加	広報戦略	9784862832399	久山康先生　その思想と実践		『久山康先生その思想と実践』刊行・編集		関西学院大学出版会	201705	5600	6,048
3195	事業	追加	広報戦略	9784344912137	相場の３割増を実現！“お荷物”マイホーム高値売却術		池田洋三		幻冬舎メディアコンサルティング(発売：幻冬舎)	201705	800	864
3196	事業	追加	広報戦略	9784306094468	水の土木遺産：水とともに生きた歴史を今に伝える		若林高子：北原なつ子		鹿島出版会	201705	2500	2,700
3197	事業	追加	広報戦略	9784787200631	図書館１００連発		岡本真：ふじたまさえ		青弓社	201705	1800	1,944
3198	事業	追加	広報戦略	9784906618835	ＰＴＡ広報誌づくりがウソのように楽しくラクになる本		長島ともこ		厚有出版	201706	1800	1,944
3199	事業	追加	広報戦略	9784774190297	世界一わかりやすいＷｏｒｄＰｒｅｓｓ導入とサイト制作の教科書		安藤篤史：岡本秀高		技術評論社	201706	2380	2,570

3200	事業	追加	広報戦略	9784799106242	【小さな会社】逆襲の広報ＰＲ術		野澤直人		すばる舎	201706	2200	2,376
3201	事業	追加	広報戦略	9784839963828	マストドン：次世代ソーシャルメディアのすべて		小林啓倫：コグレマサト	マイナビ新書	マイナビ出版	201706	850	918
3202	事業	追加	広報戦略	9784344913189	決定版！知識ゼロ・経験ゼロでも儲かる飲食店経営		渡辺大河		幻冬舎メディアコンサルティング(発売：幻冬舎)	201707	1400	1,512
3203	事業	追加	広報戦略	9784873546605	大学改革の道：未来を見据えた生きた教育を		上原洋允		関西大学出版部	201707	1800	1,944
3204	事業	追加	広報戦略	9784938467760	自衛隊現況．２０１７年版				防衛日報社	201707	2700	2,916
3205	事業	追加	広報戦略	9784833422260	「選ばれる人」はなぜ口が堅いのか？：言葉を選ぶ技術、言い換えるテクニック		大谷恵		プレジデント社	201709	1300	1,404
3206	事業	追加	広報戦略	9784820759973	広報・ＰＲの実務：組織づくり、計画立案から戦略実行まで		井上岳久		日本能率協会マネジメントセンター	201709	1800	1,944
3207	事業	追加	広報戦略	9784870225787	ごじょうめのわらしだ：大石清美作品集		大石清美	秋田ふるさと選書	秋田ふるさと育英会(発売：秋田文化出版)	201708	2000	2,160
3208	事業	追加	広報戦略	9784802204170	移住者のための沖縄仕事ＮＡＶＩ：沖縄暮らしで自分も家族も幸福度アップ！　この島には		吉田直人		イカロス出版	201708	1600	1,728
3209	事業	追加	広報戦略	9784635820158	国鉄青春日記：昭和車掌の"人情"物語		櫃上完爾	旅鉄ＬＩＢＲＡＲＹ	天夢人(発売：山と渓谷社)	201709	1500	1,620
3210	事業	追加	広報戦略	9784862280961	米朝戦争をふせぐ：平和国家日本の責任		和田春樹		青灯社（新宿区）	201710	1200	1,296
3211	事業	追加	広報戦略	9784596582034	冷徹上司はスパダリ系		玉紀直：鳥森えん	ヴァニラ文庫　ミエル　タ２－０３	ハーパーコリンズ・ジャパン	201710	590	637
3212	事業	追加	広報戦略	9784800273888	教えて！みんなのメルカリ生活		メルカリ		宝島社	201710	600	648
3213	事業	追加	広報戦略	9784086801515	これは経費で落ちません！：経理部の森若さん．３		青木祐子：ｕｋｉ	集英社オレンジ文庫	集英社	201710	550	594
3214	事業	追加	広報戦略	9784828306834	預貯金へのマイナンバー付番Ｑ＆Ａ：知っておきたい基礎から問合せ対応まで		梅屋真一郎		ビジネス教育出版社	201711	2000	2,160
3215	事業	追加	広報戦略	9784819113267	近大革命		世耕石弘		産經新聞出版(発売：日本工業新聞社)	201711	1300	1,404
3216	事業	追加	広報戦略	9784821253074	岡山県郷土文化財団の歩み		高山雅之：岡山県郷土文化財団	岡山文庫	日本文教出版（岡山）	201805	900	972
3217	事業	追加	広報戦略	9784860591762	ＰＲ手帳：広報・マスコミハンドブック．２０１８年版		日本パブリック・リレーションズ協会		アーク出版	201711	1852	2,000
3218	事業	追加	広報戦略	9784122064843	誤断		堂場瞬一	中公文庫	中央公論新社	201711	820	885
3219	事業	追加	広報戦略	9784860087517	運命をこっそり変える		清田文恵		セブン＆アイ出版	201712	1400	1,512
3220	事業	追加	広報戦略	9784876220168	公正取引委員会年次報告：独占禁止白書．平成２９年版		公正取引委員会		公正取引協会	201711	2200	2,376
3221	事業	追加	広報戦略	9784883451142	民ヲ親ニス：「夢野久作と杉山３代研究会」会報．第５号				「夢野久作と杉山３代研究会」事務局(発売：不知火書屋)	201711	2500	2,700
3222	事業	追加	広報戦略	9784496053306	新時代の広報：企業価値を高める企業コミュニケーション		佐桑徹：江良俊郎		同友館	201712	1800	1,944
3223	事業	追加	広報戦略	9784906873999	チーム鹿児島！教育改革の挑戦：風は南から		金城太一		悠光堂	201712	1400	1,512
3224	事業	追加	広報戦略	9784905516095	日本の発言力と対外発信		原野城治		ホルス出版	201712	1400	1,512

No	分野	書名	版次	タイトル和訳	著者名	出版社名	ISBN (13桁)	税込価格
1	組織・産業・労働	The Oxford Handbook of Creativity, Innovation, and Entrepreneurship (Oxford Library of Psychology)		オックスフォード版 創造性、イノベーションと起業家精神ハンドブック	Shalley, Christina E. (EDT)/ Hitt, Michael A. (EDT)/ Zhou, Jing (EDT)	Oxford Univ Pr	9780190610609	¥11,573
2	起業研究	Academic Entrepreneurship : Translating Discoveries to the Marketplace (Johns Hopkins University Series on Entrepreneurship)		大学発ベンチャー：発見から市場へ	Phan, Phillip H. (EDT)	Edward Elgar Pub	9781785363436	¥16,243
3	起業研究	Leading Entrepreneurs and How They Succeed		活躍中の起業家に学ぶ成功の秘訣	Enterprise 50 Association (COR)	World Scientific Pub Co Inc	9789814759939	¥3,628
4	起業研究	Social Entrepreneurship and Innovation : International case studies and practice		社会起業家とイノベーション：世界の事例集	Banks, Ken (EDT)	Kogan Page	9780749475918	¥6,089
5	起業研究	Womens Entrepreneurship in Global and Local Contexts		女性の起業家精神：グローバル及びローカルな背景	Daz-garca, Cristina (EDT)/ Brush, Candida G. (EDT)/ Gatewood, Elizabet	Edward Elgar Pub	9781784717414	¥17,258
6	起業研究	Social Entrepreneurship : Managing the Creation of Social Value		社会起業家	Beugre, Constant	Routledge	9780415817370	¥10,555
7	起業研究	A Brief History of Entrepreneurship : The Pioneers, Profiteers, and Racketeers Who Shaped Our World		起業家精神小史	Carlen, Joe	Columbia Univ Pr	9780231173049	¥4,528
8	起業研究	Effectual Entrepreneurship	2ND	効果的な起業（第２版）	Read, Stuart/ Sarasvathy, Saras/ Dew, Nick/ Wiltbank, Robert	Routledge	9781138923782	¥10,149
9	起業研究	Entrepreneurship in the Arab World : Ten Case Studies		アラブ世界の起業家精神：１０の事例研究	El-khazindar Business Research and Case Center	Amer Univ in Cairo Pr	9789774167003	¥6,080
10	起業研究	Research Handbook of Entrepreneurial Exit (Research Handbooks in Business and Management)		起業家の事業撤退：研究ハンドブック	Detienne, Dawn R. (EDT)/ Wennberg, Karl (EDT)	Edward Elgar	9781782546986	¥7,106
11	起業研究	A Research Agenda for Entrepreneurship and Context (Elgar Research Agendas)		起業家精神と背景要因の研究課題	Welter, Friederike (EDT)/ Gartner, William B. (EDT)	Edward Elgar	9781784716851	¥5,076
12	起業研究	Entrepreneurship in Culture and Creative Industries : Perspectives from Companies and Regions (FGF Studies in Small Business and Entrepreneurship)		文化・クリエイティブ産業にみる起業家精神	Innerhofer, Elisa (EDT)/ Pechlaner, Harald (EDT)/ Borin, Elena (EDT)	Springer	9783319655055	¥24,794
13	起業研究	New Venture Management : The Entrepreneurs Roadmap	2 New	新規事業の管理：起業家向けロードマップ	Kuratko, Donald F./ Hornsby, Jeffrey S.	Routledge	9781138208919	¥10,149
14	財務管理	Advanced Introduction to Entrepreneurial Finance (Elgar Advanced Introductions)		起業ファイナンス：上級入門	Landstrm, Hans	Edward Elgar Pub	9781784718565	¥5,065
15	起業研究	Entrepreneurship in Theory and Practice : Paradoxes in Play	2ND	起業家精神の理論と実践（第２版）	Nielsen, Suna Lwe/ Klyver, Kim/ Evald, Majbritt Rostgaard/ Bager, Torb	Edward Elgar Pub	9781785364471	¥6,091
16	起業研究	Entrepreneurship in Central and Eastern Europe : Development through Internationalization (Global Entrepreneurship)		中東欧の起業家精神	Mets, Tnis (EDT)/ Sauka, Arnis (EDT)/ Purg, Danica (EDT)	Routledge	9781138228511	¥8,119
17	起業研究	New Venture Creation : A Framework for Entrepreneurial Start-Ups	2ND	新規事業創造のフレームワーク（第２版）	Burns, Paul	Palgrave	9781352000504	¥9,739
18	起業研究	A Dozen Lessons for Entrepreneurs		世界のプロから学ぶ起業の教訓	Griffin, Tren/ Belsky, Scott (FRW)	Columbia Univ Pr	9780231184823	¥3,772
19	起業研究	Exploring Entrepreneurship	2ND	起業家精神の探究（第２版）	Blundel, Richard/ Lockett, Nigel/ Wang, Catherine	Sage Pubns Ltd	9781473948075	¥9,540
20	起業研究	The Global Entrepreneur		グローバルな起業家像	Shaw, H. Laurence	Taylor & Francis	9781138305694	¥7,104
21	起業研究	Digital Media Economics and Entrepreneurship		デジタルメディア産業における起業	Abernathy, Penelope M./ Sciarrino, Joann	Wiley-Blackwell	9781119218036	¥14,356
22	起業研究	Is Entrepreneurship Dead? : The Truth about Startups in America		アメリカの起業家精神は死んだのか？	Shane, Scott A.	Yale Univ Pr	9780300212112	¥4,536
23	起業研究	Essentials of Entrepreneurship : Changing the World, One Idea at a Time	2ND	起業家精神の要点（第２版）	Baron, Robert A./ Hmieleski, Keith M.	Edward Elgar Pub	9781788115902	¥6,080
24	経営情報	What the Digital Future Holds : 20 Groundbreaking Essays on How Technology Is Reshaping the Practice of Management (Digital Future of Management)		テクノロジーが変える経営の未来	Mit Sloan Management Review (COR)	Mit Pr	9780262534994	¥3,016
25	経営情報	Business Process Management : Practical Guidelines to Successful Implementations	4 PAP/PSC	ビジネスプロセス管理（第４版）	Jeston, John	Routledge	9781138738409	¥8,119
26	経営情報	Knowledge Management in Theory and Practice	3RD	知識管理：理論から実践へ（第３版）	Dalkir, Kimiz	Mit Pr	9780262036870	¥9,828
27	経営情報	The Executive Guide to Artificial Intelligence : How to Identify and Implement Applications for AI in Your Organization		ビジネスリーダーのためのＡＩガイド	Burgess, Andrew	Palgrave Macmillan	9783319638195	¥5,842
28	経営情報	The Web at Graduation and Beyond : Business Impacts and Developments		ビジネスのためのウェブ入門	Vossen, Gottfried/ Schonthaler, Frank/ Dillon, Stuart	Springer	9783319601601	¥12,396
29	経営情報	The Cognitive Corporation : How to Put the Artificial Intelligence Revolution to Work (Management on the Cutting Edge)		ビジネスにおけるＡＩ革命	Davenport, Thomas H.	MIT Pr	9780262039178	¥4,528
30	経営情報	Strategic Information Technology : Best Practices to Drive Digital Transformation (Wiley CIO Series)	2ND	戦略的ＩＴ管理の優良事例（第２版）	Langer, Arthur M./ Yorks, Lyle	Wiley	9781119484523	¥7,552
31	経営情報	Driving Digital Strategy : A Guide to Reimagining Your Business		デジタル戦略ガイド	Gupta, Sunil	Harvard Business School Pr	9781633692688	¥4,838
32	経営情報	Business + It = Profitable Growth : Enabling Transformations by Empowering Managers		ビジネスとＩＴの融合による収益力ある成長	Venkatraman, N.	World Scientific Pub Co Inc	9789812703897	¥4,384
33	経営情報	Digital Business Leadership : Digital Transformation, Business Model Innovation, Agile Organization, Change Management (Management for		デジタルビジネスのリーダーシップ	Kreutzer, Ralf T./ Neugebauer, Tim/ Pattloch, Annette	Springer	9783662565476	¥14,167
34	経営情報	Human + Machine : Reimagining Work in the Age of Ai		ヒト＋機械：ＡＩ時代の仕事をめぐる新ルール	Daugherty, Paul R./ Wilson, H. James	Harvard Business School Pr	9781633693869	¥4,838
35	経営情報	Business Process Management		ビジネスプロセス管理	Kumar, Akhil	Routledge	9781138181854	¥9,743
36	人的資源管理	The Complete Handbook of Coaching	3RD	コーチング・ハンドブック（第３版）	Cox, Elaine (EDT)/ Bachkirova, Tatiana (EDT)/ Clutterbuck, David Ashle	Sage	9781473973053	¥7,307
37	人的資源管理	Human Resource Management : A Frontline Manager's Perspective		人的資源管理：現場マネジャーの視点	Hayton, James/ Hornsby, Jeffrey S./ Kuratko, Donald F.	Routledge	9780415663076	¥7,104

No	分野	書名	版次	タイトル和訳	著者名	出版社名	ISBN (13桁)	税込価格
38	商法・経済法	Innovations in Corporate Governance : Global Perspectives		コーポレート・ガバナンスのイノベーション：グローバルな視座	Watson, Susan (EDT)/ Vasudev, P. M. (EDT)	Edward Elgar Pub	9781786432841	¥18,273
39	企業理論	International Corporate Governance : A Comparative Approach	2 PAP/PSC	国際コーポレート・ガバナンス：比較考察（第２版）	Clarke, Thomas	Routledge	9780415586450	¥9,134
40	企業理論	Corporate Sustainability : The Next Steps Towards a Sustainable World (Routledge Research in Sustainability and Business)		企業の持続可能性	Bouma, Jan Jaap/ Walters, Teun	Routledge	9781138193765	¥7,510
41	企業理論	Corporate Sustainability in the 21st Century : Increasing the Resilience of Social and Ecological Systems		２１世紀における企業の持続可能性	Sard Borroy, Rafael/ Pogutz, Stefano/ Ramakrishna, Kilaparti	Routledge	9781138744653	¥7,104
42	企業理論	Making Mergers and Acquisitions Work : From Strategy and Target Selection to Post Merger Integration		成功するM&A	Venzin, Markus/ Vizzaccaro, Matteo/ Rutschmann, Fabrizio	Emerald Group Pub Ltd	9781787433502	¥7,257
43	環境経済	Receptive Regulation and Environmental Performance: Changing How We Regulate Corporate Behaviour	New ed.	企業の環境パフォーマンス向上のための規制改革	Williamson, Dave	Edward Elgar Publishing Ltd	9781848446861	¥15,228
44	組織・産業・労働	Team Creativity and Innovation		チームの創造性とイノベーション	Reiter-palmon, Roni (EDT)	Oxford Univ Pr	9780190222093	¥9,946
45	経営組織	Mastering Creativity in Organizations		組織における創造性の実現	Hatum, Andres	Edward Elgar Pub	9781788110143	¥13,197
46	経営理論・経営戦略	Business Ethics	2 New	経営倫理（第２版）	Parboteeah, K. Praveen/ Cullen, John B.	Routledge	9781138745346	¥10,149
47	経営理論・経営戦略	The Oxford Handbook of Management (Oxford Handbooks)		オックスフォード版　経営学ハンドブック	Wilkinson, Adrian (EDT)/ Armstrong, Steven J (EDT)/ Lounsbury, Michael	Oxford Univ Pr	9780198828006	¥7,106
48	経営理論・経営戦略	Rational Leadership : Developing Iconic Corporations		合理的リーダーシップによる伝説的企業の発展	Brooker, Paul/ Hayward, Margaret	Oxford Univ Pr	9780198825395	¥7,106
49	情報社会・インターネット	Digital Dominance : The Power of Google, Amazon, Facebook, and Apple		デジタル支配：グーグル・アマゾン・アップルの覇権	Moore, Martin (EDT)/ Tambini, Damian (EDT)	Oxford Univ Pr	9780190845117	¥4,667
50	企業史・個別企業研究	Driven to the Brink		企業経営の失敗：実例集	Micklethwait, A./ Dimond, P.	Palgrave Macmillan	9781137590510	¥5,842
51	企業史・個別企業研究	Vested : How P&G, McDonald's and Microsoft are Redefining Winning in Business Relationships		P&G・マクドナルド・マイクロソフトに学ぶ関係性管理	Vitasek, Kate/ Manrodt, Karl/ Kling, Jeanne	Palgrave Macmillan	9780230341708	¥6,728
52	起業研究	Harvard Business Review Entrepreneur's Handbook : Everything You Need to Launch and Grow Your New Business (Hbr Handbooks)		ハーバード・ビジネス・レビュー起業家向けハンドブック	Harvard Business Review (COR)	Harvard Business School Pr	9781633693708	¥7,560
53	起業研究	Understanding Enterprise : Entrepreneurs and Small Business	5TH	企業、起業家精神と中小企業経営（第５版）	Bridge, Simon/ O'Neill, Ken	Palgrave	9781137584540	¥9,739
54	起業研究	Corporate Entrepreneurship		企業内の起業家精神	Bouchard, Vronique/ Fayolle, Alain	Routledge	9781138813687	¥8,119
55	起業研究	Business Creation : Ten Factors for Entrepreneurial Success		事業創造：起業の成功を決める１０の要素	Reynolds, Paul D.	Edward Elgar	9781788118347	¥13,197
56	起業研究	Entrepreneurship : A Philosophical Investigation (Routledge Studies in Entrepreneurship)		起業家精神：哲学的探究	Hjorth, Daniel/ Holt, Robin	Routledge	9781138886971	¥21,319
57	起業研究	The Routledge Companion to Entrepreneurship		ラウトレッジ版　起業研究必携	Baker, Ted (EDT)/ Welter, Friederike (EDT)	Taylor & Francis	9781138363182	¥8,525
58	起業研究	Entrepreneurship, Innovation and Education : Frontiers in European Entrepreneurship Research (Frontiers in European Entrepreneurship)		起業家精神、イノベーションと経営教育：欧州起業研究の最前線	Hytti, Ulla (EDT)/ Blackburn, Robert (EDT)/ Laveren, Eddy (EDT)	Edward Elgar Pub	9781788972291	¥16,243
59	財務管理	Entrepreneurial Finance : The Art and Science of Growing Ventures		起業ファイナンス：事業成長の技と科学	Alemany, Luisa (EDT)/ Andreoli, Job (EDT)	Cambridge Univ Pr	9781108421355	¥18,273
60	起業研究	Digital Innovation and Entrepreneurship		デジタル・イノベーションと起業家精神	Whittington, Dick	Cambridge Univ Pr	9781108470506	¥17,256
61	起業研究	International Entrepreneurship		国際起業	Zucchella, Antonella/ Hagen, Birgit/ Serapio, Manuel G.	Edward Elgar	9781785365447	¥15,228
62	起業研究	Entrepreneurship, Innovation and Regional Development : An Introduction	2 New	起業家精神、イノベーションと地域開発：入門（第２版）	Mitra, Jay	Routledge	9781138685628	¥8,119
63	起業研究	A Research Agenda for Entrepreneurship Education (Elgar Research Agendas)		起業教育に関する研究課題	Fayolle, Alain (EDT)	Edward Elgar Pub	9781786432902	¥18,273
								¥602,390

No	雑誌名	出版社名	税込価格
1	企業実務	日本実業出版社東京本部	25,740
2	企業診断	同友館	19,140
3	DIAMOND ハーバード・ビジネス・レビュー	ダイヤモンド社	26,160
4	ビジネスインサイト	現代経営学研究所	13,612
5	知的資産創造	野村総合研究所	13,090
6	事業構想	日本ビジネス出版	18,529
7	経営者会報	日本実業出版社	27,786
8	ビジネスチャンス	ビジネスチャンス	6,006
9	経営システム	日本経営工学会	8,191
10	経営学論集	日本経営学会	3,080
11	経営研究	大阪市立大学経営学会	5,970
12	原価計算研究	日本原価計算研究学会事務局	5,533
13	日本経営学会誌	千倉書房	1,760
	合計		174,597

No	タイトル	出版社名	税込価格
1	Academy of Management Journal	Academy of Management	41,000
2	Journal of Marketing	Sage Publications Ltd.	82,000
3	Journal of Business Venturing	Elsevier Science	330,000
4	Journal of Consumer Research	Oxford University Press	64,000
5	Journal of Mangement	Sage Publications Ltd.	190,000
6	Journal of Service Research	Sage Publications Ltd.	190,000
7	Entrepreneurship Theory and Practice	Sage Publications Ltd.	137,000
8	Academy of Management Review	Academy of Management	38,000
9	Research Policy	Elsevier Science	650,000
10	Strategic Management Journal	John Wiley & Sons Ltd.	510,000
11	Entrepreneurship and Regional Development	Sage Publications Ltd.	120,000
			2,352,000

No	分野	商品名	提供元	税込価格
1	ビジネスプランの基礎・応用	東洋経済DCL	東洋経済新報社	518,400
2	経営学の基礎	日経テレコン	日本経済新聞社	1,036,800
				1,555,200

情　報　学　部

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
1	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784326000449	ビッグデータ・リトルデータ・ノーデータ：研究データと知識インフラ		クリスティン・Ｌ・ボーグマン：佐藤義則		勁草書房	201709	4,400	4,752
2	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784774176314	データサイエンティスト養成読本：１０年先も役立つ力をつける. 機械学習入門編			Ｓｏｆｔｗａｒｅ Ｄｅｓｉｇｎ ｐｌｕｓ	技術評論社	201510	2,280	2,462
3	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784048922333	よくわかる人工知能：最先端の人だけが知っているディープラーニングのひみ		清水亮		ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201610	1,700	1,836
4	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784048996075	ＡＩ白書：人工知能がもたらす技術の革新と社会の変貌. ２０１７		情報処理推進機構ＡＩ白書編集委員会		角川アスキー総合研究所(発売：ＫＡＤＯＫＡＷＡ)	201707	3,300	3,564
5	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784061529021	深層学習		岡谷貴之	機械学習プロフェッショナルシリーズ	講談社	201504	2,800	3,024
6	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784061529038	オンライン機械学習		海野裕也：岡野原大輔	機械学習プロフェッショナルシリーズ	講談社	201504	2,800	3,024
7	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784061529052	統計的学習理論		金森敬文	機械学習プロフェッショナルシリーズ	講談社	201508	2,800	3,024
8	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784061529069	サポートベクトルマシン		竹内一郎：烏山昌幸	機械学習プロフェッショナルシリーズ	講談社	201508	2,800	3,024
9	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784061529076	確率的最適化		鈴木大慈	機械学習プロフェッショナルシリーズ	講談社	201508	2,800	3,024
10	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784061529083	異常検知と変化検知		井手剛：杉山将	機械学習プロフェッショナルシリーズ	講談社	201508	2,800	3,024
11	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784061529090	劣モジュラ最適化と機械学習		河原吉伸：永野清仁	機械学習プロフェッショナルシリーズ	講談社	201512	2,800	3,024
12	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784061529106	スパース性に基づく機械学習		冨岡亮太	機械学習プロフェッショナルシリーズ	講談社	201512	2,800	3,024
13	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784061529120	画像認識		原田達也	機械学習プロフェッショナルシリーズ	講談社	201705	3,000	3,240
14	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784061529175	バンディット問題の理論とアルゴリズム		本多淳也：中村篤祥	機械学習プロフェッショナルシリーズ	講談社	201608	2,800	3,024
15	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784061529182	ウェブデータの機械学習		ダヌシカ・ボレガラ：岡崎直観	機械学習プロフェッショナルシリーズ	講談社	201608	2,800	3,024
16	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784061529205	機械学習のための連続最適化		金森敬文：鈴木大慈	機械学習プロフェッショナルシリーズ	講談社	201612	3,200	3,456
17	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784061529212	関係データ学習		石黒勝彦：林浩平	機械学習プロフェッショナルシリーズ	講談社	201612	2,800	3,024
18	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784061529229	オンライン予測		畑埜晃平：瀧本英二	機械学習プロフェッショナルシリーズ	講談社	201612	2,800	3,024
19	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784061529243	深層学習による自然言語処理		坪井祐太：海野裕也	機械学習プロフェッショナルシリーズ	講談社	201705	3,000	3,240
20	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784061529250	統計的因果探索		清水昌平	機械学習プロフェッショナルシリーズ	講談社	201705	2,800	3,024
21	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784061529274	音声認識		篠田浩一	機械学習プロフェッショナルシリーズ	講談社	201712	2,800	3,024
22	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784061538177	イラストで学ぶ情報理論の考え方		植松友彦		講談社	201202	2,400	2,592
23	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784061538214	イラストで学ぶ機械学習：最小二乗法による識別モデル学習を中心に		杉山将		講談社	201309	2,800	3,024
24	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784061538238	イラストで学ぶ人工知能概論		谷口忠大		講談社	201409	2,600	2,808
25	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784061538252	イラストで学ぶディープラーニング		山下隆義		講談社	201602	2,600	2,808
26	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784061538283	これならわかる深層学習入門		瀧雅人	機械学習スタートアップシリーズ	講談社	201710	3,000	3,240
27	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784061538320	ベイズ推論による機械学習入門		須山敦志：杉山将	機械学習スタートアップシリーズ	講談社	201710	2,800	3,024
28	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784130633574	白と黒のとびら：オートマトンと形式言語をめぐる冒険		川添愛		東京大学出版会	201304	2,800	3,024
29	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784130633680	自動人形の城：人工知能の意図理解をめぐる物語		川添愛		東京大学出版会	201712	2,200	2,376
30	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784130802512	記号と再帰：記号論の形式・プログラムの必然		田中久美子（計算言語学）		東京大学出版会	201006	3,600	3,888
31	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784130802567	記号と再帰：記号論の形式・プログラムの必然	新装版	田中久美子（計算言語学）		東京大学出版会	201704	3,400	3,672
32	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784254116830	情報論的学習とデータマイニング		山西健司	数理工学ライブラリー	朝倉書店	201404	3,000	3,240
33	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784254122046	人工知能と知識処理	新版	木下哲男		朝倉書店	201409	2,600	2,808
34	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784254122183	機械学習：データを読み解くアルゴリズムの技法		竹村彰通		朝倉書店	201703	6,200	6,696
35	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784255010038	働きたくないイタチと言葉がわかるロボット：人工知能から考える「人と言葉」		川添愛：花松あゆみ		朝日出版社	201706	1,700	1,836
36	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784274068461	はじめての機械学習		小高知宏		オーム社	201104	2,600	2,808
37	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784274068690	Ｅｘｃｅｌで学ぶセルオートマトン		北栄輔：脇田佑希子		オーム社	201111	3,000	3,240
38	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784274069178	人工知能と人工生命の基礎		伊庭斉志		オーム社	201305	2,800	3,024
39	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784274069260	ＡＩによる大規模データ処理入門		小高知宏		オーム社	201308	2,800	3,024
40	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784274209260	情報理論		内匠逸	新インターユニバーシティ	オーム社	201009	2,300	2,484
41	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784274209581	暗号とセキュリティ		神保雅一	新インターユニバーシティ	オーム社	201012	2,300	2,484
42	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784274210068	情報理論の基礎		小沢一雅		オーム社	201103	2,000	2,160
43	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784274210075	情報・符号理論の基礎		汐崎陽		オーム社	201103	2,000	2,160
44	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784274211997	オントロジーの普及と応用		人工知能学会：来村徳信		オーム社	201204	3,600	3,888
45	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784274212147	オントロジー工学の理論と実践		溝口理一郎	知の科学	オーム社	201204	4,000	4,320
46	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784274213175	情報・符号理論		樋勇一	ＯＨＭ大学テキスト	オーム社	201310	2,600	2,808
47	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784274215308	わかりやすいパターン認識. 続		石井健一郎：上田修功		オーム社	201408	3,200	3,456
48	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784274216015	情報理論		今井秀樹		オーム社	201409	2,900	3,132
49	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784274216039	情報理論のエッセンス		平田廣則		オーム社	201408	2,700	2,916
50	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784274216107	情報基礎数学		佐藤泰介：高橋篤司		オーム社	201409	2,700	2,916
51	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784274216152	人工知能の基礎	第２版	馬場口登：山田誠二		オーム社	201502	2,900	3,132
52	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784274218026	進化計算と深層学習：創発する知能		伊庭斉志		オーム社	201510	2,700	2,916
53	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784274218873	機械学習と深層学習：Ｃ言語によるシミュレーション		小高知宏		オーム社	201605	2,600	2,808
54	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784274218897	Ｅｘｃｅｌで学ぶ進化計算：ＥｘｃｅｌによるＧＡシミュレーション		伊庭斉志		オーム社	201605	3,200	3,456

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
55	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784274219344	Ｃｈａｉｎｅｒによる実践深層学習		新納浩幸		オーム社	201609	2,400	2,592
56	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784274219498	人工知能	改訂２版	松本一教：宮原哲浩	ＩＴ ｔｅｘｔ	オーム社	201610	2,800	3,024
57	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784274219634	Ｐｙｔｈｏｎによる機械学習入門		システム計画研究所		オーム社	201611	2,600	2,808
58	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784274219986	機械学習入門：ボルツマン機械学習から深層学習まで		大関真之		オーム社	201611	2,300	2,484
59	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784274219993	実装ディープラーニング：深層学習		藤田一弥：高原歩		オーム社	201611	3,200	3,456
60	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784274220500	坂本真樹先生が教える人工知能がほぼほぼわかる本		坂本真樹		オーム社	201704	1,800	1,944
61	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784274220647	人工知能の創発：知能の進化とシミュレーション		伊庭斉志		オーム社	201705	2,800	3,024
62	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784274221071	Ｃｈａｉｎｅｒ ｖ２による実践深層学習		新納浩幸		オーム社	201709	2,500	2,700
63	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784274221125	Ｒによる機械学習入門		金森敬文		オーム社	201711	2,600	2,808
64	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784274221149	強化学習と深層学習：Ｃ言語によるシミュレーション		小高知宏		オーム社	201710	2,600	2,808
65	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784274221415	Ｐｙｔｈｏｎによるテキストマイニング入門		山内長承		オーム社	201711	2,500	2,700
66	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784295001546	エンジニアのためのＡＩ入門		ＴｈｉｎｋＩＴ編集部	Ｔｈｉｎｋ ＩＴ Ｂｏｏｋｓ	インプレス	201707	2,200	2,376
67	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784295002000	ＴｅｎｓｏｒＦｌｏｗ機械学習クックブック：Ｐｙｔｈｏｎベースの活用レシピ６０＋		ニック・マクルーア：クイープ	ｉｍｐｒｅｓｓ ｔｏｐ ｇｅａｒ	インプレス	201708	4,200	4,536
68	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784295002048	パソコンで楽しむ自分で動かす人工知能		中島能和		インプレス	201708	1,800	1,944
69	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784295002055	Ｒではじめる機械学習：データサイズを抑えて軽量な環境で攻略法を探る		長橋賢吾	ｉｍｐｒｅｓｓ ｔｏｐ ｇｅａｒ	インプレス	201709	3,600	3,888
70	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784295002659	Ｍａｃｈｉｎｅ Ｌｅａｒｎｉｎｇ実践の極意：機械学習システム構築の勘所をつかむ！		ヘンリク・ブリンク：ジョセフ・Ｗ．リチャーズ		インプレス	201711	3,400	3,672
71	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784320009127	現代暗号のしくみ：共通鍵暗号，公開鍵暗号から高機能暗号まで		中西透：井上克郎	共立スマートセレクション	共立出版	201701	1,600	1,728
72	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784320019508	数理的技法による情報セキュリティ		萩谷昌己：塚田恭章	シリーズ応用数理	共立出版	201007	3,500	3,780
73	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784320019515	公開鍵暗号の数理		森山大輔：西巻陵	シリーズ応用数理	共立出版	201103	3,500	3,780
74	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784320110793	量子情報への表現論的アプローチ		林正人		共立出版	201401	4,000	4,320
75	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784320122505	カーネル法によるパターン解析		ジョン・ショー・テイラー：ネロ・クリスティアニーニ		共立出版	201005	6,800	7,344
76	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784320122550	情報論的学習理論		山西健司		共立出版	201010	4,200	4,536
77	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784320122956	セルオートマトン		ジョエル・リン・シッフ：梅尾博司		共立出版	201112	4,200	4,536
78	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784320122994	量子情報科学入門		石坂智：小川朋宏		共立出版	201206	3,800	4,104
79	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784320123007	情報理論：基礎と広がり		トーマス・Ｍ．コーヴァー：ジョイ・Ａ．トーマス		共立出版	201207	9,200	9,936
80	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784320123052	オートマトン・言語理論入門		大川知：広瀬貞樹	未来へつなぐデジタルシリーズ	共立出版	201201	2,400	2,592
81	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784320123083	ソフトコンピューティングの基礎と応用		馬場則夫：田中雅博（ソフトコンピューティング）	未来へつなぐデジタルシリーズ	共立出版	201204	2,600	2,808
82	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784320123113	データマイニングと集合知：基礎からＷｅｂ，ソーシャルメディアまで		石川博（情報処理学）：新美礼彦	未来へつなぐデジタルシリーズ	共立出版	201207	2,800	3,024
83	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784320123281	コンピュータビジョン：アルゴリズムと応用		リチャード・シゼリスキ：玉木徹		共立出版	201303	16,000	17,280
84	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784320123625	統計的学習の基礎：データマイニング・推論・予測		トレヴァ・Ｊ．ヘースティ：ロバート・ティブシラニ		共立出版	201406	14,000	15,120
85	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784320123892	人工知能入門		小高知宏		共立出版	201509	2,300	2,484
86	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784320124196	人工知能：ＡＩの基礎から知的探索へ		趙強福：穂口能雄		共立出版	201707	2,500	2,700
87	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784320124202	人工知能学大事典		人工知能学会		共立出版	201707	43,000	46,440
88	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784320124219	統計的自然言語処理の基礎		クリストファー・Ｄ・マニング：ハインリッヒ・シュッツェ		共立出版	201711	11,000	11,880
89	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784320124226	速習強化学習：基礎理論とアルゴリズム		チョバ・サバシバリ：小山田創哲		共立出版	201709	3,000	3,240
90	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784326154388	情報社会の（哲学）：グーグル・ビッグデータ・人工知能		大黒岳彦		勁草書房	201608	3,600	3,888
91	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784339008357	バイオメトリクス教科書：原理からプログラミングまで		映像情報メディア学会：半谷精一郎		コロナ社	201207	2,800	3,024
92	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784339024593	応用オートマトン工学		西野哲朗：若月光夫		コロナ社	201202	2,200	2,376
93	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784339024654	知識システムの実装基礎：スライドで理解する人工知能技術		新谷虎松：大圃忠親		コロナ社	201210	2,900	3,132
94	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784339024760	オートマトン・形式言語理論		広瀬貞樹		コロナ社	201404	2,400	2,592
95	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784339024791	入門パターン認識と機械学習		後藤正幸：小林学（情報工学）		コロナ社	201404	3,200	3,456
96	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784339024838	人工知能の方法：ゲームからＷＷＷまで		伊庭斉志		コロナ社	201409	3,300	3,564
97	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784339024913	入門機械学習による異常検知：Ｒによる実践ガイド		井手剛		コロナ社	201503	3,800	4,104
98	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784339024975	例題で学ぶ知能情報入門		大堀隆文：木下正博		コロナ社	201508	2,600	2,808
99	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784339027129	人工知能原理		加納政芳：山田雅之	コンピュータサイエンス教科書シリーズ	コロナ社	201712	2,900	3,132
100	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784339027570	対話システム		中野幹生：駒谷和範	自然言語処理シリーズ	コロナ社	201502	3,700	3,996
101	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784339027587	トピックモデルによる統計的潜在意味解析		佐藤一誠	自然言語処理シリーズ	コロナ社	201504	3,500	3,780
102	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784339027594	構文解析		奥村学：鶴岡慶雅	自然言語処理シリーズ	コロナ社	201708	2,400	2,592
103	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784339027600	文脈解析：述語項構造・照応・談話構造の解析		奥村学：笹野遼平	自然言語処理シリーズ	コロナ社	201706	2,500	2,700
104	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784339027617	語学学習支援のための言語処理		奥村学：永田亮	自然言語処理シリーズ	コロナ社	201711	2,900	3,132
105	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784339027846	マルチモーダルインタラクション		榎本美香：飯田仁	メディア学大系	コロナ社	201310	3,000	3,240
106	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784339027952	視聴覚メディア		近藤邦雄：相川清明	メディア学大系	コロナ社	201706	2,800	3,024
107	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784339028515	Ｐｙｔｈｏｎで体験する深層学習：Ｃａｆｆｅ，Ｔｈｅａｎｏ，Ｃｈａｉｎｅｒ，Ｔｅｎｓ		浅川伸一		コロナ社	201608	3,700	3,996
108	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784339032222	スパースモデリング：基礎から動的システムへの応用		永原正章		コロナ社	201710	3,000	3,240

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
109	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784339033663	知識基盤社会のための人工知能入門		國藤進：中田豊久	計測・制御テクノロジーシリーズ	コロナ社	201205	3,000	3,240
110	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784385360591	人間さまお断り：人工知能時代の経済と労働の手引き		ジェリ・カプラン：安原和見		三省堂	201608	2,500	2,700
111	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784393323526	生まれながらのサイボーグ：心・テクノロジー・知能の未来		アンディ・クラーク：呉羽真	現代哲学への招待	春秋社	201507	3,500	3,780
112	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784434158780	オートマトンと形式言語の基礎		五十嵐善英：フォーブス・Ｄ．リュウイス	数理情報科学シリーズ	牧野書店(発売：星雲社)	201109	2,400	2,592
113	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784478065754	人工知能　人類最悪にして最後の発明		ジェイムズ・バラット：水谷淳		ダイヤモンド社	201506	2,000	2,160
114	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784478068090	人工知能は私たちを滅ぼすのか：計算機が神になる１００年の物語		児玉哲彦		ダイヤモンド社	201603	1,600	1,728
115	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784478100905	人工知能：機械といかに向き合うか		ダイヤモンド・ハーバード・ビジネス編集部	Ｈａｒｖａｒｄ Ｂｕｓｉｎｅｓｓ Ｒｅｖｉｅｗ Ｐｒｅ	ダイヤモンド社	201609	1,600	1,728
116	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784485300992	搭載！！人工知能：究極のそして最後のエレクトロニクス		木村睦		電気書院	201605	2,200	2,376
117	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784486021414	人工知能の哲学：生命から紐解く知能の謎		松田雄馬		東海大学出版部	201704	3,000	3,240
118	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784501555504	数理議論学		若木利子：新田克己		東京電機大学出版局	201703	3,600	3,888
119	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784502213915	「知る力」を身につける情報社会のコミュニケーション能力	第２版	船本修三		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201701	2,400	2,592
120	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784532357078	スーパーインテリジェンス：超絶ＡＩと人類の命運		ニック・ボストロム：倉骨彰		日本経済新聞出版社	201711	2,800	3,024
121	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784532512163	ＡＩ人工知能の軌跡と未来		竹内郁雄	別冊日経サイエンス	日経サイエンス社(発売：日本経済新聞出版社)	201611	2,000	2,160
122	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784535786646	符号理論：デジタルコミュニケーションにおける数学		萩原学		日本評論社	201208	2,800	3,024
123	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784535786790	代数学から学ぶ暗号理論：整数論の基礎から楕円曲線暗号の実装まで		宮地充子		日本評論社	201203	3,200	3,456
124	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784535787971	進化する符号理論		萩原学		日本評論社	201609	2,800	3,024
125	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784535788213	機械学習：新たな人工知能		エテム・アルペイディン：久村典子	ＭＩＴエッセンシャル・ナレッジ・シリーズ	日本評論社	201709	2,000	2,160
126	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784595314391	デジタル情報と符号の理論		加藤浩（教育工学）	放送大学教材	放送大学教育振興会(発売：ＮＨＫ出版)	201303	3,000	3,240
127	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784621061220	パターン認識と機械学習：ベイズ理論による統計的予測．上		クリストファー・Ｍ．ビショップ：元田浩		丸善出版	201205	6,500	7,020
128	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784621061244	パターン認識と機械学習：ベイズ理論による統計的予測．下		クリストファー・Ｍ．ビショップ：元田浩		丸善出版	201203	7,800	8,424
129	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784621061862	暗号理論入門：暗号アルゴリズム，署名と認証，その数学的基礎	原書第３版	ヨハネス・Ａ．ブーフマン：林芳樹		丸善出版	201201	3,800	4,104
130	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784621062760	自己組織化マップとそのツール		大北正昭：徳高平蔵		丸善出版	201207	6,000	6,480
131	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784621063019	暗号の代数理論		ニール・コブリッツ：林彬		丸善出版	201207	3,800	4,104
132	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784621063118	量子情報理論	第２版	佐川弘幸：吉田宣章	ＳＰＲＩＮＧＥＲ ＵＮＩＶＥＲＳＩＴＹ ＴＥＸＴＢＯＯ	丸善出版	201207	3,500	3,780
133	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784621063187	発達する知能：知能を形作る相互作用		藤田雅博：下村秀樹	インテリジェンス・ダイナミクス	丸善出版	201205	3,500	3,780
134	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784621063422	情報理論と符号理論		ガレス・Ａ．ジョーンズ：Ｊ．マリー・ジョーンズ		丸善出版	201205	3,000	3,240
135	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784621063446	自己組織化マップ	改訂版	テウヴォ・コホネン：倉田耕治		丸善出版	201207	6,000	6,480
136	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784621063453	自己組織化マップとその応用		徳高平蔵：大北正昭		丸善出版	201207	5,300	5,724
137	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784621063521	脳・身体性・ロボット：知能の創発をめざして		土井利忠：藤田雅博	インテリジェンス・ダイナミクス	丸善出版	201205	4,000	4,320
138	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784621063545	身体を持つ知能：脳科学とロボティクスの共進化		土井利忠：藤田雅博	インテリジェンス・ダイナミクス	丸善出版	201205	3,500	3,780
139	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784621064009	情報と自己組織化：複雑系への巨視的アプローチ		ヘルマン・ハーケン：奈良重俊		丸善出版	201205	4,900	5,292
140	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784621064702	自己組織化と連想記憶		テウヴォ・コホネン：中谷和夫		丸善出版	201207	5,631	6,081
141	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784621065518	自己組織化マップ	改訂版	テウヴォ・コホネン：倉田耕治		丸善出版	201602	7,000	7,560
142	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784621089910	機械学習		中川裕志	東京大学工学教程	丸善出版	201511	2,800	3,024
143	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784621300237	知識情報処理		伊庭斉志：ダヌシカ・ボレガラ	東京大学工学教程	丸善出版	201603	2,300	2,484
144	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784621301791	強いＡＩ・弱いＡＩ：研究者に聞く人工知能の実像		鳥海不二夫		丸善出版	201710	1,800	1,944
145	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784622085874	心の影：意識をめぐる未知の科学を探る．１	新装版	ロジャー・ペンローズ：林一		みすず書房	201611	5,000	5,400
146	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784622085881	心の影：意識をめぐる未知の科学を探る．２	新装版	ロジャー・ペンローズ：林一		みすず書房	201611	5,200	5,616
147	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784627052710	情報数学の基礎：例からはじめてよくわかる		幸谷智紀：國持良行		森北出版	201104	2,200	2,376
148	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784627096516	３Ｄグラフィックスのための数学入門：クォータニオン・スプライン曲線の基礎		郡山彬：原正雄		森北出版	201510	3,200	3,456
149	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784627805521	オートマトン・言語理論	第２版	富田悦次：横森貴		森北出版	201312	2,800	3,024
150	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784627817319	誤り訂正技術の基礎		和田山正		森北出版	201007	3,400	3,672
151	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784627817418	例題で学ぶ符号理論入門		先名健一		森北出版	201107	2,400	2,592
152	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784627817913	３次元コンピュータビジョン計算ハンドブック		金谷健一：菅谷保之		森北出版	201610	4,200	4,536
153	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784627818019	心を交わす人工知能：言語・感情・倫理・ユーモア・常識		荒木健治：ラファ・ジェプカ		森北出版	201606	2,800	3,024
154	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784627821491	画像理解：３次元認識の数理	ＰＯＤ版	金谷健一		森北出版	201104	3,500	3,780
155	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784627821996	ニューラルネットワークアーキテクチャ入門	ＰＯＤ版	ジェディス・Ｅ．デーホフ：桂井浩		森北出版	201307	4,500	4,860
156	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784627827592	学習とそのアルゴリズム：ニューラルネットワーク 遺伝アルゴリズム 強化学習	ＰＯＤ版	電気学会		森北出版	201201	4,000	4,320
157	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784627849112	はじめての情報理論		稲井寛		森北出版	201107	2,400	2,592
158	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784627849211	パターン認識のためのサポートベクトルマシン入門		阿部重夫（システム工学）		森北出版	201104	3,600	3,888
159	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784627849716	はじめてのパターン認識		平井有三		森北出版	201207	3,000	3,240
160	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784627852112	フリーソフトではじめる機械学習入門		荒木雅弘		森北出版	201403	3,600	3,888
161	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784627852716	例解図説オートマトンと形式言語入門		岡留剛		森北出版	201508	2,200	2,376
162	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784627852914	はじめて学ぶオートマトンと言語理論		藤原暁宏		森北出版	201507	2,400	2,592

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
163	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784627853812	量子情報工学		富田章久		森北出版	201703	3,400	3,672
164	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784627854017	量子計算理論：量子コンピュータの原理		森前智行		森北出版	201711	3,600	3,888
165	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784627880214	事例＋演習で学ぶ機械学習：ビジネスを支えるデータ活用のしくみ		速水悟		森北出版	201604	2,800	3,024
166	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784627880313	これからの強化学習		牧野貴樹：澁谷長史		森北出版	201610	4,200	4,536
167	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784757102675	現れる存在：脳と身体と世界の再統合		アンディ・クラーク：池上高志		ＮＴＴ出版	201211	3,800	4,104
168	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784757103313	情報のマテリアリズム		藤本一勇		ＮＴＴ出版	201303	2,600	2,808
169	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784757103627	シンギュラリティ：人工知能から超知能へ		マレー・シャナハン：ドミニク・チェン		ＮＴＴ出版	201602	2,400	2,592
170	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784764903890	情報理論：基礎から応用まで		中川聖一		近代科学社	201006	2,500	2,700
171	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784764904132	はじめての情報理論		小嶋徹也		近代科学社	201109	2,200	2,376
172	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784764904187	進化技術ハンドブック．第２巻		電気学会		近代科学社	201111	8,000	8,640
173	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784764904262	進化技術ハンドブック．第３巻		電気学会		近代科学社	201206	8,000	8,640
174	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784764904323	カオスニューロ計算		堀尾喜彦：安達雅春	ナチュラルコンピューティング・シリーズ	近代科学社	201211	4,500	4,860
175	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784764904811	一人称研究のすすめ：知能研究の新しい潮流		諏訪正樹：堀浩一		近代科学社	201504	2,700	2,916
176	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784764904873	深層学習		神嶌敏弘：麻生英樹		近代科学社	201510	3,500	3,780
177	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784764904897	人工知能とは		松尾豊：中島秀之		近代科学社	201605	2,400	2,592
178	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784764905276	Ｒｕｂｙで数独：ＡＩプログラミング入門		佐藤理史		近代科学社	201610	2,400	2,592
179	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784764905290	超実践アンサンブル機械学習		武藤佳恭		近代科学社	201612	2,700	2,916
180	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784764905375	アンサンブル法による機械学習：基礎とアルゴリズム		ジーフア・ジョウ：宮岡悦良		近代科学社	201706	4,200	4,536
181	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784764955523	知能の物語		中島秀之		公立はこだて未来大学出版会(発売：近代科学社)	201505	2,700	2,916
182	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784774176987	ＩＴエンジニアのための機械学習理論入門		中井悦司		技術評論社	201511	2,580	2,786
183	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784774184104	コンピューターで「脳」がつくれるか：ＡＩが恋に落ちる日		五木田和也		技術評論社	201611	1,680	1,814
184	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784774185347	はじめての深層学習プログラミング		清水亮		技術評論社	201701	2,280	2,462
185	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784774186276	人工知能の作り方：「おもしろい」ゲームＡＩはいかにして動くのか		三宅陽一郎		技術評論社	201701	2,480	2,678
186	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784774188140	ディープラーニングがわかる数学入門		涌井良幸：涌井貞美		技術評論社	201703	2,280	2,462
187	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784774190624	イメージでつかむ機械学習入門：豊富なグラフ，シンプルな数学，Ｒで理解する		横内大介：青木義充		技術評論社	201708	2,340	2,527
188	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784774191867	Ｃｈａｉｎｅｒで学ぶディープラーニング入門：ＩＮＴＲＯＤＵＣＴＩＯＮ　ＴＯ		島田直希：大浦健志		技術評論社	201709	2,760	2,980
189	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784774194745	Ｅｘｃｅｌでわかるディープラーニング超入門		涌井良幸：涌井貞美		技術評論社	201801	1,880	2,030
190	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784777515301	オントロジーがわかる本：今、脚光を浴びる「存在論」：「哲学」から「技術」へ		赤間世紀	Ｉ／Ｏ　ｂｏｏｋｓ	工学社	201007	1,900	2,052
191	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784777515493	人工生命入門：ライフゲームから人工細菌まで－夢の最先端分野がわか		赤間世紀	Ｉ／Ｏ　ｂｏｏｋｓ	工学社	201009	2,300	2,484
192	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784777515677	データマイニングがわかる本：大量のデータから「知識」「情報」を発掘する！		赤間世紀	Ｉ／Ｏ　ｂｏｏｋｓ	工学社	201012	2,300	2,484
193	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784777516766	人工知能教科書：主要分野をコンパクトに解説		赤間世紀	Ｉ／Ｏ　ｂｏｏｋｓ	工学社	201204	2,500	2,700
194	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784777518739	３Ｄ－ＣＧプログラマーのためのクォータニオン入門：「ベクトル」「行列」「テンソル」「スピノール」との	増補版	金谷一朗	Ｉ／Ｏ　ｂｏｏｋｓ	工学社	201501	2,400	2,592
195	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784777519538	人工知能ガイドブック：「ビッグデータ＋人工知能」次代目前！その可能性と問		Ｉ／Ｏ編集部	Ｉ／Ｏ　ｂｏｏｋｓ	工学社	201606	1,900	2,052
196	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784777520312	ＭＲ入門：複合現実「現実世界」と「人工的な世界」が相互に影響		佐野彰	１／Ｏ　ＢＯＯＫＳ	工学社	201710	1,900	2,052
197	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784777520329	「ディープ・ラーニング」ガイドブック：基礎知識から、環境構築、ライブラリの活用法まで！		Ｉ／Ｏ編集部	１／Ｏ　ＢＯＯＫＳ	工学社	201710	1,900	2,052
198	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784781912622	現代暗号への招待		黒澤馨	ライブラリ情報学コア・テキスト	サイエンス社	201009	1,850	1,998
199	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784781912684	暗号のための代数入門		萩田真理子	Ｃｏｍｐｕｔｅｒ　ｓｃｉｅｎｃｅ　ｌｉｂｒａｒｙ	サイエンス社	201012	1,950	2,106
200	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784781912882	応用情報数学		横森貴：小林聡（計算機科学）	ライブラリ新数学大系	サイエンス社	201106	2,000	2,160
201	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784781914138	やさしい計算理論：有限オートマトンからチューリング機械まで		丸岡章	Ｉｎｆｏｒｍａｔｉｏｎ　＆　Ｃｏｍｐｕｔｉｎｇ	サイエンス社	201712	1,900	2,052
202	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784788514225	ディープラーニング，ビッグデータ，機械学習：あるいはその心理学		浅川伸一		新曜社	201502	2,400	2,592
203	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784788515222	第四の革命：情報圏が現実をつくりかえる		ルチアーノ・フロリディ：春木良且		新曜社	201704	3,400	3,672
204	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784789831444	やり直しのための工業数学．情報通信編	改訂新版	三谷政昭	ディジタル信号処理シリーズ	ＣＱ出版	201105	3,200	3,456
205	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784789846400	データの符号化技術と誤り訂正の基礎：ブロック符号／畳み込み符号／ターボ符号を理解する		西村芳一	ＲＦデザイン・シリーズ	ＣＱ出版	201008	2,200	2,376
206	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784791769841	暗号の数学：シーザー暗号・公開鍵・量子暗号…		ジョシュア・ホールデン：松浦俊輔		青土社	201705	3,200	3,456
207	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784794423764	ＣＧ，ゲーム，連想の新基本：メディア知能情報学入門		鈴木昇一		創成社	201111	3,500	3,780
208	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784794424488	情報熱力学と知能情報量		鈴木昇一		創成社	201502	3,100	3,348
209	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784794424921	連想情報学と機械学習		鈴木昇一		創成社	201612	4,200	4,536
210	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784797382228	暗号技術入門：秘密の国のアリス	第３版	結城浩		ＳＢクリエイティブ	201509	3,000	3,240
211	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784797388084	データ分析のための機械学習入門：Ｐｙｔｈｏｎで動かし、理解できる、人工知能技術		橋本泰一	Ｉｎｆｏｒｍａｔｉｃｓ＆ＩＤＥＡ	ＳＢクリエイティブ	201701	2,580	2,786
212	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784798044859	はじめてのＰｙｔｈｏｎＡＩプログラミング		金城俊哉	Ｂａｓｉｃ　ｍａｓｔｅｒ　ｓｅｒｉｅｓ	秀和システム	201611	1,700	1,836
213	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784798049618	フリーライブラリで学ぶ機械学習入門		堅田洋資：菊田遥平		秀和システム	201703	2,400	2,592
214	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784798050454	「人工超知能」：生命と機械の間にあるもの		井上智洋		秀和システム	201707	1,600	1,728
215	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784798144658	はじめての人工知能：Ｅｘｃｅｌで体験しながら学ぶＡＩ		浅井登		翔泳社	201603	2,280	2,462
216	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784798145112	Ｒによる機械学習		ブレット・ランツ：長尾高弘	Ｐｒｏｇｒａｍｍｅｒ’ｓ　ｓｅｌｅｃｔｉｏｎ	翔泳社	201703	3,800	4,104

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
217	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784798145600	あたらしい人工知能の教科書：プロダクト／サービス開発に必要な基礎知識		多田智史：石井一夫		翔泳社	201612	2,600	2,808
218	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784798148816	暗号技術のすべて		ＩＰＵＳＩＲＯＮ		翔泳社	201708	3,500	3,780
219	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784798151533	おうちで学べる人工知能のきほん		東中竜一郎		翔泳社	201711	1,980	2,138
220	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784800711786	機械学習入門Ｊｕｂａｔｕｓ実践マスター		Ｊｕｂａｔａｕｓコミュニティ		ソーテック社	201710	3,480	3,758
221	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784801000902	ポストメディア人類学に向けて：集合的知性		ピエール・レヴィ：米山優	批評の小径	水声社	201503	4,000	4,320
222	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784802510172	人工知能のための哲学塾		三宅陽一郎		ビー・エヌ・エヌ新社	201608	2,400	2,592
223	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784802510684	ツールからエージェントへ、弱いＡＩのデザイン：人工知能時代のインタフェース設計論		クリストファー・ノーセル：武舎広幸		ビー・エヌ・エヌ新社	201709	2,600	2,808
224	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784802510844	ＡＩアシスタントのユア・コンセプト：人工知能時代の意思決定プロセスデザイン		堀内進之介：吉岡直樹		ビー・エヌ・エヌ新社	201712	2,300	2,484
225	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784802610797	Ｐｙｔｈｏｎによるスクレイピング＆機械学習開発テクニック：ＢｅａｕｔｉｆｕｌＳｏｕｐ、ｓｃｉｋｉｔ－ｌｅａｒ		クジラ飛行机		ソシム	201612	3,200	3,456
226	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784805761816	デジタルメディアの情報インデックスと知識地図の研究		斉藤孝（記録情報学）	中央大学学術図書	中央大学出版部	201208	3,500	3,780
227	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784817193797	情報システム入門．社会を守る暗号セキュリティ編		福井幸男		日科技連出版社	201012	2,600	2,808
228	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784817196231	人工知能（ＡＩ）のはなし：エキスパートシステム、ニューラルネット、ロボット…	改訂版	大村平		日科技連出版社	201707	2,300	2,484
229	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784817844422	ＡＩビジネスの法律実務		人工知能法務研究会		日本加除出版	201711	2,400	2,592
230	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784819022118	国際標準に準拠したバイオメトリクスの用語および基本モデル：バイオメトリック技術の国際標準解説		バイオメトリクスセキュリティコンソーシア：瀬戸洋一		日本工業出版	201007	2,500	2,700
231	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784822236472	Ａｚｕｒｅ Ｍａｃｈｉｎｅ Ｌｅａｒｎｉｎｇ実践ガイド：さわってわかる機械学習		千貫大司：山本和貴		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201606	2,700	2,916
232	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784822236861	グーグルに学ぶディープラーニング：人工知能ブームの牽引役その仕組みをやさし解説		日経ビッグデータ編集部		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201701	1,800	1,944
233	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784822250324	スマートマシンがやってくる：情報過多時代の頼れる最強ブレーン		ジョン・Ｅ・ケリー３世【著】：スティーブ・ハム【著】		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201407	1,600	1,728
234	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784822251413	人工知能は敵か味方か：パートナー、主人、奴隷－人間と機械の関係を決める転		ジョン・マーコフ：滝口範子		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201606	2,200	2,376
235	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784822271978	世界トップ企業のＡＩ戦略：Ｇｏｏｇｌｅ、ＧＥ、ＩＢＭ		ＥＹアドバイザリー株式会社		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201603	1,800	1,944
236	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784822285401	ＡＩは「心」を持てるのか：脳に近いアーキテクチャ		ジョージ・ザルカダキス：長尾高弘		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201509	2,200	2,376
237	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784839960582	人狼知能で学ぶＡＩプログラミング：欺瞞・推理・会話で不完全情報ゲームを戦う人工知能の		狩野芳伸：大槻恭士		マイナビ出版	201706	3,680	3,974
238	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784839960889	ＴｅｎｓｏｒＦｌｏｗで学ぶディープラーニング入門：畳み込みニューラルネットワーク徹底解説		中井悦司		マイナビ出版	201609	2,690	2,905
239	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784839961503	Ｃ＋＋で学ぶディープラーニング：ニューラルネットワークの基礎からＣ＋＋による実装ま		藤田毅		マイナビ出版	201706	3,590	3,877
240	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784839962258	ニューラルネットワーク自作入門		タリク・ラシド：新納浩幸		マイナビ出版	201704	2,690	2,905
241	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784839962517	詳解ディープラーニング：ＴｅｎｓｏｒＦｌｏｗ・Ｋｅｒａｓによる時系列データ		巣篭悠輔		マイナビ出版	201705	3,400	3,672
242	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784839963521	やさしく学ぶ機械学習を理解するための数学のきほん：アヤノ&ミオと一緒に学ぶ　機械学習の理論と数学、実		立石賢吾		マイナビ出版	201709	2,580	2,786
243	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784844366515	シンキング・マシン		ルーク・ドーメル：新田享子		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201703	1,800	1,944
244	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784844380603	Ｐｙｔｈｏｎ機械学習プログラミング：達人データサイエンティストによる理論と実践		セバスチャン・ラシュカ：クイープ	ｉｍｐｒｅｓｓ ｔｏｐ ｇｅａｒ	インプレス	201607	4,000	4,320
245	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784844381280	Ｄｅｅｐ Ｌｅａｒｎｉｎｇ Ｊａｖａプログラミング：深層学習の理論と実装		巣籠悠輔	ｉｍｐｒｅｓｓ ｔｏｐ ｇｅａｒ	インプレス	201610	3,400	3,672
246	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784860434137	高精度化する個人認証技術：身体的、行動的認証からシステム開発、事例、国際標準				エヌ・ティー・エス	201411	38,000	41,040
247	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784861826528	サイバネティクス全史：人類は思考するマシンに何を夢見たのか		トマス・リッド：松浦俊輔		作品社	201710	3,600	3,888
248	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784863542341	Ｃｈａｉｎｅｒで作るコンテンツ自動生成ＡＩプログラミング入門		坂本俊之		シーアンドアール研究所	201712	3,420	3,693
249	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784864810470	形式言語・オートマトン入門		藤芳明生	グラフィック情報工学ライブラリ	数理工学社(発売：サイエンス社)	201708	1,800	1,944
250	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784864874335	関数型オブジェクト指向ＡＩプログラミング：Ｓｃａｌａによる人工知能の実装		深井裕二		三恵社(発売：ＪＲＣ)	201511	2,100	2,268
251	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784864875691	Ｊａｖａ人工知能プログラミング：オブジェクト指向と関数スタイルによるＡＩの実装		深井裕二		三恵社(発売：ＪＲＣ)	201609	2,400	2,592
252	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784865940220	初めてのディープラーニング		武井宏将		リックテレコム	201603	2,200	2,376
253	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784865940527	初めてのＷａｔｓｏｎ：ＡＰＩの用例と実践プログラミング		井上研一		リックテレコム	201611	2,200	2,376
254	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784865940718	ワトソンで体感する人工知能		井上研一		リックテレコム	201707	1,800	1,944
255	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784865941050	初めてのＴｅｎｓｏｒＦｌｏｗ：数式なしのディープラーニング		足立悠		リックテレコム	201711	2,200	2,376
256	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784865941210	Ｇｏｏｇｌｅ Ｃｌｏｕｄ Ｐｌａｔｆｏｒｍではじめる機械学習と深層学習		吉川隼人		リックテレコム	201712	2,600	2,808
257	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784873115849	Ｍａｈｏｕｔイン・アクション		ショーン・オーウェン：ロビン・アニル		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201210	4,000	4,320
258	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784873116075	実践コンピュータビジョン		ジャン・エリク・ソレム：相川愛三		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201303	3,000	3,240
259	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784873116983	実践機械学習システム		ウィリ・リチャート：ルイス・ペドロ・コエーリョ		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201410	3,200	3,456
260	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784873117584	ゼロから作るＤｅｅｐ Ｌｅａｒｎｉｎｇ：Ｐｙｔｈｏｎで学ぶディープラーニングの理論と実装		斎藤康毅		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201609	3,400	3,672
261	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784873117980	Ｐｙｔｈｏｎではじめる機械学習：ｓｃｉｋｉｔ－ｌｅａｒｎで学ぶ特徴量エンジニアリン		アンドレアス・Ｃ．ミュラー：サラ・ガイド		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201705	3,400	3,672
262	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784877833206	Ｊａｖａで学ぶコンピュータ数学		平田敦		カットシステム	201308	3,800	4,104
263	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784877834265	スパースモデリングって何だ？：データ構造を解き明かす先端技法		日高昇治：松下亮祐	テクノロジーを知る	カットシステム	201711	1,600	1,728
264	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784896412154	基礎から学ぶ情報理論		中村篤祥：喜田拓也		ムイスリ出版	201303	2,450	2,646
265	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784897979595	ＰＨＰによる機械学習入門		斉藤常治：高橋佑幸		リックテレコム	201407	3,600	3,888
266	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784897979892	知りたい分かりたい人の体験する機械学習：フリーソフトＷｅｋａによる実践講座		高橋佑幸		リックテレコム	201506	2,000	2,160
267	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784899774549	夢みるプログラム：人工無脳・チャットボットで考察する会話と心のアルゴ		加藤真一		ラトルズ	201608	2,200	2,376
268	ICT	情報科学	情報科学	情報理論	9784915851438	コンピュータビジョン最先端ガイド．４		八木康史：斎藤英雄	ＣＶＩＭチュートリアルシリーズ	アドコム・メディア	201112	1,905	2,057
269	ICT	情報科学	情報科学	情報/歴史	9784844397502	未来型国家エストニアの挑戦：電子政府がひらく世界	新版	ラウル・アリキヴィ：前田陽二		インプレスＲ＆Ｄ(発売：インプレス)	201702	1,800	1,944
270	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784000222181	ウィキリークスの時代		グレッグ・ミッチェル：宮前ゆかり		岩波書店	201106	1,900	2,052

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
271	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784048706568	スマートシティ：最先端ビジネスがひと目でわかる		岡村久和	図解ビジネス情報源	アスキー・メディアワークス(発売：ＫＡＤＯＫＡＷＡ)	201110	1,600	1,728
272	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784048860697	Ｃｌｅａｎ Ｃｏｄｅｒ：プロフェッショナルプログラマへの道		ロバート・Ｃ．マーティン：角征典		アスキー・メディアワークス(発売：ＫＡＤＯＫＡＷＡ)	201201	2,000	2,160
273	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784062168502	ウィキリークス アサンジの戦争		ガーディアン：月沢李歌子		講談社	201102	1,800	1,944
274	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784062172707	アメリカ秘密公電漏洩事件：ウィキリークスという対日最終戦争		原田武夫		講談社	201110	1,600	1,728
275	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784062179300	データサイエンティストが創る未来：これからの医療・農業・産業・経営・マーケティング		スティーヴ・ロー：久保尚子		講談社	201605	2,000	2,160
276	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784062180610	ビッグデータの正体：情報の産業革命が世界のすべてを変える		ビクター・マイヤー＝ショーンベルガー：ケネス・クキエ		講談社	201305	1,800	1,944
277	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784105065713	アップルｖｓ．グーグル：どちらが世界を支配するのか		フレッド・ボーゲルスタイン：依田卓巳		新潮社	201312	1,600	1,728
278	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784130141413	デジタル・スタディーズ．第１巻		石田英敬：吉見俊哉		東京大学出版会	201507	3,800	4,104
279	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784130141420	デジタル・スタディーズ．第２巻		石田英敬：吉見俊哉		東京大学出版会	201509	4,800	5,184
280	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784130141437	デジタル・スタディーズ．第３巻		石田英敬：吉見俊哉		東京大学出版会	201510	4,800	5,184
281	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784130361415	情報法の構造：情報の自由・規制・保護		山口いつ子		東京大学出版会	201007	5,600	6,048
282	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784130501767	日本人の情報行動２０１０		橋元良明		東京大学出版会	201109	12,000	12,960
283	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784152091970	全貌ウィキリークス		マルセル・ローゼンバッハ：ホルガー・シュタルク		早川書房	201102	1,800	1,944
284	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784152097033	インターネットは自由を奪う：〈無料〉という落とし穴		アンドリュー・キーン：中島由華		早川書房	201708	2,300	2,484
285	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784163725000	グーグル秘録：完全なる破壊		ケン・オーレッタ：土方奈美		文藝春秋	201005	1,900	2,052
286	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784163906911	アマゾノミクス：データ・サイエンティストはこう考える		アンドレアス・ワイガンド：土方奈美		文藝春秋	201707	1,800	1,944
287	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784274068812	ソフトウェアの世界でキャリアを築く		サム・ライトストーン：吉平健治		オーム社	201204	2,800	3,024
288	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784274211218	情報とネットワーク社会		駒谷昇一：山川修	ＩＴ ｔｅｘｔ	オーム社	201112	2,200	2,376
289	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784274216756	情報と職業	改訂２版	駒谷昇一：辰己丈夫	ＩＴ ｔｅｘｔ	オーム社	201511	2,500	2,700
290	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784295001430	ＩｏＴ、ＡＩ を活用した'超スマート社会'実現への道：世界各国の政策と社会基盤技術の最新動向		電子情報技術産業協会：ソフトウェア事業委員会	インプレス［新産業技術レポートシリーズ］	インプレス	201706	95,000	102,600
291	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784295001898	動画配信ビジネス調査報告書：ＤＡＺＮ日本参入など新たな局面を迎えるＶＯＤ市場の．２０１７		森田秀一：インプレス総合研究所	インプレス総合研究所［新産業技術レポートシリーズ］	インプレス	201706	78,000	84,240
292	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784295002505	データセンター調査報告書：クラウド時代におけるデータセンター事業者の戦略と今．２０１７		クラウド＆データセンター完全ガイド：インプレス総合研究所	インプレス総合研究所［新産業調査レポートシリーズ］	インプレス	201710	170,000	183,600
293	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784309244426	情報社会の倫理と設計：ｉｓｅｄ．倫理篇		東浩紀：濱野智史		河出書房新社	201005	2,800	3,024
294	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784309244433	情報社会の倫理と設計：ｉｓｅｄ．設計篇		東浩紀：濱野智史		河出書房新社	201005	2,800	3,024
295	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784309247243	インターネットガバナンス：世界を決める見えざる戦い		ローラ・デナルディス：岡部晋太郎		河出書房新社	201509	2,600	2,808
296	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784320009097	ＩＣＴ未来予想図：自動運転，知能化都市，ロボット実装に向けて		土井美和子：原隆浩	共立スマートセレクション	共立出版	201607	1,600	1,728
297	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784320122901	学生時代に学び伝い情報倫理		新大輔		共立出版	201108	2,000	2,160
298	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784320123120	メディアとＩＣＴの知的財産権		菅野政孝：大谷卓史	未来へつなぐデジタルシリーズ	共立出版	201208	2,800	3,024
299	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784320123311	ネットワーク・大衆・マーケット：現代社会の複雑な連結性についての推論		デイビッド・イーズリー：ジョン・クラインバーグ		共立出版	201306	11,000	11,880
300	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784324102022	情報・インターネット法の知識と実務		東京弁護士会	弁護士専門研修講座	ぎょうせい	201612	4,000	4,320
301	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784326403202	表現の自由とアーキテクチャ：情報社会における自由と規制の再構成		成原慧		勁草書房	201606	5,200	5,616
302	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784326403349	情報法のリーガル・マインド		林紘一郎		勁草書房	201702	3,600	3,888
303	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784326504152	パーソナルデータの経済分析		髙口鉄平	ＫＤＤＩ総研叢書	勁草書房	201510	3,400	3,672
304	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784326504183	コンテンツ産業とイノベーション：テレビ・アニメ・ゲーム産業の集積		半澤誠司		勁草書房	201602	3,800	4,104
305	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784326602360	情報セキュリティの思想：インターネットにおける社会的価値の創造		小山晶宏		勁草書房	201109	3,600	3,888
306	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784326602537	社会情報学とその展開		吉田民人：吉田民人論集編集委員会		勁草書房	201310	4,000	4,320
307	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784326602827	情報生成倫理：「考える倫理」の実践にむけて		永松博志		勁草書房	201509	5,400	5,832
308	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784335356063	情報法概説		曽我部真裕：林秀弥		弘文堂	201601	3,300	3,564
309	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784335357121	ＡＩがつなげる社会：ＡＩネットワーク時代の法・政策		福田雅樹：林秀弥		弘文堂	201711	3,000	3,240
310	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784339018035	情報社会・セキュリティ・倫理		辻井重男	電子情報通信レクチャーシリーズ	コロナ社	201203	3,000	3,240
311	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784339027853	コンテンツクリエーション		近藤邦雄：三上浩司	メディア学大系	コロナ社	201410	2,500	2,700
312	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784339078008	技術者のための新サービス企画の提案法：プロジェクトの企画ノウハウをシステム開発の成功・失		宮保憲治：小川猛志		コロナ社	201706	2,200	2,376
313	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784384045833	ＩＴ企業の法務と労務実務マニュアル：事業者必携		梅原ゆかり		三修社	201402	1,900	2,052
314	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784417015888	ソフトウェア取引の法律相談		ＴＭＩ総合法律事務所	新・青林法律相談	青林書院	201302	4,800	5,184
315	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784433667566	ベンダーとユーザーのためのソフトウェア会計実務Ｑ＆Ａ		新日本有限責任監査法人		清文社	201605	4,400	4,752
316	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784474057043	ＩｏＴビジネスを成功させるための法務入門		中野友貴		第一法規出版	201611	2,800	3,024
317	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784478017883	第五の権力：Ｇｏｏｇｌｅには見えている未来		エリック・シュミット：ジャレッド・コーエン		ダイヤモンド社	201402	1,800	1,944
318	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784478022993	ハーバード数学科のデータサイエンティストが明かすビッグデータの残酷な現実：ネットの密かな行動から、私たちの何がわかってしま		クリスチャン・ラダー：矢羽野薫		ダイヤモンド社	201608	1,800	1,944
319	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784478039526	当たり前の経営：常識を覆したＳＣＳＫのマネジメント		野田稔		ダイヤモンド社	201412	1,600	1,728
320	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784478101759	情報メディア白書．２０１７		電通総研		ダイヤモンド社	201702	16,000	17,280
321	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784484111162	グーグルネット覇者の真実：追われる立場から追う立場へ		スティーブン・レヴィ【著者】：仲達志【訳者】		ＣＣＣメディアハウス	201112	1,900	2,052
322	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784492223239	毒になるテクノロジー		ラリー・Ｄ．ローゼン：ナンシー・Ａ．チーバー		東洋経済新報社	201209	2,400	2,592
323	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784492223376	ビッグの終焉：ラディカル・コネクティビティがもたらす社会の未来		ニコ・メレ：遠藤真美		東洋経済新報社	201402	1,800	1,944
324	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784492502075	アリババ帝国：ネットで世界を制するジャック・マーの挑戦		張剛：永井麻生子		東洋経済新報社	201007	1,800	1,944

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
325	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784492502167	マイクロソフトで学んだこと、マイクロソフトだからできること。		樋口泰行		東洋経済新報社	201105	1,600	1,728
326	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784492580967	ビッグデータの衝撃：巨大なデータが戦略を決める		城田真琴【著】		東洋経済新報社	201207	1,800	1,944
327	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784492580974	ビッグデータ時代のライフログ：ＩＣＴ社会の"人の記憶"		安岡寛道【編】：曽根原登		東洋経済新報社	201207	2,400	2,592
328	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784492581070	ＩＴロードマップ：情報通信技術は５年後こう変わる！．２０１６年版		野村総合研究所		東洋経済新報社	201603	2,400	2,592
329	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784492581100	ＩＴロードマップ：情報通信技術は５年後こう変わる！．２０１７年版		野村総合研究所デジタルビジネス開発部		東洋経済新報社	201703	2,500	2,700
330	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784492602089	コンテンツビジネスの会計実務：ＩＦＲＳ対応版		新日本有限責任監査法人		東洋経済新報社	201106	3,600	3,888
331	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784495383312	２１世紀のＩＣＴ多国籍企業		夏目啓二		同文舘出版	201403	3,000	3,240
332	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784496050381	日中オフショアビジネスの展開		丹沢安治：陳建安		同友館	201401	2,800	3,024
333	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784502117916	ソフトウェア取引の会計・税務Ｑ＆Ａ	第２版	トーマツ（監査法人）		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201412	3,600	3,888
334	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784502191916	情報社会における法・ルールと倫理		清野正哉		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201606	3,600	3,888
335	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784502229916	コンテンツビジネスの経営戦略		情報通信学会コンテンツビジネス研究会		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201706	2,800	3,024
336	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784502232404	コンテンツビジネスの会計実務		あずさ監査法人	業種別アカウンティング・シリーズ	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201007	3,400	3,672
337	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784502696909	ＩＴグローバル分業経営：日中間の「差異認知によるプロセス共有」		丁偉偉		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201205	2,400	2,592
338	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784532316174	ニッポンのＩＴその未来：モノづくり大国を革新する「仕組みづくり」の発想		浜口友一		日本経済新聞出版社	201007	1,600	1,728
339	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784532319557	Ｈｏｗ Ｇｏｏｇｌｅ Ｗｏｒｋｓ：私たちの働き方とマネジメント		エリック・シュミット：ジョナサン・ローゼンバーグ		日本経済新聞出版社	201410	1,800	1,944
340	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784535558786	ＩＴ技術者の能力限界の研究：ケイパビリティ・ビリーフの観点から		古田克利		日本評論社	201702	8,000	8,640
341	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784561236184	コーポレートベンチャリング新時代：本格化するベンチャーの時代と大手ＩＣＴ企業の成長戦		湯川抗		白桃書房	201311	2,800	3,024
342	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784585054320	情報行動：システム志向から利用者志向へ		三輪眞木子	ネットワーク時代の図書館情報学	勉誠出版	201203	2,000	2,160
343	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784589034281	レクチャー情報法		松井修視	αブックス	法律文化社	201210	2,800	3,024
344	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784589038333	１８歳からはじめる情報法		米丸恒治	Ｆｒｏｍ １８	法律文化社	201703	2,300	2,484
345	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784589038579	インターネットの自由と不自由：ルールの視点から読み解く		庄司克宏：佐藤真紀		法律文化社	201707	2,900	3,132
346	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784595312816	進化する情報社会		児玉晴男：小牧省三	放送大学教材	放送大学教育振興会(発売：ＮＨＫ出版)	201103	2,400	2,592
347	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784595315022	日常生活のデジタルメディア		青木久美子：高橋秀明	放送大学教材	放送大学教育振興会(発売：ＮＨＫ出版)	201403	2,300	2,484
348	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784595315077	情報社会の法と倫理		尾崎史郎：児玉晴男	放送大学教材	放送大学教育振興会(発売：ＮＨＫ出版)	201403	2,400	2,592
349	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784595315749	進化する情報社会	改訂版	児玉晴男：小牧省三	放送大学教材	放送大学教育振興会(発売：ＮＨＫ出版)	201503	2,600	2,808
350	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784595316395	ユーザ調査法		黒須正明：高橋秀明	放送大学教材	放送大学教育振興会(発売：ＮＨＫ出版)	201603	2,800	3,024
351	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784621301128	情報システム		萩谷昌己	東京大学工学教程	丸善出版	201611	2,300	2,484
352	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784622085621	情報倫理：技術・プライバシー・著作権		大谷卓史		みすず書房	201705	5,500	5,940
353	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784623060825	変わりゆくコミュニケーション薄れゆくコミュニティ：メディアと情報化の現在		前納弘武：岩佐淳一		ミネルヴァ書房	201206	3,500	3,780
354	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784623066773	変貌する日本のコンテンツ産業：創造性と多様性の模索		河島伸子：生稲史彦		ミネルヴァ書房	201310	8,000	8,640
355	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784623073597	よくわかる社会情報学		西垣通：伊藤守	やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ	ミネルヴァ書房	201505	2,500	2,700
356	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784641125537	情報法		宇賀克也：長谷部恭男		有斐閣	201209	2,500	2,700
357	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784641164093	クリエイティブ産業の経済学：契約，著作権，税制のインセンティブ設計		後藤和子		有斐閣	201304	3,600	3,888
358	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784750338392	情報化社会の近未来像：生活・組織・生命		野村恒夫		明石書店	201306	2,800	3,024
359	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784750342924	人工知能と２１世紀の資本主義：サイバー空間と新自由主義		本山美彦		明石書店	201512	2,600	2,808
360	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784757102880	「情報社会」とは何か？：〈メディア〉論への前哨		大黒岳彦		NTT出版	201008	3,600	3,888
361	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784757103009	情報社会学概論		公文俊平：吉田民人		ＮＴＴ出版	201102	4,400	4,752
362	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784757103054	記憶する道具：生活／人生ナビゲータとしてのライフログ・マシンの誕		美崎薫		ＮＴＴ出版	201104	2,200	2,376
363	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784757103061	情報法入門：デジタル・ネットワークの法律	第２版	小向太郎		NTT出版	201103	2,800	3,024
364	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784757103122	情報社会のいま：あたらしい智民たちへ		公文俊平		NTT出版	201105	2,400	2,592
365	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784757103320	モバイル社会の未来：２０３５年へのロードマップ		エヌ・ティ・ティ・ドコモ		ＮＴＴ出版	201303	2,800	3,024
366	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784757103504	みんなのビッグデータ：リアリティ・マイニングから見える世界		ネイサン・イーグル：ケイト・グリーン		ＮＴＴ出版	201502	2,200	2,376
367	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784757103528	情報社会のソーシャルデザイン：情報社会学概論２		公文俊平：大橋正和		ＮＴＴ出版	201412	3,400	3,672
368	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784757103535	情報法入門：デジタル・ネットワークの法律	第３版	小向太郎		ＮＴＴ出版	201503	2,800	3,024
369	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784757103580	電脳のレリギオ：ビッグデータ社会で心をつくる		ドミニク・チェン		ＮＴＴ出版	201503	1,800	1,944
370	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784757143319	２４／７：眠らない社会		ジョナサン・クレーリー：岡田温司		ＮＴＴ出版	201503	2,500	2,700
371	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784759919240	音と映像：授業・学習・現代社会におけるテクノロジーの在り方と		成蹊大学文学部学会	成蹊大学人文叢書	風間書房	201203	2,000	2,160
372	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784762021114	ＩＴ社会における情報社会論：情報化社会の歴史的変化に基づいて		伊達康博		学文社	201010	2,800	3,024
373	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784762021602	情報社会を読み解く	改訂版	古藤泰弘		学文社	201105	2,800	3,024
374	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784762023118	情報活用学入門：情報化社会の「攻め方」・「守り方」		大嶋淳俊		学文社	201210	2,300	2,484
375	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784762023415	デジタルメディアと日本社会		大石裕		学文社	201301	2,100	2,268
376	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784762023651	情報革新と社会革新		森川信男	森川ワールド：プラス	学文社	201303	2,600	2,808
377	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784762025365	ネット社会の諸相		飯田良明：松下慶太		学文社	201503	2,100	2,268
378	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784762025501	情報倫理の挑戦：「生きる意味」へのアプローチ		竹之内禎：河島茂生		学文社	201509	2,000	2,160

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
379	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784764904163	情報社会と情報倫理：リスクマネジメント，コンプライアンス，システム監査		久保木孝明：山本喜一		近代科学社	201112	2,400	2,592
380	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784768456460	人生が見張られている！：ルポ・「孤独権」侵害の時代		平田剛士		現代書館	201011	1,800	1,944
381	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784771023321	ソフトウェア・ビジネス：利用側と提供側の双方に立った複眼的研究		加藤敦		晃洋書房	201203	4,000	4,320
382	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784771028173	監視社会とライアンの社会学：プライバシーと自由の複層を超えて		野尻洋平		晃洋書房	201702	2,500	2,700
383	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784774155944	良いウェブサービスを支える「利用規約」の作り方		雨宮美季：片岡玄一		技術評論社	201304	2,280	2,462
384	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784774165226	システムインテグレーション崩壊：これからＳＩｅｒはどう生き残ればいいか？		斎藤昌義		技術評論社	201407	1,680	1,814
385	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784774178721	システムインテグレーション再生の戦略：いまＳＩｅｒは何を考え，どう行動すればいいのか？		斎藤昌義：後藤晃		技術評論社	201602	1,880	2,030
386	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784774189604	図解コレ１枚でわかる最新ＩＴトレンド	増強改訂版	斎藤昌義		技術評論社	201705	1,780	1,922
387	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784777515424	プログラマーの心得：プログラマーを目指す人・活躍したい人へ		赤間世紀	Ｉ／Ｏ ｂｉｚ	工学社	201008	1,800	1,944
388	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784777518098	「ビッグデータ」がわかる本：「ＩＣＴ」の発達で可能になった「多量データ」の利用		赤間世紀	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201401	2,300	2,484
389	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784779303029	デジタルメディアの社会学：問題を発見し、可能性を探る		土橋臣吾：南田勝也		北樹出版	201110	2,100	2,268
390	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784779305559	デジタルメディアの社会学：問題を発見し、可能性を探る	第３版	土橋臣吾：南田勝也		北樹出版	201710	2,100	2,268
391	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784779505805	インターネット社会と情報行動：情報・生活スタイル論の試み		犬塚先		ナカニシヤ出版	201111	2,500	2,700
392	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784781912981	メディアリテラシ		植田祐子：増永良文	Ｃｏｍｐｕｔｅｒ ｓｃｉｅｎｃｅ ｌｉｂｒａｒｙ	サイエンス社	201308	2,500	2,700
393	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784784518173	サービス志向への変革：顧客価値創造を追求する情報ビジネスの新展開		小坂満隆：北陸先端科学技術大学院大学		社会評論社	201212	1,700	1,836
394	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784785718978	情報ネットワーク・ローレビュー．第１０巻		情報ネットワーク法学会		商事法務	201108	4,600	4,968
395	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784785720339	情報ネットワーク・ローレビュー．第１１巻		情報ネットワーク法学会		商事法務	201212	4,200	4,536
396	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784785721404	情報ネットワーク・ローレビュー．第１２巻		情報ネットワーク法学会		商事法務	201311	4,500	4,860
397	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784785724948	ＩＴビジネスの契約実務		伊藤雅浩：久礼美紀子		商事法務	201702	3,000	3,240
398	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784785725211	ＩｏＴ・ＡＩの法律と戦略		福岡真之介：桑田寛史		商事法務	201704	3,000	3,240
399	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784787234131	ポストヒューマン・エシックス序説：サイバー・カルチャーの身体を回う		根村直美		青弓社	201702	4,600	4,968
400	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784788806832	情報化社会と人間：デジタル社会のインポータントファクター		渋沢健太郎：伊藤昭浩		時潮社	201304	2,800	3,024
401	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784789014205	ＩＴエンジニアの英語：速く正確に読む		平井通宏		ジャパンタイムズ	201102	2,000	2,160
402	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784790716778	ポスト・モバイル社会：セカンドオフラインの時代へ		富田英典		世界思想社	201603	3,600	3,888
403	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784791766741	デザインするテクノロジー：情報加速社会が挑発する創造性		池田純一		青土社	201211	2,600	2,808
404	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784791767038	私たちが，すすんで監視し，監視される，この世界について：リキッド・サーベイランスをめぐる７章		ジグムント・バウマン：デーヴィド・ライアン		青土社	201306	2,200	2,376
405	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784791768806	オンライン・バカ：常時接続の世界がわたしたちにしていること		マイケル・ハリス：松浦俊輔		青土社	201509	2,200	2,376
406	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784794222374	超監視社会：私たちのデータはどこまで見られているのか？		ブルース・シュナイアー：池村千秋		草思社	201612	2,000	2,160
407	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784794424327	組込みソフトウェア技術者のコンピテンシー・モデル：業績向上への意思と行動		新井智		創成社	201403	2,600	2,808
408	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784794440617	情報社会の法律		北原宗律		創成社	201204	2,200	2,376
409	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784794440709	情報社会の法律	改訂版	北原宗律		創成社	201604	2,600	2,808
410	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784794968388	森を見る力：インターネット以後の社会を生きる		橋川幸夫		晶文社	201402	1,800	1,944
411	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784798037080	プレゼンを１００％成功させる！！ＩＴエンジニアの英語：この表現を使うだけであなたの「評価」が大きく変わる		板垣政樹：小坂貴志		秀和システム	201303	2,000	2,160
412	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784798122755	エンジニアのための図解思考再入門講座：情報の"本質"を理解するための実践テクニック		開米瑞浩		翔泳社	201010	2,200	2,376
413	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784798133973	プラットフォームビジネス最前線：２６の分野を図解とデータで徹底解剖		富士通総研：早稲田大学		翔泳社	201312	2,200	2,376
414	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784798141374	スマートデータ・イノベーション		中西崇文		翔泳社	201502	1,900	2,052
415	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784798141411	サービスサイエンスによる顧客共創型ＩＴビジネス		諏訪良武：山本政樹		翔泳社	201501	2,000	2,160
416	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784798147598	エンジニアを説明上手にする本：相手に応じた技術情報や知識の伝え方		開米瑞浩		翔泳社	201612	2,200	2,376
417	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784802510400	ウェルビーイングの設計論：人がよりよく生きるための情報技術		ラファエル・Ａ．カルヴォ：ドリアン・ピーターズ		ビー・エヌ・エヌ新社	201701	2,800	3,024
418	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784805761793	デジタル時代の人間行動		松野良一：松野良一		中央大学出版部	201103	2,100	2,268
419	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784806528555	なぜ今、「情報経済革新戦略」か：電子立国再興に向けて		経済産業省商務情報政策局		経済産業調査会	201006	2,400	2,592
420	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784806529705	複素数思考とは何か。：関係性の価値の時代へ		佐藤典司		経済産業調査会	201603	1,800	1,944
421	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784812212127	はじめて学ぶ情報社会		劉継生：木村富美子（システム科学）		昭和堂（京都）	201204	2,400	2,592
422	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784817195012	中国オフショア開発：ソフトウェア品質保証と事業ＯＥＭ		河合清博		日科技連出版社	201401	2,400	2,592
423	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784817195333	ソフトウェア技術者：プロの精神と職業倫理		大場充		日科技連出版社	201411	3,000	3,240
424	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784818824706	アメリカＩＴ産業のサービス化：ウィンテル支配とＩＢＭの事業変革		森原康仁		日本経済評論社	201706	4,500	4,860
425	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784822210977	キレるソフトバンク		榊原康【著】		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201312	1,800	1,944
426	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784822248475	ウィキリークスの衝撃：世界を揺るがす機密漏洩の正体		菅原出【著】		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201103	1,600	1,728
427	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784822250225	シリコンバレー最強の仕組み：人も企業も、なぜありえないスピードで成長するのか？		デボラ・ベリー・ビジオーニ【著】：伊佐山元【序文】		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201407	1,800	1,944
428	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784822250997	ザ・セカンド・マシン・エイジ		エリック・ブラインジョルフソン：アンドリュー・マカフィー		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201508	2,200	2,376
429	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784822251550	ＳＯＦＴ ＳＫＩＬＬＳ：ソフトウェア開発者の人生マニュアル		ジョン・Ｚ．ソンメズ：長尾高弘		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201605	2,800	3,024
430	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784822255091	プラットフォームの教科書：超速成長ネットワーク効果の基本と応用		根来龍之		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201705	1,700	1,836
431	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784822262655	ＳＥよ大志を抱こう：「ありがとう」と言われるＳＥになる		横塚裕志：日経コンピュータ編集部		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201203	1,600	1,728
432	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784822271848	デジタルビジネストレンド		日経コンピュータ編集部		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201512	2,000	2,160

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
433	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784822277345	ＩＴエンジニアのための通じる文章にする五つの力		清水久三子：日経ｓｙｓｔｅｍｓ編集部		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201412	2,100	2,268
434	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784822279956	データ×アイデアで勝負する人々		東富彦【著】：日経ビッグデータ編集部		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201410	1,800	1,944
435	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784822279943	ＩＴ調査データ年鑑		日経コンピュータ編集部：日経情報ストラテジー編集部		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201506	9,000	9,720
436	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784822285012	最強のビッグデータ戦略		ビル・フランクス【著】：長尾高弘【訳】		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201212	2,000	2,160
437	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784827109665	マイクロソフトを変革した知財戦略		マーシャル・フェルプス：デヴィット・クライン		発明推進協会	201007	2,600	2,808
438	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784830948008	ＩＣＴコンセンサス標準：オープンイノベーションによるビジネスモデル構築のダ		梶浦雅己		文眞堂	201308	2,500	2,700
439	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784830949210	現代中国のＩＣＴ多国籍企業		夏目啓二：陸雲江		文眞堂	201703	3,000	3,240
440	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784830949227	２１世紀ＩＣＴ企業の経営戦略：変貌する世界の大企業体制		夏目啓二	龍谷大学社会科学研究所叢書	文眞堂	201703	2,800	3,024
441	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784838231966	情報の人心誘導		林俊郎	ソシオ情報シリーズ	三弥井書店	201005	1,800	1,944
442	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784839949372	スマートフォン＆タブレットアプリ開発会社年鑑．２０１４		栗原亮：氷川りそな	Ｗｅｂ ｄｅｓｉｇｎｉｎｇ ｂｏｏｋ	マイナビ出版	201311	3,800	4,104
443	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784839953126	ビッグデータテクノロジー完全ガイド		マイケル・マヌーチェツリ：小林啓倫		マイナビ出版	201411	3,000	3,240
444	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784844330837	ＩＴ社会の経済学：バークレー流入門講座１０１		青木理音	インプレス選書	インプレスジャパン(発売：インプレス)	201109	1,600	1,728
445	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784844331438	グーグル化の見えざる代償：ウェブ・書籍・知識・記憶の変容		シヴァ・ヴァイディアナサン：久保儀明	インプレス選書	インプレスジャパン(発売：インプレス)	201202	2,000	2,160
446	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784844331896	システム担当者のための法律相談：受発注で泣かずにすむ本		松島淳也		インプレスジャパン(発売：インプレス)	201204	1,800	1,944
447	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784844332022	挑まなければ、得られない		及川卓也	インプレス選書	インプレスジャパン(発売：インプレス)	201205	1,600	1,728
448	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784845223121	ソフトバンクの組織・人事戦略：３００年企業目指す		滝田誠一郎		労務行政	201207	1,600	1,728
449	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784845916054	法のデザイン		水野祐		フィルムアート社	201702	2,200	2,376
450	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784861104442	ネット空間を変えるモバイル社会		東洋英和女学院大学メディア・コミュニケー	東洋英和女学院大学社会科学研究叢書	春風社	201503	2,500	2,700
451	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784861864476	情報社会法		北原宗律		ふくろう出版	201010	1,714	1,851
452	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784861871184	第４次情報革命と新しいネット社会：現代情報ネットワークの歴史的展開		蒲生猛		コモンズ	201411	2,100	2,268
453	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784862462527	コンテンツ産業論：コンテンツをマネジメントするための必須知識		高橋光輝		ボーンデジタル	201409	3,000	3,240
454	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784862510846	ケースで考える情報社会：これからの情報倫理とリテラシー	第２版	大島武：寺島雅隆		三和書籍	201009	1,700	1,836
455	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784864050821	東アジアのクリエイティブ産業：文化のポリティクス		谷川建司：須藤遥子		森話社	201507	4,500	4,860
456	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784864180092	情報と職業：高度情報社会におけるキャリア形成	改訂２版	豊田雄彦：加藤晃（リスクマネジメント）		日本教育訓練センター	201104	2,000	2,160
457	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784864990073	情報通信業基本調査報告書．平成２５年情報通信業基本調査		総務省情報通信国際戦略局：経済産業省		経済産業統計協会	201407	15,500	16,740
458	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784864990844	情報通信業基本調査報告書．平成２７年情報通信業基本調査		経済産業統計協会		経済産業統計協会	201608	15,500	16,740
459	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784873114996	Ｂｅｉｎｇ Ｇｅｅｋ：ギークであり続けるためのキャリア戦略		マイケル・ロップ：夏目大		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201106	2,300	2,484
460	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784873115719	プログラマのためのサバイバルマニュアル		ジョシュ・カーター：長尾高弘		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201208	2,200	2,376
461	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784873116303	Ｔｅａｍ Ｇｅｅｋ：Ｇｏｏｇｌｅのギークたちはいかにしてチームを作るの		ブライアン・W．フィッツパトリック：ベン・コリンズ・サスマン		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201307	2,200	2,376
462	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784874922736	情報倫理入門		大谷卓史：江口聡		アイ・ケイコーポレーション	201210	2,600	2,808
463	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784874923245	情報倫理入門	改訂新版	大谷卓史：江口聡		アイ・ケイコーポレーション	201409	2,600	2,808
464	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784877986155	ネット社会と忘れられる権利：個人データ削除の裁判例とその法理		奥田喜道		現代人文社(発売：大学図書)	201510	2,700	2,916
465	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784880862941	アップル、グーグル、マイクロソフト：仁義なきＩＴ興亡史		チャールズ・アーサー：林れい		成甲書房	201211	1,800	1,944
466	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784883354115	シェアしたがる心理：ＳＮＳの情報環境を読み解く７つの視点		天野彬		宣伝会議	201710	1,800	1,944
467	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784886472335	情報と職業		廣石良雄	ＳＣＣ ｂｏｏｋｓ	エスシーシー	201412	2,200	2,376
468	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784886472397	デジタル社会の法制度	第７版	電子開発学園	情報処理基礎講座	電子開発学園出版局(発売：エスシーシー)	201503	2,200	2,376
469	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784886479655	デジタル社会の法制度	第５版	エスシーシー	情報処理基礎講座	電子開発学園出版局(発売：エスシーシー)	201104	2,200	2,376
470	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784886479914	デジタル社会の法制度	第６版	エスシーシー	情報処理基礎講座	電子開発学園出版局(発売：エスシーシー)	201304	2,200	2,376
471	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784886479938	デジタル社会の法制度	第８版	電子開発学園	情報処理基礎講座	電子開発学園出版局(発売：エスシーシー)	201603	2,200	2,376
472	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784894715080	プログラマーの復権		エドワード・ヨードン：松原友夫		桐原書店	201012	1,900	2,052
473	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784894765665	２１世紀における語ることの倫理：〈管理人〉のいない場所で		助川幸逸郎：堀啓子		ひつじ書房	201110	2,000	2,160
474	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784896411850	デジタルメディア社会の展望		三野裕之		ムイスリ出版	201104	2,350	2,538
475	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784896412093	情報社会のデジタルメディアとリテラシー：情報倫理を学ぶ		小島正美：小島正美		ムイスリ出版	201302	1,800	1,944
476	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784896412314	情報社会のデジタルメディアとリテラシー：情報倫理を学ぶ	第２版	小島正美：木村清		ムイスリ出版	201502	1,800	1,944
477	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784902225679	日本情報産業分析：日・韓・中の新しい可能性の追究		大西勝明		唯学書房(発売：アジール・プロダクシ)	201110	3,200	3,456
478	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784903145563	興情管理学		彭鉄元：中出了真		明月堂書店	201703	3,500	3,780
479	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784903425955	クリエイティブ産業論：ファッション・コンテンツ産業の日本型モデル		中村仁		慈学社出版(発売：大学図書)	201512	4,000	4,320
480	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784903532684	中国とインドの情報産業		ニール・グレゴリー：スタンレー・ノーレン		一灯舎(発売：オーム社)	201012	2,000	2,160
481	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784904855393	「ものづくり」を変えるＩＴの「ものがたり」：日本の産業、教育、医療、行政の未来を考える		廉宗淳	クオン人文・社会シリーズ	クオン	201608	2,000	2,160
482	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784907379148	韓国コンテンツ産業動向．２０１４～２０１５年		ＤＡＣＯＩｎｄｕｓｔｒｉａｌＲｅｓｅ		ビスビー・エス	201701	40,000	43,200
483	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784908765018	情報化時代の基礎知識	第３版	福崎稔：守屋政平		ボラーノ出版	201604	2,300	2,484
484	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784939153860	韓国コンテンツ産業政策とグローバル展開：映画・アニメ・音楽・ゲーム・キャラクター・漫画・出．２０１０年		大韓民国文化体育観光部：大韓民国コンテンツ振興院		ビスビー・エス	201206	19,048	20,571
485	ICT	情報科学	情報科学	情報と社会/情報政策	9784990666651	情報化時代の基礎知識	第３版	福崎稔：守屋政平		ボラーノ出版(発売：あずさ書店)	201404	2,300	2,484
486	ICT	情報科学	情報科学	情報管理/ドキュメント	9784320122963	情報推薦システム入門：理論と実践		ディートマー・ヤンナッシュ：マルクス・ツァンカー		共立出版	201206	5,300	5,724

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
487	ICT	情報科学	情報科学	情報管理/ドキュメント	9784320123229	情報検索の基礎		クリストファー・D．マニング：プラバーカー・ラガバン		共立出版	201206	8,000	8,640
488	ICT	情報科学	情報科学	情報管理/ドキュメント	9784339024944	情報管理学：学士力のための情報活用能力基盤		深井裕二		コロナ社	201503	2,300	2,484
489	ICT	情報科学	情報科学	情報管理/ドキュメント	9784339024968	情報アクセス評価方法論：検索エンジンの進歩のために		酒井哲也		コロナ社	201506	4,000	4,320
490	ICT	情報科学	情報科学	情報管理/ドキュメント	9784585200185	アーカイブのつくりかた：構築と活用入門		知的資源イニシアティブ		勉誠出版	201211	2,500	2,700
491	ICT	情報科学	情報科学	情報管理/ドキュメント	9784585200345	デジタル・アーカイブとは何か：理論と実践		岡本真：柳与志夫		勉誠出版	201506	2,500	2,700
492	ICT	情報科学	情報科学	情報管理/ドキュメント	9784621086629	インタラクティブ情報検索システムの評価：ユーザの視点を取り入れる手法		ダイアン・ケリー：上保秀夫		丸善出版	201304	4,800	5,184
493	ICT	情報科学	情報科学	情報管理/ドキュメント	9784771025349	デジタルアーカイブの構築と技法		谷口知司		晃洋書房	201404	2,400	2,592
494	ICT	情報科学	情報科学	情報管理/ドキュメント	9784771027510	デジタルアーカイブの資料基盤と開発技法：記録遺産学への視点		水嶋英治：谷口知司		晃洋書房	201604	2,500	2,700
495	ICT	情報科学	情報科学	情報管理/ドキュメント	9784774156019	ＥＶＥＲＮＯＴＥを便利に使う４８の技：ストレスフリーで効率アップ！		佐々木正悟：淺田義和		技術評論社	201304	1,580	1,706
496	ICT	情報科学	情報科学	情報管理/ドキュメント	9784774189307	Ａｐａｃｈｅ　Ｓｏｌｒ入門：オープンソース全文検索エンジン	改訂第３版	打田智子：大須賀稔	Ｓｏｆｔｗａｒｅ Ｄｅｓｉｇｎ ｐｌｕｓシリーズ	技術評論社	201705	3,800	4,104
497	ICT	情報科学	情報科学	情報管理/ドキュメント	9784785724740	Ｇｏｏｇｌｅ Ｂｏｏｋｓ裁判資料の分析とその評価：ナショナルアーカイブはどう創られるか		松田政行：増田雅史		商事法務	201611	3,700	3,996
498	ICT	情報科学	情報科学	情報管理/ドキュメント	9784794424112	デジタルアーカイブ：記憶と記録を紡ぐ		高島秀之		創成社	201305	1,800	1,944
499	ICT	情報科学	情報科学	情報管理/ドキュメント	9784816926761	スキルアップ！　情報検索：基本と実践		中島玲子：安形輝		日外アソシエーツ(発売：紀伊國屋書店日外アソ)	201709	2,300	2,484
500	ICT	情報科学	情報科学	情報管理/ドキュメント	9784820413011	インターネットで文献探索．２０１３年版		伊藤民雄	ＪＬＡ図書館実践シリーズ	日本図書館協会	201305	1,800	1,944
501	ICT	情報科学	情報科学	情報管理/ドキュメント	9784880652450	デジタルアーカイブ：基点・手法・課題		笠羽晴夫	文化とまちづくり叢書	水曜社	201010	2,500	2,700
502	ICT	情報科学	情報科学	情報管理/ドキュメント	9784883353019	トップクリエイター２６人のアイデアノート		ブレーン編集部		宣伝会議	201406	1,850	1,998
503	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784048930543	入門コンピュータ科学		Ｊ．グレン・ブルックシャー：神林靖		ドワンゴ(発売：ＫＡＤＯＫＡＷＡ)	201703	3,800	4,104
504	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784130621427	コンピューティング科学	新版	川合慧		東京大学出版会	201709	2,700	2,916
505	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784254122220	演習でまなぶ情報処理の基礎		鶴田陽和：稲岡秀検		朝倉書店	201704	3,000	3,240
506	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784274219863	情報リテラシー教科書：Ｗｉｎｄｏｗｓ １０／Ｏｆｆｉｃｅ ２０１６対応版		矢野文彦		オーム社	201701	1,900	2,052
507	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784274219870	情報リテラシー教科書：Ｗｉｎｄｏｗｓ １０／Ｏｆｆｉｃｅ ２０１６＋Ａｃ		矢野文彦		オーム社	201701	2,200	2,376
508	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784274220234	Ｒによるやさしいテキストマイニング		小林雄一郎		オーム社	201702	2,600	2,808
509	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784274221002	Ｒによるやさしいテキストマイニング［機械学習編］		小林雄一郎		オーム社	201709	2,800	3,024
510	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784274221439	図解コンピュータ概論［ソフトウェア・通信ネットワーク］	改訂４版	橋本洋志：菊池浩明		オーム社	201711	2,500	2,700
511	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784295000198	やさしく学べるＭｙＳＱＬ運用・管理入門：５．７対応		梶山隆輔：山崎由章		インプレス	201612	2,600	2,808
512	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784295000297	ＭｙＳＱＬ即効クエリチューニング：とにかくＭｙＳＱＬを速くしたい人へ！プロのＭｙＳＱ		ｙｏｋｕ０８２５	ＴＨＩＮＫ ＩＴ ＢＯＯＫＳ	インプレス	201612	1,800	1,944
513	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784295000457	できるＡｃｃｅｓｓパーフェクトブック困った！＆便利ワザ大全：２０１６／２０１３対応		きたみあきこ：国本温子		インプレス	201612	2,300	2,484
514	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784295001102	次世代の計算資源管理ソフトウェアＭｅｓｏｓ実践ガイド：データセンター資源 管理と自動配備		古賀政純		インプレス	201706	3,000	3,240
515	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784320009073	行動情報処理：自動運転システムとの共生を目指して		武田一哉：土井美和子	共立スマートセレクション	共立出版	201601	1,600	1,728
516	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784320123465	データベース：ビッグデータ時代の基礎		三石大：吉廣卓哉	未来へつなぐデジタルシリーズ	共立出版	201409	2,800	3,024
517	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784320123540	データベース応用：データモデリングから実装まで		片岡信弘：宇田川佳久	未来へつなぐデジタルシリーズ	共立出版	201608	3,200	3,456
518	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784320123991	情報の基礎・基本と情報活用の実践力	第３版	内木哲也：野村泰朗		共立出版	201605	2,800	3,024
519	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784320124042	コンピュータ概論：情報システム入門	第７版	魚田勝臣：渥美幸雄		共立出版	201702	2,800	3,024
520	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784320124172	コンピュータ科学の基礎		木村春彦：田嶋拓也		共立出版	201703	2,400	2,592
521	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784320124189	デジタル情報の活用と技術		毒島雄二：小林貴之		共立出版	201703	2,200	2,376
522	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784320124240	情報処理入門：Ｗｉｎｄｏｗｓ１０ ＆ Ｏｆｆｉｃｅ２０１６		長尾文孝		共立出版	201711	2,200	2,376
523	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784320124257	大学生の知の情報スキル：Ｗｉｎｄｏｗｓ１０・Ｏｆｆｉｃｅ２０１６対応		森園子：池田修		共立出版	201711	2,900	3,132
524	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784339024821	ソーシャル・ビッグデータサイエンス入門：基本概念からマイニング技術，応用まで		石川博		コロナ社	201411	4,200	4,536
525	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784339028553	教職・情報機器の操作：教師のためのＩＣＴリテラシー入門		高橋参吉：下倉雅行		コロナ社	201602	2,000	2,160
526	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784339028560	情報処理入門：学士力のためのＩＴ基礎スキル		深井裕二		コロナ社	201602	2,600	2,808
527	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784340530274	大学生のＩＣＴ活用標準テキスト：大学生の情報リテラシー２０１６年版	第１０版	富山大学		富山大学出版会(発売：桜桐書院)	201604	2,000	2,160
528	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784433643379	Ｑ＆Ａで理解する！パーソナルデータの匿名加工と利活用		大角良太：高橋克巳		清文社	201706	2,200	2,376
529	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784485300886	英語で学ぶコンピュータ概論		コンピュータ英語研究会		電気書院	201604	2,100	2,268
530	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784495366957	インターネット時代の情報システム入門	第５版	杉本英二		同文舘出版	201603	2,800	3,024
531	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784496052750	情報リテラシー基礎：入門からビジネスまで	新訂６版	海老澤信一：齋藤眞弓		同友館	201704	2,850	3,078
532	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784501554309	ＬｉｂｒｅＯｆｆｉｃｅで学ぶ情報リテラシー		畔津忠博：吉永敦征		東京電機大学出版局	201605	2,900	3,132
533	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784501554408	学生のための情報リテラシー．Ｏｆｆｉｃｅ ２０１６／Ｗｉｎ		若山芳三郎		東京電機大学出版局	201610	2,200	2,376
534	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784501555603	デジタル・フォレンジックの基礎と実践		佐々木良一：上原哲太郎		東京電機大学出版局	201703	3,200	3,456
535	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784542184527	ＪＩＳハンドブック．情報基本 ２０１６		日本規格協会		日本規格協会	201606	14,700	15,876
536	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784542184558	ＪＩＳハンドブック．マルチメディア ２０１６		日本規格協会		日本規格協会	201606	16,400	17,712
537	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784595316364	データの分析と知識発見		秋光淳生	放送大学教材	放送大学教育振興会(発売：ＮＨＫ出版)	201603	2,900	3,132
538	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784595317385	遠隔学習のためのパソコン活用	改訂版	秋光淳生：三輪眞木子	放送大学教材	放送大学教育振興会(発売：ＮＨＫ出版)	201703	3,000	3,240
539	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784595317422	データベース		辻靖彦：芝崎順司	放送大学教材	放送大学教育振興会(発売：ＮＨＫ出版)	201709	2,900	3,132
540	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784627848429	Ｒによるテキストマイニング入門	第２版	石田基広		森北出版	201706	2,600	2,808

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
541	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784627853515	情報可視化：データ分析・活用のための入門と考え方		高間康史		森北出版	201703	2,400	2,592
542	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784627880412	情報アクセス技術入門：情報検索・多言語情報処理・テキストマイニング・情報		前田亮：西原陽子		森北出版	201708	2,400	2,592
543	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784762025877	事例で学ぶコンピュータリテラシー：Ｏｆｆｉｃｅ ２０１０・２０１３対応	改訂版	菊地紀子		学文社	201604	2,000	2,160
544	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784762026997	教育の場で「説明する」ためのパソコン術		宇多賢治郎		学文社	201703	1,800	1,944
545	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784764905207	Ｍｉｃｒｏｓｏｆｔ Ｏｆｆｉｃｅ ２０１６を使った情報リテラシーの基礎		切田節子：新聖子		近代科学社	201610	2,500	2,700
546	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784764905245	データ市場：データを活かすイノベーションゲーム		大澤幸生：早矢仕晃章		近代科学社	201702	3,500	3,780
547	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784764905344	Ｃ言語で学ぶコンピュータ科学とプログラミング		小高知宏		近代科学社	201703	2,400	2,592
548	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784764905498	データ仮説構築：データマイニングを通して		岩下基		近代科学社	201709	2,500	2,700
549	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784774179131	今すぐ使えるかんたんＡｃｃｅｓｓ ２０１６：Ｗｉｎｄｏｗｓ１０／８．１／７対応版		井上香緒里		技術評論社	201603	1,880	2,030
550	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784774180663	すらすらと手が動くようになるＳＱＬ書き方ドリル	改訂第３版	羽生章洋：和田省二	WEB+DB press plusシリーズ	技術評論社	201605	2,460	2,656
551	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784774181240	詳解Ａｐａｃｈｅ Ｓｐａｒｋ：大規模データ分析を基礎から、徹底的に		下田倫大：師岡一成		技術評論社	201606	3,600	3,888
552	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784774182315	Ｅｘｃｅｌ＆Ａｃｃｅｓｓ連携実践ガイド：仕事の現場で即使える		今村ゆうこ		技術評論社	201608	2,680	2,894
553	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784774188072	情報セキュリティの基礎知識		中村行宏：四柳勝利		技術評論社	201702	1,980	2,138
554	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784774190594	今すぐ使えるかんたんＦｉｌｅＭａｋｅｒ Ｐｒｏ：ＦｉｌｅＭａｋｅｒ Ｐｒｏ １６／１５／１４対応版		若林孝：深澤真吾		技術評論社	201708	2,340	2,527
555	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784774192253	ビッグデータを支える技術：刻々とデータが脈打つ自動化の世界		西田圭介	WEB+DB PRESS plusシリーズ	技術評論社	201710	2,960	3,196
556	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784774193229	マジだけどおもしろいセキュリティ講義：事故が起きる理由と現実的な対策を考える		すずきひろのぶ	Ｓｏｆｔｗａｒｅ Ｄｅｓｉｇｎ ｐｌｕｓシリーズ	技術評論社	201711	2,600	2,808
557	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784777520237	「ビッグデータ」&「人工知能」ガイドブック：「巨大データ」と「ＡＩ」の「用途」「活用例」「注意		Ｉ／Ｏ編集部	Ｉ／Ｏ ＢＯＯＫＳ	工学社	201708	1,900	2,052
558	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784780604870	オープンソース・ソフトウェアで学ぶ情報リテラシ：ＬｉｂｒｅＯｆｆｉｃｅ（Ｗｒｉｔｅｒ，Ｃａｌｃ，Ｉ	改訂第３版	石田雅：木本雅也		学術図書出版社	201604	2,600	2,808
559	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784780605488	オープンソース・ソフトウェアで学ぶ情報リテラシ：情報とモラル Ｌｉｎｕｘ ＯＳ入門	改訂第４版	石田雅：木本雅也		学術図書出版社	201704	2,600	2,808
560	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784780605648	情報基礎：コンピュータの基本操作と情報活用術	新装（改訂版）	岩手大学情報教育教科書編集委員会		学術図書出版社	201703	2,400	2,592
561	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784781914091	新・コンピュータ解体新書	第２版	清水忠昭：菅田一博	Ｉｎｆｏｒｍａｔｉｏｎ ＆ ｃｏｍｐｕｔｉｎｇ	サイエンス社	201708	1,650	1,782
562	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784785725389	法律家・法務担当者のためのＩＴ技術用語辞典		影島広泰		商事法務	201708	2,500	2,700
563	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784794221872	カルチャロミクス：文化をビッグデータで計測する		エレツ・エイデン：ジャン・バティースト・ミシェル		草思社	201602	2,200	2,376
564	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784797387469	動かして学ぶセキュリティ入門講座：最新の攻撃手口と予防・対策ツールの活用方法がわかる		岩井博樹		ＳＢクリエイティブ	201705	2,200	2,376
565	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784797388800	この一冊で全部わかるセキュリティの基本		宮本久仁男：大久保隆夫	わかりやすさにこだわったイラスト図解式	ＳＢクリエイティブ	201709	1,680	1,814
566	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784797393118	基礎からのＭｙＳＱＬ：ＳＥ必修！	第３版	西沢夢路	プログラマの種シリーズ	ＳＢクリエイティブ	201709	2,980	3,218
567	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784798044736	Ｓｐｌｕｎｋではじめるビッグデータ分析：基本操作からＴｗｉｔｔｅｒのログ分析まで		関部然		秀和システム	201510	3,000	3,240
568	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784798045733	ＲＤＢ技術者のためのＮｏＳＱＬガイド		渡部徹太郎：河村康雨		秀和システム	201602	3,400	3,672
569	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784798051796	はじめてのＦｉｌｅＭａｋｅｒ Ｐｒｏ１６：Ｗｉｎｄｏｗｓ・Ｍａｃ・ｉＰａｄ・ｉＰｈｏｎｅ＆Ｆ		吉岡豊		秀和システム	201707	2,200	2,376
570	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784798128061	パターンでわかるＨａｄｏｏｐ ＭａｐＲｅｄｕｃｅ：ビッグデータのデータ処理入門		三木大知	ＮＥＸＴ－ＯＮＥ	翔泳社	201208	3,400	3,672
571	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784798143699	ＳＡＰ ＳＱＬ Ａｎｙｗｈｅｒｅ １７：自己管理型ＲＤＢＭＳ入門ガイド		ＳＱＬＡｎｙｗｈｅｒｅ解説書出版プロジ		翔泳社	201601	3,800	4,104
572	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784798144450	ＳＱＬ：ゼロからはじめるデータベース操作	第２版	ミック	プログラミング学習シリーズ	翔泳社	201606	1,880	2,030
573	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784798144573	プログラマのためのＳＱＬグラフ原論：リレーショナルデータベースで木と階層構造を扱うため		ジョー・セルコ：ミック		翔泳社	201608	3,600	3,888
574	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784798147406	詳解ＭｙＳＱＬ５．７：止まらぬ進化に乗り遅れないためのテクニカルガイド		奥野幹也	ＮＥＸＴ－ＯＮＥ	翔泳社	201608	3,600	3,888
575	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784798151250	ＬＰＩＣレベル２ Ｖｅｒｓｉｏｎ４．５対応		中島能和：濱野賢一朗	Ｌｉｎｕｘ教科書	翔泳社	201705	4,000	4,320
576	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784798153995	Ｅｆｆｅｃｔｉｖｅ ＳＱＬ		ジョン・Ｌ・ビエスカス：ダグラス・Ｊ・スティール		翔泳社	201712	3,500	3,780
577	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784800711373	ＦｉｌｅＭａｋｅｒ Ｐｒｏ １５スーパーリファレンス：ｆｏｒ Ｗｉｎｄｏｗｓ ＆ Ｍａｃ ＯＳ		野沢直樹：胡正則		ソーテック社	201607	2,680	2,894
578	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784800711731	ＦｉｌｅＭａｋｅｒ Ｐｒｏ １６ スーパーリファレンス：Ｗｉｎｄｏｗｓ ＆ Ｍａｃ対応		野澤直樹：胡正則		ソーテック社	201707	2,680	2,894
579	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784817195807	統計学でわかるビッグデータ		木下栄蔵：水野隆文		日科技連出版社	201604	2,400	2,592
580	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784822237424	ＩＴ現場のセキュリティ対策完全ガイド：事件事故の実例から導く		長谷川長一		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201704	2,500	2,700
581	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784822292256	情報リテラシー入門．２０１７年版		平田浩一		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201703	2,300	2,484
582	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784830112942	コンピューター入門演習	第４版	二橋尚子：高柳良太		文化書房博文社	201704	1,600	1,728
583	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784839959685	速効！図解Ａｃｃｅｓｓ ２０１６：Ｗｉｎｄｏｗｓ １０／８．１／７対応、総合版		国本温子		マイナビ出版	201608	1,980	2,138
584	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784839961268	ビッグデータ分析・活用のためのＳＱＬレシピ		加嵜長門：田宮直人		マイナビ出版	201703	3,800	4,104
585	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784839964719	ＭａｃＢｏｏｋマスターブック：ｍａｃＯＳ Ｈｉｇｈ Ｓｉｅｒｒａ対応版		松山茂：矢橋司	Ｍａｃ Ｆａｎ Ｂｏｏｋｓ	マイナビ出版	201711	1,680	1,814
586	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784844380108	ＭｙＳＱＬ Ｃｌｕｓｔｅｒによる高可用システム運用ガイド：インストールからバックアップ／リストア、サイジング		山崎由章	ＴＨＩＮＫ ＩＴ ＢＯＯＫＳ	インプレス	201604	2,200	2,376
587	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784844381501	できるＡｃｃｅｓｓクエリデータ抽出・分析・加工に役立つ本：２０１６／２０１３／２０１０／２００７対応		国本温子：きたみあきこ		インプレス	201609	2,200	2,376
588	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784863541979	セキュリティエンジニアの教科書		日本ビジネスシステムズ株式会社		シーアンドアール研究所	201606	2,000	2,160
589	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784864180634	コンピュータ基礎と応用：学生生活と就活に必要なＩＣＴ能力	改訂２版	斎藤豊		日本教育訓練センター	201604	1,900	2,052
590	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784864690843	ビッグデータ・マネジメント：データサイエンティストのためのデータ利活用技術と事				エヌ・ティー・エス	201403	27,000	29,160
591	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784865751000	わかりやすい！ＩＴ基礎入門	第２版	アイテックＩＴ人材教育研究部		アイテック	201708	1,800	1,944
592	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784865940152	グラフ型データベース入門：Ｎｅｏ４ｊを使う		Ｎｅｏ４ｊユーザーグループ：長瀬嘉秀		リックテレコム	201602	3,000	3,240
593	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784872595864	計算科学のためのＨＰＣ技術．１		下司雅章：片桐孝洋		大阪大学出版会	201703	3,600	3,888
594	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784872595871	計算科学のためのＨＰＣ技術．２		下司雅章		大阪大学出版会	201703	3,900	4,212

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
595	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784873116716	アジャイルデータサイエンス：スケーラブルに構築するビッグデータアプリケーション		ラッセル・ジャーニー：玉川竜司		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201404	2,600	2,808
596	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784873117508	Ｓｐａｒｋによる実践データ解析：大規模データのための機械学習事例集		サンディ・ライザ：ユーリ・ラサーソン		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201601	3,400	3,672
597	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784873117751	スケーラブルリアルタイムデータ分析入門：ラムダアーキテクチャによるビッグデータ処理		ネイサン・マーズ：ジェイムス・ウォーレン		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201608	3,800	4,104
598	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784873118086	ＰｙｔｈｏｎとＪａｖａＳｃｒｉｐｔではじめるデータビジュアライゼーション		カイラン・デール：嶋田健志		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201708	3,800	4,104
599	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784890195282	コンピューターと情報システム		福田真規夫：多田憲孝		日本理工出版会	201704	2,500	2,700
600	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784897978871	ＮＯＳＱＬの基礎知識：ビッグデータを活かすデータベース技術		本橋信也：河野達也		リックテレコム	201205	2,400	2,592
601	ICT	情報科学	情報科学	システム分析/システム設	9784048930581	継続的デリバリー：信頼できるソフトウェアリリースのためのビルド・テス		ジェズ・ハンブル：デイビッド・ファーレイ		ドワンゴ(発売：ＫＡＤＯＫＡＷＡ)	201707	3,800	4,104
602	ICT	情報科学	情報科学	システム分析/システム設	9784274217883	テスト駆動開発		ケント・ベック：和田卓人		オーム社	201710	2,800	3,024
603	ICT	情報科学	情報科学	システム分析/システム設	9784295002338	エンジニアのための理論でわかるデザイン入門		伊藤博臣	Ｔｈｉｎｋ ＩＴ Ｂｏｏｋｓ	インプレス	201709	2,000	2,160
604	ICT	情報科学	情報科学	システム分析/システム設	9784295002550	ソフトウェアグローバリゼーション入門：国際化ＩＴ１８Ｎと地域化Ｌ１０Ｎによる多言語対応		西野竜太郎：達人出版会	ｉｍｐｒｅｓｓ ｔｏｐ ｇｅａｒ	インプレス	201710	2,400	2,592
605	ICT	情報科学	情報科学	システム分析/システム設	9784339028188	マルチエージェントによる自律ソフトウェア設計・開発		大須賀昭彦：田原康之	マルチエージェントシリーズ	コロナ社	201707	3,000	3,240
606	ICT	情報科学	情報科学	システム分析/システム設	9784339028782	システム設計論	改訂版	布広永示：今城哲二		コロナ社	201709	2,600	2,808
607	ICT	情報科学	情報科学	システム分析/システム設	9784502230813	システム開発訴訟		森・濱田松本法律事務所：飯田耕一郎	企業訴訟実務問題シリーズ	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201707	2,600	2,808
608	ICT	情報科学	情報科学	システム分析/システム設	9784526077425	ＵＸ虎の巻：ユーザー満足度を向上する設計開発テクニック		坂東大輔		日刊工業新聞社	201709	2,000	2,160
609	ICT	情報科学	情報科学	システム分析/システム設	9784764905504	不便益：手間をかけるシステムのデザイン		川上浩司：平岡敏洋		近代科学社	201710	3,200	3,456
610	ICT	情報科学	情報科学	システム分析/システム設	9784764905528	アジャイル開発への道案内		片岡雅憲：小原由紀夫		近代科学社	201709	2,500	2,700
611	ICT	情報科学	情報科学	システム分析/システム設	9784774183619	オブジェクト指向設計実践ガイド：Ｒｕｂｙでわかる進化しつづける柔軟なアプリケーショ		サンディ・メッツ：高山泰基		技術評論社	201610	3,280	3,542
612	ICT	情報科学	情報科学	システム分析/システム設	9784774190051	ゼロからわかるＵＭＬ超入門：はじめてのモデリング	第２版	河合昭男	かんたんＩＴ基礎講座	技術評論社	201707	2,180	2,354
613	ICT	情報科学	情報科学	システム分析/システム設	9784774190396	かんたんＵＭＬ入門	改訂２版	竹政昭利：林田幸司	プログラミングの教科書	技術評論社	201707	2,960	3,196
614	ICT	情報科学	情報科学	システム分析/システム設	9784774190877	現場で役立つシステム設計の原則：変更を楽で安全にするオブジェクト指向の実践技法		増田亨		技術評論社	201707	2,940	3,175
615	ICT	情報科学	情報科学	システム分析/システム設	9784774192185	データ分析基盤構築入門：Ｆｌｕｅｎｔｄ、Ｅｌａｓｔｉｃｓｅａｒｃｈ、Ｋｉｂ		鈴木健太：二田健太郎		技術評論社	201710	2,980	3,218
616	ICT	情報科学	情報科学	システム分析/システム設	9784774193038	アプリケーションアーキテクチャ設計パターン		斉藤賢哉：三菱ＵＦＪインフォメーションテクノロジー		技術評論社	201710	3,500	3,780
617	ICT	情報科学	情報科学	システム分析/システム設	9784785724931	裁判例から考えるシステム開発紛争の法律実務		難波修一：中谷浩一		商事法務	201703	4,600	4,968
618	ICT	情報科学	情報科学	システム分析/システム設	9784797393514	システム設計の謎を解く	改訂版	高安厚思		ＳＢクリエイティブ	201712	2,400	2,592
619	ICT	情報科学	情報科学	システム分析/システム設	9784798147604	ＤｅｖＯｐｓ導入指南：Ｉｎｆｒａｓｔｒｕｃｔｕｒｅ ａｓ Ｃｏｄｅで子ー		河村聖悟：北野太郎	ＤＥＶ Ｅｎｇｉｎｅｅｒ’ｓ Ｂｏｏｋ ｓ	翔泳社	201610	3,000	3,240
620	ICT	情報科学	情報科学	システム分析/システム設	9784798149493	現場で困らない！ＩＴエンジニアのための英語リーディング		西野竜太郎		翔泳社	201708	1,800	1,944
621	ICT	情報科学	情報科学	システム分析/システム設	9784798151793	Ｎｕｔａｎｉｘ Ｈｙｐｅｒ Ｃｏｎｖｅｒｇｅｄ Ｉｎｆｒａｓｔｒｕｃｔｕｒｅ		ソフトバンクコマース&サービス株式会社		翔泳社	201704	3,480	3,758
622	ICT	情報科学	情報科学	システム分析/システム設	9784802510417	ストーリーマッピングをはじめよう		ドナ・リチョウ：高崎拓哉		ビー・エヌ・エヌ新社	201612	2,300	2,484
623	ICT	情報科学	情報科学	システム分析/システム設	9784802510585	ユーザーインタビューをはじめよう：ＵＸリサーチのための「聞くこと」入門		スティーブ・ポーチガル：安藤貴子		ビー・エヌ・エヌ新社	201706	2,300	2,484
624	ICT	情報科学	情報科学	システム分析/システム設	9784822237882	ＩＴアーキテクトはＡ３用紙に図解する		春田健治		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201610	2,000	2,160
625	ICT	情報科学	情報科学	システム分析/システム設	9784822258849	要件定義の実践テクニック：システム開発の手戻りをなくす演習で身につく		水田哲郎		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201711	2,400	2,592
626	ICT	情報科学	情報科学	システム分析/システム設	9784822259259	１からはじめるＩＴアーキテクチャー構築入門：システム設計の基礎から実践まで		二上哲也：田端真由美		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201706	2,500	2,700
627	ICT	情報科学	情報科学	システム分析/システム設	9784822259983	図解でなっとく！トラブル知らずのシステム設計		野村総合研究所：エアーダイブ		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201710	2,400	2,592
628	ICT	情報科学	情報科学	システム分析/システム設	9784822285487	Ｔｈｅ ＤｅｖＯｐｓハンドブック：理論・原則・実践のすべて		ジーン・キム：ジェズ・ハンブル		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201706	3,200	3,456
629	ICT	情報科学	情報科学	システム分析/システム設	9784839960230	基礎から学ぶチーム開発の成功法則：チームビルディング、コミュニケーション、ツール活用		渡辺能司：荻野博章		マイナビ出版	201612	2,880	3,110
630	ICT	情報科学	情報科学	システム分析/システム設	9784860434557	演習で身につくソフトウェア設計入門：構造化分析設計法とＵＭＬ	第２版	井上克郎		エヌ・ティー・エス	201604	2,000	2,160
631	ICT	情報科学	情報科学	システム分析/システム設	9784865940053	ユーザー要求を正しく実装へつなぐシステム設計のセオリー		赤俊哉		リックテレコム	201603	3,300	3,564
632	ICT	情報科学	情報科学	システム分析/システム設	9784865941197	マイクロサービス入門：アーキテクチャと実装		長瀬嘉秀：田中明		リックテレコム	201801	2,500	2,700
633	ICT	情報科学	情報科学	システム分析/システム設	9784873118154	プロダクションレディマイクロサービス：運用に強い本番対応システムの実装と標準化		スーザン・Ｊ・ファウラー：佐藤直生		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201709	2,600	2,808
634	ICT	情報科学	情報科学	システム分析/システム設	9784873118161	初めての自動テスト：Ｗｅｂシステムのための自動テスト基礎		ジョナサン・ラスマセン：玉川竜子		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201709	2,800	3,024
635	ICT	情報科学	情報科学	システム分析/システム設	9784886472489	図解でわかるアジャイル・プロジェクトマネジメント		鈴木安而	ＳＣＣ ｂｏｏｋｓ	エスシーシー	201606	2,500	2,700
636	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784048705745	ビッグデータを征するクラウドの技術Ｈａｄｏｏｐ&ＮｏＳＱＬ		ＡＳＣＩＩ．ｔｅｃｈｎｏｌｏｇｉｅｓ編集：井上誠一郎		アスキー・メディアワークス(発売：ＫＡＤＯＫＡＷＡ)	201104	2,300	2,484
637	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784048930505	Ｕｎｉｘ考古学：Ｔｒｕｔｈ ｏｆ ｔｈｅ Ｌｅｇｅｎｄ		藤田昭人		ドワンゴ(発売：ＫＡＤＯＫＡＷＡ)	201604	2,600	2,808
638	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784054064652	わかるエクセル・ワード・パワーポイントこれ１冊		コスモメディ：学研プラス		学研プラス	201608	1,800	1,944
639	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784182040245	教師のためのＥｘｃｅｌ ＶＢＡ活用法：Ｅｘｃｅｌを２００%活用する！初級者のステップア	改訂版	井上豊		明治図書出版	201601	2,600	2,808
640	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784274219375	アジャイルコーチング		レイチェル・デイヴィス：リズ・セドレー		オーム社	201701	2,800	3,024
641	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784274219887	ソフトウェア工学		平山雅之：鵜林尚靖	ＩＴ ｔｅｘｔ	オーム社	201703	2,600	2,808
642	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784274220333	自然言語処理と深層学習：Ｃ言語によるシミュレーション		小高知宏		オーム社	201703	2,500	2,700
643	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784295000402	これから学ぶｍａｃＯＳターミナル		大津真		インプレス	201612	2,600	2,808
644	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784295000440	できるＰｏｗｅｒＰｏｉｎｔパーフェクトブック困った！＆便利ワザ大全：２０１６／２０１３／２０１０／２００７対応		井上香緒里：インプレス（２０１４）		インプレス	201701	1,800	1,944
645	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784295000709	Ｗｉｎｄｏｗｓ Ｓｅｒｖｅｒ ２０１６ Ｈｙｐｅｒ－Ｖ		樋口勝一：インプレス（２０１４）	できるＰＲＯ	インプレス	201702	3,200	3,456
646	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784295000952	Ｗｉｎｄｏｗｓコンテナー技術入門		真壁徹	ｉｍｐｒｅｓｓ ｔｏｐ ｇｅａｒ	インプレス	201703	2,500	2,700
647	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784295001126	Ａｐａｃｈｅ Ｓｐａｒｋビッグデータ性能検証		伊藤雅博：木下翔伍	ＴＨＩＮＫ ＩＴ ＢＯＯＫＳ	インプレス	201705	2,000	2,160
648	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784295001195	ＡＳＴＥＲＩＡ ＷＡＲＰ逆引きリファレンス		大月宇美：インフォデリア		インプレス	201705	2,800	3,024

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
649	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784295002253	Ｅｘｃｅｌ関数：２０１６／２０１３／２０１０対応／全関数４７６個を		羽山博：吉川明弘	できる大事典	インプレス	201709	3,500	3,780
650	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784295002925	できるＰｈｏｔｏｓｈｏｐ Ｅｌｅｍｅｎｔｓ：Ｗｉｎｄｏｗｓ ＆ ｍａｃＯＳ対応．２０１８		樋口泰行＆できるシリーズ編集部		インプレス	201712	1,680	1,814
651	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784320009202	ビッグデータ解析の現在と未来：Ｈａｄｏｏｐ，ＮｏＳＱＬ，深層学習からオープンデー		原隆浩：喜連川優	共立スマートセレクション	共立出版	201710	1,800	1,944
652	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784320123953	Ｗｉｎｄｏｗｓ １０を用いたコンピューターリテラシーと情報活用：ＭＳ－Ｏｆｆｉｃｅ ２０１３対応		斉藤幸喜：小林和生		共立出版	201603	2,300	2,484
653	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784320123960	Ｏｆｆｉｃｅ ２０１３による情報活用		松山恵美子：黒澤敦子		共立出版	201603	2,800	3,024
654	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784339026818	ソフトウェア設計論：役に立つＵＭＬモデリングへ向けて		松浦佐江子		コロナ社	201610	2,900	3,132
655	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784407340600	Ｏｆｆｉｃｅ２０１６で学ぶコンピュータリテラシー：Ｗｉｎｄｏｗｓ １０対応		小野目如快		実教出版	201701	2,100	2,268
656	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784434217463	組込みソフトエンジニアを極める：リアルタイムＯＳから出発して	改装版	酒井由夫		エスアイビー・アクセス(発売：星雲社)	201605	1,800	1,944
657	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784496052729	実践情報リテラシー：基礎から応用まで		淺間正通：前野博（デジタルメディア）		同友館	201704	2,200	2,376
658	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784595317392	コンピュータの動作と管理	改訂版	葉田善章	放送大学教材	放送大学教育振興会(発売：ＮＨＫ出版)	201703	3,100	3,348
659	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784764905092	ソフトウェア工学		岸知二：野田夏子		近代科学社	201607	3,200	3,456
660	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784764905313	ソフトウェア工学の基礎．２３		阿萬裕久：横川智教	レクチャーノート／ソフトウェア学	近代科学社	201612	5,800	6,264
661	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784764905320	言語処理システムをつくる		佐藤理史	実践・自然言語処理シリーズ	近代科学社	201702	2,800	3,024
662	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784764905535	ソフトウェア工学の基礎．２４		吉田敦：福安直樹	レクチャーノート／ソフトウェア学	近代科学社	201711	5,700	6,156
663	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784774179179	今すぐ使えるかんたんＯｆｆｉｃｅ ｆｏｒ Ｍａｃ ２０１６完全ガイドブック：困った解決＆便利技		Ａｙｕｒａ		技術評論社	201603	2,280	2,462
664	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784774180014	Ｗｉｎｄｏｗｓコマンドプロンプトポケットリファレンス：Ｗｉｎｄｏｗｓ１０／８／７／Ｖｉｓｔａ／ＸＰ／２０	改訂新版	山近慶一	Ｐｏｃｋｅｔ ｒｅｆｅｒｅｎｃｅ	技術評論社	201604	2,980	3,218
665	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784774180496	今すぐ使えるかんたん大事典Ｗｉｎｄｏｗｓ １０		オンサイト：阿久津良和		技術評論社	201605	2,680	2,894
666	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784774180519	Ｅｘｃｅｌ文書作成プロ技セレクション：決定版		尾崎裕子	今すぐ使えるかんたんＥｘ	技術評論社	201605	1,580	1,706
667	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784774180960	今すぐ使えるかんたんＥｘｃｅｌ完全ガイドブック困った解決＆便利技：２０１６／２０１３／２０１０対応版		Ａｙｕｒａ		技術評論社	201606	1,680	1,814
668	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784774181011	今すぐ使えるかんたんＥｘｃｅｌピボットテーブル：Ｅｘｃｅｌ ２０１６／２０１３／２０１０／２００７		きたみあきこ		技術評論社	201606	2,280	2,462
669	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784774181257	「逆引き」Ｅｘｃｅｌ関数パワーテクニック６００：２０１６／２０１３／２０１０／２００７対応		不二桜		技術評論社	201606	2,480	2,678
670	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784774181639	Ｆｉｒｅｆｏｘ ＯＳ（決定版）開発ガイドブック：コネクテッドデバイスの次世代プラットフォームを徹底		村岡正和：藪下正美		技術評論社	201606	3,200	3,456
671	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784774182544	Ｅｘｃｅｌ入門５冊分！：基本操作と計算＋関数＋グラフとデータベース＋マクロ		飯島弘文		技術評論社	201609	1,780	1,922
672	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784774182704	Ａｔｏｍ実践入門：進化し続けるハッカブルなエディタ		大竹智也	ＷＥＢ＋ＤＢ ｐｒｅｓｓ ｐｌｕｓシリーズ	技術評論社	201608	2,680	2,894
673	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784774182858	アウトライナー実践入門：「書く・考える・生活する」創造的アウトライン・プロ		Ｔａｋ．		技術評論社	201608	1,980	2,138
674	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784774184265	プロのためのＬｉｎｕｘシステム構築・運用技術：システム構築運用／ネットワーク・ストレージ管理の秘	改訂新版	中井悦司	Ｓｏｆｔｗａｒｅ Ｄｅｓｉｇｎ ｐｌｕｓシリーズ	技術評論社	201610	2,980	3,218
675	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784774184272	今すぐ使えるＵｂｕｎｔｕ入門ガイド：Ｌｉｎｕｘをはじめよう		阿久津良和		技術評論社	201611	2,580	2,786
676	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784774184869	今すぐ使えるかんたんｍａｃ ＯＳ Ｓｉｅｒｒａ完全ガイドブック：困った解決＆便利技		リブロワークス		技術評論社	201611	2,180	2,354
677	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784774185378	ＰｏｗｅｒＰｏｉｎｔ ２０１６プロ技ＢＥＳＴセレクション		稲村暢子	今すぐ使えるかんたんＥｘ	技術評論社	201612	1,580	1,706
678	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784774185804	最速で最高に魅せるＰｏｗｅｒＰｏｉｎｔプロフェッショナルテクニック		望月正吾		技術評論社	201701	1,680	1,814
679	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784774185934	Ｇｉｔポケットリファレンス	改訂新版	岡本隆史：武田健太郎	Ｐｏｃｋｅｔ ｒｅｆｅｒｅｎｃｅ	技術評論社	201701	2,780	3,002
680	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784774186610	今すぐ使えるかんたんＰｏｗｅｒＰｏｉｎｔ完全ガイドブック困った解決＆便利技：ＰｏｗｅｒＰｏｉｎｔ ２０１６／２０１３／２０１０		Ａｙｕｒａ		技術評論社	201702	1,780	1,922
681	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784774187594	Ａｎｄｒｏｉｄを支える技術．１		有野和真	ＷＥＢ＋ＤＢ ｐｒｅｓｓ ｐｌｕｓシリーズ	技術評論社	201702	3,600	3,888
682	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784774188096	世界一わかりやすいＥｘｃｅｌテキスト		土岐順子		技術評論社	201703	1,780	1,922
683	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784774188478	Ｌｉｎｕｘステップアップラーニング		沓名亮典		技術評論社	201704	2,580	2,786
684	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784774188614	Ａｎｄｒｏｉｄを支える技術．２		有野和真	ＷＥＢ＋ＤＢ ｐｒｅｓｓ ｐｌｕｓシリーズ	技術評論社	201703	3,600	3,888
685	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784774189284	Ｊｅｎｋｉｎｓ実践入門：ビルド・テスト・デプロイを自動化する技術	改訂第３版	川口耕介：佐藤聖規	ＷＥＢ＋ＤＢ ＰＲＥＳＳ ｐｌｕｓシリーズ	技術評論社	201706	2,980	3,218
686	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784774189628	今すぐ使えるかんたんＯｆｆｉｃｅ ２０１６		技術評論社編集部：ＡＹＵＲＡ		技術評論社	201706	1,980	2,138
687	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784774190167	いつもの作業を自動化したい人のＥｘｃｅｌ ＶＢＡ１冊目の本		大村あつし		技術評論社	201707	2,040	2,203
688	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784774190280	Ｐｈｏｔｏｓｈｏｐ Ｌｉｇｈｔｒｏｏｍ ＣＣ／６ ＲＡＷ現像と管理＆補正入門：プロの現場から学ぶ		小城楽史		技術評論社	201707	2,340	2,527
689	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784774191164	Ｐｕｐｐｅｔ［設定＆管理］活用ガイド：効率的なインフラ構築・管理を実現するプロビジョニン		菅原亮：落合秀俊		技術評論社	201709	3,700	3,996
690	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784774191836	パワーポイントスライドデザインのセオリー：セオリーを押さえればわかりやすく魅力的なスライドは		藤田尚俊		技術評論社	201710	1,800	1,944
691	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784774192239	ＰｙｔｈｏｎユーザのためのＪｕｐｙｔｅｒ［実践］入門		池内孝啓：片柳薫子		技術評論社	201709	3,300	3,564
692	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784774192352	Ｅｍａｃｓ実践入門：思考を直感的にコード化し、開発を加速する	改訂新版	大竹智也	ＷＥＢ＋ＤＢ ＰＲＥＳＳ ｐｌｕｓシリーズ	技術評論社	201710	2,580	2,786
693	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784774192574	Ｅｘｃｅｌ作図入門［地図・アイコン・図解資料］プロ技ＢＥＳＴセレクション		リブロワークス	今すぐ使えるかんたんＥｘ	技術評論社	201710	1,980	2,138
694	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784774193847	今すぐ使えるかんたんＰｈｏｔｏｓｈｏｐ Ｅｌｅｍｅｎｔｓ．２０１８		ＡＹＵＲＡ		技術評論社	201711	1,680	1,814
695	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784774194035	［基礎知識＋リファレンス］ｍａｃＯＳコマンド入門：ターミナルとコマンドライン、基本の力		西村めぐみ：新居雅行		技術評論社	201712	2,600	2,808
696	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784774194288	帳時短Ｐｈｏｔｏｓｈｏｐ「選択範囲とマスク」速攻アップ！		柘植ヒロボン		技術評論社	201712	1,680	1,814
697	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784774194592	Ｅｘｃｅｌ集計・抽出テクニック大全集：あらゆる種類の表に対応、引くだけで一発解決		不二桜		技術評論社	201712	2,980	3,218
698	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784777519378	Ａｕｄａｃｉｔｙではじめる音声編集：「切り貼り」「ノイズ除去」「ピッチ変更」「エフェク		夢前黎	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201602	2,300	2,484
699	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784777519491	はじめてのＤｏｃｋｅｒ：「仮想化技術」で「サーバ」を簡単構築！		西島剛	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201604	1,900	2,052
700	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784777519866	Ｌｉｎｕｘカーネル「ソースコード」を読み解く		平田豊	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201612	2,300	2,484
701	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784777519972	はじめてのＷＰＳ Ｏｆｆｉｃｅ：安価で高機能－「ワープロ」「表計算」「プレゼンテー		本間一	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201703	2,300	2,484
702	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784777520305	Ｃａｎｖａデザインブック：無料で使える「クラウド型」のグラフィックツール		タナカヒロシ	１／Ｏ ＢＯＯＫＳ	工学社	201710	1,900	2,052

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
703	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784781913889	自然言語処理概論		黒橋禎夫：柴田知秀	ライブラリ情報学コア・テキスト	サイエンス社	201610	1,900	2,052
704	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784789844727	動くメカニズムを図解＆実験！Ｌｉｎｕｘ超入門：コンピュータの性能を１００%引き出すために		宗像尚郎：海老原祐太郎	Ｍｙ　Ｌｉｎｕｘシリーズ	ＣＱ出版	201605	3,200	3,456
705	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784794424990	文書作成リテラシー		尾崎眞：吉田聡		創成社	201704	2,000	2,160
706	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784794425119	情報リテラシーを身につけるＥＸＣＥＬ２０１６基礎編		阿南大：水野有希		創成社	201709	1,800	1,944
707	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784794425126	ビジネスのためのデータ処理リテラシー		尾崎眞：吉田聡		創成社	201709	2,200	2,376
708	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784797382686	標準テキストＣｅｎｔＯＳ　７構築・運用・管理パーフェクトガイド		ナレッジデザイン：大竹龍史		ＳＢクリエイティブ	201703	4,200	4,536
709	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784797386073	かんたんだけどしっかりわかるＥｘｃｅｌマクロ・ＶＢＡ入門：短時間で身につく忙しい人のためのエクセルの教科書		古川順平		ＳＢクリエイティブ	201602	1,980	2,138
710	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784797389401	Ｐｈｏｔｏｓｈｏｐレタッチ・加工アイデア図鑑		楠田諭史		ＳＢクリエイティブ	201707	2,400	2,592
711	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784798046051	はじめてのＯｆｆｉｃｅ　２０１６		村松茂：Ｓｔｕｄｉｏノマド	Ｂａｓｉｃ ｍａｓｔｅｒ ｓｅｒｉｅｓ	秀和システム	201603	1,980	2,138
712	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784798046204	はじめてのＥｘｃｅｌピボットテーブル：２０１６／２０１３対応		城井田勝仁	Ｂａｓｉｃ ｍａｓｔｅｒ ｓｅｒｉｅｓ	秀和システム	201604	2,000	2,160
713	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784798046525	Ｗｉｎｄｏｗｓ １０パーフェクトマスター：Ｍｉｃｒｏｓｏｆｔ Ｗｉｎｄｏｗｓ １０		野田祐己	Ｐｅｒｆｅｃｔ ｍａｓｔｅｒ	秀和システム	201609	3,000	3,240
714	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784798047409	アジャイルでやってみた。：ウォーターフォールしか知らなかった僕らＳＩｅｒのス		ＴＦＳＵＧ：竹林崇		秀和システム	201609	2,800	3,024
715	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784798047614	ＶＭｗａｒｅ実践運用管理：ＶＭｗａｒｅ ｖＳｐｈｅｒｅ ６対応		日本仮想化技術株式会社：遠山洋平		秀和システム	201609	3,000	3,240
716	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784798047683	すごい！関数：作業効率を劇的に変えるＥｘｃｅｌの使いかた		森田貴士		秀和システム	201609	1,600	1,728
717	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784798048246	Ｐｈｏｔｏｓｈｏｐコンテンツ・デザインパーフェクトマスター：一線級クリエイターが実践する！		音賀鳴海：アンカープロ	Ｐｅｒｆｅｃｔ ｍａｓｔｅｒ	秀和システム	201706	2,500	2,700
718	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784798048253	入門Ｒｅｄｍｉｎｅ：オープンソースの課題解決システム	第５版	前田剛		秀和システム	201612	2,400	2,592
719	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784798049052	ちょっとだけＬｉｎｕｘにさわってみたい人のためのＢａｓｈ ｏｎ Ｕｂｕｎｔｕ ｏ		中島能和		秀和システム	201702	2,200	2,376
720	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784798049281	Ｗｉｎｄｏｗｓ Ｓｅｒｖｅｒ ２０１６パーフェクトマスター：最新版		野田ユウキ：アンカー・プロ	Ｐｅｒｆｅｃｔ ｍａｓｔｅｒ	秀和システム	201706	2,800	3,024
721	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784798049977	Ｅｘｃｅｌ分析ツール完全詳解		豊田裕貴		秀和システム	201703	2,000	2,160
722	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784798049991	ＥｘｃｅｌＶＢＡを実務で使い倒す技術		高橋宣成		秀和システム	201704	1,800	1,944
723	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784798050010	これならわかる！ＥｘｃｅｌＶＢＡ入門講座：Ｅｘｃｅｌ２０１６／２０１３対応		水口克也		秀和システム	201704	1,900	2,052
724	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784798050188	これからはじめるバーチャルツアー　Ｐａｎｏｔｏｕｒ Ｐｒｏ ２ ＆ ｋｒｐａｎｏ		久門易		秀和システム	201707	5,000	5,400
725	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784798050263	Ｔａｂｌｅａｕデータ分析		Ｔａｂｌｅａｕユーザー会：小野泰輔		秀和システム	201703	4,800	5,184
726	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784798051437	ＡｃｃｅｓｓＶＢＡ逆引き大全６００の極意：２０１６／２０１３／２０１０／２００７対応		中村峻		秀和システム	201707	2,600	2,808
727	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784798051963	Ｅｘｃｅｌ多量データ整形テクニック：何万件ものデータやピボットテーブルで苦しんでいる人		村田吉徳		秀和システム	201711	2,400	2,592
728	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784798053394	はじめてのＥｘｃｅｌグラフ：伝わる資料作成入門		桑名由美	ＢＡＳＩＣ ＭＡＳＴＥＲ ＳＥＲＩＥＳ	秀和システム	201711	1,580	1,706
729	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784798128528	自然言語処理の基本と技術：仕組みが見えるゼロからわかる		奥野陽：グラム・ニューピッグ		翔泳社	201603	2,400	2,592
730	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784798142227	Ｗｉｎｄｏｗｓ １０上級リファレンス：最高級の設定＆カスタマイズを詳細解説		橋本和則		翔泳社	201603	2,580	2,786
731	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784798143477	現場で役立つタブレット＆Ｅｘｃｅｌデータ連携・活用ガイド：入力業務を１０倍効率化する仕組み		立山秀利		翔泳社	201605	2,380	2,570
732	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784798143668	エンジニアのためのＧｉｔの教科書：実践で使える！バージョン管理とチーム開発手法		リクルートテクノロジーズ：リクルートマーケティングパートナーズ	ＷＥＢ Ｅｎｇｉｎｅｅｒ’ｓ Ｂｏｏｋｓ	翔泳社	201601	2,200	2,376
733	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784798144610	独習Ｇｉｔ		リック・ウマリ：吉川邦夫		翔泳社	201602	3,280	3,542
734	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784798145143	レガシーソフトウェア改善ガイド：複合型アプリケーション時代に即した開発・保守技法		クリス・バーチャル：吉川邦夫	Ｏｂｊｅｃｔ ｏｒｉｅｎｔｅｄ ｓｅｌｅｃｔｉｏｎ	翔泳社	201611	3,800	4,104
735	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784798145860	Ｍｉｃｒｏｓｅｒｖｉｃｅｓ ｏｎ Ａｚｕｒｅ：ＤｅｖＯｐｓとマイクロサービスを活用したＳａａＳの		ボブ・ファミリア：クイープ		翔泳社	201604	3,200	3,456
736	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784798146720	Ｅｘｃｅｌ関数逆引き辞典パーフェクト	第３版	きたみあきこ		翔泳社	201607	2,400	2,592
737	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784798152684	コピペで使える！ 動くＰｏｗｅｒＰｏｉｎｔ素材集２００９		河合浩之		翔泳社	201709	2,380	2,570
738	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784798152882	Ａｆｔｅｒ Ｅｆｆｅｃｔｓ逆引きデザイン事典［ＣＣ／ＣＳ６］：クリエイティブに、ビジネスに、学習に。	増補改訂版	高木和明		翔泳社	201710	3,400	3,672
739	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784798152899	Ｐｒｅｍｉｅｒｅ Ｐｒｏ逆引きデザイン事典：ＣＣ対応	増補改訂版	千崎達也		翔泳社	201710	3,400	3,672
740	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784800711434	Ｗｉｎｄｏｗｓ １０パーフェクトマニュアル：Ａｎｎｉｖｅｒｓａｒｙ Ｕｐｄａｔｅ対応	改訂第２版	外ラエディット		ソーテック社	201608	1,800	1,944
741	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784800711458	「伝わるデザイン」ＰｏｗｅｒＰｏｉｎｔ資料作成術：知識がなくても大丈夫！		渡辺克之		ソーテック社	201608	1,800	1,944
742	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784800711526	ｍａｃＯＳ Ｓｉｅｒｒａパーフェクトマニュアル		井村克也		ソーテック社	201610	1,980	2,138
743	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784800711564	プロが教える！ＡｆｔｅｒＥｆｆｅｃｔｓデジタル映像制作講座：ＣＣ／ＣＳ６対応		ＳＨＩＮ－ＹＵ		ソーテック社	201704	2,980	3,218
744	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784800711816	Ｐｈｏｔｏｓｈｏｐ Ｅｌｅｍｅｎｔｓ ２０１８スーパーリファレンス：Ｗｉｎｄｏｗｓ ＆ ｍａｃＯＳ対応		ソーテック社		ソーテック社	201710	2,280	2,462
745	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784800711830	ｍａｃＯＳ Ｈｉｇｈ Ｓｉｅｒｒａパーフェクトマニュアル：Ｍａｃ最新ＯＳの使い方をわかりやすく解説！		井村克也		ソーテック社	201710	1,980	2,138
746	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784800711908	Ｗｉｎｄｏｗｓ １０パーフェクトマニュアル	２０１８年改訂版	外ラエディット		ソーテック社	201712	1,800	1,944
747	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784802510578	ＵＩデザイナーのためのＳｋｅｔｃｈ入門＆実践ガイド		吉竹遥		ビー・エヌ・エヌ新社	201705	2,800	3,024
748	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784802610667	今日から使えるＥｘｃｅｌマクロ＆ＶＢＡ：２０１６／２０１３／２０１０／２００７対応		立山秀利		ゾシム	201609	1,980	2,138
749	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784802611275	Ｐｈｏｔｏｓｈｏｐモックアップメイキング：デザイン披露のプレゼンで役立つ！／ＤＶＤ－ＲＯＭ付		フロッグデザイン		ゾシム	201711	2,600	2,808
750	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784817195722	形式手法モデル理論アプローチ：情報システム開発の基礎，モデル編	第２版	高原康彦：齋藤敏雄		日科技連出版社	201602	2,200	2,376
751	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784817195739	形式手法モデル理論アプローチ：情報システム開発の基礎，実践編	第２版	高原康彦：齋藤敏雄		日科技連出版社	201602	2,200	2,376
752	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784822253004	いちばんやさしいＥｘｃｅｌ２０１６スクール標準教科書：本当に必要なことだけをとにかくやさしく説明した入門，初級		森田圭		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201606	2,300	2,484
753	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784822253011	いちばんやさしいＥｘｃｅｌ２０１６スクール標準教科書：本当に必要なことだけをとにかくやさしく説明した入門，中級		森田圭		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201606	2,300	2,484
754	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784822253028	いちばんやさしいＥｘｃｅｌ２０１６スクール標準教科書：本当に必要なことだけをとにかくやさしく説明した入門，上級		森田圭		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201606	2,300	2,484
755	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784822253134	Ｏｆｆｉｃｅ ２０１６基本演習：Ｗｏｒｄ／Ｅｘｃｅｌ／ＰｏｗｅｒＰｏｉｎｔ		日経ＢＰ社		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201609	2,800	3,024
756	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784822253615	Ｗｉｎｄｏｗｓ ＰｏｗｅｒＳｈｅｌｌ実践システム管理ガイド：自動化・効率化に役立つＰｏｗｅｒＳｈｅｌｌ活用法	第３版	横田秀之：河野憲義	ＴｅｃｈＮｅｔ ＩＴプロシリーズ	日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201710	3,800	4,104

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
757	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784822292188	１００題で学ぶ表計算：初歩から実用まで	第３版	森夏節：常見ひろこ		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201603	1,600	1,728
758	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784822297909	Ｅｘｃｅｌ ２０１６応用セミナーテキスト		日経ＢＰ社		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201603	1,900	2,052
759	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784822297916	ＰｏｗｅｒＰｏｉｎｔ ２０１６応用セミナーテキスト		日経ＢＰ社		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201604	1,900	2,052
760	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784822297985	情報利活用基本演習：Ｏｆｆｉｃｅ ２０１６対応		土岐順子：山崎紅		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201604	1,600	1,728
761	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784822298562	Ｗｉｎｄｏｗｓ Ｓｅｒｖｅｒ ２０１６テクノロジ入門：Ｗｉｎｄｏｗｓ Ｓｅｒｖｅｒ ２０１６ ＆ Ｗｉｎ		山内和朗		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201612	5,000	5,400
762	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784822298609	Ｗｉｎｄｏｗｓ １０ ｖｓ Ｗｉｎｄｏｗｓ ８．１／７操作・設定比較ガイド		橋本情報戦略企画：橋本直美		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201603	1,800	1,944
763	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784822298623	ひと目でわかるＯｎｅＮｏｔｅ ２０１６：Ｗｉｎｄｏｗｓ版対応		門脇香奈子		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201602	1,700	1,836
764	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784822298692	ひと目でわかるＰｒｏｊｅｃｔ ２０１６		大石守		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201607	2,500	2,700
765	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784822298845	マイクロサービスｗｉｔｈ Ｄｏｃｋｅｒ ｏｎ Ａｚｕｒｅ		ボリス・ショール：トレント・スワンソン		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201611	3,000	3,240
766	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784822298890	ひと目でわかるＷｉｎｄｏｗｓ Ｓｅｒｖｅｒ ２０１６		天野司		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201702	2,800	3,024
767	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784822298968	Ｗｉｎｄｏｗｓ Ｓｙｓｉｎｔｅｒｎａｌｓ徹底解説：無償ツールで極めるトラブルシューティングテクニック	改訂新版	マーク・ルシノビッチ：アーロン・マーゴシス	マイクロソフト公式解説書	日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201706	5,500	5,940
768	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784822298982	ひと目でわかるＨｙｐｅｒ－Ｖ Ｗｉｎｄｏｗｓ Ｓｅｒｖｅｒ ２０１６版		ＹｏｋｏｔａＬａｂ，Ｉｎｃ．		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201705	3,000	3,240
769	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784827112801	世界のソフトウエア特許：－その理論と実務	改訂版	谷義一：牛久健司		発明推進協会	201703	5,000	5,400
770	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784839951993	スクラム現場ガイド：スクラムを始めてみたけどうまくいかない時に読む本		ミッチ・レイシー：安井力		マイナビ出版	201602	3,480	3,758
771	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784839952204	魅せるＰｏｗｅｒＰｏｉｎｔテクニック		野々山美紀		マイナビ出版	201608	1,980	2,138
772	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784839957926	速効！図解Ｅｘｃｅｌ ２０１６：Ｗｉｎｄｏｗｓ １０／８．１／７対応、総合版		木村幸子		マイナビ出版	201601	1,790	1,933
773	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784839959234	Ｄｏｃｋｅｒ実戦活用ガイド		吉岡恒夫：ｐａｉｚａ		マイナビ出版	201605	3,080	3,326
774	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784839959678	速効！図解ＰｏｗｅｒＰｏｉｎｔ ２０１６：Ｗｉｎｄｏｗｓ １０／８．１／７対応、総合版		野々山美紀：川上恭子		マイナビ出版	201607	1,790	1,933
775	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784839961213	ｍａｃＯＳ Ｓｉｅｒｒａマスターブック		小山香織	Ｍａｃ Ｆａｎ ＢＯＯＫＳ	マイナビ出版	201610	1,980	2,138
776	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784839961831	Ｐａｇｅｓ・Ｎｕｍｂｅｒｓ・Ｋｅｙｎｏｔｅマスターブック		東弘子	Ｍａｃ Ｆａｎ ＢＯＯＫＳ	マイナビ出版	201701	2,280	2,462
777	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784839964702	ｍａｃＯＳ Ｈｉｇｈ Ｓｉｅｒｒａマスターブック		小山香織	Ｍａｃ Ｆａｎ Ｂｏｏｋｓ	マイナビ出版	201710	1,980	2,138
778	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784844339885	できるＥｘｃｅｌピボットテーブルデータ集計・分析に役立つ本：２０１６／２０１３／２０１０対応		門脇香奈子：インプレス（２０１４）		インプレス	201601	2,300	2,484
779	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784844366782	やさしいレッスンで学ぶきちんと身につくＰｈｏｔｏｓｈｏｐの教本		高橋としゆき：吉岡豊		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201709	2,200	2,376
780	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784844380078	できるＥｘｃｅｌマクロ＆ＶＢＡ作業の効率化＆スピードアップに役立つ本：２０１６／２０１３／２０１０／２００７対応。		小舘由典：インプレス（２０１４）		インプレス	201602	1,580	1,706
781	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784844380450	できるＥｘｃｅｌグラフ魅せる＆伝わる資料作成に役立つ本：２０１６／２０１３／２０１０対応		きたみあきこ：インプレス（２０１４）		インプレス	201604	1,980	2,138
782	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784844381303	Ｅｘｃｅｌ ２０１６：Ｗｉｎｄｏｗｓ １０／８．１／７対応		尾崎裕子：日花弘子	できる大事典	インプレス	201610	2,980	3,218
783	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784862463890	デザインの教科書：Ｐｈｏｔｏｓｈｏｐ＋Ｉｌｌｕｓｔｒａｔｏｒ＋ＩｎＤ		ファー・インク		ボーンデジタル	201705	2,500	2,700
784	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784863542174	わかばちゃんと学ぶＧｉｔ使い方入門		湊川あい：ＤＱＮＥＯ		シーアンドアール研究所	201705	2,230	2,408
785	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784864810395	基礎オペレーティングシステム：その概念と仕組み		毛利公一	グラフィック情報工学ライブラリ	数理工学社(発売：サイエンス社)	201608	1,900	2,052
786	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784865102758	よくわかるＭｉｃｒｏｓｏｆｔ Ｅｘｃｅｌ ２０１６基礎		富士通エフ・オー・エム株式会社		富士通エフ・オー・エム	201602	2,000	2,160
787	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784865102765	よくわかるＭｉｃｒｏｓｏｆｔ Ｅｘｃｅｌ ２０１６応用		富士通エフ・オー・エム株式会社		富士通エフ・オー・エム	201603	2,000	2,160
788	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784865102796	よくわかるＭｉｃｒｏｓｏｆｔ ＰｏｗｅｒＰｏｉｎｔ ２０１６基礎		富士通エフ・オー・エム株式会社		富士通エフ・オー・エム	201603	2,000	2,160
789	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784865102925	よくわかるＭｉｃｒｏｓｏｆｔ ＰｏｗｅｒＰｏｉｎｔ ２０１６応用		富士通エフ・オー・エム株式会社		富士通エフ・オー・エム	201605	2,000	2,160
790	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784865103007	よくわかるＭｉｃｒｏｓｏｆｔ Ｅｘｃｅｌ ２０１６／２０１３関数テクニックビジネ		富士通エフ・オー・エム株式会社		富士通エフ・オー・エム	201608	2,300	2,484
791	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784865103014	よくわかるＭｉｃｒｏｓｏｆｔ Ｅｘｃｅｌ ２０１６マクロ／ＶＢＡ		富士通エフ・オー・エム株式会社		富士通エフ・オー・エム	201608	2,600	2,808
792	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784873117607	マイクロサービスアーキテクチャ		サム・ニューマン：佐藤直生		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201602	3,400	3,672
793	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784873117676	あなたの知らないところでソフトウェアは何をしているのか？：映画やゲームのグラフィックス、データ検索、暗号化、		Ｖ．アントン・スプラウル：原隆文		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201605	2,600	2,808
794	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784873117768	Ｄｏｃｋｅｒ		エイドリアン・モウアット：玉川竜司		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201608	3,600	3,888
795	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784873117904	詳解システム・パフォーマンス		ＢｒｅｎｄａｎＧｒｅｇｇ：西脇靖紘		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201702	5,400	5,832
796	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784873118055	ＬＥＡＮ ＵＸ：アジャイルなチームによるプロダクト開発	第２版	ジェフ・ゴーセルフ：ジョシュ・セイデン	ＴＨＥ ＬＥＡＮ ＳＥＲＩＥＳ	オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201706	2,500	2,700
797	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784873118185	入門ＰｙＳｐａｒｋ：ＰｙｔｈｏｎとＪｕｐｙｔｅｒで活用するＳｐａｒｋ２		ＴｏｍａｓｚＤｒａｂａｓ：ＤｅｎｎｙＬｅａ		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201711	3,400	3,672
798	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784874923351	健康・医療・栄養のためのＥｘｃｅｌワーク	新版	武藤志真子：三浦宣彦		アイ・ケイコーポレーション	201603	2,200	2,376
799	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784877833633	ネットワーク管理に使うＷＭＩ：ＰｏｗｅｒＳｈｅｌｌによるＷｉｎｄｏｗｓマシン管理		嶋貫健司		カットシステム	201609	6,000	6,480
800	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784877834029	就職前に覚えておくべきＥｘｃｅｌ ２０１６必須テクニック		相澤裕介	先輩が教える	カットシステム	201607	2,200	2,376
801	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784877834234	Ｏｒａｃｌｅ Ｓｏｌａｒｉｓ １１ システム管理ハンドブック		ハリー・フォックスウェル：グリン・フォスター		カットシステム	201710	5,000	5,400
802	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784896412567	データ処理・レポート・プレゼンテーションとＯｆｆｉｃｅ２０１６		小川浩：工藤喜美枝		ムイスリ出版	201704	1,850	1,998
803	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784896412574	パソコン入門：Ｗｉｎｄｏｗｓ Ｗｏｒｄ ＰｏｗｅｒＰｏｉｎｔ Ｅ		龍田健次		ムイスリ出版	201703	1,900	2,052
804	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/システム/ソ	9784899774662	Ａｆｔｅｒ Ｅｆｆｅｃｔｓ 空間演出技法：印象的なシーンを創造するテクニック		石坂アツシ		ラトルズ	201707	2,750	2,970
805	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784048930512	Ｃ＋＋によるプログラミングの原則と実践		ビャーン・ストラウストラップ：クイープ		ドワンゴ(発売：ＫＡＤＯＫＡＷＡ)	201609	7,000	7,560
806	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784048930529	プログラミング作法		ブライアン・Ｗ．カーニハン：ロブ・パイク		ドワンゴ(発売：ＫＡＤＯＫＡＷＡ)	201701	2,800	3,024
807	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784048930536	Ｈａｓｋｅｌｌによる関数プログラミングの思考法		リチャード・バード：山下伸夫		ドワンゴ(発売：ＫＡＤＯＫＡＷＡ)	201702	2,800	3,024
808	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784048930567	純粋関数型データ構造		ＣｈｒｉｓＯｋａｓａｋｉ：稲葉一浩		ドワンゴ(発売：ＫＡＤＯＫＡＷＡ)	201704	2,500	2,700
809	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784048930574	ＵＮＩＸプログラミング環境		ブライアン・Ｗ．カーニハン：ロブ・パイク		ドワンゴ(発売：ＫＡＤＯＫＡＷＡ)	201705	3,200	3,456
810	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784048930598	Ｃｌｅａｎ Ｃｏｄｅ：アジャイルソフトウェア達人の技		ロバート・Ｃ・マーチン：花井志生		ドワンゴ(発売：ＫＡＤＯＫＡＷＡ)	201712	3,800	4,104

No	カテゴリ	分野	分類1	分類2	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
811	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784061538276	ＰＯＶ－Ｒａｙで学ぶはじめての３ＤＣＧ制作		松下孝太郎：山本光		講談社	201702	2,400	2,592
812	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784061538290	ＯｐｅｎＣＶによる画像処理入門	改訂第２版	小枝正直：上田悦子		講談社	201707	2,800	3,024
813	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784061538306	ＯｐｅｎＣＶによるコンピュータビジョン・機械学習入門		中村恭之：小枝正直		講談社	201708	3,200	3,456
814	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784254122138	楽しく学べるＢＡＳＩＣプログラミング：ｉ９９－ＢＡＳＩＣによる計測・制御システム開発入門		西本澄		朝倉書店	201601	2,700	2,916
815	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784274210471	ＡＲＭマイコンによる組込みプログラミング入門：ロボットで学ぶＣ言語		ヴイストン株式会社：ロボット実習教材研究会		オーム社	201106	2,300	2,484
816	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784274219153	プログラミングＥｌｉｘｉｒ：Ｆｕｎｃｔｉｏｎａｌ　Ｃｏｎｃｕｒｒｅｎｔ　Ｐｒａ		デビッド・トーマス：笹田耕一		オーム社	201608	2,800	3,024
817	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784274219337	達人プログラマー：職人から名匠への道	新装版	アンドリュー・ハント：デビッド・トーマス		オーム社	201610	3,200	3,456
818	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784274219856	子どもに教えるためのプログラミング入門：Ｅｘｃｅｌではじめる　Ｖｉｓｕａｌ　Ｂａｓｉｃ		田中一成		オーム社	201611	2,000	2,160
819	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784274221132	算数でわかるＰｙｔｈｏｎプログラミング		田中一成		オーム社	201710	1,700	1,836
820	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784274221163	コンパイラ：作りながら学ぶ		中田育男		オーム社	201710	3,000	3,240
821	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784295000914	できる大事典　Ｅｘｃｅｌ　ＶＢＡ　２０１６／２０１３／２０１０／２００７対応		国本温子：緑川吉行	できる大事典	インプレス	201703	3,800	4,104
822	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784295000969	Ｇｏプログラミング実践入門		ＳａｕＳｈｅｏｎｇＣｈａｎｇ：武舎広幸	ｉｍｐｒｅｓｓ　ｔｏｐ　ｇｅａｒ	インプレス	201703	3,400	3,672
823	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784295000983	いちばんやさしいＪａｖａＳｃｒｉｐｔの教本		岩田宇史		インプレス	201703	2,200	2,376
824	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784295001133	ＪａｖａＳｃｒｉｐｔ関数型プログラミング：複雑性を抑える発想と実践法を学ぶ		ルイス・アテンシオ：加藤大雄		インプレス	201706	3,400	3,672
825	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784295001249	いちばんやさしいＰＨＰの教本：人気講師が教える実践Ｗｅｂプログラミング	第２版	柏岡秀男：池田友子		インプレス	201706	1,980	2,138
826	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784295002086	いちばんやさしいＰｙｔｈｏｎの教本：人気講師が教える基礎からサーバサイド開発まで		鈴木たかのり：杉谷弥月		インプレス	201708	2,200	2,376
827	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784320123939	Ｒ言語徹底解説		ハドリー・ウィッカム：石田基広		共立出版	201602	5,400	5,832
828	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784320123977	楽しく学べるＣ言語		長尾文孝		共立出版	201602	2,300	2,484
829	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784320124059	量子プログラミングの基礎		ミンシュン・イン：川辺治之		共立出版	201703	6,500	7,020
830	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784320124233	すべての人のためのＪａｖａプログラミング	第３版	立木秀樹：有賀妙子		共立出版	201710	3,000	3,240
831	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784320124264	Ｒプログラミング本格入門：達人データサイエンティストへの道		ＫｕｎＲｅｎ：湯谷啓明		共立出版	201711	5,500	5,940
832	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784339019339	実践コンパイラ構成法		滝本宗宏	電子通信情報系コアテキストシリーズ	コロナ社	201707	2,800	3,024
833	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784339027020	データ構造とアルゴリズム		伊藤大雄	コンピュータサイエンス教科書シリーズ	コロナ社	201709	2,800	3,024
834	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784339028652	オブジェクト指向言語Ｊａｖａ		小林貴訓：トウ・トウ		コロナ社	201611	2,900	3,132
835	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784339028669	魔法のＣプログラミング演習書：入門から実践まで		倉光君郎		コロナ社	201701	2,600	2,808
836	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784339028720	つくって学ぶＰｒｏｃｅｓｓｉｎｇプログラミング入門		長名優子：石畑宏明		コロナ社	201702	2,400	2,592
837	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784339028737	Ｃ言語プログラミング基本例題８８＋８８		富永和人：生野壮一郎		コロナ社	201703	2,800	3,024
838	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784339028775	ＭＡＴＬＡＢではじめるプログラミング教室		奥野貴俊：中島弘史		コロナ社	201710	2,600	2,808
839	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784339032192	ＭＡＴＬＡＢによるシステムプログラミング：プロセス・ロボット・非線形システム制御からＤＣＳ構		二明聡：姜長安		コロナ社	201604	2,200	2,376
840	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784339066418	化学系学生のためのＥｘｃｅｌ２０１６／ＶＢＡ入門：ＰｏｗｅｒＰｏｉｎｔ増補版		寺坂宏一		コロナ社	201710	2,900	3,132
841	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784395320837	Ｒｈｉｎｏｃｅｒｏｓ×Ｐｙｔｈｏｎコンピュテーショナル・デザイン入門		三井和男		彰国社	201701	2,500	2,700
842	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784407340358	３０時間アカデミックＰＨＰ入門		大川晃一：小澤慎太郎		実教出版	201703	1,600	1,728
843	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784501554507	学生のためのＥｘｃｅｌ　ＶＢＡ	第２版	若山芳三郎		東京電機大学出版局	201611	1,800	1,944
844	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784501555702	学生のためのＰｙｔｈｏｎ		本郷健：松田晃一		東京電機大学出版局	201710	2,500	2,700
845	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784595316357	アルゴリズムとプログラミング		鈴木一史	放送大学教材	放送大学教育振興会(発売：ＮＨＫ出版)	201603	2,900	3,132
846	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784595316371	ＣＧと画像合成の基礎		浅井紀久夫	放送大学教材	放送大学教育振興会(発売：ＮＨＫ出版)	201603	3,500	3,780
847	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784621065488	計算困難問題に対するアルゴリズム理論：組合せ最適化・ランダマイゼーション・近似・ヒューリ		ユーライ・ホロムコヴィチ：和田幸一		丸善出版	201601	8,200	8,856
848	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784621300251	プログラミング言語Ｇｏ		アラン・Ａ．Ａ．ドノバン：ブライアン・Ｗ．カーニハン	ＡＤＤＩＳＯＮ－ＷＥＳＬＥＹ　ＰＲＯＦＥＳＳＩＯＮＡＬ	丸善出版	201606	3,800	4,104
849	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784621301135	アルゴリズム		渋谷哲朗	東京大学工学教程	丸善出版	201611	2,200	2,376
850	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784621301333	プログラミング道への招待		竹内郁雄		丸善出版	201701	1,800	1,944
851	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784627726536	アルゴリズムとデータ構造	第３版	平田富夫		森北出版	201610	2,300	2,484
852	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784627810228	アルゴリズムとデータ構造	第２版	藤原暁宏	情報工学レクチャーシリーズ	森北出版	201605	2,800	3,024
853	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784627811010	コンピュータグラフィックス		佐藤淳	情報工学レクチャーシリーズ	森北出版	201711	2,600	2,808
854	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784764905160	Ｐｙｔｈｏｎ言語によるビジネスアナリティクス：実務家のための最適化・統計解析・機械学習		久保幹雄：小林和博		近代科学社	201608	6,400	6,912
855	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784764905184	Ｐｙｔｈｏｎ言語によるプログラミングイントロダクション：世界標準ＭＩＴ教科書／データサイエンスとアプリケー	第２版	ジョン・Ｖ．グッタ－ク：久保幹雄		近代科学社	201708	4,600	4,968
856	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784764905351	アルゴリズムの基礎とデータ構造：数理とＣプログラム		浅野孝夫		近代科学社	201703	2,700	2,916
857	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784764905368	グラフ・ネットワークアルゴリズムの基礎：数理とＣプログラム		浅野孝夫		近代科学社	201704	2,700	2,916
858	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784764955547	Ｐｒｏｃｅｓｓｉｎｇプログラミングで学ぶ情報表現入門		美馬義亮		公立はこだて未来大学出版会(発売：近代科学社)	201703	2,000	2,160
859	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774177915	かんたんＰｅｒｌ		深沢千尋	プログラミングの教科書	技術評論社	201602	2,980	3,218
860	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774178585	Ｕｎｉｔｙエキスパート養成読本：ゲーム開発の現場で役立つノウハウ満載！　ガッチリ！		佐藤圭明：村上皓太郎	Ｓｏｆｔｗａｒｅ　Ｄｅｓｉｇｎ　ｐｌｕｓシリーズ	技術評論社	201601	2,480	2,678
861	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774178608	世界一わかりやすい３ｄｓ　Ｍａｘ操作と３ＤＣＧ制作の教科書		奥村優子：石田龍樹		技術評論社	201602	3,900	4,212
862	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774178912	ゼロからわかるＰＨＰ超入門	改訂新版	星野香保子		技術評論社	201603	2,380	2,570
863	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774178929	１５時間でわかるＰｙｔｈｏｎ集中講座		露木誠：小田切篤		技術評論社	201602	2,680	2,894
864	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774178936	１５時間でわかるＳｗｉｆｔ集中講座		高橋広樹		技術評論社	201603	2,980	3,218

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
865	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774179339	これからはじめるＩｌｌｕｓｔｒａｔｏｒ　＆　Ｐｈｏｔｏｓｈｏｐの本：ＣＣ２０１５対応版 Ｗｉｎｄｏｗｓ　＆　Ｍａｃ対応		黒野明子：ロクナナワークショップ	デザインの学校	技術評論社	201603	2,480	2,678
866	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774179629	ＵｎｒｅａｌＥｎｇｉｎｅ　＆　Ｕｎｉｔｙエンジニア養成読本：イマドキのゲーム開発最前線！　１０年先も役立つ力を		ＩＴＡＫＯ：大嶋剛直	Ｓｏｆｔｗａｒｅ Ｄｅｓｉｇｎ ｐｌｕｓシリーズ	技術評論社	201603	2,280	2,462
867	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774179810	オブジェクト指向をきちんと使いたいあなたへ		ＳｏｆｔｗａｒｅＤｅｓｉｇｎ編集部		技術評論社	201604	1,850	1,998
868	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774179841	Ｓｗｉｆｔポケットリファレンス		片渕彼富：山田祥寛	Ｐｏｃｋｅｔ ｒｅｆｅｒｅｎｃｅ	技術評論社	201604	2,780	3,002
869	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774179865	ゴールからはじめるＣ＃：「作りたいもの」でプログラミングのきほんがわかる		菅原朋子		技術評論社	201604	2,680	2,894
870	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774180106	世界一わかりやすいＰｈｏｔｏｓｈｏｐプロ技デザインの参考書：ＣＣ／ＣＳ６対応		ピクセルハウス		技術評論社	201605	2,380	2,570
871	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774180113	世界一わかりやすいＩｌｌｕｓｔｒａｔｏｒプロ技デザインの参考書：ＣＣ／ＣＳ６対応		保坂庸介		技術評論社	201605	2,480	2,678
872	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774180304	Ｊａｖａポケットリファレンス	改訂新版	高江賢：山田祥寛	Ｐｏｃｋｅｔ ｒｅｆｅｒｅｎｃｅ	技術評論社	201604	2,680	2,894
873	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774180359	はじめてのＬｉｓｐ関数型プログラミング：ラムダ計算からリファクタリングまで一気にわかる		五味弘	Ｓｏｆｔｗａｒｅ Ｄｅｓｉｇｎ ｐｌｕｓシリーズ	技術評論社	201604	2,580	2,786
874	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774180878	たった１秒で仕事が片づくＥｘｃｅｌ自動化の教科書		吉田拳		技術評論社	201607	1,980	2,138
875	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774180946	Ｃ＃プログラマーのための基礎からわかるＬＩＮＱマジック！：今後避けては通れない革新的なプログラミング手法の全		山本康彦		技術評論社	201606	2,880	3,110
876	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774181448	例題３０＋演習問題７０でしっかり学ぶＥｘｃｅｌ　ＶＢＡ標準テキスト：Ｅｘｃｅｌ　２０１３／２０１６対応版		近田順一朗		技術評論社	201606	1,980	2,138
877	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774181776	「逆引き」Ｅｘｃｅｌ　ＶＢＡパワーテクニック５２５：２０１６／２０１３／２０１０／２００７対応		大村あつし：吉川順平	ＰＯＷＥＲ ＴＥＣＨＮＩＱＵＥ	技術評論社	201607	2,560	2,764
878	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774182179	Ｓｐｒｉｎｇ入門：Ｊａｖａフレームワーク・より良い設計とアーキテクチ	改訂新版	長谷川裕一：大野渉		技術評論社	201607	3,800	4,104
879	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774182780	無料ではじめるＢｌｅｎｄｅｒ　ＣＧイラストテクニック：３ＤＣＧの考え方とくみがしっかりわかる		大澤龍一		技術評論社	201608	2,680	2,894
880	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774182988	これからはじめるプログラミング作って覚える基礎の基礎：プログラマー「確実」養成講座Ｖｅｒ．１．０		谷尻かおり：谷尻豊寿		技術評論社	201608	2,280	2,462
881	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774183169	パーフェクトＪａｖａ　ＥＥ		井上誠一郎：槇俊明	Ｐｅｒｆｅｃｔ ｓｅｒｉｅｓ	技術評論社	201608	3,200	3,456
882	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774183299	独習Ｐｙｔｈｏｎ入門：１日でプログラミングに強くなる		湯本堅隆		技術評論社	201609	2,580	2,786
883	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774183909	関数プログラミング実践入門：簡潔で、正しいコードを書くために	増補改訂	大川徳之	ＷＥＢ＋ＤＢ ｐｒｅｓｓ ｐｌｕｓシリーズ	技術評論社	201610	2,980	3,218
884	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774183923	みんなのＧｏ言語：現場で使える実践テクニック		松木雅幸：ｍａｔｔｎ		技術評論社	201610	1,980	2,138
885	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774184111	ＪａｖａＳｃｒｉｐｔ本格入門：モダンスタイルによる基礎から現場での応用まで	改訂新版	山田祥寛		技術評論社	201611	2,980	3,218
886	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774184678	Ｃ＃プログラマーのためのデバッグの基本＆応用テクニック：しつこいバグに悩む人の暗雲が晴れる、解決のヒン		川俣晶		技術評論社	201611	2,680	2,894
887	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774185309	写真の色補正・加工に強くなるＰｈｏｔｏｓｈｏｐレタッチ＆カラーマネージメント１０：イメージ通りの色を再現するために！すべてのカメラ	改訂新版	上原ゼンジ：庄司正幸		技術評論社	201612	1,980	2,138
888	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774185392	今すぐ使えるかんたんＰｈｏｔｏｓｈｏｐ Ｅｌｅｍｅｎｔｓ １５		技術評論社		技術評論社	201612	1,680	1,814
889	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774185408	今すぐ使えるかんたんＰｒｅｍｉｅｒｅ Ｅｌｅｍｅｎｔｓ １５		山本浩司		技術評論社	201612	1,980	2,138
890	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774185514	これからはじめるＰｒｅｍｉｅｒｅ　Ｐｒｏの本：ＣＣ対応版		佐藤太郎：白井小太郎	デザインの学校	技術評論社	201702	2,780	3,002
891	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774185903	１５時間でわかるＪａｖａＳｃｒｉｐｔ集中講座		宮下明弘：工藤雅人		技術評論社	201612	2,680	2,894
892	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774186290	世界一わかりやすいＩｌｌｕｓｔｒａｔｏｒ操作とデザインの教科書：ＣＣ／ＣＳ６対応版		ピクセルハウス		技術評論社	201701	2,280	2,462
893	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774186306	世界一わかりやすいＰｈｏｔｏｓｈｏｐ操作とデザインの教科書：ＣＣ／ＣＳ６対応版		柘植ヒロポン：上原ゼンジ		技術評論社	201702	2,280	2,462
894	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774186948	シェルスクリプト基本リファレンス：＃！／ｂｉｎ／ｓｈで、ここまでできる	改訂第３版	山森丈範	ＷＥＢ＋ＤＢ ｐｒｅｓｓ ｐｌｕｓシリーズ	技術評論社	201702	2,680	2,894
895	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774186955	１５時間でわかるＵＷＰアプリ開発集中講座		高橋広樹：ＭａｇＴｒｕｓｔ株式会社		技術評論社	201702	2,780	3,002
896	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774187181	これからはじめるＩｌｌｕｓｔｒａｔｏｒの本：ＣＣ２０１７対応版		ロクナナワークショップ	デザインの学校	技術評論社	201702	1,880	2,030
897	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774187198	これからはじめるＰｈｏｔｏｓｈｏｐの本：ＣＣ２０１７対応版		宮川千春：木俣カイ	デザインの学校	技術評論社	201702	1,980	2,138
898	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774187303	Ｓｗｉｆｔ実践入門：直感的な文法と安全性を兼ね備えた言語		石川洋資：西山勇世	ＷＥＢ＋ＤＢ ｐｒｅｓｓ ｐｌｕｓシリーズ	技術評論社	201702	3,200	3,456
899	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774187327	ＳＱＬポケットリファレンス	改訂第４版	朝井淳	Ｐｏｃｋｅｔ ｒｅｆｅｒｅｎｃｅ	技術評論社	201702	1,980	2,138
900	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774187587	実戦で役立つＣ＃プログラミングのイディオム／定石＆パターン		出井秀行		技術評論社	201702	2,980	3,218
901	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774187792	プロになるなら身につけたいプログラマのコーディング基礎力				技術評論社	201702	1,980	2,138
902	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774188126	パーフェクトＲ		Ｒサポーターズ		技術評論社	201703	3,600	3,888
903	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774188195	Ｅｌｅｃｔｒｏｎではじめるアプリ開発		野口将人：倉見洋輔		技術評論社	201703	2,680	2,894
904	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774188676	Ｐｒｏｃｅｓｓｉｎｇクリエイティブ・コーディング入門：コードが生み出す創造表現		田所淳		技術評論社	201704	2,480	2,678
905	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774189093	Ｊａｖａ本格入門：モダンスタイルによる基礎からオブジェクト指向・実用		谷本心：阪本雄一郎		技術評論社	201705	2,980	3,218
906	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774189772	パーフェクトＲｕｂｙ	改訂２版	Ｒｕｂｙサポーターズ		技術評論社	201705	3,260	3,520
907	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774189932	Ｊａｖａ超入門		ＷＩＮＧＳプロジェクト：芦藤新三	たった１日で基本が身に付く！	技術評論社	201706	2,060	2,224
908	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774189956	ＪａｖａＳｃｒｉｐｔ超入門		ＷＩＮＧＳプロジェクト：片渕彼富	たった１日で基本が身に付く！	技術評論社	201706	2,060	2,224
909	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774190006	きちんとわかる！Ｊａｖａ　Ｓｃｒｉｐｔとことん入門		大津真		技術評論社	201706	2,740	2,959
910	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774190303	Ｃ＃ポケットリファレンス	改訂新版	土井毅：二江賢	Ｐｏｃｋｅｔ ｒｅｆｅｒｅｎｃｅ	技術評論社	201707	2,640	2,851
911	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774190402	かんたんＶｉｓｕａｌ　Ｂａｓｉｃ	改訂２版	高橋広樹	プログラミングの教科書	技術評論社	201707	2,640	2,851
912	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774190617	３ステップでしっかり学ぶＣ言語入門：一番わかりやすいＣ言語の入門書	改訂２版	朝井淳		技術評論社	201708	2,000	2,160
913	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774190860	Ｃ＃超入門		西村誠	たった１日で基本が身に付く！	技術評論社	201708	2,060	2,224
914	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774191126	Ｐｙｔｈｏｎ超入門		伊藤裕一（プログラミング）	たった１日で基本が身に付く！	技術評論社	201708	2,060	2,224
915	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774191140	３ステップでしっかり学ぶＶｉｓｕａｌ　Ｂａｓｉｃ入門	改訂２版	朝井淳		技術評論社	201709	2,500	2,700
916	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774191171	ゼロからわかるＶｉｓｕａｌ　Ｂａｓｉｃ超入門：はじめてのプログラミング	改訂２版	国本温子	かんたんＩＴ基礎講座	技術評論社	201709	2,280	2,462
917	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774191805	かんたんＣ言語	改訂２版	大川内隆朗：大原竜男	プログラミングの教科書	技術評論社	201710	2,700	2,916
918	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774191812	３ステップでしっかり学ぶＣ＃入門：プログラミングの基礎をやさしく解説	改訂２版	杉浦賢		技術評論社	201710	2,680	2,894

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
919	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774192178	３ステップでしっかり学ぶＪａｖａＳｃｒｉｐｔ入門	改訂２版	大津真		技術評論社	201710	2,380	2,570
920	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774192222	Ｐｙｔｈｏｎエンジニアファーストブック		鈴木たかのり：清原弘貴		技術評論社	201709	2,400	2,592
921	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774192376	Ｈａｓｋｅｌｌ入門：関数型プログラミング言語の基礎と実践		本間雅洋：類地孝介		技術評論社	201710	3,280	3,542
922	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774192598	かんたんＶｉｓｕａｌ Ｃ＋＋	改訂２版	堀義博	プログラミングの教科書	技術評論社	201710	2,980	3,218
923	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774192635	Ｐｅｒｌではじめるプログラミング超入門	第２版	高橋順子（情報処理）	かんたんＩＴ基礎講座	技術評論社	201711	2,380	2,570
924	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774192642	かんたんＣ＃	改訂２版	伊藤達也：油吉アビトス事業部	プログラミングの教科書	技術評論社	201711	2,780	3,002
925	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774193564	かんたんＪａｖａＳｃｒｉｐｔ：ＥＣＭＡＳｃｒｉｐｔ２０１５対応版		高橋広樹：佐藤美保	プログラミングの教科書	技術評論社	201711	2,580	2,786
926	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774193731	Ｃ言語によるはじめてのアルゴリズム入門：ＣＤ－ＲＯＭ付	改訂第４版	河西朝雄		技術評論社	201712	2,880	3,110
927	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774193816	Ｃ言語ポインタ完全制覇		前橋和弥	新・標準プログラマーズライブラリ	技術評論社	201712	2,480	2,678
928	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774193823	Ｃ＋＋クラスと継承完全制覇		矢沢久雄	新・標準プログラマーズライブラリ	技術評論社	201712	2,480	2,678
929	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774193830	ＩｎｔｅｌｌｉＪ ＩＤＥＡハンズオン：基本操作からプロジェクト管理までマスター		山本裕介：今井勝信		技術評論社	201711	2,680	2,894
930	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774193977	プロを目指す人のためのＲｕｂｙ入門：言語仕様からテスト駆動開発・デバッグ技法まで		伊藤淳一（プログラミング）	Ｓｏｆｔｗａｒｅ Ｄｅｓｉｇｎ ｐｌｕｓシリーズ	技術評論社	201712	2,980	3,218
931	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774194622	３ステップでしっかり学ぶＪａｖａ入門	改訂２版	アンク		技術評論社	201801	2,480	2,678
932	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774194981	ゲームエンジニア養成読本：ゲーム開発者の仕事の全体像、最新開発手法と必修の最		長谷川勇：佐藤達磨	Ｓｏｆｔｗａｒｅ Ｄｅｓｉｇｎ ｐｌｕｓシリーズ	技術評論社	201801	2,180	2,354
933	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784777519330	Ｓｈａｄｅ ３Ｄ ｖｅｒ．１５ ＣＧテクニックガイド：「自由曲面」「ポリゴン」対応の統合型３Ｄ－ＣＧソフ		加茂恵美子：ｓｉｓｉｏｕｍａｒｕ	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201601	2,300	2,484
934	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784777519392	Ｈｏｕｄｉｎｉではじめる３Ｄビジュアルエフェクト：ノードベースの３Ｄ－ＣＧツールを使いこなす		平井豊和	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201602	2,300	2,484
935	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784777519453	Ｕｎｒｅａｌ Ｅｎｇｉｎｅ ４ゲーム制作入門：プロの現場で使われてる、最先端の「ゲーム・エンジン		石松正徳	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201604	2,900	3,132
936	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784777519484	はじめてのＶｉｓｕａｌ Ｓｔｕｄｉｏ Ｃｏｄｅ：「Ｗｉｎｄｏｗｓ／Ｍａｃ／Ｌｉｎｕｘ」で使えるオー		清水美樹	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201605	2,300	2,484
937	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784777519507	Ｃｌａｎｇではじめる C言語：「ＭａｃＯＳ」「ＦｒｅｅＢＳＤ」「Ａｎｄｒｏｉｄ		小田政明	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201605	2,300	2,484
938	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784777519514	基礎からのシェルスクリプト：「Ｌｉｎｕｘ」「ＭａｃＯＳ」「Ｗｉｎｄｏｗａ」で使		荻原利男	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201605	1,900	2,052
939	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784777519521	Ｗｅｂシステム用ライブラリ活用ガイド：短いコードを書くだけでプログラムの「使い勝手」が大		大沢文孝	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201605	2,300	2,484
940	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784777519583	ＪａｖａＳｃｒｉｐｔとＷｅｂＧＬによる画像処理プログラミング：「２Ｄ」「３Ｄ」画像処理の「加工」「解析」「合成」		酒井幸市	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201607	3,000	3,240
941	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784777519651	Ｊａｖａ将棋のアルゴリズム：アルゴリズムの強化手法を探る	改訂版	池泰弘	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201608	2,300	2,484
942	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784777519699	はじめてのＳｐｒｉｎｇ Ｂｏｏｔ：スプリング・フレームワークで簡単Ｊａｖａアプリ開発	改訂版	槙俊明	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201609	2,500	2,700
943	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784777519828	はじめてのＳｕｂｓｔａｎｃｅ Ｐａｉｎｔｅｒ：３Ｄ形状に“非破壊”で直接ペイント		吉阪豊	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201611	2,500	2,700
944	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784777519842	パソコンで「音」を処理する：「録音」「再生」から「波形解析」までチェック！		君島武志	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201612	2,300	2,484
945	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784777519903	Ｓｈａｄｅ ３Ｄ ｖｅｒ．１６ ＣＧテクニックガイド：《３Ｄプリンタ対応》統合型３Ｄ－ＣＧソフト		加茂恵美子：ｓｉｓｉｏｕｍａｒｕ	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201702	2,300	2,484
946	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784777519927	はじめてのＴｙｐｅＳｃｒｉｐｔ ２		清水美樹	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201702	2,300	2,484
947	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784777519941	シェルスクリプト「レシピ」ブック：「バックアップ」「更新チェック」「画像加工」・・・		東京シェル研究会	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201703	1,900	2,052
948	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784777519996	ＣｏｃｏｓＣｒｅａｔｏｒではじめるゲーム制作：「ＪａｖａＳｃｒｉｐｔ」と「ＧＵＩ」でゲームが作れ		朱鷺裕二	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201703	2,300	2,484
949	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784777520107	Ｃ／Ｃ＋＋で動かすＲａｓｐｂｅｒｒｙ Ｐｉ ３：小型Ｌｉｎｕｘボードを定番言語で制御！		大川善邦	Ｉ／Ｏ ＢＯＯＫＳ	工学社	201704	2,300	2,484
950	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784777520152	「Ｃｕｔｅ ＨＳＰ」ではじめるプログラミング入門：「Ｗｉｎｄｏｗｓ」「ｍａｃＯＳ」「Ｌｉｎｕｘ」対応		山田友梨	Ｉ／Ｏ ＢＯＯＫＳ	工学社	201706	1,900	2,052
951	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784777520169	はじめてのＶｉｓｕａｌ Ｓｔｕｄｉｏ ２０１７：「Ｗｉｎｄｏｗｓ」「Ａｎｄｒｏｉｄ」「ｉＯＳ」用ア		森博之	１／Ｏ ＢＯＯＫＳ	工学社	201706	2,300	2,484
952	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784777520299	はじめてのＫｏｔｌｉｎプログラミング		清水美樹	Ｉ／Ｏ ＢＯＯＫＳ	工学社	201710	2,300	2,484
953	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784777520336	Ｊａｖａではじめる「ラムダ式」：冗長なプログラムの実装が簡潔に！		清水美樹	Ｉ／ＯＢＯＯＫＳ	工学社	201711	2,300	2,484
954	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784777520367	Ｍｅｔａｌ２ではじめる３Ｄ－ＣＧゲームプログラミング		大西武	Ｉ／ＯＢＯＯＫＳ	工学社	201711	2,300	2,484
955	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784781914077	モデルの記述と検証のためのプログラミング入門：ＣａｆｅＯＢＪによる仕様検証		二木厚吉	ライブラリ情報学コア・テキスト	サイエンス社	201709	2,000	2,160
956	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784789842228	定番！ＡＲＭキット＆ＰＩＣ用Ｃプログラムでいきなりマイコン制御：ＵＳＢ／Ｉ２ＣからＡ－Ｄ／ＰＷＭまで，どんな機能も		芹井滋喜	マイコン活用シリーズ	ＣＱ出版	201602	2,700	2,916
957	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784789849319	ブラウザでお絵描きＩ／Ｏ！Ｎｏｄｅ－ＲＥＤで極楽コンピュータ・プログラミング：あのラズベリー・パイもこのラズベリー・パイもサクサ		桑野雅彦		ＣＱ出版	201605	2,000	2,160
958	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784789849791	全部ネット接続！Ｅｔｈｅｒｎｅｔマイコン・プログラミング：省エネ８ビットにも３２ビット×リアルタイムＯＳにも		Ｉｎｔｅｒｆａｃｅ編集部	ＴＥＣＨ Ｉシリーズ	ＣＱ出版	201705	3,600	3,888
959	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784789849814	並列＆高速処理のためのマイコン・プログラミング：ロボットもキビキビ動く！ＡＲＭや並列プロセッサＸＭ		インターフェース編集部	Ｔｅｃｈ Ｉ	ＣＱ出版	201304	2,800	3,024
960	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784797383102	プログラミング入門講座：基本と思考法と重要事項がきちんと学べる授業		米田昌悟		ＳＢクリエイティブ	201610	1,580	1,706
961	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784797384093	新・解きながら学ぶＣ言語		柴田望洋：由梨かおる		ＳＢクリエイティブ	201602	2,000	2,160
962	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784797386479	ふつうのＬｉｎｕｘプログラミング：Ｌｉｎｕｘの仕組みから学べるｇｃｃプログラミングの	第２版	青木峰郎		ＳＢクリエイティブ	201709	2,750	2,970
963	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784797386684	やさしいＣ＃	第２版	高橋麻奈		ＳＢクリエイティブ	201604	2,580	2,786
964	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784797387605	新・明解Ｊａｖａ入門		柴田望洋		ＳＢクリエイティブ	201606	2,700	2,916
965	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784797388268	やさしいＪａｖａ	第６版	高橋麻奈		ＳＢクリエイティブ	201609	2,580	2,786
966	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784797388275	やさしいＪａｖａ．活用編	第５版	高橋麻奈		ＳＢクリエイティブ	201610	2,580	2,786
967	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784797388534	新・明解Ｃ言語ポインタ完全攻略		柴田望洋		ＳＢクリエイティブ	201608	2,400	2,592
968	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784797388640	徹底マスター ＪａｖａＳｃｒｉｐｔの教科書：プログラミングの教養から、言語仕様、開発技法までが		磯博	Ｉｎｆｏｒｍａｔｉｃｓ＆ＩＤＥＡ	ＳＢクリエイティブ	201703	2,980	3,218
969	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784797388725	確かな力が身につくＰＨＰ「超」入門		松浦健一郎：司ゆき	Ｉｎｆｏｒｍａｔｉｃｓ＆ＩＤＥＡ	ＳＢクリエイティブ	201610	2,480	2,678
970	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784797388978	土日でわかるＰｙｔｈｏｎプログラミング教室：短期集中講座		吉谷愛	Ｉｎｆｏｒｍａｔｉｃｓ＆ＩＤＥＡ	ＳＢクリエイティブ	201709	2,380	2,570
971	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784797389456	基礎からのサーブレット／ＪＳＰ：ＳＥ必修！	新版	松浦健一郎：司ゆき	プログラマの種シリーズ	ＳＢクリエイティブ	201707	2,800	3,024
972	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784797389463	みんなのＰｙｔｈｏｎ	第４版	柴田淳		ＳＢクリエイティブ	201701	2,700	2,916

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
973	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784797390117	なるほど！プログラミング：動かしながら学ぶ、コンピュータの仕組みとプログラミ		森巧尚		ＳＢクリエイティブ	201705	1,980	2,138
974	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784797390261	確かな力が身につくＣ＃「超」入門		北村愛実	Ｉｎｆｏｒｍａｔｉｃｓ＆ＩＤＥＡ	ＳＢクリエイティブ	201707	2,580	2,786
975	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784797390506	新・解きながら学ぶＪａｖａ		柴田望洋：由梨かおる		ＳＢクリエイティブ	201708	2,400	2,592
976	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784797390513	新・明解Ｊａｖａで学ぶアルゴリズムとデータ構造		柴田望洋		ＳＢクリエイティブ	201705	2,400	2,592
977	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784797390520	新・明解Ｃ言語で学ぶアルゴリズムとデータ構造		柴田望洋		ＳＢクリエイティブ	201702	2,500	2,700
978	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784797390537	詳解Ｓｗｉｆｔ	第３版	荻原剛志		ＳＢクリエイティブ	201701	3,200	3,456
979	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784797392586	やさしいＣ	第５版	高橋麻奈		ＳＢクリエイティブ	201706	2,500	2,700
980	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784797392593	やさしいＣ＋＋	第５版	高橋麻奈		ＳＢクリエイティブ	201706	2,580	2,786
981	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784797393101	新しいシェルプログラミングの教科書		三宅英明		ＳＢクリエイティブ	201711	2,700	2,916
982	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784797393521	Ｕｎｉｔｙの教科書／Ｕｎｉｔｙ２０１７完全対応版：２Ｄ＆３Ｄスマートフォンゲーム入門講座．２０１７版		北村愛実		ＳＢクリエイティブ	201709	2,580	2,786
983	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784797393538	Ｕｎｉｔｙ２０１７入門：最新開発環境による簡単３Ｄ＆２Ｄゲーム制作		荒川巧也：浅野祐一		ＳＢクリエイティブ	201712	2,500	2,700
984	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784797394634	新・明解Ｃ＋＋入門		柴田望洋		ＳＢクリエイティブ	201712	2,750	2,970
985	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798045481	はじめてのＷｉｎｄｏｗｓムービーメーカー：Ｗｉｎｄｏｗｓ１０／８／７対応		羽石相	Ｂａｓｉｃ ｍａｓｔｅｒ ｓｅｒｉｅｓ	秀和システム	201601	1,580	1,706
986	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798045511	作って覚えるＶｉｓｕａｌ Ｃ＃ ２０１５デスクトップアプリ入門：Ｖｉｓｕａｌ Ｓｔｕｄｉｏ Ｅｘｐｒｅｓｓ ２０１		荻原裕之：宮崎昭世		秀和システム	201602	2,300	2,484
987	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798045658	Ｓｐｒｉｎｇ Ｂｏｏｔプログラミング入門		掌田津耶乃		秀和システム	201602	2,800	3,024
988	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798046105	ＡｃｃｅｓｓＶＢＡ即戦力講座：これ一冊で完璧！		沢内晴彦		秀和システム	201603	2,000	2,160
989	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798046143	プリンシプルオブプログラミング：３年目までに身につけたい一生役立つ１０１の原理原則		上田勲		秀和システム	201603	2,200	2,376
990	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798046211	作って覚えるＶｉｓｕａｌ Ｂａｓｉｃ ２０１５デスクトップアプリ入門：Ｖｉｓｕａｌ Ｓｔｕｄｉｏ Ｅｘｐｒｅｓｓ ２０１		荻原裕之：宮崎昭世		秀和システム	201604	2,300	2,484
991	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798046266	現場ですぐに使える！Ｖｉｓｕａｌ Ｃ＃ ２０１５逆引き大全５００の極意：Ｖｉｓｕａｌ Ｓｔｕｄｉｏ Ｐｒｏｆｅｓｓｉｏｎａ		増田智明：国本温子		秀和システム	201604	2,700	2,916
992	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798046341	遊んで学ぶはじめてのプログラミング：Ｐｒｏｃｅｓｓｉｎｇの魔法学校		西田竜太	Ｇａｍｅ ｄｅｖｅｌｏｐｅｒ ｂｏｏｋｓ	秀和システム	201604	2,200	2,376
993	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798046396	ＥｃｌｉｐｓｅではじめるＪａｖａフレームワーク入門：Ｍａｖｅｎ／Ｇｒａｄｌｅ対応	第５版	掌田津耶乃		秀和システム	201603	2,800	3,024
994	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798046563	現場ですぐに使える！Ｖｉｓｕａｌ Ｂａｓｉｃ ２０１５逆引き大全５２０の極意：Ｖｉｓｕａｌ Ｓｔｕｄｉｏ Ｐｒｏｆｅｓｓｉｏｎａ		増田智明：国本温子		秀和システム	201607	2,700	2,916
995	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798046952	新わかりやすいＪａｖａはじめてのプログラミング		川場隆		秀和システム	201606	2,400	2,592
996	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798047003	今さら聞けないＰｈｏｔｏｓｈｏｐ：ＣＣ／ＣＳ６対応		駒形文隆		秀和システム	201608	1,800	1,944
997	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798047010	今さら聞けないＩｌｌｕｓｔｒａｔｏｒ：ＣＣ／ＣＳ６／ＣＳ５／ＣＳ４対応		羽石相		秀和システム	201607	1,800	1,944
998	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798047065	Ｖｉｓｕａｌ Ｂａｓｉｃ ２０１５パーフェクトマスター：Ｍｉｃｒｏｓｏｆｔ Ｖｉｓｕａｌ Ｓｔｕｄｉｏ Ｃ		金城俊哉	Ｐｅｒｆｅｃｔ ｍａｓｔｅｒ	秀和システム	201608	2,900	3,132
999	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798047072	Ｖｉｓｕａｌ Ｃ＃ ２０１５パーフェクトマスター：Ｗｉｎｄｏｗｓ １０完全対応Ｗｉｎｄｏｗｓ ８．１		金城俊哉	Ｐｅｒｆｅｃｔ ｍａｓｔｅｒ	秀和システム	201610	3,200	3,456
1000	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798047300	エクセルＶＢＡのプログラミングをはじめからじっくりと。：プログラミング未経験者でもこれなら必ず最後まで読め		沢内晴彦		秀和システム	201609	1,800	1,944
1001	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798047423	現場で使えるＭａｙａスクリプティング		岸本ひろゆき		秀和システム	201702	3,700	3,996
1002	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798047768	これならわかる！Ｃ言語入門講座：オンライン実行環境を使ってラクラク学習！	第２版	水口克也		秀和システム	201609	2,200	2,376
1003	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798047843	ＪａｖａＳｃｒｉｐｔフレームワーク入門		掌田津耶乃		秀和システム	201609	2,800	3,024
1004	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798048031	はじめてのＪＳＰ＆サーブレット：Ｔｏｍｃａｔ８対応	第２版	東浩二：山田祥寛	Ｔｅｃｈｎｉｃａｌ ｍａｓｔｅｒ	秀和システム	201610	2,800	3,024
1005	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798048048	Ｕｎｒｅａｌ Ｅｎｇｉｎｅ ４ネットワークゲーム開発入門		長谷川雄一	Ｇａｍｅ ｄｅｖｅｌｏｐｅｒ ｂｏｏｋｓ	秀和システム	201609	2,500	2,700
1006	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798048055	しんせつなＰｙｔｈｏｎ：プログラミング超初心者が初心者になるための本		とおやまただし：とおやまつよし		秀和システム	201610	1,700	1,836
1007	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798048062	Ｈａｓｋｅｌｌ：教養としての関数型プログラミング		重城良国		秀和システム	201704	3,400	3,672
1008	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798048130	Ｅｘｃｅｌ ＶＢＡパーフェクトマスター：Ｅｘｃｅｌ ２０１６完全対応Ｅｘｃｅｌ ２０１３／		土屋和人	Ｐｅｒｆｅｃｔ ｍａｓｔｅｒ	秀和システム	201611	3,000	3,240
1009	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798048161	Ｐｙｔｈｏｎプログラミングパーフェクトマスター		金城俊哉	Ｐｅｒｆｅｃｔ ｍａｓｔｅｒ	秀和システム	201611	2,800	3,024
1010	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798048611	はじめてのＰｒｅｍｉｅｒｅ Ｅｌｅｍｅｎｔｓ １５		羽石相	Ｂａｓｉｃ ｍａｓｔｅｒ ｓｅｒｉｅｓ	秀和システム	201612	1,700	1,836
1011	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798048680	Ｐｙｔｈｏｎプログラミングのツボとコツがぜったいにわかる本：最初からそう教えてくれればいいのに！		ＳｈａｎｎｏｎＬａｂ株式会社		秀和システム	201612	2,700	2,916
1012	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798048703	ｉＯＳ／ｍａｃＯＳプログラマのためのＸｃｏｄｅ時短開発テクニック		土屋喬		秀和システム	201702	1,600	1,728
1013	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798048727	Ｅｘｃｅｌ ＶＢＡ逆引き大全６００の極意：現場ですぐに使える！		Ｅ－Ｔｒａｉｎｅｒ．ｊｐ		秀和システム	201612	2,600	2,808
1014	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798049380	ＪａｖａビルドツールＡＰＩ：Ｍａｖｅｎ／Ｇｒａｄｌｅ／ＳＢＴ／Ｂａｚｅｌ対応		掌田津耶乃		秀和システム	201702	2,800	3,024
1015	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798049496	はじめてのＩｌｌｕｓｔｒａｔｏｒ ＣＣ ２０１７		羽石相	Ｂａｓｉｃ ｍａｓｔｅｒ ｓｅｒｉｅｓ	秀和システム	201702	1,780	1,922
1016	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798049557	Ｉｌｌｕｓｔｒａｔｏｒではじめてのイラスト	第２版	ｍａｍｍｏｔｈ．山田充		秀和システム	201702	2,400	2,592
1017	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798049885	はじめてのＰｈｏｔｏｓｈｏｐ ＣＣ２０１７		桐生彩希	Ｂａｓｉｃ ｍａｓｔｅｒ ｓｅｒｉｅｓ	秀和システム	201703	1,780	1,922
1018	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798050256	Ｓｕｂｓｔａｎｃｅ Ｐａｉｎｔｅｒ入門		ま～てい		秀和システム	201710	3,500	3,780
1019	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798050379	ＺＢｒｕｓｈＣｏｒｅ超入門講座		福井個明（ＨＯＰＢＯＸ）		秀和システム	201704	3,700	3,996
1020	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798050485	Ｊａｖａのオブジェクト指向がぜったいにわかる本	第２版	立山秀利		秀和システム	201703	2,300	2,484
1021	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798051260	作って覚えるＶｉｓｕａｌ Ｃ＃２０１７デスクトップアプリ入門		荻原裕之：宮崎昭世		秀和システム	201707	2,300	2,484
1022	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798051277	作って覚えるＶｉｓｕａｌ Ｂａｓｉｃ ２０１７デスクトップアプリ入門		荻原裕之：宮崎昭世		秀和システム	201710	2,300	2,484
1023	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798051543	大熱血！アセンブラ入門		坂井弘亮		秀和システム	201709	4,600	4,968
1024	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798051956	Ｓｐｒｉｎｇ Ｄａｔａ ＪＰＡプログラミング入門		溝口賢司		秀和システム	201708	4,000	4,320
1025	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798052830	Ｖｉｓｕａｌ Ｂａｓｉｃ ２０１７パーフェクトマスター：全機能解説／ダウンロードサービス付		金城俊哉	Ｐｅｒｆｅｃｔ ｍａｓｔｅｒ	秀和システム	201710	2,900	3,132
1026	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798052847	Ｖｉｓｕａｌ Ｃ＃２０１７パーフェクトマスター：全機能解説		金城俊哉	Ｐｅｒｆｅｃｔ Ｍａｓｔｅｒ	秀和システム	201710	3,200	3,456

No	カテゴリ	分野	分類1	分類2	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
1027	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798052854	ＶｉｓｕａｌＣ＋＋２０１７パーフェクトマスター		金城俊哉		秀和システム	201711	3,000	3,240
1028	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798053042	ＨＳＰでつくるはじめてのプログラミング：ＨＳＰ３．５＋３Ｄｉｓｈ入門		おにたま：悠黒暗史		秀和システム	201711	2,300	2,484
1029	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798053660	Ａｎｄｒｏｉｄアプリ開発のためのＫｏｔｌｉｎ実践プログラミング：現場で求められる設計・実装のノウハウ		船曳崇也		秀和システム	201801	2,800	3,024
1030	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798053745	Ｓｐｒｉｎｇ Ｆｒａｍｅｗｏｒｋ５プログラミング入門		掌田津耶乃		秀和システム	201712	2,800	3,024
1031	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798053769	詳解Ｇｏｏｇｌｅ Ａｐｐｓ Ｓｃｒｉｐｔ完全入門：Ｇｏｏｇｌｅ Ａｐｐｓ ＆ Ｇ Ｓｕｉｔｅの最新ブ		高橋宣成		秀和システム	201801	2,600	2,808
1032	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798134208	ガベージコレクション：自動的メモリ管理を構成する理論と実装		リチャード・ジョーンズ：アントニー・ホスキング		翔泳社	201603	4,200	4,536
1033	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798135472	独習ＰＨＰ	第３版	山田祥寛		翔泳社	201604	3,200	3,456
1034	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798142418	スターティングＧｏ言語		松尾愛賀	ＣｏｄｅＺｉｎｅ ｂｏｏｋｓ	翔泳社	201604	2,980	3,218
1035	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798142470	Ｓｐｒｉｎｇ徹底入門：Ｓｐｒｉｎｇ ＦｒａｍｅｗｏｒｋによるＪａｖａアプ		ＮＴＴデータ		翔泳社	201607	4,000	4,320
1036	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798143002	Ｃ＋＋プライマー	第５版	スタンリ・Ｂ．リップマン：ジョージー・ラジョワール		翔泳社	201608	7,800	8,424
1037	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798143026	Ｕｎｒｅａｌ Ｅｎｇｉｎｅ ４ブループリント逆引きリファレンス：ゲーム・映像制作現場で役立つビジュアルスクリプトガ		ａｌｗｅｉ		翔泳社	201602	4,500	4,860
1038	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798143033	Ｕｎｉｔｙ５ゲーム開発レシピ：ハマるゲーム制作のノウハウ		ＢＡＴＡ：まつだす		翔泳社	201601	2,800	3,024
1039	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798143354	なっとく！アルゴリズム：興味はあるけど考えることが苦手なあなたに		アディティア・Ｙ．バーガバ：クイープ		翔泳社	201701	2,500	2,700
1040	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798143798	ほんきで学ぶＡｆｔｅｒ Ｅｆｆｅｃｔｓ映像制作入門：ＣＣ対応		高木和明		翔泳社	201604	3,380	3,650
1041	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798143965	Ｃ＃逆引きレシピ：プロが選んだ三ツ星レシピ		ａｒｔｏｎ	Ｐｒｏｇｒａｍｍｅｒ'ｓ ｒｅｃｉｐｅ	翔泳社	201606	2,900	3,132
1042	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798144078	即戦力にならないといけない人のためのＪａｖａ入門：エンタープライズシステム開発ファーストステップガイ		竹田晴樹：渡邉裕史	ＣｏｄｅＺｉｎｅ ｂｏｏｋｓ	翔泳社	201607	2,980	3,218
1043	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798144122	Ｕｎｉｔｙゲームエフェクト入門：Ｓｈｕｒｉｋｅｎで作る！ユーザーを引き込む演出手法		ｋｔｋ．ｋｕｍａｍｏｔｏ	ＳＭＡＲＴ ＧＡＭＥ ＤＥＶＥＬＯＰＥＲ	翔泳社	201604	3,400	3,672
1044	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798145037	Ｓｃａｌａパズル：３６の罠から学ぶベストプラクティス		アンドリュー・フィリップス：ネルシン・セリフオヴィック		翔泳社	201602	3,000	3,240
1045	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798145280	おうちで学べるアルゴリズムのきほん		鈴木浩一		翔泳社	201703	2,200	2,376
1046	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798145563	関数型リアクティブプログラミング		ＡｎｔｈｏｎｙＪｏｎｅｓ：Ｓｔｅｐｈｅｎ Ｂｌａｃｋｈｅａｔｈ	Ｐｒｏｇｒａｍｍｅｒ'ｓ ＳＥＬＥＣＴＩＯＮ	翔泳社	201708	4,300	4,644
1047	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798146584	Ｅｘｃｅｌ ＶＢＡ逆引き辞典パーフェクト	第３版	田中亨		翔泳社	201607	2,580	2,786
1048	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798146744	プログラムの絵本：プログラミングの基本がわかる９つの扉		アンク		翔泳社	201609	1,780	1,922
1049	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798147611	組込みソフトウェア開発のための構造化プログラミング：組込みエンジニア教科書		組込みソフトウェア管理者・技術者育成研究		翔泳社	201609	2,500	2,700
1050	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798149370	作れる！学べる！Ｕｎｒｅａｌ Ｅｎｇｉｎｅ ４ゲーム開発入門		荒川巧也		翔泳社	201701	3,280	3,542
1051	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798149516	ＲｘＪａｖａリアクティブプログラミング		須田智之	ＣｏｄｅＺｉｎｅ ｂｏｏｋｓ	翔泳社	201702	3,600	3,888
1052	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798149776	アルゴリズム図鑑：絵で見てわかる２６のアルゴリズム		石田保輝：宮崎修一		翔泳社	201706	2,380	2,570
1053	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798149820	Ｉｌｌｕｓｔｒａｔｏｒ逆引きデザイン事典：ＣＣ／ＣＳ６／ＣＳ５／ＣＳ４／ＣＳ３	増補改訂版	生田信一：ヤマダジュンヤ		翔泳社	201702	2,400	2,592
1054	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798149929	Ｐｈｏｔｏｓｈｏｐ逆引きデザイン事典	増補改訂版	上原ゼンジ：加藤才智		翔泳社	201703	2,400	2,592
1055	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798150376	Ｊａｖａの絵本：Ｊａｖａが好きになる新しい９つの扉	第３版	アンク		翔泳社	201612	1,580	1,706
1056	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798151090	スラスラわかるＰｙｔｈｏｎ		岩崎圭：北川慎治		翔泳社	201708	2,300	2,484
1057	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798151649	ＰＨＰの絵本：Ｗｅｂアプリ作りが楽しくなる新しい９つの扉	第２版	アンク		翔泳社	201704	1,680	1,814
1058	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798151830	Ｊａｖａ 第２版 実践編 アプリケーション作りの基本		三谷純	プログラミング学習シリーズ	翔泳社	201704	1,880	2,030
1059	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798151847	Ｊａｖａ 第２版 入門編 ゼロからはじめるプログラミング		三谷純	プログラミング学習シリーズ	翔泳社	201704	1,880	2,030
1060	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798151892	Ｃ＃の絵本：Ｃ＃が楽しくなる新しい９つの扉	第２版	アンク		翔泳社	201710	1,780	1,922
1061	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798151908	Ｃ＋＋の絵本：Ｃ＋＋が好きになる新しい９つの扉	第２版	アンク		翔泳社	201704	1,780	1,922
1062	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798153193	Ｐｙｔｈｏｎ１年生：体験してわかる！会話でまなべる！プログラミングのし		森巧尚		翔泳社	201712	1,980	2,138
1063	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798153261	ＪａｖａＳｃｒｉｐｔ１年生：体験してわかる！会話でまなべる！プログラミングのし		リブロワークス		翔泳社	201712	1,980	2,138
1064	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798153278	Ａｋｋａ実践バイブル：アクターモデルによる並行・分散システムの実現		レイモンド・ロステンバーグ：ロブ・ウイリアムス		翔泳社	201712	4,800	5,184
1065	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798153797	スラスラわかるＣ言語：Ｂｅｇｉｎｎｅｒ'ｓ Ｂｅｓｔ Ｇｕｉｄｅ ｔｏ	第２版	岡崎裕史		翔泳社	201710	2,200	2,376
1066	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784798153827	独習Ｃ＃	新版	山田祥寛		翔泳社	201712	3,600	3,888
1067	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784800711274	Ｍｉｎｅｃｒａｆｔで遊んで学べるプログラミングの教科書：Ｌｕａ言語＆ＣｏｍｐｕｔｅｒＣｒａｆｔ対応版		へぼへぼ		ソーテック社	201606	2,380	2,570
1068	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784800711304	詳細！ＰＨＰ７＋ＭｙＳＱＬ入門ノート		大重美幸		ソーテック社	201607	2,980	3,218
1069	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784800711359	やさしく学べるＩｌｌｕｓｔｒａｔｏｒ練習帳		広田正康		ソーテック社	201609	1,980	2,138
1070	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784800711472	Ｂｌｅｎｄｅｒ ３ＤＣＧモデリング・マスター		Ｂｅｎｊａｍｉｎ		ソーテック社	201611	2,800	3,024
1071	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784800711496	Ｐｈｏｔｏｓｈｏｐ Ｅｌｅｍｅｎｔｓ １５スーパーリファレンス：ｆｏｒ Ｗｉｎｄｏｗｓ ＆ Ｍａｃ ＯＳ		ソーテック社		ソーテック社	201610	2,280	2,462
1072	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784800711557	Ｐｒｅｍｉｅｒｅ Ｐｒｏスーパーリファレンス：基本からしっかり学べる		阿部信行		ソーテック社	201701	3,200	3,456
1073	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784800711571	Ｐｈｏｔｏｓｈｏｐスーパーリファレンス		井村克也：ソーテック社		ソーテック社	201702	2,380	2,570
1074	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784800711588	Ｉｌｌｕｓｔｒａｔｏｒスーパーリファレンス		井村克也		ソーテック社	201702	2,380	2,570
1075	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784800711595	いちばんやさしいＰｙｔｈｏｎ入門教室		大澤文孝		ソーテック社	201704	2,280	2,462
1076	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784800711656	Ｍｉｎｅｃｒａｆｔで楽しく学べるＰｙｔｈｏｎプログラミング		齋藤大輔		ソーテック社	201706	2,480	2,678
1077	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784800711670	詳細！Ｐｙｔｈｏｎ３入門ノート		大重美幸		ソーテック社	201705	2,680	2,894
1078	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784802510141	Ｆｉｎａｌ Ｃｕｔ Ｐｒｏ １０ ＋ Ｍｏｔｉｏｎ ５ Ｓｔａｎｄａｒｄ Ｔｅｃ：プロが教える映像制作テクニック１００	第３版	石坂アツシ		ビー・エヌ・エヌ新社	201602	3,200	3,456
1079	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784802510264	Ａｆｔｅｒ Ｅｆｆｅｃｔｓ：プロとして知っておきたい効率＆品質アップテクニック		石坂アツシ		ビー・エヌ・エヌ新社	201609	3,800	4,104
1080	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784802510295	Ｓｈａｄｅ ３Ｄ ｖｅｒ．１６ガイドブック		ｓｈａｄｅｗｒｉｔｅｒｓ		ビー・エヌ・エヌ新社	201607	3,200	3,456

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
1081	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784802510424	Ａｆｔｅｒ Ｅｆｆｅｃｔｓ標準エフェクト全解：Ｃｏｍｐｌｅｔｅｄ Ａｌｌ ｏｆ ２７５ ｅｆｆｅ	ＣＣ対応改訂第３	石坂アツシ：大河原浩一		ビー・エヌ・エヌ新社	201612	5,000	5,400
1082	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784802510462	Ｐｒｅｍｉｅｒｅ Ｐｒｏ		石坂アツシ		ビー・エヌ・エヌ新社	201703	3,400	3,672
1083	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784802510547	Ｆｉｎａｌ Ｃｕｔ Ｐｒｏ Ｘガイドブック：Ｆｉｎａｌ Ｃｕｔ Ｐｒｏ Ｘ １０．３対応！	第３版	加納真		ビー・エヌ・エヌ新社	201705	3,200	3,456
1084	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784802510615	はじめてのＣｉｎｅｍａ４Ｄ：モデリングからモーショングラフィックスまで基本が学		田村誠（プログラミング）		ティー・エム・エス(発売：ビー・エヌ・エヌ新社)	201704	3,000	3,240
1085	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784802510660	Ａｆｔｅｒ Ｅｆｆｅｃｔｓ ｆｏｒアニメーション：ＣＣ対応改訂版		大平幸輝		ビー・エヌ・エヌ新社	201710	3,800	4,104
1086	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784802510714	Ｖｉｓｕａｌ Ｔｈｉｎｋｎｇ ｗｉｔｈ Ｔｏｕｃｈ Ｄｅｓｉｇｎｅｒ：プロが追及リアルタイムレンダリング＆プロトタイピン		松山周平：松波直秀		ビー・エヌ・エヌ新社	201709	3,800	4,104
1087	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784802610445	いまどきのアルゴリズムを使いこなすＰＨＰプログラミング開発テクニック：基本のソートから、スクレイピング、ベイジアン、ＳＶ		クジラ飛行机		ソシム	201605	2,980	3,218
1088	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784802610957	Ｉｌｌｕｓｔｒａｔｏｒレッスンブック		ミル・デザイン：ロフトウェイズ		ソシム	201704	2,200	2,376
1089	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784802611084	プログラミング言語図鑑：プログラミング言語の現在・過去・未来…知ればもっと		増井敏克		ソシム	201708	1,680	1,814
1090	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784802611282	１００問でわかるＰｙｔｈｏｎ		松浦健一郎：司ゆき		ソシム	201711	1,800	1,944
1091	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784822239176	まつもとゆきひろ言語のしくみ		まつもとゆきひろ：日経Ｌｉｎｕｘ編集部		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201612	2,800	3,024
1092	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784822253554	アプリを作ろう！Ｖｉｓｕａｌ Ｃ#入門：Ｖｉｓｕａｌ Ｃ#２０１７対応 無償のＶｉｓｕａｌ		高野将：山田祥寛		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201708	2,000	2,160
1093	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784822255138	ＺＥＲＯ ＢＵＧＳ：シリコンバレープログラマの教え		ケイト・トンプソン：酒匂寛		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201705	2,400	2,592
1094	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784822285432	アルゴリズムの基本		トマス・Ｈ．コルメン：長尾高弘		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201603	2,400	2,592
1095	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784822298616	．ＮＥＴ開発テクノロジ入門：Ｖｉｓｕａｌ Ｓｔｕｄｉｏ ２０１５対応版．２０１６年版		五十嵐祐貴：生形可奈子		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201602	3,000	3,240
1096	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784822298647	ひと目でわかるＶｉｓｉｏ ２０１６		岸井徹		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201602	1,900	2,052
1097	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784822298685	ユニバーサルＷｉｎｄｏｗｓアプリ開発入門		川俣晶	ＭＳＤＮプログラミングシリーズ	日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201606	2,800	3,024
1098	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784822298746	ひと目でわかるＶｉｓｕａｌ Ｃ# ２０１５アプリケーション開発入門		伊藤達也	ＭＳＤＮプログラミングシリーズ	日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201610	2,900	3,132
1099	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784822298760	アプリを作ろう！Ｖｉｓｕａｌ Ｃ++入門：無償のＶｉｓｕａｌ Ｓｔｕｄｉｏ Ｃｏｍｍｕｎｉｔ		ＷＩＮＧＳプロジェクト：山田祥寛		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201606	2,000	2,160
1100	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784822298920	スマホで始めるＣ#入門		川俣晶		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201701	2,500	2,700
1101	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784822298937	基礎からしっかり学ぶＣ++の教科書		矢吹太朗：山田祥寛		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201702	2,800	3,024
1102	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784822298944	基礎からしっかり学ぶＣ#の教科書：Ｃ#７対応 構文とサンプルコードでＣ#が学べる入門		二江賢：山田祥寛		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201711	2,800	3,024
1103	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784822298975	Ｔｙｐｅ Ｓｃｒｉｐｔ実践マスター		古賀慎一		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201712	3,200	3,456
1104	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784839953959	プログラミングの世界へようこそ：絵で見てわかる！		尾川一行：中川聡		マイナビ出版	201601	1,790	1,933
1105	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784839954901	Ｃｏｃｏｓ２ｄ－ｘゲーム開発集中講義：はじめてでもよくわかる！		西田寛輔：藤田泰生		マイナビ出版	201603	2,980	3,218
1106	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784839956745	ちゃんと使える力を身につけるＪａｖａプログラミング入門		大沢文孝		マイナビ出版	201604	2,480	2,678
1107	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784839956790	Ｒａｓｐｂｅｒｒｙ Ｐｉ ２とＷｉｎｄｏｗｓ １０ではじめるＩｏＴプログラミング		宇田周平：林宜憲		マイナビ出版	201511	2,980	3,218
1108	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784839958824	ＣＩＮＥＭＡ ４Ｄ ＭｏＧｒａｐｈ／ＸＰｒｅｓｓｏガイドブック		冨士俊雄		マイナビ出版	201701	4,180	4,514
1109	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784839959135	画像処理・機械学習プログラミング：Ｏｐｅｎ ＣＶ３対応		浦西友樹：大倉史生		マイナビ出版	201706	3,280	3,542
1110	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784839960100	世界で闘うプログラミング力を鍛える本：コーディング面接１８９問とその解法		ゲイル・ラークマン・マクダウェル：岡田佑一		マイナビ出版	201702	3,800	4,104
1111	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784839960216	楽しく学ぶアルゴリズムとプログラミングの図鑑		森巧尚：まつむらまさお		マイナビ出版	201611	2,490	2,689
1112	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784839960247	実践力を身につけるＰｙｔｈｏｎの教科書		クジラ飛行机		マイナビ出版	201610	2,580	2,786
1113	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784839960483	マインクラフトプログラミングブック：ＣｏｍｐｕｔｅｒＣｒａｆｔ対応		寺園聖文：中植正剛		マイナビ出版	201609	2,380	2,570
1114	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784839961008	Ｒａｓｐｂｅｒｒｙ Ｐｉ ３でつくるＩｏＴプログラミング：ＩｏＴガジェットをつくろう！		宇田周平：林宜憲		マイナビ出版	201701	2,900	3,132
1115	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784839961626	ちゃんと使える力を身につけるＪａｖａ Ｓｃｒｉｐｔのきほんのきほん		大澤文孝		マイナビ出版	201711	2,480	2,678
1116	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784839961749	Ｋｏｔｌｉｎイン・アクション		ＤｍｉｔｒｙＪｅｍｅｒｏｖ：ＳｖｅｔｌａｎａＩｓａａｋｏｖａ		マイナビ出版	201710	3,810	4,114
1117	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784844365754	Ｐｈｏｔｏｓｈｏｐ ＆ Ｉｌｌｕｓｔｒａｔｏｒでつくる手描き感デザイン：味のある質感・表現をつくるデザインテクニック集		ＭｄＮ編集部		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201604	2,300	2,484
1118	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784844366089	ＵｎｉｔｙではじめるＣ#：Ｕｎｉｔｙ５．４．０ｆ３対応．基礎編		大槻有一郎：いたのくまんぼう		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201611	2,600	2,808
1119	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784844366362	Ｐｈｏｔｏｓｈｏｐ ＋ Ｉｌｌｕｓｔｒａｔｏｒパターン・背景デザインの「速攻」制：ＣＣ ２０１７・２０１５・２０１４／ＣＣ／ＣＳ６対		下田和政		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201701	2,500	2,700
1120	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784844366751	やさしいレッスンで学ぶきちんと身につくＩｌｌｕｓｔｒａｔｏｒの教本		ヤマダジュンヤ：内藤タカヒコ		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201708	2,200	2,376
1121	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784844380122	Ｕｎｉｔｙ ５ゲーム開発はじめの一歩		古波倉正隆	ＴＨＩＮＫ ＩＴ ＢＯＯＫＳ	インプレス	201603	1,800	1,944
1122	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784844380153	基礎Ｐｙｔｈｏｎ		大津真	ＩＭＰＲＥＳＳ ＫＩＳＯ ＳＥＲＩＥＳ	インプレス	201603	2,680	2,894
1123	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784844380207	基礎Ｖｉｓｕａｌ Ｂａｓｉｃ ２０１５：入門から実践へステップアップ…！		羽山博	ＩＭＰＲＥＳＳ ＫＩＳＯ ＳＥＲＩＥＳ	インプレス	201603	3,200	3,456
1124	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784844380801	できる逆引きＥｘｃｅｌＶＢＡを極める勝ちワザ７００：２０１６／２０１３／２０１０／２００７対応		国本温子：緑川吉行		インプレス	201606	2,980	3,218
1125	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784844381495	Ｓｃａｌａスケーラブルプログラミング	第３版	マーティン・オダースキー：レックス・スプーン		インプレス	201609	4,600	4,968
1126	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784844397557	ＪａｖａＳｃｒｉｐｔゲームプログラミング：知っておきたい数学と物理の基本		田中賢一郎	インプレスＲ＆Ｄｎｅｘｔ ｐｕｂｌｉｓｈｉｎｇ(発売：インプレス)	インプレスＲ＆Ｄ(発売：インプレス)	201703	3,700	3,996
1127	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784844608561	アルゴリズムとデータ構造		田中秀和	実践的技術者のための電気電子系教科書シリーズ	理工図書	201703	3,200	3,456
1128	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784862463340	Ｐｈｏｔｏｓｈｏｐレタッチ＆合成の秘訣：ＴＨＥ ＰＨＯＴＯＳＨＯＰ ＷＯＲＫＢＯＯＫ日本語		グリン・デウィス：スタジオリズ		ボーンデジタル	201608	4,200	4,536
1129	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784862463388	Ｗｅｂ＋印刷のためのＩｌｌｕｓｔｒａｔｏｒ活用術		ファー・インク：山本州		ボーンデジタル	201604	2,800	3,024
1130	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784862463524	ゲームグラフィックス．２０１６		ＣＧＷＯＲＬＤ＆ＤｉｇｉｔａｌＶ		ボーンデジタル	201609	3,600	3,888
1131	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784862463548	２４時間で学ぶ！Ｕｎｉｔｙ５：基本操作と開発のコツ		ベン・トリステム：マイク・ゲイグ		ボーンデジタル	201609	5,000	5,400
1132	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784862463678	ＰＨＯＴＯＳＨＯＰレタッチの超時短レシピ：最短ルートで魅力的なビジュアルに仕上げるデザインテ		コリー・バーカー：Ｂスプラウト		ボーンデジタル	201703	3,600	3,888
1133	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784862463951	ＣＧエフェクトＬａｂ．：イラストでわかる物理現象		近藤啓太：赤崎弘幸		ボーンデジタル	201709	3,000	3,240
1134	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784862463968	ゲームグラフィックス：ＣＧＷＯＲＬＤ特別編集版．２０１７		ＣＧＷＯＲＬＤ編集部		ボーンデジタル	201709	3,600	3,888

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
1135	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784863452848	直接構造化コーディング		齋藤錬男		丸善プラネット(発売：丸善出版)	201604	2,400	2,592
1136	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784863541740	Ｗｉｎｄｏｗｓ ＰｏｗｅｒＳｈｅｌｌ逆引きハンドブック：バージョン５．０／４．０／３．０／２．０対応！		蒲生睦男		シーアンドアール研究所	201604	4,200	4,536
1137	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784863541757	Ｓｗｉｆｔ逆引きハンドブック：Ｓｗｉｆｔ ２．ｘ対応		林晃		シーアンドアール研究所	201602	4,000	4,320
1138	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784863542013	Ｒ言語逆引きハンドブック	改訂３版	石田基広		シーアンドアール研究所	201607	5,000	5,400
1139	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784863542099	Ｗｉｎｄｏｗｓ／Ｍａｃ／ＵＮＩＸすべてで２０年動くプログラムはどう書くべきか：一度書けばどこでも、ずっと使えるプログラムを読む型		松浦智之：ユニバーサル・シェル・プログラミング研究		シーアンドアール研究所	201611	3,600	3,888
1140	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784863542266	基礎からわかるＳｃａｌａ		鮫島光貴		シーアンドアール研究所	201709	2,430	2,624
1141	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784865103311	よくわかるＭｉｃｒｏｓｏｆｔ Ｅｘｃｅｌ ２０１６ ＶＢＡプログラミング実践		富士通エフ・オー・エム	よくわかる	富士通エフ・オー・エム	201708	2,400	2,592
1142	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784865940398	Ｋｏｔｌｉｎスタートブック：新しいＡｎｄｒｏｉｄプログラミング		長澤太郎		リックテレコム	201607	3,500	3,780
1143	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784865940411	Ｇｏ言語入門		飛松清：奥谷謙一		リックテレコム	201607	3,200	3,456
1144	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784865940596	関数型プログラミングの基礎：ＪａｖａＳｃｒｉｐｔを使って学ぶ		立川察理：長瀬嘉秀		リックテレコム	201611	2,800	3,024
1145	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784865940657	気づけばプロ並みＰＨＰ	改訂版	谷藤賢一		リックテレコム	201702	2,700	2,916
1146	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784865940701	Ｕｎｉｔｙではじめるおもしろプログラミング入門		藤森将昭		リックテレコム	201703	1,800	1,944
1147	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784865941074	つないでつないでプログラミング：Ｎｏｄｅ－ＲＥＤでつくる初めてのアプリ		日立Ｎｏｄｅ－ＲＥＤエバンジェリスト		リックテレコム	201708	2,000	2,160
1148	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784873117492	初めてのＡｎｄｒｏｉｄ	第４版	エド・バーネット：あんざいゆき		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201602	2,500	2,700
1149	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784873117539	Ｐｙｔｈｏｎチュートリアル：Ｐｙｔｈｏｎ ３．５対応	第３版	グイド・ファン・ロッサム：鴨澤眞夫		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201603	1,800	1,944
1150	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784873117560	Ｅｆｆｅｃｔｉｖｅ Ｐｙｔｈｏｎ：Ｐｙｔｈｏｎプログラムを改良する５９項目		ブレット・スラットキン：黒川利明		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201601	3,200	3,456
1151	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784873117706	初めてのＴｈｒｅｅ．ｊｓ：ＷｅｂＧＬのためのＪａｖａＳｃｒｉｐｔ ３Ｄライブ		コス・ディルクセン：あんどうやすし		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201607	4,000	4,320
1152	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784873117737	Ｐｒｏｃｅｓｓｉｎｇをはじめよう	第２版	ケイシー・リース：ベン・フライ		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201609	2,000	2,160
1153	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784873117782	退屈なことはＰｙｔｈｏｎにやらせよう：ノンプログラマーにもできる自動化処理プログラミング		アル・スウェイガート：相川愛三		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201706	3,700	3,996
1154	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784873117812	Ｃクイックリファレンス	第２版	ピーター・プリンツ：トニー・クロフォード		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201611	4,600	4,968
1155	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784873117836	初めてのＪａｖａＳｃｒｉｐｔ：ＥＳ２０１５以降の最新ウェブ開発	第３版	イーサン・ブラウン：武舎広幸		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201701	3,200	3,456
1156	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784873117850	アルゴリズムクイックリファレンス	第２版	ジョージ・Ｔ．ハイネマン：ゲイリー・ポリス		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201612	3,600	3,888
1157	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784873117928	Ｏｐｔｉｍｉｚｅｄ Ｃ++		ＫｕｒｔＧｕｎｔｈｅｒｏｔｈ：黒川利明		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201702	4,000	4,320
1158	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784873117973	ＳＶＧエッセンシャルズ	第２版	Ｊ．デビッド・アイゼンバーグ：アメリア・ベラニー・ロイズ		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201705	3,600	3,888
1159	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784873117997	Ｅｆｆｅｃｔｉｖｅ Ｄｅｂｕｇｇｉｎｇ：ソフトウェアとシステムをデバッグする６６項目		ディオミディス・スピネリス：黒川利明		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201706	3,200	3,456
1160	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784873118079	アイソモーフィックＪａｖａＳｃｒｉｐｔ		ジェイソン・ストリンベル：マキシーム・ナジム		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201707	2,800	3,024
1161	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784873118109	ＵｎｉｔｙによるＡＲゲーム開発：作りながら学ぶオーグメンテッドリアリティ入門		Ｍｉｃｈｅａｌ Ｌａｎｈａｍ：高橋憲一		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201709	3,200	3,456
1162	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784873118178	Ｆｌｕｅｎｔ Ｐｙｔｈｏｎ：Ｐｙｔｈｏｎｉｃな思考とコーディング手法		ＬｕｃｉａｎｏＲａｍａｌｈｏ：豊沢聡		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201710	5,800	6,264
1163	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784873118208	ベタープログラマ：優れたプログラマになるための３８の考え方とテクニック		ピート・グッドリフ：柴田芳樹		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201712	3,000	3,240
1164	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784877833220	Ｃ／Ｃ++デバッグ＆トラブル対策入門：Ｃ言語とＣ++のプログラミングの「困った」はこれで		日向俊二		カットシステム	201607	2,000	2,160
1165	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784877833237	ｔｈｒｅｅ．ｊｓによるＨＴＭＬ５ ３Ｄグラフィックス．上	改訂版	遠藤理平		カットシステム	201607	4,200	4,536
1166	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784877833527	クイズでマスターＣ言語		日向俊二		カットシステム	201602	1,600	1,728
1167	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784877833800	実践ＯｐｅｎＣＶ３ ｆｏｒ Ｃ++画像映像情報処理		永田雅人：豊沢聡		カットシステム	201709	4,400	4,752
1168	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784877833893	Ａｒｄｕｉｎｏ＆ＨＴＭＬ５によるＩｏＴアプリのつくり方：センサーと最新ウェブ技術でアイデアを形に		遠藤理平：松田佳歩		カットシステム	201705	3,800	4,104
1169	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784877833947	やさしいＪａｖａ入門：講義形式でじっくりマスター	第３版	池田成樹		カットシステム	201602	2,400	2,592
1170	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784877833961	Ｓｗｉｆｔ Ｍａｃアプリ開発入門：次世代ｉＯＳ、ｍａｃＯＳプログラマーのための		中山茂（情報工学）		カットシステム	201703	3,800	4,104
1171	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784877833985	ＯｐｅｎＣＶ３基本プログラミング：さらに進化した画像処理ライブラリの定番		北山洋幸		カットシステム	201605	4,000	4,320
1172	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784877833992	Ｆｏｒｔｒａｎ ２００８入門		日向俊二		カットシステム	201604	3,000	3,240
1173	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784877834005	ｔｈｒｅｅ．ｊｓによるＨＴＭＬ５ ３Ｄグラフィックス：ブラウザで実現するＯｐｅｎＧＬ（ＷｅｂＧＬ）の世界．新機能と応用		遠藤理平		カットシステム	201606	3,400	3,672
1174	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784877834012	ＯＢＪＥＣＴ ＰＡＳＣＡＬ ＨＡＮＤＢＯＯＫ：マルチデバイス開発ツールＤｅｌｐｈｉのためのブログ		マルコ・カントウ：藤井等		カットシステム	201606	6,000	6,480
1175	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784877834043	ＩｏＴデバイスプログラミング入門：Ｗｉｎｄｏｗｓ １０ ＩｏＴ Ｃｏｒｅ&Ｒａｓｐｂ		北山洋幸		カットシステム	201608	2,400	2,592
1176	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784877834067	プログラムの不思議を解く：実力派プログラマのための教養としてのアセンブラ入門		日向俊二		カットシステム	201609	2,600	2,808
1177	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784877834074	ｔｈｒｅｅ．ｊｓによるＨＴＭＬ５ ３Ｄグラフィックス．下	改訂版	遠藤理平		カットシステム	201611	4,000	4,320
1178	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784877834104	Ｊａｖａで始めるＯｐｅｎＣＶ ３プログラミング		北山直洋：北山洋幸		カットシステム	201610	3,500	3,780
1179	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784877834128	Ｃ#によるＷｉｎｄｏｗｓシステムプログラミング		北山洋幸		カットシステム	201701	4,400	4,752
1180	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784877834135	ドリル形式でやさしく学ぶＣ／Ｃ++		日向俊二		カットシステム	201701	2,200	2,376
1181	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784877834197	Ｃ#グラフィックス＆イメージプログラミング		北山洋幸		カットシステム	201706	4,200	4,536
1182	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784877834210	Ｐｒｏｃｅｓｓｉｎｇ３による画像処理とグラフィックス		谷尻かおり：谷尻豊寿		カットシステム	201706	3,200	3,456
1183	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784877834296	ＯｐｅｎＣＬ２入門：メニーコアＣＰＵ＆ＧＰＧＰＵ時代の並列処理		北山洋幸		カットシステム	201712	5,400	5,832
1184	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784886472472	Ｊａｖａ８問題集：理解を深める５００問		大森俊太郎	ＳＣＣ ｂｏｏｋｓ	エスシーシー	201603	2,000	2,160
1185	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784886476357	Ｊａｖａ入門	改訂版	瀬戸雅彦：ＳＣＣ出版局	ＳＣＣ Ｂｏｏｋｓ	エスシーシー	201703	2,000	2,160
1186	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784886476364	オブジェクト指向プログラミング	改訂版	阿知波寛	ＳＣＣ Ｂｏｏｋｓ	エスシーシー	201703	2,000	2,160
1187	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784896412529	アルゴリズムとデータ構造：基礎から学ぶ		久保田稔		ムイスリ出版	201707	2,300	2,484
1188	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784899774600	Ｒｈｉｎｏｃｅｒｏｓ逆引きコマンド・リファレンス		斉藤兼彦：中島淳雄		ラトルズ	201703	2,680	2,894

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
1189	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784899774617	はじめよう！作りながら楽しく覚えるＢｌｅｎｄｅｒ		大河原浩一		ラトルズ	201704	2,750	2,970
1190	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784899774686	ＣＩＮＥＭＡ ４Ｄ Ｌｉｔｅ入門：Ａｆｔｅｒ Ｅｆｆｅｃｔｓユーザーのための		大河原浩一		ラトルズ	201710	2,800	3,024
1191	ICT	哲学各論	哲学各論	心身論	9784627817531	物質と意識：脳科学・人工知能と心の哲学		ボール・M．チャーチランド：信原幸弘		森北出版	201608	2,800	3,024
1192	ICT	西洋哲学	西洋哲学	生の哲学/現象学	9784326102174	ウィトゲンシュタインｖｓ．チューリング：計算、ＡＩ、ロボットの哲学		水本正晴		勁草書房	201211	5,700	6,156
1193	ICT	心理学	心理学	理論/心理体系	9784865281262	心をめぐるパラダイム：人工知能はいかに可能か		西川泰夫	放送大学叢書	左右社	201508	1,800	1,944
1194	ICT	心理学	心理学	感覚/知覚	9784774187952	人工知能を超える人間の強みとは		奈良潤		技術評論社	201703	1,780	1,922
1195	ICT	倫理学，道徳	倫理学，道徳	倫理学/道徳	9784779511226	宇宙倫理学入門：人工知能はスペース・コロニーの夢を見るか？		稲葉振一郎		ナカニシヤ出版	201612	2,500	2,700
1196	ICT	倫理学，道徳	倫理学，道徳	倫理学/道徳	9784815808686	ロボットからの倫理学入門		久木田水生：神崎宣次		名古屋大学出版会	201702	2,200	2,376
1197	ICT	政治	政治	政治史/事情	9784561951384	ビッグデータから見える韓国：政治と既存メディア・ＳＮＳのダイナミズムが織りなす		チョ・ファスン：ハンギュプ		白桃書房	201710	2,600	2,808
1198	ICT	経済	経済	経済学/経済思想	9784326550777	選択しないという選択：ビッグデータで変わる「自由」のかたち		キャス・Ｒ．サンスティン：伊達尚美		勁草書房	201701	2,700	2,916
1199	ICT	経済	経済	企業構造/企業組織	9784502180514	ＩｏＴ時代の競争分析フレームワーク：バリューチェーンからレイヤー構造化へ		根来竜之：浜屋敏		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201607	2,500	2,700
1200	ICT	経済	経済	企業構造/企業組織	9784561266969	ＩｏＴ時代のアライアンス戦略：人工知能の進化とマッチング数理モデルの提案		冨田賢		白桃書房	201704	2,750	2,970
1201	ICT	経済	経済	経営管理	9784798131900	ビッグデータ・アナリティクス時代の日本企業の挑戦：「４＋１の力」[ソーシャル・モバイル・クラウド・ビ		大元隆志		翔泳社	201307	1,800	1,944
1202	ICT	経済	経済	経営政策/経営計画	9784561226796	イノベーション・ドライバーズ：ＩｏＴ時代をリードする競争力構築の方法		氏家豊		白桃書房	201606	3,000	3,240
1203	ICT	経済	経済	経営政策/経営計画	9784817195425	ビレネー・ストーリー：ビッグデータ時代のテーマ解決法		野口博司：磯貝恭史		日科技連出版社	201503	2,800	3,024
1204	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784023311619	「プライスレス」な成功法則：クライアントの落とし方、マーケットの動かし方		ケヴィン・アレン：酒井泰介		朝日新聞出版	201302	1,600	1,728
1205	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784048668170	エクセルでできる！ビッグデータの活用事例：「Ｐｏｗｅｒ ＢＩ」で売上倍増！		アスキー書籍編集部：マイクロソフト	ビジネス極意シリーズ	KADOKAWA / アスキー・メディアワークス	201409	2,000	2,160
1206	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784048703109	Ｅｘｃｅｌでマスターするビジュアルデータ分析実践の極意：Ｅｘｃｅｌ ２０１０対応		住中光夫		アスキー・メディアワークス(発売：ＫＡＤＯＫＡＷＡ)	201205	2,300	2,484
1207	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784048918855	Ｗｉｎｄｏｗｓ Ｓｅｒｖｅｒ ２０１２&クラウドで実現する耐障害性対策・ＢＣＰ対		ＣＳＫＷｉｎテクノロジ		KADOKAWA / アスキー・メディアワークス	201312	3,200	3,456
1208	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784130402590	技術経営の実践的研究：イノベーション実現への突破口		丹羽清：石黒周		東京大学出版会	201301	3,800	4,104
1209	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784130470698	Ｒｅｗｅａｖｉｎｇ ｔｈｅ Ｅｃｏｎｏｍｙ：Ｈｏｗ ＩＴ Ａｆｆｅｃｔｓ ｔｈｅ Ｂｏｒｄｅｒ		高木聡一郎		東京大学出版会	201703	7,200	7,776
1210	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784254102574	プレゼンテーション概論：実践と活用のために		柴岡信一郎：渋井二三男		朝倉書店	201204	2,700	2,916
1211	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784254102611	学生のためのプレゼン上達の方法：トレーニングとビジュアル化		塚本真也：高橋志織		朝倉書店	201209	2,300	2,484
1212	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784274217715	スリムに実現するＩＳＯ２７００１完全実例集．２０１４年版対応		村島昭男		オーム社	201506	6,500	7,020
1213	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784274504082	図解情報システム発注の基礎		村田正憲		オーム社	201301	2,000	2,160
1214	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784274505843	ゴール&ストラテジ入門：残念なシステムの無くし方		ビクター・パシリ：アダム・トレンドビッサ		オーム社	201509	2,800	3,024
1215	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784320123434	アイデア発想法と協同作業支援		宗森純：由井薗隆也	未来へつなぐデジタルシリーズ	共立出版	201405	2,800	3,024
1216	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784326550685	セキュリティ経営：ポスト３．１１の復元力		林紘一郎：田川義博		勁草書房	201112	2,700	2,916
1217	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784335355042	企業ネットトラブル対策バイブル		畑中鐵丸法律事務所		弘文堂	201207	2,100	2,268
1218	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784335356810	クラウド情報管理の法律実務		松尾剛行		弘文堂	201609	3,500	3,780
1219	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784382056671	経営指標の実践フレームワーク：Ｔｈｉｎｋｉｎｇ Ｃｏｒｐｏｒａｔｅ Ｍｅｔｒｉｃ		宮川雅明		産業能率大学出版部	201207	2,000	2,160
1220	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784384046816	すぐに役立つ入門図解改正対応！個人情報保護法とマイナンバー法のしくみ		戸塚美砂		三修社	201605	1,800	1,944
1221	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784417016595	秘密保持・競業避止・引抜きの法律相談		高谷知佐子：上村哲史	最新青林法律相談	青林書院	201508	4,100	4,428
1222	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784419057916	危機管理型クラウド：場所に縛られないＩＴ環境による危機に強く人にやさし		戸村智憲		税務経理協会	201205	1,800	1,944
1223	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784419060435	経営と情報の深化と融合		阪南大学：伊田昌弘	阪南大学叢書	税務経理協会	201401	3,300	3,564
1224	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784426118303	知らないと大変なことになる会社の個人情報対策		クレア法律事務所		自由国民社	201409	1,900	2,052
1225	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784433540456	Ｑ＆Ａマイナンバーのセキュリティ対策：ＩＴを利活用した安全管理のすべて		武本敏：手塚悟		清文社	201511	2,000	2,160
1226	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784433642976	改正個人情報保護法と企業実務：２０１７年５月全面施行の改正法に対応		影島広泰		清文社	201706	4,000	4,320
1227	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784478014981	限界からのＢＰＯ戦略：人・プロセス・情報を最適化し、見えないコストに光を		ＢＰＯビジネス研究会		ダイヤモンド社	201109	1,600	1,728
1228	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784478024836	「経験知」を伝える技術	新装版	ドロシー・レオナルド・バートン：ウォルター・スワップ		ダイヤモンド社	201309	2,000	2,160
1229	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784478025994	グロービスＭＢＡで教えているプレゼンの技術：人を動かす勝利の方程式		グロービス：吉田素文		ダイヤモンド社	201409	1,800	1,944
1230	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784478039229	オープン・イノベーションの教科書：社外の技術でビジネスをつくる実践ステップ		星野達也		ダイヤモンド社	201502	1,800	1,944
1231	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784492533727	企業変革のためのＩＴ戦略		室井雅博：蹟原雅一		東洋経済新報社	201512	1,800	1,944
1232	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784492557204	外資系コンサルのスライド作成術：図解表現２３のテクニック		山口周【著】		東洋経済新報社	201211	1,600	1,728
1233	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784495373030	現代経営とネットワーク	新版	岸川典昭：中村雅章		同文舘出版	201503	2,900	3,132
1234	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784495380816	経営情報処理の実践		梶田建夫：程鵬		同文舘出版	201204	2,500	2,700
1235	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784495385316	組織における知識の共有と創造：ソーシャル・キャピタル、私生活の人間関係、動機、自		向日恒喜		同文舘出版	201503	3,200	3,456
1236	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784495386313	クラウド・リスク・マネジメント		ＰｗＣあらた監査法人		同文舘出版	201601	1,900	2,052
1237	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784495387914	経営情報要論		岸川善光：朴慶心		同文舘出版	201702	3,200	3,456
1238	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784495390075	個人情報・プライバシーの実務ガイド：パーソナルデータの保護と管理		ＥＹアドバイザリー・アンド・コンサルティ		同文舘出版	201709	1,900	2,052
1239	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784496049965	中小企業のＩＴ経営論		岡田浩一		同友館	201308	1,900	2,052
1240	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784496051241	中小企業のための技術経営（ＭＯＴ）入門：“つよみ”を活かすこれからの企業経営モデル		立命館大学：名取隆		同友館	201503	2,000	2,160
1241	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784496051272	研究開発は成長戦略エンジン：Ｓｔａｔｉｃ Ｒ&ＤからＤｙｎａｍｉｃ Ｒ&Ｄへ		木村寿男		同友館	201506	2,500	2,700
1242	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784496052170	すべての意思決定者のための経営情報システム概論		一瀬益夫		同友館	201606	2,200	2,376

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
1243	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784496052439	テクノロジー経営入門：デジタル技術とＩｏＴの進化が企業経営に与える影響と		松崎和久		同友館	201610	2,400	2,592
1244	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784502051500	実践！営業秘密管理：企業秘密の漏えいを防止せよ！		綜合警備保障株式会社：田辺総合法律事務所		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201201	2,800	3,024
1245	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784502079702	「情報管理」に強くなる法務戦略：個人情報・企業秘密の保護とノウハウ等の活用		湯原伸一		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201403	2,600	2,808
1246	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784502085604	「技術流出」リスクへの実務対応		肥塚直人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201401	2,200	2,376
1247	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784502091704	経営情報システム	第４版	宮川公男：上田泰		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201403	2,800	3,024
1248	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784502095405	プロの英語プレゼン：６ステップでだれでもできる！		竹村和浩		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201404	1,800	1,944
1249	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784502095801	ビッグデータを活かす技術戦略としてのテキストマイニング		狐田文男：那須川哲哉		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201405	3,400	3,672
1250	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784502097102	イノベーション人材がリードする日本企業の「真」成長戦略：博士の活用が日本企業飛躍への起爆剤となる		古田健二		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201404	3,400	3,672
1251	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784502148415	グローバル情報システムの再構築．１		安井望		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201510	3,000	3,240
1252	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784502148514	グローバル情報システムの再構築．２		安井望		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201510	3,400	3,672
1253	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784502148613	グローバル情報システムの再構築．３		安井望		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201510	3,400	3,672
1254	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784502174117	秘密保持契約の実務：作成・交渉から平成２７年改正不競法まで		森本大介：石川智也		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201603	2,600	2,808
1255	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784502174711	ＩｏＴ時代のプラットフォーム競争戦略：ネットワーク効果のレバレッジ		加藤和彦		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201602	2,600	2,808
1256	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784502183416	ビッグデータ分析を経営に活かす		ＫＰＭＧジャパン		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201603	2,400	2,592
1257	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784502192418	Ｑ＆Ａ営業秘密をめぐる実務論点		ＴＭＩ総合法律事務所：五十嵐敦		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201609	3,500	3,780
1258	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784502225215	技術経営		原拓志：宮尾学	ベーシック＋	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201709	2,400	2,592
1259	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784502236815	入門ガイダンス経営情報システム	第２版	古殿幸雄		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201709	2,400	2,592
1260	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784502444104	ＥＲＰ再構築の実務：ＩＦＲＳ導入とＩＴ統制で見直す		あずさ監査法人		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201110	3,400	3,672
1261	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784502465109	「炎上リスク」に備えるＷｅｂモニタリングのすすめ方		デロイト～マツリスクサービス株式会社		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201212	1,800	1,944
1262	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784502476105	現代経営情報システム		竹安数博：石井康夫		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201304	2,600	2,808
1263	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784502483400	ＩＴエンジニアのための「すごい提案」の組み立て方		石坂博之		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201307	2,400	2,592
1264	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784502486203	はじめようＷｅｂ経営：五感をくすぐるホームページの考え方		阿部裕樹		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201311	2,200	2,376
1265	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784502487101	企業変革における情報システムのマネジメント：ＩＳのフレキシビリティと戦略的拡張性		依田祐一	碩学叢書	碩学舎(発売：中央経済グループパブ)	201310	3,400	3,672
1266	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784502488504	「先用後利」のビジネスモデル：ＩＴプロフェッショナルが見る先人の知恵		桐谷恵介：宮崎友之		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201310	2,600	2,808
1267	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784502691706	クラウド時代の情報システム部：経営に貢献するための機能と役割		桐谷恵介：宮下毅		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201112	2,600	2,808
1268	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784526067679	知ってなアカン！技術者のためのマネジメント思考上達法：わかりやすく・やさし・役に立つ		戟忠希：佐野義幸	Ｂ＆Ｔブックス	日刊工業新聞社	201110	2,200	2,376
1269	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784526072277	実践プログラムマネジメント：イノベーションを確実に遂行する		吉田邦夫：山本秀男		日刊工業新聞社	201403	2,000	2,160
1270	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784526077791	日本型“ＡＩ（人工知能）”ビジネスモデル：俯瞰図から見える		大野治		日刊工業新聞社	201712	2,000	2,160
1271	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784532134136	創発経営のプラットフォーム：協働の情報基盤づくり		国領二郎：慶應義塾大学ＳＦＣ研究所		日本経済新聞出版社	201110	4,200	4,536
1272	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784532317485	いまこそ出番日本型技術経営：現場の知恵は企業の宝		伊丹敬之：東京理科大学ＭＯＴ研究会		日本経済新聞出版社	201111	2,000	2,160
1273	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784532317577	ｉＰａｄで現場を変える！：社員も顧客も喜ぶ業務革新「４０事例」		斉藤徹：河原潤		日本経済新聞出版社	201112	1,800	1,944
1274	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784532318628	不常識の経営が日本を救う		伊丹敬之：東京理科大学ＭＯＴ研究会		日本経済新聞出版社	201212	2,200	2,376
1275	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784532319250	技術を武器にする経営：日本企業に必要なＭＯＴとは何か		伊丹敬之：宮永博史		日本経済新聞出版社	201403	2,200	2,376
1276	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784532319960	教科書を超えた技術経営		伊丹敬之：東京理科大学ＭＯＴ研究会		日本経済新聞出版社	201504	2,500	2,700
1277	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784532321659	対デジタル・ディスラプター戦略：既存企業の戦い方		マイケル・ウェイド：ジェフ・ルークス		日本経済新聞出版社	201710	2,000	2,160
1278	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784532355562	ソーシャルな資本主義：つながりの経営戦略		国領二郎		日本経済新聞出版社	201303	1,800	1,944
1279	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784539725405	個人情報保護法・マイナンバー制度法的リスク対策と取扱規程		渡邉雅之		日本法令	201704	4,800	5,184
1280	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784542305458	ＩＳＯ／ＩＥＣ２７０１７：２０１５（ＪＩＳＱ２７０１７：２０１６）：ＩＳＯ／ＩＥＣ２７００２に基づくクラウドサービス		永宮直史：後藤里奈		日本規格協会	201710	3,400	3,672
1281	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784542504783	情報品質：データの有効活用が企業価値を高める		関口恭毅	ＪＳＱＣ選書	日本規格協会	201306	1,600	1,728
1282	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784542701755	ＩＳＯ／ＩＥＣ２７００１：２０１３（ＪＩＳＱ２７００１：２０１４）情報セキ		中尾康二：山崎哲	Ｍａｎａｇｅｍｅｎｔ ｓｙｓｔｅｍ ＩＳＯ ｓｅｒｉｅ	日本規格協会	201404	2,500	2,700
1283	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784542701779	ＩＳＯ／ＩＥＣ２７００２：２０１３（ＪＩＳＱ２７００２：２０１４）情報セキ		中尾康二：北原幸彦	Ｍａｎａｇｅｍｅｎｔ ｓｙｓｔｅｍ ＩＳＯ ｓｅｒｉｅ	日本規格協会	201503	3,800	4,104
1284	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784542701786	対訳ＩＳＯ／ＩＥＣ２７００１：２０１３（ＪＩＳＱ２７００１：２０１４）情報セ：ポケット版		日本規格協会	Ｍａｎａｇｅｍｅｎｔ ｓｙｓｔｅｍ ＩＳＯ ｓｅｒｉｅ	日本規格協会	201406	3,900	4,212
1285	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784561225874	場のチカラ：プラスアルファの力を生みだす創造手法		森田松太郎：日本ナレッジ・マネジメント学会	ＫＭ叢書	白桃書房	201205	2,381	2,571
1286	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784561245995	ＩＴ投資マネジメントの変革		松島桂樹		白桃書房	201303	2,600	2,808
1287	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784561265641	ＩＣＴの進展と情報活用能力：変容する組織と個人の関係性		小豆川裕子		白桃書房	201206	3,200	3,456
1288	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784561265757	グローバルビジネス戦略		渡部俊也：元橋一之	東京大学知的資産経営総括寄付講座シリーズ	白桃書房	201111	2,500	2,700
1289	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784561266051	ＭＯＴ教育の総合的研究		大石芳裕	明治大学社会科学研究所叢書	白桃書房	201303	4,762	5,142
1290	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784595315084	技術マネジメントの法システム		児玉晴男		放送大学教材	放送大学教育振興会(発売：ＮＨＫ出版)	201403	2,600	2,808
1291	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784595317361	技術経営の考え方	新訂	宮崎久美子		放送大学教材	放送大学教育振興会(発売：ＮＨＫ出版)	201703	3,100	3,348
1292	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784621066010	プレゼンテーションＺｅｎデザイン：あなたのプレゼンを強化するデザインの原則とテクニッ		ガー・レイノルズ：熊谷小百合		丸善出版	201402	2,400	2,592
1293	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784621066034	プレゼンテーションＺｅｎ：プレゼンのデザインと伝え方に関するシンプルなアイデ	第２版	ガー・レイノルズ：熊谷小百合		丸善出版	201402	2,600	2,808
1294	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784623062126	ＩＣＴイノベーションの変革分析：産業・企業・消費者行動との相互展開		藤原雅俊：具承桓	Ｍｉｎｅｒｖａ現代経営学叢書	ミネルヴァ書房	201203	4,000	4,320
1295	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784641164581	オープン・イノベーションのマネジメント：高い経営成果を生む仕組みづくり		米倉誠一郎：清水洋		有斐閣	201503	2,400	2,592
1296	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784641164598	現場の情報化：ＩＴ利用実践の組織論的研究		松嶋登		有斐閣	201505	5,000	5,400

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
1297	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784641164659	オープン化戦略：境界を超えるイノベーション		安本雅典：真鍋誠司		有斐閣	201712	3,900	4,212
1298	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784641164819	国際特許管理の日本的展開：ＧＥと東芝の提携による生成と発展		西村成弘		有斐閣	201612	4,200	4,536
1299	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784641164840	ソーシャル・ネットワークとイノベーション戦略：組織からコミュニティのデザインへ		中野勉		有斐閣	201709	2,600	2,808
1300	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784641220577	経営情報論	新版補訂	遠山暁：村田潔	有斐閣アルマ	有斐閣	201503	2,000	2,160
1301	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784757103696	ＣＳＩＲＴ：構築から運用まで		日本コンピュータセキュリティインシデント		ＮＴＴ出版	201611	3,400	3,672
1302	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784757123441	攻めのＩＴ戦略		ＮＴＴデータ経営研究所	情報未来叢書	ＮＴＴ出版	201502	2,200	2,376
1303	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784762022265	情報革新と組織革新		森川信男	森川ワールド：プラス	学文社	201110	2,600	2,808
1304	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784766418729	グローバルＲ＆Ｄマネジメント		浅川和宏		慶応義塾大学出版会	201110	4,200	4,536
1305	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784771025547	日産モノづくりの知識創造経営：知識創造を促進する行為とリーダーシップ		松平好人		晃洋書房	201407	3,000	3,240
1306	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784771026162	マネジメントのためのＩＣＴ基礎講座		九州ＩＣＴ教育研究会		晃洋書房	201504	2,700	2,916
1307	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784771027299	情報マネジメントが経営を変える		中根雅夫		晃洋書房	201604	2,400	2,592
1308	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784774171289	ビジネスＰｏｗｅｒＰｏｉｎｔ実践入門：戦略から始めるスライド作成のセオリー		藤木俊明		技術評論社	201502	1,780	1,922
1309	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784777516476	ＢＡＢＯＫがわかる本：ビジネスの課題を体系的に解決！		赤間世紀	Ｉ／Ｏ ｂｉｚ	工学社	201112	1,900	2,052
1310	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784777519057	仮想デスクトップ「ＶＤＩ」「ＤａａＳ」入門：「シン・クライアント」の選定から「サービス」の導入		西島剛	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201507	1,900	2,052
1311	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784779506543	大学生からのプレゼンテーション入門		中野美香		ナカニシヤ出版	201205	1,900	2,052
1312	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784785723545	営業秘密Ｑ＆Ａ８０		荒川雄二郎		商事法務	201511	3,300	3,564
1313	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784785723958	実務解説職務発明：平成２７年特許法改正対応		深津拓寛：松田誠司		商事法務	201603	3,000	3,240
1314	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784785724436	個人情報管理ハンドブック	第３版	ＴＭＩ総合法律事務所：淵邉善彦		商事法務	201608	6,500	7,020
1315	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784785771317	営業秘密保護の手引き		経済産業省経済産業政策局	別冊ＮＢＬ	商事法務	201609	3,200	3,456
1316	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784792333379	営業秘密の管理と保護		結城哲彦		成文堂	201512	6,500	7,020
1317	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784794423801	ｅビジネスの教科書	第４版	幡鎌博		創成社	201203	2,200	2,376
1318	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784794423856	経営情報システムとビジネスプロセス管理		大場允晶：藤川裕晃		創成社	201205	2,500	2,700
1319	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784794424341	ｅビジネスの教科書	第５版	幡鎌博		創成社	201403	2,200	2,376
1320	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784794424730	ｅビジネスの教科書	第６版	幡鎌博		創成社	201603	2,200	2,376
1321	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784797212648	営業秘密の保護：不正競業としてのノウ・ハウの侵害を中心として	増補	小野昌延	学術選書プラス	信山社出版	201307	9,800	10,584
1322	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784798124711	イノベーションのＤＮＡ：破壊的イノベータの５つのスキル		クレイトン・Ｍ．クリステンセン：ジェフリー・ダイアー	Ｈａｒｖａｒｄ ｂｕｓｉｎｅｓｓ ｓｃｈｏｏｌ ｐｏｓ	翔泳社	201201	2,000	2,160
1323	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784798126159	企業のためのソーシャルメディア安全運用とリスクマネジメント		福田浩至		翔泳社	201208	2,000	2,160
1324	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784798128665	Ｔｉｖｏｌｉバックアップ／リカバリー・ガイドブック：ＴＳＭで実現する統合リカバリー環境への第一歩		日本アイ・ビー・エム株式会社		翔泳社	201207	2,800	3,024
1325	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784798130781	ＩａａＳシステム構築／管理ガイド：ＮＩＦＴＹ Ｃｌｏｕｄ Ｔｅｃｈｎｉｃａｌ Ｇｕｉ		石田健亮：江尻高宏		翔泳社	201304	2,980	3,218
1326	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784798132563	ＩＴサービスマネジメント事例に学ぶ実践の秘訣		ｉｔＳＭＦＪａｐａｎ		翔泳社	201309	2,200	2,376
1327	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784798135816	ＳＡＰ ＢｕｓｉｎｅｓｓＯｂｊｅｃｔｓ ＢＩ Ｐｌａｔｆｏｒｍ ４．１：ビッグデータ時代の分析プラットフォーム入門		篠原史信		翔泳社	201402	3,800	4,104
1328	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784798147390	プロジェクト・デザイン・パターン：企画・プロデュース・新規事業に携わる人のための企画		井庭崇：梶原文生		翔泳社	201604	2,200	2,376
1329	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784806529743	職務発明規定変更及び相当利益決定の法律実務	改訂版	高橋淳	現代産業選書	経済産業調査会	201604	2,800	3,024
1330	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784806529750	企業秘密事件判決の総括		青山紘一	現代産業選書	経済産業調査会	201604	9,000	9,720
1331	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784817194657	情報通信社会における企業経営．上（ストラテジ・マネジメント編		久保田正道：卜部正夫		日科技連出版社	201303	2,500	2,700
1332	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784817194664	情報通信社会における企業経営．下（テクノロジ編）		久保田正道：卜部正夫		日科技連出版社	201303	2,600	2,808
1333	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784817195838	経営情報システム入門		柴直樹：水上祐治		日科技連出版社	201603	3,000	3,240
1334	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784817196170	情報通信社会における企業経営：ストラテジ・マネジメント編．上（ストラテジ・マネジメント編	第２版	久保田正道：卜部正夫		日科技連出版社	201703	2,600	2,808
1335	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784817196187	情報通信社会における企業経営：テクノロジ編．下（テクノロジ編）	第２版	久保田正道：卜部正夫		日科技連出版社	201703	2,700	2,916
1336	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784817196200	ＩｏＴ時代のセキュリティと品質：ダークネットの脅威と脆弱性		畠中伸敏：井上博之		日科技連出版社	201704	3,200	3,456
1337	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784820748601	会社を強くするビッグデータ活用入門：基本知識から分析の実践まで		網野知博		日本能率協会マネジメントセンター	201312	1,800	1,944
1338	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784820749585	マイナンバー制度と個人情報保護対策の実務		中西優一郎		日本能率協会マネジメントセンター	201511	2,000	2,160
1339	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784822211899	ＩＴ運用管理攻めのツール活用術：ＮＲＩのデータセンター運用から生まれた「Ｓｅｎｊｕ		野村総合研究所		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201109	2,800	3,024
1340	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784822235888	実践するオープンイノベーション		トーマツベンチャーサポート		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201705	1,800	1,944
1341	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784822237776	現場で使えるセキュリティ事故対応：実践ＣＳＩＲＴ		リクルートテクノロジーズ：Ｒｅｃｒｕｉｔ－ＣＳＩＲＴ		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201607	2,500	2,700
1342	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784822249397	図解ＣＩＯハンドブック	改訂４版	野村総合研究所システムコンサルティング事		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201212	2,000	2,160
1343	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784822249786	データサイエンス超入門：ビジネスで役立つ「統計学」の本当の活かし方		工藤卓哉【著】：保科学世【著】		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201311	1,600	1,728
1344	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784822249830	実践ＩＴ戦略論：肥大化するシステムを超えて新たな事業価値を創造する		淀川高喜【著】		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201312	1,600	1,728
1345	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784822250133	データ・アナリティクス３．０：ビッグデータ超先進企業の挑戦		トーマス・Ｈ・ダベンポート【著】：有限責任監査法人トーマツイノベーション		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201405	2,000	2,160
1346	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784822250331	ＴＥＤ驚異のプレゼン：人を惹きつけ、心を動かす９つの法則		カーマイン・ガロ【著】：土方奈美【訳】		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201407	1,800	1,944
1347	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784822262624	データマネジメント知識体系ガイド		ＤＡＭＡ Ｉｎｔｅｒｎａｔｉｏｎａｌ：データ総研		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201112	6,200	6,696
1348	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784822262648	民間向けＩＴシステムのＳＬＡガイドライン：導入・契約方法、改善点、最新事例を網羅	第４版	電子情報技術産業協会：日経コンピュータ編集部		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201203	9,400	10,152
1349	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784822262808	「データ経営」を実現するＩＴ戦略：経営管理の本質はマスターデータにある		國本修司		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201311	2,800	3,024
1350	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784822262839	ＩＴマネジメントの新機軸：経営・事業・ＩＴの三者で進める		向正道		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201310	2,400	2,592

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
1351	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784822264963	プレゼンテーションの教科書	第３版	脇山真治：にっけいでざいん編集部		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201502	2,800	3,024
1352	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784822276195	現場ナマ情報のグローバル共有戦略：変動のわずかな兆候を“世界同時実況放送”		奥雅春		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201311	2,200	2,376
1353	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784822277338	誰も教えてくれなかったシステム企画・提案実践マニュアル		水田哲郎：日経ｓｙｓｔｅｍｓ編集部		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201410	2,700	2,916
1354	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784822279127	データ活用実践教室：トップデータサイエンティストが教える		高橋威知郎：安宅和人		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201503	2,000	2,160
1355	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784822279400	ロジカルデータ分析：スピーディーに収益につなげる新手法		高橋威知郎：日経ビッグデータ編集部		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201511	1,800	1,944
1356	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784822285036	ＩＴエンジニアのためのビジネスアナリシス：ビジネスルールからのソリューション構築		ロナルド・Ｇ．ロス：グラディス・Ｓ．Ｗ．ラム		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201211	2,600	2,808
1357	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784822285142	アジャイル経営のためのビジネスルールマネジメント入門：変化適合型システムを導くビジネスアナリシスアプロー		ロナルド・Ｇ．ロス：宗雅彦		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201307	2,400	2,592
1358	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784822285449	ＤｅｖＯｐｓ教科書		レン・バス：インゴ・ウェーバー		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201606	3,000	3,240
1359	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784822293581	Ｍｉｃｒｏｓｏｆｔ Ｏｆｆｉｃｅ ３６５入門：オフィスワークを根底から変えるマイクロソフトのクラ		ＢＡＬ．ｃｏｍ		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201110	1,800	1,944
1360	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784822294625	インサイドＭｉｃｒｏｓｏｆｔ ＳｈａｒｅＰｏｉｎｔ ２０１０		テッド・パッテイソン：アンドリュー・コネル	マイクロソフト公式解説書	日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201201	8,500	9,180
1361	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784822294694	新ｉＰａｄビジネス設定・活用術：新しいｉＰａｄをビジネスで使い倒す！		橋本和則		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201205	1,600	1,728
1362	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784822294786	Ｏｆｆｉｃｅ ３６５チームサイト活用ガイド：ＳｈａｒｅＰｏｉｎｔ Ｏｎｌｉｎｅで情報共有！		中村和彦	ＴｅｃｈＮｅｔ ＩＴプロシリーズ	日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201211	2,600	2,808
1363	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784822296278	超高速開発が企業システムに革命を起こす		ＩＣＴ経営パートナーズ協会：関隆明		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201405	2,500	2,700
1364	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784822298098	ひと目でわかるＳｈａｒｅＰｏｉｎｔ Ｓｅｒｖｅｒ ２０１３		山崎慶【著】：西岡真樹【著】	ＴｅｃｈＮｅｔ ＩＴプロシリーズ	日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201309	3,200	3,456
1365	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784822298371	Ｅｘｃｅｌ ＆ Ｐｏｗｅｒ ＢＩによる企業データ分析入門：データサイエンティストがいなくてもできる簡単ビッグ		平井明夫：内野明彦		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201407	1,600	1,728
1366	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784829506585	情報システムの高度活用マネジメントの研究：中小企業におけるＩＴ活用をどう促進するか		仲野友樹		芙蓉書房出版	201509	2,700	2,916
1367	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784830947193	知を創造する経営：日米主要企業の実態の解明		植木英雄：植木真理子		文眞堂	201110	2,900	3,132
1368	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784844331995	クラウド時代の正しいシステム運用：オープンソースを活用した次世代運用技術の実際		アールワークス		インプレスビジネスメディア(発売：インプレス)	201205	1,600	1,728
1369	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784844335436	クラウドソーシングの衝撃：雇用流動化時代の働き方・雇い方革命		比嘉邦彦：井川甲作	Ｎｅｘｔ Ｐｕｂｌｉｓｈｉｎｇメソッド	インプレスジャパン(発売：インプレス)	201402	1,800	1,944
1370	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784844337935	新しいアナリティクスの教科書：データと経営を結び付けるＷｅｂ解析の進化したステー		アナリティクスアソシエーション	ａ２ｉ ＢＯＯＫＳ	インプレス	201506	2,000	2,160
1371	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784844339595	戦略領域へのクラウド活用：イノベーションを起こす使い方		加藤章		インプレス	201511	2,300	2,484
1372	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784844366478	Ｗｅｂ担当者のためのセキュリティの教科書		中山貴禎		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201702	2,000	2,160
1373	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784844607984	技術経営：ＭＯＴの体系と実践		武市祥司：富田純一		理工図書	201206	3,000	3,240
1374	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784845263318	企業の情報管理：適正な対応と実務		上村哲史：荒井太一	労政時報選書	労務行政	201609	3,550	3,834
1375	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784861941252	伝えるプレゼンテーション魅せる工夫		池田龍二		ＰＩＬＡＲ ＰＲＥＳＳ	201504	1,800	1,944
1376	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784862831323	ＳＮＳ時代の論理と感性による企業変革：イノベーションの創発と組織能力の強化・拡大		湯浅忠		関西学院大学出版会	201306	2,800	3,024
1377	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784862832054	日米比較競業禁止特約：判例法理の展開を中心に		樫原義比古		関西学院大学出版会	201509	4,600	4,968
1378	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784863451506	研究マネージメント：「モノ」財から「知」財の時代へ		武田英次		丸善プラネット(発売：丸善出版)	201212	1,600	1,728
1379	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784864875066	ビジネスデータ分析入門	２０１６改訂版	阪南大学経営情報学部ＢＤ分析研究会		三恵社(発売：ＪＲＣ)	201604	1,600	1,728
1380	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784864876650	ビジネスデータ分析入門：ｏｆｆｉｃｅ ３６５対応版		阪南大学経営情報学部ＢＤ分析研究会		三恵社(発売：ＪＲＣ)	201705	1,600	1,728
1381	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784865560428	詳解個人情報保護法と企業法務：収集・取得・利用から管理・開示までの実践的対応策	第６版	菅原貴与志		民事法研究会	201510	3,500	3,780
1382	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784865561388	営業秘密管理実務マニュアル：管理体制の構築と漏えい時対応のすべて		服部誠：小林誠		民事法研究会	201702	2,800	3,024
1383	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784865561586	詳解個人情報保護法と企業法務：収集・取得・利用から管理・開示までの実践的対応策	第７版	菅原貴与志		民事法研究会	201705	3,800	4,104
1384	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784866000084	日本復活の鍵起業工学		古池進：西本清一		富山房インターナショナル	201603	1,600	1,728
1385	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784872183856	技術立国日本の復活		鶴蒔靖夫		ＩＮ通信社	201306	1,800	1,944
1386	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784873117911	ＳＲＥサイトリライアビリティエンジニアリング：Ｇｏｏｇｌｅの信頼性を支えるエンジニアリングチーム		ベッツィ・ベイヤー：クリス・ジョーンズ		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201708	4,800	5,184
1387	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784883672349	プレゼンテーション概論	新訂版	大島武：水原道子		樹村房	201403	1,900	2,052
1388	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784886472113	企業活動とＩＴマネジメント	第２版	エスシーシー	情報処理基礎講座	電子開発学園出版局(発売：エスシーシー)	201312	2,600	2,808
1389	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784886472403	Ｅｘｃｅｌではじめるビジネスデータ分析：ビッグデータにも挑戦！		鈴木光勇	ＳＣＣ ｂｏｏｋｓ	エスシーシー	201509	2,000	2,160
1390	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784886479662	企業活動とＩＴマネジメント		エスシーシー	情報処理基礎講座	電子開発学園出版局(発売：エスシーシー)	201111	2,800	3,024
1391	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784892056130	変貌する情報セキュリティマネジメント：技術・法令・倫理を基盤として		吉田健一郎	麗澤大学経済学会叢書	麗澤大学出版会(発売：広池学園事業部)	201206	2,200	2,376
1392	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784893119407	よくわかる自信がつくプレゼンテーション：引きつけて離さないテクニック		富士通エフ・オー・エム株式会社		富士通エフ・オー・エム	201203	1,800	1,944
1393	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784896287387	企業秘密防衛の理論と実務：営業秘密を中心として	第５版	長内健		民事法研究会	201112	3,600	3,888
1394	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784896289176	詳解個人情報保護法と企業法務：収集・取得・利用から管理・開示までの実践的対応策	第５版	菅原貴与志		民事法研究会	201402	3,500	3,780
1395	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784897979533	データサイエンティストの基礎知識：挑戦するＩＴエンジニアのために		中川慶一郎：小林佑輔		リックテレコム	201410	2,400	2,592
1396	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784904774595	ＥＵにおけるエコシステム・デザインと標準化：組込みシステムからＣＰＳへ		徳田昭雄		科学情報出版	201708	2,700	2,916
1397	ICT	経済	経済	経営組織/管理組織	9784152094582	職場の人間科学：ビッグデータで考える「理想の働き方」		ベン・ウェイバー：千葉敏生		早川書房	201405	1,800	1,944
1398	ICT	経済	経済	事務の機械化	9784495197926	ＩＴ監査とＩＴ統制：基礎からネットワーク・クラウド・ビッグデータまで	改訂版	日本内部監査協会		同文舘出版	201508	2,900	3,132
1399	ICT	経済	経済	事務の機械化	9784822251628	ＡＩ時代の勝者と敗者：機械に奪われる仕事、生き残る仕事		トマス・Ｈ．ダヴェンポート：ジュリア・カーピー		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201606	2,100	2,268
1400	ICT	経済	経済	事務の機械化	9784822259266	仕事がはかどるＪａｖａｓＳｃｒｉｐｔ“超”活用術：ＡＩ、セキュリティ、クラウドを自動処理		クジラ飛行机		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201706	1,800	1,944
1401	ICT	経済	経済	金融/銀行/信託	9784822236595	ブロックチェーンの衝撃：ビットコイン、ＦｉｎＴｅｃｈからＩｏＴまで社会構造		ビットバンク株式会社＆ブロックチェーン：馬渕邦美		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201606	2,800	3,024
1402	ICT	経済	経済	金融市場	9784492581087	人工知能が金融を支配する日		櫻井豊		東洋経済新報社	201609	1,600	1,728
1403	ICT	経済	経済	証券市場/株式市場	9784502086809	ビッグ・データで株価を読む：統計学と行動ファイナンスで相場に勝つ！		岡田克彦		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201401	1,600	1,728
1404	ICT	社会	社会	コミュニケーション理論	9784750345369	現代対話学入門：政治・経済から身体・ＡＩまで		小坂貴志		明石書店	201706	2,700	2,916

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
1405	ICT	社会	社会	労働法	9784335356872	ＡＩ時代の働き方と法：２０３５年の労働法を考える		大内伸哉		弘文堂	201701	2,000	2,160
1406	ICT	社会	社会	職業紹介	9784023315655	プロフェッショナルの未来：ＡＩ、ＩｏＴ時代に専門家が生き残る方法		リチャード・サスカインド：ダニエル・サスカインド		朝日新聞出版	201709	2,400	2,592
1407	ICT	社会	社会	震災	9784876984916	復興の文化空間学：ビッグデータと人道支援の時代		山本博之	災害対応の地域研究	京都大学学術出版会	201403	3,400	3,672
1408	ICT	教育	教育	教育課程/学習指導	9784864294805	ＡＩ時代の情報教育		加納寛子		大学教育出版	201711	2,000	2,160
1409	ICT	教育	教育	学習指導	9784316804354	ＡＩ時代の教育と評価：意志ある学びをかなえるプロジェクト学習ポートフォリ		鈴木敏恵		教育出版	201706	2,800	3,024
1410	ICT	教育	教育	理論方法/幼児心理	9784623067442	ロボットを通して探る子どもの心：ディベロップメンタル・サイバネティクスの挑戦		板倉昭二：北崎充晃		ミネルヴァ書房	201309	3,200	3,456
1411	ICT	教育	教育	学生/学生生活	9784761923198	新キャリア開発支援論：ＡＩ時代のキャリア自律に向けて		松村直樹：平田史昭		学事出版	201704	1,800	1,944
1412	ICT	数学	数学	数学遊戯	9784339028591	プログラムで愉しむ数理パズル：未解決の難問やＡＩの課題に挑戦		伊庭斉志		コロナ社	201608	2,800	3,024
1413	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784000055390	数理統計学の考え方：推測理論の基礎		竹内啓		岩波書店	201603	2,200	2,376
1414	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784000298476	調査観察データ解析の実際．１		星野崇宏：岡田謙介		岩波書店	201604	3,200	3,456
1415	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784061529144	変分ベイズ学習		中島伸一	機械学習プロフェッショナルシリーズ	講談社	201604	2,800	3,024
1416	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784061529151	ノンパラメトリックベイズ：点過程と統計的機械学習の数理		佐藤一誠	機械学習プロフェッショナルシリーズ	講談社	201604	2,800	3,024
1417	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784061529168	グラフィカルモデル		渡辺有祐	機械学習プロフェッショナルシリーズ	講談社	201604	2,800	3,024
1418	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784061529199	データ解析におけるプライバシー保護		佐久間淳	機械学習プロフェッショナルシリーズ	講談社	201608	3,000	3,240
1419	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784061565494	だれでもわかる数理統計		石村貞夫		講談社	201609	1,900	2,052
1420	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784061565623	実践のための基礎統計学		下川敏雄		講談社	201610	2,600	2,808
1421	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784061565654	生物系のためのやさしい基礎統計学		藤川浩：小泉和之		講談社	201610	2,200	2,376
1422	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784130629218	統計学		久保川達也：国友直人		東京大学出版会	201610	2,800	3,024
1423	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784152095602	「偶然」の統計学		デイビッド・Ｊ．ハンド：松井信彦		早川書房	201508	1,800	1,944
1424	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784254117912	非線形計画法		山下信雄	シリーズ応用最適化	朝倉書店	201507	3,400	3,672
1425	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784254122145	はじめての統計データ分析：ベイズ的（ポストｐ値時代）の統計学		豊田秀樹		朝倉書店	201605	2,600	2,808
1426	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784254122152	市場分析のための統計学入門		清水千弘		朝倉書店	201604	2,500	2,700
1427	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784254122176	独習統計学２４講：分割表・回帰分析・ロジスティック回帰．応用編		鶴田陽和		朝倉書店	201610	3,500	3,780
1428	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784254122206	実践ベイズモデリング：解析技法と認知モデル		豊田秀樹		朝倉書店	201701	3,200	3,456
1429	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784254122213	ビジネスマンがはじめて学ぶベイズ統計学：ＥｘｃｅｌからＲへステップアップ		朝野熙彦：土田尚弘		朝倉書店	201702	3,200	3,456
1430	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784254128376	頑健回帰推定		袁谷千凰彦	統計ライブラリー	朝倉書店	201602	3,600	3,888
1431	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784254128512	応用をめざす数理統計学		国友直人	統計解析スタンダード	朝倉書店	201508	3,500	3,780
1432	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784254128529	ノンパラメトリック法		村上秀俊	統計解析スタンダード	朝倉書店	201509	3,400	3,672
1433	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784254128550	経時データ解析		船渡川伊久子：船渡川隆	統計解析スタンダード	朝倉書店	201510	3,400	3,672
1434	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784254128567	ベイズ計算統計学		古澄英男	統計解析スタンダード	朝倉書店	201510	3,400	3,672
1435	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784254128598	欠測データの統計解析		阿部貴行	統計解析スタンダード	朝倉書店	201603	3,400	3,672
1436	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784254128604	一般化線形モデル		汪金芳	統計解析スタンダード	朝倉書店	201608	3,600	3,888
1437	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784254275711	待ち行列の数理モデル		木村俊一	確率工学シリーズ	朝倉書店	201607	3,600	3,888
1438	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784254295443	確率制御の基礎と応用		辻村元男：前田章	ファイナンス・ライブラリー	朝倉書店	201609	3,000	3,240
1439	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784274050701	ＳＡＳ Ｅｎｔｅｒｐｒｉｓｅ Ｇｕｉｄｅ．Ｅｎｔｅｒｐｒｉｓｅ Ｇｕｉｄ		高柳貫太：ＳＡＳＩｎｓｔｉｔｕｔｅＪａｐａｎ株		オーム社	201602	3,800	4,104
1440	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784274217814	Ｒで学ぶ統計データ分析：マーケティングデータを分析しながら正しい理論と分析		本橋永至		オーム社	201509	2,600	2,808
1441	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784274218187	ＳＰＳＳによるロジスティック回帰分析	第２版	内田治		オーム社	201602	3,800	4,104
1442	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784274218194	見えないものをさぐる－それがベイズ：ツールによる実践ベイズ統計		藤田一弥：フォワードネットワーク		オーム社	201511	2,000	2,160
1443	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784274218279	対応分析入門：原理から応用まで		ステン・エリック・クラウセン：藤本一男		オーム社	201511	2,600	2,808
1444	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784274218620	ＳＡＳ Ｓｔｕｄｉｏによるやさしい統計データ分析		高浪洋平：舟尾暢男		オーム社	201603	2,200	2,376
1445	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784274218705	Ｅｘｃｅｌで学ぶ統計解析入門：Ｅｘｃｅｌ ２０１６／２０１３対応版		菅民郎		オーム社	201605	2,700	2,916
1446	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784274218880	７日間集中講義！Ｅｘｃｅｌ統計学入門：データを見ただけで分析できるようになるために		米谷学		オーム社	201608	2,500	2,700
1447	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784274219474	Ｒによる実証分析：回帰分析から因果分析へ		星野匡郎：田中久稔		オーム社	201611	2,700	2,916
1448	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784274219580	Ｔｈｅ Ｒ Ｔｉｐｓ：データ解析環境Ｒの基本技・グラフィクス活用集	第３版	舟尾暢男		オーム社	201610	3,600	3,888
1449	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784274219658	例題とＥｘｃｅｌ演習で学ぶ多変量解析．回帰分析・判別分析・コンジョイ		菅民郎		オーム社	201611	2,800	3,024
1450	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784274220111	例題とＥｘｃｅｌ演習で学ぶ多変量解析．生存時間解析・ロジスティック回		菅民郎		オーム社	201701	3,500	3,780
1451	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784274220128	挫折しない統計学入門：数学苦手意識を克服する		浅野晃		オーム社	201701	2,200	2,376
1452	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784274220227	例題とＥｘｃｅｌ演習で学ぶ多変量解析：因子分析・コレスポンデンス分析・クラスター分析 編．因子分析・コレスポンデンス分析		菅民郎		オーム社	201702	3,000	3,240
1453	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784274220715	ＪＭＰではじめる統計的問題解決入門		三井正		オーム社	201708	3,200	3,456
1454	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784274220807	統計学図鑑		栗原伸一：丸山敦史		オーム社	201709	2,500	2,700
1455	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784274221354	マンガでわかるベイズ統計学		高橋信：上地優歩		オーム社	201711	2,200	2,376
1456	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784320111318	経済・経営統計入門	第４版	稲葉三男：稲葉敏夫		共立出版	201703	2,300	2,484
1457	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784320111325	多変量ノンパラメトリック回帰と視覚化：Ｒの利用とファイナンスへの応用		Ｊｕｓｓｉ Ｋｌｅｍｅｌａ：竹澤邦夫		共立出版	201703	7,000	7,560
1458	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784320111370	必携統計的大標本論：その基礎理論と演習		トーマス・Ｓ．ファーガソン：野間口謙太郎		共立出版	201701	4,000	4,320

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
1459	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784320111400	データ解析のためのロジスティック回帰モデル		デビッド・Ｗ．ホスマー：スタンリー・レメショウ		共立出版	201702	8,200	8,856
1460	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784320111455	線形代数学に基づくデータ分析法		原田史子：島川博光		共立出版	201609	3,000	3,240
1461	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784320111547	統計学：Ｒを用いた入門書	改訂第２版	マイケル・Ｊ．クラワリー：野間口謙太郎		共立出版	201604	4,600	4,968
1462	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784320111554	統計学基礎		栗木進二：綿森葉子		共立出版	201602	1,900	2,052
1463	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784320112414	Ｗｏｎｄｅｒｆｕｌ　Ｒ．１		市川太祐：高橋康介		共立出版	201609	2,500	2,700
1464	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784320112421	Ｗｏｎｄｅｒｆｕｌ　Ｒ．２		市川太祐：高橋康介		共立出版	201610	3,000	3,240
1465	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784320112568	欠測データ処理：Ｒによる単一代入法と多重代入法		高橋将宜：渡辺美智子	統計学Ｏｎｅ　Ｐｏｉｎｔ	共立出版	201712	2,200	2,376
1466	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784320113169	ベイズ統計モデリング：Ｒ，ＪＡＧＳ，　Ｓｔａｎによるチュートリアル	原著第２版	ジョン・Ｋ．クラスチケ：前田和寛		共立出版	201707	8,200	8,856
1467	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784320113176	構造的因果モデルの基礎		黒木学		共立出版	201708	3,700	3,996
1468	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784320113220	統計学の要点：基礎からＲの活用まで		森本義廣：黒瀬能聿		共立出版	201711	2,200	2,376
1469	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784320123687	シリーズＵｓｅｆｕｌ　Ｒ．５		金明哲		共立出版	201609	3,800	4,104
1470	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784320123908	レイティング・ランキングの数理：Ｎｏ．１は誰か？		エイミー・Ｎ．ラングヴィル：カール・Ｄ．メイヤー		共立出版	201507	5,000	5,400
1471	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784322128291	モンテカルロ法入門		大野薫：井川孝之		金融財政事情研究会(発売：きんざい)	201512	1,600	1,728
1472	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784326504336	ダメな統計学：悲惨なほど完全なる手引書		アレックス・ラインハート：西原史暁		勁草書房	201701	2,200	2,376
1473	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784339052497	土木・交通工学のための統計学：基礎と演習		轟朝幸：金子雄一郎		コロナ社	201510	2,500	2,700
1474	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784339052510	土木・交通計画のための多変量解析		川二智也：稲垣具志		コロナ社	201707	3,000	3,240
1475	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784339061109	数理統計学入門：基礎と実践	改訂版	横山真一郎：関皓朗		コロナ社	201604	2,400	2,592
1476	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784339061130	はじめての統計学		道家暁幸：伊藤真吾		コロナ社	201702	2,500	2,700
1477	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784407332841	教養のための統計入門		大田靖：宿久洋	事例でわかる統計シリーズ	実教出版	201605	2,300	2,484
1478	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784407337242	理工系のための統計入門		鎌倉稔成：神保雅一	事例でわかる統計シリーズ	実教出版	201610	2,200	2,376
1479	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784422400334	ベイズ統計学		松原望	やさしく知りたい先端科学シリーズ	創元社（大阪）	201712	1,800	1,944
1480	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784434211621	４Ｓｔｅｐｓエクセル統計	第４版	柳井久江		オーエムエス出版(発売：星雲社)	201510	4,000	4,320
1481	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784434235375	数理計画とポートフォリオ選択モデル入門		西村康一		現代図書(発売：星雲社)	201707	2,300	2,484
1482	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784478013328	完全独習ベイズ統計学入門		小島寛之		ダイヤモンド社	201511	1,800	1,944
1483	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784478028247	統計学のための数学教室：この１冊で前に落ちる		永野裕之：岡田謙介		ダイヤモンド社	201509	2,400	2,592
1484	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784478100769	統計学が最強の学問である．ビジネス編		西内啓		ダイヤモンド社	201609	1,800	1,944
1485	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784478104514	統計学が最強の学問である［数学編］：データ分析と機械学習のための新しい教科書		西内啓		ダイヤモンド社	201712	2,400	2,592
1486	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784486021247	確率統計序論	第３版	道家暁幸：土井誠		東海大学出版部	201611	1,600	1,728
1487	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784489022166	ＪＭＰによるデータ分析：統計の基礎から多変量解析まで	第２版	内田治：平野綾子		東京図書	201509	3,000	3,240
1488	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784489022180	Ｓｔａｔａによるデータ分析入門：経済分析の基礎からパネル・データ分析まで	第２版	松浦寿幸		東京図書	201509	3,000	3,240
1489	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784489022289	ＳＰＳＳ超入門：インストールからはじめるデータ分析		畠慎一郎：田中多恵子		東京図書	201512	2,200	2,376
1490	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784489022388	ＳＰＳＳによるアンケート分析		寺島拓幸：廣瀬毅士		東京図書	201606	2,500	2,700
1491	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784489022425	ＳＰＳＳによる多変量データ解析の手順	第５版	石村貞夫：石村光資郎		東京図書	201607	2,800	3,024
1492	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784489022470	ＳＰＳＳ完全活用法データの入力と加工	第４版	酒井麻衣子		東京図書	201609	2,800	3,024
1493	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784489022524	分布からはじめる確率・統計入門：実用のための直感的アプローチ		岩沢宏和		東京図書	201610	2,400	2,592
1494	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784489022593	ＳＰＳＳでやさしく学ぶ統計解析	第６版	石村貞夫：石村友二郎		東京図書	201712	2,500	2,700
1495	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784489022623	教育・心理系研究のためのデータ分析入門：理論と実践から学ぶＳＰＳＳ活用法	第２版	平井明代		東京図書	201702	2,800	3,024
1496	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784502244117	文系のためのデータ分析入門：Ｒで統計を学ぼう！		長島直樹：石田実		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201711	2,500	2,700
1497	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784535787155	学生・技術者のためのビッグデータ解析入門		高安美佐子：田村光太郎		日本評論社	201406	2,500	2,700
1498	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784535787858	ベイズ法の基礎と応用：条件付き分布による統計モデリングとＭＣＭＣ法を用い		間瀬茂		日本評論社	201602	3,500	3,780
1499	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784535788183	現代統計学		美添泰人：竹村彰通		日本評論社	201703	2,700	2,916
1500	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784541040503	Ｅｘｃｅｌで実践する基礎統計学		万里		農林統計協会	201509	3,500	3,780
1501	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784563010218	確率と統計		廣瀬英雄：藤野友和		培風館	201510	2,200	2,376
1502	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784595317408	問題解決の数理	改訂版	大西仁	放送大学教材	放送大学教育振興会(発売：ＮＨＫ出版)	201703	2,900	3,132
1503	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784623075706	１歩前からはじめる「統計」の読み方・考え方		神林博史		ミネルヴァ書房	201604	2,200	2,376
1504	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784627057517	確率統計		工学系数学教材研究会：上野健爾	工学系数学テキストシリーズ	森北出版	201611	1,800	1,944
1505	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784641053809	統計学	改訂版	森棟公夫：照井伸彦	Ｎｅｗ　ｌｉｂｅｒａｌ　ａｒｔｓ　ｓｅｌｅｃｔｉｏｎ	有斐閣	201509	3,200	3,456
1506	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784641221031	データ分析をマスターする１２のレッスン		畑農鋭矢：水落正明		有斐閣アルマ	201710	2,300	2,484
1507	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784762829406	研究論文を読み解くための多変量解析入門．基礎篇		ローレンス・Ｇ．グリム：ボール・Ｒ．ヤーノルド		北大路書房	201607	3,600	3,888
1508	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784762829437	研究論文を読み解くための多変量解析入門．応用篇		ローレンス・Ｇ．グリム：ボール・Ｒ．ヤーノルド		北大路書房	201609	4,400	4,752
1509	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784764904286	フィールドデータによる統計モデリングとＡＩＣ		島谷健一郎	ＩＳＭシリーズ	近代科学社	201208	3,700	3,996
1510	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784764905153	極値統計学		高橋倫也：志村隆彰	ＩＳＭシリーズ 進化する統計数理 ５	近代科学社	201608	4,200	4,536
1511	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784764905191	シリーズ：最適化モデリング．５		室田一雄：池上敦子		近代科学社	201609	3,200	3,456
1512	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784764905429	ロバスト統計：外れ値への対処の仕方		藤澤洋徳	ＩＳＭシリーズ 進化する統計数理 ６	近代科学社	201707	3,500	3,780

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
1513	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784764905467	ポアソン分布・ポアソン回帰・ポアソン過程		島谷健一郎	統計スポットライト・シリーズ	近代科学社	201710	2,200	2,376
1514	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784774180038	身につく入門統計学		向後千春：富永敦子	ファーストブックＳＴＥＰ	技術評論社	201605	1,680	1,814
1515	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784774180748	身につくベイズ統計学		涌井良幸：涌井貞美	ファーストブックＳＴＥＰ	技術評論社	201605	1,880	2,030
1516	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784774187273	プロ野球でわかる！はじめての統計学		佐藤文彦：岡田友輔		技術評論社	201703	2,280	2,462
1517	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784777519132	ファジーでデータを読む：ラフにしか収集できない「生データ」から「使える結論		秋山好一	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201509	2,300	2,484
1518	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784777520176	ＮＶｉｖｏリファレンス：数値にならない「質的データ」を分析！		林真：Ｉ／Ｏ編集部	Ｉ／Ｏ ＢＯＯＫＳ	工学社	201706	1,800	1,944
1519	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784779510137	文系のためのＳＰＳＳデータ解析		山際勇一郎：服部環		ナカニシヤ出版	201602	2,700	2,916
1520	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784780605969	確率・統計		中田寿夫：内藤貫太		学術図書出版社	201710	1,800	1,944
1521	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784788515413	統計学のキホンＱ＆Ａ１００：いまさら聞けない疑問に答える		ニール・Ｊ・サルキンド：山田剛史		新曜社	201709	1,900	2,052
1522	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784798134901	Ｒではじめるビジネス統計分析：統計分析の基本からビッグデータの分析手法まで		末吉正成：里洋平		翔泳社	201407	3,200	3,456
1523	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784798148984	ＥＸＣＥＬビジネス統計分析	第３版	末吉正成：末吉美喜	ビジテク	翔泳社	201703	2,380	2,570
1524	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784807908592	Ｒで学ぶ統計学入門		嶋田正和：阿部真人		東京化学同人	201701	2,700	2,916
1525	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784807909018	Ｅｘｃｅｌによる理工系のための統計学		林茂雄		東京化学同人	201610	2,200	2,376
1526	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784817195661	ゼロから始めるＲ：四則演算から多変量解析まで		兼子毅		日科技連出版社	201511	2,000	2,160
1527	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784817195845	数理統計学入門		稲葉太一		日科技連出版社	201611	2,000	2,160
1528	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784817302533	統計ソフトＲによるデータ活用入門：統計解析の基礎から応用まで		村上純：日野満司	実用理工学入門講座	日新出版	201608	2,300	2,484
1529	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784817302540	統計ソフトＲによる多次元データ処理入門：仮説検定・分散分析・主成分分析		村上純：日野満司	実用理工学入門講座	日新出版	201703	2,800	3,024
1530	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784839962524	データサイエンティストのための最新知識と実践：Ｒではじめよう！「モダン」なデータ分析		瓜生真也：工藤和秦		マイナビ出版	201706	2,490	2,689
1531	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784860644604	穴埋めで統計分析がスラスラできる		間地秀三	Ｂｅｒｅｔ ｓｃｉｅｎｃｅ	ベレ出版	201601	1,600	1,728
1532	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784860644659	意味がわかるベイズ統計学：まずはこの一冊から		一石賢	Ｂｅｒｅｔ ｓｃｉｅｎｃｅ	ベレ出版	201602	2,000	2,160
1533	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784862832283	Ｓｈｒｉｎｋａｇｅ ｒｅｇｒｅｓｓｉｏｎ ｅｓｔｉｍａｔｏｒｓ ａｎｄ ｔｈｅｉ		地道正行		関西学院大学研究叢書	201611	4,000	4,320
1534	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784865172430	なるほど統計学とおどろきＥｘｃｅｌ統計処理：Ｗｉｎｄｏｗｓ Ｍａｃｉｎｔｏｓｈ両対応ＣＤ－ＲＯ	改訂第８版	山崎信也		医学図書出版	201711	4,800	5,184
1535	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784866000107	新ビジネス・スタティスティクス		藤江昌嗣		富山房インターナショナル	201605	2,400	2,592
1536	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784866150338	初めから学べると評判の大学基礎数学確率統計キャンパス・ゼミ		馬場敬之		マセマ	201702	1,800	1,944
1537	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784866150390	スバラシク実力がつくと評判の演習統計学キャンパス・ゼミ	改訂２	高杉豊：馬場敬之		マセマ	201708	2,040	2,203
1538	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784866150604	スバラシク実力がつくと評判の統計学キャンパス・ゼミ：大学の数学がこんなに分かる！単位なんて楽に取れる！	改訂４	馬場敬之		マセマ	201710	2,300	2,484
1539	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784873117355	Ｔｈｉｎｋ Ｓｔａｔｓ：プログラマのための統計入門	第２版	アレン・Ｂ．ダウニー：黒川利明		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201508	2,400	2,592
1540	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784873117591	Ｒパッケージ開発入門：テスト、文書化、コード共有の手法を学ぶ		ハドリー・ウィッカム：瀬戸山雅人		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201602	2,800	3,024
1541	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784877833916	統計処理に使うＥｘｃｅｌ ２０１６活用法：データ分析に使えるＥｘｃｅｌ実践テクニック		相澤裕介	先輩が教える	カットシステム	201602	2,200	2,376
1542	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784877835033	統計解析ソフト「ＳＡＳ」	改訂版	高浪洋平：舟尾暢男		カットシステム	201508	6,800	7,344
1543	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784890261802	統計学の基礎：カラーイメージで学ぶ	新版（第２版）	市原清志：佐藤正一		日本教育研究センター	201608	4,500	4,860
1544	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784896412444	わかりやすいデータ解析入門：Ｃ＋＋による演習		内山俊郎		ムイスリ出版	201601	2,450	2,646
1545	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784896412505	統計学の基礎		片野修一郎		ムイスリ出版	201604	2,300	2,484
1546	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784896412512	薬学生・薬剤師のための基礎統計学		松野純男：棚橋浩太郎		ムイスリ出版	201609	2,500	2,700
1547	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784489022333	すぐわかる統計用語の基礎知識		石村貞夫：デズモンド・アレン		東京図書	201602	2,800	3,024
1548	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784860591595	わかる＆使える統計学用語		大沢光		アーク出版	201604	2,800	3,024
1549	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784254122268	Ｒで学ぶ多変量解析		長畑秀和		朝倉書店	201705	3,800	4,104
1550	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784254128383	回帰診断		嶺谷千凰彦	統計ライブラリー	朝倉書店	201703	4,500	4,860
1551	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784486021339	統計学序論	改訂版	山本義郎		東海大学出版部	201704	2,400	2,592
1552	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784489022579	統計学		中村和幸：基幹講座数学編集委員会	基幹講座数学	東京図書	201705	2,200	2,376
1553	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784489022692	もうひとつの重回帰分析：予測変数を直交化する方法		豊田秀樹		東京図書	201706	2,800	3,024
1554	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784563010171	スタンダード統計学基礎		岩崎学：姫野哲人		培風館	201705	2,600	2,808
1555	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784627077911	Ｐｙｔｈｏｎで体験するベイズ推論：ＰｙＭＣによるＭＣＭＣ入門		キャメロン・デビッドソン＝ピロン：玉木徹		森北出版	201704	3,200	3,456
1556	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784780605914	例題と演習で学ぶ文系のための統計学		藤本佳久		学術図書出版社	201704	3,000	3,240
1557	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784798050805	Ｒ統計解析パーフェクトマスター：最新版Ｗｉｎｄｏｗｓ Ｍａｃｉｎｔｏｓｈ対応		金城俊哉	Ｐｅｒｆｅｃｔ ｍａｓｔｅｒ	秀和システム	201706	2,800	3,024
1558	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784817196224	目からウロコの統計学：データの溢れる世界を生き抜く１５の処方箋		廣野元久		日科技連出版社	201705	2,600	2,808
1559	ICT	数学	数学	確率論/数理統計学	9784873117942	Ｐｙｔｈｏｎではじめるデータラングリング：データの入手、準備、分析、プレゼンテーション		ジャクリーン・カジル：キャサリン・ジャムール		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201704	3,700	3,996
1560	ICT	数学	数学	確率論	9784320111394	確率的グラフィカルモデル		鈴木譲：植野真臣		共立出版	201607	3,600	3,888
1561	ICT	数学	数学	確率論	9784320111431	確率解析への誘い：確率微分方程式の基礎と応用		成田清正		共立出版	201609	4,300	4,644
1562	ICT	数学	数学	確率論	9784320111516	確率で読み解く日常の不思議：あなたが１０年後に生きている可能性は？		ポール・Ｊ．ナーイン：蟹江幸博		共立出版	201604	2,500	2,700
1563	ICT	数学	数学	確率論	9784320113145	やさしいＭＣＭＣ入門：有限マルコフ連鎖とアルゴリズム		オーレ・ハーグストローム：野間口謙太郎		共立出版	201705	2,500	2,700
1564	ICT	数学	数学	確率論	9784621065501	シナイ確率論入門コース		ヤーゴブ・Ｇ．シナイ：森真		丸善出版	201601	3,000	3,240
1565	ICT	数学	数学	確率論	9784627077713	確率論講義ノート：場合の数から確率微分方程式まで		大平徹		森北出版	201703	2,800	3,024
1566	ICT	数学	数学	確率論	9784627077812	確率微分方程式とその応用		兼清泰明		森北出版	201708	4,800	5,184

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
1567	ICT	数学	数学	確率論	9784768704752	確率論史：パスカルからラプラスの時代までの数学史の一断面	新装版	アイヴァ・トドハンター：安藤洋美		現代数学社	201707	9,000	9,720
1568	ICT	数学	数学	確率論	9784768704769	確率論の黎明：確率論前史－パスカル以前の確率概念の系譜	新装版	安藤洋美		現代数学社	201707	3,200	3,456
1569	ICT	数学	数学	確率論	9784774179018	ホイヘンスが教えてくれる確率論：勝つための賭け方		岩沢宏和	知りたい！サイエンス	技術評論社	201603	1,680	1,814
1570	ICT	数学	数学	確率論	9784774188065	確率がわかる		小泉力一	ファーストブック	技術評論社	201703	1,680	1,814
1571	ICT	数学	数学	確率論	9784822285494	ブロックの確率		ジョセフ・メイザー：松浦俊輔		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201706	2,200	2,376
1572	ICT	数学	数学	ゲーム理論	9784627922211	意思決定の数理：最適な案を選択するための理論と手法		西崎一郎		森北出版	201710	3,600	3,888
1573	ICT	数学	数学	ゲーム理論	9784757123328	ジェイン・オースティンに学ぶゲーム理論：恋愛と結婚をめぐる戦略的思考		マイケル・Ｓ－Ｙ・チェ：川越敏司		ＮＴＴ出版	201712	4,600	4,968
1574	ICT	数学	数学	推計学	9784254122114	時系列分析ハンドブック		タタ・スバ・ラオ：スバシニ・スバ・ラオ		朝倉書店	201602	18,000	19,440
1575	ICT	数学	数学	推計学	9784254128574	統計的因果推論		岩崎学	統計解析スタンダード	朝倉書店	201511	3,600	3,888
1576	ICT	数学	数学	推計学	9784274219177	Ｅｘｃｅｌで学ぶ時系列分析：理論と事例による予測		近藤宏：高橋玲子		オーム社	201607	3,200	3,456
1577	ICT	数学	数学	推計学	9784274220036	ＳＡＳ Ｅｎｔｅｒｐｒｉｓｅ Ｇｕｉｄｅ		高柳良太：ＳＡＳＩｎｓｔｉｔｕｔｅＪａｐａｎ		オーム社	201702	3,800	4,104
1578	ICT	数学	数学	推計学	9784274221378	Ｒによるノンパラメトリック検定		内田治		オーム社	201711	2,700	2,916
1579	ICT	数学	数学	推計学	9784320112537	カルマンフィルタ：Ｒを使った時系列予測と状態空間モデル		野村俊一	統計学ＯｎｅＰｏｉｎｔ	共立出版	201609	2,200	2,376
1580	ICT	数学	数学	推計学	9784320112551	時系列解析		柴田里程	統計学Ｏｎｅ Ｐｏｉｎｔ	共立出版	201709	2,200	2,376
1581	ICT	数学	数学	推計学	9784339061123	最速の推計統計：正規分布の徹底攻略		渡邉洋		コロナ社	201610	2,600	2,808
1582	ICT	数学	数学	実験計画法	9784254122169	Ｒで学ぶ実験計画法		長畑秀和		朝倉書店	201608	3,800	4,104
1583	ICT	数学	数学	実験計画法	9784254128543	実験計画法と分散分析		三輪哲久	統計解析スタンダード	朝倉書店	201509	3,600	3,888
1584	ICT	数学	数学	実験計画法	9784274219665	例題とＥｘｃｅｌ演習で学ぶ実験計画法とタグチメソッド		菅民郎		オーム社	201611	3,500	3,780
1585	ICT	数学	数学	誤差論	9784320112544	最小二乗法・交互最小二乗法		森裕一：黒田正博	統計学Ｏｎｅ Ｐｏｉｎｔ	共立出版	201709	2,200	2,376
1586	ICT	物理学	物理学	力学	9784274211157	力学入門		有本卓：関本昌紘	ロボット・メカトロニクス教科書	オーム社	201111	2,600	2,808
1587	ICT	物理学	物理学	図式静力学	9784339045215	ロボットと解析力学		有本卓：田原健二	ロボティクスシリーズ	コロナ社	201801	2,700	2,916
1588	ICT	天文学，宇宙科学	天文学，宇宙科学	測地学	9784274209451	ユビキタス技術位置情報の活用と流通：ロボットサービスによる活用の変革		土井美和子：柴崎亮介		オーム社	201011	2,800	3,024
1589	ICT	生物科学，一般生物学	生物科学，一般生物学	生物科学/生物学教育	9784758103534	ビッグデータ変革する生命科学・医療：激増するオミクスデータ・医療データどう向き合い		永井良三：宮野悟		羊土社	201603	5,400	5,832
1590	ICT	生物科学，一般生物学	生物科学，一般生物学	生物科学/生物学教育	9784781305370	生命のビッグデータ利用の最前線		植田充美	ＣＭＣ ｂｏｏｋｓ	シーエムシー出版	201404	8,000	8,640
1591	ICT	生物科学，一般生物学	生物科学，一般生物学	生物物理学	9784781311906	ＩｏＴを指向するバイオセンシング・デバイス技術		民谷栄一：関谷毅	バイオテクノロジーシリーズ	シーエムシー出版	201611	70,000	75,600
1592	ICT	生物科学，一般生物学	生物科学，一般生物学	細胞遺伝学	9784339024852	ビッグデータ時代のゲノミクス情報処理		北上始：斎藤成也		コロナ社	201410	3,700	3,996
1593	ICT	植物学	植物学	変形菌類	9784416717202	粘菌　知性のはじまりとそのサイエンス：特徴から研究の歴史、動画撮影法、アート、人工知能へ		ジャスパー・シャープ：ティム・グリバム		誠文堂新光社	201712	2,800	3,024
1594	ICT	医学，薬学	医学，薬学	医学	9784822296285	医療ビッグデータがもたらす社会変革		中山健夫【監修・解説】：２１世紀医療フォーラム【編】		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201405	1,800	1,944
1595	ICT	医学，薬学	医学，薬学	医学	9784990730802	誰でもわかる医療データマイニング：ビッグデータの活用		横山茂樹：松岡喜美子		ＳＰＰ出版	201402	2,800	3,024
1596	ICT	医学，薬学	医学，薬学	医学	9784884123925	人工知能時代の医療と医学教育		高橋優三		篠原出版新社	201609	2,800	3,024
1597	ICT	医学，薬学	医学，薬学	医療機器	9784758122368	あなたのラボにＡＩ（人工知能）×ロボットがやってくる：研究に生産性と創造性をもたらすテクノロジー		夏目徹	実験医学別冊	羊土社	201712	3,300	3,564
1598	ICT	医学，薬学	医学，薬学	医療機器	9784781309347	スマート・ヒューマンセンシング：健康ビッグデータ時代のためのセンサ・情報・エネルギ		三林浩二	バイオテクノロジーシリーズ	シーエムシー出版	201403	68,000	73,440
1599	ICT	医学，薬学	医学，薬学	脳脊髄	9784791768851	脳はすごい：ある人工知能研究者の脳損傷体験記		クラーク・エリオット：高橋洋		青土社	201510	2,400	2,592
1600	ICT	医学，薬学	医学，薬学	診断/治療	9784758312189	ロボット手術マニュアル：ｄａ Ｖｉｎｃｉ手術を始めるときに読む本		鳥取大学医学部附属病院		メジカルビュー社	201204	4,800	5,184
1601	ICT	医学，薬学	医学，薬学	医療施設	9784840748575	院内ビッグデータ分析による病院機能高度化：医療の質・安全向上と外来・病棟機能評価へ		伏見清秀		じほう	201606	2,600	2,808
1602	ICT	技術，工学	技術，工学	計測工学	9784339045147	メカトロニクス計測の基礎		石井明（電気工学）：木股雅章	ロボティクスシリーズ	コロナ社	201302	2,200	2,376
1603	ICT	技術，工学	技術，工学	計測工学	9784339045161	応用センサ工学		川村貞夫：下ノ村和弘	ロボティクスシリーズ	コロナ社	201209	2,000	2,160
1604	ICT	技術，工学	技術，工学	工業デザイン	9784621301852	ヒューマノボティクス：神経メカニクスと運動制御		渡邉嘉二郎：小林一行		丸善出版	201708	5,400	5,832
1605	ICT	技術，工学	技術，工学	工業デザイン	9784789849524	３Ｄプリンタ用ＣＡＤソフトＡｕｔｏｄｅｓｋ Ｍｅｓｈｍｉｘｅｒ：ロボット／ケース／フィギュア…マウス・クルクルみん。入門編		岩永翔伍	ツール活用シリーズ	ＣＱ出版	201601	3,600	3,888
1606	ICT	技術，工学	技術，工学	論文集/評論集	9784000285636	知の失敗と社会：科学技術はなぜ社会にとって問題か		松本三和夫	岩波人文書セレクション	岩波書店	201210	2,800	3,024
1607	ICT	技術，工学	技術，工学	論文集/評論集	9784061565470	はじめての技術者倫理：未来を担う技術者・研究者のために		北原義典		講談社	201509	2,000	2,160
1608	ICT	技術，工学	技術，工学	論文集/評論集	9784130430371	ブレイクスルーへの思考：東大先端研が実践する発想のマネジメント		東京大学先端科学技術研究センター：神崎亮平		東京大学出版会	201612	2,200	2,376
1609	ICT	技術，工学	技術，工学	論文集/評論集	9784163906409	２０５０年の技術：英『エコノミスト』誌は予測する		英『エコノミスト』編集部：土方奈美		文藝春秋	201704	1,700	1,836
1610	ICT	技術，工学	技術，工学	論文集/評論集	9784254201581	技術者倫理を考える：持続可能な社会をめざして	新版	石塚正英：山家歩		朝倉書店	201409	2,650	2,862
1611	ICT	技術，工学	技術，工学	論文集/評論集	9784272430925	脱原発と工業文明の岐路		岩佐茂：高田純		大月書店	201208	2,400	2,592
1612	ICT	技術，工学	技術，工学	論文集/評論集	9784274068720	技術者倫理とリスクマネジメント：事故はどうして防げなかったのか？		中村昌允		オーム社	201202	2,000	2,160
1613	ICT	技術，工学	技術，工学	論文集/評論集	9784274211072	実務に役立つ技術倫理		日本技術士会		オーム社	201110	3,200	3,456
1614	ICT	技術，工学	技術，工学	論文集/評論集	9784320071964	オムニバス技術者倫理	第２版	オムニバス技術者倫理研究会		共立出版	201509	2,300	2,484
1615	ICT	技術，工学	技術，工学	論文集/評論集	9784326102068	技術者倫理の現在		大石敏広		勁草書房	201104	2,500	2,700
1616	ICT	技術，工学	技術，工学	論文集/評論集	9784339077971	エンジニアのための失敗マニュアル：痛快な珍問答と失敗のてんまつ		涌井伸二		コロナ社	201501	2,400	2,592
1617	ICT	技術，工学	技術，工学	論文集/評論集	9784339077988	技術者の倫理	改訂版	林真理：小野里憲一		コロナ社	201504	2,700	2,916
1618	ICT	技術，工学	技術，工学	論文集/評論集	9784385366029	テクニカルコミュニケーションへの招待：情報・知識をわかりやすく伝えるために		森口稔		三省堂	201309	2,800	3,024
1619	ICT	技術，工学	技術，工学	論文集/評論集	9784501626402	工学倫理：実例で学ぶ技術者の行動規範		河村尚登		東京電機大学出版局	201104	2,600	2,808
1620	ICT	技術，工学	技術，工学	論文集/評論集	9784526076114	技術者倫理：技術者として幸福を得るために考えておくべきこと		辻井洋行：水井万里子		日刊工業新聞社	201610	2,200	2,376

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
1621	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784532355401	これから３０年日本の課題を解決する先進技術		小宮山宏：三菱総合研究所		日本経済新聞出版社	201211	1,600	1,728
1622	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784542301900	最新ナノテクノロジーの国際標準化：市場展開から規制動向まで		田中正躬：小野晃		日本規格協会	201301	1,800	1,944
1623	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784595315701	新しい時代の技術者倫理		札野順	放送大学教材	放送大学教育振興会(発売：ＮＨＫ出版)	201503	2,800	3,024
1624	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784621082522	技術者倫理入門：ＪＡＢＥＥ対応		小出泰士		丸善出版	201005	2,100	2,268
1625	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784621082607	ナノテクノロジー		今堀博：金光義彦	化学マスター講座	丸善出版	201006	3,600	3,888
1626	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784621083178	工学倫理		今中忠行：中川浩行	化学マスター講座	丸善出版	201012	1,600	1,728
1627	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784621085127	技術者倫理日本の事例と考察：問題点と判断基準を探る		田岡直規：橋本義平		丸善出版	201201	3,000	3,240
1628	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784621085929	技術者の倫理学習要領：大学講義		杉本泰治：高城重厚		丸善出版	201208	5,800	6,264
1629	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784621086452	サイエンティフィック・リテラシー：科学技術リスクを考える		広野喜幸		丸善出版	201305	2,000	2,160
1630	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784621088814	法工学入門：安全・安心な社会のために法律と技術をつなぐ		日本機械学会		丸善出版	201410	3,400	3,672
1631	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784621089460	理系のための科学技術者倫理：ＪＡＢＥＥ基準対応		直江清隆：盛永審一郎		丸善出版	201506	2,400	2,592
1632	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784621300169	技術者の倫理入門：大学講義	第５版	杉本泰治：高城重厚		丸善出版	201601	1,800	1,944
1633	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784621300176	生命と科学技術の倫理学：デジタル時代の身体・脳・心・社会		森下直貴：栗屋剛		丸善出版	201601	2,800	3,024
1634	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784622079156	技術システムの神話と現実：原子力から情報技術まで		吉岡斉：名和小太郎		みすず書房	201505	3,200	3,456
1635	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784627973039	技術者倫理の世界	第３版	藤本温：川下智幸		森北出版	201308	1,900	2,052
1636	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784759815573	技術者による実践的工学倫理：先人の知恵と戦いから学ぶ	第３版	中村収三：近畿化学協会		化学同人	201309	2,200	2,376
1637	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784798052571	ＡＩ・ロボット・生命・宇宙・・・科学技術のフロントランナーがいま挑戦していること：サイエンスとアートのフロンティア		川口淳一郎		秀和システム	201710	1,600	1,728
1638	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784805792087	ナノスケール・ミクロスケールから見えるビックな世界		新藤斎	中央大学学術シンポジウム研究叢書	中央大学出版部	201310	4,200	4,536
1639	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784815807061	誇り高い技術者になろう：工学倫理ノススメ	第２版	黒田光太郎：戸田山和久		名古屋大学出版会	201207	2,800	3,024
1640	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784818821224	科学・技術革新・人間		北川隆吉：中山伸樹	２１世紀への挑戦	日本経済評論社	201302	2,500	2,700
1641	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784818922327	日本建築学会の技術者倫理教材	改訂版	日本建築学会		日本建築学会(発売：丸善出版)	201403	2,000	2,160
1642	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784842504902	自己発展経済のための工学：スマートフローの時代		福田収一		養賢堂	201111	2,400	2,592
1643	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784844607939	技術の知と倫理：技術の営みの教養基礎		比屋根均		理工図書	201204	2,300	2,484
1644	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784844608677	工学倫理：応用倫理学の接点	改訂版	高橋隆雄：尾原祐三		理工図書	201708	2,200	2,376
1645	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784861632396	地下資源文明から生命文明へ：人と地球を考えたあたらしいものづくりと暮らし方のか		石田秀輝：古川柳蔵		東北大学出版会	201402	3,000	3,240
1646	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784865560664	新技術活用のための法工学：リスク対応と安全確保の法律		近藤恵嗣		民事法研究会	201602	4,500	4,860
1647	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784865781465	テクノクラシー帝国の崩壊：「未来工房」の闘い		ロベルト・ユンク：山口祐弘		藤原書店	201711	2,800	3,024
1648	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784872620245	科学技術の倫理学		勢力尚雅		梓出版社	201103	2,000	2,160
1649	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784872620368	科学技術の倫理学．２		勢力尚雅		梓出版社	201503	2,400	2,592
1650	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784873115559	ＦａｂＬｉｆｅ：デジタルファブリケーションから生まれる「つくりかた		田中浩也	Ｍａｋｅ：Ｊａｐａｎ Ｂｏｏｋｓ	オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201206	2,200	2,376
1651	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784891731342	簡明化技術が地球を救う		簡明技術推進機構		白日社	201211	2,000	2,160
1652	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784901496858	工学倫理・技術者倫理：練習問題および解答例付		梶谷剛		アグネ技術センター	201704	1,600	1,728
1653	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784905285205	科学技術と国際関係		金沢工業大学国際学研究所		内外出版	201304	2,000	2,160
1654	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784938710743	日本を変える。：分離の科学技術から非分離の科学技術へ		矢野雅文		文化科学高等研究院(発売：ＪＲＣ)	201203	1,900	2,052
1655	ICT	技術．工学	技術．工学	特許	9784827112313	新米国特許法：施行規則・ＡＩＡ後の法改正と条約	増補版	服部健一		発明推進協会	201402	3,200	3,456
1656	ICT	技術．工学	技術．工学	特許	9784827112986	新米国特許法（ＡＩＡ）対訳付き：施行規則・ＡＩＡの法改正と条約．２０１７年版		服部健一		発明推進協会	201710	3,500	3,780
1657	ICT	技術．工学	技術．工学	科学玩具	9784274212918	タミヤ工作パーツで作るしくみがわかるロボット工作教室		メカヅキ		オーム社	201210	1,900	2,052
1658	ICT	技術．工学	技術．工学	科学玩具	9784777519897	Ｗｉ－ＦｉモジュールＥＳＰ８２６６」で動かす「ミニ四駆」キット：《技適済み》で簡単「ＩｏＴ」工作！		Ｃｅｒｅｖｏ	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201701	2,300	2,484
1659	ICT	技術．工学	技術．工学	工業史	9784526075537	インダストリアル・ビッグデータ：第４次産業革命に向けた製造業の挑戦		ジェイ・リー		日刊工業新聞社	201603	1,800	1,944
1660	ICT	技術．工学	技術．工学	工業史	9784822239879	日本版インダストリー４．０の教科書：ＩｏＴ時代のモノづくり戦略		山田太郎		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201605	1,800	1,944
1661	ICT	技術．工学	技術．工学	生産工学/生産管理	9784254275704	現代オペレーションズ・マネジメント：ＩｏＴ時代の品質・生産性向上と顧客価値創造		圓川隆夫	シリーズ(現代の品質管理)	朝倉書店	201703	2,700	2,916
1662	ICT	技術．工学	技術．工学	生産工学/生産管理	9784526077579	「７つのムダ」排除　次なる一手：ＩｏＴを上手に使ってカイゼン指南		山田浩貢		日刊工業新聞社	201710	2,200	2,376
1663	ICT	技術．工学	技術．工学	生産工学/生産管理	9784822275440	インダストリー４．０を超えるシミュレーション統合生産の衝撃：ＩｏＴ時代に先見力を与える知識統合型ものづくり		中村昌弘		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201509	2,000	2,160
1664	ICT	技術．工学	技術．工学	生産工学/生産管理	9784526077364	実践エンジニアリング・チェーン・マネジメント：ＩｏＴで設計開発革新		日野三十四		日刊工業新聞社	201708	2,400	2,592
1665	ICT	技術．工学	技術．工学	工業災害/労働災害	9784805913642	産業用ロボットの安全管理：理論と実際		中央労働災害防止協会		中央労働災害防止協会	201107	2,400	2,592
1666	ICT	技術．工学	技術．工学	工業災害/労働災害	9784805913659	産業用ロボットの安全必携：特別教育用テキスト		中央労働災害防止協会		中央労働災害防止協会	201107	1,800	1,944
1667	ICT	技術．工学	技術．工学	工業災害/労働災害	9784805916643	産業用ロボットの安全必携：特別教育用テキスト	第３版	中央労働災害防止協会		中央労働災害防止協会	201601	1,800	1,944
1668	ICT	技術．工学	技術．工学	工業災害/労働災害	9784805916650	産業用ロボットの安全管理：理論と実際	第３版	中央労働災害防止協会		中央労働災害防止協会	201602	2,400	2,592
1669	ICT	機械工学．原子力工学	機械工学．原子力工学	自動車産業	9784757123687	ＡＩが変えるクルマの未来：自動車産業への警鐘と期待		中村吉明		ＮＴＴ出版	201712	1,600	1,728
1670	ICT	機械工学．原子力工学	機械工学．原子力工学	空港	9784309253541	空の旅を科学する：人工知能がひらく！？２１世紀の「航空管制」		伊藤恵理		河出書房新社	201609	1,600	1,728
1671	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	伝記回路/回路理論	9784339045130	電気電子回路：アナログ・ディジタル回路		杉山進：田中克彦	ロボティクスシリーズ	コロナ社	201401	2,400	2,592
1672	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	共振回路	9784904774571	ＩｏＴシステムによるモーター設計とローコスト技術		村岡哲也	設計技術シリーズ	科学情報出版	201706	3,600	3,888
1673	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	太陽熱発電	9784909020031	太陽光発電市場・技術の実態と将来展望：スマートエネルギー～改正ＦＩＴ法と人工知能・太陽光．２０１７年版		日本エコノミックセンター	市場予測・将来展望シリーズ	日本エコノミックセンター(発売：通産資料出版会)	201702	70,000	75,600
1674	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	家庭用電化製品	9784839960681	Ｒａｓｐｂｅｒｒｙ Ｐｉではじめるおうちハック：ラズパイとＩｏＴでつくる未来の住まい		大和田茂：川上和義		マイナビ出版	201610	2,980	3,218

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
1675	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	通信方式	9784865940947	ＩｏＴシステム開発スタートアップ：プロトタイプで全レイヤをつなぐ		吉澤梗積：下拂直樹		リックテレコム	201705	2,600	2,808
1676	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784046538819	角川インターネット講座．０１		村井純【著者】：伊藤穣一		KADOKAWA / 角川学芸出版	201410	2,500	2,700
1677	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784046538826	角川インターネット講座．０２		村井純：伊藤穣一		ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201411	2,500	2,700
1678	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784046538833	角川インターネット講座．０３		村井純：伊藤穣一		ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201501	2,500	2,700
1679	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784046538840	角川インターネット講座．０４		川上量生【監修】：伊藤穣一		KADOKAWA / 角川学芸出版	201410	2,500	2,700
1680	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784046538857	角川インターネット講座．０５		村井純：伊藤穣一		ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201508	2,500	2,700
1681	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784046538864	角川インターネット講座．０６		村井純：伊藤穣一		ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201503	2,500	2,700
1682	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784046538871	角川インターネット講座．０７		村井純：伊藤穣一		ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201509	2,500	2,700
1683	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784046538888	角川インターネット講座．０８		村井純：伊藤穣一		ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201504	2,500	2,700
1684	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784046538895	角川インターネット講座．０９		三木谷浩史【監修】：伊藤穣一		KADOKAWA / 角川学芸出版	201410	2,500	2,700
1685	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784046538901	角川インターネット講座．１０		村井純：伊藤穣一		ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201502	2,500	2,700
1686	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784046538918	角川インターネット講座．１１		村井純：伊藤穣一		ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201507	2,500	2,700
1687	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784046538925	角川インターネット講座．１２		村井純：伊藤穣一		ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201506	2,500	2,700
1688	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784046538932	角川インターネット講座．１３		村井純：伊藤穣一		ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201412	2,500	2,700
1689	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784046538949	角川インターネット講座．１４		村井純：伊藤穣一		ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201505	2,500	2,700
1690	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784046538956	角川インターネット講座．１５		村井純：伊藤穣一		ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201510	2,500	2,700
1691	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784048660709	ＨＴＭＬ５マークアップ現場で使える最短攻略ガイド		浜俊太朗	ＷＥＢ ＰＲＯＦＥＳＳＩＯＮＡＬ	KADOKAWA / アスキー・メディアワークス	201312	2,600	2,808
1692	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784048662024	高速スケーラブル検索エンジンＥｌａｓｔｉｃＳｅａｒｃｈ Ｓｅｒｖｅｒ（サーバ）		ＲａｆａｌＫｕｃ【著者】：ＭａｒｅｋＲｏｇｏｚｉｎｓｋｉ【著者】		KADOKAWA / アスキー・メディアワークス	201403	2,800	3,024
1693	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784048863230	レスポンシブＷｅｂデザイン：マルチデバイス時代のコンセプトとテクニック		菊池崇	ＷＥＢ ＰＲＯＦＥＳＳＩＯＮＡＬ	KADOKAWA / アスキー・メディアワークス(発売・ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201307	2,500	2,700
1694	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784048869539	ＯｐｅｎＦｌｏｗ入門：次世代ネットワーク制御技術		石井秀治：大山裕泰		KADOKAWA / アスキー・メディアワークス(発売・ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201305	2,000	2,160
1695	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784048913911	Ｗｅｂ制作の現場で使うｊＱｕｅｒｙデザイン入門	改訂新版	西畑一馬	Ｗｅｂ ｐｒｏｆｅｓｓｉｏｎａｌ	KADOKAWA / アスキー・メディアワークス(発売・ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201303	2,980	3,218
1696	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784048915137	プロフェッショナルのための実践Ｈｅｒｏｋｕ入門：プラットフォーム・クラウドを活用したアプリケーショ		相澤歩【共著】：ａｒｔｏｎ【共著】		ＫＡＤＯＫＡＷＡ／アスキー・メディアワ	201409	1,800	1,944
1697	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784061538337	はじめてのＷｅｂページ作成：ＨＴＭＬ・ＣＳＳ・ＪａｖａＳｃｒｉｐｔの基本		松下孝太郎：山本光		講談社	201710	1,900	2,052
1698	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784130634564	インターネット・バイ・デザイン：２１世紀のスマートな社会・産業インフラの創造へ		江崎浩		東京大学出版会	201606	2,800	3,024
1699	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784274069208	マスタリングＴＣＰ／ＩＰ．ＯｐｅｎＦｌｏｗ編		あきみち：宮永直樹		オーム社	201307	2,800	3,024
1700	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784274214509	情報通信ネットワーク		滝根哲哉	ＯＨＭ大学テキスト	オーム社	201312	2,600	2,808
1701	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784274215179	ネットワークセキュリティ		電子情報通信学会：佐々木良一	現代電子情報通信選書『知識の森』	オーム社	201403	3,600	3,888
1702	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784274217906	ＩｏＴデバイス設計・実装：ＡＶＲマイコンとＰｙｔｈｏｎではじめよう		武藤佳恭		オーム社	201509	2,300	2,484
1703	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784274217975	情報通信ネットワーク		阪田史郎：井関文一	ＩＴ ｔｅｘｔ	オーム社	201510	2,800	3,024
1704	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784274218354	基本からわかる情報通信ネットワーク講義ノート		大塚裕幸：小川猛志		オーム社	201601	2,500	2,700
1705	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784274219894	ネットワークセキュリティ		菊池浩明：上原哲太郎	ＩＴ Ｔｅｘｔ	オーム社	201708	2,800	3,024
1706	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784274219900	基礎Ｗｅｂ技術	改訂２版	市村哲：宇田隆哉	ＩＴ ｔｅｘｔ	オーム社	201701	2,500	2,700
1707	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784274219917	応用Ｗｅｂ技術	改訂２版	松下温：市村哲	ＩＴ ｔｅｘｔ	オーム社	201702	2,500	2,700
1708	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784274506321	ＥＣＨＯＮＥＴ Ｌｉｔｅ入門：スマートハウスの通信技術を学ぼう！		杉村博：笹川雄司		オーム社	201609	2,500	2,700
1709	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784295000280	ｏｗｎＣｌｏｕｄセキュアストレージ構築ガイド：セキュリティ要件を満たすオープンソースのオンライン		スタイルズ	ＴＨＩＮＫ ＩＴ ＢＯＯＫＳ	インプレス	201611	2,000	2,160
1710	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784295000334	Ｗｅｂデベロッパーのための Ｒｅａｃｔ開発入門：ＪａｖａＳｃｒｉｐｔ ＵＩライブラリの基本と活用		柴田文彦		インプレス	201612	2,500	2,700
1711	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784295000464	Ａｎｓｉｂｌｅ実践ガイド：ＩＴ技術者のための現場ノウハウ		北山晋吾	ｉｍｐｒｅｓｓ ｔｏｐ ｇｅａｒ	インプレス	201612	3,200	3,456
1712	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784295000587	Ｄｒｕｐａｌ ８スタートブック：作りながら学ぶＷｅｂサイト構築		ＡＮＮＡｉ株式会社	ＴＨＩＮＫ ＩＴ ＢＯＯＫＳ	インプレス	201701	3,000	3,240
1713	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784295000723	ｎｇｉｎｘ実践ガイド		渡辺高志	ｉｍｐｒｅｓｓ ｔｏｐ ｇｅａｒ	インプレス	201702	2,800	3,024
1714	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784295000792	いちばんやさしいＷｏｒｄＰｒｅｓｓの教本	第３版	石川栄和：大串肇		インプレス	201702	1,580	1,706
1715	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784295002352	Ｗｅｂ制作者のためのＳａｓｓの教科書：Ｗｅｂデザインの現場で必須のＣＳＳプリプロセッサ	改訂２版	平澤隆：森田壮		インプレス	201709	2,400	2,592
1716	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784295002529	ＡＷＳ Ｌａｍｂｄａ実践ガイド：アーキテクチャとイベント駆動型プログラミング		大澤文孝	ｉｍｐｒｅｓｓ ｔｏｐ ｇｅａｒ	インプレス	201710	3,000	3,240
1717	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784295002574	Ａｎｇｕｌａｒデベロッパーズガイド：高速かつ堅牢に動作するフロントエンドフレームワーク		宇野陽太：奥野賢太郎		インプレス	201712	3,800	4,104
1718	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784295002796	Ｍｉｃｒｏｓｏｆｔ Ａｚｕｒｅ実践ガイド：オンプレミスからクラウドへ		真鍋徹：松井亮平		インプレス	201712	3,500	3,780
1719	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784309247441	スパム：インターネットのダークサイド		フィン・ブラントン：松浦俊輔		河出書房新社	201512	2,400	2,592
1720	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784320081819	インターネット工学		原山美知子	シリーズ知能機械工学	共立出版	201411	2,800	3,024
1721	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784320122642	コンピュータネットワーク		三木光範：佐藤健哉	情報工学テキストシリーズ	共立出版	201404	2,500	2,700
1722	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784320123199	Ｗｅｂシステムの開発技術と活用方法		速水治夫：服部哲	未来へつなぐデジタルシリーズ	共立出版	201303	2,800	3,024
1723	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784320123359	ＩＰｖ６ネットワーク構築実習		前野譲二：鈴田伊知郎		共立出版	201304	2,400	2,592
1724	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784320123380	情報倫理：ネットの炎上予防と対策		田代光輝：服部哲		共立出版	201311	2,400	2,592
1725	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784320123472	コンピュータネットワーク概論		水野忠則：奥田隆史	未来へつなぐデジタルシリーズ	共立出版	201409	2,800	3,024
1726	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784320123526	Ｗｅｂ制作の技術：企画から実装，運営まで		松本早野香：服部哲	未来へつなぐデジタルシリーズ	共立出版	201511	2,600	2,808
1727	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784320123564	ネットワークセキュリティ		高橋修：関良明	未来へつなぐデジタルシリーズ	共立出版	201709	2,800	3,024
1728	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784324097687	Ｑ＆Ａインターネットの法的論点と実務対応	第２版	東京弁護士会		ぎょうせい	201410	4,500	4,860

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
1729	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784324098639	インターネットの法律実務		東京弁護士会	弁護士専門研修講座	ぎょうせい	201412	3,800	4,104
1730	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784326403417	ＩＣＴ実務のためのインターネット政策論の基礎知識：テクノロジー・ユーザー・ビジネスにより進化し続ける		クリストファー・ユー：波多江崇		勁草書房	201708	2,800	3,024
1731	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784326503780	ネットワーク中立性の経済学：通信品質をめぐる分析		実積寿也		勁草書房	201306	3,500	3,780
1732	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784326503902	Ｅｍｐｉｒｉｃａｌ　ａｎａｌｙｓｉｓ　ｏｆ　ｔｈｅ　ｄｅｐｌｏｙｍｅｎｔ　ｏｆ：ｆｏｃｕｓｉｎｇ　ｏｎ　ｐｒｏｍｏｔｉｎｇ　ｆａｃ		篠原聡兵衛		勁草書房	201402	9,500	10,260
1733	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784326504220	ネット炎上の研究：誰があおり、どう対処するのか		田中辰雄：山口真一		勁草書房	201604	2,200	2,376
1734	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784335356438	サイト別ネット中傷・炎上対応マニュアル		清水陽平		弘文堂	201506	2,200	2,376
1735	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784335356841	サイト別ネット中傷・炎上対応マニュアル	第２版	清水陽平		弘文堂	201612	2,200	2,376
1736	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784339009019	Ｒａｓｐｂｅｒｒｙ　Ｐｉ　ＺｅｒｏによるＩｏＴ入門：Ｚｅｒｏ　Ｗ対応		今井一雅		コロナ社	201710	2,200	2,376
1737	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784339009033	ＭＩＭＯからＭａｓｓｉｖｅ　ＭＩＭＯを用いた伝送技術とクロスレイヤ評価手法：超進化８０２．１１高速無線ＬＡＮ教科書		西森健太郎：平栗健史		コロナ社	201711	2,700	2,916
1738	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784339024777	分散システム：Ｐ２Ｐモデル		滝沢誠：榎戸智也	成蹊大学アジア太平洋研究センター叢書	コロナ社	201404	2,200	2,376
1739	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784339024807	Ｗｅｂプログラミング：基礎からのステップアップ		大和田勇人：金盛克俊		コロナ社	201405	2,000	2,160
1740	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784339024951	コンピュータネットワークセキュリティ		八木毅：秋山満昭		コロナ社	201504	2,500	2,700
1741	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784339028010	情報ネットワーク科学入門		村田正幸：成瀬誠	情報ネットワーク科学シリーズ	コロナ社	201510	3,000	3,240
1742	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784339028027	情報ネットワークの数理と最適化：性能や信頼性を高めるためのデータ構造とアルゴリズム		巳波弘佳：井上武	情報ネットワーク科学シリーズ	コロナ社	201512	2,600	2,808
1743	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784339028034	情報ネットワークの分散制御と階層構造		会田雅樹	情報ネットワーク科学シリーズ	コロナ社	201510	3,000	3,240
1744	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784339028041	ネットワーク・カオス：非線形ダイナミクス、複雑系と情報ネットワーク		電子情報通信学会：中尾裕也	情報ネットワーク科学シリーズ	コロナ社	201801	3,400	3,672
1745	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784339028058	生命のしくみに学ぶ情報ネットワーク設計・制御		若宮直紀：荒川伸一	情報ネットワーク科学シリーズ	コロナ社	201510	2,200	2,376
1746	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784339028638	例題で学ぶＷｅｂデザイン入門		大堀隆文：木下正博		コロナ社	201610	2,400	2,592
1747	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784339028690	セマンティックＷｅｂとリンクトデータ		兼岩憲		コロナ社	201702	3,000	3,240
1748	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784339028768	クラウドコンピューティングのためのＯＳとネットワークの基礎		木下宏揚		コロナ社	201708	2,500	2,700
1749	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784414300086	ツイッターの心理学：情報環境と利用者行動		北村智：佐々木裕一		誠信書房	201607	2,700	2,916
1750	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784417016724	ＩＴ・インターネットの法律相談		ＴＭＩ総合法律事務所	最新青林法律相談	青林書院	201601	6,700	7,236
1751	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784434180217	Ｗｅｂクリエイターのためのベーシックデザイン：Ｗｅｂデザインの基礎を知る必読書		ウイネット	ＤＩＧＩＴＡＬ　ＤＥＳＩＧＮ ＭＡＳＴＥＲ　ＳＥＲＩＥ	ウイネット(発売：星雲社)	201306	2,200	2,376
1752	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784478023099	勝手に選別される世界：ネットの「評判」がリアルを支配するとき、あなたの人		マイケル・ファーティック：デビッド・Ｃ．トンプソン		ダイヤモンド社	201512	1,800	1,944
1753	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784478067451	ＩｏＴは日本企業への警告である：２４時間「機械に監視される時代」のビジネスの条件		齋藤ウィリアム浩幸		ダイヤモンド社	201511	1,600	1,728
1754	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784478100882	ＩｏＴの衝撃：競合が変わる、ビジネスモデルが変わる		ダイヤモンド・ハーバード・ビジネス編集部	Ｈａｒｖａｒｄ　Ｂｕｓｉｎｅｓｓ　Ｒｅｖｉｅｗ　Ｐｒｅ	ダイヤモンド社	201609	1,600	1,728
1755	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784492580998	「クラウド化」と「ビッグデータ活用」はなぜ進まないのか？		柴田英寿【著】		東洋経済新報社	201212	1,600	1,728
1756	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784492762226	２０３０年のＩｏＴ		桑津浩太郎		東洋経済新報社	201512	1,800	1,944
1757	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784496051913	演習Ｗｅｂプログラミング入門	改訂版	齋藤真弓：海老沢信一		同友館	201604	2,500	2,700
1758	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784502212413	インターネット訴訟		上村哲史：山内洋嗣	企業訴訟実務問題シリーズ	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201703	2,500	2,700
1759	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784502217012	サイト・サーバー管理者のための削除・開示請求法的対策マニュアル		渡辺泰央		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201703	2,400	2,592
1760	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784526076381	ＩｏＴで激変する日本型製造業ビジネスモデル：俯瞰図から見える		大野治		日刊工業新聞社	201612	2,000	2,160
1761	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784542184565	ＪＩＳハンドブック．情報セキュリティ・ＬＡＮ・バー		日本規格協会		日本規格協会	201606	15,000	16,200
1762	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784561662044	ネット・リテラシー：ソーシャルメディア利用の規定因		西川英彦：岸谷和広	法政大学イノベーション・マネジメント研究センター叢書	白桃書房	201303	2,700	2,916
1763	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784587219352	ネットトラブルの法律相談Ｑ＆Ａ		横浜弁護士会		法学書院	201408	1,800	1,944
1764	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784595315060	情報ネットワーク		芝崎順司	放送大学教材	放送大学教育振興会(発売：ＮＨＫ出版)	201403	2,400	2,592
1765	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784595315756	Ｗｅｂのしくみと応用		森本容介	放送大学教材	放送大学教育振興会(発売：ＮＨＫ出版)	201503	2,500	2,700
1766	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784623070657	インターネットはなぜ人権侵害の温床になるのか：ネットパトロールがとらえたＳＮＳの危険性		吉冨康成		ミネルヴァ書房	201408	1,600	1,728
1767	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784627828926	ネットワーク工学	第２版	村上泰司		森北出版	201410	2,400	2,592
1768	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784627852013	ｎｓ３によるネットワークシミュレーション		銭飛		森北出版	201401	4,200	4,536
1769	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784627852419	ネットワーク符号化の基礎：初歩から学ぶネットワークコーディング		銭飛		森北出版	201505	3,800	4,104
1770	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784627853317	Ｍ２Ｍ／ＩｏＴシステム入門		電気学会		森北出版	201603	2,800	3,024
1771	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784627853614	情報通信ネットワークの基礎		宇野新太郎		森北出版	201612	2,200	2,376
1772	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784641125834	インターネット法		松井茂記：鈴木秀美		有斐閣	201512	2,900	3,132
1773	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784764904569	ウェブユニバーサルデザイン		ＮＴＴサービスエボリューション研究所：渡辺昌洋		近代科学社	201406	2,700	2,916
1774	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784764904934	モバイルネットワーク時代の情報倫理：被害者・加害者にならないためのメディアリテラシー	第２版	山住富也		近代科学社	201511	1,600	1,728
1775	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784765533423	Ｊａｖａによるネットワークプログラミング		鶴沢偉伸		技報堂出版	201310	2,400	2,592
1776	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784767822518	ＷｅｂデザインのためのＰｈｏｔｏｓｈｏｐ＋Ｉｌｌｕｓｔｒａｔｏｒ		瀧上園枝		エクスナレッジ	201703	2,400	2,592
1777	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784773881813	ＷＥＢプロ年鑑．’１８			ａｌｐｈａ　ｂｏｏｋｓ	アルファ企画(発売：現代企画室)	201711	9,000	9,720
1778	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774155401	おしゃれなＷｅｂサイトテンプレート集：すぐに使えてカスタマイズ自由なＨＴＭＬ＋ＣＳＳデザ		山口有由希：坂本可南子		技術評論社	201303	2,480	2,678
1779	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774155517	速習ＷｅｂデザインＨＴＭＬ＆ＣＳＳ：レッスン＆レッツトライ形式で基本が身につく　ＨＴＭ		さわだえり		技術評論社	201304	2,580	2,786
1780	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774156637	しっかり学ぶはじめてのＤｒｅａｍｗｅａｖｅｒドリル：デザインドリル　ＣＳ６／ＣＳ５．５／ＣＳ５／ＣＳ４		両角由美		技術評論社	201306	2,180	2,354
1781	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774157948	ＪＢｏｓｓ　Ｅｎｔｅｒｐｒｉｓｅ　Ａｐｐｌｉｃａｔｉｏｎ　Ｐｌａｔｆｏｒｍ　６構：企業向けＪａｖａエンタープライズサーバ運用の極意		ＮＴＴオープンソースソフトウェアセンタ：レッドハット株式会社		技術評論社	201307	3,800	4,104
1782	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774158563	プロになるためのＷｅｂデザイン入門講座：実践で役立つＰｈｏｔｏｓｈｏｐ　＆　Ｉｌｌｕｓｔｒ		庄崎大祐		技術評論社	201309	2,580	2,786

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
1783	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774158655	Ｗｅｂ開発の基礎徹底攻略：Ｗｅｂ技術まるごと整理／コーディング／設計／データ			ＷＥＢ＋ＤＢ ｐｒｅｓｓ ｐｌｕｓシリーズ	技術評論社	201308	1,880	2,030
1784	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774159713	ＰＨＰエンジニア養成読本：現場で役立つイマドキ開発ノウハウ満載！　ガッチリ！			Ｓｏｆｔｗａｒｅ Ｄｅｓｉｇｎ ｐｌｕｓシリーズ	技術評論社	201310	1,980	2,138
1785	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774164243	サーバ／インフラエンジニア養成読本：１０年先も役立つ力をつくる．管理／監視編	改訂新版		Ｓｏｆｔｗａｒｅ Ｄｅｓｉｇｎ ｐｌｕｓ	技術評論社	201405	1,980	2,138
1786	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774164250	サーバ／インフラエンジニア養成読本．仮想化活用編	改訂新版		Ｓｏｆｔｗａｒｅ Ｄｅｓｉｇｎ ｐｌｕｓ	技術評論社	201405	1,980	2,138
1787	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774165530	Ｖｙａｔｔａ仮想ルータ活用ガイド：仮想ネットワーク設計とプライベートクラウドの構築		松本直人：さくらインターネット研究所	Ｓｏｆｔｗａｒｅ Ｄｅｓｉｇｎ ｐｌｕｓ	技術評論社	201407	3,300	3,564
1788	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774166148	フロントエンド開発徹底攻略：ＨＴＭＬ５／ＣＳＳ３／ＪａｖａＳｃｒｉｐｔ／ＵＩデ			ＷＥＢ＋ＤＢ ｐｒｅｓｓ ｐｌｕｓシリーズ	技術評論社	201408	1,980	2,138
1789	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774167305	クラウドを支える技術：データセンターサイズのマシン設計法入門		ルイス・アンドレ・バロッソ：ジミー・クライダラス	ＷＥＢ＋ＤＢ ｐｒｅｓｓ ｐｌｕｓシリーズ	技術評論社	201410	2,580	2,786
1790	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774167534	検索エンジン自作入門：手を動かしながら見渡す検索の舞台裏		山田浩之：末永匡		技術評論社	201410	2,680	2,894
1791	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774167688	サーバ／インフラ徹底攻略：ＡＷＳ／テスト駆動インフラ／Ｉｍｍｕｔａｂｌｅ Ｉ			ＷＥＢ＋ＤＢ ｐｒｅｓｓ ｐｌｕｓシリーズ	技術評論社	201412	1,980	2,138
1792	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774167879	ＷｏｒｄＰｒｅｓｓプロフェッショナル養成読本：Ｗｅｂサイト運用の現場で役立つ知識が満載！　ガッチ			Ｓｏｆｔｗａｒｅ Ｄｅｓｉｇｎ ｐｌｕｓ	技術評論社	201411	1,980	2,138
1793	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774168074	ＯｐｅｎＳＳＨ「実践」入門		川本安武	Ｓｏｆｔｗａｒｅ Ｄｅｓｉｇｎ ｐｌｕｓシリーズ	技術評論社	201412	2,980	3,218
1794	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774169446	ＷｅｂデザイナーのためのｊＱｕｅｒｙ入門：魅力的なユーザーインターフェースを手軽に作る	改訂版	高津戸壮：小原司		技術評論社	201412	2,980	3,218
1795	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774169835	サーバ／インフラエンジニア養成読本．ログ収集～可視化編			Ｓｏｆｔｗａｒｅ Ｄｅｓｉｇｎ ｐｌｕｓ	技術評論社	201409	1,980	2,138
1796	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774169903	ｊＱｕｅｒｙ本格入門：ＪａｖａＳｃｒｉｐｔ開発・デザイン効率化の基礎から	改訂新版	沖林正紀		技術評論社	201409	3,300	3,564
1797	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774175218	Ｐａｌｏ Ａｌｔｏ Ｎｅｔｗｏｒｋｓ構築実践ガイド：次世代ファイアウォールの機能を徹底活用		三輪賢一：伊原智仁		技術評論社	201508	4,800	5,184
1798	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774175386	ＷＥＢ＋ＤＢ ＰＲＥＳＳ．総集編 ｖｏｌ．１～８４			ＷＥＢ＋ＤＢ ｐｒｅｓｓ ｐｌｕｓシリーズ	技術評論社	201509	2,570	2,775
1799	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774175683	ＡｎｇｕｌａｒＪＳアプリケーションプログラミング		山田祥寛		技術評論社	201509	3,700	3,996
1800	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774176031	たのしいインフラの歩き方		齊藤雄介		技術評論社	201510	3,200	3,456
1801	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774176338	Ｎｇｉｎｘポケットリファレンス		鶴長鎮一：馬場俊彰	Ｐｏｃｋｅｔ ｒｅｆｅｒｅｎｃｅ	技術評論社	201510	2,780	3,002
1802	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774176734	Ａｍａｚｏｎ Ｗｅｂ Ｓｅｒｖｉｃｅｓ実践入門		舘岡守：今井智明	ＷＥＢ＋ＤＢ ｐｒｅｓｓ ｐｌｕｓシリーズ	技術評論社	201512	2,580	2,786
1803	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774178035	基本からしっかり学ぶＳｙｍｆｏｎｙ２入門		後藤秀宣：金本貴志		技術評論社	201601	3,200	3,456
1804	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774178653	ソフトウェアエンジニアのためのＩＴインフラ監視「実践」入門		斎藤祐一郎	Ｓｏｆｔｗａｒｅ Ｄｅｓｉｇｎ ｐｌｕｓシリーズ	技術評論社	201602	2,280	2,462
1805	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774178660	ｎｇｉｎｘ実践入門		久保達彦：道井俊介	ＷＥＢ＋ＤＢ ｐｒｅｓｓ ｐｌｕｓシリーズ	技術評論社	201602	2,770	2,991
1806	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774178943	Ｓｅｌｅｎｉｕｍ実践入門：自動化による継続的なブラウザテスト		伊藤望：戸田広	ＷＥＢ＋ＤＢ ｐｒｅｓｓ ｐｌｕｓシリーズ	技術評論社	201603	3,300	3,564
1807	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774179520	Ｗｅｂサービス開発徹底攻略．ｖｏｌ．２			ＷＥＢ＋ＤＢ ｐｒｅｓｓ ｐｌｕｓシリーズ	技術評論社	201603	1,980	2,138
1808	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774179834	ＯｐｅｎＦｌｏｗ実践入門：クラウド時代のネットワーク技術	増補改訂版	高宮安仁：鈴木一哉	Ｓｏｆｔｗａｒｅ Ｄｅｓｉｇｎ ｐｌｕｓシリーズ	技術評論社	201603	3,200	3,456
1809	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774179926	ＡＷＳエキスパート養成読本：Ａｍａｚｏｎ Ｗｅｂ Ｓｅｒｖｉｃｅｓに最適化され		吉田真吾：今井智明	Ｓｏｆｔｗａｒｅ Ｄｅｓｉｇｎ ｐｌｕｓシリーズ	技術評論社	201604	1,980	2,138
1810	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774179933	サーバ／インフラエンジニア養成読本．ＤｅｖＯｐｓ編		吉羽龍太郎：新原雅司	Ｓｏｆｔｗａｒｅ Ｄｅｓｉｇｎ ｐｌｕｓ	技術評論社	201604	1,980	2,138
1811	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774180342	サーバ／インフラエンジニア養成読本：現場で役立つ知識と技術が満載！	改訂３版		Ｓｏｆｔｗａｒｅ Ｄｅｓｉｇｎ ｐｌｕｓ	技術評論社	201604	2,080	2,246
1812	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774180816	今すぐ使えるかんたんネットワークのしくみ超入門		網野衛二		技術評論社	201606	1,780	1,922
1813	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774180953	クラウド開発徹底攻略：ＡＷＳ自動化／Ｄｏｃｋｅｒ／Ｇｏｏｇｌｅ Ｃｌｏｕ			ＷＥＢ＋ＤＢ ｐｒｅｓｓ ｐｌｕｓシリーズ	技術評論社	201606	1,980	2,138
1814	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774181882	基礎からのＷｅｂアプリケーション開発入門：Ｗｅｂサーバを作りながら学ぶ		前橋和弥	Ｓｏｆｔｗａｒｅ Ｄｅｓｉｇｎ ｐｌｕｓシリーズ	技術評論社	201607	2,680	2,894
1815	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774181905	かんたんネットワーク入門：イラストでわかるネットワークのしくみ	改訂３版	三輪賢一		技術評論社	201609	1,580	1,706
1816	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774183671	Ｐｙｔｈｏｎクローリング＆スクレイピング：データ収集・解析のための実践開発ガイド		加藤耕太		技術評論社	201701	3,200	3,456
1817	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774185361	新人ＩＴ担当者のためのクラウド導入＆運用がわかる本		加藤章		技術評論社	201612	1,680	1,814
1818	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774185705	ポートとソケットがわかればインターネットがわかる：ＴＣＰ／ＩＰ・ネットワーク技術を学びたいあなたのた		小川晃通	Ｓｏｆｔｗａｒｅ Ｄｅｓｉｇｎ ｐｌｕｓシリーズ	技術評論社	201612	2,280	2,462
1819	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774186283	オリジナルＣＭＳで作るＣＯＯＬ ＳＫＩＮＳ：クール＆スタイリッシュＷｅｂサイトテンプレート集		小田倉明		技術評論社	201701	2,480	2,678
1820	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774187068	エンジニアのためのＷｏｒｄＰｒｅｓｓ開発入門		野島祐慈：菱川拓郎	Ｅｎｇｉｎｅｅｒ’ｓ Ｌｉｂｒａｒｙシリーズ	技術評論社	201701	2,980	3,218
1821	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774187808	ＨＴＭＬ５＆ＣＳＳ３デザインレシピ集		狩野祐東		技術評論社	201702	2,750	2,970
1822	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774188836	Ｒｕｂｙ ｏｎ Ｒａｉｌｓ ５アプリケーションプログラミング		山田祥寛		技術評論社	201704	3,600	3,888
1823	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774189680	これからはじめる ＨＴＭＬ＆ＣＳＳの本：Ｗｉｎｄｏｗｓ１０＆ｍａｃＯＳ対応版		千貫ひこ：ロケナナワークショップ	デザインの学校	技術評論社	201706	1,980	2,138
1824	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774190440	３ステップでしっかり学ぶＰＨＰ入門		小田垣祐：大井渉		技術評論社	201708	2,460	2,656
1825	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774190648	ＨＴＭＬ＆ＣＳＳとＷｅｂデザインが１冊できちんと身につく本		服部雄樹		技術評論社	201708	2,280	2,462
1826	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774190846	ＩＢＭ Ｂｌｕｅｍｉｘクラウド開発入門：Ｗｅｂから拡張知能Ｗａｔｓｏｎまで実践解説		常田秀明：水津幸太	Ｓｏｆｔｗａｒｅ Ｄｅｓｉｇｎ ｐｌｕｓシリーズ	技術評論社	201707	2,800	3,024
1827	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774191300	Ａｎｇｕｌａｒアプリケーションプログラミング：開発の勘所と手順をしっかりマスター		山田祥寛		技術評論社	201708	3,700	3,996
1828	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774192130	Ｍａｃｋｅｒｅｌサーバ監視［実践］入門		井上大輔：粕谷大輔		技術評論社	201709	2,900	3,132
1829	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774192628	Ａｍａｚｏｎ Ｗｅｂ Ｓｅｒｖｉｃｅｓ負荷試験入門：クラウドの性能の引き出し方がわかる		仲川樽八：森下健	Ｓｏｆｔｗａｒｅ Ｄｅｓｉｇｎ ｐｌｕｓ	技術評論社	201710	3,800	4,104
1830	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774193328	ソーシャルアプリプラットフォーム構築技法：ＳＮＳからＢＯＴまでＩＴをコアに成長する企業の教科		田中洋一郎	Ｓｏｆｔｗａｒｅ Ｄｅｓｉｇｎ ｐｌｕｓシリーズ	技術評論社	201711	2,800	3,024
1831	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774193335	ＱＮＡＰ実践活用ガイドブック：クラウド時代のネットワークストレージ活用術		井上正和		技術評論社	201711	2,000	2,160
1832	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774193717	ゼロからわかるＨＴＭＬ＆ＣＳＳ超入門：ＨＴＭＬ５ ＆ ＣＳＳ３対応版		太木裕子	かんたんＩＴ基礎講座	技術評論社	201712	1,980	2,138
1833	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774194004	超速！Ｗｅｂページ速度改善ガイド：使いやすさは「速さ」から始まる		佐藤歩：泉水翔吾	ＷＥＢ＋ＤＢ ＰＲＥＳＳ ｐｌｕｓシリーズ	技術評論社	201712	2,580	2,786
1834	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784777517497	はじめてのＣａｋｅＰＨＰ：日本でも人気！無料で使えるＰＨＰ用フレームワーク		樺嶋芳充	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201303	2,300	2,484
1835	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784777517510	基礎からわかる「Ｗｅｂ」と「ネットワーク」：「情報」が２１世紀の社会をかたち づく る！		滝本往人	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201303	1,900	2,052
1836	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784777517732	はじめてのＡｄｏｂｅ Ｅｄｇｅツール＆サービス：無料で使える高機能「Ｗｅｂ制作用ツール」		タナカヒロシ	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201307	1,900	2,052

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
1837	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784777517848	ＣＳＳ３教科書：サイトデザインのための「スタイルシート」規格		片山幸雄	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201309	2,300	2,484
1838	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784777517992	はじめてのＢｏｏｔｓｔｒａｐ：「見栄えのするサイト」を手軽に作る！		槇俊明	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201311	1,900	2,052
1839	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784777518326	はじめてのＭａｒｋｄｏｗｎ：軽量マークアップ言語の記法と使い方		清水美樹	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201405	1,900	2,052
1840	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784777518968	ＩｏＴがわかる本：身の周りのモノをネットワークにつなぐ！		Ｉ／Ｏ編集部	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201505	1,900	2,052
1841	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784777519422	基礎からわかる「ＩｏＴ」と「Ｍ２Ｍ」：情報の「特異点」を生み出す、最先端の技術		滝本往人	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201603	1,900	2,052
1842	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784777519781	はじめての「Ｒｕｂｙ ｏｎ Ｒａｉｌｓ」５：「Ｗｅｂアプリ」作りに定番の「フレームワーク」を使		清水美樹	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201611	2,300	2,484
1843	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784777520268	はじめてのＮｏｄｅ－ＲＥＤ：「データ」の流れを自由自在につくる！		Ｎｏｄｅ－ＲＥＤユーザーグループジャパン	１／Ｏ ＢＯＯＫＳ	工学社	201709	2,500	2,700
1844	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784781701974	ハッカーの学校		Ｉｐｕｓｉｒｏｎ		データハウス	201501	3,500	3,780
1845	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784781913216	ソーシャルコンピューティング入門：新しいコンピューティングパラダイムへの道標		増永良文	Ｉｎｆｏｒｍａｔｉｏｎ ＆ ｃｏｍｐｕｔｉｎｇ	サイエンス社	201303	2,400	2,592
1846	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784784511242	故人サイト：亡くなった人が残していったホームページ達		古田雄介		社会評論社	201512	1,700	1,836
1847	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784785724375	発信者情報開示・削除請求の実務：インターネット上の権利侵害への対応		岡田理樹：長崎真美		商事法務	201607	4,500	4,860
1848	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784787233912	ソーシャルメディア論：つながりを再設計する		藤代裕之		青弓社	201510	1,800	1,944
1849	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784788277755	インターネットの法律問題：理論と実務		岡村久道		新日本法規出版	201309	5,400	5,832
1850	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784788282032	ケース・スタディ　インターネット権利侵害対応の実務：発信者情報開示請求と削除請求		清水陽平：神田知宏		新日本法規出版	201701	4,200	4,536
1851	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784791767151	サイファーパンク：インターネットの自由と未来		ジュリアン・アサンジ：松田和也		青土社	201307	1,800	1,944
1852	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784791767168	インターネットを生命化するプロクロニズムの思想と実践		ドミニク・チェン		青土社	201308	2,800	3,024
1853	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784791769094	フューチャー・クライム：サイバー犯罪からの完全防衛マニュアル		マーク・グッドマン：松浦俊輔		青土社	201602	3,400	3,672
1854	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784791769674	ウェブに夢見るバカ：ネットで頭がいっぱいの人のための９６章		ニコラス・Ｇ．カー：増子久美		青土社	201612	2,400	2,592
1855	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784797369816	スタートアップＨＴＭＬ５：ＨＴＭＬ５，ＣＳＳ，ＪａｖａＳｃｒｉｐｔではじめる		笠原一浩		ＳＢクリエイティブ	201303	2,800	3,024
1856	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784797372960	スラスラわかるＨＴＭＬ＆ＣＳＳのきほん：サンプル実習		狩野祐東【著】		SBクリエイティブ	201305	1,900	2,052
1857	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784797384550	最強のＣＳＳ設計：チーム開発を成功に導くケーススタディ		堀口誠人		ＳＢクリエイティブ	201511	2,200	2,376
1858	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784797385274	プラグインを使わないスキルを身につけたい人のためのｊＱｕｅｒｙテクニカルノート		矢次悟郎		ＳＢクリエイティブ	201602	2,400	2,592
1859	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784797386653	この一冊で全部わかるクラウドの基本：実務で生かせる知識が、確実に身につく		林雅之	Ｉｎｆｏｒｍａｔｉｃｓ＆ＩＤＥＡ	ＳＢクリエイティブ	201608	1,680	1,814
1860	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784797386660	この一冊で全部わかるサーバーの基本：実務で生かせる知識が、確実に身につく		きはしまさひろ	Ｉｎｆｏｒｍａｔｉｃｓ＆ＩＤＥＡ	ＳＢクリエイティブ	201604	1,680	1,814
1861	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784797388817	この一冊で全部わかるＷｅｂ技術の基本		小林恭平：坂本陽	Ｉｎｆｏｒｍａｔｉｃｓ＆ＩＤＥＡ	ＳＢクリエイティブ	201703	1,680	1,814
1862	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784797389029	データを集める技術：最速で作るスクレイピング＆クローラー		佐々木拓郎	Ｉｎｆｏｒｍａｔｉｃｓ＆ＩＤＥＡ	ＳＢクリエイティブ	201612	2,400	2,592
1863	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784797389654	いちばんよくわかるＷｅｂデザインの基本きちんと入門：レイアウト／配色／写真／タイポグラフィ／最新テクニ		伊藤庄平：益子貴寛	Ｄｅｓｉｇｎ＆ＩＤＥＡ	ＳＢクリエイティブ	201702	2,380	2,570
1864	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784797390711	パケットキャプチャの教科書		みやたひろし		ＳＢクリエイティブ	201710	2,980	3,218
1865	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784797392432	ＩｏＴの基本・仕組み・重要事項が全部わかる教科書		八子知礼：杉山恒司		ＳＢクリエイティブ	201711	2,300	2,484
1866	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798037998	はじめてのＨＴＭＬ＋ＣＳＳ：Ａｌｌ Ｃｏｌｏｒ		猿橋大	Ｔｅｃｈｎｉｃａｌ ｍａｓｔｅｒ	秀和システム	201306	2,500	2,700
1867	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798038759	はじめての無料でできるホームページ作成最新ＨＴＭＬ５＋ＣＳＳ入門		Ｓｔｕｄｉｏノマド	Ｂａｓｉｃ ｍａｓｔｅｒ ｓｅｒｉｅｓ	秀和システム	201308	1,580	1,706
1868	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798039916	Ｓｐｒｉｎｇ ＭＶＣ／Ｒｏｏプログラミング入門		掌田津耶乃		秀和システム	201312	2,800	3,024
1869	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798041285	はじめてのグーグルアナリティクス入門		Ｓｔｕｄｉｏノマド	Ｂａｓｉｃ ｍａｓｔｅｒ ｓｅｒｉｅｓ	秀和システム	201407	1,600	1,728
1870	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798041797	ＡＳＰ．ＮＥＴ ＭＶＣ５実践プログラミング		山田祥寛		秀和システム	201410	3,500	3,780
1871	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798042169	わかりやすいＪａｖａＥＥウェブシステム入門		川場隆		秀和システム	201411	3,200	3,456
1872	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798042176	リファレンスを使う前に読んでほしいＷｅｂデザインの心得		園田誠		秀和システム	201411	2,000	2,160
1873	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798042237	ＰＨＰとＭｙＳＱＬのツボとコツがピッタリわかる本：最初からそう教えてくれればいいのに！		横山達大		秀和システム	201412	2,500	2,700
1874	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798042428	ホームページ・ビルダー１９パーフェクトマスター：Ｖｅｒ．１８／１７／１６／１５／１４／１３／１２／		金城俊哉	Ｐｅｒｆｅｃｔ ｍａｓｔｅｒ	秀和システム	201412	2,980	3,218
1875	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798042596	これならわかる！ Ｌｉｎｕｘサーバー入門講座	第２版	水口克也		秀和システム	201501	2,600	2,808
1876	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798042640	思い通りのページをつくるために知っておきたいＷｏｒｄＰｒｅｓｓのきほん		大藤幹		秀和システム	201501	2,380	2,570
1877	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798043326	ＷｏｒｄＰｒｅｓｓ本格Ｗｅｂサイト構築パーフェクトマスター		音賀鳴海：アンカープロ	Ｐｅｒｆｅｃｔ ｍａｓｔｅｒ	秀和システム	201510	2,800	3,024
1878	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798043883	ＪａｖａＳｃｒｉｐｔ Ｗｅｂ開発パーフェクトマスター		金城俊哉	Ｐｅｒｆｅｃｔ ｍａｓｔｅｒ	秀和システム	201507	3,400	3,672
1879	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798047638	図解入門よくわかる最新サーバサイド技術の基本と仕組み：仕事の意味と役割を知る		藤広哲也	Ｈｏｗ－ｎｕａｌ ｖｉｓｕａｌ ｇｕｉｄｅ ｂｏｏｋ	秀和システム	201609	1,600	1,728
1880	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798048321	Ｒｕｂｙ ｏｎ Ｒａｉｌｓ ５超入門		掌田津耶乃		秀和システム	201612	2,700	2,916
1881	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798048574	ＰＨＰフレームワークＣａｋｅＰＨＰ ３入門		掌田津耶乃		秀和システム	201701	2,800	3,024
1882	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798049083	サイバー攻撃の足跡を分析するハニーポット観察記録		森久和昭		秀和システム	201701	2,200	2,376
1883	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798049700	詳解ＨＴＭＬ ５．１ ＆ ＨＴＭＬ ４．０１ ＆ ＸＨＴＭＬ １		大藤幹		秀和システム	201703	2,400	2,592
1884	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798050164	Ｗｉｎｄｏｗｓ Ｓｅｒｖｅｒ ２０１６ネットワーク構築・管理ガイド		長岡秀明		秀和システム	201703	3,700	3,996
1885	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798050225	詳解ＨＴＭＬ ＆ ＣＳＳ ＆ ＪａｖａＳｃｒｉｐｔ辞典	第７版	大藤幹：半場方人		秀和システム	201703	2,000	2,160
1886	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798050751	作りながら学ぶＲｅａｃｔ入門		吉田裕美（プログラム開発）		秀和システム	201709	2,000	2,160
1887	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798050928	Ｎｏｄｅ．ｊｓ超入門		掌田津耶乃		秀和システム	201708	3,000	3,240
1888	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798050959	入門ＬＤＡＰ／ＯｐｅｎＬＤＡＰディレクトリサービス導入・運用ガイド	第３版	データージーネット		秀和システム	201711	2,800	3,024
1889	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798051284	「あのサイトみたいに！」を実現できる！職業デザイナーでなくてもＷｅｂの表現を豊か：最初からそう教えてくれればいいのに！		中田亨		秀和システム	201709	2,500	2,700
1890	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798052588	ＰＨＰフレームワークＬａｒａｖｅｌ入門		掌田津耶乃		秀和システム	201709	3,000	3,240

No	カテゴリ	分野	分類1	分類2	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
1891	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798126258	ＨＴＴＰの教科書：強靭な技術力と柔軟な思考を味方にするＷｅｂプロトコ		上野宣		翔泳社	201305	2,600	2,808
1892	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798129501	小さなＥＣサイトのＷｏｒｄＰｒｅｓｓ＋Ｗｅｌｃａｒｔ導入・設定ガイド：自前でもできる！		南部正光：森川徹志	Ｓｍａｌｌ Ｂｕｓｉｎｅｓｓ Ｓｕｐｐｏｒｔ	翔泳社	201305	2,800	3,024
1893	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798129679	ＨＴＭＬ＆ＣＳＳ標準デザイン講座：Ｗｅｂページを作りながら学ぶ基本セオリーと実用テク		草野あけみ		翔泳社	201303	2,380	2,570
1894	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798130569	ＨＴＭＬ５＆ＣＳＳ３辞典	第２版	アンク		翔泳社	201304	2,400	2,592
1895	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798130934	一歩先にいくＷｏｒｄＰｒｅｓｓのカスタマイズがわかる本：仕組みや考え方からちゃんとわかりたい人のために		相原知栄子：大曲仁		翔泳社	201604	2,680	2,894
1896	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798131771	ＯｐｅｎＦｌｏｗ徹底入門：ＳＤＮを実現する技術と知識		馬場達也：大上貴充		翔泳社	201309	3,600	3,888
1897	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798132198	ＣＳＳ３逆引きデザインレシピ：すぐにおいしいデザインサンプル×テクニック集		原一成		翔泳社	201309	2,800	3,024
1898	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798132389	Ｌｉｎｕｘサーバーセキュリティ徹底入門：オープンソースによるサーバー防衛の基本		中島能和		翔泳社	201310	3,800	4,104
1899	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798132440	Ｓａｓｓ ＆ Ｃｏｍｐａｓｓ徹底入門：ＣＳＳのベストプラクティスを効率よく実現するために		ウィン・ニーザーランド：ネイサン・ワイゼンバウム	ＤＥＳＩＧＮ ＆ ＷＥＢ ＴＥＣＨＮＯＬＯＧＹ	翔泳社	201403	2,980	3,218
1900	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798133331	ＵＩデザインの教科書：マルチデバイス時代のサイト設計		原田秀司		翔泳社	201311	2,200	2,376
1901	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798134031	ＣＳＳ辞典：ＣＳＳ２／３／４対応	第５版	アンク		翔泳社	201402	2,300	2,484
1902	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798134819	インターネットルーティング入門：図解でわかる経路制御の仕組み	第３版	友近剛史：池尻雄一		翔泳社	201405	2,600	2,808
1903	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798135830	ＨＴＭＬ５レベル１：ＨＴＭＬ５プロフェッショナル認定試験学習書		吉川徹：窪田則子	ＨＴＭＬ教科書	翔泳社	201409	3,400	3,672
1904	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798136226	ｊＱｕｅｒｙ標準デザイン講座：「使える」知識が身につく！		神田幸恵		翔泳社	201512	2,480	2,678
1905	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798136868	クラウドセキュリティ：クラウド活用のためのリスクマネージメント入門		金丸浩二：河野省二		翔泳社	201405	3,800	4,104
1906	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798137124	入門Ｂａｃｋｂｏｎｅ．ｊｓ：Ｗｅｂアプリケーションにしっかりした骨格と見通しの		ジェームス・サグルー：クイーブ	Ｐｒｏｇｒａｍｍｅｒ’ｓ ｓｅｌｅｃｔｉｏｎ	翔泳社	201408	3,600	3,888
1907	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798138084	コンピュータネットワークとインターネット：始原から現代まで、深化する技術の道程とその基礎理論	第６版	ダグラス・Ｅ．カマー：神林靖		翔泳社	201507	5,400	5,832
1908	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798139050	ブレイクスルー ＪａｖａＳｃｒｉｐｔ：フロントエンドエンジニアとして越えるべき５つの壁		太田智彬：田辺丈士	ＷＥＢ Ｅｎｇｉｎｅｅｒ’ｓ Ｂｏｏｋｓ	翔泳社	201504	2,200	2,376
1909	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798139180	ホームページ・ビルダー１９スパテク１３６		西真由		翔泳社	201410	2,800	3,024
1910	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798139784	ＯｐｅｎＳｔａｃｋクラウドインテグレーション：オープンソースクラウドによるサービス構築入門		日本ＯｐｅｎＳｔａｃｋユーザ会		翔泳社	201501	4,200	4,536
1911	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798140421	ＰｏｗｅｒＳｈｅｌｌ ｆｏｒ Ａｚｕｒｅ：ＰｏｗｅｒＳｈｅｌｌを使った快速Ａｚｕｒｅ開発、管		シリフ・タラート：長尾高弘		翔泳社	201610	3,500	3,780
1912	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798140629	絵で見てわかるＩｏＴ／センサの仕組みと活用		ＮＴＴデータ：河村雅人		翔泳社	201503	2,680	2,894
1913	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798140926	Ｊａｖａ ＥＥ ７徹底入門：標準Ｊａｖａフレームワークによる高信頼性Ｗｅｂシス		寺田佳央：猪瀬淳		翔泳社	201512	3,800	4,104
1914	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798141572	ＨＴＭＬ５／ＣＳＳ３モダンコーディング：フロントエンドエンジニアが教える３つの本格レイアウ		吉田真麻	ＷＥＢ Ｅｎｇｉｎｅｅｒ’ｓ Ｂｏｏｋｓ	翔泳社	201511	2,680	2,894
1915	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798141770	おうちで学べるセキュリティのきほん：全く新しいセキュリティの入門書		増井敏克		翔泳社	201507	2,200	2,376
1916	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798142203	ＨＴＭＬ５＆ＣＳＳ３標準デザイン講座：Ｗｅｂの基本をきちんと学ぶ！		草野あけみ		翔泳社	201511	2,480	2,678
1917	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798142678	Ａｍａｚｏｎ Ｗｅｂ Ｓｅｒｖｉｃｅｓクラウドサーバ構築ガイド：コストを削減する導入・実装・運用ノウハウ		中村義和		翔泳社	201511	3,400	3,672
1918	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798143156	はじめてのＣＳＳ設計		田辺丈士：大江遼	ＷＥＢ Ｅｎｇｉｎｅｅｒ’ｓ Ｂｏｏｋｓ	翔泳社	201703	2,680	2,894
1919	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798143330	Ｗｅｂ制作者のためのＵＸデザインをはじめる本		玉飼真一：村上竜介		翔泳社	201611	2,200	2,376
1920	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798143439	ブラウザバック：Ｗｅｂブラウザからの攻撃手法とその防御法総覧		ウェイド・アルコーン：クリスチャン・フリコット		翔泳社	201603	4,600	4,968
1921	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798143774	ＷｏｒｄＰｒｅｓｓ Ｗｅｂ開発逆引きレシピ：プロが選んだ三ツ星レシピ		藤本壱	Ｐｒｏｇｒａｍｍｅｒ’ｓ ｒｅｃｉｐｅ	翔泳社	201603	2,800	3,024
1922	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798143996	Ｄｅｆｅｎｓｅ Ｐｌａｔｆｏｒｍ：標的型攻撃対応セキュリティ導入ガイド		ハミングヘッズ株式会社		翔泳社	201601	3,200	3,456
1923	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798144023	独習ＡＳＰ．ＮＥＴ	第５版	山田祥寛		翔泳社	201601	3,800	4,104
1924	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798144245	モバイルファーストＳＥＯ：Ｗｅｂ標準の変革に対応したサイト制作		瀧内賢		翔泳社	201602	1,980	2,138
1925	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798145624	Ｗｅｂセキュリティ担当者のための脆弱性診断スタートガイド：上野宣が教える情報漏えいを防ぐ技術		上野宣		翔泳社	201608	3,200	3,456
1926	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798146379	ゼロからはじめるＬｉｎｕｘサーバー構築・運用ガイド：動かしながら学ぶＷｅｂサーバーの作り方		中島能和		翔泳社	201607	2,680	2,894
1927	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798149127	Ｐｙｔｈｏｎによるクローラー＆スクレイピング入門：設計・開発から収集データの解析・運用まで		加藤勝也：横山裕季		翔泳社	201710	3,000	3,240
1928	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798149387	おうちで学べるサーバのきほん：全く新しいサーバの入門書		木下肇		翔泳社	201701	1,980	2,138
1929	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798149943	Ａｎｓｉｂｌｅ徹底入門		廣川英寿：平初		翔泳社	201702	3,480	3,758
1930	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798150512	クローリングバック：あらゆるＷｅｂサイトをクロールするための実践テクニ		竹添直樹：島本多可子		翔泳社	201709	2,680	2,894
1931	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798151632	ＪａｖａＳｃｒｉｐｔの絵本：Ｗｅｂプログラミングを始める新しい９つの扉	第２版	アンク		翔泳社	201709	1,680	1,814
1932	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798153216	ホームページ辞典：ＨＴＭＬ・ＣＳＳ・ＪａｖａＳｃｒｉｐｔ	第６版	アンク		翔泳社	201712	2,000	2,160
1933	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784800710031	Ｄｒｅａｍｗｅａｖｅｒ ＣＣスーパーリファレンス：ｆｏｒ Ｗｉｎｄｏｗｓ ＆ Ｍａｃｉｎｔｏｓｈ		外間かおり		ソーテック社	201308	2,480	2,678
1934	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784800710581	ＨＴＭＬ＆スタイルシートトレーニングブック：ＨＴＭＬ５＋ＣＳＳ３対応版		渡邉希久子		ソーテック社	201407	2,380	2,570
1935	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784800710666	ＷｏｒｄＰｒｅｓｓ Ｐｅｒｆｅｃｔ ＧｕｉｄｅＢｏｏｋ：４．ｘ対応版		佐々木恵		ソーテック社	201502	1,680	1,814
1936	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784800711250	実践！ＣｅｎｔＯＳ７サーバー徹底構築：これ一冊で全部できる！		福田和宏		ソーテック社	201604	3,200	3,456
1937	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784800711281	ＨＴＭＬ５＋ＣＳＳ３でつくる！レスポンシブＷｅｂデザイン：現場で使える最新コーディング		大串肇：扇木弘樹		ソーテック社	201603	2,580	2,786
1938	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784802510318	超明快Ｗｅｂユーザビリティ：ユーザーに「考えさせない」デザインの法則		スティーブ・クルーグ：福田篤人		ビー・エヌ・エヌ新社	201606	2,400	2,592
1939	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784802610018	Ｄｒｅａｍｗｅａｖｅｒレッスンブック：いちばんわかりやすいＤＷ入門の決定版		関口和真		ソシム	201511	2,400	2,592
1940	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784802610919	ＷｏｒｄＰｒｅｓｓ ＡＭＰ対応モダンＷｅｂ制作レッスンブック：スマートフォン・タブレット対応		エ・ビスコム・テック・ラボ		ソシム	201702	2,800	3,024
1941	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784817196163	ＩＳＯ／ＩＥＣ ２７０１７クラウドセキュリティ管理策と実践の徹底		羽田卓郎：山崎哲		日科技連出版社	201702	3,600	3,888
1942	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784817843159	基本講義プロバイダ責任制限法：インターネット上の違法・有害情報に関する法律実務		関原秀行		日本加除出版	201606	2,500	2,700
1943	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784817843685	インターネット新時代の法律実務Ｑ＆Ａ：ＦｉｎＴｅｃｈ／クラウド／ビッグデータ・ライフログ	第３版			日本加除出版	201702	3,500	3,780
1944	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784819028080	技術者のためのＩｏＴの技術と応用：「モノ」のインターネットのすべて		瀬戸洋一：慎祥揆		日本工業出版	201607	2,500	2,700

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
1945	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822215989	成功するＩｏＴ		日経コミュニケーション編集部		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201608	1,800	1,944
1946	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822236342	すぐわかるＩｏＴビジネス２００		日経コンピュータ編集部；日経情報ストラテジー編集部		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201604	1,600	1,728
1947	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822237509	ＩｏＴビジネスをなぜ始めるのか？：Ｉｎｔｅｒｎｅｔ ｏｆ Ｔｈｉｎｇｓ		三木良雄		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201605	1,800	1,944
1948	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822237554	Ａｍａｚｏｎ Ｗｅｂ Ｓｅｒｖｉｃｅｓ定番業務システム１２パターン設計ガイド		川上明久		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201606	2,500	2,700
1949	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822237639	プロ直伝業務システム開発のためのＨＴＭＬ５攻略ガイド		横山甲：下田修		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201610	2,500	2,700
1950	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822237769	Ｗｅｂシステム入門：アーキテクチャーからＨＴＭＬ５まで		羽田野太巳		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201607	2,200	2,376
1951	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822239138	Ａｍａｚｏｎ Ｗｅｂ Ｓｅｒｖｉｃｅｓ完全ソリューションガイド		大沢文孝：川上明久		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201612	2,900	3,132
1952	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822253622	グループポリシー逆引きリファレンス厳選９８：Ｗｉｎｄｏｗｓ Ｓｅｒｖｅｒ ２００８～２０１６&	改訂新版	横山哲也：片岡クローリー正枝	ＴｅｃｈＮＥＴ ＩＴプロシリーズ	日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201710	2,950	3,186
1953	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822253639	Ａｚｕｒｅテクノロジ入門．２０１８		久森達郎：眞壁徹		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201711	2,500	2,700
1954	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822253646	ひと目でわかるＡｚｕｒｅ Ａｃｔｉｖｅ Ｄｉｒｅｃｔｏｒｙ	第２版	竹島友理		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201711	3,400	3,672
1955	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822277444	基本がわかる安全設計のＷｅｂシステム：要件定義から役立つ必須知識		倉持浩明：日経ｓｙｓｔｅｍｓ編集部		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201507	2,500	2,700
1956	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822279875	インシデントレスポンス：コンピューターフォレンジックの基礎と実践		ジェイソン・Ｔ．ラットゲンス：マシュー・ベベ		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201604	6,000	6,480
1957	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822279981	徳丸浩のＷｅｂセキュリティ教室		徳丸浩		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201510	1,800	1,944
1958	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822294991	ひと目でわかるリモートデスクトップサービス：Ｗｉｎｄｏｗｓ Ｓｅｒｖｅｒ ２０１２版		ＹｏｋｏｔａＬａｂ，Ｉｎｃ．	ＴｅｃｈＮｅｔ ＩＴプロシリーズ	日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201307	3,000	3,240
1959	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822296537	Ａｎｇｕｌａｒ２によるモダンＷｅｂ開発：ＴｙｐｅＳｃｒｉｐｔを使った基本プログラミング		末次章		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201701	2,800	3,024
1960	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822296544	Ａｎｇｕｌａｒによるモダンｗｅｂ開発【実践編】：実際の開発で必要な知識を凝縮		末次章		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201711	3,500	3,780
1961	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822298029	ひと目でわかるＡｃｔｉｖｅ Ｄｉｒｅｃｔｏｒｙ Ｗｉｎｄｏｗｓ Ｓｅｒｖｅｒ ２		ＹｏｋｏｔａＬａｂ，Ｉｎｃ．【著】	ＴｅｃｈＮｅｔ ＩＴプロシリーズ	日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201302	3,000	3,240
1962	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822298302	ネットワーク仮想化技術ＮＶＧＲＥのすべて：ＯｐｅｎＦｌｏｗに代わる第２のＳＤＮ		後藤論史：小塚大介		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201404	2,500	2,700
1963	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822298388	プログラミングＭｉｃｒｏｓｏｆｔ ＡＳＰ．ＮＥＴ ＭＶＣ：ＡＳＰ．ＮＥＴ ＭＶＣ ５対応版	第３版	ディノ・エスポジト：井上章	マイクロソフト公式解説書	日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201411	6,000	6,480
1964	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822298418	プログラミングＡＳＰ．ＮＥＴ ＳｉｇｎａｌＲ		ホセ・Ｍ．アギラール：井上章	マイクロソフト公式解説書	日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201411	3,200	3,456
1965	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822298500	ひと目でわかるＡｚｕｒｅ基本から学ぶサーバー＆ネットワーク構築		横山哲也		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201509	2,200	2,376
1966	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822298791	ひと目でわかるＡｚｕｒｅ Ａｃｔｉｖｅ Ｄｉｒｅｃｔｏｒｙ		竹島友理		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201608	3,000	3,240
1967	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822298814	はじめてのＡＳＰ．ＮＥＴ ＳＰＡ開発入門		古賀慎一		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201611	3,000	3,240
1968	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822298852	プログラミングＡｚｕｒｅ Ｓｅｒｖｉｃｅ Ｆａｂｒｉｃ		ＨａｉｓｈｉＢａｉ：佐藤直生	マイクロソフト公式解説書	日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201702	5,400	5,832
1969	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822298883	ＡＳＰ．ＮＥＴ ＭＶＣプログラミング入門		増田智明	ＭＳＤＮプログラミングシリーズ	日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201611	3,200	3,456
1970	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822298906	ひと目でわかるＡｃｔｉｖｅ Ｄｉｒｅｃｔｏｒｙ Ｗｉｎｄｏｗｓ Ｓｅｒｖｅｒ ２		ＹｏｋｏｔａＬａｂ，Ｉｎｃ．		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201701	3,200	3,456
1971	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822298913	Ａｚｕｒｅテクノロジ入門２０１６		日本マイクロソフト株式会社		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201611	2,500	2,700
1972	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784839946968	ＣＳＳ３スタンダード・デザインガイド：Ｗｅｂ制作者のためのビジュアル・リファレンス	改訂第２版	エ・ビスコム・テック・ラボ【著】	Ｗｅｂ ｄｅｓｉｇｎｉｎｇ ｂｏｏｋｓ	マイナビ出版	201305	2,880	3,110
1973	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784839948610	Ｍｏｖａｂｌｅ Ｔｙｐｅ ６本格活用ガイドブック：テンプレートのカスタマイズとＤａｔａ ＡＰＩを徹底		藤本壱：柳谷真志	Ｗｅｂ ｄｅｓｉｇｎｉｎｇ ｂｏｏｋｓ	マイナビ出版	201311	3,280	3,542
1974	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784839952211	ＨＴＭＬ５＆ＣＳＳ３マスターブック：仕事できちんとＷｅｂを扱えるようになる本		デジカル		マイナビ出版	201611	1,980	2,138
1975	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784839953508	Ｗｅｂ制作・運用現場のための「課題解決」の教科書：円滑に制作・運用し、成果を出していくための現場の		雨宮秀仁：神尾武志		マイナビ出版	201501	2,380	2,570
1976	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784839953553	Ｗｅｂエンジニアが知っておきたいインフラの基本：インフラの設計から構成、監視、チューニングまで		馬場俊彰		マイナビ出版	201412	2,680	2,894
1977	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784839953775	ネットワークの世界へようこそ：知っておきたいＴＣＰ／ＩＰの基礎知識		星紀明		マイナビ出版	201504	1,780	1,922
1978	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784839954871	これからの「標準」を学ぶマルチデバイス対応サイト構築		エ・ビスコム・テック・ラボ	Ｗｅｂ ｄｅｓｉｇｎｉｎｇ ｂｏｏｋｓ	マイナビ出版	201504	2,980	3,218
1979	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784839955229	Ａ／Ｂテストの教科書		野口竜司		マイナビ出版	201512	2,590	2,797
1980	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784839956479	実践Ｗｅｂスクレイピング＆クローリング：オープンデータ時代の収集・整形テクニック		ｎｅｚｕｑ		マイナビ出版	201508	3,180	3,434
1981	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784839956752	フロントエンドエンジニアのための現在とこれからの必須知識		斉藤祐也：菅原のびすけ		マイナビ出版	201601	2,580	2,786
1982	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784839957025	Ｇｏｏｇｌｅ Ｓｅａｒｃｈ Ｃｏｎｓｏｌｅの教科書：マーケティング／検索エンジンに強くなる		大本あかね：菊池崇		マイナビ出版	201509	2,280	2,462
1983	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784839957346	Ｗｅｂデザインとコーディングのきほんのきほん		滝上園枝：浜俊太朗		マイナビ出版	201608	2,680	2,894
1984	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784839959227	これ１冊でゼロから学べるＷｅｂプログラミング超入門：ＨＴＭＬ，ＣＳＳ，ＪａｖａＳｃｒｉｐｔ，ＰＨＰをま		掌田津耶乃		マイナビ出版	201607	2,680	2,894
1985	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784839959593	効果的な導入・運用のためのＡｍａｚｏｎ Ｗｅｂ Ｓｅｒｖｉｃｅｓ活用入門		石井大河：板橋正之		マイナビ出版	201607	2,990	3,229
1986	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784839959715	これからＷｅｂをはじめる人のＨＴＭＬ＆ＣＳＳ，ＪａｖａＳｃｒｉｐｔのきほんのきほ		たにぐちまこと		マイナビ出版	201703	2,580	2,786
1987	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784839959807	効果的なアプリ／Ｗｅｂ開発のためのコラボレーションツール活用入門		今井瑞江：上野正大		マイナビ出版	201609	2,990	3,229
1988	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784839959876	サクサクわかるＷｏｒｄＰｒｅｓｓ：はじめの一歩！		茂木葉子：天野裕子		マイナビ出版	201611	1,680	1,814
1989	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784839960223	６ステップでマスターするＨＴＭＬ＋ＣＳＳデザイン最新標準：フレキシブルボックスレイアウトを使った、レスポンシ		エ・ビスコム・テック・ラボ		マイナビ出版	201608	2,880	3,110
1990	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784839961077	ノンデザイナーでもわかるＵＸ＋理論で作るＷｅｂデザイン：基礎から考え方、実践まで		川合俊輔：大本あかね		マイナビ出版	201709	2,490	2,689
1991	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784839963170	Ｗｅｂ制作会社年鑑：Ｗｅｂ Ｃｒｅａｔｉｖｅ Ｐｒｏｄｕｃｔｉｏｎｓ．２０１７		Ｗｅｂｄｅｓｉｇｎｉｎｇ編集部：小宮佳将		マイナビ出版	201705	4,800	5,184
1992	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784839963699	ＨＴＭＬ５＆ＣＳＳ３デザイン現場の新標準ガイド：フロントエンドエンジニアのための必須知識と実践		エビスコム		マイナビ出版	201708	2,990	3,229
1993	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844333531	次世代Ｗｅｂサイト構築ワークフロー		生田昌弘：キノトープ		インプレスジャパン(発売：インプレス)	201302	2,400	2,592
1994	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844333753	Ｒｕｂｙ ｏｎ Ｒａｉｌｓ環境構築ガイド：ソース管理から公開までを徹底解説		黒田努		インプレスジャパン(発売：インプレス)	201303	2,800	3,024
1995	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844334224	開発者のためのＣｈｒｏｍｅガイドブック		吉川徹：あんどうやすし	Ｇｏｏｇｌｅ Ｅｘｐｅｒｔ Ｓｅｒｉｅｓ	インプレスジャパン(発売：インプレス)	201307	3,200	3,456
1996	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844334248	ＣｅｎｔＯＳ ６サーバー：６．４対応		辻秀典：渡辺高志	できるＰＲＯ	インプレスジャパン(発売：インプレス)	201307	3,000	3,240
1997	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844334422	無料ではじめるＷｉｎｄｏｗｓ Ａｚｕｒｅ×ＷｏｒｄＰｒｅｓｓ超入門：クラウド上にＷｅｂサイトを構築しよう！		戸倉彩		インプレスジャパン(発売：インプレス)	201308	1,800	1,944
1998	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844334668	Ｗｅｂ制作者のためのＳａｓｓの教科書：これからのＷｅｂデザインの現場で必須のＣＳＳメタ言		平澤隆：森田壮		インプレスジャパン(発売：インプレス)	201309	2,800	3,024

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
1999	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844334835	いちばんやさしいＷｏｒｄＰｒｅｓｓの教本：人気講師が教える本格Ｗｅｂサイトの作り方		石川栄和：大串肇		インプレスジャパン(発売：インプレス)	201311	1,580	1,706
2000	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844335054	フラットデザインの基本ルール：Ｗｅｂクリエイティブ＆アプリの新しい考え方。		佐藤好彦		インプレスジャパン(発売：インプレス)	201311	1,980	2,138
2001	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844335245	Ｃｉｓｃｏ ＣＣＥＮＴ／ＣＣＮＡ Ｒｏｕｔｉｎｇ ＆ Ｓｗｉｔｃｈｉｎｇ教科書：ＩＣＮＤ １編		ソキウス・ジャパン	ＩＴプロ／ＩＴエンジニアのための徹底攻略	インプレスジャパン(発売：インプレス)	201312	3,800	4,104
2002	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844335368	Ｇｏｏｇｌｅアナリティクス：実践Ｗｅｂサイト分析入門		いちしま泰樹		インプレス(発売：インプレス)	201402	2,400	2,592
2003	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844335900	Ｃｉｓｃｏ ＣＣＮＡ Ｒｏｕｔｉｎｇ ＆ Ｓｗｉｔｃｈｉｎｇ教科書：ＩＣＮＤ ２編		ソキウス・ジャパン	ＩＴプロ／ＩＴエンジニアのための徹底攻略	インプレスジャパン(発売：インプレス)	201405	3,800	4,104
2004	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844336358	Ｗｅｂ制作者のためのＣＳＳ設計の教科書：モダンＷｅｂ開発に欠かせない「修正しやすいＣＳＳ」		谷拓樹		インプレス	201408	2,200	2,376
2005	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844336471	Ａｍａｚｏｎ Ｗｅｂ Ｓｅｒｖｉｃｅｓ入門：企業システムへの導入障壁を徹底解消		加藤章		インプレス	201409	2,300	2,484
2006	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844336686	ＡｎｇｕｌａｒＪＳリファレンス		池添明宏：金井健一		インプレス	201409	3,800	4,104
2007	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844337096	いちばんやさしいＷｏｒｄＰｒｅｓｓの教本：人気講師が教える本格Ｗｅｂサイトの作り方	第２版	石川栄和：大串肇		インプレス	201411	1,580	1,706
2008	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844337119	詳解ＶＭｗａｒｅ ＮＳＸ：ネットワーク仮想化の基礎と応用		ヴイエムウェア株式会社：進藤貴訓		インプレス	201411	5,400	5,832
2009	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844337164	できる１００ワザＷｏｒｄＰｒｅｓｓ：必ず集客できる実践・サイト運営術		ホシナガネ：インプレス（２０１４）		インプレス	201412	1,780	1,922
2010	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844337850	Ｍ２Ｍ／ＩｏＴ教科書		富田二三彦：山崎徳和	インプレス標準教科書シリーズ	インプレス	201505	4,700	5,076
2011	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844338864	Ｗｉｎｄｏｗｓ Ａｚｕｒｅ Ｐａｃｋプライベートクラウド構築ガイド：Ｗｉｎｄｏｗｓ Ａｚｕｒｅ ＰａｃｋとＨｙｐｅｒ－Ｖ		樋口勝一（Ｗｉｎｄｏｗｓ）	ＴＨＩＮＫ ＩＴ ＢＯＯＫＳ	インプレス	201509	2,500	2,700
2012	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844339458	Ｌａｒａｖｅｌリファレンス：Ｗｅｂ職人好みの新世代ＰＨＰフレームワーク		新原雅司：竹澤有貴		インプレス	201601	4,200	4,536
2013	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844339861	ＳｏｆｔＬａｙｅｒ詳細解説ガイド		安田智有：安田忍	ＴＨＩＮＫ ＩＴ ＢＯＯＫＳ	インプレス	201603	2,200	2,376
2014	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844363293	プロが選ぶＷＯＲＤＰＲＥＳＳ優良プラグイン事典		相原知栄子：一戸健宏		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201303	2,200	2,376
2015	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844363323	レイアウトで選べるＷｅｂデザイン・テンプレート集：ＨＴＭＬ＆ＣＳＳが書けなくてもホームページができる		螺旋デザイン		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201304	2,500	2,700
2016	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844363538	レスポンシブＷｅｂデザインテクニックブック：プロが教えるマルチデバイス対応の手法		野田一輝：加藤俊司		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201307	2,800	3,024
2017	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844363576	ｊＱｕｅｒｙ ＋ ＣＳＳフレームワークでサクサクつくる「動き」と「仕掛け」：実践Ｗｅｂデザイン		ワークス：アルディート		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201308	2,800	3,024
2018	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844363583	ＨＴＭＬ ＋ ＣＳＳデザイン／基本原則、これだけ。：ＨＴＭＬ５ ＆ ＣＳＳ３対応版		大藤幹：久保知己		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201308	2,500	2,700
2019	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844363651	ＨＴＭＬ５＋ＣＳＳ３の新しい教科書：基礎から覚える、深く理解できる。		赤間公太郎：原一宣。		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201309	2,500	2,700
2020	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844363743	現場でかならず使われているＷｏｒｄＰｒｅｓｓデザインのメソッド		相原知栄子：石川栄和		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201310	2,800	3,024
2021	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844364245	ウェブデザイン＆配色の見本帳		フレア：坂本邦夫		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201405	2,500	2,700
2022	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844364313	現場のプロが教えるＷｅｂディレクションの最新常識：知らないと困るＷｅｂデザインの新ルール２		一戸健宏：大串肇		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201408	2,200	2,376
2023	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844364504	現場のプロが教えるＷｅｂデザイン＆レイアウトの最新常識：知らないと困るＷｅｂデザインの新ルール３		佐々木智也：佐藤ねじ		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201409	2,200	2,376
2024	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844364597	おしゃれなホームページのテンプレートパーフェクト・コレクション		螺旋デザイン		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201412	2,500	2,700
2025	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844364702	プロとして恥ずかしくない新ＷＥＢデザインの大原則		大藤幹：窪木博士		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201501	2,500	2,700
2026	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844364894	これからのＷｅｂサイト設計の新しい教科書：ＣＳＳフレームワークでつくるマルチデバイス対応サイ		松田直樹：後藤賢司		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201504	2,800	3,024
2027	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844365266	Ｗｅｂデザインの見本帳：実例で学ぶ最新のスタイルとセオリー		森本友理：ラナデザインアソシエイツ		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201510	2,500	2,700
2028	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844365501	ランディングページ・デザインメソッド：ＷＥＢ制作のプロが教えるＬＰの考え方、設計、コーデ		ポストスケイプ		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201512	2,300	2,484
2029	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844365631	Ｗｅｂデザインの新しい教科書：基礎から覚える、深く理解できる。	改訂新版	こもりまさあき：赤間公太郎		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201602	2,500	2,700
2030	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844365723	Ｗｅｂデザイン基礎トレーニング：現場で使うテクニックをひとつずつ、しっかり。		大野謙介：北川貴清		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201604	2,300	2,484
2031	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844365747	Ｗｅｂデザイン必携。：プロにまなぶ現場の制作ルール８４		北村崇：浅野桜		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201604	2,200	2,376
2032	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844365808	プロが教えるレスポンシブＷｅｂデザイン現場のメソッド：レイアウト・ＵＩのマルチデバイス対応手法		笹尾万里子：中村真己		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201604	2,300	2,484
2033	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844365822	だから、そのデザインはダメなんだ。：ＷｅｂサイトのＵＩ設計・情報デザイン良い・悪いが比		香西睦		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201605	2,200	2,376
2034	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844365860	現場のプロが教えるＷｅｂ制作の最新常識	アップデート版	久保知己：酒井優	知らないと困るＷｅｂの新ルール	エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201606	2,200	2,376
2035	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844366058	現場でかならず使われているＷｏｒｄＰｒｅｓｓデザインのメソッド	アップデート版	相原知栄子：石川栄和		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201609	2,500	2,700
2036	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844366461	Ｗｅｂディレクションの新標準ルール		栄前田勝太郎：岸正也		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201702	2,200	2,376
2037	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844366584	ＷｏｒｄＰｒｅｓｓユーザーのためのＰＨＰ入門	第２版	水野史土		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201703	2,400	2,592
2038	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844367093	Ｗｅｂサイト、これからどうなるの？：キーワードから探るＷｅｂ制作の未来像		こもりまさあき：栄前田勝太郎		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201709	2,000	2,160
2039	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844367185	Ｗｅｂディレクションの新・標準ルールシステム開発編：ノンエンジニアでも失敗しないワークフローと開発プロ		岩瀬透：栄前田勝太郎		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201712	2,200	2,376
2040	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844380290	いちばんやさしいＨＴＭＬ５＆ＣＳＳ３の教本：人気講師が教える本格Ｗｅｂサイトの書き方		赤間公太郎：大屋慶太		インプレス	201603	2,200	2,376
2041	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844380344	ＣｅｎｔＯＳ ７サーバー：７．２（１５１１）対応		辻秀典：渡辺高志	できるＰＲＯ	インプレス	201606	3,000	3,240
2042	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844380566	ＯｐｅｎＳｔａｃｋ構築手順書Ｌｉｂｅｒｔｙ版：ＯＳＳクラウド環境基盤の大本命！		日本仮想化技術株式会社	ＴＨＩＮＫ ＩＴ ＢＯＯＫＳ	インプレス	201605	4,600	4,968
2043	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844380573	ＯｐｅｎＳｔａｃｋ構築手順書Ｋｉｌｏ版：ＯＳＳクラウド環境基盤の大本命！		日本仮想化技術株式会社	ＴＨＩＮＫ ＩＴ ＢＯＯＫＳ	インプレス	201605	4,600	4,968
2044	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844380580	ＯｐｅｎＳｔａｃｋ－Ａｎｓｉｂｌｅで作るＨＡ環境構築手順書Ｋｉｌｏ版：構成管理ツールＡｎｓｉｂｌｅを活用して実用上不可欠		日本仮想化技術株式会社	ＴＨＩＮＫ ＩＴ ＢＯＯＫＳ	インプレス	201605	4,600	4,968
2045	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844381167	ＯｐｅｎＳｔａｃｋ構築手順書「Ｍｉｔａｋａ版」：ＯＳＳクラウド環境基盤の大本命！		日本仮想化技術株式会社	ＴＨＩＮＫ ＩＴ ＢＯＯＫＳ	インプレス	201607	2,800	3,024
2046	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844381266	ＯｐｅｎＳｔａｃｋ実践ガイド：ＩＴ技術者のための現場ノウハウ		古賀政純	ｉｍｐｒｅｓｓ ｔｏｐ ｇｅａｒ	インプレス	201609	3,000	3,240
2047	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844381655	ＯｐｅｎＤａｙｌｉｇｈｔ構築実践ガイド：オープンソースＳＤＮ（Ｓｏｆｔｗａｒｅ Ｄｅｆｉｎ		倉橋良：鳥居隆史	ＴＨＩＮＫ ＩＴ ＢＯＯＫＳ	インプレス	201610	2,000	2,160
2048	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844381662	Ａｎｓｉｂｌｅ徹底活用ガイド：注目の構成管理ツールを徹底活用！基礎・応用・テスト		平初：平原一帆	ＴＨＩＮＫ ＩＴ ＢＯＯＫＳ	インプレス	201610	1,800	1,944
2049	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844381679	Ａｍａｚｏｎ Ｗｅｂ Ｓｅｒｖｉｃｅｓネットワーク入門：初めて作るクラウドインフラ		大沢文孝	ｉｍｐｒｅｓｓ ｔｏｐ ｇｅａｒ	インプレス	201611	2,500	2,700
2050	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844397182	インターネット白書：２０年記念特別版、２０１６		インターネット白書編集委員会		インプレスＲ＆Ｄ(発売：インプレス)	201602	3,200	3,456
2051	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784862462657	デザイニングＷｅｂアクセシビリティ：アクセシブルな設計やコンテンツ制作のアプローチ		太田良典：伊原力也		ボーンデジタル	201507	3,000	3,240
2052	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784862463234	Ｗｅｂリテラシー	第３版		ウェブの仕事力が上がる標準ガイドブック	ボーンデジタル	201512	3,000	3,240

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
2053	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784862463241	ＩＡ／ＵＸプラクティス：モバイル情報アーキテクチャとＵＸデザイン		坂本真史		ボーンデジタル	201603	2,500	2,700
2054	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784862463418	コンテンツファーストのＷｅｂサイト運用：実践！		山本一道：鈴木健		ボーンデジタル	201606	2,500	2,700
2055	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784862463654	Ｗｅｂディレクション	第３版		ウェブの仕事力が上がる標準ガイドブック	ボーンデジタル	201705	3,100	3,348
2056	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784862463876	インクルーシブＨＴＭＬ＋ＣＳＳ＆ＪａｖａＳｃｒｉｐｔ：多様なユーザーニーズに応えるフロントエンドデザイン		ヘイドン・ピカリング：太田良典		ボーンデジタル	201711	2,800	3,024
2057	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784862463913	グローバルＷｅｂサイト＆アプリのススメ：グローバルジェネラリストなＷｅｂ担当者を目指して		ジョン・ヤンカー		ボーンデジタル	201712	2,300	2,484
2058	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784863541313	Ｇｏｏｇｌｅ Ａｎａｌｙｔｉｃｓアクセス解析テクニック		リブロワークス		シーアンドアール研究所	201309	1,900	2,052
2059	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784863541337	インフラエンジニアの教科書		佐野裕		シーアンドアール研究所	201311	2,000	2,160
2060	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784863541443	ＩａａＳで始めるクラウドコンピューティング入門		おおさわあつし		シーアンドアール研究所	201404	3,600	3,888
2061	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784863541689	Ｗｅｂエンジニアの教科書		佐々木達也：瀬川雄介		シーアンドアール研究所	201504	2,000	2,160
2062	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784863541863	インフラエンジニアの教科書．２		佐野裕		シーアンドアール研究所	201609	2,130	2,300
2063	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784863542051	ネットワークをめぐるアキレスの冒険：インターネットの動作原理とセキュリティの基礎知識		坂本俊之		シーアンドアール研究所	201610	2,130	2,300
2064	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784863542082	ＯｐｅｎＳｔａｃｋ徹底活用テクニックガイド		澤橋松王		シーアンドアール研究所	201701	3,680	3,974
2065	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784863542167	Ｒによるスクレイピング入門		石田基広：市川太祐		シーアンドアール研究所	201703	3,220	3,477
2066	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784863671348	ミクシィ・フェイスブックが消える日：メッセージアプリがＳＮＳを破壊する		山崎秀夫		セルバ出版(発売：創英社（三省堂書店）)	201310	1,700	1,836
2067	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784864810081	情報ネットワークの基礎	第２版	田坂修二	情報システム工学	数理工学社(発売：サイエンス社)	201311	2,500	2,700
2068	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784865101591	よくわかる対話式！ホームページ作りの“きほん”：ＨＴＭＬ５＆ ＣＳＳ３		富士通エフ・オー・エム株式会社		富士通エフ・オー・エム	201411	1,800	1,944
2069	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784865101805	よくわかるＨＴＭＬ５＆ＣＳＳ３の解説書		富士通エフ・オー・エム株式会社		富士通エフ・オー・エム	201412	2,800	3,024
2070	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784865560800	発信者情報開示請求の手引：インターネット上の名誉毀損・誹謗中傷等対策		電子商取引問題研究会		民事法研究会	201604	2,200	2,376
2071	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784865940060	ＪａｖａＳｃｒｉｐｔではじめるＩｏＴいろはの“い”：Ｒａｓｐｂｅｒｒｙ Ｐｉで楽々試作		岩永義弘		リックテレコム	201611	1,800	1,944
2072	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784865940176	クラウド活用エンジニア入門：ＡＷＳで実践演習		前野好太郎：米倉栄世		リックテレコム	201601	2,500	2,700
2073	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784865940664	Ｋｏｔｌｉｎ Ｗｅｂアプリケーション：新しいサーバサイドプログラミング		長澤太郎		リックテレコム	201710	3,000	3,240
2074	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784865940916	Ｗｉ－Ｆｉのすべて：無線ＬＡＮ白書２０１８		小林忠男：無線ＬＡＮビジネス推進連絡会		リックテレコム	201712	2,400	2,592
2075	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784873116167	実践Ｆｉｄｄｌｅｒ		エリック・ローレンス：物江修		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201305	3,200	3,456
2076	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784873116334	初めてのＰＨＰ、ＭｙＳＱＬ、ＪａｖａＳｃｒｉｐｔ ＆ ＣＳＳ		ロビン・ニクソン：永井勝則		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201308	3,600	3,888
2077	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784873116457	マスタリングＮｇｉｎｘ		ディミトリー・アイヴァリオティス：高橋基信		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201310	3,000	3,240
2078	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784873116471	ＨＴＭＬ５ Ｈａｃｋｓ：インタラクティブＷｅｂアプリケーションのためのテク		ジェシー・クレイブンス：ジェフ・バートフ		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201310	3,200	3,456
2079	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784873116761	ハイパフォーマンスブラウザネットワーキング：ネットワークアプリケーションのためのパフォーマンス		イリヤ・グリゴリク：和田祐一郎		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201405	4,000	4,320
2080	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784873116921	モダンＷｅｂ：新しいＷｅｂプラットフォームの基盤技術		ピーター・ガストン：牧野聡		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201409	3,000	3,240
2081	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784873116952	実践Ｓｅｌｅｎｉｕｍ ＷｅｂＤｒｉｖｅｒ		サタヤ・アバサラ：玉川竜司		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201409	3,000	3,240
2082	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784873117003	データ分析によるネットワークセキュリティ		マイケル・コリンズ：中田秀基		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201606	3,600	3,888
2083	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784873117065	ＷｏｒｄＰｒｅｓｓによるＷｅｂアプリケーション開発		ラーキワ・ニーメシュ・ラーネヤク：プライム・ストラテジー株式会社		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201411	3,800	4,104
2084	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784873117256	ＣＳＳ３開発者ガイド：モダンＷｅｂデザインのスタイル設計		ピーター・ガストン：牧野聡		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201507	3,200	3,456
2085	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784873117379	ＯｐｅｎＳｔａｃｋ Ｓｗｉｆｔ：Ｓｗｉｆｔオブジェクトストレージの管理と開発		ジョー・アーノルド：ＳｗｉｆｔＳｔａｃｋｔｅａｍ		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201511	3,400	3,672
2086	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784873117423	Ｓｅｌｅｎｉｕｍデザインパターン＆ベストプラクティス		ディマ・コブアレンコ：太田健一郎		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201509	3,000	3,240
2087	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784873117522	Ｇｏ言語によるＷｅｂアプリケーション開発		マット・ライヤー：鵜飼文敏		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201601	3,200	3,456
2088	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784873117553	パフォーマンス向上のためのデザイン設計		ララ・カレンダ・ホーガン：西脇靖紘		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201606	2,400	2,592
2089	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784873117614	ＰｙｔｈｏｎによるＷｅｂスクレイピング		ライアン・ミッチェル：黒川利明		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201603	3,000	3,240
2090	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784873117652	初めてのＡｎｓｉｂｌｅ		ローリン・ホッホスタイン：玉川竜司		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201604	3,200	3,456
2091	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784873117669	ＣＳＳシークレット：４７のテクニックでＣＳＳを自在に操る		リア・ヴェルー：牧野聡		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201607	3,400	3,672
2092	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784873117713	インタフェースデザインの心理学：ウェブやアプリに新たな視点をもたらす＋１００の指針．続		スーザン・ワインチェンク：武舎広幸		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201608	2,800	3,024
2093	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784873117720	情報アーキテクチャ：見つけやすく理解しやすい情報設計	第４版	ルイス・ローゼンフェルド：ピーター・モービル		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201611	3,600	3,888
2094	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784873117843	実践Ａｐｐｉｕｍ		マノージ・パンス：太田健一郎		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201611	2,400	2,592
2095	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784873117881	Ｒｅａｃｔビギナーズガイドコンポーネントベースのフロントエンド開発入門		ＳｔｏｙａｎＳｔｅｆａｎｏｖ：牧野聡		オーム社	201703	2,500	2,700
2096	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784873117935	初めてのＰＨＰ		ＤａｖｉｄＳｋｌａｒ：桑村潤		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201703	3,000	3,240
2097	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784873118048	Ｒｅａｌ Ｗｏｒｌｄ ＨＴＴＰ：歴史とコードに学ぶインターネットとウェブ技術		渋川よしき		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201706	3,400	3,672
2098	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784877833251	ＨＴＭＬ ５エッセンシャルブック		日向俊二		カットシステム	201309	2,400	2,592
2099	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784877833497	Ｗｅｂで使える！ＳＶＧファーストガイド		相澤裕介		カットシステム	201408	3,400	3,672
2100	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784877833541	ＴｙｐｅＳｃｒｉｐｔネットワークプログラミング：ＨＴＭＬ５／ＷｅｂＳｏｃｋｅｔ／ＷｅｂＲＴＣによる		松田晃一		カットシステム	201501	3,400	3,672
2101	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784877833602	Ｂｏｏｔｓｔｒａｐファーストガイド：ＣＳＳ設計の手間を大幅に削減！		相澤裕介		カットシステム	201412	2,800	3,024
2102	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784877833862	Ｓａｓｓファーストガイド：ＣＳＳをワンランク上の記法で作成！		相澤裕介		カットシステム	201512	2,600	2,808
2103	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784877834050	シンプル・パワフルＩＤＣＦクラウド攻略：ワンコインではじめる大規模システム構築		ＩＤＣフロンティア：池田成樹		カットシステム	201608	3,200	3,456
2104	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784881668900	ＨＴＭＬ ＆ ＣＳＳ３レイアウトブック		外間かおり		ソーテック社	201305	2,580	2,786
2105	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784883378722	ＨＴＭＬ５ ＆ ＣＳＳ３レッスンブック		エ・ビスコム・テック・ラボ		ソシム	201306	2,400	2,592
2106	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784883378739	検索エンジン上位表示ＳＥＯ完全ガイド：ソーシャルメディア時代の内部対策＆外部対策		中嶋茂夫：武藤正隆		ソシム	201306	1,600	1,728

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
2107	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784883593415	インターネット判例要約集		大家重夫		青山社（相模原）	201512	2,800	3,024
2108	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784886476371	Ｗｅｂアプリケーション構築	改訂版	河野吉男	ＳＣＣ　Ｂｏｏｋｓ	エスシーシー	201703	2,800	3,024
2109	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784886476388	ＨＴＭＬ演習		中島省吾	ＳＣＣ　ｂｏｏｋｓ	エスシーシー	201703	2,000	2,160
2110	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784896412604	コンピュータ・ネットワーク入門	改訂版	小林孝史		ムイスリ出版	201709	2,350	2,538
2111	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784897979090	Ｍ２Ｍ基本技術書：ＥＴＳＩ標準の理論と体系		デビッド・ボスワーシック：オマール・エルーミ		リックテレコム	201312	3,400	3,672
2112	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784897979250	ネットワーク仮想化：基礎からすっきりわかる入門書		渡辺和彦：法橋和昌		リックテレコム	201306	2,500	2,700
2113	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784897979588	ＷｅｂＲＴＣブラウザベースのＰ２Ｐ技術		アラン・Ｂ．ジョンストン：ダニエル・Ｃ．バーネット		リックテレコム	201412	3,400	3,672
2114	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784899773467	魅せるＷｏｒｄＰｒｅｓｓサイト：企業サイト／スマホサイト／ＥＣサイトを制作しながら		安住光：佐々木恵		ラトルズ	201304	2,380	2,570
2115	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784903281278	インターネットと人権侵害：匿名の誹謗中傷～その現状と対策		佐藤佳弘		武蔵野大学出版会	201602	2,000	2,160
2116	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784254220582	電波工学	新版	後藤尚久：新井宏之		朝倉書店	201409	2,600	2,808
2117	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784274211539	電磁波と情報セキュリティ対策技術		電気学会		オーム社	201201	3,600	3,888
2118	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784274213120	電子システムの電磁ノイズ：評価と対策		電子情報通信学会：井上浩（電子工学）	現代電子情報通信選書『知識の森』	オーム社	201212	3,400	3,672
2119	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784274214790	ワイヤレス通信工学		三瓶政一	ＯＨＭ大学テキスト	オーム社	201403	2,600	2,808
2120	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784274215629	電磁波の吸収と遮蔽	新版	電磁波の吸収と遮蔽編集委員会		オーム社	201405	50,000	54,000
2121	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784274216558	無線通信の基礎技術：ディジタル化からブロードバンド化へ		電子情報通信学会：村瀬淳	現代電子情報通信選書『知識の森』	オーム社	201411	3,200	3,456
2122	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784320009158	無線ネットワークシステムのしくみ：ＩｏＴを支える基盤技術		塚本和也：尾家祐二	共立スマートセレクション	共立出版	201703	1,800	1,944
2123	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784320123533	モバイルネットワーク		北須賀輝明：鈴木秀和	未来へつなぐデジタルシリーズ	共立出版	201603	3,000	3,240
2124	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784339008654	無線通信工学の基礎と演習		吉野純一：山下幸三		コロナ社	201410	3,000	3,240
2125	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784339008678	マルチユーザＭＩＭＯの基礎		西森健太郎		コロナ社	201409	2,800	3,024
2126	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784501329709	詳解ＥＭＣ工学：実践ノイズ低減技法		ヘンリ・Ｗ．オット：出口博一		東京電機大学出版局	201306	9,500	10,260
2127	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784526071232	分析・センシングのためのテラヘルツ波技術		深澤亮一		日刊工業新聞社	201308	2,200	2,376
2128	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784526074592	ノイズ対策は基本式を理解すれば必ずできる！		鈴木茂夫（技術士）		日刊工業新聞社	201509	2,400	2,592
2129	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784542185562	ＪＩＳハンドブック．２０１７　７０		日本規格協会		日本規格協会	201706	12,100	13,068
2130	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784627743991	電磁波工学の基礎	ＰＯＤ版	細野敏夫		森北出版	201502	4,000	4,320
2131	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784774148687	電波とアンテナが一番わかる：多彩な用途を実現する電波の不思議アンテナのパフォー		小暮裕明：小暮芳江	しくみ図解シリーズ	技術評論社	201111	1,880	2,030
2132	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784774150116	ワイヤレスが一番わかる：広がりを見せるワイヤレスの世界わかりやすい無線技術		小暮裕明：小暮芳江	しくみ図解シリーズ	技術評論社	201205	1,880	2,030
2133	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784774160054	ＰＩＣで楽しむＢｌｕｅｔｏｏｔｈ・Ｗｉ－Ｆｉ機器の自作		後閑哲也		技術評論社	201311	3,200	3,456
2134	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784774186009	Ａｒｕｂａ無線ＬＡＮ設定ガイド		安原一順：平田賢一		技術評論社	201612	3,580	3,866
2135	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784777517183	基礎からわかる「Ｗｉ－Ｆｉ」&「無線ＬＡＮ」：「無線通信」の「仕組み」から安全な活用法まで－		滝本往人	Ｉ／Ｏ　ｂｏｏｋｓ	工学社	201210	1,900	2,052
2136	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784777517374	基礎からわかる「電波」と「通信」：「ラジオ」「テレビ」「近距離通信」「無線ＬＡＮ」…		滝本往人	Ｉ／Ｏ　ｂｏｏｋｓ	工学社	201301	1,900	2,052
2137	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784777518920	基礎からわかる「Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈ」：近距離に特化した無線通信規格		滝本往人	Ｉ／Ｏ　ｂｏｏｋｓ	工学社	201505	1,900	2,052
2138	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784777519729	「ＬｏＲａ」導入ガイド：「ＩｏＴ」「ＬｏＲａ」の仕組みから、「ＩｏＴアプリ		吉田秀利：尾鷲彰一	Ｉ／Ｏ　ｂｏｏｋｓ	工学社	201609	2,300	2,484
2139	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784777520008	基礎からわかる「Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈ」	増補版	滝本往人	Ｉ／Ｏ　ＢＯＯＫＳ	工学社	201704	2,000	2,160
2140	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784781304960	ＲＦ　ＭＥＭＳ技術の応用展開	普及版	大和田邦樹	ＣＭＣ　ＴＬ	シーエムシー出版	201202	3,400	3,672
2141	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784781308951	最新電波吸収体設計・応用技術	普及版	畠山賢一：鳥岡孝則	エレクトロニクスシリーズ	シーエムシー出版	201408	5,200	5,616
2142	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784781311302	テラヘルツ波新産業	普及版	斗内政吉	新材料・新素材シリーズ	シーエムシー出版	201701	5,600	6,048
2143	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784781311418	電波吸収材およびシールド材の開発とその応用		橋本修	エレクトロニクスシリーズ	シーエムシー出版	201601	66,000	71,280
2144	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784789813464	無線通信の基礎知識：電波と無線通信に憧憬とロマンとを感じるあなたへ		関根慶太郎	エレクトロニクス講座シリーズ	ＣＱ出版	201201	2,200	2,376
2145	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784789842235	Ｗｉ－Ｆｉ／Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈ／ＺｉｇＢｅｅ無線用Ｒａｓｐｂｅｒｒｙ　Ｐｉプログ：インターネットと電子回路をワイヤレスで直結！		国野亘	マイコン活用シリーズ	ＣＱ出版	201702	3,200	3,456
2146	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784789845427	無線ＬＡＮ／Ｗｉ－Ｆｉの通信技術とモジュール活用：高速／高セキュリティ／高接続性…今すぐ世界とつなが		西山高浩	レベルアップ・シリーズ	ＣＱ出版	201412	3,000	3,240
2147	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784789845632	無線通信＆高周波設計記事全集		トランジスタ技術編集部	アーカイブスシリーズ	ＣＱ出版	201506	6,200	6,696
2148	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784789846356	フルディジタル無線機の信号処理：ＡＭ／ＳＳＢ／ＦＭ…高速Ａ－Ｄ変換×コンピュータで		西村芳一：中村健真	ＲＦデザイン・シリーズ	ＣＱ出版	201609	5,400	5,832
2149	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784789848251	超お手軽無線モジュールＸＢｅｅ：すぐにつながる！どこまでも広がる！		濱原和明：佐藤尚一	トライアルシリーズ	ＣＱ出版	201203	10,000	10,800
2150	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784798033952	図解入門よくわかる最新無線工学の基本と仕組み：無線技術を担うアナログ高周波の動作原理　電波の教科		小暮裕明：小暮芳江	Ｈｏｗ－ｎｕａｌ　ｖｉｓｕａｌ　ｇｕｉｄｅ　ｂｏｏｋ	秀和システム	201207	1,600	1,728
2151	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784846116194	電磁波の何が問題か：どうする基地局・携帯電話・変電所・過敏症	増補改訂版	大久保貞利		緑風出版	201610	2,200	2,376
2152	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784864810067	基礎電磁波工学		小塚洋司：村野公俊	電気・電子工学ライブラリ	数理工学社(発売：サイエンス社)	201310	1,900	2,052
2153	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784864810296	無線とネットワークの基礎		岡野好伸：宇谷明秀	電気・電子工学ライブラリ	数理工学社(発売：サイエンス社)	201505	1,800	1,944
2154	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784864810302	電磁波工学の基礎		中野義昭	新・電子システム工学	数理工学社(発売：サイエンス社)	201507	2,200	2,376
2155	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784865940299	パケットキャプチャ無線ＬＡＮ編：Ｗｉｒｅｓｈａｒｋによる解析		竹下恵		リックテレコム	201604	3,600	3,888
2156	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784865940985	ＩｏＴネットワーク　ＬＰＷＡの基礎：ＳＩＧＦＯＸ、ＬｏＲａ、ＮＢ－ＩｏＴ		鄭立		リックテレコム	201706	2,400	2,592
2157	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784873117133	Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈ　Ｌｏｗ　Ｅｎｅｒｇｙをはじめよう		ケヴィン・タウンゼンド：カルレス・カフィ		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201502	2,300	2,484
2158	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784890192977	イラストでまなぶ電波と通信	新版	吉川忠久		日本理工出版会	201502	2,500	2,700
2159	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784901683838	電磁波工学入門		高橋応明	電子・通信工学	数理工学社(発売：サイエンス社)	201110	2,100	2,268
2160	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784901864381	ＥＭＣ・ノイズ対策業界の実態と将来展望：ＥＭＣ・ノイズ対策市場実態／予測・主要応用製品・関．２０１２		日本エコノミックセンター	市場調査レポート～将来展望シリーズ	日本エコノミックセンター(発売：通産資料出版会)	201204	70,000	75,600

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
2161	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784901864688	ＥＭＣ・ノイズ対策市場の実態と将来展望．２０１６		日本エコノミックセンター	市場予測・将来展望シリーズ	日本エコノミックセンター(発売：通産資料出版会)	201606	70,000	75,600
2162	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784901864824	ＥＭＣ・ノイズ対策市場の実態と将来展望．２０１４		日本エコノミックセンター	市場予測・将来展望シリーズ	日本エコノミックセンター(発売：通産資料出版会)	201406	70,000	75,600
2163	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784904774069	Ｍ２Ｍ無線ネットワーク技術と設計法：スマートグリッド・センサネットワーク・高速ワイヤレ		阪田史郎	設計技術シリーズ	科学情報出版	201305	3,200	3,456
2164	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784904774298	ＥＭＣ原理と技術：製品設計とノイズ／ＥＭＣへの知見		高木相	設計技術シリーズ	科学情報出版	201502	3,600	3,888
2165	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784904774304	電磁障害／ＥＭＩ対策設計法：安全・安心な製品設計マニュアル		坂本幸夫	設計技術シリーズ	科学情報出版	201503	2,800	3,024
2166	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784907600464	マンガで楽しむ！！ラクラク電波とレーダ	増補改訂版	中司浩生：野崎洋		一灯舎	201609	2,500	2,700
2167	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線技術教育	9784807607433	無線工学：航空無線通信士	２版	情報通信振興会	無線従事者養成課程用標準教科書	情報通信振興会	201405	2,000	2,160
2168	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電波行政	9784474028838	詳解改正電波法の実務：修了促進措置による７００ＭＨｚ／９００ＭＨｚ帯の周		永井徳人：総務省総合通信基盤局		第一法規	201302	3,000	3,240
2169	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電波行政	9784627739222	無線技術者のための電波法概説：電波法規がよくわかる！	第２版	相河聡		森北出版	201203	1,900	2,052
2170	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電波行政	9784807606528	電波法令集．平成２３年６月２２日現在				情報通信振興会	201110	7,100	7,668
2171	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電波行政	9784807606849	電波法大綱：よくわかる教科書	第１８版	安達啓一		情報通信振興会	201203	2,200	2,376
2172	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電波行政	9784807606917	電波法令集（抄）．平成２４年版				情報通信振興会	201203	3,400	3,672
2173	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電波行政	9784807607402	電波法令集（抄）．平成２６年版				情報通信振興会	201403	3,500	3,780
2174	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電波行政	9784807607693	電波法要説	第９版改訂版	今泉至明		情報通信振興会	201503	3,600	3,888
2175	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電波行政	9784807607990	電波法令集（抄）．平成２８年版				情報通信振興会	201603	3,500	3,780
2176	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電波行政	9784807608348	学習用電波法令集（抄）．平成２９年版				情報通信振興会	201703	3,500	3,780
2177	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電波行政	9784807608386	電波法大綱：よくわかる教科書	第２１版			情報通信振興会	201703	2,538	2,741
2178	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電波伝播/無線回路	9784621088555	ＲＦマイクロエレクトロニクス．入門編	第２版	ベザド・ラザヴィ：黒田忠広		丸善出版	201409	5,200	5,616
2179	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電波伝播/無線回路	9784621088715	ＲＦマイクロエレクトロニクス．実践応用編	第２版	ベザド・ラザヴィ：黒田忠広		丸善出版	201411	7,200	7,776
2180	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電波伝播/無線回路	9784864294706	電磁波工学の基礎		若林秀昭		大学教育出版	201710	2,200	2,376
2181	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	超短波	9784274213335	マイクロ波伝送・回路デバイスの基礎		電子情報通信学会：橋本修	現代電子情報通信選書『知識の森』	オーム社	201302	3,000	3,240
2182	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	超短波	9784627743717	マイクロ波伝送線路共振器の構成と応用：ステップインピーダンス共振器／フィルタの理論と設計		牧本三夫：佐川守一		森北出版	201411	6,000	6,480
2183	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	超短波	9784781310787	最新ミリ波技術		松澤昭	エレクトロニクスシリーズ	シーエムシー出版	201507	62,000	66,960
2184	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	超短波	9784861866296	マイクロ波回路と電波伝搬		畠山賢一：榎原晃		ふくろう出版	201503	2,000	2,160
2185	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	超短波	9784904774120	ＰＣＢを用いたＲＦマイクロ波回路の基礎		伊藤康之	設計技術シリーズ	科学情報出版	201310	3,100	3,348
2186	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信方式	9784822296605	図解でわかる！モバイル通信のしくみ		神崎洋治：西井美鷹		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201706	2,000	2,160
2187	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	アンテナ	9784320086470	小形アンテナハンドブック		藤本京平：伊藤公一		共立出版	201705	6,000	6,480
2188	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	アンテナ	9784339008449	ＲＦＩＤタグ用アンテナの設計		高橋応明		コロナ社	201211	2,400	2,592
2189	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	アンテナ	9784789815970	アマチュア無線のビーム・アンテナ：仕組みと技術を解説		小暮裕明：小暮芳江	アンテナ・ハンドブックシリーズ	ＣＱ出版	201409	2,400	2,592
2190	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	アンテナ	9784789816458	コンパクト・アンテナの理論と実践．応用編		小暮裕明：小暮芳江	アンテナ・ハンドブックシリーズ	ＣＱ出版	201309	2,400	2,592
2191	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	アンテナ	9784789816465	コンパクト・アンテナの理論と実践：アンテナの神秘に魅せられて．入門編		小暮裕明：小暮芳江	アンテナ・ハンドブックシリーズ	ＣＱ出版	201304	2,400	2,592
2192	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	アンテナ	9784789816472	アマチュア無線のアンテナを作る本：作りたくなるアンテナがここにある．ＨＦ／５０ＭＨｚ編		ＣＱｈａｍｒａｄｉｏ編集部	アンテナ・ハンドブックシリーズ	ＣＱ出版	201304	2,200	2,376
2193	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	アンテナ	9784789818889	実用アンテナ製作スタイルブックＨＦ編：別冊ＣＱ ｈａｍ ｒａｄｉｏ掲載から精選した力作ア			実践アマチュア無線製作ｓｅｒｉｅｓ	ＣＱ出版	201208	2,200	2,376
2194	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	アンテナ	9784789818896	アンテナ工作ハンドブック・セット			実践アマチュア無線製作ｓｅｒｉｅｓ	ＣＱ出版	201308	3,200	3,456
2195	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	アンテナ	9784789845779	小型・高感度受信！オールバンド室内アンテナの製作：ラジオからアマチュア無線まで！拾えなかった微弱電波		鈴木憲次：川上春夫	電子工作ｈｉ－ｔｅｃｈシリーズ	ＣＱ出版	201604	2,600	2,808
2196	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	アンテナ	9784789846363	パソコンでスッキリ！電波とアンテナとマッチング：よく飛びよく受かるスイートスポットを見つけられるよ		大井克己	ＲＦデザイン・シリーズ	ＣＱ出版	201509	2,400	2,592
2197	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	増幅器	9784789846387	ワイヤレス通信用ＲＦ電力増幅器の設計：高効率とリニアリティを両立するＧＨｚ帯増幅技術		スティーヴ・Ｃ．クリップス：草野忠四郎	ＲＦデザイン・シリーズ	ＣＱ出版	201212	8,800	9,504
2198	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子計算機	9784774189215	Ｉｎｔｅｌ Ｅｄｉｓｏｎマスターブック：ＩｏＴデバイスをつくろう		北神雄太		技術評論社	201705	2,980	3,218
2199	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子計算機	9784777519194	Ｅｄｉｓｏｎ ＆ ＡｒｄｕｉｎｏではじめるＩｏＴ開発：インテルＣＰＵ搭載の超小型基板		ｎｅｋｏｓａｎ	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201510	2,700	2,916
2200	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子計算機	9784789841641	はじめてのＨ８マイコン：ライントレース・ロボットをＣ言語で実践的に使う		島田義人	電子工作マイコンシリーズ	ＣＱ出版	201102	2,400	2,592
2201	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子計算機	9784789848091	ＦＰＧＡパソコンＺＹＢＯで作るＬｉｎｕｘ Ｉ／Ｏミニコンピュータ：ＩｏＴ時代のハイパフォーマンス電子工作		岩田利王：横溝憲治	トライアルシリーズ	ＣＱ出版	201604	6,000	6,480
2202	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子計算機	9784798143392	Ｉｎｔｅｌ ＥｄｉｓｏｎではじめるＩｏＴプロトタイピング		ＮＴＴデータ：河村雅人		翔泳社	201512	3,200	3,456
2203	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子計算機	9784839961633	やさしくはじめるラズベリー・パイ：電子工作でガジェット＆簡易ロボットを作ってみよう		クジラ飛行机		マイナビ出版	201705	2,480	2,678
2204	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	演算装置	9784789859912	ＡＲＭマイコンＣｏｒｔｅｘ－Ｍ教科書：基礎知識からＩｏＴで重要な低消費電力／セキュリティ		中森章：桑野雅彦	ＡＲＭ教科書シリーズ	ＣＱ出版	201612	3,400	3,672
2205	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	記憶装置	9784274217586	ストレージ技術：クラウドとビッグデータの時代		喜連川優		オーム社	201505	3,500	3,780
2206	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784048687515	ＬａｂＶＩＥＷ ２０１０プログラミングガイド		ロバート・Ｈ．ビショップ：日本ナショナルインスツルメンツ株式会社		アスキー・メディアワークス(発売：ＫＡＤＯＫＡＷＡ)	201103	7,000	7,560
2207	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784048867757	自律走行ロボットカーを作る：グラフィカル言語でＦＰＧＡプログラミング		長野達朗：岡田一成		KADOKAWA／アスキー・メディアワークス(発売：ＫＡＤＯＫＡＷ	201303	2,000	2,160
2208	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784061538344	イラストで学ぶロボット工学		木野仁：谷口忠大	ＫＳ情報科学専門書	講談社	201711	2,600	2,808
2209	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784061557918	はじめての制御工学		佐藤和也：平元和彦		講談社	201010	2,600	2,808
2210	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784061565081	はじめての現代制御理論		佐藤和也：下本陽一		講談社	201209	2,600	2,808
2211	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784061565135	テレロボティクスから学ぶロボットシステム		松日楽信人		講談社	201709	2,700	2,916
2212	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784061565234	はじめてのロボット創造設計	改訂第２版	米田完：坪内孝司		講談社	201307	3,200	3,456
2213	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784061565548	ゼロからはじめる制御工学		竹澤聡		講談社	201712	2,800	3,024
2214	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784062585804	記号創発ロボティクス：知能のメカニズム入門		谷口忠大	講談社選書メチエ	講談社	201406	1,600	1,728

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
2215	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784254201482	非線形カルマンフィルタ		片山徹		朝倉書店	201111	3,200	3,456
2216	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784254201505	線形システム	普及版	前田肇		朝倉書店	201206	3,900	4,212
2217	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784254201604	線形システム制御論		山本透：水本郁朗		朝倉書店	201503	2,700	2,916
2218	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784254205251	線形システム論		山下幸彦	シリーズ新しい工学	朝倉書店	201309	2,800	3,024
2219	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784254229066	制御工学		川邉武俊：金井喜美雄	電気電子工学シリーズ	朝倉書店	201204	2,600	2,808
2220	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784254231342	基礎制御工学		則次俊郎：堂田周治郎		朝倉書店	201203	2,800	3,024
2221	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784254231410	制御の事典		野波健蔵：水野毅		朝倉書店	201507	18,000	19,440
2222	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784254237917	制御工学：古典制御からロバスト制御へ		佐伯正美	機械工学基礎課程	朝倉書店	201303	3,000	3,240
2223	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784260016735	弱いロボット		岡田美智男	シリーズケアをひらく	医学書院	201208	2,000	2,160
2224	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784274068591	かんたん！　ＵＳＢで動かす電子工作		小松博史		オーム社	201109	2,000	2,160
2225	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784274069239	入門機械制御と製作実習：４軸クレーンを作って学ぶ機械装置設計		岡田昌樹		オーム社	201308	3,200	3,456
2226	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784274069833	アクチュエータの技術		鷹野英司：加藤光文	電子機械入門シリーズ	オーム社	201401	2,300	2,484
2227	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784274069857	電子機械制御入門	第２版	鷹野英司：安藤久夫	機械工学入門シリーズ	オーム社	201401	2,340	2,527
2228	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784274208812	ロボットのためのＣ言語によるマイコン制御の考え方		城井田勝仁		オーム社	201006	2,100	2,268
2229	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784274208942	わかりやすいロボットシステム入門：メカニズムから制御，システムまで	改訂２版	松日楽信人：大明準治		オーム社	201007	2,500	2,700
2230	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784274209154	システム制御入門		畠山省四朗：野中謙一郎	ロボット・メカトロニクス教科書	オーム社	201009	2,700	2,916
2231	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784274209567	ＲＯＢＯ－ＯＮＥで進化する二足歩行ロボットの造り方		Ｒｏｂｏ－ｏｎｅ委員会		オーム社	201011	2,700	2,916
2232	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784274210686	アンドロイドを造る		石黒浩		オーム社	201108	2,100	2,268
2233	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784274210723	ロボットテクノロジー		日本ロボット学会		オーム社	201108	3,800	4,104
2234	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784274211416	ロボコン部品ガイドブック		オーム社		オーム社	201111	2,200	2,376
2235	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784274211928	災害とロボット：大震災から見えてきたロボットのあり方		井上猛雄		オーム社	201204	2,300	2,484
2236	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784274212048	実務に役立つシーケンス制御入門		藤瀬和弘		オーム社	201205	2,500	2,700
2237	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784274212086	ＰＩＣではじめる！　ＲＣサーボロボット製作入門		鈴木美朗志		オーム社	201205	2,600	2,808
2238	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784274212888	制御工学		太田有三	ＯＨＭ大学テキスト	オーム社	201211	2,600	2,808
2239	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784274214028	ＭＡＴＬＡＢ／Ｓｉｍｕｌｉｎｋによるモデルベースデザイン入門		三田宇洋		オーム社	201306	3,800	4,104
2240	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784274215124	現代制御		太田有三	ＯＨＭ大学テキスト	オーム社	201403	2,600	2,808
2241	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784274215810	絵ときでわかるロボット工学	第２版	川嶋健嗣：只野耕太郎		オーム社	201407	2,500	2,700
2242	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784274215889	ロボット考学と人間：未来のためのロボット工学		森政弘		オーム社	201408	2,500	2,700
2243	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784274216695	基本からわかるシステム制御講義ノート		石井千春：汐月哲夫		オーム社	201411	2,500	2,700
2244	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784274216725	やさしいリレーとシーケンサ	改訂３版	岡本裕生		オーム社	201411	2,500	2,700
2245	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784274218323	やさしいリレーとプログラマブルコントローラ	改訂２版	岡本裕生		オーム社	201510	2,500	2,700
2246	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784274503962	ＬａｂＶＩＥＷ　ＦＰＧＡではじめる計測・制御：自分だけの最先端システムを作ろう！		阿部真之：日本ナショナルインスツルメンツ株式会社		オーム社	201207	3,600	3,888
2247	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784274504501	じっくり学ぼう！シーケンス制御超入門		清水洋隆		オーム社	201304	2,500	2,700
2248	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784274505430	誰でも作れるセンサロボット		熊谷文宏		オーム社	201511	2,200	2,376
2249	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784320024496	基礎制御工学	増補版	小林伸明：鈴木亮一	情報・電子入門シリーズ	共立出版	201603	2,600	2,808
2250	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784320081796	現代制御		山田宏尚：矢野賢一	シリーズ知能機械工学	共立出版	201009	2,800	3,024
2251	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784320081802	ロボティクス：モデリングと制御		川二晴久	シリーズ知能機械工学	共立出版	201202	2,800	3,024
2252	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784320081864	基礎から実践まで理解できるロボット・メカトロニクス		山本郁夫：水井雅彦		共立出版	201204	2,500	2,700
2253	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784335357145	ロボット法：ＡＩとヒトの共生にむけて		平野晋		弘文堂	201711	2,700	2,916
2254	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784339032000	クルマとヒコーキで学ぶ制御工学の基礎		綱島均：中代重幸		コロナ社	201103	2,500	2,700
2255	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784339032024	現場で役立つ制御工学の基本		涌井伸二：橋本誠司		コロナ社	201201	3,200	3,456
2256	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784339032062	高校数学でマスターする制御工学：本質の理解からＭａｔ@Ｓｃｉｌａｂによる実践まで		小坂学		コロナ社	201208	3,000	3,240
2257	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784339032079	フィードバック制御の基礎と応用		背戸一登：渡辺亨		コロナ社	201310	2,500	2,700
2258	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784339032086	フィードバック制御理論：安定化と最適化		志水清孝		コロナ社	201311	7,500	8,100
2259	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784339032093	システム制御基礎理論		加藤誠		コロナ社	201410	2,600	2,808
2260	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784339032109	実時間最適化による制御の実応用		大塚敏之：浜松正典		コロナ社	201501	3,600	3,888
2261	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784339032185	高校数学でマスターする現代制御とディジタル制御：本質の理解からＭａｔ@Ｓｃｉｌａｂによる実践まで		小坂学		コロナ社	201509	2,600	2,808
2262	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784339032208	現場で役立つ制御工学の基本（演習編）：解答と誤解答から学ぶ演習書		涌井伸二：橋本誠司		コロナ社	201707	2,000	2,160
2263	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784339033069	システム制御工学演習		杉江俊治：梶原宏之	システム制御工学シリーズ	コロナ社	201409	3,400	3,672
2264	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784339033113	実践ロバスト制御		平田光男	システム制御工学シリーズ	コロナ社	201703	3,100	3,348
2265	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784339033182	非線形最適制御入門		大塚敏之	システム制御工学シリーズ	コロナ社	201102	3,000	3,240
2266	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784339033199	線形システム解析		汐月哲夫	システム制御工学シリーズ	コロナ社	201104	3,000	3,240
2267	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784339033205	ハイブリッドシステムの制御		井村順一：東俊一	システム制御工学シリーズ	コロナ社	201401	3,000	3,240
2268	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784339033212	システム制御のための最適化理論		延山英沢：瀬部昇	システム制御工学シリーズ	コロナ社	201507	3,400	3,672

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
2269	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784339033229	マルチエージェントシステムの制御		東俊一：永原正章	システム制御工学シリーズ	コロナ社	201509	3,000	3,240
2270	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784339033236	行列不等式アプローチによる制御系設計		小原敦美	システム制御工学シリーズ	コロナ社	201603	3,500	3,780
2271	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784339033564	量子力学的手法によるシステムと制御		計測自動制御学会：伊丹哲郎	計測・制御テクノロジーシリーズ	コロナ社	201712	3,400	3,672
2272	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784339033571	フィードバック制御		荒木光彦：細江繁幸	計測・制御テクノロジーシリーズ	コロナ社	201205	2,800	3,024
2273	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784339033595	システム同定		和田清：奥宏史	計測・制御テクノロジーシリーズ	コロナ社	201702	3,600	3,888
2274	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784339045192	ロボット機構学		永井清：土橋宏規	ロボティクスシリーズ	コロナ社	201509	1,900	2,052
2275	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784339046496	受動歩行ロボットのすすめ：重力だけで２足歩行するロボットのつくりかた		衣笠哲也：大須賀公一		コロナ社	201610	2,500	2,700
2276	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784407325751	制御工学：技術者のための、理論・設計から実装まで		寺嶋一彦：兼重明宏	専門基礎ライブラリー	実教出版	201203	2,300	2,484
2277	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784425651719	ここからはじめる制御工学		章菲菲：伊藤雅則		成山堂書店	201404	2,600	2,808
2278	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784485665466	Ｅｘｃｅｌを用いた計測制御入門：ＺｉｇＢｅｅによる無線通信と環境発電の基礎	改訂新版	榎木嘉典：堀桂太郎		電気書院	201509	2,700	2,916
2279	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784501116804	初めて学ぶシーケンス制御		吉本久泰		東京電機大学出版局	201501	2,900	3,132
2280	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784501117504	制御工学の基礎		足立修一		東京電機大学出版局	201604	2,700	2,916
2281	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784501328900	カルマンフィルタの基礎		足立修一：丸田一郎		東京電機大学出版局	201210	2,900	3,132
2282	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784501331603	ＸＢｅｅによるＡｒｄｕｉｎｏ無線ロボット工作		鈴木美朗志		東京電機大学出版局	201602	2,500	2,700
2283	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784501419608	Ｅｘｃｅｌ　ＶＢＡによる制御工学		江口弘文		東京電機大学出版局	201401	2,400	2,592
2284	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784501420000	「リアル」を掴む！：力を感じ、感触を伝えるハプティクスが人を幸せにする		大西公平		東京電機大学出版局	201702	1,600	1,728
2285	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784526065187	絵で見る制御システム入門		坂巻佳寿美		日刊工業新聞社	201008	2,000	2,160
2286	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784526066511	自動化機構３００選：制御回路付き	改訂新版	熊谷卓：西田麻美		日刊工業新聞社	201103	4,200	4,536
2287	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784526067068	やさしいシーケンス制御：制御盤モデルで徹底理解！		塩田泰仁：池田知純		日刊工業新聞社	201106	2,500	2,700
2288	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784526067815	心をもつロボット：鋼の思考が鏡の中の自分に気づく！		武野純一	Ｂ＆Ｔブックス	日刊工業新聞社	201111	1,800	1,944
2289	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784526067983	ＰＬＣによるメカトロ制御入門		笹川宏之：古井英則		日刊工業新聞社	201112	2,200	2,376
2290	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784526073311	シーケンス制御プログラムの極意：熊谷英樹のシーケンス道場		熊谷英樹		日刊工業新聞社	201412	2,200	2,376
2291	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784526074776	必携シーケンス制御プログラム定石集：機構図付き．ｐａｒｔ２		熊谷英樹		日刊工業新聞社	201511	2,500	2,700
2292	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784532320508	ロボティクス最前線		日経産業新聞編集部		日本経済新聞出版社	201601	1,600	1,728
2293	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784535786875	動的システム入門：続・振動論と制御理論		吉田勝俊	工学系の数学入門	日本評論社	201304	2,400	2,592
2294	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784535788220	ロボット：職を奪うか、相棒か？		ジョン・ジョーダン：久村典子	ＭＩＴエッセンシャル・ナレッジ・シリーズ	日本評論社	201710	2,200	2,376
2295	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784621064795	組込みロボット工学入門：組込みシステムを使った移動ロボットの設計と応用		トーマス・ブラウンル：香川博之		丸善出版	201207	6,500	7,020
2296	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784627614413	最適制御の実用設計法：ＩＬＱ法による制御系設計と応用事例		藤井隆雄：辻野太郎		森北出版	201504	3,600	3,888
2297	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784627625211	入門ロボット工学		高田洋吾		森北出版	201710	2,100	2,268
2298	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784627667815	設備技術者のためのわかりやすい自動制御		田中毅弘		森北出版	201101	2,400	2,592
2299	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784627728226	制御工学：フィードバック制御の考え方	第２版	斉藤制海：徐粒		森北出版	201511	2,600	2,808
2300	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784627792210	倒立振子で学ぶ制御工学		川田昌克：東俊一		森北出版	201703	3,200	3,456
2301	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784627846326	図解ＬａｂＶＩＥＷ実習：ゼロからわかるバーチャル計測器	第２版	堀桂太郎		森北出版	201606	2,800	3,024
2302	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784627849815	図解ＬａｂＶＩＥＷ入門：計測制御システムはこうしてできる！		小澤哲也		森北出版	201210	2,800	3,024
2303	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784627853416	ＲＯＳプログラミング		銭飛		森北出版	201603	3,600	3,888
2304	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784627916821	やさしく学べる制御工学	新版	今井弘之：竹口知男		森北出版	201408	2,600	2,808
2305	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784627917828	演習で学ぶ現代制御理論	新装版	森泰親		森北出版	201410	2,600	2,808
2306	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784627918429	演習で学ぶ基礎制御工学	新装版	森泰親		森北出版	201410	2,400	2,592
2307	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784627920415	ＭＡＴＬＡＢ／Ｓｉｍｕｌｉｎｋによる現代制御入門		川田昌克		森北出版	201106	3,200	3,456
2308	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784627920712	例題で学ぶ自動制御の基礎		鈴木隆（電子工学）：板宮敬悦		森北出版	201101	2,400	2,592
2309	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784627920811	図解シーケンス制御実習：ゼロからわかる自動制御		上泰：堀桂太郎		森北出版	201107	2,400	2,592
2310	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784627920910	例題で学ぶ現代制御の基礎		鈴木隆（電子工学）：板宮敬悦		森北出版	201110	2,600	2,808
2311	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784627921016	ＬＭＩによるシステム制御：ロバスト制御系設計のための体系的アプローチ		姥原義雄		森北出版	201203	3,800	4,104
2312	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784627921115	演習で学ぶディジタル制御		森泰親		森北出版	201207	2,500	2,700
2313	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784627921313	構造物のシステム制御		大住晃		森北出版	201301	4,500	4,860
2314	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784627921412	わかりやすい現代制御理論		森泰親		森北出版	201304	2,800	3,024
2315	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784627922112	カルマンフィルタとシステムの同定：動的逆問題へのアプローチ		大住晃：亀山建太郎		森北出版	201610	4,500	4,860
2316	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784757103092	ロボットは友だちになれるか：日本人と機械のふしぎな関係		フレデリック・カプラン：西兼志		ＮＴＴ出版	201106	2,800	3,024
2317	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784759816709	柔らかヒューマノイド：ロボットが知能の謎を解き明かす		細田耕	Ｄｏｊｉｎ選書	化学同人	201605	1,600	1,728
2318	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784764904736	ロボット制御学ハンドブック		松野文俊：大須賀公一		近代科学社	201712	27,000	29,160
2319	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784764950191	私のとなりのロボットなヒト：理系女子がロボット系男子に聞く		瀬戸文美		近代科学社	201205	1,600	1,728
2320	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784774142883	図解でわかるシーケンス制御の基本	改訂版	望月伝		技術評論社	201007	1,980	2,138
2321	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784774145303	シーケンス制御回路の「しくみ」と「基本」：電子回路シミュレータＴＩＮＡ９（日本語・Ｂｏｏｋ版		小峯竜男		技術評論社	201102	2,380	2,570
2322	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784774162225	すっきりなっとく電気と制御の理論		望月伝		技術評論社	201402	2,380	2,570

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
2323	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784774177557	図解ゼロから学ぶシーケンス制御入門		望月伝		技術評論社	201512	2,180	2,354
2324	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784777515837	「Ｍａｘｉｍａ」と「Ｓｃｉｌａｂ」で学ぶ古典制御：「ラプラス変換」「伝達関数」から「フィードバック制		川谷亮治	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201103	2,800	3,024
2325	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784777515974	はじめての伝達関数：制御工学の基礎を完全マスター！		一條博	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201104	2,500	2,700
2326	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784777516131	ｉＰｈｏｎｅによるロボット制御：「ソケット通信」を使って「シミュレータ」上で動かす		大川善邦	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201107	2,800	3,024
2327	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784777516209	やさしいロボット工作：１人でこなす！「設計」「加工」「調整」		神田民太郎	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201107	2,500	2,700
2328	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784777516407	Ａｎｄｒｏｉｄによるロボット制御：「ソケット」「スレッド」の基本的な使い方から、「物		大川善邦	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201110	2,800	3,024
2329	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784777516537	Ｓｃｉｌａｂで学ぶフィードバック制御：フリーの「数値計算ソフト」で「ＰＩＤ制御」をマスタ		横田満穂	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201112	2,300	2,484
2330	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784777517251	Ｍａｘｉｍａで解く古典制御＆現代制御：「数値計算ソフト」の使い方と「制御理論」の実際		浪花智英	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201211	2,300	2,484
2331	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784777517602	「ロボット」プログラミング：「Ｋｉｎｅｃｔ」×「Ｍｉｎｄｓｔｏｒｍｓ ＮＸＴ」		軽部祐文：馬場一行	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201305	2,300	2,484
2332	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784777517770	「Ｓｃｉｌａｂ」＆「Ｘｃｏｓ」で学ぶ現代制御：グラフィカルなシミュレーションツールを活用！		多田和也	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201308	2,300	2,484
2333	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784777518142	「Ｍａｘｉｍａ」と「Ｓｃｉｌａｂ」で学ぶ古典制御：「ラプラス変換」「伝達関数」から「フィードバック制	改訂版	川谷亮治	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201402	2,300	2,484
2334	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784777518180	Ａｒｄｕｉｎｏではじめるロボット製作：マイコンボードを使って電子工作＆プログラミング		米田知晃：荒川正和	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201402	2,300	2,484
2335	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784777518678	ロボット技術最前線：基本技術から実際のマシンの仕組みまで		Ｉ／Ｏ編集部	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201411	1,900	2,052
2336	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784777519019	ＲＯＳではじめるロボットプログラミング：フリーのロボット用「フレームワーク」		小倉崇	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201506	2,300	2,484
2337	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784777519118	ＲＴＭではじめるロボットアプリ開発：「ロボット」を動かす「ソフト」の使い方		セック：長瀬雅之	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201508	2,300	2,484
2338	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784777519552	「Ｓｃｉｌａｂ」＆「Ｘｃｏｓ」で学ぶ現代制御：グラフィカルなシミュレーションツールを活用！	増補版	多田和也	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201606	2,400	2,592
2339	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784777519590	ロボット技術ガイドブック：基本技術から「人工知能」「自動運転」まで		Ｉ／Ｏ編集部	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201607	1,900	2,052
2340	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784777520183	「センサ」「アクチュエータ」「マイコン」の仕組みがわかる本：「ＩｏＴ」「ロボット」の主要パーツをチェック！		Ｉ／Ｏ編集部	Ｉ／Ｏ ＢＯＯＫＳ	工学社	201707	1,900	2,052
2341	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784777520251	「Ｓｃｉｌａｂ」で学ぶ現代制御：フランスの国立研究所が開発したフリーの数値計算シス		川谷亮治：Ｉ／Ｏ編集部	Ｉ／Ｏ ＢＯＯＫＳ	工学社	201708	2,300	2,484
2342	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784781302935	未来を動かすソフトアクチュエータ：高分子・生体材料を中心とした研究開発		長田義仁：田口隆久	新材料・新素材シリーズ	シーエムシー出版	201012	65,000	70,200
2343	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784781311289	未来を動かすソフトアクチュエータ：高分子・生体材料を中心とした研究開発	普及版	長田義仁：田口隆久	新材料・新素材シリーズ	シーエムシー出版	201612	6,800	7,344
2344	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784781312347	実用化に向けたソフトアクチュエータの開発と応用・制御技術			新材料・新素材シリーズ	シーエムシー出版	201703	74,000	79,920
2345	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784782841013	アクチュエータが未来を創る		岡山大学アクチュエータ研究センター		産業図書	201111	2,800	3,024
2346	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784782841051	機械システム制御の実際：航空機、ロボット、工作機械、自動車、船および水中ビ		片柳亮二		産業図書	201309	2,000	2,160
2347	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784782855584	現代制御工学：基礎から応用へ		江上正：土谷武士		産業図書	201709	3,700	3,996
2348	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784788514041	ロボットの悲しみ：コミュニケーションをめぐる人とロボットの生態学		岡田美智男：松本光太郎		新曜社	201408	1,900	2,052
2349	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784788514560	ロボットと共生する社会脳：神経社会ロボット学		苧阪直行	社会脳シリーズ	新曜社	201512	4,600	4,968
2350	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784789840941	ミニ・アダプタｍｙＤＡＱとＬａｂＶＩＥＷで作るＭｙ実験ベンチ：パソコンに取り込んで計測制御思いのままに		小澤哲也	計測・制御シリーズ	ＣＱ出版	201312	2,800	3,024
2351	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784789840958	パソコン計測制御ソフトウェアＬａｂＶＩＥＷリファレンス・ブック：波形表示／データ保存の方法から命令や関数の使い方ま		小澤哲也	計測・制御シリーズ	ＣＱ出版	201302	2,600	2,808
2352	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784789845748	プログラムによる計測・制御への第一歩：親子ではじめる		神崎康宏	チャレンジシリーズ	ＣＱ出版	201105	2,000	2,160
2353	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784789846707	高効率・高速応答！サーボ＆ベクトル制御実用設計：温度／位置／速度／力…外乱に強いフィードバック・シ		渡辺健芳：トランジスタ技術ｓｐｅｃｉａｌ編集部	トランジスタ技術ｓｐｅｃｉａｌ	ＣＱ出版	201603	3,600	3,888
2354	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784789848237	超入門！付属ＡＲＭマイコンで始めるロボット製作：障害物を避けながら前進！スクリプト言語で簡単操縦！		林原靖男：渡辺明禎	トライアルシリーズ	ＣＱ出版	201204	3,600	3,888
2355	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784790716495	ロボットの人類学：二〇世紀日本の機械と人間		久保明教		世界思想社	201503	3,800	4,104
2356	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784791767182	進化する魚型ロボットが僕らに教えてくれること		ジョン・Ｈ．ロング：松浦俊輔		青土社	201308	2,400	2,592
2357	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784797384499	Ｐｅｐｐｅｒプログラミング：基本動作からアプリの企画・演出まで		村山龍太郎：谷沢智史		ＳＢクリエイティブ	201509	3,400	3,672
2358	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784798036663	図解入門よくわかる最新シーケンス制御と回路図の基本：制御回路の作成手法と手順を初歩から学ぶ！ 自動制御		武永行正	Ｈｏｗ－ｎｕａｌ ｖｉｓｕａｌ ｇｕｉｄｅ ｂｏｏｋ	秀和システム	201303	1,600	1,728
2359	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784798048635	自然会話ロボットを作ろう！：Ｒａｓｐｂｅｒｒｙ ＰｉとＡｒｄｕｉｎｏで作る人工		鄭立		秀和システム	201612	2,000	2,160
2360	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784798051406	Ａｒｄｕｉｎｏでロボット工作をたのしもう！	第２版	鈴木美朗志		秀和システム	201708	2,400	2,592
2361	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784822239299	Ｒａｓｐｂｅｒｒｙ Ｐｉで学ぶＲＯＳロボット入門		上田隆一		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201703	3,700	3,996
2362	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784822276669	モデルベース開発：モデリング、プラント・モデル、コントロール・モデル		日経エレクトロニクス編集部：ｄＳＰＡＣＥＪａｐａｎ株式会社		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201307	3,000	3,240
2363	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784860433864	アクチュエータ研究開発の最前線		樋口俊郎：大岡昌博		エヌ・ティー・エス	201108	47,200	50,976
2364	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784860434519	人と協働するロボット革命最前線：基盤技術から用途、デザイン、利用者心理、ＩＳＯ１３		佐藤知正		エヌ・ティー・エス	201605	42,000	45,360
2365	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784862239600	最小位相状態に基づく線形制御系設計		都丸隆夫		東京図書出版（文京区）(発売：リブレ出版)	201605	2,000	2,160
2366	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784863133624	ロボットの歴史を作ったロボット１００		アナ・マトロニック：片山美佳子		日経ナショナルジオグラフィック社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201701	2,800	3,024
2367	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784864810005	基礎制御工学		松瀬貢規	電気・電子工学ライブラリ	数理工学社(発売：サイエンス社)	201306	2,600	2,808
2368	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784864810135	演習と応用基礎制御工学		松瀬貢規	電気・電子工学ライブラリ	数理工学社(発売：サイエンス社)	201403	2,550	2,754
2369	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784864810241	制御工学の基礎		高橋宏治	電子・通信工学	数理工学社(発売：サイエンス社)	201412	2,350	2,538
2370	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784864810388	システム制御入門		倉田純一	機械工学テキストライブラリ	数理工学社(発売：サイエンス社)	201606	2,400	2,592
2371	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784865940183	おしゃべりロボット「マグボット」：ラズパイとＡｒｄｕｉｎｏで電子工作		小池星多		リックテレコム	201605	3,000	3,240
2372	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784872594232	ロボット・身体・テクノロジー：バイオサイエンスの時代における人間の未来		檜垣立哉		大阪大学出版会	201303	2,400	2,592
2373	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784873116846	エンジニアのためのフィードバック制御入門		フィリップ・Ｋ．ジャナート：野原勉		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201407	3,200	3,456
2374	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784873118093	プログラミングＲＯＳ：Ｐｙｔｈｏｎによるロボットアプリケーション開発		モーガン・クイグリー：ブライアン，ゲ－ルケ	オライリー・ジャパン	オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201712	3,800	4,104
2375	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784877833534	ＬａｂＶＩＥＷで遊ぶ前に：プログラム言語的側面から身につける開発スタイル		大野誠吾		カットシステム	201410	3,200	3,456
2376	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784883532483	ロボット産業最前線：産業、サービス、医療用ロボット１７４社・団体の最新				産業タイムズ社	201610	16,000	17,280

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
2377	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784886863096	電気電子システムのための制御工学		佐々木清吾	電気学会大学講座	電気学会(発売：オーム社)	201712	2,400	2,592
2378	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784888982085	ロボティクス		日本機械学会		日本機械学会(発売：丸善出版)	201109	1,900	2,052
2379	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784889490954	完・全・図・解現場技術者のためのシーケンス制御の基礎と実用講座		大浜庄司		日本電設工業協会(発売：オーム社)	201303	1,800	1,944
2380	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784890195206	ザ・ヒューマノイド：大脳と心，および知識		村岡哲也		日本理工出版会	201211	2,200	2,376
2381	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784897979953	二足歩行ロボット工作＆プログラミング		江崎徳秀：石井モルナ		リックテレコム	201507	2,700	2,916
2382	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784904774045	次世代アクチュエータ原理と設計法		平田勝弘	設計技術シリーズ	科学情報出版	201307	2,800	3,024
2383	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784906864003	ＡｒｄｕｉｎｏとＭＡＴＬＡＢで制御系設計をはじめよう！		平田光男	Ｐｈｙｓｉｃａｌ Ｃｏｍｐｕｔｉｎｇ Ｌａｂ	ＴｅｃｈＳｈａｒｅ	201211	2,400	2,592
2384	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784906864027	モデルベース開発のための複合物理領域モデリング：なぜ、奇妙なモデルが出来てしまうのか？		大扇明：古田勝久	ＭＢＤ Ｌａｂ Ｓｅｒｉｅｓ	ＴｅｃｈＳｈａｒｅ	201211	3,000	3,240
2385	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784906864041	ＭＡＴＬＡＢ／Ｓｉｍｕｌｉｎｋと実機で学ぶ制御工学：ＰＩＤ制御から現代制御まで ＬＥＧＯ ＭＩＮＤＳＴ		川田昌克	Ｐｈｙｓｉｃａｌ Ｃｏｍｐｕｔｉｎｇ Ｌａｂ	ＴｅｃｈＳｈａｒｅ	201311	2,500	2,700
2386	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784944021994	ＡＩロボットの市場展望				未来予測研究所	201605	47,000	50,760
2387	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	自動制御工学	9784990748357	シーケンス制御入門	第２版	萩原国雄：山城健太郎		ジュピター書房	201411	1,600	1,728
2388	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784061565692	ＡｒｄｕｉｎｏとＰｒｏｃｅｓｓｉｎｇではじめるプロトタイピング入		青木直史		講談社	201703	2,300	2,484
2389	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784274216886	ハンディブックメカトロニクス	改訂３版	三浦宏文		オーム社	201412	4,000	4,320
2390	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784274217319	熱設計と数値シミュレーション		国峰尚樹：中村篤		オーム社	201508	2,700	2,916
2391	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784274217845	メカトロニクス概論	改訂２版	古田勝久：石川潤	ロボット・メカトロニクス教科書	オーム社	201508	2,500	2,700
2392	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784274220340	かんたん！スマートフォン＋ＦｌａｓｈＡｉｒで楽しむＩｏＴ電子工作		小松博史		オーム社	201703	2,000	2,160
2393	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784274220814	実践Ａｒｄｕｉｎｏ！：電子工作でアイデアを形にしよう		平原真		オーム社	201708	2,500	2,700
2394	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784274505256	ＣＡＤＬＵＳ＋Ａｒｄｕｉｎｏ電子工作ガイド		横田一弘		オーム社	201411	2,200	2,376
2395	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784274506499	はじめてのパワーエレクトロニクス：回路の仕組みから制御の基礎までやさしく解説！！		板子一隆		オーム社	201709	2,500	2,700
2396	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784339008982	これでなっとくパワーエレクトロニクス		二木茂行：長浜竜		コロナ社	201707	2,900	3,132
2397	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784485300893	電子工学入門		大豆生田利章		電気書院	201510	2,300	2,484
2398	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784485300978	基礎パワーエレクトロニクス：ＰＳＩＭで学ぶ	改訂新版	野村弘：藤原憲一郎		電気書院	201603	2,400	2,592
2399	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784501331306	たのしくできるかんたんブレッドボード電子工作		加藤芳夫		東京電機大学出版局	201509	1,800	1,944
2400	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784501331801	実験で学ぶメカトロニクス：ＴＫ４００ＳＨボード実習		川谷亮治：高田直人		東京電機大学出版局	201604	3,400	3,672
2401	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784501331900	たのしくできるＲａｓｐｂｅｒｒｙ Ｐｉとブレッドボードで電子工作		加藤芳夫		東京電機大学出版局	201611	2,200	2,376
2402	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784526073601	設計者に必要なメカトロニクスの基礎知識：これだけは知っておきたいメカトロの理論と実際		松本潔：実際の設計研究会	実際の設計選書	日刊工業新聞社	201502	3,400	3,672
2403	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784526074493	電子機器の熱流体解析入門：熱流体モデリング／シミュレーションの基本を完全マス	第２版	国峰尚樹		日刊工業新聞社	201508	2,800	3,024
2404	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784526075452	セットメーカー必須！電子部品の信頼性評価・解析ガイドブック．ｐａｒｔ２		沖エンジニアリング株式会社：今井康雄		日刊工業新聞社	201603	3,600	3,888
2405	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784563067892	高速高精度光変調の理論と実際：電気光学効果による光波制御		川西哲也		培風館	201606	3,800	4,104
2406	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784621087831	光メタマテリアル入門		田中拓男		丸善出版	201611	3,000	3,240
2407	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784621300985	薄膜工学	第３版	吉田貞史：近藤高志		丸善出版	201611	3,800	4,104
2408	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784627675216	メカトロニクスの基礎		渋谷恒司		森北出版	201603	2,400	2,592
2409	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784627761018	圧電現象		森田剛		森北出版	201703	4,600	4,968
2410	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784627770416	よくわかるパワーエレクトロニクス		森本雅之		森北出版	201609	2,400	2,592
2411	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784627773721	電子・光材料：基礎から応用まで	第２版	沢岡昭		森北出版	201512	2,200	2,376
2412	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784627775114	例題で学ぶ光エレクトロニクス入門		樋口英世		森北出版	201410	2,800	3,024
2413	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784627775411	有機イオントロニクス：固体イオニクス・有機光エレクトロニクス素子の原理と		小野田光宣：金藤敬一		森北出版	201601	4,600	4,968
2414	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784753621019	ヒューム・ロザリー電子濃度則の物理学：ＦＬＡＰＷ－Ｆｏｕｒｉｅｒ理論による電子機能材料開		水谷宇一郎：佐藤洋一		内田老鶴圃	201510	6,000	6,480
2415	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784753623068	先端機能材料の光学：光学薄膜とナノフォトニクスの基礎を理解する		梶川浩太郎	物質・材料テキストシリーズ	内田老鶴圃	201612	4,200	4,536
2416	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784753656455	スピントロニクス入門		猪俣浩一郎	材料学シリーズ	内田老鶴圃	201703	3,800	4,104
2417	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784764905405	体験する！！オープンソースハードウェア：ＮａｎｏＰｉＮＥＯ，Ａｒｄｕｉｎｏ他で楽しむ		武藤佳恭		近代科学社	201705	2,300	2,484
2418	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784764905511	マルチメディア		今井崇雅	ファーストステップ	近代科学社	201709	2,300	2,484
2419	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784774172842	電子工作入門以前：電気・電子・回路・部品・マイコン・プログラミングの		後閑哲也		技術評論社	201504	2,280	2,462
2420	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784774180793	電子工作は失敗から学べ！：最小の労力で身に付ける電子工作のセンス		後閑哲也		技術評論社	201605	2,280	2,462
2421	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784774187075	電子工作の職人技		高瀬和則	職人技シリーズ	技術評論社	201702	1,880	2,030
2422	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784774189192	ＰＩＣと楽しむＲａｓｐｂｅｒｒｙＰｉ活用ガイドブック		後閑哲也		技術評論社	201704	2,480	2,678
2423	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784777519262	「Ｍｉｙａｇｉｎｏ」ではじめる電子工作：Ａｒｄｕｉｎｏ互換マイコンボードの製作と応用		小嶋秀樹：鈴木優	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201512	2,300	2,484
2424	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784777519347	やさしい電子工作：「電子回路」「プログラム」「外装加工」－ゼロから通		神田民太郎	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201601	2,300	2,484
2425	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784777519385	電子部品ハンドブック：見てわかる「抵抗」「コンデンサ」「ダイオード」「ト		千野行広	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201602	2,300	2,484
2426	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784777519415	Ａｒｄｕｉｎｏ電子工作：「電子オルガン」「電卓」「ブートローダ／スケッチ		谷川寛	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201604	1,600	1,728
2427	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784777519705	「ＧＲ－ＰＥＡＣＨ」ではじめる電子工作：高性能ＣＰＵを搭載した、「Ａｒｄｕｉｎｏ互換」マイ		ＧＡＤＧＥＴＲＥＮＥＳＡＳプロジェクト	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201609	2,500	2,700
2428	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784777519811	小型マイコンボードを使った電子工作ガイド：「基礎知識」「ボード解説」「簡単な応用」「ＩｏＴへ		Ｉ／Ｏ編集部	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201611	1,900	2,052
2429	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784777519989	Ａｒｄｕｉｎｏ Ｇｒｏｖｅではじめるカンタン電子工作：「センサ」「アクチュエータ」を「コネクタ」でつない		浅居尚：大澤文孝	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201703	2,300	2,484
2430	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784777520206	たのしい電子工作：「キッチンタイマー」「音声時計」「デジタル電圧計」		神田民太郎	Ｉ／Ｏ ＢＯＯＫＳ	工学社	201707	2,300	2,484

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
2431	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784777520220	模型キットではじめる電子工作：「電子部品」を追加して、「回路」や「基本特性」を学		馬場政勝：Ｉ／Ｏ編集部	Ｉ／Ｏ ＢＯＯＫＳ	工学社	201708	1,900	2,052
2432	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784777520381	「ＧＲ－ＬＹＣＨＥＥ」ではじめる電子工作：「カメラ」と「無線」搭載…ＩｏＴプロトタイピング用		ＧＡＤＧＥＴＲＥＮＥＳＡＳプロジェクト：Ｉ／Ｏ編集部	Ｉ／Ｏ ＢＯＯＫＳ	工学社	201712	2,300	2,484
2433	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784780604498	工学基礎実習としてのメカトロニクス．２０１５		静岡大学工学部次世代ものづくり人材育成セ		学術図書出版社	201503	2,200	2,376
2434	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784780604962	工学基礎実習としてのメカトロニクス．２０１６		静岡大学工学部次世代ものづくり人材育成セ		学術図書出版社	201603	2,200	2,376
2435	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784781309095	製品高付加価値化のためのエレクトロニクス材料	普及版	坂本正典	エレクトロニクスシリーズ	シーエムシー出版	201412	4,800	5,184
2436	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784781310107	圧電材料の基礎と最新応用	普及版	塩崎忠	エレクトロニクスシリーズ	シーエムシー出版	201504	4,000	4,320
2437	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784781310138	プリンタブル有機エレクトロニクスの最新技術	普及版	横山正明：鎌田俊英	エレクトロニクスシリーズ	シーエムシー出版	201504	4,000	4,320
2438	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784781310152	光学材料の屈折率制御技術の最前線	普及版	渡辺敏行：魚津吉弘	エレクトロニクスシリーズ	シーエムシー出版	201505	5,200	5,616
2439	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784781310268	スピントロニクスの基礎と材料・応用技術の最前線	普及版	高梨弘毅	エレクトロニクスシリーズ	シーエムシー出版	201508	6,800	7,344
2440	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784781310299	パワーエレクトロニクスの新展開	普及版	大橋弘通：木本恒暢	エレクトロニクスシリーズ	シーエムシー出版	201508	3,200	3,456
2441	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784781310411	高機能デバイス封止技術と最先端材料	普及版	高橋昭雄	エレクトロニクスシリーズ	シーエムシー出版	201511	4,000	4,320
2442	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784781310428	有機デバイスのための界面評価と制御技術	普及版	岩本光正	エレクトロニクスシリーズ	シーエムシー出版	201512	4,400	4,752
2443	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784781310442	窒化物基板および格子整合基板の成長とデバイス特性	普及版	天野浩	新材料・新素材シリーズ	シーエムシー出版	201512	3,600	3,888
2444	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784781310503	次世代プリンテッドエレクトロニクス技術		手塚博昭：中村隆一	エレクトロニクスシリーズ	シーエムシー出版	201412	68,000	73,440
2445	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784781311111	酸化物半導体と鉄系超伝導：新物質・新機能・応用展開	普及版	細野秀雄：平野正浩	エレクトロニクスシリーズ	シーエムシー出版	201606	3,600	3,888
2446	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784781311159	プリンテッドエレクトロニクス技術最前線	普及版	菅沼克昭	エレクトロニクスシリーズ	シーエムシー出版	201608	4,800	5,184
2447	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784781311968	最新ガスバリア薄膜技術 普及版：ハイグレードガスバリアフィルムの実用化に向けて		中山弘：小川倉一	エレクトロニクスシリーズ	シーエムシー出版	201704	4,600	4,968
2448	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784781312088	白色有機ＥＬ照明技術	普及版	三上明義	エレクトロニクスシリーズ	シーエムシー出版	201708	4,900	5,292
2449	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784781312514	有機エレクトロニクス封止・バリア技術の開発		姥名武雄	新材料・新素材シリーズ	シーエムシー出版	201706	76,000	82,080
2450	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784789845298	基本電子部品大事典：回路の製作や実験に役に立つ		宮崎仁	トラ技Ｊｒ．教科書	ＣＱ出版	201705	3,000	3,240
2451	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784798043036	電子工作のツボとコツがゼッタイにわかる本：最初からそう教えてくれればいいのに！		高橋隆雄		秀和システム	201503	2,200	2,376
2452	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784798046259	Ｒａｓｐｂｅｒｒｙ Ｐｉ ２で電子工作をはじめよう！：たのしい電子工作		高橋隆雄		秀和システム	201603	2,300	2,484
2453	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784798046600	センサーでなんでもできるおもしろまじめ電子工作		蔵下まさゆき		秀和システム	201606	2,800	3,024
2454	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784798142531	ｍｂｅｄ電子工作レシピ		勝純一		翔泳社	201601	2,980	3,218
2455	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784800710659	Ａｒｄｕｉｎｏではじめる電子工作超入門：これ１冊でできる！		福田和宏		ソーテック社	201412	2,380	2,570
2456	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784800711465	Ａｒｄｕｉｎｏではじめる電子工作超入門：これ１冊でできる！	改訂第２版	福田和宏		ソーテック社	201610	2,480	2,678
2457	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784800711618	Ｒａｓｐｂｅｒｒｙ Ｐｉ電子工作実践講座：電子部品ごとの制御を学べる！		福田和宏		ソーテック社	201712	2,480	2,678
2458	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784822297756	Ｒａｓｐｂｅｒｒｙ ＰｉとＳＣＲＡＴＣＨではじめよう！電子工作入門：ラズパイローバーを作りながら楽しく学ぼう		今岡通博		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティング)	201508	1,800	1,944
2459	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784863542006	Ａｕｔｏｄｅｓｋ Ｃｉｒｃｕｉｔｓで学ぶ電子工作入門		蒲生睦男		シーアンドアール研究所	201702	3,230	3,488
2460	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784865940367	スマホで動かすＡｒｄｕｉｎｏ：ＡｎｄｒｏｉｄとＢＬＥで電子工作		鄭立		リックテレコム	201606	2,200	2,376
2461	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784873117331	Ａｒｄｕｉｎｏをはじめよう	第３版	マッシモ・バンジ：マイケル・シロー		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201511	2,000	2,160
2462	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784873117898	Ｐｒｏｔｏｔｙｐｉｎｇ Ｌａｂ：「作りながら考える」ためのＡｒｄｕｉｎｏ実践レシピ	第２版	小林茂（インタラクションデザイン）		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201701	3,800	4,104
2463	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784904774243	実践熱シミュレーションと設計法		石塚勝：小泉雄大	設計技術シリーズ	科学情報出版	201506	3,600	3,888
2464	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子工学	9784908168017	入門演習パワーエレクトロニクス		山口正人：横関政洋		Ｅｎｅｒｇｙ Ｃｈｏｒｄ	201404	2,800	3,024
2465	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工業	電子工業	9784900450806	ＦＵｊｉｔｓｕ Ｄｅｓｉｇｎ Ｐｈｉｌｏｓｏｐｈｙ		富士通デザインＢＯＯＫ編集委員会	ＦＵｊｉｔｓｕ Ｄｅｓｉｇｎ Ｂｏｏｋ	アクシス（港区）	201709	2,000	2,160
2466	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工業	電子工業	9784900450813	Ｆｕｊｉｔｓｕ Ｈｕｍａｎ Ｃｅｎｔｒｉｃ Ｅｘｐｅｒｉｅｎｃｅ Ｄｅｓｉｇｈ		富士通デザインＢＯＯＫ編集委員会	ＦＵｊｉｔｓｕ Ｄｅｓｉｇｎ Ｂｏｏｋ	アクシス（港区）	201710	2,000	2,160
2467	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工業	電子工業	9784163903316	インテル：世界で最も重要な会社の産業史		マイケル・Ｓ．マローン：土方奈美		文藝春秋	201509	2,100	2,268
2468	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工業	電子工業	9784621300633	ＩＢＭの思考とデザイン		山崎和彦：工藤晶		丸善出版	201608	2,400	2,592
2469	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工業	電子工業	9784623075508	覇者・鴻海の経営と戦略		喬晋建	Ｍｉｎｅｒｖａ Ｌｉｂｒａｒｙ(経営学)	ミネルヴァ書房	201603	6,500	7,020
2470	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工業	電子工業	9784822268879	ＩＢＭを強くした「アナリティクス」：ビッグデータ３１の実践例		ブレンダ・Ｌ．ディートリク：エミリー・Ｃ．プラー		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティング)	201410	1,800	1,944
2471	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工業	電子工業	9784863133495	ＳＯＮＹ ＤＥＳＩＧＮ：ＭＡＫＩＮＧ ＭＯＤＥＲＮ		ディヤン・スジック：イアン・ルナ		日経ナショナルジオグラフィック社(発売：日経ＢＰマーケティング)	201605	9,000	9,720
2472	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工業	電子工業	9784883532322	電子ディスプレーメーカー計画総覧．２０１５年度版				産業タイムズ社	201503	19,000	20,520
2473	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工業	電子工業	9784883532421	一般電子部品メーカーハンドブック：世界シェア３８％を誇る日本電子部品業界、高信頼性部				産業タイムズ社	201602	11,000	11,880
2474	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工業	電子工業	9784883532438	電子ディスプレーメーカー計画総覧．２０１６年度版				産業タイムズ社	201603	19,000	20,520
2475	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工業	電子工業	9784883532537	電子デバイス産業会社録：電子デバイス産業分野の企業・団体リスト１７００社				産業タイムズ社	201701	15,000	16,200
2476	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子理論	9784526077272	ノイズ対策を波動・振動の基礎から理解する！		鈴木茂夫		日刊工業新聞社	201707	2,500	2,700
2477	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子理論	9784781312569	プラズマ産業応用技術：表面処理から環境，医療，バイオ，農業用途まで		大久保雅章	新材料・新素材シリーズ	シーエムシー出版	201707	84,000	90,720
2478	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子理論	9784904774311	電磁ノイズ発生メカニズムと克服法：電子機器の誤動作対策設計事例集と解説		月刊ＥＭＣ編集部	設計技術シリーズ	科学情報出版	201502	3,600	3,888
2479	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子回路	9784061565357	はじめてのアナログ電子回路．基本回路編		松澤昭		講談社	201503	2,700	2,916
2480	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子回路	9784061565456	はじめてのアナログ電子回路．実用回路編		松澤昭		講談社	201610	3,000	3,240
2481	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子回路	9784061565630	はじめての電子回路１５講		秋田純一		講談社	201610	2,200	2,376
2482	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子回路	9784274217265	基本からわかるディジタル回路講義ノート		安藤吉伸：井口幸洋		オーム社	201506	2,500	2,700
2483	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子回路	9784274217531	だれにもわかるディジタル回路	改訂４版	天野英晴：武藤佳恭		オーム社	201505	2,800	3,024
2484	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子回路	9784274217593	基本からわかる電子回路講義ノート		工藤嗣友：高橋泰樹		オーム社	201507	2,500	2,700

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
2485	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子回路	9784274219672	回路シミュレータＬＴｓｐｉｃｅで学ぶ電子回路	第２版	渋谷道雄		オーム社	201611	3,400	3,672
2486	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子回路	9784274505812	基礎からくわしいパワーエレクトロニクス回路：パワエレ素子のＯＮ／ＯＦＦと動作波形の関係がよくわ	改訂２版	島村茂		オーム社	201508	2,800	3,024
2487	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子回路	9784274506000	絵ときディジタル回路入門早わかり：２色刷	改訂２版	堀桂太郎：岩本洋		オーム社	201607	2,300	2,484
2488	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子回路	9784407337402	電子回路概論		高木茂孝：鈴木憲次	Ｆｉｒｓｔ Ｓｔａｇｅシリーズ	実教出版	201509	2,600	2,808
2489	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子回路	9784434218484	ディジタル回路設計とコンピュータアーキテクチャ	ＡＲＭ版	デイビッド・マネー・ハリス：サラ・Ｌ．ハリス		エスアイビー・アクセス(発売：星雲社)	201604	5,000	5,400
2490	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子回路	9784485302484	技術者になっても役立つ電子回路		若海弘夫		電気書院	201607	2,500	2,700
2491	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子回路	9784501332303	たのしくできる光と音のブレッドボード電子工作		西田和明：サンハヤト株式会社		東京電機大学出版局	201707	1,800	1,944
2492	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子回路	9784627761124	オペアンプからはじめる電子回路入門	第２版	別府俊幸：福井康裕		森北出版	201602	2,600	2,808
2493	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子回路	9784627761414	設計のための基礎電子回路		辻正敏		森北出版	201709	2,800	3,024
2494	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子回路	9784774182766	電子回路が一番わかる：電子工学を学ぶ人のはじめの一歩		清水暁生	しくみ図解シリーズ	技術評論社	201608	1,880	2,030
2495	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子回路	9784774191133	例題で学ぶはじめての電子回路		早川潔		技術評論社	201709	2,260	2,440
2496	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子回路	9784774192147	読める描ける電子回路入門		千葉憲昭		技術評論社	201709	1,980	2,138
2497	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子回路	9784774193793	図解でわかるはじめての電子回路	改訂新版	大熊康弘		技術評論社	201711	2,380	2,570
2498	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子回路	9784777518623	「ＴＩＮＡ」による電子回路設計：電子回路の基礎教育に適したシミュレータ		阿部寛	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201410	2,500	2,700
2499	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子回路	9784777518982	作りながら学ぶ電子回路の設計：電子工作に必要な基本の知識		石橋孝昭	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201506	2,300	2,484
2500	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子回路	9784777519361	ＬＴｓｐｉｃｅ電子回路シミュレータ：無料で使える、「部品選定」「アイデア検証」「特性の		北川章夫	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201602	2,300	2,484
2501	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子回路	9784777519736	「ｌｉｔｔｌｅＢｉｔｓ」ではじめる電子工作：「電子回路」を「磁石」でつないで確認！		田中正吾	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201610	1,900	2,052
2502	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子回路	9784777520282	基礎からのＦｒｉｔｚｉｎｇ：「電子回路」設計用の「オープンソース・ソフト」		ｎｅｋｏｓａｎ：Ｉ／Ｏ編集部	Ｉ／Ｏ ＢＯＯＫＳ	工学社	201709	2,500	2,700
2503	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子回路	9784789815673	アナログとデジタルの違いがわかる本		吉本猛夫	ＨＡＭ ＴＥＣＨＮＩＣＡＬ ＳＥＲＩＥＳ	ＣＱ出版	201709	2,000	2,160
2504	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子回路	9784789842037	アナログ・センスで正しい電子回路計測：高速時代は回路の理解＆プローピングが成功のかぎ		石井聡	アナログ・デザイン・シリーズ	ＣＱ出版	201505	3,600	3,888
2505	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子回路	9784789842846	ＧＨｚ時代の実用アナログ回路設計：ｎｓ応答の超高速ドライバから超広帯域ＲＦアンプまで		ボブ・ドブキン：ジム・ウィリアムス	アナログ・テクノロジシリーズ	ＣＱ出版	201711	7,000	7,560
2506	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子回路	9784789842860	アナログ計測回路設計実例集：増幅，フィルタリング，ＡＤＣ／ＤＡＣの実用技術		ボブ・ドブキン：ジム・ウィリアムズ	アナログ・テクノロジシリーズ	ＣＱ出版	201412	7,200	7,776
2507	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子回路	9784789845311	エレクトロニクス数式事典：値がパッと出る！		馬場清太郎	ライブラリ・シリーズ てっとり早く答えが見つかる	ＣＱ出版	201605	2,400	2,592
2508	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子回路	9784789846714	実験研究に！測る電子回路の作り方：Ａ－Ｄコンバータ，ＯＰアンプそしてマイコンを使って		トランジスタ技術ｓｐｅｃｉａｌ編集部	トランジスタ技術ｓｐｅｃｉａｌ	ＣＱ出版	201507	2,400	2,592
2509	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子回路	9784789846738	研究で役立つパソコン計測アナログ回路集：今すぐＵＳＢマイコンＡｒｄｕｉｎｏと今すぐプログラ		トランジスタ技術ｓｐｅｃｉａｌ編集部	トランジスタ技術ｓｐｅｃｉａｌ	ＣＱ出版	201601	2,400	2,592
2510	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子回路	9784789847529	ディジタル回路設計とコンピュータアーキテクチャ：Ｄｉｇｉｔａｌ Ｄｅｓｉｇｎ ａｎｄ Ｃｏｍｐｕｙ	第２版	サラ・Ｌ・ハリス：デイビッド・マネー・ハリス		翔泳社	201709	5,400	5,832
2511	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子回路	9784904774618	新／回路レベルのＥＭＣ設計：ノイズ対策を実践		浅井秀樹	設計技術シリーズ	科学情報出版	201710	4,600	4,968
2512	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	増幅回路	9784339008999	現場で役立つオペアンプ回路：サーボ系を中心として		涌井伸二		コロナ社	201707	2,700	2,916
2513	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	増幅回路	9784904774359	ＲＦ電力増幅器の基礎と設計法		末次正	設計技術シリーズ	科学情報出版	201507	3,300	3,564
2514	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	光電管	9784781309743	化合物薄膜太陽電池の最新技術．２		和田隆博	エレクトロニクスシリーズ	シーエムシー出版	201410	70,000	75,600
2515	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	光電管	9784781310183	新コンセプト太陽電池と製造プロセス	普及版	宮坂力	エレクトロニクスシリーズ	シーエムシー出版	201506	4,800	5,184
2516	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	光電管	9784781310336	薄膜シリコン系太陽電池の最新技術	普及版	太和田善久：岡本博明	エレクトロニクスシリーズ	シーエムシー出版	201509	4,400	4,752
2517	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	光電管	9784781310367	高効率太陽電池の開発と応用	普及版	山口真史	エレクトロニクスシリーズ	シーエムシー出版	201510	4,200	4,536
2518	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	光電管	9784781311197	ＣＩＧＳ薄膜太陽電池の最新技術	普及版	中田時夫	エレクトロニクスシリーズ	シーエムシー出版	201609	4,600	4,968
2519	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	光電管	9784781311371	太陽光と光電変換機能：異分野融合から生まれる次世代太陽電池		早瀬修二	エレクトロニクスシリーズ	シーエムシー出版	201601	72,000	77,760
2520	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	光電管	9784781311937	超高効率太陽電池・関連材料の最前線	普及版	荒川泰彦	エレクトロニクスシリーズ	シーエムシー出版	201703	4,400	4,752
2521	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	個体電子工学	9784789848480	３０ＭＨｚ／１０ｋＷスイッチング！超高速ＧａＮトランジスタの実力と応用		トランジスタ技術ｓｐｅｃｉａｌ編集部	グリーン・エレクトロニクス	ＣＱ出版	201506	2,400	2,592
2522	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	集積回路	9784274218644	ＦＰＧＡの原理と構成		天野英晴：尼崎太樹		オーム社	201604	3,600	3,888
2523	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	集積回路	9784339018479	集積回路設計		浅田邦博	電子情報通信レクチャーシリーズ	コロナ社	201502	3,600	3,888
2524	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	集積回路	9784501330705	はじめてのＦＰＧＡ設計：ＶＨＤＬによる回路記述からシミュレーションまで		坂巻佳寿美		東京電機大学出版局	201412	3,600	3,888
2525	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	集積回路	9784627775718	集積回路工学		安永守利		森北出版	201610	2,800	3,024
2526	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	集積回路	9784627780217	ＬＳＩ入門：動作原理から論理回路設計まで		寺井秀一：福井正博		森北出版	201602	2,400	2,592
2527	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	集積回路	9784781312637	最新フォトレジスト材料開発とプロセス最適化技術		河合晃	エレクトロニクスシリーズ	シーエムシー出版	201709	82,000	88,560
2528	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	集積回路	9784789845656	ＦＰＧＡ×ＨＤＬ設計実例集：プロ志向！		トランジスタ技術編集部	アーカイブスシリーズ	ＣＱ出版	201412	5,400	5,832
2529	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	集積回路	9784789846097	ＡＲＭ Ｃｏｒｔｅｘ－Ａ９×２！Ｚｙｎｑでワンチップ Ｌｉｎｕｘ ｏｎ ＦＰＧＡ：エントリ・キットＺｅｄＢｏａｒｄで高速画像処理して		鈴木量三朗：片岡啓明	Ｄｅｓｉｇｎ Ｗａｖｅ	ＣＱ出版	201411	5,400	5,832
2530	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	集積回路	9784789848121	マイコンにプラス！シリアル拡張ＩＣサンプルブック：ＬＥＤ／モータからＡ－Ｄ／Ｄ－Ａ変換まで２線インタ		岡野彰文：渡辺明禎	トライアルシリーズ	ＣＱ出版	201504	3,600	3,888
2531	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	集積回路	9784798045894	回路図で学べるＦＰＧＡ入門：回路図は読める人のためのＨＤＬガイド		すずたわり		秀和システム	201604	4,200	4,536
2532	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	集積回路	9784798047539	ＦＰＧＡプログラミング大全．Ｘｉｌｉｎｘ編		小林優		秀和システム	201612	3,800	4,104
2533	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	個体電子工学	9784274216800	パワー半導体デバイス		松本寿彰：小倉常雄	実践パワーエレクトロニクス入門	オーム社	201606	3,500	3,780
2534	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	個体電子工学	9784274217784	先端有機半導体デバイス：基礎からデバイス物性まで		日本学術振興会		オーム社	201508	8,500	9,180
2535	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	個体電子工学	9784274506567	シリコンフォトニクス		ロレンツォ・パベシ：デビッド・ロックウッド		オーム社	201711	28,000	30,240
2536	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	個体電子工学	9784339008753	ワイドギャップ半導体パワーデバイス		山本秀和		コロナ社	201503	3,500	3,780
2537	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	個体電子工学	9784495390143	半導体企業の組織構造、知財戦略および競争力：半導体企業の両利きの経営にむけて		犬塚正智		同文舘出版	201710	4,500	4,860
2538	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	個体電子工学	9784501330903	半導体の高次元化技術：貫通電極による３Ｄ／２．５Ｄ／２．１Ｄ実装		伝田精一		東京電機大学出版局	201504	1,800	1,944

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
2539	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	個体電子工学	9784526073397	ＳｉＣ／ＧａＮパワー半導体の実装と信頼性評価技術		菅沼克昭		日刊工業新聞社	201412	3,600	3,888
2540	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	個体電子工学	9784535558038	シリコンアイランド九州の半導体産業：リバイタリゼーションへのアプローチ		伊東維年		日本評論社	201503	3,600	3,888
2541	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	個体電子工学	9784535558403	台湾半導体企業の競争戦略：戦略の進化と能力構築		岸本千佳司		日本評論社	201709	5,200	5,616
2542	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	個体電子工学	9784563024451	半導体量子輸送物性		勝本信吾	新物理学シリーズ	培風館	201411	3,600	3,888
2543	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	個体電子工学	9784621088708	有機半導体の基盤と原理：無機半導体・銀塩写真に照らして		谷忠昭：井口洋夫		丸善出版	201411	6,800	7,344
2544	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	個体電子工学	9784753623037	シリコン半導体：その物性とデバイスの基礎		白木靖寛	物質・材料テキストシリーズ	内田老鶴圃	201510	3,900	4,212
2545	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	個体電子工学	9784753623099	酸化物薄膜・接合・超格子：界面物性と電子デバイス応用		澤彰仁	物質・材料テキストシリーズ	内田老鶴圃	201704	4,600	4,968
2546	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	個体電子工学	9784764905238	はじめての半導体デバイス		執行直之		近代科学社	201703	2,300	2,484
2547	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	個体電子工学	9784774186436	例題で学ぶはじめての半導体		臼田昭司		技術評論社	201702	2,180	2,354
2548	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	個体電子工学	9784781310091	透明導電膜の新展開．３	普及版	南内嗣	エレクトロニクスシリーズ	シーエムシー出版	201503	4,800	5,184
2549	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	個体電子工学	9784781310763	次世代パワー半導体の高性能化とその産業展開		岩室憲幸	エレクトロニクスシリーズ	シーエムシー出版	201506	66,000	71,280
2550	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	個体電子工学	9784781311616	次世代パワー半導体実装の要素技術と信頼性		菅沼克昭	エレクトロニクスシリーズ	シーエムシー出版	201605	68,000	73,440
2551	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	個体電子工学	9784781311661	カルコゲナイド系層状物質の最新研究		上野啓司：安藤淳	新材料・新素材シリーズ	シーエムシー出版	201607	70,000	75,600
2552	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	個体電子工学	9784781311975	ロールｔｏロール技術の最新動向：プロセス最適化への課題と解決策	普及版	杉山征人	エレクトロニクスシリーズ	シーエムシー出版	201705	5,000	5,400
2553	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	個体電子工学	9784785329211	量子ドットの基礎と応用		舛本泰章		裳華房	201511	5,300	5,724
2554	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	個体電子工学	9784794810151	外需時代の日本産業と中小企業：半導体製造装置産業と工作機械産業		加藤秀雄		新評論	201509	3,300	3,564
2555	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	個体電子工学	9784798047263	図解入門よくわかる最新半導体製造装置の基本と仕組み：製造装置の全体を俯瞰する	第２版	佐藤淳一	Ｈｏｗ－ｎｕａｌ ｖｉｓｕａｌ ｇｕｉｄｅ ｂｏｏｋ	秀和システム	201608	2,000	2,160
2556	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	個体電子工学	9784798053530	図解入門よくわかる最新半導体プロセスの基本と仕組み：シリコンから半導体をつくり出す！　微細化の極致	第３版	佐藤淳一	Ｈｏｗ－ｎｕａｌ Ｖｉｓｕａｌ Ｇｕｉｄｅ Ｂｏｏｋ	秀和システム	201712	1,800	1,944
2557	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	個体電子工学	9784873546452	ＳＯＩ　Ｌｕｂｉｓｔｏｒの物理学と応用		大村泰久		関西大学出版部	201702	4,800	5,184
2558	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	個体電子工学	9784883532377	半導体パッケージハンドブック：転換期迎え重要性増すパッケージ技術、「本命不在」の				産業タイムズ社	201511	12,000	12,960
2559	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	個体電子工学	9784904774335	半導体・電子機器の熱設計と解析：初めて学ぶ熱対策と設計法		石塚勝	設計技術シリーズ	科学情報出版	201503	2,600	2,808
2560	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	個体電子工学	9784904774564	半導体・電子機器の熱設計と解析：初心者から中堅技術者が確実に学べる解説書	改訂版	石塚勝	設計技術シリーズ	科学情報出版	201705	3,400	3,672
2561	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	ダイオード	9784789815642	ハムのＬＥＤ工作お役立ちガイド：ＬＥＤ工作の基礎からハム周辺機器への応用，イルミネ		内田裕之	Ｈａｍ ｔｅｃｈｎｉｃａｌ ｓｅｒｉｅｓ	ＣＱ出版	201505	2,400	2,592
2562	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	光電子工学	9784061565708	ホログラフィ入門：コンピュータを利用した３次元映像・３次元計測		伊藤智義：下馬場朋禄		講談社	201708	4,000	4,320
2563	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	光電子工学	9784254137378	ディジタルホログラフィ		早崎芳夫	光学ライブラリー	朝倉書店	201610	3,000	3,240
2564	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	光電子工学	9784320035980	複雑系フォトニクス：レーザカオスの同期と光情報通信への応用		内田淨史		共立出版	201604	4,800	5,184
2565	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	光電子工学	9784526075391	レーザ加工で進める工法転換：製品設計に必ず役立つ実践ノウハウ		金岡優		日刊工業新聞社	201603	2,200	2,376
2566	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	光電子工学	9784641164697	ジェネラル・パーパス・テクノロジーのイノベーション：半導体レーザーの技術進化の日米比較		清水洋		有斐閣	201603	4,400	4,752
2567	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	光電子工学	9784759818055	アト秒科学：１京分の１秒スケールの超高速現象を光で観測・制御す		大森賢治		化学同人	201508	3,800	4,104
2568	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	電子顕微鏡	9784320044548	走査型プローブ顕微鏡		日本分析化学会：浅川雅	分析化学実技シリーズ	共立出版	201712	2,500	2,700
2569	ICT	化学工業	化学工業	二次電池	9784901864190	民生機器用蓄電池市場の実態と将来展望：ＩｏＴ社会～小容量蓄電池市場実態／予測・関連部材・．２０１５年版		日本エコノミックセンター	市場予測・将来展望シリーズ	日本エコノミックセンター(発売：通産資料出版会)	201507	70,000	75,600
2570	ICT	化学工業	化学工業	二次電池	9784909020048	二次電池市場・技術の実態と将来展望：革新型蓄電池の動向と人工知能・二次電池市場実態／予．２０１７		日本エコノミックセンター	市場予測・将来展望シリーズ	日本エコノミックセンター(発売：通産資料出版会)	201702	70,000	75,600
2571	ICT	家政学．生活科学	家政学．生活科学	家庭理工学	9784540112317	えひめＡＩの作り方・使い方：田畑でも台所でも大活躍		農山漁村文化協会	現代農業特選シリーズ	農山漁村文化協会	201108	1,800	1,944
2572	ICT	産業	産業	産業政策	9784750341507	レジリエンスと地域創生：伝統知とビッグデータから探る国土デザイン		林良嗣：鈴木康弘		明石書店	201503	4,200	4,536
2573	ICT	農業	農業	農業	9784526076176	ＩｏＴが拓く次世代農業アグリカルチャー４．０の時代		三輪泰史：井熊均		日刊工業新聞社	201610	2,300	2,484
2574	ICT	農業	農業	農業	9784822239152	ＡＩ農業：ＩＴと熟練農家の技で稼ぐ		神成淳司		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティング)	201702	1,800	1,944
2575	ICT	農業	農業	能楽	9784526077562	ＩｏＴ・自動化で進む農業技術イノベーション		社会開発研究センター		日刊工業新聞社	201710	2,000	2,160
2576	ICT	農業	農業	農業の機械化	9784822258948	ＮＴＴドコモアグリガールの突破力：農業からあらゆる産業をＩｏＴでつなぎまくる。		ＮＴＴドコモＩｏＴデザインプロジェクトチ		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティング)	201712	1,600	1,728
2577	ICT	畜産業．獣医学	畜産業．獣医学	養豚業	9784885000225	養豚場ＡＩマニュアル		志田充芳		チクサン出版社(発売：緑書房（中央区）)	201103	3,200	3,456
2578	ICT	商業	商業	商業	9784532320188	シェアリング・エコノミー：Ｕｂｅｒ，Ａｉｒｂｎｂが変えた世界		宮崎康二		日本経済新聞出版社	201507	1,600	1,728
2579	ICT	商業	商業	商業経営	9784501551001	サービス工学の技術：ビッグデータの活用と実践		本村陽一：竹中毅		東京電機大学出版局	201211	2,800	3,024
2580	ICT	商業	商業	広告媒体	9784844335429	ＤＳＰ／ＲＴＢオーディエンスターゲティング入門：ビッグデータ時代に実現する「枠」から「人」への広告		横山隆治：菅原健一	Ｎｅｘｔ Ｐｕｂｌｉｓｈｉｎｇメソッド	インプレスジャパン(発売：インプレス)	201402	2,800	3,024
2581	ICT	商業	商業	マーケティング	9784489021718	ビッグデータの使い方・活かし方：マーケティングにおける活用事例		朝野熙彦		東京図書	201401	2,200	2,376
2582	ICT	商業	商業	マーケティング	9784532319359	ビッグデータ分析Ｅｘｃｅｌ新機能で簡単に！		田中正道：前野好太郎		日本経済新聞出版社	201403	1,600	1,728
2583	ICT	商業	商業	マーケティング	9784797371024	ビッグデータ時代の新マーケティング思考		横山隆治【著】：海老根智仁【著】		SBクリエイティブ	201211	1,600	1,728
2584	ICT	商業	商業	マーケティング	9784798125305	ビッグデータビジネスの時代：堅実にイノベーションを生み出すポスト・クラウドの戦		鈴木良介		翔泳社	201111	1,800	1,944
2585	ICT	商業	商業	マーケティング	9784844335412	顧客を知るためのデータマネジメントプラットフォームＤＭＰ入門：ビッグデータをごみの山にしない。		横山隆治：菅原健一	Ｎｅｘｔ Ｐｕｂｌｉｓｈｉｎｇメソッド	インプレスジャパン(発売：インプレス)	201402	2,400	2,592
2586	ICT	商業	商業	市場調査/市場予測	9784822249472	データ・サイエンティストに学ぶＩＴ分析力」：ビッグデータからビジネス・チャンスをつかむ		ディミトリ・マークス【著】：ポール・ブラウン【著】		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティング)	201303	2,000	2,160
2587	ICT	通信事業	通信事業	電気通信政策	9784561266846	ＩｏＴ時代の情報通信政策		福家秀紀		白桃書房	201701	3,000	3,240
2588	ICT	演劇．映画	演劇．映画	漫画映画	9784535563162	１面トップはロボットアニメ：小原篤のアニマゲ丼		小原篤		日本評論社	201212	1,600	1,728
2589	ICT	諸芸．娯楽	諸芸．娯楽	室内娯楽	9784627853713	人狼知能：だます・見破る・説得する人工知能		鳥海不二夫：片上大輔		森北出版	201608	2,400	2,592
2590	ICT	日本語	日本語	日本語	9784254510546	Ｊポップの日本語研究：創作型人工知能のために		伊藤雅光		朝倉書店	201705	3,200	3,456
2591	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784384334296	世界を変えた２４人：Ａｉｍｉｎｇ ｆｏｒ ｔｈｅ Ｔｏｐ－Ｐｅｏｐｌｅ		染矢正一：フレッド・フェラッシー		三修社	201302	1,800	1,944
2592	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784777363896	ＡＩＲＷＡＶＥＳ：リスニング総合集中コース．基礎編	改訂新版	デール・フラー		マクミランランゲージハウス(発売：ネリーズ)	201201	2,200	2,376

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
2593	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784777364176	ＡＩＲＷＡＶＥＳ：リスニング総合集中コース．上級編	改訂新版	デール・フラー		マクミランランゲージハウス(発売：オリーズ)	201201	2,200	2,376
2594	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784818936300	電気鉄道周辺における変動磁場の計測・評価方法規準・同解説：日本建築学会環境基準ＡＩＪＥＳ－Ｅ０００４－２０１		日本建築学会		日本建築学会(発売：丸善出版)	201702	1,800	1,944
2595	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784822236144	人工知能アプリケーション総覧：国内外の最新５０事例を完全網羅		日経ＢＰ		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティング)	201509	37,500	40,500
2596	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784822236151	人工知能アプリケーション総覧ＣＤ－ＲＯＭ：国内外の最新５０事例を完全網羅		ＩＴｐｒｏ：日経コンピュータ	＜ＣＤ－ＲＯＭ＞	日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティング)	201500	37,500	40,500
2597	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784822237233	人工知能テクノロジー：ディープラーニング、音声対話、自動運転、製造業への．２０１７		日経ＢＰ		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティング)	201609	37,500	40,500
2598	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784822237806	ＩｏＴセキュリティ：インシデントから開発の実際まで ＣＤ－ＲＯＭ付		日経ＢＰイノベーションＩＣＴ研究所		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティング)	201606	30,000	32,400
2599	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784822271725	人工知能の未来２０１６－２０２０：ＣＤ－ＲＯＭ付		ＥＹアドバイザリー		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティング)	201511	300,000	324,000
2600	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784822275457	人工知能テクノロジー総覧：ディープラーニング、脳応用、ハードウエアの最前線		日経ＢＰ		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティング)	201509	37,500	40,500
2601	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784822275464	人工知能テクノロジー総覧ＣＤ－ＲＯＭ：ディープラーニング、脳応用、ハードウエアの最前線		日経エレクトロニクス	＜ＣＤ－ＲＯＭ＞	日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティング)	201500	37,500	40,500
2602	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784822276423	稼ぐビッグデータ・ＩｏＴ技術徹底解説：日立製作所×日経エレクトロニクス		日経エレクトロニクス編集部		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティング)	201412	46,000	49,680
2603	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784822276966	ウエアラブル、ＩｏＴ時代の位置情報徹底活用：要素技術からビッグデータ活用まで		日経ＢＰ		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティング)	201406	15,000	16,200
2604	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784840814010	ＡＩ創薬・ビッグデータ創薬		田中博		薬事日報社	201706	2,000	2,160
2605	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784844397465	インターネット白書：ＩｏＴが生み出す新たなリアル市場．２０１７		インターネット白書編集委員会		インプレスＲ＆Ｄ(発売：インプレス)	201701	2,800	3,024
2606	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784860434953	翻訳不確実性人工知能：クラウド環境による新たな発展				エヌ・ティー・エス	201704	36,000	38,880
2607	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784883532629	ロボット産業最前線：産業、サービス、医療用ロボット２２５社・団体の最新．２０１８				産業タイムズ社	201710	18,000	19,440
2608	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784883593392	人工知能パートナーシステム（ＡＩＰＳ）を支えるデジタル回路の世界		萩原良昭		青山社（相模原）	201603	9,000	9,720
2609	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784904774403	ＩｏＴシステムの極小アンテナ設計技術		川上春夫：森下久		設計技術シリーズ	科学情報出版	201512	3,800	4,104
2610	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784532198596	Ｂｅｃｏｍｉｎｇ Ｓｔｅｖｅ Ｊｏｂｓ：ビジョナリーへの成長物語．下		ブレント・シュレンダー：リック・テッツェリ		日経ビジネス人文庫	日本経済新聞出版社	201804	900	972
2611	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784532198589	Ｂｅｃｏｍｉｎｇ Ｓｔｅｖｅ Ｊｏｂｓ：ビジョナリーへの成長物語．上		ブレント・シュレンダー：リック・テッツェリ		日経ビジネス人文庫	日本経済新聞出版社	201804	900	972
2612	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784532321017	スティーブ・ジョブズ：無謀な男が真のリーダーになるまで．下		ブレント・シュレンダー：リック・テッツェリ			日本経済新聞出版社	201609	2,000	2,160
2613	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784532321000	スティーブ・ジョブズ：無謀な男が真のリーダーになるまで．上		ブレント・シュレンダー：リック・テッツェリ			日本経済新聞出版社	201609	2,000	2,160
2614	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784434216183	ＳＴＲＡＴＥＧＹ ＲＵＬＥＳ：ゲイツ、グローブ、ジョブズから学ぶ戦略的思考のガイ		デイビッド・Ｂ．ヨッフィー：マイケル・Ａ．クスマノ			パブラボ(発売：星雲社)	201603	1,700	1,836
2615	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784788514249	天才を生んだ孤独な少年期：ダ・ヴィンチからジョブズまで		熊谷高幸			新曜社	201503	1,900	2,052
2616	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784501552800	スティーブ・ジョブズ：青春の光と影		脇英世			東京電機大学出版局	201410	2,500	2,700
2617	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784798138572	無敵の天才たち：スティーブ・ジョブズが駆け抜けたシリコンバレーの歴		ダグ・メニューズ：山形浩生			翔泳社	201409	3,200	3,456
2618	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784480766113	スティーブ・ジョブズ：アップルをつくった天才		筑摩書房編集部【著】	ちくま評伝シリーズ(ポルトレ)	筑摩書房	201408	1,200	1,296
2619	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784501552107	シリコンバレー：スティーブ・ジョブズの掘りかご		脇英世			東京電機大学出版局	201310	2,500	2,700
2620	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784062186261	ロスト・インタビュー：スティーブ・ジョブズ１９９５		「スティーブ・ジョブズ１９９５」ＭＯＶ			講談社	201309	1,000	1,080
2621	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784890326563	米国ＪＯＢＳ法による証券規制の変革		金融商品取引法研究会	金融商品取引法研究会研究記録		日本証券経済研究所	201301	500	540
2622	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784062179775	Ｓｔｅｖｅ Ｊｏｂｓ Ｓｐｅｃｉａｌ：ジョブズと１１人の証言		ＮＨＫスペシャル取材班			講談社	201209	1,500	1,620
2623	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784794601513	英語で読むスティーブ・ジョブズ		トム・クリスチャン	ＩＢＣ対訳ライブラリー	ＩＢＣパブリッシング		201207	1,600	1,728
2624	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784822264765	アップルのデザイン：ジョブズは“究極”をどう生み出したのか		日経デザイン【編】			日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティング)	201204	1,800	1,944
2625	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784822248864	スティーブ・ジョブズに学ぶ英語プレゼン：聞き手の心をつかむストーリーと５０表現		上野陽子【著】			日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティング)	201201	1,600	1,728
2626	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784341084998	今ごそ！起業・経営の原点回帰！そしてアジア進出、韓国ＫＯＳＤＡＱ上場で未来をつく：明日の日本のスティーブ・ジョブズに捧げる		中田総合法律事務所：正平			ごま書房新社	201201	1,500	1,620
2627	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784822268701	スティーブ・ジョブズは何を遺したのか：パソコンを生み、進化させ、葬った男		林信行	日経ＢＰパソコンベストムック		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティング)	201111	933	1,007
2628	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784062171274	スティーブ・ジョブズ：Ｔｈｅ Ｅｘｃｌｕｓｉｖｅ Ｂｉｏｇｒａｐｈｙ．２		ウォルター・アイザックソン：井口耕二			講談社	201110	1,900	2,052
2629	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784062171267	スティーブ・ジョブズ：Ｔｈｅ Ｅｘｃｌｕｓｉｖｅ Ｂｉｏｇｒａｐｈｙ．１		ウォルター・アイザックソン：井口耕二			講談社	201110	1,900	2,052
2630	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784822248567	スティーブ・ジョブズ驚異のイノベーション：人生・仕事・世界を変える７つの法則		カーマイン・ガロ【著】：外村仁【解説】			日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティング)	201107	1,800	1,944
2631	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784822248161	スティーブ・ジョブズ驚異のプレゼン：人々を惹きつける１８の法則		カーマイン・ガロ【著】：井口耕二【翻訳】			日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティング)	201007	1,800	1,944
2632	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784492501474	スティーブ・ジョブズ：偶像復活		ジェフリー・Ｓ・ヤング【著】：ウィリアム・Ｌ・サイモン【著】			東洋経済新報社	200511	2,200	2,376
2633	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784780716917	続新潟県社会福祉史の基礎的研究		矢上克己			本の泉社	201805	2,800	3,024
2634	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784272211180	市民政治の育てかた：新潟が吹かせたデモクラシーの風		佐々木寛			大月書店	201711	1,600	1,728
2635	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784798914374	故郷喪失と再生への時間：新潟県への原発避難と支援の社会学		松井克浩			東信堂	201708	3,200	3,456
2636	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784787716101	阿賀の記憶、阿賀からの語り：語り部たちの新潟水俣病		立教大学：関礼子			新泉社	201612	2,000	2,160
2637	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784861326271	「原子力防災」の経済学－「望ましい」被ばく量はあるのだろうか		勝室史明：新潟大学大学院現代社会文化研究科	ブックレット新潟大学		新潟日報事業社	201603	1,000	1,080
2638	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784846015466	新潟が生んだ七人の思想家たち		小松隆二			論創社	201608	3,000	3,240
2639	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784862852304	語りによる越後小国の昔ばなし		馬場英子	新潟大学人文学部研究叢書		知泉書館	201603	4,500	4,860
2640	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784642082877	甲信越の名城を歩く 新潟編		福原圭一：水澤幸一			吉川弘文館	201603	2,500	2,700
2641	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784892840289	捨身の願い：新潟県の特別支援教育を切り開いた人々		新潟県特別支援教育史研究会			北越出版	201502	1,389	1,500
2642	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784862852083	縄文の儀器と世界観：社会変動期における精神文化の様相		阿部昭典	新潟大学人文学部研究叢書		知泉書館	201503	5,000	5,400
2643	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784886944368	越後／新潟の庭園：地方の消えゆく庭園を守る		土沼隆雄			東京農業大学出版会	201406	2,000	2,160
2644	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784862851833	環東アジア地域の歴史と「情報」		関尾史郎	新潟大学人文学部研究叢書		知泉書館	201403	6,500	7,020
2645	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784779508028	地域自治の最前線：新潟県上越市の挑戦		山崎仁朗：宗野隆俊			ナカニシヤ出版	201311	2,800	3,024
2646	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784121022370	四大公害病：水俣病、新潟水俣病、イタイイタイ病、四日市公害		まさのあつこ	中公新書		中央公論新社	201310	880	950

No	カテゴリ	分野	分類1	分類2	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
2647	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784874997949	漂着動物の自然誌：新潟と佐渡の海辺から		本間義治		考古堂書店	201208	1,800	1,944
2648	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784796703147	時代を聞く：沖縄・水俣・四日市・新潟・福島		池田理知子：田仲康博		せりか書房	201207	2,300	2,484
2649	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784582808230	完訳日本奥地紀行．２		イザベラ・Ｌ．バード：金坂清則	東洋文庫	平凡社	201207	3,200	3,456
2650	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784876625406	新潟明和騒動文献資料集成：民衆こそが歴史を動かす原動力である		斉藤紀生		光陽出版社	201112	4,000	4,320
2651	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784861324208	新潟明訓熱戦の軌跡：全国高校野球選手権大会記念グラフ				新潟日報社(発売：新潟日報事業社)	201009	571	616
2652	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784861324079	『遠野物語』を読もう：柳田国男が意図したもの		藤井隆至	ブックレット新潟大学	新潟日報事業社	201007	1,000	1,080
2653	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784862850522	視覚世界はなぜ安定して見えるのか：眼球運動と神経信号をめぐる研究		本田仁視	新潟大学人文学部研究叢書	知泉書館	200902	4,000	4,320
2654	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784862850294	近代日本の地域と自治：新潟県下の動向を中心に		芳井研一	新潟大学人文学部研究叢書	知泉書館	200803	4,800	5,184
2655	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784784213825	近代新潟におけるキリスト教教育：新潟女学校と北越学館		本井康博		思文閣出版	200711	3,000	3,240
2656	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784872940589	新潟の力石		高島佩助		岩田書院	200709	2,500	2,700
2657	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784273034856	新潟県雪ことば辞典		大橋勝男：岡和男		おうふう	200710	4,800	5,184
2658	ICT	技術．工学	技術．工学	論文集/評論集	9784887136632	新潟水俣病問題：加害と被害の社会学		飯島伸子：船橋晴俊		東信堂	200604	3,800	4,104
2659	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784623083916	初等中等教育におけるＩＣＴ活用		日本教育工学会：高橋純	教育工学選書２	ミネルヴァ書房	201803	2,700	2,916
2660	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798156927	学校の情報セキュリティ実践マニュアル：教育の現場で安心してＩＣＴを活用するために		ＮＴＴラーニングシステムズ		翔泳社	201807	2,200	2,376
2661	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784058009215	特別支援教育ですぐに役立つ！ＩＣＴ活用法：ソフトバンクによるモバイル端末活用研究「魔法のプロ		佐藤里美	学研のヒューマンケアブックス	学研プラス	201805	1,800	1,944
2662	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784434245336	ｉＰａｄ教育活用７つの秘訣：新しい学びの実践者に聞くＩＣＴ活用実践と２０２０年．２		ウイネット		ウイネット(発売：星雲社)	201803	2,000	2,160
2663	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784902251661	ＩＣＴを活用した出版と図書館の未来：立命館大学文学部のアクティブラーニング		湯浅俊彦		出版メディアパル	201804	1,500	1,620
2664	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784340530298	大学生のＩＣＴ活用標準テキスト：２０１８年版大学生の情報リテラシー		富山大学情報処理部会情報処理テキストワー		富山大学出版会(発売：桂桐書院)	201804	2,000	2,160
2665	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784750346267	ソーシャルワークによるＩＣＴ活用と多職種連携：支援困難状況への包括・統合的な実践研究		西内章		明石書店	201803	3,800	4,104
2666	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784990951504	ソーシャルスキルトレーニングのためのＩＣＴ活用ガイド		山西潤一：水内豊和		グレートインターナショナル	201703	8,000	8,640
2667	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784339052534	ＩＣＴデータ活用による交通計画の新次元展開：総合交通ネットワーク流動のモニタリングシステム		飯田恭敬		コロナ社	201709	2,400	2,592
2668	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784874247327	ＩＣＴの活用		山田智久：當作靖彦	日本語教師のためのＴＩＰＳ７７	くろしお出版	201706	1,600	1,728
2669	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784340530281	大学生のＩＣＴ活用標準テキスト：２０１７年版大学生の情報リテラシー		富山大学情報処理教育部会情報処理テキスト		富山大学出版会(発売：桂桐書院)	201704	2,000	2,160
2670	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784764711679	ＩＣＴを活用した英語アカデミック・ライティング指導：支援ツールの開発と実践		水本篤		金星堂	201703	2,000	2,160
2671	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784595317415	教育のためのＩＣＴ活用		中川一史：苑復傑	放送大学教材	放送大学教育振興会(発売：ＮＨＫ出版)	201703	2,900	3,132
2672	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784863713871	知的障害特別支援学校のＩＣＴを活用した授業づくり		全国特別支援学校知的障害教育校長会：金森克浩		ジアース教育新社	201611	1,800	1,944
2673	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784818019515	コミュニティケア　１６年１０月号：地域ケア・在宅ケアに携わる人のため．１８－１１				日本看護協会出版会	201609	1,200	1,296
2674	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784820806042	わかる・なれるＩＣＴ支援員：すすめよう！学校のＩＣＴ活用		わかる・なれるＩＣＴ支援員編集委員会：情報ネットワーク教育活用研究協		日本標準	201608	2,000	2,160
2675	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784860923907	感染対策ＩＣＴジャーナル：チームで取り組む感染対策最前線のサポート情報誌．１１－３				ヴァンメディカル	201607	2,000	2,160
2676	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784491032283	筑波発教科の刀もおすすめするＩＣＴ活用術：ちょっとしたことからこんなときこそまで事例３６場面		筑波大学附属小学校情報・ＩＣＴ活動研究部		東洋館出版社	201606	1,800	1,944
2677	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784407339314	授業力アップアクティブ・ラーニング：グループ学習・ＩＣＴ活用・ＰＢＬ		市坪誠：油谷英明		実教出版	201605	2,000	2,160
2678	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784761921903	無理なくできる学校のＩＣＴ活用：タブレット・電子黒板・デジタル教科書などを使ったア		長谷川元洋：三雲中学校（松阪市立）		学事出版	201603	1,800	1,944
2679	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784842505428	ＴＰＰ時代の稲作経営革新とスマート農業：営農技術パッケージとＩＣＴ活用		南石晃明：長命洋佑		養賢堂	201602	3,500	3,780
2680	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784771027046	ＩＣＴを活用した組織変革：マネジメントの視点からのテレワークの分析		安達房子		晃洋書房	201602	3,400	3,672
2681	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784182116162	「実践」特別支援教育とＡＴ．第７集		金森克浩		明治図書出版	201601	1,760	1,900
2682	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784864530361	ＩＣＴを活用した営農システム：次世代農業を引き寄せる		ニューカントリー編集部：野口伸	ニューカントリー臨時増刊号	北海道協同組合通信社	201511	3,619	3,908
2683	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784181688141	子どもによる子どものためのＩＣＴ活用入門：会話形式でわかる『学び合いテクニック		西川純	ＴＨＥ教師力ハンドブックシリーズ	明治図書出版	201506	1,600	1,728
2684	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784181755409	社会科授業づくりトレーニングＢＯＯＫ．板書計画・ＩＣＴ活用・ノート指		澤井陽介		明治図書出版	201504	2,060	2,224
2685	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784320123823	文科系学生のためのデータ分析とＩＣＴ活用		森園子：二宮智子		共立出版	201502	2,400	2,592
2686	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784873841625	学習規律の徹底とＩＣＴの有効活用：わかりやすい授業の実現をめざして		春日井市教育委員会：出川小学校（春日井市立）		教育同人社	201502	1,200	1,296
2687	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784863671867	業績をあげるとっておきのＩＣＴ活用術：中小企業の情報通信技術の選択・活用のポイント		五島一輝		セルバ出版(発売：創英社（三省堂書店）)	201501	1,600	1,728
2688	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784181734350	ＩＣＴを活用した学び合い授業アイデアＢＯＯＫ：タブレットＰＣを使った授業から校内無線ＬＡＮの整備		葵中学校（岡崎市立）：豊田充崇		明治図書出版	201411	1,800	1,944
2689	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822268855	仕事がはかどるＪａｖａＳｃｒｉｐｔ活用術：Ｗｏｒｄ／Ｅｘｃｅｌで自動処理して効率アップ		クジラ飛行机【著】		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティング)	201409	1,800	1,944
2690	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784863451971	最新ＩＣＴを活用した私の外国語授業		吉田晴世：野沢和典		丸善プラネット(発売：丸善出版)	201403	2,500	2,700
2691	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784180956128	学級担任のための普通教室ＩＣＴ活用術：今日からすぐに取り組める！		国眼厚志		明治図書出版	201310	2,000	2,160
2692	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784771110038	ｉＰａｄで拓く学びのイノベーション：タブレット端末ではじめるＩＣＴ授業活用		森山潤：山本利一		高陵社書店	201308	2,000	2,160
2693	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784595140075	研究のためのＩＣＴ活用		高橋秀明：柳沼良知	放送大学大学院教材	放送大学教育振興会(発売：ＮＨＫ出版)	201303	2,500	2,700
2694	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784799900239	筑波大学附属小学校山本良和の気づきを引きだす算数授業：これならできる！ＩＣＴ活用術		山本良和	Ｈｉｔｏ・ｙｕｍｅｂｏｏｋ	文溪堂	201303	2,100	2,268
2695	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784766425475	サイバーセキュリティ入門：図解×Ｑ＆Ａ		二室英太郎		慶応義塾大学出版会	201810	3,000	3,240
2696	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784881442463	サイバーセキュリティと仮想通貨が日本を救う		松田学		創藝社	201808	1,600	1,728
2697	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822258375	経営とサイバーセキュリティ：デジタルレジリエンシー		横浜信一		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティング)	201803	1,500	1,620
2698	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784813282327	ＣｙＳＡ＋問題集：ＣＳ０－００１対応　サイバーセキュリティをゼロから		ＴＡＣ株式会社（ＩＴ講座）	実務で役立つＩＴ資格ＣｏｍｐＴＩＡ	ＴＡＣ	201803	2,500	2,700
2699	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784813282310	ＣｙＳＡ＋テキスト：ＣＳ０－００１対応　サイバーセキュリティをゼロから		ＴＡＣ株式会社（ＩＴ講座）	実務で役立つＩＴ資格ＣｏｍｐＴＩＡ	ＴＡＣ	201803	4,000	4,320
2700	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784322132151	サイバーセキュリティマネジメント入門		鎌田敬介	ＫＩＮＺＡＩバリュー叢書	きんざい	201710	1,600	1,728

No	カテゴリ	分野	分類1	分類2	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
2701	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784061386150	ネットで破滅しないためのサバイバルガイド：サイバーセキュリティ読本【完全版】		一田和樹	星海社新書	星海社(発売：講談社)	201705	980	1,058
2702	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784785724801	企業のためのサイバーセキュリティの法律実務		ＴＭＩ総合法律事務所：ＰｗＣコンサルティング合同会社		商事法務	201612	3,600	3,888
2703	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822237837	ＤｅＮＡのサイバーセキュリティ：Ｍｏｂａｇｅを守った男の戦いの記録		茂岩祐樹		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティング)	201609	2,000	2,160
2704	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784322128970	金融機関のためのサイバーセキュリティとＢＣＰの実務		大野博堂		金融財政事情研究会(発売：きんざい)	201608	1,800	1,944
2705	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784839959555	サイバーセキュリティテスト完全ガイド：Ｋａｌｉ Ｌｉｎｕｘによるペネトレーションテスト		ベーター・キム：クイープ		マイナビ出版	201607	3,380	3,650
2706	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784532512125	サイバーセキュリティー		日経サイエンス編集部	別冊日経サイエンス	日経サイエンス社(発売：日本経済新聞出版社)	201604	2,000	2,160
2707	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784339028539	実践サイバーセキュリティモニタリング		八木毅：青木一史		コロナ社	201604	2,700	2,916
2708	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784320009066	サイバーセキュリティ入門：私たちを取り巻く光と闇		猪俣敦夫：井上克郎	共立スマートセレクション	共立出版	201602	1,600	1,728
2709	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844397014	サイバーセキュリティ２０２０：脅威の近未来予測		日本ネットワークセキュリティ協会	Ｅ－Ｂｏｏｋ／Ｐｒｉｎｔ Ｂｏｏｋ	インプレスＲ＆Ｄ(発売：インプレス)	201601	1,700	1,836
2710	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784873117317	サイバーセキュリティプログラミング：Ｐｙｔｈｏｎで学ぶハッカーの思考		ジャスティン・サイツ：青木一史		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201510	3,000	3,240
2711	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822271763	経営としてのサイバーセキュリティ：すべてがつながる時代に向けて		ＮＴＴサイバーセキュリティ研究会		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティング)	201510	1,500	1,620
2712	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784757103566	訴訟・コンプライアンスのためのサイバーセキュリティ戦略		高取芳宏：大河内智秀		ＮＴＴ出版	201504	2,800	3,024
2713	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784805110560	サイバーセキュリティと国際政治		土屋大洋		千倉書房	201504	2,500	2,700
2714	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784562051441	マンガで知るサイバーセキュリティ：オーブンレンジは振り向かない		一田和樹：まるたん		原書房	201503	1,400	1,512
2715	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774170381	なぜ、強い会社はＩＣカードを活用しているのか？：サイバーセキュリティ対策に役立つ理由		香山哲司		技術評論社	201501	1,980	2,138
2716	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784757103450	サイバーセキュリティ		サイバーセキュリティと経営戦略研究会		ＮＴＴ出版	201403	2,400	2,592
2717	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784562049301	サイバーセキュリティ読本		一田和樹		原書房	201307	1,600	1,728
2718	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784320121096	有害プログラム：その分類・メカニズム・対策		内田勝也：高橋正和（１９６１－）	サイバーセキュリティ・シリーズ	共立出版	200407	3,000	3,240
2719	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784320121089	ＸＭＬとＷｅｂサービスのセキュリティ：ＸＭＬデジタル署名と暗号化		丸山宏	サイバーセキュリティ・シリーズ	共立出版	200406	3,000	3,240
2720	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784757101227	サイバーセキュリティの法と政策		ＮＴＴデータ		ＮＴＴ出版	200403	2,800	3,024
2721	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784384029901	ネットワーク時代のテロリズム：しのび寄る脅威との闘い・サイバーセキュリティ		安保克也：下畑法近		三修社	200302	1,800	1,944
2722	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784320120495	サイバーセキュリティにおける生体認証技術		瀬戸洋一		共立出版	200205	2,800	3,024
2723	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784004317425	サイバーセキュリティ		谷脇康彦	岩波新書	岩波書店	201810	760	820
2724	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784860435394	ＩｏＴ時代のサイバーセキュリティ：制御システムの脆弱性検知と安全性・堅牢性確保		制御システムセキュリティセンター		エヌ・ティー・エス	201811	3,000	3,240
2725	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784492762455	決定版サイバーセキュリティ：新たな脅威と防衛策		ブループラネットワークス		東洋経済新報社	201811	1,800	1,944
2726	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784569840352	サイバー攻撃から暮らしを守れ！：「サイバーセキュリティの産業化」で日本は成長する		高市早苗：藤井龍二		ＰＨＰ研究所	201812	1,600	1,728
2727	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784839967574	サイバーセキュリティレッドチーム実践ガイド		ベーター・キム：クイープ		マイナビ出版	201901	3,380	3,650
2728	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784627851412	マルチメディアデータ工学：音声・動画像データベースの高速検索技術		宝珍輝尚		森北出版	201810	2,600	2,808
2729	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784864810579	データベースと情報検索		石原靖哲：清水将吾	グラフィック情報工学ライブラリ	数理工学社(発売：サイエンス社)	201809	1,800	1,944
2730	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784798155142	ＳＱＬの絵本：データベースが好きになる新しい９つの扉		アンク		翔泳社	201808	1,780	1,922
2731	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784774195711	新人エンジニアのためのデータベースのしくみと運用がわかる本		五十嵐貴之		技術評論社	201803	1,980	2,138
2732	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784822253608	ひと目でわかるＶｉｓｕａｌ Ｂａｓｉｃ ２０１７データベース開発入門		ファンテック株式会社		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティング)	201711	3,200	3,456
2733	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784774193052	データベースエンジニア教本：ＭｙＳＱＬ ＆ ＰｏｓｔｇｒｅＳＱＬ ＆ ＮｏＳＱＬ			Ｓｏｆｔｗａｒｅ Ｄｅｓｉｇｎ別冊	技術評論社	201710	2,100	2,268
2734	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784774192581	ゼロからわかるＳＱＬ超入門：はじめてのデータベース操作		三村かよこ	かんたんＩＴ基礎講座	技術評論社	201710	1,980	2,138
2735	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784774192512	Ｏｒａｃｌｅの基本：データベース入門から設計／運用の初歩まで		渡辺亮太：相川梁		技術評論社	201710	2,640	2,851
2736	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784774191157	Ａｃｃｅｓｓデータベースプロ技ＢＥＳＴセレクション		門脇香奈子	今すぐ使えるかんたんＥｘ	技術評論社	201709	1,980	2,138
2737	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784774190044	今すぐ使えるかんたんＥｘｃｅｌデータベース：Ｅｘｃｅｌ２０１６／２０１３／２０１０対応版		井上香緒里		技術評論社	201707	1,840	1,987
2738	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784774189901	Ａｃｃｅｓｓではじめるデータベース超入門		西村めぐみ	かんたんＩＴ基礎講座	技術評論社	201706	2,040	2,203
2739	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784774188881	Ａｃｃｅｓｓデータベース本格作成入門：仕事の現場で即使えるＡｃｃｅｓｓ ２０１６／２０１		今村ゆうこ		技術評論社	201705	2,480	2,678
2740	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784774188485	軽量・高速モバイルデータベースＲｅａｌｍ入門		菅原祐：岸川克己		技術評論社	201703	2,880	3,110
2741	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784865940251	ＩＴエンジニアのためのデータベース再入門		真野正		リックテレコム	201703	2,200	2,376
2742	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784781913902	リレーショナルデータベース入門：データモデル・ＳＱＬ・管理システム・ＮｏＳＱＬ		増永良文	Ｉｎｆｏｒｍａｔｉｏｎ ＆ Ｃｏｍｐｕｔｉｎｇ	サイエンス社	201702	3,200	3,456
2743	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784798049458	技術者・研究者のための特許検索データベース活用術：特許調査、検索、分析の実際		小島浩嗣		秀和システム	201702	2,500	2,700
2744	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784990880415	ＦｉｌｅＭａｋｅｒ Ｐｒｏそれはどうやる？：ＥＸＣＥＬデータベース機能から始めるＰｒｏ／Ａｄｖ		蝦名信英：西門泰洋		サンタクロース・プレス	201701	3,000	3,240
2745	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784798048406	ＳＱＬ Ｓｅｒｖｅｒ ２０１６データベース構築・管理ガイド：Ｅｎｔｅｒｐｒｉｓｅ対応		長岡秀明		秀和システム	201612	3,700	3,996
2746	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784798048239	ＳＱＬ辞典：７大データベース対応		堀江美彦	ポケット詳解	秀和システム	201611	2,200	2,376
2747	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784777519750	１週間でできるｋｉｎｔｏｎｅ：クラウド上で「データベース」を使った「アプリ」を作		タナカヒロシ	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201610	2,300	2,484
2748	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784774183732	Ｅｘｃｅｌデータベースプロ技ＢＥＳＴセレクション：Ｅｘｃｅｌ ２０１６／２０１３／２０１０対応版		国本温子	今すぐ使えるかんたんＥｘ	技術評論社	201610	1,880	2,030
2749	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784777519620	はじめてのＭｏｎｇｏＤＢ：オープンソースのＮｏＳＱＬデータベース		小笠原徳彦	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201607	2,300	2,484
2750	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784877833855	シェルスクリプト＋データベース活用テクニック：ＢｏｕｒｎｅＳｈｅｌｌとＳＱＬｉｔｅによるＤＢシ		広瀬雄二		カットシステム	201605	3,800	4,104
2751	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784595140723	データベースと情報管理		柳沼良知：三輪真木子	放送大学大学院教材	放送大学教育振興会(発売：ＮＨＫ出版)	201603	2,300	2,484
2752	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784798144641	グラス片手にデータベース設計．販売管理システム編		梅田弘之	ＤＢ ｍａｇａｚｉｎｅ ｓｅｌｅｃｔｉｏｎ	翔泳社	201602	2,400	2,592
2753	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784781913728	実習データベース：ＥｘｃｅｌとＡｃｃｅｓｓで学ぶ基本と活用		内田治：藤原丈史	実習ライブラリ	サイエンス社	201601	1,950	2,106
2754	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784877833794	やさしいＳＱＬ入門：演習問題で学ぶデータベース操作法		手塚忠則		カットシステム	201511	2,300	2,484

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
2755	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784798142401	Ｏｒａｃｌｅデータベースセキュリティ：セキュアなデータベース構築・運用の原則		スコット・ゲージン：デイビッド・ノックス		翔泳社	201509	5,200	5,616
2756	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784320124066	データベース：基礎からネット社会での応用まで		三木光範：田中美里	情報工学テキストシリーズ	共立出版	201509	2,500	2,700
2757	ICT	情報科学	情報科学	データ処理/情報処理	9784798044477	ＳＱＬ Ｓｅｒｖｅｒ ２０１４データベース構築・管理ガイド：Ｅｎｔｅｒｐｒｉｓｅ対応		長岡秀明		秀和システム	201509	3,500	3,780
2758	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784407347753	情報セキュリティ読本：ＩＴ時代の危機管理入門		情報処理推進機構		実教出版	201810	600	648
2759	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784865103571	よくわかる事例で学ぶ情報セキュリティ		富士通エフ・オー・エム		富士通エフ・オー・エム	201807	1,500	1,620
2760	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784595318979	情報セキュリティと情報倫理		山田恒夫：辰己丈夫	放送大学教材	放送大学教育振興会(発売：ＮＨＫ出版)	201803	2,600	2,808
2761	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784865103489	情報モラル＆情報セキュリティ：３８の事例でわかりやすく解説！		富士通エフ・オー・エム		富士通エフ・オー・エム	201802	500	540
2762	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784905318538	情報セキュリティ白書．２０１７		情報処理推進機構		情報処理推進機構	201707	2,000	2,160
2763	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784817843814	これで万全！自治体情報セキュリティ		大山水帆		日本加除出版	201703	2,200	2,376
2764	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784774188157	プロが教える情報セキュリティの鉄則		香山哲司：小野寺匠	Ｓｏｆｔｗａｒｅ Ｄｅｓｉｇｎ ｐｌｕｓシリーズ	技術評論社	201702	2,480	2,678
2765	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784339079289	暗号と情報セキュリティ		岡本栄司：西出隆志	リスク工学シリーズ	コロナ社	201605	2,600	2,808
2766	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784865102741	情報モラル＆情報セキュリティ：３６の事例でわかりやすく解説！		富士通エフ・オー・エム		富士通エフ・オー・エム	201602	500	540
2767	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784817195753	機密情報の保護と情報セキュリティ		畠中伸敏		日科技連出版社	201601	3,200	3,456
2768	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784881429129	情報セキュリティとプロジェクトにおけるリスクのマネジメント		佐藤直樹		創英社（三省堂書店）	201512	1,800	1,944
2769	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784526074370	“改定ＩＳＯ２７００１（情報セキュリティマネジメントシステム）”対応・導入マニュ：審査員が秘訣を教える！		日本能率協会審査登録センター		日刊工業新聞社	201507	2,300	2,484
2770	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784434207891	情報セキュリティの内部監査：ＪＩＳ Ｑ ２７００１：２０１４に対応する内部監査		山田永三：織晃一郎		ブイツーソリューション(発売：星雲社)	201507	900	972
2771	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784542305434	実例情報セキュリティマネジメントシステム（ＩＳＭＳ）の本質化・効率化：ＩＳＯ／ＩＥＣ ２７００１：２０１３（ＪＩＳ Ｑ		ＮＴＴデータ：矢田篤史		日本規格協会	201503	1,900	2,052
2772	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784621089095	はじめての情報通信技術と情報セキュリティ		諏訪敬祐：関良明		丸善出版	201502	2,700	2,916
2773	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784774171142	事例から学ぶ情報セキュリティ：基礎と対策と脅威のしくみ		中村行宏：横田翔	Ｓｏｆｔｗａｒｅ Ｄｅｓｉｇｎ ｐｌｕｓ	技術評論社	201502	2,480	2,678
2774	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784886472328	わかりすぎる情報セキュリティの教科書：いい人も悪い人もいるインターネットの世界		エスシーシー	ＳＣＣ ｂｏｏｋｓ	エスシーシー	201412	1,500	1,620
2775	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784542701809	やさしいＩＳＯ／ＩＥＣ ２７００１（ＪＩＳ Ｑ２７００１）情報セキュリティマネジ		高取敏夫：中島博文		日本規格協会	201410	1,500	1,620
2776	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784320123762	情報セキュリティ入門：情報倫理を学ぶ人のために		会田和弘：佐々木良一		共立出版	201410	2,700	2,916
2777	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784817195234	ＩＳＯ／ＩＥＣ ２７００１情報セキュリティマネジメントシステム（ＩＳＭＳ）構築・：ＪＩＳ Ｑ ２７００１：２０１４対応		羽田卓郎：山崎哲		日科技連出版社	201406	2,900	3,132
2778	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784817195173	ＩＳＯ／ＩＥＣ ２７００１情報セキュリティマネジメントシステム（ＩＳＭＳ）規格要：ＪＩＳ Ｑ ２７００１：２０１４対応		山崎哲：羽田卓郎		日科技連出版社	201405	3,200	3,456
2779	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784865100730	情報リテラシー：情報モラル＆情報セキュリティ．総合編		富士通エフ・オー・エム		富士通エフ・オー・エム	201402	2,500	2,700
2780	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784865100723	情報リテラシー：情報モラル＆情報セキュリティ．入門編		富士通エフ・オー・エム		富士通エフ・オー・エム	201312	1,000	1,080
2781	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784865100716	情報リテラシー：情報モラル＆情報セキュリティ		富士通エフ・オー・エム		富士通エフ・オー・エム	201312	2,000	2,160
2782	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784865100747	情報モラル＆情報セキュリティ：３２の事例でわかりやすく解説！		富士通エフ・オー・エム		富士通エフ・オー・エム	201312	500	540
2783	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784274069215	マスタリングＴＣＰ／ＩＰ．情報セキュリティ編		齋藤孝道		オーム社	201309	2,800	3,024
2784	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784865100419	加害者・被害者にならないための情報セキュリティ：ビジネスマン必須！		富士通エフ・オー・エム		富士通エフ・オー・エム	201309	1,700	1,836
2785	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784274503887	情報セキュリティ		小林吉純	ＩｎｆｏＣｏｍ Ｂｅ－ＴＥＸＴ	オーム社	201303	2,800	3,024
2786	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784320123304	ＩＴリスク学：「情報セキュリティ」を超えて		佐々木良一：氏田博士		共立出版	201302	3,400	3,672
2787	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784407330762	情報セキュリティ読本：ＩＴ時代の危機管理入門		情報処理推進機構		実教出版	201301	500	540
2788	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784561255901	現代組織の情報セキュリティ・マネジメント：その戦略と導入・策定・運用		税所哲郎		白桃書房	201209	3,300	3,564
2789	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	無線通信/電波工学	9784764904170	情報セキュリティ：暗号・認証・マネジメント		宝木和夫		近代科学社	201207	3,000	3,240
2790	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784883379910	新米サーバ／インフラ担当者のための仮想サーバ／クラウド技術の常識		鷲北賢		ソシム	201509	1,600	1,728
2791	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784320123748	クラウド技術とクラウドインフラ：黎明期から今後の発展へ		黒川利明		共立出版	201406	2,300	2,484
2792	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784883377398	小さな会社のＩＴ担当者が知らないと困るクラウド技術とリッチクライアント／ＨＴＭＬ：ある日突然、担当者に任命されたら読む本		佐藤儁正		ソシム	201101	1,500	1,620
2793	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784620325415	データサイエンス(超)入門：嘘をウソと見抜けなければ、データを扱うのは難しい		松本健太郎		毎日新聞出版	201809	1,400	1,512
2794	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784762028250	データサイエンス／ＡＩ／ＩｏＴ時代におけるプロダクト・イノベーションの普及構造		難波和秀		学文社	201808	2,500	2,700
2795	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784274222542	Ｒで学ぶデータサイエンス：データマイニングの基礎から深層学習まで		北栄輔		オーム社	201807	2,500	2,700
2796	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784822340209	社会人のためのデータサイエンス演習オフィシャルスタディノート：データサイエンス・オンライン講座		総務省統計局		日本統計協会	201806	1,000	1,080
2797	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784822340094	大学生のためのデータサイエンス：オフィシャルスタディノート．１		滋賀大学データサイエンス学部		日本統計協会	201806	1,000	1,080
2798	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784822340087	社会人のためのデータサイエンス入門オフィシャルスタディノート：データサイエンス・オンライン講座		総務省統計局		日本統計協会	201805	1,000	1,080
2799	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784502266317	人事のためのデータサイエンス：ゼロからの統計解析入門		入江崇介		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201806	2,000	2,160
2800	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784873118413	Ｐｙｔｈｏｎデータサイエンスハンドブック：Ｊｕｐｙｔｅｒ、ＮｕｍＰｙ、ｐａｎｄａｓ、Ｍａｔｐ		ジェイク・ヴァンダープラス：菊池彰		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201805	4,200	4,536
2801	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784532134815	実践金融データサイエンス：隠れた構造をあぶり出す６つのアプローチ		三菱ＵＦＪトラスト投資工学研究所		日本経済新聞出版社	201805	2,800	3,024
2802	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784004317135	データサイエンス入門		竹村彰通	岩波新書	岩波書店	201804	760	820
2803	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784254122275	Ｒで学ぶデータサイエンス		長畑秀和		朝倉書店	201803	4,400	4,752
2804	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784046022110	大学４年間のデータサイエンスが１０時間でざっと学べる		久野遼平：木脇太一		ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201803	1,500	1,620
2805	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784774196466	基礎からわかる時系列分析：Ｒで実践するカルマンフィルタ・ＭＣＭＣ・粒子フィル		石田基広：萩原淳一郎	Ｄａｔａ Ｓｃｉｅｎｃｅ Ｌｉｂｒａｒｙ	技術評論社	201804	3,980	4,298
2806	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784274221941	データサイエンスの基本がわかる本：これだけは知っておきたい		鈴木孝弘		オーム社	201803	2,000	2,160
2807	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784873118284	データサイエンスのための統計学入門：予測、分類、統計モデリング、統計的機械学習とＲプロ		ピーター・ブルース：アンドリュー・ブルース		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201802	3,000	3,240
2808	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784274221736	データサイエンス入門：ＥｘｃｅＩで学ぶ統計データの見方・使い方・集め方		上藤一郎：西川浩昭		オーム社	201801	2,300	2,484

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
2809	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784774195032	Ｒで楽しむベイズ統計入門：しくみから理解するベイズ推定の基礎		石田基広：奥村晴彦	Ｄａｔａ Ｓｃｉｅｎｃｅ Ｌｉｂｒａｒｙ	技術評論社	201801	2,880	3,110
2810	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784873118147	Ｒではじめるデータサイエンス		ハドリー・ウィッカム：ギャレット・グロールマンド		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201710	4,000	4,320
2811	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784904074459	サービスサイエンスの事訳：データサイエンスと数理科学の融合に向けて		高木英明		筑波大学出版会(発売：丸善出版)	201709	3,900	4,212
2812	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784860435011	Ｊｕｌｉａデータサイエンス：Ｊｕｌｉａを使って自分でゼロから作るデータサイエン		アンシュル・ジョシ：石井一夫		エヌ・ティー・エス	201710	3,600	3,888
2813	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784844366768	データ・スマート：Ｅｘｃｅｌではじめるデータサイエンス入門		ジョン・Ｗ・フォアマン：トップスタジオ		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201709	3,800	4,104
2814	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784478039373	機械脳の時代：データサイエンスは戦略・組織・仕事をどう変えるのか		加藤エルテス聡志		ダイヤモンド社	201707	1,800	1,944
2815	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784538411637	好業績で魅力ある会社とチームのためのデータサイエンス：職場と仕事を数値化する測定尺度、チェックリスト集		松本眞作		労働政策研究・研修機構	201703	1,852	2,000
2816	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784284203944	親子で学ぶ！統計学はじめて図鑑：レッツ！データサイエンス		渡辺美智子：青山和裕		日本図書センター	201704	2,400	2,592
2817	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784627096028	Ｒによるデータサイエンス：データ解析の基礎から最新手法まで		金明哲		森北出版	201703	3,600	3,888
2818	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784594076641	なぜあなたの予測は外れるのか：ＡＩが起こすデータサイエンス革命		小松秀樹		育鵬社(発売：扶桑社)	201702	1,500	1,620
2819	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784873117867	ゼロからはじめるデータサイエンス：Ｐｙｔｈｏｎで学ぶ基本と実践		ジョエル・グルス：菊池彰		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201701	3,200	3,456
2820	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784785315672	経済・経営のための統計教室：データサイエンス入門		小林道正		裳華房	201610	2,100	2,268
2821	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784822338695	社会人のためのデータサイエンス演習オフィシャルスタディノート：データサイエンス・オンライン講座		総務省統計局		日本統計協会	201603	1,000	1,080
2822	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784822338589	社会人のためのデータサイエンス入門オフィシャルスタディノート：データサイエンス・オンライン講座		総務省統計局：西内啓		日本統計協会	201510	1,000	1,080
2823	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784873117485	ＩＰｙｔｈｏｎデータサイエンスクックブック：対話型コンピューティングと可視化のためのレシピ集		シリル・ロサント：菊池彰		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201512	3,800	4,104
2824	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784764904989	データ分析とデータサイエンス		柴田里程		近代科学社	201512	3,500	3,780
2825	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784873117416	コマンドラインではじめるデータサイエンス：分析プロセスを自在に進めるテクニック		ジャロエン・ジャンセンス：太田満久		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201509	2,600	2,808
2826	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784788514461	林知己夫の生涯：データサイエンスの開拓者がめざしたもの		丸山久美子		新曜社	201509	3,200	3,456
2827	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784822337872	社会人のためのデータサイエンス入門オフィシャルスタディノート：データサイエンス・オンライン講座		総務省統計局：西内啓		日本統計協会	201502	926	1,000
2828	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784822337766	問題解決力向上のための統計学基礎：Ｅｘｃｅｌによるデータサイエンススキル		迫田宇広：高橋将宣		日本統計協会	201408	2,500	2,700
2829	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784489022012	ビッグデータを活かすデータサイエンス：クロス集計から機械学習までのビジネス活用事例		酒巻隆治：里洋平		東京図書	201411	2,400	2,592
2830	ICT	経済	経済	研究開発/企業情報管	9784873117010	データサイエンス講義		レイチェル・シャット：キャシー・オニール		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201410	3,000	3,240
2831	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822257903	Ｇｏｏｇｌｅ Ｃｌｏｕｄ Ｐｌａｔｆｏｒｍエンタープライズ設計ガイド		遠山陽介：深津康行		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201805	2,700	2,916
2832	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798137148	プログラマのためのＧｏｏｇｌｅ Ｃｌｏｕｄ Ｐｌａｔｆｏｒｍ入門：サービスの全体像からクラウドネイティブアプリケーシ		阿佐志保：中井悦司		翔泳社	201706	3,000	3,240
2833	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784865941715	Ｇｏｏｇｌｅ Ｃｌｏｕｄ Ｐｌａｔｆｏｒｍによる機械学習システム構築：データ処理・学習・運用までをサーバーレ		吉川隼人		リックテレコム	201812	2,200	2,376
2834	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822256227	最新システム構築実践ガイド：クラウドネイティブ、マイクロサービス対応			日経ＢＰムック 日経ＳＹＳＴＥＭＳ	日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201806	2,400	2,592
2835	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798155371	コンテナ・ベース・オーケストレーション：Ｄｏｃｋｅｒ／Ｋｕｂｅｒｎｅｔｅｓで作るクラウド時		青山尚暉：市川豊		翔泳社	201803	3,980	4,298
2836	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822258269	Ｍｉｃｒｏｓｏｆｔ Ｃｏｇｎｉｔｉｖｅ Ｓｅｒｖｉｃｅｓ実践ガイド：さわってわかるクラウドＡＩ		千貝大司：山本和貴		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201712	3,200	3,456
2837	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784802610995	Ｕｎｉｔｙネットワークゲーム開発実践入門：ＵＮＥＴ／ニフティクラウド ｍｏｂｉｌｅ ｂａｃｋ		西森丈俊：一條貴彰		ソシム	201707	2,680	2,894
2838	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784873117966	Ｉｎｆｒａｓｔｒｕｃｔｕｒｅ ａｓ Ｃｏｄｅ：クラウドにおけるサーバ管理の原則とプラクティス		ＫｉｅｆＭｏｒｒｉｓ：宮下剛輔		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201703	3,600	3,888
2839	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784022514127	シリコンバレー発アルゴリズム革命の衝撃：Ｆｉｎｔｅｃｈ，ＩｏＴ，Ｃｌｏｕｄ Ｃｏｍｐｕｔｉ		櫛田健児		朝日新聞出版	201609	1,600	1,728
2840	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822237813	Ｃｌｏｕｄ Ｆｉｒｓｔ Ａｒｃｈｉｔｅｃｔｕｒｅ設計ガイド		鈴木雄介		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201608	2,000	2,160
2841	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774183855	Ｌｉｎｕｘエンジニア養成読本：ＩｏＴもクラウドも、システムの基礎と基盤はＬｉｎｕ			Ｓｏｆｔｗａｒｅ Ｄｅｓｉｇｎ ｐｌｕｓ	技術評論社	201609	2,080	2,246
2842	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784785724399	ユーザを成功に導くシステム開発契約：クラウドを見据えて		西本強		商事法務	201607	4,300	4,644
2843	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784061529137	ヒューマンコンピューテーションとクラウドソーシング		鹿島久嗣：小山聡	機械学習プロフェッショナルシリーズ	講談社	201604	2,400	2,592
2844	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784777938094	モバイル超仕事術：デバイスの進化とクラウドで、超効率化！			エイムック	二出版社	201511	722	779
2845	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784526074714	クラウドビジネス成功教本：競争優位を確保するための事業化方法		河津誠一		日刊工業新聞社	201510	2,000	2,160
2846	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798140735	Ｕｎｉｔｙ５オンラインゲーム開発講座：クラウドエンジンによるマルチプレイ＆課金対応ゲーム		鳥山明純	ＳＭＡＲＴ ＧＡＭＥ ＤＥＶＥＬＯＰＥＲ	翔泳社	201509	3,200	3,456
2847	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774175928	ＶＭｗａｒｅの基本：仮想化／クラウドのための設計・構築・運用のポイント		中島淳之介：小原光弥		技術評論社	201509	2,480	2,678
2848	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798044132	クラウドを支えるこれからの暗号技術		光成滋生		秀和システム	201507	2,800	3,024
2849	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784897979922	クラウドではじめる機械学習：Ａｚｕｒｅ ＭＬでらくらく体験		脇森浩志：杉山雅和		リックテレコム	201506	2,600	2,808
2850	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798141794	Ｃｌｏｕｄ＋クラウド時代の必修科目		越智徹：出木原裕順	Ｇｅｔ！ＣｏｍｐＴＩＡ	ウチダ人材開発センタ(発売：翔泳社)	201503	3,500	3,780
2851	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844337102	ＶＭｗａｒｅ Ｈｏｒｉｚｏｎ導入実践ガイド：モバイルクラウド時代のワークスタイル変革		大谷篤志：工藤真臣	ｉｍｐｒｅｓｓ ｔｏｐ ｇｅａｒ	インプレス	201411	4,500	4,860
2852	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784813260790	Ｃｌｏｕｄ＋問題集：ＣＶ０－００１対応		ＴＡＣ株式会社	実務で役立つＩＴ資格ＣｏｍｐＴＩＡシリーズ	ＴＡＣ	201410	2,500	2,700
2853	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784813258605	Ｃｌｏｕｄ＋テキストＣＶ０－００１対応		ＴＡＣ株式会社	実務で役立つＩＴ資格ＣｏｍｐＴＩＡシリーズ	ＴＡＣ	201408	5,500	5,940
2854	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774165714	Ｍｉｃｒｏｓｏｆｔ Ｗｉｎｄｏｗｓ Ｓｅｒｖｅｒ ２０１２ Ｒ２ Ｈｙｐｅｒ－Ｖ：Ｃｌｏｕｄ ＯＳビジョンを支える基盤技術		遠山勝乃		技術評論社	201407	3,500	3,780
2855	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784326402892	クラウド産業論：流動化するプラットフォーム・ビジネスにおける競争と		岡田羊祐：林秀弥		勁草書房	201402	3,500	3,780
2856	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798130606	知識ゼロから学ぶソフトウェアテスト：アジャイル・クラウド時代のソフトウェアテスト		高橋寿一		翔泳社	201312	2,400	2,592
2857	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784862803900	世界の働き方を変えよう：クラウドソーシングが生み出す新しいワークスタイル		吉田浩一郎		総合法令出版	201312	1,400	1,512
2858	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784022735157	クラウドからＡＩへ：アップル、グーグル、フェイスブックの次なる主戦場		小林雅一	朝日新書	朝日新聞出版	201307	780	842
2859	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784813252061	Ｃｌｏｕｄ Ｅｓｓｅｎｔｉａｌｓテキスト＆問題集：ＣＬＯ－００１対応版		ＴＡＣ株式会社	実務で役立つＩＴ資格ＣｏｍｐＴＩＡシリーズ	ＴＡＣ	201303	2,000	2,160
2860	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784863541115	Ｔｏｏｄｌｅｄｏ「超」タスク管理術：クラウドがあなたの仕事を即効率化する		北真也：佐々木正悟		シーアンドアール研究所	201209	1,500	1,620
2861	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784839942236	Ｇｏｏｇｌｅクラウドスクリプティング：Ｇｏｏｇｌｅ Ａｐｐｓ ＳｃｒｉｐｔによるＧｏｏｇ		早坂清志		マイナビ出版	201206	2,300	2,484
2862	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784492044575	シゴタノ！手帳術：クラウド＆スマホ×アナログ手帳で人生を楽しく自由に		倉下忠憲【著】：北真也【著】		東洋経済新報社	201204	1,600	1,728

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
2863	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784532317058	クラウドが変える世界：企業経営と社会システムの新潮流		宇治則孝		日本経済新聞出版社	201108	1,600	1,728
2864	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784785718763	ユーザを成功に導くシステム開発契約：クラウドを見据えて		西本強		商事法務	201105	3,000	3,240
2865	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784297100711	完全理系専用英語長文スペクトル基礎編：大学受験		関正生：岡二修平		技術評論社	201810	1,520	1,641
2866	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784774198576	論文・レポートを読み書きするための理系基礎英語		臼井俊雄		技術評論社	201807	1,980	2,138
2867	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784065020555	理系のための「実戦英語力」習得法：最速でネイティブの感覚が身につく		志村史夫	ブルーバックス	講談社	201804	1,080	1,166
2868	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784526077609	研究発表ですぐに使える理系の英語プレゼンテーション		島村潔世子		日刊工業新聞社	201710	2,200	2,376
2869	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784774190747	完全理系専用英語長文スペクトル		関正生：岡二修平	大学受験	技術評論社	201709	1,520	1,641
2870	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784254102765	アブストラクトで学ぶ理系英語構造図解５０		斎藤恭一：梅野太輔		朝倉書店	201706	2,300	2,484
2871	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784521745190	理系学生が一番最初に読むべき！英語科学論文の書き方：ＩＭＲａＤでわかる科学論文の構造		片山晶子：中嶋隆浩		中山書店	201704	2,000	2,160
2872	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784254102680	書ける！理系英語例文７７		斎藤恭一：ハナコ・ベンソン		朝倉書店	201510	2,300	2,484
2873	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784402251932	理系学部を受験する生徒が解いておきたい科学系入試英語長文２０選			サンダイヤル	新興出版社啓林館	201509	445	480
2874	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784872179293	世界中で通じる！理系研究者の英語		森村久美子		アスク出版	201412	2,000	2,160
2875	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784062579155	理系のための英語最重要「キー動詞」４３：６００超の例文で独特の用法を完全マスター！		原田豊太郎	ブルーバックス	講談社	201505	1,200	1,296
2876	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784254102666	理系英語で使える強力動詞６０		太田真智子：斎藤恭一		朝倉書店	201504	2,300	2,484
2877	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784860644130	教養としての理系の英語：数式の英語の読み方から理系の英語表現・語彙		臼井俊雄	ＣＤ ｂｏｏｋ	ベレ出版	201411	2,500	2,700
2878	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784061556201	Ｊｕｄｙ先生の成功する理系英語プレゼンテーション		野口ジュディー：照井雅子		講談社	201402	2,800	3,024
2879	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784396113124	一生モノの英語勉強法：「理系的」学習システムのすすめ		鎌田浩毅：吉田明宏		祥伝社新書	201303	820	885
2880	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784130623155	使える理系英語の教科書：ライティングからプレゼン，ディスカッションまで		森村久美子		東京大学出版会	201204	2,200	2,376
2881	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784335000836	プレステップ理系の基礎英語		岡裏佳幸	Ｐｒｅ－ｓｔｅｐ	弘文堂	201203	1,800	1,944
2882	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784757420502	理系たまごの英語４０日間トレーニングキット				アルク（千代田区）	201202	6,500	7,020
2883	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784797365498	ＢＡＳＩＣ８００クイズで学ぶ！理系英文：クイズで理系英語脳をきたえよう！頭の柔軟体操で読み		佐藤洋一	サイエンス・アイ新書	ＳＢクリエイティブ	201109	952	1,028
2884	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784794218292	理系の人はなぜ英語の上達が早いのか		畠山雄二		草思社	201106	1,400	1,512
2885	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784757419704	科学技術英語徹底トレーニング「ライフサイエンス」：世界で活躍する理工系研究者を目指して		人見憲司：米田悦啓	理系たまごシリーズ	アルク（千代田区）	201103	3,800	4,104
2886	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784757418943	科学技術英語徹底トレーニング「バイオテクノロジー」：世界で活躍する理工系研究者を目指して		人見憲司：近藤哲男	理系たまごシリーズ	アルク（千代田区）	201009	3,800	4,104
2887	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784757418936	科学技術英語徹底トレーニング「ロボット工学」：世界で活躍する理工系研究者を目指して		人見憲司：富山健	理系たまごシリーズ	アルク（千代田区）	201009	3,800	4,104
2888	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784535786226	理系の英語		中央ゼミナール	大学院入試問題から学ぶシリーズ	日本評論社	201007	2,000	2,160
2889	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784757418523	科学技術英語徹底トレーニング「環境工学」：世界で活躍する理工系研究者を目指して		人見憲司：柳沢幸雄	理系たまごシリーズ	アルク（千代田区）	201002	3,800	4,104
2890	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784757418530	科学技術英語徹底トレーニング「資源・材料・エネルギー工学」：世界で活躍する理工系研究者を目指して		人見憲司：渡辺正（化学）	理系たまごシリーズ	アルク（千代田区）	201002	3,800	4,104
2891	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784062576536	理系のための英語「キー構文」４６：英語論文執筆の近道		原田豊太郎【著者】	ブルーバックス	講談社	200909	1,160	1,252
2892	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784022732903	「伝わる英語」習得術：理系の巨匠に学ぶ		原賀真紀子	朝日新書	朝日新聞出版	200908	780	842
2893	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784757414822	音読から始める理系英語入門		深山晶子		アルク（千代田区）	200810	1,800	1,944
2894	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784061556140	研究・留学のための理系英語		野口ジュディー：深山晶子		講談社	200810	2,800	3,024
2895	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784860641559	理系英語論文を書くための類義語使い分けｂｏｏｋ		横田浩章【著】：要島千鶴子【著】		ベレ出版	200705	1,900	2,052
2896	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784757411654	ノーベル賞クラスの論文で学ぶ理系英語最強リーディング術：世界で活躍する理工系研究者を目指して		斎藤恭一	理系たまごシリーズ	アルク（千代田区）	200703	3,500	3,780
2897	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784757411463	理系英語のライティング：世界で活躍する理工系研究者を目指して		野口ジュディー：深山晶子	理系たまごシリーズ	アルク（千代田区）	200702	3,800	4,104
2898	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784757411470	理系英語のプレゼンテーション：世界で活躍する理工系研究者を目指して		野口ジュディー：幸重美津子	理系たまごシリーズ	アルク（千代田区）	200702	3,800	4,104
2899	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784757411456	はじめての理系英語リーディング：世界で活躍する理工系研究者を目指して		佐藤洋一	理系たまごシリーズ	アルク（千代田区）	200701	3,500	3,780
2900	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784327421694	ＥＮＧＬＩＳＨ ＦＯＲ ＳＣＩＥＮＴＩＳＴＳ：理系英語の読む・書く・聞く・話すが無理なく身につく		トム・ガリー		研究社	200701	2,200	2,376
2901	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784759810608	理系人よ！英語なんかに負けるな：話せる７０パーセント英語術		宇野誠一：中村収三		化学同人	200606	2,200	2,376
2902	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784641177253	マーケティングをつかむ		黒岩健一郎：水越康介	ＴＥＸＴＢＯＯＫＳ ＴＳＵＫＡＭＵ	有斐閣	201801	2,100	2,268
2903	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784623082216	グローバル競争と流通・マーケティング：流通の変容と新戦略の展開		齋藤雅通：佐久間英俊	現代社会を読む経営学	ミネルヴァ書房	201801	2,800	3,024
2904	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784866670003	買う理由は雰囲気が９割：最強のインフルエンサーマーケティング		福田晃一		あさ出版	201712	1,400	1,512
2905	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784561662266	日本型マーケティングの進化と未来：ビジネスパラダイムの変革とマーケティングの戦略的変		新津重幸		白桃書房	201712	3,200	3,456
2906	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784478104408	マーケティングの教科書：ハーバード・ビジネス・レビュー戦略マーケティング論		ハーバード・ビジネス・レビュー編集部：ＤＩＡＭＯＮＤハーバード・ビジネス・		ダイヤモンド社	201712	1,800	1,944
2907	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798154046	デジタル時代の基礎知識「マーケティング」：「顧客ファースト」の時代を生き抜く新しいルール		逸見光次郎	ＭａｒｋｅＺｉｎｅ ＢＯＯＫＳ	翔泳社	201712	1,380	1,490
2908	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784415324050	いちばんかんたんで役に立つマーケティングの方法		蛭川速		成美堂出版	201712	1,300	1,404
2909	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784295401292	失敗しないＢｔｏＢマーケティングの組織としくみ：少人数チームからはじめる		萩原張広：河村芳行		クロスメディア・パブリッシング（発売：インプレス）	201712	1,480	1,598
2910	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784274221019	マーケティングのための統計分析		生田目崇		オーム社	201711	2,700	2,916
2911	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784779171000	炎上に負けないクチコミ活用マーケティング		河井孝仁：宇賀神貴宏	フィギュール彩	彩流社	201712	1,900	2,052
2912	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784862762559	サブスクリプション・マーケティング：モノが売れない時代の顧客との関わり方		アン・Ｈ・ジャンザー：小巻靖子		英治出版	201711	1,700	1,836
2913	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784591153352	殺し屋のマーケティング		三浦崇典		ポプラ社	201711	1,600	1,728
2914	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822257651	最新マーケティングの教科書．２０１８			日経ＢＰムック 日経デジタルマーケティング特別編集版	日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201711	1,111	1,199
2915	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784863673731	女子力・シニア力活用の勝つマーケティング：大阪のオバちゃんに学べ		松本英之		セルバ出版(発売：創英社（三省堂書店）)	201710	1,500	1,620
2916	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784534055330	課題解決につながる「実践マーケティング」入門		理央周		日本実業出版社	201711	1,600	1,728

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
2917	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784041056752	《新訳》ハイパワー・マーケティング：あなたのビジネスを加速させる「力」の見つけ方		ジェイ・エイブラハム：小山竜央		ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201710	2,100	2,268
2918	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798153742	デジタルマーケティングで売上の壁を超える方法		西井敏恭	ＭａｒｋｅＺｉｎｅ ＢＯＯＫＳ	翔泳社	201710	1,800	1,944
2919	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784491033754	もうモノは売らない：「恋をさせる」マーケティングが人を動かす		ハビエル・サンチェス・ラメラス：岩崎晋也		東洋館出版社	201710	1,600	1,728
2920	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784046020154	大学４年間のマーケティングが１０時間でざっと学べる		阿部誠（マーケティング）		ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201709	1,500	1,620
2921	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784839963682	まんがで覚えるマーケティングの基本		小西祐樹：酒井光雄		マイナビ出版	201709	1,480	1,598
2922	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784492557792	デジタルマーケティングの教科書：５つの進化とフレームワーク		牧田幸裕		東洋経済新報社	201709	2,000	2,160
2923	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784295002307	いちばんやさしいデジタルマーケティングの教本：人気講師が教えるメディアと販促の新しい基礎		田村修		インプレス	201709	1,980	2,138
2924	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784334043087	御社の商品が売れない本当の理由：「実践マーケティング」による解決		鈴木隆	光文社新書	光文社	201709	920	993
2925	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774191850	仕事に使えるクチコミ分析：テキストマイニングと統計学をマーケティングに活用す		小林雄一郎		技術評論社	201709	1,880	2,030
2926	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784561662150	グローバル戦略市場経営：グローバル展開とマーケティング・マネジメントの統合		イアン・アーロン：ユージン・Ｄ・ジャッフ		白桃書房	201709	6,500	7,020
2927	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798052700	図解でわかる！マーケティング		藤原毅芳		秀和システム	201709	1,200	1,296
2928	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784839961169	ＡＩ×ビッグデータマーケティング：小さな会社でも実践できる！		山本覚		マイナビ出版	201708	2,310	2,494
2929	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784023316157	コトラーのマーケティング４．０：スマートフォン時代の究極法則		フィリップ・コトラー：ヘルマン・カルタジャヤ		朝日新聞出版	201708	2,400	2,592
2930	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784532119355	ビジュアルマーケティングの基本		野口智雄	日経文庫	日本経済新聞出版社	201708	1,000	1,080
2931	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784495537814	図解よくわかるこれからのＷＥＢマーケティング：なるほど！これでわかった		船井総合研究所		同文舘出版	201708	1,800	1,944
2932	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784561652243	マーケティング・マインドとイノベーション		田口冬樹		白桃書房	201707	3,000	3,240
2933	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784756249357	挑戦者たちに学ぶデジタルマーケティング：ブランディング・地域活性から新市場開拓まで「洞察と		廣部嘉祥		バイインターナショナル	201707	2,400	2,592
2934	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784496052835	魅力創造するマーケティングの知：地域再生とデザインの視座		上原聡		同友館	201707	2,200	2,376
2935	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822236984	すぐ実践！驚異のマーケティング術			日経ＢＰムック	日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201706	907	979
2936	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784883354078	マーケティング会社年鑑．２０１７		宣伝会議		宣伝会議	201707	15,000	16,200
2937	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784419064594	エリア・マーケティングアーキテクチャー		岩田貴子		税務経理協会	201706	3,200	3,456
2938	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784295400967	マーケティングオートメーションに落とせるカスタマージャーニーの書き方		小川共和		クロスメディア・マーケティング(発売：インプレス)	201707	1,580	1,706
2939	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784295001409	「あるある」で学ぶ右肩上がりのＷｅｂマーケティング		山道正明：おほしんたろう	できるビジネス	インプレス	201706	1,480	1,598
2940	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784425925612	新流通・マーケティング入門		金弘錫：美藤信也		成山堂書店	201706	2,800	3,024
2941	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784794425096	マーケティング戦略論：戦略的思考の展開		鷲尾和紀：鷲尾紀吉		創成社	201706	3,000	3,240
2942	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784816362699	プロ直伝！成功するマーケティングの基本と実践：知識ゼロからはじめる「売る」ための仕組みづくり		竹中雄三：河野安彦		ナツメ社	201707	1,500	1,620
2943	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784623079759	よくわかる現代マーケティング		陶山計介：鈴木雄也	やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ	ミネルヴァ書房	201706	2,200	2,376
2944	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844366720	マーケティングオートメーション導入の教科書：優良顧客を自動で育てる仕組みづくり		長谷川健人：住岡洋光		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201706	2,400	2,592
2945	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784766848151	かき氷前線予報します：お天気お姉さんのマーケティング		小越久美	経法ビジネス新書	経済法令研究会	201706	800	864
2946	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784561652236	グローバル・マーケティング零		大石芳裕		白桃書房	201705	2,500	2,700
2947	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784842917061	入門／マーケティング論		草野素雄		八千代出版	201706	2,500	2,700
2948	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784862805560	１４歳からのマーケティング		中野明		総合法令出版	201706	1,200	1,296
2949	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784794425089	現代マーケティングの基礎知識		嶋正：東徹		創成社	201705	2,300	2,484
2950	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798149769	ハッキング・マーケティング：実験と改善の高速なサイクルがイノベーションを次々と		スコット・ブリンカー：東方雅美		翔泳社	201705	2,200	2,376
2951	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784805111055	技術者のためのマーケティング：顧客価値の構想と戦略		谷地弘安		千倉書房	201704	3,200	3,456
2952	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784295402381	マーケティング参謀		土居健人		クロスメディア・パブリッシング(発売：インプレス)	201810	1,480	1,598
2953	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784309248837	いまさら聞けないマーケティングの基本のはなし		松井剛		河出書房新社	201809	1,650	1,782
2954	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784297100544	世界基準で学べるエッセンシャル・デジタルマーケティング：Ｇｏｏｇｌｅ出身マーケターが教えるデジタルマーケテ		遠藤結万		技術評論社	201809	2,080	2,246
2955	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784800288196	大学４年間のマーケティング見るだけノート		平野敦士カール		宝島社	201809	1,100	1,188
2956	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784883354290	シングル＆シンプル・マーケティング：個客に深く長く寄り添い、利益を伸ばす		本間充	養成講座シリーズ	宣伝会議	201808	1,800	1,944
2957	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784532322199	スマホマーケティング		吉田健太郎		日本経済新聞出版社	201808	1,500	1,620
2958	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784641165205	マーケティング効果の測定と実践：計量経済モデリング・アプローチ		ドミニク・Ｍ．ハンセン：レオナルド・Ｊ．パーソンズ		有斐閣	201808	5,500	5,940
2959	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784344918320	潜在価値マーケティング		平野淳		幻冬舎メディアコンサルティング(発売：幻冬舎)	201808	1,800	1,944
2960	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784295004066	いちばんやさしいＩｎｓｔａｇｒａｍマーケティングの教本：人気講師が教える「魅せるマーケ」勝利の法則		甲斐優理子		インプレス	201808	1,980	2,138
2961	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784334043650	アップルのリンゴはなぜかじりかけなのか？：心をつかむニューロマーケティング		廣中直行	光文社新書	光文社	201808	800	864
2962	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774199061	すぐに使えてガンガン集客！ＷＥＢマーケティング１２３の技		山田竜也		技術評論社	201808	2,280	2,462
2963	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798055244	コトラーのマーケティングがよくわかる本		宮崎哲也	図解ポケット	秀和システム	201808	900	972
2964	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784478103661	売上の８割を占める優良顧客を逃さない方法：利益を伸ばすリテンションマーケティング入門		大坂祐希枝		ダイヤモンド社	201808	1,500	1,620
2965	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784534056092	マーケティングの基本：この１冊ですべてわかる		安原智樹		日本実業出版社	201808	1,600	1,728
2966	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784621303153	コトラー競争力を高めるマーケティング：「デジタル消費者」の時代、アジアから世界へ！		フィリップ・コトラー：ヘルマン・カルタジャヤ		丸善出版	201807	3,800	4,104
2967	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784820731511	実戦商品開発マーケティング戦略：事例でわかる		佐藤義典		日本能率協会マネジメントセンター	201807	1,600	1,728
2968	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784023316492	ブランディングの科学：誰も知らないマーケティングの法則１１		バイロン・シャープ：前平謙二		朝日新聞出版	201807	2,400	2,592
2969	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784623083244	価値共創時代におけるマーケティングの可能性：消費と生産の新たな関係		川口高弘	ＭＩＮＥＲＶＡ現代経営学叢書	ミネルヴァ書房	201807	5,000	5,400
2970	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784344916593	ニッチブランド革命：デジタルマーケティング時代のヒットの法則		山口恵市		幻冬舎メディアコンサルティング(発売：幻冬舎)	201806	1,400	1,512

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
2971	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784877953683	たったひと言で変わる！ほめ言葉マーケティング：ＡＩ時代に勝つ最先端の方法		田村直樹：藤咲徳朗		コスモトゥーワン	201806	1,500	1,620
2972	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784434247651	小さな会社のマーケティングとは：「いい会社にしたい！」と願っている経営者のあなたへ		藪田博大		ほおずき書籍(発売：星雲社)	201806	1,300	1,404
2973	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784800314796	図解マーケティング大全：市場調査から販促まで使えるマーケティングの強化書！			洋泉社ＭＯＯＫ	洋泉社	201805	1,200	1,296
2974	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784492534014	戦略的産業財マーケティング：Ｂ２Ｂ営業成功の７つのステップ		笠原英一		東洋経済新報社	201805	3,400	3,672
2975	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784532113919	ソーシャルメディア・マーケティング		水越康介	日経文庫	日本経済新聞出版社	201805	860	928
2976	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784295003199	リードビジネス"打ち手"大全：デジタルマーケで顧客を増やす最強の戦略８６		上島千鶴	できるＭａｒｋｅｔｉｎｇ Ｂｉｂｌｅ	インプレス	201805	2,500	2,700
2977	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784561652274	マーケティング講義ノート		滋野英憲：辻幸恵		白桃書房	201805	2,600	2,808
2978	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784883354306	デジタルマーケティングの実務ガイド		井上大輔		宣伝会議	201804	2,000	2,160
2979	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784805111352	成熟消費時代の生活者起点マーケティング：流通・マーケティングの新たな可能性		三村優美子：朴正洙		千倉書房	201804	2,400	2,592
2980	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784890222179	脱・価格競争で売れ。：実践アドバンテージ・マーケティング		堀田周郎	コミュニティ・ブックス	日本地域社会研究所	201804	1,700	1,836
2981	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784782534939	デジタル・ワークシフト：マーケティングを変えるキーワード３０		栗木契：横田浩一		産学社	201803	2,200	2,376
2982	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784799106945	マーケティングリサーチとデータ分析の基本		中野崇		すばる舎	201804	1,700	1,836
2983	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784794425188	マーケティングにおける現場理論の展開		マーケティングと知識経営学研究会		創成社	201804	2,400	2,592
2984	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784407346237	現代マーケティング論		武井寿：小泉秀昭	専門基礎ライブラリー	実教出版	201804	1,900	2,052
2985	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784046023308	［図解］大学４年間のマーケティングが１０時間でざっと学べる		阿部誠（マーケティング）		ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201803	1,000	1,080
2986	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784820719939	心理マーケティング１００の法則：お客様の無意識に語りかける心のコミュニケーション技		酒井とし夫		日本能率協会マネジメントセンター	201803	1,500	1,620
2987	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784794425225	マーケティング・ノート		小川純生		創成社	201804	2,100	2,268
2988	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798154589	Ｗｏｒｋ ｉｎ Ｐｒｏｇｒｅｓｓデジタルマーケティングで大切なこと		板澤一樹	ＭａｒｋｅＺｉｎｅ ＢＯＯＫＳ	翔泳社	201803	1,800	1,944
2989	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784883354092	マーケティング英語の教科書：完璧ではなくても、仕事で自信を持てる英語		松浦良高	養成講座シリーズ	宣伝会議	201803	1,800	1,944
2990	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784534055729	「高く売る」ためのマーケティングの教科書：競合他社との圧倒的な「差」をつくる１３のポイント		大二孝徳		日本実業出版社	201803	1,500	1,620
2991	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784419065225	マーケティング・ビジネス実務検定ベーシック版テキスト		国際実務マーケティング協会		税務経理協会	201803	2,800	3,024
2992	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784788715769	マーケティング部へようこそ！：３Ｃも４Ｐも知らない新入部員が３週間で身につけた最		五味一成		時事通信出版局(発売：時事通信社)	201803	1,500	1,620
2993	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784046020741	マーケティングオートメーション最強の導入手法		小池智和		ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201803	1,600	1,728
2994	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798155340	デジタル時代の基礎知識『ＳＮＳマーケティング』：「つながり」と「共感」で利益を生み出す新しいルール		林雅之	ＭａｒｋｅＺｉｎｅ ＢＯＯＫＳ	翔泳社	201802	1,480	1,598
2995	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784413230759	お客さまには「うれしさ」を売りなさい：一生稼げる人になるマーケティング"戦略"入門		佐藤義典		青春出版社	201803	1,370	1,479
2996	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798154596	熱狂顧客戦略：「いいね」の先にある熱が伝わるマーケティング・コミ		高橋遼	ＭａｒｋｅＺｉｎｅ ＢＯＯＫＳ	翔泳社	201802	1,800	1,944
2997	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784862805980	売り方は１枚のピザが教えてくれる：身近な実例から学べるマーケティング入門		安部徹也		総合法令出版	201802	1,300	1,404
2998	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784534055613	この１冊ですべてわかる需要予測の基本：ＳＣＭとマーケティングを劇的に変える		山口雄大		日本実業出版社	201802	2,000	2,160
2999	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784434242908	営業不要のフィッシングマーケティング：９９％の経営者が知らない、非常識な方法		中村太郎		サンライズパブリッシング(発売：星雲社)	201802	1,500	1,620
3000	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784839965556	最新Ｗｅｂマーケティング：解説と事例でわかるＩＴの今．２０１８			Ｗｅｂ Ｄｅｓｉｇｎｉｎｇ ＢＯＯＫＳ	マイナビ出版	201801	3,200	3,456
3001	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784496053023	銀座の会社の感性マーケティング：日本香堂、壹番館洋服店、銀座ミツバチプロジェクト、		長沢伸也：染谷高士		同友館	201802	1,800	1,944
3002	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784297101053	作って学べるＵｎｉｔｙ ＶＲアプリ開発入門		大嶋剛直：松島寛樹		技術評論社	201810	3,480	3,758
3003	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784844367840	ＶＲコンテンツ開発ガイド．２０１８		あるしおうね：岡田和也		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201809	3,000	3,240
3004	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784163908847	ＶＲは脳をどう変えるか？：仮想現実の心理学		ジェレミー・ベイレンソン：倉田幸信		文藝春秋	201808	2,200	2,376
3005	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784822253769	Ｗｉｎｄｏｗｓ Ｍｉｘｅｄ Ｒｅａｌｉｔｙアプリ開発入門：Ｕｎｉｔｙで作るＶＲ＆ＨｏｌｏＬｅｎｓアプリケーシ		高橋忍		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティン)	201806	3,600	3,888
3006	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784065116517	ミライのつくり方２０２０－２０４５：僕がＶＲに賭ける訳		ＧＯＲＯｍａｎ	星海社新書	星海社(発売：講談社)	201804	960	1,036
3007	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784339028836	意思決定を助ける情報可視化技術：ビッグデータ・機械学習・ＶＲ／ＡＲへの応用		伊藤貴之		コロナ社	201804	2,300	2,484
3008	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784295003045	ＶＲビジネス調査報告書：業務活用が進むＶＲ／ＡＲ／ＭＲの動向と将来展望．２０１８		森田秀一：インプレス総合研究所	インプレス総合研究所「新産業調査レポートシリーズ」	インプレス	201802	78,000	84,240
3009	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784904774601	ＶＲ実践講座：ＨＭＤを超える４つのキーテクノロジー		岩田洋夫	設計技術シリーズ	科学情報出版	201709	3,600	3,888
3010	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784944065264	デジタルコンテンツ白書．２０１７		デジタルコンテンツ協会：経済産業省商務情報政策局		デジタルコンテンツ協会	201709	12,000	12,960
3011	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784295002345	ＶＲを気軽に体験モバイルＶＲコンテンツを作ろう！		酒井駿介	ＴＨＩＮＫ ＩＴ ＢＯＯＫＳ	インプレス	201709	1,800	1,944
3012	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784478084151	ＶＲインパクト：知らないではすまされないバーチャルリアリティの凄い		伊藤裕二		ダイヤモンド・ビジネス企画(発売：ダイヤモンド社)	201705	1,500	1,620
3013	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784844366669	ＶＲコンテンツ開発ガイド．２０１７		西川善司：古林克臣		エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201705	2,600	2,808
3014	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784532321321	ＶＲ（仮想現実）ビジネス成功の法則		日経産業新聞		日本経済新聞出版社	201704	1,600	1,728
3015	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784774188942	ＶＲエンジニア養成読本		養成読本編集部	Ｓｏｆｔｗａｒｅ Ｄｅｓｉｇｎ ｐｌｕｓシリーズ	技術評論社	201704	2,180	2,354
3016	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784873117577	ＵｎｉｔｙによるＶＲアプリケーション開発：作りながら学ぶバーチャルリアリティ入門		ジョナサン・リノース：高橋憲一		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201608	3,000	3,240
3017	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784777512959	ＶＲＭＬ教科書：「仮想現実」構築用言語を使った３Ｄ－ＣＧプログラミ		赤間世紀	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	200707	1,900	2,052
3018	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784765533195	ＶＲＭＬ２：動く３Ｄグラフィックス		中山茂（情報工学）		技報堂出版	199708	3,200	3,456
3019	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784254121179	ＶＲＭＬ２．０：３Ｄサイバースペース構築言語		三浦憲二郎		朝倉書店	199611	3,900	4,212
3020	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784900718340	ＶＲＭＬ Ｊａｖａ Ｗｅｂ進化論		次世代WWW研究会		インターナショナル・トムソン・パブリッシ(発売：オーム社)	199604	2,427	2,621
3021	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784877834364	天才を育むプログラミングドリル：Ｍｉｎｄ Ｒｅｎｄｅｒで楽しく学ぶＶＲの世界		白土良一：石原正雄		カットシステム	201812	2,800	3,024
3022	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784791771264	ヴァーチャル社会の〈哲学〉：ビットコイン・ＶＲ・ポストトゥルース		大黒岳彦		青土社	201812	3,600	3,888
3023	ICT	情報科学	情報科学	コンピュータ/プログラミン	9784526079429	トコトンやさしいＶＲの本		廣瀬通孝：東京大学バーチャルリアリティ教育研究セ	Ｂ＆Ｔブックス 今日からモノ知りシリーズ	日刊工業新聞社	201902	1,500	1,620
3024	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784021002786	テクノロジーファースト：なぜ日本企業はＡＩ、ブロックチェーン、ＩｏＴを牽引		福原智		朝日新聞出版(発売：朝日新聞出版)	201809	1,350	1,458

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
3025	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784584138809	ブロックチェーンの描く未来		森川夢佑斗		ベストセラーズ	201808	1,600	1,728
3026	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784413045476	２０２５年のブロックチェーン革命：仕事、生活、働き方が変わる		水野操	青春新書インテリジェンス	青春出版社	201808	840	907
3027	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784865941159	ブロックチェーンシステム設計		中村誠吾：中越恭平		リックテレコム	201808	3,000	3,240
3028	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784492681442	決済インフラ入門：仮想通貨、ブロックチェーンから新日銀ネット、次なる．２０２０年版		宿輪純一		東洋経済新報社	201808	1,800	1,944
3029	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784295003922	徹底理解ブロックチェーン：ゼロから着実にわかる次世代技術の原則		ＤａｎｉｅｌＤｒｅｓｃｈｅｒ		インプレス	201807	2,900	3,132
3030	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784885554926	ブロックチェーン×エネルギービジネス：世界の５１事例から予見する		江田健二		エネルギーフォーラム	201806	1,400	1,512
3031	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784865941463	Ｈｙｐｅｒｌｅｄｇｅｒ　Ｆａｂｒｉｃによるアプリケーション開発：ブロックチェーンの革新技術		早川勝：清水智則		リックテレコム	201806	3,400	3,672
3032	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774197616	６０分でわかる！ブロックチェーン最前線		ブロックチェーンビジネス研究会		技術評論社	201806	1,050	1,134
3033	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784820726616	実践ブロックチェーン・ビジネス：新事業企画・起業のための		ブロックチェーンバブ：増田一之		日本能率協会マネジメントセンター	201805	2,200	2,376
3034	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784863542433	ブロックチェーン技術の教科書		佐藤雅史：長谷川佳祐		シーアンドアール研究所	201804	2,830	3,056
3035	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784757103757	コンサイス版ビットコインとブロックチェーン：暗号通貨を支える技術		アンドレアス・M・アントノプロス：鳩貝淳一郎		ＮＴＴ出版	201804	1,300	1,404
3036	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784492681435	決定版ビットコイン＆ブロックチェーン		岡田仁志		東洋経済新報社	201804	1,600	1,728
3037	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784502253515	ブロックチェーンをめぐる実務・政策と法		久保田隆		中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	201804	3,000	3,240
3038	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784140885451	教養としてのテクノロジー：ＡＩ、仮想通貨、ブロックチェーン		伊藤穣一：アンドレ・ウール	ＮＨＫ出版新書	ＮＨＫ出版	201803	780	842
3039	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784839965136	ブロックチェーンアプリケーション開発の教科書：作って学ぶ、暗号通貨とスマートコントラクトの理論と		加嵜長門：確原航		マイナビ出版	201801	3,290	3,553
3040	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822258429	ブロックチェーン技術の未解決問題		松尾真一郎：楠正憲		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティング)	201801	2,400	2,592
3041	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784569837307	入門ビットコインとブロックチェーン		野口悠紀雄	ＰＨＰビジネス新書	ＰＨＰ研究所	201801	890	961
3042	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784864715409	社会を根底から変えるシェアリングエコノミーの衝撃！：仮想通貨ブロックチェーン＆プログラミング入門		玉蔵		ヒカルランド	201711	2,000	2,160
3043	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774193533	堅牢なスマートコントラクト開発のためのブロックチェーン［技術］入門		田龍照博		技術評論社	201711	2,980	3,218
3044	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784103512813	アフター・ビットコイン：仮想通貨とブロックチェーンの次なる覇者		中島真志		新潮社	201710	1,600	1,728
3045	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784820759980	超図解ブロックチェーン入門：新しいビジネスモデルがここから生まれる！		桜井駿		日本能率協会マネジメントセンター	201709	1,500	1,620
3046	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784839963620	仮想通貨の時代：ビットコインとブロックチェーンは世界経済秩序をどう		ＰａｕｌＶｉｇｎａ、ＭｉｃｈａｅｌＪ：マイケル・J・ケーシー		マイナビ出版	201709	2,900	3,132
3047	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784532357368	ブロックチェーンの未来：金融・産業・社会はどう変わるのか		翁百合：柳川範之		日本経済新聞出版社	201709	2,000	2,160
3048	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784797394443	ビットコインとブロックチェーンの歴史・しくみ・未来		ニュー・サイエンティスト編集部：水谷淳		ＳＢクリエイティブ	201709	1,600	1,728
3049	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784295001447	いちばんやさしいブロックチェーンの教本：人気講師が教えるビットコインを支える仕組み		杉井靖典		インプレス	201709	1,850	1,998
3050	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784061538313	ブロックチェーン・プログラミング：仮想通貨入門		山崎重一郎：安土茂亨	ＫＳ情報科学専門書	講談社	201708	3,700	3,996
3051	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784627871717	ブロックチェーン技術入門		岸上順一：藤村滋		森北出版	201708	2,400	2,592
3052	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798151342	はじめてのブロックチェーン・アプリケーション：Ｅｔｈｅｒｅｕｍによるスマートコントラクト開発入門		渡辺篤：松本雄太	ＤＥＶ Ｅｎｇｉｎｅｅｒ’ｓ Ｂｏｏｋ ｆｏｒ Ｈｏｗ−ｎｕａｌ Ｖｉｓｕａｌ Ｇｕｉｄｅ Ｂｏｏｋ	翔泳社	201708	3,000	3,240
3053	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798051185	図解入門最新ブロックチェーンがよ〜くわかる本：ビットコインから学ぶ、ブロックチェーン！		石黒尚久：河除光瑠		秀和システム	201708	1,600	1,728
3054	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798153032	ブロックチェーン・エコノミクス：分散と自動化による新しい経済のかたち		高木聡一郎		翔泳社	201704	1,600	1,728
3055	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784584125557	ブロックチェーン入門		森川夢佑斗	ベスト新書	ベストセラーズ	201705	824	889
3056	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784532113759	仮想通貨とブロックチェーン		木ノ内敏久	日経文庫	日本経済新聞出版社	201704	900	972
3057	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784799320150	いまさら聞けないビットコインとブロックチェーン		大塚雄介		ディスカヴァー・トゥエンティワン	201703	1,500	1,620
3058	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784532357191	ブロックチェーン革命：分散自律型社会の出現		野口悠紀雄		日本経済新聞出版社	201701	1,800	1,944
3059	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784478069967	ブロックチェーン・レボリューション：ビットコインを支える技術はどのようにビジネスと経済		ドン・タプスコット：アレックス・タプスコット		ダイヤモンド社	201612	2,400	2,592
3060	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822251772	ビジネスブロックチェーン：ビットコイン、ＦｉｎＴｅｃｈを生みだす技術革命		ウィリアム・ムーゲイヤー：黒木章人		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティング)	201610	2,000	2,160
3061	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784865940404	ブロックチェーン仕組みと理論：サンプルで学ぶＦｉｎＴｅｃｈのコア技術		赤羽喜治：愛敬真生		リックテレコム	201610	3,000	3,240
3062	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798047836	最新オープンソースがよ〜くわかる本：人工知能も、ＦｉｎＴｅｃｈ（ブロックチェーン）も、		寺田雄一	図解入門ビジネス	秀和システム	201609	1,600	1,728
3063	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784757103672	ビットコインとブロックチェーン：暗号通貨を支える技術		アンドレアス・M．アントノプロス：今井崇也		ＮＴＴ出版	201607	3,700	3,996
3064	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844368229	これからのブロックチェーンビジネス		森川夢佑斗	未来ＩＴ図解	エムディエヌコーポレーション(発売：インプレス)	201811	1,500	1,620
3065	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798156873	近未来のコア・テクノロジー：ニューラルネットワーク、データマイニング、ブロック		三津村直貴		翔泳社	201810	2,200	2,376
3066	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784785726744	ブロックチェーンビジネスとＩＣＯのフィジビリティスタディ		小笠原匡隆		商事法務	201811	3,900	4,212
3067	ICT	情報科学	情報科学	情報科学	9784820120803	サプライチェーンマネジメント辞典ＡＰＩＣＳディクショナリー対訳版：グローバル経営のための日英用語集		ＡＰＩＣＳ：日本ＡＰＩＣＳコミュニティー		ＡＰＩＣＳ(発売：生産性出版)	201807	6,000	6,480
3068	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784865941043	Ｃｏｇｎｉｔｉｖｅ　Ｓｅｒｖｉｃｅｓ入門：マイクロソフト人工知能ＡＰＩの使い方		福内かおり：小松祐城		リックテレコム	201804	3,200	3,456
3069	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784877834289	実践Ｇｏｏｇｌｅ　Ｄｒｉｖｅ　ＡＰＩ		川口直也		カットシステム	201804	4,000	4,320
3070	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784865941289	初めてのＷａｔｓｏｎ：ＡＰＩの用例と実践プログラミング		井上研一		リックテレコム	201803	2,200	2,376
3071	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822258245	ＡＰＩエコノミー：勝ち組企業が取り組むＡＰＩファースト		佐々木隆仁		日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティング)	201802	1,500	1,620
3072	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798153988	Ｍｏｒｅ　Ｅｆｆｅｃｔｉｖｅ　Ｃ＃　６．０／７．０：ＡＰＩ設計、非同期プログラミング、動的プログラミン		ビル・ワグナー：吉川邦夫		翔泳社	201802	3,400	3,672
3073	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784822259150	ＡＰＩ革命：つながりが創る次代の経営			日経ＢＰムック	日経ＢＰ社(発売：日経ＢＰマーケティング)	201706	1,370	1,479
3074	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784873118062	サーバレスシングルページアプリケーション：Ｓ３、ＡＷＳ　Ｌａｍｂｄａ、ＡＰＩ　Ｇａｔｅｗａｙ		ベン・ラディー：吉田真吾		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201706	2,600	2,808
3075	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798150734	ＬＩＮＥ　ＢＯＴを作ろう！：Ｍｅｓｓａｇｉｎｇ　ＡＰＩを使ったチャットボットの		立花翔		翔泳社	201705	2,800	3,024
3076	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784873117959	ＧｉｔＨｕｂツールビルディング：ＧｉｔＨｕｂ　ＡＰＩを活用したワークフローの拡張と		クリス・ドーソン：ベン・ストラウブ		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201705	3,200	3,456
3077	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798047348	大村あつしのＥｘｃｅｌ　ＶＢＡ　Ｗｉｎ６４／３２　ＡＰＩプログラミング：対応Ｗｉｎ６４　ＡＰＩ（Ｍｉｃｒｏｓｏｆｔ　Ｗｉｎ		大村あつし		秀和システム	201609	4,000	4,320
3078	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784893623034	ＴＲＯＮＷＡＲＥ：ＴＲＯＮ　＆　ＩｏＴ技術情報マガジン．ｖｏｌ．１５９（２０１６．６）				パーソナルメディア	201606	1,200	1,296

No	カテゴリ	分野	分類１	分類２	ISBN	書名	版次	著者名	シリーズ名	出版社	出版年月	本体価格	税込価格
3079	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798141619	絵で見てわかるクラウドインフラとＡＰＩの仕組み		平山毅：中島倫明		翔泳社	201602	2,580	2,786
3080	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784774178028	ＡＰＩデザインケーススタディ：Ｒｕｂｙの実例から学ぶ。問題に即したデザインと普遍		田中哲	ＷＥＢ＋ＤＢ ｐｒｅｓｓ ｐｌｕｓシリーズ	技術評論社	201601	2,780	3,002
3081	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784877833756	ＨＴＭＬ５＋Ｗｅｂ Ａｕｄｉｏ ＡＰＩによるオーディオデータプロセッシング：「音」の理論から生成、分析、オリジナル電子楽器の開		ｎａｔｕｒａｌｓｃｉｅｎｃｅ：遠藤理平		カットシステム	201512	3,800	4,104
3082	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784877833787	ＯｎｅＤｒｉｖｅ ＡＰＩ活用術：Ｊａｖａでクラウドアプリを開発する！		野崎英一		カットシステム	201510	4,800	5,184
3083	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784777518944	ＤｉｒｅｃｔＸ１１ ３Ｄプログラミング：定番「３Ｄグラフィックス ＡＰＩ」の基礎知識と使い方		Ｉ／Ｏ編集部	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201505	2,800	3,024
3084	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784777518715	ＷｅｂＧＬによる「流れ」と「波」のシミュレーション：Ｗｅｂ上で使える３Ｄグラフィックス ＡＰＩ		酒井幸市	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201412	2,500	2,700
3085	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784873116860	Ｗｅｂ ＡＰＩ：Ｔｈｅ Ｇｏｏｄ Ｐａｒｔｓ		水野貴明		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201411	2,200	2,376
3086	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784844335917	ＡＰＩデザインの極意：Ｊａｖａ／ＮｅｔＢｅａｎｓアーキテクト探究ノート		ヤロスラフ・ツヴラヴ：柴田芳樹		インプレス(発売：インプレス)	201405	3,200	3,456
3087	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784777518258	ＷｅｂＧＬによる物理シミュレーション：Ｗｅｂで使える３Ｄグラフィックス ＡＰＩ		酒井幸市	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201404	2,800	3,024
3088	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784048867733	Ｇｏｏｇｌｅ Ｅａｒｔｈアプリケーション開発ガイド：ＫＭＬ、Ｅａｒｔｈ＆ＡＰＩ徹底活用		古橋大地：渡邉英徳		ＫＡＤＯＫＡＷＡ	201402	1,800	1,944
3089	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784883379163	ＨＴＭＬ５ Ｗｅｂ標準ＡＰＩバイブル		羽田野太巳		ソシム	201402	2,980	3,218
3090	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784777517824	ＷｅｂＧＬによる「３Ｄ－ＣＧ」アニメーション：Ｗｅｂ上で使える３Ｄグラフィックス ＡＰＩ		酒井幸市	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201309	2,800	3,024
3091	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784777517596	ＩＷｅｂＧＬ／ｔｈｒｅｅ．ｊｓ」ではじめる３Ｄ－ＣＧプログラミング：Ｗｅｂブラウザ用の「３Ｄ－ＣＧ描画ＡＰＩ」が簡単に		宍戸輝光	Ｉ／Ｏ ｂｏｏｋｓ	工学社	201305	1,900	2,052
3092	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784048865388	Ｇｏｏｇｌｅ Ｍａｐｓ ＡＰＩプログラミング入門		勝又雅史：ゴーガ		角川アスキー総合研究所(発売：ＫＡＤＯＫＡＷＡ)	201212	3,600	3,888
3093	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784839943233	Ａｎｄｒｏｉｄ ＡＰＩプログラミング・リファレンス：Ａｎｄｒｏｉｄ ２．３／３．ｘ／４．０／４．１対応		高見知英：菅野祥礼		マイナビ出版	201211	3,980	4,298
3094	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784797369151	Ｃ＋＋のためのＡＰＩデザイン		マーティン・レディ【著】：ホジソンますみ【訳者】		ＳＢクリエイティブ	201211	3,800	4,104
3095	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784873115818	Ａｍａｚｏｎ Ｗｅｂ Ｓｅｒｖｉｃｅｓプログラミング：ＡＰＩの基礎からＥｌａｓｔｉｃ Ｂｅａｎｓｔａｌｋ		ジャーグ・パン・プリエット：フラビア・パガネリ		オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	201209	3,200	3,456
3096	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784274214837	ユーザビリティエンジニアリング：ユーザエクスペリエンスのための調査、設計、評価手法		樽本徹也		オーム社	201402	2,500	2,700
3097	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784274211607	アジャイル・ユーザビリティ：ユーザエクスペリエンスのためのＤＩＹテスティング		樽本徹也		オーム社	201202	2,200	2,376
3098	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784621084595	ユーザエクスペリエンスのためのストーリーテリング：よりよいデザインを生み出すストーリーの作り方と伝え		ホイットニー・キューゼンベリー：ケビン・ブルックス		丸善出版	201112	2,400	2,592
3099	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784877832612	ＵＸデザインプロジェクトガイド：優れたユーザエクスペリエンスデザインを実現するため		ラス・アンガー：キャロリン・チャンドラー		カットシステム	201104	4,000	4,320
3100	ICT	電気工学．電子工学	電気工学．電子工学	データ通信	9784798112947	ユーザ・エクスペリエンス：ユーザ・リサーチ実践ガイド		マイク・クニアフスキー：小畑喜一	ＩＴ ａｒｃｈｉｔｅｃｔｓ’ａｒｃｈｉｖｅ	翔泳社	200712	5,800	6,264

No	分野	書名	版次	タイトル和訳	著者名	出版社名	ISBN (13桁)	税込価格
1	情報科学一般	Understanding Virtual Reality : Interface, Application, and Design (Morgan Kaufmann Series in Computer Graphics)	2ND	ＶＲの理解（第２版）	Sherman, William R./ Craig, Alan B.	Morgan Kaufmann Pub	9780128009659	¥18,144
2	コンピュータネットワーク	Computer and Information Security Handbook --	3 ed	コンピュータと情報セキュリティ・ハンドブック（第３版）	Vacca, John R.	Elsevier Science & Technology	9780128038437	¥19,656
3	産業人間工学	Designing User Interfaces for an Aging Population : Towards Universal Design		高齢者社会のためのユニバーサル・デザイン	Johnson, Jeff/ Finn, Kate	Morgan Kaufmann Pub	9780128044674	¥7,552
4	コンピュータネットワーク	Contemporary Security Management	4TH	現代のセキュリティ管理（第４版）	Fay, John J./ Patterson, David	Butterworth-Heinemann	9780128092781	¥15,112
5	通信	The Illustrated Network : How TCP/IP Works in a Modern Network	2ND	図解ネットワーク（第２版）	Goralski, Walter	Morgan Kaufmann Pub	9780128110270	¥15,112
6	コンピュータネットワーク	Cloud Computing : Theory and Practice	2ND	クラウド・コンピューティング（テキスト・第２版）	Marinescu, Dan C.	Morgan Kaufmann Pub	9780128128107	¥11,332
7	科学史・科学哲学	Robot Ethics 2.0 : From Autonomous Cars to Artificial Intelligence		ロボット倫理2.0：自動運転車から人工知能へ	Lin, Patrick (EDT)/ Jenkins, Ryan (EDT)/ Abney, Keith (EDT)	Oxford Univ Pr	9780190652951	¥6,091
8	ポピュラーサイエンス	The AI Delusion		ＡＩ幻想	Smith, Gary	Oxford Univ Pr	9780198824305	¥4,060
9	情報理論	What Algorithms Want : Imagination in the Age of Computing		アルゴリズムとコンピュータ時代の想像力	Finn, Ed	Mit Pr	9780262035927	¥4,528
10	情報社会・インターネット	The Stuff of Bits : An Essay on the Materialities of Information		モノとしての情報の理論	Dourish, Paul	Mit Pr	9780262036207	¥5,292
11	情報科学史・哲学	Making IT Work : A History of the Computer Services Industry (History of Computing)		コンピュータ・サービス業の歴史	Yost, Jeffrey R.	Mit Pr	9780262036726	¥5,594
12	情報社会・インターネット	Twitterbots : Making Machines That Make Meaning		Twitter Botの世界	Veale, Tony/ Cook, Mike	MIT Pr	9780262037907	¥4,528
13	ポピュラーサイエンス	The Deep Learning Revolution		深層学習が世界を変える	Sejnowski, Terrence J.	Mit Pr	9780262038034	¥4,528
14	応用数学一般	Mathematics of Big Data : Spreadsheets, Databases, Matrices, and Graphs (Mit Lincoln Laboratory)		ビッグデータの数学	Kepner, Jeremy/ Jananthan, Hayden/ Leiserson, Charles E.	Mit Pr	9780262038393	¥12,096
15	ポピュラーサイエンス	Designing an Internet (Information Policy)		インターネットのデザイン	Clark, David D.	MIT Pr	9780262038607	¥4,982
16	人工知能	Interactive Task Learning : Humans, Robots, and Agents Acquiring New Tasks through Natural Interactions (Strngmann Forum Reports)		相互作用的タスク学習：人・ロボット・エージェント	Gluck, Kevin A. (EDT)/ Laird, John E. (EDT)/ Lupp, Julia (EDT)	Mit Pr	9780262038829	¥6,804
17	情報社会・インターネット	Playing Smart : On Games, Intelligence and Artificial Intelligence (Playful Thinking)		スマート化するゲームと人工知能	Togelius, Julian	Mit Pr	9780262039031	¥3,318
18	人文科学一般	Big Data, Little Data, No Data : Scholarship in the Networked World	Reprint	ビッグデータ時代の学術：人文・社会・自然科学のデータ実践論	Borgman, Christine L.	Mit Pr	9780262529914	¥4,082
19	情報社会・インターネット	Information and Society (Mit Press Essential Knowledge)		情報社会論（ＭＩＴエッセンシャル・ナレッジ・シリーズ）	Buckland, Michael	Mit Pr	9780262533386	¥2,411
20	ポピュラーサイエンス	Machine Translation (Mit Press Essential Knowledge)		機械翻訳（ＭＩＴエッセンシャル・ナレッジ・シリーズ）	Poibeau, Thierry	Mit Pr	9780262534215	¥2,411
21	倫理学	The Machine Question : Critical Perspectives on Ai, Robots, and Ethics	Reprint	ＡＩ、ロボットと倫理	Gunkel, David J.	Mit Pr	9780262534635	¥4,536
22	人工知能	Common Sense, the Turing Test, and the Quest for Real AI	Reprint	本来の人工知能へ：日常的な人間知性のはたらきに迫る	Levesque, Hector J.	Mit Pr	9780262535205	¥2,562
23	コンピュータネットワーク	New Solutions for Cybersecurity		MIT発サイバーセキュリティのソリューション	Shrobe, Howard (EDT)/ Shrier, David L. (EDT)/ Pentland, Alex (EDT)	Mit Pr	9780262535373	¥3,780
24	確率・統計	Data Science (The Mit Press Essential Knowledge)		データサイエンス（ＭＩＴエッセンシャル・ナレッジ・シリーズ）	Kelleher, John D./ Tierney, Brendan	Mit Pr	9780262535434	¥2,411
25	人工知能	Artificial Intelligence and the Two Singularities (Chapman & Hall/ Crc Artificial Intelligence and Robotics)		人工知能と２度のシンギュラリティの到来	Chace, Calum	Chapman & Hall	9780815368533	¥6,292
26	人工知能	Artificial Intelligence : Foundations of Computational Agents	2ND	人工知能の基礎（テキスト・第２版）	Poole, David L./ Mackworth, Alan K.	Cambridge Univ Pr	9781107195394	¥11,571
27	情報科学一般	Ethics and Technology : Controversies, Questions, and Strategies for Ethical Computing	5TH	コンピューターの倫理（テキスト・第５版）	Tavani, Herman T.	John Wiley & Sons Inc	9781118975558	¥19,323
28	確率・統計	The Data Science Handbook		データサイエンス・ハンドブック	Cady, Field	John Wiley & Sons Inc	9781119092940	¥9,064
29	データベース	Internet of Things and Data Analytics Handbook		ＩｏＴとデータ解析ハンドブック	Geng, Hwaiyu (EDT)	Wiley	9781119173649	¥22,680
30	データベース	Data Science for Dummies (For Dummies (Computer/tech))	2ND	誰でもわかるデータサイエンス（第２版）	Pierson, Lillian/ Porway, Jake (FRW)	For Dummies	9781119327639	¥4,533
31	通信	Human Bond Communication : The Holy Grail of Holistic Communication and Immersive Experience		IoTと人間的コミュニケーション	Dixit, Sudhir (EDT)/ Prasad, Ramjee (EDT)	John Wiley & Sons Inc	9781119341338	¥18,144
32	コンピュータネットワーク	Advanced Penetration Testing : Hacking the World's Most Secure Networks		ハッキング上級技術	Allsopp, Wil	John Wiley & Sons Inc	9781119367680	¥7,560
33	人工知能	Machine Learning : Topics and Techniques (Wiley Series in Probability and Statistics)		機械学習：トピックと手法	Knox, Steven W.	Wiley	9781119439196	¥15,112
34	コンピュータネットワーク	The Internet Book : Everything You Need to Know about Computer Networking and How the Internet Works	5TH	インターネットのすべて（第５版）	Comer, Douglas	CRC Pr	9781138331334	¥15,634
35	コンピュータネットワーク	Internet of Things Security : Challenges, Advances and Analytics		IoTのセキュリティ	Chintan, Patel/ Doshi, Nishant	Auerbach Pub	9781138341364	¥28,425

No	分野	書名	版次	タイトル和訳	著者名	出版社名	ISBN (13桁)	税込価格
36	コンピュータネットワーク	Police and Public Safety Information Systems : A Basic Reference Manual for It Professionals	2 Revised	警察と公共安全情報システム：ＩＴ専門家のための基本マニュアル（第２版）	Cobb, Renee	CRC Pr I Llc	9781439880654	¥7,916
37	代数学・数論・群論	Modern Cryptography and Elliptic Curves : A Beginner's Guide (Student Mathematical Library)		最新暗号学・楕円曲線：初心者向けガイド	Shemanske, Thomas R.	Amer Mathematical Society	9781470435820	¥7,862
38	データベース	Practical Data Science : A Guide to Building the Technology Stack for Turning Data Lakes into Business Assets		実践データサイエンス：膨大なデータを事業資産に変える	Vermeulen, Andreas Franois	Apress	9781484230534	¥6,197
39	人工知能	Machine Learning and Cognition in Enterprises : Business Intelligence Transformed		ビジネス・インテリジェンス変革のための機械学習と認知	Kumar, Rohit	Apress	9781484230688	¥6,728
40	データベース	R for Data Science : Import, Tidy, Transform, Visualize, and Model Data		データサイエンスのためのＲ	Wickham, Hadley/ Grolemund, Garrett	Oreilly	9781491910399	¥6,045
41	データベース	The Enterprise Big Data Lake : Delivering on the Promise of Hadoop and Data Science in the Enterprise		企業のためのビッグデータサイエンス	Gorelik, Alex	Oreilly & Associates Inc	9781491931554	¥6,045
42	データベース	The Hitchhiker's Guide to Data Science (Chapman & Hall/crc Big Data)		データサイエンス・ガイド	Hardoon, David Roi/ Ng, Reuben	Chapman & Hall	9781498724555	¥6,292
43	応用数学一般	Data Science Foundations : Geometry and Topology of Complex Hierarchic Systems and Big Data Analytics (Chapman & Hall/crc Computer Science		データサイエンスの基盤	Murtagh, Fionn	Chapman & Hall	9781498763936	¥14,210
44	都市工学	From Internet of Things to Smart Cities : Enabling Technologies (Chapman & Hall/crc Computer and Information Science)		IOTからスマート・シティへ	Sun, Hongjian (EDT)/ Wang, Chao (EDT)/ Ahmad, Bashar I. (EDT)	Chapman & Hall	9781498773782	¥18,679
45	情報社会・インターネット	How to Be a Geek : Essays on the Culture of Software		ソフトウエア文化論	Fuller, Matthew	Polity Pr	9781509517169	¥3,772
46	データベース	Think Like a Data Scientist : Tackle the Data Science Process Step-By-Step	PAP/PSC	データサイエンティストの思考法を学ぶ	Godsey, Brian	Manning Pubns Co	9781633430273	¥6,801
47	データベース	Big Data Visualization		ビッグデータ可視化	Miller, James D.	Packt Publishing	9781785281945	¥6,801
48	データベース	Artificial Intelligence and Big Data : The Birth of a New Intelligence		ＡＩとビッグデータ	Iafrate, Fernando	Wiley	9781786300836	¥18,144
49	確率・統計	Statistics for Data Science		データサイエンスのための統計学	Miller, James D.	Packt Publishing	9781788290678	¥6,045
50	データベース	Data Science and Big Data : An Environment of Computational Intelligence (Studies in Big Data)		データサイエンスとビッグデータ	Pedrycz, W. (EDT)/ Chen, S. (EDT)	Springer	9783319534732	¥26,565
51	情報・コンピュータと法	Cybersecurity in France (SpringerBriefs in Cybersecurity)		フランスの情報セキュリティ	Baumard, Philippe	Springer	9783319543062	¥9,739
52	情報科学一般	Mobility in Visually Impaired People : Fundamentals and ICT Assistive Technologies		視覚障害者の移動の基礎とICT支援技術	Pissaloux, Edwige (EDT)/ Velazquez, Ramiro (EDT)	Springer	9783319544441	¥35,421
53	コンピュータネットワーク	Cloud Service Benchmarking : Measuring Quality of Cloud Services from a Client Perspective		クラウド・サービスの評価基準入門	Bermbach, David/ Wittern, Erik/ Tai, Stefan	Springer	9783319554822	¥12,396
54	コンピュータネットワーク	Guide to Computer Network Security (Computer Communications and Networks)	4TH	コンピュータ・ネットワーク・セキュリティ・ガイド（第４版）	Kizza, Joseph Migga	Springer	9783319556055	¥10,625
55	データベース	Classification, (Big) Data Analysis and Statistical Learning (Studies in Classification, Data Analysis, and Knowledge Organization)		分類、（ビッグ）データ解析と統計的学習	Mola, Francesco (EDT)/ Conversano, Claudio (EDT)/ Vichi, Maurizio	Springer	9783319557076	¥12,396
56	データベース	Advances in User Authentication (Infosys Science Foundation Series)		ユーザー認証の最前線	Dasgupta, Dipankar/ Roy, Arunava/ Nag, Abhijit	Springer	9783319588063	¥12,396
57	情報科学一般	Mathematical Foundations of Advanced Informatics, Volume 1 : Inductive Approaches		先端情報工学の数理的基盤（全３巻）第１巻：帰納的アプローチ	Steffen, Bernhard/ Rüthing, Oliver/ Huth, Michael	Springer	9783319683966	¥5,842
58	コンピュータネットワーク	Practical Information Security : A Competency-Based Education Course		情報セキュリティ実践ガイド	Alsmadi, Izzat/ Burdwell, Robert/ Al-Omari, Ahmad	Springer	9783319721187	¥13,281
59	コンピュータネットワーク	Big Data Technologies for Monitoring of Computer Security : A Case Study of the Russian Federation		コンピュータ・セキュリティ監視のためのビッグデータ技術：ロシアの事例研究	Petrenko, Sergei	Springer	9783319790350	¥19,481
60	コンピュータネットワーク	Introduction to Security Reduction		セキュリティ軽減入門	Guo, Fuchun/ Susilo, Willy/ Mu, Yi	Springer	9783319930480	¥21,252
61	代数学・数論・群論	Cryptography (Springer Undergraduate Mathematics Series)		暗号学（テキスト）	Rubinstein-Salzedo, Simon	Springer	9783319948171	¥6,197
62	ソフトウェア工学	Fundamentals of Software Culture		ソフトウェア文化の基礎	Qin, Zheng/ Zhang, Huidi/ Qin, Xin	Springer	9789811307003	¥5,842
63	情報理論	Introduction to Evolutionary Informatics		進化情報学入門	Marks, Robert J., II/ Dembski, William A./ Ewert, Winston	World Scientific Pub Co Inc	9789813142138	¥17,841
64	メディア・ジャーナリズム	Robot Journalism : Can Human Journalism Survive?		ロボット・ジャーナリズム：ＡＩ時代に人間のジャーナリストは生き残れるか	Latar, Noam Lemelshtrich	World Scientific Pub Co Inc	9789813237339	¥11,793
								¥671,864

No	雑誌名	出版社名	税込価格
1	情報処理学会論文誌（ジャーナル＋トランザクション）	情報処理学会	49,665
2	システム制御情報学会論文誌	システム制御情報学会	25,080
3	人工知能	人工知能学会	17,160
4	ネットランナー	ソフトバンククリエイティブ	13,714
5	情報知識学会誌	情報知識学会	13,103
6	自然言語処理	言語処理学会	12,975
7	日経ＰＣ２１	日経ＢＰ	12,170
8	情報処理	情報処理学会	23,786
9	情報通信学会誌	情報通信学会	5,533
10	電子情報通信学会誌（本誌）	電子情報通信学会	35,706
11	日経ＮＥＴＷＯＲＫ	日経ＢＰマーケティング	21,483
12	日経ＳＹＳＴＥＭＳ	日経ＢＰマーケティング	20,464
13	ＳＯＦＴＷＡＲＥ　ＤＥＳＩＧＮ	技術評論社	18,744
	合計		269,583

No	タイトル	出版社名	税込価格
1	SIAM Journal on Computing	Society for Industrial and Applied Mathematics	130,000
2	Neural Computation	The M.I.T. Press	167,000
3	Journal of the ACM	Association for Computing Machinery	117,000
4	Computer Journal	Oxford University Press	193,000
5	Computer Science - Research and Development	Springer Nature	121,000
6	Innovations in Systems and Software Engineering	Springer Nature	105,000
7	ACM Journal of Data and Information Quality (JDIQ)	Association for Computing Machinery	75,000
8	Journal of Functional Programming	Cambridge University Press	94,000
9	Journal of Computer Security	IOS Press	170,000
10	Information Security Journal : A Global Perspective	Taylor & Francis Limited	55,000
11	AI Communications: European Journal on Artificial Intelligence	IOS Press	127,000
12	Network Science	Cambridge University Press	86,000
			1,440,000

No	分野	商品名	提供元	税込価格
1	全般	JDreamⅢ	株式会社ジー・サーチ	216,000
2	全般	ジャパンナレッジLib	株式会社ネットアドバンス	270,864
				486,864

設置の趣旨等を記載した書類

【資料 36】

臨地実務実習実施計画

開志専門職大学

事業創造学部

開志専門職大学臨地実務実習実施計画もくじ

１．企業内実習Ⅰ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
２．新規商品開発・販売実習Ⅰ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７
３．企業内実習Ⅱ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３
４．新規商品開発・販売実習Ⅱ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２０
５．企業内実習Ⅲ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２６

（添付資料）

添付資料１　臨地実務実習施設所要時間一覧表・・・・・・・・・・・・・・・　０１
添付資料２　臨地実務実習履修についての同意誓約書・・・・・・・・・・・・　０２
添付資料３　臨地実務実習計画票・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　０３
添付資料４　臨地実務実習報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　０５
添付資料５　実習日誌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　０７
添付資料６　事故・災害発生報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　０９
添付資料７　実施協定書（ひな形）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１
添付資料８　履修スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１６
添付資料９－１　臨地実務実習予定表　企業内実習Ⅰ・・・・・・・・・・・・　１７
添付資料９－２　臨地実務実習予定表　新規商品開発・販売実習Ⅰ・・・・・・　１８
添付資料９－３　臨地実務実習予定表　企業内実習Ⅱ・・・・・・・・・・・・　１９
添付資料９－４　臨地実務実習予定表　新規商品開発・販売実習Ⅱ・・・・・・　２０
添付資料９－５　臨地実務実習予定表　企業内実習Ⅲ・・・・・・・・・・・・　２１
添付資料 10－１　実習先との連携表　企業内実習Ⅰ・・・・・・・・・・・・　２２
添付資料 10－２　実習先との連携表　新規商品開発・販売実習Ⅰ・・・・・・　２４
添付資料 10－３　実習先との連携表　企業内実習Ⅱ・・・・・・・・・・・・　２６
添付資料 10－４　実習先との連携表　新規商品開発・販売実習Ⅱ・・・・・・　２９
添付資料 10－５　実習先との連携表　企業内実習Ⅲ・・・・・・・・・・・・　３１
添付資料 11　臨地実務実習指導教員別スケジュール表・・・・・・・・・・　３３
添付資料 12－１　事業創造学部学生時間割（１期）・・・・・・・・・・・・　３５
添付資料 12－２　事業創造学部学生時間割（２期）・・・・・・・・・・・・　３６
添付資料 12－３　事業創造学部学生時間割（３期）・・・・・・・・・・・・　３７
添付資料 12－４　事業創造学部学生時間割（４期）・・・・・・・・・・・・　３８
添付資料 13　授業科目毎の実習評価基準表・・・・・・・・・・・・・・・・　３９～４３

科目名：企業内実習Ⅰ
配当年次：1年③④
単位数（時間数）：２単位（６０時間）
実施期間：１０月上旬～２月中旬（週１日８週間実施）
指導責任教員：西村
指導担当教員：西村、石川、松澤、福田、渡辺

Ⅰ　科目の概要

ビジネス現場における他者との相互理解や円滑に仕事を進めるうえで信頼関係を築くことの重要性について、実際の企業現場で業務を体験することで理解し、企業活動における報告・連絡・相談の必要性や社会人としての身だしなみ・マナーについてもその能力と態度を身に付ける。実習先企業の事業内容が地域社会に果たす役割や企業人としての責任の自覚や他者と協調・協働して行動することの大切さを理解し、企業活動について考察する態度を身に付ける。

Ⅱ　実習の目的

教育課程の職業専門科目の臨地実務実習必修科目として、１年次の 3・4 期に履修する。実習終了後、企業内実習Ⅰの評価に従い２単位を付与する。この科目は企業現場の見学やビジネスにおける初歩的な実務を通じて、ビジネス現場での実践の場における各部署、部門の仕事、業務内容、役割について理解する。また、事業活動をチームで推進していく上で重要となるコミュニケーションの取り方や、今後の学修における自らの課題を明確にすることで、この科目履修後の発展的な実習となる企業内実習Ⅱ・Ⅲ、新規商品開発・販売実習に向けた実習履修に必要となる初歩的なビジネススキル、ビジネスマナーの向上を目的とする。この目的の達成のため、この授業科目の内容に適切な実習施設であるとともに、卒業後の活躍の場となる主に地域の経営資源を活用して活動している新潟県内の企業を選定した。また、受講生がこの実習に参加する前に、学内での事前学習となる「情報リテラシー」「日本語コミュニケーション」「ビジネスモラル」の全科目の単位を付与されていることを前提に、実習の履修が可能となる。事後は臨地実務実習報告会において実習成果を発表し目的の達成度を確認する。

Ⅲ　実習到達目標

①知識・理解　・実習先企業の企業組織の持つ特徴を理解している。
・実習先の企業の経営理念を踏まえ、社会的な役割、使命を説明できる。
・実習先の企業の各部署の役割、仕事内容を説明できる。
・実習先の企業の事業の概要、顧客価値について説明できる。
②技能　・状況に応じて適切な敬語の使い分けをすることができる。

・パソコンを活用し、簡単なビジネス文章を作成できる。
・周囲の状況を踏まえた発言・行動をとることができる。
・説明する相手に対して、「何を」「どこまで説明するのか」や発表する時間と内容バランス、重要なことを踏まえた発言・行動を実践できる。

③志向・態度
・法令や職場のルール、慣行などを順守している。
・出勤時間、約束時間などの定刻前に到着する等、不測の事態に備えた行動を意識している。
・社会人として求められる能力と自身を把握し、分析し、その状況を認識しようとしている。
・相手に興味・関心を強く持ち、相手の心理を読み取ろうとしている。
・聞き方のポイント押さえ、また、分かりやすく話そうとしている。

Ⅳ　実習科目の履修要件

この臨地実務実習科目を履修するための要件となる科目として、「情報リテラシー」「日本語コミュニケーション」「ビジネスモラル」全ての科目の単位を修得していることを要件とする。

Ⅴ　成績評価基準及び方法

［評価基準］

A：目標を大きく超え、非常に優秀である。
B：目標を超え、優秀である
C：概ね目標に達している
D：単位を認める最低限の基準に達している
Ｅ：単位を認める最低限の基準に達していない

［評価方法］

実習評価は、臨地実務実習指導者、実習担当教員により評価し、実習科目責任教員が最終的に単位を認定する。また、評価は実習到達目標に基づく評価と実習日誌、事後アンケート等から総合的に評価する。実習項目毎に評価項目の割合を提示する。

Ⅵ　実習施設（受入れ予定人数）

株式会社ウイネット　（2 人）
株式会社エデュースホールディングス　（5 人）
株式会社エヌエスジー教育ネットワーク　（5 人）
株式会社 NSG アカデミー　（5 人）
株式会社サーティファイ　（2 人）
株式会社小川屋　（5 人）

株式会社日本フードリンク　本社　（5 人× 2 グループ）
株式会社ベジ・アビオ　（2 人）
グローカルマーケティング株式会社　（5 人）
新潟綜合警備保障株式会社　（5 人）
越後味噌醸造株式会社　（5 人）
株式会社ヒューマンブレイン　（2 人）
今代司酒造株式会社　（5 人）
株式会社峰村商店　（5 人）
株式会社アイ・シー・オー　（5 人）
株式会社国際総合計画　（5 人）
株式会社 MGNET　（2 人）
Adam Innovations 株式会社　（5 人）

○以下の実習施設は臨地実務実習施設の確保状況説明書（別記様式第 7 号の 4 ）に記載した施設であるものの、長期休暇を利用して実施する実習施設とし、実施計画の中では受入れ人数を想定しない。通期に履修できなかった学生のための代替施設として位置づける。以下の実習施設での実施によって宿泊先の確保が必要な場合は、大学指定の宿泊先を確保し、掛かる交通費に対して補助金を支給する。

アートグリーン株式会社（ 2 人）
株式会社ミールワークス（ 5 人）

実習指導者の配置
※資料１０－１参照

Ⅶ　実習進行予定
○以下の内容にて 10 月上旬から 2 月中旬の毎週水曜日に実習を実施する。※資料９－１（１７ページ）参照
第 1 週　企業概要の説明（企業沿革、事業内容、社会的意義等）（企業説明）
臨地実務実習に取り組むことで何を修得すべきかという目的と姿勢の明確化
業務現場の見学およびヒアリング（気づいたことのまとめ）
実習先部署でのワークフロー、作業動線の説明と確認
第 2 週　社内コミュニケーションの観察と実践①ビジネスマナー、挨拶、電話、メール
第 3 週　社内コミュニケーションの観察と実践②会議、ミーティング、報告・連絡・相談
第 4 週　顧客対応の観察と実践①敬語・言葉使い、身だしなみ、表情・態度

第５週　顧客対応の観察と実践②話の聞き方、来客・電話応対
第６週　顧客対応の観察と実践③ビジネス文章・メール作成、コンプライアンス
第７週　実習成果（自己の課題の抽出）のまとめ、報告書作成
第８週　従業員へ報告書のプレゼンテーションとフィードバック
まとめ、振り返り（修得したこと、改善すべきことの抽出）

Ⅷ　事前の指導計画

１　グループの編成方針

原則２～５名を１グループとして１８グループを編成する。教員１名が 2～4 グループを担当し、各企業との実習指導者と連携のもと実習を行う。

２　臨地実務実習開始前の計画

（１）　学生オリエンテーションの実施

1 学年対象の学生オリエンテーションを 7 月に実施し、10 月より開始される臨地実務実習に向けた説明会を行う。この際、希望する実習先を記載する希望調査票の提出、実習先の決定、実施までを説明する。

（２）　臨地実務実習受入先の選定、調整

学生オリエンテーション時に配布された資料に基づき、希望調査票を指定期日までに社会連携推進課産官学連携担当事務まで提出させる。その後、指導担当教員と調整の相談・面談を行った後、臨地実務実習先を仮決定する。

（３）　臨地実務実習生申込書の提出

仮決定の後（決定しない学生は指導担当教員の指示に従わせ、決定する)、指定期日までに社会連携推進課産官学連携担当事務へ提出させる。

（４）受け入れ先の決定

受入先および臨地実務実習内容等の決定、受入先との協定および同意誓約書、交通機関の届出を仮決定企業に送り、臨地実務実習計画票を受け取った後、内容について、必要に応じて指導担当教員や事務から呼び出し掲示を行い、注意喚起する。

臨地実務実習計画票は教員と受入先との間で合意ができ、決定した段階で学生にも渡すものとし、呼出掲示に注意させる。

これらと並行して臨地実務協定書を本学と各企業等の間で取り交わし、学生よりこの協定書に対する同意誓約書を提出させる。

また、臨地実務実習で実際に通う場所が明らかになった段階で、交通手段期間の申請を行わせる。臨地実務実習期間の通学定期の購入には、この届出を行ってから 2～3 週間の期間を置き、適宜問題がないかの確認を行う。

（５）受入先決定から臨地実務実習出発までの準備

① 臨地実務実習受入先の概要等（各受入先企業等の概要などの資料は、社会連携推進

課に備え付けてある）を把握し、臨地実務実習の趣旨、目的等を理解させる（授業開始時おいても説明)。また、受入れ条件等を確認し、必要に応じて事前の学習や安全についての準備が必要な旨指導する。

② 臨地実務実習計画票を社会連携推進課から受領後、指導担当教員の指導の下で、速やかに、到着日時等を含めた確認のため、臨地実務実習受入先の指導担当者と連絡をとり、実習開始日、実務実習に必要となる準備物の確認、その他必要事項を確認する。

（６） 臨地実務実習の開始にあたって

出社日時・場所等を確認し、指定された日時に遅れないよう注意すること。特に、遠方の場合は、電車・バス時刻表等を確認し、余裕をもって実習できるように指導する。

（７） その他

期間中における実務実習の連絡先を家族等関係者に連絡する旨指導する。

3 臨地実務実習期間中の計画

（１）原則として、実習期間中は実習先企業の実習指導者が指導を行う。指導担当教員は臨地実習Ｉ巡回計画表（資料１０－１）に従い、期間中２回実習企業を訪問し、学習目標に対する到達あるいは実習生の成長の観点から助言する。1 回目は学生の実習状況、実習環境の把握、各学生の実習中のテーマの伝達とそれに対する企業への協力の依頼、学生指導を目的とする。2 回目は実習の進捗状況の確認、学生毎の実習中のテーマ研究の進捗状況を確認しそれに対するアドバイスを行う。巡回教員は臨地実習担当教員別時間割表（資料１１）に従い学内の指導に支障がないよう、巡回ができるように配慮する。

（２）実習期間中は、以下の臨地実務実習関係書類を提出させ、記載内容に基づき、適宜指導を行う。（企業の指導担当者及び担当教員）

〇臨地実務実習ノートの内容

ア 臨地実務実習生出席簿：日常の実習状況について、出欠を明らかにする。

イ 臨地実務実習開始報告：実習先の住所等の確認情報とともに、実習先の概要について、自ら確認した内容を記載させる。（イ及びウは開始後直ちに記入して、提出させる）

ウ 臨地実務実習予定表：受入先の指導担当者の指導の下に、臨地実務実習の期間内で予定される実習の内容を記述させる（場合によっては当面の内容でも可とする)。（イおよびウは開始後直ちに記入させ、提出させる）

エ 実習日誌：臨地実務実習期間中の毎日（休日を除く)、実習内容、指導担当者から指導を受けた事項、成果、学んだ事項などを記入させる。

オ 事故等発生報告書：万が一災害事故及び交通事故等の発生した場合は、指導担当者の指示を受けるとともに指導担当教員及び社会連携推進課産官学連携担当事務へ速やかに連絡し、その指示を仰ぐよう指導する。状況により、教員または職員が現地に赴かせ、必要な指示を出す。事故等発生報告書は速やかに記載させ、社会連携推進課産官学連携担当事務に FAX 等で送るとともに、臨地実務実習終了後、指導担当教員へ提出さ

せる。保険等の手続は、社会連携推進課産官学連携担当事務より指示を出す。

カ 臨地実務実習期間、勤務場所等の変更(日帰りによる出張程度を除く)については、必ず指導担当教員に連絡させる（電話、ＦＡＸ、e-mail 等、教員不在の時は学部事務室又は社会連携推進課産官学連携担当事務。）

4　臨地実務実習終了後の計画

（1） 指導担当教員の元へ直ちに電話かメールにより終了報告させる。(終了日又は翌日)

（2） 実習ノートおよびレポート（臨地実務実習報告書）を提出させる。(原則、終了後 1 週間以内に持参又は郵送。)

（3） 指導担当者等関係者へ礼状を発送させる。(終了一ヶ月以内を目安に、指導担当教員の指導（個別面談）を実施する。)

（4） 学部・学科ごとに臨地実務実習報告会等を実施することを原則とし、指導担当教員の指示により参加させる。

（5） 臨地実務実習に関する事後アンケートを実施し、学生の学習過程および学習成果を客観的に評価し、各自の課題に関してのフィードバックを行う。

科目名：新規商品開発・販売実習Ⅰ
配当年次：2年①②
単位数（時間数）：5単位（１５０時間）
指導期間：4月上旬～8月上旬（週2日15週間）
指導責任教員：石川
指導担当教員：石川、松澤、東城、平田

Ⅰ　科目の概要

実習先企業の商品やサービスの販売体験を行い、そこから見えてくる課題を抽出し、自社の商品やサービスについて、新しいマーケットやターゲットを選定するための手法、そのターゲットに対するアプローチの手法、その成果を分析する手法等の新規商品開発及び販売計画の策定について、実際の企業現場で企画部署や経営管理者とのミーティングにより考察を重ね、グループワークにて他者と協働し新規企画を立案し、実習先企業へのプレゼンテーションを体験することで、新たなモノやサービスを創り出す創造力と実践的な態度を身に付ける。

Ⅱ　実習の目的

教育課程の職業専門科目の臨地実務実習必修科目として、2年次の1・2期に履修する。実習終了後、新規商品開発・販売実習Ⅰの評価に従い5単位を付与する。この科目は、新たなビジネスモデルを構築する新規事業開発と既存のビジネスモデルに新しい商品・サービスを開発する新規商品開発との違いの理解を踏まえたうえで、新規商品開発のための基本的なしくみを理解する。また、新たに開発した商品を販売するために必要となる広告宣伝、販路開拓、販売促進のしくみと推進のポイントや、新規商品開発から販売までの流れを理解し、事業を創造するための基盤の確立を目指すことを目的とする。この目的の達成のため、この授業科目の内容に適切な実習施設であるとともに、卒業後の活躍の場となる主に地域の経営資源を活用して活動し、今後社会的ニーズの拡がりが特に期待できる新潟県内の企業を選定した。また、受講生がこの実習に参加する前に、学内での事前学習となる「企業内実習Ⅰ」「経営学の基礎」「経済学の基礎」「経営戦略論」「マーケティング」「デジタルマーケティング」の全科目の単位を付与されていることを前提に、実習の履修が可能となる。事後は臨地実務実習報告会において実習成果を発表し目的の達成度を確認する。

Ⅲ　実習到達目標

①知識・理解　・市場環境の情報収集や分析手法（市場の成長性・トレンド・ニーズ）を理解し、説明できる。
・マーケティングコンセプト（セグメンテーション・ターゲティング・ポジショニング）について理解し、説明できる。

・商品アイデア（商品コンセプト）と経営資源（生産・技術・供給・流通等）との関係性について理解し、説明できる。
・新規商品開発に必要なしくみや用語を理解し、説明できる。
・新規商品販売に必要なしくみや用語を理解し、説明できる。

②技能
・新規商品開発・販売計画について、基本的なマーケティングの理論を踏まえた計画の概要を策定することができる。
・策定した計画の概要を聞き手にわかりやすく、また、重要となるポイントを明確かつ正確に伝えることができる。
・実行した成果に対して客観的に評価・分析し、課題を抽出することができる。

③志向・態度
・市場の変化、動向に幅広い関心を持ち、高いチャレンジ精神を持とうとしている。
・新しい商品開発・販売に関しての必要性を認識し、情熱をもって取り組もうとしている。
・策定した計画の実行について、根気強い努力を継続しようとしている。

Ⅳ　実習科目の履修要件

臨地実務実習科目を履修するには、原則として「企業内実習Ⅰ」「経営学の基礎」「経済学の基礎」「経営戦略論」「マーケティング」「デジタルマーケティング」すべての科目の単位を修得していることを要件とする。

Ⅴ　成績評価基準及び方法

［評価基準］

A：目標を大きく超え、非常に優秀である。
B：目標を超え、優秀である
C：概ね目標に達している
D：単位を認める最低限の基準に達している
Ｅ：単位を認める最低限の基準に達していない

［評価方法］

実習評価は、臨地実務実習指導者、実習担当教員により評価し、実習科目責任教員が最終的に単位を認定する。また、評価は実習到達目標に基づく評価と実習日誌、事後アンケート等から総合的に評価する。実習項目毎に評価項目の割合を提示する。

Ⅵ　実習施設（受入れ予定人数）

株式会社ウイネット　（２人）
株式会社エデュースホールディングス　（５人）

株式会社エヌエスジー教育ネットワーク　（５人）
株式会社 NSG アカデミー　（５人）
株式会社サーティファイ　（５人）
株式会社小川屋　（５人）
グローカルマーケティング株式会社　（５人）
新潟綜合警備保障株式会社　（５人）
株式会社新潟プロバスケットボール本社（5 人）
越後味噌醸造株式会社　（５人）
今代司酒造株式会社　（５人）
株式会社峰村商店　（５人）
株式会社 MGNET　（５人）
リコージャパン株式会社新潟支社（１２人）※6 名×2 グループ
株式会社幻の酒　（６人）

○以下の実習施設は臨地実務実習施設の確保状況説明書（別記様式第７号の４）に記載した施設であるものの、長期休暇を利用して実施する実習施設とし、実施計画の中では受入れ人数を想定しない。通期に履修できなかった学生のための代替施設として位置づける。以下の実習施設での実施によって宿泊先の確保が必要な場合は、大学指定の宿泊先を確保し、掛かる交通費に対して補助金を支給する。

アートグリーン株式会社（５人）
株式会社ミールワークス（５人）

実習指導者の配置
※資料１０－２参照

Ⅶ　実習進行予定
○以下の内容にて４月上旬から８月上旬の毎週火曜日（終日）と水曜日（午後）に実習を実施する。　※資料９－２（１８ページ）参照

第１週　企業概要の説明（企業沿革、事業内容、社会的意義等）（企業説明）
競合他社等業界事情、業界を取り巻く環境や課題説明(企業説明)
第 2～5 週　競合他社・市場分析、事業の強みと弱み、社会的重要性についての調査・ディスカッション
既存商品販売現場見学及び販売体験、ニーズヒアリング
第６～７週　個人アイデアの抽出、検討
第８～９週　グループワークにて構想まとめ（競合との比較、各所ヒアリング）

新規企画書（商品開発・販売計画の概要）の作成
第 10 週　　途中経過の報告、修正事項の明確化
第 11～12 週　新規企画書（商品開発・販売計画の概要）の修正・手直し
第 13 週　　新規企画書（商品開発・販売計画の概要）プレゼンテーション準備
第 14 週　　新規企画書（商品開発・販売計画の概要）プレゼンテーション
第 15 週　　成果に対するフィードバック、振り返り

Ⅷ　事前の指導計画

１　グループの編成方針

原則２～６名を１グループとして１６グループを編成する。教員 1 名が１～５グループを担当し、各企業との実習指導者と連携のもと実習を行う。

２　臨地実務実習開始前の計画

（１）　学生オリエンテーションの実施

1 学年対象の学生オリエンテーション 12 月に実施し、2 年 4 月より開始される臨地実務実習に向けた説明会を行う。この際、希望する実習先を記載する希望調査票の提出、実習先の決定、実施までを説明する。

（２）　臨地実務実習受入先の選定、調整

学生オリエンテーション時に配布された資料に基づき、希望調査票を指定期日までに社会連携推進課産官学連携担当事務まで提出させる。その後、指導担当教員と調整の相談・面談を行った後、臨地実務実習先を仮決定する。

（３）　臨地実務実習生申込書の提出

仮決定の後（決定しない学生は指導担当教員の指示に従わせ、決定する）、指定期日までに社会連携推進課産官学連携担当事務へ提出させる。

（４）受け入れ先の決定

受入先および臨地実務実習内容等の決定、受入先との協定および同意誓約書、交通機関の届出を仮決定企業に送り、臨地実務実習計画票を受け取った後、内容について、必要に応じて指導担当教員や事務から呼び出し掲示を行い、注意喚起する。

臨地実務実習計画票は教員と受入先との間で合意ができ、決定した段階で学生にも渡すものとし、呼出掲示に注意させる。

これらと並行して臨地実務協定書を本学と各企業等の間で取り交わし、学生よりこの協定書に対する同意誓約書を提出させる。

また、臨地実務実習で実際に通う場所が明らかになった段階で、交通手段期間の申請を行わせる。臨地実務実習期間の通学定期の購入には、この届出を行ってから 2～3 週間の期間を置き、適宜問題がないかの確認を行う。

（５）受入先決定から臨地実務実習出発までの準備

① 臨地実務実習受入先の概要等（各受入先企業等の概要などの資料は、社会連携推進課に備え付けてある）を把握し、臨地実務実習の趣旨、目的等を理解させる（授業開始時おいても説明)。また、受入れ条件等を確認し、必要に応じて事前の学習や安全についての準備が必要な旨指導する。

② 臨地実務実習計画票を社会連携推進課産官学連携担当事務から受領後、指導担当教員の指導の下で、速やかに、到着日時等を含めた確認のため、臨地実務実習受入先の指導担当者と連絡をとり、実習開始日、実務実習に必要となる準備物の確認、その他必要事項を確認する。

（６） 臨地実務実習の開始にあたって

出社日時・場所等を確認し、指定された日時に遅れないよう注意すること。特に、遠方の場合は、電車・バス時刻表等を確認し、余裕をもって実習できるように指導する。

（７） その他

期間中における実務実習の連絡先を家族等関係者に連絡する旨指導する。

3 臨地実務実習期間中の計画

（１）原則として、実習期間中は実習先企業の実習指導者が指導を行う。指導担当教員は実施期間中、新規商品開発・販売実習Ｉ巡回計画表（資料１０－２）に従い、２回実習企業を訪問し、学習目標に対する到達あるいは実習生の成長の観点から助言する。1回目は学生の実習状況、実習環境の把握、各学生の実習中のテーマの伝達とそれに対する企業への協力の依頼、学生指導を目的とする。2回目は実習の進捗状況の確認、学生毎の実習中のテーマ研究の進捗状況を確認しそれに対するアドバイスを行う。巡回教員は臨地実習担当教員別時間割表（資料１１）に従い学内の指導に支障がないよう、巡回ができるように配慮する。

（２）実習期間中は、以下の臨地実務実習関係書類を提出させ、記載内容に基づき、適宜指導を行う。（企業の指導担当者及び担当教員）

〇臨地実務実習ノートの内容

ア 臨地実務実習生出席簿：日常の実習状況について、出欠を明らかにする。

イ 臨地実務実習開始報告：実習先の住所等の確認情報とともに、実習先の概要について、自ら確認した内容を記載させる。（イ及びウは開始後直ちに記入して、提出させる）

ウ 臨地実務実習予定表：受入先の指導担当者の指導の下に、臨地実務実習の期間内で予定される実習の内容を記述させる（場合によっては当面の内容でも可とする)。（イおよびウは開始後直ちに記入させ、提出させる）

エ 実習日誌：臨地実務実習期間中の毎日（休日を除く)、実習内容、指導担当者から指導を受けた事項、成果、学んだ事項などを記入させる。

オ 事故等発生報告書：万が一災害事故及び交通事故等の発生した場合は、指導担当者の指示を受けるとともに指導担当教員及び社会連携推進課産官学連携担当事務へ速やかに連絡し、その指示を仰ぐよう指導する。状況により、教員または職員が現地に赴かせ、必要な指示を出す。事故等発生報告書は速やかに記載させ、社会連携推進課産官学連携担当事務に FAX 等で送るとともに、臨地実務実習終了後、指導担当教員へ提出させる。保険等の手続は、社会連携推進課より指示を出す。

カ 臨地実務実習期間、勤務場所等の変更(日帰りによる出張程度を除く)については、必ず指導担当教員に連絡させる（電話、ＦＡＸ、e-mail 等、教員不在の時は学部事務室又は社会連携推進課産官学連携担当事務。）

4　臨地実務実習終了後の計画

（1） 指導担当教員の元へ直ちに電話かメールにより終了報告させる。(終了日又は翌日)

（2） 実習ノートおよびレポート（臨地実務実習報告書）を提出させる。(原則、終了後 1 週間以内に持参又は郵送。)

（3） 指導担当者等関係者へ礼状を発送させる。(終了一ヶ月以内を目安に、指導担当教員の指導（個別面談）を実施する。)

（4） 学部・学科ごとに臨地実務実習報告会等を実施することを原則とし、指導担当教員の指示により参加させる。

（5） 臨地実務実習に関する事後アンケートを実施し、学生の学習過程および学習成果を客観的に評価し、各自の課題に関してのフィードバックを行う。

科目名：企業内実習Ⅱ
配当年次：２年③④
単位数（時間数）：４単位（１２０時間）
指導期間：１０月上旬～２月中旬（週１日１５週間）
指導責任教員：石川
指導担当教員：石川、松澤、東城、土岐

Ⅰ　科目の概要

実習先企業の市場における企業価値や業界でのポジショニングを認識し、企業経営者のリーダーシップ、経営目標の設定や行動計画の策定、経営判断の考え方、経営課題への取り組み方などを実際の業務や経営管理者とのミーティングを通して考察することにより、経営課題を踏まえた目標設定や行動計画を策定し、実習先企業へのプレゼンテーションを体験することで、地域産業の振興や活性化を推進するための創造的な能力と実践的な態度を身に付けるとともに経営者マインドを醸成する。

Ⅱ　実習の目的

教育課程の職業専門科目の臨地実務実習必修科目として、２年次の 3・4 期に履修する。実習終了後、企業内実習Ⅱの評価に従い４単位を付与する。この科目は、主に事業創造の実践のスキルを活かす主要な場となる企業においてのリーダーシップ、経営目標の設定や行動計画の策定、経営判断の考え方、経営課題への取り組み方などを理解することで、新しい事業を推進する上でのポイントを把握し、トップマネジメントの理解を深めることを目的とする。この目的の達成のため、この授業科目の内容に適切な実習施設であるとともに、卒業後の活躍の場となる主に地域の経営資源を活用して活動している新潟県内の企業を選定した。また、受講生がこの実習に参加する前に、学内での事前学習となる「企業内実習Ⅰ」「経営学の基礎」「経済学の基礎」「経営戦略論」「経営組織論」「ビジネスモデル論」の全科目の単位を付与されていることを前提に、実習の履修が可能となる。事後は臨地実務実習報告会において実習成果を発表し目的の達成度を確認する。

Ⅲ　実習到達目標

①知識・理解
- 実習先企業の業態(商品の売り方・サービスの提供方法など)を理解している。
- 実習先企業の企業経営者のリーダーシップの取り方における重要となる要素（思考力、行動力、人間力、折衝力）を理解している。
- 実習先企業の経営課題を設定するまでに検討が必要な要素、過程を理解している。
- 実習先企業の経営目標の設定、経営戦略、アクションプランを策定す

るまでの過程を理解している。

②技能
・経営課題を踏まえた目標設定とその課題を克服するためのプランを策定する。
・誰に対して、どこまで説明するのか、発表する時間と内容バランス、大切なことと削除して良い事を区分できるかなどを実践できる。
・経営のあるべき姿の視点から事業の成長や利益の確保に向けた改善案を提案できる。
・顧客の視点から消費者や取引先にとっての魅力や評価の向上を理解し、改善案を提案できる。
・業務プロセスの視点から社内オペレーションや営業などにおける改善案を提案できる。

③志向・態度
・仕事を効率的に進められるように、作業の工夫や改善に取り組んでいる。
・必要性に気づいたら、人に指摘される前に行動に移している。
・より良いアイデアを追求し、周囲に意見を述べている。
・相手の心情を配慮し、適切な態度や言葉遣い、姿勢で依頼や折衝をしている。
・相手に興味・関心を強く持ち、相手の心理を読み取ろうとしている。
・聞き方のポイントを押さえ、また、分かりやすく話そうとしている。

Ⅳ　実習科目の履修要件

臨地実務実習科目を履修するには、原則として、実習科目に関連する「企業内実習Ⅰ」「経営学の基礎」「経済学の基礎」「経営戦略論」「経営組織論」「ビジネスモデル論」の全ての科目の単位を修得していることを要件とする。

Ⅴ　成績評価基準及び方法

［評価基準］

A：目標を大きく超え、非常に優秀である。
B：目標を超え、優秀である
C：概ね目標に達している
D：単位を認める最低限の基準に達している
E：単位を認める最低限の基準に達していない

［評価方法］

実習評価は、臨地実務実習指導者、実習担当教員により評価し、実習科目責任教員が最終的に単位を認定する。また、評価は実習到達目標に基づく評価と実習日誌、事後アンケ

ート等から総合的に評価する。実習項目毎に評価項目の割合を提示する。

Ⅵ　実習施設（受入れ予定人数）

株式会社ウイネット　（6 人）
株式会社エデュースホールディングス　（3 人）
株式会社エヌエスジー教育ネットワーク　（3 人）
株式会社 NSG アカデミー　（5 人）
株式会社サーティファイ　（4 人）
株式会社小川屋　（2 人）
株式会社日本フードリンク　本社　（5 人）
株式会社ベジ・アビオ　（2 人）
グローカルマーケティング株式会社　（3 人）
新潟綜合警備保障株式会社　（3 人）
株式会社リビングギャラリー本店　（２人）
株式会社リビングギャラリー新潟中央センター　（2 人）※1
株式会社リビングギャラリー新潟駅前店　（2 人）※1
株式会社リビングギャラリー新潟古町店　（2 人）※1
株式会社リビングギャラリー新潟亀田店　（2 人）※1
株式会社リビングギャラリー新潟東店　（2 人）※2
株式会社リビングギャラリー新潟大学前店　（2 人）※2
株式会社リビングギャラリー新潟西店　（2 人）※2
株式会社リビングギャラリー新津店　（2 人）※2
株式会社リビングギャラリー新潟北店　（2 人）※3
株式会社リビングギャラリー新発田店　（2 人）※3
株式会社リビングギャラリー燕三条店　（2 人）※3
株式会社リビングギャラリー長岡西店　（2 人）※3
株式会社リビングギャラリー長岡東店（２人）※1
越後味噌醸造株式会社　（２人）
株式会社ヒューマンブレイン　（２人）
今代司酒造株式会社　（2 人）
株式会社峰村商店　（2 人）
株式会社国際総合計画　（3 人）
株式会社 MGNET　（2 人）
株式会社幻の酒　（3 人）

○上記の施設名に※印がある施設については、各支店のみの実施で学修到達目標を達成

できないことから、※１～３の３グループに分けたうえで、実習期間中２回（第１週と７週）を本店にて実習を実施するものとし、この経営上層部との関わり方を通じてトップマネジメントの理解を深める。

○以下の実習施設は臨地実務実習施設の確保状況説明書（別記様式第７号の４）に記載した施設であるものの、長期休暇を利用して実施する実習施設とし、実施計画の中では受入れ人数を想定しない。通期に履修できなかった学生のための代替施設として位置づける。以下の実習施設での実施によって宿泊先の確保が必要な場合は、大学指定の宿泊先を確保し、掛かる交通費に対して補助金を支給する。

アートグリーン株式会社（３人）
株式会社リビングギャラリー上越センター（１人）
株式会社リビングギャラリー郡山店（１人）
株式会社リビングギャラリー川崎店（１人）
株式会社リビングギャラリー日暮里店（１人）
株式会社リビングギャラリー錦糸町店（１人）
株式会社リビングギャラリー赤羽店（１人）
株式会社リビングギャラリー船橋店（１人）
株式会社リビングギャラリー高円寺店（１人）
株式会社アイ・シー・オー（５人）
Adam　Innovations 株式会社（２人）
株式会社ミールワークス（３人）

実習指導者の配置
※資料１０－３参照

Ⅶ　実習進行予定
○以下の内容にて 10 月上旬から２月中旬の毎週月曜日（終日）に実習を実施する。
※資料９－３（１９ページ）参照
第１週　企業概要の説明（企業沿革、事業内容、社会的意義等）（企業説明）
競合他社等業界事情、業界を取り巻く環境や課題説明(企業説明)
第２週　競合他社・市場分析、事業の強みと弱み、社会的重要性の把握
第３週　社長（経営上層部）ミーティング及び企業経営課題を踏まえた目標の設定、行動計画の策定（１）（課題の発見抽出、課題の設定）
第４週　社長（経営上層部）ミーティング及び企業経営課題を踏まえた目標の設定、行動計画の策定（２）（解決のための方策の抽出、アクションプランの設定）

第５週～行動計画の実行、実践
第８週～ 設定目標に対する中間報告、目標・行動計画の修正
　　行動計画の実行、実践
第 11 週～報告書作成（わかりやすさ、制作ポイントの明確化）
　　報告書作成（課題に対する方策、項目・順序立て）
第 12 週　報告書修正・改善
第 13 週　報告書のプレゼンテーション準備や予行演習
第 14 週　社長（経営上層部）を含む全従業員へ成果プレゼンテーション
第 15 週　成果に対するフィードバック、振り返り

Ⅷ　事前の指導計画

１　グループの編成方針

原則１～６名を１グループとして３２グループを編成する。教員 1 名が６～８グループを担当し、各企業との実習指導者と連携のもと実習を行う。

２　臨地実務実習開始前の計画

（１） 学生オリエンテーションの実施

２学年対象の学生オリエンテーション７月に実施し、10 月より開始される臨地実務実習に向けた説明会を行う。この際、希望する実習先を記載する希望調査票の提出、実習先の決定、実施までを説明する。

（２） 臨地実務実習受入先の選定、調整

学生オリエンテーション時に配布された資料に基づき、希望調査票を指定期日までに社会連携推進課産官学連携担当まで提出させる。その後、指導担当教員と調整の相談・面談を行った後、臨地実務実習先を仮決定する。

（３） 臨地実務実習生申込書の提出

仮決定の後（決定しない学生は指導担当教員の指示に従わせ、決定する）、指定期日までに社会連携推進課産官学連携担当事務へ提出させる。

（４）受け入れ先の決定

受入先および臨地実務実習内容等の決定、受入先との協定および同意誓約書、交通機関の届出を仮決定企業に送り、臨地実務実習計画票を受け取った後、内容について、必要に応じて指導担当教員や事務から呼び出し掲示を行い、注意喚起する。

臨地実務実習計画票は教員と受入先との間で合意ができ、決定した段階で学生にも渡すものとし、呼出掲示に注意させる。

これらと並行して臨地実務協定書を本学と各企業等の間で取り交わし、学生よりこの協定書に対する同意誓約書を提出させる。

また、臨地実務実習で実際に通う場所が明らかになった段階で、交通手段期間の申請を

行わせる。臨地実務実習期間の通学定期の購入には、この届出を行ってから 2～3 週間の期間を置き、適宜問題がないかの確認を行う。

（５）受入先決定から臨地実務実習出発までの準備

① 臨地実務実習受入先の概要等（各受入先企業等の概要などの資料は、社会連携推進課に備え付けてある）を把握し、臨地実務実習の趣旨、目的等を理解させる（授業開始時おいても説明)。また、受入れ条件等を確認し、必要に応じて事前の学習や安全についての準備が必要な旨指導する。

② 臨地実務実習計画票を社会連携推進課から受領後、指導担当教員の指導の下で、速やかに、到着日時等を含めた確認のため、臨地実務実習受入先の指導担当者と連絡をとり、実習開始日、実務実習に必要となる準備物の確認、その他必要事項を確認する。

（６） 臨地実務実習の開始にあたって

出社日時・場所等を確認し、指定された日時に遅れないよう注意すること。特に、遠方の場合は、電車・バス時刻表等を確認し、余裕をもって実習できるように指導する。

（７） その他

期間中における実務実習の連絡先を家族等関係者に連絡する旨指導する。

3 臨地実務実習期間中の計画

（１） 原則として、実習期間中は実習先企業の実習指導者が指導を行う。指導担当教員は実施期間中、企業内実習Ⅱ巡回計画表（資料１０－３）に従い、２回実習企業を訪問し、学習目標に対する到達あるいは実習生の成長の観点から助言する。1 回目は学生の実習状況、実習環境の把握、各学生の実習中のテーマの伝達とそれに対する企業への協力の依頼、学生指導を目的とする。2 回目は実習の進捗状況の確認、学生毎の実習中のテーマ研究の進捗状況を確認しそれに対するアドバイスを行う。巡回教員は臨地実習担当教員別時間割表（資料１１）に従い学内の指導に支障がないよう、巡回ができるように配慮する。

（２）実習期間中は、以下の臨地実務実習関係書類を提出させ、記載内容に基づき、適宜指導を行う。（企業の指導担当者及び担当教員）

〇臨地実務実習ノートの内容

ア 臨地実務実習生出席簿：日常の実習状況について、出欠を明らかにする。

イ 臨地実務実習開始報告：実習先の住所等の確認情報とともに、実習先の概要について、自ら確認した内容を記載させる。（イ及びウは開始後直ちに記入して、提出させる）

ウ 臨地実務実習予定表：受入先の指導担当者の指導の下に、臨地実務実習の期間内で予定される実習の内容を記述させる（場合によっては当面の内容でも可とする)。（イおよびウは開始後直ちに記入させ、提出させる）

エ 実習日誌：臨地実務実習期間中の毎日（休日を除く)、実習内容、指導担当者から指

導を受けた事項、成果、学んだ事項などを記入させる。
オ 事故等発生報告書：万が一災害事故及び交通事故等の発生した場合は、指導担当者の指示を受けるとともに指導担当教員及び社会連携推進課産官学連携担当事務へ速やかに連絡し、その指示を仰ぐよう指導する。状況により、教員または職員が現地に赴かせ、必要な指示を出す。事故等発生報告書は速やかに記載させ、社会連携推進課産官学連携担当事務課に FAX 等で送るとともに、臨地実務実習終了後、指導担当教員へ提出させる。保険等の手続は、社会連携推進課より指示を出す。
カ 臨地実務実習期間、勤務場所等の変更(日帰りによる出張程度を除く)については、必ず指導担当教員に連絡させる（電話、ＦＡＸ、e-mail 等、教員不在の時は学部事務室又は社会連携推進課産官学連携担当事務)。

4 臨地実務実習終了後の計画

（1） 指導担当教員の元へ直ちに電話かメールにより終了報告させる。(終了日又は翌日)

（2） 実習ノートおよびレポート（臨地実務実習報告書）を提出させる。(原則、終了後 1 週間以内に持参又は郵送。)

（3） 指導担当者等関係者へ礼状を発送させる。(終了一ヶ月以内を目安に、指導担当教員の指導（個別面談）を実施する。)

（4） 学部・学科ごとに臨地実務実習報告会等を実施することを原則とし、指導担当教員の指示により参加させる。

（5） 臨地実務実習に関する事後アンケートを実施し、学生の学習過程および学習成果を客観的に評価し、各自の課題に関してのフィードバックを行う。

科目名：新規商品開発・販売実習Ⅱ
配当年次：３年①②
単位数（時間数）：５単位（１５０時間）
指導期間：４月上旬～８月上旬（週２日１５週間）
指導責任教員：石川
指導担当教員：石川、松澤、東城、平田

Ⅰ　科目の概要

実習先企業の商品やサービスの販売体験やニーズヒアリングを行い、様々な調査や分析を行い、新商品や新サービスの開発を提案する。さらに、ここまでに身に付けた経営、会計、マーケティングの知識を総合し、実際の販売ベースに乗せる商品化されるまでの販売計画を立案し、実習先企業へのプレゼンテーションを体験することで、新たな事業の創造と発展を担うための実践的かつ応用的な能力を身に付ける。

Ⅱ　実習の目的

教育課程の職業専門科目の臨地実務実習必修科目として、３年次の１・２期に履修する。実習終了後、新規商品開発・販売実習Ⅱの評価に従い５単位を付与する。この科目は、新規商品開発・販売実習Ⅰに続く実習として、新たなビジネスモデルを構築する新規事業開発と既存のビジネスモデルに新しい商品・サービスを開発する新規商品開発との違いの理解を踏まえたうえで、新規商品開発・販売のための計画書の策定を通じ、実践力を獲得することを目的とする。また、新たに開発した商品を販売するために必要となる広告宣伝、販路開拓、販売促進に関する販売計画の策定を通じ、新規商品開発から販売まで必要な実践力の獲得、事業を創造するための基盤の理解を目的とする。この目的の達成のため、この授業科目の内容に適切な実習施設であるとともに、卒業後の活躍の場となる主に地域の経営資源を活用して活動し、今後社会的ニーズの拡がりが特に期待できる新潟県内の企業を選定した。また、受講生がこの実習に参加する前に、学内での事前学習となる「経営学の基礎」「経済学の基礎」「経営戦略論」「経営組織論」「ビジネスモデル論」「マーケティング」「デジタルマーケティング」「会計学」「財務諸表論」「簿記概論」「企業内実習Ⅰ・Ⅱ」「新規商品開発・販売実習Ⅰ」の全科目の単位を付与されていることを前提に、実習の履修が可能となる。事後は臨地実務実習報告会において実習成果を発表し目的の達成度を確認する。

Ⅲ　実習目標

①知識・理解　・市場環境の情報収集・分析手法（市場の成長性・トレンド・ニーズ）を理解し、説明できる。
・マーケティングコンセプト（セグメンテーション・ターゲティング・ポジショニング）について理解し、説明できる。

・商品アイデア（商品コンセプト）と経営資源（生産・技術・供給・流通等）との関係性について理解し、説明できる。
・新規商品の開発に必要な流れ・行程を理解し、説明できる。
・新規商品を販売するために必要となるしくみを理解し、説明できる。

②技能
・新規商品開発・販売計画について、基本的なマーケティングの理論と基本的な会計の理論を踏まえた一貫性のある販売計画を策定することができる。
・策定した計画を聞き手にわかりやすく、また、重要となるポイントを明確かつ正確に伝えることができる。
・実行した成果に対して客観的に評価・分析し、課題を抽出したうえで、その課題に対する対策案を立てることができる。

③志向・態度
・市場の変化、動向に幅広い関心を持ち、高いチャレンジ精神を持とうとしている。
・新しい商品開発・販売に関しての必要性を認識し、情熱をもって取り組もうとしている。
・策定した計画の実行について、根気強い努力を継続しようとしている。

Ⅳ　実習科目の履修要件

臨地実務実習科目を履修するには、原則として「経営学の基礎」「経済学の基礎」「経営戦略論」「経営組織論」「ビジネスモデル論」「マーケティング」「デジタルマーケティング」「会計学」「財務諸表論」「簿記概論」「企業内実習Ⅰ・Ⅱ」「新規商品開発・販売実習Ⅰ」全ての科目の単位を修得していることを要件とする。

Ⅴ　成績評価基準及び方法

［評価基準］

A：目標を大きく超え、非常に優秀である。
B：目標を超え、優秀である
C：概ね目標に達している
D：単位を認める最低限の基準に達している
E：単位を認める最低限の基準に達している

［評価方法］

実習評価は、臨地実務実習指導者、実習担当教員により評価し、実習科目責任教員が最終的に単位を認定する。また、評価は実習到達目標に基づく評価と実習日誌、事後アンケート等から総合的に評価する。実習項目毎に評価項目の割合を提示する。

Ⅵ　実習施設（受入れ予定人数）

株式会社ウイネット　（２人）
株式会社エデュースホールディングス　（５人）
株式会社エヌエスジー教育ネットワーク　（５人）
株式会社 NSG アカデミー　（５人）
株式会社サーティファイ　（５人）
株式会社小川屋　（５人）
グローカルマーケティング株式会社　（５人）
新潟綜合警備保障株式会社　（５人）
株式会社新潟プロバスケットボール本社（5 人）
越後味噌醸造株式会社　（５人）
今代司酒造株式会社　（５人）
株式会社峰村商店　（５人）
株式会社 MGNET　（５人）
リコージャパン株式会社新潟支社（１２人）※6 人×2 グループ
株式会社幻の酒　（６人）

○以下の実習施設は臨地実務実習施設の確保状況説明書（別記様式第 7 号の４）に記載した施設であるものの、長期休暇を利用して実施する実習施設とし、実施計画の中では受入れ人数を想定しない。通期に履修できなかった学生のための代替施設として位置づける。以下の実習施設での実施によって宿泊先の確保が必要な場合は、大学指定の宿泊先を確保し、掛かる交通費に対して補助金を支給する。

アートグリーン株式会社（５人）
株式会社ミールワークス（５人）

Ⅶ　実習進行予定

○以下の内容にて　4 月上旬～8 月上旬の木曜日（午後）と金曜日（終日）に実習を実施する。　※資料９－４（２０ページ）参照

第１週　　企業概要の説明（企業沿革、事業内容、社会的意義等）（企業説明）
　　競合他社等業界事情、業界を取り巻く環境や課題説明(企業説明)
第 2～5 週　競合他社・市場分析、事業の強みと弱み、社会的重要性
　　既存商品販売現場見学及び販売体験、ニーズヒアリング
第６週　　個人アイデアの抽出、検討
第７～８週　グループワークにて構想まとめ（競合との比較、各所ヒアリング）
　　販売計画書の作成（簿記会計の理論を活用した収支計画の概算）

第 9 週　　途中経過の報告
第 10～12 週　販売計画書の修正・手直し
第 13 週　　販売計画書プレゼンテーション準備
第 14 週　　販売計画書プレゼンテーション
第 15 週　　成果に対するフィードバック、振り返り

Ⅷ　事前の指導計画

1　グループの編成方針

原則２～６名を１グループとして１６グループを編成する。教員 1 名が１～５グループを担当し、各企業との実習指導者と連携のもと実習を行う。

2　臨地実務実習開始前の計画

（1）　学生オリエンテーションの実施

２学年対象の学生オリエンテーション 12 月に実施し、3 学年 4 月より開始される臨地実務実習に向けた説明会を行う。この際、希望する実習先を記載する希望調査票の提出、実習先の決定、実施までを説明する。

（2）　臨地実務実習受入先の選定、調整

学生オリエンテーション時に配布された資料に基づき、希望調査票を指定期日までに臨地実務実習担当事務まで提出させる。その後、指導担当教員と調整の相談・面談を行った後、臨地実務実習先を仮決定する。

（3）　臨地実務実習生申込書の提出

仮決定の後（決定しない学生は指導担当教員の指示に従わせ、決定する)、指定期日までに社会連携推進課産官学連携担当事務へ提出させる。

（4）受け入れ先の決定

受入先および臨地実務実習内容等の決定、受入先との協定および同意誓約書、交通機関の届出を仮決定企業に学生紹介票を送り、臨地実務実習計画票を受け取った後、内容について、必要に応じて指導担当教員や事務から呼び出し掲示を行い、注意喚起する。臨地実務実習計画票は教員と受入先との間で合意ができ、決定した段階で学生にも渡すものとし、呼出掲示に注意させる。

これらと並行して臨地実務協定書を本学と各企業等の間で取り交わし、学生よりこの協定書に対する同意誓約書を提出させる。

また、臨地実務実習で実際に通う場所が明らかになった段階で、交通手段期間の申請を行わせる。臨地実務実習期間の通学定期の購入には、この届出を行ってから 2～3 週間の期間を置き、適宜問題がないかの確認を行う。

（5）受入先決定から臨地実務実習出発までの準備

① 臨地実務実習受入先の概要等（各受入先企業等の概要などの資料は、社会連携推進課に備え付けてある）を把握し、臨地実務実習の趣旨、目的等を理解させる（授業開始

時おいても説明)。また、受入れ条件等を確認し、必要に応じて事前の学習や安全についての準備が必要な旨指導する。

② 臨地実務実習計画票を社会連携推進課から受領後、指導担当教員の指導の下で、速やかに、到着日時等を含めた確認のため、臨地実務実習受入先の指導担当者と連絡をとり、実習開始日、実務実習に必要となる準備物の確認、その他必要事項を確認する。

（6） 臨地実務実習の開始にあたって

出社日時・場所等を確認し、指定された日時に遅れないよう注意すること。特に、遠方の場合は、電車・バス時刻表等を確認し、余裕をもって実習できるように指導する。

（7） その他

期間中における実務実習の連絡先を家族等関係者に連絡する旨指導する。

3 臨地実務実習期間中の計画

（1）原則として、実習期間中は実習先企業の実習指導者が指導を行う。指導担当教員は実施期間中、新規商品開発・販売実習Ⅱ巡回計画表（資料１０－４）に従い、2回実習企業を訪問し、学習目標に対する到達あるいは実習生の成長の観点から助言する。1回目は学生の実習状況、実習環境の把握、各学生の実習中のテーマの伝達とそれに対する企業への協力の依頼、学生指導を目的とする。2回目は実習の進捗状況の確認、学生毎の実習中のテーマ研究の進捗状況を確認しそれに対するアドバイスを行う。巡回教員は臨地実習担当教員別時間割表（資料１１）に従い学内の指導に支障がないよう、巡回ができるように配慮する。

（2）実習期間中は、以下の臨地実務実習関係書類を提出させ、記載内容に基づき、適宜指導を行う。（企業の指導担当者及び担当教員）

〇臨地実務実習ノートの内容

ア 臨地実務実習生出席簿：日常の実習状況について、出欠を明らかにする。

イ 臨地実務実習開始報告：実習先の住所等の確認情報とともに、実習先の概要について、自ら確認した内容を記載させる。（イ及びウは開始後直ちに記入して、提出させる）

ウ 臨地実務実習予定表：受入先の指導担当者の指導の下に、臨地実務実習の期間内で予定される実習の内容を記述させる（場合によっては当面の内容でも可とする)。（イおよびウは開始後直ちに記入させ、提出させる）

エ 実習日誌：臨地実務実習期間中の毎日（休日を除く)、実習内容、指導担当者から指導を受けた事項、成果、学んだ事項などを記入させる。

オ 事故等発生報告書：万が一災害事故及び交通事故等の発生した場合は、指導担当者の指示を受けるとともに指導担当教員及び社会連携推進課産官学連携担当事務へ速やかに連絡し、その指示を仰ぐよう指導する。状況により、教員または職員が現地に赴かせ、必要な指示を出す。事故等発生報告書は速やかに記載させ、社会連携推進課産官学連携担当事務に FAX 等で送るとともに、臨地実務実習終了後、指導担当教員へ提出さ

せる。保険等の手続は、社会連携推進課より指示を出す。

カ 臨地実務実習期間、勤務場所等の変更(日帰りによる出張程度を除く)については、必ず指導担当教員に連絡させる（電話、ＦＡＸ、e-mail 等、教員不在の時は学部事務室又は社会連携推進課産官学連携担当事務)。

4　臨地実務実習終了後の計画

（1） 指導担当教員の元へ直ちに電話かメールにより終了報告させる。(終了日又は翌日)

（2） 実習ノートおよびレポート（臨地実務実習報告書）を提出させる。(原則、終了後 1 週間以内に持参又は郵送。)

（3） 指導担当者等関係者へ礼状を発送させる。(終了一ヶ月以内を目安に、指導担当教員の指導（個別面談）を実施する。)

（4） 学部・学科ごとに臨地実務実習報告会等を実施することを原則とし、指導担当教員の指示により参加させる。

（5） 臨地実務実習に関する事後アンケートを実施し、学生の学習過程および学習成果を客観的に評価し、各自の課題に関してのフィードバックを行う。

科目名：企業内実習Ⅲ
配当年次：３年③④
単位数（時間数）：６単位（１８０時間）
実施期間：１０月上旬～２月中旬（週２日１５週間）
指導責任教員：櫻井
指導担当教員：櫻井、石川、渡辺、平田、土岐

Ⅰ　科目の概要

実習先企業の事業内容、社会的役割を理解し、業務現場の見学やヒアリング、実際の業務体験を通して自社の事業状況、自社の強みや弱みを把握し、業界事情の分析、市場の分析、競合他社の分析、社会環境の分析を踏まえて、実習先企業の抱える課題を認識し、課題の解決のための方策を考察する。この際、課題抽出のため、ここまでに学んだ経営戦略や経営組織の理解、トップマネジメントの理解、会計・財務に関する理論を総合的に活用し、課題解決策を企画提案書としてまとめ、実習先企業へのプレゼンテーションを体験することで、地域産業の振興や活性化を推進するための創造的な能力と実践的な態度を身に付ける。

Ⅱ　実習の目的

教育課程の職業専門科目の臨地実務実習必修科目として、３年次の 3・4 期に履修する。実習終了後、企業内実習Ⅲの評価に従い６単位を付与する。この科目は、臨地実務実習の集大成として、ここまでに学んだ経営管理、マーケティング、会計理論を活用することで、企業活動における課題（売上、財務面、商品性、財務、経営全般、人材等）を抽出し、課題解決に向けた道筋や方策（販売推進・営業力による顧客創造、変動費・固定費の低減、競合商品との差別化、新たなビジネスモデルの創造、人材育成等）を理解する。更には企業内コミュニケーションにおいて重要となるプレゼンテーション力を高めることを目的とする。この目的の達成のため、この授業科目の内容に適切な実習施設であるとともに、卒業後の活躍の場となる主に地域の経営資源を活用して活動している新潟県内の企業を選定した。また、受講生がこの実習に参加する前に、学内での事前学習となる「企業内実習Ⅰ・Ⅱ」「経営学の基礎」「経済学の基礎」「経営戦略論」「経営組織論」「ビジネスモデル論」「マーケティング」「デジタルマーケティング」「会計学」「財務諸表論」「簿記概論」の全科目の単位を付与されていることを前提に、実習の履修が可能となる。事後は臨地実務実習報告会において実習成果を発表し目的の達成度を確認する。

Ⅲ　実習到達目標

①知識・理解　・実習先企業の経営活動及び、経営戦略・方針や経営組織の役割を理解している。
・トップマネジメントに必要となる経営管理に必要な知識を理解し

ている。
・会計・財務に関する基本的な理論を理解している。

②技能
・実習先の経営課題を論理的な思考に基づき、抽出したうえで、経営戦略を踏まえた目標設定とその課題解決に向けた方策を策定することができる。
・企業内実習Ⅰ・Ⅱ、新規商品開発・販売実習Ⅰ・Ⅱにて修得した技能を応用し、実践することができる。
・実習先企業の経営課題を踏まえて、経営戦略や経営組織の理解、トップマネジメントの理解、会計・財務に関する理論を総合的に活用して課題解決策を提案書にまとめることができる。
・実習先企業の経営課題とその対策について、わかりやすくプレゼンテーションすることができる。

③志向・態度
・指示された目的・目標に向かって、諦めずに最後まで努力しようとしている。
・企業人として求められる能力を意識しながら、自己の改善を試みようとしている。
・変化する社会の動向に広く関心をもち、変化に対応する力・行動・考え方を意識しながら、柔軟に対応しようと心掛けている。
・価値観の異なる他者と協働し、互いに貢献し合いながらチームとして成果を生み出すことの意義を理解し、実践しようとしている。

Ⅳ　実習科目の履修要件

臨地実務実習科目を履修するには、原則として、実習科目に関連する「企業内実習Ⅰ・Ⅱ」「経営学の基礎」「経済学の基礎」「経営戦略論」「経営組織論」「ビジネスモデル論」「マーケティング」「デジタルマーケティング」「会計学」「財務諸表論」「簿記概論」全ての科目の単位を修得していることを要件とする。

Ⅴ　成績評価基準及び方法

［評価基準］

A：目標を大きく超え、非常に優秀である。
B：目標を超え、優秀である
C：概ね目標に達している
D：単位を認める最低限の基準に達している
E：単位を認める最低限の基準に達していない

［評価方法］

実習評価は、臨地実務実習指導者、実習担当教員により評価し、実習科目責任教員が最

終的に単位を認定する。また、評価は実習到達目標に基づく評価と実習日誌、事後アンケート等から総合的に評価する。実習項目毎に評価項目の割合を提示する。

Ⅵ　実習施設（受入れ予定人数）

株式会社ウイネット　（2 人）
株式会社エデュースホールディングス　（5 人）
株式会社エヌエスジー教育ネットワーク　（5 人）
株式会社 NSG アカデミー　（ 5 人）
株式会社サーティファイ　（2 人）
株式会社小川屋　（5 人）
株式会社日本フードリンク　本社　（5 人× 2 グループ）
株式会社ベジ・アビオ　（2 人）
グローカルマーケティング株式会社　（5 人）
新潟綜合警備保障株式会社　（5 人）
越後味噌醸造株式会社　（5 人）
株式会社ヒューマンブレイン　（2 人）
今代司酒造株式会社　（5 人）
株式会社峰村商店　（5 人）
株式会社アイ・シー・オー　（5 人）
株式会社国際総合計画　（5 人）
株式会社 MGNET　（2 人）
Adam Innovations 株式会社　（5 人）

○以下の実習施設は臨地実務実習施設の確保状況説明書（別記様式第 7 号の 4 ）に記載した施設であるものの、長期休暇を利用して実施する実習施設とし、実施計画の中では受入れ人数を想定しない。通期に履修できなかった学生のための代替施設として位置づける。以下の実習施設での実施によって宿泊先の確保が必要な場合は、大学指定の宿泊先を確保し、掛かる交通費に対して補助金を支給する。

アートグリーン株式会社（ 5 人）
株式会社ミールワークス（5 人）

Ⅶ　実習進行予定

○以下の内容にて 10 月上旬から 2 月中旬の毎週火曜日（午後）と木曜日（終日）に実習を実施する。※資料９－５（２１ページ）参照

第 1 週　企業概要の説明（企業沿革、事業内容、社会的意義等）（企業説明）

競合他社等業界事情、業界を取り巻く環境や課題説明(企業説明)
学修テーマの理解（企業説明）※課題の提示
業務現場の見学およびヒアリング（気づいたことのまとめ）
目標の設定、行動計画、スケジュールの作成

第２週　企業分析（商品性、市場性、収益性、事業構造等）（個人作業)(1)

第３週　企業分析（経営全般、財務・会計、人材、営業等）（個人作業)(2)

第４週　企業分析（グループワーク）

第５週　各部署ミーティング及びブレーンストーミング、レポート作成(1)
（営業・開発担当）

第６週　各部署ミーティング及びブレーンストーミング、レポート作成(2)
（財務・会計、総務担当）

第７週　経営上層部ミーティング及び企業経営課題を踏まえたブレーンストーミング(1)
（商品性、市場性、収益性、事業構造等に関連するまとめ）

第８週　経営上層部ミーティング及び企業経営課題を踏まえたブレーンストーミング(2)
（経営全般、財務・会計、人材、営業等に関連するまとめ）

第９週　課題解決策の抽出（グループワーク）

第 10 週　提案書作成（わかりやすさ、制作ポイントの明確化）

第 11 週　提案書作成（課題に対する方策、項目・順序立て）

第 12 週　グループ毎に企画書の取りまとめ
提案書の中間報告（企業側主幹者への説明や意見抽出）
業務現場の再見学および再ヒアリング（修正ポイントの明確化）

第 13 週　提案書修正・改善
提案書のプレゼンテーション準備や予行演習

第 14 週　従業員へ提案書のプレゼンテーション

第 15 週　提案書に対するフィードバック、振り返り

Ⅷ　事前の指導計画

１　グループの編成方針

原則２～５名を１グループとして１８グループを編成する。教員 1 名が３～５グループを担当し、各企業との実習指導者と連携のもと実習を行う。

２　臨地実務実習開始前の計画

（１） 学生オリエンテーションの実施

３学年対象の学生オリエンテーション７月に実施し、10 月より開始される臨地実務実習に向けた説明会を行う。この際、希望する実習先を記載する希望調査票の提出、実習先の決定、実施までを説明する。

（２） 臨地実務実習受入先の選定、調整

学生オリエンテーション時に配布された資料に基づき、希望調査票を指定期日までに社会連携推進課産官学連携担当事務まで提出させる。その後、指導担当教員と調整の相談・面談を行った後、臨地実務実習先を仮決定する。

（３） 臨地実務実習生申込書の提出

仮決定の後（決定しない学生は指導担当教員の指示に従わせ、決定する)、指定期日までに臨地実務実習担当事務へ提出させる。

（４）受け入れ先の決定

受入先および臨地実務実習内容等の決定、受入先との協定および同意誓約書、交通機関の届出を仮決定企業に送り、臨地実務実習計画票を受け取った後、内容について、必要に応じて指導担当教員や事務から呼び出し掲示を行い、注意喚起する。

臨地実務実習計画票は教員と受入先との間で合意ができ、決定した段階で学生にも渡すものとし、呼出掲示に注意させる。

これらと並行して臨地実務協定書を本学と各企業等の間で取り交わし、学生よりこの協定書に対する同意誓約書を提出させる。

また、臨地実務実習で実際に通う場所が明らかになった段階で、交通手段期間の申請を行わせる。臨地実務実習期間の通学定期の購入には、この届出を行ってから 2～3 週間の期間を置き、適宜問題がないかの確認を行う。

（５）受入先決定から臨地実務実習出発までの準備

① 臨地実務実習受入先の概要等（各受入先企業等の概要などの資料は、社会連携推進課に備え付けてある）を把握し、臨地実務実習の趣旨、目的等を理解させる（授業開始時おいても説明)。また、受入れ条件等を確認し、必要に応じて事前の学習や安全についての準備が必要な旨指導する。

② 臨地実務実習計画票を社会連携推進課から受領後、指導担当教員の指導の下で、速やかに、到着日時等を含めた確認のため、臨地実務実習受入先の指導担当者と連絡をとり、実習開始日、実務実習に必要となる準備物の確認、その他必要事項を確認する。

（６） 臨地実務実習の開始にあたって

出社日時・場所等を確認し、指定された日時に遅れないよう注意すること。特に、遠方の場合は、電車・バス時刻表等を確認し、余裕をもって実習できるように指導する。

（７） その他

期間中における実務実習の連絡先を家族等関係者に連絡する旨指導する。

3 臨地実務実習期間中の計画

（１） 原則として、実習期間中は実習先企業の実習指導者が指導を行う。指導担当教員は実施期間中、企業内実習Ⅲ巡回計画表（資料１０－５）に従い、２回実習企業を訪問し、学習目標に対する到達あるいは実習生の成長の観点から助言する。1 回目は

学生の実習状況、実習環境の把握、各学生の実習中のテーマの伝達とそれに対する企業への協力の依頼、学生指導を目的とする。2 回目は実習の進捗状況の確認、学生毎の実習中のテーマ研究の進捗状況を確認しそれに対するアドバイスを行う。巡回教員は臨地実習担当教員別時間割表（資料１１）に従い学内の指導に支障がないよう、巡回ができるように配慮する。

（２）実習期間中は、以下の臨地実務実習関係書類を提出させ、記載内容に基づき、適宜指導を行う。（企業の指導担当者及び担当教員）

〇臨地実務実習ノートの内容

ア 臨地実務実習生出席簿：日常の実習状況について、出欠を明らかにする。

イ 臨地実務実習開始報告：実習先の住所等の確認情報とともに、実習先の概要について、自ら確認した内容を記載させる。（イ及びウは開始後直ちに記入して、提出させる）

ウ 臨地実務実習予定表：受入先の指導担当者の指導の下に、臨地実務実習の期間内で予定される実習の内容を記述させる（場合によっては当面の内容でも可とする）。（イおよびウは開始後直ちに記入させ、提出させる）

エ 実習日誌：臨地実務実習期間中の毎日（休日を除く）、実習内容、指導担当者から指導を受けた事項、成果、学んだ事項などを記入させる。

オ 事故等発生報告書：万が一災害事故及び交通事故等の発生した場合は、指導担当者の指示を受けるとともに指導担当教員及び社会連携推進課産官学連携担当事務へ速やかに連絡し、その指示を仰ぐよう指導する。状況により、教員または職員が現地に赴かせ、必要な指示を出す。事故等発生報告書は速やかに記載させ、社会連携推進課産官学連携担当事務に FAX 等で送るとともに、臨地実務実習終了後、指導担当教員へ提出させる。保険等の手続は、社会連携推進課より指示を出す。

カ 臨地実務実習期間、勤務場所等の変更(日帰りによる出張程度を除く)については、必ず指導担当教員に連絡させる（電話、ＦＡＸ、e-mail 等、教員不在の時は学部事務室又は社会連携推進課産官学連携担当事務)。

4　臨地実務実習終了後の計画

（１） 指導担当教員の元へ直ちに電話かメールにより終了報告させる。（終了日又は翌日）

（２） 実習ノートおよびレポート（臨地実務実習報告書）を提出させる。（原則、終了後 1 週間以内に持参又は郵送。）

（３） 指導担当者等関係者へ礼状を発送させる。（終了一ヶ月以内を目安に、指導担当教員の指導（個別面談）を実施する。）

（４） 学部・学科ごとに臨地実務実習報告会等を実施することを原則とし、指導担当教員の指示により参加させる。

（５） 臨地実務実習に関する事後アンケートを実施し、学生の学習過程および学習成果を

客観的に評価し、各自の課題に関してのフィードバックを行う。

以上

添付資料

添付資料１

事業創造学部　臨地実務実習施設所用時間一覧表

施設番号	名称	所在地	交通手段	所要時間
1	株式会社ウィネット	新潟県新潟市中央区弁天三丁目2番20号　弁天501ビル 5F	バス	12
2	株式会社エデュースホールディングス	新潟県新潟市中央区弁天三丁目2番20号　弁天501ビル 6F	バス	12
3	株式会社エヌエスジー教育ネットワーク	新潟市中央区東大通1－11－32	バス	14
4	株式会社NSGアカデミー	新潟市中央区東大通1－11－32	バス	14
5	株式会社サーティファイ	新潟県新潟市中央区弁天三丁目2番20号　弁天501ビル	バス	12
6	アートグリーン株式会社	東京都江東区福住1－8－8　福住ビル	新幹線・バス	190
7	株式会社小川屋	新潟県新潟市江南区大淵1631	バス	47
8	株式会社日本フードリンク　本社	新潟市東区津島屋6丁目99番地1	バス	60
9	株式会社ベジ・アビオ	新潟県新潟市北区新富町1419-50	バス	90
10	グローカルマーケティング株式会社	新潟県長岡市北陽1丁目53番地	電車・バス	100
11	新潟綜合警備保障株式会社	新潟市東区小金町1丁目17番20号	バス	30
12	株式会社リビングギャラリー　本店	新潟県新潟市中央区米山4－1－28	バス	12
13	株式会社リビングギャラリー　新潟中央センター	新潟県新潟市中央区米山2－6－3	バス	14
14	株式会社リビングギャラリー　新潟駅前店	新潟市中央区東大通1－1－15 東大通ビル1F	バス	20
15	株式会社リビングギャラリー　新潟古町店	新潟市中央区東堀通4－451	バス	31
17	株式会社リビングギャラリー　新潟亀田店	新潟県新潟市江南区早苗1-1-25	バス	34
18	株式会社リビングギャラリー　新潟東店	新潟県新潟市東区上木戸1-2-1	バス	40
19	株式会社リビングギャラリー　新潟大学前店	新潟県新潟市西区大学南1－7802－12	電車・バス	60
20	株式会社リビングギャラリー　新潟西店	新潟県新潟市西区小新西3－14－13	電車・バス	60
21	株式会社リビングギャラリー　新津店	新潟県新潟市秋葉区新津本町1－2－30	電車・バス	43
22	株式会社リビングギャラリー　新潟北店	新潟県新潟市北区柳原1－2－2	電車・バス	45
23	株式会社リビングギャラリー　新発田店	新潟県新発田市住吉町5－12－26	電車・バス	65
24	株式会社リビングギャラリー　燕三条駅前店	新潟県三条市須頃2－24 Fu－Rin－Kan101号	新幹線・バス	41
25	株式会社リビングギャラリー　長岡西店	新潟県長岡市古正寺3－141	バス	121
26	株式会社リビングギャラリー　長岡東店	新潟県長岡市台町2－4－11	新幹線・バス	41
27	株式会社リビングギャラリー　上越センター	新潟県上越市春日山町3－20－53	電車・バス	170
28	株式会社リビングギャラリー　郡山店	福島県郡山市中町2－11	バス	197
29	株式会社リビングギャラリー　川崎店	神奈川県川崎市川崎区砂子1-1-19 川崎ビル2階	新幹線・電車・バス	173
30	株式会社リビングギャラリー　日暮里店	東京都荒川区西日暮里2－18－4 小川ビル3F	新幹線・電車・バス	172
31	株式会社リビングギャラリー　錦糸町店	東京都墨田区江東橋4－29－14 コミネビル2F	新幹線・電車・バス	180
32	株式会社リビングギャラリー　赤羽店	東京都北区赤羽西1－37－3　赤羽アイ・エスビル3F	新幹線・電車・バス	146
33	株式会社リビングギャラリー　船橋店	千葉県船橋市本町6－6－2　船橋MIOビル3F	新幹線・電車・バス	192
34	株式会社リビングギャラリー　高円寺店	東京都杉並区高円寺南3－57－1ベルピアビル2F	新幹線・電車・バス	182
35	株式会社新潟プロバスケットボール　本社	長岡市城内町2－5－3樋熊ビル	電車	90
36	越後味噌醸造株式会社	新潟県燕市吉田中町5-10	電車	45
37	株式会社ヒューマンブレイン	新潟県新潟市中央区東大通1－1－15東大通ビル6F	バス	19
38	今代司酒造株式会社	新潟県新潟市中央区鏡が岡1－1	徒歩のみ	30
39	株式会社峰村商店	新潟県新潟市中央区明石2-3-44	バス	25
40	株式会社アイ・シー・オー	新潟県新潟市中央区米山2丁目7-4　ITPケヤキビル3F	バス	15
41	株式会社国際総合計画	新潟県新潟市中央区米山2－7－3 ITPケヤキビル	バス	15
42	株式会社MGNET	新潟県燕市東太田14-3	新幹線・電車・バス	60
43	Adam Innovations株式会社	新潟県南魚沼市浦佐1188-2	電車	60
44	リコージャパン株式会社 新潟支社	新潟県新潟市東区下木戸1-18-30	バス	30
45	株式会社幻の酒	新潟市中央区白山浦2丁目1番28号	電車	20
46	株式会社ミールワークス	東京都目黒区下目黒2-17-18	電車	150

添付資料2

「臨地実務実習に関する協定書」にもとづく
臨地実務実習履修についての同意誓約書

この度、貴社（機関）において臨地実務実習を履修するにあたり、貴社（機関）と開志専門職大学の間で結ばれた標記協定書の主旨と内容を理解し、当該臨地実務実習について誠心的に履修することに同意し、貴社（機関）には一切御迷惑をおかけしないことを誓約します。

20　　年　　月　　日

（企業等の名称）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（代表者役職・氏名）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様

（実習生の所属・氏名等）

開志専門職大学

所　　属　＿＿＿＿＿＿＿＿学部＿＿＿＿＿＿＿＿学科

学籍番号　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　　名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

添付資料3

臨地実務実習計画票

大学側（20　　年　　月　　日記入）

実習生	(学部学科) (学籍番号) (氏名) (携帯電話)	指導担当教員	氏名 (TEL) (FAX) (E-Mail)

実習先（20　　年　　月　　日記入）

(ふりがな) 受入先企業等の名称				
受入責任者 （職名・氏名）	(職名)　　(ﾌﾘｶﾞﾅ) (氏名)			
実習期間	20　　年　　月　　日(　　)～20　　年　　月　　日(　　) 休日：土・日・祝祭日・その他(　　)※該当するものに○			
実習時間	:　　～　　:　　※24時制で記入			
実習先(部署名)				
実習先の 所在地・連絡先	〒 TEL:　　FAX: E-mail:			
指導責任者 (職名・氏名)	(職名)　　(ﾌﾘｶﾞﾅ) (氏名)			
実習先連絡担当者 (職名・氏名)	(職名)　　(ﾌﾘｶﾞﾅ) (氏名)			
その他の実習条件	一般交通費	有・無	貸与品	
	職務交通費	有・無	宿舎	寮・他の宿舎
	その他 (食事・派遣旅費等)			
授業科目及び実習内容				
事前面談	必要(学生のみ面談可・担当教員及び教職員同行し面談)			不要

最初の出社日時等

出社日時	年　　月　　日（　　）　　時　　分
出社場所	〒 TEL　　内線
担当者	(部課名)
携行品 備考	

※この計画票は開志専門職大学臨地実務実習のみに使用し、他の目的で使用することは一切ありません。また、受入先企業様におきましては、個人情報の漏洩を防ぐ為、取扱いにはご注意ください。

修正日(20　　年　　月　　日)記入者＿＿＿＿＿＿

※上記の内容で訂正、もしくは修正がある場合は上記に日付の記入をお願いします。

実習前に学修調査しておくべき事項等

実習に伴い考慮される 安全上の配慮事項	(実習当初もしくは実習段階で安全指導を受けるべき事項) (その他)
実習前に学習・調査等 しておくべき事項	(実習内容及びテーマに関すること) (安全指導に関すること)

宿舎等利用の場合

<table>
<tr><td rowspan="2">宿舎所在地</td><td colspan="4">〒

TEL　　内線</td></tr>
<tr><td colspan="4">(担当者名)　　TEL　　内線</td></tr>
<tr><td rowspan="4">寝具</td><td rowspan="3">□本人持参</td><td rowspan="3">送付先</td><td>〒

(担当者名)　　TEL　　内線</td></tr>
<tr><td>荷物受付可能年月日</td><td>年　月　日から受付可能</td></tr>
<tr><td colspan="2">□受入先企業等で用意</td></tr>
<tr><td colspan="4">□その他(現地での借用可能性：有・無)</td></tr>
<tr><td colspan="2">出社日より前の宿舎利用：(可・不可)　月　日から可能</td><td colspan="3">入寮時刻の指定：　月　日(　)　時　分</td></tr>
</table>

最初の出社場所及び実習先までの交通機関等(紙面が不足の場合は、別紙を添付してください。)

【この用紙の使用方法等】

・臨地実務実習の内容等について、大学と受入企業等との間で連絡する際、主として表面に必要事項と記入日を記載して、郵送・FAX・E-mail等でやり取りをしてください。

・最終的に内容が決定したら、双方の合意により決定版となり、別途大学と企業等で締結する臨地実務実習協定書に基づく臨時実務実習計画票となります。

・決定した内容を変更する必要が生じた場合は、大学側指導担当教員と受入企業などの指導担当者の間で、相談、合意をしてください。

添付資料　4

臨地実務実習報告書（学生記入用）

記入日　　年　　月　　日

学部・学科名		学　年	
学籍番号		氏　名	
担当指導教員		確認印	
受入機関名･部署名			
実習期間	年　月　日　～　月　日 年　月　日　～　月　日		
授業科目名			

受入機関（企業・団体）・部署の概要
実習内容
獲得目標と成果

実習で感銘を受けた体験と感想
実習を終えての今後の課題、今後の臨地実務実習予定
自己評価と総括

添付資料　5

実習日誌（学生記入用）

月　　日　　曜日		実習回数	日目
学籍番号		氏　名	
授業科目名			
目標			
業務内容（できる限り時系列式で記載）			
気づいた点・課題			
実習指導者の所見 担当指導者＿＿＿＿＿＿＿＿印			

添付資料6

事故・災害等発生報告書（臨地実務実習）

開志専門職大学学長 殿

報告年月日　　年　　月　　日

学部学科名

学 籍 番 号

氏　　名

【事故・災害等の概要】

事故・災害等発生年月日・時刻		年　月　日　時　分頃
事故・災害等発生場所		
事故・災害等の概要	【概要（原因・経緯等】	
	【反省・改善提案等】	
	【指導担当教員所見】	
治療した医療機関名		
事故・災害時の対応	【治療の概要（詳細記入】	
	【家族等への連絡状況】	

※負傷・疾病等の人身事故については、医療機関の診断、処置を必要とした事例の全てを報告すること

※報告書は、事故後出来る限り速やかに指導責任教員を通して学部長に提出すること

※必要に応じて写真・図等を添付し、詳細を報告すること

【事故後の対応】

事故後の対応	【再発防止への取り組み（臨地実務担当委員）】
	【学部長所見】
	【指導責任教員所見】

【保険加入及び傷病状況（大学記入欄】

保険加入の有無	インターンシップ総合保険（ 有 - 無 ）学研災（ 有 - 無 ）
事故状態	授業中 - 通学途中 - 休日中 - 旅行中 課外活動中 - その他（ ）
警察・消防届出	有（届出先： ） - 無
部位症状	頭部・顔面・頚部・肩部・胸部・腹部・腰部 脊柱・上肢・手指・下肢・足指・その他（ ） 骨折・脱臼・捻挫・切り傷・打撲・その他（ ）
傷病名	
傷病程度	入院（ / / ～ 退院見込 / / / ） 通院（ / / ～ 治癒見込 / / / ） 後遺障害（ ）死 亡
外科手術	有（名称： ） - 無
医療機関	【名称】
	【所在地】
	【電話番号】

（決裁権者）

決裁年月日	学長	学部長	責任教員	指導教員	事務

添付資料７

開志専門職大学の職業教育に係る実施協定書

〔専門職大学 代表者氏名〕（以下「甲」という。）と〔事業者名 代表者氏名〕（以下「乙」という。）は、甲が設置する●●学部●●学科の臨地実務実習の授業科目の乙の事業所における実施について、以下のとおり合意する。

（趣旨）

第__条 この協定は、甲の学生(以下「学生」という。)に対して行われる臨地実務実習(乙の事業所において、乙の実務に従事することにより行う実習をいう。以下同じ。)を甲乙連携して行うことに関する基本的事項を取り決めることを目的として、締結する。

（手数料）

第__条 甲は、臨地実務実習の実施につき、学生１人につき一日当たり 円を、手数料として乙に支払う。

２ 甲は、前項各号に定める金額を、各学生の臨地実務実習の最終実習日が属する月の翌月○○日までに、乙の指定する方法により支払うものとする。

（※ 甲乙の協議の結果、甲から乙に手数料を支払う場合に規定する。）

（費用負担）

第__条 第__条に定めるもののほか、臨地実務実習に関する費用の負担は次のとおりとする。

① 甲は、・・・を負担する。

② 乙は、・・・を負担する。

（実施計画）

第__条 臨地実務実習の円滑な実施のため、甲は、乙と協議の上、実施計画を書面で作成するものとする。

２ 実施計画には、以下の事項を記載する。

① 実習の内容、期間、一日当たりの実習時間及び主たる実習場所

② 受け入れる学生の数

③ 実習指導者の配置

④ 成績評価の基準及び方法

⑤ 学生に対する報酬及び交通費支給等の取扱い

⑥ 実習中の災害補償及び損害賠償責任

⑦ その他の臨地実務実習の実施に必要な事項

3　乙は、実施計画に従い、甲と連携して臨地実務実習を実施するものとする。
4　乙は、甲の求めがあったときは、あらかじめ甲乙協議して定める方法により、業務の進捗状況について報告するものとする。

≪学生に対する報酬及び交通費支給等の取扱い≫
〔例 1 雇用型の場合〕
（実習生との労働契約）
第__条 乙は、学生と、実習の開始日から終了日までを契約期間とする有期労働契約を締結する。
2　報酬の額は、乙が実習生に別途交付する労働条件通知書で示す。
3　交通費は、乙の就業規則の定めるところにより支払う。
4　乙は、社会保険及び労働保険諸法令の定めるところに従い、学生を健康保険、厚生年金保険及び雇用保険に加入させる。
5　作業着その他の臨地実務実習に必要な備品等は貸与する。

〔例 2 非雇用型（手当等あり）の場合〕
（学生に対する手当の支給等）
第__条 乙は、学生に対して別に定める手当を支給するほか、作業着その他の臨地実務実習に必要な備品等を貸与する。
2　学生は、乙の指揮監督の下で乙に従属して労働力を提供しない範囲で、乙の社内規則及び実習指導者の指示等を遵守するものとする。

〔例 3 非雇用型（手当等なし）の場合〕
第__条 乙は、学生に対して臨地実務実習に関する一切の給与及び手当等（交通費、滞在費、食費、クリーニング代等）を支給しない。ただし、乙の従業員に同行して行う事業所外での実習に係る交通費については、乙の就業規則の定めに準じて支払う。
2　乙は、学生に対して作業着その他の臨地実務実習に必要な備品等を無償で貸与する。
3　学生は、乙の指揮監督の下で乙に従属して労働力を提供しない範囲で、乙の社内規則及び実習指導者の指示等を遵守するものとする。

（指揮命令）
第__条 乙は、実施計画に定める内容を超えて、乙の指揮命令下で学生又は甲の教員に労務の提供をさせてはならないものとする。

（企業秘密の取扱い）
第__条 甲及び学生は、臨地実務実習の実施に伴い知得した乙の業務・契約・取引先・顧客

（利用者）等に関する一切の秘密情報（以下「乙秘密情報」という。）を、書面による乙の事前の同意を得ることなく、臨地実務実習の期間中及び終了後において、第三者に漏洩してはならないものとする。

2 学生は、乙の事前の同意を得て、臨地実務実習に関する報告に必要な範囲で、乙秘密情報を甲に開示することができる。

3 甲は、学生が口頭又は書面でした前項の報告に乙秘密情報が含まれる場合は、第1項に定める学生の負う義務と同等の義務を負う。

（機密情報等の返還義務）

第__条 甲及び乙は、臨地実務実習が終了したとき若しくはこの協定の有効期間を満了したとき、又は相手方から返還等の要求があったときは、相手方の機密情報及び相手方から貸与された情報等について、相手方の指示に従い、必ず返還、廃棄又は消去するものとする。

（機密情報等の返還義務）

第__条 甲及び乙は、臨地実務実習が終了したとき若しくはこの協定の有効期間を満了したとき、又は相手方から返還等の要求があったときは、相手方の機密情報及び相手方から貸与された情報等について、相手方の指示に従い、必ず返還、廃棄又は消去するものとする。

（改善）

第__条 甲及び乙は、業務の改善の必要があると認めるときは、相手方に改善の協議を申し入れることができ、申し入れられた相手方は必ず協議に応じるものとする。

（委託の禁止）

第__条 乙は、事前に甲乙の協議の上で甲の書面による承諾を得た場合を除き、業務の一部又は全部の実施を第三者に委託することはできない。

（権利・義務の譲渡の禁止）

第__条 甲及び乙は、事前に甲乙の協議の上で相手方の書面による承諾を得た場合を除き、この協定上の権利又は義務を第三者に譲渡し、又は承継してはならない。

（安全衛生）

第__条 甲及び乙は、臨地実務実習中の実習生の災害を防止するために、双方協力するとともに、実習生に自己の安全に十分に留意させるものとする。

2 乙は、甲と連携して、事前に甲乙協議の上で決定した災害防止等に必要な講習その他安全衛生管理の措置をあらかじめ講ずるものとする。

（実習中の災害補償及び損害賠償責任）

第　条 甲は、臨地実務実習中の事故等により、実習生が傷害を負った場合又は実習生が乙、乙の従業員等若しくは第三者へ損害を与えた場合等に備え、実習生に災害補償保険及び賠償責任保険へ加入させなければならない。当該保険の加入に関して必要な手続は甲が行い、その保険料は実習生が負担するものとする。

2 実習生の臨地実務実習中の事故等については、乙の故意又は重過失による場合を除き、実習生が加入する保険をもって補償に充てるものとする。

3 実習生が臨地実務実習中に乙又は第三者へ損害を与えた場合は、実習生の故意又は重過失による場合を除き、実習生が加入する保険をもって補償に充てるものとする。

〔注 非雇用型の場合の例。雇用型の場合は、業務上の災害に関する補償は労働者災害補償保険の対象となることを踏まえ、インターンシップ保険の加入内容を検討し、本条項の記述も検討することとなります。〕

（損害賠償）

第__条 甲及び乙は、相手方がこの協定に違反し、または相手方の責めに帰すべき事由により損害を被ったときは、その損害の賠償を相手方に請求することができる。

（有効期間）

第__条 この協定の有効期間は、○○年○○月○○日から△△年△△月△△日までとする。ただし、甲及び乙は、甲乙の協議の上で合意したときは、この協定を更新することができるものとする。

（協定の解除）

第__条 甲又は乙は、相手方が次の各号のいずれかに該当するときは、何らの通知催告なく（第６号の場合を除く。）、この協定を解除することができる。

① 支払を停止し若しくは手形・小切手を不渡りにし、又は取引停止処分を受けたとき。

② 差押、仮差押、仮処分若しくは競売の申し立てを受け、又は公租公課の滞納処分を受けたとき。

③ 破産、特別清算、会社整理、会社更生若しくは民事再生の申立をし、又は申立を受けたとき。

④ 清算又は解散をしたとき。

⑤ 信頼関係を破壊する重大な背信行為があったと認められるとき。

⑥ この協定の各条項に違反したとき。

（実習の中断）

第__条 乙は、甲又は実習生にこの協定に違反する行為があったときその他臨地実務実習を

継続しがたい事態が生じたときは、直ちに臨地実務実習を中断することができる。この場合には、乙は速やかに甲にその旨を通知するものとし、甲及び乙は、臨地実務実習の再開又は終了に関し誠実に協議するものとする。

（協定の解釈）

第__条 この協定に定めのない事項及びこの協定の解釈等について疑義を生じたときは、甲及び乙は誠意をもって協議し、これを解決するものとする。

（裁判管轄）

第__条 この協定に関する訴えは、甲の所在地を管轄する○○地方裁判所の管轄に属するものとする。

この協定締結の証として本書２通を作成し、甲及び乙双方が記名押印の上、それぞれ１通を保管するものとする。

○○年○○月○○日

甲：〔専門職大学の所在地〕
〔専門職大学の名称 代表者の役職・氏名〕印
乙：〔事業者の所在地〕
〔事業者の名称 代表者の役職・氏名〕　　印

添付資料８　　**事業創造学部　履修スケジュール**

◎…オリエンテーション

		企業内 実習Ⅰ	企業内 実習Ⅱ	企業内 実習Ⅲ	新規商品開発 ・販売実習Ⅰ	新規商品開発 ・販売実習Ⅱ
1年	4月上旬 ～ 6月上旬					
	６月中旬 ～ ８月上旬	◎ 選考・決定				
	10月上旬 ～ 11月下旬	実習実施				
	12月上旬 ～ 2月中旬				◎ 選考・決定	
2年	4月上旬 ～ 6月上旬				実習実施	
	６月中旬 ～ ８月上旬		◎ 選考・決定			
	10月上旬 ～ 11月下旬		実習実施			
	12月上旬 ～ 2月中旬					◎ 選考・決定
3年	4月上旬 ～ 6月上旬					実習実施
	６月中旬 ～ ８月上旬			◎ 選考・決定		
	10月上旬 ～ 11月下旬			実習実施		
	12月上旬 ～ 2月中旬					

添付資料９－１　臨地実務実習予定表

企業内実習Ⅰ実習予定表（1年次）※以下の該当する週の水曜日を実習日とする。

G	人数(80)		6週 | 7週	27～33週	34週 | 35週	36～42週
				１０月～１１月（３期）		１２月～２月（４期）
1	1 2			企業内実習Ⅰ　(株)ウイネット2名　担当：石川		企業内実習Ⅰ　(株)ウイネット2名　担当：石川
2	3 4 5 6 7			企業内実習Ⅰ (株)エデュースホールディングス5名 担当：石川		企業内実習Ⅰ (株)エデュースホールディングス5名 担当：石川
3	8 9 10 11 12			企業内実習Ⅰ (株)エヌエスジー教育ネットワーク5名 担当：石川		企業内実習Ⅰ (株)エヌエスジー教育ネットワーク5名 担当：石川
4	13 14 15 16 17			企業内実習Ⅰ (株)NSGアカデミー5名 担当：石川		企業内実習Ⅰ (株)NSGアカデミー5名 担当：石川
5	18 19			企業内実習Ⅰ　(株)サーティファイ2名　担当：松澤		企業内実習Ⅰ　(株)サーティファイ2名　担当：松澤
6	20 21 22 23 24			企業内実習Ⅰ (株)小川屋5名 担当：松澤		企業内実習Ⅰ (株)小川屋5名 担当：松澤
7	25 26 27 28 29 30 31 32 33 34			企業内実習Ⅰ (株)日本フードリンク5名×2グループ 担当：松澤		企業内実習Ⅰ (株)日本フードリンク5名×2グループ 担当：松澤
8	35 36			企業内実習Ⅰ　(株)ベジ・アビオ2名　担当：松澤		企業内実習Ⅰ　(株)ベジ・アビオ2名　担当：松澤
9	37 38 39 40 41			企業内実習Ⅰ (株)グローカルマーケティング5名 担当：福田		企業内実習Ⅰ (株)グローカルマーケティング5名 担当：福田
10	42 43 44 45 46			企業内実習Ⅰ 新潟綜合警備保障(株)5名 担当：福田		企業内実習Ⅰ 新潟綜合警備保障(株)5名 担当：福田
11	47 48 49 50 51			企業内実習Ⅰ 越後味噌醸造(株)5名 担当：福田		企業内実習Ⅰ 越後味噌醸造(株)5名 担当：福田
12	52 53			企業内実習Ⅰ　(株)ヒューマンブレイン2名　担当：福田		企業内実習Ⅰ　(株)ヒューマンブレイン2名　担当：福田
13	54 55 56 57 58			企業内実習Ⅰ 今代司酒造(株)5名 担当：渡辺		企業内実習Ⅰ 今代司酒造(株)5名 担当：渡辺
14	59 60 61 62 63			企業内実習Ⅰ (株)峰村商店5名 担当：渡辺		企業内実習Ⅰ (株)峰村商店5名 担当：渡辺
15	64 65 66 67 68			企業内実習Ⅰ (株)アイ・シー・オー5名 担当：渡辺		企業内実習Ⅰ (株)アイ・シー・オー5名 担当：渡辺
16	69 70 71 72 73			企業内実習Ⅰ (株)国際総合計画5名 担当：渡辺		企業内実習Ⅰ (株)国際総合計画5名 担当：渡辺
17	74 75			企業内実習Ⅰ　(株)MGNET2名　担当：西村		企業内実習Ⅰ　(株)MGNET2名　担当：西村
18	76 77 78 79 80			企業内実習Ⅰ Adam Innovations(株)5名　担当：西村		企業内実習Ⅰ Adam Innovations(株)5名　担当：西村

添付資料９－２　臨地実務実習予定表

新規商品開発・販売実習Ⅰ予定表（２年次）※以下の該当する週の火曜日（終日）と水曜日（午後）を実習日とする。

G	人数(80)	1週	2～9週	10週 | 11週	12～19週
			4月～5月（1期）		6月～8月（2期）
1	1 2		新規商品開発・販売実習Ⅰ　(株)ウイネット2名　担当：石川		新規商品開発・販売実習Ⅰ　(株)ウイネット2名　担当：石川
2	3 4 5 6 7		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)エデュースホールディングス5名 担当：石川		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)エデュースホールディングス5名 担当：石川
3	8 9 10 11 12		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)エヌエスジー教育ネットワーク5名 担当：石川		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)エヌエスジー教育ネットワーク5名 担当：石川
4	13 14 15 16 17		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)NSGアカデミー5名 担当:平田		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)NSGアカデミー5名 担当：平田
5	18 19 20 21 22		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)サーティファイ5名 担当：平田		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)サーティファイ5名 担当：平田
6	23 24 25 26 27		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)小川屋5名 担当：平田		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)小川屋5名 担当：平田
7	28 29 30 31 32		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)グローカルマーケティング5名 担当：松澤		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)グローカルマーケティング5名 担当：松澤
8	33 34 35 36 37		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)新潟綜合警備保障　　5名 担当：松澤		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)新潟綜合警備保障　　5名 担当：松澤
9	38 39 40 41 42		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)新潟プロバスケットボール　　5名 担当：松澤		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)新潟プロバスケットボール　　5名 担当：松澤
10	43 44 45 46 47		新規商品開発・販売実習Ⅰ 越後味噌醸造(株)　　5名 担当：松澤		新規商品開発・販売実習Ⅰ 越後味噌醸造(株)　　5名 担当：松澤
11	48 49 50 51 52		新規商品開発・販売実習Ⅰ 今代司酒造(株)　　5名 担当：東城		新規商品開発・販売実習Ⅰ 今代司酒造(株)　　5名 担当：東城
12	53 54 55 56 57		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)峰村商店　　5名 担当：東城		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)峰村商店　　5名 担当：東城
13	58 59 60 61 62		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)MGNET　　5名 担当：東城		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)MGNET　　5名 担当：東城
14 15	63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)リコージャパン株式会社新潟支社 12名×2グループ 担当：東城		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)リコージャパン株式会社新潟支社 12名×2グループ 担当：東城
16	75 76 77 78 79 80		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)幻の酒　　6名 担当　平田		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)幻の酒　　6名 担当　平田

添付資料９－３　臨地実務実習予定表

企業内実習Ⅱ実習予定表（２年次）※以下の該当する週の月曜日（終日）を実習日とする。

G	人数(80)	6週	7週	２７～３３週	34週	35週	３６～４２週
				１０月～１１月（３期）			１２月～２月（４期）
1	1 2 3 4 5 6			企業内実習Ⅱ (株)ウイネット6名 担当：石川			企業内実習Ⅱ (株)ウイネット6名 担当：石川
2	7 8 9			企業内実習Ⅱ　(株)エデュースホールディングス　3名　担当：石川			企業内実習Ⅱ　(株)エデュースホールディングス 3名　担当：石川
3	10 11 12			企業内実習Ⅱ　(株)エヌエスジー教育ネットワーク　3名　担当：石川			企業内実習Ⅱ　(株)エヌエスジー教育ネットワーク　3名　担当：石川
4	13 14 15 16 17			企業内実習Ⅱ　(株)NSGアカデミー ５名　担当：石川			企業内実習Ⅱ　(株)NSGアカデミー ５名　担当：石川
5	18 19 20 21			企業内実習Ⅱ　(株)サーティファイ ４名　担当：石川			企業内実習Ⅱ　(株)サーティファイ ４名　担当：石川
6	22 23			企業内実習Ⅱ　(株)小川屋　２名　担当：石川			企業内実習Ⅱ　(株)小川屋　２名　担当：石川
7	24 25 26 27 28			企業内実習Ⅱ　(株)日本フードリンク ５名　担当：石川			企業内実習Ⅱ　(株)日本フードリンク ５名　担当：石川
8	29 30			企業内実習Ⅱ(株)ベジアビオ２名　担当：松澤			企業内実習Ⅱ(株)ベジアビオ２名　担当：松澤
9	31 32 33			企業内実習Ⅱ　(株)グローカルマーケティング 3名　担当：松澤			企業内実習Ⅱ　(株)グローカルマーケティング 3名　担当：松澤
10	34 35 36			企業内実習Ⅱ　(株)新潟綜合警備保障株式会社 3名　担当：松澤			企業内実習Ⅱ　(株)新潟綜合警備保障株式会社 3名　担当：松澤
11	37 38			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー本店２名　担当：松澤			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー本店２名　担当：松澤
12	39 40			企業内実習Ⅱ　(株)リビングギャラリー新潟中央センター２名　担当：松澤			企業内実習Ⅱ　(株)リビングギャラリー新潟中央センター２名　担当：松澤
13	41 42			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー新潟駅前店２名担当：松澤			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー新潟駅前店２名担当：松澤
14	43 44			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー新潟古町店２名担当：松澤			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー新潟古町店２名担当：松澤
15	45 46			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー新潟亀田店２名担当：東城			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー新潟亀田店２名担当：東城
16	47 48			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー長岡東店２名担当：東城			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー長岡東店２名担当：東城
17	49 50			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー新潟東店２名　担当：東城			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー新潟東店２名　担当：東城
18	51 52			企業内実習Ⅱ　(株)リビングギャラリー新潟大学前店　２名 担当：東城			企業内実習Ⅱ　(株)リビングギャラリー新潟大学前店　２名　担当：東城
19	53 54			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー新潟西店２名　担当：東城			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー新潟西店２名　担当：東城
20	55 56			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー新津２名　担当：東城			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー新津２名　担当：東城
21	57 58			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー新潟北店２名　担当：東城			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー新潟北店２名　担当：東城
22	59 60			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー新発田店２名担当：土岐			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー新発田店２名担当：土岐
23	61 62			企業内実習Ⅱ　(株)リビングギャラリー燕三条駅前店　２名　担当：土岐			企業内実習Ⅱ　(株)リビングギャラリー燕三条駅前店　２名　担当：土岐
24	63 64			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー長岡西店２名　担当：土岐			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー長岡西店２名　担当：土岐
26	65 66			企業内実習Ⅱ　越後味噌醸造（株）２名　担当：土岐			企業内実習Ⅱ　越後味噌醸造（株）２名　担当：土岐
27	67 68			企業内実習Ⅱ(株)ヒューマンブレイン２名　担当：土岐			企業内実習Ⅱ(株)ヒューマンブレイン２名　担当：土岐
28	69 70			企業内実習Ⅱ　今代司酒造（株）２名　担当：土岐			企業内実習Ⅱ　今代司酒造（株）２名　担当：土岐
29	71 72			企業内実習Ⅱ　（株）峰村商店　２名　担当：土岐			企業内実習Ⅱ　（株）峰村商店　２名　担当：土岐
30	73 74 75			企業内実習Ⅱ　(株)国際総合計画 3名　担当：東城			企業内実習Ⅱ　(株)国際総合計画 3名　担当：東城
31	76 77			企業内実習Ⅱ　（株）MGNET　２名　担当：松澤			企業内実習Ⅱ　（株）MGNET　２名　担当：松澤
32	78 79 80			企業内実習Ⅱ　(株)幻の酒 3名　担当：土岐			企業内実習Ⅱ　(株)幻の酒 3名　担当：土岐

添付資料９－４　臨地実務実習予定表

新規商品開発・販売実習Ⅱ予定表（３年次）※以下の該当する週の木曜日（午後）と金曜（終日）を実習日とする。

G	人数☒80）		１週	２～９週	10週	11週	１２～１９週
				４月～５月（１期）			６月～８月（２期）
1	1 2			新規商品開発・販売実習Ⅱ　(株)ウイネット2名　担当：石川			新規商品開発・販売実習Ⅱ　(株)ウイネット2名　担当：石川
2	3 4 5 6 7			新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)エデュースホールディングス5名 担当：石川			新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)エデュースホールディングス5名 担当：石川
3	8 9 10 11 12			新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)エヌエスジー教育ネットワーク5名 担当：石川			新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)エヌエスジー教育ネットワーク5名 担当：石川
4	13 14 15 16 17			新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)NSGアカデミー5名 担当：平田			新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)NSGアカデミー5名 担当：平田
5	18 19 20 21 22			新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)サーティファイ5名 担当：平田			新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)サーティファイ5名 担当：平田
6	23 24 25 26 27			新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)小川屋5名 担当：平田			新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)小川屋5名 担当：平田
7	28 29 30 31 32			新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)グローカルマーケティング5名 担当：平田			新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)グローカルマーケティング5名 担当：平田
8	33 34 35 36 37			新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)新潟綜合警備保障　　5名 担当：松澤			新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)新潟綜合警備保障　　5名 担当：松澤
9	38 39 40 41 42			新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)新潟プロバスケットボール　　5名 担当：松澤			新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)新潟プロバスケットボール　　5名 担当：松澤
10	43 44 45 46 47			新規商品開発・販売実習Ⅱ 越後味噌醸造(株)　　5名 担当：松澤			新規商品開発・販売実習Ⅱ 越後味噌醸造(株)　　5名 担当：松澤
11	48 49 50 51 52			新規商品開発・販売実習Ⅱ 今代司酒造(株)　　5名 担当：松澤			新規商品開発・販売実習Ⅱ 今代司酒造(株)　　5名 担当：松澤
12	53 54 55 56 57			新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)峰村商店　　5名 担当：東城			新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)峰村商店　　5名 担当：東城
13	58 59 60 61 62			新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)MGNET　　5名 担当：東城			新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)MGNET　　5名 担当：東城
14 15	63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74			新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)リコージャパン株式会社新潟支社 12名×2グループ 担当：東城			新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)リコージャパン株式会社新潟支社 12名×2グループ 担当：東城
16	75 76 77 78 79 80			新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)幻の酒　　6名 担当　東城			新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)幻の酒　　6名 担当　東城

添付資料９－５　臨地実務実習予定表

企業内実習Ⅲ実習予定表（３年次）※以下の該当する週の火曜日(午後）と木曜日（終日）を実習日とする。

G	人数(80)		6週	7週	２７～３３週	34週	35週	３６～４２週
					１０月～１１月（３期）			１２月～２月（４期）
1	1 2				企業内実習Ⅲ　(株)ウイネット2名　担当：石川			企業内実習Ⅲ　(株)ウイネット2名　担当：石川
2	3 4 5 6 7				企業内実習Ⅲ (株)エデュースホールディングス5名 担当：石川			企業内実習Ⅲ (株)エデュースホールディングス5名 担当：石川
3	8 9 10 11 12				企業内実習Ⅲ (株)エヌエスジー教育ネットワーク5名 担当：石川			企業内実習Ⅲ (株)エヌエスジー教育ネットワーク5名 担当：石川
4	13 14 15 16 17				企業内実習Ⅲ (株)NSGアカデミー5名 担当：石川			企業内実習Ⅲ (株)NSGアカデミー5名 担当：石川
5	18 19				企業内実習Ⅲ　(株)サーティファイ2名　担当：平田			企業内実習Ⅲ　(株)サーティファイ2名　担当：平田
6	20 21 22 23 24				企業内実習Ⅲ (株)小川屋5名 担当：平田			企業内実習Ⅲ (株)小川屋5名 担当：平田
7	25 26 27 28 29 30 31 32 33 34				企業内実習Ⅲ (株)日本フードリンク5名×2グループ 担当：平田			企業内実習Ⅲ (株)日本フードリンク5名×2グループ 担当：平田
8	35 36				企業内実習Ⅲ　(株)ベジ・アビオ2名　担当：平田			企業内実習Ⅲ　(株)ベジ・アビオ2名　担当：平田
9	37 38 39 40 41				企業内実習Ⅲ (株)グローカルマーケティング5名 担当：渡辺			企業内実習Ⅲ (株)グローカルマーケティング5名 担当：渡辺
10	42 43 44 45 46				企業内実習Ⅲ 新潟綜合警備保障(株)5名 担当：渡辺			企業内実習Ⅲ 新潟綜合警備保障(株)5名 担当：渡辺
11	47 48 49 50 51				企業内実習Ⅲ 越後味噌醸造(株)5名 担当：渡辺			企業内実習Ⅲ 越後味噌醸造(株)5名 担当：渡辺
12	52 53				企業内実習Ⅲ　(株)ヒューマンブレイン2名　担当：渡辺			企業内実習Ⅲ　(株)ヒューマンブレイン2名　担当：渡辺
13	54 55 56 57 58				企業内実習Ⅲ 今代司酒造(株)5名 担当：土岐			企業内実習Ⅲ 今代司酒造(株)5名 担当：土岐
14	59 60 61 62 63				企業内実習Ⅲ (株)峰村商店5名 担当：土岐			企業内実習Ⅲ (株)峰村商店5名 担当：土岐
15	64 65 66 67 68				企業内実習Ⅲ (株)アイ・シー・オー5名 担当：土岐			企業内実習Ⅲ (株)アイ・シー・オー5名 担当：土岐
16	69 70 71 72 73				企業内実習Ⅲ (株)国際総合計画5名 担当：土岐			企業内実習Ⅲ (株)国際総合計画5名 担当：土岐
17	74 75				企業内実習Ⅲ　(株)MGNET2名　担当：櫻井			企業内実習Ⅲ　(株)MGNET2名　担当：櫻井
18	76 77 78 79 80				企業内実習Ⅲ Adam Innovations(株)5名　担当：櫻井			企業内実習Ⅲ Adam Innovations(株)5名　担当：櫻井

添付資料10－1　教員等の実習先との連携表①

科目名：企業内実習Ⅰ
配当年次：1年③④
単位数（時間数）：２単位（６０時間）
指導責任教員：西村
指導担当教員：西村、石川、松澤、福田、渡辺
実習期間：１０月上旬～２月上旬
原則２～５名を１グループとして２０グループを編成する。教員1名が２～4グループを担当し、各企業との実習指導者と連携のもと実習を実施する。また、教員はこの期間中２回を目安に各企業にて巡回指導を実施する。

実習施設		(株)ウイネット	(株)エデュースホールディング	(株)エヌエスジー教育ネットワーク	(株)NSGアカデミー	(株)サーティファイ	(株)小川屋	(株)日本フードリンク本社	(株)ベジアビオ	グローカルマーケティング(株)	新潟綜合警備保障(株)	越後味噌醸造(株)
曜日	時限	2名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	2名（1G）	5名（1G）	10名（2G）	2名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）
月	1											
	2											
	3											
	4											
	5											
火	1											
	2											
	3											
	4											
	5											
水	1											
	2											
	3	石川	石川	石川	石川	松澤	松澤	松澤	松澤	福田	福田	福田
	4											
	5											
木	1											
	2											
	3											
	4											
	5											
金	1											
	2											
	3											
	4											
	5											

添付資料10－１　教員等の実習先との連携表②

科目名：企業内実習Ⅰ
配当年次：1年③④
単位数（時間数）：２単位（６０時間）
指導責任教員：西村
指導担当教員：西村、石川、松澤、福田、渡辺
実習期間：１０月上旬～２月上旬
原則２～５名を１グループとして２０グループを編成する。教員1名が２～４グループを担当し、各企業との実習指導者と連携のもと実習を実施する。また、教員はこの期間中２回を目安に各企業にて巡回指導を実施する。

実習施設		(株)ヒューマンブレイン	今代司酒造(株)	(株)峰村商店	(株)アイ・シー・オー	(株)国際総合計画	(株)MGNET	Adam Innovations(株)
曜日	時限	2名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	2名（1G）	5名（1G）
月	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
火	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
水	1							
	2							
	3	福田	渡辺	渡辺	渡辺	渡辺	西村	西村
	4							
	5							
木	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
金	1							
	2							
	3							
	4							
	5							

添付資料10－2　教員等の実習先との連携表①

科目名：新規商品開発・販売実習Ⅰ

単位数（時間数）：５単位（１５０時間）
指導責任教員：平田
指導担当教員：石川、松澤、東城、平田
実習期間：４月上旬～８月上旬
原則２～６名を１グループとして１６グループを編成する。教員1名が１～５グループを担当し、各企業との実習指導者と連携のもと実習を実施する。また、教員はこの期間中２回を目安に各企業にて巡回指導を実施する。

実習施設		(株)ウイネット	(株)エデュースホールディング	(株)エヌエスジー教育ネットワーク	(株)NSGアカデミー	(株)サーティファイ	(株)小川屋	グローカルマーケティング(株)	新潟綜合警備保障(株)	(株)新潟プロバスケットボール本社	越後味噌醸造(株)	今代司酒造(株)
曜日	時限	2名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）
月	1											
	2											
	3											
	4											
	5											
火	1											
	2											
	3	石川	石川	石川	平田	平田	平田	松澤	松澤	松澤	松澤	東城
	4											
	5											
水	1											
	2											
	3											
	4	石川	石川	石川	平田	平田	平田	松澤	松澤	松澤	松澤	東城
	5											
木	1											
	2											
	3											
	4											
	5											
金	1											
	2											
	3											
	4											
	5											

添付資料10－2　教員等の実習先との連携表②

科目名：新規商品開発・販売実習Ⅰ
配当年次：２年①②
単位数（時間数）：５単位（１５０時間）
指導責任教員：平田
指導担当教員：石川、松澤、東城、平田
実習期間：４月上旬～８月上旬
原則２～６名を１グループとして１６グループを編成する。教員1名が１～５グループを担当し、各企業との実習指導者と連携のもと実習を実施する。また、教員はこの期間中２回を目安に各企業にて巡回指導を実施する。

実習施設		(株)峰村商店	(株)MGNET	リコージャパン(株)新潟支社	(株)幻の酒							
曜日	時限	5名（1G）	5名（1G）	12名（2G）	6名（1G）							
月	1											
	2											
	3											
	4											
	5											
火	1											
	2											
	3	東城	東城	東城	平田							
	4											
	5											
水	1											
	2											
	3											
	4	東城	東城	東城	平田							
	5											
木	1											
	2											
	3											
	4											
	5											
金	1											
	2											
	3											
	4											
	5											

添付資料10－3　教員等の実習先との連携表①

科目名：企業内実習Ⅱ
配当年次：２年③④
単位数（時間数）：４単位（１２０時間）
指導責任教員：石川
指導担当教員：石川、松澤、東城、土岐
実習期間：１０月上旬～２月上旬
原則１～６名を１グループとして３２グループを編成する。教員1名が７～８グループを担当し、各企業との実習指導者と連携のもと実習を実施する。また、教員はこの期間中２回を目安に各企業にて巡回指導を実施する。

実習施設		(株)ウイネット	(株)エデュースホールディング	(株)エヌエスジー教育ネットワーク	(株)NSGアカデミー	(株)サーティファイ	(株)小川屋	(株)日本フードリンク本社	(株)ベジ・アビオ	グローカルマーケティング(株)	新潟綜合警備保障(株)
曜日	時限	6名（1G）	3名（1G）	3名（1G）	5名（1G）	4名（1G）	2名（1G）	5名（1G）	2名（1G）	3名（1G）	3名（1G）
月	1	石川	石川	石川	石川	石川	石川	石川	松澤	松澤	松澤
	2										
	3										
	4										
	5										
火	1										
	2										
	3										
	4										
	5										
水	1										
	2										
	3										
	4										
	5										
木	1										
	2										
	3										
	4										
	5										
金	1										
	2										
	3										
	4										
	5										

添付資料10－3　教員等の実習先との連携表②

科目名：企業内実習Ⅱ
配当年次：2年③④
単位数（時間数）：４単位（１２０時間）
指導責任教員：石川
指導担当教員：石川、松澤、東城、土岐
実習期間：１０月上旬～２月上旬
原則１～６名を１グループとして３２グループを編成する。教員1名が３～５グループを担当し、各企業との実習指導者と連携のもと実習を実施する。また、教員はこの期間中２回を目安に各企業にて巡回指導を実施する。

実習施設		（株）リビングギャラリー本店	（株）リビングギャラリー新潟中央センター	（株）リビングギャラリー新潟駅前店	（株）リビングギャラリー新潟古町店	（株）リビングギャラリー長岡東店	（株）リビングギャラリー新潟亀田店	（株）リビングギャラリー新潟東店	（株）リビングギャラリー新潟大学前店	（株）リビングギャラリー新潟西店	（株）リビングギャラリー新津店	（株）リビングギャラリー新潟北店
曜日	時限	2名（1G）	2名（1G）	2名（1G）	2名（1G）	2名（1G）	2名（1G）	2名（1G）	2名（1G）	2名（1G）	2名（1G）	2名（1G）
月	1	松澤	松澤	松澤	松澤	東城	東城	東城	東城	東城	東城	東城
	2											
	3											
	4											
	5											
火	1		※1	※1	※1	※1	※1	※2	※2	※2	※2	※3
	2											
	3											
	4											
	5											
水	1											
	2											
	3											
	4											
	5											
木	1											
	2											
	3											
	4											
	5											
金	1											
	2											
	3											
	4											
	5											

添付資料10－3　教員等の実習先との連携表③

科目名：企業内実習Ⅱ
配当年次：２年③④
単位数（時間数）：４単位（１２０時間）
指導責任教員：石川
指導担当教員：石川、松澤、東城、土岐
実習期間：１０月上旬～２月上旬
原則１～６名を１グループとして３２グループを編成する。教員1名が６～８グループを担当し、各企業との実習指導者と連携のもと実習を実施する。また、教員はこの期間中２回を目安に各企業にて巡回指導を実施する。

実習施設		（株）リビングギャラリー新発田店	（株）リビングギャラリー燕三条店	（株）リビングギャラリー長岡西店	越後味噌醸造(株)	(株)ヒューマンブレイン	今代司酒造(株)	(株)峰村商店	(株)国際総合計画	（株）MGNET	（株）幻の酒
曜日	時限	２名（１G）	２名（１G）	２名（１G）	２名（１G）	１名（１G）	２名（１G）	２名（１G）	３名（１G）	２名（１G）	３名（１G）
月	1	土岐	土岐	土岐	土岐	土岐	土岐	土岐	東城	松澤	土岐
	2										
	3										
	4										
	5										
火	1	※３	※３	※1							
	2										
	3										
	4										
	5										
水	1										
	2										
	3										
	4										
	5										
木	1										
	2										
	3										
	4										
	5										
金	1										
	2										
	3										
	4										
	5										

添付資料10－4　教員等の実習先との連携表①

科目名：新規商品開発・販売実習Ⅱ
配当年次：3年①②
単位数（時間数）：５単位（１５０時間）
指導責任教員：松澤
指導担当教員：石川、松澤、東城、平田
実習期間：４月上旬～８月上旬
原則２～６名を１グループとして１６グループを編成する。教員1名が１～５グループを担当し、各企業との実習指導者と連携のもと実習を実施する。また、教員はこの期間中２回を目安に各企業にて巡回指導を実施する。

実習施設		(株)ウイネット	(株)エデュースホールディング	(株)エヌエスジー教育ネットワーク	(株)NSGアカデミー	(株)サーティファイ	(株)小川屋	グローカルマーケティング(株)	新潟綜合警備保障(株)	(株)新潟プロバスケットボール本社	越後味噌醸造(株)	今代司酒造(株)
曜日	時限	2名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）
月	1											
	2											
	3											
	4											
	5											
火	1											
	2											
	3											
	4											
	5											
水	1											
	2											
	3											
	4											
	5											
木	1											
	2											
	3											
	4	石川	石川	石川	平田	平田	平田	平田	松澤	松澤	松澤	松澤
	5											
金	1											
	2											
	3	石川	石川	石川	平田	平田	平田	平田	松澤	松澤	松澤	松澤
	4											
	5											

添付資料10－4　教員等の実習先との連携表②

科目名：新規商品開発・販売実習Ⅱ
配当年次：3年①②
単位数（時間数）：５単位（１５０時間）
指導責任教員：松澤
指導担当教員：石川、松澤、東城、平田
実習期間：４月上旬～８月上旬
原則２～６名を１グループとして１６グループを編成する。教員1名が１～５グループを担当し、各企業との実習指導者と連携のもと実習を実施する。また、教員はこの期間中２回を目安に各企業にて巡回指導を実施する。

実習施設		(株)峰村商店	(株)MGNET	リコージャパン(株)新潟支社	(株)幻の酒							
曜日	時限	5名（1G）	5名（1G）	12名（2G）	6名（1G）							
月	1											
	2											
	3											
	4											
	5											
火	1											
	2											
	3											
	4											
	5											
水	1											
	2											
	3											
	4											
	5											
木	1											
	2											
	3											
	4	東城	東城	東城	東城							
	5											
金	1	東城	東城	東城	東城							
	2											
	3											
	4											
	5											

添付資料10－5　教員等の実習先との連携表①

科目名：企業内実習Ⅲ
配当年次：３年③④
単位数（時間数）：６単位（１８０時間）
指導責任教員：櫻井
指導担当教員：櫻井、石川、渡辺、平田、土岐
実習期間：１０月上旬～２月上旬
原則２～５名を１グループとして１８グループを編成する。教員1名が２～４グループを担当し、各企業との実習指導者と連携のもと実習を実施する。また、教員はこの期間中２回を目安に各企業にて巡回指導を実施する。

実習施設		(株)ウイネット	(株)エデュースホールディング	(株)エヌエスジー教育ネットワーク	(株)NSGアカデミー	(株)サーティファイ	(株)小川屋	(株)日本フードリンク本社	(株)ベジアビオ	グローカルマーケティング(株)	新潟綜合警備保障(株)	越後味噌醸造(株)
曜日	時限	2名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	2名（1G）	5名（1G）	10名（2G）	2名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）
月	1											
	2											
	3											
	4											
	5											
火	1											
	2											
	3											
	4	石川	石川	石川	石川	平田	平田	平田	平田	渡辺	渡辺	渡辺
	5											
水	1											
	2											
	3											
	4											
	5											
木	1	石川	石川	石川	石川	平田	平田	平田	平田	渡辺	渡辺	渡辺
	2											
	3											
	4											
	5											
金	1											
	2											
	3											
	4											
	5											

添付資料10－5　教員等の実習先との連携表②

科目名：企業内実習Ⅲ
配当年次：３年③④
単位数（時間数）：６単位（１８０時間）
指導責任教員：櫻井
指導担当教員：櫻井、石川、渡辺、平田、土岐
実習期間：１０月上旬～２月上旬
原則２～５名を１グループとして１８グループを編成する。教員1名が２～４グループを担当し、各企業との実習指導者と連携のもと実習を実施する。また、教員はこの期間中２回を目安に各企業にて巡回指導を実施する。

実習施設		(株)ヒューマンブレイン	今代司酒造(株)	(株)峰村商店	(株)アイ・シー・オー	(株)国際総合計画	(株)MGNET	Adam Innovations(株)
曜日	時限	2名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	2名（1G）	5名（1G）
月	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
火	1							
	2							
	3							
	4	渡辺	土岐	土岐	土岐	土岐	櫻井	櫻井
	5							
水	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
木	1							
	2							
	3	渡辺	土岐	土岐	土岐	土岐	櫻井	櫻井
	4							
	5							
金	1							
	2							
	3							
	4							
	5							

添付資料11　臨地実務実習指導教員別スケジュール表

石川秀才

1期

	月	火	水	木	金
1限		新規商品開発販売実習Ⅰ 臨地実務実習巡回指導日			新規商品開発販売実習Ⅱ 臨地実務実習巡回指導日
2限					
3限					
4限					
5限	不動産法入門				

2期

	月	火	水	木	金
1限		新規商品開発販売実習Ⅰ 臨地実務実習巡回指導日			新規商品開発販売実習Ⅱ 臨地実務実習巡回指導日
2限					
3限					
4限					
5限	不動産法入門				

3期

	月	火	水	木	金
1限	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅱ	不動産取引実習	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅰ	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ	
2限					
3限					
4限		臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ			
5限					

4期

	月	火	水	木	金
1限	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅱ	不動産取引実習	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅰ	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ	
2限					
3限					
4限		臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ			
5限					

福田　稔

1期

	月	火	水	木	金
1限	会社設立実習ⅡA				
2限	会社設立実習ⅡA				
3限	会社設立実習ⅡA				事業計画策定総合実習
4限	会社設立実習ⅡA				事業計画策定総合実習
5限					

2期

	月	火	水	木	金
1限	会社設立実習ⅡA				
2限	会社設立実習ⅡA				
3限	会社設立実習ⅡA				事業計画総合実習
4限	会社設立実習ⅡA				事業計画総合実習
5限					

3期

	月	火	水	木	金
1限			臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅰ		
2限				会社設立実習ⅠA	
3限				会社設立実習ⅠA	事業計画総合実習
4限		会社設立実習ⅠA			事業計画総合実習
5限		会社設立実習ⅠA			

4期

	月	火	水	木	金
1限			臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅰ		
2限				会社設立実習ⅠA	
3限				会社設立実習ⅠA	事業計画総合実習
4限		会社設立実習ⅠA			事業計画総合実習
5限		会社設立実習ⅠA			

櫻井　繁樹

1期

	月	火	水	木	金
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					

2期

	月	火	水	木	金
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					

3期

	月	火	水	木	金
1限		地域産業研究Ⅲ(環境)		臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ	
2限					
3限					
4限		臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ			
5限					

4期

	月	火	水	木	金
1限		地域産業研究Ⅲ(環境)		臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ	
2限					
3限					
4限		臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ			
5限					

西村　伸也

1期

	月	火	水	木	金
1限			地域産業研究Ⅶまちづくり		
2限					
3限					事業計画策定総合実習
4限					事業計画策定総合実習
5限					

2期

	月	火	水	木	金
1限			地域産業研究Ⅶまちづくり		
2限					
3限					事業計画策定総合実習
4限					事業計画策定総合実習
5限					

3期

	月	火	水	木	金
1限	資源活用実習B		臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅰ		
2限	資源活用実習B				
3限				事業計画総合実習	
4限	資源活用実習A			事業計画総合実習	
5限	資源活用実習A				

4期

	月	火	水	木	金
1限	資源活用実習B		臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅰ		
2限	資源活用実習B				
3限					事業計画総合実習
4限	資源活用実習A				事業計画総合実習
5限	資源活用実習A				

渡邉　康英

1期

	月	火	水	木	金
1限		ソーシャルデザインⅡA			
2限		ソーシャルデザインⅡB			
3限					
4限					
5限					

2期

	月	火	水	木	金
1限		ソーシャルデザインⅡA			
2限		ソーシャルデザインⅡB			
3限					
4限					
5限					

3期

	月	火	水	木	金
1限	ソーシャルデザイン実習A		ソーシャルデザインⅠB	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ	
2限	ソーシャルデザイン実習A		ソーシャルデザインⅠA		
3限			臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅰ		
4限	ソーシャルデザイン実習B	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ			
5限	ソーシャルデザイン実習B				

4期

	月	火	水	木	金
1限	ソーシャルデザイン実習A		ソーシャルデザインⅠB	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ	
2限	ソーシャルデザイン実習A		ソーシャルデザインⅠA		
3限			臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅰ		
4限	ソーシャルデザイン実習B	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ			
5限	ソーシャルデザイン実習B				

松澤　孝紀

1期

	月	火	水	木	金
1限		臨地実務実習巡回指導日 新規商品開発販売実習Ⅰ			新規商品開発・販売実習Ⅱ巡回・指導
2限					
3限					
4限			新規商品開発・販売実習Ⅰ巡回・指導日	新規商品開発・販売実習Ⅱ巡回・指導	事業計画総合実習
5限					事業計画総合実習

2期

	月	火	水	木	金
1限		臨地実務実習巡回指導日 新規商品開発販売実習Ⅰ			新規商品開発・販売実習Ⅱ巡回・指導
2限					
3限					
4限			新規商品開発・販売実習Ⅰ巡回・指導日	新規商品開発・販売実習Ⅱ巡回・指導	事業計画総合実習
5限					事業計画総合実習

3期

	月	火	水	木	金
1限	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅱ		資金調達実践B		
2限			臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅰ		
3限		資金調達実践A			
4限					事業計画総合実習
5限					事業計画総合実習

4期

	月	火	水	木	金
1限	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅱ		資金調達実践B		
2限			臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅰ		
3限		資金調達実践A			
4限					事業計画総合実習
5限					事業計画総合実習

東城　歩

1期

	月	火	水	木	金
1限		臨地実務実習巡回指導日 新規商品開発販売実習Ⅰ	簿記概論A		臨地実務実習巡回指導日 新規事業開発販売実習Ⅱ
2限			簿記概論B		
3限					
4限			財務諸表分析A		
5限			財務諸表分析B		

2期

	月	火	水	木	金
1限		臨地実務実習巡回指導日 新規商品開発販売実習Ⅰ	簿記概論A		臨地実務実習巡回指導日 新規事業開発販売実習Ⅱ
2限			簿記概論B		
3限					
4限			財務諸表分析A		
5限			財務諸表分析B		

3期

	月	火	水	木	金
1限	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅱ				
2限					
3限		簿記演習A			
4限					
5限		簿記演習B			

4期

	月	火	水	木	金
1限	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅱ				
2限					
3限					
4限					
5限					

平田　沙織

1期

	月	火	水	木	金
1限		臨地実務実習巡回指導日 新規商品開発販売実習Ⅰ			臨地実務実習巡回指導日 新規商品開発販売実習Ⅱ
2限					
3限					
4限			新規商品開発・販売実習Ⅰ巡回・指導日	新規商品開発・販売実習Ⅱ巡回・指導日	
5限					

2期

	月	火	水	木	金
1限		臨地実務実習巡回指導日 新規商品開発販売実習Ⅰ		会計学A	臨地実務実習巡回指導日 新規商品開発販売実習Ⅱ
2限				会計学B	
3限					
4限			新規商品開発・販売実習Ⅰ巡回・指導日	新規商品開発・販売実習Ⅱ巡回・指導日	
5限					

3期

	月	火	水	木	金
1限		財務諸表論B		臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ	
2限		財務諸表論A			
3限					事業計画総合実習
4限		臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ			事業計画総合実習
5限					

4期

	月	火	水	木	金
1限				臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ	
2限					
3限					事業計画総合実習
4限		臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ			事業計画総合実習
5限					

土岐　智賀子

1期

	月	火	水	木	金
1限				キャリアデザインⅠA	
2限					現代社会学A（情報）
3限				キャリアデザインⅠB	現代社会学B（情報）
4限					
5限					

2期

	月	火	水	木	金
1限			現代社会学B（情報）	キャリアデザインⅡA	
2限			現代社会学A（情報）	キャリアデザインⅡB	
3限					
4限					
5限					

3期

	月	火	水	木	金
1限	現代社会学			臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ	
2限	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅱ				
3限					
4限		臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ			
5限					

4期

	月	火	水	木	金
1限	現代社会学			臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ	
2限	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅱ				
3限					
4限		臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ			
5限					

完成年度の事業創造学部事業創造学科時間割案(2023年度 ①期)

＜凡例＞
・担当者欄の斜字：兼担教員／兼任教員

【月曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	現代産業論B(事創)	美甘	3F講義室(4)				会社設立実習ⅡA(事創) 会社設立実習ⅡB(事創)	原岡 福田	5F演習室(1)(2) 5F演習室(3)(4)			
2限	マーケティングB(事創)	高松	3F講義室(5)	経営組織論B(事創) デザインシンキング概論A(事創)	向 石塚	1F講義室(1) 4F講義室(18)	会社設立実習ⅡA(事創) 会社設立実習ⅡB(事創)	原岡 福田	5F演習室(1)(2) 5F演習室(3)(4)			
3限	マーケティングA(事創)	高松	3F講義室(5)	経営組織論A(事創) デザインシンキング概論B(事創)	向 石塚	1F講義室(1) 4F講義室(18)	会社設立実習ⅡA(事創) 会社設立実習ⅡB(事創)	原岡 福田	5F演習室(1)(2) 5F演習室(3)(4)			
4限	現代産業論A(事創)	美甘	3F講義室(4)				会社設立実習ⅡA(事創) 会社設立実習ⅡB(事創)	原岡 福田	5F演習室(1)(2) 5F演習室(3)(4)			
5限	現代経済学	徳田	3F講義室(4)				不動産法入門	石川	3F講義室(5)			
備考												

【火曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限				**新規商品開発・販売実習Ⅰ(臨地実務実習)**			ソーシャルデザインⅡA(事創) イノベーションマネジメントB	渡辺 近藤	4F講義室(15) 3F講義室(4)			
2限	情報リテラシーB(事創)	向	4F講義室(15)	**新規商品開発・販売実習Ⅰ(臨地実務実習)**			ソーシャルデザインⅡB(事創) イノベーションマネジメントA	渡辺 近藤	4F講義室(15) 3F講義室(4)			
3限	情報リテラシーB(事創)	向	4F講義室(15)	**新規商品開発・販売実習Ⅰ(臨地実務実習)**			実践的統計学(事創)	*中東*	3F講義室(5)			
4限	情報リテラシーA(事創)	向	3F講義室(7)	**新規商品開発・販売実習Ⅰ(臨地実務実習)**								
5限	情報リテラシーA(事創)	向	3F講義室(7)	**新規商品開発・販売実習Ⅰ(臨地実務実習)**								
備考												

【水曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	簿記概論A	東城	3F講義室(4)	英語プレゼンテーション演習ⅠB(事創) **新潟と地域資源A(事創)**	*グレッグディック* *渡辺*	4F講義室(18) 3F講義室(3)				地域産業研究Ⅶまちづくり(事創)	西村	3F講義室(3)
2限	日本語コミュニケーションA(事創) 簿記概論B	常木 東城	3F講義室(4) 3F講義室(5)	英語プレゼンテーション演習ⅠA(事創) **新潟と地域資源B(事創)**	*グレッグディック* *渡辺*	4F講義室(18) 3F講義室(3)	地域産業研究Ⅳものづくり(事創)	原岡	4F講義室(13)	地域産業研究ⅦICT(事創)	*磯西*	3F講義室(5)
3限	日本語コミュニケーションB(事創) 英語コミュニケーションⅠA(事創)	常木 *グレッグディック*	3F講義室(3) 4F講義室(18)				コミュニケーションデザイン(事創) 地域資源活用の事例研究A	*武田* *青山*	3F講義室(5) 4F講義室(14)			
4限	英語コミュニケーションⅠB(事創)	*グレッグディック*	3F講義室(6)	**新規商品開発・販売実習Ⅰ(臨地実務実習)**			地域資源活用の事例研究B 財務諸表分析A(事創)	*青山* 東城	3F講義室(5) 3F講義室(6)			
5限				**新規商品開発・販売実習Ⅰ(臨地実務実習)**			財務諸表分析B(事創)	東城	3F講義室(6)			
備考												

【木曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	キャリアデザインⅠA(事創)	土岐	3F講義室(3)							実践企業革新(事創)	福田	4F講義室(15)
2限	ビジネスモラルB(事創)	*佐藤*	3F講義室(4)	ビジネスモデル研究B	星	3F講義室(5)						
3限	ビジネスモラルA(事創) キャリアデザインⅠB(事創)	*佐藤* 土岐	3F講義室(4) 3F講義室(3)	ビジネスモデル研究A	星	3F講義室(5)	**新規商品開発・販売実習Ⅱ(臨地実務実習)**					
4限	現代実践法学	*藤島*	3F講義室(4)	地域産業研究Ⅰ農林水産(事創) 地域産業研究Ⅱ医療福祉(事創)	*武本* *渡邉*	4F講義室(15) 4F講義室(16)	**新規商品開発・販売実習Ⅱ(臨地実務実習)**					
5限				流通論の基礎(事創)	徳田	4F講義室(15)	**新規商品開発・販売実習Ⅱ(臨地実務実習)**					
備考												

【金曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	経営学の基礎A(事創)	星	3F講義室(3)	ビジネスプランの応用A(事創)	古屋	3F講義室(7)	**新規商品開発・販売実習Ⅱ(臨地実務実習)**					
2限	経済学の基礎A(事創)	近藤	3F講義室(6)	ビジネスプランの応用A(事創)	古屋	3F講義室(7)	**新規商品開発・販売実習Ⅱ(臨地実務実習)**					
3限	経営学の基礎B(事創)	星	3F講義室(7)	ビジネスプランの応用B(事創)	古屋	4F講義室(5)	**新規商品開発・販売実習Ⅱ(臨地実務実習)**			事業計画策定総合実習	学部長以外の教授・准教授	9教室 実習・演習
4限	経済学の基礎B(事創)	近藤	3F講義室(6)	ビジネスプランの応用B(事創)	古屋	4F講義室(5)	**新規商品開発・販売実習Ⅱ(臨地実務実習)**			事業計画策定総合実習	学部長以外の教授・准教授	9教室 実習・演習
5限							**新規商品開発・販売実習Ⅱ(臨地実務実習)**					
備考												

※臨地実務実習は上記には含まず。

完成年度の事業創造学部事業創造学科時間割案（2023年度 ②期）

＜凡例＞
・担当者欄の斜字：兼担教員／兼任教員

【月曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	現代産業論B（事創）	美甘	3F講義室(3)	キャリアデザインⅡA（事創）	土岐	3F講義室(4)	会社設立実習ⅡA（事創） 会社設立実習ⅡB（事創）	福田 原岡	5F演習室(1)(2) 5F演習室(3)(4)			
2限	マーケティングB（事創）	高松	3F講義室(3)	経営組織論B（事創） デザインシンキング概論A（事創）	向 石塚	3F講義室(4) 4F講義室(15)	会社設立実習ⅡA（事創） 会社設立実習ⅡB（事創）	福田 原岡	5F演習室(1)(2) 5F演習室(3)(4)			
3限	マーケティングA（事創）	高松	3F講義室(3)	経営組織論A（事創） デザインシンキング概論B（事創）	向 石塚	3F講義室(7) 4F講義室(15)	会社設立実習ⅡA（事創） 会社設立実習ⅡB（事創）	福田 原岡	5F演習室(1)(2) 5F演習室(3)(4)			
4限	現代産業論A（事創）	美甘	3F講義室(3)	キャリアデザインⅡB（事創）	土岐	3F講義室(6)	会社設立実習ⅡA（事創） 会社設立実習ⅡB（事創）	福田 原岡	5F演習室(1)(2) 5F演習室(3)(4)			
5限	現代経済学	徳田	3F講義室(4)				不動産法入門	石川	3F講義室(5)			
備考												

【火曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	新潟と地域社会B（事創）	*宮下*	3F講義室(4)	**新規商品開発・販売実習Ⅰ（臨地実務実習）**			ソーシャルデザインⅡA（事創） イノベーションマネジメントB	渡辺 近藤	4F講義室(15) 3F講義室(4)			
2限	新潟と地域社会A（事創）	*宮下*	3F講義室(4)	**新規商品開発・販売実習Ⅰ（臨地実務実習）**			ソーシャルデザインⅡB（事創） イノベーションマネジメントA	渡辺 近藤	4F講義室(15) 3F講義室(4)			
3限				**新規商品開発・販売実習Ⅰ（臨地実務実習）**			実践的統計学（事創）	*中東*	3F講義室(5)			
4限				**新規商品開発・販売実習Ⅰ（臨地実務実習）**								
5限				**新規商品開発・販売実習Ⅰ（臨地実務実習）**								
備考												

【水曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	簿記概論A	東城	3F講義室(4)	英語プレゼンテーション演習ⅠB（事創） **新潟と地域資源A（事創）**	*グレッグディック* *渡辺*	4F講義室(18) 3F講義室(3)	キャリアデザインⅢA（事創）	土岐	4F講義室(15)	地域産業研究Ⅶまちづくり（事創）	西村	3F講義室(3)
2限	日本語コミュニケーションA（事創） 簿記概論B	常木 東城	3F講義室(4) 3F講義室(5)	英語プレゼンテーション演習ⅠA（事創） **新潟と地域資源B（事創）**	*グレッグディック* *渡辺*	4F講義室(18) 3F講義室(3)	キャリアデザインⅢB（事創） 地域産業研究Ⅳものづくり（事創）	土岐 原岡	4F講義室(13) 4F講義室(14)	地域産業研究ⅦICT（事創）	*磯西*	5F演習室(5)
3限	日本語コミュニケーションB（事創） 英語コミュニケーションⅠA（事創）	常木 *グレッグディック*	3F講義室(3) 5F講義室(18)				コミュニケーションデザイン（事創） 地域資源活用の事例研究A	*武田* *青山*	3F講義室(5) 4F講義室(14)			
4限	英語コミュニケーションⅠB（事創）	*グレッグディック*	3F講義室(6)	**新規商品開発・販売実習Ⅰ（臨地実務実習）**			地域資源活用の事例研究B 財務諸表分析A（事創）	*青山* 東城	3F講義室(5) 3F講義室(6)			
5限				**新規商品開発・販売実習Ⅰ（臨地実務実習）**			財務諸表分析B（事創）	東城	3F講義室(6)			
備考												

【木曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限				ビジネスモデル研究B 会計学A	星 平田	3F講義室(5) 3F講義室(7)				実践企業革新（事創）	福田	4F講義室(15)
2限				ビジネスモデル研究A 会計学B	星 平田	3F講義室(5) 3F講義室(7)						
3限							**新規商品開発・販売実習Ⅱ（臨地実務実習）**					
4限				地域産業研究Ⅰ農林水産（事創） 地域産業研究Ⅱ医療福祉（事創）	*武本* *渡邉*	3F講義室(5) 3F講義室(6)	**新規商品開発・販売実習Ⅱ（臨地実務実習）**					
5限	現代実践法学	*藤島*	3F講義室(3)	流通論の基礎（事創）	徳田	4F講義室(16)	**新規商品開発・販売実習Ⅱ（臨地実務実習）**					
備考	トップランナー研究※集中（事創）											

【金曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	経営学の基礎A（事創）	星	3F講義室(3)	ビジネスプランの応用A（事創）	古屋	3F講義室(7)	**新規商品開発・販売実習Ⅱ（臨地実務実習）**					
2限	経済学の基礎A（事創）	近藤	3F講義室(3)	ビジネスプランの応用A（事創）	古屋	3F講義室(7)	**新規商品開発・販売実習Ⅱ（臨地実務実習）**					
3限	経営学の基礎B（事創）	星	3F講義室(3)	ビジネスプランの応用B（事創）	古屋	4F講義室(5)	**新規商品開発・販売実習Ⅱ（臨地実務実習）**			事業計画策定総合実習	学部長以外の教授・准教授	9教室 実習・演習
4限	経済学の基礎B（事創）	近藤	3F講義室(3)	ビジネスプランの応用B（事創）	古屋	4F講義室(5)	**新規商品開発・販売実習Ⅱ（臨地実務実習）**			事業計画策定総合実習	学部長以外の教授・准教授	9教室 実習・演習
5限							**新規商品開発・販売実習Ⅱ（臨地実務実習）**					
備考												

※臨地実務実習は上記には含まず。

完成年度の事業創造学部事業創造学科時間割案（2023年度 ③期）

＜凡例＞
・担当者欄の斜字：兼担教員／兼任教員

【月曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	現代社会学	土岐	3F講義室(4)	企業内実習Ⅱ(臨地実務実習)			ソーシャルデザイン実習A(事創) 地域資源活用実習B(事創)	渡辺 西村	1F演習・実習室 3F実習室(1)	中国語コミュニケーション	*崔*	4F講義室(15)
2限	現代の科学技術	田代	3F講義室(4)	企業内実習Ⅱ(臨地実務実習)			ソーシャルデザイン実習A(事創) 地域資源活用実習B(事創)	渡辺 西村	1F演習・実習室 3F実習室(1)			
3限	現代史と国際関係論	増田	3F講義室(3)	企業内実習Ⅱ(臨地実務実習)			広報戦略の実践(事創)	高松	3F講義室(7)			
4限	現代企業論B(事創) 簿記演習A(事創)	美甘 東城	3F講義室(5) 3F講義室(4)	企業内実習Ⅱ(臨地実務実習)			ソーシャルデザイン実習B(事創) 地域資源活用実習A(事創)	渡辺 西村	1F演習・実習室 3F実習室(1)	韓国語コミュニケーション	*黄*	4F講義室(15)
5限	現代企業論A(事創) 簿記演習B(事創)	美甘 東城	3F講義室(5) 3F講義室(6)	企業内実習Ⅱ(臨地実務実習)			ソーシャルデザイン実習B(事創) 地域資源活用実習A(事創)	渡辺 西村	1F演習・実習室 3F実習室(1)	ロシア語コミュニケーション	*中谷*	4F講義室(15)
備考												

【火曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限				地域産業研究Ⅲ環境(事創) 財務諸表論B(事創)	櫻井 平田	3F講義室(5) 3F講義室(5)	不動産取引演習	石川	3F講義室(6)			
2限	デジタルマーケティングA(事創)	向	3F講義室(7)	会社設立実習ＩB(事創) 財務諸表論A(事創)	原岡 平田	5F演習室(1)(2) 3F講義室(5)	地域産業研究Ⅴ観光(事創)	*寺前*	4F講義室(16)			
3限	簿記演習A	東城	3F講義室(6)	会社設立実習ＩB(事創)	原岡	5F演習室(1)(2)	資金調達の実践B(事創)	松澤	4F講義室(16)			
4限	デジタルマーケティングB(事創)	向	3F講義室(7)	会社設立実習ＩA(事創)	福田	5F演習室(1)(2)	企業内実習Ⅲ(臨地実務実習)					
5限	簿記演習B	東城	3F講義室(3)	会社設立実習ＩA(事創)	福田	5F演習室(1)(2)	企業内実習Ⅲ(臨地実務実習)					
備考												

【水曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	企業内実習Ⅰ(臨地実務実習)			ソーシャルデザインⅠB(事創)	渡辺	3F講義室(7)	資金調達の実践A(事創)	松澤	4F講義室(15)			
2限	企業内実習Ⅰ(臨地実務実習)			ソーシャルデザインⅠA(事創) 経営戦略策定演習B(事創)	渡辺 星	3F講義室(6) 4F講義室(18)	ICT活用ビジネス(事創)	原岡	4F講義室(16)			
3限	企業内実習Ⅰ(臨地実務実習)			経営戦略策定演習A(事創)	星	4F講義室(18)	実践事業承継	*銀行*	3F講義室(7)			
4限	企業内実習Ⅰ(臨地実務実習)			消費者行動研究(事創)	伊藤	3F講義室(6)	実践事業承継	*銀行*	3F講義室(7)			
5限	企業内実習Ⅰ(臨地実務実習)			地域産業研究Ⅲ環境(事創)	増田	3F講義室(6)	グローバル社長学(事創)	高松	4F講義室(16)			
備考												

【木曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	地域経済産業論A(事創) 新潟と地域政策B	徳田 *渡辺*	3F講義室(4) 3F講義室(5)				企業内実習Ⅲ(臨地実務実習)					
2限	ビジネスコミュニケーションA(事創) アントレプレナーシップ論B(事創)	原岡 近藤	3F講義室(4) 3F講義室(5)	会社設立実習ＩA(事創)	福田	5F演習室(1)(2)	企業内実習Ⅲ(臨地実務実習)					
3限	ビジネスコミュニケーションB(事創) アントレプレナーシップ論A(事創)	原岡 近藤	3F講義室(4) 3F講義室(5)	会社設立実習ＩA(事創) 英語プレゼンテーション演習ⅡB(事創)	福田 グレッグディック	5F演習室(1)(2) 5F講義室(18)	企業内実習Ⅲ(臨地実務実習)					
4限	地域経済産業論B(事創) 新潟と地域政策A	徳田 *渡辺*	3F講義室(4) 3F講義室(5)	会社設立実習ＩB(事創) 英語プレゼンテーション演習ⅡA(事創)	原岡 グレッグディック	5F演習室(1)(2) 5F講義室(18)	企業内実習Ⅲ(臨地実務実習)					
5限				会社設立実習ＩB(事創)	原岡	5F演習室(1)(2)	企業内実習Ⅲ(臨地実務実習)					
備考												

【金曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限							会社設立実習Ⅲ(事創)	福田	5F演習室(1)(2)			
2限	ビジネスプランの基礎A(事創) 経営戦略論B(事創)	古屋 星	3F講義室(3) 3F講義室(7)	地域資源活用の理論と方法A	*渡辺*	3F講義室(3)	会社設立実習Ⅲ(事創)	福田	5F演習室(1)(2)	地域産業研究Ⅶカルチャー(事創)	高松	4F講義室(16)
3限	ビジネスプランの基礎B(事創) 英語コミュニケーションⅡA(事創)	古屋 グレッグディック	3F講義室(3) 3F講義室(5)	地域資源活用の理論と方法B	*渡辺*	3F講義室(3)	会社設立実習Ⅲ(事創)	福田	5F演習室(1)(2)	事業計画策定総合実習	学部長以外の教授・准教授	9教室 実習・演習
4限	経営戦略論A(事創) 英語コミュニケーションⅡB(事創)	星 グレッグディック	3F講義室(6) 3F講義室(5)	実践ベンチャービジネスA(事創) 実践日本ビジネス法B(事創)	古屋 大野	4F講義室(15) 4F講義室(16)	会社設立実習Ⅲ(事創)	福田	5F演習室(1)(2)	事業計画策定総合実習	学部長以外の教授・准教授	9教室 実習・演習
5限				実践ベンチャービジネスB(事創) 実践日本ビジネス法A(事創)	古屋 大野	3F講義室(6) 3F講義室(5)	企業リスク管理実践(事創)	大野	4F講義室(15)			
備考												

※臨地実務実習は上記には含まず。

完成年度の事業創造学部事業創造学科時間割案（2023年度 ④期）

＜凡例＞
・*担当者欄の斜字：兼担教員／兼任教員*

【月曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	現代社会学	土岐	3F講義室(4)	**企業内実習Ⅱ（臨地実務実習）**			ソーシャルデザイン実習A(事創) **地域資源活用実習B（事創）**	渡辺 西村	1F演習・実習室 3F実習室(1)	中国語コミュニケーション	*崔*	4F講義室(15)
2限	現代の科学技術	田代	3F講義室(4)	**企業内実習Ⅱ（臨地実務実習）**			ソーシャルデザイン実習A(事創) **地域資源活用実習B（事創）**	渡辺 西村	1F演習・実習室 3F実習室(1)			
3限	現代史と国際関係論	増田	3F講義室(3)	**企業内実習Ⅱ（臨地実務実習）**			広報戦略の実践（事創）	高松	3F講義室(7)			
4限	現代企業論B（事創）	美甘	3F講義室(4)	**企業内実習Ⅱ（臨地実務実習）**			ソーシャルデザイン実習B(事創) **地域資源活用実習A（事創）**	渡辺 西村	1F演習・実習室 3F実習室(1)	韓国語コミュニケーション	*黄*	4F講義室(15)
5限	現代企業論A（事創）	美甘	3F講義室(4)	**企業内実習Ⅱ（臨地実務実習）**			ソーシャルデザイン実習B(事創) **地域資源活用実習A（事創）**	渡辺 西村	1F演習・実習室 3F実習室(1)	ロシア語コミュニケーション	*中谷*	4F講義室(15)
備考												

【火曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限				地域産業研究Ⅲ環境（事創）	櫻井	3F講義室(5)	不動産取引演習 国際動態論	石川 増田	3F講義室(5) 3F講義室(4)			
2限	デジタルマーケティングA（事創）	向	3F講義室(3)	会社設立実習ＩＢ（事創）	原岡	5F演習室(3)(4)	地域産業研究Ⅴ観光（事創） 国際動態論	*寺前* 増田	3F講義室(7) 3F講義室(4)			
3限				会社設立実習ＩＢ（事創）	原岡	5F演習室(3)(4)	資金調達の実践B(事創)	松澤	4F講義室(16)			
4限	デジタルマーケティングB（事創）	向	3F講義室(6)	会社設立実習ＩＡ（事創）	福田	5F演習室(3)(4)	**企業内実習Ⅲ（臨地実務実習）**					
5限				会社設立実習ＩＡ（事創）	福田	5F演習室(3)(4)	**企業内実習Ⅲ（臨地実務実習）**					
備考												

【水曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	**企業内実習Ⅰ（臨地実務実習）**						資金調達の実践A（事創）	松澤	4F講義室(15)			
2限	**企業内実習Ⅰ（臨地実務実習）**			ソーシャルデザインⅠA(事創) 経営戦略策定演習B（事創）	渡辺 星	3F講義室(6) 4F講義室(18)	ICT活用ビジネス（事創）	原岡	3F講義室(7)			
3限	**企業内実習Ⅰ（臨地実務実習）**			ソーシャルデザインⅠB(事創) 経営戦略策定演習A（事創）	渡辺 星	3F講義室(6) 4F講義室(18)	事業承継演習	*銀行*	3F講義室(7)			
4限	**企業内実習Ⅰ（臨地実務実習）**			消費者行動研究(事創)	伊藤	3F講義室(6)	事業承継演習	*銀行*	3F講義室(7)			
5限	**企業内実習Ⅰ（臨地実務実習）**			地域産業研究Ⅲ環境（事創）	増田	3F講義室(5)	グローバル社長学(事創)	高松	4F講義室(16)			
備考												

【木曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	**地域経済産業論A（事創）** **新潟と地域政策B**	**篤田** ***渡辺***	3F講義室(4) 3F講義室(5)				**企業内実習Ⅲ（臨地実務実習）**					
2限	ビジネスコミュニケーションA（事創） **アントレプレナーシップ論B**	原岡 **近藤**	3F講義室(4) 3F講義室(5)	会社設立実習ＩＡ（事創）	福田	5F演習室(3)(4)	**企業内実習Ⅲ（臨地実務実習）**					
3限	ビジネスコミュニケーションB（事創） **アントレプレナーシップ論A**	原岡 **近藤**	3F講義室(4) 3F講義室(5)	会社設立実習ＩＡ（事創） 英語プレゼンテーション演習ⅡB（事創）	福田 *グレッグディック*	5F演習室(3)(4) 4F講義室(18)	**企業内実習Ⅲ（臨地実務実習）**					
4限	**地域経済産業論B（事創）** **新潟と地域政策A**	**篤田** ***渡辺***	3F講義室(4) 3F講義室(5)	会社設立実習ＩＢ（事創） 英語プレゼンテーション演習ⅡA（事創）	原岡 *グレッグディック*	5F演習室(3)(4) 4F講義室(18)	**企業内実習Ⅲ（臨地実務実習）**					
5限				会社設立実習ＩＢ（事創）	原岡	5F演習室(3)(4)	**企業内実習Ⅲ（臨地実務実習）**					
備考	トップランナー研究※集中（事創）											

【金曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限							会社設立実習Ⅲ（事創）	福田	5F演習室(1)(2)			
2限	ビジネスプランの基礎A（事創） 経営戦略論B（事創）	古屋 星	3F講義室(3) 3F講義室(7)	**地域資源活用の理論と方法A**	***渡辺***	3F講義室(3)	会社設立実習Ⅲ（事創）	福田	5F演習室(1)(2)	地域産業研究Ⅶカルチャー（事創）	高松	3F講義室(5)
3限	ビジネスプランの基礎B（事創） 英語コミュニケーションⅡA（事創）	古屋 *グレッグディック*	3F講義室(3) 4F講義室(18)	**地域資源活用の理論と方法B**	***渡辺***	3F講義室(3)	会社設立実習Ⅲ（事創）	福田	5F演習室(1)(2)	事業計画策定総合実習	学部長以外の教授・准教授	9教室 実習・演習
4限	英語コミュニケーションⅡB（事創） 経営戦略論A（事創）	*グレッグディック* 星	3F講義室(6) 3F講義室(5)	実践ベンチャービジネスA（事創） 実践日本ビジネス法B（事創）	古屋 大野	4F講義室(15) 4F講義室(16)	会社設立実習Ⅲ（事創）	福田	5F演習室(1)(2)	事業計画策定総合実習	学部長以外の教授・准教授	9教室 実習・演習
5限				実践ベンチャービジネスB（事創） 実践日本ビジネス法A（事創）	古屋 大野	3F講義室(6) 3F講義室(7)	企業リスク管理実践（事創）	大野	4F講義室(15)			
備考												

※臨地実務実習は上記には含まず。

添付資料13 - 1

○事業創造学科　臨地実務実習評価基準　科目名：企業内実習Ⅰ

配当年次	1③④	必修・選択	必修
単位数	2	時間数	60

観点	No.	到達目標＼レベル	A	B	C	D	E
知識・理解	1	実習先企業の企業組織の持つ特徴を理解している。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	2	実習先の企業の経営理念を踏まえ、社会的な役割、使命を説明できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	3	実習先の企業の各部署の役割、仕事内容を説明できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	4	実習先の企業の事業の概要、顧客価値について説明できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
技能	5	状況に応じて適切な敬語の使い分けをすることができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	6	パソコンを活用し、簡単なビジネス文章作成を作成できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	7	周囲の状況を踏まえた発言・行動をとることができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	8	説明する相手に対して、「何を」「どこまで説明するのか」や発表する時間と内容バランス、重要なことを踏まえた発言・行動を実践できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
志向・態度	9	法令や職場のルール、慣行などを順守している。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	10	出勤時間、約束時間などの定刻前に到着する等、不測の事態に備えた行動を意識している。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	11	社会人として求められる能力と自身を把握し、分析し、その状況を認識しようとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	12	相手に興味・関心を強く持ち、相手の心理を読み取ろうとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	13	聞き方のポイント押さえ、また、分かりやすく話そうとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない

添付資料13-2

○事業創造学科　臨地実務実習評価基準

科目名：新規商品開発・販売実習Ⅰ

配当年次	2①②	必修・選択	必修
単位数	5	時間数	150

観点	No.	到達目標＼レベル	A	B	C	D	E
知識・理解	1	市場環境の情報収集や分析手法（市場の成長性・トレンド・ニーズ）を理解し、説明できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	2	マーケティングコンセプト（セグメンテーション・ターゲティング・ポジショニング）について理解し、説明できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	3	商品アイデア（商品コンセプト）と経営資源（生産・技術・供給・流通等）との関係性について理解し、説明できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	4	新規商品開発に必要なしくみや用語を理解し、説明できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	5	新規商品販売に必要なしくみや用語を理解し、説明できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
技能	6	新規商品開発・販売計画について、基本的なマーケティングの理論を踏まえた計画の概要を策定することができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	7	策定した計画の概要を聞き手にわかりやすく、また、重要となるポイントを明確かつ正確に伝えることができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	8	実行した成果に対して客観的に評価・分析し、課題を抽出することができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
志向・態度	9	市場の変化、動向に幅広い関心を持ち、高いチャレンジ精神を持とうとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	10	新しい商品開発・販売に関しての必要性を認識し、情熱をもって取り組もうとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	11	策定した計画の実行について、根気強い努力を継続しようとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない

添付資料13-3

○事業創造学科　臨地実務実習評価基準　科目名：企業内実習Ⅱ

配当年次	2③④	必修・選択	必修
単位数	4	時間数	120

観点	No.	到達目標＼レベル	A	B	C	D	E
知識・理解	1	実習先企業の業態(商品の売り方・サービスの提供方法など)を理解している。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	2	実習先企業の企業経営者のリーダーシップの取り方における重要となる要素(思考力、行動力、人間力、折衝力)を理解している。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	3	実習先企業の経営課題を設定するまでに検討が必要な要素、過程を理解している。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	4	実習先企業の経営目標の設定、経営戦略、アクションプランを策定するまでの過程を理解している。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
技能	5	経営課題を踏まえた目標設定とその課題を克服するためのプランを策定する。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	6	誰に対して、どこまで説明するのか、発表する時間と内容バランス、大切なことと削除して良い事を区分できるかなどを実践できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	7	経営のあるべき姿の視点から事業の成長や利益の確保に向けた改善案を提案できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	8	顧客の視点から消費者や取引先にとっての魅力や評価の向上を理解し、改善案を提案できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	9	業務プロセスの視点から社内オペレーションや営業などにおける改善案を提案できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
志向・態度	10	仕事を効率的に進められるように、作業の工夫や改善に取り組んでいる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	11	必要性に気づいたら、人に指摘される前に行動に移している。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	12	より良いアイデアを追求し、周囲に意見を述べている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	13	相手の心情を配慮し、適切な態度や言葉遣い、姿勢で依頼や折衝をしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	14	相手に興味・関心を強く持ち、相手の心理を読み取ろうとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	15	聞き方のポイントを押さえ、また、分かりやすく話そうとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない

添付資料13 - 4

○事業創造学科　臨地実務実習評価基準

科目名：新規商品開発・販売実習Ⅱ

配当年次	3①②	必修・選択	必修
単位数	5	時間数	150

観点	No.	レベル / 到達目標	A	B	C	D	E
知識・理解	1	市場環境の情報収集・分析手法（市場の成長性・トレンド・ニーズ）を理解し、説明できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	2	マーケティングコンセプト（セグメンテーション・ターゲティング・ポジショニング）について理解し、説明できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	3	商品アイデア（商品コンセプト）と経営資源（生産・技術・供給・流通等）との関係性について理解し、説明できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	4	新規商品の開発に必要な工程を理解し、説明できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	5	新規商品を販売するために必要となるしくみを理解し、説明できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
技能	6	新規商品開発・販売計画について、基本的なマーケティングの理論と基本的な会計の理論を踏まえた一貫性のある計画を策定することができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	7	策定した計画を聞き手にわかりやすく、また、重要となるポイントを明確かつ正確に伝えることができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	8	実行した成果に対して客観的に評価・分析し、課題を抽出したうえで、その課題に対する対策案を立てることができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
志向・態度	9	市場の変化、動向に幅広い関心を持ち、高いチャレンジ精神を持とうとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	10	新しい商品開発・販売に関しての必要性を認識し、情熱をもって取り組もうとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	11	策定した計画の実行について、根気強い努力を継続しようとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない

添付資料13 - 5

○事業創造学科　臨地実務実習評価基準　科目名：企業内実習Ⅲ

配当年次	3③④	必修・選択	必修
単位数	6	時間数	180

観点	No.	到達目標＼レベル	A	B	C	D	E
知識・理解	1	実習先企業の経営活動及び、経営戦略・方針や経営組織の役割を理解している。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	2	トップマネジメントに必要となる経営管理に必要な知識を理解している。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	3	会計・財務に関する基本的な理論を理解している。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
技能	4	実習先の経営課題を論理的な思考に基づき、抽出したうえで、経営戦略を踏まえた目標設定とその課題解決に向けた方策を策定することができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	5	企業内実習Ⅰ・Ⅱ、新規商品開発・販売実習Ⅰ・Ⅱにて修得した技能を応用し、実践することができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	6	実習先企業の経営課題を踏まえて、経営戦略や経営組織の理解、トップマネジメントの理解、会計・財務に関する理論を総合的に活用して課題解決策を提案書にまとめることができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	7	実習先企業の経営課題とその対策について、わかりやすくプレゼンテーションすることができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
志向・態度	8	指示された目的・目標に向かって諦めずに最後まで努力することができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	9	企業人として求められる能力を意識しながら、自己の改善を試みようとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	10	変化する社会の動向に広く関心をもち、変化に対応する力・行動・考え方を意識しながら、柔軟に対応しようと心掛けている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	11	価値観の異なる他者と協働し、互いに貢献し合いながらチームとして成果を生み出すことの意義を理解し、実践しようとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない

設置の趣旨等を記載した書類

【資料 37】

臨地実務実習実施計画

開志専門職大学

情報学部

開志専門職大学臨地実務実習実施計画もくじ

１．臨地実務実習Ⅰ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
２．臨地実務実習Ⅱ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７

（添付資料）

添付資料１　臨地実務実習施設所要時間一覧表・・・・・・・・・・・・　１５
添付資料２　臨地実務実習履修についての同意誓約書・・・・・・・・・　１６
添付資料３　臨地実務実習計画票・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１７
添付資料４　臨地実務実習報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１９
添付資料５　実習日誌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２１
添付資料６　事故・災害発生報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２２
添付資料７　実施協定書（ひな形）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２４
添付資料８　履修スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２９
添付資料９－１　臨地実務実習予定表　臨地実務実習Ⅰ・・・・・・・・・　３０
添付資料９－２　臨地実務実習予定表　臨地実務実習Ⅱ・・・・・・・・・　３２
添付資料１０－１　実習先との連携表　臨地実務実習Ⅰ・・・・・・・・・・　３４
添付資料１０－２　実習先との連携表　臨地実務実習Ⅱ・・・・・・・・・・　３５
添付資料１１　臨地実務実習指導教員別スケジュール表・・・・・・・　３６
添付資料１２　情報学部学生時間割・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４４
添付資料１３　授業科目毎の実習評価基準表・・・・・・・・・・・・・・　４８

科目名：臨地実務実習Ⅰ
配当年次：２年③
単位数（時間数）：５単位（１５０時間）
実施期間：１０月～１１月の５週間連続
一日当たりの実習時間　６時間（休憩時間を除く）
指導責任教員：三上
指導担当教員：金宮、宮元、大野、後藤、石塚、柄沢、田代、上野、鈴木、堀川、平川、髙嶋、磯西、西川、PANN YU MON

Ⅰ　科目の概要

専門職種の理解を深め、地域の企業や団体、商店街が抱える課題に主体的に取り組み、学内で身に付けた情報技術による課題解決策を提案するまでの過程を学修する。実習先企業の業務内容を理解し、他者と協力してデータの流れ（入手、加工、保管）から見える課題を把握しその解決法を考察する。実際にデータの入手、保管、整理、加工、分析、可視化を体験することで、課題を解決して、生産性・効率性を向上させる計画を立案・提案することで課題解決法を考察する態度と技術を理解する。

Ⅱ　実習の目的

企業での見学、ビジネスにおける初歩的な実務実習を通じて、ビジネスにおける実践の場における各部署、部門の仕事、業務内容、役割について理解する。また、データの流れ（入手、加工、保管）から見える課題を把握し自ら考える習慣を身につけ、様々な観点からその解決法を考察し、整理されたデータから、課題解決を焦点化する態度と技法を理解するとともに、データを可視化し、課題解決手法を広く一般に周知する技法を理解する。また事業活動をチームで推進していく上で重要となるコミュニケーションの取り方や、今後の学修における自らの課題を明確にすることで、この科目履修後の発展的な科目となる臨地実務実習Ⅱに向けた実習履修に必要となるビジネススキル・ビジネスマナーの向上を目的とする。

この目的の達成のために、主に 2 つの観点から企業を選定した。①デジタルビジネス化の大きな波の中、ユーザー企業内の情報人材の需要が急速に高まっていること。②今後、IoT、AI 等によって情報技術がますます高度化すると共に、さまざまな領域でデジタルデータが活用されるようになる。企業側の視点でみると、自社のビジネスモデルのコアの部分とそれ以外の部分とを見極め、それぞれにデジタルデータを上手く活用することが、競争力や付加価値増加のためにも必要になること。このような観点から事業の展開に様々なデータを活用するデータ駆動戦略を展開するとともに、可能な限り情報技術を利活用するユーザー企業を選定するよう努めた。

なおデータ駆動（データドリブン）戦略とは、得られたデータを総合的に分析し、未来予測・意思決定・企画立案などに役立てること。特に、ビッグデータを対象とし、各種データ

を可視化して課題解決に結びつけることを指す。

また、受講生がこの実習に参加する前に、学内での事前学習となる「キャリアデザインII」「情報と経営」「ネットワークプログラミング実習」「データベース実習」「サイバーセキュリティ演習」「知識表現・知識処理」「統計学」「デザイン・シンキング実習Ⅰ」「ソーシャルデザインⅠ」「情報産業論」「マーケティング」の全科目の単位を付与されている事を前提に、実習の履修が可能となる。事後は臨地実務実習報告会において実習成果を発表し目的の達成度を確認する。

III 実習到達目標

①知識・理解

・実習先企業の企業組織の持つ経営理念・方針等の特徴を理解している。
・実習先企業の経営理念を踏まえ、社会的役割・使命を理解し、説明することができる。
・既知の問題が与えられた中で、必要なデータが何なのかを理解している。

②技能

・形式が異なる多くのデータを統一的に保管することができる。
・課題に応じたサンプルの抽出ができる。
・必要に応じデータの抽出、グラフ作成を正しく行うことができる。

③志向・態度

・課題の解決・検討に必要なデータが何なのかを最後まで諦めずに模索しようとしている。
・扱っている課題領域における、基本的な課題の枠組みをする必要性を理解し、指示・命令を実行しようとしている。
・より効果的なプレゼンテーションを実施するために、事前準備の必要性を理解したうえで、様々な工夫を心掛けている。

IV 実習科目の履修条件

この臨地実務実習科目を履修するための要件となる科目として、「キャリアデザインII」「情報と経営」「ネットワークプログラミング実習」「データベース実習」「サイバーセキュリティ演習」「知識表現・知識処理」「統計学」「デザイン・シンキング実習Ⅰ」「ソーシャルデザインⅠ」「情報産業論」「マーケティング」全ての科目の単位を修得していることを要件とする。

V 成績評価基準及び方法

［評価基準］

A：目標を大きく超え、非常に優秀である。
B：目標を超え、優秀である
C：概ね目標に達している
D：単位を認める最低限の基準に達している
E：単位を認める最低限の基準に達していない

［評価方法］

実習先からの評価 40%（臨地実務実習の手引きに基づく）、実習日誌の評価 30%、プレゼンテーション 30%の評価比率に基づき、担当教員が、科目の到達目標への到達度等を総合的に評価する。

VI　実習施設（受入れ予定人数）

富士ゼロックス新潟株式会社　（４名）
株式会社スピードパーク新潟　（４名）※
株式会社シアンス　（２名）※
株式会社チアリー　東京本部　（２名）※
株式会社チアリー　大阪本部　（２名）※
株式会社 LEApass　（４名）※
株式会社新潟人工知能研究所　（４名）※
株式会社 Dream Advance　（４名）
株式会社小川屋　（４名）※
越後味噌醸造株式会社　（４名）※
株式会社幻の酒　（２名）※
モリパワー株式会社　（４名）※
今代司酒造株式会社　（４名）※
株式会社ジェイ・エス・エス　（４名）※
Adam Innovations 株式会社　（４名）※
リコージャパン株式会社新潟支社　（４名）※
株式会社ＮＳＧアカデミー　（４名）※
株式会社エヌエスジー教育ネットワーク　（４名）※
三井住友アセットマネジメント株式会社　（２名）※
株式会社グラフ　（２名）※
株式会社博進堂　（４名）※
株式会社ホロラボ　（２名）※
株式会社峰村商店（峰村醸造）　（４名）※
株式会社 MGNET　（２名）

上記、実習施設のうち、※印の実習先は臨地実務実習 II における使用時期と重なるものの、使用実習施設の管理者と実習の実施に支障がないことを確認済みの施設である。

Ⅶ　実習進行予定

第１週　企業概要の説明（企業沿革、事業内容、社会的意義等）（企業説明）
競合他社等業界事情、業界を取り巻く環境や課題説明(企業説明)
学修テーマの理解（企業説明）※課題の提示
業務現場の見学およびヒアリング（気づいたことのまとめ）
実務に向けての事前学習

第２週　データの入手・保管

第３週　データの整理・加工・分析

第４週　データの分析・課題発見
データの分析・可視化

第５週　プレゼンテーション準備・予行演習
可視化データプレゼンテーション・フィードバック
結果報告、事実確認、振り返り

Ⅷ　事前の指導計画

１　グループの編成方針

原則２～４名を１グループとして２４グループを編成する。教員 1 名が１～３グループを担当し、各企業との実習指導者と連携のもと実習を行う。また、教員はこの期間中最低３回臨地実務実習施設を巡回し、実習生と の面談および指導、実習指導者との情報交換等を行う。

２　臨地実務実習開始前の計画

（１）　学生オリエンテーションの実施

２学年対象の学生オリエンテーションを４月に実施し、１０月より開始される臨地実務実習に向けた説明会を行う。この際、希望する実習先を記載する希望調査票の提出、実習先の決定、実施までを説明する。

（２）　臨地実務実習受入先の選定、調整

学生オリエンテーション時に配布された資料に基づき、希望調査票を指定期日までに社会連携推進課産官学連携担当事務まで提出させる。その後、指導担当教員と調整の相談・面談を行った後、臨地実務実習先を仮決定する。

（３）　臨地実務実習生申込書の提出

仮決定の後（決定しない学生は指導担当教員の指示に従わせ、決定する)、指定期日までに社会連携推進課産官学連携担当事務へ提出させる。

（４）受け入れ先の決定

受入先および臨地実務実習内容等の決定、受入先との協定および同意誓約書、交通機関の届出を仮決定企業に送り、臨地実務実習計画票を受け取った後、内容について、必要に応じて指導担当教員や事務から呼び出し掲示を行い、注意喚起する。

臨地実務実習計画票は教員と受入先との間で合意ができ、決定した段階で学生にも渡すものとし、呼出掲示に注意させる。

これらと並行して臨地実務協定書を本学と各企業等の間で取り交わし、学生よりこの協定書に対する同意誓約書を提出させる。

また、臨地実務実習で実際に通う場所が明らかになった段階で、交通手段期間の申請を行わせる。臨地実務実習期間の通学定期の購入には、この届出を行ってから 2〜3 週間の期間を置き、適宜問題がないかの確認を行う。

（5）受入先決定から臨地実務実習出発までの準備

① 臨地実務実習受入先の概要等（各受入先企業等の概要などの資料は、社会連携推進課に備え付けてある）を把握し、臨地実務実習の趣旨、目的等を理解させる（授業開始時おいても説明)。また、受入れ条件等を確認し、必要に応じて事前の学習や安全についての準備が必要な旨指導する。

② 臨地実務実習計画票を社会連携推進課から受領後、指導担当教員の指導の下で、速やかに、到着日時等を含めた確認のため、臨地実務実習受入先の指導担当者と連絡をとり、実習開始日、実務実習に必要となる準備物の確認、その他必要事項を確認する。

（6） 臨地実務実習の開始にあたって

出社日時・場所等を確認し、指定された日時に遅れないよう注意すること。特に、遠方の場合は、電車・バス時刻表等を確認し、余裕をもって実習できるように指導する。

（7） その他

期間中における実務実習の連絡先を家族等関係者に連絡する旨指導する。

3 臨地実務実習期間中の計画

（1）原則として、実習期間中は実習先企業の実習指導者が指導を行う。指導担当教員は臨地実務実習Ⅰ巡回計画表（資料１０－１）に従い、期間中３回実習企業を訪問し、学習目標に対する到達あるいは実習生の成長の観点から助言する。1 回目は学生の実習状況、実習環境の把握、各学生の実習中のテーマの伝達とそれに対する企業への協力の依頼、学生指導を目的とする。2 回目および 3 回目は実習の進捗状況の確認、学生毎の実習中のテーマ研究の進捗状況を確認しそれに対するアドバイスを行う。巡回教員は臨地実習担当教員別時間割表（資料１１）に従い学内の指導に支障がないよう、巡回ができるように配慮する。

（2）実習期間中は、以下の臨地実務実習関係書類を提出させ、記載内容に基づき、適宜指導を行う。(企業の指導担当者及び担当教員)

○臨地実務実習ノートの内容

ア 臨地実務実習生出席簿：日常の実習状況について、出欠を明らかにする。

イ 臨地実務実習開始報告:実習先の住所等の確認情報とともに、実習先の概要について、自ら確認した内容を記載させる。(イ及びウは開始後直ちに記入して、提出させる)

ウ 臨地実務実習予定表：受入先の指導担当者の指導の下に、臨地実務実習の期間内で予

定される実習の内容を記述させる（場合によっては当面の内容でも可とする)。(イおよびウは開始後直ちに記入させ、提出させる）

エ 実習日誌：臨地実務実習期間中の毎日（休日を除く)、実習内容、指導担当者から指導を受けた事項、成果、学んだ事項などを記入させる。

オ 事故等発生報告書：万が一災害事故及び交通事故等の発生した場合は、指導担当者の指示を受けるとともに指導担当教員及び社会連携推進課産官学連携担当事務へ速やかに連絡し、その指示を仰ぐよう指導する。状況により、教員または職員が現地に赴かせ、必要な指示を出す。事故等発生報告書は速やかに記載させ、社会連携推進課産官学連携担当事務に FAX 等で送るとともに、臨地実務実習終了後、指導担当教員へ提出させる。保険等の手続は、社会連携推進課産官学連携担当事務より指示を出す。

カ 臨地実務実習期間、勤務場所等の変更(日帰りによる出張程度を除く)については、必ず指導担当教員に連絡させる（電話、ＦＡＸ、e-mail 等、教員不在の時は学部事務室又は社会連携推進課産官学連携担当事務。）

4　臨地実務実習終了後の計画

（1） 指導担当教員の元へ直ちに電話かメールにより終了報告させる。(終了日又は翌日）

（2） 実習ノートおよびレポート（臨地実務実習報告書）を提出させる。(原則、終了後 1 週間以内に持参又は郵送。）

（3） 指導担当者等関係者へ礼状を発送させる。(終了一ヶ月以内を目安に、指導担当教員の指導（個別面談）を実施する。）

（4） 学部・学科ごとに臨地実務実習報告会等を実施することを原則とし、指導担当教員の指示により参加させる。

（5） 臨地実務実習に関する事後アンケートを実施し、学生の学習過程および学習成果を客観的に評価し、各自の課題に関してのフィードバックを行う。

科目名：臨地実務実習Ⅱ
配当年次：３年③④
単位数（時間数）：１５単位（４５０時間）
実施期間：１０月～２月の１５週間連続
一日当たりの実習時間　6時間（休憩時間を除く）
指導責任教員：三上
指導担当教員：金宮、宮元、大野、後藤、石塚、柄沢、田代、上野、鈴木、堀川、平川、髙嶋、磯西、西川、PANN YU MON

Ⅰ　科目の概要

臨地実務実習Ⅰの内容を踏まえ、企業内実習の事前・事後および実習中の指導を通して、専門職種と職業領域において理論の考察に基づいた実践に取り組み、専門職種の理解を深め、地域の企業や団体、商店街が抱える課題に主体的に取り組み、学内で修得した知識・技術を活用し、解決策の提案から計画、設計、実装、検証という実務の一連の過程を学修する。長期にわたる実務により、企業現場におけるさまざまな現象、実態を認識し、経験することを通して、経済社会の課題に対して情報技術や情報手法を活用した課題解決策を実現することで、創造的な能力と実践的な態度を身に付ける。

Ⅱ　実習の目的

企業の入手したデータを整理し、整理されたデータを解析することで、データの有意な規則性を発見する技法を理解し、そこから課題を発見し、課題解決策や新たなモノやサービスを計画、設計、実装、検証することで創造的な能力と実践的な態度を身に付ける。また事業活動をチームで推進していく上で重要となるコミュニケーションの取り方や、共同作業等を通して、その解決法を考え、それを計画的・論理的に実行し情報技術を活用した課題を解決する課題解決能力を養う。

この目的の達成のために、主に 2 つの観点から企業を選定した。①デジタルビジネス化の大きな波の中、ユーザー企業内の情報人材の需要が急速に高まっていること。②今後、IoT、AI 等によって情報技術がますます高度化すると共に、さまざまな領域でデジタルデータが活用されるようになる。企業側の視点でみると、自社のビジネスモデルのコアの部分とそれ以外の部分とを見極め、それぞれにデジタルデータを上手く活用することが、競争力や付加価値増加のためにも必要になること。このような観点から事業の展開に様々なデータを活用するデータ駆動戦略を展開するとともに、可能な限り情報技術を利活用するユーザー企業を選定するよう努めた。

なおデータ駆動（データドリブン）戦略とは、得られたデータを総合的に分析し、未来予測・意思決定・企画立案などに役立てること。特に、ビッグデータを対象とし、各種データを可視化して課題解決に結びつけることを指す。

また、受講生がこの実習に参加する前に、学内での事前学習となる「キャリアデザインⅢ」「情報と倫理」「ＡＰＩ実習」「サイバーセキュリティ実習」「ＡＩ実習」「デザイン・シンキング実習Ⅱ」「ソーシャルデザインⅡ」「国際文化と伝統」「マーケティング実践」の全科目の単位を付与されている事に加え、「マシンラーニング」「ハードウェア設計」「クラウドプラットフォーム実習Ⅰ」のうちいずれかの単位を付与されている事を前提に、実習の履修が可能となる。事後は臨地実務実習報告会において実習成果を発表し目的の達成度を確認する。

Ⅲ　実習到達目標

①知識・理解
・実習先企業の業態(サービスの提供方法など)および顧客価値を理解している。
・扱っている課題領域において、課題が何なのか理解している。
・ビジネス活動における論理と各種データの関連性を理解し、その重要性を理解している。
②技能
・情報システムのデザイン（計画、設計、管理）とその具現化ができる。
・開発環境の構築と開発作業の管理ができる。
・プロトタイプと検証のサイクルを繰り返すことができる。
③志向・態度
・アイデアの発散を繰り返し、コアの問題解決のために、より高いレベルで解決しようとしている。
・課題領域において、テーマを構造的に整理し、見極めるべき論点をクリアにしようとしている。
・仮説の中でも、最適解・最大解を見出すことを諦めずに努力している。

Ⅳ　実習科目の履修条件

この臨地実務実習科目を履修するための要件となる科目として、「キャリアデザインⅢ」「情報と倫理」「ＡＰＩ実習」「サイバーセキュリティ実習」「ＡＩ実習」「デザイン・シンキング実習Ⅱ」「ソーシャルデザインⅡ」「国際文化と伝統」「マーケティング実践」全ての科目の単位を修得していることを要件とする。

また「マシンラーニング」「ハードウェア設計」「クラウドプラットフォーム実習Ⅰ」のうちいずれかの科目の単位を修得していることを要件とする。

Ⅴ　成績評価基準及び方法

［評価基準］

A：目標を大きく超え、非常に優秀である。

B：目標を超え、優秀である

C：概ね目標に達している

D：単位を認める最低限の基準に達している

E：単位を認める最低限の基準に達していない

［評価方法］

実習先からの評価 40%（臨地実務実習の手引きに基づく)、実習日誌の評価 30%、プレゼンテーション 30%の評価比率に基づき、担当教員が、科目の到達目標への到達度等を総合的に評価する。

Ⅵ　実習施設（受入れ予定人数）

株式会社スピードパーク新潟　（４名）※

株式会社シアンス　（２名）※

株式会社チアリー　東京本部　（２名）※

株式会社チアリー　大阪本部　（２名）※

株式会社 LEApass　（４名）※

フラー株式会社　（４名）

株式会社新潟人工知能研究所　（４名）※

株式会社小川屋　（４名）※

越後味噌醸造株式会社　（４名）※

NTT テクノクロス株式会社・株式会社新潟人工知能研究所　（２名）※

合同会社 DMM.com　（２名）

株式会社幻の酒　（２名）※

モリパワー株式会社　（４名）※

今代司酒造株式会社　（４名）※

株式会社ジェイ・エス・エス　（４名）※

Adam Innovations 株式会社　（４名）※

リコージャパン株式会社新潟支社　（４名）※

株式会社ＮＳＧアカデミー　（４名）※

株式会社エヌエスジー教育ネットワーク　（４名）※

三井住友アセットマネジメント株式会社　（２名）※

株式会社グラフ　（２名）※

株式会社博進堂　（４名）※

株式会社ホロラボ　（２名）※

株式会社峰村商店（峰村醸造）　（４名）※
株式会社 MGNET　（２名）※

上記、実習施設のうち、※印の実習先は臨地実務実習Ⅰにおける使用時期と重なるものの、使用実習施設の管理者と実習の実施に支障がないことを確認済みの施設である。

Ⅶ　実習進行予定

第１週　企業概要の説明（企業沿革、事業内容、社会的意義等）（企業説明）
競合他社等業界事情、業界を取り巻く環境や課題説明(企業説明)
学修テーマの理解（企業説明）※課題の提示
業務現場の見学およびヒアリング（気づいたことのまとめ）
実務に向けての事前学習
第２週　目的設定
第３週　分析計画
第４週　データ設計
データ収集・保存
第５週　データの前処理
分析手法選択と適用
分析結果の解釈
施策の提案、評価
第６～７週　要件定義～設計・開発①
第８週　動作確認、計画の見直し①
中間レビュー
第９～１０週　要件定義～設計・開発②
第１１週　動作確認、計画の見直し②
中間レビュー
第１２～１３週　要件定義～設計・開発③
第１４週　動作確認、計画の見直し③
最終レビュー
第１５週　プレゼンテーション準備・予行演習
プレゼンテーション・フィードバック
結果報告、事実確認、振り返り

Ⅷ　事前の指導計画

１　グループの編成方針

原則２～４名を１グループとして２４グループを編成する。教員 1 名が１～３グループを担当し、各企業との実習指導者と連携のもと実習を行う。また、教員はこの期間中最低 7 回臨地実務実習施設を巡回し、実習生と の面談および指導、実習指導者との情報交換等を行う。

２　臨地実務実習開始前の計画

（１）学生オリエンテーションの実施

３学年対象の学生オリエンテーションを４月に実施し、１０月より開始される臨地実務実習に向けた説明会を行う。この際、希望する実習先を記載する希望調査票の提出、実習先の決定、実施までを説明する。

（２） 臨地実務実習受入先の選定、調整

学生オリエンテーション時に配布された資料に基づき、希望調査票を指定期日までに社会連携推進課産官学連携担当事務まで提出させる。その後、指導担当教員と調整の相談・面談を行った後、臨地実務実習先を仮決定する。

（３） 臨地実務実習生申込書の提出

仮決定の後（決定しない学生は指導担当教員の指示に従わせ、決定する)、指定期日までに社会連携推進課産官学連携担当事務へ提出させる。

（４）受け入れ先の決定

受入先および臨地実務実習内容等の決定、受入先との協定および同意誓約書、交通機関の届出を仮決定企業に送り、臨地実務実習計画票を受け取った後、内容について、必要に応じて指導担当教員や事務から呼び出し掲示を行い、注意喚起する。

臨地実務実習計画票は教員と受入先との間で合意ができ、決定した段階で学生にも渡すものとし、呼出掲示に注意させる。

これらと並行して臨地実務協定書を本学と各企業等の間で取り交わし、学生よりこの協定書に対する同意誓約書を提出させる。

また、臨地実務実習で実際に通う場所が明らかになった段階で、交通手段期間の申請を行わせる。臨地実務実習期間の通学定期の購入には、この届出を行ってから 2～3 週間の期間を置き、適宜問題がないかの確認を行う。

（５）受入先決定から臨地実務実習出発までの準備

① 臨地実務実習受入先の概要等（各受入先企業等の概要などの資料は、社会連携推進課に備え付けてある）を把握し、臨地実務実習の趣旨、目的等を理解させる（授業開始時おいても説明)。また、受入れ条件等を確認し、必要に応じて事前の学習や安全についての準備が必要な旨指導する。

② 臨地実務実習計画票を社会連携推進課から受領後、指導担当教員の指導の下で、速やかに、到着日時等を含めた確認のため、臨地実務実習受入先の指導担当者と連絡をとり、実習開始日、実務実習に必要となる準備物の確認、その他必要事項を確認する。

（６） 臨地実務実習の開始にあたって

出社日時・場所等を確認し、指定された日時に遅れないよう注意すること。特に、遠方の場合は、電車・バス時刻表等を確認し、余裕をもって実習できるように指導する。

（７） その他

期間中における実務実習の連絡先を家族等関係者に連絡する旨指導する。

３ 臨地実務実習期間中の計画

（１）原則として、実習期間中は実習先企業の実習指導者が指導を行う。指導担当教員は臨地実務実習Ⅱ巡回計画表（資料１０－２）に従い、期間中最低７回実習企業を訪問し、学習目標に対する到達あるいは実習生の成長の観点から助言する。1回目は学生の実習状況、実習環境の把握、各学生の実習中のテーマの伝達とそれに対する企業への協力の依頼、学生指導を目的とする。2回目以降は実習の進捗状況の確認、学生毎の実習中のテーマ研究の進捗状況を確認しそれに対するアドバイスを行う。巡回教員は臨地実習担当教員別時間割表（資料１１）に従い学内の指導に支障がないよう、巡回ができるように配慮する。

（２）実習期間中は、以下の臨地実務実習関係書類を提出させ、記載内容に基づき、適宜指導を行う。（企業の指導担当者及び担当教員）

○臨地実務実習ノートの内容

ア 臨地実務実習生出席簿：日常の実習状況について、出欠を明らかにする。

イ 臨地実務実習開始報告:実習先の住所等の確認情報とともに､実習先の概要について､自ら確認した内容を記載させる。（イ及びウは開始後直ちに記入して、提出させる）

ウ 臨地実務実習予定表：受入先の指導担当者の指導の下に、臨地実務実習の期間内で予定される実習の内容を記述させる（場合によっては当面の内容でも可とする)。（イおよびウは開始後直ちに記入させ、提出させる）

エ 実習日誌：臨地実務実習期間中の毎日（休日を除く)、実習内容、指導担当者から指導を受けた事項、成果、学んだ事項などを記入させる。

オ 事故等発生報告書：万が一災害事故及び交通事故等の発生した場合は、指導担当者の指示を受けるとともに指導担当教員及び社会連携推進課産官学連携担当事務へ速やかに連絡し、その指示を仰ぐよう指導する。状況により、教員または職員が現地に赴かせ、必要な指示を出す。事故等発生報告書は速やかに記載させ、社会連携推進課産官学連携担当事務に FAX 等で送るとともに、臨地実務実習終了後、指導担当教員へ提出させる。保険等の手続は、社会連携推進課産官学連携担当事務より指示を出す。

カ 臨地実務実習期間、勤務場所等の変更(日帰りによる出張程度を除く)については、必

ず指導担当教員に連絡させる（電話、ＦＡＸ、e-mail 等、教員不在の時は学部事務室又は社会連携推進課産官学連携担当事務。）

4　臨地実務実習終了後の計画

（1） 指導担当教員の元へ直ちに電話かメールにより終了報告させる。(終了日又は翌日)

（2） 実習ノートおよびレポート（臨地実務実習報告書）を提出させる。(原則、終了後 1 週間以内に持参又は郵送。)

（3） 指導担当者等関係者へ礼状を発送させる。(終了一ヶ月以内を目安に、指導担当教員の指導（個別面談）を実施する。)

（4） 学部・学科ごとに臨地実務実習報告会等を実施することを原則とし、指導担当教員の指示により参加させる。

（5） 臨地実務実習に関する事後アンケートを実施し、学生の学習過程および学習成果を客観的に評価し、各自の課題に関してのフィードバックを行う。

添付資料

情報学部　臨地実務実習施設所要時間一覧表

施設番号	名称	所在地	交通手段	所要時間（分）
1	富士ゼロックス新潟株式会社	新潟県新潟市中央区東大通1丁目2番23号北陸ビル2Ｆ	徒歩のみ	15
2	株式会社スピードパーク新潟	新潟県胎内市松波１０１３－３６	電車	60
3	株式会社シアンス	新潟県新潟市中央区万代2-3-16　リバービューSDビル10F	徒歩のみ	20
4	株式会社チアリー　東京本部	東京都新宿区新宿1-15-9　さわだビル9Ｆ	新幹線・電車	160
5	株式会社チアリー　大阪本部	大阪府大阪市中央区備後町　サンライズビル13F	新幹線・電車	360
6	株式会社ＬＥＡｐａｓｓ	新潟県新潟市中央区鳥屋野南3丁目10-8 ウェルズ21とやのみなみB-5	バス	30
7	フラー株式会社	千葉県柏市若柴178番地4 柏の葉キャンパス148街区2 KOIL	新幹線・電車	180
8	株式会社新潟人工知能研究所	新潟県新潟市中央区米山３－１－５３	徒歩のみ	3
9	株式会社Dream Advance	新潟県新潟市西区青山1-1-17 ヤマトビル2階	電車	30
10	株式会社小川屋	新潟県新潟市中央区古町通５番町６１１	徒歩のみ	40
11	越後味噌醸造株式会社	新潟県燕市吉田中町5－10	電車	45
12	ＮＴＴテクノクロス株式会社　横浜事業所	神奈川県横浜市西区みなとみらい4-4-5横浜アイマークプレイス	新幹線・電車	180
13	合同会社DMM.com	東京都港区六本木三丁目2番1号住友不動産六本木グランドタワー	新幹線・電車	180
14	株式会社幻の酒	新潟県新潟市中央区白山浦2丁目1番28号	電車	20
15	モリパワー株式会社	新潟県新潟市中央区米山4丁目1-31　紫竹綜合ビル4F	徒歩のみ	5
16	今代司酒造株式会社	新潟県新潟市中央区鏡が岡1番1号	徒歩のみ	30
17	株式会社ジェイ・エス・エス	新潟県新潟市中央区西堀通3番町790番地西堀501ビル	徒歩のみ	30
18	Adam Innovations 株式会社	新潟県南魚沼市浦佐1188 - 2	電車	60
19	リコージャパン株式会社 新潟支社	新潟県新潟市東区下木戸1-18-30	バス	30
20	株式会社ＮＳＧアカデミー	新潟県新潟市中央区東大通１－１１－３２	バス	14
21	株式会社エヌエスジー教育ネットワーク	新潟県新潟市中央区東大通１－１１－３２	バス	14
22	三井住友アセットマネジメント株式会社	東京都港区愛宕二丁目5番1号 愛宕グリーンヒルズMORIタワー 28階	新幹線・電車	180
23	株式会社グラフ	東京都港区西麻布1-15-1 MORIGUCHI BUILD　2Ｆ	新幹線・電車	185
24	株式会社 博進堂	新潟県新潟市東区木工新町378-2	バス	40
25	株式会社ホロラボ	東京都品川区西五反田２丁目２５－１－3F インテックス五反田ビル	新幹線・電車	150
26	株式会社峰村商店（峰村醸造）	新潟県新潟市中央区明石２丁目３－４４	徒歩のみ	30
27	株式会社MGNET	新潟県燕市東太田 14-3	電車	40

「臨地実務実習に関する協定書」にもとづく
臨地実務実習履修についての同意誓約書

この度、貴社（機関）において臨地実務実習を履修するにあたり、貴社（機関）と開志専門職大学の間で結ばれた標記協定書の主旨と内容を理解し、当該臨地実務実習について誠心的に履修することに同意し、貴社（機関）には一切御迷惑をおかけしないことを誓約します。

20　　年　　月　　日

（企業等の名称）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（代表者役職・氏名）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様

（実習生の所属・氏名等）

開志専門職大学

所　　属　＿＿＿＿＿＿＿＿学部＿＿＿＿＿＿＿＿学科

学籍番号　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　　名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

臨地実務実習計画票

大学側（20　　年　　月　　日記入）

実習生	(学部学科) (学籍番号) (氏名) (携帯電話)	指導担当教員	氏名 (TEL) (FAX) (E-Mail)

実習先（20　　年　　月　　日記入）

(ふりがな) 受入先企業等の名称				
受入責任者 （職名・氏名）	(職名)　　(ﾌﾘｶﾞﾅ) (氏名)			
実習期間	20　　年　　月　　日(　　)～20　　年　　月　　日(　　) 休日：土・日・祝祭日・その他(　　)※該当するものに○			
実習時間	:　　～　　:　　※24時制で記入			
実習先(部署名)				
実習先の 所在地・連絡先	〒 TEL:　　FAX: E-mail:			
指導責任者 (職名・氏名)	(職名)　　(ﾌﾘｶﾞﾅ) (氏名)			
実習先連絡担当者 (職名・氏名)	(職名)　　(ﾌﾘｶﾞﾅ) (氏名)			
その他の実習条件	一般交通費	有・無	貸与品	
	職務交通費	有・無	宿舎	寮・他の宿舎
	その他 (食事・派遣旅費等)			
授業科目及び実習内容				
事前面談	必要(学生のみ面談可・担当教員及び教職員同行し面談)			不要

最初の出社日時等

出社日時	年　　月　　日（　　）　　時　　分
出社場所	〒 TEL　　内線
担当者	(部課名)
携行品 備考	

※この計画票は開志専門職大学臨地実務実習のみに使用し、他の目的で使用することは一切ありません。また、受入先企業様におきましては、個人情報の漏洩を防ぐ為、取扱いにはご注意ください。

修正日(20　　年　　月　　日)記入者＿＿＿＿＿＿＿＿

※上記の内容で訂正、もしくは修正がある場合は上記に日付の記入をお願いします。

実習前に学修調査しておくべき事項等

実習に伴い考慮される 安全上の配慮事項	(実習当初もしくは実習段階で安全指導を受けるべき事項) (その他)
実習前に学習・調査等 しておくべき事項	(実習内容及びテーマに関すること) (安全指導に関すること)

宿舎等利用の場合

<table>
<tr><td rowspan="2">宿舎所在地</td><td colspan="4">〒

TEL 内線</td></tr>
<tr><td colspan="4">(担当者名) TEL 内線</td></tr>
<tr><td rowspan="4">寝具</td><td rowspan="2">□本人持参</td><td rowspan="2">送付先</td><td>〒

(担当者名) TEL 内線</td></tr>
<tr><td>荷物受付可能年月日</td><td>年 月 日から受付可能</td></tr>
<tr><td colspan="3">□受入先企業等で用意</td></tr>
<tr><td colspan="3">□その他(現地での借用可能性：有・無)</td></tr>
<tr><td colspan="2">出社日より前の宿舎利用：(可・不可) 月 日から可能</td><td colspan="2">入寮時刻の指定： 月 日( ) 時 分</td></tr>
</table>

最初の出社場所及び実習先までの交通機関等(紙面が不足の場合は、別紙を添付してください。)

【この用紙の使用方法等】

・臨地実務実習の内容等について、大学と受入企業等との間で連絡する際、主として表面に必要事項と記入日を記載して、郵送・FAX・E-mail等でやり取りをしてください。

・最終的に内容が決定したら、双方の合意により決定版となり、別途大学と企業等で締結する臨地実務実習協定書に基づく臨時実務実習計画票となります。

・決定した内容を変更する必要が生じた場合は、大学側指導担当教員と受入企業などの指導担当者の間で、相談、合意をしてください。

臨地実務実習報告書（学生記入用）

記入日　　年　　月　　日

学部・学科名		学　年	
学籍番号		氏　名	
担当指導教員		確認印	
受入機関名･部署名			
実習期間	年　月　日　～　月　日 年　月　日　～　月　日		
授業科目名			

受入機関（企業・団体）・部署の概要
実習内容
獲得目標と成果

実習で感銘を受けた体験と感想
実習を終えての今後の課題、今後の臨地実務実習予定
自己評価と総括

実習日誌（学生記入用）

月　　日　　曜日		実習回数	日目
学籍番号		氏　名	
授業科目名			
目標			
業務内容（できる限り時系列式で記載）			
気づいた点・課題			
実習指導者の所見 担当指導者＿＿＿＿＿＿＿＿印			

事故・災害等発生報告書（臨地実務実習）

開志専門職大学学長 殿

報告年月日　　年　　月　　日

学部学科名

学 籍 番 号

氏　　名

【事故・災害等の概要】

事故・災害等発生年月日・時刻		年　月　日　時　分頃
事故・災害等発生場所		
事故・災害等の概要	【概要（原因・経緯等】	
	【反省・改善提案等】	
	【指導担当教員所見】	
治療した医療機関名		
事故・災害時の対応	【治療の概要（詳細記入】	
	【家族等への連絡状況】	

※負傷・疾病等の人身事故については、医療機関の診断、処置を必要とした事例の全てを報告すること

※報告書は、事故後出来る限り速やかに指導責任教員を通して学部長に提出すること

※必要に応じて写真・図等を添付し、詳細を報告すること

【事故後の対応】

事故後の対応	【再発防止への取り組み（臨地実務担当委員)】
	【学部長所見】
	【指導責任教員所見】

【保険加入及び傷病状況(大学記入欄】

保険加入の有無	インターンシップ総合保険(有 - 無) 学研災(有 - 無)
事故状態	授業中 - 通学途中 - 休日中 - 旅行中 課外活動中 - その他(　　)
警察・消防届出	有(届出先:　　) - 無
部位症状	頭部・顔面・頚部・肩部・胸部・腹部・腰部 脊柱・上肢・手指・下肢・足指・その他(　　) 骨折・脱臼・捻挫・切り傷・打撲・その他(　　)
傷病名	
傷病程度	入院(　/　/　～ 退院見込　/　/　/　) 通院(　/　/　～ 治癒見込　/　/　/　) 後遺障害(　　) 死 亡
外科手術	有(名称:　　) - 無
医療機関	【名称】
	【所在地】
	【電話番号】

（決裁権者）

決裁年月日	学長	学部長	責任教員	指導教員	事務

開志専門職大学の職業教育に係る実施協定書

〔専門職大学 代表者氏名〕（以下「甲」という。）と〔事業者名 代表者氏名〕（以下「乙」という。）は、甲が設置する●●学部●●学科の臨地実務実習の授業科目の乙の事業所における実施について、以下のとおり合意する。

（趣旨）

第__条 この協定は、甲の学生(以下「学生」という。)に対して行われる臨地実務実習(乙の事業所において、乙の実務に従事することにより行う実習をいう。以下同じ。)を甲乙連携して行うことに関する基本的事項を取り決めることを目的として、締結する。

（手数料）

第__条 甲は、臨地実務実習の実施につき、学生１人につき一日当たり 円を、手数料として乙に支払う。

２ 甲は、前項各号に定める金額を、各学生の臨地実務実習の最終実習日が属する月の翌月○○日までに、乙の指定する方法により支払うものとする。

（※ 甲乙の協議の結果、甲から乙に手数料を支払う場合に規定する。）

（費用負担）

第__条 第__条に定めるもののほか、臨地実務実習に関する費用の負担は次のとおりとする。

① 甲は、・・・を負担する。

② 乙は、・・・を負担する。

（実施計画）

第__条 臨地実務実習の円滑な実施のため、甲は、乙と協議の上、実施計画を書面で作成するものとする。

２ 実施計画には、以下の事項を記載する。

① 実習の内容、期間、一日当たりの実習時間及び主たる実習場所

② 受け入れる学生の数

③ 実習指導者の配置

④ 成績評価の基準及び方法

⑤ 学生に対する報酬及び交通費支給等の取扱い

⑥ 実習中の災害補償及び損害賠償責任

⑦ その他の臨地実務実習の実施に必要な事項

3　乙は、実施計画に従い、甲と連携して臨地実務実習を実施するものとする。
4　乙は、甲の求めがあったときは、あらかじめ甲乙協議して定める方法により、業務の進捗状況について報告するものとする。

≪学生に対する報酬及び交通費支給等の取扱い≫
〔例 1 雇用型の場合〕
（実習生との労働契約）
第__条 乙は、学生と、実習の開始日から終了日までを契約期間とする有期労働契約を締結する。
2　報酬の額は、乙が実習生に別途交付する労働条件通知書で示す。
3　交通費は、乙の就業規則の定めるところにより支払う。
4　乙は、社会保険及び労働保険諸法令の定めるところに従い、学生を健康保険、厚生年金保険及び雇用保険に加入させる。
5　作業着その他の臨地実務実習に必要な備品等は貸与する。

〔例 2 非雇用型（手当等あり）の場合〕
（学生に対する手当の支給等）
第__条 乙は、学生に対して別に定める手当を支給するほか、作業着その他の臨地実務実習に必要な備品等を貸与する。
2　学生は、乙の指揮監督の下で乙に従属して労働力を提供しない範囲で、乙の社内規則及び実習指導者の指示等を遵守するものとする。

〔例 3 非雇用型（手当等なし）の場合〕
第__条 乙は、学生に対して臨地実務実習に関する一切の給与及び手当等（交通費、滞在費、食費、クリーニング代等）を支給しない。ただし、乙の従業員に同行して行う事業所外での実習に係る交通費については、乙の就業規則の定めに準じて支払う。
2　乙は、学生に対して作業着その他の臨地実務実習に必要な備品等を無償で貸与する。
3　学生は、乙の指揮監督の下で乙に従属して労働力を提供しない範囲で、乙の社内規則及び実習指導者の指示等を遵守するものとする。

（指揮命令）
第__条 乙は、実施計画に定める内容を超えて、乙の指揮命令下で学生又は甲の教員に労務の提供をさせてはならないものとする。

（企業秘密の取扱い）
第__条 甲及び学生は、臨地実務実習の実施に伴い知得した乙の業務・契約・取引先・顧客

（利用者）等に関する一切の秘密情報（以下「乙秘密情報」という。）を、書面による乙の事前の同意を得ることなく、臨地実務実習の期間中及び終了後において、第三者に漏洩してはならないものとする。

2 学生は、乙の事前の同意を得て、臨地実務実習に関する報告に必要な範囲で、乙秘密情報を甲に開示することができる。

3 甲は、学生が口頭又は書面でした前項の報告に乙秘密情報が含まれる場合は、第1項に定める学生の負う義務と同等の義務を負う。

（機密情報等の返還義務）

第__条 甲及び乙は、臨地実務実習が終了したとき若しくはこの協定の有効期間を満了したとき、又は相手方から返還等の要求があったときは、相手方の機密情報及び相手方から貸与された情報等について、相手方の指示に従い、必ず返還、廃棄又は消去するものとする。

（機密情報等の返還義務）

第__条 甲及び乙は、臨地実務実習が終了したとき若しくはこの協定の有効期間を満了したとき、又は相手方から返還等の要求があったときは、相手方の機密情報及び相手方から貸与された情報等について、相手方の指示に従い、必ず返還、廃棄又は消去するものとする。

（改善）

第__条 甲及び乙は、業務の改善の必要があると認めるときは、相手方に改善の協議を申し入れることができ、申し入れられた相手方は必ず協議に応じるものとする。

（委託の禁止）

第__条 乙は、事前に甲乙の協議の上で甲の書面による承諾を得た場合を除き、業務の一部又は全部の実施を第三者に委託することはできない。

（権利・義務の譲渡の禁止）

第__条 甲及び乙は、事前に甲乙の協議の上で相手方の書面による承諾を得た場合を除き、この協定上の権利又は義務を第三者に譲渡し、又は承継してはならない。

（安全衛生）

第__条 甲及び乙は、臨地実務実習中の実習生の災害を防止するために、双方協力するとともに、実習生に自己の安全に十分に留意させるものとする。

2 乙は、甲と連携して、事前に甲乙協議の上で決定した災害防止等に必要な講習その他安全衛生管理の措置をあらかじめ講ずるものとする。

（実習中の災害補償及び損害賠償責任）

第 条 甲は、臨地実務実習中の事故等により、実習生が傷害を負った場合又は実習生が乙、乙の従業員等若しくは第三者へ損害を与えた場合等に備え、実習生に災害補償保険及び賠償責任保険へ加入させなければならない。当該保険の加入に関して必要な手続は甲が行い、その保険料は実習生が負担するものとする。

2 実習生の臨地実務実習中の事故等については、乙の故意又は重過失による場合を除き、実習生が加入する保険をもって補償に充てるものとする。

3 実習生が臨地実務実習中に乙又は第三者へ損害を与えた場合は、実習生の故意又は重過失による場合を除き、実習生が加入する保険をもって補償に充てるものとする。

〔注 非雇用型の場合の例。雇用型の場合は、業務上の災害に関する補償は労働者災害補償保険の対象となることを踏まえ、インターンシップ保険の加入内容を検討し、本条項の記述も検討することとなります。〕

（損害賠償）

第__条 甲及び乙は、相手方がこの協定に違反し、または相手方の責めに帰すべき事由により損害を被ったときは、その損害の賠償を相手方に請求することができる。

（有効期間）

第__条 この協定の有効期間は、○○年○○月○○日から△△年△△月△△日までとする。ただし、甲及び乙は、甲乙の協議の上で合意したときは、この協定を更新することができるものとする。

（協定の解除）

第__条 甲又は乙は、相手方が次の各号のいずれかに該当するときは、何らの通知催告なく（第６号の場合を除く。）、この協定を解除することができる。

① 支払を停止し若しくは手形・小切手を不渡りにし、又は取引停止処分を受けたとき。

② 差押、仮差押、仮処分若しくは競売の申し立てを受け、又は公租公課の滞納処分を受けたとき。

③ 破産、特別清算、会社整理、会社更生若しくは民事再生の申立をし、又は申立を受けたとき。

④ 清算又は解散をしたとき。

⑤ 信頼関係を破壊する重大な背信行為があったと認められるとき。

⑥ この協定の各条項に違反したとき。

（実習の中断）

第__条 乙は、甲又は実習生にこの協定に違反する行為があったときその他臨地実務実習を

継続しがたい事態が生じたときは、直ちに臨地実務実習を中断することができる。この場合には、乙は速やかに甲にその旨を通知するものとし、甲及び乙は、臨地実務実習の再開又は終了に関し誠実に協議するものとする。

（協定の解釈）

第__条 この協定に定めのない事項及びこの協定の解釈等について疑義を生じたときは、甲及び乙は誠意をもって協議し、これを解決するものとする。

（裁判管轄）

第__条 この協定に関する訴えは、甲の所在地を管轄する○○地方裁判所の管轄に属するものとする。

この協定締結の証として本書２通を作成し、甲及び乙双方が記名押印の上、それぞれ１通を保管するものとする。

○○年○○月○○日

甲：〔専門職大学の所在地〕
〔専門職大学の名称 代表者の役職・氏名〕印
乙：〔事業者の所在地〕
〔事業者の名称 代表者の役職・氏名〕　　印

情報学部　履修スケジュール

		臨地実務実習Ⅰ	臨地実務実習Ⅱ
2年	4月上旬～6月上旬	オリエンテーション	
		希望調査	
		選考	
	6月中旬～8月上旬	選考	
		決定	
	10月上旬～11月下旬		
	12月上旬～2月中旬		
		成果報告会	
3年	4月上旬～6月上旬		オリエンテーション
			希望調査
			選考
	6月中旬～8月上旬		選考
			決定
	10月上旬～11月下旬		
	12月上旬～2月中旬		
	2月下旬		成果報告会

実習実施

実習実施

臨地実務実習 実習予定表

臨地実務実習Ⅰ　　※以下該当する期間の5週間について、終日連続での企業内実習日とする。

G	人数（80）	2年③　5単位　１０月～１１月	担当教員
	1 2 3 4	富士ゼロックス新潟株式会社	金宮
	5 6 7 8	株式会社スピードパーク新潟	宮元
	9 10	株式会社シアンス	PANN YU MON
	11 12	株式会社チアリー　東京本部	大野
	13 14	株式会社チアリー　大阪本部	PANN YU MON
	15 16 17 18	株式会社LEApass	髙嶋
	19 20 21 22	株式会社新潟人工知能研究所	石塚
	23 24 25 26	株式会社Dream Advance	石塚
	27 28 29 30	株式会社小川屋	柄沢
	31 32 33 34	越後味噌醸造株式会社	柄沢
	35 36	株式会社幻の酒	田代
	37 38 39 40	モリパワー株式会社	上野
	41 42 43 44	今代司酒造株式会社	上野
	45 46 47 48	株式会社ジェイ・エス・エス	鈴木
	49 50 51 52	Adam Innovations 株式会社	鈴木
	53 54 55	リコージャパン株式会社新潟支社	堀川

56		
57 58 59 60	株式会社ＮＳＧアカデミー	堀川
61 62 63 64	株式会社エヌエスジー教育ネットワーク	PANN YU MON
65 66	三井住友アセットマネジメント株式会社	平川
67 68	株式会社グラフ	後藤
69 70 71 72	株式会社博進堂	髙嶋
73 74	株式会社ホロラボ	磯西
75 76 77 78	株式会社峰村商店（峰村醸造）	西川
79 80	株式会社MGNET	西川

臨地実務実習 実習予定表

臨地実務実習Ⅱ　　※以下該当する期間の15週間について、終日連続での企業内実習日とする。

G	人数（80）	3年③④　15単位　１０月～２月	担当教員
	1 2 3 4	株式会社スピードパーク新潟	金宮
	5 6	株式会社シアンス	PANN YU MON
	7 8	株式会社チアリー　東京本部	大野
	9 10	株式会社チアリー　大阪本部	PANN YU MON
	11 12 13 14	株式会社LEApass	髙嶋
	15 16 17 18	フラー株式会社	宮元
	19 20 21 22	株式会社新潟人工知能研究所	石塚
	23 24 25 26	株式会社小川屋	柄沢
	27 28 29 30	越後味噌醸造株式会社	柄沢
	31 32	NTTテクノクロス株式会社（5週間）	田代
	31 32	株式会社新潟人工知能研究所（10週間）	
	33 34	合同会社DMM.com	平川
	35 36	株式会社幻の酒	田代
	37 38 39 40	モリパワー株式会社	上野
	41 42 43 44	今代司酒造株式会社	上野
	45 46 47 48	株式会社ジェイ・エス・エス	鈴木

49 50 51 52	Adam Innovations 株式会社	鈴木
53 54 55 56	リコージャパン株式会社新潟支社	堀川
57 58 59 60	株式会社ＮＳＧアカデミー	堀川
61 62 63 64	株式会社エヌエスジー教育ネットワーク	PANN YU MON
65 66	三井住友アセットマネジメント株式会社	磯西
67 68	株式会社グラフ	後藤
69 70 71 72	株式会社博進堂	髙嶋
73 74	株式会社ホロラボ	磯西
75 76 77 78	株式会社峰村商店（峰村醸造）	西川
79 80	株式会社MGNET	西川

実習先との連携表

科目名：臨地実務実習Ⅰ
配当年次：２年③
単位数（時間数）：５単位（１５０時間）
指導責任教員：三上
指導担当教員：金宮、宮元、大野、後藤、石塚、柄沢、田代、上野、鈴木、堀川、平川、髙嶋、磯西、西川、PANN YU MON
実習期間：１０月～１１月の5週間連続
原則２～４名を１グループとして２４グループを編成する。教員1名が１～３グループを担当し、各企業との実習指導者と連携のもと実習を行う。また、教員はこの期間中最低３回臨地実務実習施設を巡回し、実習生との面談および指導、実習指導者との情報交換等を行う。

		指導教員															
		三上	金宮	宮元	大野	後藤	石塚	柄沢	田代	上野	鈴木	堀川	平川	髙嶋	磯西	西川	PAN
		統括責任者	1社4名	1社4名	1社2名	1社2名	2社8名	2社8名	1社2名	2社8名	2社8名	2社8名	1社2名	2社8名	1社2名	2社6名	3社8名
担当企業			富士ゼロックス新潟株式会社	株式会社スピードパーク新潟	株式会社チアリー　東京本部	株式会社グラフ	株式会社新潟人工知能研究所	株式会社小川屋	株式会社幻の酒	モリパワー株式会社	株式会社ジェイ・エス・エス	リコージャパン株式会社新潟支社	三井住友アセットマネジメント株式会社	株式会社LEApass	株式会社ホロラボ	株式会社峰村商店（峰村醸造）	株式会社シアンス
							株式会社Dream Advance	越後味噌醸造株式会社		今代司酒造株式会社	Adam Innovations株式会社	株式会社ＮＳＧアカデミー		株式会社博進堂		株式会社MGNET	株式会社チアリー　大阪本部
																	株式会社エヌエスジー教育ネットワーク
月	1																
	2																
	3																
	4																
	5																
火	1	臨地実務実習巡回指導日	臨地実務実習巡回指導日	臨地実務実習巡回指導日	臨地実務実習巡回指導日	臨地実務実習巡回指導日	臨地実務実習巡回指導日	臨地実務実習巡回指導日	臨地実務実習巡回指導日	臨地実務実習巡回指導日	臨地実務実習巡回指導日	臨地実務実習巡回指導日	臨地実務実習巡回指導日	臨地実務実習巡回指導日	臨地実務実習巡回指導日	臨地実務実習巡回指導日	臨地実務実習巡回指導日
	2																
	3																
	4																
	5																
水	1																
	2																
	3																
	4																
	5																
木	1																
	2																
	3																
	4																
	5																
金	1																
	2																
	3																
	4																
	5																

実習先との連携表

科目名：臨地実務実習Ⅱ
配当年次：３年③④
単位数（時間数）：５単位（１５０時間）
指導責任教員：三上
指導担当教員：金宮、宮元、大野、後藤、石塚、柄沢、田代、上野、鈴木、堀川、平川、髙嶋、磯西、西川、PANN YU MON
実習期間：１０月～２月の１５週間連続
原則２～４名を１グループとして２４グループを編成する。教員1名が１～３グループを担当し、各企業との実習指導者と連携のもと実習を行う。また、教員はこの期間中最低7回臨地実務実習施設を巡回し、実習生と の面談および指導、実習指導者との情報交換等を行う。

		指導教員															
		三上	金宮	宮元	大野	後藤	石塚	柄沢	田代	上野	鈴木	堀川	平川	髙嶋	磯西	西川	PANN
		統括責任者	1社4名	1社4名	1社2名	1社2名	1社4名	2社8名	3社6名	2社8名	2社8名	2社8名	1社2名	2社8名	2社4名	2社6名	3社8名
担当企業			株式会社スピードパーク新潟	フラー株式会社	株式会社チアリー　東京本部	株式会社グラフ	株式会社新潟人工知能研究所	株式会社小川屋	NTTテクノクロス株式会社	モリパワー株式会社	株式会社ジェイ・エス・エス	リコージャパン株式会社新潟支社	合同会社DMM.com	株式会社LEApass	三井住友アセットマネジメント株式会社	株式会社峰村商店（峰村醸造）	株式会社シアンス
								越後味噌醸造株式会社	株式会社新潟人工知能研究所	今代司酒造株式会社	Adam Innovations株式会社	株式会社ＮＳＧアカデミー		株式会社博進堂	株式会社ホロラボ	株式会社MGNET	株式会社チアリー　大阪本部
									株式会社幻の酒								株式会社エヌエスジー教育ネットワーク
月	1	④臨地実務実習巡回指導日	④臨地実務実習巡回指導日		④臨地実務実習巡回指導日		④臨地実務実習巡回指導日	④臨地実務実習巡回指導日		④臨地実務実習巡回指導日	④臨地実務実習巡回指導日	④臨地実務実習巡回指導日	④臨地実務実習巡回指導日	④臨地実務実習巡回指導日	④臨地実務実習巡回指導日	④臨地実務実習巡回指導日	④臨地実務実習巡回指導日
	2																
	3																
	4																
	5																
火	1	③臨地実務実習巡回指導日	③臨地実務実習巡回指導日	③・④臨地実務実習巡回指導日	③臨地実務実習巡回指導日	③・④臨地実務実習巡回指導日	③臨地実務実習巡回指導日	③臨地実務実習巡回指導日	③・④臨地実務実習巡回指導日	③臨地実務実習巡回指導日	③臨地実務実習巡回指導日	③臨地実務実習巡回指導日	③臨地実務実習巡回指導日	③臨地実務実習巡回指導日	③臨地実務実習巡回指導日	③臨地実務実習巡回指導日	③臨地実務実習巡回指導日
	2																
	3																
	4																
	5																
水	1																
	2																
	3																
	4																
	5																
木	1																
	2																
	3																
	4																
	5																
金	1																
	2																
	3																
	4																
	5																

情報学部情報学科　臨地実務実習　教員別スケジュール表

三上　喜貴

三上①

	月	火	水	木	金
1限					国際文化と伝統A
2限					国際文化と伝統B
3限					
4限					
5限					

三上②

	月	火	水	木	金
1限					国際文化と伝統A
2限					国際文化と伝統B
3限					
4限					
5限					

三上③

	月	火	水	木	金
1限		臨地実務実習巡回指導日			
2限					
3限					
4限					
5限					

三上④

	月	火	水	木	金
1限	臨地実務実習巡回指導日				
2限					
3限					
4限					
5限					

金宮　好和

金宮①

	月	火	水	木	金
1限					
2限				ロボティクス実習	
3限				ロボティクス実習	ICT演習（IoT）
4限			情報と英語		ICT演習（IoT）
5限	ICT活用総合実習		ICT活用総合実習		

金宮②

	月	火	水	木	金
1限	ICT活用総合実習				
2限	ICT活用総合実習			ロボティクス実習	
3限		ハードウェア設計		ロボティクス実習	
4限		ハードウェア設計	情報と英語		
5限					

金宮③

	月	火	水	木	金
1限		臨地実務実習巡回指導日			
2限	サイバーフィジカルシステム基礎A				
3限	サイバーフィジカルシステム基礎A				
4限	サイバーフィジカルシステム基礎B		ICT活用総合実習		
5限	サイバーフィジカルシステム基礎B		ICT活用総合実習		

金宮④

	月	火	水	木	金
1限	臨地実務実習巡回指導日			ICT演習（組み込みシステム）	
2限				ICT演習（組み込みシステム）	
3限		ICT演習			
4限			ICT活用総合実習		
5限			ICT活用総合実習		

情報学部情報学科　臨地実務実習　教員別スケジュール表

宮元　万菜美

宮元①

	月	火	水	木	金
1限	情報リテラシーA		情報と経営A		
2限	情報リテラシーA		情報と経営B		
3限	情報リテラシーB		マーケティングB		
4限	情報リテラシーB		マーケティングA		
5限	ICT活用総合実習		ICT活用総合実習		

宮元②

	月	火	水	木	金
1限	ICT活用総合実習				
2限	ICT活用総合実習		マーケティングB		
3限			マーケティングA		
4限			情報と経営A		
5限			情報と経営B		

宮元③

	月	火	水	木	金
1限		臨地実務実習巡回指導日			
2限	社会心理・消費者行動A				
3限	社会心理・消費者行動B				
4限			ICT活用総合実習		
5限			ICT活用総合実習		

宮元④

	月	火	水	木	金
1限		臨地実務実習巡回指導日			
2限	社会心理・消費者行動A				
3限	社会心理・消費者行動B				
4限			ICT活用総合実習		
5限			ICT活用総合実習		

大野　幸夫

大野①

	月	火	水	木	金
1限				情報と倫理A	
2限				情報と倫理B	
3限					
4限					
5限					

大野②

	月	火	水	木	金
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					

大野③

	月	火	水	木	金
1限		臨地実務実習巡回指導日			
2限				情報と法律A	
3限				情報と法律B	
4限					
5限					

大野④

	月	火	水	木	金
1限		臨地実務実習巡回指導日			
2限				情報と法律A	
3限				情報と法律B	
4限					
5限					

情報学部情報学科　臨地実務実習　教員別スケジュール表

後藤　幸功

後藤①

	月	火	水	木	金
1限					
2限		データ構造とアルゴリズム		データ構造とアルゴリズム	
3限			サイバーセキュリティ演習A		
4限			サイバーセキュリティ演習B		
5限	ICT活用総合実習		ICT活用総合実習		

後藤②

	月	火	水	木	金
1限	ICT活用総合実習			オペレーティングシステムA	
2限	ICT活用総合実習	オペレーティングシステムA			
3限		サイバーセキュリティ演習B			
4限		サイバーセキュリティ演習A			
5限					

後藤③

	月	火	水	木	金
1限		臨地実務実習巡回指導日	ネットワーク演習		
2限	情報セキュリティB				
3限	情報セキュリティA				
4限			ICT活用総合実習		
5限			ICT活用総合実習	オペレーティングシステムA	

後藤④

	月	火	水	木	金
1限		臨地実務実習巡回指導日			
2限	情報セキュリティB		ネットワーク演習		
3限	情報セキュリティA				
4限			ICT活用総合実習		
5限			ICT活用総合実習		

石塚　昭彦

石塚①

	月	火	水	木	金
1限			デザイン・シンキング実習ⅡA		
2限			デザイン・シンキング実習ⅡA	デザイン・シンキング概論（事創）B	
3限	デザイン・シンキング実習ⅠA	デザイン・シンキング実習ⅠB	デザイン・シンキング実習ⅡB	デザイン・シンキング概論（事創）A	
4限	デザイン・シンキング実習ⅠA	デザイン・シンキング実習ⅠB	デザイン・シンキング実習ⅡB		
5限	ICT活用総合実習		ICT活用総合実習		

石塚②

	月	火	水	木	金
1限	ICT活用総合実習				
2限	ICT活用総合実習			デザイン・シンキング概論（事創）B	
3限				デザイン・シンキング概論（事創）A	
4限					
5限					

石塚③

	月	火	水	木	金
1限		臨地実務実習巡回指導日			
2限				デザイン・シンキング概論B	
3限				デザイン・シンキング概論A	
4限			ICT活用総合実習		
5限			ICT活用総合実習		

石塚④

	月	火	水	木	金
1限	臨地実務実習巡回指導日	ユーザエクスペリエンス			
2限		ユーザエクスペリエンス		デザイン・シンキング概論B	
3限				デザイン・シンキング概論A	
4限			ICT活用総合実習		
5限			ICT活用総合実習		

情報学部情報学科　臨地実務実習　教員別スケジュール表

柄沢　直之

柄沢①

	月	火	水	木	金
1限					
2限					
3限		データベース演習A			
4限		データベース演習B			
5限	ICT活用総合実習		ICT活用総合実習		

柄沢②

	月	火	水	木	金
1限	ICT活用総合実習	オペレーティングシステムB		オペレーティングシステムB	データベース演習A
2限	ICT活用総合実習				データベース演習B
3限		プログラミングⅠ	システム開発技術A	ICT演習（応用情報）	プログラミングⅠ
4限			システム開発技術B	ICT演習（応用情報）	
5限					

柄沢③

	月	火	水	木	金
1限		臨地実務実習巡回指導日			
2限			データベースの基礎		
3限			プログラミングⅡ		
4限	プログラミングⅡ		ICT活用総合実習		
5限			ICT活用総合実習		

柄沢④

	月	火	水	木	金
1限	臨地実務実習巡回指導日				
2限					
3限			データベースの基礎		
4限			ICT活用総合実習		
5限			ICT活用総合実習		

田代　秀一

田代①

	月	火	水	木	金
1限		情報産業論B	情報の基礎B		
2限		情報産業論A	情報の基礎A		
3限					
4限					
5限	ICT活用総合実習		ICT活用総合実習		

田代②

	月	火	水	木	金
1限	ICT活用総合実習	情報産業論B			
2限	ICT活用総合実習	情報産業論A			
3限					
4限					
5限					

田代③

	月	火	水	木	金
1限		臨地実務実習巡回指導日			
2限					
3限					
4限			ICT活用総合実習		
5限			ICT活用総合実習		

田代④

	月	火	水	木	金
1限	現代の科学技術	臨地実務実習巡回指導日			
2限	現代の科学技術				
3限					
4限			ICT活用総合実習		
5限			ICT活用総合実習		

情報学部情報学科　臨地実務実習　教員別スケジュール表

上野　衆太

上野①

	月	火	水	木	金
1限				ネットワークプログラミング実習A	分散型台帳技術B
2限				ネットワークプログラミング実習A	分散型台帳技術A
3限					線形代数A
4限					
5限	ICT活用総合実習		ICT活用総合実習	システム開発技術	

上野②

	月	火	水	木	金
1限	ICT活用総合実習		情報通信ネットワークA	分散型台帳技術B	
2限	ICT活用総合実習		情報通信ネットワークB	分散型台帳技術A	
3限					線形代数A
4限				ネットワークプログラミング実習A	
5限				ネットワークプログラミング実習A	システム開発技術

上野③

	月	火	水	木	金
1限		臨地実務実習巡回指導日	ネットワーク演習		
2限					
3限					
4限			ICT活用総合実習		
5限			ICT活用総合実習		

上野④

	月	火	水	木	金
1限	臨地実務実習巡回指導日				
2限			ネットワーク演習		
3限					
4限			ICT活用総合実習		
5限			ICT活用総合実習		

鈴木　源吾

鈴木①

	月	火	水	木	金
1限					
2限					
3限	データベース演習A			統計学B	
4限	データベース演習B			統計学A	
5限	ICT活用総合実習		ICT活用総合実習		

鈴木②

	月	火	水	木	金
1限	ICT活用総合実習				データベース演習A
2限	ICT活用総合実習		統計学A		データベース演習B
3限			統計学B		
4限					
5限					

鈴木③

	月	火	水	木	金
1限		臨地実務実習巡回指導日			
2限			データベースの基礎		
3限				確率論A	
4限			ICT活用総合実習	確率論B	
5限			ICT活用総合実習		

鈴木④

	月	火	水	木	金
1限	臨地実務実習巡回指導日				
2限		情報数学ⅡA			
3限		情報数学ⅡB	データベースの基礎	確率論A	
4限		ICT演習（データベーススペシャリスト）	ICT活用総合実習	確率論B	
5限		ICT演習（データベーススペシャリスト）	ICT活用総合実習		

情報学部情報学科　臨地実務実習　教員別スケジュール表

堀川　桂太郎

堀川①

	月	火	水	木	金
1限					
2限		データ構造とアルゴリズム		データ構造とアルゴリズム	
3限	AI実習				知識表現・知識処理A
4限	AI実習				知識表現・知識処理B
5限	ICT活用総合実習		ICT活用総合実習		

堀川②

	月	火	水	木	金
1限	ICT活用総合実習				
2限	ICT活用総合実習				プログラミングⅠ
3限	AI実習	プログラミングⅠ			知識表現・知識処理A
4限	AI実習				知識表現・知識処理B
5限					

堀川③

	月	火	水	木	金
1限		臨地実務実習巡回指導日			
2限					
3限					
4限			ICT活用総合実習		
5限			ICT活用総合実習		

堀川④

	月	火	水	木	金
1限	臨地実務実習巡回指導日				
2限					
3限				API実習	
4限		API実習	ICT活用総合実習	API実習	
5限		API実習	ICT活用総合実習		

平川　秀樹

平川①

	月	火	水	木	金
1限					
2限			情報科学基礎B	マシンラーニング実習	
3限	AI実習	ICT演習（マシンラーニング）	情報科学基礎A	マシンラーニング実習	
4限	AI実習	ICT演習（マシンラーニング）			
5限	ICT活用総合実習		ICT活用総合実習		

平川②

	月	火	水	木	金
1限	ICT活用総合実習	情報科学基礎B			
2限	ICT活用総合実習	情報科学基礎A		マシンラーニング実習	
3限	AI実習	マシンラーニング		マシンラーニング実習	
4限	AI実習	マシンラーニング			
5限					

平川③

	月	火	水	木	金
1限	微分積分B	臨地実務実習巡回指導日			
2限					
3限					
4限			ICT活用総合実習		
5限			ICT活用総合実習		

平川④

	月	火	水	木	金
1限	臨地実務実習巡回指導日				
2限					
3限				微分積分B	
4限			ICT活用総合実習		
5限			ICT活用総合実習		

情報学部情報学科　臨地実務実習　教員別スケジュール表

高嶋　洋一

高嶋①

	月	火	水	木	金
1限			サイバーセキュリティ実習B	ネットワークプログラミング実習A	
2限			サイバーセキュリティ実習B	ネットワークプログラミング実習A	
3限			サイバーセキュリティ実習A	ネットワークプログラミング実習B	線形代数B
4限			サイバーセキュリティ実習A	ネットワークプログラミング実習B	
5限	ICT活用総合実習		ICT活用総合実習		

高嶋②

	月	火	水	木	金
1限	ICT活用総合実習		サイバーセキュリティ実習B		
2限	ICT活用総合実習		サイバーセキュリティ実習B	ネットワークプログラミング実習B	線形代数B
3限			サイバーセキュリティ実習A	ネットワークプログラミング実習B	ICT演習（セキュリティスペシャリスト）
4限			サイバーセキュリティ実習A	ネットワークプログラミング実習A	ICT演習（セキュリティスペシャリスト）
5限				ネットワークプログラミング実習A	

高嶋③

	月	火	水	木	金
1限	微分積分A	臨地実務実習巡回指導日			
2限					
3限			プログラミングⅡ		
4限	プログラミングⅡ		ICT活用総合実習	プログラミング演習	
5限			ICT活用総合実習		

高嶋④

	月	火	水	木	金
1限	臨地実務実習巡回指導日				
2限					
3限					
4限			ICT活用総合実習	微分積分A	
5限			ICT活用総合実習		

磯西　徹明

磯西①

	月	火	水	木	金
1限					
2限		データ構造とアルゴリズム	コンピュータ概論	データ構造とアルゴリズム	クラウド技術概論
3限		IoT実習	コンピュータアーキテクチャA	コンピュータアーキテクチャA	IoT実習
4限		IoT実習	コンピュータアーキテクチャB	コンピュータアーキテクチャB	IoT実習
5限	ICT活用総合実習		ICT活用総合実習		

磯西②

	月	火	水	木	金
1限	ICT活用総合実習			クラウド技術概論	
2限	ICT活用総合実習				
3限	IoT演習				
4限	IoT演習				
5限					

磯西③

	月	火	水	木	金
1限		臨地実務実習巡回指導日			
2限					
3限					
4限			ICT活用総合実習		
5限			ICT活用総合実習		

磯西④

	月	火	水	木	金
1限	臨地実務実習巡回指導日				
2限					
3限					
4限			ICT活用総合実習		
5限			ICT活用総合実習		

情報学部情報学科　臨地実務実習　教員別スケジュール表

西川　浩平

西川①

	月	火	水	木	金
1限					
2限				クラウドプラットフォーム実習Ⅱ	
3限		クラウドベーシック&マーケティング		クラウドプラットフォーム実習Ⅱ	
4限		クラウドベーシック&マーケティング		ICT演習（クラウド）	
5限	ICT活用総合実習		ICT活用総合実習	ICT演習（クラウド）	

西川②

	月	火	水	木	金
1限	ICT活用総合実習				
2限	ICT活用総合実習			クラウドプラットフォーム実習Ⅱ	
3限		クラウドプラットフォーム実習Ⅰ		クラウドプラットフォーム実習Ⅱ	クラウドプラットフォーム実習Ⅰ
4限		クラウドプラットフォーム実習Ⅰ			クラウドプラットフォーム実習Ⅰ
5限					

西川③

	月	火	水	木	金
1限		臨地実務実習巡回指導日			
2限					
3限					
4限			ICT活用総合実習		
5限			ICT活用総合実習		

西川④

	月	火	水	木	金
1限	臨地実務実習巡回指導日		ICT演習（セキュリティ）		
2限			ICT演習（セキュリティ）		
3限				API実習	
4限		API実習	ICT活用総合実習	API実習	
5限		API実習	ICT活用総合実習		

PANN YU MON

PANN YU MON①

	月	火	水	木	金
1限				ネットワークプログラミング実習A	
2限				ネットワークプログラミング実習A	
3限				ネットワークプログラミング実習B	
4限				ネットワークプログラミング実習B	
5限	ICT活用総合実習		ICT活用総合実習		

PANN YU MON②

	月	火	水	木	金
1限	ICT活用総合実習				
2限	ICT活用総合実習			ネットワークプログラミングB	
3限				ネットワークプログラミングB	
4限				ネットワークプログラミングA	
5限		ICT演習（ハードウェア/ソフトウェア）		ネットワークプログラミングA	

PANN YU MON③

	月	火	水	木	金
1限		臨地実務実習巡回指導日			
2限					
3限					
4限			ICT活用総合実習		
5限			ICT活用総合実習		

PANN YU MON④

	月	火	水	木	金
1限	臨地実務実習巡回指導日			ICT演習（基本情報）	
2限				ICT演習（基本情報）	
3限					
4限			ICT活用総合実習		
5限			ICT活用総合実習		

完成年度の情報学部情報学科時間割案(2023年度　①期)

＜凡例＞
・担当者欄の斜字：兼担教員／兼任教員　　色セルは紫竹山キャンパスでの授業　　色セルは隣地実務実習

【月曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	情報リテラシーA	宮元	3F情報処理実習室	現代産業論 現代実践法学	*美甘* *藤島*	3F講義室(3) 1F講義室(1)	現代史と国際関係論	*増田*	3F講義室(4)			
2限	情報リテラシーA 日本語コミュニケーションB	宮元 *常木*	3F情報処理実習室 5F講義室(4)				現代企業論	*美甘*	4F講義室(10)			
3限	情報リテラシーB 日本語コミュニケーションA	宮元 *常木*	3F情報処理実習室 5F講義室(4)	デザイン・シンキング実習ⅠA データベース演習B	石塚・*森下* 鈴木	6F実験・実習室(1) 6F実験・実習室(2)	AI実習	堀川 平川	7F実験・実習室(4) 7F実験・実習室(5)			
4限	情報リテラシーB	宮元	3F情報処理実習室	デザイン・シンキング実習ⅠA データベース演習B	石塚・*森下* 鈴木	6F実験・実習室(1) 6F実験・実習室(2)	AI実習	堀川 平川	7F実験・実習室(4) 7F実験・実習室(5)			
5限				現代経済学	*徳田*	1F講義室(1)				ICT活用総合実習	田代・鈴木・堀川・金宮・上野・平川・石塚・納沢・磯西・宮元・高嶋・後藤・西川・パン	
備考												

【火曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限				現代社会学B 英語プレゼンテーション演習ⅠA	土岐 *グレゴリーディック*	3F講義室(2) 7F実験・実習室(4)						
2限	データ構造とアルゴリズム	堀川 後藤	3F講義室(3) 3F講義室(4)	現代社会学A 英語プレゼンテーション演習ⅠB	土岐 *グレゴリーディック*	3F講義室(2) 7F実験・実習室(4)						
3限	英語コミュニケーションⅠB ビジネスモラルA	*マカヴィンタ* *唐木*	3F講義室(3) 3F講義室(4)	デザイン・シンキング実習ⅠB データベース演習A	石塚・森下 柄沢	7F実験・実習室(4) 7F実験・実習室(5)	データサイエンス実習 IoT実習 クラウドベーシック&マーケティング	*瀬谷* 磯西 西川	6F実験・実習室(1) 7FIoT実習室 6F実験・実習室(3)	ICT演習(マシンラーニング)	平川	3F演習室(1)
4限	英語コミュニケーションⅠA ビジネスモラルB	*マカヴィンタ* *唐木*	3F講義室(4) 3F講義室(3)	デザイン・シンキング実習ⅠB データベース演習A	石塚・*森下* 柄沢	7F実験・実習室(4) 7F実験・実習室(5)	データサイエンス実習 IoT実習 クラウドベーシック&マーケティング	*瀬谷* 磯西 西川	6F実験・実習室(1) 7FIoT実習室 6F実験・実習室(3)	ICT演習(マシンラーニング)	平川	3F演習室(1)
5限												
備考												

【水曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	情報科学基礎A 情報の基礎B	平川 田代	3F講義室(2) 3F講義室(3)	ソーシャルデザインⅠB 情報と経営A	*渡辺* 宮元	7F実験・実習室(4) 6F講義室(6)	サイバーセキュリティ実習B デザイン・シンキング実習ⅡA	高嶋 石塚	サイバーセキュリティルーム 6F実験・実習室(1)			
2限	情報の基礎A 情報科学基礎B	田代 平川	3F講義室(2) 3F講義室(3)	ソーシャルデザインⅠA 情報と経営B	*渡辺* 宮元	7F実験・実習室(4) 6F講義室(6)	サイバーセキュリティ実習B デザイン・シンキング実習ⅡA	高嶋 石塚	サイバーセキュリティルーム 6F実験・実習室(1)			
3限	コンピュータアーキテクチャA	磯西	3F講義室(3)	マーケティングB サイバーセキュリティ演習A	宮元 後藤	6F講義室(6) 7F実験・実習室(4)	サイバーセキュリティ実習A デザイン・シンキング実習ⅡB	高嶋 石塚	サイバーセキュリティルーム 6F実験・実習室(1)	データマイニング演習	*瀬谷*	6F実験・実習室(2)
4限	コンピュータアーキテクチャB	磯西	3F講義室(3)	マーケティングA サイバーセキュリティ演習B	宮元 後藤	6F講義室(6) 7F実験・実習室(4)	サイバーセキュリティ実習A デザイン・シンキング実習ⅡB	高嶋 石塚	サイバーセキュリティルーム 6F実験・実習室(1)	情報と英語	金宮	6F実験・実習室(2)
5限										ICT活用総合実習	田代・鈴木・堀川・金宮・上野・平川・石塚・納沢・磯西・宮元・高嶋・後藤・西川・パン	
備考												

【木曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限				ネットワークプログラミング実習A	上野 パン	7F実験・実習室(4) 7F実験・実習室(5)	ソーシャルデザインⅡB 情報と倫理A	*渡辺* 大野	3F演習室(1) 5F講義室(4)			
2限	データ構造とアルゴリズム	堀川 後藤	3F講義室(2) 3F講義室(3)	ネットワークプログラミング実習A 情報産業論B	上野 パン 田代	7F実験・実習室(4) 7F実験・実習室(5) 6F講義室(6)	ソーシャルデザインⅡA 情報と倫理B	*渡辺* 大野	3F演習室(1) 5F講義室(4)	クラウドプラットフォーム実習Ⅱ マシンラーニング実習 ロボティクス実習	西川 平川 金宮	6F実験・実習室(1) 6F実験・実習室(2) 7FIoT実習室
3限	キャリアデザインⅠA コンピュータアーキテクチャB	*北野* 磯西	3F講義室(3) 3F講義室(2)	ネットワークプログラミング実習B 情報産業論A	高嶋 パン 田代	7F実験・実習室(4) 7F実験・実習室(5) 6F講義室(6)				クラウドプラットフォーム実習Ⅱ マシンラーニング実習 ロボティクス実習	西川 平川 金宮	6F実験・実習室(1) 6F実験・実習室(2) 7FIoT実習室
4限	キャリアデザインⅠB コンピュータアーキテクチャA	*北野* 磯西	3F講義室(3) 3F講義室(2)	ネットワークプログラミング実習B	高嶋 パン	7F実験・実習室(4) 7F実験・実習室(5)	ICT演習(クラウド)	西川	3F演習室(1)			
5限				システム開発技術	上野	6F実験・実習室(2)	ICT演習(クラウド)	西川	3F演習室(1)			
備考												

【金曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限							国際文化と伝統A 分散型台帳技術B	三上 上野	5F講義室(4) 3F演習室(1)	ICT演習(IoT)	金宮	7FIoT実習室
2限	線形代数B	高嶋	3F講義室(3)	クラウド技術概論	磯西	5F講義室(4)	国際文化と伝統B 分散型台帳技術A	三上 上野	5F講義室(4) 3F演習室(1)	ICT演習(IoT)	金宮	7FIoT実習室
3限	線形代数A	上野	3F講義室(3)	知識表現・知識処理A 統計学B	堀川 鈴木	3F演習室(5) 5F講義室(4)	IoT実習 データサイエンス実習	磯西 瀬谷	7FIoT実習室 6F実験・実習室(2)			
4限				統計学A 知識表現・知識処理B	鈴木 堀川	5F講義室(4) 3F演習室(5)	IoT実習 データサイエンス実習	磯西 *瀬谷*	7FIoT実習室 6F実験・実習室(2)			
5限												
備考							マーケティング実践A　※集中 マーケティング実践B　※集中			ソーシャルデザイン実習A　※集中 ソーシャルデザイン実習B　※集中		

完成年度の情報学部情報学科時間割案(2023年度　②期)

＜凡例＞
・担当者欄の斜字：兼担教員／兼任教員　　色セルは紫竹山キャンパスでの授業　　色セルは隣地実務実習

【月曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	日本語コミュニケーションB 英語コミュニケーションⅠA	*常木* *マカヴィンタ*	3F講義室(2) 3F講義室(3)	現代産業論 現代実践法学	*美甘* *藤島*	3F講義室(3) 1F講義室(1)	現代史と国際関係論	*増田*	4F講義室(10)	ICT活用総合実習	田代・鈴木・堀川・金宮・上野・平川・石塚・柄沢・磯西・宮元・髙嶋・後藤・西川・パン	
2限	日本語コミュニケーションA 英語コミュニケーションⅠB	*常木* *マカヴィンタ*	3F講義室(3) 3F講義室(2)				現代企業論	*美甘*	4F講義室(10)	ICT活用総合実習	田代・鈴木・堀川・金宮・上野・平川・石塚・柄沢・磯西・宮元・髙嶋・後藤・西川・パン	
3限				データサイエンス演習 IoT演習	*瀬谷* 磯西	6F実験・実習室(1) 7FIoT実習室	AI実習	堀川 平川	7F実験・実習室(4) 7F実験・実習室(5)			
4限				データサイエンス演習 IoT演習	*瀬谷* 磯西	6F実験・実習室(1) 7FIoT実習室	AI実習	堀川 平川	7F実験・実習室(4) 7F実験・実習室(5)			
5限				現代経済学	*徳田*	1F講義室(1)						
備考												

【火曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	情報科学基礎A オペレーティングシステムB	平川 柄沢	3F講義室(3) 3F講義室(2)	情報産業論B	田代	6F講義室(6)						
2限	情報科学基礎B オペレーティングシステムA	平川 後藤	3F講義室(3) 3F講義室(2)	情報産業論A キャリアデザインⅡB	田代 *北野*	6F講義室(6) 5F講義室(4)						
3限	プログラミングⅠ	堀川 柄沢	3F講義室(2) 3F講義室(3)	サイバーセキュリティ演習B キャリアデザインⅡA	後藤 *北野*	7F実験・実習室(4) 5F講義室(4)	クラウドプラットフォーム実習Ⅰ マシンラーニング ハードウェア設計	西川 平川 金宮	6F実験・実習室(1) 6F実験・実習室(2) 7FIoT実習室			
4限				サイバーセキュリティ演習A	後藤	7F実験・実習室(4)	クラウドプラットフォーム実習Ⅰ マシンラーニング ハードウェア設計	西川 平川 金宮	6F実験・実習室(1) 6F実験・実習室(2) 7FIoT実習室			
5限				ICT演習(ﾊｰﾄﾞｳｪｱ/ｿﾌﾄｳｪｱ)	パン	3F演習室(1)						
備考												

【水曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	現代社会学B 情報通信ネットワークA	*土岐* 上野	3F講義室(2) 3F講義室(3)				サイバーセキュリティ実習B	髙嶋	サイバーセキュリティルーム			
2限	現代社会学A 情報通信ネットワークB	*土岐* 上野	3F講義室(3) 3F講義室(2)	マーケティングB 統計学A	宮元 鈴木	5F講義室(4) 5F講義室(5)	サイバーセキュリティ実習B	髙嶋	サイバーセキュリティルーム			
3限	システムモデリングA	柄沢	3F講義室(3)	マーケティングA 統計学B	宮元 鈴木	5F講義室(5) 5F講義室(4)	サイバーセキュリティ実習A	髙嶋	サイバーセキュリティルーム	データマイニング演習	*瀬谷*	3F演習室(1)
4限	システムモデリングB	柄沢	3F講義室(3)	情報と経営A ソーシャルデザインⅠA	宮元 *渡辺*	5F講義室(4) 5F講義室(5)	サイバーセキュリティ実習A	髙嶋	サイバーセキュリティルーム	情報と英語	金宮	3F演習室(1)
5限				情報と経営B ソーシャルデザインⅠB	宮元 *渡辺*	5F講義室(5) 5F講義室(4)						
備考												

【木曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	オペレーティングシステムA オペレーティングシステムB	後藤 柄沢	3F講義室(2) 3F講義室(3)	クラウド技術概論	磯西	6F講義室(6)	ソーシャルデザインⅡA 分散型台帳技術B	*渡辺* 上野	3F演習室(1) 6F実験・実習室(3)			
2限				ネットワークプログラミング実習B	髙嶋 パン	7F実験・実習室(4) 7F実験・実習室(5)	ソーシャルデザインⅡB 分散型台帳技術A	*渡辺* 上野	3F演習室(1) 6F実験・実習室(3)	クラウドプラットフォーム実習Ⅱ マシンラーニング実習 ロボティクス実習	西川 平川 金宮	6F実験・実習室(1) 6F実験・実習室(2) 7FIoT実習室
3限				ネットワークプログラミング実習B 現代社会学A	髙嶋 パン 土岐	7F実験・実習室(4) 7F実験・実習室(5) 3F講義室(2)	ICT演習(応用情報)	柄沢	3F演習室(1)	クラウドプラットフォーム実習Ⅱ マシンラーニング実習 ロボティクス実習	西川 平川 金宮	6F実験・実習室(1) 6F実験・実習室(2) 7FIoT実習室
4限				ネットワークプログラミング実習A 現代社会学B	上野 パン 土岐	7F実験・実習室(4) 7F実験・実習室(5) 3F講義室(2)	ICT演習(応用情報)	柄沢	3F演習室(1)			
5限				ネットワークプログラミング実習A	上野 パン	7F実験・実習室(4) 7F実験・実習室(5)						
備考												

【金曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限				データベース演習	鈴木 柄沢	6F実験・実習室(1) 6F実験・実習室(2)	キャリアデザインⅢA 国際文化と伝統B	*北野* 三上	5F講義室(4) 5F講義室(5)			
2限	プログラミングⅠ	堀川 柄沢	3F講義室(2) 3F講義室(3)	データベース演習	鈴木 柄沢	6F実験・実習室(1) 6F実験・実習室(2)	キャリアデザインⅢB 国際文化と伝統A	*北野* 三上	5F講義室(5) 5F講義室(4)			
3限	線形代数B	髙嶋	3F講義室(3)	英語プレゼンテーション演習ⅠA 知識表現・知識処理B	*グレゴリーディック* 堀川	6F実験・実習室(1) 6F実験・実習室(2)	クラウドプラットフォーム実習Ⅰ	西川	7F実験・実習室(4)	ICT演習(セキュリティスペシャリスト)	髙嶋	6F実験・実習室(3)
4限	線形代数A	上野	3F講義室(3)	英語プレゼンテーション演習ⅠB 知識表現・知識処理A	*グレゴリーディック* 堀川	6F実験・実習室(1) 6F実験・実習室(2)	クラウドプラットフォーム実習Ⅰ	西川	7F実験・実習室(4)	ICT演習(セキュリティスペシャリスト)	髙嶋	6F実験・実習室(3)
5限				システム開発技術	上野	6F実験・実習室(3)						
備考				トップランナー研究　※集中			マーケティング実践A　※集中 マーケティング実践B　※集中			ソーシャルデザイン実習A　※集中 ソーシャルデザイン実習B　※集中		

完成年度の情報学部情報学科時間割案(2023年度 ③期)

＜凡例＞
・担当者欄の斜字: 兼担教員／兼任教員　　色セルは紫竹山キャンパスでの授業　　色セルは隣地実務実習

【月曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	微分積分B 微分積分A	平川 高嶋	3F講義室(2) 3F講義室(3)	臨地実務実習Ⅰ			臨地実務実習Ⅱ			中国語コミュニケーション	*崔*	3F講義室(3)
2限	情報セキュリティB 社会心理・消費者行動A	後藤 宮元	3F講義室(2) 3F講義室(3)									
3限	情報セキュリティA 社会心理・消費者行動B	後藤 宮元	3F講義室(3) 3F講義室(2)									
4限	プログラミングⅡ	高嶋 柄沢	6F実験・実習室(1) 6F実験・実習室(2)							韓国語コミュニケーション	*黄*	3F講義室(3)
5限										ロシア語コミュニケーション	*中谷*	3F講義室(3)
備考												

【火曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限				臨地実務実習Ⅰ			臨地実務実習Ⅱ					
2限	英語コミュニケーションⅡA	マカヴィンタ	3F講義室(3)									
3限	英語コミュニケーションⅡB	マカヴィンタ	3F講義室(3)									
4限												
5限												
備考												

【水曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	ネットワーク演習	上野 後藤	7F実験・実習室(4) 7F実験・実習室(5)	臨地実務実習Ⅰ			臨地実務実習Ⅱ					
2限	データベースの基礎	鈴木 柄沢	5F講義室(4) 5F講義室(5)									
3限	プログラミングⅡ	高嶋 柄沢	6F実験・実習室(1) 6F実験・実習室(2)									
4限										ICT活用総合実習	田代・鈴木・堀川・金宮・上野・平川・石塚・柄沢・磯西・宮元・高嶋・後藤・西川・パン	
5限										ICT活用総合実習	田代・鈴木・堀川・金宮・上野・平川・石塚・柄沢・磯西・宮元・高嶋・後藤・西川・パン	
備考												

【木曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	情報と法律A デザイン・シンキング概論B	大野 石塚	3F講義室(2) 3F講義室(3)	臨地実務実習Ⅰ			臨地実務実習Ⅱ					
2限	情報と法律B デザイン・シンキング概論A	大野 石塚	3F講義室(3) 3F講義室(2)									
3限	確率論A	鈴木	3F講義室(2)									
4限	確率論B	鈴木	3F講義室(2)									
5限												
備考												

【金曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限				臨地実務実習Ⅰ			臨地実務実習Ⅱ					
2限	サイバーフィジカルシステム基礎A	金宮	3F講義室(2)									
3限	サイバーフィジカルシステム基礎B 新潟と地域社会B	金宮 *房下*	3F講義室(2) 3F講義室(3)									
4限	サイバーフィジカルシステム基礎C 新潟と地域社会A	金宮 *房下*	3F講義室(3) 3F講義室(2)									
5限	サイバーフィジカルシステム基礎D	金宮	3F講義室(3)									
備考												

完成年度の情報学部情報学科時間割案(2023年度 ④期)

＜凡例＞
・担当者欄の斜字: 兼担教員／兼任教員　　色セルは紫竹山キャンパスでの授業　　色セルは隣地実務実習

【月曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限				現代の科学技術	田代	3F講義室(5)	臨地実務実習Ⅱ			中国語コミュニケーション	*崔*	3F講義室(3)
2限	社会心理・消費者行動A 情報セキュリティB	宮元 後藤	3F講義室(3) 3F講義室(2)	現代の科学技術	田代	3F講義室(5)						
3限	社会心理・消費者行動B 情報セキュリティA	宮元 後藤	3F講義室(2) 3F講義室(3)	英語プレゼンテーション演習ⅡA	*グレゴリーディック*	6F実験・実習室(1)						
4限				英語プレゼンテーション演習ⅡA	*グレゴリーディック*	6F実験・実習室(1)				韓国語コミュニケーション	*黄*	3F講義室(3)
5限										ロシア語コミュニケーション	*中谷*	3F講義室(3)
備考												

【火曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	没入型コンピューティングB 英語コミュニケーションⅡA	江口 *マカヴィンタ*	3F演習室(1) 3F講義室(3)	ユーザエクスペリエンス	石塚	6F実験・実習室(1)	臨地実務実習Ⅱ			国際動態論	*増田*	3F講義室(6)
2限	没入型コンピューティングA 英語コミュニケーションⅡB	江口 *マカヴィンタ*	3F演習室(1) 3F講義室(3)	ユーザエクスペリエンス	石塚	6F実験・実習室(1)				国際動態論	*増田*	3F講義室(6)
3限	没入型コンピューティングB	江口	3F演習室(1)									
4限	没入型コンピューティングA	江口	3F演習室(1)	API実習	堀川 西川	6F実験・実習室(1) 6F実験・実習室(2)				ICT演習(データベーススペシャリスト)	鈴木	7F実験・実習室(4)
5限				API実習	堀川 西川	6F実験・実習室(1) 6F実験・実習室(2)				ICT演習(データベーススペシャリスト)	鈴木	7F実験・実習室(4)
備考												

【水曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限				ICT演習(セキュリティ)	西川	6F実験・実習室(1)	臨地実務実習Ⅱ					
2限	ネットワーク演習	上野 後藤	7F実験・実習室(4) 7F実験・実習室(5)	ICT演習(セキュリティ)	西川	6F実験・実習室(1)						
3限	データベースの基礎	鈴木 柄沢	5F講義室(4) 5F講義室(5)	英語プレゼンテーション演習ⅡB	*グレゴリーディック*	3F講義室(2)						
4限				英語プレゼンテーション演習ⅡB	*グレゴリーディック*	3F講義室(2)				ICT活用総合実習	田代・鈴木・堀川・金宮・上野・平川・石塚・柄沢・福西・宮元・髙嶋・後藤・西川・パン	
5限										ICT活用総合実習	田代・鈴木・堀川・金宮・上野・平川・石塚・柄沢・福西・宮元・髙嶋・後藤・西川・パン	
備考												

【木曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	デザイン・シンキング概論B 情報と法律A	石塚 大野	3F講義室(3) 3F講義室(2)	ICT演習(基本情報)	パン	6F実験・実習室(1)	臨地実務実習Ⅱ			ICT演習(組み込みシステム)	金宮	7FIoT実習室
2限	デザイン・シンキング概論A 情報と法律B	石塚 大野	3F講義室(2) 3F講義室(3)	ICT演習(基本情報)	パン	6F実験・実習室(1)				ICT演習(組み込みシステム)	金宮	7FIoT実習室
3限	確率論A 微分積分B	鈴木 平川	3F講義室(2) 3F講義室(2)	API実習	堀川 西川	6F実験・実習室(1) 6F実験・実習室(2)						
4限	確率論B 微分積分A	鈴木 髙嶋	3F講義室(2) 3F講義室(2)	API実習	堀川 西川	6F実験・実習室(1) 6F実験・実習室(2)						
5限												
備考												

【金曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	新潟と地域社会A	*宮下*	3F講義室(2)				臨地実務実習Ⅱ					
2限	新潟と地域社会B	*宮下*	3F講義室(2)	没入型コンピューティング実習	江口	7F実験・実習室(4)						
3限				没入型コンピューティング実習	江口	7F実験・実習室(4)						
4限				没入型コンピューティング実習	江口	7F実験・実習室(4)						
5限				没入型コンピューティング実習	江口	7F実験・実習室(4)						
備考	トップランナー研究 ※集中											

情報学科　授業科目毎の実習評価基準表 科目名：臨地実務実習Ⅰ

配当年次	2③	必修・選択	必修
単位数	5	時間数	150

観点	No.	レベル / 到達目標	A	B	C	D	E
知識・理解	1	実習先企業の企業組織の持つ経営理念・方針等の特徴を理解している。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	2	実習先企業の経営理念を踏まえ、社会的役割・使命を理解し、説明することができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	3	既知の問題が与えられた中で、必要なデータが何なのかを理解している。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
技能	4	形式が異なる多くのデータを統一的に保管することができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	5	課題に応じたサンプルの抽出ができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	6	必要に応じデータの抽出、グラフ作成を正しく行うことができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
志向・態度	7	課題の解決・検討に必要なデータが何なのかを最後まで諦めずに模索しようとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	8	扱っている課題領域における、基本的な課題の枠組みをする必要性を理解し、指示・命令を実行しようとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	9	より効果的なプレゼンテーションを実施するために、事前準備の必要性を理解したうえで、様々な工夫を心掛けている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない

情報学科　授業科目毎の実習評価基準表 科目名：臨地実務実習Ⅱ

配当年次	3③④	必修・選択	必修
単位数	15	時間数	450

観点	No.	到達目標＼レベル	A	B	C	D	E
知識・理解	1	実習先企業の業態(サービスの提供方法など)および顧客価値を理解している。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	2	扱っている課題領域において、課題が何なのか理解している。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	3	ビジネス活動における論理と各種データの関連性を理解し、その重要性を理解している。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
技能	4	情報システムのデザイン(計画、設計、管理)とその具現化ができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	5	開発環境の構築と開発作業の管理ができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	6	プロトタイプと検証のサイクルを繰り返すことができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
志向・態度	7	アイデアの発散を繰り返し、コアの問題解決のために、より高いレベルで解決しようとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	8	課題領域において、テーマを構造的に整理し、見極めるべき論点をクリアにしようとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	9	仮説の中でも、最適解・最大解を見出すことを諦めずに努力している。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない

設置の趣旨等を記載した書類

【資料 38】

完成年度の事業創造学部事業創造学科時間割案（2023年度 ①期）

＜凡例＞
・担当者欄の斜字：兼担教員／兼任教員

【月曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	現代産業論B（事創）	美甘	3F講義室(4)				会社設立実習ⅡA（事創） 会社設立実習ⅡB（事創）	原岡 福田	5F演習室(1)(2) 5F演習室(3)(4)			
2限	マーケティングB（事創）	高松	3F講義室(5)	経営組織論B（事創） デザインシンキング概論A（事創）	向 石塚	1F講義室(1) 4F講義室(18)	会社設立実習ⅡA（事創） 会社設立実習ⅡB（事創）	原岡 福田	5F演習室(1)(2) 5F演習室(3)(4)			
3限	マーケティングA（事創）	高松	3F講義室(5)	経営組織論A（事創） デザインシンキング概論B（事創）	向 石塚	1F講義室(1) 4F講義室(18)	会社設立実習ⅡA（事創） 会社設立実習ⅡB（事創）	原岡 福田	5F演習室(1)(2) 5F演習室(3)(4)			
4限	現代産業論A（事創）	美甘	3F講義室(4)				会社設立実習ⅡA（事創） 会社設立実習ⅡB（事創）	原岡 福田	5F演習室(1)(2) 5F演習室(3)(4)			
5限	現代経済学	徳田	3F講義室(4)				不動産法入門	石川	3F講義室(5)			
備考												

【火曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限				新規商品開発・販売実習Ⅰ（臨地実務実習）			ソーシャルデザインⅡA（事創） イノベーションマネジメントB	渡辺 近藤	4F講義室(15) 3F講義室(4)			
2限	情報リテラシーB（事創）	向	4F講義室(15)	新規商品開発・販売実習Ⅰ（臨地実務実習）			ソーシャルデザインⅡB（事創） イノベーションマネジメントA	渡辺 近藤	4F講義室(15) 3F講義室(4)			
3限	情報リテラシーB（事創）	向	4F講義室(15)	新規商品開発・販売実習Ⅰ（臨地実務実習）			実践的統計学（事創）	*中東*	3F講義室(5)			
4限	情報リテラシーA（事創）	向	3F講義室(7)	新規商品開発・販売実習Ⅰ（臨地実務実習）								
5限	情報リテラシーA（事創）	向	3F講義室(7)	新規商品開発・販売実習Ⅰ（臨地実務実習）								
備考												

【水曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	簿記概論A	東城	3F講義室(4)	英語プレゼンテーション演習ⅠB（事創） 新潟と地域資源A（事創）	*グレッグディック* *渡辺*	4F講義室(18) 3F講義室(3)				地域産業研究Ⅶまちづくり（事創）	西村	3F講義室(3)
2限	日本語コミュニケーションA（事創） 簿記概論B	常木 東城	3F講義室(4) 3F講義室(5)	英語プレゼンテーション演習ⅠA（事創） 新潟と地域資源B（事創）	*グレッグディック* *渡辺*	4F講義室(18) 3F講義室(3)	地域産業研究Ⅳものづくり（事創）	原岡	4F講義室(13)	地域産業研究Ⅶ ICT（事創）	*磯西*	3F講義室(5)
3限	日本語コミュニケーションB（事創） 英語コミュニケーションⅠA（事創）	常木 *グレッグディック*	3F講義室(3) 4F講義室(18)				コミュニケーションデザイン（事創） 地域資源活用の事例研究A	*武田* *青山*	3F講義室(5) 4F講義室(14)			
4限	英語コミュニケーションⅠB（事創）	*グレッグディック*	3F講義室(6)	新規商品開発・販売実習Ⅰ（臨地実務実習）			地域資源活用の事例研究B 財務諸表分析A（事創）	*青山* 東城	3F講義室(5) 3F講義室(6)			
5限				新規商品開発・販売実習Ⅰ（臨地実務実習）			財務諸表分析B（事創）	東城	3F講義室(6)			
備考												

【木曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	キャリアデザインⅠA（事創）	土岐	3F講義室(3)							実践企業革新（事創）	福田	4F講義室(15)
2限	ビジネスモラルB（事創）	*佐藤*	3F講義室(4)	ビジネスモデル研究B	星	3F講義室(5)						
3限	ビジネスモラルA（事創） キャリアデザインⅠB（事創）	*佐藤* 土岐	3F講義室(4) 3F講義室(3)	ビジネスモデル研究A	星	3F講義室(5)	新規商品開発・販売実習Ⅱ（臨地実務実習）					
4限	現代実践法学	*藤島*	3F講義室(4)	地域産業研究Ⅰ農林水産（事創） 地域産業研究Ⅱ医療福祉（事創）	*武本* *渡邉*	4F講義室(15) 4F講義室(16)	新規商品開発・販売実習Ⅱ（臨地実務実習）					
5限				流通論の基礎（事創）	徳田	4F講義室(15)	新規商品開発・販売実習Ⅱ（臨地実務実習）					
備考												

【金曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	経営学の基礎A（事創）	星	3F講義室(3)	ビジネスプランの応用A（事創）	古屋	3F講義室(7)	新規商品開発・販売実習Ⅱ（臨地実務実習）					
2限	経済学の基礎A（事創）	近藤	3F講義室(6)	ビジネスプランの応用A（事創）	古屋	3F講義室(7)	新規商品開発・販売実習Ⅱ（臨地実務実習）					
3限	経営学の基礎B（事創）	星	3F講義室(7)	ビジネスプランの応用B（事創）	古屋	4F講義室(5)	新規商品開発・販売実習Ⅱ（臨地実務実習）			事業計画策定総合実習	学部長以外の教授・准教授	9教室 実習・演習
4限	経済学の基礎B（事創）	近藤	3F講義室(6)	ビジネスプランの応用B（事創）	古屋	4F講義室(5)	新規商品開発・販売実習Ⅱ（臨地実務実習）			事業計画策定総合実習	学部長以外の教授・准教授	9教室 実習・演習
5限							新規商品開発・販売実習Ⅱ（臨地実務実習）					
備考												

※臨地実務実習は上記には含まず。

完成年度の事業創造学部事業創造学科時間割案（2023年度　②期）

＜凡例＞
・担当者欄の斜字：兼担教員／兼任教員

【月曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	現代産業論B（事創）	美甘	3F講義室(3)	キャリアデザインⅡA（事創）	土岐	3F講義室(4)	会社設立実習ⅡA（事創） 会社設立実習ⅡB（事創）	福田 原岡	5F演習室(1)(2) 5F演習室(3)(4)			
2限	マーケティングB（事創）	高松	3F講義室(3)	経営組織論B（事創） デザインシンキング概論A（事創）	向 石塚	3F講義室(4) 4F講義室(15)	会社設立実習ⅡA（事創） 会社設立実習ⅡB（事創）	福田 原岡	5F演習室(1)(2) 5F演習室(3)(4)			
3限	マーケティングA（事創）	高松	3F講義室(3)	経営組織論A（事創） デザインシンキング概論B（事創）	向 石塚	3F講義室(7) 4F講義室(15)	会社設立実習ⅡA（事創） 会社設立実習ⅡB（事創）	福田 原岡	5F演習室(1)(2) 5F演習室(3)(4)			
4限	現代産業論A（事創）	美甘	3F講義室(3)	キャリアデザインⅡB（事創）	土岐	3F講義室(6)	会社設立実習ⅡA（事創） 会社設立実習ⅡB（事創）	福田 原岡	5F演習室(1)(2) 5F演習室(3)(4)			
5限	現代経済学	徳田	3F講義室(4)				不動産法入門	石川	3F講義室(5)			
備考												

【火曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	新潟と地域社会B（事創）	*宮下*	3F講義室(4)	新規商品開発・販売実習Ⅰ（臨地実務実習）			ソーシャルデザインⅡA（事創） イノベーションマネジメントB	渡辺 近藤	4F講義室(15) 3F講義室(4)			
2限	新潟と地域社会A（事創）	*宮下*	3F講義室(4)	新規商品開発・販売実習Ⅰ（臨地実務実習）			ソーシャルデザインⅡB（事創） イノベーションマネジメントA	渡辺 近藤	4F講義室(15) 3F講義室(4)			
3限				新規商品開発・販売実習Ⅰ（臨地実務実習）			実践的統計学（事創）	*中東*	3F講義室(5)			
4限				新規商品開発・販売実習Ⅰ（臨地実務実習）								
5限				新規商品開発・販売実習Ⅰ（臨地実務実習）								
備考												

【水曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	簿記概論A	東城	3F講義室(4)	英語プレゼンテーション演習ⅠB（事創） 新潟と地域資源A（事創）	*グレッグディック* *渡辺*	4F講義室(18) 3F講義室(3)	キャリアデザインⅢA（事創）	土岐	4F講義室(15)	地域産業研究Ⅶまちづくり（事創）	西村	3F講義室(3)
2限	日本語コミュニケーションA（事創） 簿記概論B	常木 東城	3F講義室(4) 3F講義室(5)	英語プレゼンテーション演習ⅠA（事創） 新潟と地域資源B（事創）	*グレッグディック* *渡辺*	4F講義室(18) 3F講義室(3)	キャリアデザインⅢB（事創） 地域産業研究Ⅳものづくり（事創）	土岐 原岡	4F講義室(13) 4F講義室(14)	地域産業研究Ⅵ ICT（事創）	*磯西*	5F演習室(5)
3限	日本語コミュニケーションB（事創） 英語コミュニケーションⅠA（事創）	常木 *グレッグディック*	3F講義室(3) 5F講義室(18)				コミュニケーションデザイン（事創） 地域資源活用の事例研究A	*武田* *青山*	3F講義室(5) 4F講義室(14)			
4限	英語コミュニケーションⅠB（事創）	*グレッグディック*	3F講義室(6)	新規商品開発・販売実習Ⅰ（臨地実務実習）			地域資源活用の事例研究B 財務諸表分析A（事創）	*青山* 東城	3F講義室(5) 3F講義室(6)			
5限				新規商品開発・販売実習Ⅰ（臨地実務実習）			財務諸表分析B（事創）	東城	3F講義室(6)			
備考												

【木曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限				ビジネスモデル研究B 会計学A	星 平田	3F講義室(5) 3F講義室(7)				実践企業革新（事創）	福田	4F講義室(15)
2限				ビジネスモデル研究A 会計学B	星 平田	3F講義室(5) 3F講義室(7)						
3限							新規商品開発・販売実習Ⅱ（臨地実務実習）					
4限				地域産業研究Ⅰ農林水産（事創） 地域産業研究Ⅱ医療福祉（事創）	*武本* *渡邉*	3F講義室(5) 3F講義室(6)	新規商品開発・販売実習Ⅱ（臨地実務実習）					
5限	現代実践法学	*藤島*	3F講義室(3)	流通論の基礎（事創）	徳田	4F講義室(16)	新規商品開発・販売実習Ⅱ（臨地実務実習）					
備考	トップランナー研究※集中（事創）											

【金曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	経営学の基礎A（事創）	星	3F講義室(3)	ビジネスプランの応用A（事創）	古屋	3F講義室(7)	新規商品開発・販売実習Ⅱ（臨地実務実習）					
2限	経済学の基礎A（事創）	近藤	3F講義室(3)	ビジネスプランの応用A（事創）	古屋	3F講義室(7)	新規商品開発・販売実習Ⅱ（臨地実務実習）					
3限	経営学の基礎B（事創）	星	3F講義室(3)	ビジネスプランの応用B（事創）	古屋	4F講義室(5)	新規商品開発・販売実習Ⅱ（臨地実務実習）			事業計画策定総合実習	学部長以外の教授・准教授	9教室 実習・演習
4限	経済学の基礎B（事創）	近藤	3F講義室(3)	ビジネスプランの応用B（事創）	古屋	4F講義室(5)	新規商品開発・販売実習Ⅱ（臨地実務実習）			事業計画策定総合実習	学部長以外の教授・准教授	9教室 実習・演習
5限							新規商品開発・販売実習Ⅱ（臨地実務実習）					
備考												

※臨地実務実習は上記には含まず。

完成年度の事業創造学部事業創造学科時間割案（2023年度 ③期）

＜凡例＞
・担当者欄の斜字：兼担教員／兼任教員

【月曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	現代社会学	土岐	3F講義室(4)	企業内実習Ⅱ(臨地実務実習)			ソーシャルデザイン実習A(事創) 地域資源活用実習B(事創)	渡辺 西村	1F演習・実習室 3F実習室(1)	中国語コミュニケーション	*崔*	4F講義室(15)
2限	現代の科学技術	田代	3F講義室(4)	企業内実習Ⅱ(臨地実務実習)			ソーシャルデザイン実習A(事創) 地域資源活用実習B(事創)	渡辺 西村	1F演習・実習室 3F実習室(1)			
3限	現代史と国際関係論	増田	3F講義室(3)	企業内実習Ⅱ(臨地実務実習)			広報戦略の実践(事創)	高松	3F講義室(7)			
4限	現代企業論B(事創) 簿記演習A(事創)	美甘 東城	3F講義室(5) 3F講義室(4)	企業内実習Ⅱ(臨地実務実習)			ソーシャルデザイン実習B(事創) 地域資源活用実習A(事創)	渡辺 西村	1F演習・実習室 3F実習室(1)	韓国語コミュニケーション	*黄*	4F講義室(15)
5限	現代企業論A(事創) 簿記演習B(事創)	美甘 東城	3F講義室(5) 3F講義室(5)	企業内実習Ⅱ(臨地実務実習)			ソーシャルデザイン実習B(事創) 地域資源活用実習A(事創)	渡辺 西村	1F演習・実習室 3F実習室(1)	ロシア語コミュニケーション	*中谷*	4F講義室(15)
備考												

【火曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限				地域産業研究Ⅲ環境(事創) 財務諸表論B(事創)	櫻井 平田	3F講義室(5) 3F講義室(5)	不動産取引演習	石川	3F講義室(6)			
2限	デジタルマーケティングA(事創)	向	3F講義室(7)	会社設立実習ⅠB(事創) 財務諸表論A(事創)	原岡 平田	5F演習室(1)(2) 3F講義室(5)	地域産業研究Ⅴ観光(事創)	*寺前*	4F講義室(16)			
3限	簿記演習A	東城	3F講義室(6)	会社設立実習ⅠB(事創)	原岡	5F演習室(1)(2)	資金調達の実践B(事創)	松澤	4F講義室(16)			
4限	デジタルマーケティングB(事創)	向	3F講義室(7)	会社設立実習ⅠA(事創)	福田	5F演習室(1)(2)	企業内実習Ⅲ(臨地実務実習)					
5限	簿記演習B	東城	3F講義室(3)	会社設立実習ⅠA(事創)	福田	5F演習室(1)(2)	企業内実習Ⅲ(臨地実務実習)					
備考												

【水曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	企業内実習Ⅰ(臨地実務実習)			ソーシャルデザインⅠB(事創)	渡辺	3F講義室(7)	資金調達の実践A(事創)	松澤	4F講義室(15)			
2限	企業内実習Ⅰ(臨地実務実習)			ソーシャルデザインⅠA(事創) 経営戦略策定演習B(事創)	渡辺 星	3F講義室(6) 4F講義室(18)	ICT活用ビジネス(事創)	原岡	4F講義室(16)			
3限	企業内実習Ⅰ(臨地実務実習)			経営戦略策定演習A(事創)	星	4F講義室(18)	実践事業承継	*銀行*	3F講義室(7)			
4限	企業内実習Ⅰ(臨地実務実習)			消費者行動研究(事創)	伊藤	3F講義室(6)	実践事業承継	*銀行*	3F講義室(7)			
5限	企業内実習Ⅰ(臨地実務実習)			地域産業研究Ⅲ環境(事創)	増田	3F講義室(6)	グローバル社長学(事創)	高松	4F講義室(16)			
備考												

【木曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	地域経済産業論A(事創) 新潟と地域政策B	徳田 *渡辺*	3F講義室(4) 3F講義室(5)				企業内実習Ⅲ(臨地実務実習)					
2限	ビジネスコミュニケーションA(事創) アントレプレナーシップ論B(事創)	原岡 近藤	3F講義室(4) 3F講義室(5)	会社設立実習ⅠA(事創)	福田	5F演習室(1)(2)	企業内実習Ⅲ(臨地実務実習)					
3限	ビジネスコミュニケーションB(事創) アントレプレナーシップ論A(事創)	原岡 近藤	3F講義室(4) 3F講義室(5)	会社設立実習ⅠA(事創) 英語プレゼンテーション演習ⅡB(事創)	福田 *グレッグディック*	5F演習室(1)(2) 5F講義室(18)	企業内実習Ⅲ(臨地実務実習)					
4限	地域経済産業論B(事創) 新潟と地域政策A	徳田 *渡辺*	3F講義室(4) 3F講義室(5)	会社設立実習ⅠB(事創) 英語プレゼンテーション演習ⅡA(事創)	原岡 *グレッグディック*	5F演習室(1)(2) 5F講義室(18)	企業内実習Ⅲ(臨地実務実習)					
5限				会社設立実習ⅠB(事創)	原岡	5F演習室(1)(2)	企業内実習Ⅲ(臨地実務実習)					
備考												

【金曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限							会社設立実習Ⅲ(事創)	福田	5F演習室(1)(2)			
2限	ビジネスプランの基礎A(事創) 経営戦略論B(事創)	古屋 星	3F講義室(3) 3F講義室(7)	地域資源活用の理論と方法A	*渡辺*	3F講義室(3)	会社設立実習Ⅲ(事創)	福田	5F演習室(1)(2)	地域産業研究Ⅷカルチャー(事創)	高松	4F講義室(16)
3限	ビジネスプランの基礎B(事創) 英語コミュニケーションⅡA(事創)	古屋 *グレッグディック*	3F講義室(3) 3F講義室(5)	地域資源活用の理論と方法B	*渡辺*	3F講義室(3)	会社設立実習Ⅲ(事創)	福田	5F演習室(1)(2)	事業計画策定総合実習	学部長以外の教授・准教授	9教室 実習・演習
4限	経営戦略論A(事創) 英語コミュニケーションⅡB(事創)	星 *グレッグディック*	3F講義室(6) 3F講義室(5)	実践ベンチャービジネスA(事創) 実践日本ビジネス法B(事創)	古屋 大野	4F講義室(15) 4F講義室(16)	会社設立実習Ⅲ(事創)	福田	5F演習室(1)(2)	事業計画策定総合実習	学部長以外の教授・准教授	9教室 実習・演習
5限				実践ベンチャービジネスB(事創) 実践日本ビジネス法A(事創)	古屋 大野	3F講義室(6) 3F講義室(5)	企業リスク管理実践(事創)	大野	4F講義室(15)			
備考												

※臨地実務実習は上記には含まず。

完成年度の事業創造学部事業創造学科時間割案（2023年度 ④期）

＜凡例＞
・担当者欄の斜字：兼担教員／兼任教員

【月曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	現代社会学	土岐	3F講義室(4)	企業内実習Ⅱ(臨地実務実習)			ソーシャルデザイン実習A(事創) 地域資源活用実習B(事創)	渡辺 西村	1F演習・実習室 3F実習室(1)	中国語コミュニケーション	*崔*	4F講義室(15)
2限	現代の科学技術	田代	3F講義室(4)	企業内実習Ⅱ(臨地実務実習)			ソーシャルデザイン実習A(事創) 地域資源活用実習B(事創)	渡辺 西村	1F演習・実習室 3F実習室(1)			
3限	現代史と国際関係論	増田	3F講義室(3)	企業内実習Ⅱ(臨地実務実習)			広報戦略の実践(事創)	高松	3F講義室(7)			
4限	現代企業論B(事創)	美甘	3F講義室(4)	企業内実習Ⅱ(臨地実務実習)			ソーシャルデザイン実習B(事創) 地域資源活用実習A(事創)	渡辺 西村	1F演習・実習室 3F実習室(1)	韓国語コミュニケーション	*黄*	4F講義室(15)
5限	現代企業論A(事創)	美甘	3F講義室(4)	企業内実習Ⅱ(臨地実務実習)			ソーシャルデザイン実習B(事創) 地域資源活用実習A(事創)	渡辺 西村	1F演習・実習室 3F実習室(1)	ロシア語コミュニケーション	*中谷*	4F講義室(15)
備考												

【火曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限				地域産業研究Ⅲ環境(事創)	櫻井	3F講義室(5)	不動産取引演習 国際動態論	石川 増田	3F講義室(5) 3F講義室(4)			
2限	デジタルマーケティングA(事創)	向	3F講義室(3)	会社設立実習ⅠB(事創)	原岡	5F演習室(3)(4)	地域産業研究Ⅴ観光(事創) 国際動態論	*寺前* 増田	3F講義室(7) 3F講義室(4)			
3限				会社設立実習ⅠB(事創)	原岡	5F演習室(3)(4)	資金調達の実践B(事創)	松澤	4F講義室(16)			
4限	デジタルマーケティングB(事創)	向	3F講義室(6)	会社設立実習ⅠA(事創)	福田	5F演習室(3)(4)	企業内実習Ⅲ(臨地実務実習)					
5限				会社設立実習ⅠA(事創)	福田	5F演習室(3)(4)	企業内実習Ⅲ(臨地実務実習)					
備考												

【水曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	企業内実習Ⅰ(臨地実務実習)						資金調達の実践A(事創)	松澤	4F講義室(15)			
2限	企業内実習Ⅰ(臨地実務実習)			ソーシャルデザインⅠA(事創) 経営戦略策定演習B(事創)	渡辺 星	3F講義室(6) 4F講義室(18)	ICT活用ビジネス(事創)	原岡	3F講義室(7)			
3限	企業内実習Ⅰ(臨地実務実習)			ソーシャルデザインⅠB(事創) 経営戦略策定演習A(事創)	渡辺 星	3F講義室(6) 4F講義室(18)	事業承継演習	*銀行*	3F講義室(7)			
4限	企業内実習Ⅰ(臨地実務実習)			消費者行動研究(事創)	伊藤	3F講義室(6)	事業承継演習	*銀行*	3F講義室(7)			
5限	企業内実習Ⅰ(臨地実務実習)			地域産業研究Ⅲ環境(事創)	増田	3F講義室(5)	グローバル社長学(事創)	高松	4F講義室(16)			
備考												

【木曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	地域経済産業論A(事創) 新潟と地域政策B	徳田 *渡辺*	3F講義室(4) 3F講義室(5)				企業内実習Ⅲ(臨地実務実習)					
2限	ビジネスコミュニケーションA(事創) アントレプレナーシップ論B	原岡 近藤	3F講義室(4) 3F講義室(5)	会社設立実習ⅠA(事創)	福田	5F演習室(3)(4)	企業内実習Ⅲ(臨地実務実習)					
3限	ビジネスコミュニケーションB(事創) アントレプレナーシップ論A	原岡 近藤	3F講義室(4) 3F講義室(5)	会社設立実習ⅠA(事創) 英語プレゼンテーション演習ⅡB(事創)	福田 *グレッグディック*	5F演習室(3)(4) 4F講義室(18)	企業内実習Ⅲ(臨地実務実習)					
4限	地域経済産業論B(事創) 新潟と地域政策A	徳田 *渡辺*	3F講義室(4) 3F講義室(5)	会社設立実習ⅠB(事創) 英語プレゼンテーション演習ⅡA(事創)	原岡 *グレッグディック*	5F演習室(3)(4) 4F講義室(18)	企業内実習Ⅲ(臨地実務実習)					
5限				会社設立実習ⅠB(事創)	原岡	5F演習室(3)(4)	企業内実習Ⅲ(臨地実務実習)					
備考	トップランナー研究※集中(事創)											

【金曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限							会社設立実習Ⅲ(事創)	福田	5F演習室(1)(2)			
2限	ビジネスプランの基礎A(事創) 経営戦略論B(事創)	古屋 星	3F講義室(3) 3F講義室(7)	地域資源活用の理論と方法A	*渡辺*	3F講義室(3)	会社設立実習Ⅲ(事創)	福田	5F演習室(1)(2)	地域産業研究Ⅶカルチャー(事創)	高松	3F講義室(5)
3限	ビジネスプランの基礎B(事創) 英語コミュニケーションⅡA(事創)	古屋 *グレッグディック*	3F講義室(3) 4F講義室(18)	地域資源活用の理論と方法B	*渡辺*	3F講義室(3)	会社設立実習Ⅲ(事創)	福田	5F演習室(1)(2)	事業計画策定総合実習	学部長以外の教授・准教授	9教室 実習・演習
4限	英語コミュニケーションⅡB(事創) 経営戦略論A(事創)	*グレッグディック* 星	3F講義室(6) 3F講義室(5)	実践ベンチャービジネスA(事創) 実践日本ビジネス法B(事創)	古屋 大野	4F講義室(15) 4F講義室(16)	会社設立実習Ⅲ(事創)	福田	5F演習室(1)(2)	事業計画策定総合実習	学部長以外の教授・准教授	9教室 実習・演習
5限				実践ベンチャービジネスB(事創) 実践日本ビジネス法A(事創)	古屋 大野	3F講義室(6) 3F講義室(7)	企業リスク管理実践(事創)	大野	4F講義室(15)			
備考												

※臨地実務実習は上記には含まず。

完成年度の情報学部情報学科時間割案（2023年度　①期）

＜凡例＞
・担当者欄の斜字：兼担教員／兼任教員
（黄）色セルは紫竹山キャンパスでの授業　（青）色セルは隣地実務実習

【月曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	情報リテラシーA	宮元	3F情報処理実習室	現代産業論 現代実践法学	*美甘* *藤島*	3F講義室(3) 1F講義室(1)	現代史と国際関係論	*増田*	3F講義室(4)			
2限	情報リテラシーA 日本語コミュニケーションB	宮元 *常木*	3F情報処理実習室 5F講義室(4)				現代企業論	*美甘*	4F講義室(10)			
3限	情報リテラシーB 日本語コミュニケーションA	宮元 *常木*	3F情報処理実習室 5F講義室(4)	デザイン・シンキング実習ＩA データベース演習B	石塚・*森下* 鈴木	6F実験・実習室(1) 6F実験・実習室(2)	AI実習	堀川 平川	7F実験・実習室(4) 7F実験・実習室(5)			
4限	情報リテラシーB	宮元	3F情報処理実習室	デザイン・シンキング実習ＩA データベース演習B	石塚・*森下* 鈴木	6F実験・実習室(1) 6F実験・実習室(2)	AI実習	堀川 平川	7F実験・実習室(4) 7F実験・実習室(5)			
5限				現代経済学	*徳田*	1F講義室(1)				ICT活用総合実習	田代・鈴木・堀川・金宮・上野・平川・石塚・柄沢・磯西・宮元・高嶋・後藤・西川・パン	
備考												

【火曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限				現代社会学B 英語プレゼンテーション演習ＩA	土岐 *グレゴリーディック*	3F講義室(2) 7F実験・実習室(4)						
2限	データ構造とアルゴリズム	堀川 後藤	3F講義室(3) 3F講義室(4)	現代社会学A 英語プレゼンテーション演習ＩB	土岐 *グレゴリーディック*	3F講義室(2) 7F実験・実習室(4)						
3限	英語コミュニケーションＩB ビジネスモラルA	*マカヴィンタ* *唐木*	3F講義室(3) 3F講義室(4)	デザイン・シンキング実習ＩB データベース演習A	石塚・森下 柄沢	7F実験・実習実(4) 7F実験・実習室(5)	データサイエンス実習 IoT実習 クラウドベーシック&マーケティング	*瀬谷* 磯西 西川	6F実験・実習室(1) 7FIoT実習室 6F実験・実習室(3)	ICT演習（マシンラーニング）	平川	3F演習室(1)
4限	英語コミュニケーションＩA ビジネスモラルB	*マカヴィンタ* *唐木*	3F講義室(4) 3F講義室(3)	デザイン・シンキング実習ＩB データベース演習A	石塚・*森下* 柄沢	7F実験・実習実(4) 7F実験・実習室(5)	データサイエンス実習 IoT実習 クラウドベーシック&マーケティング	*瀬谷* 磯西 西川	6F実験・実習室(1) 7FIoT実習室 6F実験・実習室(3)	ICT演習（マシンラーニング）	平川	3F演習室(1)
5限												
備考												

【水曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	情報科学基礎A 情報の基礎B	平川 田代	3F講義室(2) 3F講義室(3)	ソーシャルデザインＩB 情報と経営A	*渡辺* 宮元	7F実験・実習室(4) 6F講義室(6)	サイバーセキュリティ実習B デザイン・シンキング実習ⅡA	髙嶋 石塚	サイバーセキュリティールーム 6F実験・実習室(1)			
2限	情報の基礎A 情報科学基礎B	田代 平川	3F講義室(2) 3F講義室(3)	ソーシャルデザインＩA 情報と経営B	*渡辺* 宮元	7F実験・実習室(4) 6F講義室(6)	サイバーセキュリティ実習B デザイン・シンキング実習ⅡA	髙嶋 石塚	サイバーセキュリティールーム 6F実験・実習室(1)			
3限	コンピュータアーキテクチャA	磯西	3F講義室(3)	マーケティングB サイバーセキュリティ演習A	宮元 後藤	6F講義室(6) 7F実験・実習室(4)	サイバーセキュリティ実習A デザイン・シンキング実習ⅡB	髙嶋 石塚	サイバーセキュリティールーム 6F実験・実習室(1)	データマイニング演習	*瀬谷*	6F実験・実習室(2)
4限	コンピュータアーキテクチャB	磯西	3F講義室(3)	マーケティングA サイバーセキュリティ演習B	宮元 後藤	6F講義室(6) 7F実験・実習室(4)	サイバーセキュリティ実習A デザイン・シンキング実習ⅡB	髙嶋 石塚	サイバーセキュリティールーム 6F実験・実習室(1)	情報と英語	金宮	6F実験・実習室(2)
5限										ICT活用総合実習	田代・鈴木・堀川・金宮・上野・平川・石塚・柄沢・磯西・宮元・高嶋・後藤・西川・パン	
備考												

【木曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限				ネットワークプログラミング実習A	上野 パン	7F実験・実習室(4) 7F実験・実習室(5)	ソーシャルデザインⅡB 情報と倫理A	*渡辺* 大野	3F演習室(1) 5F講義室(4)			
2限	データ構造とアルゴリズム	堀川 後藤	3F講義室(2) 3F講義室(3)	ネットワークプログラミング実習A 情報産業論B	上野 パン 田代	7F実験・実習室(4) 7F実験・実習室(5) 6F講義室(6)	ソーシャルデザインⅡA 情報と倫理B	*渡辺* 大野	3F演習室(1) 5F講義室(4)	クラウドプラットフォーム実習Ⅱ マシンラーニング実習 ロボティクス実習	西川 平川 金宮	6F実験・実習室(1) 6F実験・実習室(2) 7FIoT実習室
3限	キャリアデザインＩA コンピュータアーキテクチャB	*北野* 磯西	3F講義室(3) 3F講義室(2)	ネットワークプログラミング実習B 情報産業論A	髙嶋 パン 田代	7F実験・実習室(4) 7F実験・実習室(5) 6F講義室(6)				クラウドプラットフォーム実習Ⅱ マシンラーニング実習 ロボティクス実習	西川 平川 金宮	6F実験・実習室(1) 6F実験・実習室(2) 7FIoT実習室
4限	キャリアデザインＩB コンピュータアーキテクチャA	*北野* 磯西	3F講義室(3) 3F講義室(2)	ネットワークプログラミング実習B	髙嶋 パン	7F実験・実習室(4) 7F実験・実習室(5)	ICT演習（クラウド）	西川	3F演習室(1)			
5限				システム開発技術	上野	6F実験・実習室(2)	ICT演習（クラウド）	西川	3F演習室(1)			
備考												

【金曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限							国際文化と伝統A 分散型台帳技術B	三上 上野	5F講義室(4) 3F演習室(1)	ICT演習（IoT）	金宮	7FIoT実習室
2限	線形代数B	髙嶋	3F講義室(3)	クラウド技術概論	磯西	5F講義室(4)	国際文化と伝統B 分散型台帳技術A	三上 上野	5F講義室(4) 3F演習室(1)	ICT演習（IoT）	金宮	7FIoT実習室
3限	線形代数A	上野	3F講義室(3)	知識表現・知識処理A 統計学B	堀川 鈴木	3F演習室(5) 5F講義室(4)	IoT実習 データサイエンス実習	磯西 瀬谷	7FIoT実習室 6F実験・実習室(2)			
4限				統計学A 知識表現・知識処理B	鈴木 堀川	5F講義室(4) 3F演習室(5)	IoT実習 データサイエンス実習	磯西 *瀬谷*	7FIoT実習室 6F実験・実習室(2)			
5限												
備考							マーケティング実践A　※集中 マーケティング実践B　※集中			ソーシャルデザイン実習A　※集中 ソーシャルデザイン実習B　※集中		

完成年度の情報学部情報学科時間割案（2023年度　②期）

＜凡例＞
・担当者欄の斜字：兼担教員／兼任教員　　（黄）色セルは紫竹山キャンパスでの授業　（青灰）色セルは隣地実務実習

【月曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	日本語コミュニケーションB 英語コミュニケーションⅠA	*常木* *マカヴィンタ*	3F講義室(2) 3F講義室(3)	現代産業論 現代実践法学	*美甘* *藤島*	3F講義室(3) 1F講義室(1)	現代史と国際関係論	*増田*	4F講義室(10)	ICT活用総合実習	田代・鈴木・堀川・金宮・上野・平川・石塚・柄沢・磯西・宮元・高嶋・後藤・西川・パン	
2限	日本語コミュニケーションA 英語コミュニケーションⅠB	*常木* *マカヴィンタ*	3F講義室(3) 3F講義室(2)				現代企業論	*美甘*	4F講義室(10)	ICT活用総合実習	田代・鈴木・堀川・金宮・上野・平川・石塚・柄沢・磯西・宮元・高嶋・後藤・西川・パン	
3限				データサイエンス演習 IoT演習	*瀬谷* 磯西	6F実験・実習室(1) 7FIoT実習室	AI実習	堀川 平川	7F実験・実習室(4) 7F実験・実習室(5)			
4限				データサイエンス演習 IoT演習	*瀬谷* 磯西	6F実験・実習室(1) 7FIoT実習室	AI実習	堀川 平川	7F実験・実習室(4) 7F実験・実習室(5)			
5限				現代経済学	*徳田*	1F講義室(1)						
備考												

【火曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	情報科学基礎A オペレーティングシステムB	平川 柄沢	3F講義室(3) 3F講義室(2)	情報産業論B	田代	6F講義室(6)						
2限	情報科学基礎B オペレーティングシステムA	平川 後藤	3F講義室(3) 3F講義室(2)	情報産業論A キャリアデザインⅡB	田代 *北野*	6F講義室(6) 5F講義室(4)						
3限	プログラミングⅠ	堀川 柄沢	3F講義室(2) 3F講義室(3)	サイバーセキュリティ演習B キャリアデザインⅡA	後藤 *北野*	7F実験・実習室(4) 5F講義室(4)	クラウドプラットフォーム実習Ⅰ マシンラーニング ハードウェア設計	西川 平川 金宮	6F実験・実習室(1) 6F実験・実習室(2) 7FIoT実習室			
4限				サイバーセキュリティ演習A	後藤	7F実験・実習室(4)	クラウドプラットフォーム実習Ⅰ マシンラーニング ハードウェア設計	西川 平川 金宮	6F実験・実習室(1) 6F実験・実習室(2) 7FIoT実習室			
5限				ICT演習(ﾊｰﾄﾞｳｪｱ/ｿﾌﾄｳｪｱ)	パン	3F演習室(1)						
備考												

【水曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	現代社会学B 情報通信ネットワークA	*土岐* 上野	3F講義室(2) 3F講義室(3)				サイバーセキュリティ実習B	高嶋	サイバーセキュリティルーム			
2限	現代社会学A 情報通信ネットワークB	*土岐* 上野	3F講義室(3) 3F講義室(2)	マーケティングB 統計学A	宮元 鈴木	5F講義室(4) 5F講義室(5)	サイバーセキュリティ実習B	高嶋	サイバーセキュリティルーム			
3限	システムモデリングA	柄沢	3F講義室(3)	マーケティングA 統計学B	宮元 鈴木	5F講義室(5) 5F講義室(4)	サイバーセキュリティ実習A	高嶋	サイバーセキュリティルーム	データマイニング演習	*瀬谷*	3F演習室(1)
4限	システムモデリングB	柄沢	3F講義室(3)	情報と経営A ソーシャルデザインⅠA	宮元 *渡辺*	5F講義室(4) 5F講義室(5)	サイバーセキュリティ実習A	高嶋	サイバーセキュリティルーム	情報と英語	金宮	3F演習室(1)
5限				情報と経営B ソーシャルデザインⅠB	宮元 *渡辺*	5F講義室(5) 5F講義室(4)						
備考												

【木曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	オペレーティングシステムA オペレーティングシステムB	後藤 柄沢	3F講義室(2) 3F講義室(3)	クラウド技術概論	磯西	6F講義室(6)	ソーシャルデザインⅡA 分散型台帳技術B	*渡辺* 上野	3F演習室(1) 6F実験・実習室(3)			
2限				ネットワークプログラミング実習B	高嶋 パン	7F実験・実習室(4) 7F実験・実習室(5)	ソーシャルデザインⅡB 分散型台帳技術A	*渡辺* 上野	3F演習室(1) 6F実験・実習室(3)	クラウドプラットフォーム実習Ⅱ マシンラーニング実習 ロボティクス実習	西川 平川 金宮	6F実験・実習室(1) 6F実験・実習室(2) 7FIoT実習室
3限				ネットワークプログラミング実習B 現代社会学A	高嶋 パン 土岐	7F実験・実習室(4) 7F実験・実習室(5) 3F講義室(2)	ICT演習(応用情報)	柄沢	3F演習室(1)	クラウドプラットフォーム実習Ⅱ マシンラーニング実習 ロボティクス実習	西川 平川 金宮	6F実験・実習室(1) 6F実験・実習室(2) 7FIoT実習室
4限				ネットワークプログラミング実習A 現代社会学B	上野 パン 土岐	7F実験・実習室(4) 7F実験・実習室(5) 3F講義室(2)	ICT演習(応用情報)	柄沢	3F演習室(1)			
5限				ネットワークプログラミング実習A	上野 パン	7F実験・実習室(4) 7F実験・実習室(5)						
備考												

【金曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限				データベース演習	鈴木 柄沢	6F実験・実習室(1) 6F実験・実習室(2)	キャリアデザインⅢA 国際文化と伝統B	*北野* 三上	5F講義室(4) 5F講義室(5)			
2限	プログラミングⅠ	堀川 柄沢	3F講義室(2) 3F講義室(3)	データベース演習	鈴木 柄沢	6F実験・実習室(1) 6F実験・実習室(2)	キャリアデザインⅢB 国際文化と伝統A	*北野* 三上	5F講義室(5) 5F講義室(4)			
3限	線形代数B	高嶋	3F講義室(3)	英語プレゼンテーション演習ⅠA 知識表現・知識処理B	*グレゴリーディック* 堀川	6F実験・実習室(1) 6F実験・実習室(2)	クラウドプラットフォーム実習Ⅰ	西川	7F実験・実習室(4)	ICT演習(セキュリティスペシャリスト)	高嶋	6F実験・実習室(3)
4限	線形代数A	上野	3F講義室(3)	英語プレゼンテーション演習ⅠB 知識表現・知識処理A	*グレゴリーディック* 堀川	6F実験・実習室(1) 6F実験・実習室(2)	クラウドプラットフォーム実習Ⅰ	西川	7F実験・実習室(4)	ICT演習(セキュリティスペシャリスト)	高嶋	6F実験・実習室(3)
5限				システム開発技術	上野	6F実験・実習室(3)						
備考				トップランナー研究　※集中			マーケティング実践A　※集中 マーケティング実践B　※集中			ソーシャルデザイン実習A　※集中 ソーシャルデザイン実習B　※集中		

完成年度の情報学部情報学科時間割案（2023年度　③期）

＜凡例＞
・担当者欄の斜字：　兼担教員／兼任教員　　色セルは紫竹山キャンパスでの授業　　色セルは隣地実務実習

【月曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	微分積分B 微分積分A	平川 髙嶋	3F講義室(2) 3F講義室(3)	臨地実務実習Ⅰ			臨地実務実習Ⅱ			中国語コミュニケーション	*崔*	3F講義室(3)
2限	情報セキュリティB 社会心理・消費者行動A	後藤 宮元	3F講義室(2) 3F講義室(3)									
3限	情報セキュリティA 社会心理・消費者行動B	後藤 宮元	3F講義室(3) 3F講義室(2)									
4限	プログラミングⅡ	髙嶋 柄沢	6F実験・実習室(1) 6F実験・実習室(2)							韓国語コミュニケーション	*黄*	3F講義室(3)
5限										ロシア語コミュニケーション	*中谷*	3F講義室(3)
備考												

【火曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限				臨地実務実習Ⅰ			臨地実務実習Ⅱ					
2限	英語コミュニケーションⅡA	マカヴィンタ	3F講義室(3)									
3限	英語コミュニケーションⅡB	マカヴィンタ	3F講義室(3)									
4限												
5限												
備考												

【水曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	ネットワーク演習	上野 後藤	7F実験・実習室(4) 7F実験・実習室(5)	臨地実務実習Ⅰ			臨地実務実習Ⅱ					
2限	データベースの基礎	鈴木 柄沢	5F講義室(4) 5F講義室(5)									
3限	プログラミングⅡ	髙嶋 柄沢	6F実験・実習室(1) 6F実験・実習室(2)									
4限										ICT活用総合実習	田代・鈴木・堀川・倉宮・上野・平川・石塚・納沢・磯貝・宮元・髙嶋・後藤・西川・パン	
5限										ICT活用総合実習	田代・鈴木・堀川・倉宮・上野・平川・石塚・納沢・磯貝・宮元・髙嶋・後藤・西川・パン	
備考												

【木曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	情報と法律A デザイン・シンキング概論B	大野 石塚	3F講義室(2) 3F講義室(3)	臨地実務実習Ⅰ			臨地実務実習Ⅱ					
2限	情報と法律B デザイン・シンキング概論A	大野 石塚	3F講義室(3) 3F講義室(2)									
3限	確率論A	鈴木	3F講義室(2)									
4限	確率論B	鈴木	3F講義室(2)									
5限												
備考												

【金曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限				臨地実務実習Ⅰ			臨地実務実習Ⅱ					
2限	サイバーフィジカルシステム基礎A	金宮	3F講義室(2)									
3限	サイバーフィジカルシステム基礎A 新潟と地域社会B	金宮 *宮下*	3F講義室(2) 3F講義室(3)									
4限	サイバーフィジカルシステム基礎B 新潟と地域社会A	金宮 *宮下*	3F講義室(3) 3F講義室(2)									
5限	サイバーフィジカルシステム基礎R	金宮	3F講義室(3)									
備考												

完成年度の情報学部情報学科時間割案（2023年度　④期）

＜凡例＞
・担当者欄の斜字：　兼担教員／兼任教員
（黄）色セルは紫竹山キャンパスでの授業　（青）色セルは隣地実務実習

【月曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限				現代の科学技術	田代	3F講義室(5)				中国語コミュニケーション	*崔*	3F講義室(3)
2限	社会心理・消費者行動A 情報セキュリティB	宮元 後藤	3F講義室(3) 3F講義室(2)	現代の科学技術	田代	3F講義室(5)						
3限	社会心理・消費者行動B 情報セキュリティA	宮元 後藤	3F講義室(2) 3F講義室(3)	英語プレゼンテーション演習ⅡA	*グレゴリーディック*	6F実験・実習室(1)	臨地実務実習Ⅱ					
4限				英語プレゼンテーション演習ⅡA	*グレゴリーディック*	6F実験・実習室(1)				韓国語コミュニケーション	*黄*	3F講義室(3)
5限										ロシア語コミュニケーション	*中谷*	3F講義室(3)
備考												

【火曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	没入型コンピューティングB 英語コミュニケーションⅡA	江口 *マカヴィンタ*	3F演習室(1) 3F講義室(3)	ユーザエクスペリエンス	石塚	6F実験・実習室(1)				国際動態論	*増田*	3F講義室(6)
2限	没入型コンピューティングA 英語コミュニケーションⅡB	江口 *マカヴィンタ*	3F演習室(1) 3F講義室(3)	ユーザエクスペリエンス	石塚	6F実験・実習室(1)				国際動態論	*増田*	3F講義室(6)
3限	没入型コンピューティングB	江口	3F演習室(1)				臨地実務実習Ⅱ					
4限	没入型コンピューティングA	江口	3F演習室(1)	API実習	堀川 西川	6F実験・実習室(1) 6F実験・実習室(2)				ICT演習(データベーススペシャリスト)	鈴木	7F実験・実習室(4)
5限				API実習	堀川 西川	6F実験・実習室(1) 6F実験・実習室(2)				ICT演習(データベーススペシャリスト)	鈴木	7F実験・実習室(4)
備考												

【水曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限				ICT演習(セキュリティ)	西川	6F実験・実習室(1)						
2限	ネットワーク演習	上野 後藤	7F実験・実習室(4) 7F実験・実習室(5)	ICT演習(セキュリティ)	西川	6F実験・実習室(1)						
3限	データベースの基礎	鈴木 柄沢	5F講義室(4) 5F講義室(5)	英語プレゼンテーション演習ⅡB	*グレゴリーディック*	3F講義室(2)	臨地実務実習Ⅱ					
4限				英語プレゼンテーション演習ⅡB	*グレゴリーディック*	3F講義室(2)				ICT活用総合実習	田代・鈴木・堀川・金宮・上野・平川・石塚・柄沢・磯西・宮元・高嶋・後藤・西川・パン	
5限										ICT活用総合実習	田代・鈴木・堀川・金宮・上野・平川・石塚・柄沢・磯西・宮元・高嶋・後藤・西川・パン	
備考												

【木曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	デザイン・シンキング概論B 情報と法律A	石塚 大野	3F講義室(3) 3F講義室(2)	ICT演習(基本情報)	パン	6F実験・実習室(1)				ICT演習(組み込みシステム)	金宮	7FIoT実習室
2限	デザイン・シンキング概論A 情報と法律B	石塚 大野	3F講義室(2) 3F講義室(3)	ICT演習(基本情報)	パン	6F実験・実習室(1)				ICT演習(組み込みシステム)	金宮	7FIoT実習室
3限	確率論A 微分積分B	鈴木 平川	3F講義室(2) 3F講義室(2)	API実習	堀川 西川	6F実験・実習室(1) 6F実験・実習室(2)	臨地実務実習Ⅱ					
4限	確率論B 微分積分A	鈴木 高嶋	3F講義室(2) 3F講義室(2)	API実習	堀川 西川	6F実験・実習室(1) 6F実験・実習室(2)						
5限												
備考												

【金曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	新潟と地域社会A	*宮下*	3F講義室(2)									
2限	新潟と地域社会B	*宮下*	3F講義室(2)	没入型コンピューティング実習	江口	7F実験・実習室(4)						
3限				没入型コンピューティング実習	江口	7F実験・実習室(4)	臨地実務実習Ⅱ					
4限				没入型コンピューティング実習	江口	7F実験・実習室(4)						
5限				没入型コンピューティング実習	江口	7F実験・実習室(4)						
備考	トップランナー研究　※集中											

設置の趣旨等を記載した書類

【資料 39】

開志専門職大学 総務会規程（案）

（目　的）

第１条　この規程は、開志専門職大学 学則（以下「学則」という。）第９条の規定に基づき、総務会について必要な事項を定めるものとする。

（審議事項）

第２条　総務会は、学則第９条第３項に掲げる、次の全学的な重要事項について審議する。

（１）　教育研究環境の整備に関すること

（２）　学則その他重要な規程の制定・改廃に関すること

（３）　教育職員人事に関すること

（４）　学生の定員に関すること

（５）　学生の生活、身分に関する重要な事項について

（６）　理事会が諮問する事項について

（７）　学長が諮問する事項について

（８）　教育研究に関する全学的な重要事項について

（９）　各学部・学科間の調整事項について

(10) その他専門職大学運営に関する重要な事項について

（委員会設置）

第３条　総務会は、必要に応じて個別の議案を審議させるための専門委員会（以下「委員会」という）を置くことができる。

２　委員会における審議結果は総務会に報告し、学長の承認を経なければならない。

３　委員会に関する規程は、別に定める。

（議　長）

第４条　総務会に議長を置き、学長をもって充てる。

２　議長は、総務会を主宰する。

（開　催）

第５条　総務会は、原則として、毎月１回開催する。

２　前項の規定にかかわらず、議長は，必要に応じて臨時に総務会を開催することができる。

（議案の提出）

第６条　議案は、議長が提出する。

２　前項の規定にかかわらず、当該総務会構成員は、その３分の１以上の連署をもって議案を提出することができる。

（議　事）

第７条　総務会は、公務により出張中の者、休職者及び３０日以上の病気休暇中の者並びに大学が企画運営する行事により欠席する者を除き、議題ごとに当該議決権を有する者の３分の２以上の出席がなければ議事を行うことができない。

２　総務会の議事は、他に特別の定めのある場合を除き、議決権を有する出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

（構成員以外の者の出席）

第８条　総務会は、必要に応じて構成員以外の者を総務会に出席させ、意見を聴くことができる。

（審議事項の報告）

第９条　第２条の規定に基づき審議された事項のうち、大学の円滑な運営を図るために教授会への報告が必要とされる事項については、議長を通じて教授会に報告しなければならない。

（庶　務）

第１０条　総務会の庶務は、事務局総務課総務担当が処理する。

（規程の改廃）

第１１条　この規程の改廃は、総務会の議を経て学長が行う。

（運営の細目）

第１２条　この規程に定めるもののほか、総務会の運営について必要な事項は、総務会の議を経て議長が別に定める。

附　則

この規程は，令和２年４月１日から施行する。

設置の趣旨等を記載した書類

【資料 40】

開志専門職大学 教授会規程 (案)

（趣　旨）

第１条　この規程は、開志専門職大学学則（以下「学則」という。）第１０条第６項の規定に基づき、開志専門職大学（以下「本学」という。）に置く教授会の組織、運営等について定める。

（設　置）

第２条　学則第１０条第１項の規定に基づき、本学に教授会を置く。

（構　成）

第３条　教授会は、学部教授会とし、学則第１０条第２項の規定に基づき、学部の専任の教授をもって構成する。

２　同条同項のただし書きにより、その他の教職員を加える場合にあたっては、准教授及び講師、助教を構成員とする。

３　助手は準構成員とする。

４　前項による取扱いは教授会に諮り、総務会の議を経て学長が決定する。

（審議事項）

第４条　教授会は、学則第１０条第３項に定める次の重要事項について、学長が決定を行うに当たり、審議した結果を学長に意見として述べるものとする。

（1）　学生の入学、卒業に関すること

（2）　学位の授与に関すること

（3）　教育・研究の基本方針に関すること

（4）　教育課程及び履修方式に関すること

（5）　学生の指導、賞罰及び除籍に関すること

２　教授会は、学則第１０条第４項の規定に基づき、前項各号に掲げるもののほか、学長及び学部長等（以下「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議する。

３　教授会は、学則第１０条第５項の規定に基づき、前項で審議した事項について、学長等の求めがあった場合、その結果を学長等に意見として述べることができる。

（会　議）

第５条　教授会に議長を置き、学部長をもって充てる。ただし、やむを得ない事故があるときは、あらかじめ学部長の指名した者がその職務を代行する。

２　議長は、教授会を主宰する。

３　教授会は、原則として、毎月１回開催するものとする。ただし、議長が必要と認めた場合は、臨時に会議を招集することができる。

４　教授会構成員の３分の１以上が開催を要求したときは、議長は教授会を招集しなければならない。

（会議の成立要件）

第６条　教授会は、構成員（授業中、やむを得ない理由による学生指導中、海外出張中及び休職中の者を除く。）の３分の２以上の出席がなければ開くことができない。

（代議員会）

第７条　教授会は、教授会に属する一部の者をもって構成される代議員会を置くことができる。

２　前項の代議員会の組織運営については、教授会に諮り、総務会の議を経て学長が定める。

（委　任）

第８条　教授会は、次に掲げる審議事項について、代議員会に委任することができる。

（１）学生の入学、卒業に関すること

（２）学位の授与に関すること

２　その他代議員会に委任することができる審議事項については、教授会に諮り、総務会の議を経て学長が定めることができる。

３　教授会は、代議員会に対してその審議結果等の報告を求めるものとする。

（議事の議決）

第９条　議事の議決は、出席者の過半数の賛成をもって決する。ただし、可否同数のときは、議長の決するところによる。

２　教授会は、代議員会の議決をもって、教授会の議決とすることができる。

（委員会の設置）

第１０条　教授会は、専門の事項について審議する必要があるときは、専門的知見を持った教員から構成される委員会を置くことができる。

２　前項の委員会の組織運営については、教授会の議を経て学長が定める。

（構成員以外の出席）

第１１条　議長は、必要があるときは教授会の決定により教授会に加える者以外の者を出席させ、報告又は意見を求めることができる。

（議事の記録）
第１２条　教授会の議事の要旨を記録して、次回の定例教授会で確認を得るものとする。

（庶　務）
第１３条　教授会に関する事務並びに議事要旨の作成及び保管は、議長の指示に基づき、事務局総務課総務担当が行う。

（改　正）
第１４条　この規程の改正は、教授会に諮り、総務会の議を経て学長が行う。

（雑　則）
第１５条　この規程に定めるもののほか、教授会の運営に関し必要なことは、別に定める。

附　則

この規程は、令和２年４月１日から施行する。

設置の趣旨等を記載した書類

【資料 41】

開志専門職大学 自己点検・評価委員会規程（案）

（設　置）

第１条　開志専門職大学に自己点検・評価委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（目　的）

第２条　委員会は、本学学則第４条第１項及び第２項に定める自己点検及び評価並びに本学の職員以外の者による検証を円滑に実施するため、必要な事項を調査、審議または処理することを目的とする。

（所掌事項）

第３条　委員会の所掌事項は、次に揚げるとおりとする。

（１）自己点検・評価の方針の策定に関する事項

（２）自己点検・評価の企画立案、評価項目の設定、実施及びその結果の公表に関する事項

（３）学外者評価及び学外機関評価への対応及びその結果の公表に関する事項

（４）自己点検・評価、学外者評価及び学外機関評価の結果に基づく学長への改善方策及び改善計画の提言に関する事項

（５）その他自己点検・評価に関する事項

（組　織）

第４条　委員会は、次の各号に揚げる委員をもって組織する。

（１）教員　４名

（２）事務局総務課長　１名

（３）委員会が必要と認めた教員及び事務職員　若干名

（任　期）

第５条　委員の任期は１年とする。ただし再任を妨げない。

２　委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長及び副委員長）

第６条　委員会に、委員長及び副委員長を置く。

２　委員長は、学長が指名する。

３　副委員長は、委員のうちから委員長が指名する。

４　委員長は委員会を招集し、その議長となる。

５　副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代行する。

（会　議）

第７条　委員会は、委員の半数以上の出席をもって成立する。

２　議事の議決は、出席した委員の過半数をもって決する。ただし、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

（委員以外の者の出席）

第８条　委員会は、必要があると認めたときは、委員以外の者の出席を求め、説明または意見を聞くことができる。

（専門部会）

第９条　委員会は、必要があると認めたときは、委員会の中に専門部会を置くことができる。

２　専門部会の部会長は、委員のうちから委員長が委嘱する。

３　専門部会に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

（報　告）

第１０条　委員長は、委員会の審議が終了したときは、その結果を総務会に報告する。

２　委員長は、学則第９条で定める事項の審議結果の決定にあたっては、総務会の議を経て学長の承認を得なければならない。

（事　務）

第１１条　委員会の事務は、事務局総務課総務担当が行う。

（改　廃）

第１２条　この規程の改廃は、総務会の議を経て学長が行う。

（補　則）

第１３条　この規程に定めるもののほか、必要な事項は委員会が別に定める。

附　則

１　この規程は、令和２年４月１日から施行する。

開志専門職大学 産官学連携委員会規程（案）

（設　置）

第１条　開志専門職大学に産官学連携委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（目　的）

第２条　委員会は、産業界、国や地方公共団体等との連携を推進し、教育・研究の発展及び社会貢献に寄与するため、必要な事項を調査、審議または処理することを目的とする。

（所掌事項）

第３条　委員会の所掌事項は、次に揚げるとおりとする。

（１）産官学連携の推進に係る企画・立案に関する事項

（２）県、市町村、企業、地域団体等との協定推進に関する事項

（３）共同研究及び受託研究の受入審査に関する事項

（４）学内外機関または部署との連絡・調整に関する事項

（５）その他社会連携に関する事項

（組　織）

第４条　委員会は、次の各号に揚げる委員をもって組織する。

（１）教員　４名

（２）事務局社会連携推進課長　１名

（３）委員会が必要と認めた教員及び事務職員　若干名

（任　期）

第５条　委員の任期は１年とする。ただし再任を妨げない。

２　委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長及び副委員長）

第６条　委員会に、委員長及び副委員長を置く。

２　委員長は、学長が指名する。

３　副委員長は、委員のうちから委員長が指名する。

４　委員長は委員会を招集し、その議長となる。

５　副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代行する。

（会　議）

第７条　委員会は、委員の半数以上の出席をもって成立する。

２　議事の議決は、出席した委員の過半数をもって決する。ただし、可否同数のときは、

委員長の決するところによる。

（委員以外の者の出席）

第８条　委員会は、必要があると認めたときは、委員以外の者の出席を求め、説明または意見を聞くことができる。

（専門部会）

第９条　委員会は、必要があると認めたときは、委員会の中に専門部会を置くことができる。

２　専門部会の部会長は、委員のうちから委員長が委嘱する。

３　専門部会に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

（報　告）

第１０条　委員長は、委員会の審議が終了したときは、その結果を総務会に報告する。

２　委員長は、学則第９条で定める事項の審議結果の決定にあたっては、総務会の議を経て学長の承認を得なければならない。

（事　務）

第１１条　委員会の事務は、事務局社会連携推進課産官学連携担当が行う。

（改　廃）

第１２条　この規程の改廃は、総務会の議を経て学長が行う。

（補　則）

第１３条　この規程に定めるもののほか、必要な事項は委員会が別に定める。

附　則

１　この規程は、令和２年４月１日から施行する。

開志専門職大学 図書・情報委員会規程（案）

（設　置）

第１条　開志専門職大学に図書・情報委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（目　的）

第２条　委員会は、必要な図書及び情報環境を総合的に整備し、教育・研究の発展に寄与するため、必要な事項を調査、審議または処理することを目的とする。

（所掌事項）

第３条　委員会の所掌事項は、次に揚げるとおりとする。

（１）図書館の管理、運営及び企画に関する事項

（２）情報環境整備の管理、運営及び企画に関する事項

（３）図書館及び情報環境整備の予算に関する事項

（４）図書館及び情報環境整備に関する諸規程の制定及び改廃に関する事項

（５）その他図書館及び情報環境整備に関する事項

（組　織）

第４条　委員会は、次の各号に揚げる委員をもって組織する。

（１）図書館長　１名

（２）教員　４名（図書館長を含む）

（３）事務局総務課長　１名

（４）図書館専門職員　１名

（５）委員会が必要と認めた教員及び事務職員　若干名

（任　期）

第５条　委員の任期は１年とする。ただし再任を妨げない。

２　委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長及び副委員長）

第６条　委員会に、委員長及び副委員長を置く。

２　委員長は、図書館長をもって充てる。

３　副委員長は、委員のうちから委員長が指名する。

４　委員長は委員会を招集し、その議長となる。

５　副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代行する。

（会　議）

第７条　委員会は、委員の半数以上の出席をもって成立する。
２　議事の議決は、出席した委員の過半数をもって決する。ただし、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

（委員以外の者の出席）
第８条　委員会は、必要があると認めたときは、委員以外の者の出席を求め、説明または意見を聞くことができる。

（専門部会）
第９条　委員会は、必要があると認めたときは、委員会の中に専門部会を置くことができる。
２　専門部会の部会長は、委員のうちから委員長が委嘱する。
３　専門部会に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

（報　告）
第１０条　委員長は、委員会の審議が終了したときは、その結果を総務会に報告する。
２　委員長は、学則第９条で定める事項の審議結果の決定にあたっては、総務会の議を経て学長の承認を得なければならない。

（事　務）
第１１条　委員会の事務は、事務局総務課総務担当が行う。

（改　廃）
第１２条　この規程の改廃は、総務会の議を経て学長が行う。

（補　則）
第１３条　この規程に定めるもののほか、必要な事項は委員会が別に定める。

附　則
１　この規程は、令和２年４月１日から施行する。

開志専門職大学 教務委員会規程（案）

（設　置）

第１条　開志専門職大学に教務委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（目　的）

第２条　委員会は、教務を円滑に推進し教育の発展に寄与するため、必要な事項を調査、審議又は処理することを目的とする。

（所掌事項）

第３条　委員会の所掌事項は、次に揚げるとおりとする。

（１）教育課程の編成及び授業の実施に関する事項

（２）試験及び単位の認定に関する事項

（３）進級及び卒業に関する事項

（４）研究生、科目等履修生、聴講生等に関する事項

（５）その他教務に関する事項

（組　織）

第４条　委員会は、次の各号に揚げる委員をもって組織する。

（１）教員　４名

（２）事務局学務課長　１名

（３）委員会が必要と認めた教員及び事務職員　若干名

（任　期）

第５条　委員の任期は１年とする。ただし再任を妨げない。

２　委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長及び副委員長）

第６条　委員会に、委員長及び副委員長を置く。

２　委員長は、学長が指名する。

３　副委員長は、委員のうちから委員長が指名する。

４　委員長は委員会を招集し、その議長となる。

５　副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代行する。

（会　議）

第７条　委員会は、委員の半数以上の出席をもって成立する。

２　議事の議決は、出席した委員の過半数をもって決する。ただし、可否同数のときは、

委員長の決するところによる。

（委員以外の者の出席）

第８条　委員会は、必要があると認めたときは、委員以外の者の出席を求め、説明または意見を聞くことができる。

（専門部会）

第９条　委員会は、必要があると認めたときは、委員会の中に専門部会を置くことができる。

２　専門部会の部会長は、委員のうちから委員長が委嘱する。

３　専門部会に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

（報　告）

第１０条　委員長は、委員会の審議が終了したときは、その結果を教授会に報告する。

２　委員長は、学則第 10 条で定める事項の審議結果の決定にあたっては、教授会の議を経て学長の承認を得なければならない。

３　委員長は、前項の事項のほか、審議結果について教授会に意見を求めることができる。

（事　務）

第１１条　委員会の事務は、事務局学務課教務担当が行う。

（改　廃）

第１２条　この規程の改廃は、総務会の議を経て学長が行う。

（補　則）

第１３条　この規程に定めるもののほか、必要な事項は委員会が別に定める。

附　則

１　この規程は、令和２年４月１日から施行する。

開志専門職大学 学生委員会規程（案）

（設　置）

第１条　開志専門職大学に学生委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（目　的）

第２条　委員会は、学生生活について適切な指導・助言及び環境整備を行い、その充実に寄与するため、必要な事項を調査、審議または処理することを目的とする。

（所掌事項）

第３条　委員会の所掌事項は、次に揚げるとおりとする。

（１）学生の生活指導及び福利厚生に関する事項

（２）学生の休学、退学、復学等に関する事項

（３）学生の課外活動に関する事項

（４）奨学生及び授業料減免に関する事項

（５）学生の賞罰に関する事項

（６）保護者との情報交流に関する事項

（７）その他学生生活に関する事項

（組　織）

第４条　委員会は、次の各号に揚げる委員をもって組織する。

（１）教員　４名

（２）事務局学務課長　１名

（３）委員会が必要と認めた教員及び事務職員　若干名

（任　期）

第５条　委員の任期は１年とする。ただし再任を妨げない。

２　委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長及び副委員長）

第６条　委員会に、委員長及び副委員長を置く。

２　委員長は、学長が指名する。

３　副委員長は、委員のうちから委員長が指名する。

４　委員長は委員会を招集し、その議長となる。

５　副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代行する。

（会　議）

第７条　委員会は、委員の半数以上の出席をもって成立する。
２　議事の議決は、出席した委員の過半数をもって決する。ただし、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

（委員以外の者の出席）
第８条　委員会は、必要があると認めたときは、委員以外の者の出席を求め、説明または意見を聞くことができる。

（専門部会）
第９条　委員会は、必要があると認めたときは、委員会の中に専門部会を置くことができる。
２　専門部会の部会長は、委員のうちから委員長が委嘱する。
３　専門部会に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

（報　告）
第１０条　委員長は、委員会の審議が終了したときは、その結果を教授会に報告する。
２　委員長は、学則第 10 条で定める事項の審議結果の決定にあたっては、教授会の議を経て学長の承認を得なければならない。
３　委員長は、前項の事項のほか、審議結果について教授会に意見を求めることができる。

（事　務）
第１１条　委員会の事務は、事務局学務課学務担当が行う。

（改　廃）
第１２条　この規程の改廃は、総務会の議を経て学長が行う。

（補　則）
第１３条　この規程に定めるもののほか、必要な事項は委員会が別に定める。

附　則
１　この規程は、令和２年４月１日から施行する。

開志専門職大学 入試・広報委員会規程（案）

（設　置）

第１条　開志専門職大学に入試・広報委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（目　的）

第２条　委員会は、入学選考試験を効果的かつ円滑に推進し適正な入学者選抜を行うため、及び広報に関する全般的な検討、企画及び円滑な学生募集を効果的かつ円滑に推進するため、必要な事項を調査、審議または処理することを目的とする。

（所掌事項）

第３条　委員会の所掌事項は、次に揚げるとおりとする。

（１）入学者選抜の基本方針に関する事項

（２）入学試験の制度及び実施に関する事項

（３）入学者の選抜基準に関する事項

（４）広報及び学生募集の基本方針に関する事項

（５）広報及び学生募集の計画及び実施に関する事項

（６）ホームページの管理及び運用に関する事項

（７）その他入学者選抜、広報及び学生募集に関する事項

（組　織）

第４条　委員会は、次の各号に揚げる委員をもって組織する。

（１）教員　４名

（２）事務局入試広報課長　１名

（３）委員会が必要と認めた教員及び事務職員　若干名

（任　期）

第５条　委員の任期は１年とする。ただし再任を妨げない。

２　委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長及び副委員長）

第６条　委員会に、委員長及び副委員長を置く。

２　委員長は、学長が指名する。

３　副委員長は、委員のうちから委員長が指名する。

４　委員長は委員会を招集し、その議長となる。

５　副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代行する。

（会　議）

第７条　委員会は、委員の半数以上の出席をもって成立する。

２　議事の議決は、出席した委員の過半数をもって決する。ただし、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

（委員以外の者の出席）

第８条　委員会は、必要があると認めたときは、委員以外の者の出席を求め、説明または意見を聞くことができる。

（専門部会）

第９条　委員会は、必要があると認めたときは、委員会の中に専門部会を置くことができる。

２　専門部会の部会長は、委員のうちから委員長が委嘱する。

３　専門部会に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

（報　告）

第１０条　委員長は、委員会の審議が終了したときは、その結果を教授会に報告する。

２　委員長は、学則第 10 条で定める事項の審議結果の決定にあたっては、教授会の議を経て学長の承認を得なければならない。

３　委員長は、前項の事項のほか、審議結果について教授会に意見を求めることができる。

（事　務）

第１１条　委員会の事務は、事務局入試広報課入試担当及び広報担当が行う。

（改　廃）

第１２条　この規程の改廃は、総務会の議を経て学長が行う。

（補　則）

第１３条　この規程に定めるもののほか、必要な事項は委員会が別に定める。

附　則

１　この規程は、令和２年４月１日から施行する。

開志専門職大学 ＦＤ・ＳＤ委員会規程（案）

（設　置）

第１条　開志専門職大学にＦＤ・ＳＤ委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（目　的）

第２条　委員会は、教育研究活動の内容及び方法の改善・向上及び教育研究活動の適切かつ効果的な運営を図り教育・研究の発展に寄与するため、必要な事項を調査、審議または処理することを目的とする。

（所掌事項）

第３条　委員会の所掌事項は、次に揚げるとおりとする。

（１）教育研究活動の改善に関する立案・実施に関する事項

（２）初任者及び現任者の研修計画の立案・実施に関する事項

（３）学生による授業評価の計画・実施及び分析に関する事項

（４）教育研究活動の改善に関する情報の収集と提供に関する事項

（５）教育研究活動の運営に必要な知識及び技能の習得に関する立案・実施に関する事項

（６）教育研究活動の運営に必要な知識及び技能の習得に関する情報の収集と提供に関する事項

（７）その他教育研究活動の改善及び教育研究活動の適切かつ効果的な運営に関する事項

（組　織）

第４条　委員会は、次の各号に揚げる委員をもって組織する。

（１）教員　４名

（２）事務局学務課長　１名

（３）委員会が必要と認めた教員及び事務職員　若干名

（任　期）

第５条　委員の任期は１年とする。ただし再任を妨げない。

２　委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長及び副委員長）

第６条　委員会に、委員長及び副委員長を置く。

２　委員長は、学長が指名する。

３　副委員長は、委員のうちから委員長が指名する。

４　委員長は委員会を招集し、その議長となる。

5　副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代行する。

（会　議）

第７条　委員会は、委員の半数以上の出席をもって成立する。

2　議事の議決は、出席した委員の過半数をもって決する。ただし、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

（委員以外の者の出席）

第８条　委員会は、必要があると認めたときは、委員以外の者の出席を求め、説明または意見を聞くことができる。

（専門部会）

第９条　委員会は、必要があると認めたときは、委員会の中に専門部会を置くことができる。

2　専門部会の部会長は、委員のうちから委員長が委嘱する。

3　専門部会に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

（報　告）

第１０条　委員長は、委員会の審議が終了したときは、その結果を教授会に報告する。

2　委員長は、学則第 10 条で定める事項の審議結果の決定にあたっては、教授会の議を経て学長の承認を得なければならない。

3　委員長は、前項の事項のほか、審議結果について教授会に意見を求めることができる。

（事　務）

第１１条　委員会の事務は、事務局学務課教務担当が行う。

（改　廃）

第１２条　この規程の改廃は、総務会の議を経て学長が行う。

（補　則）

第１３条　この規程に定めるもののほか、必要な事項は委員会が別に定める。

附　則

1　この規程は、令和２年４月１日から施行する。

１３．学生の確保の見通し等を記載した書類

（1）学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

①　学生確保の見通し

ア　定員充足の見込み

１　入学定員設定の考え方

開志専門職大学の設置計画の策定にあたり、新潟県内における 18 歳人口の動向や大学進学状況、近隣県内の高等学校を卒業した者の新潟県内の大学への入学者状況、新設学部等の分野の動向及び想定される競合大学の志願者動向と定員充足状況、さらには、新潟県内に所在する高等学校の在校生に対する進学需要調査の結果、新潟県に所在する民間企業等を対象とした人材需要調査の結果などを総合的に勘案したうえで、事業創造学部の入学定員を 80 名、情報学部の入学定員を 80 名としていることから、十分な定員充足を見込むことができるものと考えている。

２　既設の専門学校の同分野の学科の定員未充足の原因分析等

既設の専門学校の同分野の学科の定員未充足の原因は、近年の 18 歳人口の減少や我が国の景気動向等が主な要因として考えられるが、他方、当該学科における養成する人材や習得する知識・能力などの教育内容に関する情報が受験生をはじめ保護者や高校教員に十分理解されていないこと、さらには、当該専門分野における充実した教育を受けるためには、専門学校における 2 年間の教育課程では不十分であると認識されていることが要因であると考えられる。

今般、設置を計画している開志専門職大学では、「理論に裏付けられた高度な実践力を強みとして、専門業務を牽引できる人材」、「変化に対応して、新たなモノやサービスを創り出すことができる人材」の養成という専門職大学における目的を踏まえたうえで、当該目的を達成するための 4 年間の学修期間を通じた「実践力」と「創造力」を育むための充実した教育課程としていることから、学生の確保においては十分に見込めるものと考えている。

なお、既設の専門学校の同分野の学科の定員充足に向けては、今後、産業構造の変化等に機敏に対応しつつ、産業社会の変化等を踏まえた人材の需要を適切に反映した教育内容の改編を推進するとともに、専門学校としての専門職大学との差別化と特色化を図りつつ、さらなる学生募集戦略の強化による学生確保に努めることとしているが、同時に、当該学科における入学者数の実態や推移を見極めつつ、適正規模

等について検討していくこととする。

イ　定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

1　新潟県内の高等学校及び中学校の在籍者数による中長期的な見通し

平成 30 年度の新潟県の学校基本調査（結果速報）によると、開志専門職大学の開設年度に受験対象者となる新潟県内の高等学校（全日制）に在籍している 2 年生の生徒数は 18,571 人、開設 2 年目に受験対象者となる新潟県内の高等学校（全日制）に在籍している 1 年生の生徒数は 17,976 人となっている。

【資料 1】高等学校の学年別生徒数

また、開設 3 年目に受験対象者となる新潟県内の中学校に在籍している 3 年生の生徒数は 19,064 人、完成年度に受験対象者となる新潟県内の中学校に在籍している 2 年生の生徒数は 18,519 人、完成年度の次年度に受験対象者となる新潟県内の中学校に在籍している 1 年生の生徒数は 17,732 人で、新潟県の中学校を卒業した者の高等学校等への進学率（過去 3 年間の平均 99.6%）を勘案した場合でも、今後、新潟県内の大学受験対象者が大きく減少することはなく、中長期的な確保の見通しがあるものと思われる。

【資料 1】中学校の学年別生徒数

2　新潟県内の高等学校を卒業した者の大学進学状況による見通し

新潟県の平成 29 年度大学等進学状況調査によると、新潟県内の高等学校を卒業した者の過去 3 年間の大学等進学状況は、平成 29 年は卒業者 19,427 人のうち大学等進学者は 8,799 人で大学等進学率は 45.3%、平成 28 年は卒業者 19,479 人のうち大学等進学者は 9,091 人で大学等進学率は 46.7%、平成 27 年は卒業者 19,873 人のうち大学等進学者は 9,285 人で大学等進学率は 46.7%となっている。

また、新潟県内の高等学校を卒業した者の過去 5 年間の大学等進学率は、平成 25 年の 45.0%から毎年微増源を繰り返しながら平成 29 年は 45.3%となっており、18 歳人口の減少期においても安定した大学等進学状況で推移している。

【資料 1】高等学校の進路別卒業者の推移

3　新潟県内の大学を巡る現状と課題

新潟県の高等学校（全日制・定時制）及び中等教育学校の卒業者（過年度卒業者を含む）の県内県外別大学等進学者は、県外の大学等へ進学した者は、平成 27 年 3 月

卒業者は、大学等進学者 10,343 人の 61.1%にあたる 6,320 人、平成 28 年 3 月卒業者は、大学等進学者 10,201 人の 62.0%にあたる 6,329 人、平成 29 年 3 月卒業者は、大学等進学者 9,973 人の 61.3%にあたる 6,116 人となっており、新潟県内の高等教育機関の不足、特に、高学歴志向が高まる中で、魅力ある大学等の不足の状況がうかがえる。

【資料 1】県内県外別の進学者推移

このことから、新潟県では、県政策の方向として、「魅力ある高等教育環境の充実」を掲げており、新潟県が平成 25 年 3 月から主催している「新潟県人口問題対策会議」では、「魅力ある学部の創設等、県内大学の魅力を高めることが必要」との意見が出されているとともに、新潟県が平成 27 年 10 月に策定した「新潟県創生総合戦略」では、「県内高等教育機関の教育内容の充実等により、魅力向上を図り、県内高等教育機関への進学を促進する」こととしている。

【資料 2】県内大学を巡る現状と課題

今般、設置を計画している開志専門職大学は、新潟県の政策の方向性を踏まえたうえで、「成長分野で新たなサービスや商品を開発できる理論にも裏付けられた実践力や創造力を備えた人材の育成」を目的とする新たな高等教育機関として設置するものであり、県内の高等教育機関の魅力向上を図るとともに、県内高等教育機関への進学の促進に貢献することが期待されている。

4　近隣県内の高等学校を卒業した者の入学者状況

近隣県内の高等学校を卒業した者で、新潟県内の大学に入学した者の最近 5 年間の平均値をみると、長野県内の高等学校を卒業した者の入学者数は 266 人（内、私立大学 106 人）、群馬県内の高等学校を卒業した者の入学者数は 191 人（内、私立大学 35 人）、富山県内の高等学校を卒業した者の入学者数は 187 人（内、私立大学 42 人）、山形県内の高等学校を卒業した者の入学者数は 286 人（内、私立大学 99 人）、福島県内の高等学校を卒業した者の入学者数は 277 人（内、私立大学 96 人）、秋田県内の高等学校を卒業した者の入学者数は 180 人（内、私立大学 39 人）となっていることから、今後とも近隣県内の高等学校を卒業した者の新潟県内の大学への進学者数については、一定程度、見込むことができるものと考えられる。

また、現在、新潟県と隣接している長野県、群馬県、富山県、山形県及び福島県、並びに秋田県を含む東北地域には専門職大学は設置されておらず、本学が専門職大学を設置した場合、近隣県内の高等学校に在籍している生徒やその保護者、高等学校

の教員に対して、専門職大学としての積極的な情報提供や募集活動を展開することにより、近隣県内の高等学校を卒業した者で専門職大学への進学を志望する者の受け皿になり得るとともに、近隣県内の高等学校を卒業した者の本学への進学を見込めるものと考えられる。

【資料 3】最近５年間の近隣県別の入学者状況

5　新設学部等の分野の動向及び想定される競合大学の志願者動向と定員充足状況

1）事業創造学部

日本私立学校振興・共済事業団が策定した「平成 30（2018）年度私立大学・短期大学等入学志願動向」の「主な学部別の志願者・入学者動向」をみると、専門職大学として設置する事業創造学部と同分野の経営学部の全国的な動向は、平成 26 年から平成 30 年までの 5 年間の入学定員に対する志願者数と志願倍率の平均は、入学定員 25,252 人に対して志願者数 220,647 人、志願倍率 8.74 倍と安定した志願者数と志願倍率で推移しており、入学定員充足率も 5 年間の平均は、105.11％となっている。

さらに、平成 30 年においては、入学定員 25,431 人に対して志願者数 268,888 人、志願倍率 10.57 倍となっており、平成 29 年の志願者数 239,665 人、志願倍率 9.29 倍と比べると、志願者数で 29,223 人、志願倍率で 1.28 ポイント増加しており、新市場や新製品の開発、新資源の獲得など経済成長の原動力となる革新と相俟って、今後も経営学部の志願者数の増加を見込むことができるものと考えられる。

【資料 4】学部別の志願者・入学者動向（経営学部）

また、新潟県内において事業創造学部と同分野を有する大学で、かつ競合が想定される大学は、平成 30 年 4 月現在、新潟経営大学経営情報学部経営情報学科（入学定員 120 人）、新潟産業大学経済学部経済経営学科（入学定員 80 人）、長岡大学経済経営学部経済経営学科（入学定員 80 人）、新潟国際情報大学経営情報学部経営学科（入学定員 85 人）で、各大学が公表している入試方式の集計値による最近 3 年間の平均の志願者状況をみると、募集人員 422 人に対して志願者数 835 人、志願倍率約 1.98 倍となっている。

【資料 5】最近３年間の志願者状況等

一方、新潟県の平成 30 年度学校基本統計速報によると、新潟県内の専門学校において事業創造学部と学問として対象とする分野が同一であると考えられる商業実務関係のビジネス、経営、経理・簿記に関する学科等に在籍している生徒数は 815 人となっている。

【資料 6】専門学校の学科別生徒数

このように、事業創造学部との競合が想定される新潟県内の大学の学部・学科では、18 歳人口の減少期においても安定した志願者数の確保と志願倍率を維持しているとともに、事業創造学部と学問として対象とする分野が同一であると考えられる新潟県内の専門学校の学科等においても一定数の在籍者が存在していることから、事業創造学部の学生確保については見通しがあると考えている。

2）情報学部

日本私立学校振興・共済事業団が策定した「平成 30（2018）年度私立大学・短期大学等入学志願動向」の「主な学部別の志願者・入学者動向」をみると、専門職大学として設置する情報学部と同分野の情報科学部の全国的な動向をみると、平成 26 年から平成 30 年までの 5 年間の入学定員に対する志願者数と志願倍率の平均は、入学定員 1,122 人に対して志願者数 19,618 人、志願倍率 17.49 倍と安定した志願者数と志願倍率で推移しており、入学定員充足率も 5 年間の平均は、107.88%となっている。

さらに、平成 30 年においては、入学定員 1,046 人に対して志願者数 22,836 人、志願倍率 21.83 倍となっており、平成 29 年の志願者数 19,740 人、志願倍率 18.87 倍と比べると、志願者数で 3,096 人、志願倍率で 2.96 ポイント増加しており、高度情報化社会に伴う情報技術に関連する経済活動全般の進展と相俟って、今後も情報科学部の志願者数の増加を見込むことができるものと考えられる。

【資料 4】学部別の志願者・入学者動向（情報科学部）

また、新潟県内において情報学部と同分野を有する大学で、かつ競合が想定される大学は、平成 30 年 4 月現在、新潟国際情報大学経営情報学部情報システム学科（入学定員 65 人）、新潟工科大学工学部工学科知能機械・情報通信学系（入学定員 200 人）で、新潟国際情報大学が公表している入試方式の集計値による平成 30 年度の志願者状況をみると、募集人員 65 人に対して志願者数 294 人、志願倍率約 4.52 倍、入学定員充足率 129.2%となっている。

なお、新潟工科大学工学部工学科は、学科の中に分野の異なる複数の学系を設けており、学系ごとの入学定員・志願者数・志願倍率等については公表されていないことから算入していない。

【資料 5】最近３年間の志願者状況等

一方、新潟県の平成 30 年度学校基本統計速報によると、新潟県内の専門学校において情報学部と学問として対象とする分野が同一であると考えられる工業関係の情

報処理に関する学科等に在籍している生徒数は 1,230 人となっている。

【資料 6】専門学校の学科別生徒数

このように、情報学部との競合が想定される新潟県内の大学の学部・学科では、18 歳人口の減少期においても安定した志願者数の確保と志願倍率や入学定員充足の状況を維持しているとともに、情報学部と学問として対象とする分野が同一であると考えられる新潟県内の専門学校の学科等においても一定数の在籍者が存在していることから、情報学部の学生確保については見通しがあると考えている。

6　専門の調査機関による進学意向調査結果

開志専門職大学の設置計画は、新潟県内における 18 歳人口の動向や大学進学状況、類似学部等の設置状況、新潟県内の大学を巡る現状と課題などを踏まえたうえで計画していることから、十分な学生確保が見込めるものと考えられるが、開志専門職大学の設置計画を策定するにあたり、学生確保の見通しを計量的な数値から確認することを目的として、設置圏域を中心に所在する高等学校の 2 年生に対する進学意向に関するアンケート調査を実施した。

【資料 7】開志専門職大学に関するニーズ調査【高校生対象調査】結果報告書

1）事業創造学部

事業創造学部の趣旨目的や教育内容等が地域的な進学需要の動向等を踏まえたものであるかを検証するために、設置圏域を中心に所在する高等学校の 2 年生を対象に、学部学科の名称、設置の理念、養成する人材像、設置場所、アクセス、学生納付金、競合する大学の学部学科等の名称を明示したうえで、事業創造学部への入学の意志を確認するための設問を含むアンケート調査を実施した。

その結果、開志専門職大学を「受験したいと思う」と答えた 617 人のうち、事業創造学部へ「入学したいと思う」と回答した者は 17.3%にあたる 107 人となっており、また、「専門職大学に進学」又は「私立大学に進学」と回答した者で、開志専門職大学の「事業創造学部に入学したい」回答した者は、入学定員 80 人の約 81%にあたる 65 人となっている。

【資料 7】開志専門職大学に関するニーズ調査【高校生対象調査】結果報告書

（6 ページ目）

このように、新潟県及び隣接する長野県、富山県、山形県、福島県に所在する一部の高等学校に在籍している高校生に対する調査結果においても、専門職大学として設置する事業創造学部への一定の進学意向が確認されていることから、学生確保の

見通しがあるものと考えられる。

また、専門職大学は新たな学校制度であることから、今後、制度面や教育面及び組織面などの観点から、既設の大学や専門学校との違いについて積極的な情報を発信し、専門職大学としての事業創造学部に対する受験生の理解を得ることで、より多くの学生の確保につながるものと考えられる。

2）情報学部

情報学部の趣旨目的や教育内容等が地域的な進学需要の動向等を踏まえたものであるかを検証するために、設置圏域を中心に所在する高等学校の 2 年生を対象に、学部学科の名称、設置の理念、養成する人材像、設置場所、アクセス、学生納付金、競合する大学の学部学科等の名称を明示したうえで、情報学部への入学の意志を確認するための設問を含むアンケート調査を実施した。

その結果、開志専門職大学を「受験したいと思う」と答えた 617 人のうち、情報学部へ「入学したいと思う」と回答した者は 19.0%にあたる 117 人となっており、また、「専門職大学に進学」又は「私立大学に進学」と回答した者で、開志専門職大学の「情報学部に入学したい」回答した者は、入学定員 80 人の約 73%にあたる 58 人となっている。

【資料 7】開志専門職大学に関するニーズ調査【高校生対象調査】結果報告書

（8 ページ目）

このように、新潟県及び隣接する長野県、富山県、山形県、福島県に所在する一部の高等学校に在籍している高校生に対する調査結果においても、専門職大学として設置する情報学部への一定の進学意向が確認されていることから、学生確保の見通しがあるものと考えられる。

また、専門職大学は新たな学校制度であることから、今後、制度面や教育面及び組織面などの観点から、既設の大学や専門学校との違いについて積極的な情報を発信し、専門職大学としての情報学部に対する受験生の理解を得ることで、より多くの学生の確保につながるものと考えられる。

7　学生の通学に至便な立地条件

新潟県は、地理的に下越地方・中越地方・上越地方・佐渡地方の 4 つの地域に分けられており、本学が位置する新潟市は、県北東部の下越地方に位置する県庁所在地で、愛知県名古屋市に次ぐ、中部地方で 2 番目の人口約 80 万人（平成 30 年 9 月現在）を擁する本州の日本海側最大の都市で、唯一の政令指定都市であり、甲信越地方における

芸術文化や政治経済の中心的な役割をなしている。

本学の最寄り駅である新潟駅は新潟市の中心駅で、首都圏と新潟県を結ぶ上越新幹線の終点であり、また、本州日本海側の交通結節点としての機能を担うとともに、鉄道以外の公共交通機関も含めた新潟都市圏のターミナルで、新潟県全域や群馬県、長野県をはじめとする隣接圏域からの通学も十分に可能な通学に至便な立地となっていることから、学生確保が見込めるものと考えている。

【資料 8】新潟市の位置関係図

ウ　学生納付金の設定の考え方

学生納付金については、専門職大学の運営に係る財務的な視点と学生納付金の学生への還元など受益者に対する説明責任の観点を踏まえるとともに、設置圏周辺地域における同分野の学部・学科を設置している私立大学の学生納付金の設定状況を勘案したうえで、完成年度における教育研究経費比率や経常経費依存率を見極めつつ、大学の運営上における人件費及び教育研究や管理運営に係る経常経費等の財務予測による実質的な採算分岐点に基づく金額として設定している。

【資料9】設置圏周辺地域における同分野の学部・学科の学生納付金一覧

②　学生確保に向けた具体的な取組状況

学生確保に向けた具体的な取組状況としては、キャンパスガイドやパンフレット等の印刷物の配布をはじめ、ホームページや高校生向けのＳＮＳ等の電子媒体による情報の提供、新聞、雑誌、車内広告等の各種メディアを活用したＰＲ活動を行うとともに、資料等請求者に対するダイレクトメールによる各種情報の提供を行うこととしている。

また、高等学校訪問、オープンキャンパス、高校教員向け説明会、保護者向け説明会をはじめ各地域における進学相談会などの開催を通じて、学部・学科の理念、養成する人材像、学位授与方針・教育課程編成の方針・入学者の受入方針をはじめ、学生生活を通した活動や想定される進路など様々な教育情報について、設置圏域を中心とする高校生や保護者に対して広く周知を図ることとしている。

1　高等学校訪問

高校訪問を中心とする個別募集活動に向けた募集戦略の強化を図ることとしており、具体的には、入試業務全般を所管し、募集広報に係る高校訪問を専門とする入試広報課の職員が中心となって、新潟県や隣接県の高等学校を中心とした重点募集対象地域の選定から最重点訪問校や重点訪問校のセグメントによる高等学校募集訪問計画の策定

と特別指定高校枠の設定により、新潟県内の高等学校及び隣接県内の高等学校からの確実な入学者の確保を目指すこととする。

【資料 10】 学生確保に向けた具体的な取組（高等学校訪問の具体的計画／訪問時期・実施体制・訪問エリア・訪問学校数（目標数）等）

高等学校訪問は、募集対象者が多数在籍している高等学校の教員に対して、本学の様々な教育情報を直接的に周知することができるとともに、継続的な訪問活動を行うことで、高等学校の教員との信頼関係を築くことができるものであり、高等学校の教員との信頼関係が構築できた場合には、高校内での生徒に対する進学説明会の実施をはじめ、当該専門分野に進学を希望している生徒の紹介をしてもらえるなどの効果が期待される。

2　オープンキャンパス

本学への入学を希望・考慮している高校生やその保護者を対象として、施設内を積極的に公開し、本学への関心を深めてもらうための入学促進イベントとして、オープンキャンパスの実施を予定しており、学長予定者や学部長予定者による講演、在学生や教職員による施設見学会、教員予定者による模擬授業、大学で学べる学問内容、取得可能資格、入学者選抜制度、大学生活についての個別相談や質問を受け付けるなど、受験生や保護者との対面による丁寧な説明を行うことにより、本学への関心を深めてもらうとともに、よりミスマッチの少ない学生を入学させることの効果が期待される。

【資料 10】 学生確保に向けた具体的な取組（オープンキャンパスの具体的計画／実施時期・実施内容・来場者見込み者数等）

3　高校教員向け説明会

本学の教育・研究活動等に関する理解を深めてもらうための情報提供の機会を設けることにより、高等学校教員の高校生への進路指導に役立ててもらうことを目的として、新潟県や隣接県に所在している高等学校の教員を対象とする説明会を開催する予定としており、学長予定者による大学紹介、学部別の個別説明、開学初年度の入試概要、奨学金等の大学施設の見学など、高等学校の教員と本学の教職員との対面による丁寧な説明を行うこととしており、本学の教育・研究活動等に関する理解を深めてもらうための情報提供の機会を設けることにより、高等学校の教員が本学への進学を希望する生徒に対する進路指導の際に役立ててもらうことの効果が期待される。

【資料 10】 学生確保に向けた具体的な取組（高校教員向け説明会の具体的計画／実施

方法・開催予定エリア等）

4　保護者向け説明会

本学の教育・研究活動等に関する理解を深めてもらうために、本学への進学を希望している高校生の保護者を対象とする説明会を開催する予定としており、学長予定者による大学紹介、学部長予定者による学部紹介、教育研究の実施体制、学生生活の支援体制、就職活動の指導体制、想定される卒業後の進路、学費や奨学金制度、大学や学部の施設情報など、保護者が求めている情報を中心に本学の教職員による丁寧な説明を行うことにより、本学への進路決定を促すことへの効果が期待される。

【資料 10】 学生確保に向けた具体的な取組（保護者向け説明会の具体的計画／実施時期・実施方法・実施内容・来場者見込み者数等）

5　進学相談会

全国の主要な都市で開催される民間業者が主催する進学相談会への参加を予定しており、大学・学部資料の配付や学部紹介ＤＶＤの放映から、学位授与・教育課程編成・入学者受入の方針、選抜方法の種類や試験科目、書類審査、学力試験、面接試験、小論文試験などの実施方法、授業科目や講義等の内容、取得可能な資格、想定される卒業後の進路、大学周辺の施設や環境、下宿やアパート物権などに関する情報を広く提供することにより、新潟県及び隣接県の高等学校からの学生を確保することの効果が期待される。

【資料 10】学生確保に向けた具体的な取組（進学相談会の具体的計画／実施時期・開催予定エリア・来場者見込み者数等）

6　専門職大学の優位性を示した学生確保－専門学校との違いの説明について－

学生募集における専門職大学と専門学校との違いの説明について、専門職大学は、大学制度の中に、実践的な職業教育に重点を置いた仕組みとして制度化されたものであり、産業界との密接な連携により、専門職業人材の養成強化を図り、また、大学への進学を希望する者にとっても新たな選択肢が広がるものであることについて説明し、専門職大学に対する理解を求めることとする。

そのうえで、専門職大学と専門学校との違いについて、制度面や教育面及び組織面の観点から、詳細かつ具体的に説明することとしている。

具体的には、制度面においては、専門職大学は、大学制度に位置づくものであり、専

門職大学卒業者には「学士（専門職）」の学位が授与され、この学位は「学士」相当のものであること、及び専門学校は、「職業若しくは実際生活に必要な能力を育成し、又は教養の向上を図る」ことを目的とするのに対して、専門職大学は、「深く専門の学芸を教授研究し、専門職を担うための実践的かつ応用的な能力を育成・展開する」ことを目的としていることについて説明する。

教育面においては、専門学校は、「特定職種の実務に直接必要となる知識や技能の教育」を行うのに対して、専門職大学は、「幅広い教養や学術研究の成果に基づく知識・理論とその応用の教育」を行うこと、また、専門職大学は、「産業界と連携した教育課程の編成や、豊富な実習・実務家教員の積極的起用など、専門学校教育の長所を取り入れつつ、高度な実践力の裏付けとなる理論や、豊かな創造力の基盤となる関連他分野についても学ぶ」ことについて説明する。

組織面では、専門学校では、実務に関する経験を有する教員を中心としているのに対して、専門職大学では、理論を中心とする中核的な科目に、教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する教員を配置したうえで、実務家教員を教員組織の中に積極的に位置づけ、その半数以上は研究能力を併せ有する実務家教員を配置していることについて説明する。

そのうえで、専門職大学の主な特徴として、「豊富な実習で、就職後に役立つ高度な実践力を身に付ける」、「理論に精通した研究者と、各業界の現場経験豊富な実務家の両方から授業を受けられる」、「学外の企業等での 600 時間以上の実習を通して、実際の現場で知識と技術を学び、問題解決できる思考力を身に付ける」、「一つの専門にとどまらない学びにより、新しいアイデアを生み出せる人材、就職した業界・職業の変化をリードする人材になれる」、「卒業生には学士（専門職）の学位が授与される」ことなど、専門職大学である本学の優位性を示しながら、既設の専門学校との違いについての理解を図ることで、学生確保に繋げることとする。

（2）人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

1 研究対象とする学問分野及び教育研究上の目的

1）事業創造学部

事業創造学部では、組織として研究対象とする中心的な学問分野を「経営学分野」として、「経営分野の専門的な知識と技術及び技能の定着と実践力の深化を図り、実社会や職業とのかかわりを通して、高い職業意識や職業観と規範意識、人間関係力に

根ざした実践力を高めるとともに、課題を探求し解決する基礎的な能力を養い、地域の資源を新商品や新サービスの開発に活用できる創造的な能力を育てる」ことを教育研究上の目的とする。

2）情報学部

情報学部では、組織として教育研究対象とする中心的な学問分野を「情報学分野」として、「情報分野の専門的な知識と技術及び技能の定着と実践力の深化を図り、実社会や職業とのかかわりを通して、高い職業意識や職業観と規範意識、人間関係力に根ざした実践力を高めるとともに、課題を探求し解決する基礎的な能力を養い、情報技術を生活様式や様々なサービスなどの充実と向上に活用できる創造的な能力を育てる」ことを教育上の目的とする。

2　養成する人材と習得させる能力

1）事業創造学部

事業創造学部では、「職業人としての倫理観や道徳意識、起業家精神などを身に付け、起業家、事業承継者、企業内起業家として、事業活動や商品開発を行うために必要となる専門的な知識と能力に加えて、地域の魅力や特徴に関する知識を有し、地域の資源を新商品や新サービスに活用するための能力と消費者の視点に立って正しく問題を解決するための考え方を身に付けて、地域経済の活性化に貢献できる人材」を養成することとしている。

この養成する人材の目的を達成するために、以下の通り、学位授与の方針を定めることとし、教育課程における「基礎科目」、「職業専門科目」、「展開科目」及び「総合科目」の各科目群に配置している講義と演習や実習を通して、「職業を担うための実践的な能力」と「創造的な役割を担うための応用的な能力」を養うための教育を展開する。

養成する人材の目的を達成するための学位授与の方針は、以下の通りとする。

1　職業人としての望ましい心構えや人間性と自律・自立して学習できる能力と態度を有し、現代社会に関する幅広い知識や汎用的技能を身に付けている。

2　事業活動に必要となる経営管理、マーケティング、会計に関する知識と能力を有し、商品やサービスを企画・開発し、販売活動を行う能力を身に付けている。

3　地域の魅力や特徴を理解し、地域の資源を活用するための知識や方法と高い付加価値を生み出すための問題や課題を解決していく能力を身に付けている。

4　個別に学修した事業活動や商品開発に関する知識や技能を総合し、地域の特徴や

資源を活用しながら新商品や新サービスを創り出す能力を身に付けている。

2）情報学部

情報学部では、「職業人としての職業観や倫理観、豊かな人間性とともに、情報技術者としての専門的な知識や技能と実際に活用する能力に加えて、地域社会や産業界を取り巻く現状に関する知識を有し、正しく問題や課題を解決するための考え方とユーザーの視点に立った新商品や新サービスを企画・開発するための基礎的な能力を身に付けて、地域社会の情報化に貢献できる人材」を養成する。

この養成する人材の目的を達成するために、以下の通り、学位授与の方針を定めることとし、教育課程における「基礎科目」、「職業専門科目」、「展開科目」及び「総合科目」の各科目群に配置している講義と演習や実習を通して、「職業を担うための実践的な能力」と「創造的な役割を担うための応用的な能力」を養うための教育を展開する。

養成する人材の目的を達成するための学位授与の方針は、以下の通りとする。

1　職業人としての望ましい心構えや人間性と自律・自立して学習できる能力と態度を有し、現代社会に関する幅広い知識や汎用的技能を身に付けている。

2　情報技術者として必要となる情報と情報技術に関する専門的な知識と技能を有し、情報の処理・伝達・管理とそれらを活用する能力を身に付けている。

3　地域社会や産業界を取り巻く現状の認識のもと、商品やサービスをユーザーの立場から考え、問題や課題を正しく解決していく能力を身に付けている。

4　個別に学修した情報技術に関する知識や技能と活用する能力を総合し、ユーザーの視点に立った新商品や新サービスを創り出す能力を身に付けている。

② 上記（1）が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

1　社会的な要請　－国や地域が取組む政策等－

1）事業創造分野の動向

経済産業省が掲げている地域イノベーションでは、「地域経済の活性化を図っていくためには、地域の潜在能力を結集してイノベーションを創出し、新事業・新産業を起こすことが必要」としており、また、中小企業地域資源活用促進法では、「地域経済が自立的・持続的な成長を実現していくために、各地域の強みである地域資源（産地の技術、農林水産品、観光資源）を活用した中小企業の新商品・新サービスの開発・市場化を総合的に支援する」としており、「新事業や新産業を起こすこと」及び「地

域資源を活用した新商品や新サービスの開発・市場化」が求められている。

【資料 11】経済産業省ホームページ（抜粋）

中小企業庁ホームページ（抜粋）

一方、新潟県の「にいがた未来創造プラン」では、「厚みのある産業基盤や多様な地域資源など、地域の個性を大切にしながら、産業の振興と高付加価値化を図るとともに、本県の魅力や強みを最大限にアピールし、人流・物流の活発化の流れを本県の活力や賑わいにつなげていく」として、高い付加価値を生み出す企業の創出・成長促進にむけて、「高い付加価値を生む新事業・新業態への展開、技術開発や経営革新、外部リソースの活用・連携など、中小企業を含めた意欲ある県内企業等の新たな取組を支援する」としており、「厚みのある産業基盤や多様な地域資源など、地域の個性を大切にしながら、産業の振興と高付加価値化を図る」ことが求められている。

【資料 12】新潟県総合計画 にいがた未来創造プラン（抜粋）

このように、国や地域では、地域経済の活性化を図るためには、「新事業・新産業を起こすことが必要である」としており、その際、「各地域の強みである地域資源を活用した新商品・新サービスの開発・市場化」や「多様な地域資源など、地域の個性を大切にしながら、産業の振興と高付加価値化を図る」など、「地域の資源を活用する」ことが重要であるとしている。

上記のような社会的ニーズに対応するためには、専門職を担うための理論にも裏付けられた高度な実践力としての「事業活動や商品開発に関する専門的な知識や能力」が必要であり、加えて、職業分野において創造的な役割を担うための応用的な能力としての「地域資源を活用した新商品や新サービスを開発・市場化するために必要となる知識や能力」の育成が必要であることから、専門職大学として設置する事業創造学部における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであると考えられる。

2）情報分野の動向

一般社団法人日本機械工業連合会が、平成30年3月に公開した「平成29年度 IoT・AI 時代のものづくりと人の役割変化への対応調査研究」の中の「求められる人材と組織」では、「新時代に求められる能力」として、「全体俯瞰力、想像力、論理的思考力、本質を見抜く教養力、デザイン思考力、説得力、課題設定力」を挙げており、情報技術に関する知識や技術に加えて、新しい製品や今までにないサービスの開発・提供を可能とするために必要となる創造力が求められている。

【資料13】平成29年度 IoT・AI 時代のものづくりと人の役割変化への対応調査研

究（抜粋）

一方、新潟県の「にいがた未来創造プラン」では、成長産業の創出や育成に向けて、「将来性が見込まれる産業分野及び新たな成長分野への県内企業の参入促進に向けた支援に努めるとともに、ＡＩやＩｏＴ、ビッグデータなどの活用を促進することで生産性の向上を図り、本県産業の付加価値の向上を実現する」としており、「ＡＩやＩｏＴ、ビッグデータなどの活用による生産性の向上を図る」ことが求められている。

【資料14】新潟県総合計画 にいがた未来創造プラン（抜粋）

また、新潟県が策定した「新潟県情報化プラン」では、地域情報化として「新潟県『夢おこし』政策プラン」が掲げる「将来に希望の持てる魅力ある新潟県の実現をＩＣＴ活用の観点から推進し、快適・安全・豊かなくらしの実現や地域の活性化に取組む」としており、同様に、行政情報化として、「新潟県行政経営改革推進ビジョン」を踏まえて、「ＩＣＴ活用による行政経営の高度化及び効率化の更なる推進に取組む」こととしており、「ＩＣＴ活用による快適・安全・豊かなくらしの実現や地域の活性化」や「ＩＣＴ活用による行政経営の高度化及び効率化」が求められている。

【資料15】新潟県情報化プラン（抜粋）

上記のような社会的ニーズに対応するためには、専門職を担うための理論にも裏付けられた高度な実践力としての「情報技術者としての専門的な知識や技能と実際に活用する能力」が必要であり、加えて、職業分野において創造的な役割を担うための応用的な能力としての「ユーザーの視点に立った新商品や新サービスを企画・開発するための基礎的な能力」の育成が必要であることから、専門職大学として設置する情報学部における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであると考えられる。

2　開志専門職大学の卒業生の採用意向に関する調査結果

開志専門職大学の設置計画を策定するうえで、本学において養成する人材が地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることや本学で養成する人材に対する企業・団体等の採用意向について検証するために、新潟県をはじめ18都府県に所在する企業・団体等を対象として、開志専門職大学を卒業した者への採用意向に関するアンケート調査を実施した。

１）事業創造学部

開志専門職大学の事業創造学部の社会的な必要性については、回答件数343件の約88.9%にあたる305件が「必要だと思う」と回答しており、事業創造学部の特色については、約79.0%が「魅力がある」と回答している。

また、事業創造学部を卒業した者に対する採用意向については、回答件数343件の約71.7%にあたる246件が「採用したいと思う」と回答しており、さらに、事業創造学部を卒業した者に対する毎年の採用想定人数を合計は294人となっており、このような新潟県をはじめ18都府県に所在する企業・団体等に限定した調査結果においても、事業創造学部で学んだ卒業生への高い採用意向がうかがえることから、卒業後の進路は十分に見通しがあるものと考えられる。

【資料16】 開志専門職大学に関するニーズ調査【企業・団体対象調査】
結果報告書

2）情報学部

開志専門職大学の情報学部の社会的な必要性については、回答件数343件の約93.9%にあたる322件が「必要だと思う」と回答しており、情報学部の特色については、約84.3%が「魅力がある」と回答している。

また、情報学部を卒業した者に対する採用意向については、回答件数343件の約77.6%にあたる266件が「採用したいと思う」と回答しており、さらに、情報学部を卒業した者に対する毎年の採用想定人数の合計は367人となっており、このような新潟県をはじめ18都府県に所在する企業・団体等に限定した調査結果においても、情報学部で学んだ卒業生への高い採用意向がうかがえることから、卒業後の進路は十分に見通しがあるものと考えられる。

【資料16】 開志専門職大学に関するニーズ調査【企業・団体対象調査】
結果報告書

その他の添付資料

【資料 17】対象とした高等学校名の一覧

【資料 18】調査に用いた調査票様式

【資料 19】調査に際して回答者に示した設置構想資料

学生の確保の見通し等を記載した書類

資料目次

【資料 1】高等学校の学年別生徒数、中学校の学年別生徒数
高等学校の進路別卒業者の推移、県内県外別の進学者推移

【資料 2】県内大学を巡る現状と課題

【資料 3】最近 5 年間の近隣県別入学者状況

【資料 4】学部別の志願者・入学者動向（経営学部・情報科学部）

【資料 5】最近 3 年間の志願者状況等

【資料 6】専門学校の学科別生徒数

【資料 7】開志専門職大学に関するニーズ調査【高校生対象調査】結果報告書

【資料 8】新潟市の位置関係図

【資料 9】設置圏周辺地域における同分野の学部・学科の学生納付金一覧

【資料 10】学生確保に向けた具体的な取組

【資料 11】経済産業省ホームページ（抜粋)、中小企業庁ホームページ（抜粋）

【資料 12】新潟県総合計画 にいがた未来創造プラン（抜粋）

【資料 13】平成 29 年度 IoT・AI 時代のものづくりと人の
役割変化への対応調査研究（抜粋）

【資料 14】新潟県総合計画 にいがた未来創造プラン（抜粋）

【資料 15】新潟県情報化プラン（抜粋）

【資料 16】開志専門職大学に関するニーズ調査【企業・団体対象調査】結果報告書

【資料 17】対象とした高等学校名の一覧

【資料 18】調査に用いた調査票様式

【資料 19】調査に際して回答者に示した設置構想資料

１３．学生の確保の見通し等を記載した書類

【資料 1】

【資料1】

高等学校の学年別生徒数

新潟県の高等学校(全日制)の生徒数（平成30年度）

	1年生	2年生	3年生
生徒数(人)	17,976	18,571	18,215

(平成30年度学校基本調査統計速報より)

中学校の学年別生徒数

新潟県の中学校の生徒数（平成30年度）

	1年生	2年生	3年生
生徒数(人)	17,732	18,519	19,064

(平成30年度学校基本調査統計速報より)

高等学校の進路別卒業者の推移

高等学校卒業者の大学等進学状況

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
卒業者数	21,246	19,626	19,873	19,479	19,427
大学等進学者	9,559	9,200	9,285	9,091	8,799
大学等進学率	45.0%	46.9%	46.7%	46.7%	45.3%

(平成30年度学校基本調査統計速報より)

県内県外別の進学者推移

新潟県の高等学校(全日制・定時制)及び中等教育学校の卒業者(過年度卒業者を含む)の県内県外別大学等進学者

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
進学者数	10,701	10,476	10,343	10,201	9,973
県内進学者数	4,113	3,908	4,023	3,872	3,857
県外進学者数	6,588	6,568	6,320	6,329	6,116
県外進学率	61.6%	62.7%	61.1%	62.0%	61.3%

(新潟県 平成29年度大学等進学状況調査より)

１３．学生の確保の見通し等を記載した書類

【資料 2】

県内大学を巡る現状と課題

1　県の政策の方向

（1）「新潟県「夢おこし」政策プラン」（平成 25 年 6 月）抜粋

政策の柱：人口の流入促進・流出防止

◇若者の定住促進対策

・　県内高等教育機関の教育内容の充実等により、魅力向上を図り、県内高等教育機関への進学を促進する。

政策の柱：教育の充実

◇高等教育・研究機能の充実

・　本県の高等教育機関の更なる充実を、建学の精神等の個性溢れる私学、国立大学法人、専門学校群と連携しながら推進し、県内高等教育機関の魅力を向上させる。

（2）「新潟県創生総合戦略」（平成 27 年 10 月）抜粋

政策の方向性：人を育む　結婚～子育て支援・人づくり

◇地域の産業・社会を支える人づくり

・　県内外の若者から進学先として選ばれるよう、県内大学・専門学校群と連携しながら、本県の高等教育機関の更なる教育内容・研究機能の充実、魅力向上を推進する。

・　市町村・産業界・県内大学等と連携しながら、県内大学等卒業生の県内企業等への就職促進の取組を推進する。

政策の方向性：人に選ばれる　暮らしやすさ・定住促進

◇若者の定住促進

・　県内高等教育機関の教育内容の充実等により、魅力向上を図り、県内高等教育機関への進学を促進する。

（3）新潟県人口問題対策会議（平成 25 年 3 月～）

子育て支援や教育環境の充実、雇用の場の確保など人口減対策に係る課題について検討。会議の下に、４つのワーキングチームを設置。

①子育て支援・男女共同参画戦略、②人づくり戦略、③産業振興戦略、④暮らしやすさ・定住促進戦略

会議での主な意見（人づくり関係）

◇魅力ある学部の創設等、県内大学の魅力を高めることが必要

◇大学等卒業後の県内就職者増につながる取組が必要

新潟県創生総合戦略

平成２７年１０月

新　潟　県

○　都市部と農村部との交流を拡大するため、グリーン・ツーリズムを総合的に推進する。

(3) 若者の定住促進

○　県内高等教育機関の教育内容の充実等により、魅力向上を図り、県内高等教育機関への進学を促進する。

○　企業ニーズに合わせた人材育成、職業意識の醸成、職業教育・訓練の充実、就職関係情報の提供機能の強化と企業と学生の接点の充実、フリーター・失業者等のスキルアップ等により、県内の若者の県内就職の促進を図る。

○　Ｕ・Ｉターン支援機能や関係機関との連携を強化し、県内から県外の大学等に進学し卒業する若者や、首都圏等に居住し地方での暮らしを希望する若者などのＵ・Ｉターンを促進する。

○　市場創造を目指す起業家の発掘・育成や高付加価値型産業の事業展開に取り組む事業者等に対する支援を通じて、若者にとって魅力的な産業を創造し、雇用の場の創出を図る。(再掲)

○　にいがた暮らしの魅力やＵ・Ｉターンの際の実用的な情報を提供するとともに、若者に魅力ある住みよい住環境の整備を促進する。

(イ) 暮らしやすい地域づくり

(1) 総合的な防災・危機管理

○　県民の暮らしを脅かす危機に的確に対応するため、危機に対し、市町村や関係機関等との連携・情報共有を図りながら迅速・的確な対応を行う体制を確立する。また、生活環境・医療福祉・産業経済・土木建築・教育など多方面にわたる関連施策の有機的連携、一体的な推進を図り、あわせて、積極的に情報発信を行う。

○　行政による対応（公助）に加え、県民一人ひとりの防災意識の向上や地域コミュニティ、ボランティア、ＮＰＯ、企業・団体など多様な主体の連携による自助・互助・共助の取組を推進する。

１３．学生の確保の見通し等を記載した書類

【資料 3】

【資料３】

最近５年間の近隣県別の入学者状況

最近5年間の隣接県別の入学者状況(国立・公立・私立合計)						(単位：人)
	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年	5年平均
長野県	244	255	279	289	264	266
群馬県	192	206	216	171	169	191
富山県	163	193	197	185	198	187
山形県	305	292	252	300	279	286
福島県	279	301	264	259	281	277
秋田県	188	177	198	156	180	180
合計	1,371	1,424	1,406	1,360	1,371	1,386
※H26年度～H30年度学校基本調査　出身高校の所在地県別入学者数より作成						

最近5年間の隣接県別の入学者状況(私立のみ)						(単位：人)
	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年	5年平均
長野県	110	105	108	119	87	106
群馬県	31	44	39	31	29	35
富山県	37	40	42	52	41	42
山形県	114	94	88	102	95	99
福島県	109	102	98	85	84	96
秋田県	52	24	49	33	35	39
合計	453	409	424	422	371	416
※H26年度～H30年度学校基本調査　出身高校の所在地県別入学者数より作成						

１３．学生の確保の見通し等を記載した書類

【資料 4】

【資料４】

学部別の志願者・入学者動向

日本私立学校振興・共済事業団 「平成３０（２０１８）年度私立大学・短期大学等入学志願動向」

学部別の志願者・入学者動向（経営学部）

年度	入学定員(人)	志願者数(人)	倍率	入学者数(人)	入学定員充足率(%)
平成26年4月	25,083	188,841	7.53	25,498	101.65
平成27年4月	24,708	193,204	7.82	25,687	103.96
平成28年4月	25,244	212,639	8.42	26,598	105.36
平成29年4月	25,796	239,665	9.29	27,888	108.11
平成30年4月	25,431	268,888	10.57	27,037	106.32
５か年平均	25,252	220,647	8.74	26,542	105.11%

学部別の志願者・入学者動向（情報科学部）

年度	入学定員(人)	志願者数(人)	倍率	入学者数(人)	入学定員充足率(%)
平成26年4月	1,186	17,469	14.73	1,262	106.41
平成27年4月	1,166	18,776	16.10	1,320	113.21
平成28年4月	1,166	19,271	16.53	1,256	107.72
平成29年4月	1,046	19,740	18.87	1,139	108.89
平成30年4月	1,046	22,836	21.83	1,075	102.77
５か年平均	1,122	19,618	17.49	1,210	107.88%

１３．学生の確保の見通し等を記載した書類

【資料 5】

【資料5】

最近3年間の志願者状況等

事業創造学部との競合が想定される新潟県の大学

大学名	学部・学科	入学定員	年度	入試区分	募集人員	志願者数	志願倍率	入学者数	入学定員充足率
新潟経営大学	経営情報学部		平成28年4月	全入試合計	120	180	1.50	99	82.5%
	経営情報学科	120	平成29年4月	全入試合計	120	210	1.75	106	88.3%
			平成30年4月	全入試合計	120	187	1.56	103	85.8%
			3年間の平均		120	192	1.60	103	
新潟産業大学	経済学部		平成28年4月	全入試合計	80	114	1.43	77	96.3%
	経済経営学科	80	平成29年4月	全入試合計	80	119	1.49	72	90.0%
			平成30年4月	全入試合計	80	132	1.65	65	81.3%
			3年間の平均		80	122	1.52	71	
長岡大学	経済経営学部		平成28年4月	全入試合計	80	127	1.59	85	106.3%
	経済経営学科	80	平成29年4月	全入試合計	100	150	1.50	121	121.0%
			平成30年4月	全入試合計	100	187	1.87	121	121.0%
			3年間の平均		93	155	1.66	109	
新潟国際情報大学	経営情報学部		平成28年4月	全入試合計	150	383	2.55	185	123.3%
	経営学科	85	平成29年4月	全入試合計	150	358	2.39	200	133.3%
（平成28年・平成29年は情報文化学部（情報コース、経営コース)の数値）			平成30年4月	全入試合計	85	359	4.22	105	123.5%
			3年間の平均		128	367	2.86	105	
4大学の3年間の平均志願状況					422	835	1.98		

情報学部との競合が想定される新潟県の大学

大学名	学部・学科	入学定員	年度	入試区分	募集人員	志願者数	志願倍率	入学者数	入学定員充足率
新潟国際情報大学	経営情報学部		平成28年4月	全入試合計	150	383	2.55	185	123.3%
	情報システム学科	65	平成29年4月	全入試合計	150	358	2.39	200	133.3%
（平成28年・平成29年は情報文化学部（情報コース、経営コース)の数値）			平成30年4月	全入試合計	65	294	4.52	84	129.2%

１３．学生の確保の見通し等を記載した書類

【資料 6】

【資料６】

専門学校の学科別生徒数

平成30年度学校基本統計速報(学校基本調査の結果速報)

第12表　専修学校の課程別・学科別生徒数(公立・私立)　　単位:人、%

区分	高等課程		専門課程		一般課程		合計			対前年増減	
	平成29年度	平成30年度	平成29年度	平成30年度	平成29年度	平成30年度	平成29年度	平成30年度	構成比	実数	率
合計	148	148	14,565	14,253	559	481	15,272	14,882	100.0	△ 390	△2.6
工業関係	－	－	1,967	2,043	－	－	1,967	2,043	13.7	76	3.9
土木・建築	－	－	407	418	－	－	407	418	2.8	11	2.7
電気・電子	－	－	50	49	－	－	50	49	0.3	△ 1	△2.0
自動車整備	－	－	273	236	－	－	273	236	1.6	△ 37	△13.6
機械	－	－	9	10	－	－	9	10	0.1	1	11.1
情報処理	－	－	1,140	1,230	－	－	1,140	1,230	8.3	90	7.9
その他	－	－	88	100	－	－	88	100	0.7	12	13.6
農業関係	－	－	290	275	－	－	290	275	1.8	△ 15	△5.2
農業	－	－	177	180	－	－	177	180	1.2	3	1.7
園芸	－	－	45	41	－	－	45	41	0.3	△ 4	△8.9
その他	－	－	68	54	－	－	68	54	0.4	△ 14	△20.6
医療関係	－	－	3,543	3,555	－	－	3,543	3,555	23.9	12	0.3
看護	－	－	2,206	2,207	－	－	2,206	2,207	14.8	1	0.0
臨床検査	－	－	357	364	－	－	357	364	2.4	7	2.0
鍼・灸・あんま	－	－	69	66	－	－	69	66	0.4	△ 3	△4.3
柔道整復	－	－	270	296	－	－	270	296	2.0	26	9.6
理学・作業療法	－	－	273	275	－	－	273	275	1.8	2	0.7
その他	－	－	368	347	－	－	368	347	2.3	△ 21	△5.7
衛生関係	1	－	2,314	2,224	－	－	2,315	2,224	14.9	△ 91	△3.9
栄養	－	－	442	427	－	－	442	427	2.9	△ 15	△3.4
調理	1	－	731	710	－	－	732	710	4.8	△ 22	△3.0
理容	－	－	32	34	－	－	32	34	0.2	2	6.3
美容	－	－	595	595	－	－	595	595	4.0	－	－
製菓・製パン	－	－	380	323	－	－	380	323	2.2	△ 57	△15.0
その他	－	－	134	135	－	－	134	135	0.9	1	0.7
教育・社会福祉関係	－	－	1,576	1,400	－	－	1,576	1,400	9.4	△ 176	△11.2
保育士養成	－	－	583	573	－	－	583	573	3.9	△ 10	△1.7
教員養成	－	－	434	361	－	－	434	361	2.4	△ 73	△16.8
介護福祉	－	－	345	277	－	－	345	277	1.9	△ 68	△19.7
社会福祉	－	－	210	189	－	－	210	189	1.3	△ 21	△10.0
その他	－	－	4	－	－	－	4	－	－	△ 4	△100.0
商業実務関係	－	－	1,193	1,189	－	－	1,193	1,189	8.0	△ 4	△0.3
商業	－	－	219	218	－	－	219	218	1.5	△ 1	△0.5
経理・簿記	－	－	322	306	－	－	322	306	2.1	△ 16	△5.0
秘書	－	－	27	38	－	－	27	38	0.3	11	40.7
経営	－	－	11	20	－	－	11	20	0.1	9	81.8
情報	－	－	19	15	－	－	19	15	0.1	△ 4	△21.1
ビジネス	－	－	525	489	－	－	525	489	3.3	△ 36	△6.9
その他	－	－	70	103	－	－	70	103	0.7	33	47.1
服飾・家政関係	9	1	212	211	－	－	221	212	1.4	△ 9	△4.1
和洋裁	9	1	117	122	－	－	126	123	0.8	△ 3	△2.4
ファッションビジネス	－	－	95	89	－	－	95	89	0.6	△ 6	△6.3
その他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	…
文化・教養関係	138	147	3,470	3,356	559	481	4,167	3,984	26.8	△ 183	△4.4
音楽	－	－	154	167	－	－	154	167	1.1	13	8.4
美術	－	－	95	100	－	－	95	100	0.7	5	5.3
デザイン	－	－	469	446	－	－	469	446	3.0	△ 23	△4.9
外国語	－	－	140	150	－	－	140	150	1.0	10	7.1
演劇・映画	－	－	143	117	－	－	143	117	0.8	△ 26	△18.2
写真	－	－	21	13	－	－	21	13	0.1	△ 8	△38.1
通訳・ガイド	－	－	128	148	－	－	128	148	1.0	20	15.6
受験・補習	－	－	－	－	559	481	559	481	3.2	△ 78	△14.0
動物	－	－	198	253	－	－	198	253	1.7	55	27.8
法律行政	－	－	940	926	－	－	940	926	6.2	△ 14	△1.5
スポーツ	138	147	475	463	－	－	613	610	4.1	△ 3	△0.5
その他	－	－	707	573	－	－	707	573	3.9	△ 134	△19.0

合計1,230
(情報学部
参考データ)

合計815
(事業創造学部
参考データ)

１３．学生の確保の見通し等を記載した書類

【資料 7】

開志専門職大学に関するニーズ調査
【高校生対象調査】
結果報告書

平成30年7月

株式会社 進研アド

47

© Shinken-Ad. Co., Ltd. All Rights Reserved.

高校生対象 調査概要

1. 調査目的

2020年4月に開設予定の「開志専門職大学(仮称)」の新設構想に関して、高校生のニーズを把握する。

2. 調査概要

		高校生対象調査
調査対象		高校2年生
調査エリア		山形県、福島県、新潟県、富山県、長野県
調査方法		高校留め置き調査
調査対象数	依頼数 (依頼校)	6,288 (46校)
	回収数 (回収率)	5,966(45校) (94.9%)
調査時期		2018年5月21日(月)～2018年7月4日(水)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

高校生対象調査
·性別 ·高校種別 ·高校所在地 ·所属クラス ·高校卒業後の希望進路 ·興味のある学問系統 ·開志専門職大学の特色に対する魅力度 ·開志専門職大学への興味 ·開志専門職大学への受験意向 ·各学部・学科への入学意向

高校生対象 調査結果まとめ

高校生対象 調査結果まとめ

回答者の属性

※ 本調査は、学校法人新潟総合学院が2020年4月に設置を計画している「開志専門職大学(仮称)」に対する需要を確認する目的の調査として設計した。そのため、開志専門職大学の主な学生募集エリアである新潟県及び山形県、福島県、富山県、長野県に所在する高校の高校2年生(設置年度に入学対象の学年)に調査を実施し、5,966人から回答を得た。

- 回答者の性別は、「男性」が51.2%、「女性」が47.0%。
- 回答者の在籍高校所在地は、開志専門職大学のキャンパスの予定地である「新潟県」が93.3%。
- 回答者の所属クラスは、「文系クラス(文系コース)」が30.2%で最も多く、次いで「コース選択はない」(25.4%)、「その他」(22.9%)と続く。

高校卒業後の希望進路や興味のある学問系統

- 回答者の高校卒業後の希望進路を複数回答で聴取したところ、「国公立大学に進学」が32.0%で最も高い。次いで、「私立大学に進学」(28.7%)、「専門学校・専修学校に進学」(27.0%)と続く。
- 回答者の興味のある学問系統は、「まだ決まっていない／特にない」が20.0%で最も高く、次いで「事業創造学部 事業創造学科」と関連のある「経済・経営・商学」が15.0%と続く。また、「国際観光学部 国際観光学科」と関連のある「社会学(観光学などを含む)」「国際関係学」は、それぞれ7.5%、7.1%、「ICT高度情報学部 ICT高度情報学科」と関連のある「理学(情報科学などを含む)」「工学」は、それぞれ7.7%、11.7%、「アニメ・マンガ学部 アニメ・マンガ学科」と関連のある「芸術学(アニメ、マンガなどを含む)」は13.3%であった。

高校生対象 調査結果まとめ

開志専門職大学の特色に対する魅力度

- 開志専門職大学の特色4項目のうち、「国際観光学部」の特色である「観光業界における中核人材としての知識と専門技能を修得し、サービス向上や観光地マネジメントの実践力を身につけた旅行業務取扱管理者、国際観光ガイド、ホテル人材等を目指します。」に対する魅力度（※）は52.5%と、最も高い。
- 次いで、「アニメ・マンガ学部」の特色である「アニメーション、マンガ、キャラクターデザインの分野で、デジタルメディアにおいても新しい発表形式・制作技法に積極的に対応し、世界へ作品を発信できるプロを目指します。」に対する魅力度が49.0%。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

開志専門職大学への興味／受験意向／各学部・学科への入学意向

- 開志専門職大学への興味は、「興味をもった」が32.9%。
- 「事業創造学部」「国際観光学部」「ICT高度情報学部」「アニメ・マンガ学部」のいずれかを「受験したいと思う」と答えた人は10.3%（**617人**）である。
- 「受験したいと思う」と答えた617人に、受験して合格したらどの学部・学科に入学したいと思うかを聴取したところ、回答は下記の通り。

  事業創造学部 事業創造学科に入学したい：17.3%（**107人**）
  国際観光学部 国際観光学科に入学したい：21.6%（**133人**）
  ICT高度情報学部 ICT高度情報学科に入学したい：19.0%（**117人**）
  アニメ・マンガ学部 アニメ・マンガ学科に入学したい：33.2%（**205人**）

  いずれも予定している入学定員（「事業創造学部 事業創造学科」80人、「国際観光学部 国際観光学科」80人、「ICT高度情報学部 ICT高度情報学科」80人、「アニメ・マンガ学部 アニメ・マンガ学科」80人）を上回る。

高校生対象 調査結果まとめ

「事業創造学部 事業創造学科」受験意向別入学意向 属性別傾向

◇高校所在地別

- 「事業創造学部」「国際観光学部」「ICT高度情報学部」「アニメ・マンガ学部」のいずれかを「受験したいと思う」かつ「事業創造学部 事業創造学科に入学したい」と答えた人（以降下線部を本頁内では「事業創造学部 事業創造学科への入学意向者」と表す）を高校所在地別にみると、学生募集の中心である「新潟県」の高校在籍者では1.9%（**105人**）と、予定している入学定員（80人）を上回る。

◇高校卒業後の希望進路別

- 開志専門職大学を受験・入学する可能性が高い「専門職大学に進学」希望者及び「私立大学に進学」希望者からの「事業創造学部 事業創造学科への入学意向者」は、それぞれ3.8%（**13人**）、3.0%（**52人**）。

◇興味のある学問系統別

- 「事業創造学部 事業創造学科」と関連のある「経済・経営・商学」関心者からの「事業創造学部 事業創造学科への入学意向者」は、5.3%（**47人**）である。

高校生対象 調査結果まとめ

「国際観光学部 国際観光学科」受験意向別入学意向 属性別傾向

◇高校所在地別

- 「事業創造学部」「国際観光学部」「ICT高度情報学部」「アニメ・マンガ学部」のいずれかを「受験したいと思う」かつ「国際観光学部 国際観光学科に入学したい」と答えた人（以降下線部を本頁内では「国際観光学部 国際観光学科への入学意向者」と表す）を高校所在地別にみると、学生募集の中心である「新潟県」の高校在籍者では2.3%（**128人**）と、予定している入学定員（80人）を上回る。

◇高校卒業後の希望進路別

- 開志専門職大学を受験・入学する可能性が高い「専門職大学に進学」希望者及び「私立大学に進学」希望者からの「国際観光学部 国際観光学科への入学意向者」は、それぞれ5.5%（**19人**）、3.1%（**53人**）。

◇興味のある学問系統別

- 「国際観光学部 国際観光学科」と関連のある「社会学（観光学などを含む）」「国際関係学」関心者からの「国際観光学部 国際観光学科への入学意向者」は、それぞれ12.1%（**54人**）、11.6%（**49人**）である。

高校生対象 調査結果まとめ

「ICT高度情報学部 ICT高度情報学科」受験意向別入学意向 属性別傾向

◇高校所在地別

- 「事業創造学部」「国際観光学部」「ICT高度情報学部」「アニメ・マンガ学部」のいずれかを「受験したいと思う」かつ「ICT高度情報学部 ICT高度情報学科に入学したい」と答えた人（以降下線部を本頁内では「ICT高度情報学部 ICT高度情報学科への入学意向者」と表す）を高校所在地別にみると、学生募集の中心である「新潟県」の高校在籍者では1.8%（**100人**）と、予定している入学定員（80人）を上回る。

◇高校卒業後の希望進路別

- 開志専門職大学を受験・入学する可能性が高い「専門職大学に進学」希望者及び「私立大学に進学」希望者からの「ICT高度情報学部 ICT高度情報学科への入学意向者」は、それぞれ6.1%（**21人**）、2.2%（**37人**）。

◇興味のある学問系統別

- 「ICT高度情報学部 ICT高度情報学科」と関連のある「理学（情報科学などを含む）」「工学」関心者からの「ICT高度情報学部 ICT高度情報学科への入学意向者」は、それぞれ11.2%（**51人**）、5.6%（**39人**）である。

高校生対象 調査結果まとめ

「アニメ・マンガ学部 アニメ・マンガ学科」
受験意向別入学意向 属性別傾向

◇高校所在地別

- 「事業創造学部」「国際観光学部」「ICT高度情報学部」「アニメ・マンガ学部」のいずれかを「受験したいと思う」かつ「アニメ・マンガ学部 アニメ・マンガ学科に入学したい」と答えた人（以降下線部を本頁内では「アニメ・マンガ学部 アニメ・マンガ学科への入学意向者」と表す）を高校所在地別にみると、学生募集の中心である「新潟県」の高校在籍者では3.4%（**190人**）と、予定している入学定員（80人）の2倍以上である。

◇高校卒業後の希望進路別

- 開志専門職大学を受験・入学する可能性が高い「専門職大学に進学」希望者及び「私立大学に進学」希望者からの「アニメ・マンガ学部 アニメ・マンガ学科への入学意向者」は、それぞれ9.3%（**32人**）、2.6%（**45人**）。

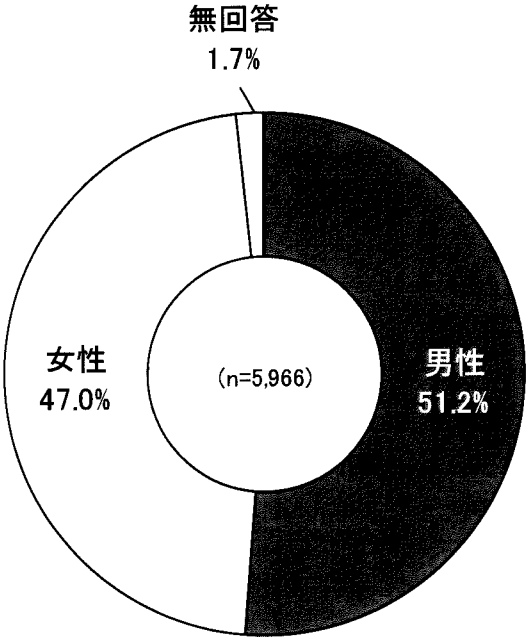
◇興味のある学問系統別

- 「アニメ・マンガ学部 アニメ・マンガ学科」と関連のある「芸術学（アニメ、マンガなどを含む）」関心者からの「アニメ・マンガ学部 アニメ・マンガ学科への入学意向者」は19.4%（**154人**）と、予定している入学定員（80人）を上回る。

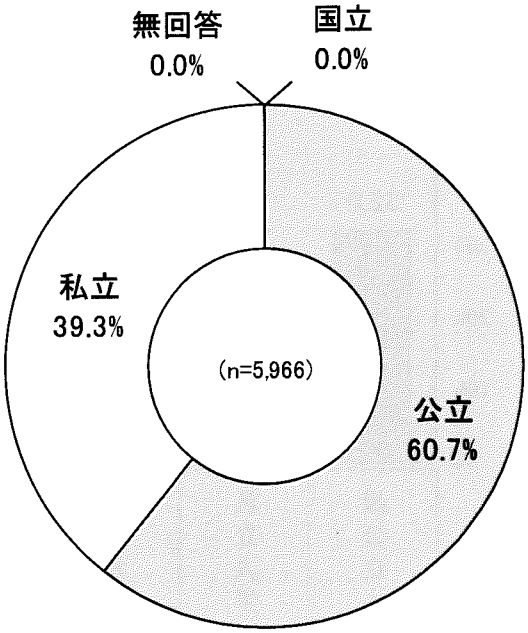
高校生対象 調査結果

回答者の属性（性別／高校種別／高校所在地／所属クラス）

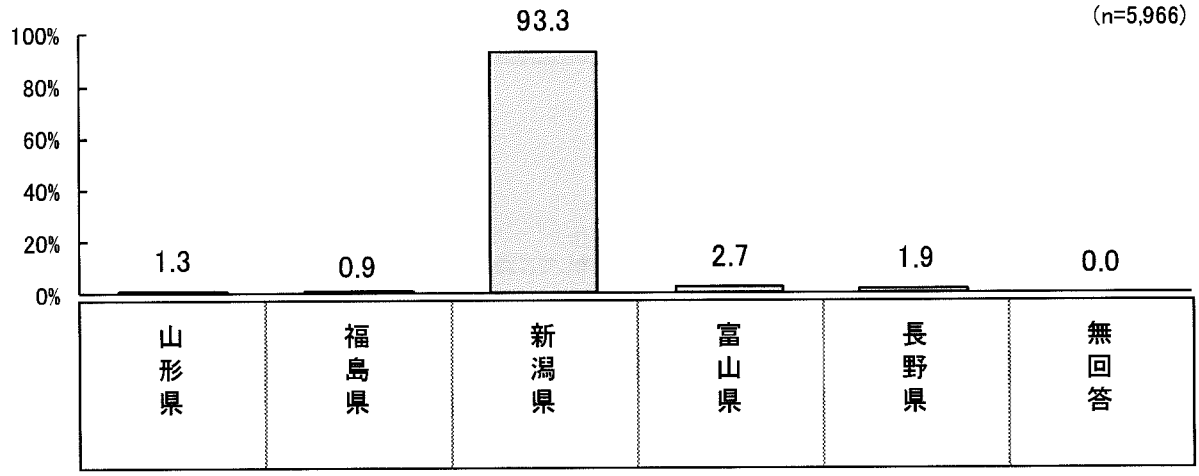
■性別



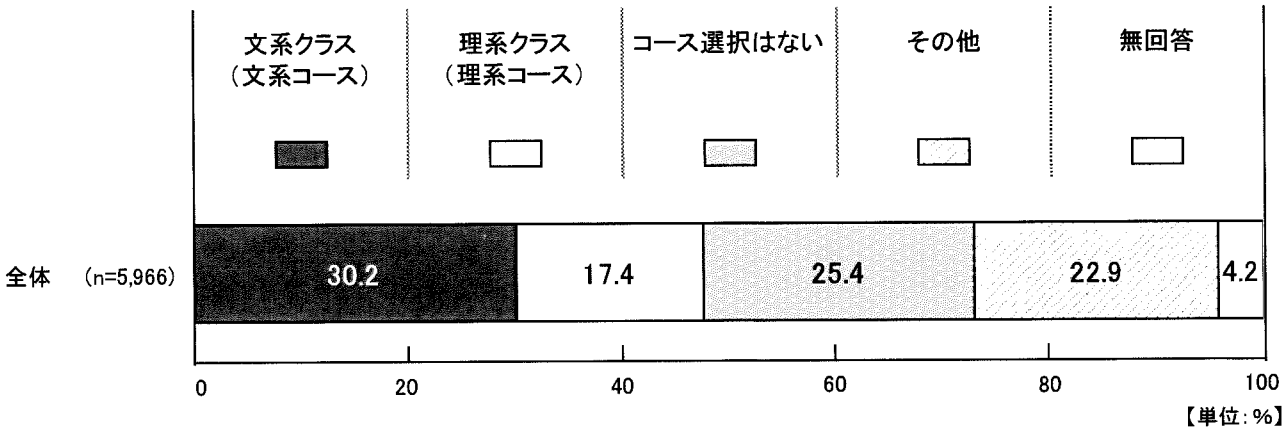
■高校種別



■高校所在地



■所属クラス

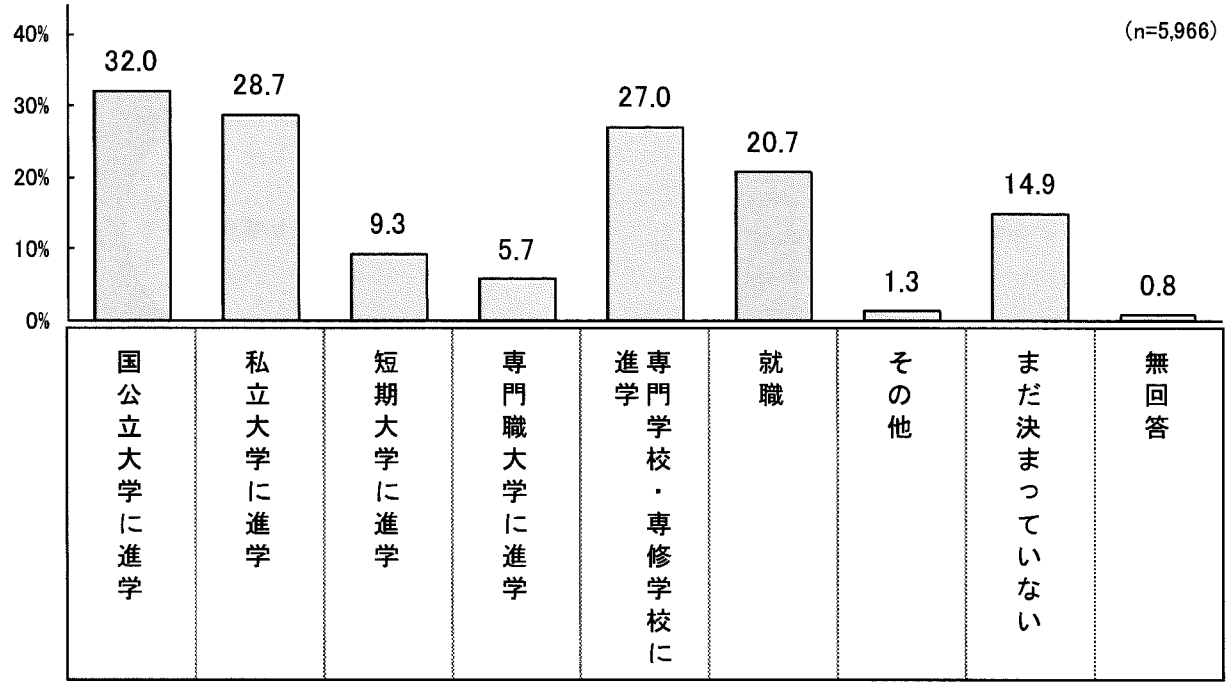


【単位：%】

高校卒業後の希望進路／興味のある学問系統

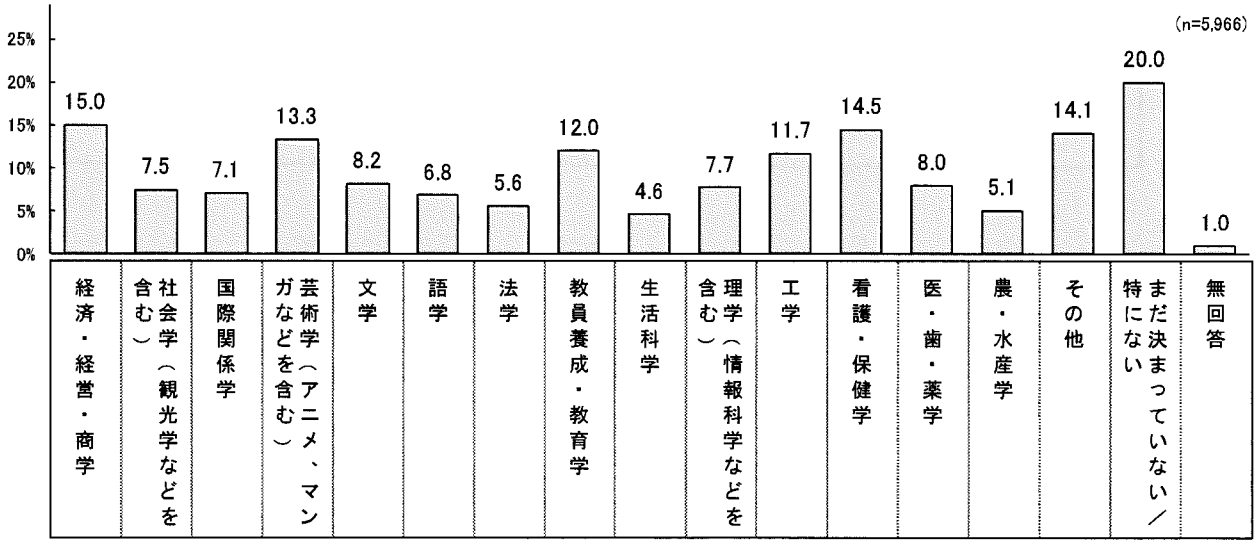
■高校卒業後の希望進路

Q1. あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。
あてはまるものすべてをお選びください。(いくつでも選択)



■興味のある学問系統

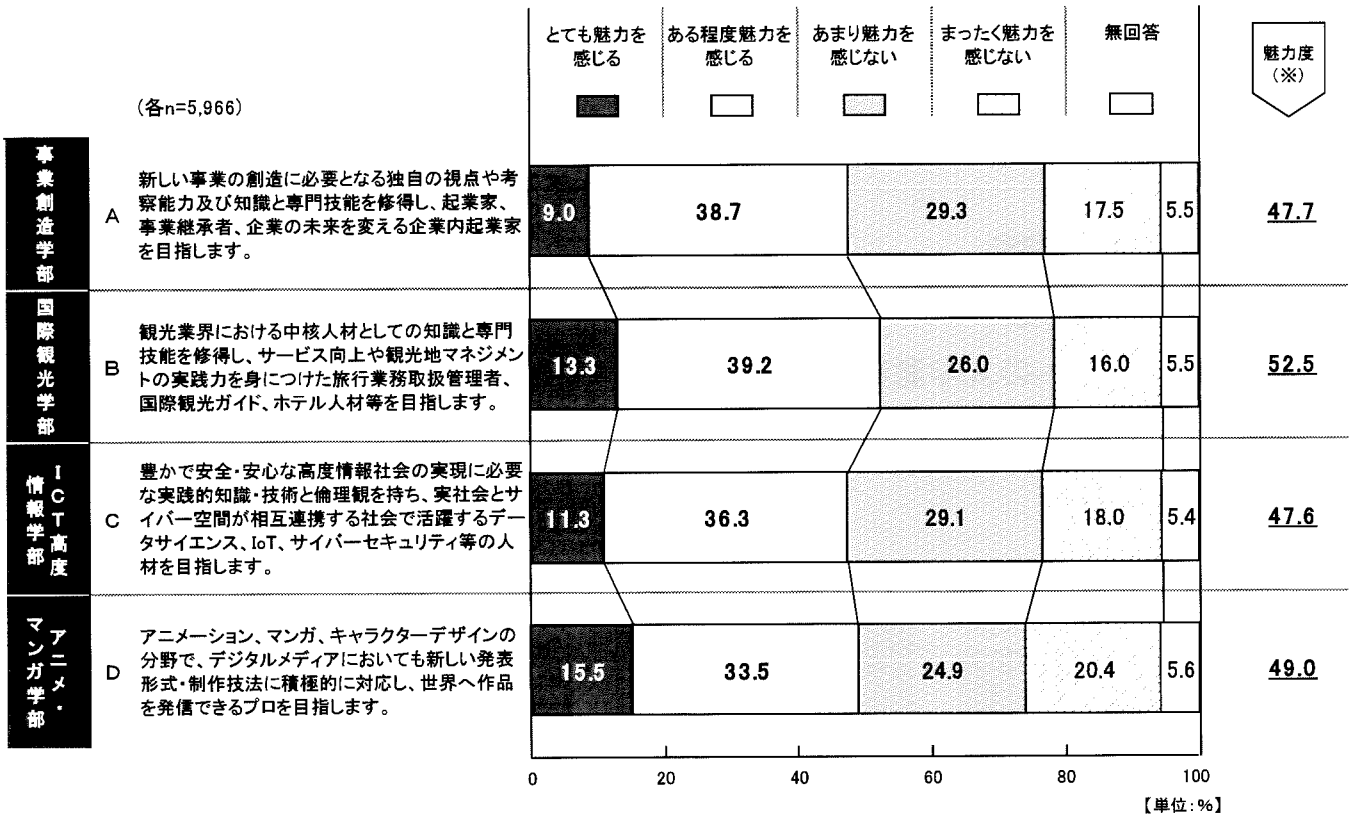
Q2. あなたは、どのような学問に興味がありますか。
あてはまるものすべてをお選びください。(いくつでも選択)
(現時点で進学を考えていない方も、進学する場合を想像してご回答ください。)



開志専門職大学の特色に対する魅力度／開志専門職大学への興味

■開志専門職大学の特色に対する魅力度

Q3. 開志専門職大学(仮称)には以下のような特色があります。
あなたは、それぞれの特色にどの程度魅力を感じるか、お選びください。
(それぞれ、1つだけ選択)

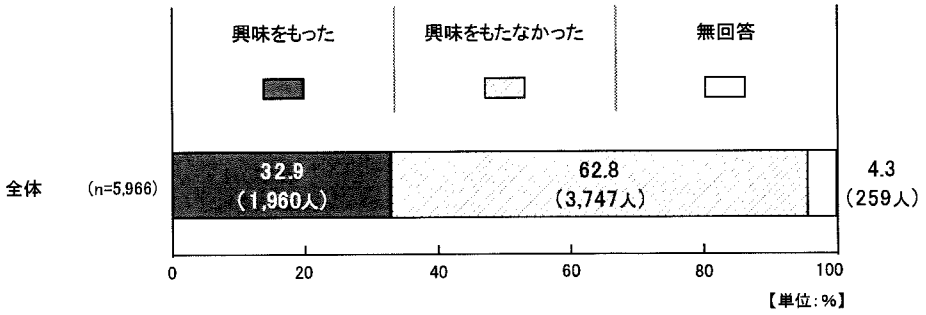


※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

■開志専門職大学への興味

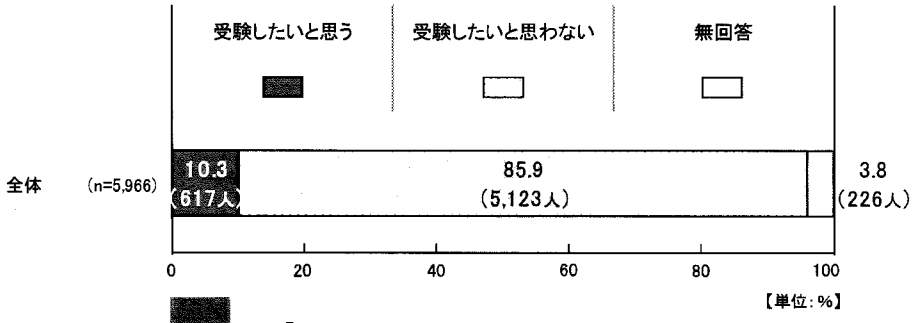
Q4. あなたは、開志専門職大学(仮称)に興味をもちましたか。あなたの気持ちに近い方をお選びください。(1つだけ選択)



開志専門職大学への受験意向／各学部・学科への入学意向

■開志専門職大学への受験意向

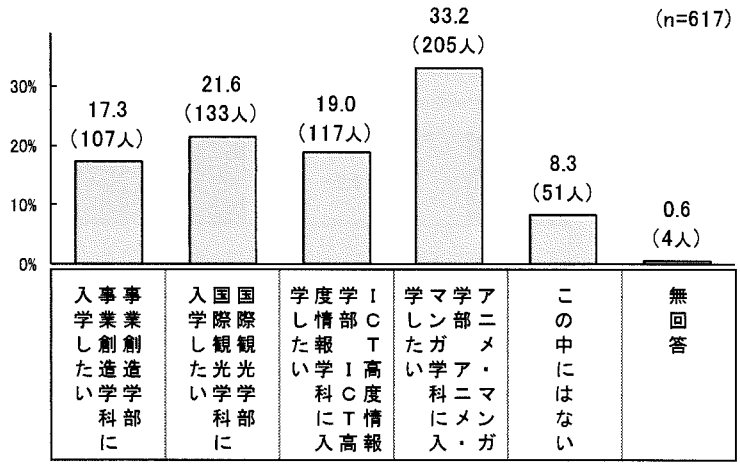
Q5. あなたは、開志専門職大学（仮称）の
いずれかの学部（事業創造学部、国際観光学部、ICT高度情報学部、アニメ・マンガ学部）を受験したいと思いますか。
あなたの気持ちに近い方をお選びください。（1つだけ選択）



「受験したいと思う」と答えた617人のみ抽出

■各学部・学科への入学意向

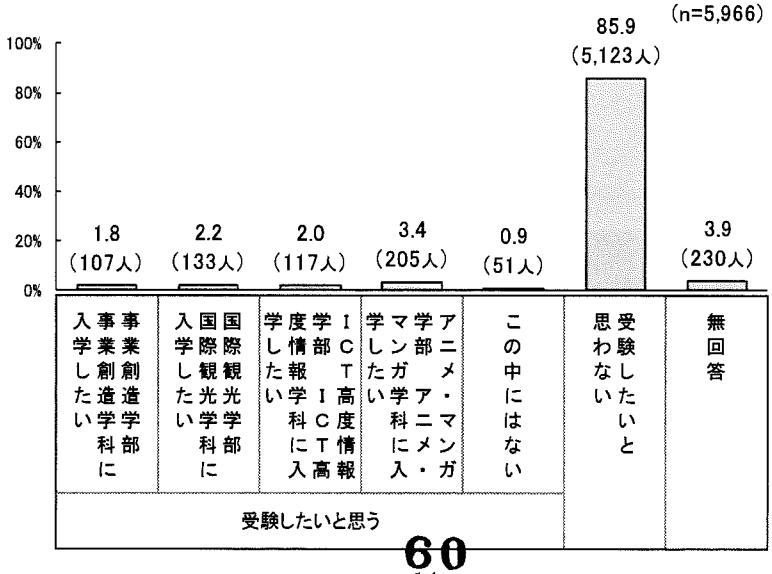
Q6. あなたは、開志専門職大学（仮称）を受験して合格したら、どの学部・学科に入学したいと思いますか。
あなたの気持ちに一番近いものをお選びください。（1つだけ選択）



※ Q5で「受験したいと思う」と答えた617人の回答

「受験意向（Q5）」と「入学意向（Q6）」をかけあわせて集計（母数は全回答者）

■各学部・学科への受験意向別入学意向

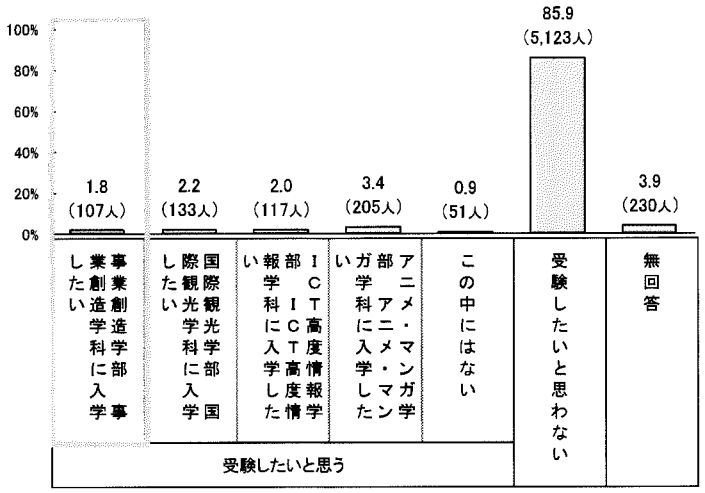


＜属性別＞

■「事業創造学部 事業創造学科」への受験意向別入学意向

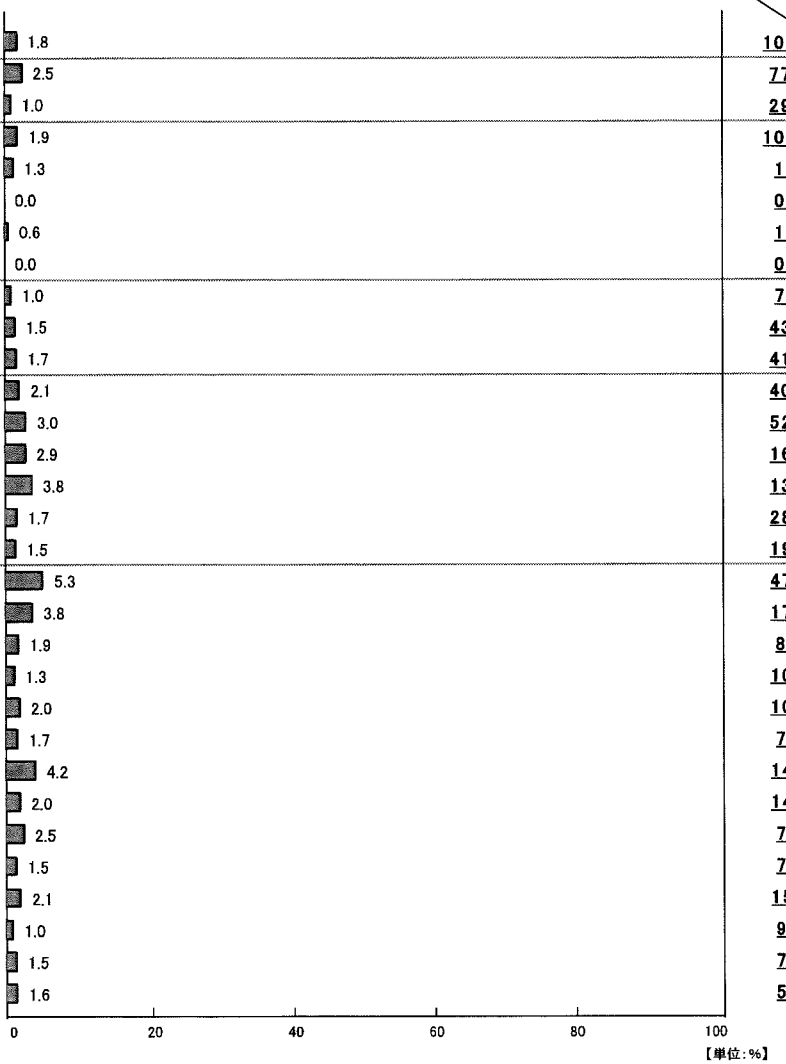
Q5. あなたは、開志専門職大学（仮称）の
いずれかの学部（事業創造学部、国際観光学部、ICT高度情報学部、アニメ・マンガ学部）を受験したいと思いますか。
あなたの気持ちに近い方をお選びください。（1つだけ選択）

（n=5,966）



＜属性別＞

			事業創造学部 事業創造学科 入学意向者数（※）
全体		(n=5,966) 1.8	107人
性別	男性	(n=3,057) 2.5	77人
	女性	(n=2,806) 1.0	29人
高校所在地別	新潟県	(n=5,564) 1.9	105人
	山形県	(n=80) 1.3	1人
	福島県	(n=52) 0.0	0人
	富山県	(n=159) 0.6	1人
	長野県	(n=111) 0.0	0人
高校進路区分別	超進学校・進学校	(n=672) 1.0	7人
	中堅校	(n=2,857) 1.5	43人
	多様校	(n=2,355) 1.7	41人
高校卒業後の希望進路別	国公立大学に進学	(n=1,911) 2.1	40人
	私立大学に進学	(n=1,711) 3.0	52人
	短期大学に進学	(n=557) 2.9	16人
	専門職大学に進学	(n=343) 3.8	13人
	専門学校・専修学校に進学	(n=1,612) 1.7	28人
	就職	(n=1,236) 1.5	19人
興味のある学問系統別	経済・経営・商学	(n=892) 5.3	47人
	社会学（観光学などを含む）	(n=448) 3.8	17人
	国際関係学	(n=423) 1.9	8人
	芸術学（アニメ、マンガなどを含む）	(n=795) 1.3	10人
	文学	(n=491) 2.0	10人
	語学	(n=407) 1.7	7人
	法学	(n=334) 4.2	14人
	教員養成・教育学	(n=715) 2.0	14人
	生活科学	(n=276) 2.5	7人
	理学（情報科学などを含む）	(n=457) 1.5	7人
	工学	(n=700) 2.1	15人
	看護・保健学	(n=868) 1.0	9人
	医・歯・薬学	(n=477) 1.5	7人
	農・水産学	(n=305) 1.6	5人

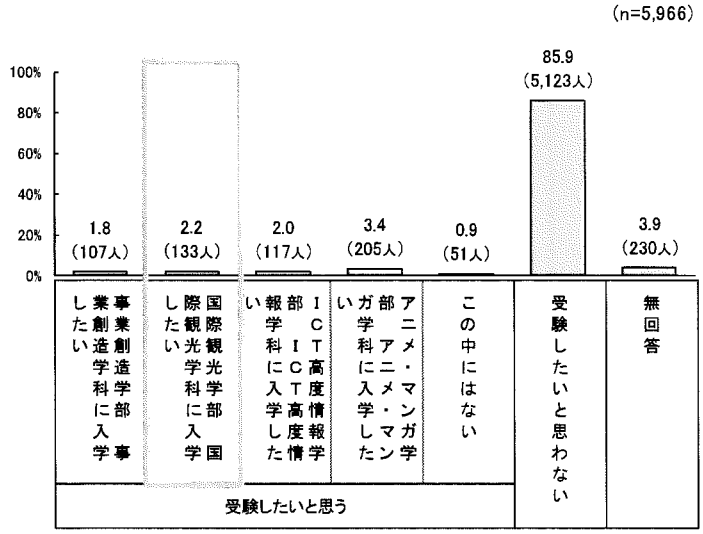


※入学意向者数＝「事業創造学部」「国際観光学部」「ICT高度情報学部」「アニメ・マンガ学部」のいずれかを「受験したいと思う」
かつ「事業創造学部　事業創造学科に入学したい」と回答した人の人数

＜属性別＞

■「国際観光学部 国際観光学科」への受験意向別入学意向

Q5. あなたは、開志専門職大学（仮称）の
いずれかの学部（事業創造学部、国際観光学部、ICT高度情報学部、アニメ・マンガ学部）を受験したいと思いますか。
あなたの気持ちに近い方をお選びください。（1つだけ選択）



＜属性別＞

			国際観光学部 国際観光学科 入学意向者数（※）
全体		(n=5,966) 2.2	133人
性別	男性	(n=3,057) 1.6	50人
	女性	(n=2,806) 2.9	81人
高校所在地別	新潟県	(n=5,564) 2.3	128人
	山形県	(n=80) 2.5	2人
	福島県	(n=52) 0.0	0人
	富山県	(n=159) 0.6	1人
	長野県	(n=111) 1.8	2人
高校進路区分別	超進学校・進学校	(n=672) 2.4	16人
	中堅校	(n=2,857) 2.5	72人
	多様校	(n=2,355) 1.9	45人
高校卒業後の希望進路別	国公立大学に進学	(n=1,911) 2.6	49人
	私立大学に進学	(n=1,711) 3.1	53人
	短期大学に進学	(n=557) 3.4	19人
	専門職大学に進学	(n=343) 5.5	19人
	専門学校・専修学校に進学	(n=1,612) 2.4	39人
	就職	(n=1,236) 1.9	24人
興味のある学問系統別	経済・経営・商学	(n=892) 3.3	29人
	社会学（観光学などを含む）	(n=448) 12.1	54人
	国際関係学	(n=423) 11.6	49人
	芸術学（アニメ、マンガなどを含む）	(n=795) 1.8	14人
	文学	(n=491) 2.6	13人
	語学	(n=407) 8.1	33人
	法学	(n=334) 2.7	9人
	教員養成・教育学	(n=715) 2.8	20人
	生活科学	(n=276) 3.3	9人
	理学（情報科学などを含む）	(n=457) 0.9	4人
	工学	(n=700) 1.4	10人
	看護・保健学	(n=868) 2.8	24人
	医・歯・薬学	(n=477) 2.1	10人
	農・水産学	(n=305) 4.9	15人

0 20 40 60 80 100

【単位：%】

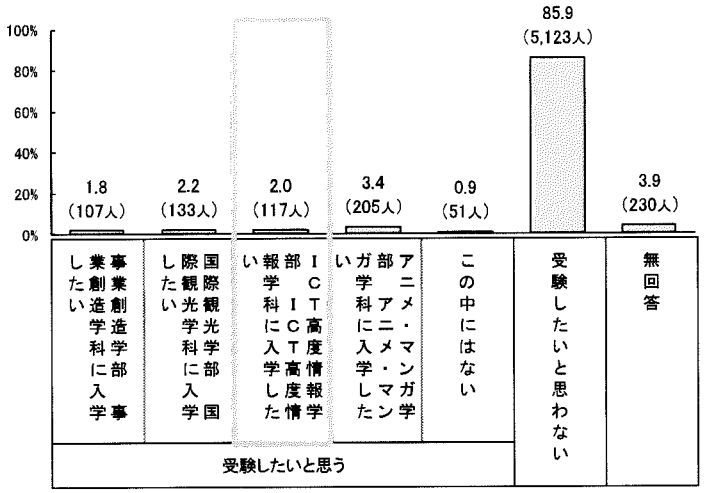
※入学意向者数＝「事業創造学部」「国際観光学部」「ICT高度情報学部」「アニメ・マンガ学部」のいずれかを「受験したいと思う」
かつ「国際観光学部 国際観光学科に入学したい」と回答した人の人数

＜属性別＞

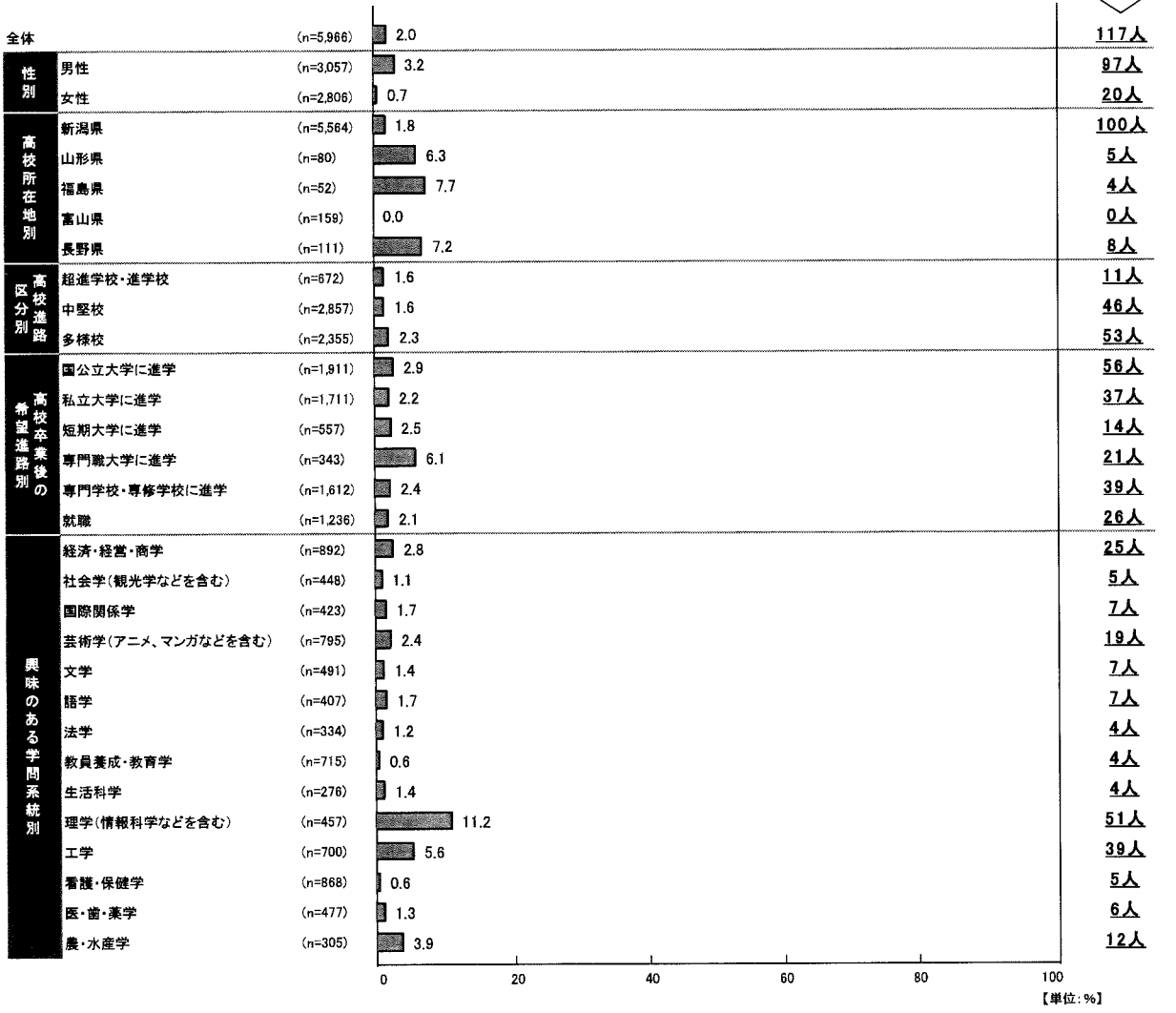
■「ICT高度情報学部 ICT高度情報学科」への受験意向別入学意向

Q5. あなたは、開志専門職大学（仮称）の
いずれかの学部（事業創造学部、国際観光学部、ICT高度情報学部、アニメ・マンガ学部）を受験したいと思いますか。
あなたの気持ちに近い方をお選びください。（1つだけ選択）

（n=5,966）



＜属性別＞



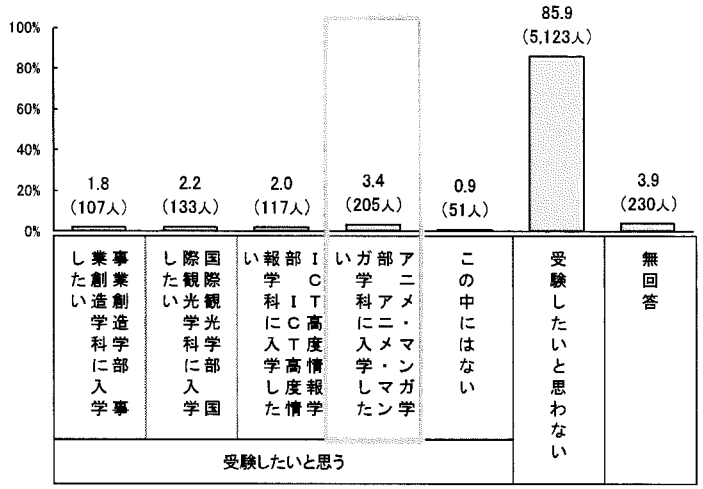
※入学意向者数＝「事業創造学部」「国際観光学部」「ICT高度情報学部」「アニメ・マンガ学部」のいずれかを「受験したいと思う」
かつ「ICT高度情報学部 ICT高度情報学科に入学したい」と回答した人の人数

＜属性別＞

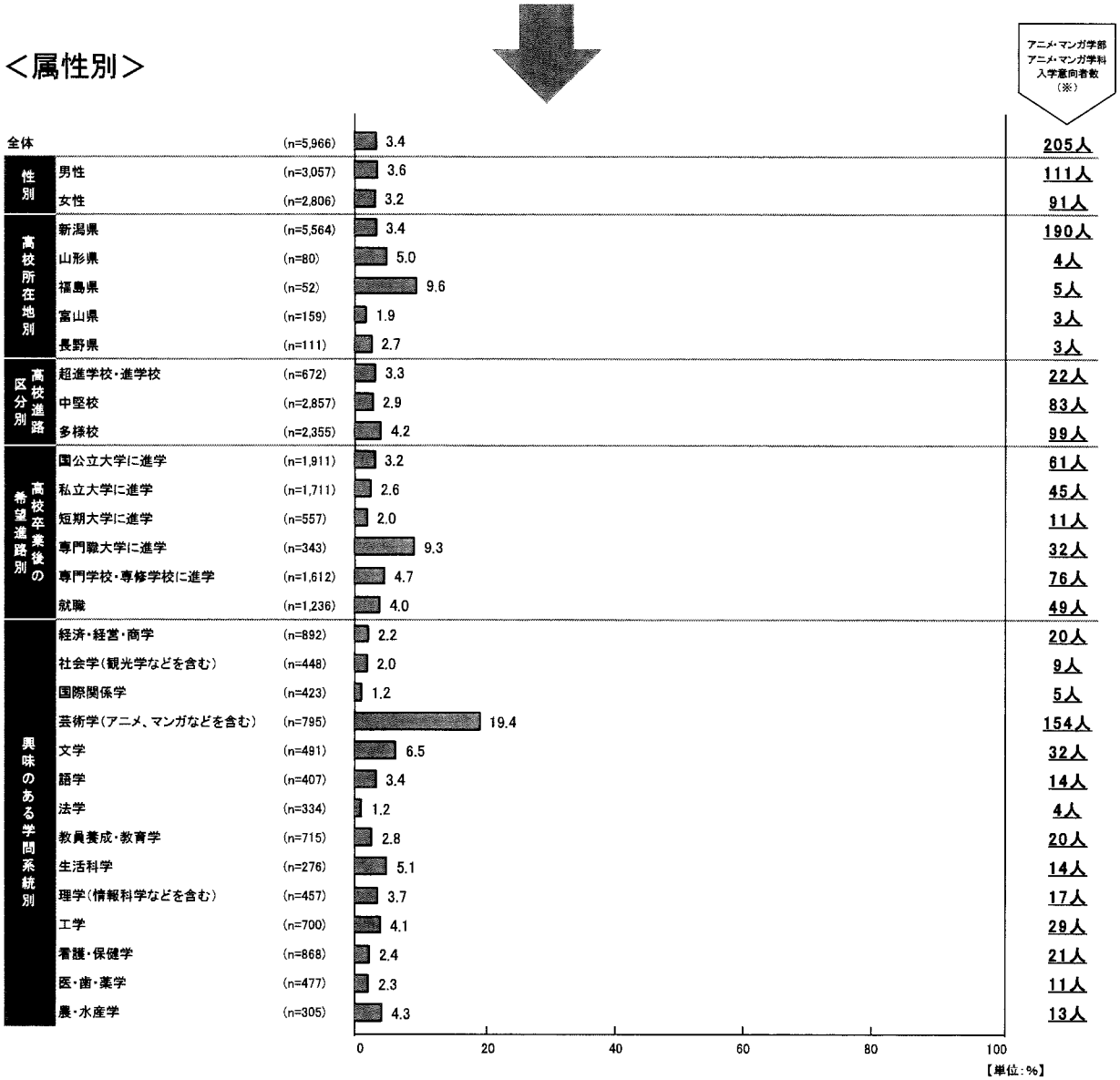
■「アニメ・マンガ学部 アニメ・マンガ学科」への受験意向別入学意向

Q5. あなたは、開志専門職大学（仮称）の
いずれかの学部（事業創造学部、国際観光学部、ICT高度情報学部、アニメ・マンガ学部）を受験したいと思いますか。
あなたの気持ちに近い方をお選びください。（1つだけ選択）

（n=5,966）



＜属性別＞



※入学意向者数＝「事業創造学部」「国際観光学部」「ICT高度情報学部」「アニメ・マンガ学部」のいずれかを「受験したいと思う」
かつ「アニメ・マンガ学部 アニメ・マンガ学科に入学したい」と回答した人の人数

巻末資料 調査票

高校生対象 調査票

18005

No

「開志専門職大学(仮称)」に関するアンケート

学校法人新潟総合学院は、2020年4月に新たに「開志専門職大学(仮称)」の設置を予定しております。
本アンケートは高校生の皆様からご意見をお聞きし、より充実した大学とするための参考資料とさせていただくものです。
本アンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、**個人を特定することは一切ございません**。
つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。
※ 本アンケートや同封資料に記載の事項は現在構想中であり、内容が変更となる場合がございます。

記入の方法

1 回答は、あてはまる項目の□枠に✔をつけてください。
2 この用紙は、電算処理しますので、汚さないようにしてください。
3 記入にあたっては、必ず鉛筆またはシャープペンシルで濃く書いてください。
4 質問により、1つだけ答えるものと、複数答えるものがあります。
5 下記の【良い記入例】にしたがって記入してください。

【記入例】
Q あなたは、どのような学問に興味がありますか。(いくつでも選択)

良い記入例: ☑ 文学 □ 法学 □ 社会学 / □ 語学 ☑ 国際関係

悪い記入例: □ 文学 □ 法学 □ 社会学 / ■ 語学 □ 国際関係

Ⅰ あなた自身についてお聞きします。

在籍している学校名	] 高等学校	性別 (1つだけ選択)	□ 男性 □ 女性
所属クラス (1つだけ選択)	□ 文系クラス (文系コース) □ コース選択はない □ 理系クラス (理系コース) □ その他 [ ]		

Ⅱ 高校卒業後の進路や、興味のある学びについてお聞きします。

Q1. あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。
あてはまるものすべてをお選びください。(いくつでも選択)

□ 国公立大学に進学
□ 私立大学に進学
□ 短期大学に進学
□ 専門職大学に進学
□ 専門学校・専修学校に進学
□ 就職
□ その他
□ また決まっていない

Q2. あなたは、どのような学問に興味がありますか。
あてはまるものすべてをお選びください。(いくつでも選択)
(現時点で進学を考えていない方も、進学する場合を想像してご回答ください。)

□ 経済・経営・商学
□ 社会学(観光学などを含む)
□ 国際関係学
□ 芸術学(アニメ、マンガなどを含む)
□ 文学
□ 語学
□ 法学
□ 教員養成・教育学
□ 生活科学
□ 理学(情報科学などを含む)
□ 工学
□ 看護・保健学
□ 医・歯・薬学
□ 農・水産学
□ その他
□ また決まっていない／特にない

高校生対象 調査票

18006

Ⅲ 開志専門職大学(仮称)についてお聞きします。

**別紙の「専門職大学説明資料」、「大学案内リーフレット」を
お読みいただいた上で、ご回答ください。**

Q3. 開志専門職大学(仮称)には以下のような特色があります
あなたは、それぞれの特色にとの程度魅力を感じるか、お選びください
(それぞれ、1つだけ選択)

				とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない
例.	○○を修得し、△△を目指します			□	☑	□	□
A	事業創造学部	新しい事業の創造に必要となる独自の視点や考察能力及び知識と専門技能を修得し、起業家、事業継承者、企業の未来を変える企業内起業家を目指します		□	□	□	□
B	国際観光学部	観光業界における中核人材としての知識と専門技能を修得し、サービス向上や観光地マネジメントの実践力を身につけた旅行業務取扱管理者、国際観光ガイド、ホテル人材等を目指します		□	□	□	□
C	ICT高度情報学部	豊かで安全・安心な高度情報社会の実現に必要な実践的知識・技術と倫理観を持ち、実社会とサイバー空間が相互連携する社会で活躍するデータサイエンス、IoT、サイバーセキュリティ等の人材を目指します		□	□	□	□
D	アニメ・マンガ学部	アニメーション、マンガ、キャラクターデザインの分野で、デジタルメディアにおいても新しい発表形式・制作技法に積極的に対応し、世界へ作品を発信できるプロを目指します		□	□	□	□

Q4. あなたは、開志専門職大学(仮称)に興味をもちましたか あなたの気持ちに近い方をお選びください (1つだけ選択)

□ 興味をもった　　□ 興味をもたなかった

Q5. あなたは、開志専門職大学(仮称)の
いずれかの学部(事業創造学部、国際観光学部、ICT高度情報学部、アニメ・マンガ学部)を受験したいと思いますか
あなたの気持ちに近い方をお選びください (1つだけ選択)

□ 受験したいと思う　　□ 受験したいと思わない

Q6. あなたは、開志専門職大学(仮称)を受験して合格したら、との学部・学科に入学したいと思いますか
あなたの気持ちに一番近いものをお選びください (1つだけ選択)

□ 事業創造学部 事業創造学科に入学したい
□ 国際観光学部 国際観光学科に入学したい
□ ICT高度情報学部 ICT高度情報学科に入学したい
□ アニメ・マンガ学部 アニメ・マンガ学科に入学したい
□ この中にはない

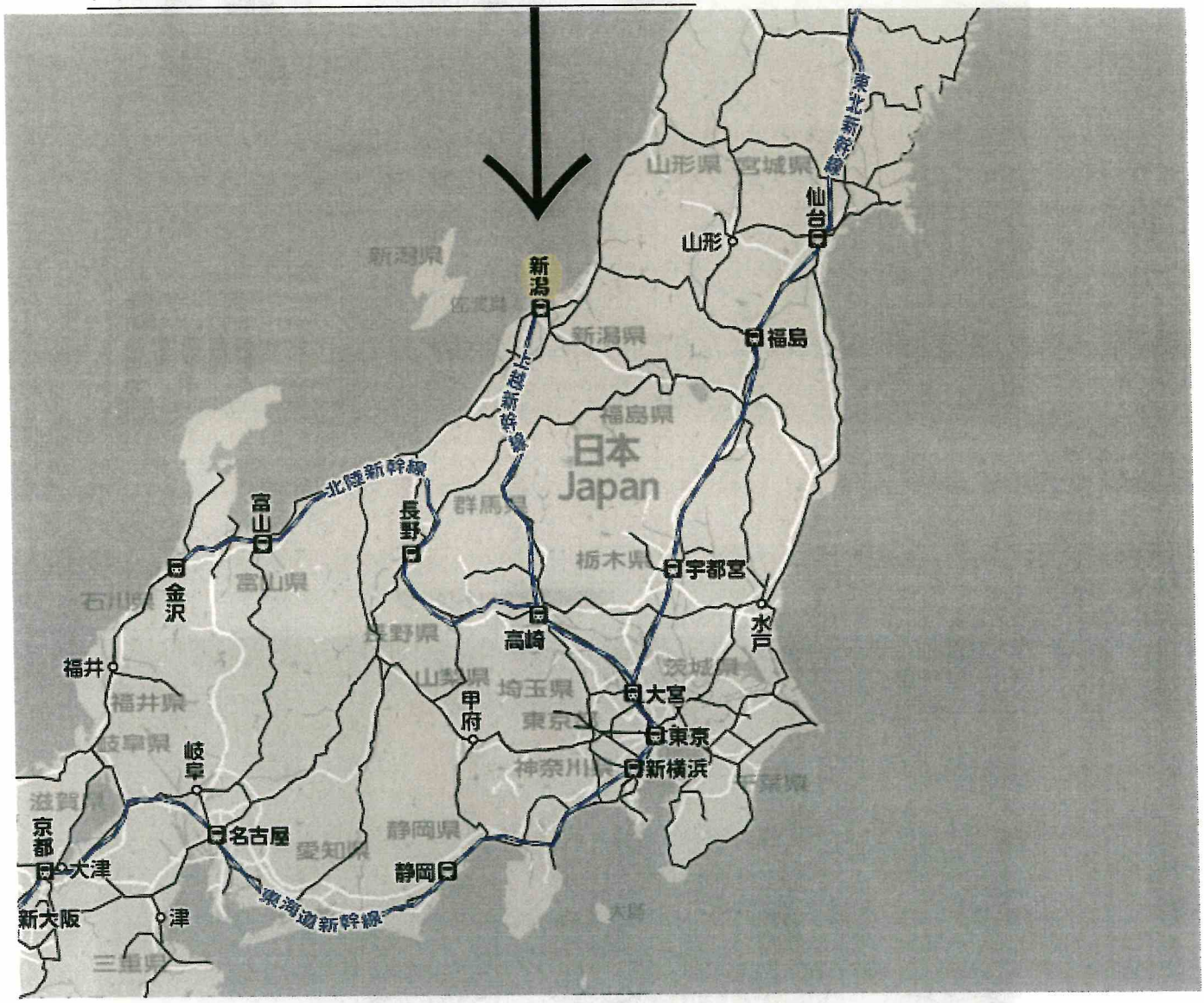
～質問は以上です。ご協力ありがとうございました。～

１３．学生の確保の見通し等を記載した書類

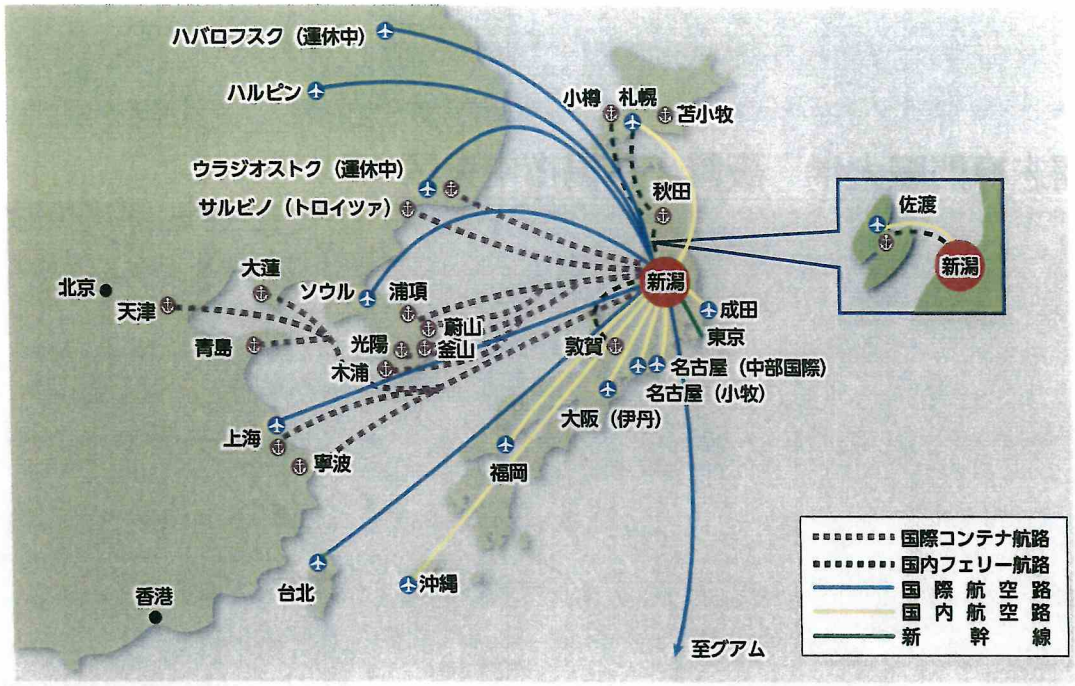
【資料 8】

※新潟市の位置関係図（Yahoo! Japan 路線情報より）

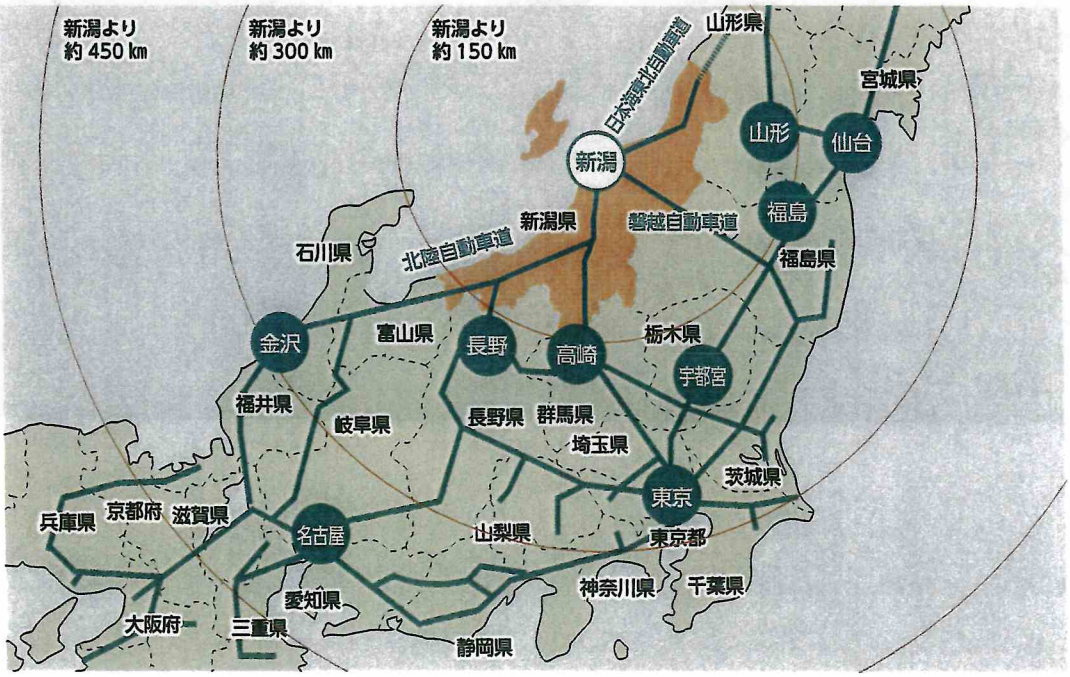
開志専門職大学　設置：新潟市中央区



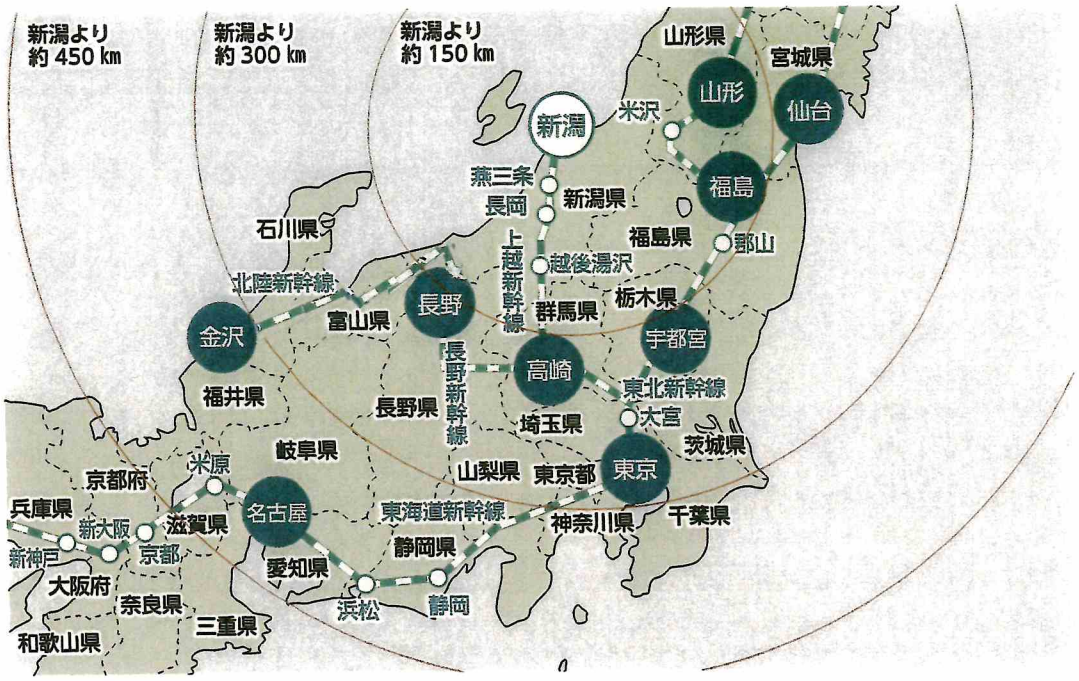
航路・空路ネットワーク



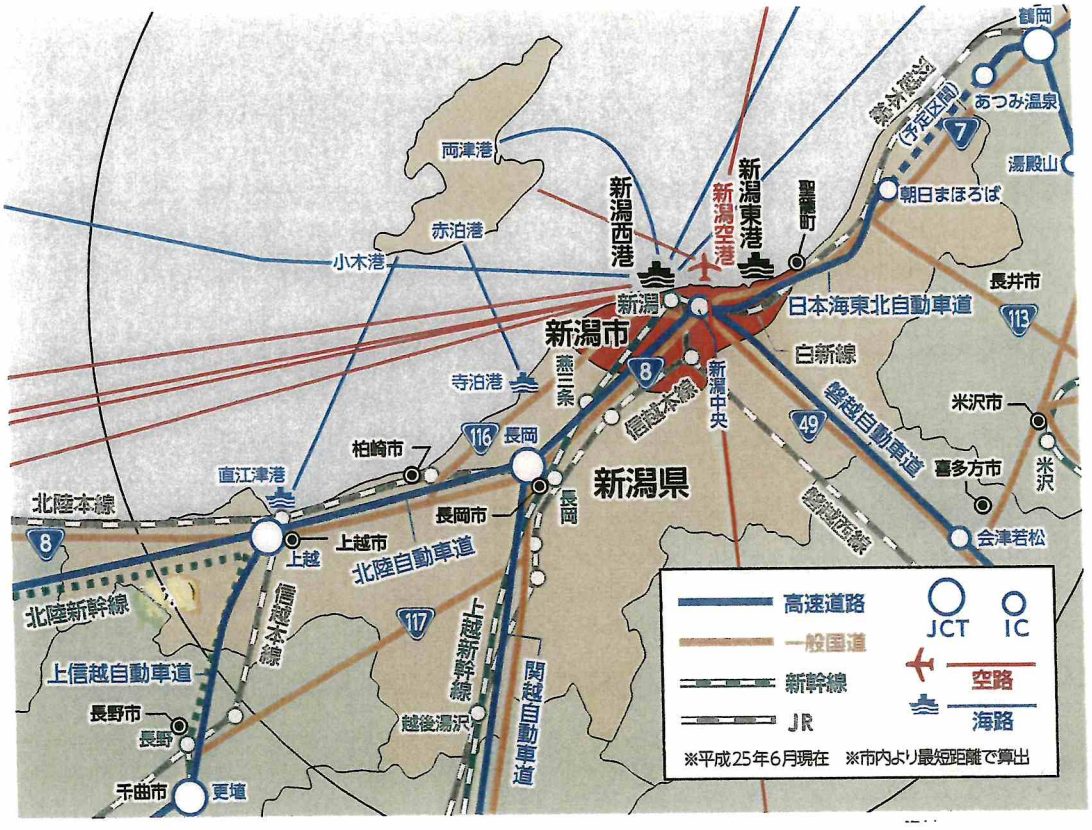
高速道路ネットワーク



新幹線ネットワーク



新潟圏域の交通ネットワーク



１３．学生の確保の見通し等を記載した書類

【資料 9】

【資料９】

設置圏周辺地域における同分野の学部・学科の学生納付金一覧

●各大学のホームページに公表している平成30年度入学者を対象とした学生納付金金額を反映。
●諸会費(後援会費、同窓会、学友会費等)や学生保険加入費、教材購入費等は含まない。

事業創造学部と同分野の学部・学科の学生納付金一覧

(単位：千円)

大学名	学部・学科	入学金	授業料	施設設備費	実習費	学費合計
新潟経営大学	経営情報学部 経営情報学科	200	670	320	50	1,040
新潟産業大学	経済学部 経済経営学科	210	660	230	0	890
長岡大学	経済経営学部 経済経営学科	200	650	300	0	950
新潟国際情報大学	経営情報学部 経営学科	100	675	250	100	1,025

大学名	学部・学科	入学金	授業料	施設設備費	実習費	学費合計
開志専門職大学	事業創造学部 事業創造学科	200	780	200	100	1,080

情報学部と同分野の学部・学科の学生納付金一覧

(単位：千円)

大学名	学部・学科	入学金	授業料	施設設備費	実習費	学費合計
新潟国際情報大学	経営情報学部 情報システム学科	100	675	250	100	1,025
新潟工科大学	工学部 工学科知能機械・情報通信学系	200	880	250	150	1,280

大学名	学部・学科	入学金	授業料	施設設備費	実習費	学費合計
開志専門職大学	情報学部 情報学科	200	960	240	180	1,380

１３．学生の確保の見通し等を記載した書類

【資料 10】

【資料10】学生確保に向けた具体的な取組

事項	時期	内容
１．高等学校訪問	2019年内 ４回実施 予定	○訪問範囲：新潟県93校・新潟隣県５県（福島県106校/山形県61校/長野県96校/富山県20校/群馬県10校）・埼玉県10校 ○開志専門職大学設置準備室内、８名体制にて実施。 【１回目：２月】 …大学コンセプトブック（プレパンフレット）を作成し、各学部教育内容の特色を説明。大学ポスターの配布と共に、オープンキャンパス開催の案内告知。 【２回目：５月】 …専任教員予定者の紹介、入試概要の説明。 【３回目：９月】 …募集要項の配布、入試詳細内容の説明。 【４回目：１２月】 …各高校 AO・推薦入試受験者の合格者・不合格者の報告。
２．オープン キャンパス	2019年内 4月より 毎月１回 開催予定 （年間で １０回 開催予定）	○無料送迎バスの運行：新潟県、福島県、山形県、長野県 富山県、群馬県、埼玉県より開催会場までの無料送迎バス を運行し、遠方者の支援を図る。 ○オープンキャンパスメニュー ・大学全体方針・専門職大学の特色説明。 ・各学部別 教育内容の説明と模擬授業。 （希望学部別に分かれ、分科会形式をとる） ・入学者選抜制度説明、学費説明。 ・個別相談時間。 高度な実践力と豊かな創造力を育成するため特色となる実習 内容や、職業専門科目・展開科目を中心とした教育課程の について訴求を強める説明を行う。 ○無料送迎バスエリア外の各県については、出張オープン キャンパスを開催予定。 ○オープンキャンパス 来場者見込み者数 事業創造学部希望者：約３５０名 情報学部希望者：約４００名

3．高校教員向け説明会	随時開催	○新潟県内・隣県公開会場、または各高校内に出張し説明会を実施。 ＜新潟県内開催予定エリア　１０カ所＞ 新潟市、新発田市、村上市、三条市、長岡市、魚沼市、柏崎市、上越市、妙高市、佐渡市 ＜新潟隣県開催予定エリア　１０カ所＞ 長野県：長野市、松本市、上田市 山形県：山形市、酒田市、鶴岡市 福島県：会津若松市、郡山市、福島市 富山県：富山市 ○2019年1月22日に新潟県内の全工業高校の進路指導部が集まる研究会において、大学概要説明を開催済み。
4．保護者向け説明会	オープンキャンパス同時開催	○オープンキャンパス開催時、募集対象者と別プログラムにて同時開催。学費、奨学金制度、想定される卒業後の進路、一人暮らしに関する説明時間を多く設けることで、保護者の求める情報を的確に伝えていく。 ○保護者向け説明会　来場見込者数 ２０１９年全１０回のオープンキャンパスにて 約１００名。
5．進学相談会	2019年 ４～９月	○東日本の主要都市を中心に参加し、各会場において大学の特色について訴求する。 【参加予定　進学相談会 開催市】 ４月：秋田市、弘前市、前橋市 ５月：山形市、郡山市、福島市、会津若松市 ６月：新潟市、長岡市、上越市、長野市、松本市、高崎市、富山市 ７月：新潟市、長岡市、長野市、仙台市 ９月：新潟市、福島市、郡山市、長野市、松本市、山形市、秋田市、仙台市 ○進学相談会 来場者見込み者数 新潟県内合計：約１５０名、新潟県外合計：約１５０名 計約３００名。
6．１～５以外の施策について（各種WEB広報）	2019年 2月以降	○新潟県内、近隣県だけでなく全国から学生を積極的に募集するため、WEBを利用する。 ○広報活動を積極的に行う。SNSマーケティングを有効活用し随時アクセス解析を行い各地域の市場動向を把握する。 活用SNS：LINE、Twitter、Youtube、Instagram、Facebook

１３．学生の確保の見通し等を記載した書類

【資料 11】

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

地域イノベーション

地域経済の活性化を図っていくためには、地域の潜在能力を結集してイノベーションを創出し、新事業・新産業を起こすことが必要です。そのために、地域の産学官ネットワークの強化によるイノベーション創出環境の整備等を強力に支援します。

全国鉱工業公設試験研究機関保有機器・研究者情報検索システム

全国鉱工業公設試験研究機関保有機器・研究者情報検索システム

ユーザーが鉱工業公設試験研究機関（以下、「公設試」。）が保有する機器及び研究者情報等の検索を行う場合、 これまで各地域ブロック単位などで運営されている検索システムや各公設試のホームページによる検索システムが広く利用されてきましたが、 全国大や地域ブロックを越えて情報の検索を行う場合には、いくつもの検索システムを介して行わなければならず、 全国の情報を一括して検索するシステムの構築が強く求められてきました。 それを受け、今般、各地域ブロックで運営されている公設試データベース等の情報を基に、 全国の公設試が保有する機器や全国の公設試に所属する研究者情報に係る全国規模の情報について、 ユーザーが簡便かつ円滑に検索することができる検索システムを構築しました。

地域新産業の創出促進・基盤強化のための支援

地域新産業戦略推進事業（平成２５年度）（PDF形式：152KB）

本事業は、地方自治体の行政区域を跨る地域経済社会（広域経済圏）において、産学官等の様々な主体のネットワークを形成することにより、地域が有する多様な強みや特長、潜在力等をより積極的に活用した新たな成長産業群の創出・育成（新たな産業資本の集積）を推進することを目的として実施します。

地域新成長産業創出促進事業費補助金（地域新産業集積戦略推進事業）交付要綱（PDF形式：260KB）

地域新成長産業創出促進事業費補助金（イノベーション基盤強化事業）交付要綱（PDF形式：235KB）

地域新産業創出基盤強化事業（平成２４年度補正）（PDF形式：165KB）

本事業は、我が国における成長産業の育成を図るため、地域における新産業の創出に向けて、地域の中核的な試験研究機関（公設試験研究機関）の基盤強化を行うことを目的として実施します。

地域イノベーション創出に向けた研究に対する支援

地域イノベーション創出実証研究補助事業（平成２４年度終了）（PDF形式：175KB）

地域イノベーション創出研究開発事業（平成２３年度終了）（PDF形式：147KB）

地域の資源や技術を活かした新事業、新産業創出による地域経済の活性化を図るため、地域の中小企業をはじめとする産学官のリソースを最適に組み合わせた研究体による実証研究等を支援しました。

地域イノベーション戦略推進地域

平成２３年度から、地域イノベーションの創出に向けた地域の主体的かつ優れた構想に対して、関係府省の施策を総動員して支援するため、文部科学省、農林水産省、総務省と連携して、「地域イノベーション戦略推進地域」の選定を行っています。詳細については、下記の文部科学省ＨＰを御確認ください。

地域イノベーション戦略推進地域(平成26年度公募分)選定結果等

地域イノベーション戦略推進地域(平成25年度公募分)選定結果等

地域イノベーション戦略推進地域(平成24年度公募分)選定結果等

地域イノベーション戦略推進地域(平成23年度公募分)選定結果等

「地域イノベーション戦略推進地域（東日本大震災復興支援型（平成24年度公募分））」については、復興庁が文部科学省、経済産業省及び農林水産省と連携して選定を行いました。詳細については、下記の文部科学省ＨＰを御確認ください。

地域イノベーション戦略推進地域（東日本大震災復興支援型(平成２４年度公募分)）選定結果等

産業クラスター政策

平成１３年度より、我が国産業の国際競争力を強化するとともに、地域経済の活性化に資するため、全国各地に企業、大学等が産学官連携、産産・異業種連携の広域的なネットワークを形成し、知的資源等の相互活用によって、地域を中心として新産業・新事業を創出される状態（産業クラスター）の形成を図ってきました。当事業に対す

る国の直接的な支援は平成２１年度で終了していますが、これまで当事業を通じて各地に構築されたネットワーク等を活用し、各地で自立的にクラスター活動が進められています。

産業クラスター政策について

調査・報告

平成22年度地域新成長産業創出促進事業（イノベーション創出基盤強化事業）報告書（lzh形式：26,627KB）

平成21年度地域イノベーション創出研究開発事業　成果事例集（PDF形式：8,408KB）

（ZIP形式:8,320KB）

リンク

全国イノベーション推進機関ネットワーク

（平成２１年４月に設立され、全国のクラスターや地域間の情報共有、連携強化等、地域イノベーション創出のためのプラットフォーム的役割を担う組織）

お問合せ先

地域経済産業グループ 地域新産業戦略室
電話:03-3501-8794(直通)
FAX:03-3580-7917

最終更新日：2013年7月11日

『地域資源を活用した新商品・新サービスの事業化を支援して欲しい』

中小企業地域資源活用プログラム
～地域資源を活用した新商品・新サービスの事業化に対する支援～

地域資源を活用して新商品や新サービスを開発する中小企業者に対して、法的措置や予算措置、金融措置などにより総合的な支援を展開します。

中小企業者が、地域資源を活用した新商品・新サービスの事業化を行う際、「中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の促進に関する法律(以下、「中小企業地域資源活用促進法」)に基づく支援の他、様々な支援を受けることができます。

■「中小企業地域資源活用促進法」について

この法律では、地域経済が自立的・持続的な成長を実現していくために、各地域の「強み」である地域資源(産地の技術、農林水産品、観光資源)を活用した中小企業の新商品・新サービスの開発・市場化を総合的に支援します。

対象となる方

地域資源を活用して新商品・新サービスの開発・市場化に取り組む中小企業者等

支援内容

1.「中小企業地域資源活用促進法」に基づく支援

中小企業地域資源活用促進法に基づいて、中小企業者が単独又は共同で、地域資源を活用して新商品・新サービスの開発・市場化を行う「地域産業資源活用事業計画」を作成し、認定を受けると、補助金、低利融資、課税の特例等の各種支援策(※)をご利用になれます。

なお、個別の支援策ごとに支援機関の審査や確認が必要となる場合があります。

各種支援施策一覧

(1)地域資源活用売れる商品づくり支援事業:上限3000万円(補助率2/3以内)
試作品開発、展示会出展等に係る費用の一部を補助します。

(2)マーケティング等の専門家によるサポート支援(新事業創出支援事業)(34頁参照)
事業計画作成から試作品開発、販路開拓まで一貫したサポート支援を実施します。

(3)中小企業基盤整備機構が主催する商談会、アンテナショップ等に対する優先的な出展
中小企業基盤整備機構が主催する商談会やアンテナショップ等に優先的に出展できます。

(4)政府系金融機関による融資制度(31頁参照)
設備資金及び長期運転資金について融資される制度があります。

(5)信用保証の特例(125頁参照)
保証限度額の拡大等の特例が適用されます。

(6)食品流通構造改善促進機構による債務保証等
食品関係の事業を行う場合は、必要な資金の借入に対し、債務保証等を受けられます。

(7)中小企業投資育成株式会社法の特例(24頁参照)
中小企業投資育成株式会社に相談・申込みをいただき、審査を通過すれば、設立の際に発行される株式の引き受けなどの支援を受けられます。

(8)課税の特例(139頁参照)
機械及び装置を取得等した場合、特別償却又は税額控除を選ぶことができます。(別途、一定の要件があります。)

ご利用方法

(1)まず、活用しようとする地域資源が、都道府県が策定する基本構想に記載されている必要がありますので、経済産業局、都道府県等にお問い合わせ下さい。

(2)「地域産業資源活用事業計画」が出来ましたら、都道府県の担当部局に申請して下さい。
※「地域産業資源活用事業計画」を策定する際には、全国10カ所に設置されている機構支部・事務所で、サポート支援が受けられます(新事業創出支援事業)。

■地域資源を活用した新たな事業創出及び販路開拓等の取組に対する支援

(1)地域資源活用販路開拓等支援事業:上限1,000万円(補助率1/2以内)
地域資源を活用した商品の販路開拓などに地域一体で取り組む組合等に対し、展示会出展等の費用の一部を補助します。
→詳細については下記アドレスまで
http://www.chusho.meti.go.jp/shogyo/chiiki/2010/100215ChiikiShigenHanroKoubo.htm

(2)地域産品販路開拓機会提供支援事業(164頁参照)
・展示・商談会の開催や、百貨店等における販売スペースの設置を通じて、「バイヤーとの商談機会の提供」、「消費者への商品紹介の機会拡大」、「百貨店等における一般的な商流を中小企業者が体験することによるノウハウ蓄積」を実現。商品の更なる販路開拓を促進するとともに、中小企業者自身が自力で販路拡大を実施できる能力の獲得等を支援する。

(3)地域中小企業応援ファンド (167頁参照)
中小企業基盤整備機構が資金提供を行い、都道府県、地域金融機関等と一体となって「地域中小企業応援ファンド」を組成し、地域資源を活用した取組などに対し、シーズの発掘等に対する助成や、新事業展開を行う中小企業等に対する出資等の支援を行います。

(4)JAPANブランド戦略展開支援事業(166頁参照)
地域の関係事業者が一体となって、国際市場で通用する高いブランド力(JAPANブランド)の構築を目指す取組を支援します。

(5)中小企業応援センター事業(8頁参照)
・中小企業の日常的な経営支援に取り組む中小企業団体や税理士・公認会計士などの支援機関の経営支援機能を補完・強化するため、その後方支援機関として「中小企業応援センター」を全国84カ所に設置し、支援機関を通じて、農商工連携・経営革新等をテーマとした中小企業への専門家派遣や、窓口相談等により、中小企業の経営力向上を図ります。

(6)中小機構基盤整備機構による各種展示会・商談会等の販路開拓支援
「出会う、ふれあう、地域の魅力」キャンペーンの一環として、地域中小企業の取引機会やテストマーケティングの機会の拡大を図るため、中小企業基盤整備機構が展示会・商談会等を実施します。

※「出会う、ふれあう、地域の魅力」キャンペーンの実施

地域経済を支える農林漁業者等や中小企業者の、農商工連携や地域資源活用等により開発した商品・サービス等や、魅力ある隠れた地域産品等について、全国規模での展示会、商談会等の開催を通じて、首都圏等のバイヤー等との商談機会を提供し、全国規模等での販路開拓・拡大を目指すことにより、地域経済活性化の推進を図っています。
→詳細については右記アドレスまで http://www.chusho.meti.go.jp/shogyo/shinjigyo/index.htm

※地域資源を活用して、新たなビジネスを創設するのに役立つ様々な情報チャンネル
地域資源活用チャンネル http://j-net21.smrj.go.jp/expand/shigen/index.html

お問い合わせ先

１３．学生の確保の見通し等を記載した書類

【資料 12】

新潟県

新潟県総合計画
2017年度 – 2024年度

にいがた未来創造プラン

平成30年1月

新　潟　県

第４章　政策展開の基本方向

１　政策展開の基本的な視点

本計画の基本理念及び将来像の実現に向けて、県民一人一人が安全に安心して暮らし、また、地域経済が安定的に成長していくための中長期的な政策の方向性として、次のような視点を基本にこれからの県の政策を展開していく。

具体的には、将来像に基づく政策の大きな柱や体系からの視点（①～③）、及び各政策に共通して重視する視点（④、⑤）を基本に展開していく。

①　県民の暮らしを重視します。

自然災害・防災や治安対策、事故防止など、県民の日常生活の安全・安心の確保のほか、子育て・医療・福祉サービスや教育が安心して受けられ、暮らしや将来に安心感を持って誰もが活躍できる環境を作っていく。

②　活力や賑わいづくりに取り組みます。

経済のグローバル化の進展により、経済活動の場が国境を越えて広がり、また、訪日外国人旅行者等が大幅に増加している中、厚みのある産業基盤や多様な地域資源など、地域の個性を大切にしながら、産業の振興と高付加価値化を図るとともに、本県の魅力や強みを最大限にアピールし、人流・物流の活発化の流れを本県の活力や賑わいにつなげていく。

③　人づくりを重視します。

本格的な少子高齢化社会を迎え、人づくりは、これからの新潟の安全・安心などの暮らしやすさや、活力ある産業、賑わいなどによる持続ある発展のための礎となるものであり、未来の新潟を担う多様な人材を育成・輩出していく。

④　個性を大切にし、豊かさの質的充実を重視します。

県民一人一人の多様な価値観を尊重し、個性を活かして資質・能力を育みながら社会において活躍できる環境を作っていくほか、ライフスタイルに応じた多様な機会の提供等により、生活や仕事、人とのつながりなどの質的充実を図っていく。

⑤　積極的に連携・協働して取り組みます。

地域を共に担う市町村をはじめ、企業・団体、ＮＰＯ、大学などの多様な主体とともに、それぞれの役割を明確にし、地域の発展のために一体となって連携・協働しながら、地域の課題解決に取り組んでいく。

① 意欲ある企業等への支援による県内産業の活性化

1　現状・課題

本県では、食品・清酒、金属・機械、繊維など、それぞれの地域の特性や歴史などにより育まれた多様な地域産業（P89 参照）が県内各地に集積しているほか、国内外でのトップシェアや独自の技術により高い競争力を持つ企業が多数あり、それぞれが地域の経済と雇用に重要な役割を果たしてきている。

一方、県内企業等は、経営規模が小さく、中間財生産や下請け取引を主流とする経営面で他律的な企業等が多く、十分な付加価値・利益が得にくい産業構造となっている。

これまで高付加価値化に向けた取組を進めてきたところであるが、デフレの長期化やリーマンショック等の影響に加え、ＩＣＴ（P10(注１)参照）化等に伴い製品のコモディティ化(注)が進み、下請けではより利益を得にくい経済環境にある中、全体の付加価値を引き上げるに至っていない現状となっている。加えて、今後は高齢化や後継者不足等により喫緊の課題となっている事業承継や、生産年齢人口の減少に伴う労働力不足への対応も必要となっている。

● 県内企業等の現状

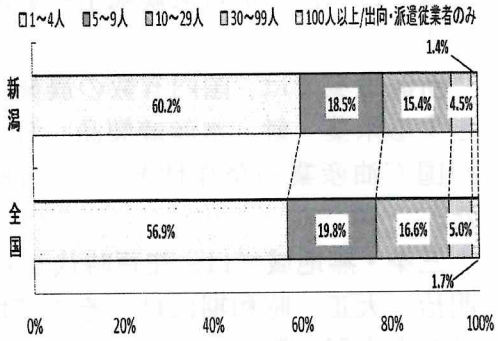
（企業等数・売上高・付加価値額）

	新潟県	全国シェア	全国順位	全国
企業等数	8万3,414企業	2.2%	14位	386万6,537企業
売上高	15兆5,993億円	1.0%	15位	1,603兆4,638億円
付加価値額	3兆4,168億円	1.2%	16位	294兆7,949億円
1企業等当たり付加価値額	4,237万円	－	29位	8,209万円

※売上高、付加価値額、１企業等当たり付加価値額は、必要な事項の数値が得られた企業等を対象に集計

● 県内事業所の現状

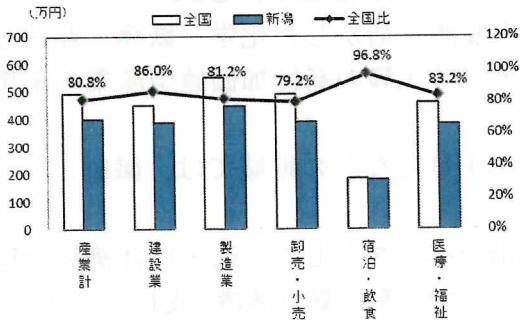
（従業者規模別事業所数の構成比）



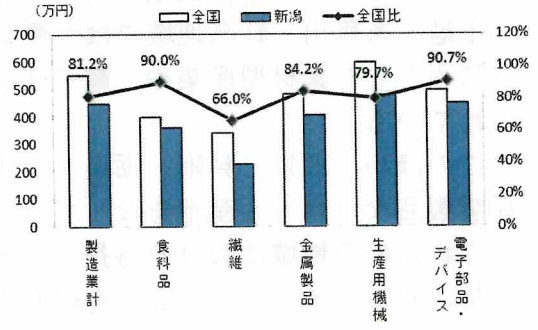
資料：総務省・経済産業省「平成 28 年経済センサス活動調査（速報）」

● 県内事業所の現状（事業従事者１人当たり付加価値額）

産業大分類別



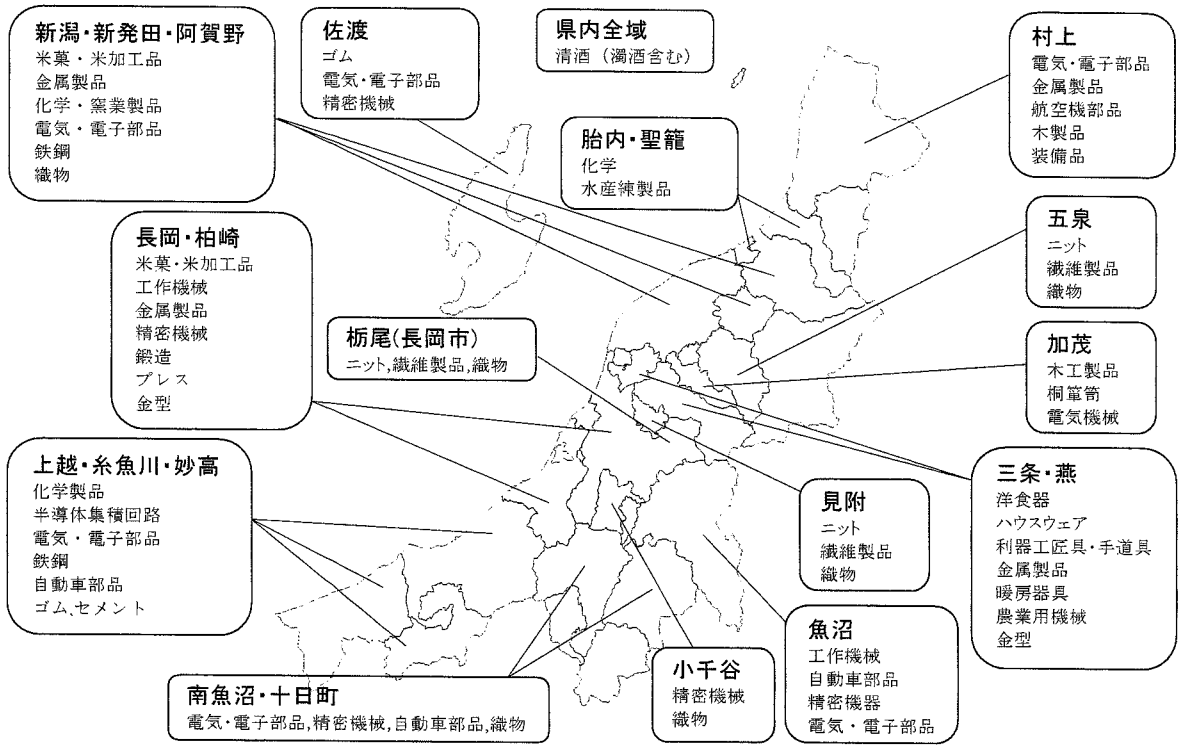
産業中分類別（製造業）



資料：総務省・経済産業省「平成 24 年経済センサス活動調査」

(注) コモディティ化：市場参入時には高付加価値であった商品が、後発品との競争の中で、その機能の優位性や特異性を失い、一般化していくこと。

【新潟県における多様な地域産業】



本県は、古くから気候風土や資源を活かした地域産業が各地域で形成されてきている。

新潟地域では、国内有数の農業生産地として土地由来の農産物や水産物を原材料とする米菓・餅、水産練製品、日本酒製造業、発酵食産業などの食品産業群や、我が国石油産業の発祥地として石油掘削から派生した鉄鋼・機械産業が発展してきた。

三条・燕地域では、江戸時代から和釘、農耕具、利器類などの生産が盛んであり、明治、大正、昭和期には、そこで培われた技術力を活かして、作業工具、利器工匠具や洋食器の製造への転換を遂げ、今日では自動車部品を含めた金属加工技術を中心とした産業群の形成が進んでいる。

長岡市を中心とする中越地域では、油田開発に伴う石油掘削などの機械産業が発達し、工作機械や精密機械、鋳物関連業種などが集積している。

上越・糸魚川・妙高地域では、豊富な水資源を活かした化学、鉄鋼・非鉄金属をはじめとした素材型産業や、電子部品・デバイス等の高付加価値型産業の集積が図られている。

このほか、五泉、見附、栃尾、小千谷、十日町などの地域では、繊維、ニット、和装製品などの一大産地をなしている。

これらの各地域における特長のある技術をベースとして、過去の経済社会環境の変化に対してイノベーションを繰り返すことで、各企業が維持・成長してきている。その側面として、国内外でのトップシェアや独自技術を有する企業が既に多数存在するが、このような企業を一層増やすことが全体の付加価値の引上げにつながる。

2　政策の展開・取組

金融面でのセーフティネット対策により景気変動等への対応をしつつ、意欲ある県内企業等が新たな取組にチャレンジできる環境の整備や人材確保・生産性向上に向けた投資などの経営基盤の強化促進などに取り組み、稼ぐ企業をより多く輩出するなどにより、本県産業全体の付加価値の引上げと所得向上につなげ、生産年齢人口の減少が見込まれる中においても、本県産業の持続的な発展を実現する。

■　高い付加価値を生み出す企業の創出・成長促進

○　多様な産業集積や優れた技術など、本県の有する強みを最大限活かしながら、高い付加価値を生む新事業・新業態への展開、技術開発や経営革新、外部リソース(注)の活用・連携など、中小企業を含めた意欲ある県内企業等の新たな取組を、事業構想から本格展開までの各段階に応じて支援することや、産学官・企業間連携などのコーディネート機能を担うことなどで、イノベーションを促し、高い利益、付加価値を生み出す企業の創出・成長を促進する。

・各種セミナー・勉強会の開催、ビジネスプランの評価・助言等によるビジネスヒントの提供

・技術開発・商品開発に対する資金助成、専門家の活用支援、共同研究コーディネート等による企画・開発支援

○　事業規模の拡大、新分野進出、生産性向上等や、経営革新や基盤強化につながる成長のための積極的な設備投資を促進する。

■　県内企業の海外展開支援

○　企業活動がグローバル化する中、優れた技術や意欲のある県内企業等が、海外市場の獲得に積極的に取り組めるよう、環日本海経済研究所（ＥＲＩＮＡ）、にいがた産業創造機構（ＮＩＣＯ）、日本貿易振興機構（ジェトロ）、県内金融機関等との連携を密にする中で、現地の情勢・市場や県内企業ニーズを踏まえ、販路拡大に向けた市場調査やビジネスの場づくりなど、海外展開支援に積極的に取り組む。

・海外の現地情勢、市場に関する情報提供

・海外展開に関する個別相談対応

・海外見本市での共同ブース運営

・海外市場調査、海外見本市・展示会等への出展等への経費助成

○　県の海外事務所・拠点はもとより、シンクタンクや金融機関等の県内関係団体の有する海外ネットワークや情報網を活用し、本県のこれまでの交流実績や地理的優位性を活かして、北東アジア等海外との経済交流を促進する。また、経済成長の著しい東南アジア等については、現地企業等と協力しサポートデスクを設置するなど、現地でのビジネス支援機能を強化する。

■　県内企業の国内販路開拓支援

○　域内に多くの中小企業を協力企業として抱え地域のサプライチェーンの中

(注)　外部リソース：自社外の経営資源（人材、設備、ノウハウなど）。

核となっている地域中核企業の国内販路開拓支援により、地域経済への幅広い波及を図る。

○　県内企業ニーズ等を踏まえつつ、食品や清酒、生活関連製品など本県産業の強みを活かしながら、関係団体等と連携し、情報発信や販路開拓支援に取り組む。

・商品開発のアドバイス
・テストマーケティング支援
・商談会の開催、展示会への出展支援等によるマッチング支援

■　**地域に根ざす産業の活性化**

○　地域経済を支えている地場産業が市場環境の変化に対応し、持続的に発展できるよう、後継者不足、売上低迷、技術承継など産地が抱える様々な課題に対し、地域と一体となって、人材育成から新商品開発、販路開拓まで伴走型支援に取り組む。

・各地場産地の課題解決に向け、各産地の特性やニーズに応じた流通改善等の取組を支援
・企業連携や産地連携による新商品開発等の新たな取組を支援
・外部専門家の活用や商品開発等の取組を支援
・小規模地場産地における加工工程の維持や技能継承などの取組を支援

○　地域の核である中心市街地の活性化に向けて、商店街などが行う人材育成や賑わい創出等の取組を、市町村と連携して支援する。

・商業者グループによる商店街の活性化と人材育成に向けた取組を支援
・リノベーション（遊休資産の活用）によるまちづくりの取組を支援
・商店街等による商業基盤施設の整備・改修や空き店舗対策等の取組を支援

○　地域経済や雇用の確保に大きな役割を果たしている中小・小規模企業等の持続的発展に向けて、金融面でのセーフティネットなど経営基盤の強化を図る。

○　経営者の高齢化や後継者不足の問題が深刻化し、地域経済の活力低下につながる廃業の増加も懸念される現状を踏まえ、関係機関との連携を密にしながら、事業引継ぎ支援センターにおける窓口相談、具体的な課題抽出、選択肢の提示、各種専門家紹介等を通じて、地域や産業で必要とする事業資産を円滑に承継する取組を支援する。

3　達成目標（成果指標）

指標名	現状値	中間目標値 (H32 年度)	最終目標値 (H36 年度)
1 人当たり県民所得	269.7 万円 (H26 年度)	287.5 万円	300 万円

【産業労働観光部】

１３．学生の確保の見通し等を記載した書類

【資料 13】

日機連２９

平成２９年度 IoT・AI 時代のものづくりと人の役割変化への対応調査研究

平成３０年３月

一般社団法人 日本機械工業連合会

IoT・AI 時代のものづくり人材調査専門部会報告書

KEIRIN 競輪の補助事業　この報告書は、競輪の補助により作成しました。
http://hojo.keirin-autorace.ir.jp

2. CTB には、新システムを導入しつつ、システム間の統合を経てハードウェアをベースとしたサービス展開[52]などの新事業を立ち上げ、発展させていくといった事業転換を果敢に進めていくことが求められる。

3. ここで新システムには次の 2 つの側面があることに留意する必要がある。一つは中国でいうところの「インターネット＋」～既存の事業のデジタル化のためのシステム構築であり、もう一つは「＋インターネット」～デジタル化を活用した新規事業の開拓のためのシステム導入である。

4. スマート工場をはじめとした生産部門の高度化、効率化を担う立場に限定すると、RTB 内の生産に関連する直接部門の立場からみたデジタル化を想定することになる。こういったケースでは上記 Π 型人材や Π 型チームといったものづくり内部からの人材育成に関する議論が有効である。

5. 一方、ビジネスそのものの変革を担うセクションである CTB には、ビジネス開拓のプロフェッショナルに加えて、デジタル化によって可能になるオプションを提示できたり、新規事業の生産可能性などを検討できたりといった、複数の専門家を集めてチームを組む必要が生じる。

6. いわゆるタスクフォースのようなイメージである。しかし、企業規模などによってはどの企業においても必要な人材の全てを集めるというわけにはいかない。

7. 次年度以降、どの方向に向かって議論していくのか、さらなる検討が必要と思われる。その詳細は今後に残された課題の一つである。

6-6-4.求められる人材と組織

【新時代に求められる能力】

1. これからも必要となる能力としては、全体俯瞰力、想像力、論理的思考力、本質を見抜く教養力、デザイン思考力、説得力、課題設定力などが挙げられている。

2. また、物理現象を可視化・解析するツールやシミュレーションツールとしても有意義な DT･CPS や AI などの先進デジタル技術をいち早く使いこなせることもまた強みになりうる。引き続き検討を要する課題である。

【Π 型の人材と Π 型のチーム】

1. デジタル化・ネットワーク化を進めるには、先ずアウトソースを先行させ、並行してブリッジ人材を確保・育成しつつ、チームの基盤を作るとの提案がみられた。

---

52 新システムを使った「サービス展開」について、IMD の国際競争力センター所長の Arturo Bris 教授は「デジタル技術の開発・実装によって、市民や事業に供せられるための『サービスの質と範囲』を改善していく必要がある」と述べ、サービスの質のみならず範囲の重要性を指摘している。IMD World Competitiveness Yearbook 2017 Executive Summary の p 3 から意訳

１３．学生の確保の見通し等を記載した書類

【資料 14】

新潟県

新潟県総合計画
2017年度－2024年度

にいがた未来創造プラン

平成30年1月

新　潟　県

⑤ 成長産業の創出・育成

1　現状・課題

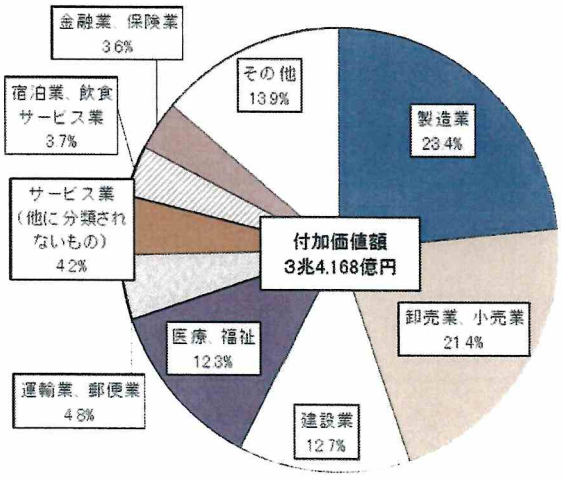
本県産業は、多様な産業集積と優れた技術を有しているが、中小企業の割合が高く、従業者１人当たりの製造品出荷額等や付加価値額は全国低位にある。また、生産年齢人口の減少に伴い、企業の人手不足感が高まっている。

県内においても景気は回復しつつあるが、長年続いた円高の影響や生産拠点の海外移転等により、産業の空洞化も懸念されるところであり、地方の中小企業は、成長が見込まれる新分野への進出を図ることが求められている。

県ではこれまでも、市場の拡大が期待される成長分野に重点を置き、高付加価値化に向けた取組を進めてきたところであるが、デフレの長期化やリーマンショック等の影響もあり、高付加価値化に向けた取組は一部企業に止まっている。

これらの課題に対応するためには、県内企業や大学など多様な主体と連携し、本県が有する強みを最大限活かしながら、国内外において市場の成長が期待される分野への参入促進を強化するとともに、ＡＩ（人工知能）、ＩｏＴ(注)、ビッグデータ等の活用により新たなビジネスの創出や生産性の向上を図り、県内産業の高付加価値化につなげていく必要がある。

● 本県企業等の付加価値額（産業大分類別）



資料：総務省・経済産業省「平成 28 年経済センサス活動調査（速報）」

● 工業の概要

	新潟県	全国シェア	全国順位	全国
事業所数	5,564所	2.7%	10位	202,410所
従業者数	180,932人	2.4%	17位	7,403,269人
製造品出荷額等	46,426億円	1.5%	23位	3,051,400億円
従業者1人当たり	2,566万円	－	44位	4,122万円
付加価値額	16,731億円	1.8%	20位	922,889億円
従業者1人当たり	925万円	－	36位	1,247万円

※ 従業者数４人以上の事業所

資料：平成 26 年工業統計調査

2　政策の展開・取組

航空機や次世代自動車などの将来性が見込まれる産業分野及び新たな成長分野への県内企業の参入促進に向けた支援に努めるとともに、ＡＩやＩｏＴ、ビッ

(注) ＩｏＴ：Internet of Things の略で、モノのインターネットと訳される。情報通信の機能を持たない機器をインターネットにつなぎ、情報通信、制御をする仕組み。

グデータなどの活用を促進することで生産性の向上を図り、本県産業の付加価値の向上を実現する。

■　県内産業の活性化や生産性向上に向けたＡＩ、ＩｏＴ、ビッグデータ等の活用促進

○　産学官の連携により、生産性の向上や人手不足への対応、革新的なサービス・製品の創出による付加価値の向上などが期待されるＡＩ、ＩｏＴ、ビッグデータ等の活用を促進し、新たなビジネスモデルへの転換を図る県内企業を創出・育成する。

○　県内企業の多くは情報や人材の不足により、ＩｏＴ等の導入が進まない状況であるため、セミナーによる情報提供や導入実証による効果検証を行うとともに、高度ＩＴに関する研修や情報発信により人材の育成を支援する。また、企業ニーズ等を踏まえながら、サービス産業や製造現場における導入を促進する。

○　成長が見込まれるＡＩ、ＩｏＴ、ロボット分野において、県内企業の参入を促進するために、Ｒ＆Ｄ（研究開発）を支援し、生産性の高いサービス産業やものづくり技術の振興を図る。

■　将来性が見込まれる産業分野への参入促進

○　航空機産業への新規参入や関連企業の集積を促進するため、県内企業との共同研究や企業間連携の推進等により、企業の技術力・品質管理能力の向上や航空機産業を担う人材の確保・育成等を支援する。

・大手重工メーカー等のニーズに対応したチタンなどの難加工材料の効率的な切削加工技術の開発や県内企業との共同研究
・大手重工メーカー等と県内企業とのマッチングの推進
・企業の技術力・品質管理能力の向上に向けた航空機関連認証（ＪＩＳＱ９１００、Ｎａｄｃａｐ）の取得支援
・中核的人材育成講座等の実施

○　次世代自動車産業への参入を促進するため、広域的な企業間連携や自動車メーカー向け展示商談会等の開催、技術開発に向けた取組等を支援する。

・東北６県及び北海道と連携した広域的な企業間連携
・自動車メーカー向け展示商談会の開催による企業間マッチング
・アドバイザー派遣、新技術・新工法の開発や試作開発等支援

○　将来的な市場拡大が見込まれる医療機器分野への販路開拓を図るため、医師等との意見交換会の実施により、医療現場ニーズを把握し、産学官連携による共同研究や技術開発につなげるとともに、医療関係者向け展示商談会への出展による商談機会の確保、県央基幹病院における医工連携に向けた取組など、医療機器の製品開発や技術開発等を支援する。

○　少子高齢化の時代においても市場の伸びが期待できる健康・医療・福祉関連分野において、産学官で連携して、県内企業の新規参入や、機能性食品・高圧加工食品などの新たな商品開発等に向けた取組を支援することにより、健康関連産業の高付加価値化を推進する。

１３．学生の確保の見通し等を記載した書類

【資料 15】

新潟県情報化プラン

(2016～2019)

平成２８年６月

新潟県

はじめに

近年、情報通信技術（ＩＣＴ）はめざましい進歩を遂げており、日常生活等の様々な場面において必要不可欠のツールとなっています。

これまで本県では、平成 18 年度に「新潟県行政情報化プラン(2006～2008)」を策定し、以降改訂を重ね、県組織内の行政情報化として基盤整備や内部事務の効率化等を進めてまいりました。さらに、平成 24 年度策定の「新潟県情報化プラン(2012～2015)」からは、県内の地域情報化を新たに加えて、県民生活により直結する形でのＩＣＴ活用を着実に推進してまいりました。

今回策定の「新潟県情報化プラン(2016～2019)」においても、地域情報化として、「新潟県『夢おこし』政策プラン」が掲げる「将来に希望の持てる魅力ある新潟県」の実現をＩＣＴ活用の観点から推進し、快適・安全・豊かなくらしの実現や地域の活性化に取り組んでまいります。同様に、行政情報化として、「新潟県行政経営改革推進ビジョン」を踏まえて、ＩＣＴ活用による行政経営の高度化及び効率化の更なる推進に取り組んでまいります。

また、本プランの策定にあたりましては、県民の皆様や有識者等、多くの方々から貴重な御意見をいただきました。ここに深く感謝申し上げます。

新潟県知事　泉田　裕彦

１３．学生の確保の見通し等を記載した書類

【資料 16】

開志専門職大学に関するニーズ調査
【企業・団体対象調査】
結果報告書

平成30年7月

株式会社 進研アド

113

© Shinken-Ad. Co., Ltd. All Rights Reserved.

企業・団体対象 調査概要

1. 調査目的

2020年4月に開設予定の「開志専門職大学(仮称)」の新設構想に関して、企業・団体の人材ニーズを把握する。

2. 調査概要

		企業・団体対象調査
調査対象		企業・団体の人事関連業務担当者
調査エリア		宮城県、山形県、福島県、群馬県、埼玉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、福井県、長野県、静岡県、京都府、大阪府、鳥取県、広島県、高知県、沖縄県
調査方法		郵送調査
調査対象数	依頼数	2,071件
	回収数(回収率)	343件(16.6%)
調査時期		2018年5月22日(火)～2018年6月20日(水)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

企業・団体対象調査
・本社所在地 ・人事採用への関与度 ・業種 ・社員数・職員数 ・新規学卒者の平均採用数 ・今後の採用予定数 ・採用したい学問系統 ・開志専門職大学の特色に対する魅力度 ・各学部・学科の社会的必要性 ・各学部・学科卒業生に対する採用意向 ・各学部・学科卒業生の毎年の採用想定人数

企業・団体対象 調査結果まとめ

企業・団体対象 調査結果まとめ

回答企業・団体(回答者)の属性

※ 本調査は、学校法人新潟総合学院が2020年4月に設置を計画中の「開志専門職大学(仮称)」に対する人材需要を確認する目的の調査として設計した。そのため、開志専門職大学卒業生の就職先として想定される企業・団体の人事関連業務に携わっている人を対象に調査を実施し、343件から回答を得た。

- 回答企業・団体の本社(本部)所在地は、開志専門職大学のキャンパスの予定地である「新潟県」が59.8%で最も多い。
- 回答者の人事採用への関与度を聞いたところ、「採用の決裁権があり選考にかかわっている」人は54.8%、「採用の決裁権はないが、選考にかかわっている」人が33.8%と、採用や選考にかかわる人事担当者からの意見を聴取できていると考えられる。
- 回答企業・団体の業種としては、「情報通信業」が17.5%で最も多い。次いで、「飲食店・宿泊業」「サービス業」がそれぞれ15.7%、「製造業」が12.2%と続く。
- 回答企業・団体の社員数・職員数は、「50名未満」が44.6%で最も多い。次いで、「100名以上～500名未満」(23.6%)、「50名以上～100名未満」(19.0%)と続く。

回答企業・団体の採用状況(過去3か年)

- 回答企業・団体の平均的な新規学卒者の採用数は、「～5名未満」が47.8%で最も多い。次いで、「0名」(19.8%)、「5～10名未満」(12.2%)と続く。
- 回答企業・団体の今後の採用予定数は、「積極的に採用を増やす予定である」が36.4%で最も多い。次いで、「いくらか採用を増やす予定である」が24.5%。
- 回答企業・団体の採用したい学問系統は、「学部や学問系統にはこだわらない」が51.6%で最も高い。また、「事業創造学部 事業創造学科」と関連のある「経済・経営・商学系統」は25.9%、「国際観光学部 国際観光学科」と関連のある「社会学系統(観光学などを含む)」「国際関係学系統」はそれぞれ10.8%、10.2%、「ICT高度情報学部 ICT高度情報学科」と関連のある「理学系統(情報科学などを含む)」「工学系統」はそれぞれ22.7%、25.9%、「アニメ・マンガ学部 アニメ・マンガ学科」と関連のある「芸術学系統(アニメ、マンガなどを含む)」は12.2%である。

企業・団体対象 調査結果まとめ

開志専門職大学の特色に対する魅力度

- 開志専門職大学の特色に対する魅力度（※）は、4項目中2項目において7割を超える。
- 中でも、「ICT高度情報学部」の特色である「豊かで安全・安心な高度情報社会の実現に必要な実践的知識・技術と倫理観を持ち、実社会とサイバー空間が相互連携する社会で活躍するデータサイエンス、IoT、サイバーセキュリティ等の人材を目指します。」に対する魅力度は84.3％で、特色4項目中最も高い。
- 次いで、「事業創造学部」の特色である「新しい事業の創造に必要となる独自の視点や考察能力及び知識と専門技能を修得し、起業家、事業継承者、企業の未来を変える企業内起業家を目指します。」に対する魅力度が79.0％と続く。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

各学部・学科の社会的必要性

- 各学部・学科の社会的必要性について「必要だと思う」と答えた企業・団体は、「事業創造学部 事業創造学科」88.9％（**305件**）、「国際観光学部 国際観光学科」84.8％
（**291件**）、「ICT高度情報学部 ICT高度情報学科」93.9％（**322件**）、「アニメ・マンガ学部 アニメ・マンガ学科」63.8％（**219件**）と、いずれも多くの企業・団体でこれからの社会にとって必要だと認識されている。

企業・団体対象 調査結果まとめ

各学部・学科卒業生採用意向、毎年の採用想定人数

- 各学部・学科の卒業生を「採用したいと思う」と答えた企業・団体は、下記の通り。

  事業創造学部 事業創造学科：71.7%（**246件**）

  国際観光学部 国際観光学科：49.9%（**171件**）

  ICT高度情報学部 ICT高度情報学科：77.6%（**266件**）

  アニメ・マンガ学部 アニメ・マンガ学科：32.9%（**113件**）

  いずれも予定している入学定員（「事業創造学部 事業創造学科」80名、「国際観光学部 国際観光学科」80名、「ICT高度情報学部 ICT高度情報学科」80名、「アニメ・マンガ学部 アニメ・マンガ学科」80名）を上回る。

- 各学部・学科の卒業生を「採用したいと思う」と答えた企業・団体（「事業創造学部 事業創造学科」246件、「国際観光学部 国際観光学科」171件、「ICT高度情報学部 ICT高度情報学科」266件、「アニメ・マンガ学部 アニメ・マンガ学科」113件）に対し、卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聴取したところ、毎年の採用想定人数の合計は下記の通りである。

  事業創造学部 事業創造学科：294人程度

  国際観光学部 国際観光学科：251人程度

  ICT高度情報学部 ICT高度情報学科：367人程度

  アニメ・マンガ学部 アニメ・マンガ学科：140人程度

  このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

「事業創造学部 事業創造学科」
卒業生採用意向 属性別傾向

◇本社所在地別

- 本社所在地別に採用意向を見ると、「新潟県」の企業・団体からの採用意向は74.1%（**152**件）である。

◇業種別

- 「製造業」からの採用意向は71.4%（**30件**）、「情報通信業」からの採用意向は66.7%（**40件**）、「卸売・小売業」からの採用意向は95.0%（**38件**）、「飲食店・宿泊業」からの採用意向は74.1%（**40件**）、「サービス業」からの採用意向は66.7%（**36件**）である。

◇採用したい学問系統別

- 採用したい学問系統別に採用意向を見ると、「事業創造学部 事業創造学科」と関連のある「経済・経営・商学系統」を学んだ学生を採用したいと考える企業・団体からの採用意向は79.8%（**71件**）である。
- そのほか、「社会学系統（観光学などを含む）」と答えた企業・団体からの採用意向は78.4%（**29**件）、「国際関係学系統」と答えた企業・団体からの採用意向は77.1%（**27件**）、「芸術学系統（アニメ、マンガなどを含む）」と答えた企業・団体からの採用意向は59.5%（**25**件）、「理学系統（情報科学などを含む）」と答えた企業・団体からの採用意向は64.1%（**50件**）、「工学系統」と答えた企業・団体からの採用意向は64.0%（**57件**）。

「国際観光学部 国際観光学科」
卒業生採用意向 属性別傾向

◇本社所在地別

・本社所在地別に採用意向を見ると、「新潟県」の企業・団体からの採用意向は46.3%(**95**件)である。

◇業種別

・「製造業」からの採用意向は33.3%(**14件**)、「情報通信業」からの採用意向は26.7%(**16件**)、「卸売・小売業」からの採用意向は62.5%(**25件**)、「飲食店・宿泊業」からの採用意向は94.4%(**51件**)、「サービス業」からの採用意向は59.3%(**32件**)である。

◇採用したい学問系統別

・採用したい学問系統別に採用意向を見ると、「国際観光学部 国際観光学科」と関連のある「社会学系統(観光学などを含む)」「国際関係学系統」を学んだ学生を採用したいと考える企業・団体からの採用意向は、それぞれ83.8%(**31**件)、88.6%(**31件**)である。

・そのほか、「経済・経営・商学系統」と答えた企業・団体からの採用意向は50.6%(**45件**)。

「ICT高度情報学部 ICT高度情報学科」
卒業生採用意向 属性別傾向

◇本社所在地別

- 本社所在地別に採用意向を見ると、「新潟県」の企業・団体からの採用意向は79.0%（**162**件）である。

◇業種別

- 「製造業」からの採用意向は81.0%（**34件**）、「情報通信業」からの採用意向は96.7%（**58件**）、「卸売・小売業」からの採用意向は82.5%（**33件**）、「飲食店・宿泊業」からの採用意向は75.9%（**41件**）、「サービス業」からの採用意向は66.7%（**36件**）である。

◇採用したい学問系統別

- 採用したい学問系統別に採用意向を見ると、「ICT高度情報学部 ICT高度情報学科」と関連のある「理学系統（情報科学などを含む）」「工学系統」を学んだ学生を採用したいと考える企業・団体からの採用意向は、それぞれ94.9%（**74件**）、87.6%（**78件**）である。
- そのほか、「社会学系統（観光学などを含む）」と答えた企業・団体からの採用意向は81.1%（**30**件）、「国際関係学系統」と答えた企業・団体からの採用意向は77.1%（**27件**）、「芸術学系統（アニメ、マンガなどを含む）」と答えた企業・団体からの採用意向は66.7%（**28件**）。

「アニメ・マンガ学部 アニメ・マンガ学科」
卒業生採用意向 属性別傾向

◇本社所在地別

・本社所在地別に採用意向を見ると、「新潟県」の企業・団体からの採用意向は29.8%(**61**件)である。

◇業種別

・「製造業」からの採用意向は26.2%(**11件**)、「情報通信業」からの採用意向は31.7%(**19件**)、「卸売・小売業」からの採用意向は40.0%(**16件**)、「飲食店・宿泊業」からの採用意向は38.9%(**21件**)、「サービス業」からの採用意向は40.7%(**22件**)である。

◇採用したい学問系統別

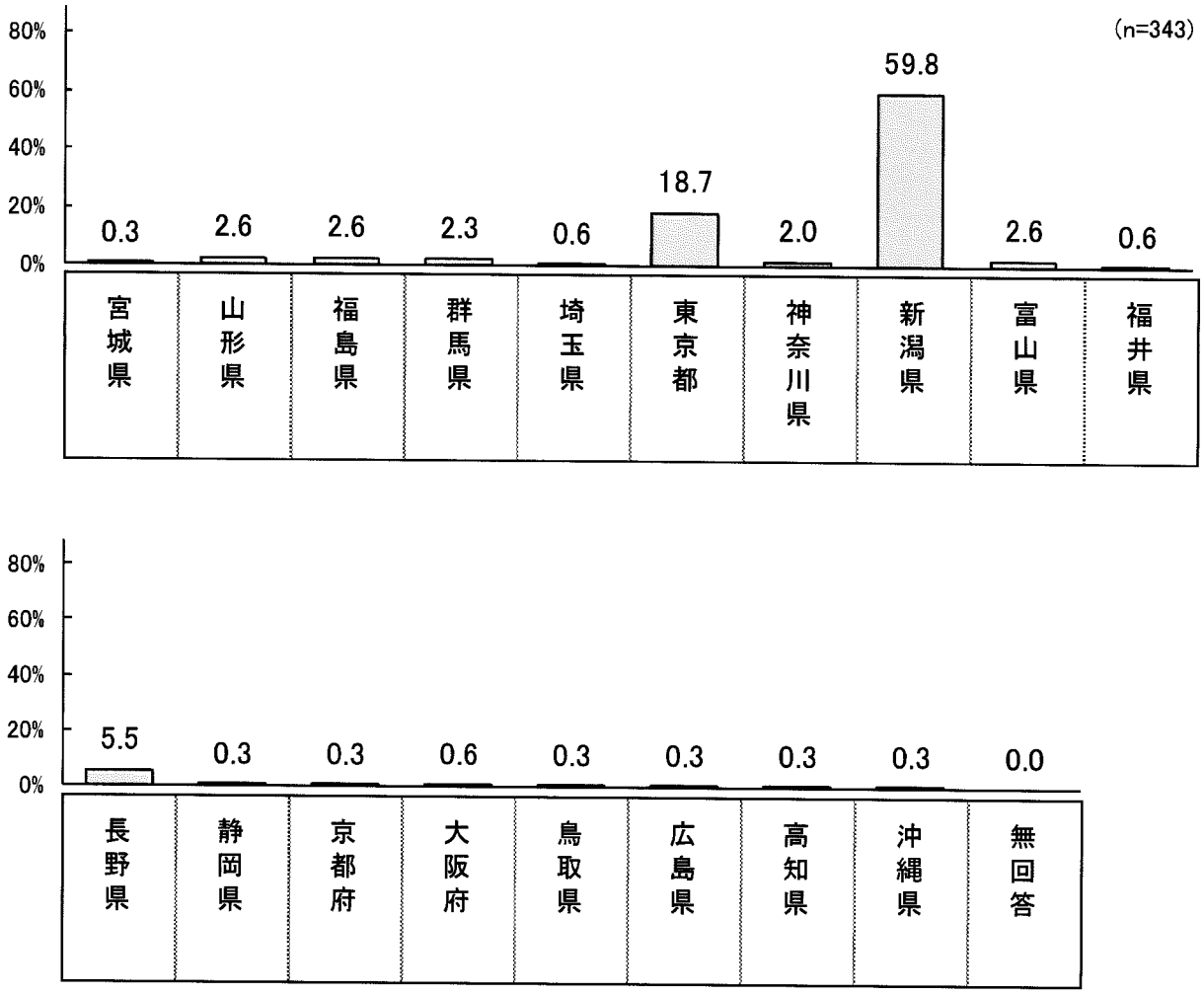
・採用したい学問系統別に採用意向を見ると、「アニメ・マンガ学部 アニメ・マンガ学科」と関連のある「芸術学系統(アニメ、マンガなどを含む)」を学んだ学生を採用したいと考える企業・団体からの採用意向は76.2%(**32件**)である。

企業・団体対象 調査結果

回答企業・団体(回答者)の属性(本社所在地、人事採用への関与度)

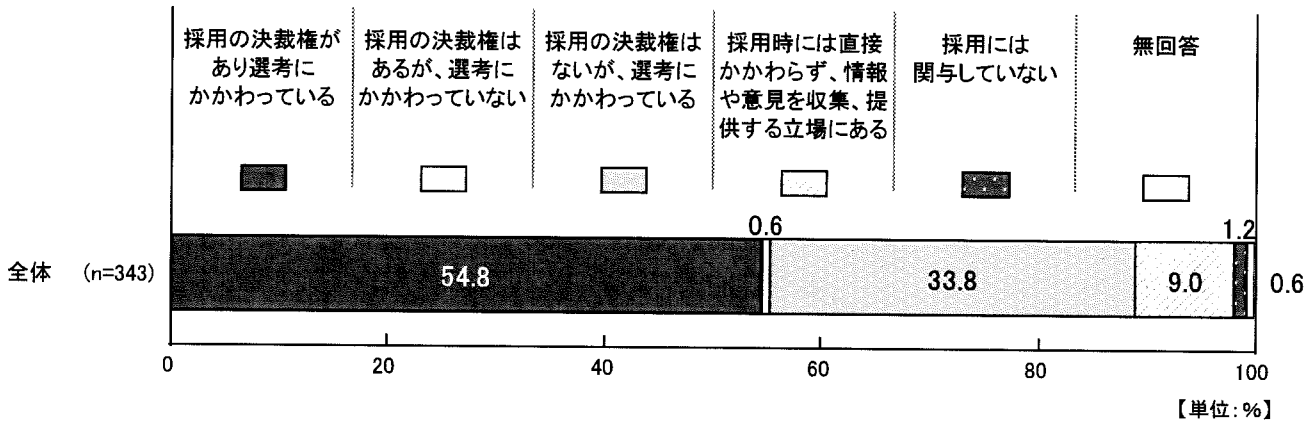
■本社所在地

Q1. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地をお教えください。



■人事採用への関与度

Q2. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えください。(あてはまる番号1つに○)

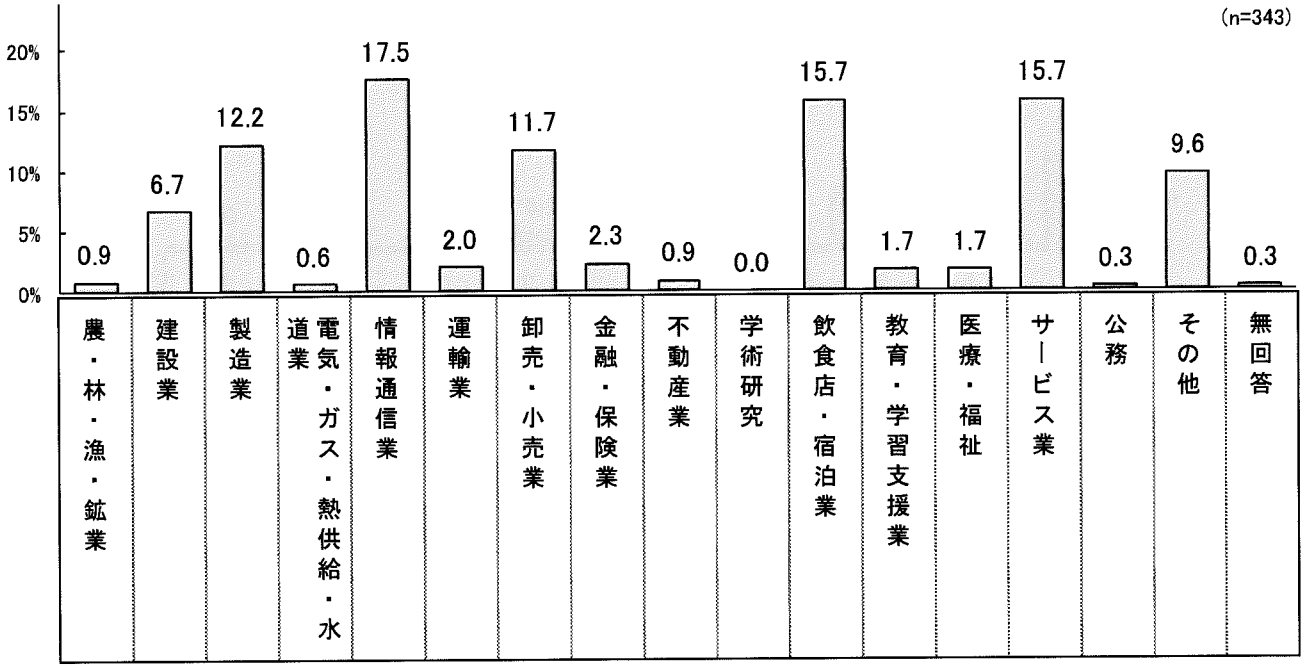


【単位:%】

回答企業・団体(回答者)の属性(業種、社員数・職員数)

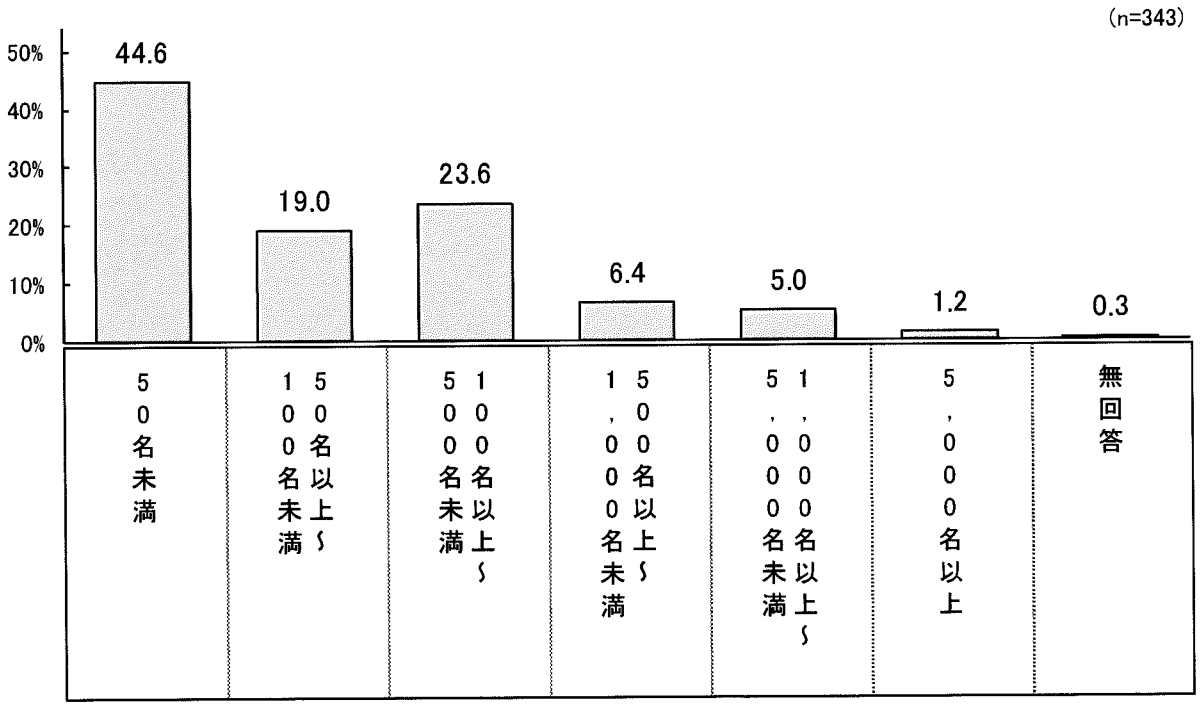
■業種

Q3. 貴社・貴団体の業種をお教えください。(あてはまる番号1つに○)



■社員数・職員数

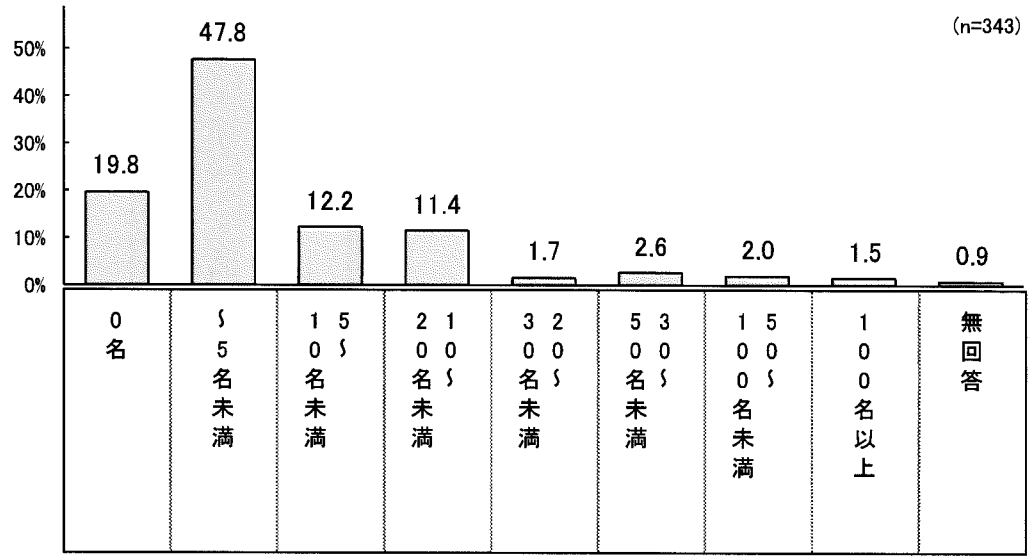
Q4. 貴社・貴団体の社員数・職員数をお教えください。(あてはまる番号1つに○)



新規学卒者の平均採用数、今後の採用予定数、採用したい学問系統

■新規学卒者の平均採用数

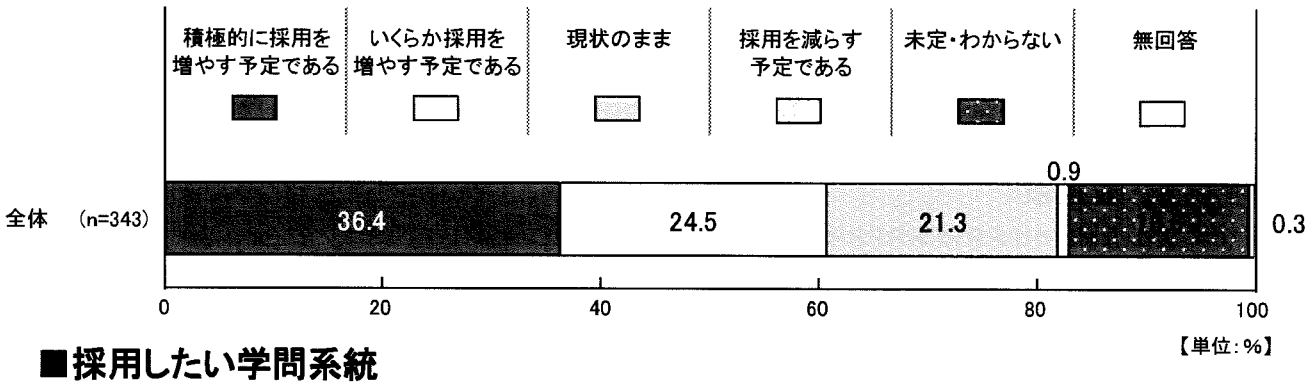
Q5. 貴社・貴団体の過去3年間(※)の新規学卒者の平均採用人数(1年あたりの平均採用人数)をお教えください。
※貴社・貴団体の2015年度～2017年度



※自由記述で聴取した人数をカテゴリー分けしてグラフ化

■今後の採用予定数

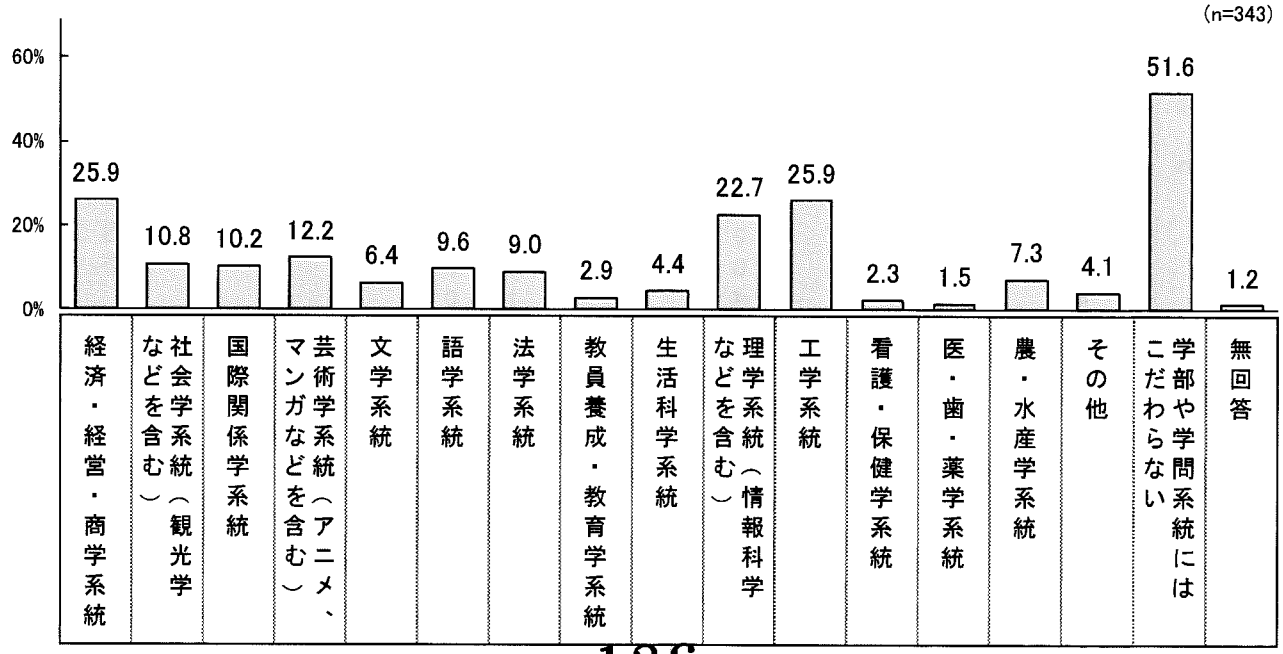
Q6. 貴社・貴団体の今後の新規学卒者の採用予定についてお教えください。(あてはまる番号1つに○)



【単位:%】

■採用したい学問系統

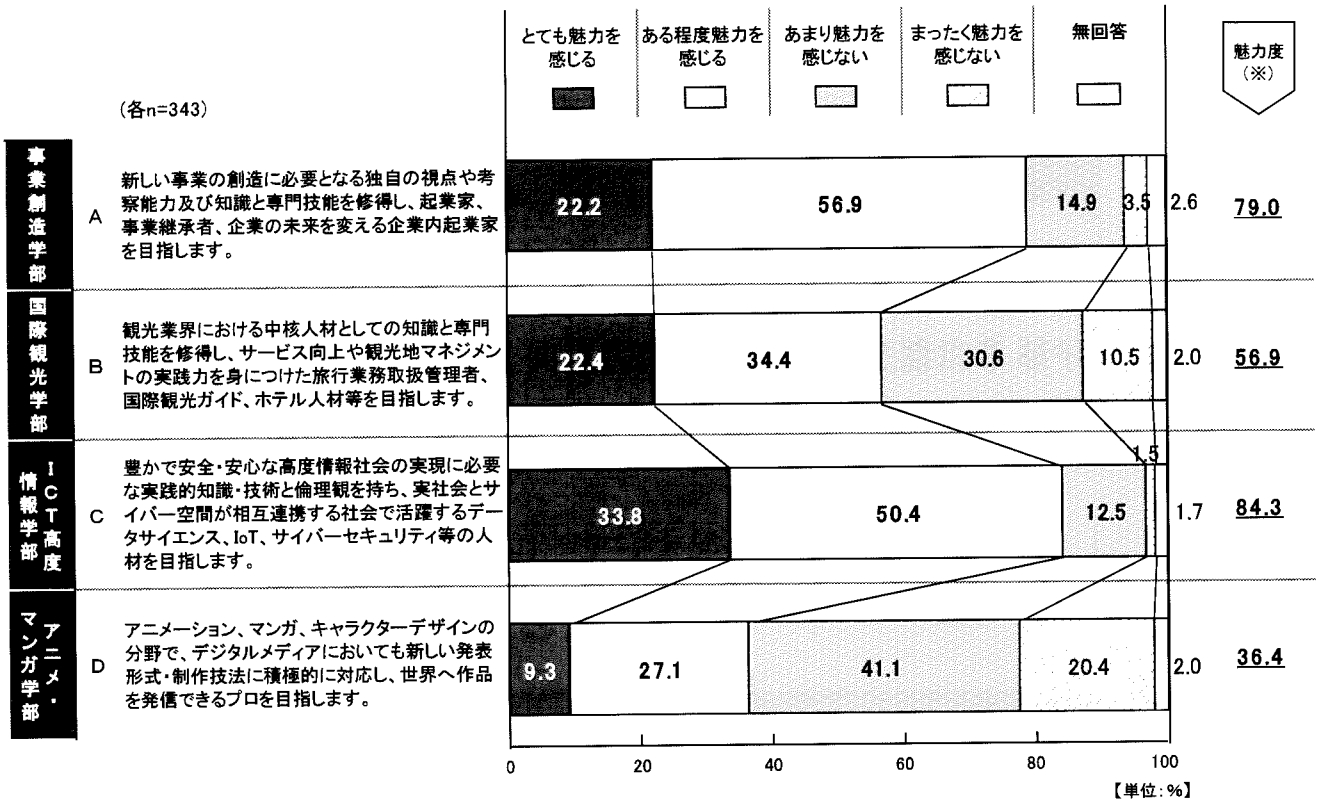
Q7. 貴社・貴団体では、どのような学部系統を卒業した人物を採用したいとお考えか、お教えください。
(あてはまる番号すべてに○)



開志専門職大学の特色に対する魅力度

■開志専門職大学の特色に対する魅力度

Q8. 開志専門職大学(仮称)には以下のような特色があります。
ご回答者様や貴社・貴団体は、それぞれの特色にどの程度魅力を感じるか、お教えください。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



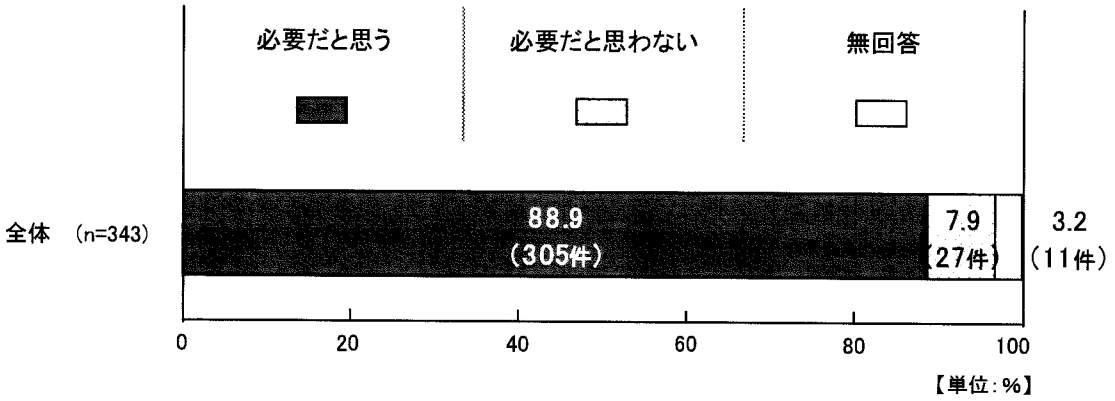
※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

「事業創造学部 事業創造学科」の社会的必要性／卒業生採用意向／卒業生の毎年の採用想定人数

■「事業創造学部 事業創造学科」の社会的必要性

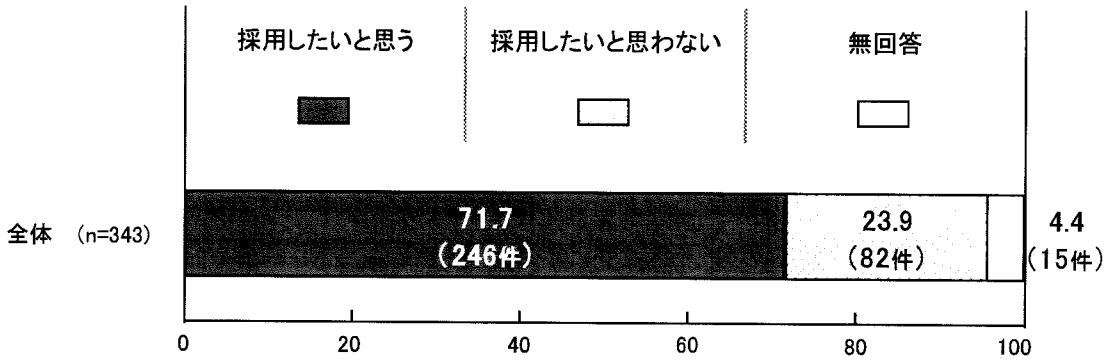
Q9. 貴社・貴団体（ご回答者）は、開志専門職大学（仮称）はこれからの社会にとって必要だと思われますか。
学部・学科ごとにお教えください。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）



【単位：%】

■「事業創造学部 事業創造学科」卒業生採用意向

Q10. 貴社・貴団体（ご回答者）は、開志専門職大学（仮称）で学んだ学生を採用したいと思われますか。
学部・学科ごとにお教えください。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）
※現在、採用にかかわっていない場合も、ご回答者様のお気持ちに近い方に○をつけてください。



【単位：%】

「事業創造学部 事業創造学科」卒業生を
「採用したいと思う」と答えた246件のみ抽出

■「事業創造学部 事業創造学科」卒業生の毎年の採用想定人数

Q11. Q10でいずれかの学部・学科で学んだ学生を「1. 採用したいと思う」とご回答になった方にうかがいます。
「1. 採用したいと思う」と回答された学部・学科の学生について、毎年何名程度の採用を想定されますか。
現時点での貴社・貴団体（ご回答者様）のお考えをお教えください。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

	調査数	単位	1名	2名	3名	4名	5名～9名	10名以上	人数は未確定	無回答
全体	246	%	37.0	9.8	3.7	0.0	0.8	0.0	48.0	0.8
		件	91	24	9	0	2	0	118	2

⇒

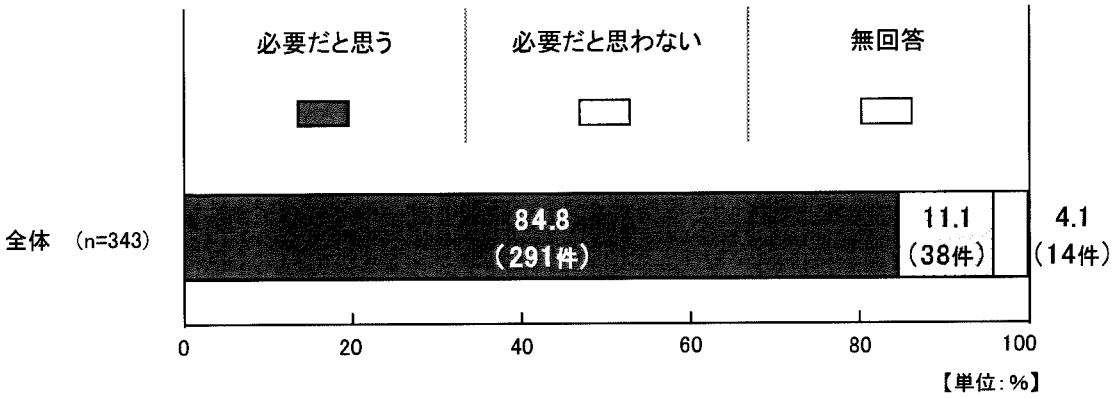
毎年の採用想定人数・計※（名）
294

※ 毎年の採用想定人数・計「5名～9名」＝5名、「10名以上」＝10名、「人数は未確定」＝1名を代入し合計値を算出

「国際観光学部 国際観光学科」の社会的必要性／卒業生採用意向／卒業生の毎年の採用想定人数

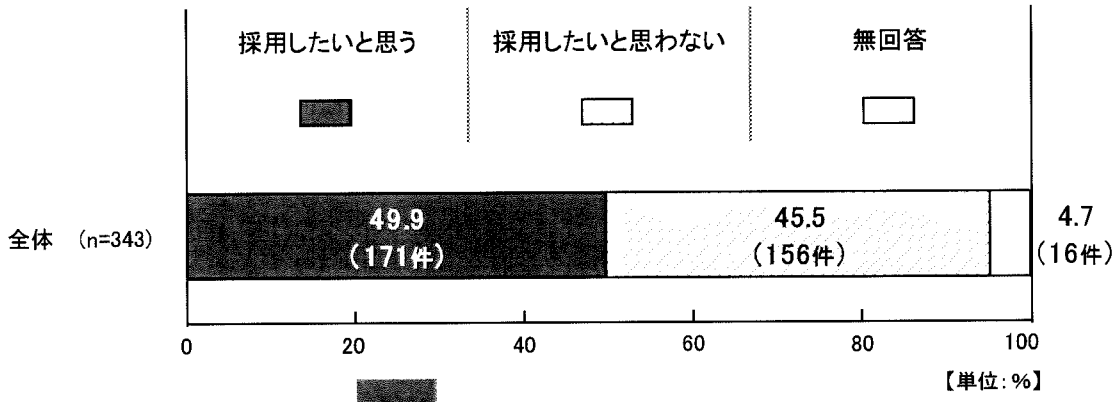
■「国際観光学部 国際観光学科」の社会的必要性

Q9. 貴社・貴団体（ご回答者）は、開志専門職大学（仮称）はこれからの社会にとって必要だと思われますか。
学部・学科ごとにお教えください。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）



■「国際観光学部 国際観光学科」卒業生採用意向

Q10. 貴社・貴団体（ご回答者）は、開志専門職大学（仮称）で学んだ学生を採用したいと思われますか。
学部・学科ごとにお教えください。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）
※現在、採用にかかわっていない場合も、ご回答者様のお気持ちに近い方に○をつけてください。



「国際観光学部 国際観光学科」卒業生を
「採用したいと思う」と答えた171件のみ抽出

■「国際観光学部 国際観光学科」卒業生の毎年の採用想定人数

Q11. Q10でいずれかの学部・学科で学んだ学生を「1. 採用したいと思う」とご回答になった方にうかがいます。
「1. 採用したいと思う」と回答された学部・学科の学生について、毎年何名程度の採用を想定されますか。
現時点での貴社・貴団体（ご回答者様）のお考えをお教えください。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

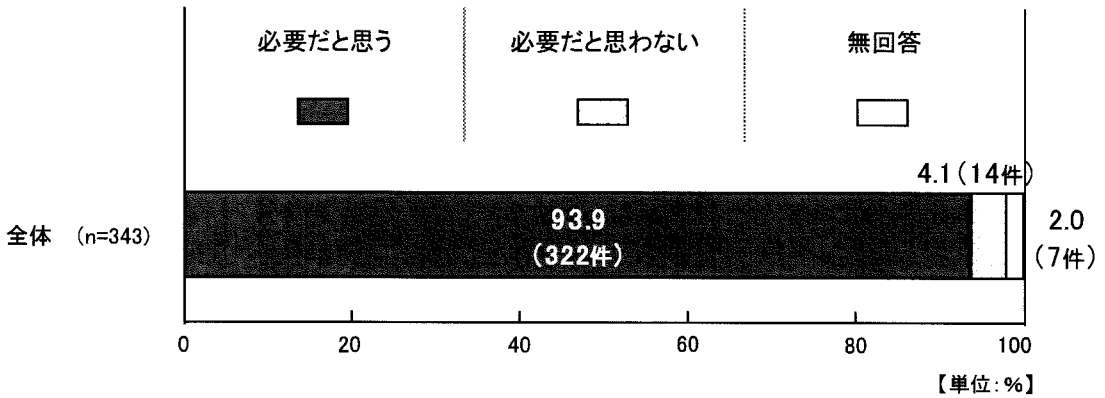
	調査数	単位	1名	2名	3名	4名	5名～9名	10名以上	人数は未確定	無回答		毎年の採用想定人数・計※（名）
全体	171	%	25.7	19.3	4.7	2.3	2.9	0.0	44.4	0.6	⇒	251
		件	44	33	8	4	5	0	76	1		

※ 毎年の採用想定人数・計「5名～9名」＝5名、「10名以上」＝10名、「人数は未確定」＝1名を代入し合計値を算出

「ICT高度情報学部 ICT高度情報学科」の社会的必要性／卒業生採用意向／卒業生の毎年の採用想定人数

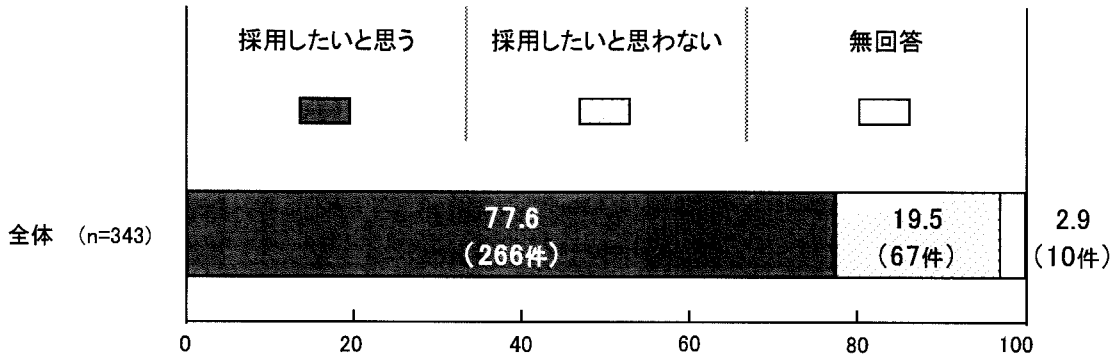
■「ICT高度情報学部 ICT高度情報学科」の社会的必要性

Q9. 貴社・貴団体（ご回答者）は、開志専門職大学（仮称）はこれからの社会にとって必要だと思われますか。
学部・学科ごとにお教えください。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）



■「ICT高度情報学部 ICT高度情報学科」卒業生採用意向

Q10. 貴社・貴団体（ご回答者）は、開志専門職大学（仮称）で学んだ学生を採用したいと思われますか。
学部・学科ごとにお教えください。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）
※現在、採用にかかわっていない場合も、ご回答者様のお気持ちに近い方に○をつけてください。



「ICT高度情報学部 ICT高度情報学科」卒業生を「採用したいと思う」と答えた266件のみ抽出

■「ICT高度情報学部 ICT高度情報学科」卒業生の毎年の採用想定人数

Q11. Q10でいずれかの学部・学科で学んだ学生を「1. 採用したいと思う」とご回答になった方にうかがいます。
「1. 採用したいと思う」と回答された学部・学科の学生について、毎年何名程度の採用を想定されますか。
現時点での貴社・貴団体（ご回答者様）のお考えをお教えください。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

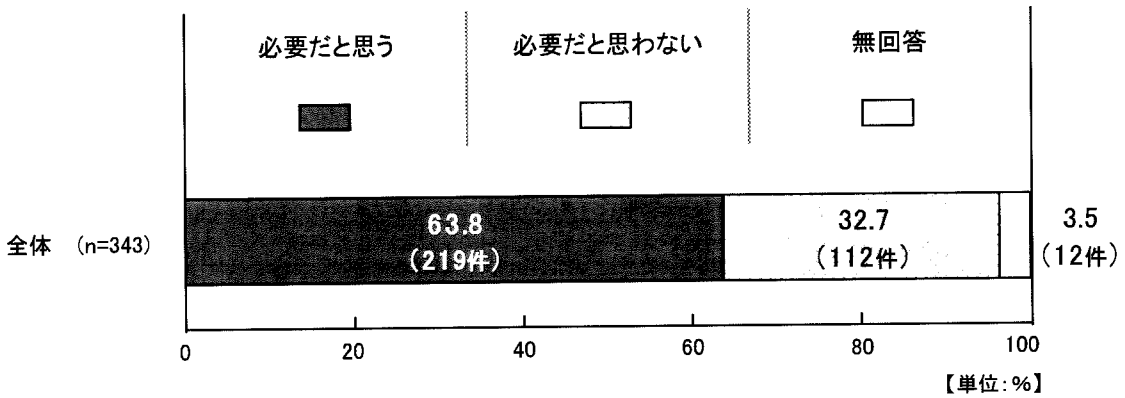
	調査数	単位	1名	2名	3名	4名	5名～9名	10名以上	人数は未確定	無回答		毎年の採用想定人数・計※（名）
全体	266	%	33.8	11.3	3.8	1.5	2.3	0.8	45.5	1.1	⇒	367
		件	90	30	10	4	6	2	121	3		

※ 毎年の採用想定人数・計「5名～9名」＝5名、「10名以上」＝10名、「人数は未確定」＝1名を代入し合計値を算出

「アニメ・マンガ学部 アニメ・マンガ学科」の社会的必要性／卒業生採用意向／卒業生の毎年の採用想定人数

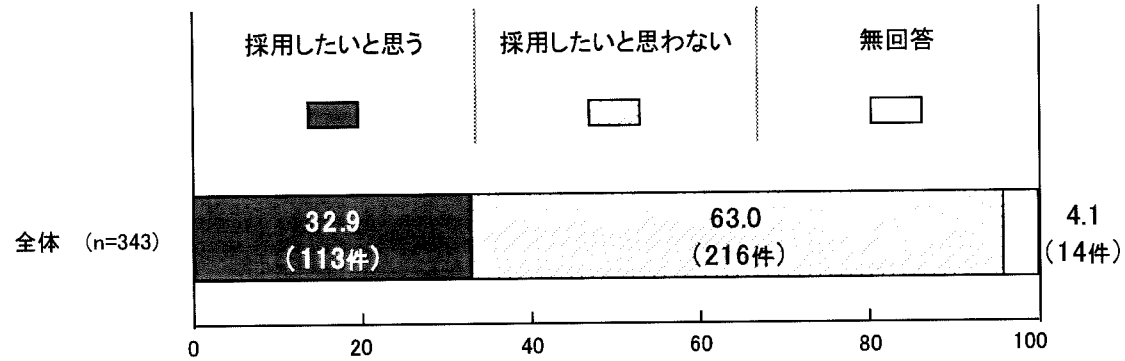
■「アニメ・マンガ学部 アニメ・マンガ学科」の社会的必要性

Q9. 貴社・貴団体(ご回答者)は、開志専門職大学(仮称)はこれからの社会にとって必要だと思われますか。
学部・学科ごとにお教えください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



■「アニメ・マンガ学部 アニメ・マンガ学科」卒業生採用意向

Q10. 貴社・貴団体(ご回答者)は、開志専門職大学(仮称)で学んだ学生を採用したいと思われますか。
学部・学科ごとにお教えください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)
※現在、採用にかかわっていない場合も、ご回答者様のお気持ちに近い方に○をつけてください。



「アニメ・マンガ学部 アニメ・マンガ学科」卒業生を
「採用したいと思う」と答えた113件のみ抽出

■「アニメ・マンガ学部 アニメ・マンガ学科」卒業生の毎年の採用想定人数

Q11. Q10でいずれかの学部・学科で学んだ学生を「1. 採用したいと思う」とご回答になった方にうかがいます。
「1. 採用したいと思う」と回答された学部・学科の学生について、毎年何名程度の採用を想定されますか。
現時点での貴社・貴団体(ご回答者様)のお考えをお教えください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	調査数	単位	1名	2名	3名	4名	5名～9名	10名以上	人数は未確定	無回答		毎年の採用想定人数・計※(名)
全体	113	%	34.5	11.5	1.8	0.0	2.7	0.0	47.8	1.8	⇒	140
		件	39	13	2	0	3	0	54	2		

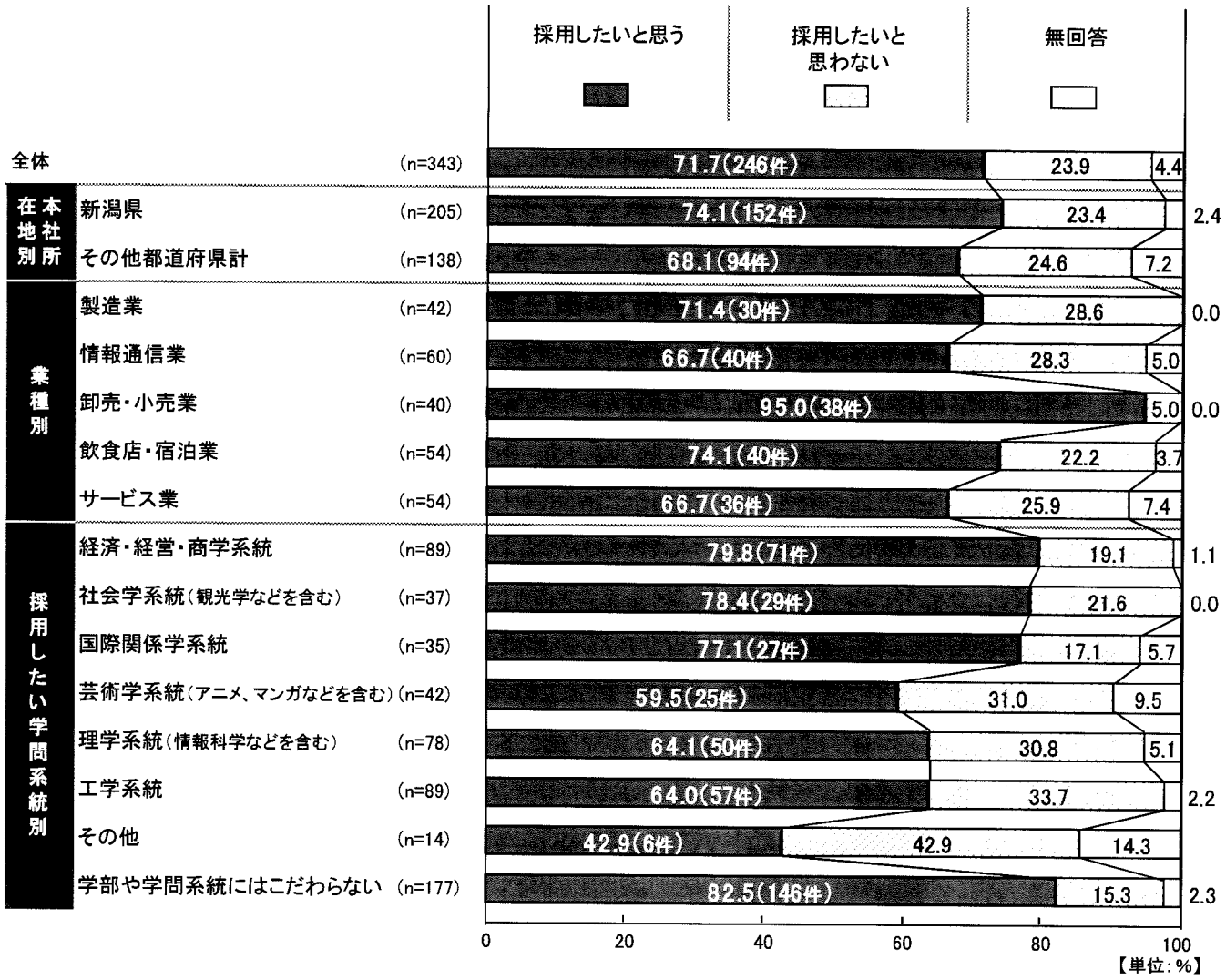
※ 毎年の採用想定人数・計「5名～9名」＝5名、「10名以上」＝10名、「人数は未確定」＝1名を代入し合計値を算出

「事業創造学部 事業創造学科」卒業生採用意向<属性別>

■「事業創造学部 事業創造学科」卒業生採用意向

Q10. 貴社・貴団体(ご回答者)は、開志専門職大学(仮称)で学んだ学生を採用したいと思われますか。
学部・学科ごとにお教えください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)
※現在、採用にかかわっていない場合も、ご回答者様のお気持ちに近い方に○をつけてください。

＜属性別＞

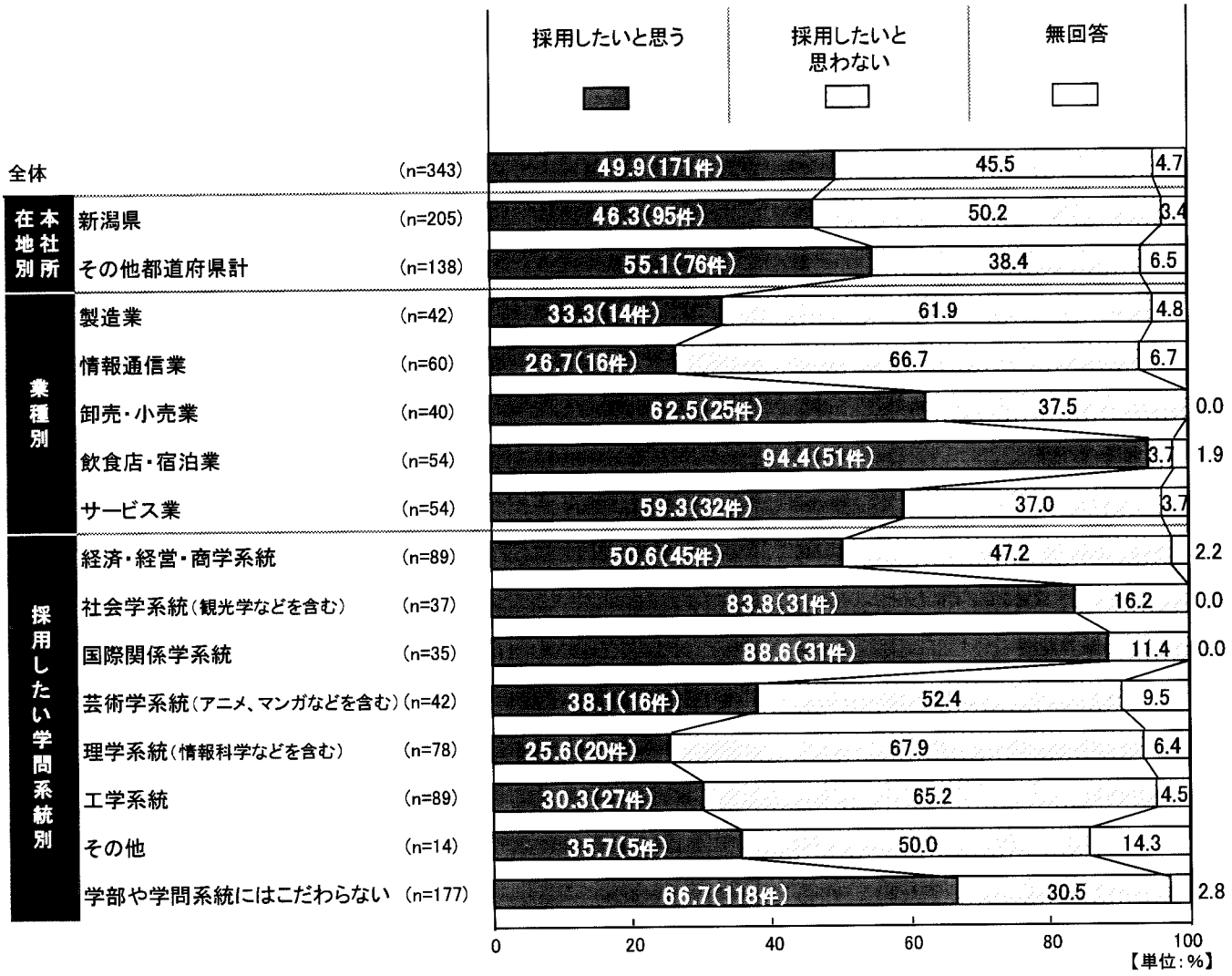


「国際観光学部 国際観光学科」卒業生採用意向<属性別>

■「国際観光学部 国際観光学科」卒業生採用意向

Q10. 貴社・貴団体(ご回答者)は、開志専門職大学(仮称)で学んだ学生を採用したいと思われますか。
学部・学科ごとにお教えください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)
※現在、採用にかかわっていない場合も、ご回答者様のお気持ちに近い方に○をつけてください。

＜属性別＞

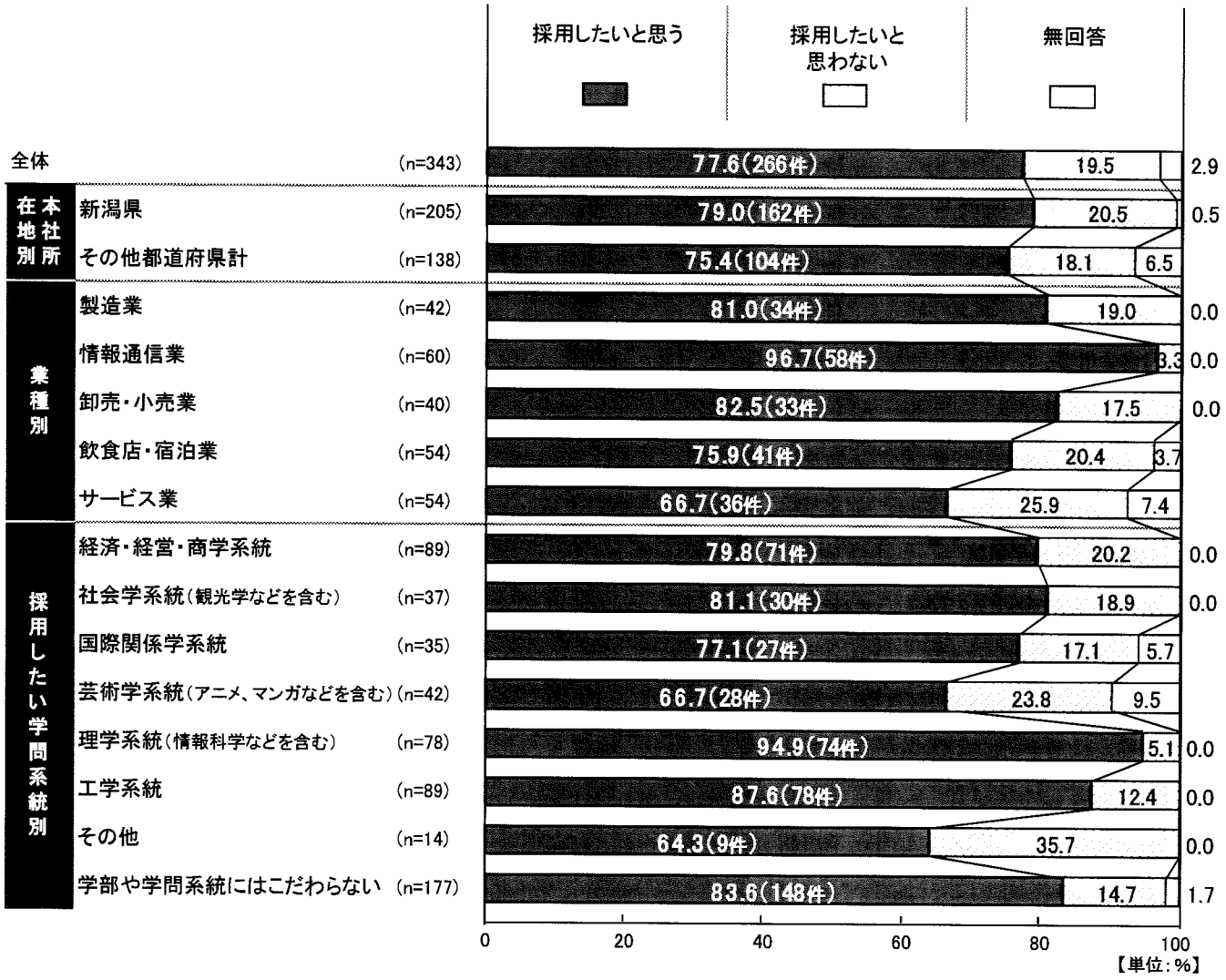


「ICT高度情報学部 ICT高度情報学科」卒業生採用意向<属性別>

■「ICT高度情報学部 ICT高度情報学科」卒業生採用意向

Q10. 貴社・貴団体(ご回答者)は、開志専門職大学(仮称)で学んだ学生を採用したいと思われますか。
学部・学科ごとにお教えください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)
※現在、採用にかかわっていない場合も、ご回答者様のお気持ちに近い方に○をつけてください。

＜属性別＞

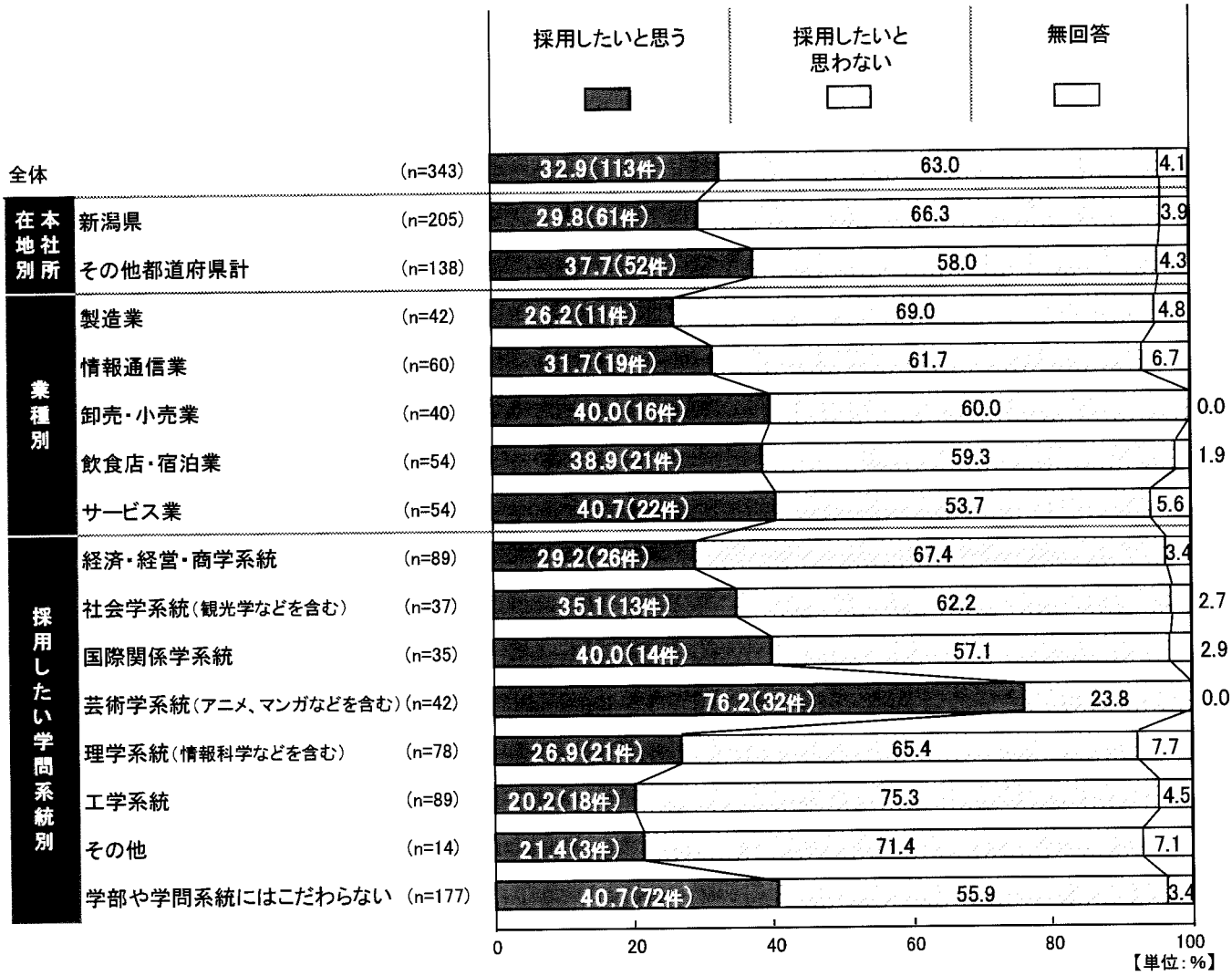


「アニメ・マンガ学部 アニメ・マンガ学科」卒業生採用意向＜属性別＞

■「アニメ・マンガ学部 アニメ・マンガ学科」卒業生採用意向

Q10. 貴社・貴団体（ご回答者）は、開志専門職大学（仮称）で学んだ学生を採用したいと思われますか。
学部・学科ごとにお教えください。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）
※現在、採用にかかわっていない場合も、ご回答者様のお気持ちに近い方に○をつけてください。

＜属性別＞



巻末資料 調査票

「開志専門職大学(仮称)」に関するアンケート

学校法人新潟総合学院では、2020年4月に新たに「開志専門職大学(仮称)」の設置を予定しております。
本アンケートは採用ご担当者様からご意見をお聞きし、より充実した大学とするための参考資料とさせていただくものです。
本アンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、
貴社・貴団体または個人を特定することは一切ございません。
つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。
※ 本アンケートや同封資料に記載の事項は現在構想中であり、内容が変更となる場合がございます。

Ⅰ 貴社・貴団体についてお聞きします。

Q1. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地をお教えください。

本社(本部)所在地 [　　] 都・道・府・県 ←1つに○

Q2. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えください。
(あてはまる番号1つに○)

1. 採用の決裁権があり選考にかかわっている
2. 採用の決裁権はあるが、選考にかかわっていない
3. 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
4. 採用時には直接かかわらず、情報や意見を収集、提供する立場にある
5. 採用には関与していない

Q3. 貴社・貴団体の業種をお教えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 農・林・漁・鉱業
2. 建設業
3. 製造業
4. 電気・ガス・熱供給・水道業
5. 情報通信業
6. 運輸業
7. 卸売・小売業
8. 金融・保険業
9. 不動産業
10. 学術研究
11. 飲食店・宿泊業
12. 教育・学習支援業
13. 医療・福祉
14. サービス業
15. 公務
16. その他 (　　)

Q4. 貴社・貴団体の社員数・職員数をお教えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 50名未満
2. 50名以上～100名未満
3. 100名以上～500名未満
4. 500名以上～1,000名未満
5. 1,000名以上～5,000名未満
6. 5,000名以上

Ⅱ 新規学卒者の採用実績及び採用予定についてお聞きします。

Q5. 貴社・貴団体の過去3年間(※)の新規学卒者の平均採用人数(1年あたりの平均採用人数)をお教えください。
※貴社・貴団体の2015年度～2017年度

1年あたり 約 [　　] 名程度

Q6. 貴社・貴団体の今後の新規学卒者の採用予定についてお教えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 積極的に採用を増やす予定である
2. いくらか採用を増やす予定である
3. 現状のまま
4. 採用を減らす予定である
5. 未定・わからない

次のページへ続く→

Q7. 貴社・貴団体では、どのような学部系統を卒業した人物を採用したいとお考えか、お教えください。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 経済・経営・商学系統
2. 社会学系統(観光学などを含む)
3. 国際関係学系統
4. 芸術学系統(アニメ、マンガなどを含む)
5. 文学系統
6. 語学系統
7. 法学系統
8. 教員養成・教育学系統
9. 生活科学系統
10. 理学系統(情報科学などを含む)
11. 工学系統
12. 看護・保健学系統
13. 医・歯・薬学系統
14. 農・水産学系統
15. その他(　　)
16. 学部や学問系統にはこだわらない

Ⅲ 開志専門職大学(仮称)についてお聞きします。
別紙の「専門職大学説明資料」、「大学案内リーフレット」をお読みいただいた上で、ご回答ください。

Q8. 開志専門職大学(仮称)には以下のような特色があります。
ご回答者様や貴社・貴団体は、それぞれの特色にどの程度魅力を感じるか、お教えください。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

				とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない
例. ○○を学び、△△を身につける			→	1	(2)	3	4
A.	事業創造学部	新しい事業の創造に必要となる独自の視点や考察能力及び知識と専門技能を修得し、起業家、事業継承者、企業の未来を変える企業内起業家を目指します。	→	1	2	3	4
B.	国際観光学部	観光業界における中核人材としての知識と専門技能を修得し、サービス向上や観光地マネジメントの実践力を身につけた旅行業務取扱管理者、国際観光ガイド、ホテル人材等を目指します。	→	1	2	3	4
C.	ICT高度情報学部	豊かで安全・安心な高度情報社会の実現に必要な実践的知識・技術と倫理観を持ち、実社会とサイバー空間が相互連携する社会で活躍するデータサイエンス、IoT、サイバーセキュリティ人材等を目指します。	→	1	2	3	4
D.	アニメ・マンガ学部	アニメーション、マンガ、キャラクターデザインの分野で、デジタルメディアにおいても新しい発表形式・制作技法に積極的に対応し、世界へ作品を発信できるプロを目指します。	→	1	2	3	4

Q9. 貴社・貴団体(ご回答者)は、開志専門職大学(仮称)はこれからの社会にとって必要だと思われますか。
学部・学科ごとにお教えください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

		必要だと思う	必要だと思わない
事業創造学部　事業創造学科	→	1	2
国際観光学部　国際観光学科	→	1	2
ICT高度情報学部　ICT高度情報学科	→	1	2
アニメ・マンガ学部　アニメ・マンガ学科	→	1	2

Q10. 貴社・貴団体(ご回答者)は、開志専門職大学(仮称)で学んだ学生を採用したいと思われますか。
学部・学科ごとにお教えください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)
※現在、採用にかかわっていない場合も、ご回答者様のお気持ちに近い方に○をつけてください。

		採用したいと思う	採用したいと思わない
事業創造学部　事業創造学科	→	1	2
国際観光学部　国際観光学科	→	1	2
ICT高度情報学部　ICT高度情報学科	→	1	2
アニメ・マンガ学部　アニメ・マンガ学科	→	1	2

Q11. Q10でいずれかの学部・学科で学んだ学生を「1. 採用したいと思う」とご回答になった方にうかがいます。
「1. 採用したいと思う」と回答された学部・学科の学生について、毎年何名程度の採用を想定されますか。
現時点での貴社・貴団体(ご回答者様)のお考えをお教えください。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

		1名	2名	3名	4名	5名～9名	10名以上	人数は未確定
事業創造学部　事業創造学科	→	1	2	3	4	5	6	7
国際観光学部　国際観光学科	→	1	2	3	4	5	6	7
ICT高度情報学部　ICT高度情報学科	→	1	2	3	4	5	6	7
アニメ・マンガ学部　アニメ・マンガ学科	→	1	2	3	4	5	6	7

～質問は以上です。ご協力ありがとうございました。～

１３．学生の確保の見通し等を記載した書類

【資料 17】

開志専門職大学に関するニーズ調査

アンケート実施　高校一覧

番号	高校名
1	新潟県立新潟江南高等学校
2	新潟県立新潟工業高等学校
3	新潟県立新潟商業高等学校
4	新潟県立新潟向陽高等学校
5	新潟県立吉田高等学校
6	新潟県立村上高等学校
7	新潟県立村上桜ケ丘高等学校
8	新潟県立荒川高等学校
9	新潟県立豊栄高等学校
10	新潟県立村松高等学校
11	新潟県立阿賀黎明高等学校
12	新潟県立長岡商業高等学校
13	新潟県立栃尾高等学校
14	新潟県立三条東高等学校
15	新潟県立三条商業高等学校
16	新潟県立加茂高等学校
17	新潟県立加茂農林高等学校
18	新潟県立八海高等学校
19	新潟県立柏崎総合高等学校
20	新潟県立柏崎工業高等学校
21	新潟県立出雲崎高等学校
22	新潟県立新井高等学校
23	新潟県立糸魚川高等学校
24	新潟県立佐渡高等学校
25	新潟県立羽茂高等学校
26	北越高等学校
27	新潟青陵高等学校
28	新潟清心女子高等学校
29	新潟第一高等学校
30	東京学館新潟高等学校

31	日本文理高等学校
32	帝京長岡高等学校
33	上越高等学校
34	関根学園高等学校
35	開志学園高等学校
36	新潟県立新潟県央工業高等学校
37	新潟県立正徳館高等学校
38	新潟県立佐渡中等教育学校
39	新潟県立燕中等教育学校
40	開志国際高等学校
41	山形県立酒田光陵高等学校
42	福島県立会津工業高等学校
43	富山県立泊高等学校
44	龍谷富山高等学校
45	長野県上田千曲高等学校

１３．学生の確保の見通し等を記載した書類

【資料 18】

18005

No.

「開志専門職大学(仮称)」に関するアンケート

学校法人新潟総合学院は、2020年4月に新たに「開志専門職大学(仮称)」の設置を予定しております。
本アンケートは高校生の皆様からご意見をお聞きし、より充実した大学とするための参考資料とさせていただくものです。
本アンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、**個人を特定することは一切ございません。**
つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。
※ 本アンケートや同封資料に記載の事項は現在構想中であり、内容が変更となる場合がございます。

記入の方法

1. 回答は、あてはまる項目の□枠に✔をつけてください。
2. この用紙は、電算処理しますので、汚さないようにしてください。
3. 記入にあたっては、必ず鉛筆またはシャープペンシルで濃く書いてください。
4. 質問により、1つだけ答えるものと、複数答えるものがあります。
5. 下記の【良い記入例】にしたがって記入してください。

【記入例】

Q.あなたは、どのような学問に興味がありますか。(いくつでも選択)

良い記入例: ☑文学 □法学 □社会学 □語学 ☑国際関係

悪い記入例: □文学 □法学 □社会学 ■語学 □国際関係

Ⅰ あなた自身についてお聞きします。

在籍している学校名	[ ] 高等学校	性別 (1つだけ選択)	□ 男性 □ 女性
所属クラス (1つだけ選択)	□ 文系クラス (文系コース) □ コース選択はない □ 理系クラス (理系コース) □ その他 [ ]		

Ⅱ 高校卒業後の進路や、興味のある学びについてお聞きします。

Q1. あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。
あてはまるものすべてをお選びください。(いくつでも選択)

- □ 国公立大学に進学
- □ 私立大学に進学
- □ 短期大学に進学
- □ 専門職大学に進学
- □ 専門学校・専修学校に進学
- □ 就職
- □ その他
- □ まだ決まっていない

Q2. あなたは、どのような学問に興味がありますか。
あてはまるものすべてをお選びください。(いくつでも選択)
(現時点で進学を考えていない方も、進学する場合を想像してご回答ください。)

- □ 経済・経営・商学
- □ 社会学(観光学などを含む)
- □ 国際関係学
- □ 芸術学(アニメ、マンガなどを含む)
- □ 文学
- □ 語学
- □ 法学
- □ 教員養成・教育学
- □ 生活科学
- □ 理学(情報科学などを含む)
- □ 工学
- □ 看護・保健学
- □ 医・歯・薬学
- □ 農・水産学
- □ その他
- □ まだ決まっていない／特にない

18006

Ⅲ　開志専門職大学(仮称)についてお聞きします。

**別紙の「専門職大学説明資料」、「大学案内リーフレット」を
お読みいただいた上で、ご回答ください。**

Q3. 開志専門職大学(仮称)には以下のような特色があります。
あなたは、それぞれの特色にどの程度魅力を感じるか、お選びください。
(それぞれ、1つだけ選択)

				とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない
例.	○○を修得し、△△を目指します		→	☐	☑	☐	☐
A.	事業創造学部	新しい事業の創造に必要となる独自の視点や考察能力及び知識と専門技能を修得し、起業家、事業継承者、企業の未来を変える企業内起業家を目指します。	→	☐	☐	☐	☐
B.	国際観光学部	観光業界における中核人材としての知識と専門技能を修得し、サービス向上や観光地マネジメントの実践力を身につけた旅行業務取扱管理者、国際観光ガイド、ホテル人材等を目指します。	→	☐	☐	☐	☐
C.	ICT高度情報学部	豊かで安全・安心な高度情報社会の実現に必要な実践的知識・技術と倫理観を持ち、実社会とサイバー空間が相互連携する社会で活躍するデータサイエンス、IoT、サイバーセキュリティ等の人材を目指します。	→	☐	☐	☐	☐
D.	アニメ・マンガ学部	アニメーション、マンガ、キャラクターデザインの分野で、デジタルメディアにおいても新しい発表形式・制作技法に積極的に対応し、世界へ作品を発信できるプロを目指します。	→	☐	☐	☐	☐

Q4. あなたは、開志専門職大学(仮称)に興味をもちましたか。あなたの気持ちに近い方をお選びください。(1つだけ選択)

☐ 興味をもった　　☐ 興味をもたなかった

Q5. あなたは、開志専門職大学(仮称)の
いずれかの学部(事業創造学部、国際観光学部、ICT高度情報学部、アニメ・マンガ学部)を受験したいと思いますか。
あなたの気持ちに近い方をお選びください。(1つだけ選択)

☐ 受験したいと思う　　☐ 受験したいと思わない

Q6. あなたは、開志専門職大学(仮称)を受験して合格したら、どの学部・学科に入学したいと思いますか。
あなたの気持ちに一番近いものをお選びください。(1つだけ選択)

☐ 事業創造学部　事業創造学科に入学したい
☐ 国際観光学部　国際観光学科に入学したい
☐ ICT高度情報学部　ICT高度情報学科に入学したい
☐ アニメ・マンガ学部　アニメ・マンガ学科に入学したい
☐ この中にはない

～質問は以上です。ご協力ありがとうございました。～

１３．学生の確保の見通し等を記載した書類

【資料 19】

学校法人新潟総合学院

2020年
4月開学予定
【設置構想中】



開志専門職大学(仮称)

事業創造学部	国際観光学部	ICT高度情報学部	アニメ・マンガ学部
事業創造学科	国際観光学科	ICT高度情報学科	アニメ・マンガ学科

※設置構想中のため掲載内容は予定であり、変更になる場合があります。

事業創造学部

入学定員 80名

事業創造学科

新事業の創造に必要となる独自の視点や考察能力及び知識と専門技能を修得し、起業家、事業承継者、企業の未来を変える企業内起業家を目指します。





目指す職業例

起業家 / 事業承継者 / 企業内起業家

など

▶ 事業創造学部の特色

- 起業・経営の基礎と実践的理論を学びます。
- 地域の魅力から地域新ビジネスを考案する能力を身につけます。
- 起業・経営を実習授業により実践します。
- 在学中の起業を目指し、起業に向けたサポートを受けることが出来ます。

▶ 事業創造学部の科目例

経営学入門、会社設立実習、経営戦略論、デジタルマーケティング、広報戦略の実践、グローバルマネジメント、イノベーションマネジメント、コミュニケーションデザイン、ビジネスプラン、実践事業承継、実践ベンチャービジネスなど

ICT高度情報学部

入学定員 80名

ICT高度情報学科

豊かで安全・安心な高度情報社会の実現に必要な実践的知識・技術と倫理観を持ち、実世界とサイバー空間が相互連関するデータ駆動型社会で活躍するデータサイエンス、IoT、サイバーセキュリティ等の人材を目指します。





目指す職業例

データサイエンティスト / IoTエンジニア / セキュリティアーキテクト

など

▶ ICT高度情報学部の特色

- コンピューティングの基礎から専門的な知識・技術を体系的に学びます。
- 超スマート社会・データ駆動型社会を実現する能力を身につけます。
- 課題解決能力を高める科目群によりイノベーションを実現する能力を身につけます。
- 安心、安全なサイバー空間を維持できる能力を身につけます。

▶ ICT高度情報学部の科目例

AI実習、没入型コンピューティング実習、データサイエンス実習、IoT実習、サイバーセキュリティ実習、分散型コンピューティング、ロボティクス、クラウド技術論など

▶ ICT高度情報学部の目標資格・検定

応用情報技術者試験(国家試験)、データベーススペシャリスト(国家試験)、情報処理安全確保支援士(国家試験)、エンベデッドシステムスペシャリスト試験(国家試験)など

新たな大学である
新潟市中央区に20

開志専門職大学は「事業創
「ICT高度情報学部」
4つの学部を持つ

この4つの学部ではそれぞれの
理論に裏付けられた高度な実践
社会や産業界の変化に
日本の成長分野を担いグローバル

今、開志専門職大学が
社会・各産業界で強

● 開志専門職

**卒業時には大学
学位「学士(専門職)**

**実践力を磨く
4年間で600時間の
臨地実務実習
(長期企業内実習)。**

**課題発見・解決力を
高める
デザインシンキング授業。**

**教授・准教授はもちろん、
高度な能力と
経験を持った
実務家による授業。**

“専門職大学”が
20年4月開学予定

造学部」「国際観光学部」
ニメ・マンガ学部」の
新しい大学です。

高い専門性はもちろんのこと、
力と豊かな創造力を兼ね備え、
対応する能力を持ち、
こ活躍できる人材を育成します。

育成を目指す人材が
求められています。

大学の特徴 ●

**卒業の証である
学」が授与されます。**

**創造力を育むために
各業界のトップランナーを
招いた授業。**

**産業界と連携し
職業に直結した
実践的な教育課程。**

**グローバルな活躍を
実現する英語授業。**



国際観光学部

入学定員 80名

国際観光学科



訪日旅行客の急増など高度成長を続ける観光業界における中核人材としての知識と専門技能を修得し、サービス向上や観光地マネジメントの実践力を身につけた旅行業務取扱管理者、国際観光ガイド、ホテル人材等を目指します。

●目指す職業例

観光プロデューサー / 国際観光ガイド / ホテルマネージャー など

▶国際観光学部の特色

- グローバルな視点で観光分野を学びます。
- 外国人旅行者の誘客プロモーションをより高度化できる能力を身につけます。
- 学術的・実践的の両面からホスピタリティ・コミュニケーションを身につけます。
- 旅行代理店やホテル等でのあらゆる職種の実習授業により総合的に実践力を高めます。

▶国際観光学部の科目例

国際観光論、ホスピタリティ論、地域実践学演習、観光資源論、観光情報演習、ホスピタリティ実践、宿泊業ICT管理演習、通訳案内士試験対策、国際観光ガイド試験対策など

▶国際観光学部の目標資格・検定

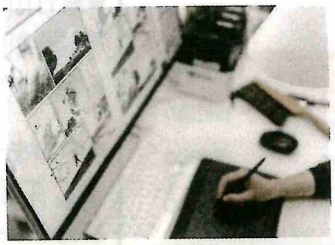
全国通訳案内士(国家試験)、国内・総合旅行業務取扱管理者試験(国家試験)



アニメ・マンガ学部

入学定員 80名

アニメ・マンガ学科



アニメーション、マンガ、キャラクターデザインの分野でデジタルメディアにおいても新しい発表形式・制作技法の新技術に積極的に対応し取り組む事ができ、日本国内はもとより、世界へ作品を発信できるプロを目指します。

●目指す職業例

アニメーター / マンガ家 / キャラクターデザイナー など

▶アニメ・マンガ学部の特色

- 「アニメーション」、「マンガ」、「キャラクターデザイン」のプロを養成します。
- 作品を生み出す洞察力、観察力、コミュニケーション能力を身につけます。
- 豊かな感性と幅広い教養も身につけます。
- 商品化、Web展開など最新ビジネスモデル等も学びます。

▶アニメ・マンガ学部の科目例

画力向上プログラム、アニメーション運動理論、アニメーター実習、マンガ表現技法、キャラクターデザイン表現技法、コンテンツ販売演習、コンテンツイベント実習、マンガCLIPSTUDIO基礎、DTP基礎・応用、eパブリッシング、3DCGなど

■学生納付金（予定） 年間にかかる授業料＋施設・設備費＋実習費の合計　入学初年度に限り入学金200,000円納付

事業創造学部 事業創造学科

¥1,080,000

類似する学部と学生納付金

新潟経営大学 経営情報学部
¥1,040,000
明治大学　経営学部
¥1,079,000

国際観光学部 国際観光学科

¥1,080,000

類似する学部と学生納付金

新潟経営大学 観光経営学部
¥1,040,000
立教大学 観光学部
¥1,071,000

ICT高度情報学部 ICT高度情報学科

¥1,380,000

類似する学部と学生納付金

新潟工科大学 工学部
¥1,280,000
金沢工業大学 情報フロンティア学部
¥1,343,000

アニメ・マンガ学部 アニメ・マンガ学科

¥1,280,000

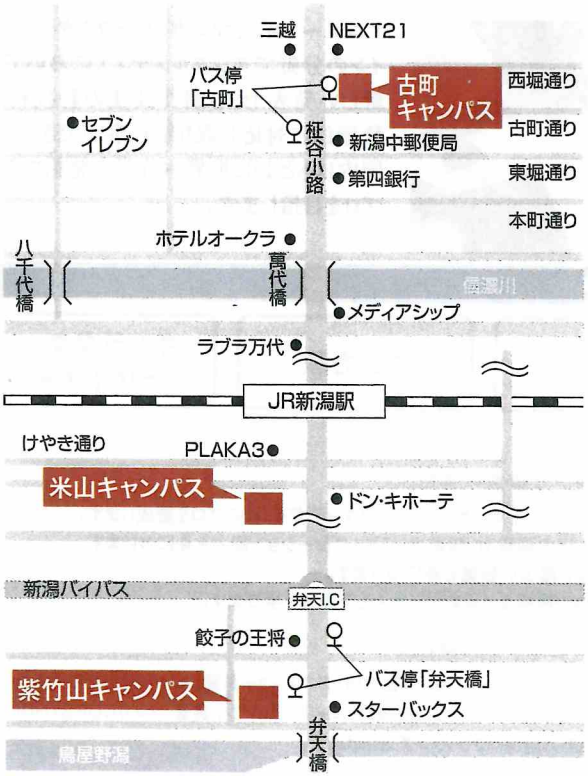
類似する学部と学生納付金

京都精華大学 マンガ学部
¥1,579,000

■奨学金制度

公的奨学金制度が利用可能です。又 本学独自の奨学金制度等を検討中です。

■設置場所　新潟市の中心部に設置予定。公共交通機関での通学に便利です。



●紫竹山キャンパス　最寄りのバス停から徒歩1分

事業創造学部／国際観光学部

新潟市中央区紫竹山6丁目3−5

●米山キャンパス　新潟駅から徒歩5分

ICT高度情報学部

新潟市中央区米山3丁目1−53

●古町キャンパス　最寄りのバス停から徒歩1分

アニメ・マンガ学部

新潟市中央区古町通7番町
新複合ビル10・11階（2020年3月末完成予定）

■お問合せ先／
学校法人新潟総合学院　開志専門職大学設置準備室

〒951−8065　新潟市中央区東堀通1-494-3
TEL025-365-1616　FAX025-365-1650
e-mail kaishi-pu@nsg.gr.jp　URL https://www.kaishi-pu.ac.jp

kaishi_pu　kaishi_pu　kaishi.pu2020

※設置構想中のため掲載内容は予定であり、変更になる場合があります。

舞台（ステージ）は大学、めざすは実践的な専門職業人（プロフェッショナル）！

「専門職大学」「専門職短期大学」がいよいよ開設されます。

文部科学省の中央教育審議会は2016年5月に、実践的な職業教育をする高等教育機関として「専門職大学」「専門職短期大学」の創設を答申しました。これを受け政府は学校教育法改正案を国会に提出。2017年5月に改正学校教育法が可決、成立。大学、短期大学などに加え、新たな高等教育機関として「専門職大学」「専門職短期大学」が開設されます。

実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関（「専門職大学」等）の制度化について

～学校教育法の一部を改正する法律案の概要～

1 趣旨・背景

「第四次産業革命」の進展と国際競争の激化に伴い、産業構造が急速に転換する中、優れた専門技能をもって、新たな価値を創造することができる専門職業人材の養成が急務となっている。

今後の成長分野を見据えた、新たに養成すべき専門職業人材とは

- 高度な**実践力**：理論にも裏付けられた高度な実践力を強みとして、専門業務を牽引できる人材
- 豊かな**創造力**：変化に対応しつつ、新たなモノやサービスを創り出すことができる人材

→ 新たな高等教育機関として **社会の変化に対応しつつ、新しいタイプの人材育成の強化を図る。**

2 概要

大学制度の中に位置付けられた、専門職業人の養成を目的とする新たな高等教育機関として、「専門職大学」及び「専門職短期大学」の制度を設ける。

学校教育法の一部改正について

1 目的等

- **機関の目的**
  深く専門の学芸を教授研究し、専門職を担うための実践的かつ応用的な能力を育成・展開することを目的とする。
- **学位の授与**
  課程修了者には、文部科学大臣が定める学位［学士（専門職）・短期大学士（専門職）］を授与する。

2 社会のニーズへの即応

- **産業界等との連携**
  専門職大学等は、文部科学大臣が定めるところにより、専門性が求められる職業に関連する事業を行う者等の協力を得て、教育課程を編成・実施し、及び教員の資質向上を図る。
- **認証評価における分野別評価等**
  専門職大学等の認証評価においては、専門分野の特性に応じた評価を受ける。

3 社会人が学びやすいしくみ

- **前期・後期の課程区分**
  専門職大学（4年制）の課程は、前期（2年または3年）及び後期（2年または1年）に区分できる。
- **修業年限の通算**
  実務の経験を有するものが入学した場合には、文部科学大臣の定めにより、当該実務経験を通じた能力の修得を勘案して、一定期間を修業年限に通算できる。

制度設計について

1 教育内容

- **「実践力」と「創造力」を育む教育課程**
- **産業界等と連携した教育課程の開発・編成・実施**
- **実習等の強化**
  卒業単位の概ね1/3以上は、実習等の科目（長期の臨地実務実習を含む）

2 教員

- **実務家教員を積極的に任用**
  （必要専任教員数の4割以上）
  ※専任実務家教員の必要数の半数以上は、研究能力を併せ有する実務家教員

3 学生受入

- **社会人、専門学校卒業生など多様な学生の受入れ**
  ※社会人も学びやすい柔軟な履修形態
  ※短期の学修成果の積み上げによる学位取得等も促進

4 修業年限・学位

- **4年（大学相当）、2年又は3年（短期大学相当）**
  ※4年制の課程については、前期・後期の区分制の導入も可
- **4年制修了者には、「学士（専門職）」を授与**
- **2・3年制修了者、4年制の前期修了者には、「短期大学士（専門職）」を授与**

3 施行期日

平成31（2019）年4月1日（平成29年5月24日 法案成立）

＊中央教育審議会 実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関の制度化に関する特別部会／専門職大学・専門職短期大学進路研究ゼミナール配布資料 専門職大学設置基準より

株式会社進研アド

変化する社会の要請に応える専門職業人を育成する

新たな大学として開設される「専門職大学」とは。

経済や産業構造が急速に変化する現代社会に求められる、高度な実践力と豊かな創造力を持った専門職業人の養成をすることを目的として「専門職大学」が開設されます。実践的な職業教育を提供するための独自の基準・制度の導入が進められるなか、専門職を担うための優れた能力を備えた新しいタイプの人材育成をめざしていきます。

入学対象者は？
高校・専門高校卒業生、社会人学生、編入学生 など

就業年は？
専門職大学：4年制　前期（2または3年）
後期（2年または1年）
※社会人等、実務経験を有する者が入学する場合には、実務経験を通じた能力の修得を勘案して、一定期間を就業年数に通算する事ができます。

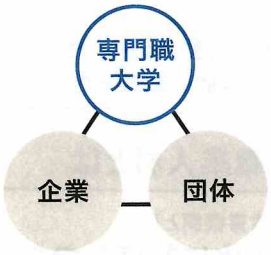
授業科目は？
①基礎科目（20単位以上）②職業専門科目(60単位以上)
③展開科目（20単位以上）④総合科目（4単位以上）

学位について
専門職大学課程修了者：「学士（専門職）」

教育の特色

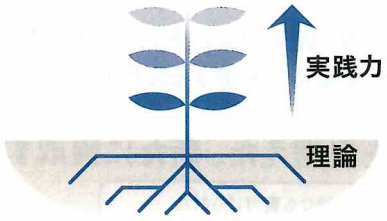
point 1 産業界等との連携を強化

企業や関連機関と連携を図り、教育プログラムを開発・実施。社会のニーズや業界の課題に向き合う実践的な教育をめざす。



point 2 「実践の理論」を探究

社会で高度な実践力を発揮する際に確かな裏付けとなる、専門分野での知識や理論、研究といった学びを重視する。



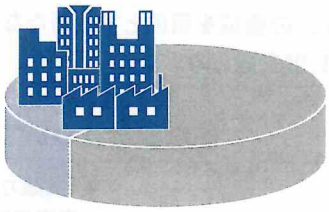
point 3 関連分野の知識を幅広く修得

専門とする分野の知識を幅広く修得するカリキュラム編成で、応用力を高め、豊かな創造力の礎となる力を磨く。



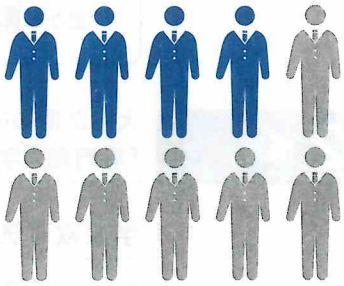
point 4 企業内実習（臨地実務実習）の機会が充実

卒業単位の**20単位**以上がインターンシップなどの長期の企業内実習等、現場体験を通して仕事への対応力や経験値を高める。
※4年制の場合



point 5 実務家教員の比率が高い

必要専任教員の**40%**以上に、企業や社会の特定の分野で実績を持つ実務家教員を採用。実務経験に基づく実践的教育を充実させる。



専門職大学が養成する人材とは？

実践強化
専門職種における卓越した技能と実践的な対応力を強化する。

専門高度化
専門分野で高度な知識を修得し、理解を深化させる。

総合力の強化
実践的な技能や知識を統合し、課題解決や創造性などの総合的な能力を高める。

高度な実践力
理論にも裏付けられた高度な実践力を強みとして、専門業務を牽引できる人材

豊かな創造力
変化に対応しつつ、新たなモノやサービスを創り出すことができる人材

身につく資質・能力

想定される将来像

たとえば…

観光分野
接客、旅行等の専門性に加え、マネジメントやマーケティング関連知識を有し、**サービスの向上や観光ブランド化等について実行**できる人材。

情報分野
プログラマーやデザイナーとしての実践力に加えて、幅広い関連技術を活かし、他の職業分野と連携しながら**新たな企画構想をサービス化**できる人材。

福祉分野
福祉職としての専門性に加え、福祉・医療における新技術利用(IoT・ロボット)等の関連知識を有し、**新しい福祉サービスや事業を主導**する人材。

それぞれの分野で活躍！

分野全般における精通力
一定の産業・職業分野に関連する知識・技能を修得、深化させる。

職業人としての学士力
職業人に求められる基礎的・汎用的能力や教養、キャリア形成を図る能力を身につける。

専門技術等を身につけながら
新たなサービスプランの企画や商品開発等を推進できる人。
さらに、それらを活かした開業や起業までできる人。

＊ 上記の内容は今後変更になる場合もあります。

株式会社進研アド

別記様式第３号（その１）

教　　員　　名　　簿

学　　長　　の　　氏　　名　　等						
調書番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任（予定）年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	現　職 （就任年月）
－	学長	キタバタ　タカオ 北畑　隆生 ＜平成 32 年 4 月＞		法学士		(株)神戸製鋼所 社外取締役 （平成 22 年 6 月） 丸紅(株)　社外取締役 （平成 25 年 6 月） セーレン(株) 社外取締役 （平成 26 年 6 月） 日本ゼオン(株) 社外取締役 （平成 26 年 6 月）

別記様式第3号(その2の1)

(用紙　日本工業規格A4縦型)

(事業創造学部　事業創造学科)

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
1	専	教授 (副学長) (学長補佐)	サクライ　シゲキ 櫻井　繁樹 ＜平成32年4月＞		博士 (資源工学)		地域産業研究Ⅲ(環境) 企業内実習Ⅲ	2③・④ 3③・④	2 6	1 1	京都大学大学院 総合生存学館 教授 (平22.9)	
2	専	教授 (学部長)	コンドウ　マサユキ 近藤　正幸 ＜平成32年4月＞		博士 (学術)		経済学の基礎 トップランナー研究 イノベーションマネジメント アントレプレナーシップ論 ※	1①・② 1②・④ 3①・② 1③・④	4 4 4 2.4	2 2 2 2	事業創造大学院大学 特任教授 (平31.4)	
3	専	教授	ニシムラ　シンヤ 西村　伸也 ＜平成32年4月＞		工学博士		企業内実習Ⅰ 地域資源活用実習 地域産業研究Ⅶ (まちづくり) 事業計画策定総合実習	1③・④ 3③・④ 4①・② 4通	2 4 2 4	1 2 1 1	新潟大学 教授 (平2.4)	
4	専	教授	トクダ　ケンジ 徳田　賢二 ＜平成32年4月＞		経済学士		現代経済学 流通論の基礎 地域経済産業論 ※ 事業計画策定総合実習	1①・② 2①・② 1③・④ 4通	2 2 2.4 4	1 1 2 1	専修大学 名誉教授 (平1.4)	
5	専	教授	ツネキ　マサノリ 常木　正則 ＜平成32年4月＞		教育学修士		日本語コミュニケーション	1①・②	4	2	新潟大学 名誉教授 (昭和57.10)	
△1	専	准教授	ヒラタ　サオリ 平田　沙織 ＜平成32年4月＞		博士 (経営学)		会計学 財務諸表論 新規商品開発・販売実習Ⅰ 企業内実習Ⅲ 新規商品開発・販売実習Ⅱ 事業計画策定総合実習	2② 2③ 2①・② 3③・④ 3①・② 4通	2 2 5 6 5 4	2 2 1 1 1 1	長岡大学 専任講師 (平成29.4)	
7	専	准教授	ホシ　カズキ 星　和樹 ＜平成32年4月＞		修士※ (経営学)		経営学の基礎 経営戦略論 ビジネスモデル研究 経営組織論 経営戦略策定演習 事業計画策定総合実習	1①・② 1③・④ 2①・② 2①・② 2③・④ 4通	4 4 4 4 4 4	2 2 2 2 2 1	愛知産業大学 准教授 (平成20.4)	
8	専	准教授	イシカワ　ヒデトシ 石川　秀才 ＜平成32年4月＞		法学修士		企業内実習Ⅰ 企業内実習Ⅱ 新規商品開発・販売実習Ⅰ 新規商品開発・販売実習Ⅱ 不動産法入門 不動産取引演習 企業内実習Ⅲ	1③・④ 2③・④ 2①・② 3①・② 3①・② 3③・④ 3③・④	2 4 5 5 2 2 6	1 1 1 1 1 1 1	明海大学 特任准教授 (平26.4)	
①	専	講師	ドキ　チカコ 土岐　智賀子 ＜平成32年4月＞		博士 (社会学)		キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ 企業内実習Ⅱ 企業内実習Ⅲ 現代社会学	1① 2② 2③・④ 3③・④ 1③・④	2 2 4 6 2	2 2 1 1 1	大阪市立大学 経済学研究科 客員研究員 (令元.5)	
10	専	講師	マツザワ　タカトシ 松澤　孝紀 ＜平成32年4月＞		修士 (経営学)		企業内実習Ⅰ 企業内実習Ⅱ 新規商品開発・販売実習Ⅰ 資金調達の実践 新規商品開発・販売実習Ⅱ 事業計画策定総合実習	1③・④ 2③・④ 2①・② 3③・④ 3①・② 4通	2 4 5 4 5 4	1 1 1 2 1 1	青山学院大学大学院 非常勤講師 (平20.4)	
11	専	助教	トウジョウ　アユミ 東城　歩 ＜平成32年4月＞		修士 (経営学)		簿記概論 簿記演習 財務諸表分析 企業内実習Ⅱ 新規商品開発・販売実習Ⅰ 新規商品開発・販売実習Ⅱ	1①・② 1③ 3①・② 2③・④ 2①・② 3①・②	4 2 4 4 5 5	2 2 2 1 1 1	学校法人新潟総合学院 専門職大学設置準備室 (平30.4)	
10	実(研)	教授	タカマツ　タカミツ 高松　孝光 ＜平成32年4月＞		経営学修士		マーケティング 広報戦略の実践 グローバル社長学 地域産業研究Ⅷ (カルチャー・エンタテイメント) 事業計画策定総合実習	1①・② 3③・④ 3③・④ 4③・④ 4通	4 2 2 2 4	2 1 1 1 1	ニューヨーク大学 プロフェショナル教育東京 エクゼクティブ・プログラム講師 (平30.6)	

12	実(研)	教授	ムカイ　マサミチ 向　正道 ＜平成32年4月＞		博士 (商学)		情報リテラシー デジタルマーケティング ICT活用ビジネス 事業計画策定総合実習	1① 1③・④ 3③・④ 4通	4 4 2 4	2 2 1 1	新日鉄住金ソリューションズ 株式会社 専門部長 (平13.4)	
12	実(研)	教授	ハラオカ　カズオ 原岡　和生 ＜平成32年4月＞		博士 (工学)		ビジネスコミュニケーション 会社設立実習Ⅰ 会社設立実習Ⅱ 地域産業研究Ⅳ (ものづくり) ICT活用ビジネス 事業計画策定総合実習	1③・④ 2③・④ 3①・② 3①・② 3③・④ 4通	4 4 4 2 2 4	2 1 1 1 1 1	ミクロマクロリンク株式会社 代表取締役 (平28.1)	
13	実(研)	准教授	フクダ　ミノル 福田　稔 ＜平成32年4月＞		修士 (政策学)		企業内実習Ⅰ 会社設立実習Ⅰ 会社設立実習Ⅱ 実践企業革新 会社設立実習Ⅲ 事業計画策定総合実習	1③・④ 2③・④ 3①・② 4①・② 3③・④ 4通	2 4 4 2 4 4	1 1 1 1 1 1	一般社団法人 日本イノベーション マネジャー協会 代表理事 (平28.9)	
14	実(研)	准教授	ミカモ　テツヒデ 美甘　哲秀 ＜平成32年4月＞		社会学士		現代産業論 現代企業論 事業計画策定総合実習	1①・② 1③・④ 4通	4 4 4	2 2 1	丸紅株式会社 経済研究所顧問 (平29.10)	
14	実(研)	准教授	ワタナベ　ヤスヒデ 渡邉　康英 ＜平成32年4月＞		芸術学修士		企業内実習Ⅰ ソーシャルデザインⅠ ソーシャルデザインⅡ ソーシャルデザイン実習 企業内実習Ⅲ	1③・④ 2③・④ 3①・② 3③・④ 3③・④	2 4 4 4 6	1 2 2 2 1	(株)日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門 シニアマネージャー (平13.12)	
15	実み	教授	マスダ　タツオ 増田　達夫 ＜平成32年4月＞		学士 (政治学)		地域産業研究Ⅲ(環境) 国際動態論 現代史と国際関係論	2③・④ 3④ 1③・④	2 4 2	1 2 1	フェアコートキャピタル社 会長 (平28.3) フェアコートキャピタル社 会長 (平28.3)	
16	実み	教授	フルヤ　ミツトシ 古屋　光俊 ＜平成32年4月＞		商学博士		ビジネスプランの基礎 ビジネスプランの応用 実践ベンチャービジネス	1③・④ 2①・② 2③・④	4 4 2	2 2 2	株式会社ビーウィル 代表取締役 (平27.1) 株式会社ビーウィル 代表取締役 (平27.1)	
18	兼担	教授	タシロ　シュウイチ 田代　秀一 ＜平成32年4月＞		工学博士		現代の科学技術	1③・④	2	1	独立行政法人 情報処理推進機構 嘱託 (平30.4)	
19	兼担	教授	オオノ(キタジマ) ユキオ 大野(北嶋)　幸夫 ＜平成33年4月＞		公法学修士		実践日本ビジネス法 企業リスク管理実践	2③・④ 3③・④	4 2	2 1	明治大学 名誉教授 (平16.4)	
21	兼担	教授	イソニシ　テツアキ 磯西　徹明 ＜平成35年4月＞		工学修士		地域産業研究Ⅵ(ICT)	4①・②	2	1	三菱電機 インフォメーション システムズ株式会社 中部支社 理事 支社長 (平28.4)	
23	兼担	准教授	イシヅカ　アキヒコ 石塚　昭彦 ＜平成33年4月＞		修士 (工学)		デザイン・シンキング概論	2①・②	4	2	東京工科大学 教授 (平27.4～平30.3)	
17	兼任	講師	テラマエ　シュウイチ 寺前　秀一 ＜平成34年4月＞		博士 (観光学)		地域産業研究Ⅴ(観光)	3③・④	2	1	人流・観光研究所 所長 (平27.4)	
18	兼任	講師	サイ　エイカ 崔　衛華 (チュイ　ウェイファ) (CUI WEIHUA) ＜平成35年4月＞		博士 (経済学)		中国語コミュニケーション	4③・④	1	1	東北財経大学 産業組織と 企業組織研究センター 准研究員 (昭62.9)	

25	兼任	講師	グレゴリー ディック Gregory Dick ＜平成32年4月＞		学士 (数学) (経済学) (英国)		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語プレゼンテーション演習Ⅰ 英語プレゼンテーション演習Ⅱ	1①・② 1③・④ 2①・② 2③・④	2 2 2 2	2 2 2 2	新潟医療福祉大学 非常勤講師 (平18.4)	
26	兼任	講師	ファン インジョ 黄 仁祚 ＜平成35年4月＞		修士 (文学)		韓国語コミュニケーション	4③・④	1	1	新潟青陵大学 非常勤講師 (平28.4)	
27	兼任	講師	ナカタニ マサヒロ 中谷 昌弘 ＜平成35年4月＞		博士 (経済学)		ロシア語コミュニケーション	4③・④	1	1	新潟大学 非常勤講師 (平13.4)	
28	兼任	講師	フジシマ ヤスユキ 藤島 安之 ＜平成32年4月＞		法学士		現代実践法学	1①・②	2	1	イービストレード(株) 取締役 (平25.7)	
②	兼任	講師	ワタナベ ヨシヒサ 渡辺 芳久 ＜平成32年4月＞		経営管理 修士 (専門職)		地域経済産業論 ※ アントレプレナーシップ論 ※ 新潟と地域資源 地域資源活用の理論と方法 キャリアデザインⅢ	1③・④ 1③・④ 2①・② 2③・④ 3②	1.6 1.6 4 4 2	2 2 2 2 2	組織マネジメント研究所 所長 (平27.4)	
30	兼任	講師	タケダ オサミ 武田 修美 ＜平成34年4月＞		専門学校卒		コミュニケーションデザイン	3①・②	2	1	(株)MGNET 代表取締役 (平成23.11)	
20	兼任	講師	ミヤシタ ヨシフミ 宮下 好文 ＜平成32年4月＞		修士 (経済学)		新潟と地域社会 新潟と地域政策	1①・② 1③・④	4 4	2 2	(公財)新潟県都市緑花センター 理事長 (平27.6)	
32	兼任	講師	タケモト トシヒコ 武本 俊彦 ＜平成33年4月＞		法学士		地域産業研究Ⅰ (農林水産)	2①・②	2	1	新潟食料農業大学 教授 (平30.4)	
33	兼任	講師	サトウ アツシ 佐藤 督 ＜平成32年4月＞		法務博士		ビジネスモラル	1①	2	2	郷原総合コンプライアンス 法律事務所 法務専門調査員 (平21.9)	
34	兼任	講師	ワタナベ トシフミ 渡邉 敏文 ＜平成33年4月＞		博士 (保健学)		地域産業研究Ⅱ(医療福祉)	2①・②	2	1	新潟医療福祉大学 教授 (平27.4)	
35	兼任	講師	タケダ ワタル 武田 超 ＜平成34年4月＞		工学博士		事業承継演習※	3④	1.2	1	SMBCラーニングサポート(株) 研修部部長 (平25.4)	
36	兼任	講師	ヤマグチ マサミチ 山口 真道 ＜平成34年4月＞		文学士		実践事業承継	3③	2	1	(株)三井住友銀行 新潟法人営業部長 (平30.4)	
37	兼任	講師	クボタ ゴウイチ 久保田 剛一 ＜平成34年4月＞		学士 (外国研究)		事業承継演習※	3④	0.8	1	(株)三井住友銀行 法人戦略部 上席推進役 (平30.4)	
21	兼任	講師	イトウ リョウジ 伊藤 龍史 ＜平成33年4月＞		修士※ (商学)		消費者行動研究	2③・④	2	1	新潟大学 准教授 (平26.4)	
22	兼任	講師	ナカヒガシ マサキ 中東 雅樹 ＜平成34年4月＞		修士※ (経済学)		実践的統計学	3①・②	2	1	新潟大学 准教授 (平24.4)	
23	兼任	講師	アオヤマ ヒロコ 青山 浩子 ＜平成34年4月＞		博士 (農学)		地域資源活用の事例研究	3①・②	4	2	新潟食料農業大学 非常勤講師 (平30.4)	

別記様式第3号(その2の1)

(用紙　日本工業規格A4縦型)

(情報学部　情報学科)

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
1	専	教授 (副学長) (学部長)	ミカミ ヨシキ 三上 喜貴 ＜平成32年4月＞		博士 (政策・メディア)		トップランナー研究	1④・2②	4	2	長岡技術科学大学 特任教授・学長アドバイザー (平31.4)	
							臨地実務実習Ⅰ	2③	5	1		
							国際文化と伝統	3①・②	4	2		
							臨地実務実習Ⅱ	3③・④	15	1		
△1	専	教授	カナミヤ ヨシカズ 金宮 好和 ＜平成32年4月＞		博士(工学)		サイバーフィジカルシステム基礎	1③	4	2	東京都市大学 教授 (平15.4)	
							臨地実務実習Ⅰ	2③	5	1		
							ハードウェア設計	3②	2	1		
							臨地実務実習Ⅱ	3③・④	15	1		
							ICT演習(IoT)	4①	2	1		
							ロボティクス実習	4①・②	2	1		
							情報と英語	4①・②	2	1		
							ICT活用総合実習	4通	4	1		
							ICT演習(組込システム)	4④	2	1		
2	専	教授	ミヤモト マナミ 宮元 万菜美 ＜平成32年4月＞		博士 (商学)		情報リテラシー	1①	4	2	サイバー大学 教授 (平27.4)	
							社会心理・消費者行動	1③・④	4	2		
							マーケティング	2①・②	4	2		
							情報と経営	2①・②	4	2		
							臨地実務実習Ⅰ	2③	5	1	早稲田大学大学院 非常勤講師 (平31.4)	
							臨地実務実習Ⅱ	3③・④	15	1		
							ICT活用総合実習	4通	4	1		
3	専	教授	オオノ(キタジマ) ユキオ 大野(北嶋) 幸夫 ＜平成32年4月＞		法学修士		情報と法律	1③・④	4	2	明治大学 名誉教授 (平16.4)	
							臨地実務実習Ⅰ	2③	5	1		
							情報と倫理	3①	2	2		
							臨地実務実習Ⅱ	3③・④	15	1		
△2	専	教授	ゴトウ(サカモト) ユキノリ 後藤(坂本) 幸功 ＜平成32年4月＞		博士 (情報科学)		オペレーティングシステム	1②	2	1	サイバー大学 専任教授 (平23.4)	
							データ構造とアルゴリズム	1①	2	1		
							ネットワーク演習	1③・④	2	1		
							情報セキュリティ	1③・④	4	2		
							サイバーセキュリティ演習	2①・②	4	2		
							臨地実務実習Ⅰ	2③	5	1		
							臨地実務実習Ⅱ	3③・④	15	1		
							ICT活用総合実習	4通	4	1		
③	専	教授	タシロ シュウイチ 田代 秀一 ＜平成32年4月＞		工学博士		情報の基礎	1①	2	2	独立行政法人 情報処理推進機構 嘱託 (平30.4)	
							情報産業論	2①・②	4	2		
							臨地実務実習Ⅰ	2③	5	1		
							現代の科学技術	2④	2	1		
							臨地実務実習Ⅱ	3③・④	15	1		
							ICT活用総合実習	4通	4	1		
6	専	准教授	イシヅカ アキヒコ 石塚 昭彦 ＜平成32年4月＞		工学修士		デザイン・シンキング概論	1③・④	4	2	東京工科大学 教授 (平27.4～平30.3)	
							デザイン・シンキング実習Ⅰ	2①	2	2		
							臨地実務実習Ⅰ	2③	5	1		
							ユーザエクスペリエンス	2④	2	1		
							デザイン・シンキング実習Ⅱ	3①	2	2		
							臨地実務実習Ⅱ	3③・④	15	1		
							ICT活用総合実習	4通	4	1		
△3	専	講師	カラサワ ナオユキ 柄沢 直之 ＜平成32年4月＞		修士※ (工学)		オペレーティングシステム	1②	2	1	新潟大学 助教 (平19.4)	
							システムモデリング	1②	2	2		
							プログラミングⅠ	1②	2	1		
							データベースの基礎	1③・④	2	1		
							プログラミングⅡ	1③	2	1		
							データベース演習	2①・②	2	1		
							臨地実務実習Ⅰ	2③	5	1		
							ICT演習(応用情報)	3②	2	1		
							臨地実務実習Ⅱ	3③・④	15	1		
							ICT活用総合実習	4通	4	1		
△4	専	助教	パン ユウ モン PANN YU MON ＜平成32年4月＞		博士 (工学)		ネットワークプログラミング実習	2①・②	4	2	JDC Yangon SOLTエンジニアリング (平30.11)	
							ICT演習 (ハードウェア/ソフトウェア)	2②	1	1		
							ICT演習(基本情報)	2④	2	1		
							臨地実務実習Ⅰ	2③	5	1		
							臨地実務実習Ⅱ	3③・④	15	1		
							ICT活用総合実習	4通	4	1		

5	実(研)	教授	ウエノ シュウタ 上野 衆太 ＜平成32年4月＞		博士 (工学)		線形代数	1①・②	2	1	日本電信電話株式会社 アクセスサービスシステム研究所 主任研究員 (平24.4)	
							情報通信ネットワーク	1②	2	2		
							ネットワーク演習	1③・④	2	1		
							ネットワークプログラミング実習	2①・②	2	1		
							臨地実務実習Ⅰ	2③	5	1		
							分散型台帳技術	3①・②	4	2		
							臨地実務実習Ⅱ	3③・④	15	1		
							システム開発技術	2①②	2	1		
							ICT活用総合実習	4通	4	1		
6	実(研)	教授	スズキ ゲンゴ 鈴木 源吾 ＜平成32年4月＞		博士 (工学)		データベースの基礎	1③・④	2	1	日本電信電話株式会社 ソフトウェアイノベーションセンタ 主任研究員 (平24.4)	
							確率論	1③・④	4	2		
							統計学	2①・②	4	2		
							データベース演習	2①・②	2	1		
							臨地実務実習Ⅰ	2③	5	1		
							臨地実務実習Ⅱ	3③・④	15	1		
							ICT活用総合実習	4通	4	1		
							ICT演習 (ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽｽﾍﾟｼｬﾘｽﾄ)	4④	2	1		
7	実(研)	教授	ホリカワ ケイタロウ 堀川 桂太郎 ＜平成32年4月＞		工学修士		データ構造とアルゴリズム	1①	2	1	日本電信電話株式会社 ソフトウェアイノベーションセンタ グループリーダ 主幹研究員 (平24.4)	
							プログラミングⅠ	1②	2	1		
							知識表現・知識処理	2①・②	4	2		
							臨地実務実習Ⅰ	2③	5	1		
							API実習	2④	2	1		
							AI実習	3①・②	2	1		
							臨地実務実習Ⅱ	3③・④	15	1		
							ICT活用総合実習	4通	4	1		
8	実(研)	教授	ヒラカワ ヒデキ 平川 秀樹 ＜平成32年4月＞		博士 (情報理工学)		微分積分	1③・④	2	1	国立研究開発法人 情報通信研究機構 参事 (平30.1)	
							情報科学基礎	1①・②	4	2		
							臨地実務実習Ⅰ	2③	5	1		
							AI実習	3①・②	2	1		
							マシンラーニング	3②	2	1		
							臨地実務実習Ⅱ	3③・④	15	1		
							ICT演習 (マシンラーニング)	4①	2	1		
							マシンラーニング実習	4①・②	2	1		
							ICT活用総合実習	4通	4	1		
9	実(研)	教授	タカシマ ヨウイチ 髙嶋 洋一 ＜平成32年4月＞		工学博士		線形代数	1①・②	2	1	日本電信電話株式会社 心理情報処理プロジェクト (令元.7)	
							微分積分	1③・④	2	1		
							プログラミングⅡ	1③	2	1		
							ネットワークプログラミング実習	2①・②	2	1		
							臨地実務実習Ⅰ	2③	5	1		
							サイバーセキュリティ実習	3①・②	4	2		
							臨地実務実習Ⅱ	3③・④	15	1		
							ICT演習 (ｾｷｭﾘﾃｨｽﾍﾟｼｬﾘｽﾄ)	4②	2	1		
							ICT活用総合実習	4通	4	1		
10	実(研)	教授	イソニシ テツアキ 磯西 徹明 ＜平成32年4月＞		工学修士		コンピュータアーキテクチャ	1①	4	2	三菱電機 インフォメーション システムズ株式会社 中部支社 理事 支社長 (平28.4)	
							クラウド技術概論	2①・②	2	1		
							IoT演習	2②	2	1		
							臨地実務実習Ⅰ	2③	5	1		
							IoT実習	3①	2	1		
							臨地実務実習Ⅱ	3③・④	15	1		
							ICT活用総合実習	4通	4	1		
13	実(研)	講師	ニシカワ コウヘイ 西川 浩平 ＜平成32年4月＞		修士 (工学)		API実習	2④	2	1	リックソフト株式会社 主任 (平30.4)	
							臨地実務実習Ⅰ	2③	5	1		
							ICT演習(セキュリティ)	2④	2	1		
							ICT演習(クラウド)	3①	2	1		
							クラウドベーシック&マーケティング	3①	2	1		
							クラウドプラットフォーム実習Ⅰ	3②	2	1		
							臨地実務実習Ⅱ	3③・④	15	1		
							クラウドプラットフォーム実習Ⅱ	4①・②	2	1		
							ICT活用総合実習	4通	4	1		
11	実み	講師	エグチ マサシ 江口 将史 ＜平成32年4月＞		修士 (コンピュータサイエンス) (米国)		没入型コンピューティング	1④	4	2	株式会社ホロラボ ビジネス ディベロップメント &テクニカルディレクター (平30.2)	
							没入型コンピューティング実習	2④	2	1	株式会社ホロラボ ビジネス ディベロップメント &テクニカルディレクター (平30.2)	

18	実み	講師	シブヤ シャウタ 渋谷 修太 ＜平成34年4月＞		学士 (社会工学)		マーケティング実践 ソーシャルデザイン実習	3①・② 4①・②	4 4	2 2	フラー株式会社 代表取締役CEO (平23.11) フラー株式会社 代表取締役CEO (平23.11)	
14	兼担	教授	ツネキ マサノリ 常木 正則 ＜平成32年4月＞		教育学修士		日本語コミュニケーション	1①・②	4	2	新潟大学 名誉教授 (昭和57.10)	
21	兼担	教授	トクダ ケンジ 徳田 賢二 ＜平成33年4月＞		経済学士		現代経済学	2①・②	4	2	専修大学 名誉教授 (平1.4)	
15	兼担	教授	マスダ タツオ 増田 達夫 ＜平成32年4月＞		学士 (政治学)		現代史と国際関係論 国際動態論	3①・② 4④	2 2	1 1	フェアコートキャピタル社 会長 (平28.3) フェアコートキャピタル社 会長 (平28.3)	
23	兼担	准教授	ミカモ テツヒデ 美甘 哲秀 ＜平成33年4月＞		学士 (社会学)		現代産業論 現代企業論	2①・② 3①・②	2 2	1 1	丸紅株式会社 経済研究所顧問 (平29.10)	
24	兼担	准教授	ワタナベ ヤスヒデ 渡邉 康英 ＜平成33年4月＞		芸術学修士		ソーシャルデザインⅠ ソーシャルデザインⅡ	2①・② 3①・②	4 4	2 2	(株)日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門 シニアマネージャー (平13.12)	
△12	兼担	講師	ドキ チカコ 土岐 智賀子 ＜令和3年4月＞		博士 (社会学)		現代社会学	2①・②	4	2	大阪市立大学 経済学研究科 客員研究員 (令元.5)	
17	兼任	講師	サイ エイカ 崔 衛華 (チュイ ウェイファ) (CUI WEIHUA) ＜平成35年4月＞		博士 (経済学)		中国語コミュニケーション	4③・④	1	1	東北財経大学 産業組織と 企業組織研究センター 准研究員 (昭62.9)	
26	兼任	講師	カラキ コウイチ 唐木 宏一 ＜平成32年4月＞		博士 (商学)		ビジネスモラル	1①	2	2	事業創造大学院大学 教授 (平28.4)	
27	兼任	講師	フジシマ ヤスユキ 藤島 安之 ＜平成32年4月＞		法学士		現代実践法学	2①・②	2	1	イービストレード(株) 取締役 (平25.7)	
28	兼任	講師	マカヴィンタ エドガー Macavinta, Edgar L ＜平成32年4月＞		Bachelor of Science in Elementary Education (比国)		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	1①・② 1③・④	2 2	2 2	国際外語・観光・エアライン 専門学校 非常勤講師 (平20.10)	
29	兼任	講師	ファン インジョ 黄 仁祚 ＜平成35年4月＞		修士 (文学)		韓国語コミュニケーション	4③・④	1	1	新潟青陵大学 非常勤講師 (平28.4)	
30	兼任	講師	ナカタニ マサヒロ 中谷 昌弘 ＜平成35年4月＞		博士 (経済学)		ロシア語コミュニケーション	4③・④	1	1	新潟大学 非常勤講師 (平13.4)	
⑬	兼任	講師	キタノ ナナコ 北野 奈々子 ＜平成32年4月＞		学士 (文学)		キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ	1① 2② 3②	2 2 2	2 2 2	(株)十日町パソコンカレッジ 代表取締役 (平28.10)	
33	兼任	講師	モリシタ アキヨ 森下 晶代 ＜平成33年4月＞		修士		デザイン・シンキング実習Ⅰ	2①	2	2	富士通デザイン(株) サービスデザイン担当 (平18.4)	
34	兼任	講師	ミヤシタ ヨシフミ 宮下 好文 ＜平成32年4月＞		修士 (経済学)		新潟と地域社会	1③・④	4	2	(公財)新潟県都市緑花センター 理事長 (平27.6)	
35	兼任	講師	グレゴリー ディック Gregory Dick ＜平成33年4月＞		学士 (数学) (経済学) (英国)		英語プレゼンテーション演習Ⅰ 英語プレゼンテーション演習Ⅱ	2①・② 2④	2 2	2 2	新潟医療福祉大学 非常勤講師 (平18.4)	
19	兼任	講師	セヤ ケイスケ 瀬谷 啓介 ＜平成33年4月＞		物理学修士		データサイエンス演習 データサイエンス実習 データマイニング演習	2② 3① 4①・②	2 2 2	1 1 1	(株)zero to one 取締役CTO (平28.1) (株)Viling Holdings 取締役CTO (平28.1)	

別記様式第3号（その2の1）

米山キャンパス

（情報学部　情報学科）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
1	専	教授 (副学長) (学部長)	ミカミ ヨシキ 三上 喜貴 ＜平成32年4月＞		博士 (政策・メディア)		トップランナー研究	1④・2②	4	2	長岡技術科学大学 特任教授・学長アドバイザー (平31.4)	
							臨地実務実習Ⅰ	2③	5	1		
							国際文化と伝統	3①・②	4	2		
							臨地実務実習Ⅱ	3③・④	15	1		
△1	専	教授	カナミヤ ヨシカズ 金宮 好和 ＜平成32年4月＞		博士(工学)		サイバーフィジカルシステム基礎	1③	4	2	東京都市大学 教授 (平15.4)	
							臨地実務実習Ⅰ	2③	5	1		
							ハードウェア設計	3②	2	1		
							臨地実務実習Ⅱ	3③・④	15	1		
							ICT演習(IoT)	4①	2	1		
							ロボティクス実習	4①・②	2	1		
							情報と英語	4①・②	2	1		
							ICT活用総合実習	4通	4	1		
							ICT演習(組込システム)	4④	2	1		
2	専	教授	ミヤモト マナミ 宮元 万菜美 ＜平成32年4月＞		博士 (商学)		情報リテラシー	1①	4	2	サイバー大学 教授 (平27.4)	
							社会心理・消費者行動	1③・④	4	2		
							マーケティング	2①・②	4	2		
							情報と経営	2①・②	4	2		
							臨地実務実習Ⅰ	2③	5	1	早稲田大学大学院 非常勤講師 (平31.4)	
							臨地実務実習Ⅱ	3③・④	15	1		
							ICT活用総合実習	4通	4	1		
3	専	教授	オオノ(キタジマ) ユキオ 大野(北嶋) 幸夫 ＜平成32年4月＞		法学修士		情報と法律	1③・④	4	2	明治大学 名誉教授 (平16.4)	
							臨地実務実習Ⅰ	2③	5	1		
							情報と倫理	3①	2	2		
							臨地実務実習Ⅱ	3③・④	15	1		
△2	専	教授	ゴトウ(サカモト) ユキノリ 後藤(坂本) 幸功 ＜平成32年4月＞		博士 (情報科学)		オペレーティングシステム	1②	2	1	サイバー大学 専任教授 (平23.4)	
							データ構造とアルゴリズム	1①	2	1		
							ネットワーク演習	1③・④	2	1		
							情報セキュリティ	1③・④	4	2		
							サイバーセキュリティ演習	2①・②	4	2		
							臨地実務実習Ⅰ	2③	5	1		
							臨地実務実習Ⅱ	3③・④	15	1		
							ICT活用総合実習	4通	4	1		
③	専	教授	タシロ シュウイチ 田代 秀一 ＜平成32年4月＞		工学博士		情報の基礎	1①	2	2	独立行政法人 情報処理推進機構 嘱託 (平30.4)	
							情報産業論	2①・②	4	2		
							臨地実務実習Ⅰ	2③	5	1		
							現代の科学技術	2④	2	1		
							臨地実務実習Ⅱ	3③・④	15	1		
							ICT活用総合実習	4通	4	1		
6	専	准教授	イシヅカ アキヒコ 石塚 昭彦 ＜平成32年4月＞		工学修士		デザイン・シンキング概論	1③・④	4	2	東京工科大学 教授 (平27.4～平30.3)	
							デザイン・シンキング実習Ⅰ	2①	2	2		
							臨地実務実習Ⅰ	2③	5	1		
							ユーザエクスペリエンス	2④	2	1		
							デザイン・シンキング実習Ⅱ	3①	2	2		
							臨地実務実習Ⅱ	3③・④	15	1		
							ICT活用総合実習	4通	4	1		
△3	専	講師	カラサワ ナオユキ 柄沢 直之 ＜平成32年4月＞		修士※ (工学)		オペレーティングシステム	1②	2	1	新潟大学 助教 (平19.4)	
							システムモデリング	1②	2	2		
							プログラミングⅠ	1②	2	1		
							データベースの基礎	1③・④	2	1		
							プログラミングⅡ	1③	2	1		
							データベース演習	2①・②	2	1		
							臨地実務実習Ⅰ	2③	5	1		
							ICT演習(応用情報)	3②	2	1		
							臨地実務実習Ⅱ	3③・④	15	1		
							ICT活用総合実習	4通	4	1		
△4	専	助教	パン ユウ モン PANN YU MON ＜平成32年4月＞		博士 (工学)		ネットワークプログラミング実習	2①・②	4	2	JDC Yangon SOLTエンジニアリング (平30.11)	
							ICT演習 (ハードウェア/ソフトウェア)	2②	1	1		
							ICT演習(基本情報)	2④	2	1		
							臨地実務実習Ⅰ	2③	5	1		
							臨地実務実習Ⅱ	3③・④	15	1		
							ICT活用総合実習	4通	4	1		

△5	実(研)	教授	ウエノ シュウタ 上野 衆太 ＜平成32年4月＞		博士 (工学)		線形代数	1①・②	2	1	日本電信電話株式会社 アクセスサービスシステム研究所 主任研究員 (平24.4)	
							情報通信ネットワーク	1②	2	2		
							ネットワーク演習	1③・④	2	1		
							ネットワークプログラミング実習	2①・②	2	1		
							臨地実務実習Ⅰ	2③	5	1		
							分散型台帳技術	3①・②	4	2		
							臨地実務実習Ⅱ	3③・④	15	1		
							システム開発技術	2①②	2	1		
							ICT活用総合実習	4通	4	1		
△6	実(研)	教授	スズキ ゲンゴ 鈴木 源吾 ＜平成32年4月＞		博士 (工学)		データベースの基礎	1③・④	2	1	日本電信電話株式会社 ソフトウェアイノベーションセンタ 主任研究員 (平24.4)	
							確率論	1③・④	4	2		
							統計学	2①・②	4	2		
							データベース演習	2①・②	2	1		
							臨地実務実習Ⅰ	2③	5	1		
							臨地実務実習Ⅱ	3③・④	15	1		
							ICT活用総合実習	4通	4	1		
							ICT演習 (ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽｽﾍﾟｼｬﾘｽﾄ)	4④	2	1		
△7	実(研)	教授	ホリカワ ケイタロウ 堀川 桂太郎 ＜平成32年4月＞		工学修士		データ構造とアルゴリズム	1①	2	1	日本電信電話株式会社 ソフトウェアイノベーションセンタ グループリーダ 主幹研究員 (平24.4)	
							プログラミングⅠ	1②	2	1		
							知識表現・知識処理	2①・②	4	2		
							臨地実務実習Ⅰ	2③	5	1		
							API実習	2④	2	1		
							AI実習	3①・②	2	1		
							臨地実務実習Ⅱ	3③・④	15	1		
							ICT活用総合実習	4通	4	1		
△8	実(研)	教授	ヒラカワ ヒデキ 平川 秀樹 ＜平成32年4月＞		博士 (情報理工学)		微分積分	1③・④	2	1	国立研究開発法人 情報通信研究機構 参事 (平30.1)	
							情報科学基礎	1①・②	4	2		
							臨地実務実習Ⅰ	2③	5	1		
							AI実習	3①・②	2	1		
							マシンラーニング	3②	2	1		
							臨地実務実習Ⅱ	3③・④	15	1		
							ICT演習 (マシンラーニング)	4①	2	1		
							マシンラーニング実習	4①・②	2	1		
							ICT活用総合実習	4通	4	1		
△9	実(研)	教授	タカシマ ヨウイチ 髙嶋 洋一 ＜平成32年4月＞		工学博士		線形代数	1①・②	2	1	日本電信電話株式会社 心理情報処理プロジェクト (令元.7)	
							微分積分	1③・④	2	1		
							プログラミングⅡ	1③	2	1		
							ネットワークプログラミング実習	2①・②	2	1		
							臨地実務実習Ⅰ	2③	5	1		
							サイバーセキュリティ実習	3①・②	4	2		
							臨地実務実習Ⅱ	3③・④	15	1		
							ICT演習 (ｾｷｭﾘﾃｨｽﾍﾟｼｬﾘｽﾄ)	4②	2	1		
							ICT活用総合実習	4通	4	1		
△10	実(研)	教授	イソニシ テツアキ 磯西 徹明 ＜平成32年4月＞		工学修士		コンピュータアーキテクチャ	1①	4	2	三菱電機 インフォメーション システムズ株式会社 中部支社 理事 支社長 (平28.4)	
							クラウド技術概論	2①・②	2	1		
							IoT演習	2②	2	1		
							臨地実務実習Ⅰ	2③	5	1		
							IoT実習	3①	2	1		
							臨地実務実習Ⅱ	3③・④	15	1		
							ICT活用総合実習	4通	4	1		
13	実(研)	講師	ニシカワ コウヘイ 西川 浩平 ＜平成32年4月＞		修士 (工学)		API実習	2④	2	1	リックソフト株式会社 主任 (平30.4)	
							臨地実務実習Ⅰ	2③	5	1		
							ICT演習(セキュリティ)	2④	2	1		
							ICT演習(クラウド)	3①	2	1		
							クラウドベーシック&マーケティング	3①	2	1		
							クラウドプラットフォーム実習Ⅰ	3②	2	1		
							臨地実務実習Ⅱ	3③・④	15	1		
							クラウドプラットフォーム実習Ⅱ	4①・②	2	1		
							ICT活用総合実習	4通	4	1		
△11	実み	講師	エグチ マサシ 江口 将史 ＜平成32年4月＞		修士 (コンピュータサイエンス) (米国)		没入型コンピューティング	1④	4	2	株式会社ホロラボ ビジネス ディベロップメント &テクニカルディレクター (平30.2)	
							没入型コンピューティング実習	2④	2	1	株式会社ホロラボ ビジネス ディベロップメント &テクニカルディレクター (平30.2)	

18	実み	講師	シブヤ シャウタ 渋谷 修太 ＜平成34年4月＞		学士 (社会工学)		マーケティング実践 ソーシャルデザイン実習	3①・② 4①・②	4 4	2 2	フラー株式会社 代表取締役CEO (平23.11) フラー株式会社 代表取締役CEO (平23.11)	
14	兼担	教授	ツネキ マサノリ 常木 正則 ＜平成32年4月＞		教育学修士		日本語コミュニケーション	1①・②	4	2	新潟大学 名誉教授 (昭和57.10)	
24	兼担	准教授	ワタナベ ヤスヒデ 渡邉 康英 ＜平成33年4月＞		芸術学修士		ソーシャルデザインⅠ ソーシャルデザインⅡ	2①・② 3①・②	4 4	2 2	(株)日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門 シニアマネージャー (平13.12)	
12	兼担	講師	ドキ チカコ 土岐 智賀子 ＜令和3年4月＞		博士 (社会学)		現代社会学	2①・②	4	2	大阪市立大学 経済学研究科 客員研究員 (令元.5)	
26	兼任	講師	カラキ コウイチ 唐木 宏一 ＜平成32年4月＞		博士 (商学)		ビジネスモラル	1①	2	2	事業創造大学院大学 教授 (平28.4)	
28	兼任	講師	マカヴィンタ エドガー Macavinta, Edgar L ＜平成32年4月＞		Bachelor of Science in Elementary Education (比国)		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	1①・② 1③・④	2 2	2 2	国際外語・観光・エアライン 専門学校 非常勤講師 (平20.10)	
⑬	兼任	講師	キタノ ナナコ 北野 奈々子 ＜平成32年4月＞		学士 (文学)		キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ	1① 2② 3②	2 2 2	2 2 2	(株)十日町パソコンカレッジ 代表取締役 (平28.10)	
33	兼任	講師	モリシタ アキヨ 森下 晶代 ＜平成33年4月＞		修士		デザイン・シンキング実習Ⅰ	2①	2	2	富士通デザイン(株) サービスデザイン担当 (平18.4)	
34	兼任	講師	ミヤシタ ヨシフミ 宮下 好文 ＜平成32年4月＞		修士 (経済学)		新潟と地域社会	1③・④	4	2	(公財)新潟県都市緑花センター 理事長 (平27.6)	
35	兼任	講師	グレゴリー ディック Gregory Dick ＜平成33年4月＞		学士 (数学) (経済学) (英国)		英語プレゼンテーション演習Ⅰ 英語プレゼンテーション演習Ⅱ	2①・② 2④	2 2	2 2	新潟医療福祉大学 非常勤講師 (平18.4)	
19	兼任	講師	セヤ ケイスケ 瀬谷 啓介 ＜平成33年4月＞		物理学修士		データサイエンス演習 データサイエンス実習 データマイニング演習	2② 3① 4①・②	2 2 2	1 1 1	(株)zero to one 取締役CTO (平28.1) (株)Viling Holdings 取締役CTO (平28.1)	

別記様式第3号（その2の1）

紫竹山キャンパス

（情報学部　情報学科）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
△2	専	教授	ゴトウ(サカモト) ユキノリ 後藤(坂本) 幸功 ＜平成32年4月＞		博士 (情報科学)		情報セキュリティ サイバーセキュリティ演習	1③･④ 2①･②	4 4	2 2	サイバー大学 専任教授 (平23.4)	
③	専	教授	タシロ シュウイチ 田代 秀一 ＜平成32年4月＞		工学博士		現代の科学技術	2④	2	1	独立行政法人 情報処理推進機構 嘱託 (平30.4)	
△9	実(研)	教授	タカシマ ヨウイチ 高嶋 洋一 ＜平成32年4月＞		工学博士		サイバーセキュリティ実習	3①･②	4	2	日本電信電話株式会社 心理情報処理プロジェクト (令元.7)	
21	兼担	教授	トクダ ケンジ 徳田 賢二 ＜平成33年4月＞		経済学士		現代経済学	2①･②	4	2	専修大学 名誉教授 (平1.4)	
15	兼担	教授	マスダ タツオ 増田 達夫 ＜平成32年4月＞		学士 (政治学)		現代史と国際関係論 国際動態論	3①･② 4④	2 2	1 1	フェアコートキャピタル社 会長 (平28.3) フェアコートキャピタル社 会長 (平28.3)	
23	兼担	准教授	ミカモ テツヒデ 美甘 哲秀 ＜平成33年4月＞		社会学士		現代産業論 現代企業論	2①･② 3①･②	2 2	1 1	丸紅株式会社 経済研究所顧問 (平29.10)	
17	兼任	講師	サイ エイカ 崔 衛華 (チュイ ウェイファ) (CUI WEIHUA) ＜平成35年4月＞		博士 (経済学)		中国語コミュニケーション	4③･④	1	1	東北財経大学 産業組織と 企業組織研究センター 准研究員 (昭62.9)	
27	兼任	講師	フジシマ ヤスユキ 藤島 安之 ＜平成32年4月＞		法学士		現代実践法学	2①･②	2	1	イービストレード(株) 取締役 (平25.7)	
29	兼任	講師	ファン インジョ 黄 仁祚 ＜平成35年4月＞		修士 (文学)		韓国語コミュニケーション	4③･④	1	1	新潟青陵大学 非常勤講師 (平28.4)	
30	兼任	講師	ナカタニ マサヒロ 中谷 昌弘 ＜平成35年4月＞		博士 (経済学)		ロシア語コミュニケーション	4③･④	1	1	新潟大学 非常勤講師 (平13.4)	

別記様式第３号（その３の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

専任教員の年齢構成・学位保有状況

（全体）

職　位	学　位	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合　計	備　考
教　授	博　士	人	人	人	6人	2人	5人	2人	15人	
	修　士	人	人	人	1人	人	2人	2人	5人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	2人	2人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
准教授	博　士	人	1人	人	人	人	人	人	1人	
	修　士	人	人	1人	人	3人	1人	人	5人	
	学　士	人	人	人	人	人	1人	人	1人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
講　師	博　士	人	人	人	1人	人	人	人	1人	
	修　士	人	人	2人	2人	人	人	人	4人	
	学　士	人	1人	人	人	人	人	人	1人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
助　教	博　士	人	人	1人	人	人	人	人	1人	
	修　士	人	人	人	1人	人	人	人	1人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
合　計	博　士	人	1人	1人	7人	2人	5人	2人	18人	
	修　士	人	人	3人	4人	3人	3人	2人	15人	
	学　士	人	1人	人	人	人	1人	2人	4人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	

（注）

1　この書類は，申請又は届出に係る学部等ごとに作成すること。

2　この書類は，専任教員についてのみ，作成すること。

3　この書類は，申請又は届出に係る学部等の開設後，当該学部等の修業年限に相当する期間が満了する年度における状況を記載すること。

4　専門職大学院若しくは専門職大学の前期課程を修了した者又は専門職大学又は専門職短期大学を卒業した者に対し授与された学位については，「その他」の欄にその数を記載し，「備考」の欄に，具体的な学位名称を付記すること。

別記様式第３号（その３の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

専任教員の年齢構成・学位保有状況

（事業創造学部　事業創造学科）

職　位	学　位	29 歳 以 下	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 64 歳	65 ～ 69 歳	70 歳 以 上	合　計	備　考
教　授	博　士	人	人	人	2人	1人	2人	1人	6人	
	修　士	人	人	人	人	人	1人	1人	2人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	2人	2人	
	短期大学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
准教授	博　士	人	1人	人	人	人	人	人	1人	
	修　士	人	人	1人	人	2人	1人	人	4人	
	学　士	人	人	人	人	人	1人	人	1人	
	短期大学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
講　師	博　士	人	人	人	1人	人	人	人	1人	
	修　士	人	人	人	1人	人	人	人	1人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
助　教	博　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修　士	人	人	人	1人	人	人	人	1人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
合　計	博　士	人	1人	人	3人	1人	2人	1人	8人	
	修　士	人	人	1人	2人	2人	2人	1人	8人	
	学　士	人	人	人	人	人	1人	2人	3人	
	短期大学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	

（注）
1　この書類は，申請又は届出に係る学部等ごとに作成すること。
2　この書類は，専任教員についてのみ，作成すること。
3　この書類は，申請又は届出に係る学部等の開設後，当該学部等の修業年限に相当する期間が満了する年度における状況を記載すること。
4　専門職大学院若しくは専門職大学の前期課程を修了した者又は専門職大学又は専門職短期大学を卒業した者に対し授与された学位については，「その他」の欄にその数を記載し，「備考」の欄に，具体的な学位名称を付記すること。

別記様式第３号（その３の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

専任教員の年齢構成・学位保有状況

（情報学部　情報学科）

職　位	学　位	29 歳 以 下	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 64 歳	65 ～ 69 歳	70 歳 以 上	合　計	備　考
教　授	博　士	人	人	人	4人	1人	3人	1人	9人	
	修　士	人	人	人	1人	人	1人	1人	3人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
准教授	博　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修　士	人	人	人	人	1人	人	人	1人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
講　師	博　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修　士	人	人	2人	1人	人	人	人	3人	
	学　士	人	1人	人	人	人	人	人	1人	
	短期大学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
助　教	博　士	人	人	1人	人	人	人	人	1人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
合　計	博　士	人	人	1人	4人	1人	3人	1人	10人	
	修　士	人	人	2人	2人	1人	1人	1人	7人	
	学　士	人	1人	人	人	人	人	人	1人	
	短期大学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	

（注）
1　この書類は，申請又は届出に係る学部等ごとに作成すること。
2　この書類は，専任教員についてのみ，作成すること。
3　この書類は，申請又は届出に係る学部等の開設後，当該学部等の修業年限に相当する期間が満了する年度における状況を記載すること。
4　専門職大学院若しくは専門職大学の前期課程を修了した者又は専門職大学又は専門職短期大学を卒業した者に対し授与された学位については，「その他」の欄にその数を記載し，「備考」の欄に，具体的な学位名称を付記すること。

別記様式第３号（その３の２）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

専任教員の年齢構成・学位保有状況（専門職大学等の実務の経験等を有する専任教員）

（合計）

職　位	学　位	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合　計	備　考
教　授	博　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	4人 （　4人）	2人 （　1人）	1人 （　1人）	人 （　人）	7人 （　6人）	
	修　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　1人）	人 （　人）	2人 （　2人）	人 （　人）	3人 （　3人）	
	学　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	1人 （　人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
准教授	博　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	修　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　1人）	1人 （　1人）	人 （　人）	2人 （　2人）	
	学　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　1人）	人 （　人）	1人 （　1人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
講　師	博　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	修　士	人 （　人）	人 （　人）	2人 （　1人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	2人 （　1人）	
	学　士	人 （　人）	1人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
助　教	博　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	修　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	学　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
合　計	博　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	4人 （　4人）	2人 （　1人）	1人 （　1人）	人 （　人）	7人 （　6人）	
	修　士	人 （　人）	人 （　人）	2人 （　1人）	1人 （　1人）	1人 （　1人）	3人 （　3人）	人 （　人）	7人 （　6人）	
	学　士	人 （　人）	1人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　1人）	1人 （　人）	3人 （　1人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	

（注）

1　専門職大学等若しくは専門職大学等の学部等を設置する場合又は専門職大学の課程を設置し，若しくは変更する場合は，別記様式第３号（その３の１）に加え，この書類を作成すること。

2　この書類は，申請又は届出に係る学部等ごとに作成すること。

3　この書類は，専門職大学設置基準第36条第１項又は専門職短期大学設置基準短期大学設置基準第33条第１項に規定する実務の経験等を有する専任教員についてのみ作成すること。

4　それぞれの年齢区分ごとに，別記様式第３号（その３の１）に記入した専任教員の数の内数として，専門職大学設置基準第36条第１項又は専門職短期大学設置基準第33条第１項に規定する実務の経験等を有する専任教員の数を記入するとともに、実務の経験等を有する専任教員のうち専門職大学設置基準第36条第２項又は専門職短期大学設置基準第33条第２項に規定する者の数を括弧書きで記入すること。

5　この書類は，申請又は届出に係る学部等の開設後，当該学部等の修業年限に相当する期間が満了する年度（以下「完成年度」という。）における状況を記載すること。

6　専門職大学院，専門職大学又は専門職短期大学の課程を修了した者に対し授与された学位については，「その他」の欄にその数を記載し，「備考」の欄に，具体的な学位名称を付記すること。

別記様式第３号（その３の２）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

専任教員の年齢構成・学位保有状況（専門職大学等の実務の経験等を有する専任教員）

（事業創造学部　事業創造学科）

職　位	学　位	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合　計	備　考
教　授	博　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	2人 （　2人）	1人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	3人 （　2人）	
	修　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　1人）	人 （　人）	1人 （　1人）	
	学　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	1人 （　人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
准教授	博　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	修　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　1人）	1人 （　1人）	人 （　人）	2人 （　2人）	
	学　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　1人）	人 （　人）	1人 （　1人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
講　師	博　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	修　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	学　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
助　教	博　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	修　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	学　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
合　計	博　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	2人 （　2人）	1人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	3人 （　2人）	
	修　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　1人）	2人 （　2人）	人 （　人）	3人 （　3人）	
	学　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　1人）	1人 （　人）	2人 （　1人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	

（注）

1　専門職大学等若しくは専門職大学等の学部等を設置する場合又は専門職大学の課程を設置し，若しくは変更する場合は，別記様式第３号（その３の１）に加え，この書類を作成すること。

2　この書類は，申請又は届出に係る学部等ごとに作成すること。

3　この書類は，専門職大学設置基準第36条第１項又は専門職短期大学設置基準短期大学設置基準第33条第１項に規定する実務の経験等を有する専任教員についてのみ作成すること。

4　それぞれの年齢区分ごとに，別記様式第３号（その３の１）に記入した専任教員の数の内数として，専門職大学設置基準第36条第１項又は専門職短期大学設置基準第33条第１項に規定する実務の経験等を有する専任教員の数を記入するとともに、実務の経験等を有する専任教員のうち専門職大学設置基準第36条第２項又は専門職短期大学設置基準第33条第２項に規定する者の数を括弧書きで記入すること。

5　この書類は，申請又は届出に係る学部等の開設後，当該学部等の修業年限に相当する期間が満了する年度（以下「完成年度」という。）における状況を記載すること。

6　専門職大学院，専門職大学又は専門職短期大学の課程を修了した者に対し授与された学位については，「その他」の欄にその数を記載し，「備考」の欄に，具体的な学位名称を付記すること。

別記様式第３号（その３の２）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

専任教員の年齢構成・学位保有状況（専門職大学等の実務の経験等を有する専任教員）

（情報学部　情報学科）

職　位	学　位	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合　計	備　考
教　授	博　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	2人 （　2人）	1人 （　1人）	1人 （　1人）	人 （　人）	4人 （　4人）	
	修　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　1人）	人 （　人）	1人 （　1人）	人 （　人）	2人 （　2人）	
	学　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
准教授	博　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	修　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	学　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
講　師	博　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	修　士	人 （　人）	人 （　人）	2人 （　1人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	2人 （　1人）	
	学　士	人 （　人）	1人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
助　教	博　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	修　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	学　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
合　計	博　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	2人 （　2人）	1人 （　1人）	1人 （　1人）	人 （　人）	4人 （　4人）	
	修　士	人 （　人）	人 （　人）	2人 （　1人）	1人 （　1人）	人 （　人）	1人 （　1人）	人 （　人）	4人 （　3人）	
	学　士	人 （　人）	1人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	

（注）

1　専門職大学等若しくは専門職大学等の学部等を設置する場合又は専門職大学の課程を設置し，若しくは変更する場合は，別記様式第３号（その３の１）に加え，この書類を作成すること。

2　この書類は，申請又は届出に係る学部等ごとに作成すること。

3　この書類は，専門職大学設置基準第36条第１項又は専門職短期大学設置基準短期大学設置基準第33条第１項に規定する実務の経験等を有する専任教員についてのみ作成すること。

4　それぞれの年齢区分ごとに，別記様式第３号（その３の１）に記入した専任教員の数の内数として，専門職大学設置基準第36条第１項又は専門職短期大学設置基準第33条第１項に規定する実務の経験等を有する専任教員の数を記入するとともに、実務の経験等を有する専任教員のうち専門職大学設置基準第36条第２項又は専門職短期大学設置基準第33条第２項に規定する者の数を括弧書きで記入すること。

5　この書類は，申請又は届出に係る学部等の開設後，当該学部等の修業年限に相当する期間が満了する年度（以下「完成年度」という。）における状況を記載すること。

6　専門職大学院，専門職大学又は専門職短期大学の課程を修了した者に対し授与された学位については，「その他」の欄にその数を記載し，「備考」の欄に，具体的な学位名称を付記すること。

審査意見への対応を記載した書類（９月）

（目次）　事業創造学部　事業創造学科

１【第一次審査意見５の回答について】
＜科目内容が不適当＞
「会計学」や「財務諸表論」を簿記の履修後に学ぶ配当年次に改められたが、「会計学」と「財務諸表論」の教育内容に簿記で既修の内容が含まれているため、教育内容の重複を改めること。また、「財務諸表論」のシラバスの学修目標や参考書において「経営組織論」の科目と同一内容が記載されているため、科目内容を適切に改めること。
（改善事項）・・・・・・・・・・・・・・１

（改善事項）事業創造学部　事業創造学科

１【第一次審査意見５の回答について】 ＜科目内容が不適当＞ 「会計学」や「財務諸表論」を簿記の履修後に学ぶ配当年次に改められたが、「会計学」と「財務諸表論」の教育内容に簿記で既修の内容が含まれているため、教育内容の重複を改めること。また、「財務諸表論」のシラバスの学修目標や参考書において「経営組織論」の科目と同一内容が記載されているため、科目内容を適切に改めること。

（対応）

簿記の履修後に学ぶ「会計学」や「財務諸表論」の教育内容において、簿記での既習内容となっていた、それぞれ「複式簿記の基礎概念　取引概念と勘定科目」「貸借記入（増減記入）のルール　仕訳記入と元帳転記」、「複式簿記原理　簿記一巡の手続き」について、【資料１】と【資料２】の通り、教育内容が重複しないよう適切に改めるとともに、１回～８回の授業計画について、授業科目の概要に合わせて全体の構成を適切に改めた。

また、「財務諸表論」のシラバスにおいて「経営組織論」の学修目標と同一内容であった「組織の運営メカニズムについての基本的な知識を習得できる。」「組織管理に関する諸知識に基づいて、組織を実際に効果的にマネジメントする能力を身に付けることができる。」については、「１.財務諸表に関する基礎的知識や考え方を学修するとともに、２.基本的な財務諸表を作成できる技能を修得することを到達目標とする。具体的には、財務諸表の意義と概要が理解でき、損益計算書や貸借対照表等の基礎的な財務諸表を作成する能力を養成する。」に改めると共に、参考書としていた「組織論（補訂版）」については、「財務会計講義【第 19 版】（中央経済社）」「財務会計・入門―企業活動を描き出す会計情報とその活用法【第 12 版】（有斐閣）」とし、それぞれ【資料２】の通り、適切に改めた。

更には、「会計学」のシラバスにおいて参考書としていた「財務諸表分析【第７版】（中央経済社）」については、内容変更に伴い、「現代会計学【第二版】（中央経済社）」に改めた。

【資料１】会計学　シラバス（授業計画）

【資料２】財務諸表論　シラバス（授業計画）

審査意見への対応を記載した書類

【資料 1】

【資料１】会計学シラバス

授業科目　会計学

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	事業創造学科
平田　沙織	開講時期	②	必修･選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【概要】

会計はビジネスの言語とも言われ、企業の取引や経営実態を理解するうえで不可欠ともいえる。ただし、会計学は企業（営利組織）を対象としたものから非営利組織を対象としたもの、あるいは制度面を重視したものから企業内部の経営管理を重視したものまで、その研究対象は多様なものである。そこで本講義は、会計学全体の概要について学習し、会計諸科目（財務諸表論、管理会計論、税務会計論、国際会計論、環境会計、公会計論、監査論、原価計算論、経営分析論、情報会計論など）の相互関連を理解することを目的とする。

【学習目標】

本講義では、受講生が、１.現代会計に関する基礎的知識や考え方を学修するとともに、２．基本的な会計処理ができる技能を修得することを到達目標とする。具体的には、会計を構成する諸要素の概念と論理が理解でき、初歩的な処理手続をおこなう能力を養成する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	イントロダクション、会計の意義と種類	1	講義
2	企業会計の仕組み（技術的特徴と理論的特徴）	1	講義
3	企業会計制度（会社法、金融証券取引法、法人税法）	1	講義
4	資産会計（資産の意義と分類）	1、2	講義、演習
5	負債会計（負債の意義と分類）	1、2	講義、演習
6	純資産会計（純資産の意義と分類）	1、2	講義、演習
7	損益会計（損益会計の意義と分類）	1、2	講義、演習
8	外貨換算会計、まとめ	1、2	講義、演習
9			

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	財務会計・入門―企業活動を描き出す会計情報とその活用法（第12版）	桜井久勝・須田一幸	有斐閣	2018年
参考書	現代会計学（第二版）	新井清光・川村義則	中央経済社	2018年
その他の資料	教科書は使用せず、資料を配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
成績の評価は、期末テストの成績（70%）とミニテストの成績（30%）の総合評価で行う。なお、ミニテストは授業時間内に実施する。

【履修上の留意点】
以下の注意事項を遵守して、授業には積極的に出席するように。
１．遅刻はしないようにすること。
２．欠席する場合は、事前に欠席届を提出すること。
また、質問・相談は、基本的に授業終了時に受け付ける。
受講生は、卓上型の電卓を毎回持参すること。
履修条件：簿記概論、簿記演習の単位を修得済みの者

審査意見への対応を記載した書類

【資料 2】

【資料２】財務諸表論シラバス

授業科目　財務諸表論

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	事業創造学科
平田　沙織	開講時期	③	必修･選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【概要】

一般に、会計は、企業の経済活動または経済事象を貨幣数値により計算報告する技術であると定義されるが、そのうち企業の利害関係者のための外部報告会計を特に「財務会計」とよぶ。したがって、財務会計の目的は、企業の利害関係者が企業について知りたい内容を的確に知らせることである。本講義は、企業が財務諸表をはじめとする会計情報を作成するに際して準拠する会社法、金融商品取引法などの会計諸規定、さらには国際会計基準（財務報告基準）をもとに、企業活動の成果の認識、測定及び開示に関する問題点を含めて講義し、財務諸表における基本概念や数値の意味の理解をその到達目標とする。

【学習目標】

本講義では、受講生が、１.財務諸表に関する基礎的知識や考え方を学修するとともに、２．基本的な財務諸表を作成できる技能を修得することを到達目標とする。具体的には、財務諸表の意義と概要が理解でき、損益計算書や貸借対照表等の基礎的な財務諸表を作成する能力を養成する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	イントロダクション、財務諸表の意義と種類	1	講義
2	法令に基づく財務諸表	1	講義
3	財務諸表の作成（１）損益計算書	2	講義、演習
4	財務諸表の作成（２）貸借対照表	2	講義、演習
5	財務諸表の作成（３）キャッシュ・フロー計算書	2	講義、演習
6	連結財務諸表の意義と範囲	1	講義
7	連結財務諸表の作成（１）連結損益計算書	2	講義、演習
8	連結財務諸表の作成（２）連結貸借計算書、まとめ	2	講義、演習

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	なし			
参考書	財務会計講義（第19版）	桜井久勝	中央経済社	2018年
その他の資料	財務会計・入門―企業活動を描き出す会計情報とその活用法（第12版）	桜井久勝・須田一幸	有斐閣	2018年
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料など事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。 学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
成績の評価は、期末テストの成績（70%）とミニテストの成績（30%）の総合評価で行う。なお、ミニテストは授業時間内に実施する。

【履修上の留意点】
以下の注意事項を遵守して、授業には積極的に出席するように。
１．遅刻はしないようにすること。
２．欠席する場合は、事前に欠席届を提出すること。
また、質問・相談は、基本的に授業終了時に受け付ける。
受講生は、卓上型の電卓を毎回持参すること。
履修条件：簿記概論、簿記演習、会計学の単位を修得済みの者

審査意見への対応を記載した書類（９月）

（目次）　情報学部　情報学科

１【第一次審査意見４、６、７、８の回答について】

＜科目内容等が不適当＞

ディプロマ・ポリシーの実現のため、教育課程の体系性にも留意しながら科目内容を以下の通り改めること。また、科目名を適切に改めること。

（１）「情報数学Ⅰ」と「情報数学Ⅱ」に、「離散数学」と「確率論」が含まれていない。情報学の基礎となる微分積分学、線形代数、離散数学、確率論について、それぞれ、どの項目をどの程度の深度で教えるか、それらをどの科目に振り分けるか（「情報数学」か、他の専門科目の中で必要に応じてか）を整理し、「情報数学」の時間数増を含め、カリキュラム全体を見直すこと。なおその際、受験生に課す一般選抜試験の水準は数学Ⅰ・Ａのため、大学の数学を学ぶことができるよう、数学のリメディアル教育を充実させること。

（是正事項）・・・・・・・・・・・・１

（２）「データ構造とアルゴリズム」の科目の授業内容が改められたが、データ構造に関する内容に偏っており、アルゴリズムに関する内容が不足している。「分割統治法」、「動的計画法」、「分枝限定法」等のアルゴリズムに関する内容を充実させること。

（是正事項）・・・・・・・・・・・・１１

（３）上記（２）への対応が不十分で、科目内容と科目名称が一致しないものがある。講義が主体の演習付き講義科目の名称が「○○演習」となっているので、例えば、「○○及び演習」（演習の量によっては、単に「○○」）というように、科目内容と科目名称が一致するように改めること。特に、「○○」と「○○演習」という二つの科目がある場合、一般には、後者は前者と連携した演習科目だと考えられるが、現状は、後者は（前者とは独立した）「演習付きの講義科目」で、演習はその科目内の講義に連携したものとなっている。科目間の履修順や連携を明確にするために、例えば、前者を「○○I」、後者を「○○II 及び演習」と改めること。

（是正事項）・・・・・・・・・・・・１３

（４）「プログラミング基礎」と「プログラミング演習」の科目の授業内容が改められ、この両科目と関連し「ネットワークプログラミング実習」の科目が用意されているが、これらは理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける科目としてカリキュラム体系図上、整理されている。しかし、「プログラミング基礎」の科目はLinux、 Emax、C、C++コンパイラを学習し、「プログラミング演習」はPython を学習

し、また、「ネットワークプログラミング実習」はJavascript等を学習する計画で、それぞれの科目が異なる言語を学ぶ内容となっており、理論系科目で学習した内容を、演習科目で実際に活用する内容となっていない。科目内容を改めるか、あるいは、（３）を踏まえて科目名を適切に改めること。

（是正事項）・・・・・・・・・・・・１８

（５）「システム開発技術」と「システム開発技術演習」は講義と演習の関係に位置付けられているが、今回改められた「システム開発技術」の科目の授業内容ではモデリングに関する授業が計画されている一方、「システム開発技術演習」の科目の授業内容は、モデリングに関する演習が行われず、システム開発に関する授業が計画されており、理論系科目で学習した内容を、演習科目で実際に活用する内容となっていない。科目内容を改めるか、あるいは、（３）を踏まえて科目名を適切に改めること。

（是正事項）・・・・・・・・・・・・２０

（６）「サイバーフィジカルシステム基礎」の科目の履修条件に「オペレーティングシステム」の単位を修得済みの者とされているが、開講時期が同時期となっているため、科目の配当年次を改めること。また、本科目に限らず他の科目も同様の状況の科目がないか再度確認すること。

（是正事項）・・・・・・・・・・・・２１

（７）「情報科学基礎」の科目の授業概要は「情報の変換と伝達に関わる原理や、情報の認識と分析に関わる原理」を学習すると説明されているが、講義内容は情報の「変換と伝達」の部分しかなく「情報・符号理論」だけで、情報科学基礎全般を網羅していない。科目名と概要を内容に合うように改めるか、内容を科目名や概要に合うよう改めること。

（是正事項）・・・・・・・・・・・・２２

（８）「ICT演習（ディープラーニング）」の科目の授業内容が改められたが、授業内容を踏まえるとディープラーニングではなくマシンラーニングの授業内容となっているため、シラバスの授業科目の名称又は概要を適切に改めること。

（是正事項）・・・・・・・・・・・・２４

（９）「コンピューター・アーキテクチャ」と「オペレーティングシステム」の科目は、教育課程等の概要の書類では「必修科目」とされているが、シラバス上では「選択科目」と記載されているため、適切に改めること。

（是正事項）・・・・・・・・・・・・２５

（１０）学生が計画的に履修できるよう、履修条件に特定科目の単位が指定されている科目は、なぜその科目が履修の前提となっているか理解できるよう、シラバス上で適切に補足すること。

（是正事項）・・・・・・・・・・・２６

（是正事項）情報学部　情報学科

1【第一次審査意見４、６、７、８の回答について】 ＜科目内容等が不適当＞ ディプロマ・ポリシーの実現のため、教育課程の体系性にも留意しながら科目内容を以下の通り改めること。また、科目名を適切に改めること。 （1）「線形代数」と「微分積分・確率論」に、「離散数学」と「確率論」が含まれていない。情報学の基礎となる微分積分、線形代数、離散数学、確率論について、それぞれ、どの項目をどの程度の深度で教えるか、それらをどの科目に振り分けるか（「情報数学」か、他の専門科目の中で必要に応じてか）を整理し、「情報数学」の時間数増を含め、カリキュラム全体を見直すこと。なおその際、受験生に課す一般選抜試験の水準は数学Ⅰ・Ａのため、大学の数学を学ぶことができるよう、数学のリメディアル教育を充実させること。

（対応）

「情報数学Ⅰ」、「情報数学Ⅱ」、「統計学」の三科目について内容を拡充し、「線形代数」、「微分積分」、「確率論」、「統計学」の４科目に再編し、一年次から二年次前半に配当して系統的に学習させることとした。これらの対策により、学生にとって学習目標の把握がより明確となり、学習の進度・達成度評価もより適切に行うことが可能となると見込まれる。図１に、数学関係の配当の状況を、後述するリメディアル教育の計画とともに示す。

この修正により、数学基礎科目の学習時間は 6 単位から 8 単位へと拡充される。

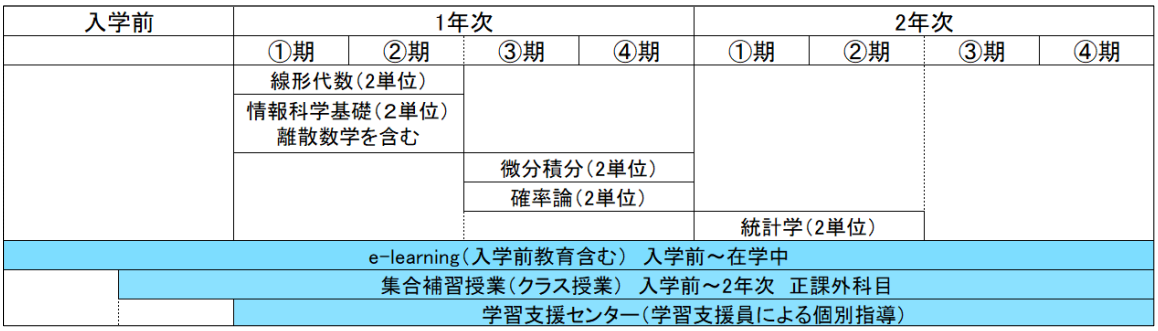
離散数学については、情報科学の基礎としての重要性に鑑み、情報理論、符号理論などと併せて「情報科学基礎」に盛り込み、入学直後の一年次前半で情報科学の学習に必要な基礎概念に関する理解を図る。「線形代数」、「微分積分」、「確率論」、「統計学」に「情報科学基礎」を合わせた５科目の学習時間は合計で 10 単位となる。

「線形代数」においては、ベクトル、行列、線形空間などの基本概念と演算規則にあわせ、線形空間、内積空間などの重要概念を習得する。「微分積分」においては、微分・積分、重積分、偏微分、テイラー展開等、数値計算や機械学習などの応用に資する基礎理論の習得に重点を置く。数値解法にも触れることで具体的応用イメージの習得を図る。「確率論」においては、確率の基本性質、確率変数、確率変数の関数、期待値等の重要な諸概念とその応用を学び、さらに「統計学」において記述統計、推測統計の基本を学び、多変量解析にも触れることでデータサイエンス等を深く理解するための基礎理論の習得を目指す。離散数学については、「情報科学基礎」のなかで、述語論理、正規表現、オートマトンなどの基礎的概念に加え、計算可能性等の課題についても理解、ソフトウエア設計を効率的に進めるための素養となる基礎理論を身に着ける。数論の一部とその応用（暗号化）についてもここで触れ、基礎理論への視野を広げる。

なお、数学基礎科目の拡充が教育内容の性格上 1 年次となっている。そのため学生学習環境の負担を考慮し、1 年次に開講を予定していた「現代社会学」2 単位を 2 年次へ配当

年次を変更するとともに、1 年次に開講を予定していた「トップランナー研究」2 単位の配当年次を半年分移動し、2 単位中の 1 単位が 2 年次へ配当されるよう変更した。この変更により学生の学習時間の確保を実現することで、教育効果の向上を実現する。この配当年次の変更に際しては、教育上の体系性と履修順序について精査を行い、問題が無いこと確認済みである。

図 1　数学・数理に関連する科目の履修順序とリメディアル教育（後述）との関係



（新旧対照表）

区　分	新	旧
授業科目の変更	（削除）	情報数学Ⅰ
	（削除）	情報数学Ⅱ
	線形代数 微分積分 確率論	（追加）
新規科目の追加	線形代数 行列やベクトル、写像と線形性の概念は、今日、数学のあらゆる分野で重要な役割を果たしており、数学に基づく諸科学においても欠くことのできない概念となっている。線形代数では、これらの基礎的な概念や基本的な演算能力を習得し、専門科目に応用できることを目標とする。	（追加）

	微分積分 微分積分は数学のみならず、現代の自然科学の基礎でありその応用範囲は広大である。本講義では、専門分野への応用に備えて、微分積分法の基本事項の習得を目標とする。 確率論 確率の概念および、確率変数、確率変数の関数、近似理論など、確率の基礎を学修するとともに、その応用例についても触れることで、確率の必要性を理解するとともに、統計学及び、さらにその先に続く多様な情報学へ取り組むための素養とする。	（追加） （追加）
科目概要変更	情報科学基礎 情報をどのように表現し、伝送するか。情報を処理するとはどういうことか。これらを体系化した学問である「情報理論」と「離散数学」の基礎を学ぶことで、情報に関する専門分野を学修するための素養を養う	情報科学基礎 コンピュータで処理可能な形式化された情報に関して、情報の変換と伝達に関わる原理や、情報の認識と分析に関わる原理に加え、各種の計算モデルについて理解し、その技術を使いこなせるよう身に付けることで、今後の知識表現・知識処理やＡＩおよび機械学習、データサイエンスに関する演習や実習を受講するための素養を養う。

（新旧対照表）　情報科学基礎　シラバス

新	旧
１．数の表現	１．ガイダンス　情報の変換と伝達、認識と分析
２．標本化と量子化	２．情報量
３．情報量とエントロピー	３．エントロピー
４．情報源	４．マルコフ情報源

５．情報源符号化 ６．通信路符号化 ７．線形符号 ８．集合・写像・関係 ９．論理と証明 １０．数え上げ １１．グラフと木 １２．オートマトン １３．正規表現 １４．計算量とチューリングマシン １５．数論と暗号	５．遷移確率、遷移確率行列 ６．一般的な情報源のエントロピー ７．情報の符号化 ８．情報符号化定理 ９．通信路 通信路行列、誤りとエントロピー １０．通信速度、通信路容量、符号長と通信路容量 １１．誤りのある系の通信路容量、復号法 １２．通信路の符号化 １３．通信符号化定理 １４．線形符号 １５．情報の定量化に対する概念、情報の伝達、蓄積の背景

（新旧対照表）

区　分	新	旧
配当年次の変更	現代社会学 ２単位 ２年次①・②期 トップランナー研究 ２単位 １年次④期・２年次②期	現代社会学 ２単位 １年次①・②期 トップランナー研究 ２単位 １年次②・④期

リメディアル教育について

1　概要

受験生に課す一般選抜試験の水準は数学Ⅰ・Aであり、また、推薦とAO入試によって、情報を学ぶ強い意欲を持つ学生を広く入学させるという本学の方針のもとで，情報学の基礎となる数学関係科目の学修を確実に進めることができるよう、各科目の学修に必要な基礎力の確認と、必要に応じた補習を行うための支援体制の充実を図る。

科目編成においては、高校数学Ⅰ・Aの基礎力を想定する線形代数を1年次前期へ、高校数学Ⅱ・Bの基礎力を想定する微分積分を1年次後期へ配することにより、必要ある場合には順を追って基礎力を補習できるよう配慮した。

さらに、学生の学力の確認と、必要に応じた補習を行えるよう、以下のように、e-Learning、 集合補習授業、学習支援センターの3つの学習支援体制を構築する。

（ア）e-learning

インターネットを利用できる環境があれば、パソコンあるいはスマートフォンを使い、好きな時に好きな場所から利用することができる e-Learning サービスを提供する。

同サービスにより、学力の判定、および判定結果に基づいて適切にコンテンツを選択し、受講することができる。

（イ）集合補習授業（正課外科目）

学内の教室を利用し、高校数学（数学Ⅰ、A、Ⅱ、B）の補習を目的とした授業を実施する。

（ウ）学習支援センター

学生からの予約に応じ、学習支援センターにおいて、個別指導を行う体制を構築する。

特に高校までの数学および、1 年次から開講する線形代数・微分積分・確率論・統計学を対象に、基礎学力の確認や、苦手科目の克服、レポート作成のアドバイスなどを行う。

e-Learning については、日本データパシフィック株式会社との契約によりサービス提供を受ける。

集合補習授業、学習支援センターの講師については、専任教員の負担を増やさないよう配慮し、グループ内企業である、株式会社 NSG アカデミーが運営する学習塾より、非常勤の講師を招聘する。

なお、全体を通してのカリキュラムの策定や、学生の履修状況を専任教員と共有するために、専任教員をリーダーとする学習支援チームを編成し、招聘講師との連携を図る。

2　提供の流れ

(ア) 入学前

① 入学が決定した学生に対して、入学直後に開始される必修の講義の受講に当たって必要とされる基礎学力の水準(数学Ⅰ、数学A)を提示し、大学での学修生活を開始するにあたってのその重要性を理解させる。

② 入学が決定した全ての学生には、e-Learning サービスにアクセスできる権限を与え、その活用による基礎力の確認と、必要に応じた受講を強く勧める。ネットワーク環境を持たない等、e-Learning を受講することのできない学生で、希望する学生には自習用の教材を配布する。

なお、e-Learning および配布教材は、高校生の学修を支援する内容であることから、その活用は高校生の学修活動の充実にとって有用なものとなっている。

③ 希望する学生に対し、学習支援センターでの相談、個別指導を提供する。

(イ) 入学後

① 入学後速やかに、全学生に対して基礎学力確認のためのプレースメントテストを受験させる。

② テスト結果、必要の認められた学生に対しては、集合補習授業による補習講座の受講を指示し、指示に従って受講させる。

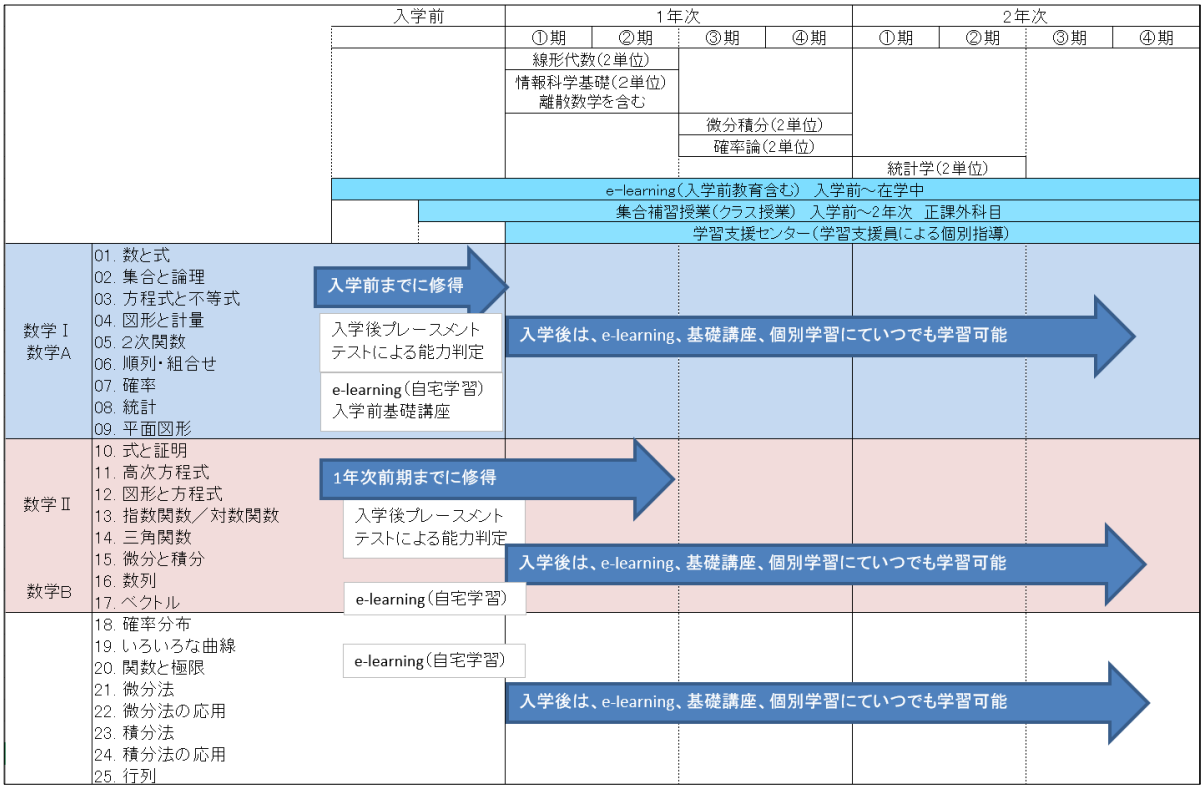
③ 全ての学生は、e-Learning のサービスを継続して受けることができる。これにより、数学などの弱点を、学生が自主的に補うことができる。

なお、入学後においては、自習室を含め、全学生について e-Learning を受講する環境が与えられている。

④ 希望する学生は、学習支援センターでの個別指導を予約し、補習を受けることができる。

リメディアル教育全体のメージを図2に示す。

図　2　リメディアル教育提供のイメージ



3　各サービスの詳細

(ア) e-learning

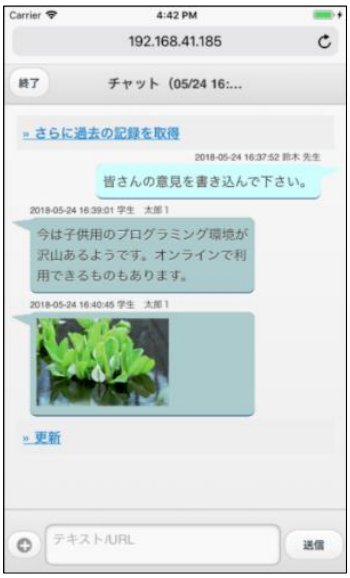
① 教材は高校までの数学の範囲に加えて、大学で実施する基礎的講義である線形代数・微分積分・確率論・統計学についても基本的な内容をカバーしたものとする。

② 学力診断機能を持ち、学力に応じた適切なコンテンツが提示される。

③ 大学と学生とのやりとりは、インターネットを介して教員と学生、学生同士のコミュニケーションが可能な各種ツール(「掲示板」「チャット」など)を提供する(図3参照)。

図 3 e-learning の画面例(管理者画面・受講生とのチャット)

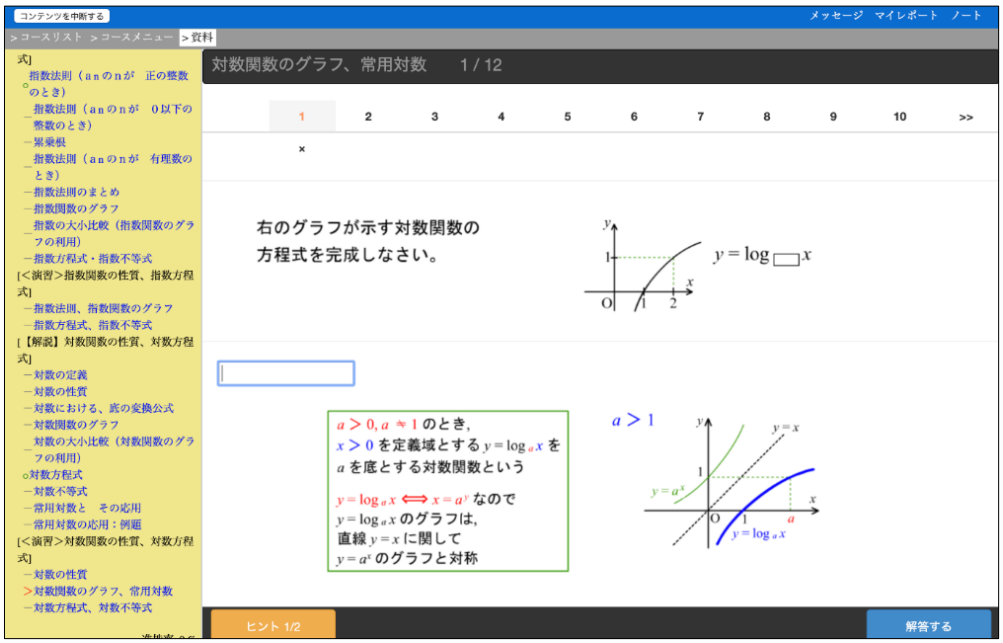




④ e-learning 教材コンテンツ一覧(図4に画面の例を示す)

基本の復習〔中学の復習〕(1)、基本の復習〔中学の復習〕(2)、式の計算、実数、1 次方程式と連立方程式〔中学の復習〕、1 次不等式、2 次方程式(1)、2 次方程式(2)、関数とグラフの基礎〔中学の復習〕、2 次関数とそのグラフ、2 次関数の最大・最小、2 次関数のグラフと x 軸の共有点、2 次関数のグラフと 2 次不等式、不等式の証明、図形の基礎、鋭角の三角比、三角比の性質、三角形への応用、整式の除法と分数式、2 次方程式、高次方程式・恒等式、平面図形、点と座標、直線の方程式、円、軌跡と領域、三角関数、三角関数の性質とグラフ、加法定理、指数法則と指数の拡張、対数、指数関数と対数関数の応用、微分係数と導関数、導関数の応用、不定積分と定積分、定積分と面積、三角関数(中級)、加法定理(中級)、集合と要素の個数、論証、場合の数、確率とその基本性質、独立な試行と確率、期待値、確率分布、数列、漸化式、平面上のベクトル、ベクトルの応用、空間におけるベクトル、分数・無理関数、逆関数・合成関数、数列の極限、関数の極限、微分法、いろいろな関数の導関数接線、関数の増減、関数の増減・極値、微分の応用、不定積分、置換・部分積分、定積分、面積・体積、行列の計算、行列の積と性質、逆行列、行列の応用 一次変換、二次曲線、媒介変数と極座標

図 4 e-learning の画面例(受講画面)



(イ) 集合補習授業(正課外科目)

以下のような数学の基礎的内容を補習する目的の講義を開設し、プレースメントテストの結果により、学生毎に受講すべき講義を推奨・指示する。

No.	テーマ
1	数と式
2	集合と論理
3	方程式と不等式
4	図形と計量
5	2次関数
6	順列・組合せ
7	確率
8	統計
9	平面図形

No.	テーマ
10	式と証明
11	高次方程式
12	図形と方程式
13	指数関数／対数関数
14	三角関数
15	微分と積分
16	数列
17	ベクトル
18	確率分布

(ウ) 学習支援センター(個別指導)

e-learning 教材や大学の講義内容等に関する疑問に、個別に指導を行う制度を学習支援センターにて提供。特に高校までの数学および、1 年次から開講する線形代数・確率論・統計学・微分積分を対象に、苦手科目の克服、レポート作成のアドバイスなどの個別サポートを実施する。

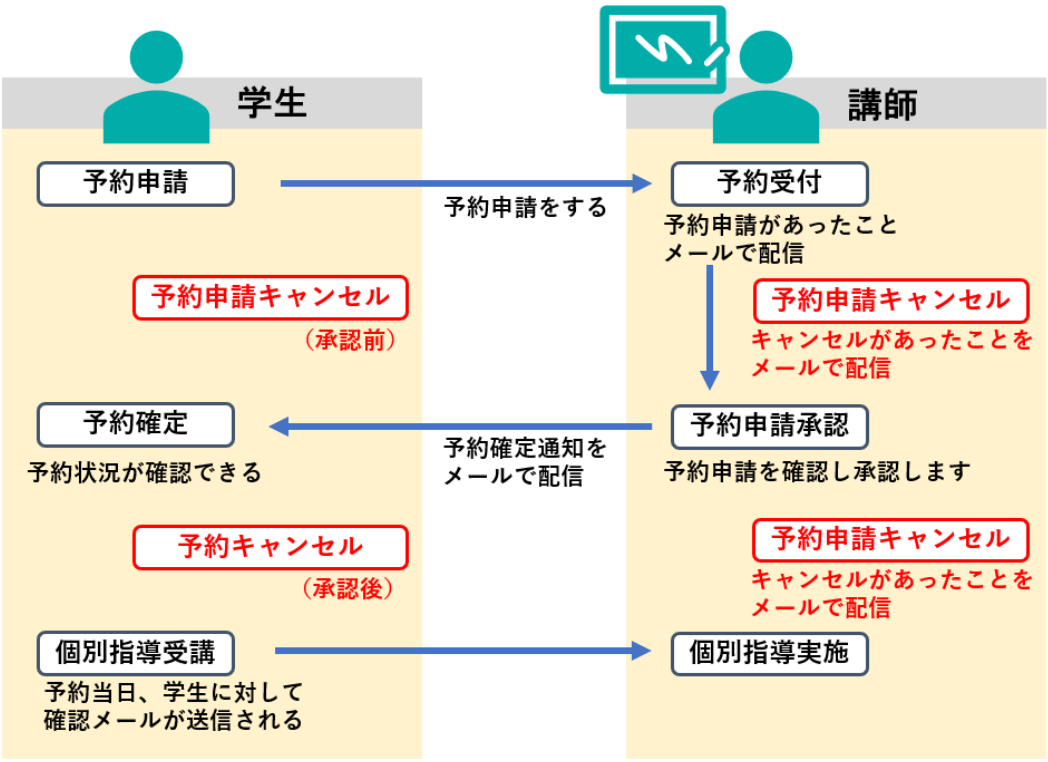
個別指導は、学生が予約することによって提供される(図5に運用のフローを示す)。

個別指導の概要

指導を受けられる人数　　1～7 名（友人との受講も可能）

指導時間　　授業時間や昼休み時間を連動した 50 分区切り

図 5 学習支援センターの運用フロー



（是正事項）情報学部　情報学科

1【第一次審査意見４、６、７、８の回答について】 ＜科目内容等が不適当＞ ディプロマ・ポリシーの実現のため、教育課程の体系性にも留意しながら科目内容を以下の通り改めること。また、科目名を適切に改めること。 （2）「データ構造とアルゴリズム」の科目の授業内容が改められたが、データ構造に関する内容に偏っており、アルゴリズムに関する内容が不足している。「分割統治法」、「動的計画法」、「分枝限定法」等のアルゴリズムに関する内容を充実させること。

（対応）

ディプロマ・ポリシーの実現のために「データ構造とアルゴリズム」の教育内容について見直しを行い、アルゴリズムに関する教育内容が明確となるようシラバスを改めるとともに、アルゴリズムの教育内容の拡充を図った。

具体的には、アルゴリズムの記述法や基本的な探索アルゴリズム等に触れ、その問題意識のもとでデータ構造を学び、さらにクイックソート等の高度なアルゴリズムへと進むとともに、再帰、分割統治法、動的計画法、分枝限定法等のアルゴリズム設計手法や、計算の複雑さの概念について学ぶ内容へ改めた。

（新旧対照表）　データ構造とアルゴリズム　シラバス

新	旧
１．アルゴリズムの記述	１．アルゴリズムの記法
２．探索アルゴリズム：逐次探索、m-ブロック法、２分探索法、ハッシュ法	２．再帰的処理
３．基本的データ構造（１）：配列、リスト	３．基本的データ構造（１）配列
４．基本的データ構造（２）：スタック、キュー、ヒープ	４．基本的データ構造（２）スタック
５．動的探索アルゴリズム(1)：２分探索木	５．基本的データ構造（３）キュー
６．動的探索アルゴリズム(2)：平衡２分探索木、動的ハッシュ法	６．基本的データ構造（４）連結リスト
７．ソーティングアルゴリズム(1)：バブルソートなど	７．基本的データ構造（５）ツリー
８．ソーティングアルゴリズム(2)：シェルソートなど	８．基本的データ構造（６）ヒープ
９．ソーティングアルゴリズム(3)：クイックソートなど	９．基本的データ構造（７）グラフ
１０．グラフアルゴリズム(1)：グラフの表	１０．基本的データ構造（８）構造体

現 １１．グラフアルゴリズム(2)：最短経路問題 １２．文字列探索アルゴリズム １３．再帰、分割統治法、動的計画法 １４．グリーディ法、分枝限定法、線形計画法 １５．計算の複雑さ	１１．基本アルゴリズム（１）探索 １２．基本アルゴリズム（２）ソート １３．基本アルゴリズム（３）マージ １４．ハッシュテーブルの活用 １５．計算量の評価

（是正事項）情報学部　情報学科

1【第一次審査意見４、６、７、８の回答について】 ＜科目内容等が不適当＞ ディプロマ・ポリシーの実現のため、教育課程の体系性にも留意しながら科目内容を以下の通り改めること。また、科目名を適切に改めること。 （3）上記（2）への対応が不十分で、科目内容と科目名称が一致しないものがある。講義が主体の演習付き講義科目の名称が「○○演習」となっているので、例えば、「○○及び演習」（演習の量によっては、単に「○○」）というように、科目内容と科目名称が一致するように改めること。特に、「○○」と「○○演習」という二つの科目がある場合、一般には、後者は前者と連携した演習科目だと考えられるが、現状は、後者は（前者とは独立した）「演習付きの講義科目」で、演習はその科目内の講義に連携したものとなっている。科目間の履修順や連携を明確にするために、例えば、前者を「○○I」、後者を「○○II 及び演習」と改めること。

（対応）

講義、演習等の授業の形態の視点から、教育内容と科目名称の精査を行なった。

「分散型台帳技術演習」、「没入型コンピューティング演習」、「マシンラーニング演習」の3科目については、前後の体系性と科目に求められる目標を実現するために講義を一定以上行ったうえで演習を行う教育内容であることから、そのことが明確に伝わるよう、以下のように科目名称を変更した。

「分散型台帳技術演習」　→　「分散型台帳技術」
「没入型コンピューティング演習」　→　「没入型コンピューティング」
「マシンラーニング演習」　→　「マシンラーニング」

「ネットワーク演習」、「データベース演習」、「ＩｏＴ演習」の３科目については、演習を主としたものであることから、そのことがより明確になるよう、科目の概要及びシラバスの表現を改めた。

「プログラミング基礎」と「プログラミング演習」については、（4）の対応説明でも述べたように、同一プログラミング言語についての基礎と演習を扱うものではないこと。しかし、前者がより共通的・基礎的内容を多く含み、前者、後者の順で受講することが想定されていることを明確とするため、以下のように科目名称を改めた。

また、プログラミングⅡについて、演習内容を明確にするため、シラバスに追記を行った。

「プログラミング基礎」　→　「プログラミングⅠ」
「プログラミング演習」　→　「プログラミングⅡ」

「システム開発技術」と「システム開発技術演習」について、(５)の対応案でも述べたように、後者は前者を前提とするものの、後者は前者の講義内容を直接に演習するという位置づけではないことや、「システム開発技術演習」については講義が主たる内容であることから、以下のように科目名称を改めるとともに、授業形態を改めた。

「システム開発技術」(講義)　→　「システムモデリング」(講義)
「システム開発技術演習」(演習)　→　「システム開発技術」(講義)

さらに、「知識表現・知識処理演習」については、講義が主たる内容であることから、科目名称を「知識表現・知識処理」と改めるとともに、科目概要およびシラバス内容を、科目の目的である、幅広いAI関連分野のなかの「知識表現・知識処理」に係る分野を扱うことが明確となるよう修正し、授業形態を演習から講義へと改めた。

「知識表現・知識処理演習」(演習)　→　「知識表現・知識処理」(講義)

【資料１】情報学部シラバス（授業計画）

(新旧対照表)

区　分	新	旧
授業科目の名称の変更及び授業形態の変更	分散型台帳技術 講義と演習の混在 没入型コンピューティング 講義と演習の混在 マシンラーニング 講義と演習の混在 プログラミングⅠ 講義 プログラミングⅡ	分散型台帳技術演習 講義と演習の混在 没入型コンピューティング演習 講義と演習の混在 マシンラーニング演習 講義と演習の混在 プログラミング基礎 講義 プログラミング演習

	演習 システムモデリング 講義 システム開発技術 講義 知識表現・知識処理 講義	演習 システム開発技術 講義 システム開発技術演習 演習 知識表現・知識処理演習 演習

（新旧対照表）

区　分	新	旧
科目概要の変更	ネットワーク演習 単元毎にルータ等のネットワーク機器やパソコンを各自操作し、講義内容を確認する演習の形態で進める。情報通信ネットワークで修得した基礎知識を基に、情報通信ネットワークの構造及び管理・運用体制について具体的知識を習得するとともに、一般的なネットワーク機器の基本的操作法を習得することにより、情報通信ネットワークを、様々なサービスを提供・享受するための基盤として安全に活用できる素養を身に付ける。 データベース演習 データベースの基礎で修得した基礎知識を基に、データベースの構造及び管理・運用について単元毎に実際のシステムを操作しながら具体的技術を習得するとともに、データベース管理ステムの基本的操作法を習得することにより、高度な情報	ネットワーク演習 （追加）情報通信ネットワークで修得した基礎知識を基に、情報通信ネットワークの構造及び管理・運用体制について具体的知識を習得するとともに、一般的なネットワーク機器の基本的操作法を習得することにより、情報通信ネットワークを、様々なサービスを提供・享受するための基盤として安全に活用できる素養を身に付ける。 データベース演習 データベースの基礎で修得した基礎知識を基に、データベースの構造及び管理・運用について（追加）具体的技術を習得するとともに、データベース管理ステムの基本的操作法を習得することにより、高度な情報人材となるために必要なデータ

	人材となるために必要なデータベース分野の技術を体系的に修得する。 ＩｏＴ演習 ＩｏＴ（Internet of Things）とは、従来インターネットに接続されていなかった様々なセンサー機器、駆動装置、建物、車、電子機器などのモノが、ネットワークを通じてサーバーやクラウドサービスに接続され、相互に情報交換をする仕組みであることについて理解するとともに、ＩｏＴを実現するハードウェア、アプリケーション、ネットワークと多種のインターフェースについて、ワンボードマイコンを用いた演習を通して学修する。 知識表現・知識処理 幅広い分野に渡る人工知能(AI)の体系および歴史を概観したうえで、その一つの柱である知識表現・知識処理の分野を取り上げ、記号論理、意味ネットワーク、フレーム理論等の理論を学ぶとともに、セマンティク WEB, OWL 言語、プロダクションシステム等の応用技術を、演習を交えながら学ぶ。構文解析などの自然言語処理技術にも触れ、さらに具体的な知識表現・知識処理を学ぶための基礎力を養う。	ベース分野の技術を体系的に修得する。 ＩｏＴ演習 ＩｏＴ（Internet of Things）とは、従来インターネットに接続されていなかった様々なセンサー機器、駆動装置、建物、車、電子機器などのモノが、ネットワークを通じてサーバーやクラウドサービスに接続され、相互に情報交換をする仕組みであることについて理解するとともに、ＩｏＴを実現するハードウェア、アプリケーション、ネットワークと多種のインターフェースについて、スマートデバイスを中心とした演習を通して学修する。 知識表現・知識処理演習 ＡＩとは、人工的にコンピューター上などで人間と同様の知能を実現させようという試みである。その発展の歴史を概観すると共に、その基礎である、知識の表現、探索、推論などの手法を習得するともに、パターン認識、自然言語処理などの応用例に触れ、オントロジーおよびセマンティック技術による知識モデリング，データ統合，意味処理に基づく推論などの各種手法習得への基礎とする。

（新旧対照表）　知識表現・知識処理　シラバス

新	旧
知識表現・知識処理	知識表現・知識処理演習
１．ガイダンス、人工知能の概要と歴史	１．ガイダンス、人工知能の概要と歴史
２．知識の表現	２．知識の表現
３．系統的探索法と発見的探索法	３．系統的探索法と発見的探索法
４．問題分解法とゲーム探索	４．問題分解法とゲーム探索
５．記号論理	５．記号論理
６．推論と論理プログラム	６．推論と論理プログラム
７．意味ネットワークとオントロジー	７．意味ネットワークとオントロジー
８．フレーム理論	８．フレーム理論
９．セマンティック WEB と RDF	９．セマンティック WEB（追加）
１０．OWL（Web Ontology Language）	１０．OWL（追加）
１１．OWL、RDF による知識表現演習	１１．プロダクションシステム
１２．プロダクションシステム	１２．機械学習
１３．プロダクションシステムを用いた推論演習	１３．パターン認識
１４．形態素解析	１４．形態素解析
１５．構文解析	１５．構文解析

（是正事項）情報学部　情報学科

１【第一次審査意見４、６、７、８の回答について】
＜科目内容等が不適当＞
ディプロマ・ポリシーの実現のため、教育課程の体系性にも留意しながら科目内容を以下の通り改めること。また、科目名を適切に改めること。
（４）「プログラミング基礎」と「プログラミング演習」の科目の授業内容が改められ、この両科目と関連し「ネットワークプログラミング実習」の科目が用意されているが、これらは理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける科目としてカリキュラム体系図上、整理されている。しかし、「プログラミング基礎」の科目は Linux、 Emax、C、C++コンパイラを学習し、「プログラミング演習」は Python を学習し、また、「ネットワークプログラミング実習」は Javascript 等を学習する計画で、それぞれの科目が異なる言語を学ぶ内容となっており、理論系科目で学習した内容を、演習科目で実際に活用する内容となっていない。科目内容を改めるか、あるいは、（３）を踏まえて科目名を適切に改めること。

（対応）

学習するプログラム言語という観点から整理すると、当初申請では、まずはじめに「プログラミング基礎」で C/C++言語を学び、「プログラミング演習」では Python を、「ネットワークプログラミング実習」では JavaScript を学ぶという流れを想定した。

C、C++、Python、JavaScript を含む現在用いられている多くのプログラミング言語は ALGOL 言語の流れを組むものであるが、C 言語はその中でも特に多くの言語に影響を与えた言語である。そのため、変数、関数、ブロック構造や制御の流れなど、プログラミングにとって重要な基本的概念を C 言語の学習を通して習得しておくことで、他の言語を学習する際のハードルを大きく下げることが期待できる。そこで、まず、入学後の早い時期に C 言語を学んだ上で、機械学習やデータサイエンス等の分野での利活用を踏まえたプログラミング言語として Python の学習を、そして情報サービスが web を中心に展開されていることからウェブプログラミング分野の利活用のためには JavaScript をという、目的に沿って異なる言語を学習することにより、より高い効果が期待できると考えたためである。

また早い段階から複数の言語に触れることにより、言語仕様の文書を参照する習慣が身につくことや、複数言語の比較を通じて言語の理解度が格段に上がること、さらに新規言語学習への心理的ハードルが下がることなどの効果が期待できる。

これらはプログラミング教育としては上記の様な関連を持ちつつも独立性の高い内容であって、必ずしも基礎と演習という関係になっていないことや、履修の順序をより明確とするため、以下のように科目名称を改めた。また「ネットワークプログラミング実習」については、その科目名称と教育内容が明確であることから、名称を変更しないこととした。

なお、先の申請書類で Emacs と記すべきところを Emax とした誤りがあったので、その部分（シラバス等）を Emacs に修正した。

「プログラミング基礎」　→　「プログラミングⅠ」
「プログラミング演習」　→　「プログラミングⅡ」
「ネットワークプログラミング実習」　→　「ネットワークプログラミング実習」
（名称変更せず）

【資料１】情報学部シラバス（授業計画）

（新旧対照表）

区　分	新	旧
授業科目の名称の変更	プログラミングⅠ プログラミングⅡ	プログラミング基礎 プログラミング演習

（是正事項）情報学部　情報学科

1【第一次審査意見４、６、７、８の回答について】 ＜科目内容等が不適当＞ ディプロマ・ポリシーの実現のため、教育課程の体系性にも留意しながら科目内容を以下の通り改めること。また、科目名を適切に改めること。 （5）「システム開発技術」と「システム開発技術演習」は講義と演習の関係に位置付けられているが、今回改められた「システム開発技術」の科目の授業内容ではモデリングに関する授業が計画されている一方、「システム開発技術演習」の科目の授業内容は、モデリングに関する演習が行われず、システム開発に関する授業が計画されており、理論系科目で学習した内容を、演習科目で実際に活用する内容となっていない。科目内容を改めるか、あるいは、（３）を踏まえて科目名を適切に改めること。

（対応）

「システム開発技術」と「システム開発技術演習」について、教育内容と科目名称の精査を行ったところ、前者はシステム開発等の基礎となるモデリングを主に扱ったものであり、後者は前者を前提とするものの、前者の講義内容を直接に演習するという位置づけではないこと、および、「システム開発技術演習」については講義が主たる内容であることから、これらについて、以下のように科目名称を改めるとともに、授業形態を改めた。

「システム開発技術」（講義）　→　「システムモデリング」（講義）
「システム開発技術演習」（演習）　→　「システム開発技術」（講義）

（新旧対照表）

区　分	新	旧
授業科目の名称の変更及び授業形態の変更	システムモデリング 講義 システム開発技術 講義	システム開発技術 講義 システム開発技術演習 演習

（是正事項）情報学部　情報学科

1【第一次審査意見４、６、７、８の回答について】 ＜科目内容等が不適当＞ ディプロマ・ポリシーの実現のため、教育課程の体系性にも留意しながら科目内容を以下の通り改めること。また、科目名を適切に改めること。 （6）「サイバーフィジカルシステム基礎」の科目の履修条件に「オペレーティングシステム」の単位を修得済みの者とされているが、開講時期が同時期となっているため、科目の配当年次を改めること。また、本科目に限らず他の科目も同様の状況の科目がないか再度確認すること。

（対応）

「サイバーフィジカルシステム基礎」の開講前に「オペレーティングシステム」が修了するよう、配当年次を改めた。なお「オペレーティングシステム」の配当年次変更に伴い履修の前提科目である「コンピュータアーキテクチャ」ついても、配当年次を改めた。

また全ての科目について同様の状況が発生しているか精査を行い、同様の状況が無いことを確認した。

（新旧対照表）

区　分	新	旧
配当年次の変更	コンピュータアーキテクチャ ２単位 １年次①期 オペレーティングシステム ２単位 １年次②期	コンピュータアーキテクチャ ２単位 １年次②期 オペレーティングシステム ２単位 １年次③・④期

（是正事項）情報学部　情報学科

1【第一次審査意見４、６、７、８の回答について】 ＜科目内容等が不適当＞ ディプロマ・ポリシーの実現のため、教育課程の体系性にも留意しながら科目内容を以下の通り改めること。また、科目名を適切に改めること。 （7）「情報科学基礎」の科目の授業概要は「情報の変換と伝達に関わる原理や、情報の認識と分析に関わる原理」を学習すると説明されているが、講義内容は情報の「変換と伝達」の部分しかなく「情報・符号理論」だけで、情報科学基礎全般を網羅していない。科目名と概要を内容に合うように改めるか、内容を科目名や概要に合うよう改めること。

（対応）

「情報科学基礎」の教育内容と科目名称の精査を行い、教育内容を改めた。

具体的には、（1）への対応を含め、ここへ離散数学の内容を加え、情報量、符号理論等を扱う情報理論と、情報の処理に理論的基礎を与える離散数学とをバランスよく修得する教育内容に改めることで、情報科学基礎全般を網羅する科目となるようシラバスを改めた。併せて、科目概要をより簡潔でわかりやすい表現に改めた。

（新旧対照表）　情報科学基礎　科目の概要

情報科学基礎 情報をどのように表現し、伝送するか。情報を処理するとはどういうことか。これらを体系化した学問である「情報理論」と「離散数学」の基礎を学ぶことで、情報に関する専門分野を学修するための素養を養う。	情報科学基礎 コンピュータで処理可能な形式化された情報に関して、情報の変換と伝達に関わる原理や、情報の認識と分析に関わる原理に加え、各種の計算モデルについて理解し、その技術を使いこなせるよう身に付けることで、今後の知識表現・知識処理やＡＩおよび機械学習、データサイエンスに関する演習や実習を受講するための素養を養う。

（新旧対照表）　情報科学基礎　シラバス

新	旧
１．数の表現	１．ガイダンス　情報の変換と伝達、認識と分析
２．標本化と量子化	２．情報量
３．情報量とエントロピー	３．エントロピー

４．情報源	４．マルコフ情報源
５．情報源符号化	５．遷移確率、遷移確率行列
６．通信路符号化	６．一般的な情報源のエントロピー
７．線形符号	７．情報の符号化
８．集合・写像・関係	８．情報符号化定理
９．論理と証明	９．通信路 通信路行列、誤りとエントロピー
１０．数え上げ	１０．通信速度、通信路容量、符号長と通信路容量
１１．グラフと木	１１．誤りのある系の通信路容量、復号法
１２．オートマトン	１２．通信路の符号化
１３．正規表現	１３．通信符号化定理
１４．計算量とチューリングマシン	１４．線形符号
１５．数論と暗号	１５．情報の定量化に対する概念、情報の伝達、蓄積の背景

（是正事項）情報学部　情報学科

1【第一次審査意見４、６、７、８の回答について】 ＜科目内容等が不適当＞ ディプロマ・ポリシーの実現のため、教育課程の体系性にも留意しながら科目内容を以下の通り改めること。また、科目名を適切に改めること。 （８）「ICT 演習（ディープラーニング）」の科目の授業内容が改められたが、授業内容を踏まえるとディープラーニングではなくマシンラーニングの授業内容となっているため、シラバスの授業科目の名称又は概要を適切に改めること。

（対応）

「ICT 演習（ディープラーニング）」の教育内容と科目名称の精査を行い、より教育内容が明確となるよう科目名称を「ICT 演習（マシンラーニング）」と改めた。

「ICT 演習（ディープラーニング）」の教育内容は、機械学習に係るテーマをより広い範囲で俯瞰的に扱う内容としているものであって、「ディープラーニング」だけを取り上げた内容ではないことから、科目名を「ICT 演習（マシンラーニング）」に改め、科目概要もそれに合わせて修正した。

（新旧対照表）

区　分	新	旧
授業科目の名称および講義等の内容の変更	ICT 演習（マシンラーニング） マシンラーニング技術の可能性と限界を正しく理解し、事業に活用するための知識を体系的に学修する。（削除）ディープラーニングを含むさまざまな機械学習技術に加え、ディープラーニングをベースにしたAIの技術的発展とその社会応用、法制度やプライバシー、倫理面の問題など、人工知能、機械学習、ディープラーニングに関する俯瞰的な理解をもつことで、経営層に対し適切な活用方針を提案し事業応用を可能とするような能力を養成する。	ICT 演習（ディープラーニング） ディープラーニング技術の可能性と限界を正しく理解し、事業に活用するための知識を体系的に学修する。ディープラーニングが得意とするデータや不得意なデータ、ディープラーニング以外のさまざまな機械学習技術に加え、ディープラーニングをベースにした AI の技術的発展とその社会応用、法制度やプライバシー、倫理面の問題など、人工知能、機械学習、ディープラーニングに関する俯瞰的な理解をもつことで、経営層に対し適切な活用方針を提案し事業応用を可能とするような能力を養成する。

（是正事項）情報学部　情報学科

1【第一次審査意見４、６、７、８の回答について】 ＜科目内容等が不適当＞ ディプロマ・ポリシーの実現のため、教育課程の体系性にも留意しながら科目内容を以下の通り改めること。また、科目名を適切に改めること。 （9）「コンピューター・アーキテクチャ」と「オペレーティングシステム」の科目は、教育課程等の概要の書類では「必修科目」とされているが、シラバス上では「選択科目」と記載されているため、適切に改めること。

（対応）

「コンピューター・アーキテクチャ」と「オペレーティングシステム」のシラバスについて精査を行い、本来は必修･選択の項目が「必修」であるべきところが「選択」という誤った記載となっていたため、必修･選択の項目を「必修」と改めた。

（新旧対照表）

区　分	新	旧
授業科目の授業形態の変更	コンピュータアーキテクチャ 必修科目 オペレーティングシステム 必修科目	コンピュータアーキテクチャ 選択科目 オペレーティングシステム 選択科目

（是正事項）情報学部　情報学科

１【第一次審査意見４、６、７、８の回答について】 ＜科目内容等が不適当＞ ディプロマ・ポリシーの実現のため、教育課程の体系性にも留意しながら科目内容を以下の通り改めること。また、科目名を適切に改めること。 （１０）学生が計画的に履修できるよう、履修条件に特定科目の単位が指定されている科目は、なぜその科目が履修の前提となっているか理解できるよう、シラバス上で適切に補足すること。

（対応）

履修条件のある各科目のシラバスについて、履修上の注意点に追記を行う事で、なぜその科目が履修の前提となっているか理解できるよう努める。

例：オペレーティングシステム　履修上の注意点

履修条件：「コンピュータアーキテクチャ」の単位を修得済みの者

↓

履修条件：オペレーティングシステムが制御する対象であるコンピュータのハードウエアに関する知識を前提とするため、「コンピュータアーキテクチャ」の単位を修得済みであることを条件とする。

【資料１】情報学部シラバス（授業計画）

審査意見への対応を記載した書類

資料目次

【資料１】情報学部 シラバス（授業計画）

審査意見への対応を記載した書類

【資料 1】

【資料１】情報学部 シラバス（授業計画）

情報学部情報学科 シラバス(授業計画) 目次

No.	授業科目	調書番号	教員氏名	ページ番号
1	情報リテラシー	[2]	宮元 万菜美	1
2	現代の科学技術	(3)	田代 秀一	2
3	情報の基礎	(3)	田代 秀一	3
4	トップランナー研究	1	三上 喜貴	4
5	情報と法律	[3]	大野(北嶋) 幸夫	5、6
6	情報と経営	[2]	宮元 万菜美	7
7	情報と倫理	[3]	大野(北嶋) 幸夫	8
8	情報と英語	(1)	金宮 好和	9
9	オペレーティングシステム	(2)	後藤(坂本) 幸功	10
		(4)	柄沢 直之	
10	コンピュータアーキテクチャ	(11)	磯西 徹明	11、12
11	線形代数	△5	上野 衆太	13
		△9	髙嶋 洋一	
12	微分積分	△8	平川 秀樹	14
		△9	髙嶋 洋一	
13	確率論	△6	鈴木 源吾	15
14	統計学	△6	鈴木 源吾	16
15	データ構造とアルゴリズム	△2	後藤(坂本) 幸功	17
		△7	堀川 桂太郎	
16	プログラミングⅠ	△7	堀川 桂太郎	18
		△3	柄沢 直之	
17	プログラミングⅡ	△9	髙嶋 洋一	19、20
		△3	柄沢 直之	
18	ネットワークプログラミング実習	△4	PANN YU MON	21
		△5	上野 衆太	
		△9	髙嶋 洋一	
19	API実習	(8)	堀川 桂太郎	22
		[13]	西川 浩平	
20	情報通信ネットワーク	(6)	上野 衆太	23
21	ネットワーク演習	△2	後藤(坂本) 幸功	24、25
		△5	上野 衆太	
22	分散型台帳技術	△5	上野 衆太	26
23	情報セキュリティ	(2)	後藤(坂本) 幸功	27
24	サイバーセキュリティ演習	(2)	後藤(坂本) 幸功	28、29
25	サイバーセキュリティ実習	(10)	髙嶋 洋一	30
26	データベースの基礎	(7)	鈴木 源吾	31
		(4)	柄沢 直之	
27	データベース演習	△3	柄沢 直之	32
		△6	鈴木 源吾	
28	システムモデリング	△3	柄沢 直之	33

29	システム開発技術	△5	上野　衆太	34
30	臨地実務実習Ⅰ	1	三上　喜貴	35、36
		①1	金宮　好和	
		□2	宮元　万菜美	
		□3	大野(北嶋)　幸夫	
		②2	後藤(坂本)　幸功	
		6	石塚　昭彦	
		④4	柄沢　直之	
		⑤5	PANN YU MON	
		③3	田代　秀一	
		⑥6	上野　衆太	
		⑦7	鈴木　源吾	
		⑧8	堀川　桂太郎	
		⑨9	平川　秀樹	
		⑩10	髙嶋　洋一	
		⑪11	磯西　徹明	
		□13	西川　浩平	
31	臨地実務実習Ⅱ	1	三上　喜貴	37、38
		①1	金宮　好和	
		□2	宮元　万菜美	
		□3	大野(北嶋)　幸夫	
		②2	後藤(坂本)　幸功	
		6	石塚　昭彦	
		④4	柄沢　直之	
		⑤5	PANN YU MON	
		③3	田代　秀一	
		⑥6	上野　衆太	
		⑦7	鈴木　源吾	
		⑧8	堀川　桂太郎	
		⑨9	平川　秀樹	
		⑩10	髙嶋　洋一	
		⑪11	磯西　徹明	
		□13	西川　浩平	
32	クラウド技術概論	⑪11	磯西　徹明	39
33	クラウドベーシック&マーケティング	□13	西川　浩平	40
34	クラウドプラットフォーム実習Ⅰ	□13	西川　浩平	41
35	クラウドプラットフォーム実習Ⅱ	□13	西川　浩平	42
36	サイバーフィジカルシステム基礎	①1	金宮　好和	43
37	IoT演習	△10	磯西　徹明	44
38	IoT実習	⑪11	磯西　徹明	45
39	ハードウェア設計	△1	金宮　好和	46
40	ロボティクス実習	①1	金宮　好和	47

41	没入型コンピューティング	△11	江口　将史	48
42	没入型コンピューティング実習	△11	江口　将史	49
43	ユーザエクスペリエンス	6	石塚　昭彦	50
44	情報科学基礎	△8	平川　秀樹	51
45	知識表現・知識処理	△7	堀川　桂太郎	52
46	AI実習	△7	堀川　桂太郎	53
		△8	平川　秀樹	
47	マシンラーニング	△8	平川　秀樹	54
48	マシンラーニング実習	△8	平川　秀樹	55
49	ICT演習（ハードウェア/ソフトウェア）	⑤	PANN YU MON	56
50	ICT演習(セキュリティ)	⑬	西川　浩平	57
51	ICT演習(基本情報)	⑤	PANN YU MON	58
52	ICT演習(クラウド)	⑬	西川　浩平	59
53	ICT演習(応用情報)	④	柄沢　直之	60
54	ICT演習(IoT)	①	金宮　好和	61
55	ICT演習（マシンラーニング）	△8	平川　秀樹	62
56	ICT演習(ｾｷｭﾘﾃｨｽﾍﾟｼｬﾘｽﾄ)	⑩	髙嶋　洋一	63
57	ICT演習(組込システム)	①	金宮　好和	64
58	ICT演習（データベーススペシャリスト）	⑦	鈴木　源吾	65、66
59	デザイン・シンキング概論	6	石塚　昭彦	67、68
60	ソーシャルデザイン実習	18	渋谷　修太	69
61	デザイン・シンキング実習Ⅰ	6	石塚　昭彦	70、71
62	デザイン・シンキング実習Ⅱ	6	石塚　昭彦	72、73
63	情報産業論	③	田代　秀一	74
64	国際文化と伝統	1	三上　喜貴	75
65	マーケティング	⑫	宮元　万菜美	76
66	社会心理・消費者行動	⑫	宮元　万菜美	77
67	マーケティング実践	18	渋谷　修太	78
68	ICT活用総合実習	①	金宮　好和	79、80
		⑫	宮元　万菜美	
		②	後藤(坂本)　幸功	
		③	田代　秀一	
		6	石塚　昭彦	
		④	柄沢　直之	
		⑤	PANN YU MON	
		⑥	上野　衆太	
		⑦	鈴木　源吾	
		⑧	堀川　桂太郎	
		⑨	平川　秀樹	
		⑩	髙嶋　洋一	
		⑪	磯西　徹明	
		⑬	西川　浩平	

授業科目　情報リテラシー

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
宮元万菜美	開講時期	①	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

大学での学習活動、卒業後の職業生活や社会生活において、情報の収集、分析や資料作成等知的活動を効率的、安全に進めるために不可欠な基本的な情報処理能力を身に付けることを目的として、コンピュータやネットワークによって構築される情報環境や、基本的ソフトウエアの仕組みと活用方法、活用に当たって守るべきルール及びマナー、潜在する脅威とそこへの対応法を、演習を交えて体得・学修する。

【学習目標】

１．知的活動に活用する情報環境（コンピュータ、ネットワーク、OS）を理解する
２．情報環境の活用にあたって守るべきルール・マナーを身に付ける
３．知的創造活動に使う基本的アプリケーションソフトウエアの操作法・活用法を身に付ける

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	学内システムの構成とアクセス方法	1･2	
2	インターネットの仕組みとそこに潜む脅威	1	
3	インターネット活用におけるルール・マナー	2	
4	知的生産活動のための情報検索	1･2･3	
5	知的生産活動のためのSNS活用	1･2･3	中間レポート
6	データの整理と格納	3	
7	表計算ソフトを用いたデータ分析	3	
8	表計算ソフトを用いたデータ可視化	3	
9	数式処理ソフトの活用	3	中間レポート
10	プレゼンテーションツールを用いたストーリ展開	3	
11	プレゼンテーションツールにおける図・表・アニメーション活用	3	
12	レポートの作成①（基本的な文書構成法）	3	
13	レポートの作成②（図・表の活用、他ソフトとの連携）	3	
14	総合演習① レポート文書の作成	1･2･3	最終レポート
15	総合演習② プレゼンテーション	1･2･3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	大学生のための情報リテラシー	張磊、桐村番	共立出版	2018年2月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			

準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。演習用パソコンの画面を最大限活用しなくてはならないので、講義資料は印刷して持参することを推奨します。また、授業のなかで紹介した文献、資料による復習を重視してください。なおレポートは事後学習においての宿題となります。

【評価方法】	【履修上の留意点】
適時提出を求めるレポート（50%） 最終レポート（50%）	特になし。

授業科目　現代の科学技術

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
田代秀一	開講時期	④	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

科学技術の成果は社会の隅々にまで浸透しており、意識するしないに関わらず、人々は生活のありとあらゆる場面でその恩恵を受けていることについて理解する。いくつかの先端的科学技術を取り上げ、その概要や社会的意義、課題を学修する。さらに、高校で学んだ物理・化学・生物・地学等の知識と関連付けながら、科学技術の実用化へ向けた探求、発見、工夫の物語を紐解くことで、科学技術への興味を深めるとともに未知の分野へも柔軟に取り組める素養を身に付ける。

【学習目標】

1．最先端の科学と技術の重要性を理解する。
2．さまざまな社会問題や身近な事柄などに関して科学の視点で切り込む姿勢を身につける。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス　現代の科学技術とは	1	
2	遺伝子組み換え技術	1	
3	青色LEDとデバイス工学	1	
4	宇宙エレベーター	1	
5	スマートフォンと情報通信技術	2	
6	ディジタルコンテンツ技術	2	
7	GPSと電子地図	2	
8	人工知能	1	
9	自動運転	1	
10	ブロックチェーンと仮想通貨	1	
11	量子コンピュータ	1	
12	防災と減災	2	
13	電子政府	2	
14	プレゼンテーション	1・2	
15	まとめ(科学技術の将来展望)	1・2	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料等を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。なおレポートは事後学習においての宿題となります。			

【評価方法】

適時提出を求めるレポート（50%）
最終レポート（50%）

【履修上の留意点】

特になし。

授業科目　情報の基礎

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
田代　秀一	開講時期	①	必修･選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【概要】

情報学部では、情報の生成・探索・表現・蓄積・管理・認識・分析・変換・伝達に関わる原理と技術を探求し、社会に役立てられるようになることを目指す。これらを学修するにあたっての導入として、「物質」、「エネルギー」に並ぶ第三の概念である「情報」について、まずその本質を理解し、さらに人間社会とのかかわり、意義、課題について理解するとともに、情報に係る、これから学ぶべき学問分野を俯瞰する。

【学習目標】

1．情報とは何か、その根本を理解する
2．人と情報とのかかわりについて理解する
3．機械と情報とのかかわりについて理解する
4．社会と情報とのかかわりについて理解する

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	情報とは何か	1	
2	情報の表現	1,2	
3	情報の伝達と通信	2,3	
4	計算の方法	1,3	
5	データの扱い	2,3	
6	ユーザインタフェース	2	
7	ソーシャルメディアと集合知	2,4	
8	情報技術と社会	4	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	情報　第2版 東京大学教養学部テキスト	山口　和紀 編	東京大学出版会	2017年，1,900円
参考書	よくわかる社会情報学	西垣通・伊藤守編著	ミネルヴァ書房	2017年7月，2,500円
その他の資料				
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
適時実施する小テスト（50%） 最終試験（50%）	特になし。

授業科目　トップランナー研究

【担当教員名】 三上喜貴	対象学年	1・2	対象学科	情報学科
	開講時期	②・④	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

本科目は産業界において先進の取り組みを実践している事例についての考察・研究を通じ、専門職業人としての心構え、考え方、行動指針等を理解し、自己の職業観確立のための一助とすると共に、思考力、判断力、実践力の向上を目指す。具体的な授業の進め方としては、先進的な取り組み事例を題材に取り上げ、考察や課題の抽出を行ったうえで、学生同士によるグループ討議や担当教員との討論や議論を行うとともに、指定されたテーマの考察による報告書の作成を通して、専門職業人としての職業観を醸成する。

【学習目標】

1．専門職業人としての心構え、考え方、行動指針等を理解する。
2．専門職業人に必要な思考力、判断力、実践力を理解する。
3．専門職職業人としての職業観を確立する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標 番号	学習方法･学習課題 又は備考･担当教員
1	【事例研究１】事例発表	1・2・3	※第1回集中講座
2	【事例研究１】ｸﾞﾙｰﾌﾟ質問討議	1・2・3	※第1回集中講座
3	【事例研究１】質疑応答	1・2・3	※第1回集中講座
4	【事例研究１】ディベート	1・2・3	※第1回集中講座
5	【事例研究１】小論文	1・2・3	※第1回集中講座
6	【事例研究２】事例発表	1・2・3	※第2回集中講座
7	【事例研究２】ｸﾞﾙｰﾌﾟ質問討議	1・2・3	※第2回集中講座
8	【事例研究２】質疑応答	1・2・3	※第2回集中講座
9	【事例研究２】ディベート	1・2・3	※第2回集中講座
10	【事例研究２】小論文	1・2・3	※第2回集中講座
11	【事例研究３】事例発表	1・2・3	※第3回集中講座
12	【事例研究３】ｸﾞﾙｰﾌﾟ質問討議	1・2・3	※第3回集中講座
13	【事例研究３】質疑応答	1・2・3	※第3回集中講座
14	【事例研究３】ディベート	1・2・3	※第3回集中講座
15	【事例研究３】小論文	1・2・3	※第3回集中講座

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習として研究対象事例をウェブサイト等で把握し、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
受講態度（授業時質疑応答、ディベート等の積極性等）（50%） 小論文　（50%）	特になし。

授業科目　情報と法律

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
大野幸夫	開講時期	③・④	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

ＩＣＴ技術を実社会で利活用する際にコンプライアンスに沿うことが必要になることを踏まえて、著作権、個人情報保護等の法律はもとより、法律に付随するガイドラインなどの内容と必要性・重要性を理解する。具体的には、情報財（著作権・特許権等）関係、ネット取引、個人情報保護、情報セキュリティ、電子マネー、ファイナンス・テクノロジー、ネットショップ、オンラインゲーム、電子書籍、サイバー犯罪、スマートフォンと子どもとネット、人工知能など、法律問題の事例を通じて学修する。

【学習目標】

１．ネットワークシステムと法律制度との関係を学習し、社会での役割を理解する。
２．情報通信の基本を学び、具体的な「ネット取引」の仕組みを知る。
３．データやソフトウェアの法律問題を理解し、法的責任の所在を探る。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス　情報法とは	1	
2	「情報と社会生活」-ネット情報と倫理・法を巡る社会生活上の課題-	1	
3	「情報と法」の基本的枠組み	1	
4	「通信法制度」：電気通信事業者法・プロバイダー責任制限法・放送法・電波法	2	
5	「プラットフォーマー」の事業展開：基盤技術と歴史	2	
6	「プラットフォーマー」：GAFA規制問題	2	
7	「ネット取引」の仕組み（B2B、B2C、C2C、M2M、IoT）	3	
8	「ネット取引」とセキュリティ保全：電子署名と公開鍵暗号・ブロックチェーン	3	
9	知的財産制度：著作権・特許法・意匠法・商標法・不正競争防止	3	
10	個人情報保護 -日本（民間と行政）、「各分野のガイドラインは守られているのか？」	3	
11	個人情報保護面でのEUと米国の制度：GDPRとプライバシー保護理念の違い	1	
12	電子（「仮想」）マネーの課題：「ビットコイン」と仮想通貨交換業	1	
13	「サイバー犯罪」：刑法と特別法「リーチサイト・漫画村ブロッキング」	2	
14	ゲーム依存症と青少年保護法：SNSアプリは依存症を誘発するのか？	1	
15	まとめ（今後のネットワーク社会における情報と法律）	1・2・3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	情報法入門【第4版】	小向太郎	エヌティティ出版	2018年3月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	「現在進行中の課題や事件」も対象とし、直接の質疑応答も行う。指摘した国内外の事件や新聞雑誌等の資料も参照すること。提供資料は多くなるので専用ファイルを用意すること。 なおレポートは事後学習においての宿題となります。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
適時提出を求めるレポート（50%） 最終試験（50%）	履修条件：「情報」の本質や、それと人や社会との関わりについての基本的理解を前提とするため「情報の基礎」の単位を修得済みの者

授業科目　情報と経営

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
宮元万菜美	開講時期	①・②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

ＩＣＴを利用した情報システムを、経営にいかに活用していくか、企業の経営に必要な情報とはなにか、それはどこにあるのか、それらをどのように活用し、企業の発展にどう結びつけるのか、という発想を基として、企業の内外に存在する様々なデータに基づいて判断・行動するデータ駆動型経営を理解し、実行するために必要となる知識と技術について、インターネット業界の企業経営をケーススタディとして取り上げ、経営に反映させる方法を修得する。

【学習目標】

1．経営戦略論の歴史的展開を理解する。
2．経営環境の外部分析の方法を習得する
3．ポジショニングアプローチを理解する
4．ITイノベーションに関する理論を理解する
5．ITを活用した戦略的思考能力を包括的に習得する

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス（講義概要・進め方、評価のポイントなど）	1	
2	経営戦略論の系譜	1	レポート
3	戦略と事業ドメイン	2	
4	企業における戦略の策定プロセス	2	
5	経営戦略の策定と実行の流れ	2	レポート
6	ポジショニングアプローチとは	3	
7	バリューチェーン分析	3	レポート
8	資源ベース戦略論	4	
9	経営戦略と持続的競争優位	4	レポート
10	イノベーションの普及理論	4	
11	発展的イノベーション論	4	レポート
12	ビジネスモデルの定義と構成要素	5	
13	ビジネスモデル分析	5	レポート
14	ICT時代の経営戦略	5	
15	戦略的思考とは　まとめと振り返り	5	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	コグニティブ競争戦略	宮元 万菜美	千倉書房	2017年10月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。なおレポートは事後学習においての宿題となります。			

【評価方法】

適時提出を求めるレポート（50%）
最終レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：法的知識は社会人としての健全なビジネス運営の前提となることから「情報と法律」の単位を修得済みの者

授業科目　情報と倫理

【担当教員名】 大野幸夫	対象学年	3	対象学科	情報学科
	開講時期	①	必修･選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【概要】

本科目では、コンピュータ技術者がその職務を遂行する上で、必要な倫理について考察する。コンピュータ技術者が直面する可能性のある種々の倫理的問題を、具体的な事例を通して、それらの問題を分析し、倫理的に推論する方法について学ぶことで、サイバーネットワーク社会における倫理的諸問題に対処するための社会的含意と社会的価値などについて理解する。

【学習目標】

１．ITコンピュータ技術者の専門職の倫理と責任につき、その歴史的・社会的背景も含めて理解する。
２．技術を実践する上で、技術者の直面する可能性ある倫理問題を具体的に認識する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	授業のガイダンス。ITコンピュータ技術者の倫理と責任	1	
2	ITコンピュータ倫理とは何か。職業倫理の特徴―「不正アクセス禁止法」	1	
3	専門職業人としての規範、指針、責任―「法の支配の理念」を知る	1	
4	ソフトウエア開発者(法人・社員個人)としての諸問題	1	
5	ユーザー・ソフトウエア開発・行政の役割	2	
6	コンピュータ犯罪処罰・倫理領域とダークサイト	2	
7	コンピュータと労働者・使用者	2	
8	「まとめ」とネットワーク社会での新しい技術者倫理	1・2	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	「現在進行中の課題や事件」も対象とし、直接の質疑応答も行う。指摘した国内外の事件や新聞雑誌等の資料も参照すること。提供資料は多くなるので専用ファイルを用意すること。なおレポートは事後学習においての宿題となります。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
適時提出を求めるレポート（50%） 最終試験（50%）	履修条件：「情報」の本質、社会との関わり、企業人、社会人の視点でも倫理を学ぶことができるよう「情報と経営」の単位を修得済みの者

授業科目　情報と英語

【担当教員名】	対象学年	4	対象学科	情報学科
金宮好和	開講時期	①・②	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

ＩＣＴ業界では、最新の製品やテクノロジーの多くは米国などの海外から由来することが多く、最新製品のロードマップや各種ドキュメント類は、まず英語でリリースされることが大半であり、またインターネットを介して提供されるサービスが大多数のため、国境を超えて世界市場での展開を、今後の企業成長プランに入れることができるかどうかが重要となることから、ＩＣＴ業界特有の英語表現を学修することで、先端技術を英語で読み・考え・議論するための素養を修得する。

【学習目標】

1．技術分野における挨拶や質疑応答といったプレゼンテーションの英語表現に関する知識を理解する。
2．プロジェクト管理やシステム開発といった専門分野に関する英語表現に関する知識を理解する。
3．英語によるチャットなどの対面以外コミュニケーション形式を理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス、英語による自己紹介	1	
2	英語によるPC操作とトラブル	1	
3	英語によるウェブ閲覧	1	課題
4	英語による電子メールコミュニケーション	1	
5	英語によるプレゼンテーション	1	
6	英語による製品の機能と構造	2	課題
7	英語による操作マニュアル	2	
8	英語による問題の解決策	2	
9	英語によるソーシャルメディアコミュニケーション	3	課題
10	英語による社内ミーティング	3	
11	英語によるプロジェクト会議	3	
12	英語による交渉	3	課題
13	英語によるオンラインコミュニケーション	3	
14	英語による技術情報の読み取り	2	
15	英語による「学術論文」	1	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。演習用パソコンの画面を最大限活用しなくてはならないので、講義資料は印刷して持参することを推奨します。また、授業のなかで紹介した文献、資料による復習を重視してください。なお課題は事後学習においての宿題となります。			

【評価方法】

適時提出を求める課題（50%）
最終レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：「情報」の本質を踏まえ、ソーシアルメディアや社内会議などを想定した社会人としてのコミュニケーションを学ぶことから、「情報と倫理」の単位を修得済みの者

授業科目　オペレーティングシステム

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
後藤幸功、柄沢直之	開講時期	②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

すべてのプログラムはオペレーティングシステム（OS)の管理下で実行される。本講義では、プロセス管理、入出力管理、記憶管理など、コンピュータの構成要素を制御して情報処理を効率的に行うためのOSの基本的機能とその原理を学修し、情報処理システムの動作の全貌を理解する。Linuxを例にあげた具体的説明を通し、Linuxの基本構成についても併せて習得する。

【学習目標】

1. ＯＳの主な役割について理解する。
2. アクセス管理、セキュリティについて理解する。
3. プロセス管理、排他制御について理解する。
4. 入出力管理について理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	オペレーティングシステム（OS)の位置づけと歴史	1	
2	ユーザ管理	2	
3	割り込み制御とコンテクストスイッチ	3	
4	プロセス管理（1）マルチプロセスとスケジューリング	3	
5	プロセス管理（2）プロセス間通信	2,3	
6	プロセス管理（3）排他制御	3	
7	メモリ管理（1）仮想記憶	2,3	
8	メモリ管理（2）アクセス制御	2	
9	入出力管理（1）外部記憶装置	4	
10	入出力管理（2）リアルタイム入出力	4	
11	入出力管理（3）文字コードと多言語入出力	4	
12	ファイルシステム（1）ファイル構造	2	
13	ファイルシステム（2）アクセス制御	2	
14	OSの起動（BIOSとブートローダー）	1,2	
15	ハイパーバイザと仮想マシン	1	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			

準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。なお課題は事後学習においての宿題となります。

【評価方法】

適時提出を求める課題（50%）
最終試験（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：オペレーティングシステムが制御する対象であるコンピュータのハードウエアに関する知識を前提とするため、「コンピュータアーキテクチャ」の単位を修得済みであることを条件とする。

授業科目　コンピュータアーキテクチャ

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
磯西徹明	開講時期	①	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

本講義では、コンピュータの基本的設計としての「アーキテクチャ」の意味を理解するとともに、ノイマン型コンピュータの基本構成と、その動作について学修する。併せて典型的アーキテクチャの具体例を取り上げ、その概要を理解し、今後の講義、演習および実習を受講するための基礎とする。

【学習目標】

1．コンピュータで使われている素子・半導体、ハードウェアに関する基本的な事項を理解する
2．デジタル回路とその設計手法を理解する
3．命令セットアーキテクチャ、マイクロアーキテクチャ、高速化手法を理解する
4．メモリシステムの階層構造について理解する
5．入出力システムについて理解する

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス：コンピュータアーキテクチャとは、数の体系と加算・減算	1	
2	半導体のしくみと論理ゲート、ブール代数	1	
3	組み合わせ回路	2	
4	順序回路	2	
5	算術・論理演算回路	2	
6	固定小数点数と浮動小数点数、メモリアレイとロジックアレイ	2	
7	命令セットアーキテクチャ（1）：機械語とプログラミング	3	
8	命令セットアーキテクチャ（2）：プログラムの実行、x86のアーキテクチャ	3	
9	マイクロアーキテクチャ（1）：単一サイクルプロセッサとマルチサイクルプロセッサ	3	
10	マイクロアーキテクチャ（2）：パイプラインプロセッサ	3	
11	並列処理アーキテクチャ	3	
12	キャッシュメモリ	4	
13	仮想メモリ	4	
14	入出力システム	5	
15	ノイマン型コンピュータと非ノイマン型コンピュータ	1	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	ディジタル回路設計とコンピュータアーキテクチャ 第2版	DavidMoneyHarris,SarahL.Harris,天野英晴,鈴木貢,中條拓伯,永松礼夫	翔泳社	2017年9月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			

準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。なお課題は事後学習においての宿題となります。

【評価方法】	【履修上の留意点】

適時提出を求める課題（50%） 最終試験（50%）	特になし。

授業科目　線形代数

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
上野衆太、髙嶋洋一	開講時期	①・②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

行列やベクトル、写像と線形性の概念は、今日、数学のあらゆる分野で重要な役割を果たしており、数学に基づく諸科学においても欠くことのできない概念となっている。線形代数では、これらの基礎的な概念や基本的な演算能力を習得し、専門科目に応用できることを目標とする。

【学習目標】

行列、行列式、線形空間などの概念と演算規則等について理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	行列の定義と演算		
2	正方行列と逆行列		
3	連立1次方程式		
4	逆行列の求め方		
5	総合練習1-2		
6	行列式の定義		
7	行列式の性質		
8	逆行列の存在条件		
9	ベクトル		
10	線形空間		
11	基底と次元		
12	内積空間		
13	固有値と固有ベクトル		
14	行列の対角化		
15	2次曲線の標準形		

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	やさしく学べる線形代数	石村 園子	共立出版	2000年10月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料等を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】

適時実施する小テスト（50%）
最終試験（50%）

【履修上の留意点】

履修条件とする科目はないが、高等学校の数学Ⅰ、Ａで学んだ知識を確認しておく必要がある。

授業科目　微分積分

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
平川秀樹、髙嶋洋一	開講時期	③・④	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

微分積分は数学のみならず、現代の自然科学の基礎であり、その応用範囲は広大である。
本講義では、専門分野への応用に備えて、微分積分法の基本事項の習得を目標とする。

【学習目標】

数列や関数の極限の概念に習熟し、１変数関数の微分積分、多変数関数の偏微分、重積分と微分方程式について、具体的な計算が出来ることを目指す

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	数列と関数の極限		
2	連続関数、逆関数		
3	微積分の計算法、高階導関数		
4	平均値の定理、テイラーの定理		
5	定積分、広義積分、級数		
6	多変数の関数の極限と連続性		
7	偏導関数		
8	合成関数の微分法		
9	陰関数、全微分		
10	重積分の定義		
11	重積分の変数変換		
12	曲面積		
13	体積積分		
14	微分方程式		
15	常微分方程式の数値解法		

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	理工系のための微分積分入門	米田　元	サイエンス社	2009年11月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料等を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】

適時実施する小テスト（50%）
最終試験（50%）

【履修上の留意点】

履修条件とする科目はないが、高等学校の数学Ⅱで学んだ知識を確認しておく必要がある。

授業科目　確率論

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
鈴木源吾	開講時期	③・④	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

確率の概念および、確率変数、確率変数の関数、近似理論など、確率の基礎を学修するとともに、その応用例についても触れることで、確率の必要性を理解するとともに、統計学及び、さらにその先に続く多様な情報学へ取り組むための素養とする。

【学習目標】

1. 確率の基本的概念を理解する
2. 確率の基本的理論を理解する
3. 確率の応用例を理解する

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	確率とは何か	1	
2	標本空間と事象	1	
3	加法定理、条件付き確率	2	
4	分配則とベイズの定理	2	
5	事象の独立性、ベルヌイ試行	2	
6	近似理論（正規分布、大数の法則、ポアソン分布）	2	
7	確率変数	2	
8	確率分布	2	
9	期待値	2	
10	確率変数の分布	2	
11	確率変数の関数	2	
12	母関数	2	
13	最大値探索アルゴリズム	3	
14	ハッシュ法	3	
15	エントロピーとその応用	3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	確率	松葉育雄	朝倉書庖	2015年6月
参考書	確率・統計解析の基礎	久保木久孝	朝倉書店	2007年3月
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料等を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】

適時実施する小テスト（50%）
最終試験（50%）

【履修上の留意点】

履修条件とする科目はないが、高等学校の数学Ⅰ、Ａで学んだ知識（順列と組み合せ、集合の基礎知識）を確認しておく必要がある。

授業科目　統計学

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
鈴木源吾	開講時期	①・②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

膨大なデータを収集し分析／解析するデータサイエンスの基礎として、基本統計量、検定、推定理論など、記述統計学・推測統計学を学修し、さらに、回帰分析、多変量解析の基礎を学修する。

【学習目標】

1．記述統計学について理解する
2．推測統計学について理解する
3．多変量解析について理解する

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	授業の進め方等のガイダンス	1〜3	
2	多様な統計データと統計分析	1	
3	分布を読む	1	
4	母集団と標本	1	
5	推測統計の基礎：確率の考え方と確率変数の分布	2	
6	推測統計の基礎：正規分布の利用	2	
7	推定と検定：平均の推定	2	
8	推定と検定：比率の検定、比較の差の検定	2	
9	推定と検定：平均の差の検定	2	
10	クロス表の読み方と検定	3	
11	相関と回帰	3	
12	回帰分析	3	
13	第三の変数	3	
14	重回帰分析の基礎	3	
15	多変量解析	3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	入門　統計学	栗原伸一	オーム社	2011年
参考書	社会統計学入門	林 拓也	放送大学教材	2012年
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】

適時実施する小テスト（50%）
最終試験（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：確率に関する知識を前提とすることから、「確率論」の単位を修得済みの者

授業科目　データ構造とアルゴリズム

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
堀川桂太郎、後藤幸功	開講時期	①	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

計算機で扱われる基本的なデータ構造と、それらを操作する「探索」、「ソート」、「マージ」等に関する基本的アルゴリズムを学ぶとともに、その背景にあるアルゴリズムの設計法について学び、それらの特性と計算量との関係を理解することで、効率的なプログラムを設計するための素養を養う。

【学習目標】

1．データ構造の基本を理解する．
2．代表的なアルゴリズムを学び，その原理を理解する．
3．計算の効率化について基礎を理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	アルゴリズムの記述	2	
2	探索アルゴリズム：逐次探索、m-ブロック法、２分探索法、ハッシュ法	2	
3	基本的データ構造（１）：配列、リスト	1	
4	基本的データ構造（２）：スタック、キュー、ヒープ	1	
5	動的探索アルゴリズム(1)：２分探索木	1,2	
6	動的探索アルゴリズム(2)：平衡２分探索木、動的ハッシュ法	1,2	
7	ソーティングアルゴリズム(1)：バブルソートなど	2	
8	ソーティングアルゴリズム(2)：シェルソートなど	2	
9	ソーティングアルゴリズム(3)：クイックソートなど	2	
10	グラフアルゴリズム(1)：グラフの表現	1	
11	グラフアルゴリズム(2)：最短経路問題	2	
12	文字列探索アルゴリズム	2	
13	再帰、分割統治法、動的計画法	3	
14	グリーディ法、分枝限定法、線形計画法	3	
15	計算の複雑さ	3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	IT Text アルゴリズム論	浅野 哲夫　他	オーム社	2003年7月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			

準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。なお課題は事後学習においての宿題となります。

【評価方法】	【履修上の留意点】
適時提出を求める課題（50%） 最終試験（50%）	特になし。

授業科目　プログラミングⅠ

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
堀川桂太郎、柄沢直之	開講時期	②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

C言語を用い、変数、ポインタ、条件分岐、関数呼び出し、入出力等、データ構造と制御に係るプログラミングの基礎を学修する。さらにC++を用い、オブジェクト指向の基本を学修する。Linux環境で実施する課題を課し、Linuxの基本コマンド、Emacsによるエディティング等、プログラミングに必要な各種操作についても併せて習得する。

【学習目標】

1．プログラミング環境を理解する
2．データ構造の基本を理解する
3．制御構造の基本を理解する
4．オブジェクト指向の基本を理解する

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	開発環境の使い方（Linux, Emacs, C, C++コンパイラ）	1	課題
2	変数の種類、型宣言　（C）	2	
3	算術・論理演算と式　（C）	3	
4	ポインター（C）	2	小テスト
5	文とブロック（C）	3	
6	条件分岐とループ（C）	3	課題
7	関数の定義と呼び出し（C）	3	
8	再帰処理（C）	3	課題
9	構造体（C）	2	
10	標準入出力とパイプライン（C、Ｌｉｎｕｘ）	1,3	課題
11	ファイルアクセス（C）	1,3	
12	エラー処理（C）	1,3	課題
13	クラスとオブジェクト（C++）	4	
14	オブジェクトの生成と破棄（C++）	4	課題
15	継承(C++)	4	課題

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。なお課題は事後学習においての宿題となります。			

【評価方法】

適時実施する小テスト（25%）
適時提出を求める課題（25%）
最終試験（50%）

【履修上の留意点】

特になし。

授業科目　プログラミングⅡ

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
髙嶋洋一、柄沢直之	開講時期	③	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

プログラミングⅠの知識を基に、Pythonプログラミングの言語仕様を学ぶだけではなく、実現したいことを理解し，説明できるレベルまで整理し，コンピュータが処理できる形に翻訳するというプログラミング開発一連の流れを体験するとともに、バージョン管理や例外処理といった、開発周りの諸技術を体験することで、開発の流れを踏まえて作業することができる技術を身に付ける。

【学習目標】

1．Pythonプログラミングの必要性を理解する.
2．Pythonの基本的な構文を理解する.
3．実践的なPythonプログラムをコーティングできる.
4．プログラミング技術の動向を探り体感する.

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	Python処理系の実装 演習：PC上への環境設定	1	
2	文字列処理 演習：文字列を操る	1	
3	四則演算、論理演算 演習：様々な演算子を利用する	2	
4	組み込みのデータ型 演習：多様なデータ型を理解する	2	課題
5	制御構文 演習：条件分岐、ループ、アサーション文等の活用	2	
6	リスト・タプル・辞書 演習：効率的なデータ処理を設計する	2	
7	関数とモジュール(1) 演習：機能を定義し、関数作成する	3	
8	クラスとオブジェクト 演習：対象を抽象化し、クラスを定義する	2	課題
9	関数とモジュール(2) 演習:業務を意識してモジュールを構成する	2	
10	例外処理 演習：例外を補足し、適切に対処する	3	
11	グラフィクスとGUI 演習：使いやすいGUIを作ってみる	3	
12	Webアプリ用フレームワークの活用 演習：Webで情報を発信してみる	3	課題
13	Webアプリ　他サービスとの連携 演習：APIを作ってみる	3	
14	データ処理への活用事例 演習：Webの公開データを集めてみる	3	
15	バージョン管理 演習：Python環境管理ツールを使ってみる	1・2・3・4	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			

準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。演習用パソコンの画面を最大限活用しなくてはならないので、講義資料は印刷して持参することを推奨します。また、授業のなかで紹介した文献、資料による復習を重視してください。なお課題は事後学習においての宿題となります。

【評価方法】 適時提出を求める課題（50%） 最終レポート（50%）	【履修上の留意点】 履修条件：プログラミングに関する基礎知識を持つことを前提として授業を進めるため、「プログラミングⅠ」および「データ構造とアルゴリズム」の単位を修得済みの者

授業科目　ネットワークプログラミング実習

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
上野衆太、髙嶋洋一、PANN YU MON	開講時期	①・②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	60

【概要】

プログラミングⅡ及びネットワーク演習で修得した基礎知識を基に、Webページの設計、Webアプリケーション構築などの実習を通し、WebブラウザとWebサーバの間でどのようなやりとりが行われているのか、プログラムがどのようにデータを処理しているのかなど、ネットワーク上で情報をやりとりするプログラムに関する一連の知識・技術を修得する。

【学習目標】

1．インターネットやWebの仕組みについて理解する。
2．WebブラウザとWebサーバの間で行われるプログラムについて理解する。
3．Webプログラムの応用として、実際の現場でどのような技術が使われているのか理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1 (2コマ)	ガイダンス、HTTP HTMLの基本	1	
2 (2コマ)	静的webコンテンツ(1) (静的webページの設計)	1	課題
3 (2コマ)	静的webコンテンツ(2) (静的webページの実装)	1	
4 (2コマ)	静的webコンテンツ(3) (CSSの活用)	1	課題
5 (2コマ)	動的webコンテンツ(1) (Javascript)	2	
6 (2コマ)	動的webコンテンツ(2) (Ajax)	2	課題
7 (2コマ)	CMSの活用	2	
8 (2コマ)	データの記述 (XML、XMLスキーマ)	2	
9 (2コマ)	データの記述 (RDF, JSON)	3	
10 (2コマ)	データベースとの接続	2	課題
11 (2コマ)	Webサーバの構築	1・3	
12 (2コマ)	Webサーバ公開のためのネットワーク設定	1・3	課題
13 (2コマ)	Webアプリケーションを作ってみる(1) (APIの設計)	2･3	
14 (2コマ)	Webアプリケーションを作ってみる(2) (APIの実装)	2･3	課題
15 (2コマ)	まとめと振り返り Webアプリケーションのアーキテクチャ	1・2・3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。課題（提出物を伴う課題）は、基本的に授業内での作業ですが、課題に関するテーマ選択や素材探しは指示することがあります。なお課題は事後学習においての宿題となります。			

【評価方法】

適時提出を求める課題（50%）
最終レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：複数のプログラミング言語の経験と、インターネットに関する一連の知識を前提として実習を進めるため「プログラミングⅡ」および「ネットワーク演習」の単位を修得済みの者
これまでの講義や演習で学んだ知識・技術を、実習を通して理解を深め自分のものにするよう努める。

授業科目　ＡＰＩ実習

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
堀川桂太郎、西川浩平	開講時期	④	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	60

【概要】

アプリケーションプログラミングインタフェースとは、ソフトウェアコンポーネントが互いにやりとりするのに使用するインタフェースの仕様であることについて理解したうえで、自分や他人の創ったプログラム機能を公開し共有することでプログラム開発の生産性を高めるAPI技術について実習を通じて学修する。設計、プログラミング、実装、検証の一連の工程を通じて、体系的に実践スキルを修得することで、Web系API開発を題材に実用面での技術課題として、セキュリティリスクと適切な対応について学修するとともに、オリジナルのAPIの設計実装に挑み、共有・相互利用について体系的に学修する。

【学習目標】

1．APIの目的と設計・開発・活用の基本を理解する.
2．利用する視点でAPI設計を理解し，使いやすいAPIの条件を考える.
3．APIで授受ざれるデータの形式や構造の表現方法を理解する.
4．Web系APIの代表的な技術仕様を理解し身に着ける.
5．設計変更の容易性や堅牢性（安全，安定）を考慮したAPI設計方法を習得する.

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1（2コマ）	ガイダンス、APIの概要	1	
2（2コマ）	エンドポイントの設計とリクエストの形式	2	
3（2コマ）	検索とクエリパラメータの設計	2	課題
4（2コマ）	レスポンスデータの設計　データの内部構造の考え方	3	
5（2コマ）	レスポンスデータの設計　データのフォーマット、エラー表現	3	課題
6（2コマ）	HTTPの仕様　ステータスコード、キャッシュ、メディアタイプ	4	
7（2コマ）	HTTPの仕様　同一生成元ポリシーとクロスオリジンリソース共有	4	課題
8（2コマ）	設計変更をしやすいAPI　APIをバージョンで管理する	5	
9（2コマ）	設計変更をしやすいAPI　バージョンを変える際の指針	5	課題
10（2コマ）	堅牢なAPI　サーバとクライアントの間での情報の不正入手	5	
11（2コマ）	堅牢なAPI　悪意あるアクセスへの対策を考える	5	課題
12（2コマ）	実用的なAPIとその活用	1・5	
13（2コマ）	最終課題実習①　課題の概要と行程の策定	1～5	
14（2コマ）	最終課題実習②　実装	1～5	
15（2コマ）	最終課題実習③　テストまとめと振り返り	1～5	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	Web API: The Good Parts	水野 貴明	オライリー・ジャパン	2014年
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。課題（提出物を伴う課題）は、基本的に授業内での作業ですが、課題に関するテーマ選択や素材探しは指示することがあります。なお課題は事後学習においての宿題となります。			

【評価方法】

適時提出を求める課題（50%）
最終レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：ネットワーク上で情報をやりとりするプログラムに関する一連の知識・技術を前提とするため「ネットワークプログラミング実習」の単位を修得済みの者
これまでの講義や演習で学んだ知識・技術を、実習を通して理解を深め自分のものにするよう努める。

授業科目　情報通信ネットワーク

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
上野衆太	開講時期	②	必修･選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【概要】

ネットワーク通信を実現する基礎技術と技術的特徴について、また通信技術の階層構造や、各階層の原理や特徴について理解する。これにより、ネットワーク技術の根幹を成す不変の要素や将来の変化の方向性についての知識習得を図ることで、通信技術の現在と将来に対応できる理解を得ることとともに今後のネットワーク演習や実習を受講するための素養を養う。

【学習目標】

1．情報通信ネットワークの技術体系と基本的構造を理解する．
2．情報通信ネットワークの運用ポリシと運用体系を理解する．

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	古典的通信技術からインターネットへ	1	
2	ネットワークの基本構造	1	
3	データの符号化と伝送	1	
4	プロトコル階層	1	
5	ローカルエリアネットワーク	1	
6	TCP/IPによるグローバル通信	1・2	
7	ネットワークセキュリティの基礎	1・2	
8	インターネットと社会	2	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】

適時実施する小テスト（50%）
最終試験（50%）

【履修上の留意点】

特になし。

授業科目　ネットワーク演習

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
上野衆太、後藤幸功	開講時期	③・④	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

単元毎にルータ等のネットワーク機器やパソコンを各自操作し、講義内容を確認する演習の形態で進める。情報通信ネットワークで修得した基礎知識を基に、情報通信ネットワークの構造及び管理・運用体制について具体的知識を習得するとともに、一般的なネットワーク機器の基本的操作法を習得することにより、情報通信ネットワークを、様々なサービスを提供・享受するための基盤として安全に活用できる素養を身に付ける。

【学習目標】

1．ネットワークのプロトコル構造を理解する。
2．インターネットの管理・運用体制を理解する。
3．代表的なネットワーク機器の仕組み、運用法を理解する。
4．セキュリティを理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス、ネットワークの全体像 演習：機器の操作法	1	
2	物理層の構造（メディアの特性と信号方式） 演習：符号化・変調方式の比較・評価	1	
3	データリンク層の構造　(LANの構造とプロトコル) 演習：ネットワークトポロジ、多重化方式の比較・評価	1	課題
4	インターネット層の構造(1)　(IPプロトコル) 演習：層間でのデータ受け渡しとアドレス解決	1	
5	インターネット層の構造(2) 演習：経路制御方式の比較・評価	1・2	課題
6	トランスポート層の構造 演習：スループット、レスポンスタイムの評価	1	
7	ネットワーク管理（IPアドレスとドメイン名） 演習：DNSデータの分析、ドメイン管理組織の公開情報確認	2	
8	ネットワーク機器（ルーターとハブ） 演習：アドレス、ルーティングの設定	3	課題
9	アプリケーション層(1)（電子メール） 演習：パケット構造、プロトコルの確認	1	
10	アプリケーション層(2)（WWW） 演習：パケット構造、プロトコルの確認	1	
11	CDN（コンテンツ配信サービス）とクラウド 演習：リクエストルーティング方式の比較・評価	2	課題
12	公開鍵暗号と認証 演習：鍵の生成、暗号文の作成と確認	2･4	
13	電子証明書とPKI（Public　Key Infrastructure） 演習：証明書の確認、認証階層の確認	2･4	
14	LANの管理 演習：パケット解析	2･3	課題
15	セキュリティの管理 演習：セキュリティログの読み取り	2･3･4	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。演習用パソコンの画面を最大限活用しなくてはならないので、講義資料は印刷して持参することを推奨します。また、授業のなかで紹介した文献、資料による復習を重視してください。なお課題は事後学習においての宿題となります。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
適時提出を求める課題（50%） 最終レポート（50%）	履修条件：インターネット技術の基礎知識を前提として演習を進められる様、「情報通信ネットワーク」の単位を修得済みの者

授業科目　分散型台帳技術

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	情報学科
上野衆太	開講時期	①・②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

分散型台帳技術は、特定の帳簿管理者を置かずに、参加者が同じ帳簿を共有しながら、資産や権利の移転などを記録していく情報技術であることについて理解する。分散型台帳技術は、デジタル・データを用いつつ、これを「分散型」の仕組みで処理することについて、代表的な技術であるブロックチェーンの仕組み・技術を学修し、将来の利活用に向け技術的課題や今後急拡大する分散型志向の設計と制作を実践的に学修する。

【学習目標】

1．ブロックチェーン技術の特徴や歴史から、暗号通貨システムを支えるブロックチェーンの要素技術を理解する。
2．暗号通貨や暗号通貨以外の具体的な事例からブロックチェーン技術を活用して提供できるサービスの可能性を考察できる。
3．ブロックチェーン開発の環境構築から、フレームワークを使ったアプリケーションの開発手法を理解する。
4．セキュリティやストレージの利用方法や、主要な課題と現時点における解決策を理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス、ブロックチェーンとは	1	講義
2	ブロックチェーン技術の理解	1	講義　レポート
3	ブロックチェーンアプリケーションの理解	1	講義
4	ブロックチェーンプロダクトの比較	2	講義　レポート
5	ブロックチェーン技術的課題と解決案	4	講義
6	ブロックチェーン技術の未来	4	講義　レポート
7	ビジネスへの応用	2	講義・演習
8	ブロックチェーンの要素技術	2	演習　課題
9	アプリケーション開発の基礎知識	3	講義・演習
10	アプリケーション開発	3	演習　課題
11	アプリケーション開発のフレームワーク	3	講義・演習
12	環境構築、セキュリティ	3	演習　課題
13	実装課題①　課題の概要と行程の策定	2・3・4	演習
14	実装課題②　実装とテスト	2・3・4	演習
15	実装課題③　課題プレゼンテーション	2・3・4	演習

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			

準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。演習用パソコンの画面を最大限活用しなくてはならないので、講義資料は印刷して持参することを推奨します。また、授業のなかで紹介した文献、資料による復習を重視してください。なお課題・レポートは事後学習においての宿題となります。

【評価方法】

適時提出を求める課題（25%）
適時提出を求めるレポート（25%）
最終レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：分散型台帳は多数のシステムが相互に通信しながら動作するシステムであるため、そのような技術の基礎を学ぶ「ＡＰＩ実習」の単位を修得済みであることを履修条件とする。

授業科目　情報セキュリティ

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
後藤幸功	開講時期	③・④	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

社会の基盤となっている情報システムに対し、安心・安全な情報システムの実現が求められている。本講義では、情報セキュリティの概要と、情報セキュリティを理解するため背景にある理論的な内容について学修することで、安心・安全な情報システムを実現するための原理や設計方法を理解し、今後の演習および実習を受講するための素養を養う。

【学習目標】

1．情報セキュリティが確保された状況を実現し，維持・改善するため，知識・実践能力を修得する。
2．情報セキュリティインシデントの発生又はそのおそれがあるときに，情報セキュリティリーダとして適切に対処できる。
3．情報技術全般に関する基本的な用語・内容を理解できる。
4．情報セキュリティ機関，企業などから動向や事例を収集し，適用する必要性を評価できる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標 番号	学習方法･学習課題 又は備考･担当教員
1	ガイダンス、情報セキュリティとは	1	
2	情報セキュリティの基礎知識	2	
3	情報資産の情報セキュリティを維持するために必要な業務	2	
4	情報セキュリティリスクアセスメント、リスク対応策	2	
5	情報セキュリティ対策及び情報セキュリティ継続の要求事項	4	
6	情報システムの調達	4	
7	企業活動法務	3	
8	まとめと振り返り　情報セキュリティの歴史	1・2・3・4	
9	情報セキュリティ意識，コンプライアンス	3	
10	情報セキュリティインシデント	3	
11	情報セキュリティマネジメント	2	
12	セキュリティマネジメント	2	
13	情報セキュリティテクノロジー　ハードウェア	4	
14	情報セキュリティテクノロジー　ソフトウェア	4	
15	情報セキュリティの今後	1・2・3・4	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料等を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】

適時実施する小テスト（50%）
最終試験（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：セキュリティ脅威の多くはネットでつながることに関係する。ネットワークの基礎知識を前提として講義を進めるため、「情報通信ネットワーク」の単位を修得済みであることを履修条件とする。

授業科目　サイバーセキュリティ演習

【担当教員名】 後藤幸功	対象学年	2	対象学科	情報学科
	開講時期	①・②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

能動的で積極的なサイバーセキュリティを実践するために、セキュリティ問題の予防措置とその運用、さらに脅威度を判定する能力を修得する。また、コンピュータ・セキュリティ・インシデント・レスポンス・チームについて学修することで、インシデントレスポンス能力の向上を図り、ベンダー任せではなく、日常のシステム運用等を考慮しながら、事業継続を脅かす攻撃に対処することができる情報システム管理能力を修得する。

【学習目標】

1．組織のシステムが攻撃された時にインシデントに効果的な対応を行える。
2．システムが攻撃された時に、仮に被害が生じていたとしてもその拡大を防ぎ、被害を最小限にとどめるためのコントロール能力を身につける。
3．将来の攻撃に備えて情報収集し、被害予防対策を施す役割を担える。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標 番号	学習方法･学習課題 又は備考･担当教員
1	ガイダンス、サイバーセキュリティトレーニングとは	1	
2	グループワーク　インシデントハンドリングとは	1	発表
3	演習シナリオ①（標的型メールを開き、ウイルスに感染） ・検知　・検査　・分析　・初動対応　・対応方針の検討 ・証拠の保全　・封じ込め策の検討　・作業依頼内容の明確化	1・2	グループワーク
4	演習シナリオ①（標的型メールを開き、ウイルスに感染） ・暫定的な対応方針の検討　・恒久的な対応の検討 ・事後対応　・外部への報告・公表に関する方針検討	1・2	レポート
5	演習シナリオ（職員端末から他の複数のネットワーク機器へ感染が拡大） ・検知　・検査　・分析　・初動対応　・対応方針の検討 ・証拠の保全　・封じ込め策の検討　・作業依頼内容の明確化	1・2	グループワーク
6	演習シナリオ（職員端末から他の複数のネットワーク機器へ感染が拡大） ・暫定的な対応方針の検討　・恒久的な対応の検討 ・事後対応　・外部への報告・公表に関する方針検討	1・2	レポート
7	演習シナリオ（地方公共団体向けWebサービス管理者ページ改ざん） ・検知　・検査　・分析　・初動対応　・対応方針の検討 ・証拠の保全　・封じ込め策の検討　・作業依頼内容の明確化	1・2	グループワーク
8	演習シナリオ（地方公共団体向けWebサービス管理者ページ改ざん） ・暫定的な対応方針の検討　・恒久的な対応の検討 ・事後対応　・外部への報告・公表に関する方針検討	1・2	レポート
9	演習シナリオ（地方公共団体庁内システム内にマルウェアが感染拡大） ・検知　・検査　・分析　・初動対応　・対応方針の検討 ・証拠の保全　・封じ込め策の検討　・作業依頼内容の明確化	1・2	グループワーク
10	演習シナリオ（地方公共団体庁内システム内にマルウェアが感染拡大） ・暫定的な対応方針の検討　・恒久的な対応の検討 ・事後対応　・外部への報告・公表に関する方針検討	1・2	レポート
11	演習シナリオ（国行政機関、組織外部持出用PCがマルウェア感染） ・検知　・検査　・分析　・初動対応　・対応方針の検討 ・証拠の保全　・封じ込め策の検討　・作業依頼内容の明確化	1・2	グループワーク
12	演習シナリオ（国行政機関、組織外部持出用PCがマルウェア感染） ・暫定的な対応方針の検討　・恒久的な対応の検討 ・事後対応　・外部への報告・公表に関する方針検討	1・2	レポート

13	演習シナリオ（銀行の顧客管理システムに侵入され、顧客情報が漏えい） ・検知　・検査　・分析　・初動対応　・対応方針の検討 ・証拠の保全　　・封じ込め策の検討　・作業依頼内容の明確化	1・2	グループワーク
14	演習シナリオ（銀行の顧客管理システムに侵入され、顧客情報が漏えい） ・暫定的な対応方針の検討　・恒久的な対応の検討 ・事後対応　・外部への報告・公表に関する方針検討	1・2	レポート
15	まとめと振り返り　脅威への対処と事業継続	1・2・3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。演習用パソコンの画面を最大限活用しなくてはならないので、講義資料は印刷して持参することを推奨します。また、授業のなかで紹介した文献、資料による復習を重視してください。なおレポートは事後学習においての宿題となります。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
適時提出を求めるレポート（50%） 最終レポート（50%）	履修条件：情報セキュリティの概要と知識を前提とするため「情報セキュリティ」の単位を修得済みの者

授業科目　サイバーセキュリティ実習

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	情報学科
高嶋洋一	開講時期	①・②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	60

【概要】

サイバーセキュリティ演習の内容を踏まえ、高度化するサイバー攻撃に対抗するには、攻撃者と同等もしくはそれ以上のハッキング手法、およびマルウェア解析技術が必要であることについて理解するとともに、ハッキングやマルウェア解析に焦点をあてた実習を通して、実践的な技術を修得する。具体的には情報収集、脆弱性識別、エクスプロイト実行、パスワード解読、マルウェア（トロイの木馬、バックドア等）による攻撃および盗聴について学修するとともに、その対抗技術について理解する。

【学習目標】

１．ハッキング（情報収集、脆弱性識別、エクスプロイト実行、パスワード解読、マルウェア攻撃、盗聴）の基礎技術を理解する。
２．マルウェア解析では、ハニーポットによるマルウェア収集、表層解析、アセンブラによるプログラミング、動的解析、静的解析、アンチ解析技術の基本的手法を習得する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1（2コマ）	ガイダンス、環境のセットアップ	1	
2（2コマ）	通信プログラム	1	課題
3（2コマ）	ソケットと盗聴	1	
4（2コマ）	ネットワークの掌握	1	課題
5（2コマ）	サーバーへの攻撃	1	
6（2コマ）	Proxyの拡張	1	課題
7（2コマ）	GitHubを通じた指令の送受信	1	
8（2コマ）	トロイの木馬がよく悪用するテクニック	2	課題
9（2コマ）	Windowsにおける権限昇格	2	
10（2コマ）	フォレンジックの攻撃への転用と自動化	2	課題
11（2コマ）	リバースエンジニアリング	2	
12（2コマ）	さまざまなサンドボックス検知	2	課題
13（2コマ）	マルウェア・プログラム解析実習①　課題の概要と行程の策定	2	
14（2コマ）	マルウェア・プログラム解析実習②　実装	2	
15（2コマ）	マルウェア・プログラム解析実習③　テスト　まとめと振り返り	2	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	サイバーセキュリティプログラミング	Justin Seitz	オライリージャパン	2015年10月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。課題（提出物を伴う課題）は、基本的に授業内での作業ですが、課題に関するテーマ選択や素材探しは指示することがあります。なお課題は事後学習においての宿題となります。			

【評価方法】

適時提出を求める課題（50%）
最終レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：具体的シナリオに沿ったセキュリティ対策検討の経験と知識を前提として実習を進めることから「サイバーセキュリティ演習」の単位を修得済みの者
これまでの講義や演習で学んだ知識・技術を、実習を通して理解を深め自分のものにするよう努める。

授業科目　データベースの基礎

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
鈴木源吾、柄沢直之	開講時期	③・④	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

データを組織化して一括管理するデータベースについて、その基本であるリレーショナルデータベースをについて、データモデル、データベース設計、データ操作言語、及び、データベース管理システムの概要について学ぶ。併せてオブジェクト指向データベース、NoSQLについても触れ、データベースへの視野を広げる。

【学習目標】

1．データベース管理システムの目的と機能を理解する。
2．データベースを操作する基本技術を理解する。
3．データベースを設計する基本技術を理解する。
4．データ検索を高速化する基本技術を理解する。
5．OSSのデータベース管理システムを活用できる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	データベースとは。授業の進め方とガイダンス	1	
2	データベース管理システム	1	
3	関係データモデル	2	
4	関係データベースのデータ操作言語	2,5	
5	高度なデータベース操作	2,5	
6	データベースの概念設計	3	
7	関係データベースの設計理論と正規化	3	
8	データベース管理システムのアーキテクチャ	1	
9	ファイル編成とアクセス法	4	
10	関係データベースの質問処理と最適化	4	
11	トランザクションと障害時回復	1	
12	トランザクションの実行制御	1	
13	分散データベースとビッグデータ	1	
14	総合演習課題	1～5	
15	科目全体の振り返り　課題についての解説	1～5	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	リレーショナルデータベース入門【第3版】	増永 良文	サイエンス社	2017年
参考書	楽しく学べるデータベース	川越 恭二	共立出版	2014年
	データベース入門	増永 良文	サイエンス社	2016年
その他の資料	PostgreSQL徹底入門 第3版	笠原 辰仁他	翔泳社	2011年
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。演習用パソコンの画面を最大限活用しなくてはならないので、講義資料は印刷して持参することを推奨します。また、授業のなかで紹介した文献、資料による復習を重視してください。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
適時実施する小テスト（50%） 最終試験（50%）	特になし。

授業科目　データベース演習

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
鈴木源吾、柄沢直之	開講時期	①・②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	60

【概要】

データベースの基礎で修得した基礎知識を基に、データベースの構造及び管理・運用について単元毎に実際のシステムを操作しながら具体的技術を習得するとともに、データベース管理ステムの基本的操作法を習得することにより、高度な情報人材となるために必要なデータベース分野の技術を体系的に修得する。

【学習目標】

1．ビジネス系データベースの設計・構築・操作を理解する。
2．データ分析系データベースの設計・構築・操作を理解する。
3．ERモデル・正規化・高度なSQL等のデータベース技術の詳細を理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	データベースを制するものはシステムを制す。授業の進め方とガイダンス	1,2	
2	情報システムの構築とデータベース設計	1	
3	要件定義とERモデルを用いた概念設計	1,3	課題
4	論理設計と正規化	1,3	
5	論理設計とパフォーマンス	1,3	課題
6	アプリケーション開発フレームワークとデータベース	1	
7	データベースを活用するアプリケーション構築	1	課題
8	SQLによるデータ分析	2	
9	集計を用いたデータ分析	2,3	課題
10	結合などのテーブル操作・変換を用いたデータ分析	2,3	
11	高度な機能を利用したデータ分析：ウィンドウ関数、等	2,3	課題
12	アクセスログのセッション分析	2	
13	ビッグデータとデータ分析	2	課題
14	総合課題　データベースの構築と活用	1〜3	
15	科目全体の振り返り　課題についての解説	1〜3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	リレーショナルデータベース入門【第3版】	増永 良文	サイエンス社	2017年
参考書	達人に学ぶDB設計 徹底指南書	ミック	翔泳社	2012年
その他の資料	10年戦えるデータ分析入門	青木 峰郎	SBクリエイティブ	2015年
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。課題（提出物を伴う課題）は、基本的に授業内での作業ですが、課題に関するテーマ選択や素材探しは指示することがあります。なお課題は事後学習においての宿題となります。			

【評価方法】

適時提出を求める課題（50%）
最終レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：リレーショナルデータベースの概念や原理を理解していることを前提として演習を進めるため、「データベースの基礎」の単位を修得済みの者

授業科目　システムモデリング

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
柄沢直之	開講時期	②	必修･選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【概要】

本講義では、情報システムを開発・設計する技術、情報システムの効果を得るための技術に関する原理や設計方法としてモデリングや要求定義等について理解することで、今後の演習および情報システムを構築する各種の実習を受講するための素養を養う。

【学習目標】

1．モデリングについて基本的な知識を理解する
2．ダイアグラムの基礎を理解する
3．開発プロセスとモデリングについて理解する

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス　モデリングとは	1	
2	モデリングの基礎	2	
3	要求定義モデリング・ユースケース図	2	
4	構造モデリング・クラス図	2	
5	振る舞いモデリング	2	
6	実装モデリング	2	
7	ビジネスモデリング	3	
8	要求分析モデリング・設計モデリング	3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
適時実施する小テスト（50%） 最終試験（50%）	特になし。

授業科目　システム開発技術

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
上野衆太	開講時期	①・②	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

多数のコンピュータ、スマートデバイスで稼働する多機能な業務システムの設計を、ネットワークの活用も含め学修する。また対象業務の分析や要件定義、外部設計など、システム開発の工程に係わる者、いわゆるシステムエンジニアを対象とし、業務に適したアーキテクチャ設計や全体最適化といった概念と、各種の工程で必要となる設計者向けの知識・技術を修得する。

【学習目標】

1．情報システムの開発における企画立案および要件定義に関することを理解する。
2．ソフトウェア開発及び開発に関する基礎知識を理解する。
3．システム設計・テストから保守・運用までの流れを理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス、システム設計の基礎から実践まで	1	
2	プロジェクト計画立案	1	
3	システム要件定義	2	
4	システム方式設計	2	
5	ソフトウェア要件定義	2	
6	ソフトウェア方式設計，ソフトウェア詳細設計	2	
7	ソフトウェア構築	2	
8	ソフトウェア結合・ソフトウェア適格性確認テスト	3	
9	システム結合・システム適格性確認テスト	3	
10	導入	3	
11	受入れ支援	3	
12	保守・廃棄	4	
13	開発プロセス・手法	4	
14	構成管理，品質保証，監査	1	
15	関連法規，情報技術の動向	1・2・3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。演習用パソコンの画面を最大限活用しなくてはならないので、講義資料は印刷して持参することを推奨します。また、授業のなかで紹介した文献、資料による復習を重視してください。なおレポートは事後学習においての宿題となります。			

【評価方法】

適時提出を求めるレポート（50%）
最終レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：要件定義等を行う上での基本的手法であるモデリングの知識を前提とすることから、「システムモデリング」の単位を修得済みであることを条件とする。

授業科目　臨地実務実習Ⅰ

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
三上喜貴、金宮好和、宮元万菜美、大野幸夫、後藤幸功、石塚昭彦、柄沢直之、PANN YU MON、田代秀一、上野衆太、鈴木源吾、堀川桂太郎、平川秀樹、髙嶋洋一、磯西徹明、西川浩平	開講時期	③	必修･選択	必修
	単位数	5	時間数	150

【概要】

専門職種の理解を深め、地域の企業や団体、商店街が抱える課題に主体的に取り組み、学内で身に付けた情報技術による課題解決策を提案するまでの過程を学修する。実習先企業の業務内容を理解し、他者と協力してデータの流れ（入手、加工、保管）から見える課題を把握しその解決法を考察する。実際にデータの入手、保管、整理、加工、分析、可視化を体験することで、課題を解決して、生産性・効率性を向上させる計画を立案・提案することで課題解決法を考察する態度と技術を理解する。

【学習目標】

知識・理解
　1．実習先企業の企業組織の持つ経営理念・方針等の特徴を理解している。
　2．実習先企業の経営理念を踏まえ、社会的役割・使命を理解し、説明することができる。
　3．既知の問題が与えられた中で、必要なデータが何なのかを理解している。
技能
　4．形式が異なる多くのデータを統一的に保管することができる。
　5．課題に応じたサンプルの抽出ができる。
　6．必要に応じデータの抽出、グラフ作成を正しく行うことができる。
志向・態度
　7．課題の解決・検討に必要なデータが何なのかを最後まで諦めずに模索しようとしている。
　8．扱っている課題領域における、基本的な課題の枠組みをする必要性を理解し、指示・命令を実行しようとしている。
　9．より効果的なプレゼンテーションを実施するために、事前準備の必要性を理解したうえで、様々な工夫を心掛けている。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1.第1週	ガイダンス、社会常識、ビジネスマナー	1・2	（学部教員による指導）
2.第1週 (1)	企業概要の説明（企業沿革、事業内容、社会的意義等）（企業説明）	1・2	
3.第1週 (2)	競合他社等業界事情、業界を取り巻く環境や課題説明(企業説明)	3・7	
4.第1週 (3)	実習テーマの理解（企業説明）	3・7・8	
5.第1週 (4)	業務現場の見学およびヒアリング（気づいたことのまとめ）	1・2・3・7・8	
6.第1週 (5)	実務演習に向けての事前学習	3・7・8	
7.第2週	データの入手・保管	4	
8.第3週	データの整理	4・5	
9.第4週 (1) ～ (3)	データの加工・分析	4・5・6	
10.第4週 (4) ～ (5)	データの分析・課題発見	5・6・7・8	

11. 第5週 （1）～ （3）	データの分析・可視化	5・6・8	
12. 第5週 （4）	プレゼンテーション準備・予行演習	6・8・9	
13. 第5週 （5）	可視化データプレゼンテーション・フィードバック	6・8・9	
14. 第5週 （5）	結果報告、事実確認、振り返り	1～9	（学部教員による指導）

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	実習先企業より提示される資料を確認のこと。			
準備学習（予習・復習等）	事前に実施されるシンポジウムおよびガイダンスに必ず出席し、実習の意義、手続き、安全、保険、セキュリティに関する事項を理解して臨むこと。実習後は会得した問題意識を養い、研究開発に自立性を高めること。			

【評価方法】

○実習先からの評価（40%）
（臨地実務実習の手引きに基づく）
○実習日誌の評価（30%）
○課題・プレゼンテーション（30%）
上記３項目の総合評価

【履修上の留意点】

履修条件：２年次②期までに習得する科目を総合的に活用する科目であるため「キャリアデザインⅡ」「情報と経営」「ネットワークプログラミング実習」「データベース演習」「サイバーセキュリティ演習」「知識表現・知識処理」「統計学」「デザイン・シンキング実習Ⅰ」「ソーシャルデザインⅠ」「情報産業論」「マーケティング」「システムモデリング」の単位を修得済みの者
●受入企業をはじめ様々な関係者の協力のもと実施しているプログラムであり，企業での実習は社会人としてのマナーや個別の受入企業ごとの約束事を遵守し，その企業の業務（課題解決）に貢献する姿勢で臨むこと。
●受講途中での履修放棄は認めない。受講前にスケジュールをよく確認し，教員と相談のうえで受講すること。
●受講にあたっては，傷害保険及び第三者損害賠償責任保険への加入，企業と実習の条件を確認するための書類記入（未成年者は保護者の署名）が必要となる。

授業科目　　臨地実務実習Ⅱ

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	情報学科
三上喜貴、金宮好和、宮元万菜美、大野幸夫、後藤幸功、石塚昭彦、柄沢直之、PANN YU MON、田代秀一、上野衆太、鈴木源吾、堀川桂太郎、平川秀樹、髙嶋洋一、磯西徹明、西川浩平	開講時期	③・④	必修･選択	必修
	単位数	15	時間数	450

【概要】

臨地実務実習Ⅰの内容を踏まえ、企業内実習の事前・事後および実習中の指導を通して、専門職種と職業領域において理論の考察に基づいた実践に取り組み、専門職種の理解を深め、地域の企業や団体、商店街が抱える課題に主体的に取り組み、学内で修得した知識・技術を活用し、解決策の提案から計画、設計、実装、検証という実務の一連の過程を学修する。長期にわたる実務により、企業現場におけるさまざまな現象、実態を認識し、経験することを通して、経済社会の課題に対して情報技術や情報手法を活用した課題解決策を実現することで、創造的な能力と実践的な態度を身に付ける。

【学習目標】

知識・理解
　１．実習先企業の業態(サービスの提供方法など)および顧客価値を理解している。
　２．扱っている課題領域において、課題が何なのか理解している。
　３．ビジネス活動における論理と各種データの関連性を理解し、その重要性を理解している。
技能
　４．情報システムのデザイン（計画、設計、管理）とその具現化ができる。
　５．開発環境の構築と開発作業の管理ができる。
　６．プロトタイプと検証のサイクルを繰り返すことができる。
志向・態度
　７．アイデアの発散を繰り返し、コアの問題解決のために、より高いレベルで解決しようとしている。
　８．課題領域において、テーマを構造的に整理し、見極めるべき論点をクリアにしようとしている。
　９．仮説の中でも、最適解・最大解を見出すことを諦めずに努力している。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1.第1週	ガイダンス、業務関連知識、狙いとその達成	1	(学部教員による指導)
2.第1週 (1)	企業概要の説明（企業沿革、事業内容、社会的意義等）(企業説明)	1	
3.第1週 (2)	競合他社等業界事情、業界を取り巻く環境や課題説明(企業説明)	1・2	
4.第1週 (3)	実習テーマの理解（企業説明）	1・2・3	
5.第1週 (4)	業務現場の見学およびヒアリング（気づいたことのまとめ）	1	
6.第1週 (5)	実務演習に向けての事前学習	2・3	
7.第2週	目的設定	2・4・8	
8.第3週	分析計画	3・4・7	
9.第4週 (1) ～ (3)	データ設計	2・3・4・5	
10.第4週 (4) ～ (5)	データ収集・保存	3・4・5	
11.第5週 (1) ～ (3)	データの前処理	4・5・6	
12.第5週 (4)	分析手法選択と適用	2・3・7・8	
13.第5週 (5)	分析結果の解釈	3・7・8・9	

14. 第5週 (5)	施策の提案、評価	3・7・8・9	
15. 第6週～第7週	要件定義～設計・開発①	4・5・6	
16. 第8週	動作確認、計画の見直し①	4・5・6	
17. 第8週 (5)	中間レビュー	5・6・7・8	
18. 第9週～第10週	設計・開発②	4・5・6	
19. 第11週	動作確認、計画の見直し②	4・5・6	
20. 第11週 (5)	中間レビュー	5・6・7・8	
21. 第12週～第13週	設計・開発③	4・5・6	
22. 第14週	動作確認、計画の見直し③	4・5・6	
23. 第14週 (5)	最終レビュー	4・8・9	
24. 第15週 (1) ～ (4)	プレゼンテーション準備や予行演習	1～9	
25. 第15週 (5)	プレゼンテーション・フィードバック	1～9	
26. 第15週 (5)	結果報告、事実確認、振り返り	1～9	（学部教員による指導）

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	実習先企業より提示される資料を確認のこと。			
準備学習（予習・復習等）	事前に実施されるシンポジウムおよびガイダンスに必ず出席し、実習の意義、手続き、安全、保険、セキュリティに関する事項を理解して臨むこと。実習後は会得した問題意識を養い、研究開発に自立性を高めること。			

【評価方法】

○実習先からの評価（40%）
（臨地実務実習の手引きに基づく）
○実習日誌の評価（30%）
○課題・プレゼンテーション（30%）
上記３項目の総合評価

【履修上の留意点】

履修条件：３年次②期までに習得する科目を総合的に活用する科目であるため「キャリアデザインⅢ」「情報と倫理」「ＡＰＩ実習」「サイバーセキュリティ実習」「ＡＩ実習」「デザイン・シンキング実習Ⅱ」「ソーシャルデザインⅡ」「国際文化と伝統」「マーケティング実践」の単位を修得済みの者
また「マシンラーニング」「ハードウェア設計」「クラウドプラットフォーム実習Ⅰ」のうちいずれかの科目の単位を修得済みの者
●受入企業をはじめ様々な関係者の協力のもと実施しているプログラムであり，企業での実習は社会人としてのマナーや個別の受入企業ごとの約束事を遵守し，その企業の業務（課題解決）に貢献する姿勢で臨むこと。
●受講途中での履修放棄は認めない。受講前にスケジュールをよく確認し，教員と相談のうえで受講すること。
●受講にあたっては，傷害保険及び第三者損害賠償責任保険への加入，企業と実習の条件を確認するための書類記入（未成年者は保護者の署名）が必要となる。

授業科目　クラウド技術概論

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
磯西徹明	開講時期	①・②	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

現代のICT環境として広く定着し、なお進化を続けるクラウド・コンピューティングについて、環境構築から開発運用のリードタイム短縮につながる技術の原理、とその有効活用方法を学修する。CPUやメモリのみならず、ストレージやネットワーク、アプリケーションなどの様々な機能の仮想化技術に限らず、さまざまな用途やサービス、ビジネス応用、今後の動向についても調査し、理解を深めて、クラウド・コンピューティングの演習・実習につながる基礎を修得する。

【学習目標】

1．クラウド・コンピューティングに関する基礎知識を習得する。
2．クラウド・コンピューティングの多様性と特徴について理解する。
3．クラウド・コンピューティングの用途・活用について知解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	クラウドコンピューティングの定義と歴史	1,3	
2	サーバーの仮想化	1	
3	ネットワークの仮想化	1	
4	ストレージの仮想化	1	
5	仮想マシンの原理と技術	1	
6	ソフトウェア・アズ・ア・サービス(SaaS)のアーキテクチャ	2	
7	プラットフォーム・アズ・ア・サービス(PaaS)のアーキテクチャ	2	
8	インフラストラクチャ・アズ・ア・サービス(IaaS)のアーキテクチャ	2	
9	クラウドを構成するソフトウエアスタック	1	
10	クラウドの管理	1	
11	Webサービスアーキテクチャ	3	
12	サービスオリエンテッドアーキテクチャ (SOA)	3	
13	並列・分散処理への応用	3	
14	クラウドとセキュリティ	1,3	
15	信頼性と性能	1,3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	クラウドを支える技術	ルイス・アンドレ・バロッソ その他	技術評論社	2014年9月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。なおレポートは事後学習においての宿題となります。			

【評価方法】

適時提出を求めるレポート（50%）
最終レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：クラウドコンピューティングはネットワークで接続されたコンピュータを扱う技術であり、その講義はネットワークの基礎知識とオペレーティングシステムの基礎知識を前提にして進めるため、「情報通信ネットワーク」「オペレーティングシステム」の単位を修得済みの者

授業科目　クラウドベーシック&マーケティング

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	情報学科
西川浩平	開講時期	①	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

Microsoft AzureやAmazon EC2など、インターネット経由の一般向けクラウド・コンピューティング・サービスを利活用したアプリケーション・システムの開発手法を学修する。パブリッククラウドの適切な設定とマネジメント能力、独自設計したアプリケーションからアクセスする技術を修得することで、高品質なサービスの生み出し方を学修し、マーケティングの視点から導入の有効性やビジネス性を確認することで、クラウド・コンピューティング・サービスについて体系的に修得する。

【学習目標】

1．クラウドなどネットワーク・コンピューティングの基礎と構造、重要事項を理解する。
2．クラウドなどネットワーク・コンピューティングビジネスを提案するために必要なスキルを理解する。
3．クラウドなどネットワーク・コンピューティングビジネスについて提案書作成を通して、学習のまとめを行う。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス、ネットワーク・コンピューティングとは	1	
2	ネットワーク・コンピューティングの基礎	1	
3	ネットワーク・コンピューティングの構造と重要事項	1	
4	ネットワーク・コンピューティングの応用と広がり	1	課題
5	ITマーケットの変化	2	
6	ベンダー選定プロセス	2	課題
7	ネットワーク・コンピューティングの提案とは	2	
8	ネットワーク・コンピューティングの提案　通信の仕組み	2	
9	ネットワーク・コンピューティングの提案　要素技術	2	
10	ネットワーク・コンピューティングの提案　動作検証	2	課題
11	ネットワーク・コンピューティング事例	3	課題
12	ネットワーク・コンピューティング市場の広がり　世界的動向	3	
13	ネットワーク・コンピューティング市場の広がり ユーザー	3	課題
14	最終課題、PoC提案書作成演習　課題の背景	3	
15	最終課題、PoC提案書作成演習　まとめと振り返り	3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	大学生のためのクラウド講座	津田 邦和, 西川 浩平	NCRI株式会社	2018年
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。なお課題は事後学習においての宿題となります。			

【評価方法】

適時提出を求める課題（50%）
最終レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：クラウド・コンピューティングに関する基礎知識を前提とするため「クラウド技術概論」の単位を修得済みの者

授業科目　クラウドプラットフォーム実習Ⅰ

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	情報学科
西川浩平	開講時期	②	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	60

【概要】

クラウド技術概論およびクラウドベーシック&マーケティングで学修した知識や技術を基とし、ケーススタディを用いた実習を通してクラウド・コンピューティングに利用されている各種コンポーネントを理解したうえで、ユーザービリティとセキュリティを高い次元で両立したサービスモデルを設計・構築する。

【学習目標】

1．クラウド技術の構成と歴史を理解する。
2．クラウド活用について理解する。
3．クラウドアプリケーションの設計に関して理解する。
4．クラウドにおける開発について理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1（2コマ）	ガイダンス、クラウドコンピューティングとは	1	
2（2コマ）	オンプレミス環境とクラウドの使い分け	2	
3（2コマ）	オンプレミス環境とクラウド間の連携	2	レポート
4（2コマ）	クラウド使いこなし：IoTとシステム間連携	2	
5（2コマ）	クラウド使いこなし：AIとシステム間連携	2	
6（2コマ）	クラウド使いこなし：クラウド同士のシステム間連携	2	レポート
7（2コマ）	クラウドアプリケーションアーキテクチャ概要	3	
8（2コマ）	クラウドアプリケーションアーキテクチャ：コンテナ	3	
9（2コマ）	クラウドアプリケーションアーキテクチャ：マイクロサービス	3	レポート
10（2コマ）	DevOps：チーム開発	4	
11（2コマ）	DevOps：テスト・ビルド・デプロイ	4	
12（2コマ）	DevOps：顧客からのフィードバック他	4	レポート
13（2コマ）	最終課題①　クラウドサービス開発	1～4	
14（2コマ）	最終課題②　実装	1～4	レポート
15（2コマ）	クラウドアプリケーション開発、まとめと振り返り	1～4	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	はじめてのNode-RED	Node-REDユーザーグループジャパン	工学者	2018年、2700円
	The DevOps ハンドブック 理論・原則・実践のすべて	ジーン・キム、ジェズ・ハンブル他	日経BP	2017年、3456円
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。なおレポートは事後学習においての宿題となります。			

【評価方法】

適時提出を求めるレポート（50%）
最終レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：クラウドアプリケーションの設計・開発に関する各要素技術を習得している必要があるため「クラウドベーシック&マーケティング」の単位を修得済みの者
これまでの講義や演習で学んだ知識・技術を、実習を通して理解を深め自分のものにするよう努める。

授業科目　クラウドプラットフォーム実習Ⅱ

【担当教員名】	対象学年	4	対象学科	情報学科
西川浩平	開講時期	①・②	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	60

【概要】

クラウドプラットフォーム実習Ⅰやクラウド技術概論およびクラウドセールス＆マーケティングで学修した知識や技術を基として、クラウドファーストアーキテクチャー、クラウドにおけるセキュリティ対策、ハイブリッドクラウドなどの実習を基にクラウドデザインパターンを学修する。

【学習目標】

1．クラウドを構成する技術について理解する。
2．クラウドに必要なセキュリティ対策について理解する。
3．クラウド設計に関して理解する。
4．ビジネスにおけるクラウド導入のポイントを理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1（2コマ）	ガイダンス、クラウドプラットフォーム実習Ⅰ振り返り	1	
2（2コマ）	プライベートクラウド構築	1	
3（2コマ）	失敗と成功事例に学ぶクラウドアーキテクチャ	1	レポート
4（2コマ）	セキュリティ対策 ： コンプライアンス、アクセス制御他	2	
5（2コマ）	セキュリティ対策 ： ポリシー制御、アップデート他	2	レポート
6（2コマ）	シナリオ別クラウド設計 ： 業務アプリケーション	3	
7（2コマ）	シナリオ別クラウド設計 ： キャンペーンサイト	3	
8（2コマ）	シナリオ別クラウド設計 ： IoT	3	
9（2コマ）	シナリオ別クラウド設計 ： ブロックチェーン	3	レポート
10（2コマ）	ビジネスにおけるクラウド導入：不安要素と解決策	4	
11（2コマ）	ビジネスにおけるクラウド導入：ポイント、展開の仕方他	4	
12（2コマ）	ビジネスにおけるクラウド導入：導入後の保守運用他	4	レポート
13（2コマ）	最終課題①　クラウドサービス開発/提案演習	1～4	
14（2コマ）	最終課題②　実装	1～4	レポート
15（2コマ）	これからのクラウド構築の実践、まとめと振り返り	1～4	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	Amazon Web Services 定番業務システム14パターン 設計ガイド	川上 明久	日経BP	2018年、2700円
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。なおレポートは事後学習においての宿題となります。			

【評価方法】

適時提出を求めるレポート（50%）
最終レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：クラウドアプリケーションの設計・開発に関し、より発展的な内容となるため「クラウドプラットフォーム実習Ⅰ」の単位を修得済みの者
これまでの講義や演習で学んだ知識・技術を、実習を通して理解を深め自分のものにするよう努める。

授業科目　サイバーフィジカルシステム基礎

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
金宮好和	開講時期	③	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

情報システムと現実世界とのインタフェースに関する原理や設計方法として、計算機（サイバー空間）と実世界（フィジカル空間）をつなぎ、様々な情報処理を行う技術について理解し、基礎となる機器や駆動装置、それらを制御するための制御理論に加え、人間の認知特性、画像処理、対話手法などの特徴について学修し、今後の演習および実習を受講するための素養を養う。

【学習目標】

1．IoTデバイスに関する基礎知識を習得する。
2．デバイスとワンボードマイコンとの接続の基礎技術を習得する。
3．フィードバック制御及び制御理論の基礎を習得する。
4．画像処理と、表示技術の基礎を習得する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス　サイバーフィジカルシステムとは	1	
2	IoTの全体像と標準化	1・2	
3	センサとアクチュエータ	1・2	
4	IoTネットワーク	2	
5	IoT通信方式　IoTデバイスをネットワークに接続	2	
6	ロボティクス入門	2	
7	制御理論の基礎（伝達関数）	3	
8	制御理論の基礎（状態方程式）	3	
9	ロボットアームを制御する	2・3	
10	ロボットの運動解析	2・3	
11	物の形の計算機モデル	4	
12	VR・AR・MR	4	
13	画像処理デバイスとその制御	4	
14	画像処理デバイスを接続する	4	
15	画像の認識	4	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。演習用パソコンの画面を最大限活用しなくてはならないので、講義資料は印刷して持参することを推奨します。また、授業のなかで紹介した文献、資料による復習を重視してください。			

【評価方法】

適時実施する小テスト（50%）
最終試験（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：OSの基本的機能、情報処理システムの動作に関する基礎知識を前提とするため「オペレーティングシステム」の単位を修得済みの者。

授業科目　　Ｉｏｔ演習

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
磯西徹明	開講時期	②	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

ＩｏＴ（Internet of Things）とは、従来インターネットに接続されていなかった様々なセンサー機器、駆動装置、建物、車、電子機器などのモノが、ネットワークを通じてサーバーやクラウドサービスに接続され、相互に情報交換をする仕組みであることについて理解するとともに、ＩｏＴを実現するハードウェア、アプリケーション、ネットワークと多種のインターフェースについて、ワンボードマイコンを用いた演習を通して学修する。

【学習目標】

１．IoTデバイスに関する基礎知識を習得する。
２．IoT通信方式について無線方式や通信プロトコルを理解する。
３.ワンボードマイコンと各種入出力デバイスを組み合わせた自作システムで、プログラムを書き込み制御動作を確認することで、基本単位のIoTシステム構築に関係する技術を習得する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	IoT時代の新製品・サービス・コンポーネント	1	
2	IoTデバイス	1･3	
3	センサから情報を取得する	1･3	
4	IoTデバイス センサから情報を取得するためのセンサ回路	1･3	課題
5	IoT通信方式　IoTデバイスをネットワークに接続	1･2･3	
6	IoT通信方式　さまざまなデータソース	1･3	課題
7	IoTアーキテクチャ	1	
8	振り返り課題　IoTアーキテクチャの構成要素	1･2･3	課題
9	IoTデータ活用技術	2･3	
10	IoTデータ活用技術　データ収集・蓄積の基本と活用まで	2･3	課題
11	デバイスプラットフォーム	2･3	
12	デバイスプラットフォーム　サービス展開をするシステム	3	課題
13	最終課題演習①　課題の概要と行程の策定	1・2・3	
14	最終課題演習②　実装	1・2・3	
15	最終課題演習③　テスト	1・2・3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	IoTの基本・仕組み・重要事項が全部わかる教科書	八子 知礼, 杉山 恒司, その他	SBクリエイティブ	2017年10月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			

準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。演習用パソコンの画面を最大限活用しなくてはならないので、講義資料は印刷して持参することを推奨します。また、授業のなかで紹介した文献、資料による復習を重視してください。なお課題は事後学習においての宿題となります。

【評価方法】	【履修上の留意点】
適時提出を求める課題（50%） 最終レポート（50%）	履修条件：計算機と実世界との接続、制御に関する基礎知識を前提としていることから、「サイバーフィジカルシステム基礎」の単位を修得済みの者

授業科目　　Ｉｏｔ実習

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	情報学科
磯西徹明	開講時期	①	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	60

【概要】

Ｉｏｔ演習にて修得した、各種機器とネットワークにおいて相互に情報交換をする仕組みを基として、具体的に製造業等での利活用を想定し、Ｉｏｔ演習より大規模なＩｏＴの構築・管理・検証を、実習を通して体系的に学修する。センサなどを実装した多数のデバイスをネットワークに接続し、各デバイス・ネットワークのコントロール・マネジメントを実施し、収集したデータを分析・解析し、その結果から各デバイスが配置・設置された環境や内容の改善するための実習を行う。

【学習目標】

1．IoTシステムを通して現実世界から収集した様々なデータ蓄積に関する基礎知識を理解する。
2．IoTシステムとクラウドとの連携、および各種ライブラリの活用方法を理解する。
3．IoTデバイス、IoTゲートウェイ、IoTサーバの各種要素を組み合わせIoTシステムの構成を理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1（2コマ）	様々なセンサデバイスの仕様確認	1	
2（2コマ）	課題の提示とシステムの要件定義	1・2・3	
3（2コマ）	システムの要件定義（続き）	1・2・3	課題
4（2コマ）	工程の策定	1・2・3	
5（2コマ）	デバイスの接続	2・3	
6（2コマ）	デバイスの設定とデータ取得	2・3	
7（2コマ）	データ分析ツールの確認	2	課題
8（2コマ）	データベースの要件定義	2	
9（2コマ）	分析ソフトの要件定義	2・3	
10（2コマ）	分析ソフトのプログラミング	2・3	
11（2コマ）	分析ソフトのプログラミング（続き）	2・3	
12（2コマ）	分析ソフトの動作確認	2・3	課題
13（2コマ）	システムの総合テスト	1・2・3	
14（2コマ）	成果発表と評価	1・2・3	
15（2コマ）	セキュリティ対策の考察	1・2・3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			

準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。課題（提出物を伴う課題）は、基本的に授業内での作業ですが、課題に関するテーマ選択や素材探しは指示することがあります。なお課題は事後学習においての宿題となります。

【評価方法】

適時提出を求める課題（50%）
最終レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：ワンボードマイコンと各種入出力デバイスの制御、IoTシステム構築に関係する各要素技術を習得している必要があるため「Ｉｏｔ演習」の単位を修得済みの者
これまでの講義や演習で学んだ知識・技術を、実習を通して理解を深め自分のものにするよう努める。

授業科目　ハードウェア設計

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	情報学科
金宮好和	開講時期	②	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

コンピュータやスマートデバイス、各種センサー類を活用し、求められる機能・性能を実現するハードウェアの設計能力を修得する。ハードウェア設計技術者には、最新の技術を使った高性能な製品や、新しい発想を取り入れた魅力的な製品の開発が期待されていることから、設計が実際に製造・製作に用いることができるかどうかを検証するとともに、ロボットやIoTの実践・実習でも必要となる３Ｄスキャナ・３Ｄプリンター等の機器の利活用技法についても学修する。

【学習目標】

１．電気電子回路の原理・原則に関する知識を理解する。
２．電子機械の概要と役割の活用方法を理解する。
３．メカトロニクスの構成を理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス、電子機械の概要と役割と電気電子回路	1	講義
2	機械の機構と運動の伝達　基本的な機械要素	2	講義
3	センサとアクチュエータ　センサの基礎	2	講義・演習　課題
4	シーケンス制御　自動制御の種類	2	講義
5	電子機械設計　身近なメカトロニクス製品 ３Dプリンタと３Dスキャナ	3	講義
6	電気電子回路	1	講義・演習　課題
7	機械の機構と運動の伝達　基本的なメカニズム	2	演習
8	センサとアクチュエータ　おもなアクチュエータとその活用	2	演習
9	シーケンス制御　プログラマブルコントローラ	2	演習　課題
10	コンピュータ制御　コンピュータとインタフェース	3	演習
11	コンピュータ制御　外部機器の制御	3	演習
12	電子機械設計および制御系のソフトウェア技術	3	演習　課題
13	課題演習①　課題の概要と行程の策定	1･2･3	演習
14	課題演習②　実装	1･2･3	演習
15	課題演習③　テスト	1･2･3	演習

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	入門電子機械	安田 仁彦、田中泰孝、市川繁富、平井重臣、都筑順一	コロナ社	2016年11月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。演習用パソコンの画面を最大限活用しなくてはならないので、講義資料は印刷して持参することを推奨します。また、授業のなかで紹介した文献、資料による復習を重視してください。なお課題は事後学習においての宿題となります。			

【評価方法】

適時提出を求める課題（50%）
最終レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：関連の強い各種IoTデバイスに関する基礎知識を前提とするため「ＩｏＴ実習」の単位を修得済みの者

授業科目　ロボティクス実習

【担当教員名】	対象学年	4	対象学科	情報学科
金宮好和	開講時期	①・②	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	60

【概要】

製造・医療・広告・宅配等、様々な業種・業界でドローン・ロボットの利用が拡大され、求められる機能も多様化・複雑化がますます進むと考えられる中、ハードウェアの設計能力を基として、単腕ロボットやヒューマノイド型ロボットの運動制御、およびそのためのシステムインテグレーションを修得する。また、構造体・動力伝達部位などを構成するアクチュエータ・モーターの原理・機構や制御プログラミングなどについて学修する。

【学習目標】

1．ロボティクスのニーズと意義を理解する。
2．ロボットシステム技術と知能化技術の活用方法を理解する。
3．マン・マシンインタフェース技術の活用方法を理解する。
4．ロボティクスの構成を理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1（2コマ）	ガイダンス、ロボティクスとは	1	
2（2コマ）	ロボットの四肢	1	
3（2コマ）	回転キネマティクス①　座標変換、回転の構成	2	
4（2コマ）	回転キネマティクス②　オイラー軸、回転体の状態	2	課題
5（2コマ）	フォワードキネマティクス①　剛体運動の構成、断続的なリンク	2	
6（2コマ）	フォワードキネマティクス②　関節式位置決めサブチェーン	2	課題
7（2コマ）	インバースキネマティクス①　位置・姿勢の逆運動学	2	
8（2コマ）	インバースキネマティクス②　キネマティック冗長性	2	課題
9（2コマ）	ロボットダイナミクス①　剛体の運動方程式	3	
10（2コマ）	ロボットダイナミクス②　ロボットの運動方程式	3	課題
11（2コマ）	モーションコントロール①　モーションコントロールタスク	3	
12（2コマ）	モーションコントロール②　ワークスペースコントローラ	3	課題
13（2コマ）	課題実習①　課題の概要と行程の策定、課題の企画設計	4	
14（2コマ）	課題実習②　実装	4	
15（2コマ）	課題演習③　テスト　まとめと振り返り	4	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	英語で学ぶロボット工学	金宮 好和	コロナ社	2008年2月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。課題（提出物を伴う課題）は、基本的に授業内での作業ですが、課題に関するテーマ選択や素材探しは指示することがあります。なお課題は事後学習においての宿題となります。			

【評価方法】

適時提出を求める課題（50%）
最終レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：電気電子回路およびメカトロニクスに関する各要素技術を習得している必要があるため「ハードウェア設計」の単位を修得済みの者
これまでの講義や演習で学んだ知識・技術を、実習を通して理解を深め自分のものにするよう努める。

授業科目　没入型コンピューティング

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
江口将史	開講時期	④	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

没入型コンピューティングとは、ユーザーの五感を含む感覚を刺激する技術であることについて理解したうえで、仮想現実(VR)実装技術の修得から、その有効性・可能性をユーザー体験により学修する。更にセンサーやカメラ、入力デバイスなどの各種ハードウェアの取り扱いや、表現の違い、拡張現実(AR)、複合現実(MR)についての理解を深め、ＸＲコンテンツを制作するためのソフトウェア・コンテンツ開発技術を修得する。

【学習目標】

１．バーチャル・リアリティの基礎知識と構成する要素を理解する。
２．バーチャル・リアリティコンテンツの開発について理解する。
３．バーチャル・リアリティコンテンツ開発の要となるゲームエンジンについて理解する。
４．仮想世界にインタラクトするための一人称および三人称でのナビゲーションとユーザインタフェースの使い方を理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス、バーチャル・リアリティの基礎知識	1	講義
2	VRアプリケーション開発の概況	1	講義
3	ゲームエンジンの基本的な考え方	3	講義
4	ユーザーインターフェース　基本的概念	3	講義　課題
5	物理と環境とは	3	講義
6	ゲームエンジン 主要機能と操作	3	演習
7	ゲームエンジン スクリプト演習 スクリプトの基礎	3	演習　課題
8	ゲームエンジン スクリプト演習 オブジェクト間の連携	3	演習
9	物理と環境 リアルタイムシミュレーション	4	演習
10	レンダリング手法	4	演習　課題
11	ウォークスルーを実現するための要素	4	演習
12	ユーザーインターフェース　仮想空間・拡張空間における実装	4	演習　課題
13	最終課題演習①　課題の概要と行程の策定	1～4	演習
14	最終課題演習②　実装とテスト	1～4	演習
15	最終課題演習③　実装とテスト　まとめと振り返り	1～4	演習　最終課題とレポート

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	バーチャルリアリティ学	日本バーチャルリアリティ学会 編・発行	コロナ社	2011年1月
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。演習用パソコンの画面を最大限活用しなくてはならないので、講義資料は印刷して持参することを推奨します。また、授業のなかで紹介した文献、資料による復習を重視してください。なお課題は事後学習においての宿題となります。			

【評価方法】

適時提出を求める課題（50%）
最終レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：画像処理と表示技術、フィードバック制御に関する基礎知識を前提とするため「サイバーフィジカルシステム基礎」の単位を修得済みの者

授業科目　没入型コンピューティング実習

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
江口将史	開講時期	④	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	60

【概要】

没入型コンピューティングの学修内容であるハードウェア・ソフトウェア・コンテンツ各面の違いについて理解を基に、実際の業務・エンタテインメントでの利用を前提に、ユーザーの心理的・肉体的負担なども考慮したコンテンツの作成を行う。また、仮想現実(VR)、拡張現実(AR)、複合現実(MR)などの先端技術を総合的な学修により作成したコンテンツの発表会を行う。

【学習目標】

1．VRの考え方、システムの原理、社会との関連について理解する。
2．人間の認識と行動の仕組みなどのを理解する。
3．実世界と関連するVRの展開方法を理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1（2コマ）	ガイダンス、バーチャル・リアリティと社会	1	
2（2コマ）	バーチャル世界の構成手法とインタフェース	1	
3（2コマ）	レンダリング、シミュレーション	1	課題
4（2コマ）	リアルとバーチャルの融合―複合現実感―	3	
5（2コマ）	実世界情報提示技術、情報提示技術	3	
6（2コマ）	ユビキタスコンピューティング	3	課題
7（2コマ）	テレイグジスタンスと臨場感コミュニケーション	2	
8（2コマ）	臨場感コミュニケーション	2	
9（2コマ）	臨場感コミュニケーションのインタフェース	2	課題
10（2コマ）	ヒトと感覚①　脳神経系と感覚・運動	2	
11（2コマ）	ヒトと感覚②　視覚、聴覚、体性感覚	2	
12（2コマ）	ヒトと感覚③　前庭感覚と視覚の相互作用	2	課題
13（2コマ）	最終課題①　課題の概要と行程の策定	1・2・3	
14（2コマ）	最終課題②　実装	1・2・3	
15（2コマ）	最終課題③　テスト　まとめと振り返り	1・2・3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	バーチャルリアリティ学	日本バーチャルリアリティ学会 編・発行	コロナ社	2011年1月
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。課題（提出物を伴う課題）は、基本的に授業内での作業ですが、課題に関するテーマ選択や素材探しは指示することがあります。なお課題は事後学習においての宿題となります。			

【評価方法】

適時提出を求める課題（50%）
最終レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：ＶＲに係るアプリケーションおよびコンテンツ開発の基本知識を前提として実習を進めるため「没入型コンピューティング」の単位を修得済みの者
これまでの講義や演習で学んだ知識・技術を、実習を通して理解を深め自分のものにするよう努める。

授業科目　ユーザエクスペリエンス

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
石塚昭彦	開講時期	④	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

ユーザエクスペリエンスとは、製品やサービスの利用を通じてユーザーが得る経験であり、よいユーザエクスペリエンスを達成するための理論とプロセスや手法に関する知識について学修する。具体的には、ユーザーエクスペリエンスデザインが求められる背景、基礎知識、ユーザーエクスペリエンスデザインの要素と関係性、人間中心デザインプロセス、利用文脈とユーザー体験の把握、ユーザー体験のモデル化と体験価値の探索、プロトタイプの反復による製品・サービスの詳細化などについて、講義と演習により体系的に学修する。

【学習目標】

1．ユーザエクスペリエンスデザインが必要とされる背景と歴史的な観点からユーザーエクスペリエンスデザインを理解する。
2．ユーザエクスペリエンスデザインを構成する8つの要素と知識の全体像を理解する。
3．ユーザエクスペリエンスデザインを実践するためのプロセスとそれに関連する知識を理解する。
4．実践で役立つ手法、その考え方や実線方法について理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス　ユーザエクスペリエンスが求められる背景	1	講義
2	ユーザエクスペリエンスの要素と関係性	1	講義
3	ユーザ体験と利用文脈	2	講義　テスト
4	ユーザビリティ、人間中心デザインプロセス	2	講義
5	認知工学、人間工学、感性工学	2	講義　テスト
6	ガイドライン、デザインパターン	2	演習
7	利用文脈とユーザ体験の把握とモデル化	3	演習
8	コンセプトの作成と視覚化	3	演習　課題
9	プロトタイピングと反復、実装	3	演習
10	利用価値の伝達と実践の簡易化	3	演習　課題
11	利用文脈とユーザ体験把握の各種手法	4	演習
12	ユーザ体験のモデル化と体験価値探索の各種手法	4	演習　課題
13	アイデア発想とコンセプト作成の各種手法	4	演習
14	プロトタイピングと反復の各種手法	4	演習
15	プレゼンテーション	4	演習

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	UXデザインの教科書	安藤 昌也	丸善出版	2016年6月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。演習用パソコンの画面を最大限活用しなくてはならないので、講義資料は印刷して持参することを推奨します。また、授業のなかで紹介した文献、資料による復習を重視してください。なお課題は事後学習においての宿題となります。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
適時提出を求める課題(25%) 適時実施する小テスト（25%） 最終レポート（50%）	特になし。

授業科目　情報科学基礎

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
平川秀樹	開講時期	①・②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

情報をどのように表現し、伝送するか。情報を処理するとはどういうことか。これらを体系化した学問である「情報理論」と「離散数学」の基礎を学ぶことで、情報に関する専門分野を学修するための素養を養う。

【学習目標】

1．情報理論について理解する
2．離散数学について理解する

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	数の表現	1	
2	標本化と量子化	1	
3	情報量とエントロピー	1	
4	情報源	1	
5	情報源符号化	1	
6	通信路符号化	1	
7	線形符号	2	
8	集合・写像・関係	2	
9	論理と証明	2	
10	数え上げ	2	
11	グラフと木	2	
12	オートマトン	2	
13	正規表現	2	
14	計算量とチューリングマシン	2	
15	数論と暗号	1,2	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	はじめての情報理論	稲井 寛	森北出版	2011年7月
教科書（必ず購入する書籍）	IT Text離散数学	松原良太他	オーム社	2019年5月1日
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			

準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。

【評価方法】

適時実施する小テスト（50%）
最終試験（50%）

【履修上の留意点】

高等学校の数学Ⅰ、Ａで学んだ内容を身につけていることを確認すること

授業科目　知識表現・知識処理

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
堀川桂太郎	開講時期	①・②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

幅広い分野に渡る人工知能(AI)の体系および歴史を概観したうえで、その一つの柱である知識表現・知識処理の分野を取り上げ、記号論理、意味ネットワーク、フレーム理論等の理論を学ぶとともに、セマンティクWEB, OWL言語、プロダクションシステム等の応用技術を、演習を交えながら学ぶ。構文解析などの自然言語処理技術にも触れ、さらに具体的な知識表現・知識処理を学ぶための基礎力を養う。

【学習目標】

1．知識表現の手法を習得する。
2．知識処理の基礎を習得する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス、人工知能の概要と歴史	1･2	
2	知識の表現	1	
3	系統的探索法と発見的探索法	2	
4	問題分解法とゲーム探索	2	
5	記号論理	1	
6	推論と論理プログラム	2	
7	意味ネットワークとオントロジー	1	
8	フレーム理論	1	
9	セマンティックWEBとRDF	1	
10	OWL (Web Ontology Language)	1	
11	OWL、RDFによる知識表現演習	1	
12	プロダクションシステム	2	
13	プロダクションシステムを用いた推論演習	2	
14	形態素解析	2	
15	構文解析	2	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	人工知能の基礎	小林一郎	サイエンス社	2008年, 2,376円
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			

準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。演習用パソコンの画面を最大限活用しなくてはならないので、講義資料は印刷して持参することを推奨します。また、授業のなかで紹介した文献、資料による復習を重視してください。なお課題は事後学習においての宿題となります。

【評価方法】	【履修上の留意点】
適時提出を求める課題(50%) 最終レポート(50%)	履修条件：記号論理や探索等に係る基礎的概念を理解している必要があるため、「情報科学基礎」の単位を修得済みの者

授業科目　ＡＩ実習

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	情報学科
堀川桂太郎、平川秀樹	開講時期	①・②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	60

【概要】

知識表現・知識処理、統計学で習得した知識を元に、知識の表現、オントロジー技術、推論など、ＡＩの要素技術について、実社会において生成されたデータセットを活用して、データやプログラム・アプリケーションを作成する実習を通して技術・知識を習得する。具体的には、RDFやXMLを用いた知識表現、ウェブ・オントロジー言語ユースケース、共通辞書の活用、SPARQLによる検索などを行う。

【学習目標】

１．RDF・XMLによる知識表現技法について理解する
２．オントロジという概念およびオントロジ表現について理解する
３．オープンデータの検索・加工の各種技法について理解する

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1 (2コマ)	RDFによる知識表現 (1) RDFの基礎	1	
2 (2コマ)	RDFによる知識表現 (2) 避難所データをRDFで記述する	1	
3 (2コマ)	RDFによる知識表現 (3) Linked Dataを構築する	1	
4 (2コマ)	XMLによる知識表現 (1) 文法と基本構文	1	課題
5 (2コマ)	XMLによる知識表現 (2) XSLTによる構造変換	1	
6 (2コマ)	OWLによるオントロジ表現 (1) 基本構造	2	課題
7 (2コマ)	OWLによるオントロジ表現 (2) クラスの設計	2	
8 (2コマ)	OWLによるオントロジ表現 (3) 博物館情報の記述	2	課題
9 (2コマ)	共通辞書の活用 (DC, FOAF, SKOS等)	3	
10 (2コマ)	論理プログラミング	3	課題
11 (2コマ)	SPARQLによる検索 (1) SPARQLの構文	3	
12 (2コマ)	SPARQLによる検索 (2) Linked Dataを検索してみる	3	課題
13 (2コマ)	SPARQLによる検索 (3) 複雑な質問の設計	3	
14 (2コマ)	オントロジに基づく推論(1) 情報家電のオントロジー記述	2	
15 (2コマ)	オントロジに基づく推論(2) 情報家電の購入支援	2	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	なし			
参考書	オントロジ技術入門	将来型文書統合システム標準化調査研究委員会	東京電機大学出版局	2005年9月　2200円
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。課題（提出物を伴う課題）は、基本的に授業内での作業ですが、課題に関するテーマ選択や素材探しは指示することがあります。なお課題は事後学習においての宿題となります。			

【評価方法】

適時提出を求める課題（50%）
最終レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：知識の表現に係る理論を理解していることを前提として実習を進めるため「知識表現・知識処理」の単位を修得済みの者
これまでの講義や演習で学んだ知識・技術を、実習を通して理解を深め自分のものにするよう努める。

授業科目　マシンラーニング

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	情報学科
平川秀樹	開講時期	②	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

マシンラーニング（機械学習）とは、人工知能における研究課題の一つで、人間が自然に行っている学習能力と同様の機能を、コンピュータで実現しようとする技術・手法であることについて理解するとともに、AI技術の一つであるマシンラーニングについて、演習を通して学修する。また、マシンラーニングによる特徴表現学習についての理解を深めると同時に、Linux・Python・オープンソースなどを用いて、自ら実行環境の設計・構築を行えるスキルを修得する。

【学習目標】

１．機械学習の理解に必要な数学、ニューラルネットワークの基礎について理解する。
２．畳み込みニューラルネットワークや回帰結合型ニューラルネットワークなどの確立した手法とその応用法を理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス、マシンラーニングとは	1	講義
2	勾配に基づく最適化	1	講義
3	機械学習の基礎	1	講義
4	学習アルゴリズム	1	講義
5	確率的勾配降下法	1	講義
6	機械学習アルゴリズムの構築	1	演習
7	深層ネットワーク　現代的な実践	1	演習　課題レポート
8	深層順伝播型ネットワーク　XOR学習	2	演習
9	深層順伝播型ネットワーク　勾配に基づく学習	2	演習
10	深層学習のための正則化の考察	2	演習
11	深層モデルの訓練のための最適化	2	演習
12	畳み込みネットワーク　全体の構造と構築	2	演習　課題レポート
13	畳み込みネットワーク　物体カテゴリ認識の実例	2	演習
14	再帰型ネットワーク　ＲＮＮの構造の構造と構築	2	演習
15	再帰型ネットワーク　時系列データの実例	2	演習

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	深層学習	監訳 松尾　豊	KADOKAWA	2018年8月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。演習用パソコンの画面を最大限活用しなくてはならないので、講義資料は印刷して持参することを推奨します。また、授業のなかで紹介した文献、資料による復習を重視してください。なお課題・レポートは事後学習においての宿題となります。			

【評価方法】

適時提出を求めるレポート（25%）
適時提出を求める課題(25%)
最終レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：情報理論、離散数学の知識、及び知識表現の実践的知識を前提とするため「情報科学基礎」「知識表現・知識処理」の単位を修得済みの者

授業科目　マシンラーニング実習

【担当教員名】	対象学年	4	対象学科	情報学科
平川秀樹	開講時期	①・②	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	60

【概要】

マシンラーニングの内容を踏まえ、商用分野におけるアプリケーションに、機械学習がどのように利用されているかを理解するとともに、本格的なAIアプリケーションに必要とされる大規模ニューラルネットワークの実装とその応用法を理解する。主に、大規模深層学習、音声認識、自然言語処理、その他AI活用などの実アプリケーションの実装を通し、自ら実行環境の設計・構築を行えるスキルを養成する。

【学習目標】

1．商用分野におけるアプリケーションに機械学習がどのように利用されているか理解する。
2．本格的なAIアプリケーションに必要とされる大規模ニューラルネットワークの実装とその応用法を理解する。
3．より野心的で先進的な機械学習アプローチについて理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1（2コマ）	ガイダンス、マシンラーニングのアプリケーションとは	1	
2（2コマ）	大規模深層学習　大規模分散処理を利用した実装	1	
3（2コマ）	大規模深層学習　モデル圧縮、動的構造	1	
4（2コマ）	大規模深層学習　専用ハードウェアによる実装	1	課題
5（2コマ）	音声認識　音声認識システムの設計	2	
6（2コマ）	音声認識　モデリング	2	
7（2コマ）	音声認識　より大型で深いモデル	2	課題
8（2コマ）	自然言語処理　ニューラル言語モデル	2	
9（2コマ）	自然言語処理　高次元の出力	2	
10（2コマ）	自然言語処理　機械翻訳	2	課題
11（2コマ）	その他のアプリケーション　推薦システム	2	
12（2コマ）	その他のアプリケーション　知識表現、推論	2	
13（2コマ）	その他のアプリケーション　質問応答	2	課題
14（2コマ）	深層学習の研究①　テーマ発表、課題の概要と行程の策定	3	
15（2コマ）	深層学習の研究②　実装とテスト	3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。課題（提出物を伴う課題）は、基本的に授業内での作業ですが、課題に関するテーマ選択や素材探しは指示することがあります。なお課題は事後学習においての宿題となります。			

【評価方法】

適時提出を求める課題（50%）
最終レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：機械学習およびニューラルネットワークの開発に関する各要素技術を習得している必要があるため「マシンラーニング」の単位を修得済みの者

授業科目　ICT演習（ハードウェア/ソフトウェア）

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
PANN YU MON	開講時期	②	必修･選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【概要】

ＩＣＴ分野におけるハードウェア・ソフトウェアを理解し、より複雑なＩＣＴ環境をサポートする際に必要となるスキルと知識を体系的に学修する。具体的にはPCやモバイル機器、ノートPCといったハード面、オペレーティングシステムといったソフト面、またプリンターなどの周辺機器に関連した運用・管理メンテナンス、ネットワーク、セキュリティの基礎を理解し、スキル・知識・適切なトラブルシューティングスキルの修得を目指す。

【学習目標】

1．デバイス、ソフトウェアをユーザのニーズに合わせて構成、設定、メンテナンスに関することを理解する。
2．ネットワーク、セキュリティ/フォレンジックに関することを理解する。
3．適切にトラブルシューティングスキルおよび顧客サポートすることができる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	PCマザーボードの構造と周辺デバイスの接続	1	
2	Wi-Fiの基本設定とセキュリティ管理	2	
3	オペレーティングシステムの基本設定	1	
4	プリンタ機器の接続と設定	1	
5	暗号化と認証	2	
6	ルーターの基本設定とログの確認	2	
7	バックアップとリストア	2	
8	トラブルシューティングの手順と文書化	3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料等を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。なお課題は事後学習においての宿題となります。			

【評価方法】

適時提出を求める課題（50%）
最終レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：ハードウェア・ソフトウェアに関する基礎知識を前提とする演習であるため「オペレーティングシステム」「コンピュータアーキテクチャ」の単位を修得済みの者

授業科目　ICT演習（セキュリティ）

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
西川浩平	開講時期	④	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

セキュリティインシデントに対応するためのセキュリティ概念、ツール、対応手順に関連する知識やスキルを修得するとともに、セキュリティインシデントの発生を予防するため定期的、日常的に実施されるべき運用セキュリティ、セキュリティの脅威や脆弱性についての知識やスキルを体系的に学修する。具体的には、ネットワークセキュリティ、コンプライアンスと運用セキュリティ、脅威と脆弱性、アプリケーション、データ、ホスティングセキュリティ、アクセスコントロール、認証マネジメント、暗号化などのスキルや知識を修得する。

【学習目標】

1．OS,ネットワーク機器におけるセキュリティ設定について実装することができる。
2．リスクに関連する概念の重要性を説明することができる。
3．マルウェアの各種タイプを解析、分類することができる。
4．アプリケーションセキュリティの重要性を説明することができる。
5．認証プロトコルの目的と機能を理解し、実装することができる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	情報資産の分類	2	
2	管理すべき情報機器	2	
3	リスクのリストアップ	2,3	
4	攻撃方法の分類	2,3	
5	セキュリティ管理計画の作成	2	
6	ソフトウエアの脆弱性チェック	4	
7	ＯＳアカウントポリシの基本設定(Windows)	1	
8	ＯＳアカウントポリシの基本設定(Linux)	1	
9	ログの取得と分析	1	
10	鍵ペアの生成と電子証明書の設定	1,5	
11	暗号化と鍵管理の設定と運用管理	1	
12	認証プロトコルの設定	1,5	
13	ファイアウォールの設定	1	
14	プロキシサーバの運用管理	1	
15	侵入検知システムの運用管理	1,3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	Security+　テキスト	TAC IT講座	TAC IT講座	2015年6月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。なお課題は事後学習においての宿題となります。			

【評価方法】

適時提出を求める課題（50%）
最終レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：セキュリティおよびセキュリティインシデントに関する基礎知識を前提とする演習であるため「サイバーセキュリティ演習」の単位を修得済みの者

授業科目　ICT演習（基本情報）

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
PANN YU MON	開講時期	④	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

高度IT人材となるために必要な基本的知識・技能をもち、基本戦略立案又はITソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事し、上位者の指導の下に次のいずれかの役割を果たす際に、必要となるスキルと知識を体系的に学修する。企業経営、社会システムが直面する課題に対して、情報技術を活用した戦略を立案し、システムの設計・開発を行い、又は汎用製品の最適組合せ（インテグレーション）によって、信頼性・生産性の高いシステムを構築、また、その安定的な運用サービスの実現について学修する。

【学習目標】

１．需要者（企業経営、社会システム）が直面する課題に対して、情報技術を活用した戦略立案に関することを理解する。
２．システムの設計・開発、又は汎用製品の最適組合せによって、信頼性・生産性の高いシステム構築を理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	数値の内部表現	1	
2	演算の誤差とその評価	1	
3	組合せ回路と順序回路	1	
4	オートマトンによる状態遷移記述	1	
5	正規表現、ＢＮＦによる記号列の生成	1	
6	逆ポーランド記法による数式記述	1	
7	磁気ディスク装置の構成と性能評価	2	
8	クライアントサーバシステムの事例研究	1・2	
9	システムの性能評価	2	
10	システムの信頼性評価	2	
11	E-R図によるデータモデル化	2	
12	３層スキーマによるデータベース設計	2	
13	要求分析と要求定義	2	
14	BPR(Business Process Re-engineering)の事例	2	
15	CSR(Corporate Xocial Responsibility)の事例	1・2	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	徹底攻略 基本情報技術者教科書 平成30年度	瀬戸美月	インプレス	2017年11月
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や参考書等を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。なお課題は事後学習においての宿題となります。			

【評価方法】

適時提出を求める課題（50%）
最終レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：システムの設計・開発に関する演習であるため、その前提理解となる「オペレーティングシステム」「コンピュータアーキテクチャ」「データベース演習」の単位を修得済みの者

授業科目　ICT演習（クラウド）

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	情報学科
西川浩平	開講時期	①	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

クラウドの運用やクラウドサービスの提供など、クラウド環境で業務を実行するエンジニアが必要とされる、セキュアなクラウド環境の実装と、運用スキルとベストプラクティスへの理解とともに、クラウドの運用やクラウドサービスの提供など、クラウド環境で業務を実行するエンジニアが必要とされる、知識や技術を体系的に学修する。具体的には、クラウドのコンポーネントとモデル、仮想化、インフラストラクチャ、リソースマネジメント、セキュリティ、システムマネジメント、クラウドを活用した事業継続などのスキルや知識を修得する。

【学習目標】

1．ラウドの運用やクラウドサービスの提供に関することを理解する。
2．クラウド環境で業務を実行するITエンジニアが必要とされるスキルとベストプラクティスを理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	SaaSの事例と特徴の調査	1	
2	PaaSの事例と特徴の調査	1	
3	IaaSの事例と特徴の調査	1	
4	シナリオに基づく要件定義（1）　クラウド展開モデル	1	
5	シナリオに基づく要件定義（2）　サイジング	1	
6	シナリオに基づく要件定義（3）　ネットワーク	1	
7	シナリオに基づく要件定義（4）　認証とアクセス管理	1	
8	シナリオに基づく要件定義（5）　セキュリティ	1	
9	シナリオに基づく要件定義（6）　災害復旧・事業継続性	1	
10	シナリオに基づくシステム設定（1）　クラウド展開モデル	2	
11	シナリオに基づくシステム設定（2）　サイジング	2	
12	シナリオに基づくシステム設定（3）　ネットワーク	2	
13	シナリオに基づくシステム設定（4）　認証とアクセス管理	2	
14	シナリオに基づくシステム設定（5）　セキュリティ	2	
15	シナリオに基づくシステム設定（6）　災害復旧・事業継続性	2	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	Cloud+ テキスト	TAC IT講座	TAC IT講座	2014年8月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。なお課題は事後学習においての宿題となります。			

【評価方法】

適時提出を求める課題（50%）
最終レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：クラウドの運用やクラウドサービスの提供に関する演習であるため、その前提理解となる「クラウド技術概論」を履修していることが望ましい

授業科目　ICT演習（応用情報）

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	情報学科
柄沢直之	開講時期	②	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

高度IT人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、基本戦略立案、又はITソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事し、独力で次のいずれかの役割を果たす際に、必要となるスキルと知識を体系的に学修する。企業経営、社会システムなどの需要者が直面する課題に対して、情報技術を活用した戦略の立案、システムの設計・開発を実施し、又は汎用製品の最適組合せ（インテグレーション）による信頼性・生産性の高いシステムの構築、また、その安定的な運用サービスの実現について学修する。

【学習目標】

1．システムの設計・開発、又は汎用製品の最適組合せによって、信頼性・生産性の高いシステム構築を理解する。
2．構築されたシステムの安定的な運用サービス実現に関することを理解する。
3．需要者（企業経営，社会システム）が直面する課題に対して，情報技術を活用した戦略の立案に関することを理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	数値演算の誤差	1	
2	基本アルゴリズムの性能評価	1	
3	プログラミングパラダイムの比較	1	
4	UMLによる仕様記述	1	
5	CPUアーキテクチャの比較	1	
6	入出力インタフェースの比較	1	
7	RAID方式の比較	1	
8	故障率の検討	2	
9	応答時間、スループットの見積もり	2	
10	ファイルシステムの比較検討	1・2	
11	OSSライセンスの比較検討	2・3	
12	ユーザビリティの評価	2	
13	データベース方式の特徴比較	3	
14	PPM(Product Portfolio Management)の事例研究	3	
15	OR(Operations Research)の事例研究	3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	徹底攻略 応用情報技術者教科書 平成30年度	瀬戸美月	インプレス	2017年11月
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や参考書等を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。なお課題は事後学習においての宿題となります。			

【評価方法】

適時提出を求める課題（50%）
最終レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：システムの設計・開発に関する演習であるため、その前提理解となる「オペレーティングシステム」「コンピュータアーキテクチャ」「データベース演習」の単位を修得済みの者

授業科目　ICT演習（IoT）

【担当教員名】	対象学年	4	対象学科	情報学科
金宮好和	開講時期	①	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

ＩｏＴに関し、技術的な視点だけでなく、マーケティングやサービスの提供、ユーザーの視点から必要となるカテゴリ、スキル要件などを網羅し、それぞれの立場でＩｏＴを企画・開発・利用するために必要なスキルと知識を体系的に学修する。具体的には、戦略とマネジメント、産業システムと標準化、法律、ネットワーク、デバイス、プラットフォーム、データ分析、セキュリティなどのスキルや知識を修得する。

【学習目標】

1．IoTの技術的な視点だけでなく、マーケティングやサービスの提供に関することを理解する。
2．IoTを企画・開発・利用するために必要な知識を理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	シナリオに基づく要件定義（1）　人流の把握	1	
2	シナリオに基づく要件定義（2）　交通制御	1	
3	シナリオに基づく要件定義（3）　社会インフラのメンテナンス	1	
4	シナリオに基づく要件定義（4）　防犯	1	
5	シナリオに基づく要件定義（5）　ビル管理	1	
6	シナリオに基づく要件定義（6）　Factory Automation	1	
7	シナリオに基づく要件定義（7）　自由課題	1	
8	IoT用センサーの事例研究	2	
9	IoT用ネットワークの設計	2	
10	データ分析手法の事例検討	2	
11	セキュリティ脅威と対策の検討	2	
12	プライバシ問題の検討	2	
13	データの価値と流通についての検討	1	
14	IoTビジネスモデルの検討	1	
15	スマート社会へ向けた課題の検討	1	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	IoTの全てを網羅した決定版 IoTの教科書	末石吾朗、江崎寛康、森崇人、中山祐輝、林憲明	日経BP社	2017年8月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。なお課題は事後学習においての宿題となります。			

【評価方法】

適時提出を求める課題（50%）
最終レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：IoTについて企画・開発・利用に関する演習であるため、その前提理解となる「サイバーフィジカルシステム基礎」の単位を修得済みの者
また「ＩｏＴ実習」を履修していることが望ましい

授業科目　ICT演習（マシンラーニング）

【担当教員名】	対象学年	4	対象学科	情報学科
平川秀樹	開講時期	①	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

マシンラーニング技術の可能性と限界を正しく理解し、事業に活用するための知識を体系的に学修する。ディープラーニングを含むさまざまな機械学習技術に加え、ディープラーニングをベースにしたAIの技術的発展とその社会応用、法制度やプライバシー、倫理面の問題など、人工知能、機械学習、ディープラーニングに関する俯瞰的な理解をもつことで、経営層に対し適切な活用方針を提案し事業応用を可能とするような能力を養成する。

【学習目標】

1．ディープラーニングの基礎知識を有し、適切な活用方法を決定して事業応用する能力を身につける。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	事例研究　チューリングテスト	1	
2	教師あり学習の事例研究（1）線形回帰	1	
3	教師あり学習の事例研究（2）ロジスティック回帰	1	
4	教師あり学習の事例研究（3）ランダムフォレスト	1	
5	教師あり学習の事例研究（4）サポートベクタマシン	1	
6	教師なし学習の事例研究（1）主成分分析	1	
7	教師なし学習の事例研究（2）k平均法	1	
8	データの正規化	1	
9	画像データの扱い	1	
10	応用事例研究（1）不良品検出	1	
11	応用事例研究（2）画像診断	1	
12	応用事例研究（3）介護支援	1	
13	応用事例研究（4）需要予測	1	
14	応用事例研究（5）物流最適化	1	
15	応用事例研究（6）レコメンド	1	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	ディープラーニング G検定公式テキスト	浅川伸一、江間有沙、工藤郁子、巣籠悠輔、瀬谷啓介、松井孝之、松尾豊	翔泳社	2018年10月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。なお課題は事後学習においての宿題となります。			

【評価方法】

適時提出を求める課題（50%）
最終レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：機械学習およびディープラーニングの設計・開発に関する演習であるため、その前提理解となる「ＡＩ実習」を修得済みの者
また「マシンラーニング」を履修していることが望ましい

授業科目　ICT演習（セキュリティスペシャリスト）

【担当教員名】	対象学年	4	対象学科	情報学科
髙嶋洋一	開講時期	②	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

セキュリティ機能の企画・要件定義・開発・運用・保守を、推進又は支援する業務、若しくはセキュアな情報システム基盤を整備する業務に従事し、次の役割を果たす際に必要となるスキルと知識を体系的に学修する。①情報システムの脅威・脆弱性を分析、評価し、これらを適切に回避、防止するセキュリティ機能の企画・要件定義・開発を推進又は支援する。②情報システム又はセキュリティ機能の開発プロジェクトにおいて、情報システムへの脅威を分析し、プロジェクト管理を適切に支援する。

【学習目標】

1．情報システムの脅威・脆弱性を分析、評価し、これらを適切に回避、防止するセキュリティ機能の企画・要件定義・開発を支援する。
2．情報システム又はセキュリティ機能の開発プロジェクトにおいて、情報システムへの脅威を分析し、プロジェクト管理を適切に支援する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	情報セキュリティマネジメントにおけるPDCA	1～2	
2	ISMS適合へ向けた作業	1～2	
3	セキュリティ脅威の分類	1	
4	サイバー攻撃手法の分類	1	
5	ポートスキャンの実態	1	
6	バッファオーバフロー対策	1	
7	セッションハイジャック対策	2	
8	DNS脆弱性への対策	1～2	
9	マルウェアの検出	2	
10	リスクの構成要素と損失評価	2	
11	システムログの取得と分析（OSのログ）	2	
12	システムログの取得と分析（ファイアウォールのログ）	2	
13	システム開発工程の見直し	2	
14	事業継続計画の策定	1～2	
15	個人情報保護法への対応	1～2	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	情報処理教科書 情報処理安全確保支援士 2018年版	上原孝之	翔泳社	2017年11月
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や参考書等を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。なお課題は事後学習においての宿題となります。			

【評価方法】

適時提出を求める課題（50%）
最終レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：高度セキュリティ機能の企画・要件定義・開発・運用・保守に関する演習であるため、その前提理解となる「サイバーセキュリティ実習」の単位を修得済みの者

授業科目　ICT演習(組込システム)

【担当教員名】	対象学年	4	対象学科	情報学科
金宮好和	開講時期	④	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

自動車、家電、モバイル機器などに搭載する組込みシステムについて、次のいずれかの役割を果たす際に必要となるスキルと知識を体系的に学修する。①組込みシステムを対象として、機能仕様とリアルタイム性を最適に実現するハードウェアとソフトウェアのトレードオフに基づく機能分担を図り、設計書・仕様書の作成を実施する。②組込みシステム開発における各工程の作業を、主導的に実施する。③特定の技術・製品分野についての高度で専門的な知識・開発経験を基に、開発する当該分野の専門家から技術上の知識を獲得して、開発の各工程に反映させる。

【学習目標】

1．組込システムの企画・要件定義・開発に関することを理解する。
2．組込システムの運用・保守に関することを理解する。
3．組込システム技術に関することを理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	シナリオに基づく要件定義（1）CPU仕様	1	
2	シナリオに基づく要件定義（2）入出力インタフェース	1	
3	シナリオに基づく要件定義（3）ネットワーク	1	
4	シナリオに基づく要件定義（4）ソフトウエア	1	
5	シナリオに基づく要件定義（4）テスト環境	1･2	
6	事例研究：静止画及び動画を撮影するドローンの運用	1･2･3	
7	事例研究：道路などの冠水を防ぐシステム	1･2･3	
8	事例研究：観光案内用ロボット	1･2･3	
9	事例研究：カーオーディオシステム	1･2･3	
10	事例研究：食券自動販売機	1･2･3	
11	事例研究：病院内資料配送システム	1･2･3	
12	事例研究：LEDを用いたイルミネーションシステム	1･2･3	
13	事例研究：缶飲料を製造するスマート工場	1･2･3	
14	事例研究：複数の駐車場を管理するシステム	1･2･3	
15	事例研究：スマートグリッド	1･2･3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	なし			
参考書	情報処理教科書 エンベデッドシステムスペシャリスト	松原敬二、牧隆史	翔泳社	2018年9月
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や参考書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。なお課題は事後学習においての宿題となります。			

【評価方法】

適時提出を求める課題（50%）
最終レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：組込システムの企画・要件定義・開発・運用・保守に関する演習であるため、その前提理解となる「サイバーフィジカルシステム」の単位を修得済みの者
また「ロボティクス実習」を履修していることが望ましい

授業科目　ICT演習（データベーススペシャリスト）

【担当教員名】	対象学年	4	対象学科	情報学科
鈴木源吾	開講時期	④	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

データ資源、及びデータベースを企画・要件定義・開発・運用・保守する業務に従事し、次の役割を果たす際に必要となるスキルと知識を体系的に学修する。①データ管理者として、情報システム全体のデータ資源を管理する。②データベースシステムに対する要求を分析し、効率性・信頼性・安全性を考慮した企画・要件定義・開発・運用・保守を実施する。③個別システム開発の企画・要件定義・開発・運用・保守において、データベース関連の技術支援を実施する。

【学習目標】

1．データベース技術の動向を広く見通し、目的に応じて適用可能な技術を選択できる。
2．データ資源管理の目的と技法を理解し、データ部品の標準化、リポジトリシステムの企画・要件定義・開発・運用・保守ができる。
3．データモデリング技法を理解し、利用者の要求に基づいてデータ分析を行い、正確な概念データモデルを作成できる。
4．データベース管理システムの特性を理解し、高品質なデータベースの企画・要件定義・開発・運用・保守ができる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	事例解析：コピー機の販売管理システム　業務要件の分析と、リレーションシップの設定、サブタイプの設定	1・2・3	
2	事例解析：コピー機の販売管理システム　ビジネス要件の変化に対応したデータベース設計の拡張	1・2	
3	事例解析：人事管理データベース　SQLの実装、テーブル変更手順設計	1・2	
4	業務システムの見直し　データベースの物理設計から実装	2・3	
5	事例解析：経費精算システムのスケールアウト　論理データモデルの理解と物理データベース設計	1・3	
6	事例解析：経費精算システムのスケールアウト　必要なストレージ容量の算出	2・4	
7	事例解析：経費精算システムのスケールアウト　性能見積もり、評価	2・4	
8	事例解析：経費精算システムのスケールアウト　クラウドサービスの比較・選定	2・4	
9	事例解析：製菓ラインのメーカ　概念データモデリング	3	
10	演習問題：エンティティタイプ及び関係スキーマ分析	3	
11	演習問題：未完成の概念スキーマモデルを完成させる エンティティタイプ	3	
12	演習問題：未完成の関係スキーマを完成させる	3	
13	演習問題：未完成の概念データモデルを完成させる リレーションシップ	3	
14	演習問題：データ所要量を求める	1～4	
15	演習問題：テーブル定義表を完成させる	1～4	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	データベーススペシャリスト2019年版	ITのプロ46	翔泳社	2018年9月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。なお課題は事後学習においての宿題となります。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
適時提出を求める課題（50%） 最終レポート（50%）	履修条件：データベース管理システムの企画・要件定義・開発・運用・保守に関する演習であるため、その前提理解となる「データベース演習」の単位を修得済みの者

授業科目　デザイン・シンキング概論

【担当教員名】 石塚昭彦	対象学年	1	対象学科	情報学科
	開講時期	③・④	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

デザインに必要となる考え方や手法等を駆使して課題解決手法や新しい商品・サービスを生み出す手法であるデザイン・シンキングの考え方を学修する。また、この考え方が考案された経緯など、基礎から他の解決手法を比較し学修する。この前提の理解を踏まえ、問題意識を持って自ら課題を発見し、その課題を解決するための手法やプロセス、チームでの課題解決に必要なチームワークやコミュニケーション力、ディベート力の必要性について学修する。

【学習目標】

1．デザインシンキングが必要とされている背景とビジネス視点のデザイン力を理解する。
2．デザインシンキングの基本知識とビジネスで実践するためのプロセスを理解する。
3．デザインシンキングのプロセスで役立つ手法とマインドセットを理解し、社会やビジネスで実践できる力を養う。
4．デザインシンキングによるグループワークの効果的な活用スキルを体得する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標 番号	学習方法･学習課題 又は備考･担当教員
1	デザインとは何か、デザインビジネスの基本を理解する ―ビジネスに生きるデザインの力を解説―	1	講義・ミニワークショップ
2	デザインシンキングの基本的な考え方を理解する ―デザインシンキングが注目される理由と基本的な考え方を解説―	2	講義・ミニワークショップ
3	デザインシンキングのメソッドと効果を理解する ―ビジネス事例からデザインシンキングの手法と効果を解説―	2	講義・ミニワークショップ
4	デザインシンキングのステップを学ぶ ステップ１「共感」① ・共感の意義と共感するためのマインドセットについて説明 ・共感のためのアプローチと手法を解説	3	講義・ミニワークショップ
5	ステップ１「共感」② ・「深いニーズを知る」体験ワークショップ（ICTサービス編）	3・4	グループワーク
6	ステップ２「問題定義」① ・問題を定義することの意義とマインドセットについて説明 ・意味のある問題定義のためのアプローチと手法を解説	3	講義・ミニワークショップ
7	ステップ２「問題定義」② ・「正しい問題を設定する」体験ワークショップ（ICTサービス編）	3・4	グループワーク
8	ステップ３「創造」① ・創造行為のテクニックとマインドセットについて説明 ・革新的なアイデアを創出するためのアプローチと手法を解説	3	講義・ミニワークショップ
9	ステップ３「創造」② ・「革新的な解決策を提供する」体験ワークショップ（ICTサービス編）	3・4	グループワーク
10	ステップ４「プロトタイプ」① ・プロトタイプを制作することの役割とマインドセットについて説明 ・アイデアを具現するためのアプローチと手法	3	講義・ミニワークショップ

11	ステップ４「プロトタイプ」② ・「考えるために作る」体験ワークショップ（ICTサービス編）	3・4	グループワーク
12	ステップ５「テスト」① ・アイデアを検証するポイントとマインドセットについて説明 ・再現性と妥当性を検証するためのアプローチと手法を解説	3	講義・ミニワークショップ
13	ステップ５「テスト」② ・「アイデアを評価する」体験ワークショップ（ICTサービス編）	3・4	グループワーク
14	デザインシンキングの展開について理解する ―ビジネススキルからライフスキルとしての展開について説明―	1・2	講義・ミニワークショップ
15	総括とレポート課題の説明	2・3	講義・ミニワークショップ

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	なし			
参考書	「21世紀のビジネスにデザイン思考が必要な理由」	佐宗　邦威	クロスメディア・パブリッシング	2015/8/1
	「デザイン×ビジネス　デザインとは何か？」	南雲　治嘉	クロスメディア・パブリッシング	2016/12/21
	「101デザインメソッド」	ヴィジェイ・クーマー	英治出版	2017/11/10
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や参考書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
グループワークレポート（50%） 最終レポート（50%）	特になし。

授業科目　ソーシャルデザイン実習

【担当教員名】	対象学年	4	対象学科	情報学科
渋谷修太	開講時期	①・②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	60

【概要】

1年次において学修した課題解決手法のひとつであるデザインシンキングの理論を基に、地域社会が抱える問題や課題に関する実際の事例にあてはめて、課題解決のためのプラン策定実習を行う。なお、実習の進め方としてはグループワーク、グループ討議、グループ発表を中心に進め、発表されたプランの中で教員・学生より高く支持された優秀なプランについては、実際の対象団体、自治体等へのプレゼンテーションも行う。

【学習目標】

1．本科目では，学校で展開される教育活動（授業）に限定されることなく、地域の日常全般に関わることを通じて、地域を取り巻く環境や課題の理解、学生自身の早期キャリアデザインを支援する観点から、キャリア意識形成及び課題解決の実践をねらいとする。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1（2コマ）	ガイダンス：フィールドワークの魅力	1	※第1回集中講座
2（2コマ）	地域の諸問題①（ワークショップ）	1	※第1回集中講座
3（2コマ）	地域の諸問題②（ワークショップ）	1	※第1回集中講座
4（2コマ）	フィールドワーク①（共感課題設定）	1	※第2回集中講座
5（2コマ）	フィールドワーク②（課題設定）	1	※第2回集中講座
6（2コマ）	フィールドワーク③（問題定義）	1	※第2回集中講座
7（2コマ）	フィールドワーク④（解決策の検討）	1	※第3回集中講座
8（2コマ）	フィールドワーク⑤（ヒアリング）	1	※第3回集中講座
9（2コマ）	フィールドワーク⑥（解決策の検討）	1	※第3回集中講座
10（2コマ）	地域諸問題への対応①（ワークショップ・創造）	1	※第4回集中講座
11（2コマ）	地域諸問題への対応②（ワークショップ・開発）	1	※第4回集中講座
12（2コマ）	地域諸問題への対応③（ワークショップ・プロトタイプ）	1	※第4回集中講座
13（2コマ）	プレゼンテーション	1	※第5回集中講座
14（2コマ）	ディスカッション	1	※第5回集中講座
15（2コマ）	まとめと振り返り	1	※第5回集中講座

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。課題（提出物を伴う課題）は、基本的に授業内での作業ですが、課題に関するテーマ選択や素材探しは指示することがあります。			

【評価方法】

ワークショップ学習レポート（50%）
フィールドワーク学習レポート（30%）
最終レポート（20%）

【履修上の留意点】

履修条件：課題解決を実践するための総合的な内容であるため「デザイン・シンキング実習Ⅱ」「ソーシャルデザインⅡ」「国際文化と伝統」「マーケティング実践」の単位を修得済みの者
これまでの講義や演習で学んだ知識・技術を、実習を通して理解を深め自分のものにするよう努める。

授業科目　デザイン・シンキング実習Ⅰ

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
石塚昭彦、森下昌代	開講時期	①	必修･選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【概要】

デザイン・シンキング概論にて修得した課題解決の各種手法を実践するため、少人数グループを作り、調査・情報収集を実施し、課題を見つけ、解決策を検討・実施評価するデザイン・シンキング手法を特にその後の課題解決案の検討を重視して実施する。有効と考えられる解決方法を、ブレインストーミングを基本にしながら積極的に各グループ内で検討し、解決策をビジュアル化・デザイン化して発表を実施する。
（オムニバス方式／全15回）
（６　石塚昭彦／7回）
大学生への新しいサービスの提案を課題として、方針の検討から計画の立案、調査、検討、実行、提案までの一連の流れについて学修する。
（３３　森下晶代／8回）
大学における新しいサービスの提案を課題として、方針の検討から計画の立案、調査、検討、実行、提案までの一連の流れについて学修する。

【学習目標】

１．デザインシンキングの５つのステップについて理解を深める。
２．デザインシンキングの活用による問題解決プロセスを体感して理解を深める。
３．効率的かつ効果的なグループワークのノウハウを取得する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	オリエンテーション ・実習の目的、ゴール、方法論 ・クイック実習（チームビルディング）	1	
2	実習① ・課題「大学生をハッピーにする新しいサービスを提案する」の説明 ・グループの方針検討、リサーチ計画の立案、フィールドワーク	1	
3	実習① ・リサーチ情報共有、解決課題に向けたビジョン検討	2・3	
4	実習① ・ビジョンコンセプトの策定、コンセプトカタログの作成	2・3	
5	実習① ・ビジョンコンセプトの発表	2・3	
6	実習① ・解決策のアイデア展開、プロトタイプ制作	2・3	
7	実習① ・サービスアイデアの発表、テスト計画の立案、まとめ	2・3	
8	実習② ・課題「大学の新しいサービスを提案する」の説明 ・グループの方針検討、リサーチ計画の立案、フィールドワーク	2・3	

9	実習② ・リサーチ情報共有、解決課題に向けたビジョン検討	2・3	
10	実習② ・ビジョンコンセプトの策定、コンセプトカタログの作成	2・3	
11	実習② ・ビジョンコンセプトの発表	2・3	
12	実習② ・解決策のアイデア展開、プロトタイプ制作、テスト計画の立案と実行	2・3	
13	実習② ・テストのフィードバック、アイデアのブラッシュアップ	2・3	
14	実習② ・提案サービスの発表	1	
15	総評、まとめと振り返り	1	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	なし			
参考書	「21世紀のビジネスにデザイン思考が必要な理由」	佐宗　邦威	クロスメディア・パブリッシング	2015/8/1
	「デザイン×ビジネス　デザインとは何か？」	南雲　治嘉	クロスメディア・パブリッシング	2016/12/21
	「101デザインメソッド」	ヴィジェイ・クーマー	英治出版	2017/11/10
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。課題（提出物を伴う課題）は、基本的に授業内での作業ですが、課題に関するテーマ選択や素材探しは指示することがあります。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
実習①レポート（30%） 実習②レポート（30%） 最終レポート（40%）	履修条件：デザインシンキングの基本知識とプロセス手法に関する基礎知識を前提とするため「デザイン・シンキング概論」の単位を修得済みの者 これまでの講義や演習で学んだ知識・技術を、実習を通して理解を深め自分のものにするよう努める。

授業科目　デザイン・シンキング実習Ⅱ

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	情報学科
石塚昭彦	開講時期	①	必修･選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【概要】

デザイン・シンキング概論およびデザイン・シンキング実習Ⅰにて修得した課題解決の各種手法を実践するため、少人数グループを作り、調査・情報収集を実施し、課題を見つけ、解決策を検討・実施・評価するデザイン・シンキング手法について、特にその後の課題解決案の検討を重視して実施する。またデザイン思考に必要とされる５つのプロセス「共感」「問題定義」「アイデア創造」「プロトタイプ」「テスト」を実践し、繰り返し体験することで、製品やサービスを完成へ導く技法を修得する。

【学習目標】

１．デザインシンキングの５つのステップを実践的に使いこなせる程に深く理解する。
２．デザインシンキングの問題解決プロセスを習得し、高度なビジネス応用ができる力を身に着ける。
３．効率的かつ効果的なグループワークのノウハウを取得する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	オリエンテーション ・実習の目的、ゴール、方法論 ・クイック実習（チームビルディング）	1	
2	実習① ・課題「企業の新規ビジネスとなる新しいサービスを提案する」の説明 ・グループの方針検討、リサーチ計画の立案、フィールドワーク	1	
3	実習① ・リサーチ情報共有、解決課題に向けたビジョン検討	2・3	
4	実習① ・ビジョンコンセプトの策定、コンセプトカタログの作成	2・3	
5	実習① ・ビジョンコンセプトの発表	2・3	
6	実習① ・解決策のアイデア展開、プロトタイプ制作	2・3	
7	実習① ・サービスアイデアの発表、テスト計画の立案、まとめ	2・3	
8	実習② ・課題「地域を活性化する新しいサービスを提案する」の説明 ・グループの方針検討、リサーチ計画の立案、フィールドワーク	2・3	
9	実習② ・リサーチ情報共有、解決課題に向けたビジョン検討	2・3	
10	実習② ・ビジョンコンセプトの策定、コンセプトカタログの作成	2・3	

11	実習② ・ビジョンコンセプトの発表	2・3	
12	実習② ・解決策のアイデア展開、プロトタイプ制作、テスト計画の立案と実行	2・3	
13	実習② ・テストのフィードバック、アイデアのブラッシュアップ	2・3	
14	実習② ・提案サービスの発表	1	
15	総評、まとめと振り返り	1	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	なし			
参考書	「21世紀のビジネスにデザイン思考が必要な理由」	佐宗　邦威	クロスメディア・パブリッシング	2015/8/1
	「デザイン×ビジネス　デザインとは何か？」	南雲　治嘉	クロスメディア・パブリッシング	2016/12/21
	「101デザインメソッド」	ヴィジェイ・クーマー	英治出版	2017/11/10
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。課題（提出物を伴う課題）は、基本的に授業内での作業ですが、課題に関するテーマ選択や素材探しは指示することがあります。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
実習①レポート（30%） 実習②レポート（30%） 最終レポート（40%）	履修条件：デザインシンキングの活用による問題解決プロセスの具体的な経験を前提とするため「デザイン・シンキング実習Ⅰ」の単位を修得済みの者 これまでの講義や演習で学んだ知識・技術を、実習を通して理解を深め自分のものにするよう努める。

授業科目　情報産業論

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
田代秀一	開講時期	①・②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

情報産業とは、情報の収集、整理、分析、加工、伝達等により、価値を生み出す産業であることについて解説するとともに、生活や産業のあらゆる場面は情報を基盤として成り立っており、情報産業の発展なしに、人類の発展は無いことについて理解する。また、技術や社会の進化の中で「情報」がどのように取り扱われてきたかを振り返るとともに、その発展の方向性や意義、課題について考察することで、情報産業の本質を理解し、それを活用し、未来を切り開く力を養成する。

【学習目標】

1．グローバルな視点から、情報産業の発展・変化とその意義及び問題点を理解する。
2．今の時代に求められるメディアリテラシーについて理解する。
3．情報通信技術と経済社会との関係について理解する。
4．情報産業の健全な発展を目指す政策について理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス　「情報産業」とはなにか	1	
2	コンピュータの発明と発展	1	
3	ソフトウエア産業	3	
4	通信技術の発達とインターネット	1	
5	オープンソース戦略	3	
6	ソーシャルメディアとネットコミュニティ	2	
7	プラットフォームビジネス	3	
8	ビッグデータ	2	
9	オープンデータとデータビジネス	4	
10	人工知能と社会	3	
11	情報産業と国際標準	4	
12	デジタルトランスフォーメーション	3	
13	情報産業の課題	4	
14	プレゼンテーション	1～4	
15	プレゼンテーション（今後の情報産業の展望）	1～4	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料等を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。なお課題は事後学習においての宿題となります。			

【評価方法】

適時提出を求める課題（50%）
最終レポート(50%)

【履修上の留意点】

特になし。

授業科目　国際文化と伝統

【担当教員名】 三上喜貴	対象学年	3	対象学科	情報学科
	開講時期	①・②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

日本文化はその発端から現在にいたるまで、他の文化との深い関わりのなかで成り立ってきたことについて理解するとともに、自らが属する文明の性格とその成立や歴史に関する基本的な認識を身に付ける。また、他国民とのかかわり合いを持つときに、摩擦や緊張が起りうることについて理解したうえで、グローバルな視点を深め、異文化理解を進めるために国際文化交流の基礎となる日本と世界の伝統文化や生活文化について学修する。

【学習目標】

1．グローバルな背景と歴史的な観点からコミュニケーションに関する理論・概論を理解する。
2．地域における文化の全体像を理解する。
3．国際文化交流の実践で役立つ手法、その考え方や実践方法について理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標 番号	学習方法･学習課題 又は備考･担当教員
1	ガイダンス　国際文化が求められる背景	1	
2	コミュニケーション概論	1	
3	イメージとステレオタイプ	1	
4	コミュニケーション・スタイル	1	課題レポート
5	非言語コミュニケーション	1	
6	対立と価値観	1	
7	カルチャーショックと異文化適応	1	課題レポート
8	地域と文化：ヨーロッパ	2	
9	地域と文化：アメリカ	2	
10	地域と文化：中南米	2	課題レポート
11	地域と文化：アジア	2	
12	地域と文化：オセアニア	2	
13	日本の伝統とは	2	課題レポート
14	多文化共生に向けて	3	
15	グローバルな視点とは	3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	言語天文台からみた世界の情報格差	三上喜貴、中平勝子、児玉茂昭	慶應義塾大学出版会	2014年10月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			

準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。なおレポートは事後学習においての宿題となります。

【評価方法】	【履修上の留意点】
適時提出を求めるレポート（50%） 最終試験（50%）	履修条件：グローバルな視点と、情報通信技術と経済社会との関係に関する基礎知識を前提とするため「情報産業論」の単位を修得済みの者

授業科目　マーケティング

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
宮元万菜美	開講時期	①・②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

現代社会の中で企業などの組織を、より良い形で運営していくには、マーケティングの発想が不可欠となっていることの理解及び市場を起点に物事を発想するマーケティングの基礎概念・基礎的知識を修得する。企業戦略とマーケティング・プロセス、マーケティング・リサーチと情報システム、消費者の購買行動、企業の購買行動、マーケティング戦略の展開とマーケティング・ミックス、製品ライフサイクル戦略、価格設定の課題と戦略の基本などマーケティングの基礎を修得する。

【学習目標】

1．マーケティングとは何かを理解する。
2．戦略計画とマーケティングの関係を理解する。
3．消費者の購買行動および企業の購買行動を理解する。
4．マーケティングの基本概念「セグメンテーション」、「ターゲティング」、「ポジショニング」に立脚したマーケティングの諸要素を理解する。
5．マーケティングの4つのP（商品、価格、流通チャネル、プロモーション）と各戦略のあり方について理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス（講義概要・進め方、評価のポイントなど）	1	講義
2	マーケティング戦略	1	講義
3	マーケティングのための情報収集	1	講義
4	顧客価値、顧客満足、顧客ロイヤルティ	2	講義　課題レポート
5	消費者市場の分析	2	講義
6	ビジネス市場	2	講義　課題レポート
7	市場の細分化	3	講義
8	ターゲティングとポジショニング	4	講義・演習　課題レポート
9	商品戦略	4	演習
10	価格設定戦略	4	演習　課題レポート
11	流通チャネルと物流マネジメント	4	演習
12	マーケティング・コミュニケーション	5	演習　課題レポート
13	広告・販売促進・広報	5	演習
14	ダイレクト・マーケティングと人的販売	5	演習
15	グローバル市場／まとめと振り返り	5	講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料等を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。なおレポートは事後学習においての宿題となります。			

【評価方法】

適時提出を求めるレポート(50%)
最終レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：マーケティング戦略の構築における社会心理・消費者行動に関する基礎知識を前提とするため「社会心理・消費者行動」の単位を修得済みの者

授業科目　社会心理・消費者行動

【担当教員名】 宮元万菜美	対象学年	1	対象学科	情報学科
	開講時期	③・④	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

人間の消費行動について、ニーズから購入までの心理の変化や行動の変化、商品の選択や購入に影響を与える様々な要因が社会心理や消費者行動の中で明らかになっていることについて解説する。また、マーケティング実務に関する具体的な事例の考察を通して、心理学基礎、社会心理学、認知心理学、コミュニケーション、および意思決定の視点から、消費者行動に関する知識を修得するとともに、マーケティング戦略の構築における社会心理・消費者行動の重要性について考える。

【学習目標】

1．マーケティングの実務において心理学が活用されていることを理解する。
2．身の回りの商品や消費などの現象について、マーケティング心理の視点による分析ができるようになる。
3．マーケティングの実務への心理学との関連性を理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標 番号	学習方法･学習課題 又は備考･担当教員
1	ガイダンス（講義概要・進め方、評価のポイントなど）	1	
2	マーケティングの基本	1	
3	セグメンテーションとターゲティング	1	課題レポート
4	ポジショニング	1	
5	購買行動モデル	1	課題レポート
6	選択と意思決定	1	
7	マーケティング・リサーチとインサイト	1	課題レポート
8	行動分析	2	
9	コミュニケーション手法と効果	2	課題レポート
10	広告と心理	2	
11	「ヒット商品」から見たマーケティング心理	2	課題レポート
12	環境分析とアイデア開発	2	
13	ビジネス社会での心理学の応用	3	課題レポート
14	発表　テーマと進め方	1・2・3	
15	発表　まとめと振り返り（マーケティングに向けて）	1・2・3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料等を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。なおレポートは事後学習においての宿題となります。			

【評価方法】

適時提出を求めるレポート(50%)
最終レポート（50%）

【履修上の留意点】

特になし。

授業科目　マーケティング実践

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	情報学科
渋谷修太	開講時期	①・②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

社会心理・消費者行動、およびマーケティングによって修得した、マーケティング戦略の基礎知識と心理学の基礎知識、社会心理学、認知心理学などと、情報通信に関する専門的技術を連関させ、企業などの組織をより良い形で運営していくには、マーケティングの発想が不可欠となっていることについて理解を深める。また、マーケティングの基礎概念・基礎的知識の実践面への適用とともに、マーケティングの発想法・実務的な活用法を修得することで、市場を起点に物事を発想することについて理解する。

【学習目標】

1．マーケティングのベストプラクティスについて理解する。
2．マーケティングと営業の乖離を解消するためのフレームワークを理解する。
3．マーケティング戦略に取り組む姿勢について理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス、マーケティングの実践	2	※第1回集中講座
2	セグメンテーションという悪弊	2	※第1回集中講座
3	マーケティング近視眼、マーケティング再考、ブランディング	3	※第1回集中講座
4	実践マーケティング演習①-①　事例研究	1	※第2回集中講座
5	実践マーケティング演習①-②　ディスカッション	1	※第2回集中講座
6	実践マーケティング演習①-③　資料の作成	1	※第2回集中講座
7	実践マーケティング演習①-④　プレゼンテーション	1	※第2回集中講座
8	実践マーケティング演習②-①　事例研究	1	※第3回集中講座
9	実践マーケティング演習②-②　ディスカッション	1	※第3回集中講座
10	実践マーケティング演習②-③　資料の作成	1	※第3回集中講座
11	実践マーケティング演習②-④　プレゼンテーション	1	※第3回集中講座
12	実践マーケティング演習③-①　マーケティング・プラン	1	※第4回集中講座
13	実践マーケティング演習③-②　マーケティング・リサーチ	1	※第4回集中講座
14	実践マーケティング演習③-③　CRMとデジタル・マーケティング	1	※第4回集中講座
15	実践マーケティング演習③-④　プレゼンテーション	1	※第4回集中講座

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	マーケティングの教科書 ハーバード・ビジネス・レビューマーケティング論文ベスト10	ハーバード・ビジネス・レビュー編集部 編	ダイヤモンド社	2017年12月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。なお課題は事後学習においての宿題となります。			

【評価方法】

適時提出を求める課題（50%）
授業での発言・質疑・議論．プレゼン（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：マーケティングの基本概念、消費者の購買行動および企業の購買行動に関する基礎知識を前提とするため「マーケティング」の単位を修得済みの者

授業科目　ICT活用総合実習

【担当教員名】	対象学年	4	対象学科	情報学科
金宮好和、宮元万菜美、後藤幸功、石塚昭彦、柄沢直之、PANN YU MON、田代秀一、上野衆太、鈴木源吾、堀川桂太郎、平川秀樹、髙嶋洋一、磯西徹明、西川浩平	開講時期	通年	必修･選択	必修
	単位数	4	時間数	120

【概要】

ＩＣＴ分野の専門職業人として、実践的かつ応用的な能力を総合的に高めるために、職業専門科目を中心に身につけた知識・技能を統合した総合的な実習を行う。具体的には課題解決のための調査、学生同士や指導教員との議論、並びに共同作業等を通して、その解決法を考え、それを計画的・論理的に実行しICTを活用した課題を解決する課題解決能力を養う。併せて、課題解決の過程・結果・結論をまとめ、グループ討議や発表を通じて、コミュニケーション能力やディベート力、プレゼンテーション能力の向上を図る。

【学習目標】

1．合理的な情報システムを創出する能力を身につける。
2．情報通信技術を駆使して情報システムを具体化する能力を身につける。
3．情報システムのデザイン（計画、設計、管理）能力を身につける。
4．開発環境の構築と開発作業の管理ができる能力を身につける。
5．情報システムの開発能力と要求を満たしているか妥当性確認できる能力を身につける

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
	各回の授業（4コマ）では、 1．各チームの進捗確認と教員からのフィードバック 2．その週の作業の進め方と注意点の確認 3．チーム毎のミーティングと開発作業 4．開発作業のチーム内共有と開発記録 を行います。		
1（4コマ）	ガイダンス　チーム分け　開発環境構築	1	
2（4コマ）	課題設定と計画立案 要件を整理し、段階的に開発するための計画を立てる	1	
3（4コマ）	要件定義① 実装する要件を整理し、設計を開始する。	2	
4（4コマ）	設計・開発① 対象範囲の設計を行い、開発を行う。	3	
5（4コマ）	動作確認① ソフトウェア動作確認のためのデモンストレーション	4	
6（4コマ）	計画の見直し① 動作確認フィードバックを基に、設計、実装の計画を見直す。	5	
7（4コマ）	要件定義② 見直した計画に従い、開発する要件を整理し、設計を開始する。	2	
8（4コマ）	設計・開発② 対象範囲の設計を行い、開発を行う。	3	
9（4コマ）	動作確認②・中間レビュー 開発途中のソフトウェアの動作確認と、現状の進捗を発表	4	発表
10（4コマ）	計画の見直し② 動作確認フィードバックを基に、設計、実装の計画を見直す。	5	

11（4コマ）	要件定義③ 見直した計画に従い、開発する要件を整理し、設計を開始する。	2	
12（4コマ）	設計・開発③ 対象範囲の設計を行い、開発を行う。	3	
13（4コマ）	動作確認③・テスト テスト計画を立て、テストを実施する。 改修とテストを繰り返し、品質を向上する。	4	
14（4コマ）	最終レビュー 成果物とテスト結果の内容を精査し、適切な品質かどうかを判断する。	1～5	
15（4コマ）	プレゼンテーション	1～5	発表

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	１．いままでの授業で学んだ情報化社会の批判的分析力を駆使し、日々のニュースの背後に存在する社会的意義を特定する知的作業に常に取り組んでいくこと。 ２．同じ課題研究班の仲間たちと、社会に飛び出し、フィールドワークを積極的に展開すること。 ３．いままでの諸活動で体験した内容（不足したスキル、話し方の問題点等）を授業で皆で共有し、それらを克服するために授業中にそれらを体験を気軽に共有できる雰囲気を作れるよう努めること。			

【評価方法】

中間発表２０％
最終発表２０％
最終成果物４０％
活動への参加と貢献度２０％
※各学生の貢献度は活動への取り組み姿勢と各レビューの内容および開発記録で確認します。

【履修上の留意点】

履修条件：「マシンラーニング実習」「データマイニング演習」「ロボティクス実習」「クラウドプラットフォーム実習Ⅱ」のうちいずれかの単位を修得済みの者、「ソーシャルデザイン実習」の単位を修得済みの者
実習の性質上、チーム・課題ごとに必要とされる知識・技術が異なります。
これまでの講義や演習で学んだ知識・技術を、実習を通して理解を深め自分のものにするよう努める。

審査意見への対応を記載した書類（７月）

（目次）　事業創造学部　事業創造学科

１【全体計画審査意見２の回答について】
＜アドミッション・オフィス選抜に関する説明が不明確＞
アドミッション・ポリシー等に関連して以下の点を改善すること。
（１）アドミッション・オフィス選抜を受験する学生に求める書類として、「調査票、自己推薦書、志望動機書、学修計画書」を求めることが明らかとなったが、学修計画書がアドミッション・オフィス選抜においてどのように活用されるのか、また、どのような記載を求めるのか不明確なため、説明すること。
（是正事項）・・・・・・・・・・・・・・１

（２）社会人を入学者の対象として受け入れることとしているため、実務の経験を有する者を受け入れる場合の、当該実務経験を通じた能力の修得を勘案した既修得単位の認定方針を、具体例を挙げて説明すること。
（是正事項）・・・・・・・・・・・・・・４

（３）留学生を入学者の対象として受け入れることとしているため、一般学生と同じ条件のもとに学修が可能な者を受け入れると説明がなされているが、例えば日本語能力試験等の基準の具体例を挙げて説明すること。
（是正事項）・・・・・・・・・・・・・・７

２【全体計画審査意見３の回答について】
＜学生確保の見通しの分析方法に疑義＞
学生確保の見通しとその妥当性について一定の説明がなされ、根拠資料の一つとして大学の目標に応じた適切な比較対象の大学が選ばれたが、競合校の３年間の入学定員充足率の平均倍率を示して本学の学生が確保できるとする説明は誤解を招くため、入学定員充足率の平均倍率を根拠には含めないよう、記載を修正すること。
（改善事項）・・・・・・・・・・・・・・９

３【全体計画審査意見５の回答について】
＜教育水準に疑義のある科目＞
いまだ「キャリアデザインⅠ～Ⅲ」の教育内容について、卒業に必要な単位に算入する大学水準の教育内容であるか疑義があるため、以下の点を明らかにすること。
（１）学習方法、学習課題に事例研究、ディスカッション、ロールプレイング等が挙げられているが、シラバスに記載された内容だけでは具体的な教育手法や内容が判断できない

ため、各授業回で取り上げるテーマをより具体的に説明すること。
（是正事項）・・・・・・・・・・・・・１２

（２）効果的な学習のため授業計画の初期に議論をまとめる方法や手法などの基礎的な理論を学ぶ授業計画及びシラバスに改めること。
（是正事項）・・・・・・・・・・・・・１５

（３）使用する教科書は「キャリアデザインⅠ～Ⅲ」すべて、実践ビジネスマナーや就職ガイド等の書籍が指定されており、授業科目の概要に記載された教育が適切に行われるのか疑義がある。教科書について大学水準の教育内容にふさわしい書籍であることを説明するか、必要に応じて改めること。
（是正事項）・・・・・・・・・・・・・１７

４【全体計画審査意見 7 の回答について】
＜科目の履修条件が不適当＞
「会計学」や「財務諸表論」の効果的な学修の観点から、当該科目の履修前に、簿記に関する科目を取得するカリキュラム体系に改めること。
（是正事項）・・・・・・・・・・・・・１９

５【全体計画審査意見 15 の回答について】
＜教員の年齢構成が高齢に偏っている＞
完成年度以降の専任教員配置の適正化を図る将来構想が示されたが、いまだ教員の年齢構成が高齢に偏っていることから、示された将来構想を踏まえ、完成年度までの年次進行中における若手教員の採用計画などを明らかにし、教員配置の適正化を図ること。
（改善事項）・・・・・・・・・・・・・２０

６【全体計画審査意見 18 の回答について】
＜電子ジャーナルが十分か疑義＞
大学の教育研究に必要な専攻分野の電子ジャーナルが十分整備されているのか懸念されるため、教育研究の観点から十分であることを説明するか、電子ジャーナル数を充実させること。
（改善事項）・・・・・・・・・・・・・２６

（是正事項）事業創造学部　事業創造学科

1【全体計画審査意見2の回答について】 ＜アドミッション・オフィス選抜に関する説明が不明確＞ アドミッション・ポリシー等に関連して以下の点を改善すること。 （1）アドミッション・オフィス選抜を受験する学生に求める書類として、「調査票、自己推薦書、志望動機書、学修計画書」を求めることが明らかとなったが、学修計画書がアドミッション・オフィス選抜においてどのように活用されるのか、また、どのような記載を求めるのか不明確なため、説明すること。

（対応）

学修計画書がアドミッション・オフィス選抜においてどのように活用されるのか、また、どのような記載を求めるのかについて説明した。

アドミッション・オフィス選抜を受験する学生に求める志望動機書は、事業創造学部を志望する理由及び将来の希望進路などについて記載させることとしている一方、学修計画書は、志願者本人が志望動機書に記載した将来の希望進路を実現するために、事業創造学部の特色をふまえてどのような知識や能力を身に付けたいのか、その学修の計画について記載させることとする。

このことにより、事業創造学部の教育内容と志願者が求める学習内容とに齟齬がないかを見極めるとともに、事業創造学部の教育に対する興味と関心の度合いや学習意欲についてアドミッション・ポリシーに照らして判定するため、出願書類の評価内容の一部として使用する。

アドミッション・オフィス選抜における学修計画書で求める具体的な記載内容は、以下の通りとしている。

1　志望動機書に記載した将来の目標について
2　将来の目標を実現するために、身に付けたい「知識」「能力」について
3　当該「知識」「能力」を身に付けるために、どのような学習をしたいのか、その計画について

【資料1】アドミッション・オフィス選抜を受験する学生に求める書類
「学修計画書書式」「志望動機書書式」

（新旧対照表）設置の趣旨を記載した書類（５８－５９ページ）

新	旧
（3）選抜方法 **3）アドミッション・オフィス選抜** アドミッション・オフィス選抜は、詳細な	**（3）選抜方法** **3）アドミッション・オフィス選抜** アドミッション・オフィス選抜は、詳細な

書類審査と時間を掛けた丁寧な面接を組み合わせることにより、入学志願者の学部教育を受けるための適性や学部教育に対する学習意欲、目的意識等を総合的に判定することとしており、アドミッション・オフィス選抜を受験する者に対して、調査票、自己推薦書、志望動機書、学修計画書を求めることとする。 志望動機書は、当該学部を志望する理由及び将来の希望進路などについて記載させることとしており、自己推薦書は、生徒活動や部活動の役員歴、部活動や課外活動などの活動実績、取得資格、留学や渡航経験、自己の長所や短所などについて記載させることとしている。 学修計画書は、志願者本人が志望動機書に記載した将来の希望進路を実現するために、当該学部の特色をふまえてどのような知識や能力を身に付けたいのか、その学修の計画について記載させることとする。このことにより、当該学部の教育内容と志願者が求める学習内容とに齟齬がないかを見極めるとともに、当該学部の教育に対する興味と関心の度合いや学習意欲についてアドミッション・ポリシーに照らして判定するため、出願書類の評価内容の一部として使用する。 アドミッション・オフィス選抜における学修計画書で求める具体的な記載内容は、以下の通りとしている。 １　志望動機書に記載した将来の目標について ２　将来の目標を実現するために、身に付けたい「知識」「能力」について ３　当該「知識」「能力」を身に付けるために、どのような学習をしたいのか、その計画について	書類審査と時間を掛けた丁寧な面接を組み合わせることにより、入学志願者の学部教育を受けるための適性や学部教育に対する学習意欲、目的意識等を総合的に判定することとしており、アドミッション・オフィス選抜を受験する者に対して、調査票、自己推薦書、志望動機書、学修計画書を求めることとする。 志望動機書は、当該学部を志望する理由及び将来の希望進路などについて記載させることとしており、自己推薦書は、生徒活動や部活動の役員歴、部活動や課外活動などの活動実績、取得資格、留学や渡航経験、自己の長所や短所などについて記載させることとしている。 （追加）

なお、入学手続きをとった者に対しては、出身高等学校と協力しつつ、入学までに取り組むべき課題を課すなど、入学後の学習のための準備を予め用意することとする。	なお、入学手続きをとった者に対しては、出身高等学校と協力しつつ、入学までに取り組むべき課題を課すなど、入学後の学習のための準備を予め用意することとする。

（是正事項）事業創造学部　事業創造学科

1【全体計画審査意見2の回答について】 ＜アドミッション・オフィス選抜に関する説明が不明確＞ アドミッション・ポリシー等に関連して以下の点を改善すること。 （2）社会人を入学者の対象として受け入れることとしているため、実務の経験を有する者を受け入れる場合の、当該実務経験を通じた能力の修得を勘案した既修得単位の認定方針を、具体例を挙げて説明すること。

（対応）

社会人を入学者の対象として受け入れる場合の既修得単位の認定方針について認定の流れを明らかにしつつ、具体例を用いて説明した。

既修得単位の認定の流れについては、以下の通りとなる。

① 入学試験合格後、社会人入学者本人より既修得単位認定に係る申請
② 既修得単位認定のための面談により能力を確認
③ 教務委員会による審議
④ 教授会による審議
⑤ 学長より既修得単位認定（2～30単位）

事業創造学部における社会人を受け入れる際の当該実務経験を通じた能力の修得を勘案した既修得単位の認定をする場合の具体例としては、民間企業等において会計実務に従事している者、あるいは、従事した実績がある者が入学を希望する場合、取得している資格や実務経験の状況等を総合的に勘案して、「職業専門科目」に配置している「簿記概論」及び「簿記演習」の単位を既修得単位として認定することなどが想定される。

なお、既修得単位の認定において、考慮する資格については、経営学検定、内閣府認定マーケティング検定、簿記検定、中小企業診断士試験などとする。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（４８－４９ページ）

新	旧
（５）入学前の実務経験を単位に換算する場合 本学では学則第32条第3項において、学生が本学に入学する前に専門性が求められる職業に係る実務の経験を通じ、当該職業を担うための実践的な能力を修得している場合には、当該実践的な能力の修得を本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができることとしている。 職業専門科目及び展開科目の単位認定は、	**（５）入学前の実務経験を単位に換算する場合** 本学では学則第32条第3項において、学生が本学に入学する前に専門性が求められる職業に係る実務の経験を通じ、当該職業を担うための実践的な能力を修得している場合には、当該実践的な能力の修得を本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができることとしている。 職業専門科目及び展開科目の単位認定は、

専門性が求められる職業に係る実務の経験を有し、かつ、法令の規定に基づく職業資格又は法令に基づく技能検定、技能審査その他の実務の能力に関する審査等であり、当該学科の授業科目において修得させることとしている実践的な能力と同等以上の能力を修得していると認められる場合である。 　臨地実務実習の単位認定は、専門性が求められる職業に係る実務の経験を有し、かつ、当該職業における実務上の業績を有することにより、当該学科の授業科目において修得させることとしている実践的な能力と同等以上の能力を修得していると認められる場合である。 　これらの単位認定に当たっては、学生本人からの申し出により 30 単位を超えない範囲で教授会の議を経て、学長が決定する。 　既修得単位の認定の流れについては、以下の通りとなる。 ①　入学試験合格後、社会人入学者本人より既修得単位認定に係る申請 ②　既修得単位認定のための面談により能力を確認 ③　教務委員会による審議 ④　教授会による審議 ⑤　学長より既修得単位認定（2～30 単位） 　事業創造学部における社会人を受け入れる際の当該実務経験を通じた能力の修得を勘案した既修得単位の認定をする場合の具体例としては、民間企業等において会計実務に従事している者、あるいは、従事した実績がある者が入学を希望する場合、取得している資格や実務経験の状況等を総合的に勘案して、「職業専門科目」に配置している「簿記概論」及び「簿記演習」の単位を既修得単位として認定することなどが想定される。	専門性が求められる職業に係る実務の経験を有し、かつ、法令の規定に基づく職業資格又は法令に基づく技能検定、技能審査その他の実務の能力に関する審査等であり、当該学科の授業科目において修得させることとしている実践的な能力と同等以上の能力を修得していると認められる場合である。 　臨地実務実習の単位認定は、専門性が求められる職業に係る実務の経験を有し、かつ、当該職業における実務上の業績を有することにより、当該学科の授業科目において修得させることとしている実践的な能力と同等以上の能力を修得していると認められる場合である。 　これらの単位認定に当たっては、学生本人からの申し出により 30 単位を超えない範囲で教授会の議を経て、学長が決定する。 　（追加）

なお、既修得単位の認定において、考慮する資格については、経営学検定、内閣府認定マーケティング検定、簿記検定、中小企業診断士試験などとする。 （中略）	

（是正事項）事業創造学部　事業創造学科

1【全体計画審査意見２の回答について】 ＜アドミッション・オフィス選抜に関する説明が不明確＞ アドミッション・ポリシー等に関連して以下の点を改善すること。 （３）留学生を入学者の対象として受け入れることとしているため、一般学生と同じ条件のもとに学修が可能な者を受け入れると説明がなされているが、例えば日本語能力試験等の基準の具体例を挙げて説明すること。

（対応）

留学生を入学者として受け入れる際の、一般学生と同じ条件のもとに学修が可能な者について説明した。

留学生を入学者として受け入れる際の一般学生と同じ条件のもとに学修が可能とする日本語能力の基準は、日本語能力試験Ｎ２以上の資格に相当する日本語能力を有する者、又は日本留学試験の日本語科目（読解、聴解及び聴読解）において２００点以上に相当する日本語能力を有する者とし、学生募集要項に明記する。

留学生の入学志願者に対しては、他の入学志願者と同様に詳細な書類審査と時間を掛けた丁寧な面接を行うことにより、一般学生と同じ条件のもとに学修が可能な者かどうか日本語能力の習得状況等を見極めることとし、入学志願者の学部教育を受けるための適性や学部教育に対する学習意欲、目的意識等を総合的に判定することとする。

（新旧対照表）設置の趣旨を記載した書類（６０ページ）

新	旧
（５）社会人や留学生の入学に関する考え方 社会人や留学生の入学に関する考え方については、専門職大学としての入学者の多様性に配慮した入学者選抜の観点から、社会人や留学生についても入学者の対象として受入れることとしているが、完成年度までの間は社会人や留学生の定員枠の設定や社会人や留学生に特化した入学者選抜の設定は行わず、一般選抜試験の定員枠の中で、一般選抜試験の選抜方法により受入れることとし、入学後の履修等においても一般学生と同じ条件のもとに学修が可能な者について受入れることとする。 留学生を入学者として受け入れる際の一	**（５）社会人や留学生の入学に関する考え方** 社会人や留学生の入学に関する考え方については、専門職大学としての入学者の多様性に配慮した入学者選抜の観点から、社会人や留学生についても入学者の対象として受入れることとしているが、完成年度までの間は社会人や留学生の定員枠の設定や社会人や留学生に特化した入学者選抜の設定は行わず、一般選抜試験の定員枠の中で、一般選抜試験の選抜方法により受入れることとし、入学後の履修等においても一般学生と同じ条件のもとに学修が可能な者について受入れることとする。 （追加）

般学生と同じ条件のもとに学修が可能とする日本語能力の基準は、日本語能力試験Ｎ２以上の資格に相当する日本語能力を有する者、又は日本留学試験の日本語科目（読解、聴解及び聴読解）において２００点以上に相当する日本語能力を有する者とし、学生募集要項に明記する。 　留学生の入学志願者に対しては、他の入学志願者と同様に詳細な書類審査と時間を掛けた丁寧な面接を行うことにより、一般学生と同じ条件のもとに学修が可能な者かどうか日本語能力の習得状況等を見極めることとし、入学志願者の学部教育を受けるための適性や学部教育に対する学習意欲、目的意識等を総合的に判定することとする。	

（改善事項）事業創造学部　事業創造学科

２【全体計画審査意見３の回答について】 ＜学生確保の見通しの分析方法に疑義＞ 学生確保の見通しとその妥当性について一定の説明がなされ、根拠資料の一つとして大学の目標に応じた適切な比較対象の大学が選ばれたが、競合校の３年間の入学定員充足率の平均倍率を示して本学の学生が確保できるとする説明は誤解を招くため、入学定員充足率の平均倍率を根拠には含めないよう、記載を修正すること。

（対応）

学生確保の見通しとその妥当性について、競合校の３年間の入学定員充足率の平均倍率を示して本学の学生が確保できるとする説明としていたが、競合校の３年間の入学定員充足率の平均倍率を示して本学の学生が確保できるとする説明は誤解を招くとの審査意見を踏まえて検討した結果、入学定員充足率の平均倍率を根拠には含めないよう、記載を修正した。

（新旧対照表）学生確保の見通し等を記載した書類（４－５ページ）

新	旧
５　新設学部等の分野の動向及び想定される競合大学の志願者動向と定員充足状況 １）事業創造学部 （中略） また、新潟県内において事業創造学部と同分野を有する大学で、かつ競合が想定される大学は、平成３０年４月現在、新潟経営大学経営情報学部経営情報学科（入学定員１２０人）、新潟産業大学経済学部経済経営学科（入学定員８０人）、長岡大学経済経営学部経済経営学科（入学定員８０人）、新潟国際情報大学経営情報学部経営学科（入学定員８５人）で、各大学が公表している入試方式の集計値による最近３年間の平均の志願者状況をみると、募集人員４２２人に対して志願者数８３５人、志願倍率約１．９８倍 （削除） となっている。（表５） （表５）最近３年間の志願者状況等	５　新設学部等の分野の動向及び想定される競合大学の志願者動向と定員充足状況 １）事業創造学部 （中略） また、新潟県内において事業創造学部と同分野を有する大学で、かつ競合が想定される大学は、平成３０年４月現在、新潟経営大学経営情報学部経営情報学科（入学定員１２０人）、新潟産業大学経済学部経済経営学科（入学定員８０人）、長岡大学経済経営学部経済経営学科（入学定員８０人）、新潟国際情報大学経営情報学部経営学科（入学定員８５人）で、各大学が公表している入試方式の集計値による最近３年間の平均の志願者状況をみると、募集人員４２２人に対して志願者数８３５人、志願倍率約１．９８倍、入学定員充足率１０３．８％となっている。（表５） （表５）最近３年間の志願者状況等

事業創造学部との競合が想定される新潟県の大学の最近３年間の志願者状況等 －表－ 一方、新潟県の平成３０年度学校基本統計速報によると、新潟県内の専門学校において事業創造学部と学問として対象とする分野が同一であると考えられる商業実務関係のビジネス、経営、経理・簿記に関する学科等に在籍している生徒数は８１５人となっている。（表６） （表６）専門学校の学科別生徒数（経理・簿記、経営、ビジネス） －表－ このように、事業創造学部との競合が想定される新潟県内の大学の学部・学科では、１８歳人口の減少期においても安定した志願者数の確保と志願倍率 （削除） を維持しているとともに、事業創造学部と学問として対象とする分野が同一であると考えられる新潟県内の専門学校の学科等においても一定数の在籍者が存在していることから、事業創造学部の学生確保については見通しがあると考えられる。 （中略）	事業創造学部との競合が想定される新潟県の大学の最近３年間の志願者状況等 －表－ 一方、新潟県の平成３０年度学校基本統計速報によると、新潟県内の専門学校において事業創造学部と学問として対象とする分野が同一であると考えられる商業実務関係のビジネス、経営、経理・簿記に関する学科等に在籍している生徒数は８１５人となっている。（表６） （表６）専門学校の学科別生徒数（経理・簿記、経営、ビジネス） －表－ このように、事業創造学部との競合が想定される新潟県内の大学の学部・学科では、１８歳人口の減少期においても安定した志願者数の確保と志願倍率や入学定員充足の状況を維持しているとともに、事業創造学部と学問として対象とする分野が同一であると考えられる新潟県内の専門学校の学科等においても一定数の在籍者が存在していることから、事業創造学部の学生確保については見通しがあると考えられる。 （中略）

新　（表５）最近３年間の志願者状況等

事業創造学部との競合が想定される新潟県の大学の最近３年間の志願者状況等

大学名	学部・学科	入学定員	年度	入試区分	募集人員	志願者数	志願倍率	入学者数	入学定員充足率
新潟経営大学	経営情報学部		平成28年4月	全入試合計	120	180	1.50	99	82.5%
	経営情報学科	120	平成29年4月	全入試合計	120	210	1.75	106	88.3%
			平成30年4月	全入試合計	120	187	1.56	103	85.8%
			3年間の平均		120	192	1.60	103	
新潟産業大学	経済学部		平成28年4月	全入試合計	80	114	1.43	77	96.3%
	経済経営学科	80	平成29年4月	全入試合計	80	119	1.49	72	90.0%
			平成30年4月	全入試合計	80	132	1.65	65	81.3%
			3年間の平均		80	122	1.52	71	
長岡大学	経済経営学部		平成28年4月	全入試合計	80	127	1.59	85	106.3%
	経済経営学科	80	平成29年4月	全入試合計	100	150	1.50	121	121.0%
			平成30年4月	全入試合計	100	187	1.87	121	121.0%
			3年間の平均		93	155	1.66	109	
新潟国際情報大学	経営情報学部		平成28年4月	全入試合計	150	383	2.55	185	123.3%
	経営学科	85	平成29年4月	全入試合計	150	358	2.39	200	133.3%
（平成28年・平成29年は情報文化学部（情報コース、経営コース）の数値）			平成30年4月	全入試合計	85	359	4.22	105	123.5%
			3年間の平均		128	367	2.86	105	
4大学の 3年間の平均志願状況					422	835	1.98		

旧　（表５）最近３年間の志願者状況等

事業創造学部との競合が想定される新潟県の大学の最近３年間の志願者状況等

大学名	学部・学科	入学定員	年度	入試区分	募集人員	志願者数	志願倍率	入学者数	入学定員充足率
新潟経営大学	経営情報学部		平成28年4月	全入試合計	120	180	1.50	99	82.5%
	経営情報学科	120	平成29年4月	全入試合計	120	210	1.75	106	88.3%
			平成30年4月	全入試合計	120	187	1.56	103	85.8%
			3年間の平均倍率		120	192	1.60	103	85.6%
新潟産業大学	経済学部		平成28年4月	全入試合計	80	114	1.43	77	96.3%
	経済経営学科	80	平成29年4月	全入試合計	80	119	1.49	72	90.0%
			平成30年4月	全入試合計	80	132	1.65	65	81.3%
			3年間の平均倍率		80	122	1.52	71	89.2%
長岡大学	経済経営学部		平成28年4月	全入試合計	80	127	1.59	85	106.3%
	経済経営学科	80	平成29年4月	全入試合計	100	150	1.50	121	121.0%
			平成30年4月	全入試合計	100	187	1.87	121	121.0%
			3年間の平均倍率		93	155	1.66	109	116.8%
新潟国際情報大学	経営情報学部		平成28年4月	全入試合計	150	383	2.55	185	123.3%
	経営学科	85	平成29年4月	全入試合計	150	358	2.39	200	133.3%
（平成28年・平成29年は情報文化学部（情報コース、経営コース）の数値）			平成30年4月	全入試合計	85	359	4.22	105	123.5%
			3年間の平均倍率		128	367	2.86	105	123.5%
（追加）3年間の平均倍率（追加）					422	835	1.98	388	103.8%

（是正事項）事業創造学部　事業創造学科

３【全体計画審査意見５の回答について】
＜教育水準に疑義のある科目＞
いまだ「キャリアデザインⅠ～Ⅲ」の教育内容について、卒業に必要な単位に算入する大学水準の教育内容であるか疑義があるため、以下の点を明らかにすること。
（１）学習方法、学習課題に事例研究、ディスカッション、ロールプレイング等が挙げられているが、シラバスに記載された内容だけでは具体的な教育手法や内容が判断できないため、各授業回で取り上げるテーマをより具体的に説明すること。

（対応）
「キャリアデザインⅠ～Ⅲ」の教育内容が、卒業に必要な単位に算入する大学水準の教育内容であることを示すために、シラバスにおける各授業回で取り上げるテーマが具体的となるよう、資料２の通り、シラバスを改めた。
【資料２】新キャリアデザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ　シラバス（授業計画）
【資料３】旧キャリアデザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ　シラバス（授業計画）

□キャリアデザインⅠ
１　テーマ：キャリアデザインの概念、キャリア形成において育成すべき能力の理解
内容：キャリアデザインの概念、意義、目的及びキャリア形成において必要となる基礎的・汎用的能力を構成する４つの能力（人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプラニング能力）を理解する。（この四つの能力は中央教育審議会が「社会的・職業的自立に向け、必要な基礎となる能力や態度」のうち、その育成をキャリア教育が中核的に担うべきものとして示した「基礎的・汎用的能力」）
※講義
２　テーマ：ファシリテーション論の理解
内容：議論の目的と進め方や議論をまとめる方法や手法について理解する。※講義
３　テーマ：ファシリテーションの実践
内容：議論の場面を設定し、議論の進め方の問題点や解決方法を理解する。
※ロールプレイング
４　テーマ：キャリアデザインに必要となるキャリア理論の理解
内容：ドナルド・スーパーの「ライフ・キャリア・レインボウ（人生における役割とキャリアの関係を図式化したもの）」などを手掛かりに、キャリア理論の基礎的諸概念を理解する。※講義
５　テーマ：モティベーション論の理解
内容：様々なモティベーション論の提示する諸概念を理解する。
※講義

6　テーマ：目標設定と目標管理の方法の理解
内容：目標設定と目標管理に関する方法を講義するとともに、成功例や失敗例を取り上げて、目標設定の効果が最大化される条件を考察する。
※講義、事例研究、ディスカッション

7　テーマ：目標設定の実践①
内容：目標設定シートの作成方法と目標設定シートの有効的な活用法について理解する。※演習

8　テーマ：目標設定の実践②
内容：目標設定シートの作成と発表を通して、目標の質を高めることについて理解する。
※ディスカッション

□キャリアデザインⅡ

1　テーマ：キャリアデザインの概念、チームの力を最大化するための方法の理解
内容：仕事を進めるうえでの基礎力となる対人能力、対自己能力、対課題能力、処理力・思考力を理解する。※講義

2　テーマ：チームワーク、協働力の重要性の理解
内容：チームワーク、協働力の意義や定義と重要性及びグループとチームの違いについて社会学やキャリア理論を踏まえて理解する。※講義

3　テーマ：チームワーク、協働力に関する事例研究①
内容：仕事におけるチームワークのあり方や協働力の重要性について、事例を取り上げて考察する。
※事例研究

4　テーマ：チームワーク、協働力に関する事例研究②
内容：社会・組織・集団における人間関係のあり方について、事例を取り上げて考察する。
※事例研究

5　テーマ：統率力、リーダーシップ理論、動機づけ理論の理解
内容：リーダーシップの意味や定義と種類及び能力や要素と開発方法について理解する。※講義

6　テーマ：会話コミュニケーションによる相互信頼感形成に向けた理解
内容：会話コミュニケーションを通じた合意形成が人間関係としての心理的な相互信頼感の構築にどのように影響するかを理解する。※講義

7　テーマ：組織マネジメントとリーダーシップとの関係性の理解
内容：目的や方向に向かって多くの人々をまとめて率いるための方法について考察する。※事例研究

８　テーマ：他者との協調・協働の考察
内容：他者と協調・協働して行動することの重要性や留意点について考える。
※ディスカッション

□キャリアデザインⅢ
１　テーマ：キャリアデザインの概念、プロフェッショナルキャリアの理解
内容：プロの専門職業人として活躍するための条件、道筋、必要なスキルを理解する。
※講義
２　テーマ：職業選択のための考え方の理解
内容：キャリアアンカー（最重要な価値観）の理論を踏まえて、仕事の選び方や仕事を選ぶときに重視する項目など職業選択について理解する。
※講義
３　テーマ：企業の人事担当者からの学び
内容：企業理念や経営方針と企業の仕組み及び企業が求める人材像について考察する。
※ゲストスピーカー
４　テーマ：専門職業人からの学び
内容：職業選択のための基礎知識として、業界・業種・職種などへの理解を深める。
※ゲストスピーカー
５　テーマ：企業についての研究と考察
内容：業界・業種・職種毎に企業が求める人材像と企業の仕組みについて考える。
※ディスカッション
６　テーマ：自己分析の目的と方法の理解
内容：自分の個性や性格を理解するための自己分析の目的と自己分析の方法について理解する。　※講義
７　テーマ：自己分析の実践
内容：自分史の作成と発表を通して、自分の資質や能力についての認識を深める。
※演習、ディスカッション
８　テーマ：生涯現役のキャリアデザインについて考える
内容：生涯学習の意義と方法や生涯学習と社会教育・家庭教育・学校教育について理解する。※講義

（是正事項）事業創造学部　事業創造学科

３【全体計画審査意見５の回答について】 ＜教育水準に疑義のある科目＞ いまだ「キャリアデザインⅠ～Ⅲ」の教育内容について、卒業に必要な単位に算入する大学水準の教育内容であるか疑義があるため、以下の点を明らかにすること。 （２）効果的な学習のため授業計画の初期に議論をまとめる方法や手法などの基礎的な理論を学ぶ授業計画及びシラバスに改めること。

（対応）

「キャリアデザインⅠ～Ⅲ」の教育内容について、効果的な学習のための授業計画となるよう、教育計画の第一段階を担う「キャリアデザインⅠ」においてはキャリアとは何か、キャリア教育とは何かといったキャリア理論の基礎概念、モチベーションに関する様々な理論といった基礎概念の理解に重点を置くとともに、集団による問題解決、アイデア創造、合意形成等のあらゆる知識創造活動を支援し促進していくファシリテーションの方法を学ぶ。これを踏まえ、資料２の通り、シラバスを改めた。

【資料２】新キャリアデザインⅠ　シラバス（授業計画）

【資料３】旧キャリアデザインⅠ　シラバス（授業計画）

１　テーマ：キャリアデザインの概念、キャリア形成において育成すべき能力の理解

内容：キャリアデザインの概念、意義、目的及びキャリア形成において必要となる基礎的・汎用的能力を構成する４つの能力（人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプラニング能力）を理解する。（この四つの能力は中央教育審議会が「社会的・職業的自立に向け、必要な基礎となる能力や態度」のうち、その育成をキャリア教育が中核的に担うべきものとして示した「基礎的・汎用的能力」）※講義

２　テーマ：ファシリテーション論の理解

内容：議論の目的と進め方や議論をまとめる方法や手法について理解する。※講義

３　テーマ：ファシリテーションの実践

内容：議論の場面を設定し、議論の進め方の問題点や解決方法を理解する。

※ロールプレイング

４　テーマ：キャリアデザインに必要となるキャリア理論の理解

内容：ドナルド・スーパーの「ライフ・キャリア・レインボウ（人生における役割とキャリアの関係を図式化したもの）」などを手掛かりに、キャリア理論の基礎的諸概念を理解する。

※講義

５　テーマ：モティベーション論の理解

内容：様々なモティベーション論の提示する諸概念を理解する。

※講義

６　テーマ：目標設定と目標管理の方法の理解

内容：目標設定と目標管理に関する方法を講義するとともに、成功例や失敗例を取り上げて、目標設定の効果が最大化される条件を考察する。

※講義、事例研究、ディスカッション

７　テーマ：目標設定の実践①

内容：目標設定シートの作成方法と目標設定シートの有効的な活用法について理解する。※演習

８　テーマ：目標設定の実践②

内容：目標設定シートの作成と発表を通して、目標の質を高めることについて理解する。

※ディスカッション

（是正事項）事業創造学部　事業創造学科

３【全体計画審査意見５の回答について】 ＜教育水準に疑義のある科目＞ いまだ「キャリアデザインⅠ～Ⅲ」の教育内容について、卒業に必要な単位に算入する大学水準の教育内容であるか疑義があるため、以下の点を明らかにすること。 （３）使用する教科書は「キャリアデザインⅠ～Ⅲ」すべて、実践ビジネスマナーや就職ガイド等の書籍が指定されており、授業科目の概要に記載された教育が適切に行われるのか疑義がある。教科書について大学水準の教育内容にふさわしい書籍であることを説明するか、必要に応じて改めること。

（対応）

「キャリアデザインⅠ～Ⅲ」に使用する教科書について、授業科目の概要に記載された教育が適切に行われるのか疑義があるとの審査意見を踏まえて検討した結果、「キャリアデザインⅠ～Ⅲ」において使用する教科書について、キャリアデザインⅠにおいては、授業計画の初期に基礎的な理論を学ぶことが必要との指摘を踏まえ、キャリア教育について学ぶ上で定評のある「キャリア教育基礎論」（著者は元文科省キャリア教育担当調査官）、ファシリテーションの入門テキストとして多くの大学や企業で採用されこの分野の標準テキストとなっている「ファシリテーション入門」及びモチベーション理論の百年以上の歴史を踏まえて現存する諸理論を相互に関連づけながら網羅した「ワーク・モティベーション」（原著者のゲイリー・レイサムはトロント大学ロットマン経営大学院教授）を参考書として指定するとともに、基礎概念の着実な理解を助けるため、これらの参考書に基づいて、毎回授業レジュメを配布する。キャリアデザインⅡ・Ⅲについては、大阪大学で開講されているキャリアデザイン概論の参考書籍として使用されている「キャリアデザイン入門[Ⅰ][Ⅱ]（日本経済出版社）」を参考書として指定するとともに、キャリアデザインⅡについては協働力、統率力等のコミュニケーション力育成のための教育内容に適する、編者ハーバード・ビジネス・レビュー編集部の「コミュニケーションの教科書」を参考書として指定し、これらの参考書に基づいて、毎回授業レジュメを配布する。

本学の授業科目の概要に記載した教育を適切に行える大学水準の教育内容にふさわしい書籍と判断し同書を教科書に指定する。これを踏まえ、資料２の通り、シラバスを改めた。

【資料２】新キャリアデザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ　シラバス（授業計画）

【資料３】旧キャリアデザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ　シラバス（授業計画）

（新旧対照表）

新	旧
【キャリアデザインⅠ】	【キャリアデザインⅠ～Ⅲ】

（教科書） ・毎回、授業レジュメを配付する。 （参考書） ・『キャリア教育基礎論－正しい理解と実践のために－』実業之日本社, 2014 年 10 月 ・『ファシリテーション入門（第 2 版）』日本経済新聞出版社, 2018 年 ・『ワーク・モティベーション』NTT 出版, 2009 年 6 月 （その他資料） ・適宜、ワークシートを配付する。 【キャリアデザインⅡ】 （教科書） ・毎回、授業レジュメを配付する。 （参考書） ・『キャリアデザイン入門［Ⅰ］』日本経済新聞出版社, 2006 年 3 月 ・『ハーバード・ビジネス・レビューコミュニケーション論文ベスト１０「コミュニケーションの教科書」』, ダイヤモンド社, 2018 年 12 月 （その他資料） ・適宜、ワークシートを配付する。 【キャリアデザインⅢ】 （教科書） ・毎回、授業用レジュメを配付する。 （参考書） ・『キャリアデザイン入門［Ⅱ］』日本経済新聞出版社, 2006 年 3 月 （その他資料） ・適宜、ワークシートを配付する。	（教科書） ・『社会でいきる実践ビジネスマナー』, ㈱ウィネット, 2016 年 2 月 ・『勝つための就職ガイド SUCCESS』, ㈱ウィネット, 2016 年 2 月 （参考書） ・『大人の常識！マナーハンドブック』, ㈱ウィネット, 2016 年 2 月 （その他の資料） ・『SUCCESS 別冊ワークシート』, ㈱ウィネット, 2016 年 2 月

（是正事項）事業創造学部　事業創造学科

４【全体計画審査意見７の回答について】
＜科目の履修条件が不適当＞
「会計学」や「財務諸表論」の効果的な学修の観点から、当該科目の履修前に、簿記に関する科目を取得するカリキュラム体系に改めること。

（対応）

「会計学」や「財務諸表論」の効果的な学修の観点から、カリキュラム体系について再検討し、実務的な「簿記概論」「簿記演習」を学修してから理論面の「会計学」「財務諸表論」を学修することで、より効果的なカリキュラム体系となると判断し、「会計学」、「財務諸表論」、「簿記概論」、「簿記演習」の４科目について、配当年次を改めた。

【資料４】事業創造学部 事業創造学部 カリキュラム体系図

（新旧対照表）教育課程等の概要 職業専門科目

新								旧							
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態			科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態		
			必修	選択	講義	演習	実験・実習				必修	選択	講義	演習	実験・実習
職業専門科目	会計学	2②	1		○			職業専門科目	会計学	1②	1		○		
	財務諸表論	2③	1		○				財務諸表論	1③	1		○		
	簿記概論	1①②	2		○				簿記概論	2①②	2		○		
	簿記演習	1③	1			○			簿記演習	2③	1			○	

（改善事項）事業創造学部　事業創造学科

5【全体計画審査意見 15 の回答について】 ＜教員の年齢構成が高齢に偏っている＞ 完成年度以降の専任教員配置の適正化を図る将来構想が示されたが、いまだ教員の年齢構成が高齢に偏っていることから、示された将来構想を踏まえ、完成年度までの年次進行中における若手教員の採用計画などを明らかにし、教員配置の適正化を図ること。

（対応）

教員の年齢構成が高齢に偏っていることから、完成年度における年齢層の高い専任教員の定年退職を見据えた、年次進行中における若手教員の前倒し採用に係る採用計画を策定し、当該採用計画に基づく年次進行中における若手教員の確保にむけた継続的な採用活動を通して、教員配置の適正化に努めることとする。

事業創造学部事業創造学科　専任教員配置計画

教員配置計画	
令和２年度～令和５年度（完成年度）末 完成年度までの年次進行中における若手教員採用計画	
採用活動 予定	完成年度までの年次進行中において、公募等により以下の教員の採用を計画する。 ・博士の学位、大学等における教育歴、経営学分野に関する研究実績を有する若手教員 ・高度の実務の能力を有する若手教員 以上の若手教員を年度進行中に複数名を前倒しで採用する。 その後も採用活動を継続して令和６年度開始時点では完成年度に定年年齢を超える教員数に相当する若手・中堅教員の確保をする。
令和５年度（完成年度）末	
退職予定	・定年規定により教授 7 名、准教授 2 名が退職予定 ※教授 7 名、准教授 2 名は就業規則附則第 3 項の規程に基づき雇用延長
昇格予定	・経営学分野の准教授 1 名及び法学分野の准教授 1 名について、教育研究業績等の評価に基づき教授に昇格予定 ・会計学分野の講師 1 名及び社会学分野の講師 1 名について、教育研究業績等の評価に基づき准教授に昇格予定 ・会計学分野の助教１名について、教育研究業績等の評価に基づき

	講師に昇格予定
新規採用予定	※令和２年度～令和５年度において採用した若手教員を含め、令和６年度開始時点では完成年度に定年年齢を超える教員数に相当する若手・中堅教員の確保をする。 ・公募等により、博士の学位、大学等における教育歴、経営学分野に関する研究実績を有する中堅の教授４名を採用 ・公募等により、高度の実務の能力を有する中堅の教授２名を採用 ・公募等により、博士の学位、大学等における教育歴、経営学分野に関する研究実績を有する若手の准教授２名を採用 ・公募等により、博士の学位、大学等における教育歴、会計学分野に関する研究実績を有する若手の助教１名を採用
令和６年度～令和９年度	
退職予定	・定年規定により教授１名、准教授２名が退職予定
新規採用予定	・公募等により、博士の学位、大学等における教育歴、経営学分野に関する研究実績を有する中堅の教授１名を採用 ・公募等により、高度の実務の能力を有する中堅の准教授２名を採用

（新旧対照表）設置の趣旨を記載した書類（４１－４２ページ）

新	旧
５）（削除）教員組織構想 事業創造学部の教員組織の編成においては、完成年度までに定年に達する者９人を配置することから、（削除）教員組織構想（削除）は、開設後４年間の中堅教員の育成状況を踏まえた学内昇格や年次進行中の若手教員新規採用など、教員組織に関する中期的な人事計画を策定する。 開学時は、教員組織が高齢に偏ることとなったことから、教育研究の継続性の観点を踏まえたうえで、中長期的な教育研究の維持・向上及び活性化を図る観点から、今後における学部ごとの具体的な専任教員の	５）完成年度後の教員組織構想 事業創造学部の教員組織の編成においては、完成年度までに定年に達する者９人を配置することから、完成年度以後の教員組織構想としては、開設後４年間の中堅教員の育成状況を踏まえた学内昇格や（追加）新規採用など、教員組織に関する中期的な人事計画を策定する。 開学時は、教員組織が高齢に偏ることとなったことから、教育研究の継続性の観点を踏まえたうえで、中長期的な教育研究の維持・向上及び活性化を図る観点から、今後における学部ごとの具体的な専任教員の

採用計画について検討し、年齢層の高い専任教員の定年退職に伴う若手・中堅教員の新規採用に関する中期的な人事計画を策定し、この人事計画に基づく計画的な採用を行うことにより、教員配置の適正化を図ることとする。 なお、年齢層の高い専任教員の定年退職に伴う若手・中堅教員の新規採用を行う際には、本学の教員選考規程等で定める審査基準に基づいて、厳格なる審査を経て採用することとし、教育の質の保証の観点から、各専門分野における教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する教員を採用するとともに、採用後も授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究の実施を通して、継続的な教員の資質の維持向上に努めることとする。 また、教員の年齢構成については、完成年度以降（令和６年度）の計画として、39歳以下が 3 人、40～49 歳が 4 人、50～59 歳が 10 人、60～64 歳が 2 人となる計画とする。	採用計画について検討し、年齢層の高い専任教員の定年退職に伴う若手・中堅教員の新規採用に関する中期的な人事計画を策定し、この人事計画に基づく計画的な採用を行うことにより、教員配置の適正化を図ることとする。 なお、年齢層の高い専任教員の定年退職に伴う若手・中堅教員の新規採用を行う際には、本学の教員選考規程等で定める審査基準に基づいて、厳格なる審査を経て採用することとし、教育の質の保証の観点から、各専門分野における教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する教員を採用するとともに、採用後も授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究の実施を通して、継続的な教員の資質の維持向上に努めることとする。 また、教員の年齢構成については、完成年度以降（平成 36 年度）の計画として、39歳以下が 3 人、40～49 歳が 4 人、50～59 歳が 10 人、60～64 歳が 2 人となる計画とする。
事業創造学部事業創造学科　（削除）専任教員配置計画	事業創造学部事業創造学科　完成年度以降の専任教員配置計画
教員配置計画	教員配置計画
令和２年度～令和５年度（完成年度）中完成年度までの年次進行中における若手教員採用計画	（追加）
採用活動予定 / 完成年度までの年次進行中において、公募等により以下の教員の採用を計画する。 ・博士の学位、大学等における教育歴、経営学	（追加） / （追加）

	分野に関する研究実績を有する若手教員 ・高度の実務の能力を有する若手教員 以上の若手教員を年度進行中に複数名を前倒しで採用する。 その後も採用活動を継続して令和６年度開始時点では完成年度に定年年齢を超える教員数に相当する若手・中堅教員の確保をする。		
令和５年度（完成年度）末		令和５年度（完成年度）末	
退職予定	・定年規定により教授 7 名、准教授 2 名が退職予定 ※教授 7 名、准教授 2 名は就業規則附則第 3 項の規程に基づき雇用延長	退職予定	・定年規定により教授 7 名、准教授 2 名が退職予定 ※教授 7 名、准教授 2 名は就業規則附則第 3 項の規程に基づき雇用延長
昇格予定	・経営学分野の准教授 1 名及び法学分野の准教授 1 名について、教育研究業績等の評価に基づき教授に昇格予定 ・会計学分野の講師 1 名及び社会学分野の講師 1 名について、教育研究業績等の評価に基づき准教授に昇格予定 ・会計学分野の助教 1 名について、教育研究業績等の評価に基づき講師に昇格予定	昇格予定	・経営学分野の准教授 1 名及び法学分野の准教授 1 名について、教育研究業績等の評価に基づき教授に昇格予定 ・会計学分野の講師 1 名及び社会学分野の講師 1 名について、教育研究業績等の評価に基づき准教授に昇格予定 ・会計学分野の助教 1 名について、教育研究業績等の評価に基づき講師に昇格予定

新規採用予定	※令和２年度～令和５年度において採用した若手教員を含め、令和６年度開始時点では完成年度に定年年齢を超える教員数に相当する若手・中堅教員の確保をする。 ・公募等により、博士の学位、大学等における教育歴、経営学分野に関する研究実績を有する中堅の教授４名を採用 ・公募等により、高度の実務の能力を有する中堅の教授２名を採用 ・公募等により、博士の学位、大学等における教育歴、経営学分野に関する研究実績を有する若手の准教授２名を採用 ・公募等により、博士の学位、大学等における教育歴、会計学分野に関する研究実績を有する若手の助教１名を採用	新規採用予定	（追加） ・公募等により、博士の学位、大学等における教育歴、経営学分野に関する研究実績を有する中堅の教授４名を採用 ・公募等により、高度の実務の能力を有する中堅の教授２名を採用 ・公募等により、博士の学位、大学等における教育歴、経営学分野に関する研究実績を有する若手の准教授２名を採用 ・公募等により、博士の学位、大学等における教育歴、会計学分野に関する研究実績を有する若手の助教１名を採用
令和６年度～令和９年度		令和６年度～令和９年度		
退職予定	・定年規定により教授１名、准教授２名が退職予定	退職予定	・定年規定により教授１名、准教授２名が退職予定	
新規採用予定	・公募等により、博士の学位、大学等における	新規採用予定	・公募等により、博士の学位、大学等における	

	教育歴、経営学分野に関する研究実績を有する中堅の教授１名を採用 ・公募等により、高度の実務の能力を有する中堅の准教授２名を採用		教育歴、経営学分野に関する研究実績を有する中堅の教授１名を採用 ・公募等により、高度の実務の能力を有する中堅の准教授２名を採用

（改善事項）事業創造学部　事業創造学科

6【全体計画審査意見 18 の回答について】 ＜電子ジャーナルが十分か疑義＞ 大学の教育研究に必要な専攻分野の電子ジャーナルが十分整備されているのか懸念されるため、教育研究の観点から十分であることを説明するか、電子ジャーナル数を充実させること。

（対応）

教育研究の観点から、電子ジャーナル数について再検討し、事業創造学部の専門分野に関する電子ジャーナル（学術洋雑誌）計１１種を購入し、学術和雑誌を含め充実を図ることとした。

【資料５】電子ジャーナルリスト（事業創造学部）

（新旧対照表）設置の趣旨を記載した書類（５５－５６ページ）

新	旧
（３）図書等の資料および図書館の整備計画 紫竹山キャンパス内に、教育・研究に必要となる図書等を整備するために図書館を設ける。また、米山キャンパスは校舎内に図書室を設け、情報学部に関する専門図書を整備し、プログラム言語の発展が学習できる展示を行う。 紫竹山キャンパス内の図書館は全学部が共有で利用可能な施設として、1 階に書庫並びに図書閲覧席を設け、2 階には図書閲覧室兼レファレンスルームを設置する。閲覧座席数は 105 席であり、主に事業創造学部に関連する専門書および学術雑誌を主として整備し、教育・研究に資する。 開学当初に紫竹山キャンパスに整備する図書等は以下の通りである。 ・基礎・教養分野：703 冊 ・経営学分野：1,726 冊 （内国書 1,651 冊、外国書 55 冊、学術和	（３）図書等の資料および図書館の整備計画 紫竹山キャンパス内に、教育・研究に必要となる図書等を整備するために図書館を設ける。また、米山キャンパスは校舎内に図書室を設け、情報学部に関する専門図書を整備し、プログラム言語の発展が学習できる展示を行う。 紫竹山キャンパス内の図書館は全学部が共有で利用可能な施設として、1 階に書庫並びに図書閲覧席を設け、2 階には図書閲覧室兼レファレンスルームを設置する。閲覧座席数は 105 席であり、主に事業創造学部に関連する専門書および学術雑誌を主として整備し、教育・研究に資する。 開学当初に紫竹山キャンパスに整備する図書等は以下の通りである。 ・基礎・教養分野：703 冊 ・経営学分野：1,716 冊 （内国書 1,651 冊、外国書 55 冊、学術和雑

雑誌 10 点、学術洋雑誌 8 点(内電子ジャーナル 8 点)、視聴覚資料等 2 点） ・マーケティング分野：414 冊 （内国書 409 冊、外国書 1 冊、学術和雑誌 1 点、学術洋雑誌 3 点(内電子ジャーナル 3 点)） ・会計学分野：922 冊 （内国書 919 冊、外国書 2 冊、学術和雑誌 1 点） ・関連諸分野：251 冊 （内国書 245 冊、外国書 5 冊、学術和雑誌 1 点） 米山キャンパスに設置する図書室（162.38 ㎡）は情報学部に関する専門書および学術雑誌を主として整備し、閲覧座席数は情報学部の収容定員の 2 割にあたる 64 席設け、学生の自習にも利用可能とし、教育・研究に資する。 開学当初に米山キャンパスに整備する図書等は以下の通りである。 ・基礎・教養分野：702 冊 ・情報学分野：1,418 冊 （内国書 1,361 冊、外国書 38 冊、学術和雑誌 8 点、学術洋雑誌 10 点(内電子ジャーナル 10 点)、視聴覚資料等 1 点） ・AI・IOT 応用分野：1,044 冊 （内国書 1,013 冊、外国書 20 冊、学術和雑誌 4 点、学術洋雑誌 6 点(内電子ジャーナル 6 点)、視聴覚資料等 1 点） ・経営・マーケティング分野：474 冊 （内国書 469 冊、外国書 5 冊） ・関連諸分野：259 冊 （内国書 257 冊、外国書 1 冊、学術和雑誌 1 点） （中略）	誌 6 点、学術洋雑誌 2 点（追加）、視聴覚資料等 2 点） ・マーケティング分野：411 冊 （内国書 409 冊、外国書 1 冊、学術和雑誌 1 点、（追加）） ・会計学分野：921 冊 （内国書 919 冊、外国書 2 冊、（追加）） ・関連諸分野：251 冊 （内国書 245 冊、外国書 5 冊、学術和雑誌 1 点） 米山キャンパスに設置する図書室（追加）は情報学部に関する専門書および学術雑誌を主として整備し、閲覧座席数は 43 席設け、学生の自習にも利用可能とし、教育・研究に資する。 開学当初に米山キャンパスに整備する図書等は以下の通りである。 ・基礎・教養分野：702 冊 ・情報学分野：1,404 冊 （内国書 1361 冊、外国書 38 冊、学術和雑誌 3 点、学術洋雑誌 1 点（追加）、視聴覚資料等 1 点） ・AI・IOT 応用分野：1,039 冊 （内国書 1013 冊、外国書 20 冊、学術和雑誌 4 点、学術洋雑誌 1 点（追加）、視聴覚資料等 1 点） ・経営・マーケティング分野：474 冊 （内国書 469 冊、外国書 5 冊） ・関連諸分野：259 冊 （内国書 257 冊、外国書 1 冊、学術和雑誌 1 点） （中略）

審査意見への対応を記載した書類

資料目次

【資料１】アドミッション・オフィス選抜を受験する学生に求める書類

「学修計画書書式」「志望動機書書式」

【資料２】新キャリアデザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ　シラバス（授業計画）

【資料３】旧キャリアデザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ　シラバス（授業計画）

【資料４】事業創造学部 事業創造学科 カリキュラム体系図

【資料５】電子ジャーナルリスト（事業創造学部）

審査意見への対応を記載した書類

【資料 1】

2020年度　開志専門職大学
入学選考試験

学 修 計 画 書

（鉛筆不可、黒の筆記具使用）

受験番号	※記入しないでください。

フリガナ 氏名		志願学部	学部	志願学科	学科

あなたが志望する学部・学科で、志望動機書に記載した将来の目標を実現するために、どのような「知識」「能力」を身に付けたいのか、その「知識」「能力」を身に付けるためにどのような学習をしたいのかを計画し、志願者本人が自筆にて所定欄内に記入してください。

1．将来の目標について簡潔に記入してください。
2．将来の目標を実現するために、身に付けたい「知識」「能力」について記入してください。
3．2の「知識」「能力」を身に付けるために、どのような学習をしたいのかを計画し、記入してください。

2020年度　開志専門職大学
入学選考試験

受験番号	※記入しないでください。

志　望　動　機　書

（鉛筆不可、黒の筆記具使用）

フリガナ 氏名		志願学部　　学部	志願学科　　学科

本学当該学部を志願する理由について、根拠となる事実や自己の経験・体験、将来の目標を踏まえたうえで志願者本人が自筆・横書きで４００字以内で記入してください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
16															
17															
18															
19															
20															
21															
22															
23															
24															
25															

16字×25行（400字 横書き）

審査意見への対応を記載した書類

【資料 2】

【資料５－１】　新　キャリアデザインⅠシラバス

授業科目　キャリアデザインⅠ

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
北野奈々子	開講時期	①	必修･選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【概要】

キャリアデザインとは、理想とする将来の自分を実現するためにどのような仕事・職業や働き方が相応しいかを考え、目標設定を行い、実現に向けて設計することであり、「キャリア」とは単なる職歴ではなく、今後の生き方や働き方という意味合いがあることについて理解する。そのうえで、人生や仕事において自分自身のなりたい姿を描くことについて理解し、個々の夢や目標を実現するための心のあり方や目標設定の仕方、振り返り、生じた問題への対処法など、目標に対して具体的にアプローチするための実践行動に関する知識と技法について学習する。

【学習目標】

1．キャリア及びキャリアデザインの概念や意義と目的、キャリア形成において必要となる基礎的・汎用的能力を理解する。
2．議論の目的と進め方や議論をまとめる方法や手法について理解する。
3．キャリアデザインに必要な基本的理論を理解する。
4．目標設定や目標管理の意味と種類や方法など目標設定理論について理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	キャリアデザインの概念、キャリア形成において育成すべき能力の理解:キャリアデザインの概念、意義、目的及びキャリア形成において必要となる基礎的・汎用的能力を構成する４つの能力（人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプラニング能力）を理解する。（この四つの能力は中央教育審議会が「社会的・職業的自立に向け、必要な基礎となる能力や態度」のうち、その育成をキャリア教育が中核的に担うべきものとして示した「基礎的・汎用的能力」）	1	講義
2	ファシリテーション論の理解：議論の目的と進め方や議論をまとめる方法や手法について理解する。	2	講義
3	ファシリテーションの実践：議論の場面を設定し、議論の進め方の問題点や解決方法を理解する。	2	ロールプレイング
4	キャリアデザインに必要となるキャリア理論の理解：ドナルド・スーパーの「ライフ・キャリア・レインボウ(人生における役割とキャリアの関係を図式化したもの）」などを手掛かりに、キャリア理論の基礎的諸概念を理解する。	3	講義
5	モティベーション論の理解 内容：様々なモティベーション論の提示する諸概念を理解する。	4	講義
6	目標設定と目標管理の方法の理解：目標設定と目標管理に関する方法を講義するとともに、成功例や失敗例を取り上げて、目標設定の効果が最大化される条件を考察する。	4	講義、事例研究、ディスカッション
7	目標設定の実践①：目標設定シートの作成方法と目標設定シートの有効的な活用法について理解する。	4	演習
8	目標設定の実践②：目標設定シートの作成と発表を通して、目標の質を高めることについて理解する。	4	ディスカッション

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	毎回、授業レジュメを配付する。			
参考書	キャリア教育基礎論－正しい理解と実践のために－	藤田晃之	実業之日本社	2014年10月
	ファシリテーション入門（第2班）	堀公俊	日本経済新聞出版社	2018年
	ワーク・モティベーション	ゲイリー・レイサム、金井壽宏	NTT出版	2009年6月
その他の資料	適宜、ワークシートを配付する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
・ワークシート、アクションプランの内容による評価（50%） ・活発に授業参加するための積極的行動（50%）	講義の理解深度を含め、個々の学生の主体的姿勢が求められる。

【資料５－２】　新　キャリアデザインⅡシラバス

授業科目　キャリアデザインⅡ

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
北野奈々子	開講時期	②	必修･選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【概要】

他者と協調・協働して行動できる態度や他者に方向性を示し、目標を達成するために動員できる能力を養成する。集団に属しているメンバーが同じ目標を達成するために行う作業、協力、意識、行動について理解するとともに、集団や組織の場あるいは個人的な場における感情的な面も含めた人間と人間の関係について学習し、他者を理解する視点についての考察を通して、自己や自我の認識、自己と他者との関係、他者相互間の関係などの理解と人間関係の多様なあり方についての理解を深め、他者との円滑な信頼関係の構築に取り組むことができる姿勢を養う。

【学習目標】

１．キャリアデザインの概念、チームの力を最大化するための方法を理解する。
２．チームワークの意義や定義と重要性及びグループとチームの違いについて社会学やキャリア理論を踏まえ理解する。
３．リーダーシップの意味や定義と種類及び能力や要素と開発方法について理解す
４．他者との円滑な信頼関係の構築とコミュニケーションのあり方について社会学をベースに理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	キャリアデザインの概念、チームの力を最大化するための方法の理解：仕事を進めるうえでの基礎力となる対人能力、対自己能力、対課題能力、処理力・思考力を理解する。	1	講義
2	チームワーク、協働力の重要性の理解：チームワーク、協働力の意義や定義と重要性及びグループとチームの違いについて社会学やキャリア理論を踏まえて理解する。	2	講義
3	チームワーク、協働力に関する事例研究①：仕事におけるチームワークのあり方や協働力の重要性について、事例を取り上げて考察する。	2	事例研究
4	チームワーク、協働力に関する事例研究②：社会・組織・集団における人間関係のあり方について、事例を取り上げて考察する。	2	事例研究
5	統率力、リーダーシップ理論、動機づけ理論の理解：リーダーシップの意味や定義と種類及び能力や要素と開発方法について理解する。	3	講義
6	会話コミュニケーションによる相互信頼感形成に向けた理解 ：会話コミュニケーションを通じた合意形成が人間関係としての心理的な相互信頼感の構築にどのように影響するかを理解する。	4	講義
7	組織マネジメントとリーダーシップとの関係性の理解：目的や方向に向かって多くの人々をまとめて率いるための方法について考察する。	3・4	事例研究
8	他者との協調・協働の考察：他者と協調・協働して行動することの重要性や留意点について考える。	3・4	ディスカッション

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	毎回、授業レジュメを配付する。			
参考書	キャリアデザイン入門［Ｉ］	大久保幸夫	日本経済新聞出版社	2006年3月
	ハーバード・ビジネス・レビューコミュニケーション論文ベスト１０『コミュニケーションの協会書』	ハーバード・ビジネス・レビュー編集部	ダイヤモンド社	2018年12月
その他の資料	適宜、ワークシートを配付する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
・ワークシート、アクションプランの内容による評価（50%）
・活発に授業参加するための積極的行動（50%）

【履修上の留意点】
履修条件：キャリアデザインＩの単位を修得済みの者
講義の理解深度を含め、個々の学生の主体的姿勢が求められる。

【資料５－３】　新　キャリアデザインⅢシラバス

授業科目　　キャリアデザインⅢ

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	情報学科
北野奈々子	開講時期	②	必修･選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【概要】

学生が将来への目的意識を明確に持てるよう、職業観を涵養し、職業に関する知識を身に付け、自己の個性を理解したうえで主体的に進路を選択できる能力及び卒業後も自律・自立して学習できる態度を育成する。外部講師による職業体験談を通じて、勤労観や職業観を養成するとともに、業界・業種・職種などの企業研究や企業が求める人材像、企業の仕組みなど職業理解を図る。また、自分の個性や性格を理解するための自己分析と職業選択の考え方や進め方について理解し、生涯にわたり学習の活動を続けていくことの必要性と学習の手段や方法を理解する。

【学習目標】

１．キャリアデザインの概念、プロフェッショナルキャリアの概念理解する。
２．仕事の選び方や仕事を選ぶときに重視する項目など職業選択について理解する。
３．職業選択のための基礎知識として、業界・業種・職種などへの理解を深める。
４．自分の個性や性格を理解するための自己分析の目的と自己分析の方法について理解する。
５．生涯学習の意義と方法や生涯学習と社会教育・家庭教育・学校教育について理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	キャリアデザインの概念、プロフェッショナルキャリアの理解：プロの専門職業人として活躍するための条件、道筋、必要なスキルを理解する。	1	講義
2	職業選択のための考え方の理解：キャリアアンカー（最重要な価値観）の理論を踏まえて、仕事の選び方や仕事を選ぶときに重視する項目など職業選択について理解する。	2・3	講義
3	企業の人事担当者からの学び：企業理念や経営方針と企業の仕組み及び企業が求める人材像について考察する。	2・3	ゲストスピーカー
4	専門職業人からの学び：職業選択のための基礎知識として、業界・業種・職種などへの理解を深める。	3	ゲストスピーカー
5	企業についての研究と考察：業界・業種・職種毎に企業が求める人材像と企業の仕組みについて考える。	3	ディスカッション
6	自己分析の目的と方法の理解：自分の個性や性格を理解するための自己分析の目的と自己分析の方法について理解する。	4	講義
7	自己分析の実践：自分史の作成と発表を通して、自分の資質や能力についての認識を深める。	4	演習、ディスカッション
8	生涯現役のキャリアデザインについて考える：生涯学習の意義と方法や生涯学習と社会教育・家庭教育・学校教育について理解する。	5	講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	毎回、授業レジュメを配付する。			
参考書	キャリアデザイン入門[Ⅱ]	大久保幸夫	日本経済新聞出版社	2006年3月
その他の資料	適宜、ワークシートを配付する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
・自己分析の深度、ワークシートの内容による評価（50%）
・活発に授業参加するための積極的行動（50%）

【履修上の留意点】
履修条件：キャリアデザインⅡの単位を修得済みの者
講義の理解深度を含め、個々の学生の主体的姿勢が求められる。

審査意見への対応を記載した書類

【資料 3】

【資料６－１】　旧　キャリアデザインⅠシラバス

授業科目　　キャリアデザインⅠ

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	事業創造学科
北野　奈々子	開講時期	①	必修･選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【概要】

キャリアデザインとは、理想とする将来の自分を実現するためにどのような仕事・職業や働き方が相応しいかを考え、目標設定を行い、実現に向けて設計することであり、「キャリア」とは単なる職歴ではなく、今後の生き方や働き方という意味合いがあることについて理解する。そのうえで、人生や仕事において自分自身のなりたい姿を描くことについて理解し、個々の夢や目標を実現するための心のあり方や目標設定の仕方、振り返り、生じた問題への対処法など、目標に対して具体的にアプローチするための実践行動に関する知識と技法について学習する。

【学習目標】

1．　基礎知識の理解・修得
2．　自己分析と業界分析
3．　アクションプランの作成

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス　キャリアデザインの概念と目的の理解	1・2	事例研究、ディスカッション
2	目標設定の段階的手法の理解、意欲的な目標設定	1・2	事例研究、ディスカッション
3	プラス思考の重要性の理解、思考の変化と行動の関係性の理解	1・2	事例研究、ディスカッション
4	専門職業人からの学び	1・2	ゲストスピーカー講義、ディスカッション
5	目指す将来像シートの完成	1・2	事例研究、ディスカッション
6	社会に出ていくために必要な考え方の理解	1・2	事例研究、ディスカッション
7	働く目的と自立の関係性の理解	1・2	事例研究、ディスカッション
8	目指すライフスタイルとライフプランの設計、行動計画策定	1・2・3	事例研究、ディスカッション

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	・社会でいきる実践ビジネスマナー	株式会社ウィネット	会社ウィネット	2016年2月
	・勝つための就職ガイド SUCCESS	株式会社ウィネット	株式会社ウィネット	2016年2月
参考書	大人の常識！マナーハンドブック	株式会社ウィネット	株式会社ウィネット	2016年2月
その他の資料	SUCCESS別冊ワークシート	株式会社ウィネット	株式会社ウィネット	2016年2月
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
・自己分析の深度、アクションプランの内容による評価（50%） ・活発に授業参加するための積極的行動（50%）	講義の理解深度を含め、個々の学生の主体的姿勢が求められる。

【資料６－２】　旧　キャリアデザインⅡシラバス

授業科目　　キャリアデザインⅡ

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	事業創造学科
北野　奈々子	開講時期	②	必修･選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【概要】

他者と協調・協働して行動できる態度や他者に方向性を示し、目標を達成するために動員できる能力を養成する。集団に属しているメンバーが同じ目標を達成するために行う作業、協力、意識、行動について理解するとともに、集団や組織の場あるいは個人的な場における感情的な面も含めた人間と人間の関係について学習し、他者を理解する視点についての考察を通して、自己や自我の認識、自己と他者との関係、他者相互間の関係などの理解と人間関係の多様なあり方についての理解を深め、他者との円滑な信頼関係の構築に取り組むことができる姿勢を養う。

【学習目標】

1．　基礎知識の理解・修得
2．　自己分析と自己と他者との関係、他社相互間の関係などの理解
3．　企業の概要の理解
4．　目標達成するために必要となる計画とアクションプランの必要性の理解

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス　　授業目的紹介、ルールと諸注意	1	演習
2	目標達成に向けた作業、協力、意識、行動についての理解	1・2・3	演習
3	他者との協働の理解	1・2・3	演習、ロールプレイング
4	組織活動における問題解決に向けた発想、考え方の理解	1・2・3	演習、プレゼンテーション
5	自律した専門職業人に向けた心構えの理解	1・2・3	演習、事例研究
6	円滑な人間関係構築のための必要性項目の理解	1・2・3	演習、事例研究
7	信頼関係構築のための理解	1・2・3	演習、事例研究
8	行動計画の策定の考え方	3	演習、プレゼンテーション

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	・社会でいきる実践ビジネスマナー	株式会社ウィネット	会社ウィネット	2016年2月
	・勝つための就職ガイド SUCCESS	株式会社ウィネット	株式会社ウィネット	2016年2月
参考書	大人の常識！マナーハンドブック	株式会社ウィネット	株式会社ウィネット	2016年2月
その他の資料	SUCCESS別冊ワークシート	株式会社ウィネット	株式会社ウィネット	2016年2月
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
・自己分析の深度、アクションプランの内容による評価（50%） ・活発に授業参加するための積極的行動（50%）	履修条件：キャリアデザインⅠの単位を修得済みの者 講義の理解深度を含め、個々の学生の主体的姿勢が求められる。

【資料６－３】　旧　キャリアデザインⅢシラバス

授業科目　　キャリアデザインⅢ

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	事業創造学科
北野　奈々子	開講時期	②	必修･選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【概要】

学生が将来への目的意識を明確に持てるよう、職業観を涵養し、職業に関する知識を身に付け、自己の個性を理解したうえで主体的に進路を選択できる能力及び卒業後も自律・自立して学習できる態度を育成する。外部講師による職業体験談を通じて、勤労観や職業観を養成するとともに、業界・業種・職種などの企業研究や企業が求める人材像、企業の仕組みなど職業理解を図る。また、自分の個性や性格を理解するための自己分析と職業選択の考え方や進め方について理解し、生涯にわたり学習の活動を続けていくことの必要性と学習の手段や方法を理解する。

【学習目標】

１．　基礎知識の理解・修得
２．　自己分析と業界分析
３．　アクションプランの作成

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス、社会に出ていくために必要な考え方の理解	1	
2	自己の個性及び価値観の分析・理解	2	演習
3	企業が求める人材像についての研究	2	ゲストスピーカー講義、グループ討議
4	企業人がもつ職業観・勤労観の研究	2	ゲストスピーカー講義、グループ討議
5	企業研究の仕方とそのポイント	2	演習
6	職業選択の考え方や進め方の理解	2	演習、グループ討議
7	生涯学習の手段と方法の理解	2・3	演習、グループ討議
8	キャリアデザインの総括	3	演習、プレゼンテーション

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	・社会でいきる実践ビジネスマナー	株式会社ウィネット	会社ウィネット	2016年2月
	・勝つための就職ガイド SUCCESS	株式会社ウィネット	株式会社ウィネット	2016年2月
参考書	大人の常識！マナーハンドブック	株式会社ウィネット	株式会社ウィネット	2016年2月
その他の資料	SUCCESS別冊ワークシート	株式会社ウィネット	株式会社ウィネット	2016年2月
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
・自己分析の深度、アクションプランの内容による評価（50%）
・活発に授業参加するための積極的行動（50%）

【履修上の留意点】
履修条件：キャリアデザインⅡの単位を修得済みの者
講義の理解深度を含め、個々の学生の主体的姿勢が求められる。

審査意見への対応を記載した書類

【資料 4】

【資料４】

事業創造学部 事業創造学科 カリキュラム体系図

※科目名称の囲み数値は単位数（例:②は2単位科目）

◎: 必修科目　○: 選択科目　△:自由科目

科目区分	CP	1年次				2年次				3年次				4年次			
		①期	②期	③期	④期	①期	②期	③期	④期	①期	②期	③期	④期	①期	②期	③期	④期
基礎科目	①日本語による文章表現や口頭表現の能力と外国語によるコミュニケーション能力及び情報活用や情報管理の能力を高める科目を配置する。	◎英語コミュニケーションⅠ①		◎英語コミュニケーションⅡ①		◎英語プレゼンテーション演習Ⅰ①		◎英語プレゼンテーション演習Ⅱ①								△中国語コミュニケーション① △韓国語コミュニケーション① △ロシア語コミュニケーション①	
		◎情報リテラシー②															
		◎日本語コミュニケーション②															
	②職業人として必要な職業意識や職業観と規範意識及び職業選択力や生涯学習力と現代社会に関する幅広い知識を理解する科目を配置する。	◎ビジネスモラル①															
		◎現代産業論② ○現代経済学② ○現代実践法学②		◎現代企業論② ○現代社会学② ○現代史と国際関係論② ○現代の科学技術②								○国際動態論②					
		◎キャリアデザインⅠ①				◎キャリアデザインⅡ①				◎キャリアデザインⅢ①							
職業専門科目	③経営の意義や役割と企業経営の管理や組織に関する理解及び経営倫理と経営に関連する経済や法律の知識を身に付ける科目を配置する。	◎経済学の基礎②		◎経営戦略論②		◎経営組織論②		◎経営戦略策定演習②			○グローバル社長学②			○実践企業革新②			
		◎経営学の基礎②															
								◎実践日本ビジネス法②		○不動産法入門②		○不動産取引演習② ○企業リスク管理実践②					
	④マーケティングの意義や役割についての理解とマーケティング活動を適切かつ計画的に行うための能力を身に付ける科目を配置する。	◎マーケティング②		◎デジタルマーケティング②		○流通論の基礎②		○消費者行動研究②		○実践的統計学②		○広報戦略の実践②					
	⑤会計の意義と役割や目的と分類、会計の仕組みについての理解とともに、適正な会計処理を行うための能力を身に付ける科目を配置する。	◎簿記概論②		◎簿記演習①		◎会計学①		◎財務諸表論①		◎財務諸表分析②		◎資金調達の実践②					
	⑥顧客満足を実現することの重要性について理解するとともに、商品を企画・開発し、販売活動を行う能力を身に付ける科目を配置する。			◎ビジネスコミュニケーション②						○コミュニケーションデザイン②							
				◎ビジネスプランの基礎②		◎ビジネスプランの応用②											
						◎新規商品開発・販売実習Ⅰ⑤				◎新規商品開発・販売実習Ⅱ⑤							
	⑦起業、事業承継、企業内起業に関する知識の理解と地域産業が果たす役割や現状と課題などに関する知識を身に付ける科目を配置する。			◎アントレプレナーシップ論②				◎実践ベンチャービジネス①				○ICT活用ビジネス②					
		◎トップランナー研究①		◎トップランナー研究①		◎ビジネスモデル研究②				◎イノベーションマネジメント②							
								◎会社設立実習Ⅰ④		◎会社設立実習Ⅱ④		○会社設立実習Ⅲ④					
												○実践事業承継②					
													○事業承継演習②				
				◎地域経済産業論②		○地域産業研究Ⅰ（農林水産）② ○地域産業研究Ⅱ（医療福祉）②		○地域産業研究Ⅲ（環境）②		○地域産業研究Ⅳ（ものづくり）②		○地域産業研究Ⅴ（観光）②		○地域産業研究Ⅵ（ICT）② ○地域産業研究Ⅶ（まちづくり）②		○地域産業研究Ⅷ（カルチャー・エンタテイメント）②	
	⑧経営管理、マーケティング、会計に関する知識と技術を実践的な活動を通して、総合的に応用できる能力を身に付ける科目を配置する。			◎企業内実習Ⅰ②				◎企業内実習Ⅱ④				◎企業内実習Ⅲ⑥					
展開科目	⑨地域資源を商品開発に活用するための知識や方法と高い付加価値を生み出すための問題を解決する考え方を身に付ける科目を配置する。	◎新潟と地域社会②		◎新潟と地域政策②		◎新潟と地域資源②											
								◎地域資源活用の理論と方法②		◎地域資源活用の事例研究②		◎地域資源活用実習②					
						◎デザイン・シンキング概論②		◎ソーシャルデザインⅠ②		◎ソーシャルデザインⅡ②		◎ソーシャルデザイン実習②					
総合科目	⑩地域資源を活用した新商品や新サービスの企画・開発に関する体験を通し、講義や演習で得た知識と技術の総合化を図る科目を配置する。													◎事業計画策定総合実習④			

資料4

審査意見への対応を記載した書類

【資料 5】

【資料5】 電子ジャーナルリスト（事業創造学部）

No	タイトル	出版社名
1	Academy of Management Journal	Academy of Management
2	Journal of Marketing	Sage Publications Ltd.
3	Journal of Business Venturing	Elsevier Science
4	Journal of Consumer Research	Oxford University Press
5	Journal of Mangement	Sage Publications Ltd.
6	Journal of Service Research	Sage Publications Ltd.
7	Entrepreneurship Theory and Practice	Sage Publications Ltd.
8	Academy of Management Review	Academy of Management
9	Research Policy	Elsevier Science
10	Strategic Management Journal	John Wiley & Sons Ltd.
11	Entrepreneurship and Regional Development	Sage Publications Ltd.

審査意見への対応を記載した書類（７月）

（目次）　情報学部　情報学科

１【全体計画審査意見１の回答について】
＜専門職大学としての設置の趣旨が不適切＞
専門職大学と専門学校の違いについて一定程度説明がなされたが、教育課程が説明通りの理論を重視した教育課程が構成されていない。専門の学芸を教授研究し、専門性が求められる職業を担うための実践的かつ創造的・応用的な能力を展開するためには、技術の理論に関する教育も重要であるが、理論科目が不十分な内容となっているため、教育体系を再考し、専門職大学における学修の質をどのように確保・充実させるのかを明確にすること。
（是正事項）・・・・・・・・・・・・・１

２【全体計画審査意見２の回答について】
＜養成人材像とディプロマ・ポリシー等が不整合＞
ディプロマ・ポリシーに掲げている「情報技術者としての専門的な知識や技能と実際に活用する能力」には、プログラムやデザインとともにアルゴリズムやデータベース、ネットワークなどの知識や技能も含まれているため、養成する人材においてプログラムとデザインのみを表現することは適切ではないため改めたとされているが、新たに示されたディプロマ・ポリシーでは理論に関する記述がなくなっている。申請書上、専門職大学の情報学部では理論に裏付けられた高度な実践力を養うこととしていることと整合していないため、再度ディプロマ・ポリシーを改めると同時に、カリキュラムポリシーも改めること。
（是正事項）・・・・・・・・・・・・・５

３【全体計画審査意見３の回答について】
＜アドミッション・オフィス選抜に関する説明が不明確＞
アドミッション・ポリシー等に関連して以下の点を改善すること。
（１）アドミッション・オフィス選抜を受験する学生に求める書類として、「調査票、自己推薦書、志望動機書、学修計画書」を求めることが明らかとなったが、学修計画書がアドミッション・オフィス選抜においてどのように活用されるのか、また、どのような記載を求めるのか不明確なため、説明すること。
（是正事項）・・・・・・・・・・・・・１０

（２）社会人を入学者の対象として受け入れることとしているため、実務の経験を有する者を受け入れる場合の、当該実務経験を通じた能力の修得を勘案した既修得単位の

認定方針を、具体例を挙げて説明すること。
（是正事項）・・・・・・・・・・・・・１３

（３）留学生を入学者の対象として受け入れることとしているため、一般学生と同じ条件のもとに学修が可能な者を受け入れると説明がなされているが、例えば日本語能力試験等の基準の具体例を挙げて説明すること。
（是正事項）・・・・・・・・・・・・・１６

４【全体計画審査意見５の回答について】
＜教育課程の体系性が不整合＞
教育課程の体系性について、以下の点を抜本的に、是正すること。
（１）本来、基礎的な理論や原理について１つの科目として体系的に学修されるべき内容が、複数の演習科目や講義科目に分散しているため、効果的な学習が期待できないばかりか、科目ごとに理論や原理の重複がみられる。開講科目全体の整合性を踏まえ、教育内容の体系性を改めること。
（是正事項）・・・・・・・・・・・・・１８

（２）授業形態として講義と演習が混在している科目において、各授業回が講義か演習か説明がなされたが、例えば、マシンラーニング演習のシラバスでは講義と思われる授業内容が演習と記載されているなど、科目名称と授業形態が一致しておらず、不整合が生じている。また、科目名称は演習とされているが、内容は講義や概論が主たるものとなっているものも見受けられるため、科目内容と科目名称が一致するよう改めること。
（是正事項）・・・・・・・・・・・・・２２

（３）カリキュラム・ポリシーの④～⑨を達成するための基礎的な理論系科目が不十分となっている。特に⑨については、養成する人材にあわせた科目が並んでいるが、体系化されておらず、例えばプログラムであればＣ言語等、クラウドであればオペレーションシステム等に関する基礎的な理論科目を学修しないまま、演習や実習に臨むこととなっている。他にも、一般的に情報科学の世界では、ＡＩはマシンラーニングの系統と位置付けられるがそのようになっていない、またデータマイニングはデータサイエンスの系統に位置付けられるが、そのようにもなっていない。教育課程の体系性を適切に改めること。
（是正事項）・・・・・・・・・・・・・２８

５【全体計画審査意見６の回答について】
＜教育水準に疑義のある科目＞
いまだ「キャリアデザインⅠ～Ⅲ」の教育内容について、卒業に必要な単位に算入す

る大学水準の教育内容であるか疑義があるため、以下の点を明らかにすること。

（１）学習方法、学習課題に事例研究、ディスカッション、ロールプレイング等が挙げられているが、シラバスに記載された内容だけでは具体的な教育手法や内容が判断できないため、各授業回で取り上げるテーマをより具体的に説明すること。

（是正事項）・・・・・・・・・・・・・３１

（２）効果的な学習のため授業計画の初期に議論をまとめる方法や手法などの基礎的な理論を学ぶ授業計画及びシラバスに改めること。

（是正事項）・・・・・・・・・・・・・３４

（３）使用する教科書は「キャリアデザインⅠ～Ⅲ」すべて、実践ビジネスマナーや就職ガイド等の書籍が指定されており、授業科目の概要に記載された教育が適切に行われるのか疑義がある。教科書について大学水準の教育内容にふさわしい書籍であることを説明するか、必要に応じて改めること。

（是正事項）・・・・・・・・・・・・・３６

６【全体計画審査意見８（１）の回答について】

＜理論系科目が不十分＞

審査意見【1】及び【4】の内容を踏まえ、抜本的に理論系科目の構成を改めること。

（是正事項）・・・・・・・・・・・・・３８

７【全体計画審査意見９の回答について】

＜教育内容が重複＞

審査意見【1】及び【4】の内容を踏まえ、抜本的に教育内容の重複を改めること。

（是正事項）・・・・・・・・・・・・・４０

８【全体計画審査意見 11 の回答について】

＜シラバスの記載が不十分＞

審査意見【1】及び【4】の内容を踏まえ、抜本的にシラバスを改めること。

（是正事項）・・・・・・・・・・・・・４４

９【全体計画審査意見 12 の回答（２）、（３）について】

＜実習施設における学生の具体的実習内容が不明＞

臨地実務実習施設の概要の書類で実習先の事業説明がなされたが、いまだ実習先ごとの学生の具体的実習内容が不明であり、実習先で臨地実務実習の授業到達目標が達成されるのか不明である。

例えば、実習先の一つのパソコン教室を挙げても、パソコンを児童に教えるのか、業務に関連したシステムを作成するのかも不明である。改めて、実習先ごとの学生の具体

的実習内容を明らかにし、臨地実務実習先の教育にふさわしい施設であることを明らかとすること。また、必要に応じて実習先を改めること。
（是正事項）・・・・・・・・・・・・・４５

１０【全体計画審査意見 17 の回答について】
＜教員の年齢構成が比較的高齢に偏っている＞
完成年度以降の専任教員配置の適正化を図る将来構想が示されたが、いまだ教員の年齢構成が高齢に偏っていることから、示された将来構想を踏まえ、完成年度までの年次進行中における若手教員の採用計画などを明らかにし、教員配置の適正化を図ること。
（改善事項）・・・・・・・・・・・・・７５

１１【全体計画審査意見 20 の回答について】
＜電子ジャーナルが十分か疑義＞
大学の教育研究に必要な専攻分野の電子ジャーナルが十分整備されているのか懸念されるため、教育研究の観点から十分であることを説明するか、電子ジャーナル数を充実させること。
（改善事項）・・・・・・・・・・・・・８０

【審査意見以外の対応について】
＜米山キャンパス学生支援の観点からの環境整備計画の充実について＞
（１）　演習科目に対応する教室設備の充実について
（その他）・・・・・・・・・・・・・８２

（２）　米山キャンパスの図書室について
（その他）・・・・・・・・・・・・・１０１

（３）　学生の移動環境の整備について
（その他）・・・・・・・・・・・・・１０５

（是正事項）情報学部　情報学科

１【全体計画審査意見１の回答について】 ＜専門職大学としての設置の趣旨が不適切＞ 専門職大学と専門学校の違いについて一定程度説明がなされたが、教育課程が説明通りの理論を重視した教育課程が構成されていない。専門の学芸を教授研究し、専門性が求められる職業を担うための実践的かつ創造的･応用的な能力を展開するためには、技術の理論に関する教育も重要であるが、理論科目が不十分な内容となっているため、教育体系を再考し、専門職大学における学修の質をどのように確保・充実させるのかを明確にすること。

（対応）

理論や原理が複数の演習科目や講義科目に分散していたもの及び理論や原理が複数の科目で重複しているものを整理、集約した上でその内容を充実させ、専門教育に必要となる理論科目として新たに配置するとともに、基礎を身につけた後に専門の学修へ進めるように授業科目の配置の考え方を明確にして教育体系全体を再考し、専門職大学における学修の質を確保・充実させた。

【資料１】情報学部 情報学科 カリキュラム体系図

理論系科目については、「情報の基礎」「情報数学Ⅰ」「情報数学Ⅱ」「統計学」「コンピュータアーキテクチャ」「オペレーティングシステム」「データ構造とアルゴリズム」「プログラミング基礎」「情報通信ネットワーク」「情報セキュリティ」「データベースの基礎」「情報科学基礎」「システム開発技術」「サイバーフィジカルシステム基礎」「クラウド技術概論」の１５科目を配置することとした。

これら理論系科目の教育内容については、以下のとおりとする。

「情報の基礎」は、「物質」、「エネルギー」に並ぶ第三の概念である「情報」について、まずその本質を理解し、さらに人間社会とのかかわり、意義、課題について理解するとともに、情報学全体を俯瞰することで今後の学修の方向性を理解し、情報一般の原理を探究する態度を身に付けるための教育内容として配置する。

「情報数学Ⅰ・Ⅱ 」及び「統計学」は、情報学部における全分野の基礎となる理論である、線形代数、解析、および統計の基本を学ぶための教育内容として配置する。

「コンピュータアーキテクチャ」は、周辺装置や入出力装置を含め、コンピュータのハードウエアがどのような要素から構成され、どのように情報処理を遂行するかについて理解し、以後に学修する応用技術の基盤となる素養を身に付けるための教育内容として配置する。

「オペレーティングシステム」は、プロセス管理、入出力管理、記憶管理など、コンピュータの構成要素を制御し、情報処理を効率的に行うための基本的機能と概念を理解し、以後

に学修する応用技術の基盤となる素養を身に付けるための教育内容として配置する。

「データ構造とアルゴリズム」は、コンピュータで扱われる基本的データ構造、およびそれを扱うための基本的アルゴリズムの原理と技法、特徴を理解し、さらに高度な知識と技術を学修する基盤としての素養を身に付けるための教育内容として配置する。

「プログラミング基礎」は、C 言語および C++言語を用い、変数、構造体、条件判断、再帰的処理、構造化、オブジェクト指向など、プログラミングを学ぶ上での基礎となる概念を理解し、さらに高度な知識と技術を学修する基盤としての素養を身に付けるための教育内容として配置する。

「情報通信ネットワーク」は、プロトコルやその階層化の概念、経路制御、認証など、コンピュータネットワークの基本概念と構造を理解し、さらに高度な知識と技術を学修する基盤としての素養を身に付けるための教育内容として配置する。

「情報セキュリティ」は、潜在する脅威を理解した上で、安心・安全な情報システムを実現するためにとるべき対応について、ガイドラインおよび技術的手法の基本を理解し、情報の関わるあらゆる場面において、セキュリティを意識することの必要性を理解するための教育内容として配置する。

「データベースの基礎」は、現在のデータベースの基礎となっているリレーショナルデータベースを中心にその原理や概念を理解し、さらに高度な知識と技術を学修する基盤としての素養を身に付けるための教育内容として配置する。

「情報科学基礎」は、情報の量、符号化、伝送等に係る基礎的理論を理解し、さらに高度な知識と技術を学修する基盤となる素養を身に付けるための教育内容として配置する。

「システム開発技術」は、モデリングや要求定義等、情報システムを設計・構築するための基礎となる概念と原理について理解し、身に付けるための教育内容として配置する。

「サイバーフィジカルシステム基礎」は、計算機（サイバー空間）と実世界（フィジカル空間）をつなぎ、様々な情報処理を行う技術の基礎として、機器や駆動装置の原理と、それらを制御するための制御理論に加え、人間の認知特性、画像処理、対話手法などの基本について学修し、今後の演習および実習を受講するための素養を身に付けるための教育内容として配置する。

「クラウド技術概論」は、実際の情報処理を行う環境として不可欠となっているクラウドについて、その概念、それを支える基礎技術を理解し、以後に学修する応用技術の基盤となる素養を身に付けるための教育内容として配置する。

職業専門科目の各授業科目の配置の考え方については以下のとおりとする。

カリキュラムポリシー③「情報の意義と役割や情報産業と社会とのかかわりの理解とともに、情報分野の倫理と情報に関する広い知識を身に付ける」について、理論系科目として、「情報の基礎」を配置し、「情報と法律」、「情報と経営」、「情報と倫理」、「情報と英語」、そして「トップランナー研究」を配置する。

カリキュラムポリシー④「コンピュータの基本設計や設計思想に関する理論と専門科目を学ぶうえで必要な数学や統計学に関する知識を身につける」について、理論系科目として「情報数学Ⅰ」、「情報数学Ⅱ」、「統計学」、「コンピュータアーキテクチャ」及び「オペレーティングシステム」を配置し、実践系科目として、「ＩＣＴ演習（ハードウェア／ソフトウェア）」、「ＩＣＴ演習（基本情報）」、「ＩＣＴ演習（応用情報）」を配置する。

カリキュラムポリシー⑤「アルゴリズムとプログラミング及びデータ構造に関する理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける」について、理論系科目として、「データ構造とアルゴリズム」及び「プログラミング基礎」を配置し、実践系科目として、「プログラミング演習」と「ネットワークプログラミング実習」、「ＡＰＩ実習」を配置する。

カリキュラムポリシー⑥「ネットワークの設計と構築、運用と保守、安全対策に関する理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける」について、理論系科目として、「情報通信ネットワーク」及び「情報セキュリティ」を配置し、実践系科目として、「ネットワーク演習」、「分散型台帳技術演習」及び「サイバーセキュリティ演習」、「サイバーセキュリティ実習」、「ＩＣＴ演習（セキュリティ）」、「ＩＣＴ演習（セキュリティスペシャリスト）」を配置する。

カリキュラムポリシー⑦「データベースの設計、操作言語、管理システムに関する理論と技術の習得のもとに、実世界のデータを適切にデータ化し、活用する能力を身に付ける」について、理論系科目として、「データベースの基礎」を配置し、実践系科目として、「データベース演習」、「ＩＣＴ演習（データベーススペシャリスト）」を配置する。

カリキュラムポリシー⑧「情報システムの開発、設計、運用と保守、評価に関する理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける」について、理論系科目として、「システム開発技術」を配置し、実践系科目として、「システム開発技術演習」を配置する。

カリキュラムポリシー⑨「クラウド、ＩｏＴ、ＡＩ、データサイエンスに関する理論や技術の習得と、情報技術を応用的に活用する能力を身に付ける」について、クラウドに関する理論系科目として、「クラウド技術概論」を配置し、実践系科目として「クラウドベーシック&マーケティング」、「クラウドプラットフォーム実習Ⅰ」、「クラウドプラットフォーム実習Ⅱ」を配置する。

また、ＩｏＴに関する理論系科目として、「サイバーフィジカルシステム基礎」を配置し、実践系科目として、「ＩｏＴ演習」、「ＩｏＴ実習」、「ＩＣＴ演習（ＩｏＴ）」、「ハードウェア設計」、「ロボティクス実習」、「ＩＣＴ演習（組込システム）」、「没入型コンピューティング演習」、「没入型コンピューティング実習」、「ユーザエクスペリエンス」を配置する。

さらに、ＡＩ、データサイエンスに関する理論系科目として、「情報科学基礎」を配置し、実践系科目として「知識表現・知識処理演習」、「ＡＩ実習」、「マシンラーニング演習」、「マシンラーニング実習」、「ＩＣＴ演習（ディープラーニング）」、「データサイエンス演習」、「データサイエンス実習」、「データマイニング演習」を配置する。

職業専門科目について、集大成となる科目として、２年２期までの集大成として「臨地実

務実習Ⅰ」を、３年２期までの集大成として「臨地実務実習Ⅱ」を配置する。

情報学部　理論科目一覧

授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置				
		必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手
情報の基礎	1①	1			○			1				
コンピュータアーキテクチャ	1②	2			○			1				
オペレーティングシステム	1③④	2			○			1		1		
情報数学Ⅰ	1①②	2			○			2				
情報数学Ⅱ	1③④	2			○			1				
統計学	2①②	2			○			1				
データ構造とアルゴリズム	1①	2			○			3		1		
プログラミング基礎	1②	2			○			1		1		
情報通信ネットワーク	1②	1			○			1				
情報セキュリティ	1③④	2			○			1				
データベースの基礎	1③④	2			○			1		1		
システム開発技術	1②	1			○			1				
クラウド技術概論	2①②		2		○			1				
サイバーフィジカルシステム基礎	1③	2			○			1				
情報科学基礎	1①②	2			○			2				

なお、理論科目の新たな配置に伴い、教育体系を再考した結果、卒業要件を 128 単位とすることとした。

（新旧対照表）設置の趣旨を記載した書類（４８ページ）

新	旧
（３）卒業要件 情報学部の卒業要件は、基礎科目において必修科目 14 単位を含む 20 単位以上、職業専門科目において必修科目 74 単位を含む 82 単位以上、展開科目において必修科目 22 単位、総合科目において必修科目 4 単位、あわせて 128 単位を修得する。	（３）卒業要件 情報学部の卒業要件は、基礎科目において必修科目 14 単位を含む 20 単位以上、職業専門科目において必修科目 69 単位を含む 78 単位以上、展開科目において必修科目 22 単位、総合科目において必修科目 4 単位（追加）を修得する。

（是正事項）情報学部　情報学科

２【全体計画審査意見２の回答について】 ＜養成人材像とディプロマ・ポリシー等が不整合＞ ディプロマ・ポリシーに掲げている「情報技術者としての専門的な知識や技能と実際に活用する能力」には、プログラムやデザインとともにアルゴリズムやデータベース、ネットワークなどの知識や技能も含まれているため、養成する人材においてプログラムとデザインのみを表現することは適切ではないため改めたとされているが、新たに示されたディプロマ・ポリシーでは理論に関する記述がなくなっている。申請書上、専門職大学の情報学部では理論に裏付けられた高度な実践力を養うこととしていることと整合していないため、再度ディプロマ・ポリシーを改めると同時に、カリキュラム・ポリシーも改めること。

（対応）

全体計画審査意見２の回答では、情報や情報技術に関する体系的な知識としての理論を含む表現として、ディプロマ・ポリシーに「情報技術者としての専門的な知識や技能と実際に活用する能力」を掲げたところであるが、新たに示したディプロマ・ポリシーでは、理論に関する記述がなく、申請書上、「専門職大学の情報学部では理論に裏付けられた高度な実践力を養う」としていることと整合しないことから、再度、ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーについて検討し、理論の修得が明確となるようディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーを改めた。

なお、情報学部で修得させる「情報技術者としての専門的な知識や技能と実際に活用する能力」としてのプログラムやデザイン、アルゴリズム、データベース、ネットワークなどの具体的な知識や技能については、カリキュラム・ポリシーにおいて明確に示すこととしている。

【学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

１．職業人として望ましい心構えや人間性と自律・自立して学習ができる能力と態度を有し、現代社会に関する幅広い知識や汎用的技能を身に付けている。

２．情報技術者として必要となる情報技術の理論と理論に裏付けられた実践力を有し、情報の処理・伝達・管理とそれらを活用する能力を身に付けている。

３．地域社会や産業界を取り巻く現状の認識のもと、商品やサービスをユーザーの立場から考え、問題や課題を正しく解決していく能力を身に付けている。

４．個別に学修した情報技術に関する知識や技能と活用する能力を総合し、ユーザーの視点に立った新商品や新サービスを創り出す能力を身に付けている。

【教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）】

１．日本語による文章表現や口頭表現の能力と外国語によるコミュニケーション能力及び情報活用や情報管理の能力を高める科目を配置する。

２．職業人として必要な職業意識や職業観と規範意識及び職業選択力や生涯学習力と現代

社会に関する幅広い知識を理解する科目を配置する。
３．情報の意義と役割や情報産業と社会とのかかわりの理解とともに、情報分野の倫理と情報に関する広い知識を身に付ける科目を配置する。
４．コンピュータの基本設計や設計思想に関する理論と専門科目を学ぶうえで必要な数学や統計学に関する知識を身に付ける科目を配置する。
５．アルゴリズムとプログラミング及びデータ構造に関する理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける科目を配置する。
６．ネットワークの設計と構築、運用と保守、安全対策に関する理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける科目を配置する。
７．データベースの設計、操作言語、管理システムに関する理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける科目を配置する。
８．情報システムの開発、設計、運用と保守、評価に関する理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける科目を配置する。
９．クラウド、ＩｏＴ、ＡＩ、データサイエンスに関する理論や技術の習得と、情報技術を応用的に活用する能力を身に付ける科目を配置する。
10. 地域社会や産業界を取り巻く現状の理解及び市場の把握や顧客ニーズ・ウォンツを吸い上げるための方法を身に付ける科目を配置する。
11. 情報技術を新商品や新サービスに活用するために必要となるユーザーの立場から問題や課題を解決する考え方を身に付ける科目を配置する。
12. 情報技術を活用した新商品や新サービスの企画・開発に関する体験を通し、講義や演習で得た知識と技術の総合化を図る科目を配置する。

（新旧対照表）設置の趣旨を記載した書類（１７ページ）

新	旧
２）養成する人材 情報学部では、「職業人としての職業観や倫理観、豊かな人間性とともに、情報技術者としての専門的な知識や技能と実際に活用する能力に加え、地域社会や産業界を取り巻く現状に関する知識を有し、正しく問題を解決するための考え方とユーザーの視点に立った新商品や新サービスを企画・開発するための基礎的な能力を身に付けて、地域社会の情報化に貢献できる人材」を養成する。 この養成する人材の目的を達成するために、以下の通り、学位授与の方針を定めるこ	２）養成する人材 情報学部では、「職業人としての職業観や倫理観、豊かな人間性とともに、情報技術者としての専門的な知識や技能と実際に活用する能力に加え、地域社会や産業界を取り巻く現状に関する知識を有し、正しく問題を解決するための考え方とユーザーの視点に立った新商品や新サービスを企画・開発するための基礎的な能力を身に付けて、地域社会の情報化に貢献できる人材」を養成する。 この養成する人材の目的を達成するために、以下の通り、学位授与の方針を定めるこ

ととし、教育課程における「基礎科目」、「職業専門科目」、「展開科目」及び「総合科目」の各科目群に配置している講義と演習や実習を通して、「倫理に裏付けられた実践力」、「創造的な役割を担うための応用的な能力」を養うための教育を展開する。	ととし、教育課程における「基礎科目」、「職業専門科目」、「展開科目」及び「総合科目」の各科目群に配置している講義と演習や実習を通して、「職業を担うための実践的な能力」、「創造的な役割を担うための応用的な能力」を養うための教育を展開する。

（新旧対照表）設置の趣旨を記載した書類（１７-１８ページ）

新	旧
２）養成する人材 【学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】 １　職業人としての望ましい心構えや人間性と自律・自立して学習できる能力と態度を有し、現代社会に関する幅広い知識や汎用的技能を身に付けている。 ２　情報技術者として必要となる情報技術の理論と理論に裏付けられた実践力を有し、情報の処理・伝達・管理とそれらを活用する能力を身に付けている。 ３　地域社会や産業界を取り巻く現状の認識のもと、商品やサービスをユーザーの立場から考え、問題や課題を正しく解決していく能力を身に付けている。 ４　個別に学修した情報技術に関する知識や技能と活用する能力を総合し、ユーザーの視点に立った新商品や新サービスを創り出す能力を身に付けている	**２）養成する人材** 【学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】 １　職業人としての望ましい心構えや人間性と自律・自立して学習できる能力と態度を有し、現代社会に関する幅広い知識や汎用的技能を身に付けている。 ２　情報技術者として必要となる情報と情報技術に関する専門的な知識と技能を有し、情報の処理・伝達・管理とそれらを活用する能力を身に付けている。 ３　地域社会や産業界を取り巻く現状の認識のもと、商品やサービスをユーザーの立場から考え、問題や課題を正しく解決していく能力を身に付けている。 ４　個別に学修した情報技術に関する知識や技能と活用する能力を総合し、ユーザーの視点に立った新商品や新サービスを創り出す能力を身に付けている

（新旧対照表）設置の趣旨を記載した書類（３４ページ）

新	旧
【教育課程編成の方針(カリキュラム･ポリシー)】 ① 日本語による文章表現や口頭表現の能力と外国語によるコミュニケーション能力及び情報活用や情報管理の能力を高める科目を配置する。 ② 職業人として必要な職業意識や職業観と規範意識及び職業選択力や生涯学習力と現代社会に関する幅広い知識を理解する科目を配置する。 ③ 情報の意義と役割や情報産業と社会とのかかわりの理解とともに、情報分野の倫理と情報に関する広い知識を身に付ける科目を配置する。 ④ コンピュータの基本設計や設計思想に関する理論と専門科目を学ぶうえで必要な数学や統計学に関する知識を身に付ける科目を配置する。 ⑤ アルゴリズムとプログラミング及びデータ構造に関する理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける科目を配置する。 ⑥ ネットワークの設計と構築、運用と保守、安全対策に関する理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける科目を配置する。 ⑦ データベースの設計､操作言語､管理システムに関する理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける科目を配置する。 ⑧ 情報システムの開発、設計、運用と保守、評価に関する理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける科目を配置する。 ⑨ クラウド、ＩｏＴ、ＡＩ、データサイエ	【教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー)】 ① 日本語による文章表現や口頭表現の能力と外国語によるコミュニケーション能力及び情報活用や情報管理の能力を高める科目を配置する。 ② 職業人として必要な職業意識や職業観と規範意識及び職業選択力や生涯学習力と現代社会に関する幅広い知識を理解する科目を配置する。 ③ 情報の意義と役割や情報産業と社会とのかかわりの理解とともに、情報分野の倫理と情報に関する広い知識を身に付ける科目を配置する。 ④ コンピュータに関する基礎知識や基本認識と専門科目を学ぶうえで必要となる数学や統計学に関する知識を身に付ける科目を配置する。 ⑤ アルゴリズムとプログラミング及びデータ構造に関する知識と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける科目を配置する。 ⑥ ネットワークの設計と構築、運用と保守、安全対策に関する知識と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける科目を配置する。 ⑦ データベースの設計、操作言語、管理システムに関する知識と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける科目を配置する。 ⑧ 情報システムの開発、設計、運用と保守、評価に関する知識と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける科目を配置する。 ⑨ データサイエンス、ＩｏＴ、クラウドな

ンスに関する理論や技術の習得と、情報技術を応用的に活用する能力を身に付ける科目を配置する。 ⑩　地域社会や産業界を取り巻く現状の理解及び市場の把握や顧客ニーズ・ウォンツを吸い上げるための方法を身に付ける科目を配置する。 ⑪　情報技術を新商品や新サービスに活用するために必要となるユーザーの立場から問題や課題を解決する考え方を身に付ける科目を配置する。 ⑫　情報技術を活用した新商品や新サービスの企画･開発に関する体験を通し､講義や演習で得た知識と技術の総合化を図る科目を配置する。	どに関する知識や技術の習得と、情報技術を応用的に活用する能力を身に付ける科目を配置する。 ⑩　地域社会や産業界を取り巻く現状の理解及び市場の把握や顧客ニーズ・ウォンツを吸い上げるための方法を身に付ける科目を配置する。 ⑪　情報技術を新商品や新サービスに活用するために必要となるユーザーの立場から問題や課題を解決する考え方を身に付ける科目を配置する。 ⑫　情報技術を活用した新商品や新サービスの企画・開発に関する体験を通し、講義や演習で得た知識と技術の総合化を図る科目を配置する。

（是正事項）情報学部　情報学科

3【全体計画審査意見3の回答について】 ＜アドミッション・オフィス選抜に関する説明が不明確＞ アドミッション・ポリシー等に関連して以下の点を改善すること。 （1）アドミッション・オフィス選抜を受験する学生に求める書類として、「調査票、自己推薦書、志望動機書、学修計画書」を求めることが明らかとなったが、学修計画書がアドミッション・オフィス選抜においてどのように活用されるのか、また、どのような記載を求めるのか不明確なため、説明すること。

（対応）

学修計画書がアドミッション・オフィス選抜においてどのように活用されるのか、また、どのような記載を求めるのかについて説明した。

アドミッション・オフィス選抜を受験する学生に求める志望動機書は、情報学部を志望する理由及び将来の希望進路などについて記載させることとしている一方、学修計画書は、志願者本人が志望動機書に記載した将来の希望進路を実現するために、情報学部の特色をふまえてどのような知識や能力を身に付けたいのか、その学修の計画について記載させることとする。

このことにより、情報学部の教育内容と志願者が求める学習内容とに齟齬がないかを見極めるとともに、情報学部の教育に対する興味と関心の度合いや学習意欲についてアドミッション・ポリシーに照らして判定するため、出願書類の評価内容の一部として使用する。

アドミッション・オフィス選抜における学修計画書で求める具体的な記載内容は、以下の通りとしている。

1　志望動機書に記載した将来の目標について
2　将来の目標を実現するために、身に付けたい「知識」「能力」について
3　当該「知識」「能力」を身に付けるために、どのような学習をしたいのか、その計画について

【資料２】アドミッション・オフィス選抜を受験する学生に求める書類
「学修計画書書式」「志望動機書書式」

（新旧対照表）設置の趣旨を記載した書類（５８-５９ページ）

新	旧
（3）選抜方法 **3）アドミッション・オフィス選抜** アドミッション・オフィス選抜は、詳細	**（3）選抜方法** **3）アドミッション・オフィス選抜** アドミッション・オフィス選抜は、詳細

な書類審査と時間を掛けた丁寧な面接を組み合わせることにより、入学志願者の学部教育を受けるための適性や学部教育に対する学習意欲、目的意識等を総合的に判定することとしており、アドミッション・オフィス選抜を受験する者に対して、調査票、自己推薦書、志望動機書、学修計画書を求めることとする。 志望動機書は、当該学部を志望する理由及び将来の希望進路などについて記載させることとしており、自己推薦書は、生徒活動や部活動の役員歴、部活動や課外活動などの活動実績、取得資格、留学や渡航経験、自己の長所や短所などについて記載させることとしている。 学修計画書は、志願者本人が志望動機書に記載した将来の希望進路を実現するために、当該学部の特色をふまえてどのような知識や能力を身に付けたいのか、その学修の計画について記載させることとする。このことにより、当該学部の教育内容と志願者が求める学習内容とに齟齬がないかを見極めるとともに、当該学部の教育に対する興味と関心の度合いや学習意欲についてアドミッションポリシーに照らして判定するため、出願書類の評価内容の一部として使用する。 アドミッション・オフィス選抜における学修計画書で求める具体的な記載内容は、以下の通りとしている。 １　志望動機書に記載した将来の目標について ２　将来の目標を実現するために、身に付けたい「知識」「能力」について ３　当該「知識」「能力」を身に付けるために、どのような学習をしたいのか、その	な書類審査と時間を掛けた丁寧な面接を組み合わせることにより、入学志願者の学部教育を受けるための適性や学部教育に対する学習意欲、目的意識等を総合的に判定することとしており、アドミッション・オフィス選抜を受験する者に対して、調査票、自己推薦書、志望動機書、学修計画書を求めることとする。 志望動機書は、当該学部を志望する理由及び将来の希望進路などについて記載させることとしており、自己推薦書は、生徒活動や部活動の役員歴、部活動や課外活動などの活動実績、取得資格、留学や渡航経験、自己の長所や短所などについて記載させることとしている。 （追加）

計画について 　なお、入学手続きをとった者に対しては、出身高等学校と協力しつつ、入学までに取り組むべき課題を課すなど、入学後の学習のための準備を予め用意することとする。	なお、入学手続きをとった者に対しては、出身高等学校と協力しつつ、入学までに取り組むべき課題を課すなど、入学後の学習のための準備を予め用意することとする。

（是正事項）情報学部　情報学科

3【全体計画審査意見3の回答について】 ＜アドミッション・オフィス選抜に関する説明が不明確＞ アドミッション・ポリシー等に関連して以下の点を改善すること。 （2）社会人を入学者の対象として受け入れることとしているため、実務の経験を有する者を受け入れる場合の、当該実務経験を通じた能力の修得を勘案した既修得単位の認定方針を、具体例を挙げて説明すること。

（対応）

社会人を入学者の対象として受け入れる場合の既修得単位の認定方針について認定の流れを明らかにしつつ、具体例を用いて説明した。

既修得単位の認定の流れについては、以下の通りとなる。

① 入学試験合格後、社会人入学者本人より既修得単位認定に係る申請
② 既修得単位認定のための面談により能力を確認
③ 教務委員会による審議
④ 教授会による審議
⑤ 学長より既修得単位認定（2～30単位）

情報学部における社会人を受け入れる際の当該実務経験を通じた能力の修得を勘案した既修得単位の認定をする場合の具体例としては、情報関連企業等においてプログラムの作成に関する実務に従事している者、あるいは、従事した実績がある者が入学を希望する場合、取得している資格や実務経験の状況等を総合的に勘案して、「職業専門科目」に配置している「プログラミング基礎」及び「プログラミング演習」の単位を既修得単位として認定することなどが考えられる。

なお、既修得単位の認定において、考慮する資格については、IT パスポート試験、情報セキュリティマネジメント試験、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、データベーススペシャリスト試験、エンベデッドシステムスペシャリスト試験、情報処理安全確保支援士試験、CompTIA A+、CompTIA Cloud+、CompTIA Security+、IoT検定レベル１試験プロフェッショナル・コーディネータ、JDLA Deep Learning for GENERAL、JDLA Deep Learning for ENGINEERなどとする。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（４８-４９ページ）

新	旧
（５）入学前の実務経験を単位に換算する場合 本学では学則第32条第3項において、学生が本学に入学する前に専門性が求められる職業に係る実務の経験を通じ、当該職業を	**（５）入学前の実務経験を単位に換算する場合** 本学では学則第32条第3項において、学生が本学に入学する前に専門性が求められる職業に係る実務の経験を通じ、当該職業を

担うための実践的な能力を修得している場合には、当該実践的な能力の修得を本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができることとしている。 職業専門科目及び展開科目の単位認定は、専門性が求められる職業に係る実務の経験を有し、かつ、法令の規定に基づく職業資格又は法令に基づく技能検定、技能審査その他の実務の能力に関する審査等であり、当該学科の授業科目において修得させることとしている実践的な能力と同等以上の能力を修得していると認められる場合である。 臨地実務実習の単位認定は、専門性が求められる職業に係る実務の経験を有し、かつ、当該職業における実務上の業績を有することにより、当該学科の授業科目において修得させることとしている実践的な能力と同等以上の能力を修得していると認められる場合である。 これらの単位認定に当たっては、学生本人からの申し出により 30 単位を超えない範囲で教授会の議を経て、学長が決定する。 既修得単位の認定の流れについては、以下の通りとなる。 ①　入学試験合格後、社会人入学者本人より既修得単位認定に係る申請 ②　既修得単位認定のための面談により能力を確認 ③　教務委員会による審議 ④　教授会による審議 ⑤　学長より既修得単位認定（2～30 単位） （中略） 情報学部における社会人を受け入れる際の当該実務経験を通じた能力の修得を勘案した既修得単位の認定をする場合の具体例としては、情報関連企業等においてプログラ	担うための実践的な能力を修得している場合には、当該実践的な能力の修得を本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができることとしている。 職業専門科目及び展開科目の単位認定は、専門性が求められる職業に係る実務の経験を有し、かつ、法令の規定に基づく職業資格又は法令に基づく技能検定、技能審査その他の実務の能力に関する審査等であり、当該学科の授業科目において修得させることとしている実践的な能力と同等以上の能力を修得していると認められる場合である。 臨地実務実習の単位認定は、専門性が求められる職業に係る実務の経験を有し、かつ、当該職業における実務上の業績を有することにより、当該学科の授業科目において修得させることとしている実践的な能力と同等以上の能力を修得していると認められる場合である。 これらの単位認定に当たっては、学生本人からの申し出により 30 単位を超えない範囲で教授会の議を経て、学長が決定する。 （追加）

ムの作成に関する実務に従事している者、あるいは、従事した実績がある者が入学を希望する場合、取得している資格や実務経験の状況等を総合的に勘案して、「職業専門科目」に配置している「プログラミング基礎」及び「プログラミング演習」の単位を既修得単位として認定することなどが考えられる。 　なお、既修得単位の認定において、考慮する資格については、IT パスポート試験、情報セキュリティマネジメント試験、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、データベーススペシャリスト試験、エンベデッドシステムスペシャリスト試験、情報処理安全確保支援士試験、CompTIA A+、CompTIA Cloud+、CompTIA Security+、IoT 検定レベル１試験プロフェッショナル・コーディネータ、JDLA Deep Learning for GENERAL、JDLA Deep Learning for ENGINEER などとする。	

（是正事項）情報学部　情報学科

3【全体計画審査意見3の回答について】 ＜アドミッション・オフィス選抜に関する説明が不明確＞ アドミッション・ポリシー等に関連して以下の点を改善すること。 （3）留学生を入学者の対象として受け入れることとしているため、一般学生と同じ条件のもとに学修が可能な者を受け入れると説明がなされているが、例えば日本語能力試験等の基準の具体例を挙げて説明すること。

（対応）

留学生を入学者として受け入れる際の、一般学生と同じ条件のもとに学修が可能な者について説明した。

留学生を入学者として受け入れる際の一般学生と同じ条件のもとに学修が可能とする日本語能力の基準は、日本語能力試験Ｎ２以上の資格に相当する日本語能力を有する者、又は日本留学試験の日本語科目（読解、聴解及び聴読解）において２００点以上に相当する日本語能力を有する者とし、学生募集要項に明記する。

留学生の入学志願者に対しては、他の入学志願者と同様に詳細な書類審査と時間を掛けた丁寧な面接を行うことにより、一般学生と同じ条件のもとに学修が可能な者かどうか日本語能力の習得状況等を見極めることとし、入学志願者の学部教育を受けるための適性や学部教育に対する学習意欲、目的意識等を総合的に判定することとする。

（新旧対照表）設置の趣旨を記載した書類（６０ページ）

新	旧
（５）社会人や留学生の入学に関する考え方 社会人や留学生の入学に関する考え方については、専門職大学としての入学者の多様性に配慮した入学者選抜の観点から、社会人や留学生についても入学者の対象として受入れることとしているが、完成年度までの間は社会人や留学生の定員枠の設定や社会人や留学生に特化した入学者選抜の設定は行わず、一般選抜試験の定員枠の中で、一般選抜試験の選抜方法により受入れることとし、入学後の履修等においても一般学生と同じ条件のもとに学修が可能な者について受入れることとする。 留学生を入学者として受け入れる際の一	**（５）社会人や留学生の入学に関する考え方** 社会人や留学生の入学に関する考え方については、専門職大学としての入学者の多様性に配慮した入学者選抜の観点から、社会人や留学生についても入学者の対象として受入れることとしているが、完成年度までの間は社会人や留学生の定員枠の設定や社会人や留学生に特化した入学者選抜の設定は行わず、一般選抜試験の定員枠の中で、一般選抜試験の選抜方法により受入れることとし、入学後の履修等においても一般学生と同じ条件のもとに学修が可能な者について受入れることとする。 （追加）

般学生と同じ条件のもとに学修が可能とする日本語能力の基準は、日本語能力試験Ｎ２以上の資格に相当する日本語能力を有する者、又は日本留学試験の日本語科目（読解、聴解及び聴読解）において２００点以上に相当する日本語能力を有する者とし、学生募集要項に明記する。 　留学生の入学志願者に対しては、他の入学志願者と同様に詳細な書類審査と時間を掛けた丁寧な面接を行うことにより、一般学生と同じ条件のもとに学修が可能な者かどうか日本語能力の習得状況等を見極めることとし、入学志願者の学部教育を受けるための適性や学部教育に対する学習意欲、目的意識等を総合的に判定することとする。	

（是正事項）情報学部　情報学科

４【全体計画審査意見５の回答について】 ＜教育課程の体系性が不整合＞ 教育課程の体系性について、以下の点を抜本的に、是正すること。 （１）本来、基礎的な理論や原理について１つの科目として体系的に学修されるべき内容が、複数の演習科目や講義科目に分散しているため、効果的な学習が期待できないばかりか、科目ごとに理論や原理の重複がみられる。開講科目全体の整合性を踏まえ、教育内容の体系性を改めること。

（対応）

理論や原理が複数の演習科目や講義科目に分散しているもの及び理論や原理が複数の科目で重複しているものについて精査し、基礎的な理論や原理を１つの科目として学修する内容となるよう、抜本的に教育内容を改めることとした。

具体的には、理論や原理の重複がみられた授業科目を見直すとともに、授業科目の名称及び講義等の内容の見直しを行い、開講科目全体の整合性を踏まえた教育内容となるよう改めた。

「コンピュータ概論」は、情報技術全般の理論や原理を俯瞰する教育内容としていたものの、「情報科学基礎」、「プログラミング基礎」、「情報通信ネットワーク」と教育内容の一部が重複していたため削除し、「コンピュータ概論」に変えて、ハードウェアにおける基本設計や設計思想などを理解する理論科目として、「コンピュータアーキテクチャ」を、システム全体を管理するソフトウェアやミドルウェアに関する理論や原理について学修するための科目として、「オペレーティングシステム」を、情報システムを構築し、情報システムを開発する技術、情報システムの効果を得るための技術などの理論や原理について学修するための科目として「システム開発技術」を新規に配置する。

「ＩＣＴ演習」は、「ＩｏＴ演習」、「クラウド技術概論」、「データサイエンス演習」と教育内容の一部が重複していたため削除し、ＩｏＴや情報システムと人間のインタフェースに関する理論や原理について学修するための科目として、「サイバーフィジカルシステム基礎」を新規に開講するとともに、「情報科学基礎」をＡＩ、データサイエンスに関する理論や原理について学修するための科目として位置づけを明確にし、教育内容を変更した。

「プログラミング基礎」は、コンピュータのプログラムを作成するための C 言語および C++言語と、構造化やオブジェクト指向についての理論や原理を学修するための教育内容に変更する。

「情報科学基礎」は、ＡＩやデータサイエンスに関する理論や原理を学修するため、情報の量、符号化等、情報に係る基礎的理論を学修するための教育内容に変更する。

また、専門教育を学ぶための導入科目として、情報学全体を俯瞰し、情報の意義と分類や記号などの体系と諸概念の理解を通じて、情報一般の原理を探究する態度を身に付けるための教育内容として「情報の基礎」を新規に配置する。

（新旧対照表）

区　分	新	旧
授業科目の変更	（削除）	コンピュータ概論
	（削除）	ＩＣＴ演習
	情報の基礎 オペレーティングシステム コンピュータアーキテクチャ サイバーフィジカルシステム基礎 システム開発技術	（追加）
新規科目の追加	情報の基礎 情報学部では、情報の生成・探索・表現・蓄積・管理・認識・分析・変換・伝達に関わる原理と技術を探求し、社会に役立てられるようになることを目指す。これらを学修するにあたっての導入として、「物質」、「エネルギー」に並ぶ第三の概念である「情報」について、まずその本質を理解し、さらに人間社会とのかかわり、意義、課題について理解するとともに、情報に係る、これから学ぶべき学問分野を俯瞰する。 オペレーティングシステム 本講義では、コンピューターを制御、稼働させるための基本的な技術である、基本ソフトウェアやミドルウェアについて理解することで、有限の資源を複数の人間が効率よく利用できるための環境を学修するとともに、ネットワークやクラウド、データベースなど多岐にわたる今後の講義、演習および実習を受講するための素養を養う。 コンピュータアーキテクチャ	（追加） （追加） （追加）

	本講義では、コンピュータを設計し実現するための基本的な技術である、コンピュータのハードウェアに関する技術に加え、入出力装置に関する技術を理解することで、コンピュータが機能するための要素を理解し、自らその技術をつかいこなせるよう身に付けるとともに、今後の講義、演習および実習を受講するための素養を養う。 サイバーフィジカルシステム基礎 情報システムと現実世界とのインタフェースに関する原理や設計方法として、計算機（サイバー空間）と実世界（フィジカル空間）をつなぎ、様々な情報処理を行う技術について理解し、基礎となる機器や駆動装置、それらを制御するための制御理論に加え、人間の認知特性、画像処理、対話手法などの特徴について学修し、今後の演習および実習を受講するための素養を養う。 システム開発技術 社会の基盤となっている情報システムを構築し、情報システムを開発する技術、情報システムの効果を得るための技術に関する、原理や設計方法について理解するとともに、情報システムを取り巻く制度や情報システムを導入する組織に関する知識を学修することで、今後の演習および情報システムを構築する各種の実習を受講するための素養を養う。	（追加） （追加）

講義等の内容の変更	情報科学基礎 コンピュータで処理可能な形式化された情報に関して、情報の変換と伝達に関わる原理や、情報の認識と分析に関わる原理に加え、各種の計算モデルについて理解し、その技術を使いこなせるよう身に付けることで、今後の知識表現・知識処理やＡＩおよび機械学習、データサイエンスに関する演習や実習を受講するための素養を養う。 プログラミング基礎 C 言語を用い、変数、ポインタ、条件分岐、関数呼び出し、入出力等、データ構造と制御に係るプログラミングの基礎を学修する。さらに C++を用い、オブジェクト指向の基本を学修する。Linux 環境で実施する課題を課し、Linux の基本コマンド、Emax によるエディティング等、プログラミングに必要な各種操作についても併せて習得する。	情報科学基礎 コンピュータで問題を解くとはどういうことかという、情報科学の基礎的概念を理解するために、実世界の物や現象を情報として記述するためのモデル化の概念と手法、その情報を処理して問題を解くための概念および記述法を学修するとともに、画像処理、人工知能などの最新トピックに触れながら問題解決の表現手法や社会的価値創造などについて理解する。別途設置する「コンピュータ概論」と併せることで、コンピューティングに関する基礎力を身につけ、今後の学修の土台となる知識を修得する。 プログラミング基礎 手続き型、関数型、論理型、オブジェクト指向などの基本的なパラダイムを俯瞰するとともに、構文規則やコンパイラなどの言語処理系の基礎を学修する。さらに Python のプログラミング演習を通し、値、変数と名前、演算の記号、配列、構造化、部品化、再帰といったプログラミングの基本要素を理解し、多様なプログラミング言語の習得へ向けた基礎とするとともに、論理的な思考能力を身に付ける。

（是正事項）情報学部　情報学科

４【全体計画審査意見５の回答について】 ＜教育課程の体系性が不整合＞ 教育課程の体系性について、以下の点を抜本的に、是正すること。 （２）授業形態として講義と演習が混在している科目において、各授業回が講義か演習か説明がなされたが、例えば、マシンラーニング演習のシラバスでは講義と思われる授業内容が演習と記載されているなど、科目名称と授業形態が一致しておらず、不整合が生じている。また、科目名称は演習とされているが、内容は講義や概論が主たるものとなっているものも見受けられるため、科目内容と科目名称が一致するよう改めること。

（対応）

授業形態として講義と演習が混在している全ての授業科目について精査した結果、以下のように科目名称と授業形態が一致するよう科目名称および教育内容、またはシラバスの記載を改めた。

「システム開発技術」は、演習が主たるものであったため、名称を「システム開発技術演習」に変更するとともに、授業形態を演習とした。また、この科目の前提となる講義科目「システム開発技術」を新たに開講する。

「データベース演習」の科目内容は、講義が主たるものとなっていたことから、授業科目の名称を「データベースの基礎」に、授業形態を講義と演習の混在から講義へ変更し、現在のデータベースの基礎となっているリレーショナルデータベースを中心にその原理や概念を理解し、さらに高度な知識を学修する基盤としての素養を身に付けるための科目として教育内容を改めた。

「情報セキュリティ」の科目内容は、講義が主たるものとなっていたことから、授業形態を講義と演習の混在から講義へ変更し、潜在する脅威を理解した上で、安心・安全な情報システムを実現するためにとるべき対応について、ガイドラインおよび技術的手法の基本を理解し、情報の関わるあらゆる場面において、セキュリティを意識することの必要性を理解するための科目として教育内容を改めた。

「情報と英語」の科目内容は、演習が主たるものとなっていることから、授業形態を講義と演習の混在から演習へ変更する。

「ＩｏＴ演習」は、演習が主たるものであったため、授業形態を講義と演習の混在から演習へ変更した。また、この科目の前提となる講義科目「サイバーフィジカルシステム基礎」を新たに開講する。

「没入型コンピューティング演習」は、講義と演習が混在している授業形態であったが、前提科目となる「サイバーフィジカルシステム基礎」において、画像処理などの理論や原理を修得するため、より演習を充実させるため講義時間を 15 時間から 10 時間に、演習時間

を 15 時間から 20 時間に変更するとともに、シラバスの記載を改めた。

「分散型台帳技術演習」、「ハードウェア設計」、「マシンラーニング演習」は、引き続き講義と演習が混在している授業形態とし、授業内容が授業形態と一致するようシラバスの記載を改めた。

【資料３】「没入型コンピューティング演習」シラバス
「分散型台帳技術演習」シラバス
「ハードウェア設計」シラバス
「マシンラーニング演習」シラバス

（新旧対照表）

区　分	新	旧
授業科目の名称の変更及び授業形態の変更	システム開発技術演習 演習 データベースの基礎 講義 情報セキュリティ 講義 情報と英語 演習 ＩｏＴ演習 演習 没入型コンピューティング演習 講義と演習の混在 講義１０時間、演習２０時間	システム開発技術 講義と演習の混在 データベース演習 講義と演習の混在 情報セキュリティ 講義と演習の混在 情報と英語 講義と演習の混在 ＩｏＴ演習 講義と演習の混在 没入型コンピューティング演習 講義と演習の混在 講義１５時間、演習１５時間
講義等の内容の変更	システム開発技術演習 多数のコンピュータ、スマートデバイスで稼働する多機能　（削除）な業務システムの設計を、ネットワークの活用も含め学修する。また対象業務の分析や要件定義、外部設計など、システム開発の　（削除）　工程に係わる者、いわゆる　（削除）システムエンジニアを対象とし、業務に適したアーキテクチャ設計や	システム開発技術 多数のコンピュータ、スマートデバイスで稼働する多機能で比較的大規模な業務システムの設計を、ネットワークの活用も含め学修する。また対象業務の分析や要件定義、外部設計など、システム開発の上流工程作業に係わる者、いわゆる上級システムエンジニアを対象とし、業務に適したアーキテクチャ設計や全体

	全体最適化といった概念と、各種の工程で必要となる設計者向けの知識・技術を修得する。 データベースの基礎 データを組織化して一括管理するデータベースについて、その基本であるリレーショナルデータベースをについて、データモデル、データベース設計、データ操作言語、及び、データベース管理システムの概要について学ぶ。併せてオブジェクト指向データベース、NoSQL についても触れ、データベースへの視野を広げる。 情報セキュリティ 社会の基盤となっている情報システムに対し、安心・安全な情報システムの実現が求められている。本講義では、情報セキュリティの概要と、情報セキュリティを理解するため背景にある理論的な内容について学修することで、安心・安全な情報システムを実現するための原理や設計方法を理解し、今後の演習および実習を受講するための素養を養う。	最適化といった概念と、各種専門的な業務分析や業務知識など、上流工程で必要となる高度な設計者向けの知識・技術を修得する。 データベース演習 データベースとは、検索や蓄積が容易にできるよう整理された情報の集まりであり、通常はコンピュータによって実現されたものを指し、データベース管理システム (Database Management System DBMS) またはそれが扱う対象であることについて概説する。そのうえで、データが管理され秩序立った集合体であるデータベースの概念から構造までを体系的に学修するとともに、データベースの必要性・有効性を理解するとともに、データベース・エンジン利用からデータベース・ファイルの操作方法・管理・設計手法について、講義と演習により体系的に学修する。 情報セキュリティ サイバーセキュリティの概要と、サイバーセキュリティを理解するため背景にある理論的な内容について学修する。具体的には、理論計算機科学、数理科学、暗号理論、ソフトウェア科学、ソフトウェア工学などの各種技術や理論が、ネットワークセキュリティ、システムセキュリティ、アプリケーションセキュリティを含むサイバーセキュリティとどのように関係するかについての

		知識と、不正アクセス禁止法などの情報セキュリティ関連の法律・ガイドラインについて学修する。

科目名称と教育内容について精査を行った結果、以下の科目について、より教育内容を明確とするため授業科目の名称を変更する。

「ＡＩ演習」の科目内容は、ＡＩ技術の基盤技術である知識表現や知識処理であることから、授業科目の名称を「知識表現・知識処理演習」に変更する。

「ネットワーク実習」の科目内容は、ネットワーク上で情報をやりとりするプログラムに関する一連の知識・技術を修得することであることから、授業科目の名称を「ネットワークプログラミング実習」に変更する。

「データベース実習」の科目内容は、教育課程体系化の観点から、授業科目の名称を「データベース演習」に変更し、授業形態を実習科目から演習科目へ変更する。

（新旧対照表）

区　分	新	旧
授業科目の名称の変更及び授業形態の変更	知識表現・知識処理演習 演習科目 ネットワークプログラミング実習 実習科目 データベース演習 演習科目	ＡＩ演習 演習科目 ネットワーク実習 実習科目 データベース実習 実習科目
講義等の内容の変更	知識表現・知識処理演習 ＡＩとは、人工的にコンピューター上などで人間と同様の知能を実現させようという試みである。その発展の歴史を概観すると共に、その基礎である、知識の表現、探索、推論などの手法を習得するともに、パターン認識、自然言語処理などの応用例に触れ、オントロジーおよびセマンティック技術による知識モデリ	ＡＩ演習 ＡＩとは、人工的にコンピューター上などで人間と同様の知能を実現させようという試みである。その発展の歴史を概観すると共に、その基礎である、知識の表現、探索、推論などの手法を習得するともに、パターン認識、自然言語処理などの応用例に触れ、マシンラーニング等の先進的手法習得への基礎とする。

	ング，データ統合，意味処理に基づく推論などの各種手法習得への基礎とする。 ネットワークプログラミング実習 プログラミング演習及びネットワーク演習で修得した基礎知識を基に、Web ページの設計、Web アプリケーション構築などの実習を通し、Web ブラウザと Web サーバの間でどのようなやりとりが行われているのか、プログラムがどのようにデータを処理しているのかなど、ネットワーク上で情報をやりとりするプログラムに関する一連の知識・技術を修得する。 データベース演習 データベースの基礎で修得した基礎知識を基に、データベースの構造及び管理・運用について具体的技術を習得するとともに、データベース管理ステムの基本的操作法を習得することにより、高度な情報人材となるために必要なデータベース分野の技術を体系的に修得する。	 プログラミング実習 ICT 演習及びネットワーク演習で修得した基礎知識を基に、Web ページの設計、Web アプリケーション構築などの実習を通し、Web ブラウザと Web サーバの間でどのようなやりとりが行われているのか、プログラムがどのようにデータを処理しているのかなど、ネットワーク上で情報をやりとりするプログラムに関する一連の知識・技術を修得する。 データベース実習 データベース演習によって修得した、データベースの概念から構造、データベースの必要性・有効性、データベース・エンジン利用からデータベース・ファイルの操作方法・管理・設計手法などを基にして、高度な ICT 人材となるために必要なデータベース分野について、テーブル設計、E-R モデル、正規化理論などを学修するとともに、高度なデータベース操作言語である SQL を使いこなす技術を体系的に修得する。

また、科目名称は演習とされているが、内容は講義や概論が主たるものとなっていると見受けられる可能性のある科目、「ICT 演習（ハードウェア/ソフトウェア)」、「ICT 演習（セキ

ュリティ)」、「ICT 演習（基本情報)」、「ICT 演習（クラウド)」、「ICT 演習（応用情報)」、「ICT 演習（IoT)」、「ICT 演習（ディープラーニング)」、「ICT 演習（セキュリティスペシャリスト)」、「ICT 演習(組込システム)」、「ICT 演習（データベーススペシャリスト)」について精査した結果、シラバスの記載を改めた。

【資料４】「ICT 演習（ハードウェア/ソフトウェア)」シラバス
「ICT 演習（セキュリティ)」シラバス
「ICT 演習（基本情報)」シラバス
「ICT 演習（クラウド)」シラバス
「ICT 演習（応用情報)」シラバス
「ICT 演習（IoT)」シラバス
「ICT 演習（ディープラーニング)」シラバス
「ICT 演習（セキュリティスペシャリスト)」シラバス
「ICT 演習(組込システム)」シラバス
「ICT 演習（データベーススペシャリスト)」シラバス

（是正事項）情報学部　情報学科

４【全体計画審査意見５の回答について】 ＜教育課程の体系性が不整合＞ 教育課程の体系性について、以下の点を抜本的に、是正すること。 （３）カリキュラム・ポリシーの④～⑨を達成するための基礎的な理論系科目が不十分となっている。特に⑨については、養成する人材にあわせた科目が並んでいるが、体系化されておらず、例えばプログラムであればＣ言語等、クラウドであればオペレーションシステム等に関する基礎的な理論科目を学修しないまま、演習や実習に臨むこととなっている。他にも、一般的に情報科学の世界では、ＡＩはマシンラーニングの系統と位置付けられるがそのようになっていない、またデータマイニングはデータサイエンスの系統に位置付けられるが、そのようにもなっていない。教育課程の体系性を適切に改めること。

（対応）

カリキュラム・ポリシーの④～⑨を達成するための基礎的な理論系科目について再検討し、Ｃ言語などのコンピュータ言語とコンピュータプログラムの設計や実装について学修するための理論系科目となるよう、「プログラミング基礎」の講義等の内容を見直すとともに、システム全体を管理するソフトウェアに関する理論や原理について学修するための理論系科目として、「オペレーティングシステム」を新規に配置する。

そのうえで、カリキュラム・ポリシーの⑨を達成するための基礎的な理論系科目について再検討し、データサイエンスやＡＩに関する理論や原理について学修するための理論系科目として、「情報科学基礎」を配置するとともに、ＩｏＴやクラウドに関する理論や原理について学修するための理論系科目として、「サイバーフィジカルシステム基礎」を新規に配置したうえで、教育課程の体系性について再検討し、【資料１】情報学部情報学科カリキュラム体系図の通り、カリキュラム体系図を改めた。

なお、カリキュラム・ポリシーの④～⑨を達成するための授業科目の配置の考え方について、以下のとおり整理した。

カリキュラム・ポリシーの④に掲げている「コンピュータの基本設計や設計思想に関する理論と専門科目を学ぶうえで必要な数学や統計学に関する知識を身に付ける」ことから、理論系科目として、「情報数学Ⅰ」、「情報数学Ⅱ」、「統計学」、「コンピュータアーキテクチャ」及び「オペレーティングシステム」を配置し、実践系科目として、「ＩＣＴ演習（ハードウェア／ソフトウェア）」、「ＩＣＴ演習（基本情報）」、「ＩＣＴ演習（応用情報）」を配置する。

カリキュラム・ポリシーの⑤に掲げている「アルゴリズムとプログラミング及びデータ構造に関する理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける」ことから、理論系科目として、「データ構造とアルゴリズム」及び「プログラミング基礎」を配置し、実践系科目として、「プログラミング演習」と「ネットワークプログラミング実習」、「ＡＰＩ実習」を配置する。

カリキュラム・ポリシーの⑥に掲げている「ネットワークの設計と構築、運用と保守、安全対策に関する理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける」ことから、理論系科目として、「情報通信ネットワーク」及び「情報セキュリティ」を配置し、実践系科目として、「ネットワーク演習」、「分散型台帳技術演習」及び「サイバーセキュリティ演習」、「サイバーセキュリティ実習」、「ＩＣＴ演習（セキュリティ）」、「ＩＣＴ演習（セキュリティスペシャリスト）」を配置する。

カリキュラム・ポリシーの⑦に掲げている「データベースの設計、操作言語、管理システムに関する理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける」ことから、理論系科目として、「データベースの基礎」を配置し、実践系科目として、「データベース演習」、「ＩＣＴ演習（データベーススペシャリスト）」を配置する。

カリキュラム・ポリシーの⑧に掲げている「情報システムの開発、設計、運用と保守、評価に関する理論と技術の習得のもとに、実際に活用する能力を身に付ける」ことから、理論系科目として、「システム開発技術」を配置し、実践系科目として、「システム開発技術演習」を配置する。

カリキュラム・ポリシーの⑨に掲げている「クラウド、ＩｏＴ、ＡＩ、データサイエンスに関する理論や技術の習得と、情報技術を応用的に活用する能力を身に付ける」ことから、ＩｏＴに関する理論系科目として、「サイバーフィジカルシステム基礎」を配置し、ＩｏＴに関する実践系科目として、「ＩｏＴ演習」、「ＩｏＴ実習」、「ＩＣＴ演習（ＩｏＴ）」、「ハードウェア設計」、「ロボティクス実習」、「ＩＣＴ演習（組込システム）」、「没入型コンピューティング演習」、「没入型コンピューティング実習」、「ユーザエクスペリエンス」を配置する。クラウドに関する理論系科目として、「クラウド技術概論」を配置し、クラウドに関する実践系科目として「クラウドベーシック&マーケティング」、「クラウドプラットフォーム実習Ⅰ」、「クラウドプラットフォーム実習Ⅱ」を配置する。ＡＩ、データサイエンスに関する理論系科目として、「情報科学基礎」を配置し、ＡＩ、データサイエンスに関する実践系科目として「知識表現・知識処理演習」、「ＡＩ実習」、「マシンラーニング演習」、「マシンラーニング実習」、「ＩＣＴ演習（ディープラーニング）」、「データサイエンス演習」、「データサイエンス実習」、「データマイニング演習」を配置する。

なお、ＡＩ、データサイエンスに関する教育課程の体系性においては、ＡＩの主要分野の一つである、「知識表現・推論」に対応する系統として、オントロジーおよびセマンティック技術による知識モデリング、データ統合、意味処理に基づく推論などの技術を学ぶ「知識表現・知識処理演習」、「ＡＩ実習」を、ＡＩのもう一つの主要分野である、「学習」に対応する系統として、「マシンラーニング演習」、「マシンラーニング実習」、「ＩＣＴ演習（ディープラーニング）」をそれぞれ系統立てている。さらにデータサイエンスの系統として、「データサイエンス演習」、「データサイエンス実習」、「データマイニング演習」を系統立てた。

カリキュラムポリシー①から⑨の職業専門科目について、集大成となる科目として、２年３期までの集大成として「臨地実務実習Ｉ」と３年２期までの集大成として「臨地実務実習

Ⅱ」を配置する。

【資料１】情報学部 情報学科 カリキュラム体系図

（是正事項）情報学部　情報学科

５【全体計画審査意見５の回答について】
＜教育水準に疑義のある科目＞
いまだ「キャリアデザインⅠ～Ⅲ」の教育内容について、卒業に必要な単位に算入する大学水準の教育内容であるか疑義があるため、以下の点を明らかにすること。
（１）学習方法、学習課題に事例研究、ディスカッション、ロールプレイング等が挙げられているが、シラバスに記載された内容だけでは具体的な教育手法や内容が判断できないため、各授業回で取り上げるテーマをより具体的に説明すること。

（対応）
「キャリアデザインⅠ～Ⅲ」の教育内容が、卒業に必要な単位に算入する大学水準の教育内容であることを示すために、シラバスにおける各授業回で取り上げるテーマが具体的となるよう、資料５の通り、シラバスを改めた。
【資料５】新キャリアデザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ　シラバス（授業計画）
【資料６】旧キャリアデザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ　シラバス（授業計画）

□キャリアデザインⅠ
１　テーマ：キャリアデザインの概念、キャリア形成において育成すべき能力の理解
内容：キャリアデザインの概念、意義、目的及びキャリア形成において必要となる基礎的・汎用的能力を構成する４つの能力（人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプラニング能力）を理解する。（この四つの能力は中央教育審議会が「社会的・職業的自立に向け、必要な基礎となる能力や態度」のうち、その育成をキャリア教育が中核的に担うべきものとして示した「基礎的・汎用的能力」）※講義
２　テーマ：ファシリテーション論の理解
内容：議論の目的と進め方や議論をまとめる方法や手法について理解する。※講義
３　テーマ：ファシリテーションの実践
内容：議論の場面を設定し、議論の進め方の問題点や解決方法を理解する。
※ロールプレイング
４　テーマ：キャリアデザインに必要となるキャリア理論の理解
内容：ドナルド・スーパーの「ライフ・キャリア・レインボウ（人生における役割とキャリアの関係を図式化したもの）」などを手掛かりに、キャリア理論の基礎的諸概念を理解する。
※講義
５　テーマ：モティベーション論の理解
内容：様々なモティベーション論の提示する諸概念を理解する。
※講義

６　テーマ：目標設定と目標管理の方法の理解
内容：目標設定と目標管理に関する方法を講義するとともに、成功例や失敗例を取り上げて、目標設定の効果が最大化される条件を考察する。
※講義、事例研究、ディスカッション
７　テーマ：目標設定の実践①
内容：目標設定シートの作成方法と目標設定シートの有効的な活用法について理解する。※演習
８　テーマ：目標設定の実践②
内容：目標設定シートの作成と発表を通して、目標の質を高めることについて理解する。
※ディスカッション

□キャリアデザインⅡ
１　テーマ：キャリアデザインの概念、チームの力を最大化するための方法の理解
内容：仕事を進めるうえでの基礎力となる対人能力、対自己能力、対課題能力、処理力・思考力を理解する。※講義
２　テーマ：チームワーク、協働力の重要性の理解
内容：チームワーク、協働力の意義や定義と重要性及びグループとチームの違いについて社会学やキャリア理論を踏まえて理解する。※講義
３　テーマ：チームワーク、協働力に関する事例研究①
内容：仕事におけるチームワークのあり方や協働力の重要性について、事例を取り上げて考察する。※事例研究
４　テーマ：チームワーク、協働力に関する事例研究②
内容：社会・組織・集団における人間関係のあり方について、事例を取り上げて考察する。
※事例研究
５　テーマ：統率力、リーダーシップ理論、動機づけ理論の理解
内容：リーダーシップの意味や定義と種類及び能力や要素と開発方法について理解する。※講義
６　テーマ：会話コミュニケーションによる相互信頼感形成に向けた理解
内容：会話コミュニケーションを通じた合意形成が人間関係としての心理的な相互信頼感の構築にどのように影響するかを理解する。※講義
７　テーマ：組織マネジメントとリーダーシップとの関係性の理解
内容：目的や方向に向かって多くの人々をまとめて率いるための方法について考察する。※事例研究
８　テーマ：他者との協調・協働の考察
内容：他者と協調・協働して行動することの重要性や留意点について考える。
※ディスカッション

□キャリアデザインⅢ

１　テーマ：キャリアデザインの概念、プロフェッショナルキャリアの理解

内容：プロの専門職業人として活躍するための条件、道筋、必要なスキルを理解する。

※講義

２　テーマ：職業選択のための考え方の理解

内容：キャリアアンカー（最重要な価値観）の理論を踏まえて、仕事の選び方や仕事を選ぶときに重視する項目など職業選択について理解する。

※講義

３　テーマ：企業の人事担当者からの学び

内容：企業理念や経営方針と企業の仕組み及び企業が求める人材像について考察する。

※ゲストスピーカー

４　テーマ：専門職業人からの学び

内容：職業選択のための基礎知識として、業界・業種・職種などへの理解を深める。

※ゲストスピーカー

５　テーマ：企業についての研究と考察

内容：業界・業種・職種毎に企業が求める人材像と企業の仕組みについて考える。

※ディスカッション

６　テーマ：自己分析の目的と方法の理解

内容：自分の個性や性格を理解するための自己分析の目的と自己分析の方法について理解する。　※講義

７　テーマ：自己分析の実践

内容：自分史の作成と発表を通して、自分の資質や能力についての認識を深める。

※演習、ディスカッション

８　テーマ：生涯現役のキャリアデザインについて考える

内容：生涯学習の意義と方法や生涯学習と社会教育・家庭教育・学校教育について理解する。

※講義

（是正事項）情報学部　情報学科

５【全体計画審査意見５の回答について】
＜教育水準に疑義のある科目＞
いまだ「キャリアデザインⅠ～Ⅲ」の教育内容について、卒業に必要な単位に算入する大学水準の教育内容であるか疑義があるため、以下の点を明らかにすること。
（２）効果的な学習のため授業計画の初期に議論をまとめる方法や手法などの基礎的な理論を学ぶ授業計画及びシラバスに改めること。

（対応）
「キャリアデザインⅠ～Ⅲ」の教育内容について、効果的な学習のための授業計画となるよう、教育計画の第一段階を担う「キャリアデザインⅠ」においてはキャリアとは何か、キャリア教育とは何かといったキャリア理論の基礎概念、モチベーションに関する様々な理論といった基礎概念の理解に重点を置くとともに、集団による問題解決、アイデア創造、合意形成等のあらゆる知識創造活動を支援し促進していくファシリテーションの方法を学ぶ。これを踏まえ、資料２の通り、シラバスを改めた。
【資料２】新キャリアデザインⅠ　シラバス（授業計画）
【資料３】旧キャリアデザインⅠ　シラバス（授業計画）

１　テーマ：キャリアデザインの概念、キャリア形成において育成すべき能力の理解
内容：キャリアデザインの概念、意義、目的及びキャリア形成において必要となる基礎的・汎用的能力を構成する４つの能力（人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプラニング能力）を理解する。（この四つの能力は中央教育審議会が「社会的・職業的自立に向け、必要な基礎となる能力や態度」のうち、その育成をキャリア教育が中核的に担うべきものとして示した「基礎的・汎用的能力」）※講義
２　テーマ：ファシリテーション論の理解
内容：議論の目的と進め方や議論をまとめる方法や手法について理解する。※講義
３　テーマ：ファシリテーションの実践
内容：議論の場面を設定し、議論の進め方の問題点や解決方法を理解する。
※ロールプレイング
４　テーマ：キャリアデザインに必要となるキャリア理論の理解
内容：ドナルド・スーパーの「ライフ・キャリア・レインボウ（人生における役割とキャリアの関係を図式化したもの）」などを手掛かりに、キャリア理論の基礎的諸概念を理解する。
※講義
５　テーマ：モティベーション論の理解
内容：様々なモティベーション論の提示する諸概念を理解する。
※講義

６　テーマ：目標設定と目標管理の方法の理解

内容：目標設定と目標管理に関する方法を講義するとともに、成功例や失敗例を取り上げて、目標設定の効果が最大化される条件を考察する。

※講義、事例研究、ディスカッション

７　テーマ：目標設定の実践①

内容：目標設定シートの作成方法と目標設定シートの有効的な活用法について理解する。※演習

８　テーマ：目標設定の実践②

内容：目標設定シートの作成と発表を通して、目標の質を高めることについて理解する。

※ディスカッション

（是正事項）情報学部　情報学科

5【全体計画審査意見5の回答について】 ＜教育水準に疑義のある科目＞ いまだ「キャリアデザインⅠ～Ⅲ」の教育内容について、卒業に必要な単位に算入する大学水準の教育内容であるか疑義があるため、以下の点を明らかにすること。 （3）使用する教科書は「キャリアデザインⅠ～Ⅲ」すべて、実践ビジネスマナーや就職ガイド等の書籍が指定されており、授業科目の概要に記載された教育が適切に行われるのか疑義がある。教科書について大学水準の教育内容にふさわしい書籍であることを説明するか、必要に応じて改めること。

（対応）

「キャリアデザインⅠ～Ⅲ」に使用する教科書について、授業科目の概要に記載された教育が適切に行われるのか疑義があるとの審査意見を踏まえて検討した結果、「キャリアデザインⅠ～Ⅲ」において使用する教科書について、キャリアデザインⅠにおいては、授業計画の初期に基礎的な理論を学ぶことが必要との指摘を踏まえ、キャリア教育について学ぶ上で定評のある「キャリア教育基礎論」（著者は元文科省キャリア教育担当調査官）、ファシリテーションの入門テキストとして多くの大学や企業で採用されこの分野の標準テキストとなっている「ファシリテーション入門」及びモチベーション理論の百年以上の歴史を踏まえて現存する諸理論を相互に関連づけながら網羅した「ワーク・モティベーション」（原著者のゲイリー・レイサムはトロント大学ロットマン経営大学院教授）を参考書として指定するとともに、基礎概念の着実な理解を助けるため、これらの参考書に基づいて、毎回授業レジュメを配布する。キャリアデザインⅡ・Ⅲについては、大阪大学で開講されているキャリアデザイン概論の参考書籍として使用されている「キャリアデザイン入門[Ⅰ][Ⅱ]（日本経済出版社）」を参考書として指定するとともに、キャリアデザインⅡについては協働力、統率力等のコミュニケーション力育成のための教育内容に適する、編者ハーバード・ビジネス・レビュー編集部の「コミュニケーションの教科書」を参考書として指定し、これらの参考書に基づいて、毎回授業レジュメを配布する。

本学の授業科目の概要に記載した教育を適切に行える大学水準の教育内容にふさわしい書籍と判断し同書を教科書に指定する。これを踏まえ、資料２の通り、シラバスを改めた。

【資料２】新キャリアデザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ　シラバス（授業計画）

【資料３】旧キャリアデザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ　シラバス（授業計画）

（新旧対照表）

新	旧
【キャリアデザインⅠ】	【キャリアデザインⅠ～Ⅲ】

（教科書） ・毎回、授業レジュメを配付する。 （参考書） ・『キャリア教育基礎論－正しい理解と実践のために－』実業之日本社, 2014 年 10 月 ・『ファシリテーション入門（第 2 版）』日本経済新聞出版社, 2018 年 ・『ワーク・モティベーション』NTT 出版, 2009 年 6 月 （その他資料） ・適宜、ワークシートを配付する。 【キャリアデザインⅡ】 （教科書） ・毎回、授業レジュメを配付する。 （参考書） ・『キャリアデザイン入門［Ⅰ］』日本経済新聞出版社, 2006 年 3 月 ・『ハーバード・ビジネス・レビューコミュニケーション論文ベスト１０「コミュニケーションの教科書」』, ダイヤモンド社, 2018 年 12 月 （その他資料） ・適宜、ワークシートを配付する。 【キャリアデザインⅢ】 （教科書） ・毎回、授業用レジュメを配付する。 （参考書） ・『キャリアデザイン入門［Ⅱ］』日本経済新聞出版社, 2006 年 3 月 （その他資料） ・適宜、ワークシートを配付する。	（教科書） ・『社会でいきる実践ビジネスマナー』, ㈱ウィネット, 2016 年 2 月 ・『勝つための就職ガイド SUCCESS』, ㈱ウィネット, 2016 年 2 月 （参考書） ・『大人の常識！マナーハンドブック』, ㈱ウィネット, 2016 年 2 月 （その他の資料） ・『SUCCESS 別冊ワークシート』, ㈱ウィネット, 2016 年 2 月

（是正事項）情報学部　情報学科

６【全体計画審査意見８（１）の回答について】

＜理論系科目が不十分＞

審査意見【1】及び【4】の内容を踏まえ、抜本的に理論系科目の構成を改めること。

（対応）

審査意見【1】及び【4】の内容を踏まえ、抜本的に理論系科目の構成を以下の様に改めた。

理論系科目については、「情報の基礎」「情報数学Ⅰ」「情報数学Ⅱ」「統計学」「コンピュータアーキテクチャ」「オペレーティングシステム」「データ構造とアルゴリズム」「プログラミング基礎」「情報通信ネットワーク」「情報セキュリティ」「データベースの基礎」「情報科学基礎」「システム開発技術」「サイバーフィジカルシステム基礎」「クラウド技術概論」の１５科目を配置することとした。

これら理論系科目の教育内容については、以下のとおりとする。

「情報の基礎」は、「物質」、「エネルギー」に並ぶ第三の概念である「情報」について、まずその本質を理解し、さらに人間社会とのかかわり、意義、課題について理解するとともに、情報学全体を俯瞰することで今後の学修の方向性を理解し、情報一般の原理を探究する態度を身に付けるための教育内容として配置する。

「情報数学Ⅰ・Ⅱ」及び「統計学」は、情報学部における全分野の基礎となる理論である、線形代数、解析、および統計の基本を学ぶための教育内容として配置する。

「コンピュータアーキテクチャ」は、周辺装置や入出力装置を含め、コンピュータのハードウエアがどのような要素から構成され、どのように情報処理を遂行するかについて理解し、以後に学修する応用技術の基盤となる素養を身に付けるための教育内容として配置する。

「オペレーティングシステム」は、プロセス管理、入出力管理、記憶管理など、コンピュータの構成要素を制御し、情報処理を効率的に行うための基本的機能と概念を理解し、以後に学修する応用技術の基盤となる素養を身に付けるための教育内容として配置する。

「データ構造とアルゴリズム」は、コンピュータで扱われる基本的データ構造、およびそれを扱うための基本的アルゴリズムの原理と技法、特徴を理解し、さらに高度な知識と技術を学修する基盤としての素養を身に付けるための教育内容として配置する。

「プログラミング基礎」は、C 言語および C++言語を用い、変数、構造体、条件判断、再帰的処理、構造化、オブジェクト指向など、プログラミングを学ぶ上での基礎となる概念を理解し、さらに高度な知識と技術を学修する基盤としての素養を身に付けるための教育内容として配置する。

「情報通信ネットワーク」は、プロトコルやその階層化の概念、経路制御、認証など、コンピュータネットワークの基本概念と構造を理解し、さらに高度な知識と技術を学修する基盤としての素養を身に付けるための教育内容として配置する。

「情報セキュリティ」は、潜在する脅威を理解した上で、安心・安全な情報システムを実現するためにとるべき対応について、ガイドラインおよび技術的手法の基本を理解し、情報の関わるあらゆる場面において、セキュリティを意識することの必要性を理解するための教育内容として配置する。

「データベースの基礎」は、現在のデータベースの基礎となっているリレーショナルデータベースを中心にその原理や概念を理解し、さらに高度な知識と技術を学修する基盤としての素養を身に付けるための教育内容として配置する。

「情報科学基礎」は、情報の量、符号化、伝送等に係る基礎的理論を理解し、さらに高度な知識と技術を学修する基盤となる素養を身に付けるための教育内容として配置する。

「システム開発技術」は、モデリングや要求定義等、情報システムを設計・構築するための基礎となる概念と原理について理解し、身に付けるための教育内容として配置する。

「サイバーフィジカルシステム基礎」は、計算機（サイバー空間）と実世界（フィジカル空間）をつなぎ、様々な情報処理を行う技術の基礎として、機器や駆動装置の原理と、それらを制御するための制御理論に加え、人間の認知特性、画像処理、対話手法などの基本について学修し、今後の演習および実習を受講するための素養を身に付けるための教育内容として配置する。

「クラウド技術概論」は、実際の情報処理を行う環境として不可欠となっているクラウドについて、その概念、それを支える基礎技術を理解し、以後に学修する応用技術の基盤となる素養を身に付けるための教育内容として配置する。

【資料１】情報学部 情報学科 カリキュラム体系図

情報学部　理論科目一覧

授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置				
		必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手
情報の基礎	1①	1			○			1				
コンピュータアーキテクチャ	1②	2			○			1				
オペレーティングシステム	1③④	2			○			1		1		
情報数学Ⅰ	1①②	2			○			2				
情報数学Ⅱ	1③④	2			○			1				
統計学	2①②	2			○			1				
データ構造とアルゴリズム	1①	2			○			3		1		
プログラミング基礎	1②	2			○			1		1		
情報通信ネットワーク	1②	1			○			1				
情報セキュリティ	1③④	2			○			1				
データベースの基礎	1③④	2			○			1		1		
システム開発技術	1②	1			○			1				
クラウド技術概論	2①②		2		○			1				
サイバーフィジカルシステム基礎	1③	2			○			1				
情報科学基礎	1①②	2			○			2				

（是正事項）情報学部　情報学科

7【全体計画審査意見9の回答について】 ＜教育内容が重複＞ 審査意見【1】及び【4】の内容を踏まえ、抜本的に教育内容の重複を改めること。

（対応）

審査意見【1】及び【4】の内容を踏まえ、理論や原理が複数の演習科目や講義科目に分散しているもの及び理論や原理が複数の科目で重複しているものについて精査し、基礎的な理論や原理を１つの科目として学修する内容となるよう、抜本的に教育内容を改めることとした。

具体的には、理論や原理の重複がみられた授業科目を見直すとともに、授業科目の名称及び講義等の内容の見直しを行い、開講科目全体の整合性を踏まえた教育内容となるよう改めた。

「コンピュータ概論」は、情報技術全般の理論や原理を俯瞰する教育内容としていたものの、「情報科学基礎」、「プログラミング基礎」、「情報通信ネットワーク」と教育内容の一部が重複していたため削除し、「コンピュータ概論」に変えて、ハードウェアにおける基本設計や設計思想などを理解する理論科目として、「コンピュータアーキテクチャ」を、システム全体を管理するソフトウェアやミドルウェアに関する理論や原理について学修するための科目として、「オペレーティングシステム」を、情報システムを構築し、情報システムを開発する技術、情報システムの効果を得るための技術などの理論や原理について学修するための科目として「システム開発技術」を新規に配置する。

「ＩＣＴ演習」は、「ＩｏＴ演習」、「クラウド技術概論」、「データサイエンス演習」と教育内容の一部が重複していたため削除し、ＩｏＴや情報システムと人間のインタフェースに関する理論や原理について学修するための科目として、「サイバーフィジカルシステム基礎」を新規に開講するとともに、「情報科学基礎」をＡＩ、データサイエンスに関する理論や原理について学修するための科目として位置づけを明確にし、教育内容を変更した。

「プログラミング基礎」は、コンピュータのプログラムを作成するための C 言語および C++言語と、構造化やオブジェクト指向についての理論や原理を学修するための教育内容に変更する。

「情報科学基礎」は、ＡＩやデータサイエンスに関する理論や原理を学修するため、情報の量、符号化等、情報に係る基礎的理論を学修するための教育内容に変更する。

また、専門教育を学ぶための導入科目として、情報学全体を俯瞰し、情報の意義と分類や記号などの体系と諸概念の理解を通じて、情報一般の原理を探究する態度を身に付けるための教育内容として「情報の基礎」を新規に配置する。

（新旧対照表）

区　分	新	旧
授業科目の変更	（削除）	コンピュータ概論
	（削除）	ＩＣＴ演習
	情報の基礎 オペレーティングシステム コンピュータアーキテクチャ サイバーフィジカルシステム基礎 システム開発技術	（追加）
新規科目の追加	情報の基礎 情報学部では、情報の生成・探索・表現・蓄積・管理・認識・分析・変換・伝達に関わる原理と技術を探求し、社会に役立てられるようになることを目指す。これらを学修するにあたっての導入として、「物質」、「エネルギー」に並ぶ第三の概念である「情報」について、まずその本質を理解し、さらに人間社会とのかかわり、意義、課題について理解するとともに、情報に係る、これから学ぶべき学問分野を俯瞰する。 オペレーティングシステム 本講義では、コンピューターを制御、稼働させるための基本的な技術である、基本ソフトウェアやミドルウェアについて理解することで、有限の資源を複数の人間が効率よく利用できるための環境を学修するとともに、ネットワークやクラウド、データベースなど多岐にわたる今後の講義、演習および実習を受講するための素養を養う。 コンピュータアーキテクチャ	（追加） （追加） （追加）

	本講義では、コンピュータを設計し実現するための基本的な技術である、コンピュータのハードウェアに関する技術に加え、入出力装置に関する技術を理解することで、コンピュータが機能するための要素を理解し、自らその技術をつかいこなせるよう身に付けるとともに、今後の講義、演習および実習を受講するための素養を養う。	
	サイバーフィジカルシステム基礎 情報システムと現実世界とのインタフェースに関する原理や設計方法として、計算機（サイバー空間）と実世界（フィジカル空間）をつなぎ、様々な情報処理を行う技術について理解し、基礎となる機器や駆動装置、それらを制御するための制御理論に加え、人間の認知特性、画像処理、対話手法などの特徴について学修し、今後の演習および実習を受講するための素養を養う。	（追加）
	システム開発技術 社会の基盤となっている情報システムを構築し、情報システムを開発する技術、情報システムの効果を得るための技術に関する、原理や設計方法について理解するとともに、情報システムを取り巻く制度や情報システムを導入する組織に関する知識を学修することで、今後の演習および情報システムを構築する各種の実習を受講するための素養を養う。	（追加）

講義等の内容の変更	情報科学基礎 コンピュータで処理可能な形式化された情報に関して、情報の変換と伝達に関わる原理や、情報の認識と分析に関わる原理に加え、各種の計算モデルについて理解し、その技術を使いこなせるよう身に付けることで、今後の知識表現・知識処理やＡＩおよび機械学習、データサイエンスに関する演習や実習を受講するための素養を養う。 プログラミング基礎 C 言語を用い、変数、ポインタ、条件分岐、関数呼び出し、入出力等、データ構造と制御に係るプログラミングの基礎を学修する。さらに C++を用い、オブジェクト指向の基本を学修する。Linux 環境で実施する課題を課し、Linux の基本コマンド、Emax によるエディティング等、プログラミングに必要な各種操作についても併せて習得する。	情報科学基礎 コンピュータで問題を解くとはどういうことかという、情報科学の基礎的概念を理解するために、実世界の物や現象を情報として記述するためのモデル化の概念と手法、その情報を処理して問題を解くための概念および記述法を学修するとともに、画像処理、人工知能などの最新トピックに触れながら問題解決の表現手法や社会的価値創造などについて理解する。別途設置する「コンピュータ概論」と併せることで、コンピューティングに関する基礎力を身につけ、今後の学修の土台となる知識を修得する。 プログラミング基礎 手続き型、関数型、論理型、オブジェクト指向などの基本的なパラダイムを俯瞰するとともに、構文規則やコンパイラなどの言語処理系の基礎を学修する。さらに Python のプログラミング演習を通し、値、変数と名前、演算の記号、配列、構造化、部品化、再帰といったプログラミングの基本要素を理解し、多様なプログラミング言語の習得へ向けた基礎とするとともに、論理的な思考能力を身に付ける。

（是正事項）情報学部　情報学科

８【全体計画審査意見 11 の回答について】
＜シラバスの記載が不十分＞
審査意見【1】及び【4】の内容を踏まえ、抜本的にシラバスを改めること。

（対応）
審査意見【1】及び【4】の内容を踏まえ、抜本的にシラバスを改めた。

【資料７】情報学部シラバス（授業計画）

（是正事項）情報学部　情報学科

9【全体計画審査意見 12 の回答（2）、（3）について】 ＜実習施設における学生の具体的実習内容が不明＞ 臨地実務実習施設の概要の書類で実習先の事業説明がなされたが、いまだ実習先ごとの学生の具体的実習内容が不明であり、実習先で臨地実務実習の授業到達目標が達成されるのか不明である。 例えば、実習先の一つのパソコン教室を挙げても、パソコンを児童に教えるのか、業務に関連したシステムを作成するのかも不明である。改めて、実習先ごとの学生の具体的実習内容を明らかにし、臨地実務実習先の教育にふさわしい施設であることを明らかとすること。また、必要に応じて実習先を改めること。

（対応）

臨地実務実習施設の概要を精査し、実習先ごとの学生の具体的実習内容が不明瞭であったため、各実習施設における実習内容を明記した。

例として挙げられているパソコン教室の実習内容は、「臨地実務実習Ⅰ」では、プログラミング教室・パソコン教室およびポータルサイトにおける各種コンテンツや受講生データに対し、優秀生の特徴を分析して他の生徒も成績を向上できるようにカリキュラムを検討するための優等生特徴分析、中退者などの特徴を分析して中退者の予測や候補者への働きかけを行う中退者特徴分析、宣伝対象の絞り込みや広告内容を効率化し生徒数を拡充させる事で経営を安定化させる流入経路特徴分析を行うこと。「臨地実務実習Ⅱ」では「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、コンテンツの企画・設計・開発・検証・アフターサポートを行い、新たなコンテンツを自ら開発・提供する過程を通じて、要求仕様に応えるコンテンツ開発の技術及び手法を体得するとともに、例えば生徒の年齢や国籍・入学時の成績などを元に起業率や資格取得率について特徴分析や、教室間での移籍を活性化させるための教室間の重複・競合などついて分析を行うなど、新たな分析軸を考案し、経営層に対し新たな価値創造のための提案を行うことであり、「臨地実務実習Ⅰ」の目的である、データの流れ（入手、加工、保管）から見える課題を把握し自ら考える習慣を身につけ、様々な観点からその解決法を考察し、整理されたデータから、課題解決を焦点化する態度と技法を理解するとともに、データを可視化し、課題解決手法を広く一般に周知する技法を理解すること、「臨地実務実習Ⅱ」の目的である、企業の入手したデータを整理し、整理されたデータを解析することで、データの有意な規則性を発見する技法を理解し、そこから課題を発見し、課題解決策や新たなモノやサービスを計画、設計、実装、検証することで創造的な能力と実践的な態度を身に付けることという、科目の到達目標が十分に達成可能な施設と判断したことから選定に至った。

【資料８】情報学部 臨地実務実習施設の概要

（新旧対照表）様式第７号の４（その３）【臨地実務実習施設の概要】

「当該施設の選定理由」の修正

新	旧
１．富士ゼロックス新潟株式会社 同社は個人・法人を対象にカラー複合機等の富士ゼロックス製品の販売および保守、PC、アプリケーションソフトおよびネットワーク関連商品の販売、ソリューションサービスなどを提供している。富士ゼロックス製品のみならずあらゆるIT関連機器やソフトウェアを組み合わせ、新たな価値創造の実現する「Smart Work Innovation」をキーワードに事業を展開している。（削除） 「臨地実務実習Ⅰ」では、顧客機器およびソリューションサービスについて、クライアントに対する保守点検から抽出される活用実績・頻度等の顧客情報に関するデータを獲得し、可視化したうえで、活用方法の最適化に向けたデータ分析、効率、コスト抑制等の相関性を検討し、課題を把握することにより、本学情報学部の「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから、同施設の選定に至った。	１．富士ゼロックス新潟株式会社 同社は個人・法人を対象にカラー複合機等の富士ゼロックス製品の販売および保守、PC、アプリケーションソフトおよびネットワーク関連商品の販売、ソリューションサービスなどを提供している。富士ゼロックス製品のみならずあらゆるIT関連機器やソフトウェアを組み合わせ、新たな価値創造の実現する「Smart Work Innovation」をキーワードに事業を展開していることから、 （追加） 本学情報学部の「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法(追加)等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから、同施設の選定に至った。
２．株式会社スピードパーク新潟 同社はレーシングカート競技の主催や部品メーカーの走行テストなどの企画開発の展開しており、モータースポーツの過酷な環境下において抽出される、センサから得られる走行情報（速度や加速度、エンジンの回転数、ブレーキ圧など）に関するデータを獲得し、分析する業務を行っている。	２．株式会社スピードパーク新潟 (追加)レーシングカート競技(追加)や部品メーカーの走行テストなどの企画開発を展開しており、モータースポーツの過酷な環境下において（追加）、センサから得られる走行情報（速度や加速度、エンジンの回転数、ブレーキ圧など）と現実との相関分析などを行うことにより、 （追加）

「臨地実務実習Ⅰ」では、同社で行われているレース・走行会・試験走行によって得られる走行情報、走行中に収集した周回ごとの車両情報に関するデータを獲得し、可視化したうえで、スピードとの相関性を分析、データ処理を行い、走行中の課題を把握することにより、本学情報学部「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また、「臨地実務実習Ⅱ」では、「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、走行中における新たな分析軸を検討するとともに、走行データ取得に必要となる各種機器の設計・性能テスト・検証・接続・設置などに加え、機器や取得するデータに応じたソフトウェア開発の社内提案、実装を行うことにより、「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案　　(削除)　　等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。	本学情報学部「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法(追加)　等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断すること、また　　(追加)　　「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営組織の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案、理論に裏打ちされた経営の意思決定等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。
３．株式会社シアンス 同社は、官公庁の大規模システム案件を受託開発や、地元新潟の製造・流通業の業務システムや企業の基幹システム等の提案から開発・保守、地元新潟の民間企業・官公庁・公社等の Web サイト制作などを行っている。また、顧客の抱える課題や要望に対し、オーダーメイドでシステムや Web サイトの提案から開発・制作を行い、アフサ	３．株式会社シアンス 同社は、官公庁の大規模システム案件を受託開発や、地元新潟の製造・流通業の業務システムや企業の基幹システム等の提案から開発・保守、地元新潟の民間企業・官公庁・公社等の Web サイト制作などを行っていること。また顧客の抱える課題や要望に対し、オーダーメイドでシステムや Web サイトの提案から開発・制作を行い、

ーサポートまでの解決支援を提供している。 「臨地実務実習Ⅰ」では、企業や行政機関の広報・採用活動を促進する Web サイトを活用した Web マーケティングについて、クライアントがターゲットとする市場の特徴を分析して、より効果的な Web サイトを構築するため、アクセス解析によって入手したデータを「属性データ」「行動データ」「コンバージョンデータ」に分類・分析し、その相関性の考察により、課題の把握、課題解決の焦点化をすることにより、 本学情報学部「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また、「臨地実務実習Ⅱ」では「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、ユーザー満足度を高めるために、顧客の課題を更に調査分析し、戦略的な解決策・開発案を立案し、社内提案したうえで、新たなサービス・機能・施策の設計・実装に携わり、クライアントへの提案まで行うことにより、 「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案（削除）等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。 ４．株式会社チアリー　東京本部 同社は主にパソコン教室運営、教材の企画開発を展開しており、さらに 2015 年より次世代の子どもに必要なスキルとして重要視されているプログラミング教室の運営を開始。IT スキルだけ	アフサーサポートまでの解決支援を提供していることから、 （追加） 本学情報学部「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法(追加)等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断すること、また（追加） 「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営組織の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案、理論に裏打ちされた経営の意思決定等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。 ４．株式会社チアリー　東京本部 同社は主にパソコン教室運営、教材の企画開発を展開しており、さらに 2015 年より次世代の子どもに必要なスキルとして重要視されているプログラミング教室の運営を開始。IT スキルだけ

でなく、論理的思考や問題解決力、創造力を育むことができる教室をキーワードとし、自社内において教材カリキュラムの企画開発を行っている。（削除） 「臨地実務実習Ⅰ」では、プログラミング教室・パソコン教室およびポータルサイトにおける各種コンテンツや受講生データに対し、優秀生の特徴を分析して他の生徒も成績を向上できるようにカリキュラムを検討するための優等生特徴分析、中退者などの特徴を分析して中退者の予測や候補者への働きかけを行う中退者特徴分析、宣伝対象の絞り込みや広告内容を効率化し生徒数を拡充させる事で経営を安定化させる流入経路特徴分析を行うことにより、「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また、「臨地実務実習Ⅱ」では「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、コンテンツの企画・設計・開発・検証・アフターサポートを行い、新たなコンテンツを自ら開発・提供する過程を通じて、要求仕様に応えるコンテンツ開発の技術及び手法を体得するとともに、例えば生徒の年齢や国籍・入学時の成績などを元に起業率や資格取得率について特徴分析や、教室間での移籍を活性化させるための教室間の重複・競合などついて分析を行うなど、新たな分析軸を考案し、経営層に対し新たな価値創造のための提案を行うことにより、臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案（削除）	でなく、論理的思考や問題解決力、創造力を育むことができる教室をキーワードとし、自社内において教材カリキュラムの企画開発を行っていることから、本学情報学部 （追加） 「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法(追加)等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断すること、また （追加） 「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営組織の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案、理論に裏打ちされた経営の

等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。 ５．株式会社チアリー　大阪本部 同社は主にパソコン教室運営、教材の企画開発を展開しており、さらに 2015 年より次世代の子どもに必要なスキルとして重要視されているプログラミング教室の運営を開始。IT スキルだけでなく、論理的思考や問題解決力、創造力を育むことができる教室をキーワードとし、自社内において教材カリキュラムの企画開発を行っている。　（削除） 「臨地実務実習Ⅰ」では、プログラミング教室・パソコン教室およびポータルサイトにおける各種コンテンツや受講生データに対し、優秀生の特徴を分析して他の生徒も成績を向上できるようにカリキュラムを検討するための優等生特徴分析、中退者などの特徴を分析して中退者の予測や候補者への働きかけを行う中退者特徴分析、宣伝対象の絞り込みや広告内容を効率化し生徒数を拡充させる事で経営を安定化させる流入経路特徴分析を行うことにより、「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また、「臨地実務実習Ⅱ」では「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、コンテンツの企画・設計・開発・検証・アフターサポートを行い、新たなコンテンツを自ら開発・提供する過程を通じて、要求仕様に応えるコンテンツ開発の技術及び手法を体得するとともに、例えば生徒の年齢や国籍・入学時の成績などを元に起業率や資格取得率について特徴分析や、教室間	意思決定等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。 ５．株式会社チアリー　大阪本部 同社は主にパソコン教室運営、教材の企画開発を展開しており、さらに 2015 年より次世代の子どもに必要なスキルとして重要視されているプログラミング教室の運営を開始。IT スキルだけでなく、論理的思考や問題解決力、創造力を育むことができる教室をキーワードとし、自社内において教材カリキュラムの企画開発を行っていることから、本学情報学部 （追加） 「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法(追加)等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断すること、また （追加）

での移籍を活性化させるための教室間の重複・競合などついて分析を行うなど、新たな分析軸を考案し、経営層に対し新たな価値創造のための提案を行うことにより、臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案　　（削除）等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。	「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営組織の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案、理論に裏打ちされた経営の意思決定等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。
６．株式会社ＬＥＡｐａｓｓ 同社は、Ｗｅｂデジタルマーケティングを中心とした企画提案を事業としており、顧客に対し専任担当者を設置することを特徴としている。進化と複雑化の進むデジタルマーケティングは、同時にやらなければならないことが増え続け、Ｗｅｂサイトの企画から制作、マーケティング、後の効果測定、次の改善までをまとめて相談できる専任担当者の体制を整えている。 （削除） 「臨地実務実習Ｉ」では、ＥＣ事業部においてオンラインショッピングサイトの運営、サイト更新、集客、サポートを行う過程において、検索エンジン最適化、エントリーフォーム最適化、メルマガの開封率やクリック率最適化、サイト内ユーザー行動の分析・解析などによって抽出されるデータを獲得し、可視化したうえで、データ分析し、課題の抽出・改題解決の焦点化することにより、「臨地実務実習Ｉ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ｉの授業到達目標に即した実習	６．株式会社ＬＥＡｐａｓｓ 同社は、Ｗｅｂデジタルマーケティングを中心とした企画提案を事業としており、顧客に対し専任担当者を設置することを特徴としている。進化と複雑化の進むデジタルマーケティングは、同時にやらなければならないことが増え続け、Ｗｅｂサイトの企画から制作、マーケティング、後の効果測定、次の改善までをまとめて相談できる専任担当者の体制を整えていることから、本学情報学部 （追加） 「臨地実務実習Ｉ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法(追加)等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待

が十分期待できると判断すること、また、「臨地実務実習Ⅱ」では「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、オンラインショッピングサイトの集客増に向けた課題を抽出し、課題の克服に向けた新しい機能の追加に関する企画の設計・開発計画の策定、経営層への提案、実装まで至ることにより、 「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案 （削除）等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。	できると判断すること、また （追加） 「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営組織の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案、理論に裏打ちされた経営の意思決定等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。
７．フラー株式会社 同社はモバイル行動データを核に、２つの事業を展開している。「アプリ分析支援事業」では、スマホアプリの実利用データを提供することで、アプリに関わる全ての顧客に的確なマーケットリサーチや競合調査を可能にし、「スマホビジネス共創事業」では、アプリの成功失敗に関わる貴重なデータと培ってきた知見を活かし、スマホのビジネス活用を トータルサポートしている。このように様々なデータを基にアプリビジネスを支援する事業を行っている。 （削除） 「臨地実務実習Ⅱ」では、アプリ分析支援事業における業務となる、スマホアプリの実利用データの収集・分析の実務を通じて、市場・競合調査を始めとするアプリの企画・マーケティング・顧客に関する課題を抽出する。この課題に基づき、戦略的な解決策を立案・社内提案し、開発・制作クライアントに対し提供される実利用データに加える新たなデータ・機能に関する企画・設計・	７．フラー株式会社 同社はモバイル行動データを核に、２つの事業を展開している。「アプリ分析支援事業」では、スマホアプリの実利用データを提供することで、アプリに関わる全ての顧客に的確なマーケットリサーチや競合調査を可能にし、「スマホビジネス共創事業」では、アプリの成功失敗に関わる貴重なデータと培ってきた知見を活かし、スマホのビジネス活用を一気通貫でサポートする。このようにデータを基にアプリビジネスを支援する事業を行っていることから、本学情報学部 （追加）

実装を行うことにより、「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案　（削除）　等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。	「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営組織の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案、理論に裏打ちされた経営の意思決定等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。
８．株式会社新潟人工知能研究所 同社はデータ解析技術を中心に「学生サポートシステム」として、教育分野を対象とした生徒属性・中退者・学校流入経路、優等生等の特徴分析事業の他、チャットボットの開発など、データ解析に関して培った技術を活かし、新潟の企業や研究所、教育機関に対し知見を提供している。 （削除） 「臨地実務実習Ⅰ」では、「学生サポートシステム」から得られた学生データに対し、優等生・中退者・流入経路などの各種データの可視化、特徴分析を実践する。これら各種データ分析の実践を踏まえ、各学生の成績向上に向けた課題を把握し、課題解決の焦点化、社内提案を行うことにより、「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、 また、「臨地実務実習Ⅱ」では「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、「学生サポートシステム」から得られたデータ分析に基づき、課題の抽出、課題解決策を社内提案し、この提案を踏まえた新たなサービス・機能・施策について計画、設計、実装、検証までを行うことにより、「臨地実	８．株式会社新潟人工知能研究所 同社はデータ解析技術を中心に「学生サポートシステム」として、教育分野を対象とした生徒属性・中退者・学校流入経路、優等生等の特徴分析事業の他、チャットボットの開発など、データ解析に関して培った技術を活かし、新潟の企業や研究所、教育機関に対し知見を提供していることから、本学情報学部 （追加） 「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法(追加)等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断すること、また （追加） 「臨地実

務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。	務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営組織の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案、理論に裏打ちされた経営の意思決定等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。
９．株式会社 Dream Advance 同社は１つの教室で 8 つの習い事ができる、ワンストップスクーリングの「夢教室ドリームアドバンス」を運営。そろばん、書道、英語のほか、絵本、マンガ、華道、フラワーアレンジメント、折り紙という、ユニークなレッスンを取り揃え、興味や伸ばしたい能力に合わせて、学びたいレッスンを自由に選択できることを特徴としている。　（削除）	９．株式会社 Dream Advance 同社は１つの教室で 8 つの習い事ができる、ワンストップスクーリングの「夢教室ドリームアドバンス」を運営。そろばん、書道、英語のほか、絵本、マンガ、華道、フラワーアレンジメント、折り紙という、ユニークなレッスンを取り揃え、興味や伸ばしたい能力に合わせて、学びたいレッスンを自由に選択できることを特徴としている。約 100 名の受講生に対し個別のメニューを提供し、それぞれ目標とする習熟度まで到達するためのカリキュラムの策定や進度の管理などを実現するため、情報技術を活用した様々な受講生データを基に事業を展開していることから、本学情報学部 （追加）
「臨地実務実習Ⅰ」では、各受講生のそれぞれの習い事において、目標とする習熟レベルまで到達するために適するカリキュラムとなるよう、各種業務データや受講生データを可視化し、分析・解析を行う。これら分析・解析の結果を基に受講生の習熟度を上げるための課題の把握、課題解決の焦点化を実践することにより、「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。	「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法(追加)等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。

１０．株式会社小川屋 同社は明治 26 年に、漬け魚を中心に、新潟の豊かな食材を新潟らしい製法で活かした商品の製造、販売を行っている。近年の消費者訴求のための新たな商品開発に直接運営しているオンラインショッピングサイトのデータを活用しているほか、主力である漬け魚ギフトの製造においても、職人の技を後世に残すべく多様なデータを用いた製造技法を開発している。	１０．株式会社小川屋 同社は明治 26 年に、漬け魚を中心に、新潟の豊かな食材を新潟らしい製法で活かした商品の製造、販売を行っている。近年の消費者訴求のための新たな商品開発に直接運営しているオンラインショッピングサイトのデータを活用しているほか、主力である漬け魚ギフトの製造においても、職人の技を後世に残すべく多様なデータを用いた製造技法を開発していることから、本学情報学部
（削除）	（追加）
「臨地実務実習Ⅰ」では、オンラインショッピングサイトの運営、サイト更新、集客、サポートを行う業務の体験を通して、検索エンジン最適化、エントリーフォーム最適化、サイト内ユーザー行動に関するデータを可視化し、分析・解析などを行うことで、オンラインショッピングの集客増に向けた課題を抽出し、課題解決を焦点化することにより、「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また、「臨地実務実習Ⅱ」では、「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、新規顧客の開拓に向けてオンラインショッピングサイトの集客増に向けた課題を抽出し、課題の克服に向けた新しい機能の追加に関する企画・開発計画案を策定し、社内提案したうえで、設計・実装まで至ることや、水産加工品生産工程の改善に向けた課題を踏まえ、工程の「見える化」や生産効率の向上につながる各種施策を検討し、この向上に向けた取り組みとなる設計・実装に携わることにより、「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析に	「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法(追加)等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断すること、また （追加） 「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析に

よるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案　（追加）　等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。	よるデータ有意な規則性発見、経営組織の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案、理論に裏打ちされた経営の意思決定等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。
１１．越後味噌醸造株式会社 同社は越後の伝統食文化である発酵・醸造後世へ紡ぐために、発酵テーマパークをキーワードとして、味噌蔵見学、味噌仕込み体験イベント、越後味噌大学、直売店の運営、オンラインショッピングサイトの運営などを行っている。近年の消費者訴求のための新たな商品開発に直接運営しているオンラインショッピングサイトのデータを活用しているほか、主力である味噌・漬物・調味料などの製造においても、職人の技を後世に残すべく多様なデータを用いた製造技法を開発している。　（削除） 「臨地実務実習Ⅰ」では、オンラインショッピングサイトの運営、サイト更新、集客、サポートを行う業務の体験を通して、検索エンジン最適化、エントリーフォーム最適化、サイト内ユーザー行動に関するデータを可視化し、分析・解析などを行うことで、オンラインショッピングの集客増に向けた課題を抽出し、課題解決を焦点化することにより、「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また、「臨地実務実習Ⅱ」では、「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、新規顧客の開拓に向けてオンラインショッピングサイトの集客増に向けた課題を抽出し、課題の克服に向けた新しい	１１．越後味噌醸造株式会社 同社は越後の伝統食文化である発酵・醸造後世へ紡ぐために、発酵テーマパークをキーワードとして、味噌蔵見学、味噌仕込み体験イベント、越後味噌大学、直売店の運営、オンラインショッピングサイトの運営などを行っている。近年の消費者訴求のための新たな商品開発に直接運営しているオンラインショッピングサイトのデータを活用しているほか、主力である味噌・漬物・調味料などの製造においても、職人の技を後世に残すべく多様なデータを用いた製造技法を開発していることから、本学情報学部　（追加） 「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法（追加）等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断すること、また （追加）

機能の追加に関する企画・開発計画案を策定し、社内提案したうえで、設計・実装まで至ることや、味噌醸造現場の生産性向上に向けて、醸造工程における温度・湿度を測定するセンサ制御およびネットワーク通信制御と、その記録を閲覧することができるスマートフォンアプリを組み合わせた「醸造 IoT システム」の構築に向けた設計、実装、検証という実務の一連の過程を想定することにより、「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案　（削除）　等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。	「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営組織の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案、理論に裏打ちされた経営の意思決定等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。
１２．ＮＴＴテクノクロス株式会社　横浜事業所 同社は NTT グループに属し、ソフトウェア・情報通信システムの設計・開発・運用、そしてそれらに関わるコンサルティングをしている ICT 企業である。2017 年 4 月 1 日付けで NTT ソフトウェア株式会社と NTT アイティ株式会社が、音声・映像などのメディア処理、および AI など知的処理の技術を活用したソリューション事業を強化するため合併した。それまで各社が取り組んできた事業を継続するとともに、日本電信電話株式会社の先端技術や研究成果を活用した先進的なソリューション/サービスを提供している。 「臨地実務実習Ⅱ」では、小型コンピュータ（Raspberry Pi）を使ったソフトウェア開発およびシステム提案業務に関する課題解決に向けて、顧客満足度調査やユーザーアンケート等のデータ分析を踏まえ、新サービス検討・試作アプ	１２．ＮＴＴテクノクロス株式会社　横浜事業所 最先端の情報通信技術分野への連関が多岐に渡ることが予想される情報通信分野先端企業における企業内実習によって、本学情報学部

リ開発に関する計画の提案、設計・実装の実務を行い、新たなコンテンツを自ら開発・提供する過程に携わることにより、「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案（削除） 等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。	「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営組織の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案、理論に裏打ちされた経営の意思決定等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。
１３．合同会社 DMM.com 同社は国内最大級の規模を誇るエンターテインメント総合サイト DMM.com を代表とする様々な事業・サービスの企画・開発・運用・Web マーケティング等を行っており、DMM.com で提供する各種事業の、会員動向データの集約と分析を基盤とし、データから見えるロジカルな根拠を基に新規会員、既存会員の収益活性化を実現、データ駆動戦略を実践している。 （削除） 「臨地実務実習Ⅱ」では、ポータルサイト DMM.com の運用から得られた、サイト内ユーザー行動情報の可視化から、各種の分析軸毎の閲覧行動分析を行うことで利便性向上に向けた課題抽出・解決策を社内提案したうえで、ポータルサイトに関連する各種のコンテンツについての機能追加等の計画、設計、実装、検証を自ら行うことにより、「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案　（削除）等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判	１３．合同会社 DMM.com 同社は国内最大級の規模を誇るエンターテインメント総合サイト DMM.com を代表とする様々な事業・サービスの企画・開発・運用・Web マーケティング等を行っており、DMM.com で提供する各種事業の、会員動向データの集約と分析を基盤とし、データから見えるロジカルな根拠を基に新規会員、既存会員の収益活性化を実現、データ駆動戦略を実践していることから、本学情報学部 （追加） 「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営組織の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案、理論に裏打ちされた経営の意思決定等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分

断することから同施設の選定に至った。	期待できると判断することから同施設の選定に至った。
１４．株式会社幻の酒 同社は、ネット通販事業者として今後の生き残りを左右するものは、ＳＮＳの活用と、オリジナル商品の開発にかかっているという経営方針のもとに、データ駆動戦略を実践していること、ＩＴ経営を掲げＩＴ推進教育を積極的に行っていること、また国内・海外から得られた様々な販売データを基にクラウドファンディングを積極的に活用し新たな商品開発を行っている。	１４．株式会社幻の酒 同社は、ネット通販事業者として今後の生き残りを左右するものは、ＳＮＳの活用と、オリジナル商品の開発にかかっているという経営方針のもとに、データ駆動戦略を実践していること、ＩＴ経営を掲げＩＴ推進教育を積極的に行っていること、また国内・海外から得られた様々な販売データを基にクラウドファンディングを積極的に活用し新たな商品開発を行っていることから、本学情報学部
（削除）	（追加）
「臨地実務実習Ⅰ」では、オンラインショッピングサイトの運営、サイト更新、集客、サポートを行う業務の体験を通して、検索エンジン最適化、エントリーフォーム最適化、サイト内ユーザー行動に関するデータを可視化し、分析・解析などを行うことで、オンラインショッピングの集客増に向けた課題を抽出し、課題解決を焦点化することにより、「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また、「臨地実務実習Ⅱ」では、「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、新規顧客の開拓に向けてオンラインショッピングサイトの集客増に向けた課題を抽出し、課題の克服に向けた新しい機能の追加に関する企画・開発計画案を策定し、経営層に対し提案したうえで、設計・実装まで至ることにより、	「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法(追加)等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断すること、また （追加）
「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、	「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営組織の理解、

課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案　(削除)等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。	課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案、理論に裏打ちされた経営の意思決定等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。
１５．モリパワー株式会社 同社は主に Web 事業、教育事業を行っており、これらを組み合わせた製品「Quick テスト」は授業準備・採点業務を劇的に軽減できるだけでなく、クラス・学生の弱点などを分析し適切な履修計画の提示や、各自の傾向などを視覚的に表示するなど、データを基にした計画立案と提示を実践している。　(削除) 「臨地実務実習Ⅰ」では、オンライン試験対策システムである「Quick テスト」における受講者データの可視化を踏まえ、利用中断者などの特徴を分析して中断者の予測や候補者への働きかけを行う中断者特徴分析を行い、利用中断者抑止に向けた課題を把握し、課題解決の焦点化をすることにより、「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また、「臨地実務実習Ⅱ」では「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、オンライン試験対策システムである「Quick テスト」の運営における課題の抽出・社内提案を踏まえて、新たなサービスを企画・設計・実装・検証・アフターサポートを行い、新たなコンテンツを自ら開発・提供する過程に携わることにより、 「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、	１５．モリパワー株式会社 同社は主に Web 事業、教育事業を行っており、これらを組み合わせた製品「Quick テスト」は授業準備・採点業務を劇的に軽減できるだけでなく、クラス・学生の弱点などを分析し適切な履修計画の提示や、各自の傾向などを視覚的に表示するなど、データを基にした計画立案と提示を実践していることから、本学情報学部 (追加) 「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法(追加)等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断すること、また (追加) 「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営組織の理解、

課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案（削除）等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。	課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案、理論に裏打ちされた経営の意思決定等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。
１６．今代司酒造株式会社 同社は、新潟の地において酒造業を営んでいる。1776 年に創業し、事業承継を踏まえた第二創業を経て、現在も新規商品開発・販売の取り組みに注力し、特にオンラインショッピングサイトを中心とした海外展開に加え、酒蔵見学を充実させ直売所を運営するようになり、2017 年度酒蔵来訪者は 3 万人を超える。このようなブランディング戦略にオンラインショッピングサイトから得られたデータが広く活用されているだけでなく、主力である酒造においても、職人の技を後世に残すべく多様なデータを用いた製造技法を開発している。（削除） 「臨地実務実習Ⅰ」では、オンラインショッピングサイトの運営、サイト更新、集客、サポートを行う業務の体験を通して、検索エンジン最適化、エントリーフォーム最適化、サイト内ユーザー行動に関するデータを可視化し、分析・解析などを行うことで、オンラインショッピングの集客増に向けた課題を抽出し、課題解決を焦点化することにより、「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また、「臨地実務実習Ⅱ」では、「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、小売店舗の経営改善を目標に、例えばオーダーシステムにおけるスマートデバイス（IoT 機器）の開発や、顧客感情を	１６．今代司酒造株式会社 同社は、新潟の地において酒造業を営んでいる。1776 年に創業し、事業承継を踏まえた第二創業を経て、現在も新規商品開発・販売の取り組みに注力し、特にオンラインショッピングサイトを中心とした海外展開に加え、酒蔵見学を充実させ直売所を運営するようになり、2017 年度酒蔵来訪者は 3 万人を超える。このようなブランディング戦略にオンラインショッピングサイトから得られたデータが広く活用されているだけでなく、主力である酒造においても、職人の技を後世に残すべく多様なデータを用いた製造技法を開発していることから、本学情報学部（追加） 「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法（追加）等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断すること、また （追加）

把握するための店舗内画像認識システムの開発など、課題解決に向けた各種施策を社内提案し、検討・計画・設計・実装に携わることにより、「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案　（削除）等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。	「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営組織の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案、理論に裏打ちされた経営の意思決定等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。
１７．株式会社ジェイ・エス・エス 同社の主力製品である学校業務支援トータルパッケージでは、学生募集、入学、学務、就職、学費に加え各種 SNS のデータ連携が自動で行われることでスムーズな業務遂行を可能とし、さらに新商品の学生証アプリとも連動することで、学生の多様な動態データから得られた様々な支援を教育機関へ提供している。 （削除） 「臨地実務実習Ⅰ」では、学生証アプリの運営、更新、サポートを行う業務の体験を通して、ユーザー行動の分析・解析などの各種分析を行う中で、ユーザー情報・同行動データを可視化し、特徴分析を行うことで課題の把握、課題解決の焦点化をすることにより、「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また、「臨地実務実習Ⅱ」では、「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、学生証アプリから得られたデータを解析することで新たな課題を発見し、課題を解決するための新たなサービ	１７．株式会社ジェイ・エス・エス 同社の主力製品である学校業務支援トータルパッケージでは、学生募集、入学、学務、就職、学費に加え各種 SNS のデータ連携が自動で行われることでスムーズな業務遂行を可能とし、さらに新商品の学生証アプリとも連動することで、学生の多様な動態データから得られた様々な支援を教育機関へ提供していることから、本学情報学部 （追加） 「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法(追加)等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断すること、また （追加）

ス・機能・施策について社内提案、計画、設計、実装、検証を自ら行う。これらサービス提供における一連の流れに携わることにより、「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案　（削除）　等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。	「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営組織の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案、理論に裏打ちされた経営の意思決定等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。
１８．Adam Innovations 株式会社 南魚沼市の地方自治体と協力して、グローバルプラットフォーム「グローバル IT パーク南魚沼」を立ち上げ、インドおよびスリランカを中心にアジアの大規模な IT 企業８つが入居し、これらの企業と日本における企業とのハブとしての機能を担っていること。主にソフトウェア開発を主要な事業とする海外企業と、日本国内企業の橋渡しをするにあたりデータ分析に基づいた戦略立案が重要となる。　（削除） 「臨地実務実習Ⅰ」では、グローバル IT パーク南魚沼の運営業務や、入居している海外企業のサポート業務などを通じて得られた各種の経営情報についてのデータを獲得・可視化し、その特徴分析・相関性の考察によって、利便性向上に向けた課題を抽出することにより、 「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また、「臨地実務実習Ⅱ」では「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、グローバル IT パーク南魚沼における外	１８．Adam Innovations 株式会社 南魚沼市の地方自治体と協力して、グローバルプラットフォーム「グローバル IT パーク南魚沼」を立ち上げ、インドおよびスリランカを中心にアジアの大規模な IT 企業８つが入居し、これらの企業と日本における企業とのハブとしての機能を担っていること。主にソフトウェア開発を主要な事業とする海外企業と、日本国内企業の橋渡しをするにあたりデータ分析に基づいた戦略立案が重要となることから、本学情報学部 （追加） 「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法(追加)等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断すること、また （追加）

国人入居者の利便性向上を目的とし、例えば地域の施設や環境をＡＲ技術によって可視化するなど、課題解決策の社内提案を踏まえ、新たなサービスやコンテンツの企画・設計・実装・検証・アフターサポートを行うことにより、「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案　（削除）　等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。	「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営組織の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案、理論に裏打ちされた経営の意思決定等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。
１９．リコージャパン株式会社 新潟支社 同社はリコー製品をはじめマルチベンダーとしてＩＣＴ（ＯＡ・通信）のコンサルティング、販売、システム設計構築、アフターサービスまでトータルソリューションを提供しており、ビジネスコンセプト「Customer's Customer Success」を掲げ顧客の経営課題をともに解決し、新しい価値をともに創り出すことのできるパートナーとなることを目標としている。 （削除） 「臨地実務実習Ｉ」では、顧客機器およびサービスについて、クライアントに対する保守点検から抽出される活用実績・頻度等の顧客情報に関するデータを獲得し、可視化したうえで、活用方法の最適化に向けたデータ特長分析をすることで課題の把握、課題解決の焦点化をすることにより、「臨地実務実習Ｉ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ｉの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また、「臨地	１９．リコージャパン株式会社 新潟支社 同社はリコー製品をはじめマルチベンダーとしてＩＣＴ（ＯＡ・通信）のコンサルティング、販売、システム設計構築、アフターサービスまでトータルソリューションを提供しており、ビジネスコンセプト「Customer's Customer Success」を掲げ顧客の経営課題をともに解決し、新しい価値をともに創り出すことのできるパートナーとなることを目標としているため、本学情報学部 （追加） 「臨地実務実習Ｉ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法(追加)等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断すること、また

実務実習Ⅱ」では、「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、同社製品を中心としたオフィス環境ならびオフィス外でのビジネス活動の利便性を向上させることを目標に、課題解決策の社内提案を踏まえ、新たなクラウドサービスの企画・設計・実装・検証・アフターサポートを行い、新たなコンテンツを自ら開発・提供する過程を実践することにより、 「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案（削除）　等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。	「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営組織の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案、理論に裏打ちされた経営の意思決定等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。
２０．株式会社ＮＳＧアカデミー 同社は新潟県内、県外において広域で学習塾を経営しており、生涯学習の一端を担う企業として、生徒・保護者の多様なニーズに応えるべく、クラス指導（集団）・ライブ指導（集団・個別）、個別指導・家庭教師・衛星予備校など多様な教育サービスを提供している。このような多様な教育サービスを提供するにあたり、多くのデータを基に情報技術を活用した事業展開を構想している。　　（削除） 「臨地実務実習Ⅰ」では、クラス指導（集団）・ライブ指導（集団・個別）における受講生から得られた各種データ獲得、可視化から、優秀生の特徴を分析して他の生徒も成績を向上できるようにカリキュラムを検討するための優等生特徴分析、中退者などの特徴を分析して中退者の予測や候補者への働きかけを行う中退者特徴分析を行い、課題の把握・課題解決の焦点化をすることにより、「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標とな	２０．株式会社ＮＳＧアカデミー 同社は新潟県内、県外において広域で学習塾を経営しており、生涯学習の一端を担う企業として、生徒・保護者の多様なニーズに応えるべく、クラス指導（集団）・ライブ指導（集団・個別）、個別指導・家庭教師・衛星予備校など多様なクラスを開講している。このような多様なクラス運営を実現するにあたり、多くのデータを基に情報技術を活用した事業展開をしている ことから、本学情報学部 （追加） 「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標とな

るデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また、「臨地実務実習Ⅱ」では「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、衛星予備校における中退者抑止を目標に、中退者の予測や候補者への働きかけを行うための新たなサービスやコンテンツの企画・設計・実装・検証・アフターサポートを行い、新たなコンテンツを自ら開発・提供する過程を実践するとともに、例えば教室間での移籍を活性化させるための教室間の重複・競合などについて分析を行うなど、新たな分析軸を考案し、経営層に対し新たな価値創造のための提案を行うことにより、	るデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法(追加)等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断すること、また （追加）
「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案（削除）等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。	「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営組織の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案、理論に裏打ちされた経営の意思決定等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。
２１．株式会社エヌエスジー教育ネットワーク 同社は目まぐるしく様変わりする民間教育市場に対応した学習塾、資格取得教育、スイミングスクール、習い事教室事業を営む会社の事業活動の支配を通じて、マーケティング分析、新規商品開発、更には企業人育成を主な事業としている。子会社から得られた多くのデータを基にマーケティング分析や新規商品開発を行っている。 （削除） 「臨地実務実習Ⅰ」では、学習塾、資格取得教育、スイミングスクール、習い事教室事業を行う	２１．株式会社エヌエスジー教育ネットワーク 同社は目まぐるしく様変わりする民間教育市場に対応した学習塾、資格取得教育、スイミングスクール、習い事教室事業を営む会社の事業活動の支配を通じて、マーケティング分析、新規商品開発、更には企業人育成を主な事業としている。子会社から得られた多くのデータを基にマーケティング分析や新規商品開発を行っていることから、本学情報学部 （追加）

各事業会社の管理業務体験と経営情報から、各事業会社における受講生の入出行動についてのデータを獲得し、可視化したうえで特徴分析し、効果的な顧客の囲い込みに向けた課題の把握、課題解決の焦点化を行うことにより、 「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また 「臨地実務実習Ⅱ」では、「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、各事業会社の受講生増に向けた統一的募集サイト構築を目的にした課題を抽出し、この課題の克服のための web サイト構築、もしくはアプリの開発、既存サイトへの機能追加等の社内提案・実行を通じて、新たなコンテンツを自ら設計・実装することにより、「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案　（削除）等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。	「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法（追加）等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断すること、また （追加） 「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営組織の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案、理論に裏打ちされた経営の意思決定等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。
２２．三井住友アセットマネジメント株式会社 国内トップクラスの資産運用会社として、金融のビッグデータを処理、分析し、新たな価値の創出につながる有益な知識へと変換する「金融スマートデータ」をキーワードに、情報収集にかかる時間短縮や、未来予測の精度向上、企業の眠れる価値の創出などを事業展開において実現している。　（削除） 「臨地実務実習Ⅰ」では、資産運用業務を通じた	２２．三井住友アセットマネジメント株式会社 国内トップクラスの資産運用会社として、金融のビッグデータを処理、分析し、新たな価値の創出につながる有益な知識へと変換する「金融スマートデータ」をキーワードに、情報収集にかかる時間短縮や、未来予測の精度向上、企業の眠れる価値の創出などを事業展開において実現していることから、本学情報学部 （追加）

各種の業務情報に関するデータを獲得し、可視化したうえで、活用方法の最適化や新規顧客獲得に向けた効果的なマーケティング手法の構築に向けた課題の把握、課題解決の焦点化をすることにより、「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また、「臨地実務実習Ⅱ」では「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、同社が提供する個人顧客向け web サイトにおいて、より効果的な資産運用シミュレーション構築を目的とする課題解決策を踏まえ、新しい機能の追加に関する企画・開発の計画案を策定し、社内提案したうえで、実装まで至ることにより、	「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法(追加)等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断すること、また (追加)
「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案(削除)等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。	「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営組織の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案、理論に裏打ちされた経営の意思決定等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。
２３．株式会社グラフ 同社は「データの利用価値を最大限に拡張する」ことをミッションとしたAI(人工知能)企業であり、各産業界トップ企業での実績を持ち、データ利活用において実際的なノウハウを蓄積してきた。AI(人工知能)・機械学習の活用やビッグデータ分析を通じて、クライアントにとって本当に必要な支援、ビジネス戦略コンサルティングを提供している。(削除) 「臨地実務実習Ⅰ」では、データサイエンティス	２３．株式会社グラフ 同社は「データの利用価値を最大限に拡張する」ことをミッションとしたAI(人工知能)企業であり、各産業界トップ企業での実績を持ち、データ利活用において実際的なノウハウを蓄積してきた。AI(人工知能)・機械学習の活用やビッグデータ分析を通じて、クライアントにとって本当に必要な支援、ビジネス戦略コンサルティングを提供していることから、本学情報学部 (追加)

ト業務の体験を通して、顧客の事業理解とデータの可視化・分析に基づく企画資料の作成から施策立案までを同社社員と共同で行い、この流れを踏まえた課題の把握、課題解決を焦点化することにより、「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また、「臨地実務実習Ⅱ」では「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、AI（人工知能）・機械学習を活用したコンサルティング・エンジニアリングに関わることと共に、分析基盤環境や大規模データ処理に関する知識を用いて、クライアントのデータに対して、統計処理や数理モデルを作成し、特徴分析を行うことで、課題解決のための施策・企画案を策定し、クライアントへの提案内容をまとめることにより、	「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法(追加)等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断すること、また (追加)
「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案（削除）等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。	「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営組織の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案、理論に裏打ちされた経営の意思決定等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。
２４．株式会社 博進堂 同社は企画・編集・デザイン・印刷・製本・発送までのワンストップ総合印刷企業であり、過去90年で培われた印刷技術を基に、小ロットの印刷物やいままでにない印刷表現にチャレンジするなどの新たな商品開発を、事業活動で得られた様々なデータから提案することを積極的に行っている。（削除）	２４．株式会社 博進堂 同社は企画・編集・デザイン・印刷・製本・発送までのワンストップ総合印刷企業であり、過去90年で培われた印刷技術を基に、小ロットの印刷物やいままでにない印刷表現にチャレンジするなどの新たな商品開発を、事業活動で得られた様々なデータから提案することを積極的に行っているから、本学情報学部

「臨地実務実習Ⅰ」では、アルバム事業・商業印刷事業・教育事業・出版事業の各事業における顧客情報を通して得られたデータのうち、特にアルバム事業におけるターゲット市場データの獲得、可視化、特徴分析を通して、同ターゲットに効果的なアプローチをするための課題の把握、課題解決の焦点化を行うことにより、「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また、「臨地実務実習Ⅱ」では、「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、印刷工場のインダストリー4.0をキーワードに、機械と機械が直接コミュニケーションを行うための基盤の構築や、機械から収集されたデータを解析し、生産管理や機器の調整、保全に用いる基盤構築に向けた計画を社内提案し、実践することにより、「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案（削除）等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。	（追加） 「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法(追加)等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断すること、また （追加） 「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営組織の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案、理論に裏打ちされた経営の意思決定等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。
２５．株式会社ホロラボ 同社は、HoloLensに代表されるMixed Reality技術に関する研究開発および関連アプリケーション・システム開発を、設計・製造、建設、医療など幅広い分野に向けて実施しており、他社との共同開発や業務提携も積極的に行っている。特に建設業界でのニーズの高まりから、巨大な	２５．株式会社ホロラボ 同社は、HoloLensに代表されるMixed Reality技術に関する研究開発および関連アプリケーション・システム開発を、設計・製造、建設、医療など幅広い分野に向けて実施しており、他社との共同開発や業務提携も積極的に行っている。特に建設業界でのニーズの高まりから、巨大な

データのクラウド変換機能と HoloLens 等の MR デバイス利活用による新たな価値の創造に向けて開発を進めている。　（削除） 「臨地実務実習Ⅰ」では、普及啓蒙業務（講演・セミナー・トレーニング）および調査研究業務を通して、上記各種業務データの獲得、可視化、特徴分析することで、拡張現実分野におけるコミュニティ発展の実現に向けた課題の把握、課題解決の焦点化を行うことにより、「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また、「臨地実務実習Ⅱ」では、「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、同社が提供する製造業・建設業向け 3D データ可視化ソリューションのクオリティ向上に向けた課題解決策を踏まえ、新規コンテンツもしくは新規サービスの検討・開発案の策定・社内提案を踏まえた、実装・検証までを実践することにより、「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案　（削除）　等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。 ２６．株式会社峰村商店（峰村醸造） 同社は株式会社和僑商店ホールディングスのグループ企業として、新潟の地において味噌・味噌漬及び漬物類の製造販売業を営んでいる。1905 年に創業し、事業承継を踏まえた第二創業を経て、現在に至るが、ＩＴサービス導入や経営資源	データのクラウド変換機能と HoloLens 等の MR デバイス利活用による新たな価値の創造に向けて開発を進めていることから、本学情報学部 （追加） 「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法(追加)等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断すること、また　（追加） 「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営組織の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案、理論に裏打ちされた経営の意思決定等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。 ２６．株式会社峰村商店（峰村醸造） 同社は、　（追加） ＩＴサービス導入や経営資源

の有効活用等による生産性向上、積極的な海外展開やインバウンド需要の取込み、多様な人材活用や円滑な事業承継など、様々な分野で活躍している中小企業・小規模事業者として中小企業庁の「はばたく中小企業・小規模事業者 300 社」に選定されたことを始め、データを活用した経営戦略や後継者育成を積極的に行っている。	の有効活用等による生産性向上、積極的な海外展開やインバウンド需要の取込み、多様な人材活用や円滑な事業承継など、様々な分野で活躍している中小企業・小規模事業者として中小企業庁の「はばたく中小企業・小規模事業者 300 社」に選定されたことを始め、データを活用した経営戦略や後継者育成を積極的に行っていることから、本学情報学部
（削除）	（追加）
「臨地実務実習Ⅰ」では、店舗オペレーションの効率化の実現に向けて、顧客や店員に関する行動データを獲得・可視化し、顧客満足度、実績等との相関性の分析・解析によって課題を把握し、課題解決の焦点化をすることにより、	
「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また、	「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法(追加)等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断すること、また
「臨地実務実習Ⅱ」では、「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、小売店舗の経営改善を目標に、例えばオーダーシステムにおけるスマートデバイス（IoT 機器）の開発や、売上データ・気象・曜日・近隣の宿泊客数といったデータから、翌日の来客数を算定する「来客予測 AI」の独自開発などの各種施策を検討および実行する。このような新たな価値の創造とその提案を行うことにより、	（追加）
「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案 （削除） 等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。	「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営組織の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案、理論に裏打ちされた経営の意思決定等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。

２７．株式会社 MGNET 同社は自社ブランドの名刺入れの企画製造販売、名刺入れ専門店の運営を手がけ、最近はプロダクトのマネジメントやブランディング、製造業の広報・PR 活動などへ業務の幅を広げている。同社は「モノにエンターテイメントを。」をコンセプトに、自社製品の企画・開発のみならずものづくりを支える環境づくり（企画、開発、販売、広報）にも取り組み、さらには新たにものづくりに関わる人のためのまちづくりにも着手するとともに、多岐にわたる活動で得られた多様なデータから、データ駆動戦略を実践している。 （削除） 「臨地実務実習Ⅰ」では、オンラインショッピングサイトの運営、サイト更新、集客、サポートを行う一連の業務体験を通して、検索エンジンのアルゴリズムの追求、エントリーフォーム最適化を踏まえたサイト内ユーザー行動についてのデータを可視化し、分析・解析などを行う。この各種分析によって、課題の把握、課題解決のための焦点化が可能となることにより、 「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また、 「臨地実務実習Ⅱ」では「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、新規顧客の開拓に向けてオンラインショッピングサイトの集客増に向けた課題を抽出し、課題の克服に向けた新しい機能の追加に関する企画の開発計画案を策定したうえで経営層に対し提案し、設計・実装まで至ることにより、「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、デー	２７．株式会社 MGNET 同社は自社ブランドの名刺入れの企画製造販売、名刺入れ専門店の運営を手がけ、最近はプロダクトのマネジメントやブランディング、製造業の広報・PR 活動などへ業務の幅を広げている。同社は「モノにエンターテイメントを。」をコンセプトに、自社製品の企画・開発のみならずものづくりを支える環境づくり（企画、開発、販売、広報）にも取り組み、さらには新たにものづくりに関わる人のためのまちづくりにも着手するとともに、多岐にわたる活動で得られた多様なデータから、データ駆動戦略を実践していることから、本学情報学部 （追加） 「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法(追加)等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断すること、また （追加） 「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、デー

タ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案　（削除）　等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。	タ解析によるデータ有意な規則性発見、経営組織の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案、理論に裏打ちされた経営の意思決定等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。

（改善事項）情報学部　情報学科

１０【全体計画審査意見 17 の回答について】 ＜教員の年齢構成が比較的高齢に偏っている＞ 完成年度以降の専任教員配置の適正化を図る将来構想が示されたが、いまだ教員の年齢構成が高齢に偏っていることから、示された将来構想を踏まえ、完成年度までの年次進行中における若手教員の採用計画などを明らかにし、教員配置の適正化を図ること。

（対応）

教員の年齢構成が高齢に偏っていることから、完成年度における年齢層の高い専任教員の定年退職を見据えた、年次進行中における若手教員の前倒し採用に係る採用計画を策定し、当該採用計画に基づく年次進行中における若手教員の確保にむけた継続的な採用活動を通して、教員配置の適正化に努めることとする。

情報学部情報学科　専任教員配置計画

教員配置計画	
令和 2 年度～令和 5 年度（完成年度）中 完成年度までの年次進行中における若手教員採用計画	
採用活動 予定	完成年度までの年次進行中において、公募等により以下の教員の採用を計画する。 ・博士の学位、大学等における教育歴、情報分野に関する研究実績を有する若手教員 ・高度の実務の能力を有する若手教員 以上の若手教員を年度進行中に複数名を前倒しで採用する。 その後も採用活動を継続して令和 6 年度開始時点では完成年度に定年年齢を超える教員数に相当する若手・中堅教員の確保をする。
令和 5 年度（完成年度）末	
退職予定	・定年規定により教授 5 名が退職予定 ※教授 5 名は就業規則附則第 3 項の規程に基づき雇用延長
昇格予定	・准教授 1 名について、教育研究業績等の評価に基づき教授に昇格予定 ・情報分野の講師 4 名について、教育研究業績等の評価に基づき准教授に昇格予定 ・情報分野の助教 1 名について、教育研究業績等の評価に基づき講師に昇格予定

新規採用予定	※令和２年度～令和５年度中において採用した若手教員を含め、令和６年度開始時点では完成年度に定年年齢を超える教員数に相当する若手・中堅教員の確保をする。 ・公募等により、博士の学位、大学等における教育歴、情報分野に関する研究実績を有する中堅の教授３名を採用 ・公募等により、高度の実務の能力を有する中堅の教授１名を採用 ・公募等により、博士の学位、大学等における教育歴、情報分野に関する研究実績を有する若手の准教授１名を採用
令和６年度～令和９年度	
退職予定	・定年規定により教授１名、准教授１名が退職予定
新規採用予定	・公募等により、博士の学位、大学等における教育歴、情報分野に関する研究実績を有する中堅の准教授１名を採用 ・公募等により、高度の実務の能力を有する中堅の教授１名を採用

（新旧対照表）設置の趣旨を記載した書類（４５-４６ページ）

新	旧
５）（削除）教員組織構想 情報学部の教員組織の編成においては、完成年度までに定年に達する者５人を配置することから、（削除）教員組織構想（削除）は、開設後４年間の中堅及び若手教員の育成状況を踏まえた学内昇格や年次進行中の若手教員新規採用など、教員組織に関する中期的な人事計画を策定する。 開学時は、教員組織が高齢に偏ることとなったことから、教育研究の継続性の観点を踏まえたうえで、中長期的な教育研究の維持・向上及び活性化を図る観点から、今後における学部ごとの具体的な専任教員の採用計画について検討し、年齢層の高い専任教員の定年退職に伴う若手・中堅教員の新規採用に関する中期的な人事計画を策定し、この人事計画に基	５）完成年度後の教員組織構想 情報学部の教員組織の編成においては、完成年度までに定年に達する者５人を配置することから、完成年度以後の教員組織構想としては、開設後４年間の中堅及び若手教員の育成状況を踏まえた学内昇格や（追加）新規採用など、教員組織に関する中期的な人事計画を策定する。 開学時は、教員組織が高齢に偏ることとなったことから、教育研究の継続性の観点を踏まえたうえで、中長期的な教育研究の維持・向上及び活性化を図る観点から、今後における学部ごとの具体的な専任教員の採用計画について検討し、年齢層の高い専任教員の定年退職に伴う若手・中堅教員の新規採用に関する中期的な人事計画を策定し、この人事計画に基

づく計画的な採用を行うことにより、教員配置の適正化を図ることとする。 なお、年齢層の高い専任教員の定年退職に伴う若手・中堅教員の新規採用を行う際には、本学の教員選考規程等で定める審査基準に基づいて、厳格なる審査を経て採用することとし、教育の質の保証の観点から、各専門分野における教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する教員を採用するとともに、採用後も授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究の実施を通して、継続的な教員の資質の維持向上に努めることとする。 また、教員の年齢構成については、完成年度以降（令和６年度）の計画として、39 歳以下が 3 人、40～49 歳が 4 人、50～59 歳が 9 人、60～64 歳が 2 人となる計画とする。	づく計画的な採用を行うことにより、教員配置の適正化を図ることとする。 なお、年齢層の高い専任教員の定年退職に伴う若手・中堅教員の新規採用を行う際には、本学の教員選考規程等で定める審査基準に基づいて、厳格なる審査を経て採用することとし、教育の質の保証の観点から、各専門分野における教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する教員を採用するとともに、採用後も授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究の実施を通して、継続的な教員の資質の維持向上に努めることとする。 また、教員の年齢構成については、完成年度以降（平成 36 年度）の計画として、39 歳以下が 3 人、40～49 歳が 4 人、50～59 歳が 9 人、60～64 歳が 2 人となる計画とする。
情報学部情報学科　（削除）専任教員配置計画	情報学部情報学科　完成年度以降の専任教員配置計画

教員配置計画		教員配置計画	
令和２年度～令和５年度（完成年度）中完成年度までの年次進行中における若手教員採用計画		（追加）	
採用活動予定	完成年度までの年次進行中において、公募等により以下の教員の採用を計画する。 ・博士の学位、大学等における教育歴、情報分野に関する研究実績を有する若手教員 ・高度の実務の能力を有	（追加）	（追加）

	する若手教員 以上の若手教員を年度進行中に複数名を前倒しで採用する。 その後も採用活動を継続して令和６年度開始時点では完成年度に定年年齢を超える教員数に相当する若手・中堅教員の確保をする。			
令和５年度（完成年度）末			令和５年度（完成年度）末	
退職予定	・定年規定により教授 5 名が退職予定 ※教授５名は就業規則附則第３項の規程に基づき雇用延長		退職予定	・定年規定により教授 5 名が退職予定 ※教授５名は就業規則附則第３項の規程に基づき雇用延長
昇格予定	・准教授１名について、教育研究業績等の評価に基づき教授に昇格予定 ・情報分野の講師４名について、教育研究業績等の評価に基づき准教授に昇格予定 ・情報分野の助教１名について、教育研究業績等の評価に基づき講師に昇格予定		昇格予定	・准教授１名について、教育研究業績等の評価に基づき教授に昇格予定 ・情報分野の講師４名について、教育研究業績等の評価に基づき准教授に昇格予定 ・情報分野の助教１名について、教育研究業績等の評価に基づき講師に昇格予定
新規採用予定	※令和２年度～令和５年度において採用した若手教員を含め、令和６年度開始時点では完成年度に定年年齢を超える		新規採用予定	（追加）

	教員数に相当する若手・中堅教員の確保をする。 ・公募等により、博士の学位、大学等における教育歴、情報分野に関する研究実績を有する中堅の教授３名を採用 ・公募等により、高度の実務の能力を有する中堅の教授１名を採用 ・公募等により、博士の学位、大学等における教育歴、情報分野に関する研究実績を有する若手の准教授１名を採用		・公募等により、博士の学位、大学等における教育歴、情報分野に関する研究実績を有する中堅の教授３名を採用 ・公募等により、高度の実務の能力を有する中堅の教授１名を採用 ・公募等により、博士の学位、大学等における教育歴、情報分野に関する研究実績を有する若手の准教授１名を採用
令和６年度～令和９年度		令和６年度～令和９年度	
退職予定	・定年規定により教授１名、准教授１名が退職予定	退職予定	・定年規定により教授１名、准教授１名が退職予定
新規採用予定	・公募等により、博士の学位、大学等における教育歴、情報分野に関する研究実績を有する中堅の准教授１名を採用 ・公募等により、高度の実務の能力を有する中堅の教授１名を採用	新規採用予定	・公募等により、博士の学位、大学等における教育歴、情報分野に関する研究実績を有する中堅の准教授１名を採用 ・公募等により、高度の実務の能力を有する中堅の教授１名を採用

（改善事項）情報学部　情報学科

１１【全体計画審査意見 20 の回答について】 ＜電子ジャーナルが十分か疑義＞ 大学の教育研究に必要な専攻分野の電子ジャーナルが十分整備されているのか懸念されるため、教育研究の観点から十分であることを説明するか、電子ジャーナル数を充実させること。

（対応）

教育研究の観点から、電子ジャーナル数について再検討し、情報学部の専門分野に関する電子ジャーナル（学術洋雑誌）計１６種を購入し、学術和雑誌を含め充実を図ることとした。

【資料９】電子ジャーナルリスト（情報学部）

（新旧対照表）設置の趣旨を記載した書類（５５－５６ページ）

新	旧
（３）図書等の資料および図書館の整備計画 紫竹山キャンパス内に、教育・研究に必要となる図書等を整備するために図書館を設ける。また、米山キャンパスは校舎内に図書室を設け、情報学部に関する専門図書を整備し、プログラム言語の発展が学習できる展示を行う。 紫竹山キャンパス内の図書館は全学部が共有で利用可能な施設として、1 階に書庫並びに図書閲覧席を設け、2 階には図書閲覧室兼レファレンスルームを設置する。閲覧座席数は 105 席であり、主に事業創造学部に関連する専門書および学術雑誌を主として整備し、教育・研究に資する。 開学当初に紫竹山キャンパスに整備する図書等は以下の通りである。 ・基礎・教養分野：703 冊 ・経営学分野：1,726 冊 （内国書 1,651 冊、外国書 55 冊、学術和	（３）図書等の資料および図書館の整備計画 紫竹山キャンパス内に、教育・研究に必要となる図書等を整備するために図書館を設ける。また、米山キャンパスは校舎内に図書室を設け、情報学部に関する専門図書を整備し、プログラム言語の発展が学習できる展示を行う。 紫竹山キャンパス内の図書館は全学部が共有で利用可能な施設として、1 階に書庫並びに図書閲覧席を設け、2 階には図書閲覧室兼レファレンスルームを設置する。閲覧座席数は 105 席であり、主に事業創造学部に関連する専門書および学術雑誌を主として整備し、教育・研究に資する。 開学当初に紫竹山キャンパスに整備する図書等は以下の通りである。 ・基礎・教養分野：703 冊 ・経営学分野：1,716 冊 （内国書 1,651 冊、外国書 55 冊、学術和雑

雑誌 10 点、学術洋雑誌 8 点(内電子ジャーナル 8 点)、視聴覚資料等 2 点） ・マーケティング分野：414 冊 （内国書 409 冊、外国書 1 冊、学術和雑誌 1 点、学術洋雑誌 3 点(内電子ジャーナル 3 点)） ・会計学分野：922 冊 （内国書 919 冊、外国書 2 冊、学術和雑誌 1 点） ・関連諸分野：251 冊 （内国書 245 冊、外国書 5 冊、学術和雑誌 1 点） 米山キャンパスに設置する図書室（162.38 ㎡）は情報学部に関する専門書および学術雑誌を主として整備し、閲覧座席数は情報学部の収容定員の 2 割にあたる 64 席設け、学生の自習にも利用可能とし、教育・研究に資する。 開学当初に米山キャンパスに整備する図書等は以下の通りである。 ・基礎・教養分野：702 冊 ・情報学分野：1,418 冊 （内国書 1,361 冊、外国書 38 冊、学術和雑誌 8 点、学術洋雑誌 10 点(内電子ジャーナル 10 点)、視聴覚資料等 1 点） ・AI・IOT 応用分野：1,044 冊 （内国書 1,013 冊、外国書 20 冊、学術和雑誌 4 点、学術洋雑誌 6 点(内電子ジャーナル 6 点)、視聴覚資料等 1 点） ・経営・マーケティング分野：474 冊 （内国書 469 冊、外国書 5 冊） ・関連諸分野：259 冊 （内国書 257 冊、外国書 1 冊、学術和雑誌 1 点） （中略）	誌 6 点、学術洋雑誌 2 点（追加）、視聴覚資料等 2 点） ・マーケティング分野：411 冊 （内国書 409 冊、外国書 1 冊、学術和雑誌 1 点、（追加）） ・会計学分野：921 冊 （内国書 919 冊、外国書 2 冊、（追加）） ・関連諸分野：251 冊 （内国書 245 冊、外国書 5 冊、学術和雑誌 1 点） 米山キャンパスに設置する図書室（追加）は情報学部に関する専門書および学術雑誌を主として整備し、閲覧座席数は 43 席設け、学生の自習にも利用可能とし、教育・研究に資する。 開学当初に米山キャンパスに整備する図書等は以下の通りである。 ・基礎・教養分野：702 冊 ・情報学分野：1,404 冊 （内国書 1361 冊、外国書 38 冊、学術和雑誌 3 点、学術洋雑誌 1 点（追加）、視聴覚資料等 1 点） ・AI・IOT 応用分野：1,039 冊 （内国書 1013 冊、外国書 20 冊、学術和雑誌 4 点、学術洋雑誌 1 点（追加）、視聴覚資料等 1 点） ・経営・マーケティング分野：474 冊 （内国書 469 冊、外国書 5 冊） ・関連諸分野：259 冊 （内国書 257 冊、外国書 1 冊、学術和雑誌 1 点） （中略）

（その他）情報学部　情報学科

【審査意見以外の対応について】
＜米山キャンパス学生支援の観点からの環境整備計画の充実について＞
（１） 演習科目に対応する教室設備の充実について
（２） 米山キャンパスの図書室について
（３） 学生の移動環境の整備について

（対応）

（１）演習科目に対応する教室設備の充実について

情報学部の学生が演習や実習を行うにあたり、十分なソフトウェアやハードウェアが整備されていることを明示する。

① 学生が授業で使用するノートパソコンについて

学生が演習や実習を行うにあたり、各自がノートパソコンを持参する。ノートパソコンの性能については、在学中 4 年間にわたるコンピュータ技術の進歩と、学生負担を考慮し、以下に挙げるスペックを持つノートパソコンを情報学部生推奨パソコンとして、案内する。

なお、学生が購入するノートパソコンの種類（ウィンドウズやマッキントッシュ）によっては、ソフトウェア実行環境に違いが出る可能性があるが、下記②にて説明する教育用クラウド環境を整備することで、プログラム開発・デザイン制作・ファイル共有などを実現するための大学が整備した環境を全ての学生が平等に利用できる。

Surface Laptop 2
13.5 インチ / 512GB / Intel Core i7 / 8 GB RAM

13 インチ MacBook Pro
13 インチ / 512GB / Intel Core i7 / 8 GB RAM

② 教育用クラウド環境について

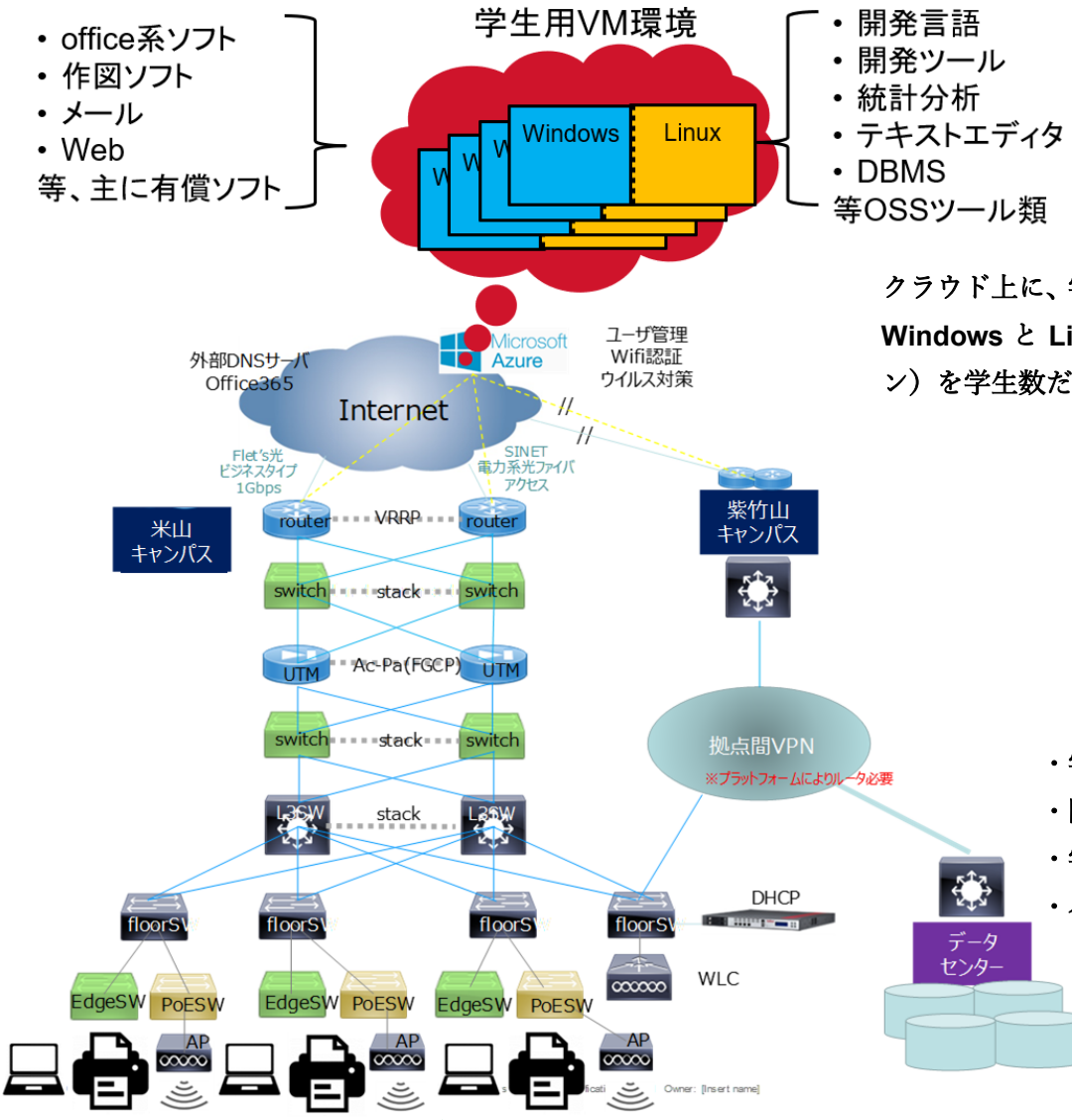
クラウド上に、教員用および大学・学部の共通用とは別に、学生個人向けの計算環境として、windows 搭載の仮想マシン、および linux 搭載の仮想マシンを、学生毎に整備する。

windows 仮想マシンには情報系学科に必要となる、Microsoft が提供する Visual Studio などのソフトウェア開発ツールやデザインツールが利用できるほか、アドビ社からライセンスを受けた Adobe デスクトップアプリケーション群により提供される、画像編集や動画編集などの各種ツールが利用できる。また linux 仮想マシンにはオープンソースソフトウェアとして提供されるツール類を搭載する。

この教育用クラウド環境は主に職業専門科目「ネットワークプログラミング実習」「ＡＰＩ実習」「クラウドベーシック&マーケティング」「クラウドプラットフォーム実習Ⅰ」「クラウドプラットフォーム実習Ⅱ」において、演習や実習を行うために活用される。

学生は各自のノートパソコンから、リモートデスクトップクライアントソフトを利用し、クラウド上に整備される計算環境に場所と時間を問わずアクセスが可能である。

学生用ソフトウエア環境



クラウド上に、学生用の環境として、**Windows** と **Linux** の **VM(**仮想マシン）を学生数だけ準備

・学習管理システム
・図書システム
・学務システム
・バックアップ

各 **PC**（学生が独自購入の物も含む）に、リモートデスクトップクライアントソフトを導入し、リモートデスクトップにより、学生用 **VM** にアクセスし、使用する。

⇒学内、自宅、臨地実務実習先からもアクセスが可能

１．Windows 環境

1	クラウドベンダー	Microsoft Azure
2	利用サービス	Virtual Machines
3	利用 OS	Microsoft Windows 10 Enterprise
4	VM サイズ（予定）	D1_V2
5	接続方法	グローバル IP　リモートデスクトップ接続
6	利用内容	利用者別に環境を作成
7	利用ソフト	学生向け学習ソフト
8	システム保護	復元ポイント利用

２．Linux 環境

1	クラウドベンダー	Microsoft Azure
2	利用サービス	Virtual Machines
3	利用 OS	CentOS7.2
4	VM サイズ（予定）	D1_V2
5	接続方法	グローバル IP　リモートデスクトップ接続
6	利用内容	利用者別に環境を作成
7	利用ソフト	学生向け学習ソフト
8	システム保護	バックアップより復元

③ 情報処理実習室について

学内共同教育施設として、ICT 教育および学術研究に寄与することを目的とし、米山校舎 3 階に情報処理実習室を整備する。情報処理設備として、27 インチ iMac を 45 台整備し、以下④に挙げる主要なソフトウェアが自由に利用できる環境を整える。ここでは「情報リテラシー」を開講することで、学生の情報リテラシー向上とともに、学内における各種情報システム構成の理解と、各種資産へのアクセス方法を学修する。授業で使用する時間の他は、学生が自由に利用できる。また CBT における試験会場としても運用することで、各種の検定試験を自キャンパスで受験することが可能であるとともに、試験会場として外部にも公開し、地域の情報リテラシー向上に寄与する。

情報処理実習室 PC スペック

27 インチ iMac Retina 5K ディスプレイモデル

3.6GHz 8 コア第 9 世代 Intel Core i9 プロセッサ

16GB 2,666MHz DDR4 メモリ

Radeon Pro 580X（8GB GDDR5 メモリ搭載）

2TB Fusion Drive ストレージ

④ ソフトウェアライセンスについて

Office やウイルス対策ソフトなどについて効率的な調達を行う為、大学、学部・学科単位で一元的な契約を行っており、下記ソフトについては、大学事務局が管理運用し学生へ提供する。このため、学生は自身のノートパソコン単体であっても、本学の演習や実習に必要となる各種ソフトウェアおよびサービスを利用することができる。

ア） サーバ及び Windows 搭載 VM(学生用)へ提供されるソフトウエア:

- Azure Dev Tools for Teaching に含まれる以下ソフト
  Advanced Threat analytics(ATA), Agents for Visual Studio, BizTalk Server, Datazen Enterprise, Host Integration Server, Machine Learning Server, Hyper-V Server, R Server, Microsoft Project, Remote Tools for Visual Studio, SharePoint Server, Skype for Business Server, SQL Server Developer, SQL Server Enterprise, SQL Server Web, System Center, Team Foundation Server, Microsoft Visio, Visual Studio, Code, Visual Studio, Community, Visual Studio Enterprise, Windows 10, Windows Server

イ） Windows 搭載 VM(学生用)で提供されるソフトウエア:

- Office 365 Education に含まれる各ソフト
  (Outlok, Word, Excel, Powerpoint,OneNote, Teams, Publisher, Access)
- Adobe Creative Cloud に含まれる各ソフト
  (Illustrator, Photoshop, Adobe XD, Adobe Premiere Pro, Adobe Premiere Rush 他)
- AUTODESK 無償教育ライセンス製品
  (AutoCAD, Maya , AutoCAD Architecture 他)

ウ)Linux 搭載 VM(学生用)で提供されるソフトウエア（OSS によるツール群）:

（OSS ツールは、必要に応じ、追加提供する）

Web ブラウザ	Mozilla Firefox
Office 系ソフト	Libre Office Base

	Libre Office Calc
	Libre Office Draw
	Libre Office Impress
	Libre Office Math
	Libre Office Writer 6.0
グラフィックソフト	GIMP
	GNU GV PostScript/PDF Viewer
	Evince
	Inkscape
	Tgif
	ImageMagick
開発言語・環境ツール	Eclipse
	GCC パッケージ（C，C++，Objective-C，Fortran，Ada，Go，and D）
	Python 2.7、3.7
	php
	perl
	ruby，ruby on rails
	JDK General-Availability Release
	Node.js
数値計算・統計ツール	R
	R Studio
	Scilab
	Xgraph
Tex 文書作成	TeXworks
	Tex Live
テキストエディター	Emacs
	vi
	gedit
データベース	SQLite
	MariaDB
	MongoDB
	PostgreSQL
	MySQL

	Apache Jena
	Apache Cassandra
その他	Wordpress
	D3.js
	Apache Hadoop
	Apache Spark
	GTKwave

⑤ キャンパス内ネットワーク環境について

米山キャンパス全域をカバーする無線ＬＡＮを利用可能とし、教育用クラウドを使用して、プログラム開発・デザイン制作・ファイル共有などを実現するための大学が整備した環境を全ての学生が平等に利用できる。

学生向けに提供されるキャンパスＬＡＮは最大 400 名、一人当たり 5 デバイスを想定した帯域に耐えうる構成をベースとし提供する。

【資料１０】米山キャンパスプロット図

ＷＡＮルータ及びＵＴＭ装置はＬ２スイッチをスタック構成で介し、全て冗長化を提供し、対象の機器及び回線における障害に対して資源を提供し続ける事ができ、事業継続とセキュリティを確保する。米山キャンパスネットワーク系統図

【資料１１】米山キャンパスネットワーク系統図（参照１）

校内においてはＬ３スイッチを起点にＬ２スイッチ間は全てにおいて光ケーブルまたはＬＡＮケーブル（カテゴリー６）にて２重化構成を提供する。２重化された配線へはＬＡＣＰ（リンクアグリケーション）を設定し停止しない環境を提供する。米山キャンパスネットワーク系統図

【資料１１】米山キャンパスネットワーク系統図（参照２）

無線ＬＡＮは講義室などの密集した教室を考慮し、高密度無線機器を用意する。また、障害の際はコントローラの制御により、無線電波の範囲の自動調整及びビームフォーミングなどの機能を提供する。米山キャンパスネットワーク系統図

【資料１１】米山キャンパスネットワーク系統図（参照３）

⑥ 各教室の電源環境について

米山キャンパスにおいて全ての演習室、実験・実習室、学生自習室に学生収容人数分のコンセントを用意し、演習・実習を行う際の電源環境を整備する。

⑦ ハードウェアについて

IoT・ロボティクスの演習や実習を行うために、米山校舎 7 階に「IoT・ロボティクス実習室」を整備する。最大 40 人が受講する可能性を考慮し、機材については可能なものは複数もしくは予備機を導入する。

なお各種の工作に必要となる消耗品については、一定量を学生の教育用として提供するとともに、さらに追加で消耗品を使用する場合は、学生の負担によって購入する。

IoT・ロボティクス実習室の主な機能として以下を提供する。

旋盤・フライス盤などの汎用機、3 軸 5 軸 CNC 切削機、レーザーカッターなどの各種工作機械を整備することで、試作品の各種加工が行える。はんだごて、オシロスコープなどを整備し、回路設計が行える。CAD/CAM や 3DCG などの各種ソフトウェアを備えた PC を備える。

3D プリンタと 3D スキャナーを整備し、モデルの形状確認やリバースエンジニアリングが行える。各種環境試験機による安全規格確認が行える。

その他の備品として「没入型コンピューティング演習」「没入型コンピューティング実習」にて活用する拡張・仮想現実を実現するためのヘッドマウントディスプレイを整備する。

IoT 実習室備品一覧

旋盤・フライス盤などの汎用機、3 軸 5 軸 CNC 切削機、レーザーカッターなどの各種工作機械を整備することで、試作品の各種加工が行える。	ボール盤　B13S
	バンドソー
	ベルトサンダー
	研磨機
	ボール盤万力　75 ㎜
	ボール盤万力　150 ㎜
	フライス盤用アングルバイス　75 ㎜
	フライス盤用インデックス(デバイダー)
	ベンチバイス
	リードバイス
	テーブルソー
	バンドソー
	グラインダー
	フライス盤
	旋盤
	デジタル造形機 / CNC マシニングセンタ 3 軸 CNC（大型）

	上記　3 軸用 CAD/CAM ソフト CraftMILL
	上記　3 軸用 CAD/CAM ソフト　OneCNC(Mill Expert)
	上記　3 軸用 CAD/CAM ソフト　Fusion360
	デジタル造形機 / CNC マシニングセンタ 5 軸 CNC
	上記　5 軸用 CAD/CAM ソフト HyperMILL
	上記　5 軸用 CAD/CAM ソフト　OneCNC(同時 5 軸)
	上記　5 軸用 CAD/CAM ソフト　Fusion360　Ultimate
	レーザーカッター(trotec)
	卓上切削加工機(KitMill)
	レーザーカッター(Universal/CO2)
	レーザーカッター用ロータリーアタッチメント
はんだごて、オシロスコープなどを整備し、回路設計が行える。	はんだ槽
	X 線検査装置
	ミックスドシグナルオシロスコープ
	デジタル LCR メーター
	周波数カウンタ
	オシロスコープ (2ch)
	半田こて
	ベクトルシグナルジェネレータ
	タッチオシロスコープ
	高周波半田ごて
CAD/CAM や 3DCG などの各種ソフトウェアを備えた PC を備える。	ソフトウェア / 3D CAD Rhinoceros
	電子機器熱流体解析ツール(Icepak)
	Mastercam
	123D Design
	Autodesk Fusion 360
	Autodesk Inventor Professional
	Autodesk AutoCAD Electrical 2016
	Autodesk AutoCAD Mechanical 2016
	Autodesk 3ds Max 2016
	Autodesk Navisworks Manage 2016
	機械学習 PC
	Autodesk AutoCAD
	Autodesk AutoCAD Architecture
	Autodesk Maya

	Shade3D Professional ver.17
3D プリンタと3D スキャナーを整備し、モデルの形状確認やリバースエンジニアリングが行える。	デジタル造形機 / CNC マシニングセンタ 3 軸 CNC (小型)
	上記　3 軸用 CAD/CAM ソフト CraftMILL
	上記　3 軸用 CAD/CAM ソフト　OneCNC(Mill Expert)
	上記　3 軸用 CAD/CAM ソフト　Fusion360
	ABS 3D プリンター
	3D スキャナー(Rexcan)
	UV プリンター
	3D スキャナー(日本電産ﾄｰｿｸ RVL6540-LH)
	3D スキャナー(Sense)
	Cimatron
各種環境試験機による安全規格確認が行える。	荷重試験機
	熱衝撃試験機
	恒温恒湿機
	恒温槽 (観測窓、ﾍﾟｰﾊﾟｰﾚｽﾚｺｰﾀﾞｰ和文 KR 仕様)
	デジタルマルチメータ 7461A
	デジタルマルチメータ 34461A
	AC 電子負荷装置
	DC 電子負荷装置
	安定化電源(～40V,700W)
	安定化電源(～16V,80W)
	直流安定化電源(18V3A)
	直流安定化電源(18V5A)
	直流安定化電源(35V2A)
	ハンディサーモ
	ゲージブロックセット
	照度計
	騒音計
	ガウスメータ
	フォースゲージ
	フォースゲージテストスタンド
	回転計
	シャープエッジテスタ

⑧ 米山キャンパス 各教室の設備環境と主要用途について

情報学部の演習・実習授業について、同時間に最大５クラスの演習授業を収容するための各教室の設備環境と主要用途を明示した。

１．演習室、実験・実習室について

階	教室種別	床面積(㎡)	収容人数(人)	設備環境	主要用途	各教室で行う授業科目
3階	情報処理実習室	91.34	44	・LAN アクセスポイント 3 台 ・電源コンセント 49 口 ・デスクトップ型 PC45 台 (27 インチ iMac Retina 5K ディスプレイモデル 3.6GHz 8 コア第 9 世代 Intel Core i9 プロセッサ 16GB 2,666MHz DDR4 メモリ Radeon Pro 580X2TB Fusion Drive ストレージ ） ・OA デスク 45 台 ・液晶プロジェクター ・120 型スクリーン ・ハンド型、タイピン型ワイヤレスマイク ・スピーカー ・ブルーレイ/DVD プレーヤー ・書画カメラ	「情報リテラシー」を開講することで、学生の情報リテラシー向上とともに、学内における各種情報システム構成の理解と、各種資産へのアクセス方法を学修する。授業で使用する時間の他は、学生が自由に利用できる。また CBT における試験会場としても運用することで、各種の検定試験を自キャンパスで受験することが可能であるとともに、試験会場として外部にも公開し、地域の情報リテラシー向上に寄与する。	情報リテラシー
	演習室 (1)	62.02	40	・LAN アクセスポイント 1 台設置 ・電源コンセント 45 口設置 ・8 人掛け丸テーブル×5 ・65 型タッチスクリーン液晶ディスプレイ	最大 40 人の演習および実習の他、ICT 活用総合実習において、最大 8 名を一つの単位とするグループごとに利用する。 （主査教員 1 名、学生４～７名）	ソーシャルデザインⅡ 分散型台帳技術演習 知識表現・知識処理演習 ICT 演習（ハードウェア/ソフトウェア） ICT 演習（クラウド） ICT 演習（ディープラー

3階	演習室（1）	62.02	40	・ブルーレイ/DVDプレーヤー		ニング） ICT演習（応用情報） データマイニング演習 情報と英語 没入型コンピューティング演習 ICT活用総合実習
4階	演習室（2）	35.10	24	・LANアクセスポイント1台設置 ・電源コンセント29口設置 ・8人掛け丸テーブル×3 ・65型タッチスクリーン液晶ディスプレイ ・ブルーレイ/DVDプレーヤー	ICT活用総合実習において、最大8名を一つの単位とするグループごとに利用する。 （主査教員1名、学生4～7名）	ICT活用総合実習
	演習室（3）	35.10	24	・LANアクセスポイント1台設置 ・電源コンセント29口設置 ・8人掛け丸テーブル×3 ・65型タッチスクリーン液晶ディスプレイ ・ブルーレイ/DVDプレーヤー	ICT活用総合実習において、最大8名を一つの単位とするグループごとに利用する。 （主査教員1名、学生4～7名）	ICT活用総合実習
	演習室（4）	33.86	24	・LANアクセスポイント1台設置 ・電源コンセント29口設置 ・8人掛け丸テーブル×3 ・65型タッチスクリーン液晶ディスプレイ	ICT活用総合実習において、最大8名を一つの単位とするグループごとに利用する。 （主査教員1名、学生4～7名）	ICT活用総合実習

				・ブルーレイ/DVD プレーヤー		
4 階	演習室（5）	36.34	24	・LAN アクセスポイント 1 台設置 ・電源コンセント 29 口設置 ・8 人掛け丸テーブル×3 ・65 型タッチスクリーン液晶ディスプレイ ・ブルーレイ/DVD プレーヤー	ICT 活用総合実習において、最大 8 名を一つの単位とするグループごとに利用する。 （主査教員 1 名、学生 4 ～ 7 名）	ICT 活用総合実習
6 階	演習室（6）	64.13	32	・LAN アクセスポイント 2 台設置 ・電源コンセント 37 口設置 ・8 人掛け丸テーブル×4 ・65 型タッチスクリーン液晶ディスプレイ ・ブルーレイ/DVD プレーヤー	ICT 活用総合実習において、最大 8 名を一つの単位とするグループごとに利用する。 （主査教員 1 名、学生 4 ～ 7 名）	ICT 活用総合実習
	実験・実習室（1）	78.00	48	・LAN アクセスポイント 2 台設置 ・電源コンセント 53 口設置 ・8 人掛け丸テーブル×6 ・65 型タッチスクリーン液晶ディスプレイ ・ブルーレイ/DVD プレーヤー	最大 40 人の演習および実習の他、ICT 活用総合実習において、最大 8 名を一つの単位とするグループごとに利用する。 （主査教員 1 名、学生 4 ～ 7 名）	デザイン・シンキング実習 I デザイン・シンキング実習 II データサイエンス実習 クラウドプラットフォーム実習 I クラウドプラットフォーム実習 II データサイエンス演習 データベース演習

6階	実験・実習室（1）	78.00	48			英語プレゼンテーション演習Ⅰ プログラミング演習 ユーザエクスペリエンス ＡＰＩ実習 ICT 演習（セキュリティ） ICT 演習（基本情報）
	実験・実習室（2）	79.40	48	・LAN アクセスポイント 2 台設置 ・電源コンセント 53 口設置 ・8 人掛け丸テーブル×6 ・65 型タッチスクリーン液晶ディスプレイ ・ブルーレイ/DVD プレーヤー	最大 40 人の演習および実習の他、ICT 活用総合実習において、最大 8 名を一つの単位とするグループごとに利用する。 （主査教員 1 名、学生 4～7 名）	データベース演習 システム開発技術演習 データマイニング演習 マシンラーニング演習 マシンラーニング実習 データサイエンス実習 知識表現・知識処理演習 プログラミング演習 ＡＰＩ実習 ICT 活用総合実習
	実験・実習室（3）	71.24	48	・LAN アクセスポイント 2 台設置 ・電源コンセント 53 口設置 ・8 人掛け丸テーブル×6 ・65 型タッチスクリーン液晶ディスプレイ ・ブルーレイ/DVD プレーヤー	最大 40 人の演習および実習の他、ICT 活用総合実習において、最大 8 名を一つの単位とするグループごとに利用する。 （主査教員 1 名、学生 4～7 名）	クラウドベーシック&マーケティング システム開発技術演習 ICT 演習（データベーススペシャリスト） サイバーセキュリティ演習 ICT 活用総合実習
7階				・LAN アクセスポイント 2 台設置 ・電源コンセント 53 口設置 ・8 人掛け丸テーブル×6	最大 40 人の演習および実習の他、ICT 活用総合実習において、最大 8 名を一つの単位とするグループごと	ＡＩ実習英語プレゼンテーション演習Ⅰ デザイン・シンキング実習Ⅰ ソーシャルデザインⅠ

7階	実験・実習室（4）	80.00	48	・65型タッチスクリーン液晶ディスプレイ ・ブルーレイ/DVDプレーヤー	に利用する。（主査教員1名、学生4～7名）	サイバーセキュリティ演習 ネットワークプログラミング実習 クラウドプラットフォーム実習Ⅰ ネットワーク演習 没入型コンピューティング実習 ICT演習(組込システム) ICT演習（データベーススペシャリスト） ICT活用総合実習
	実験・実習室（4）	80.00	48			
	実験・実習室（5）	77.66	48	・LANアクセスポイント2台設置 ・電源コンセント53口設置 ・8人掛け丸テーブル×6 ・65型タッチスクリーン液晶ディスプレイ ・ブルーレイ/DVDプレーヤー	最大40人の演習および実習の他、ICT活用総合実習において、最大8名を一つの単位とするグループごとに利用する。 （主査教員1名、学生4～7名）	ＡＩ実習 データベース演習 ネットワークプログラミング実習 ネットワーク演習 ICT活用総合実習
7階	演習室（7）	51.13	24	・LANアクセスポイント1台設置 ・電源コンセント29口設置 ・8人掛け丸テーブル×3 ・65型タッチスクリーン液晶ディスプレイ ・ ブルーレイ/DVDプレーヤー	最大40人の演習および実習の他、ICT活用総合実習において、最大8名を一つの単位とするグループごとに利用する。 （主査教員1名、学生4～7名）	ICT活用総合実習
	IoT実習室	322.89	80	・LANアクセスポイント6台設置 ・電源コンセント45口設置 ・8人掛け丸テーブル×5	最大40人の演習および実習の他、ICT活用総合実習において、最大8名を一つの単位とするグループごとに利用する。	ＩｏＴ演習 ＩｏＴ実習 ハードウェア設計 ロボティクス実習 サイバーフィジカルシス

				・作業机×40 人分 ・その他の専門備品は、意見回答文 84 ページ「⑦ ハードウェアについて」に記載	（主査教員 1 名、学生 4～7 名）	テム基礎（一部単元） ICT 演習（IoT） ICT 演習(組込システム) ICT 活用総合実習

米山キャンパス 4 階の演習室(2)(3)(4)(5)の 4 室については、「ICT 活用総合実習」において、最大 8 名を一つの単位とするグループごとに利用する。教員との質疑応答や、学生同士の議論を通じた教育効果を高めるため、収容人数を 32 名から 24 名に変更し、少人数での授業が効果的に行われるよう環境整備を行った。

米山キャンパス 4 階平面図

安全上の観点から図面に関して省略いたします。

２．講義室について

階	教室種別	床面積(㎡)	収容人数(人)	設備	主要用途	各教室で行う授業科目
3階	講義室(1)	48.27	24	・LANアクセスポイント2台設置 ・1人掛け机×24 ・液晶プロジェクター ・120型スクリーン ・ハンド型、タイピン型ワイヤレスマイク ・スピーカー ・ブルーレイ/DVDプレーヤー ・書画カメラ	必要に応じ補習授業などを開講する	
	講義室(2)	108.88	54	・LANアクセスポイント2台設置 ・2人掛け机×27 ・液晶プロジェクター ・120型スクリーン ・ハンド型、タイピン型ワイヤレスマイク ・スピーカー ・ブルーレイ/DVDプレーヤー ・書画カメラ	最大40人で行う講義	英語コミュニケーションⅠ 英語プレゼンテーション演習Ⅱ 現代社会学 日本語コミュニケーション ビジネスモラル データ構造とアルゴリズム 情報の基礎 情報科学基礎 オペレーティングシステム プログラミング基礎 情報通信ネットワーク 情報数学Ⅰ 情報セキュリティ 社会心理・消費者行動 情報数学Ⅱ 情報と法律

3階	講義室 (2)	108.88	54			デザイン・シンキング概論 サイバーフィジカルシステム基礎 新潟と地域社会
	講義室 (3)	105.10	54	・LANアクセスポイント2台設置 ・2人掛け机×27 ・液晶プロジェクター ・120型スクリーン ・ハンド型、タイピン型ワイヤレスマイク ・スピーカー ・ブルーレイ/DVDプレーヤー ・書画カメラ	最大40人で行う講義	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 日本語コミュニケーション キャリアデザインⅠ 中国語コミュニケーション 韓国語コミュニケーション ロシア語コミュニケーション ビジネスモラル データ構造とアルゴリズム 情報科学基礎 情報数学Ⅰ オペレーティングシステム プログラミング基礎 情報通信ネットワーク システム開発技術 情報セキュリティ デザイン・シンキング概論 情報と法律

3 階	講義室 (3)	105.10	54			コンピュータアーキテクチャ 新潟と地域社会 サイバーフィジカルシステム基礎
5 階	講義室 (4)	100.10	48	・LAN アクセスポイント 2 台設置 ・２人掛け机×２４ ・液晶プロジェクター ・120 型スクリーン ・ハンド型、タイピン型ワイヤレスマイク ・スピーカー ・ブルーレイ/DVD プレーヤー ・書画カメラ	最大 40 人で行う講義	英語プレゼンテーション演習Ⅱ 日本語コミュニケーション キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ 情報と倫理 クラウド技術概論 統計学 マーケティング 情報と経営 ソーシャルデザイン I 分散型台帳技術演習 国際文化と伝統 データベースの基礎
	講義室 (5)	112.66	60	・LAN アクセスポイント 2 台設置 ・2 人掛け机×30 ・液晶プロジェクター ・120 型スクリーン ・ハンド型、タイピン型ワイヤレスマイク ・スピーカー ・ブルーレイ/DVD プレーヤー ・書画カメラ	最大 40 人で行う講義	キャリアデザインⅢ 国際文化と伝統 統計学 マーケティング ソーシャルデザイン I データベースの基礎

6 階	講義室 (6)	143.63	78	・LAN アクセスポイント 1 台設置 ・電源コンセント 83 口設 置 ・2 人掛け机×39 ・液晶プロジェクター ・120 型スクリーン ・ハンド型、タイピン型ワ イヤレスマイク ・スピーカー ・ブルーレイ/DVD プレー ヤー ・書画カメラ	最大 40 人で行う講義	情報産業論 情報と経営 マーケティング クラウド技術概論

3．学生自習室について

階	教室種別	床面積(㎡)	収容人数(人)	設備	主要用途	各教室で行う授業科目
3 階	学生 自習室 (1)	34.97	24	・LAN アクセスポイント 1 台設置 ・電源コンセント 29 口設 置 ・8 人掛け丸テーブル×3	授業準備学生の自習	
4 階	学習 自習室 (2)	49.32	32	・LAN アクセスポイント 1 台設置 ・電源コンセント 37 口設 置 ・8 人掛け丸テーブル×3	授業準備学生の自習	

（新旧対照表）設置の趣旨を記載した書類（５２-５３ページ）

新	旧
②　米山キャンパス 主に「情報学部」の教室等を設置する校舎となる。 教室は中教室（24～36 人）を 8 室、大教室（40	②　米山キャンパス 主に「情報学部」の教室等を設置する校舎となる。 教室は中教室（24～36 人）を 8 室、大教室（40

人以上）を 12 室設備する他、学生生活をサポートするために学生自習室、キャリアセンター、医務室、米山キャンパスの運営を行う事務室、学部長室を設置する。 情報学部はクラウド上に、教員用および大学・学部の共通用とは別に、学生個人向けの計算環境として、windows 搭載の仮想マシンおよび linux 搭載の仮想マシンを学生毎に整備する。米山キャンパス全域をカバーする無線 LAN を利用可能とし、将来的な通信トラフィックの増大に備えて学生向けに提供されるキャンパス LAN を最大 400 名、一人当たり 5 デバイスを想定した帯域に耐えうる構成をベースとして整備する。 また、すべての演習室、実験・実習室において学生収容人数分のコンセントを用意し、演習、実習を行う際の電源環境を整備する。 さらに米山キャンパスは 3 階以上が 2 棟に分かれる 7 階建の構造であるため、学生の移動環境を整えるために各々2 基、合計 4 基のエレベーターを設置する。	人以上）を 12 室設備する他、学生生活をサポートするために学生自習室、キャリアセンター、医務室、米山キャンパスの運営を行う事務室、学部長室を設置する。 （追加）

（２）米山キャンパスの図書室について

学生が図書閲覧を行う際、充実した自学環境を整えるため、米山キャンパス２階図書室と併設予定であった「キャリアセンター」「学習支援センター」と、隣接していた「会議室」を移設し図書室の面積を拡張し、閲覧座席数 64 席とした。

また「キャリアセンター」「学習支援センター」は米山キャンパスの２階の当初「応接室」予定であった部屋に移設し、「応接室」は１階へ移設する。「会議室」については２階学生ロビーの一部分を使用し移設する。「会議室」移設後も、学生ロビーは１階と２階を合わせて 170 人の学生が休める開放的な環境を整備する。

なお、米山キャンパスの図書室は情報学部の専門図書を中心に配架する。その他紫竹山キャンパスに設置されている図書館に配架された書籍も活用することができる。蔵書検索システムから予約することで、他キャンパスにある図書館の図書も翌日には配達される。

米山キャンパス２階平面図

安全上の観点から図面に関して省略いたします。

米山キャンパス２階　図書室レイアウト

床面積：162.38 ㎡

蔵書可能数：約 8,000 冊

閲覧座席数：64 席

設備：無線 LAN アクセスポイント３台

蔵書検索用パソコン：紫竹山キャンパスの蔵書を含めた関連大学図書の検索

安全上の観点から図面に関して省略いたします。

（新旧対照表）設置の趣旨を記載した書類（５５ページ）

新	旧
米山キャンパスに設置する図書室（162.38㎡）は情報学部に関する専門書および学術雑誌を主として整備し、閲覧座席数は情報学部の収容定員の 2 割にあたる 64 席設け、学生の自習にも利用可能とし、教育・研究に資する。 開学当初に米山キャンパスに整備する図書等は以下の通りである。 ・基礎・教養分野：702 冊 ・情報学分野：1,418 冊 （内国書 1,361 冊、外国書 38 冊、学術和雑誌 8 点、学術洋雑誌 10 点(内電子ジャーナル 10 点)、視聴覚資料等 1 点） ・AI・IOT 応用分野：1,044 冊 （内国書 1,013 冊、外国書 20 冊、学術和雑誌 4 点、学術洋雑誌 6 点(内電子ジャーナル 6 点)、視聴覚資料等 1 点） ・経営・マーケティング分野：474 冊 （内国書 469 冊、外国書 5 冊） ・関連諸分野：259 冊 （内国書 257 冊、外国書 1 冊、学術和雑誌 1 点）	米山キャンパスに設置する図書室（追加）は情報学部に関する専門書および学術雑誌を主として整備し、閲覧座席数は 43 席設け、学生の自習にも利用可能とし、教育・研究に資する。 開学当初に米山キャンパスに整備する図書等は以下の通りである。 ・基礎・教養分野：702 冊 ・情報学分野：1404 冊 （内国書 1361 冊、外国書 38 冊、学術和雑誌 3 点、学術洋雑誌 1 点（追加）、視聴覚資料等 1 点） ・AI・IOT 応用分野：1039 冊 （内国書 1013 冊、外国書 20 冊、学術和雑誌 4 点、学術洋雑誌 1 点（追加）、視聴覚資料等 1 点） ・経営・マーケティング分野：474 冊 （内国書 469 冊、外国書 5 冊） ・関連諸分野：259 冊 （内国書 257 冊、外国書 1 冊、学術和雑誌 1 点）

（３）学生の移動環境の整備について

授業間において、最上階から大人数の学生が移動する場合でも、米山キャンパス内における学生移動がよりスムーズで快適となる環境整備を行うため、エレベーター２台を増設し、計４台のエレベーターが運転する施設計画とする。

米山キャンパス１階平面図

安全上の観点から図面に関して省略いたします。

（新旧対照表）設置の趣旨を記載した書類（５２-５３ページ）

新	旧
②　米山キャンパス 主に「情報学部」の教室等を設置する校舎となる。 教室は中教室（24～36 人）を 8 室、大教室（40 人以上）を 12 室設備する他、学生生活をサポートするために学生自習室、キャリアセンター、医務室、米山キャンパスの運営を行う事務室、学部長室を設置する。 情報学部はクラウド上に、教員用および大学・学部の共通用とは別に、学生個人向けの計算環境として、windows 搭載の仮想マシンおよび linux 搭載の仮想マシンを学生毎に整備する。米山キャンパス全域をカバーする無線 LAN を利用可能とし、将来的な通信トラフィックの増大に備えて学生向けに提供されるキャンパス LAN を最大 400 名、一人当たり 5 デバイスを想定した帯域に耐えうる構成をベースとして整備する。 また、すべての演習室、実験・実習室において学生収容人数分のコンセントを用意し、演習、実習を行う際の電源環境を整備する。 さらに米山キャンパスは 3 階以上が 2 棟に分かれる 7 階建の構造であるため、学生の移動環境を整えるために各々2 基、合計 4 基のエレベーターを設置する。	②　米山キャンパス 主に「情報学部」の教室等を設置する校舎となる。 教室は中教室（24～36 人）を 8 室、大教室（40 人以上）を 12 室設備する他、学生生活をサポートするために学生自習室、キャリアセンター、医務室、米山キャンパスの運営を行う事務室、学部長室を設置する。 （追加）

以上

審査意見への対応を記載した書類

資料目次

【資料１】情報学部 情報学科 カリキュラム体系図

【資料２】アドミッション・オフィス選抜を受験する学生に求める書類

「学修計画書書式」「志望動機書書式」

【資料３】「没入型コンピューティング演習」、「分散型台帳技術演習」、

「ハードウェア設計」、「マシンラーニング演習」 シラバス（授業計画）

【資料４】「ICT 演習（ハードウェア/ソフトウェア）」、「ICT 演習（セキュリティ）」、

「ICT 演習（基本情報）」、「ICT 演習（クラウド）」、「ICT 演習（応用情報）」、

「ICT 演習（IoT）」、「ICT 演習（ディープラーニング）」、

「ICT 演習（セキュリティスペシャリスト）」、「ICT 演習(組込システム)」、

「ICT 演習（データベーススペシャリスト）」 シラバス（授業計画）

【資料５】新キャリアデザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ　シラバス（授業計画）

【資料６】旧キャリアデザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ　シラバス（授業計画）

【資料７】情報学部 シラバス（授業計画）

【資料８】情報学部 臨地実務実習施設の概要

【資料９】電子ジャーナルリスト（情報学部）

【資料１０】米山キャンパスプロット図

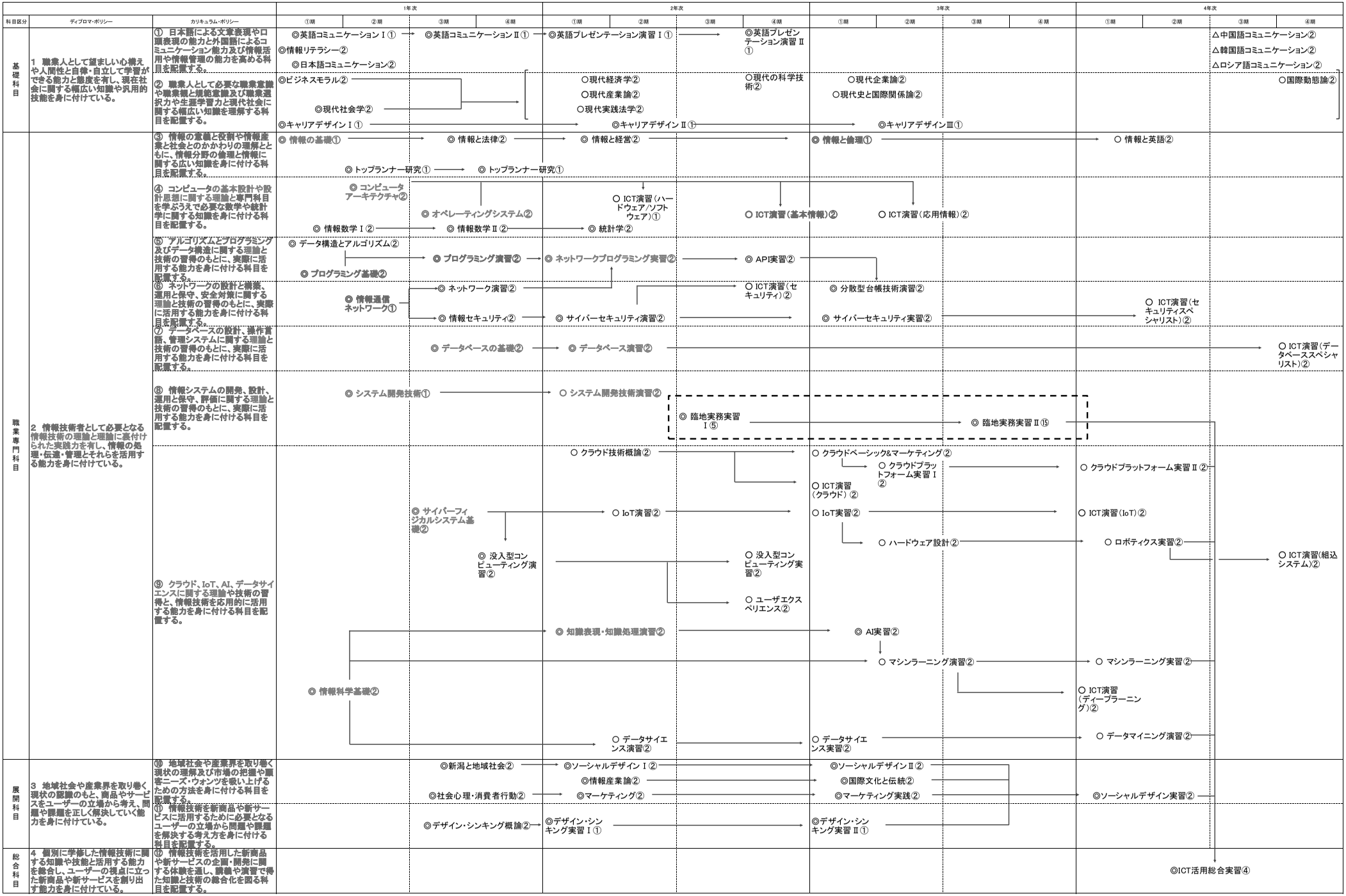
【資料１１】米山キャンパスネットワーク系統図

審査意見への対応を記載した書類

【資料 1】

【資料1】 情報学部 情報学科 カリキュラム体系図

※科目名称の囲み数値は単位数 （例：②は2単位科目）
◎： 必修科目　　○： 選択科目　　△：自由科目



審査意見への対応を記載した書類

【資料 2】

学修計画書

（鉛筆不可、黒の筆記具使用）

2020年度　開志専門職大学 入学選考試験	
受験番号	※記入しないでください。

フリガナ 氏名		志願学部	学部	志願学科	学科

あなたが志望する学部・学科で、志望動機書に記載した将来の目標を実現するために、どのような「知識」「能力」を身に付けたいのか、その「知識」「能力」を身に付けるためにどのような学習をしたいのかを計画し、志願者本人が自筆にて所定欄内に記入してください。

1．将来の目標について簡潔に記入してください。
2．将来の目標を実現するために、身に付けたい「知識」「能力」について記入してください。
3．2の「知識」「能力」を身に付けるために、どのような学習をしたいのかを計画し、記入してください。

2020年度　開志専門職大学
入学選考試験

受験番号	※記入しないでください。

志　望　動　機　書

（鉛筆不可、黒の筆記具使用）

フリガナ 氏名		志願学部	学部	志願学科	学科

本学当該学部を志願する理由について、根拠となる事実や自己の経験・体験、将来の目標を踏まえたうえで志願者本人が自筆・横書きで４００字以内で記入してください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
16															
17															
18															
19															
20															
21															
22															
23															
24															
25															

資料2-2
16字×25行（400字 横書き）

審査意見への対応を記載した書類

【資料 3】

授業科目　没入型コンピューティング演習

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
江口将史	開講時期	④	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

没入型コンピューティングとは、ユーザーの五感を含む感覚を刺激する技術であることについて理解したうえで、仮想現実(VR)実装技術の修得から、その有効性・可能性をユーザー体験により学修する。更にセンサーやカメラ、入力デバイスなどの各種ハードウェアの取り扱いや、表現の違い、拡張現実(AR)、複合現実(MR)についての理解を深め、ＸＲコンテンツを制作するためのソフトウェア・コンテンツ開発技術を修得する。

【学習目標】

１．バーチャル・リアリティの基礎知識と構成する要素を理解する。
２．バーチャル・リアリティコンテンツの開発について理解する。
３．バーチャル・リアリティコンテンツ開発の要となるゲームエンジンについて理解する。
４．仮想世界にインタラクトするための一人称および三人称でのナビゲーションとユーザインタフェースの使い方を理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス、バーチャル・リアリティの基礎知識	1	講義
2	VRアプリケーション開発の概況	1	講義
3	ゲームエンジンの基本的な考え方	3	講義
4	ユーザーインターフェース　基本的概念	3	講義　課題
5	物理と環境とは	3	講義
6	ゲームエンジン 主要機能と操作	3	演習
7	ゲームエンジン スクリプト演習 スクリプトの基礎	3	演習　課題
8	ゲームエンジン スクリプト演習 オブジェクト間の連携	3	演習
9	物理と環境 リアルタイムシミュレーション	4	演習
10	レンダリング手法	4	演習　課題
11	ウォークスルーを実現するための要素	4	演習
12	ユーザーインターフェース　仮想空間・拡張空間における実装	4	演習　課題
13	最終課題演習①　課題の概要と行程の策定	1～4	演習
14	最終課題演習②　実装とテスト	1～4	演習
15	最終課題演習③　実装とテスト　まとめと振り返り	1～4	演習　最終課題とレポート

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	バーチャルリアリティ学	日本バーチャルリアリティ学会 編・発行	コロナ社	2011年1月
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。演習用パソコンの画面を最大限活用しなくてはならないので、講義資料は印刷して持参することを推奨します。また、授業のなかで紹介した文献、資料による復習を重視してください。			

【評価方法】

授業にて提示する課題（40%）
最終課題とレポート（60%）

【履修上の留意点】

履修条件：「プログラミング基礎」の単位を修得済みの者

資料3-1

授業科目　分散型台帳技術演習

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	情報学科
上野衆太	開講時期	①・②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

分散型台帳技術は、特定の帳簿管理者を置かずに、参加者が同じ帳簿を共有しながら、資産や権利の移転などを記録していく情報技術であることについて理解する。分散型台帳技術は、デジタル・データを用いつつ、これを「分散型」の仕組みで処理することについて、代表的な技術であるブロックチェーンの仕組み・技術を学修し、将来の利活用に向け技術的課題や今後急拡大する分散型志向の設計と制作を実践的に学修する。

【学習目標】

1．ブロックチェーン技術の特徴や歴史から、暗号通貨システムを支えるブロックチェーンの要素技術を理解する。
2．暗号通貨や暗号通貨以外の具体的な事例からブロックチェーン技術を活用して提供できるサービスの可能性を考察できる。
3．ブロックチェーン開発の環境構築から、フレームワークを使ったアプリケーションの開発手法を理解する。
4．セキュリティやストレージの利用方法や、主要な課題と現時点における解決策を理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス、ブロックチェーンとは	1	講義
2	ブロックチェーン技術の理解	1	講義　レポート
3	ブロックチェーンアプリケーションの理解	1	講義
4	ブロックチェーンプロダクトの比較	2	講義　レポート
5	ブロックチェーン技術的課題と解決案	4	講義
6	ブロックチェーン技術の未来	4	講義　レポート
7	ビジネスへの応用	2	講義・演習
8	ブロックチェーンの要素技術	2	演習　課題
9	アプリケーション開発の基礎知識	3	講義・演習
10	アプリケーション開発	3	演習　課題
11	アプリケーション開発のフレームワーク	3	講義・演習
12	環境構築、セキュリティ	3	演習　課題
13	実装課題①　課題の概要と行程の策定	2・3・4	演習
14	実装課題②　実装とテスト	2・3・4	演習
15	実装課題③　課題プレゼンテーション	2・3・4	演習

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			

準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。演習用パソコンの画面を最大限活用しなくてはならないので、講義資料は印刷して持参することを推奨します。また、授業のなかで紹介した文献、資料による復習を重視してください。

【評価方法】

授業にて提示するレポート（30%）
授業にて提示する課題（30%）
最終課題とプレゼンテーション（40%）

【履修上の留意点】

履修条件：「ＡＰＩ実習」の単位を修得済みの者

授業科目　ハードウェア設計

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	情報学科
金宮好和	開講時期	②	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

コンピュータやスマートデバイス、各種センサー類を活用し、求められる機能・性能を実現するハードウェアの設計能力を修得する。ハードウェア設計技術者には、最新の技術を使った高性能な製品や、新しい発想を取り入れた魅力的な製品の開発が期待されていることから、設計が実際に製造・製作に用いることができるかどうかを検証するとともに、ロボットやIoTの実践・実習でも必要となる３Ｄスキャナ・３Ｄプリンター等の機器の利活用技法についても学修する。

【学習目標】

１．電気電子回路の原理・原則に関する知識を理解する。
２．電子機械の概要と役割の活用方法を理解する。
３．メカトロニクスの構成を理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス、電子機械の概要と役割と電気電子回路	1	講義
2	機械の機構と運動の伝達　基本的な機械要素	2	講義
3	センサとアクチュエータ　センサの基礎	2	講義　課題
4	シーケンス制御　自動制御の種類	2	講義
5	電子機械設計　身近なメカトロニクス製品	3	講義
6	電気電子回路	1	演習　課題
7	機械の機構と運動の伝達　基本的なメカニズム	2	演習
8	センサとアクチュエータ　おもなアクチュエータとその活用	2	演習
9	シーケンス制御　プログラマブルコントローラ	2	演習　課題
10	コンピュータ制御　コンピュータとインタフェース	3	演習
11	コンピュータ制御　外部機器の制御	3	演習
12	電子機械設計②　制御系のソフトウェア技術	3	演習　課題
13	課題演習①　課題の概要と行程の策定	1・2・3	演習
14	課題演習②　実装	1・2・3	演習
15	課題演習③　テスト	1・2・3	演習

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	入門電子機械	安田 仁彦、田中泰孝、市川繁富、平井重臣、都筑順一	コロナ社	2016年11月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。演習用パソコンの画面を最大限活用しなくてはならないので、講義資料は印刷して持参することを推奨します。また、授業のなかで紹介した文献、資料による復習を重視してください。			

【評価方法】

授業にて提示する課題（40%）
演習課題および最終レポート（60%）

【履修上の留意点】

履修条件：「ＩｏＴ実習」の単位を修得済みの者

授業科目　マシンラーニング演習

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	情報学科
平川秀樹	開講時期	②	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

マシンラーニング（機械学習）とは、人工知能における研究課題の一つで、人間が自然に行っている学習能力と同様の機能を、コンピュータで実現しようとする技術・手法であることについて理解するとともに、AI技術の一つであるマシンラーニングについて、演習を通して学修する。また、マシンラーニングによる特徴表現学習についての理解を深めると同時に、Linux・Python・オープンソースなどを用いて、自ら実行環境の設計・構築を行えるスキルを修得する。

【学習目標】

1．機械学習の理解に必要な数学、ニューラルネットワークの基礎について理解する。
2．畳み込みニューラルネットワークや回帰結合型ニューラルネットワークなどの確立した手法とその応用法を理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス、マシンラーニングとは	1	講義
2	勾配に基づく最適化	1	講義
3	機械学習の基礎	1	講義
4	学習アルゴリズム	1	講義
5	確率的勾配降下法	1	講義
6	機械学習アルゴリズムの構築	1	演習
7	深層ネットワーク　現代的な実践	1	演習　課題レポート
8	深層順伝播型ネットワーク　XOR学習	2	演習
9	深層順伝播型ネットワーク　勾配に基づく学習	2	演習
10	深層学習のための正則化の考察	2	演習
11	深層モデルの訓練のための最適化	2	演習
12	畳み込みネットワーク　全体の構造と構築	2	演習　課題レポート
13	畳み込みネットワーク　物体カテゴリ認識の実例	2	演習
14	再帰型ネットワーク　ＲＮＮの構造の構造と構築	2	演習
15	再帰型ネットワーク　時系列データの実例	2	演習

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	深層学習	監訳 松尾　豊	KADOKAWA	2018年8月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。演習用パソコンの画面を最大限活用しなくてはならないので、講義資料は印刷して持参することを推奨します。また、授業のなかで紹介した文献、資料による復習を重視してください。			

【評価方法】

授業にて実施するテスト（30%）
授業にて提示する課題レポート(40%)
最終レポート（30%）

【履修上の留意点】

履修条件：「情報科学基礎」「ＡＩ実習」の単位を修得済みの者

審査意見への対応を記載した書類

【資料 4】

授業科目　ICT演習（ハードウェア/ソフトウェア）

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
PANN YU MON	開講時期	②	必修･選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【概要】

ＩＣＴ分野におけるハードウェア・ソフトウェアを理解し、より複雑なＩＣＴ環境をサポートする際に必要となるスキルと知識を体系的に学修する。具体的にはPCやモバイル機器、ノートPCといったハード面、オペレーティングシステムといったソフト面、またプリンターなどの周辺機器に関連した運用・管理メンテナンス、ネットワーク、セキュリティの基礎を理解し、スキル・知識・適切なトラブルシューティングスキルの修得を目指す。

【学習目標】

１．デバイス、ソフトウェアをユーザのニーズに合わせて構成、設定、メンテナンスに関することを理解する。
２．ネットワーク、セキュリティ/フォレンジックに関することを理解する。
３．適切にトラブルシューティングスキルおよび顧客サポートすることができる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	PCマザーボードの構造と周辺デバイスの接続	1	
2	Wi-Fiの基本設定とセキュリティ管理	2	
3	オペレーティングシステムの基本設定	1	
4	プリンタ機器の接続と設定	1	
5	暗号化と認証	2	
6	ルーターの基本設定とログの確認	2	
7	バックアップとリストア	2	
8	トラブルシューティングの手順と文書化	3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料等を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】

授業での発言・質疑・議論（50%）
最終課題と課題の提出レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：「オペレーティングシステム」「コンピュータアーキテクチャ」の単位を修得済みの者

資料4-1

授業科目　ICT演習（セキュリティ）

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
西川浩平	開講時期	④	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

セキュリティインシデントに対応するためのセキュリティ概念、ツール、対応手順に関連する知識やスキルを修得するとともに、セキュリティインシデントの発生を予防するため定期的、日常的に実施されるべき運用セキュリティ、セキュリティの脅威や脆弱性についての知識やスキルを体系的に学修する。具体的には、ネットワークセキュリティ、コンプライアンスと運用セキュリティ、脅威と脆弱性、アプリケーション、データ、ホスティングセキュリティ、アクセスコントロール、認証マネジメント、暗号化などのスキルや知識を修得する。

【学習目標】

1．OS,ネットワーク機器におけるセキュリティ設定について実装することができる。
2．リスクに関連する概念の重要性を説明することができる。
3．マルウェアの各種タイプを解析、分類することができる。
4．アプリケーションセキュリティの重要性を説明することができる。
5．認証プロトコルの目的と機能を理解し、実装することができる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	情報資産の分類	2	
2	管理すべき情報機器	2	
3	リスクのリストアップ	2,3	
4	攻撃方法の分類	2,3	
5	セキュリティ管理計画の作成	2	
6	ソフトウエアの脆弱性チェック	4	
7	ＯＳアカウントポリシの基本設定(Windows)	1	
8	ＯＳアカウントポリシの基本設定(Linux)	1	
9	ログの取得と分析	1	
10	鍵ペアの生成と電子証明書の設定	1,5	
11	暗号化と鍵管理の設定と運用管理	1	
12	認証プロトコルの設定	1,5	
13	ファイアウォールの設定	1	
14	プロキシサーバの運用管理	1	
15	侵入検知システムの運用管理	1,3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	Security+　テキスト	TAC IT講座	TAC IT講座	2015年6月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
授業での発言・質疑・議論（50%） 最終課題と課題の提出レポート（50%）	履修条件：「サイバーセキュリティ演習」の単位を修得済みの者

授業科目　ICT演習（基本情報）

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
PANN YU MON	開講時期	④	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

高度IT人材となるために必要な基本的知識・技能をもち、基本戦略立案又はITソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事し、上位者の指導の下に次のいずれかの役割を果たす際に、必要となるスキルと知識を体系的に学修する。企業経営、社会システムが直面する課題に対して、情報技術を活用した戦略を立案し、システムの設計・開発を行い、又は汎用製品の最適組合せ（インテグレーション）によって、信頼性・生産性の高いシステムを構築、また、その安定的な運用サービスの実現について学修する。

【学習目標】

１．需要者（企業経営、社会システム）が直面する課題に対して、情報技術を活用した戦略立案に関することを理解する。
２．システムの設計・開発、又は汎用製品の最適組合せによって、信頼性・生産性の高いシステム構築を理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	数値の内部表現	1	
2	演算の誤差とその評価	1	
3	組合せ回路と順序回路	1	
4	オートマトンによる状態遷移記述	1	
5	正規表現、ＢＮＦによる記号列の生成	1	
6	逆ポーランド記法による数式記述	1	
7	磁気ディスク装置の構成と性能評価	2	
8	クライアントサーバシステムの事例研究	1・2	
9	システムの性能評価	2	
10	システムの信頼性評価	2	
11	E-R図によるデータモデル化	2	
12	３層スキーマによるデータベース設計	2	
13	要求分析と要求定義	2	
14	BPR(Business Process Re-engineering)の事例	2	
15	CSR(Corporate Xocial Responsibility)の事例	1・2	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	徹底攻略 基本情報技術者教科書 平成30年度	瀬戸美月	インプレス	2017年11月
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や参考書等を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】

授業での発言・質疑・議論（50%）
最終課題と課題の提出レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：「オペレーティングシステム」「コンピュータアーキテクチャ」の単位を修得済みの者

資料4-3

授業科目　ICT演習（クラウド）

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	情報学科
西川浩平	開講時期	①	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

クラウドの運用やクラウドサービスの提供など、クラウド環境で業務を実行するエンジニアが必要とされる、セキュアなクラウド環境の実装と、運用スキルとベストプラクティスへの理解とともに、クラウドの運用やクラウドサービスの提供など、クラウド環境で業務を実行するエンジニアが必要とされる、知識や技術を体系的に学修する。具体的には、クラウドのコンポーネントとモデル、仮想化、インフラストラクチャ、リソースマネジメント、セキュリティ、システムマネジメント、クラウドを活用した事業継続などのスキルや知識を修得する。

【学習目標】

1．ラウドの運用やクラウドサービスの提供に関することを理解する。
2．クラウド環境で業務を実行するITエンジニアが必要とされるスキルとベストプラクティスを理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	SaaSの事例と特徴の調査	1	
2	PaaSの事例と特徴の調査	1	
3	IaaSの事例と特徴の調査	1	
4	シナリオに基づく要件定義（1）　クラウド展開モデル	1	
5	シナリオに基づく要件定義（2）　サイジング	1	
6	シナリオに基づく要件定義（3）　ネットワーク	1	
7	シナリオに基づく要件定義（4）　認証とアクセス管理	1	
8	シナリオに基づく要件定義（5）　セキュリティ	1	
9	シナリオに基づく要件定義（6）　災害復旧・事業継続性	1	
10	シナリオに基づくシステム設定（1）　クラウド展開モデル	2	
11	シナリオに基づくシステム設定（2）　サイジング	2	
12	シナリオに基づくシステム設定（3）　ネットワーク	2	
13	シナリオに基づくシステム設定（4）　認証とアクセス管理	2	
14	シナリオに基づくシステム設定（5）　セキュリティ	2	
15	シナリオに基づくシステム設定（6）　災害復旧・事業継続性	2	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	Cloud+ テキスト	TAC IT講座	TAC IT講座	2014年8月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】

授業での発言・質疑・議論（50%）
最終課題と課題の提出レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：「クラウド技術概論」を履修していることが望ましい

授業科目　ICT演習（応用情報）

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	情報学科
柄沢直之	開講時期	②	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

高度IT人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、基本戦略立案、又はITソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事し、独力で次のいずれかの役割を果たす際に、必要となるスキルと知識を体系的に学修する。企業経営、社会システムなどの需要者が直面する課題に対して、情報技術を活用した戦略の立案、システムの設計・開発を実施し、又は汎用製品の最適組合せ（インテグレーション）による信頼性・生産性の高いシステムの構築、また、その安定的な運用サービスの実現について学修する。

【学習目標】

１．システムの設計・開発、又は汎用製品の最適組合せによって、信頼性・生産性の高いシステム構築を理解する。
２．構築されたシステムの安定的な運用サービス実現に関することを理解する。
３．需要者（企業経営，社会システム）が直面する課題に対して，情報技術を活用した戦略の立案に関することを理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	数値演算の誤差	1	
2	基本アルゴリズムの性能評価	1	
3	プログラミングパラダイムの比較	1	
4	UMLによる仕様記述	1	
5	CPUアーキテクチャの比較	1	
6	入出力インタフェースの比較	1	
7	RAID方式の比較	1	
8	故障率の検討	2	
9	応答時間、スループットの見積もり	2	
10	ファイルシステムの比較検討	1・2	
11	OSSライセンスの比較検討	2・3	
12	ユーザビリティの評価	2	
13	データベース方式の特徴比較	3	
14	PPM(Product Portfolio Management)の事例研究	3	
15	OR(Operations Research)の事例研究	3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	徹底攻略 応用情報技術者教科書 平成30年度	瀬戸美月	インプレス	2017年11月
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や参考書等を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】

授業での発言・質疑・議論（50%）
最終課題と課題の提出レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：「オペレーティングシステム」「コンピュータアーキテクチャ」の単位を修得済みの者

資料4-5

授業科目　ICT演習（IoT）

【担当教員名】	対象学年	4	対象学科	情報学科
金宮好和	開講時期	①	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

ＩｏＴに関し、技術的な視点だけでなく、マーケティングやサービスの提供、ユーザーの視点から必要となるカテゴリ、スキル要件などを網羅し、それぞれの立場でＩｏＴを企画・開発・利用するために必要なスキルと知識を体系的に学修する。具体的には、戦略とマネジメント、産業システムと標準化、法律、ネットワーク、デバイス、プラットフォーム、データ分析、セキュリティなどのスキルや知識を修得する。

【学習目標】

１．IoTの技術的な視点だけでなく、マーケティングやサービスの提供に関することを理解する。
２．IoTを企画・開発・利用するために必要な知識を理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	シナリオに基づく要件定義（１）　人流の把握	1	
2	シナリオに基づく要件定義（２）　交通制御	1	
3	シナリオに基づく要件定義（３）　社会インフラのメンテナンス	1	
4	シナリオに基づく要件定義（４）　防犯	1	
5	シナリオに基づく要件定義（５）　ビル管理	1	
6	シナリオに基づく要件定義（６）　Factory Automation	1	
7	シナリオに基づく要件定義（７）　自由課題	1	
8	IoT用センサーの事例研究	2	
9	IoT用ネットワークの設計	2	
10	データ分析手法の事例検討	2	
11	セキュリティ脅威と対策の検討	2	
12	プライバシ問題の検討	2	
13	データの価値と流通についての検討	1	
14	IoTビジネスモデルの検討	1	
15	スマート社会へ向けた課題の検討	1	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	IoTの全てを網羅した決定版 IoTの教科書	末石吾朗、江崎寛康、森崇人、中山祐輝、林憲明	日経BP社	2017年8月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】

授業での発言・質疑・議論（50%）
最終課題と課題の提出レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：「サイバーフィジカルシステム基礎」の単位を修得済みの者
また「ＩｏＴ演習」「ＩｏＴ実習」を履修していることが望ましい

授業科目　ICT演習（ディープラーニング）

【担当教員名】	対象学年	4	対象学科	情報学科
平川秀樹	開講時期	①	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

ディープラーニング技術の可能性と限界を正しく理解し、事業に活用するための知識を体系的に学修する。ディープラーニングが得意とするデータや不得意なデータ、ディープラーニング以外のさまざまな機械学習技術に加え、ディープラーニングをベースにしたAIの技術的発展とその社会応用、法制度やプライバシー、倫理面の問題など、人工知能、機械学習、ディープラーニングに関する俯瞰的な理解をもつことで、経営層に対し適切な活用方針を提案し事業応用を可能とするような能力を養成する。

【学習目標】

1．ディープラーニングの基礎知識を有し、適切な活用方法を決定して事業応用する能力を身につける。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	事例研究　チューリングテスト	1	
2	教師あり学習の事例研究（1）線形回帰	1	
3	教師あり学習の事例研究（2）ロジスティック回帰	1	
4	教師あり学習の事例研究（3）ランダムフォレスト	1	
5	教師あり学習の事例研究（4）サポートベクタマシン	1	
6	教師なし学習の事例研究（1）主成分分析	1	
7	教師なし学習の事例研究（2）k平均法	1	
8	データの正規化	1	
9	画像データの扱い	1	
10	応用事例研究（1）不良品検出	1	
11	応用事例研究（2）画像診断	1	
12	応用事例研究（3）介護支援	1	
13	応用事例研究（4）需要予測	1	
14	応用事例研究（5）物流最適化	1	
15	応用事例研究（6）レコメンド	1	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	ディープラーニング G検定公式テキスト	浅川伸一、江間有沙、工藤郁子、巣籠悠輔、瀬谷啓介、松井孝之、松尾豊	翔泳社	2018年10月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】

授業での発言・質疑・議論（50%）
最終課題と課題の提出レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：「情報科学基礎」「マシンラーニング演習」の単位を修得済みの者

授業科目　ICT演習（セキュリティスペシャリスト）

【担当教員名】	対象学年	4	対象学科	情報学科
髙嶋洋一	開講時期	②	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

セキュリティ機能の企画・要件定義・開発・運用・保守を、推進又は支援する業務、若しくはセキュアな情報システム基盤を整備する業務に従事し、次の役割を果たす際に必要となるスキルと知識を体系的に学修する。①情報システムの脅威・脆弱性を分析、評価し、これらを適切に回避、防止するセキュリティ機能の企画・要件定義・開発を推進又は支援する。②情報システム又はセキュリティ機能の開発プロジェクトにおいて、情報システムへの脅威を分析し、プロジェクト管理を適切に支援する。

【学習目標】

1．情報システムの脅威・脆弱性を分析、評価し、これらを適切に回避、防止するセキュリティ機能の企画・要件定義・開発を支援する。
2．情報システム又はセキュリティ機能の開発プロジェクトにおいて、情報システムへの脅威を分析し、プロジェクト管理を適切に支援する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	情報セキュリティマネジメントにおけるPDCA	1～2	
2	ISMS適合へ向けた作業	1～2	
3	セキュリティ脅威の分類	1	
4	サイバー攻撃手法の分類	1	
5	ポートスキャンの実態	1	
6	バッファオーバフロー対策	1	
7	セッションハイジャック対策	2	
8	DNS脆弱性への対策	1～2	
9	マルウェアの検出	2	
10	リスクの構成要素と損失評価	2	
11	システムログの取得と分析（OSのログ）	2	
12	システムログの取得と分析（ファイアウォールのログ）	2	
13	システム開発工程の見直し	2	
14	事業継続計画の策定	1～2	
15	個人情報保護法への対応	1～2	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	情報処理教科書 情報処理安全確保支援士 2018年版	上原孝之	翔泳社	2017年11月
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や参考書等を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】

授業での発言・質疑・議論（50%）
最終課題と課題の提出レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：「サイバーセキュリティ実習」の単位を修得済みの者

資料4-8

授業科目　ICT演習(組込システム)

【担当教員名】	対象学年	4	対象学科	情報学科
金宮好和	開講時期	④	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

自動車、家電、モバイル機器などに搭載する組込みシステムについて、次のいずれかの役割を果たす際に必要となるスキルと知識を体系的に学修する。①組込みシステムを対象として、機能仕様とリアルタイム性を最適に実現するハードウェアとソフトウェアのトレードオフに基づく機能分担を図り、設計書・仕様書の作成を実施する。②組込みシステム開発における各工程の作業を、主導的に実施する。③特定の技術・製品分野についての高度で専門的な知識・開発経験を基に、開発する当該分野の専門家から技術上の知識を獲得して、開発の各工程に反映させる。

【学習目標】

1．組込システムの企画・要件定義・開発に関することを理解する。
2．組込システムの運用・保守に関することを理解する。
3．組込システム技術に関することを理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	シナリオに基づく要件定義（1）CPU仕様	1	
2	シナリオに基づく要件定義（2）入出力インタフェース	1	
3	シナリオに基づく要件定義（3）ネットワーク	1	
4	シナリオに基づく要件定義（4）ソフトウエア	1	
5	シナリオに基づく要件定義（4）テスト環境	1･2	
6	事例研究：静止画及び動画を撮影するドローンの運用	1･2･3	
7	事例研究：道路などの冠水を防ぐシステム	1･2･3	
8	事例研究：観光案内用ロボット	1･2･3	
9	事例研究：カーオーディオシステム	1･2･3	
10	事例研究：食券自動販売機	1･2･3	
11	事例研究：病院内資料配送システム	1･2･3	
12	事例研究：LEDを用いたイルミネーションシステム	1･2･3	
13	事例研究：缶飲料を製造するスマート工場	1･2･3	
14	事例研究：複数の駐車場を管理するシステム	1･2･3	
15	事例研究：スマートグリッド	1･2･3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	情報処理教科書 エンベデッドシステムスペシャリスト	松原敬二、牧隆史	翔泳社	2018年9月
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や参考書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】

授業での発言・質疑・議論（50%）
最終課題と課題の提出レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：「サイバーフィジカルシステム」の単位を修得済みの者
また「ロボティクス実習」を履修していることが望ましい

資料4-9

授業科目　ICT演習（データベーススペシャリスト）

【担当教員名】	対象学年	4	対象学科	情報学科
鈴木源吾	開講時期	④	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

データ資源、及びデータベースを企画・要件定義・開発・運用・保守する業務に従事し、次の役割を果たす際に必要となるスキルと知識を体系的に学修する。①データ管理者として、情報システム全体のデータ資源を管理する。②データベースシステムに対する要求を分析し、効率性・信頼性・安全性を考慮した企画・要件定義・開発・運用・保守を実施する。③個別システム開発の企画・要件定義・開発・運用・保守において、データベース関連の技術支援を実施する。

【学習目標】

1．データベース技術の動向を広く見通し、目的に応じて適用可能な技術を選択できる。
2．データ資源管理の目的と技法を理解し、データ部品の標準化、リポジトリシステムの企画・要件定義・開発・運用・保守ができる。
3．データモデリング技法を理解し、利用者の要求に基づいてデータ分析を行い、正確な概念データモデルを作成できる。
4．データベース管理システムの特性を理解し、高品質なデータベースの企画・要件定義・開発・運用・保守ができる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	事例解析：コピー機の販売管理システム　業務要件の分析と、リレーションシップの設定、サブタイプの設定	1・2・3	
2	事例解析：コピー機の販売管理システム　ビジネス要件の変化に対応したデータベース設計の拡張	1・2	
3	事例解析：人事管理データベース　SQLの実装、テーブル変更手順設計	1・2	
4	業務システムの見直し　データベースの物理設計から実装	2・3	
5	事例解析：経費精算システムのスケールアウト　論理データモデルの理解と物理データベース設計	1・3	
6	事例解析：経費精算システムのスケールアウト　必要なストレージ容量の算出	2・4	
7	事例解析：経費精算システムのスケールアウト　性能見積もり、評価	2・4	
8	事例解析：経費精算システムのスケールアウト　クラウドサービスの比較・選定	2・4	
9	事例解析：製菓ラインのメーカ　概念データモデリング	3	
10	演習問題：エンティティタイプ及び関係スキーマ分析	3	
11	演習問題：未完成の概念スキーマモデルを完成させる エンティティタイプ	3	
12	演習問題：未完成の関係スキーマを完成させる	3	
13	演習問題：未完成の概念データモデルを完成させる リレーションシップ	3	
14	演習問題：データ所要量を求める	1～4	
15	演習問題：テーブル定義表を完成させる	1～4	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	データベーススペシャリスト2019年版	ITのプロ46	翔泳社	2018年9月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
授業での発言・質疑・議論（50%） 最終課題と課題の提出レポート（50%）	履修条件：「データベース演習」の単位を修得済みの者

審査意見への対応を記載した書類

【資料 5】

【資料５－１】　新　キャリアデザインⅠシラバス

授業科目　キャリアデザインⅠ

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
北野奈々子	開講時期	①	必修･選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【概要】

キャリアデザインとは、理想とする将来の自分を実現するためにどのような仕事・職業や働き方が相応しいかを考え、目標設定を行い、実現に向けて設計することであり、「キャリア」とは単なる職歴ではなく、今後の生き方や働き方という意味合いがあることについて理解する。そのうえで、人生や仕事において自分自身のなりたい姿を描くことについて理解し、個々の夢や目標を実現するための心のあり方や目標設定の仕方、振り返り、生じた問題への対処法など、目標に対して具体的にアプローチするための実践行動に関する知識と技法について学習する。

【学習目標】

１．キャリア及びキャリアデザインの概念や意義と目的、キャリア形成において必要となる基礎的・汎用的能力を理解する。
２．議論の目的と進め方や議論をまとめる方法や手法について理解する。
３．キャリアデザインに必要な基本的理論を理解する。
４．目標設定や目標管理の意味と種類や方法など目標設定理論について理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	キャリアデザインの概念、キャリア形成において育成すべき能力の理解: キャリアデザインの概念、意義、目的及びキャリア形成において必要となる基礎的・汎用的能力を構成する４つの能力（人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプラニング能力）を理解する。（この四つの能力は中央教育審議会が「社会的・職業的自立に向け、必要な基礎となる能力や態度」のうち、その育成をキャリア教育が中核的に担うべきものとして示した「基礎的・汎用的能力」）	1	講義
2	ファシリテーション論の理解：議論の目的と進め方や議論をまとめる方法や手法について理解する。	2	講義
3	ファシリテーションの実践：議論の場面を設定し、議論の進め方の問題点や解決方法を理解する。	2	ロールプレイング
4	キャリアデザインに必要となるキャリア理論の理解：ドナルド・スーパーの「ライフ・キャリア・レインボウ(人生における役割とキャリアの関係を図式化したもの）」などを手掛かりに、キャリア理論の基礎的諸概念を理解する。	3	講義
5	モティベーション論の理解 内容：様々なモティベーション論の提示する諸概念を理解する。	4	講義
6	目標設定と目標管理の方法の理解：目標設定と目標管理に関する方法を講義するとともに、成功例や失敗例を取り上げて、目標設定の効果が最大化される条件を考察する。	4	講義、事例研究、ディスカッション
7	目標設定の実践①：目標設定シートの作成方法と目標設定シートの有効的な活用法について理解する。	4	演習
8	目標設定の実践②：目標設定シートの作成と発表を通して、目標の質を高めることについて理解する。	4	ディスカッション

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	毎回、授業レジュメを配付する。			
参考書	キャリア教育基礎論－正しい理解と実践のために－	藤田晃之	実業之日本社	2014年10月
	ファシリテーション入門（第2班）	堀公俊	日本経済新聞出版社	2018年
	ワーク・モティベーション	ゲイリー・レイサム、金井壽宏	NTT出版	2009年6月
その他の資料	適宜、ワークシートを配付する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
・ワークシート、アクションプランの内容による評価（50%） ・活発に授業参加するための積極的行動（50%）	講義の理解深度を含め、個々の学生の主体的姿勢が求められる。

【資料５－２】　新　キャリアデザインⅡシラバス

授業科目　　キャリアデザインⅡ

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
北野奈々子	開講時期	②	必修･選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【概要】

他者と協調・協働して行動できる態度や他者に方向性を示し、目標を達成するために動員できる能力を養成する。集団に属しているメンバーが同じ目標を達成するために行う作業、協力、意識、行動について理解するとともに、集団や組織の場あるいは個人的な場における感情的な面も含めた人間と人間の関係について学習し、他者を理解する視点についての考察を通して、自己や自我の認識、自己と他者との関係、他者相互間の関係などの理解と人間関係の多様なあり方についての理解を深め、他者との円滑な信頼関係の構築に取り組むことができる姿勢を養う。

【学習目標】

１．キャリアデザインの概念、チームの力を最大化するための方法を理解する。
２．チームワークの意義や定義と重要性及びグループとチームの違いについて社会学やキャリア理論を踏まえ理解する。
３．リーダーシップの意味や定義と種類及び能力や要素と開発方法について理解す
４．他者との円滑な信頼関係の構築とコミュニケーションのあり方について社会学をベースに理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	キャリアデザインの概念、チームの力を最大化するための方法の理解：仕事を進めるうえでの基礎力となる対人能力、対自己能力、対課題能力、処理力・思考力を理解する。	1	講義
2	チームワーク、協働力の重要性の理解：チームワーク、協働力の意義や定義と重要性及びグループとチームの違いについて社会学やキャリア理論を踏まえて理解する。	2	講義
3	チームワーク、協働力に関する事例研究①：仕事におけるチームワークのあり方や協働力の重要性について、事例を取り上げて考察する。	2	事例研究
4	チームワーク、協働力に関する事例研究②：社会・組織・集団における人間関係のあり方について、事例を取り上げて考察する。	2	事例研究
5	統率力、リーダーシップ理論、動機づけ理論の理解：リーダーシップの意味や定義と種類及び能力や要素と開発方法について理解する。	3	講義
6	会話コミュニケーションによる相互信頼感形成に向けた理解 ：会話コミュニケーションを通じた合意形成が人間関係としての心理的な相互信頼感の構築にどのように影響するかを理解する。	4	講義
7	組織マネジメントとリーダーシップとの関係性の理解：目的や方向に向かって多くの人々をまとめて率いるための方法について考察する。	3・4	事例研究
8	他者との協調・協働の考察：他者と協調・協働して行動することの重要性や留意点について考える。	3・4	ディスカッション

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	毎回、授業レジュメを配付する。			
参考書	キャリアデザイン入門[Ｉ]	大久保幸夫	日本経済新聞出版社	2006年3月
	ハーバード・ビジネス・レビューコミュニケーション論文ベスト１０『コミュニケーションの協会書』	ハーバード・ビジネス・レビュー編集部	ダイヤモンド社	2018年12月
その他の資料	適宜、ワークシートを配付する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
・ワークシート、アクションプランの内容による評価（50%） ・活発に授業参加するための積極的行動（50%）	**履修条件：キャリアデザインⅠの単位を修得済みの者** 講義の理解深度を含め、個々の学生の主体的姿勢が求められる。

【資料５－３】　新　キャリアデザインⅢシラバス

授業科目　　キャリアデザインⅢ

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	情報学科
北野奈々子	開講時期	②	必修･選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【概要】

学生が将来への目的意識を明確に持てるよう、職業観を涵養し、職業に関する知識を身に付け、自己の個性を理解したうえで主体的に進路を選択できる能力及び卒業後も自律・自立して学習できる態度を育成する。外部講師による職業体験談を通じて、勤労観や職業観を養成するとともに、業界・業種・職種などの企業研究や企業が求める人材像、企業の仕組みなど職業理解を図る。また、自分の個性や性格を理解するための自己分析と職業選択の考え方や進め方について理解し、生涯にわたり学習の活動を続けていくことの必要性と学習の手段や方法を理解する。

【学習目標】

１．キャリアデザインの概念、プロフェッショナルキャリアの概念理解する。
２．仕事の選び方や仕事を選ぶときに重視する項目など職業選択について理解する。
３．職業選択のための基礎知識として、業界・業種・職種などへの理解を深める。
４．自分の個性や性格を理解するための自己分析の目的と自己分析の方法について理解する。
５．生涯学習の意義と方法や生涯学習と社会教育・家庭教育・学校教育について理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	キャリアデザインの概念、プロフェッショナルキャリアの理解：プロの専門職業人として活躍するための条件、道筋、必要なスキルを理解する。	1	講義
2	職業選択のための考え方の理解：キャリアアンカー（最重要な価値観）の理論を踏まえて、仕事の選び方や仕事を選ぶときに重視する項目など職業選択について理解する。	2・3	講義
3	企業の人事担当者からの学び：企業理念や経営方針と企業の仕組み及び企業が求める人材像について考察する。	2・3	ゲストスピーカー
4	専門職業人からの学び：職業選択のための基礎知識として、業界・業種・職種などへの理解を深める。	3	ゲストスピーカー
5	企業についての研究と考察：業界・業種・職種毎に企業が求める人材像と企業の仕組みについて考える。	3	ディスカッション
6	自己分析の目的と方法の理解：自分の個性や性格を理解するための自己分析の目的と自己分析の方法について理解する。	4	講義
7	自己分析の実践：自分史の作成と発表を通して、自分の資質や能力についての認識を深める。	4	演習、ディスカッション
8	生涯現役のキャリアデザインについて考える：生涯学習の意義と方法や生涯学習と社会教育・家庭教育・学校教育について理解する。	5	講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	毎回、授業レジュメを配付する。			
参考書	キャリアデザイン入門[Ⅱ]	大久保幸夫	日本経済新聞出版社	2006年3月
その他の資料	適宜、ワークシートを配付する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
・自己分析の深度、ワークシートの内容による評価（50%） ・活発に授業参加するための積極的行動（50%）	**履修条件：キャリアデザインⅡの単位を修得済みの者** 講義の理解深度を含め、個々の学生の主体的姿勢が求められる。

審査意見への対応を記載した書類

【資料 6】

【資料６－１】　旧　キャリアデザインⅠシラバス

授業科目　キャリアデザインⅠ

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	事業創造学科
北野　奈々子	開講時期	①	必修･選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【概要】

キャリアデザインとは、理想とする将来の自分を実現するためにどのような仕事・職業や働き方が相応しいかを考え、目標設定を行い、実現に向けて設計することであり、「キャリア」とは単なる職歴ではなく、今後の生き方や働き方という意味合いがあることについて理解する。そのうえで、人生や仕事において自分自身のなりたい姿を描くことについて理解し、個々の夢や目標を実現するための心のあり方や目標設定の仕方、振り返り、生じた問題への対処法など、目標に対して具体的にアプローチするための実践行動に関する知識と技法について学習する。

【学習目標】

１．　基礎知識の理解・修得
２．　自己分析と業界分析
３．　アクションプランの作成

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス　キャリアデザインの概念と目的の理解	1・2	事例研究、ディスカッション
2	目標設定の段階的手法の理解、意欲的な目標設定	1・2	事例研究、ディスカッション
3	プラス思考の重要性の理解、思考の変化と行動の関係性の理解	1・2	事例研究、ディスカッション
4	専門職業人からの学び	1・2	ゲストスピーカー講義、ディスカッション
5	目指す将来像シートの完成	1・2	事例研究、ディスカッション
6	社会に出ていくために必要な考え方の理解	1・2	事例研究、ディスカッション
7	働く目的と自立の関係性の理解	1・2	事例研究、ディスカッション
8	目指すライフスタイルとライフプランの設計、行動計画策定	1・2・3	事例研究、ディスカッション

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	・社会でいきる実践ビジネスマナー	株式会社ウィネット	会社ウィネット	2016年2月
	・勝つための就職ガイド SUCCESS	株式会社ウィネット	株式会社ウィネット	2016年2月
参考書	大人の常識！マナーハンドブック	株式会社ウィネット	株式会社ウィネット	2016年2月
その他の資料	SUCCESS別冊ワークシート	株式会社ウィネット	株式会社ウィネット	2016年2月
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
・自己分析の深度、アクションプランの内容による評価（50%） ・活発に授業参加するための積極的行動（50%）	講義の理解深度を含め、個々の学生の主体的姿勢が求められる。

【資料６－２】　旧　キャリアデザインⅡシラバス

授業科目　　キャリアデザインⅡ

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	事業創造学科
北野　奈々子	開講時期	②	必修･選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【概要】

他者と協調・協働して行動できる態度や他者に方向性を示し、目標を達成するために動員できる能力を養成する。集団に属しているメンバーが同じ目標を達成するために行う作業、協力、意識、行動について理解するとともに、集団や組織の場あるいは個人的な場における感情的な面も含めた人間と人間の関係について学習し、他者を理解する視点についての考察を通して、自己や自我の認識、自己と他者との関係、他者相互間の関係などの理解と人間関係の多様なあり方についての理解を深め、他者との円滑な信頼関係の構築に取り組むことができる姿勢を養う。

【学習目標】

１．　基礎知識の理解・修得
２．　自己分析と自己と他者との関係、他社相互間の関係などの理解
３．　企業の概要の理解
４．　目標達成するために必要となる計画とアクションプランの必要性の理解

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス　授業目的紹介、ルールと諸注意	1	演習
2	目標達成に向けた作業、協力、意識、行動についての理解	1・2・3	演習
3	他者との協働の理解	1・2・3	演習、ロールプレイング
4	組織活動における問題解決に向けた発想、考え方の理解	1・2・3	演習、プレゼンテーション
5	自律した専門職業人に向けた心構えの理解	1・2・3	演習、事例研究
6	円滑な人間関係構築のための必要性項目の理解	1・2・3	演習、事例研究
7	信頼関係構築のための理解	1・2・3	演習、事例研究
8	行動計画の策定の考え方	3	演習、プレゼンテーション

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	・社会でいきる実践ビジネスマナー	株式会社ウィネット	会社ウィネット	2016年2月
	・勝つための就職ガイド SUCCESS	株式会社ウィネット	株式会社ウィネット	2016年2月
参考書	大人の常識！マナーハンドブック	株式会社ウィネット	株式会社ウィネット	2016年2月
その他の資料	SUCCESS別冊ワークシート	株式会社ウィネット	株式会社ウィネット	2016年2月
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
・自己分析の深度、アクションプランの内容による評価（50%） ・活発に授業参加するための積極的行動（50%）	履修条件：キャリアデザインⅠの単位を修得済みの者 講義の理解深度を含め、個々の学生の主体的姿勢が求められる。

【資料６－３】　旧　キャリアデザインⅢシラバス

授業科目　　キャリアデザインⅢ

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	事業創造学科
北野　奈々子	開講時期	②	必修･選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【概要】

学生が将来への目的意識を明確に持てるよう、職業観を涵養し、職業に関する知識を身に付け、自己の個性を理解したうえで主体的に進路を選択できる能力及び卒業後も自律・自立して学習できる態度を育成する。外部講師による職業体験談を通じて、勤労観や職業観を養成するとともに、業界・業種・職種などの企業研究や企業が求める人材像、企業の仕組みなど職業理解を図る。また、自分の個性や性格を理解するための自己分析と職業選択の考え方や進め方について理解し、生涯にわたり学習の活動を続けていくことの必要性と学習の手段や方法を理解する。

【学習目標】

１．　基礎知識の理解・修得
２．　自己分析と業界分析
３．　アクションプランの作成

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス、社会に出ていくために必要な考え方の理解	1	
2	自己の個性及び価値観の分析・理解	2	演習
3	企業が求める人材像についての研究	2	ゲストスピーカー講義、グループ討議
4	企業人がもつ職業観・勤労観の研究	2	ゲストスピーカー講義、グループ討議
5	企業研究の仕方とそのポイント	2	演習
6	職業選択の考え方や進め方の理解	2	演習、グループ討議
7	生涯学習の手段と方法の理解	2･3	演習、グループ討議
8	キャリアデザインの総括	3	演習、プレゼンテーション

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	・社会でいきる実践ビジネスマナー	株式会社ウィネット	会社ウィネット	2016年2月
	・勝つための就職ガイド SUCCESS	株式会社ウィネット	株式会社ウィネット	2016年2月
参考書	大人の常識！マナーハンドブック	株式会社ウィネット	株式会社ウィネット	2016年2月
その他の資料	SUCCESS別冊ワークシート	株式会社ウィネット	株式会社ウィネット	2016年2月
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
・自己分析の深度、アクションプランの内容による評価（50%） ・活発に授業参加するための積極的行動（50%）	履修条件：キャリアデザインⅡの単位を修得済みの者 講義の理解深度を含め、個々の学生の主体的姿勢が求められる。

審査意見への対応を記載した書類

【資料 7】

【資料7】 情報学部情報学科　シラバス(授業計画)　目次

No.	授業科目	調書番号	教員氏名	ページ番号
1	情報リテラシー	2	宮元　万菜美	1
2	現代の科学技術	3	田代　秀一	2
3	情報の基礎	3	田代　秀一	3
4	トップランナー研究	1	三上　喜貴	4
5	情報と法律	3	大野(北嶋)　幸夫	5、6
6	情報と経営	2	宮元　万菜美	7
7	情報と倫理	3	大野(北嶋)　幸夫	8
8	情報と英語	1	金宮　好和	9
9	オペレーティングシステム	2	後藤(坂本)　幸功	10
		4	柄沢　直之	
10	コンピュータアーキテクチャ	11	磯西　徹明	11、12
11	情報数学Ⅰ	6	上野　衆太	13
		10	髙嶋　洋一	
12	情報数学Ⅱ	7	鈴木　源吾	14
13	統計学	7	鈴木　源吾	15
14	データ構造とアルゴリズム	2	後藤(坂本)　幸功	16
		8	堀川　桂太郎	
15	プログラミング基礎	8	堀川　桂太郎	17
		4	柄沢　直之	
16	プログラミング演習	10	髙嶋　洋一	18
		4	柄沢　直之	
17	ネットワークプログラミング実習	5	PANN YU MON	19
		6	上野　衆太	
		10	髙嶋　洋一	
18	API実習	8	堀川　桂太郎	20
		13	西川　浩平	
19	情報通信ネットワーク	6	上野　衆太	21
20	ネットワーク演習	2	後藤(坂本)　幸功	22
		6	上野　衆太	
21	分散型台帳技術演習	6	上野　衆太	23
22	情報セキュリティ	2	後藤(坂本)　幸功	24
23	サイバーセキュリティ演習	2	後藤(坂本)　幸功	25、26
24	サイバーセキュリティ実習	10	髙嶋　洋一	27
25	データベースの基礎	7	鈴木　源吾	28
		4	柄沢　直之	
26	データベース演習	4	柄沢　直之	29
		7	鈴木　源吾	
27	システム開発技術	4	柄沢　直之	30
28	システム開発技術演習	6	上野　衆太	31

29	臨地実務実習Ⅰ	1	三上　喜貴	32、33
		①	金宮　好和	
		②	宮元　万菜美	
		③	大野(北嶋)　幸夫	
		②	後藤(坂本)　幸功	
		6	石塚　昭彦	
		④	柄沢　直之	
		⑤	PANN YU MON	
		③	田代　秀一	
		⑥	上野　衆太	
		⑦	鈴木　源吾	
		⑧	堀川　桂太郎	
		⑨	平川　秀樹	
		⑩	髙嶋　洋一	
		⑪	磯西　徹明	
		⑬	西川　浩平	
30	臨地実務実習Ⅱ	1	三上　喜貴	34、35
		①	金宮　好和	
		②	宮元　万菜美	
		③	大野(北嶋)　幸夫	
		②	後藤(坂本)　幸功	
		6	石塚　昭彦	
		④	柄沢　直之	
		⑤	PANN YU MON	
		③	田代　秀一	
		⑥	上野　衆太	
		⑦	鈴木　源吾	
		⑧	堀川　桂太郎	
		⑨	平川　秀樹	
		⑩	髙嶋　洋一	
		⑪	磯西　徹明	
		⑬	西川　浩平	
31	クラウド技術概論	⑪	磯西　徹明	36
32	クラウドベーシック&マーケティング	⑬	西川　浩平	37
33	クラウドプラットフォーム実習Ⅰ	⑬	西川　浩平	38
34	クラウドプラットフォーム実習Ⅱ	⑬	西川　浩平	39
35	サイバーフィジカルシステム基礎	①	金宮　好和	40
36	IoT演習	⑪	磯西　徹明	41
37	IoT実習	⑪	磯西　徹明	42
38	ハードウェア設計	①	金宮　好和	43
39	ロボティクス実習	①	金宮　好和	44
40	没入型コンピューティング演習	⑫	江口　将史	45
41	没入型コンピューティング実習	⑫	江口　将史	46
42	ユーザエクスペリエンス	6	石塚　昭彦	47

43	情報科学基礎	⑨	平川　秀樹	48
44	知識表現・知識処理演習	⑧	堀川　桂太郎	49
45	AI実習	⑧	堀川　桂太郎	50
		⑨	平川　秀樹	
46	マシンラーニング演習	⑨	平川　秀樹	51
47	マシンラーニング実習	⑨	平川　秀樹	52
48	ICT演習（ハードウェア/ソフトウェア）	⑤	PANN YU MON	53
49	ICT演習(セキュリティ)	⑬	西川　浩平	54
50	ICT演習(基本情報)	⑤	PANN YU MON	55
51	ICT演習(クラウド)	⑬	西川　浩平	56
52	ICT演習(応用情報)	④	柄沢　直之	57
53	ICT演習(IoT)	①	金宮　好和	58
54	ICT演習（ディープラーニング）	⑨	平川　秀樹	59
55	ICT演習(ｾｷｭﾘﾃｨｽﾍﾟｼｬﾘｽﾄ)	⑩	髙嶋　洋一	60
56	ICT演習(組込システム)	①	金宮　好和	61
57	ICT演習（データベーススペシャリスト）	⑦	鈴木　源吾	62、63
58	デザイン・シンキング概論	6	石塚　昭彦	64、65
59	ソーシャルデザイン実習	18	渋谷　修太	66
60	デザイン・シンキング実習Ⅰ	6	石塚　昭彦	67、68
61	デザイン・シンキング実習Ⅱ	6	石塚　昭彦	69、70
62	情報産業論	③	田代　秀一	71
63	国際文化と伝統	1	三上　喜貴	72
64	マーケティング	②	宮元　万菜美	73
65	社会心理・消費者行動	②	宮元　万菜美	74
66	マーケティング実践	18	渋谷　修太	75
67	ICT活用総合実習	①	金宮　好和	76、77
		②	宮元　万菜美	
		②	後藤(坂本)　幸功	
		③	田代　秀一	
		6	石塚　昭彦	
		④	柄沢　直之	
		⑤	PANN YU MON	
		⑥	上野　衆太	
		⑦	鈴木　源吾	
		⑧	堀川　桂太郎	
		⑨	平川　秀樹	
		⑩	髙嶋　洋一	
		⑪	磯西　徹明	
		⑬	西川　浩平	

授業科目　情報リテラシー

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
宮元万菜美	開講時期	①	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

大学での学習活動、卒業後の職業生活や社会生活において、情報の収集、分析や資料作成等知的活動を効率的、安全に進めるために不可欠な基本的な情報処理能力を身に付けることを目的として、コンピュータやネットワークによって構築される情報環境や、基本的ソフトウエアの仕組みと活用方法、活用に当たって守るべきルール及びマナー、潜在する脅威とそこへの対応法を、演習を交えて体得・学修する。

【学習目標】

１．知的活動に活用する情報環境（コンピュータ、ネットワーク、OS）を理解する
２．情報環境の活用にあたって守るべきルール・マナーを身に付ける
３．知的創造活動に使う基本的アプリケーションソフトウエアの操作法・活用法を身に付ける

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	学内システムの構成とアクセス方法	1･2	
2	インターネットの仕組みとそこに潜む脅威	1	
3	インターネット活用におけるルール・マナー	2	
4	知的生産活動のための情報検索	1･2･3	
5	知的生産活動のためのSNS活用	1･2･3	中間レポート
6	データの整理と格納	3	
7	表計算ソフトを用いたデータ分析	3	
8	表計算ソフトを用いたデータ可視化	3	
9	数式処理ソフトの活用	3	中間レポート
10	プレゼンテーションツールを用いたストーリ展開	3	
11	プレゼンテーションツールにおける図・表・アニメーション活用	3	
12	レポートの作成①（基本的な文書構成法）	3	
13	レポートの作成②（図・表の活用、他ソフトとの連携）	3	
14	総合演習① レポート文書の作成	1･2･3	最終レポート
15	総合演習② プレゼンテーション	1･2･3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	大学生のための情報リテラシー	張磊、桐村喬	共立出版	2018年2月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。演習用パソコンの画面を最大限活用しなくてはならないので、講義資料は印刷して持参することを推奨します。また、授業のなかで紹介した文献、資料による復習を重視してください。			

【評価方法】

中間レポート（40%）
最終レポート（30%）
プレゼンテーション（30%）

【履修上の留意点】

特になし。

授業科目　現代の科学技術

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
田代秀一	開講時期	④	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

科学技術の成果は社会の隅々にまで浸透しており、意識するしないに関わらず、人々は生活のありとあらゆる場面でその恩恵を受けていることについて理解する。いくつかの先端的科学技術を取り上げ、その概要や社会的意義、課題を学修する。さらに、高校で学んだ物理・化学・生物・地学等の知識と関連付けながら、科学技術の実用化へ向けた探求、発見、工夫の物語を紐解くことで、科学技術への興味を深めるとともに未知の分野へも柔軟に取り組める素養を身に付ける。

【学習目標】

1．最先端の科学と技術の重要性を理解する。
2．さまざまな社会問題や身近な事柄などに関して科学の視点で切り込む姿勢を身につける。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス　現代の科学技術とは	1	
2	遺伝子組み換え技術	1	
3	青色LEDとデバイス工学	1	
4	宇宙エレベーター	1	
5	スマートフォンと情報通信技術	2	
6	ディジタルコンテンツ技術	2	
7	GPSと電子地図	2	
8	人工知能	1	
9	自動運転	1	
10	ブロックチェーンと仮想通貨	1	
11	量子コンピュータ	1	
12	防災と減災	2	
13	電子政府	2	
14	プレゼンテーション	1・2	
15	まとめ(科学技術の将来展望)	1・2	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			

準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料等を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。

【評価方法】	【履修上の留意点】
最終レポート（30%） 中間レポート（30%） プレゼンテーション（40%）	履修条件：「現代社会学」の単位を修得済みの者

授業科目　情報の基礎

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
田代　秀一	開講時期	①	必修･選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【概要】

情報学部では、情報の生成・探索・表現・蓄積・管理・認識・分析・変換・伝達に関わる原理と技術を探求し、社会に役立てられるようになることを目指す。これらを学修するにあたっての導入として、「物質」、「エネルギー」に並ぶ第三の概念である「情報」について、まずその本質を理解し、さらに人間社会とのかかわり、意義、課題について理解するとともに、情報に係る、これから学ぶべき学問分野を俯瞰する。

【学習目標】

1．情報とは何か、その根本を理解する
2．人と情報とのかかわりについて理解する
3．機械と情報とのかかわりについて理解する
4．社会と情報とのかかわりについて理解する

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	情報とは何か	1	
2	情報の表現	1,2	
3	情報の伝達と通信	2,3	
4	計算の方法	1,3	
5	データの扱い	2,3	
6	ユーザインタフェース	2	
7	ソーシャルメディアと集合知	2,4	
8	情報技術と社会	4	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	情報　第2版 東京大学教養学部テキスト	山口　和紀 編	東京大学出版会	2017年，1,900円
参考書	よくわかる社会情報学	西垣通・伊藤守編著	ミネルヴァ書房	2017年7月，2,500円
その他の資料				

準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。

【評価方法】	【履修上の留意点】
授業にて提示する小テスト（50%） 最終試験（50%）	特になし。

授業科目　トップランナー研究

【担当教員名】 三上喜貴	対象学年	1	対象学科	情報学科
	開講時期	②・④	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

本科目は産業界において先進の取り組みを実践している事例についての考察・研究を通じ、専門職業人としての心構え、考え方、行動指針等を理解し、自己の職業観確立のための一助とすると共に、思考力、判断力、実践力の向上を目指す。具体的な授業の進め方としては、先進的な取り組み事例を題材に取り上げ、考察や課題の抽出を行ったうえで、学生同士によるグループ討議や担当教員との討論や議論を行うとともに、指定されたテーマの考察による報告書の作成を通して、専門職業人としての職業観を醸成する。

【学習目標】

1．専門職業人としての心構え、考え方、行動指針等を理解する。
2．専門職業人に必要な思考力、判断力、実践力を理解する。
3．専門職職業人としての職業観を確立する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標 番号	学習方法･学習課題 又は備考･担当教員
1	【事例研究１】事例発表	1・2・3	※第1回集中講座
2	【事例研究１】ｸﾞﾙｰﾌﾟ質問討議	1・2・3	※第1回集中講座
3	【事例研究１】質疑応答	1・2・3	※第1回集中講座
4	【事例研究１】ディベート	1・2・3	※第1回集中講座
5	【事例研究１】小論文	1・2・3	※第1回集中講座
6	【事例研究２】事例発表	1・2・3	※第2回集中講座
7	【事例研究２】ｸﾞﾙｰﾌﾟ質問討議	1・2・3	※第2回集中講座
8	【事例研究２】質疑応答	1・2・3	※第2回集中講座
9	【事例研究２】ディベート	1・2・3	※第2回集中講座
10	【事例研究２】小論文	1・2・3	※第2回集中講座
11	【事例研究３】事例発表	1・2・3	※第3回集中講座
12	【事例研究３】ｸﾞﾙｰﾌﾟ質問討議	1・2・3	※第3回集中講座
13	【事例研究３】質疑応答	1・2・3	※第3回集中講座
14	【事例研究３】ディベート	1・2・3	※第3回集中講座
15	【事例研究３】小論文	1・2・3	※第3回集中講座

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習として研究対象事例をウェブサイト等で把握し、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
受講態度（授業時質疑応答、ディベート等の積極性等）（50%） 小論文　（50%）	特になし。

授業科目　情報と法律

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
大野幸夫	開講時期	③・④	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

ＩＣＴ技術を実社会で利活用する際にコンプライアンスに沿うことが必要になることを踏まえて、著作権、個人情報保護等の法律はもとより、法律に付随するガイドラインなどの内容と必要性・重要性を理解する。具体的には、情報財（著作権・特許権等）関係、ネット取引、個人情報保護、情報セキュリティ、電子マネー、ファイナンス・テクノロジー、ネットショップ、オンラインゲーム、電子書籍、サイバー犯罪、スマートフォンと子どもとネット、人工知能など、法律問題の事例を通じて学修する。

【学習目標】

１．ネットワークシステムと法律制度との関係を学習し、社会での役割を理解する。
２．情報通信の基本を学び、具体的な「ネット取引」の仕組みを知る。
３．データやソフトウェアの法律問題を理解し、法的責任の所在を探る。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス　情報法とは	1	
2	「情報と社会生活」-ネット情報と倫理・法を巡る社会生活上の課題-	1	
3	「情報と法」の基本的枠組み	1	
4	「通信法制度」：電気通信事業者法・プロバイダー責任制限法・放送法・電波法	2	
5	「プラットフォーマー」の事業展開：基盤技術と歴史	2	
6	「プラットフォーマー」：GAFA規制問題	2	
7	「ネット取引」の仕組み（B2B、B2C、C2C、M2M、IoT）	3	
8	「ネット取引」とセキュリティ保全：電子署名と公開鍵暗号・ブロックチェーン	3	
9	知的財産制度：著作権・特許法・意匠法・商標法・不正競争防止	3	
10	個人情報保護 -日本（民間と行政）、「各分野のガイドラインは守られているのか？」	3	
11	個人情報保護面でのEUと米国の制度：GDPRとプライバシー保護理念の違い	1	
12	電子（「仮想」）マネーの課題：「ビットコイン」と仮想通貨交換業	1	
13	「サイバー犯罪」：刑法と特別法「リーチサイト・漫画村ブロッキング」	2	
14	ゲーム依存症と青少年保護法：SNSアプリは依存症を誘発するのか？	1	
15	まとめ（今後のネットワーク社会における情報と法律）	1・2・3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	情報法入門【第4版】	小向太郎	エヌティティ出版	2018年3月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	「現在進行中の課題や事件」も対象とし、直接の質疑応答も行う。指摘した国内外の事件や新聞雑誌等の資料も参照すること。提供資料は多くなるので専用ファイルを用意すること。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
適時提出を求めるレポート（50%） 最終試験（50%）	**履修条件：「情報の基礎」の単位を修得済みの者**

授業科目　情報と経営

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
宮元万菜美	開講時期	①・②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

ＩＣＴを利用した情報システムを、経営にいかに活用していくか、企業の経営に必要な情報とはなにか、それはどこにあるのか、それらをどのように活用し、企業の発展にどう結びつけるのか、という発想を基として、企業の内外に存在する様々なデータに基づいて判断・行動するデータ駆動型経営を理解し、実行するために必要となる知識と技術について、インターネット業界の企業経営をケーススタディとして取り上げ、経営に反映させる方法を修得する。

【学習目標】

１．経営戦略論の歴史的展開を理解する。
２．経営環境の外部分析の方法を習得する
３．ポジショニングアプローチを理解する
４．ITイノベーションに関する理論を理解する
５．ITを活用した戦略的思考能力を包括的に習得する

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス（講義概要・進め方、評価のポイントなど）	1	
2	経営戦略論の系譜	1	レポート
3	戦略と事業ドメイン	2	
4	企業における戦略の策定プロセス	2	
5	経営戦略の策定と実行の流れ	2	レポート
6	ポジショニングアプローチとは	3	
7	バリューチェーン分析	3	レポート
8	資源ベース戦略論	4	
9	経営戦略と持続的競争優位	4	レポート
10	イノベーションの普及理論	4	
11	発展的イノベーション論	4	レポート
12	ビジネスモデルの定義と構成要素	5	
13	ビジネスモデル分析	5	レポート
14	ICT時代の経営戦略	5	
15	戦略的思考とは　まとめと振り返り	5	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	コグニティブ競争戦略	宮元 万菜美	千倉書房	2017年10月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			

準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。

【評価方法】	【履修上の留意点】
授業にて提示するレポート（60%） 最終レポート（40%）	**履修条件：「情報と法律」の単位を修得済みの者**

授業科目　情報と倫理

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	情報学科
大野幸夫	開講時期	①	必修･選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【概要】

本科目では、コンピュータ技術者がその職務を遂行する上で、必要な倫理について考察する。コンピュータ技術者が直面する可能性のある種々の倫理的問題を、具体的な事例を通して、それらの問題を分析し、倫理的に推論する方法について学ぶことで、サイバーネットワーク社会における倫理的諸問題に対処するための社会的含意と社会的価値などについて理解する。

【学習目標】

１．ITコンピュータ技術者の専門職の倫理と責任につき、その歴史的・社会的背景も含めて理解する。
２．技術を実践する上で、技術者の直面する可能性ある倫理問題を具体的に認識する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	授業のガイダンス。ITコンピュータ技術者の倫理と責任	1	
2	ITコンピュータ倫理とは何か。職業倫理の特徴―「不正アクセス禁止法」	1	
3	専門職業人としての規範、指針、責任―「法の支配の理念」を知る	1	
4	ソフトウエア開発者(法人・社員個人)としての諸問題	1	
5	ユーザー・ソフトウエア開発・行政の役割	2	
6	コンピュータ犯罪処罰・倫理領域とダークサイト	2	
7	コンピュータと労働者・使用者	2	
8	「まとめ」とネットワーク社会での新しい技術者倫理	1・2	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			

準備学習（予習・復習等）	「現在進行中の課題や事件」も対象とし、直接の質疑応答も行う。指摘した国内外の事件や新聞雑誌等の資料も参照すること。提供資料は多くなるので専用ファイルを用意すること。

【評価方法】	【履修上の留意点】
適時提出を求めるレポート（50%） 最終試験（50%）	履修条件：「情報と経営」の単位を修得済みの者

授業科目　情報と英語

【担当教員名】	対象学年	4	対象学科	情報学科
金宮好和	開講時期	①・②	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

ＩＣＴ業界では、最新の製品やテクノロジーの多くは米国などの海外から由来することが多く、最新製品のロードマップや各種ドキュメント類は、まず英語でリリースされることが大半であり、またインターネットを介して提供されるサービスが大多数のため、国境を超えて世界市場での展開を、今後の企業成長プランに入れることができるかどうかが重要となることから、ＩＣＴ業界特有の英語表現を学修することで、先端技術を英語で読み・考え・議論するための素養を修得する。

【学習目標】

1．技術分野における挨拶や質疑応答といったプレゼンテーションの英語表現に関する知識を理解する。
2．プロジェクト管理やシステム開発といった専門分野に関する英語表現に関する知識を理解する。
3．英語によるチャットなどの対面以外コミュニケーション形式を理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス、英語による自己紹介	1	
2	英語によるPC操作とトラブル	1	
3	英語によるウェブ閲覧	1	課題
4	英語による電子メールコミュニケーション	1	
5	英語によるプレゼンテーション	1	
6	英語による製品の機能と構造	2	課題
7	英語による操作マニュアル	2	
8	英語による問題の解決策	2	
9	英語によるソーシャルメディアコミュニケーション	3	課題
10	英語による社内ミーティング	3	
11	英語によるプロジェクト会議	3	
12	英語による交渉	3	課題
13	英語によるオンラインコミュニケーション	3	
14	英語による技術情報の読み取り	2	
15	英語による「学術論文」	1	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。演習用パソコンの画面を最大限活用しなくてはならないので、講義資料は印刷して持参することを推奨します。また、授業のなかで紹介した文献、資料による復習を重視してください。			

【評価方法】

授業にて提示する課題（40%）
最終レポート（60%）

【履修上の留意点】

履修条件：「情報と倫理」の単位を修得済みの者

授業科目　オペレーティングシステム

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
後藤幸功、柄沢直之	開講時期	③・④	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

すべてのプログラムはオペレーティングシステム（OS)の管理下で実行される。本講義では、プロセス管理、入出力管理、記憶管理など、コンピュータの構成要素を制御して情報処理を効率的に行うためのOSの基本的機能とその原理を学修し、情報処理システムの動作の全貌を理解する。Linuxを例にあげた具体的説明を通し、Linuxの基本構成についても併せて習得する。

【学習目標】

1.ＯＳの主な役割について理解する。
2.アクセス管理、セキュリティについて理解する。
3.プロセス管理、排他制御について理解する。
4.入出力管理について理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	オペレーティングシステム（OS)の位置づけと歴史	1	
2	ユーザ管理	2	
3	割り込み制御とコンテクストスイッチ	3	
4	プロセス管理（1）マルチプロセスとスケジューリング	3	
5	プロセス管理（2）プロセス間通信	2,3	
6	プロセス管理（3）排他制御	3	
7	メモリ管理（1）仮想記憶	2,3	
8	メモリ管理（2）アクセス制御	2	
9	入出力管理（1）外部記憶装置	4	
10	入出力管理（2）リアルタイム入出力	4	
11	入出力管理（3）文字コードと多言語入出力	4	
12	ファイルシステム（1）ファイル構造	2	
13	ファイルシステム（2）アクセス制御	2	
14	OSの起動（BIOSとブートローダー）	1,2	
15	ハイパーバイザと仮想マシン	1	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
授業で実施する演習・課題（40%） 最終試験（60%）	履修条件：「コンピュータアーキテクチャ」の単位を修得済みの者

授業科目　コンピュータアーキテクチャ

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
磯西徹明	開講時期	②	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

本講義では、コンピュータの基本的設計としての「アーキテクチャ」の意味を理解するとともに、ノイマン型コンピュータの基本構成と、その動作について学修する。併せて典型的アーキテクチャの具体例を取り上げ、その概要を理解し、今後の講義、演習および実習を受講するための基礎とする。

【学習目標】

1．コンピュータで使われている素子・半導体、ハードウェアに関する基本的な事項を理解する
2．デジタル回路とその設計手法を理解する
3．命令セットアーキテクチャ、マイクロアーキテクチャ、高速化手法を理解する
4．メモリシステムの階層構造について理解する
5．入出力システムについて理解する

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス：コンピュータアーキテクチャとは、数の体系と加算・減算	1	
2	半導体のしくみと論理ゲート、ブール代数	1	
3	組み合わせ回路	2	
4	順序回路	2	
5	算術・論理演算回路	2	
6	固定小数点数と浮動小数点数、メモリアレイとロジックアレイ	2	
7	命令セットアーキテクチャ（1）：機械語とプログラミング	3	
8	命令セットアーキテクチャ（2）：プログラムの実行、x86のアーキテクチャ	3	
9	マイクロアーキテクチャ（1）：単一サイクルプロセッサとマルチサイクルプロセッサ	3	
10	マイクロアーキテクチャ（2）：パイプラインプロセッサ	3	
11	並列処理アーキテクチャ	3	
12	キャッシュメモリ	4	
13	仮想メモリ	4	
14	入出力システム	5	
15	ノイマン型コンピュータと非ノイマン型コンピュータ	1	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	ディジタル回路設計とコンピュータアーキテクチャ 第2版	DavidMoneyHarris,SarahL.Harris,天野英晴,鈴木貢,中條拓伯,永松礼夫	翔泳社	2017年9月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
授業にて提示する小テスト（50%） 最終試験（50%）	特になし。

授業科目　情報数学Ⅰ

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
上野衆太、髙嶋洋一	開講時期	①・②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

コンピュータ・サイエンスを本格的に修得するために、統計学をはじめとして他のすべての情報分野での基本となる数学の基礎として、線形代数および、解析学（微分・積分）を学修する。

【学習目標】

1．行列、ベクトル、固有値を理解する。
2．連立一次方程式の解法を理解する。
3．微分法を理解する。
4．積分法を用いて置換積分と部分積分ができる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	行列	1	
2	連立一次方程式	2	
3	行基本変形、逆行列	1・2	
4	行列式	1・2	
5	クラメールの公式	1・2	
6	空間ベクトル	1	
7	線形空間	1	
8	内積空間	1	
9	固有値と固有ベクトル	1	
10	極限と連続	3	
11	微分法（1）導関数と平吉の定理	3	
12	微分法（2）テイラーの定理	3	
13	積分法（1）不定積分	4	
14	積分法（2）有理関数の積分	4	
15	積分法（3）その他の関数の積分	4	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	やさしく学べる線形代数	石村 園子	共立出版	2000年，2,000円
参考書	微分積分概論［新訂版］	越昭三監修、高橋泰嗣、加藤幹雄著	サイエンス社	2013年，1,750円
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料等を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
授業にて提示する小テスト（50%） 最終試験（50%）	特になし。

授業科目　情報数学Ⅱ

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
鈴木源吾	開講時期	③・④	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

「情報数学Ⅰ」にひき続き解析学（偏微分・重積分）を学修する。さらに現実の課題を計算機によって解くための数値計算の手法の基礎について、数値計算ソフトSCILABによる具体例を参照しながら学修する。

【学習目標】

1．偏微分を理解する
2．重積分を理解する
3．数値計算法を理解する

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	偏微分法（1）2変数関数と極限	1	
2	偏微分法（2）偏導関数	1	
3	偏微分法（3）全微分	1	
4	偏微分法（4）合成関数の微分	2	
5	重席分法（1）2重積分	2	
6	重席分法（2）3重積分	2	
7	級数	1・2	
8	非線形方程式の数値解法：2分法	3	
9	非線形方程式の数値解法：ニュートン法	3	
10	代数方程式の数値解法	3	
11	連立1次方程式の数値解法：消去法	3	
12	連立1次方程式の数値解法：反復法	3	
13	関数の近似	3	
14	数値積分	3	
15	常微分方程式の数値解法	3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	微分積分概論［新訂版］	越昭三監修、高橋泰嗣、加藤幹雄著	サイエンス社	2013年、1,750円「情報数学1」で用いる教科書と同じ
参考書	Scilabで学ぶわかりやすい数値計算法	川田昌克	森北出版	2008年、3,024円
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
授業で実施する演習・課題（40%） 最終試験（60%）	履修条件：「情報数学Ⅰ」の単位を修得済みの者

授業科目　統計学

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
鈴木源吾	開講時期	①・②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

膨大なデータを収集し分析／解析するデータサイエンスの基礎として、確率論の基礎、基本統計量、検定、推定理論など、記述統計学・推測統計学を学修し、さらに、回帰分析、多変量解析の基礎を学修する。

【学習目標】

１．記述統計学について理解する
２．推測統計学について理解する
３．多変量解析について理解する

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	授業の進め方等のガイダンス	1〜3	
2	多様な統計データと統計分析	1	
3	分布を読む	1	
4	母集団と標本	1	
5	推測統計の基礎：確率の考え方と確率変数の分布	2	
6	推測統計の基礎：正規分布の利用	2	
7	推定と検定：平均の推定	2	
8	推定と検定：比率の検定、比較の差の検定	2	
9	推定と検定：平均の差の検定	2	
10	クロス表の読み方と検定	3	
11	相関と回帰	3	
12	回帰分析	3	
13	第三の変数	3	
14	重回帰分析の基礎	3	
15	多変量解析	3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	統計学入門	盛山和夫	ちくま学芸文庫	2015年
参考書	社会統計学入門	林 拓也	放送大学教材	2012年
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】

授業で実施する演習・課題（40%）
最終試験（60%）

【履修上の留意点】

履修条件：「情報数学Ⅱ」の単位を修得済みの者

授業科目　データ構造とアルゴリズム

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
堀川桂太郎、後藤幸功	開講時期	①	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

計算機で扱われる基本的なデータ構造と、それらを操作する「探索」、「ソート」、「マージ」に関する基本的アルゴリズムを学び、それらの特性と計算量との関係を理解することで、効率的なプログラムを設計するための素養を養う。

【学習目標】

１．アルゴリズムの基本的な考え方と表現方法を理解する．
２．データ構造の基本を理解する．
３．代表的なアルゴリズムを学び，その原理を理解する．

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	アルゴリズムの記法	1	
2	再帰的処理	1	
3	基本的データ構造（１）配列	2	
4	基本的データ構造（２）スタック	2	
5	基本的データ構造（３）キュー	2	
6	基本的データ構造（４）連結リスト	2	
7	基本的データ構造（５）ツリー	2	
8	基本的データ構造（６）ヒープ	2	
9	基本的データ構造（７）グラフ	2	
10	基本的データ構造（８）構造体	2	
11	基本アルゴリズム（１）探索	3	
12	基本アルゴリズム（２）ソート	3	
13	基本アルゴリズム（３）マージ	3	
14	ハッシュテーブルの活用	2,3	
15	計算量の評価	1,2,3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
適時提示する小テスト（30%） レポート（30%） 最終試験（40%）	特になし。

授業科目　プログラミング基礎

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
堀川桂太郎、柄沢直之	開講時期	②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

C言語を用い、変数、ポインタ、条件分岐、関数呼び出し、入出力等、データ構造と制御に係るプログラミングの基礎を学修する。さらにC++を用い、オブジェクト指向の基本を学修する。Linux環境で実施する課題を課し、Linuxの基本コマンド、Emaxによるエディティング等、プログラミングに必要な各種操作についても併せて習得する。

【学習目標】

1．プログラミング環境を理解する
2．データ構造の基本を理解する
3．制御構造の基本を理解する
4．オブジェクト指向の基本を理解する

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	開発環境の使い方（Linux, Emax, C, C++コンパイラ）	1	
2	変数の種類、型宣言	2	
3	算術・論理演算と式	3	
4	ポインター	2	
5	文とブロック	3	
6	条件分岐とループ	3	
7	関数の定義と呼び出し	3	
8	再帰処理	3	
9	構造体	2	
10	標準入出力とパイプライン	1,3	
11	ファイルアクセス	1,3	
12	エラー処理	1,3	
13	クラスとオブジェクト（C++）	4	
14	オブジェクトの生成と破棄（C++）	4	
15	継承(C++)	4	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			

準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。

【評価方法】	【履修上の留意点】
授業での発言・質疑・議論・プレゼン（20%） 小テスト（40%） 最終試験とレポート（40%）	特になし。

授業科目　プログラミング演習

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
髙嶋洋一、柄沢直之	開講時期	③	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

プログラミング基礎の知識を基に、Pythonプログラミングの言語仕様を学ぶだけではなく、実現したいことを理解し，説明できるレベルまで整理し，コンピュータが処理できる形に翻訳するというプログラミング開発一連の流れを体験するとともに、バージョン管理や例外処理といった、開発周りの諸技術を体験することで、開発の流れを踏まえて作業することができる技術を身に付ける。

【学習目標】

１．Pythonプログラミングの必要性を理解する．
２．Pythonの基本的な構文を理解する．
３．実践的なPythonプログラムをコーティングできる．
４．プログラミング技術の動向を探り体感する．

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	Python処理系の実装	1	
2	文字列処理	1	
3	四則演算、論理演算	2	
4	組み込みのデータ型	2	課題
5	制御構文	2	
6	リスト・タプル・辞書	2	
7	関数とモジュール	3	
8	クラスとオブジェクト	2	課題
9	関数とモジュール	2	
10	例外処理	3	
11	グラフィクスとGUI	3	
12	Webアプリ用フレームワークの活用	3	課題
13	Webアプリ　他サービスとの連携	3	
14	データ処理への活用事例	3	
15	バージョン管理	1・2・3・4	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			

準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。演習用パソコンの画面を最大限活用しなくてはならないので、講義資料は印刷して持参することを推奨します。また、授業のなかで紹介した文献、資料による復習を重視してください。

【評価方法】	【履修上の留意点】
授業にて提示する課題（50%） 最終レポート（50%）	履修条件：「プログラミング基礎」「データ構造とアルゴリズム」の単位を修得済みの者

授業科目　ネットワークプログラミング実習

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
上野衆太、髙嶋洋一、PANN YU MON	開講時期	①・②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	60

【概要】

プログラミング演習及びネットワーク演習で修得した基礎知識を基に、Webページの設計、Webアプリケーション構築などの実習を通し、WebブラウザとWebサーバの間でどのようなやりとりが行われているのか、プログラムがどのようにデータを処理しているのかなど、ネットワーク上で情報をやりとりするプログラムに関する一連の知識・技術を修得する。

【学習目標】

1．インターネットやWebの仕組みについて理解する。
2．WebブラウザとWebサーバの間で行われるプログラムについて理解する。
3．Webプログラムの応用として、実際の現場でどのような技術が使われているのか理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1（2コマ）	ガイダンス、HTTP HTMLの基本	1	
2（2コマ）	静的webコンテンツ(1)（静的webページの設計）	1	課題
3（2コマ）	静的webコンテンツ(2)（静的webページの実装）	1	
4（2コマ）	静的webコンテンツ(3)（CSSの活用）	1	課題
5（2コマ）	動的webコンテンツ(1)（Javascript）	2	
6（2コマ）	動的webコンテンツ(2)（Ajax）	2	課題
7（2コマ）	CMSの活用	2	
8（2コマ）	データの記述（XML、XMLスキーマ）	2	
9（2コマ）	データの記述（RDF, JSON）	3	
10（2コマ）	データベースとの接続	2	課題
11（2コマ）	Webサーバの構築	1・3	
12（2コマ）	Webサーバ公開のためのネットワーク設定	1・3	課題
13（2コマ）	Webアプリケーションを作ってみる(1)（APIの設計）	2･3	
14（2コマ）	Webアプリケーションを作ってみる(2)（APIの実装）	2･3	課題
15（2コマ）	まとめと振り返り Webアプリケーションのアーキテクチャ	1・2・3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。課題（提出物を伴う課題）は、基本的に授業内での作業ですが、課題に関するテーマ選択や素材探しは指示することがあります。			

【評価方法】

授業にて提示する課題（60%）
最終レポート（40%）

【履修上の留意点】

履修条件：「プログラミング演習」「ネットワーク演習」の単位を修得済みの者
これまでの講義や演習で学んだ知識・技術を、実習を通して理解を深め自分のものにするよう努める。

授業科目　　ＡＰＩ実習

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
堀川桂太郎、西川浩平	開講時期	④	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	60

【概要】

アプリケーションプログラミングインタフェースとは、ソフトウェアコンポーネントが互いにやりとりするのに使用するインタフェースの仕様であることについて理解したうえで、自分や他人の創ったプログラム機能を公開し共有することでプログラム開発の生産性を高めるAPI技術について実習を通じて学修する。設計、プログラミング、実装、検証の一連の工程を通じて、体系的に実践スキルを修得することで、Web系API開発を題材に実用面での技術課題として、セキュリティリスクと適切な対応について学修するとともに、オリジナルのAPIの設計実装に挑み、共有・相互利用について体系的に学修する。

【学習目標】

1．APIの目的と設計・開発・活用の基本を理解する.
2．利用する視点でAPI設計を理解し，使いやすいAPIの条件を考える.
3．APIで授受ざれるデータの形式や構造の表現方法を理解する.
4．Web系APIの代表的な技術仕様を理解し身に着ける.
5．設計変更の容易性や堅牢性（安全，安定）を考慮したAPI設計方法を習得する.

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1（2コマ）	ガイダンス、APIの概要	1	
2（2コマ）	エンドポイントの設計とリクエストの形式	2	
3（2コマ）	検索とクエリパラメータの設計	2	課題
4（2コマ）	レスポンスデータの設計　データの内部構造の考え方	3	
5（2コマ）	レスポンスデータの設計　データのフォーマット、エラー表現	3	課題
6（2コマ）	HTTPの仕様　ステータスコード、キャッシュ、メディアタイプ	4	
7（2コマ）	HTTPの仕様　同一生成元ポリシーとクロスオリジンリソース共有	4	課題
8（2コマ）	設計変更をしやすいAPI　APIをバージョンで管理する	5	
9（2コマ）	設計変更をしやすいAPI　バージョンを変える際の指針	5	課題
10（2コマ）	堅牢なAPI　サーバとクライアントの間での情報の不正入手	5	
11（2コマ）	堅牢なAPI　悪意あるアクセスへの対策を考える	5	課題
12（2コマ）	実用的なAPIとその活用	1・5	
13（2コマ）	最終課題実習①　課題の概要と行程の策定	1～5	
14（2コマ）	**最終課題実習②　実装**	1～5	
15（2コマ）	**最終課題実習③　テストまとめと振り返り**	1～5	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	Web API: The Good Parts	水野 貴明	オライリー・ジャパン	2014年
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。課題（提出物を伴う課題）は、基本的に授業内での作業ですが、課題に関するテーマ選択や素材探しは指示することがあります。			

【評価方法】

授業にて提示する課題（50%）
最終課題とレポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：「ネットワークプログラミング実習」の単位を修得済みの者
これまでの講義や演習で学んだ知識・技術を、実習を通して理解を深め自分のものにするよう努める。

授業科目　情報通信ネットワーク

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
上野衆太	開講時期	②	必修･選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【概要】

ネットワーク通信を実現する基礎技術と技術的特徴について、また通信技術の階層構造や、各階層の原理や特徴について理解する。これにより、ネットワーク技術の根幹を成す不変の要素や将来の変化の方向性についての知識習得を図ることで、通信技術の現在と将来に対応できる理解を得ることとともに今後のネットワーク演習や実習を受講するための素養を養う。

【学習目標】

1．情報通信ネットワークの技術体系と基本的構造を理解する．
2．情報通信ネットワークの運用ポリシと運用体系を理解する．

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	古典的通信技術からインターネットへ	1	
2	ネットワークの基本構造	1	
3	データの符号化と伝送	1	
4	プロトコル階層	1	
5	ローカルエリアネットワーク	1	
6	TCP/IPによるグローバル通信	1・2	
7	ネットワークセキュリティの基礎	1・2	
8	インターネットと社会	2	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
授業にて提示する小テスト（50%） 最終試験（50%）	特になし。

授業科目　ネットワーク演習

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
上野衆太、後藤幸功	開講時期	③・④	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

情報通信ネットワークで修得した基礎知識を基に、情報通信ネットワークの構造及び管理・運用体制について具体的知識を習得するとともに、一般的なネットワーク機器の基本的操作法を習得することにより、情報通信ネットワークを、様々なサービスを提供・享受するための基盤として安全に活用できる素養を身に付ける。

【学習目標】

1．ネットワークのプロトコル構造を理解する。
2．インターネットの管理・運用体制を理解する。
3．代表的なネットワーク機器の仕組み、運用法を理解する。
4．セキュリティを理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス、ネットワークの全体像	1	
2	物理層の構造（メディアの特性と信号方式）	1	
3	データリンク層の構造　（LANの構造とプロトコル）	1	課題
4	インターネット層の構造(1)　（IPプロトコル）	1	
5	インターネット層の構造(2)　（経路制御）	1・2	課題
6	トランスポート層の構造	1	
7	ネットワーク管理（IPアドレスとドメイン名）	2	
8	ネットワーク機器（ルーターとハブ）	3	課題
9	アプリケーション層(1)（電子メール）	1	
10	アプリケーション層(2)（WWW）	1	
11	CDN（コンテンツ配信サービス）とクラウド	2	課題
12	公開鍵暗号とPKI（Public　Key Infrastructure）	2･4	
13	LANの管理	2･3	
14	セキュリティの管理	2･3･4	課題
15	まとめと振り返り	1・2・3・4	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。演習用パソコンの画面を最大限活用しなくてはならないので、講義資料は印刷して持参することを推奨します。また、授業のなかで紹介した文献、資料による復習を重視してください。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
授業にて提示する課題（50%） 最終試験（50%）	履修条件：「情報通信ネットワーク」の単位を修得済みの者

授業科目　分散型台帳技術演習

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	情報学科
上野衆太	開講時期	①・②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

分散型台帳技術は、特定の帳簿管理者を置かずに、参加者が同じ帳簿を共有しながら、資産や権利の移転などを記録していく情報技術であることについて理解する。分散型台帳技術は、デジタル・データを用いつつ、これを「分散型」の仕組みで処理することについて、代表的な技術であるブロックチェーンの仕組み・技術を学修し、将来の利活用に向け技術的課題や今後急拡大する分散型志向の設計と制作を実践的に学修する。

【学習目標】

1．ブロックチェーン技術の特徴や歴史から、暗号通貨システムを支えるブロックチェーンの要素技術を理解する。
2．暗号通貨や暗号通貨以外の具体的な事例からブロックチェーン技術を活用して提供できるサービスの可能性を考察できる。
3．ブロックチェーン開発の環境構築から、フレームワークを使ったアプリケーションの開発手法を理解する。
4．セキュリティやストレージの利用方法や、主要な課題と現時点における解決策を理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス、ブロックチェーンとは	1	講義
2	ブロックチェーン技術の理解	1	講義　レポート
3	ブロックチェーンアプリケーションの理解	1	講義
4	ブロックチェーンプロダクトの比較	2	講義　レポート
5	ブロックチェーン技術的課題と解決案	4	講義
6	ブロックチェーン技術の未来	4	講義　レポート
7	ビジネスへの応用	2	講義・演習
8	ブロックチェーンの要素技術	2	演習　課題
9	アプリケーション開発の基礎知識	3	講義・演習
10	アプリケーション開発	3	演習　課題
11	アプリケーション開発のフレームワーク	3	講義・演習
12	環境構築、セキュリティ	3	演習　課題
13	実装課題①　課題の概要と行程の策定	2・3・4	演習
14	実装課題②　実装とテスト	2・3・4	演習
15	実装課題③　課題プレゼンテーション	2・3・4	演習

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			

準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。演習用パソコンの画面を最大限活用しなくてはならないので、講義資料は印刷して持参することを推奨します。また、授業のなかで紹介した文献、資料による復習を重視してください。

【評価方法】

授業にて提示するレポート（30%）
授業にて提示する課題（30%）
最終課題とプレゼンテーション（40%）

【履修上の留意点】

履修条件：「ＡＰＩ実習」の単位を修得済みの者

授業科目　情報セキュリティ

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
後藤幸功	開講時期	③・④	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

社会の基盤となっている情報システムに対し、安心・安全な情報システムの実現が求められている。本講義では、情報セキュリティの概要と、情報セキュリティを理解するため背景にある理論的な内容について学修することで、安心・安全な情報システムを実現するための原理や設計方法を理解し、今後の演習および実習を受講するための素養を養う。

【学習目標】

1．情報セキュリティが確保された状況を実現し，維持・改善するため，知識・実践能力を修得する。
2．情報セキュリティインシデントの発生又はそのおそれがあるときに，情報セキュリティリーダとして適切に対処できる。
3．情報技術全般に関する基本的な用語・内容を理解できる。
4．情報セキュリティ機関，企業などから動向や事例を収集し，適用する必要性を評価できる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス、情報セキュリティとは	1	
2	情報セキュリティの基礎知識	2	
3	情報資産の情報セキュリティを維持するために必要な業務	2	
4	情報セキュリティリスクアセスメント、リスク対応策	2	
5	情報セキュリティ対策及び情報セキュリティ継続の要求事項	4	
6	情報システムの調達	4	
7	企業活動法務	3	
8	**まとめと振り返り　情報セキュリティの歴史**	1・2・3・4	
9	情報セキュリティ意識，コンプライアンス	3	
10	情報セキュリティインシデント	3	
11	情報セキュリティマネジメント	2	
12	セキュリティマネジメント	2	
13	情報セキュリティテクノロジー　ハードウェア	4	
14	情報セキュリティテクノロジー　ソフトウェア	4	
15	情報セキュリティの今後	1・2・3・4	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料等を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】

授業にて提示する小テスト（50%）
最終試験（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：「情報通信ネットワーク」の単位を修得済みの者

授業科目　サイバーセキュリティ演習

【担当教員名】 後藤幸功	対象学年	2	対象学科	情報学科
	開講時期	①・②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

能動的で積極的なサイバーセキュリティを実践するために、セキュリティ問題の予防措置とその運用、さらに脅威度を判定する能力を修得する。また、コンピュータ・セキュリティ・インシデント・レスポンス・チームについて学修することで、インシデントレスポンス能力の向上を図り、ベンダー任せではなく、日常のシステム運用等を考慮しながら、事業継続を脅かす攻撃に対処することができる情報システム管理能力を修得する。

【学習目標】

1．組織のシステムが攻撃された時にインシデントに効果的な対応を行える。
2．システムが攻撃された時に、仮に被害が生じていたとしてもその拡大を防ぎ、被害を最小限にとどめるためのコントロール能力を身につける。
3．将来の攻撃に備えて情報収集し、被害予防対策を施す役割を担える。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標 番号	学習方法･学習課題 又は備考･担当教員
1	ガイダンス、サイバーセキュリティトレーニングとは	1	
2	グループワーク　インシデントハンドリングとは	1	発表
3	演習シナリオ①（標的型メールを開き、ウイルスに感染） ・検知　・検査　・分析　・初動対応　・対応方針の検討 ・証拠の保全　・封じ込め策の検討　・作業依頼内容の明確化	1・2	グループワーク
4	演習シナリオ①（標的型メールを開き、ウイルスに感染） ・暫定的な対応方針の検討　・恒久的な対応の検討 ・事後対応　・外部への報告・公表に関する方針検討	1・2	レポート
5	演習シナリオ（職員端末から他の複数のネットワーク機器へ感染が拡大） ・検知　・検査　・分析　・初動対応　・対応方針の検討 ・証拠の保全　・封じ込め策の検討　・作業依頼内容の明確化	1・2	グループワーク
6	演習シナリオ（職員端末から他の複数のネットワーク機器へ感染が拡大） ・暫定的な対応方針の検討　・恒久的な対応の検討 ・事後対応　・外部への報告・公表に関する方針検討	1・2	レポート
7	演習シナリオ（地方公共団体向けWebサービス管理者ページ改ざん） ・検知　・検査　・分析　・初動対応　・対応方針の検討 ・証拠の保全　・封じ込め策の検討　・作業依頼内容の明確化	1・2	グループワーク
8	演習シナリオ（地方公共団体向けWebサービス管理者ページ改ざん） ・暫定的な対応方針の検討　・恒久的な対応の検討 ・事後対応　・外部への報告・公表に関する方針検討	1・2	レポート
9	演習シナリオ（地方公共団体庁内システム内にマルウェアが感染拡大） ・検知　・検査　・分析　・初動対応　・対応方針の検討 ・証拠の保全　・封じ込め策の検討　・作業依頼内容の明確化	1・2	グループワーク
10	演習シナリオ（地方公共団体庁内システム内にマルウェアが感染拡大） ・暫定的な対応方針の検討　・恒久的な対応の検討 ・事後対応　・外部への報告・公表に関する方針検討	1・2	レポート
11	演習シナリオ（国行政機関、組織外部持出用PCがマルウェア感染） ・検知　・検査　・分析　・初動対応　・対応方針の検討 ・証拠の保全　・封じ込め策の検討　・作業依頼内容の明確化	1・2	グループワーク
12	演習シナリオ（国行政機関、組織外部持出用PCがマルウェア感染） ・暫定的な対応方針の検討　・恒久的な対応の検討 ・事後対応　・外部への報告・公表に関する方針検討	1・2	レポート

13	演習シナリオ（銀行の顧客管理システムに侵入され、顧客情報が漏えい） ・検知　・検査　・分析　・初動対応　・対応方針の検討 ・証拠の保全　　・封じ込め策の検討　・作業依頼内容の明確化	1・2	グループワーク
14	演習シナリオ（銀行の顧客管理システムに侵入され、顧客情報が漏えい） ・暫定的な対応方針の検討　・恒久的な対応の検討 ・事後対応　・外部への報告・公表に関する方針検討	1・2	レポート
15	まとめと振り返り　脅威への対処と事業継続	1・2・3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。演習用パソコンの画面を最大限活用しなくてはならないので、講義資料は印刷して持参することを推奨します。また、授業のなかで紹介した文献、資料による復習を重視してください。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
授業にて実施する報告とレポート（60%） 最終レポート（40%）	履修条件：「情報セキュリティ」の単位を修得済みの者

授業科目　サイバーセキュリティ実習

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	情報学科
髙嶋洋一	開講時期	①・②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	60

【概要】

サイバーセキュリティ演習の内容を踏まえ、高度化するサイバー攻撃に対抗するには、攻撃者と同等もしくはそれ以上のハッキング手法、およびマルウェア解析技術が必要であることについて理解するとともに、ハッキングやマルウェア解析に焦点をあてた実習を通して、実践的な技術を修得する。具体的には情報収集、脆弱性識別、エクスプロイト実行、パスワード解読、マルウェア（トロイの木馬、バックドア等）による攻撃および盗聴について学修するとともに、その対抗技術について理解する。

【学習目標】

１．ハッキング（情報収集、脆弱性識別、エクスプロイト実行、パスワード解読、マルウェア攻撃、盗聴）の基礎技術を理解する。
２．マルウェア解析では、ハニーポットによるマルウェア収集、表層解析、アセンブラによるプログラミング、動的解析、静的解析、アンチ解析技術の基本的手法を習得する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1（2コマ）	ガイダンス、環境のセットアップ	1	
2（2コマ）	通信プログラム	1	課題
3（2コマ）	ソケットと盗聴	1	
4（2コマ）	ネットワークの掌握	1	課題
5（2コマ）	サーバーへの攻撃	1	
6（2コマ）	Proxyの拡張	1	課題
7（2コマ）	GitHubを通じた指令の送受信	1	
8（2コマ）	トロイの木馬がよく悪用するテクニック	2	課題
9（2コマ）	Windowsにおける権限昇格	2	
10（2コマ）	フォレンジックの攻撃への転用と自動化	2	課題
11（2コマ）	リバースエンジニアリング	2	
12（2コマ）	さまざまなサンドボックス検知	2	課題
13（2コマ）	マルウェア・プログラム解析実習①　課題の概要と行程の策定	2	
14（2コマ）	マルウェア・プログラム解析実習②　実装	2	
15（2コマ）	マルウェア・プログラム解析実習③　テスト　まとめと振り返り	2	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	サイバーセキュリティプログラミング	Justin Seitz	オライリージャパン	2015年10月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			

準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。課題（提出物を伴う課題）は、基本的に授業内での作業ですが、課題に関するテーマ選択や素材探しは指示することがあります。

【評価方法】

授業にて実施する課題（50%）
最終レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：「サイバーセキュリティ演習」「ＡＰＩ実習」の単位を修得済みの者
これまでの講義や演習で学んだ知識・技術を、実習を通して理解を深め自分のものにするよう努める。

授業科目　データベースの基礎

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
鈴木源吾、柄沢直之	開講時期	③・④	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

データを組織化して一括管理するデータベースについて、その基本であるリレーショナルデータベースをについて、データモデル、データベース設計、データ操作言語、及び、データベース管理システムの概要について学ぶ。併せてオブジェクト指向データベース、NoSQLについても触れ、データベースへの視野を広げる。

【学習目標】

1．データベース管理システムの目的と機能を理解する。
2．データベースを操作する基本技術を理解する。
3．データベースを設計する基本技術を理解する。
4．データ検索を高速化する基本技術を理解する。
5．OSSのデータベース管理システムを活用できる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	データベースとは。授業の進め方とガイダンス	1	
2	データベース管理システム	1	
3	関係データモデル	2	
4	関係データベースのデータ操作言語	2,5	
5	高度なデータベース操作	2,5	
6	データベースの概念設計	3	
7	関係データベースの設計理論と正規化	3	
8	データベース管理システムのアーキテクチャ	1	
9	ファイル編成とアクセス法	4	
10	関係データベースの質問処理と最適化	4	
11	トランザクションと障害時回復	1	
12	トランザクションの実行制御	1	
13	分散データベースとビッグデータ	1	
14	総合演習課題	1～5	
15	科目全体の振り返り　課題についての解説	1～5	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	リレーショナルデータベース入門【第3版】	増永 良文	サイエンス社	2017年
参考書	楽しく学べるデータベース	川越 恭二	共立出版	2014年
	データベース入門	増永 良文	サイエンス社	2016年
その他の資料	PostgreSQL徹底入門 第3版	笠原 辰仁他	翔泳社	2011年

準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。演習用パソコンの画面を最大限活用しなくてはならないので、講義資料は印刷して持参することを推奨します。また、授業のなかで紹介した文献、資料による復習を重視してください。

【評価方法】	【履修上の留意点】
授業にて提示する小テスト（50%） 最終試験（50%）	特になし。

授業科目　データベース演習

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
鈴木源吾、柄沢直之	開講時期	①・②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	60

【概要】

データベースの基礎で修得した基礎知識を基に、データベースの構造及び管理・運用について具体的技術を習得するとともに、データベース管理ステムの基本的操作法を習得することにより、高度な情報人材となるために必要なデータベース分野の技術を体系的に修得する。

【学習目標】

1．ビジネス系データベースの設計・構築・操作を理解する。
2．データ分析系データベースの設計・構築・操作を理解する。
3．ERモデル・正規化・高度なSQL等のデータベース技術の詳細を理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	データベースを制するものはシステムを制す。授業の進め方とガイダンス	1,2	
2	情報システムの構築とデータベース設計	1	
3	要件定義とERモデルを用いた概念設計	1,3	課題
4	論理設計と正規化	1,3	
5	論理設計とパフォーマンス	1,3	課題
6	アプリケーション開発フレームワークとデータベース	1	
7	データベースを活用するアプリケーション構築	1	課題
8	SQLによるデータ分析	2	
9	集計を用いたデータ分析	2,3	課題
10	結合などのテーブル操作・変換を用いたデータ分析	2,3	
11	高度な機能を利用したデータ分析：ウィンドウ関数、等	2,3	課題
12	アクセスログのセッション分析	2	
13	ビッグデータとデータ分析	2	課題
14	総合課題　データベースの構築と活用	1～3	
15	科目全体の振り返り　課題についての解説	1～3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	リレーショナルデータベース入門【第3版】	増永 良文	サイエンス社	2017年
参考書	達人に学ぶDB設計 徹底指南書	ミック	翔泳社	2012年
その他の資料	10年戦えるデータ分析入門	青木 峰郎	SBクリエイティブ	2015年
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。課題（提出物を伴う課題）は、基本的に授業内での作業ですが、課題に関するテーマ選択や素材探しは指示することがあります。			

【評価方法】

授業で実施する課題（50%）
最終試験（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：「データベースの基礎」の単位を修得済みの者

授業科目　システム開発技術

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
柄沢直之	開講時期	②	必修･選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【概要】

本講義では、情報システムを開発・設計する技術、情報システムの効果を得るための技術に関する原理や設計方法としてモデリングや要求定義等について理解することで、今後の演習および情報システムを構築する各種の実習を受講するための素養を養う。

【学習目標】

1．モデリングについて基本的な知識を理解する
2．ダイアグラムの基礎を理解する
3．開発プロセスとモデリングについて理解する

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス　モデリングとは	1	
2	モデリングの基礎	2	
3	要求定義モデリング・ユースケース図	2	
4	構造モデリング・クラス図	2	
5	振る舞いモデリング	2	
6	実装モデリング	2	
7	ビジネスモデリング	3	
8	要求分析モデリング・設計モデリング	3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】

授業にて提示する小テスト（50%）
最終試験（50%）

【履修上の留意点】

特になし。

授業科目　システム開発技術演習

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
上野衆太	開講時期	①・②	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

多数のコンピュータ、スマートデバイスで稼働する多機能な業務システムの設計を、ネットワークの活用も含め学修する。また対象業務の分析や要件定義、外部設計など、システム開発の工程に係わる者、いわゆるシステムエンジニアを対象とし、業務に適したアーキテクチャ設計や全体最適化といった概念と、各種の工程で必要となる設計者向けの知識・技術を修得する。

【学習目標】

1．情報システムの開発における企画立案および要件定義に関することを理解する。
2．ソフトウェア開発及び開発に関する基礎知識を理解する。
3．システム設計・テストから保守・運用までの流れを理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス、システム設計の基礎から実践まで	1	
2	プロジェクト計画立案	1	
3	システム要件定義	2	課題レポート
4	システム方式設計	2	
5	ソフトウェア要件定義	2	
6	ソフトウェア方式設計，ソフトウェア詳細設計	2	
7	ソフトウェア構築	2	課題レポート
8	ソフトウェア結合・ソフトウェア適格性確認テスト	3	
9	システム結合・システム適格性確認テスト	3	
10	導入	3	
11	受入れ支援	3	課題レポート
12	保守・廃棄	4	
13	開発プロセス・手法	4	
14	構成管理，品質保証，監査	1	
15	関連法規，情報技術の動向	1・2・3	最終課題レポート

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。演習用パソコンの画面を最大限活用しなくてはならないので、講義資料は印刷して持参することを推奨します。また、授業のなかで紹介した文献、資料による復習を重視してください。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
授業にて提示する課題レポート（60%） 最終課題レポート（40%）	履修条件：「システム開発技術」の単位を修得済みの者

授業科目　臨地実務実習Ⅰ

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
三上喜貴、金宮好和、宮元万菜美、大野幸夫、後藤幸功、石塚昭彦、柄沢直之、PANN YU MON、田代秀一、上野衆太、鈴木源吾、堀川桂太郎、平川秀樹、髙嶋洋一、磯西徹明、西川浩平	開講時期	③	必修･選択	必修
	単位数	5	時間数	150

【概要】

専門職種の理解を深め、地域の企業や団体、商店街が抱える課題に主体的に取り組み、学内で身に付けた情報技術による課題解決策を提案するまでの過程を学修する。実習先企業の業務内容を理解し、他者と協力してデータの流れ（入手、加工、保管）から見える課題を把握しその解決法を考察する。実際にデータの入手、保管、整理、加工、分析、可視化を体験することで、課題を解決して、生産性・効率性を向上させる計画を立案・提案することで課題解決法を考察する態度と技術を理解する。

【学習目標】

知識・理解
　１．実習先企業の企業組織の持つ経営理念・方針等の特徴を理解している。
　２．実習先企業の経営理念を踏まえ、社会的役割・使命を理解し、説明することができる。
　３．既知の問題が与えられた中で、必要なデータが何なのかを理解している。
技能
　４．形式が異なる多くのデータを統一的に保管することができる。
　５．課題に応じたサンプルの抽出ができる。
　６．必要に応じデータの抽出、グラフ作成を正しく行うことができる。
志向・態度
　７．課題の解決・検討に必要なデータが何なのかを最後まで諦めずに模索しようとしている。
　８．扱っている課題領域における、基本的な課題の枠組みをする必要性を理解し、指示・命令を実行しようとしている。
　９．より効果的なプレゼンテーションを実施するために、事前準備の必要性を理解したうえで、様々な工夫を心掛けている。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1.第1週	ガイダンス、社会常識、ビジネスマナー	1・2	（学部教員による指導）
2.第1週（1）	企業概要の説明（企業沿革、事業内容、社会的意義等）（企業説明）	1・2	
3.第1週（2）	競合他社等業界事情、業界を取り巻く環境や課題説明(企業説明)	3・7	
4.第1週（3）	実習テーマの理解（企業説明）	3・7・8	
5.第1週（4）	業務現場の見学およびヒアリング（気づいたことのまとめ）	1・2・3・7・8	
6.第1週（5）	実務演習に向けての事前学習	3・7・8	
7.第2週	データの入手・保管	4	
8.第3週	データの整理	4・5	
9.第4週（1）～（3）	データの加工・分析	4・5・6	
10.第4週（4）～（5）	データの分析・課題発見	5・6・7・8	

11. 第5週 (1) ～ (3)	データの分析・可視化	5・6・8	
12. 第5週 (4)	プレゼンテーション準備・予行演習	6・8・9	
13. 第5週 (5)	可視化データプレゼンテーション・フィードバック	6・8・9	
14. 第5週 (5)	結果報告、事実確認、振り返り	1～9	(学部教員による指導)

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	なし			
参考書	なし			
その他の資料	実習先企業より提示される資料を確認のこと。			
準備学習（予習・復習等）	事前に実施されるシンポジウムおよびガイダンスに必ず出席し、実習の意義、手続き、安全、保険、セキュリティに関する事項を理解して臨むこと。実習後は会得した問題意識を養い、研究開発に自立性を高めること。			

【評価方法】

○実習先からの評価（40%）
（臨地実務実習の手引きに基づく）
○実習日誌の評価（30%）
○課題・プレゼンテーション（30%）
上記３項目の総合評価

【履修上の留意点】

履修条件：「キャリアデザインⅡ」「情報と経営」「ネットワークプログラミング実習」「データベース演習」「サイバーセキュリティ演習」「知識表現・知識処理演習」「統計学」「デザイン・シンキング実習Ⅰ」「ソーシャルデザインⅠ」「情報産業論」「マーケティング」「システム開発技術」の単位を修得済みの者

●受入企業をはじめ様々な関係者の協力のもと実施しているプログラムであり，企業での実習は社会人としてのマナーや個別の受入企業ごとの約束事を遵守し，その企業の業務（課題解決）に貢献する姿勢で臨むこと。
●受講途中での履修放棄は認めない。受講前にスケジュールをよく確認し，教員と相談のうえで受講すること。
●受講にあたっては，傷害保険及び第三者損害賠償責任保険への加入，企業と実習の条件を確認するための書類記入（未成年者は保護者の署名）が必要となる。

授業科目　臨地実務実習Ⅱ

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	情報学科
三上喜貴、金宮好和、宮元万菜美、大野幸夫、後藤幸功、石塚昭彦、柄沢直之、PANN YU MON、田代秀一、上野衆太、鈴木源吾、堀川桂太郎、平川秀樹、髙嶋洋一、磯西徹明、西川浩平	開講時期	③・④	必修･選択	必修
	単位数	15	時間数	450

【概要】

臨地実務実習Ⅰの内容を踏まえ、企業内実習の事前・事後および実習中の指導を通して、専門職種と職業領域において理論の考察に基づいた実践に取り組み、専門職種の理解を深め、地域の企業や団体、商店街が抱える課題に主体的に取り組み、学内で修得した知識・技術を活用し、解決策の提案から計画、設計、実装、検証という実務の一連の過程を学修する。長期にわたる実務により、企業現場におけるさまざまな現象、実態を認識し、経験することを通して、経済社会の課題に対して情報技術や情報手法を活用した課題解決策を実現することで、創造的な能力と実践的な態度を身に付ける。

【学習目標】

知識・理解
1．実習先企業の業態(サービスの提供方法など)および顧客価値を理解している。
2．扱っている課題領域において、課題が何なのか理解している。
3．ビジネス活動における論理と各種データの関連性を理解し、その重要性を理解している。
技能
4．情報システムのデザイン（計画、設計、管理）とその具現化ができる。
5．開発環境の構築と開発作業の管理ができる。
6．プロトタイプと検証のサイクルを繰り返すことができる。
志向・態度
7．アイデアの発散を繰り返し、コアの問題解決のために、より高いレベルで解決しようとしている。
8．課題領域において、テーマを構造的に整理し、見極めるべき論点をクリアにしようとしている。
9．仮説の中でも、最適解・最大解を見出すことを諦めずに努力している。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1.第1週	ガイダンス、業務関連知識、狙いとその達成	1	(学部教員による指導)
2.第1週 (1)	企業概要の説明（企業沿革、事業内容、社会的意義等）(企業説明)	1	
3.第1週 (2)	競合他社等業界事情、業界を取り巻く環境や課題説明(企業説明)	1・2	
4.第1週 (3)	実習テーマの理解（企業説明）	1・2・3	
5.第1週 (4)	業務現場の見学およびヒアリング（気づいたことのまとめ）	1	
6.第1週 (5)	実務演習に向けての事前学習	2・3	
7.第2週	目的設定	2・4・8	
8.第3週	分析計画	3・4・7	
9.第4週 (1)～(3)	データ設計	2・3・4・5	
10.第4週 (4)～(5)	データ収集・保存	3・4・5	
11.第5週 (1)～(3)	データの前処理	4・5・6	
12.第5週 (4)	分析手法選択と適用	2・3・7・8	
13.第5週 (5)	分析結果の解釈	3・7・8・9	

14. 第5週（5）	施策の提案、評価	3・7・8・9	
15. 第6週～第7週	要件定義～設計・開発①	4・5・6	
16. 第8週	動作確認、計画の見直し①	4・5・6	
17. 第8週（5）	中間レビュー	5・6・7・8	
18. 第9週～第10週	設計・開発②	4・5・6	
19. 第11週	動作確認、計画の見直し②	4・5・6	
20. 第11週（5）	中間レビュー	5・6・7・8	
21. 第12週～第13週	設計・開発③	4・5・6	
22. 第14週	動作確認、計画の見直し③	4・5・6	
23. 第14週（5）	最終レビュー	4・8・9	
24. 第15週（1）～（4）	プレゼンテーション準備や予行演習	1～9	
25. 第15週（5）	プレゼンテーション・フィードバック	1～9	
26. 第15週（5）	結果報告、事実確認、振り返り	1～9	（学部教員による指導）

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	実習先企業より提示される資料を確認のこと。			
準備学習（予習・復習等）	事前に実施されるシンポジウムおよびガイダンスに必ず出席し、実習の意義、手続き、安全、保険、セキュリティに関する事項を理解して臨むこと。実習後は会得した問題意識を養い、研究開発に自立性を高めること。			

【評価方法】

○実習先からの評価（40%）
（臨地実務実習の手引きに基づく）
○実習日誌の評価（30%）
○課題・プレゼンテーション（30%）
上記３項目の総合評価

【履修上の留意点】

履修条件：「キャリアデザインⅢ」「情報と倫理」「ＡＰＩ実習」「サイバーセキュリティ実習」「ＡＩ実習」「デザイン・シンキング実習Ⅱ」「ソーシャルデザインⅡ」「国際文化と伝統」「マーケティング実践」の単位を修得済みの者
また「マシンラーニング演習」「ハードウェア設計」「クラウドプラットフォーム実習Ⅰ」のうちいずれかの科目の単位を修得済みの者

●受入企業をはじめ様々な関係者の協力のもと実施しているプログラムであり，企業での実習は社会人としてのマナーや個別の受入企業ごとの約束事を遵守し，その企業の業務（課題解決）に貢献する姿勢で臨むこと。
●受講途中での履修放棄は認めない。受講前にスケジュールをよく確認し，教員と相談のうえで受講すること。
●受講にあたっては，傷害保険及び第三者損害賠償責任保険への加入，企業と実習の条件を確認するための書類記入（未成年者は保護者の署名）が必要となる。

授業科目　クラウド技術概論

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
磯西徹明	開講時期	①・②	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

現代のICT環境として広く定着し、なお進化を続けるクラウド・コンピューティングについて、環境構築から開発運用のリードタイム短縮につながる技術の原理、とその有効活用方法を学修する。CPUやメモリのみならず、ストレージやネットワーク、アプリケーションなどの様々な機能の仮想化技術に限らず、さまざまな用途やサービス、ビジネス応用、今後の動向についても調査し、理解を深めて、クラウド・コンピューティングの演習・実習につながる基礎を修得する。

【学習目標】

1．クラウド・コンピューティングに関する基礎知識を習得する。
2．クラウド・コンピューティングの多様性と特徴について理解する。
3．クラウド・コンピューティングの用途・活用について知解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	クラウドコンピューティングの定義と歴史	1,3	
2	サーバーの仮想化	1	
3	ネットワークの仮想化	1	
4	ストレージの仮想化	1	
5	仮想マシンの原理と技術	1	
6	ソフトウェア・アズ・ア・サービス(SaaS)のアーキテクチャ	2	
7	プラットフォーム・アズ・ア・サービス(PaaS)のアーキテクチャ	2	
8	インフラストラクチャ・アズ・ア・サービス(IaaS)のアーキテクチャ	2	
9	クラウドを構成するソフトウエアスタック	1	
10	クラウドの管理	1	
11	Webサービスアーキテクチャ	3	
12	サービスオリエンテッドアーキテクチャ（SOA）	3	
13	並列・分散処理への応用	3	
14	クラウドとセキュリティ	1,3	
15	信頼性と性能	1,3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	クラウドを支える技術	ルイス・アンドレ・バロッソ その他	技術評論社	2014年9月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】

授業にて提示する課題レポート（40%）
最終試験（30%）
最終レポート（30%）

【履修上の留意点】

履修条件：「情報通信ネットワーク」「オペレーティングシステム」の単位を修得済みの者

授業科目　クラウドベーシック&マーケティング

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	情報学科
西川浩平	開講時期	①	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

Microsoft AzureやAmazon EC2など、インターネット経由の一般向けクラウド・コンピューティング・サービスを利活用したアプリケーション・システムの開発手法を学修する。パブリッククラウドの適切な設定とマネジメント能力、独自設計したアプリケーションからアクセスする技術を修得することで、高品質なサービスの生み出し方を学修し、マーケティングの視点から導入の有効性やビジネス性を確認することで、クラウド・コンピューティング・サービスについて体系的に修得する。

【学習目標】

1．クラウドなどネットワーク・コンピューティングの基礎と構造、重要事項を理解する。
2．クラウドなどネットワーク・コンピューティングビジネスを提案するために必要なスキルを理解する。
3．クラウドなどネットワーク・コンピューティングビジネスについて提案書作成を通して、学習のまとめを行う。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス、ネットワーク・コンピューティングとは	1	
2	ネットワーク・コンピューティングの基礎	1	
3	ネットワーク・コンピューティングの構造と重要事項	1	
4	ネットワーク・コンピューティングの応用と広がり	1	課題
5	ITマーケットの変化	2	
6	ベンダー選定プロセス	2	課題
7	**ネットワーク・コンピューティングの提案とは**	2	
8	**ネットワーク・コンピューティングの提案　通信の仕組み**	2	
9	**ネットワーク・コンピューティングの提案　要素技術**	2	
10	**ネットワーク・コンピューティングの提案　動作検証**	2	課題
11	**ネットワーク・コンピューティング事例**	3	課題
12	**ネットワーク・コンピューティング市場の広がり　世界的動向**	3	
13	**ネットワーク・コンピューティング市場の広がり ユーザー**	3	課題
14	**最終課題、PoC提案書作成演習　課題の背景**	3	
15	**最終課題、PoC提案書作成演習　まとめと振り返り**	3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	大学生のためのクラウド講座	津田 邦和, 西川 浩平	NCRI株式会社	2018年
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
授業にて提示する課題提出（50%） **最終課題とレポート（50%）**	**履修条件：「クラウド技術概論」「ＡＰＩ実習」の単位を修得済みの者**

授業科目　クラウドプラットフォーム実習Ⅰ

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	情報学科
西川浩平	開講時期	②	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	60

【概要】

クラウド技術概論およびクラウドベーシック&マーケティングで学修した知識や技術を基とし、ケーススタディを用いた実習を通してクラウド・コンピューティングに利用されている各種コンポーネントを理解したうえで、ユーザービリティとセキュリティを高い次元で両立したサービスモデルを設計・構築する。

【学習目標】

1．クラウド技術の構成と歴史を理解する。
2．クラウド活用について理解する。
3．クラウドアプリケーションの設計に関して理解する。
4．クラウドにおける開発について理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1（2コマ）	ガイダンス、クラウドコンピューティングとは	1	
2（2コマ）	オンプレミス環境とクラウドの使い分け	2	
3（2コマ）	オンプレミス環境とクラウド間の連携	2	レポート
4（2コマ）	クラウド使いこなし：IoTとシステム間連携	2	
5（2コマ）	クラウド使いこなし：AIとシステム間連携	2	
6（2コマ）	クラウド使いこなし：クラウド同士のシステム間連携	2	レポート
7（2コマ）	クラウドアプリケーションアーキテクチャ概要	3	
8（2コマ）	クラウドアプリケーションアーキテクチャ：コンテナ	3	
9（2コマ）	クラウドアプリケーションアーキテクチャ：マイクロサービス	3	レポート
10（2コマ）	DevOps：チーム開発	4	
11（2コマ）	DevOps：テスト・ビルド・デプロイ	4	
12（2コマ）	DevOps：顧客からのフィードバック他	4	レポート
13（2コマ）	最終課題①　クラウドサービス開発	1～4	
14（2コマ）	最終課題②　実装	1～4	レポート
15（2コマ）	クラウドアプリケーション開発、まとめと振り返り	1～4	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	はじめてのNode-RED	Node-REDユーザーグループジャパン	工学者	2018年、2700円
	The DevOps ハンドブック 理論・原則・実践のすべて	ジーン・キム、ジェズ・ハンブル他	日経BP	2017年、3456円
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】

授業にて提示する課題レポート（70%）
最終試験（30%）

【履修上の留意点】

履修条件：「クラウドベーシック&マーケティング」の単位を修得済みの者
これまでの講義や演習で学んだ知識・技術を、実習を通して理解を深め自分のものにするよう努める。

授業科目　クラウドプラットフォーム実習Ⅱ

【担当教員名】	対象学年	4	対象学科	情報学科
西川浩平	開講時期	①・②	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	60

【概要】

クラウドプラットフォーム実習Ⅰやクラウド技術概論およびクラウドセールス＆マーケティングで学修した知識や技術を基として、クラウドファーストアーキテクチャー、クラウドにおけるセキュリティ対策、ハイブリッドクラウドなどの実習を基にクラウドデザインパターンを学修する。

【学習目標】

1．クラウドを構成する技術について理解する。
2．クラウドに必要なセキュリティ対策について理解する。
3．クラウド設計に関して理解する。
4．ビジネスにおけるクラウド導入のポイントを理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1（2コマ）	ガイダンス、クラウドプラットフォーム実習Ⅰ振り返り	1	
2（2コマ）	プライベートクラウド構築	1	
3（2コマ）	失敗と成功事例に学ぶクラウドアーキテクチャ	1	レポート
4（2コマ）	セキュリティ対策 ： コンプライアンス、アクセス制御他	2	
5（2コマ）	セキュリティ対策 ： ポリシー制御、アップデート他	2	レポート
6（2コマ）	シナリオ別クラウド設計 ： 業務アプリケーション	3	
7（2コマ）	シナリオ別クラウド設計 ： キャンペーンサイト	3	
8（2コマ）	シナリオ別クラウド設計 ： IoT	3	
9（2コマ）	シナリオ別クラウド設計 ： ブロックチェーン	3	レポート
10（2コマ）	ビジネスにおけるクラウド導入：不安要素と解決策	4	
11（2コマ）	ビジネスにおけるクラウド導入：ポイント、展開の仕方他	4	
12（2コマ）	ビジネスにおけるクラウド導入：導入後の保守運用他	4	レポート
13（2コマ）	最終課題①　クラウドサービス開発/提案演習	1～4	
14（2コマ）	最終課題②　実装	1～4	レポート
15（2コマ）	これからのクラウド構築の実践、まとめと振り返り	1～4	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	Amazon Web Services 定番業務システム14パターン設計ガイド	川上 明久	日経BP	2018年、2700円
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】

授業にて提示する課題レポート（70%）
最終試験（30%）

【履修上の留意点】

履修条件：「クラウドプラットフォーム実習Ⅰ」の単位を修得済みの者
これまでの講義や演習で学んだ知識・技術を、実習を通して理解を深め自分のものにするよう努める。

授業科目　サイバーフィジカルシステム基礎

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
金宮好和	開講時期	③	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

情報システムと現実世界とのインタフェースに関する原理や設計方法として、計算機（サイバー空間）と実世界（フィジカル空間）をつなぎ、様々な情報処理を行う技術について理解し、基礎となる機器や駆動装置、それらを制御するための制御理論に加え、人間の認知特性、画像処理、対話手法などの特徴について学修し、今後の演習および実習を受講するための素養を養う。

【学習目標】

１．IoTデバイスに関する基礎知識を習得する。
２．デバイスとワンボードマイコンとの接続の基礎技術を習得する。
３．フィードバック制御及び制御理論の基礎を習得する。
４．画像処理と、表示技術の基礎を習得する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス　サイバーフィジカルシステムとは	1	
2	IoTの全体像と標準化	１・２	
3	センサとアクチュエータ	１・２	
4	IoTネットワーク	2	
5	IoT通信方式　IoTデバイスをネットワークに接続	2	
6	ロボティクス入門	2	
7	制御理論の基礎（伝達関数）	3	
8	制御理論の基礎（状態方程式）	3	
9	ロボットアームを制御する	２・３	
10	ロボットの運動解析	２・３	
11	物の形の計算機モデル	4	
12	VR・AR・MR	4	
13	画像処理デバイスとその制御	4	
14	画像処理デバイスを接続する	4	
15	画像の認識	4	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。演習用パソコンの画面を最大限活用しなくてはならないので、講義資料は印刷して持参することを推奨します。また、授業のなかで紹介した文献、資料による復習を重視してください。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
授業にて提示する小テスト（50%） 最終課題（50%）	履修条件：「プログラミング基礎」「オペレーティングシステム」の単位を修得済みの者

授業科目　　Ｉｏｔ演習

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
磯西徹明	開講時期	②	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

ＩｏＴ（Internet of Things）とは、従来インターネットに接続されていなかった様々なセンサー機器、駆動装置、建物、車、電子機器などのモノが、ネットワークを通じてサーバーやクラウドサービスに接続され、相互に情報交換をする仕組みであることについて理解するとともに、ＩｏＴを実現するハードウェア、アプリケーション、ネットワークと多種のインターフェースについて、スマートデバイスを中心とした演習を通して学修する。

【学習目標】

１．IoTデバイスに関する基礎知識を習得する。
２．IoT通信方式について無線方式や通信プロトコルを理解する。
３.ワンボードマイコンと各種入出力デバイスを組み合わせた自作システムで、プログラムを書き込み制御動作を確認することで、基本単位のIoTシステム構築に関係する技術を習得する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	IoT時代の新製品・サービス・コンポーネント	1	
2	IoTデバイス	1	
3	センサから情報を取得する	1	
4	IoTデバイス センサから情報を取得するためのセンサ回路	1	課題
5	IoT通信方式　IoTデバイスをネットワークに接続	1	
6	IoT通信方式　さまざまなデータソース	1	課題
7	IoTアーキテクチャ	1	
8	振り返り課題　IoTアーキテクチャの構成要素	1	課題
9	IoTデータ活用技術	2	
10	IoTデータ活用技術　データ収集・蓄積の基本と活用まで	2	課題
11	デバイスプラットフォーム	2	
12	デバイスプラットフォーム　　サービス展開をするシステム	3	課題
13	最終課題演習①　課題の概要と行程の策定	1・2・3	
14	最終課題演習②　実装	1・2・3	
15	最終課題演習③　テスト	1・2・3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	IoTの基本・仕組み・重要事項が全部わかる教科書	八子 知礼, 杉山 恒司, その他	SBクリエイティブ	2017年10月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			

準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。演習用パソコンの画面を最大限活用しなくてはならないので、講義資料は印刷して持参することを推奨します。また、授業のなかで紹介した文献、資料による復習を重視してください。

【評価方法】	【履修上の留意点】
授業にて提示する課題（50%） 最終課題（50%）	履修条件：「サイバーフィジカルシステム基礎」の単位を修得済みの者

授業科目　　Ｉｏ Ｔ実習

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	情報学科
磯西徹明	開講時期	①	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	60

【概要】

Ｉｏ Ｔ演習にて修得した、各種機器とネットワークにおいて相互に情報交換をする仕組みを基として、具体的に製造業等での利活用を想定し、Ｉｏ Ｔ演習より大規模なＩｏ Ｔの構築・管理・検証を、実習を通して体系的に学修する。センサなどを実装した多数のデバイスをネットワークに接続し、各デバイス・ネットワークのコントロール・マネジメントを実施し、収集したデータを分析・解析し、その結果から各デバイスが配置・設置された環境や内容の改善するための実習を行う。

【学習目標】

１．IoTシステムを通して現実世界から収集した様々なデータ蓄積に関する基礎知識を理解する。
２．IoTシステムとクラウドとの連携、および各種ライブラリの活用方法を理解する。
３．IoTデバイス、IoTゲートウェイ、IoTサーバの各種要素を組み合わせIoTシステムの構成を理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1（2コマ）	様々なセンサデバイスの仕様確認	1	
2（2コマ）	課題の提示とシステムの要件定義	1・2・3	
3（2コマ）	システムの要件定義（続き）	1・2・3	課題
4（2コマ）	工程の策定	1・2・3	
5（2コマ）	デバイスの接続	2・3	
6（2コマ）	デバイスの設定とデータ取得	2・3	
7（2コマ）	データ分析ツールの確認	2	課題
8（2コマ）	データベースの要件定義	2	
9（2コマ）	分析ソフトの要件定義	2・3	
10（2コマ）	分析ソフトのプログラミング	2・3	
11（2コマ）	分析ソフトのプログラミング（続き）	2・3	
12（2コマ）	分析ソフトの動作確認	2・3	課題
13（2コマ）	システムの総合テスト	1・2・3	
14（2コマ）	成果発表と評価	1・2・3	
15（2コマ）	セキュリティ対策の考察	1・2・3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。課題（提出物を伴う課題）は、基本的に授業内での作業ですが、課題に関するテーマ選択や素材探しは指示することがあります。			

【評価方法】

授業にて提示する課題（60%）
最終レポート（40%）

【履修上の留意点】

履修条件：「Ｉｏ Ｔ演習」「ＡＰＩ実習」の単位を修得済みの者
これまでの講義や演習で学んだ知識・技術を、実習を通して理解を深め自分のものにするよう努める。

授業科目　ハードウェア設計

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	情報学科
金宮好和	開講時期	②	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

コンピュータやスマートデバイス、各種センサー類を活用し、求められる機能・性能を実現するハードウェアの設計能力を修得する。ハードウェア設計技術者には、最新の技術を使った高性能な製品や、新しい発想を取り入れた魅力的な製品の開発が期待されていることから、設計が実際に製造・製作に用いることができるかどうかを検証するとともに、ロボットやIoTの実践・実習でも必要となる３Ｄスキャナ・３Ｄプリンター等の機器の利活用技法についても学修する。

【学習目標】

１．電気電子回路の原理・原則に関する知識を理解する。
２．電子機械の概要と役割の活用方法を理解する。
３．メカトロニクスの構成を理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス、電子機械の概要と役割と電気電子回路	1	講義
2	機械の機構と運動の伝達　基本的な機械要素	2	講義
3	センサとアクチュエータ　センサの基礎	2	講義　課題
4	シーケンス制御　自動制御の種類	2	講義
5	電子機械設計　身近なメカトロニクス製品 ３Dプリンタと３Dスキャナ	3	講義
6	電気電子回路	1	演習　課題
7	機械の機構と運動の伝達　基本的なメカニズム	2	演習
8	センサとアクチュエータ　おもなアクチュエータとその活用	2	演習
9	シーケンス制御　プログラマブルコントローラ	2	演習　課題
10	コンピュータ制御　コンピュータとインタフェース	3	演習
11	コンピュータ制御　外部機器の制御	3	演習
12	電子機械設計②　制御系のソフトウェア技術	3	演習　課題
13	課題演習①　課題の概要と行程の策定	1・2・3	演習
14	課題演習②　実装	1・2・3	演習
15	課題演習③　テスト	1・2・3	演習

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	入門電子機械	安田 仁彦、田中泰孝、市川繁富、平井重臣、都筑順一	コロナ社	2016年11月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。演習用パソコンの画面を最大限活用しなくてはならないので、講義資料は印刷して持参することを推奨します。また、授業のなかで紹介した文献、資料による復習を重視してください。			

【評価方法】

授業にて提示する課題（40%）
演習課題および最終レポート（60%）

【履修上の留意点】

履修条件：「ＩｏＴ実習」の単位を修得済みの者

授業科目　ロボティクス実習

【担当教員名】	対象学年	4	対象学科	情報学科
金宮好和	開講時期	①・②	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	60

【概要】

製造・医療・広告・宅配等、様々な業種・業界でドローン・ロボットの利用が拡大され、求められる機能も多様化・複雑化がますます進むと考えられる中、ハードウェアの設計能力を基として、単腕ロボットやヒューマノイド型ロボットの運動制御、およびそのためのシステムインテグレーションを修得する。また、構造体・動力伝達部位などを構成するアクチュエータ・モーターの原理・機構や制御プログラミングなどについて学修する。

【学習目標】

1．ロボティクスのニーズと意義を理解する。
2．ロボットシステム技術と知能化技術の活用方法を理解する。
3．マン・マシンインタフェース技術の活用方法を理解する。
4．ロボティクスの構成を理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1（2コマ）	ガイダンス、ロボティクスとは	1	
2（2コマ）	ロボットの四肢	1	
3（2コマ）	回転キネマティクス①　座標変換、回転の構成	2	
4（2コマ）	回転キネマティクス②　オイラー軸、回転体の状態	2	課題
5（2コマ）	フォワードキネマティクス①　剛体運動の構成、断続的なリンク	2	
6（2コマ）	フォワードキネマティクス②　関節式位置決めサブチェーン	2	課題
7（2コマ）	インバースキネマティクス①　位置・姿勢の逆運動学	2	
8（2コマ）	インバースキネマティクス②　キネマティック冗長性	2	課題
9（2コマ）	ロボットダイナミクス①　剛体の運動方程式	3	
10（2コマ）	ロボットダイナミクス②　ロボットの運動方程式	3	課題
11（2コマ）	モーションコントロール①　モーションコントロールタスク	3	
12（2コマ）	モーションコントロール②　ワークスペースコントローラ	3	課題
13（2コマ）	課題実習①　課題の概要と行程の策定、課題の企画設計	4	
14（2コマ）	**課題実習②　実装**	4	
15（2コマ）	**課題演習③　テスト　まとめと振り返り**	4	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	英語で学ぶロボット工学	金宮　好和	コロナ社	2008年2月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。課題（提出物を伴う課題）は、基本的に授業内での作業ですが、課題に関するテーマ選択や素材探しは指示することがあります。			

【評価方法】

授業にて提示する課題（40%）
最終課題と最終レポート（60%）

【履修上の留意点】

履修条件：「ハードウェア設計」の単位を修得済みの者
これまでの講義や演習で学んだ知識・技術を、実習を通して理解を深め自分のものにするよう努める。

授業科目　没入型コンピューティング演習

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
江口将史	開講時期	④	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

没入型コンピューティングとは、ユーザーの五感を含む感覚を刺激する技術であることについて理解したうえで、仮想現実(VR)実装技術の修得から、その有効性・可能性をユーザー体験により学修する。更にセンサーやカメラ、入力デバイスなどの各種ハードウェアの取り扱いや、表現の違い、拡張現実(AR)、複合現実(MR)についての理解を深め、ＸＲコンテンツを制作するためのソフトウェア・コンテンツ開発技術を修得する。

【学習目標】

１．バーチャル・リアリティの基礎知識と構成する要素を理解する。
２．バーチャル・リアリティコンテンツの開発について理解する。
３．バーチャル・リアリティコンテンツ開発の要となるゲームエンジンについて理解する。
４．仮想世界にインタラクトするための一人称および三人称でのナビゲーションとユーザインタフェースの使い方を理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス、バーチャル・リアリティの基礎知識	1	講義
2	VRアプリケーション開発の概況	1	講義
3	ゲームエンジンの基本的な考え方	3	講義
4	ユーザーインターフェース　基本的概念	3	講義　課題
5	物理と環境とは	3	講義
6	ゲームエンジン 主要機能と操作	3	演習
7	ゲームエンジン スクリプト演習 スクリプトの基礎	3	演習　課題
8	ゲームエンジン スクリプト演習 オブジェクト間の連携	3	演習
9	物理と環境 リアルタイムシミュレーション	4	演習
10	レンダリング手法	4	演習　課題
11	ウォークスルーを実現するための要素	4	演習
12	ユーザーインターフェース　仮想空間・拡張空間における実装	4	演習　課題
13	最終課題演習①　課題の概要と行程の策定	1～4	演習
14	最終課題演習②　実装とテスト	1～4	演習
15	最終課題演習③　実装とテスト　まとめと振り返り	1～4	演習　最終課題とレポート

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	バーチャルリアリティ学	日本バーチャルリアリティ学会 編・発行	コロナ社	2011年1月
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。演習用パソコンの画面を最大限活用しなくてはならないので、講義資料は印刷して持参することを推奨します。また、授業のなかで紹介した文献、資料による復習を重視してください。			

【評価方法】

授業にて提示する課題（40%）
最終課題とレポート（60%）

【履修上の留意点】

履修条件：「サイバーフィジカル基礎」の単位を修得済みの者

授業科目　没入型コンピューティング実習

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
江口将史	開講時期	④	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	60

【概要】

没入型コンピューティング演習の学修内容であるハードウェア・ソフトウェア・コンテンツ各面の違いについて理解を基に、実際の業務・エンタテインメントでの利用を前提に、ユーザーの心理的・肉体的負担なども考慮したコンテンツの作成を行う。また、仮想現実(VR)、拡張現実(AR)、複合現実(MR)などの先端技術を総合的な学修により作成したコンテンツの発表会を行う。

【学習目標】

1．VRの考え方、システムの原理、社会との関連について理解する。
2．人間の認識と行動の仕組みなどのを理解する。
3．実世界と関連するVRの展開方法を理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1（2コマ）	ガイダンス、バーチャル・リアリティと社会	1	
2（2コマ）	バーチャル世界の構成手法とインタフェース	1	
3（2コマ）	レンダリング、シミュレーション	1	課題
4（2コマ）	リアルとバーチャルの融合―複合現実感―	3	
5（2コマ）	実世界情報提示技術、情報提示技術	3	
6（2コマ）	ユビキタスコンピューティング	3	課題
7（2コマ）	テレイグジスタンスと臨場感コミュニケーション	2	
8（2コマ）	臨場感コミュニケーション	2	
9（2コマ）	臨場感コミュニケーションのインタフェース	2	課題
10（2コマ）	ヒトと感覚①　脳神経系と感覚・運動	2	
11（2コマ）	ヒトと感覚②　視覚、聴覚、体性感覚	2	
12（2コマ）	ヒトと感覚③　前庭感覚と視覚の相互作用	2	課題
13（2コマ）	最終課題①　課題の概要と行程の策定	1・2・3	
14（2コマ）	**最終課題②　実装**	1・2・3	
15（2コマ）	**最終課題③　テスト　まとめと振り返り**	1・2・3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	バーチャルリアリティ学	日本バーチャルリアリティ学会 編・発行	コロナ社	2011年1月
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。課題（提出物を伴う課題）は、基本的に授業内での作業ですが、課題に関するテーマ選択や素材探しは指示することがあります。			

【評価方法】

授業にて提示する課題（40%）
最終課題とレポート（60%）

【履修上の留意点】

履修条件：「没入型コンピューティング演習」の単位を修得済みの者
これまでの講義や演習で学んだ知識・技術を、実習を通して理解を深め自分のものにするよう努める。

授業科目　ユーザエクスペリエンス

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
石塚昭彦	開講時期	④	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

ユーザエクスペリエンスとは、製品やサービスの利用を通じてユーザーが得る経験であり、よいユーザエクスペリエンスを達成するための理論とプロセスや手法に関する知識について学修する。具体的には、ユーザーエクスペリエンスデザインが求められる背景、基礎知識、ユーザーエクスペリエンスデザインの要素と関係性、人間中心デザインプロセス、利用文脈とユーザー体験の把握、ユーザー体験のモデル化と体験価値の探索、プロトタイプの反復による製品・サービスの詳細化などについて、講義と演習により体系的に学修する。

【学習目標】

1．ユーザエクスペリエンスデザインが必要とされる背景と歴史的な観点からユーザーエクスペリエンスデザインを理解する。
2．ユーザエクスペリエンスデザインを構成する8つの要素と知識の全体像を理解する。
3．ユーザエクスペリエンスデザインを実践するためのプロセスとそれに関連する知識を理解する。
4．実践で役立つ手法、その考え方や実線方法について理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス　ユーザエクスペリエンスが求められる背景	1	講義
2	ユーザエクスペリエンスの要素と関係性	1	講義
3	ユーザ体験と利用文脈	2	講義　テスト
4	ユーザビリティ、人間中心デザインプロセス	2	講義
5	認知工学、人間工学、感性工学	2	講義　テスト
6	ガイドライン、デザインパターン	2	演習
7	利用文脈とユーザ体験の把握とモデル化	3	演習
8	コンセプトの作成と視覚化	3	演習　課題
9	プロトタイピングと反復、実装	3	演習
10	利用価値の伝達と実践の簡易化	3	演習　課題
11	利用文脈とユーザ体験把握の各種手法	4	演習
12	ユーザ体験のモデル化と体験価値探索の各種手法	4	演習　課題
13	アイデア発想とコンセプト作成の各種手法	4	演習
14	プロトタイピングと反復の各種手法	4	演習
15	プレゼンテーション	4	演習

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	UXデザインの教科書	安藤 昌也	丸善出版	2016年6月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。演習用パソコンの画面を最大限活用しなくてはならないので、講義資料は印刷して持参することを推奨します。また、授業のなかで紹介した文献、資料による復習を重視してください。			

【評価方法】

授業にて提示するテスト(30%)
授業にて提示する課題（30%）
プレゼンテーション（40%）

【履修上の留意点】

履修条件：「没入型コンピューティング演習」の単位を修得済みの者

授業科目　情報科学基礎

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	情報学科
平川秀樹	開講時期	①・②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

コンピュータで処理可能な形式化された情報に関して、情報の変換と伝達に関わる原理や、情報の認識と分析に関わる原理に加え、各種の計算モデルについて理解し、その技術を使いこなせるよう身に付けることで、今後の知識表現・知識処理やＡＩおよび機械学習、データサイエンスに関する演習や実習を受講するための素養を養う。

【学習目標】

１．情報量について理解する
２．情報源について理解する
３．通信路について理解する
４．符号化について理解する

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス　情報の変換と伝達、認識と分析	1	
2	情報量	1	
3	エントロピー	1	
4	マルコフ情報源	2	
5	遷移確率、遷移確率行列	2	
6	一般的な情報源のエントロピー	2	
7	情報の符号化	4	
8	情報符号化定理	4	
9	通信路 通信路行列、誤りとエントロピー	3	
10	通信速度、通信路容量、符号長と通信路容量	3	
11	誤りのある系の通信路容量、復号法	3	
12	通信路の符号化	3	
13	通信符号化定理	4	
14	線形符号	4	
15	情報の定量化に対する概念、情報の伝達、蓄積の背景	1～4	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	はじめての情報理論	稲井 寛	森北出版	2011年7月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			

準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。

【評価方法】	【履修上の留意点】
授業にて提示する小テスト（50%） 最終試験（50%）	特になし。

授業科目　知識表現・知識処理演習

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
堀川桂太郎	開講時期	①・②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

ＡＩとは、人工的にコンピューター上などで人間と同様の知能を実現させようという試みである。その発展の歴史を概観すると共に、その基礎である、知識の表現、探索、推論などの手法を習得するともに、パターン認識、自然言語処理などの応用例に触れ、オントロジーおよびセマンティック技術による知識モデリング，データ統合，意味処理に基づく推論などの各種手法習得への基礎とする。

【学習目標】

１．知識表現の手法を習得する。
２．知識処理の基礎を習得する。
３．AIの応用例を理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス、人工知能の概要と歴史	1･2･3	
2	知識の表現	1	
3	系統的探索法と発見的探索法	2	
4	問題分解法とゲーム探索	2	
5	記号論理	1	
6	推論と論理プログラム	2	
7	意味ネットワークとオントロジー	1	
8	フレーム理論	1	
9	セマンティックWEB	1	
10	OWL	1	
11	プロダクションシステム	2	
12	機械学習	2	
13	パターン認識	3	
14	形態素解析	2・3	
15	構文解析	2・3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	人工知能の基礎	小林一郎	サイエンス社	2008年，2,376円
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			

準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。演習用パソコンの画面を最大限活用しなくてはならないので、講義資料は印刷して持参することを推奨します。また、授業のなかで紹介した文献、資料による復習を重視してください。

【評価方法】	【履修上の留意点】
授業での発言・質疑・議論．プレゼン(30%) 最終課題と課題の提出レポート(70%)	履修条件：「情報科学基礎」の単位を修得済みの者

授業科目　ＡＩ実習

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	情報学科
堀川桂太郎、平川秀樹	開講時期	①・②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	60

【概要】

ＡＩ演習、統計学で習得した知識を元に、知識の表現、オントロジー技術、推論など、ＡＩの要素技術について、実社会において生成されたデータセットを活用して、データやプログラム・アプリケーションを作成する実習を通して技術・知識を習得する。具体的には、RDFやXMLを用いた知識表現、ウェブ・オントロジー言語ユースケース、共通辞書の活用、SPARQLによる検索などを行う。

【学習目標】

１．RDF・XMLによる知識表現技法について理解する
２．オントロジという概念およびオントロジ表現について理解する
３．オープンデータの検索・加工の各種技法について理解する

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1（2コマ）	RDFによる知識表現（1）RDFの基礎	1	
2（2コマ）	RDFによる知識表現（2）避難所データをRDFで記述する	1	
3（2コマ）	RDFによる知識表現（3）Linked Dataを構築する	1	
4（2コマ）	XMLによる知識表現（1）文法と基本構文	1	課題
5（2コマ）	XMLによる知識表現（2）XSLTによる構造変換	1	
6（2コマ）	OWLによるオントロジ表現（1）基本構造	2	課題
7（2コマ）	OWLによるオントロジ表現（2）クラスの設計	2	
8（2コマ）	OWLによるオントロジ表現（3）博物館情報の記述	2	課題
9（2コマ）	共通辞書の活用（DC, FOAF, SKOS等）	3	
10（2コマ）	論理プログラミング	3	課題
11（2コマ）	SPARQLによる検索（1）SPARQLの構文	3	
12（2コマ）	SPARQLによる検索（2）Linked Dataを検索してみる	3	課題
13（2コマ）	SPARQLによる検索（3）複雑な質問の設計	3	
14（2コマ）	オントロジに基づく推論(1) 情報家電のオントロジー記述	2	
15（2コマ）	オントロジに基づく推論(2) 情報家電の購入支援	2	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	オントロジ技術入門	将来型文書統合システム標準化調査研究委員会	東京電機大学出版局	2005年9月　2200円
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。課題（提出物を伴う課題）は、基本的に授業内での作業ですが、課題に関するテーマ選択や素材探しは指示することがあります。			

【評価方法】

授業にて提示する課題（50%）
最終課題とレポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：「知識表現・知識処理演習」「ＡＰＩ実習」の単位を修得済みの者
これまでの講義や演習で学んだ知識・技術を、実習を通して理解を深め自分のものにするよう努める。

授業科目　マシンラーニング演習

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	情報学科
平川秀樹	開講時期	②	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

マシンラーニング（機械学習）とは、人工知能における研究課題の一つで、人間が自然に行っている学習能力と同様の機能を、コンピュータで実現しようとする技術・手法であることについて理解するとともに、AI技術の一つであるマシンラーニングについて、演習を通して学修する。また、マシンラーニングによる特徴表現学習についての理解を深めると同時に、Linux・Python・オープンソースなどを用いて、自ら実行環境の設計・構築を行えるスキルを修得する。

【学習目標】

1．機械学習の理解に必要な数学、ニューラルネットワークの基礎について理解する。
2．畳み込みニューラルネットワークや回帰結合型ニューラルネットワークなどの確立した手法とその応用法を理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス、マシンラーニングとは	1	講義
2	勾配に基づく最適化	1	講義
3	機械学習の基礎	1	講義
4	学習アルゴリズム	1	講義
5	確率的勾配降下法	1	講義
6	機械学習アルゴリズムの構築	1	演習
7	深層ネットワーク　現代的な実践	1	演習　課題レポート
8	深層順伝播型ネットワーク　XOR学習	2	演習
9	深層順伝播型ネットワーク　勾配に基づく学習	2	演習
10	深層学習のための正則化の考察	2	演習
11	深層モデルの訓練のための最適化	2	演習
12	畳み込みネットワーク　全体の構造と構築	2	演習　課題レポート
13	畳み込みネットワーク　物体カテゴリ認識の実例	2	演習
14	再帰型ネットワーク　ＲＮＮの構造の構造と構築	2	演習
15	再帰型ネットワーク　時系列データの実例	2	演習

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	深層学習	監訳 松尾　豊	KADOKAWA	2018年8月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。演習用パソコンの画面を最大限活用しなくてはならないので、講義資料は印刷して持参することを推奨します。また、授業のなかで紹介した文献、資料による復習を重視してください。			

【評価方法】

授業にて実施するテスト（30%）
授業にて提示する課題レポート(40%)
最終レポート（30%）

【履修上の留意点】

履修条件：「情報科学基礎」「ＡＩ実習」の単位を修得済みの者

授業科目　マシンラーニング実習

【担当教員名】 平川秀樹	対象学年	4	対象学科	情報学科
	開講時期	①・②	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	60

【概要】

マシンラーニング演習の内容を踏まえ、商用分野におけるアプリケーションに、機械学習がどのように利用されているかを理解するとともに、本格的なAIアプリケーションに必要とされる大規模ニューラルネットワークの実装とその応用法を理解する。主に、大規模深層学習、音声認識、自然言語処理、その他AI活用などの実アプリケーションの実装を通し、自ら実行環境の設計・構築を行えるスキルを養成する。

【学習目標】

1．商用分野におけるアプリケーションに機械学習がどのように利用されているか理解する。
2．本格的なAIアプリケーションに必要とされる大規模ニューラルネットワークの実装とその応用法を理解する。
3．より野心的で先進的な機械学習アプローチについて理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1（2コマ）	ガイダンス、マシンラーニングのアプリケーションとは	1	
2（2コマ）	大規模深層学習　大規模分散処理を利用した実装	1	
3（2コマ）	大規模深層学習　モデル圧縮、動的構造	1	
4（2コマ）	大規模深層学習　専用ハードウェアによる実装	1	課題
5（2コマ）	音声認識　音声認識システムの設計	2	
6（2コマ）	音声認識　モデリング	2	
7（2コマ）	音声認識　より大型で深いモデル	2	課題
8（2コマ）	自然言語処理　ニューラル言語モデル	2	
9（2コマ）	自然言語処理　高次元の出力	2	
10（2コマ）	自然言語処理　機械翻訳	2	課題
11（2コマ）	その他のアプリケーション　推薦システム	2	
12（2コマ）	その他のアプリケーション　知識表現、推論	2	
13（2コマ）	その他のアプリケーション　質問応答	2	課題
14（2コマ）	深層学習の研究①　テーマ発表、課題の概要と行程の策定	3	
15（2コマ）	深層学習の研究②　実装とテスト	3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			

準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。課題（提出物を伴う課題）は、基本的に授業内での作業ですが、課題に関するテーマ選択や素材探しは指示することがあります。

【評価方法】	【履修上の留意点】
授業にて提示する課題（60%） 最終レポート（40%）	**履修条件：「マシンラーニング演習」の単位を修得済みの者**

授業科目　ICT演習（ハードウェア/ソフトウェア）

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
PANN YU MON	開講時期	②	必修･選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【概要】

ＩＣＴ分野におけるハードウェア・ソフトウェアを理解し、より複雑なＩＣＴ環境をサポートする際に必要となるスキルと知識を体系的に学修する。具体的にはPCやモバイル機器、ノートPCといったハード面、オペレーティングシステムといったソフト面、またプリンターなどの周辺機器に関連した運用・管理メンテナンス、ネットワーク、セキュリティの基礎を理解し、スキル・知識・適切なトラブルシューティングスキルの修得を目指す。

【学習目標】

１．デバイス、ソフトウェアをユーザのニーズに合わせて構成、設定、メンテナンスに関することを理解する。
２．ネットワーク、セキュリティ/フォレンジックに関することを理解する。
３．適切にトラブルシューティングスキルおよび顧客サポートすることができる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	PCマザーボードの構造と周辺デバイスの接続	1	
2	Wi-Fiの基本設定とセキュリティ管理	2	
3	オペレーティングシステムの基本設定	1	
4	プリンタ機器の接続と設定	1	
5	暗号化と認証	2	
6	ルーターの基本設定とログの確認	2	
7	バックアップとリストア	2	
8	トラブルシューティングの手順と文書化	3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料等を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】

授業での発言・質疑・議論（50%）
最終課題と課題の提出レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：「オペレーティングシステム」「コンピュータアーキテクチャ」の単位を修得済みの者

授業科目　ICT演習（セキュリティ）

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
西川浩平	開講時期	④	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

セキュリティインシデントに対応するためのセキュリティ概念、ツール、対応手順に関連する知識やスキルを修得するとともに、セキュリティインシデントの発生を予防するため定期的、日常的に実施されるべき運用セキュリティ、セキュリティの脅威や脆弱性についての知識やスキルを体系的に学修する。具体的には、ネットワークセキュリティ、コンプライアンスと運用セキュリティ、脅威と脆弱性、アプリケーション、データ、ホスティングセキュリティ、アクセスコントロール、認証マネジメント、暗号化などのスキルや知識を修得する。

【学習目標】

1．OS,ネットワーク機器におけるセキュリティ設定について実装することができる。
2．リスクに関連する概念の重要性を説明することができる。
3．マルウェアの各種タイプを解析、分類することができる。
4．アプリケーションセキュリティの重要性を説明することができる。
5．認証プロトコルの目的と機能を理解し、実装することができる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	情報資産の分類	2	
2	管理すべき情報機器	2	
3	リスクのリストアップ	2,3	
4	攻撃方法の分類	2,3	
5	セキュリティ管理計画の作成	2	
6	ソフトウエアの脆弱性チェック	4	
7	ＯＳアカウントポリシの基本設定(Windows)	1	
8	ＯＳアカウントポリシの基本設定(Linux)	1	
9	ログの取得と分析	1	
10	鍵ペアの生成と電子証明書の設定	1,5	
11	暗号化と鍵管理の設定と運用管理	1	
12	認証プロトコルの設定	1,5	
13	ファイアウォールの設定	1	
14	プロキシサーバの運用管理	1	
15	侵入検知システムの運用管理	1,3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	Security+　テキスト	TAC IT講座	TAC IT講座	2015年6月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
授業での発言・質疑・議論（50%） 最終課題と課題の提出レポート（50%）	履修条件：「サイバーセキュリティ演習」の単位を修得済みの者

授業科目　ICT演習（基本情報）

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
PANN YU MON	開講時期	④	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

高度IT人材となるために必要な基本的知識・技能をもち、基本戦略立案又はITソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事し、上位者の指導の下に次のいずれかの役割を果たす際に、必要となるスキルと知識を体系的に学修する。企業経営、社会システムが直面する課題に対して、情報技術を活用した戦略を立案し、システムの設計・開発を行い、又は汎用製品の最適組合せ（インテグレーション）によって、信頼性・生産性の高いシステムを構築、また、その安定的な運用サービスの実現について学修する。

【学習目標】

１．需要者（企業経営、社会システム）が直面する課題に対して、情報技術を活用した戦略立案に関することを理解する。
２．システムの設計・開発、又は汎用製品の最適組合せによって、信頼性・生産性の高いシステム構築を理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	数値の内部表現	1	
2	演算の誤差とその評価	1	
3	組合せ回路と順序回路	1	
4	オートマトンによる状態遷移記述	1	
5	正規表現、ＢＮＦによる記号列の生成	1	
6	逆ポーランド記法による数式記述	1	
7	磁気ディスク装置の構成と性能評価	2	
8	クライアントサーバシステムの事例研究	1・2	
9	システムの性能評価	2	
10	システムの信頼性評価	2	
11	E-R図によるデータモデル化	2	
12	３層スキーマによるデータベース設計	2	
13	要求分析と要求定義	2	
14	BPR(Business Process Re-engineering)の事例	2	
15	CSR(Corporate Xocial Responsibility)の事例	1・2	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	徹底攻略 基本情報技術者教科書 平成30年度	瀬戸美月	インプレス	2017年11月
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や参考書等を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】

授業での発言・質疑・議論（50%）
最終課題と課題の提出レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：「オペレーティングシステム」「コンピュータアーキテクチャ」の単位を修得済みの者

授業科目　ICT演習（クラウド）

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	情報学科
西川浩平	開講時期	①	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

クラウドの運用やクラウドサービスの提供など、クラウド環境で業務を実行するエンジニアが必要とされる、セキュアなクラウド環境の実装と、運用スキルとベストプラクティスへの理解とともに、クラウドの運用やクラウドサービスの提供など、クラウド環境で業務を実行するエンジニアが必要とされる、知識や技術を体系的に学修する。具体的には、クラウドのコンポーネントとモデル、仮想化、インフラストラクチャ、リソースマネジメント、セキュリティ、システムマネジメント、クラウドを活用した事業継続などのスキルや知識を修得する。

【学習目標】

1．ラウドの運用やクラウドサービスの提供に関することを理解する。
2．クラウド環境で業務を実行するITエンジニアが必要とされるスキルとベストプラクティスを理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	SaaSの事例と特徴の調査	1	
2	PaaSの事例と特徴の調査	1	
3	IaaSの事例と特徴の調査	1	
4	シナリオに基づく要件定義（1）　クラウド展開モデル	1	
5	シナリオに基づく要件定義（2）　サイジング	1	
6	シナリオに基づく要件定義（3）　ネットワーク	1	
7	シナリオに基づく要件定義（4）　認証とアクセス管理	1	
8	シナリオに基づく要件定義（5）　セキュリティ	1	
9	シナリオに基づく要件定義（6）　災害復旧・事業継続性	1	
10	シナリオに基づくシステム設定（1）　クラウド展開モデル	2	
11	シナリオに基づくシステム設定（2）　サイジング	2	
12	シナリオに基づくシステム設定（3）　ネットワーク	2	
13	シナリオに基づくシステム設定（4）　認証とアクセス管理	2	
14	シナリオに基づくシステム設定（5）　セキュリティ	2	
15	シナリオに基づくシステム設定（6）　災害復旧・事業継続性	2	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	Cloud+ テキスト	TAC IT講座	TAC IT講座	2014年8月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】

授業での発言・質疑・議論（50%）
最終課題と課題の提出レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：「クラウド技術概論」を履修していることが望ましい

授業科目　ICT演習（応用情報）

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	情報学科
柄沢直之	開講時期	②	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

高度IT人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、基本戦略立案、又はITソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事し、独力で次のいずれかの役割を果たす際に、必要となるスキルと知識を体系的に学修する。企業経営、社会システムなどの需要者が直面する課題に対して、情報技術を活用した戦略の立案、システムの設計・開発を実施し、又は汎用製品の最適組合せ（インテグレーション）による信頼性・生産性の高いシステムの構築、また、その安定的な運用サービスの実現について学修する。

【学習目標】

１．システムの設計・開発、又は汎用製品の最適組合せによって、信頼性・生産性の高いシステム構築を理解する。
２．構築されたシステムの安定的な運用サービス実現に関することを理解する。
３．需要者（企業経営，社会システム）が直面する課題に対して，情報技術を活用した戦略の立案に関することを理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	数値演算の誤差	1	
2	基本アルゴリズムの性能評価	1	
3	プログラミングパラダイムの比較	1	
4	UMLによる仕様記述	1	
5	CPUアーキテクチャの比較	1	
6	入出力インタフェースの比較	1	
7	RAID方式の比較	1	
8	故障率の検討	2	
9	応答時間、スループットの見積もり	2	
10	ファイルシステムの比較検討	1・2	
11	OSSライセンスの比較検討	2・3	
12	ユーザビリティの評価	2	
13	データベース方式の特徴比較	3	
14	PPM(Product Portfolio Management)の事例研究	3	
15	OR(Operations Research)の事例研究	3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	徹底攻略 応用情報技術者教科書 平成30年度	瀬戸美月	インプレス	2017年11月
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や参考書等を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】

授業での発言・質疑・議論（50%）
最終課題と課題の提出レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：「オペレーティングシステム」「コンピュータアーキテクチャ」の単位を修得済みの者

授業科目　ICT演習（IoT）

【担当教員名】	対象学年	4	対象学科	情報学科
金宮好和	開講時期	①	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

ＩｏＴに関し、技術的な視点だけでなく、マーケティングやサービスの提供、ユーザーの視点から必要となるカテゴリ、スキル要件などを網羅し、それぞれの立場でＩｏＴを企画・開発・利用するために必要なスキルと知識を体系的に学修する。具体的には、戦略とマネジメント、産業システムと標準化、法律、ネットワーク、デバイス、プラットフォーム、データ分析、セキュリティなどのスキルや知識を修得する。

【学習目標】

１．IoTの技術的な視点だけでなく、マーケティングやサービスの提供に関することを理解する。
２．IoTを企画・開発・利用するために必要な知識を理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	シナリオに基づく要件定義（１）　人流の把握	1	
2	シナリオに基づく要件定義（２）　交通制御	1	
3	シナリオに基づく要件定義（３）　社会インフラのメンテナンス	1	
4	シナリオに基づく要件定義（４）　防犯	1	
5	シナリオに基づく要件定義（５）　ビル管理	1	
6	シナリオに基づく要件定義（６）　Factory Automation	1	
7	シナリオに基づく要件定義（７）　自由課題	1	
8	IoT用センサーの事例研究	2	
9	IoT用ネットワークの設計	2	
10	データ分析手法の事例検討	2	
11	セキュリティ脅威と対策の検討	2	
12	プライバシ問題の検討	2	
13	データの価値と流通についての検討	1	
14	IoTビジネスモデルの検討	1	
15	スマート社会へ向けた課題の検討	1	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	IoTの全てを網羅した決定版 IoTの教科書	末石吾朗、江崎寛康、森崇人、中山祐輝、林憲明	日経BP社	2017年8月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】

授業での発言・質疑・議論（50%）
最終課題と課題の提出レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：「サイバーフィジカルシステム基礎」の単位を修得済みの者
また「ＩｏＴ演習」「ＩｏＴ実習」を履修していることが望ましい

授業科目　ICT演習（ディープラーニング）

【担当教員名】	対象学年	4	対象学科	情報学科
平川秀樹	開講時期	①	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

ディープラーニング技術の可能性と限界を正しく理解し、事業に活用するための知識を体系的に学修する。ディープラーニングが得意とするデータや不得意なデータ、ディープラーニング以外のさまざまな機械学習技術に加え、ディープラーニングをベースにしたAIの技術的発展とその社会応用、法制度やプライバシー、倫理面の問題など、人工知能、機械学習、ディープラーニングに関する俯瞰的な理解をもつことで、経営層に対し適切な活用方針を提案し事業応用を可能とするような能力を養成する。

【学習目標】

1．ディープラーニングの基礎知識を有し、適切な活用方法を決定して事業応用する能力を身につける。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	事例研究　チューリングテスト	1	
2	教師あり学習の事例研究（1）線形回帰	1	
3	教師あり学習の事例研究（2）ロジスティック回帰	1	
4	教師あり学習の事例研究（3）ランダムフォレスト	1	
5	教師あり学習の事例研究（4）サポートベクタマシン	1	
6	教師なし学習の事例研究（1）主成分分析	1	
7	教師なし学習の事例研究（2）k平均法	1	
8	データの正規化	1	
9	画像データの扱い	1	
10	応用事例研究（1）不良品検出	1	
11	応用事例研究（2）画像診断	1	
12	応用事例研究（3）介護支援	1	
13	応用事例研究（4）需要予測	1	
14	応用事例研究（5）物流最適化	1	
15	応用事例研究（6）レコメンド	1	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	ディープラーニング G検定公式テキスト	浅川伸一、江間有沙、工藤郁子、巣籠悠輔、瀬谷啓介、松井孝之、松尾豊	翔泳社	2018年10月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】

授業での発言・質疑・議論（50%）
最終課題と課題の提出レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：「情報科学基礎」「マシンラーニング演習」の単位を修得済みの者

授業科目　ICT演習（セキュリティスペシャリスト）

【担当教員名】	対象学年	4	対象学科	情報学科
髙嶋洋一	開講時期	②	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

セキュリティ機能の企画・要件定義・開発・運用・保守を、推進又は支援する業務、若しくはセキュアな情報システム基盤を整備する業務に従事し、次の役割を果たす際に必要となるスキルと知識を体系的に学修する。①情報システムの脅威・脆弱性を分析、評価し、これらを適切に回避、防止するセキュリティ機能の企画・要件定義・開発を推進又は支援する。②情報システム又はセキュリティ機能の開発プロジェクトにおいて、情報システムへの脅威を分析し、プロジェクト管理を適切に支援する。

【学習目標】

1．情報システムの脅威・脆弱性を分析、評価し、これらを適切に回避、防止するセキュリティ機能の企画・要件定義・開発を支援する。
2．情報システム又はセキュリティ機能の開発プロジェクトにおいて、情報システムへの脅威を分析し、プロジェクト管理を適切に支援する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	情報セキュリティマネジメントにおけるPDCA	1～2	
2	ISMS適合へ向けた作業	1～2	
3	セキュリティ脅威の分類	1	
4	サイバー攻撃手法の分類	1	
5	ポートスキャンの実態	1	
6	バッファオーバフロー対策	1	
7	セッションハイジャック対策	2	
8	DNS脆弱性への対策	1～2	
9	マルウェアの検出	2	
10	リスクの構成要素と損失評価	2	
11	システムログの取得と分析（OSのログ）	2	
12	システムログの取得と分析（ファイアウォールのログ）	2	
13	システム開発工程の見直し	2	
14	事業継続計画の策定	1～2	
15	個人情報保護法への対応	1～2	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	情報処理教科書 情報処理安全確保支援士 2018年版	上原孝之	翔泳社	2017年11月
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や参考書等を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】

授業での発言・質疑・議論（50%）
最終課題と課題の提出レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：「サイバーセキュリティ実習」の単位を修得済みの者

授業科目　ICT演習(組込システム)

【担当教員名】	対象学年	4	対象学科	情報学科
金宮好和	開講時期	④	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

自動車、家電、モバイル機器などに搭載する組込みシステムについて、次のいずれかの役割を果たす際に必要となるスキルと知識を体系的に学修する。①組込みシステムを対象として、機能仕様とリアルタイム性を最適に実現するハードウェアとソフトウェアのトレードオフに基づく機能分担を図り、設計書・仕様書の作成を実施する。②組込みシステム開発における各工程の作業を、主導的に実施する。③特定の技術・製品分野についての高度で専門的な知識・開発経験を基に、開発する当該分野の専門家から技術上の知識を獲得して、開発の各工程に反映させる。

【学習目標】

1．組込システムの企画・要件定義・開発に関することを理解する。
2．組込システムの運用・保守に関することを理解する。
3．組込システム技術に関することを理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	シナリオに基づく要件定義（1）CPU仕様	1	
2	シナリオに基づく要件定義（2）入出力インタフェース	1	
3	シナリオに基づく要件定義（3）ネットワーク	1	
4	シナリオに基づく要件定義（4）ソフトウエア	1	
5	シナリオに基づく要件定義（4）テスト環境	1･2	
6	事例研究：静止画及び動画を撮影するドローンの運用	1･2･3	
7	事例研究：道路などの冠水を防ぐシステム	1･2･3	
8	事例研究：観光案内用ロボット	1･2･3	
9	事例研究：カーオーディオシステム	1･2･3	
10	事例研究：食券自動販売機	1･2･3	
11	事例研究：病院内資料配送システム	1･2･3	
12	事例研究：LEDを用いたイルミネーションシステム	1･2･3	
13	事例研究：缶飲料を製造するスマート工場	1･2･3	
14	事例研究：複数の駐車場を管理するシステム	1･2･3	
15	事例研究：スマートグリッド	1･2･3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	情報処理教科書 エンベデッドシステムスペシャリスト	松原敬二、牧隆史	翔泳社	2018年9月
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や参考書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】

授業での発言・質疑・議論（50%）
最終課題と課題の提出レポート（50%）

【履修上の留意点】

履修条件：「サイバーフィジカルシステム」の単位を修得済みの者
また「ロボティクス実習」を履修していることが望ましい

授業科目　ICT演習（データベーススペシャリスト）

【担当教員名】	対象学年	4	対象学科	情報学科
鈴木源吾	開講時期	④	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

データ資源、及びデータベースを企画・要件定義・開発・運用・保守する業務に従事し、次の役割を果たす際に必要となるスキルと知識を体系的に学修する。①データ管理者として、情報システム全体のデータ資源を管理する。②データベースシステムに対する要求を分析し、効率性・信頼性・安全性を考慮した企画・要件定義・開発・運用・保守を実施する。③個別システム開発の企画・要件定義・開発・運用・保守において、データベース関連の技術支援を実施する。

【学習目標】

1．データベース技術の動向を広く見通し、目的に応じて適用可能な技術を選択できる。
2．データ資源管理の目的と技法を理解し、データ部品の標準化、リポジトリシステムの企画・要件定義・開発・運用・保守ができる。
3．データモデリング技法を理解し、利用者の要求に基づいてデータ分析を行い、正確な概念データモデルを作成できる。
4．データベース管理システムの特性を理解し、高品質なデータベースの企画・要件定義・開発・運用・保守ができる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	事例解析：コピー機の販売管理システム　業務要件の分析と、リレーションシップの設定、サブタイプの設定	1・2・3	
2	事例解析：コピー機の販売管理システム　ビジネス要件の変化に対応したデータベース設計の拡張	1・2	
3	事例解析：人事管理データベース　SQLの実装、テーブル変更手順設計	1・2	
4	業務システムの見直し　データベースの物理設計から実装	2・3	
5	事例解析：経費精算システムのスケールアウト　論理データモデルの理解と物理データベース設計	1・3	
6	事例解析：経費精算システムのスケールアウト　必要なストレージ容量の算出	2・4	
7	事例解析：経費精算システムのスケールアウト　性能見積もり、評価	2・4	
8	事例解析：経費精算システムのスケールアウト　クラウドサービスの比較・選定	2・4	
9	事例解析：製菓ラインのメーカ　概念データモデリング	3	
10	演習問題：エンティティタイプ及び関係スキーマ分析	3	
11	演習問題：未完成の概念スキーマモデルを完成させる エンティティタイプ	3	
12	演習問題：未完成の関係スキーマを完成させる	3	
13	演習問題：未完成の概念データモデルを完成させる リレーションシップ	3	
14	演習問題：データ所要量を求める	1～4	
15	演習問題：テーブル定義表を完成させる	1～4	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	データベーススペシャリスト2019年版	ITのプロ46	翔泳社	2018年9月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
授業での発言・質疑・議論（50%） 最終課題と課題の提出レポート（50%）	履修条件：「データベース演習」の単位を修得済みの者

授業科目　デザイン・シンキング概論

【担当教員名】 石塚昭彦	対象学年	1	対象学科	情報学科
	開講時期	③・④	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

デザインに必要となる考え方や手法等を駆使して課題解決手法や新しい商品・サービスを生み出す手法であるデザイン・シンキングの考え方を学修する。また、この考え方が考案された経緯など、基礎から他の解決手法を比較し学修する。この前提の理解を踏まえ、問題意識を持って自ら課題を発見し、その課題を解決するための手法やプロセス、チームでの課題解決に必要なチームワークやコミュニケーション力、ディベート力の必要性について学修する。

【学習目標】

1．デザインシンキングが必要とされている背景とビジネス視点のデザイン力を理解する。
2．デザインシンキングの基本知識とビジネスで実践するためのプロセスを理解する。
3．デザインシンキングのプロセスで役立つ手法とマインドセットを理解し、社会やビジネスで実践できる力を養う。
4．デザインシンキングによるグループワークの効果的な活用スキルを体得する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標 番号	学習方法･学習課題 又は備考･担当教員
1	デザインとは何か、デザインビジネスの基本を理解する ―ビジネスに生きるデザインの力を解説―	1	講義・ミニワークショップ
2	デザインシンキングの基本的な考え方を理解する ―デザインシンキングが注目される理由と基本的な考え方を解説―	2	講義・ミニワークショップ
3	デザインシンキングのメソッドと効果を理解する ―ビジネス事例からデザインシンキングの手法と効果を解説―	2	講義・ミニワークショップ
4	デザインシンキングのステップを学ぶ ステップ１「共感」① ・共感の意義と共感するためのマインドセットについて説明 ・共感のためのアプローチと手法を解説	3	講義・ミニワークショップ
5	ステップ１「共感」② ・「深いニーズを知る」体験ワークショップ（ICTサービス編）	3・4	グループワーク
6	ステップ２「問題定義」① ・問題を定義することの意義とマインドセットについて説明 ・意味のある問題定義のためのアプローチと手法を解説	3	講義・ミニワークショップ
7	ステップ２「問題定義」② ・「正しい問題を設定する」体験ワークショップ（ICTサービス編）	3・4	グループワーク
8	ステップ３「創造」① ・創造行為のテクニックとマインドセットについて説明 ・革新的なアイデアを創出するためのアプローチと手法を解説	3	講義・ミニワークショップ
9	ステップ３「創造」② ・「革新的な解決策を提供する」体験ワークショップ（ICTサービス編）	3・4	グループワーク
10	ステップ４「プロトタイプ」① ・プロトタイプを制作することの役割とマインドセットについて説明 ・アイデアを具現するためのアプローチと手法	3	講義・ミニワークショップ

11	ステップ４「プロトタイプ」② ・「考えるために作る」体験ワークショップ（ICTサービス編）	3・4	グループワーク
12	ステップ５「テスト」① ・アイデアを検証するポイントとマインドセットについて説明 ・再現性と妥当性を検証するためのアプローチと手法を解説	3	講義・ミニワークショップ
13	ステップ５「テスト」② ・「アイデアを評価する」体験ワークショップ（ICTサービス編）	3・4	グループワーク
14	デザインシンキングの展開について理解する ―ビジネススキルからライフスキルとしての展開について説明―	1・2	講義・ミニワークショップ
15	総括とレポート課題の説明	2・3	講義・ミニワークショップ

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	なし			
参考書	「21世紀のビジネスにデザイン思考が必要な理由」	佐宗　邦威	クロスメディア・パブリッシング	2015/8/1
	「デザイン×ビジネス　デザインとは何か？」	南雲　治嘉	クロスメディア・パブリッシング	2016/12/21
	「101デザインメソッド」	ヴィジェイ・クーマー	英治出版	2017/11/10
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や参考書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
授業での発言・質疑・議論(30%) グループワークレポート（30%） 最終レポート（40%）	特になし。

授業科目　ソーシャルデザイン実習

【担当教員名】	対象学年	4	対象学科	情報学科
渋谷修太	開講時期	①・②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	60

【概要】

1年次において学修した課題解決手法のひとつであるデザインシンキングの理論を基に、地域社会が抱える問題や課題に関する実際の事例にあてはめて、課題解決のためのプラン策定実習を行う。なお、実習の進め方としてはグループワーク、グループ討議、グループ発表を中心に進め、発表されたプランの中で教員・学生より高く支持された優秀なプランについては、実際の対象団体、自治体等へのプレゼンテーションも行う。

【学習目標】

1．本科目では，学校で展開される教育活動（授業）に限定されることなく、地域の日常全般に関わることを通じて、地域を取り巻く環境や課題の理解、学生自身の早期キャリアデザインを支援する観点から、キャリア意識形成及び課題解決の実践をねらいとする。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1（2コマ）	ガイダンス：フィールドワークの魅力	1	※第1回集中講座
2（2コマ）	地域の諸問題①（ワークショップ）	1	※第1回集中講座
3（2コマ）	地域の諸問題②（ワークショップ）	1	※第1回集中講座
4（2コマ）	フィールドワーク①（共感課題設定）	1	※第2回集中講座
5（2コマ）	フィールドワーク②（課題設定）	1	※第2回集中講座
6（2コマ）	フィールドワーク③（問題定義）	1	※第2回集中講座
7（2コマ）	フィールドワーク④（解決策の検討）	1	※第3回集中講座
8（2コマ）	フィールドワーク⑤（ヒアリング）	1	※第3回集中講座
9（2コマ）	フィールドワーク⑥（解決策の検討）	1	※第3回集中講座
10（2コマ）	地域諸問題への対応①（ワークショップ・創造）	1	※第4回集中講座
11（2コマ）	地域諸問題への対応②（ワークショップ・開発）	1	※第4回集中講座
12（2コマ）	地域諸問題への対応③（ワークショップ・プロトタイプ）	1	※第4回集中講座
13（2コマ）	プレゼンテーション	1	※第5回集中講座
14（2コマ）	ディスカッション	1	※第5回集中講座
15（2コマ）	まとめと振り返り	1	※第5回集中講座

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。課題（提出物を伴う課題）は、基本的に授業内での作業ですが、課題に関するテーマ選択や素材探しは指示することがあります。			

【評価方法】

ワークショップ学習成果物（50%）
フィールドワーク学習成果物（30%）
最終レポート（20%）

【履修上の留意点】

履修条件：「デザイン・シンキング実習Ⅱ」「ソーシャルデザインⅡ」「国際文化と伝統」「マーケティング実践」の単位を修得済みの者
これまでの講義や演習で学んだ知識・技術を、実習を通して理解を深め自分のものにするよう努める。

授業科目　デザイン・シンキング実習Ⅰ

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
石塚昭彦、森下昌代	開講時期	①	必修･選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【概要】

デザイン・シンキング概論にて修得した課題解決の各種手法を実践するため、少人数グループを作り、調査・情報収集を実施し、課題を見つけ、解決策を検討・実施評価するデザイン・シンキング手法を特にその後の課題解決案の検討を重視して実施する。有効と考えられる解決方法を、ブレインストーミングを基本にしながら積極的に各グループ内で検討し、解決策をビジュアル化・デザイン化して発表を実施する。
（オムニバス方式／全15回）
（６　石塚昭彦／7回）
大学生への新しいサービスの提案を課題として、方針の検討から計画の立案、調査、検討、実行、提案までの一連の流れについて学修する。
（３３　森下晶代／8回）
大学における新しいサービスの提案を課題として、方針の検討から計画の立案、調査、検討、実行、提案までの一連の流れについて学修する。

【学習目標】

１．デザインシンキングの５つのステップについて理解を深める。
２．デザインシンキングの活用による問題解決プロセスを体感して理解を深める。
３．効率的かつ効果的なグループワークのノウハウを取得する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	オリエンテーション ・実習の目的、ゴール、方法論 ・クイック実習（チームビルディング）	1	
2	実習① ・課題「大学生をハッピーにする新しいサービスを提案する」の説明 ・グループの方針検討、リサーチ計画の立案、フィールドワーク	1	
3	実習① ・リサーチ情報共有、解決課題に向けたビジョン検討	2・3	
4	実習① ・ビジョンコンセプトの策定、コンセプトカタログの作成	2・3	
5	実習① ・ビジョンコンセプトの発表	2・3	
6	実習① ・解決策のアイデア展開、プロトタイプ制作	2・3	
7	実習① ・サービスアイデアの発表、テスト計画の立案、まとめ	2・3	
8	実習② ・課題「大学の新しいサービスを提案する」の説明 ・グループの方針検討、リサーチ計画の立案、フィールドワーク	2・3	

9	実習② ・リサーチ情報共有、解決課題に向けたビジョン検討	2・3	
10	実習② ・ビジョンコンセプトの策定、コンセプトカタログの作成	2・3	
11	実習② ・ビジョンコンセプトの発表	2・3	
12	実習② ・解決策のアイデア展開、プロトタイプ制作、テスト計画の立案と実行	2・3	
13	実習② ・テストのフィードバック、アイデアのブラッシュアップ	2・3	
14	実習② ・提案サービスの発表	1	
15	総評、まとめと振り返り	1	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	なし			
参考書	「21世紀のビジネスにデザイン思考が必要な理由」	佐宗　邦威	クロスメディア・パブリッシング	2015/8/1
	「デザイン×ビジネス　デザインとは何か？」	南雲　治嘉	クロスメディア・パブリッシング	2016/12/21
	「101デザインメソッド」	ヴィジェイ・クーマー	英治出版	2017/11/10
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。課題（提出物を伴う課題）は、基本的に授業内での作業ですが、課題に関するテーマ選択や素材探しは指示することがあります。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
実習①成果（40%） 実習②成果（40%） 最終レポート（30%）	**履修条件：「デザイン・シンキング概論」の単位を修得済みの者** これまでの講義や演習で学んだ知識・技術を、実習を通して理解を深め自分のものにするよう努める。

授業科目　デザイン・シンキング実習Ⅱ

【担当教員名】 石塚昭彦	対象学年	3	対象学科	情報学科
	開講時期	①	必修･選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【概要】

デザイン・シンキング概論およびデザイン・シンキング実習Ⅰにて修得した課題解決の各種手法を実践するため、少人数グループを作り、調査・情報収集を実施し、課題を見つけ、解決策を検討・実施・評価するデザイン・シンキング手法について、特にその後の課題解決案の検討を重視して実施する。またデザイン思考に必要とされる５つのプロセス「共感」「問題定義」「アイデア創造」「プロトタイプ」「テスト」を実践し、繰り返し体験することで、製品やサービスを完成へ導く技法を修得する。

【学習目標】

１．デザインシンキングの５つのステップを実践的に使いこなせる程に深く理解する。
２．デザインシンキングの問題解決プロセスを習得し、高度なビジネス応用ができる力を身に着ける。
３．効率的かつ効果的なグループワークのノウハウを取得する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標 番号	学習方法･学習課題 又は備考･担当教員
1	オリエンテーション ・実習の目的、ゴール、方法論 ・クイック実習（チームビルディング）	1	
2	実習① ・課題「企業の新規ビジネスとなる新しいサービスを提案する」の説明 ・グループの方針検討、リサーチ計画の立案、フィールドワーク	1	
3	実習① ・リサーチ情報共有、解決課題に向けたビジョン検討	2・3	
4	実習① ・ビジョンコンセプトの策定、コンセプトカタログの作成	2・3	
5	実習① ・ビジョンコンセプトの発表	2・3	
6	実習① ・解決策のアイデア展開、プロトタイプ制作	2・3	
7	実習① ・サービスアイデアの発表、テスト計画の立案、まとめ	2・3	
8	実習② ・課題「地域を活性化する新しいサービスを提案する」の説明 ・グループの方針検討、リサーチ計画の立案、フィールドワーク	2・3	
9	実習② ・リサーチ情報共有、解決課題に向けたビジョン検討	2・3	
10	実習② ・ビジョンコンセプトの策定、コンセプトカタログの作成	2・3	

11	実習② ・ビジョンコンセプトの発表	2・3	
12	実習② ・解決策のアイデア展開、プロトタイプ制作、テスト計画の立案と実行	2・3	
13	実習② ・テストのフィードバック、アイデアのブラッシュアップ	2・3	
14	実習② ・提案サービスの発表	1	
15	総評、まとめと振り返り	1	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	なし			
参考書	「21世紀のビジネスにデザイン思考が必要な理由」	佐宗　邦威	クロスメディア・パブリッシング	2015/8/1
	「デザイン×ビジネス　デザインとは何か？」	南雲　治嘉	クロスメディア・パブリッシング	2016/12/21
	「101デザインメソッド」	ヴィジェイ・クーマー	英治出版	2017/11/10
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。課題（提出物を伴う課題）は、基本的に授業内での作業ですが、課題に関するテーマ選択や素材探しは指示することがあります。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
実習①成果（40%） 実習②成果（40%） 最終レポート（30%）	**履修条件：「デザイン・シンキング実習Ⅰ」の単位を修得済みの者** これまでの講義や演習で学んだ知識・技術を、実習を通して理解を深め自分のものにするよう努める。

授業科目　情報産業論

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
田代秀一	開講時期	①・②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

情報産業とは、情報の収集、整理、分析、加工、伝達等により、価値を生み出す産業であることについて解説するとともに、生活や産業のあらゆる場面は情報を基盤として成り立っており、情報産業の発展なしに、人類の発展は無いことについて理解する。また、技術や社会の進化の中で「情報」がどのように取り扱われてきたかを振り返るとともに、その発展の方向性や意義、課題について考察することで、情報産業の本質を理解し、それを活用し、未来を切り開く力を養成する。

【学習目標】

1．グローバルな視点から、情報産業の発展・変化とその意義及び問題点を理解する。
2．今の時代に求められるメディアリテラシーについて理解する。
3．情報通信技術と経済社会との関係について理解する。
4．情報産業の健全な発展を目指す政策について理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス　「情報産業」とはなにか	1	
2	コンピュータの発明と発展	1	
3	ソフトウエア産業	3	
4	通信技術の発達とインターネット	1	
5	オープンソース戦略	3	
6	ソーシャルメディアとネットコミュニティ	2	
7	プラットフォームビジネス	3	
8	ビッグデータ	2	
9	オープンデータとデータビジネス	4	
10	人工知能と社会	3	
11	情報産業と国際標準	4	
12	デジタルトランスフォーメーション	3	
13	情報産業の課題	4	
14	プレゼンテーション	1～4	
15	**プレゼンテーション（今後の情報産業の展望）**	1～4	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料等を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】

授業にて提示する課題（30%）
プレゼンテーション（30%）
最終レポート(40%)

【履修上の留意点】

特になし。

授業科目　国際文化と伝統

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	情報学科
三上喜貴	開講時期	①・②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

日本文化はその発端から現在にいたるまで、他の文化との深い関わりのなかで成り立ってきたことについて理解するとともに、自らが属する文明の性格とその成立や歴史に関する基本的な認識を身に付ける。また、他国民とのかかわり合いを持つときに、摩擦や緊張が起りうることについて理解したうえで、グローバルな視点を深め、異文化理解を進めるために国際文化交流の基礎となる日本と世界の伝統文化や生活文化について学修する。

【学習目標】

1．グローバルな背景と歴史的な観点からコミュニケーションに関する理論・概論を理解する。
2．地域における文化の全体像を理解する。
3．国際文化交流の実践で役立つ手法、その考え方や実践方法について理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス　国際文化が求められる背景	1	
2	コミュニケーション概論	1	
3	イメージとステレオタイプ	1	
4	コミュニケーション・スタイル	1	課題レポート
5	非言語コミュニケーション	1	
6	対立と価値観	1	
7	カルチャーショックと異文化適応	1	課題レポート
8	地域と文化：ヨーロッパ	2	
9	地域と文化：アメリカ	2	
10	地域と文化：中南米	2	課題レポート
11	地域と文化：アジア	2	
12	地域と文化：オセアニア	2	
13	日本の伝統とは	2	課題レポート
14	多文化共生に向けて	3	
15	グローバルな視点とは	3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	言語天文台からみた世界の情報格差	三上喜貴、中平勝子、児玉茂昭	慶應義塾大学出版会	2014年10月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】

授業にて提示する課題（60%）
最終試験（40%）

【履修上の留意点】

履修条件：「情報産業論」の単位を修得済みの者

授業科目　マーケティング

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報学科
宮元万菜美	開講時期	①・②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

現代社会の中で企業などの組織を、より良い形で運営していくには、マーケティングの発想が不可欠となっていることの理解及び市場を起点に物事を発想するマーケティングの基礎概念・基礎的知識を修得する。企業戦略とマーケティング・プロセス、マーケティング・リサーチと情報システム、消費者の購買行動、企業の購買行動、マーケティング戦略の展開とマーケティング・ミックス、製品ライフサイクル戦略、価格設定の課題と戦略の基本などマーケティングの基礎を修得する。

【学習目標】

1．マーケティングとは何かを理解する。
2．戦略計画とマーケティングの関係を理解する。
3．消費者の購買行動および企業の購買行動を理解する。
4．マーケティングの基本概念「セグメンテーション」、「ターゲティング」、「ポジショニング」に立脚したマーケティングの諸要素を理解する。
5．マーケティングの4つのP（商品、価格、流通チャネル、プロモーション）と各戦略のあり方について理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス（講義概要・進め方、評価のポイントなど）	1	講義
2	マーケティング戦略	1	講義
3	マーケティングのための情報収集	1	講義
4	顧客価値、顧客満足、顧客ロイヤルティ	2	講義　課題レポート
5	消費者市場の分析	2	講義
6	ビジネス市場	2	講義　課題レポート
7	市場の細分化	3	講義
8	ターゲティングとポジショニング	4	講義・演習　課題レポート
9	商品戦略	4	演習
10	価格設定戦略	4	演習　課題レポート
11	流通チャネルと物流マネジメント	4	演習
12	マーケティング・コミュニケーション	5	演習　課題レポート
13	広告・販売促進・広報	5	演習
14	ダイレクト・マーケティングと人的販売	5	演習
15	グローバル市場／まとめと振り返り	5	講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料等を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
授業にて提示する課題ﾚﾎﾟｰﾄ(50%) 最終レポート（50%）	履修条件：「社会心理・消費者行動」の単位を修得済みの者

授業科目　社会心理・消費者行動

【担当教員名】 宮元万菜美	対象学年	1	対象学科	情報学科
	開講時期	③・④	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

人間の消費行動について、ニーズから購入までの心理の変化や行動の変化、商品の選択や購入に影響を与える様々な要因が社会心理や消費者行動の中で明らかになっていることについて解説する。また、マーケティング実務に関する具体的な事例の考察を通して、心理学基礎、社会心理学、認知心理学、コミュニケーション、および意思決定の視点から、消費者行動に関する知識を修得するとともに、マーケティング戦略の構築における社会心理・消費者行動の重要性について考える。

【学習目標】

1．マーケティングの実務において心理学が活用されていることを理解する。
2．身の回りの商品や消費などの現象について、マーケティング心理の視点による分析ができるようになる。
3．マーケティングの実務への心理学との関連性を理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標 番号	学習方法･学習課題 又は備考･担当教員
1	ガイダンス（講義概要・進め方、評価のポイントなど）	1	
2	マーケティングの基本	1	
3	セグメンテーションとターゲティング	1	課題レポート
4	ポジショニング	1	
5	購買行動モデル	1	課題レポート
6	選択と意思決定	1	
7	マーケティング・リサーチとインサイト	1	課題レポート
8	行動分析	2	
9	コミュニケーション手法と効果	2	課題レポート
10	広告と心理	2	
11	「ヒット商品」から見たマーケティング心理	2	課題レポート
12	環境分析とアイデア開発	2	
13	ビジネス社会での心理学の応用	3	課題レポート
14	発表　テーマと進め方	1・2・3	
15	発表　まとめと振り返り（マーケティングに向けて）	1・2・3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料等を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】

授業にて提示する課題レポート(40%)
授業による発表（30%）
最終レポート（30%）

【履修上の留意点】

特になし。

授業科目　マーケティング実践

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	情報学科
渋谷修太	開講時期	①・②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

社会心理・消費者行動、およびマーケティングによって修得した、マーケティング戦略の基礎知識と心理学の基礎知識、社会心理学、認知心理学などと、情報通信に関する専門的技術を連関させ、企業などの組織をより良い形で運営していくには、マーケティングの発想が不可欠となっていることについて理解を深める。また、マーケティングの基礎概念・基礎的知識の実践面への適用とともに、マーケティングの発想法・実務的な活用法を修得することで、市場を起点に物事を発想することについて理解する。

【学習目標】

1．マーケティングのベストプラクティスについて理解する。
2．マーケティングと営業の乖離を解消するためのフレームワークを理解する。
3．マーケティング戦略に取り組む姿勢について理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス、マーケティングの実践	2	※第1回集中講座
2	セグメンテーションという悪弊	2	※第1回集中講座
3	マーケティング近視眼、マーケティング再考、ブランディング	3	※第1回集中講座
4	実践マーケティング演習①-①　事例研究	1	※第2回集中講座
5	実践マーケティング演習①-②　ディスカッション	1	※第2回集中講座
6	実践マーケティング演習①-③　資料の作成	1	※第2回集中講座
7	実践マーケティング演習①-④　プレゼンテーション	1	※第2回集中講座
8	実践マーケティング演習②-①　事例研究	1	※第3回集中講座
9	実践マーケティング演習②-②　ディスカッション	1	※第3回集中講座
10	実践マーケティング演習②-③　資料の作成	1	※第3回集中講座
11	実践マーケティング演習②-④　プレゼンテーション	1	※第3回集中講座
12	実践マーケティング演習③-①　マーケティング・プラン	1	※第4回集中講座
13	実践マーケティング演習③-②　マーケティング・リサーチ	1	※第4回集中講座
14	実践マーケティング演習③-③　CRMとデジタル・マーケティング	1	※第4回集中講座
15	実践マーケティング演習③-④　プレゼンテーション	1	※第4回集中講座

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	マーケティングの教科書 ハーバード・ビジネス・レビューマーケティング論文ベスト10	ハーバード・ビジネス・レビュー編集部 編	ダイヤモンド社	2017年12月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
授業にて提示する課題（40%） 授業での発言・質疑・議論．プレゼン（60%）	履修条件：「マーケティング」の単位を修得済みの者

授業科目　ICT活用総合実習

【担当教員名】	対象学年	4	対象学科	情報学科
金宮好和、宮元万菜美、後藤幸功、石塚昭彦、柄沢直之、PANN YU MON、田代秀一、上野衆太、鈴木源吾、堀川桂太郎、平川秀樹、髙嶋洋一、磯西徹明、西川浩平	開講時期	通年	必修･選択	必修
	単位数	4	時間数	120

【概要】

ＩＣＴ分野の専門職業人として、実践的かつ応用的な能力を総合的に高めるために、職業専門科目を中心に身につけた知識・技能を統合した総合的な実習を行う。具体的には課題解決のための調査、学生同士や指導教員との議論、並びに共同作業等を通して、その解決法を考え、それを計画的・論理的に実行しICTを活用した課題を解決する課題解決能力を養う。併せて、課題解決の過程・結果・結論をまとめ、グループ討議や発表を通じて、コミュニケーション能力やディベート力、プレゼンテーション能力の向上を図る。

【学習目標】

1．合理的な情報システムを創出する能力を身につける。
2．情報通信技術を駆使して情報システムを具体化する能力を身につける。
3．情報システムのデザイン（計画、設計、管理）能力を身につける。
4．開発環境の構築と開発作業の管理ができる能力を身につける。
5．情報システムの開発能力と要求を満たしているか妥当性確認できる能力を身につける

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
	各回の授業（4コマ）では、 1．各チームの進捗確認と教員からのフィードバック 2．その週の作業の進め方と注意点の確認 3．チーム毎のミーティングと開発作業 4．開発作業のチーム内共有と開発記録 を行います。		
1（4コマ）	ガイダンス　チーム分け　開発環境構築	1	
2（4コマ）	課題設定と計画立案 要件を整理し、段階的に開発するための計画を立てる	1	
3（4コマ）	要件定義① 実装する要件を整理し、設計を開始する。	2	
4（4コマ）	設計・開発① 対象範囲の設計を行い、開発を行う。	3	
5（4コマ）	動作確認① ソフトウェア動作確認のためのデモンストレーション	4	
6（4コマ）	計画の見直し① 動作確認フィードバックを基に、設計、実装の計画を見直す。	5	
7（4コマ）	要件定義② 見直した計画に従い、開発する要件を整理し、設計を開始する。	2	
8（4コマ）	設計・開発② 対象範囲の設計を行い、開発を行う。	3	
9（4コマ）	動作確認②・中間レビュー 開発途中のソフトウェアの動作確認と、現状の進捗を発表	4	発表
10（4コマ）	計画の見直し② 動作確認フィードバックを基に、設計、実装の計画を見直す。	5	

11（4コマ）	要件定義③ 見直した計画に従い、開発する要件を整理し、設計を開始する。	2	
12（4コマ）	設計・開発③ 対象範囲の設計を行い、開発を行う。	3	
13（4コマ）	動作確認③・テスト テスト計画を立て、テストを実施する。 改修とテストを繰り返し、品質を向上する。	4	
14（4コマ）	最終レビュー 成果物とテスト結果の内容を精査し、適切な品質かどうかを判断する。	1～5	
15（4コマ）	プレゼンテーション	1～5	発表

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			

準備学習（予習・復習等）	１．いままでの授業で学んだ情報化社会の批判的分析力を駆使し、日々のニュースの背後に存在する社会的意義を特定する知的作業に常に取り組んでいくこと。 ２．同じ課題研究班の仲間たちと、社会に飛び出し、フィールドワークを積極的に展開すること。 ３．いままでの諸活動で体験した内容（不足したスキル、話し方の問題点等）を授業で皆で共有し、それらを克服するために授業中にそれらを体験を気軽に共有できる雰囲気を作れるよう努めること。

【評価方法】	【履修上の留意点】
中間発表２０％ 最終発表２０％ 最終成果物４０％ 活動への参加と貢献度２０％ ※各学生の貢献度は活動への取り組み姿勢と各レビューの内容および開発記録で確認します。	履修条件：「マシンラーニング実習」「データマイニング演習」「ロボティクス実習」「クラウドプラットフォーム実習Ⅱ」のうちいずれかの単位を修得済みの者、「ソーシャルデザイン実習」の単位を修得済みの者 実習の性質上、チーム・課題ごとに必要とされる知識・技術が異なります。 これまでの講義や演習で学んだ知識・技術を、実習を通して理解を深め自分のものにするよう努める。

審査意見への対応を記載した書類

【資料 8】

別記様式第７号の４（その３）

臨地実務実習施設の概要

<table>
<tr><td rowspan="6">施設に関する事項</td><td>名　　称</td><td colspan="6">富士ゼロックス新潟株式会社</td></tr>
<tr><td>所 在 地</td><td colspan="6">新潟県新潟市中央区東大通1丁目2番23号北陸ビル2Ｆ
（キャンパスからの移動方法　徒歩　（所要時間　１５分））</td></tr>
<tr><td>施設の面積</td><td colspan="6">1,056㎡　　（うち主な実習場所の面積　　114㎡）</td></tr>
<tr><td>開設者・管理者、従業員数</td><td colspan="2">開 設 者</td><td colspan="2">管 理 者</td><td>従業員数</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">代表取締役社長　星野 明文</td><td colspan="2">マーケットサポート部 人事総務グループ
神丸浩幸</td><td>235人</td></tr>
<tr><td>事業の概要</td><td colspan="6">富士ゼロックス製品を中心とした複合機・プリンタ等ＯＡ機器の販売・保守
ＩＴシステム（ソフトウェア・ハードウェア等）の販売・構築・保守
ドキュメントソリューションに関連するサービスの提供</td></tr>
<tr><td>当該施設の選定理由</td><td colspan="6">同社は個人・法人を対象にカラー複合機等の富士ゼロックス製品の販売および保守、PC、アプリケーションソフトおよびネットワーク関連商品の販売、ソリューションサービスなどを提供している。富士ゼロックス製品のみならずあらゆるIT関連機器やソフトウェアを組み合わせ、新たな価値創造の実現する「Smart Work Innovation」をキーワードに事業を展開している。
「臨地実務実習Ｉ」では、顧客機器およびソリューションサービスについて、クライアントに対する保守点検から抽出される活用実績・頻度等の顧客情報に関するデータを獲得し、可視化したうえで、活用方法の最適化に向けたデータ分析、効率、コスト抑制等の相関性を検討し、課題を把握することにより、本学情報学部の「臨地実務実習Ｉ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ｉの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから、同施設の選定に至った。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">履修させる授業科目に関する事項</td><td rowspan="2">各授業科目</td><td>授業科目の名称</td><td>必修・選択・自由の別</td><td>単位数</td><td>履修予定学生数</td><td>施設実習時間数</td><td>受入予定学生・時間数</td><td>主な実習場所</td></tr>
<tr><td>臨地実務実習Ｉ</td><td>必修</td><td>5単位</td><td>4人</td><td>１５０時間</td><td>６００人.時間</td><td>本社及び営業所</td></tr>
<tr><td>全　　体</td><td colspan="2">計　（　　１科目）</td><td>5単位</td><td>のべ 4人</td><td>１５０時間</td><td>６００人.時間</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4">実習の実施体制に関する事項</td><td rowspan="2">実習指導者</td><td>氏名</td><td colspan="2">所属・職名</td><td>実務経験年数</td><td colspan="2">担当授業科目</td></tr>
<tr><td>神丸浩幸</td><td colspan="2">マーケットサポート部
人事総務グループ</td><td>27年</td><td colspan="2">臨地実務実習Ｉ</td></tr>
<tr><td>その他の指導体制</td><td colspan="7">毎月の経営会議にて、指導状況の確認を行う。
臨地実務実習の手引きに従い、指導担当者、学生、担当教員間において、実習内容や指導内容、今後の予定、概況などを共有し、必要に応じ担当教員が現地に赴き詳細な情報共有を行う。</td></tr>
<tr><td>実習受入期間・１日当たり実習時間</td><td colspan="3">実 習 受 入 期 間</td><td colspan="4">１ 日 当 た り 実 習 時 間</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">年間　　２５日</td><td colspan="4">6時間</td></tr>
<tr><td rowspan="4">その他</td><td rowspan="3">他の大学等からの実習受入予定</td><td colspan="2">他の大学等の名称</td><td>受入れ人数</td><td colspan="4">受入期間</td></tr>
<tr><td colspan="2">新潟大学 創生学部</td><td>4人</td><td colspan="4">2018年度　　年間　　12日</td></tr>
<tr><td colspan="2">新潟大学 創生学部</td><td>4人</td><td colspan="4">2017年度　　年間　　12日</td></tr>
<tr><td>当該施設が使用できなくなった場合の代替措置</td><td colspan="7">受入れ予定学生数以上の実習施設を確保できているため、現時点で当該施設が使用できなくなった場合においては、他施設を代替使用する。また、申請後も授業科目に必要な実習先確保に向けた活動を継続し、充分な実習先の確保に努める。</td></tr>
<tr><td>備　　考</td><td colspan="7"></td></tr>
</table>

資料8-1

別記様式第７号の４（その３）

臨地実務実習施設の概要

<table>
<tr><td rowspan="6">施設に関する事項</td><td>名　　称</td><td colspan="4">株式会社スピードパーク新潟</td></tr>
<tr><td>所 在 地</td><td colspan="4">新潟県胎内市松波１０１３−３６
（キャンパスからの移動方法　電車・徒歩　（所要時間　６０分））</td></tr>
<tr><td>施設の面積</td><td colspan="4">40㎡　　（うち主な実習場所の面積　　40㎡）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">開設者・管理者、従業員数</td><td>開　設　者</td><td>管　理　者</td><td colspan="2">従業員数</td></tr>
<tr><td>代表取締役社長　中村 寿和</td><td>代表取締役社長　中村 寿和</td><td colspan="2">4人</td></tr>
<tr><td>事業の概要</td><td colspan="4">レーシングカート競技におけるジュニア育成を主とし、一般体験やキッズ体験が行える施設を整備・タイヤメーカーの雪上走行テストや部品メーカーの走行テストなども計画</td></tr>
<tr><td>当該施設の選定理由</td><td colspan="4">同社はレーシングカート競技の主催や部品メーカー走行テストなどの企画開発の展開しており、モータースポーツの過酷な環境下において抽出される、センサから得られる走行情報（速度や加速度、エンジンの回転数、ブレーキ圧など）に関するデータを獲得し、分析する業務を行っている。
「臨地実務実習Ⅰ」では、同社で行われているレース・走行会・試験走行によって得られる走行情報、走行中に収集した周回ごとの車両情報に関するデータを獲得し、可視化したうえで、スピードとの相関性を分析、データ処理を行い、走行中の課題を把握することにより、本学情報学部「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また、「臨地実務実習Ⅱ」では、「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、走行中における新たな分析軸を検討するとともに、走行データ取得に必要となる各種機器の設計・性能テスト・検証・接続・設置などに加え、機器や取得するデータに応じたソフトウェア開発の社内提案、実装を行うことにより、「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="4">履修させる授業科目に関する事項</td><td rowspan="3">各授業科目</td><td>授業科目の名称</td><td>必修・選択・自由の別</td><td>単位数</td><td>履修予定学生数</td><td>施設実習時間数</td><td>受入予定学生・時間数</td><td>主な実習場所</td></tr>
<tr><td>臨地実務実習Ⅰ</td><td>必修</td><td>５単位</td><td>６人</td><td>１５０時間</td><td>９００人･時間</td><td>本社及び営業所</td></tr>
<tr><td>臨地実務実習Ⅱ</td><td>必修</td><td>１５単位</td><td>６人</td><td>４５０時間</td><td>２７００人･時間</td><td>本社及び営業所</td></tr>
<tr><td>全　　体</td><td colspan="2">計　（　　２科目）</td><td>２０単位</td><td>のべ１２人</td><td>６００時間</td><td>３６００人･時間</td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="4">実習の実施体制に関する事項</td><td rowspan="3">実習指導者</td><td>氏名</td><td>所属・職名</td><td>実務経験年数</td><td>担当授業科目</td></tr>
<tr><td>中村 寿和</td><td>代表取締役社長</td><td>１１年</td><td>臨地実務実習Ⅰ</td></tr>
<tr><td>中村 寿和</td><td>代表取締役社長</td><td>１１年</td><td>臨地実務実習Ⅱ</td></tr>
<tr><td>その他の指導体制</td><td colspan="4">毎月の経営会議にて、指導状況の確認を行う。
臨地実務実習の手引きに従い、指導担当者、学生、担当教員間において、実習内容や指導内容、今後の予定、概況などを共有し、必要に応じ担当教員が現地に赴き詳細な情報共有を行う。</td></tr>
<tr><td>実習受入期間・１日当たり実習時間</td><td colspan="2">実 習 受 入 期 間</td><td colspan="2">１ 日 当 た り 実 習 時 間</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">年間　　１００日</td><td colspan="2">6時間</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="4">その他</td><td rowspan="3">他の大学等からの実習受入予定</td><td>他の大学等の名称</td><td>受入れ人数</td><td>受入期間</td></tr>
<tr><td>専門学校 新潟国際自動車大学校</td><td>30人</td><td>2018年度　　年間　　65日</td></tr>
<tr><td>開志学園高等学校</td><td>3人</td><td>2018年度　　年間　　160日</td></tr>
<tr><td>当該施設が使用できなくなった場合の代替措置</td><td colspan="3">受入れ予定学生数以上の実習施設を確保できているため、現時点で当該施設が使用できなくなった場合においては、他施設を代替使用する。また、申請後も授業科目に必要な実習先確保に向けた活動を継続し、充分な実習先の確保に努める。</td></tr>
<tr><td>備　　考</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

資料8-2

別記様式第７号の４（その３）

臨地実務実習施設の概要

<table>
<tr><td rowspan="6">施設に関する事項</td><td>名　　称</td><td colspan="5">株式会社シアンス</td></tr>
<tr><td>所 在 地</td><td colspan="5">新潟県新潟市中央区万代2-3-16　リバービューSDビル10F
（キャンパスからの移動方法　徒歩　（所要時間　２０分））</td></tr>
<tr><td>施設の面積</td><td colspan="5">346.9㎡　　（うち主な実習場所の面積　　200㎡）</td></tr>
<tr><td>開設者・管理者、従業員数</td><td>開　設　者</td><td colspan="2">管理者</td><td colspan="2">従業員数</td></tr>
<tr><td></td><td>代表取締役社長　野口一則</td><td colspan="2">管理部人事課　遠藤香那子</td><td colspan="2">50人</td></tr>
<tr><td>事業の概要</td><td colspan="5">システムコンサルティング
システムインテグレーション
Webサイト（ホームページ）の制作
eラーニングの作成・販売
各種データ処理
研修の企画、教材制作</td></tr>
<tr><td>当該施設の選定理由</td><td colspan="5">同社は、官公庁の大規模システム案件を受託開発や、地元新潟の製造・流通業の業務システムや企業の基幹システム等の提案から開発・保守、地元新潟の民間企業・官公庁・公社等のWebサイト制作などを行っている。また、顧客の抱える課題や要望に対し、オーダーメイドでシステムやWebサイトの提案から開発・制作を行い、アフサーサポートまでの解決支援を提供している。
「臨地実務実習Ⅰ」では、企業や行政機関の広報・採用活動を促進するWebサイトを活用したWebマーケティングについて、クライアントがターゲットとする市場の特徴を分析して、より効果的なWebサイトを構築するため、アクセス解析によって入手したデータを「属性データ」「行動データ」「コンバージョンデータ」に分類・分析し、その相関性の考察により、課題の把握、課題解決の焦点化をすることにより、本学情報学部「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また、「臨地実務実習Ⅱ」では「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、ユーザー満足度を高めるために、顧客の課題を更に調査分析し、戦略的な解決策・開発案を立案し、社内提案したうえで、新たなサービス・機能・施策の設計・実装に携わり、クライアントへの提案まで行うことにより、「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="4">履修させる授業科目に関する事項</td><td rowspan="3">各授業科目</td><td>授業科目の名称</td><td>必修・選択・自由の別</td><td>単位数</td><td>履修予定学生数</td><td>施設実習時間数</td><td>受入予定学生・時間数</td><td>主な実習場所</td></tr>
<tr><td>臨地実務実習Ⅰ</td><td>必修</td><td>5単位</td><td>2人</td><td>１５０時間</td><td>３００人.時間</td><td>本社及び営業所</td></tr>
<tr><td>臨地実務実習Ⅱ</td><td>必修</td><td>１５単位</td><td>2人</td><td>４５０時間</td><td>９００人.時間</td><td>本社及び営業所</td></tr>
<tr><td>全　　体</td><td colspan="2">計　（　　2科目）</td><td>２０単位</td><td>のべ 4人</td><td>６００時間</td><td>１２００人.時間</td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="4">実習の実施体制に関する事項</td><td rowspan="3">実習指導者</td><td>氏名</td><td>所属・職名</td><td>実務経験年数</td><td>担当授業科目</td></tr>
<tr><td>佐野 直紀</td><td>Webマーケティング部 部長</td><td>17年</td><td>臨地実務実習Ⅰ</td></tr>
<tr><td>佐野 直紀</td><td>Webマーケティング部 部長</td><td>17年</td><td>臨地実務実習Ⅱ</td></tr>
<tr><td>その他の指導体制</td><td colspan="4">毎月の経営会議にて、指導状況の確認を行う。
臨地実務実習の手引きに従い、指導担当者、学生、担当教員間において、実習内容や指導内容、今後の予定、概況などを共有し、必要に応じ担当教員が現地に赴き詳細な情報共有を行う。</td></tr>
<tr><td>実習受入期間・１日当たり実習時間</td><td colspan="2">実 習 受 入 期 間</td><td colspan="2">１ 日 当 た り 実 習 時 間</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">年間　　１００日</td><td colspan="2">6時間</td></tr>
</table>

資料8-3

その他	他の大学等からの実習受入予定	他の大学等の名称	受入れ人数	受入期間
		新潟大学	5人	2018年度　年間　20日
		新潟工科大学	2人	2018年度　年間　8日
		新潟国際情報大学	3人	2018年度　年間　5日
	当該施設が使用できなくなった場合の代替措置	受入れ予定学生数以上の実習施設を確保できているため、現時点で当該施設が使用できなくなった場合においては、他施設を代替使用する。また、申請後も授業科目に必要な実習先確保に向けた活動を継続し、充分な実習先の確保に努める。		
	備　考			

別記様式第７号の４（その３）

臨地実務実習施設の概要

施設に関する事項	名　　称	株式会社チアリー　東京本部		
	所 在 地	東京都新宿区新宿1-15-9　さわだビル9Ｆ （キャンパスからの移動方法　電車・徒歩　（所要時間　１６０分））		
	施設の面積	227.8㎡　　（うち主な実習場所の面積　　100㎡）		
	開設者・管理者、従業員数	開　設　者	管　理　者	従業員数
		代表取締役社長　和田浩一	取締役 経営企画部長　川島学	450人
	事業の概要	パソコン教室「パソコン市民講座」の全国展開 パソコン教材の企画及び制作 パソコン教室のフランチャイズ展開、FCの経営指導 児童向け英語教室「チアリー児童英語教室」のフランチャイズ展開、教材製作、指導者育成 教材配送業務、倉庫保管業 プログラミング教室「STAR Programming SCHOOL（スタープログラミングスクール）」の運営		
	当該施設の選定理由	同社は主にパソコン教室運営、教材の企画開発を展開しており、さらに2015年より次世代の子どもに必要なスキルとして重要視されているプログラミング教室の運営を開始。ITスキルだけでなく、論理的思考や問題解決力、創造力を育むことができる教室をキーワードとし、自社内において教材カリキュラムの企画開発を行っている。 「臨地実務実習Ⅰ」では、プログラミング教室・パソコン教室およびポータルサイトにおける各種コンテンツや受講生データに対し、優秀生の特徴を分析して他の生徒も成績を向上できるようにカリキュラムを検討するための優等生特徴分析、中退者などの特徴を分析して中退者の予測や候補者への働きかけを行う中退者特徴分析、宣伝対象の絞り込みや広告内容を効率化し生徒数を拡充させる事で経営を安定化させる流入経路特徴分析を行うことにより、「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また、「臨地実務実習Ⅱ」では「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、コンテンツの企画・設計・開発・検証・アフターサポートを行い、新たなコンテンツを自ら開発・提供する過程を通じて、要求仕様に応えるコンテンツ開発の技術及び手法を体得するとともに、例えば生徒の年齢や国籍・入学時の成績などを元に起業率や資格取得率について特徴分析や、教室間での移籍を活性化させるための教室間の重複・競合などついて分析を行うなど、新たな分析軸を考案し、経営層に対し新たな価値創造のための提案を行うことにより、臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。		

履修させる授業科目に関する事項	各授業科目	授業科目の名称	必修・選択・自由の別	単位数	履修予定学生数	施設実習時間数	受入予定学生・時間数	主な実習場所
		臨地実務実習Ⅰ	必修	5単位	2人	１５０時間	３００人･3時間	本社及び営業所
		臨地実務実習Ⅱ	必修	１５単位	2人	４５０時間	９００人･3時間	本社及び営業所
	全　　体	計　（　　2科目）		２０単位	のべ4人	６００時間	１２００人･時間	

実習の実施体制に関する事項	実習指導者	氏名	所属・職名	実務経験年数	担当授業科目
		梅津二美	営業部統括マネージャー	13年	臨地実務実習Ⅰ
		梅津二美	営業部統括マネージャー	13年	臨地実務実習Ⅱ
	その他の指導体制	毎月の経営会議にて、指導状況の確認を行う。 臨地実務実習の手引きに従い、指導担当者、学生、担当教員間において、実習内容や指導内容、今後の予定、概況などを共有し、必要に応じ担当教員が現地に赴き詳細な情報共有を行う。			
	実習受入期間・１日当たり実習時間	実 習 受 入 期 間		1 日 当 た り 実 習 時 間	
		年間　　１００日		6時間	

資料8-5

<table>
<tr><td rowspan="4">その他</td><td rowspan="3">他の大学等からの実習受入予定</td><td>他の大学等の名称</td><td>受入れ人数</td><td>受入期間</td></tr>
<tr><td>なし</td><td>人</td><td>年度　　年間　　日</td></tr>
<tr><td></td><td>人</td><td>年度　　年間　　日</td></tr>
<tr><td>当該施設が使用できなくなった場合の代替措置</td><td colspan="3">受入れ予定学生数以上の実習施設を確保できているため、現時点で当該施設が使用できなくなった場合においては、他施設を代替使用する。また、申請後も授業科目に必要な実習先確保に向けた活動を継続し、充分な実習先の確保に努める。</td></tr>
<tr><td>備　　考</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

別記様式第７号の４（その３）

臨地実務実習施設の概要

施設に関する事項	名　　称	株式会社チアリー　大阪本部		
	所 在 地	大阪府大阪市中央区備後町　サンライズビル13F （キャンパスからの移動方法　電車・徒歩　（所要時間　３６０分））		
	施設の面積	389.44㎡　　（うち主な実習場所の面積　　190㎡）		
	開設者・管理者、従業員数	開 設 者	管 理 者	従業員数
		代表取締役社長　和田浩一	取締役 経営企画部長　川島学	450人
	事業の概要	パソコン教室「パソコン市民講座」の全国展開 パソコン教材の企画及び制作 パソコン教室のフランチャイズ展開、FCの経営指導 児童向け英語教室「チアリー児童英語教室」のフランチャイズ展開、教材製作、指導者育成 教材配送業務、倉庫保管業 プログラミング教室「STAR Programming SCHOOL（スタープログラミングスクール）」の運営		
	当該施設の選定理由	同社は主にパソコン教室運営、教材の企画開発を展開しており、さらに2015年より次世代の子どもに必要なスキルとして重要視されているプログラミング教室の運営を開始。ITスキルだけでなく、論理的思考や問題解決力、創造力を育むことができる教室をキーワードとし、自社内において教材カリキュラムの企画開発を行っている。 「臨地実務実習Ⅰ」では、プログラミング教室・パソコン教室およびポータルサイトにおける各種コンテンツや受講生データに対し、優秀生の特徴を分析して他の生徒も成績を向上できるようにカリキュラムを検討するための優等生特徴分析、中退者などの特徴を分析して中退者の予測や候補者への働きかけを行う中退者特徴分析、宣伝対象の絞り込みや広告内容を効率化し生徒数を拡充させる事で経営を安定化させる流入経路特徴分析を行うことにより、「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また、「臨地実務実習Ⅱ」では「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、コンテンツの企画・設計・開発・検証・アフターサポートを行い、新たなコンテンツを自ら開発・提供する過程を通じて、要求仕様に応えるコンテンツ開発の技術及び手法を体得するとともに、例えば生徒の年齢や国籍・入学時の成績などを元に起業率や資格取得率について特徴分析や、教室間での移籍を活性化させるための教室間の重複・競合などついて分析を行うなど、新たな分析軸を考案し、経営層に対し新たな価値創造のための提案を行うことにより、臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。		

履修させる授業科目に関する事項	各授業科目	授業科目の名称	必修・選択・自由の別	単位数	履修予定学生数	施設実習時間数	受入予定学生・時間数	主な実習場所
		臨地実務実習Ⅰ	必修	５単位	２人	１５０時間	３００人･時間	本社及び営業所
		臨地実務実習Ⅱ	必修	１５単位	２人	４５０時間	９００人･時間	本社及び営業所
	全　　体	計　（　　２科目）		２０単位	のべ４人	６００時間	１２００人･時間	

実習の実施体制に関する事項	実習指導者	氏名	所属・職名	実務経験年数	担当授業科目
		伊藤奈緒	営業部統括マネージャー	14年	臨地実務実習Ⅰ
		伊藤奈緒	営業部統括マネージャー	14年	臨地実務実習Ⅱ
	その他の指導体制	毎月の経営会議にて、指導状況の確認を行う。 臨地実務実習の手引きに従い、指導担当者、学生、担当教員間において、実習内容や指導内容、今後の予定、概況などを共有し、必要に応じ担当教員が現地に赴き詳細な情報共有を行う。			
	実習受入期間・１日当たり実習時間	実 習 受 入 期 間		１ 日 当 た り 実 習 時 間	
		年間　　１００日		６時間	

資料8-7

その他	他の大学等からの実習受入予定	他の大学等の名称	受入れ人数	受入期間
		なし	人	年度　　年間　　日
			人	年度　　年間　　日
	当該施設が使用できなくなった場合の代替措置	受入れ予定学生数以上の実習施設を確保できているため、現時点で当該施設が使用できなくなった場合においては、他施設を代替使用する。また、申請後も授業科目に必要な実習先確保に向けた活動を継続し、充分な実習先の確保に努める。		
	備　　考			

別記様式第７号の４（その３）

臨地実務実習施設の概要

施設に関する事項	名　　称	株式会社ＬＥＡｐａｓｓ		
	所 在 地	新潟県新潟市中央区鳥屋野南3丁目10-8 ウェルズ21とやのみなみB-5 （キャンパスからの移動方法　徒歩・バス　（所要時間　　３０分））		
	施設の面積	６９．１㎡　　（うち主な実習場所の面積　　６９．１㎡）		
	開設者・管理者、従業員数	開　設　者	管　理　者	従業員数
		代表取締役社長　玉川 慎一	代表取締役社長　玉川 慎一	5人
	事業の概要	デジタルマーケティング Web サイト分析と企画提案 ネットショップ運用代行 コンサルティング等		
	当該施設の選定理由	同社は、Ｗｅｂデジタルマーケティングを中心とした企画提案を事業としており、顧客に対し専任担当者を設置することを特徴としている。進化と複雑化の進むデジタルマーケティングは、同時にやらなければならないことが増え続け、Ｗｅｂサイトの企画から制作、マーケティング、後の効果測定、次の改善までをまとめて相談できる専任担当者の体制を整えている。 「臨地実務実習Ⅰ」では、ＥＣ事業部においてオンラインショッピングサイトの運営、サイト更新、集客、サポートを行う過程において、検索エンジン最適化、エントリーフォーム最適化、メルマガの開封率やクリック率最適化、サイト内ユーザー行動の分析・解析などによって抽出されるデータを獲得し、可視化したうえで、データ分析し、課題の抽出・改題解決の焦点化することにより、「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また、「臨地実務実習Ⅱ」では「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、オンラインショッピングサイトの集客増に向けた課題を抽出し、課題の克服に向けた新しい機能の追加に関する企画の設計・開発計画の策定、経営層への提案、実装まで至ることにより、「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。		

履修させる授業科目に関する事項	各授業科目	授業科目の名称	必修・選択・自由の別	単位数	履修予定学生数	施設実習時間数	受入予定学生・時間数	主な実習場所
		臨地実務実習Ⅰ	必修	5単位	5人	１５０時間	７５０人･時間	本社及び営業所
		臨地実務実習Ⅱ	必修	１５単位	5人	４５０時間	２２５０人･時間	本社及び営業所
	全　　体	計　（　　2科目）		２０単位	のべ１０人	６００時間	３０００人･時間	

実習の実施体制に関する事項	実習指導者	氏名	所属・職名	実務経験年数	担当授業科目
		玉川 慎一	代表取締役社長	２０年	臨地実務実習Ⅰ
		玉川 慎一	代表取締役社長	２０年	臨地実務実習Ⅱ
	その他の指導体制	毎月の経営会議にて、指導状況の確認を行う。 臨地実務実習の手引きに従い、指導担当者、学生、担当教員間において、実習内容や指導内容、今後の予定、概況などを共有し、必要に応じ担当教員が現地に赴き詳細な情報共有を行う。			
	実習受入期間・１日当たり実習時間	実習受入期間		１日当たり実習時間	
		年間　　１００日		６時間	

その他	他の大学等からの実習受入予定	他の大学等の名称	受入れ人数	受入期間
		なし	人	年度　　年間　　日
			人	年度　　年間　　日

資料8-9

	当該施設が使用できなくなった場合の代替措置	受入れ予定学生数以上の実習施設を確保できているため、現時点で当該施設が使用できなくなった場合においては、他施設を代替使用する。また、申請後も授業科目に必要な実習先確保に向けた活動を継続し、充分な実習先の確保に努める。
	備　　考	

別記様式第７号の４（その３）

臨地実務実習施設の概要

施設に関する事項	名　　称	フラー株式会社					
	所 在 地	千葉県柏市若柴178番地4 柏の葉キャンパス148街区2 K0IL （キャンパスからの移動方法　電車　（所要時間　3時間））					
	施設の面積	369㎡　　（うち主な実習場所の面積　　369㎡）					
	開設者・管理者、従業員数	開　設　者		管理者		従業員数	
		代表取締役CEO　渋谷 修太		代表取締役CEO　渋谷 修太		39人	
	事業の概要	スマホアプリ分析支援事業 スマホビジネス共創事業					
	当該施設の選定理由	同社はモバイル行動データを核に、２つの事業を展開している。「アプリ分析支援事業」では、スマホアプリの実利用データを提供することで、アプリに関わる全ての顧客に的確なマーケットリサーチや競合調査を可能にし、「スマホビジネス共創事業」では、アプリの成功失敗に関わる貴重なデータと培ってきた知見を活かし、スマホのビジネス活用をトータルサポートしている。このように様々なデータを基にアプリビジネスを支援する事業を行っている。 「臨地実務実習Ⅱ」では、アプリ分析支援事業における業務となる、スマホアプリの実利用データの収集・分析の実務を通じて、市場・競合調査を始めとするアプリの企画・マーケティング・顧客に関する課題を抽出する。この課題に基づき、戦略的な解決策を立案・社内提案し、開発・制作クライアントに対し提供される実利用データに加える新たなデータ・機能に関する企画・設計・実装を行うことにより、「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。						
履修させる授業科目に関する事項	各授業科目	授業科目の名称	必修・選択・自由の別	単位数	履修予定学生数	施設実習時間数	受入予定学生・時間数	主な実習場所
		臨地実務実習Ⅱ	必修	１５単位	５人	４５０時間	２２５０人･時間	本社及び各拠点
	全　　体	計　（　　１科目）		１５単位	のべ５人	４５０時間	２２５０人･時間	
実習の実施体制に関する事項	実習指導者	氏名	所属・職名		実務経験年数	担当授業科目		
		川野 昴太	人事部		５年	臨地実務実習Ⅱ		
	その他の指導体制	毎月の経営会議にて、指導状況の確認を行う。 臨地実務実習の手引きに従い、指導担当者、学生、担当教員間において、実習内容や指導内容、今後の予定、概況などを共有し、必要に応じ担当教員が現地に赴き詳細な情報共有を行う。						
	実習受入期間・１日当たり実習時間	実 習 受 入 期 間				１ 日 当 た り 実 習 時 間		
		年間　　７５日				６時間		
その他	他の大学等からの実習受入予定	他の大学等の名称		受入れ人数		受入期間		
		なし		人		年度　　年間　　日		
				人		年度　　年間　　日		
	当該施設が使用できなくなった場合の代替措置	受入れ予定学生数以上の実習施設を確保できているため、現時点で当該施設が使用できなくなった場合においては、他施設を代替使用する。また、申請後も授業科目に必要な実習先確保に向けた活動を継続し、充分な実習先の確保に努める。						
	備　　考							

別記様式第７号の４（その３）

臨地実務実習施設の概要

施設に関する事項	名　　称	株式会社新潟人工知能研究所		
	所 在 地	新潟県新潟市中央区米山３－１－５３ （キャンパスからの移動方法　徒歩　（所要時間　3分））		
	施設の面積	５４．２㎡　　（うち主な実習場所の面積　５４．２㎡）		
	開設者・管理者、従業員数	開　設　者	管　理　者	従業員数
		代表取締役　黒田 達也	代表取締役　黒田 達也	4人
	事業の概要	人工知能およびデータ解析技術に関する研究、企画、開発、販売及び保守等の業務 人工知能およびデータ解析技術による知見に基づくコンサルティング業務 人工知能およびデータ解析技術に関する人材教育、セミナー等の実施、人材紹介および派遣業務 不動産の売買および仲介ならびに不動産の管理 前各号に附帯関連する一切の業務		
	当該施設の選定理由	同社はデータ解析技術を中心に「学生サポートシステム」として、教育分野を対象とした生徒属性・中退者・学校流入経路、優等生等の特徴分析事業の他、チャットボットの開発など、データ解析に関して培った技術を活かし、新潟の企業や研究所、教育機関に対し知見を提供している。 「臨地実務実習Ⅰ」では、「学生サポートシステム」から得られた学生データに対し、優等生・中退者・流入経路などの各種データの可視化、特徴分析を実践する。これら各種データ分析の実践を踏まえ、各学生の成績向上に向けた課題を把握し、課題解決の焦点化、社内提案を行うことにより、「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また、「臨地実務実習Ⅱ」では「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、「学生サポートシステム」から得られたデータ分析に基づき、課題の抽出、課題解決策を社内提案し、この提案を踏まえた新たなサービス・機能・施策について計画、設計、実装、検証までを行うことにより、「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。		

履修させる授業科目に関する事項	各授業科目	授業科目の名称	必修・選択・自由の別	単位数	履修予定学生数	施設実習時間数	受入予定学生・時間数	主な実習場所
		臨地実務実習Ⅰ	必修	5単位	１０人	１５０時間	１５００人･時間	本社及び営業所
		臨地実務実習Ⅱ	必修	１５単位	１０人	４５０時間	４５００人･時間	本社及び営業所
	全　　体	計　（　　２科目）		２０単位	のべ２０人	６００時間	６０００人･時間	

実習の実施体制に関する事項	実習指導者	氏名	所属・職名	実務経験年数	担当授業科目
		武藤　茂幸	取締役	８年	臨地実務実習Ⅰ
		武藤　茂幸	取締役	８年	臨地実務実習Ⅱ
	その他の指導体制	毎月の経営会議にて、指導状況の確認を行う。 臨地実務実習の手引きに従い、指導担当者、学生、担当教員間において、実習内容や指導内容、今後の予定、概況などを共有し、必要に応じ担当教員が現地に赴き詳細な情報共有を行う。			
	実習受入期間・１日当たり実習時間	実　習　受　入　期　間		１　日　当　た　り　実　習　時　間	
		年間　　１００日		６時間	

その他	他の大学等からの実習受入予定	他の大学等の名称	受入れ人数	受入期間
		新潟コンピュータ専門学校	5人	2018年度　年間　70日
		新潟コンピュータ専門学校	5人	2017年度　年間　70日

	当該施設が使用できなくなった場合の代替措置	受入れ予定学生数以上の実習施設を確保できているため、現時点で当該施設が使用できなくなった場合においては、他施設を代替使用する。また、申請後も授業科目に必要な実習先確保に向けた活動を継続し、充分な実習先の確保に努める。
	備　　考	

別記様式第７号の４（その３）

臨地実務実習施設の概要

施設に関する事項	名　　称	株式会社Dream Advance						
	所 在 地	新潟県新潟市西区青山1-1-17 ヤマトビル2階 （キャンパスからの移動方法　電車・徒歩　（所要時間　　３０分））						
	施設の面積	105㎡　　（うち主な実習場所の面積　　52.5㎡）						
	開設者・管理者、従業員数	開　設　者		管　理　者		従業員数		
		代表取締役　喜多村 哲平		代表取締役　喜多村 哲平		25人		
	事業の概要	1. 習い事教室事業 2. 育児支援事業 3. 未就園児・幼児教育提供型の預かり事業						
	当該施設の選定理由	同社は１つの教室で８つの習い事ができる、ワンストップスクーリングの「夢教室ドリームアドバンス」を運営。そろばん、書道、英語のほか、絵本、マンガ、華道、フラワーアレンジメント、折り紙という、ユニークなレッスンを取り揃え、興味や伸ばしたい能力に合わせて、学びたいレッスンを自由に選択できることを特徴としている。 「臨地実務実習Ⅰ」では、各受講生のそれぞれの習い事において、目標とする習熟レベルまで到達するために適するカリキュラムとなるよう、各種業務データや受講生データを可視化し、分析・解析を行う。これら分析・解析の結果を基に受講生の習熟度を上げるための課題の把握、課題解決の焦点化を実践することにより、「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営課題の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。							
履修させる授業科目に関する事項	各授業科目	授業科目の名称	必修・選択・自由の別	単位数	履修予定学生数	施設実習時間数	受入予定学生・時間数	主な実習場所
		臨地実務実習Ⅰ	必修	5単位	4人	１５０時間	６００人・時間	本社及び事業所
	全　　体	計　（　　１科目）		5単位	のべ 4人	１５０時間	６００人・時間	
実習の実施体制に関する事項	実習指導者	氏名	所属・職名		実務経験年数	担当授業科目		
		喜多村 哲平	代表取締役		18年	臨地実務実習Ⅰ		
	その他の指導体制	毎月の経営会議にて、指導状況の確認を行う。 臨地実務実習の手引きに従い、指導担当者、学生、担当教員間において、実習内容や指導内容、今後の予定、概況などを共有し、必要に応じ担当教員が現地に赴き詳細な情報共有を行う。						
	実習受入期間・１日当たり実習時間	実 習 受 入 期 間			1 日 当 た り 実 習 時 間			
		年間　　２５日			6時間			
その他	他の大学等からの実習受入予定	他の大学等の名称		受入れ人数	受入期間			
		なし		人	年度　　年間　　日			
				人	年度　　年間　　日			
	当該施設が使用できなくなった場合の代替措置	受入れ予定学生数以上の実習施設を確保できているため、現時点で当該施設が使用できなくなった場合においては、他施設を代替使用する。また、申請後も授業科目に必要な実習先確保に向けた活動を継続し、充分な実習先の確保に努める。						
	備　　考							

別記様式第７号の４（その３）

臨地実務実習施設の概要

施設に関する事項	名　　称	株式会社小川屋		
	所 在 地	新潟県新潟市中央区古町通５番町６１１ （キャンパスからの移動方法　徒歩　（所要時間　４０分））		
	施設の面積	２７０㎡　　（うち主な実習場所の面積　　７０㎡）		
	開設者・管理者、従業員数	開 設 者	管 理 者	従業員数
		代表取締役社長　大橋祐貴	代表取締役社長　大橋祐貴	30人
	事業の概要	鮭・鱒・魚卵に関わる商品開発とPR 自社内外の醸造ネットワークをつかった発酵食品OEM オンラインショッピングサイトの運営		
	当該施設の選定理由	同社は明治26年に、漬け魚を中心に、新潟の豊かな食材を新潟らしい製法で活かした商品の製造、販売を行っている。近年の消費者訴求のための新たな商品開発に直接運営しているオンラインショッピングサイトのデータを活用しているほか、主力である漬け魚ギフトの製造においても、職人の技を後世に残すべく多様なデータを用いた製造技法を開発している。 「臨地実務実習Ⅰ」では、オンラインショッピングサイトの運営、サイト更新、集客、サポートを行う業務の体験を通して、検索エンジン最適化、エントリーフォーム最適化、サイト内ユーザー行動に関するデータを可視化し、分析・解析などを行うことで、オンラインショッピングの集客増に向けた課題を抽出し、課題解決を焦点化することにより、臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営課題の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また、「臨地実務実習Ⅱ」では、「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、新規顧客の開拓に向けてオンラインショッピングサイトの集客増に向けた課題を抽出し、課題の克服に向けた新しい機能の追加に関する企画・開発計画案を策定し、社内提案したうえで、設計・実装まで至ることや、水産加工品生産工程の改善に向けた課題を踏まえ、工程の「見える化」や生産効率の向上につながる各種施策を検討し、この向上に向けた取り組みとなる設計・実装に携わることにより、「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。		

履修させる授業科目に関する事項	各授業科目	授業科目の名称	必修・選択・自由の別	単位数	履修予定学生数	施設実習時間数	受入予定学生・時間数	主な実習場所
		臨地実務実習Ⅰ	必修	5単位	4人	１５０時間	６００人･時間	本社及び営業所
		臨地実務実習Ⅱ	必修	１５単位	4人	４５０時間	１８００人･時間	本社及び営業所
	全　　体	計　（　　2科目）		２０単位	のべ8人	６００時間	２４００人･時間	

実習の実施体制に関する事項	実習指導者	氏名	所属・職名	実務経験年数	担当授業科目
		水吉修	製造部 工場長	３０年	臨地実務実習Ⅰ
		森山智恵	営業部 おもてなし課	１５年	臨地実務実習Ⅱ
	その他の指導体制	毎月の経営会議にて、指導状況の確認を行う。 臨地実務実習の手引きに従い、指導担当者、学生、担当教員間において、実習内容や指導内容、今後の予定、概況などを共有し、必要に応じ担当教員が現地に赴き詳細な情報共有を行う。			
	実習受入期間・１日当たり実習時間	実 習 受 入 期 間		１ 日 当 た り 実 習 時 間	
		年間　　１００日		6時間	

その他	他の大学等からの実習受入予定	他の大学等の名称	受入れ人数	受入期間
		なし	人	年度　　年間　　日
			人	年度　　年間　　日
	当該施設が使用できなくなった場合の代替措置	受入れ予定学生数以上の実習施設を確保できているため、現時点で当該施設が使用できなくなった場合においては、他施設を代替使用する。また、申請後も授業科目に必要な実習先確保に向けた活動を継続し、充分な実習先の確保に努める。		
	備　　考			

別記様式第７号の４（その３）

臨地実務実習施設の概要

施設に関する事項	名　　称	越後味噌醸造株式会社		
	所 在 地	新潟県燕市吉田中町5－10 （キャンパスからの移動方法　電車　（所要時間　４５分））		
	施設の面積	１７６６㎡　　（うち主な実習場所の面積　　１７６６　㎡）		
	開設者・管理者、従業員数	開　設　者	管理者	従業員数
		代表取締役社長　木龍 康一	代表取締役社長　木龍 康一	18人
	事業の概要	味噌、みそ漬、調理味噌など、発酵食品に関わる商品開発とPR 自社内外の醸造ネットワークをつかった発酵食品OEM オンラインショッピングサイトの運営		
	当該施設の選定理由	同社は越後の伝統食文化である発酵・醸造後世へ紡ぐために、発酵テーマパークをキーワードとして、味噌蔵見学、味噌仕込み体験イベント、越後味噌大学、直売店の運営、オンラインショッピングサイトの運営などを行っている。近年の消費者訴求のための新たな商品開発に直接運営しているオンラインショッピングサイトのデータを活用しているほか、主力である味噌・漬物・調味料などの製造においても、職人の技を後世に残すべく多様なデータを用いた製造技法を開発している。 「臨地実務実習Ⅰ」では、オンラインショッピングサイトの運営、サイト更新、集客、サポートを行う業務の体験を通して、検索エンジン最適化、エントリーフォーム最適化、サイト内ユーザー行動に関するデータを可視化し、分析・解析などを行うことで、オンラインショッピングの集客増に向けた課題を抽出し、課題解決を焦点化することにより、臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また、「臨地実務実習Ⅱ」では、「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、新規顧客の開拓に向けてオンラインショッピングサイトの集客増に向けた課題を抽出し、課題の克服に向けた新しい機能の追加に関する企画・開発計画案を策定し、社内提案したうえで、設計・実装まで至ることや、味噌醸造現場の生産性向上に向けて、醸造工程における温度・湿度を測定するセンサ制御およびネットワーク通信制御と、その記録を閲覧することができるスマートフォンアプリを組み合わせた「醸造IoTシステム」の構築に向けた設計、実装、検証という実務の一連の過程を想定することにより、「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。		

履修させる授業科目に関する事項	各授業科目	授業科目の名称	必修・選択・自由の別	単位数	履修予定学生数	施設実習時間数	受入予定学生・時間数	主な実習場所
		臨地実務実習Ⅰ	必修	5単位	4人	１５０時間	６００人･時間	本社及び営業所
		臨地実務実習Ⅱ	必修	１５単位	4人	４５０時間	１８００人･時間	本社及び営業所
	全　　体	計　（　　2科目）		２０単位	のべ 8人	６００時間	２４００人･時間	

実習の実施体制に関する事項	実習指導者	氏名	所属・職名	実務経験年数	担当授業科目
		木龍 康一	代表取締役社長	3年	臨地実務実習Ⅰ
		木龍 康一	代表取締役社長	3年	臨地実務実習Ⅱ
	その他の指導体制	毎月の経営会議にて、指導状況の確認を行う。 臨地実務実習の手引きに従い、指導担当者、学生、担当教員間において、実習内容や指導内容、今後の予定、概況などを共有し、必要に応じ担当教員が現地に赴き詳細な情報共有を行う。			
	実習受入期間・１日当たり実習時間	実 習 受 入 期 間		1 日 当 た り 実 習 時 間	
		年間　　１００日		6時間	

その他	他の大学等からの実習受入予定	他の大学等の名称	受入れ人数	受入期間
		なし	人	年度　　年間　　日
			人	年度　　年間　　日
	当該施設が使用できなくなった場合の代替措置	受入れ予定学生数以上の実習施設を確保できているため、現時点で当該施設が使用できなくなった場合においては、他施設を代替使用する。また、申請後も授業科目に必要な実習先確保に向けた活動を継続し、充分な実習先の確保に努める。		
	備　　考			

別記様式第７号の４（その３）

臨地実務実習施設の概要

<table>
<tr><td rowspan="6">施設に関する事項</td><td>名　　称</td><td colspan="4">ＮＴＴテクノクロス株式会社　横浜事業所</td></tr>
<tr><td>所 在 地</td><td colspan="4">神奈川県横浜市西区みなとみらい4-4-5横浜アイマークプレイス
（キャンパスからの移動方法　電車・徒歩　（所要時間　　１８０分））</td></tr>
<tr><td>施設の面積</td><td colspan="4">13,855㎡　　（うち主な実習場所の面積　　13,855㎡）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">開設者・管理者、従業員数</td><td>開　設　者</td><td>管　理　者</td><td colspan="2">従業員数</td></tr>
<tr><td>代表取締役社長　串間 和彦</td><td>人事部担当部長 小林 秀承</td><td colspan="2">1,057人</td></tr>
<tr><td>事業の概要</td><td colspan="4">・　情報通信ネットワークを利用する情報提供、情報処理、決済(代理徴収を含む)など各種サービスの提供、各種情報制作およびそれらサービス提供に必要なシステムの賃貸・販売に関すること。
・　情報通信システムの設計、開発、建設、販売、賃貸、管理、運用・保守およびシステム評価に関すること。
・　ソフトウェアの設計、開発、販売、賃貸、運用・保守および品質管理に関すること。
・　ハードウェアの開発、製造、販売、賃貸、設置、および保守に関すること。
・　前各号に係わる新技術の調査、その応用開発、コンサルティング、教育および研修に関すること。
・　前各号に係わる労働者派遣事業。
・　その他前各号に関連する一切の業務。</td></tr>
<tr><td>当該施設の選定理由</td><td colspan="4">同社はNTTグループに属し、ソフトウェア・情報通信システムの設計・開発・運用、そしてそれらに関わるコンサルティングをしているICT企業である。2017年4月１日付けでNTTソフトウェア株式会社とNTTアイティ株式会社が、音声・映像などのメディア処理、およびAIなど知的処理の技術を活用したソリューション事業を強化するため合併した。それまで各社が取り組んできた事業を継続するとともに、日本電信電話株式会社の先端技術や研究成果を活用した先進的なソリューション/サービスを提供している。
「臨地実務実習Ⅱ」では、小型コンピュータ（Raspberry Pi） を使ったソフトウェア開発およびシステム提案業務に関する課題解決に向けて、顧客満足度調査やユーザーアンケート等のデータ分析を踏まえ、新サービス検討・試作アプリ開発に関する計画の提案、設計・実装の実務を行い、新たなコンテンツを自ら開発・提供する過程に携わることにより、「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">履修させる授業科目に関する事項</td><td rowspan="2">各授業科目</td><td>授業科目の名称</td><td>必修・選択・自由の別</td><td>単位数</td><td>履修予定学生数</td><td>施設実習時間数</td><td>受入予定学生・時間数</td><td>主な実習場所</td></tr>
<tr><td>臨地実務実習Ⅱ</td><td>必修</td><td>5単位</td><td>5人</td><td>１８７．５時間</td><td>９３７．５人・時間</td><td>本社及び事業所</td></tr>
<tr><td>全　　体</td><td colspan="2">計　（　　１科目）</td><td>5単位</td><td>のべ5人</td><td>１８７．５時間</td><td>９３７．５人・時間</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">実習の実施体制に関する事項</td><td rowspan="2">実習指導者</td><td>氏名</td><td colspan="2">所属・職名</td><td>実務経験年数</td><td colspan="2">担当授業科目</td></tr>
<tr><td>吉田　悟</td><td colspan="2">ＩｏＴイノベーション事業部・統括部長</td><td>２９年</td><td colspan="2">臨地実務実習Ⅱ</td></tr>
<tr><td>その他の指導体制</td><td colspan="6">毎週の経営会議にて、指導状況の確認を行う。
臨地実務実習の手引きに従い、指導担当者、学生、担当教員間において、実習内容や指導内容、今後の予定、概況などを共有し、必要に応じ担当教員が現地に赴き詳細な情報共有を行う。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実習受入期間・１日当たり実習時間</td><td colspan="4">実 習 受 入 期 間</td><td colspan="3">１ 日 当 た り 実 習 時 間</td></tr>
<tr><td colspan="4">年間　　２５日</td><td colspan="3">７．５時間</td></tr>
<tr><td rowspan="3">その他</td><td rowspan="3">他の大学等からの実習受入予定</td><td colspan="2">他の大学等の名称</td><td>受入れ人数</td><td colspan="3">受入期間</td></tr>
<tr><td colspan="2">なし</td><td>人</td><td colspan="3">年度　　年間　　日</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>人</td><td colspan="3">年度　　年間　　日</td></tr>
</table>

資料8-21

	当該施設が使用できなくなった場合の代替措置	受入れ予定学生数以上の実習施設を確保できているため、現時点で当該施設が使用できなくなった場合においては、他施設を代替使用する。また、申請後も授業科目に必要な実習先確保に向けた活動を継続し、充分な実習先の確保に努める。
	備　　考	

別記様式第７号の４（その３）

臨地実務実習施設の概要

<table>
<tr><td rowspan="6">施設に関する事項星野 雅哉</td><td>名　　称</td><td colspan="5">合同会社DMM.com</td></tr>
<tr><td>所 在 地</td><td colspan="5">東京都港区六本木三丁目2番1号住友不動産六本木グランドタワー
（キャンパスからの移動方法　電車・徒歩　（所要時間　１８０分））</td></tr>
<tr><td>施設の面積</td><td colspan="5">16,500㎡　　（うち主な実習場所の面積　　16,500㎡）</td></tr>
<tr><td>開設者・管理者、従業員数</td><td colspan="2">開 設 者</td><td colspan="2">管 理 者</td><td>従業員数</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">代表社員
株式会社DMM.comホールディングス
職務執行者 片桐孝憲</td><td colspan="2">人事総務本部人事部部長　林英治郎</td><td>3,200名
（グループ連結）</td></tr>
<tr><td>事業の概要</td><td colspan="5">デジタルコンテンツ配信事業
オンラインゲーム事業
通信販売事業
オンラインレンタル事業
インターネット接続事業
オンライン英会話事業
モノづくり支援事業</td></tr>
<tr><td>当該施設の選定理由</td><td colspan="5">同社は国内最大級の規模を誇るエンターテインメント総合サイトDMM.comを代表とする様々な事業・サービスの企画・開発・運用・Webマーケティング等を行っており、DMM.comで提供する各種事業の、会員動向データの集約と分析を基盤とし、データから見えるロジカルな根拠を基に新規会員、既存会員の収益活性化を実現、データ駆動戦略を実践している。
「臨地実務実習Ⅱ」では、ポータルサイトDMM.comの運用から得られた、サイト内ユーザー行動情報の可視化から、各種の分析軸毎の閲覧行動分析を行うことで利便性向上に向けた課題抽出・解決策を社内提案したうえで、ポータルサイトに関連する各種のコンテンツについての機能追加等の計画、設計、実装、検証を自ら行うことにより、「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">履修させる授業科目に関する事項</td><td rowspan="2">各授業科目</td><td>授業科目の名称</td><td>必修・選択・自由の別</td><td>単位数</td><td>履修予定学生数</td><td>施設実習時間数</td><td>受入予定学生・時間数</td><td>主な実習場所</td></tr>
<tr><td>臨地実務実習Ⅱ</td><td>必修</td><td>１５単位</td><td>5人</td><td>４５０時間</td><td>２２５０人･時間</td><td>本社及び営業所</td></tr>
<tr><td>全　　体</td><td colspan="2">計　（　　1科目）</td><td>１５単位</td><td>のべ5人</td><td>４５０時間</td><td>２２５０人･時間</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4">実習の実施体制に関する事項</td><td rowspan="2">実習指導者</td><td>氏名</td><td colspan="2">所属・職名</td><td>実務経験年数</td><td colspan="2">担当授業科目</td></tr>
<tr><td>城倉和孝</td><td colspan="2">CTO</td><td>２５年</td><td colspan="2">臨地実務実習Ⅱ</td></tr>
<tr><td>その他の指導体制</td><td colspan="6">毎月の経営会議にて、指導状況の確認を行う。
臨地実務実習の手引きに従い、指導担当者、学生、担当教員間において、実習内容や指導内容、今後の予定、概況などを共有し、必要に応じ担当教員が現地に赴き詳細な情報共有を行う。</td></tr>
<tr><td>実習受入期間・１日当たり実習時間</td><td colspan="3">実 習 受 入 期 間</td><td colspan="3">１ 日 当 た り 実 習 時 間</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">年間　　７５日</td><td colspan="3">6時間</td></tr>
<tr><td rowspan="4">その他</td><td rowspan="3">他の大学等からの実習受入予定</td><td colspan="2">他の大学等の名称</td><td>受入れ人数</td><td colspan="3">受入期間</td></tr>
<tr><td colspan="2">なし</td><td>人</td><td colspan="3">年度　　年間　　日</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>人</td><td colspan="3">年度　　年間　　日</td></tr>
<tr><td>当該施設が使用できなくなった場合の代替措置</td><td colspan="6">受入れ予定学生数以上の実習施設を確保できているため、現時点で当該施設が使用できなくなった場合においては、他施設を代替使用する。また、申請後も授業科目に必要な実習先確保に向けた活動を継続し、充分な実習先の確保に努める。</td></tr>
<tr><td>備　　考</td><td colspan="6"></td></tr>
</table>

別記様式第７号の４（その３）

臨地実務実習施設の概要

<table>
<tr><td rowspan="6">施設に関する事項</td><td>名　　称</td><td colspan="4">株式会社幻の酒</td></tr>
<tr><td>所 在 地</td><td colspan="4">新潟県新潟市中央区白山浦2丁目1番28号
（キャンパスからの移動方法　徒歩・電車　（所要時間　２０分））</td></tr>
<tr><td>施設の面積</td><td colspan="4">217.8㎡　　（うち主な実習場所の面積　　130㎡）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">開設者・管理者、従業員数</td><td>開 設 者</td><td colspan="2">管 理 者</td><td>従業員数</td></tr>
<tr><td>代表取締役社長　松本 伸一</td><td colspan="2">代表取締役社長　松本 伸一</td><td>14人</td></tr>
<tr><td>事業の概要</td><td colspan="4">酒類卸売業
小売業
通販業
輸出業
輸入業</td></tr>
<tr><td>当該施設の選定理由</td><td colspan="4">同社は、ネット通販事業者として今後の生き残りを左右するものは、ＳＮＳの活用と、オリジナル商品の開発にかかっているという経営方針のもとに、データ駆動戦略を実践していること、ＩＴ経営を掲げＩＴ推進教育を積極的に行っていること、また国内・海外から得られた様々な販売データを基にクラウドファンディングを積極的に活用し新たな商品開発を行っている。
「臨地実務実習Ⅰ」では、オンラインショッピングサイトの運営、サイト更新、集客、サポートを行う業務の体験を通して、検索エンジン最適化、エントリーフォーム最適化、サイト内ユーザー行動に関するデータを可視化し、分析・解析などを行うことで、オンラインショッピングの集客増に向けた課題を抽出し、課題解決を焦点化することにより、「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また、「臨地実務実習Ⅱ」では、「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、新規顧客の開拓に向けてオンラインショッピングサイトの集客増に向けた課題を抽出し、課題の克服に向けた新しい機能の追加に関する企画・開発計画案を策定し、経営層に対し提案したうえで、設計・実装まで至ることにより、「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">履修させる授業科目に関する事項</td><td rowspan="3">各授業科目</td><td>授業科目の名称</td><td>必修・選択・自由の別</td><td>単位数</td><td>履修予定学生数</td><td>施設実習時間数</td><td>受入予定学生・時間数</td><td>主な実習場所</td></tr>
<tr><td>臨地実務実習Ⅰ</td><td>必修</td><td>５単位</td><td>２人</td><td>１５０時間</td><td>３００人.時間</td><td>本社及び営業所</td></tr>
<tr><td>臨地実務実習Ⅱ</td><td>必修</td><td>１５単位</td><td>２人</td><td>４５０時間</td><td>９００人.時間</td><td>本社及び営業所</td></tr>
<tr><td>全　　体</td><td colspan="2">計　（　　２科目）</td><td>２０単位</td><td>のべ４人</td><td>６００時間</td><td>１２００人.時間</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4">実習の実施体制に関する事項</td><td rowspan="3">実習指導者</td><td>氏名</td><td colspan="2">所属・職名</td><td>実務経験年数</td><td colspan="2">担当授業科目</td></tr>
<tr><td>奥村弘美</td><td colspan="2">執行役員</td><td>11年</td><td colspan="2">臨地実務実習Ⅰ</td></tr>
<tr><td>奥村弘美</td><td colspan="2">執行役員</td><td>11年</td><td colspan="2">臨地実務実習Ⅱ</td></tr>
<tr><td>その他の指導体制</td><td colspan="6">毎月の経営会議にて、指導状況の確認を行う。
臨地実務実習の手引きに従い、指導担当者、学生、担当教員間において、実習内容や指導内容、今後の予定、概況などを共有し、必要に応じ担当教員が現地に赴き詳細な情報共有を行う。</td></tr>
<tr><td>実習受入期間・１日当たり実習時間</td><td colspan="3">実 習 受 入 期 間</td><td colspan="3">１ 日 当 た り 実 習 時 間</td></tr>
<tr><td colspan="3">年間　　１００日</td><td colspan="3">6時間</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>他の大学等からの実習受入予定</td><td colspan="2">他の大学等の名称</td><td>受入れ人数</td><td colspan="2">受入期間</td></tr>
<tr><td colspan="2">なし</td><td>人</td><td colspan="2">年度　　年間　　日</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>人</td><td colspan="2">年度　　年間　　日</td></tr>
</table>

	当該施設が使用できなくなった場合の代替措置	受入れ予定学生数以上の実習施設を確保できているため、現時点で当該施設が使用できなくなった場合においては、他施設を代替使用する。また、申請後も授業科目に必要な実習先確保に向けた活動を継続し、充分な実習先の確保に努める。
	備　　考	

別記様式第７号の４（その３）

臨地実務実習施設の概要

施設に関する事項	名　　称	モリパワー株式会社		
	所 在 地	新潟県新潟市中央区米山4丁目1-31　紫竹綜合ビル4F （キャンパスからの移動方法　徒歩　（所要時間　5分））		
	施設の面積	46.97㎡　　（うち主な実習場所の面積　　46.97㎡）		
	開設者・管理者、従業員数	開　設　者	管理者	従業員数
		代表取締役社長　森永 司	代表取締役社長　森永 司	8人
	事業の概要	Webサイト制作・運営 Webシステム設計、開発 スマートフォンアプリ設計、開発 ネットショップ制作・運営 ＩＴ教育コンサルティング 職業訓練・パソコン教室運営 電子書籍・Ｅラーニング教材開発 文科省委託事業委員 コミュニティーサイト運営		
	当該施設の選定理由	同社は主にWeb事業、教育事業を行っており、これらを組み合わせた製品「Quickテスト」は授業準備・採点業務を劇的に軽減できるだけでなく、クラス・学生の弱点などを分析し適切な履修計画の提示や、各自の傾向などを視覚的に表示するなど、データを基にした計画立案と提示を実践している。 「臨地実務実習Ⅰ」では、オンライン試験対策システムである「Quickテスト」における受講者データの可視化を踏まえ、利用中断者などの特徴を分析して中断者の予測や候補者への働きかけを行う中断者特徴分析を行い、利用中断者抑止に向けた課題を把握し、課題解決の焦点化をすることにより、「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また、「臨地実務実習Ⅱ」では「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、オンライン試験対策システムである「Quickテスト」の運営における課題の抽出・社内提案を踏まえて、新たなサービスを企画・設計・実装・検証・アフターサポートを行い、新たなコンテンツを自ら開発・提供する過程に携わることにより、「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。		

履修させる授業科目に関する事項	各授業科目	授業科目の名称	必修・選択・自由の別	単位数	履修予定学生数	施設実習時間数	受入予定学生・時間数	主な実習場所
		臨地実務実習Ⅰ	必修	5単位	１０人	１５０時間	１５００人･時間	本社及び営業所
		臨地実務実習Ⅱ	必修	１５単位	１０人	４５０時間	４５００人･時間	本社及び営業所
	全　　体	計　（　　２科目）		２０単位	のべ２０人	６００時間	６０００人･時間	

実習の実施体制に関する事項	実習指導者	氏名	所属・職名	実務経験年数	担当授業科目
		森永 司	代表取締役社長	１０年	臨地実務実習Ⅰ
		森永 司	代表取締役社長	１０年	臨地実務実習Ⅱ
	その他の指導体制	毎月の経営会議にて、指導状況の確認を行う。 臨地実務実習の手引きに従い、指導担当者、学生、担当教員間において、実習内容や指導内容、今後の予定、概況などを共有し、必要に応じ担当教員が現地に赴き詳細な情報共有を行う。			
	実習受入期間・１日当たり実習時間	実習受入期間		1日当たり実習時間	
		年間　　１００日		6時間	
他の	他の大学等からの実習受入予定	他の大学等の名称	受入れ人数	受入期間	
		なし	人	年度　　年間　　日	

資料8-27

			人	年度　　年間　　日
	当該施設が使用できなくなった場合の代替措置	受入れ予定学生数以上の実習施設を確保できているため、現時点で当該施設が使用できなくなった場合においては、他施設を代替使用する。また、申請後も授業科目に必要な実習先確保に向けた活動を継続し、充分な実習先の確保に努める。		
	備　　考			

別記様式第７号の４（その３）

臨地実務実習施設の概要

<table>
<tr><td rowspan="6">施設に関する事項</td><td>名　　称</td><td colspan="5">今代司酒造株式会社</td></tr>
<tr><td>所 在 地</td><td colspan="5">新潟県新潟市中央区鏡が岡1番1号
（キャンパスからの移動方法　徒歩　（所要時間　３０分））</td></tr>
<tr><td>施設の面積</td><td colspan="5">５０００㎡　　（うち主な実習場所の面積　　５０００㎡）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">開設者・管理者、従業員数</td><td>開　設　者</td><td colspan="2">管　理　者</td><td colspan="2">従 業 員 数</td></tr>
<tr><td>代表取締役社長　田中洋介</td><td colspan="2">代表取締役社長　田中洋介</td><td colspan="2">28人</td></tr>
<tr><td>事業の概要</td><td colspan="5">創業１７６７年の全量純米仕込みの酒蔵。
米、日本酒に関わる商品開発とPR
自社内外の醸造ネットワークをつかった発酵食品OEM
酒蔵見学による社会貢献</td></tr>
<tr><td>当該施設の選定理由</td><td colspan="5">同社は、新潟の地において酒造業を営んでいる。1776年に創業し、事業承継を踏まえた第二創業を経て、現在も新規商品開発・販売の取り組みに注力し、特にオンラインショッピングサイトを中心とした海外展開に加え、酒蔵見学を充実させ直売所を運営するようになり、2017年度酒蔵来訪者は3万人を超える。このようなブランディング戦略にオンラインショッピングサイトから得られたデータが広く活用されているだけでなく、主力である酒造においても、職人の技を後世に残すべく多様なデータを用いた製造技法を開発している。
「臨地実務実習Ⅰ」では、オンラインショッピングサイトの運営、サイト更新、集客、サポートを行う業務の体験を通して、検索エンジン最適化、エントリーフォーム最適化、サイト内ユーザー行動に関するデータを可視化し、分析・解析などを行うことで、オンラインショッピングの集客増に向けた課題を抽出し、課題解決を焦点化することにより、「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また、「臨地実務実習Ⅱ」では、「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、小売店舗の経営改善を目標に、例えばオーダーシステムにおけるスマートデバイス（IoT機器）の開発や、顧客感情を把握するための店舗内画像認識システムの開発など、課題解決に向けた各種施策を社内提案し、検討・計画・設計・実装に携わることにより、「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">履修させる授業科目に関する事項</td><td rowspan="3">各授業科目</td><td>授業科目の名称</td><td>必修・選択・自由の別</td><td>単位数</td><td>履修予定学生数</td><td>施設実習時間数</td><td>受入予定学生・時間数</td><td>主な実習場所</td></tr>
<tr><td>臨地実務実習Ⅰ</td><td>必修</td><td>５単位</td><td>４人</td><td>１５０時間</td><td>６００人･時間</td><td>本社及び営業所</td></tr>
<tr><td>臨地実務実習Ⅱ</td><td>必修</td><td>１５単位</td><td>４人</td><td>４５０時間</td><td>１８００人･時間</td><td>本社及び営業所</td></tr>
<tr><td>全　　体</td><td colspan="2">計　（　　２科目）</td><td>２０単位</td><td>のべ８人</td><td>６００時間</td><td>２４００人･時間</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4">実習の実施体制に関する事項</td><td rowspan="3">実習指導者</td><td>氏名</td><td colspan="2">所属・職名</td><td>実務経験年数</td><td colspan="2">担当授業科目</td></tr>
<tr><td>田中 洋介</td><td colspan="2">代表取締役社長</td><td>６年</td><td colspan="2">臨地実務実習Ⅰ</td></tr>
<tr><td>田中 洋介</td><td colspan="2">代表取締役社長</td><td>６年</td><td colspan="2">臨地実務実習Ⅱ</td></tr>
<tr><td>その他の指導体制</td><td colspan="6">毎月の経営会議にて、指導状況の確認を行う。
臨地実務実習の手引きに従い、指導担当者、学生、担当教員間において、実習内容や指導内容、今後の予定、概況などを共有し、必要に応じ担当教員が現地に赴き詳細な情報共有を行う。</td></tr>
<tr><td>実習受入期間・１日当たり実習時間</td><td colspan="3">実 習 受 入 期 間</td><td colspan="3">１ 日 当 た り 実 習 時 間</td></tr>
<tr><td colspan="3">年間　　１００日</td><td colspan="3">６時間</td></tr>
<tr><td rowspan="3">その他</td><td rowspan="3">他の大学等からの実習受入予定</td><td colspan="2">他の大学等の名称</td><td>受入れ人数</td><td colspan="3">受入期間</td></tr>
<tr><td colspan="2">なし</td><td>人</td><td colspan="3">年度　　年間　　日</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>人</td><td colspan="3">年度　　年間　　日</td></tr>
</table>

	当該施設が使用できなくなった場合の代替措置	受入れ予定学生数以上の実習施設を確保できているため、現時点で当該施設が使用できなくなった場合においては、他施設を代替使用する。また、申請後も授業科目に必要な実習先確保に向けた活動を継続し、充分な実習先の確保に努める。
	備　　考	

別記様式第７号の４（その３）

臨地実務実習施設の概要

施設に関する事項	名　　称	株式会社ジェイ・エス・エス					
	所 在 地	新潟県新潟市中央区西堀通3番町790番地西堀501ビル （キャンパスからの移動方法　徒歩　（所要時間　３０分））					
	施設の面積	270㎡　　（うち主な実習場所の面積　　270㎡）					
	開設者・管理者、従業員数	開　設　者		管理者		従業員数	
		代表取締役社長　秋田叔之		代表取締役社長　秋田叔之		41人	
	事業の概要	スマホアプリ開発・販売・保守 クラウドソリューション パッケージシステム開発・販売・保守 ＰＣ機器販売、ネットワーク設計構築 光回線販売					
	当該施設の選定理由	同社の主力製品である学校業務支援トータルパッケージでは、学生募集、入学、学務、就職、学費に加え各種SNSのデータ連携が自動で行われることでスムーズな業務遂行を可能とし、さらに新商品の学生証アプリとも連動することで、学生の多様な動態データから得られた様々な支援を教育機関へ提供している。 「臨地実務実習Ｉ」では、学生証アプリの運営、更新、サポートを行う業務の体験を通して、ユーザー行動の分析・解析などの各種分析を行う中で、ユーザー情報・同行動データを可視化し、特徴分析を行うことで課題の把握、課題解決の焦点化をすることにより、「臨地実務実習Ｉ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ｉの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また「臨地実務実習Ⅱ」では、「臨地実務実習Ｉ」で行った考察に基づき、学生証アプリから得られたデータを解析することで新たな課題を発見し、課題を解決するための新たなサービス・機能・施策について社内提案、計画、設計、実装、検証を自ら行う。これらサービス提供における一連の流れに携わることにより、「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。						
履修させる授業科目に関する事項	各授業科目	授業科目の名称	必修・選択・自由の別	単位数	履修予定学生数	施設実習時間数	受入予定学生・時間数	主な実習場所
		臨地実務実習Ｉ	必修	５単位	５人	１５０時間	７５０人･時間	本社及び営業所
		臨地実務実習Ⅱ	必修	１５単位	５人	４５０時間	２２５０人･時間	本社及び営業所
	全　　体	計　（　　２科目）		２０単位	のべ１０人	６００時間	３０００人･時間	
実習の実施体制に関する事項	実習指導者	氏名	所属・職名	実務経験年数	担当授業科目		
		橘谷美則	ディストリビューション部 部長	32年	臨地実務実習Ｉ		
		長井基樹	プロダクト開発部 部長	17年	臨地実務実習Ⅱ		
	その他の指導体制	毎月の経営会議にて、指導状況の確認を行う。 臨地実務実習の手引きに従い、指導担当者、学生、担当教員間において、実習内容や指導内容、今後の予定、概況などを共有し、必要に応じ担当教員が現地に赴き詳細な情報共有を行う。					
	実習受入期間・１日当たり実習時間	実 習 受 入 期 間			１ 日 当 た り 実 習 時 間		
		年間　　１００日			６時間		
その他	他の大学等からの実習受入予定	他の大学等の名称		受入れ人数	受入期間		
		なし		人	年度　　年間　　日		
				人	年度　　年間　　日		

	当該施設が使用できなくなった場合の代替措置	受入れ予定学生数以上の実習施設を確保できているため、現時点で当該施設が使用できなくなった場合においては、他施設を代替使用する。また、申請後も授業科目に必要な実習先確保に向けた活動を継続し、充分な実習先の確保に努める。
	備　　考	

別記様式第７号の４（その３）

臨地実務実習施設の概要

施設に関する事項	名　　称	Adam Innovations 株式会社		
	所 在 地	新潟県南魚沼市浦佐1188－2 （キャンパスからの移動方法　電車・徒歩　（所要時間　６０分））		
	施設の面積	150㎡　　（うち主な実習場所の面積　　150㎡）		
	開設者・管理者、従業員数	開　設　者	管　理　者	従業員数
		代表取締役　カウシャルワウラガラ	代表取締役　カウシャルワウラガラ	15人
	事業の概要	アジアマーケティング&競争戦略 新興市場実務 イノベーションコンサルティング マーケットインテリジェンス 市場参入と成長戦略 コーチング&促進 M&Aデューデリジェンス		
	当該施設の選定理由	南魚沼市の地方自治体と協力して、グローバルプラットフォーム「グローバルITパーク南魚沼」を立ち上げ、インドおよびスリランカを中心にアジアの大規模なIT企業8つが入居し、これらの企業と日本における企業とのハブとしての機能を担っていること。主にソフトウェア開発を主要な事業とする海外企業と、日本国内企業の橋渡しをするにあたりデータ分析に基づいた戦略立案が重要となる。 「臨地実務実習Ⅰ」では、グローバルITパーク南魚沼の運営業務や、入居している海外企業のサポート業務などを通じて得られた各種の経営情報についてのデータを獲得・可視化し、その特徴分析・相関性の考察によって、利便性向上に向けた課題を抽出することにより、臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また、「臨地実務実習Ⅱ」では「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、グローバルITパーク南魚沼における外国人入居者の利便性向上を目的とし、例えば地域の施設や環境をＡＲ技術によって可視化するなど、課題解決策の社内提案を踏まえ、新たなサービスやコンテンツの企画・設計・実装・検証・アフターサポートを行うことにより、「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。		

履修させる授業科目に関する事項	各授業科目	授業科目の名称	必修・選択・自由の別	単位数	履修予定学生数	施設実習時間数	受入予定学生・時間数	主な実習場所
		臨地実務実習Ⅰ	必修	5単位	5人	１５０時間	７５０人･時間	南魚沼
		臨地実務実習Ⅱ	必修	１５単位	5人	４５０時間	２２５０人･時間	南魚沼
	全　　体	計　（　　2科目）		２０単位	のべ１０人	６００時間	３０００人･時間	

実習の実施体制に関する事項	実習指導者	氏名	所属・職名	実務経験年数	担当授業科目
		カウシャルワウラガラ	代表取締役	19年	臨地実務実習Ⅰ
		茂木 浩介	シニアマネージャー	24年	臨地実務実習Ⅱ
	その他の指導体制	毎月の経営会議にて、指導状況の確認を行う。 臨地実務実習の手引きに従い、指導担当者、学生、担当教員間において、実習内容や指導内容、今後の予定、概況などを共有し、必要に応じ担当教員が現地に赴き詳細な情報共有を行う。			
	実習受入期間・１日当たり実習時間	実　習　受　入　期　間		１　日　当　た　り　実　習　時　間	
		年間　　１００日		６時間	

他 その	他の大学等からの実習受入予定	他の大学等の名称	受入れ人数	受入期間
		なし	人	年度　　年間　　日

			人	年度　　年間　　日
	当該施設が使用できなくなった場合の代替措置	受入れ予定学生数以上の実習施設を確保できているため、現時点で当該施設が使用できなくなった場合においては、他施設を代替使用する。また、申請後も授業科目に必要な実習先確保に向けた活動を継続し、充分な実習先の確保に努める。		
	備　　考			

別記様式第７号の４（その３）

臨地実務実習施設の概要

施設に関する事項	名　　称	リコージャパン株式会社 新潟支社						
	所 在 地	新潟県新潟市東区下木戸1-18-30 （キャンパスからの移動方法　徒歩・バス　（所要時間　３０分））						
	施設の面積	1938.88㎡　　（うち主な実習場所の面積　　1938.88㎡）						
	開設者・管理者、従業員数	開　設　者	管　理　者	従業員数				
			新潟支社長　国松豊	178人				
	事業の概要	複合機やプリンターなどの画像機器や消耗品およびICT関連商品の販売と関連ソリューションの提供 サポート&サービス（画像機器やICT関連商品の保守、ネットワーク構築・保守、ICT運用業務代行） システムインテグレーションおよびソフトウェア設計・開発							
	当該施設の選定理由	同社はリコー製品をはじめマルチベンダーとしてＩＣＴ（ＯＡ・通信）のコンサルティング、販売、システム設計構築、アフターサービスまでトータルソリューションを提供しており、ビジネスコンセプト「Customer's Customer Success」を掲げ顧客の経営課題をともに解決し、新しい価値をともに創り出すことのできるパートナーとなることを目標としている。 「臨地実務実習Ⅰ」では、顧客機器およびサービスについて、クライアントに対する保守点検から抽出される活用実績・頻度等の顧客情報に関するデータを獲得し、可視化したうえで、活用方法の最適化に向けたデータ特長分析をすることで課題の把握、課題解決の焦点化をすることにより、「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また、「臨地実務実習Ⅱ」では、「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、同社製品を中心としたオフィス環境ならびオフィス外でのビジネス活動の利便性を向上させることを目標に、課題解決策の社内提案を踏まえ、新たなクラウドサービスの企画・設計・実装・検証・アフターサポートを行い、新たなコンテンツを自ら開発・提供する過程を実践することにより、「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。							

履修させる授業科目に関する事項	各授業科目	授業科目の名称	必修・選択・自由の別	単位数	履修予定学生数	施設実習時間数	受入予定学生・時間数	主な実習場所
		臨地実務実習Ⅰ	必修	5単位	4人	１５０時間	６００人･時間	本社及び営業所
		臨地実務実習Ⅱ	必修	１５単位	4人	４５０時間	１８００人･時間	本社及び営業所
	全　　体	計　（　　2科目）		２０単位	のべ 8人	６００時間	２４００人･時間	

実習の実施体制に関する事項	実習指導者	氏名	所属・職名	実務経験年数	担当授業科目
		祝 義人	LA２グループ リーダー	30年	臨地実務実習Ⅰ
		三膳 新	LA２グループ	15年	臨地実務実習Ⅱ
	その他の指導体制	毎月の経営会議にて、指導状況の確認を行う。 臨地実務実習の手引きに従い、指導担当者、学生、担当教員間において、実習内容や指導内容、今後の予定、概況などを共有し、必要に応じ担当教員が現地に赴き詳細な情報共有を行う。			
	実習受入期間・１日当たり実習時間	実　習　受　入　期　間		１　日　当　た　り　実　習　時　間	
		年間　　１００日		6時間	

その他	他の大学等からの実習受入予定	他の大学等の名称	受入れ人数	受入期間
		なし	人	年度　　年間　　日
			人	年度　　年間　　日

	当該施設が使用できなくなった場合の代替措置	受入れ予定学生数以上の実習施設を確保できているため、現時点で当該施設が使用できなくなった場合においては、他施設を代替使用する。また、申請後も授業科目に必要な実習先確保に向けた活動を継続し、充分な実習先の確保に努める。
	備　　考	

別記様式第７号の４（その３）

臨地実務実習施設の概要

施設に関する事項	名　　称	株式会社ＮＳＧアカデミー
	所 在 地	新潟県新潟市中央区東大通１－１１－３２ （キャンパスからの移動方法　　バス・徒歩　（所要時間　１４分））
	施設の面積	1047.5㎡　　（うち主な実習場所の面積　　56㎡）
	開設者・管理者、従業員数	開　設　者：代表取締役社長　山根　憲介 管　理　者：代表取締役社長　山根　憲介 従業員数：728人
	事業の概要	生涯学習の一端を担う企業として、生徒・保護者の多様なニーズに応える３ブランドを展開。 ＮＳＧ教育研究会（小中高生を対象としたクラス指導を中心とした進学塾） ＮＳＧ ＰＬＡＴＳ（個別指導・家庭教師） ＮＳＧアカデミー東進衛星予備校（ITを駆使した最先端の大学受験予備校）
	当該施設の選定理由	同社は新潟県内、県外において広域で学習塾を経営しており、生涯学習の一端を担う企業として、生徒・保護者の多様なニーズに応えるべく、クラス指導（集団）・ライブ指導(集団・個別)、個別指導・家庭教師・衛星予備校など多様な教育サービスを提供している。このような多様な教育サービスを提供するにあたり、多くのデータを基に情報技術を活用した事業展開を構想している。 「臨地実務実習Ⅰ」では、クラス指導（集団）・ライブ指導(集団・個別)における受講生から得られた各種データ獲得、可視化から、優秀生の特徴を分析して他の生徒も成績を向上できるようにカリキュラムを検討するための優等生特徴分析、中退者などの特徴を分析して中退者の予測や候補者への働きかけを行う中退者特徴分析を行い、課題の把握・課題解決の焦点化をすることにより、「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また、「臨地実務実習Ⅱ」では「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、衛星予備校における中退者抑止を目標に、中退者の予測や候補者への働きかけを行うための新たなサービスやコンテンツの企画・設計・実装・検証・アフターサポートを行い、新たなコンテンツを自ら開発・提供する過程を実践するとともに、例えば教室間での移籍を活性化させるための教室間の重複・競合などについて分析を行うなど、新たな分析軸を考案し、経営層に対し新たな価値創造のための提案を行うことにより、「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。

履修させる授業科目に関する事項

各授業科目

授業科目の名称	必修・選択・自由の別	単位数	履修予定学生数	施設実習時間数	受入予定学生・時間数	主な実習場所
臨地実務実習Ⅰ	必修	5単位	5人	１５０時間	７５０人･時間	本社
臨地実務実習Ⅱ	必修	１５単位	5人	４５０時間	２２５０人･時間	本社
全　　体	計　（　　2科目）	２０単位	のべ１０人	６００時間	３０００人･時間	

実習の実施体制に関する事項

実習指導者

氏名	所属・職名	実務経験年数	担当授業科目
池田　岳倫	事業推進本部・本部長	１８年	臨地実務実習Ⅰ、臨地実務実習Ⅱ
佐藤　圭介	事業推進本部 業務管理室・室長	２１年	臨地実務実習Ⅰ、臨地実務実習Ⅱ
保倉　裕介	事業推進本部 事業推進室マネージャー	９年	臨地実務実習Ⅰ、臨地実務実習Ⅱ

その他の指導体制：毎月の経営会議にて、指導状況の確認を行う。
臨地実務実習の手引きに従い、指導担当者、学生、担当教員間において、実習内容や指導内容、今後の予定、概況などを共有し、必要に応じ担当教員が現地に赴き詳細な情報共有を行う。

<table>
<tr><td rowspan="5">その他</td><td>実習受入期間・
１日当たり実習時間</td><td colspan="2">実 習 受 入 期 間</td><td>１ 日 当 た り 実 習 時 間</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">年間　　１００日</td><td>６ 時間</td></tr>
<tr><td rowspan="3">他の大学等からの実習受入予定</td><td>他の大学等の名称</td><td>受入れ人数</td><td>受入期間</td></tr>
<tr><td>なし</td><td>人</td><td>年度　　年間　　日</td></tr>
<tr><td></td><td>人</td><td>年度　　年間　　日</td></tr>
<tr><td>当該施設が使用できなくなった場合の代替措置</td><td colspan="3">受入れ予定学生数以上の実習施設を確保できているため、現時点で当該施設が使用できなくなった場合においては、他施設を代替使用する。また、申請後も授業科目に必要な実習先確保に向けた活動を継続し、充分な実習先の確保に努める。</td></tr>
<tr><td>備　　考</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

別記様式第７号の４（その３）

臨地実務実習施設の概要

<table>
<tr><td rowspan="6">施設に関する事項</td><td>名　　称</td><td colspan="5">株式会社エヌエスジー教育ネットワーク</td></tr>
<tr><td>所 在 地</td><td colspan="5">新潟県新潟市中央区東大通１－１１－３２
（キャンパスからの移動方法　　バス・徒歩(所要時間　１４分)）</td></tr>
<tr><td>施設の面積</td><td colspan="5">119.5㎡　　（うち主な実習場所の面積　　21㎡）</td></tr>
<tr><td>開設者・管理者、従業員数</td><td>開 設 者</td><td colspan="2">管 理 者</td><td colspan="2">従 業 員 数</td></tr>
<tr><td></td><td>代表取締役社長　小野 隆樹</td><td colspan="2">代表取締役社長　小野 隆樹</td><td colspan="2">8人</td></tr>
<tr><td>事業の概要</td><td colspan="5">・学習塾、資格取得教育、スイミングスクール、習い事教室事業を営む会社の株式所有によるそれぞれの事業活動の支配、管理
・総務、人事、法務、経営管理、コンサルティング、情報システム、シェアードサービス
・経理、財務、コンサルティング、シェアードサービス
・監査業務
・新規企画</td></tr>
<tr><td>当該施設の選定理由</td><td colspan="5">同社は目まぐるしく様変わりする民間教育市場に対応した学習塾、資格取得教育、スイミングスクール、習い事教室事業を営む会社の事業活動の支配を通じて、マーケティング分析、新規商品開発、更には企業人育成を主な事業としている。子会社から得られた多くのデータを基にマーケティング分析や新規商品開発を行っている。
「臨地実務実習Ⅰ」では、学習塾、資格取得教育、スイミングスクール、習い事教室事業を行う各事業会社の管理業務体験と経営情報から、各事業会社における受講生の入出行動についてのデータを獲得し、可視化したうえで特徴分析し、効果的な顧客の囲い込みに向けた課題の把握、課題解決の焦点化を行うことにより、「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また「臨地実務実習Ⅱ」では、「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、各事業会社の受講生増に向けた統一的募集サイト構築を目的にした課題を抽出し、この課題の克服のためのwebサイト構築、もしくはアプリの開発、既存サイトへの機能追加等の社内提案・実行を通じて、新たなコンテンツを自ら設計・実装することにより、「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="4">履修させる授業科目に関する事項</td><td rowspan="3">各授業科目</td><td>授業科目の名称</td><td>必修・選択・自由の別</td><td>単位数</td><td>履修予定学生数</td><td>施設実習時間数</td><td>受入予定学生・時間数</td><td>主な実習場所</td></tr>
<tr><td>臨地実務実習Ⅰ</td><td>必修</td><td>5単位</td><td>5人</td><td>１５０時間</td><td>７５０人・時間</td><td>本社</td></tr>
<tr><td>臨地実務実習Ⅱ</td><td>必修</td><td>１５単位</td><td>5人</td><td>４５０時間</td><td>２２５０人・時間</td><td>本社</td></tr>
<tr><td>全　　体</td><td colspan="2">計　（　　２科目）</td><td>２０単位</td><td>のべ１０人</td><td>６００時間</td><td>３０００人･時間</td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="5">実習の実施体制に関する事項</td><td rowspan="4">実習指導者</td><td>氏名</td><td>所属・職名</td><td>実務経験年数</td><td>担当授業科目</td></tr>
<tr><td>五十嵐　達哉</td><td>人事部・部長</td><td>２７年</td><td>臨地実務実習Ⅰ、臨地実務実習Ⅱ</td></tr>
<tr><td>高岡　利之</td><td>総務部・部長</td><td>１５年</td><td>臨地実務実習Ⅰ、臨地実務実習Ⅱ</td></tr>
<tr><td>斉藤　文栄</td><td>人事部・マネージャー</td><td>２７年</td><td>臨地実務実習Ⅰ、臨地実務実習Ⅱ</td></tr>
<tr><td>その他の指導体制</td><td colspan="4">毎月の経営会議にて、指導状況の確認を行う。
臨地実務実習の手引きに従い、指導担当者、学生、担当教員間において、実習内容や指導内容、今後の予定、概況などを共有し、必要に応じ担当教員が現地に赴き詳細な情報共有を行う。</td></tr>
<tr><td>実習受入期間・１日当たり実習時間</td><td colspan="2">実 習 受 入 期 間</td><td colspan="2">１ 日 当 た り 実 習 時 間</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">年間　　１００日</td><td colspan="2">6時間</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="4">その他</td><td rowspan="3">他の大学等からの実習受入予定</td><td>他の大学等の名称</td><td>受入れ人数</td><td>受入期間</td></tr>
<tr><td>なし</td><td>人</td><td>年度　　年間　　日</td></tr>
<tr><td></td><td>人</td><td>年度　　年間　　日</td></tr>
<tr><td>当該施設が使用できなくなった場合の代替措置</td><td colspan="3">受入れ予定学生数以上の実習施設を確保できているため、現時点で当該施設が使用できなくなった場合においては、他施設を代替使用する。また、申請後も授業科目に必要な実習先確保に向けた活動を継続し、充分な実習先の確保に努める。</td></tr>
<tr><td>備　　考</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

別記様式第７号の４（その３）

臨地実務実習施設の概要

施設に関する事項	名　　称	三井住友アセットマネジメント株式会社		
	所 在 地	東京都港区愛宕二丁目5番1号 愛宕グリーンヒルズMORIタワー 28階 （キャンパスからの移動方法　電車・徒歩　（所要時間　１８０分））		
	施設の面積	5,847㎡　　（うち主な実習場所の面積　　1,474㎡）		
	開設者・管理者、従業員数	開　設　者	管　理　者	従業員数
		代表取締役社長兼CEO　松下 隆史	総務部長　飯田 純	600人
	事業の概要	投資運用業に係る業務 投資助言・代理業に係る業務 第二種金融商品取引業に係る業務		
	当該施設の選定理由	国内トップクラスの資産運用会社として、金融のビッグデータを処理、分析し、新たな価値の創出につながる有益な知識へと変換する「金融スマートデータ」をキーワードに、情報収集にかかる時間短縮や、未来予測の精度向上、企業の眠れる価値の創出などを事業展開において実現している。 「臨地実務実習Ⅰ」では、資産運用業務を通じた各種の業務情報に関するデータを獲得し、可視化したうえで、活用方法の最適化や新規顧客獲得に向けた効果的なマーケティング手法の構築に向けた課題の把握、課題解決の焦点化をすることにより、「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また、「臨地実務実習Ⅱ」では「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、同社が提供する個人顧客向けwebサイトにおいて、より効果的な資産運用シミュレーション構築を目的とする課題解決策を踏まえ、新しい機能の追加に関する企画・開発の計画案を策定し、社内提案したうえで、実装まで至ることにより、「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。		

履修させる授業科目に関する事項	各授業科目	授業科目の名称	必修・選択・自由の別	単位数	履修予定学生数	施設実習時間数	受入予定学生・時間数	主な実習場所
		臨地実務実習Ⅰ	必修	5単位	4人	１５０時間	６００人･時間	東京
		臨地実務実習Ⅱ	必修	１５単位	4人	４５０時間	１８００人･時間	東京
	全　　体	計　（　　2科目）		２０単位	のべ 8人	６００時間	２４００人･時間	

実習の実施体制に関する事項	実習指導者	氏名	所属・職名	実務経験年数	担当授業科目
		ベネット・ジェイスン	運用企画部　運用技術研究開発課　課長	11年	臨地実務実習Ⅰ
		ベネット・ジェイスン	運用企画部　運用技術研究開発課　課長	11年	臨地実務実習Ⅱ
	その他の指導体制	毎月の経営会議にて、指導状況の確認を行う。 臨地実務実習の手引きに従い、指導担当者、学生、担当教員間において、実習内容や指導内容、今後の予定、概況などを共有し、必要に応じ担当教員が現地に赴き詳細な情報共有を行う。			
	実習受入期間・１日当たり実習時間	実　習　受　入　期　間		１　日　当　た　り　実　習　時　間	
		年間　　１００日		6時間	

その他	他の大学等からの実習受入予定	他の大学等の名称	受入れ人数	受入期間
		なし	人	年度　　年間　　日
			人	年度　　年間　　日

資料8-41

	当該施設が使用できなくなった場合の代替措置	受入れ予定学生数以上の実習施設を確保できているため、現時点で当該施設が使用できなくなった場合においては、他施設を代替使用する。また、申請後も授業科目に必要な実習先確保に向けた活動を継続し、充分な実習先の確保に努める。
	備　　考	

別記様式第７号の４（その３）

臨地実務実習施設の概要

施設に関する事項	名　　称	株式会社グラフ		
	所 在 地	東京都港区西麻布1-15-1　MORIGUCHI BUILD　2Ｆ （キャンパスからの移動方法　電車・徒歩　（所要時間　3時間5分））		
	施設の面積	148.92㎡　　（うち主な実習場所の面積　　148.92㎡）		
	開設者・管理者、従業員数	開　設　者	管　理　者	従業員数
		代表取締役　原田 博植	マネージャー 事業開発部　沼田 英充	10人
	事業の概要	データ分析、AIを活用したデータベースの収益化事業 アプリケーションの開発運営		
	当該施設の選定理由	同社は「データの利用価値を最大限に拡張する」ことをミッションとしたAI(人工知能)企業であり、各産業界トップ企業での実績を持ち、データ利活用において実際的なノウハウを蓄積してきた。AI(人工知能)・機械学習の活用やビッグデータ分析を通じて、クライアントにとって本当に必要な支援、ビジネス戦略コンサルティングを提供している。 「臨地実務実習Ⅰ」では、データサイエンティスト業務の体験を通して、顧客の事業理解とデータの可視化・分析に基づく企画資料の作成から施策立案までを同社社員と共同で行い、この流れを踏まえた課題の把握、課題解決を焦点化することにより、臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また、「臨地実務実習Ⅱ」では「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、AI（人工知能）・機械学習を活用したコンサルティング・エンジニアリングに関わることと共に、分析基盤環境や大規模データ処理に関する知識を用いて、クライアントのデータに対して、統計処理や数理モデルを作成し、特徴分析を行うことで、課題解決のための施策・企画案を策定し、クライアントへの提案内容をまとめることにより、「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。		

履修させる授業科目に関する事項	各授業科目	授業科目の名称	必修・選択・自由の別	単位数	履修予定学生数	施設実習時間数	受入予定学生・時間数	主な実習場所
		臨地実務実習Ⅰ	必修	5単位	4人	150時間	600人･時間	本社及び営業所
		臨地実務実習Ⅱ	必修	15単位	4人	450時間	1800人･時間	本社及び営業所
	全　　体	計　（　　2科目）		20単位	のべ 8人	600時間	2400人･時間	

実習の実施体制に関する事項	実習指導者	氏名	所属・職名	実務経験年数	担当授業科目
		田中洋介	管理部	3年	臨地実務実習Ⅰ
		田中洋介	管理部	3年	臨地実務実習Ⅱ
	その他の指導体制	毎月の経営会議にて、指導状況の確認を行う。 臨地実務実習の手引きに従い、指導担当者、学生、担当教員間において、実習内容や指導内容、今後の予定、概況などを共有し、必要に応じ担当教員が現地に赴き詳細な情報共有を行う。			
	実習受入期間・１日当たり実習時間	実　習　受　入　期　間		１　日　当　た　り　実　習　時　間	
		年間　　100日		6時間	

その他	他の大学等からの実習受入予定	他の大学等の名称	受入れ人数	受入期間
		なし	人	年度　　年間　　日
			人	年度　　年間　　日

	当該施設が使用できなくなった場合の代替措置	受入れ予定学生数以上の実習施設を確保できているため、現時点で当該施設が使用できなくなった場合においては、他施設を代替使用する。また、申請後も授業科目に必要な実習先確保に向けた活動を継続し、充分な実習先の確保に努める。
	備　　考	

別記様式第７号の４（その３）

臨地実務実習施設の概要

施設に関する事項	名　　称	株式会社 博進堂						
	所 在 地	新潟県新潟市東区木工新町378-2 （キャンパスからの移動方法　徒歩・バス　（所要時間　４０分））						
	施設の面積	3595㎡　　（うち主な実習場所の面積　　3595㎡）						
	開設者・管理者、従業員数	開 設 者		管 理 者			従業員数	
		代表取締役　清水 伸		清水 隆之助			155人	
	事業の概要	アルバム事業 商業印刷事業 教育事業 出版事業						
	当該施設の選定理由	同社は企画・編集・デザイン・印刷・製本・発送までのワンストップ総合印刷企業であり、過去90年で培われた印刷技術を基に、小ロットの印刷物やいままでにない印刷表現にチャレンジするなどの新たな商品開発を、事業活動で得られた様々なデータから提案することを積極的に行っている。 「臨地実務実習Ⅰ」では、アルバム事業・商業印刷事業・教育事業・出版事業の各事業における顧客情報を通して得られたデータのうち、特にアルバム事業におけるターゲット市場データの獲得、可視化、特徴分析を通して、同ターゲットに効果的なアプローチをするための課題の把握、課題解決の焦点化を行うことにより、「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また、「臨地実務実習Ⅱ」では、「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、印刷工場のインダストリー4.0をキーワードに、機械と機械が直接コミュニケーションを行うための基盤の構築や、機械から収集されたデータを解析し、生産管理や機器の調整、保全に用いる基盤構築に向けた計画を社内提案し、実践することにより、「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。						

履修させる授業科目に関する事項	各授業科目	授業科目の名称	必修・選択・自由の別	単位数	履修予定学生数	施設実習時間数	受入予定学生・時間数	主な実習場所
		臨地実務実習Ⅰ	必修	5単位	4人	１５０時間	６００人･時間	本社及び営業所
		臨地実務実習Ⅱ	必修	１５単位	4人	４５０時間	１８００人･時間	本社及び営業所
	全　　体	計　（　　2科目）		２０単位	のべ 8人	６００時間	２４００人･時間	

実習の実施体制に関する事項	実習指導者	氏名	所属・職名	実務経験年数	担当授業科目
		清水 隆之助	博進堂大学 取締役	6年	臨地実務実習Ⅰ
		馬場 雅之	制作 チーフマネージャ	２６年	臨地実務実習Ⅱ
	その他の指導体制	毎月の経営会議にて、指導状況の確認を行う。 臨地実務実習の手引きに従い、指導担当者、学生、担当教員間において、実習内容や指導内容、今後の予定、概況などを共有し、必要に応じ担当教員が現地に赴き詳細な情報共有を行う。			
	実習受入期間・１日当たり実習時間	実 習 受 入 期 間		１ 日 当 た り 実 習 時 間	
		年間　　１００日		6時間	

その他	他の大学等からの実習受入予定	他の大学等の名称	受入れ人数	受入期間
		新潟大学	2人	2018年度　年間　10日
			人	年度　年間　日

	当該施設が使用できなくなった場合の代替措置	受入れ予定学生数以上の実習施設を確保できているため、現時点で当該施設が使用できなくなった場合においては、他施設を代替使用する。また、申請後も授業科目に必要な実習先確保に向けた活動を継続し、充分な実習先の確保に努める。
	備　　考	

別記様式第７号の４（その３）

臨地実務実習施設の概要

<table>
<tr><td rowspan="6">施設に関する事項</td><td>名　　称</td><td colspan="4">株式会社ホロラボ</td></tr>
<tr><td>所 在 地</td><td colspan="4">東京都品川区西五反田２丁目２５－１-3F インテックス五反田ビル
（キャンパスからの移動方法　電車・徒歩　（所要時間　１５０分））</td></tr>
<tr><td>施設の面積</td><td colspan="4">162.02㎡　　（うち主な実習場所の面積　　162.02㎡）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">開設者・管理者、
従業員数</td><td>開　設　者</td><td colspan="2">管　理　者</td><td>従業員数</td></tr>
<tr><td>代表取締役　中村 薫</td><td colspan="2">代表取締役　中村 薫</td><td>16人</td></tr>
<tr><td>事業の概要</td><td colspan="4">・Reality と Virtuality を自由自在に操る技術を独自に研究開発し、関連するサービスを提案します。
・調査研究
・システム、アプリの企画開発
・普及啓蒙活動（講演、セミナー、トレーニング）</td></tr>
<tr><td>当該施設の
選定理由</td><td colspan="4">同社は、HoloLens に代表される Mixed Reality 技術に関する研究開発および関連アプリケーション・システム開発を、設計・製造、建設、医療など幅広い分野に向けて実施しており、他社との共同開発や業務提携も積極的に行っている。特に建設業界でのニーズの高まりから、巨大なデータのクラウド変換機能と HoloLens 等の MR デバイス利活用による新たな価値の創造に向けて開発を進めている。
「臨地実務実習Ⅰ」では、普及啓蒙業務（講演・セミナー・トレーニング）および調査研究業務を通して、上記各種業務データの獲得、可視化、特徴分析することで、拡張現実分野におけるコミュニティ発展の実現に向けた課題の把握、課題解決の焦点化を行うことにより、「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また、「臨地実務実習Ⅱ」では、「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、同社が提供する製造業・建設業向け 3D データ可視化ソリューションのクオリティ向上に向けた課題解決策を踏まえ、新規コンテンツもしくは新規サービスの検討・開発案の策定・社内提案を踏まえた、実装・検証までを実践することにより、「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">履修させる授業科目に関する事項</td><td rowspan="3">各授業科目</td><td>授業科目の名称</td><td>必修・選択・
自由の別</td><td>単位数</td><td>履修予定
学生数</td><td>施設実習
時間数</td><td>受入予定学生
・時間数</td><td>主な実習場所</td></tr>
<tr><td>臨地実務実習Ⅰ</td><td>必修</td><td>5単位</td><td>4人</td><td>１５０時間</td><td>６００人･時間</td><td>本社及び営業所</td></tr>
<tr><td>臨地実務実習Ⅱ</td><td>必修</td><td>１５単位</td><td>4人</td><td>４５０時間</td><td>１８００人･時間</td><td>本社及び営業所</td></tr>
<tr><td>全　　体</td><td colspan="2">計　（　　２科目）</td><td>２０単位</td><td>のべ 8人</td><td>６００時間</td><td>２４００人･時間</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4">実習の実施体制に関する事項</td><td rowspan="3">実習指導者</td><td colspan="2">氏名</td><td colspan="2">所属・職名</td><td>実務経験年数</td><td colspan="2">担当授業科目</td></tr>
<tr><td colspan="2">江口　将史</td><td colspan="2">事業開発</td><td>9年</td><td colspan="2">臨地実務実習Ⅰ</td></tr>
<tr><td colspan="2">江口　将史</td><td colspan="2">事業開発</td><td>9年</td><td colspan="2">臨地実務実習Ⅱ</td></tr>
<tr><td>その他の指導体制</td><td colspan="7">毎月の経営会議にて、指導状況の確認を行う。
臨地実務実習の手引きに従い、指導担当者、学生、担当教員間において、実習内容や指導内容、今後の予定、概況などを共有し、必要に応じ担当教員が現地に赴き詳細な情報共有を行う。</td></tr>
<tr><td>実習受入期間・
１日当たり実習時間</td><td colspan="4">実 習 受 入 期 間</td><td colspan="3">１ 日 当 た り 実 習 時 間</td></tr>
<tr><td colspan="4">年間　　１００日</td><td colspan="3">6時間</td></tr>
<tr><td rowspan="3">その他</td><td rowspan="3">他の大学等からの
実習受入予定</td><td colspan="3">他の大学等の名称</td><td>受入れ人数</td><td colspan="2">受入期間</td></tr>
<tr><td colspan="3">なし</td><td>人</td><td colspan="2">年度　　年間　　日</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td><td>人</td><td colspan="2">年度　　年間　　日</td></tr>
</table>

	当該施設が使用できなくなった場合の代替措置	受入れ予定学生数以上の実習施設を確保できているため、現時点で当該施設が使用できなくなった場合においては、他施設を代替使用する。また、申請後も授業科目に必要な実習先確保に向けた活動を継続し、充分な実習先の確保に努める。
	備　　考	

別記様式第７号の４（その３）

臨地実務実習施設の概要

<table>
<tr><td rowspan="6">施設に関する事項</td><td>名　　称</td><td colspan="5">株式会社峰村商店（峰村醸造）</td></tr>
<tr><td>所 在 地</td><td colspan="5">新潟県新潟市中央区明石２丁目３−４４
（キャンパスからの移動方法　徒歩　（所要時間　３０分））</td></tr>
<tr><td>施設の面積</td><td colspan="5">2,952㎡　　（うち主な実習場所の面積　　2,952㎡）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">開設者・管理者、従業員数</td><td>開 設 者</td><td colspan="3">管 理 者</td><td>従業員数</td></tr>
<tr><td>代表取締役社長　葉葺正幸</td><td colspan="3">代表取締役社長　葉葺正幸</td><td>33人</td></tr>
<tr><td>事業の概要</td><td colspan="5">味噌、味噌漬及漬物類の製造販売、酒類販売、飲食店の経営
自社内外の醸造ネットワークをつかった発酵食品OEM
オンラインショッピングサイトの運営</td></tr>
<tr><td>当該施設の選定理由</td><td colspan="5">同社は株式会社和僑商店ホールディングスのグループ企業として、新潟の地において味噌・味噌漬及び漬物類の製造販売業を営んでいる。1905年に創業し、事業承継を踏まえた第二創業を経て、現在に至るが、ＩＴサービス導入や経営資源の有効活用等による生産性向上、積極的な海外展開やインバウンド需要の取込み、多様な人材活用や円滑な事業承継など、様々な分野で活躍している中小企業・小規模事業者として中小企業庁の「はばたく中小企業・小規模事業者300社」に選定されたことを始め、データを活用した経営戦略や後継者育成を積極的に行っている。
「臨地実務実習Ｉ」では、店舗オペレーションの効率化の実現に向けて、顧客や店員に関する行動データを獲得・可視化し、顧客満足度、実績等との相関性の分析・解析によって課題を把握し、課題解決の焦点化をすることにより、「臨地実務実習Ｉ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ｉの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また、「臨地実務実習Ⅱ」では、「臨地実務実習Ｉ」で行った考察に基づき、小売店舗の経営改善を目標に、例えばオーダーシステムにおけるスマートデバイス（IoT機器）の開発や、売上データ・気象・曜日・近隣の宿泊客数といったデータから、翌日の来客数を算定する「来客予測AI」の独自開発などの各種施策を検討および実行する。このような新たな価値の創造とその提案を行うことにより、「臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">履修させる授業科目に関する事項</td><td rowspan="3">各授業科目</td><td>授業科目の名称</td><td>必修・選択・自由の別</td><td>単位数</td><td>履修予定学生数</td><td>施設実習時間数</td><td>受入予定学生・時間数</td><td>主な実習場所</td></tr>
<tr><td>臨地実務実習Ｉ</td><td>必修</td><td>５単位</td><td>４人</td><td>１５０時間</td><td>６００人･時間</td><td>本社及び営業所</td></tr>
<tr><td>臨地実務実習Ⅱ</td><td>必修</td><td>１５単位</td><td>４人</td><td>４５０時間</td><td>１８００人･時間</td><td>本社及び営業所</td></tr>
<tr><td>全　　体</td><td colspan="2">計　（　　２科目）</td><td>２０単位</td><td>のべ８人</td><td>６００時間</td><td>２４００人･時間</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4">実習の実施体制に関する事項</td><td rowspan="3">実習指導者</td><td>氏名</td><td colspan="2">所属・職名</td><td>実務経験年数</td><td colspan="2">担当授業科目</td></tr>
<tr><td>葉葺正幸</td><td colspan="2">代表取締役社長</td><td>５年</td><td colspan="2">臨地実務実習Ｉ</td></tr>
<tr><td>葉葺正幸</td><td colspan="2">代表取締役社長</td><td>５年</td><td colspan="2">臨地実務実習Ⅱ</td></tr>
<tr><td>その他の指導体制</td><td colspan="6">毎月の経営会議にて、指導状況の確認を行う。
臨地実務実習の手引きに従い、指導担当者、学生、担当教員間において、実習内容や指導内容、今後の予定、概況などを共有し、必要に応じ担当教員が現地に赴き詳細な情報共有を行う。</td></tr>
<tr><td>実習受入期間・１日当たり実習時間</td><td colspan="3">実 習 受 入 期 間</td><td colspan="3">１ 日 当 た り 実 習 時 間</td></tr>
<tr><td colspan="3">年間　　１００日</td><td colspan="3">６時間</td></tr>
<tr><td rowspan="3">その他</td><td rowspan="3">他の大学等からの実習受入予定</td><td colspan="2">他の大学等の名称</td><td>受入れ人数</td><td colspan="3">受入期間</td></tr>
<tr><td colspan="2">なし</td><td>人</td><td colspan="3">年度　　年間　　日</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>人</td><td colspan="3">年度　　年間　　日</td></tr>
</table>

	当該施設が使用できなくなった場合の代替措置	受入れ予定学生数以上の実習施設を確保できているため、現時点で当該施設が使用できなくなった場合においては、他施設を代替使用する。また、申請後も授業科目に必要な実習先確保に向けた活動を継続し、充分な実習先の確保に努める。
	備　　考	

別記様式第７号の４（その３）

臨地実務実習施設の概要

<table>
<tr><td rowspan="6">施設に関する事項</td><td>名　　称</td><td colspan="4">株式会社MGNET</td></tr>
<tr><td>所 在 地</td><td colspan="4">新潟県燕市東太田 14-3
（キャンパスからの移動方法　電車・徒歩　（所要時間　４０分））</td></tr>
<tr><td>施設の面積</td><td colspan="4">228㎡　　（うち主な実習場所の面積　　228㎡）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">開設者・管理者、従業員数</td><td>開　設　者</td><td>管　理　者</td><td colspan="2">従業員数</td></tr>
<tr><td>代表取締役　武田 修美</td><td>代表取締役　武田 修美</td><td colspan="2">11人</td></tr>
<tr><td>事業の概要</td><td colspan="4">武田金型製作所ブランド「mgn」の企画、開発、販売。
製造業を中心としたプロダクトマネジメント、コンセプトメイク、ブランディング事業。
ものづくりにまつわる地域資源の活用支援事業。</td></tr>
<tr><td>当該施設の選定理由</td><td colspan="4">同社は自社ブランドの名刺入れの企画製造販売、名刺入れ専門店の運営を手がけ、最近はプロダクトのマネジメントやブランディング、製造業の広報・PR活動などへ業務の幅を広げている。同社は「モノにエンターテイメントを。」をコンセプトに、自社製品の企画・開発のみならずものづくりを支える環境づくり（企画、開発、販売、広報）にも取り組み、さらには新たにものづくりに関わる人のためのまちづくりにも着手するとともに、多岐にわたる活動で得られた多様なデータから、データ駆動戦略を実践している。
「臨地実務実習Ⅰ」では、オンラインショッピングサイトの運営、サイト更新、集客、サポートを行う一連の業務体験を通して、検索エンジンのアルゴリズムの追求、エントリーフォーム最適化を踏まえたサイト内ユーザー行動についてのデータを可視化し、分析・解析などを行う。この各種分析によって、課題の把握、課題解決のための焦点化が可能となることにより、「臨地実務実習Ⅰ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、課題解決を焦点化、経営組織の理解、データを可視化し、手法を広く一般に周知する技法の理解等、本学の臨地実務実習Ⅰの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断すること、また、「臨地実務実習Ⅱ」では「臨地実務実習Ⅰ」で行った考察に基づき、新規顧客の開拓に向けてオンラインショッピングサイトの集客増に向けた課題を抽出し、課題の克服に向けた新しい機能の追加に関する企画の開発計画案を策定したうえで経営層に対し提案し、設計・実装まで至ることにより、臨地実務実習Ⅱ」の授業到達目標となるデータの流れから見える課題の把握、データ解析によるデータ有意な規則性発見、経営課題の理解、課題解決策を実現するため計画・設計・実装・検証の一連の理解、新たな課題解決策の提案等、本学の臨地実務実習Ⅱの授業到達目標に即した実習が十分期待できると判断することから同施設の選定に至った。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="4">履修させる授業科目に関する事項</td><td rowspan="3">各授業科目</td><td>授業科目の名称</td><td>必修・選択・自由の別</td><td>単位数</td><td>履修予定学生数</td><td>施設実習時間数</td><td>受入予定学生・時間数</td><td>主な実習場所</td></tr>
<tr><td>臨地実務実習Ⅰ</td><td>必修</td><td>５単位</td><td>２人</td><td>１５０時間</td><td>３００人･時間</td><td>本社及び営業所</td></tr>
<tr><td>臨地実務実習Ⅱ</td><td>必修</td><td>１５単位</td><td>２人</td><td>４５０時間</td><td>９００人･時間</td><td>本社及び営業所</td></tr>
<tr><td>全　　体</td><td colspan="2">計　（　　２科目）</td><td>２０単位</td><td>のべ４人</td><td>６００時間</td><td>１２００人･時間</td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="4">実習の実施体制に関する事項</td><td rowspan="3">実習指導者</td><td>氏名</td><td>所属・職名</td><td>実務経験年数</td><td>担当授業科目</td></tr>
<tr><td>武田 修美</td><td>代表取締役</td><td>7年</td><td>臨地実務実習Ⅰ</td></tr>
<tr><td>武田 修美</td><td>代表取締役</td><td>7年</td><td>臨地実務実習Ⅱ</td></tr>
<tr><td>その他の指導体制</td><td colspan="4">毎月の経営会議にて、指導状況の確認を行う。
臨地実務実習の手引きに従い、指導担当者、学生、担当教員間において、実習内容や指導内容、今後の予定、概況などを共有し、必要に応じ担当教員が現地に赴き詳細な情報共有を行う。</td></tr>
<tr><td>実習受入期間・１日当たり実習時間</td><td colspan="2">実 習 受 入 期 間</td><td colspan="2">１ 日 当 た り 実 習 時 間</td></tr>
<tr><td colspan="2">年間　　１００日</td><td colspan="2">6時間</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>その他</td><td>他の大学等からの実習受入予定</td><td>他の大学等の名称</td><td>受入れ人数</td><td>受入期間</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>なし</td><td>人</td><td>年度　　年間　　日</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>人</td><td>年度　　年間　　日</td></tr>
</table>

	当該施設が使用できなくなった場合の代替措置	受入れ予定学生数以上の実習施設を確保できているため、現時点で当該施設が使用できなくなった場合においては、他施設を代替使用する。また、申請後も授業科目に必要な実習先確保に向けた活動を継続し、充分な実習先の確保に努める。
	備　　考	

審査意見への対応を記載した書類

【資料 9】

【資料9】 電子ジャーナルリスト（情報学部）

No	タイトル	出版社名
1	SIAM Journal on Computing	Society for Industrial and Applied Mathematics
2	Neural Computation	The M.I.T. Press
3	Journal of the ACM	Association for Computing Machinery
4	Computer Journal	Oxford University Press
5	Computer Science - Research and Development	Springer Nature
6	Innovations in Systems and Software Engineering	Springer Nature
7	ACM Journal of Data and Information Quality (JDIQ)	Association for Computing Machinery
8	Journal of Functional Programming	Cambridge University Press
9	Journal of Computer Security	IOS Press
10	Information Security Journal : A Global Perspective	Taylor & Francis Limited
11	AI Communications: European Journal on Artificial Intelligence	IOS Press
12	Network Science	Cambridge University Press
13	ACM Transactions on Cyber-Physical Systems	Association for Computing Machinery
14	Communications of the ACM	Association for Computing Machinery
15	IEEE Magazines: Computer Magazine	Institute of Electrical & Electronics Engineers
16	IEEE Transactions: Knowledge & Data Engineering	Institute of Electrical & Electronics Engineers

審査意見への対応を記載した書類

【資料 10】

安全上の理由の為掲載せず

米山キャンパスプロット図　1階

安全上の理由の為掲載せず

米山キャンパスプロット図　2階

安全上の理由の為掲載せず

米山キャンパスプロット図　3階

安全上の理由の為掲載せず

米山キャンパスプロット図　4階

安全上の理由の為掲載せず

米山キャンパスプロット図　5階

安全上の理由の為掲載せず

米山キャンパスプロット図　6階

安全上の理由の為掲載せず

米山キャンパスプロット図　7階

審査意見への対応を記載した書類

【資料 11】

開志専門職大学　米山キャンパス　ネットワーク系統図

参照１

参照２

参照３

参照３

Azure(IP-Sec)
Intermet Def G/W

Router *2
VRRP
2E-1R/2E-2R

UTM *2
HA
2E-1U/2E-2U

Layer2SW *2
Stack
2E-1S/2E-2S

Layer2SW *2
Stack
2E-3S/2E-4S

２芯MMF光１０G
２F左

VPN-Router
2E-1V

WLC
2E-1W

AAA
HA
2E-1A/2E-2A

DHCP
HA
2E-1D/2E-2D

Layer2SW
2E-SF

２芯MMF光１０G
２F左

Layer3SW *2
Stack-Wise
2E-1C/2E-2C

２芯MMF光１０G
１F右

２芯MMF光１０G
２F右

２芯MMF光１０G
３F右

２芯MMF光１０G
４F右

２芯MMF光１０G
５F右

２芯MMF光１０G
６F右

２芯MMF光１０G
７F右

Layer2SW
1W-FL

Layer2SW
2W-FL

Layer2SW
3W-FL

Layer2SW
4W-FL

Layer2SW
5W-FL

Layer2SW
6W-FL

Layer2SW
7W-FL

HP1920S-24G-PoE(185W)
1W-1P

HP1920S-24G
1W-1

AIR-AP2802I-Q-K9 開志未来創造研究センター
AIR-AP2802I-Q-K9 開志未来創造研究センター
AIR-AP2802I-Q-K9 事務室
AIR-AP2802I-Q-K9 事務室

開志未来創造研究センター
開志未来創造研究センター
事務室

HP1920S-24G-PoE(185W)
2W-1P

HP1920S-24G
2W-1

AIR-AP2802I-Q-K9 医務室(1)
AIR-AP2802I-Q-K9 会議室
AIR-AP2802I-Q-K9 CS・学習支援センター・図書室
AIR-AP2802I-Q-K9 CS・学習支援センター・図書室
AIR-AP2802I-Q-K9 応接室

医務室(1)
医務室(2)
会議室
CS・学習支援センター・図書室
CS・学習支援センター・図書室

HP1920S-24G-PoE(185W)
3W-1P

HP1920S-24G
3W-1

AIR-AP2802I-Q-K9 ホール
AIR-AP2802I-Q-K9 ホール
AIR-AP2802I-Q-K9 講義室(2)
AIR-AP2802I-Q-K9 講義室(2)
AIR-AP2802I-Q-K9 講義室(3)
AIR-AP2802I-Q-K9 講義室(3)

講義室(2)
講義室(3)

HP1920S-24G-PoE(185W)
4W-1P

HP1920S-24G-PoE(185W)
4W-2P

HP1920S-24G
4W-1

AIR-AP2802I-Q-K9 研究室(1)
AIR-AP2802I-Q-K9 研究室(3)
AIR-AP2802I-Q-K9 研究室(5)
AIR-AP2802I-Q-K9 研究室(7)
AIR-AP2802I-Q-K9 研究室(9)
AIR-AP2802I-Q-K9 研究室(11)
AIR-AP2802I-Q-K9 EVホールB

研究室(1)
研究室(2)
研究室(3)
研究室(4)
研究室(5)
研究室(6)
研究室(7)
研究室(8)
研究室(9)
研究室(10)
研究室(11)
研究室(12)

HP1920S-24G-PoE(185W)
5W-1P

HP1920S-24G-PoE(185W)
5W-2P

HP1920S-24G
5W-1

AIR-AP2802I-Q-K9 学部長室
AIR-AP2802I-Q-K9 研究室(14)
AIR-AP2802I-Q-K9 研究室(16)
AIR-AP2802I-Q-K9 非常勤講師控室
AIR-AP2802I-Q-K9 研究室(18)
AIR-AP2802I-Q-K9 研究室(19)
AIR-AP2802I-Q-K9 研究室(20)
AIR-AP2802I-Q-K9 EVホールB
AIR-AP2802I-Q-K9 応接室(2)

学部長室
研究室(13)
研究室(14)
研究室(15)
研究室(16)
研究室(17)
非常勤講師控室
応接室(2)
研究室(18)
研究室(19)
研究室(20)

HP1920S-24G-PoE(185W)
6W-1P

HP1920S-24G-PoE(185W)
6W-2P

HP1920S-24G
6W-1

AIR-AP2802I-Q-K9 実験・実習室(1)
AIR-AP2802I-Q-K9 実験・実習室(1)
AIR-AP2802I-Q-K9 実験・実習室(2)
AIR-AP2802I-Q-K9 実験・実習室(2)
AIR-AP2802I-Q-K9 実験・実習室(3)
AIR-AP2802I-Q-K9 実験・実習室(3)
AIR-AP2802I-Q-K9 EVホールB

実験・実習室(1)
実験・実習室(2)
実験・実習室(3)

HP1920S-24G-PoE(185W)
7W-1P

HP1920S-24G
7W-1

AIR-AP2802I-Q-K9 IoT実習室
AIR-AP2802I-Q-K9 IoT実習室
AIR-AP2802I-Q-K9 IoT実習室
AIR-AP2802I-Q-K9 IoT実習室
AIR-AP2802I-Q-K9 IoT実習室
AIR-AP2802I-Q-K9 IoT実習室

IoT実習室
IoT実習室
IoT実習室

学生ロビー(CS) AIR-AP2802I-Q-K9
学生ロビー(CS) AIR-AP2802I-Q-K9
学生ロビー(CS) AIR-AP2802I-Q-K9
学生ロビー(CS) AIR-AP2802I-Q-K9
受付
受付

HP1920S-24G-PoE(185W)
1E-1P

HP1920S-24G
1E-1

Layer2SW
1E-FL

２芯MMF光１０G
１F左

学生ロビー AIR-AP2802I-Q-K9
学生ロビー AIR-AP2802I-Q-K9
学生ロビー AIR-AP2802I-Q-K9
学生ロビー AIR-AP2802I-Q-K9

HP1920S-24G-PoE(185W)
2E-1P

Layer2SW
2E-FL

２芯MMF光１０G
２F左

演習室(1) AIR-AP2802I-Q-K9
情報処理実習室 AIR-AP2802I-Q-K9
情報処理実習室 AIR-AP2802I-Q-K9
情報処理実習室 AIR-AP2802I-Q-K9
講義室(1) AIR-AP2802I-Q-K9
講義室(1) AIR-AP2802I-Q-K9
学生自習室(1) AIR-AP2802I-Q-K9

演習室(1)
情報処理実習室
講義室(1)
学生自習室(1)

HP1920S-24G-PoE(185W)
3E-1P

HP1920S-24G-PoE(185W)
3E-2P

HP1920S-24G
3E-1

Layer2SW
3E-FL

２芯MMF光１０G
３F左

演習室(2) AIR-AP2802I-Q-K9
演習室(3) AIR-AP2802I-Q-K9
演習室(4) AIR-AP2802I-Q-K9
演習室(5) AIR-AP2802I-Q-K9
ホール AIR-AP2802I-Q-K9
EVホールA AIR-AP2802I-Q-K9
学生自習室(2) AIR-AP2802I-Q-K9

演習室(2)
演習室(3)
演習室(4)
演習室(5)
学生自習室(2)

HP1920S-24G-PoE(185W)
4E-1P

HP1920S-24G-PoE(185W)
4E-2P

HP1920S-24G
4E-1

Layer2SW
4E-FL

２芯MMF光１０G
４F左

講義室(4) AIR-AP2802I-Q-K9
講義室(4) AIR-AP2802I-Q-K9
講義室(5) AIR-AP2802I-Q-K9
講義室(5) AIR-AP2802I-Q-K9
学生休憩エリア AIR-AP2802I-Q-K9
学生控室(1) AIR-AP2802I-Q-K9

講義室(4)
講義室(5)

HP1920S-24G-PoE(185W)
5E-1P

HP1920S-24G
5E-1

Layer2SW
5E-FL

２芯MMF光１０G
５F左

講義室(6) AIR-AP2802I-Q-K9
講義室(6) AIR-AP2802I-Q-K9
講義室(6) AIR-AP2802I-Q-K9
演習室(6) AIR-AP2802I-Q-K9
演習室(6) AIR-AP2802I-Q-K9
学生控室(2) AIR-AP2802I-Q-K9

講義室(6)
演習室(6)

HP1920S-24G-PoE(185W)
6E-1P

HP1920S-24G
6E-1

Layer2SW
6E-FL

２芯MMF光１０G
６F左

実験・実習室(4) AIR-AP2802I-Q-K9
実験・実習室(4) AIR-AP2802I-Q-K9
実験・実習室(5) AIR-AP2802I-Q-K9
実験・実習室(5) AIR-AP2802I-Q-K9
演習室(7) AIR-AP2802I-Q-K9
ホール AIR-AP2802I-Q-K9

実験・実習室(4)
実験・実習室(5)
演習室(7)

HP1920S-24G-PoE(185W)
7E-1P

HP1920S-24G
7E-1

Layer2SW
7E-FL

２芯MMF光１０G
７F左

301

資料11

開志専門職大学　米山キャンパス	図面名称	ネットワーク系統図	2019/6/26

審査意見への対応を記載した書類（３月）

（目次）　事業創造学部　事業創造学科

１　＜専門職大学としての設置の趣旨が不適切＞
専門職大学制度の趣旨を踏まえ深く専門の学芸を教授研究し、専門性が求められる職業を担うための実践的かつ創造的・応用的な能力を展開させることを目的として構想されているのか疑義があるため、抜本的に構想を見直すこと。専門職大学と専門学校との違いとして、人材養成の目的や教育課程について説明されているが、専門職大学の一般的な制度ではなく既設の専門学校と本学との具体的な違いが明らかでない。専門職大学の設置の趣旨・必要性を明確にするとともに、大学において開設する授業科目として到達目標や教育水準等をどう設定し、専門職大学における学修の質をどのように確保・充実させるのかを明確にすること。
（是正意見）・・・・・・・・・・・・・・１

２　＜アドミッション・ポリシーと入学試験の関係が不明確＞
アドミッション・ポリシー等の以下の点を是正すること。
（１）入学定員 80 名に対して、特別選抜試験の募集定員を 70 名、一般選抜試験による募集定員を 10 名としているが、指定校推薦選抜、公募推薦選抜、及びアドミッション・オフィス選抜それぞれの募集定員が明らかでない。
（是正意見）・・・・・・・・・・・・・１７

（２）アドミッション・オフィス選抜では、詳細な書類審査を行うこととしているが、学生に求める書類が明らかでない。
（是正意見）・・・・・・・・・・・・・１９

（３）社会人や留学生の入学に関する選抜方法等が記載されていないため、具体的な選抜方法、入学後の履修指導等が明らかでない。
（是正意見）・・・・・・・・・・・・・２１

３　＜学生確保の見通しの分析が不十分＞
専門学校の定員を変更せず本学を設立する計画だが、既設の本分野の専門学校は定員未充足であり、専門学校と並置して、専門職大学の定員が充足するか疑義がある。また、学生確保の見込みの根拠資料の一つとして、競合校の志願倍率を示しているが、社会的役割や育成する人材像等が大きく異なる他の大学を比較対象に挙げており、大学の目

標に応じた適切な比較対象の学校が選ばれておらず、最終的な入学者数については明示されておらず、適切な根拠とは言えない。専門職大学である本学の優位性を示した学生確保の見通しについて、その妥当性も含めて説明すること。

（是正意見）・・・・・・・・・・・・・２４

４　＜教育課程の体系性が不明＞

カリキュラムマップやシラバスから教育課程の体系性が読み取れないため、科目間の相互関係や科目の取得順序など、具体的にどのような履修体制となっているか不明確である。そのため、養成する人材像ごとに進路や活躍する分野に応じて、体系性のある履修が担保されているかを明確に説明すること。

（是正意見）・・・・・・・・・・・・・３２

５　＜教育水準に疑義がある科目＞

「実践行動学Ⅰ～Ⅲ」、「キャリアデザインⅠ～Ⅲ」、「情報リテラシー」及び「日本語コミュニケーション」の科目は、卒業に必要な単位に算入する大学水準の教育内容であるか疑義がある。シラバスが添付されていない科目はシラバスを添付した上で、大学水準の教育内容であることを明らかにするか、修正すること。

（是正意見）・・・・・・・・・・・・・４０

６　＜展開科目が不十分＞

展開科目について以下の点を明らかにし、是正すること。

（１）展開科目で設定されている各領域及び各授業科目が、専攻分野の業界等において求められている資質・能力を備えた人材像に対応しているのか不明確であるため、当該人材の社会的ニーズに係る客観的根拠を示して、展開科目の各領域、授業科目の配置の考え方、及び必要性を明確にするか修正すること。

（是正意見）・・・・・・・・・・・・・４４

（２）展開科目に、ディプロマ・ポリシーに記載している「地域産業の現状と課題の理解及び地域資源の活用促進など、地域産業の振興や活性化を推進するための創造的な能力と実践的な態度を身に付ける」科目としているが、職業専門科目の説明として引用しているディプロマ・ポリシーの「事業の創造や諸活動において必要とされる理論的かつ実践的な能力及び事業の創造や諸活動に係る職業分野全般に精通する」科目の違いが明確でなく、専攻する特定の職業分野に関連する他分野を学習する展開科目の趣旨に合致しているとは認めらない。特に「地域産業研究Ⅰ～Ⅷ」は、職業専門科目に区分すべきと考えられる。上記（１）に対応して、展開科目の考え方を明らかにするとともに、科目の配置区分を改めること。

（是正意見）・・・・・・・・・・・・５０

７　＜理論系科目が不十分＞

以下の理論系科目が不足しているため、是正すること。

（１）ディプロマ・ポリシーにおいて経営、マーケティング、会計に関する理論的かつ実践的な能力を身に付けていることを掲げているにもかかわらず、会計に関する理論的科目が不足しているため、例えば「会計学」や「財務諸表論」等の理論系科目を開講すること。

（是正意見）・・・・・・・・・・・・５４

（２）事業創造について体系的に学習するという観点から、例えば「起業論」や「アントレプレナーシップ論」等の理論系科目を開講すること。

（是正意見）・・・・・・・・・・・・５６

（３）養成する人材像に地域産業の新たな価値の創造と発展を担う専門職業人を掲げているため、地域産業について学習する観点から、例えば「地域経済学」や「中小企業論」等の理論系科目を開講すること。

（是正意見）・・・・・・・・・・・・５７

（４）養成する人材像に職業人としての倫理観や道徳意識を掲げているが、専門分野にふさわしい倫理教育が行われているのか不明なため、科目を明らかとするか、追加すること。

（是正意見）・・・・・・・・・・・・５８

８　＜教育課程における教育内容重複の疑義＞

基礎科目の「現代経済学」が必修とされているが、職業専門科目の「経済学の基礎」、「経営学の基礎」なども必修となっており、教育課程において内容の重複が考えられるため、配当年次も踏まえ科目履修の必要性を明らかにするか、修正すること。

（是正意見）・・・・・・・・・・・・５９

９　＜シラバスの記載が不十分＞

シラバスの記載について、以下の点を是正すること。

（１）各回の授業計画で記載内容の重複や履修内容が不明確なシラバスが散見され、各授業回の具体の履修内容が不明確。

（是正意見）・・・・・・・・・・・・６０

（２）授業形態として講義と演習が混在している科目において、各授業回が講義なのか演習なのか不明確。

（是正意見）・・・・・・・・・・・・・６１

（３）開講科目の体系的な履修のため、前提として履修すべき科目が不明確。

（是正意見）・・・・・・・・・・・・・６２

１０　＜臨地実務実習に関する疑義＞

臨地実務実習の以下の点を是正し、事業創造の能力が育成できる実習の質が担保されているのか明らかにすること。

（１）臨地実務実習の要項に評価基準表が示されているものの、評価基準に専攻分野の専門・知識・技能に関する具体的記述がないため、科目ごとに適切な評価基準表に修正すること。

（是正意見）・・・・・・・・・・・・・６３

（２）臨地実務実習施設について、当該学科の教育にふさわしい施設か疑義があるため、施設の選定理由を明確にするか修正すること。

（是正意見）・・・・・・・・・・・・・８０

（３）臨地実務実習施設について、学生が具体的にどのような活動を行うのか明らかでないため、実習内容や到達目標を明確にすること。

（是正意見）・・・・・・・・・・・・１０４

（４）巡回指導の体制について具体の計画がないため、各科目・施設の巡回指導担当者ごとの巡回指導計画を時間割等で示すとともに、巡回指導が支障なく実施できるか明らかにすること。

（是正意見）・・・・・・・・・・・・１０６

（５）添付されている学生のモデル時間割は、臨地実務実習の時間が考慮されていないため、学生が無理なく履修できる適切な計画が立てられていることを明確にするか修正すること。

（是正意見）・・・・・・・・・・・１０７

（６）臨地実務実習については、学生を企業等の事業者の実務に従事させるものであることから、その実施方法や管理、手当等の実態によっては、実習先業者と学生の間

に使用従属関係が認められ、労働関係法令が適用される場合があるが、このことに留意して実習の計画が策定されているか不明なため、明らかにすること。

（是正意見）・・・・・・・・・・・・１０８

１１　＜40 人を超えて教育を行う可能性がある科目の説明が不足＞

選択科目は学生の受講希望人数によっては、40 人以上が一度に科目を受講する可能性が想定されるため、40 人を超える履修希望者が出た場合にどのように対応するのか明確にすること。

（是正意見）・・・・・・・・・・・・１０９

１２　＜取得可能な資格が不明確＞

本学部を修了することで取得可能な資格等が不明確なため、明らかにすること。

（是正意見）・・・・・・・・・・・・１１０

１３　＜教育課程連携協議会の構成員の改善＞

教育課程連携協議会の構成員について、以下の点の改善が望ましい。

（１）教職員の委員が１名しかいないため、学内意見を聴取する観点から、教職員を追加することが望ましい。

（改善意見）・・・・・・・・・・・・１１２

（２）協力の委員が１名しかいないため、事業創造の観点から、地域や地場産業の委員を追加することが望ましい。

（改善意見）・・・・・・・・・・・・１１３

１４　＜教員の過大な授業負担＞

就任予定の専任教員に年間担当単位数が過大な教員がいるため、教員が研究活動を行う時間が確保されているのか疑義がある。教員ごとに勤務表を作成し、教育と研究が両立する勤務体制となっていることを明らかにすること。

（是正意見）・・・・・・・・・・・・１１４

１５　＜教員の年齢構成が著しく高齢に偏っている＞

教員の年齢構成が著しく高齢に偏っていることから、教育研究の継続性を踏まえ、若手教員の採用計画など教員組織の将来構想を明確にするとともに、教員配置の適正化を図ること。

（是正意見）・・・・・・・・・・・・１１５

１６　＜理論系科目を担当できる教員が不足＞

ディプロマ・ポリシーに地域産業の発展を目的とした事業の創造や諸活動において必要とされる経営、マーケティング、会計に関する理論的かつ実践的な能力を身に付けていることと掲げているにもかかわらず、会計に関する理論系科目を担当することができる教員が不足しているため、適切な教員組織を構築すること。

（是正意見）・・・・・・・・・・・１１７

１７　＜学則について疑義＞

学則の第 10 条の２で「教授会は、全学部の専任の教授をもって構成する。」とされているが、全学で１つの教授会とするのか、学部ごとに設けるのか不明なため、明確にするか修正すること。

（是正意見）・・・・・・・・・・・１１８

１８　＜図書数が不十分＞

図書館が大学の教育研究に必要な水準で整備されているのか懸念されるため、専攻分野の図書等について、教育研究上の必要性の観点から十分な内容及び冊数であることを明確にするか修正すること。

（是正意見）・・・・・・・・・・・１２０

１９　＜施設・設備が十分か不明確＞

教員研究室が実際の学生指導や研究活動を行うに当たり、十分なものであるのか疑義があるため、教員一人当たりの面積や研究室に備える設備、部屋のレイアウト、想定される研究内容等を明確にした上で、研究や学生指導が十分行えるか明らかにすること。

（是正意見）・・・・・・・・・・・１２６

２０　＜体育館等運動施設の利用環境が不明＞

体育館その他のスポーツ施設の代替措置について、具体の施設名、規模や各キャンパスからの距離等を明らかにし、学生の利便性についてどのように配慮されているのか明らかとすること。

（是正意見）・・・・・・・・・・・１３７

２１　＜提出書類の不備＞

校地校舎等の図面資料が、複数あるキャンパスのどれに該当するのか明記されていないため、改めて校舎図面や空地の図面について適切な資料を提出すること。その際、

キャンパスごとに各学部で使用する部屋が不明確なため、適切に色分けして資料を提出すること。

（是正意見）・・・・・・・・・・・・１４０

（是正意見）事業創造学部　事業創造学科

１　＜専門職大学としての設置の趣旨が不適切＞ 専門職大学制度の趣旨を踏まえ深く専門の学芸を教授研究し、専門性が求められる職業を担うための実践的かつ創造的・応用的な能力を展開させることを目的として構想されているのか疑義があるため、抜本的に構想を見直すこと。専門職大学と専門学校との違いとして、人材養成の目的や教育課程について説明されているが、専門職大学の一般的な制度ではなく既設の専門学校と本学との具体的な違いが明らかでない。専門職大学の設置の趣旨・必要性を明確にするとともに、大学において開設する授業科目として到達目標や教育水準等をどう設定し、専門職大学における学修の質をどのように確保・充実させるのかを明確にすること。

（対応）

専門職大学と専門学校との違いが不明確であったことから、専門職大学の目的である「深く専門の学芸を教授研究し、専門性が求められる職業を担うための実践的かつ創造的・応用的な能力を展開させる」ことを踏まえたうえで、専門学校との違いについて人材養成の目的や教育課程などの観点から明確にするとともに、専門職大学として設置する事業創造学部の設置の趣旨・必要性について、国や地域における社会的ニーズを明確にし、当該ニーズを踏まえた教育上の目的や養成する人材等となるよう見直したうえで、専門職大学としての学修の質の確保や充実についての考え方を明確にすることにより、専門職大学制度の趣旨を踏まえた構想となるよう抜本的な見直しを行った。

１　既設の専門学校との違い －教育上の目的と養成する人材の違い－

（１）専門学校の事業創造学科の教育上の目的と養成する人材等

既設の専門学校の事業創造学科では、「経営分野の基礎的な知識と技能の習得とともに、事業活動に必要となる実務能力の育成」を教育上の目的として、「事業活動の現場において共通して必要とされる基礎知識や実務能力を有した人材」を養成することとしている。

（２）専門職大学の事業創造学部の教育上の目的と養成する人材等

経済産業省が掲げている地域イノベーションでは、「地域経済の活性化を図っていくためには、地域の潜在能力を結集してイノベーションを創出し、新事業・新産業を起こすことが必要」としており、また、中小企業地域資源活用促進法では、「地域経済が自立的・持続的な成長を実現していくために、各地域の強みである地域資源（産地の技術、農林水産品、観光資源）を活用した中小企業の新商品・新サービスの開発・市場化を総合的に支援する」としており、「新事業や新産業を起こすこと」及び「地域資源を活用した新商品や新サービスの開発・市場化」が求められている。

【資料１】「中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の促進に関する法律」「地域イノベーション」

【資料２】「地域産業資源活用事業の促進に関する基本方針」

一方、新潟県の「にいがた未来創造プラン」では、「厚みのある産業基盤や多様な地域資源など、地域の個性を大切にしながら、産業の振興と高付加価値化を図るとともに、本県の魅力や強みを最大限にアピールし、人流・物流の活性化の流れを本県の活力や賑わいにつなげていく」として、高い付加価値を生み出す企業の創出・成長促進にむけて、「高い付加価値を生む新事業・新業態への展開、技術開発や経営革新、外部リソースの活用・連携など、中小企業を含めた意欲ある県内企業等の新たな取組を支援する」としており、「厚みのある産業基盤や多様な地域資源など、地域の個性を大切にしながら、産業の振興と高付加価値化を図る」ことが求められている。

【資料３】新潟県総合計画「にいがた未来創造プラン」抜粋

このように、国や地域では、地域経済の活性化を図るためには、「新事業・新産業を起こすことが必要である」としており、その際、「各地域の強みである地域資源を活用した新商品・新サービスの開発・市場化」や「多様な地域資源など、地域の個性を大切にしながら、産業の振興と高付加価値化を図る」など、「地域の資源を活用する」ことが重要であるとしている。

上記のような社会的ニーズに対応するためには、専門職を担うための理論にも裏付けられた高度な実践力としての「事業活動や商品開発に関する専門的な知識や能力」が必要であり、加えて、職業分野において創造的な役割を担うための応用的な能力としての「地域資源を活用した新商品や新サービスを開発・市場化するために必要となる知識や能力」の育成が必要であることから、このような社会的なニーズを踏まえたうえで、下記の通り、事業創造学部の教育研究上の目的と養成する人材等を定めることとした。

事業創造学部の教育研究上の目的は、「経営分野の専門的な知識と技術及び技能の定着と実践力の深化を図り、実社会や職業とのかかわりを通して、高い職業意識や職業観と規範意識、人間関係力に根ざした実践力を高めるとともに、課題を探求し解決する基礎的な能力を養い、地域の資源を新商品や新サービスの開発に活用できる創造的な能力を育てる」こととする。

事業創造学部で養成する人材は、「職業人としての倫理観や道徳意識、起業家精神などを身に付け、起業家、事業承継者、企業内起業家として、事業活動や商品開発を行うために必要となる専門的な知識と能力に加えて、地域の魅力や特徴に関する知識を有し、地域の資源を新商品や新サービスに活用するための能力と消費者の視点に立って正しく問題を解決するための考え方を身に付けて、地域経済の活性化に貢献できる人材」とする。

この養成する人材の目的を達成するために、以下の通り、学位授与の方針を定めることとし、教育課程における「基礎科目」、「職業専門科目」、「展開科目」及び「総合科目」の各科目群に配置している講義と演習や実習を通して、「職業を担うための実践的な能力」と「創造的な役割を担うための応用的な能力」を養うための教育を展開する。

養成する人材の目的を達成するための学位授与の方針は、以下の通りとする。

【学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー)】

1　職業人としての望ましい心構えや人間性と自律・自立して学習できる能力と態度を有し、現代社会に関する幅広い知識や汎用的技能を身に付けている。

2　事業活動に必要となる経営管理、マーケティング、会計に関する知識と能力を有し、商品やサービスを企画・開発し、販売活動を行う能力を身に付けている。

3　地域の魅力や特徴を理解し、地域の資源を活用するための知識や方法と高い付加価値を生み出すための問題や課題を解決していく能力を身に付けている。

4　個別に学修した事業活動や商品開発に関する知識や技能を総合し、地域の特徴や資源を活用しながら新商品や新サービスを創り出す能力を身に付けている。

2　既設の専門学校との違い －教育課程の違い－

既設の専門学校の事業創造学科と専門職大学として設置する事業創造学部の教育課程における授業科目の配置状況について、専門職大学設置基準第１３条で定められている科目区分に照らしてみてみると、「基礎科目」においては、事業創造学部では２１科目３１単位を配置しているのに対して、既設の専門学校の事業創造学科では、これらの教育内容に相当すると考えられる授業科目は１３科目の配置となっている。

また、「職業専門科目」においては、事業創造学部では５２科目１１８単位を配置しているのに対して、既設の専門学校の事業創造学科では、これらの教育内容に相当すると考えられる授業科目は１０科目、「展開科目」においては、事業創造学部では１０科目２０単位を配置しているのに対して、既設の専門学校の事業創造学科では、これらの教育内容に相当すると考えられる授業科目は１科目、「総合科目」においては、事業創造学部では１科目４単位を配置しているのに対して、既設の専門学校の事業創造学科では、これらの教育内容に相当すると考えられる授業科目は２科目となっている。

このように、専門職大学として設置する事業創造学部では、教育研究上の目的と養成する人材や学位授与の方針を達成するために必要となる授業科目を充実して配置しており、専門職大学における学修の質を確保することとしている。

また、既設の専門学校の事業創造学科と専門職大学として設置する事業創造学部の教育課程の具体的な違いとしては、例えば、既設の専門学校の事業創造学科と専門職大学として設置する事業創造学部では、共に「経営学分野」を教育又は組織として研究対象とする中心的な学問分野としており、この「経営学分野」における教育課程の編成の状況をみると、専門職大学の事業創造学部では、理論にも裏付けられた高度な実践力を養うことから、以下に示す通り、専門学校の事業創造学科に比して、理論的かつ実践的な能力を育成するための授業科目を充実して配置しており、専門職大学としての学修の質を確保する教育課程としている。

【資料４】「事業創造学部事業創造学科と同じ分野の専門学校との教育課程比較」

（１）専門学校の事業創造学科の教育課程

既設の専門学校の事業創造学科では、「経営分野」の職業に必要とされる知識や技能を習得することから、「経営分野」の授業科目を中心とする教育課程の編成としており、経営分野の知識を習得するための科目として、「経営学概論」、「マーケティング」、「グローバル戦略論」、「企業会計」の４科目を配置し、会計分野の実務的な能力を習得する科目として、「会計実務実習」を配置している。

（２）専門職大学の事業創造学部の教育課程

専門職大学の事業創造学部では、組織として研究対象とする中心的な学問分野を「経営学分野」としていることから、経営管理に関する基礎的な理論を学ぶ科目として、「経営学の基礎」、「経営戦略論」、「経営組織論」の３科目に加えて、経営管理に必要となる経済と法律に関する基礎理論を学ぶ科目として、「経済学の基礎」、「地域経済産業論」、「実践日本ビジネス法」を配置するとともに、経営管理に関する実践的な能力を養う科目として、「経営戦略策定演習」を配置している。

また、マーケティングに関する基礎理論を学ぶ科目として、「マーケティング」、「流通論の基礎」、「消費者行動研究」、「実践的統計学」の４科目を配置し、マーケティングに関する実践的な能力を養う科目として、「デジタルマーケティング」、「広報戦略の実践」の２科目を配置している。

さらに、会計に関する基礎理論を学ぶ科目として、「会計学」、「財務諸表論」、「簿記概論」、「資金調達の実践」の４科目を配置し、会計に関する実践的な能力を養う科目として、「財務諸表分析」、「簿記演習」の２科目を配置している。

そのうえで、経営管理、マーケティング、会計に関する実践的な能力を高めるために企業内実習を設定し、「企業内実習Ⅰ」、「企業内実習Ⅱ」、「企業内実習Ⅲ」を必修化することにより、産業界等と緊密に連携した実践的な能力の修得にむけた教育課程としている。

なお、教育課程の編成に際しては、既設の専門学校の事業創造学科では、専門分野の専任教員による教育課程の編成が行われ、「教育課程編成委員会」にて現在のカリキュラムについて実務に関する知見を有している方からの助言を教育課程の編成の参考にしているが、専門職大学の事業創造学部では、地域社会や産業界からの意見を取り入れる仕組みとして、「教育課程連携協議会」を設置し、地域や産業界の関係者の意見を反映し、地域の産業ニーズに対応した教育課程の編成としているとともに、状況の変化に応じて、授業科目の内容、教育課程の構成等について、不断の見直しを行うこととしている。

３　既設の専門学校との違い －教員組織の違い－

既設の専門学校の事業創造学科では、「経営分野」の職業に必要とされる知識や技能を習得することから、実務に関する経験を有する専任教員１人、経営管理修士（専門職）の

学位を有する専任教員１人、専門学校教育歴を有する専任教員１人の合計３人を配置しており、博士の学位を有する専任教員は配置していない。

一方、専門職大学の事業創造学部では、専門職大学設置基準第３５条で定められている基準教員数１２人に対して１９人の専任教員を配置する計画としており、専任教員の職位別の配置状況は、教授１１人、准教授５人、講師２人、助教１人から構成するとともに、博士又は修士の学位、研究上の業績、大学における教育歴、専攻分野に関する実務上の業績、専攻分野について優れた知識及び経験を有する者を配置している。

特に、既設の専門学校の事業創造学科との違いとしては、専門職大学の事業創造学部では、深く専門の学芸を教授研究することから、博士の学位又は修士の学位を有し、研究上の業績を有する者、大学において教授、准教授、講師又は助教の経歴のある者、企業等に在職し、実務に係る研究上の業績を有する者など、研究能力を有する専任教員１６人を配置するとともに、専攻分野における５年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する専任教員９人を配置することとしており、専門職大学における教育研究水準の維持向上を図るための教員組織としている。

４　事業創造学部の設置の趣旨・必要性

経済産業省が掲げている地域イノベーションでは、「地域経済の活性化を図っていくためには、地域の潜在能力を結集してイノベーションを創出し、新事業・新産業を起こすことが必要」としており、また、中小企業地域資源活用促進法では、「地域経済が自立的・持続的な成長を実現していくために、各地域の強みである地域資源（産地の技術、農林水産品、観光資源）を活用した中小企業の新商品・新サービスの開発・市場化を総合的に支援する」としており、「新事業や新産業を起こすこと」及び「地域資源を活用した新商品や新サービスの開発・市場化」が求められている。

【資料１】「中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の促進に関する法律」「地域イノベーション」

【資料２】「地域産業資源活用事業の促進に関する基本方針」

一方、新潟県の「にいがた未来創造プラン」では、「厚みのある産業基盤や多様な地域資源など、地域の個性を大切にしながら、産業の振興と高付加価値化を図るとともに、本県の魅力や強みを最大限にアピールし、人流・物流の活性化の流れを本県の活力や賑わいにつなげていく」として、高い付加価値を生み出す企業の創出・成長促進にむけて、「高い付加価値を生む新事業・新業態への展開、技術開発や経営革新、外部リソースの活用・連携など、中小企業を含めた意欲ある県内企業等の新たな取組を支援する」としており、「厚みのある産業基盤や多様な地域資源など、地域の個性を大切にしながら、産業の振興と高付加価値化を図る」ことが求められている。

【資料３】新潟県総合計画「にいがた未来創造プラン」抜粋

このように、国や地域では、地域経済の活性化を図るためには、「新事業・新産業を起こすことが必要である」としており、その際、「各地域の強みである地域資源を活用した新商品・新サービスの開発・市場化」や「多様な地域資源など、地域の個性を大切にしながら、産業の振興と高付加価値化を図る」など、「地域の資源を活用する」ことが重要であるとしている。

上記のような社会的ニーズに対応するためには、専門職を担うための理論にも裏付けられた高度な実践力としての「事業活動や商品開発に関する専門的な知識や能力」が必要であり、加えて、職業分野において創造的な役割を担うための応用的な能力としての「地域資源を活用した新商品や新サービスを開発・市場化するために必要となる知識や能力」の育成が必要であり、「経営分野の基礎的な知識と技能の習得とともに、事業活動に必要となる実務能力の育成」を教育の目的としている既設の専門学校の教育組織や教育内容では、当該知識や能力を育成することは難しいと判断したことが、専門職大学として事業創造学部を設置することの趣旨である。

5　到達目標や教育水準等の設定と学修の質の確保・充実

（1）到達目標や教育水準等の設定

授業科目としての到達目標や教育水準等の設定については、学生が「何ができるようになるか」という観点から、学生が身に付けるべき知識、技能、態度などについて、事業創造学部において養成する人材や学位授与の方針を踏まえながら、整合性に考慮して設定している。

（2）学修の質の確保・充実 －授業科目の担当－

事業創造学部の授業科目の担当においては、職業専門科目の理論科目１６科目について、専任の教授又は准教授に担当させることとし、それ以外の職業専門科目２５科目についても、専任の教授、准教授、講師又は助教に担当させることとしており、基礎科目、職業専門科目、展開科目、総合科目の全体の開講科目数８４科目の約６２％にあたる５２科目を専任の教授、准教授、講師又は助教に担当させることで、専門職大学における学修の質の確保と充実を図ることとする。

（3）学修の質の確保・充実 －単位制度の実質化と厳格な成績評価－

事業創造学部では、学生に対して予め各授業における学習目標や目標達成のための授業の方法や計画を示したうえで、教室における授業だけでなく、授業の前提として読んでおくべき文献を指示するなど、学生が事前に行う準備学習・復習についても指示を与えるなど、単位制度の実質化を図るとともに、成績評価基準を明示したうえで、厳格な成績評価を実施することで、専門職大学における学修の質の確保と充実を図ることとする。

（4）学修の質の確保・充実 －教育内容等の改善を図るための組織的な研修－

事業創造学部では、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な取組みとして、ＦＤ委員会を設置するとともに、学生による授業評価アンケート、教員相互の授業見学や授

業評価など、ＦＤ委員会において、授業方法の開発や改善を図るための計画を企画・立案し、実施することで、専門職大学における学修の質の確保と充実を図ることとする。

（新旧対照表）設置の趣旨を記載した書類（１２ページ）

新	旧
（７）事業創造学部の設置の目的及び養成する人材 **１） 教育上の目的** 事業創造学部では、組織として教育研究対象とする中心的な学問分野を「経営学分野」として、「経営分野の専門的な知識と技術及び技能の定着と実践力の深化を図り、実社会や職業とのかかわりを通して、高い職業意識や職業観と規範意識、人間関係力に根ざした実践力を高めるとともに、課題を探求し解決する基礎的な能力を養い、地域の資源を新商品や新サービスの開発に活用できる創造的な能力を育てる」ことを教育上の目的とする。	**（７）事業創造学部の設置の目的及び養成する人材** **１）教育上の目的** 事業創造学部では、「地域産業の発展を目的とした経済活動を展開するために必要となる基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、事業を創造することや事業を展開することの意義や役割について理解させるとともに、事業創造や事業活動を主体的、合理的、かつ倫理観をもって行い、地域経済の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる」ことを教育上の目的とする。 なお、事業創造学部では、組織として教育研究対象とする中心的な学問分野を「経営分野」、「マーケティング分野」、「会計分野」とする。

（新旧対照表）設置の趣旨を記載した書類（１３ページ）

新	旧
２）養成する人材 事業創造学部では、「職業人としての倫理観や道徳意識、起業家精神などを身に付け、起業家、事業承継者、企業内起業家として、事業活動や商品開発を行うために必要となる専門的な知識と能力に加えて、地域の魅力や特徴に関する知識を有し、地域の資源を新商品や新サービスに活用するための能力と消費者の視点に立って正しく問題を解決するための考え方を身に付けて、地域経済の活性化に貢献できる人材」を養成する。	**２）養成する人材** 事業創造学部では、「職業人としての倫理観や道徳意識、起業家精神などを身に付け、産業構造の急速な転換など経済社会を取り巻く環境の変化に適切に対応して、事業の創造や諸活動に関する理論に裏付けられた実践力を有して、新たなモノやサービスを創造的、主体的、かつ合理的に創り出し、地域産業の新たな価値の創造と発展を担う専門職業人」を養成する。

この養成する人材の目的を達成するために、以下の通り、学位授与の方針を定めることとし、教育課程における「基礎科目」、「職業専門科目」、「展開科目」及び「総合科目」の各科目群に配置している講義と演習や実習を通して、「職業を担うための実践的な能力」と「創造的な役割を担うための応用的な能力」を養うための教育を展開する。	この養成する人材の目的を達成するために、以下の通り、学位授与の方針を定めることとし、教育課程における「基礎科目」、「職業専門科目」、「展開科目」及び「総合科目」の各科目群に配置している講義と演習や実習を通して、「理論に裏付けられた実践力」、「新たなモノやサービスを創り出す創造力」を養うための教育を展開する。

（新旧対照表）設置の趣旨を記載した書類（１３ページ）

新	旧
２）養成する人材 【学位授与の方針 （ディプロマ・ポリシー）】 １　職業人としての望ましい心構えや人間性と自律・自立して学習できる能力と態度を有し、現代社会に関する幅広い知識や汎用的技能を身に付けている。 ２　事業活動に必要となる経営管理、マーケティング、会計に関する知識と能力を有し、商品やサービスを企画・開発し、販売活動を行う能力を身に付けている。 ３　地域の魅力や特徴を理解し、地域の資源を活用するための知識や方法と高い付加価値を生み出すための問題や課題を解決していく能力を身に付けている。 ４　個別に学修した事業活動や商品開発に関する知識や技能を総合し、地域の特徴や資源を活用しながら新商品や新サービスを創り出す能力を身に付けている。	**２）養成する人材** 【学位授与の方針 （ディプロマ・ポリシー）】 １　職業人としての望ましい心構えや人間性と現代社会に関する幅広い知識や汎用的技能を有し、自律・自立して学習できる能力と態度を身に付けている。 ２　地域産業の発展を目的とした事業の創造や諸活動において必要とされる経営、マーケティング、会計に関する理論的かつ実践的な能力を身に付けている。 ３　地域産業の現状と課題を理解し、地域資源の活用促進など、地域産業の振興や活性化を推進するための創造的な能力と実践的な態度を身に付けている。 ４　個別に学修した事業の創造や諸活動に関する知識や技能を総合し、新たな事業の創造と発展を担うための実践的かつ応用的な能力を身に付けている。

（新旧対照表）設置の趣旨を記載した書類（１３ページ）

新	旧
３）　既設の専門学校との違い －教育上の目的と養成する人材の違い－ ①　専門学校の事業創造学科の教育上の目的と養成する人材等 既設の専門学校の事業創造学科では、「経営分野の基礎的な知識と技能の習得とともに、事業活動に必要となる実務能力の育成」を教育上の目的として、「事業活動の現場において共通して必要とされる基礎知識や実務能力を有した人材」を養成することとしている。 ②　専門職大学の事業創造学部の教育上の目的と養成する人材等 経済産業省が掲げている地域イノベーションでは、「地域経済の活性化を図っていくためには、地域の潜在能力を結集してイノベーションを創出し、新事業・新産業を起こすことが必要」としており、また、中小企業地域資源活用促進法では、「地域経済が自立的・持続的な成長を実現していくために、各地域の強みである地域資源（産地の技術、農林水産品、観光資源）を活用した中小企業の新商品・新サービスの開発・市場化を総合的に支援する」としており、「新事業や新産業を起こすこと」及び「地域資源を活用した新商品や新サービスの開発・市場化」が求められている。 【資料４】中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の促進に関する法律 【資料５】地域産業資源活用事業の促進に関する基本方針 一方、新潟県の「にいがた未来創造プラン」では、「厚みのある産業基盤や多様な地	（追加）

域資源など、地域の個性を大切にしながら、産業の振興と高付加価値化を図るとともに、本県の魅力や強みを最大限にアピールし、人流・物流の活性化の流れを本県の活力や賑わいにつなげていく」として、高い付加価値を生み出す企業の創出・成長促進にむけて、「高い付加価値を生む新事業・新業態への展開、技術開発や経営革新、外部リソースの活用・連携など、中小企業を含めた意欲ある県内企業等の新たな取組を支援する」としており、「厚みのある産業基盤や多様な地域資源など、地域の個性を大切にしながら、産業の振興と高付加価値化を図る」ことが求められている。 【資料6】新潟県総合計画「にいがた未来創造プラン」抜粋 　このように、国や地域では、地域経済の活性化を図るためには、「新事業・新産業を起こすことが必要である」としており、その際、「各地域の強みである地域資源を活用した新商品・新サービスの開発・市場化」や「多様な地域資源など、地域の個性を大切にしながら、産業の振興と高付加価値化を図る」など、「地域の資源を活用する」ことが重要であるとしている。 　上記のような社会的ニーズに対応するためには、専門職を担うための理論にも裏付けられた高度な実践力としての「事業活動や商品開発に関する専門的な知識や能力」が必要であり、加えて、職業分野において創造的な役割を担うための応用的な能力としての「地域資源を活用した新商品や新サービスを開発・市場化するために必要となる知識や能力」の育成が必要であることから、このような社会的なニーズを踏まえたうえで、上記の通り、事業創造学部の教育研究上	

の目的と養成する人材等を定めることとした。 ４）　既設の専門学校との違い －教育課程の違い－ 既設の専門学校の事業創造学科と専門職大学として設置する事業創造学部の教育課程における授業科目の配置状況について、専門職大学設置基準第１３条で定められている科目区分に照らしてみてみると、「基礎科目」においては、事業創造学部では２１科目３１単位を配置しているのに対して、既設の専門学校の事業創造学科では、これらの教育内容に相当すると考えられる授業科目は１３科目の配置となっている。 また、「職業専門科目」においては、事業創造学部では５２科目１１８単位を配置しているのに対して、既設の専門学校の事業創造学科では、これらの教育内容に相当すると考えられる授業科目は１０科目、「展開科目」においては、事業創造学部では１０科目２０単位を配置しているのに対して、既設の専門学校の事業創造学科では、これらの教育内容に相当すると考えられる授業科目は１科目、「総合科目」においては、事業創造学部では１科目４単位を配置しているのに対して、既設の専門学校の事業創造学科では、これらの教育内容に相当すると考えられる授業科目は２科目となっている。 このように、専門職大学として設置する事業創造学部では、教育研究上の目的と養成する人材や学位授与の方針を達成するために必要となる授業科目を充実して配置しており、専門職大学における学修の質を確保することとしている。 また、既設の専門学校の事業創造学科と専門職大学として設置する事業創造学部の	

教育課程の具体的な違いとしては、例えば、既設の専門学校の事業創造学科と専門職大学として設置する事業創造学部では、共に「経営学分野」を教育又は組織として研究対象とする中心的な学問分野としており、この「経営学分野」における教育課程の編成の状況をみると、専門職大学の事業創造学部では、理論にも裏付けられた高度な実践力を養うことから、以下に示す通り、専門学校の事業創造学科に比して、理論的かつ実践的な能力を育成するための授業科目を充実して配置しており、専門職大学としての学修の質を確保する教育課程としている。 【資料7】事業創造学部事業創造学科と同じ分野の専門学校との教育課程比較 ①　専門学校の事業創造学科の教育課程 　既設の専門学校の事業創造学科では、「経営分野」の職業に必要とされる知識や技能を習得することから、「経営分野」の授業科目を中心とする教育課程の編成としており、経営分野の知識を習得するための科目として、「経営学概論」、「マーケティング」、「グローバル戦略論」、「企業会計」の４科目を配置し、会計分野の実務的な能力を習得する科目として、「会計実務実習」を配置している。 ②　専門職大学の事業創造学部の教育課程 　専門職大学の事業創造学部では、組織として研究対象とする中心的な学問分野を「経営学分野」としていることから、経営管理に関する基礎的な理論を学ぶ科目として、「経営学の基礎」、「経営戦略論」、「経営組織論」の３科目に加えて、経営管理に必要となる経済と法律に関する基礎理論を学ぶ科目として、「経済学の基礎」、「地域経済産業論」、「実践日本ビジネス法」を配置する	

とともに、経営管理に関する実践的な能力を養う科目として、「経営戦略策定演習」を配置している。 　また、マーケティングに関する基礎理論を学ぶ科目として、「マーケティング」、「流通論の基礎」、「消費者行動研究」、「実践的統計学」の４科目を配置し、マーケティングに関する実践的な能力を養う科目として、「デジタルマーケティング」、「広報戦略の実践」の２科目を配置している。 さらに、会計に関する基礎理論を学ぶ科目として、「会計学」、「財務諸表論」、「簿記概論」、「資金調達の実践」の４科目を配置し、会計に関する実践的な能力を養う科目として、「財務諸表分析」、「簿記演習」の２科目を配置している。 　そのうえで、経営管理、マーケティング、会計に関する実践的な能力を高めるために企業内実習を設定し、「企業内実習Ⅰ」、「企業内実習Ⅱ」、「企業内実習Ⅲ」を必修化することにより、産業界等と緊密に連携した実践的な能力の修得にむけた教育課程としている。 　なお、教育課程の編成に際しては、既設の専門学校の事業創造学科では、専門分野の専任教員による教育課程の編成が行われ、「教育課程編成委員会」にて現在のカリキュラムについて実務に関する知見を有している方からの助言を教育課程の編成の参考にしているが、専門職大学の事業創造学部では、地域社会や産業界からの意見を取り入れる仕組みとして、「教育課程連携協議会」を設置し、地域や産業界の関係者の意見を反映し、地域の産業ニーズに対応した教育課程の編成としているとともに、状況の変化に応じて、授業科目の内容、教育課程の	

構成等について、不断の見直しを行うこととしている。 ５）　既設の専門学校との違い　－教員組織の違い－ 　既設の専門学校の事業創造学科では、「経営分野」の職業に必要とされる知識や技能を習得することから、実務に関する経験を有する専任教員１人、経営管理修士（専門職）の学位を有する専任教員１人、専門学校教育歴を有する専任教員１人の合計３人を配置しており、博士の学位を有する専任教員は配置していない。 　一方、専門職大学の事業創造学部では、専門職大学設置基準第３５条で定められている基準教員数１２人に対して１９人の専任教員を配置する計画としており、専任教員の職位別の配置状況は、教授１１人、准教授５人、講師２人、助教１人から構成するとともに、博士又は修士の学位、研究上の業績、大学における教育歴、専攻分野に関する実務上の業績、専攻分野について優れた知識及び経験を有する者を配置している。 特に、既設の専門学校の事業創造学科との違いとしては、専門職大学の事業創造学部では、深く専門の学芸を教授研究することから、博士の学位又は修士の学位を有し、研究上の業績を有する者、大学において教授、准教授、講師又は助教の経歴のある者、企業等に在職し、実務に係る研究上の業績を有する者など、研究能力を有する専任教員１６人を配置するとともに、専攻分野における５年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する専任教員９人を配置することとしており、専門職大学における教育研究水準の維持向上を図るための教員組織としている。	

６）　到達目標や教育水準等の設定と学修の質の確保・充実 ①　到達目標や教育水準等の設定 授業科目としての到達目標や教育水準等の設定については、学生が「何ができるようになるか」という観点から、学生が身に付けるべき知識、技能、態度などについて、事業創造学部において養成する人材や学位授与の方針を踏まえながら、整合性に考慮して設定している。 ②　学修の質の確保・充実 －授業科目の担当－ 事業創造学部の授業科目の担当においては、職業専門科目の理論科目１６科目について、専任の教授又は准教授に担当させることとし、それ以外の職業専門科目２５科目についても、専任の教授、准教授、講師又は助教に担当させることとしており、基礎科目、職業専門科目、展開科目、総合科目の全体の開講科目数８４科目の約６２％にあたる５２科目を専任の教授、准教授、講師又は助教に担当させることで、専門職大学における学修の質の確保と充実を図ることとする。 ③　学修の質の確保・充実 －単位制度の実質化と厳格な成績評価－ 事業創造学部では、学生に対して予め各授業における学習目標や目標達成のための授業の方法や計画を示したうえで、教室における授業だけでなく、授業の前提として読んでおくべき文献を指示するなど、学生が事前に行う準備学習・復習についても指示を与えるなど、単位制度の実質化を図るとともに、成績評価基準を明示したうえで、厳格な成績評価を実施することで、専門職	

大学における学修の質の確保と充実を図ることとする。 ④　学修の質の確保・充実 －教育内容等の改善を図るための組織的な研修－ 事業創造学部では、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な取組みとして、ＦＤ委員会を設置するとともに、学生による授業評価アンケート、教員相互の授業見学や授業評価など、ＦＤ委員会において、授業方法の開発や改善を図るための計画を企画・立案し、実施することで、専門職大学における学修の質の確保と充実を図ることとする。	

（是正意見）事業創造学部　事業創造学科

２　＜アドミッション・ポリシーと入学試験の関係が不明確＞ アドミッション・ポリシー等の以下の点を是正すること。 （１）入学定員 80 名に対して、特別選抜試験の募集定員を 70 名、一般選抜試験による募集定員を 10 名としているが、指定校推薦選抜、公募推薦選抜、及びアドミッション・オフィス選抜それぞれの募集定員が明らかでない。

（対応）

事業創造学部における指定校推薦選抜、公募推薦選抜、アドミッション・オフィス選抜の募集定員を明示する。

事業創造学部における指定校推薦選抜、公募推薦選抜、アドミッション・オフィス選抜の募集定員については、大学入学者選抜実施要項に定める大学における推薦入試の募集人員を踏まえたうえで、特別選抜試験の募集定員 70 名うち、指定校推薦選抜の募集定員 20 名、公募推薦選抜の募集定員 10 名、アドミッション・オフィス選抜の募集定員 40 名とする。

募集定員

各部学科	入学定員	特別選抜試験			一般選抜
		指定校 推薦選抜	公募 推薦選抜	ＡＯ選抜	
事業創造学部 事業創造学科	80 名	20 名	10 名	40 名	10 名

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（５６ページ）

新	旧
（３）選抜方法 **１）実施方法及び定員割合** 入学者選抜の実施方法は、学部における入学者選抜の受入方針を踏まえたうえで、特別選抜試験と一般選抜試験により実施するとともに、特別選抜試験においては、評価尺度の多元化を推進することから、指定校推薦選抜及び公募推薦選抜、アドミッション・オフィス選抜により実施する。 なお、特別選抜試験と一般選抜試験の募集定員の割合については、以	**（３）選抜方法** **１）実施方法及び定員割合** 入学者選抜の実施方法は、学部における入学者選抜の受入方針を踏まえたうえで、特別選抜試験と一般選抜試験により実施するとともに、特別選抜試験においては、評価尺度の多元化を推進することから、指定校推薦選抜及び公募推薦選抜、アドミッション・オフィス選抜により実施する。 なお、特別選抜試験と一般選抜試験の募集定員の割合については、

下のとおりとする。 事業創造学部では、特別選抜試験の募集定員を 70 名、一般選抜試験による募集定員を 10 名とし、特別選抜試験の指定校推薦選抜、公募推薦選抜、アドミッション・オフィス選抜の募集定員については、大学入学者選抜実施要項に定める大学における推薦入試の募集人員を踏まえたうえで、特別選抜試験の募集定員 70 名うち、指定校推薦選抜の募集定員 20 名、公募推薦選抜の募集定員 10 名、アドミッション･オフィス選抜の募集定員 40 名とする。 情報学部では、特別選抜試験の募集定員を 70 名、一般選抜試験による募集定員を 10 名とし、特別選抜試験の指定校推薦選抜、公募推薦選抜、アドミッション・オフィス選抜の募集定員については、大学入学者選抜実施要項に定める大学における推薦入試の募集人員を踏まえたうえで、特別選抜試験の募集定員 70 名うち、指定校推薦選抜の募集定員 20 名、公募推薦選抜の募集定員 10 名、アドミッション・オフィス選抜の募集定員 40 名とする。	（追加） 事業創造学部では、特別選抜試験の募集定員を 70 名、一般選抜試験による募集定員を 10 名、国際観光学部では、特別選抜試験の募集定員を 70 名、一般選抜試験による募集定員を 10 名、ＩＣＴ高度情報学部では、特別選抜試験の募集定員を 70 名、一般選抜試験による募集定員を 10 名、アニメ・マンガ学部では、特別選抜試験の募集定員を 75 名、一般選抜試験による募集定員を 5 名とする。

（是正意見）事業創造学部　事業創造学科

２　＜アドミッション・ポリシーと入学試験の関係が不明確＞ アドミッション・ポリシー等の以下の点を是正すること。 （２）アドミッション・オフィス選抜では、詳細な書類審査を行うこととしているが、学生に求める書類が明らかでない。

（対応）

アドミッション・オフィス選抜では、詳細な書類審査を行うこととしていることから、アドミッション・オフィス選抜において、学生に求める書類を明らかにした。

事業創造学部のアドミッション・オフィス選抜は、書類審査と時間を掛けた丁寧な面接を組み合わせることにより、事業の創造や諸活動に対する興味と関心や学習意欲、学部教育を受けるために必要となる基礎学力として、高等学校の教科書レベルの基礎的な知識及び自分の考えを口頭や文章により適切に表現できる能力を総合的に判定することとしており、アドミッション・オフィス選抜を受験する者に対して、調査票、自己推薦書、志望動機書、学修計画書を求めることとする。

書類審査においては、調査票と自己推薦書により、高等学校の教科書レベルの基礎的な知識と文章による表現能力について判定するとともに、志望動機書と学修計画書により、学部教育に対する興味と関心や学習意欲について判定する。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（５６ページ）

新	旧
（３）選抜方法 **３）アドミッション・オフィス選抜** アドミッション･オフィス選抜は、詳細な書類審査と時間を掛けた丁寧な面接を組み合わせることにより、入学志願者の学部教育を受けるための適性や学部教育に対する学習意欲、目的意識等を総合的に判定することとしており、アドミッション・オフィス選抜を受験する者に対して、調査票、自己推薦書、志望動機書、学修計画書を求めることとする。 志望動機書は、当該学部を志望する理由及び将来の希望進路などについて記載させることとしており、自己推薦書は、生徒活動や部活動の役	**（３）選抜方法** **３）アドミッション・オフィス選抜** アドミッション･オフィス選抜は、詳細な書類審査と時間を掛けた丁寧な面接や書類審査、学修計画書を組み合わせることにより、入学志願者の能力及び適性や学習に対する意欲、目的意識等を総合的に判定することとしている。 （追加）

員歴、部活動や課外活動などの活動実績、取得資格、留学や渡航経験、自己の長所や短所などについて記載させることとしている。 　なお、入学手続きをとった者に対しては、出身高等学校と協力しつつ、入学までに取り組むべき課題を課すなど、入学後の学習のための準備を予め用意することとする。	なお、入学手続きをとった者に対しては、出身高等学校と協力しつつ、入学までに取り組むべき課題を課すなど、入学後の学習のための準備を予め用意することとする。

（是正意見）事業創造学部　事業創造学科

２　＜アドミッション・ポリシーと入学試験の関係が不明確＞ アドミッション・ポリシー等の以下の点を是正すること。 （３）社会人や留学生の入学に関する選抜方法等が記載されていないため、具体的な選抜方法、入学後の履修指導等が明らかでない。

（対応）

社会人や留学生の入学に関する選抜方法等について明らかにしたうえで、事業創造学部における社会人や留学生の入学に関する考え方について説明した。

事業創造学部では、専門職大学としての入学者の多様性に配慮した入学者選抜の観点から、社会人や留学生についても入学者の対象として受入れることとしているが、完成年度までの間は社会人や留学生の定員枠の設定や社会人や留学生に特化した選抜方法の設定は行わず、一般選抜試験の定員枠の中で、一般選抜試験の選抜方法により受入れることとし、入学後の履修等においても一般学生と同じ条件のもとに学修が可能な者について受入れることとする。

事業創造学部における社会人や留学生の入学に関する考え方については、例えば、社会人の定員枠の設定や社会人に特化した入学者選抜を実施する場合には、実務の経験を有する者を受入れる場合の当該実務経験を通じた能力の修得を勘案した既修得単位の設定や一定期間を修業年限に通算できる仕組みの導入など、社会人の入学者選抜の制度について明確にする必要がある。

同様に、留学生の定員枠の設定や留学生に特化した入学者選抜を実施する場合には、留学生を受入れる各国の学事歴を踏まえた受験日程、日本語能力や学歴評価・認証制度、留学生受入後の住宅問題をはじめとする生活支援や経済支援など、きめ細かな受入れ体制について整備をする必要がある。

本学では、今般、新たな大学制度としての専門職大学を設置することから、開設年度から完成年度までの間に、専門職大学としての大学運営の基礎を構築するとともに、大学教育の継続性の観点から、教育内容や教育環境の基盤を形成する期間として位置付けることとしている。

このことから、社会人や留学生の定員枠の設定や社会人や留学生に特化した入学者選抜の実施については、専門職大学開学後、教育内容や教育環境の基盤形成と併せて、地域社会のニーズや入学対象とする社会人や留学生の動向等を見極めつつ、継続的かつ安定的に社会人や留学生を受入れるための教育環境や教育体制の整備について検討する。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（５７ページ）

新	旧
９．入学者選抜の概要 （５）社会人や留学生の入学に関する考え方 社会人や留学生の入学に関する考え方については、専門職大学としての入学者の多様性に配慮した入学者選抜の観点から、社会人や留学生についても入学者の対象として受入れることとしているが、完成年度までの間は社会人や留学生の定員枠の設定や社会人や留学生に特化した入学者選抜の設定は行わず、一般選抜試験の定員枠の中で、一般選抜試験の選抜方法により受入れることとし、入学後の履修等においても一般学生と同じ条件のもとに学修が可能な者について受入れることとする。 社会人の定員枠の設定や社会人に特化した入学者選抜を実施する場合には、実務の経験を有する者を受入れる場合の当該実務経験を通じた能力の修得を勘案した既修得単位の設定や一定期間を修業年限に通算できる仕組みの導入など、社会人の入学者選抜の制度について明確にする必要がある。 同様に、留学生の定員枠の設定や留学生に特化した入学者選抜を実施する場合には、留学生を受入れる各国の学事歴を踏まえた受験日程、日本語能力や学歴評価・認証制度、留学生受入後の住宅問題をはじめとする生活支援や経済支援など、きめ細かな受入れ体制について整備をする	**９．入学者選抜の概要** （追加）

必要がある。 本学では、今般、新たな大学制度としての専門職大学を設置することから、開設年度から完成年度までの間に、専門職大学としての大学運営の基礎を構築するとともに、大学教育の継続性の観点から、教育内容や教育環境の基盤を形成する期間として位置付けることとしている。 このことから、社会人や留学生の定員枠の設定や社会人や留学生に特化した入学者選抜の実施については、専門職大学開学後、教育内容や教育環境の基盤形成と併せて、地域社会のニーズや入学対象とする社会人や留学生の動向等を見極めつつ、継続的かつ安定的に社会人や留学生を受入れるための教育環境や教育体制の整備について検討する。	

（是正意見）事業創造学部　事業創造学科

３　＜学生確保の見通しの分析が不十分＞ 専門学校の定員を変更せず本学を設立する計画だが、既設の本分野の専門学校は定員未充足であり、専門学校と並置して、専門職大学の定員が充足するか疑義がある。また、学生確保の見込みの根拠資料の一つとして、競合校の志願倍率を示しているが、社会的役割や育成する人材像等が大きく異なる他の大学を比較対象に挙げており、大学の目標に応じた適切な比較対象の学校が選ばれておらず、最終的な入学者数については明示されておらず、適切な根拠とは言えない。専門職大学である本学の優位性を示した学生確保の見通しについて、その妥当性も含めて説明すること。

（対応）

専門学校の定員未充足の理由と専門職大学と並置する理由及び専門学校の同分野の学科の定員充足にむけた今後の対応について明確にしたうえで、専門学校と並置しても専門職大学の定員が充足することについて、大学進学に関する客観的な根拠となり得るデータを示したうえで、専門職大学としての事業創造学部の学生確保の見通しについて、進学意向調査結果から明確にした。

また、想定される競合校について、大学の目標に応じた適切な比較対象となるよう見直すとともに、最終的な入学者数について明示し、適切な根拠となるよう改めた。

１　既設の専門学校の定員未充足の理由と専門職大学と並置する理由及び今後の対応

既設の専門学校の同分野の学科の定員未充足の原因は、近年の１８歳人口の減少や我が国の景気動向等が主な要因として考えられるが、他方、専門学校において養成する人材や習得する知識・能力などの教育内容に関する情報が受験生をはじめ保護者や高校教員に十分理解されていないこと、また、当該専門分野における充実した教育を受けるためには、専門学校の２年間の教育課程では不十分であると認識されていることが要因であると考えられる。

今般、専門学校の同分野の学科の定員を変更せず、専門職大学と並置することについては、新潟県では、既設の専門学校の同分野の学科に対する進学需要が少ないながらもあり、地域の進学ニーズに応えることが主な理由であり、今後の対応としては、既設の専門学校の同分野の学科の定員充足に向けて、産業界等からの人材需要や受験生の進学需要を適切に反映した教育課程や教育内容の改編に努めるとともに、専門職大学の設置後の専門学校の同分野の学科における入学者数の実態や推移を見極めつつ、学生定員の適正規模等について検討していくこととする。

なお、専門学校での事業創造の学びを希望する者は、一般的に早く職業に就くことを希望している者で、高校卒業後、短い学習期間で、企業等の現場ですぐに役立つ経営分野の実務的な能力の習得を目指す者であると考えられる。

一方、専門職大学での事業創造の学びを希望する者は、専門職として必要となる学術

的・理論的な学問としての経営学を広く学ぶとともに、専門的な知識を基盤とする実践的かつ応用的な能力の習得を目指す者であると考えられる。

このことから、専門学校での事業創造の学びを希望する者と専門職大学での事業創造の学びを希望する者では、進学する目的そのものが大きく異なるものであると考えられ、学習したい内容や習得したい能力も異なるものと推察されることから、学生募集において、専門学校の事業創造学科と専門職大学の事業創造学科が全面的な競合関係になることはないものと考えられる。

2　専門職大学としての事業創造学部の学生確保について

事業創造学部の学生確保については、以下に示す、新潟県内における１８歳人口の動向や大学進学状況、新設学部等の分野の動向及び想定される競合大学の志願者動向と定員充足状況、近隣県内の高等学校を卒業した者の新潟県内の大学への入学状況などの大学進学等に関する状況に加えて、設置構想段階で実施した進学意向調査結果における専門職大学としての事業創造学部への入学意向の数値などから、事業創造学部の学生確保は十分な見込みがあると考えられる。

（1）新潟県内の高等学校及び中学校の在籍者数による中長期的な見通し

平成３０年度の新潟県の学校基本調査（結果速報）によると、開志専門職大学の開設年度に受験対象者となる新潟県内の高等学校（全日制）に在籍している２年生の生徒数は１８，５７１人、開設２年目に受験対象者となる新潟県内の高等学校（全日制）に在籍している１年生の生徒数は１７，９７６人となっている。（表１）

（表1）高等学校の学年別生徒数

新潟県の高等学校(全日制)の生徒数（平成 30 年度）

	1 年生	2 年生	3 年生
生徒数(人)	17,976	18,571	18,215

（平成 30 年度学校基本調査統計速報より）

また、開設３年目に受験対象者となる新潟県内の中学校に在籍している３年生の生徒数は１９，０６４人、完成年度に受験対象者となる新潟県内の中学校に在籍している２年生の生徒数は１８，５１９人、完成年度の次年度に受験対象者となる新潟県内の中学校に在籍している１年生の生徒数は１７，７３２人で、新潟県の中学校を卒業した者の高等学校等への進学率（過去３年間の平均９９．６％）を勘案した場合でも、今後、新潟県内の大学受験対象者が大きく減少することはなく、中長期的な確保の見通しがあるものと思われる。（表２）

（表2）中学校の学年別生徒数

新潟県の中学校の生徒数（平成 30 年度）

	1 年生	2 年生	3 年生
生徒数(人)	17,732	18,519	19,064

（平成 30 年度学校基本調査統計速報より）

（２）新潟県内の高等学校を卒業した者の大学進学状況による見通し

平成２９年度の新潟県の学校基本調査によると、新潟県内の高等学校を卒業した者の過去３年間の大学等進学状況は、平成２９年は卒業者１９，４２７人のうち大学等進学者は８，７９９人で大学等進学率は４５．３％、平成２８年は卒業者１９，４７９人のうち大学等進学者は９，０９１人で大学等進学率は４６．７％、平成２７年は卒業者１９，８７３人のうち大学等進学者は９，２８５人で大学等進学率は４６．７％となっている。

また、新潟県内の高等学校を卒業した者の過去５年間の大学等進学率は、平成２５年の４５．０％から毎年微増源を繰り返しながら平成２９年は４５．３％となっており、１８歳人口の減少期においても安定した大学等進学状況で推移している。（表３）

（表３）高等学校の進路別卒業者の推移

高等学校卒業者の大学等進学状況

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
卒業者数	21,246	19,626	19,873	19,479	19,427
大学等進学者	9,559	9,200	9,285	9,091	8,799
大学等進学率	45.0%	46.9%	46.7%	46.7%	45.3%

（平成30年度学校基本調査統計速報より）

（３）新設学部等の分野の動向及び想定される競合大学の志願者動向と定員充足状況

日本私立学校振興・共済事業団が策定した「平成３０（２０１８）年度私立大学・短期大学等入学志願動向」の「主な学部別の志願者・入学者動向」をみると、専門職大学として設置する事業創造学部と同分野の経営学部の全国的な動向は、平成２６年から平成３０年までの５年間の入学定員に対する志願者数と志願倍率の平均は、入学定員２５，２５２人に対して志願者数２２０，６４７人、志願倍率８．７４倍と安定した志願者数と志願倍率で推移しており、入学定員充足率も５年間の平均は、１０５．１１％となっている。

さらに、平成３０年においては、入学定員２５，４３１人に対して志願者数２６８，８８８人、志願倍率１０．５７倍となっており、平成２９年の志願者数２３９，６６５人、志願倍率９．２９倍と比べると、志願者数で２９，２２３人、志願倍率で１．２８ポイン

ト増加しており、新市場や新製品の開発、新資源の獲得など経済成長の原動力となる革新と相俟って、今後も経営学部の志願者数の増加を見込むことができるものと考えられる。（表４）

（表４）学部別の志願者・入学者動向（経営学部）

年度	入学定員(人)	志願者数(人)	倍率	入学者数(人)	入学定員充足率(%)
平成26年4月	25,083	188,841	7.53	25,498	101.65
平成27年4月	24,708	193,204	7.82	25,687	103.96
平成28年4月	25,244	212,639	8.42	26,598	105.36
平成29年4月	25,796	239,665	9.29	27,888	108.11
平成30年4月	25,431	268,888	10.57	27,037	106.32
５か年平均	25,252	220,647	8.74	26,542	105.11%

参考:日本私立学校振興・共済事業団 「平成３０（２０１８）年度私立大学・短期大学等入学志向動向」

また、新潟県内において事業創造学部と同分野を有する大学で、かつ競合が想定される大学は、平成３０年４月現在、新潟経営大学経営情報学部経営情報学科（入学定員１２０人）、新潟産業大学経済学部経済経営学科（入学定員８０人）、長岡大学経済経営学部経済経営学科（入学定員８０人）、新潟国際情報大学経営情報学部経営学科（入学定員８５人）で、各大学が公表している入試方式の集計値による最近３年間の平均の志願者状況をみると、募集人員４２２人に対して志願者数８３５人、志願倍率約１．９８倍、入学定員充足率１０３．８％となっている。（表５）

（表５）最近３年間の志願者状況等

事業創造学部との競合が想定される新潟県の大学の最近３年間の志願者状況等

大学名	学部・学科	入学定員	年度	入試区分	募集人員	志願者数	志願倍率	入学者数	入学定員充足率
新潟経営大学	経営情報学部		平成28年4月	全入試合計	120	180	1.50	99	82.5%
	経営情報学科	120	平成29年4月	全入試合計	120	210	1.75	106	88.3%
			平成30年4月	全入試合計	120	187	1.56	103	85.8%
			3年間の平均倍率		120	192	1.60	103	85.6%
新潟産業大学	経済学部		平成28年4月	全入試合計	80	114	1.43	77	96.3%
	経済経営学科	80	平成29年4月	全入試合計	80	119	1.49	72	90.0%
			平成30年4月	全入試合計	80	132	1.65	65	81.3%
			3年間の平均倍率		80	122	1.52	71	89.2%
長岡大学	経済経営学部		平成28年4月	全入試合計	80	127	1.59	85	106.3%
	経済経営学科	80	平成29年4月	全入試合計	100	150	1.50	121	121.0%
			平成30年4月	全入試合計	100	187	1.87	121	121.0%
			3年間の平均倍率		93	155	1.66	109	116.8%
新潟国際情報大学	経営情報学部		平成28年4月	全入試合計	150	383	2.55	185	123.3%
	経営学科	85	平成29年4月	全入試合計	150	358	2.39	200	133.3%
（平成28年・平成29年は情報文化学部（情報コース、経営コース）の数値）			平成30年4月	全入試合計	85	359	4.22	105	123.5%
			3年間の平均倍率		128	367	2.86	105	123.5%
3年間の平均倍率					422	835	1.98	388	103.8%

一方、新潟県の平成３０年度学校基本統計速報によると、新潟県内の専門学校において事業創造学部と学問として対象とする分野が同一であると考えられる商業実務関係のビジネス、経営、経理・簿記に関する学科等に在籍している生徒数は８１５人となっている。

（表６）専門学校の学科別生徒数（経理・簿記、経営、ビジネス）

平成30年度学校基本統計速報(学校基本調査の結果速報)

第12表　専修学校の課程別・学科別生徒数（公立・私立）

単位：人、％

区分	高等課程		専門課程		一般課程		合計			対前年増減	
	平成29年度	平成30年度	平成29年度	平成30年度	平成29年度	平成30年度	平成29年度	平成30年度	構成比	実数	率
合計	148	148	14,565	14,253	559	481	15,272	14,882	100.0	△ 390	△2.6
商業	－	－	219	218	－	－	219	218	1.5	△ 1	△0.5
経理・簿記	－	－	322	306			322	306	2.1	△ 16	△5.0
秘書	－	－	27	38			27	38	0.3	11	40.7
経営	－	－	11	20			11	20	0.1	9	81.8
情報	－	－	19	15			19	15	0.1	△ 4	△21.1
ビジネス	－	－	525	489			525	489	3.3	△ 36	△6.9
その他	－	－	70	103	－	－	70	103	0.7	33	47.1

合計815
事業創造学部
参考データ

このように、事業創造学部との競合が想定される新潟県内の大学の学部・学科では、１８歳人口の減少期においても安定した志願者数の確保と志願倍率や入学定員充足の状況を維持しているとともに、事業創造学部と学問として対象とする分野が同一であると考えられる新潟県内の専門学校の学科等においても一定数の在籍者が存在していることから、専門職大学としての事業創造学部の優位性の理解を深めるための募集活動を展開することにより、事業創造学部の学生確保の見通しはあるものと考えられる。

（４）近隣県内の高等学校を卒業した者の入学者状況

近隣県内の高等学校を卒業した者で、新潟県内の大学に入学した者の最近５年間の平均値をみると、長野県内の高等学校を卒業した者の入学者数は２６６人（内、私立大学１０６人）、群馬県内の高等学校を卒業した者の入学者数は１９１人（内、私立大学３５人）、富山県内の高等学校を卒業した者の入学者数は１８７人（内、私立大学４２人）、山形県内の高等学校を卒業した者の入学者数は２８６人（内、私立大学９９人）、福島県内の高等学校を卒業した者の入学者数は２７７人（内、私立大学９６人）、秋田県内の高等学校を卒業した者の入学者数は１８０人（内、私立大学３９人）となっており、新潟県内の私立大学へ進学する者については、最近５年間の年間平均は４１６人と毎年一定程度存在していることから、今後とも近隣県内の高等学校を卒業した者の新潟県内の私立大学への進学者数を見込むことができるものと考えられる。

また、現在、新潟県と隣接している長野県、群馬県、富山県、山形県及び福島県、並びに秋田県を含む東北地域には専門職大学は設置されておらず、本学が専門職大学を設置

した場合、近隣県内の高等学校に在籍している生徒やその保護者、高等学校の教員に対して、専門職大学としての積極的な情報提供や募集活動を展開することにより、近隣県内の高等学校を卒業した者で専門職大学への進学を志望する者の受け皿になり得るとともに、近隣県内の高等学校を卒業した者の本学への進学を見込めるものと考えられる。（表７）

（表７）最近５年間の近隣県別の入学者状況

最近5年間の隣接県別の入学者状況(国立・公立・私立合計)						(単位：人)
	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年	5年平均
長野県	244	255	279	289	264	266
群馬県	192	206	216	171	169	191
富山県	163	193	197	185	198	187
山形県	305	292	252	300	279	286
福島県	279	301	264	259	281	277
秋田県	188	177	198	156	180	180
合計	1,371	1,424	1,406	1,360	1,371	1,386
※H26年度～H30年度学校基本調査　出身高校の所在地県別入学者数より作成						

最近5年間の隣接県別の入学者状況(私立のみ)						(単位：人)
	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年	5年平均
長野県	110	105	108	119	87	106
群馬県	31	44	39	31	29	35
富山県	37	40	42	52	41	42
山形県	114	94	88	102	95	99
福島県	109	102	98	85	84	96
秋田県	52	24	49	33	35	39
合計	453	409	424	422	371	416
※H26年度～H30年度学校基本調査　出身高校の所在地県別入学者数より作成						

（５）設置構想段階における進学意向調査結果

専門職大学として設置する事業創造学部の趣旨目的や教育内容等が地域的な進学需要の動向等を踏まえたものであるかを検証するために、新潟県及び隣接する長野県、富山県、山形県、福島県に所在する一部の高等学校の２年生を対象に、学部学科の名称、設置の理念、養成する人材像、設置場所、アクセス、学生納付金、競合する大学の学部学科等の名称を明示したうえで、事業創造学部への入学の意志を確認するための設問を含むアンケート調査を実施した。

その結果、開志専門職大学を「受験したいと思う」と回答した６１７人のうち、事業創

造学部へ「入学したいと思う」と回答した者は１７．３％にあたる１０７人となっており、また、「専門職大学に進学」又は「私立大学に進学」と回答した者で、開志専門職大学の「事業創造学部に入学したい」回答した者は、入学定員８０人の約８１％にあたる６５人となっている。

【資料５】開志専門職大学に関するニーズ調査【高校生対象調査】結果報告書－抜粋－

このように、新潟県及び隣接する長野県、富山県、山形県、福島県に所在する一部の高等学校に在籍している高校生の２年生に限定した調査結果においても、専門職大学として設置する事業創造学部への進学意向が確認されていることから、学生確保の見通しは十分にあるものと考えられる。

（６）専門職大学への理解と認知度を高めるための取組み－専門学校との違いについて－

専門職大学は新たな学校制度であることから、今後、専門職大学に対する受験生の理解を深めるために、以下に示す通り、制度面や教育面及び組織面などの観点から、既設の専門学校との違いについて積極的な情報を発信し、専門職大学に対する受験生の理解を得るとともに、認知度を高めることで、より多くの学生確保につながるものと考えられる。

学生募集における専門職大学と専門学校との違いについて、専門職大学は、大学制度の中に、実践的な職業教育に重点を置いた仕組みとして制度化されたものであり、産業界との密接な連携により、専門職業人材の養成強化を図り、また、大学への進学を希望する者にとっても新たな選択肢が広がるものであることについて説明し、専門職大学に対する理解を高めることとする。

そのうえで、専門職大学と専門学校との違いについて、制度面や教育面及び組織面の観点から、詳細かつ具体的に説明することとしている。

制度面においては、専門職大学は、大学制度に位置づけられるものであり、専門職大学卒業者には「学士（専門職）」の学位が授与され、この学位は「学士」相当のものであること、及び専門学校は、「職業若しくは実際生活に必要な能力を育成し、又は教養の向上を図る」ことを目的とするのに対して、専門職大学は、「深く専門の学芸を教授研究し、専門職を担うための実践的かつ応用的な能力を育成・展開する」ことを目的としていることについて説明する。

教育面においては、専門学校は、「特定職種の実務に直接必要となる知識や技能の教育」を行うのに対して、専門職大学は、「幅広い教養や学術研究の成果に基づく知識・理論とその応用の教育」を行うこと、また、専門職大学は、「産業界と連携した教育課程の編成や、豊富な実習・実務家教員の積極的起用など、専門学校教育の長所を取り入れつつ、高度な実践力の裏付けとなる理論や、豊かな創造力の基盤となる関連他分野についても学ぶ」ことについて説明する。

組織面では、専門学校では、実務に関する経験を有する教員を中心としているのに対して、専門職大学では、理論を中心とする中核的な科目に、教育上、研究上又は実務上の優

れた知識、能力及び実績を有する教員を配置したうえで、実務家教員を教員組織の中に積極的に位置づけ、その半数以上は研究能力を併せ有する実務家教員を配置していることについて説明する。

そのうえで、専門職大学の主な特徴として、「豊富な実習で、就職後に役立つ高度な実践力を身に付ける」、「理論に精通した研究者と、各業界の現場経験豊富な実務家の両方から授業を受けられる」、「学外の企業等での６００時間以上の実習を通して、実際の現場で知識と技術を学び、問題解決できる思考力を身に付ける」、「一つの専門にとどまらない学びにより、新しいアイデアを生み出せる人材、就職した業界・職業の変化をリードする人材になれる」、「卒業生には学士（専門職）の学位が授与される」ことなど、専門職大学である本学の優位性を示しながら、既設の専門学校との違いについての理解を図ることとする。

（是正意見）事業創造学部　事業創造学科

４　＜教育課程の体系性が不明＞ カリキュラムマップやシラバスから教育課程の体系性が読み取れないため、科目間の相互関係や科目の取得順序など、具体的にどのような履修体制となっているか不明確である。そのため、養成する人材像ごとに進路や活躍する分野に応じて、体系性のある履修が担保されているかを明確に説明すること。

（対応）

養成する人材像ごとの進路や活躍する分野に応じた、体系性のある履修が担保されていることについて、ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーとの関係を示したうえで、カリキュラムマップについて、カリキュラム・ポリシーを具体化し、可視化して共有する観点から見直すとともに、授業科目間の関係や年次配当が明確となるよう修正した。

【資料６】事業創造学部 事業創造学科 カリキュラム体系図

【資料７】事業創造学部 事業創造学科 履修モデル

さらに、シラバスについて、開講科目の体系的な履修が可能となるよう、前提として履修すべき科目が明確となるよう修正した。

【資料８-①】シラバス（授業計画）

１　養成する人材及びディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー

事業創造学部では、「職業人としての倫理観や道徳意識、起業家精神などを身に付け、起業家、事業承継者、企業内起業家として、事業活動や商品開発を行うために必要となる専門的な知識と能力に加えて、地域の魅力や特徴に関する知識を有し、地域の資源を新商品や新サービスに活用するための能力と消費者の視点に立って正しく問題を解決するための考え方を身に付けて、地域経済の活性化に貢献できる人材」を養成することとしている。

この養成する人材の目的を達成するために、以下の通り、学位授与の方針を定めることとし、教育課程における「基礎科目」、「職業専門科目」、「展開科目」及び「総合科目」の各科目群に配置している講義と演習や実習の体系的な履修を通して、「職業を担うための実践的な能力」と「創造的な役割を担うための応用的な能力」を養うための教育を展開する。

養成する人材の目的を達成するための学位授与の方針は、以下の通りとする。

【学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

１．職業人としての望ましい心構えや人間性と自律・自立して学習できる能力と態度を有し、現代社会に関する幅広い知識や汎用的技能を身に付けている。

２．事業活動に必要となる経営管理、マーケティング、会計に関する知識と能力を有し、商品やサービスを企画・開発し、販売活動を行う能力を身に付けている。

３．地域の魅力や特徴を理解し、地域の資源を活用するための知識や方法と高い付加価

値を生み出すための問題や課題を解決していく能力を身に付けている。

4．個別に学修した事業活動や商品開発に関する知識や技能を総合し、地域の特徴や資源を活用しながら新商品や新サービスを創り出す能力を身に付けている。

また、事業創造学部では、学位授与の方針と教育課程編成・実施の方針との一体性と整合性に留意しつつ、卒業までに学生が身に付けるべき資質や能力を修得するための教育課程編成・実施の方針を定めることとしている。

学位授与の方針を達成するための教育課程編成の方針は、以下の通りとする。

【教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー)】

① 日本語による文章表現や口頭表現の能力と外国語によるコミュニケーション能力及び情報活用や情報管理の能力を高める科目を配置する。

② 職業人として必要な職業意識や職業観と規範意識及び職業選択力や生涯学習力と現代社会に関する幅広い知識を理解する科目を配置する。

③ 経営の意義や役割と企業経営の管理や組織に関する理解及び経営倫理と経営に関連する経済や法律の知識を身に付ける科目を配置する。

④ マーケティングの意義や役割についての理解とマーケティング活動を適切かつ計画的に行うための能力を身に付ける科目を配置する。

⑤ 会計の意義と役割や目的と分類、会計の仕組みについての理解とともに、適正な会計処理を行うための能力を身に付ける科目を配置する。

⑥ 顧客満足を実現することの重要性について理解するとともに、商品を企画・開発し、販売活動を行う能力を身に付ける科目を配置する。

⑦ 起業、事業承継、企業内起業に関する知識の理解と地域産業が果たす役割や現状と課題などに関する知識を身に付ける科目を配置する。

⑧ 経営管理、マーケティング、会計に関する知識と技術を実践的な活動を通して、総合的に応用できる能力を身に付ける科目を配置する。

⑨ 地域資源を商品開発に活用するための知識や方法と高い付加価値を生み出すための問題を解決する考え方を身に付ける科目を配置する。

⑩ 地域資源を活用した新商品や新サービスの企画・開発に関する体験を通し、講義や演習で得た知識と技術の総合化を図る科目を配置する。

2 ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーとの関係

事業創造学部の養成する人材の目的を達成するためのディプロマ・ポリシーに掲げている能力を育成するためのカリキュラム・ポリシーとの関係は以下の通りである。

ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーとの関係表

ディプロマ・ポリシー		カリキュラム・ポリシー	
1	職業人としての望ましい心構えや人間性と自律・自立して学習できる能力と態度を有し、現代社会に関する幅広い知識や汎用的技能	①	日本語による文章表現や口頭表現の能力と外国語によるコミュニケーション能力及び情報活用や情報管理の能力を高める科目
		②	職業人として必要な職業意識や職業観と規範意識及び職業選択力や生涯学習力と現代社会に関する幅広い知識を理解する科目
2	事業活動に必要となる経営管理、マーケティング、会計に関する知識と能力を有し、商品やサービスを企画・開発し、販売活動を行う能力	③	経営の意義や役割と企業経営の管理や組織に関する理解及び経営倫理と経営に関連する経済や法律の知識を身に付ける科目
		④	マーケティングの意義や役割についての理解とマーケティング活動を適切かつ計画的に行うための能力を身に付ける科目
		⑤	会計の意義と役割や目的と分類、会計の仕組みについての理解とともに、適正な会計処理を行うための能力を身に付ける科目
		⑥	顧客満足を実現することの重要性について理解するとともに、商品を企画・開発し、販売活動を行う能力を身に付ける科目
		⑦	起業、事業承継、企業内起業に関する知識の理解と地域産業が果たす役割や現状と課題などに関する知識を身に付ける科目
		⑧	経営管理、マーケティング、会計に関する知識と技術を実践的な活動を通して、総合的に応用できる能力を身に付ける科目
3	地域の魅力や特徴を理解し、地域の資源を活用するための知識や方法と高い付加価値を生み出すための問題や課題を解決していく能力	⑨	地域資源を商品開発に活用するための知識や方法と高い付加価値を生み出すための問題を解決する考え方を身に付ける科目
4	個別に学修した事業活動や商品開発に関する知識や技能を総合し、地域の特徴や資源を活用しながら新商品や新サービスを創り出す能力	⑩	地域資源を活用した新商品や新サービスの企画・開発に関する体験を通し、講義や演習で得た知識と技術の総合化を図る科目

（新旧対照表）設置の趣旨を記載した書類（１３ページ）

新	旧
（７）事業創造学部の設置の目的及び養成する人材 **２）養成する人材** 事業創造学部では、「職業人としての倫理観や道徳意識、起業家精神などを身に付け、起業家、事業承継者、企業内起業家として、事業活動や商品開発を行うために必要となる専門的な知識と能力に加えて、地域の魅力や特徴に関する知識を有し、地域の資源を新商品や新サービスに活用するための能力と消費者の視点に立って正しく問題を解決するための考え方を身に付けて、地域経済の活性化に貢献できる人材」を養成する。 この養成する人材の目的を達成するために、以下の通り、学位授与の方針を定めることとし、教育課程における「基礎科目」、「職業専門科目」、「展開科目」及び「総合科目」の各科目群に配置している講義と演習や実習を通して、「職業を担うための実践的な能力」と「創造的な役割を担うための応用的な能力」を養うための教育を展開する。 養成する人材の目的を達成するための学位授与の方針は、以下の通りとする。 【学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】 １　職業人としての望ましい心構えや人間性と自律・自立して学習できる能力と態度を有し、現代社会に関する幅広い知識や汎用的技能を身に付けている。 ２　事業活動に必要となる経営管理、マーケティング、会計に関する知識と能	**（７）事業創造学部の設置の目的及び養成する人材** **２）養成する人材** 事業創造学部では、「職業人としての倫理観や道徳意識、起業家精神などを身に付け、産業構造の急速な転換など経済社会を取り巻く環境の変化に適切に対応して、事業の創造や諸活動に関する理論に裏付けられた実践力を有して、新たなモノやサービスを創造的、主体的、かつ合理的に創り出し、地域産業の新たな価値の創造と発展を担う専門職業人」を養成する。 この養成する人材の目的を達成するために、以下の通り、学位授与の方針を定めることとし、教育課程における「基礎科目」、「職業専門科目」、「展開科目」及び「総合科目」の各科目群に配置している講義と演習や実習を通して、「理論に裏付けられた実践力」、「新たなモノやサービスを創り出す創造力」を養うための教育を展開する。 養成する人材の目的を達成するための学位授与の方針は、以下の通りとする。 【学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】 １　職業人としての望ましい心構えや人間性と現代社会に関する幅広い知識や汎用的技能を有し、自律・自立して学習できる能力と態度を身に付けている。 ２　地域産業の発展を目的とした事業の創造や諸活動において必要とされる経

力を有し、商品やサービスを企画・開発し、販売活動を行う能力を身に付けている。 3　地域の魅力や特徴を理解し、地域の資源を活用するための知識や方法と高い付加価値を生み出すための問題や課題を解決していく能力を身に付けている。 4　個別に学修した事業活動や商品開発に関する知識や技能を総合し、地域の特徴や資源を活用しながら新商品や新サービスを創り出す能力を身に付けている。	営、マーケティング、会計に関する理論的かつ実践的な能力を身に付けている。 3　地域産業の現状と課題を理解し、地域資源の活用促進など、地域産業の振興や活性化を推進するための創造的な能力と実践的な態度を身に付けている。 4　個別に学修した事業の創造や諸活動に関する知識や技能を総合し、新たな事業の創造と発展を担うための実践的かつ応用的な能力を身に付けている。

（新旧対照表）設置の趣旨を記載した書類（２８ページ）

新	旧
４．教育課程の編成の考え方及び特色 **２）教育課程編成・実施の方針** 事業創造学部では、学位授与の方針と教育課程編成・実施の方針との一体性と整合性に留意しつつ、卒業までに学生が身に付けるべき資質や能力を修得するための教育課程編成・実施の方針を定めることとする。 学位授与の方針を踏まえた教育課程編成の方針は、以下の通りとする。 **【教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）】** ①　日本語による文章表現や口頭表現の能力と外国語によるコミュニケーション能力及び情報活用や情報管理の能力を高める科目を配置する。 ②　職業人として必要な職業意識や職業観と規範意識及び職業選択力や生涯学習力と現代社会に関する幅広い知識を	**４．教育課程の編成の考え方及び特色** **２）教育課程編成・実施の方針** 事業創造学部では、学位授与の方針と教育課程編成・実施の方針との一体性と整合性に留意しつつ、卒業までに学生が身に付けるべき資質や能力を修得するための教育課程編成・実施の方針を定めることとする。 学位授与の方針を踏まえた教育課程編成の方針は、以下の通りとする。 **【教育課程編成の方針（追加）】** 1　生涯にわたり自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成するための基礎・汎用及びリテラシー科目を配置する。 2　事業の創造や諸活動において必要とされる理論的かつ実践的な能力及び事業の創造や諸活動に係る職業分野全般

理解する科目を配置する。 ③　経営の意義や役割と企業経営の管理や組織に関する理解及び経営倫理と経営に関連する経済や法律の知識を身に付ける科目を配置する。 ④　マーケティングの意義や役割についての理解とマーケティング活動を適切かつ計画的に行うための能力を身に付ける科目を配置する。 ⑤　会計の意義と役割や目的と分類、会計の仕組みについての理解とともに、適正な会計処理を行うための能力を身に付ける科目を配置する。 ⑥　顧客満足を実現することの重要性について理解するとともに、商品を企画・開発し、販売活動を行う能力を身に付ける科目を配置する。 ⑦　起業、事業承継、企業内起業に関する知識の理解と地域産業が果たす役割や現状と課題などに関する知識を身に付ける科目を配置する。 ⑧　経営管理、マーケティング、会計に関する知識と技術を実践的な活動を通して、総合的に応用できる能力を身に付ける科目を配置する。 ⑨　地域資源を商品開発に活用するための知識や方法と高い付加価値を生み出すための問題を解決する考え方を身に付ける科目を配置する。 ⑩　地域資源を活用した新商品や新サービスの企画・開発に関する体験を通し、講義や演習で得た知識と技術の総合化を図る科目を配置する。 （中略） 3）ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーとの関係	に精通するための科目を配置する。 3　事業の創造や諸活動において創造的な役割を担うとともに、地域産業の新たな価値の創造と発展を担うための能力を展開させる科目を配置する。 4　事業の創造や諸活動に関する知識と技能を統合し、事業の創造や諸活動に関する実践的かつ応用的な能力を総合的に向上させる科目を配置する。 （中略） （追加）

事業創造学部の養成する人材の目的を達成するためのディプロマ・ポリシーに掲げている「１．職業人としての望ましい心構えや人間性と自律・自立して学習できる能力と態度有し、現代社会に関する幅広い知識や汎用的技能を身に付けている」については、カリキュラム・ポリシーの「① 日本語による文章表現や口頭表現の能力と外国語によるコミュニケーション能力及び情報活用や情報管理の能力を高める科目」及び「② 職業人として必要な職業意識や職業観と規範意識及び職業選択力や生涯学習力と現代社会に関する幅広い知識を理解する科目」の履修を通して育成する。 「２．事業活動に必要となる経営管理、マーケティング、会計に関する知識と能力を有し、商品やサービスを企画・開発し、販売活動を行う能力」については、カリキュラム・ポリシーの「③ 経営の意義や役割と企業経営の管理や組織に関する理解及び経営倫理と経営に関連する経済や法律の知識を身に付ける科目」、「④ マーケティングの意義や役割についての理解とマーケティング活動を適切かつ計画的に行うための能力を身に付ける科目」、「⑤ 会計の意義と役割や目的と分類、会計の仕組みについての理解とともに、適正な会計処理を行うための能力を身に付ける科目」、「⑥ 顧客満足を実現することの重要性について理解するとともに、商品を企画・開発し、販売活動を行う能力を身に付ける科目」、「⑦ 起業、事業承継、企業内起業に関する知識の理解と地域産業が果たす役割や現状と課題などに関する知識を身に付ける科目」及び「⑧ 経営管理、マーケティング、会計に関する知識と技術を実践的な活動を通して、総合的に応用できる能力を身に付	

ける科目」の履修を通して育成する。 「３．地域の魅力や特徴を理解し、地域の資源を活用するための知識や方法と高い付加価値を生み出すための問題や課題を解決していく能力」については、カリキュラム・ポリシーの「⑨ 地域資源を商品開発に活用するための知識や方法と高い付加価値を生み出すための問題を解決する考え方を身に付ける科目」の履修を通して育成する。 「４．個別に学修した事業活動や商品開発に関する知識や技能を総合し、地域の特徴や資源を活用しながら新商品や新サービスを創り出す能力」については、カリキュラム・ポリシーの「⑩ 地域資源を活用した新商品や新サービスの企画・開発に関する体験を通し、講義や演習で得た知識と技術の総合化を図る科目」の履修を通して育成する。	

（是正意見）事業創造学部　事業創造学科

5　＜教育水準に疑義がある科目＞ 「実践行動学Ⅰ～Ⅲ」、「キャリアデザインⅠ～Ⅲ」、「情報リテラシー」及び「日本語コミュニケーション」の科目は、卒業に必要な単位に算入する大学水準の教育内容であるか疑義がある。シラバスが添付されていない科目はシラバスを添付した上で、大学水準の教育内容であることを明らかにするか、修正すること。

（対応）

「実践行動学Ⅰ～Ⅲ」、「キャリアデザインⅠ～Ⅲ」、「情報リテラシー」及び「日本語コミュニケーション」の科目について、卒業に必要な単位に算入する大学水準の教育内容となるよう講義等の内容を修正するとともに、資料８の通り、シラバスを修正した。

【資料８-②】シラバス（授業計画）

１　「実践行動学Ⅰ～Ⅲ」と「キャリアデザインⅠ～Ⅲ」

（１）大学教育で必要な科目であることについて

大学卒業後、社会人として自分自身の人生に責任を持ち、どのような生き方や働き方を実現したいかを考えることは重要であると考えたことから、ディプロマ・ポリシーとして「職業人としての望ましい心構えや人間性と自律・自立して学習できる能力」を掲げ、カリキュラム・ポリシーにおいて、「職業人として必要な職業意識や職業観と規範意識及び職業選択力や生涯学習力」を習得する科目を配置することとし、当該科目として「実践行動学Ⅰ～Ⅲ」と「キャリアデザインⅠ～Ⅲ」を配置した。

（２）科目数と単位数及び教育内容を変更することについて

「実践行動学Ⅰ～Ⅲ」と「キャリアデザインⅠ～Ⅲ」では、「将来の目標の設定や達成について学習する」という点で教育内容が重複していることから、重複している教育内容を整理するとともに、ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーに掲げている目標を達成するための大学水準の教育内容となるよう見直した結果、科目の構成について、「キャリアデザインⅠ」１単位、「キャリアデザインⅡ」１単位、「キャリアデザインⅢ」１単位として変更することとし、配当年次について、「キャリアデザインⅠ」を１年次①期、「キャリアデザインⅡ」を２年次②期、「キャリアデザインⅢ」を３年次②期に改めることとした。

２　「情報リテラシー」及び「日本語コミュニケーション」

大学教育においては、知的活動でも職業生活や社会生活でも必要な基本的な技能として、コミュニケーション・スキルと情報リテラシーは必要であると考えたことから、ディプロマ・ポリシーとして「汎用的技能」を身に付けることを掲げ、カリキュラム・ポリシーにおいて、「日本語による文章表現や口頭表現の能力と外国語によるコミュニケーション能力及び情報活用や情報管理の能力を高める」科目を配置することとし、「日本語コミ

ュニケーション」と「情報リテラシー」を配置した。

このことから、「日本語コミュニケーション」と「情報リテラシー」の教育内容について、ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーに掲げている目標を達成するための卒業に必要な単位に算入する大学水準の教育内容となるよう見直した。

（新旧対照表）教育課程等の概要

新									旧								
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習
基礎科目	（削除）								基礎科目	実践行動学Ⅰ	1①	1				○	
	（削除）									実践行動学Ⅱ	2①	1				○	
	（削除）									実践行動学Ⅲ	3①	1				○	
	キャリアデザインⅠ	1①	1				○			キャリアデザインⅠ	1②	1				○	
	キャリアデザインⅡ	2②	1				○			キャリアデザインⅡ	2②	1				○	
	キャリアデザインⅢ	3②	1				○			キャリアデザインⅢ	3②	1				○	

（新旧対照表）授業科目の概要

新	旧
科目名　キャリアデザインⅠ キャリアデザインとは、理想とする将来の自分を実現するためにどのような仕事・職業や働き方が相応しいかを考え、目標設定を行い、実現に向けて設計することであり、「キャリア」とは単なる職歴ではなく、今後の生き方や働き方という意味合いがあることについて理解する。そのうえで、人生や仕事において自分自身のなりたい姿を描くことについて理解し、個々の夢や目標を実現するための心のあり方や目標設定の仕方、振り返り、生じた問題への対	科目名　キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅠ～Ⅲを通じてライフビジョンとキャリアビジョンの設定を目的とする。キャリアデザインⅠでは、本学での４年間の過ごし方や、専門職人材を目指す上での自覚、社会人として生き方や考え方等を学修する。また、キャリアビジョンの設定とともに、その実現へ向けた具体的なアクションプランを設定する。

処法など、目標に対して具体的にアプローチするための実践行動に関する知識と技法について学習する。	
科目名　キャリアデザインⅡ 他者と協調・協働して行動できる態度や他者に方向性を示し、目標を達成するために動員できる能力を養成する。集団に属しているメンバーが同じ目標を達成するために行う作業、協力、意識、行動について理解するとともに、集団や組織の場あるいは個人的な場における感情的な面も含めた人間と人間の関係について学習し、他者を理解する視点についての考察を通して、自己や自我の認識、自己と他者との関係、他者相互間の関係などの理解と人間関係の多様なあり方についての理解を深め、他者との円滑な信頼関係の構築に取り組むことができる姿勢を養う。	科目名　キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅠ～Ⅲを通じてライフビジョンとキャリアビジョンの設定を目的とする。キャリアデザインⅡでは、仕事の役割やその進め方、さらには自己の能力開発の必要性と方法等について学修する。また、社会人として必要となる様々なコミュニケーション技法や価値伝達の視点と方法についても学修するとともに、自己分析、社会環境の分析等を通じて職業観や社会人としてのあり方を確立する。
科目名　キャリアデザインⅢ 学生が将来への目的意識を明確に持てるよう、職業観を涵養し、職業に関する知識を身に付け、自己の個性を理解したうえで主体的に進路を選択できる能力及び卒業後も自律・自立して学習できる態度を育成する。外部講師による職業体験談を通じて、勤労観や職業観を養成するとともに、業界・業種・職種などの企業研究や企業が求める人材像、企業の仕組みなど職業理解を図る。また、自分の個性や性格を理解するための自己分析と職業選択の考え方や進め方について理解し、生涯にわたり学習の活動を続けていくことの必要性と学習の手段や方法を理解する。	科目名　キャリアデザインⅢ キャリアデザインⅠ～Ⅲを通じてライフビジョンとキャリアビジョンの設定を目的とする。キャリアデザインⅢでは、卒業後の人生を有意義にするために、キャリアプランを設定し、専門職の社会人としての具体的な準備に取組む。前半は進路別の就職活動の基本的なスケジュールを明確にするとともに、自己分析・理解、職業観の考察を通じ、自身の目指すべき方向性を明確にする。後半は、目指す職業の社会的意義と必要なキャリア形成について、グループワーク、ディスカッション等を通して考察する。

科目名　情報リテラシー 大学での学習活動、卒業後の職業生活や社会生活において、情報の収集、分析や資料作成等知的活動を効率的、安全に進めるために不可欠な基本的な情報処理能力を身に付けることを目的として、コンピュータやネットワークによって構築される情報環境や、基本的ソフトウェアの仕組みと活用方法、活用に当たって守るべきルール及びマナー、潜在する脅威とそこへの対応法を、演習を交えて体得・学修する。	科目名　情報リテラシー 本科目は、これからの情報社会の倫理感の醸成、情報利用者としてのモラルを含めた総合的な情報リテラシーの向上を目的として学修する。そのため、現代社会の情報資源を適切に活用するための考え方の理解と専門職業人として必要となる情報処理能力の修得を目指す。本科目では、電子掲示板、E-mail、学内 LAN などの学内情報資源の基本的な使い方と、文書作成・表計算・プレゼンテーションなどの各種ソフトウェアの活用とネットワーク上での共同作業や作成物の共有を可能にする様々なサービスの使い方・活用方法を取り上げ、専門分野の実務において通用する文書作成技法と、実践的な情報リテラシーを学修する。
科目名　日本語コミュニケーション 知的活動でも職業生活や社会生活でも必要となる日本語の運用能力を身に付けることを目標とする。書記言語によるコミュニケーションでは、簡潔で明快かつ論理的な文章を書くための基本的な知識・技術を学修する。同時に、そのような文章を書く際に不可欠な着想力や発想力、論理的思考力について理解する。音声言語によるコミュニケーションでは、実践的なスピーチ力・プレゼンテーション力を高め、的確な意見の述べ方や議論の進め方を学修する。	科目名　日本語コミュニケーション 高等教育を推し進めていく上で必要とされる「読む」「書く」「発表する」ことを中心とした日本語の文章作成能力の修得と、わかりやすい日本語表現による説明能力の修得を目標とし、その能力の継続的向上を図る講義と演習を通じ学修する。具体的には、ディクテーション（聞き書き）、口頭発表トレーニング等を行い、情報を正確に記載する力や伝える力の向上を目指すとともに、任意のテーマに沿ったレポートの作成を通じ、わかりやすい表現力向上を目指す。

（是正意見）事業創造学部　事業創造学科

6　＜展開科目が不十分＞ 展開科目について以下の点を明らかにし、是正すること。 （1）展開科目で設定されている各領域及び各授業科目が、専攻分野の業界等において求められている資質・能力を備えた人材像に対応しているのか不明確であるため、当該人材の社会的ニーズに係る客観的根拠を示して、展開科目の各領域、授業科目の配置の考え方、及び必要性を明確にするか修正すること。

（対応）

展開科目で設定されている各領域及び各授業科目が、専攻分野の業界等において求められている資質・能力を備えた人材像に対応していることについて、社会的ニーズに係る客観的根拠を示して明確にした。また、展開科目は「専攻に係る職業の分野に関連する分野における応用的な能力であって、当該職業の分野において創造的な役割を果たすために必要なものを育成する」という趣旨を踏まえたうえで、展開科目を通じて、社会的ニーズに対応した資質・能力を備えた人材像となるよう、領域を見直すとともに、新たな科目を配置した。

1　専攻分野の業界等において求められている資質・能力を備えた人材像に対応していることの社会的ニーズに係る客観的根拠

経済産業省が掲げている地域イノベーションでは、「地域経済の活性化を図っていくためには、地域の潜在能力を結集してイノベーションを創出し、新事業・新産業を起こすことが必要」としており、また、中小企業地域資源活用促進法では、「地域経済が自立的・持続的な成長を実現していくために、各地域の強みである地域資源（産地の技術、農林水産品、観光資源）を活用した中小企業の新商品・新サービスの開発・市場化を総合的に支援する」としており、「新事業や新産業を起こすこと」及び「地域資源を活用した新商品や新サービスの開発・市場化」が求められている。

【資料１】「中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の促進に関する法律」「地域イノベーション」

【資料２】「地域産業資源活用事業の促進に関する基本方針」

一方、新潟県の「にいがた未来創造プラン」では、「厚みのある産業基盤や多様な地域資源など、地域の個性を大切にしながら、産業の振興と高付加価値化を図るとともに、本県の魅力や強みを最大限にアピールし、人流・物流の活性化の流れを本県の活力や賑わいにつなげていく」として、高い付加価値を生み出す企業の創出・成長促進にむけて、「高い付加価値を生む新事業・新業態への展開、技術開発や経営革新、外部リソースの活用・連携など、中小企業を含めた意欲ある県内企業等の新たな取組を支援する」としており、「厚みのある産業基盤や多様な地域資源など、地域の個性を大切にしながら、産業の振興と高付加価値化を図る」ことが求められている。

【資料３】新潟県総合計画「にいがた未来創造プラン」抜粋

このように、国や地域では、地域経済の活性化を図るためには、「新事業・新産業を起こすことが必要である」としており、その際、「各地域の強みである地域資源を活用した新商品・新サービスの開発・市場化」や「多様な地域資源など、地域の個性を大切にしながら、産業の振興と高付加価値化を図る」など、「地域の資源を活用する」ことが重要であるとしている。

2　社会的ニーズに係る客観的根拠を踏まえた養成する人材及び学位授与の方針と教育課程編成の方針

上記のような社会的ニーズに対応するためには、専門職を担うための理論にも裏付けられた高度な実践力としての「事業活動や商品開発に関する専門的な知識や能力」が必要であり、加えて、職業分野において創造的な役割を担うための応用的な能力としての「地域資源を活用した新商品や新サービスを開発・市場化するために必要となる知識や能力」の育成が必要であることから、このような社会的なニーズを踏まえたうえで、下記の通り、事業創造学部の教育研究上の目的と養成する人材等を定めることとした。

事業創造学部の教育研究上の目的は、「経営分野の専門的な知識と技術及び技能の定着と実践力の深化を図り、実社会や職業とのかかわりを通して、高い職業意識や職業観と規範意識、人間関係力に根ざした実践力を高めるとともに、課題を探求し解決する基礎的な能力を養い、地域の資源を新商品や新サービスの開発に活用できる創造的な能力を育てる」こととする。

事業創造学部で養成する人材は、「職業人としての倫理観や道徳意識、起業家精神などを身に付け、起業家、事業承継者、企業内起業家として、事業活動や商品開発を行うために必要となる専門的な知識と能力に加えて、地域の魅力や特徴に関する知識を有し、地域の資源を新商品や新サービスに活用するための能力と消費者の視点に立って正しく問題を解決するための考え方を身に付けて、地域経済の活性化に貢献できる人材」とする。

この養成する人材の目的を達成するために、以下の通り、学位授与の方針を定めることとし、教育課程における「基礎科目」、「職業専門科目」、「展開科目」及び「総合科目」の各科目群に配置している講義と演習や実習を通して、「職業を担うための実践的な能力」と「創造的な役割を担うための応用的な能力」を養うための教育を展開する。

養成する人材の目的を達成するための学位授与の方針は、以下の通りとする。

【学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー)】

1　職業人としての望ましい心構えや人間性と自律・自立して学習できる能力と態度を有し、現代社会に関する幅広い知識や汎用的技能を身に付けている。

2　事業活動に必要となる経営管理、マーケティング、会計に関する知識と能力を有し、商品やサービスを企画・開発し、販売活動を行う能力を身に付けている。

3　地域の魅力や特徴を理解し、地域の資源を活用するための知識や方法と高い付加価値を生み出すための問題や課題を解決していく能力を身に付けている。

４　個別に学修した事業活動や商品開発に関する知識や技能を総合し、地域の特徴や資源を活用しながら新商品や新サービスを創り出す能力を身に付けている。

また、事業創造学部では、学位授与の方針と教育課程編成・実施の方針との一体性と整合性に留意しつつ、卒業までに学生が身に付けるべき資質や能力を修得するための教育課程編成・実施の方針を定めることとしている。

学位授与の方針を達成するための教育課程編成の方針は、以下の通りとする。

【教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー)】

①　日本語による文章表現や口頭表現の能力と外国語によるコミュニケーション能力及び情報活用や情報管理の能力を高める科目を配置する。

②　職業人として必要な職業意識や職業観と規範意識及び職業選択力や生涯学習力と現代社会に関する幅広い知識を理解する科目を配置する。

③　経営の意義や役割と企業経営の管理や組織に関する理解及び経営倫理と経営に関連する経済や法律の知識を身に付ける科目を配置する。

④　マーケティングの意義や役割についての理解とマーケティング活動を適切かつ計画的に行うための能力を身に付ける科目を配置する。

⑤　会計の意義と役割や目的と分類、会計の仕組みについての理解とともに、適正な会計処理を行うための能力を身に付ける科目を配置する。

⑥　顧客満足を実現することの重要性について理解するとともに、商品を企画・開発し、販売活動を行う能力を身に付ける科目を配置する。

⑦　起業、事業承継、企業内起業に関する知識の理解と地域産業が果たす役割や現状と課題などに関する知識を身に付ける科目を配置する。

⑧　経営管理、マーケティング、会計に関する知識と技術を実践的な活動を通して、総合的に応用できる能力を身に付ける科目を配置する。

⑨　地域資源を商品開発に活用するための知識や方法と高い付加価値を生み出すための問題を解決する考え方を身に付ける科目を配置する。

⑩　地域資源を活用した新商品や新サービスの企画・開発に関する体験を通し、講義や演習で得た知識と技術の総合化を図る科目を配置する。

３　社会的ニーズに照らした展開科目の各領域、授業科目の配置の考え方、及び必要性

国や地域における社会的ニーズを踏まえるとともに、展開科目は、「専攻に係る職業の分野に関連する分野における応用的な能力であって、当該職業の分野において創造的な役割を果たすために必要なものの育成」という趣旨に照らして、「地域資源を活用した新商品や新サービスを開発・市場化」するために必要となる「地域の魅力や特徴の理解と地域の資源を活用するための知識や方法」及び「顧客満足の実現と高い付加価値を生み出すための問題や課題を解決していく能力」を修得するための領域を設定する。

このことにより、学位授与の方針に掲げている「地域の魅力や特徴を理解し、地域の資

源を活用するための知識や方法と高い付加価値を生み出すための問題や課題を解決していく能力を身に付けている」ことを達成することとし、そのための教育課程編成の方針として、「地域資源を商品開発に活用するための知識や方法と高い付加価値を生み出すための問題を解決する考え方を身に付ける科目を配置する」及び「地域資源を活用した新商品や新サービスの企画・開発に関する体験を通し、講義や演習で得た知識と技術の総合化を図る科目を配置する」こととしている。

展開科目の授業科目の配置の考え方については、地域の魅力や特徴を理解するためには、地域の個性を大切にしながら、地域の魅力や強みを最大限にアピールするための基盤となる地域の社会や文化、地域の特性や特色、地域が推進する政策や施策及び地域が保有する様々な資源の理解など、地域に関する基礎的な知識と広い視野を身に付けることが必要となることから、「新潟と地域社会」２単位、「新潟と地域政策」２単位、「新潟と地域資源」２単位を必修科目として配置する。

また、地域の資源を活用するためには、地域が保有している様々な資源の活用に関する基本的な知識と実際に資源を活用するための方法についての理解が必要となることから、「地域資源活用の理論と方法」２単位、「地域資源活用の事例研究」２単位、「地域資源活用実習」２単位を必修科目として配置する。

さらに、顧客満足の実現と高い付加価値を生み出すための問題や課題を解決していくためには、地域やユーザーに向き合って正しく問題や課題を解決していく考え方や方法についての理解が必要となることから、「デザイン・シンキング概論」２単位、「ソーシャルデザインⅠ」２単位、「ソーシャルデザインⅡ」２単位、「ソーシャルデザイン実習」２単位を必修科目として配置する。

（新旧対照表）教育課程等の概要 展開科目

新								旧							
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態			科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態		
			必修	選択	講義	演習	実験・実習				必修	選択	講義	演習	実験・実習
展開科目	デザイン・シンキング概論	2①②	2		○			展開科目	デザイン・シンキング概論	2①②	2		○		
	ソーシャルデザインⅠ	2③④	2			○			ソーシャルデザインⅠ	2③④	2			○	
	ソーシャルデザインⅡ	3①②	2			○			ソーシャルデザインⅡ	3①②	2			○	
	ソーシャルデザイン実習	3③④	2				○		ソーシャルデザイン実習	3③④	2				○
	新潟と地域社会	1①②	2		○				新潟と地域社会	1③④	2		○		
	新潟と地域政策	1③④	2		○				（追加）						

	新潟と地域資源	2①②	2			○			（追加）							
	地域資源活用の理論と方法	2③④	2		○				（追加）							
	地域資源活用の事例研究	3①②	2			○			（追加）							
	地域資源活用実習	3③④	2				○		（追加）							

「授業科目の概要」の追加

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容
展開科目	新潟と地域政策	本講義では、新潟の地における各地方自治体の地域政策が、どのように住民の生活に関わっているのかについて、特に地域資源の効果的な活用、住民参画、地方自治体の行財政改革を重点的に取り上げ、今後の新潟の活性化に必要となる方策を講義する。また、国レベルでの国土計画、都市計画、農村計画等から落とし込まれる地方自治体での地域政策との関係性やその課題に対して、よりよい地域政策を模索し、地域の活性化を図るための解決策の在り方を考察する。
	新潟と地域資源	地域資源は、自然環境のほか、地域に暮らす人々が歴史的に築き上げてきた社会・産業・文化・教育などの人文的な環境、自然を利用する過程で人々が養った知恵など様々なものがあることを踏まえ、新潟の活性化に向けては、これらの地域資源の特性となる持続性と経済性、文化性、環境への配慮などを踏まえた活用の方策・計画が求められていることの理解を深めたうえで、新潟の地域資源についての基礎的な知識やその特性の理解と共に、その活用の可能性を考察する。
	地域資源活用の理論と方法	地域資源に関わる様々なアイデアやシーズを有効利用するためには、地域資源を効果的に活用するための理論とその手法の理解が重要となることを踏まえて、地域がその資源を活用して全国に発信できるものを打ち出し、域外から資金を獲得できるようにしていくことで、地域活性化に繋げることの意義を理解すると共に、その地域活性化に向けた事業を推進するためのノウハウを修得する。
	地域資源活用の事例研究	現在、地域においては、地方活性化に向けた様々な少子高齢化、グローバル化等の課題が山積する一方、改めて地域資源活用に注目し、その取り組みを強化することで地方活性化の可能性を高めることができることを踏まえ、地域資源をどのように見いだし、活用すべきか、様々な地域における地域資源活用の事例研究や、その考察を通じて、地域資源活用の重要性の理解と地域資源活用の理論と方法を修得する。
	地域資源活用実習	地域に貢献できる人材の持つべき素養として、地域の自然・歴史・文化等を学びながら、地域の多様な人々、そして地域が抱える課題に自ら繋げていく

		事が求められることを踏まえ、自らの生きる地域社会について、産学中心に学びつつ、グループ単位のフィールドワーク等を通じて、地域資源の発見とその活用方法を考察する。本講義は、地域資源に関する知識やフィールドワーク手法の修得だけでなく、地域社会の将来に対する使命感を滋養する。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（３２ページ）

新	旧
４）教育課程の編成の考え方 【展開科目】 展開科目では、専門職大学設置基準に示されている「専攻に係る特定の職業の分野に関連する分野における応用的な能力であって、当該職業の分野において創造的な役割を果たすために必要なものを育成する」という趣旨を踏まえたうえで、学位授与の方針として掲げている「３．地域の魅力や特徴を理解し、地域の資源を活用するための知識や方法と高い付加価値を生み出すための問題や課題を解決していく能力」を養う授業科目としてカリキュラム・ポリシーとの関係から次の授業科目を設定する。 ⑨ 地域資源を商品開発に活用するための知識や方法と高い付加価値を生み出すための問題を解決する考え方を身に付ける科目 「新潟と地域社会」、「新潟と地域政策」、「新潟と地域資源」 「地域資源活用の理論と方法」、「地域資源活用の事例研究」、「地域資源活用実習」 「デザイン・シンキング概論」、「ソーシャルデザインⅠ」、「ソーシャルデザインⅡ」、「ソーシャルデザイン実習」	３）教育課程の編成の考え方 ③　展開科目 展開科目では、専門職大学設置基準に示されている「専攻に係る職業の分野に関連する分野における応用的な能力であって、当該職業の分野において創造的な役割を果たすために必要なものを育成する」という趣旨を踏まえたうえで、学位授与の方針として掲げている「地域産業の現状と課題の理解及び地域資源の活用促進など、地域産業の振興や活性化を推進するための創造的な能力と実践的な態度を身に付ける」ことから、「事業の創造や諸活動において創造的な役割を担うとともに、地域産業の新たな価値の創造と発展を担うための能力を展開させる科目」により構成する。 授業科目としては、「新潟と地域社会」、「デザイン・シンキング概論」、「ソーシャルデザインⅠ」、「ソーシャルデザインⅡ」、「ソーシャルデザイン実習」、「地域産業研究Ⅰ（農林水産）」、「地域産業研究Ⅱ（医療福祉）」、「地域産業研究Ⅲ（環境）」、「地域産業研究Ⅳ（ものづくり）」、「地域産業研究Ⅴ（観光）」、「地域産業研究Ⅵ（ＩＣＴ）」、「地域産業研Ⅶ（まちづくり）」、「地域産業研究Ⅷ（カルチャー・エンタテイメント）」を配置することにより、地域産業の現状と課題の理解及び地域資源の活用促進など、地域産業の振興や活性化を推進するための創造的な能力と実践的な態度を育成する。

（是正意見）事業創造学部　事業創造学科

6　＜展開科目が不十分＞ 展開科目について以下の点を明らかにし、是正すること。 （2）展開科目に、ディプロマ・ポリシーに記載している「地域産業の現状と課題の理解及び地域資源の活用促進など、地域産業の振興や活性化を推進するための創造的な能力と実践的な態度を身に付ける」科目としているが、職業専門科目の説明として引用しているディプロマ・ポリシーの「事業の創造や諸活動において必要とされる理論的かつ実践的な能力及び事業の創造や諸活動に係る職業分野全般に精通する」科目の違いが明確でなく、専攻する特定の職業分野に関連する他分野を学習する展開科目の趣旨に合致しているとは認めらない。特に「地域産業研究Ⅰ～Ⅷ」は、職業専門科目に区分すべきと考えられる。上記（1）に対応して、展開科目の考え方を明らかにするとともに、科目の配置区分を改めること。

（対応）

専攻する特定の職業分野に関連する他分野を学習する展開科目の趣旨に合致するよう、領域を見直したうえで、新たな科目を配置するとともに、展開科目の考え方を明らかにした。

また、職業専門科目に区分すべきと考えられる「地域産業研究Ⅰ～Ⅷ」は、当初計画では、「地域産業の現状と課題の理解及び地域資源の活用促進など、地域産業の振興や活性化を推進するための創造的な能力と実践的な態度を身に付ける」ための科目として配置をしていたが、専門職大学設置基準第十三条第二項において、職業専門科目とは「専攻に係る特定の職業の分野において必要とされる理論的かつ実践的な能力及び当該職業の分野全般にわたり必要な能力を育成するための授業科目をいう」と規定されていることから、「地域産業研究Ⅰ～Ⅷ」は、職業専門科目であると判断し、科目の配置区分を改めるとともに、科目の配置区分を改めたことに伴い、以下のように整理した。

1　展開科目における領域の見直し

展開科目は、「専攻に係る特定の職業の分野に関連する分野における応用的な能力であって、当該職業の分野において創造的な役割を果たすために必要なものを育成する」という趣旨に照らして、「地域資源を活用した新商品や新サービスを開発・市場化」するために必要となる「地域の魅力や特徴の理解と地域の資源を活用するための知識や方法」及び「顧客満足の実現と高い付加価値を生み出すための問題や課題を解決していく能力」を修得するための領域を設定する。

このことにより、養成する人材として掲げている「地域の魅力や特徴に関する知識を有し、地域の資源を新商品や新サービスに活用するための能力と消費者の視点に立って正しく問題を解決するための考え方」を身に付けた人材の養成を図る。

2　展開科目における新たな科目の配置

地域の個性を大切にしながら、地域の魅力や強みを最大限にアピールするための基盤

となる地域の社会や文化、地域の特性や特色、地域が推進する政策や施策及び地域が保有する様々な資源の理解など、地域に関する基礎的な知識と広い視野を身に付けるための科目として、既に配置している「新潟と地域社会」２単位に加えて、新たに「新潟と地域政策」２単位、「新潟と地域資源」２単位を必修科目として配置する。

また、地域の資源を活用するために必要となる地域が保有している様々な資源の活用に関する基本的な知識と実際に資源を活用するための方法について理解するための科目として、新たに「地域資源活用の理論と方法」２単位、「地域資源活用の事例研究」２単位、「地域資源活用実習」２単位を必修科目として配置する。

３　展開科目の考え方

経済産業省が掲げている地域イノベーションでは、「地域経済の活性化を図っていくためには、地域の潜在能力を結集してイノベーションを創出し、新事業・新産業を起こすことが必要」としており、また、中小企業地域資源活用促進法では、「地域経済が自立的・持続的な成長を実現していくために、各地域の強みである地域資源（産地の技術、農林水産品、観光資源）を活用した中小企業の新商品・新サービスの開発・市場化を総合的に支援する」としており、「新事業や新産業を起こすこと」及び「地域資源を活用した新商品や新サービスの開発・市場化」が求められている。

【資料１】「中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の促進に関する法律」「地域イノベーション」

【資料２】「地域産業資源活用事業の促進に関する基本方針」

一方、新潟県の「にいがた未来創造プラン」では、「厚みのある産業基盤や多様な地域資源など、地域の個性を大切にしながら、産業の振興と高付加価値化を図るとともに、本県の魅力や強みを最大限にアピールし、人流・物流の活性化の流れを本県の活力や賑わいにつなげていく」として、高い付加価値を生み出す企業の創出・成長促進にむけて、「高い付加価値を生む新事業・新業態への展開、技術開発や経営革新、外部リソースの活用・連携など、中小企業を含めた意欲ある県内企業等の新たな取組を支援する」としており、「厚みのある産業基盤や多様な地域資源など、地域の個性を大切にしながら、産業の振興と高付加価値化を図る」ことが求められている。

【資料３】新潟県総合計画「にいがた未来創造プラン」抜粋

このような社会的ニーズを踏まえるとともに、展開科目は、「専攻に係る職業の分野に関連する分野における応用的な能力であって、当該職業の分野において創造的な役割を果たすために必要なものの育成」という趣旨に照らして、「地域資源を活用した新商品や新サービスを開発・市場化」するために必要となる「地域の魅力や特徴の理解と地域の資源を活用するための知識や方法」及び「顧客満足の実現と高い付加価値を生み出すための問題や課題を解決していく能力」を修得するための領域を設定する。このことにより、養成する人材として掲げている「地域の魅力や特徴に関する知識を有し、地域の資源を新商品や新サービスに活用するための能力と消費者の視点に立って正しく問題を解決するた

めの考え方」を身に付けた人材の養成を図る。

展開科目の授業科目の配置の考え方は、地域の魅力や特徴を理解するためには、地域の個性を大切にしながら、地域の魅力や強みを最大限にアピールするための基盤となる地域の社会や文化、地域の特性や特色、地域が推進する政策や施策及び地域が保有する様々な資源の理解など、地域に関する基礎的な知識と広い視野を身に付けることが必要となることから、「新潟と地域社会」２単位、２単位、「新潟と地域政策」２単位、「新潟と地域資源」２単位を必修科目として配置する。

また、地域の資源を活用するためには、地域が保有している様々な資源の活用に関する基本的な知識と実際に資源を活用するための方法についての理解が必要となることから、「地域資源活用の理論と方法」２単位及び「地域資源活用の事例研究」２単位、「地域資源活用実習」２単位を必修科目として配置する。

さらに、顧客満足の実現と高い付加価値を生み出すための問題や課題を解決していくためには、地域やユーザーに向き合って正しく問題や課題を解決していく考え方や方法についての理解が必要となることから、「デザイン・シンキング概論」２単位、「ソーシャルデザインⅠ」２単位、「ソーシャルデザインⅡ」２単位、「ソーシャルデザイン実習」２単位を必修科目として配置する。

４　職業専門科目に区分すべきと考えられる科目の修正等

「地域産業研究Ⅰ（農林水産）」、「地域産業研究Ⅱ（医療福祉）」、「地域産業研究Ⅲ（環境）」、「地域産業研究Ⅳ（ものづくり）」、「地域産業研究Ⅴ（観光）」、「地域産業研究Ⅵ（ＩＣＴ）」、「地域産業研Ⅶ（まちづくり）」、「地域産業研究Ⅷ（カルチャー・エンタテイメント）」は、新潟県をはじめ各地域産業の現状について理解するとともに、各産業において新たなビジネスや新たなサービスの考察や方策について考える科目として、自己の興味関心により、２科目以上を選択する選択必修科目として、「職業専門科目」に区分するとともに、これらの科目の前提科目となる「地域経済産業論」２単位の必修科目を新たに配置して、地域の中小企業の理解を通して、地域経済を理解する科目として設定した。

（新旧対照表）教育課程等の概要 展開科目

新				単位数		授業形態			旧			単位数		授業形態		
科目区分		授業科目の名称	配当年次	必修	選択	講義	演習	実験・実習	科目区分	授業科目の名称	配当年次	必修	選択	講義	演習	実験・実習
職業	地域	地域経済産業論	1③④	2		○			職業	（追加）						
職業	地域	地域産業研究Ⅰ	2①②		2		○		職業	科目区分を展開科目より変更						

専門科目	産業研究科目群	(農林水産)							専門科目								
		地域産業研究Ⅱ (医療福祉)	2①②		2		○			科目区分を展開科目より変更							
		地域産業研究Ⅲ(環境)	2③④		2		○			科目区分を展開科目より変更							
		地域産業研究Ⅳ (ものづくり)	3①②		2		○			科目区分を展開科目より変更							
		地域産業研究Ⅴ(観光)	3③④		2		○			科目区分を展開科目より変更							
		地域産業研究Ⅵ(ICT)	4①②		2		○			科目区分を展開科目より変更							
		地域産業研究Ⅶ (まちづくり)	4①②		2		○			科目区分を展開科目より変更							
		地域産業研究Ⅷ (カルチャー・エンタテイメント)	4③④		2		○			科目区分を展開科目より変更							
展開科目		デザイン・シンキング概論	2①②	2		○			展開科目	デザイン・シンキング概論	2①②	2		○			
		ソーシャルデザインⅠ	2③④	2			○			ソーシャルデザインⅠ	2③④	2			○		
		ソーシャルデザインⅡ	3①②	2			○			ソーシャルデザインⅡ	3①②	2			○		
		ソーシャルデザイン実習	3③④	2				○		ソーシャルデザイン実習	3③④	2				○	
		新潟と地域社会	1①②	2		○				新潟と地域社会	1③④	2		○			
		新潟と地域政策	1③④	2		○				(追加)							
		新潟と地域資源	2①②	2			○			(追加)							
		地域資源活用の理論と方法	2③④	2		○				(追加)							
		地域資源活用の事例研究	3①②	2			○			(追加)							
		地域資源活用実習	3③④	2				○		(追加)							
		科目区分を職業専門科目へ変更								地域産業研究Ⅰ (農林水産)	2①②		2		○		
		科目区分を職業専門科目へ変更								地域産業研究Ⅱ (医療福祉)	2①②		2		○		
		科目区分を職業専門科目へ変更								地域産業研究Ⅲ(環境)	2③④		2		○		
		科目区分を職業専門科目へ変更								地域産業研究Ⅳ (ものづくり)	3①②		2		○		
		科目区分を職業専門科目へ変更								地域産業研究Ⅴ(観光)	3③④		2		○		
		科目区分を職業専門科目へ変更								地域産業研究Ⅵ(ICT)	4①②		2		○		
		科目区分を職業専門科目へ変更								地域産業研究Ⅶ (まちづくり)	4①②		2		○		
		科目区分を職業専門科目へ変更								地域産業研究Ⅷ (カルチャー・エンタテイメント)	4③④		2		○		

（是正意見）事業創造学部　事業創造学科

7　＜理論系科目が不十分＞ 以下の理論系科目が不足しているため、是正すること。 （1）ディプロマ・ポリシーにおいて経営、マーケティング、会計に関する理論的かつ実践的な能力を身に付けていることを掲げているにもかかわらず、会計に関する理論的科目が不足しているため、例えば「会計学」や「財務諸表論」等の理論系科目を開講すること。

（対応）

会計に関する理論的な科目として、専門職業科目に「会計学」１単位と「財務諸表論」１単位を必修科目として新規に開講する。

事業創造学部では、会計に関する理論的な科目として、「簿記概論」を開講することとし、実践的な科目として、「財務諸表分析」、「簿記演習」、「資金調達の実践」を開講することとしているが、会計に関する実践的な能力を修得するためには、会計の理論に関する知識が必要となることから、会計に関する理論的な科目として、「会計学」と「財務諸表論」を新規に開講する。

このことにより、「会計学」において会計の根本的な理論を学び、「財務諸表論」と「簿記概論」において財務諸表と簿記に関する知識の体系を理解したうえで、「財務諸表分析」、「簿記演習」、「資金調達の実践」の履修を通して、会計に関する実践的な能力を身に付けることとする。

（新旧対照表）教育課程等の概要 展開科目

新								旧							
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態			科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態		
			必修	選択	講義	演習	実験・実習				必修	選択	講義	演習	実験・実習
職業専門科目	会計学	1②	1		○			職業専門科目	（追加）						
	財務諸表論	1③	1		○				（追加）						

「授業科目の概要」の追加

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容
職業専門科目	会計学	会計はビジネスの言語とも言われ、企業の取引や経営実態を理解するうえで不可欠ともいえる。ただし、会計学は企業（営利組織）を対象としたものから非営利組織を対象としたもの、あるいは制度面を重視したものから企業内部の経営管理を重視したものまで、その研究対象は多様なものである。そこで本講義は、会計学全体の概要について学習し、会計諸科目（財務諸表論、管理会計論、税務会計論、国際会計論、環境会計、公会計論、監査論、原価計算論、国際会計論、経営分析論、情報会計論など）の相互関連を理解することを目的とする。
職業専門科目	財務諸表論	一般に、会計は、企業の経済活動または経済事象を貨幣数値により計算報告する技術であると定義されるが、そのうち企業の利害関係者のための外部報告会計を特に「財務会計」とよぶ。したがって、財務会計の目的は、企業の利害関係者が企業について知りたい内容を的確に知らせることである。本講義は、企業が財務諸表をはじめとする会計情報を作成するに際して準拠する会社法、金融商品取引法などの会計諸規定、さらには国際会計基準（財務報告基準）をもとに、企業活動の成果の認識、測定及び開示に関する問題点を含めて講義し、財務諸表における基本概念や数値の意味の理解をその到達目標とする。

（是正意見）事業創造学部　事業創造学科

7　＜理論系科目が不十分＞ 以下の理論系科目が不足しているため、是正すること。 （2）事業創造について体系的に学習するという観点から、例えば「起業論」や「アントレプレナーシップ論」等の理論系科目を開講すること。

（対応）

事業創造について体系的に学習するという観点から、職業専門科目に「アントレプレナーシップ論」２単位を必修科目として新規に開講する。

新規に開講する「アントレプレナーシップ論」は、事業創造や新商品開発などについて学ぶ個々の科目を体系的に学習するための導入・総論科目として位置付け、事業創造や新商品開発などに高い創造意欲を持ち、リスクに対しても積極的に挑戦していく姿勢や発想と起業倫理を含む企業家精神について学ぶこととする。

そのうえで、事業創造や新商品開発に関する科目として配置している「実践ベンチャービジネス」、「ＩＣＴ活用ビジネス」、「ビジネスモデル研究」、「ビジネスプランの基礎」、「ビジネスプランの応用」、「新規商品開発・販売実習Ⅰ」、「新規商品開発・販売実習Ⅱ」の履修を通して、事業創造や新商品開発に関する実践的な能力を身に付けさせることとする。

（新旧対照表）教育課程等の概要 展開科目

新								旧							
			単位数		授業形態						単位数		授業形態		
科目区分	授業科目の名称	配当年次	必修	選択	講義	演習	実験・実習	科目区分	授業科目の名称	配当年次	必修	選択	講義	演習	実験・実習
職業専門科目	アントレプレナーシップ論	1③④	2		○			職業専門科目	（追加）						

「授業科目の概要」の追加

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容
職業専門科目	アントレプレナーシップ論	新規事業開発者(起業家、社内起業家、ベンチャー企業の経営者)を対象に、アントレプレナーシップを学修する。事例研究や技法解説を通じて、起業前後に遭遇するであろう諸問題の理解と、対処法の指針や方法を修得する。また、この講義では、起業家として必要な倫理観を身につけるため、企業と社会との関係がどうあるべきかについて、企業とその資金提供者、企業とその全ての利害関係者、企業と国及び地方公共団体との関係の在り方から考察する。

（是正意見）事業創造学部　事業創造学科

7　＜理論系科目が不十分＞ 以下の理論系科目が不足しているため、是正すること。 （3）養成する人材像に地域産業の新たな価値の創造と発展を担う専門職業人を掲げているため、地域産業について学習する観点から、例えば「地域経済学」や「中小企業論」等の理論系科目を開講すること。

（対応）

地域産業について学習する観点から、理論系科目として、「地域経済産業論」２単位を必修科目として新規に開講する。

新規に開講する「地域経済産業論」では、地域の経済成長、地域間格差、地域産業、地域間交易などについて学ぶとともに、地域産業を支える中小企業が果たす役割や多様性と可能性及び中小企業政策の展開などに関する知識を習得するための教育内容とする。

この「地域経済産業論」を履修することにより、地域の各種産業が果たす役割や現状と課題について学ぶ科目として配置している「地域産業研究Ⅰ（農林水産）」、「地域産業研究Ⅱ（医療福祉）」、「地域産業研究Ⅲ（環境）」、「地域産業研究Ⅳ（ものづくり）」、「地域産業研究Ⅴ（観光）」、「地域産業研究Ⅵ（ＩＣＴ）」、「地域産業研Ⅶ（まちづくり）」、「地域産業研究Ⅷ（カルチャー・エンタテイメント）」の学修内容の理解が深まることが期待される。

（新旧対照表）教育課程等の概要 展開科目

新								旧							
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態			科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態		
			必修	選択	講義	演習	実験・実習				必修	選択	講義	演習	実験・実習
職業専門科目	地域経済産業論	1③④	2		○			職業専門科目	（追加）						

「授業科目の概要」の追加

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容
職業専門科目	地域経済産業論	地域経済は、地域の視点から見た日本経済論である。地域経済は、経済的には地域内の資源をベースとした経済循環が機能し、他地域、域外との交流、交易を軸に成り立っている。産業面では経済発展に即した産業構造の形成，さらに企業視点では、地域企業、全国企業、グローバル企業の立地がオーバーラップし、そのための社会インフラ整備による環境整備が重視される。本講義の後半では、特に地域経済の発展を左右する、地域中小企業の活性化状況、そのための中小企業振興施策について、ケーススタディを元に考察していく。

（是正意見）事業創造学部　事業創造学科

7　＜理論系科目が不十分＞ 以下の理論系科目が不足しているため、是正すること。 （4）養成する人材像に職業人としての倫理観や道徳意識を掲げているが、専門分野にふさわしい倫理教育が行われているのか不明なため、科目を明らかとするか、追加すること。

（対応）

専門分野にふさわしい倫理教育を行うための科目として、職業専門科目に新たな科目を追加する。

そのうえで、事業創造学部の養成する人材像に掲げている職業人としての倫理観や道徳意識を涵養する科目についての考え方について明確にした。

事業創造学部では、基礎科目に配置している「ビジネスモラル」は、職業人としての一般的な倫理観や道徳意識を涵養する教育内容としており、専門分野にふさわしい倫理教育を行う教育内容とはしていないことから、職業専門科目に「アントレプレナーシップ論」を新規に開講し、当該科目において、専門分野にふさわしい倫理教育を行うこととする。

このことにより、基礎科目として開講する「ビジネスモラル」では、職業人としての一般的な倫理教育の内容を扱うこととし、職業専門科目として開講する「アントレプレナーシップ論」において、専門分野における倫理教育の内容を扱うこととする。

具体的には、既設の「ビジネスモラル」では、社会的規範や原理の理解及び道徳の本質について理解させることとし、新規に開講する「アントレプレナーシップ論」では、専門分野における倫理教育として、企業の社会的責任としての法令遵守や企業統治と説明責任の重要性について学ぶとともに、企業活動が社会に及ぼす影響に責任をもつことの重要性について理解させることとする。

「授業科目の概要」の追加

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容
職業専門科目	アントレプレナーシップ論	新規事業開発者(起業家、社内起業家、ベンチャー企業の経営者)を対象に、アントレプレナーシップを学修する。事例研究や技法解説を通じて、起業前後に遭遇するであろう諸問題の理解と、対処法の指針や方法を修得する。また、この講義では、起業家として必要な倫理観を身につけるため、企業と社会との関係がどうあるべきかについて、企業とその資金提供者、企業とその全ての利害関係者、企業と国及び地方公共団体との関係の在り方から考察する。

（是正意見）事業創造学部　事業創造学科

８　＜教育課程における教育内容重複の疑義＞ 基礎科目の「現代経済学」が必修とされているが、職業専門科目の「経済学の基礎」、「経営学の基礎」なども必修となっており、教育課程において内容の重複が考えられるため、配当年次も踏まえ科目履修の必要性を明らかにするか、修正すること。

（対応）

基礎科目の「現代経済学」について、職業専門科目の「経済学の基礎」と重複している内容について見直し、基礎科目の趣旨に照らして、講義等の内容を変更するとともに、必修科目から選択科目に変更する。

基礎科目の「現代経済学」は、他学部の学生も履修する一般教養科目として位置付けており、職業専門科目の「経済学の基礎」は、専門分野を学習するうえで必要となる経済学分野の根本的な理論を学ぶための科目として位置付けている。

しかしながら、基礎科目の「現代経済学」の内容が経済学の基礎理論に関する内容となっており、職業専門科目の「経済学の基礎」と重複していることから、基礎科目の「現代経済学」の内容について見直し、一般教育科目としての内容として相応しい「現代社会が直面する経済的な諸課題や現実の経済活動や経済現象に対する興味と関心を深める」内容となるよう修正するとともに、必修科目から選択科目に変更した。

（新旧対照表）授業科目の概要

新	旧
科目名　現代経済学 社会的に重要な経済に関する主題や現代社会が直面する経済的な諸課題に関する知識と総合的に判断し対処する能力を養うことを目的とする。現代経済の基本的な概念と枠組みについて理解したうえで、経済問題や財政課題の多様性を認識し、経済的な見方や捉え方、考え方を身に付けるとともに、現代社会における経済構造と経済政策との関連性について理解することにより、現実の経済活動や経済現象に対する興味と関心を深める。	科目名　現代経済学 人びとが社会で生きていくためには、日々の生活に必要な財とサービスが充足されなければならず、また財とサービスを購入するための貨幣が必要であり、経済学は、こうした財・サービス・貨幣を循環させる経済組織の在り方を学ぶ学問であることについて理解を深める。具体的には、現在の経済を理解するため、経済体制の主な特徴である資本主義と社会主義を中心に、開発途上国の経済等も取り上げながら、現代の経済学について学修する。

（是正意見）事業創造学部　事業創造学科

9　＜シラバスの記載が不十分＞ シラバスの記載について、以下の点を是正すること。 （1）各回の授業計画で記載内容の重複や履修内容が不明確なシラバスが散見され、各授業回の具体の履修内容が不明確。

（対応）

各回の授業計画で記載内容の重複や履修内容が不明確なシラバスについて見直し、資料８の通り、各授業回の具体の履修内容が明確となるよう修正した。

【資料８-①～③】シラバス（授業計画）

（是正意見）事業創造学部　事業創造学科

9　＜シラバスの記載が不十分＞ シラバスの記載について、以下の点を是正すること。 （2）授業形態として講義と演習が混在している科目において、各授業回が講義なのか演習なのか不明確。

（対応）

授業形態として講義と演習が混在している科目のシラバスについて見直し、資料８の通り、各授業回において講義と演習が明確となるよう修正した。

【資料８-①～③】シラバス（授業計画）

（是正意見）事業創造学部　事業創造学科

９　＜シラバスの記載が不十分＞ シラバスの記載について、以下の点を是正すること。 （３）開講科目の体系的な履修のため、前提として履修すべき科目が不明確。

（対応）

開講科目の体系的な履修とするため、前提として履修すべき科目がある科目のシラバスについて見直し、資料８の通り、前提として履修すべき科目が明確となるよう修正した。

【資料８-①】シラバス（授業計画）

（是正意見）事業創造学部　事業創造学科

１０　＜臨地実務実習に関する疑義＞ 臨地実務実習の以下の点を是正し、事業創造の能力が育成できる実習の質が担保されているのか明らかにすること。 （１）臨地実務実習の要項に評価基準表が示されているものの、評価基準に専攻分野の専門・知識・技能に関する具体的記述がないため、科目ごとに適切な評価基準表に修正すること。

（対応）

当初計画において、設置の趣旨等を記載した書類に添付した資料４０「臨地実務実習の手引き」に記載した授業科目毎の評価基準表に基づいた評価を実施することとしていたものの、今回の審査意見を踏まえて検討した結果、新たに「臨地実務実習実施計画（事業創造学部)」を作成し、この計画書の中で臨地実務実習授業科目毎の目的、実習の到達目標を明確にしたうえで、これらの目標に対する知識や理解・技能・志向や態度に関する評価基準を明確にし、適切な評価基準表に修正することとする。

【資料９-①】「臨地実務実習実施計画（事業創造学部)」の添付資料１３（３９～４３ページ）

評価基準表の修正にあたっては、臨地実務実習科目の総合的かつ体系的な見地並びに履修要件の設定を踏まえて授業科目毎の内容の見直しを行い、「企業内企業Ⅰ」、「企業内企業Ⅱ」、「企業内企業Ⅲ」においては、事業活動や商品開発を行うための主な活動の場となる経営分野に関する理解と実践力を養成する実習とし、「新規商品開発・販売実習Ⅰ」、「新規商品開発・販売実習Ⅱ」は新商品や新サービスに活用するための能力と消費者の視点に立って正しく問題を解決するための考え方を身に付けるための実習として位置付けることとする。

具体的には、「企業内実習Ⅰ」は職業人として必要な職業意識や職業観と規範意識及び、基本的なビジネスマナー、ビジネスコミュニケーションを身に付けるための実習とし、「企業内実習Ⅱ」は経営の意義や役割と企業経営の管理や組織に関する理解及び経営倫理と経営に関連する経済や法律の知識を身に付けるための実習とし、「企業内実習Ⅲ」は経営戦略や経営組織の理解、トップマネジメントの理解、会計・財務に関する理論と実践力を総合的に活用し、経営管理、マーケティング、会計に関する知識と技術を実践的な活動を通して、総合的に応用できる能力を身に付けるための実習と位置付けることとする。

また、「新規商品開発・販売実習Ⅰ」、「新規商品開発・販売実習Ⅱ」はマーケティングの意義や役割についての理解とマーケティング活動を適切かつ計画的に行うための能力と顧客満足を実現することの重要性について理解するとともに、商品を企画・開発し、販売活動を行う能力を身に付けるための実習と位置付けることとする。

以上の実習科目毎の目的・内容の変更に伴い、「企業内実習Ⅰ」は、職業人として必要な職業意識や職業観と規範意識及び、基本的なビジネスマナー、ビジネスコミュニケーションを身に付けるための科目であるため単位数を４単位から２単位へ変更することとした。

また、科目毎の体系性と履修順序を検討した結果、実施時期を変更し、「企業内実習Ⅱ」

を２年次前半から２年次後半へ変更し、「新規商品開発・販売実習Ⅰ」を２年次後半から２年次前半へ変更することとした。

（新旧対照表）臨地実務実習評価基準

企業内実習Ⅰ

新

添付資料13－1

○事業創造学科　臨地実務実習評価基準　科目名：企業内実習Ⅰ

配当年次	1③④	必修・選択	必修
単位数	2	時間数	60

観点	No	レベル／到達目標	A	B	C	D	E
知識・理解	1	実習先企業の企業組織の持つ特徴を理解している。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	2	実習先の企業の経営理念を踏まえ、社会的な役割、使命を説明できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	3	実習先の企業の各部署の役割、仕事内容を説明できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	4	実習先の企業の事業の概要、顧客価値について説明できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
技能	5	状況に応じて適切な敬語の使い分けをすることができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	6	パソコンを活用し、簡単なビジネス文章作成を作成できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	7	周囲の状況を踏まえた発言・行動をとることができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	8	説明する相手に対して、「何を」「どこまで説明するのか」や発表する時間と内容バランス、重要なことを踏まえた発言・行動を実践できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
志向・態度	9	法令や職場のルール、慣行などを順守している。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	10	出勤時間、約束時間などの定刻前に到着する等、不測の事態に備えた行動を意識している。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	11	社会人として求められる能力と自身を把握し、分析し、その状況を認識しようとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	12	相手に興味・関心を強く持ち、相手の心理を読み取ろうとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	13	聞き方のポイント押さえ、また、分かりやすく話そうとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない

旧

○事業創造学科　臨地実務実習評価基準　科目名：企業内実習Ⅰ

配当年次	1③④	必修・選択	必修
単位数	4	時間数	120

No	レベル／観点	4 習慣化・継続的にできているレベル	3 実行・活用できるレベル	2 なぜか分かる・取り組んでいる・行動しようとしているレベル	1 知っている・関心がある・考えたことがあるレベル
1	大学での学びと社会との関連付け	大学での学びを社会で活かしたり、社会での経験を大学での学びに関連づけたりしながら、継続的に学びを深めている	大学での学びを社会でどのように活かせるのかについて、自分なりに意味づけたり関連付けたりできる	大学での学びが社会でどう役立つかについて、自分なりに理解している	大学での学びの意義や意味について考えられる
2	自己成長のための行動	自分が成長するための行動パターンやプロセスについて理解し、実践と内省を繰り返しながら、継続的に自己改善している	自分が成長するための行動パターンやプロセスについて理解し、実践と内省を繰り返しながら自己改善できる	これまでの経験をふまえ、自分が成長するための行動パターンやプロセスについて理解している	自分がどのように成長してきたか、また今後どのように成長していくかについて考えられる
3	学び、経験への意欲	自分にとって困難な経験を通じて学ぶことの重要性を理解し、そうした学びの機会を自ら見出し取り組むことを習慣化している	自分にとって困難な経験を通じて学ぶことの重要性を理解し、そうした学びの機会を自ら見出し挑戦できる	自分にとって困難な経験を通じて何を学んだり得たりできるかを自分なりに理解している	自分にとって困難な経験を通じて学ぶことの重要性について考えられる
4	対人マナーを含めた職務に対する基礎的理解度	実習する内容に求められる知識やスキルに対して自分の現在の力がどのくらいなのかを実体験に基づいて的確に評価・把握している	実習する内容に求められる知識やスキルに対して自分の現在の力がどのくらいなのかを自分なりに評価・把握している	実習する内容に求められる知識やスキルに対して自分の現在の力がどのくらいなのかを理解しようとしている	実習する内容に求められる知識やスキルがどのようなものかを理解している
5	他者との協働	他者と協働し（目標や責任を共有したうえで協力しながらものごとを進めていくこと）、目指す成果に向けて、他者に働きかけつつ、自分の役割を果たしている	他者と協働し（目標や責任を共有したうえで協力しながらものごとを進めていくこと）、目指す成果に向けて、自分の役割を果たすことができる	他者と協働すること（目標や責任を共有したうえで協力しながらものごとを進めていくこと）の重要性を理解し、そのための人間関係づくりができる	他者と協働すること（目標や責任を共有したうえで協力しながらものごとを進めていくこと）の必要性や重要性について考えられる

企業内実習Ⅱ

新

添付資料13-3

○事業創造学科　臨地実務実習評価基準　科目名：企業内実習Ⅱ

配当年次	2③④	必修・選択	必修
単位数	4	時間数	120

観点	No.	レベル / 到達目標	A	B	C	D	E
知識・理解	1	実習先企業の業態(商品の売り方・サービスの提供方法など)を理解している。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	2	実習先企業の企業経営者のリーダーシップの取り方における重要となる要素(思考力、行動力、人間力、新鋭力)を理解している。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	3	実習先企業の経営課題を設定するまでに検討が必要な要素、過程を理解している。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	4	実習先企業の経営目標の設定、経営戦略、アクションプランを策定するまでの過程を理解している。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
技能	5	経営課題を踏まえた目標設定とその課題を克服するためのプランを策定する。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	6	誰に対して、どこまで説明するのか、発表する時間と内容バランス、大切なことと削除して良い事を区分できるかなどを実践できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	7	経営のあるべき姿の視点から事業の成長や利益の確保に向けた改善案を提案できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	8	顧客の視点から消費者や取引先にとっての魅力や評価の向上を理解し、改善案を提案できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	9	業務プロセスの視点から社内オペレーションや営業などにおける改善案を提案できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
志向・態度	10	仕事を効率的に進められるように、作業の工夫や改善に取り組んでいる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	11	必要性に気づいたら、人に指摘される前に行動に移している。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	12	より良いアイデアを追求し、周囲に意見を述べている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	13	相手の心情を配慮し、適切な態度や言葉遣い、姿勢で依頼や折衝をしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	14	相手に興味・関心を強く持ち、相手の心理を読み取ろうとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	15	聞き方のポイントを押さえ、また、分かりやすく話そうとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達していない	単位を認める最低限の基準に達していない

旧

○事業創造学科　臨地実務実習評価基準　科目名：企業内実習Ⅱ

配当年次	2①②	必修・選択	必修
単位数	4	時間数	120

No.	レベル / 観点	4 習慣化・継続的にできているレベル	3 実行・活用できるレベル	2 なぜか分かる・取り組んでいる・行動しようとしているレベル	1 知っている・関心がある・考えたことがあるレベル
1	社会で求められる力の理解	社会で求められる知識やスキルに対して、自分の現在の力のレベルがどのくらいなのかを、実体験に基づいて的確に評価・把握している	社会で求められる知識やスキルに対して、自分の現在の力のレベルがどのくらいなのかを、自分なりに評価・把握できる	社会で求められる知識やスキルに対して、自分の現在の力のレベルがどのくらいなのかを理解しようとしている	社会で求められる知識やスキルがどのようなものか考えられる
2	大学での学びと社会との関連付け	大学での学びを社会で活かしたり、社会での経験を大学での学びに関連づけたりしながら、継続的に学びを深めている	大学での学びを社会でどのように活かせるのかについて、自分なりに意味づけたり関連付けたりできる	大学での学びが社会でどう役立つかについて、自分なりに理解している	大学での学びの意義や意味について考えられる
3	課題解決プロセスの実践	大学や社会で、必要に応じて知識やスキルを獲得したり活用しながら、日々の課題解決に取り組んでいる	大学や社会で、知識やスキルを活用しながら課題解決に取り組むことができる	課題を見出し解決することの必要性や重要性について理解している	課題を見出し解決することの必要性や重要性について考えられる
4	自己成長のための行動	自分が成長するための行動パターンやプロセスについて理解し、実践と内省を繰り返しながら、継続的に自己改善している	自分が成長するための行動パターンやプロセスについて理解し、実践と内省を繰り返しながら自己改善できる	これまでの経験をふまえ、自分が成長するための行動パターンやプロセスについて理解している	自分がどのように成長してきたか、また今後どのように成長していくかについて考えられる
5	学び、経験への意欲	自分にとって困難な経験を通じて学ぶことの重要性を理解し、そうした学びの機会を自ら見出し取り組むことを習慣化している	自分にとって困難な経験を通じて学ぶことの重要性を理解し、そうした学びの機会を自ら見出し挑戦できる	自分にとって困難な経験を通じて何を学んだり得たりできるかを自分なりに理解している	自分にとって困難な経験を通じて学ぶことの重要性について考えられる
6	他者との協働	他者と協働し(目標や責任を共有したうえで協力しながらものごとを進めていくこと)、目指す成果に向けて、他者に働きかけつつ、自分の役割を果たしている	他者と協働し(目標や責任を共有したうえで協力しながらものごとを進めていくこと)、目指す成果に向けて、自分の役割を果たすことができる	他者と協働すること(目標や責任を共有したうえで協力しながらものごとを進めていくこと)の重要性を理解し、そのための人間関係づくりができる	他者と協働すること(目標や責任を共有したうえで協力しながらものごとを進めていくこと)の必要性や重要性について考えられる

企業内実習Ⅲ

新

添付資料13-5

○事業創造学科　臨地実務実習評価基準　科目名：企業内実習Ⅲ

配当年次	3③④	必修・選択	必修
単位数	6	時間数	180

観点	No	到達目標＼レベル	A	B	C	D	E
知識・理解	1	実習先企業の経営活動及び、経営戦略・方針や経営組織の役割を理解している。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	2	トップマネジメントに必要となる経営管理に必要な知識を理解している。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	3	会計・財務に関する基本的な理論を理解している。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
技能	4	実習先の経営課題を論理的な思考に基づき、抽出したうえで、経営戦略を踏まえた目標設定とその課題解決に向けた方策を策定することができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	5	企業内実習Ⅰ・Ⅱ、新規商品開発・販売実習Ⅰ・Ⅱにて修得した技能を応用し、実践することができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	6	実習先企業の経営課題を踏まえて、経営戦略や経営組織の理解、トップマネジメントの理解、会計・財務に関する理論を総合的に活用して課題解決策を提案書にまとめることができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	7	実習先企業の経営課題とその対策について、わかりやすくプレゼンテーションすることができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
志向・態度	8	指示された目的・目標に向かって諦めずに最後まで努力することができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	9	企業人として求められる能力を意識しながら、自己の改善を試みようとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	10	変化する社会の動向に広く関心をもち、変化に対応する力・行動・考え方を意識しながら、柔軟に対応しようと心掛けている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	11	価値観の異なる他者と協働し、互いに貢献し合いながらチームとして成果を生み出すことの意義を理解し、実践しようとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない

旧

○事業創造学科　臨地実務実習評価基準　科目名：企業内実習Ⅲ

配当年次	3③④	必修・選択	必修
単位数	6	時間数	180

No	観点＼レベル	4 習慣化・継続的にできているレベル	3 実行・活用できるレベル	2 なぜか分かる・取り組んでいる・行動しようとしているレベル	1 知っている・聞心がある・考えたことがあるレベル
1	社会で求められる力の理解	社会で求められる知識やスキルに対して、自分の現在の力のレベルがどのくらいなのかを、実体験に基づいて的確に評価・把握している	社会で求められる知識やスキルに対して、自分の現在の力のレベルがどのくらいなのかを、自分なりに評価・把握できる	社会で求められる知識やスキルに対して、自分の現在の力のレベルがどのくらいなのかを理解しようとしている	社会で求められる知識やスキルがどのようなものか考えられる
2	大学での学びと社会との関連付け	大学での学びを社会で活かしたり、社会での経験を大学での学びに関連づけたりしながら、継続的に学びを深めている	大学での学びを社会でどのように活かせるのかについて、自分なりに意味づけたり関連付けたりできる	大学での学びが社会でどう役立つかについて、自分なりに理解している	大学での学びの意義や意味について考えられる
3	課題解決プロセスの実践	大学や社会で、必要に応じて知識やスキルを獲得したり活用しながら、日々の課題解決に取り組んでいる	大学や社会で、知識やスキルを活用しながら課題解決に取り組むことができる	課題を見出し解決することの必要性や重要性について自分なりに理解している	課題を見出し解決することの必要性や重要性について考えられる
4	自己成長のための行動	自分が成長するための行動パターンやプロセスについて理解し、実践と内省を繰り返しながら、継続的に自己改善している	自分が成長するための行動パターンやプロセスについて理解し、実践と内省を繰り返しながら自己改善できる	これまでの経験をふまえ、自分が成長するための行動パターンやプロセスについて理解している	自分がどのように成長してきたか、また今後どのように成長していくかについて考えられる
5	学び、経験への意欲	自分にとって困難な経験を通じて学ぶことの重要性を理解し、そうした学びの機会を自ら見出し取り組むことを習慣化している	自分にとって困難な経験を通じて学ぶことの重要性を理解し、そうした学びの機会を自ら見出し挑戦できる	自分にとって困難な経験を通じて何を学んだり得たりできるかを自分なりに理解している	自分にとって困難な経験を通じて学ぶことの重要性について考えられる
6	変化する社会への関心	社会やその動向に関心を持ち、背景や情報同士のつながりを意識して日頃から情報収集している	社会やその動向に関心を持ち、背景や情報同士のつながりを意識して情報収集ができる	社会やその動向に関心を持ち、自分なりに情報を収集をしようとしている	社会やその動向に関心を持ち情報を収集することの重要性について考えられる
7	学習環境の設定	学習の内容や求められる成果のレベルに応じて、学習スタイルや学習環境を選んだり創意工夫したりしながら効果的に学習を進めている	学習の内容や求められる成果のレベルに応じて、学習スタイルや学習環境を選び取ることができる	学習の内容や求められる成果のレベルに応じて、学習スタイルを選ぶことがなぜ重要かを理解している	学習の内容や求められる成果のレベルに応じて、学習スタイルを選べる
8	他者との協働	他者と協働し（目標や責任を共有したうえで協力しながらものごとを進めていくこと）、目指す成果に向けて、他者に働きかけつつ、自分の役割を果たしている	他者と協働し（目標や責任を共有したうえで協力しながらものごとを進めていくこと）、目指す成果に向けて、自分の役割を果たすことができる	他者と協働すること（目標や責任を共有したうえで協力しながらものごとを進めていくこと）の重要性を理解し、そのための人間関係づくりができる	他者と協働すること（目標や責任を共有したうえで協力しながらものごとを進めていくこと）の必要性や重要性について考えられる
9	困難に対する適応力と物事をやり遂げようとする継続力	自ら立てた目標に対して志と情熱を持ち、継続的に粘り強く努力して物事をやり遂げる力と何事にも適応するのしなやかさを有している	自ら立てた目標に対して志と情熱を持ち、継続的に粘り強く努力して物事をやり遂げる力と何事にも適応することを実践できる	自ら立てた目標に対して志と情熱を持ち、継続的に粘り強く努力して物事をやり遂げる力と何事にも適応しようと心掛けている	自ら立てた目標に対して志と情熱を持ち、継続的に粘り強く努力して物事をやり遂げる力と何事にも適応することの重要性について考えられる

新規商品開発・販売実習Ⅰ

新

添付資料13-2

○事業創造学科　臨地実務実習評価基準　科目名：新規商品開発・販売実習Ⅰ

配当年次	2①②	必修・選択	必修
単位数	5	時間数	150

観点	No	レベル / 到達目標	A	B	C	D	E
知識・理解	1	市場環境の情報収集や分析手法（市場の成長性・トレンド・ニーズ）を理解し、説明できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	2	マーケティングコンセプト（セグメンテーション・ターゲティング・ポジショニング）について理解し、説明できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	3	商品アイデア（商品コンセプト）と経営資源（生産・技術・供給・流通等）との関係性について理解し、説明できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	4	新規商品開発に必要なしくみや用語を理解し、説明できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	5	新規商品販売に必要なしくみや用語を理解し、説明できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
技能	6	新規商品開発・販売計画について、基本的なマーケティングの理論を踏まえた計画の概要を策定することができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	7	策定した計画の概要を聞き手にわかりやすく、また、重要となるポイントを明確かつ正確に伝えることができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	8	実行した成果に対して客観的に評価・分析し、課題を抽出することができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
志向・態度	9	市場の変化、動向に幅広い関心を持ち、高いチャレンジ精神を持とうとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	10	新しい商品開発・販売に関しての必要性を認識し、情熱をもって取り組もうとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	11	策定した計画の実行について、根気強い努力を継続しようとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない

旧

○事業創造学科　臨地実務実習評価基準　科目名：新規商品開発・販売実習Ⅰ

配当年次	2③④	必修・選択	必修
単位数	5	時間数	150

No	観点 / レベル	4	3	2	1
		習慣化・継続的にできているレベル	実行・活用できるレベル	なぜか分かる・取り組んでいる・行動しようとしているレベル	知っている・関心がある・考えたことがあるレベル
1	社会で求められる力の理解	社会で求められる知識やスキルに対して、自分の現在の力のレベルがどのくらいなのかを、実体験に基づいて的確に評価・把握している	社会で求められる知識やスキルに対して、自分の現在の力のレベルがどのくらいなのかを、自分なりに評価・把握できる	社会で求められる知識やスキルに対して、自分の現在の力のレベルがどのくらいなのかを理解しようとしている	社会で求められる知識やスキルがどのようなものか考えられる
2	大学での学びと社会との関連付け	大学での学びを社会で活かしたり、社会での経験を大学での学びに関連づけたりしながら、継続的に学びを深めている	大学での学びを社会でどのように活かせるのかについて、自分なりに意識づけたり関連付けたりできる	大学での学びが社会でどう役立つかについて、自分なりに理解している	大学での学びの意義や意味について考えられる
3	課題解決プロセスの実践	大学や社会で、必要に応じて知識やスキルを獲得したり活用しながら、日々の課題解決に取り組んでいる	大学や社会で、知識やスキルを活用しながら課題解決に取り組むことができる	課題を見出し解決することの必要性や重要性について自分なりに理解している	課題を見出し解決することの必要性や重要性について考えられる
4	自己成長のための行動	自分が成長するための行動パターンやプロセスについて理解し、実践と内省を繰り返しながら、継続的に自己改善している	自分が成長するための行動パターンやプロセスについて理解し、実践と内省を繰り返しながら自己改善できる	これまでの経験をふまえ、自分が成長するための行動パターンやプロセスについて理解している	自分がどのように成長してきたか、また今後どのように成長していくかについて考えられる
5	学び、経験への意欲	自分にとって困難な経験を通じて学ぶことの重要性を理解し、そうした学びの機会を自ら見出し取り組むことを習慣化している	自分にとって困難な経験を通じて学ぶことの重要性を理解し、そうした学びの機会を自ら見出し挑戦できる	自分にとって困難な経験を通じて何を学んだり得たりできるかを自分なりに理解している	自分にとって困難な経験を通じて学ぶことの重要性について考えられる
6	変化する社会への関心	社会やその動向に関心を持ち、背景や情報同士のつながりを意識して日頃から情報収集している	社会やその動向に関心を持ち、背景や情報同士のつながりを意識して情報収集ができる	社会やその動向に関心を持ち、自分なりに情報を収集をしようとしている	社会やその動向に関心を持ち情報を収集することの重要性について考えられる
7	学習環境の設定	学習の内容や求められる成果のレベルに応じて、学習スタイルや学習環境を選んだり創意工夫したりしながら効果的に学習を進めている	学習の内容や求められる成果のレベルに応じて、学習スタイルや学習環境を選び取ることができる	学習の内容や求められる成果のレベルに応じて、学習スタイルを選ぶことがなぜ重要かを理解している	学習の内容や求められる成果のレベルに応じて、学習スタイルを選べる
8	他者との協働	他者と協働し（目標や責任を共有したうえで協力しながらものごとを進めていくこと）、目指す成果に向けて、他者に働きかけつつ、自分の役割を果たしている	他者と協働し（目標や責任を共有したうえで協力しながらものごとを進めていくこと）、目指す成果に向けて、自分の役割を果たすことができる	他者と協働すること（目標や責任を共有したうえで協力しながらものごとを進めていくこと）の重要性を理解し、そのための人間関係づくりができる	他者と協働すること（目標や責任を共有したうえで協力しながらものごとを進めていくこと）の必要性や重要性について考えられる

新規商品開発・販売実習Ⅱ

新

添付資料13-4

○事業創造学科　臨地実務実習評価基準　科目名：新規商品開発・販売実習Ⅱ

配当年次	3①②	必修・選択	必修
単位数	5	時間数	150

観点	No	レベル / 到達目標	A	B	C	D	E
知識・理解	1	市場環境の情報収集・分析手法（市場の成長性・トレンド・ニーズ）を理解し、説明できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	2	マーケティングコンセプト（セグメンテーション・ターゲティング・ポジショニング）について理解し、説明できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	3	商品アイデア（商品コンセプト）と経営資源（生産・技術・供給・流通等）との関係性について理解し、説明できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	4	新規商品の開発に必要な工程を理解し、説明できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	5	新規商品を販売するために必要となるしくみを理解し、説明できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
技能	6	新規商品開発・販売計画について、基本的なマーケティングの理論と基本的な会計の理論を踏まえた一貫性のある計画を策定することができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	7	策定した計画を聞き手にわかりやすく、また、重要となるポイントを明確かつ正確に伝えることができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	8	実行した成果に対して客観的に評価・分析し、課題を抽出したうえで、その課題に対する対策案を立てることができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
志向・態度	9	市場の変化、動向に幅広い関心を持ち、高いチャレンジ精神を持とうとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	10	新しい商品開発・販売に関しての必要性を認識し、情熱をもって取り組もうとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	11	策定した計画の実行について、根気強い努力を継続しようとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない

旧

○事業創造学科　臨地実務実習評価基準　科目名：新規商品開発・販売実習Ⅱ

配当年次	3①②	必修・選択	必修
単位数	5	時間数	150

No	観点 / レベル	4 習慣化・継続的にできているレベル	3 実行・活用できるレベル	2 なぜか分かる・取り組んでいる・行動しようとしているレベル	1 知っている・聞くがある・考えたことがあるレベル
1	社会で求められる力の理解	社会で求められる知識やスキルに対して、自分の現在の力のレベルがどのくらいなのかを、実体験に基づいて的確に評価・把握している	社会で求められる知識やスキルに対して、自分の現在の力のレベルがどのくらいなのかを、自分なりに評価・把握できる	社会で求められる知識やスキルに対して、自分の現在の力のレベルがどのくらいなのかを理解しようとしている	社会で求められる知識やスキルがどのようなものか考えられる
2	大学での学びと社会との関連付け	大学での学びを社会で活かしたり、社会での経験を大学での学びに関連づけたりしながら、継続的に学びを深めている	大学での学びを社会でどのように活かせるのかについて、自分なりに意味づけたり関連付けたりできる	大学での学びが社会でどう役立つかについて、自分なりに理解している	大学での学びの意義や意味について考えられる
3	課題解決プロセスの実践	大学や社会で、必要に応じて知識やスキルを獲得したり活用しながら、自ら課題解決に取り組んでいる	大学や社会で、知識やスキルを活用しながら課題解決に取り組むことができる	課題を見出し解決することの必要性や重要性について自分なりに理解している	課題を見出し解決することの必要性や重要性について考えられる
4	自己成長のための行動	自分が成長するための行動パターンやプロセスについて理解し、実践と内省を繰り返しながら、継続的に自己改善している	自分が成長するための行動パターンやプロセスについて理解し、実践と内省を繰り返しながら自己改善できる	これまでの経験をふまえ、自分が成長するための行動パターンやプロセスについて理解している	自分がどのように成長してきたか、また今後どのように成長していくかについて考えられる
5	学び、経験への意欲	自分にとって困難な経験を通じて学ぶことの重要性を理解し、そうした学びの機会を自ら見出し取り組むことを習慣化している	自分にとって困難な経験を通じて学ぶことの重要性を理解し、そうした学びの機会を自ら見出し挑戦できる	自分にとって困難な経験を通じて何を学んだり得たりできるかを自分なりに理解している	自分にとって困難な経験を通じて学ぶことの重要性について考えられる
6	変化する社会への関心	社会やその動向に関心を持ち、背景や情報間士のつながりを意識して日頃から情報収集している	社会やその動向に関心を持ち、背景や情報間士のつながりを意識して情報収集ができる	社会やその動向に関心を持ち、自分なりに情報を収集をしようとしている	社会やその動向に関心を持ち情報を収集することの重要性について考えられる
7	学習環境の設定	学習の内容や求められる成果のレベルに応じて、学習スタイルや学習環境を選んだり創意工夫したりしながら効果的に学習を進めている	学習の内容や求められる成果のレベルに応じて、学習スタイルや学習環境を選び取ることができる	学習の内容や求められる成果のレベルに応じて、学習スタイルを選ぶことがなぜ重要かを理解している	学習の内容や求められる成果のレベルに応じて、学習スタイルを選べる
8	他者との協働	他者と協働し（目標や責任を共有したうえで協力しながらものごとを進めていくこと）、目指す成果に向けて、他者に働きかけつつ、自分の役割を果たしている	他者と協働し（目標や責任を共有したうえで協力しながらものごとを進めていくこと）、目指す成果に向けて、自分の役割を果たすことができる	他者と協働すること（目標や責任を共有したうえで協力しながらものごとを進めていくこと）の重要性を理解し、そのための人間関係づくりができる	他者と協働すること（目標や責任を共有したうえで協力しながらものごとを進めていくこと）の必要性や重要性について考えられる

（新旧対照表）教育課程等の概要

新									旧								
科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態			科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態		
				必修	選択	講義	演習	実験・実習					必修	選択	講義	演習	実験・実習
職業専門科目		企業内実習Ⅰ	1③④	2				臨	職業専門科目		企業内実習Ⅰ	1③④	4				臨
		企業内実習Ⅱ	2③④	4				臨			企業内実習Ⅱ	2①②	4				臨
		企業内実習Ⅲ	3③④	6				臨			企業内実習Ⅲ	3③④	6				臨
		新規商品開発･販売実習Ⅰ	2①②	5				臨			新規商品開発･販売実習Ⅰ	2③④	5				臨
		新規商品開発･販売実習Ⅱ	3①②	5				臨			新規商品開発･販売実習Ⅱ	3①②	5				臨

さらに、科目毎の体系性と履修順序を検討した結果、「企業内実習Ⅰ」、「企業内実習Ⅱ」、「企業内実習Ⅲ」、についての授業科目の概要を以下のように修正することとした。

（新旧対照表）授業科目の概要

新	旧
科目名　企業内実習Ⅰ ビジネス現場における他者との相互理解や円滑に仕事を進めるうえで信頼関係を築くことの重要性について、実際の企業現場で業務を体験することで理解し、企業活動における報告・連絡・相談の必要性や社会人としての身だしなみ・マナーについてもその能力と態度を身に付ける。実習先企業の事業内容が地域社会に果たす役割や企業人としての責任の自覚や他者と協調・協働して行動することの大切さを理解し、企業活動について考察する態度を身に付ける。	科目名　企業内実習Ⅰ ビジネス現場における他者との相互理解や円滑に仕事を進めるうえで信頼関係を築くことの重要性について、実際の企業現場で業務を体験することで理解し、企業活動における報告・連絡・相談の必要性や社会人としての身だしなみ・マナーについてもその能力と態度を身に付ける。実習先企業の事業内容が地域社会に果たす役割や企業人としての責任の自覚や他者と協調・協働して行動することの大切さを理解し、地域産業の振興や活性化について考察する態度を身に付ける。

科目名　企業内実習Ⅱ 実習先企業の市場における企業価値や業界でのポジショニングを認識し、企業経営者のリーダーシップ、経営目標の設定や行動計画の策定、経営判断の考え方、経営課題への取り組み方などを実際の業務や経営管理者とのミーティングを通して考察することにより、経営課題を踏まえた目標設定や行動計画を策定し、実習先企業へのプレゼンテーションを体験することで、地域産業の振興や活性化を推進するための創造的な能力と実践的な態度を身に付けるとともに経営者マインドを醸成する。	科目名　企業内実習Ⅱ 実習先企業の事業内容、社会的役割を理解し、業務現場の見学やヒアリング、実際の業務体験を通して自社の事業状況、自社の強みや弱みを把握し、業界事情の分析、市場の分析、競合他社の分析、社会環境の分析を踏まえて、実習先企業の抱える課題を認識し、課題の解決のための方策を考察する。課題解決策を企画提案書としてまとめ、実習先企業へのプレゼンテーションを体験することで、地域産業の振興や活性化を推進するための創造的な能力と実践的な態度を身に付ける。
科目名　企業内実習Ⅲ 実習先企業の事業内容、社会的役割を理解し、業務現場の見学やヒアリング、実際の業務体験を通して自社の事業状況、自社の強みや弱みを把握し、業界事情の分析、市場の分析、競合他社の分析、社会環境の分析を踏まえて、実習先企業の抱える課題を認識し、課題の解決のための方策を考察する。この際、課題抽出のため、ここまでに学んだ経営戦略や経営組織の理解、トップマネジメントの理解、会計・財務に関する理論を総合的に活用し、課題解決策を企画提案書としてまとめ、実習先企業へのプレゼンテーションを体験することで、地域産業の振興や活性化を推進するための創造的な能力と実践的な態度を身に付ける。	科目名　企業内実習Ⅲ 実習先企業の市場における企業価値や業界でのポジショニングを認識し、企業経営者のリーダーシップ、経営目標の設定や行動計画の策定、経営判断の考え方、経営課題への取り組み方などを実際の業務や経営管理者とのミーティングを通して考察することにより、経営課題を踏まえた目標設定や行動計画を策定し、実習先企業へのプレゼンテーションを体験することで、地域産業の振興や活性化を推進するための創造的な能力と実践的な態度を身に付けるとともに経営者マインドを醸成する。

（新旧対照表）設置の趣旨を記載した書類（６３ページ）

新	旧
１１．実習の具体的計画 **（1）臨地実務実習の目的** 臨地実務実習の目的は、段階的に学生の勤労観・職業観を育み、多種の企業内部門業務を実践することで自身の職業適性を認識させ、不足部分は職業専門科目との連携により、産業界等に求められる人材へと成長していくことと考える。 ディプロマ・ポリシーにおける臨地実務実習の効果は、高度な実践力を身に付けることにあるが、臨地実務実習の全体を通して、主体性や課題発見力、発信力等の社会人基礎力の育成の大きな役割も果たす。 臨地実務実習は 1 年次から 3 年次まで複数回に分けて実施するが、毎回、臨地実務実習の心構え・実習の目的・求められる成果を、オリエンテーションとする事前指導として実施し、実習終了後に臨地実務実習報告会とする事後指導による振り返りとレポート提出を求める。併せて個別面談を実施し、企業からの評価に基づいて、フィードバック指導を行う。 臨地実務実習は、科目ごとにどのような能力を獲得させるのか実習の目的を明確にして、学内の講義・演習・実習で身に付けた知識・技術を実際の企業現場で実習を行うことで実践力の向上を図る。 **１） 事業創造学部** 事業創造学部における臨地実務実習は、ビジネス現場における新規事業開発者として必要となる経営学の理論に基づく実践力を養成するために「企業内企業Ⅰ」、「企業内企業Ⅱ」、「企業内企業Ⅲ」においては、事業活動や商品開発を行うための主	**１０．実習の具体的計画** **（1）臨地実務実習の目的** 臨地実務実習の目的は、段階的に学生の勤労観・職業観を育み、多種の企業内部門業務を実践することで自身の職業適性を認識させ、不足部分は職業専門科目との連携により、産業界等に求められる人材へと成長していくことと考える。 ディプロマ・ポリシーにおける臨地実務実習の効果は、高度な実践力を身に付けることにあるが、臨地実務実習の全体を通して、主体性や課題発見力、発信力等の社会人基礎力の育成の大きな役割も果たす。 臨地実務実習は 1 年次から 3 年次まで複数回に分けて実施するが、毎回、臨地実務実習の心構え・実習の目的・求められる成果を、（追加）事前指導として実施し、実習終了後に（追加）事後指導による振り返りとレポート提出を求める。併せて個別面談を実施し、企業からの評価に基づいて、フィードバック指導を行う。 臨地実務実習は、科目ごとにどのような能力を獲得させるのか実習の目的を明確にして、学内の講義・演習・実習で身に付けた知識・技術を実際の企業現場で実習を行うことで実践力の向上を図る。 **１） 事業創造学部** （追加）

な活動の場となる経営分野に関する理解と実践力を養成する実習とし、「新規商品開発・販売実習Ⅰ」、「新規商品開発・販売実習Ⅱ」は新商品や新サービスに活用するための能力と消費者の視点に立って正しく問題を解決するための考え方を身に付けるための実習として位置付けられる。科目毎の実習内容及び到達目標は以下の通りである。また、臨地実務実習の実施に関する詳細な計画書として、「臨地実務実習実施計画（事業創造学部）」にて示すものとする。 【資料 36】 臨地実務実習実施計画（事業創造学部） ① 企業内実習Ⅰ ビジネス現場における他者との相互理解や円滑に仕事を進めるうえで信頼関係を築くことの重要性について、実際の企業現場で業務を体験することで理解し、企業活動における報告・連絡・相談の必要性や社会人としての身だしなみ・マナーについてもその能力と態度を身に付ける。 実習先企業の事業内容が地域社会に果たす役割や企業人としての責任の自覚や他者と協調・協働して行動することの大切さを理解し、企業活動について考察する態度を身に付ける。 ［到達目標］ A．知識・理解 ・実習先企業の企業組織の持つ特徴を理解している。 ・実習先の企業の経営理念を踏まえ、社会的な役割、使命を説明できる。 ・実習先の企業の各部署の役割、仕事内容を説明できる。	① 企業内実習Ⅰ ビジネス現場における他者との相互理解や円滑に仕事を進めるうえで信頼関係を築くことの重要性について、実際の企業現場で業務を体験することで理解し、企業活動における報告・連絡・相談の必要性や社会人としての身だしなみ・マナーについてもその能力と態度を身に付ける。 実習先企業の事業内容が地域社会に果たす役割や企業人としての責任の自覚や他者と協調・協働して行動することの大切さを理解し、地域産業の振興や活性化について考察する態度を身に付ける。 （追加）

・実習先の企業の事業の概要、顧客価値について説明できる。 B．技能 ・状況に応じて適切な敬語の使い分けをすることができる。 ・パソコンを活用し、簡単なビジネス文章を作成できる。 ・周囲の状況を踏まえた発言・行動をとることができる。 ・説明する相手に対して、「何を」「どこまで説明するのか」や発表する時間と内容バランス、重要なことを踏まえた発言・行動を実践できる。 C．志向・態度 ・法令や職場のルール、慣行などを順守している ・出勤時間、約束時間などの定刻前に到着する等、不測の事態に備えた行動を意識している。 ・社会人として求められる能力と自身を把握し、分析し、その状況を認識しようとしている。 ・相手に興味・関心を強く持ち、相手の心理を読み取ろうとしている。 ・聞き方のポイントを押さえ、また、分かりやすく話そうとしている。	
② 新規商品開発・販売実習Ⅰ 実習先企業の商品やサービスの販売体験を行い、そこから見えてくる課題を抽出し、自社の商品やサービスについて、新しいマーケットやターゲットを選定するための手法、そのターゲットに対するアプローチの手法、その成果を分析する手法等の新規商品開発及び販売計画の策定について、実際の企業現場で企画部署や経営管理	③ 新規商品開発・販売実習Ⅰ 実習先企業の商品やサービスの販売体験を行い、そこから見えてくる課題を抽出し、自社の商品やサービスについて、新しいマーケットやターゲットを選定するための手法、そのターゲットに対するアプローチの手法、その成果を分析する手法等の新規商品開発及び販売計画の策定について、実際の企業現場で企画部署や経営管理

者とのミーティングにより考察を重ね、グループワークにて他者と協働し新規企画を立案し、実習先企業へのプレゼンテーションを体験することで、新たなモノやサービスを創り出す創造力と実践的な態度を身に付ける。 ［到達目標］ Ａ．知識・理解 ・市場環境の情報収集や分析手法（市場の成長性・トレンド・ニーズ）を理解し、説明できる。 ・マーケティングコンセプト（セグメンテーション・ターゲティング・ポジショニング）について理解し、説明できる。 ・商品アイデア（商品コンセプト）と経営資源（生産・技術・供給・流通等）との関係性について理解し、説明できる。 ・新規商品開発に必要なしくみや用語を理解し、説明できる。 ・新規商品販売に必要なしくみや用語を理解し、説明できる。 Ｂ．技能 ・新規商品開発・販売計画について、基本的なマーケティングの理論を踏まえた一貫性のある計画の概要を策定することができる。 ・策定した計画の概要を聞き手にわかりやすく、また、重要となるポイントを明確かつ正確に伝えることができる。 ・実行した成果に対して客観的に評価・分析し、課題を抽出することができる。 Ｃ．志向・態度 ・市場の変化、動向に幅広い関心を持ち、高いチャレンジ精神を持とうとしている。 ・新しい商品開発・販売に関しての必要性	者とのミーティングにより考察を重ね、グループワークにて他者と協働し新規企画を立案し、実習先企業へのプレゼンテーションを体験することで、新たなモノやサービスを創り出す創造力と実践的な態度を身に付ける。 （追加）

を認識し、情熱をもって取り組もうとしている。 ・策定した計画の実行について、根気強い努力を継続しようとしている。	
③　企業内実習Ⅱ 実習先企業の市場における企業価値や業界でのポジショニングを認識し、企業経営者のリーダーシップ、経営目標の設定や行動計画の策定、経営判断の考え方、経営課題への取り組み方などを実際の業務や経営管理者とのミーティングを通して考察することにより、経営課題を踏まえた目標設定や行動計画を策定し、実習先企業へのプレゼンテーションを体験することで、地域産業の振興や活性化を推進するための創造的な能力と実践的な態度を身に付けるとともに経営者マインドを醸成する。 ［到達目標］ Ａ．知識・理解 ・実習先企業の業態（商品の売り方・サービスの提供方法など）を理解している。 ・実習先企業の企業経営者のリーダーシップの取り方における重要となる要素（思考力、行動力、人間力、折衝力）を理解している。 ・実習先企業の経営課題を設定するまでに検討が必要な要素、過程を理解している。 ・実習先企業の経営目標の設定、経営戦略、アクションプランを策定するまでの過程を理解している。 Ｂ．技能 ・経営課題を踏まえた目標設定とその課題を克服するためのプランを策定することができる。	②　企業内実習Ⅱ 実習先企業の事業内容、社会的役割を理解し、業務現場の見学やヒアリング、実際の業務体験を通して自社の事業状況、自社の強みや弱みを把握し、業界事情の分析、市場の分析、競合他社の分析、社会環境の分析を踏まえて、実習先企業の抱える課題を認識し、課題の解決のための方策を考察する。課題解決策を企画提案書としてまとめ、実習先企業へのプレゼンテーションを体験することで、地域産業の振興や活性化を推進するための創造的な能力と実践的な態度を身に付ける。 （追加）

・誰に対して、どこまで説明するのか、発表する時間と内容バランス、大切なことと削除して良い事を区分できるかなどを実践できる。 ・経営のあるべき姿の視点から事業の成長や利益の確保に向けた改善案を提案できる。 ・顧客の視点から消費者や取引先にとっての魅力や評価の向上を理解し、改善案を提案できる。 ・業務プロセスの視点から社内オペレーションや営業などにおける改善案を提案できる。 C．志向・態度 ・仕事を効率的に進められるように、作業の工夫や改善に取り組んでいる。 ・必要性に気づいたら、人に指摘される前に行動に移している。 ・より良いアイデアを追求し、周囲に意見を述べている。 ・相手の心情を配慮し、適切な態度や言葉遣い、姿勢で依頼や折衝をしている。 ・相手に興味・関心を強く持ち、相手の心理を読み取ろうとしている。 ・聞き方のポイントを押さえ、また、分かりやすく話そうとしている。 ④　新規商品開発・販売実習Ⅱ 実習先企業の商品やサービスの販売体験やニーズヒアリングを行い、様々な調査や分析を行い、新商品や新サービスの開発を提案する。さらに、ここまでに身に付けた経営、会計、マーケティングの知識を総合し、実際の販売ベースに乗せる商品化されるまでの販売計画を立案し、実習先企業へのプレゼンテーションを体験すること	④　新規商品開発・販売実習Ⅱ 実習先企業の商品やサービスの販売体験やニーズヒアリングを行い、様々な調査や分析を行い、新商品や新サービスの開発を提案する。さらに、ここまでに身に付けた経営、会計、マーケティングの知識を総合し、実際の販売ベースに乗せる商品化されるまでの販売計画を立案し、実習先企業へのプレゼンテーションを体験することで、新たな事業の創造と発展を担うための実践的かつ応用的な能力を身に付ける。 （追加）

で、新たな事業の創造と発展を担うための実践的かつ応用的な能力を身に付ける。 ［到達目標］ Ａ．知識・理解 ・市場環境の情報収集・分析手法（市場の成長性・トレンド・ニーズ）を理解し、説明できる。 ・マーケティングコンセプト（セグメンテーション・ターゲティング・ポジショニング）について理解し、説明できる。 ・商品アイデア（商品コンセプト）と経営資源（生産・技術・供給・流通等）との関係性について理解し、説明できる。 ・新規商品の開発に必要な工程を理解し、説明できる。 ・新規商品を販売するために必要となるしくみを理解し、説明できる。 Ｂ．技能 ・新規商品開発・販売計画について、基本的なマーケティングの理論を踏まえた一貫性のある計画を策定することができる。 ・策定した計画を聞き手にわかりやすく、また、重要となるポイントを明確かつ正確に伝えることができる。 ・実行した成果に対して客観的に評価・分析し、課題を抽出したうえで、その課題に対する対策案を立てることができる。 Ｃ．志向・態度 ・市場の変化、動向に幅広い関心を持ち、高いチャレンジ精神を持とうとしている。 ・新しい商品開発・販売に関しての必要性を認識し、情熱をもって取り組もうとしている。 ・策定した計画の実行について、根気強い	⑤　企業内実習Ⅲ 実習先企業の市場における企業価値や業界でのポジショニングを認識し、企業経営

努力を継続しようとしている。 ⑤　企業内実習Ⅲ 実習先企業の事業内容、社会的役割を理解し、業務現場の見学やヒアリング、実際の業務体験を通して自社の事業状況、自社の強みや弱みを把握し、業界事情の分析、市場の分析、競合他社の分析、社会環境の分析を踏まえて、実習先企業の抱える課題を認識し、課題の解決のための方策を考察する。この際、課題抽出のため、ここまでに学んだ経営戦略や経営組織の理解、トップマネジメントの理解、会計・財務に関する理論を総合的に活用し、課題解決策を企画提案書としてまとめ、実習先企業へのプレゼンテーションを体験することで、地域産業の振興や活性化を推進するための創造的な能力と実践的な態度を身に付ける。 【到達目標】 Ａ．知識・理解 ・実習先企業の経営活動及び経営戦略・方針や経営組織の役割を理解している。 ・トップマネジメントに必要となる経営管理管理に必要な知識を理解している。 ・会計、財務に関する基本的な理論を理解している。 Ｂ．技能 ・実習先の経営課題を論理的な思考に基づき、抽出したうえで、経営戦略を踏まえた目標設定とその課題解決に向けた方策を策定することができる。 ・企業内実習Ⅰ・Ⅱ、新規商品開発・販売実習Ⅰ・Ⅱにて修得した技能を応用し、実践することができる。 ・実習先企業の経営課題を踏まえて、経営戦略や経営組織の理解、トップマネジメ	者のリーダーシップ、経営目標の設定や行動計画の策定、経営判断の考え方、経営課題への取り組み方などを実際の業務や経営管理者とのミーティングを通して考察することにより、経営課題を踏まえた目標設定や行動計画を策定し、実習先企業へのプレゼンテーションを体験することで、地域産業の振興や活性化を推進するための創造的な能力と実践的な態度と身に付けるとともに経営者マインドを醸成する。 （追加）

ントの理解、会計・財務に関する理論を総合的に活用して課題解決策を提案書にまとめることができる。 ・実習先企業の経営課題とその対策について、わかりやすくプレゼンテーションすることができる。 C．志向・態度 ・指示された目的・目標に向かって、諦めずに最後まで努力しようとしている。 ・企業人として求められる能力を意識しながら、自己の改善を試みようとしている。 ・変化する社会の動向に広く関心をもち、変化に対応する力・行動・考え方を意識しながら、柔軟に対応しようと心掛けている。 ・価値観の異なる他者と協働し、互いに貢献し合いながらチームとして成果を生み出すことの意義を理解し、実践しようとしている。	

（是正意見）事業創造学部　事業創造学科

１０　＜臨地実務実習に関する疑義＞ 臨地実務実習の以下の点を是正し、事業創造の能力が育成できる実習の質が担保されているのか明らかにすること。 （２）臨地実務実習施設について、当該学科の教育にふさわしい施設か疑義があるため、施設の選定理由を明確にするか修正すること。

（対応）

授業の目的を踏まえた各科目の実習施設選定の考え方は以下の通りである。

１「企業内実習Ⅰ」

「企業内実習Ⅰ」は企業現場の見学やビジネスにおける初歩的な実務を通じて、ビジネス現場での実践の場における各部署、部門の仕事、業務内容、役割についての理解や、事業活動をチームで推進していく上で重要となるコミュニケーションの取り方や、今後の学修における自らの課題を明確にすることで、この科目履修後の発展的な実習となる企業内実習Ⅱ・Ⅲ、新規商品開発・販売実習の履修に向けて必要となる初歩的なビジネススキル、ビジネスマナーの向上を目的とするものである。この目的の達成のため、この授業科目の内容に適切な実習施設であるとともに、卒業後の活躍の場となる主に地域の経営資源を活用して活動している新潟企業を選定した。

【資料９-②】「臨地実務実習実施計画（事業創造学部）」の２～３ページ（Ⅵ実習施設（受入れ予定人数））

２「新規商品開発・販売実習Ⅰ」

「新規商品開発・販売実習Ⅰ」は、新たなビジネスモデルを構築する新規事業開発と既存のビジネスモデルに新しい商品・サービスを開発する新規商品開発との違いの理解を踏まえたうえで、新規商品開発のための基本的なしくみを理解するとともに、新たに開発した商品を販売するために必要となる広告宣伝、販路開拓、販売促進のしくみと推進のポイントや新規商品開発から販売までの流れを理解し、事業を創造するための基盤の確立を目指すことを目的とするものである。この目的の達成のため、この授業科目の内容に適切な実習施設であるとともに、卒業後の活躍の場となる主に地域の経営資源を活用して活動し、今後社会的ニーズの拡がりが特に期待できる新潟企業を選定した。

【資料９-③】「臨地実務実習実施計画（事業創造学部）」の８～９ページ（Ⅵ実習施設（受入れ予定人数））

３「企業内実習Ⅱ」

「企業内実習Ⅱ」は、主に事業創造の実践のスキルを活かす主要な場となる企業においてのリーダーシップ、経営目標の設定や行動計画の策定、経営判断の考え方、経営課題への取り組み方などを理解することで、新しい事業を推進する上でのポイントを把握し、トップマネジメントの理解を深めることを目的とするものである。この目的の達成のため、

この授業科目の内容に適切な実習施設であるとともに、卒業後の活躍の場となる主に地域の経営資源を活用して活動している新潟企業を選定した。

なお、この考えに基づき選定した企業のうち、株式会社リビングギャラリーについては、各支店のみの実施で学修到達目標を達成できないことから、各支店の実習生を３グループに分けたうえで、実習期間中 2 回（第１週と７週）を本店にて実習を実施するものとし、この経営上層部との関わり方を通じてトップマネジメントの理解を深める。

【資料９-④】「臨地実務実習実施計画（事業創造学部）」の１５～１６ページ（Ⅵ実習施設（受入れ予定人数））

４「新規商品開発・販売実習Ⅱ」

「新規商品開発・販売実習Ⅱ」は、新規商品開発・販売実習Ⅰに続く実習として、新たなビジネスモデルを構築する新規事業開発と既存のビジネスモデルに新しい商品・サービスを開発する新規商品開発との違いの理解を踏まえたうえで、新規商品開発・販売のための計画書の策定を通じ、実践力を獲得することと、新たに開発した商品を販売するために必要となる広告宣伝、販路開拓、販売促進に関する販売計画の策定を通じ、新規商品開発から販売まで必要な実践力の獲得、事業を創造するための基盤の理解を目的とするものである。この目的の達成のため、この授業科目の内容に適切な実習施設であるとともに、卒業後の活躍の場となる主に地域の経営資源を活用して活動し、今後社会的ニーズの拡がりが特に期待できる新潟企業を選定した。

【資料９-⑤】「臨地実務実習実施計画（事業創造学部）」の２１ページ（Ⅵ実習施設（受入れ予定人数））

５「企業内実習Ⅲ」

「企業内実習Ⅲ」は、臨地実務実習の集大成として、経営管理、マーケティング、会計理論を活用することで、企業活動における課題（売上、財務面、商品性、財務、経営全般、人材等）を抽出し、課題解決に向けた道筋や方策（販売推進・営業力による顧客創造、変動費・固定費の低減、競合商品との差別化、新たなビジネスモデルの創造、人材育成等）を理解し、企業内コミュニケーションにおいて重要となるプレゼンテーション力を高めることを目的とするものである。この目的の達成のため、この授業科目の内容に適切な実習施設であるとともに、卒業後の活躍の場となる主に地域の経営資源を活用して活動している新潟企業を選定した。

【資料９-⑥】「臨地実務実習実施計画（事業創造学部）」の２８ページ（Ⅵ実習施設（受入れ予定人数））

上記の内容を踏まえ、施設毎に記載した様式第７号の４（その３）【臨地実務実習施設の概要】の「当該施設の選定理由」について、当該施設において履修させる授業科目の目的、到達目標を踏まえた内容に修正することとした。

（新旧対照表）様式第７号の４（その３）【臨地実務実習施設の概要】

「当該施設の選定理由」の修正

新	旧
1．株式会社ウイネット 同社は長年にわたり、教育分野において専門教材の開発、販売等幅広く行っており、新しいニーズを踏まえた新規商品をリリースしている実績や創業３０年以上の社歴から企業人育成に評価が高いと判断している。このため、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅰ」、「企業内実習Ⅱ」、「企業内実習Ⅲ」及び「新規商品開発・販売実習Ⅰ」、「新規商品開発・販売実習Ⅱ」の授業到達目標となる新規商品開発ノウハウの理解や、経営組織の理解、トップマネジメントの理解、企業の課題に応じた対策手法の理解、会計スキルの実践等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから、同施設の選定に至った。	1．株式会社ウイネット 専門教材の開発、販売等幅広く行っており、人材育成、新規商品の開発等の臨地実務実習の効果が期待できる。
2．株式会社エデュースホールディングス 同社は教育分野において新しいニーズを踏まえた新規リリースを中心に専門教材の開発、販売等幅広く行っている（株）ウイネット、また、新しいニーズを踏まえたビジネス能力、技能に関する認定試験の開発、販売等を行っている（株）サーティファイの事業活動の支配を通じて、企業人育成に評価が高いと判断している。このため、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅰ」、「企業内実習Ⅱ」、「企業内実習Ⅲ」及び「新規商品開発・販売実習Ⅰ」、「新規商品開発・販売実習Ⅱ」の授業到達目標となる新規商品開発ノウハウの理解や、経営組織の理解、トップマネジメントの理解、企業の課	2．株式会社エデュースホールディングス 株式または持分の所有によるグループ全体の事業活動の支配、管理、支援等を行っているため、臨地実務実習の効果が期待できる。

題に応じた対策手法の理解、会計スキルの実践等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから、同施設の選定に至った。	
3．株式会社エヌエスジー教育ネットワーク 同社は目まぐるしく様変わりする民間教育市場に対応した学習塾、資格取得教育、スイミングスクール、習い事教室事業を営む会社の事業活動の支配を通じて、マーケティング分析、新規商品開発、更には企業人育成に評価が高いと判断している。 このため、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅰ」、「企業内実習Ⅱ」、「企業内実習Ⅲ」及び「新規商品開発・販売実習Ⅰ」、「新規商品開発・販売実習Ⅱ」の授業到達目標となる新規商品開発ノウハウの理解や、経営組織の理解、トップマネジメントの理解、企業の課題に応じた対策手法の理解、会計スキルの実践等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから、同施設の選定に至った。	3．株式会社エヌエスジー教育ネットワーク 学習塾、資格取得教育、スイミングスクール、習い事教室事業を営む会社の株式所有によるそれぞれの事業活動の支配、管理などの業務を幅広く行っており、臨地実務実習の効果が期待できる。
4．株式会社ＮＳＧアカデミー 同社は目まぐるしく様変わりする民間教育市場に対応した学習塾経営に精通し、時代にマッチした教育サービスを提供し続けている。また、事業盛衰サイクルが早い学習塾業界において、40 年以上にもわたり、新潟の民間教育を支えている。このため、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅰ」、「企業内実習Ⅱ」、「企業内実習Ⅲ」及び「新規商品開発・販売実習Ⅰ」、「新規商品開発・販売実習Ⅱ」の授業到達目標となる新規商	4．株式会社ＮＳＧアカデミー 新潟県内、県外において広域で学習塾を経営しており、人材育成及び商品開発等で臨地実務実習の効果が期待できる。

品開発ノウハウの理解や、経営組織の理解、トップマネジメントの理解、企業の課題に応じた対策手法の理解、会計スキルの実践等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから、同施設の選定に至った。	
5．株式会社サーティファイ 同社は新しいニーズを踏まえたビジネス能力、技能に関する認定試験の開発、販売等を行っていると共に、創業３０年以上の社歴の点から企業人育成に評価が高いと判断している。このため、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅰ」、「企業内実習Ⅱ」、「企業内実習Ⅲ」及び「新規商品開発・販売実習Ⅰ」、「新規商品開発・販売実習Ⅱ」の授業到達目標となる新規商品開発ノウハウの理解や、経営組織の理解、トップマネジメントの理解、企業の課題に応じた対策手法の理解、会計スキルの実践等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから、同施設の選定に至った。	5．株式会社サーティファイ ビジネス能力、技能に関する認定試験の開発、主催、実施主催試験に対応した対策問題集の開発、販売等を行っているため、人材開発、新規商品開発等の臨地実務実習の効果が期待できる。
6．アートグリーン株式会社 同社はフラワービジネス支援事業、ナーセリー支援事業、フューネラル事業を中心にエンドユーザーだけでなく、フラワー業界の生産者、流通業者、小売業者との関わりも持ちながら、経営されている。また、名古屋証券取引所にて株式公開されている点から、常に市場に求められるニーズを注視し、新規商品開発への取り組みへ注力していると判断することから、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅰ」、「企業内実習Ⅱ」、「企業内実習Ⅲ」及び「新規商品開発・	6．アートグリーン株式会社 エンドユーザーだけでなく、フラワー業界の生産者、流通業者、小売業者にも価値をもたらそうとする姿勢で運営されているため、人材開発、新規商品開発販売等で臨地実務実習の効果が期待できる。

販売実習Ⅰ」、「新規商品開発・販売実習Ⅱ」の授業到達目標となる新規商品開発ノウハウの理解や、経営組織の理解、トップマネジメントの理解、企業の課題に応じた対策手法の構築、会計スキルの実践等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断し、同施設の選定に至った。	
7. 株式会社小川屋 同社は株式会社和僑商店ホールディングスのグループ企業として、新潟の地において食品加工業を展開している。創業は 120 年を超えるが、この間、事業承継を踏まえた第二創業を経て、現在も新規商品開発・販売の取り組みに注力していることから学ぶべき点は多いと判断する。このため、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅰ」、「企業内実習Ⅱ」、「企業内実習Ⅲ」及び「新規商品開発・販売実習Ⅰ」、「新規商品開発・販売実習Ⅱ」の授業到達目標となる新規商品開発ノウハウの理解や、経営組織の理解、トップマネジメントの理解、企業の課題に応じた対策手法の理解、会計スキルの実践等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから、同施設の選定に至った。	7. 株式会社小川屋 株式会社和僑商店ホールディングスとして、地域企業のコンセプト立案、デザインディレクション、ビジネスフロー構築など、その運営を一体的に行っており、地域の担い手として、連携が取りやすく、人材開発、商品開発・販売等で臨地実務実習の効果が期待できる。
8. 株式会社日本フードリンク本社 同社は新潟県内の医療・福祉施設・小中学校への給食サービスを提供する企業として、30 年以上にわたり運営されている。同社の強みは人材育成であることを公言しており、多くの社員のチームワークから学ぶべき点は多いと認識する。このことから、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅰ」、	8. 株式会社日本フードリンク本社 食を通じて、健康な身体づくり、福祉の充実、文化への理解、そしてお客様に満足を提供しようとする姿勢を企業側から確認することは、人間の生活の基本といわれる「衣食住」の食を深く理解することに繋がり、臨地実務実習の効果が期待できる。

「企業内実習Ⅱ」、「企業内実習Ⅲ」での授業到達目標となる経営組織の理解、企業の課題に応じた対策手法の理解、トップマネジメントの理解、企業の課題に応じた対策手法の理解、会計スキルの実践等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから、同施設の選定に至った。	
9．株式会社ベジ・アビオ 同社は「新潟県の農業活性化と若者の人材育成に寄与すること」を理念に掲げ、環境制御型スマート農業のビジネスモデル構築を目指し、活動している。社歴は浅く、取扱商品も限られている状況であるが、将来ビジョンを踏まえた取り組み方から学ぶべき点は多く、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅰ」、「企業内実習Ⅱ」、「企業内実習Ⅲ」での授業到達目標となる経営組織の理解、トップマネジメントの理解、企業の課題に応じた対策手法の理解、会計スキルの実践等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから、同施設の選定に至った。	9．株式会社ベジ・アビオ ベジ・アビオは「新潟県の農業活性化と若者の人材育成に寄与すること」を理念に掲げており、農業県としての新潟の将来を考えるなら、米だけに頼らず、農家や農業のためにできることはないか、という事を常に考え続けている。このような姿勢の企業における実習は、人材育成、地域創生、新規事業開発等で臨地実務実習の効果が得られると考える。
10．グローカルマーケティング株式会社 同社は地域密着型のマーケティング支援事業として、販売促進やWebマーケティング、市場調査や営業力強化などを通じて企業を支援している。また、企業の人材育成における課題解決を目的としたサービスも展開していることから、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅰ」、「企業内実習Ⅱ」、「企業内実習Ⅲ」及び「新規商品開発・販売実習Ⅰ」、「新規商品開発・販売実習Ⅱ」の授業到達目標となる新規商品開発ノウハウ	10．グローカルマーケティング株式会社 事業の概要が事業創造学部で学習する科目と合致しており、臨地実務実習の効果が期待できる。

の理解や、経営組織の理解、トップマネジメントの理解、企業の課題に応じた対策手法の理解、会計スキルの実践等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから、同施設の選定に至った。	
11．新潟綜合警備保障株式会社 同社は個人・法人対象の総合セキュリティサービスを提供している。セキュリティサービスに関するニーズは、時代やライフスタイルの変化に応じ、大きく様変わりする中、同社は時代の要請に応えながら新潟に安全な生活環境をつくるため、さらに高い質のサービスを提供すべく、主に個人向けニーズに対応した新しいサービスを創出している。更には創業５０年の社歴から企業人育成に評価が高いと判断することから、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅰ」、「企業内実習Ⅱ」、「企業内実習Ⅲ」及び「新規商品開発・販売実習Ⅰ」、「新規商品開発・販売実習Ⅱ」の授業到達目標となる新規商品開発ノウハウの理解や、経営組織の理解、トップマネジメントの理解、企業の課題に応じた対策手法の理解、会計スキルの実践等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから、同施設の選定に至った。	11．新潟綜合警備保障株式会社 地域に安全・安心を与え、また、時代やライフスタイルの変化により、新しいサービスがどんどん増えている。時代の要請に応えながら新潟に安全な生活環境をつくるため、さらに高い質のサービスを提供していくことを目指しているため、このような姿勢は、人材育成、地域創生等で臨地実務実習の効果が期待できる。
12．株式会社リビングギャラリー本店 同社は賃貸仲介、管理業務においてオーナー様と入居者様のメリットや顧客価値の最大化を常に意識し、様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であると判断している。また、店舗毎にニーズに対応したサービスを提案するために各店舗においては	12．株式会社リビングギャラリー本店 リビングギャラリーは、賃貸仲介、管理業務から、オーナー様と入居者様のメリットや貢献できることは何かを常に意識し、今まで様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であり、エンドユーザーである「お客様」の求めていること、期待していること

意思決定できる仕組みが存在していると判断していることから、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅱ」での授業到達目標となるトップマネジメントの理解や、経営戦略の理解等の点において、臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断し、同施設の選定に至った。	をオーナー様にご提案し、実現し、双方のメリットになることは何かを考え、止まることなく事業化していく姿勢は臨地実務実習の効果が期待できる。
13. 株式会社リビングギャラリー　新潟中央センター 同社は賃貸仲介、管理業務においてオーナー様と入居者様のメリットや顧客価値の最大化を常に意識し、様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であると判断している。また、店舗毎にニーズに対応したサービスを提案するために各店舗においては意思決定できる仕組みが存在していると判断していることから、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅱ」での授業到達目標となるトップマネジメントの理解や、経営戦略の理解等の点において、臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断し、同施設の選定に至った。	13. 株式会社リビングギャラリー　新潟中央センター リビングギャラリーは、賃貸仲介、管理業務から、オーナー様と入居者様のメリットや貢献できることは何かを常に意識し、今まで様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であり、エンドユーザーである「お客様」の求めていること、期待していることをオーナー様にご提案し、実現し、双方のメリットになることは何かを考え、止まることなく事業化していく姿勢は臨地実務実習の効果が期待できる。
14. 株式会社リビングギャラリー　新潟駅前店 同社は賃貸仲介、管理業務においてオーナー様と入居者様のメリットや顧客価値の最大化を常に意識し、様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であると判断している。また、店舗毎にニーズに対応したサービスを提案するために各店舗においては意思決定できる仕組みが存在していると判断していることから、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅱ」での授業到達目標となるトップマネジメントの理解や、経営戦略	14. 株式会社リビングギャラリー　新潟駅前店 リビングギャラリーは、賃貸仲介、管理業務から、オーナー様と入居者様のメリットや貢献できることは何かを常に意識し、今まで様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であり、エンドユーザーである「お客様」の求めていること、期待していることをオーナー様にご提案し、実現し、双方のメリットになることは何かを考え、止まることなく事業化していく姿勢は臨地実務実習の効果が期待できる。

の理解等の点において、臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断し、同施設の選定に至った。	
15. 株式会社リビングギャラリー　新潟古町店 同社は賃貸仲介、管理業務から、オーナー様と入居者様のメリットや貢献できることを踏まえて、様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であると判断している。また、店舗毎にニーズ対応したサービスを提案するために店舗毎に意思決定できる仕組みが存在していると判断していることから、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅱ」での授業到達目標となるトップマネジメントの理解や、経営戦略の理解等の点において、臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断し、同施設の選定に至った。	15. 株式会社リビングギャラリー　新潟古町店 リビングギャラリーは、賃貸仲介、管理業務から、オーナー様と入居者様のメリットや貢献できることは何かを常に意識し、今まで様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であり、エンドユーザーである「お客様」の求めていること、期待していることをオーナー様にご提案し、実現し、双方のメリットになることは何かを考え、止まることなく事業化していく姿勢は臨地実務実習の効果が期待できる。
16. 株式会社リビングギャラリー　新潟白山店 （事業所閉鎖のため、施設一覧より削除）	16. 株式会社リビングギャラリー　新潟白山店 リビングギャラリーは、賃貸仲介、管理業務から、オーナー様と入居者様のメリットや貢献できることは何かを常に意識し、今まで様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であり、エンドユーザーである「お客様」の求めていること、期待していることをオーナー様にご提案し、実現し、双方のメリットになることは何かを考え、止まることなく事業化していく姿勢は臨地実務実習の効果が期待できる。

17. 株式会社リビングギャラリー　新潟亀田店 同社は賃貸仲介、管理業務から、オーナー様と入居者様のメリットや貢献できることを踏まえて、様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であると判断している。また、店舗毎にニーズ対応したサービスを提案するために店舗毎に意思決定できる仕組みが存在していると判断していることから、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅱ」での授業到達目標となるトップマネジメントの理解や、経営戦略の理解等の点において、臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断し、同施設の選定に至った。	17. 株式会社リビングギャラリー　新潟亀田店 リビングギャラリーは、賃貸仲介、管理業務から、オーナー様と入居者様のメリットや貢献できることは何かを常に意識し、今まで様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であり、エンドユーザーである「お客様」の求めていること、期待していることをオーナー様にご提案し、実現し、双方のメリットになることは何かを考え、止まることなく事業化していく姿勢は臨地実務実習の効果が期待できる。
18. 株式会社リビングギャラリー　新潟東店 同社は賃貸仲介、管理業務においてオーナー様と入居者様のメリットや顧客価値の最大化を常に意識し、様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であると判断している。また、店舗毎にニーズに対応したサービスを提案するために各店舗においては意思決定できる仕組みが存在していると判断していることから、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅱ」での授業到達目標となるトップマネジメントの理解や、経営戦略の理解等の点において、臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断し、同施設の選定に至った。	18. 株式会社リビングギャラリー　新潟東店 リビングギャラリーは、賃貸仲介、管理業務から、オーナー様と入居者様のメリットや貢献できることは何かを常に意識し、今まで様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であり、エンドユーザーである「お客様」の求めていること、期待していることをオーナー様にご提案し、実現し、双方のメリットになることは何かを考え、止まることなく事業化していく姿勢は臨地実務実習の効果が期待できる。
19. 株式会社リビングギャラリー　新潟大学前店 同社は賃貸仲介、管理業務から、オーナー様と入居者様のメリットや貢献できるこ	19. 株式会社リビングギャラリー　新潟大学前店 リビングギャラリーは、賃貸仲介、管理業務から、オーナー様と入居者様のメリット

とを踏まえて、様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であると判断している。また、店舗毎にニーズ対応したサービスを提案するために店舗毎に意思決定できる仕組みが存在していると判断していることから、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅱ」での授業到達目標となるトップマネジメントの理解や、経営戦略の理解等の点において、臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断し、同施設の選定に至った。	や貢献できることは何かを常に意識し、今まで様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であり、エンドユーザーである「お客様」の求めていること、期待していることをオーナー様にご提案し、実現し、双方のメリットになることは何かを考え、止まることなく事業化していく姿勢は臨地実務実習の効果が期待できる。
20．株式会社リビングギャラリー　新潟西店 同社は賃貸仲介、管理業務においてオーナー様と入居者様のメリットや顧客価値の最大化を常に意識し、様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であると判断している。また、店舗毎にニーズに対応したサービスを提案するために各店舗においては意思決定できる仕組みが存在していると判断していることから、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅱ」での授業到達目標となるトップマネジメントの理解や、経営戦略の理解等の点において、臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断し、同施設の選定に至った。	20．株式会社リビングギャラリー　新潟西店 リビングギャラリーは、賃貸仲介、管理業務から、オーナー様と入居者様のメリットや貢献できることは何かを常に意識し、今まで様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であり、エンドユーザーである「お客様」の求めていること、期待していることをオーナー様にご提案し、実現し、双方のメリットになることは何かを考え、止まることなく事業化していく姿勢は臨地実務実習の効果が期待できる。
21．株式会社リビングギャラリー　新津店 同社は賃貸仲介、管理業務から、オーナー様と入居者様のメリットや貢献できることを踏まえて、様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であると判断している。また、店舗毎にニーズ対応したサービスを提案するために店舗毎に意思決定できる仕組みが存在していると判断していること	21．株式会社リビングギャラリー　新津店 リビングギャラリーは、賃貸仲介、管理業務から、オーナー様と入居者様のメリットや貢献できることは何かを常に意識し、今まで様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であり、エンドユーザーである「お客様」の求めていること、期待していることをオーナー様にご提案し、実現し、双方の

から、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅱ」での授業到達目標となるトップマネジメントの理解や、経営戦略の理解等の点において、臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断し、同施設の選定に至った。	メリットになることは何かを考え、止まることなく事業化していく姿勢は臨地実務実習の効果が期待できる。
22. 株式会社リビングギャラリー　新潟北店 同社は賃貸仲介、管理業務においてオーナー様と入居者様のメリットや顧客価値の最大化を常に意識し、様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であると判断している。また、店舗毎にニーズに対応したサービスを提案するために各店舗においては意思決定できる仕組みが存在していると判断していることから、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅱ」での授業到達目標となるトップマネジメントの理解や、経営戦略の理解等の点において、臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断し、同施設の選定に至った。	22. 株式会社リビングギャラリー　新潟北店 リビングギャラリーは、賃貸仲介、管理業務から、オーナー様と入居者様のメリットや貢献できることは何かを常に意識し、今まで様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であり、エンドユーザーである「お客様」の求めていること、期待していることをオーナー様にご提案し、実現し、双方のメリットになることは何かを考え、止まることなく事業化していく姿勢は臨地実務実習の効果が期待できる。
23. 株式会社リビングギャラリー　新発田店 同社は賃貸仲介、管理業務においてオーナー様と入居者様のメリットや顧客価値の最大化を常に意識し、様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であると判断している。また、店舗毎にニーズに対応したサービスを提案するために各店舗においては意思決定できる仕組みが存在していると判断していることから、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅱ」での授業到達目標となるトップマネジメントの理解や、経営戦略の理解等の点において、臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断	23. 株式会社リビングギャラリー　新発田店 リビングギャラリーは、賃貸仲介、管理業務から、オーナー様と入居者様のメリットや貢献できることは何かを常に意識し、今まで様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であり、エンドユーザーである「お客様」の求めていること、期待していることをオーナー様にご提案し、実現し、双方のメリットになることは何かを考え、止まることなく事業化していく姿勢は臨地実務実習の効果が期待できる。

し、同施設の選定に至った。	
24. 株式会社リビングギャラリー　燕三条駅前店 同社は賃貸仲介、管理業務においてオーナー様と入居者様のメリットや顧客価値の最大化を常に意識し、様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であると判断している。また、店舗毎にニーズに対応したサービスを提案するために各店舗においては意思決定できる仕組みが存在していると判断していることから、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅱ」での授業到達目標となるトップマネジメントの理解や、経営戦略の理解等の点において、臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断し、同施設の選定に至った。	24. 株式会社リビングギャラリー　燕三条駅前店 リビングギャラリーは、賃貸仲介、管理業務から、オーナー様と入居者様のメリットや貢献できることは何かを常に意識し、今まで様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であり、エンドユーザーである「お客様」の求めていること、期待していることをオーナー様にご提案し、実現し、双方のメリットになることは何かを考え、止まることなく事業化していく姿勢は臨地実務実習の効果が期待できる。
25. 株式会社リビングギャラリー　長岡西店 同社は賃貸仲介、管理業務においてオーナー様と入居者様のメリットや顧客価値の最大化を常に意識し、様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であると判断している。また、店舗毎にニーズに対応したサービスを提案するために各店舗においては意思決定できる仕組みが存在していると判断していることから、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅱ」での授業到達目標となるトップマネジメントの理解や、経営戦略の理解等の点において、臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断し、同施設の選定に至った。	25. 株式会社リビングギャラリー　長岡西店 リビングギャラリーは、賃貸仲介、管理業務から、オーナー様と入居者様のメリットや貢献できることは何かを常に意識し、今まで様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であり、エンドユーザーである「お客様」の求めていること、期待していることをオーナー様にご提案し、実現し、双方のメリットになることは何かを考え、止まることなく事業化していく姿勢は臨地実務実習の効果が期待できる。
26. 株式会社リビングギャラリー　長岡東	26. 株式会社リビングギャラリー　長岡東

店 同社は賃貸仲介、管理業務から、オーナー様と入居者様のメリットや貢献できることを踏まえて、様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であると判断している。また、店舗毎にニーズ対応したサービスを提案するために店舗毎に意思決定できる仕組みが存在していると判断していることから、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅱ」での授業到達目標となるトップマネジメントの理解や、経営戦略の理解等の点において、臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断し、同施設の選定に至った。	店 リビングギャラリーは、賃貸仲介、管理業務から、オーナー様と入居者様のメリットや貢献できることは何かを常に意識し、今まで様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であり、エンドユーザーである「お客様」の求めていること、期待していることをオーナー様にご提案し、実現し、双方のメリットになることは何かを考え、止まることなく事業化していく姿勢は臨地実務実習の効果が期待できる。
27. 株式会社リビングギャラリー　上越センター 同社は賃貸仲介、管理業務においてオーナー様と入居者様のメリットや顧客価値の最大化を常に意識し、様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であると判断している。また、店舗毎にニーズに対応したサービスを提案するために各店舗においては意思決定できる仕組みが存在していると判断していることから、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅱ」での授業到達目標となるトップマネジメントの理解や、経営戦略の理解等の点において、臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断し、同施設の選定に至った。	27. 株式会社リビングギャラリー　上越センター リビングギャラリーは、賃貸仲介、管理業務から、オーナー様と入居者様のメリットや貢献できることは何かを常に意識し、今まで様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であり、エンドユーザーである「お客様」の求めていること、期待していることをオーナー様にご提案し、実現し、双方のメリットになることは何かを考え、止まることなく事業化していく姿勢は臨地実務実習の効果が期待できる。
28. 株式会社リビングギャラリー　郡山店 同社は賃貸仲介、管理業務においてオーナー様と入居者様のメリットや顧客価値の最大化を常に意識し、様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であると判断してい	28. 株式会社リビングギャラリー　郡山店 リビングギャラリーは、賃貸仲介、管理業務から、オーナー様と入居者様のメリットや貢献できることは何かを常に意識し、今まで様々な事業創出と展開を重ねてきた

る。また、店舗毎にニーズに対応したサービスを提案するために各店舗においては意思決定できる仕組みが存在していると判断していることから、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅱ」での授業到達目標となるトップマネジメントの理解や、経営戦略の理解等の点において、臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断し、同施設の選定に至った。	企業であり、エンドユーザーである「お客様」の求めていること、期待していることをオーナー様にご提案し、実現し、双方のメリットになることは何かを考え、止まることなく事業化していく姿勢は臨地実務実習の効果が期待できる。
29．株式会社リビングギャラリー　川崎店 同社は賃貸仲介、管理業務においてオーナー様と入居者様のメリットや顧客価値の最大化を常に意識し、様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であると判断している。また、店舗毎にニーズに対応したサービスを提案するために各店舗においては意思決定できる仕組みが存在していると判断していることから、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅱ」での授業到達目標となるトップマネジメントの理解や、経営戦略の理解等の点において、臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断し、同施設の選定に至った。	29．株式会社リビングギャラリー　川崎店 リビングギャラリーは、賃貸仲介、管理業務から、オーナー様と入居者様のメリットや貢献できることは何かを常に意識し、今まで様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であり、エンドユーザーである「お客様」の求めていること、期待していることをオーナー様にご提案し、実現し、双方のメリットになることは何かを考え、止まることなく事業化していく姿勢は臨地実務実習の効果が期待できる。
30．株式会社リビングギャラリー　日暮里店 同社は賃貸仲介、管理業務においてオーナー様と入居者様のメリットや顧客価値の最大化を常に意識し、様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であると判断している。また、店舗毎にニーズに対応したサービスを提案するために各店舗においては意思決定できる仕組みが存在していると判断していることから、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅱ」での授業到達目標とな	30．株式会社リビングギャラリー　日暮里店 リビングギャラリーは、賃貸仲介、管理業務から、オーナー様と入居者様のメリットや貢献できることは何かを常に意識し、今まで様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であり、エンドユーザーである「お客様」の求めていること、期待していることをオーナー様にご提案し、実現し、双方のメリットになることは何かを考え、止まることなく事業化していく姿勢は臨地実務

るトップマネジメントの理解や、経営戦略の理解等の点において、臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断し、同施設の選定に至った。	実習の効果が期待できる。
31. 株式会社リビングギャラリー　錦糸町店 同社は賃貸仲介、管理業務においてオーナー様と入居者様のメリットや顧客価値の最大化を常に意識し、様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であると判断している。また、店舗毎にニーズに対応したサービスを提案するために各店舗においては意思決定できる仕組みが存在していると判断していることから、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅱ」での授業到達目標となるトップマネジメントの理解や、経営戦略の理解等の点において、臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断し、同施設の選定に至った。	31. 株式会社リビングギャラリー　錦糸町店 リビングギャラリーは、賃貸仲介、管理業務から、オーナー様と入居者様のメリットや貢献できることは何かを常に意識し、今まで様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であり、エンドユーザーである「お客様」の求めていること、期待していることをオーナー様にご提案し、実現し、双方のメリットになることは何かを考え、止まることなく事業化していく姿勢は臨地実務実習の効果が期待できる。
32. 株式会社リビングギャラリー　赤羽店 同社は賃貸仲介、管理業務においてオーナー様と入居者様のメリットや顧客価値の最大化を常に意識し、様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であると判断している。また、店舗毎にニーズに対応したサービスを提案するために各店舗においては意思決定できる仕組みが存在していると判断していることから、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅱ」での授業到達目標となるトップマネジメントの理解や、経営戦略の理解等の点において、臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断し、同施設の選定に至った。	32. 株式会社リビングギャラリー　赤羽店 リビングギャラリーは、賃貸仲介、管理業務から、オーナー様と入居者様のメリットや貢献できることは何かを常に意識し、今まで様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であり、エンドユーザーである「お客様」の求めていること、期待していることをオーナー様にご提案し、実現し、双方のメリットになることは何かを考え、止まることなく事業化していく姿勢は臨地実務実習の効果が期待できる。

33．株式会社リビングギャラリー　船橋店 同社は賃貸仲介、管理業務においてオーナー様と入居者様のメリットや顧客価値の最大化を常に意識し、様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であると判断している。また、店舗毎にニーズに対応したサービスを提案するために各店舗においては意思決定できる仕組みが存在していると判断していることから、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅱ」での授業到達目標となるトップマネジメントの理解や、経営戦略の理解等の点において、臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断し、同施設の選定に至った。	33．株式会社リビングギャラリー　船橋店 リビングギャラリーは、賃貸仲介、管理業務から、オーナー様と入居者様のメリットや貢献できることは何かを常に意識し、今まで様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であり、エンドユーザーである「お客様」の求めていること、期待していることをオーナー様にご提案し、実現し、双方のメリットになることは何かを考え、止まることなく事業化していく姿勢は臨地実務実習の効果が期待できる。
34．株式会社リビングギャラリー　高円寺店 同社は賃貸仲介、管理業務においてオーナー様と入居者様のメリットや顧客価値の最大化を常に意識し、様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であると判断している。また、店舗毎にニーズに対応したサービスを提案するために各店舗においては意思決定できる仕組みが存在していると判断していることから、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅱ」での授業到達目標となるトップマネジメントの理解や、経営戦略の理解等の点において、臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断し、同施設の選定に至った。	34．株式会社リビングギャラリー　高円寺店 リビングギャラリーは、賃貸仲介、管理業務から、オーナー様と入居者様のメリットや貢献できることは何かを常に意識し、今まで様々な事業創出と展開を重ねてきた企業であり、エンドユーザーである「お客様」の求めていること、期待していることをオーナー様にご提案し、実現し、双方のメリットになることは何かを考え、止まることなく事業化していく姿勢は臨地実務実習の効果が期待できる。
35．株式会社新潟プロバスケットボール本社 日本初の地域密着プロバスケットボールチームとして 2000 年に設立された。現在	35．株式会社新潟プロバスケットボール本社 日本初のプロバスケットボールチームとして 2000 年に誕生。2000-2001、2001-2002

は国内最高峰の男子プロバスケットボールリーグ「B.LEAGUE」の1部に所属し、活動を行っている。現在同社が注力しているクラウドファンディングを活用した新サービスの創出への取り組みや、チームファン・顧客を対象にした新しい応援商品・グッズの開発・販売業務に関しては、学生にとって有益な学びとなる点が多いと判断する。このため、本学事業創造学部の「新規商品開発・販売実習Ⅰ」、「新規商品開発・販売実習Ⅱ」での授業到達目標となる新規商品開発ノウハウの理解について、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから、同施設の選定に至った。	シーズンにかけ日本リーグで2連覇を達成し、2002-2003 シーズンよりスーパーリーグへ参戦。そして、2005-06 シーズンより日本初のプロバスケットボールリーグ・bjリーグに参戦、そして 2016-17 シーズンより国内最高峰の男子プロバスケットボールリーグ「B.LEAGUE」の1部に参戦し、優勝を目指し日々努力を重ねている。
36．越後味噌醸造株式会社 同社は株式会社和僑商店ホールディングスのグループ企業として、新潟の地において食品加工業を展開している。醸造屋として 1771 年に創業し、その後、味噌や漬物に関連する商品の取り扱いを開始し、事業承継を踏まえた第二創業を経て、現在も新規商品開発・販売の取り組みに注力していると判断する。このため、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅰ」、「企業内実習Ⅱ」、「企業内実習Ⅲ」及び「新規商品開発・販売実習Ⅰ」、「新規商品開発・販売実習Ⅱ」の授業到達目標となる新規商品開発ノウハウの理解や、経営組織の理解、トップマネジメントの理解、企業の課題に応じた対策手法の理解、会計スキルの実践等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから、同施設の選定に至った。	36．越後味噌醸造株式会社 株式会社和僑商店ホールディングスとして、地域企業のコンセプト立案、デザインディレクション、ビジネスフロー構築など、その運営を一体的に行っており、地域の担い手として、連携が取りやすく、臨地実務実習の効果が期待できる。

37．株式会社ヒューマンブレイン 同社は労働者派遣事業法に基づく一般労働者派遣事業、紹介予定派遣システムを活用した人材紹介事業、企業における従業員の人事・労務・教育研修等に関するコンサルティング業務等を行っており、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅰ」、「企業内実習Ⅱ」、「企業内実習Ⅲ」での授業到達目標となる経営組織の理解、企業の課題に応じた対策手法の理解、トップマネジメントの理解、企業の課題に応じた対策手法の理解、会計スキルの実践等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから、同施設の選定に至った。	37．株式会社ヒューマンブレイン 労働者派遣事業法に基づく一般労働者派遣事業、紹介予定派遣システムを活用した人材紹介事業、企業における従業員の人事・労務・教育研修等に関するコンサルティング業務等行っているため、臨地実務実習の効果が期待できる。
38．今代司酒造株式会社 同社は株式会社和僑商店ホールディングスのグループ企業として、新潟の地において酒造業を営んでいる。1776 年に創業し、事業承継を踏まえた第二創業を経て、現在も新規商品開発・販売の取り組みに注力していると判断する。本学事業創造学部の「企業内実習Ⅰ」、「企業内実習Ⅱ」、「企業内実習Ⅲ」及び「新規商品開発・販売実習Ⅰ」、「新規商品開発・販売実習Ⅱ」の授業到達目標となる新規商品開発ノウハウの理解や、経営組織の理解、トップマネジメントの理解、企業の課題に応じた対策手法の理解、会計スキルの実践等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから、同施設の選定に至った。	38．今代司酒造株式会社 株式会社和僑商店ホールディングスとして、地域企業のコンセプト立案、デザインディレクション、ビジネスフロー構築など、その運営を一体的に行っており、地域の担い手として、連携が取りやすく、臨地実務実習の効果が期待できる。
39．株式会社峰村商店 同社は株式会社和僑商店ホールディング	39．株式会社峰村商店 株式会社和僑商店ホールディングスの一

スのグループ企業として、新潟の地において味噌・味噌漬及び漬物類の製造販売業を営んでいる。1905 年に創業し、事業承継を踏まえた第二創業を経て、現在も新規商品開発・販売の取り組みに注力していると判断する。本学事業創造学部の「企業内実習Ⅰ」、「企業内実習Ⅱ」、「企業内実習Ⅲ」及び「新規商品開発・販売実習Ⅰ」、「新規商品開発・販売実習Ⅱ」の授業到達目標となる新規商品開発ノウハウの理解や、経営組織の理解、トップマネジメントの理解、企業の課題に応じた対策手法の理解、会計スキルの実践等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから、同施設の選定に至った。	員として、地域企業のコンセプト立案、デザインディレクション、ビジネスフロー構築など、その運営を一体的に行っており、地域の担い手として、連携が取りやすく、臨地実務実習の効果が期待できる。
40．株式会社アイ・シー・オー 同社は市場調査、広告企画立案、広告制作、媒体選定、広告作業の実施などを代行し、媒体に対しては広告スペース・時間などの販売を代行する事業を展開している実績と創業３０年以上の社歴から企業人育成に評価が高いと判断している。このため、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅰ」、「企業内実習Ⅱ」、「企業内実習Ⅲ」での授業到達目標となる経営組織の理解、トップマネジメントの理解、企業の課題に応じた対策手法の理解、会計スキルの実践等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから、同施設の選定に至った。	40．株式会社アイ・シー・オー 市場調査、広告企画立案、広告制作、媒体選定、広告作業の実施などを代行し、媒体に対しては広告スペース・時間などの販売を代行する事業の概要が事業創造学部で学修する科目と合致しており、臨地実務実習の効果が期待できる。
41．株式会社国際総合計画 同社は不動産を通じた社会への貢献という企業理念のもと、10 年後、20 年後を視野にいれた不動産の開発、価値再生に取り組	41．株式会社国際総合計画 不動産を通じた社会への貢献という企業理念のもと、10 年後、20 年後を視野にいれた不動産の開発、価値再生に取り組んで

んでいることと、創業 30 年以上の社歴から企業人育成に評価が高いと判断している。このため、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅰ」、「企業内実習Ⅱ」、「企業内実習Ⅲ」での授業到達目標となる経営組織の理解、トップマネジメントの理解、企業の課題に応じた対策手法の理解、会計スキルの実践等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから、同施設の選定に至った。	いる企業の姿勢は、人材開発、地域創生等で臨地実務実習の効果が期待できる。
42. 株式会社ＭＧＮＥＴ 新潟県燕三条地域を活動拠点に、「ものづくり事業」と「まちづくり事業」を基盤とし、自社製品の企画・開発・販売、プロダクトマネジメント、コンセプトメイク 、ブランディング、製造業を中心とした企業 PR、広報活動、そして、ものづくりにまつわる地域資源の活用支援等を行っていることから、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅰ」、「企業内実習Ⅱ」、「企業内実習Ⅲ」及び「新規商品開発・販売実習Ⅰ」、「新規商品開発・販売実習Ⅱ」の授業到達目標となる新規商品開発ノウハウの理解や、経営組織の理解、トップマネジメントの理解、企業の課題に応じた対策手法の理解、会計スキルの実践等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから、同施設の選定に至った。	42. 株式会社ＭＧＮＥＴ 新潟県燕三条地域を活動拠点に、「ものづくり事業」と「まちづくり事業」を基盤とし、自社製品の企画・開発・販売、プロダクトマネジメント、コンセプトメイク 、ブランディング、製造業を中心とした企業 PR、広報活動、そして、ものづくりにまつわる地域資源の活用支援等を行っており、臨地実務実習の効果が期待できる。
43. Adam Innovations 株式会社 同社は南魚沼市の地方自治体と協力して、グローバルプラットフォーム「グローバル IT パーク南魚沼」を立ち上げ、インド及びスリランカを中心にアジアの大規模な IT ハブ企業として、企業調査、コンサルティ	43. Adam Innovations 株式会社 南魚沼市の地方自治体と協力して、グローバルプラットフォーム「グローバル IT パーク南魚沼」を立ち上げ、インド及びスリランカを中心にアジアの大規模な IT ハブである 8 つの企業が入居していること、ま

ング、トレーニングに関する業務を展開していることから、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅰ」、「企業内実習Ⅱ」、「企業内実習Ⅲ」での授業到達目標となる経営組織の理解、トップマネジメントの理解、企業の課題に応じた対策手法の理解、会計スキルの実践等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断し、同施設の選定に至った。	た地域の担い手として連携がとりやすいレ点などを考慮し、臨地実務実習の効果が期待できる。
44．リコージャパン株式会社 新潟支社 同社はICT関連商品の販売と関連ソリューションの提供、サポート＆サービス、システムインテグレーション及びソフトウェア設計・開発を通じて、顧客ニーズを踏まえた新サービスの提案を強みとしていることから、本学事業創造学部の「新規商品開発・販売実習Ⅰ」、「新規商品開発・販売実習Ⅱ」での授業到達目標となる新規商品開発ノウハウの理解に即した実習が十分期待できると判断し、同施設の選定に至った。	44．リコージャパン株式会社 新潟支社 お客様と向き合い経営や業務に関する課題解決支援を行う課題解決セミナーや展示会を定期的に行うなど、常に顧客を大切にする姿勢は臨地実務実習の効果が期待できる。
45．株式会社幻の酒 同社は酒類のネット通販事業を通じて、ITを活用したマーケティング分析に強みを持っている。また、この強みを活かしたオリジナル商品の開発にも注力している点や、ベンチャー企業として新しいサービスやビジネスを展開していることから、本学事業創造学部の「新規商品開発・販売実習Ⅰ」、「新規商品開発・販売実習Ⅱ」での授業到達目標となる新規商品開発ノウハウの理解、また、企業内実習Ⅱでの授業到達目標となるトップマネジメントや経営戦略の理解に即した実習が十分期待できる	45．株式会社幻の酒 ネット通販を事業としている当社の今後の生き残りを左右するものは、ＳＮＳの活用と、オリジナル商品の開発にかかっているという経営方針と、ＩＴ経営を掲げＩＴ推進教育を積極的に行っていること、また地域の担い手として、連携がとりやすい利点を生かし、隣地実務実習の効果が期待できる。

と判断し、同施設の選定に至った。 46．株式会社ミールワークス 同社は、これまでに世界中の食文化を日本中に広め、地域の食材を日本中に広めるという活動を行ってきた。現在は新潟県の代表的な生産物である「米」を使用した生米麺を軸とした新事業領域を開拓し、市町村、米農家、生産工場等を結び、地産地消を軸とした地方創生の構築も進めている。このような実績を踏まえ、本学事業創造学部の「企業内実習Ⅰ」、「企業内実習Ⅱ」、「企業内実習Ⅲ」及び「新規商品開発・販売実習Ⅰ」、「新規商品開発・販売実習Ⅱ」の授業到達目標となる新規商品開発ノウハウの理解や、経営組織の理解、トップマネジメントの理解、企業の課題に応じた対策手法の理解、会計スキルの実践等、本学の臨地実務実習の内容に即した実習が十分期待できると判断することから、同施設の選定に至った。	46．株式会社ミールワークス 株式会社ミールワークスは、これまでに世界中の食文化を日本中に広め、また、地域の食材を日本中に広めるという活動を行ってきた。現在は新潟県の代表的な生産物である「米」を使用した生米麺を軸とした新事業領域を開拓し、市町村、米農家、生産工場等を結び、地産地消を軸とした地方創生の構築も進めている。このような株式会社ミールワークスの展開は臨地実務実習の効果が期待できる。

（是正意見）事業創造学部　事業創造学科

１０　＜臨地実務実習に関する疑義＞ 臨地実務実習の以下の点を是正し、事業創造の能力が育成できる実習の質が担保されているのか明らかにすること。 （３）臨地実務実習施設について、学生が具体的にどのような活動を行うのか明らかでないため、実習内容や到達目標を明確にすること。

（対応）

当初計画において、実習施設毎の具体的な実習内容やその到達目標は不明確であったため、今回の審査意見を踏まえて検討した結果、改めて「臨地実務実習実施計画（事業創造学部）」を作成し、授業科目毎に実習内容や到達目標を修正したうえで、この実習内容の質が担保できる臨地実務実習施設を明確にすることとした。

【資料９-①】「臨地実務実習実施計画（事業創造学部）」の添付資料１３「授業科目毎の実習評価基準表」（３９～４３ページ）

授業毎の実習内容や到達目標の修正にあたっては、臨地実務実習科目の総合的かつ体系的な見地並びに履修要件の設定を踏まえて授業科目毎の内容の見直しを行い、「企業内実習Ⅰ」、「企業内実習Ⅱ」、「企業内実習Ⅲ」においては、事業活動や商品開発を行うための主な活動の場となる経営分野に関する理解と実践力を養成する実習とし、「新規商品開発・販売実習Ⅰ」「新規商品開発・販売実習Ⅱ」は新商品や新サービスに活用するための能力と消費者の視点に立って正しく問題を解決するための考え方を身に付けるための実習として位置付けることとする。

１　「企業内実習Ⅰ」「企業内実習Ⅱ」「企業内実習Ⅲ」の実習内容

「企業内実習Ⅰ」は職業人として必要な職業意識や職業観と規範意識及び、基本的なビジネスマナー、ビジネスコミュニケーションを身に付けるための実習とし、「企業内実習Ⅱ」は経営の意義や役割と企業経営の管理や組織に関する理解及び経営倫理と経営に関連する経済や法律の知識を身に付けるための実習とし、「企業内実習Ⅲ」は会計の意義と役割や目的と分類、会計の仕組みについての理解とともに、経営管理、マーケティング、会計に関する知識と技術を実践的な活動を通して、総合的に応用できる能力を身に付けるための実習と位置付けることとする。

２　「新規商品開発・販売実習Ⅰ」、「新規商品開発・販売実習Ⅱ」の実習内容

「新規商品開発・販売実習Ⅰ」、「新規商品開発・販売実習Ⅱ」はマーケティングの意義や役割についての理解とマーケティング活動を適切かつ計画的に行うための能力と顧客満足を実現することの重要性について理解するとともに、商品を企画・開発し、販売活動を行う能力を身に付けるための実習と位置付けることとする。

3　「企業内実習Ⅰ」「企業内実習Ⅱ」「企業内実習Ⅲ」の到達目標

上記の実習内容の修正を踏まえた到達目標は、「企業内実習Ⅰ」が企業現場の見学やビジネスにおける初歩的な実務を通じて、ビジネスにおける実践の場における各部署、部門の仕事、業務内容、役割について理解することを到達目標とし、「企業内実習Ⅱ」は事業創造の実践のスキルを活かす主要な場となる企業においてのリーダーシップ、経営目標の設定や行動計画の策定、経営判断の考え方、経営課題への取り組み方などを理解することで、新しい事業を推進する上でのポイントを把握し、トップマネジメントの理解することを到達目標とする。また、「企業内実習Ⅲ」は臨地実務実習の集大成として企業の課題に応じた対策手法の理解、会計スキルの実践、企業現場の見学、ビジネスにおける実務を通じて、企業活動における課題を抽出し、課題解決に向けた道筋や方策を理解することを到達目標とする。

4　「新規商品開発・販売実習Ⅰ」、「新規商品開発・販売実習Ⅱ」の到達目標

「新規商品開発・販売実習Ⅰ」は新たなビジネスモデルを構築する新規事業開発と既存のビジネスモデルに新しい商品・サービスを開発する新規商品開発との違いの理解を踏まえたうえで、新規商品開発のための基本的なしくみを理解することを到達目標とし、「新規商品開発・販売実習Ⅱ」は新たなビジネスモデルを構築する新規事業開発と既存のビジネスモデルに新しい商品・サービスを開発する新規商品開発との違いの理解を踏まえたうえで、新規商品開発のための計画書の策定を通じ、実践力を獲得すること、また、新たに開発した商品を販売するために必要となる広告宣伝、販路開拓、販売促進に関する計画書策定を通じ、新規商品開発から販売まで必要な実践力の獲得、事業創造するための基盤の理解を到達目標として設定することとする。

（是正意見）事業創造学部　事業創造学科

１０　＜臨地実務実習に関する疑義＞ 臨地実務実習の以下の点を是正し、事業創造の能力が育成できる実習の質が担保されているのか明らかにすること。 （４）巡回指導の体制について具体の計画がないため、各科目・施設の巡回指導担当者ごとの巡回指導計画を時間割等で示すとともに、巡回指導が支障なく実施できるか明らかにすること。

（対応）

今回の審査意見を踏まえて検討した結果、改めて「臨地実務実習実施計画（事業創造学部）」を作成し、この計画書の中で各科目・施設の巡回指導担当者毎の巡回指導計画を時間割で示すとともに、指導担当者の巡回指導時間と学内での授業時間が重ならないことと、週１日の研究日が担保されることに配慮した計画であることを明確にすることとする。

【資料９-⑦】「臨地実務実習実施計画（事業創造学部）」の

添付資料９「実習予定表」（１７～２１ページ）

添付資料１０「実習先との連携表」（２２～３２ページ）

添付資料１１「臨地実務実習指導教員別スケジュール表」（３３～３４ページ）

また、この計画策定の過程において、適正な巡回指導を実施するために、一部の授業科目に係る臨地実務実習施設の受入れ予定学生数を変更する必要が生じたため、「様式第７号の４（その１）臨地実務実習施設の確保状況説明書」、「様式第７号の４（その２）臨地実務実習施設一覧」を修正することとした。

新旧対照表）設置の趣旨を記載した書類（７２ページ）

新	旧
（７）教員の配置並びに巡回指導 （中略） また、巡回指導の際に発生した問題点について、実習担当教員全員で協議し、学部長の指示のもと緊急を要するものは即対応し、それ以外は次回の臨地実務実習に活かすものとする。 【資料 36】臨地実務実習実施計画（事業創造学部） 【資料 37】臨地実務実習実施計画（情報学部）	**（７）教員の配置並びに巡回指導** （中略） また、巡回指導の際に発生した問題点について、実習担当教員全員で協議し、学部長の指示のもと緊急を要するものは即対応し、それ以外は次回の臨地実務実習に活かすものとする。 （追加）

（是正意見）事業創造学部　事業創造学科

１０　＜臨地実務実習に関する疑義＞ 臨地実務実習の以下の点を是正し、事業創造の能力が育成できる実習の質が担保されているのか明らかにすること。 （５）添付されている学生のモデル時間割は、臨地実務実習の時間が考慮されていないため、学生が無理なく履修できる適切な計画が立てられていることを明確にするか修正すること。

（対応）

今回の審査意見を踏まえて検討した結果、添付した時間割に臨地実務実習の時間を加えた形で修正し、学内で開講する授業科目との重複する時間帯がないことを明確にするとともに、改めて「臨地実務実習実施計画（事業創造学部）」において、大学からの実習施設移動時間一覧表を作成し、学生が無理なく履修できることを明確にする。

【資料９-⑧】「臨地実務実習実施計画（事業創造学部）」の

添付資料１２「学生時間割」３５～３８ページ

添付資料１「臨地実務実習施設所要時間一覧表」０１ページ

なお、当初計画において予定した東京などの遠隔地にある実習施設については、実習期間中の学内授業と同施設における実習との両立に無理が生じることから、長期休暇を利用して実施する実習施設とし、今回の実施計画の中では受入れ人数を想定しない。通期に履修できなかった学生のための代替施設として位置づけることとし、この場合の実習については、株式会社共立メンテナンスと本学とで協定を結び、完全個室で家具と浴場などの共用設備が完備されている物件を、特別価格を設定することで学生の経済的負担の軽減を図る。

【資料１０】業務提携に関する覚書

（是正意見）事業創造学部　事業創造学科

１０　＜臨地実務実習に関する疑義＞ 臨地実務実習の以下の点を是正し、事業創造の能力が育成できる実習の質が担保されているのか明らかにすること。 （６）臨地実務実習については、学生を企業等の事業者の実務に従事させるものであることから、その実施方法や管理、手当等の実態によっては、実習先業者と学生の間に使用従属関係が認められ、労働関係法令が適用される場合があるが、このことに留意して実習の計画が策定されているか不明なため、明らかにすること。

（対応）

本学においての臨地実務実習は原則、非雇用型で実施するものとする。したがって、実施する臨地実務実習の実施方法や管理、手当等の実態は、原則手当等がないものとなるものの、開学後も新規の実習先を確保するにあたり例外として実習先業者と学生の間に使用従属関係が認められ、労働関係法令が適用される場合も考えられることから、新たに設置の趣旨等を記載した書類に添付した資料への追加資料「臨地実務実習実施計画（事業創造学部）」資料７として、臨地実務実習先となる事業者と取り交わす協定書の見本を作成し、労働関係法令が適用される雇用型を想定した内容を記載し、労働関係法令が適用される場合があることに留意した計画であることを明確にする。

【資料９-⑨】「臨地実務実習実施計画（事業創造学部）」の
添付資料７実施協定書（ひな形）１１ページ

（是正意見）事業創造学部　事業創造学科

１１　＜40 人を超えて教育を行う可能性がある科目の説明が不足＞ 選択科目は学生の受講希望人数によっては、40 人以上が一度に科目を受講する可能性が想定されるため、40 人を超える履修希望者が出た場合にどのように対応するのか明確にすること。

（対応）

選択科目の受講希望人数が４０人を超える履修希望者が出た場合の対応について明確にした。

選択科目のうち、前提として履修すべき科目として指定されている選択科目において、４０人を超える履修希望者が出た場合の対応については、毎学期始めに実施する履修ガイダンスにおいて、次学期に開講予定の選択科目の受講希望に関する調査を行い、調査の結果から４０人を超える履修希望者が予測される選択科目については、複数クラス開講することとし、当該科目の開講前の学期内中に担当教員との調整及び時間割や教室等の対応を行うこととする。

また、前提として履修すべき科目が不要な選択科目及び配当年次以降に受講が可能な選択科目については、学生の履修科目の選択に関する助言を行う個別の履修相談時に、学生の履修希望や履修状況に配慮しながら、履修年次の変更を促すこととする。

なお、必修科目については、４０人のクラスを２クラス開講することとしている。

＜配当年次以降に受講可能な選択科目＞

【事業創造学部】

地域産業研究Ⅰ（農林水産）、地域産業研究Ⅱ（医療福祉）、地域産業研究Ⅲ（環境）、地域産業研究Ⅳ（ものづくり）、地域産業研究Ⅴ（観光）、地域産業研究Ⅵ（ICT）、地域産業研究Ⅶ（まちづくり）、地域産業研究Ⅷ（カルチャー・エンタテイメント）

（是正意見）事業創造学部　事業創造学科

１２　＜取得可能な資格が不明確＞ 本学部を修了することで取得可能な資格等が不明確なため、明らかにすること。

（対応）

事業創造学部を修了することで取得可能な資格等について明らかにした。

事業創造学部では、学部を修了することで、取得が可能となる資格等について設定していないが、事業創造学部の教育課程を履修することで、取得の可能性のある資格は下記の通りである。

なお、事業創造学部では、授業で得た知識を活用して、積極的に資格試験を受験するように指導するとともに、希望者には教育課程外にて受験対策の支援を行うこととする。

【事業創造学部】

資格名称	経営学検定		
主催団体	一般社団法人日本経営協会		
試験内容	経営学検定試験は、経営に関する基礎的・専門的知識やその応用能力としての経営管理能力や問題解決能力が一定水準に達していることを全国レベルで資格認定する検定試験である。		
対応する授業科目	経営学の基礎	経営戦略論	経営組織論
	グローバル社長学	アントレプレナーシップ論	実践事業承継

資格名称	内閣府認定「マーケティング検定」	
主催団体	公益社団法人日本マーケティング協会	
試験内容	マーケティングに関する重要な概念（基本概念、市場環境、マーケティング戦略、マーケティング・リサーチ、消費者行動、製品戦略、価格戦略、コミュニケーション戦略、チャネル戦略、サービス・マーケティング）の基礎・応用問題である。	
対応する授業科目	マーケティング	デジタルマーケティング
	消費者行動研究	流通論の基礎
	ビジネスコミュニケーション	

資格名称	簿記検定
主催団体	日本商工会議所
試験内容	ビジネスパーソンに必須の基本知識。経理・財務担当以外でも、職種にかかわらず評価する企業が多い。 基本的な商業簿記を修得し、経理関連書類の適切な処理や青色申告書類の作成など、初歩的

	な実務がある程度できる。 小規模企業の経理事務に役立つ資格である。	
対応する授業科目	会計学	財務諸表論
	簿記概論	簿記演習

資格名称	中小企業診断士試験		
主催団体	経済産業大臣指定試験期間　一般社団法人中小企業診断協会		
試験内容	中小企業診断士となるために必要な学識を有するかどうかを判定することを目的とした試験であり、試験科目は、経済学・経済政策、財務・会計、企業経営理論、運営管理、経営法務、経営情報システム、中小企業経営・中小企業政策である。		
対応する授業科目	現代経済学	経済学の基礎	会計学
	財務諸表論	財務諸表分析	簿記概論
	経営戦略論	経営組織論	マーケティング
	流通論の基礎	消費者行動研究	実践日本ビジネス法
	ICT 活用ビジネス	地域経済産業論	実践ベンチャービジネス
	ビジネスモデル研究	地域産業研究Ⅳ(ものづくり)	
教育課程外で対策が必要な内容 経営情報システムの科目に対する対策が必要である。			

（新旧対照表）設置の趣旨を記載した書類（５８ページ）

新	旧
１０．取得可能な資格 本学各学部の教育課程を履修することで、取得の可能性のある資格は下記の通りであり、授業で得た知識を活用して、積極的に資格試験を受験するように指導するとともに、希望者には教育課程外にて受験対策の支援をする。	（追加）

（改善意見）事業創造学部　事業創造学科

１３　＜教育課程連携協議会の構成員の改善＞ 教育課程連携協議会の構成員について、以下の点の改善が望ましい。 （１）教職員の委員が１名しかいないため、学内意見を聴取する観点から、教職員を追加することが望ましい。

（対応）

学内意見を聴取する観点から、事業創造学部の教育課程連携協議会の構成員として、教職員の委員を１名追加する。

【追加する構成員】

１．構成員区分：教職員

２．関係する学部等又は研究科等：事業創造学部

３．氏名：徳田　賢二

４．年齢：７２歳（就任時）

５．現所属及び役職名：専修大学名誉教授

※平成 32 年 4 月　開志専門職大学　事業創造学部　教授

６．当該専門職大学等の課程に係る職業に関する主な経歴：

平成元年　専修大学経済学部助教授

平成 7 年　専修大学経済学部教授

平成 10 年　専修大学大学院経済学研究科経済学専攻教授

平成 15 年　公益財団法人川崎市産業振興財団　新産業政策研究所　客員研究員（現在に至る）

平成 27 年　専修大学大学院経済学研究科　研究科長

平成 30 年　専修大学名誉教授(現在に至る)

７．教育課程連携協議会の構成員の要件に合致した構成員であることの理由

(株)日本長期信用銀行にて約 15 年勤務し、その間に産業調査部にて地域経済、ニュービジネス、流通サービス業の調査担当もされ実務上の知識も豊富である。また、その知識や経験を活かして専修大学経済学部、専修大学大学院経済学研究科の専任教員をはじめ、多くの大学でも教鞭をとってきた。さらに現在は、公益財団法人川崎市産業振興財団 新産業政策研究所 客員研究員もされ、地域産業の活性化の研究をしている。本学においてもその経歴を活かし、事業創造学部教授に就任予定であり、事業創造学部の教育課程編成並びに見直しのために、大学教授としての知見が活かされると考える。

（改善意見）事業創造学部　事業創造学科

１３　＜教育課程連携協議会の構成員の改善＞ 教育課程連携協議会の構成員について、以下の点の改善が望ましい。 （２）協力の委員が１名しかいないため、事業創造の観点から、地域や地場産業の委員を追加することが望ましい。

（対応）

事業創造の観点から、事業創造学部の教育課程連携協議会の構成員として、臨地実務実習先の地場産業の委員を１名追加する。

【追加する構成員】

１．構成員区分：協力

２．関係する学部等又は研究科等：事業創造学部

３．氏名：葉葺　正幸

４．年齢：４５歳

５．現所属及び役職名：(株)峰村商店　代表取締役社長
(株)和僑商店ホールディングス代表取締役社長

６．当該専門職大学等の課程に係る職業に関する主な経歴：
平成 13 年 和僑インターナショナル(株)（現株式会社和僑商店）創業
平成 23 年 今代司酒造(株)　代表取締役社長
平成 25 年 (株)峰村商店　代表取締役社長
平成 27 年　越後味噌醸造(株) 代表取締役
平成 29 年　(株)和僑ホールディングス　代表取締役社長（現在に至る）

７．教育課程連携協議会の構成員の要件に合致した構成員であることの理由

大学卒業後、愛宕商事株式会社入社より４年目にして和僑インターナショナル株式会社(現株式会社和僑商店）を設立し社内起業を行う。その後新潟県において、老舗会社でありながら後継者がいない酒造会社・醸造会社の事業承継を行う。平成２９年、事業承継した会社を傘下におさめる株式会社和僑商店ホールディングスを設立し、３０代が中心となる各会社社長の育成とともに、コンセプト立案・ビジネスフロー構築を行っている。その経験と知識は、事業創造学部の教育課程編成並びに見直しのために活かされると考える。

（是正意見）事業創造学部　事業創造学科

１４　＜教員の過大な授業負担＞ 就任予定の専任教員に年間担当単位数が過大な教員がいるため、教員が研究活動を行う時間が確保されているのか疑義がある。教員ごとに勤務表を作成し、教育と研究が両立する勤務体制となっていることを明らかにすること。

（対応）

教員が研究活動を行う時間が確保されていることについて、年間担当単位数が過大な教員について、年間担当単位数を見直すとともに、「事業創造学部教員別スケジュール表」の通り、教員ごとに勤務表を作成し、教育と研究が両立する勤務体制となっていることを明らかにした。

【資料１１】事業創造学部教員別スケジュール表

年間担当単位数が３０単位を超える２名の専任教員の担当科目については、他の教員も含め担当科目を見直すことで、過大な年間担当単位数を是正し、研究活動を行う時間が確保されるように変更した。

そのうえで、専任教員の教育研究活動を行う時間の確保のための教育活動の負担の軽減にむけて、専任教員の指導の下、学内での実習授業の準備、及び臨地実務実習先や臨地実務実習中の学生に対する連絡・調整などを行う実習助手１名を新規に配置することとした。

年間担当単位数が３０単位を超えていた専任教員

専任教員の氏名	変更前			変更事由	変更後		
	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数		担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数
ニシムラ　シンヤ 西村　伸也 ＜平成32年4月＞	企業内実習Ⅰ	1③・④	4	再判定	企業内実習Ⅰ	1③・④	2
	企業内実習Ⅱ	2①・②	4	削除			
	新規商品開発・販売実習Ⅰ	2③・④	5	削除			
	新規商品開発・販売実習Ⅱ	3①・②	5	削除			
	企業内実習Ⅲ	3③・④	6	削除			
				新規	地域資源活用実習	3③・④	4
	地域産業研究Ⅶ （まちづくり）	4①・②	2	可	地域産業研究Ⅶ （まちづくり）	4①・②	2
	事業計画策定総合実習	4通	4		事業計画策定総合実習	4通	4
	合　計		30		合　計		12
トウジョウ　アユミ 東城　歩 ＜平成32年4月＞	簿記概論	1①・②	2	可	簿記概論	2①・②	4
	キャリアデザインⅠ	1②	2	削除			
	簿記演習	1③	1	可	簿記演習	2③	2
	財務諸表分析	2①・②	4		財務諸表分析	3①・②	4
	キャリアデザインⅡ	2②	2	削除			
	企業内実習Ⅱ	2①・②	4	再判定	企業内実習Ⅱ	2③・④	4
	新規商品開発・販売実習Ⅰ	2③・④	5	可	新規商品開発・販売実習Ⅰ	2①・②	5
	新規商品開発・販売実習Ⅱ	3①・②	5		新規商品開発・販売実習Ⅱ	3①・②	5
	企業内実習Ⅲ	3③・④	6	削除			
	合　計		31		合　計		24

（是正意見）事業創造学部　事業創造学科

１５　＜教員の年齢構成が著しく高齢に偏っている＞ 教員の年齢構成が著しく高齢に偏っていることから、教育研究の継続性を踏まえ、若手教員の採用計画など教員組織の将来構想を明確にするとともに、教員配置の適正化を図ること。

（対応）

完成年度において定年年齢を超える専任教員数が９名であったが、この度の審査意見を踏まえて、新たに専任教員を採用したことにより専任教員数は１９名となり、過半数は完成年度において定年年齢を超えない教員組織となった。

しかし、教員の年齢構成は高齢に偏っているため、年齢層の高い専任教員の定年退職に伴う若手教員の新規採用に関する中期的な人事計画を策定し、この人事計画に基づく計画的な採用を行うことにより、教員配置の適正化を図ることとする。

今般、新たな教育組織として専門職大学を設置することから、開設年度から完成年度までの間を大学としての教育研究体制の基盤を形成する期間として位置付けており、開学後の円滑な学部運営に向けて、各専門分野における豊富な教育実績と研究業績を有した専任教員を配置することとした。

その結果、教員組織が高齢に偏ったことから、教育研究の継続性の観点を踏まえたうえで、中長期的な教育研究の維持・向上及び活性化を図る観点から、今後における学部ごとの具体的な専任教員の採用計画について検討し、年齢層の高い専任教員の定年退職に伴う若手・中堅教員の新規採用に関する中期的な人事計画を策定し、この人事計画に基づく計画的な採用を行うことにより、教員配置の適正化を図ることとする。

なお、年齢層の高い専任教員の定年退職に伴う若手・中堅教員の新規採用を行う際には、本学の教員選考規程等で定める審査基準に基づいて、厳格なる審査を経て採用することとし、教育の質の保証の観点から、各専門分野における教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する教員を採用するとともに、採用後も授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究の実施を通して、継続的な教員の資質の維持向上に努めることとする。

また、教員の年齢構成については、完成年度以降（平成３６年度）の計画として、３９歳以下が３人、４０～４９歳が４人、５０～５９歳が１０人、６０～６４歳が２人となる計画とする。

事業創造学部事業創造学科　完成年度以降の専任教員配置計画

教員配置計画	
平成 35 年度（完成年度）末	
退職予定	・定年規定により教授 7 名、准教授 2 名が退職予定 ※内教授 7 名、准教授 2 名は就業規則附則第 3 項の規程に基づき雇用延長

昇格予定	・経営学分野の准教授 1 名及び法学分野の准教授 1 名について、教育研究業績等の評価に基づき教授に昇格予定 ・会計学分野の講師 1 名及び社会学分野の講師 1 名について、教育研究業績等の評価に基づき准教授に昇格予定 ・会計学分野の助教 1 名について、教育研究業績等の評価に基づき講師に昇格予定
新規採用予定	・公募等により、博士の学位、大学等における教育歴、経営学分野に関する研究実績を有する中堅の教授 4 名を採用 ・公募等により、高度の実務の能力を有する中堅の教授 2 名を採用 ・公募等により、博士の学位、大学等における教育歴、経営学分野に関する研究実績を有する若手の准教授 2 名を採用 ・公募等により、博士の学位、大学等における教育歴、会計学分野に関する研究実績を有する若手の助教 1 名を採用
平成 36 年度～平成 39 年度	
退職予定	・定年規定により教授 1 名、准教授 2 名が退職予定
新規採用予定	・公募等により、博士の学位、大学等における教育歴、経営学分野に関する研究実績を有する中堅の教授 1 名を採用 ・公募等により、高度の実務の能力を有する中堅の准教授 2 名を採用

（是正意見）事業創造学部　事業創造学科

１６　＜理論系科目を担当できる教員が不足＞ ディプロマ・ポリシーに地域産業の発展を目的とした事業の創造や諸活動において必要とされる経営、マーケティング、会計に関する理論的かつ実践的な能力を身に付けていることと掲げているにもかかわらず、会計に関する理論系科目を担当することができる教員が不足しているため、適切な教員組織を構築すること。

（対応）

事業創造学部におけるディプロマ・ポリシーを踏まえて、会計に関する理論系科目を担当することができる専任教員として、新規に准教授を１名追加する。

【新規に採用する専任教員】

１．氏名：平田　沙織
２．職位：准教授
３．年齢：個人情報のため、省略した
４．学位：博士（経営学）
５．科目：会計学、財務諸表論、新規商品開発・販売実習Ⅰ、企業内実習Ⅲ、
　　新規商品開発・販売実習Ⅱ、事業計画策定総合実習

（是正意見）事業創造学部　事業創造学科

１７　＜学則について疑義＞ 学則の第 10 条の２で「教授会は、全学部の専任の教授をもって構成する。」とされているが、全学で１つの教授会とするのか、学部ごとに設けるのか不明なため、明確にするか修正すること。

（対応）

本学の教授会は、学部教授会として運営することとし、学則において明確となるよう修正した。

（新旧対照表）開志専門職大学　学則（案）

新	旧
（教授会） 第１０条　本学に教授会を置く。 ２　教授会は、学部教授会とし、学部の専任の教授をもって構成する。	（教授会） 第１０条　本学に教授会を置く。 ２　教授会は、（追加）全学部の専任の教授をもって構成する。

（新旧対照表）開志専門職大学　教授会規程（案）

新	旧
（構成） 第３条　教授会は、学部教授会とし、学則第 10 条第 2 項の規定に基づき、学部の専任の教授を持って構成する。	（構成） 第３条　教授会は、（追加）学則第 10 条第 2 項の規定に基づき、全学部の専任の教授を持って構成する。

（新旧対照表）設置の趣旨を記載した書類（７３ページ）

新	旧
１３．管理運営 （１）管理運営組織の概要 ２）教授会 教授会規程第 5 条に基づき、学部長は議長となり教授会を主宰し、同第 5 条第 3 項に基づき原則として毎月 1 回開催する。 教授会は学部教授会とし、学則第 10 条第 2 項に基づき、専任の教授をもって構成する。なお、同条同項のただし書きにより、	１２．管理運営 （１）管理運営組織の概要 ２）教授会 教授会規程第 5 条に基づき、学部長は議長となり教授会を主宰し、同第 5 条第 3 項に基づき原則として毎月 1 回開催する。 教授会は（追加）学則第 10 条第 2 項に基づき、専任の教授をもって構成する。なお、同条同項のただし書きにより、

その他の教職員を加える場合にあっては、准教授および講師、助教を構成員とする。また、助手は準構成員とする。 教授会は学則第 10 条第 3 項および教授会規程第 4 条に基づき、次の重要事項について、学長が決定を行うに当たり、審議した結果を学長に意見として述べるものとする。 ①　学生の入学、卒業に関すること ②　学位の授与に関すること ③　教育・研究の基本方針に関すること ④　教育課程及び履修方式に関すること ⑤　学生の指導、賞罰及び除籍に関すること 【資料 40】教授会規程（案）	その他の教職員を加える場合にあっては、准教授および講師、助教を構成員とする。また、助手は準構成員とする。 教授会は学則第 10 条第 3 項および教授会規程第 4 条に基づき、次の重要事項について、学長が決定を行うに当たり、審議した結果を学長に意見として述べるものとする。 ①　学生の入学、卒業に関すること ②　学位の授与に関すること ③　教育・研究の基本方針に関すること ④　教育課程及び履修方式に関すること ⑤　学生の指導、賞罰及び除籍に関すること 【資料 43】教授会規程（案）

（是正意見）事業創造学部　事業創造学科

１８　＜図書数が不十分＞ 図書館が大学の教育研究に必要な水準で整備されているのか懸念されるため、専攻分野の図書等について、教育研究上の必要性の観点から十分な内容及び冊数であることを明確にするか修正すること。

（対応）

教育研究上の必要性の観点から、下記の通り、専攻分野の図書等の内容及び冊数を示し、図書館が大学の教育研究に必要な水準で整備されていることについて明確にした。

事業創造学部では、組織として研究対象とする中心的な学問分野を「経営学分野」としていることから、開学時の大学全体における「経営学分野」に関する図書等として、別紙図書リストの通り、整備することとしているとともに、開学後においても、経常経費における図書等の購入に係る予算計上のもとに、図書館の水準の維持・向上にむけた図書等の継続的な整備に努めることとしている。

１　開学当初に紫竹山キャンパスに整備する図書等は以下の通りである。

・基礎・教養分野：703 冊
・経営学分野：1716 冊
（内国書 1651 冊、外国書 55 冊、学術和雑誌 6 点、学術洋雑誌 2 点、視聴覚資料等 2 点）
・マーケティング分野：411 冊
（内国書 409 冊、外国書 1 冊、学術和雑誌 1 点）
・会計学分野：921 冊
（内国書 919 冊、外国書 2 冊）
・関連諸分野：251 冊
（内国書 245 冊、外国書 5 冊、学術和雑誌 1 点）

２　開学当初に米山キャンパスに整備する図書等は以下の通りである。

・基礎・教養分野：702 冊
・情報学分野：1404 冊
（内国書 1361 冊、外国書 38 冊、学術和雑誌 3 点、学術洋雑誌 1 点、視聴覚資料等 1 点）
・AI・IOT 応用分野：1039 冊
（内国書 1013 冊、外国書 20 冊、学術和雑誌 4 点、学術洋雑誌 1 点、視聴覚資料等 1 点）
・経営・マーケティング分野：474 冊
（内国書 469 冊、外国書 5 冊）
・関連諸分野：259 冊

（内国書 257 冊、外国書 1 冊、学術和雑誌 1 点）

3　グループ大学の図書を無料貸出

さらにグループの大学では、新潟医療福祉大学では医療福祉分野の専門図書を中心に約 4 万冊、事業創造大学院大学では経営学や事業創造に関する分野の図書約 1 万冊、新潟食料農業大学では農業分野の専門図書を中心に約 7,500 冊の蔵書があり、教員の研究や学生の興味関心による学修や研究に必要な専門図書を無料で貸出閲覧できる環境を整える。

4　インターネットによる情報収集

紫竹山キャンパスの図書館および米山キャンパスの図書室内は無線ＬＡＮ環境を整備し、図書等とあわせてインターネットによる情報収集を可能にする。なお、蔵書検索システムを用いることにより図書検索を容易にし、教育研究に必要な図書を貸し出すものとする。

（新旧対照表）設置の趣旨を記載した書類（５３ページ）

新	旧
８．施設、設備等の整備計画 **（３）図書等の資料および図書館の整備計画** 紫竹山キャンパス内に、教育・研究に必要となる図書等を整備するために図書館を設ける。また、米山キャンパスは校舎内に図書室を設け、情報学部に関する専門図書を整備し、プログラム言語の発展が学習できる展示を行う。（削除） 紫竹山キャンパス内の図書館は全学部が共有で利用可能な施設として、1 階に書庫並びに図書閲覧席を設け、2 階には図書閲覧室兼レファレンスルームを設置する。閲覧座席数は 105 席であり、主に事業創造学部（削除）に関連する専門書および	**８．施設、設備等の整備計画** **（３）図書等の資料および図書館の整備計画** 紫竹山キャンパス内に、教育・研究に必要となる図書等を整備するために図書館を設ける。また、米山キャンパスは校舎内に図書室を設け、ＩＣＴに関する専門図書を整備し、プログラム言語の発展が学習できる展示を行う。さらに、古町キャンパスより徒歩約 4 分の位置にアニメ・マンガに関する図書等を整備するための図書室を設ける。 紫竹山キャンパス内の図書館は全学部が共有で利用可能な施設として、1 階に書庫並びに図書閲覧席を設け、2 階には図書閲覧室兼レファレンスルームを設置する。閲覧座席数は 105 席であり、主に事業創造学部、国際観光学部に関連する専門書

学術雑誌を主として整備し、教育・研究に資する。（削除）	および学術雑誌を主として整備し、教育・研究に資する。整備する図書の蔵書は専門系図書 5,638 冊、学術雑誌 19 誌を開学時には整備し、開学後も年度別予算を活用して図書の充実を図る。 （追加）
開学当初に紫竹山キャンパスに整備する図書等は以下の通りである。 ・基礎・教養分野：703 冊 ・経営学分野：1716 冊 （内国書 1651 冊、外国書 55 冊、学術和雑誌 6 点、学術洋雑誌 2 点、視聴覚資料等 2 点） ・マーケティング分野：411 冊 （内国書 409 冊、外国書 1 冊、学術和雑誌 1 点） ・会計学分野：921 冊 （内国書 919 冊、外国書 2 冊） ・関連諸分野：251 冊 （内国書 245 冊、外国書 5 冊、学術和雑誌 1 点）	
米山キャンパスに設置する図書室は情報学部に関する専門書および学術雑誌を主として整備し、閲覧座席数は 43 席設け、学生の自習にも利用可能とし、教育・研究に資する。 （削除）	米山キャンパスに設置する図書室はＩＣＴ高度情報学部に関する専門書および学術雑誌を主として整備し、閲覧座席数は 43 席設け、学生の自習にも利用可能とし、教育・研究に資する。整備する図書の蔵書は、専門系図書 3,064 冊、学術雑誌 10 誌を開学時には整備し、 （追加）
開学当初に米山キャンパスに整備する図書等は以下の通りである。 ・基礎・教養分野：702 冊 ・情報学分野：1404 冊（内国書 1361 冊、外国書 38 冊、学術和雑誌 3 点、学術洋雑誌 1 点、視聴覚資料等 1 点） ・AI・IOT 応用分野：1039 冊	

（内国書 1013 冊、外国書 20 冊、学術和雑誌 4 点、学術洋雑誌 1 点、視聴覚資料等 1 点） ・経営・マーケティング分野：474 冊 （内国書 469 冊、外国書 5 冊） ・関連諸分野：259 冊 （内国書 257 冊、外国書 1 冊、学術和雑誌 1 点）） 【資料 35】図書リスト	
開学後も年度別予算を活用して図書の充実を図る。開学後に図書購入費として、開学 1 年目に 40 万円、2 年目以降は 200 万円を予算計上する予定である。	開学後も年度別予算を活用して図書の充実を図る。（追加）
（削除）	古町キャンパス近くに設置する図書室はアニメ・マンガ学部に関する専門書および学術雑誌を主として整備し、閲覧座席数は 32 席設け、教育・研究に資する。整備する図書の蔵書は、専門系図書 3,166 冊、学術雑誌 10 誌を開学時には整備し、開学後も年度別予算を活用して図書の充実を図る。
さらにグループの大学では、新潟医療福祉大学では医療福祉分野の専門図書を中心に約 4 万冊、事業創造大学院大学では経営学や事業創造に関する分野の図書約 1 万冊、新潟食料農業大学では農業分野の専門図書を中心に約 7,500 冊の蔵書があり、教員の研究や学生の興味関心による学修や研究に必要な専門図書を無料で貸出閲覧できる環境を整える。	（追加）
紫竹山キャンパスの図書館および米山キャンパスの図書室内は無線ＬＡＮ環境を整備し、図書等とあわせてインターネットによる情報収集を可能にする。なお、	図書館および図書室内は無線ＬＡＮ環境を整備し、図書等とあわせてインターネットによる情報収集を可能にする。なお、蔵書検索システムを用いることによ

蔵書検索システムを用いることにより図書検索を容易にし、教育・研究に必要な図書を貸し出すものとする。 　また、紫竹山キャンパスの図書館には、図書館司書を配置し、蔵書図書の管理並びに新書の購入、貸出・返却対応を行う。米山キャンパス（削除）の貸出・返却対応は、事務局で行う。	り図書検索を容易にし、教育・研究に必要な図書を貸し出すものとする。 　また、紫竹山キャンパスの図書館には、図書館司書を配置し、蔵書図書の管理並びに新書の購入、貸出・返却対応を行う。米山キャンパス並びに古町キャンパスの貸出・返却対応は、事務局で行う。

　なお、紫竹山キャンパスの図書館並びに米山キャンパス内の図書室の施設は以下のとおりである。

【紫竹山キャンパスの図書館】・・・紫竹山キャンパス別棟の図書館

　床面積：394.89 ㎡

　蔵書可能数：15,750 冊

　閲覧座席：105 席

　設備：無線 LAN、蔵書検索用パソコン

紫竹山キャンパス１階　　**紫竹山キャンパス２階**

安全上の観点から図面に関して省略いたします。

【米山キャンパス内の図書室】・・・米山キャンパス内の 2 階

床面積：55.38 ㎡

蔵書可能数：5,040 冊

閲覧座席：43 席

設備：無線 LAN、蔵書検索用パソコン

米山キャンパス 2 階

安全上の観点から図面に関して省略いたします。

（是正意見）事業創造学部　事業創造学科

１９　＜施設・設備が十分か不明確＞ 教員研究室が実際の学生指導や研究活動を行うに当たり、十分なものであるのか疑義があるため、教員一人当たりの面積や研究室に備える設備、部屋のレイアウト、想定される研究内容等を明確にした上で、研究や学生指導が十分行えるか明らかにすること。

（対応）

本学の教員研究室について、下記の通り、教員一人当たりの面積、研究室に備える設備、部屋のレイアウト、想定される研究内容等を示し、研究や学生指導が十分に行えることについて明らかにした。

１　事業創造学部の専任教員の研究室

事業創造学部では、専任教員が研究や学生指導を行うために、紫竹山キャンパスに個室の研究室１８室（１６．９８㎡～３５．１０㎡）と共同の研究室２室（３１．１１㎡）を設けており、教授、准教授、講師には個室の研究室を設け、助教及び助手には共同の研究室を設けることとしている。

研究室のフロアーには、無線 LAN、複合機を設置し、個室の研究室には、教員個々の研究には特別の設備は必要ないため、すべての研究室には事務机・事務椅子、書架、書類保管庫、FAX 付電話、ミーティング用テーブル、ミーティング用イス(８脚)、ホワイトボード及び教員１人に対して１台のパソコンを設置することとしており、研究室としての機能に加えて、学生指導を行うための環境を整備する。

２　事業創造学部の共同の教育研究用の部屋

紫竹山キャンパスは、教員が共同で活用できる教育研究用の部屋として「イノベーション力研究所 創業支援センター」(309.06 ㎡) を設け、「新たな事業開発の研究」を行うために、各分野の業界資料や資料整理用ラック、情報検索のための無線 LAN、複合機、情報検索用パソコン、ミーティングテーブル、ホワイトボードを設置している。この部屋は各教員の自己の研究分野の研究の他、「事業の創造」、「新たなモノの創造」、「新たなサービスの創造」の研究のための環境として整える。

また、学生個人または同じ志を持つ学生同士で自律・自立して学習や研究を行う能力や態度を養う場所としても設定しており、学生の研究活動を通して教員との議論や指導を行う場合にも有効に活用することで、学生の研究に対する支援を行うものとしている。そして、教員同士、教員と学生、または学生同士がお互いに議論することで「新たな価値の創造」の拠点となることを期待している。

３　情報学部の専任教員の研究室

情報学部では、専任教員が研究や学生指導を行うために、米山キャンパスに個室の研究室２０室（１８．６９㎡～２０．５３㎡）と共同の研究室１室（２２．３３㎡）を設けており、教授、准教授、講師、助教には個室の研究室を設け、助手には共同の研究室を設け

ることとしている。なお、共同研究室での助手一人あたりの割り当て面積は 7.4 ㎡であるが、学生指導は専任教員の補助的な業務であり特に助手のみで学生指導は行わないため十分な面積である。

研究室のフロアーには、無線 LAN、複合機を設置し、個室の研究室には、教員個々の研究には特別の設備は必要ないため、すべての研究室には事務机・事務椅子、書架、書類保管庫、FAX 付電話、ミーティング用テーブル、ミーティング用イス(８脚)、ホワイトボード及び教員１人に対して１台のパソコンを設置することとしており、研究室としての機能に加えて、学生指導を行うための環境を整備する。

4　情報学部の共同の教育研究用の部屋

米山キャンパスには、「開志未来創造研究センター」(169 ㎡）を設け、「ビックデータ解析の研究」のために、無線 LAN、データ分析用高性能サーバー、自発的啓発用学習ツール（インタラクティブ地球儀)、複合機、ミーティングテーブル、ホワイトボードを設置し、「情報技術を活用した新たな企画構想」、「データ解析及び分析」、「研究成果のプレゼンテーション」を教員同士、教員と学生、学生同士の共同で研究できる環境として整える。さらに将来的には企業との連携により、産学連携共同開発の拠点としても活用したいと考える。

また、7 階には IoT 実習室を設置し、IoT・ロボティクスの演習並びに実習施設であるとともに、教員の「新たな IoT 活用の研究」のための施設としても利活用する。

さらに、紫竹山キャンパスの「サイバーセキュリティ用実験・実習室」では、外部との通信を遮断した環境を整えることで、ハッキングのシミュレーションを可能とし、「セキュリティ対策の研究」を行う。基本的に常備する備品はなく、各人がパソコンを持ち込み教員同士、学生と教員、学生同士でのシミュレーションを通して研究活動を行う。

【資料１２】「イノベーション力研究所 創業支援センター」レイアウト図

【資料１３】「開志未来創造研究センター」レイアウト図

【資料１４】「IoT 実習室」レイアウト図

以下のように、各キャンパスの研究室を設置する。

＜各キャンパスの研究室一覧表＞

キャンパス	階	名称	合計面積(㎡)	設備
紫竹山キャンパス **(事業創造学部)**	6 階	個室研究室 14 室	340.56 (24.32 ㎡／人)	(各室共通) 事務机、事務椅子、書架、書類保管庫、FAX 付電話、ミーティング用テーブル、ミーティング用イス(8 脚)、ホワイトボード、パソコン
		合同研究室 2 室(4 人)	62.22 (15.56 ㎡／人)	
	7 階	個室研究室 4 室	134.42 (33.61 ㎡／人)	

<table>
<tr><td></td><td colspan="4">個室研究室の最大面積 35.10 ㎡／室（学部長用）
最小面積 16.98 ㎡／室</td></tr>
<tr><td rowspan="4">米山
キャンパス
(情報学部)</td><td rowspan="2">4 階</td><td>個室研究室
11 室</td><td>205.58
(18.69 ㎡／人)</td><td rowspan="3">(各室共通)
事務机、事務椅子、書架、書類保管庫、FAX 付電話、ミーティング用テーブル、ミーティング用イス(8 脚)、ホワイトボード、パソコン</td></tr>
<tr><td>合同研究室 1 室
(助手 3 人)</td><td>22. 33
(7. 4 ㎡／人)</td></tr>
<tr><td>5 階</td><td>個室研究室
9 室</td><td>184.77
(20.53 ㎡／人)</td></tr>
<tr><td colspan="4">個室研究室の最大面積 37.77 ㎡／室（学部長用）
最小面積 11.78 ㎡／室</td></tr>
</table>

＜部屋のレイアウト＞

紫竹山キャンパス　研究室（大）

安全上の観点から図面に関して省略いたします。

紫竹山キャンパス　研究室（小）

安全上の観点から図面に関して省略いたします。

紫竹山キャンパス　研究室（合同）

安全上の観点から図面に関して省略いたします。

米山キャンパス　研究室（小）

安全上の観点から図面に関して省略いたします。

米山キャンパス　研究室（大）

安全上の観点から図面に関して省略いたします。

米山キャンパス　研究室（合同）

安全上の観点から図面に関して省略いたします。

（新旧対照表）設置の趣旨を記載した書類（５１ページ）

新	旧
８．施設、設備等の整備計画 **（２）校舎等施設の整備計画** **２）教員並びに学生の研究環境** 本学は専門分野における高度で実践的な専門性を身に付けると同時に、変化に対応する能力や生涯にわたり学び続ける力を備え、創造力と実践力をもって、新たな価値の創造を先導する人材を育成することにより、地域、日本、世界の発展に寄与することを目的としているが、大学体系に位置付く高等教育機関として、理論と実践を架橋する教育を行うため、教育研究の機関としての位置付けもある。そのため本学では教員並びに学生の教育研究のための環境として、専任教員である教授、准教授はすべて個室の研究室（削除）を設けることとし、講師、助教も個室の研究室又は共同研究室（削除）を設ける。また、助手についても共同研究室を設けるものとする。 紫竹山キャンパスは事業創造学部の個室研究室が 18 室、合同研究室 2 室であり、米山キャンパスは情報学部の個室研究室が 20 室、合同研究室１室となっている。 研究室のフロアーには無線 LAN、複合機が設置され、個室研究室には、事務机・事務椅子、書架、書類保管庫、FAX 付電話、ミーティング用テーブル、ミーティング用イス(8 脚)、ホワイトボード及び教員１人に対して 1 台のパソコンを設置すること	**８．施設、設備等の整備計画** **（２）校舎等施設の整備計画** **２）教員並びに学生の研究環境** 本学は専門分野における高度で実践的な専門性を身に付けると同時に、変化に対応する能力や生涯にわたり学び続ける力を備え、創造力と実践力をもって、新たな価値の創造を先導する人材を育成することにより、地域、日本、世界の発展に寄与することを目的としているが、大学体系に位置付く高等教育機関として、理論と実践を架橋する教育を行うため、教育研究の機関としての位置付けもある。そのため本学では教員並びに学生の教育研究のための環境として、専任教員である教授、准教授はすべて個室の研究室(全 59 室／１室当たり 11.78 ㎡～34.70 ㎡)を設けることとし、講師、助教も共同研究室(全 4 室／１室当たり 22.33 ㎡～78.7 ㎡)を設ける。 （追加） 研究室には、事務机・事務椅子、書架、書類保管庫、（追加）ミーティング用テーブル、ミーティング用イス(8 脚)、ホワイトボード（追加）を設置することで、教員自身の研究のための施設としての機能の他、教員の研究室における学生への教育研究

で、教員自身の研究のための施設としての機能の他、教員の研究室における学生への教育研究の指導も可能な環境を整える。学生への教育研究指導は個別指導の他、複数人(8 人)でのミーティングや議論、共同での教育研究指導も可能な研究室とする。	の指導も可能な環境を整える。学生への教育研究指導は個別指導の他、複数人(8 人)でのミーティングや議論、共同での教育研究指導も可能な研究室とする。
※各キャンパスの研究室の一覧表は、上記の表と同一のため省略	
【資料 33】個室研究室レイアウト図	（追加）
さらに紫竹山キャンパスは、教員が共同で活用できる教育研究用の部屋として「イノベーション力研究所創業支援センター」(309.06 ㎡) を設け、「新たな事業開発の研究」を行うために、各分野の業界資料や資料整理用ラック、情報検索のための無線 LAN、複合機、情報検索用パソコン、ミーティングテーブル、ホワイトボードを設置している。この部屋は各教員の自己の研究分野の研究の他、「事業の創造」、「新たなモノの創造」、「新たなサービスの創造」の研究のための環境として整える。	さらに紫竹山キャンパスは、教員が共同で活用できる教育研究用の部屋として「イノベーション力研究所創業支援センター」(309.12 ㎡) を設けている。 （追加） この部屋は各教員の自己の研究分野の研究の他、「事業の創造」、「新たなモノの創造」、「新たなサービスの創造」の研究のための環境として整える。
また、学生個人または同じ志を持つ学生同士で自律・自立して学習や研究を行う能力や態度を養う場所としても設定しており、学生の研究活動を通して教員との議論や指導を行う場合にも有効に活用することで、学生の研究に対する支援を行うものとしている。そして、教員同士、教員と学生、または学生同士がお互い	また、学生個人または同じ志を持つ学生同士で自律・自立して学習や研究を行う能力や態度を養う場所としても設定しており、学生の研究活動を通して教員との議論や指導を行う場合にも有効に活用することで、学生の研究に対する支援を行うものとしている。そして、教員同士、教員と学生、または学生同士がお互い

に議論することで「新たな価値の創造」の拠点となることを期待している。 米山キャンパスには、「開志未来創造研究センター」（169 ㎡）を設け、「ビックデータ解析の研究」のために、無線 LAN、データ分析用高性能サーバー、自発的啓発用学習ツール（インタラクティブ地球儀）、複合機、ミーティングテーブル、ホワイトボードを設置し、「情報技術を活用した新たな企画構想」、「データ解析及び分析」、「研究成果のプレゼンテーション」を教員同士、教員と学生、学生同士の共同で研究できる環境として整える。さらに将来的には企業との連携により、産学連携共同開発の拠点としても活用したいと考える。 また、7 階には IoT 実習室を設置し、IoT・ロボティクスの演習並びに実習施設であるとともに、教員の「新たな IoT 活用の研究」のための施設としても利活用する。 さらに、紫竹山キャンパスの「サイバーセキュリティ用実験・実習室」では、外部との通信を遮断した環境を整えることで、ハッキングのシミュレーションを可能とし、「セキュリティ対策の研究」を行う。基本的に常備する備品はなく、各人がパソコンを持ち込み教員同士、学生と教員、学生同士でのシミュレーションを通して研究活動を行う。 【資料 34】「イノベーション力研究所 創業支援センター」レイアウト	に議論することで「新たな価値の創造」の拠点となることを期待している。 米山キャンパスには、「開志未来創造研究センター」（169 ㎡）を設け、（追加） 「情報技術を活用した新たな企画構想」、「データ解析及び分析」、（追加） を教員同士、教員と学生、学生同士の共同で研究できる環境として整える。さらに将来的には企業との連携により、産学連携共同開発の拠点としても活用したいと考える。 （追加）

図 「開志未来創造研究センター」レイアウト図 「IoT 実習室」レイアウト図 各キャンパスにはそれぞれ図書館及び図書室が校舎内（削除） に設置されているため、研究に必要な専門図書を必要な時に閲覧することも可能であり、また他のキャンパスの図書館及び図書室ともインターネットで繋がり、また蔵書検索システムを用いることで、教育研究に必要な図書検索並びに貸出を容易にする。	各キャンパスにはそれぞれ図書館及び図書室が校舎内又は校舎至近の場所に設置されているため、研究に必要な専門図書を必要な時に閲覧することも可能であり、また他のキャンパスの図書館及び図書室ともインターネットで繋がり、また蔵書検索システムを用いることで、教育研究に必要な図書検索並びに貸出を容易にする。

（是正意見）事業創造学部　事業創造学科

２０　＜体育館等運動施設の利用環境が不明＞ 体育館その他のスポーツ施設の代替措置について、具体の施設名、規模や各キャンパスからの距離等を明らかにし、学生の利便性についてどのように配慮されているのか明らかとすること。

（対応）

体育館その他のスポーツ施設の代替措置について、具体の施設名、規模や各キャンパスからの距離等を明らかにするとともに、学生の利便性への配慮について明らかにした。

１　体育館その他のスポーツ施設の代替措置

体育館その他のスポーツ施設としては、学生の移動時の利便性に配慮し、本学から至近の距離にある公共の体育施設（鳥屋野体育館、新潟市体育館）や民間スポーツ施設（nBb-1on1 in 新潟、マリンブルーテニススクール）を代替施設としており、また、学生が代替施設を利用する際の配慮として、サークル活動などによる公共の体育施設の利用においては、学生の申し出により、本学が必要と認める場合は、施設利用料を本学が負担することとしている。

また、民間スポーツ施設については、特別割引制度の設定を依頼することにより、学生の利用に際し経済的負担の軽減を図ることとしている。

この他、新潟市内の通信制私立高等学校開志学園高等学校の体育館を年間約 260 日間（平日の午前中 3 日間及び土曜日、日曜日の夜間 2 日間）は利用可能となる使用契約を締結し、利用料についても学生の申し出により、サークル活動などで本学が必要と認める場合は、施設利用料を本学が負担することで学生の利便性を図る予定である。

＜代替施設の一覧表＞　　※①紫竹山キャンパス、②米山キャンパス

施設名	規模	※キャンパスからの距離	※キャンパスからの移動時間	学生の経済的負担軽減
鳥屋野体育館	・大体育館 ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙｺｰﾄ 2 面 ・中体育館 ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙｺｰﾄ 1 面 ・柔剣道室、弓道室 ・屋内 25m プール ・ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾙｰﾑ ・体操練習場	①から 0.6km ②から 2.2km	①より徒歩 7 分 ②より自転車 10 分	事前届出により施設利用料を本学が負担
新潟市体育館	・大体育館 ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙｺｰﾄ 2 面	①から 4.5km ②から 3.1km	①よりバス 30 分 （自家用車 10 分）	事前届出により施設利用料を本学が負担

	・小体育館ﾚｽﾘﾝｸﾞ場 ・小体育館卓球台 7 台		②よりバス 25 分 （自家用車 8 分）	
nBb-1on1 in 新潟	・バスケットボール コート 1 面	①から 0.6km ②から 1.4km	①より徒歩 7 分 ②より自転車 7 分	特別割引制度の設定 依頼
マリンブルー テニススクール	・屋内テニスコート 6 面	①から 0.1km ②から 1.4km	①より徒歩 1 分 ②より自転車 7 分	特別割引制度の設定 依頼
開志学園高校 体育館	・バスケットボール コート 2 面	①から 4.5km ②から 4.3km	①よりバス 31 分 （自家用車 10 分） ②よりバス 33 分 （自家用車 10 分）	事前届出により施設 利用料を本学が負担

（新旧対照表）設置の趣旨を記載した書類（４９ページ）

新	旧
８．施設、設備等の整備計画 **（１）校地、運動場の整備計画** **③　体育館その他のスポーツ施設** 中心市街地に校舎を設置するため、民間企業等の施設が集積し、既に高度に土地が利用されていることにより体育館その他のスポーツ施設を備えることが困難である。体育館その他のスポーツ施設は備えないが、中心市街地に校舎を設置するため公共の体育施設（鳥屋野体育館、新潟市体育館）や民間スポーツ施設（nBb-1on1 in 新潟、マリンブルーテニススクール）が校舎から至近の距離にあり、公共の体育施設を本学の学生が利用する場合は、学生の申し出により、サークル活動などで本学が必要と認める場合は、施設利用料を本学が負担し、その他民間スポーツ施設については、本学と提携を結ぶ民間スポーツ施設には割引制度の設定を依頼することにより、学生	**８．施設、設備等の整備計画** **（１）校地、運動場の整備計画** **④　体育館その他のスポーツ施設** 中心市街地に校舎を設置するため、民間企業等の施設が集積し、既に高度に土地が利用されていることにより体育館その他のスポーツ施設を備えることが困難である。体育館その他のスポーツ施設は備えないが、中心市街地に校舎を設置するため公共の体育施設（追加） や民間スポーツ施設（追加） が校舎から至近の距離にあり、公共の体育施設を本学の学生が利用する場合は、学生の申し出により、サークル活動などで本学が必要と認める場合は、施設利用料を本学が負担し、その他民間スポーツ施設については、本学と提携を結ぶ民間スポーツ施設には割引制度の設定を依頼することにより、学生

の利用に際し経済的負担の軽減を図る。 　また、この他、新潟市内の通信制私立高等学校開志学園高等学校の体育館を年間約 260 日間（平日の午前中 3 日間及び土曜日、日曜日の夜間 2 日間）は利用可能となる使用契約を締結する。 　なお、本学の教育課程では「体育」に関する科目は設定せず「キャリアデザイン科目」の中で、社会人としての健康維持、体力づくりの大切さについて教育する。	の利用に際し経済的負担の軽減を図る。 　また、この他、新潟市内の通信制私立高等学校　（追加）　の体育館を年間約 260 日間（平日の午前中 3 日間及び土曜日、日曜日の夜間 2 日間）は利用可能となる使用契約を締結する。 　なお、本学の教育課程では「体育」に関する科目は設定せず「キャリアデザイン科目」の中で、社会人としての健康維持、体力づくりの大切さについて教育する。

（是正意見）事業創造学部　事業創造学科

２１　＜提出書類の不備＞ 校地校舎等の図面資料が、複数あるキャンパスのどれに該当するのか明記されていないため、改めて校舎図面や空地の図面について適切な資料を提出すること。その際、キャンパスごとに各学部で使用する部屋が不明確なため、適切に色分けして資料を提出すること。

（対応）

校地校舎の図面資料が、どのキャンパスの図面資料であるか不明瞭であったため、改めてキャンパスごとにどのキャンパスの校舎図面や空地の図面かが分かるよう適切な資料に改めることとする。

また、紫竹山キャンパスは、大学本部の機能の他、事業創造学部の学生と情報学部の学生が共通で使用する部屋やそれぞれの学部の専有の部屋があるため、適切に校舎図面に色分けをすることで明確にした資料とする。

情報学部の専有の部屋・・・・・・・・・・・・・・紫色
事業創造学部の専有の部屋・・・・・・・・・・・・オレンジ色
大学本部の機能や全学共有で使用する部分・・・・白色

※ 別紙、「校地校舎等の図面」にて明確にする。

審査意見への対応を記載した書類

資料目次

【資料１】「中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の促進に関する法律」
「地域イノベーション」

【資料２】「地域産業資源活用事業の促進に関する基本方針」

【資料３】新潟県総合計画「にいがた未来創造プラン」抜粋

【資料４】「事業創造学部事業創造学科と同じ分野の専門学校との教育課程比較」

【資料５】開志専門職大学に関するニーズ調査【高校生対象調査】結果報告書
－抜粋－

【資料６】事業創造学部 事業創造学科 カリキュラム体系図

【資料７】事業創造学部 事業創造学科 履修モデル

【資料８】シラバス（授業計画）

【資料９】「臨地実務実習実施計画（事業創造学部）」

【資料 10】業務提携に関する覚書

【資料 11】事業創造学部教員別スケジュール表

【資料 12】「イノベーション力研究所 創業支援センター」レイアウト図

【資料 13】「開志未来創造研究センター」レイアウト図

【資料 14】「IoT 実習室」レイアウト図

審査意見への対応を記載した書類

【資料 1】

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

地域イノベーション

地域経済の活性化を図っていくためには、地域の潜在能力を結集してイノベーションを創出し、新事業・新産業を起こすことが必要です。そのために、地域の産学官ネットワークの強化によるイノベーション創出環境の整備等を強力に支援します。

全国鉱工業公設試験研究機関保有機器・研究者情報検索システム

全国鉱工業公設試験研究機関保有機器・研究者情報検索システム

ユーザーが鉱工業公設試験研究機関（以下、「公設試」。）が保有する機器及び研究者情報等の検索を行う場合、これまで各地域ブロック単位などで運営されている検索システムや各公設試のホームページによる検索システムが広く利用されてきましたが、全国大や地域ブロックを越えて情報の検索を行う場合には、いくつもの検索システムを介して行わなければならず、全国の情報を一括して検索するシステムの構築が強く求められてきました。それを受け、今般、各地域ブロックで運営されている公設試データベース等の情報を基に、全国の公設試が保有する機器や全国の公設試に所属する研究者情報に係る全国規模の情報について、ユーザーが簡便かつ円滑に検索することができる検索システムを構築しました。

地域新産業の創出促進・基盤強化のための支援

地域新産業戦略推進事業（平成２５年度）（PDF形式：152KB）

本事業は、地方自治体の行政区域を跨る地域経済社会（広域経済圏）において、産学官等の様々な主体のネットワークを形成することにより、地域が有する多様な強みや特長、潜在力等をより積極的に活用した新たな成長産業群の創出・育成（新たな産業資本の集積）を推進することを目的として実施します。

地域新成長産業創出促進事業費補助金（地域新産業集積戦略推進事業）交付要綱（PDF形式：260KB）

地域新成長産業創出促進事業費補助金（イノベーション基盤強化事業）交付要綱（PDF形式：235KB）

地域新産業創出基盤強化事業（平成２４年度補正）（PDF形式：165KB）

本事業は、我が国における成長産業の育成を図るため、地域における新産業の創出に向けて、地域の中核的な試験研究機関（公設試験研究機関）の基盤強化を行うことを目的として実施します。

地域イノベーション創出に向けた研究に対する支援

地域イノベーション創出実証研究補助事業（平成２４年度終了）（PDF形式：175KB）

地域イノベーション創出研究開発事業（平成２３年度終了）（PDF形式：147KB）

地域の資源や技術を活かした新事業、新産業創出による地域経済の活性化を図るため、地域の中小企業をはじめとする産学官のリソースを最適に組み合わせた研究体による実証研究等を支援しました。

地域イノベーション戦略推進地域

平成２３年度から、地域イノベーションの創出に向けた地域の主体的かつ優れた構想に対して、関係府省の施策を総動員して支援するため、文部科学省、農林水産省、総務省と連携して、「地域イノベーション戦略推進地域」の選定を行っています。詳細については、下記の文部科学省ＨＰを御確認ください。

地域イノベーション戦略推進地域(平成26年度公募分)選定結果等

地域イノベーション戦略推進地域(平成25年度公募分)選定結果等

地域イノベーション戦略推進地域(平成24年度公募分)選定結果等

地域イノベーション戦略推進地域(平成23年度公募分)選定結果等

「地域イノベーション戦略推進地域（東日本大震災復興支援型（平成24年度公募分））」については、復興庁が文部科学省、経済産業省及び農林水産省と連携して選定を行いました。詳細については、下記の文部科学省ＨＰを御確認ください。

資料1-1

地域イノベーション戦略推進地域（東日本大震災復興支援型(平成２４年度公募分)）選定結果等

産業クラスター政策

平成１３年度より、我が国産業の国際競争力を強化するとともに、地域経済の活性化に資するため、全国各地に企業、大学等が産学官連携、産産・異業種連携の広域的なネットワークを形成し、知的資源等の相互活用によって、地域を中心として新産業・新事業を創出される状態（産業クラスター）の形成を図ってきました。当事業に対する国の直接的な支援は平成２１年度で終了していますが、これまで当事業を通じて各地に構築されたネットワーク等を活用し、各地で自立的にクラスター活動が進められています。

産業クラスター政策について

調査・報告書

平成22年度地域新成長産業創出促進事業（イノベーション創出基盤強化事業）報告書（lzh形式：26,627KB）

平成21年度地域イノベーション創出研究開発事業　成果事例集（PDF形式：8,408KB）
（ZIP形式:8,320KB）

リンク

全国イノベーション推進機関ネットワーク
（平成２１年４月に設立され、全国のクラスターや地域間の情報共有、連携強化等、地域イノベーション創出のためのプラットフォーム的役割を担う組織）

お問合せ先

地域経済産業グループ 地域新産業戦略室
電話:03-3501-8794(直通)
FAX:03-3580-7917

最終更新日：2013年7月11日

資料1-2

『地域資源を活用した新商品・新サービスの事業化を支援して欲しい』

中小企業地域資源活用プログラム
～地域資源を活用した新商品・新サービスの事業化に対する支援～

地域資源を活用して新商品や新サービスを開発する中小企業者に対して、法的措置や予算措置、金融措置などにより総合的な支援を展開します。

中小企業者が、地域資源を活用した新商品・新サービスの事業化を行う際、「中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の促進に関する法律(以下、「中小企業地域資源活用促進法」)に基づく支援の他、様々な支援を受けることができます。

■「中小企業地域資源活用促進法」について

この法律では、地域経済が自立的・持続的な成長を実現していくために、各地域の「強み」である地域資源(産地の技術、農林水産品、観光資源)を活用した中小企業の新商品・新サービスの開発・市場化を総合的に支援します。

対象となる方

地域資源を活用して新商品・新サービスの開発・市場化に取り組む中小企業者等

支援内容

1.「中小企業地域資源活用促進法」に基づく支援

中小企業地域資源活用促進法に基づいて、中小企業者が単独又は共同で、地域資源を活用して新商品・新サービスの開発・市場化を行う「地域産業資源活用事業計画」を作成し、認定を受けると、補助金、低利融資、課税の特例等の各種支援策(※)をご利用になれます。

なお、個別の支援策ごとに支援機関の審査や確認が必要となる場合があります。

各種支援施策一覧

(1)地域資源活用売れる商品づくり支援事業:上限3000万円(補助率2/3以内)
試作品開発、展示会出展等に係る費用の一部を補助します。

(2)マーケティング等の専門家によるサポート支援(新事業創出支援事業)(34頁参照)
事業計画作成から試作品開発、販路開拓まで一貫したサポート支援を実施します。

(3)中小企業基盤整備機構が主催する商談会、アンテナショップ等に対する優先的な出展
中小企業基盤整備機構が主催する商談会やアンテナショップ等に優先的に出展できます。

(4)政府系金融機関による融資制度(31頁参照)
設備資金及び長期運転資金について融資される制度があります。

(5)信用保証の特例(125頁参照)
保証限度額の拡大等の特例が適用されます。

(6)食品流通構造改善促進機構による債務保証等
食品関係の事業を行う場合は、必要な資金の借入に対し、債務保証等を受けられます。

(7)中小企業投資育成株式会社法の特例(24頁参照)
中小企業投資育成株式会社に相談・申込みをいただき、審査を通過すれば、設立の際に発行される株式の引き受けなどの支援を受けられます。

(8)課税の特例(139頁参照)
機械及び装置を取得等した場合、特別償却又は税額控除を選ぶことができます。(別途、一定の要件があります。)

ご利用方法

(1)まず、活用しようとする地域資源が、都道府県が策定する基本構想に記載されている必要がありますので、経済産業局、都道府県等にお問い合わせ下さい。

(2)「地域産業資源活用事業計画」が出来ましたら、都道府県の担当部局に申請して下さい。
※「地域産業資源活用事業計画」を策定する際には、全国10カ所に設置されている機構支部・事務所で、サポート支援が受けられます(新事業創出支援事業)。

■地域資源を活用した新たな事業創出及び販路開拓等の取組に対する支援

(1)地域資源活用販路開拓等支援事業:上限1,000万円(補助率1/2以内)
地域資源を活用した商品の販路開拓などに地域一体で取り組む組合等に対し、展示会出展等の費用の一部を補助します。
→詳細については下記アドレスまで
http://www.chusho.meti.go.jp/shogyo/chiiki/2010/100215ChiikiShigenHanroKoubo.htm

(2)地域産品販路開拓機会提供支援事業(164頁参照)
・展示・商談会の開催や、百貨店等における販売スペースの設置を通じて、「バイヤーとの商談機会の提供」、「消費者への商品紹介の機会拡大」、「百貨店等における一般的な商流を中小企業者が体験することによるノウハウ蓄積」を実現。商品の更なる販路開拓を促進するとともに、中小企業者自身が自力で販路拡大を実施できる能力の獲得等を支援する。

(3)地域中小企業応援ファンド (167頁参照)
中小企業基盤整備機構が資金提供を行い、都道府県、地域金融機関等と一体となって「地域中小企業応援ファンド」を組成し、地域資源を活用した取組などに対し、シーズの発掘等に対する助成や、新事業展開を行う中小企業等に対する出資等の支援を行います。

(4)JAPANブランド戦略展開支援事業(166頁参照)
地域の関係事業者が一体となって、国際市場で通用する高いブランド力(JAPANブランド)の構築を目指す取組を支援します。

(5)中小企業応援センター事業(8頁参照)
・中小企業の日常的な経営支援に取り組む中小企業団体や税理士・公認会計士などの支援機関の経営支援機能を補完・強化するため、その後方支援機関として「中小企業応援センター」を全国84カ所に設置し、支援機関を通じて、農商工連携・経営革新等をテーマとした中小企業への専門家派遣や、窓口相談等により、中小企業の経営力向上を図ります。

(6)中小機構基盤整備機構による各種展示会・商談会等の販路開拓支援
「出会う、ふれあう、地域の魅力」キャンペーンの一環として、地域中小企業の取引機会やテストマーケティングの機会の拡大を図るため、中小企業基盤整備機構が展示会・商談会等を実施します。

※「出会う、ふれあう、地域の魅力」キャンペーンの実施

地域経済を支える農林漁業者等や中小企業者の、農商工連携や地域資源活用等により開発した商品・サービス等や、魅力ある隠れた地域産品等について、全国規模での展示会、商談会等の開催を通じて、首都圏等のバイヤー等との商談機会を提供し、全国規模等での販路開拓・拡大を目指すことにより、地域経済活性化の推進を図っています。
→詳細については右記アドレスまで http://www.chusho.meti.go.jp/shogyo/shinjigyo/index.htm

※地域資源を活用して、新たなビジネスを創設するのに役立つ様々な情報チャンネル
地域資源活用チャンネル http://j-net21.smrj.go.jp/expand/shigen/index.html

お問い合わせ先

資料1-4

平成十九年法律第三十九号

中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の促進に関する法律

（目的）

第一条　この法律は、中小企業による地域産業資源を活用した事業活動を支援することにより、地域における中小企業の事業活動の促進を図り、もって地域経済の活性化を通じて国民経済の健全な発展に寄与することを目的とする。

（定義）

第二条　この法律において「中小企業者」とは、次の各号のいずれかに該当する者をいう。

一　資本金の額又は出資の総額が三億円以下の会社並びに常時使用する従業員の数が三百人以下の会社及び個人であって、製造業、建設業、運輸業その他の業種（次号から第四号までに掲げる業種及び第五号の政令で定める業種を除く。）に属する事業を主たる事業として営むもの

二　資本金の額又は出資の総額が一億円以下の会社並びに常時使用する従業員の数が百人以下の会社及び個人であって、卸売業（第五号の政令で定める業種を除く。）に属する事業を主たる事業として営むもの

三　資本金の額又は出資の総額が五千万円以下の会社並びに常時使用する従業員の数が百人以下の会社及び個人であって、サービス業（第五号の政令で定める業種を除く。）に属する事業を主たる事業として営むもの

四　資本金の額又は出資の総額が五千万円以下の会社並びに常時使用する従業員の数が五十人以下の会社及び個人であって、小売業（次号の政令で定める業種を除く。）に属する事業を主たる事業として営むもの

五　資本金の額又は出資の総額がその業種ごとに政令で定める金額以下の会社並びに常時使用する従業員の数がその業種ごとに政令で定める数以下の会社及び個人であって、その政令で定める業種に属する事業を主たる事業として営むもの

六　企業組合

七　協業組合

八　事業協同組合、事業協同小組合、商工組合、協同組合連合会その他の特別の法律により設立された組合及びその連合会であって、政令で定めるもの

2　この法律において「地域産業資源」とは、次の各号のいずれかに該当するものをいう。

一　自然的経済的社会的条件からみて一体である地域（以下単に「地域」という。）の特産物として相当程度認識されている農林水産物又は鉱工業品

二　前号に掲げる鉱工業品の生産に係る技術

三　文化財、自然の風景地、温泉その他の地域の観光資源として相当程度認識されているもの

3　この法律において「地域産業資源活用事業」とは、中小企業者が行う事業であって、次の各号のいずれかに該当するものをいう。

一　地域産業資源である農林水産物又は鉱工業品をその不可欠な原材料又は部品として用いて行われる商品の開発（当該地域産業資源に係る地域において生産されることとなる商品の開発に限る。以下この項において同じ。）、生産（当該地域産業資源に係る地域において行われるものに限る。以下この項において同じ。）又は需要の開拓（当該地域産業資源に係る地域において生産された商品の需要の開拓に限る。以下この項において同じ。）

二　地域産業資源である農林水産物又は鉱工業品に係る生産活動を利用して行われる役務の開発（当該地域産業資源に係る地域において提供されることとなる役務の開発に限る。第四号において同じ。）、提供（当該地域産業資源に係る地域において行われるものに限る。同号において同じ。）又は需要の開拓（当該地域産業資源に係る地域において提供される役務の需要の開拓に限る。同号において同じ。）

三　地域産業資源である鉱工業品の生産に係る技術を不可欠なものとして用いて行われる商品の開発、生産又は需要の開拓

四　地域産業資源である観光資源の特徴を利用して行われる商品の開発、生産若しくは需要の開拓又は役務の開発、提供若しくは需要の開拓

4　この法律において「外国関係法人等」とは、外国の法令に準拠して設立された法人その他の外国の団体（新たに設立されるものを含む。）であって、中小企業者がその経営を実質的に支配していると認められるものとして経済産業省令で定める関係を持つものをいう。

5　この法律において「地域産業資源活用支援事業」とは、地域産業資源活用事業を行う者に対して行う地域産業資源を活用した商品又は役務の需要の動向に関する情報の提供、地域産業資源活用事業を行う者の求めに応じて行う当該地域産業資源活用事業の実施についての指導又は助言その他の取組により、地域産業資源活用事業の円滑な実施を支援する事業をいう。

（基本方針）

第三条　主務大臣は、地域産業資源活用事業の促進に関する基本方針（以下「基本方針」という。）を定めなければならない。

2　基本方針には、次に掲げる事項について定めるものとする。

一　地域産業資源活用事業の促進の意義及び基本的な方向に関する事項

二　地域産業資源の内容に関する事項

三　地域産業資源活用事業に関する次に掲げる事項

イ　地域産業資源活用事業の内容に関する事項

ロ　地域産業資源活用事業の促進により地域経済の活性化を図るための方策に関する事項

ハ　地域産業資源活用事業を促進するに当たって配慮すべき事項

四　地域産業資源活用支援事業に関する次に掲げる事項

イ　地域産業資源活用支援事業の内容に関する事項

ロ　地域産業資源活用支援事業の促進に当たって配慮すべき事項

3　主務大臣は、基本方針を定め、又はこれを変更しようとするときは、あらかじめ、関係行政機関の長に協議するとともに、中小企業政策審議会の意見を聴かなければならない。

4　主務大臣は、基本方針を定め、又はこれを変更したときは、遅滞なく、これを公表しなければならない。

（地域産業資源の内容の指定）

第四条　都道府県知事は、基本方針に基づき、地域産業資源であって、当該都道府県において当該地域産業資源を用いて行われる地域産業資源活用事業を促進することにより当該地域産業資源に係る地域の経済の活性化が図られると見込まれるものの内容を定めることができる。

2　関係市町村（特別区を含む。）の長は、前項の地域産業資源の内容に関し、当該都道府県知事に対し、意見を申し出ることができる。

3　都道府県知事は、第一項の地域産業資源の内容を定め、又はこれを変更したときは、遅滞なく、これを公表するとともに、主務大臣に通知しなければならない。

第五条　削除

（地域産業資源活用事業計画の認定）

第六条　中小企業者は、単独で又は共同で行おうとする地域産業資源活用事業に関する計画（中小企業者が第二条第一項第六号から第八号までに掲げる組合若しくは連合会を設立し、又は合併し、若しくは出資して会社を設立しようとする場合にあってはその組合若しくは連合会又はその合併若しくは出資により設立される会社（合併後存続する会社を含む。）が行う地域産業資源活用事業に関するものを、中小企業者がその外国関係法人等の全部又は一部と共同で地域産業資源活用事業（需要の開拓に係るものに限る。以下この項、第十条第二項及び第十三条第一項において同じ。）を行おうとする場合にあっては当該中小企業者が当該外国関係法人等と共同で行う地域産業資源活用事業に関するものを含む。以下「地域産業資源活用事業計画」という。）を作成し、主務省令で定めるところにより、これを主務大臣に提出して、その地域産業資源活用事業計画が適当である旨の認定を受けることができる。

2　前項の規定による認定の申請は、都道府県知事を経由して行わなければならない。この場合において、都道府県知事は、当該地域産業資源活用事業計画を検討し、意見を付して、主務大臣に送付するものとする。

3　地域産業資源活用事業計画には、次に掲げる事項を記載しなければならない。

一　地域産業資源活用事業の目標

二　地域産業資源活用事業の内容及び実施期間

三　地域産業資源活用事業の実施に協力する者がある場合は、当該者の名称及び住所並びにその代表者の氏名並びにその協力の内容

四　地域産業資源活用事業を実施するために必要な資金の額及びその調達方法

4　主務大臣は、第一項の認定の申請があった場合において、当該申請に係る地域産業資源活用事業計画が次の各号のいずれにも適合するものであると認めるときは、その認定をするものとする。

一　第四条第一項の規定により定められた地域産業資源を活用して行われるものであること。

二　前項第一号から第三号までに掲げる事項が基本方針に照らして適切なものであること。

三　前項第二号及び第四号に掲げる事項が地域産業資源活用事業を確実に遂行するため適切なものであること。

5　主務大臣は、第一項の認定をしようとするときは、あらかじめ、関係行政機関の長に協議しなければならない。

（地域産業資源活用事業計画の変更等）

第七条　前条第一項の認定を受けた中小企業者（以下「認定地域産業資源活用事業者」という。）は、当該認定に係る地域産業資源活用事業計画を変更しようとするときは、主務省令で定めるところにより、主務大臣の認定を受けなければならない。ただし、主務省令で定める軽微な変更については、この限りでない。

2　認定地域産業資源活用事業者は、前項ただし書の主務省令で定める軽微な変更をしたときは、遅滞なく、その旨を主務大臣に届け出なければならない。

3　主務大臣は、前条第一項の認定に係る地域産業資源活用事業計画（第一項の変更の認定又は前項の規定による変更の届出があったときは、その変更後のもの。以下「認定計画」という。）に従って地域産業資源活用事業が実施されていないと認めるときは、その認定を取り消すことができる。

4　前条第二項、第四項及び第五項の規定は、第一項の変更の認定について準用する。

（地域産業資源活用支援事業計画の認定）

第八条　一般社団法人若しくは一般財団法人（一般社団法人にあってはその社員総会における議決権の二分の一以上を中小企業者が有しているもの、一般財団法人にあっては設立に際して拠出された財産の価額の二分の一以上が中小企業者により拠出されているものに限る。）又は特定非営利活動促進法（平成十年法律第七号）第二条第二項に規定する特定非営利活動法人（その社員総会における表決権の二分の一以上を中小企業者が有しているものに限る。）は、単独で又は共同で行おうとする地域産業資源活用支援事業に関する計画（以下「地域産業資源活用支援事業計画」という。）を作成し、主務省令で定めるところにより、これを主務大臣に提出して、その地域産業資源活用支援事業計画が適当である旨の認定を受けることができる。

2　地域産業資源活用支援事業計画には、次に掲げる事項を記載しなければならない。

一　地域産業資源活用支援事業の目標

二　地域産業資源活用支援事業の内容及び実施期間

三　地域産業資源活用支援事業を実施するために必要な資金の額及びその調達方法

3　主務大臣は、第一項の認定の申請があった場合において、当該申請に係る地域産業資源活用支援事業計画が次の各号のいずれにも適合するものであると認めるときは、その認定をするものとする。

一　前項第一号及び第二号に掲げる事項が基本方針に照らして適切なものであること。

二　前項第二号及び第三号に掲げる事項が地域産業資源活用支援事業を確実に遂行するために適切なものであること。

（地域産業資源活用支援事業計画の変更等）

第九条　前条第一項の認定を受けた者（以下「認定地域産業資源活用支援事業者」という。）は、当該認定に係る地域産業資源活用支援事業計画を変更しようとするときは、主務省令で定めるところにより、主務大臣の認定を受けなければならない。ただし、主務省令で定める軽微な変更については、この限りでない。

2　認定地域産業資源活用支援事業者は、前項ただし書の主務省令で定める軽微な変更をしたときは、遅滞なく、その旨を主務大臣に届け出なければならない。

3　主務大臣は、前条第一項の認定に係る地域産業資源活用支援事業計画（第一項の変更の認定又は前項の規定による変更の届出があったときは、その変更後のもの。以下「認定地域産業資源活用支援事業計画」という。）に従って地域産業資源活用支援事業が実施されていないと認めるときは、その認定を取り消すことができる。

4　前条第三項の規定は、第一項の変更の認定について準用する。

（中小企業信用保険法の特例）

第十条　中小企業信用保険法（昭和二十五年法律第二百六十四号）第三条第一項に規定する普通保険（以下「普通保険」という。）、同法第三条の二第一項に規定する無担保保険（以下「無担保保険」という。）、同法第三条の三第一項に規定する特別小口保険（以下「特別小口保険」という。）又は同法第三条の四第一項に規定する流動資産担保保険（以下「流動資産担保保険」という。）の保険関係であって、地域産業資源活用事業関連保証（同法第三条第一項、第三条の二第一項、第三条の三第一項又は第三条の四第一項に規定する債務の保証であって、認定計画に従って行われる地域産業資源活用事業（以下「認定地域産業資源活用事業」という。）に必要な資金に係るものをいう。以下同じ。）を受けた中小企業者に係るものについての次の表の上欄に掲げる同法の規定の適用については、これらの規定中同表の中欄に掲げる字句は、同表の下欄に掲げる字句とする。

審査意見への対応を記載した書類

【資料 2】

地域産業資源活用事業の促進に関する基本方針

平成２７年８月２８日

この基本方針は、中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の促進に関する法律（以下「法」という。）第三条第一項の規定に基づき、地域産業資源活用事業の促進の意義及び基本的な方向、地域産業資源の内容並びに地域産業資源活用事業及び地域産業資源活用支援事業に関する事項を定めるものである。

第１　地域産業資源活用事業の促進の意義及び基本的な方向に関する事項

１　地域産業資源活用事業を促進する意義

法が目的とする地域経済の活性化を通じた国民経済の健全な発展を実現するためには、地域経済を支える中小企業者が活発な事業活動を展開し、それを地域産業の強化や新たな地域産業の創出につなげていくことが重要である。

地域の中小企業者が共通して活用することができ、当該地域に特徴的なものとして認識されている地域産業資源は、地域の中小企業者が他地域の企業との差別化を図り商品や役務（サービス）の付加価値を高めるための重要な要素となり得るものであるとともに、それを活用した事業活動の成功が、当該地域産業資源を活用した他の事業活動を促進するという特性を有している。

すなわち、地域産業資源活用事業を促進することは、当該事業のみならず、当該地域産業資源を共有する他の中小企業者の事業活動及び当該事業と密接に関連する事業活動を促し、地域における知識やノウハウの蓄積、消費者等の認知度の向上等とあいまって、当該地域産業資源を核とした地域産業の発展に寄与するものである。

２　地域産業資源活用事業の促進に当たっての基本的な方向

地域産業資源の価値は、当該地域産業資源を活用した商品や役務を提供する中小企業者の側だけでなく、それを受け取る消費者等に認められることによって初めて実現するものであり、地域産業資源活用事業の促進を通じて、地域経済の活性化につなげるためには、地域産業資源を活用した商品・役務が消費者及び市場に受け入れられることが重要である。

そのためには、消費者志向に沿った商品・役務を開発し、その魅力・強みを消費者に分かりやすく伝えることでブランド化を図り、効果的な販路の開拓を行うことが必要である。そのような観点から、生産者と小売事業者等の関係事業者間の連携を促すとともに、国、地方公共団体、関係団体、認定地域産業資源活用支援事業者等が連携し、外部の専門家等の知見も活用しつつ、地域産業資源活用事業に対して適切な支援を行うことが求められる。

その際、地域産業資源活用事業の促進を通じて地域産業の発展を実現するためには、地域産業資源が安定的かつ持続的に活用できる状況が確保される必要がある。例えば、農林水産物の生産者等の地域産業資源を提供する者と当該地域産業資源を活用する者が適切に連携を図る取組等を支援することにより、地域産業資源を核とした産業の持続的な発展を

促進していくことが望ましい。

また、地域の幅広い関係者を巻き込み、地域産業資源の特徴をいかした商品・役務を開発し、地域ブランドに発展させていく取組を推進するための人材育成を行うことも重要である。

第２　地域産業資源の内容に関する事項

１　地域産業資源

地域産業資源は、個々の中小企業者や個人のみが有する経営資源の枠を超えて、地域の中小企業者に共有され、現に又は潜在的に活用可能であって、当該中小企業者の競争力強化の源泉となり得る資源である。

地域産業資源として特定され得るものは多岐に及ぶが、その本質的な価値は、当該地域産業資源の特徴として消費者等に蓄積されている認識等、目に見えない部分にある。農林水産物、鉱工業品、歴史的建造物等の有形のものである場合でも、それらの品質、機能、歴史的・文化的背景、認知度等の見えざる資産を地域の中小企業者が共通して活用できるからこそ、当該地域産業資源が地域産業の強化や新たな地域産業の創出の核となり得る。

また、第１で示したように、地域産業資源の価値は、それを活用した商品や役務を受け取る消費者等に認められることで実現するものであるため、他地域の商品や役務に用いられる同種の地域産業資源と比べて特徴的なものとして認識されていることが重要な要素となる。

２　地域産業資源の特定

都道府県は、次の（１）及び（２）の考え方を踏まえ、地域における中小企業者の事業活動を促進し、地域産業の強化や新たな地域産業の創出の核となり得るものとしてその活用を促進する意義を有すると考えられる地域産業資源を特定するとともに、当該地域産業資源を活用した地域産業資源活用事業として中小企業者が商品の生産又は役務の提供を行うことが想定される地域を併せて設定し、その内容を定める。

（１）地域産業資源の属性

特定される地域産業資源は、次の①及び②の属性を有するものとする。

①　地域の中小企業者が現に又は潜在的に活用可能であり、その活用を促進することで当該地域産業資源を共有する他の中小企業者の事業活動や当該事業と密接に関連する事業活動を促進する可能性が高いものであること。

可能性の程度については、当該地域における中小企業者の技術、設備、人員及び地域の業種構成や産業構造等を総合的に勘案して判断することとする。

②　当該地域産業資源が、他地域の同種の地域産業資源と比べて生産量、品質、機能、歴史的・文化的背景等の面で顕著な特徴を有しており、それによって消費者等に相当程度認識されているものであること。

認識の程度については、地域産業資源を特定する段階としては、次のイからニまでのいずれかに該当する程度の周知度が求められる。

イ　国の法令又は都道府県若しくは市町村（特別区を含む。以下同じ。）の条例、基本計画その他これらに準ずるものに基づく指定等により広く一般に知らされていること。

ロ　新聞・雑誌（都道府県内に広く流通しているもの）、専門誌（当該地域産業資源に関連するもの）、テレビ、ラジオ、インターネット等の媒体で複数回紹介されていること。

ハ　当該地域産業資源活用事業の活動が見込まれるものとして、都道府県等が都道府県内に広く流通する公的な媒体を用いて情報提供を行っていること。

ニ　都道府県内における消費者又は流通業者等に対する調査等により、当該地域の特徴的なものとして認知されていると判断されるものであること。

（２）地域産業資源に係る地域

当該地域産業資源を活用した地域産業資源活用事業として中小企業者が商品の生産又は役務の提供を行うことが想定される地域は、地理的連続性、地域内での継続的取引の存在、行政単位等の観点を総合的に勘案して判断することとし、基本的に単数又は複数の市町村を単位として設定されるものとする。

３　地域産業資源の内容を定める際の留意事項

都道府県は、地域産業資源の内容を定めるに当たり、次の（１）から（４）までに掲げる事項に留意することが求められる。

（１）明確性

地域産業資源の内容については、中小企業者が明確に認識できるよう、品目及び地域の範囲ができる限り具体的に示されることが必要である。

（２）市町村からの申出があった場合の対応及び関係団体等からの意見聴取

市町村が法第四条第二項に規定する意見の申出を行った場合には、都道府県は、当該申出の内容に特に配慮し、当該意見に沿って地域産業資源の内容を定めるよう努めることが必要である。

また、都道府県が地域産業資源の内容を定める過程においては、商工会、商工会議所、都道府県中小企業団体中央会、農業協同組合、観光協会等の地域の関係団体等の意見を聴取し、それらを十分反映するよう努めることが必要である。

（３）地域産業資源活用事業の成果等を踏まえた適時・適切な見直しの実施

地域産業資源の内容については、中小企業者による当該地域産業資源の活用実態や、新たな地域産業資源に関する研究開発の成果等に応じて、機動的に見直し、充実を図っていくことが必要である。

他方、いったん定めた地域産業資源について、中小企業者による活用が行われず、以後も活用が見込まれないような場合には、当該地域産業資源について定めた内容を削除することが適当である場合も考えられる。

適時・適切な見直しを行わず、過度に多大な地域産業資源について内容を定めることは、地域産業資源全体のブランド力の低減につながることにも留意が必要である。

（４）地域産業資源の積極的発信

地域産業資源を活用した商品・役務の付加価値を高め、販路を広げていくためには、地域産業資源の固有の価値が市場に認知されることが必要である。

そのためには、都道府県が市町村、地域の関係団体等とも連携しながら、その定めた地域産業資源の価値について、積極的に情報発信を行うことが求められる。その際、効果的な情報発信を行うためには、域外の有識者等の意見も聴取し、地域産業資源の価値を客観的に伝えていくことが重要である。

4　都道府県及び市町村の施策体系における位置付け

地域において、地域産業資源の活用が中長期的かつ持続的に図られるためには、当該地域産業資源の活用の促進に関する施策が、都道府県及び市町村の施策体系の中にも明確に位置付けられることが重要である。具体的には、都道府県及び市町村の基本計画や各分野における施策方針等においてもこれら地域産業資源の活用の促進や持続的活用への配慮が関連付けられていくことが期待される。

第３　地域産業資源活用事業に関する事項

１　基本的な考え方

地域産業資源活用事業は、地域産業資源が有する品質、機能、歴史的・文化的背景、認知度等の見えざる資産を有効に活用して、中小企業者が自らの商品や役務を特徴付け、それを新たな需要の開拓につなげていく事業である。

地域産業資源活用事業を実施するに当たっては、中小企業者が自らの強みと弱みを認識し、当該地域産業資源のみならず、当該中小企業者固有の技術やノウハウ等の経営資源や外部の資源を有効に活用して、消費者等に価値を提供していくことが重要である。

２　地域産業資源活用事業の内容に関する事項

（１）地域産業資源活用事業の基本的な内容

地域産業資源活用事業は、法第二条第三項に示すとおり、次の①から④までのいずれかに該当するものである。

①　地域産業資源である農林水産物又は鉱工業品をその不可欠な原材料又は部品として用いて行われる商品の開発、生産又は需要の開拓

ここで、「（地域産業資源）をその不可欠な原材料または部品として用いて行われる」とは、当該商品の品質、機能、効用等にとって欠かすことのできない原材料又は部品として当該地域産業資源を活用することを指す。

②　地域産業資源である農林水産物又は鉱工業品に係る生産活動を利用して行われる役務の開発、提供又は需要の開拓

ここで、開発、提供又は需要の開拓の対象となる「地域産業資源である農林水産物又は鉱工業品に係る生産活動を利用して行われる役務」とは、農林水産物又は鉱工業品の生産者による地域産業資源の生産行為そのものを指すのではなく、観光客等に対してかかる生産行為の体験をさせることや、消費者等に対して農林水産物又は鉱工業品の生産、使用方法等を開示・実演し、当該農林水産物又は鉱工業品の機

能、性能等を実感させること等を内容とする役務を指す。

③　地域産業資源である鉱工業品の生産に係る技術を不可欠なものとして用いて行われる商品の開発、生産又は需要の開拓

ここで、「鉱工業品に係る技術を不可欠なものとして用いて」とは、当該商品の品質、機能又は効用等にとって、当該技術を欠くことのできないものとして用いることを指す。

④　地域産業資源である観光資源の特徴を利用して行われる商品の開発、生産若しくは需要の開拓又は役務の開発、提供若しくは需要の開拓

ここで、「観光資源の特徴」とは、当該資源が観光客を惹き付ける要素として他の地域の同種の地域産業資源と顕著に異なる性質のことを指す。例えば、歴史的・文化的背景や形状、意匠、景観、自然条件等において特徴を有し、観光における重要な要素として認識されているものが該当する。

また、「観光資源の特徴を利用して」とは、観光資源が存在することによる集客力や知名度のみを利用することではなく、当該観光資源の特徴を自らが提供する商品や役務の品質、機能又は効用等の要素として有効に利用するものを指す。

（２）地域産業資源活用事業における需要の開拓

地域産業資源活用事業における「需要の開拓」は、当該事業を行う者が自ら地域産業資源を活用して開発若しくは生産を行う商品又は開発若しくは提供を行う役務を対象とするものに限定されるものではなく、当該事業を行う者以外の事業者が開発若しくは生産を行う商品又は開発若しくは提供を行う役務を対象とするもの（以下「需要開拓型事業」という。）も含まれる。

需要開拓型事業については、次に掲げる事項に該当する必要がある。

①　地域産業資源を活用して開発若しくは生産が行われる商品又は開発若しくは提供が行われる役務の販路を開拓・拡大するため、当該商品を開発若しくは生産する中小企業者又は当該役務を開発若しくは提供する中小企業者に対し、当該商品・役務の需要の動向に関する情報を提供し、当該商品・役務の開発・改良・改善のための提案や援助を行うものであること。

なお、ここでいう「需要の動向に関する情報」とは、単に市場の動向に関する一般的な情報を提供するだけでなく、当該商品・役務に対する消費者の志向に関する個別具体的な情報を提供するものである必要がある。

②　需要の開拓の対象となる主な商品・役務並びに当該商品・役務において活用されることとなる地域産業資源及びその地域を特定して行うものであること。

（３）地域産業資源活用事業が行われる地域の考え方

地域経済の活性化につながる形で地域産業資源活用事業を促進する観点から、当該事業において活用する地域産業資源に係る地域において生産又は提供が行われることが必要である。

（４）地域を挙げた取組と多様な主体との連携

地域産業資源を活用した地域ブランドの育成・強化により地域経済の活性化を図るた

めには、地域を挙げた取組が必要であり、市町村による３の(5)の③の「ふるさと名物応援宣言」の下で、複数の中小企業者が連携して地域産業資源活用事業を実施することが重要である。また、中小企業者の限られた経営資源のみでは事業の円滑な実施に困難が生じることも想定されることから、他の中小企業者との連携を図るとともに、中小企業者以外の多様な主体の知見・視点をいかすことができるよう、大規模事業者や大学、研究機関、支援団体等の協力を求めることも重要である。

特に、地域産業資源を活用した商品・役務の販路の開拓に当たっては、全国・海外の販売ネットワークを有する小売事業者等の協力を得ることも重要である。

したがって、地域産業資源活用事業計画の作成に当たっては、これらの協力が得られるよう、国、独立行政法人中小企業基盤整備機構（以下「中小機構」という。）、４の(1)の①の地域の支援事務局、関係機関等とも連携しながら検討が進められることが望ましい。

（５）　地域産業資源活用事業計画の認定に当たっての評価基準及び評価体制

①　基本的な評価基準

イ　地域産業資源の活用

地域経済の活性化への寄与という観点から、地域産業資源の特徴・強みをいかした創意ある商品・役務の開発や販路の開拓の取組により、当該地域産業資源を活用した商品・役務のブランド力が高まるとともに、当該地域産業資源の認知度も高まることで、これを活用する地域の他の中小企業者等の事業活動の促進及び競争力強化に寄与することが必要であり、その程度は当該事業を評価する際の重要な考慮要素である。

ロ　新たな需要の開拓の見通し

地域経済の活性化への寄与という観点から、地域産業資源活用事業が商品や役務に対する新たな需要を開拓するものであることは、当該事業を評価する上での重要な要素である。したがって、地域産業資源活用事業として需要の開拓を行う場合のみならず、商品の開発若しくは生産又は役務の開発若しくは提供を行う場合においても、市場ニーズ・市場規模、競合する商品・役務との相違点等を適切に把握した上で、当該事業によって新たな需要の開拓が図られる見通しが示されていることが必要であり、その程度は当該事業を評価する際の重要な考慮要素である。

ハ　地域を挙げた取組と関係事業者、関係団体等との連携

地域を挙げて地域産業資源を活用したブランド化に取り組み、域外での需要の開拓につなげる観点から、地域産業資源活用事業計画の評価に当たっては、市町村による３の（５）の③の「ふるさと名物応援宣言」の対象となっているか、複数の中小企業者の連携による事業であるか、地域の関連事業者や関係団体等、域外の販路を有する小売事業者、地域産業資源活用支援事業者等との適切な連携を行っているかどうかということも、重要な考慮要素である。

二　自然や文化財等の地域産業資源の持続的活用のための配慮

自然や文化財等の保護の観点から、自然や文化財等の地域産業資源を活用した地域産業資源活用事業計画を作成する場合は、その地域産業資源の活用により自然や文化財等そのもの又はその周辺の環境が破壊されることがないよう、それら地域産業資源の持続的活用のための配慮がなされていることが必要である。

ホ　事業計画の実現可能性

事業計画の内容が具体的かつ明確であり、その主体となる中小企業者の実施体制及び資金計画等を踏まえ、十分な実現可能性があることが必要である。

②　地域産業資源活用事業計画の評価体制の整備

国は、法第六条第一項の規定に基づく地域産業資源活用事業計画の認定を適切に行うため、評価委員会を設置し、その評価を踏まえて認定の適否を判断することとする。

評価委員会は、地域産業資源活用事業計画を公正かつ適正に評価できる有識者、専門家及び関係都道府県等で構成することとし、案件に利害関係等を有する者は当該案件の評価に関与しないこととする。評価委員会においては、「①　基本的な評価基準」に基づき評価を行う。

（６）計画期間

地域産業資源活用事業計画の実施期間は、三年以上五年以内とする。

３　地域産業資源活用事業の促進により地域経済の活性化を図るための方策に関する事項

（１）基本的な考え方

地域産業資源活用事業が、地域経済の活性化に寄与するものとなるためには、当該地域産業資源に対する消費者等の認知度の向上及び関連する市場規模の拡大を通じ、当該地域産業資源活用事業の活動を促進するものであることが求められる。

また、地域産業資源が有する品質、機能、歴史的・文化的背景、認知度等の目に見えない本質的な価値は、その固有性や希少性により地域ブランドの基礎となるものであり、これを有効に活用していくためには、都道府県、市町村、地域の中小企業者や関係団体等が連携して、ブランド化に向けて意識的かつ効果的にこれを発信する仕組みを作っていくことが特に重要となる。

都道府県及び市町村は、地域産業資源活用事業を促進することにより当該地域産業資源に係る地域の経済の活性化を推進するに当たっては、適切な役割分担の下、それぞれが相互に連携しながら、国、関係団体等とともに、地域産業資源活用事業の効果を高めるよう努めることが求められる。

（２）地域産業資源を活用した商品・役務に係る品質等の水準の確保

地域産業資源を活用した商品・役務の付加価値を高め、地域ブランドとして育成していくためには、当該商品・役務に関して一定水準の品質を確保することが重要であり、関係事業者、関係団体等による品質基準の策定や品質管理の取組等が求められる。

（３）都道府県及び市町村の施策との整合性

都道府県及び市町村が地域産業資源活用事業を促進することにより当該地域産業資源

に係る地域の経済の活性化を推進するに当たっては、当該都道府県及び市町村が実施している施策の有効活用が十分に検討されることが重要である。また、当該都道府県及び市町村が今後行う関連施策の方向性に合致していることが期待される。

具体的には、当該地域産業資源の活用の促進が、当該都道府県及び市町村の地方版総合戦略（まち・ひと・しごと創生法（平成二十六年法律第百三十六号）第九条第一項及び第十条第一項に基づき策定された都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略及び市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略をいう。）等のビジョンや中長期計画、各種施策の方針等と関連付けられていることが望ましい。

（４）都道府県における地域産業資源活用事業の促進の方向性

都道府県において、地域産業資源活用事業を促進するための施策を実施する際には、次の①から③までに掲げる事項が基本的な方向性として期待される。各地域の実情に応じて、国、市町村の施策等と連携して効果的な支援が行われることが望ましい。

①　地域産業資源等の認知度向上

地域産業資源及びそれを活用した商品や役務に関する認知度を向上させるため、地域内外の関係事業者や消費者等に積極的に広報・周知を行うことが重要である。

②　国と都道府県との連携

国と都道府県とが連携して地域産業資源活用事業を促進するため、都道府県は、地域産業資源活用事業計画の認定の際に国から提供される当該計画に係る情報を活用し、当該認定地域産業資源活用事業を国と連携して推進することが重要である。

また、認定地域産業資源活用事業が都道府県の支援する事業である場合には、国は、支援施策を優先的に実施する等、相互に連携して事業を推進することが重要である。

③　都道府県と市町村との連携

市町村による地域産業資源を活用した事業活動の促進のための施策がより効果的なものとなるよう、都道府県は、市町村の求めに応じ、情報提供、助言等必要な支援を行うほか、市町村が支援する地域産業資源活用事業については、相互に連携してこれを支援することが重要である。

（５）市町村における地域産業資源を活用した事業活動の促進の方向性

市町村において、地域産業資源を活用した事業活動を促進するための施策を実施する際には、国、都道府県の施策等とも連携し、次の①から③までに掲げる事項を基本的な方向性とすることが期待される。また、各地域の実情に応じて、国、都道府県の施策等と連携して効果的な支援が行われることが望ましい。

①　地域産業資源の認知度向上

地域産業資源及びそれを活用した商品や役務に関する認知度を向上させるため、地域内外の関係事業者や消費者等に積極的に広報・周知を行うことが重要である。

②　新たな地域産業資源の掘り起こし

第２に示したとおり、地域の中小企業にとって競争力の源泉となる地域産業資源の価値は、消費者等に特徴的なものとして認識されることで実現されるものである。

地域に密着している市町村には、地域産業資源を新たに発掘し、その価値に対する認識を地域内で共有し、これを域外に発信することで、広く消費者等にその価値に対する認識の浸透を図ることが求められる。

また、新たに発掘し、その活用を促進しようとする地域産業資源が、法第四条第一項の規定に基づく地域産業資源の内容の指定を受けていない場合には、同条第二項の規定に基づき都道府県に対して申出を行うことも必要である。

③　地域を挙げた地域産業資源活用事業の促進（「ふるさと名物応援宣言」等）

地域産業資源を活用した事業活動の促進により地域経済の活性化を図るためには、地域における面的な取組（同業者による水平連携、生産、加工、販売等の垂直連携等）により、地域ブランドの育成・強化を図り、地域産業への波及効果を促すことが必要である。

そのためには、地域の実情に通じ、様々な関係者との連携の軸となり得る市町村が、地域産業資源を活用した事業活動の促進に、積極的に関与することが必要である。

具体的には、市町村において、地域を挙げて支援を行う地域産業資源を活用した商品・役務（以下「ふるさと名物」という。）を特定し、情報発信を行う「ふるさと名物応援宣言」を実施した上で、地域ブランドの育成・強化に向けた継続的な取組を行うことが効果的である。その際、市町村が旗振り役又は後見役として、地域の関係事業者や関係団体等とも連携しつつ、複数の中小企業者による取組を推進することが重要である。

「ふるさと名物応援宣言」の対象とする「ふるさと名物」については、地域ブランドの育成・強化につながるよう、適切に絞り込みを行うことが必要である。

「ふるさと名物応援宣言」は、軸となる地域産業資源の種類により、大きく分けて、次の(ⅰ)から(ⅲ)までの３類型が想定される。ただし、複数の異なる種類の地域産業資源を組み合わせた「ふるさと名物」や、複数の「ふるさと名物」を一つのテーマ（地域の気候、地理、歴史、文化、人々の暮らしぶり等の特徴を捉えたストーリー）でつないだ応援宣言とすることは可能である。

(ⅰ)農林水産品活用型

(ⅱ)鉱工業品活用型

(ⅲ)観光資源活用型

4　地域産業資源活用事業の促進に当たって配慮すべき事項

（１）地域産業資源活用事業の支援体制の整備

①　支援事務局の設置

中小企業者が、地域産業資源を活用して消費者等に価値を提供していくことを効果的に支援するためには、外部の専門家等の資源を活用して、中小企業者の直面する課題に応じた適切な支援を行うことが重要である。

こうしたことから、国は、地域産業資源活用事業の計画段階から実施段階まで

一貫して、助言等の支援を行うための支援事務局を、各経済産業局等（経済産業局及び内閣府沖縄総合事務局）の管轄区域ごとに設置する。各支援事務局には、マーケティング等に精通したコンサルタント、起業経験者、商社、金融機関等の出身者等の実務に精通した者を専門家として配置し、都道府県や関係団体等と連携して、商品や役務の開発、生産、販売等に取り組む中小企業者の相談に応じ、市場調査、商品企画、事業性評価、販路の開拓等に係る助言等を実施する。特に、販路の開拓については、地域産業資源活用事業を実施する中小企業者と、小売事業者や地域産業資源活用支援事業者等との連携を推進することが重要である。

また、各支援事務局における支援の充実を図るため、適切な専門家の紹介や全国規模の販路の開拓等の支援を実施する推進組織を併せて設置する。

② 地方公共団体及び関係支援機関等との連携

国は、地域産業資源活用事業の支援を実施するに当たり、地方支分部局を含めた関係府省の適切な連携を図るものとする。また、中小機構、地方公共団体、中小企業支援機関、金融機関、関係団体等との適切な役割分担の下、密接な連携体制を構築し、支援の効果的な実施を図る。

（２）地域産業資源活用事業の成果等に関する周知・広報

国は、施策の有効な実施を図るため、認定を受けた地域産業資源活用事業や地域産業資源活用支援事業等に関する実施状況や成果等について実態把握に努める。

また、中小企業者等に対し、地域産業資源の活用に係る施策の意義や内容、成果等に関する周知を図っていくとともに、地域において優れた成果を有する経営者や有識者等と連携し、地域産業資源活用事業の取組の拡大に努める。

（３）地域産業資源の持続的活用のための配慮

国は、地域産業資源活用事業を行う中小企業者において、自然や文化財等の地域産業資源の持続的活用のための配慮がなされるよう、地方公共団体や地域の関係団体等と連携し、必要な情報提供や相談窓口の設置等に努める。

（４）信頼性のある計算書類等の作成及び活用の推奨

国は、中小企業に会計の定着を図り、会計の活用を通じた経営力の向上を図ることに加え、中小企業が作成する計算書類等の信頼性を確保して、資金調達力を向上させ、中小企業の財務経営力の強化を図ることが、地域産業資源活用事業の促進のために重要であるとの観点から、中小企業者に対し、「中小企業の会計に関する基本要領」又は「中小企業の会計に関する指針」によった信頼性のある計算書類等の作成及び活用を推奨する。ただし、法令や通知等により、企業会計審議会や企業会計基準委員会により公表されている企業会計の基準等に従うこととされている場合には、当該基準等によるものとする。

第４　地域産業資源活用支援事業に関する事項

１　基本的な考え方

中小企業者の多くは、経営資源が限られており、販路の開拓や情報発信を単独で行うこ

とは困難な場合が多い。

そのため、地域産業資源活用事業を適切に実施し、新たな需要の開拓に確実につなげるためには、関連市場の動向や消費者志向を踏まえ、具体的な販路を目指して取り組むことが重要である。

こうした観点から、一般社団法人、一般財団法人又は特定非営利活動法人（以下「一般社団法人等」という。）が、地域産業資源活用事業に対して、消費者志向の観点からの助言や提案、販路の開拓のための小売事業者等との連携の促進等により支援する事業（以下「地域産業資源活用支援事業」という。）を促進することが必要である。

2　地域産業資源活用支援事業の内容に関する事項

地域産業資源活用支援事業は、次に掲げる方法により、地域産業資源活用事業の円滑な実施及び成果の実現を支援することが必要である。

（1）地域産業資源活用事業を行う者に対して行う地域産業資源を活用した商品又は役務の需要の動向に関する情報の提供

ここで、「地域産業資源活用事業を行う者」とは、地域産業資源活用支援事業計画の認定を受けて当該事業を実施する者のみを指すのではなく、法第二条第三項に規定する地域産業資源活用事業を実施する者全般を指す。

また、「需要の動向に関する情報の提供」とは、単に一般的な市場動向に関する情報を提供するだけでなく、地域産業資源活用事業に係る個々の商品・役務に対する消費者志向に関する情報を提供し、商品の内容やデザインの改良に関する具体的な提案を行う等、その需要の開拓に資するものであることが必要である。

その際、支援の対象となる商品・役務に係る販路の開拓に当たっては、地域産業資源活用支援事業を実施する者の有する販路を活用するほか、国、中小機構等が情報提供する、地域産業資源を活用した商品・役務の販路の開拓等に協力する事業者に関する情報の活用が期待される。

（2）地域産業資源活用事業を行う者の求めに応じて行う当該地域産業資源活用事業の実施についての指導又は助言

ここで、「地域産業資源活用事業を行う者の求めに応じて行う」とは、地域産業資源活用支援事業者は、地域産業資源活用事業を行う者をあまねく支援する必要があるということではなく、その求めに応じ、その円滑な実施のために必要な指導又は助言の支援を行うことを指す。

ただし、地域産業資源の活用を促進する観点から、地域産業資源活用支援事業の対象を特定の中小企業者に限定するのではなく、支援を必要とする中小企業者を広く支援する内容であることが望ましい。

（3）地域における地方公共団体及び関係団体との連携

地域産業資源活用支援事業の実施に当たっては、地域産業資源活用事業の促進による地域ブランドの育成・強化に向け、都道府県及び市町村並びに商工会議所・商工会その他地域の関係団体との連携が重要である。

（４）支援対象の掘り起こし

地域産業資源を活用した商品・役務の開発、生産・提供、販売等を行う中小企業者は、地域産業資源活用事業計画の認定を受けた事業者に限らず、全国津々浦々に存在しており、適切な販路に結び付け、消費者志向に沿って磨き上げることで、消費者への訴求力の高い魅力的な商品・役務となる素材が地域に埋もれていることもある。そのため、地域産業資源活用支援事業の実施に当たっては、地域の関係機関等とも連携を図りながら、積極的に支援対象の掘り起こしに努めることが重要である。

（５）地域産業資源活用支援事業計画の認定に当たっての評価基準及び評価体制

①　基本的な評価基準

イ　事業計画の内容の妥当性

「２　地域産業資源活用支援事業の内容に関する事項」に沿った事業計画であり、地域産業　資源活用事業の円滑な実施及び成果の実現のために適切かつ実効的な支援を行うことが必要である。

ロ　事業計画の実現可能性

事業計画の内容が具体的かつ明確であり、その主体となる一般社団法人等の実施体制及び資金計画等を踏まえ、十分な実現可能性があることが必要である。

②　地域産業資源活用支援事業計画の評価体制の整備

国は、法第八条第一項の規定に基づく地域産業資源活用支援事業計画の認定を適切に行うた　め、評価委員会を設置し、その評価を踏まえて認定の適否を判断することとする。

評価委員会は、地域産業資源活用支援事業計画を公正かつ適正に評価できる有識者、専門家等で構成することとし、案件に利害関係等を有する者は当該案件の評価に関与しないこととする。

評価委員会においては、「①　基本的な評価基準」に基づき、適切に評価を行う。

（６）計画期間

地域産業資源活用支援事業計画の実施期間は、三年以上五年以内とする。

３　地域産業資源活用支援事業の促進に当たって配慮すべき事項

国は、施策の有効な実施を図るため、認定を受けた地域産業資源活用支援事業の実施状況や成果等に関する実態把握に努めるとともに、中小企業者及び一般社団法人等に対し、地域産業資源活用支援事業に係る施策の意義や内容、成果等についてホームページ等を通じて積極的に情報発信を行い、その活用を促すとともに、都道府県や市町村、地域における関係団体等と連携し、地域産業資源活用支援事業の取組の拡大に努める。

審査意見への対応を記載した書類

【資料 3】

新潟県

新潟県総合計画
2017年度－2024年度

にいがた未来創造プラン

平成30年1月

新　潟　県

資料3-1

第４章　政策展開の基本方向

１　政策展開の基本的な視点

本計画の基本理念及び将来像の実現に向けて、県民一人一人が安全に安心して暮らし、また、地域経済が安定的に成長していくための中長期的な政策の方向性として、次のような視点を基本にこれからの県の政策を展開していく。

具体的には、将来像に基づく政策の大きな柱や体系からの視点（①～③）、及び各政策に共通して重視する視点（④、⑤）を基本に展開していく。

①　県民の暮らしを重視します。

自然災害・防災や治安対策、事故防止など、県民の日常生活の安全・安心の確保のほか、子育て・医療・福祉サービスや教育が安心して受けられ、暮らしや将来に安心感を持って誰もが活躍できる環境を作っていく。

②　活力や賑わいづくりに取り組みます。

経済のグローバル化の進展により、経済活動の場が国境を越えて広がり、また、訪日外国人旅行者等が大幅に増加している中、厚みのある産業基盤や多様な地域資源など、地域の個性を大切にしながら、産業の振興と高付加価値化を図るとともに、本県の魅力や強みを最大限にアピールし、人流・物流の活発化の流れを本県の活力や賑わいにつなげていく。

③　人づくりを重視します。

本格的な少子高齢化社会を迎え、人づくりは、これからの新潟の安全・安心などの暮らしやすさや、活力ある産業、賑わいなどによる持続ある発展のための礎となるものであり、未来の新潟を担う多様な人材を育成・輩出していく。

④　個性を大切にし、豊かさの質的充実を重視します。

県民一人一人の多様な価値観を尊重し、個性を活かして資質・能力を育みながら社会において活躍できる環境を作っていくほか、ライフスタイルに応じた多様な機会の提供等により、生活や仕事、人とのつながりなどの質的充実を図っていく。

⑤　積極的に連携・協働して取り組みます。

地域を共に担う市町村をはじめ、企業・団体、ＮＰＯ、大学などの多様な主体とともに、それぞれの役割を明確にし、地域の発展のために一体となって連携・協働しながら、地域の課題解決に取り組んでいく。

① 意欲ある企業等への支援による県内産業の活性化

1　現状・課題

本県では、食品・清酒、金属・機械、繊維など、それぞれの地域の特性や歴史などにより育まれた多様な地域産業（P89 参照）が県内各地に集積しているほか、国内外でのトップシェアや独自の技術により高い競争力を持つ企業が多数あり、それぞれが地域の経済と雇用に重要な役割を果たしてきている。

一方、県内企業等は、経営規模が小さく、中間財生産や下請け取引を主流とする経営面で他律的な企業等が多く、十分な付加価値・利益が得にくい産業構造となっている。

これまで高付加価値化に向けた取組を進めてきたところであるが、デフレの長期化やリーマンショック等の影響に加え、ＩＣＴ（P10(注１)参照）化等に伴い製品のコモディティ化(注)が進み、下請けではより利益を得にくい経済環境にある中、全体の付加価値を引き上げるに至っていない現状となっている。加えて、今後は高齢化や後継者不足等により喫緊の課題となっている事業承継や、生産年齢人口の減少に伴う労働力不足への対応も必要となっている。

● 県内企業等の現状

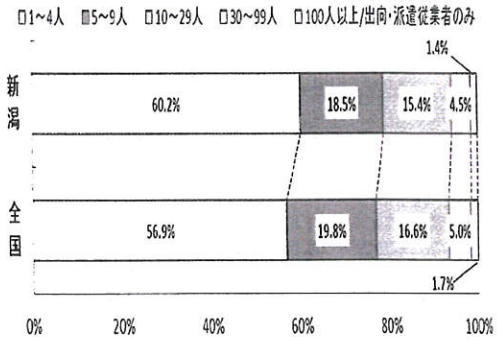
（企業等数・売上高・付加価値額）

	新潟県	全国シェア	全国順位	全国
企業等数	8万3,414企業	2.2%	14位	386万6,537企業
売上高	15兆5,993億円	1.0%	15位	1,603兆4,638億円
付加価値額	3兆4,168億円	1.2%	16位	294兆7,949億円
1企業等当たり付加価値額	4,237万円	－	29位	8,209万円

※売上高、付加価値額、１企業等当たり付加価値額は、必要な事項の数値が得られた企業等を対象に集計

● 県内事業所の現状

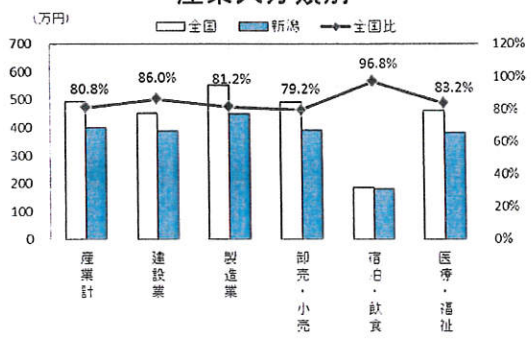
（従業者規模別事業所数の構成比）



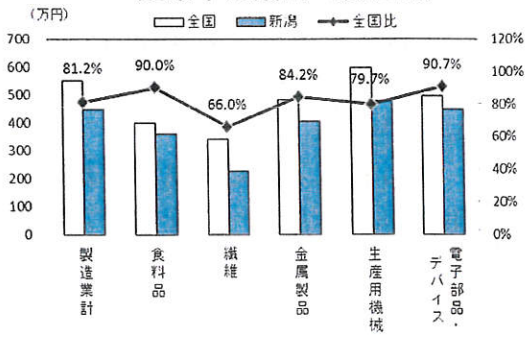
資料：総務省・経済産業省「平成 28 年経済センサス活動調査（速報）」

● 県内事業所の現状（事業従事者１人当たり付加価値額）

産業大分類別



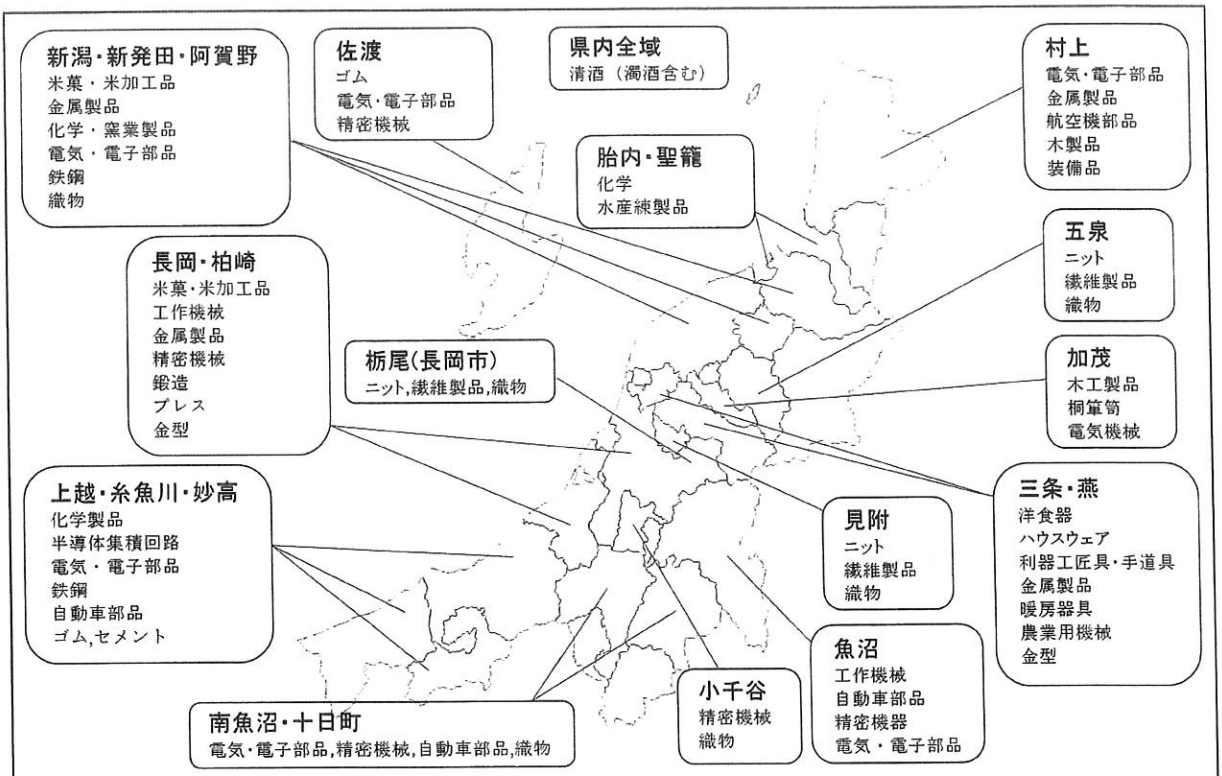
産業中分類別（製造業）



資料：総務省・経済産業省「平成 24 年経済センサス活動調査」

(注) コモディティ化：市場参入時には高付加価値であった商品が、後発品との競争の中で、その機能の優位性や特異性を失い、一般化していくこと。

【新潟県における多様な地域産業】



本県は、古くから気候風土や資源を活かした地域産業が各地域で形成されてきている。

新潟地域では、国内有数の農業生産地として土地由来の農産物や水産物を原材料とする米菓・餅、水産練製品、日本酒製造業、発酵食産業などの食品産業群や、我が国石油産業の発祥地として石油掘削から派生した鉄鋼・機械産業が発展してきた。

三条・燕地域では、江戸時代から和釘、農耕具、利器類などの生産が盛んであり、明治、大正、昭和期には、そこで培われた技術力を活かして、作業工具、利器工匠具や洋食器の製造への転換を遂げ、今日では自動車部品を含めた金属加工技術を中心とした産業群の形成が進んでいる。

長岡市を中心とする中越地域では、油田開発に伴う石油掘削などの機械産業が発達し、工作機械や精密機械、鋳物関連業種などが集積している。

上越・糸魚川・妙高地域では、豊富な水資源を活かした化学、鉄鋼・非鉄金属をはじめとした素材型産業や、電子部品・デバイス等の高付加価値型産業の集積が図られている。

このほか、五泉、見附、栃尾、小千谷、十日町などの地域では、繊維、ニット、和装製品などの一大産地をなしている。

これらの各地域における特長のある技術をベースとして、過去の経済社会環境の変化に対してイノベーションを繰り返すことで、各企業が維持・成長してきている。その側面として、国内外でのトップシェアや独自技術を有する企業が既に多数存在するが、このような企業を一層増やすことが全体の付加価値の引上げにつながる。

2　政策の展開・取組

金融面でのセーフティネット対策により景気変動等への対応をしつつ、意欲ある県内企業等が新たな取組にチャレンジできる環境の整備や人材確保・生産性向上に向けた投資などの経営基盤の強化促進などに取り組み、稼ぐ企業をより多く輩出するなどにより、本県産業全体の付加価値の引上げと所得向上につなげ、生産年齢人口の減少が見込まれる中においても、本県産業の持続的な発展を実現する。

■　高い付加価値を生み出す企業の創出・成長促進

○　多様な産業集積や優れた技術など、本県の有する強みを最大限活かしながら、**高い付加価値を生む新事業・新業態への展開、技術開発や経営革新、外部リソース(注)の活用・連携など、中小企業を含めた意欲ある県内企業等の新たな取組を、事業構想から本格展開までの各段階に応じて支援することや、産学官・企業間連携などのコーディネート機能を担うことなどで、イノベーションを促し、高い利益、付加価値を生み出す企業の創出・成長を促進**する。

・各種セミナー・勉強会の開催、ビジネスプランの評価・助言等によるビジネスヒントの提供

・技術開発・商品開発に対する資金助成、専門家の活用支援、共同研究コーディネート等による企画・開発支援

○　事業規模の拡大、新分野進出、生産性向上等や、経営革新や基盤強化につながる成長のための積極的な設備投資を促進する。

■　県内企業の海外展開支援

○　企業活動がグローバル化する中、優れた技術や意欲のある県内企業等が、海外市場の獲得に積極的に取り組めるよう、環日本海経済研究所（ＥＲＩＮＡ）、にいがた産業創造機構（ＮＩＣＯ）、日本貿易振興機構（ジェトロ）、県内金融機関等との連携を密にする中で、現地の情勢・市場や県内企業ニーズを踏まえ、販路拡大に向けた市場調査やビジネスの場づくりなど、海外展開支援に積極的に取り組む。

・海外の現地情勢、市場に関する情報提供

・海外展開に関する個別相談対応

・海外見本市での共同ブース運営

・海外市場調査、海外見本市・展示会等への出展等への経費助成

○　県の海外事務所・拠点はもとより、シンクタンクや金融機関等の県内関係団体の有する海外ネットワークや情報網を活用し、本県のこれまでの交流実績や地理的優位性を活かして、北東アジア等海外との経済交流を促進する。また、経済成長の著しい東南アジア等については、現地企業等と協力しサポートデスクを設置するなど、現地でのビジネス支援機能を強化する。

■　県内企業の国内販路開拓支援

○　域内に多くの中小企業を協力企業として抱え地域のサプライチェーンの中

(注)　外部リソース：自社外の経営資源（人材、設備、ノウハウなど）。

核となっている地域中核企業の国内販路開拓支援により、地域経済への幅広い波及を図る。

○　県内企業ニーズ等を踏まえつつ、食品や清酒、生活関連製品など本県産業の強みを活かしながら、関係団体等と連携し、情報発信や販路開拓支援に取り組む。

・商品開発のアドバイス
・テストマーケティング支援
・商談会の開催、展示会への出展支援等によるマッチング支援

■　**地域に根ざす産業の活性化**

○　地域経済を支えている地場産業が市場環境の変化に対応し、持続的に発展できるよう、後継者不足、売上低迷、技術承継など産地が抱える様々な課題に対し、地域と一体となって、人材育成から新商品開発、販路開拓まで伴走型支援に取り組む。

・各地場産地の課題解決に向け、各産地の特性やニーズに応じた流通改善等の取組を支援
・企業連携や産地連携による新商品開発等の新たな取組を支援
・外部専門家の活用や商品開発等の取組を支援
・小規模地場産地における加工工程の維持や技能継承などの取組を支援

○　地域の核である中心市街地の活性化に向けて、商店街などが行う人材育成や賑わい創出等の取組を、市町村と連携して支援する。

・商業者グループによる商店街の活性化と人材育成に向けた取組を支援
・リノベーション（遊休資産の活用）によるまちづくりの取組を支援
・商店街等による商業基盤施設の整備・改修や空き店舗対策等の取組を支援

○　地域経済や雇用の確保に大きな役割を果たしている中小・小規模企業等の持続的発展に向けて、金融面でのセーフティネットなど経営基盤の強化を図る。

○　経営者の高齢化や後継者不足の問題が深刻化し、地域経済の活力低下につながる廃業の増加も懸念される現状を踏まえ、関係機関との連携を密にしながら、事業引継ぎ支援センターにおける窓口相談、具体的な課題抽出、選択肢の提示、各種専門家紹介等を通じて、地域や産業で必要とする事業資産を円滑に承継する取組を支援する。

3　達成目標（成果指標）

指標名	現状値	中間目標値 (H32 年度)	最終目標値 (H36 年度)
1 人当たり県民所得	269.7 万円 (H26 年度)	287.5 万円	300 万円

【産業労働観光部】

② 起業・創業の推進

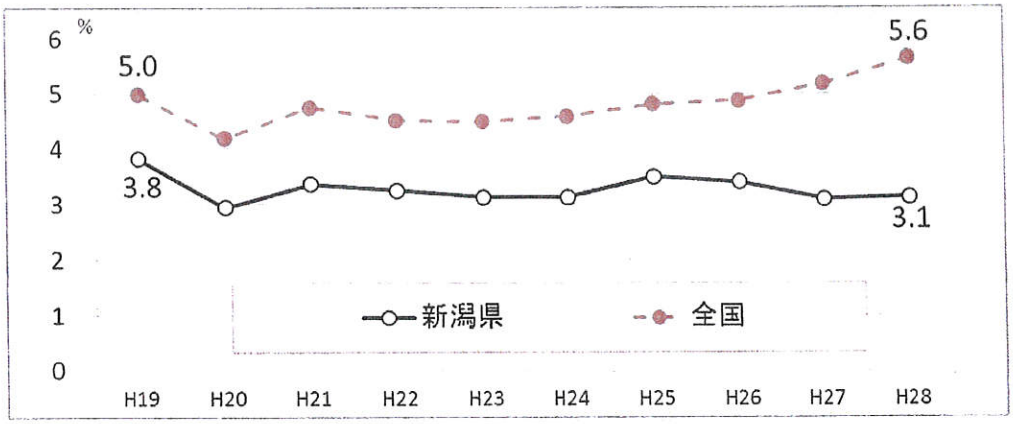
1　現状・課題

本県の新設事業所数は年間約 1,300 事業所で全国 23 位に位置しているが、緊急経済対策等による一時的な増加はあるものの、リーマンショック前の年間約 1,700 事業所（全国 15 位）の水準までには至っていない。

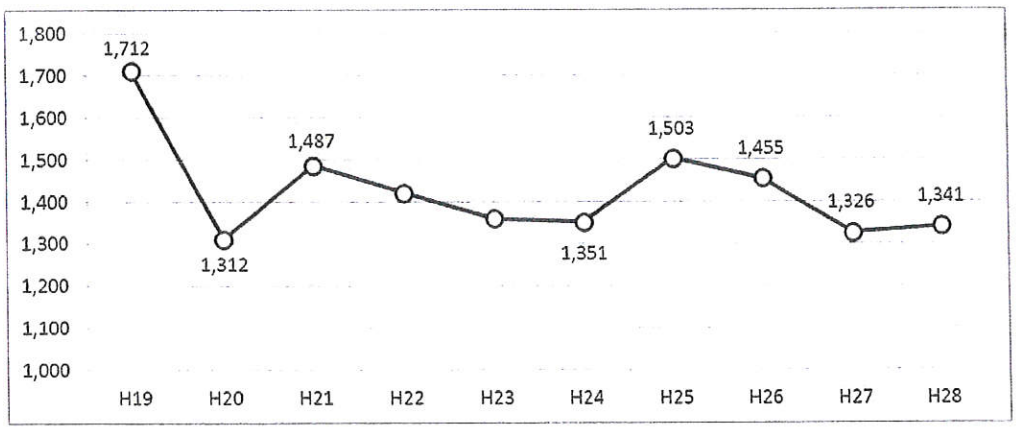
本県の開業率は、3.1%（全国 46 位）と、全国 5.6%に対して低水準となっているが、その背景として開業率は、廃業率の低さや製造業比率の高さ、人口増減率、平均年齢など、様々な要素と相関関係があると見られ、複合的な要因が絡み合って影響しているものと思われる。

そのような中、魅力ある雇用の場を創出し地域の活力につながる起業を促進することが重要であり、開業資金の供給に加え、開業後の経営課題解決及び事業の持続に向けたフォローアップを充実させるなど、起業しやすい環境づくりを行う必要がある。加えて、U・Iターンにより起業する若者を呼び込み、その中から成功事例を発信することで、U・Iターン起業の好循環を作っていく必要がある。

● 開業率の推移（本県・全国）



● 開業数の推移（本県）



資料：厚生労働省「雇用保険事業年報」

資料3-7

2　政策の展開・取組

起業家予備軍がより多くなり、官民一体となって意欲ある者が起業にチャレンジしやすい環境づくりに取り組むことにより、県外からのU・Iターンや再チャレンジによる創業も含め、県内で創業が次々とわき起こるとともに、創業後の持続・成長ができる環境を実現する。

■　起業家予備軍の育成と起業希望者への伴走型支援

○　経済界と連携しながら、若手起業家や先輩起業家との座談会やセミナー開催、起業の成功事例の発信等により、起業という選択肢を提示するなど、起業家予備軍を育成するとともに、起業マインドの醸成を図り、学生等も含め、その裾野を広げる。

○　独創性のある成長志向のビジネスや「新潟らしさ」が感じられる地域資源活用型の事業のほか、サービス業などの身近なビジネスも含む幅広い事業領域において、事業計画作成や専門家による相談対応、助成金などの支援から、創業後のフォローアップの充実まで、起業に挑戦する者や起業後間もない者などへの伴走型支援に取り組む。

・創業期におけるオフィスの貸出（新潟・長岡・上越・県央）
・独創的かつ新規性の高い技術やアイデアに基づいた、特に将来性が見込まれる起業を重点的に支援
・比較的小規模な、身近で幅広いビジネスでの起業の支援
・創業関連セミナーによる事業計画の作成支援、資金調達方法等の起業に必要な情報の提供
・支援先へのアンケート等による現状・ニーズの把握及びそれに応じた専門家派遣による経営課題解決の支援

○　金融機関との連携により、創業期の積極的な資金提供や、金融機関による独自のノウハウを活かした専門的なコンサルティングなど、創業後の持続や第二創業による業容拡大を含む成長に向けた支援を行う。

・金融機関による創業・第二創業にかかる資金提供の促進
・金融機関の独自ノウハウ・ネットワークを活用したフォローアップの強化

■　多様な創業支援者との連携による総合的な創業支援体制の構築

○　創業支援者である金融機関や商工団体、市町村、高等教育機関等との連携による「創業支援プラットフォーム(注)」の機能を整え、創業者への各種支援情報の提供や創業者同士の情報交換の場の提供も含め、民間のネットワークも活用しながら、起業準備段階から起業後まで総合的な創業支援を行う体制の構築を図る。

・金融機関や商工団体、市町村等の各創業支援者の支援メニューの一元的な提供と他の創業支援者の紹介
・創業者同士の情報交換・交流が図られる場の提供

(注) 創業支援プラットフォーム：創業支援者が相互に連携しながら、創業者・創業希望者のニーズにワンストップで対応する支援体制。

■ **創業関連情報と成功事例の発信**

○　県外から起業希望者をＵ・Ｉターンにより呼び込む観点からも、「創業支援プラットフォーム」等の創業支援者と連携しながら、ＳＮＳ（P33(注)参照）等の活用により、県内外へのセミナーやビジネスプランコンテスト等の創業関連情報と、起業を志す動機付けとなるような成功事例の積極的な発信を行う。

3　達成目標（成果指標）

指標名	現状値	中間目標値 (H32 年度)	最終目標値 (H36 年度)
開業率	3.1% (H28 年度) ※全国 5.6%	4.4%	5.6%

【産業労働観光部】

⑤ 成長産業の創出・育成

1　現状・課題

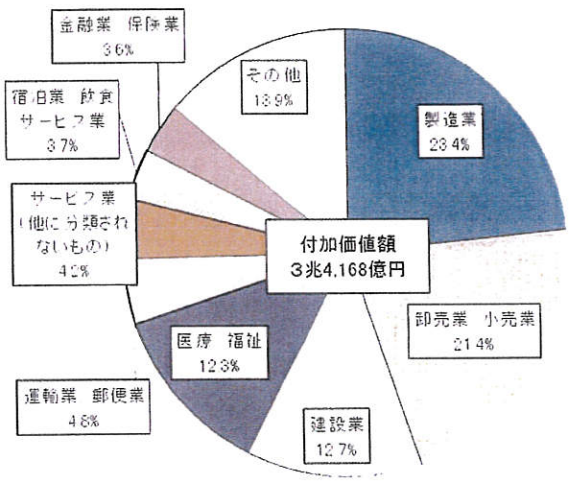
本県産業は、多様な産業集積と優れた技術を有しているが、中小企業の割合が高く、従業者１人当たりの製造品出荷額等や付加価値額は全国低位にある。また、生産年齢人口の減少に伴い、企業の人手不足感が高まっている。

県内においても景気は回復しつつあるが、長年続いた円高の影響や生産拠点の海外移転等により、産業の空洞化も懸念されるところであり、地方の中小企業は、成長が見込まれる新分野への進出を図ることが求められている。

県ではこれまでも、市場の拡大が期待される成長分野に重点を置き、高付加価値化に向けた取組を進めてきたところであるが、デフレの長期化やリーマンショック等の影響もあり、高付加価値化に向けた取組は一部企業に止まっている。

これらの課題に対応するためには、県内企業や大学など多様な主体と連携し、本県が有する強みを最大限活かしながら、国内外において市場の成長が期待される分野への参入促進を強化するとともに、ＡＩ（人工知能）、ＩｏＴ(注)、ビッグデータ等の活用により新たなビジネスの創出や生産性の向上を図り、県内産業の高付加価値化につなげていく必要がある。

● 本県企業等の付加価値額（産業大分類別）



資料：総務省・経済産業省「平成 28 年経済センサス活動調査（速報）」

● 工業の概要

	新潟県	全国シェア	全国順位	全国
事業所数	5,564所	2.7%	10位	202,410所
従業者数	180,932人	2.4%	17位	7,403,269人
製造品出荷額等	46,426億円	1.5%	23位	3,051,400億円
従業者1人当たり	2,566万円	－	44位	4,122万円
付加価値額	16,731億円	1.8%	20位	922,889億円
従業者1人当たり	925万円	－	36位	1,247万円

※ 従業者数４人以上の事業所

資料：平成 26 年工業統計調査

2　政策の展開・取組

航空機や次世代自動車などの将来性が見込まれる産業分野及び新たな成長分野への県内企業の参入促進に向けた支援に努めるとともに、ＡＩやＩｏＴ、ビッ

(注) ＩｏＴ：Internet of Things の略で、モノのインターネットと訳される。情報通信の機能を持たない機器をインターネットにつなぎ、情報通信、制御をする仕組み。

グデータなどの活用を促進することで生産性の向上を図り、本県産業の付加価値の向上を実現する。

■　県内産業の活性化や生産性向上に向けたＡＩ、ＩｏＴ、ビッグデータ等の活用促進

○　産学官の連携により、生産性の向上や人手不足への対応、革新的なサービス・製品の創出による付加価値の向上などが期待されるＡＩ、ＩｏＴ、ビッグデータ等の活用を促進し、新たなビジネスモデルへの転換を図る県内企業を創出・育成する。

○　県内企業の多くは情報や人材の不足により、ＩｏＴ等の導入が進まない状況であるため、セミナーによる情報提供や導入実証による効果検証を行うとともに、高度ＩＴに関する研修や情報発信により人材の育成を支援する。また、企業ニーズ等を踏まえながら、サービス産業や製造現場における導入を促進する。

○　成長が見込まれるＡＩ、ＩｏＴ、ロボット分野において、県内企業の参入を促進するために、Ｒ＆Ｄ（研究開発）を支援し、生産性の高いサービス産業やものづくり技術の振興を図る。

■　将来性が見込まれる産業分野への参入促進

○　航空機産業への新規参入や関連企業の集積を促進するため、県内企業との共同研究や企業間連携の推進等により、企業の技術力・品質管理能力の向上や航空機産業を担う人材の確保・育成等を支援する。

・大手重工メーカー等のニーズに対応したチタンなどの難加工材料の効率的な切削加工技術の開発や県内企業との共同研究
・大手重工メーカー等と県内企業とのマッチングの推進
・企業の技術力・品質管理能力の向上に向けた航空機関連認証（ＪＩＳＱ９１００、Ｎａｄｃａｐ）の取得支援
・中核的人材育成講座等の実施

○　次世代自動車産業への参入を促進するため、広域的な企業間連携や自動車メーカー向け展示商談会等の開催、技術開発に向けた取組等を支援する。

・東北６県及び北海道と連携した広域的な企業間連携
・自動車メーカー向け展示商談会の開催による企業間マッチング
・アドバイザー派遣、新技術・新工法の開発や試作開発等支援

○　将来的な市場拡大が見込まれる医療機器分野への販路開拓を図るため、医師等との意見交換会の実施により、医療現場ニーズを把握し、産学官連携による共同研究や技術開発につなげるとともに、医療関係者向け展示商談会への出展による商談機会の確保、県央基幹病院における医工連携に向けた取組など、医療機器の製品開発や技術開発等を支援する。

○　少子高齢化の時代においても市場の伸びが期待できる健康・医療・福祉関連分野において、産学官で連携して、県内企業の新規参入や、機能性食品・高圧加工食品などの新たな商品開発等に向けた取組を支援することにより、健康関連産業の高付加価値化を推進する。

○　技術の高度化や競争力の強化に向け、企業ニーズと大学シーズ(注)とのマッチングを図るとともに、企業や大学等による国等の競争的資金の活用を促進することで、県内企業や大学等が取り組む新規性や独自性の高い技術などのＲ＆Ｄや画期的な製品開発等を支援する。

○　国内外の社会情勢や技術革新、市場の動向等、県内産業を取り巻く環境の変化を適切に捉えつつ、企業ニーズを十分に踏まえながら、新たな成長分野への県内企業の参入に向けた支援に努める。

3　達成目標（成果指標）

指標名	現状値	中間目標値 (H32 年度)	最終目標値 (H36 年度)
成長産業分野（※）における製造業１人当たり付加価値額	936 万円 (H26 年)	995 万円	1,035 万円
情報サービス業における売上高	130,230 百万円 (H26 年)	195,440 百万円	256,180 百万円

※工業統計調査における自動車、航空機等先端技術産業分野の主要業種

4　関連する個別計画・ビジョン

・新潟県電気自動車等普及促進行動計画（H29～H32）

【産業労働観光部】

(注) 大学シーズ：大学が有する研究成果（技術、知的財産等）や人材、知見等。

審査意見への対応を記載した書類

【資料 4】

事業創造学部事業創造学科と同分野の専門学校 との教育課程比較

教育課程の比較												
開志専門職大学 事業創造学部 事業創造学科						新潟ビジネス専門学校 事業創造学科（2年制）					開志専門職大学と 既存の同分野の専門学校との違い	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	授業形態			授業科目の名称	配当年次	授業形態			開志専門職大学 事業創造学部　事業創造学科 の教育課程	専門学校の教育課程
			講義	演習	実験・実習			講義	演習	実験・実習・実技		
基礎科目											「基礎科目」について 専門職大学における基礎科目は、「生涯にわたり自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成する」という趣旨を踏まえ、本学では職業人としてのより一般的な基礎・汎用科目や生涯にわたり学び続けるためのリテラシー科目により構成している。	専門学校は、「特定職種の実務に直接必要となる知識や技術の教育」を行うこととしているため、基礎的な科目も実務に必要な知識・技術の修得が中心である。
	英語コミュニケーションⅠ	1①②		○							①日本語による文章表現や口頭表現の能力と外国語によるコミュニケーション能力及び情報活用や情報管理の能力を高める科目を配置する。	社会人として必要なコミュニケーション、話し方、伝え方の手法を学修する。
	英語コミュニケーションⅡ	1③④		○								
	英語プレゼンテーション演習Ⅰ	2①②		○								
	英語プレゼンテーション演習Ⅱ	2③④		○								
	中国語コミュニケーション	4③④		○								
	韓国語コミュニケーション	4③④		○								
	ロシア語コミュニケーション	4③④		○								
	日本語コミュニケーション	1①②		○		コミュニケーション	1前	○				
						プレゼンテーション	2前			○		
	情報リテラシー	1①		○		Web基礎	1後			○		各種ビジネスソウトウェアの活用技術の習得とともにマイクロソフトオフィススペシャリスト資格の取得を目指す。
						Word実習	1前		○			
						PowerPoint実習	1後			○		
						Excel実習	2前		○			
						Web実習	2通			○		
	現代経済学	1①②	○								②職業人として必要な職業意識や職業観と規範意識及び職業選択力や生涯学習力と現代社会に関する幅広い知識を理解する科目を配置する。	専門学校ではこのような科目設定はされない。
	現代産業論	1①②	○									
	現代企業論	1③④	○									
	現代史と国際関係論	1③④	○									
	現代の科学技術	1③④	○									
	現代実践法学	1①②	○									
	現代社会学	1③④	○									
	国際動態論	3④	○									
	キャリアデザインⅠ	1①		○								就職試験に必要な基礎知識や就職活動の実践について学修する。
	キャリアデザインⅡ	2②		○		就職実務Ⅰ	1通	○				
	キャリアデザインⅢ	3②		○		基礎演習	1通		○			
						就職実務Ⅱ	2通			○		
	ビジネスモラル	1①	○			接遇・マナー実習	2通			○		社会的マナーの修得や課外活動を通して感受性・協調性を養う。
						課外研修活動	1通			○		
						課外研修活動Ⅱ	2通		○			

職業専門科目											「職業専門科目」について 事業創造学部事業創造学科は職業専門科目において研究対象とする中心的な学問分野を「経営分野」、「マーケティング分野」、「会計分野」として、専攻に係る職業において必要とされる理論的かつ実践的な能力及び当該職業の分野全般にわたり必要な能力を育成す	専門学校教育では、 即戦力として実践力に重きを置いた教育課程となっており、2年間という限られた期間での教育課程であるため一部の基礎理論と事業創造の手法を学修することに留まっている。
	経営学の基礎	1①②	○			経営学概論	1通	○			③経営の意義や役割と企業経営の管理や組織に関する理解及び経営倫理と経営に関連する経済や法律の知識を身に付ける科目を配置する。	一般社団法人日本経営協会主催の「経営学検定」の受験学習を通して、経営学の基礎知識を学修する。
	経済学の基礎	1①②	○									
	経営戦略論	1③④	○									
	経営組織論	2①②	○									
	経営戦略策定演習	2③④		○								
	グローバル社長学	3③④	○									
	実践企業革新	4①②	○									
	実践日本ビジネス法	2③④	○									専門学校ではこのような科目設定はされない。
	不動産法入門	3①②	○									
	不動産取引演習	3③④		○								
	企業リスク管理実践	3③④	○									
	マーケティング	1①②	○			マーケティング	1前	○			④マーケティングの意義や役割についての理解とマーケティング活動を適切かつ計画的に行うための能力を身に付ける科目を配置する。	マーテティングの基本的な考え方を学修し、グローバル戦略論では世界視野に立ったマーケティングを学修る。
						グローバル戦略論	2後	○				
	デジタルマーケティング	1③④		○								
	流通論の基礎	2①②	○									
	消費者行動研究	2③④	○									
	実践的統計学	3①②	○									
	広報戦略の実践	3③④		○								
	会計学	1②	○			企業会計	1前	○			⑤会計の意義と役割や目的と分類、会計の仕組みについての理解とともに、適正な会計処理を行うための能力を身に付ける科目を配置する。	企業会計の基礎知識を学修し、会計実務実習では簿記学習を通して企業会計の実務を学修するとともに、簿記能力検定の取得を目指す。
	財務諸表論	1③	○									
	簿記概論	2①②	○									
	簿記演習	2③		○		会計実務実習	2通			○		
	財務諸表分析	3①②		○								
	資金調達の実践	3③④	○									
	ビジネスコミュニケーション	1③④	○								⑥顧客満足を実現することの重要性について理解するとともに、商品を企画・開発し、販売活動を行う能力を身に付ける科目を配置する。	専門学校ではこのような科目設定はされない。
	コミュニケーションデザイン	3①②		○								
	新規商品開発・販売実習Ⅰ	2①②			臨							
	新規商品開発・販売実習Ⅱ	3①②			臨							
	ビジネスプランの基礎	1③④	○			ビジネスプラン作成Ⅰ	1後			○		ビジネスプラン作成Ⅰでは事業計画の作成方法の修得、ビジネスプラン作成Ⅱでは事業計画作成のためのマーケットリサーチを行い、ビジネスプラン作成Ⅲでは事業計画を作成し、プレゼンテーションの技法を学修する。
						ビジネスプラン作成Ⅱ	2前			○		
						ビジネスプラン作成Ⅲ	2後			○		
	ビジネスプランの応用	2①②			○							
	アントレプレナーシップ論	1③④	○								⑦起業、事業承継、企業内起業に関する知識の理解と地域産業が果たす役割や現状と課題などに関する知識を身に付ける科目を配置する。	専門学校ではこのような科目は設定されない。
	実践ベンチャービジネス	2③④		○								
	ICT活用ビジネス	3③④		○								
	トップランナー研究	1②④		○								
	ビジネスモデル研究	2①②		○								
	イノベーションマネジメント	3①②	○									
	会社設立実習Ⅰ	2③④			○							
	会社設立実習Ⅱ	3①②			○							
	会社設立実習Ⅲ	3③④			○							
	実践事業承継	3③	○									
	事業承継演習	3④		○								
	地域経済産業論	1③④	○									
	地域産業研究Ⅰ（農林水産）	2①②		○								
	地域産業研究Ⅱ（医療福祉）	2①②		○								
	地域産業研究Ⅲ（環境）	2③④		○								
	地域産業研究Ⅳ（ものづくり）	3①②		○								
	地域産業研究Ⅴ（観光）	3③④		○								
	地域産業研究Ⅵ（ICT）	4①②		○								
	地域産業研究Ⅶ（まちづくり）	4①②		○								
	地域産業研究Ⅷ（カルチャー・エンタテイメント）	4③④		○								
	企業内実習Ⅰ	1③④			臨	異業種交流Ⅰ	1通			○	⑧経営管理、マーケティング、会計に関する知識と技術を実践的な活動を通して、総合的に応用できる能力を身に付ける科目を配置する。	校外実習により様々な業界の現状を学修する。また、ケーススタディにより実際の企業内実習により会社運営の基礎を学修する。
	企業内実習Ⅱ	2③④			臨	ケーススタディ	1通			○		
	企業内実習Ⅲ	3③④			臨							

展開科目											「展開科目」について 専門職大学における展開科目は、「専攻に係る職業の分野に関連する分野における応用的な能力であって、当該職業の分野において創造的な役割を果たすために必要なものを育成する」という趣旨を踏まえ、本学では以下の科目を設定している。	専門学校教育では 専門分野の知識・技術の習得が主たる教育となるため専攻する職業分野に関連する分野で応用力を養う科目の設定はほとんど行われない。
	デザイン・シンキング概論	2①②	○			問題解決法	2後	○			⑨地域資源を商品開発に活用するための知識や方法と高い付加価値を生み出すための問題を解決する考え方を身に付ける科目を配置する。	事業創造に活かすために、問題解決、課題解決の手法を学修する。
	ソーシャルデザインⅠ	2③④		○								
	ソーシャルデザインⅡ	3①②		○								
	ソーシャルデザイン実習	3③④			○							
	新潟と地域社会	1①②	○									専門学校ではこのような科目設定はされない。
	新潟と地域政策	1③④	○									
	地域資源活用の理論と方法	2③④	○									
	地域資源活用の事例研究	3①②		○								
	地域資源活用実習	3③④			○							
総合科目											「総合科目」について 専門職大学における総合科目は、「修得した知識及び技能等を総合し、専門性が求められる職業を担うための実践力かつ応用的な能力を総合的に向上させる」という趣旨を踏まえ、本学では以下の科目を設定している。	専門学校教育では ここまでに学修したことを総合して、地域活性に関する与えられたテーマに基づいて課題を発見し、調査・研究・企画を行い、最終的にレポートとしてまとめるまでを学修することに留まり、自己で研究テーマを設定することが無いため、実践力かつ応用力を向上させることまでに至っていない。
	事業計画策定総合実習	4通			○	卒業研究	2通			○	⑩地域資源を活用した新商品や新サービスの企画・開発に関する体験を通し、講義や演習で得た知識と技術の総合化を図る科目を配置する。	
						クリエイティブ実習	2通			○		

事業創造学部事業創造学科と同分野の専門学校 との教育課程の違い

専門学校は、「特定職種の実務に直接必要となる知識や技術の修得」を行う教育機関であるため、上記の教育課程でもわかるように、専門分野の研究活動は行わないため理論科目も実際の技術修得に必要な最低限の理論科目のみが設定されている。また、2年間という短い期間でもあるため、実務に必要な知識や技術は、その学修時点の知識や技術に留まっていることで、その後の発展性は低いと考えられる。
また、応用力を養うための教育課程とはなっていないため、企業の中では中核的な存在となるためには更なる経験と知識や技術の修得が必要となる。

本学事業創造学部事業創造学科では、基礎科目において「生涯にわたり自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力」を育成し、職業専門科目により「事業の創造や諸活動において必要とされる理論的かつ実践的な能力及び事業の創造や諸活動に係る職業分野全般に精通する」ために、理論科目、演習科目、実習科目を体系的に学修する。さらに展開科目により、事業の創造や諸活動において創造的な役割を担うとともに、地域産業の新たな価値の創造と発展を担うための能力」を養うことができるような教育課程となっている。

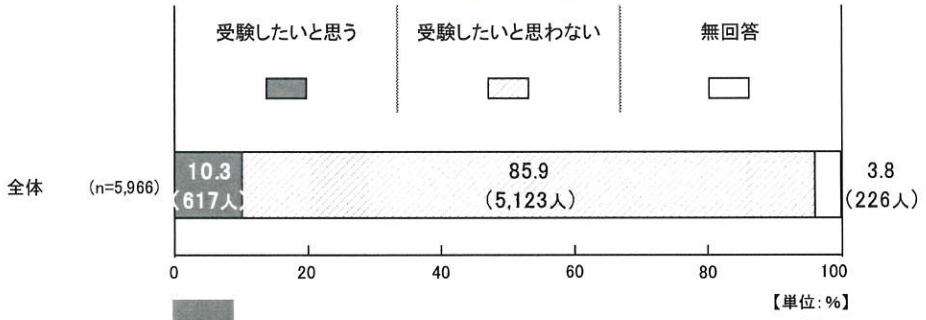
審査意見への対応を記載した書類

【資料 5】

開志専門職大学への受験意向／各学部・学科への入学意向

■開志専門職大学への受験意向

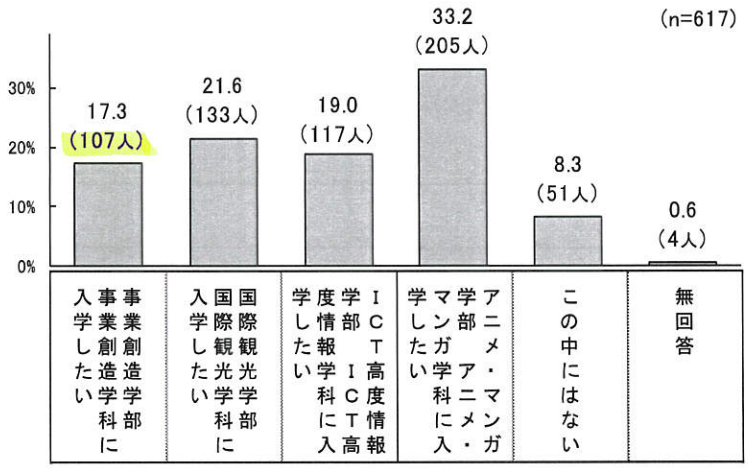
Q5. あなたは、開志専門職大学（仮称）の
いずれかの学部（事業創造学部、国際観光学部、ICT高度情報学部、アニメ・マンガ学部）を受験したいと思いますか。
あなたの気持ちに近い方をお選びください。（1つだけ選択）



「受験したいと思う」と答えた617人のみ抽出

■各学部・学科への入学意向

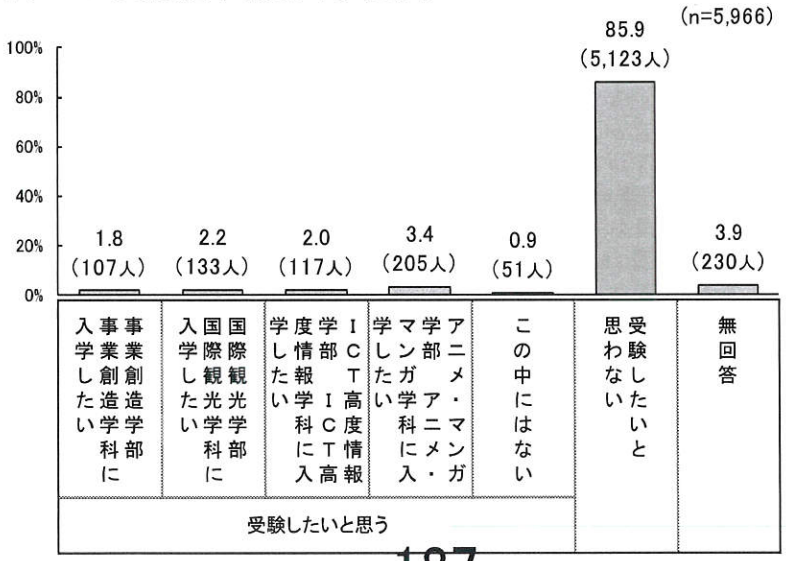
Q6. あなたは、開志専門職大学（仮称）を受験して合格したら、どの学部・学科に入学したいと思いますか。
あなたの気持ちに一番近いものをお選びください。（1つだけ選択）



※ Q5で「受験したいと思う」と答えた617人の回答

「受験意向（Q5）」と「入学意向（Q6）」をかけあわせて集計（母数は全回答者）

■各学部・学科への受験意向別入学意向



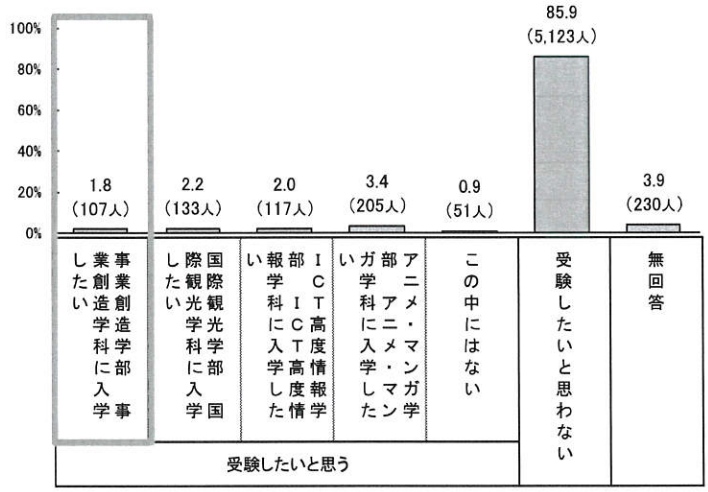
資料5-1

＜属性別＞

■「事業創造学部 事業創造学科」への受験意向別入学意向

Q5. あなたは、開志専門職大学（仮称）の
いずれかの学部（事業創造学部、国際観光学部、ICT高度情報学部、アニメ・マンガ学部）を受験したいと思いますか。
あなたの気持ちに近い方をお選びください。（1つだけ選択）

（n=5,966）



＜属性別＞

			事業創造学部 事業創造学科 入学意向者数（※）
全体		(n=5,966) 1.8	107人
性別	男性	(n=3,057) 2.5	77人
	女性	(n=2,806) 1.0	29人
高校所在地別	新潟県	(n=5,564) 1.9	105人
	山形県	(n=80) 1.3	1人
	福島県	(n=52) 0.0	0人
	富山県	(n=159) 0.6	1人
	長野県	(n=111) 0.0	0人
高校進路区分別	超進学校・進学校	(n=672) 1.0	7人
	中堅校	(n=2,857) 1.5	43人
	多様校	(n=2,355) 1.7	41人
高校卒業後の希望進路別	国公立大学に進学	(n=1,911) 2.1	40人
	私立大学に進学	(n=1,711) 3.0	52人
	短期大学に進学	(n=557) 2.9	16人
	専門職大学に進学	(n=343) 3.8	13人
	専門学校・専修学校に進学	(n=1,612) 1.7	28人
	就職	(n=1,236) 1.5	19人
興味のある学問系統別	経済・経営・商学	(n=892) 5.3	47人
	社会学（観光学などを含む）	(n=448) 3.8	17人
	国際関係学	(n=423) 1.9	8人
	芸術学（アニメ、マンガなどを含む）	(n=795) 1.3	10人
	文学	(n=491) 2.0	10人
	語学	(n=407) 1.7	7人
	法学	(n=334) 4.2	14人
	教員養成・教育学	(n=715) 2.0	14人
	生活科学	(n=276) 2.5	7人
	理学（情報科学などを含む）	(n=457) 1.5	7人
	工学	(n=700) 2.1	15人
	看護・保健学	(n=868) 1.0	9人
	医・歯・薬学	(n=477) 1.5	7人
	農・水産学	(n=305) 1.6	5人

0 20 40 60 80 100

【単位：%】

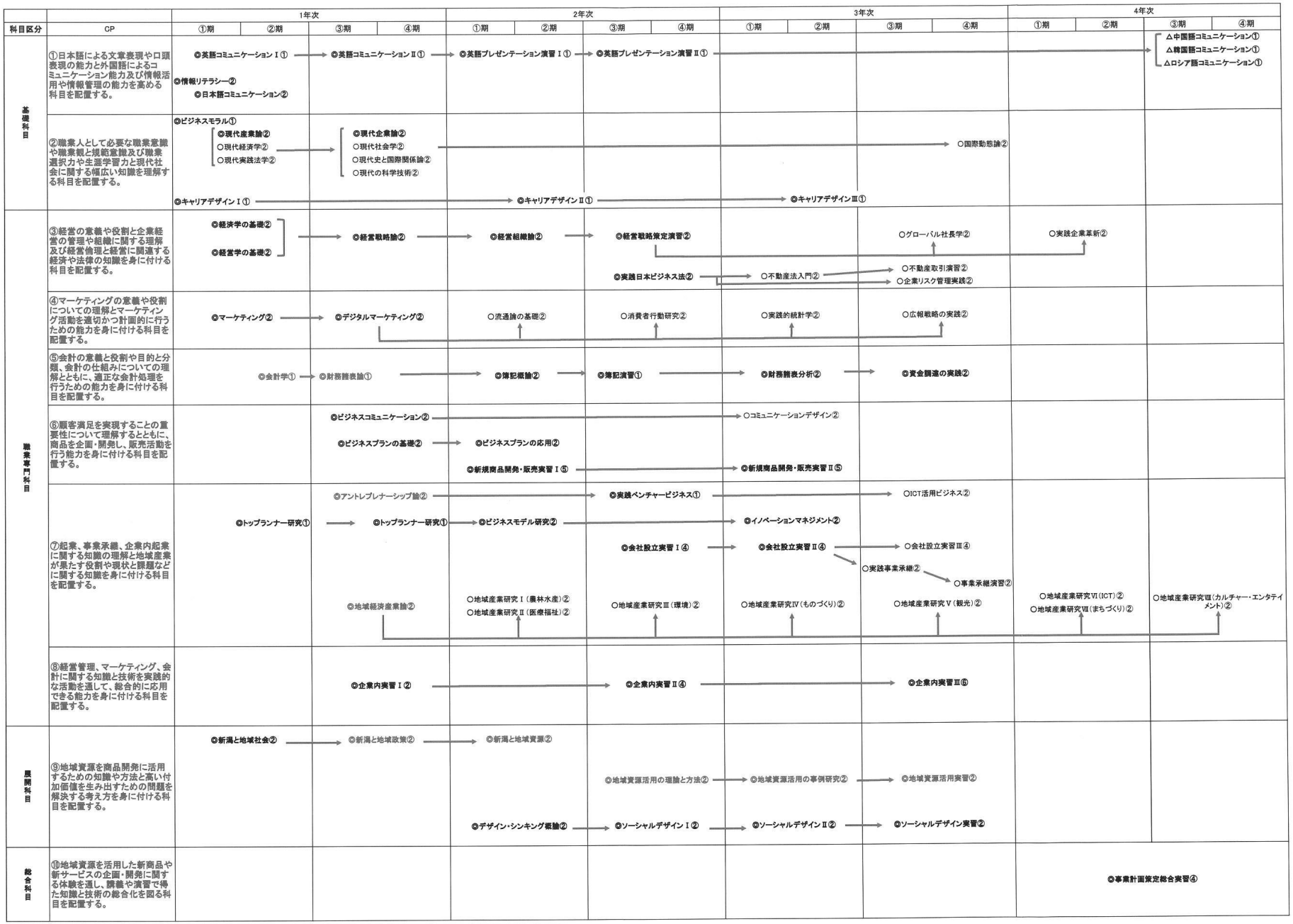
※入学意向者数＝「事業創造学部」「国際観光学部」「ICT高度情報学部」「アニメ・マンガ学部」のいずれかを「受験したいと思う」
かつ「事業創造学部 事業創造学科に入学したい」と回答した人の人数

審査意見への対応を記載した書類

【資料 6】

事業創造学部 事業創造学科 カリキュラム体系図

※科目名称の囲み数値は単位数（例:②は2単位科目）
◎: 必修科目　○: 選択科目　△:自由科目



191

資料6

審査意見への対応を記載した書類

【資料 7】

事業創造学部事業創造学科履修モデル（起業家）

◎:必修科目　○:選択科目　△:自由科目

		1年次				2年次				3年次				4年次			
		前期①②		後期③④		前期①②		後期③④		前期①②		後期③④		前期①②		後期③④	
		授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
基礎科目	必修16単位 選択4単位以上	◎ 英語コミュニケーション 1 ◎ 情報リテラシー 2 ◎ 日本語コミュニケーション 2 ◎ 現代産業論 2 ○ 現代実践法学 2 ◎ キャリアデザインⅠ 1 ◎ ビジネスモラル 1		◎ 英語コミュニケーション 1 ◎ 現代企業論 2 ○ 現代史と国際関係論 2		◎ 英語プレゼンテーション演習Ⅰ 1 ◎ キャリアデザインⅡ 1		◎ 英語プレゼンテーション演習Ⅱ 1		◎ キャリアデザインⅢ 1							
職業専門科目	必修72単位 選択8単位以上	◎ 経済学の基礎 2 ◎ 経営学の基礎 2 ◎ マーケティング 2 ◎ 会計学 1 ◎ トップランナー研究 1		◎ 経営戦略論 2 ◎ デジタルマーケティング 2 ◎ 財務諸表論 1 ◎アントレプレナーシップ論 2 ◎ トップランナー研究 1 ◎ ビジネスコミュニケーション 2 ◎ ビジネスプランの基礎 2 ◎ 地域経済産業論 2 ◎ 企業内実習Ⅰ 2		◎ 経営組織論 2 ◎ 簿記概論 2 ◎ ビジネスモデル研究 2 ◎ ビジネスプランの応用 2 ◎ 新規商品開発・販売実習Ⅰ 5		◎ 経営戦略策定演習 2 ◎ 簿記演習 1 ◎ 実践日本ビジネス法 2 ◎ 実践ベンチャービジネス 1 ◎ 会社設立実習Ⅰ 4 ◎ 企業内実習Ⅱ 4		◎ イノベーションマネジメント 2 ◎ 財務諸表分析 2 ◎ 会社設立実習Ⅱ 4 ○ 地域産業研究Ⅳものづくり 2 ◎ 新規商品開発・販売実習Ⅱ 5		○グローバル社長学 2 ◎ 資金調達の実践 2 ○企業リスク管理実践 2 ◎ 企業内実習Ⅲ 6		○地域産業研究Ⅶまちづくり 2	
展開科目	必修20単位	◎ 新潟と地域社会 2		◎ 新潟と地域政策 2		◎ デザイン・シンキング概論 2 ◎ 新潟と地域政策 2		◎ ソーシャルデザインⅠ 2 ◎ 地域資源活用の理論と方法 2		◎ ソーシャルデザインⅡ 2 ◎ 地域資源活用の事例研究 2		◎ ソーシャルデザイン実習 2 ◎ 地域資源活用実習 2					
総合科目	必修4単位													◎事業計画策定総合実習	4		
		学期修得単位数 計	21	1年次修得単位数 計	23		19	2年次修得単位数 計	19		20	3年次修得単位数 計	16		2	4年次修得単位数 計	4

<卒業要件>
基礎　20単位以上
職業専門　80単位以上
展開　20単位以上
総合　4単位

本モデルの修得単位数 合計 124

資料7-1

事業創造学部事業創造学科履修モデル（企業内起業家）

◎:必修科目　○:選択科目　△:自由科目

		1年次				2年次				3年次				4年次			
		前期①②		後期③④		前期①②		後期③④		前期①②		後期③④		前期①②		後期③④	
		授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
基礎科目	必修16単位 選択4単位以上	◎ 英語コミュニケーション	1	◎ 英語コミュニケーション	1	◎ 英語プレゼンテーション演習Ⅰ	1	◎ 英語プレゼンテーション演習Ⅱ	1								
		◎ 情報リテラシー	2														
		◎ 日本語コミュニケーション	2														
		◎ 現代産業論	2	◎ 現代企業論	2												
		○ 現代実践法学	2	○ 現代社会学	2												
		◎ キャリアデザインⅠ	1														
		◎ ビジネスモラル	1														
						◎ キャリアデザインⅡ	1			◎ キャリアデザインⅢ	1						
職業専門科目	必修72単位 選択8単位以上	◎ 経済学の基礎	2	◎ 経営戦略論	2	◎ 経営組織論	2	◎ 経営戦略策定演習	2	◎ イノベーションマネジメント	2						
		◎ 経営学の基礎	2														
		◎ マーケティング	2	◎ デジタルマーケティング	2												
		◎ 会計学	1	◎ 財務諸表論	1	◎ 簿記概論	2	◎ 簿記演習	1	◎ 財務諸表分析	2	◎ 資金調達の実践	2				
								◎ 実践日本ビジネス法	2								
				◎アントレプレナーシップ論	2			◎ 実践ベンチャービジネス	1								
		◎ トップランナー研究	1	◎ トップランナー研究	1	◎ ビジネスモデル研究	2										
				◎ ビジネスコミュニケーション	2												
				◎ ビジネスプランの基礎	2	◎ ビジネスプランの応用	2	◎ 会社設立実習Ⅰ	4	◎ 会社設立実習Ⅱ	4	○ 会社設立実習Ⅲ	4				
				◎ 地域経済産業論	2	○ 地域産業研究Ⅰ（農林水産）	2					○ 地域産業研究Ⅴ（観光）	2				
				◎ 企業内実習Ⅰ	2			◎ 企業内実習Ⅱ	4			◎ 企業内実習Ⅲ	6				
						◎ 新規商品開発・販売実習Ⅰ	5			◎ 新規商品開発・販売実習Ⅱ	5						
展開科目	必修20単位	◎ 新潟と地域社会	2	◎ 新潟と地域政策	2	◎ デザイン・シンキング概論	2	◎ ソーシャルデザインⅠ	2	◎ ソーシャルデザインⅡ	2	◎ ソーシャルデザイン実習	2				
						◎ 新潟と地域政策	2	◎ 地域資源活用の理論と方法	2	◎ 地域資源活用の事例研究	2	◎ 地域資源活用実習	2				
総合科目	必修4単位													◎事業計画策定総合実習	4		
		学期修得単位数 計	21		23		21		19		18		18		0		4
				1年次修得単位数 計	44			2年次修得単位数 計	40			3年次修得単位数 計	36			4年次修得単位数 計	4

＜卒業要件＞
基礎　20単位以上
職業専門　80単位以上
展開　20単位以上
総合　4単位

本モデルの修得単位数 合計 124

事業創造学部事業創造学科履修モデル（事業承継）

◎:必修科目　○:選択科目　△:自由科目

		1年次				2年次				3年次				4年次			
		前期①②		後期③④		前期①②		後期③④		前期①②		後期③④		前期①②		後期③④	
		授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
基礎科目	必修16単位 選択4単位以上	◎ 英語コミュニケーション 1 ◎ 情報リテラシー 2 ◎ 日本語コミュニケーション 2 ◎ 現代産業論 2 ○ 現代実践法学 2 ◎ キャリアデザインⅠ 1 ◎ ビジネスモラル 1		◎ 英語コミュニケーション 1 ◎ 現代企業論 2 ○ 現代の科学技術 2		◎ 英語プレゼンテーション演習Ⅰ 1 ◎ キャリアデザインⅡ 1		◎ 英語プレゼンテーション演習Ⅱ 1		◎ キャリアデザインⅢ 1							
職業専門科目	必修72単位 選択8単位以上	◎ 経済学の基礎 2 ◎ 経営学の基礎 2 ◎ マーケティング 2 ◎ 会計学 1 ◎ トップランナー研究 1		◎ 経営戦略論 2 ◎ デジタルマーケティング 2 ◎ 財務諸表論 1 ◎アントレプレナーシップ論 2 ◎ トップランナー研究 1 ◎ ビジネスコミュニケーション 2 ◎ ビジネスプランの基礎 2 ◎ 地域経済産業論 2 ◎ 企業内実習Ⅰ 2		◎ 経営組織論 2 ◎ 簿記概論 2 ◎ ビジネスモデル研究 2 ◎ ビジネスプランの応用 2 ○ 地域産業研究Ⅱ（医療福祉） 2 ◎ 新規商品開発・販売実習Ⅰ 5		◎ 経営戦略策定演習 2 ◎ 簿記演習 1 ◎ 実践日本ビジネス法 2 ◎ 実践ベンチャービジネス 1 ◎ 会社設立実習Ⅰ 4 ◎ 企業内実習Ⅱ 4		◎ イノベーションマネジメント 2 ◎ 財務諸表分析 2 ◎ 会社設立実習Ⅱ 4 ○ 地域産業研究Ⅰ（ものづくり） 2 ◎ 新規商品開発・販売実習Ⅱ 5		◎ 資金調達の実践 2 ○ 実践事業承継 2 ○ 事業承継演習 2 ◎ 企業内実習Ⅲ 6			
展開科目	必修20単位	◎ 新潟と地域社会 2		◎ 新潟と地域政策 2		◎ デザイン・シンキング概論 2 ◎ 新潟と地域政策 2		◎ ソーシャルデザインⅠ 2 ◎ 地域資源活用の理論と方法 2		◎ ソーシャルデザインⅡ 2 ◎ 地域資源活用の事例研究 2		◎ ソーシャルデザイン実習 2 ◎ 地域資源活用実習 2					
総合科目	必修4単位													◎事業計画策定総合実習	4		
		学期修得単位数 計	21		23		21		19		20		16		0		4
				1年次修得単位数 計 44				2年次修得単位数 計 40				3年次修得単位数 計 36				4年次修得単位数 計 4	

<卒業要件>
基礎　20単位以上
職業専門　80単位以上
展開　20単位以上
総合　4単位

本モデルの修得単位数 合計 124

197

資料7-3

審査意見への対応を記載した書類

【資料 8】

審査意見への対応を記載した書類

【資料 8-①】

授業科目　イノベーションマネジメント

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	事業創造学科
近藤　正幸	開講時期	①・②	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

イノベーションとは生産技術の変化だけでなく、新市場や新製品の開発、新資源の獲得、生産組織の改革あるいは新制度の導入なども含む概念とされていることについて理解したうえで、イノベーションの必要性の理解と、イノベーションをマネジメントする上で必要な知見の修得を目指して、オープンイノベーションを含め、企業の研究開発、技術開発及び上市・普及に関する知識やマネジメントの方法を学修する。さらに、イノベーションマネジメントに大きく影響する国・地域のイノベーションシステムやイノベーション政策について学修する。

【学習目標】

1．イノベーションの種類・創出プロセスを理解する。
2．国・地域のイノベーションシステムとイノベーションの創出について理解する。
3．イノベーションをマネジメントする方法について理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	イノベーションマネジメントとは	1	講義
2	企業業績を上げる研究開発マネジメント	3	講義
3	企業業績を上げる生産と生産技術のマネジメント	3	講義
4	産業レベルで見た研究開発投資の成果	3	講義
5	研究開発を効果的に推進する研究開発評価	3	講義
6	技術成果を価値にする知的財産権、標準	2	講義
7	イノベーションで地域を活性化する地域イノベーション	2	講義
8	日本のナショナル・イノベーション・システムとオープン・イノベーションとしての産学官連携	2・3	講義
9	ベンチャー・クラスターと日本の大学発ベンチャー	2・3	講義
10	外国のナショナル・イノベーション・システムと産学官連携(アメリカ、ドイツ)	2	講義
11	外国のナショナル・イノベーション・システムと産学官連携(中国)	2	講義
12	イノベーション政策の日本の歴史(戦前)	2	講義
13	イノベーション政策の日本の歴史(戦後)	2	講義
14	海外の頭脳を活用する日本企業のグローバルイノベーション	3	講義
15	成功する海外研究開発マネジメント	3	講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	なし			
参考書	イノベーション・マネジメント入門 イノベーション・マネジメント	一橋イノベーション研究センター編 近能善範他	日本経済新聞出版社 新世社	2017年 2011年
その他の資料	事前に講義資料を配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料などを事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
筆記試験(30%)、レポート(60%)、受講態度(10%)により評価する。

【履修上の留意点】
履修条件：経営学の基礎、経済学の基礎、経営戦略論、経営組織論、経営戦略策定演習の単位を修得済みの者

授業科目　地域産業研究Ⅶ（まちづくり）

【担当教員名】	対象学年	4	対象学科	事業創造学科
西村　伸也	開講時期	①・②	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

まちづくりの概念や意義とまちづくりにおける国や地方公共団体が担う役割、地域の魅力を高めるためのまちづくりの在り方や最新の動向について概説したうえで、新潟県におけるまちづくりの動向や現状と課題について、まちづくりに関する具体的な事例の考察を通して理解する。また、まちづくりに役立つ資源についての調査や分析を行い、社会資本の整備を通じた快適で魅力あるまちづくりのためのアイデアの考案や方策について考える。

【学習目標】

1. 都市を観察・理解し、自ら地域の問題点を発見することができる。
2. 当該地域に必要とされる建築、空間、仕組み、活動等を提案することができる。
3. 問題点の解決策を地域の再生計画として提案・実践することができる。
4. グループの協働で成果をまとめあげることができる。
5. 人の意見を聞き取り、理解し、修正案を検討することができる。
6. 自らの意思をわかりやすく伝えることができる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス　まちづくりの概念とその意義	1～6	講義
2	まちづくりの実例と課題	1	講義
3	対象地域とその周辺地域の基礎的な情報収集	1・2	講義
4	対象地域の現況調査	1・2	講義
5	周辺地域の現況調査	1・2	講義
6	調査分析のまとめ・プレゼンテーション	3・4・5・6	講義
7	対象地域の空間・環境としての問題点の発見	1・2・3	演習
8	対象地域の利用者の使い方の問題点の発見	1・2・3	演習
9	まちづくりのデザインスタディーⅠ（日本の事例から）	1・2・3	演習
10	まちづくり計画案の作成とエスキース	1・2・3・4	演習
11	まちづくり計画案の中間発表	3・4・5・6	演習
12	まちづくりのデザインスタディーⅡ（世界の事例から）	1・2・3	演習
13	まちづくりの実施に向けた検討	4・5・6	演習
14	まちづくり計画案のエスキース	4・5・6	演習
15	まちづくり計画の発表	3・4・5・6	演習

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	環境とデザイン	高橋鷹志・長澤泰・西村伸也	朝倉書店	2008年
その他の資料	毎回講義レジメを配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料などを事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
成績は「講義参加状況（40%）」「中間発表（30%）」「発表（30%）」によって評価する。

【履修上の留意点】
履修条件：地域経済産業論の単位を修得済みの者

授業科目　流通論の基礎

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	事業創造学科
徳田　賢二	開講時期	①・②	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

経済の基本は生産と消費であり、高度に分業化されている現代社会では、生産と消費を結びつける流通が不可欠であることについて解説する。そのうえで、流通というものの全体像を把握し、実際に起きている出来事を流通論の視点から分析できるようにすることから、生産から小売業までの消費プロセスの中で流通を捉え、商業の概念、商業構造の変化、製造業者と商業の関係について、マーケティングの理論と関連させて学修する。また、実際の小売業の事例を基に、小売業に必要な理論や課題等を考察する。

【学習目標】

1．流通や商業に関する基本概念を理解し、自ら説明することができる。
2．商品流通の仕組みを理解し、流通業者の機能や役割分担を評価することができる。
3．流通政策と外部環境の変化による商品流通への影響および流通業界の構造変化について説明することができる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	ガイダンス(流通、商業とは何か？)	1・2・3	講義
2	流通、商業の歴史的展開	1	講義
3	経済における流通の役割	1	講義
4	生産者主権と消費者主権	1	講義
5	個人消費と流通構造の変化	2	講義
6	進む流通業の革新	2	講義
7	現代流通の業態研究　その１（コンビニエンスストア）	3	講義
8	現代流通の業態研究　その２（ネット通販、商店街）	3	講義
9	現代流通の業態研究　その３（スーパー、量販店）	3	講義
10	流通企業の経営革新　その１（マーチャンダイジング力）	3	講義
11	流通企業の経営革新　その２（マーケティング、商品開発）	3	講義
12	現代物流（サプライチェーンマネジメント）	2	講義
13	消費者動向と商業立地	2	講義
14	地域経済への波及効果	2	講義
15	まとめ(流通の将来像)	1・2・3	講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	現代流通	矢作敏行	有斐閣	1996年
参考書	流通経済入門	徳田賢二	日本経済新聞社	1997年
その他の資料	毎回講義レジメを配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
定期試験100%

【履修上の留意点】
毎回の予習・復習をする。疑問点は質問をする。履修条件：マーケティング、デジタルマーケティングの単位を修得済みの者

授業科目　財務諸表論

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	事業創造学科
平田　沙織	開講時期	③	必修･選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【概要】

一般に、会計は、企業の経済活動または経済事象を貨幣数値により計算報告する技術であると定義されるが、そのうち企業の利害関係者のための外部報告会計を特に「財務会計」とよぶ。したがって、財務会計の目的は、企業の利害関係者が企業について知りたい内容を的確に知らせることである。本講義は、企業が財務諸表をはじめとする会計情報を作成するに際して準拠する会社法、金融商品取引法などの会計諸規定、さらには国際会計基準（財務報告基準）をもとに、企業活動の成果の認識、測定及び開示に関する問題点を含めて講義し、財務諸表における基本概念や数値の意味の理解をその到達目標とする。

【学習目標】

1．組織の運営メカニズムについての基本的な知識を習得できる。
2．組織管理に関する諸知識に基づいて、組織を実際に効果的にマネジメントする能力を身に付けることができる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	イントロダクション 現代会計のフレームワーク	1	授業の進め方、成績評価の確認とテキスト、参考文献の説明 会計が行われる企業や会計の基礎的前提、概念の紹介
2	会計制度 会計理論と企業簿記	1	現行の日本の会計制度（企業会計原則、企業会計基準、国際会計基準、法人税法会計や会社法会計の概要の紹介）財務諸表の基本構造、認識と測定、期間損益計算の基本原則（会計学と商業簿記の関係について）
3	複式簿記原理 簿記一巡の手続き（1）	1	簿記原理や財務諸表、勘定科目の紹介 取引と勘定、計算問題の演習
4	簿記一巡の手続き（2）貸借対照表（1）	1.2	仕訳と転記 資産の勘定科目
5	貸借対照表（2） 貸借対照表（3）	2	負債の勘定科目　純資産の勘定科目、株主資本変動計算書の基本構造
6	損益計算書（1）損益計算書（2）	2	収益の勘定科目 費用の勘定科目
7	連結財務諸表 財務諸表分析（1）	2	連結財務諸表の仕組み、会計情報の読み方、連結キャッシュ・フロー計算書の基本構造 財務諸表分析手法（分析視点、分析方法などの指標）
8	財務諸表分析（2）	3	投資関連のディスクロージャー（企業のＩＲ情報の分析）、まとめ

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	組織論［補訂版］	桑田耕太郎・田尾雅夫	有斐閣	2010年・2268円
その他の資料	なし			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
授業中における演習課題：50%
定期試験（筆記試験）：50%

【履修上の留意点】
なし　履修条件：経営学の基礎、経済学の基礎、経営戦略論の単位を修得済みの者

授業科目　経営戦略論

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	事業創造学科
星和樹	開講時期	③・④	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

事業体が経営目的を達成できるようにするための方策である経営戦略の本質と特徴及び経営実践の場面における経営戦略の実際や課題について概説したうえで、事業構造の組立てに関する全社的な戦略と個々の事業の競争力を高める事業戦略などの戦略レベルから、複数の事業分野に進出して経営資源の有効活用とリスクの分散をはかる多角化戦略、広い販売市場などを求めて他国に事業展開する国際化戦略、既存市場のすきまにある未開拓の市場へ進出するすきま戦略など、具体的な戦略について理解する。

【学習目標】

1．経営戦略の策定に必要な諸理論を習得できる。
2．将来、経営者や経営戦略を担うコーポレート・スタッフとして仕事をしていくために必要な基礎的考え方を身に付けることができる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス（経営戦略の必要性）	1・2	講義
2	組織と環境	1	講義
3	経営戦略の概念	1	講義
4	経営戦略とSWOT分析	1	講義
5	経営戦略のレベル	1	講義
6	戦略的提携	1	講義
7	多角化戦略	1	講義
8	グローバル戦略	2	講義
9	全社戦略に関わる事例研究	2	講義
10	ポジショニングの戦略①：5フォース	2	講義
11	ポジショニングの戦略②：3つの競争戦略	2	講義
12	資源・能力ベースの戦略	2	講義
13	ブルー・オーシャン戦略	2	講義
14	競争戦略に関わる事例研究	2	講義
15	まとめ（経営戦略策定に必要な諸理論及びその基本的考え方について）	1・2	講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	経営戦略：論理性・創造性・社会性の追求（第3版）	大滝精一・金井一頼・山田英夫・岩田智	有斐閣	2016年
その他の資料	なし			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料などを事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
授業中における演習課題：50%
定期試験（筆記試験）：50%

【履修上の留意点】
履修条件：経営学の基礎、経済学の基礎の単位を修得済みの者

授業科目　ビジネスモデル研究

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	事業創造学科
星和樹	開講時期	①・②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

現在、日本企業は「成長の伸びしろの縮小」と「収益モデルの陳腐化」という構造的な問題に対し、どのような打ち手を講じるのかということが本質的な命題となっていることについて解説する。そのうえで、バリューチェーンの立ち位置や顧客接点に着目し、起業家・後継者・社内ベンチャーや、グローバル化の成功事例を考察するとともに、起業の成功のための核となる様々なビジネスモデルを取り上げ、具体的な事例・ケーススタディの演習を通じて、経営知識・理論の修得に向けた学修をする。

【学習目標】

1．現代企業のビジネスモデルに関する事例分析を基に、その成功要因や失敗要因を論理的に理解することができる。
2．企業のビジネスモデルについての洞察力を持ち、それを実際にマネジメントできる能力を身に付けることができる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス（企業のビジネスモデルを研究する意味）	1・2	講義・演習
2	事例研究の方法	1・2	講義・演習
3	インターネット商品販売店の顧客主義	1・2	講義・演習
4	全国チェーン展開書店のマーケティング	1・2	講義・演習
5	LCCの戦略	1・2	講義・演習
6	地元密着型企業のビジネスモデル	1・2	講義・演習
7	アパレル小売店のローコストオペレーションの仕組み	1・2	講義・演習
8	アパレル小売店の物流革命と海外戦略	1・2	講義・演習
9	コンビニエンスストアのニッチ戦略	1・2	講義・演習
10	大手レストランチェーンの差別化戦略	1・2	講義・演習
11	飲食業の差異的オペレーション	1・2	講義・演習
12	製造業のイノベーション	1・2	講義・演習
13	スーパーマーケットのポジショニング戦略	1・2	講義・演習
14	テーマパーク産業の経験価値マーケティング	1・2	講義・演習
15	まとめ（ビジネスモデルの論理的理解とそのマネジメントについて）	1・2	講義・演習

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	毎回講義レジメを配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料などを事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
授業中における演習課題：50%
定期試験（筆記試験）：50%

【履修上の留意点】
履修条件：トップランナー研究の単位を修得済みの者

授業科目　経営組織論

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	事業創造学科
星和樹	開講時期	①・②	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】
経営組織とは、企業の活動をになう人的集合体であり、目標達成のために分業と協働のシステムを形成していることについて理解するとともに、組織目的を効率よく達成するために必要となる基本的な概念や理論を学修し、その仕組みづくりや変化に対応する方法を学修する。また、組織において、組織人がどのような点に留意し、どのように行動しなければならないのかを学修し、人と組織、さらに、オープン・イノベーションやサプライチェーン・マネジメントでも重要な組織間関係に関する問題解決能力とは何かを学修する。

【学習目標】
1．組織の運営メカニズムについての基本的な知識を習得できる。
2．組織管理に関する諸知識に基づいて、組織を実際に効果的にマネジメントする能力を身に付けることができる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	ガイダンス（組織マネジメントを研究する意味）	1・2	講義
2	組織の定義と意思決定	1・2	講義
3	組織均衡と組織の存続	1・2	講義
4	オープンシステムとしての組織と戦略的選択	1・2	講義
5	環境不確実性と組織の情報処理	1・2	講義
6	組織構造と組織デザイン	1・2	講義
7	組織間関係	1・2	講義
8	現代の組織マネジメントに関する事例研究	1・2	講義
9	モチベーションとリーダーシップ	1・2	講義
10	コンフリクト	1・2	講義
11	組織文化	1・2	講義
12	組織の発展過程と戦略的組織変革	1・2	講義
13	組織学習と組織的知識創造	1・2	講義
14	組織イノベーションに関する事例研究	1・2	講義
15	まとめ(基本的な知識と効果的なマネジメントについて)	1・2	講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	組織論［補訂版］	桑田耕太郎・田尾雅夫	有斐閣	2010年・2268円
その他の資料	なし			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
授業中における演習課題：50%
定期試験（筆記試験）：50%

【履修上の留意点】
なし　履修条件：経営学の基礎、経済学の基礎、経営戦略論の単位を修得済みの者

授業科目　経営戦略策定演習

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	事業創造学科
星　和樹	開講時期	③・④	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

事業体が経営目的を達成できるようにするための全体の活動の方向付けや方向付けられた活動を実践するための体制づくりについて概説したうで、事業体が有する経営資源は有限であることや経営戦略に従って選択的に配分することの重要性について理解する。そのうえで、経営基盤の強化や経営改革等を図るためのより実効性のある経営戦略を策定・遂行・評価するプロセスにおける理論的フレームワークを現実に適用することについて、具体的な事例を取り上げながら、実践的な側面から学修する。

【学習目標】

1．経営戦略の策定に必要な理論フレームワークおよびスキルを習得できる。
2．将来、経営者や経営戦略を担うコーポレート・スタッフとして仕事をしていくために必要な能力を身につけることができる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	ガイダンス(経営戦略と経営環境マネジメント)	1・2	講義・演習
2	全社戦略と事業戦略	1・2	講義・演習
3	外部・内部要因分析：SWOT分析	1・2	講義・演習
4	SWOT分析に関わるグループワーク	1・2	講義・演習
5	業界の構造分析（5フォース・モデル）	1・2	講義・演習
6	5フォース・モデルに関わるグループワーク	1・2	講義・演習
7	3つの基本戦略①：コストリーダーシップ戦略	1・2	講義・演習
8	3つの基本戦略②：差別化戦略	1・2	講義・演習
9	3つの基本戦略③：集中戦略	1・2	講義・演習
10	3つの基本戦略に関わるグループワーク	1・2	講義・演習
11	製品ポートフォリオ・マネジメント	1・2	講義・演習
12	VRIOフレームワーク	1・2	講義・演習
13	戦略の活動フィットモデルと戦略ストーリー	1・2	講義・演習
14	経営戦略策定に関わるグループワーク	1・2	講義・演習
15	まとめ(理論フレームワーク及びその適用について)	1・2	講義・演習

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	毎回講義レジメを配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料などを事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
授業中における演習課題：50%
定期試験（筆記試験）：50%

【履修上の留意点】
履修条件：経営学の基礎、経済学の基礎、経営戦略論、経営組織論の単位を修得済みの者

授業科目　不動産法入門

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	事業創造学科
石川　秀才	開講時期	①・②	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

活力あるビジネスを実現するための重要な要素となる不動産取引について、その不動産取引の実践上で必要な法律の知識を修得するとともに、初歩的な法令の調べ方、司法制度などを学修する。併せて、不動産を知る上で重要な法の概念を学修することにより、その後法律系専門科目を理解する上での初歩的知識の修得を目指す。具体的な目標として、法律学習の入門としての知識を学修するとともに、不動産法の種類や構成、その内容や問題点の把握を通じて不動産法の全体像の理解を目指す。

【学習目標】

1．法律の構造、法令等の調べ方、司法制度等を理解することができる。
2．不動産法の基礎的概念を理解することができる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	ガイダンス（不動産法を理解することの必要性について）	1	講義
2	法源・法の分類・法の分類	1	講義
3	法の適用と解釈	1	講義
4	法令の読み方	1	講義
5	憲法と財産法	1	講義
6	不動産の概念と所有権	2	講義
7	不動産の利用と契約総論	2	講義
8	不動産取引	2	講義
9	マンション法	2	講義
10	借地借家法	2	講義
11	相続と信託	2	講義
12	裁判制度・裁判官、検察官、弁護士	2	講義
13	不動産紛争と破産・競売のしくみ	2	講義
14	判例の調べ方・判例を読む	1・2	講義
15	まとめ・不動産法とは何か	1・2	講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	ポケット六法			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料などを事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
各回において担当教員が小テストを実施（42%）、期末試験（58%）の合計点で評価する。

【履修上の留意点】
履修条件：実践日本ビジネス法の単位を修得済みの者

授業科目　不動産取引演習

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	事業創造学科
石川　秀才	開講時期	③・④	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

「不動産法入門」の履修生を対象に、不動産取引を行うための基礎知識と実践力を養成する。具体的には、宅地建物取引業法、土地および建物についての権利及び権利の変動に関する法令（民法、借地借家法、区分所有法、不動産登記法等）、土地及び建物についての法令上の制限（都市計画法、建築基準法等）、宅地及び建物についての税に関する法令、宅地及び建物の価格の評定等について具体的な事例を基にした演習を通じ学修する。

【学習目標】

1. 法律に関する基礎的な用語の意味を理解することができる。
2. 不動産取引の場面に応じてどのようなルールがあるかを理解することができる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	ガイダンス（不動産取引を行うための諸法令について）	1.2	講義・演習
2	宅地建物取引業	1	講義・演習
3	都市計画法	1	講義・演習
4	建築基準法	1	講義・演習
5	国土利用計画法	1	講義・演習
6	農地法	1	講義・演習
7	宅地造成等規制法	1	講義・演習
8	土地区画整理法	1	講義・演習
9	不動産取得税	1	講義・演習
10	固定資産税	2	講義・演習
11	印紙税	2	講義・演習
12	不動産鑑定評価	2	講義・演習
13	不動産の表示に関する公正競争規約等	2	講義・演習
14	まとめ①（法律に関する基礎的な用語について）	1・2	講義・演習
15	まとめ②（不動産取引の場面に応じたルールについて）	1・2	講義・演習

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	ポケット六法			
その他の資料	毎回講義レジメを配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料などを事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
期末試験により評価する。（100%）

【履修上の留意点】
履修条件：実践日本ビジネス法、不動産法入門の単位を修得済みの者

授業科目　キャリアデザインⅡ

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	事業創造学科
土岐智賀子	開講時期	②	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【概要】

他者と協調・協働して行動できる態度や他者に方向性を示し、目標を達成するために動員できる能力を養成する。集団に属しているメンバーが同じ目標を達成するために行う作業、協力、意識、行動について理解するとともに、集団や組織の場あるいは個人的な場における感情的な面も含めた人間と人間の関係について学習し、他者を理解する視点についての考察を通して、自己や自我の認識、自己と他者との関係、他者相互間の関係などの理解と人間関係の多様なあり方についての理解を深め、他者との円滑な信頼関係の構築に取り組むことができる姿勢を養う。

【学習目標】

1．　基礎知識の理解・修得
2．　自己分析と自己と他者との関係性の理解、他者との協働の理解
3．　組織において目標達成するために必要となる人間関係、信頼関係構築の理解

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	ガイダンス　授業目的紹介、ルールと諸注意	1	演習
2	目標達成に向けた作業、協力、意識、行動についての理解	1・2・3	演習
3	他者との協働の理解、チームビルディングの実践	1・2・3	演習、ロールプレイング
4	組織活動における問題解決に向けた発想、考え方の理解	1・2・3	演習、プレゼンテーション
5	自律した専門職業人に向けた心構えの理解	1・2・3	演習、事例研究
6	円滑な人間関係構築のための必要性項目の理解	1・2・3	演習、事例研究
7	信頼関係構築のための理解	1・2・3	演習、事例研究
8	行動計画の策定の考え方	1・2・3	演習、プレゼンテーション

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	・社会でいきる実践ビジネスマナー	株式会社ウィネット	株式会社ウィネット	2016年2月
	・勝つための就職ガイド ＳＵＣＣＥＳＳ	株式会社ウィネット	株式会社ウィネット	2016年2月
参考書	・大人の常識！ マナーハンドブック	株式会社ウィネット	株式会社ウィネット	2016年2月
その他の資料	・ＳＵＣＣＥＳＳ別冊ワークシート	株式会社ウィネット	株式会社ウィネット	2016年2月
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
・自己分析の深度、アクションプランの内容による評価（50%）
・活発に授業参加するための積極的行動（50%）

【履修上の留意点】
講義の理解深度を含め、個々の学生の主体的姿勢が求められる。履修条件：キャリアデザインⅠの単位を修得済みの者

授業科目　資金調達の実践

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	事業創造学科
松澤孝紀	開講時期	③・④	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

新たな事業の開始時、投資時における資金調達に関する知識を修得することを目的として、現在の金融ファイナンスを理解するとともに、最新のマネジメント理論・事例を学修し、様々な現場にて活用可能な資金調達の手法を学修することで、適正な経営を行うマインドと実践力を養成する。また、企業の資金需要や資金調達の形態についての概略と借り入れの種類と返済方法や借入金利とメインバンク制について学修する。

【学習目標】

1．　企業の現場で実際に利用されている金融機関を通じた必要資金の調達について、財務活動に機軸を置いて、実践的なファイナンス手法を身につける。
2．必要資金に関する理論を理解し、マネージャーとしての意思決定が的確にできる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	ガイダンス　コーポレートファイナンスの枠組み1 予習：テキスト第1章第1～2節	1・2	講義
2	コーポレートファイナンスの枠組み2　財務の役割 予習：テキスト第1章第2～3節	1・2	講義
3	我が国の金融制度1　金融制度と金融機関 予習：テキスト第2章第1～2節	1・2	講義
4	我が国の金融制度2　金融市場と金利体系 予習：テキスト第2章第3～5節	1・2	講義
5	コーポレートファイナンスの実践1　負債・資本 予習：テキスト第3章第1～3節	1・2	講義
6	コーポレートファイナンスの実践2　メザニン・証券化・デリバティブ 予習：テキスト第3章第4～6節	1・2	講義
7	コーポレートファイナンスの実践3　投資理論1　ポートフォリオ 予習：テキスト第3章第6～8節	1・2	講義
8	コーポレートファイナンスの実践3　投資理論2　資本コスト 予習：テキスト第3章第6～8節	1・2	講義
9	コーポレートファイナンスの実践3　投資理論3　最適資本構成 予習：テキスト第3章第6～8節	1・2	講義
10	コーポレートファイナンスの実践3　投資理論4　企業価値評価、中小企業ファイナンス 予習：テキスト第3章第6～8節	1・2	講義
11	資金提供者から見た企業 予習：テキスト第4章	1・2	講義
12	財務諸表とディスクロージャー1　財務諸表分析 予習：テキスト第5章第1～2節	1・2	講義
13	財務諸表とディスクロージャー2　ディスクロージャー 予習：テキスト第5章第1～2節	1・2	講義
14	国際会計基準と内部統制制度 予習：テキスト第5章第3～5節	1・2	講義
15	企業の倒産と新しい資金資金調達方法	1・2	講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	コーポレートファイナンス実践講座	堀内勉	中央経済社	2014/10/1 ￥4,800＋税 ISBN978-4-502-11601-8
参考書	入門　コーポレートファイナンス	島義夫	日本評論社	2010年 ￥2,800+税 ISBN978-4-535-55629-4
その他の資料	金融庁： http://www.fsa.go.jp/ 日本銀行： http://www.boj.or.jp/ 日本取引所グループ： http://www.jpx.co.jp/index.html 全国銀行協会： http://www.zenginkyo.or.jp/ 日本証券業協会： http://www.jsda.or.jp/ 生命保険協会： http://www.seiho.or.jp/ 日本損害保険協会： http://www.sonpo.or.jp/			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
中間レポートおよび提出物：40% 期末試験：60%	「おカネ」について学ぶため、換言すれば「取引」について学ぶことになる為、新聞・雑誌等社会・経済情報については毎日確認し、要点などをまとめる「くせ」をつけるようにすること。履修条件：会計学、財務諸表論、簿記概論、簿記演習、財務諸表分析の単位を修得済みの者

授業科目　簿記概論

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	事業創造学科
東城　歩	開講時期	①・②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

簿記とは、企業規模の大小や業種、業態を問わずに、日々の経営活動を記録・計算・整理して、経営成績と財政状態を明らかにするものであることについて解説する。そのうえで、経営資源である人、もの、金、情報の活用について、どのように商品仕入れ・販売・開発活動等に関わるのかを、簿記の記帳方法の理解を通じて学修する。また、ビジネスの基本であるコスト感覚も身につくので、コストを意識した仕事ができるとともに、取引先の経営状況を把握できるために経営者や管理者として、会計情報を管理する必要性や、利害関係者への提供する責任・必要性についても学修する。

【学習目標】

1．日々の取引を仕訳し、併せて勘定記入をすることができる。
2．試算表を作成することができる。
3．決算整理を理解し精算表を作成することができる。また、財務諸表について理解することできる。。
4．伝票の処理、帳簿を締め切りができる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	簿記の基礎	1	講義・演習
2	商品売買　現金	1	講義・演習
3	当座預金　当座借越　小口現金	1	講義・演習
4	小口現金　手形	1	講義・演習
5	貸付金・借入金・手形貸付金・手形借入金	1	講義・演習
6	有価証券	1	講義・演習
7	その他の債権債務・消耗品費	1	講義・演習
8	貸倒れと貸倒引当金	3	講義・演習
9	固定資産と減価償却	3	講義・演習
10	租税公課と資本金	3	講義・演習
11	費用・収益の繰延べと見越し、訂正仕訳	3	講義・演習
12	試算表	2	講義・演習
13	伝票と仕訳日計表	4	講義・演習
14	精算表と財務諸表	3	講義・演習
15	帳簿の締め切り	4	講義・演習

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	毎回講義レジメを配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料など事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
100%期末試験の点数で評価する。

【履修上の留意点】
必ず電卓を持参すること。
履修条件：会計学、財務諸表論の単位を修得済みの者

授業科目　　簿記演習

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	事業創造学科
東城　歩	開講時期	③	必修･選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【概要】

簿記概論を踏まえ、問題演習を行い、基礎的な力を養成することを目的に学修する。簿記では基本論点の学習とともに演習問題を多くこなすことが重要であり、繰り返し問題演習を行うことで、会計情報の処理能力を高めるとともに、理解が深まっていくことがで期待できる。授業時に行う演習方法については、主に基本的項目について講義演習・解説を実施し、その後、総合的問題やより高度な問題等の解答演習・自己採点する方法にて実施し、自立型の演習を実施することで習熟度を高めていくことを狙いとする。

【学習目標】

1．日々の取引を仕訳することができる。
2．試算表を作成することができる。
3．決算整理及びその他の取引ができる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	仕訳①（商品売買、現金、当座預金、当座借越、小口現金）	1	演習
2	仕訳②（手形、貸付金、借入金、手形貸付金、手形借入金）	1	演習
3	仕訳③（有価証券、その他の債権債務、消耗品費）	1	演習
4	仕訳④(貸倒れ、固定資産、租税公課、資本金)	1	演習
5	試算表作成	2	演習
6	決算整理①(費用・収益の見越し繰延べ、訂正仕訳)	3	演習
7	決算整理②（精算表、財務諸表）	3	演習
8	その他の取引（帳簿の締め切り、伝票と仕訳日計表）	3	演習

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	毎回講義レジメを配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料などを事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
100%期末試験の点数で評価する。

【履修上の留意点】
必ず電卓を持参すること。
履修条件：会計学、財務諸表論、簿記概論の単位を修得済みの者

授業科目　財務諸表分析

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	事業創造学科
東城　歩	開講時期	①・②	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

財務諸表とは、企業が利害関係者に対して一定期間の経営成績や財務状態等を明らかにするために複式簿記に基づき作成される書類であり、財務諸表分析とは，財務諸表数値の実数分析と比率分析等により，定量的な数値を用いて収益性・安全性・成長性および資産・資本の効率を評価することであることについて理解する。そのうえで、簿記概論を発展させる形で、財務諸表の基礎知識及び財務会計の理論を学修し、さらに財務諸表の分析により、どのような観点が企業の戦略・意思決定に関連し、企業の発展につながるのかという仕組みと理論を学修する。

【学習目標】

1．経営分析の意義と財務諸表の役割について説明できる。
2．企業の財務諸表を基本的手法を用いて分析し説明することができる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	ガイダンス（経営分析の内容、主体及び目的）	1	講義
2	企業情報のディスクロージャーとその意義	1	講義・演習
3	構成比率分析と趨勢分析	1	講義・演習
4	収益性分析	1	講義・演習
5	安全性分析	1	講義・演習
6	成長性分析　生産性分析	1	講義・演習
7	損益分岐点分析　利益変動分析	1	講義・演習
8	キャッシュ・フロー分析	1	講義・演習
9	株価倍率による分析	1	講義・演習
10	企業価値評価	2	講義・演習
11	分析事例研究①（任意の企業を選択し、当該企業の財務分析を行う）	2	演習
12	分析事例研究②（新潟の企業を選択し、当該企業の財務分析を行う）	2	演習
13	事例分析発表①（チームで適当な企業を選択し財務分析し、チームごとにプレゼンテーションを行う）	2	演習
14	事例分析発表②（チームで適当な企業を選択し財務分析し、チームごとにプレゼンテーションを行う）	2	演習
15	まとめ（財務分析技術の活かし方）	1・2	講義・演習

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	毎回講義レジメを配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料などを事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
チームプレゼンの内容により評価する。

【履修上の留意点】
必ず電卓を持参すること。
履修条件：会計学、財務諸表論、簿記概論、簿記演習の単位を修得済みの者

授業科目　広報戦略の実践

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	事業創造学科
高松　孝光	開講時期	③・④	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

自社・組織の経営理念を具現化するためには、戦略的な広報・コミュニケーション活動が必要であることについて理解するとともに、広報戦略の実行のためのストーリーとなる「広報戦略・経営戦略の理解」「計画立案」「実行」「評価」までの一連のプロセスを学修する。また、広報戦略は経営戦略を踏まえるため、組織全体の経営戦略体系に影響を及ぼすことについて解説したうえで、全社経営戦略への影響をも想定しつつ、組織全体としての「広報機能」をどのように策定するべきかについて学修する。

【学習目標】

1．広報戦略についての基礎的知識を習得する。
2．戦略フレームを実践できる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション（講義概要・進め方、評価のポイントなど）	1・2	講義・演習
2	広報・PRとは。その目的、機能、活動	1	講義・演習
3	広報・PRとの歴史　時代的背景、広報機能の変遷	1	講義・演習
4	組織とステークホルダー	1	講義・演習
5	広報・PRのマネジメントスコープ	1	講義・演習
6	マネジメント中核概念としての名声、敎官、理解	1	講義・演習
7	戦略立案プロセス	2	講義・演習
8	環境評価とプログラム決定	2	講義・演習
9	プログラムの実行と評価、課題説明	2	講義・演習
10	メディア環境とその変化	2	講義・演習
11	メディアの特色と選択	2	講義・演習
12	広報組織形態	2	講義・演習
13	求められる人材とその育成	2	講義・演習
14	社内広報戦略：人を活かし組織を変革するコミュニケーション戦略。（企業理念、ビジョン、ミッションの理解・浸透。社員間の連帯感の醸成などを事例で学修）	1・2	講義・演習
15	広報のデジタルシフト： ITを活用した広報・PRのデジタル化の実践。（効率的・即効的な広報戦略を学修）	1・2	講義・演習

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	毎回講義レジメを配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料などを事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
・中間レポート　30%
・授業参加点　10%
・期末テスト　60%

【履修上の留意点】
履修条件：マーケティング、デジタルマーケティングの単位を修得済みの者

授業科目　グローバル社長学

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	事業創造学科
高松　孝光	開講時期	③・④	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

ビジネスの海外展開、企業内での国際化はクロスボーダーで進展しており、近年、アジア新興国（インド、中国など）は急速な成長に合わせて市場・生産拠点として注目されていることについて理解する。また、経営者に求められるのは明確な事業計画と一貫した経営戦略であり、政治・文化・宗教・習慣など、異なる多様性を理解し、バランス良く組織マネジメントができる経営者の在り方について、グローバル化している企業の先進事例を取り上げながら考察するとともに、企業経営に及ぼす実体的な影響が大きいリーダーシップについて、その本質的な意味と人・組織に与える影響について学修する。

【学習目標】

1.グローバル経済の概況とビジネスの課題について考察する。
2.経営管理の概要と経営者の役割を考察する。
3.グローバルな経営環境で直面する課題とリーダーの資質について考察する。
4.エクセレント・リーダーになるための自己啓発とその方法を習得する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション（講義概要・進め方、評価のポイントなど）	1・2・3	講義
2	グローバル経済概論	1	講義
3	グローバル経営概論（ヒト、モノ、カネ、ITの視点から考察）	1	講義
4	グローバル経営の課題（異文化社会での対応と適応）	1	講義
5	新興国市場におけるビジネスの課題と現状（グローバル化とローカル化）	1	講義
6	異文化におけるサービス業の経営戦略	2	講義
7	異文化における食品ビジネスの経営戦略	2	講義
8	日本伝統ブランドの国際化戦略	2	講義
9	経営管理（マネジメント）の本質的役割	2	講義
10	リーダーに求められる使命（事業創造力）	2	講義
11	プロジェクト・マネジメント	2	講義
12	人材及び組織のマネジメント	2	講義
13	経営理念と組織文化	2	講義
14	まとめ（グローバル企業（海外進出企業の事例学修：ソニー、ユニクロ）	3・4	講義
15	まとめ（グローバル企業（日本進出企業の事例学修：日本コカ・コーラ、P&G ジャパン）	3・4	講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	毎回講義レジメを配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料などを事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
・中間レポート　30%
・授業参加点　10%
・期末テスト　60%

【履修上の留意点】
履修条件：経営学の基礎、経済学の基礎、経営戦略論、経営組織論、経営戦略策定演習、イノベーションマネジメントの単位を修得済みの者

授業科目　地域産業研究Ⅷ（カルチャー・エンタテイメント）

【担当教員名】	対象学年	4	対象学科	事業創造学科
高松　孝光	開講時期	③・④	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

カルチャー・エンタテイメントビジネスに関する知識を習得させ、カルチャー・エンタテイメントビジネス分野における新たな事業を創造するための能力と態度を育てる。カルチャー・エンタテイメントビジネスの動向や課題について理解したうで、カルチャー・エンタテイメントビジネスに関する具体的な事例の分析や考察を通して理解を深めるとともに、新潟県におけるカルチャー・エンタテイメントビジネスの振興のためのアイデアの考案や方策について考える。

【学習目標】

1．エンタテイメントビジネスを考察することによって、分類・エンタテイメントビジネスの課題と展開を検証できる。
2．日本におけるエンタテイメントビジネスの現状の把握と今後のエンタテイメントビジネスの推測が可能とする。
3．１及び2を踏まえて地域に資するカルチャー・エンタテイメントビジネスを提案することができる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教
1	オリエンテーション（講義概要・進め方、評価のポイントなど）	1・2	講義
2	カルチャーエンターテインメントビジネス概論；分類と市場規模	1	講義
3	カルチャーエンターテインメントビジネスの考察１：放送（メディア）	1	演習
4	カルチャーエンターテインメントビジネスの考察２：映画	1	演習
5	カルチャーエンターテインメントビジネスの考察３：音楽	1	演習
6	カルチャーエンターテインメントビジネスの考察４：演劇	1	演習
7	カルチャーエンターテインメントビジネスの考察５：スポーツ	1	演習
8	カルチャーエンターテインメントビジネスの考察６：アミューズメント・パーク	1	演習
9	クールジャパン戦略の概要：日本的クリエイティブ産業の可能性	2	演習
10	クールジャパンコンテンツと資源開発：アニメ、ファッション、文化的体験、観光資源など	2	演習
11	キャラクターライセンスの考察１：ビジネスと市場規模	1・2	演習
12	キャラクターライセンスの考察２：契約の基本（交渉から集結まで）	1・2	演習
13	ショービジネスの考察１：北米の事例	1・2	演習
14	ショービジネスの考察２：日本の現状と可能性	1・2	演習
15	まとめ；事業創造のヒント（グローバル視点と独創性）	3	演習

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	など			
参考書	など			
その他の資料	毎回講義レジメを配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料などを事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
・中間レポート　30%
・授業参加点　10%
・期末テスト　60%

【履修上の留意点】
履修条件：地域経済産業論の単位を修得済みの者

授業科目　デジタルマーケティング

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	事業創造学科
向　正道	開講時期	③・④	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

マーケティングの基本事項である製品、価格設定、販売チャネル、プロモーションについて、インターネット上の消費者行動の特性を踏まえたうえで、理論的に分析・考察し、インターネット上におけるマーケティング理論、実際のオンライン店舗の運営におけるWebマーケティング戦略立案のための各種分析方法、Webプログラミングの仕組み、ＨＰ発注交渉に必要な知識と実践力を演習を通じて学修する。さらにインターネット等の情報技術の発展がもたらす企業環境の変化に対して、企業が対応すべき事項や発展的な情報通信技術のしくみを学修する。

【学習目標】

1．ファネルを理解しデジタルマーケティング戦略を策定できる。
2．総合的にデジタルマーケティングを展開できる実践的な知識を身につける。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	ガイダンス	1・2	講義
2	デジタルマーケティングの基礎①	1	講義
3	デジタルマーケティングの基礎②	1	講義
4	ウェブアクセス分析①	1	講義
5	ウェブアクセス分析②	1	講義
6	デジタルマーケティング調査	1	演習
7	検索エンジン入門	1	演習
8	デジタルマーケティング戦略	2	演習
9	ネット広報入門	2	演習
10	デジタルマーケテイング実践	2	演習
11	ソーシャルネットワークの構成と原理	2	演習
12	デジタルマーケティングの検証①	2	演習
13	デジタルマーケティングの検証②	2	レポート提出１：優れたHPの調査結果　演習
14	デジタルマーケティングシステムの概要①	2	演習
15	デジタルマーケティングシステムの概要②	2	レポート提出２：システム検討案　演習

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料などを事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
授業参加点40%
レポート60%

【履修上の留意点】
履修条件：マーケティングの単位を修得済みの者

授業科目　地域産業研究Ⅳ（ものづくり）

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	事業創造学科
原岡和生	開講時期	①・②	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

ものづくりに関する知識を習得し、顧客満足を実現することの重要性について理解するとともに、消費者の視点に立った商品開発や流通活動を行う能力と態度を育てる。新潟県におけるものづくりの具体的な事例を取り上げ、ケーススタディを通して、その特徴などについて理解するとともに、近年のものづくり産業を取り巻く環境の変化やその分析を通して、新潟県におけるものづくり産業の振興のためのアイデアの考案や方策について考える。

【学習目標】

1．日本の強み「ものづくり」「技術力」を確認する。
2．「技術」を「商品」に昇華する為の課題、ポイントを理解する。
3．企業のものづくりの現場で実際に起きている典型的な問題とその原因を理解する。
4．企業のものづくりの問題の解決方法を習得し、他の様々な問題解決に応用できるようになる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス(新潟とものづくりについて)	1・2・3・4	講義
2	ものづくりのマネジメント、、、PLC(Product Life Cycle)を概観しておく	1	講義
3	Needs主導か？Seeds主導か？技術立国の根源課題	1,2	講義
4	価格と原価。商品を「お金」の視点で分解しておく	1,2	講義
5	Q,C,D. 商品戦略の３つの柱とそれぞれにまつわる問題	1, 2	講義
6	忘れてはならないロジスティクス（ものを運ぶこと）	1,2	講義
7	新潟を活性化する為の「ものづくり」を考えてみよう	1・2・3・4	演習
8	ヒットしても儲からない！（マーケティングと脱コモディティ）	3	演習
9	ルールブレイク（商品企画、業界慣習、法律にまつわる話題）	3	演習
10	イノベーションのジレンマ（大企業、ベンチャー、それぞれのものづくり）	4	演習
11	再度お金で考える。コストダウンはなぜできないのか？	4	演習
12	99%か99.9%か。故障しない商品は作れない。（質の向上の為に）	4	演習
13	リコール、、、最悪の事態を考えてみる	4	演習
14	世の中を変える（これからのものづくり）	1・2・3・4	演習
15	まとめ(新潟県におけるものづくり産業の振興のために)	1・2・3・4	演習

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし		共立出版	
参考書	『技術経営入門』	藤末健三	日経BP	2004年(絶版につき代替検討中)
	『地域新生のデザイン２』	松島克守	俯瞰工学研究所	2012年(電子書籍) 2008年
その他の資料	The Corporation	J. Bakan		DVD、2006年
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料などを事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
・中間レポート　30%
・期末試験　70%

【履修上の留意点】
・総合点数60点で合格です。
・課題が多いので、心して受講してください。
・皆さんの提出したレポートや発表資料は、次年度以降の教材等に使われる場合があります。
・講義の順番は、時事ネタの都合で変更になる可能性があります。
履修条件：地域経済産業論の単位を修得済みの者

授業科目　実践企業革新

【担当教員名】	対象学年	4	対象学科	事業創造学科
福田　稔	開講時期	①・②	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

企業革新とは、企業の戦略、組織、文化、人々の意識を変革することであり、企業が持続的に成長するために必要となるのは、これまでの蓄積した強みを活かすとともに、時代のニーズ・社会の変化に対応・適応し、企業革新し続けることであることについて解説する。また、企業革新の必要性を実際の事例研究を通じて理解するとともに、企業が革新するための必要項目となる企業の戦略・組織・文化・人々の意識等をどのような手法で革新するのかについて考察する。

【学習目標】

1．企業革新（イノベーション）の必要性を理解する。
2．イノベーションの諸手法を学修する。
3．企業・組織におけるイノベーション創発のポイントを理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	講義ガイダンス（イノベーションの必要性について）	1	講義
2	企業経営とイノベーション　（イノベーション事例）	1	講義
3	イノベーションとアクティブラーニング　（ICEモデル）	2	講義
4	アントレプレナーシップ　（起業・ベンチャー企業事例）	2	講義
5	オープンイノベーション　（地域イノベーション事例）	3	講義
6	ソーシャルキャピタル　（地元経営者とのディスカッション）	3	講義
7	イノベーションの必要性についての総復習と中間演習	1・2・3	講義
8	研究開発と資金調達　（金融機関とのディスカッション）	2	講義
9	産学連携の現状と必要性（産学連携の状況と課題）	2	講義
10	知的財産と経営戦略	2	講義
11	産業支援施策の活用（産業支援者とのディスカッション）	2	講義
12	ナレッジマネジメントと経営戦略	2	講義
13	システム思考とデザイン思考	2	講義
14	イノベーションと経営人材　（経営における志と覚悟）	3	講義
15	地元新潟とイノベーションの先人達	1・2・3	講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	指定しない．担当教員の作成資料等を用いる。			
参考書	『デザイン思考が世界を変える』	ティム・ブラウン	早川書店	2014年
その他の資料	なし			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料などを事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
定期試験80%、中間試験20%で総合評価	経営学の基礎、経済学の基礎、経営戦略論、経営組織論、経営戦略策定演習の単位を修得済みの者

授業科目　会社設立実習Ⅲ

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	事業創造学科
福田　稔	開講時期	③・④	必修･選択	選択
	単位数	4	時間数	120

【概要】

事業計画、資金計画、経営(仮想)、決算、税務申告までの一連の流れを学修した会社設立実習Ⅰ及び、学外での実際の会社設立を想定し、具体的な計画を策定した会社設立実習Ⅱの学習内容を踏まえて、会社設立実習Ⅱで策定した計画内容に基づき、実際に会社設立に必要な計画策定から実行までを実践的に学修する。

【学習目標】

1．会社設立実習Ⅱの会社設立計画が実施可能か、経営者の資質・覚悟はあるかなど最終検証する。
2．会社設立計画を学部内、大学内の経営会議に上程し、設立承認の意思決定を得る。
3．株主・出資者等の意思決定、出資を受けて会社を設立する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1（4コマ）	講義ガイダンス　（会社設立との意義と経営者の覚悟）	1	実習
〃	ＮＳＧグループ池田代表講話、ディスカッション	1	実習
〃	会社設立実習Ⅱで策定した事業計画のタイムスケジュールと決意表明	1	実習
2（4コマ）	経営チーム（プロジェクト）の最終編成（桃園の誓い）	1	実習
〃	プロジェクトメンバーの役割分担（人事）	1	実習
〃	「イノベーションの道具箱」開示と貢献内容の共有	1	実習
3（4コマ）	ステークホルダーの明確化	2	実習
4（4コマ）	収益モデル・費用・投資モデルの確立	2	実習
5（4コマ）	事業成長戦略、ＫＧＩ・ＫＰＩの明確化	2	実習
6（4コマ）	資金調達計画の策定	2	実習
7（4コマ）	事業計画書、目論見書等プレゼンテーション資料の作成①（データによる市場分析、競合他社、業界動向）	2	実習
8（4コマ）	事業計画書、目論見書等プレゼンテーション資料の作成②（アンケートとインタビューによる市場調査）	2	実習
9（4コマ）	事業計画書、目論見書等プレゼンテーション資料の作成③（収支計画）	2	実習
10（4コマ）	事業計画書、目論見書等プレゼンテーション資料の作成④（経営戦略と事業戦略の検証）	2	実習
11（4コマ）	事業計画書、目論見書等プレゼンテーション資料の作成⑤（全体まとめ）	2	実習
12（4コマ）	関係機関へのプレゼンテーション、資金調達	3	実習
13（4コマ）	会社設立手続きの実行	3	実習
14（4コマ）	サービス体制の確立、運用	3	実習
15（4コマ）	実習成果の振り返り、総評	1・2・3	実習

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	指定しない．担当教員の作成資料等を用いる。			
参考書	『起業家は社会の宝だ』	福田稔	ガリバーBOOKS	2008
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料などを事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
実習日誌の評価80%、考課20%で総合評価

【履修上の留意点】
履修条件：ビジネスプランの基礎、ビジネスプランの応用、会社設立実習Ⅰ、会社設立実習Ⅱの単位を修得済みの者

授業科目　現代企業論

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	事業創造学科
美甘　哲秀	開講時期	③・④	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

企業が巨大化、グローバル化するにつれ、その影響力はますます大きなものとなっており、現代の企業は、「財とサービスの提供者」としての立場にとどまっていては、企業価値の向上は望めないこと、経営への監視、法令の順守、環境への配慮など規律ある行動をとる必要があることを学修する。また、経営戦略の一環として、企業は統合・買収・再生などに取り組んでおり、これを支援するビジネスについても学修する。

【学習目標】

1．現代企業がこのように発展してきた経緯を理解する。
2．現代企業が抱えている問題を自分なりに考えられるようにする。
3．今後、どのような企業活動が望まれるかを考えることができる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	授業のガイダンス（授業の目的、全体像、進め方）	1・2・3	講義
2	企業会計の考え方（フローとストック）	1	講義
3	キャッシュフローの動きで捉える企業経営	1	講義
4	投資と回収の考え方	1	講義
5	近江商人・財閥・企業グループ	1	講義
6	企業・経営者への監視体制	1	講義
7	企業の法令遵守	2	講義
8	企業の社会的責任と社会的課題への取り組み	2	講義
9	企業倫理と企業不祥事	2	講義
10	スチュワードシップ・コード（機関投資家のあり方）	2	講義
11	企業の統合と買収	2	講義
12	グローバル化における海外投資の意義	3	講義
13	企業破綻と企業再生	3	講義
14	企業価値の考え方	3	講義
15	デジタル社会における企業（ベンチャービジネス）	3	講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	よく分かる企業論	佐久間信夫　編著	ミネルヴァ書房	2016年
その他の資料	なし			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料などを事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
理解度をチェックするための小テスト（50%）と期末評価試験（50%）を総合して評価する。

【履修上の留意点】
学生とコミュニーケションをとりながら、双方向での授業を行います。積極的に授業に参加し、自分の意見を披露する訓練を受けてください。履修条件：現代産業論の単位を修得済みの者

授業科目　ソーシャルデザインⅠ

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	事業創造学科
渡辺　康英	開講時期	③・④	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

既修の課題解決手法のひとつであるデザイン・シンキング概論に関連する学修として、地方の課題を解決し、より魅力的な地域振興・地域活性化つなげていくためのプロセスについて、具体的な事例を基に考察し、基本的な着眼点や企画・構成等、どのように体系化されているのかについて学修する。また、今後、地域振興・地域活性化に向けた取り組みにおいて、課題となる社会問題に対する着眼点・解決プロセス等を理論的かつ実践的に理解する。

【学習目標】

1．ソーシャルデザインの概念、意義を理解する。
2．人口減少が進む地域社会の主要課題と、ソーシャルデザインが課題解決に向けた有効な手法であることを理解する。
3．ソーシャルデザインの着眼点、仕組み、特徴を理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	ソーシャルデザインとは ・授業の全体構成、ソーシャルデザインの基本的な考え方や意義を説明	1	講義
2	地域社会の課題解決に向けたソーシャルデザイン ・人口減少に伴う地域社会が抱える課題とソーシャルデザインの必要性を説明	1・2	講義
3	都市部におけるソーシャルデザイン事例を理解する－1 ・中心市街地再生に関するソーシャルデザイン事例の説明	2・3	講義
4	都市部におけるソーシャルデザイン事例を理解する－2 ・高齢者・障害者・子育てに関するソーシャルデザイン事例の説明	2・3	講義
5	都市部におけるソーシャルデザイン事例を理解する－3 ・移動手段の確保に関するソーシャルデザイン事例の説明	2・3	講義・ミニワークショップ(演習)
6	中山間地域におけるソーシャルデザイン事例を理解する－1 ・移住・交流に関するソーシャルデザイン事例の説明	2・3	講義
7	中山間地域におけるソーシャルデザイン事例を理解する－2 ・買物弱者に関するソーシャルデザイン事例の説明	2・3	講義・ミニワークショップ(演習)
8	前半１回～７回までの講義のまとめ ・ソーシャルデザインの着眼点、特徴、仕組みを確認	1・2・3	講義・ミニワークショップ(演習)
9	ソーシャルデザインの取組経緯を理解する－1 ・地域住民による課題解決に向けた取組経緯と工夫を紹介	3	講義
10	ソーシャルデザインの取組経緯を理解する－2 ・社会起業家による課題解決に向けた取組経緯と工夫を紹介	3	講義
11	ソーシャルデザインの取組経緯を理解する－3 ・企業による課題解決に向けた取組経緯と工夫を紹介	3	講義
12	ソーシャルデザインを企画する－1 ・デザインシンキングによる空き店舗・廃校等の活用策の検討	1・2・3	グループワーク(演習)
13	ソーシャルデザインを企画する－2 ・デザインシンキングによる関係人口確保策の検討	1・2・3	グループワーク（演習）
14	ソーシャルデザインの企画案の発表 ・ソーシャルデザインの企画案について発表・意見交換	1・2・3	グループワーク・プレゼン(演習)
15	後半９回～１４回までの講義のまとめとレポート課題の説明 ・課題解決に向けたソーシャルデザインの要点を確認	1・2・3	講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料などを事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
授業参加点（60%）
グループワークレポート（20%）
最終レポート（20%）

【履修上の留意点】
履修条件：デザインシンキング概論の単位を修得済みの者

授業科目　ソーシャルデザインⅡ

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	事業創造学科
渡辺　康英	開講時期	①・②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

ソーシャルデザインⅠの発展的な学修として、地域振興・地域活性化に向けた行政側の地域政策・計画を理解したうえで、ソーシャルデザインとしての行政と民間（住民、NPO、民間企業等）が連携して課題解決に取り組んだ事例を中心に、事業スキームと検討プロセスを学修する。また、これらの事例を通じ、地域政策の概念と意義や地域政策における政府や地方公共団体が担う役割の理解を踏まえ、地域の魅力を高めるための行政と民間の在り方や最新の動向について学修する。これらを踏まえ、次の学修となるソーシャルデザイン実習につながるよう、創造的な課題解決策とその事業化の進め方を理解する。

【学習目標】

1．地方創生に関する行政の主要な計画、施策を理解する。
2．地域社会が主体的に課題解決に取り組み始めた現状と、事業スキームの特徴について理解する。
3．ソーシャルデザインの事業化に向けた検討プロセスを理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	地方創生に向けた国や地方公共団体の取組を理解する－１ ・授業の全体構成を説明、地方創生に向けた行政の計画・施策を説明	1	講義
2	地方創生に向けた国や地方公共団体の取組を理解する－２ ・地方創生に向けた行政の計画・施策を説明	1	講義
3	地方創生に向けたソーシャルデザインの事業スキームを理解する－１ ・まちなか再生に向けたソーシャルデザイン事例の説明	2	講義
4	地方創生に向けたソーシャルデザインの事業スキームを理解する－２ ・移住定住促進に向けたソーシャルデザイン事例の説明	2	講義
5	地方創生に向けたソーシャルデザインの事業スキームを理解する－３ ・交流人口の確保に向けたソーシャルデザイン事例の説明	2	講義
6	地方創生に向けたソーシャルデザインの事業スキームを理解する－４ ・交通弱者支援に向けたソーシャルデザイン事例の説明	2	講義
7	地方創生に向けたソーシャルデザインの事業スキームを理解する－５ ・買物弱者支援に向けたソーシャルデザイン事例の説明	2	講義
8	前半１回～７回までの講義のまとめ ・地方創生の取組とソーシャルデザインにおける事業スキームの要点を確認	1・2	講義・ミニワークショップ（演習）
9	ソーシャルデザインの検討プロセスを理解する－１ ・現状分析から課題整理、コンセプト案の作成に至るプロセスを説明	3	講義
10	ソーシャルデザインの検討プロセスを理解する－２ ・コンセプト案作成から事業スキーム案の組立に至るプロセスを説明	3	講義
11	ソーシャルデザインの検討プロセスを理解する－３ ・事業スキーム案の実現に向けたプロセスを説明	3	講義
12	ソーシャルデザインの事業スキーム案を作成する－１ ・コンセプト案までの検討材料を提示し、事業スキーム案を検討	2・3	グループワーク（演習）
13	ソーシャルデザインの事業スキーム案を作成する－２ ・前回の事業スキーム案の弱点を検討し、改善案を作成	2・3	グループワーク（演習）
14	ソーシャルデザインの事業スキーム案の発表 ・ソーシャルデザインの事業スキーム案について発表・意見交換	2・3	グループワーク・プレゼン（演習）
15	後半９回～１４回までの講義のまとめとレポート課題の説明 ・事業スキームと検討プロセスの要点を確認	2・3	講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料などを事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
授業参加点（60%）
グループワークレポート（20%）
最終レポート（20%）

【履修上の留意点】
履修条件：デザインシンキング概論、ソーシャルデザインⅠの単位を修得済みの者

授業科目　ソーシャルデザイン実習

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	事業創造学科
渡辺　康英	開講時期	③・④	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	60

【概要】

既修の課題解決手法のひとつであるデザイン・シンキング概論及びソーシャルデザインⅠ・Ⅱの理論を基に、地域社会が抱える実際のフィールドにあてはめて、課題解決のためのプラン策定実習を実施する。なお、実習の進め方としてはグループワーク、フィールドサーベイ、グループ討議、グループ発表を中心に進め、検討されたプランの中で教員・学生より高く支持された優秀なプランは、対象フィールドの団体、自治体等へのプレゼンテーションを実施する。

【学習目標】

1．学校で展開される講義に限定されることなく、地域の日常全般に関わることを通じて、地域を取り巻く環境や課題を理解できる。
2．自身の早期キャリアデザインを支援する観点から、キャリア意識形成及び課題解決を実践することができる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	ガイダンス：中山間地域の課題解決に向けた実習の進め方（前期）	1・2	（学内）
2	中山間地域の課題検討①（グループ討議） ・実習フィールドの現状分析と課題検討	1	（学内）
3	中山間地域の課題検討②（グループワーク） ・実習フィールドの課題の構造化と実習課題の検討	1	（学内）
4	中山間地域の実習課題の設定（グループ発表）	1	（学内）
5	フィールドワーク①（グループ討議、グループワーク） ・実習フィールドの現地調査	1	（学外）
6	フィールドワーク②（グループワーク） ・実習フィールドにおけるヒアリング調査	1	（学外）
7	課題解決策の検討①（グループ討議） ・既存の課題解決策に関する分析	1	（学内外）
8	課題解決策の検討②（グループワーク） ・実習フィールドの課題確認と課題解決策の検討	1	（学内外）
9	課題解決策の検討③（グループ討議） ・課題解決策に対する評価	1	（学内外）
10	課題解決策の検討④（グループワーク） ・課題解決策の実施に向けた検討	1	（学内外）
11	プレゼン資料の作成①（グループ討議） ・現状分析シートの作成	1	（学内）
12	プレゼン資料の作成②（グループワーク） ・課題検討シートの作成	1	（学内）
13	プレゼン資料の作成③（グループ討議） ・課題解決シートの作成	1	（学内）
14	プレゼン資料の作成④（グループワーク） ・事業スキームシートの作成	1	（学内）
15	中山間地域の課題解決策のプレゼンテーション（グループ発表）	1	（学内）
16	まとめと振り返り	1	（学内）
17	ガイダンス：まちなかの課題解決に向けた実習の進め方（後期）	1・2	（学内）
18	まちなかの課題検討①（グループ討議） ・実習フィールドの現状分析と課題検討	1・2	（学内）
19	まちなかの課題検討②（グループワーク） ・実習フィールドの課題の構造化と実習課題の検討	1・2	（学内）
20	まちなかの実習課題の設定（グループ発表）	1・2	（学内）
21	フィールドワーク①（グループ討議、グループワーク） ・実習フィールドの現地調査	1・2	（学内）
22	フィールドワーク②（グループワーク） ・実習フィールドにおけるヒアリング調査	1・2	（学内）
23	課題解決策の検討①（グループ討議） ・既存の課題解決策に関する分析	1・2	（学内外）
24	課題解決策の検討②（グループワーク） ・実習フィールドの課題確認と課題解決策の検討	1・2	（学内外）
25	課題解決策の検討③（グループ討議） ・課題解決策に対する評価と実施に向けた検討	1・2	（学内外）
26	プレゼン資料の作成①（グループ討議） ・現状分析シート、課題検討シートの作成	1・2	（学内）
27	プレゼン資料の作成②（グループワーク） ・課題解決シートの作成	1・2	（学内）
28	プレゼン資料の作成③（グループワーク） ・事業スキームシートの作成	1・2	（学内）
29	まちなかの課題解決策のプレゼンテーション（グループ発表）	1・2	（学内）
30	まとめと振り返り	1・2	（学内）

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料などを事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
ワークショップ学習成果物（50%）
フィールドワーク学習成果物（30%）
まとめと振り返り（20%）

【履修上の留意点】
履修条件：デザインシンキング概論、ソーシャルデザインⅠ、ソーシャルデザインⅡの単位を修得済みの者

授業科目　国際動態論

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	事業創造学科
増田　達夫	開講時期	④	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

企業現場や経済社会でリーダーとなる人材に欠かせない、高度で幅広い教養の一環として、世界規模で物事をとらえる視野と感性を身に着けさせることを目的とする。具体的には、大規模な国際交渉の展開、主要な国際機関の機能、世界経済フォーラム(ダボス会議)の役割、有力な多国籍企業の戦略、石油資源をめぐるパワーゲームなどを、実際の出来事や最新のニュースを素材とした演習・議論を通じ、自ら考えつつ学修する。

【学習目標】

1．世界の大きな動き及びその中心となるプレーヤーとはどのようなものか、ビックピクチャーを理解する。
2．次に、これまでの出来事や最新のニュースを素材に、これらプレーヤーの動きや戦略を学ぶ。
3．仕上げとして、生徒自身がプレーヤーになって、シナリオに基づき演習を行い、理解を深める。
4．全ての講義・討議を英語で行うことで、将来、世界の出来事を直接英語で理解できるようになる切っかけ作りを目指す。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	オリエンテーション(目的、シラバスの流れ、講義の進め方など)	1・2・3・4	講義
2	世界の大きな動き及びプレーヤーについてのビックピクチャー	1・2・4	講義
3	地球環境問題をめぐるプレーヤーの動き	2・4	講義
4	気候変動対策をめぐる国際交渉の表と裏	2・4	講義
5	化石エネルギーをめぐるプレーヤーの動き	2・4	講義
6	新エネルギーをめぐるプレーヤーの動き	2・4	講義
7	自動車革命をめぐるプレーヤーの動き	2・4	講義
8	情報ビジネスをめぐるプレーヤーの動き	2・4	講義
9	金融ビジネスをめぐるプレーヤーの動き	2・4	講義
10	国際連合をはじめとする国際機関の機能と動き	2・4	講義
11	世界経済フォーラム等の機能と動き	2・4	講義
12	演習(最新のニュースを素材として①)	3・4	演習
13	演習(最新のニュースを素材として②)	3・4	演習
14	全体討議及びまとめ①(グループワーク)	1・2・4	演習
15	全体討議及びまとめ②(発表)	1・2・4	演習

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	なし			
参考書	The Global Risks Report	The World Economic Forum	The World Economic Forum	毎年１月、無料(HP)
その他の資料	独自で収集・作成した教材を使用。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
クラス討議への貢献（40%）
中間レポート（20%）
期末試験（40%）

【履修上の留意点】
世界の動きを、常に好奇心をもってフォローすること。
講義用資料を、毎回2時間は必ず予習し、講義に臨むこと。
議論の技術を身に着けるためにも、クラス討議に積極的に貢献すること。
履修条件：現代産業論の単位を修得済みの者

授業科目　現代史と国際関係論

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	事業創造学科
増田　達夫	開講時期	③・④	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

現在の世界の国際関係は、様々な歴史的事実や出来事が複雑に入り組みながら、成立していることについて理解する。具体的には、現状の国際関係及び、これからの国際関係を理解する上で重要となる第一次産業革命以降の産業界の歴史、第二次世界大戦後の戦争と地域紛争及び、国際連合との関わり、帝国主義と植民地政策、冷戦とその終結、ユダヤ教・イスラム教・キリスト教の成り立ち、テロと民族問題、EUの理想と課題、米中二大大国、中東とエネルギー、日中問題、日韓問題、尖閣諸島と北方領土等のテーマ別に、学修する。

【学習目標】

1．　産業革命以降の世界的な歴史の基本的事項を正しく理解する。
2．　世界的な歴史の中で果たしてきた国際連盟・国際連合の役割を正しく理解する。
3．　世界的な歴史と日本の関わりの変遷を正しく理解する。
4．　現代史の変遷を踏まえ、現在の日本が抱える国際的な課題を正しく理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	産業革命と日本	1,3	講義
2	帝国主義と植民地政策	2,3	講義
3	世界大戦の変遷	2,3	講義
4	国際連合の役割	2,3	講義
5	第二次世界大戦後の戦争と地域紛争	2,3	講義
6	冷戦とその終結	2,3	講義
7	ユダヤ教、イスラム教、キリスト教、仏教の成り立ちと課題	3,4	講義
8	テロと民族問題	3,4	講義
9	EUの理想と課題	3,4	講義
10	米中二大大国の課題	3,4	講義
11	中東とエネルギー問題	3,4	講義
12	日中問題	3,4	講義
13	日韓問題	3,4	講義
14	領土問題（尖閣諸島と北方領土）	3,4	講義
15	まとめ(日本が抱える国際的な課題について)	3,4	講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	The Global Risks Report	The World Economic Forum	The World Economic Forum	毎年１月、無料(HP)
その他の資料	独自で収集・作成した教材を使用。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
クラス討議への貢献（40%）
中間レポート（20%）
期末試験（40%）

【履修上の留意点】
世界の動きを、常に好奇心をもってフォローすること。
講義用資料を、毎回2時間は必ず予習し、講義に臨むこと。
議論の技術を身に着けるためにも、クラス討議に積極的に貢献すること。
履修条件：現代産業論の単位を修得済みの者

授業科目　ビジネスプランの応用

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	事業創造学科
古屋　光俊	開講時期	①・②	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	60

【概要】

ビジネスプランの基礎を踏まえて、技術・製品・サービスに関するアイデア、新しいビジネスに挑戦するための方法、手段、手順等、事業コンセプト、事業環境の分析、マーケティング方法など、経営者・起業家として必要となる基本的スキルや発想法とビジネスプランをより具体的なアイデアに発展させる事業計画策定の方法について、学生の興味・関心によりグループ分けしたチーム毎に、グループワーク、リサーチ、レポート、プレゼンテーション等を用いた実習を通じて学修する。

【学習目標】

1．ビジネスプランの基礎で学習した知識の完全な習得、使える知識（ビジネスツール）として体系的に整理する。
2．グループワークを通じて、グループ議論の進め方、意見のまとめ方、ファシリテーション、リーダーシップについて学ぶ。
3．自分の興味から湧き出るビジネスアイディアを、論理的に整理し、差別化されたサービス・製品を考える方法を理解する。
4．考えたサービス・製品の潜在的な顧客の仮説→検証（インタビュー）→仮説修正→検証（アンケート）の手順を実践する。
5．検証されたサービス・製品のビジネスプラン（戦略、展開計画等）を作成し、実行可能なプラン作成のスキルを習得する。
6．自分たちの考えたビジネスプランをまとめ、投資家を引き付ける効果的なプレゼンテーションの能力を身に着ける。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1(2コマ)	ビジネスプランの基礎から応用への発展の理解、グループ編成。	1	4人×10グループの編成。
2(2コマ)	自分が興味がある分野でビジネスアイディアを考える。	2・3	ロジカルツリー
3(2コマ)	世の中にない差別化されたサービス・製品を考える。	2・3	差別化戦略
4(2コマ)	販売の方法、ビジネスモデルを考える。	2・3	ビジネスモデル
5(2コマ)	潜在顧客のプロファイル（ペルソナ）を考え、仮説を作る。	2・3・4	ユーザー仮説
6(2コマ)	市場データから潜在需要（TAM）を推計する。	2・3・4	インターネットリサーチ
7(2コマ)	顧客ニーズをインタビューで検証する。（質問準備）	2・3・4	インタビュー内容
8(2コマ)	顧客ニーズをインタビューで検証する。（実施と分析）	2・3・4	潜在ニーズの発掘
9(2コマ)	顧客ニーズをアンケート調査で検証する。（調査準備）	2・3・4	アンケート質問票
10(2コマ)	顧客ニーズをアンケート調査で検証する。（実施と分析）	2・3・4	製品の再設計
11(2コマ)	TAMとアンケート調査結果から売上展開計画を予測する。	2・4・5	販売計画
12(2コマ)	製品の製造方法と原価、人材の採用計画を考える。	2・4・5	バリューチェーン
13(2コマ)	ビジネススタートに必要な資金計画と調達方法を考える。	2・5	ベンチャーファイナンス
14(2コマ)	ビジネスプラン（戦略、収支、資金、展開計画）の形に整理する。	2・5	エクセルシート
15(2コマ)	ビジネスプランの発表ストーリーを考え、発表形式でまとめ、聴衆に効果的に発表する。	2・5・6	発表のストーリー、プレゼンテーション

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	ガゼル企業成長の法則	東出浩教（編著）	中央経済社	2018年　2,592円
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料などを事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
成績は「出席・講義参加状況（40%）」「発表（40%）」「レポート提出（20%）」によって評価する。

【履修上の留意点】
ビジネスプランは、数字の羅列ではなく、起業家の思いの結晶である。「これだ。」という強い思いを少人数のグループワークを通じて、現実的な計画に作り上げていく。仮説と検証を繰り返し、グループで一つの方向にまとめていく力を養う。最後にグループ発表を行い、講義終了後にはグループワークによる自らの学びをレポートで提出する。**履修条件：ビジネスプラン基礎の単位を修得済みの者**

授業科目　実践ベンチャービジネス

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	事業創造学科
古屋　光俊	開講時期	③・④	必修･選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【概要】

1年次に履修したアントレプレナーシップ論を基礎に、ベンチャービジネスを立ち上げ、成功させるためには、起業家（アントレプレナー）は、どのように企業経営を実践すべきかを取り扱う。アントレプレナーが一人で、或いは数名で開始した当初から、10名、数十名、100名、数百名の規模に発展させるために、企業規模、企業ステージごとの経営の変化の在り方(企業形態と経営)を考察し、これらを踏まえて起業家にとって重要となるベンチャー・ビジネスの基礎的事項・知識について学修する。様々な起業の事例研究・考察を通じて、実践的なベンチャー企業の立ち上げ及び経営手法、新事業成功の戦略や立ち上げの成功のために必要となる手法を修得する。

【学習目標】

1．「アントレプレーナーシップ論」での学習内容を具体的なベンチャー企業立ち上げの視点で再確認する。
2．「ベンチャービジネス（スタートアップ）とは何か」を理論的に理解し、自分がベンチャーを起業するイメージを持つ。
3．「日本で成功するベンチャービジネスの立ち上げ方法と成長方法」を科学的に理解する。
4．起業後の事業成長、会社規模の成長とともに、経営上の違い、組織の違いを理解し、起業家として注意すべきポイントを習得する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	アントレプレナーシップ論の再確認	1	アントレプレナー
2	創業メンバーと創業資金を集めてベンチャー企業を起業する	2	創業メンバー、制度的支援
3	ベンチャー企業の立ち上げと成長過程	3、4	成長段階で乗り越える壁
4	資本政策とベンチャーキャピタルからの資金調達	3、4	ベンチャーキャピタル、融資
5	マーケティング戦略とリーンスタートアップ	3、4	参入戦略、仮説検証
6	ビジネスモデルとビジネスプランを練る	3、4	モデルフレームワーク
7	成長資金を調達する、大企業と提携する	3、4	パートナーシップ
8	まとめ(起業家としての今後について)	1～4	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	なし			
参考書	ガゼル企業成長の法則	東出浩教（編著）	中央経済社	2018年
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料などを事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
成績は「講義への積極性（40%）」「中間レポート（30%）」「最終試験（30%）」によって評価する。出席状況が悪い場合は減点とする。

【履修上の留意点】
ベンチャービジネスには、夢と志が必要である。一方で、夢と志だけでは成功できない。日々のリスクに当事者として向き合い、解決しなければならない。そもそもどのように立ち上げればいいか、どのように成長させればいいのか、その問いに科学的に答え、方法論を提示する。2回のテストで知識の定着度を確認する。履修条件：アントレプレナーシップ論の単位を修得済みの者

授業科目　地域産業研究Ⅲ（環境）

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	事業創造学科
櫻井　繁樹 増田　達夫	開講時期	③・④	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

環境・エネルギーに関する知識を習得させ、エネルギー産業の現状と課題について理解させるとともに、再生可能エネルギー分野における新たな事業を創造するための能力と態度を育てる。再生可能エネルギーの活用促進に関する具体的な事例の考察を通して、将来のエネルギー選択の幅の拡大について理解するとともに、新潟県の多様な地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入や当該分野への参入のためのアイデアの考案や方策について考える。

【学習目標】

1．環境問題の概要と国内、国外で進められてきた取り組みについて学修する。
2．環境問題が地域に及ぼすインパクトにつき考える。
3．上記1.2を踏まえて、地域産業との繋がりについて考える。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション（目的、シラバスの流れ、講義の進め方など）	1・2・3	講義
2	環境問題の概要と世界の取り組み	1	講義
3	エネルギー問題の概要と世界の取組み	1	講義
4	環境問題とエネルギーの相互関係	1	講義
5	環境・エネルギー問題をめぐる日本の取組み	1	講義
6	化学物質・廃棄物対策の課題	1	講義
7	森林破壊・砂漠化・生物多様性危機	1	講義
8	環境関連技術の役割	1	講義
9	地域環境・まちづくりへのインパクト	2	講義・演習
10	地域産業へのインパクト	2	講義・演習
11	行政政策へのインパクト	2	講義・演習
12	事例研究(日本の事例から)	1・2・3	演習
13	事例研究(世界の事例から)	1・2・3	演習
14	全体討議:環境の未来と地域産業①(グループワーク)	1・2・3	演習
15	全体討議:環境の未来と地域産業②(発表)	1・2・3	演習

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし	佐久間信夫　編著	ミネルヴァ書房	2016年
その他の資料	独自で収集・作成した教材を使用。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
クラス討議への貢献（40%）
中間レポート（20%）
期末試験（40%）

【履修上の留意点】
関連する動きを、常に好奇心をもってフォローすること。
講義用資料を、毎回2時間は必ず予習し、講義に臨むこと。
議論の技術を身に着けるためにも、クラス討議に積極的に貢献すること。
履修条件：地域経済産業論の単位を修得済みの者

授業科目　ICT活用ビジネス

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	事業創造学科
向　正道 原岡　和生	開講時期	③・④	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

ＩＣＴ技術の目覚ましい進歩があらゆる産業、企業に大きな構造変化をもたらす中、それを活用した独自のビジネスモデルを構築した企業の多くは高収益を実現していることについて解説する。そのうえで、今後ますますの拡大が予想されるＩＣＴ技術の活用によるビジネスの可能性を考察すると共に、ビジネス化可能な産業、ビジネス化するための視点、ビジネス化までのプロセス・手法等の概略を学修する。

【学習目標】

1．ICTの技術をいかにビジネス化するかについて、講義事例を学ぶ。
2．商品開発ならびにその提案書、企画書を書く基礎を身につけることができる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	ガイダンス	1・2	講義
2	ICTの恩恵を考えてみよう（もし、スマホが無かったら？）	1	演習
3	ICTビジネス事例研究①（ビジネスモデルの共通語BMCを知ろう）	1	演習
4	ICTビジネス事例研究②（先人の知恵を学ぶ）	1・2	演習
5	ICTビジネス事例研究③（「今」のNeedsを知るために）	1	演習
6	何が自社の強みか？（特許情報にみる技術とビジネス）	1	演習
7	どんなアプリが欲しい？（ビジネス提案の前に）	1	演習
8	提案書・企画書の書き方①（どんな内容を書けばよい？）	2	演習
9	提案書・企画書の書き方②（他人の書いたものを）	2	演習
10	ICTビジネスプレゼン事例（企画書は他人の共有する為にある）	2	演習
11	ICTビジネス企画策定演習①（まずは書いてみよう）	2	演習
12	ICTビジネス企画策定演習②（他人の書いたものを添削してみる）	2	演習
13	ICTビジネス企画策定演習③（ブラッシュアップ）	2	演習
14	改めてICTの未来を考えてみる（アイデアは無限にある？！）	1	演習
15	まとめ	1・2	演習

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	なし			
参考書	『（インターネット）の次に来るもの 未来を決める12の法則』 『ビジネスモデル・ジェネレーション ワークショップ』	K.ケリー著（服部桂訳） 今津美樹	NHK出版 翔泳社	2016年 2014年
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料などを事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
・中間レポート　30%
・期末試験　70%

【履修上の留意点】
・総合点数60点で合格です。
・課題が多いので、心して受講してください。
・皆さんの提出したレポートや発表資料は、次年度以降の教材等に使われる場合があります。
・講義の順番は、時事ネタの都合で変更になる可能性があります。
履修条件：アントレプレナーシップ論、実践ベンチャービジネスの単位を修得済みの者

授業科目　消費者行動研究

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	事業創造学科
徳田　賢二	開講時期	③・④	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

消費者行動研究とは、消費者がどのような過程で製品の購買決定を行うかを研究するものであり、消費者が製品の購買にいたる過程は非常に複雑であるとの認識から、より精密なものと認識されていることについて解説する。そのうえで、消費者が行う購買や所有といった消費活動を行う際に、どのような要因や影響が結果を左右することになるのかを最近の行動経済学の成果を含め学修するとともに、消費者行動とマーケティングとの関係性をはじめ、消費者行動を把握することの必要性を学修する。

【学習目標】

1．消費者行動についての基礎的概念・モデル・理論を学習し、消費者の視点からビジネスを捉えることができる。
2．マーケティング・リサーチの実施にあたって、消費者行動論に基づく体系的アプローチができる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	ガイダンス（消費と消費者とは）	1・2	講義
2	経済おける消費者の位置づけ	1	講義
3	消費者の購買意思決定	1	講義
4	マーケティングと消費者行動・心理	1	講義
5	環境要因の変化と消費者行動・心理	1	講義
6	世代別・地域別に見た消費者特性	1	講義
7	消費者の買い物行動	1	講義
8	対消費者価格・プロモーション戦略	1・2	講義
9	必需的消費・選択的消費	1・2	講義
10	消費のコモディティ化、プレミアム化	1・2	講義
11	ブランド消費、ネット消費	1・2	講義
12	消費のライフサイクル仮説	1・2	講義
13	行動経済学から見た消費者心理	1・2	講義
14	消費者の社会学的分析	1・2	講義
15	まとめ（将来の消費者行動の方向）	1・2	講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	消費者行動論	青木幸弘	有斐閣	2012年
参考書	お買い物の経済心理学	徳田賢二	筑摩書房	2011年
その他の資料	毎回講義レジメを配布する			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
定期試験100%

【履修上の留意点】
毎回の予習・復習をする。疑問点は質問をする。履修条件：マーケティング、デジタルマーケティングの単位を修得済みの者

授業科目　実践的統計学

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	事業創造学科
徳田　賢二	開講時期	①・②	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

統計学とは、ある程度以上の数のバラツキのあるデータの性質を調べたり、大きなデータ（母集団）から一部を抜き取って、その抜き取ったデータ（標本）の性質を調べることで、元の大きなデータの性質を推測したりするための方法論を体系化したものである。そのうえで、ビジネスに関係する国内所得や景気動向指数等の経済統計の成り立ちと見方について学修するとともに、実際に統計を作成する際に必要となる標本設計等の基礎やビッグデータ等のデータを分析する統計分析手法を学修する。

【学習目標】

1．統計学の基本的な考え方を理解し、他の人に説明できる。
2．データの整理・要約、加工ができる。
3．簡単なグラフの作成、経済データの分析ができる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス(データとは)	1・2・3	講義
2	データ分析の目的・データの形式	1	講義
3	統計学の基礎　その１（度数分布、ヒストグラム）	1	講義
4	統計学の基礎　その２（平均値、中央値、標準偏差）	1	講義
5	回帰分析（単回帰）	2	講義
6	回帰分析（重回帰）	2	講義
7	時系列分析	2	講義
8	検定、ダミー変数	2	講義
9	パネルデータ	2	講義
10	経済統計の読み方　その１（所得統計）	3	講義
11	経済統計の読み方　その２（雇用統計）	3	講義
12	経済統計の読み方　その３（企業統計）	3	講義
13	経済統計の読み方　その４（消費統計）	3	講義
14	ビッグデータ分析の初歩	3	講義
15	まとめ(データ分析の応用可能性)	3	講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	データ分析をマスターする１２のレッスン	畑農悦矢	有斐閣	2017年
参考書	経済指標の読み方	日本経済新聞	日本経済新聞社	2004年
その他の資料	なし			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
定期試験100%	毎回の予習・復習をする。疑問点は質問をする。履修条件：マーケティング、デジタルマーケティングの単位を修得済みの者

審査意見への対応を記載した書類

【資料 8−②】

授業科目　キャリアデザインⅠ

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	事業創造学科
土岐智賀子	開講時期	①	必修･選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【概要】

キャリアデザインとは、理想とする将来の自分を実現するためにどのような仕事・職業や働き方が相応しいかを考え、目標設定を行い、実現に向けて設計することであり、「キャリア」とは単なる職歴ではなく、今後の生き方や働き方という意味合いがあることについて理解する。そのうえで、人生や仕事において自分自身のなりたい姿を描くことについて理解し、個々の夢や目標を実現するための心のあり方や目標設定の仕方、振り返り、生じた問題への対処法など、目標に対して具体的にアプローチするための実践行動に関する知識と技法について学習する。

【学習目標】

1．　基礎知識の理解・修得
2．　目標達成に向けた考えた方の理解及び心のあり方の修得
3．　目標達成に向けたスキルの修得

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス　キャリアデザインの概念と目的の理解	1・2・3	演習
2	目標設定の段階的手法の理解、意欲的な目標設定	1・2・3	事例研究、ディスカッション
3	プラス思考の重要性の理解、思考の変化と行動の関係性の理解	1・2・3	事例研究、ディスカッション
4	専門職業人からの学び	1・2・3	ゲストスピーカー講義、ディスカッション
5	目指す将来像シートの完成	1・2・3	事例研究、ディスカッション
6	社会に出ていくために必要な考え方の理解	1・2・3	事例研究、ディスカッション
7	働く目的と自立の関係性の理解	1・2・3	事例研究、ディスカッション
8	目指すライフスタイルとライフプランの設計、行動計画策定	1・2・3	事例研究、ディスカッション

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	・社会でいきる実践ビジネスマナー	株式会社ウィネット	株式会社ウィネット	2016年2月
	・勝つための就職ガイド ＳＵＣＣＥＳＳ	株式会社ウィネット	株式会社ウィネット	2016年2月
参考書	・大人の常識！　マナーハンドブック	株式会社ウィネット	株式会社ウィネット	2016年2月
その他の資料	・ＳＵＣＣＥＳＳ別冊ワークシート	株式会社ウィネット	株式会社ウィネット	2016年2月
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
・自己分析の深度、アクションプランの内容による評価（50%） ・活発に授業参加するための積極的行動（50%）	講義の理解深度を含め、個々の学生の主体的姿勢が求められる。

授業科目　キャリアデザインⅡ

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	事業創造学科
土岐智賀子	開講時期	②	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【概要】

他者と協調・協働して行動できる態度や他者に方向性を示し、目標を達成するために動員できる能力を養成する。集団に属しているメンバーが同じ目標を達成するために行う作業、協力、意識、行動について理解するとともに、集団や組織の場あるいは個人的な場における感情的な面も含めた人間と人間の関係について学習し、他者を理解する視点についての考察を通して、自己や自我の認識、自己と他者との関係、他者相互間の関係などの理解と人間関係の多様なあり方についての理解を深め、他者との円滑な信頼関係の構築に取り組むことができる姿勢を養う。

【学習目標】

1．　基礎知識の理解・修得
2．　自己分析と自己と他者との関係性の理解、他者との協働の理解
3．　組織において目標達成するために必要となる人間関係、信頼関係構築の理解

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	ガイダンス　授業目的紹介、ルールと諸注意	1	演習
2	目標達成に向けた作業、協力、意識、行動についての理解	1・2・3	演習
3	他者との協働の理解、チームビルディングの実践	1・2・3	演習、ロールプレイング
4	組織活動における問題解決に向けた発想、考え方の理解	1・2・3	演習、プレゼンテーション
5	自律した専門職業人に向けた心構えの理解	1・2・3	演習、事例研究
6	円滑な人間関係構築のための必要性項目の理解	1・2・3	演習、事例研究
7	信頼関係構築のための理解	1・2・3	演習、事例研究
8	行動計画の策定の考え方	1・2・3	演習、プレゼンテーション

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	・社会でいきる実践ビジネスマナー	株式会社ウィネット	株式会社ウィネット	2016年2月
	・勝つための就職ガイド ＳＵＣＣＥＳＳ	株式会社ウィネット	株式会社ウィネット	2016年2月
参考書	・大人の常識！　マナーハンドブック	株式会社ウィネット	株式会社ウィネット	2016年2月
その他の資料	・ＳＵＣＣＥＳＳ別冊ワークシート	株式会社ウィネット	株式会社ウィネット	2016年2月
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
・自己分析の深度、アクションプランの内容による評価（50%） ・活発に授業参加するための積極的行動（50%）	講義の理解深度を含め、個々の学生の主体的姿勢が求められる。履修条件：キャリアデザインⅠの単位を修得済みの者

授業科目　キャリアデザインⅢ

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	事業創造学科
渡辺芳久	開講時期	②	必修･選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【概要】

学生が将来への目的意識を明確に持てるよう、職業観を涵養し、職業に関する知識を身に付け、自己の個性を理解したうえで主体的に進路を選択できる能力及び卒業後も自律・自立して学習できる態度を育成する。外部講師による職業体験談を通じて、勤労観や職業観を養成するとともに、業界・業種・職種などの企業研究や企業が求める人材像、企業の仕組みなど職業理解を図る。また、自分の個性や性格を理解するための自己分析と職業選択の考え方や進め方について理解し、生涯にわたり学習の活動を続けていくことの必要性と学習の手段や方法を理解する。

【学習目標】

1．　基礎知識の理解・修得
2．　自己分析と業界分析
3．　アクションプランの作成

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス、社会に出ていくために必要な考え方の理解	1	
2	自己の個性及び価値観の分析・理解	2	演習
3	企業が求める人材像についての研究	2	ゲストスピーカー講義、グループ討議
4	企業人がもつ職業観・勤労観の研究	2	ゲストスピーカー講義、グループ討議
5	企業研究の仕方とそのポイント	2	演習
6	職業選択の考え方や進め方の理解	2	演習、グループ討議
7	生涯学習の手段と方法の理解	2・3	演習、グループ討議
8	キャリアデザインの総括	3	演習、プレゼンテーション

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	・社会でいきる実践ビジネスマナー	株式会社ウィネット	株式会社ウィネット	2016年2月
	・勝つための就職ガイド ＳＵＣＣＥＳＳ	株式会社ウィネット	株式会社ウィネット	2016年2月
参考書	大人の常識！　マナーハンドブック	株式会社ウィネット	株式会社ウィネット	2016年2月
その他の資料	ＳＵＣＣＥＳＳ別冊ワークシート	株式会社ウィネット	株式会社ウィネット	2016年2月
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
・自己分析の深度、アクションプランの内容による評価（50%） ・活発に授業参加するための積極的行動（50%）	講義の理解深度を含め、個々の学生の主体的姿勢が求められる。履修条件：キャリアデザインⅡの単位を修得済みの者

授業科目　情報リテラシー

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	事業創造学科
向　正道	開講時期	①	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

大学での学習活動、卒業後の職業生活や社会生活において、情報の収集、分析や資料作成等知的活動を効率的、安全に進めるために不可欠な基本的な情報処理能力を身に付けることを目的として、コンピュータやネットワークによって構築される情報環境や、基本的ソフトウエアの仕組みと活用方法、活用に当たって守るべきルール及びマナー、潜在する脅威とそこへの対応法を、演習を交えて体得・学修する。

【学習目標】

1．知的活動に活用する情報環境（コンピュータ、ネットワーク、OS）を理解する
2．情報環境の活用にあたって守るべきルール・マナーを身に付ける
3．知的創造活動に使う基本的アプリケーションソフトウエアの操作法・活用法を身に付ける

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	学内システムの構成とアクセス方法	1・2	
2	インターネットの仕組みとそこに潜む脅威	1	
3	インターネット活用におけるルール・マナー	2	
4	知的生産活動のための情報検索	1・2・3	
5	知的生産活動のためのSNS活用	1・2・3	
6	サーチエンジン	3	
7	データの整理と格納	3	
8	表計算ソフトを用いたデータ分析	3	
9	表計算ソフトを用いたデータ可視化	3	
10	プレゼンテーションツールを用いたストーリ展開	3	
11	プレゼンテーションツールにおける図・表・アニメーション活用	3	
12	レポートの作成①（基本的な文書構成法）	3	
13	レポートの作成②（図・表の活用、他ソフトとの連携）	3	
14	総合演習① レポート文書の作成	1・2・3	
15	総合演習② プレゼンテーション	1・2・3	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	大学生のための情報リテラシー	張磊、桐村喬	共立出版	2018年2月
参考書	なし			
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	資料および補助教材は、事前にダウンロードしてください。演習用パソコンの画面を最大限活用しなくてはならないので、講義資料は印刷して持参することを推奨します。また、授業のなかで紹介した文献、資料による復習を重視してください。			

【評価方法】
中間レポート（40%）
最終レポート（30%）
プレゼンテーション（30%）

【履修上の留意点】
特になし

授業科目　日本語コミュニケーション

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	事業創造学科
常木　正則	開講時期	①・②	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

知的活動でも職業生活や社会生活でも必要となる日本語の運用能力を身に付けることを目標とする。書記言語によるコミュニケーションでは、簡潔で明快かつ論理的な文章を書くための基本的な知識・技術を学修する。同時に、そのような文章を書く際に不可欠な着想力や発想力、論理的思考力について理解する。音声言語によるコミュニケーションでは、実践的なスピーチ力・プレゼンテーション力を高め、的確な意見の述べ方や議論の進め方を学修する。

【学習目標】

1．課題文を正確に読むことができる。
2．考えたことを論理的に表現することができる。
3．文章表現、スピーチの基礎的な知識・技術を理解することができる。
4．論理的なスピーチができる。
5．学友のスピーチを正確に聞き取ることができる。
6．話題をめぐって論理的な話し合いができる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	「課題文１」を正確に読み取る方法としての文章構造図の作成	1	講義・演習
2	「課題文１」についての意見形成及び論理的な意見文を書くための設計図の作成	2	講義・演習
3	「課題文１」の意見文の設計図に基づく意見文の作成	3	講義・演習 「課題文１」の構造図の作成と設計図・意見文の作成
4	「課題文１」の意見文の読み合い・話し合いとスピーチ　その１ 「課題文１」の構造図・設計図・意見文の提出	4・5・6	講義・演習
5	「課題文１」の意見文の批評と指導及び「課題文２」の意見文の作成に向けて 「課題文１」のスピーチ　その２	1・2・3 4・5・6	講義・演習 「課題文２」の構造図の作成と設計図・意見文の作成
6	「課題文２」の意見文の読み合い・話し合いとスピーチ　その１ 「課題文２」の構造図・設計図・意見文の提出	4・5・6	講義・演習
7	「課題文２」の意見文の批評と指導及び「課題文３」の意見文の作成に向けて 「課題文２」の意見文のスピーチ　その２	1・2・3 4・5・6	講義・演習 「課題文３」の構造図の作成と設計図・意見文の作成
8	「課題文３」の意見文の読み合い・話し合いとスピーチ　その１ 「課題文３」の構造図・設計図・意見文の提出	4・5・6	講義・演習
9	「課題文３」の意見文の批評と指導及び「課題文４」の意見文の作成に向けて 「課題文３」の意見文のスピーチ　その２	1・2・3 4・5・6	講義・演習 「課題文４」の構造図の作成と設計図・意見文の作成
10	「課題文４」の意見文の読み合い・話し合いとスピーチ　その１ 「課題文４」の構造図・設計図・意見文の提出	4・5・6	講義・演習
11	「課題文４」の意見文の批評と指導及び「課題文５」の意見文の作成に向けて 「課題文４」の意見文のスピーチ　その２	1・2・3 4・5・6	講義・演習 「課題文５」の構造図の作成と設計図・意見文の作成
12	「課題文５」の意見文の読み合い・話し合いとスピーチ　その１ 「課題文５」の構造図・設計図・意見文の提出	4・5・6	講義・演習
13	「課題文５」の意見文の批評と指導及び「課題文６」の意見文の作成に向けて 「課題文５」の意見文のスピーチ　その２	1・2・3 4・5・6	講義・演習 「課題文６」の構造図の作成と設計図・意見文の作成
14	「課題文６」の意見文の読み合い、話し合いとスピーチ　その１ 「課題文６」の構造図・設計図・意見文の提出	4・5・6	講義・演習
15	「課題文６」の意見文の批評と指導 「課題文６」の意見文のスピーチ　その２	1・2・3 4・5・6	講義・演習

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	なし			
参考書	新版　論理的思考 小論文　書き方と考え方	宇佐美　寛 大堀精一	メヂカルフレンド者 講談社（講談社選書メチエ）	１９８９年 ２０１８年
その他の資料	なし			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料などを事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
終講試験を行う。課題文についての設計図と意見文を書く。（100%）	課題文を読み取り、意見を形成し、意見文の設計と作成をし、意見の発表（スピーチ）を構想する、これらのいずれも思考を必要とし時間もかかるためその学習の大半は家庭学習に課す。

審査意見への対応を記載した書類

【資料 8−③】

授業科目　経済学の基礎

【担当教員名】	対象学年	1年	対象学科	事業創造学科
近藤　正幸	開講時期	①・②	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

経済学は，我々を取り巻く経済の仕組みや，様々な経済活動の仕組みを研究する学問であり、研究の対象は経済活動を行う主体だけでなく、経済活動が行われる場所も考察の対象となることについて解説する。その上で、ミクロ経済学については、市場における需要と供給を通じた個人・消費者や企業の意思決定・行動、市場が機能しない独占・寡占、情報の不完全性、外部経済・外部不経済などについて学修する。また、マクロ経済学については、国内所得(GDP)等の概念や、経済政策、経済成長、国際経済等について学修する。

【学習目標】

1．基本的な経済学の理論を修得する。
2．グローバル化の中での日本が抱える経済問題を理解する。
3．ビジネスを行う上での経済の動きを理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション　経済学の必要性	1	講義
2	経済学の基本原理	1	講義
3	需要と供給	1	講義
4	需要曲線・消費行動	1・3	講義
5	費用の構造と供給行動	1・3	講義
6	市場取引と資源配分	1・3	講義
7	独占と競争の理論	1・3	講義
8	市場の失敗と補正	1・3	講義
9	国民所得の諸概念　マクロ経済における需要と供給	1	講義
10	有効需要と乗数メカニズム	1・3	講義
11	貨幣の機能	1・3	講義
12	マクロ経済政策	1・3	講義
13	経済成長と経済発展	1・3	講義
14	国際経済	1・2・3	講義
15	産業連関分析	1・2・3	講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	入門経済学　第4版	伊藤元重	日本評論社	2015年
参考書	産業連関分析入門　第7版	宮沢健一	日本経済新聞社	2002年
その他の資料	なし			

準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。

【評価方法】	【履修上の留意点】
筆記試験(90%)と受講態度(10%)により評価する。	特になし

授業科目　現代経済学

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	事業創造学科
徳田　賢二	開講時期	①・②	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

社会的に重要な経済に関する主題や現代社会が直面する経済的な諸課題に関する知識と総合的に判断し対処する能力を養うことを目的とする。現代経済の基本的な概念と枠組みについて理解したうえで、経済問題や財政課題の多様性を認識し、経済的な見方や捉え方、考え方を身に付けるとともに、現代社会における経済構造と経済政策との関連性について理解することにより、現実の経済活動や経済現象に対する興味と関心を深める。

【学習目標】

1．グローバル化における日本の経済・産業動向について，基本的知識を修得する。
2．当該動向が日常生活、企業行動に与える影響とそのメカニズムを理解する。
3．論理的思考力を養い、知識を蓄えることで，客観的な問題意識、判断力を修得する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	習方法・学習課題又は備考・担当教
1	ガイダンス	1・2・3	講義
2	日本経済の諸問題１(製造業競争力低下と国内産業空洞化など)	1	講義
3	日本経済の諸問題２(科学技術力の低下の懸念、経常収支の悪化など)	1	講義
4	需要と供給	1	講義
5	財政政策	1	講義
6	金融システム	2	講義
7	金融政策	1・2	講義
8	独占・寡占	2	講義
9	不完全情報とゲーム理論	2	講義
10	環境と経済	2	講義
11	IT, 人口知能と経済	2	講義
12	地域振興と経済	2	講義
13	グローバル経済１(国際プレゼンスの低下など)	3	講義
14	グローバル経済２(エネルギー・食料安全保障の確保など)	3	講義
15	まとめ(経済の将来展望)	3	講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	経済学	市岡修	有斐閣	2000年
参考書	経済学を学ぶ	岩田規久男	筑摩書房	1994年
その他の資料	毎回講義レジメを配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
定期試験100%

【履修上の留意点】
毎回の予習・復習をする。疑問点は質問をする。

授業科目　会計学

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	事業創造学科
平田　沙織	開講時期	②	必修･選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【概要】

会計はビジネスの言語とも言われ、企業の取引や経営実態を理解するうえで不可欠ともいえる。ただし、会計学は企業（営利組織）を対象としたものから非営利組織を対象としたもの、あるいは制度面を重視したものから企業内部の経営管理を重視したものまで、その研究対象は多様なものである。そこで本講義は、会計学全体の概要について学習し、会計諸科目（財務諸表論、管理会計論、税務会計論、国際会計論、環境会計、公会計論、監査論、原価計算論、経営分析論、情報会計論など）の相互関連を理解することを目的とする。

【学習目標】

本講義では、受講生が、１.現代会計に関する基礎的知識や考え方を学修するとともに、２．基本的な会計処理のできる技能を修得することを到達目標とする。具体的には、会計を構成する諸要素の概念と論理が理解でき、簿記の初歩的な処理手続を修得する能力を養成する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	イントロダクション 企業会計の意義と体系	1	講義概要、授業運営、成績評価などの説明、企業会計の領域と方法　会計領域の全体像の学習（企業会計の意義や性格、機能と構造について）
2	会計公準の意味と種類 会計要素の認識と測定	1	会計公準の意味と種類 損益及び財産に関する５要素の概念と関係
3	複式簿記の基礎概念 取引概念と勘定科目	2	簿記の意義と歴史、複式簿記の目的と役割、計算要素の関係式 取引の概念と範囲、勘定科目とその記入
4	貸借記入(増減記入)のルール 仕訳記入と元帳転記	2	会計帳簿への記入の手続き 仕訳帳への仕訳記入と元帳への転記手続き
5	決算手続きと財務諸表 企業会計原則の体系	1.2	試算表・精算表の作成と帳簿決算の手続き 「企業会計原則」の体系及び一般原則
6	企業会計基準の開発 国際財務報告基準の公表	1	「企業会計基準」の開発手続きと内容 IFRS（国際財務報告基準）の概要
7	原価計算の役割と仕組み 会計監査の意義と手続き	1.2	製品製造原価を計算する原価計算の概念と手続きの概要 公認会計士や監査法人が財務諸表を監査する手続きついての概要
8	企業会計の意義と役割と将来の展望、まとめ	1	総括
9			

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	財務会計・入門―企業活動を描き出す会計情報とその活用法（第12版）	桜井久勝・須田一幸	有斐閣	2018年
参考書	財務諸表分析（第7版）	桜井久勝	中央経済社	2017年
その他の資料	教科書は使用せず、資料を配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】

成績の評価は、期末テストの成績（70%）とミニテストの成績（30%）の総合評価で行う。なお、ミニテストは授業時間内に実施する。

【履修上の留意点】

以下の注意事項を遵守して、授業には積極的に出席するように。
１．遅刻はしないようにすること。
２．欠席する場合は、事前に欠席届を提出すること。
また、質問・相談は、基本的に授業終了時に受け付ける。
受講生は、卓上型の電卓を毎回持参すること。

授業科目　経営学の基礎

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	事業創造学科
星和樹	開講時期	①・②	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

経営学を形成する経済学、社会学、心理学、数学、法学等の関連する多様な分野の成果を踏まえた、経営学の基本的体系を学修する。また、企業経営とは、その方針を定め、組織を整えて、目的を達成するよう持続的に事を行うことであるが、その経営の基本的な事項といわれる、ひと、もの、金、情報の取り扱いも学修するとともに、企業経営における全体を俯瞰し、具体的に整合性を考えるなどの全体像について学修する。

【学習目標】

1．企業の運営方法についての基本的考え方を習得できる。
2．経営学の歴史的経緯と現代的必要性について体系的に理解することができる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	ガイダンス（経営学の必要性）	1・2	講義
2	マネジメント・プロセス	1	講義
3	経営資源	1	講義
4	人事労務管理	1	講義
5	生産管理とマーケティング	1	講義
6	財務管理	1	講義
7	情報管理	1	講義
8	経営学の成立と発展	2	講義
9	組織における標準化と科学的管理	2	講義
10	経営の本質的職能と組織原則	2	講義
11	モチベーション論	2	講義
12	リーダーシップ論	2	講義
13	環境と組織構造	2	講義
14	組織の戦略	2	講義
15	まとめ（企業の運営方法及び経営学の必要性について）	1・2	講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	マネジメント	高橋正泰・木全晃・宇田川元一・高木俊雄・星和樹	文眞堂	2012年
参考書	なし			
その他の資料	なし			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の教科書や資料などを事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
授業中における演習課題：50%
定期試験（筆記試験）：50%

【履修上の留意点】
毎回の予習・復習をする。疑問点は質問をする。

授業科目　現代社会学

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	事業創造学科
土岐智賀子	開講時期	③・④	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

現代日本において顕在化する社会問題についての理解を深めることを目的とする。日本では今後も人口減少・少子高齢化が進み、様々な分野に影響を与えると見込まれており、都市への人口集中と地方の疲弊、都市のスポンジ化（空洞化）、労働力不足、介護・福祉のミスマッチなどの深刻化の問題から、情報化、グローバル化の進展による働き方改革、ITの活用、国際交流と移民問題、地球環境問題などの発生など、現代社会が直面する問題をとりあげ、その背景と取り組むべき課題について学修する。

【学習目標】

1．現代日本の社会問題についての概略を理解する。
2．社会の様々な問題について、自ら考え議論する。
3．上記1,2により、将来遭遇するこれらの課題解決のための基本知識と姿勢を身に着ける。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション(目的、シラバスの流れ、講義の進め方など)	1・2・3	講義
2	成熟社会と経済停滞	1・2	講義
3	少子高齢化	1・2	講義
4	都市への集中と地方の過疎化	1・2	講義
5	格差の拡大	1・2	講義
6	介護・老々介護	1・2	講義
7	デジタルデバイド	1・2	講義
8	多様性の尊重	1・2	講義
9	就業スタイルの変化と女性の機会拡大	1・2	講義
10	労働力不足とロボット	1・2	講義
11	地球環境問題と社会生活	1・2	講義
12	移民と日本社会	1・2	講義
13	グローバル化とクールジャパン	1・2	講義
14	全体討議およびまとめ①(グループワーク)	1・2・3	演習
15	全体討議およびまとめ②(発表)	1・2・3	演習

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	独自で収集・作成した教材を使用。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
クラス討議への貢献（40%）
中間レポート（20%）
期末試験（40%）

【履修上の留意点】
社会の動きを、常に好奇心をもってフォローすること。
講義用資料を、毎回2時間は必ず予習し、講義に臨むこと。
議論の技術を身に着けるためにも、クラス討議に積極的に貢献すること。
履修条件：現代産業論の単位を修得済みの者

授業科目　マーケティング

【担当教員名】	対象学年	1年	対象学科	事業創造学科
高松　孝光	開講時期	①・②	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

マーケティングは「売れる仕組み」、「売れ続ける仕組み」を作ることであることについて解説したうえで、基本的なマーケティング用語について理解する。そのうえで、マーケティングの基本概念及び環境分析・戦略立案・施策立案の理論的フレームワークについて学修するとともに、マーケティングの代表的な戦略理論について考察する。

【学習目標】

1．マーケティング概念と理論的フレームワークを理解する。
2．経営戦略としてのマーケティングの位置づけを理解する。
3．理論的で客観的な分析思考を身につける。
4．マーケティング理論体系と社会事例を対比しながら実践的な知識体系を構築する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション（講義概要・進め方、評価のポイントなど）	1・2・3・4	講義
2	マーケティングの定義（経営戦略としての位置づけ）	2	講義
3	マーケティング戦略策定（環境分析、戦略立案、施策立案）	2	講義
4	環境・市場調査	2	講義
5	戦略立案のSTP基本概念	2	講義
6	戦略事例：ブルーオーシャン戦略など	2	講義
7	STPの事例	2	講義
8	ブランドの意味と役割	3	講義
9	ブランド・ビルディングの方法論	3	講義
10	製品戦略	3	講義
11	価格戦略	3	講義
12	チャネル戦略	3	講義
13	マーケティング・コミュニケーション戦略	3	講義
14	ビックデータとマーケティング	3	講義
15	まとめ(マーケティングの理論体系の全般を学んだ後、「現代的マーケティング」の新手法や取り組みについて講義をする。それは産業界の新潮流（インダストリー4.0）とIT駆使したがマーケティングの進化（デジタル・マーケティング）の序説でもある。（学生と対話形式））	4	講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	なし			
参考書	なし			
その他の資料	毎回講義レジメを配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料などを事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
・中間レポート　30%
・授業参加点　10%
・期末テスト　60%

【履修上の留意点】
特になし

授業科目　ビジネスコミュニケーション

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	事業創造学科
原岡和生	開講時期	③・④	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

広報・営業活動、情報のやり取りを担当する組織、顧客満足に関する調査を推進するための部門等の外部とのコミュニケーションの在り方、企業内における異なる部門間の内部コミュニケーションといった企業・組織活動における根幹となるビジネスコミュニケーションの理論と手法について、事例研究や考察を通じて学修し、企業・組織における人間関係の基本的事項であるビジネスコミュニケーションの実践力とは何かを学修する。

【学習目標】

1.コミュニケーションとは何か、を理解する。
2.友達との会話と、ビジネス・コミュニケーションの違いを理解する。
3.ビジネス・コミュニケーションを実践するための基礎的な知識を習得する。
4.代表的なビジネス・シーン（ケース）を理解し、課題やレポート・発表で基礎知識を実践してみる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	ビジネスコミュニケーションって何？（講義概要、講義の進め方等）	1	講義
2	自己紹介：コミュニケーションの最初は、まず自分を知って貰うことから。	2	講義
3	学校紹介（or新潟紹介）：プレゼンテーション基礎。事実を正しく伝える。	2	講義
4	TED：世界の最高峰のプレゼンテーションを見てみよう。	2	講義
5	映画１： 自分の気持ちを伝えて、共感を得るためには何が必要か？	2	講義
6	最後通牒ゲーム： 人の気持ちを考えてみる。（行動経済学入門）	3	講義
7	ハラスメント・忖度・誤解：相手によって何が変わる？	3	講義
8	会議：ただの「言い合い」で終わらないために。ファシリテートと議事録。	3	講義
9	ブラックバイトに注意！：上司と部下、組織の中のコミュニケーション。	3	講義
10	未来のビル・ゲイツ達へ：リーダーシップとチームにおける役割。	3	講義
11	映画２（プラス！）： 真の主張はどこにある？	3	講義
12	企画書： ビジネスコミュニケーションのお作法集①。資料編	4	講義
13	企画書： ビジネスコミュニケーションのお作法集②。発表編	4	講義
14	交渉は事前準備が大変です。：サッカーという名の戦争より。	4	講義
15	講義のまとめ・総復習	4	講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	『サッカーという名の戦争』	平田竹男	新潮社文庫	2011年
参考書	『わかりあえないことから』 『仕事を速くする』 『プロービスMBAマネジメント・ブック　改訂３版』	平田オリザ 芦屋広太 グロービス大学院	講談社現代新書 日経BP社 ダイアモンド社	2012年 2008年 2008年
その他の資料	『TED Talks』 『新聞』 『プラス！』	https://www.ted.com/	囮行者は問わない囮行元切れ	
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
・中間レポート　30点
・期末試験　70点
・（加点）講義課題の発表　10点
・（加点）自由研究レポート　10点

【履修上の留意点】
・総合点数60点で合格です。
・課題が多いので、心して受講してください。
・皆さんの提出したレポートや発表資料は、次年度以降の教材等に使われる場合があります。
・講義の順番は、時事ネタの都合で変更になる可能性があります。

授業科目　アントレプレナーシップ論

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	事業創造学科
近藤　正幸 渡辺　芳久	開講時期	③・④	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

新規事業開発者(起業家、社内起業家、ベンチャー企業の経営者)を対象に、アントレプレナーシップを学修する。事例研究や技法解説を通じて、起業前後に遭遇するであろう諸問題の理解と、対処法の指針や方法を修得する。また、この講義では、起業家として必要な倫理観を身につけるため、企業と社会との関係がどうあるべきかについて、企業とその資金提供者、企業とその全ての利害関係者、企業と国及び地方公共団体との関係の在り方から考察する。　　オムニバス方式／全15回)

(近藤　正幸／9回)
アントレプレナーシップについて、事例研究や技法解説を通じて、起業前後に遭遇するであろう諸問題の理解と、対処法の指針や方法を修得する。

(渡辺　芳久／6回)
企業とその資金提供者、企業とその全ての利害関係者、企業と国及び地方公共団体との関係の在り方から考察する。

【学習目標】

1、アントレプレナーに求められる資質を、理論的に理解し、自らの資質と課題を認識する。
2、アントレプレナーが大きくかかわるベンチャーについてその特性、国内外における状況について理解する。
3、新規事業開発者に必要な倫理観や社会との関係性を理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	アントレプレナーシップとは		アントレプレナーシップ　講義
2	成功するアントレプレナーとは		アントレプレナーシップ　講義
3	イノベーションとアントレプレナーシップ		アントレプレナーシップ　講義
4	ベンチャーとアントレプレナーシップ		アントレプレナーシップ　講義
5	ベンチャーの起業から成長へ		アントレプレナーシップ　講義
6	ベンチャーと地域のエコシステム		アントレプレナーシップ　講義
7	日本のベンチャー―大学発ベンチャーを中心に		アントレプレナーシップ　講義
8	米国・中国のベンチャー		アントレプレナーシップ　講義
9	日本における企業統治の特徴		アントレプレナーシップ　講義
10	企業と情報開示		企業倫理　講義
11	公開企業と非公開企業		企業倫理　講義
12	企業活動に対する規制		企業倫理　講義
13	企業の社会的責任		企業倫理　講義
14	社会的起業		企業倫理　講義
15	企業と国及び地方公共団体との関係		企業倫理　講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	なし			
参考書	『1からのアントレプレナーシップ』 ドラッカー「イノベーションと起業家精神」	山田幸三・江島由裕編著 藤田勝利	碩学舎 ジャパンタイムズ	2017年。 2016年。
その他の資料	事前に講義資料を配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料などを事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
筆記試験(30%)、レポート(60%)、受講態度(10%)により評価する。

【履修上の留意点】
特になし

授業科目　地域経済産業論

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	事業創造学科
徳田　賢二　渡辺　芳久	ｓｓ	③・④	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

地域経済は、地域の視点から見た日本経済論である。地域経済は、経済的には地域内の資源をベースとした経済循環が機能し、他地域、域外との交流、交易を軸に成り立っている。産業面では経済発展に即した産業構造の形成，さらに企業視点では、地域企業、全国企業、グローバル企業の立地がオーバーラップし、そのための社会インフラ整備による環境整備が重視される。本講義の後半では、特に地域経済の発展を左右する、地域中小企業の活性化状況、そのための中小企業振興施策について、ケーススタディを元に考察していく。
オムニバス方式／全15回）
（徳田　賢二／9回）
地域の視点から見た日本経済を経済面、産業面、さらに企業視点から考察する。
（渡辺　芳久／6回）
地域中小企業の活性化状況、そのための中小企業振興施策について、ケーススタディを元に考察していく。

【学習目標】

1. 地域経済と所得形成に関する基本概念を理解し、自ら説明できる。
2. 地域経済構造の仕組みを理解し、企業、消費者、自治体など地域経済の主体の役割分担を評価することができる。
3. 地域経済発展における地域中小企業の活性化の必要性、及び中小企業振興施策のあり方を説明することができる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	習方法・学習課題又は備考・担当教
1	地域経済、地域産業の意義	1	地域経済学　講義
2	日本の地域経済構造	2	地域経済学　講義
3	地域経済と産業構造	1、2	地域経済学　講義
4	地域間交易と経済発展	2	地域経済学　講義
5	企業集積、産業立地	2、3	地域経済学　講義
6	地域開発、インフラ整備	2	地域経済学　講義
7	地域経済政策	2、3	地域経済学　講義
8	中小企業振興政策(国、地方)	3	地域経済学　講義
9	地域イノベーション振興施策	3	地域経済学　講義
10	地域中小企業 その1　ケーススタディ 部品製造業	3	中小企業論　講義
11	地域中小企業 その2　ケーススタディ It企業	3	中小企業論　講義
12	地域中小企業 その3　ケーススタディ 農業	3	中小企業論　講義
13	地域中小企業 その4　ケーススタディ 流通業	3	中小企業論　講義
14	地域中小企業 その5　ケーススタディ サービス業	3	中小企業論　講義
15	地域中小企業の活性化要件	3	中小企業論　講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	地域経済学入門	山田浩之、徳岡一幸	有斐閣	2018年・2700円
参考書	日本の中小企業	関満博	中央公論社	2017年・864円
その他の資料	毎回講義レジメを配布する			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
定期試験100%

【履修上の留意点】
毎回の予習・復習をする。疑問点は質問をする。

授業科目　ICT活用ビジネス

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	事業創造学科
向　正道 原岡　和生	開講時期	③・④	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

ＩＣＴ技術の目覚ましい進歩があらゆる産業、企業に大きな構造変化をもたらす中、それを活用した独自のビジネスモデルを構築した企業の多くは高収益を実現していることについて解説する。そのうえで、今後ますますの拡大が予想されるＩＣＴ技術の活用によるビジネスの可能性を考察すると共に、ビジネス化可能な産業、ビジネス化するための視点、ビジネス化までのプロセス・手法等の概略を学修する。

【学習目標】

1．ICTの技術をいかにビジネス化するかについて、講義事例を学ぶ。
2．商品開発ならびにその提案書、企画書を書く基礎を身につけることができる。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ガイダンス	1・2	講義
2	ICTの恩恵を考えてみよう（もし、スマホが無かったら？）	1	演習
3	ICTビジネス事例研究①（ビジネスモデルの共通語BMCを知ろう）	1	演習
4	ICTビジネス事例研究②（先人の知恵を学ぶ）	1・2	演習
5	ICTビジネス事例研究③（「今」のNeedsを知るために）	1	演習
6	何が自社の強みか？（特許情報にみる技術とビジネス）	1	演習
7	どんなアプリが欲しい？（ビジネス提案の前に）	1	演習
8	提案書・企画書の書き方①（どんな内容を書けばよい？）	2	演習
9	提案書・企画書の書き方②（他人の書いたものを）	2	演習
10	ICTビジネスプレゼン事例（企画書は他人の共有する為にある）	2	演習
11	ICTビジネス企画策定演習①（まずは書いてみよう）	2	演習
12	ICTビジネス企画策定演習②（他人の書いたものを添削してみる）	2	演習
13	ICTビジネス企画策定演習③（ブラッシュアップ）	2	演習
14	改めてICTの未来を考えてみる（アイデアは無限にある？！）	1	演習
15	まとめ	1・2	演習

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	なし			
参考書	『（インターネット）の次に来るもの 未来を決める12の法則』 『ビジネスモデル・ジェネレーション ワークショップ』	K.ケリー著（服部桂訳） 今津美樹	NHK出版 翔泳社	2016年 2014年
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。			
準備学習（予習・復習等）	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料などを事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			

【評価方法】
・中間レポート　30%
・期末試験　70%

【履修上の留意点】
・総合点数60点で合格です。
・課題が多いので、心して受講してください。
・皆さんの提出したレポートや発表資料は、次年度以降の教材等に使われる場合があります。
・講義の順番は、時事ネタの都合で変更になる可能性があります。
履修条件：アントレプレナーシップ論、実践ベンチャービジネスの単位を修得済みの者

審査意見への対応を記載した書類

【資料 9】

審査意見への対応を記載した書類

【資料 9−①】

臨地実務実習実施計画

開志専門職大学

事業創造学部

開志専門職大学臨地実務実習実施計画もくじ

１．企業内実習Ⅰ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
２．新規商品開発・販売実習Ⅰ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７
３．企業内実習Ⅱ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３
４．新規商品開発・販売実習Ⅱ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２０
５．企業内実習Ⅲ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２６

（添付資料）

添付資料１　臨地実務実習施設所要時間一覧表・・・・・・・・・・・・・・・　０１
添付資料２　臨地実務実習履修についての同意誓約書・・・・・・・・・・・・　０２
添付資料３　臨地実務実習計画票・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　０３
添付資料４　臨地実務実習報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　０５
添付資料５　実習日誌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　０７
添付資料６　事故・災害発生報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　０９
添付資料７　実施協定書（ひな形）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１
添付資料８　履修スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１６
添付資料９－１　臨地実務実習予定表　企業内実習Ⅰ・・・・・・・・・・・・　１７
添付資料９－２　臨地実務実習予定表　新規商品開発・販売実習Ⅰ・・・・・・　１８
添付資料９－３　臨地実務実習予定表　企業内実習Ⅱ・・・・・・・・・・・・　１９
添付資料９－４　臨地実務実習予定表　新規商品開発・販売実習Ⅱ・・・・・・　２０
添付資料９－５　臨地実務実習予定表　企業内実習Ⅲ・・・・・・・・・・・・　２１
添付資料10－１　実習先との連携表　企業内実習Ⅰ・・・・・・・・・・・・・　２２
添付資料10－２　実習先との連携表　新規商品開発・販売実習Ⅰ・・・・・・・　２４
添付資料10－３　実習先との連携表　企業内実習Ⅱ・・・・・・・・・・・・・　２６
添付資料10－４　実習先との連携表　新規商品開発・販売実習Ⅱ・・・・・・・　２９
添付資料10－５　実習先との連携表　企業内実習Ⅲ・・・・・・・・・・・・・　３１
添付資料11　臨地実務実習指導教員別スケジュール表・・・・・・・・・・・・　３３
添付資料12－１　事業創造学部学生時間割（１期）・・・・・・・・・・・・・　３５
添付資料12－２　事業創造学部学生時間割（２期）・・・・・・・・・・・・・　３６
添付資料12－３　事業創造学部学生時間割（３期）・・・・・・・・・・・・・　３７
添付資料12－４　事業創造学部学生時間割（４期）・・・・・・・・・・・・・　３８
添付資料13　授業科目毎の実習評価基準表・・・・・・・・・・・・・・・・・　３９～４３

添付資料13 - 1

○事業創造学科　臨地実務実習評価基準

科目名：企業内実習Ⅰ

配当年次	1③④	必修・選択	必修
単位数	2	時間数	60

観点	No.	到達目標＼レベル	A	B	C	D	E
知識・理解	1	実習先企業の企業組織の持つ特徴を理解している。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	2	実習先の企業の経営理念を踏まえ、社会的な役割、使命を説明できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	3	実習先の企業の各部署の役割、仕事内容を説明できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	4	実習先の企業の事業の概要、顧客価値について説明できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
技能	5	状況に応じて適切な敬語の使い分けをすることができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	6	パソコンを活用し、簡単なビジネス文章作成を作成できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	7	周囲の状況を踏まえた発言・行動をとることができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	8	説明する相手に対して、「何を」「どこまで説明するのか」や発表する時間と内容バランス、重要なことを踏まえた発言・行動を実践できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
志向・態度	9	法令や職場のルール、慣行などを順守している。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	10	出勤時間、約束時間などの定刻前に到着する等、不測の事態に備えた行動を意識している。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	11	社会人として求められる能力と自身を把握し、分析し、その状況を認識しようとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	12	相手に興味・関心を強く持ち、相手の心理を読み取ろうとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	13	聞き方のポイント押さえ、また、分かりやすく話そうとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない

添付資料13-2

○事業創造学科　臨地実務実習評価基準

科目名：新規商品開発・販売実習Ⅰ

配当年次	2①②	必修・選択	必修
単位数	5	時間数	150

観点	No.	到達目標＼レベル	A	B	C	D	E
知識・理解	1	市場環境の情報収集や分析手法（市場の成長性・トレンド・ニーズ）を理解し、説明できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	2	マーケティングコンセプト（セグメンテーション・ターゲティング・ポジショニング）について理解し、説明できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	3	商品アイデア（商品コンセプト）と経営資源（生産・技術・供給・流通等）との関係性について理解し、説明できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	4	新規商品開発に必要なしくみや用語を理解し、説明できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	5	新規商品販売に必要なしくみや用語を理解し、説明できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
技能	6	新規商品開発・販売計画について、基本的なマーケティングの理論を踏まえた計画の概要を策定することができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	7	策定した計画の概要を聞き手にわかりやすく、また、重要となるポイントを明確かつ正確に伝えることができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	8	実行した成果に対して客観的に評価・分析し、課題を抽出することができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
志向・態度	9	市場の変化、動向に幅広い関心を持ち、高いチャレンジ精神を持とうとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	10	新しい商品開発・販売に関しての必要性を認識し、情熱をもって取り組もうとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	11	策定した計画の実行について、根気強い努力を継続しようとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない

添付資料13 - 3

○事業創造学科　臨地実務実習評価基準　科目名：企業内実習Ⅱ

配当年次	2③④	必修・選択	必修
単位数	4	時間数	120

観点	No.	到達目標＼レベル	A	B	C	D	E
知識・理解	1	実習先企業の業態(商品の売り方・サービスの提供方法など)を理解している。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	2	実習先企業の企業経営者のリーダーシップの取り方における重要となる要素(思考力、行動力、人間力、折衝力)を理解している。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	3	実習先企業の経営課題を設定するまでに検討が必要な要素、過程を理解している。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	4	実習先企業の経営目標の設定、経営戦略、アクションプランを策定するまでの過程を理解している。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
技能	5	経営課題を踏まえた目標設定とその課題を克服するためのプランを策定する。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	6	誰に対して、どこまで説明するのか、発表する時間と内容バランス、大切なことと削除して良い事を区分できるかなどを実践できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	7	経営のあるべき姿の視点から事業の成長や利益の確保に向けた改善案を提案できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	8	顧客の視点から消費者や取引先にとっての魅力や評価の向上を理解し、改善案を提案できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	9	業務プロセスの視点から社内オペレーションや営業などにおける改善案を提案できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
志向・態度	10	仕事を効率的に進められるように、作業の工夫や改善に取り組んでいる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	11	必要性に気づいたら、人に指摘される前に行動に移している。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	12	より良いアイデアを追求し、周囲に意見を述べている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	13	相手の心情を配慮し、適切な態度や言葉遣い、姿勢で依頼や折衝をしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	14	相手に興味・関心を強く持ち、相手の心理を読み取ろうとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	15	聞き方のポイントを押さえ、また、分かりやすく話そうとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない

添付資料13-4

○事業創造学科　臨地実務実習評価基準

科目名：新規商品開発・販売実習Ⅱ

配当年次	3①②	必修・選択	必修
単位数	5	時間数	150

観点	No.	レベル / 到達目標	A	B	C	D	E
知識・理解	1	市場環境の情報収集・分析手法（市場の成長性・トレンド・ニーズ）を理解し、説明できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	2	マーケティングコンセプト（セグメンテーション・ターゲティング・ポジショニング）について理解し、説明できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	3	商品アイデア（商品コンセプト）と経営資源（生産・技術・供給・流通等）との関係性について理解し、説明できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	4	新規商品の開発に必要な工程を理解し、説明できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	5	新規商品を販売するために必要となるしくみを理解し、説明できる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
技能	6	新規商品開発・販売計画について、基本的なマーケティングの理論と基本的な会計の理論を踏まえた一貫性のある計画を策定することができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	7	策定した計画を聞き手にわかりやすく、また、重要となるポイントを明確かつ正確に伝えることができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	8	実行した成果に対して客観的に評価・分析し、課題を抽出したうえで、その課題に対する対策案を立てることができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
志向・態度	9	市場の変化、動向に幅広い関心を持ち、高いチャレンジ精神を持とうとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	10	新しい商品開発・販売に関しての必要性を認識し、情熱をもって取り組もうとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	11	策定した計画の実行について、根気強い努力を継続しようとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない

添付資料13-5

○事業創造学科　臨地実務実習評価基準　科目名：企業内実習Ⅲ

配当年次	3③④	必修・選択	必修
単位数	6	時間数	180

観点	No.	レベル / 到達目標	A	B	C	D	E
知識・理解	1	実習先企業の経営活動及び、経営戦略・方針や経営組織の役割を理解している。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	2	トップマネジメントに必要となる経営管理に必要な知識を理解している。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	3	会計・財務に関する基本的な理論を理解している。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
技能	4	実習先の経営課題を論理的な思考に基づき、抽出したうえで、経営戦略を踏まえた目標設定とその課題解決に向けた方策を策定することができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	5	企業内実習Ⅰ・Ⅱ、新規商品開発・販売実習Ⅰ・Ⅱにて修得した技能を応用し、実践することができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	6	実習先企業の経営課題を踏まえて、経営戦略や経営組織の理解、トップマネジメントの理解、会計・財務に関する理論を総合的に活用して課題解決策を提案書にまとめることができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	7	実習先企業の経営課題とその対策について、わかりやすくプレゼンテーションすることができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
志向・態度	8	指示された目的・目標に向かって諦めずに最後まで努力することができる。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	9	企業人として求められる能力を意識しながら、自己の改善を試みようとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	10	変化する社会の動向に広く関心をもち、変化に対応する力・行動・考え方を意識しながら、柔軟に対応しようと心掛けている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない
	11	価値観の異なる他者と協働し、互いに貢献し合いながらチームとして成果を生み出すことの意義を理解し、実践しようとしている。	目標を大きく超え、非常に優秀である。	目標を超え、優秀である	概ね目標に達している	単位を認める最低限の基準に達している	単位を認める最低限の基準に達していない

審査意見への対応を記載した書類

【資料 9−②】

臨地実務実習実施計画

開志専門職大学

事業創造学部

開志専門職大学臨地実務実習実施計画もくじ

１．企業内実習Ⅰ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
２．新規商品開発・販売実習Ⅰ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７
３．企業内実習Ⅱ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３
４．新規商品開発・販売実習Ⅱ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２０
５．企業内実習Ⅲ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２６

（添付資料）

添付資料１　臨地実務実習施設所要時間一覧表・・・・・・・・・・・・・・・　０１
添付資料２　臨地実務実習履修についての同意誓約書・・・・・・・・・・・・　０２
添付資料３　臨地実務実習計画票・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　０３
添付資料４　臨地実務実習報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　０５
添付資料５　実習日誌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　０７
添付資料６　事故・災害発生報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　０９
添付資料７　実施協定書（ひな形）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１
添付資料８　履修スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１６
添付資料９－１　臨地実務実習予定表　企業内実習Ⅰ・・・・・・・・・・・・　１７
添付資料９－２　臨地実務実習予定表　新規商品開発・販売実習Ⅰ・・・・・・　１８
添付資料９－３　臨地実務実習予定表　企業内実習Ⅱ・・・・・・・・・・・・　１９
添付資料９－４　臨地実務実習予定表　新規商品開発・販売実習Ⅱ・・・・・・　２０
添付資料９－５　臨地実務実習予定表　企業内実習Ⅲ・・・・・・・・・・・・　２１
添付資料10－１　実習先との連携表　企業内実習Ⅰ・・・・・・・・・・・・・　２２
添付資料10－２　実習先との連携表　新規商品開発・販売実習Ⅰ・・・・・・・　２４
添付資料10－３　実習先との連携表　企業内実習Ⅱ・・・・・・・・・・・・・　２６
添付資料10－４　実習先との連携表　新規商品開発・販売実習Ⅱ・・・・・・・　２９
添付資料10－５　実習先との連携表　企業内実習Ⅲ・・・・・・・・・・・・・　３１
添付資料11　臨地実務実習指導教員別スケジュール表・・・・・・・・・・・・　３３
添付資料12－１　事業創造学部学生時間割（１期）・・・・・・・・・・・・・　３５
添付資料12－２　事業創造学部学生時間割（２期）・・・・・・・・・・・・・　３６
添付資料12－３　事業創造学部学生時間割（３期）・・・・・・・・・・・・・　３７
添付資料12－４　事業創造学部学生時間割（４期）・・・・・・・・・・・・・　３８
添付資料13　授業科目毎の実習評価基準表・・・・・・・・・・・・・・・・・　３９～４３

・パソコンを活用し、簡単なビジネス文章を作成できる。
・周囲の状況を踏まえた発言・行動をとることができる。
・説明する相手に対して、「何を」「どこまで説明するのか」や発表する時間と内容バランス、重要なことを踏まえた発言・行動を実践できる。

③志向・態度
・法令や職場のルール、慣行などを順守している。
・出勤時間、約束時間などの定刻前に到着する等、不測の事態に備えた行動を意識している。
・社会人として求められる能力と自身を把握し、分析し、その状況を認識しようとしている。
・相手に興味・関心を強く持ち、相手の心理を読み取ろうとしている。
・聞き方のポイント押さえ、また、分かりやすく話そうとしている。

Ⅳ　実習科目の履修要件

この臨地実務実習科目を履修するための要件となる科目として、「情報リテラシー」「日本語コミュニケーション」「ビジネスモラル」全ての科目の単位を修得していることを要件とする。

Ⅴ　成績評価基準及び方法

［評価基準］

A：目標を大きく超え、非常に優秀である。
B：目標を超え、優秀である
C：概ね目標に達している
D：単位を認める最低限の基準に達している
E：単位を認める最低限の基準に達していない

［評価方法］

実習評価は、臨地実務実習指導者、実習担当教員により評価し、実習科目責任教員が最終的に単位を認定する。また、評価は実習到達目標に基づく評価と実習日誌、事後アンケート等から総合的に評価する。実習項目毎に評価項目の割合を提示する。

Ⅵ　実習施設（受入れ予定人数）

株式会社ウイネット　（2人）
株式会社エデュースホールディングス　（5人）
株式会社エヌエスジー教育ネットワーク　（5人）
株式会社NSGアカデミー　（5人）
株式会社サーティファイ　（2人）
株式会社小川屋　（5人）

株式会社日本フードリンク　本社　（5人×2グループ）
株式会社ベジ・アビオ　（2人）
グローカルマーケティング株式会社　（5人）
新潟綜合警備保障株式会社　（5人）
越後味噌醸造株式会社　（5人）
株式会社ヒューマンブレイン　（2人）
今代司酒造株式会社　（5人）
株式会社峰村商店　（5人）
株式会社アイ・シー・オー　（5人）
株式会社国際総合計画　（5人）
株式会社MGNET　（2人）
Adam Innovations株式会社　（5人）

○以下の実習施設は臨地実務実習施設の確保状況説明書（別記様式第7号の4）に記載した施設であるものの、長期休暇を利用して実施する実習施設とし、実施計画の中では受入れ人数を想定しない。通期に履修できなかった学生のための代替施設として位置づける。以下の実習施設での実施によって宿泊先の確保が必要な場合は、大学指定の宿泊先を確保し、掛かる交通費に対して補助金を支給する。

アートグリーン株式会社（2人）
株式会社ミールワークス（5人）

実習指導者の配置
※資料１０－１参照

Ⅶ　実習進行予定

○以下の内容にて10月上旬から2月中旬の毎週水曜日に実習を実施する。※資料９－１（１７ページ）参照

第1週　企業概要の説明（企業沿革、事業内容、社会的意義等）（企業説明）
臨地実務実習に取り組むことで何を修得すべきかという目的と姿勢の明確化
業務現場の見学およびヒアリング（気づいたことのまとめ）
実習先部署でのワークフロー、作業動線の説明と確認
第2週　社内コミュニケーションの観察と実践①ビジネスマナー、挨拶、電話、メール
第3週　社内コミュニケーションの観察と実践②会議、ミーティング、報告・連絡・相談
第4週　顧客対応の観察と実践①敬語・言葉使い、身だしなみ、表情・態度

審査意見への対応を記載した書類

【資料 9−③】

臨地実務実習実施計画

開志専門職大学

事業創造学部

開志専門職大学臨地実務実習実施計画もくじ

１．企業内実習Ⅰ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
２．新規商品開発・販売実習Ⅰ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７
３．企業内実習Ⅱ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３
４．新規商品開発・販売実習Ⅱ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２０
５．企業内実習Ⅲ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２６

（添付資料）

添付資料１　臨地実務実習施設所要時間一覧表・・・・・・・・・・・・・・　０１
添付資料２　臨地実務実習履修についての同意誓約書・・・・・・・・・・・　０２
添付資料３　臨地実務実習計画票・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　０３
添付資料４　臨地実務実習報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　０５
添付資料５　実習日誌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　０７
添付資料６　事故・災害発生報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　０９
添付資料７　実施協定書（ひな形）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１
添付資料８　履修スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１６
添付資料９－１　臨地実務実習予定表　企業内実習Ⅰ・・・・・・・・・・・　１７
添付資料９－２　臨地実務実習予定表　新規商品開発・販売実習Ⅰ・・・・・・　１８
添付資料９－３　臨地実務実習予定表　企業内実習Ⅱ・・・・・・・・・・・・　１９
添付資料９－４　臨地実務実習予定表　新規商品開発・販売実習Ⅱ・・・・・・　２０
添付資料９－５　臨地実務実習予定表　企業内実習Ⅲ・・・・・・・・・・・・　２１
添付資料10－１　実習先との連携表　企業内実習Ⅰ・・・・・・・・・・・・・　２２
添付資料10－２　実習先との連携表　新規商品開発・販売実習Ⅰ・・・・・・・　２４
添付資料10－３　実習先との連携表　企業内実習Ⅱ・・・・・・・・・・・・・　２６
添付資料10－４　実習先との連携表　新規商品開発・販売実習Ⅱ・・・・・・・　２９
添付資料10－５　実習先との連携表　企業内実習Ⅲ・・・・・・・・・・・・・　３１
添付資料11　臨地実務実習指導教員別スケジュール表・・・・・・・・・・・　３３
添付資料12－１　事業創造学部学生時間割（１期）・・・・・・・・・・・・・　３５
添付資料12－２　事業創造学部学生時間割（２期）・・・・・・・・・・・・・　３６
添付資料12－３　事業創造学部学生時間割（３期）・・・・・・・・・・・・・　３７
添付資料12－４　事業創造学部学生時間割（４期）・・・・・・・・・・・・・　３８
添付資料13　授業科目毎の実習評価基準表・・・・・・・・・・・・・・・・・　３９～４３

・商品アイデア（商品コンセプト）と経営資源（生産・技術・供給・流通等）との関係性について理解し、説明できる。
・新規商品開発に必要なしくみや用語を理解し、説明できる。
・新規商品販売に必要なしくみや用語を理解し、説明できる。

②技能
・新規商品開発・販売計画について、基本的なマーケティングの理論を踏まえた計画の概要を策定することができる。
・策定した計画の概要を聞き手にわかりやすく、また、重要となるポイントを明確かつ正確に伝えることができる。
・実行した成果に対して客観的に評価・分析し、課題を抽出することができる。

③志向・態度
・市場の変化、動向に幅広い関心を持ち、高いチャレンジ精神を持とうとしている。
・新しい商品開発・販売に関しての必要性を認識し、情熱をもって取り組もうとしている。
・策定した計画の実行について、根気強い努力を継続しようとしている。

IV　実習科目の履修要件

臨地実務実習科目を履修するには、原則として「企業内実習Ⅰ」「経営学の基礎」「経済学の基礎」「経営戦略論」「マーケティング」「デジタルマーケティング」すべての科目の単位を修得していることを要件とする。

V　成績評価基準及び方法

［評価基準］

A：目標を大きく超え、非常に優秀である。
B：目標を超え、優秀である
C：概ね目標に達している
D：単位を認める最低限の基準に達している
E：単位を認める最低限の基準に達していない

［評価方法］

実習評価は、臨地実務実習指導者、実習担当教員により評価し、実習科目責任教員が最終的に単位を認定する。また、評価は実習到達目標に基づく評価と実習日誌、事後アンケート等から総合的に評価する。実習項目毎に評価項目の割合を提示する。

VI　実習施設（受入れ予定人数）

株式会社ウイネット　（２人）
株式会社エデュースホールディングス　（５人）

株式会社エヌエスジー教育ネットワーク　（５人）
株式会社 NSG アカデミー　（５人）
株式会社サーティファイ　（５人）
株式会社小川屋　（５人）
グローカルマーケティング株式会社　（５人）
新潟綜合警備保障株式会社　（５人）
株式会社新潟プロバスケットボール本社（5 人）
越後味噌醸造株式会社　（５人）
今代司酒造株式会社　（５人）
株式会社峰村商店　（５人）
株式会社 MGNET　（５人）
リコージャパン株式会社新潟支社（１２人）※6 名×2 グループ
株式会社幻の酒　（６人）

○以下の実習施設は臨地実務実習施設の確保状況説明書（別記様式第７号の４）に記載した施設であるものの、長期休暇を利用して実施する実習施設とし、実施計画の中では受入れ人数を想定しない。通期に履修できなかった学生のための代替施設として位置づける。以下の実習施設での実施によって宿泊先の確保が必要な場合は、大学指定の宿泊先を確保し、掛かる交通費に対して補助金を支給する。

アートグリーン株式会社（５人）
株式会社ミールワークス（５人）

実習指導者の配置
※資料１０－２参照

Ⅶ　実習進行予定
○以下の内容にて４月上旬から８月上旬の毎週火曜日（終日）と水曜日（午後）に実習を実施する。　※資料９－２（１８ページ）参照

第１週　企業概要の説明（企業沿革、事業内容、社会的意義等）（企業説明）
競合他社等業界事情、業界を取り巻く環境や課題説明(企業説明)
第 2～5 週　競合他社・市場分析、事業の強みと弱み、社会的重要性についての調査・ディスカッション
既存商品販売現場見学及び販売体験、ニーズヒアリング
第６～７週　個人アイデアの抽出、検討
第８～９週　グループワークにて構想まとめ（競合との比較、各所ヒアリング）

審査意見への対応を記載した書類

【資料 9−④】

臨地実務実習実施計画

開志専門職大学

事業創造学部

開志専門職大学臨地実務実習実施計画もくじ

１．企業内実習Ⅰ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
２．新規商品開発・販売実習Ⅰ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７
３．企業内実習Ⅱ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３
４．新規商品開発・販売実習Ⅱ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２０
５．企業内実習Ⅲ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２６

（添付資料）

添付資料１　臨地実務実習施設所要時間一覧表・・・・・・・・・・・・・・　０１
添付資料２　臨地実務実習履修についての同意誓約書・・・・・・・・・・・　０２
添付資料３　臨地実務実習計画票・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　０３
添付資料４　臨地実務実習報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　０５
添付資料５　実習日誌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　０７
添付資料６　事故・災害発生報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　０９
添付資料７　実施協定書（ひな形）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１
添付資料８　履修スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１６
添付資料９－１　臨地実務実習予定表　企業内実習Ⅰ・・・・・・・・・・・　１７
添付資料９－２　臨地実務実習予定表　新規商品開発・販売実習Ⅰ・・・・・・　１８
添付資料９－３　臨地実務実習予定表　企業内実習Ⅱ・・・・・・・・・・・・　１９
添付資料９－４　臨地実務実習予定表　新規商品開発・販売実習Ⅱ・・・・・・　２０
添付資料９－５　臨地実務実習予定表　企業内実習Ⅲ・・・・・・・・・・・・　２１
添付資料10－１　実習先との連携表　企業内実習Ⅰ・・・・・・・・・・・・・　２２
添付資料10－２　実習先との連携表　新規商品開発・販売実習Ⅰ・・・・・・・　２４
添付資料10－３　実習先との連携表　企業内実習Ⅱ・・・・・・・・・・・・・　２６
添付資料10－４　実習先との連携表　新規商品開発・販売実習Ⅱ・・・・・・・　２９
添付資料10－５　実習先との連携表　企業内実習Ⅲ・・・・・・・・・・・・・　３１
添付資料11　臨地実務実習指導教員別スケジュール表・・・・・・・・・・・　３３
添付資料12－１　事業創造学部学生時間割（１期）・・・・・・・・・・・・・　３５
添付資料12－２　事業創造学部学生時間割（２期）・・・・・・・・・・・・・　３６
添付資料12－３　事業創造学部学生時間割（３期）・・・・・・・・・・・・・　３７
添付資料12－４　事業創造学部学生時間割（４期）・・・・・・・・・・・・・　３８
添付資料13　授業科目毎の実習評価基準表・・・・・・・・・・・・・・・・・　３９～４３

ート等から総合的に評価する。実習項目毎に評価項目の割合を提示する。

Ⅵ　実習施設（受入れ予定人数）

株式会社ウイネット　（6人）
株式会社エデュースホールディングス　（3人）
株式会社エヌエスジー教育ネットワーク　（3人）
株式会社NSGアカデミー　（5人）
株式会社サーティファイ　（4人）
株式会社小川屋　（2人）
株式会社日本フードリンク　本社　（5人）
株式会社ベジ・アビオ　（2人）
グローカルマーケティング株式会社　（3人）
新潟綜合警備保障株式会社　（3人）
株式会社リビングギャラリー本店　（2人）
株式会社リビングギャラリー新潟中央センター　（2人）※1
株式会社リビングギャラリー新潟駅前店　（2人）※1
株式会社リビングギャラリー新潟古町店　（2人）※1
株式会社リビングギャラリー新潟亀田店　（2人）※1
株式会社リビングギャラリー新潟東店　（2人）※2
株式会社リビングギャラリー新潟大学前店　（2人）※2
株式会社リビングギャラリー新潟西店　（2人）※2
株式会社リビングギャラリー新津店　（2人）※2
株式会社リビングギャラリー新潟北店　（2人）※3
株式会社リビングギャラリー新発田店　（2人）※3
株式会社リビングギャラリー燕三条店　（2人）※3
株式会社リビングギャラリー長岡西店　（2人）※3
株式会社リビングギャラリー長岡東店（2人）※1
越後味噌醸造株式会社　（2人）
株式会社ヒューマンブレイン　（2人）
今代司酒造株式会社　（2人）
株式会社峰村商店　（2人）
株式会社国際総合計画　（3人）
株式会社MGNET　（2人）
株式会社幻の酒　（3人）

○上記の施設名に※印がある施設については、各支店のみの実施で学修到達目標を達成

できないことから、※１～３の３グループに分けたうえで、実習期間中２回（第１週と７週）を本店にて実習を実施するものとし、この経営上層部との関わり方を通じてトップマネジメントの理解を深める。

○以下の実習施設は臨地実務実習施設の確保状況説明書（別記様式第７号の４）に記載した施設であるものの、長期休暇を利用して実施する実習施設とし、実施計画の中では受入れ人数を想定しない。通期に履修できなかった学生のための代替施設として位置づける。以下の実習施設での実施によって宿泊先の確保が必要な場合は、大学指定の宿泊先を確保し、掛かる交通費に対して補助金を支給する。

アートグリーン株式会社（３人）
株式会社リビングギャラリー上越センター（１人）
株式会社リビングギャラリー郡山店（１人）
株式会社リビングギャラリー川崎店（１人）
株式会社リビングギャラリー日暮里店（１人）
株式会社リビングギャラリー錦糸町店（１人）
株式会社リビングギャラリー赤羽店（１人）
株式会社リビングギャラリー船橋店（１人）
株式会社リビングギャラリー高円寺店（１人）
株式会社アイ・シー・オー（５人）
Adam　Innovations 株式会社（２人）
株式会社ミールワークス（３人）

実習指導者の配置
※資料１０－３参照

Ⅶ　実習進行予定
○以下の内容にて 10 月上旬から２月中旬の毎週月曜日（終日）に実習を実施する。
※資料９－３（１９ページ）参照
第１週　企業概要の説明（企業沿革、事業内容、社会的意義等）（企業説明）
競合他社等業界事情、業界を取り巻く環境や課題説明(企業説明)
第２週　競合他社・市場分析、事業の強みと弱み、社会的重要性の把握
第３週　社長（経営上層部）ミーティング及び企業経営課題を踏まえた目標の設定、行動計画の策定（１）（課題の発見抽出、課題の設定）
第４週　社長（経営上層部）ミーティング及び企業経営課題を踏まえた目標の設定、行動計画の策定（２）（解決のための方策の抽出、アクションプランの設定）

審査意見への対応を記載した書類

【資料 9−⑤】

臨地実務実習実施計画

開志専門職大学

事業創造学部

開志専門職大学臨地実務実習実施計画もくじ

１．企業内実習Ⅰ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
２．新規商品開発・販売実習Ⅰ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７
３．企業内実習Ⅱ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３
４．新規商品開発・販売実習Ⅱ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２０
５．企業内実習Ⅲ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２６

（添付資料）

添付資料１　臨地実務実習施設所要時間一覧表・・・・・・・・・・・・・・　０１
添付資料２　臨地実務実習履修についての同意誓約書・・・・・・・・・・・　０２
添付資料３　臨地実務実習計画票・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　０３
添付資料４　臨地実務実習報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　０５
添付資料５　実習日誌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　０７
添付資料６　事故・災害発生報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　０９
添付資料７　実施協定書（ひな形）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１
添付資料８　履修スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１６
添付資料９－１　臨地実務実習予定表　企業内実習Ⅰ・・・・・・・・・・・　１７
添付資料９－２　臨地実務実習予定表　新規商品開発・販売実習Ⅰ・・・・・・　１８
添付資料９－３　臨地実務実習予定表　企業内実習Ⅱ・・・・・・・・・・・・　１９
添付資料９－４　臨地実務実習予定表　新規商品開発・販売実習Ⅱ・・・・・・　２０
添付資料９－５　臨地実務実習予定表　企業内実習Ⅲ・・・・・・・・・・・・　２１
添付資料10－１　実習先との連携表　企業内実習Ⅰ・・・・・・・・・・・・・　２２
添付資料10－２　実習先との連携表　新規商品開発・販売実習Ⅰ・・・・・・・　２４
添付資料10－３　実習先との連携表　企業内実習Ⅱ・・・・・・・・・・・・・　２６
添付資料10－４　実習先との連携表　新規商品開発・販売実習Ⅱ・・・・・・・　２９
添付資料10－５　実習先との連携表　企業内実習Ⅲ・・・・・・・・・・・・・　３１
添付資料11　臨地実務実習指導教員別スケジュール表・・・・・・・・・・・　３３
添付資料12－１　事業創造学部学生時間割（１期）・・・・・・・・・・・・・　３５
添付資料12－２　事業創造学部学生時間割（２期）・・・・・・・・・・・・・　３６
添付資料12－３　事業創造学部学生時間割（３期）・・・・・・・・・・・・・　３７
添付資料12－４　事業創造学部学生時間割（４期）・・・・・・・・・・・・・　３８
添付資料13　授業科目毎の実習評価基準表・・・・・・・・・・・・・・・・・　３９～４３

Ⅵ　実習施設（受入れ予定人数）

株式会社ウイネット　（２人）
株式会社エデュースホールディングス　（５人）
株式会社エヌエスジー教育ネットワーク　（５人）
株式会社 NSG アカデミー　（５人）
株式会社サーティファイ　（５人）
株式会社小川屋　（５人）
グローカルマーケティング株式会社　（５人）
新潟綜合警備保障株式会社　（５人）
株式会社新潟プロバスケットボール本社（5 人）
越後味噌醸造株式会社　（５人）
今代司酒造株式会社　（５人）
株式会社峰村商店　（５人）
株式会社 MGNET　（５人）
リコージャパン株式会社新潟支社（１２人）※6 人×2 グループ
株式会社幻の酒　（６人）

○以下の実習施設は臨地実務実習施設の確保状況説明書（別記様式第７号の４）に記載した施設であるものの、長期休暇を利用して実施する実習施設とし、実施計画の中では受入れ人数を想定しない。通期に履修できなかった学生のための代替施設として位置づける。以下の実習施設での実施によって宿泊先の確保が必要な場合は、大学指定の宿泊先を確保し、掛かる交通費に対して補助金を支給する。

アートグリーン株式会社（５人）
株式会社ミールワークス（５人）

Ⅶ　実習進行予定

○以下の内容にて　４月上旬～8 月上旬の木曜日（午後）と金曜日（終日）に実習を実施する。　※資料９－４（２０ページ）参照

第１週　　企業概要の説明（企業沿革、事業内容、社会的意義等）（企業説明）
　　競合他社等業界事情、業界を取り巻く環境や課題説明(企業説明)
第 2～5 週　競合他社・市場分析、事業の強みと弱み、社会的重要性
　　既存商品販売現場見学及び販売体験、ニーズヒアリング
第６週　　個人アイデアの抽出、検討
第７～８週　グループワークにて構想まとめ（競合との比較、各所ヒアリング）
　　販売計画書の作成（簿記会計の理論を活用した収支計画の概算）

審査意見への対応を記載した書類

【資料 9−⑥】

臨地実務実習実施計画

開志専門職大学

事業創造学部

開志専門職大学臨地実務実習実施計画もくじ

１．企業内実習Ⅰ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
２．新規商品開発・販売実習Ⅰ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７
３．企業内実習Ⅱ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３
４．新規商品開発・販売実習Ⅱ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２０
５．企業内実習Ⅲ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２６

（添付資料）

添付資料１　臨地実務実習施設所要時間一覧表・・・・・・・・・・・・・・　０１
添付資料２　臨地実務実習履修についての同意誓約書・・・・・・・・・・・　０２
添付資料３　臨地実務実習計画票・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　０３
添付資料４　臨地実務実習報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　０５
添付資料５　実習日誌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　０７
添付資料６　事故・災害発生報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　０９
添付資料７　実施協定書（ひな形）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１
添付資料８　履修スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１６
添付資料９－１　臨地実務実習予定表　企業内実習Ⅰ・・・・・・・・・・・　１７
添付資料９－２　臨地実務実習予定表　新規商品開発・販売実習Ⅰ・・・・・・　１８
添付資料９－３　臨地実務実習予定表　企業内実習Ⅱ・・・・・・・・・・・・　１９
添付資料９－４　臨地実務実習予定表　新規商品開発・販売実習Ⅱ・・・・・・　２０
添付資料９－５　臨地実務実習予定表　企業内実習Ⅲ・・・・・・・・・・・・　２１
添付資料10－１　実習先との連携表　企業内実習Ⅰ・・・・・・・・・・・・・　２２
添付資料10－２　実習先との連携表　新規商品開発・販売実習Ⅰ・・・・・・・　２４
添付資料10－３　実習先との連携表　企業内実習Ⅱ・・・・・・・・・・・・・　２６
添付資料10－４　実習先との連携表　新規商品開発・販売実習Ⅱ・・・・・・・　２９
添付資料10－５　実習先との連携表　企業内実習Ⅲ・・・・・・・・・・・・・　３１
添付資料11　臨地実務実習指導教員別スケジュール表・・・・・・・・・・・　３３
添付資料12－１　事業創造学部学生時間割（１期）・・・・・・・・・・・・・　３５
添付資料12－２　事業創造学部学生時間割（２期）・・・・・・・・・・・・・　３６
添付資料12－３　事業創造学部学生時間割（３期）・・・・・・・・・・・・・　３７
添付資料12－４　事業創造学部学生時間割（４期）・・・・・・・・・・・・・　３８
添付資料13　授業科目毎の実習評価基準表・・・・・・・・・・・・・・・・・　３９～４３

終的に単位を認定する。また、評価は実習到達目標に基づく評価と実習日誌、事後アンケート等から総合的に評価する。実習項目毎に評価項目の割合を提示する。

Ⅵ　実習施設（受入れ予定人数）

株式会社ウイネット　（2 人）
株式会社エデュースホールディングス　（5 人）
株式会社エヌエスジー教育ネットワーク　（5 人）
株式会社 NSG アカデミー　（5 人）
株式会社サーティファイ　（2 人）
株式会社小川屋　（5 人）
株式会社日本フードリンク　本社　（5 人×２グループ）
株式会社ベジ・アビオ　（2 人）
グローカルマーケティング株式会社　（5 人）
新潟綜合警備保障株式会社　（5 人）
越後味噌醸造株式会社　（5 人）
株式会社ヒューマンブレイン　（2 人）
今代司酒造株式会社　（5 人）
株式会社峰村商店　（5 人）
株式会社アイ・シー・オー　（5 人）
株式会社国際総合計画　（5 人）
株式会社 MGNET　（2 人）
Adam Innovations 株式会社　（5 人）

○以下の実習施設は臨地実務実習施設の確保状況説明書（別記様式第７号の４）に記載した施設であるものの、長期休暇を利用して実施する実習施設とし、実施計画の中では受入れ人数を想定しない。通期に履修できなかった学生のための代替施設として位置づける。以下の実習施設での実施によって宿泊先の確保が必要な場合は、大学指定の宿泊先を確保し、掛かる交通費に対して補助金を支給する。

アートグリーン株式会社（５人）
株式会社ミールワークス（５人）

Ⅶ　実習進行予定

○以下の内容にて 10 月上旬から２月中旬の毎週火曜日（午後）と木曜日（終日）に実習を実施する。※資料９－５（２１ページ）参照

第１週　企業概要の説明（企業沿革、事業内容、社会的意義等）（企業説明）

審査意見への対応を記載した書類

【資料 9−⑦】

臨地実務実習実施計画

開志専門職大学

事業創造学部

開志専門職大学臨地実務実習実施計画もくじ

１．企業内実習Ⅰ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
２．新規商品開発・販売実習Ⅰ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７
３．企業内実習Ⅱ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３
４．新規商品開発・販売実習Ⅱ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０
５．企業内実習Ⅲ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６

（添付資料）

添付資料１　臨地実務実習施設所要時間一覧表・・・・・・・・・・・・・・・０１
添付資料２　臨地実務実習履修についての同意誓約書・・・・・・・・・・・・０２
添付資料３　臨地実務実習計画票・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・０３
添付資料４　臨地実務実習報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・０５
添付資料５　実習日誌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・０７
添付資料６　事故・災害発生報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・０９
添付資料７　実施協定書（ひな形）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
添付資料８　履修スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６
添付資料９－１　臨地実務実習予定表　企業内実習Ⅰ・・・・・・・・・・・・１７
添付資料９－２　臨地実務実習予定表　新規商品開発・販売実習Ⅰ・・・・・・１８
添付資料９－３　臨地実務実習予定表　企業内実習Ⅱ・・・・・・・・・・・・１９
添付資料９－４　臨地実務実習予定表　新規商品開発・販売実習Ⅱ・・・・・・２０
添付資料９－５　臨地実務実習予定表　企業内実習Ⅲ・・・・・・・・・・・・２１
添付資料10－１　実習先との連携表　企業内実習Ⅰ・・・・・・・・・・・・・２２
添付資料10－２　実習先との連携表　新規商品開発・販売実習Ⅰ・・・・・・・２４
添付資料10－３　実習先との連携表　企業内実習Ⅱ・・・・・・・・・・・・・２６
添付資料10－４　実習先との連携表　新規商品開発・販売実習Ⅱ・・・・・・・２９
添付資料10－５　実習先との連携表　企業内実習Ⅲ・・・・・・・・・・・・・３１
添付資料11　臨地実務実習指導教員別スケジュール表・・・・・・・・・・・・３３
添付資料12－１　事業創造学部学生時間割（１期）・・・・・・・・・・・・・３５
添付資料12－２　事業創造学部学生時間割（２期）・・・・・・・・・・・・・３６
添付資料12－３　事業創造学部学生時間割（３期）・・・・・・・・・・・・・３７
添付資料12－４　事業創造学部学生時間割（４期）・・・・・・・・・・・・・３８
添付資料13　授業科目毎の実習評価基準表・・・・・・・・・・・・・・・・・３９～４３

添付資料９－１　臨地実務実習予定表

企業内実習Ⅰ実習予定表（1年次）※以下の該当する週の水曜日を実習日とする。

G	人数図80)	6週	7週	27～33週	34週	35週	36～42週
				１０月～１１月（３期）			１２月～２月（４期）
1	1 2			企業内実習Ⅰ　(株)ウイネット2名　担当：石川			企業内実習Ⅰ　(株)ウイネット2名　担当：石川
2	3 4 5 6 7			企業内実習Ⅰ (株)エデュースホールディングス5名 担当：石川			企業内実習Ⅰ (株)エデュースホールディングス5名 担当：石川
3	8 9 10 11 12			企業内実習Ⅰ (株)エヌエスジー教育ネットワーク5名 担当：石川			企業内実習Ⅰ (株)エヌエスジー教育ネットワーク5名 担当：石川
4	13 14 15 16 17			企業内実習Ⅰ (株)NSGアカデミー5名 担当：石川			企業内実習Ⅰ (株)NSGアカデミー5名 担当：石川
5	18 19			企業内実習Ⅰ　(株)サーティファイ2名　担当：松澤			企業内実習Ⅰ　(株)サーティファイ2名　担当：松澤
6	20 21 22 23 24			企業内実習Ⅰ (株)小川屋5名 担当：松澤			企業内実習Ⅰ (株)小川屋5名 担当：松澤
7	25 26 27 28 29 30 31 32 33 34			企業内実習Ⅰ (株)日本フードリンク5名×2グループ 担当：松澤			企業内実習Ⅰ (株)日本フードリンク5名×2グループ 担当：松澤
8	35 36			企業内実習Ⅰ　(株)ベジ・アビオ2名　担当：松澤			企業内実習Ⅰ　(株)ベジ・アビオ2名　担当：松澤
9	37 38 39 40 41			企業内実習Ⅰ (株)グローカルマーケティング5名 担当：福田			企業内実習Ⅰ (株)グローカルマーケティング5名 担当：福田
10	42 43 44 45 46			企業内実習Ⅰ 新潟綜合警備保障(株)5名 担当：福田			企業内実習Ⅰ 新潟綜合警備保障(株)5名 担当：福田
11	47 48 49 50 51			企業内実習Ⅰ 越後味噌醸造(株)5名 担当：福田			企業内実習Ⅰ 越後味噌醸造(株)5名 担当：福田
12	52 53			企業内実習Ⅰ　(株)ヒューマンブレイン2名　担当：福田			企業内実習Ⅰ　(株)ヒューマンブレイン2名　担当：福田
13	54 55 56 57 58			企業内実習Ⅰ 今代司酒造(株)5名 担当：渡辺			企業内実習Ⅰ 今代司酒造(株)5名 担当：渡辺
14	59 60 61 62 63			企業内実習Ⅰ (株)峰村商店5名 担当：渡辺			企業内実習Ⅰ (株)峰村商店5名 担当：渡辺
15	64 65 66 67 68			企業内実習Ⅰ (株)アイ・シー・オー5名 担当：渡辺			企業内実習Ⅰ (株)アイ・シー・オー5名 担当：渡辺
16	69 70 71 72 73			企業内実習Ⅰ (株)国際総合計画5名 担当：渡辺			企業内実習Ⅰ (株)国際総合計画5名 担当：渡辺
17	74 75			企業内実習Ⅰ　(株)MGNET2名　担当：西村			企業内実習Ⅰ　(株)MGNET2名　担当：西村
18	76 77 78 79 80			企業内実習Ⅰ Adam Innovations(株)5名　担当：西村			企業内実習Ⅰ Adam Innovations(株)5名　担当：西村

添付資料９－２　臨地実務実習予定表

新規商品開発・販売実習Ⅰ予定表（２年次）※以下の該当する週の火曜日（終日）と水曜日（午後）を実習日とする。

G	人数図80)	1週	2～9週	10週 11週	12～19週
			4月～5月（1期）		6月～8月（2期）
1	1 2		新規商品開発・販売実習Ⅰ　(株)ウイネット2名　担当：石川		新規商品開発・販売実習Ⅰ　(株)ウイネット2名　担当：石川
2	3 4 5 6 7		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)エデュースホールディングス5名 担当：石川		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)エデュースホールディングス5名 担当：石川
3	8 9 10 11 12		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)エヌエスジー教育ネットワーク5名 担当：石川		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)エヌエスジー教育ネットワーク5名 担当：石川
4	13 14 15 16 17		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)NSGアカデミー5名 担当:平田		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)NSGアカデミー5名 担当：平田
5	18 19 20 21 22		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)サーティファイ5名 担当：平田		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)サーティファイ5名 担当：平田
6	23 24 25 26 27		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)小川屋5名 担当：平田		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)小川屋5名 担当：平田
7	28 29 30 31 32		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)グローカルマーケティング5名 担当：松澤		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)グローカルマーケティング5名 担当：松澤
8	33 34 35 36 37		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)新潟綜合警備保障　5名 担当：松澤		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)新潟綜合警備保障　5名 担当：松澤
9	38 39 40 41 42		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)新潟プロバスケットボール　5名 担当：松澤		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)新潟プロバスケットボール　5名 担当：松澤
10	43 44 45 46 47		新規商品開発・販売実習Ⅰ 越後味噌醸造(株)　5名 担当：松澤		新規商品開発・販売実習Ⅰ 越後味噌醸造(株)　5名 担当：松澤
11	48 49 50 51 52		新規商品開発・販売実習Ⅰ 今代司酒造(株)　5名 担当：東城		新規商品開発・販売実習Ⅰ 今代司酒造(株)　5名 担当：東城
12	53 54 55 56 57		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)峰村商店　5名 担当：東城		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)峰村商店　5名 担当：東城
13	58 59 60 61 62		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)MGNET　5名 担当：東城		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)MGNET　5名 担当：東城
14 15	63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)リコージャパン株式会社新潟支社 12名×2グループ 担当：東城		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)リコージャパン株式会社新潟支社 12名×2グループ 担当：東城
16	75 76 77 78 79 80		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)幻の酒　6名 担当　平田		新規商品開発・販売実習Ⅰ (株)幻の酒　6名 担当　平田

添付資料９－３　臨地実務実習予定表

企業内実習Ⅱ実習予定表（２年次）※以下の該当する週の月曜日（終日）を実習日とする。

G	人数（80）	6週	7週	27～33週	34週	35週	36～42週
				１０月～１１月（３期）			１２月～２月（４期）
1	1 2 3 4 5 6			企業内実習Ⅱ (株)ウイネット6名 担当：石川			企業内実習Ⅱ (株)ウイネット6名 担当：石川
2	7 8 9			企業内実習Ⅱ　(株)エデュースホールディングス　3名　担当：石川			企業内実習Ⅱ　(株)エデュースホールディングス 3名　担当：石川
3	10 11 12			企業内実習Ⅱ　(株)エヌエスジー教育ネットワーク　3名　担当：石川			企業内実習Ⅱ　(株)エヌエスジー教育ネットワーク　3名　担当：石川
4	13 14 15 16 17			企業内実習Ⅱ　(株)NSGアカデミー ５名　担当：石川			企業内実習Ⅱ　(株)NSGアカデミー ５名　担当：石川
5	18 19 20 21			企業内実習Ⅱ　(株)サーティファイ ４名　担当：石川			企業内実習Ⅱ　(株)サーティファイ ４名　担当：石川
6	22 23			企業内実習Ⅱ　(株)小川屋　２名　担当：石川			企業内実習Ⅱ　(株)小川屋　２名　担当：石川
7	24 25 26 27 28			企業内実習Ⅱ　(株)日本フードリンク ５名　担当：石川			企業内実習Ⅱ　(株)日本フードリンク ５名　担当：石川
8	29 30			企業内実習Ⅱ(株)ベジアビオ２名　担当：松澤			企業内実習Ⅱ(株)ベジアビオ２名　担当：松澤
9	31 32 33			企業内実習Ⅱ　(株)グローカルマーケティング 3名　担当：松澤			企業内実習Ⅱ　(株)グローカルマーケティング 3名　担当：松澤
10	34 35 36			企業内実習Ⅱ　(株)新潟綜合警備保障株式会社 3名　担当：松澤			企業内実習Ⅱ　(株)新潟綜合警備保障株式会社 3名　担当：松澤
11	37 38			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー本店２名　担当：松澤			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー本店２名　担当：松澤
12	39 40			企業内実習Ⅱ　(株)リビングギャラリー新潟中央センター２名　担当：松澤			企業内実習Ⅱ　(株)リビングギャラリー新潟中央センター２名　担当：松澤
13	41 42			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー新潟駅前店２名担当：松澤			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー新潟駅前店２名担当：松澤
14	43 44			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー新潟古町店２名担当：松澤			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー新潟古町店２名担当：松澤
15	45 46			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー新潟亀田店２名担当：東城			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー新潟亀田店２名担当：東城
16	47 48			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー長岡東店２名担当：東城			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー長岡東店２名担当：東城
17	49 50			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー新潟東店２名　担当：東城			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー新潟東店２名　担当：東城
18	51 52			企業内実習Ⅱ　(株)リビングギャラリー新潟大学前店　２名　担当：東城			企業内実習Ⅱ　(株)リビングギャラリー新潟大学前店　２名　担当：東城
19	53 54			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー新潟西店２名　担当：東城			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー新潟西店２名　担当：東城
20	55 56			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー新津２名　担当：東城			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー新津２名　担当：東城
21	57 58			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー新潟北店２名　担当：東城			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー新潟北店２名　担当：東城
22	59 60			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー新発田店２名担当：土岐			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー新発田店２名担当：土岐
23	61 62			企業内実習Ⅱ　(株)リビングギャラリー燕三条駅前店　２名　担当：土岐			企業内実習Ⅱ　(株)リビングギャラリー燕三条駅前店　２名　担当：土岐
24	63 64			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー長岡西店２名　担当：土岐			企業内実習Ⅱ(株)リビングギャラリー長岡西店２名　担当：土岐
26	65 66			企業内実習Ⅱ　越後味噌醸造（株）２名　担当：土岐			企業内実習Ⅱ　越後味噌醸造（株）２名　担当：土岐
27	67 68			企業内実習Ⅱ(株)ヒューマンブレイン２名　担当：土岐			企業内実習Ⅱ(株)ヒューマンブレイン２名　担当：土岐
28	69 70			企業内実習Ⅱ　今代司酒造（株）２名　担当：土岐			企業内実習Ⅱ　今代司酒造（株）２名　担当：土岐
29	71 72			企業内実習Ⅱ　(株）峰村商店　２名　担当：土岐			企業内実習Ⅱ　(株）峰村商店　２名　担当：土岐
30	73 74 75			企業内実習Ⅱ　(株)国際総合計画 3名　担当：東城			企業内実習Ⅱ　(株)国際総合計画 3名　担当：東城
31	76 77			企業内実習Ⅱ　(株）MGNET　２名　担当：松澤			企業内実習Ⅱ　(株）MGNET　２名　担当：松澤
32	78 79 80			企業内実習Ⅱ　(株)幻の酒 3名　担当：土岐			企業内実習Ⅱ　(株)幻の酒 3名　担当：土岐

添付資料９－４　臨地実務実習予定表

新規商品開発・販売実習Ⅱ予定表（３年次）※以下の該当する週の木曜日（午後）と金曜（終日）を実習日とする。

G	人数（80）	1週	2～9週	10週 | 11週	12～19週
			4月～5月（1期）		6月～8月（2期）
1	1 2		新規商品開発・販売実習Ⅱ　(株)ウイネット2名　担当：石川		新規商品開発・販売実習Ⅱ　(株)ウイネット2名　担当：石川
2	3 4 5 6 7		新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)エデュースホールディングス5名 担当：石川		新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)エデュースホールディングス5名 担当：石川
3	8 9 10 11 12		新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)エヌエスジー教育ネットワーク5名 担当：石川		新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)エヌエスジー教育ネットワーク5名 担当：石川
4	13 14 15 16 17		新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)NSGアカデミー5名 担当：平田		新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)NSGアカデミー5名 担当：平田
5	18 19 20 21 22		新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)サーティファイ5名 担当：平田		新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)サーティファイ5名 担当：平田
6	23 24 25 26 27		新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)小川屋5名 担当：平田		新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)小川屋5名 担当：平田
7	28 29 30 31 32		新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)グローカルマーケティング5名 担当：平田		新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)グローカルマーケティング5名 担当：平田
8	33 34 35 36 37		新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)新潟綜合警備保障　5名 担当：松澤		新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)新潟綜合警備保障　5名 担当：松澤
9	38 39 40 41 42		新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)新潟プロバスケットボール　5名 担当：松澤		新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)新潟プロバスケットボール　5名 担当：松澤
10	43 44 45 46 47		新規商品開発・販売実習Ⅱ 越後味噌醸造(株)　5名 担当：松澤		新規商品開発・販売実習Ⅱ 越後味噌醸造(株)　5名 担当：松澤
11	48 49 50 51 52		新規商品開発・販売実習Ⅱ 今代司酒造(株)　5名 担当：松澤		新規商品開発・販売実習Ⅱ 今代司酒造(株)　5名 担当：松澤
12	53 54 55 56 57		新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)峰村商店　5名 担当：東城		新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)峰村商店　5名 担当：東城
13	58 59 60 61 62		新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)MGNET　5名 担当：東城		新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)MGNET　5名 担当：東城
14 15	63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74		新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)リコージャパン株式会社新潟支社 12名×2グループ 担当：東城		新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)リコージャパン株式会社新潟支社 12名×2グループ 担当：東城
16	75 76 77 78 79 80		新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)幻の酒　6名 担当　東城		新規商品開発・販売実習Ⅱ (株)幻の酒　6名 担当　東城

添付資料９－５　臨地実務実習予定表

企業内実習Ⅲ実習予定表（３年次）※以下の該当する週の火曜日(午後）と木曜日（終日）を実習日とする。

G	人数図80）	6週	7週	２７～３３週	34週	35週	３６～４２週
				１０月～１１月（３期）			１２月～２月（４期）
1	1 2			企業内実習Ⅲ　(株)ウイネット2名　担当：石川			企業内実習Ⅲ　(株)ウイネット2名　担当：石川
2	3 4 5 6 7			企業内実習Ⅲ (株)エデュースホールディングス5名 担当：石川			企業内実習Ⅲ (株)エデュースホールディングス5名 担当：石川
3	8 9 10 11 12			企業内実習Ⅲ (株)エヌエスジー教育ネットワーク5名 担当：石川			企業内実習Ⅲ (株)エヌエスジー教育ネットワーク5名 担当：石川
4	13 14 15 16 17			企業内実習Ⅲ (株)NSGアカデミー5名 担当：石川			企業内実習Ⅲ (株)NSGアカデミー5名 担当：石川
5	18 19			企業内実習Ⅲ　(株)サーティファイ2名　担当：平田			企業内実習Ⅲ　(株)サーティファイ2名　担当：平田
6	20 21 22 23 24			企業内実習Ⅲ (株)小川屋5名 担当：平田			企業内実習Ⅲ (株)小川屋5名 担当：平田
7	25 26 27 28 29 30 31 32 33 34			企業内実習Ⅲ (株)日本フードリンク5名×2グループ 担当：平田			企業内実習Ⅲ (株)日本フードリンク5名×2グループ 担当：平田
8	35 36			企業内実習Ⅲ　(株)ベジ・アビオ2名　担当：平田			企業内実習Ⅲ　(株)ベジ・アビオ2名　担当：平田
9	37 38 39 40 41			企業内実習Ⅲ (株)グローカルマーケティング5名 担当：渡辺			企業内実習Ⅲ (株)グローカルマーケティング5名 担当：渡辺
10	42 43 44 45 46			企業内実習Ⅲ 新潟綜合警備保障(株)5名 担当：渡辺			企業内実習Ⅲ 新潟綜合警備保障(株)5名 担当：渡辺
11	47 48 49 50 51			企業内実習Ⅲ 越後味噌醸造(株)5名 担当：渡辺			企業内実習Ⅲ 越後味噌醸造(株)5名 担当：渡辺
12	52 53			企業内実習Ⅲ　(株)ヒューマンブレイン2名　担当：渡辺			企業内実習Ⅲ　(株)ヒューマンブレイン2名　担当：渡辺
13	54 55 56 57 58			企業内実習Ⅲ 今代司酒造(株)5名 担当：土岐			企業内実習Ⅲ 今代司酒造(株)5名 担当：土岐
14	59 60 61 62 63			企業内実習Ⅲ (株)峰村商店5名 担当：土岐			企業内実習Ⅲ (株)峰村商店5名 担当：土岐
15	64 65 66 67 68			企業内実習Ⅲ (株)アイ・シー・オー5名 担当：土岐			企業内実習Ⅲ (株)アイ・シー・オー5名 担当：土岐
16	69 70 71 72 73			企業内実習Ⅲ (株)国際総合計画5名 担当：土岐			企業内実習Ⅲ (株)国際総合計画5名 担当：土岐
17	74 75			企業内実習Ⅲ　(株)MGNET2名　担当：櫻井			企業内実習Ⅲ　(株)MGNET2名　担当：櫻井
18	76 77 78 79 80			企業内実習Ⅲ Adam Innovations(株)5名　担当：櫻井			企業内実習Ⅲ Adam Innovations(株)5名　担当：櫻井

添付資料10－1　教員等の実習先との連携表①

科目名：企業内実習Ⅰ
配当年次：1年③④
単位数（時間数）：２単位（６０時間）
指導責任教員：西村
指導担当教員：西村、石川、松澤、福田、渡辺
実習期間：１０月上旬～２月上旬
原則２～５名を１グループとして２０グループを編成する。教員1名が２～4グループを担当し、各企業との実習指導者と連携のもと実習を実施する。また、教員はこの期間中２回を目安に各企業にて巡回指導を実施する。

実習施設		(株)ウイネット	(株)エデュースホールディング	(株)エヌエスジー教育ネットワーク	(株)NSGアカデミー	(株)サーティファイ	(株)小川屋	(株)日本フードリンク本社	(株)ベジアビオ	グローカルマーケティング(株)	新潟綜合警備保障(株)	越後味噌醸造(株)
曜日	時限	2名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	2名（1G）	5名（1G）	10名（2G）	2名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）
月	1											
	2											
	3											
	4											
	5											
火	1											
	2											
	3											
	4											
	5											
水	1											
	2											
	3	石川	石川	石川	石川	松澤	松澤	松澤	松澤	福田	福田	福田
	4											
	5											
木	1											
	2											
	3											
	4											
	5											
金	1											
	2											
	3											
	4											
	5											

添付資料10－１　教員等の実習先との連携表②

科目名：企業内実習Ⅰ
配当年次：1年③④
単位数（時間数）：２単位（６０時間）
指導責任教員：西村
指導担当教員：西村、石川、松澤、福田、渡辺
実習期間：１０月上旬～２月上旬
原則２～５名を１グループとして２０グループを編成する。教員1名が２～４グループを担当し、各企業との実習指導者と連携のもと実習を実施する。また、教員はこの期間中２回を目安に各企業にて巡回指導を実施する。

実習施設		(株)ヒューマンブレイン	今代司酒造(株)	(株)峰村商店	(株)アイ・シー・オー	(株)国際総合計画	(株)MGNET	Adam Innovations(株)
曜日	時限	2名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	2名（1G）	5名（1G）
月	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
火	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
水	1							
	2							
	3	福田	渡辺	渡辺	渡辺	渡辺	西村	西村
	4							
	5							
木	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
金	1							
	2							
	3							
	4							
	5							

添付資料10－2　教員等の実習先との連携表①

科目名：新規商品開発実習Ⅰ
配当年次：２年①②
単位数（時間数）：５単位（１５０時間）
指導責任教員：平田
指導担当教員：石川、松澤、東城、平田
実習期間：４月上旬～８月上旬
原則２～６名を１グループとして１６グループを編成する。教員1名が１～５グループを担当し、各企業との実習指導者と連携のもと実習を実施する。また、教員はこの期間中２回を目安に各企業にて巡回指導を実施する。

実習施設		(株)ウイネット	(株)エデュースホールディング	(株)エヌエスジー教育ネットワーク	(株)NSGアカデミー	(株)サーティファイ	(株)小川屋	グローカルマーケティング(株)	新潟綜合警備保障(株)	(株)新潟プロバスケットボール本社	越後味噌醸造(株)	今代司酒造(株)
曜日	時限	2名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）
月	1											
	2											
	3											
	4											
	5											
火	1											
	2											
	3	石川	石川	石川	平田	平田	平田	松澤	松澤	松澤	松澤	東城
	4											
	5											
水	1											
	2											
	3											
	4	石川	石川	石川	平田	平田	平田	松澤	松澤	松澤	松澤	東城
	5											
木	1											
	2											
	3											
	4											
	5											
金	1											
	2											
	3											
	4											
	5											

添付資料10－2　教員等の実習先との連携表②

科目名：新規商品開発実習Ⅰ
配当年次：２年①②
単位数（時間数）：５単位（１５０時間）
指導責任教員：平田
指導担当教員：石川、松澤、東城、平田
実習期間：４月上旬～８月上旬
原則２～６名を１グループとして１６グループを編成する。教員1名が１～５グループを担当し、各企業との実習指導者と連携のもと実習を実施する。また、教員はこの期間中２回を目安に各企業にて巡回指導を実施する。

実習施設		(株)峰村商店	(株)MGNET	リコージャパン(株)新潟支社	(株)幻の酒							
曜日	時限	5名（1G）	5名（1G）	12名（2G）	6名（1G）							
月	1											
	2											
	3											
	4											
	5											
火	1											
	2											
	3	東城	東城	東城	平田							
	4											
	5											
水	1											
	2											
	3											
	4	東城	東城	東城	平田							
	5											
木	1											
	2											
	3											
	4											
	5											
金	1											
	2											
	3											
	4											
	5											

添付資料10－3　教員等の実習先との連携表①

科目名：企業内実習Ⅱ
配当年次：２年③④
単位数（時間数）：４単位（１２０時間）
指導責任教員：石川
指導担当教員：石川、松澤、東城、土岐
実習期間：１０月上旬～２月上旬
原則１～６名を１グループとして３２グループを編成する。教員1名が７～８グループを担当し、各企業との実習指導者と連携のもと実習を実施する。また、教員はこの期間中２回を目安に各企業にて巡回指導を実施する。

実習施設		(株)ウイネット	(株)エデュースホールディング	(株)エヌエスジー教育ネットワーク	(株)NSGアカデミー	(株)サーティファイ	(株)小川屋	(株)日本フードリンク本社	(株)ベジ・アビオ	グローカルマーケティング(株)	新潟綜合警備保障(株)
曜日	時限	6名（1G）	3名（1G）	3名（1G）	5名（1G）	4名（1G）	2名（1G）	5名（1G）	2名（1G）	3名（1G）	3名（1G）
月	1										
	2										
	3	石川	石川	石川	石川	石川	石川	石川	松澤	松澤	松澤
	4										
	5										
火	1										
	2										
	3										
	4										
	5										
水	1										
	2										
	3										
	4										
	5										
木	1										
	2										
	3										
	4										
	5										
金	1										
	2										
	3										
	4										
	5										

添付資料10－3　教員等の実習先との連携表②

科目名：企業内実習Ⅱ
配当年次：2年③④
単位数（時間数）：４単位（１２０時間）
指導責任教員：石川
指導担当教員：石川、松澤、東城、土岐
実習期間：１０月上旬～２月上旬
原則１～６名を１グループとして３２グループを編成する。教員1名が３～５グループを担当し、各企業との実習指導者と連携のもと実習を実施する。また、教員はこの期間中２回を目安に各企業にて巡回指導を実施する。

実習施設		（株）リビングギャラリー本店	（株）リビングギャラリー新潟中央センター	（株）リビングギャラリー新潟駅前店	（株）リビングギャラリー新潟古町店	（株）リビングギャラリー長岡東店	（株）リビングギャラリー新潟亀田店	（株）リビングギャラリー新潟東店	（株）リビングギャラリー新潟大学前店	（株）リビングギャラリー新潟西店	（株）リビングギャラリー新津店	（株）リビングギャラリー新潟北店
曜日	時限	2名（1G）	2名（1G）	2名（1G）	2名（1G）	2名（1G）	2名（1G）	2名（1G）	2名（1G）	2名（1G）	2名（1G）	2名（1G）
月	1	松澤	松澤	松澤	松澤	東城	東城	東城	東城	東城	東城	東城
	2											
	3											
	4											
	5											
火	1		※1	※1	※1	※1	※1	※2	※2	※2	※2	※3
	2											
	3											
	4											
	5											
水	1											
	2											
	3											
	4											
	5											
木	1											
	2											
	3											
	4											
	5											
金	1											
	2											
	3											
	4											
	5											

添付資料10－3　教員等の実習先との連携表③

科目名：企業内実習Ⅱ
配当年次：２年③④
単位数（時間数）：４単位（１２０時間）
指導責任教員：石川
指導担当教員：石川、松澤、東城、土岐
実習期間：１０月上旬～２月上旬
原則１～６名を１グループとして３２グループを編成する。教員1名が６～８グループを担当し、各企業との実習指導者と連携のもと実習を実施する。また、教員はこの期間中２回を目安に各企業にて巡回指導を実施する。

実習施設		（株）リビングギャラリー新発田店	（株）リビングギャラリー燕三条店	（株）リビングギャラリー長岡西店	越後味噌醸造(株)	(株)ヒューマンブレイン	今代司酒造(株)	(株)峰村商店	(株)国際総合計画	(株)MGNET	(株)幻の酒
曜日	時限	2名（1G）	2名（1G）	2名（1G）	2名（1G）	1名（1G）	2名（1G）	2名（1G）	3名（1G）	2名（1G）	3名（1G）
月	1	土岐	土岐	土岐	土岐	土岐	土岐	土岐	東城	松澤	土岐
	2										
	3										
	4										
	5										
火	1	※3	※3	※1							
	2										
	3										
	4										
	5										
水	1										
	2										
	3										
	4										
	5										
木	1										
	2										
	3										
	4										
	5										
金	1										
	2										
	3										
	4										
	5										

添付資料10－4　教員等の実習先との連携表①

科目名：新規商品開発実習Ⅱ
配当年次：3年①②
単位数（時間数）：５単位（１５０時間）
指導責任教員：松澤
指導担当教員：石川、松澤、東城、平田
実習期間：４月上旬～８月上旬
原則２～６名を１グループとして１６グループを編成する。教員1名が１～５グループを担当し、各企業との実習指導者と連携のもと実習を実施する。また、教員はこの期間中２回を目安に各企業にて巡回指導を実施する。

実習施設		(株)ウイネット	(株)エデュースホールディング	(株)エヌエスジー教育ネットワーク	(株)NSGアカデミー	(株)サーティファイ	(株)小川屋	グローカルマーケティング(株)	新潟綜合警備保障(株)	(株)新潟プロバスケットボール本社	越後味噌醸造(株)	今代司酒造(株)
曜日	時限	2名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）
月	1											
	2											
	3											
	4											
	5											
火	1											
	2											
	3											
	4											
	5											
水	1											
	2											
	3											
	4											
	5											
木	1											
	2											
	3											
	4	石川	石川	石川	平田	平田	平田	平田	松澤	松澤	松澤	松澤
	5	石川	石川	石川	平田	平田	平田	平田	松澤	松澤	松澤	松澤
金	1	石川	石川	石川	平田	平田	平田	平田	松澤	松澤	松澤	松澤
	2	石川	石川	石川	平田	平田	平田	平田	松澤	松澤	松澤	松澤
	3	石川	石川	石川	平田	平田	平田	平田	松澤	松澤	松澤	松澤
	4	石川	石川	石川	平田	平田	平田	平田	松澤	松澤	松澤	松澤
	5	石川	石川	石川	平田	平田	平田	平田	松澤	松澤	松澤	松澤

添付資料10－4　教員等の実習先との連携表②

科目名：新規商品開発実習Ⅱ
配当年次：3年①②
単位数（時間数）：５単位（１５０時間）
指導責任教員：松澤
指導担当教員：石川、松澤、東城、平田
実習期間：４月上旬～８月上旬
原則２～６名を１グループとして１６グループを編成する。教員1名が１～５グループを担当し、各企業との実習指導者と連携のもと実習を実施する。また、教員はこの期間中２回を目安に各企業にて巡回指導を実施する。

実習施設		(株)峰村商店	(株)MGNET	リコージャパン(株)新潟支社	(株)幻の酒							
曜日	時限	5名（1G）	5名（1G）	12名（2G）	6名（1G）							
月	1											
	2											
	3											
	4											
	5											
火	1											
	2											
	3											
	4											
	5											
水	1											
	2											
	3											
	4											
	5											
木	1											
	2											
	3											
	4	東城	東城	東城	東城							
	5											
金	1	東城	東城	東城	東城							
	2											
	3											
	4											
	5											

添付資料10－5　教員等の実習先との連携表①

科目名：企業内実習III
配当年次：３年③④
単位数（時間数）：６単位（１８０時間）
指導責任教員：櫻井
指導担当教員：櫻井、石川、渡辺、平田、土岐
実習期間：１０月上旬～２月上旬
原則２～５名を１グループとして１８グループを編成する。教員1名が２～４グループを担当し、各企業との実習指導者と連携のもと実習を実施する。また、教員はこの期間中２回を目安に各企業にて巡回指導を実施する。

実習施設		(株)ウイネット	(株)エデュースホールディング	(株)エヌエスジー教育ネットワーク	(株)NSGアカデミー	(株)サーティファイ	(株)小川屋	(株)日本フードリンク本社	(株)ベジアビオ	グローカルマーケティング(株)	新潟綜合警備保障(株)	越後味噌醸造(株)
曜日	時限	2名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	2名（1G）	5名（1G）	10名（2G）	2名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）
月	1											
	2											
	3											
	4											
	5											
火	1											
	2											
	3											
	4	石川	石川	石川	石川	平田	平田	平田	平田	渡辺	渡辺	渡辺
	5											
水	1											
	2											
	3											
	4											
	5											
木	1											
	2											
	3	石川	石川	石川	石川	平田	平田	平田	平田	渡辺	渡辺	渡辺
	4											
	5											
金	1											
	2											
	3											
	4											
	5											

添付資料10－5　教員等の実習先との連携表②

科目名：企業内実習Ⅲ
配当年次：３年③④
単位数（時間数）：６単位（１８０時間）
指導責任教員：櫻井
指導担当教員：櫻井、石川、渡辺、平田、土岐
実習期間：１０月上旬～２月上旬
原則２～５名を１グループとして１８グループを編成する。教員1名が２～４グループを担当し、各企業との実習指導者と連携のもと実習を実施する。また、教員はこの期間中２回を目安に各企業にて巡回指導を実施する。

実習施設		(株)ヒューマンブレイン	今代司酒造(株)	(株)峰村商店	(株)アイ・シー・オー	(株)国際総合計画	(株)MGNET	Adam Innovations(株)
曜日	時限	2名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	5名（1G）	2名（1G）	5名（1G）
月	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
火	1							
	2							
	3							
	4	渡辺	土岐	土岐	土岐	土岐	櫻井	櫻井
	5							
水	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
木	1							
	2							
	3	渡辺	土岐	土岐	土岐	土岐	櫻井	櫻井
	4							
	5							
金	1							
	2							
	3							
	4							
	5							

添付資料11　臨地実務実習指導教員別スケジュール表

石川秀才

1期

	月	火	水	木	金
1限		臨地実務実習巡回指導日 新規商品開発販売実習Ⅰ			臨地実務実習巡回指導日 新規商品開発販売実習Ⅱ
2限					
3限					
4限					
5限	不動産法入門				

2期

	月	火	水	木	金
1限		臨地実務実習巡回指導日 新規商品開発販売実習Ⅰ			臨地実務実習巡回指導日 新規商品開発販売実習Ⅱ
2限					
3限					
4限					
5限	不動産法入門				

3期

	月	火	水	木	金
1限	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅱ	産業演習 不動取引	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅰ	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ	
2限					
3限					
4限		臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ			
5限					

4期

	月	火	水	木	金
1限	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅱ	産業演習 不動取引	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅰ	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ	
2限					
3限					
4限		臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ			
5限					

福田　稔

1期

	月	火	水	木	金
1限	会社設立実習ⅡA				
2限	会社設立実習ⅡA				
3限	会社設立実習ⅡA				事業計画策定合実習
4限	会社設立実習ⅡA				事業計画策定合実習
5限					

2期

	月	火	水	木	金
1限	会社設立実習ⅡA				
2限	会社設立実習ⅡA				
3限	会社設立実習ⅡA				事業計画策定合実習
4限	会社設立実習ⅡA				事業計画策定合実習
5限					

3期

	月	火	水	木	金
1限			臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅰ		
2限				会社設立実習ⅠA	
3限				会社設立実習ⅠA	事業計画策定合実習
4限		会社設立実習ⅠA			事業計画策定合実習
5限		会社設立実習ⅠA			

4期

	月	火	水	木	金
1限			臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅰ		
2限				会社設立実習ⅠA	
3限				会社設立実習ⅠA	事業計画策定合実習
4限		会社設立実習ⅠA			事業計画策定合実習
5限		会社設立実習ⅠA			

櫻井　繁樹

1期

	月	火	水	木	金
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					

2期

	月	火	水	木	金
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					

3期

	月	火	水	木	金
1限		地域産業研究Ⅲ(環境)		臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ	
2限					
3限					
4限		臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ			
5限					

4期

	月	火	水	木	金
1限		地域産業研究Ⅲ(環境)		臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ	
2限					
3限					
4限		臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ			
5限					

西村　伸也

1期

	月	火	水	木	金
1限			地域産業研究Ⅶまちづくり		
2限					
3限					事業計画策定合実習
4限					事業計画策定合実習
5限					

2期

	月	火	水	木	金
1限			地域産業研究Ⅶまちづくり		
2限					
3限					事業計画策定合実習
4限					事業計画策定合実習
5限					

3期

	月	火	水	木	金
1限	資源活用実習B		臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅰ		
2限	資源活用実習B				
3限					事業計画策定合実習
4限	資源活用実習A				事業計画策定合実習
5限	資源活用実習A				

4期

	月	火	水	木	金
1限	資源活用実習B		臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅰ		
2限	資源活用実習B				
3限					事業計画策定合実習
4限	資源活用実習A				事業計画策定合実習
5限	資源活用実習A				

渡邉　康英

1期

	月	火	水	木	金
1限		ソーシャルデザインⅡA			
2限		ソーシャルデザインⅡB			
3限					
4限					
5限					

2期

	月	火	水	木	金
1限		ソーシャルデザインⅡA			
2限		ソーシャルデザインⅡB			
3限					
4限					
5限					

3期

	月	火	水	木	金
1限	ソーシャルデザイン実習A		ソーシャルデザインⅠB	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ	
2限	ソーシャルデザイン実習A		ソーシャルデザインⅠA		
3限		臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅰ			
4限	ソーシャルデザイン実習B	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ			
5限	ソーシャルデザイン実習B				

4期

	月	火	水	木	金
1限	ソーシャルデザイン実習A		ソーシャルデザインⅠB	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ	
2限	ソーシャルデザイン実習A		ソーシャルデザインⅠA		
3限		臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅰ			
4限	ソーシャルデザイン実習B	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ			
5限	ソーシャルデザイン実習B				

松澤　孝紀

1期

	月	火	水	木	金
1限		臨地実務実習巡回指導日 新規商品開発販売実習Ⅰ			新規商品開発・販売実習Ⅱ巡回指導
2限					
3限					
4限			新規商品開発・販売実習Ⅰ巡回指導日	新規商品開発・販売実習Ⅱ巡回指導	事業計画策定実習
5限					事業計画策定実習

2期

	月	火	水	木	金
1限		臨地実務実習巡回指導日 新規商品開発販売実習Ⅰ			新規商品開発・販売実習Ⅱ巡回指導
2限					
3限					
4限			新規商品開発・販売実習Ⅰ巡回指導日	新規商品開発・販売実習Ⅱ巡回指導	事業計画策定実習
5限					事業計画策定実習

3期

	月	火	水	木	金
1限	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅱ		資金調達の実践B		事業計画総合実習
2限		資金調達の実践A	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅰ		
3限					
4限					
5限					事業計画総合実習

4期

	月	火	水	木	金
1限	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅱ		資金調達の実践B		事業計画総合実習
2限		資金調達の実践A	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅰ		
3限					
4限					
5限					事業計画総合実習

東城　歩

1期

	月	火	水	木	金
1限	簿記概論A	臨地実務実習巡回指導日 新規商品開発販売実習Ⅰ			臨地実務実習巡回指導日 新規事業開発販売実習Ⅱ
2限					
3限					
4限	簿記概論B		財務諸表分析A		
5限			財務諸表分析B		

2期

	月	火	水	木	金
1限	簿記概論A	臨地実務実習巡回指導日 新規商品開発販売実習Ⅰ			臨地実務実習巡回指導日 新規事業開発販売実習Ⅱ
2限					
3限					
4限	簿記概論B		財務諸表分析A		
5限			財務諸表分析B		

3期

	月	火	水	木	金
1限	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅱ			簿記演習A	
2限				簿記演習B	
3限					
4限					
5限					

4期

	月	火	水	木	金
1限	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅱ				
2限					
3限					
4限					
5限					

平田　沙織

1期

	月	火	水	木	金
1限		臨地実務実習巡回指導日 新規商品開発販売実習Ⅰ			臨地実務実習巡回指導日 新規商品開発販売実習Ⅱ
2限					
3限					
4限			新規商品開発・販売実習Ⅱ巡回指導日	新規商品開発・販売実習Ⅱ巡回指導	
5限					

2期

	月	火	水	木	金
1限		臨地実務実習巡回指導日 新規商品開発販売実習Ⅰ		会計学B	臨地実務実習巡回指導日 新規商品開発販売実習Ⅱ
2限				会計学A	
3限					
4限			新規商品開発・販売実習Ⅱ巡回指導日	新規商品開発・販売実習Ⅱ巡回指導	
5限					

3期

	月	火	水	木	金
1限				臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ	
2限		財務諸表論B			事業計画策定実習
3限		財務諸表論A			
4限		臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ			事業計画策定実習
5限					

4期

	月	火	水	木	金
1限				臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ	
2限					
3限					事業計画策定実習
4限		臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ			事業計画策定実習
5限					

土岐　智賀子

1期

	月	火	水	木	金
1限				キャリアデザインⅠA	
2限					現代社会学A（情報）
3限				キャリアデザインⅠB	現代社会学B（情報）
4限					
5限					

2期

	月	火	水	木	金
1限			現代社会学B（情報）	キャリアデザインⅡA	
2限			現代社会学A（情報）	キャリアデザインⅡB	
3限					
4限					
5限					

3期

	月	火	水	木	金
1限	現代社会学			臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ	
2限	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅱ				
3限					
4限		臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ			
5限					

4期

	月	火	水	木	金
1限	現代社会学			臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ	
2限	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅱ				
3限					
4限		臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ			
5限					

審査意見への対応を記載した書類

【資料 9−⑧】

臨地実務実習実施計画

開志専門職大学

事業創造学部

開志専門職大学臨地実務実習実施計画もくじ

１．企業内実習Ⅰ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
２．新規商品開発・販売実習Ⅰ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７
３．企業内実習Ⅱ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３
４．新規商品開発・販売実習Ⅱ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０
５．企業内実習Ⅲ概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６

（添付資料）

添付資料１　臨地実務実習施設所要時間一覧表・・・・・・・・・・・・・・・０１
添付資料２　臨地実務実習履修についての同意誓約書・・・・・・・・・・・・０２
添付資料３　臨地実務実習計画票・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・０３
添付資料４　臨地実務実習報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・０５
添付資料５　実習日誌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・０７
添付資料６　事故・災害発生報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・０９
添付資料７　実施協定書（ひな形）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
添付資料８　履修スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６
添付資料９－１　臨地実務実習予定表　企業内実習Ⅰ・・・・・・・・・・・・１７
添付資料９－２　臨地実務実習予定表　新規商品開発・販売実習Ⅰ・・・・・・１８
添付資料９－３　臨地実務実習予定表　企業内実習Ⅱ・・・・・・・・・・・・１９
添付資料９－４　臨地実務実習予定表　新規商品開発・販売実習Ⅱ・・・・・・２０
添付資料９－５　臨地実務実習予定表　企業内実習Ⅲ・・・・・・・・・・・・２１
添付資料10－１　実習先との連携表　企業内実習Ⅰ・・・・・・・・・・・・・２２
添付資料10－２　実習先との連携表　新規商品開発・販売実習Ⅰ・・・・・・・２４
添付資料10－３　実習先との連携表　企業内実習Ⅱ・・・・・・・・・・・・・２６
添付資料10－４　実習先との連携表　新規商品開発・販売実習Ⅱ・・・・・・・２９
添付資料10－５　実習先との連携表　企業内実習Ⅲ・・・・・・・・・・・・・３１
添付資料11　臨地実務実習指導教員別スケジュール表・・・・・・・・・・・・３３
添付資料12－１　事業創造学部学生時間割（１期）・・・・・・・・・・・・・３５
添付資料12－２　事業創造学部学生時間割（２期）・・・・・・・・・・・・・３６
添付資料12－３　事業創造学部学生時間割（３期）・・・・・・・・・・・・・３７
添付資料12－４　事業創造学部学生時間割（４期）・・・・・・・・・・・・・３８
添付資料13　授業科目毎の実習評価基準表・・・・・・・・・・・・・・・・・３９～４３

添付資料12－1　　完成年度の事業創造学部事業創造学科時間割案（2023年度　①期）

＜凡例＞
・担当者欄の斜字：兼担教員／兼任教員

【月曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	現代産業論B（事創）	美甘	3F講義室(4)	簿記概論A（事創）	東城	3F講義室(6)	会社設立実習ⅡA（事創） 会社設立実習ⅡB（事創）	原岡 福田	5F演習室(1)(2) 5F演習室(3)(4)			
2限	マーケティングB（事創）	高松	3F講義室(5)	経営組織論B（事創） デザインシンキング概論A（事創）	向 石塚	1F講義室(1) 4F講義室(18)	会社設立実習ⅡA（事創） 会社設立実習ⅡB（事創）	原岡 福田	5F演習室(1)(2) 5F演習室(3)(4)			
3限	マーケティングA（事創）	高松	3F講義室(5)	経営組織論A（事創） デザインシンキング概論B（事創）	向 石塚	1F講義室(1) 4F講義室(18)	会社設立実習ⅡA（事創） 会社設立実習ⅡB（事創）	原岡 福田	5F演習室(1)(2) 5F演習室(3)(4)			
4限	現代産業論A（事創）	美甘	3F講義室(4)	簿記概論B（事創）	東城	3F講義室(6)	会社設立実習ⅡA（事創） 会社設立実習ⅡB（事創）	原岡 福田	5F演習室(1)(2) 5F演習室(3)(4)			
5限	現代経済学	徳田	3F講義室(4)				不動産法入門	石川	3F講義室(5)			
備考												

【火曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限				新規商品開発・販売実習Ⅰ（臨地実務実習）			ソーシャルデザインⅡA（事創） イノベーションマネジメントB	渡辺 近藤	4F講義室(15) 3F講義室(4)			
2限	情報リテラシーB（事創）	向	4F講義室(15)	新規商品開発・販売実習Ⅰ（臨地実務実習）			ソーシャルデザインⅡB（事創） イノベーションマネジメントA	渡辺 近藤	4F講義室(15) 3F講義室(4)			
3限	情報リテラシーB（事創）	向	4F講義室(15)	新規商品開発・販売実習Ⅰ（臨地実務実習）			実践的統計学（事創）	*中東*	3F講義室(5)			
4限	情報リテラシーA（事創）	向	3F講義室(7)	新規商品開発・販売実習Ⅰ（臨地実務実習）								
5限	情報リテラシーA（事創）	向	3F講義室(7)	新規商品開発・販売実習Ⅰ（臨地実務実習）								
備考												

【水曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限				英語プレゼンテーション演習ⅠB（事創） 新潟と地域資源A（事創）	*グレッグディック* *渡辺*	4F講義室(18) 3F講義室(3)				地域産業研究Ⅶまちづくり（事創）	西村	3F講義室(3)
2限	日本語コミュニケーションA（事創）	常木	3F講義室(3)	英語プレゼンテーション演習ⅠA（事創） 新潟と地域資源B（事創）	*グレッグディック* *渡辺*	4F講義室(18) 3F講義室(3)	地域産業研究Ⅳものづくり（事創）	原岡	4F講義室(13)	地域産業研究ⅦICT（事創）	*磯西*	3F講義室(5)
3限	日本語コミュニケーションB（事創） 英語コミュニケーションⅠA（事創）	常木 *グレッグディック*	3F講義室(3) 4F講義室(18)				コミュニケーションデザイン（事創） 地域資源活用の事例研究A	*武田* *青山*	3F講義室(5) 4F講義室(14)			
4限	英語コミュニケーションⅠB（事創）	*グレッグディック*	3F講義室(6)	新規商品開発・販売実習Ⅰ（臨地実務実習）			地域資源活用の事例研究B 財務諸表分析A（事創）	*青山* 東城	3F講義室(5) 3F講義室(6)			
5限				新規商品開発・販売実習Ⅰ（臨地実務実習）			財務諸表分析B（事創）	東城	3F講義室(6)			
備考												

【木曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	キャリアデザインⅠA（事創）	東城	3F講義室(3)							実践企業革新（事創）	福田	4F講義室(15)
2限	ビジネスモラルB（事創）	*佐藤*	3F講義室(4)	ビジネスモデル研究B	星	3F講義室(5)						
3限	ビジネスモラルA（事創） キャリアデザインⅠB（事創）	*佐藤* 東城	3F講義室(4) 3F講義室(3)	ビジネスモデル研究A	星	3F講義室(5)	新規商品開発・販売実習Ⅱ（臨地実務実習）					
4限	現代実践法学	*藤島*	3F講義室(4)	地域産業研究Ⅰ農林水産（事創） 地域産業研究Ⅱ医療福祉（事創）	*武本* *渡邉*	4F講義室(15) 4F講義室(16)	新規商品開発・販売実習Ⅱ（臨地実務実習）					
5限				流通論の基礎（事創）	徳田	4F講義室(15)	新規商品開発・販売実習Ⅱ（臨地実務実習）					
備考												

【金曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	経営学の基礎A（事創）	星	3F講義室(3)	ビジネスプランの応用A（事創）	古屋	3F講義室(7)	新規商品開発・販売実習Ⅱ（臨地実務実習）					
2限	経済学の基礎A（事創）	近藤	3F講義室(6)	ビジネスプランの応用A（事創）	古屋	3F講義室(7)	新規商品開発・販売実習Ⅱ（臨地実務実習）					
3限	経営学の基礎B（事創）	星	3F講義室(7)	ビジネスプランの応用B（事創）	古屋	4F講義室(5)	新規商品開発・販売実習Ⅱ（臨地実務実習）			事業計画策定総合実習	学部長以外の教授・准教授	9教室 実習・演習
4限	経済学の基礎B（事創）	近藤	3F講義室(6)	ビジネスプランの応用B（事創）	古屋	4F講義室(5)	新規商品開発・販売実習Ⅱ（臨地実務実習）			事業計画策定総合実習	学部長以外の教授・准教授	9教室 実習・演習
5限							新規商品開発・販売実習Ⅱ（臨地実務実習）					
備考												

※臨地実務実習は上記には含まず。

添付資料12－2　　完成年度の事業創造学部事業創造学科時間割案（2023年度　②期）

＜凡例＞
・担当者欄の斜字：兼担教員／兼任教員

【月曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	現代産業論B(事創)	美甘	3F講義室(3)	簿記概論A(事創)	東城	3F講義室(6)	会社設立実習ⅡA(事創) 会社設立実習ⅡB(事創)	福田 原岡	5F演習室(1)(2) 5F演習室(3)(4)			
2限	マーケティングB(事創)	高松	3F講義室(3)	経営組織論B(事創) デザインシンキング概論A(事創)	向 石塚	3F講義室(4) 4F講義室(15)	会社設立実習ⅡA(事創) 会社設立実習ⅡB(事創)	福田 原岡	5F演習室(1)(2) 5F演習室(3)(4)			
3限	マーケティングA(事創)	高松	3F講義室(3)	経営組織論A(事創) デザインシンキング概論B(事創)	向 石塚	3F講義室(7) 4F講義室(15)	会社設立実習ⅡA(事創) 会社設立実習ⅡB(事創)	福田 原岡	5F演習室(1)(2) 5F演習室(3)(4)			
4限	現代産業論A(事創)	美甘	3F講義室(3)	簿記概論B(事創)	東城	3F講義室(6)	会社設立実習ⅡA(事創) 会社設立実習ⅡB(事創)	福田 原岡	5F演習室(1)(2) 5F演習室(3)(4)			
5限	現代経済学	徳田	3F講義室(4)				不動産法入門	石川	3F講義室(5)			
備考												

【火曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	新潟と地域社会B(事創)	*宮下*	3F講義室(4)	新規商品開発・販売実習Ⅰ (臨地実務実習)			ソーシャルデザインⅡA(事創) イノベーションマネジメントB	渡辺 近藤	4F講義室(15) 3F講義室(4)			
2限	新潟と地域社会A(事創)	*宮下*	3F講義室(4)	新規商品開発・販売実習Ⅰ (臨地実務実習)			ソーシャルデザインⅡB(事創) イノベーションマネジメントA	渡辺 近藤	4F講義室(15) 3F講義室(4)			
3限				新規商品開発・販売実習Ⅰ (臨地実務実習)			実践的統計学(事創)	*中東*	3F講義室(5)			
4限				新規商品開発・販売実習Ⅰ (臨地実務実習)								
5限				新規商品開発・販売実習Ⅰ (臨地実務実習)								
備考												

【水曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限				英語プレゼンテーション演習ⅠB(事創) 新潟と地域資源A(事創)	*グレッグディック* *渡辺*	4F講義室(18) 3F講義室(3)	キャリアデザインⅢA(事創)	土岐	4F講義室(15)	地域産業研究Ⅷまちづくり(事創)	西村	3F講義室(3)
2限	日本語コミュニケーションA(事創)	常木	3F講義室(3)	英語プレゼンテーション演習ⅠA(事創) 新潟と地域資源B(事創)	*グレッグディック* *渡辺*	4F講義室(18) 3F講義室(3)	キャリアデザインⅢB(事創) 地域産業研究Ⅳものづくり(事創)	土岐 原岡	4F講義室(13) 4F講義室(14)	地域産業研究Ⅶ ICT(事創)	*磯西*	5F演習室(5)
3限	日本語コミュニケーションB(事創) 英語コミュニケーションⅠA(事創)	常木 *グレッグディック*	3F講義室(3) 5F講義室(18)				コミュニケーションデザイン(事創) 地域資源活用の事例研究A	*武田* *青山*	3F講義室(5) 4F講義室(14)			
4限	英語コミュニケーションⅠB(事創)	*グレッグディック*	3F講義室(6)	新規商品開発・販売実習Ⅰ (臨地実務実習)			地域資源活用の事例研究B 財務諸表分析A(事創)	*青山* 東城	3F講義室(5) 3F講義室(6)			
5限				新規商品開発・販売実習Ⅰ (臨地実務実習)			財務諸表分析B(事創)	東城	3F講義室(6)			
備考												

【木曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	会計学B(事創)	平田	3F講義室(5)	キャリアデザインⅡA(事創) ビジネスモデル研究B	東城 星	3F講義室(4) 3F講義室(5)				実践企業革新(事創)	福田	4F講義室(15)
2限	会計学A(事創)	平田	3F講義室(7)	キャリアデザインⅡB(事創) ビジネスモデル研究A	東城 星	4F講義室(15) 3F講義室(5)						
3限							新規商品開発・販売実習Ⅱ (臨地実務実習)					
4限				地域産業研究Ⅰ農林水産(事創) 地域産業研究Ⅱ医療福祉(事創)	*武本* *渡邉*	3F講義室(5) 3F講義室(6)	新規商品開発・販売実習Ⅱ (臨地実務実習)					
5限	現代実践法学	*藤島*	3F講義室(3)	流通論の基礎(事創)	徳田	4F講義室(16)	新規商品開発・販売実習Ⅱ (臨地実務実習)					
備考	トップランナー研究※集中(事創)											

【金曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	経営学の基礎A(事創)	星	3F講義室(3)	ビジネスプランの応用A(事創)	古屋	3F講義室(7)	新規商品開発・販売実習Ⅱ (臨地実務実習)					
2限	経済学の基礎A(事創)	近藤	3F講義室(3)	ビジネスプランの応用A(事創)	古屋	3F講義室(7)	新規商品開発・販売実習Ⅱ (臨地実務実習)					
3限	経営学の基礎B(事創)	星	3F講義室(3)	ビジネスプランの応用B(事創)	古屋	4F講義室(5)	新規商品開発・販売実習Ⅱ (臨地実務実習)			事業計画策定総合実習	学部長以外の教授・准教授	9教室 実習・演習
4限	経済学の基礎B(事創)	近藤	3F講義室(3)	ビジネスプランの応用B(事創)	古屋	4F講義室(5)	新規商品開発・販売実習Ⅱ (臨地実務実習)			事業計画策定総合実習	学部長以外の教授・准教授	9教室 実習・演習
5限							新規商品開発・販売実習Ⅱ (臨地実務実習)					
備考												

※臨地実務実習は上記には含まず。

添付資料12－3　　完成年度の事業創造学部事業創造学科時間割案（2023年度　③期）

＜凡例＞
・担当者欄の斜字：兼担教員／兼任教員

【月曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	現代社会学	土岐	3F講義室(4)	企業内実習Ⅱ（臨地実務実習）			ソーシャルデザイン実習A(事創)	渡辺	1F演習・実習室	中国語コミュニケーション	崔	4F講義室(15)
							地域資源活用実習B(事創)	西村	3F実習室(1)			
2限	現代の科学技術	田代	3F講義室(4)	企業内実習Ⅱ（臨地実務実習）			ソーシャルデザイン実習A(事創)	渡辺	1F演習・実習室			
							地域資源活用実習B(事創)	西村	3F実習室(1)			
3限	現代史と国際関係論	増田	3F講義室(3)	企業内実習Ⅱ（臨地実務実習）			広報戦略の実践(事創)	高松	3F講義室(7)			
4限	現代企業論B(事創)	美甘	3F講義室(5)	企業内実習Ⅱ（臨地実務実習）			ソーシャルデザイン実習B(事創)	渡辺	1F演習・実習室	韓国語コミュニケーション	黄	4F講義室(15)
	簿記演習A(事創)	東城	3F講義室(4)				地域資源活用実習A(事創)	西村	3F実習室(1)			
5限	現代企業論A(事創)	美甘	3F講義室(5)	企業内実習Ⅱ（臨地実務実習）			ソーシャルデザイン実習B(事創)	渡辺	1F演習・実習室	ロシア語コミュニケーション	中谷	4F講義室(15)
	簿記演習B(事創)	東城	3F講義室(5)				地域資源活用実習A(事創)	西村	3F実習室(1)			
備考												

【火曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限				地域産業研究Ⅲ環境(事創)	櫻井	3F講義室(5)	不動産取引演習	石川	3F講義室(6)			
2限	デジタルマーケティングA(事創)	向	3F講義室(7)	会社設立実習ＩB(事創)	原岡	5F演習室(1)(2)	地域産業研究Ⅴ観光(事創)	寺前	4F講義室(16)			
	財務諸表論B(事創)	平田	3F講義室(5)									
3限				会社設立実習ＩB(事創)	原岡	5F演習室(1)(2)	資金調達の実践B(事創)	松澤	4F講義室(16)			
	財務諸表論A(事創)	平田	3F講義室(5)									
4限	デジタルマーケティングB(事創)	向	3F講義室(7)	会社設立実習ＩA(事創)	福田	5F演習室(1)(2)	企業内実習Ⅲ（臨地実務実習）					
5限				会社設立実習ＩA(事創)	福田	5F演習室(1)(2)	企業内実習Ⅲ（臨地実務実習）					
備考												

【水曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	企業内実習Ⅰ（臨地実務実習）			ソーシャルデザインⅠB(事創)	渡辺	3F講義室(7)	資金調達の実践A(事創)	松澤	4F講義室(15)			
2限	企業内実習Ⅰ（臨地実務実習）			ソーシャルデザインⅠA(事創)	渡辺	3F講義室(6)	ICT活用ビジネス(事創)	原岡	4F講義室(16)			
				経営戦略策定演習B(事創)	星	4F講義室(18)						
3限	企業内実習Ⅰ（臨地実務実習）			経営戦略策定演習A(事創)	星	4F講義室(18)	実践事業承継	銀行	3F講義室(7)			
4限	企業内実習Ⅰ（臨地実務実習）			消費者行動研究(事創)	伊藤	3F講義室(6)	実践事業承継	銀行	3F講義室(7)			
5限	企業内実習Ⅰ（臨地実務実習）			地域産業研究Ⅲ環境(事創)	増田	3F講義室(6)	グローバル社長学(事創)	高松	4F講義室(16)			
備考												

【木曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	地域経済産業論A(事創)	徳田	3F講義室(4)	簿記演習A	東城	3F講義室(6)	企業内実習Ⅲ（臨地実務実習）					
	新潟と地域政策B	渡辺	3F講義室(5)									
2限	ビジネスコミュニケーションA(事創)	原岡	3F講義室(4)	会社設立実習ＩA(事創)	福田	5F演習室(1)(2)	企業内実習Ⅲ（臨地実務実習）					
	アントレプレナーシップ論B(事創)	近藤	3F講義室(5)	簿記演習B	東城	3F講義室(6)						
3限	ビジネスコミュニケーションB(事創)	原岡	3F講義室(4)	会社設立実習ＩA(事創)	福田	5F演習室(1)(2)	企業内実習Ⅲ（臨地実務実習）					
	アントレプレナーシップ論A(事創)	近藤	3F講義室(5)	英語プレゼンテーション演習ⅡB(事創)	グレッグディック	5F講義室(18)						
4限	地域経済産業論B(事創)	徳田	3F講義室(4)	会社設立実習ＩB(事創)	原岡	5F演習室(1)(2)	企業内実習Ⅲ（臨地実務実習）					
	新潟と地域政策A	渡辺	3F講義室(5)	英語プレゼンテーション演習ⅡA(事創)	グレッグディック	5F講義室(18)						
5限				会社設立実習ＩB(事創)	原岡	5F演習室(1)(2)	企業内実習Ⅲ（臨地実務実習）					
備考												

【金曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限							会社設立実習Ⅲ(事創)	福田	5F演習室(1)(2)			
2限	ビジネスプランの基礎A(事創)	古屋	3F講義室(3)	地域資源活用の理論と方法A	渡辺	3F講義室(3)	会社設立実習Ⅲ(事創)	福田	5F演習室(1)(2)	地域産業研究Ⅷカルチャー(事創)	高松	4F講義室(16
	経営戦略論B(事創)	星	3F講義室(7)									
3限	ビジネスプランの基礎B(事創)	古屋	3F講義室(3)	地域資源活用の理論と方法B	渡辺	3F講義室(3)	会社設立実習Ⅲ(事創)	福田	5F演習室(1)(2)	事業計画策定総合実習	学部長以外の教授・准教授	9教室実習・演習
	英語コミュニケーションⅡA(事創)	グレッグディック	3F講義室(5)									
4限	経営戦略論A(事創)	星	3F講義室(6)	実践ベンチャービジネスA(事創)	古屋	4F講義室(15)	会社設立実習Ⅲ(事創)	福田	5F演習室(1)(2)	事業計画策定総合実習	学部長以外の教授・准教授	9教室実習・演習
	英語コミュニケーションⅡB(事創)	グレッグディック	3F講義室(5)	実践日本ビジネス法B(事創)	大野	4F講義室(16)						
5限				実践ベンチャービジネスB(事創)	古屋	3F講義室(6)	企業リスク管理実践(事創)	大野	4F講義室(15)			
				実践日本ビジネス法A(事創)	大野	3F講義室(5)						
備考												

※臨地実務実習は上記には含まず。

添付資料12－4　　完成年度の事業創造学部事業創造学科時間割案（2023年度　④期）

＜凡例＞
・担当者欄の斜字：兼担教員／兼任教員

【月曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	現代社会学	土岐	3F講義室(4)	企業内実習Ⅱ（臨地実務実習）			ソーシャルデザイン実習A(事創)	渡辺	1F演習・実習室	中国語コミュニケーション	*崔*	4F講義室(15)
							地域資源活用実習B(事創)	西村	3F実習室(1)			
2限	現代の科学技術	田代	3F講義室(4)	企業内実習Ⅱ（臨地実務実習）			ソーシャルデザイン実習A(事創)	渡辺	1F演習・実習室			
							地域資源活用実習B(事創)	西村	3F実習室(1)			
3限	現代史と国際関係論	増田	3F講義室(3)	企業内実習Ⅱ（臨地実務実習）			広報戦略の実践(事創)	高松	3F講義室(7)			
4限	現代企業論B(事創)	美甘	3F講義室(4)	企業内実習Ⅱ（臨地実務実習）			ソーシャルデザイン実習B(事創)	渡辺	1F演習・実習室	韓国語コミュニケーション	*黄*	4F講義室(15)
							地域資源活用実習A(事創)	西村	3F実習室(1)			
5限	現代企業論A(事創)	美甘	3F講義室(4)	企業内実習Ⅱ（臨地実務実習）			ソーシャルデザイン実習B(事創)	渡辺	1F演習・実習室	ロシア語コミュニケーション	*やぶ*	4F講義室(15)
							地域資源活用実習A(事創)	西村	3F実習室(1)			
備考												

【火曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限				地域産業研究Ⅲ環境(事創)	櫛井	3F講義室(5)	不動産取引演習	石川	3F講義室(5)			
							国際動態論	増田	3F講義室(4)			
2限	デジタルマーケティングA(事創)	向	3F講義室(3)	会社設立実習ⅠB(事創)	原岡	5F演習室(3)(4)	地域産業研究Ⅴ観光(事創)	*寺前*	3F講義室(7)			
							国際動態論	増田	3F講義室(4)			
3限				会社設立実習ⅠB(事創)	原岡	5F演習室(3)(4)	資金調達の実践B(事創)	松澤	4F講義室(16)			
4限	デジタルマーケティングB(事創)	向	3F講義室(6)	会社設立実習ⅠA(事創)	福田	5F演習室(3)(4)	企業内実習Ⅲ（臨地実務実習）					
5限				会社設立実習ⅠA(事創)	福田	5F演習室(3)(4)	企業内実習Ⅲ（臨地実務実習）					
備考												

【水曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	企業内実習Ⅰ（臨地実務実習）			資金調達の実践B(事創)	松澤	4F講義室(16)	資金調達の実践A(事創)	松澤	4F講義室(15)			
2限	企業内実習Ⅰ（臨地実務実習）			ソーシャルデザインⅠA(事創)	渡辺	3F講義室(6)	ICT活用ビジネス(事創)	原岡	3F講義室(7)			
				経営戦略策定演習B(事創)	星	4F講義室(18)						
3限	企業内実習Ⅰ（臨地実務実習）			ソーシャルデザインⅠB(事創)	渡辺	3F講義室(6)	事業承継演習	*銀行*	3F講義室(7)			
				経営戦略策定演習A(事創)	星	4F講義室(18)						
4限	企業内実習Ⅰ（臨地実務実習）			消費者行動研究(事創)	伊藤	3F講義室(6)	事業承継演習	*銀行*	3F講義室(7)			
5限	企業内実習Ⅰ（臨地実務実習）			地域産業研究Ⅲ環境(事創)	増田	3F講義室(5)	グローバル社長学(事創)	高松	4F講義室(16)			
備考												

【木曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限	地域経済産業論A(事創)	徳田	3F講義室(4)				企業内実習Ⅲ（臨地実務実習）					
	新潟と地域政策B	*滅辺*	3F講義室(5)									
2限	ビジネスコミュニケーションA(事創)	原岡	3F講義室(4)	会社設立実習ⅠA(事創)	福田	5F演習室(3)(4)	企業内実習Ⅲ（臨地実務実習）					
	アントレプレナーシップ論B	近藤	3F講義室(5)									
3限	ビジネスコミュニケーションB(事創)	原岡	3F講義室(4)	会社設立実習ⅠA(事創)	福田	5F演習室(3)(4)	企業内実習Ⅲ（臨地実務実習）					
	アントレプレナーシップ論A	近藤	3F講義室(5)	英語プレゼンテーション演習ⅡB(事創)	*グレッグディック*	4F講義室(18)						
4限	地域経済産業論B(事創)	徳田	3F講義室(4)	会社設立実習ⅠB(事創)	原岡	5F演習室(3)(4)	企業内実習Ⅲ（臨地実務実習）					
	新潟と地域政策A	*滅辺*	3F講義室(5)	英語プレゼンテーション演習ⅡA(事創)	*グレッグディック*	4F講義室(18)						
5限				会社設立実習ⅠB(事創)	原岡	5F演習室(3)(4)	企業内実習Ⅲ（臨地実務実習）					
備考	トップランナー研究※集中(事創)											

【金曜日】

配当年次	1年			2年			3年			4年		
時限	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
1限							会社設立実習Ⅲ(事創)	福田	5F演習室(1)(2)			
2限	ビジネスプランの基礎A(事創)	古屋	3F講義室(3)	地域資源活用の理論と方法A	*滅辺*	3F講義室(3)	会社設立実習Ⅲ(事創)	福田	5F演習室(1)(2)	地域産業研究Ⅲカルチャー(事創)	高松	3F講義室(5)
	経営戦略論B(事創)	星	3F講義室(7)									
3限	ビジネスプランの基礎B(事創)	古屋	3F講義室(3)	資金調達の実践A(事創)	松澤	4F講義室(15)	会社設立実習Ⅲ(事創)	福田	5F演習室(1)(2)	事業計画策定総合実習	学部長以外の教授・准教授	9教室実習・演習
	英語コミュニケーションⅡA(事創)	*グレッグディック*	4F講義室(16)	地域資源活用の理論と方法B	*滅辺*	3F講義室(3)						
4限	英語コミュニケーションⅡB(事創)	*グレッグディック*	3F講義室(6)	実践ベンチャービジネスA(事創)	古屋	4F講義室(15)	会社設立実習Ⅲ(事創)	福田	5F演習室(1)(2)	事業計画策定総合実習	学部長以外の教授・准教授	9教室実習・演習
	経営戦略論A(事創)	星	3F講義室(5)	実践日本ビジネス法B(事創)	大野	4F講義室(16)						
5限				実践ベンチャービジネスB(事創)	古屋	3F講義室(6)	企業リスク管理実践(事創)	大野	4F講義室(15)			
				実践日本ビジネス法A(事創)	大野	3F講義室(7)						
備考												

※臨地実務実習は上記には含まず。

添付資料１

事業創造学部　臨地実務実習施設所用時間一覧表

施設番号	名称	所在地	交通手段	所要時間
1	株式会社ウィネット	新潟県新潟市中央区弁天三丁目2番20号　弁天501ビル 5F	バス	12
2	株式会社エデュースホールディングス	新潟県新潟市中央区弁天三丁目2番20号　弁天501ビル 6F	バス	12
3	株式会社エヌエスジー教育ネットワーク	新潟市中央区東大通1－11－32	バス	14
4	株式会社NSGアカデミー	新潟市中央区東大通1－11－32	バス	14
5	株式会社サーティファイ	新潟県新潟市中央区弁天三丁目2番20号　弁天501ビル	バス	12
6	アートグリーン株式会社	東京都江東区福住1－8－8　福住ビル	新幹線・バス	190
7	株式会社小川屋	新潟県新潟市江南区大淵1631	バス	47
8	株式会社日本フードリンク　本社	新潟市東区津島屋6丁目99番地1	バス	60
9	株式会社ベジ・アビオ	新潟県新潟市北区新富町1419-50	バス	90
10	グローカルマーケティング株式会社	新潟県長岡市北陽1丁目53番地	電車・バス	100
11	新潟綜合警備保障株式会社	新潟市東区小金町1丁目17番20号	バス	30
12	株式会社リビングギャラリー　本店	新潟県新潟市中央区米山4－1－28	バス	12
13	株式会社リビングギャラリー　新潟中央センター	新潟県新潟市中央区米山2－6－3	バス	14
14	株式会社リビングギャラリー　新潟駅前店	新潟市中央区東大通1－1－15 東大通ビル1F	バス	20
15	株式会社リビングギャラリー　新潟古町店	新潟市中央区東堀通4－451	バス	31
17	株式会社リビングギャラリー　新潟亀田店	新潟県新潟市江南区早苗1-1-25	バス	34
18	株式会社リビングギャラリー　新潟東店	新潟県新潟市東区上木戸1-2-1	バス	40
19	株式会社リビングギャラリー　新潟大学前店	新潟県新潟市西区大学南1－7802－12	電車・バス	60
20	株式会社リビングギャラリー　新潟西店	新潟県新潟市西区小新西3－14－13	電車・バス	60
21	株式会社リビングギャラリー　新津店	新潟県新潟市秋葉区新津本町1－2－30	電車・バス	43
22	株式会社リビングギャラリー　新潟北店	新潟県新潟市北区柳原1－2－2	電車・バス	45
23	株式会社リビングギャラリー　新発田店	新潟県新発田市住吉町5－12－26	電車・バス	65
24	株式会社リビングギャラリー　燕三条駅前店	新潟県三条市須頃2－24 Fu－Rin－Kan101号	新幹線・バス	41
25	株式会社リビングギャラリー　長岡西店	新潟県長岡市古正寺3－141	バス	121
26	株式会社リビングギャラリー　長岡東店	新潟県長岡市台町2－4－11	新幹線・バス	41
27	株式会社リビングギャラリー　上越センター	新潟県上越市春日山町3－20－53	電車・バス	170
28	株式会社リビングギャラリー　郡山店	福島県郡山市中町2－11	バス	197
29	株式会社リビングギャラリー　川崎店	神奈川県川崎市川崎区砂子1-1-19 川崎ビル2階	新幹線・電車・バス	173
30	株式会社リビングギャラリー　日暮里店	東京都荒川区西日暮里2－18－4 小川ビル3F	新幹線・電車・バス	172
31	株式会社リビングギャラリー　錦糸町店	東京都墨田区江東橋4－29－14 コミネビル2F	新幹線・電車・バス	180
32	株式会社リビングギャラリー　赤羽店	東京都北区赤羽西1－37－3　赤羽アイ・エスビル3F	新幹線・電車・バス	146
33	株式会社リビングギャラリー　船橋店	千葉県船橋市本町6－6－2　船橋MIOビル3F	新幹線・電車・バス	192
34	株式会社リビングギャラリー　高円寺店	東京都杉並区高円寺南3－57－1ベルピアビル2F	新幹線・電車・バス	182
35	株式会社新潟プロバスケットボール　本社	長岡市城内町2－5－3樋熊ビル	電車	90
36	越後味噌醸造株式会社	新潟県燕市吉田中町5-10	電車	45
37	株式会社ヒューマンブレイン	新潟県新潟市中央区東大通1－1－15東大通ビル6F	バス	19
38	今代司酒造株式会社	新潟県新潟市中央区鏡が岡1－1	徒歩のみ	30
39	株式会社峰村商店	新潟県新潟市中央区明石2-3-44	バス	25
40	株式会社アイ・シー・オー	新潟県新潟市中央区米山2丁目7-4　ITPケヤキビル3F	バス	15
41	株式会社国際総合計画	新潟県新潟市中央区米山2－7－3 ITPケヤキビル	バス	15
42	株式会社MGNET	新潟県燕市東太田14-3	新幹線・電車・バス	60
43	Adam Innovations株式会社	新潟県南魚沼市浦佐1188-2	電車	60
44	リコージャパン株式会社 新潟支社	新潟県新潟市東区下木戸1-18-30	バス	30
45	株式会社幻の酒	新潟市中央区白山浦2丁目1番28号	電車	20
46	株式会社ミールワークス	東京都目黒区下目黒2-17-18	電車	150

審査意見への対応を記載した書類

【資料 9−⑨】

臨地実務実習実施計画

開志専門職大学

事業創造学部

開志専門職大学臨地実務実習実施計画もくじ

１．企業内実習Ⅰ概要・・・

添付資料７

開志専門職大学の職業教育に係る実施協定書

〔専門職大学 代表者氏名〕（以下「甲」という。）と〔事業者名 代表者氏名〕（以下「乙」という。）は、甲が設置する●●学部●●学科の臨地実務実習の授業科目の乙の事業所における実施について、以下のとおり合意する。

（趣旨）

第__条 この協定は、甲の学生(以下「学生」という。)に対して行われる臨地実務実習(乙の事業所において、乙の実務に従事することにより行う実習をいう。以下同じ。)を甲乙連携して行うことに関する基本的事項を取り決めることを目的として、締結する。

（手数料）

第__条 甲は、臨地実務実習の実施につき、学生１人につき一日当たり 円を、手数料として乙に支払う。

２ 甲は、前項各号に定める金額を、各学生の臨地実務実習の最終実習日が属する月の翌月○○日までに、乙の指定する方法により支払うものとする。

（※ 甲乙の協議の結果、甲から乙に手数料を支払う場合に規定する。）

（費用負担）

第__条 第__条に定めるもののほか、臨地実務実習に関する費用の負担は次のとおりとする。

① 甲は、・・・を負担する。

② 乙は、・・・を負担する。

（実施計画）

第__条 臨地実務実習の円滑な実施のため、甲は、乙と協議の上、実施計画を書面で作成するものとする。

２ 実施計画には、以下の事項を記載する。

① 実習の内容、期間、一日当たりの実習時間及び主たる実習場所

② 受け入れる学生の数

③ 実習指導者の配置

④ 成績評価の基準及び方法

⑤ 学生に対する報酬及び交通費支給等の取扱い

⑥ 実習中の災害補償及び損害賠償責任

⑦ その他の臨地実務実習の実施に必要な事項

3 乙は、実施計画に従い、甲と連携して臨地実務実習を実施するものとする。
4 乙は、甲の求めがあったときは、あらかじめ甲乙協議して定める方法により、業務の進捗状況について報告するものとする。

≪学生に対する報酬及び交通費支給等の取扱い≫
〔例1 雇用型の場合〕
（実習生との労働契約）
第__条 乙は、学生と、実習の開始日から終了日までを契約期間とする有期労働契約を締結する。
2 報酬の額は、乙が実習生に別途交付する労働条件通知書で示す。
3 交通費は、乙の就業規則の定めるところにより支払う。
4 乙は、社会保険及び労働保険諸法令の定めるところに従い、学生を健康保険、厚生年金保険及び雇用保険に加入させる。
5 作業着その他の臨地実務実習に必要な備品等は貸与する。

〔例2 非雇用型（手当等あり）の場合〕
（学生に対する手当の支給等）
第__条 乙は、学生に対して別に定める手当を支給するほか、作業着その他の臨地実務実習に必要な備品等を貸与する。
2 学生は、乙の指揮監督の下で乙に従属して労働力を提供しない範囲で、乙の社内規則及び実習指導者の指示等を遵守するものとする。

〔例3 非雇用型（手当等なし）の場合〕
第__条 乙は、学生に対して臨地実務実習に関する一切の給与及び手当等（交通費、滞在費、食費、クリーニング代等）を支給しない。ただし、乙の従業員に同行して行う事業所外での実習に係る交通費については、乙の就業規則の定めに準じて支払う。
2 乙は、学生に対して作業着その他の臨地実務実習に必要な備品等を無償で貸与する。
3 学生は、乙の指揮監督の下で乙に従属して労働力を提供しない範囲で、乙の社内規則及び実習指導者の指示等を遵守するものとする。

（指揮命令）
第__条 乙は、実施計画に定める内容を超えて、乙の指揮命令下で学生又は甲の教員に労務の提供をさせてはならないものとする。

（企業秘密の取扱い）
第__条 甲及び学生は、臨地実務実習の実施に伴い知得した乙の業務・契約・取引先・顧客

（利用者）等に関する一切の秘密情報（以下「乙秘密情報」という。）を、書面による乙の事前の同意を得ることなく、臨地実務実習の期間中及び終了後において、第三者に漏洩してはならないものとする。

2 学生は、乙の事前の同意を得て、臨地実務実習に関する報告に必要な範囲で、乙秘密情報を甲に開示することができる。

3 甲は、学生が口頭又は書面でした前項の報告に乙秘密情報が含まれる場合は、第1項に定める学生の負う義務と同等の義務を負う。

（機密情報等の返還義務）

第__条 甲及び乙は、臨地実務実習が終了したとき若しくはこの協定の有効期間を満了したとき、又は相手方から返還等の要求があったときは、相手方の機密情報及び相手方から貸与された情報等について、相手方の指示に従い、必ず返還、廃棄又は消去するものとする。

（機密情報等の返還義務）

第__条 甲及び乙は、臨地実務実習が終了したとき若しくはこの協定の有効期間を満了したとき、又は相手方から返還等の要求があったときは、相手方の機密情報及び相手方から貸与された情報等について、相手方の指示に従い、必ず返還、廃棄又は消去するものとする。

（改善）

第__条 甲及び乙は、業務の改善の必要があると認めるときは、相手方に改善の協議を申し入れることができ、申し入れられた相手方は必ず協議に応じるものとする。

（委託の禁止）

第__条 乙は、事前に甲乙の協議の上で甲の書面による承諾を得た場合を除き、業務の一部又は全部の実施を第三者に委託することはできない。

（権利・義務の譲渡の禁止）

第__条 甲及び乙は、事前に甲乙の協議の上で相手方の書面による承諾を得た場合を除き、この協定上の権利又は義務を第三者に譲渡し、又は承継してはならない。

（安全衛生）

第__条 甲及び乙は、臨地実務実習中の実習生の災害を防止するために、双方協力するとともに、実習生に自己の安全に十分に留意させるものとする。

2 乙は、甲と連携して、事前に甲乙協議の上で決定した災害防止等に必要な講習その他安全衛生管理の措置をあらかじめ講ずるものとする。

（実習中の災害補償及び損害賠償責任）

第　条　甲は、臨地実務実習中の事故等により、実習生が傷害を負った場合又は実習生が乙、乙の従業員等若しくは第三者へ損害を与えた場合等に備え、実習生に災害補償保険及び賠償責任保険へ加入させなければならない。当該保険の加入に関して必要な手続は甲が行い、その保険料は実習生が負担するものとする。

2　実習生の臨地実務実習中の事故等については、乙の故意又は重過失による場合を除き、実習生が加入する保険をもって補償に充てるものとする。

3　実習生が臨地実務実習中に乙又は第三者へ損害を与えた場合は、実習生の故意又は重過失による場合を除き、実習生が加入する保険をもって補償に充てるものとする。

〔注 非雇用型の場合の例。雇用型の場合は、業務上の災害に関する補償は労働者災害補償保険の対象となることを踏まえ、インターンシップ保険の加入内容を検討し、本条項の記述も検討することとなります。〕

（損害賠償）

第__条　甲及び乙は、相手方がこの協定に違反し、または相手方の責めに帰すべき事由により損害を被ったときは、その損害の賠償を相手方に請求することができる。

（有効期間）

第__条　この協定の有効期間は、○○年○○月○○日から△△年△△月△△日までとする。ただし、甲及び乙は、甲乙の協議の上で合意したときは、この協定を更新することができるものとする。

（協定の解除）

第__条　甲又は乙は、相手方が次の各号のいずれかに該当するときは、何らの通知催告なく（第６号の場合を除く。）、この協定を解除することができる。

① 支払を停止し若しくは手形・小切手を不渡りにし、又は取引停止処分を受けたとき。

② 差押、仮差押、仮処分若しくは競売の申し立てを受け、又は公租公課の滞納処分を受けたとき。

③ 破産、特別清算、会社整理、会社更生若しくは民事再生の申立をし、又は申立を受けたとき。

④ 清算又は解散をしたとき。

⑤ 信頼関係を破壊する重大な背信行為があったと認められるとき。

⑥ この協定の各条項に違反したとき。

（実習の中断）

第__条　乙は、甲又は実習生にこの協定に違反する行為があったときその他臨地実務実習を

継続しがたい事態が生じたときは、直ちに臨地実務実習を中断することができる。この場合には、乙は速やかに甲にその旨を通知するものとし、甲及び乙は、臨地実務実習の再開又は終了に関し誠実に協議するものとする。

（協定の解釈）

第__条 この協定に定めのない事項及びこの協定の解釈等について疑義を生じたときは、甲及び乙は誠意をもって協議し、これを解決するものとする。

（裁判管轄）

第__条 この協定に関する訴えは、甲の所在地を管轄する○○地方裁判所の管轄に属するものとする。

この協定締結の証として本書２通を作成し、甲及び乙双方が記名押印の上、それぞれ１通を保管するものとする。

○○年○○月○○日

甲：〔専門職大学の所在地〕
〔専門職大学の名称 代表者の役職・氏名〕印
乙：〔事業者の所在地〕
〔事業者の名称 代表者の役職・氏名〕　　印

審査意見への対応を記載した書類

【資料 10】

業務提携に関する覚書

第１条（目的）

学校法人新潟総合学院　開志専門職大学（以下「甲」という。）と、株式会社共立メンテナンス（以下「乙」という。）は、乙の運営する学生会館への企業内実習生（以下「丙」という。）のマンスリー契約に関する取決めをし、円滑な運営を期する事を目的として業務提携に関する覚書を締結する。

第２条（紹介の方法及び報告）

１．甲は丙に乙の運営する学生会館の紹介を行い、乙はその入館に至るまでの手続きを行う。

２．乙は入館希望者の申込状況並びに、契約成立状況等について甲より請求がある場合速やかに報告するか、資料作成し提示する。

第３条（利用料金）

乙と丙間で入館契約が成立した場合、丙は下記に設定されている利用料金でご契約できるものとする。但し、丙は乙が定める火災保険に別途加入するものとする。

＜月額食込マンスリー料金＞32,000円

＜月額食無マンスリー料金＞15,000円

第４条（期間）

業務提携の有効期間は，契約締結日より４年間とする。なお、期間満了６ヶ月前までに解約の申し出がない限り，更に１年間延長されるものとし，以後も同様とする。

第５条（中途解約）

甲または乙は，契約期間中といえども，６ヶ月の予告期間を得て業務提携を解約することができる。この場合，相手方は損害賠償権を有しない。

第６条（解約）

１．甲または乙が本契約の条項に違反した場合において，相手方より催告を受けたにもかかわらず，その是正がされないときは，相手方は契約期間中といえども本契約を解除することができる。

２．甲または乙が次の各号の一つに該当した時は，相手方は，契約期間中といえども何らの催告を要せず，本契約を直ちに解約することができる。

(1)　監督官庁から営業取消し，停止等の処分を受けたとき

(2)　銀行取引を停止されたとき

(3)　差押え，仮差押え，仮処分，強制執行等を受け、又は受けるおそれがあるとき

(4)　破産手続き開始もしくは民事再生手続き開始の申立てなどの事実が生じたとき

(5)　その他信用状態が悪化し，またはそのおそれがあると認められる相当の理由があるとき

第７条（責任の範囲）

本提携に関する乙と丙間での紛争は，両者間に於いて処理するものとし，甲は一切の責任を負わないものとする。

第８条（反社会的勢力の排除）

相手方やその従業員等が次の各号一つでも該当する者（以下「反社会的勢力」という。）であることが判明した場合には、甲及び乙は、何ら催告せず、本提携を解除することができる。

(1) 暴力団
(2) 暴力団員
(3) 暴力団員でなくなったときから５年を経過しない者
(4) 暴力団準構成員
(5) 暴力関係企業又は暴力関係団体
(6) 総会屋等
(7) 社会運動等、標ぼうゴロ
(8) 特殊知能暴力集団
(9) その他、前各号に準ずる者

２．相手方が反社会的勢力と次の各号の一つでも該当する関係を有することが判明した場合には、甲及び乙は、何ら催告を要せず、本提携を解除することができる。

(1) 反社会的勢力が経営を支配していると認められるとき
(2) 反社会的勢力が経営に実質的に関与していると認められるとき
(3) 自己、自社もしくは第三者の不正の利益を図り、又は第三者に損害を加える等、反社会的勢力を利用していると認められるとき
(4) 反社会的勢力に対して資金等を提供、又は便宜を供与する等の関与をしていると認められるとき
(5) その他、役員等又は経営に実質関与しているものが、反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有しているとき

３．相手方が自ら又は第三者を利用して次の各号の一つでも該当する行為をした場合には、甲及び乙は、何ら催告を要せず、本提携を解除することができる。

(1) 暴力的な要求行為
(2) 法的な責任を超えた不当な要求行為
(3) 取引に関し脅迫的な言動、又は暴力を用いる行為
(4) 風説を流布し偽計又は威力を用いて、相手方の信用を棄損、又は業務を妨害する行為
(5) その他、前各号に準ずる行為

４．相手方が次の各号の一つでも反する行為をした場合には、甲及び乙は、何ら催告をせず、本提携を解除することができる。

(1) 甲及び乙は、甲、乙又は乙の下請又は再委託先（下請又は再委託契約が数次にわたる場合は、その全てを含む。以下「再委託先等」という。）が、現在及び将来にわたり前三各項各号のいずれにも該当しないことを、相手方に確約する。

(2)　乙は、再委託先等が前三各項各号のいずれかに該当することが判明した場合、直ちに再委託先等との契約を解除し、又は契約解除のための措置をとらなければならない。

5．相手方が次の各号の一つでも反する行為をした場合には、甲及び乙は、何ら催告をせず、本提携を解除することができる。

(1)　甲及び乙は、甲、乙又は再委託先等が、反社会的勢力から不当請求又は業務妨害等の不当介入を受けた場合、これを拒否し又は乙の再委託先等にこれを拒否させる。

(2)　甲及び乙は、不当介入があった時点で、速やかに不当介入の事実を相手方に報告し、相手方が捜査機関へ通報する上で必要な協力を行う。

6．相手方が前各項各号への該当性の判断のために調査を要すると判断した場合には、甲及び乙は、その調査に協力し、これに必要と判断する資料を提出しなければならない。

7．相手方又は再委託先等が第１項、第２項及び第３項の各号いずれかに該当すると判明した場合には、甲及び乙は、催告その他いずれの手続を要することなく、本提携を解除し、併せて被った損害の賠償を相手方に請求することができる。なお、甲及び乙は、本条の解除により相手方に損害が生じても、何らこれを賠償し又は補償する責を負わない。

第９条（守秘義務）

甲及び乙は、本契約の履行により知り得た相手方の経営上、営業上及び技術上の情報、乙の学生会館利用者及びその他関係者の情報を秘密とし、書面による相手方の事前の承諾を得ずに、第三者に開示もしくは漏洩し、本契約履行の目的以外に使用し、又は第三者に使用させる等の行為をしてはならない。ただし、次の各号のいずれかの情報に該当するものは、本条における秘密保持の対象から除外される。

(1)　公知、公用のもの

(2)　知得した後、自己の責によらずに公知、公用となったもの

(3)　知得した際、既に自ら保有していたことを立証し得るもの

(4)　正当な権限を有する第三者から、秘密保持義務を負うことなしに入手したもの

(5)　知得した後、知得した情報とは関係なく、独自に創出したことを立証し得るもの

2．甲及び乙は、前項の情報（前項各号に揚げたものを除く）につき、裁判所又は行政機関から法令に基づき開示を求められた場合、次の各号所定の措置を講ずることを条件に、当該裁判所又は行政機関に関して当該情報を開示することができる。

(1)開示する内容をあらかじめ相手方に通知すること

(2)適法に開示を命じられた部分に限り開示すること

(3)開示に際し、当該情報が秘密である旨を文書により明らかにすること

3．甲及び乙は、第１項において書面による相手方の事前の承諾を得て、第三者に相手方の情報を開示するときは、本条に基づき自己に課せられる義務と同等の義務を、当該第三者に課する。

4．本条に基づく義務は、本契約終了後も引き続きその効力を有する。

第１０条（協議事項）

本書に定めのない事項について，疑義が生じた場合は甲，乙にて誠意をもって協議しその都度決定することとする。提携の主旨を明確にするため，本書２通作成し甲，乙各々１通を所持する。

平成31年 3月20日

甲　新潟市中央区東堀通一番町494番地3
学校法人　新潟総合学院
理事長　池　田　祥　護

乙　東京都千代田区外神田 2-18-8
株式会社共立メンテナンス
代表取締役社長　上田　卓味

審査意見への対応を記載した書類

【資料 11】

事業創造学部教員別スケジュール表

櫻井　繁樹

1期

	月	火	水	木	金
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					

2期

	月	火	水	木	金
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					

3期

	月	火	水	木	金
1限		地域産業研究Ⅲ（環境）		臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ	
2限					
3限					
4限		臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ			
5限					

4期

	月	火	水	木	金
1限		地域産業研究Ⅲ（環境）		臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ	
2限					
3限					
4限		臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ			
5限					

近藤　正幸

1期

	月	火	水	木	金
1限		イノベーションマネジメントB			
2限		イノベーションマネジメントA			経済学の基礎A
3限					
4限					経済学の基礎B
5限					

2期

	月	火	水	木	金
1限		イノベーションマネジメントB			
2限		イノベーションマネジメントA			経済学の基礎A
3限					
4限					経済学の基礎B
5限					

3期

	月	火	水	木	金
1限					
2限				アントレプレナーシップ論B	
3限				アントレプレナーシップ論A	
4限					
5限					

4期

	月	火	水	木	金
1限					
2限				アントレプレナーシップ論B	
3限				アントレプレナーシップ論A	
4限					
5限					

※トップランナー研究

※トップランナー研究

西村　伸也

1期

	月	火	水	木	金
1限			地域産業研究Ⅶまちづくり		
2限					
3限					事業計画策定総合実習
4限					事業計画策定総合実習
5限					

2期

	月	火	水	木	金
1限			地域産業研究Ⅶまちづくり		
2限					
3限					事業計画策定総合実習
4限					事業計画策定総合実習
5限					

3期

	月	火	水	木	金
1限	資源活用実習B		臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅰ		
2限	資源活用実習B				事業計画策定総合実習
3限					
4限	資源活用実習A				事業計画策定総合実習
5限	資源活用実習A				

4期

	月	火	水	木	金
1限	資源活用実習B		臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅰ		
2限	資源活用実習B				事業計画策定総合実習
3限					
4限	資源活用実習A				事業計画策定総合実習
5限	資源活用実習A				

徳田　賢二

1期

	月	火	水	木	金
1限					
2限					
3限					事業計画策定総合実習
4限					事業計画策定総合実習
5限	現代経済学			流通論の基礎	

2期

	月	火	水	木	金
1限					
2限					
3限					事業計画策定総合実習
4限					事業計画策定総合実習
5限	現代経済学			流通論の基礎	

3期

	月	火	水	木	金
1限				地域経済産業論A	
2限					
3限					事業計画策定総合実習
4限				地域経済産業論B	事業計画策定総合実習
5限					

4期

	月	火	水	木	金
1限				地域経済産業論A	
2限					
3限					事業計画策定総合実習
4限				地域経済産業論B	事業計画策定総合実習
5限					

常木　正則

1期

	月	火	水	木	金
1限					
2限			日本語コミュニケーションA		
3限			日本語コミュニケーションB		
4限					
5限					

2期

	月	火	水	木	金
1限					
2限			日本語コミュニケーションA		
3限			日本語コミュニケーションB		
4限					
5限					

3期

	月	火	水	木	金
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					

4期

	月	火	水	木	金
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					

平田 沙織

1期

	月	火	水	木	金
1限		臨地実務実習巡回指導日 新規商品開発販売実習Ⅰ			臨地実務実習巡回指導日 新規商品開発販売実習Ⅱ
2限					
3限					
4限			新規商品開発・販売実習Ⅱ巡回指導日	新規商品開発・販売実習Ⅱ巡回指導日	
5限					

2期

	月	火	水	木	金
1限		臨地実務実習巡回指導日 新規商品開発販売実習Ⅰ		会計学B	臨地実務実習巡回指導日 新規商品開発販売実習Ⅱ
2限				会計学A	
3限					
4限			新規商品開発・販売実習Ⅱ巡回指導日	新規商品開発・販売実習Ⅱ巡回指導日	
5限					

3期

	月	火	水	木	金
1限				臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ	
2限		財務諸表論B			事業計画策定総合実習
3限		財務諸表論A			
4限		臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ			事業計画策定総合実習
5限					

4期

	月	火	水	木	金
1限				臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ	
2限					
3限		臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ			事業計画策定総合実習
4限					事業計画策定総合実習
5限					

星　和樹

1期

	月	火	水	木	金
1限					経営学の基礎A
2限	経営組織論B			ビジネスモデル研究B	
3限	経営組織論A			ビジネスモデル研究A	経営学の基礎B
4限					事業計画策定総合実習
5限					事業計画策定総合実習

2期

	月	火	水	木	金
1限					経営学の基礎A
2限	経営組織論B			ビジネスモデル研究B	
3限	経営組織論A			ビジネスモデル研究A	経営学の基礎B
4限					事業計画策定総合実習
5限					事業計画策定総合実習

3期

	月	火	水	木	金
1限					
2限			経営戦略策定演習B		経営戦略論B
3限			経営戦略策定演習A		
4限					経営戦略論A
5限					事業計画策定総合実習

4期

	月	火	水	木	金
1限					
2限			経営戦略策定演習B		経営戦略論B
3限			経営戦略策定演習A		
4限					経営戦略論A
5限					事業計画策定総合実習

石川秀才

1期

	月	火	水	木	金
1限		臨地実務実習巡回指導日 新規商品開発販売実習Ⅰ			臨地実務実習巡回指導日 新規商品開発販売実習Ⅱ
2限					
3限					
4限					
5限	不動産法入門				

2期

	月	火	水	木	金
1限		臨地実務実習巡回指導日 新規商品開発販売実習Ⅰ			臨地実務実習巡回指導日 新規商品開発販売実習Ⅱ
2限					
3限					
4限					
5限	不動産法入門				

3期

	月	火	水	木	金
1限	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅱ	不動産取引演習	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅰ	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ	
2限					
3限					
4限		臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ			
5限					

4期

	月	火	水	木	金
1限	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅱ	不動産取引演習	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅰ	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ	
2限					
3限					
4限		臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ			
5限					

土岐　智賀子

1期

	月	火	水	木	金
1限				キャリアデザインⅠA	
2限					
3限				キャリアデザインⅠB	
4限					
5限					

2期

	月	火	水	木	金
1限				キャリアデザインⅡA	
2限				キャリアデザインⅡB	
3限					
4限					
5限					

3期

	月	火	水	木	金
1限	現代社会学			臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ	
2限	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅱ				
3限					
4限		臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ			
5限					

4期

	月	火	水	木	金
1限	現代社会学			臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ	
2限	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅱ				
3限					
4限		臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ			
5限					

松澤　孝紀

1期

	月	火	水	木	金
1限		臨地実務実習巡回指導日 新規商品開発販売実習Ⅰ			新規商品開発・販売実習Ⅱ巡回指導
2限					
3限					
4限			新規商品開発・販売実習Ⅰ巡回指導 B	新規商品開発・販売実習Ⅱ巡回指導	事業計画総合実習
5限					事業計画策定総合実習

2期

	月	火	水	木	金
1限		臨地実務実習巡回指導日 新規商品開発販売実習Ⅰ			新規商品開発・販売実習Ⅱ巡回指導
2限					
3限					
4限			新規商品開発・販売実習Ⅰ巡回指導 B	新規商品開発・販売実習Ⅱ巡回指導	事業計画総合実習
5限					事業計画策定総合実習

3期

	月	火	水	木	金
1限	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅱ		資金調達の実践B		
2限		資金調達の実践A	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅰ		
3限					
4限					事業計画総合実習
5限					事業計画策定総合実習

4期

	月	火	水	木	金
1限	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅱ		資金調達の実践B		
2限		資金調達の実践A	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅰ		
3限					
4限					事業計画総合実習
5限					事業計画策定総合実習

東城　歩

1期

	月	火	水	木	金
1限	簿記概論A	臨地実務実習巡回指導日 新規商品開発販売実習Ⅰ			臨地実務実習巡回指導日 新規事業開発販売実習Ⅱ
2限					
3限					
4限	簿記概論B		財務諸表分析A		
5限			財務諸表分析B		

2期

	月	火	水	木	金
1限	簿記概論A	臨地実務実習巡回指導日 新規商品開発販売実習Ⅰ			臨地実務実習巡回指導日 新規事業開発販売実習Ⅱ
2限					
3限					
4限	簿記概論B		財務諸表分析A		
5限			財務諸表分析B		

3期

	月	火	水	木	金
1限	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅱ			簿記演習A	
2限				簿記演習B	
3限					
4限					
5限					

4期

	月	火	水	木	金
1限	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅱ				
2限					
3限					
4限					
5限					

高松　孝光

1期

	月	火	水	木	金
1限					
2限	マーケティングB				
3限	マーケティングA				事業計画策定総合実習
4限					事業計画策定総合実習
5限					

2期

	月	火	水	木	金
1限					
2限	マーケティングB				
3限	マーケティングA				事業計画策定総合実習
4限					事業計画策定総合実習
5限					

3期

	月	火	水	木	金
1限					
2限					地域産業研究Ⅲ(カルチャ)
3限	広報戦略の実践				事業計画策定総合実習
4限					事業計画策定総合実習
5限			グローバル社長学		

4期

	月	火	水	木	金
1限					
2限					地域産業研究Ⅲ(カルチャ)
3限	広報戦略の実践				事業計画策定総合実習
4限					事業計画策定総合実習
5限			グローバル社長学		

向 正道

1期

	月	火	水	木	金
1限					
2限		情報リテラシーB			
3限		情報リテラシーB			事業計画策定総合実習
4限		情報リテラシーA			事業計画策定総合実習
5限		情報リテラシーA			

2期

	月	火	水	木	金
1限					
2限					
3限					事業計画策定総合実習
4限					事業計画策定総合実習
5限					

3期

	月	火	水	木	金
1限					
2限		デジタルマーケティングA	ICT活用ビジネス		
3限					事業計画策定総合実習
4限		デジタルマーケティングB			事業計画策定総合実習
5限					

4期

	月	火	水	木	金
1限					
2限		デジタルマーケティングA	ICT活用ビジネス		
3限					事業計画策定総合実習
4限		デジタルマーケティングB			事業計画策定総合実習
5限					

原岡　和生

1期

	月	火	水	木	金
1限	会社設立実習ⅡB				
2限	会社設立実習ⅡB		地域産業軒研究Ⅳものづくり		
3限	会社設立実習ⅡB				事業計画策定総合実習
4限	会社設立実習ⅡB				事業計画策定総合実習
5限					

2期

	月	火	水	木	金
1限	会社設立実習ⅡB				
2限	会社設立実習ⅡB		地域産業軒研究Ⅳものづくり		
3限	会社設立実習ⅡB				事業計画策定総合実習
4限	会社設立実習ⅡB				事業計画策定総合実習
5限					

3期

	月	火	水	木	金
1限					
2限			ICT活用ビジネス	ビジネスコミュニケーションA	
3限				ビジネスコミュニケーションB	事業計画策定総合実習
4限		会社設立実習ⅠB		会社設立実習ⅠB	事業計画策定総合実習
5限		会社設立実習ⅠB		会社設立実習ⅠB	

4期

	月	火	水	木	金
1限					
2限			ICT活用ビジネス	ビジネスコミュニケーションA	
3限				ビジネスコミュニケーションB	事業計画策定総合実習
4限		会社設立実習ⅠB		会社設立実習ⅠB	事業計画策定総合実習
5限		会社設立実習ⅠB		会社設立実習ⅠB	

福田　稔

1期

	月	火	水	木	金
1限	会社設立実習ⅡA				
2限	会社設立実習ⅡA				
3限	会社設立実習ⅡA				事業計画策定総合実習
4限	会社設立実習ⅡA				事業計画策定総合実習
5限					

2期

	月	火	水	木	金
1限	会社設立実習ⅡA				
2限	会社設立実習ⅡA				
3限	会社設立実習ⅡA				事業計画策定総合実習
4限	会社設立実習ⅡA				事業計画策定総合実習
5限					

3期

	月	火	水	木	金
1限			臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅰ	会社設立実習ⅠA	
2限				会社設立実習ⅠA	事業計画策定総合実習
3限				会社設立実習ⅠA	事業計画策定総合実習
4限		会社設立実習ⅠA			
5限		会社設立実習ⅠA			

4期

	月	火	水	木	金
1限			臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅰ		
2限				会社設立実習ⅠA	
3限				会社設立実習ⅠA	事業計画策定総合実習
4限		会社設立実習ⅠA			事業計画策定総合実習
5限		会社設立実習ⅠA			

美甘　哲秀

1期

	月	火	水	木	金
1限	現代産業論A				
2限					
3限					事業計画策定総合実習
4限	現代産業論B				事業計画策定総合実習
5限					

2期

	月	火	水	木	金
1限	現代産業論A				
2限					
3限					事業計画策定総合実習
4限	現代産業論B				事業計画策定総合実習
5限					

3期

	月	火	水	木	金
1限					
2限					
3限					事業計画策定総合実習
4限	現代企業論B				事業計画策定総合実習
5限	現代企業論A				

4期

	月	火	水	木	金
1限					
2限					
3限					事業計画策定総合実習
4限	現代企業論B				事業計画策定総合実習
5限	現代企業論A				

渡邉　康英

1期

	月	火	水	木	金
1限		ソーシャルデザインⅡA			
2限		ソーシャルデザインⅡB			
3限					
4限					
5限					

2期

	月	火	水	木	金
1限		ソーシャルデザインⅡA			
2限		ソーシャルデザインⅡB			
3限					
4限					
5限					

3期

	月	火	水	木	金
1限	ソーシャルデザイン実習A		ソーシャルデザインⅠB	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ	
2限	ソーシャルデザイン実習A		ソーシャルデザインⅠA		
3限			臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅰ		
4限	ソーシャルデザイン実習B	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ			
5限	ソーシャルデザイン実習B				

4期

	月	火	水	木	金
1限	ソーシャルデザイン実習A		ソーシャルデザインⅠB	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ	
2限	ソーシャルデザイン実習A		ソーシャルデザインⅠA		
3限			臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅰ		
4限	ソーシャルデザイン実習B	臨地実務実習巡回指導日 企業内実習Ⅲ			
5限	ソーシャルデザイン実習B				

増田　達夫

1期

	月	火	水	木	金
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					

2期

	月	火	水	木	金
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					

3期

	月	火	水	木	金
1限					
2限					
3限	現代史と国際関係論				
4限					
5限			地域産業研究Ⅲ環境		

4期

	月	火	水	木	金
1限		国際動態論			
2限		国際動態論			
3限	現代史と国際関係論				
4限					
5限			地域産業研究Ⅲ環境		

古屋　光俊

1期

	月	火	水	木	金
1限					ビジネスプランの応用A
2限					ビジネスプランの応用A
3限					ビジネスプランの応用B
4限					ビジネスプランの応用B
5限					

2期

	月	火	水	木	金
1限					ビジネスプランの応用A
2限					ビジネスプランの応用A
3限					ビジネスプランの応用B
4限					ビジネスプランの応用B
5限					

3期

	月	火	水	木	金
1限					
2限					ビジネスプランの基礎A
3限					ビジネスプランの基礎B
4限					実践ベンチャービジネスA
5限					実践ベンチャービジネスB

4期

	月	火	水	木	金
1限					
2限					ビジネスプランの基礎A
3限					ビジネスプランの基礎B
4限					実践ベンチャービジネスA
5限					実践ベンチャービジネスB

審査意見への対応を記載した書類

【資料 12】

安全上の理由の為掲載せず

イノベーション力研究所創業支援センター　レイアウト図

審査意見への対応を記載した書類

【資料 13】

安全上の理由の為掲載せず

開志未来創造研究センター　レイアウト図

審査意見への対応を記載した書類

【資料 14】

安全上の理由の為掲載せず

IoT実習室　レイアウト図